servicenow®

Yokohama Platform Analytics

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

ビジネスプロセスの分析と最適化 5
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス 9
プラットフォームアナリティクス移行センター 12
アナリティクスセンター 23
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス 29
でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス 111
のフィルター プラットフォームアナリティクス 445
プラットフォームアナリティクスページの作成 471
のインジケーターライブラリ プラットフォームアナリティクス 484
KPI 詳細 485
KPI シグナル 525
プラットフォームアナリティクスでのデータキャッシュ 548
プラットフォームアナリティクスのロール 551
アナリティクス 生成 560
パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース) 570
パフォーマンスアナリティクス の詳細 572
パフォーマンスアナリティクス Fundamentals の構成 581
高度な機能 パフォーマンスアナリティクス 構成 793
パフォーマンスアナリティクスの参照 911
アナリティクスソリューション 936
利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション 937
ServiceNow Storeパフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むアプリケーション 941
ガイド付きセットアップを使用したソリューションのアクティブ化 942
ダッシュボードのインストール 944
プラットフォームアナリティクスソリューション の構成 947
のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューション 953
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 960
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの詳細 961
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成 966
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の使用 980
ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの参照 1003
プロセスマイニング 1008
プロセスマイニング の探索 1009
プロセスマイニング のアクティブ化 1031
プロセスマイニングの構成 1061
プロセスマイニング の使用 1070
プロセスマイニング に関する参照情報 1214
のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI 1236
レポート 1239

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コア UI のレスポンシブダッシュボード..... 1627
インタラクティブフィルター.....1720
パフォーマンスアナリティクスウィジェット..... 1760
アナリティクスハブ.....1876
インタラクティブアナリシス..... 1901
Automation Discovery.....1911
オートメーションディスカバリーのインストール.....1915
オートメーションディスカバリーレポートの作成.....1918

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスの分析と最適化

プラットフォームアナリティクスアプリケーションでプロセスを最適化し、生産性を向上させます。これらのアプリケーションには、 レポート、 パフォーマンスアナリティクス、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、および プロセスマイニングが含まれます。コア UIまたはプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのいずれかを通じてデータを表示します。

始めましょう

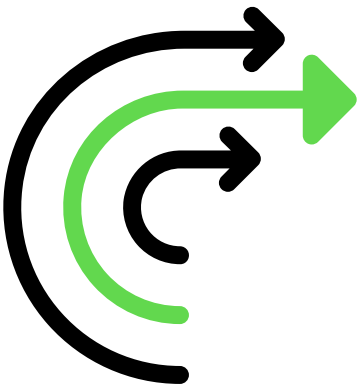
これらのタイルのいずれかを選択すると、さまざまな種類のユーザーにさまざまな種類のデータを提供するのに役立つアプリケーションの詳細が表示されます。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス



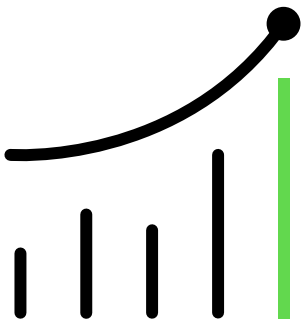
データ可視化ツール、ダッシュボード、KPI を使用して分析を探索します。すべて自然言語クエリでアクセスできます。

パフォーマンスアナリティクス



この一連のビジネス分析ツールを使用して、サービスの提供時間を短縮し、コストを削減します。

アナリティクスソリューション



構築済みのダッシュボード、重要業績評価指標 (KPI) などを備えた ServiceNow コンテンツパッケージを活用します。

自動翻訳

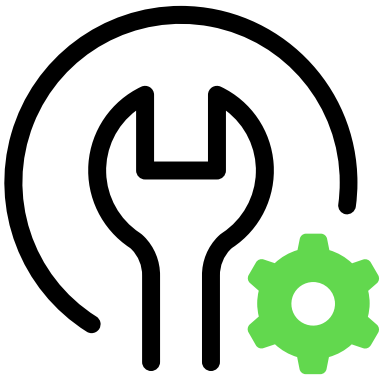
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス



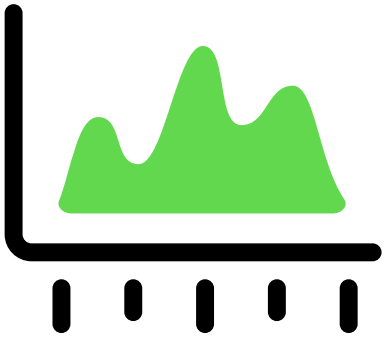
メトリクスやインタラクションなどの完全なビジュアル機能により、ユーザーが複数の ServiceNow アプリケーションをどのように操作しているかを示すダッシュボードビューを取得できます。

プロセスマイニング



このアプリケーションを使用して自動化されたプロセスフローのデータを分析し、企業のワークフロー効率を向上させる方法を見つけます。

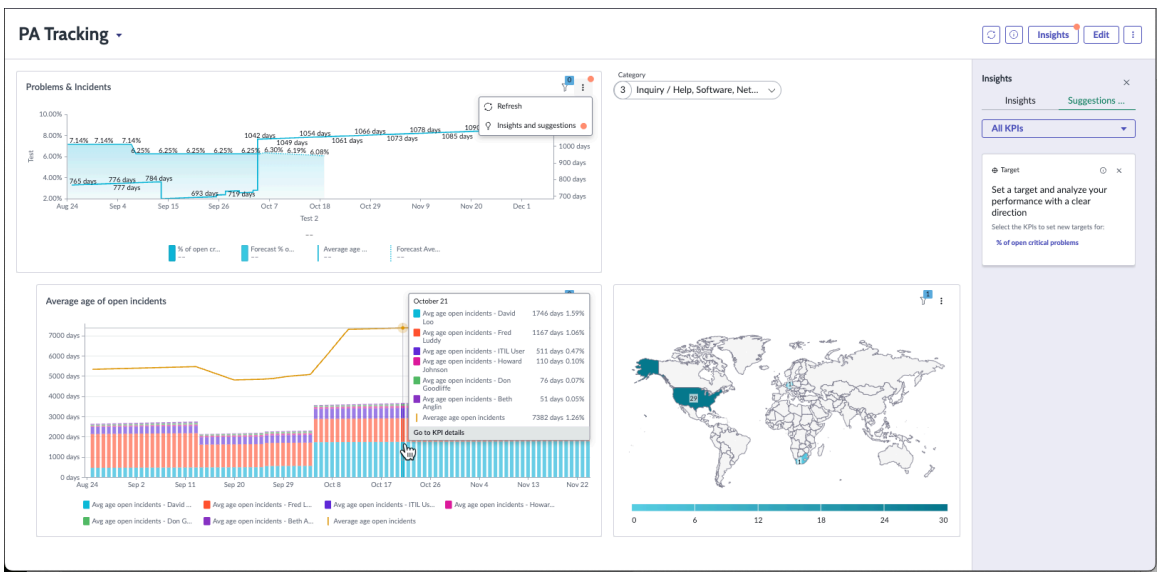
のレポートとダッシュボード コア UI



テーブルと パフォーマンスアナリティクス インジケーターデータを表示します。アナリティクスハブのインジケーターにドリルダウンします。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

データの可視化でデータを表示するための多くのオプションを確認します。ダッシュボードを作成、変更、および共有 します。ダッシュボードに表示されるデータをフィルタリングします。データ内の潜在的に重要なイベントに関するインサイトをダッシュボードで受け取ります。KPI 詳細でプロセス動作のインジケーターを探索し、これらのインジケーターの重大な変更をKPI シグナルを通じてアラートで確認します。

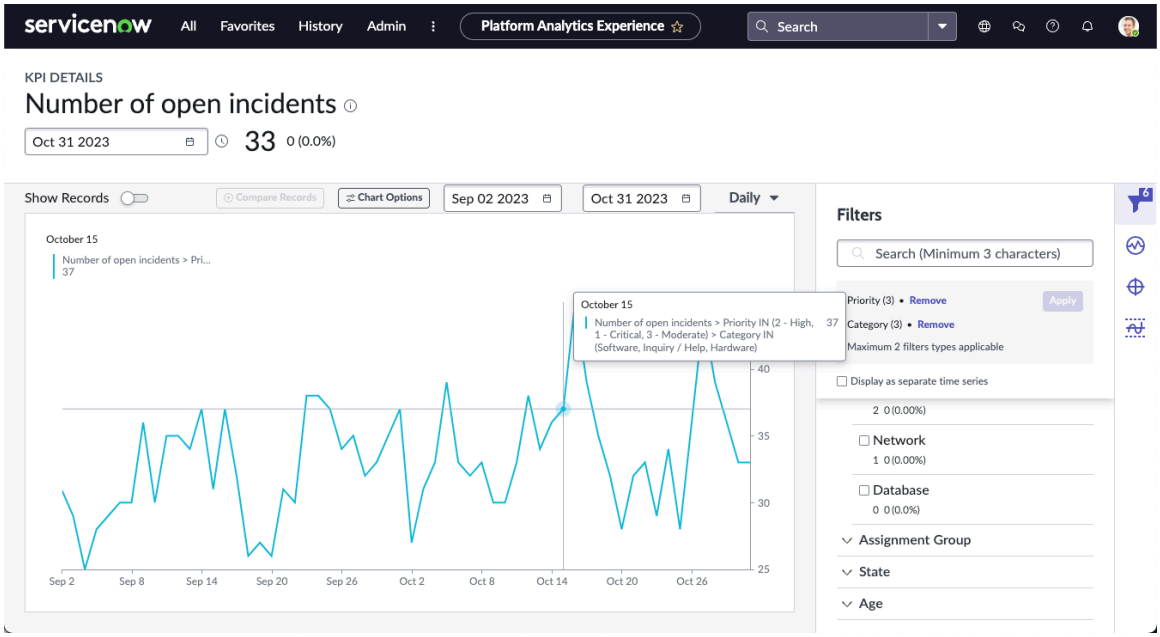


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

ビジネスを常に改善する方法を学びましょう。パフォーマンスアナリティクス Fundamentals を使用して重要業績評価指標を計画および実装します。さらに、高度な機能を構成し、管理者としてデータ構造を直接操作できるようにします。



アナリティクスソリューション

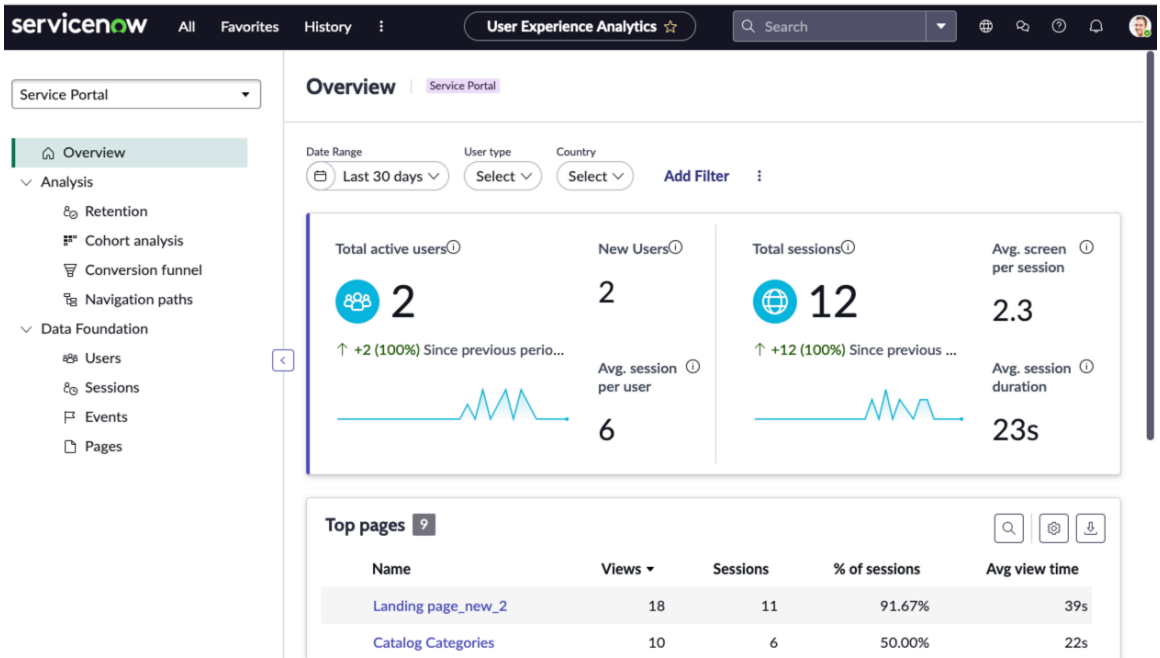
ほとんどの ServiceNow 製品で利用可能なダッシュボードと KPI を備えた、事前パッケージ済みソリューションのフルセットを活用します。いくつかのアプリケーションは、内蔵の パフォーマンスアナリティクス コンポーネントのおかげで、スタンドアロンで機能することができます。標準のテーブルとフィールドのデータセットに留まらず、プラットフォームアナリティクスソリューションをカスタマイズして、分析のための手動およびスケジュールされたデータ収集を実行します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

複数の ServiceNow アプリケーションの使用状況に関するダッシュボードベースの分析について説明します。管理者は、ユーザー母集団、保持、動作など、モバイルアプリケーションと Web アプリケーションの両方でのユーザーエンゲージメントに関する情報を取得できます。

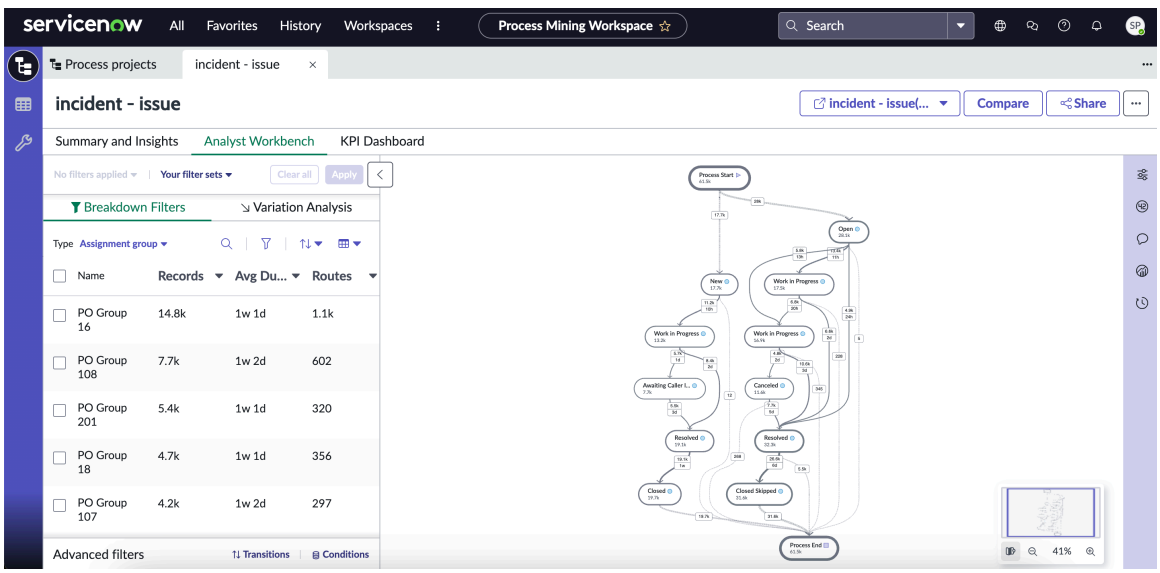
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマイニング

ビジネスを簡素化する方法の発見、ワークフローのボトルネックと逸脱の検出、プロセスのフィルターおよび比較などを実行します。主要な プロセスマイニング 用語 の包括的なリストには、企業が効果的なパフォーマンスを最大限発揮するのに役立つ注目すべき用語とその定義がすべて記載されています。

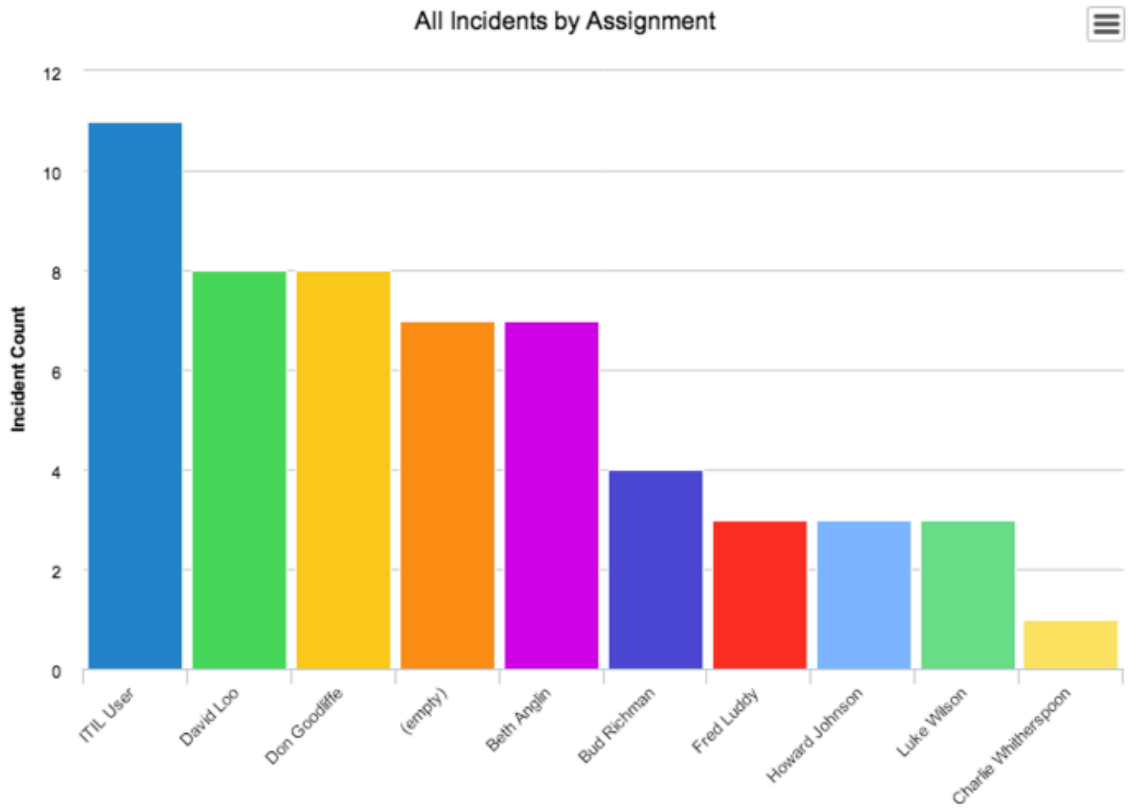


のレポートとダッシュボード コア **UI**

アドミニストレーターやその他のステークホルダーが、 コア UI ダッシュボードを使用して、リアルタイムのデータレポートを操作し、傾向を分析できるようにします。データとビジネスゴールに合わせて、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを作成および定義し、それらの可視化を使用するクイックビューダッシュボードを構成します。アナリティクスハブ を使用して、オプションのアドオンとして詳細なデータ探索を実行し、アクティビティを経時的に調べ、スコアとベンチマークを比較し、その他のさまざまなターゲットや傾向を分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーションと機能

- プラットフォームアナリティクス移行センター
- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス
- アナリティクス生成を使用して会話形式で可視化を作成
- パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン
- を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer
- KPI 詳細を使用してインジケーターを探索
- アナリティクスソリューション
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス
- プロセスマイニング
- のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI
- オートメーションディスカバリーでワークフローの自動化の機会を特定する

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

オプションのフィルターとともに、データの可視化とダッシュボードを通じて、プラットフォームアナリティクスを配布および消費します。KPI を検索し、データ内の重要なイベントに関するインサイトを受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスは、複数のデータソースのデータを可視化するための統一インターフェイスです。統一ナビゲーションでアクセスする **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス).

注:
プラットフォームアナリティクスおよび移行センターの詳細については、ServiceNow Community で「プラットフォームアナリティクスのイネーブルメントツールキット」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスには、次の 2 つの主要なセクションがあります。

アナリティクスセンター

このページには、ブックマーク済みで会社認定済みのすべてのダッシュボードとデータの可視化が表示されます。さらにアナリティクス Q&A (自然言語を使用して質問することが可能で、関連するアナリティクスが可視化されて表示されるフィールド) も含まれます。

ライブラリ

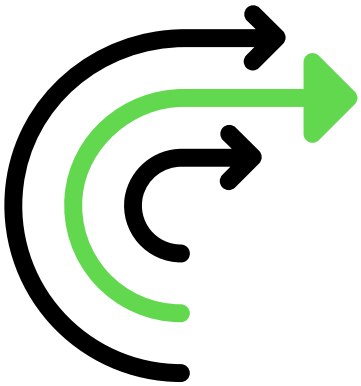
ライブラリは、アクセスできるプラットフォームアナリティクスのビジュアルコンポーネントすべてと、これらのコンポーネントに適用されるユーティリティを一覧表示する一連のページです。独自のダッシュボード、データの可視化、およびフィルターを作成することもできます。適切なロールがあれば、作成したコンポーネントを共有ライブラリに追加できます。

注:
ライブラリコンテンツのタブを含むアナリティクスセンターを独自の構成可能ワークスペースに追加できます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスセンター



インスタンスに関するすべてのダッシュボード、可視化、分析回答、およびインサイトを 1 つのページに集めます。

Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) ダッシュボード



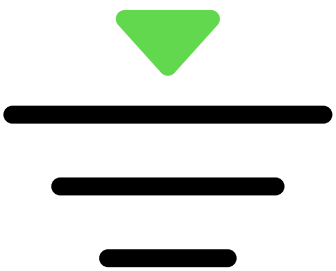
アクセス権限のあるすべてのダッシュボードを表示し、作成したダッシュボード、ブックマークしたダッシュボード、認定済みのダッシュボードでフィルタリングします。独自のダッシュボードを作成し、他のユーザーと共有することもできます。

データの可視化



他のユーザーと共有するテーブル、インジケーター、またはその他のデータに基づいて、可視化を作成、更新、認定、および共有します。

プラットフォームアナリティクスのフィルター



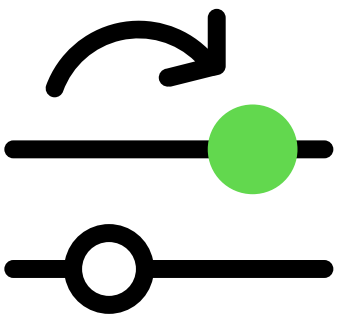
ダッシュボードのリストとデータの可視化を、データ値、値が true か false、または日付でフィルタリングします。

KPI 詳細



重要業績評価指標 (KPI) スコアの背後にある情報を掘り下げます。傾向、予測、および関連レコードを表示します。さまざまなブレークダウンと時間集計を試します。

KPI シグナル



ビジネスプロセスが予期しない動作をする場合について学びます。KPI スコアが大幅に変更された場合は、担当ユーザーに通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクス移行センター

コア UI データを移行すると、既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが プラットフォームアナリティクス に移動されます。移行をアクティブ化すると、結果は、すべてのデータソースに対して単一の可視化と統合フィルターのセットになります。

注:

プラットフォームアナリティクスおよび移行センターの詳細については、ServiceNow Community で「プラットフォームアナリティクスのイネーブルメントツールキット」を参照してください。

移行センターは、 ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合にのみ使用できます。ネクストエクスペリエンスを有効にするには、*glide.ui.polaris.experience*プロパティの値を true に設定します。

移行が完了すると、コア UI レポート、PA ウィジェット、フィルターを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスダッシュボードに追加できなくなります。これらのダッシュボードには、移行されたコンテンツと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内で作成されたコンテンツのみを追加できます。

移行対象

移行プロセスでは、ダッシュボードのコンテンツが取得され、コア UI (クラシック環境のダッシュボードと可視化) から プラットフォームアナリティクス ライブラリに移行されます。その後、統一ナビゲーションメニューからすべての分析にアクセスします。インジケーターを使用すると、重要な変更を警告するツールが表示されます。

注:
リリースをアップグレードすると、移行センターは、以前は互換性がなかったコンテンツが、現在は互換性があるコンテンツを自動的に移行します。

移行されないもの

簡単に言うと、ほとんどすべてが移行されます。ほとんどのコア UI ダッシュボードコンテンツは プラットフォームアナリティクス でサポートされています。一部のコンテンツには類似の プラットフォームアナリティクス 機能がなく、iframe とも呼ばれるコンテナーに移行されます。これは互換モードと呼ばれます。iframe に移行されるコンテンツと、まったく移行されないいくつかのアイテムの詳細については、「 移行されないコンテンツ、または互換モードで移行されたコンテンツ」を参照してください。

移行プロセスとは

移行プロセスには次の手順があります。

未使用のダッシュボードを削除

未使用のダッシュボードとレポートを削除して、簡素化されたプロセスを推進します。

- pa_dashboards.list に移動し、削除するダッシュボードを選択してから、 選択した行のアクション > 削除.
- 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > **All** (すべて)を削除し、削除するレポートを選択してから、 選択した行のアクション > 削除.

移行手順の実行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この手順では、 プラットフォームアナリティクス に直接移行できるものと、互換モードで移行されるものを特定します。

移行結果の確認

未使用のダッシュボード、古くなった可視化、期待どおりに機能しないフィルターなど、移行したくないダッシュボードやその他のコンテンツを特定できます。

移行の有効化

移行するコンテンツの量によっては、アクティブ化に時間がかかる場合があります。

カスタムコンテンツの作成

UI ビルダー などのツールを使用して、移行されないコンテンツのニーズを満たすカスタム コンテンツを作成できます。

メニューはどうなるか

移行前は、ユーザーは セルフサービス > ダッシュボード ダッシュボードの概要を表示し レポート > 表示/実行 をクリックしてレポートのリストを表示します。移行を有効にすると、ダッシュボード、データの可視化、フィルター、KPI を含むすべてのアナリティクスコンテンツが **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ.

ブロック移行オプション

[移動を開始] および [エクスペリエンスをアクティブ化] プラットフォームアナリティクス オプションを無効にできます。システムプロパティ com.glide.par.coreui.migration.enabled を作成し、False に設定します。コンテンツを移行する前にこのプロパティを False に設定すると、両方のオプションが無効になります。コンテンツを移行した後にこのプロパティを false に設定すると、[アクティブ化] ボタンのみが無効になります。

移行を開始し、互換モードになっているアーティファクトを表示して問題を解決する場合は、移行を実行した後にプロパティを False に設定して、エクスペリエンスがアクティブ化されないようにします プラットフォームアナリティクス 。移行プロセスを回避するには、まずこのプロパティを False に設定します。

詳細については、「Add a system property」を参照してください。

完全なデータ移行を実行

既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

始める前に

必要なロール:完全な移行を実行し、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスをアクティブ化するには:admin。他のアドミンロール (pa_admin、report_admin、dashboard_admin) を持つユーザーは、移行センターにアクセスして移行を評価できます。

移行センターは、 ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合にのみ使用できます。ネクストエクスペリエンスを有効にするには、*glide.ui.polaris.experience*プロパティの値を true に設定します。

このタスクについて

このトピックでは、インスタンスがまったく新しい Xanadu または Yokohama インスタンスでないことを前提としています。移行センターは、インスタンスのアップグレード時にのみ使用できます。

単一の非本番インスタンスで移行を実行してテストします。完全なテスト移行の結果に満足したら、本番インスタンスで移行を開始します。[コンテンツを試す] を選択して、限られた数のダッシュボードで出力をテストします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

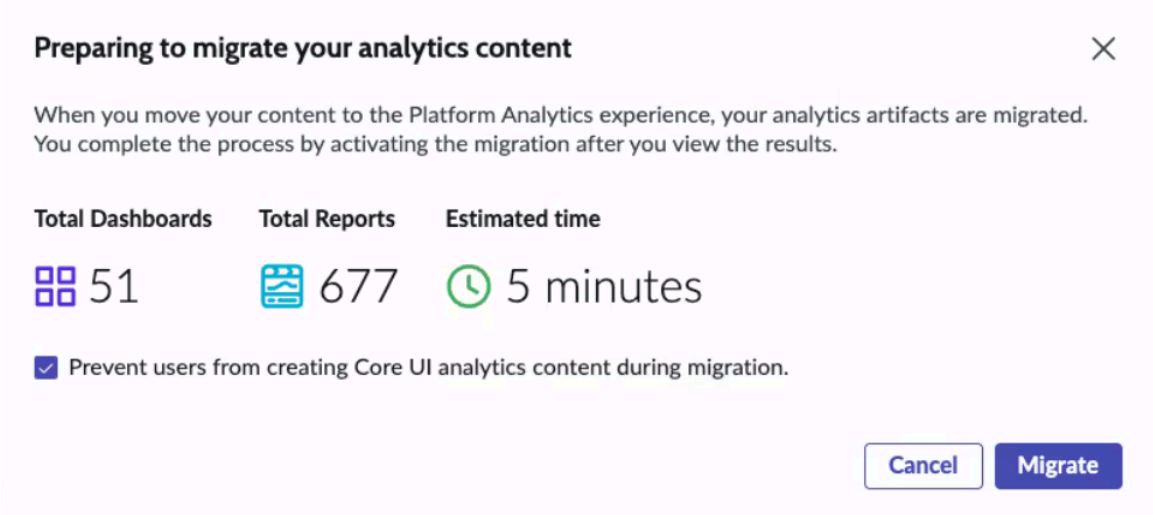
移行後にコア UI ダッシュボードを変更して再度移行すると、変更したダッシュボードによって最初に移行されたダッシュボードが上書きされます。

移行された資料を非本番インスタンスから本番インスタンスに移動することはできません。

互換モードで移行された可視化またはその他のウィジェットを含むダッシュボードでは、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 移行センター.
2. 「プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの詳細」の移行プロセスに関する情報を確認してください。
   これらのタブには、移行プロセスの詳細と、 プラットフォームアナリティクスに期待できることが表示されます。
3. [移動の開始] を選択して、すべてのコンテンツを移行します。
   移行プロセスの長さは、インスタンスにあるダッシュボード、レポート、フィルター、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの数によって異なります。



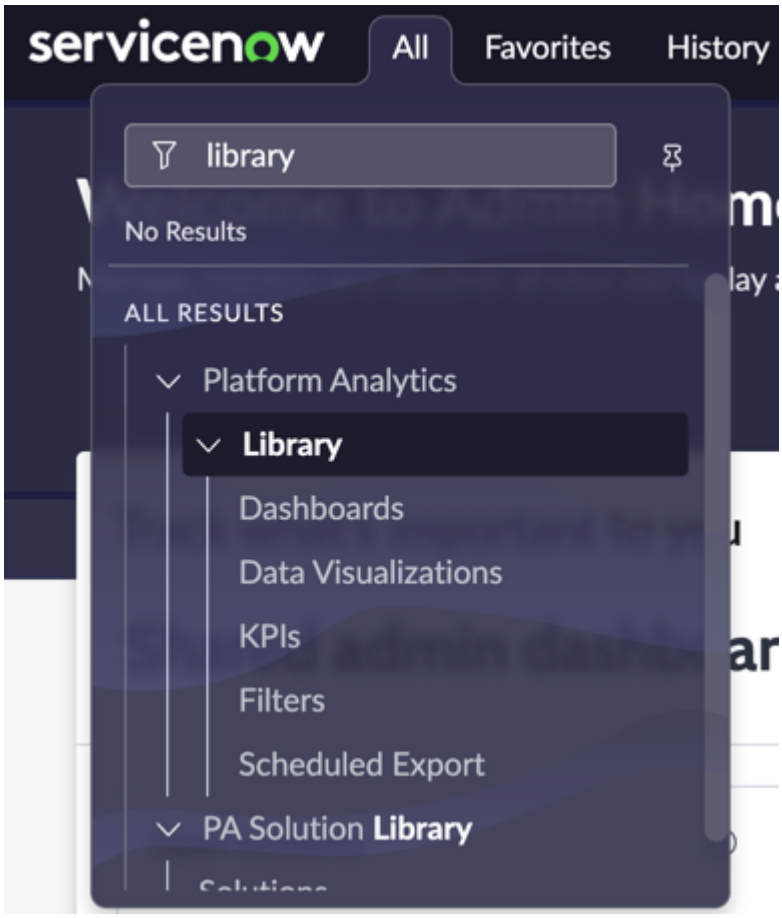
4. オプション: [移行中にユーザーがコア **UI** アナリティクスを作成できないようにする] を選択します。
   新しいコア UI アナリティクスコンテンツは、後で移行する必要がある場合があります。
5. [移行] を選択して、移行プロセスを開始します。
6. 結果を評価します。
7. [アクティブ化] を選択して、移行プロセスを完了します。
   新しく移行されたコンテンツは、[アクティブ化] を選択するまでプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスで使用できません。以前にコア UI ダッシュボードとレポートに接続されていたメニューアイテムは、新しく移行されたバージョンに自動的にリダイレクトされます。

タスクの結果

これで、ダッシュボードとその他の移行されたコンテンツがライブラリの下に表示されます。次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
完全なデータ移行を評価します

完全なデータ移行を評価します

移行プロセスが完了したら、結果を確認します。

始める前に
必要なロール:完全な移行を実行し、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスをアクティブ化するには:admin。他のアドミンロール (pa_admin、report_admin、dashboard_admin) を持つユーザーは、移行センターにアクセスして移行を評価できます。

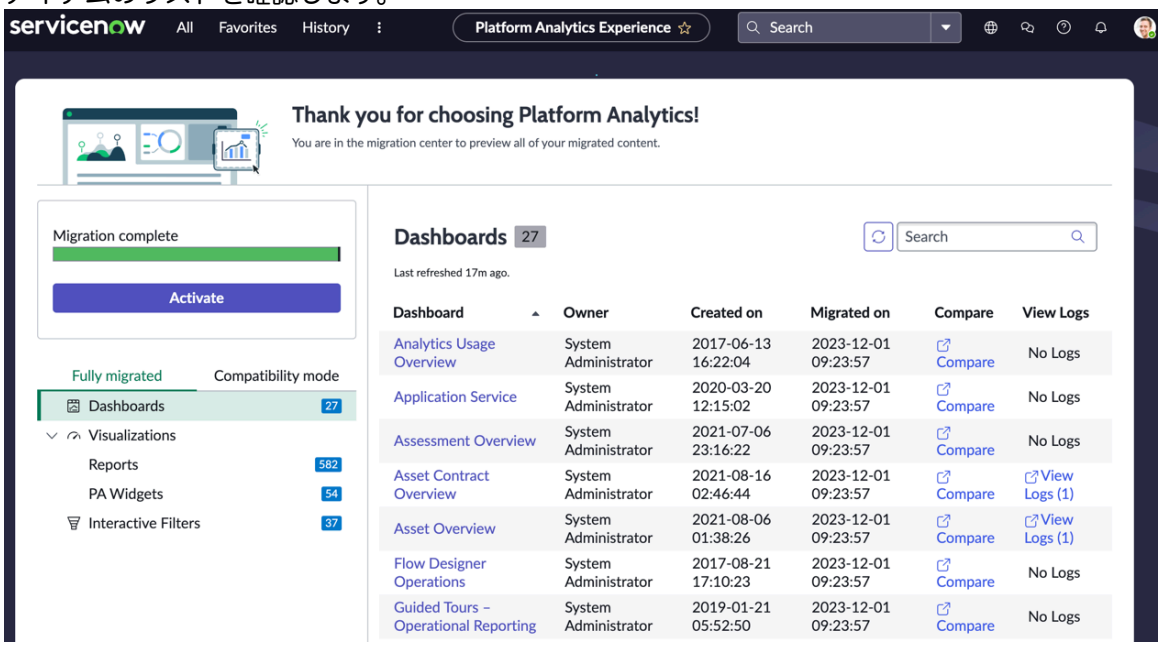
このタスクについて
データが移行されるとすぐに、移行の結果が表示されます。完全に移行されたコンテンツと互換モードで移行されたコンテンツを確認します。移行されたすべてのコンテンツを元のコア UI バージョンと比較できます。

自動翻訳

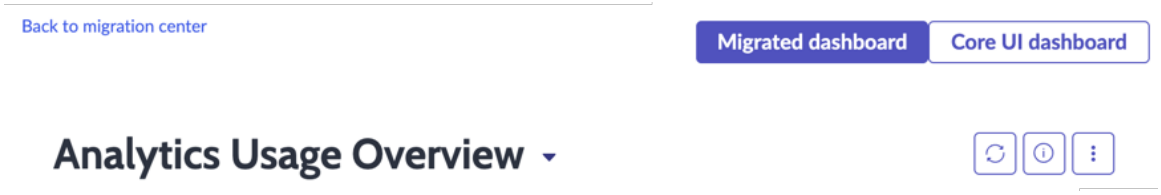
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移行センターで、[完全に移行済み] 列、[ダッシュボード]、[可視化]、[レポート]、[PA ウィジェット]、または [インタラクティブフィルター] からアイテムを選択して、移行されたすべてのアイテムのリストを確認します。



2. 任意のダッシュボードの [比較] リンクを選択すると、コア UI と移行されたコンテンツが連続して表示されます。



3. [互換モード] タブを選択して、コア UI ダッシュボードのコンテンツと互換モードで移行されたコンテンツを比較します。
コンテンツ ブロックやその他のコンテンツ を含むダッシュボードに細心の注意を払ってください。これらは、これらのウィジェットをサポートするために、移行されたダッシュボードでさらに変更が必要になる可能性があります。
4. [ログを表示] リンクを選択して、移行された各要素に関連する問題を確認します。
5. [アクティブ化] を選択して、移行プロセスを完了します。
以前にコア UI ダッシュボードとレポートに接続されていたメニューアイテムは、新しく移行されたバージョンに自動的にリダイレクトされます。

データ移行を再開

完全なデータの後にコア UI コンテンツが変更されたとき、および以前にサポートされていない機能が プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでサポートされるようになったときに、移行を再開します。

このタスクについて

移行する変更されたアーティファクト、新しいコンテンツ、または新しくサポートされているコンテンツがある場合、移行センターにバナーが表示され、[再移行] というラベルの付いたボタンが表示されます。

自動翻訳

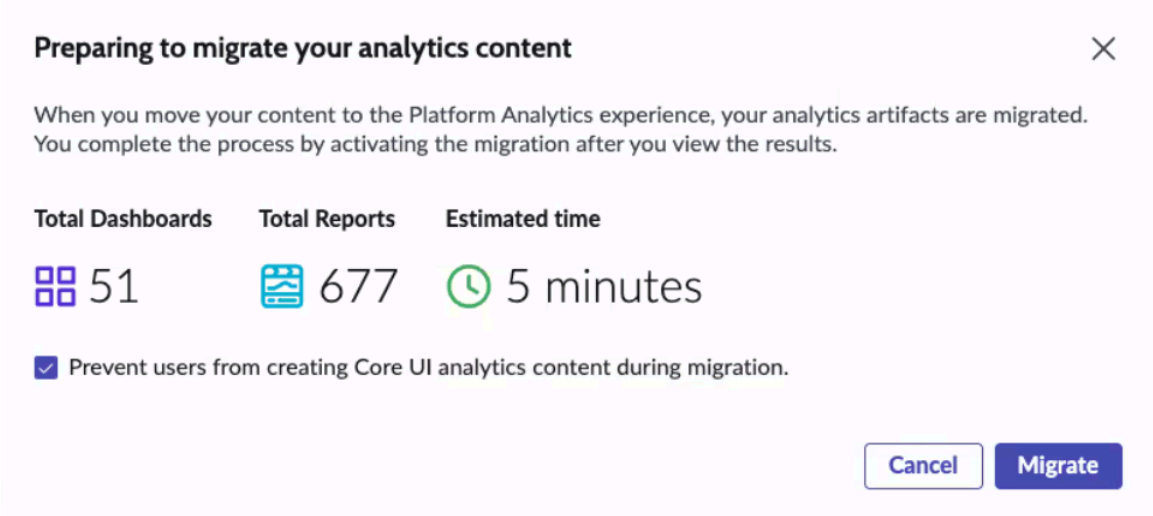
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
リリースをアップグレードすると、移行センターは、以前は互換性がなかったコンテンツが、現在は互換性があるコンテンツを自動的に移行します。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 移行センター.
2. もう一度 [移行] を選択します。
   移行プロセスの長さは、インスタンスにある新しいアーティファクトの数によって異なります。



3. オプション: [移行中にユーザーがコア **UI** アナリティクスを作成できないようにする] を選択します。

タスクの結果
変更されたコンテンツと新しいコンテンツが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されます。

次のタスク
新しく移行されたコンテンツを評価します。詳細については、「完全なデータ移行を評価します」を参照してください。

移行されたアーティファクトの場所

データ移行後は、ダッシュボード、可視化、フィルターなどのアーティファクトがインスタンス内のさまざまなテーブルに存在するようになります。

admin、pa_admin、report_admin、または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、移行されたアーティファクトテーブルにアクセスできます。

これらのテーブルに加えて、snpar_sched_export_v_scheduled_export_visualizationスケジュール済みエクスポート UI フォームの仮想テーブルです。

機能	コア **UI** テーブル	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンステーブル
ダッシュボード	pa_dashboards	par_dashboard
ダッシュボードグループ	pa_dashboards_group	analytics_category

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

機能	コア UI テーブル	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンステーブル
レポート	sys_report	par_visualization
PA ウィジェット	pa_widgets	par_visualization
インタラクティブ フィルター	sys_ui_hp_publisher	par_component_filter
スケジュール済みレポート	sysauto_report	sysauto_par、par_export_visualization、par_

移行ログの場所

一連のログは、ダッシュボード、レポート、フィルター、およびダッシュボード要素 (ウィジェット) ごとにブリッジテーブルに格納されます。

admin、pa_admin、report_admin、または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、移行ログにアクセスできます。移行センター内からログを表示することも、関連するリストに移動して確認することもできます。

ログ	タイプ
par_coreui_migration_bridge_dashboard.list	ダッシュボードログ
par_coreui_migration_bridge_sysauto.list	スケジュール済みエクスポートログ
par_coreui_migration_bridge_widget.list	移行されたダッシュボード要素ログ
par_coreui_migration_bridge_component.list	ダッシュボードの外部に移行された場合のレポート、PA ウィジェット、およびフィルターに関連付けられたログ

注:
非互換性などの負のイベントのみがログに記録されるため、ログが空になることがあります。

部分的な移行の実行

既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、パフォーマンスアナリティクスウィジェットの一部を プラットフォームアナリティクスに移行します。移行は、コンテンツの一部またはすべての移行を選択した場合でも同じように機能します。ただし、プロセスを評価するため、または多数のダッシュボードがありセグメント単位で移行する場合は、コンテンツの一部を移動できます。

始める前に
必要なロール:admin または dashboard_admin。

このタスクについて
最初に単一の非本番インスタンスで移行を実行してテストします。満足のいく結果が得られたら、本番インスタンスで移行を開始します。

注:
部分的な移行を実行すると、レポート、PA ウィジェット、フィルターなどのアーティファクトはプラットフォームアナリティクスライブラリに保存されません。これらのアーティファクトは、完全移行を実行した場合にのみライブラリに移行されます。

移行後にコア UI ダッシュボードを変更して再度移行すると、変更したダッシュボードによって最初に移行されたダッシュボードが上書きされます。

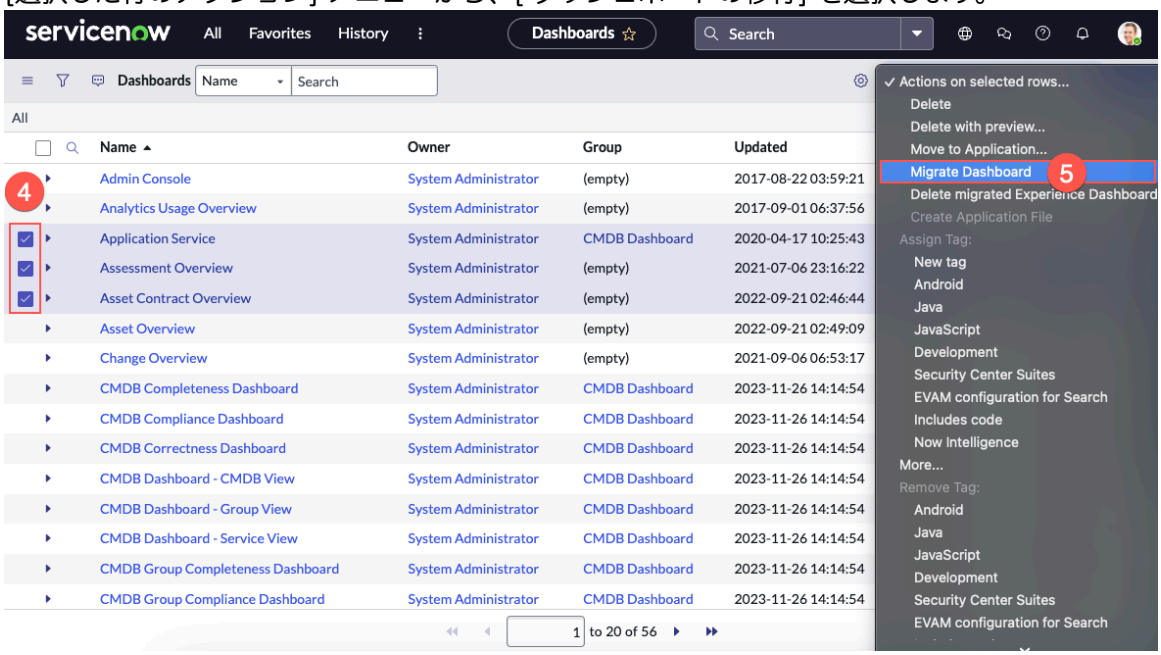
移行されたアーティファクトを非本番インスタンスから本番インスタンスに移動することはできません。

自動翻訳

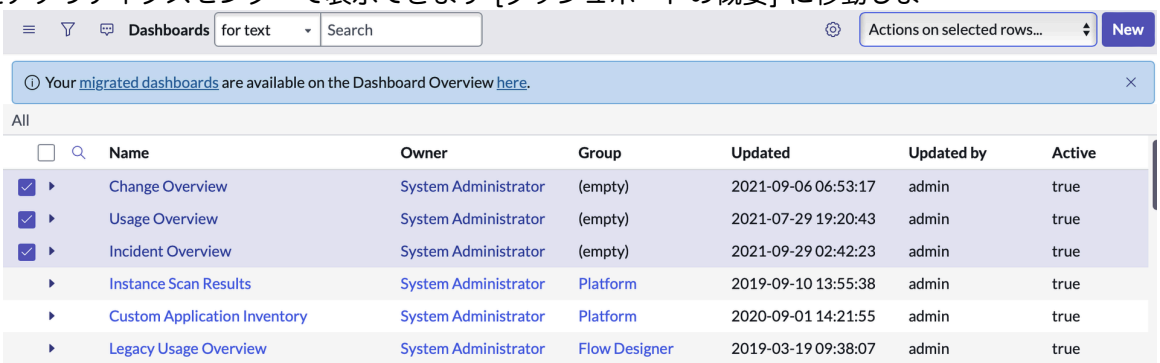
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 移行センター.
   移行プロセスに既に精通している場合は、 pa_dashboards.list に移動し、手順 4 の指示に従ってください。
2. 「 プラットフォームアナリティクスの詳細」で移行プロセスに関する情報を確認します。
3. [コンテンツを試す] を選択して、 プラットフォームアナリティクスするデータのサブセットを選択します。
4. [ダッシュボード] リストで、移行するダッシュボードを選択します。
5. [選択した行のアクション] メニューから、[ダッシュボードの移行] を選択します。



6. 移行が完了したら、バナーリンクを選択して、移行されたダッシュボードをダッシュボードの概要に表示します。
   最初のリンクは、PAR ダッシュボードリストに移動します。そこでダッシュボードのフォームを確認できます。2 番目のダッシュボードでは、移行されたダッシュボードをアナリティクスセンターで表示できます [ダッシュボードの概要] に移動します。



次のタスク

移行されたダッシュボードに、完全に移行されたコンテンツまたは iFrame コンテンツとして、コア UI ダッシュボードのすべての機能が含まれていることを確認します。詳細については、「移行されないコンテンツ、または互換モードで移行されたコンテンツ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のアーティファクトの移行をブロック

完全移行を実行する前に、移行プロセスから除外するアーティファクトにフラグを付けることができます。

始める前に

必要なロール：admin。

手順

1. 次のいずれかのテーブルに移動して、アーティファクトを選択します。

テーブル	コンテンツ
sys_report.list	コア UI データの可視化 (レポート)
pa_widgets.list	パフォーマンスアナリティクスウィジェット
sys_ui_hp_publisher.list	インタラクティブ フィルター
pa_dashboards.list	レスポンシブダッシュボード

2. [リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、リストに列を追加します。
3. 移動 [選択済み] 列に一括で移行しないでください。
4. [一括移行しない] 列で、除外するアーティファクトのフラグを false から true に変更します。
   複数の連続または非連続のフィールドを選択できます。詳細については、「Edit multiple records in a list using the list editor」を参照してください。
5. オプション: フラグを変更できない場合は、列のリストコントロールを編集します。
   a. 「 一括移行しない 」列タイトルにカーソルを合わせ、「 列オプションます。
   b. 選択 構成 > リストコントロール.
   c. [リスト編集タイプ] フィールドを [リスト編集の無効化] から [行ごとにデータを保存] に変更します。
   d. [**Update** (更新)] を選択します。
   [一括移行不可] 列のフラグを変更できるようになりました。

タスクの結果

完全なデータ移行を実行すると、選択したアーティファクトが除外されます。

移行されないコンテンツ、または互換モードで移行されたコンテンツ

ほとんどのダッシュボードコンテンツは、新しい プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されます。ただし、一部の可視化、可視化の側面、およびフィルターは、互換モードとも呼ばれる埋め込みコンテンツ (iframe) として、移行されたダッシュボードに挿入されます。一部の構成はまったく移行されません。

注:
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに既に移行している場合、移行センターは、リリースをアップグレードするときに互換性があるようになった、以前は互換性がなかったコンテンツを自動的に移行します。

移行されていません

移行されない汎用ダッシュボード構成:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ウィジェットのヘッダーとタイトルの色
- ウィジェットタイトルの配置

移行されないフィルター

- グループのフィルター
- デバッグ フィルター
- ダッシュボードからのユーザー初期設定のフィルタリング

移行されない可視化構成:

- ダッシュボードからチャート自体で PNG / JPEG にエクスポートします。
- 部分的な移行に関する別のレポートへのレポートのドリルダウン。

  別のレポートへのレポートのドリルダウンは、完全移行でサポートされています。

- 簡易リスト可視化の完了率フィールドの進捗状況バー。

移行されないインジケーター/ブレークダウンスコアカード要素:

- 配布を表示
- ブレットグラフを表示

移行されないカレンダーコンポーネント要素:

- 年次ビュー
- に基づくハイライト

互換モードの移行

互換モードでの移行とは、元のアーティファクトが iframe の移行されたダッシュボードに挿入されることを意味します。元のコンテンツは変更または移動されません。

すべてのカスタムインタラクティブフィルター、カスタムコンテンツブロック、ゲージ、およびガジェットは、iframe として互換モードで移行されます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェット、レポート、またはインタラクティブフィルターではない他のすべてのコンテンツは、iframe として互換モードで移行されます。

注:
互換モードで移行された可視化またはその他のウィジェットを含むダッシュボードでは、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

カスタムインタラクティブフィルターは互換モードで移行されますが、移行されたダッシュボードでは機能しない場合があります。カスタム機能が必要な場合は、ダッシュボードをコア UI バージョンにロールバックします。

汎用構成

互換モードで移行された汎用可視化構成:

- ドット連結フィールドでソート
- 変数/質問に関するレポート
- レポートデザイナーで構成されたリストのデフォルトのドリルダウンビュー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウン要素 = 選択肢フィールドに基づくブレークダウンの場合は空
- 選択肢フィールドの順序に基づいて パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンでソート
- X 期間遡って比較した単一スコア
- 要素フィルターのピボットスコアカードサポート
- 期間フィールドに基づいてグループ化
- インジケータースコアカードと可視化の関連インジケーターに対するさまざまなフォローフィルター
- フィルター/データ可視化での階層ブレークダウンのサポート

スコアカード構成のリスト

互換モードで移行されたスコアカード構成のリスト:

- キーインジケーターを表示
- フィルター基準:パフォーマンスが最高、パフォーマンスが最低、改善、悪化
- 追加インジケーターで異なるフォローフィルター

レポート

互換モードで移行されたレポート:

- コントロール
- Trendbox グラフ
- ヒストグラム
- じょうごグラフ
- ピラミッドグラフ
- ジオマップ

パフォーマンスアナリティクス ウィジェット

パフォーマンスアナリティクス 互換モードで移行されたウィジェット:

- ワークベンチ
- テキストアナリティクス
- ツリーマップ
- 前期のチャート
- スパイダー
- じょうごグラフ
- ピラミッドグラフ
- 相対比較

移行されたダッシュボードのロールバック

移行された プラットフォームアナリティクス ダッシュボードをコア UI ダッシュボードに戻します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

変更されていない プラットフォームアナリティクス ダッシュボードをコア UI 形式に戻すことはできますが、コンテンツは iFrame 化されます。これは、ダッシュボードにカスタムグラフ、カスタムコンテンツブロック、またはカスタムインタラクティブフィルターがある場合に便利です。

注:
テクニカルダッシュボードをロールバックすることはできません。

始める前に

必要なロール:dashboard_admin

手順

1. par_dashboard.list に移動します。
2. リストのダッシュボードの名前の横にある 1 つ以上のチェックボックスをオンにします。
   テクニカルダッシュボードは、[エクスペリエンス] 列の「高度なダッシュボード」というフレーズで識別されます。
3. [選択した行のアクション] メニューから [ロールバック] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードライブラリから表示されるロールバックダッシュボードのバージョンは、ネクストエクスペリエンスバージョンではなく、コア UI バージョンです。

レスポンシブでないダッシュボードの移行

誰も開いていないレスポンシブでないダッシュボードは、空のタブを持つ プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されます。移行前にコア UI でこれらのダッシュボードを開いて入力します。

始める前に

必要なロール：admin

未開封のレスポンシブでないダッシュボードには、空のキャンバスページがあります。この問題は、ユーザーが作成するダッシュボードだけでなく、ソリューションダッシュボードにも影響します。ダッシュボードを開くと、移行センターが検索するキャンバスページが作成されます。キャンバスページが作成されたら、移行を再トリガーして、ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスバージョンを作成します。

手順

1. pa_dashboards.list に移動します。
2. 問題のあるレスポンシブでないダッシュボードをそれぞれ開きます。
3. 完全なデータ移行を実行 をクリックして、これらのダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

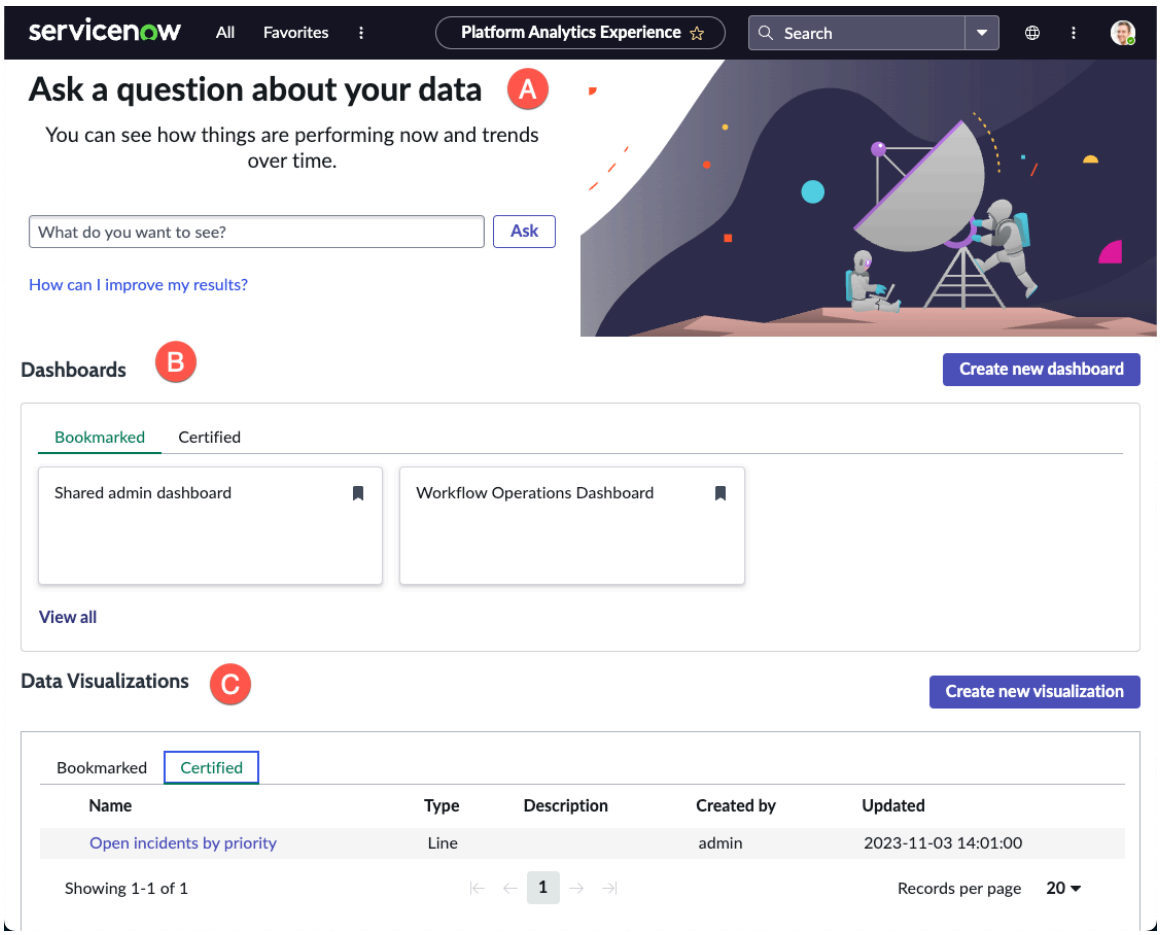
アナリティクスセンター

アナリティクスセンターには、最も重要なダッシュボードとデータの可視化の概要と、アナリティクスに関する質問を行う場所が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスセンター。



に移動して アナリティクスセンター にアクセスします **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > アナリティクスセンター. これには、次のコンポーネントが含まれています。

A アナリティクス Q&A

プロセスの傾向と健全性について自然言語で質問できるフィールドです。(自然言語クエリ機能が必要です)。このコンポーネントの構成と使用方法については、開発者サイト のアナリティクス Q&A リファレンス を参照してください。

B ダッシュ ボード

ブックマーク済みのダッシュボードやアドミニストレーターが認定した各ダッシュボードの一連のタイル。タイルをクリックすると、そのダッシュボードが開きます。アクセスできるすべてのダッシュボードを表示するには、[すべて表示] を選択します。このアクションにより、ダッシュボードライブラリが開きます。新しいダッシュボードの作成をすぐに開始するには、[新しいダッシュボードの作成] を選択します。このアクションにより、ロールに応じてインラインダッシュボードエディター、またはインラインエディターまたはテクニカルエディターを選択できるダイアログが開きます。このコンポーネントの構成と使用方法については、「 のダッシュボード プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

C データの可視化

ロールに基づいてアクセスできる保存された可視化のリスト。ブックマーク済みの可視化、またはアドミニストレーターが認証した可視化を選択できます。データの可視化をさらに表示するには、 [すべて表示] を選択します。このアクションにより、データの可視化ライブラリが開きます。新しいデータ視覚化の作成をすぐに開始するには、 [新しい視覚化の作成] を選択します。このアクションにより、可視化デザイナーが開きま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

別のエクスペリエンスまたは構成可能ワークスペースにアナリティクスセンターを追加できます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。

アナリティクス **Q&A**

アナリティクスセンターのアナリティクス Q&A のインジケーター、テーブル、または列に関連する自然言語クエリを作成できます。

アナリティクス Q&A では、次の言語がサポートされています。

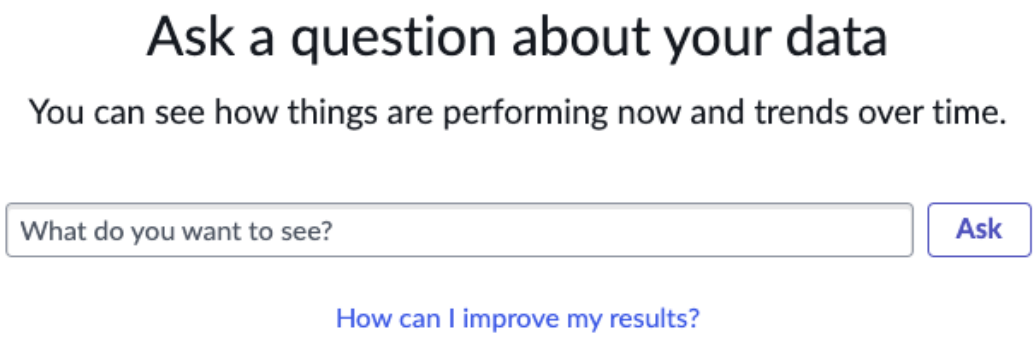
- 英語
- フランス語
- カナダフランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- 日本語

この機能は、サポートされていない言語を使用するセッションでは使用できません。

注:
アナリティクス Q&A は、クラシック環境のレポート デザイナーでも使用できます。詳細については、「分析 Q&A を含むレポートの作成」を参照してください。

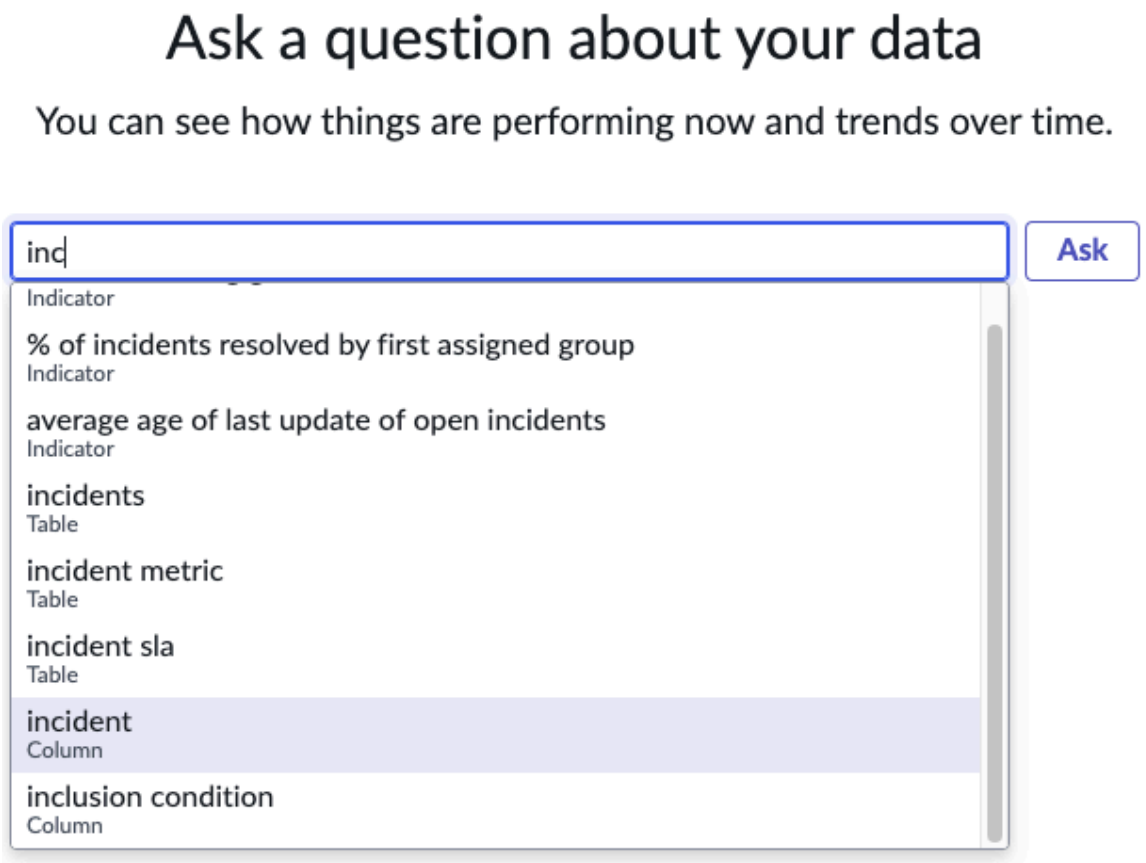
クエリの入力

クエリを入力する前のアナリティクス **Q&A**



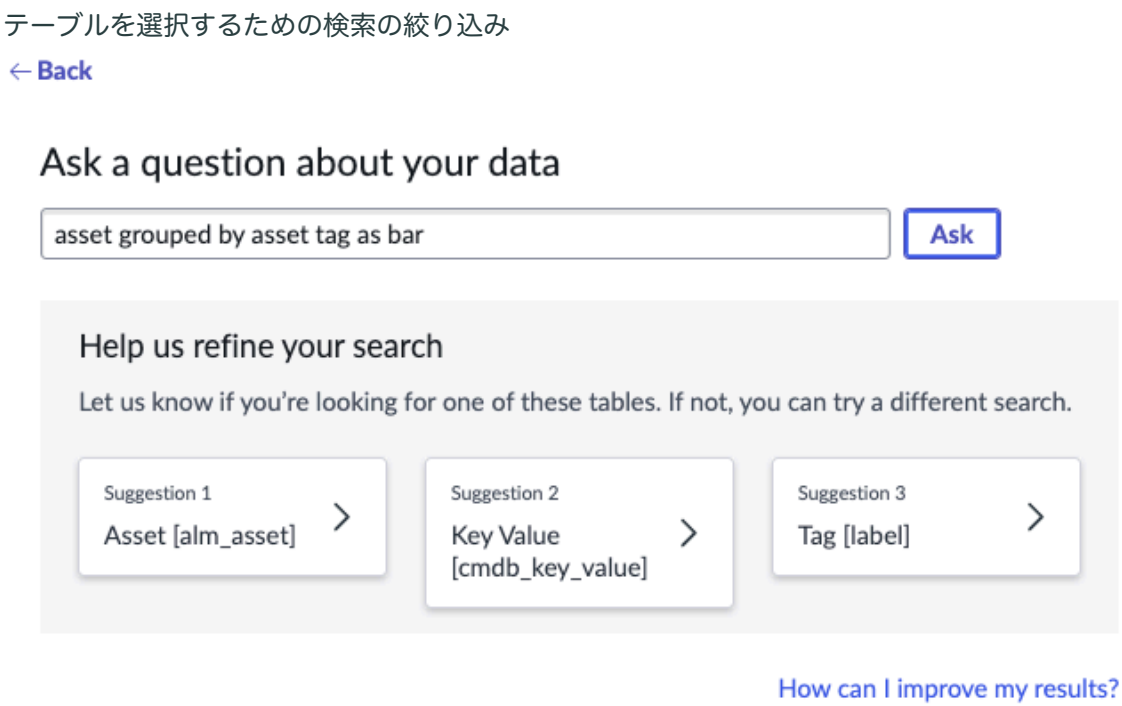
クエリを入力すると、Analytics Q&A によって、これまでに入力した内容と一致する最近の検索、インジケーター、テーブル、および列が提案されます。アクセスできるテーブルと列のみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



複数のテーブルから選択

アナリティクス Q&A で必要なテーブルを判断できない場合は、最大 3 つの可能性のあるテーブルが表示されます。次のスクリーンショットでは、ユーザーが資産タグでグループ化され、棒グラフとして表示された資産を要求しています。ただし、ユーザーが資産 [alm_asset]、キー値 [cmdb_key_value]、タグ [label] テーブルのいずれに関心を持っているかは判断できません。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

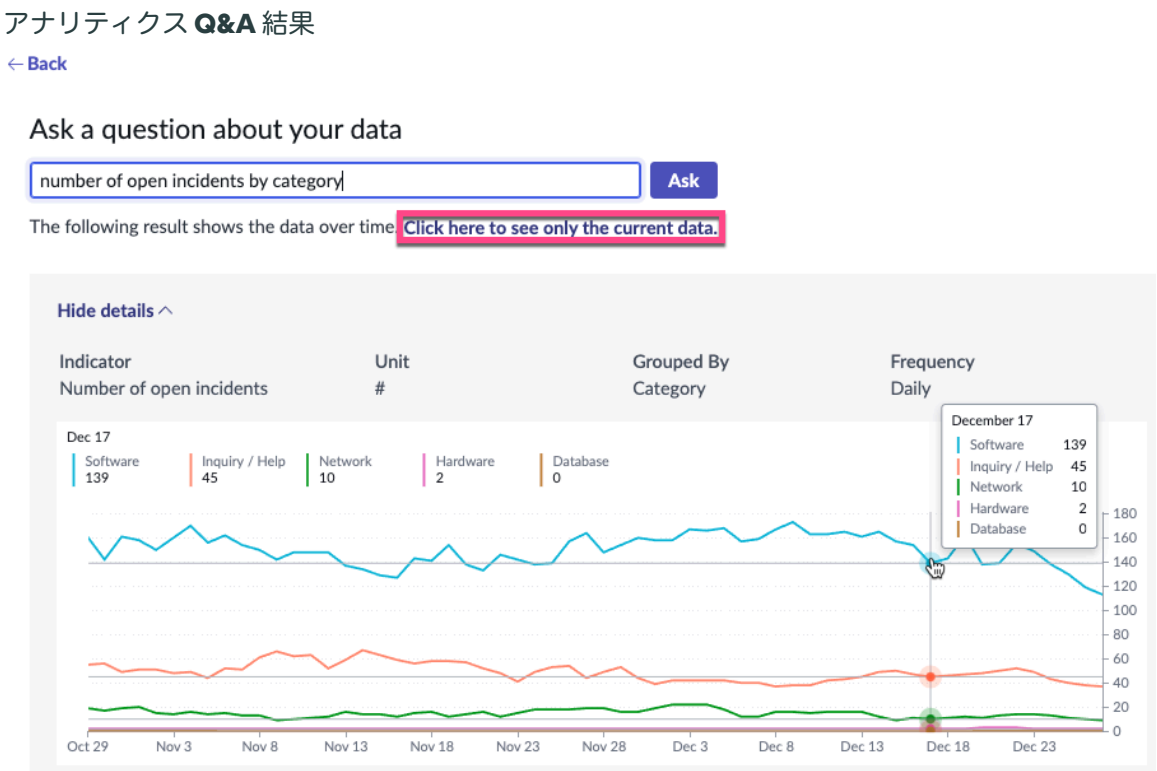
結果

クエリが成功した場合、アナリティクス Q&A には、指定した次のいずれかの可視化として結果が表示されます。可視化を指定しない場合、アナリティクス Q&A によって、どの可視化が最も適切かが判断されます。

- リスト
- 傾向
- 単一スコア
- 棒グラフ
- 円グラフによる可視化

結果は、ロールに対する ACL セキュリティチェックの対象となります。テーブルに基づく可視化はレポート セキュリティに従います。PA セキュリティに従う パフォーマンスアナリティクス に基づく可視化。

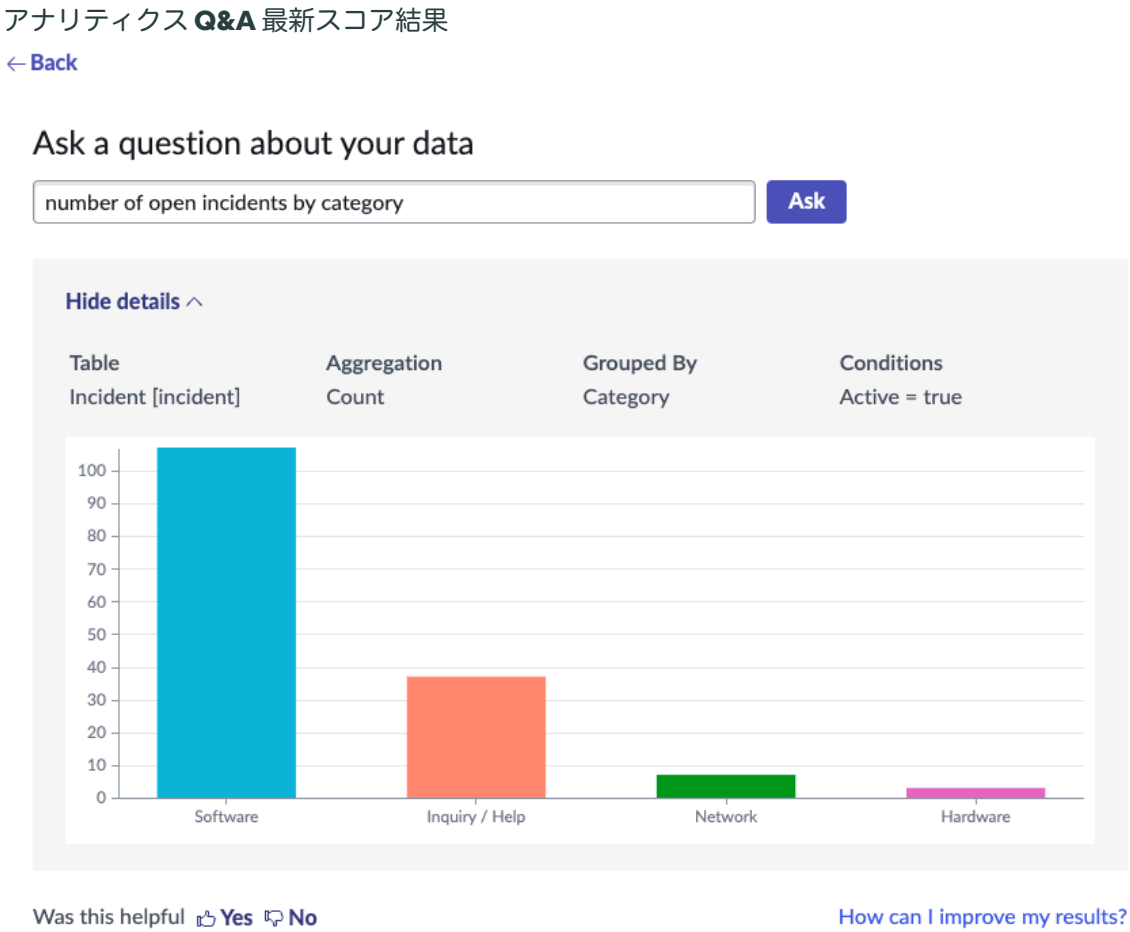
次の例は、結果をグループ化するためのブレークダウンを指定したクエリの結果を示しています。アナリティクス Q&A は、クエリがインジケーターと一致すると判断します。インジケーターは経時的な傾向を示すため、アナリティクス Q&A では傾向ラインが適切な可視化であると判断されます。



経時的なスコアの変化を確認したくない場合は、[ここをクリックして現在のデータのみを表示] をクリックします。アナリティクス Q&A は、インジケータースコアではなく、基礎となるテーブルの現在の値を返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



チャート上にカーソルを置くと、ブレークダウンに関する詳細情報が表示されます。時系列傾向では、選択した日のすべてのブレークダウンの値を取得します。最新スコアの縦棒グラフには、選択したブレークダウンのスコアが表示されます。結果がインジケーターのチャート化である場合は、値をクリックしてインジケーターを KPI 詳細で開きます。

デフォルトでは、次の詳細が適用される場合、それらも表示されます。

- クエリしているテーブル
- 値の単位
- データ集計方法
- グループ化の基準となる列
- 傾向を測定する日付フィールドと頻度
- クエリに適用する追加条件

最後に、賛成または反対を選択して、クエリ結果に関するフィードバックを送信できます。

注:
提案、インジケーター、またはテーブルから 1 つのアイテムのみを選択した場合、フィードバックオプションは使用できません。アイテムを 1 つだけ選択すると、クエリパーサーは使用されません。クエリパーサーを使用しないと、クエリログは作成されません。フィードバックはクエリログに添付されますが、ログは既に存在している必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規クエリ

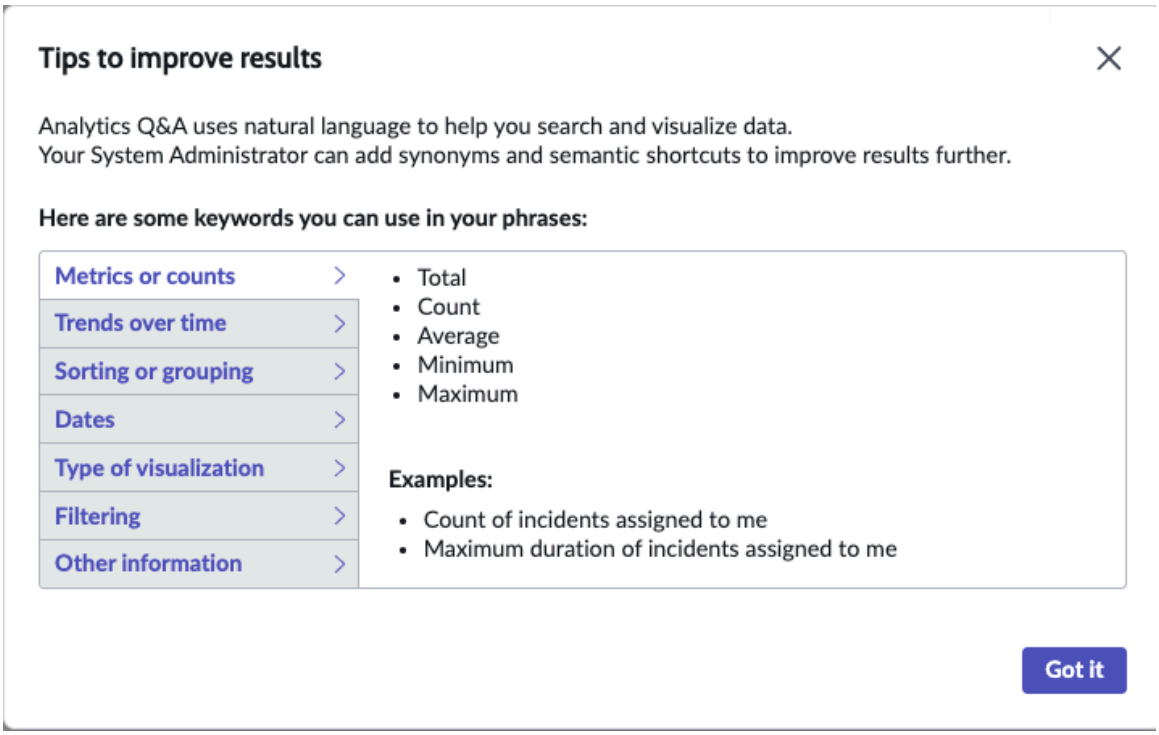
新しいクエリを作成するか、KPI のリストを表示するには、[戻る] をクリックします。アナリティクスセンターに戻ると、最後に成功した 5 つのクエリのリストが更新されます。

有効なクエリを作成する方法

クエリを記述するときは、特別なキーワードを使用して、探している情報の種類と範囲、適用するフィルター、およびその他のパラメーターを示します。キーワードとその用途の一覧を確認するには、[検索結果を改善する方法] をクリックします。

キーワードの同義語とセマンティクスショートカットを追加するよう Now Platform アドミニストレーターに依頼できます。詳細については、「 NLQ 同義語の作成 」および「 NLQ ショートカットの作成 」を参照してください。

キーワードガイド



のダッシュボード プラットフォームアナリティクス

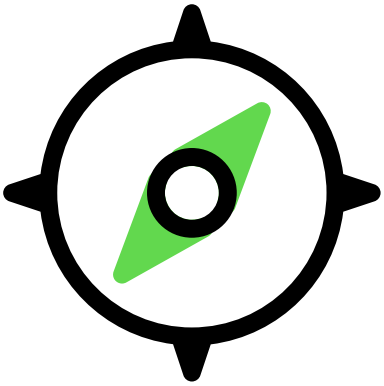
ダッシュボードは、データを視覚的に整理および共有するためのキャンバスです。これには、データの可視化、フィルター、およびその他の視覚的要素が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

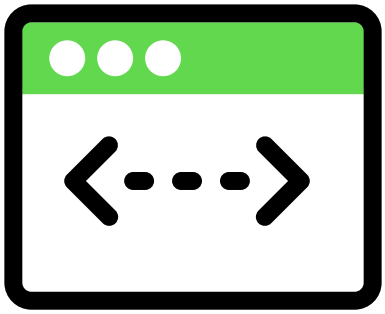
開始するには

探索



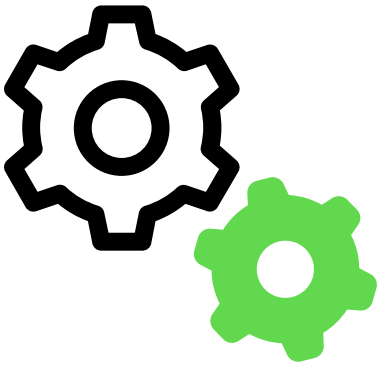
ダッシュボードのレイアウトとコンテンツ、およびライブラリでダッシュボードを見つける方法のガイド

作成、編集、共有



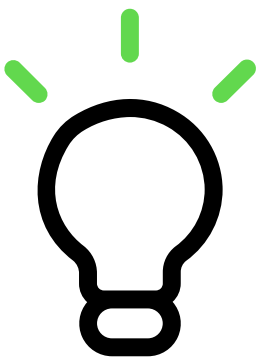
最も一般的なダッシュボードタスクを実行するための手順

構成



所有者またはアドミニストレーターとして更新期間およびその他の 1 回限りの設定を行う

プロアクティブアナリティクスインサイト



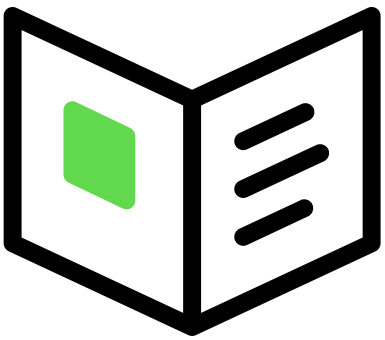
インジケーターデータソースからのインサイトの抽出を自動化する

テクニカルダッシュボード



ダッシュボードを UI ビルダー ページとして作成し、 UI ビルダーのカスタマイズ性と複雑さをすべて備えます。開発者のみ。

参照



ロールと翻訳可能フィールド

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- 質問を投稿し、ダッシュボードとダッシュボードに関する他のリソースを調べます。 プラットフォームアナリティクス 一般的には ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの詳細

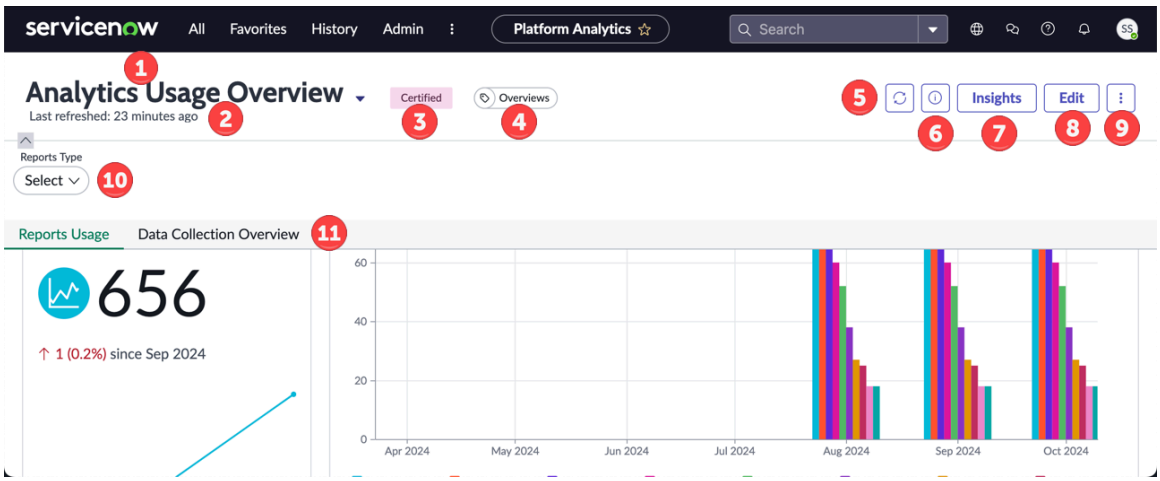
プラットフォームアナリティクス ダッシュボードには、データ、ユーティリティ、およびコントロールの共有レイアウトがあります。

ダッシュボードの検索

ダッシュボードを見つけるには、[すべて] タブを開いて 統一ナビゲーション にアクセスし、検索バーに 「ダッシュボード 」と入力します。

ダッシュボードコンポーネント

ダッシュボードが編集ではなく表示されている場合、ダッシュボードには次のコンポーネントがありま



す。

1. ダッシュボードタイトル
2. 情報を更新

   ダッシュボードが更新されてからの時間を示します。アドミニストレーターはリフレッシュ間隔を設定できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。

3. 認定バッジ

   認定は、ダッシュボードが会社によって承認され、使用が推奨されていることを示します。

4. カテゴリバッジ

   カテゴリは、作成者またはanalytics_categories_adminによって提供される 1 つ以上のダッシュボードを説明する用語またはフレーズです。

5. [更新] ボタン

   ダッシュボードのすべての可視化を更新する場合に選択します。

6. [詳細] ボタン

   ダッシュボードに関する所有権と共有情報を表示する場合に選択します。詳細については、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」を参照してください。

7. インサイトボタン

   構成済みのインサイトカードを表示します。詳細については、「ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [編集] ボタン

   編集権限を所有しているユーザーまたは付与されているユーザーが、ダッシュボードのコンテンツを編集できるようにします。

9. [その他のアクション] ボタン

   ダッシュボードの作成、ダッシュボードの複製、共有、印刷、フィルターのクリア、ダッシュボードのブックマーク、削除を行うメニューを開きます。

10. トップステージ

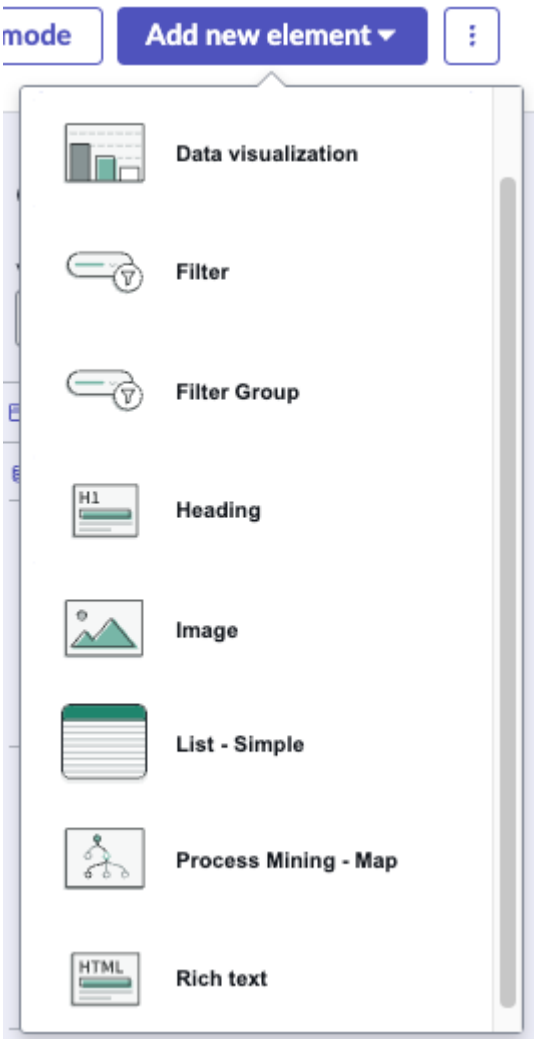
    このセクションの要素は、フォーカスのあるタブに関係なく表示されます。このセクションのフィルターは、すべてのタブの可視化に適用されます。

11. タブ

    タブを使用すると、ダッシュボードの情報を管理し、関連情報を同じ場所に保持することができます。

ダッシュボード要素

ダッシュボードには、データを表示するためのビジュアル要素の組み合わせが含まれています。



データの可視化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化を使用すると、現在のインスタンスデータまたはインポートした一時データを視覚的に表現できます。データの可視化には、ダッシュボードデザイナーで作成した可視化と、ライブラリからのデータの可視化が含まれます。

> **重要:**
> プラットフォームアナリティクスダッシュボードにレポートまたはパフォーマンスアナリティクスウィジェットを配置することはできません。代わりに、データの可視化を作成する必要があります。

フィルター

フィルターを使用すると、ユーザーは指定された基準に基づいてダッシュボードの可視化をフィルタリングできます。個々のタブまたはタブの上にフィルターを配置して、すべてのタブの要素にフィルターを適用することができます。フィルターには、データフィルターとドメインフィルターの両方が含まれます。ダッシュボードデザイナーでフィルターを作成することも、ライブラリからフィルターを選択することもできます。

フィルターグループ

同時に適用できる一連のフィルター。複数の可視化に適用できる複数のフィルターがある場合に使用します。

見出し

見出しは、ダッシュボードの上部またはダッシュボードのセクションにテキストを配置する場所を提供します。見出しの書式設定は 6 つの見出しレベルに制限されています。

Image (画像)

画像要素は、ダッシュボード上の静的画像またはアニメーション画像を保持します。

リスト：簡易

簡易リストには、ダッシュボードの対象者向けにカスタマイズできるテーブルデータが表示されます。

プロセスマイニング：マップ

プロセスの一部であるさまざまな状況と、それらの状況間の移行をマッピングします。プロセスのオブジェクトがどのステータスにあるか、およびそれらがステータスを変更する速度を確認します。既存の プロセスマイニング プロジェクトが必要です。

リッチテキスト

リッチテキスト要素には、フォント選択、テキストサイズ、ハイライト表示、ハイパーリンクなど、テキストまたは HTML として書式設定できるテキストが保持されます。

デフォルトの要素寸法

各要素を設定するには、ステージに配置するときにデフォルトの高さと幅が設定されます。要素のハンドルバーを選択してドラッグし、サイズを変更します。

フィルター

6 列 3 行

リスト、マルチピボット、およびインジケータースコアカードの可視化

48 列 x 18 行

他のすべてのコンポーネント

11 列 x 11 行

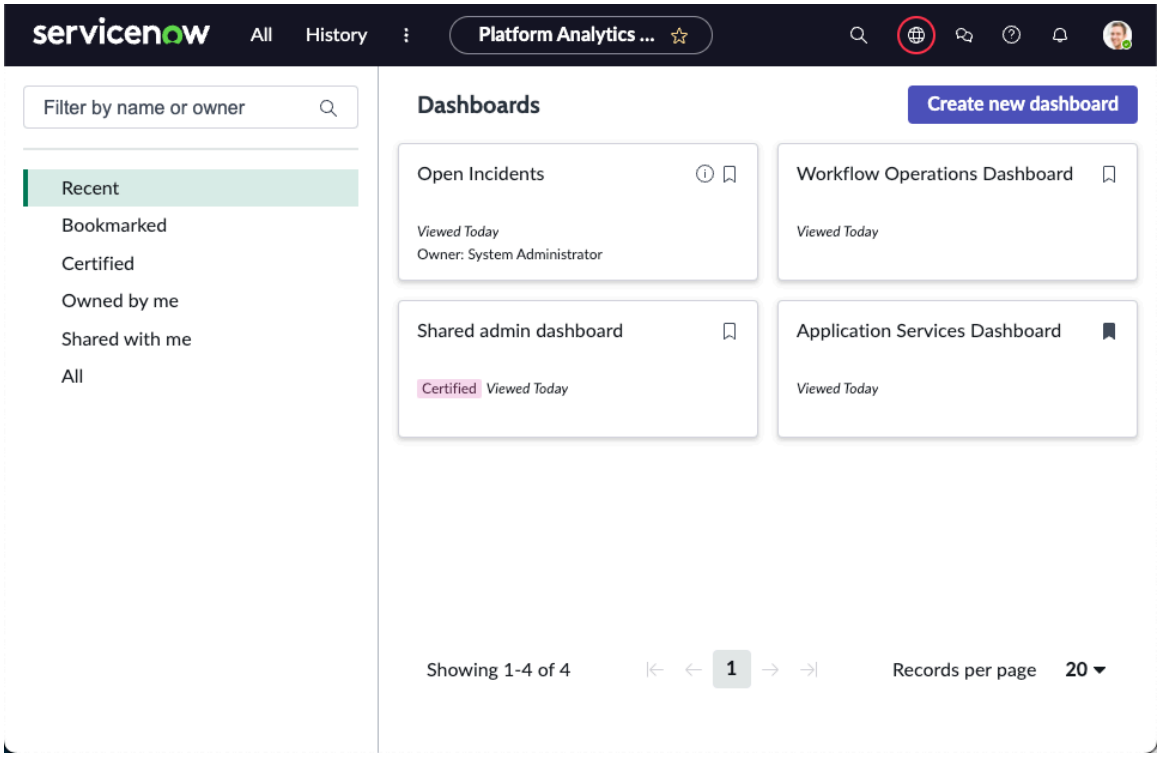
ライブラリのダッシュボード

プラットフォームアナリティクス でダッシュボードを検索するには、次に移動します: **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードライブラリ



ダッシュボードの概要を示すタイル

[ダッシュボード] ページの各セクションには、一度に最大 20 個のダッシュボードタイルが表示されます。[ダッシュボード] タブのタイルをフィルタリングして、以下を表示できます。

- [最近] には、表示した最新のダッシュボードが表示されます。タイルには、ダッシュボードを最後に開いた日時が表示されます。
- [ブックマーク済み] には、ブックマークされたダッシュボードのみが表示されます。アクセス可能なダッシュボードをブックマークして、ここで簡単に見つけられるようにします。ダッシュボードのブックマークの詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのブックマーク」を参照してください。
- [認定済み] には、管理者が認定したダッシュボードのみが表示されます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定」を参照してください。
- 自分が作成した ダッシュボードが表示されます。
- [自分と共有] には、他のユーザーが自分と共有しているダッシュボードが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

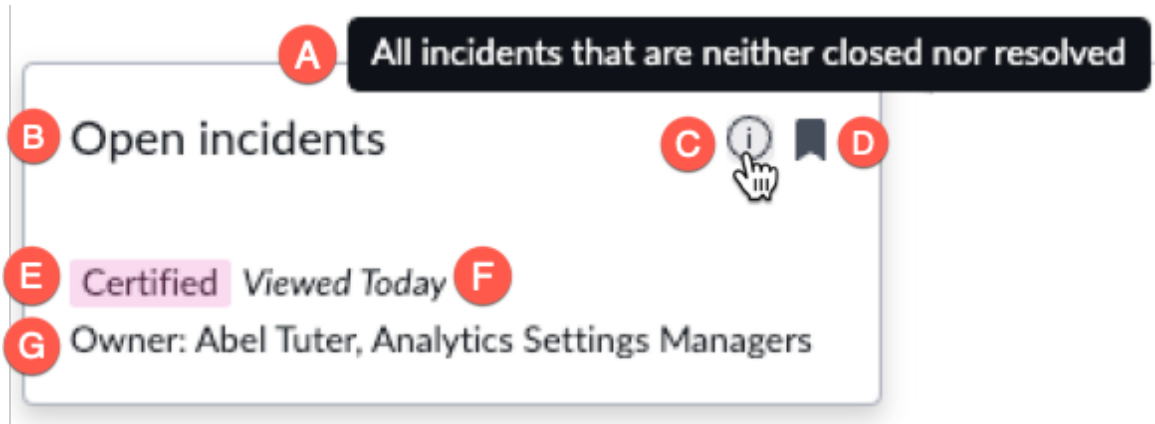
ダッシュボードタイルには、次の情報が表示されます。

- A 説明が記述されている場合のツールヒントの説明
- B ダッシュボードのタイトル
- C ダッシュボードに説明が記述されている場合にのみ表示される情報アイコン。説明のツールヒントが開きます A
- D ブックマークアイコン。ダッシュボードがブックマークされている場合は点灯し、ブックマークされていない場合はクリアされます
- E ダッシュボードが認定されている場合の認定バッジ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- F [最近] ビューのみ (ダッシュボードが最後に表示された日付)
- G、ダッシュボード所有者の名前 (ユーザーとグループの両方)

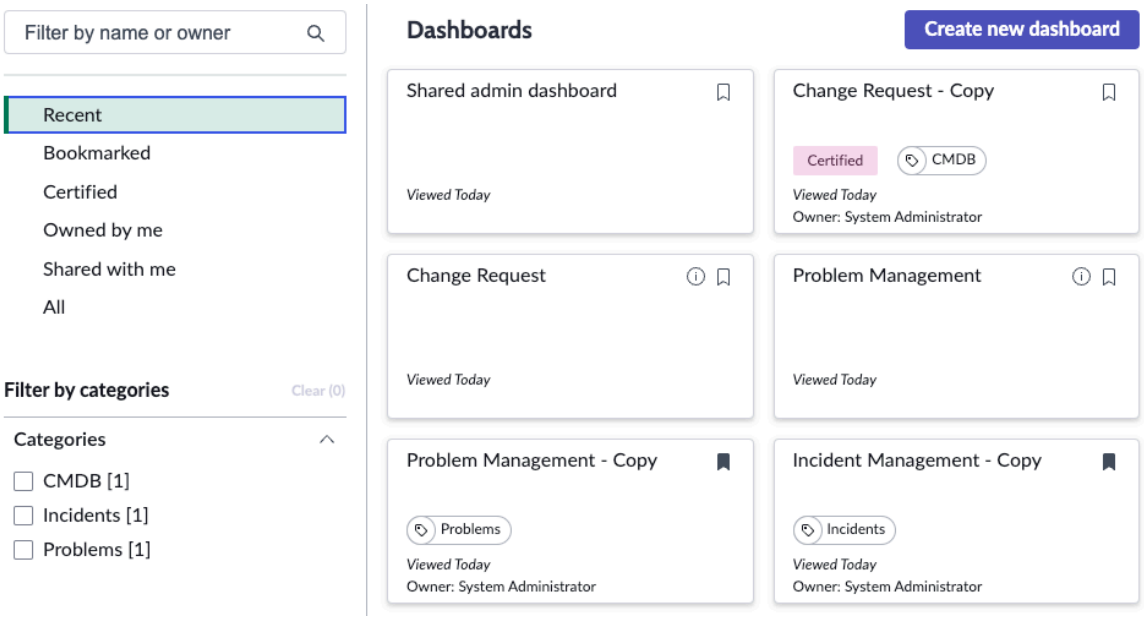


ネクストエクスペリエンスダッシュボードの検索

ダッシュボードは、ライブラリのダッシュボードの概要で、個々のダッシュボードのピッカーを使用して見つけることができます。

ライブラリのダッシュボード

ダッシュボードライブラリでは、名前または所有者を検索してダッシュボードをフィルタリングできます。また、カテゴリ別、最近使用したもの、ブックマーク済み、認定済み、自分が所有しているものや共有しているものでもフィルタリングできます。



ダッシュボードピッカー

個々のダッシュボードで、リストからダッシュボードを選択できます。最近表示した 3 つのダッシュボードがリストの一番上に表示されます。ダッシュボードのタイトルの横にある [ダッシュボードの変更] アイコンを選択し、表示するダッシュボードを検索します。

関連情報

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードのカテゴリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コア UIダッシュボードとプラットフォームアナリティクスダッシュボードの違い

統合アナリティクスプロパティを有効にすると、 コア UI ダッシュボードと プラットフォームアナリティクス のダッシュボードをインスタンスに共存させることができます。この参照を使用してそれらを区別します。

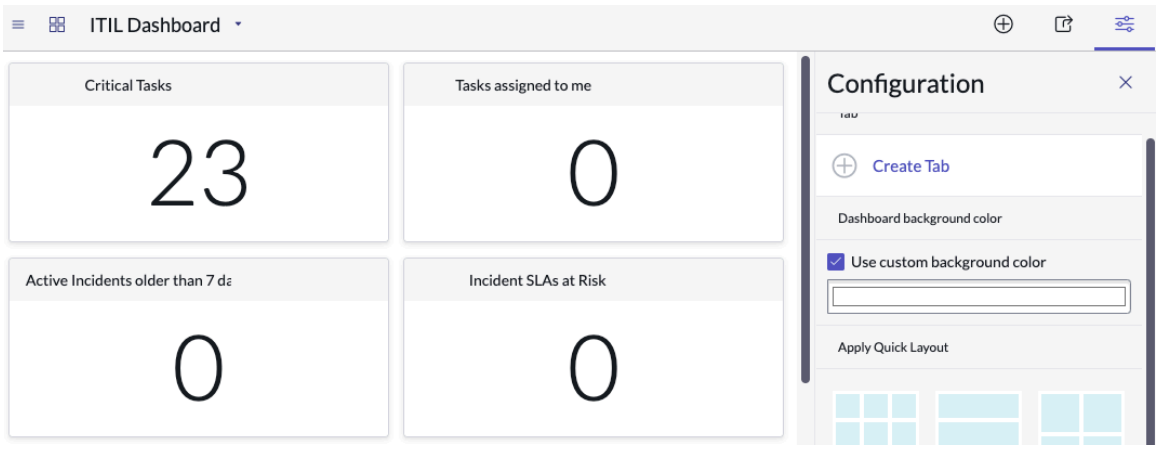
コア UI と プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの両方で、共有可能なキャンバスにビジュアルコンポーネントを表示できます。*com.glide.par.unified_analytics.enabled* プロパティを有効にすると、すべてのダッシュボードが使用可能になります。

移行されたインスタンスでは、コア UI データ、既存のダッシュボード、レポート、インタラクティブフィルター、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが プラットフォームアナリティクス に移動されます。結果は、すべてのデータソースに対して単一の可視化と統合フィルターのセットです。詳細については、「プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

コア UI ダッシュボード

コア UI ダッシュボードは、レポートデザイナーで作成された可視化と、PA ウィジェットフォームを使用して作成された パフォーマンスアナリティクス コンテンツを特徴とする、クラシック UI で作成されたダッシュボードです。

ダッシュボードの例



メニューパス

All (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード

プラットフォームアナリティクス ダッシュボード

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、UI ビルダーまたはインラインダッシュボードエディターを使用して作成されます。これらのダッシュボードは、データの可視化、フィルター、リッチテキストなど、要素ライブラリ内のすべてのオブジェクトをサポートします。タブ付きダッシュボードでは、これらのコンテンツをタブ内またはタブの上に配置できます。タブの上に配置されたフィルターは、すべてのタブのコンテンツに適用されます。

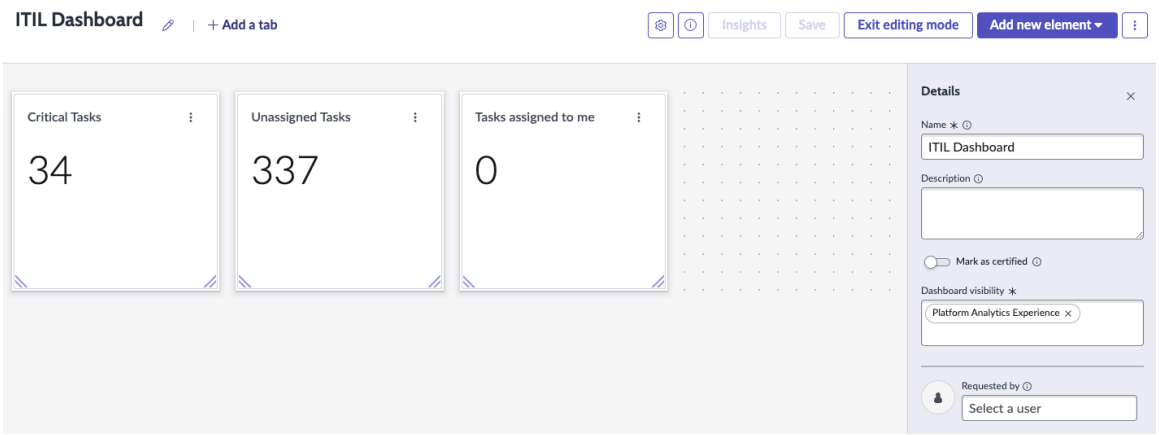
プラットフォームアナリティクスダッシュボードを作成するときは、自分が権限を持つ既存の要素を追加したり、ダッシュボード内から新しい要素を作成したりすることができます。これらの要素には、インジケーター、テーブルデータ、メトリックベースデータ、および ユーザーエクスペリエンス アナリティクスに基づくデータに依存しない可視化が含まれます。

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、より多くの情報に基づいた意思決定をサポートするプロアクティブインサイトも提供します。インサイトは相関関係を探り、問題になる前に潜在的な変更や問題を浮き彫りにします。詳細については、「 ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

ダッシュボードの例

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



メニューパス

All (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード

ダッシュボードへのさまざまなアプローチ

ニーズに応じて、データの可視化とフィルターのコレクションを表示する 4 つの異なる方法があります。

- データの可視化とダッシュボードをすべて プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内で作成します。このアプローチには、開発者ロールや特別な技術的知識は必要なく、より複雑なソリューションを試す前に検討する必要があります。
- 汎用 UI ビルダー ページで、フィルターやその他のコンポーネントとともにデータビジュアル化コンポーネントを作成します。このアプローチは、開発者にとって最も自由度の高い方法ですが、多くの構成も必要とします。
- データの可視化とダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内に作成しますが、ダッシュボードページテンプレートを使用してダッシュボードを UI ビルダー ページ内に配置します。このアプローチでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスの利便性を利用して、独自のエクスペリエンス/ワークスペースでダッシュボード、データの可視化、フィルターを作成できます。また、ページ構成を部分的に自由にカスタマイズすることもできます。詳細については、「独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成」を参照してください。
- テクニカルダッシュボードを作成し、UI ビルダー内に入力します。このアプローチは、独自の UI ビルダー ページを最初から作成するのとほぼ同じですが、ダッシュボードはダッシュボードライブラリで使用でき、ダッシュボードの詳細があり、他のダッシュボードと同様に共有できます。詳細については、「テクニカルダッシュボード」を参照してください。

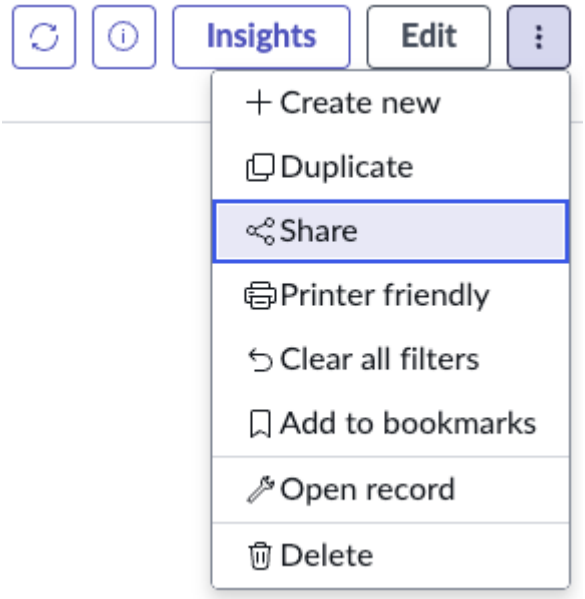
ダッシュボードおよびその他の一般的なダッシュボードタスクの作成

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの作成、編集、共有、削除の方法と、その他の一般的なタスクを確認します。ほとんどのタスクは同じメニューから起動されます。

ダッシュボードで実行する必要があるタスクの大部分は、ダッシュボードの [その他のアクション] メニューの (別のダッシュボードの作成を含む) で利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



誰でも、自分がアクセス権を持つ任意のダッシュボードを複製、印刷、またはブックマークできます。ダッシュボードにフィルターがある場合は、1 回のアクションですべての値をクリアできます。ダッシュボードを所有している場合は、それを共有または削除することもできます。ダッシュボードを共有すると、ダッシュボードを共有しているユーザーにダッシュボードの編集を許可したり、より多くのユーザーと共有したりできます。ダッシュボードアドミン (dashboard_admin ロール) と Now Platform アドミンは、任意のダッシュボードでこれらのアクションを実行したり、基礎となる PAR ダッシュボード [par_dashboard] レコードを開いたりすることができます。

インラインエディターでダッシュボードを作成する

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは、データの可視化、フィルター、その他の要素を含む共有可能なダッシュボードを作成できます。インラインエディターから要素を作成したり、既存の要素を追加したりすることができます。

始める前に

作業内容は定期的に保存してください。

必要なロール:内部ロールを持つすべてのユーザーがダッシュボードを作成できます。

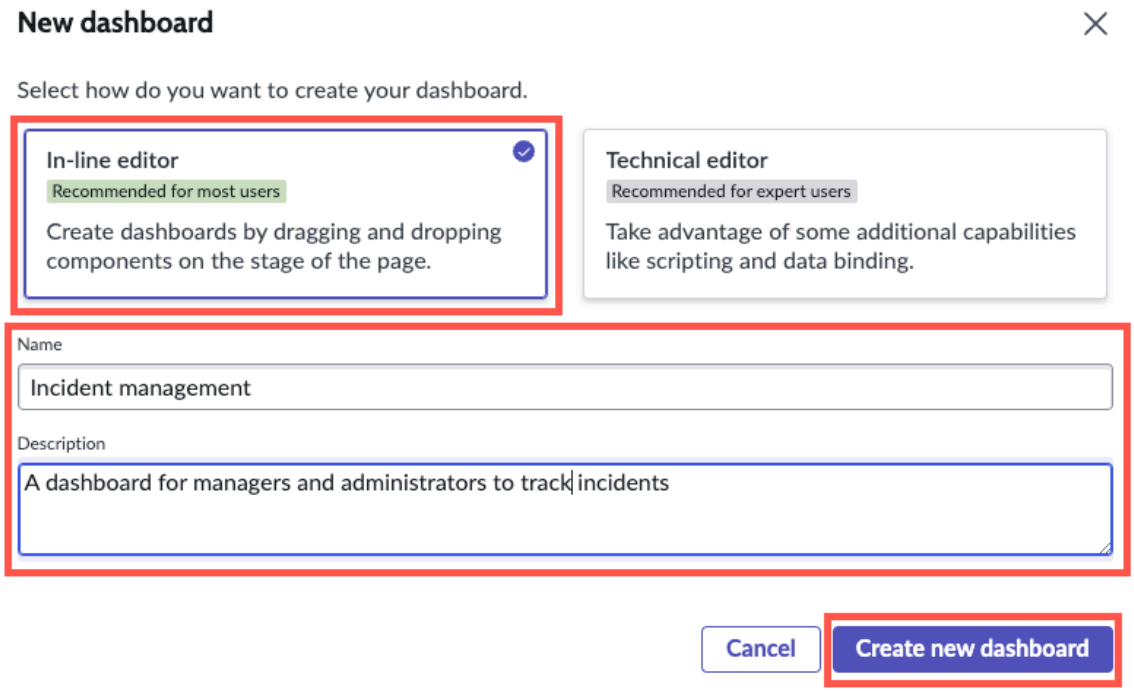
> **注:**
> テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.
2. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。
3. インラインエディタータイルを選択し、ダッシュボードに名前と説明を付けます。
   スクリプティング、データバインディング、およびその他の高度な機能を使用する場合は、[テクニカルエディター] タイルを選択して UI ビルダーを続行します。このエディターは、 UI ビルダーにアクセスできるユーザー (ui_builder_adminロール) のみが使用できます。このロールがない場合は、手順 6 に進みます。テクニカルエディターの詳細については、「テクニカルダッシュボード」を参照してください。
4. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。

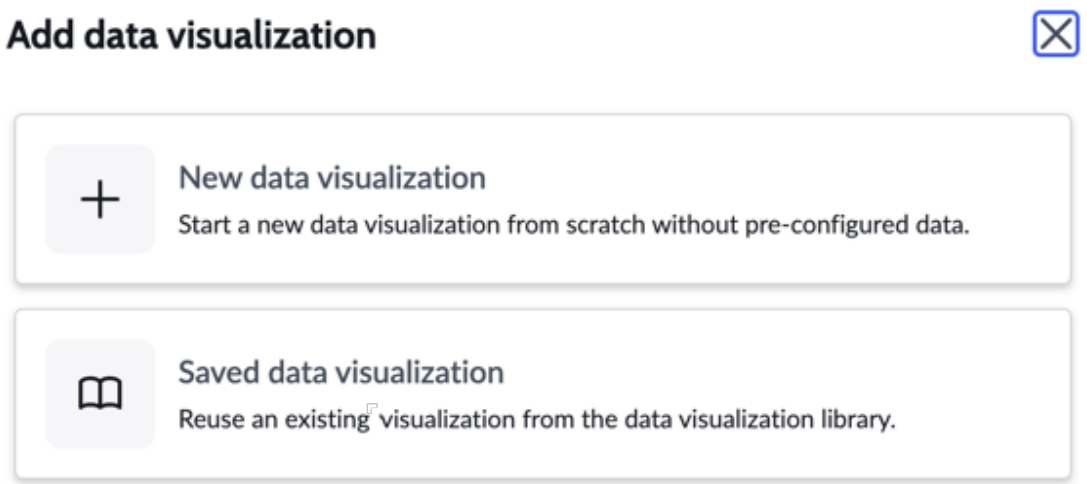
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. インラインエディターを選択します。
   テクニカルエディターオプションを選択すると、ダッシュボードとして扱われるページが UI ビルダーで開き、使用可能なコンポーネントのリストが表示されます。開発者には、UI ビルダーでのダッシュボードの作成をお勧めします。詳細については、「UI ビルダー と でのテクニカルダッシュボードの作成 UI ビルダー」を参照してください。
6. ダッシュボードにわかりやすい名前を付け、説明を入力します。
7. [新しい要素を追加] を選択して、ダッシュボードにコンテンツを追加します。
   ダッシュボードに追加できるものについては、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの詳細 」を参照してください。

   データの可視化を追加するときは、 新しいデータの可視化 を選択して可視化を最初から作成するか、 保存されたデータの可視化 を選択してライブラリから 1 つを選択します。フィルターを追加するときは、[新しいフィルター] を選択して事前構成されたデータなしでフィルターを作成するか、[保存されたフィルター] を選択して既存のフィルターを再利用します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 情報 ⓘ) を選択して [詳細] パネルを開き、ダッシュボードの名前と説明を入力します。
9. キャンバス上のデータを配置して役立つようにします。
   要素の角をクリックしてドラッグし、キャンバス上でサイズを変更できます。
10. [タブの追加] を選択して、追加のタブの詳細を表示するためのスペースを作成します。
11. 早期かつ頻繁に 保存 を選択します。
    ダッシュボードインラインエディターでは、ダッシュボードを作成するときにダッシュボードが自動的に保存されません。必ず定期的に作業内容を保存してください。

次のタスク

- ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成
- プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集

インラインエディターでダッシュボードとダッシュボードタブの情報を編集できます。ダッシュボードが共有されている場合、行った変更はすべてグローバルに適用されます。

始める前に

作成したダッシュボードの詳細を編集できます。テクニカルエディターで作成されたダッシュボードのコンテンツを編集すると、UI ビルダーにリダイレクトされます。

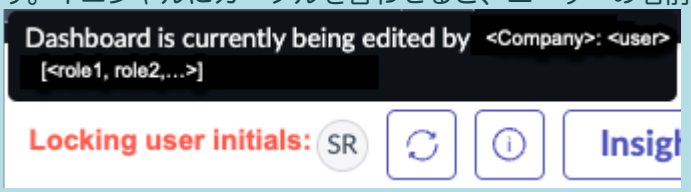
必要なロール：dashboard_admin、または自分が所有しているダッシュボードまたは編集権限を与えられたダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

自動翻訳

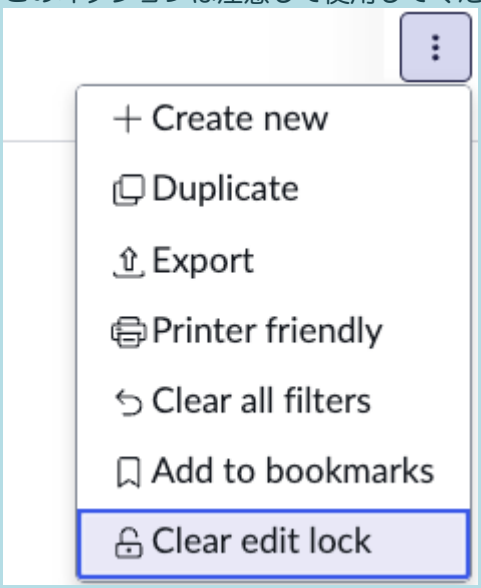
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

重要:
デフォルトでは、ダッシュボードは編集ロックの対象となります。編集モードで同じダッシュボードを使用できるのは、一度に 1 人のユーザーのみです。ロックされたダッシュボードを表示している場合は、編集権限があっても [編集] ボタンは表示されません。[ダッシュボードの詳細を 更新] および [表示] アイコンの横に、ロック中のユーザーのイニシャルが表示されます。イニシャルにカーソルを合わせると、ユーザーの名前、会社、ロールが表示されます。

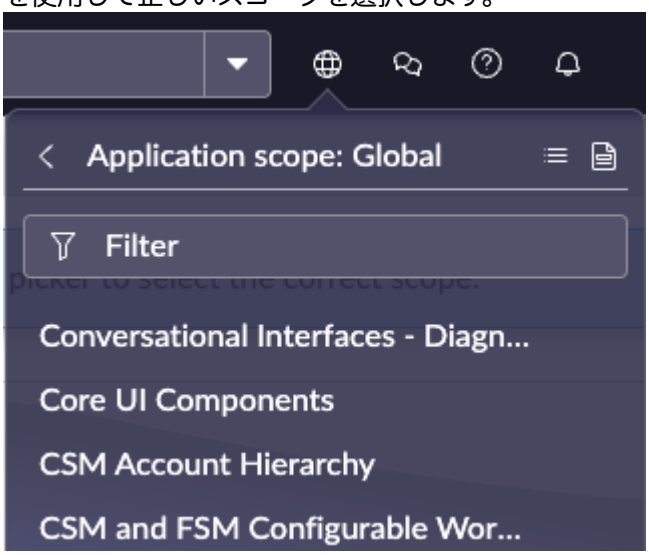


[その他のアクション] メニューには、編集ロックをクリアするオプションが含まれています。このオプションは注意して使用してください。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード.
2. 編集するダッシュボードを選択します。
   ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 次のいずれかのアクションを実行します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボード要素を編集する

データの可視化やフィルターなど、ダッシュボードまたはダッシュボードタブのコンテンツを編集できます。ダッシュボードは共有されているため、変更した内容はすべてグローバルに適用されます。

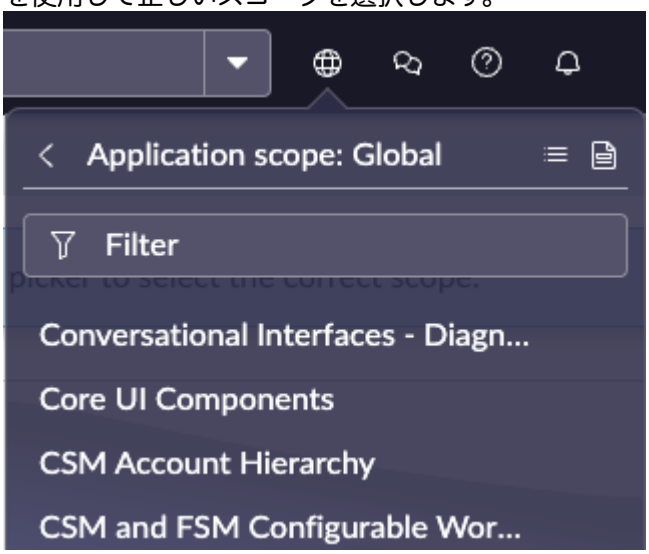
始める前に

インラインエディターと 構成可能ワークスペースのテクニカルエディターで作成されたダッシュボードの詳細を編集できます。テクニカルエディターで作成されたダッシュボードのコンテンツを編集すると、UI ビルダーにリダイレクトされます。

必要なロール：dashboard_admin、または自分が所有しているダッシュボードまたは編集権限を与えられたダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード.
2. [ダッシュボード] タブを選択して、編集するダッシュボードを選択します。
   ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



3. 次のいずれかのアクションを実行します。

関連情報

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの共有

プラットフォームアナリティクスダッシュボードカードに画像を追加

アップロードされた画像でダッシュボードの概要のカードを区別します。

始める前に

必要なロール:画像プレビューを有効にするui_builder_admin。画像を追加するdashboard_admin。

このタスクについて

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの概要のカードに画像を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードの概要コンポーネントで画像プレビューを有効にします。

   a. 次のように移動する。 **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.

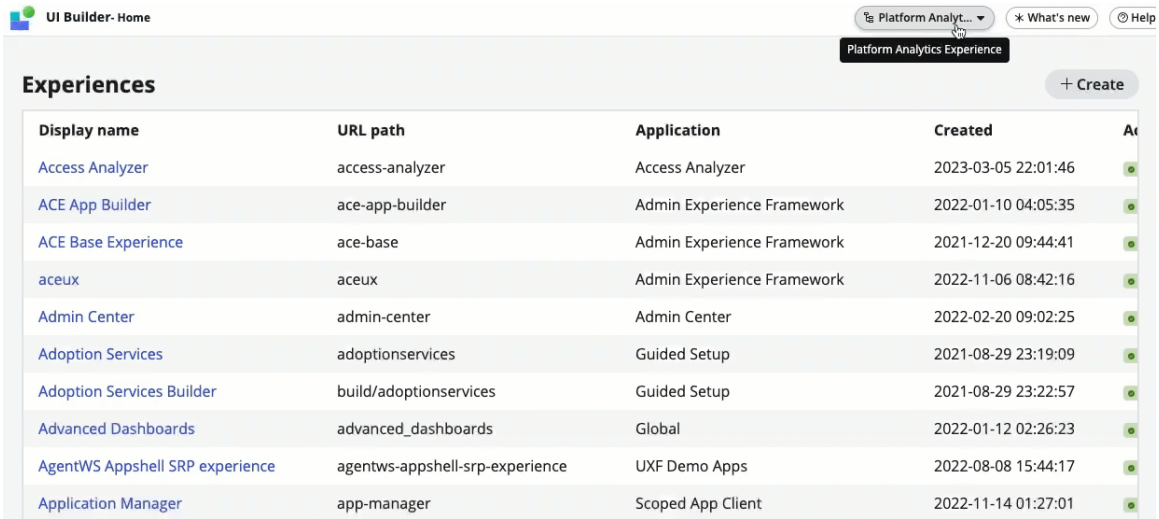
   b. アプリケーションスコープを プラットフォームアナリティクス に変更します。

   c. プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスを選択します。

   d. [ダッシュボードライブラリ (デフォルト)] アイテムを開きます。

   e. アウトラインで、 [ダッシュボードの概要 **1**] を選択します。

   f. コンポーネントの構成で、[画像プレビューを表示] を選択します。



2. par_dashboard_user_metadata.list に移動します。

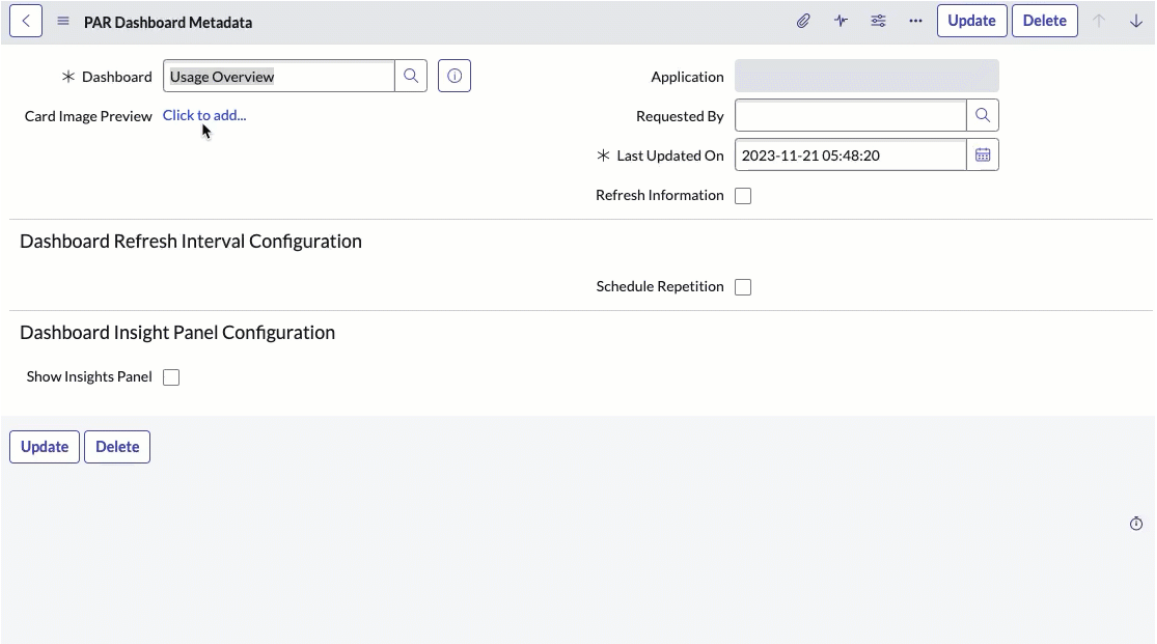
3. 画像を追加するダッシュボードの横にある [レコードのプレビュー] アイコン (ⓘ) を選択します。



4. [レコードを開く **(Open Record)]** を選択します。
5. [カード画像プレビュー] の横にある [クリックして追加] を選択し、カードの背景画像を選択します。
   アップロードできる画像のサイズに制限はありませんが、カードのサムネイル領域は幅 260 ピクセル、高さ 110 ピクセルです。
6. 画像ファイルを選択し、[**OK]** を選択します。
   画像はダッシュボードのフォームに表示されます。

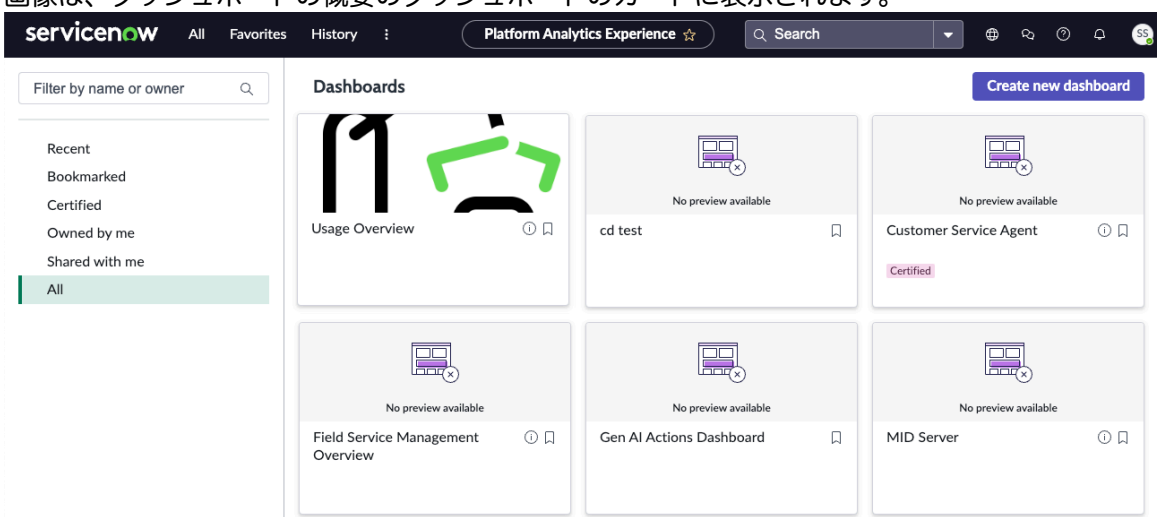
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [**Update** (更新)] を選択します。

タスクの結果
画像は、ダッシュボードの概要のダッシュボードのカードに表示されます。



プラットフォームアナリティクスダッシュボードの共有

ダッシュボードを他のユーザー、グループ、またはロールと共有して、コラボレーションに使用できるデータの共有ビューを作成します。表示権限、または表示権限と編集権限の両方を付与できます。

始める前に

必要なロール:自分が作成したダッシュボードを共有できます。共有が許可されている場合は、共有されているダッシュボードを共有できます。共有されているダッシュボードを編集する権限がある場合は、共有しているユーザーにその権限を渡すことができます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードを共有できます。

ダッシュボードをロールと共有するには、ロール [sys_user_role] テーブルへの読み取りアクセス権を持つロールが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

ダッシュボードを共有することによって付与された編集権限は、ダッシュボード上の基礎となるデータ可視化には適用されません。付与された表示権限は、ダッシュボード自体の外部にあるダッシュボードの可視化には適用されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード
2. 共有するダッシュボードを選択します。
3. [その他のアクション] ボタン ( ) を選択し、[共有] を選択します。
4. ダッシュボードを共有する 1 人以上のユーザー、グループ、またはロールの名前を入力します。
5. ダッシュボードを共有しているユーザーにもダッシュボードを共有できるようにするには、[受信者にこのダッシュボードに関連付けられた共有権限の追加、編集、または削除を許可する] を選択します。
   ユーザー、グループ、またはロールを閲覧者として追加すると、ダッシュボードを共有できるのは閲覧者のみです。ユーザー、グループ、またはロールをエディターとして追加すると、閲覧者またはエディターとしてダッシュボードを共有できます。

   > **重要:**
   > ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

6. 次のオプションのいずれかを選択します。

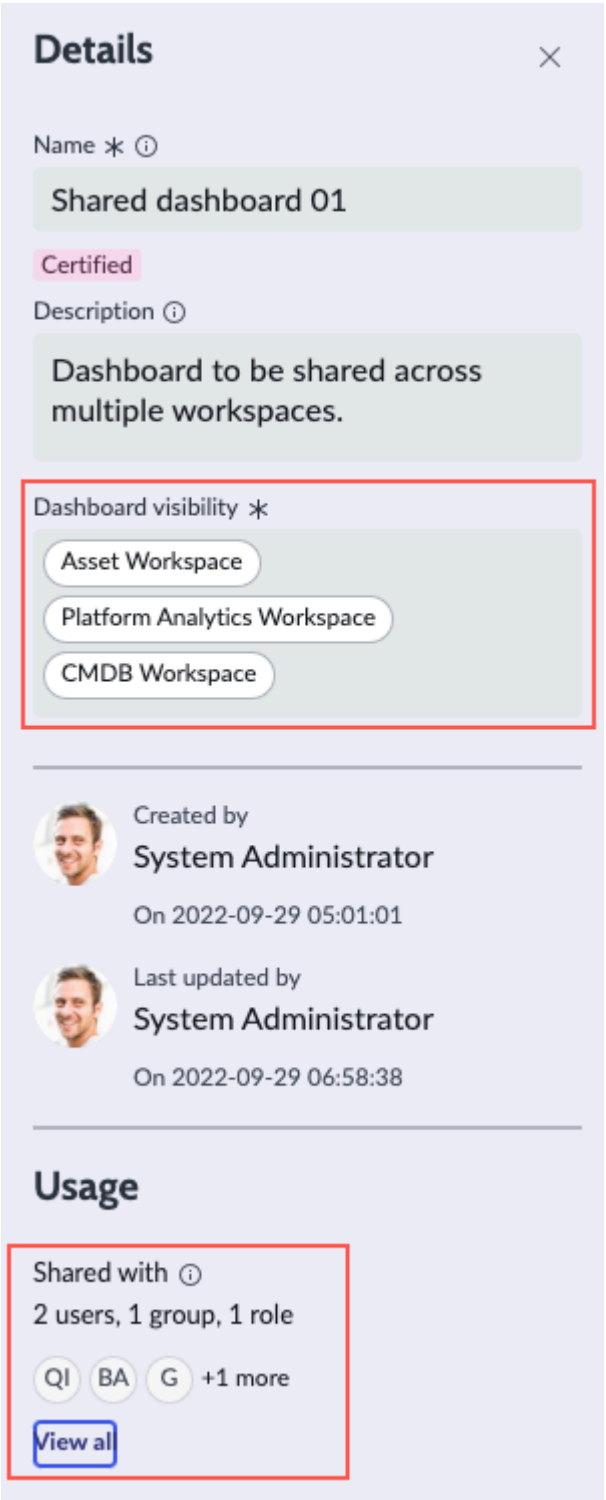
オプション	説明
閲覧者として追加	ダッシュボードを共有しているユーザー、グループ、またはロールにのみ、表示権限を付与します。編集することはできません。
編集者として追加	ダッシュボードを共有しているユーザー、グループ、またはロールに編集権限を付与します。 ユーザーをエディターとして追加するには、ダッシュボードと同じアプリケーションスコープ内にいる必要があります。

7. オプション: [フィルターを含むリンクをコピー] または [リンクをコピー] を選択して、ダッシュボードの URL をクリップボードにコピーします。
   この URL は、[共有ダッシュボード] ダイアログを開いたときに開いていたタブを指します。[フィルターを含むリンクをコピー] では、ダッシュボードまたはダッシュボードタブで構成されているフィルターも適用されます。
8. [**Confirm** (確認)] を選択します。
9. オプション: [ダッシュボードの詳細] アイコン を選択して、ダッシュボードが共有されているユーザーとダッシュボードの表示場所を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
この例では、ダッシュボードは 3 つのワークスペースに表示され、2 人のユーザー、1 つのグループと 1 つのロールと共有されています。



プラットフォームアナリティクスダッシュボードの複製

インラインエディターで作成されたダッシュボードを複製して、変更したバージョンを別のユーザーと共有できるようにします。

始める前に
必要なロール:ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合、任意。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

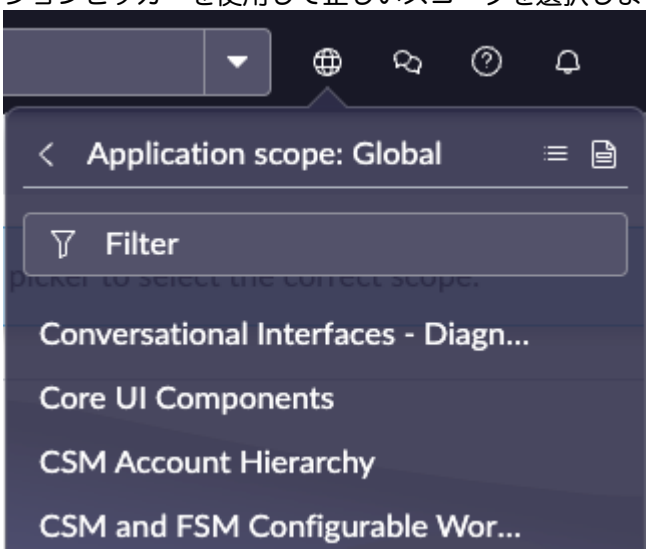
注:
このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。UI ビルダーで作成されたダッシュボードを操作するには、「 UI Builder 」を参照してください。

このタスクについて

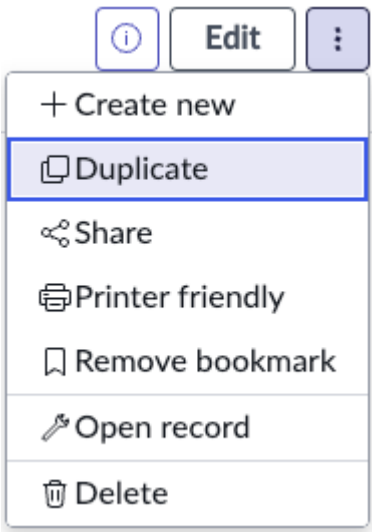
ダッシュボードを複製すると、元のダッシュボードのすべての設定と詳細がコピーされます。元のダッシュボードにローカルに存在するコンテンツは、新しいダッシュボードに複製されます。元のダッシュボードに、共有のビジュアル化など、ライブラリ内のコンテンツへの参照が含まれている場合、それらの参照は複製されます。ライブラリ内の要素を編集するためのロール要件は、後者に適用されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ダッシュボード.
2. 複製するダッシュボードを選択します。
3. オプション: ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



4. その他のアクションメニュー( )を開き、「 複製」を選択します。



5. 複製に一意の名前を付け、[複製] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ダッシュボードが新しい名前でコピーされます。ダッシュボードの外観は元のダッシュボードと同じです。

重要:
新しい複製は自動的に保存されます。

ダッシュボードタブの複製

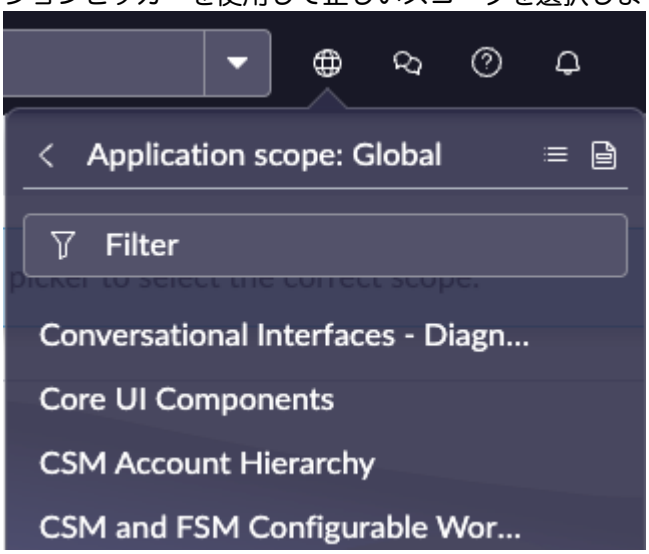
インラインエディターで作成されたダッシュボードタブを複製して、関連する重要なコンテンツを追加できるようにします。ダッシュボードに最初のタブを追加すると、タイトルの下とタブの上にレイアウトの新しい部分が表示されます。どのタブにフォーカスがあるかに関係なく表示されるタブの上に要素を追加します。

始める前に
必要なロール:任意ですが、ダッシュボードの編集権限が必要です。

注:
このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。UI ビルダーで作成されたダッシュボードを操作するには、「UI Builder」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [ダッシュボード] タブを選択します。
3. 複製するタブを含むダッシュボードを選択します。
4. オプション: ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



5. [タブを追加] を選択します。
   このリンクは、ダッシュボードのタイトルの横にあります。
6. 元のタブで [その他のアクション] メニュー ( ) を開き、[複製] を選択します。
   タブの名前を変更するには、鉛筆アイコン ( ) を選択します。
7. 複製に一意の名前を付け、[複製] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ダッシュボードが新しい名前でタブにコピーされます。ダッシュボードの他のすべての側面は同じままです。

重要:
新しい複製は自動的に保存されます。

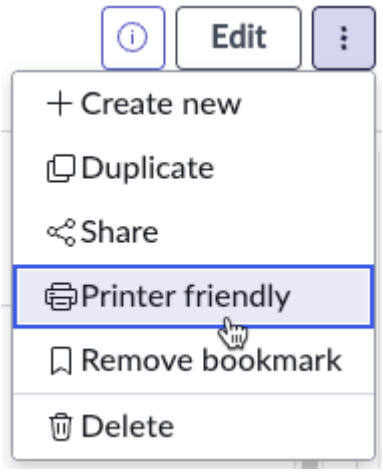
プラットフォームアナリティクスダッシュボードを印刷

ダッシュボードを印刷するには、印刷用のコピーを作成し、そのコピーをブラウザから印刷します。

始める前に
必要なロール:任意

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード
2. 印刷するダッシュボードを開きます。
3. その他のアクションメニュー( )から、「 印刷用」を選択します。



ダッシュボードの印刷用コピーが新しいブラウザータブで開きます。

4. ブラウザー機能を使用して、印刷用のダッシュボードのコピーをエクスポートまたは印刷します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードを PDF または Microsoft PowerPoint にエクスポートします。

始める前に
必要なロール:ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合、任意。

注:

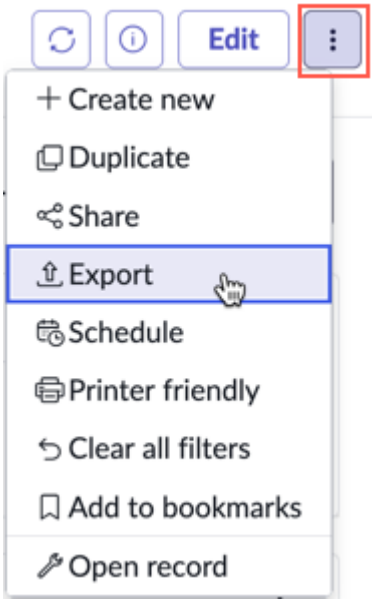
- このタスクは、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。テクニカルダッシュボードはエクスポートできません。
- インスタンスに Pro Plus ライセンスがある場合は、 Now Assist パネルを使用してダッシュボードを会話形式でエクスポートできます。「」を参照してください。
- PowerPoint にエクスポートされたダッシュボードには、各可視化の上にタイトル、下に説明が編集可能な形式で含まれます (この情報がソースの可視化で指定されている場合)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ダッシュボード.
2. エクスポートするダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボードの [その他のアクション] メニューの を選択し、[エクスポート] を選択します。



4. [ファイルの種類] で、[PDF] または [PowerPoint] を選択します。

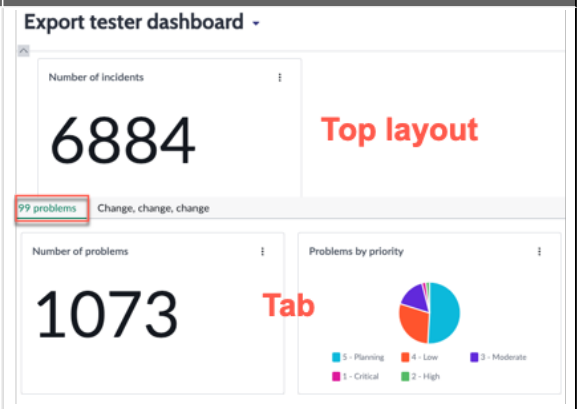
   a. PDF にエクスポートする場合は、ページの形式と向きを指定します。
   エクスポート時にダッシュボードで設定されたフィルター値がエクスポートに適用されます。

   b. PowerPoint にエクスポートする場合は、次のオプションを設定できます。

オプション	説明
すべてのタブをエクスポート	ダッシュボードに複数のタブがある場合は、すべてのタブをエクスポートするか、一部のサブセットのみをエクスポートするかを選択できます。 デフォルト:オン
上部レイアウトのすべての可視化をエクスポート	ダッシュボードに複数のタブがあり、すべてをエクスポートする場合は、タブの外側のレイアウトにある可視化をエクスポートするかどうかを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	
タブを選択:	すべてのタブをエクスポートする場合は、エクスポートする各タブを選択します。
適用済みフィルターありでエクスポート	ダッシュボードのフィルターで設定された値をエクスポートに適用するかどうかを選択できます。たとえば、ダッシュボードにインシデントカテゴリフィルターと、インシデントの数を示す単一スコアの可視化があるとします。フィルターで何も選択されていない場合、可視化には 6884 件のインシデントが表示されます。フィルターでソフトウェアカテゴリを選択すると、5278 件のインシデントのみが表示されます。次に、フィルターで選択したソフトウェアを使用してダッシュボードをエクスポートします。[フィルターを適用してエクスポート] がオンになっている場合、その視覚化のスライドには 5278 件のインシデントが表示されます。オフにすると、6884 と表示されます。 デフォルト:オン

注:
PowerPoint の場合、エクスポートでは、ダッシュボードのタブごとに 1 つのスライドではなく、ダッシュボードの可視化ごとに個別のスライドが作成されます。

5. 配信方法として、[ファイルのダウンロード] または [メールで送信] を選択します。

配送方法	結果
ファイルのダウンロード	エクスポートが完了すると、エクスポートをダウンロードするように求められます。
メールで送信	送信するユーザーを選択します。選択できるのはインスタンス上のユーザーのみです。セキュリティ上の制約により、メールの送信先が制限される場合があります。件名を指定する必要があります。メッセージを追加できます。

6. [Export (エクスポート)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
選択したタブとフィルターを含むダッシュボードが PDF または PowerPoint ファイルにエクスポートされ、選択した方法で配信されます。

ダッシュボードとデータの可視化のエクスポートをスケジュールする

ダッシュボードとデータビジュアル化のエクスポートとメール送信を自動化します。同僚がプレゼンテーションを作成したり、外部ユーザーと情報を共有したり、データを経時的に追跡したりするのに役立ちます。

始める前に
必要なロール:アクセスできるダッシュボードまたはビジュアリゼーションのエクスポートをスケジュールするためのpar_scheduler、またはそれを含む任意のロール。par_scheduler_adminロールまたはそれを含むロールがある場合は、任意のデータ可視化のエクスポートをスケジュールできます。

このタスクについて
複数のダッシュボードとデータの可視化を 1 つのスケジュール済みメールにまとめてエクスポートできます。

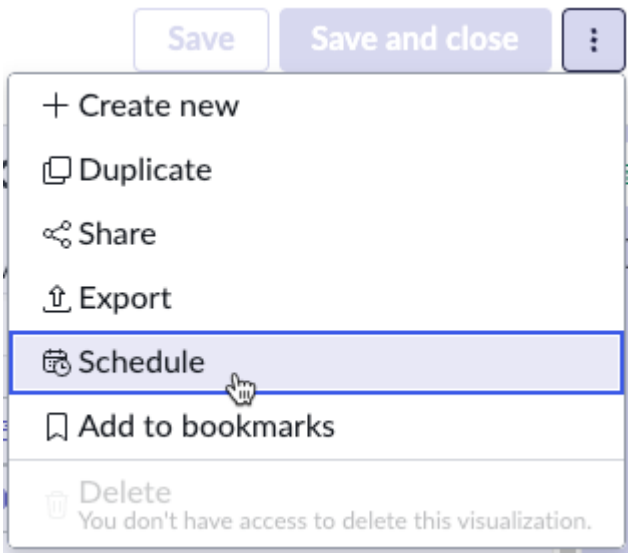
> **注:**
> このトピックは、ダッシュボードとデータ可視化の両方のドキュメントで利用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ をクリックし、[データの可視化] または [ダッシュボード] を選択します。
2. 定期的にエクスポートするアイテムを選択します。

   > **注:**
   > カレンダーレポートまたはインジケータースコアカードはエクスポートできません。

3. [その他のアクション] メニュー ( ) から 、[スケジュール] を選択します。
   編集モードにすることはできません。



   ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするためのすべてのオプションが表示されます。このオブジェクトをエクスポートしない場合は、「 変更」を選択します。

4. ファイルタイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ダッシュボードまたはデータの可視化を PDF にエクスポートする場合、またはデータの可視化をグラフィックファイルにエクスポートする場合は、ページの形式と向きを選択します。
6. ダッシュボードを Power Point にエクスポートする場合は、次の手順を実行します。

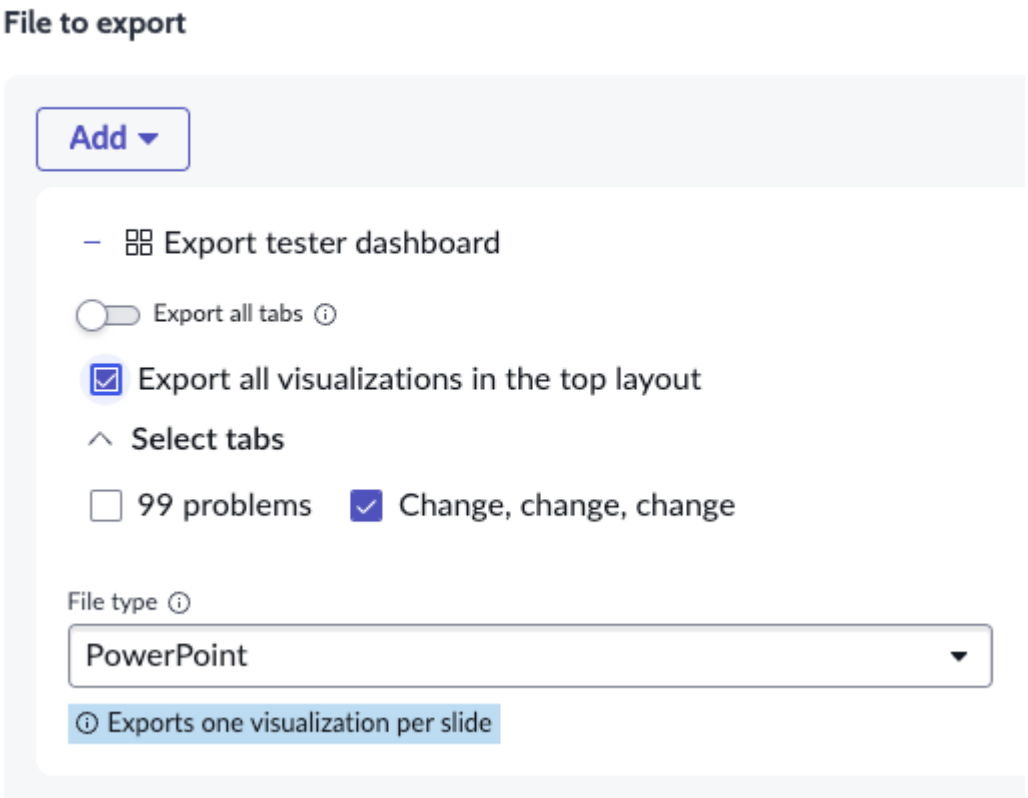
   a. すべてのタブをエクスポートするか、特定のタブのみをエクスポートするかを選択します。

   b. 特定のタブのみをエクスポートする場合は、エクスポートするタブと、上部レイアウトの内容を含めるかどうかを選択します。

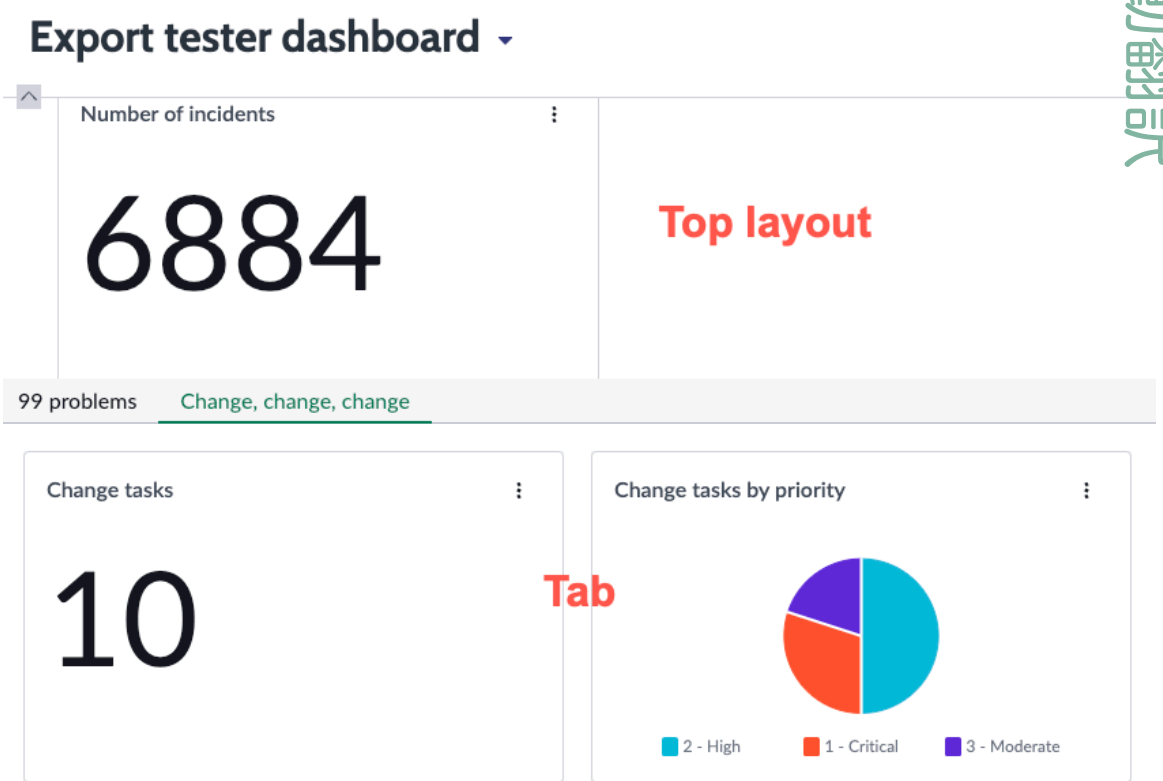
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードタブのエクスポートの構成



エクスポートされる可視化



7. エクスポートにダッシュボードまたはデータの可視化をさらに追加するには、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [追加] メニューを展開します。

b. [ダッシュボード] または [データの可視化] を選択します。

c. エクスポートするダッシュボードまたは可視化を 1 つ以上選択します。

d. ステップ 4 から 6 のように、追加した各ダッシュボードまたは可視化のエクスポート基準を構成します。

ダッシュボードとデータの可視化の両方を 1 つのエクスポートに追加できます。

8. 埋め込まれていない書き出しを ZIP ファイルとして送信するには、「 **ZIP** ファイルとして送信」をオンにします。

9. [メールスケジュール] セクションで、メールを送信するタイミングと頻度を指定します。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	オンにすると、スケジュール済みエクスポートメールの配信が有効になります。
再発	エクスポートメールを送信する頻度を選択します。
曜日、時刻、その他のカレンダーフィールド	メールを送信するタイミングを指定します。オプションは、[繰り返し] でメールを送信する頻度によって異なります。時間フィールドは HH:MM:SS 形式です。
レコードがない場合は省略	オンにすると、空のメールが配布されなくなります。
使用条件	オンにして、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。Now Platform 上のスクリプトの詳細については、「スクリプト」を参照してください。 **⚠ 警告:** スケジュール設定済みメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。

10. [メールの詳細] セクションで、受信者とメールの件名を指定します。
インスタンスのユーザーとグループ、または許可された内部または外部のメールアドレスを入力できます。セキュリティ上の制約により、レポートの送信先が制限される場合があります。メッセージを追加することもできます。インスタンス上にいないユーザーにメールを送信するには、送信メールを設定する必要があります。送信メールの設定を参照してください。

11. [保存] を選択してスケジュールを保存します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのブックマーク

ダッシュボードをブックマークして、 アナリティクスセンターで簡単に見つけられるようにします。

始める前に

必要なロール:ユーザーがダッシュボードにアクセスできる場合は任意

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ダッシュボード.
2. ブックマークするダッシュボードを選択します。
3. その他のアクションメニュー( )から 、「ブックマークに追加」を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードの概要で、選択したダッシュボードがブックマーク済みリストに表示されます。

次のタスク
ブックマークを削除するには、ブックマークされたダッシュボードを選択し、[その他のアクション (More actions)] メニュー([ )から [ブックマークの削除**(Remove bookmark)**] を選択します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの削除

役に立たなくなったダッシュボードは削除できます。アナリティクスセンターは、ワークフロースタジオを呼び出してインスタンスからダッシュボードを削除します。

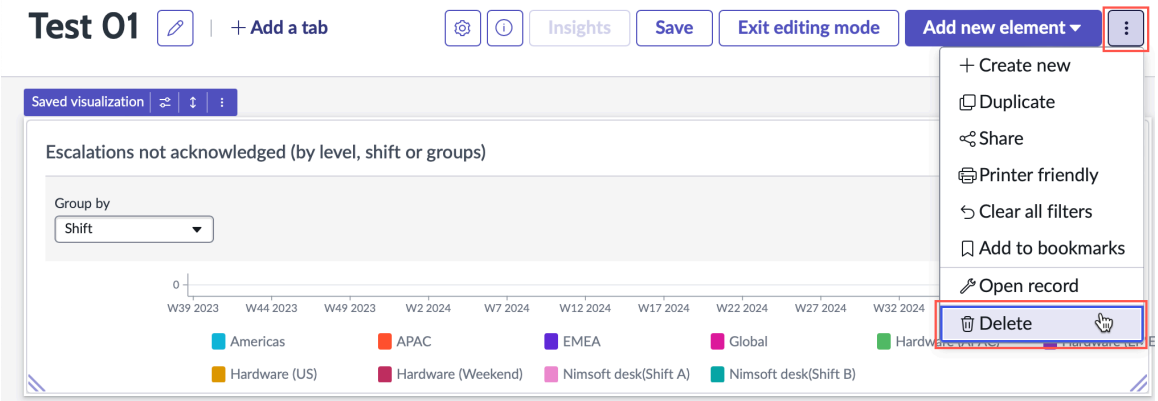
始める前に
ダッシュボードを表示できるすべてのユーザーに、ダッシュボードを削除することを通知します。削除されたダッシュボードをブックマークしているユーザーがダッシュボードにアクセスしようとすると、エラーが表示されます。

必要なロール:自分が作成したダッシュボードは削除できます。admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、任意のダッシュボードを削除できます。

> **注:**
> コア UI のレスポンシブダッシュボードを削除する手順は異なります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの管理」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ダッシュボード.
2. 削除するダッシュボードを開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ( ) から 、[削除] を選択します。



4. 削除を確定します。
   このアクションを元に戻すことはできません。プラグインに関連付けられたダッシュボードを誤って削除した場合、 システムアドミニストレーターはダッシュボードの元のバージョンを復元できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).

b. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

c. [その他のアクション] メニュー ボタン [ ] を選択し、[修復] を選択します。

d. [プラグインのアクティブ化] ウィンドウで [修理] を選択します。

でのダッシュボードの削除アクションの構成 ワークフロースタジオ

ワークフロースタジオを使用して、ダッシュボードの削除プロセスにアクションを追加できます。アクションには、ダッシュボードのユーザーへのメールの送信や承認要求の生成が含まれる場合があります。

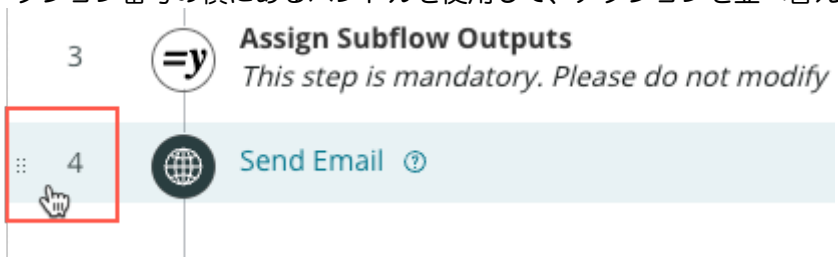
始める前に

フローを呼び出す前に、インスタンスは、ダッシュボードが存在すること、および開始ユーザーが正しいロールを持っていることを確認します。

必要なロール:自分が作成したダッシュボードは削除できます。admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードを削除できます。アドミニストレーターは、ユーザーロールに基づいて ワークフロースタジオ へのアクセスを許可および拒否できます。詳細については、「User access to Flow Designer (フローデザイナーへのユーザーアクセス)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー)
2. [サブフロー] を選択します。
3. [ダッシュボードを削除] サブフローを選択します。
4. [**Add an Action, Flow Logic, or Subflow**] を選択します。
   利用可能な可能性の詳細については、「 Flow Designer」を参照してください。
5. オプション:
   アクション番号の横にあるハンドルを使用して、アクションを並べ替えます。



6. 追加したアクションでフローをテストします。
   詳細については、「フローをテストする」を参照してください。
7. フローを保存します。

タスクの結果

次の 3 つの出力が可能です。

削除成功

出力コード 1。削除プロセスが成功したことを示します。

削除に失敗しました

出力コード 2。削除に失敗したことを示します。

削除が開始されました

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力コード 3.削除プロセスは開始されたが、承認などの中間ステップが完了していないことを示します。

詳細については、「 アクションエラーの評価 」を参照してください。

ダッシュボードの構成

ダッシュボードを構成し、管理タスクを実行します。ほとんどのタスクは、ダッシュボードの詳細またはダッシュボード設定 UI のいずれかで実行されます。

一般的な構成タスク

次のタスクには特別なロールは必要ありませんが、ダッシュボードの所有者または編集権限を持つユーザーに制限される場合があります。

- ダッシュボードの名前または説明を変更

  他のユーザー向けにダッシュボードのわかりやすい説明を入力します。

- ダッシュボード要求者を指定

  このダッシュボードの作成を要求したユーザーを指定します。ユーザーを指定すると、ダッシュボードの編集権限が自動的に付与されます。

- ダッシュボードの所有権の転送

  デフォルトでは、ダッシュボードの作成者がダッシュボードオーナーです。ダッシュボードの所有者は、この所有権を別のユーザーまたはユーザーグループに譲渡できます。

- 背景色を設定

  ダッシュボードの 1 つ以上のタブの背景色を選択します。

- ダッシュボードの作成者を確認
- ダッシュボードを共有しているユーザーを確認

アドミン構成タスク

次のタスクには、admin ロールではないにしても、少なくともdashboard_adminが必要です。

- データ更新オプションの設定

  ダッシュボードをスケジュールに従って更新するかどうか、およびデータキャッシュを使用するかどうかを設定します。dashboard_admin または admin ロールが必要です。詳細については、「プラットフォームアナリティクスでのデータキャッシュ」を参照してください。

- ダッシュボードの認定

  ダッシュボードの使用が組織によって正式に承認されていることを認定します。admin ロールが必要です。

- プラットフォームアナリティクスダッシュボードタブのキャッシュタイムアウトを設定する

  ダッシュボードタブのコンテンツが更新されるまで保持する時間 (分) を設定します。インスタンスのすべてのダッシュボードタブに適用されます。admin ロールが必要です。

- ダッシュボードを含めることができるワークスペースを管理する

  このダッシュボードを追加できる プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス以外のインスタンス上のワークスペースを指定します。admin またはダッシュボード admin ロールが必要で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。ワークスペースのダッシュボードの詳細については、「 ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

- 更新セットを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの移動ダッシュボード構造を更新セットに移動して、別のインスタンスに配置できるようにします。ダッシュボードのコンテンツは含まれません。admin ロールが必要です。

プロセスマイニング 統合タスク

- ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成

  プロセスの一部であるさまざまな状況と、それらの状況間の移行をマッピングします。プロセスのオブジェクトがどのステータスにあるか、およびそれらがステータスを変更する速度を確認します。sn_process_optimization_analystロールが必要です。

- プロアクティブアナリティクスの提案からのプロセスマイニングプロジェクトの作成

  [インサイト] パネルには、作成する プロセスマイニング プロジェクトの提案を含めることができます。プロジェクトを作成するには、sn_process_optimization_analystロールが必要です。

ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成

ダッシュボード名の変更、説明の追加、認定、ヴィジビリティの設定、要求者、所有者、オーナーグループの指定を行うことができます。

始める前に

ダッシュボードの詳細は、UI ビルダーで作成されたダッシュボードとインラインエディターで作成されたダッシュボードの両方で編集できます。

必要なロール：dashboard_admin、または自分が所有しているダッシュボードまたは編集権限を与えられたダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード.
2. [ダッシュボード の概要] で、構成するダッシュボードを選択します。
3. 情報 (ⓘ) を選択して [詳細] パネルを開きます。
   [Details (詳細)] パネルでは、ダッシュボードのいくつかの側面を編集できます。

   a. [名前] フィールドを編集して、アナリティクスセンターとダッシュボードの概要でのダッシュボードの表示方法を変更します。

   b. [説明] に入力して、ダッシュボードの目的に関する詳細なコンテキストを提供します。

   c. ダッシュボードを 認定 としてマークし、組織全体での使用が推奨されることをユーザーに通知します。

   > **注:**
   > ダッシュボードを 認定済みとしてマークするには、admin ロールが必要です。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定」を参照してください。

   d. [ダッシュボードの可視化] で、ダッシュボードを表示できるワークスペースを表示、追加または削除します。
   admin または dashboard_admin ロールを持つユーザーは、任意のダッシュボードのワークスペースを変更できます。他のユーザーは、自分が作成したダッシュボードのワークスペースのみ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

を変更できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集」を参照してください。

e. 1 つ以上のダッシュボードカテゴリを指定します。
詳細については、「プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードのカテゴリ」を参照してください。

f. ダッシュボードを要求したユーザーを指定します。
このユーザーは責任ユーザーと見なされます。データの可視化は、編集権限を持つユーザーと共有されます。

g. ダッシュボードの所有者を指定します。
デフォルトでは、所有者がダッシュボードの作成者ですが、作成者または所有者は別のユーザーに所有権をアサインできます。

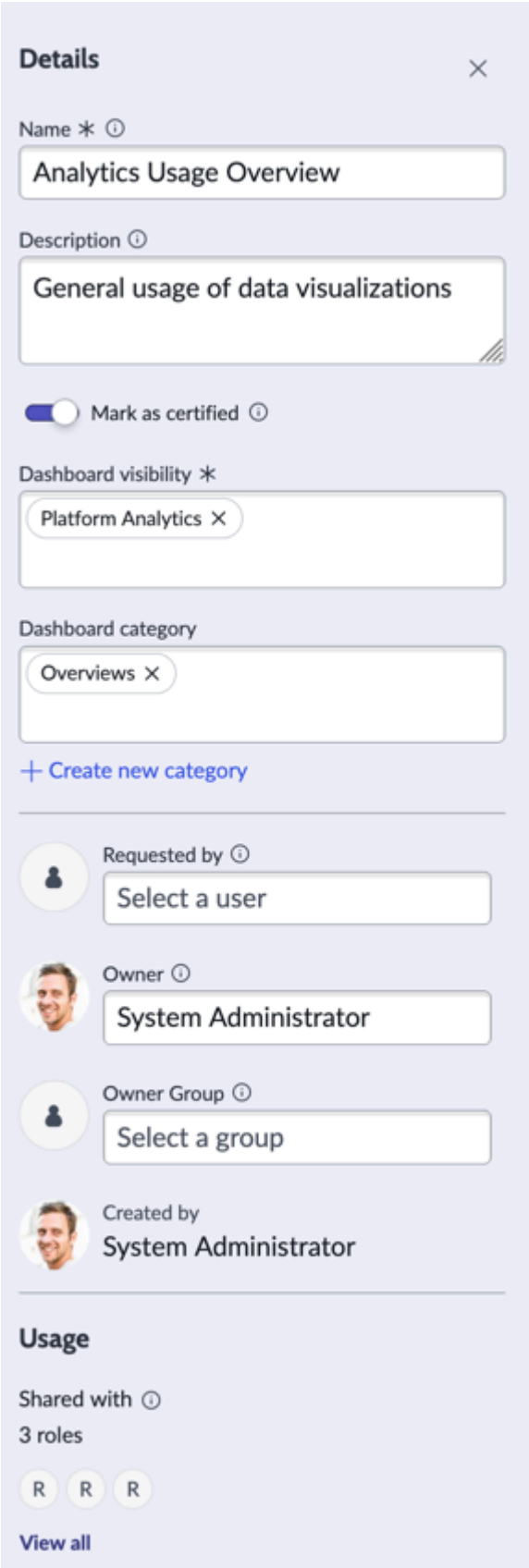
h. オーナーグループを指定します。
ダッシュボードの所有者は、1 人ではなくグループ全体にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. ダッシュボードの作成者を確認します。

j. ダッシュボードが共有されているユーザーを確認します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成

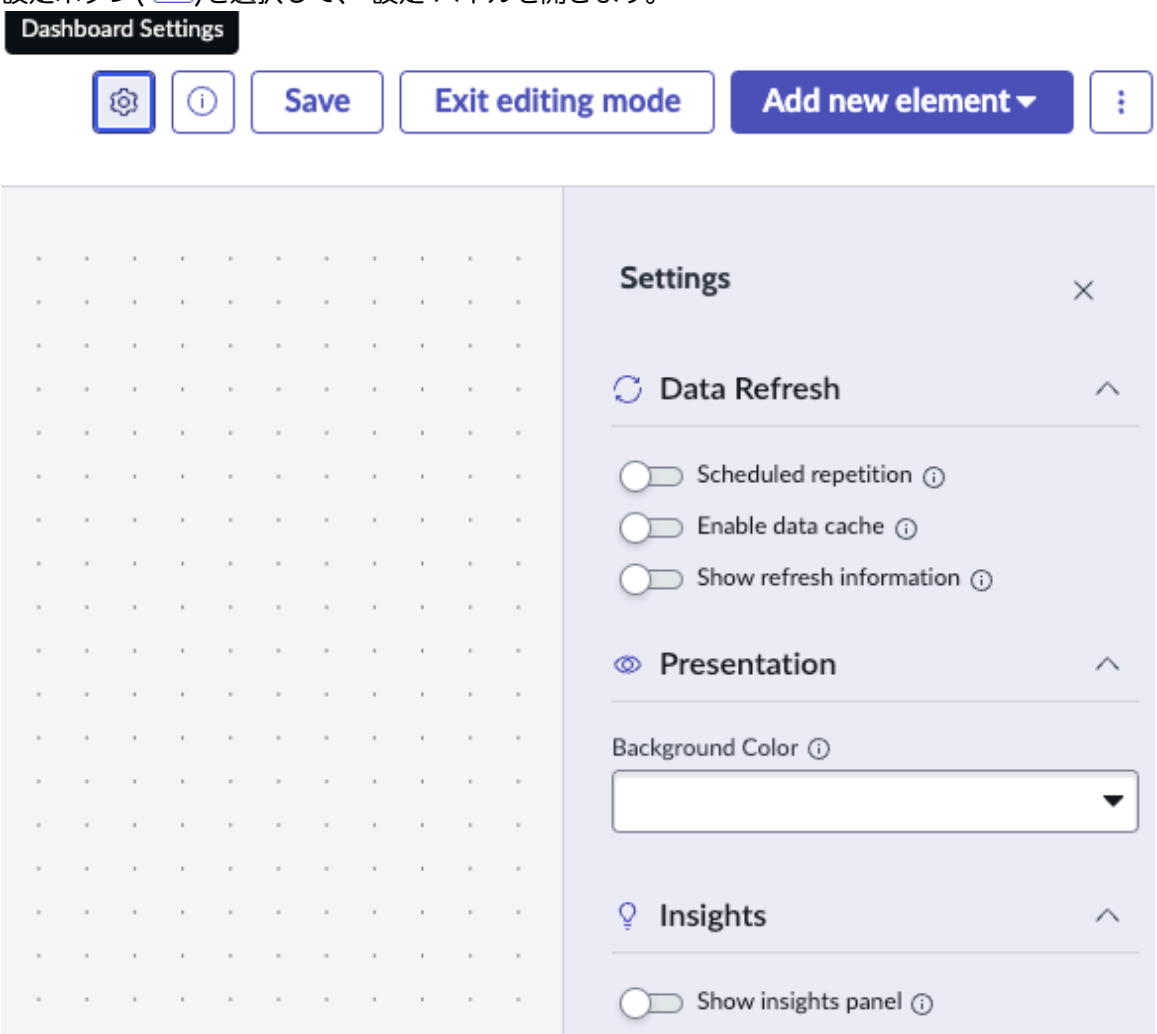
更新間隔の詳細と背景色を設定したり、データキャッシュを有効にしてページの更新を高速化したり、表示するインサイトカードを選択したりできます。

始める前に

必要なロール：dashboard_admin、または自分が所有しているダッシュボードまたは編集権限を与えられたダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード.
2. ダッシュボードライブラリで、設定するダッシュボードを選択します。
3. [編集] を選択して編集モードに入ります。
4. 設定ボタン( )を選択して、 設定 パネルを開きます。



5. 次のいずれかの設定を変更します。
   - [リフレッシュ] オプションを編集します。

     dashboard_admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードの自動更新を設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [更新情報を表示] を選択すると、ダッシュボードが最後に更新された日時がダッシュボードのタイトルの下に表示されます。この情報は、ダッシュボードが自動的に更新されるとき、およびユーザーが更新ボタン () を選択したときに更新されます。
- ダッシュボードを再ロードする頻度を分単位または時間単位で指定するには、[スケジュールされた繰り返し] を選択します。
- [データキャッシュを有効にする] を選択すると、テーブルまたはインジケーターデータに基づくデータ可視化のページ更新時のロード時間が短縮されます。データ キャッシュはインジケーター スコアカードにも適用されます。ダッシュボードは、ページが更新されたときにデータベースのクエリを実行する代わりに、キャッシュされたデータを使用します。

  注:

  - スケジュールされた繰り返しを有効にすると、データキャッシュが無効になり、その逆も同様です。
  - データの可視化で **X** 分間不在になった後の[リアルタイム更新] または [リフレッシュ] を有効にすると、その可視化のキャッシュが上書きされます。このオプションを後で無効にした場合、現在キャッシュされている値が期限切れになっていない場合は表示されます。

  データキャッシュには有効期限があります。ページが更新され、キャッシュされたデータの有効期限が切れると、新しいデータが照会され、キャッシュされます。データキャッシュが有効になっている場合は、[キャッシュされた有効期限] でキャッシュされたデータを有効にする期間を設定できます。オプションは、1、2、4、8、12、または 24 時間です。

  ダッシュボード全体またはデータの可視化のキャッシュされたデータを手動で更新するには、ダッシュボードまたは可視化のいずれかを更新します。

- [プレゼンテーション] セクションで、ダッシュボードの 1 つ以上のタブの背景色を編集します。

  事前設定された色のリストから色を選択するか、カラーパレットを使用して色を指定します。

- [インサイト] セクションに表示するかどうか、またどのアナリティクスを表示するかを選択します。

  [インサイトパネルの表示] を選択すると、インサイトボタンがダッシュボードに追加されます。ビューアーがこのボタンを押すと、選択したアナリティクスオプションに対応するインサイトカードが表示されます。詳細については、「ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードタブのキャッシュタイムアウトを設定する

ダッシュボードの内容は、ユーザーがタブ間を移動するたびに更新されるわけではありません。ダッシュボードタブのコンテンツが更新されるまでキャッシュされる時間 (分) を設定できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. プロパティ *next_experience.dashboard.tab.timeout*を開きます。
   このプロパティはデフォルトで有効になっています。
3. 値を編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タブコンテンツが更新されるまでのデフォルトの時間 (分) は 20 分です。

4. [Update (更新)] を選択します。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスダッシュボードのカテゴリ

ダッシュボードカテゴリを使用すると、複数のダッシュボードに割り当てられた一般的な用語を使用してダッシュボードを検索およびフィルタリングできます。

注:
コア UI ダッシュボードグループはカテゴリに移行されます。

platform_analytics_adminまたはanalytics_categories_adminを持つユーザーは、ダッシュボードカテゴリを作成、編集、および削除できます。ユーザーは、作成したダッシュボードに 1 つ以上のカテゴリを適用でき、ダッシュボードライブラリ内のダッシュボードをカテゴリ別にフィルタリングできます。

十分なカテゴリがある場合は、ダッシュボードの概要でカテゴリを検索できます。それ以外の場合は、ダッシュボードに割り当てられているすべてのカテゴリが [カテゴリ別にフィルター] に表示されます。ダッシュボードの情報パネルにアサインされていないカテゴリは、概要に表示されません。

すべてのカテゴリを表示するには、analytics_categories.list に移動します。

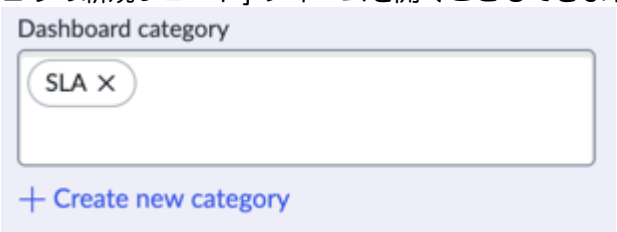
ダッシュボードカテゴリの作成

ダッシュボードカテゴリユーザーは、ダッシュボードの概要で、ダッシュボードを説明する用語またはフレーズを作成者またはanalytics_categories_adminによって提供されたとおりにフィルタリングします。

始める前に
必要なロール:analytics_categories_admin

手順

1. オプション: [アプリケーションスコープ]) を選択し、カテゴリを適用するスコープを選択します。
   デフォルトのアプリケーションスコープはグローバルです。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 使用率とガバナンス > アナリティクスのカテゴリ.
   編集モードのダッシュボードの [詳細] ウィンドウで [新しいカテゴリの作成] を選択して、[カテゴリの新規レコード] フォームを開くこともできます。



3. **[New** (新規)] を選択します。
4. カテゴリの名前を入力します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
カテゴリは、情報パネルでダッシュボードに適用したり、ダッシュボードライブラリで検索したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードカテゴリのアサイン

カテゴリを使用すると、ユーザーはダッシュボードライブラリ内のダッシュボードをフィルタリングできます。各ダッシュボードに 1 つ以上のカテゴリをアサインできます

始める前に

必要なロール:ダッシュボードを作成できるユーザーは、既存のカテゴリをダッシュボードに割り当てることができます。analytics_categories_adminロールを持つユーザーのみがカテゴリを作成できます。ダッシュボードの所有者、または analytics_categories_admin ロールと dashboard_admin ロールを持つユーザーのみが、既存のダッシュボードにカテゴリを割り当てることができます。

ダッシュボードの情報パネルでダッシュボードカテゴリを割り当てます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード.
2. カテゴリを適用するダッシュボードを選択します。
3. [編集] ボタン (Edit) を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
4. [情報] ボタン () を選択してダッシュボードの情報パネルを開き、適用するカテゴリを選択します。
   analytics_categories_adminロールを持つユーザーには、新しいカテゴリを作成するオプションもあります。
5. [編集モードを終了] を選択して、カテゴリをダッシュボードに適用します。

タスクの結果

- ライブラリのダッシュボードカードは、適用されているカテゴリを示します。
- ユーザーは、アサインされたカテゴリでフィルタリングすることでダッシュボードを見つけることができます。

ダッシュボードカテゴリの管理

ダッシュボードカテゴリを使用すると、ユーザーは、ダッシュボードまたは analytics_categories_adminの所有者によって割り当てられた用語またはフレーズに基づいて、ダッシュボードライブラリのコンテンツをフィルタリングできます。

始める前に

必要なロール:analytics_categories_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用率とガバナンス > アナリティクスのカテゴリ.
2. 1 つ以上のカテゴリを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから、実行する処理を選択します。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードの認定

ダッシュボードを認定して、会社によって承認され、使用が推奨されていることを示します。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

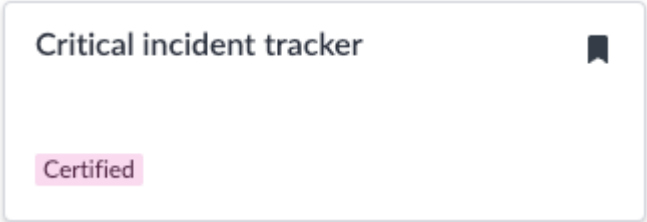
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** > ライブラリ > ダッシュボード
2. 認定するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン (ⓘ) を選択して [詳細] パネルを開きます。
4. [編集] を選択します。
5. [認定済みとしてマーク] というラベルの付いたトグルを選択します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
ダッシュボードの概要では、タイルは [認定済み] とマークされています。



更新セットを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードの移動

ダッシュボードタブに関連するポータルページは、更新セットに自動的に転送されません。ダッシュボードのアンロード機能を使用して、ダッシュボードレコードから更新セットにポータルページを追加できます。[ダッシュボードのアンロード] 機能は、ポータルページを含むすべての関連タブを含むダッシュボード全体をアンロードします。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
この手順では、ダッシュボード構造を更新セットに移動する方法について説明します。ダッシュボードの構造には、ダッシュボード自体、タブ、関連するセキュリティ構成、およびヘッダーの色や境界線などのダッシュボード固有のウィジェット設定が含まれます。

この手順では、ダッシュボードのコンテンツ (レポート、PA ウィジェット、コンテンツブロック、その他のウィジェットなど) は更新セットに移動しません。デフォルトのプラットフォーム機能を使用して、ダッシュボードコンテンツを更新セットに追加できます。

重要:
ダッシュボードのコンテンツがダッシュボードレコードと同じ更新セットにあるか、ターゲットインスタンスに既に存在することを確認してください。移動したダッシュボードがターゲットインスタンスに存在しないコンテンツを指している場合、エラーが発生します。

スコープ対象のアプリケーションでダッシュボードを移動する場合は、追加の手順が必要になることがあります。詳細については、「更新セット ID 'global' が更新セットスコープ ID と異なります」を参照してください。

ヒント:
この手順に問題がある場合は、 カスタマーサービス & サポートに連絡してください。

手順

1. ソースインスタンスで、 par_dashboard.list に移動します。
2. 更新セットにアンロードするダッシュボードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [他のアクション] アイコン (≡) を選択し、[ダッシュボードのアンロード] を選択します。
   この手順は、ダッシュボードをアンロードする準備ができた後 (つまり、すべてのコンテンツをタブに追加した後) にのみ実行してください。
4. 更新セットを移動する準備ができたら、更新セットを完了としてマークします。
5. ターゲット インスタンスで、標準の更新セット機能を使用して更新を移動します。
   詳細については、「 更新セットを取得する」 を参照してください。
   [リモートインスタンス] ページの [取得済み更新セット] 関連リストには、取得されたすべての更新セットが表示されます。更新セットを選択して、エラーがあるかどうかを確認します。エラーは、[取得済み更新セット] フォームの [更新セットプレビューの問題] という関連リストに表示されます。

タスクの結果
ダッシュボードとそのタブが、ターゲット インスタンスに移動されます。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのキャッシュ

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのレイアウトへの変更は、par_dashboard_cache テーブルに保存されます。ダッシュボードが呼び出されるたびに、このテーブルに新しいエントリが作成されます。このテーブルのエントリを削除して、トラブルシューティングのためにキャッシュを再生成します。

ダッシュボードのレイアウトのトラブルシューティングのコンテキストで、次に移動します: **par_dashboard_cache.list** をクリックして PAR ダッシュボードメタデータキャッシュテーブルを開きます。キャッシュを再生成するには、このテーブルのダッシュボードのレコードを削除します。

次のアクセス制御リスト (ACL) が *par_dashboard_cache* テーブルに適用されます。

- アドミン専用ロール:report_on、report_view、作成、書き込み、削除
- 削除:ダッシュボードの ACL ユーティリティを呼び出し、*DashboardACLUtilScriptable.canEditDashboard*
- ログインしているすべてのユーザー:読み取り

プラットフォームアナリティクスダッシュボードに接続されているロールの完全なガイドについては、「プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのドメインセパレーション

ドメインセパレーションは プラットフォームアナリティクス全体でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

ドメインセパレーションの概要

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「ドメインセパレーションの要求」を参照してください。

> **重要:**
> 子ドメインのユーザーが親ドメインのダッシュボードを表示するには、ドメインセパレーションと委任管理の両方を有効にする必要があります。
>
> 子ドメインのユーザーはダッシュボードを上書きできません。子ドメインユーザーには、ダッシュボードへの読み取りアクセス権のみがあります。

ダッシュボードにおけるドメインセパレーションの仕組み

前提：

- 共有されているダッシュボードのみが、他のユーザーに表示されます。「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
- ダッシュボードに対する編集権限を付与されたユーザーは、ダッシュボードと同じドメインに属する場合にのみ、そのダッシュボードを編集できます。たとえば、HR ドメイン内のユーザーは、HR ドメインの親ドメイン内に作成されたダッシュボードを編集できません。

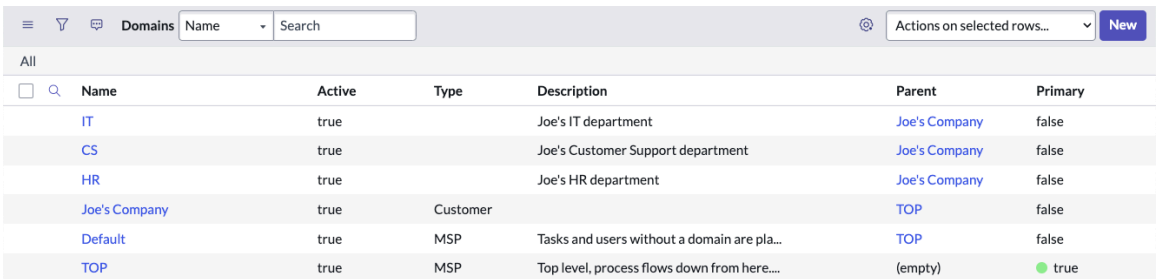
ドメインセパレーションされたダッシュボード データには、ダッシュボード レコード、ダッシュボード タブ、およびウィジェット コンテナーが含まれます。ウィジェットのコンテンツは、コンテンツ自体に適用されるドメインセパレーションによって統制されます。たとえば、管理者が、HR ドメイン内に作成されたレポートを IT ドメイン内のダッシュボードに追加したとします。このレポートは、IT ドメインのユーザーには表示されませんが、ウィジェットコンテナは表示されます。

グローバル レベルで定義されたダッシュボードは、それを共有しているすべてのユーザーに表示されます。親ドメイン内に作成された共有ダッシュボードは、親ドメインおよびそのすべての子ドメイン内のユーザーに表示されます。たとえば、TOP 社内に作成されたダッシュボードは、次に属するユーザーに表示されます。

- Joe の会社
- TOP 社内の他の会社
- それらの会社内のすべての子ドメイン HR、CS、および IT (これらのユーザーが共有している場合)

次の図では、IT、CS、および HR ドメインで作成されたダッシュボードは、他の子ドメインまたは親ドメインのユーザーには表示されません。

ドメインリストの例



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
ダッシュボードに追加された内容は、分離されたドメイン内のユーザーには表示されないため、管理者は、ドメインセパレーションされたダッシュボードをグローバル ドメインから編集しないようにする必要があります。ダッシュボードを編集する際には、正しいドメインにログインしていることを確認してください。

関連情報

ドメインセパレーションの概要

サービスプロバイダー向けのドメインセパレーションの推奨プラクティス

ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成

プロセスの一部であるさまざまな状況と、それらの状況間の移行をマッピングします。プロセスのオブジェクトがどのステータスにあるか、およびそれらがステータスを変更する速度を確認します。

始める前に

プロセスマイニングおよびプロセスプロジェクトに精通している必要があります。詳細については、「プロセスマイニング」を参照してください。

関連するプロセスプロジェクトが既に存在している必要があります。

必要なロール：sn_process_optimization_analyst

このタスクについて

プロセスマイニングマップコンポーネントを使用すると、ユーザーは、分析対象の特定のデータセットに対してプロセスがどのように実行されているかを視覚化できます。たとえば、特定の日付範囲、ビジネスエリア、および地域のレコード数をユーザーに表示できます。

このコンポーネントは、 プロセスマイニング ワークスペースのプロセスマップから取得したのと同様のコンテンツをダッシュボードに提供します。プロセスマップの詳細については、「 プロセスの詳細ページ」を参照してください。

手順

1. ダッシュボードを作成するか、編集が許可されているダッシュボードに移動します。
   詳細については、「インラインエディターでダッシュボードを作成する」を参照してください。
2. [編集] を選択して編集モードに入ります。
3. [**Add new element**] を展開し、[プロセスマイニング - Map] まで下にスクロールします。
   この要素を選択すると、ダッシュボードに追加され、その構成パネルが開きます。
4. [プロセスマイニング - マップ構成] パネルの [データ] で、プロセスマイニングプロジェクトを選択します。
   選択できるのは、アクセスできる プロセスマイニング プロジェクトのみです。
5. マップがダッシュボードのフィルターに従うようにするには、 [フィルターに従う] を選択します。
   詳細については、「プロセスマイニングマップへのフィルターの適用」を参照してください。
6. 表示する接続の割合を設定します。
   接続は、マッピングされたプロセスのサブジェクトがどのように状況を変更するかを示す線です。これらの線は矢印で終わり、変化の方向を示します。また、そのパスをたどったレコードの数と、移動前に以前のステータスで費やした平均時間を示すボックスもあります。たとえば、接続の中央

   にあるボックスに 505/5d と表示されている場合、 は 505 レコードがこの状態の変化に従っており、以前の状態の平均時間は 5 日間でした。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

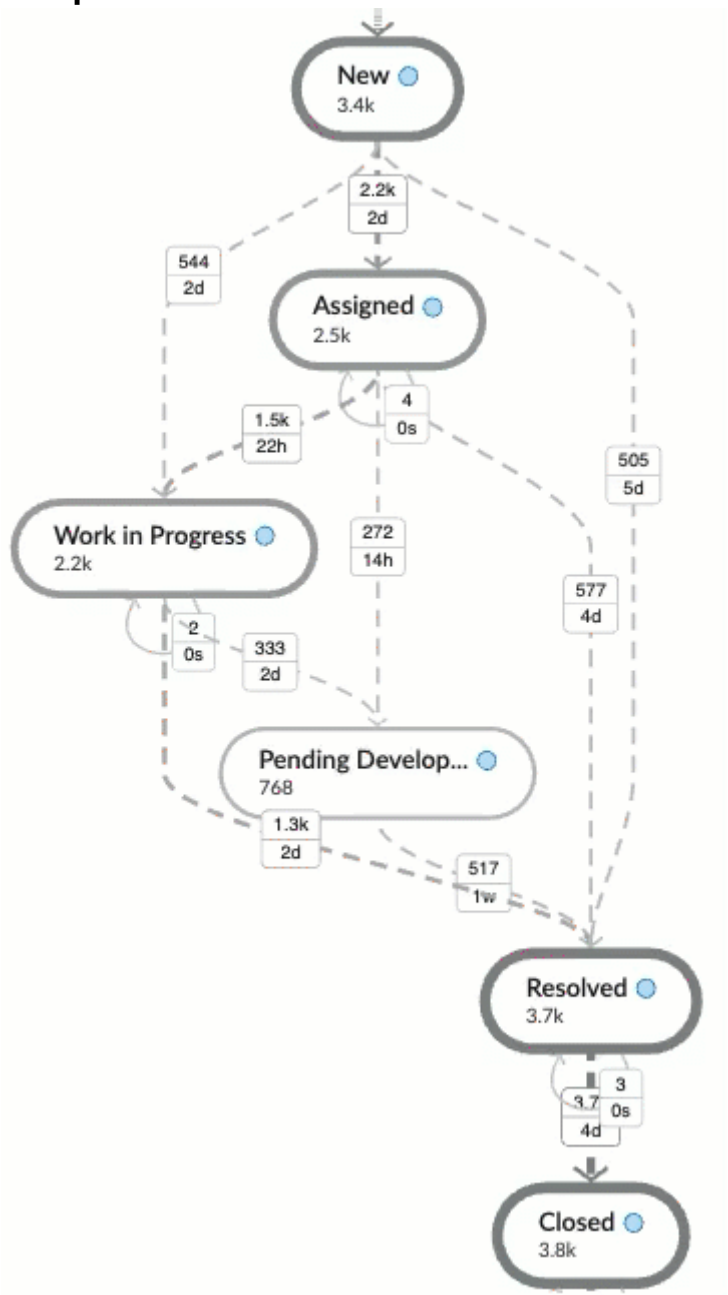
最も頻繁な変更が最初に表示されます。したがって、デフォルトの 20% を受け入れると、ステータス間の最も頻繁な 20% の変更のみが表示されます。数値が小さすぎると、マップに表示されるデータが少なすぎます。数値が大きすぎると、マップはスパゲッティの塊になり、気にしないかもしれない州間の多くのまれな変更があります。

7. 表示するアクティビティの割合を設定します。
アクティビティまたはノードは、プロセスのサブジェクトの可能な状況です。たとえば、インシデントを見ている場合、インシデントは [アサイン済み] ステータスまたは [対応中] ステータスになります。アクティビティが多すぎるとマップが乱雑になる可能性がありますが、通常はできるだけ多くのアクティビティを表示します。
8. オプション: ケースフォローシミュレーションをオンにして、マップをアニメーション化します。
ケースフォローシミュレーションがアクティブな場合、接続の実線は移動する破線に置き換えられます。ダッシュが移動する速度は、オブジェクトがある状態から次の状態に移動する速度を表します。破線の太さは、トラフィックの相対的な量を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example



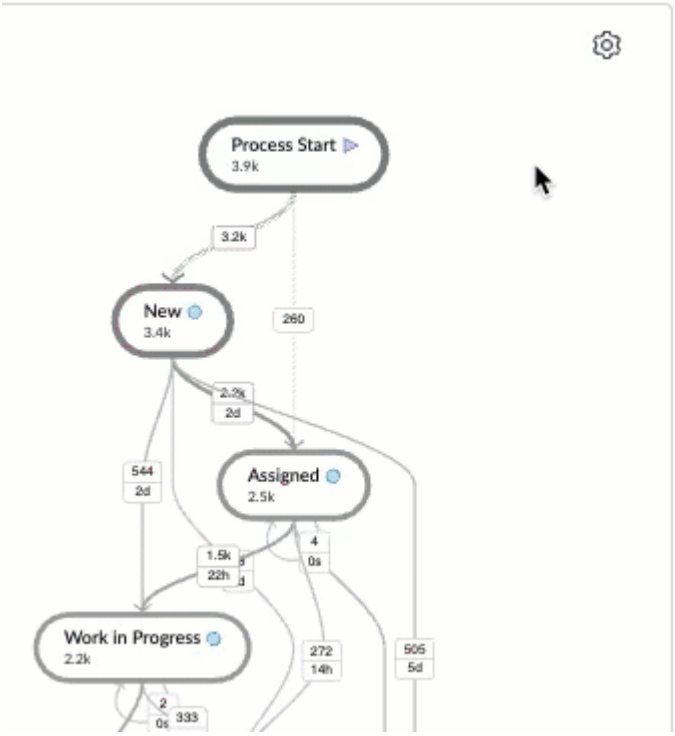
9. オプション: タイトルや説明など、ヘッダーと境界線の設定を指定します。

次のタスク

編集モード以外では、ユーザーはマップ上の  の設定を展開できます。これらの設定では、接続とアクティビティの割合を調整したり、アニメーションのオンとオフを切り替えたりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

- プロセスマイニング
- アナリストワークベンチ
- プロセスマップの絞り込み

プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

ダッシュボードフィルターがプロセスプロジェクトのブレークダウンと同じテーブルにある場合、そのフィルターはプロジェクトの プロセスマイニング マップに適用できます。

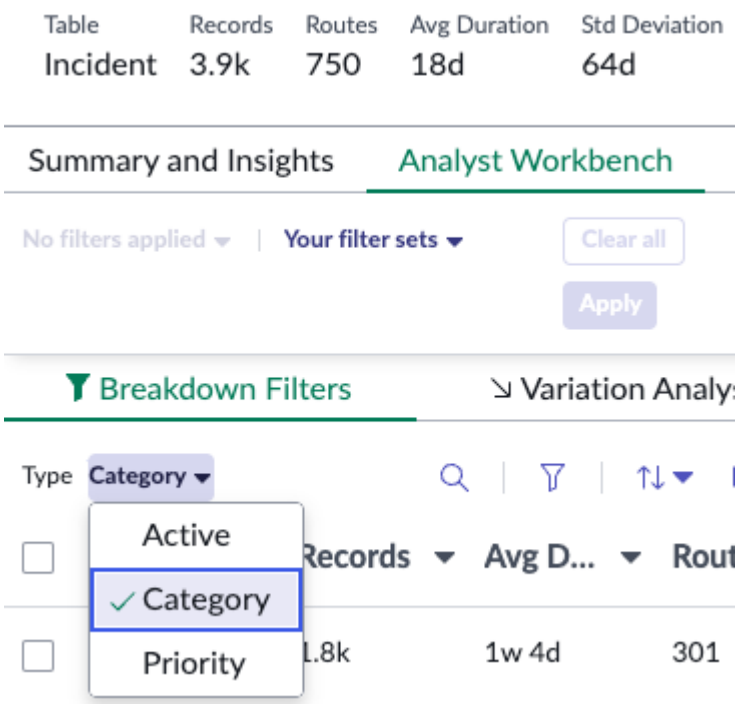
単一選択または true/false フィルターを プロセスマイニング マップに適用できます。

プロセスマイニングマップの単一選択フィルター

単一選択フィルターを プロセスマイニング マップに適用するには、フィルターソースとフィルターするデータの両方が、プロセスプロジェクトのテーブルと同じテーブル上にある必要があります。さらに、プロセスプロジェクトのブレークダウンでもあるテーブルのフィールド上にある必要があります。

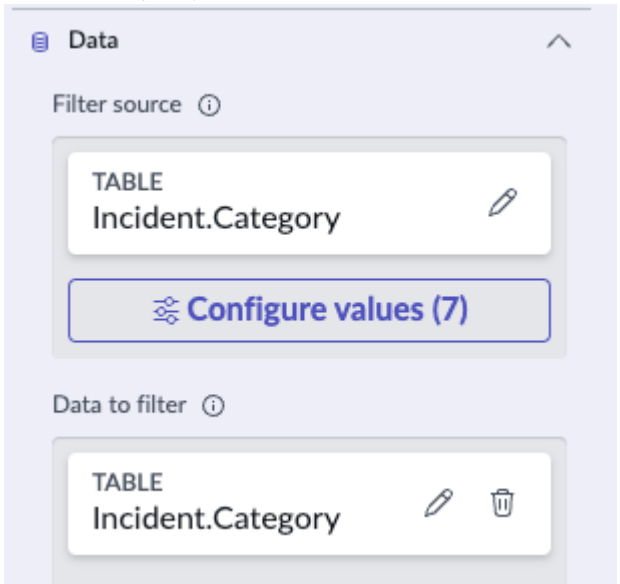
たとえば、インシデント [incident] テーブルのプロセスプロジェクトを考えてみましょう。このプロジェクトのブレークダウンフィルターには、[カテゴリ] フィールドが含まれます。プロセスマイニング ワークスペースでは、プロジェクトのアナリストワークベンチの [ブレークダウンフィルター] 列にブレークダウンが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



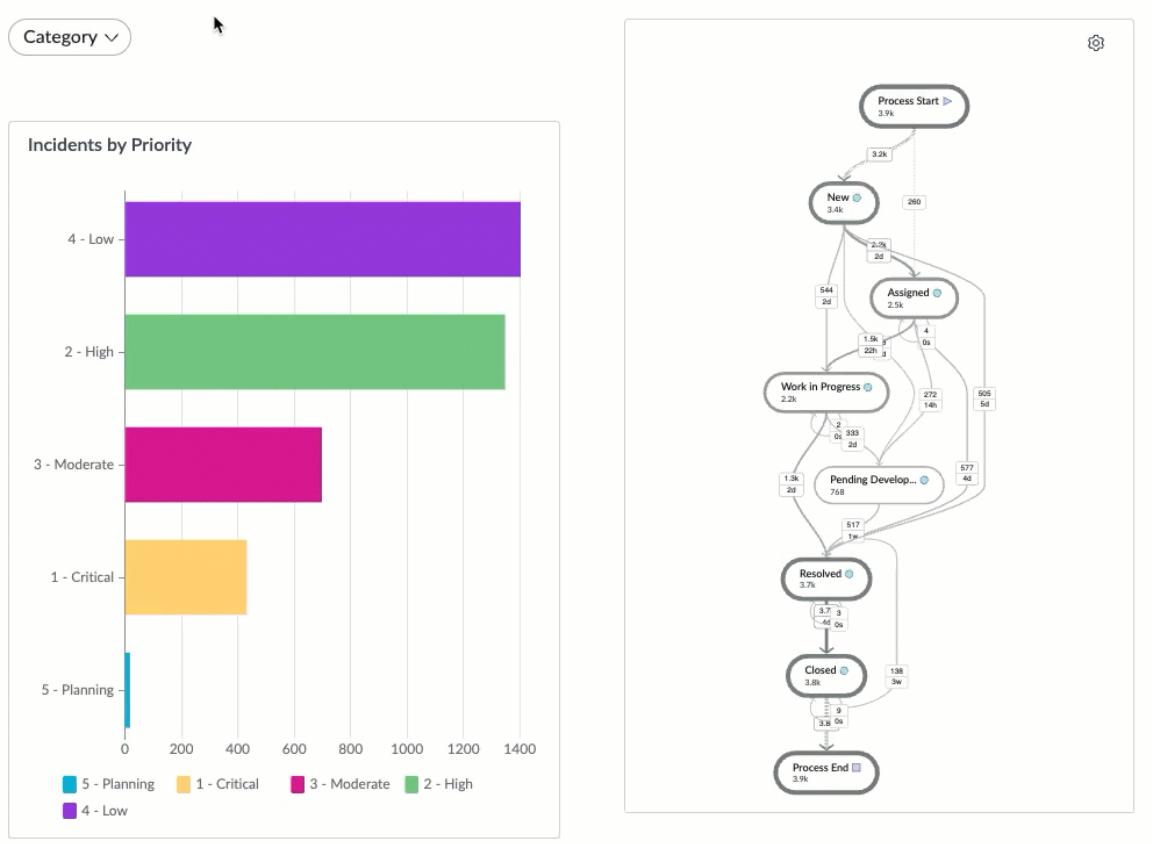
プロジェクトのテーブル設定レコードでブレークダウンを表示および変更することもできます。詳細については、「ブレークダウン定義の設定」を参照してください。

このプロジェクトの プロセスマイニング マップを追加したダッシュボードで、ユーザーがカテゴリ別にマップをフィルタリングできるようにします。カテゴリはプロセスプロジェクトの内訳であるため、このようなフィルターを簡単に追加できます。フィルターを作成するときは、[インシデント] テーブルを選択してから [カテゴリ] フィールドを選択します。この選択は、「 単一/複数の選択フィルターまたはカスケードフィルターの構成」で説明されているように、フィルターソースとフィルターする日付の両方に自動的に適用されます。



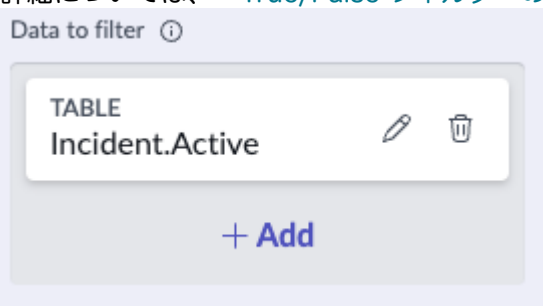
フィルターは、インシデントテーブルの棒グラフによる可視化と同じように プロセスマイニング マップに適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマイニングマップの **True/False** フィルター

True/False フィルターの場合は、フィルタリングするデータのみを選択します。ここでも、プロセスプロジェクトのテーブルとブレークダウンとして使用するフィールドを選択します。単一選択フィルターの例のプロジェクトを続けると、[アクティブ] はブレークダウンとして使用される true/false またはブール値フィールドです。したがって、true/false フィルターを設定して Incident.Active をフィルタリングすると、 プロセスマイニング マップがフィルタリングされます。詳細については、「True/False フィルターの構成」を参照してください。



ここでも、フィルターはデータの可視化とインシデントテーブルの プロセスマイニング マップの両方に影響します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト

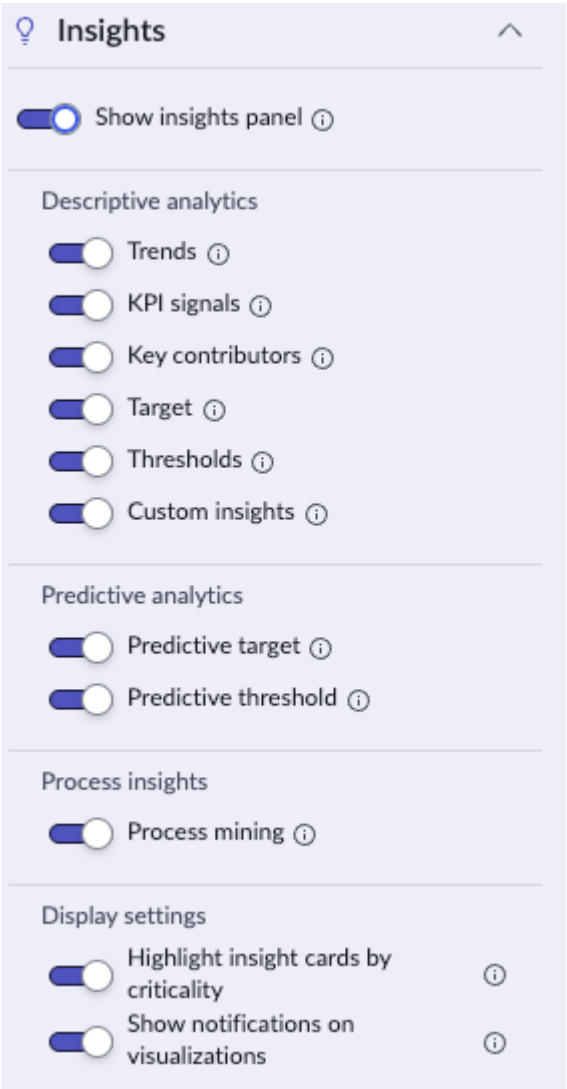
プロアクティブなアナリティクスは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターからのインサイト抽出を自動化します。プロセス内の潜在的に興味深い変更やイベントに関する通知を プラットフォームアナリティクス ダッシュボードで受信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- プロアクティブインサイトは、プラットフォームアナリティクスダッシュボードのパフォーマンスアナリティクス インジケーターで使用するユーティリティです。この機能を利用するには、インジケーターを設定する必要があります。これらは、自分で作成したインジケーターまたは プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーターです。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)」を参照してください。
- プロアクティブアナリティクスを使用するには、 パフォーマンスアナリティクス のアクティブなサブスクリプションが必要です。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。
- プロアクティブアナリティクスを有効または無効にし、表示するインサイトカードの種類を選択するには、ダッシュボードの設定を開きます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。



- プロアクティブアナリティクスは、テクニカルダッシュボードを含む プラットフォームアナリティクス ダッシュボードでのみ使用できます。互換モードで プラットフォームアナリティクス に移行されたレスポンシブダッシュボードを含む、レスポンシブダッシュボードでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インサイト/アナリティクスのタイプ

プロアクティブアナリティクスは、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのインサイトカードで構成されています。インジケーターは毎日チェックされ、次のイベントのインサイトカードが生成されます。

傾向

インジケーターが最大化または最小化するように設定されているが、逆の方向を向いている場合は、インサイトカードが生成されます。

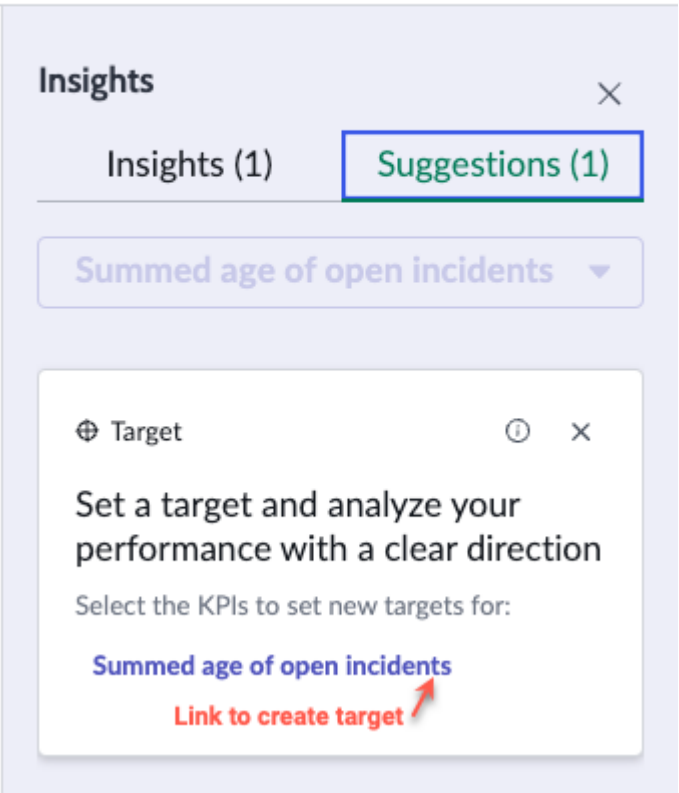
インジケーターターゲットまたはしきい値イベント

次のイベントのインサイトカードが作成されます。

- パフォーマンスアナリティクスインジケーター (KPI) のターゲットが未達成です。
- 未達成の可能性があるインジケーターのターゲット (予測ターゲット)。
- インジケーターの しきい値 に違反しています。違反が史上最高または最低である場合、この事実が言及されます。
- インジケーターのしきい値 (予測しきい値) に違反する可能性があります。

ターゲットインサイトをオンにしても、ダッシュボードに表示されるすべてのインジケーターにターゲットが設定されていない場合、またはすべてのターゲットにレビュー日がない場合は、[ターゲット提案] カードが生成されます。カードには各インジケーターのリンクがあります。

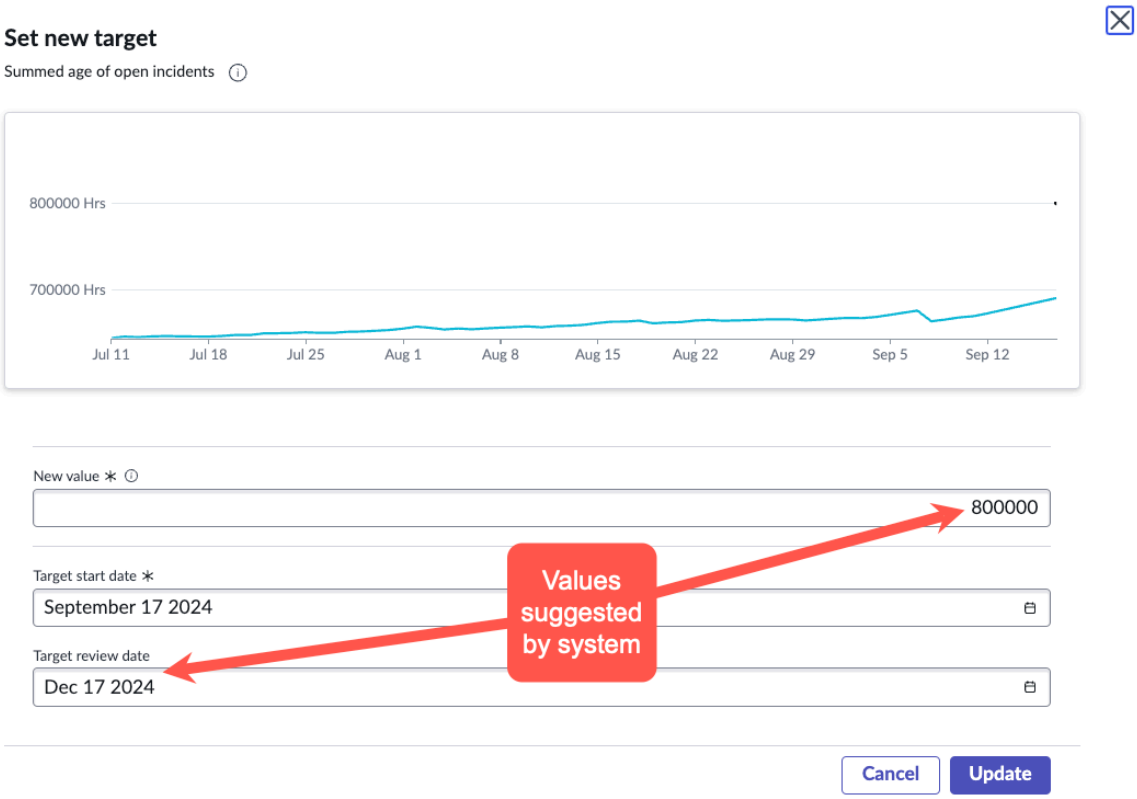




リンクを選択すると、そのインジケーターのターゲット値とレビュー日を設定するためのモーダルが開きます。値が提案されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーターのターゲットとしきい値の設定については、「パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値」を参照してください。KPI 詳細ページでターゲットとしきい値を設定することもできます。

プロセスマイニング

プロセスマイニングを使用している場合は、インジケーターに関連するプロセスフローの潜在的なボトルネックに対してインサイトカードを生成できます。これらのインサイトは、IT プロセスオーナーを支援することを目的としています。作成する プロセスマイニング プロジェクトの提案を受け取ることもできます。そのようなプロジェクトもインサイトを生成します。詳細については、「プロアクティブアナリティクスの提案からのプロセスマイニングプロジェクトの作成」を参照してください。

注:

- これらのインサイトを表示するには、sn_process_optimization_analystロールが必要です。
- プロセスマイニングインサイトは、DA プロセスマイニングインサイトプラグインに含まれています。

KPI シグナルイベント

KPI シグナル で定義されているシグナルが生成されます。KPI シグナル では、標準の統計プロセス動作チャートを使用して、プロセスの重大な変更を識別します。次のシグナルは、インサイトカードを生成します。

- 外れ値:3 標準偏差 (3 シグマ) の上限または下限を超えるスコア。
- 短期実行:4 つの連続したスコアがすべて平均値を上回っているか、すべて平均値より小さく、そのうちの 3 つのスコアが 2 つの標準偏差から外れている。
- 長期実行:7 つの連続スコアがすべて平均値より大きいか、すべて平均値より小さい。
- 「アンチシグナル」:インジケーターが長期間安定していることを示す情報メッセージ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> KPI シグナル は、インジケーターの KPI シグナル イベントを生成するインジケーターに対して設定する必要があります。詳細については、「シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」と「インジケーター (KPI) の KPI シグナル 監視のアクティブ化」を参照してください。

主要貢献者ガイダンス

主な要因は、システムが特定の影響を与えていると識別したパフォーマンスアナリティクスインジケーターのブレークダウンです。この決定には KPI シグナル が使用されますが、区分の KPI シグナル を有効化する必要はありません。システムは独自の KPI シグナル 構成を使用します。

> **警告:**
> システムが主要な貢献者の特定を開始した後に パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブ を変更する場合は注意が必要です。KPI シグナルベースラインまたは評価間隔、あるいはその両方を変更できます。その結果、インサイトに不整合が生じる可能性があります。このような不整合に気付いた場合は、影響を受けるインジケーターとブレークダウンの組み合わせの UUID を特定します。次に、対応するレコードを PA 相関アナライザーステータス [pa_correlation_analyzer_state] テーブルから削除します。詳細については、「KPI 詳細 UUID」を参照してください。

カスタムインサイト

プラットフォームアナリティクスソリューション または他のアプリケーションに含まれる一部のダッシュボードには、カスタムインサイトが含まれている場合があります。このようなインサイトの詳細については、関連する プラットフォームアナリティクスソリューション またはアプリケーションのドキュメントを参照してください。

ダッシュボードでのインサイトカードの表示

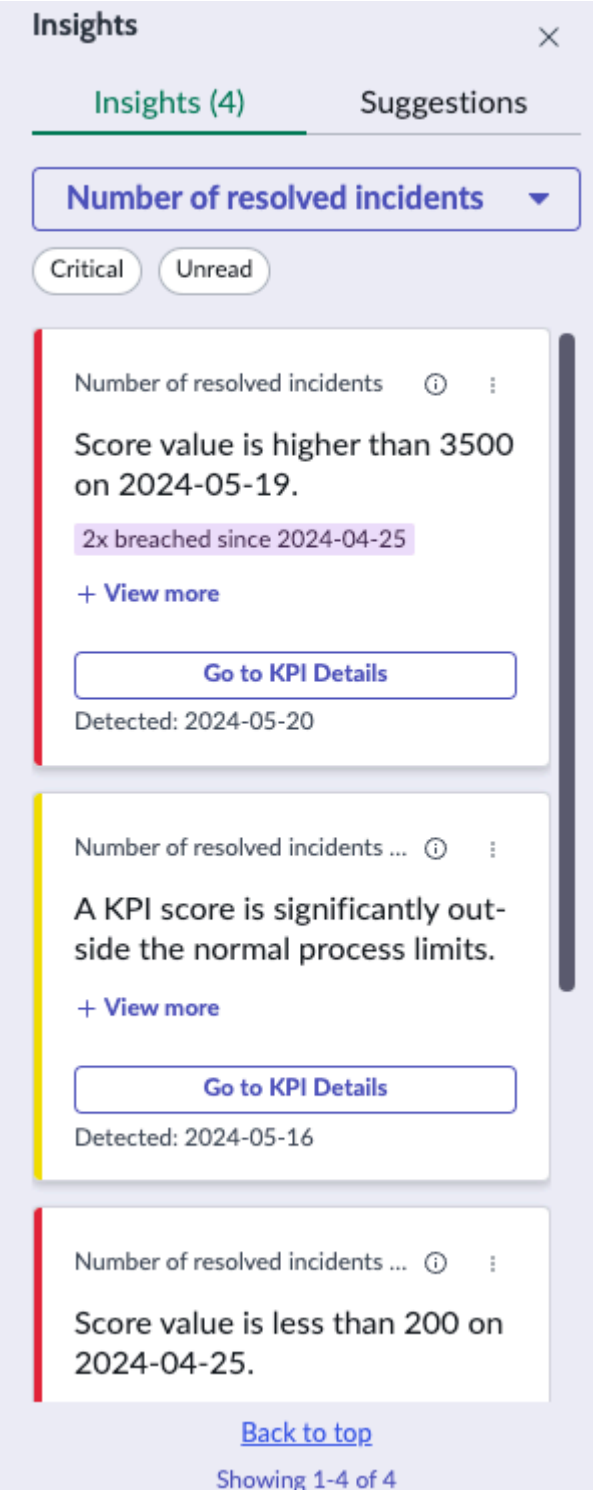
分析情報カードを表示するには、[編集] ボタンの横にある [分析情報] ボタンを選択します。表示する新しいインサイトがある場合、ボタンはオレンジ色の円でマークされます。



パネルが開き、インサイトカードが表示されます。これらのカードの有効期間は 30 日間です。カードをスクロールできます。同じタイプのインサイトが 1 つのカードにグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



各カードには、発生したイベントのタイプとイベントの詳細が表示されます。各カードには、インサイトタイプに応じてフォローアップ用の適切なページを開くボタンもあります。

インサイトタイプ	ページが開きました
ターゲットまたはしきい値	KPI 詳細
シグナル	[KPI シグナルによる KPI 詳細] ペインが開いています

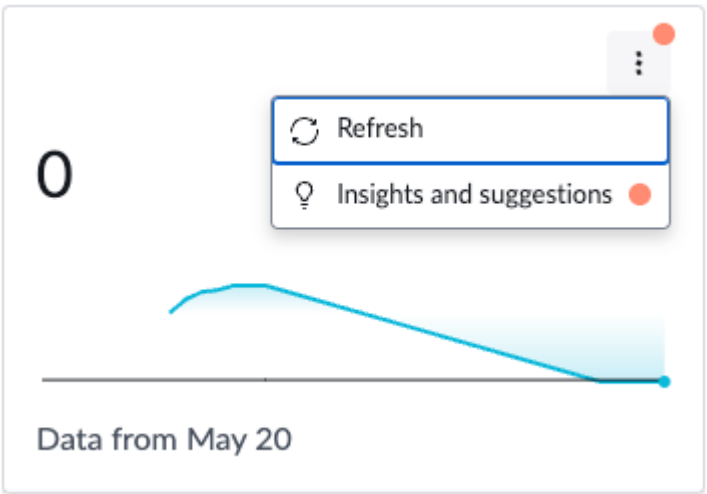
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インサイトタイプ	ページが開きました
主要貢献者	KPI 詳細 (主要な貢献者のフィルターを手動で設定する必要があります)
プロセスマイニングの結果	アナリストワークベンチ

データの可視化に関するインサイト通知

ダッシュボードで [可視化に通知を表示する] がオンになっている場合、その可視化にインジケーターに関連するインサイトがあると、そのダッシュボードの可視化に通知アイコンが表示されます。その可視化の [その他のアクション] メニューから [インサイト] ペインを開くことができます。



グループ化されたインサイトカード

同じタイプの複数のインサイトが 1 つのカードに集計されます。カードの有効期限が切れる前に (14 日)、このタイプのインサイトがさらに生成されると、既存のカードに追加されます。ダッシュボードにトレンドと、ターゲットインサイトまたはしきい値インサイトの両方が表示される場合、トレンドはターゲットまたはしきい値インサイトカードに表示されます。この場合、個別の傾向カードは生成されません。

制限事項と要件

Yokohamaバージョンのプロアクティブアナリティクスは、パフォーマンスアナリティクスインジケーターにのみ適用されます。

ターゲットイベントおよびしきい値イベントは、インジケーターにターゲットまたはしきい値が設定されている場合にのみ表示されます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値」を参照してください。

KPI シグナル イベントは、 KPI シグナル がアクティブ化されたインジケーターに対してのみ表示されます。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル 監視のアクティブ化」を参照してください。

主要な貢献者ガイダンスは、日次頻度のパフォーマンスアナリティクスインジケーターに対してのみ提供されます。

主要な貢献者イベントも KPI シグナルに基づいていますが、インジケーターで KPI シグナル をアクティブ化する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Create a flow with a Proactive Analytics trigger

のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細

プロアクティブアナリティクスの提案からのプロセスマイニングプロジェクトの作成

プロセスマイニング でプロアクティブアナリティクスを使用している場合、プロアクティブアナリティクスで新しいプロセスマイニングプロジェクトを提案できます。提案を 1 回クリックするだけで、プロジェクトが作成されて実行されます。

IT プロセスオーナーは、まだ作成されていない プロセスマイニング プロジェクトが役立つ場合があります。プラットフォームアナリティクスダッシュボードに表示されるインジケーターを使用してプロセスを追跡している場合、この機能は作成するプロセスマイニングプロジェクトを提案できます。

この機能は、スケジュール済みジョブである PA インジケーターの推奨事項を通じて機能します。このジョブは パフォーマンスアナリティクス インジケーターをスキャンして過去 15 日間の例外動作を検出し、その動作を一連の変数と関連付けてスコアを生成し、par_indicator_modelテーブルに保存します。このジョブは、各インジケーターが使用されているダッシュボードの数とスコアを比較検討し、結果が最も多いインジケーターの提案を生成します。提案との 1 回のインタラクションで プロセスマイニング プロジェクトが作成され、そのプロジェクトに基づいてインサイトが生成されます。ただし、いくつかの要件を満たす必要があります。

ダッシュボード側の要件

- DA プロセスマイニング インサイトプラグインをインストールする必要があります。
- 関連する各ダッシュボードで、プロセスマイニングインサイトをオンにする必要があります。
- 関連するダッシュボードビューアーには、sn_process_optimization_analyst ロールが必要です。

提案を作成するための要件

- 監査ログを生成するには、関連するインジケーターのファクトテーブルを設定する必要があります。詳細については、「Configuring auditing for a table」を参照してください。
- 関連するインジケーターのファクトテーブルにプロセス構成が存在する必要があります。詳細については、「クラシックビューを使用してプロセス構成を作成」を参照してください。
- インジケーターのファクトテーブルに固有のテーブル構成を持つテンプレートプロジェクトが存在する必要があります。このようなプロジェクトを作成するには、「 プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

新しいプロジェクトからインサイトを作成するための要件

インジケーターが [影響を受ける **KPI**] フィールドを介してリンクされるように、関連するプロセス構成内に自動検索定義が存在する必要があります。詳細については、「改善の機会の構成」を参照してください。

関連情報

のダッシュボード プラットフォームアナリティクス

提案からのプロセスマイニングプロジェクトの作成

インスタンスが要件を満たしている場合は、インサイトパネルの提案カードから プロセスマイニング プロジェクトを作成できます。このようなプロジェクトは、独自のインサイトを生成します。

始める前に

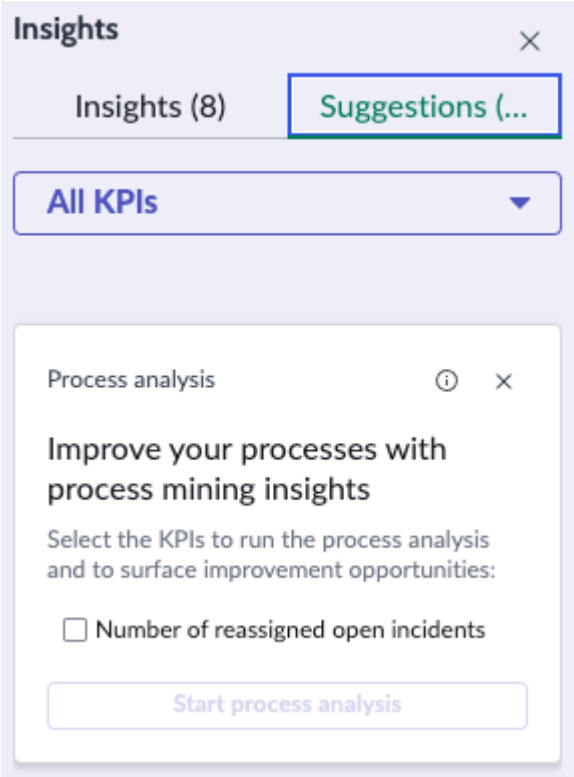
必要なロール：sn_process_optimization_analyst

自動翻訳

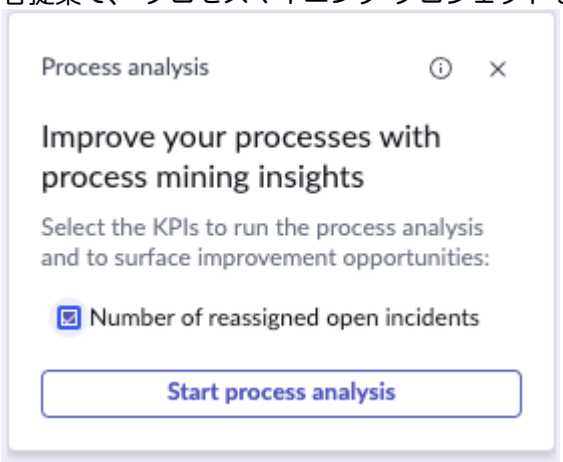
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.
2. 関連する プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを開きます。
3. [インサイト] を選択して [インサイト] パネルを開きます。
   インサイトは、互換モードで プラットフォームアナリティクス に移行されたダッシュボードを含め、レスポンシブダッシュボードでは使用できません。
4. [提案] タブを開き、提案をレビューします。



5. 各提案で、 プロセスマイニング プロジェクトを作成するすべてのインジケーターを選択します。

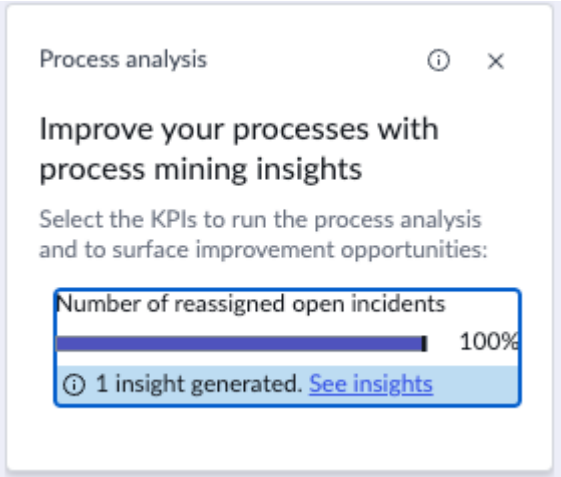


6. プロセス分析を開始します。

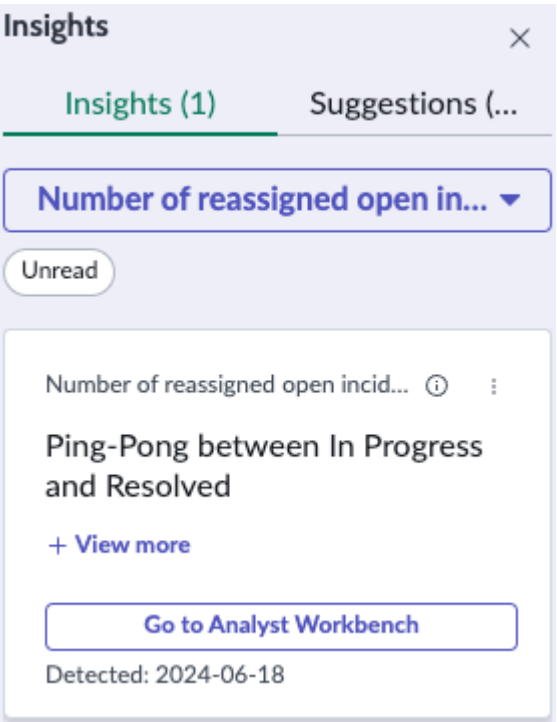
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
プロセスマイニングプロジェクトが生成され、実行されます。[提案] カードで進行状況をフォローできます。プロセスが完了すると、提案はプロジェクトが作成したインサイトへのリンクを提供します。



[分析情報の表示] を選択すると、プロジェクトで作成した分析情報のカードが表示されます。このようなインサイトカードから、プロジェクトの プロセスマイニング アナリストワークベンチを開くことができます。



プロアクティブなアナリティクスジョブ

プロアクティブアナリティクスインサイトは、システムジョブ [sys_job] テーブルのいくつかのジョブによってアクティブ化および生成されます。すべてのジョブは、スケジュールアイテム [sys_trigger] レコードで設定された時刻に毎日実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロアクティブなアナリティクスジョブ

[Name (名前)]	Java クラス	ジョブ詳細	スケジュール済みアイテム [sys_trigger]
KPI シグナルアナリティクスジョブ	com.snc.pa.job.SignalsAnalyticsJob	アクティブなシグナルをインサイトやプロアクティブアナリティクスフロートリガーイベントに変換します。	KPI シグナルアナリティクスジョブ
PA 予測ジョブ	com.snc.pa.forecast.PAForecastJob	予測されたターゲットを予測と照合し、トリガーされた通知を生成します。	PA Forecast Job Schedule (PA 予測スケジュール済みジョブ)
PATarget	com.snc.pa.job.PATargetCheckJob	ターゲット通知サマリーイベントを発生させます。	Check PA Targets (PA ターゲットの確認)
PAThreshold	com.snc.pa.job.PAThresholdCheckJob	条件が満たされたしきい値ごとにしきい値到達イベントを発生させます。	Check PA Thresholds (PA しきい値の確認)
傾向インサイトジョブ	com.snc.pa.job.TrendAnalyticsJob	インジケーターの傾向を毎日分析し、過去 30 日以内の重大な逸脱にフラグを付けます。	傾向インサイトジョブスケジュール
トリガー定義プロアクティブアナリティクス	com.snc.pa.job.TriggerDefinitionProactiveAnalyticsJob	パフォーマンスアナリティクス Premium プラグインが存在するかどうかをチェックし、存在する場合は、sys_hub_trigger_definition のプロアクティブアナリティクストリガー定義をアクティブ化します。	プロアクティブアナリティクストリガー定義アクティベーションジョブ

プロアクティブアナリティクスのシステムプロパティ

インサイトカードの生成に影響するいくつかのシステムプロパティを使用できます。

これらのプロパティは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルに存在するか、作成することができます。システムプロパティを設定するには、admin ロールが必要です。

注:
システムプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロアクティブアナリティクスのプロパティ

プロパティ	説明
com.snc.pa.insights.query_limit	インサイト API への GET 応答で par_computed_insight テーブルのクエリを実行するときの行数を制限します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：1000 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
com.snc.pa.insight.max_days_in_past	デフォルトでは、このプロパティで指定された過去の日数以内に作成されたインサイトを取得します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 14 • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： Add a system property
com.snc.pa.correlation.enable_insights	主要な貢献者インサイトカードの生成を有効にします。 • タイプ：true/false (ブーリアン) • デフォルト値：true • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： Add a system property
com.sys_par_insights_enabled	プロアクティブなアナリティクス機能を有効にします。 • タイプ：true/false (ブーリアン) • デフォルト値：true • 場所：値を変更するには、[システムプロパティ] テーブルでこのプロパティを作成します。 • その他の情報： Add a system property
com.snc.pa.xmr.processes.limit	KPI シグナルインサイトジョブによって評価できるKPI シグナル構成 (pa_xmr_processes) の最大数。この数のプロセスが評価されると、残りのプロセスは無視されます。 • タイプ: 整数 • デフォルト：1000 • 最大:10,000

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクニカルダッシュボード

インラインエディターよりも高度な機能やカスタマイズされた機能がダッシュボードに必要な場合は、ダッシュボードとして公開される UI ビルダー ページを作成できます。このようなページは、テクニカルダッシュボードと呼ばれます。

技術ダッシュボードの概要

技術ダッシュボードは、ダッシュボードエディターで作成します。ただし、インラインエディターでダッシュボードのコンテンツを編集することはできません。[編集] ボタンの代わりに、[**UI** ビルダーで開く] ボタンがあります。UI ビルダーでは、UI ビルダーコンテナーとコンポーネントの全範囲をダッシュボードに入力できます。手動データソースやローカルデータブローカーインスタンスを使用できるなど、いくつかの追加オプションがあります。また、フィルターのイベントハンドラーやデータの可視化でのドリルダウンなど、より技術的な詳細を自分で設定する必要があります。

テクニカルダッシュボードの作成、そのコンテンツの編集、または UI ビルダー ページオプションの構成ができるのは、ui_builder_adminロールを持つユーザーのみです。

テクニカルダッシュボードは、ダッシュボードライブラリからダッシュボードエディターで開くことができます。エディターでは、ダッシュボードを共有したり、印刷可能なバージョンを作成したり、ダッシュボードの詳細を編集したりできます。ダッシュボードページへのダッシュボードの追加で説明されているように、複数のワークスペースで技術ダッシュボードを公開することもできます。

テクニカルダッシュボードは、[詳細ダッシュボード] という名前の専用の UI エクスペリエンスに保持されます。ただし、高度なダッシュボードエクスペリエンスを介してテクニカルダッシュボードを UI ビルダー で直接開くよりも、ダッシュボードエディターで開いて **[UI** ビルダーで開く] ボタンを使用する方が適切です。

⚠ 警告:

高度なダッシュボードエクスペリエンスでテクニカルダッシュボードを直接作成しようとしないでください。作成した UI ビルダー ページはダッシュボードライブラリに表示されず、他の事前設定も表示されません。

テクニカルダッシュボードのその他のトピック

インラインダッシュボードと比較したテクニカルダッシュボード

インラインエディターは、イベントとページプロパティが事前設定されたダッシュボードコンポーネントを生成します。テクニカルエディターでは、あらゆる種類の UIB コンポーネントを使用できますが、より多くのバックエンド構成が必要です。

ダッシュボードはインラインで作成されます	技術ダッシュボード
任意のロールで作成できます。	ui_builder_adminロールでのみ作成できます。
以下を含めることができます。 • データの可視化 • フィルター • 見出し • イメージ • 簡易リスト • リッチテキスト	インラインで作成されたダッシュボードで利用可能なすべてのコンポーネントを含む、 UI ビルダーでサポートされている任意のコンポーネントを含めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードはインラインで作成されます	技術ダッシュボード
複製することができます。	複製することはできません。
エクスポートできます。	エクスポートできません。
データの可視化とフィルターは、事前定義されたデータソースのみをサポートします。	手動 JSON データソースとローカルデータインスタンスがサポートされています。(一般的に UI ビルダー ページに当てはまります。
ドリルダウンのイベント構成がありません。デフォルトおよび事前設定されたドリルダウンは、チャートインタラクションとして使用できます。	ビューアーにビジュアル化からドリルダウンしてもらうには、そのビジュアル化でドリルダウンイベントを構成する必要があります。他のイベントの設定が必要な場合があります。チャートインタラクションは使用できません。
フィルターイベントは、ダッシュボードの関連要素に影響を与えるように事前設定されています。	フィルターイベントハンドラーは手動で構成する必要があります。
ビューアーがフィルター値を選択してダッシュボードを離れると、ダッシュボードを再度開いたときに、そのビューアーに対してそれらの値が事前に選択されます。	フィルター値はユーザーセッション間で保持されません。
共有者のロールと共有されている権限に応じて、編集権限の有無にかかわらず共有できます。	インラインで作成されたダッシュボードと同じです。
他のエクスペリエンスまたは構成可能なワークスペースでのダッシュボードの公開など、ダッシュボードの詳細を指定できます。ダッシュボードの詳細を編集する権限は、ダッシュボードアドミンとダッシュボード所有者に制限されています。	インラインで作成されたダッシュボードと同じです。

自動翻訳

関連情報

のテクニカルダッシュボードでのフィルターの作成 UI ビルダー

データ可視化でのチャートインタラクション

でのテクニカルダッシュボードの作成 **UI** ビルダー

テクニカルエディターのオプションを使用して、 UI ビルダーを使用してダッシュボードを作成します。UI ビルダーでは、スクリプティングやデータバインディングなど、インラインエディターよりも幅広い機能を使用できます。

始める前に
開発者には、UI ビルダーでのダッシュボードの作成をお勧めします。詳細については、「UI Builder」を参照してください。

テクニカルエディターでダッシュボードを作成する場合、 アナリティクスセンター でダッシュボードの詳細を編集することはできません。ただし、 アナリティクスセンターからテクニカルダッシュボードを共有することはできます。

注:
テーブルデータに基づくデータの可視化は、ダッシュボードを共有しているユーザーと自動的に共有されます。

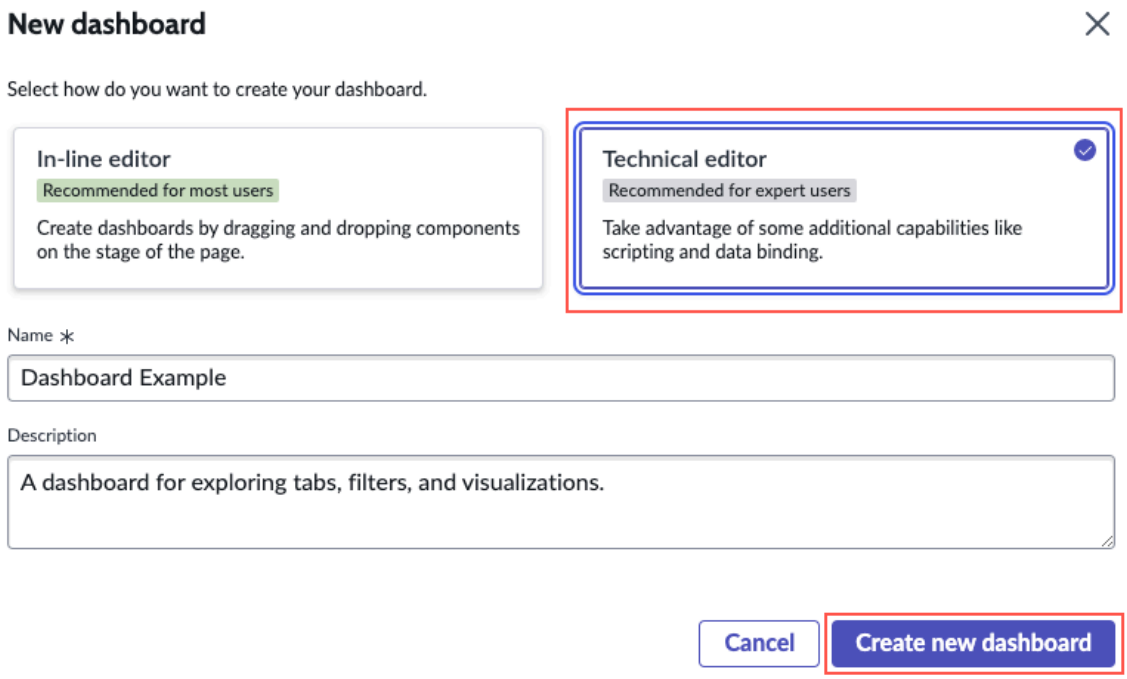
必要なロール：ui_builder_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
テクニカルエディターを使用すると、 UI ビルダー コンポーネントをダッシュボードに追加できます。データリソース、クライアントスクリプト、構成プロパティのデータバインディングなど、他のすべての UI ビルダー 機能を使用することもできます。テクニカルエディターは、 UI ビルダーの [自分のエクスペリエンス] で利用可能な [詳細ダッシュボード] という名前の特別なワークスペースにダッシュボードを作成します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.
2. **[Create new dashboard** (新規ダッシュボードを作成)] を選択します。
3. テクニカルエディターを選択します。



⚠ 警告:
UI ビルダー の高度なダッシュボードエクスペリエンスでダッシュボードを直接作成しようとしないでください。常にプラットフォームアナリティクスライブラリから実行時に開始します。ライブラリでテクニカルダッシュボードを起動すると、par_dashboardsテーブルに自動的に接続され、ダッシュボードの概要コンポーネントに一覧表示されます。

4. 作成するダッシュボードの名前と説明を入力し、[**Create new dashboard**] を選択します。
テクニカルエディターオプションを選択すると、空のダッシュボードが開きます。
5. **UI** ビルダーで [編集] を選択します。
6. コンテンツツリービューで、レイアウトまたはコンテナコンポーネントを追加します。
コンテナは、データの可視化、静的テキストボックス、画像などのダッシュボードコンポーネントを保持します。タブ付きダッシュボードを作成する場合は、各タブを親のタブコンポーネントの下にコンテナとして作成できます。詳細については、開発者サイト のタブコンポーネントリファレンス を参照してください。
7. UI ビルダーの右側にある [スタイル] タブで、レイアウトを選択します。

   レイアウトでは、コンテナのコンテンツをパターンで整理します。

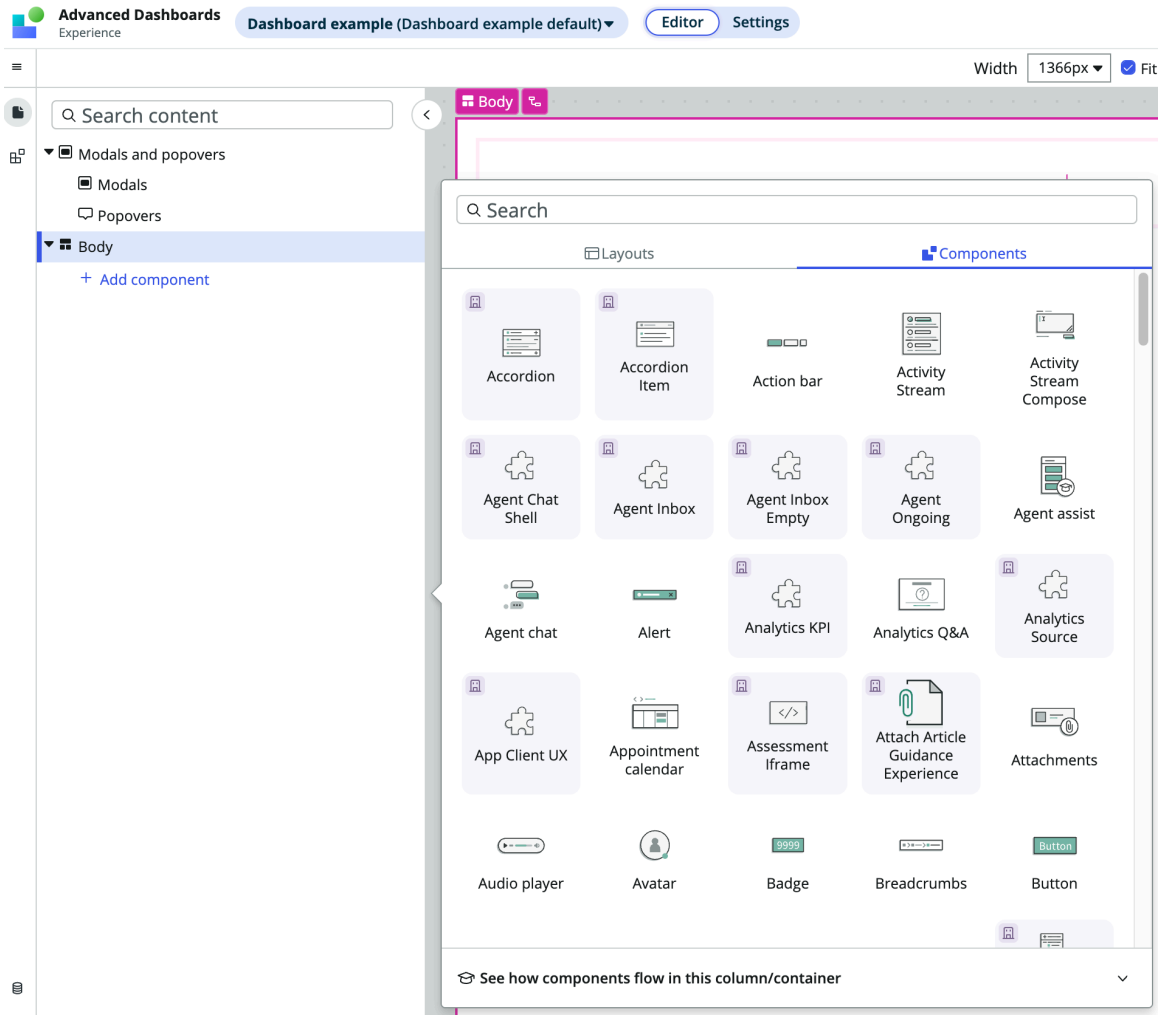
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [グリッド] を選択して、選択したコンテナの行数と列数を指定します。詳細については、「Using CSS Grid layouts to build a page」を参照してください。
- **Flexbox** を選択すると、コンテナ間のレイアウトの柔軟性が高まります。詳細については、「Using Flexbox layouts in UI Builder」を参照してください。

8. コンテナにコンポーネントを追加します。
   左側の [コンポーネント] メニューから選択するか、ステージング領域の [コンテンツを追加] (+) アイコンをクリックします。

   右側の [構成] パネルでは、選択したコンポーネントを構成できます。



9. オプション: コンテナ、コンポーネント、および構成をさらに追加します。
10. データ可視化コンポーネントを追加し、閲覧者がそのコンポーネントからより詳細なデータビューにドリルダウンできるようにする場合は、 テクニカルダッシュボードのデータ可視化にドリルダウンイベントを追加するの指示に従ってください。
11. [保存] をクリックすると、いつでもダッシュボードに加えた変更を保存できます。

関連情報

でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス

のフィルター プラットフォームアナリティクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

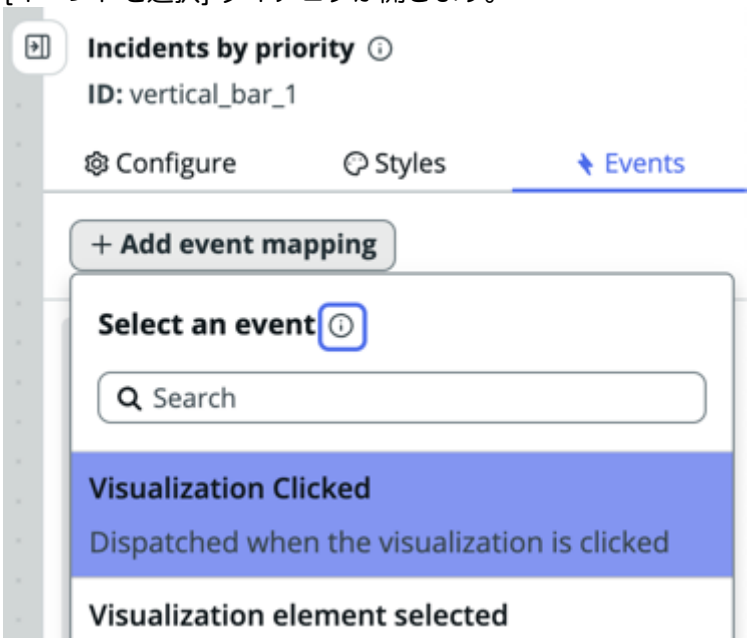
テクニカルダッシュボードのデータ可視化にドリルダウンイベントを追加する

テクニカルダッシュボードは、データの可視化からドリルダウンするための事前設定された宛先をサポートしていません。ビューアーがビジュアル化を操作するときに、データのより詳細なビューを開く場合は、カスタムドリルダウンイベントを構成します。

始める前に
この手順では、技術ダッシュボードが既に作成され、データ可視化コンポーネントが入力されていることを前提としています。
必要なロール:ui_builder_admin、テクニカルダッシュボードを編集する権限

手順

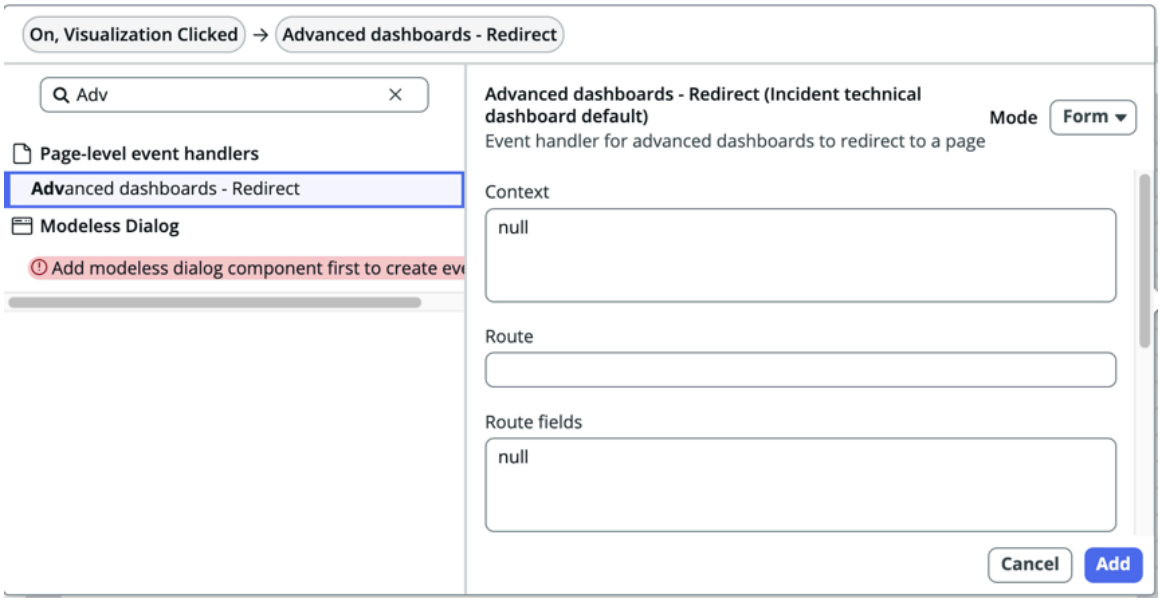
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.
2. 目的のテクニカルダッシュボードを見つけて開きます。
3. **UI** ビルダーで [編集] を選択します。
4. UI ビルダーのダッシュボードで目的のデータ可視化を選択します。
5. データ可視化の構成パネルで、[イベント] タブを開きます。
6. **[+** イベントマッピングを追加] を選択します。
   [イベントを選択] ダイアログが開きます。



7. [視覚化がクリックされました] イベントを選択します。
   ダイアログが開き、利用可能なイベントハンドラーのリストが表示されます。
8. [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーを選択します。
   このイベントハンドラーの構成フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. イベントハンドラーを次のように構成します。

フィールド	説明
コンテキスト	宛先ページが存在するエクスペリエンスのパス。
ルーティング	宛先ページのルート名。
ルーティングフィールド	宛先ページの必須パラメーター。
オプションのパラメーター	宛先ページのオプションのパラメーター。

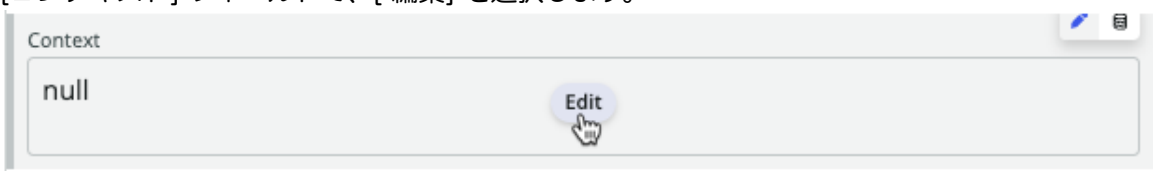
10. [**Add**] を選択します。

Example: テーブルデータソースのドリルダウン

優先度別にグループ化されたインシデント [incident] テーブルのレコード数を示す縦長のデータの可視化ができました。ビューアーがこの可視化を操作するときに、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでインシデントレコードのリストを開くようにします。

1. 一般的な手順のステップ 1 ～ 8 に従い、縦棒グラフの可視化の [詳細ダッシュボード - リダイレクト] イベントハンドラーの構成を開きました。

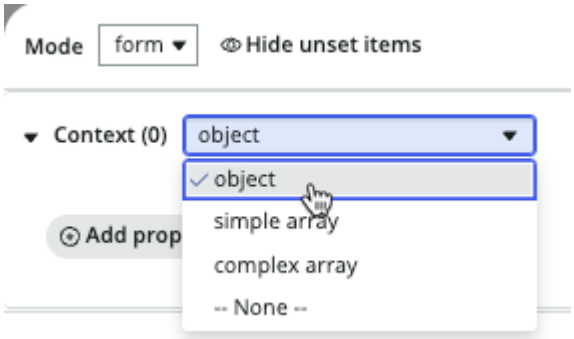
2. [コンテキスト] フィールドで、[編集] を選択します。



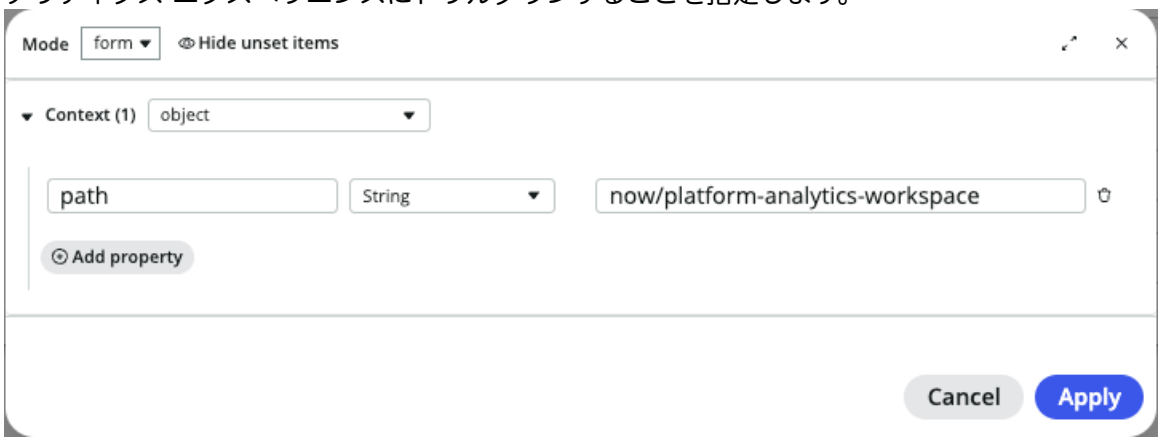
3. 編集ダイアログで、オブジェクトの JSON タイプを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 「プロパティを追加」を選択し、プロパティ名として「path」、プロパティ値として「now/platform-analytics-workspace」と入力します。これらの値は、ビューアーが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスにドリルダウンすることを指定します。



5. [適用] を選択し、次のフィールドに進みます。
6. [ルート] フィールドに「 シンプルリスト」と入力します。このルートは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのシンプルリストページにつながります。
7. [ルート] フィールドでは、最初にデータのバインドを選択します。

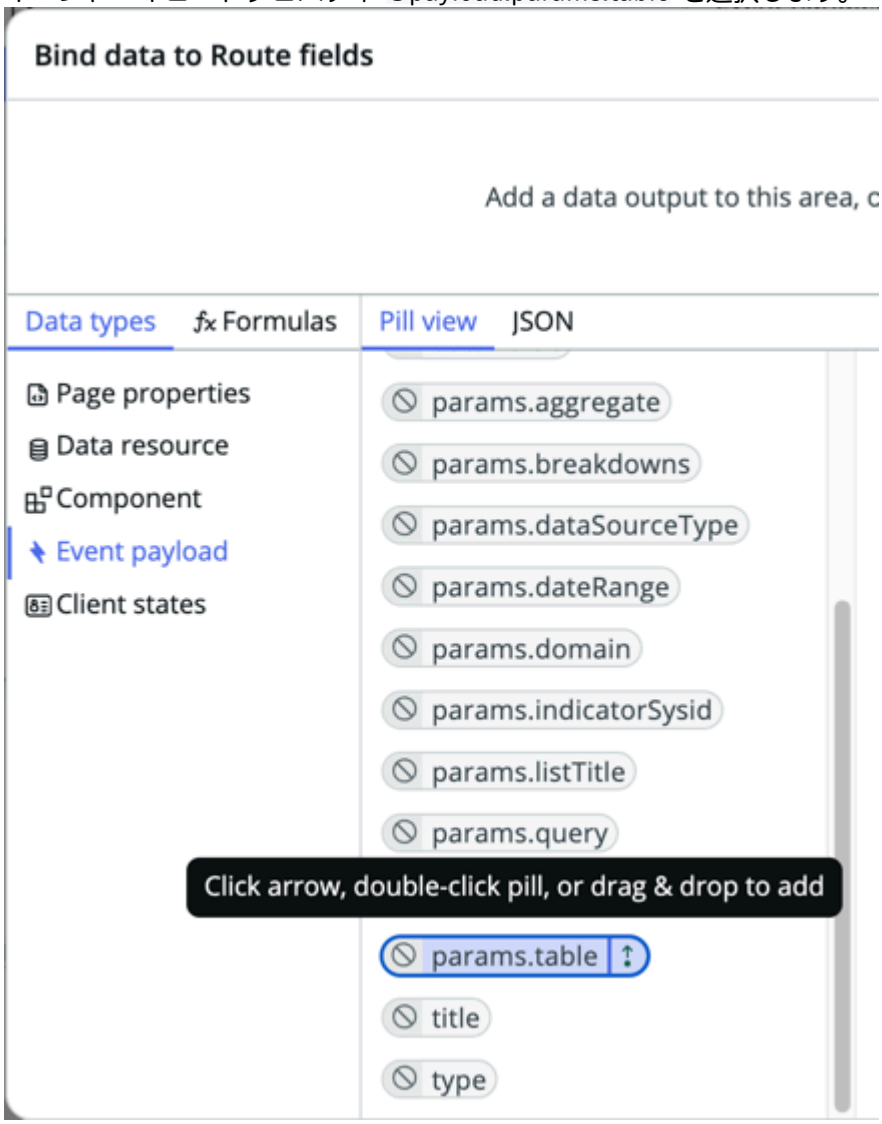


8. 次に、プロパティ {table: @payload.params.table} をフィールドに追加します。このプロパティは、ビジュアル化内のテーブルの名前を プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのシンプルリストページに渡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. イベントペイロードプロパティ `@payload.params.table` を選択します。

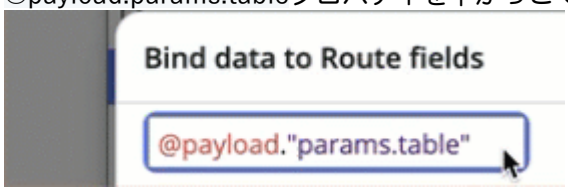


b. ダブルクリック、ドラッグアンドドロップ、または矢印を選択して、エディターの上部領域にプロパティを追加します。

c. エディターの上部にあるプロパティをダブルクリックして、編集用に開きます。



d. `@payload.params.table`プロパティを中かっこで囲み、`table:` プロパティを追加します。

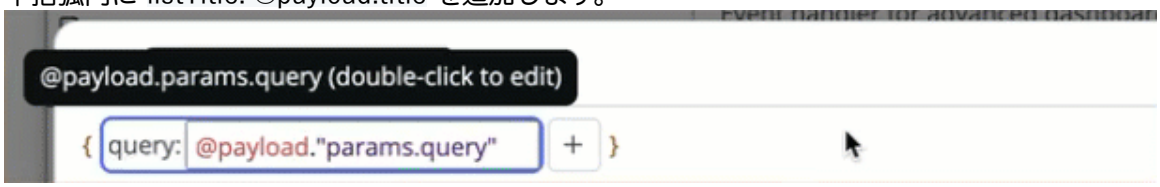


e. [適用] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. 同様に、[オプションのパラメーター] フィールドのデータをバインドし、値 {query: @payload.params.query, listTitle: @payload.title} を設定することを選択します。
   a. [オプションのパラメーター] フィールドに、{table: @payload.params.table} の場合と同様に {query: @payload.params.query} を追加しますが、[適用] は選択しないでください。
   b. [別の入力を追加] (+) ボタンを選択します。
   c. 中括弧内に listTitle: @payload.title を追加します。



   d. [適用] を選択します。

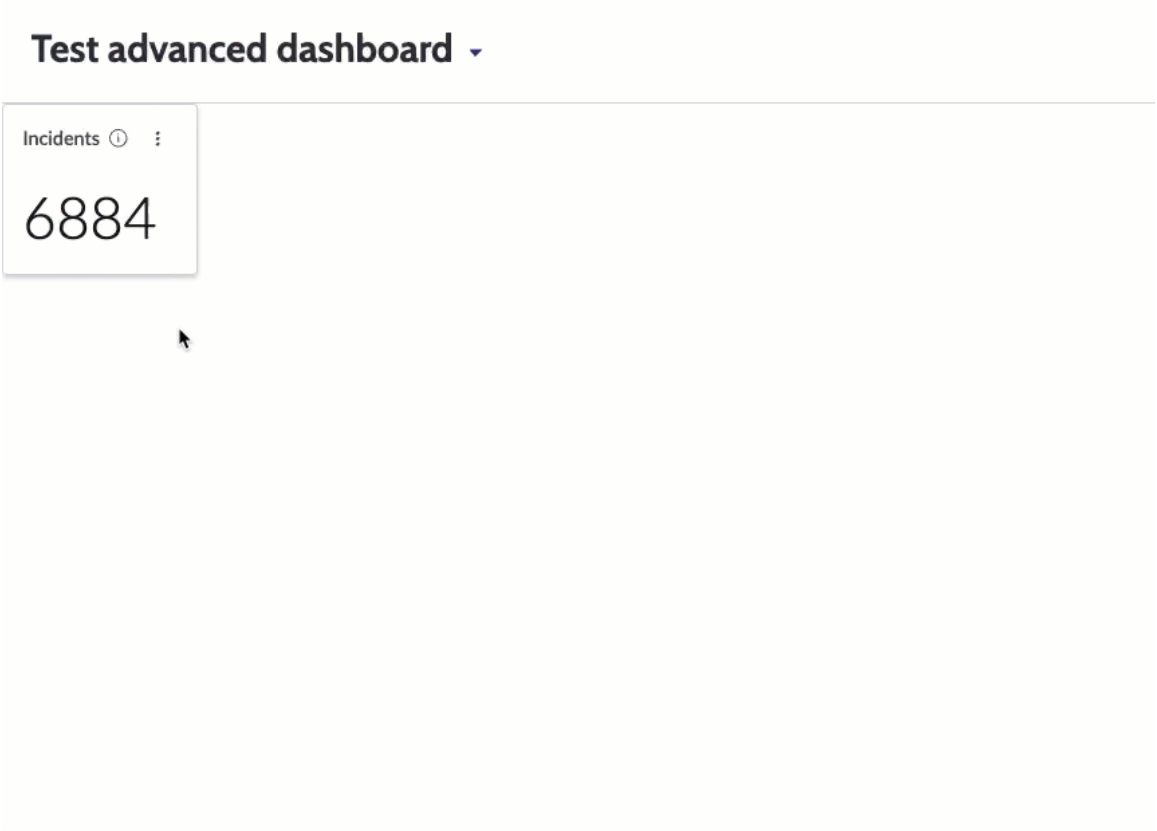
詳細ダッシュボードの [リダイレクト] イベントハンドラーのプロパティは、次のように表示されます。

フィールド	**Value** (値)
コンテキスト	{パス:now/platform-analytics-workspace}
ルーティング	簡易リスト
ルーティングフィールド	{table:@payload.params.table}
オプションのパラメーター	{query:@payload.params.query, listTitle:@payload.title}

実行時に、ユーザーはビジュアル化を操作してインシデントレコードのリストを開くことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Example: インジケーターデータソースのドリルダウン

オープンインシデントの数インジケーターの折れ線グラフデータによるチャート化があります。ビューアーがこのビジュアリゼーションを操作するときに、そのインジケーターの KPI 詳細 ページを開くようにします。

1. この場合も プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスのページにドリルダウンするため、テーブルデータソースの例の手順 1 ～ 5 を繰り返します。
2. [ルート] には、「 ac_kpi_details」と入力します。
3. [ルート] フィールドでは、最初にデータのバインドを選択します 

次に、「 {uuid: @payload.params.indicatorSysid}」と入力します。このパラメーターは、インジケーターの ID (この場合はオープンインシデントの数) を [プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス] KPI 詳細 ページに渡します。

   ヒント:
   最初にオートコンプリートを使用してデータパラメーター @payload.params.indicatorSysid を追加し、次にそのパラメーターを中括弧で囲んで uuid: を追加します。

   詳細ダッシュボードの [リダイレクト] イベントハンドラーのプロパティは、次のように表示されます。

フィールド	**Value** (値)
コンテキスト	{"path":"now/platform-analytics-workspace"}

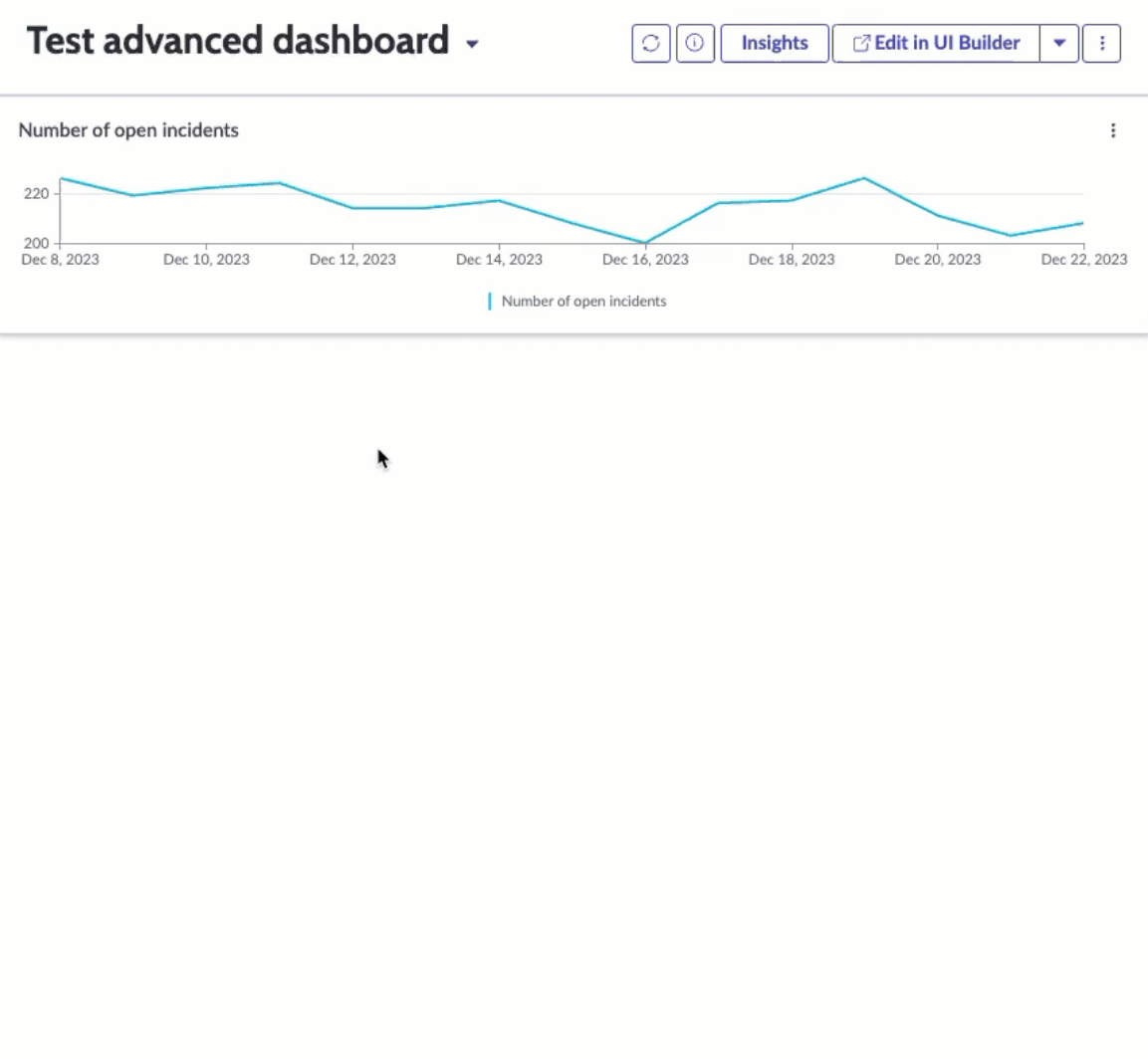
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Value** (値)
ルーティング	ac_kpi_details
ルーティングフィールド	{uuid:@payload.params.indicatorSysid}

4. 他のパラメーターは必要ないため、 [追加] を選択し、UI ビルダー ページを保存します。

実行時に、ビューアーは可視化を操作して、オープン インシデントの数インジケーターの KPI 詳細を開くことができます。



Filter コンポーネントのイベントハンドラーの構成

テクニカルダッシュボードで、フィルターコンポーネントの特別なクライアントスクリプトベースのイベントハンドラーを構成して、リストまたはデータの可視化が続くようにします。インラインダッシュボードのフィルターのイベントハンドラーを構成する必要はありません。

始める前に
この手順は、次のタスクが完了していることを前提としています。

自動翻訳

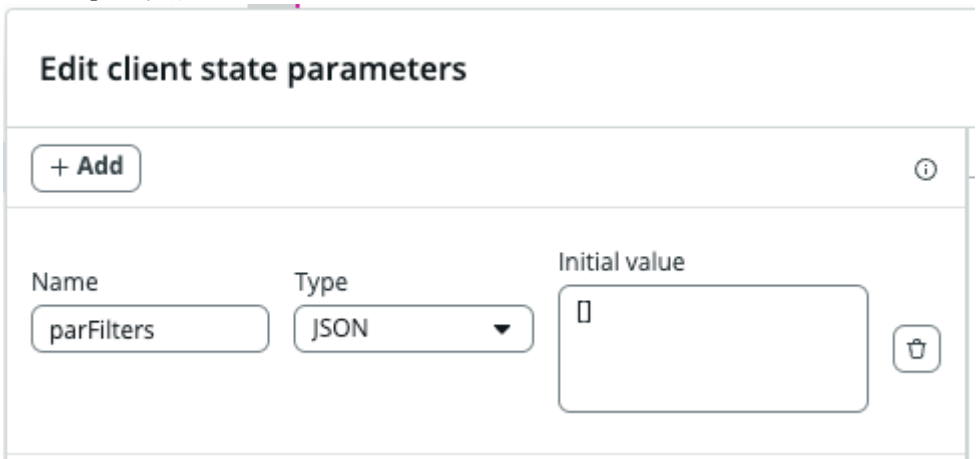
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. フィルターコンポーネントと、少なくとも 1 つのデータ可視化またはリストコンポーネントを UI ビルダー ページに追加しました。フィルターは、複数のデータ可視化またはリストに適用できます。
2. フィルターコンポーネントに対して、ソースとなるフィルターとフィルターするデータ (該当する場合) を設定しました。Filter コンポーネントがリストをフィルタリングする場合は、リストコンポーネントがフィルタリングするデータとして表示するテーブルを指定しておきます。
3. データ可視化コンポーネントのデータソースを構成しました。
4. リストコンポーネントのテーブルを指定しました。

必要なロール：ui_builder_admin、admin

手順

1. 関連する UI ビルダー ページを開きます。
このページはテクニカルダッシュボードの場合があります。
2. [UI ビルダー ステータス] セクションに移動し、単純なアレイの初期値 [] を持つ JSON タイプの *parFilters* という名前のステータス変数を追加します。
詳細については、「 クライアントステータスパラメーターを作成してコンポーネントにバインドする 」を参照してください。



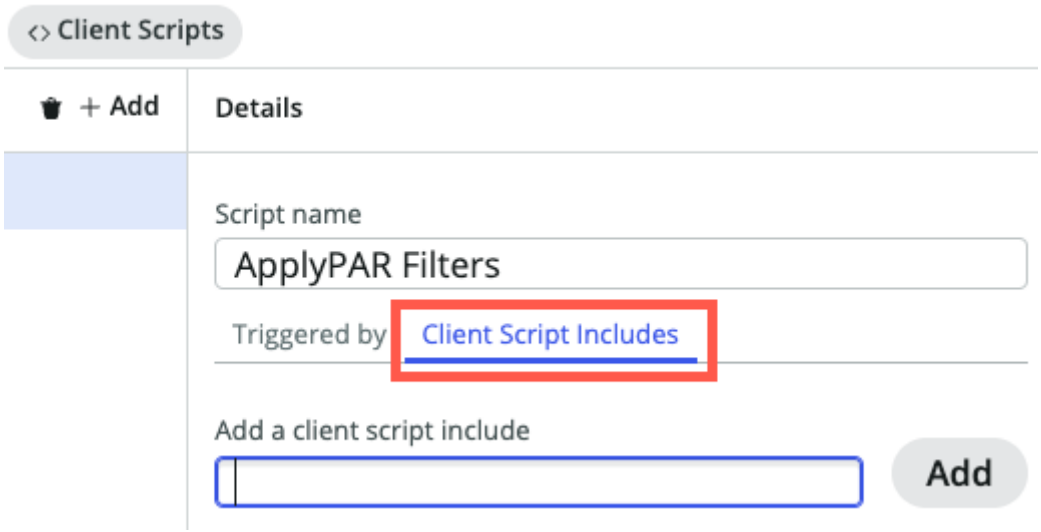
3. 初期値 {} を持つ JSON タイプの *encodedQueries* という名前の 2 番目の状態変数を追加します。
4. [クライアントスクリプト] セクションに移動し、「Apply PAR Filters」などの名前と、次のコンテンツまたはそれに相当する機能を持つカスタムスクリプトを作成します。

```
function handler({ api, event, helpers, imports }) {
 const mergePARFiltersV2 = imports["global.mergePARFilters"]().v2;
 const { appliedFilters } = event.payload;
 api.setState("parFilters", ({ currentValue, api }) => {
  const { parFilters, encodedQueries } = mergePARFiltersV2(
   currentValue,
   appliedFilters
  );
  api.setState("encodedQueries", encodedQueries);
  return parFilters;
 });
}
```

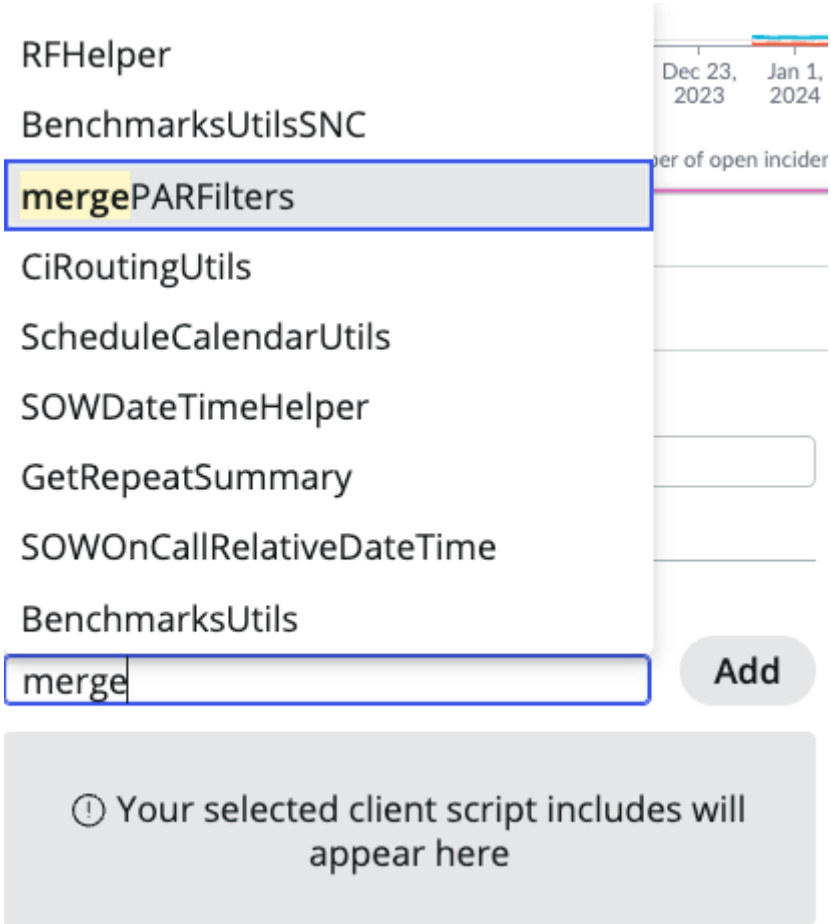
5. [クライアントスクリプト] セクションで、[クライアントスクリプトインクルード] タブを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

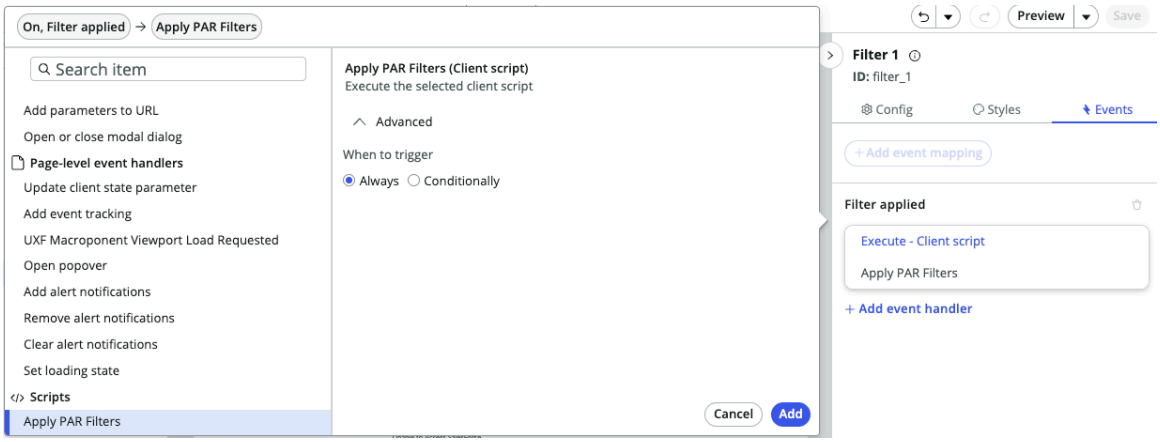


6. 「スクリプト・インクルードの追加」フィールドで、「mergePARFilters」を選択し、「追加」をクリックします。

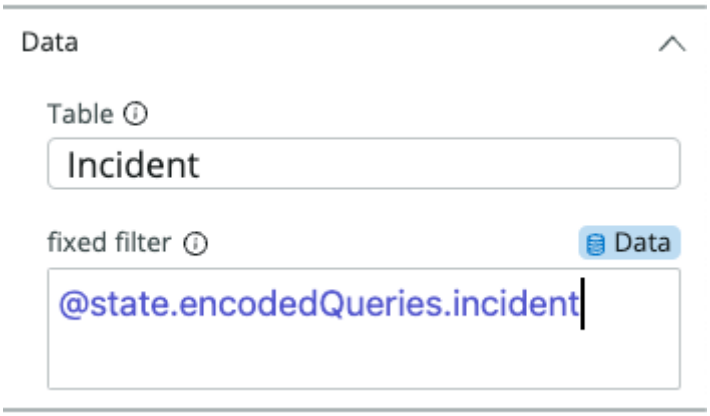


7. データ、クライアントステータス、およびクライアントスクリプトを構成するウィンドウを閉じます。
8. UI ビルダーで、Filter コンポーネントを選択します。
9. 構成パネルで [イベント] タブを選択し、作成したページスクリプト (この例では [PAR フィルターの適用]) をイベントハンドラーとして追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. UI ビルダーで、リストコンポーネントが存在する場合はそれを選択します。
11. [固定フィルターの編集] を選択し、このプロパティ [fixedQuery] を動的バインディング式 @state.encodedQueries.<list-datasource> として設定します。
<list-datasource> をリストコンポーネントのデータソースに置き換えます。たとえば、リストにインシデント [incident] テーブルのレコードが表示されている場合は、「@state.encodedQueries.incident」と入力します。



12. 他のリストコンポーネントについても、前の 2 つの手順を繰り返します。
13. ページを保存します。

データ可視化でのローカルデータインスタンスの使用

事前設定されたデータソースを使用する場合よりもきめ細かくデータソースを制御するには、ローカルデータインスタンスを作成します。次に、ローカルデータインスタンスをデータ可視化の *dataPassthrough* プロパティにバインドします。

始める前に

重要:
これは高度な手順です。ローカルデータインスタンスが必要かどうか、または標準データソースを使用できるかどうかを慎重に検討してください。

続行する前に、 Dynamically expose data in UI Builder pages (advanced feature) を確認してください。

必要なロール：ui_builder_admin、admin

自動翻訳

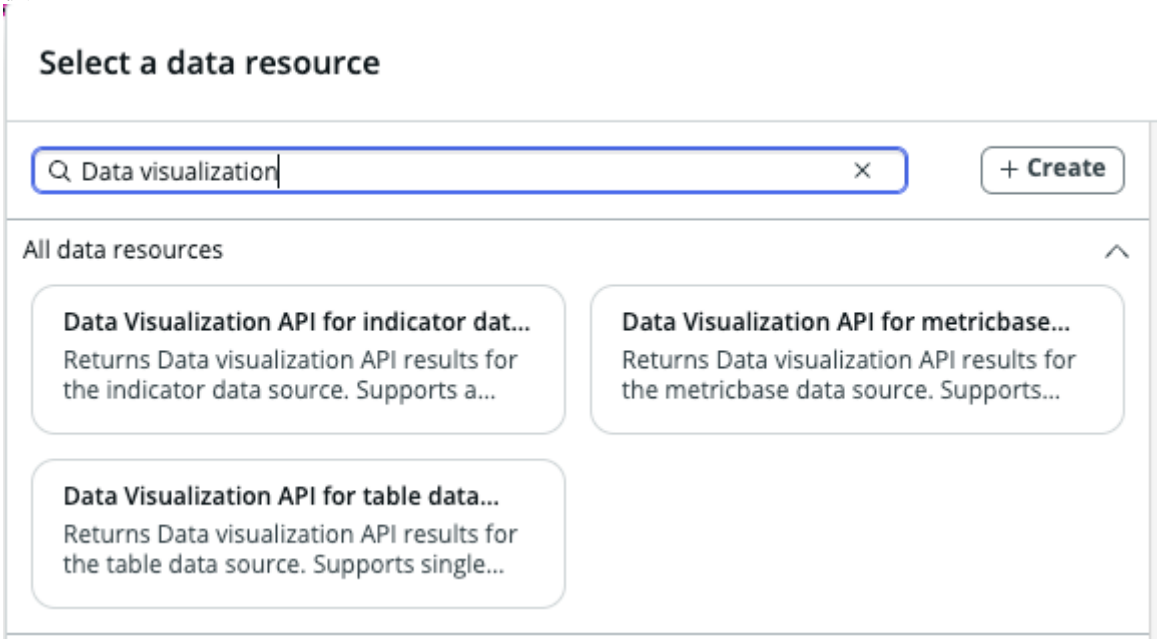
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. UI ビルダー でテクニカルダッシュボードまたはその他のUI ビルダーページを開きます。
2. [データとスクリプト] ドロワーの [データ リソース] で、 **[+** データ リソースの追加] を選択します。



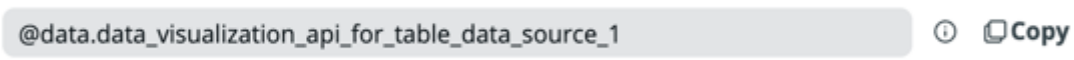
3. [データリソースを選択] ウィンドウで、 [データの可視化] を検索します。
使用できるデータリソースを選択できます。



4. 表示するデータのタイプに一致するデータリソースを選択します。
5. 情報ペインを読み、構成の詳細をコピーまたはメモします。
6. [**Add**] を選択します。
7. このデータインスタンスを使用する予定の可視化のタイプに必要な構成オプションを入力します。
同じデータを使用する可視化のタイプごとに、個別のローカルデータインスタンスを作成して構成します。たとえば、同じインジケーターのスコアを表示する棒グラフと時系列を予定している場合は、2 つのローカル データ インスタンスを作成します。棒グラフと時系列のチャート化用にそれぞれ 1 つずつ作成しますが、どちらも同じインジケーターを使用します。

   ヒント:
   データの可視化をページに追加し、その構成パネルをローカルデータインスタンスのオプションと比較できます。

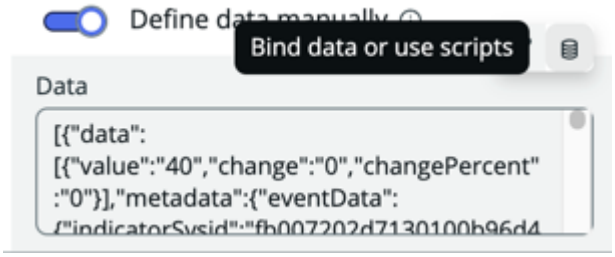
8. このデータソースの @data データバインドをコピーします。



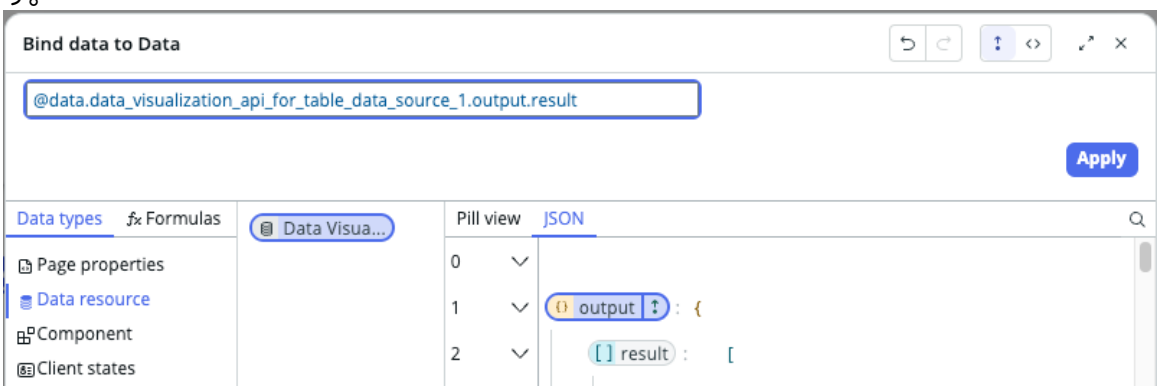
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 目的のデータ可視化コンポーネントをページに追加します。
10. そのデータ可視化の構成パネルの [データ ソース] セクションで、[データを手動で定義] をオンにします。
11. [データ] フィールドで、[データのバインドまたはスクリプトの使用] を選択します。



12. [データをデータにバインド] ダイアログの [データ型] で、[データ リソース] を選択します。
13. [この領域にデータ出力を追加] セクションをダブルクリックし、ローカル データ インスタンスへのデータ バインドを青色のボックスに貼り付けます。
14. データバインドの最後に .output.result を追加します。
たとえば、ローカルデータインスタンスdata_visualization_api_for_table_data_source_1への完了したデータバインドは @data.data_visualization_api_for_table_data_source_1.output.result です。



15. [適用] を選択します。

タスクの結果
ローカルデータインスタンスを作成し、それをデータ可視化にバインドしました。これで、データの可視化の構成を完了できます。

ローカルデータインスタンスに適用するフィルターを有効化

ビューアーがデータのビジュアル化で表示するフィールド値またはブレークダウン要素を切り替えられるようにするには、フィルターコンポーネントを UI ビルダー ページに追加します。これらのフィルターをローカルデータインスタンスに適用するには、それに応じてそのインスタンスを設定します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

このタスクについて
フィルターをローカルデータソースに適用できるようにするには、まず parFilters という名前のクライアントステータスパラメーターを作成し、そのステータスパラメーターをローカルデータインスタンスに追加する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. フィルタリングするローカルデータインスタンスとデータ可視化を含む UI ビルダー ページを開きます。
2. [データとスクリプト] ドロワーで、[クライアントステータスパラメーター] を選択します。
3. **[+** 追加] を選択します。
4. [クライアント状態パラメーターの編集] ダイアログで、新しいパラメーターに parFilters という名前を付け、タイプに JSON を割り当てて、 初期値 {} を設定します。



5. [クライアントステータスパラメーターを編集 (Edit client state parameters)] ダイアログを閉じます。
6. [データとスクリプト] ドロワーの [データリソース] で、目的のローカルデータインスタンスを選択します。
7. [編集] <ローカルデータインスタンスの名前> ダイアログで、[フィルター構成] フィールドまで下にスクロールします。
8. [フィルター構成] フィールドに「@state.parFilters」と入力し、データインスタンスエディターを閉じます。
9. このローカルデータリソースを使用するデータ可視化の構成パネルで、[データの更新] セクションの [フィルターに従う] をオンにします。
10. オプション: [フィルターを表示] アイコンをオンにします。
11. UI ビルダーページを保存します。

次のタスク
フィルターコンポーネントを UI ビルダー ページに追加し、ローカルデータインスタンスから関連する値を構成します。

関連情報

のフィルター プラットフォームアナリティクス

ローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にする

データビジュアル化のロード時間を短縮し、リアルタイムまたは非常に新しいデータが必要ない場合は、データソースでデータキャッシュを有効にします。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

手順

1. データをキャッシュするローカルデータインスタンスを含む UI ビルダー ページを開きます。
2. [データとスクリプト] ドロワーの [データリソース] で、目的のローカルデータインスタンスを選択します。
3. [データ キャッシュを使用する] まで下にスクロールして、オンにします。
このデータソースを使用するデータの可視化では、データソースのキャッシュ設定が使用されます。可視化自体のデータキャッシュ設定が構成パネルから削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 必要に応じて、他のキャッシュプロパティを設定します。

プロパティ	説明
キャッシュ有効期限	一度作成されたキャッシュが、キャッシュ更新ジョブで更新されるまで保持される期間。
キャッシュを無効にする	キャッシュを無効にして新しいデータをフェッチするために作成する追加のロジックでこの設定を使用します。たとえば、ボタンコンポーネントをページに追加し、そのイベントハンドラーをスクリプト化してキャッシュを無効にすることができます。
追加キー	このデータインスタンスで作成された各データキャッシュに対して一意のハッシュキーを生成する文字列を入力します。ローカルデータインスタンスごとに一意の追加キー値を使用します。

複数の可視化のローカルデータインスタンス

特別なデータ可視化 API データリソースを使用して、複数のデータ可視化のデータを同時にフェッチできます。このデータリソースにより、API コールの数が減るため、データフェッチを高速化できます。

使用するタイミング

「複数のデータ可視化のためのデータ可視化 API」データリソースは、次のシナリオで使用できます。

- 同じタイプの複数のデータ表示方法に同じデータソースがあります。たとえば、可視化タイプが単一スコアで、データソースがフィルター active=true のインシデント [incident] テーブルである 5 つの可視化があるとします。タイプとデータソースが同じインジケーターのグループが複数ある場合は、グループごとに同じ複数の可視化データ リソースのインスタンスを作成できます。
- データの可視化には、同じデータソースを参照する複数のデータリソースがあります。たとえば、「オープンインシデントの数」インジケーターのデータリソースと「オープンインシデントの平均経過時間」インジケーターの別のデータリソースを含む折れ線グラフの可視化があるとします。これらのインジケーターはどちらも Incident.Open データソースを使用します。効率を上げるために、この可視化を変換して 1 つのデータリソースのみを使用できます。

使用しない場合

- UI ビルダーページに表示される可視化は 1 つだけです。
- ページ上のデータの可視化は、データのロードに時間がかかる可能性があります。その場合は、データの読み込みを個別のデータ リソースに分割したままにしておくことをお勧めします。

複数の可視化データリソースを設定する

ユースケースが複数の可視化データリソースの基準を満たしている場合は、この手順に従うことができます。

始める前に
複数の可視化のローカルデータインスタンスの複数の可視化について、単一のデータリソースのユースケースを確認します。

必要なロール：ui_builder_admin、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

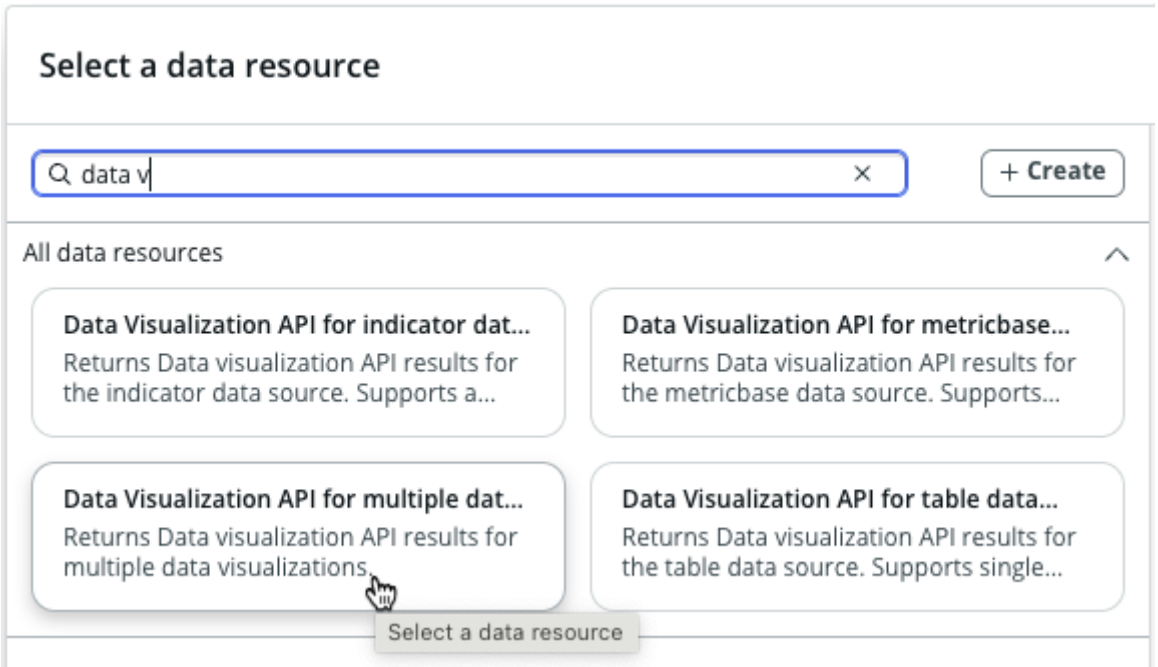
重要:
このデータリソースは、複数の呼び出しを単一の呼び出しに結合します。単一の呼び出しは、単一のスレッド上の単一のトランザクションとして実行されます。したがって、このデータリソースは、特に大量のデータを処理する場合は、トランザクションのタイムアウトが発生する可能性があるため、特に注意して使用してください。データの量、ページのセットアップ、およびターゲットとするユーザーエクスペリエンスによっては、個別のデータリソースを使用するとより良い結果が得られる場合があります。

手順

1. データを可視化したテクニカルダッシュボードまたは UIB ページに移動します。
2. ページ上のデータの可視化が 「使用するタイミング」の基準を満たしていることを確認します。
たとえば、インシデントテーブルのデータソースに複数のダイヤルによる可視化があり、フェッチされるデータの量が多すぎないとします。
3. [データとスクリプト] ドロワーの [データ リソース] で、 **[+** データ リソースの追加] を選択します。



4. [データリソースを選択] ウィンドウで、 [データの可視化] を検索します。
使用できるデータリソースを選択できます。



5. [複数のデータ可視化のためのデータ可視化 API] を選択します。
6. タイプを [データ構成] に設定します。
7. 要求フィールドに JSON を入力します。
この手順の最後にある例を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. このデータリソースを使用するデータ可視化ごとに、次のアクションを実行します。
   a. データの可視化を選択します。
   b. 構成パネルを開きます。
   c. [データの手動定義] をオンにします。
   d. データバインディングを使用して、スクリプトをデータフィールドにバインドします。

Example: 同じデータソースを持つ **3** つの単一スコア可視化のデータリソース

この例では、3 つのデータ可視化コンポーネントを含む UIB ページから開始します。これらのコンポーネントはすべて単一スコアの可視化タイプであり、すべて同じデータソースを使用します。

ステップ 6 の一般的な手順に従います。これで、ダッシュボードページに複数のデータ視覚化用のデータ視覚化 API ができました。

次に、次のように要求の JSON を記述します。

```
[
  {
    "details": {
      "visualizationId": "vis_1",
      "followFilter": true
    },
    "configurations": {
      "dataConfigurations": [
        {
          "sourceType": "table",
          "dataCategory": "simple",
          "order": 0,
          "tableOrViewName": "incident",
          "aggregateFunction": "COUNT"
        }
      ]
    }
  },
  {
    "details": {
      "visualizationId": "vis_2",
      "followFilter": true
    },
    "configurations": {
      "dataConfigurations": [
        {
          "sourceType": "table",
          "dataCategory": "simple",
          "order": 0,
          "tableOrViewName": "incident",
          "aggregateFunction": "AVG",
          "aggregateField": "business_duration"
        }
      ]
    }
  },
  {
    "details": {
      "visualizationId": "vis_3",
```

自動翻訳

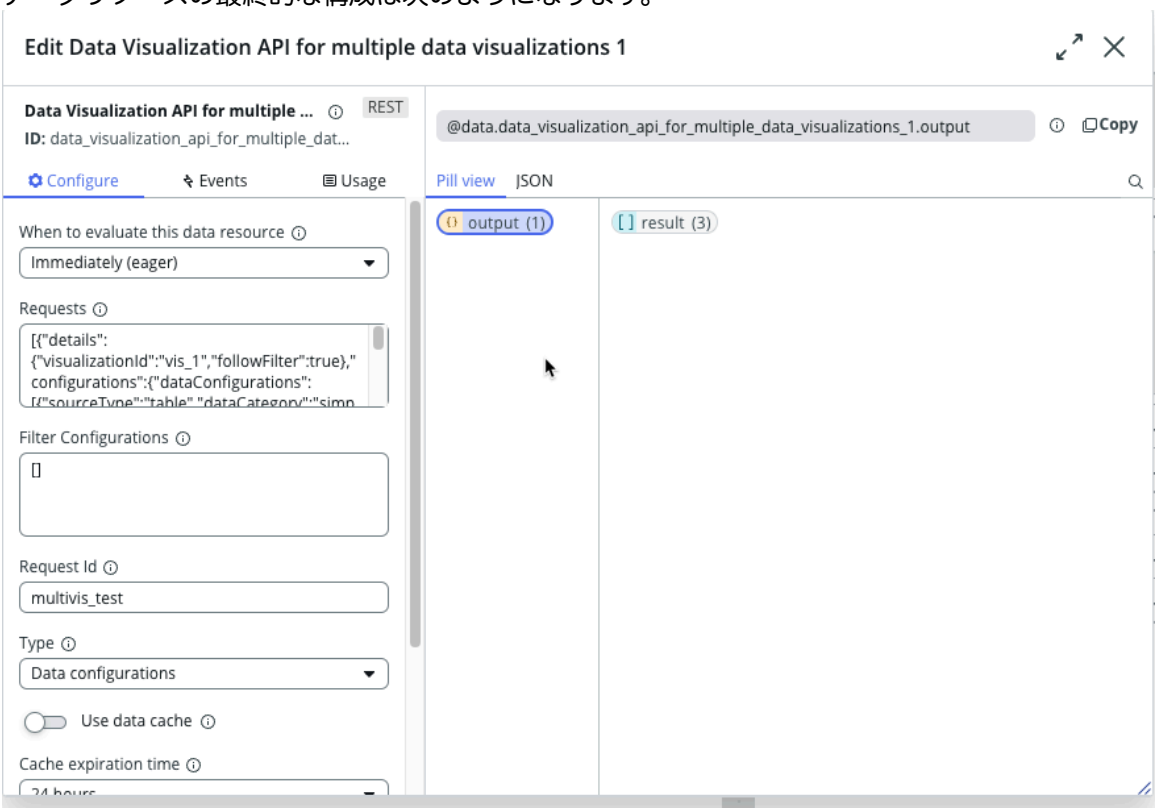
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "followFilter": true
      },
      "configurations": {
        "dataConfigurations": [
          {
            "sourceType": "table",
            "dataCategory": "simple",
            "order": 0,
            "tableOrViewName": "incident",
            "aggregateFunction": "AVG",
            "aggregateField": "priority"
          }
        ]
      }
    }
]
```

要求は、データの可視化ごとに 1 つずつ、オブジェクトのアレイです。各可視化には、*visualizationId*の任意の値を持つ*details*プロパティと、可視化がページ上のフィルターコンポーネントに従うかどうかを示すブール*followFilter*設定があります。この場合、3 つの可視化はすべてフィルターに従います。

各可視化には、*dataConfigurations*配列のみを含む *configurations* プロパティもあります。すべての可視化は同じタイプ (単一スコア) であり、この可視化タイプは単純な値のみを表示するため、 *dataCategory* 3 つのプロパティはすべて「シンプル」です。同様に、すべての可視化で同じデータソースが使用されます。データソースはインシデント [incident] テーブルであるため、3 つのチャート化の *sourceType* はすべて「table」、 *tableOrViewName* は「incident」です。視覚化が異なる可能性がある唯一の場所は、使用する集計です。ここでは、1 つ目は COUNT 集計を使用し、2 つ目は business_duration フィールドの AVG 集計を取得し、3 つ目は優先度フィールドの平均を取得することがわかります。

データリソースの最終的な構成は次のようになります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

。

最後に、データの可視化ごとに、次のスクリプトをデータフィールドにバインドします。各可視化に指定した任意の *visualizationId* 値を、その可視化のスクリプトの vizId 値として使用します。

```
function evaluateProperty({api, helpers}) {
  const data = api.data.data_visualization_api_for_multiple_data_visualizations_1.output;
  if (!data) {
    return [];
  }
  const vizId = 'vis_1';
  const dataForViz = data.result.find(d => d.details.visualizationId === vizId);
    return dataForViz.dataResponses;
}
```

Example: インジケーターの要求 JSON

インジケーターでの可視化の要求は、前の例 (テーブル用) とは異なります。以下は、優先度ブレークダウンでグループ化された、オープンインシデントの数インジケーターの経時的な傾向を示す時系列可視化の JSON です。

```
[
   {
      "details": {
         "visualizationId": "vis1",
         "followFilter": true
      },
      "configurations": {
         "dataConfigurations": [
            {
               "sortBy": "choice",
               "sortOrder": "asc",
               "sourceType": "indicator",
               "dataCategory": "trend",
               "order": 0,
               "splitView": false,
               "numberOfGroups": 2,
               "uuid": {
                  "indicator": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
                  "breakdowns": []
               },
               "trendBy": "anything",
               "trendInterval": "date",
               "groupBy": [
                  "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
               ],
               "removeMissingIntervalData": false
            }
         ]
      }
   }
]
```

最初の明らかな違いは、 *sourceType* が「指標」であり、 *dataCategory* が「トレンド」であるということです。また、 *tableOrViewName* プロパティの代わりに、オープンインシデントの数インジケーターの uuid を持つ *uuid* オブジェクトと、そのインジケーターをフィルタリングするためのブレークダウンの uuid を保持できる空のアレイがあることもわかります。この可視化はグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ループ化された値をサポートしているため、この場合は優先度ブレークダウンの uuid のみを含む *groupBy* 配列があります。グループ分けはソートを意味しますが、ここでは、 *sortBy* が優先度ブレークダウンのデータタイプを反映した「選択肢」であり、 *sortOrder* が昇順であることがわかります。

ダッシュボード参照

参照トピックには、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードのロールと翻訳可能フィールドのリストが記載されています。

ダッシュボード要素の翻訳可能なフィールド

[翻訳可能がオンになりました] バッジが表示されるフィールドには、メッセージ [sys_ui_message] テーブルのフィールド値の翻訳を追加できます。

Now Platform® ユーザーインターフェイス (UI) 要素の翻訳は、Translation tables で説明されているように、5 つのテーブルのいずれかに格納されます。ダッシュボード要素の構成パネルにフィールドが表示され、このフィールドで [翻訳可能] バッジがオンになっている場合は、メッセージ [sys_ui_message] テーブルのフィールド値の翻訳を追加できます。

メッセージテーブルでは、レコードにキー、言語、およびメッセージフィールドがあります。キー値を元のテキストと等しく設定します。次に、言語を選択し、その言語の翻訳を [メッセージ] フィールドに入力します。Now Platformアドミンのみがこれらのレコードを作成および編集できます。詳細については、「Translate a client script message」を参照してください。

> **注:**
> 翻訳可能フィールドのキーの保存方法の詳細については、次を参照してください ServiceNow コミュニティ ブログ記事. この投稿には、ダッシュボードコンポーネントを含む、インスタンス上のすべての UI ビルダー コンポーネントで翻訳可能なすべてのフィールドを検索する、プロトタイプのローカリゼーションフレームワークアーティファクトも含まれています。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのキャッシュ

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのレイアウトへの変更は、par_dashboard_cache テーブルに保存されます。ダッシュボードが呼び出されるたびに、このテーブルに新しいエントリが作成されます。このテーブルのエントリを削除して、トラブルシューティングのためにキャッシュを再生成します。

ダッシュボードのレイアウトのトラブルシューティングのコンテキストで、次に移動します: **par_dashboard_cache.list** をクリックして PAR ダッシュボードメタデータキャッシュテーブルを開きます。キャッシュを再生成するには、このテーブルのダッシュボードのレコードを削除します。

次のアクセス制御リスト (ACL) が *par_dashboard_cache* テーブルに適用されます。

- アドミン専用ロール:report_on、report_view、作成、書き込み、削除
- 削除:ダッシュボードの ACL ユーティリティを呼び出し、 *DashboardACLUtilScriptable.canEditDashboard*
- ログインしているすべてのユーザー:読み取り

プラットフォームアナリティクスダッシュボードに接続されているロールの完全なガイドについては、「プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール

プラットフォームアナリティクス ダッシュボードには、いくつかのロール制限があります。編集権限は、ロールに関係なく共有によって付与されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

任意のロールを持つユーザーは、ダッシュボードを作成して、グループ、ユーザー、およびロールと共有できます。共有権限も付与されている場合、これらのユーザーは共有されているダッシュボードを共有できます。付与されれば、編集権限を渡すことができます。

dashboard_admin ロールでは、所有権や編集権限に関係なく、ユーザーはダッシュボードを構成、編集、または削除できます。ダッシュボードの構成で説明されているように、特定の構成タスクでもdashboard_adminが必要です。

ダッシュボードを プロセスマイニング と統合するタスクには、sn_process_optimization_analyst ロールが必要です。これらのタスクは ダッシュボードの構成 に一覧表示されます。

analytics_categories_admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードカテゴリを作成、編集、または削除できます。

プラットフォームアナリティクスダッシュボードに接続されているロールの完全なガイドについては、「プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

ダッシュボードロール

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードを作成	任意のロール
ダッシュボードを共有	自分が作成したデータ可視化、または共有権限で共有されたデータ可視化を共有するための任意のロール。viz_admin 以上のロールでは、インスタンス上の任意のデータ可視化を共有できます。データの可視化を共有すると、その可視化をさらに共有する権限を渡すことができます。また、編集権限と共有するか、表示権限のみと共有するかも決定します。データの可視化が共有および編集権限で共有されている場合は、編集権限を渡すこともできます。 任意のダッシュボードを共有する dashboard_admin ロールと共有するロール [sys_user_role] テーブルへの読み取りアクセス権を持つロール
ダッシュボードを編集	ダッシュボードを作成した場合、またはダッシュボードを編集権限で共有していた場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上 テクニカルダッシュボードにも ui_builder_adminが必要です
ダッシュボードの複製	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。テクニカルダッシュボードを複製することはできません。
ダッシュボードの印刷用コピーを作成する	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。
ダッシュボードのエクスポート	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードロール (続く)

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードのエクスポートをスケジュールする	自分が所有している、または自分と共有されているダッシュボードのpar_scheduler。 任意のダッシュボードで par_scheduler_admin 以上
ダッシュボードのブックマーク	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。
ダッシュボードの削除	ダッシュボードを作成した場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボードの詳細を構成	ダッシュボードを作成した場合、またはダッシュボードを編集権限で共有していた場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボード設定の構成	ダッシュボードを作成した場合、またはダッシュボードを編集権限で共有していた場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボードタブのキャッシュタイムアウトの設定	アドミン
ダッシュボードカテゴリの作成	analytics_categories_admin以上
ダッシュボードへのカテゴリの割り当て	ダッシュボードを編集できる場合、任意のロール。 ダッシュボードにカテゴリをアサインするには、analytics_categories_admin以上です。

でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス

データ可視化では、グラフィックを使用してテーブル、インジケーター、その他のデータを表示します。これらは、コア UIからのレポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットの機能を組み合わせて拡張し、プラットフォームアナリティクスで置き換えます。

重要:
プラットフォームアナリティクスダッシュボードにレポートまたはパフォーマンスアナリティクスウィジェットを配置することはできません。代わりに、データの可視化を作成する必要があります。

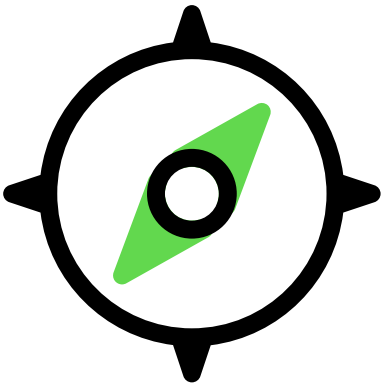
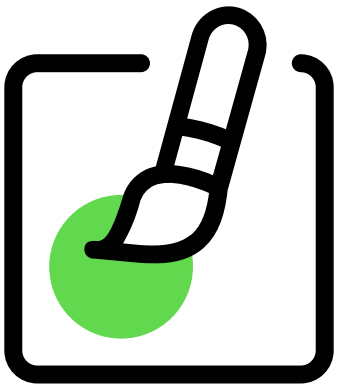
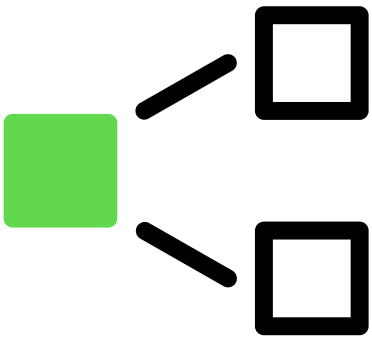
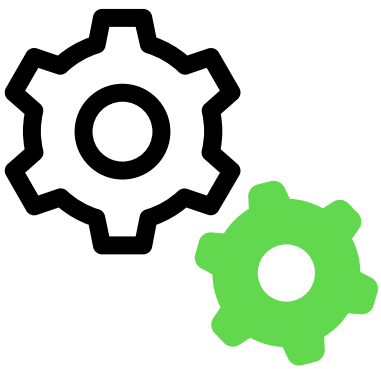
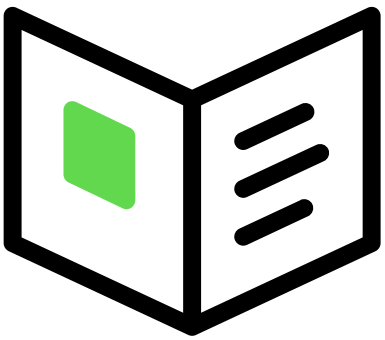
データの可視化にアクセスするには、次に移動します: **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化. データの可視化の所有者は、その可視化にアクセスして共有できます。オーナーが可視化を共有したユーザーは、その可視化にアクセスでき

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ます。データにアクセスできるすべてのユーザーが、そのデータに基づいてデータの可視化を作成できます。

始めましょう

探索	データの可視化を作成	共有、編集、削除
		
データ可視化ライブラリのツアーを表示	さまざまなデータソースを使用してデータの可視化を作成する手順	最も一般的なデータ視覚化タスクを実行するための手順
ビュー	構成	参照
		
ビューアーがデータの可視化を見ながら実行できるアクション	多くのデータ構成タイプにある詳細設定オプションの詳細	ロールとデータソース

トラブルシューティングとサポート

- データの視覚化のために質問し、他のリソースを調べる プラットフォームアナリティクス 一般的には ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

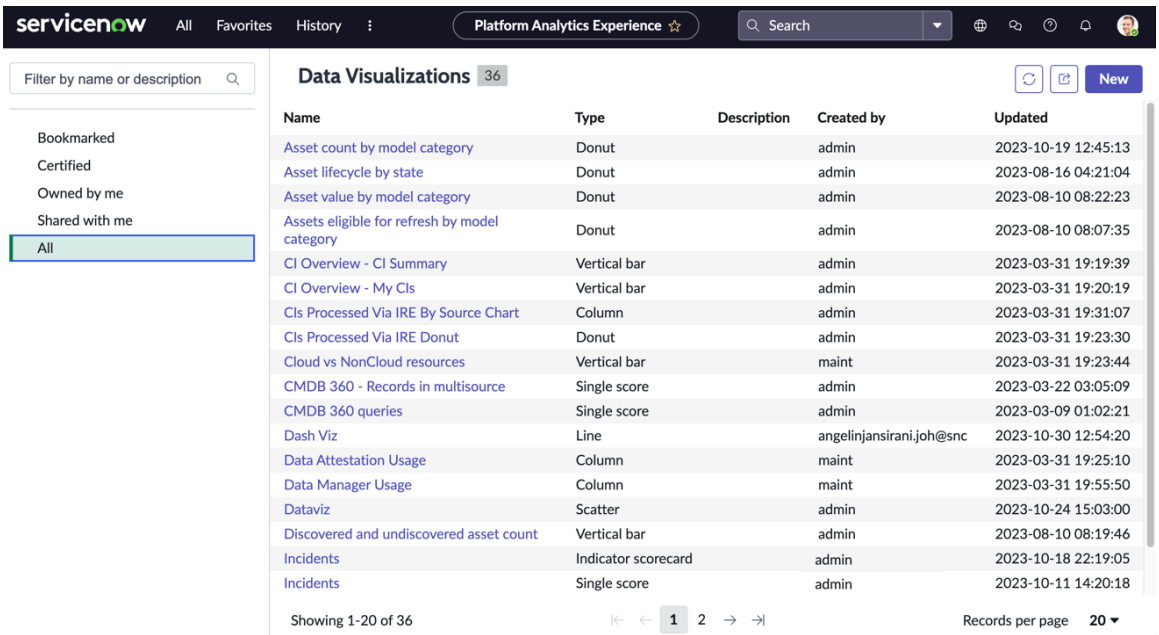
データ可視化ライブラリの探索

プラットフォームアナリティクスデータ可視化ライブラリでアクセスできるデータの可視化を検索します。適切なロールがあれば、そこで可視化を作成することもできます。

データ可視化ライブラリの概要

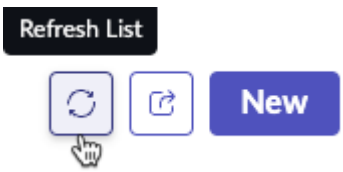
に移動し、データの可視化ライブラリを開きます **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.

プラットフォームアナリティクス **Data Visualizations** ライブラリの機能



リストアクション

一連のボタンを使用すると、[データの可視化] リスト上で次のアクションを実行できます。



リストを更新

可視化を作成または削除した後に、可視化のリストに遅延が生じることがあります。[リストを更新] を選択してリストを更新します。



データ可視化用の URL のコピー

データの可視化ライブラリの URL をクリップボードにコピーします。

新規

このセクションのサブトピックで可視化タイプの説明に従って、データの可視化を作成します。データの可視化を作成できるユーザーについては、「 プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストフィルター

検索ボックスを使用すると、データ表示方法のリストを名前または説明でフィルタリングできます。フィルターパネルには、適用されているフィルターが表示されます。デフォルトでは、フィルター Active = true が常に適用されます。たとえば、「データ」という単語でフィルタリングすると、パネルに次のフィルターが表示されます。

- Active = true
- 名前にデータが含まれる
- 説明にデータを含む

または、次のいずれかの事前定義フィルターを選択できます。

- [すべて] には、アクセスできるすべての可視化が表示されます。
- [ブックマーク済み] には、ブックマークされた可視化のみが表示されます。ここで簡単に見つけることができるように、アクセス権のあるデータの可視化をブックマークします。可視化をブックマークするには、「 で可視化をブックマーク 可視化デザイナー」を参照してください。
- [認定 済み] には、アドミニストレーターが認定した可視化のみが表示されます。データの可視化を認定するには、「 でデータ可視化を認定する 可視化デザイナー」を参照してください。
- [自分と共有] には、ユーザーとして、またはグループやロールのメンバーと共有されている可視化が表示されます。データの可視化を共有するには、「 でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー」を参照してください。
- [自分が作成] には、自分が作成した可視化のみが表示されます。

データの可視化の作成

さまざまなデータソースを使用してデータの可視化を作成する方法を参照してください。

https://player.vimeo.com/video/1056788508?h=5ed0de97fd&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

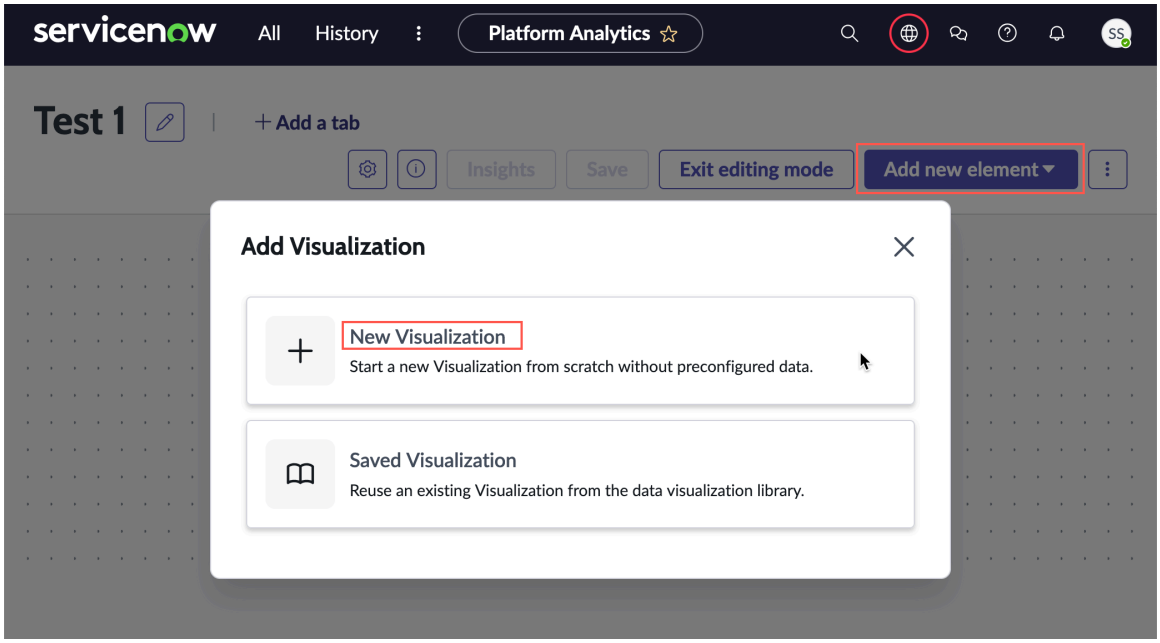
データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

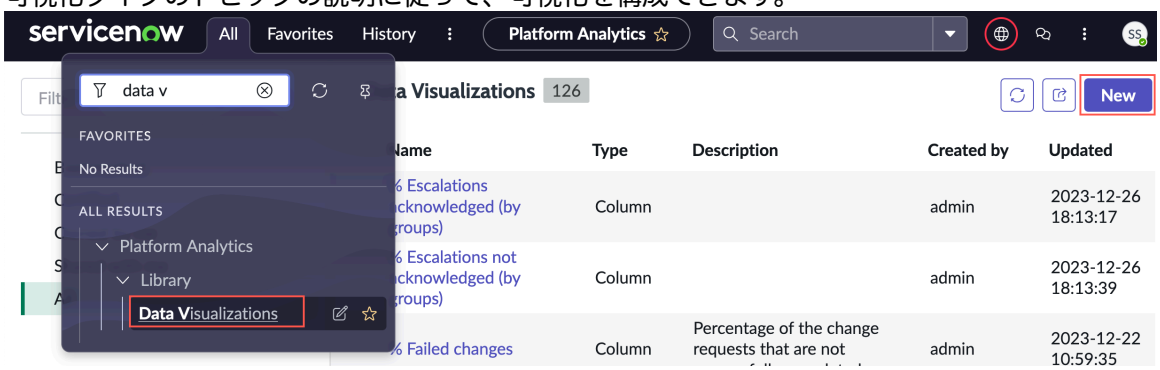
ダッシュボードエディターでのデータ可視化の作成

ダッシュボードからデータの視覚化を作成するには、 [新しい要素の追加] を選択し、 [新しい視覚化] を選択します。その後、選択した可視化タイプのトピックの説明に従って、可視化を構成できます。



でのデータの可視化の作成 可視化デザイナー

可視化デザイナーでデータの可視化を作成するには、 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 [新規] を選択します。その後、選択した可視化タイプのトピックの説明に従って、可視化を構成できます。



タイプ別のデータ可視化を作成する手順

データ可視化タイプの概要

データの可視化を作成するときは、表示するグラフのタイプを選択します。各可視化タイプは、異なるデータを表示するのに適しています。

スコアの表示方法

このタイプのデータの可視化では、単一の値またはスコアが数値またはパーセンテージとして表示されます。スコアは、特定の値または測定基準がターゲットまたはベンチマークとどのように比較されるかを示すためによく使用されます。これらは、進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりするのに役立ちます (たとえば、会社や部門の全体的なパフォーマンスを示します)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
単一スコアの可視化 	単一スコアの可視化は、ビジネスにとって重要な単一のアグリゲート値を表示します。 単一スコアの可視化の例
目盛りの可視化 	目盛りチャート化は、単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。「針」は値を指し、目盛りは針までの値が色分けされて視覚的に示されます。 目盛りの可視化の例
ゲージの可視化 	目盛り同様、ゲージは単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。目盛り機能に加えて、色付きのデータ範囲を設定して、値が何を表しているかをユーザーが理解できるようにすることができます。 ゲージの可視化の例

自動翻訳

時系列の可視化

時系列の可視化では、経時的なデータが示されます。すべての時系列可視化タイプは、構成オプションを共有します。ユースケースは、データの傾向を強調するか、個々のデータポイント間の違いを強調するかによって異なります。これらのユースケースの詳細については、「 時系列の可視化を作成」を参照してください。

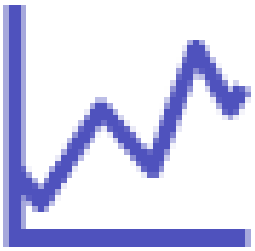
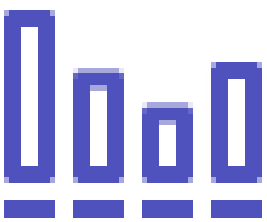
注:
インスタンスおよびインポートされたデータソース内のデータに加えて、時系列の可視化でメトリックベースデータを使用することもできます。詳細については、「MetricBase アプリケーション」を参照してください。

時系列可視化タイプ

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
線グラフ	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによる可視化を使用して、データの傾向を強調します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

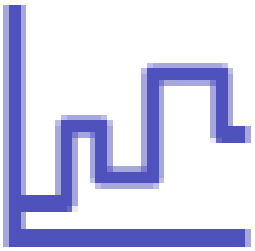
時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
	時系列を表示するためのデフォルトの選択肢は線グラフによる可視化であると考えてください。どのビジュアライゼーションを使用すればよいかわからない場合は、線を使用します。 [store-future: BEGIN review]時系列の可視化の例[End]
スプライン 	一連のデータポイントをフィット曲線で結ぶことにより、1つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。曲線は、個々のデータポイントの傾向を強調します。スプライングラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
散布図 	X 軸の時間に対して、Y 軸の値の接続されていないポイントを表示します。通常は傾向ラインも表示されます。回線で役に立たないさまざまなデータで使用します。
データソース内のスコアの比較	
列 	値を比例垂直列として表示することで、時間の経過に伴うデータの変化を示します。いずれかを使用して、1 つのデータソースの変化を可視化するか、データソースを比較します。データソースを縦棒グラフの可視化と比較するには、データソースを棒グラフの可視化に追加するか、複数の縦棒グラフの可視化をダッシュボードに並べて配置します。
ステップ	個別の時点間でのデータソースの変化を強調します。特に線グラフによる可視化ではデータが不明瞭になる場合に、小さな増分変化を表示するために使用します。

自動翻訳

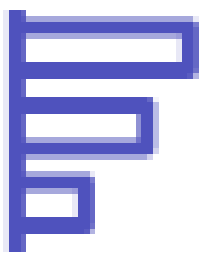
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
データソースの傾向の可視化	
	
データソース間のスコアまたは傾向の比較	
エリア 	線グラフによる可視化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のデータソースで使用すると、各データソースが全体に与える相対的な貢献度を強調できます。

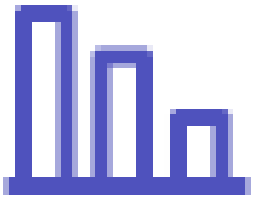
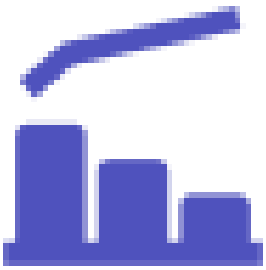
棒グラフの可視化

棒グラフによる可視化を使用すると、データディメンション全体でスコアを比較できます。水平バーと垂直バーの表示方法タイプがあります。すべての構成オプションを共有します。一般に、名義データまたはカテゴリデータには水平バーを使用します。順序データまたは連続データには垂直バーを使用します。さまざまな色やパターンを使用して、さまざまなグループやカテゴリを区別します。詳細については、「で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナー」を参照してください。

可視化	説明
水平バーの可視化 	棒グラフによるチャート化では、一方の軸にカテゴリラベル、もう一方の軸に値が表示されます。垂直バーを使用して、特にバケットにグループ化された販売数など、カテゴリがあまり多くない場合は、序数データを比較します。インシデントの重大度やアサイン先グループなどの名目上のデータを含む水平棒グラフを使用します。 • 水平バーによるチャート化の例 • 縦棒グラフによるチャート化の例 パレート図の棒グラフによるビジュアル化は、大規模なディメンションのセットで最も重要なディメンションを識別するのに役立ちます。棒グラフにはデータが降順で表示されます。線グラフは累積のパーセンテージを示します。パレート図には棒グラフと線グラフの両方が含まれています。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。
垂直バーの可視化	

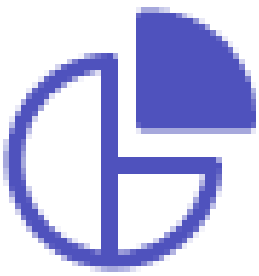
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
 パレート図の棒グラフによる可視化 	

円グラフとドーナツグラフの可視化

円グラフとドーナツグラフによるチャート化は、データセットの部分と全体の関係を示します。これらのグラフのセグメントの合計は 100% になるはずです。詳細については、「で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。

可視化	説明
円グラフの可視化  ドーナツグラフの可視化  半ドーナツの可視化	円グラフは、合計が 100% になる 5 ～ 7 個のセグメントを比較する場合に最適です。2 つのセグメントが互いに 10% 以内の値を持たない場合に最適です。 ドーナツグラフは、合計が 100% 未満の 5 つのセグメントを比較するのに最適です。2 つのセグメントが互いに 10% 以内の値を持たない場合に最適です。ドーナツの中央を使用して、追加情報を表示できます。 半ドーナツグラフは、合計が 100% の 4 つ以下のセグメントを比較するのに最適です。2 つのセグメントが互いに 10% 以内の値を持たない場合に最適です。 • 円グラフの可視化の例 • ドーナツグラフによる可視化の例

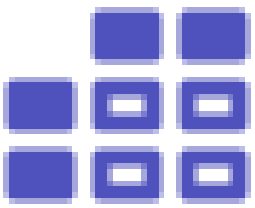
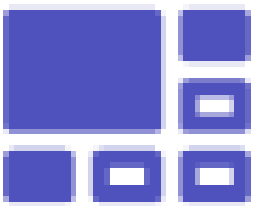
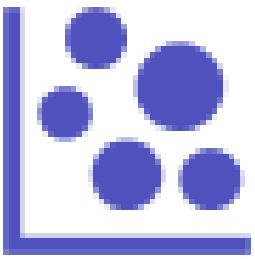
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
	

マルチディメンションチャート

多次元の可視化を使用すると、複数の変数を 1 つのグラフに表示できるため、異なる変数間の関係を示すのに役立ちます。大量のデータがあり、すぐにはわからないパターンや傾向を見つけたい場合に便利です。また、3 つ以上の変数間の関係を表示する場合にも適しています。

可視化	説明
ピボットテーブルの可視化 	ピボットテーブルでは、フィールド間でいくつかの種類の集計を行うことができます。データをフィルター処理することもできます。列は 1 つのフィールドまたは ブレークダウンを表し、行の階層は他の複数のフィールドまたはブレークダウンを表します。 ピボットの可視化の例
ヒートマップの可視化  >	ヒートマップは、2 つのテーブルフィールド間またはインジケーターブレークダウン間の関係を示します。軸に沿って移動するにつれて色が変化することで、一方または両方のフィールド/ブレークダウンの値のパターンが明らかになります。 ヒートマップの可視化の例
バブルチャートの可視化 	バブルチャートは、xy 軸に沿ったさまざまなサイズの円です。x 軸と y 軸は、値や金額などのさまざまな数値フィールドを表します。円の相対的なサイズと位置を使用して、フィールドを比較し、フィールドの関係を確認します。また、定性的な 3 番目のフィールドでデータをグループ化することもできます。3 番目のフィールドは色で区別されます。バブルチャートを使用して、2 つのフィールドに関係があるかどうかなどのバイナリ質問に答えたり、パターンを強調表示したりします。 バブルの可視化の例

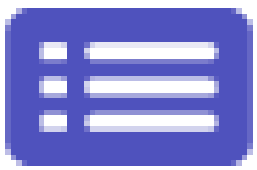
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
>	

その他のチャート化

データの可視化では、カレンダー、簡易リスト、インジケーター スコアカード、および場所を表示することもできます。

可視化	説明
カレンダーの可視化 	データ駆動型のイベントをカレンダー形式で表示します。 [store-future: BEGIN review]カレンダーの可視化の例[End]
インジケータースコアカード 	インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間でデータを視覚化して比較できます。 インジケーター スコアカードの可視化の例
簡易リスト 	テーブルレコードリストを表示します。リストコンポーネントに比べて機能セットが少ないため、小さなスペースに簡易リストを収めることができます。 簡易リストの可視化の例
箱ひげ図 	箱ひげ図を使用して、数値データの中央値、下限四分位数、上限四分位数を外れ値とともに表示します。このデータの異なるグループの分布を比較することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化	説明
ジオマップ 	データを国、都道府県、都市別にデータを表示します。ユーザーは、位置情報を含むテーブルデータを使用してグラフを可視化できます。 [store-future: BEGIN review]ジオマップの可視化の例[End]

可視化デザイナーまたはダッシュボードで単一スコアデータの可視化を作成する

単一のスコアを使用して、値を数値またはパーセンテージとして表示します。値とターゲットまたはベンチマークの比較をビジュアル化して、進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの単一スコアの可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーの単一スコアデータの可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 単一スコア (42) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

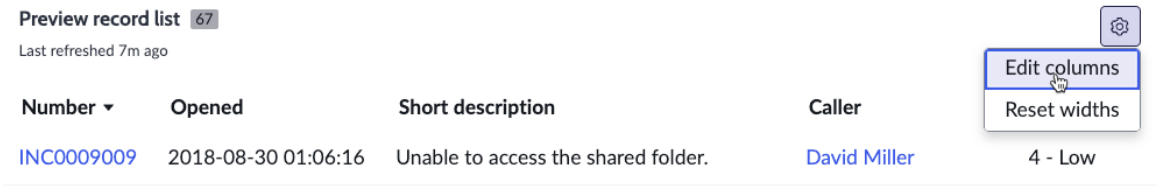
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:

   - 可視化のタイプによっては、複数のデータソースを選択できる場合があります。ただし、すべてのデータソースは同じタイプである必要があります。
   - JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 可視化がテーブルデータを表す場合は、[単一スコアを可視化するためのテーブルデータオプション] に移動します。
- チャート化でインジケーター データを表す場合は、[単一スコアのチャート化のためのインジケーターデータのオプション] に移動します。
- 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 単一スコアのデータオプション] に移動します。

7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。.

フィールド	説明
表示設定	
スコアサイズ	スコアのサイズを設定します。次のオプションが含まれます。 ○ XS xs ○ S sm ○ M MD ○ L lg ○ XL xl ○ XXL xxl ○ 自動 自動:[追加設定]にすべての詳細が追加された後、ビューポートのサイズと使用可能なスペースに応じて、サイズが先行するサイズの間で自動的に調整されます。
スコアアイコン	スコアの前にデザインシステムで提供されているいずれかのアイコンを選択します。オプション。 **注:** 詳細については、「https://developer.servicenow.com/dev.do#!/reference/next-experience/xanadu/now-components/now-icon/gallery」を参照してください。
アイコンスタイル	アイコンの背景に色を適用するには、「背景あり」を選択します。アイコン自体に色を適用するには、[背景なし] を選択します。
メトリクスラベルの位置	メトリクスラベルの位置。次のオプションが含まれます。 ○ 上回るスコア の上位 ○ スコアの下回る

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは、テーブルデータソースでのみ、 メトリクスラベルの表示 が true の場合に適用されます。
スパークラインスタイル	スパークラインチャートのスタイル。次のオプションが含まれます。 ○ 領域 領域:スパークラインを、その点と横軸の間の領域を色付けした線として表示するオプション。 ○ 線 グラフ:スパークラインを線として表示するオプション。 このプロパティは、インジケーターデータソースでのみ、 スパークラインの表示 が true の場合に適用されます。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリック当たりの色: [値の色を設定] フィールドで単色を選択します。そのフィールドを操作すると、アイコンのセットまたはリストから色を選択できるセレクターが開きます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データ可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

Chart interactions (チャートのインタラクション)

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。 注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

単一スコアを可視化するためのテーブルデータオプション

単一スコアのチャート化用にテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
Data source (データソース)	可視化デザイナーまたはダッシュボードで単一スコアデータの可視化を作成するでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
スコア更新時間を表示	最終更新日時を表示するオプション。
相対スコア時間を使用	[スコア更新時間を表示] が選択されている場合に使用可能です。選択すると、スコアが最後に更新された時間が表示されます。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	スコアをリアルタイムで更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にした場合、リアルタイム更新はデータキャッシュを上書きします。 注: • 条件が別のテーブルにドット連結されると、テーブルのトラフィックが多いとリアルタイムのデータ更新が中断されます。 • リアルタイム更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

単一スコアのチャート化のためのインジケーターデータのオプション

単一のスコアチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	可視化デザイナーまたはダッシュボードで単一スコアデータの可視化を作成するでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
変化を表示	前のスコアまたは期間と比較した変化を表示します。
変化 % を表示	前のスコアまたは期間と比較した変化率を表示します。
変更元を表示	前の値、前の集計期間、または期間の開始時の値からの変化を表示します。
ターゲットを表示	インジケーターに対して定義されている場合にグローバルターゲット値を表示します。
ギャップ % を表示	現在の値とターゲットのパーセンテージの差を表示します。
スパークラインを表示	経時変化を表す線グラフを表示します。
スコア日を表示	スコアの日付を表示します。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	スコアをリアルタイムで更新するオプション。 **注:** • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを使用する、自動化されたスクリプト化されていないインジケーターで使用できます。 • リアルタイムスコア更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 単一スコアのデータオプション

単一スコアのチャート化に ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	可視化デザイナーまたはダッシュボードで単一スコアデータの可視化を作成するでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

単一スコアの可視化の例

全体的な収益やオープンインシデントの数など、単一の値またはメトリクスを表示する場合は、単一スコアの可視化を使用します。基本スコアは、単一の値をわかりやすい見出しと日付/タイムスタンプで可視化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

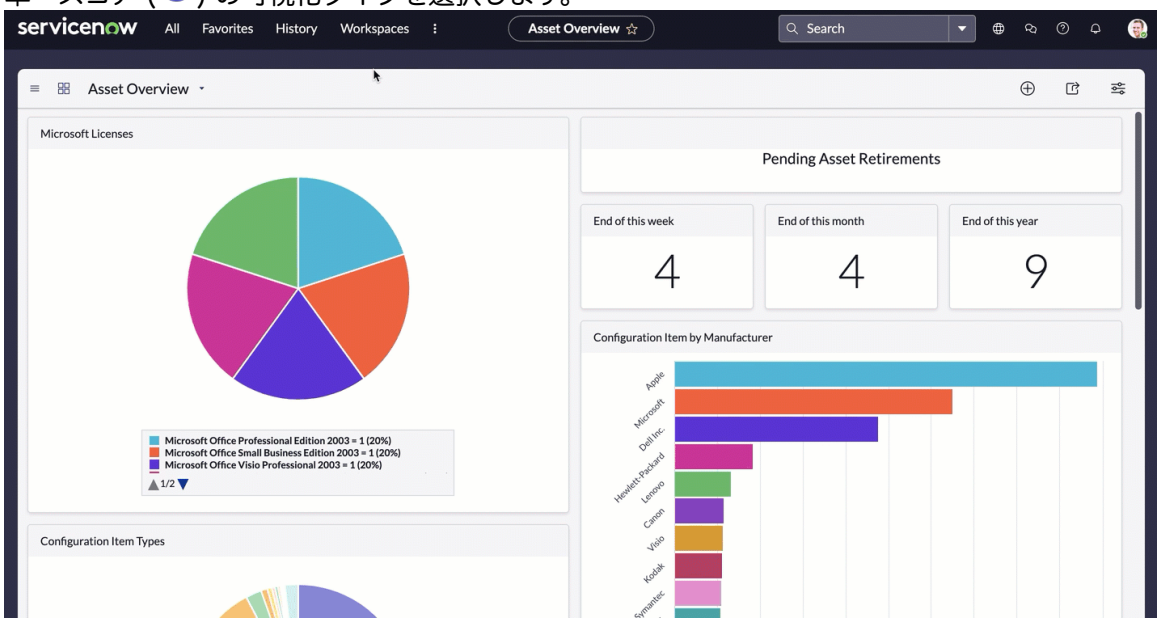
始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
単一スコアの可視化には、色分けして、ビジネスに適した値か改善が必要かがわかるという利点があります。たとえば、オープンインシデントの数は低く抑えたい値です。一方、収益は高くしたいものです。オープンインシデントの単一スコアを作成しましょう。

この例では、オープンインシデントの数を示す単一のスコアチャート化を作成し、値の望ましさを強調するためにチャート化を色分けします。

手順

1. 最初の手順に従って 可視化デザイナーまたはダッシュボードで単一スコアデータの可視化を作成する:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 単一スコア ( ) の可視化タイプを選択します。



2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

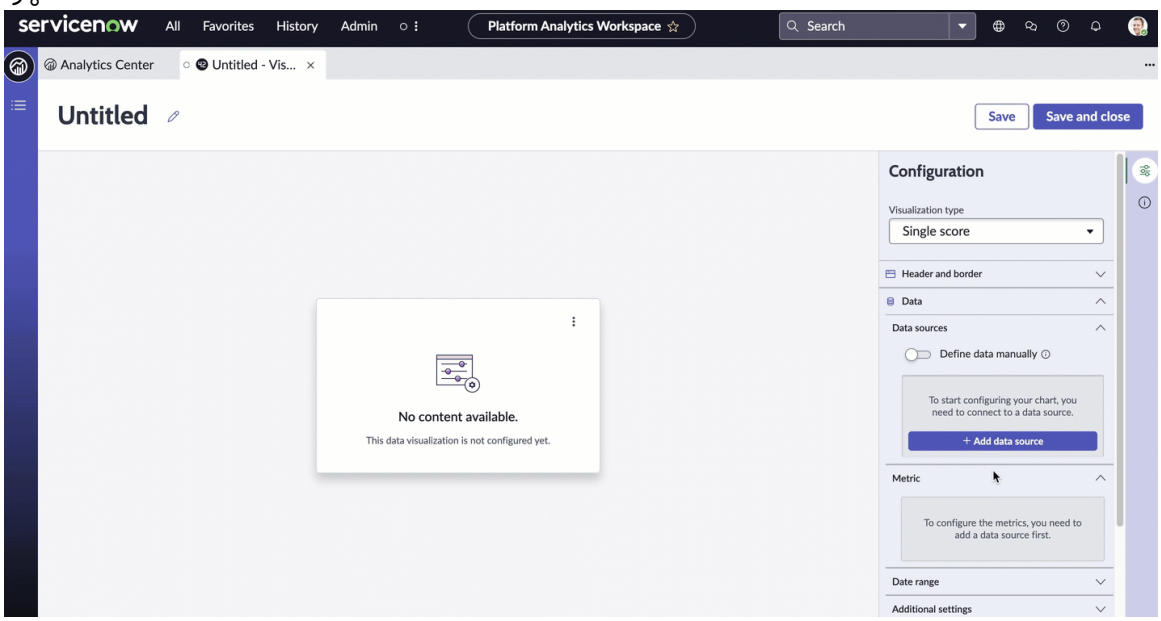
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を示す単一のスコアデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [**Show header**] を選択し、チャートタイトルの [Number of open incidents] (オープンインシデントの数) を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。
一部のデータの可視化は複数のデータソースをサポートしていますが、単一スコアの可視化はサポートしていません。ここではオープンインシデントの数のみを確認したいので、デフォルトのメトリクスである [カウント] やそのラベルである [インシデント] を変更する必要はありません。

5. [追加の設定] で、可視化に関する追加情報を構成します。

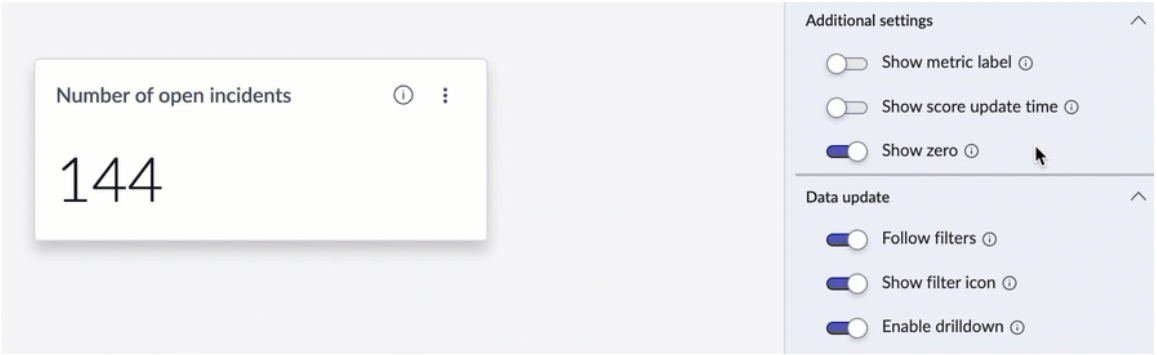
a. [メトリクスラベルを表示] を未選択のままにします。
可視化の名前は 「オープンインシデントの数」であるため、メトリクスラベル「インシデント」は冗長です。

b. [スコア更新時間を表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このオプション単独の場合、スコアが最後に更新された時刻が表示されます。[相対スコア時間を使用] を選択して、前回の更新からの経過時間 (たとえば、今、5 分前など) を表示することもできます。



c. [ゼロを表示] を選択します。
場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。

6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

7. [プレゼンテーション] で、スコア値のサイズとベースカラーを構成します。

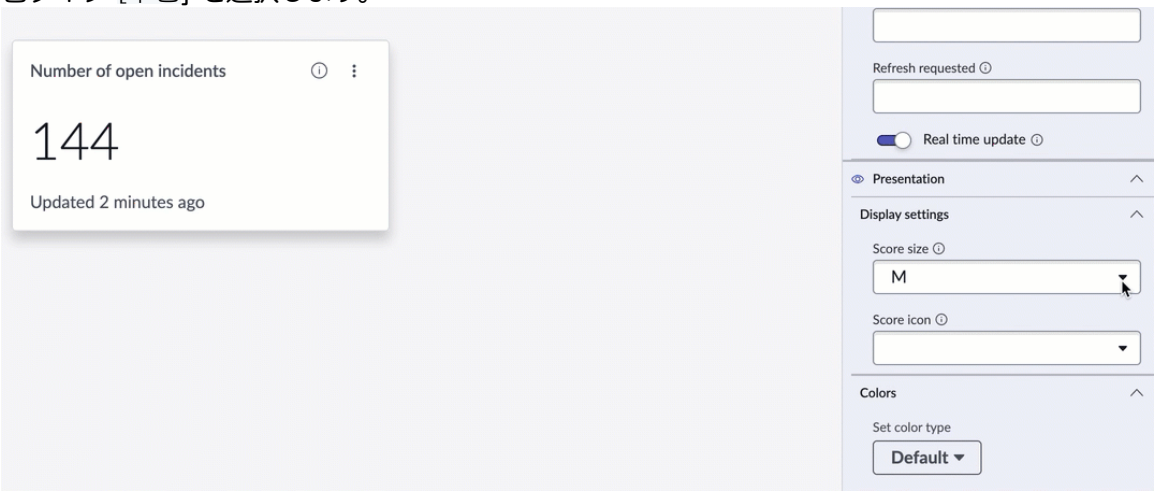
a. 表示設定で、スコアサイズをデフォルトのM(中)からXL(特大)に変更して強調します。

b. スコアアイコンとアイコンスタイルを選択して、このデータ可視化を、追加されたダッシュボード上の他のデータ可視化と区別します。
たとえば、背景付きの [アクティビティアウトライン] アイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 色タイプ [単色] を選択します。



8. スコアの色ルールを設定します。
オープンインシデントのステータスを強調するため、値に基づいてスコアの色を変更する動的な色ルールを定義します。

a. [表示設定] で、[単色] 色タイプを選択します。

b. [色ルール] で、[**+** ルールの追加] を選択します。

c. 最初の色ルールでは、[Operator lower than] を選択し、[**Value** 6] を入力し、色とアイコンの色の両方に [Positive Green] を選択して、[適用] を選択します。

値は指定された数までですが、それは含まれません。

順序 100 を保持します。

自動翻訳

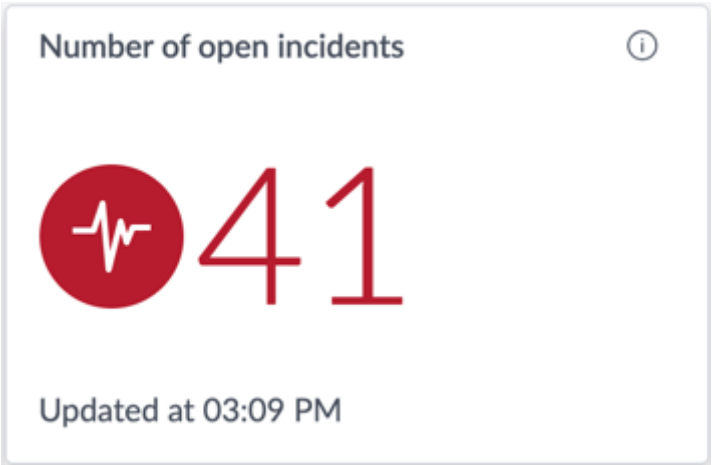
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. より注意が必要な値を示すには、値を5 と 25 の間に [演算子] 、色とアイコンの色を [警告オレンジ]、順序を 50 にして 2 番目のルールを作成します。

e. 最も注意を払う必要がある値を表示するには、 演算子が 値より大きく、値が 25、色とアイコンの色が 赤、順序 が 25 の 3 番目のルールを作成します。

単一のスコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



9. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
オープンインシデントという単一のメトリクスに基づいて、単一のスコアの可視化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザーオプションを設定し、色、アイコン、色分けルールも設定しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で箱ひげ図の可視化を作成する 可視化デザイナー

箱ひげ図を使用して、数値データの中央値、下限四分位数、上限四分位数を外れ値とともに表示します。このデータの異なるグループの分布を比較することもできます。

始める前に

重要:
箱ひげ図によるチャート化は、 ServiceNow® Store の最新の Data Visualizations アプリケーションに含まれています。

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

箱ひげ図のビジュアリゼーションは、テーブル データのみをサポートしています。インジケーター、メトリックベース、および ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データはサポートされていません。

ダッシュボードでの箱ひげ図の視覚化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーの箱ひげ図コンポーネントに関する情報を提供しますが、一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [箱ひげ図 ( )] 表示方法タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースセレクターを開き、テーブルを選択します。
6. 箱ひげ図によるチャート化のテーブルデータオプションの説明に従ってデータ設定を構成します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。.

フィールド	説明
表示設定	
Y 軸	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
プライマリ軸のタイトル	可視化の縦軸に表示するタイトル。 このプロパティは 、[プライマリ軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。 複数の Y 軸がある場合は、プロパティ yAxis1Title、yAxis2Title などを表す追加の軸タイトルがあります。 メトリクスの [その他のオプション] メニューで、メトリクスの Y 軸スケールを追加します。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値の終点。
軸位置	第 1 軸の位置。次のオプションが含まれます。 ○ 左 ○ 右 このプロパティは 、[軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。縦棒グラフによる可視化に複数の Y 軸がある場合など、複数の主軸がある場合は、各軸の位置を個別に設定できます。
グリッドを表示	第 1 軸に垂直な細い線のグリッドを表示し、値をその軸に合わせるのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。 ○ クリーンクリーン:主軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし:目 盛りなし:主軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 のデフォルト:主軸に線と目盛りを追加します。
X 軸	
X 軸タイトル	可視化の横軸に表示するタイトル。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリック当たりの色: [値の色を設定] フィールドで単色を選択します。そのフィールドを操作すると、アイコンのセットまたはリストから色を選択できるセレクターが開きます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データ可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

Chart interactions (チャートのインタラクション)

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

箱ひげ図によるチャート化のテーブルデータオプション

ボックスプロット図によるチャート化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
Data source (データソース)	で箱ひげ図の可視化を作成する 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に変数または質問フィールドのいずれかでグループ化するオプションがあります。 注: • [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでデータをグループ化またはスタックすることはできません。 • 日付や整数などの連続した値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	重要: • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
メトリクス	
[テーブル] のフィールド	Y 軸のテーブルの数値フィールド。ビューアーは、このフィールドを代替のグループ別フィールドで代用することはできません。
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えることができます。 • 1 つのフィールドでのみ並べ替えることができます。[追加のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

でバブルの可視化を作成する 可視化デザイナー

バブルによるチャート化を使用して、1 つのチャートに複数の個別のメトリクスを表示します。バブルチャートを使用して、2 つのフィールドに関係があるかどうかなどのバイナリ質問に答えたり、パターンを強調表示したりします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのバブル可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダー のバブルデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

バブルの視覚化では、X 軸、Y 軸、バブル サイズを使用して、3 つの異なるメトリックの情報をアグリゲートします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. バブル ( ) 可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   1 つ以上のテーブルを選択できます (ベースシステムで利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

   注:
   JSON でデータソースを手動で定義することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
「バブル可視化のテーブルデータオプション」に進みます。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。 [色] セクションで、色と色のルールを構成します。

フィールド	説明
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
凡例を表示	グループ化を設定した場合、または複数のメトリクスがある場合に使用できます。凡例を表示する場合に選択します。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左。
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリック当たりの色: [値の色を設定] フィールドで単色を選択します。そのフィールドを操作すると、アイコンのセットまたはリストから色を選択できるセレクターが開きます。色を検索することもできます。検索値

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- [その他のアクション] メニューアイコン ( ) を選択して、可視化の複製、共有、エクスポート、スケジュール設定、またはブックマークを行います。

バブル可視化のテーブルデータオプション

バブルビジュアル化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でバブルの可視化を作成する 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
メトリクス (バブルサイズ)	データを集計するための計算方法と、可視化内のバブルのサイズを決定するフィールドを選択します。デフォルトの集計は [カウント] で、選択したレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
ディメンション	
Y 軸	バブルチャートの Y 軸の値を含む数値テーブルフィールド。
X 軸	バブルチャートの x 軸の値を含む数値テーブルフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループごと	X 軸と Y 軸以外のテーブルフィールド。異なるグループはバブルの色によって区別されます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

バブルの可視化の例

バブルデータの可視化は、フィールドを比較し、それらの関係を確認するために使用されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

バブルチャートを使用して、[優先度] や [経過時間] などの 2 つの序数フィールドを、x-y 軸に沿って異なるサイズの円として表示します。円の相対的なサイズと位置を使用して、フィールドを比較し、フィールドの関係を確認します。また、定性的な 3 番目のフィールドでデータをグループ化することもできます。3 番目のフィールドは色で区別されます。

この例では、オープンインシデントの数を表示するバブルチャート化を作成し、値の望ましさを強調するためにチャート化を色分けします。

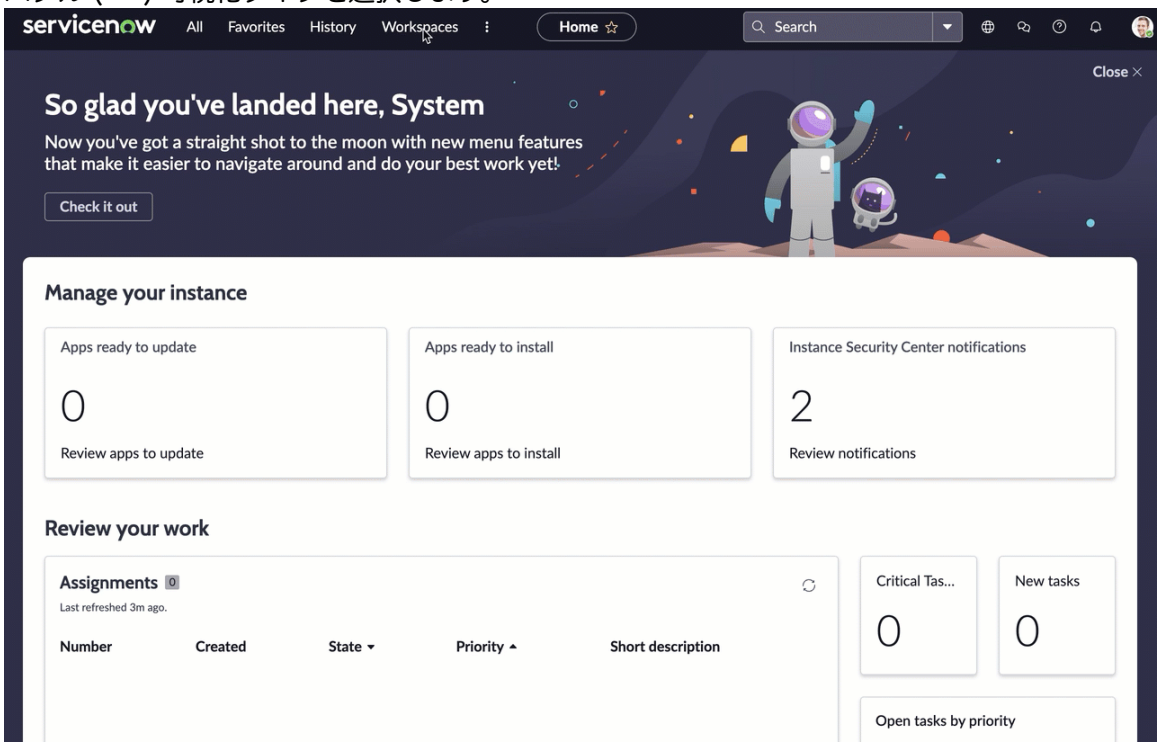
手順

1. 最初の手順に従って でバブルの可視化を作成する 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. バブル ( ) 可視化タイプを選択します。



2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

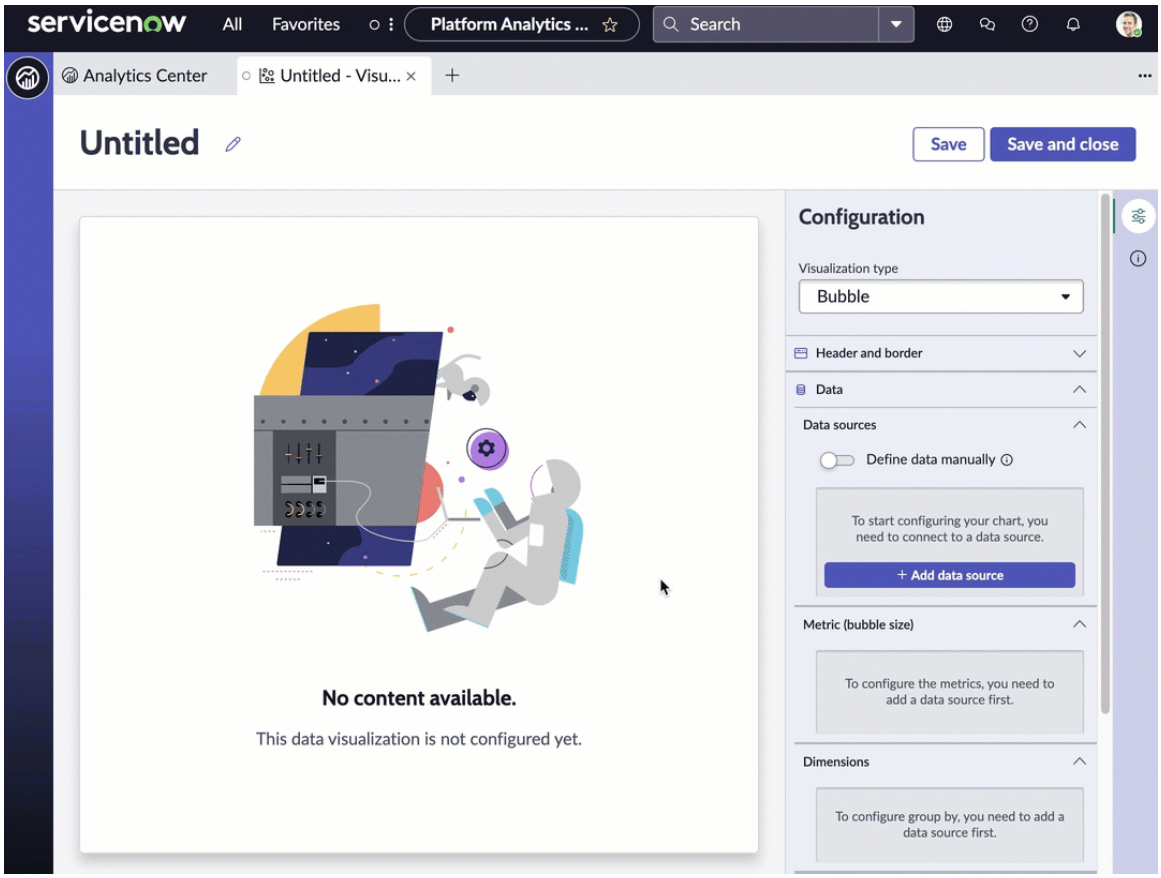
d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むバブルチャート化が 可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

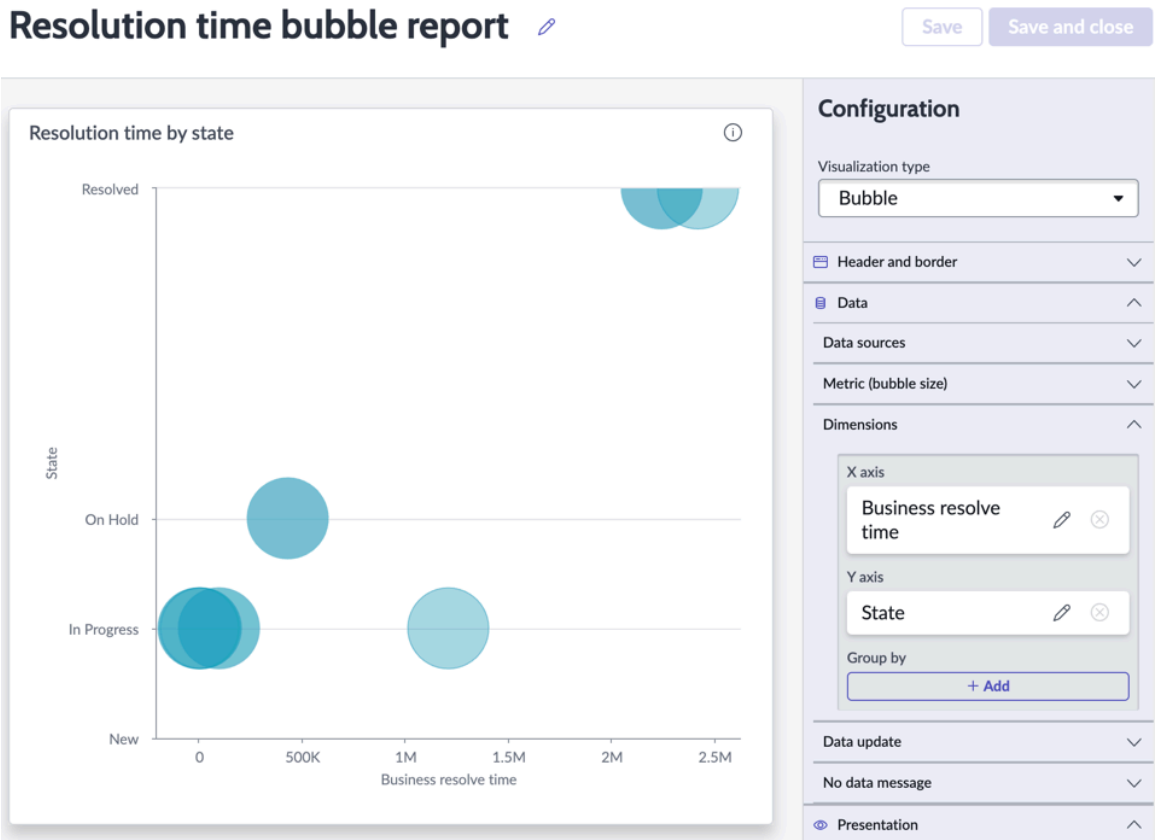
   b. [ヘッダーを表示] を選択し、チャート タイトルの [状態別の解決時間] を指定します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

   c. 可視化の説明を入力します。 インシデントの解決時間とステータスを示すバブルレポート。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [データソース] セクションをスキップ
   バブルレポートでは複数のデータソースがサポートされていますが、これはインシデントのみを対象としています。ここではオープンインシデントの数のみを確認したいので、デフォルトのメトリクスである [カウント] やそのラベルである [インシデント] を変更する必要はありません。
5. [分析コード] セクションで、[X 軸] フィールドの [ビジネス解決時間] を維持し、[Y 軸] フィールドの [状態] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

7. ビジュアル化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- **Single** は、各バブルに同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果
次の 2 つの値でソートされたバブルの可視化が作成されました。可視化の色も構成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナー

目盛りによるチャート化を使用して、値が予想される最小値と最大値の間にある場所を示します。目盛りによるチャート化を使用して、値がターゲットまたはベンチマークとどのように比較されているかを示したり、進捗状況を追跡したり、改善が必要な領域を特定したりします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの Dial ビジュアリゼーションの使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダー の Dial データ視覚化コンポーネントに関する情報を提供しますが、一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [ダイヤル ( )] 表示方法タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

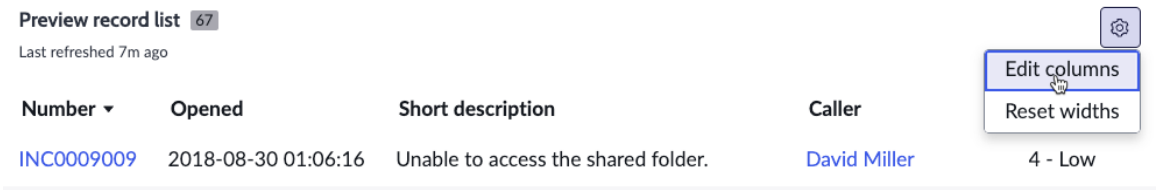
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
	ション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:

   - 可視化のタイプによっては、複数のデータソースを選択できる場合があります。ただし、すべてのデータソースは同じタイプである必要があります。
   - JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[目盛り可視化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - チャート化でインジケーター データを表す場合は、[目盛りによるチャート化のインジケーター データ オプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 目盛り可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
表示設定	
値ラベルサイズ	動的なサイズを表す文字:小 (S)、中 (M)、または大 (L)。タイプの実際のサイズは、グラフのサイズに比例して変化します。
最小値	可視化に表示される最小値を設定します。指定しない場合、デフォルトは 0 です。
最大値	可視化に表示される最大値を設定します。
内半径	可視化の内半径と外半径の比率を指定します。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリック当たりの色: [値の色を設定] フィールドで単色を選択します。そのフィールドを操作すると、アイコンのセットまたはリストから色を選択できるセレクターが開きます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データ可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。 注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

目盛り可視化のテーブルデータオプション

目盛り可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	スコアをリアルタイムで更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にした場合、リアルタイム更新はデータキャッシュを上書きします。 注: • 条件が別のテーブルにドット連結されると、テーブルのトラフィックが多いとリアルタイムのデータ更新が中断されます。 • リアルタイム更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

目盛りによるチャート化のインジケーター データ オプション

目盛りによるチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
Data source (データソース)	で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	スコアをリアルタイムで更新するオプション。 注: • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを使用する、自動化されたスクリプト化されていないインジケーターで使用できます。 • リアルタイムスコア更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 目盛り可視化のデータオプション

目盛り可視化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
Data source (データソース)	で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナーでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

目盛りの可視化の例

目盛りチャート化は、単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。「針」は値を指し、目盛りは針までの値が色分けされて視覚的に示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

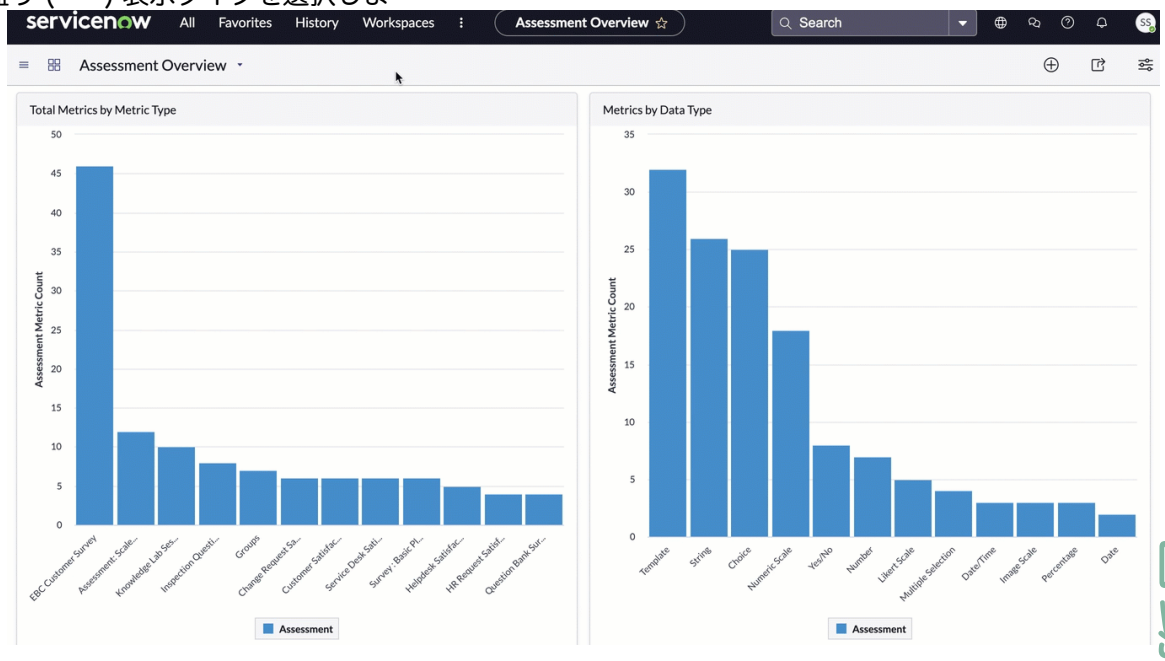
目盛りによるチャート化は、現在の値を目標またはベンチマーク (目標との比較した会社の売上など) と比較する場合に使用します。目盛りの可視化を色で構成して、現在の値が目標と比較してどこにあるかを示すことができます。単一のスコアで、値を色分けして、正または負の範囲内にあるかどうかを示すことができます。目盛りでは、値を表すビジュアリゼーションの部分を色分けします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 最初の手順に従って で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 目盛り ( ) 表示タイプを選択しま



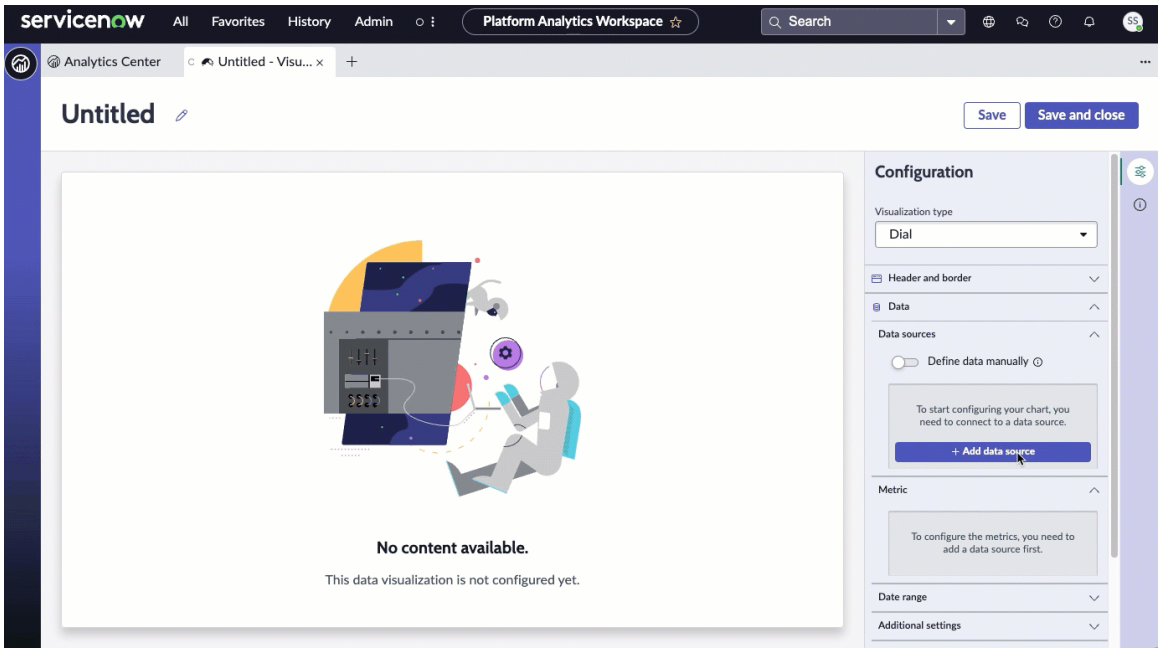
す。

2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含むダイヤルデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [**Show header** (ヘッダーを表示)] を選択し、チャートタイトルに「 Open incidents - Dial (オープンインシデント - ダイヤル)」と入力します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

   c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。
   一部のデータの可視化は複数のデータソースをサポートしていますが、目盛りの可視化はサポートしていません。必要なのはオープンインシデントの数のみであるため、デフォルトのメトリクスである [カウント] やそのラベルである [インシデント] を変更する必要はありません。

5. [追加の設定] で、 [メトリック ラベルの表示] をオフのままにし、 [ゼロを表示] を選択します。
   可視化の名前は 「オープンインシデントの数」であるため、メトリクスラベル「インシデント」は冗長です。

   場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。

6. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

   a. [フィルターに従う] を選択します。
   このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

   b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction**)] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

7. [プレゼンテーション] で、スコアと目盛り自体のサイズ、可視化の最小値と最大値を構成します。

a. [表示設定] で、スコアサイズをデフォルトの M (中) から L (大) に変更して強調します。

b. 目盛りの最小値と最大値を選択します。
デフォルト値は 0 と 100 です。この場合、オープンインシデントがない場合、最小値はゼロです。最大値もデフォルト値のままにしますが、独自の目盛りの視覚化を作成する場合は、現実的な最大値を考慮してください。

c. この例では、内半径パラメーターを無視します。
内側の半径は、ビジュアリゼーションの内側の半径と外側の半径の比率です。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。

8. スコアの色ルールを設定します。
オープンインシデントのステータスを強調するため、値に基づいてダイヤルの色を変更する動的な色ルールを定義します。

a. [表示設定] で、[単色] 色タイプを選択します。

b. [色ルール] で、[**+** ルールの追加] を選択します。

c. 最初の色ルールでは、[Operator lower than] を選択し、[**Value** 6] を入力し、色とアイコンの色の両方に [Positive Green] を選択して、[適用] を選択します。

値は指定された数までですが、それは含まれません。

順序 100 を保持します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



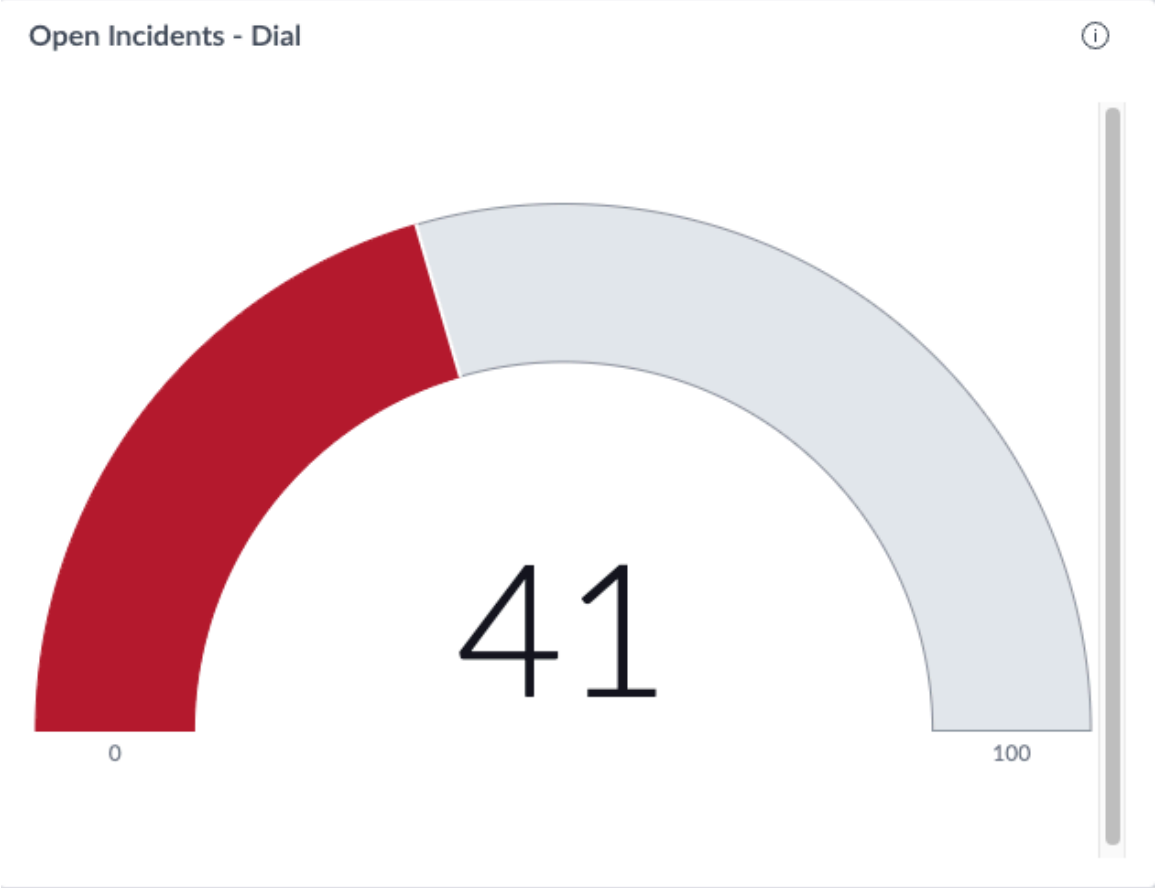
d. より注意が必要な値を示すには、値を5 と 25 の間に [演算子] 、色とアイコンの色を [警告オレンジ]、順序を 50 にして 2 番目のルールを作成します。

e. 最も注意が必要な値を表示するには、 演算子が 値より大きく、値が 25、色とアイコンの色が赤、順序 が 25 の 3 番目のルールを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一のスコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



タスクの結果
オープンインシデントという単一の測定基準に基づいて、ダイヤルによる可視化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザー オプションを構成し、ビジュアリゼーションのサイズと色分けルールを構成しました。

でゲージの可視化を作成 可視化デザイナー

ゲージによる可視化は、値が予想される最小値と最大値の間にある場所を示します。ゲージによるチャート化を使用して、色分けされた値範囲で進捗状況を確認します。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードでのゲージ ビジュアリゼーションの使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーのゲージデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ゲージ ( )] 表示方法タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

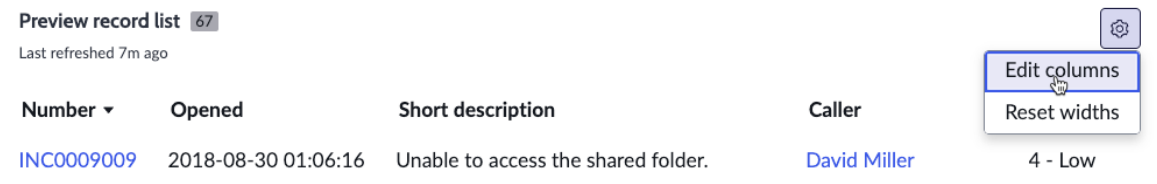
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択でき

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ます。ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

注:

- 可視化のタイプによっては、複数のデータソースを選択できる場合があります。ただし、すべてのデータソースは同じタイプである必要があります。
- JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[ゲージ可視化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - チャート化でインジケーター データを表す場合は、[ゲージによるチャート化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ゲージ可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
ゲージ円弧角度	ゲージのサイズの選択 (度単位)。
値ラベルサイズ	動的なサイズを表す文字:小 (S)、中 (M)、または大 (L)。タイプの実際のサイズは、グラフのサイズに比例して変化します。
内半径	可視化の内半径と外半径の比率を指定します。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
範囲	
最小値	可視化に表示される最小値を設定します。指定しない場合、デフォルトは 0 です。
最大値	可視化に表示される最大値を設定します。
範囲の構成	ゲージを分割する範囲の数を指定します。デフォルトは 3 です。範囲の数、各範囲の開始値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	と終了値、ラベル、およびカラースペクトルを選択します。
伝説	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブになります。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
凡例の向き	レジスタの表示方法のオプション。 ○ 水平水平:凡例を水平に表示するオプション。 ○ 垂直:凡例を最大 5 行まで垂直に表示するオプション。 このプロパティは 、[凡例の位置] が [下] の場合にのみ適用されます。
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
ラベル	
スコアラベル [scoreLabel]	ゲージの中央にあるスコアのラベル: ○ ラベルなし (なし) ○ 可視化メトリクスと同じラベル (メトリクスラベル) ○ [範囲を構成] でスコアが属する範囲に設定したラベル ([範囲ラベル]) ラベルは無効になり、400% ズームで凡例に置き換えられます。
範囲の制限を表示 [showRangeLimit]	true の場合、範囲に設定した制限が表示されます。範囲を設定しなかった場合は、デフォルトの最小値と最大値が表示されます。
範囲ラベルを表示 [showRangeLabels]	true の場合、範囲に設定したラベルが表示されます。このプロパティは、範囲を設定し、そのラベルを指定した場合にのみ使用できます。
ラベルをプライマリとして表示	スコアラベルが範囲ラベルとして構成されている場合に使用できます。スコア値とラベルの場所を変更して、スコア値を小さくし、範囲値を強調します。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。チャートインタラクションを許可 [chartInteractionEnabled] が true の場合にのみ適用されます。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

ゲージ可視化のテーブルデータオプション

ゲージ可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でゲージの可視化を作成 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは false です。true の場合、データなしのメッセージは 0 であるため、[データなしメッセージ **(No data message)]** セクションは使用できません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	スコアをリアルタイムで更新するオプション。リアルタイム更新とデータキャッシュの両方を有効にした場合、リアルタイム更新はデータキャッシュを上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • 条件が別のテーブルにドット連結されると、テーブルのトラフィックが多いとリアルタイムのデータ更新が中断されます。 • リアルタイム更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。
データなしメッセージ このセクションは、[ゼロを表示] がオンの場合は使用できません。ゼロはデータなしメッセージです。	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ゲージによるチャート化のインジケーターデータオプション

ゲージによるチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
Data source (データソース)	でゲージの可視化を作成 可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7 日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
リアルタイム更新	スコアをリアルタイムで更新するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • この設定は、スクリプト化されていないブレークダウンマッピングを使用する、自動化されたスクリプト化されていないインジケーターで使用できます。 • リアルタイムスコア更新では、MIN、MAX、または COUNT DISTINCT 集計はサポートされていません。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ゲージ可視化のデータオプション

ゲージ可視化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
Data source (データソース)	でゲージの可視化を作成 可視化デザイナーでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ゲージの可視化の例

目盛り同様、ゲージは単一の値が最小予想値から最大予想値までの範囲内のどこにあるかを示します。目盛り機能に加えて、色付きのデータ範囲を設定して、値が何を表しているかをユーザーが理解できるようにすることができます。

始める前に

必要なロール: プラットフォームアナリティクスワークスペースを表示するためにロールは必要ありません。任意の内部ロールを使用してデータの可視化を作成できますが、可視化を可視化ライブラリに保存するには viz_creator ロールが必要です。意味のある可視化を作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

目標と比較した会社の売上など、値をターゲットまたはベンチマークと比較する場合は、ゲージによるチャート化を使用します。目標と比較して現在の値がどこにあるかを示すために、色を使用して可視化を構成できます。目盛りでは、値を表すビジュアリゼーションの部分を色分けします。ゲージによるチャート化では、範囲を色分けし、針で値を指します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

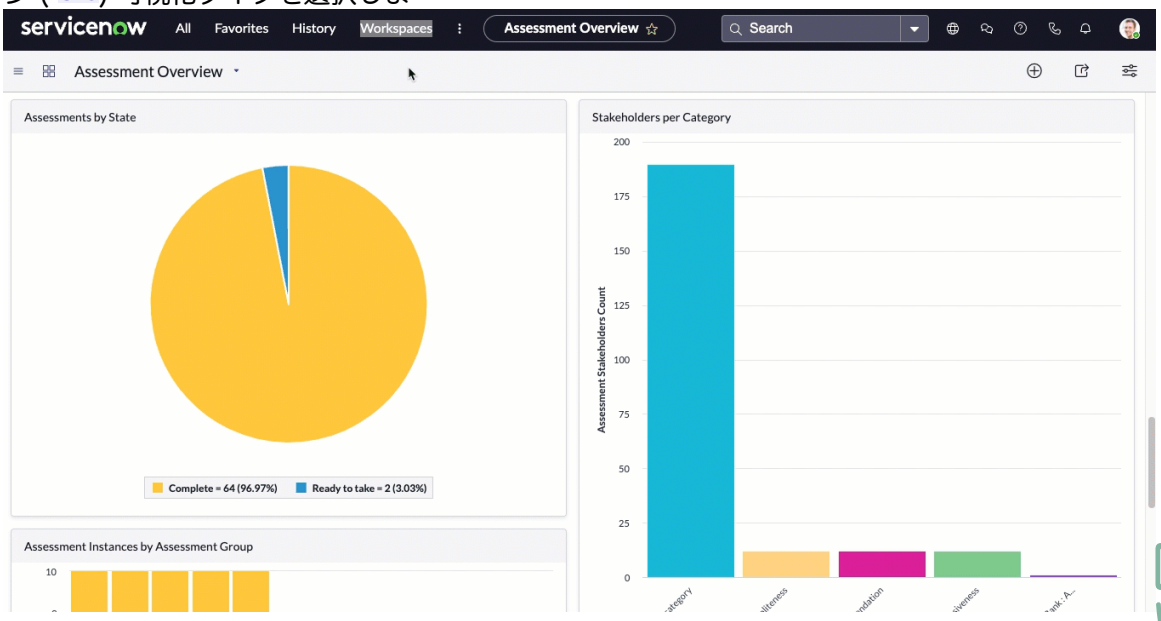
手順

1. 最初の手順に従って でゲージの可視化を作成 可視化デザイナー:

   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.

   b. [新規] を選択します。

   c. ゲージ ( ) 可視化タイプを選択しま



す。

2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。

   a. [データソースを追加] を選択します。

   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

   c. [フィルター] セクションの条件を開きます。
   この可視化はオープンインシデントを示しているため、インシデントを追加しましょう。このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

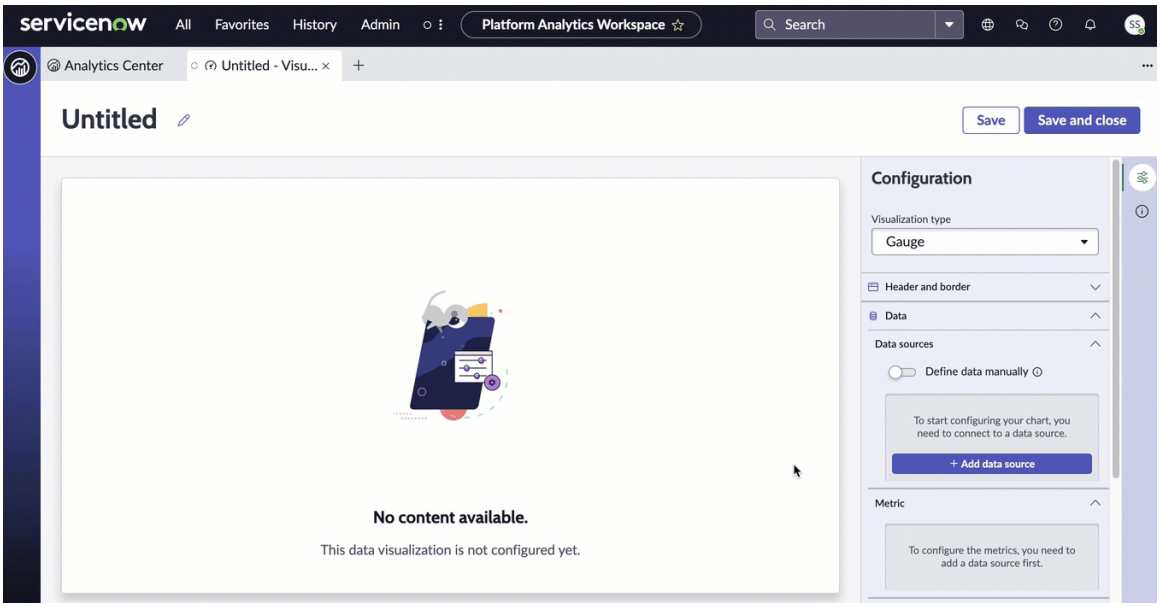
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

   選択したデータの現在の値を含むゲージデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、チャートタイトルに「オープン中のインシデント - ゲージ」と入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: すべての優先度とカテゴリのオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

4. [追加の設定] で、[ゼロを表示] を選択します。
場合によっては、可視化の対象者は値 0 に関心がないことがあります。ただし、この場合は、オープンインシデントが 0 であることを示したいと考えています。[ゼロを表示] を選択しない場合は、データがないときに表示するメッセージを構成するオプションがあります。

5. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

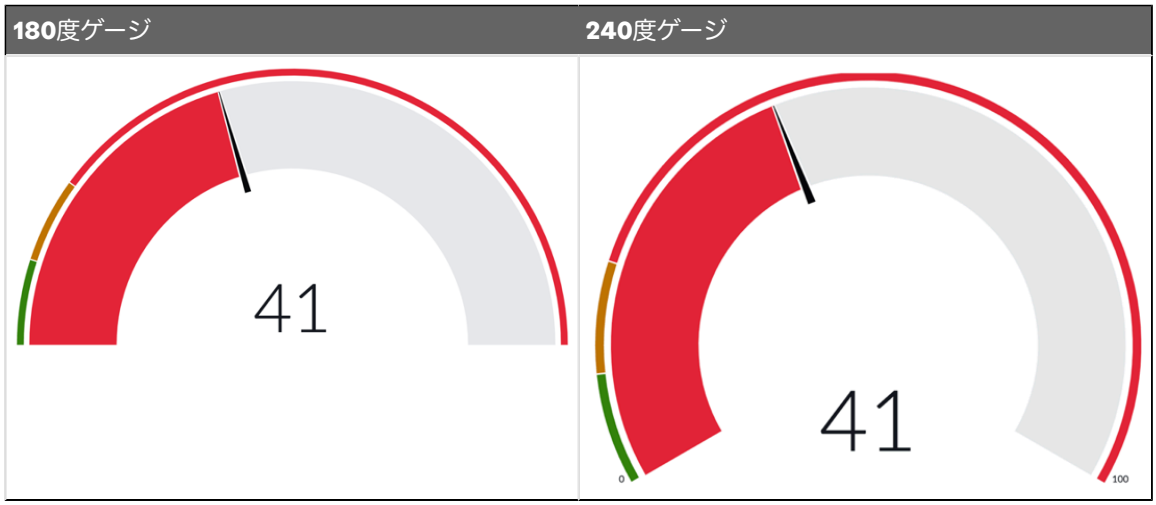
c. [ドリルダウンを有効にする] を選択して、閲覧者が関連するデータを別の方法で表示できるようにします。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [プレゼンテーション] で、ゲージの形状とゲージ値のサイズを構成します。

   a. [表示設定] で、ゲージの円弧角度として 180 度を選択します。
   180 度では、ゲージが半円として表示されます。240 度は、ゲージを円の 4 分の 3 として表示します。



   b. スコアサイズをデフォルトの M (中) から L (大) に変更して強調します。

   c. この例では、内半径パラメーターを無視します。
   内側の半径は、ビジュアリゼーションの内側の半径と外側の半径の比率です。使用できる値は 0.7 から 0.95 です。

7. [範囲] で、ゲージの最小値と最大値を選択します。
   デフォルト値は 0 と 100 です。この場合、オープンインシデントがない場合、最小値はゼロです。最大値もデフォルト値のままにしますが、独自のゲージ可視化を作成する場合は現実的な最大値を考慮してください。
8. [範囲の構成] を選択します。
   範囲は、値が可視化に関連付けられた目標をどのように満たすかを示すカラーバンドです。この例では、値を示すために 3 つの範囲を設定します。

   a. デフォルトの範囲数の 3 と、デフォルトのカラースキームである 緑から赤のままにします。

   b. 最初の範囲に Good というラベルを付け、5以下の値を指定します。

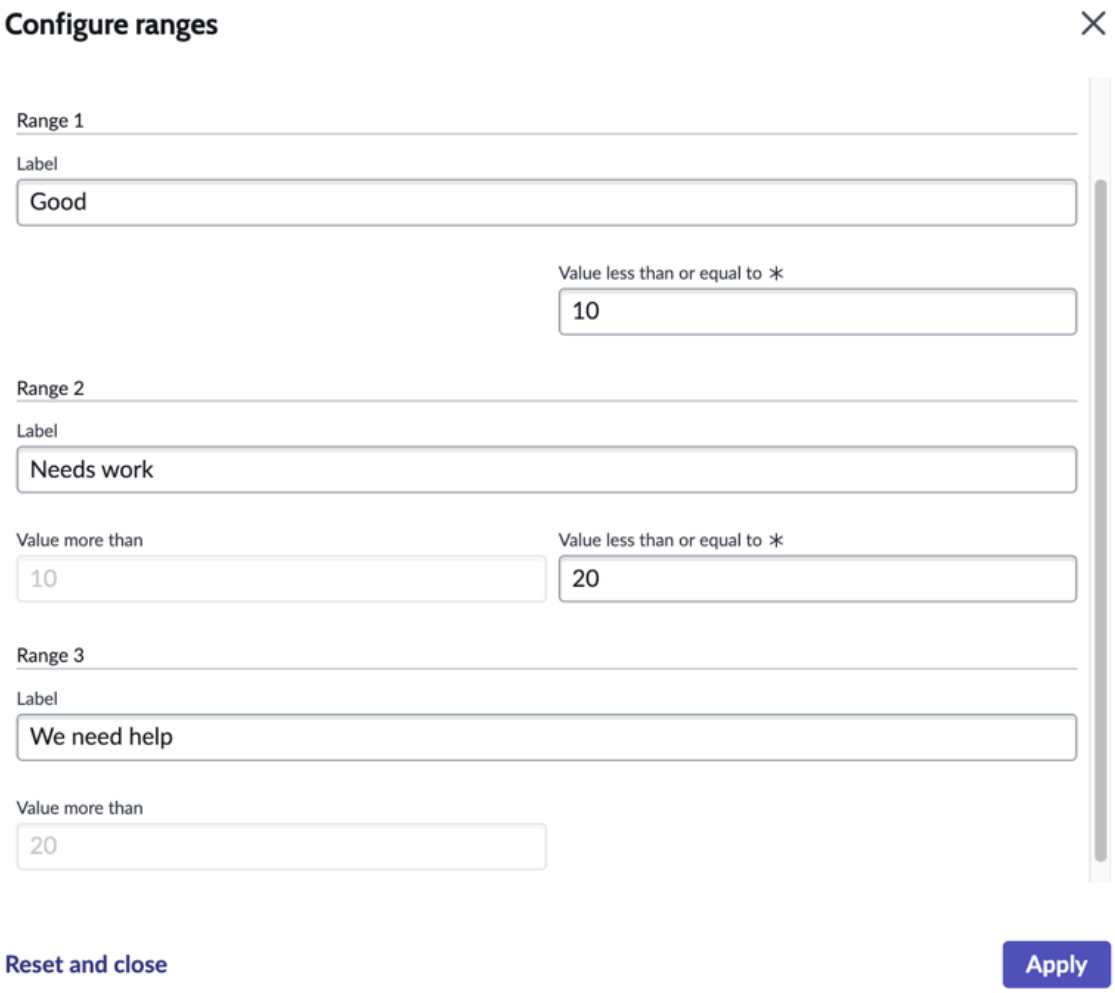
   c. 2 番目の範囲に [作業が必要] というラベルを付け、20以下の値を指定します。
   小さい方の値は最初の範囲から取得されます。

   d. 3番目の範囲にラベルを付けます 助けが必要です。
   この範囲の値は、2 番目の範囲から取得されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. [適用] を選択します。



9. ゲージの ラベル を設定します。

a. スコアラベル [なし] を選択します。
他の選択肢は、[メトリクスラベル] と [範囲ラベル] です。メトリクスは可視化の名前に含まれているため、ゲージの値に「インシデント」というラベルを付けるのは冗長です。[範囲] ラベルには、ラベルを値ではなくビジュアリゼーションのプライマリテキストにするオプションがあります。

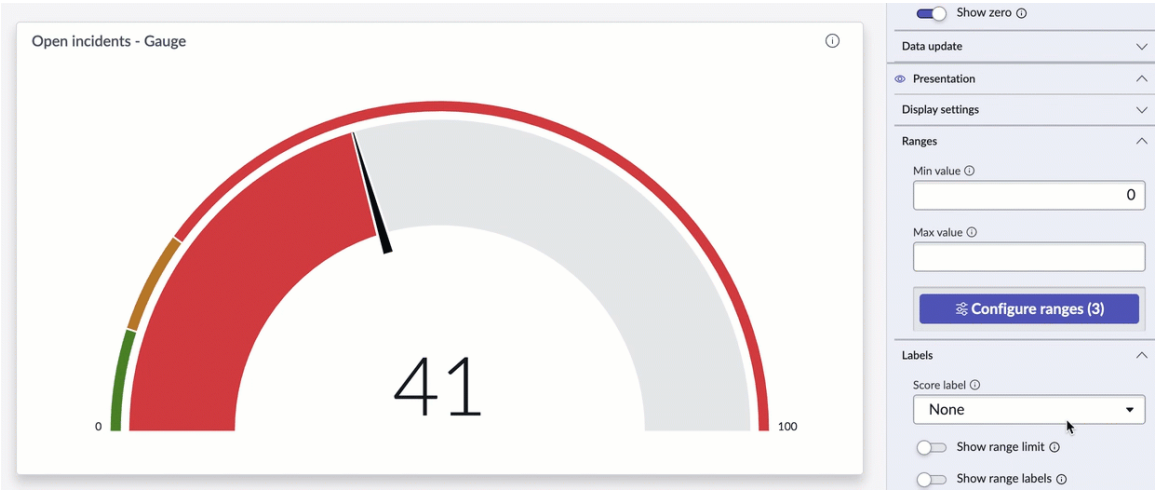
b. [範囲の制限を表示] を選択します。
範囲の制限は、各範囲の下限とゲージの上限を視覚化に追加します。

c. [範囲ラベルを表示] を選択します。
構成した範囲ラベルは、各範囲のコンテキストを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一のスコア値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。



タスクの結果

オープンインシデントという単一のメトリクスに基づいてゲージの可視化を作成しました。また、フィルターとドリルダウンに関するユーザーオプションを構成し、可視化のサイズ、ラベル付け、および範囲を構成しました。

でジオマップの可視化を作成する 可視化デザイナー

ジオマップによるチャート化は、世界、国、地域、または都道府県のデータの地理的分布を示します。ジオマップを使用する場合は、場所情報を含むテーブルデータを使用します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのジオマップビジュアリゼーションの使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのジオマップデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. ジオマップ可視化タイプを選択します。
4. テーブルデータソースを選択します。
   データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   注:
   JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

   a. マップ設定を構成します。
   b. ドリルダウンを有効にして、レベル間のマップナビゲーションとリストリダイレクトを有効または無効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

6. データソースのオプションを設定します。
「ジオマップ可視化のためのテーブルデータオプション」に進みます。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
マップ	世界地図や国の地図などのデータをプロットするマップ。
データラベルの表示	データラベルを有効にします。
凡例	凡例を表示します。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所。次のオプションが含まれます。 ○ 上 ○ 下 ○ 右 ○ 左
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 色の範囲:最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル。これらの色は、一連のアイコンから、またはアイコンを含む色のリストから選択するか、色名または 16 進値を検索することによって選択できます。色は、色定義 [sys_report_color] テーブルから取得されます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ジオマップでは、[データビューに移動] インタラクションのみを使用できます。このアクションにより、基礎となるレコードビューが開きます。

9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

ジオマップ可視化のためのテーブルデータオプション

ジオマップ可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でジオマップの可視化を作成する 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	マップソースのジオマップにあるフィールドを選択します。デフォルトでは、選択できるフィールドは、[アサイン先] などの場所 [cmn_location] テーブルを指します。場所。マップソース [viz_map_source] テーブルに関連付けられたエントリがある [場所] などのテーブルを指す参照フィールドを選択する必要があります。メインレベルの 1 つのフィールドのみが場所テーブルを参照する場合、このフィールドがデフォルトで選択されます。 ジオマップのマップソースの作成方法などの詳細については、「 ジオマップデータを可視化するためのマップソース」を参照してください。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

[store-future: BEGIN review]

ジオマップの可視化の例

ジオマップを使用すると、世界、国、地域、または州のデータの地理的分布を視覚化できます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ジオマップビジュアリゼーションを使用して、データを地理的なグラフで表示します。

手順

1. 最初の手順に従って で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または アナリティクスセンター ( ) コンポーネントを含む別のワークスペース。アクセスできるワークスペースは異なる場合があります。
   b. [データの可視化] タブを選択します。
   c. [新規] を選択します。
   d. 可視化タイプ ( ) を選択します。
2. とりあえず、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. オープンインシデントを追加します。
条件を開いて、可視化にアクティブなインシデントの数のみが表示されるようにします。

3. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

4. データソースのオプションを設定します。
「ジオマップ可視化のためのテーブルデータオプション」に進みます。
5. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
マップ	世界地図や国の地図などのデータをプロットするマップ。
データラベルの表示	データラベルを有効にします。
凡例	凡例を表示します。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所。次のオプションが含まれます。 ○ 上 ○ 下 ○ 右 ○ 左
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 色の範囲:最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル

6. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

[End]

ジオマップデータを可視化するためのマップソース

ジオマップデータの可視化は、特別なマップソースの場所テーブルに接続されます。

ジオマップのマップソースは、マップソース階層で整理されます。同じテーブルを参照するすべてのマップソースは同じ階層にあります。マップソース階層は、親ソースと最大 4 レベルの子ソースで構成されます。親ソースはテーブルのみを参照し、子ソースはテーブル内のフィールドを参照します。

デフォルトでは、インスタンスには、場所 [cmn_location] テーブルを参照するジオマップのマップソース階層があります。したがって、ロケーションのフィールドを参照する [グループ] フィールドをジオマップ上に持つことができます。[グループ] フィールドは、データソーステーブルの最上位レベルに配置することも、ドット連結することもできます。カスタムの場所テーブルを参照する追加のマップソース階層を作成できます。

データの可視化とレポートのマップソースの違い

コア UIのマップレポートに精通している場合は、ジオマップのマップソースがマップレポートのマップソースとは異なることに気付いたかもしれません。これらは、異なるマップソーステーブル、sys_report_map_source、viz_map_sourceに存在するほど異なっています。最も大きな違いは、テーブルの参照方法です。

マップ レポートでは、マップ ソースはインシデント [incident] などのファクト テーブルを参照します。マップソースには、場所テーブルを指す参照フィールドも含まれています。場所テーブルのフィールドにドット連結する子マップソース。この構造により、マップのデータソースとして必要なすべてのデータテーブルに対して、個別のマップソース階層が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップレポートのマップソース

Name	Table	Field
Search	Search	Search
Table: change_request (4)		
Change request by location	Change Request [change_request]	location
Change request by location (level 1)	Change Request [change_request]	location.country
Change request by location (level 2)	Change Request [change_request]	location.state
Change request by location (level 3)	Change Request [change_request]	location.city
Table: change_task (4)		
Change task by location	Change Task [change_task]	location
Change task by location (level 1)	Change Task [change_task]	location.country
Change task by location (level 2)	Change Task [change_task]	location.state
Change task by location (level 3)	Change Task [change_task]	location.city

ジオマップのマップソースは、場所テーブルを直接指しています。ファクトテーブルは参照しません。ファクトテーブルは、ジオマップデータの可視化でのみ指定されます。この構造により、表示されるデータに関係なく、インスタンス上のすべてのジオマップに対して 1 つのマップ階層を再利用できます。

ジオマップデータを可視化するためのマップソース

Name	Table	Field
Search	Search	Search
Location mapping	Location [cmn_location]	
Location mapping (level 1)	Location [cmn_location]	country
Location mapping (level 2)	Location [cmn_location]	state
Location mapping (level 3)	Location [cmn_location]	city

データの可視化マップソースを作成

ジオマップデータの可視化でカスタムの場所テーブルを使用するには、テーブルにリンクするマップソースを定義します。階層のさまざまなレベルでマップソースを追加します。

始める前に

必要なロール:report_admin、viz_admin、pa_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. ブラウザーの URL フィールドで、インスタンス URL に viz_map_source_list.do を追加します。

   Example
   たとえば、インスタンスが https://instance.example.com の場合は、「 https://instance.example.com/viz_map_source_list.do」と入力します。

2. 参照する場所テーブルがマップソースで既に使用されているかどうかを確認します。
   同じテーブルを参照する一連のマップ ソースは、 マップ ソース階層と呼ばれます。

3. 目的の場所テーブルを参照するマップソースがない場合は、そのテーブルの最上位のマップソースを作成します。

   a. **[New** (新規)] を選択します。
      空のマップソース [viz_map_source] レコードが開きます。

   b. 次の情報を指定します。

フィールド	説明
[Name (名前)]	マップソースの名前を追加します。テーブルの内容を示すわかりやすい名前を使用します。この階層で作成する他のすべてのマップソースの名前の一部として、この名前を含めます。
テーブル	データの可視化マップソースでまだ使用されていない場所テーブルを選択します。また、選択するテーブルは、データの可視化マップソースで既に使用されているテーブル (cmn_location など) を参照してはなりません。

   c. [**Submit** (送信)] を選択します。

   これで、新しいマップソース階層の親マップソースが作成されました。階層にさらにレベルを追加できます。

4. テーブルのマップソース階層が存在する場合は、作成するマップソースの 1 レベル上にあるマップソースを開きます。

   注:
   最上位の親の下に配置できるマップソースのレベルは 4 つまでです。

5. [マップソース] 関連リストで、[新規] を選択します。
   新しいマップソース [viz_map_source] レコードが開き、[テーブル] フィールドと [親] フィールドが読み取り専用になります。

6. 次の情報を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を入力します。マップ ソース レベルの名前にはレベルを含めます。通常、同じ階層内のすべてのマップソースに同じルート名を付けます。ロケーションマッピング (レベル 2) やロケーションマッピング (レベル 3) など、レベルでのみ区別します。
テーブル (読み取り専用)	同じテーブルがマップ ソース階層全体で使用され、最上位のマップ ソースで指定されます。
フィールド	表示しているマップよりも 1 レベル詳細な場所データのフィールドを選択します。 たとえば、世界地図に表示されるレベル 1 のマップ ソースのデータを構成する場合は、各国のデータを世界地図上に表示するため、[場所：国] を選択します。同様に、都道府県の地図に表示するデータを構成する場合は、[場所：都道府県] を選択します。 **注:** 市区町村は、マップレポートにドリルダウンするときに表示できる最も詳細な位置レベルです。たとえば、都市内のさまざまな場所のレポートを作成して、最下位のマップ ソース フィールドの定義に location.name を含めた場合、マップ レポートには複数の場所が対応する市ラベルとして表示されます。その結果、同じ location.city の値を持つ複数の場所のレポートを作成すると、ラベルが同じで集計値が異なる複数のマップ ドットが表示され、異なる場所にドリル ダウンされます。
レベル	このマップ ソースの階層レベルを選択します。親マップソースのレベルより 1 レベル低いレベルを選択する必要があります。最大 4 つのレベルを持たせることができます。マップ ソース レベルはそれぞれ、マップ階層のドリル レベルに対応し、それらのレベルはほとんど一致しています。階層内に同時に存在できるマップソースは、同じレベルの 1 つだけです。
[Active (アクティブ)]	マップ レポートの作成時にこのマップ ソースを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。

7. [データ変換] セクションで、次の情報を指定します。

フィールド	説明
データの使用方法	このマップ ソースでのデータの使用方法を選択します。 ○ テーブルのデータを使用: Now Platform® 内のデータを変換せずに使用します。マッピング先の JSON キー値とデータが既に一致している場合は、このオプションを選択します。 ○ マッピングの使用:最も一般的なユースケース。マッピング先の JSON キー値と一致するようデータを変換します。hc キーの geoJSON キーを使用する地図のマップ ソースの場合は、常にこのオプションを選択します。 リージョンと州は最下位レベルのマッピングであるため、このオプションは州/都道府県レベルより下のデータでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 緯度と経度を使用:レベル 3 などの下部のマップ レベルでは常にこのオプションを選択します。データに緯度と経度の値があることを確認します。 ⚠ 警告: [経度と緯度を使用] オプションではドリルダウンが無効になるため、このオプションは、階層の最下位レベルであるマップソースレベルでのみ選択してください。
次のマップを使用	[マップを使用] を選択した場合は 、使用するマップ グループを選択します。マップ グループは、データを変換するキーと値のペアのマップの集まりです。マップ グループ内のマップを確認するには、[場所マップ] の [sys_report_map_source_mapping] テーブルに移動します。 たとえば、フィールド値 [米国] を hc キー値 **[us]** に変換する場合は、関連するキーと値のペアのマップが含まれている [国のマップ] を選択します。

8. **[JSON** キー] セクションで、マップ ソース データをマップに結び付ける JSON キーを選択します。
   地図では通常、hc キーを使用します。

   すべてのジオマップには JSON 定義があります。データのマップ先となる JSON のキーと値のペアを 1 つ選択します。マップに表示するデータは、JSON キー値と一致する必要があります。したがって、選択するキーによって、[データの使い方] セクションの設定でデータを変換する必要があるかどうかが決まります。すべてのデフォルトのプラットフォームマップとマップ ピングは、geoJSON hc キーと ISO 3166 標準値を使用します。カスタム マップでは、別の JSON キーを入力できます。

9. [**Update** (更新)] を選択します。

でヒートマップの可視化を作成する 可視化デザイナー

ヒートマップによるチャート化を使用して、2 つのテーブルフィールドまたはインジケーターブレークダウン間の関係を表示します。軸に沿って移動するにつれて色が変化することで、一方または両方のフィールド/ブレークダウンの値のパターンが明らかになります。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのヒートマップ可視化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのヒートマップデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [ヒートマップ]  の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
   データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

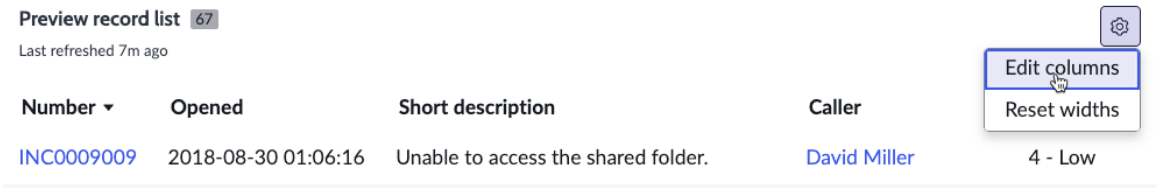
   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



- インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。

  ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

注:
JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[ヒートマップ可視化のためのテーブルデータオプション] に移動します。
   - チャート化でインジケーター データを表す場合は、[ヒートマップ可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブになります。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
色	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。以下から選択可能です。 ○ デフォルトの デフォルト:UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの色。具体的な色は、UX テーマ [sys_ux_theme] テーブルのどのテーマバリアントがインスタンスに適用されるかによって異なります。 ○ 色の範囲:最小値の色と最大値の色の間の色のスペクトル

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

ヒートマップ可視化のためのテーブルデータオプション

ヒートマップ可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でヒートマップの可視化を作成する 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
ツールヒントに元の数値を表示	ポイントに書式設定されていない数値を表示するツールヒントを含めるオプション。 注: [カスタム書式を使用] と [略語を有効にする] が true の場合にのみ使用できます。
列と行のグループ化	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に変数または質問フィールドのいずれかでグループ化するオプションがあります。 注: • [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでデータをグループ化またはスタックすることはできません。 • 日付や整数などの連続した値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、その他のグループに集計されます。その集計は、[その他の表示] オプションで表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	par_viz.table_data_max_groups システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定されていて、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計が [その他] グループとして表示されます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 **注:** • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] **(**定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ヒートマップ可視化のインジケーターデータオプション

ヒートマップ可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でピボットテーブルの可視化を作成 可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。
グループの最大数	列に表示するブレークダウン要素の最大数。このプロパティは行には適用されません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	• D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ヒートマップの可視化の例

ヒートマップデータの可視化では、2 つのテーブルフィールドまたはインジケーターブレークダウンの関係を、2 つの色間の網掛けのスペクトルとして表示します。軸に沿って移動する色が変化し、一方または両方のフィールドまたはブレークダウンの値のパターンを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
各軸でセルの色がどのように変化するかを観察することで、一方または両方の変数の値にパターンがあるかどうかを観察できます。

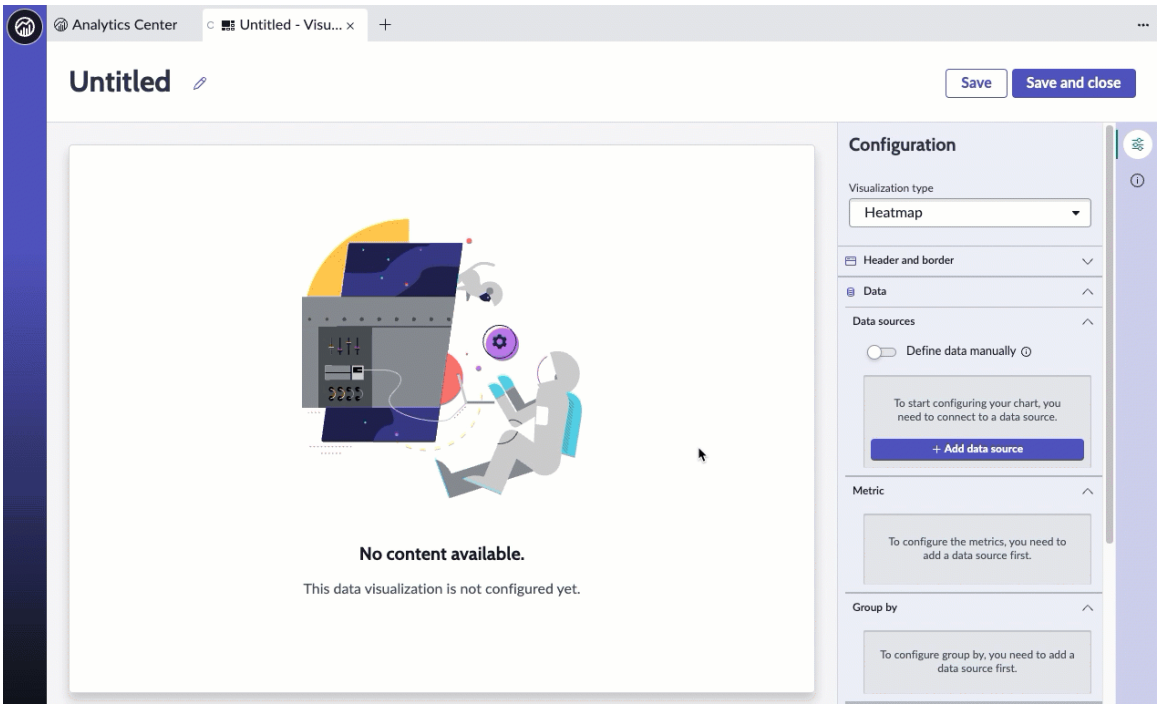
手順

1. 最初の手順に従って で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. [ヒートマップ] の可視化タイプを選択します。
2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化は完了したインシデントを示しているため、[フィルター] セクションに Incidents.Closed 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化には非アクティブなインシデントのみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

   選択したデータの現在の値を含むヒートマップデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。可視化がクローズ済みインシデントを表しているという情報のみが提供されるため、オープンインシデントを示すブロックが 1 つだけ表示されます。次のステップで列と行を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [ヘッダーを表示] を選択し、チャートタイトルに「 オープン中のインシデント - 優先度とアサイン先グループ」を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: 優先度とアサイン先グループでグループ化されたすべてのアサイン先グループのオープンインシデント。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [**Save**] を選択し、レポートのタイトルを 「Heatmap - Open Incidents - Priority and Assignment Group」（ヒートマップ - オープンインシデント - 優先度とアサイン先グループ) にします。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] で、1 つの列と複数の行を追加して、複数の視点からデータを表示します。

a. 最上位の情報を表示するには、[優先度] 列を追加します。

b. 行 [アサイン先グループ] を追加します。

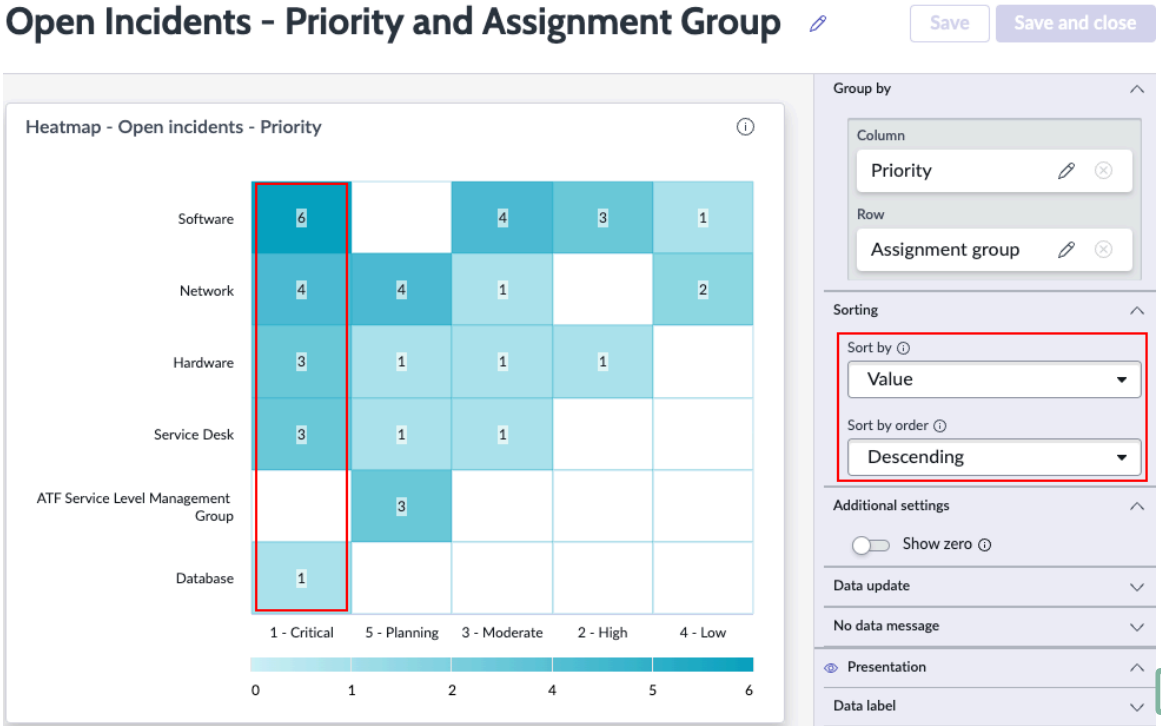
6. [ソート] で、ソートするフィールドとソートの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 値でソートすることを選択します。

b. ソート順として [降順] を選択します。
列は、インシデント数が最も多いアサイン先グループを先頭に並べて並べます。



7. [追加の設定] で、[ゼロを表示] を選択します。
0 を表示すると、空のセルはありません。オープンインシデントのないセルも色分けされます。



8. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

9. ヒートマップ内のセルが説明している内容を表示する方法を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- データラベルの表示 は、ヒートマップのセルに値を表示するかどうかを制御します。このオプションはデフォルトで有効になっています。無効にすると、色だけがセルの相対値を示します。
- [凡例を表示] では、ビジュアライゼーションの各セルとそれに関連する値の色分けの例を示します。凡例を表示するかどうか、および凡例を配置する場所を選択できます。

a. [凡例を表示] を選択して、凡例オプションを有効にします。

b. 視覚化の上の凡例をどこに配置するかを試してください。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

10. 色の設定で遊んでください。
デフォルトの色タイプには青の濃淡があります。また、上限値と下限値に指定した色を使用して、カスタム色の範囲を選択することもできます。

タスクの結果

2 つの値でソートされたヒートマップ可視化を作成し、その値、ラベル、およびデータ更新を構成しました。可視化の色も構成しました。

で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナー

棒グラフによるチャート化を使用して、表す値に比例する情報をセグメントに表示します。垂直棒グラフと水平棒グラフによるチャート化では、名義データまたは順序データのいずれかを表す数値を比較します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

この可視化タイプの詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「棒グラフによる可視化の概要 」を参照してください。このサイトでは、 UI ビルダーの水平バーおよび垂直バーデータのビジュアル化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

このタスクについて

一般に、水平バーを使用して、各アサイン先グループのユーザー数などの名目データをグラフ化します。垂直バーを使用して、さまざまな経過時間バケットのオープンインシデントの数などの順序データをグラフ化します。ダッシュボードでの棒グラフビジュアリゼーションの使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト.

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.

2. [新規] を選択します。

3. 水平棒グラフ ( ) または垂直棒グラフ ( ) の可視化タイプを選択します。

4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

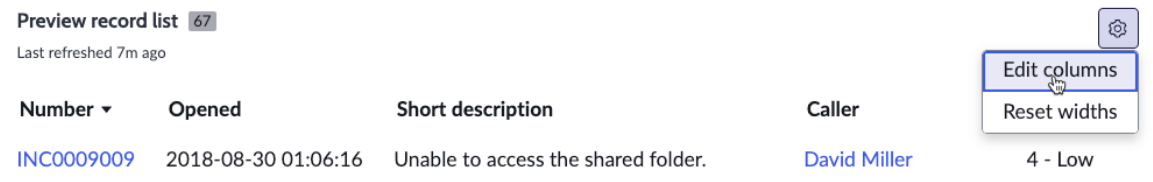
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

注:

- 可視化のタイプによっては、複数のデータソースを選択できる場合があります。ただし、すべてのデータソースは同じタイプである必要があります。
- JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[水平バーおよび垂直バーによるチャート化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - チャート化でインジケーター データを表す場合は、[水平バーと垂直バーによるチャート化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 棒グラフによる可視化のデータオプション] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

注:
水平バーによるチャート化では、X 軸がプライマリです。縦棒グラフによるチャート化の場合、Y 軸がプライマリです。

フィールド	説明
表示設定	
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントには、カーソルを合わせているデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ(ただし、ズームが400%の場合は自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
X 軸および Y 軸 (一部のオプションは、第 1 軸または第 2 軸でのみ使用できます。水平バーの可視化では、X 軸がプライマリです。縦棒グラフによる可視化では、Y 軸がプライマリです)。	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
軸タイトル	X 軸または Y 軸に表示するタイトル。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値の終点。
軸位置	第 1 軸の位置。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 左 ○ 右 このプロパティは 、[軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。縦棒グラフによる可視化に複数の Y 軸がある場合など、複数の主軸がある場合は、各軸の位置を個別に設定できます。
グリッドを表示	第 1 軸に垂直な細い線のグリッドを表示し、値をその軸に合わせるのに役立ちます。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。 ○ クリーンクリーン:主軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし:目 盛りなし:主軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 のデフォルト:主軸に線と目盛りを追加します。
ラベルを折り返す	セカンダリ軸の長いラベルを折り返します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)。	セカンダリ軸のラベルが折り返されるか切り捨てられる長さ (ピクセル単位)。
切り捨てタイプ	セカンダリ軸の長いラベルを切り捨てる場所を決定します。次のオプションが含まれます。 ○ 開始 開始 ○ ミ ドルミドル ○ 終了 終了
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブになります。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例のコンテンツは、最大 2 行ではなく、スクロールせずに凡例を収めるために必要なだけスペースを取ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 単色/メトリック当たりの色: [値の色を設定] フィールドで単色を選択します。そのフィールドを操作すると、アイコンのセットまたはリストから色を選択できるセレクターが開きます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 可視化に複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが表示されます。このオプションを使用すると、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データ可視化の色分けルールの作成」を参照してください。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リスト または KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ [フィルターとして適用] では、ダッシュボード上のすべてのデータ可視化が、選択したセグメントの値でフィルタリングされます (該当する場合)。 **注:** [フィルターとして適用] は、テーブルおよびインジケーターデータソースでのみ使用できます。[グループ] フィールドが期間フィールドの場合は機能しません。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	た別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
   次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

水平バーおよび垂直バーによるチャート化のテーブルデータオプション

水平バーまたは垂直バーによるチャート化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。ダッシュボードフィルターを個々のメトリクスに適用するかどうかを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • `ダウン ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に変数または質問フィールドのいずれかでグループ化するオプションがあります。パレート図で定義できる グループは 1 つだけです。[代替グループ化基準] は、パレート図による視覚化に対して定義できます。 複数のデータソースを含む垂直バー、水平バー、およびピボットレポートの場合:最初のソースを選択フィールドでグループ化すると、2 番目のソースを適用可能な選択フィールドでグループ化できます。 • [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでデータをグループ化またはスタックすることはできません。 • 日付や整数などの連続した値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、その他のグループに集計されます。その集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	計は、[その他の表示] オプションで表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data_max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定されていて、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計が [その他] グループとして表示されます。
値が 0 の要素を非表示	オンに切り替えると、行やデータポイントなど、値が NULL または 0 の要素は表示されません。メトリクスが COUNT の場合、このコントロールは使用できません。
グループ	最初のグループ化基準によって、可視化の棒が決まります。積み重ねの基準となる 2 番目の値を選択します。たとえば、最初に [優先度] を選択して各優先度のタスク数を表示し、[アクティブ] を選択して各優先度のアクティブなタスクと非アクティブなタスクを積み重ねます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えることができます。 • 1 つのフィールドでのみ並べ替えることができます。[追加のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフォローするフィルターのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンになっている場合は、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとのフィルターに従う」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

水平バーと垂直バーによるチャート化のインジケーターデータオプション

水平バーまたは垂直バーによるチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。ダッシュボードフィルターを個々のメトリクスに適用するかどうかを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含め、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
グループ	最初のグループ化基準によって、可視化の棒が決まります。追加のグループ要素を構成して、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	データ内の追加アイテムに基づいてプレゼンテーションを有効にします。 **注:** インジケーター データに基づいてデータの可視化で棒を積み上げることはできません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 **注:** • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] **(**定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えることができます。 • 1 つのフィールドでのみ並べ替えることができます。[追加のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフォローするフィルターのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンになっている場合は、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとのフィルターに従う」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 棒グラフによる可視化のデータオプション

水平バーまたは垂直バーによるチャート化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナーでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス 複数のメトリクスを設定できます。ダッシュボードフィルターを個々のメトリクスに適用するかどうかを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 注: イベントメトリクスにのみ適用されます。その場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	をデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 制限事項： • [グループ] または [積み重ね基準] フィールドによってのみ並べ替えることができます。 • 1 つのフィールドでのみ並べ替えることができます。[追加のグループ化] フィールドでソートすることはできません。
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	• D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフォローするフィルターのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンになっている場合は、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとのフィルターに従う」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

メトリクスごとのフィルターに従う

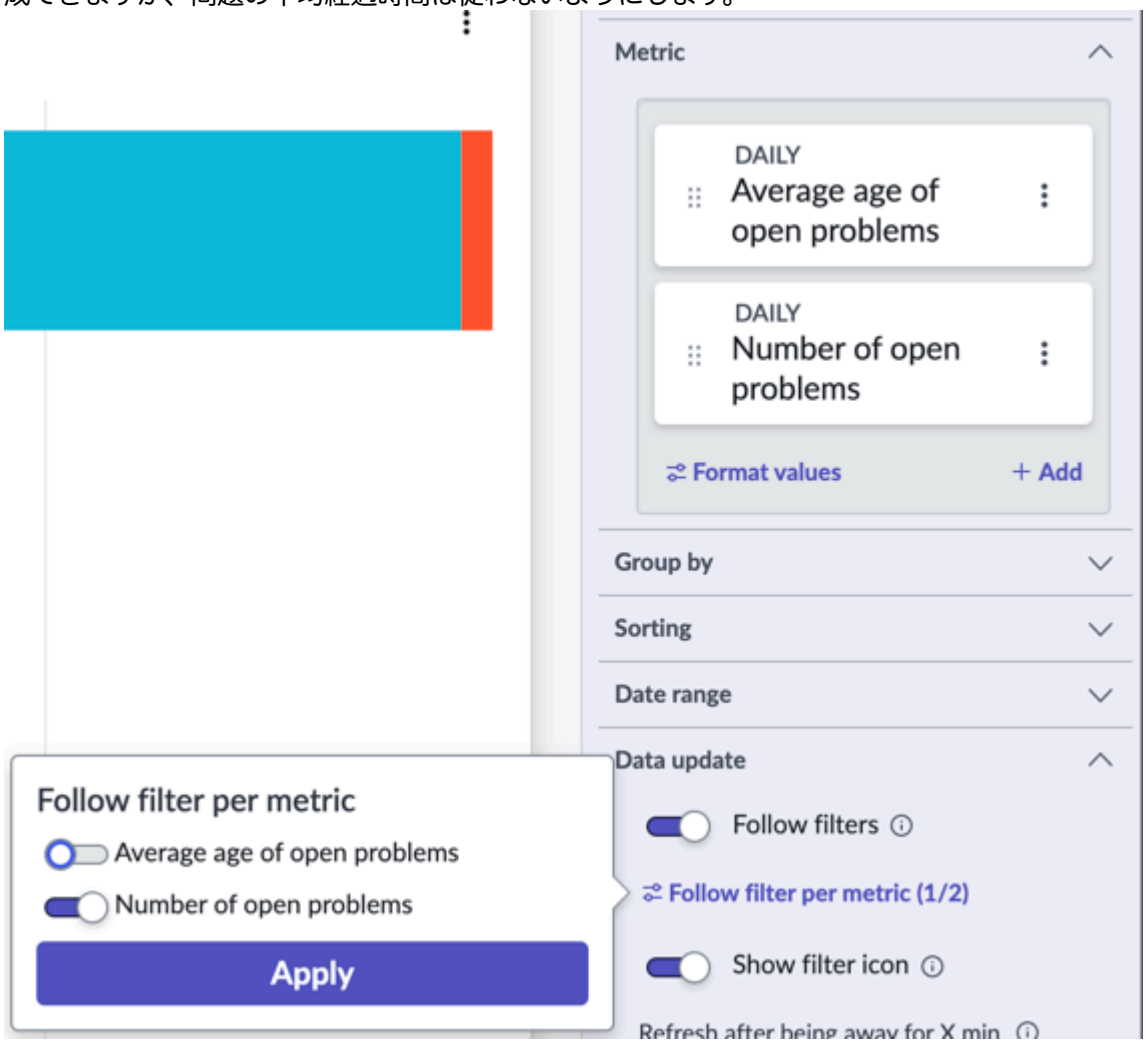
水平バーまたは垂直バーのビジュアル化で複数のメトリクスを表示している場合は、ダッシュボードのフィルターを特定のメトリクスにのみ適用することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のメトリクスを表示する時系列または棒グラフによる可視化で [フィルターに従う] が有効になっている場合、構成パネルには [メトリクスごとのフィルターに従う] と呼ばれる展開可能なアイテムが表示されます。このアイテムを展開して、各メトリクスのフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。

たとえば、未解決の問題の数と未解決の問題の平均経過時間を示す棒グラフによるチャート化を考えてみます。この可視化は、未解決の問題の数がダッシュボードの該当するフィルターに従うように構成できますが、問題の平均経過時間は従わないようにします。



棒グラフによる可視化の例

棒グラフによるチャート化を使用すると、さまざまなカテゴリまたはグループの比較サイズまたは頻度を表示できます。たとえば、異なる地域または異なる期間の売上などです。

水平バーのユースケース

部門、機関、地域などの名前付き値でデータを表示するには、水平バーを使用します。

垂直バーのユースケース

垂直バーを使用して、年齢や通貨の範囲、期間などの番号付きの値を表示します。

水平バーによるチャート化の例

水平棒グラフによるチャート化を使用すると、インシデント優先度や営業グループなど、さまざまなカテゴリまたはグループの比較サイズまたは頻度を表示できます。アサイン先グループなどの棒グラフによる可視化に、グループ化または積み重ね基準を追加することもできます。

自動翻訳

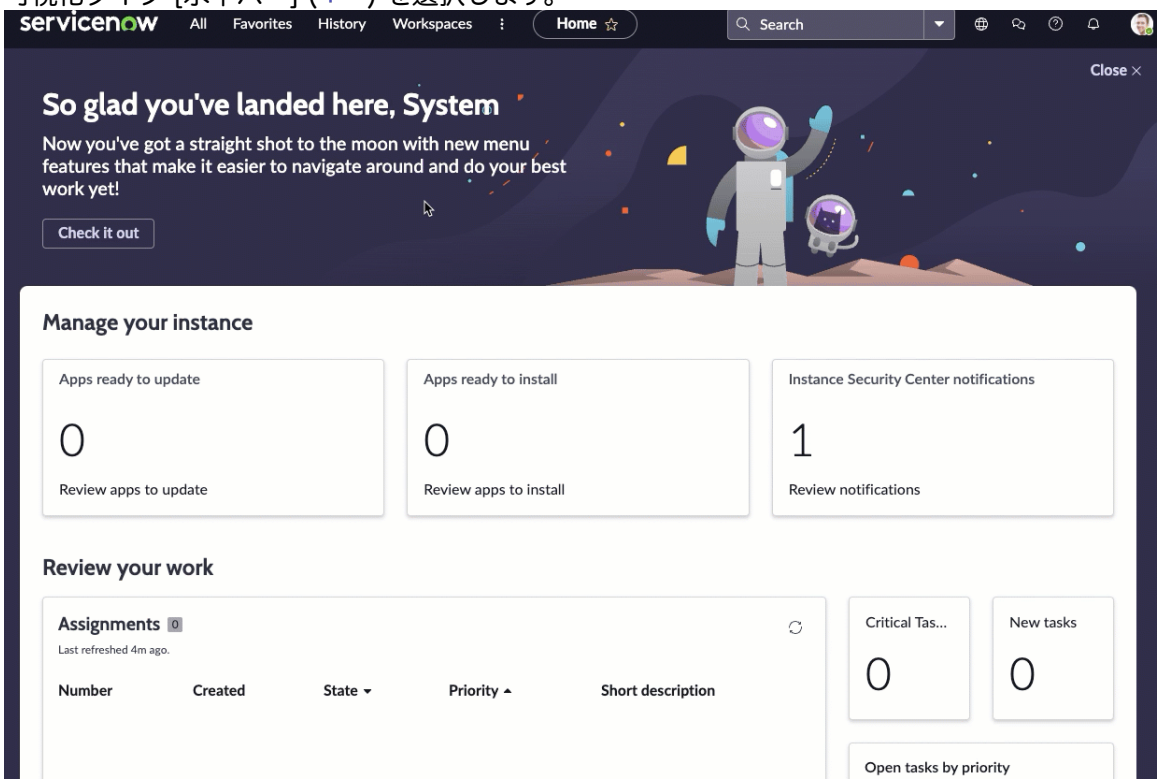
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
水平棒グラフの可視化タイプを使用して、さまざまなカテゴリまたはグループを比較し、データセットの分布を明確に表示します。この例では、優先度別にインシデントを表示し、アサイン先グループ別に積み上げます。

手順

1. 最初の手順に従って で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 可視化タイプ [水平バー] ( ) を選択します。



2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

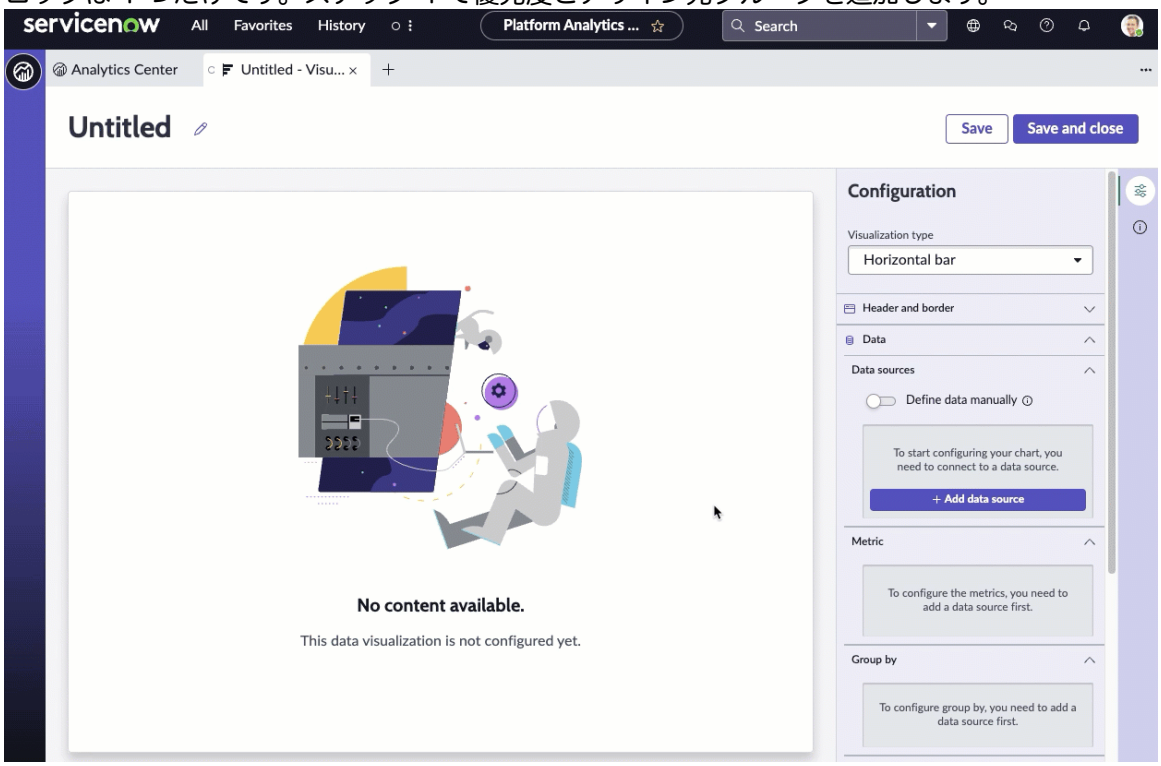
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を示す水平バーデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。可視化がアクティブなインシデントを表しているという情報のみが提供されるため、表示されるブロックは 1 つだけです。ステップ 4 で優先度とアサイン先グループを追加します。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [**Show header** (ヘッダーを表示)] を選択し、チャートタイトルとして「 Number of open incidents - Priority and Assignment Group (オープンインシデントの数 - 優先度およびアサイン先グループ)」を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: アサイン先グループ別にグループ化されたすべての優先度のオープンインシデントの数。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートのタイトルを 「水平バー - オープンインシデント」にします。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] を追加して、グラフ内の情報を区別します。
[グループ] で [アクティブ] を選択し、グループ化を [優先度] に変更します。

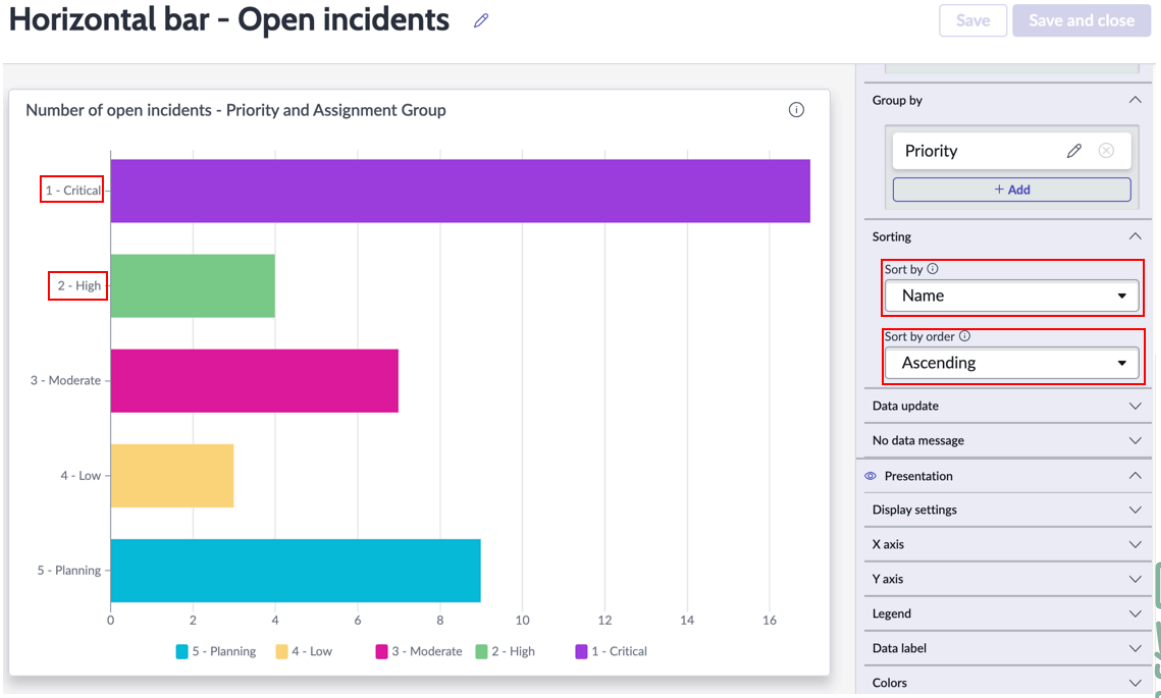
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [ソート] で、ソートするフィールドとソートの順序を選択します。

a. 名前でソートすることを選択します。
優先度の名前はそれぞれ数字で始まり、バーは 1 - 重大、2 - 高のようになります。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
棒グラフは、一番上が 1 - 重大で、その後に 2 - 高、3 - 中の順に並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. X 軸を構成します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。軸とその値を非表示にして、バーの比較サイズのみを表示する場合は、[軸を非表示] を選択することもできます。

自動翻訳

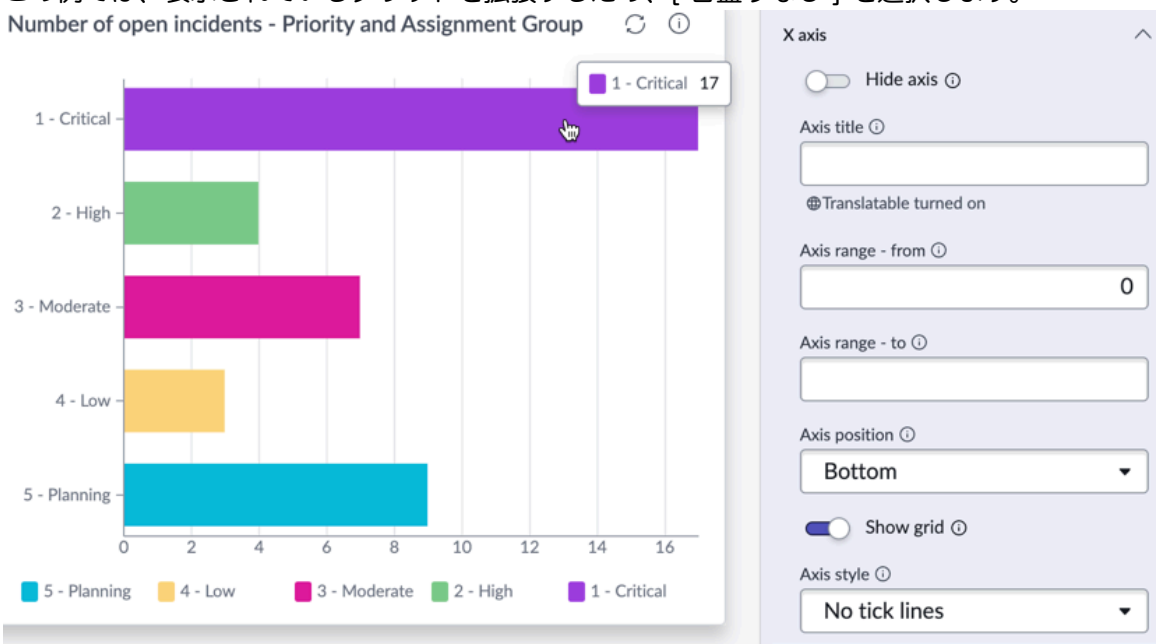
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. X 軸に 「オープンインシデント」というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. 軸範囲の [開始] 値はデフォルトの 0 のままにします。
大きな値が理にかなっている場合もありますが、欠点は、バーの相対的なサイズが不正確になり、誤解を招く可能性があることです。

c. 軸範囲の [終了] 値のデフォルト値は空のままにします。
この値が空の場合、範囲内の最大値は、可視化内の最大のバーの最大値と同じになります。この例では、この値は 17 です。

d. [グリッドを表示] オプションと [軸スタイル] オプションは、自分の好みに合わせて調整できる小さな美的変更です。
この例では、表示されているグリッドを拡張するため、[目盛りなし] を選択します。



9. Y 軸を構成します。
Y 軸の構成は、縦軸のラベルの表示方法を指定します。この例では、比較的短いラベルを使用しています。ただし、ラベルの最大サイズがラベルよりも小さい場合は、ラベル テキストを切り捨てるか折り返すかを選択できます。ラベルの先頭または末尾のテキストを切り捨てることができます。

a. Y 軸のタイトルに [優先度] を指定できますが、この情報は既にビジュアライゼーションのタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. [ラベルを折り返す] を選択します。
[最大ラベルサイズ] が 0 の場合は、最大のラベルによってサイズが決まるため、ラベルの表示に変化はありません。

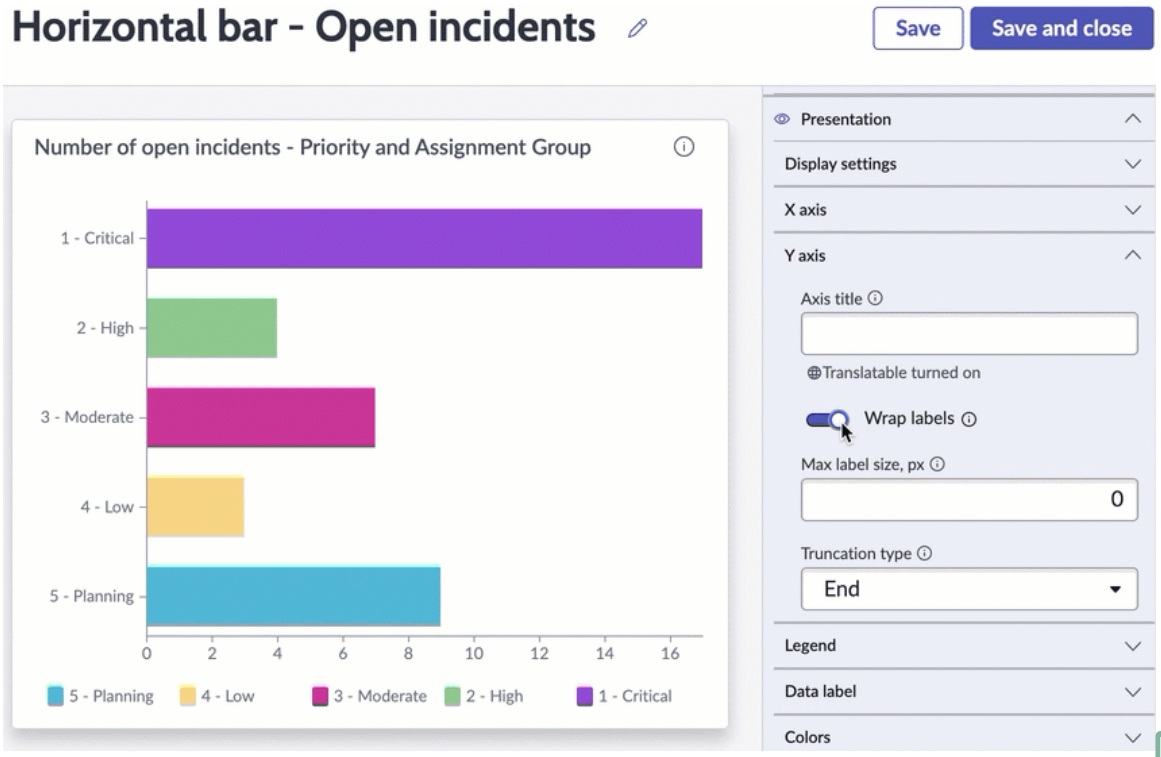
c. Max label size を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。[切り捨て] タイプでは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

d. [ラベルを折り返す] オプションをオフにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[切り捨て] タイプを変更すると、[終了] によって長いラベルの末尾が 3 つのドットに置き換えられることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換えられます。また、中央を選択しても同じことが起こります。



10. 可視化の凡例を構成します。
凡例は、Y 軸の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、凡例を配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースに余裕がある場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースがもっとある場合は、上または下に配置します。

    a. [凡例を表示] と [凡例値を表示] を選択します。
    [凡例を表示] の値は 、メトリクスに関連付けられた数値を加算します。この場合、[1 - Critical] インシデントの数に応じて [**1 - Critical**] インシデントに 17 が追加されます。または、[データ ラベル] セクションの [データ ラベルの表示] を選択して、この値をバー自体に配置することもできます。

    b. 凡例を可視化の上に配置します。
    凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

    c. [中央 水平配置] を選択します。
    開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語では、開始と終了は右と左です)。

    d. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に十分なスペースを与えます。

    e. 凡例を垂直に展開 すると、凡例に追加の行が提供されるため、ユーザーはデフォルトの 2 行を超えてスクロールする必要がありません。
    この例では、5 つのインシデント優先度に対して必要な行は 1 つだけです。15 または 20 の異なる地域またはアサイン先グループのバーを持つ可視化では、スクロールバーなしで凡例にさらに多くのバーを表示することができます。

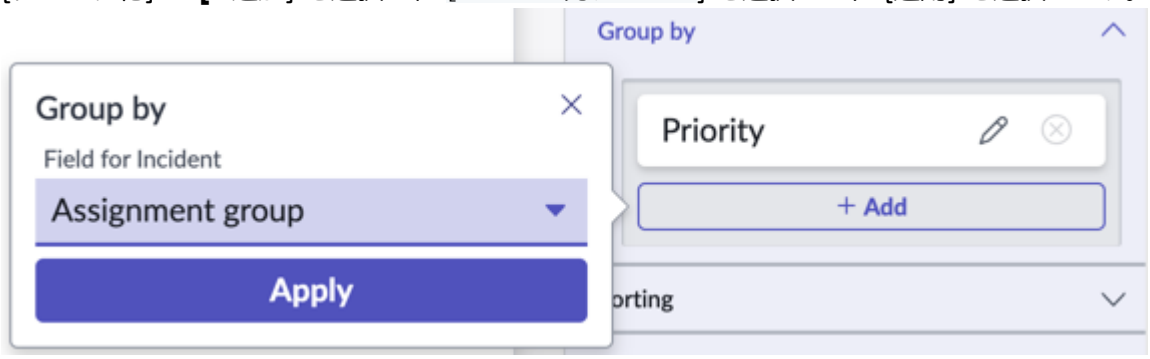
11. [グループ] をさらに追加して、可視化により多くの情報を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

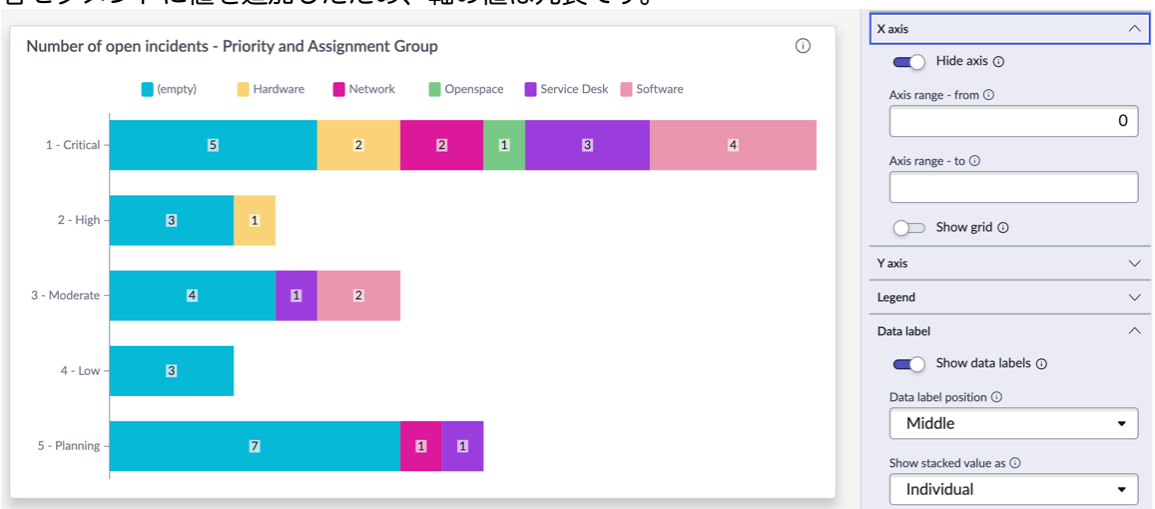
この可視化の名前を「 オープンインシデントの数 - 優先度とアサイン先グループ」に変更したことを思い出してください。アサイン先グループを追加します。

a. [グループ化] で **[+** 追加] を選択し、［アサイン先グループ] を選択して、 [適用] を選択します。



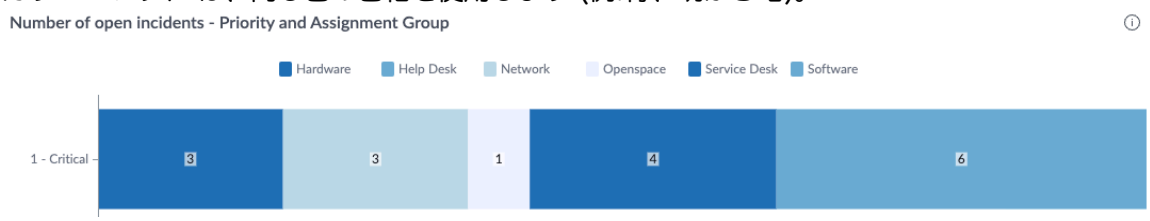
b. 中央にデータラベルを表示します。
追加のグループ化により、値を積み重ねることができます:優先度の上位にアサイン先グループ。データ値は、アサイン先グループごとの個別のインシデント数として表示するか、累積値 (各セグメントを前の値に追加) として表示するか、単に合計を表示するかを選択できます。[個別] を選択すると、各セグメントの値が表示されます。

c. X 軸を非表示にします。
各セグメントに値を追加したため、軸の値は冗長です。



12. ビジュアル化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (例:青、明から暗)。



- 固定要素 では、ハードウェアインシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
2 つのフィールドにグループ化された水平バー表示方法が作成されました。可視化のラベル付け、凡例、および範囲も構成しました。

縦棒グラフによるチャート化の例

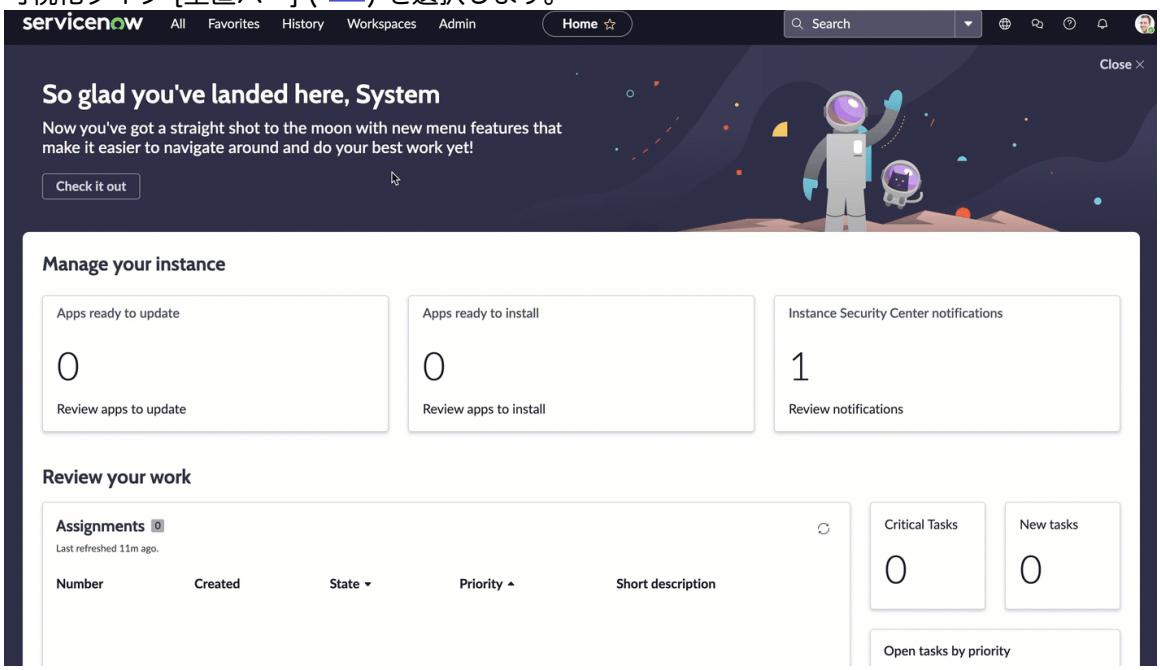
縦棒グラフによる視覚化を使用すると、さまざまなカテゴリまたはグループの比較サイズまたは頻度を表示できます (たとえば、異なる地域または異なる期間の売上)。垂直の X 軸には、通常、年または日付範囲、年齢範囲、給与範囲などの数値が表示されます。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
縦棒グラフの可視化タイプを使用して、さまざまなカテゴリまたはグループを比較し、データセットの分布を明確に表示します。この例では、機能停止をタイプ別に示しています。

手順

1. 最初の手順に従って で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 可視化タイプ [垂直バー] ( ) を選択します。



2. とりあえず、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. 機能停止 [cmdb_ci_outage] テーブルを選択します。
      この表には、さまざまなサービスの機能停止が一覧表示されます。

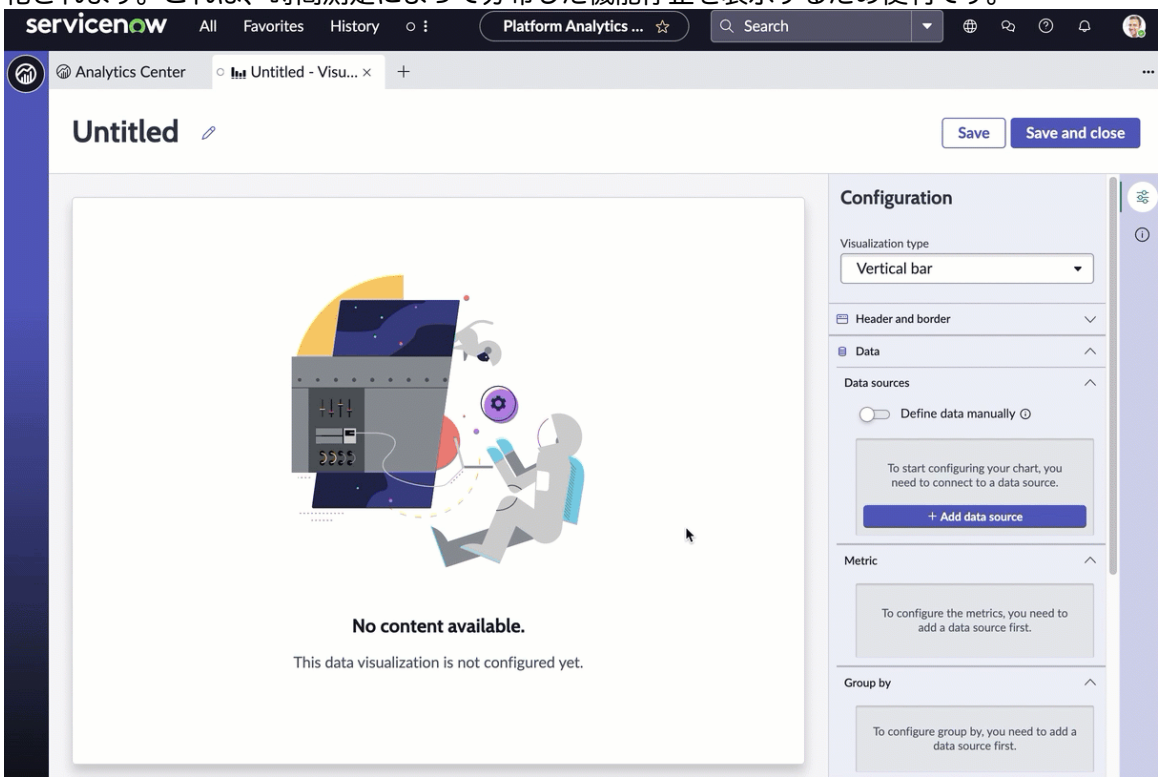
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

d. [Add this source (このソースを追加)] を選択します。

選択したデータの現在の値を示す縦棒グラフデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。可視化は、テーブルの最初のフィールド (アルファベット順) である [開始] によってグループ化されます。これは、時間測定によって分布した機能停止を表示するため便利です。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [**Show header**] を選択し、グラフのタイトルを [Outages by type] (タイプ別の機能停止) に入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します。 「開始日時別にグループ化され、タイプ別に積み重ねられた CMDB 機能停止」。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートのタイトルに「垂直バー - CMDB の機能停止」という名前を付けます。

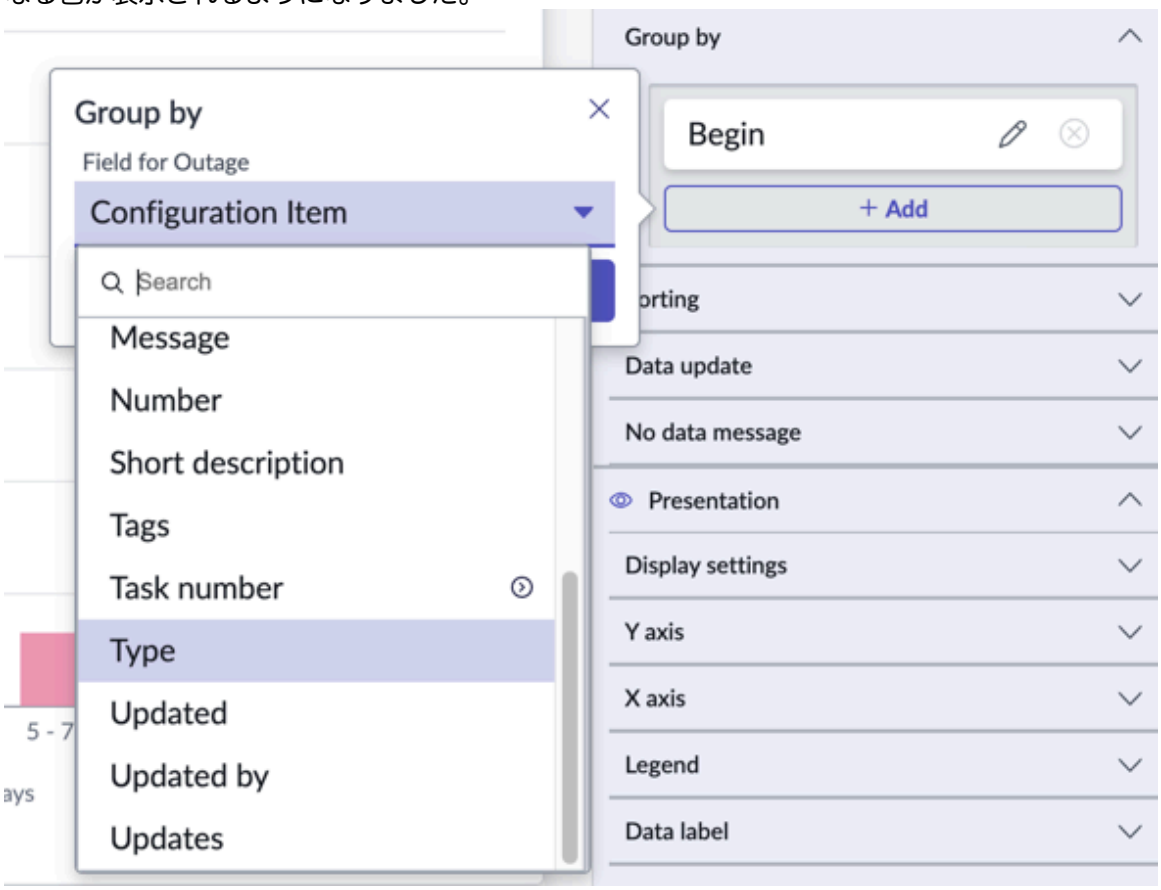
4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ化] セクションで、 [追加] を選択して、グラフ内の情報を区別します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[タイプ] を選択し、[適用] を選択します。さまざまなタイプの機能停止を区別するために、列に異なる色が表示されるようになりました。



6. [ソート] で、[値 でソート] と [ソート順] を [降順] で維持します。
これらのオプションは、データを可視化する 1 つの論理的な方法を示しています。ソートオプションを変更して、最適なオプションを見つけてください。
7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

   a. [フィルターに従う] を選択します。
   このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

   b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
   たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

   c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
   一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

   このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. 次の 3 つの方法のいずれかでデータを表示するチャートのバリエーションを選択します。

   積み重ね

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

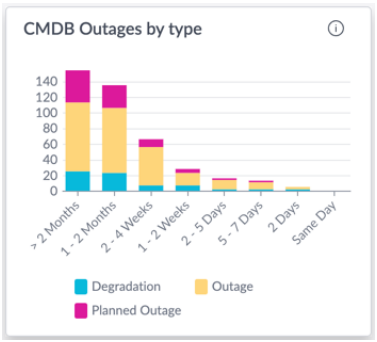
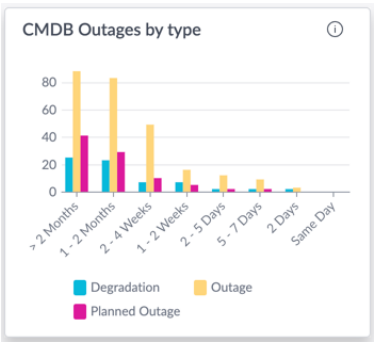
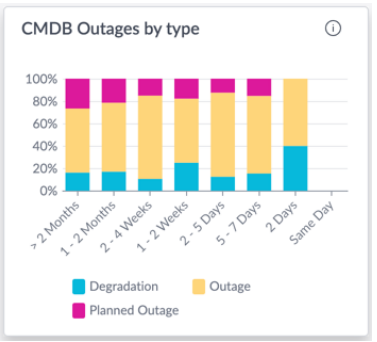
グループ化された要素 (この場合はタイプ) を次のタイプの上に積み重ねて表示します。

並列表示

タイプごとに異なるバーを表示します。

正規化済み

各グループについて同じ高さの積み上げ棒を表示します。色は合計に対する割合を示します。

積み重ね	並列表示	正規化済み
		

9. Y 軸を構成します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。軸とその値を非表示にして、バーの比較サイズのみを表示する場合は、[軸を非表示] を選択することもできます。

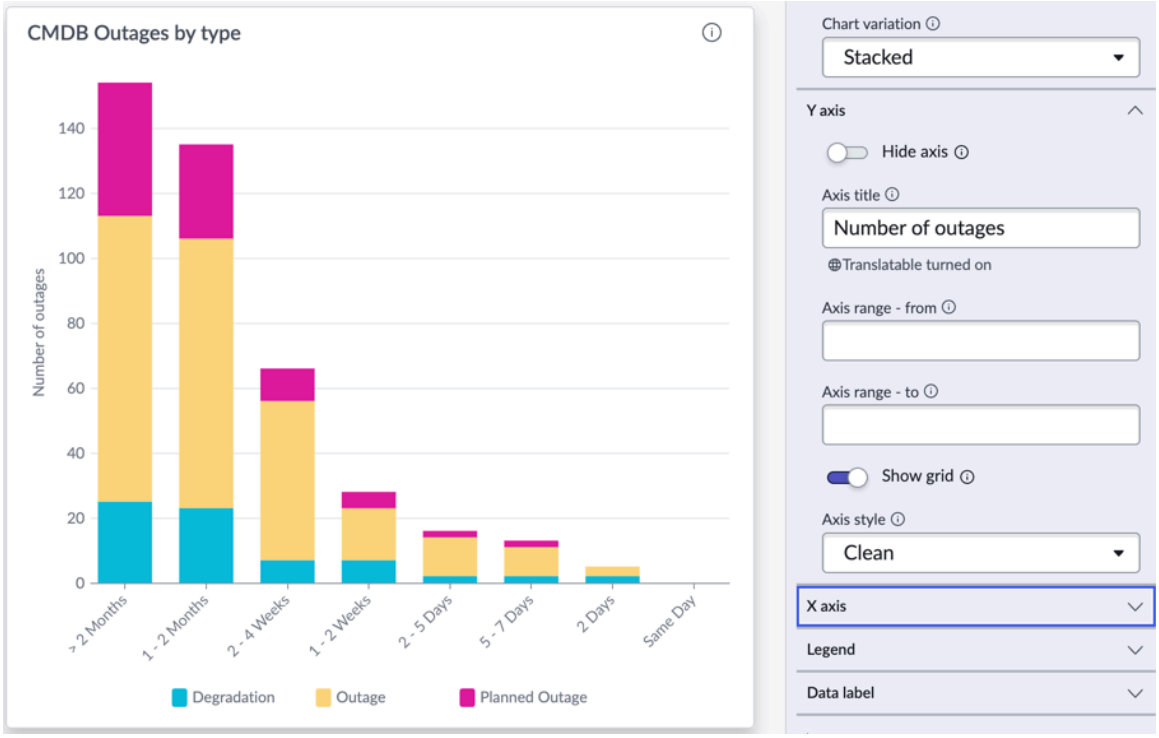
a. Y 軸に 「機能停止の数」というタイトルを付けることができますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. バーの下限と上限の範囲を指定できますが、これらの値はどちらも有用であるため、[軸範囲 - 開始] と [軸範囲] は 空のままにします。
大きな **From** 値が理にかなっている場合もありますが、欠点は、バーの相対的なサイズの精度が低下することです。[終了] の値が空の場合、範囲内の最大値は、可視化内の最大のバーの最大値と同じになります。

c. [グリッドを表示] オプションと [軸スタイル] オプションは、自分の好みに合わせて調整できる小さな美的変更です。
この例では、少しきれいになったので [クリーン] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. Max label size を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。[切り捨て] タイプでは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

10. X 軸を構成します。
軸上のテキスト、値の範囲、軸の位置など、いくつかのオプションを指定できます。

X 軸構成は、縦軸のラベルの表示方法を指定します。この例では、比較的短いラベルを使用しています。ただし、ラベルの最大サイズがラベルよりも小さい場合は、ラベル テキストを切り捨てるか折り返すかを選択できます。ラベルの先頭または末尾のテキストを切り捨てることができます。

a. X 軸に 「CMDB 機能停止」というタイトルを付けることもできますが、この情報は既に可視化のタイトルに含まれているため、空のままにします。

b. [ラベルを折り返す] を選択します。
[最大ラベルサイズ] が 0 の場合は、最大のラベルによってサイズが決まるため、ラベルの表示に変化はありません。

11. 可視化の凡例を構成します。
凡例は、X 軸の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、凡例を配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースに余裕がある場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースがもっとある場合は、上または下に配置します。

a. [凡例を表示] と [凡例値を表示] を選択します。
[凡例を表示] の値は 、選択したメトリクスに関連付けられた番号を加算します。または、[データ ラベル] セクションの [データ ラベルの表示] を選択して、これらの値をバー自体に配置することもできます。

b. 凡例を可視化の上に配置します。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

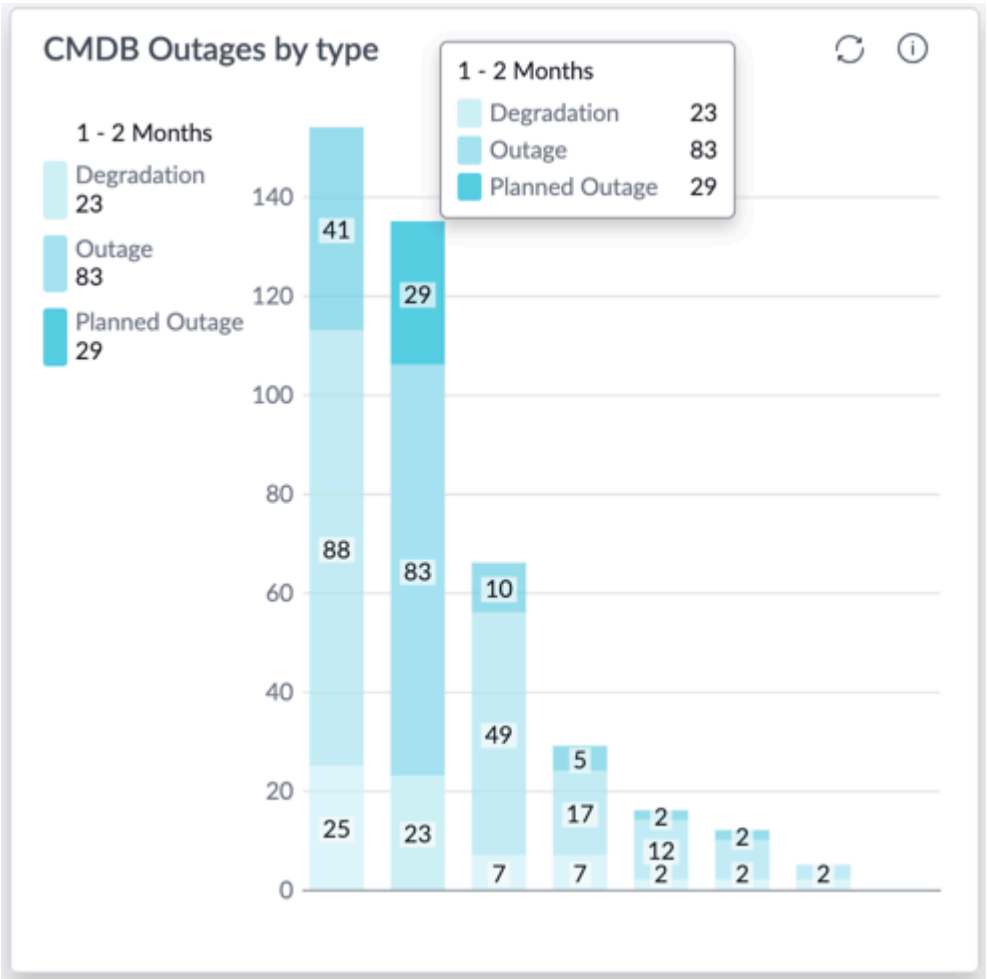
c. [中央 水平配置] を選択します。
開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語では、開始と終了は右と左です)。

d. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に十分なスペースを与えます。

e. 凡例を垂直に展開 すると、凡例に追加の行が提供されるため、ユーザーはデフォルトの 2 行を超えてスクロールする必要がありません。
この例では、3 つの機能停止タイプに対して必要な行は 1 つだけです。15 または 20 の異なる地域またはアサイン先グループのバーを持つ可視化では、スクロールバーなしで凡例にさらに多くのバーを表示することができます。

12. ビジュアル化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色相を使用します (例: 順次 - 青 明から暗)。



- 固定要素の色 は、ハードウェアインシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果
2 つのフィールドにグループ化された縦棒グラフの可視化が作成されました。可視化のラベル付け、凡例、および範囲も構成しました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナー

円グラフ、ドーナツグラフ、および半ドーナツグラフの可視化を使用して、データセットの部分のサイズを全体と比較します。これらのグラフのセグメントの合計は 100% になるはずです。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

この可視化タイプの詳細については、ServiceNow 開発者サイトの円グラフ/ドーナツグラフによる可視化の概要 を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの円グラフ、ドーナツグラフ、または半ドーナツグラフのビジュアライゼーションの使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーの円グラフとドーナツグラフのデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. パイ ( )、ドーナツグラフ ( )、または半ドーナツグラフ ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

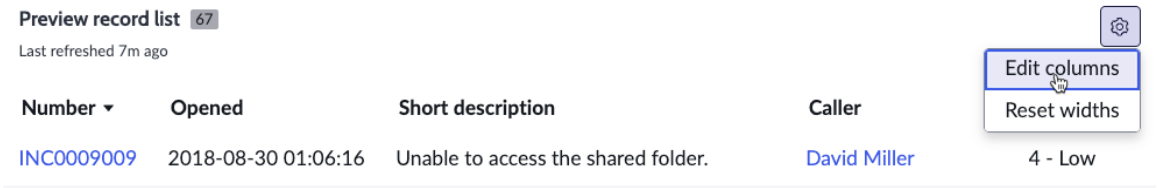
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:
   - 可視化のタイプによっては、複数のデータソースを選択できる場合があります。ただし、すべてのデータソースは同じタイプである必要があります。
   - JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[円グラフとドーナツグラフによるチャート化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - チャート化でインジケーター データを表す場合は、[円グラフとドーナツグラフによるチャート化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 円グラフとドーナツグラフによる可視化のデータオプション
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
表示設定	
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブになります。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
凡例の向き	レジスタの表示方法のオプション。 ○ 水平水平:凡例を水平に表示するオプション。 ○ 垂直:凡例を最大 5 行まで垂直に表示するオプション。 このプロパティは 、[凡例の位置] が [下] の場合にのみ適用されます。
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例のコンテンツは、最大 2 行ではなく、スクロールせずに凡例を収めるために必要なだけスペースを取ります。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	in Next Experience」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

チャートのインタラクション

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ [フィルターとして適用] では、ダッシュボード上のすべてのデータ可視化が、選択したセグメントの値でフィルタリングされます (該当する場合)。 **注:** [フィルターとして適用] は、テーブルおよびインジケーターデータソースでのみ使用できます。[グループ] フィールドが期間フィールドの場合は機能しません。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
   次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

円グラフとドーナツグラフによるチャート化のテーブルデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフによるチャート化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に変数または質問フィールドのいずれかでグループ化するオプションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでデータをグループ化またはスタックすることはできません。 • 日付や整数などの連続した値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、その他のグループに集計されます。その集計は、[その他の表示] オプションで表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data_max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定されていて、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計が [その他] グループとして表示されます。
値が 0 の要素を非表示	オンに切り替えると、行やデータポイントなど、値が NULL または 0 の要素は表示されません。メトリクスが COUNT の場合、このコントロールは使用できません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
合計値を表示	全体的な合計値を表示するオプション。ドーナツに収まらない場合、幅/高さの設定、ページのサイズ変更、または同様の問題により、値は非表示のままになります。合計値をクリックすると、インジケーターの貢献テーブルレコードまたは KPI 詳細のリストが開きます。
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

円グラフとドーナツグラフによるチャート化のインジケーターデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフによるチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含め、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
追加の設定	
合計値を表示	全体的な合計値を表示するオプション。ドーナツに収まらない場合、幅/高さの設定、ページのサイズ変更、または同様の問題により、値は非表示のままになります。合計値をクリックすると、インジケーターの貢献テーブルレコードまたは KPI 詳細のリストが開きます。
測定基準ラベルを表示	メトリクスラベルを表示するオプション。ドーナツグラフでは、ドーナツに収まらない場合、値は表示されません。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 円グラフとドーナツグラフによる可視化のデータオプション

円グラフまたはドーナツグラフによるチャート化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

重要:
円グラフとドーナツグラフによる可視化は、イベントデータにのみ適しており、ユーザーやセッションには適していません。グループ化する値があるのはイベントのみです。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナーでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 **注:** イベントメトリクスでのみ使用可能です。その場合は必須です。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してくだ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	さい。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

円グラフの可視化の例

円グラフデータの可視化では、円形の形状を使用して、さまざまなカテゴリまたはグループの比率または割合を示します。円の各部分 (または「スライス」) は異なるカテゴリまたはグループを表し、各スライスのサイズは、それが表すグループまたはカテゴリのサイズに比例します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

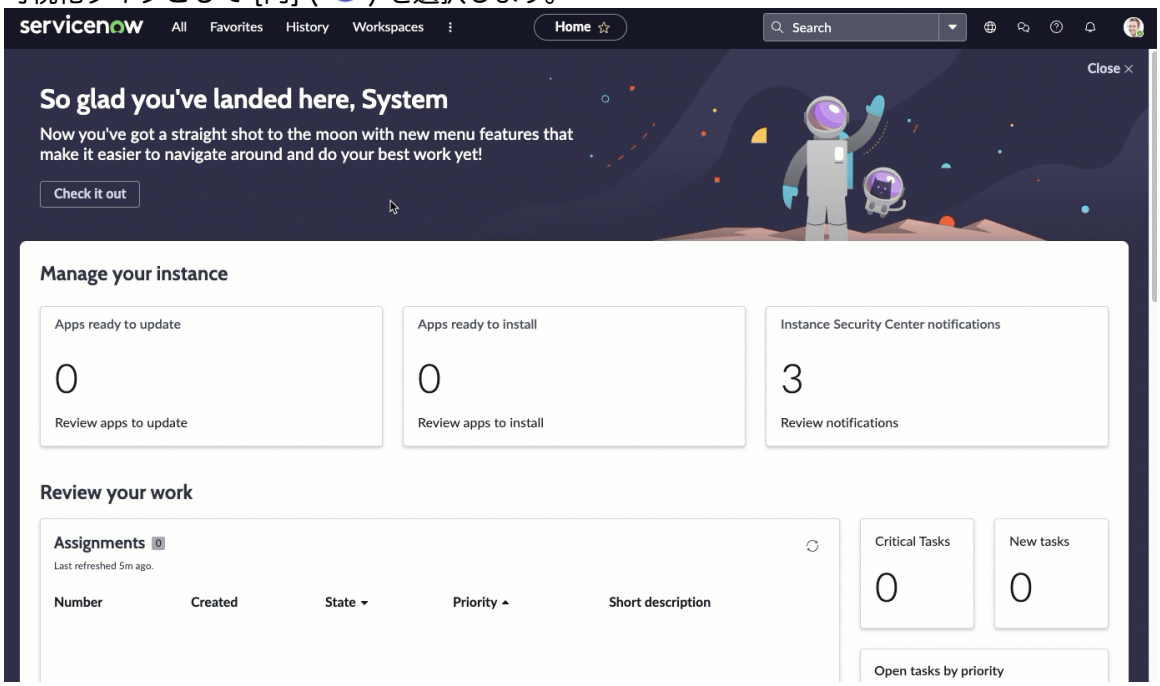
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
この可視化タイプを使用して、予算内の経費の配分やアサイン先グループ全体でのインシデントの配分など、全体を構成する部分の割合を表示します。

手順

1. 最初の手順に従って で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 可視化タイプとして [円] ( ) を選択します。

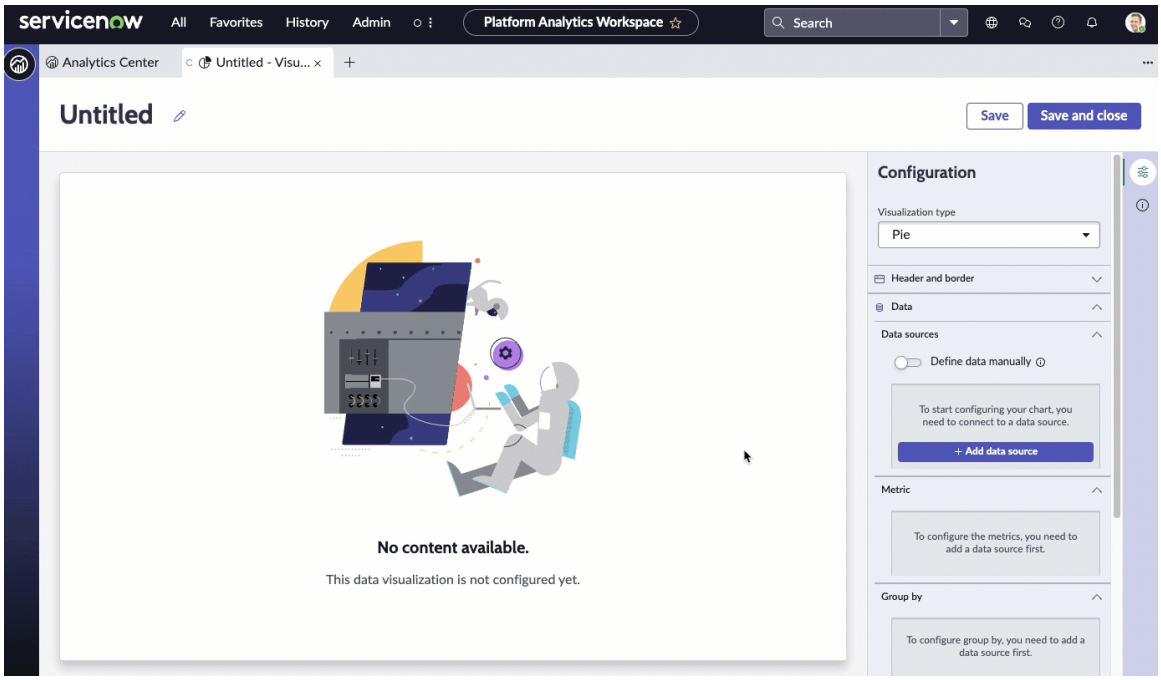


2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. [このソースを追加] を選択します。

   選択したデータの現在の値を含む円グラフの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。可視化がアクティブなインシデントを表しているという情報のみが表示されているため、Active=True と Active=False の 2 つの楔形のみが表示されます。ステップ 4 で優先度とアサイン先グループを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [**Show header**] を選択し、チャートタイトルに 「Open incidents - Assignment Group」と入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します: アサイン先グループ別のすべての優先度のオープンインシデント。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートのタイトルを 「円グラフ - オープンインシデント」 (Pie - Open incidents) にします。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] を追加して、グラフ内の情報を区別します。
[Group by] で **[Active**] を選択し、グループ化を [Assignment group] に変更します。

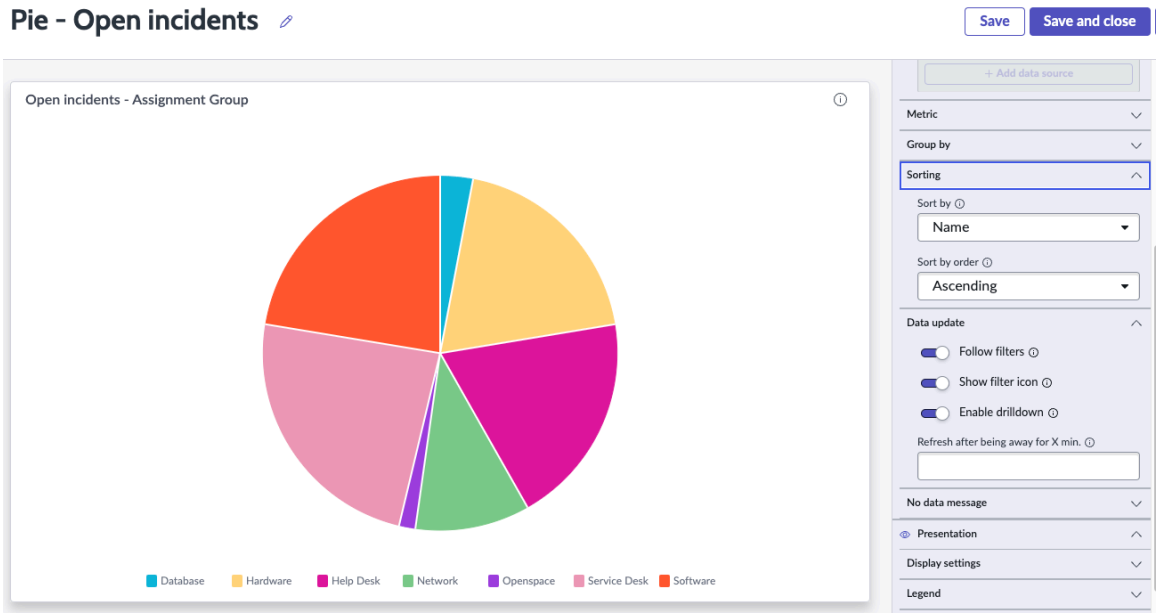
6. [ソート] で、ソートするフィールドとソートの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 名前でソートすることを選択します。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
セグメントは、アサイン先グループ名で [データベース]、[ハードウェア] などで始まる順序で並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. 円グラフの部分が表す内容の表示方法を選択します。

- [凡例を表示] は、可視化の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、凡例を配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースに余裕がある場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースがもっとある場合は、上または下に配置します。
- データラベルを表示 は、可視化のセグメントの横にラベルと値の情報を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [凡例を表示] を選択して、凡例オプションを有効にします。

b. [凡例値を表示] を選択します。
このオプションは、メトリクスに関連付けられた番号を加算します。この場合、ネットワークインシデントの数が ネットワーク アサイン先グループに割り当てられているインシデントに 7 が追加されます。

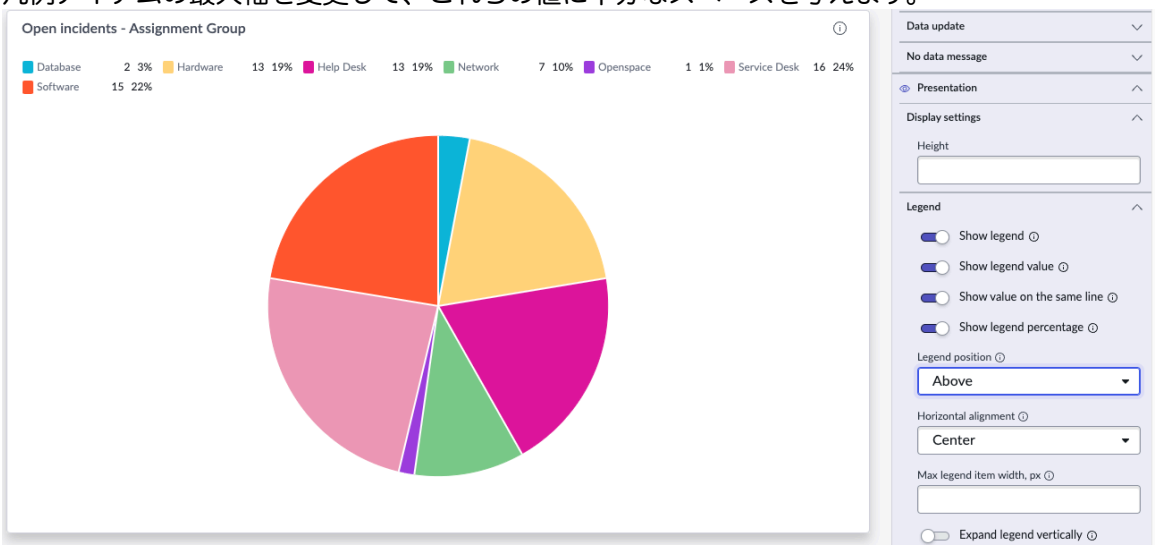
c. アサイン先グループ名の値を保持するには、[同じ行に値を表示] を選択します。

d. [凡例のパーセンテージを表示] を選択すると、値に関する詳細情報が表示されます。

e. 視覚化の上の凡例をどこに配置するかを試してください。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

f. [中央 水平配置] を選択します。
凡例を可視化の右または左に配置した場合、水平配置は使用できません。開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語では、開始と終了は右と左です)。

g. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に十分なスペースを与えます。



9. [凡例の表示] をクリアし、[データ ラベルの表示] を選択します。

a. データラベルタイプを選択します。
[値] を選択してラベルの横に数値を表示するか、[パーセント] を選択して値が表す割合を表示するか、[値とパーセント] を選択して両方を表示できます。

b. Max label size を 50 に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。[切り捨て] タイプでは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

c. [ラベルを折り返す] オプションをオフにします。
[切り捨て] タイプを変更すると、[終了] によって長いラベルの末尾が 3 つのドットに置き換えられることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換えられます。また、中央を選択しても同じことが起こります。

10. ビジュアル化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (例:青、明から暗)。
- 固定要素 では、ハードウェアインシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果

1 つの値でグループ化された円グラフの可視化が作成されました。可視化のラベル、凡例、および色も構成しました。

ドーナツグラフによる可視化の例

ドーナツによる可視化では、中空の円形を使用して、さまざまなカテゴリまたはグループの比率または割合を表示します。半ドーナツ可視化は、完全な円の代わりに半円を使用してドーナツと同じ働きをします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

シンプルでわかりやすい形式でサブカテゴリまたは追加のデータセットを比較する場合は、この可視化タイプを使用します。

手順

1. 最初の手順に従って で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナー:

a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.

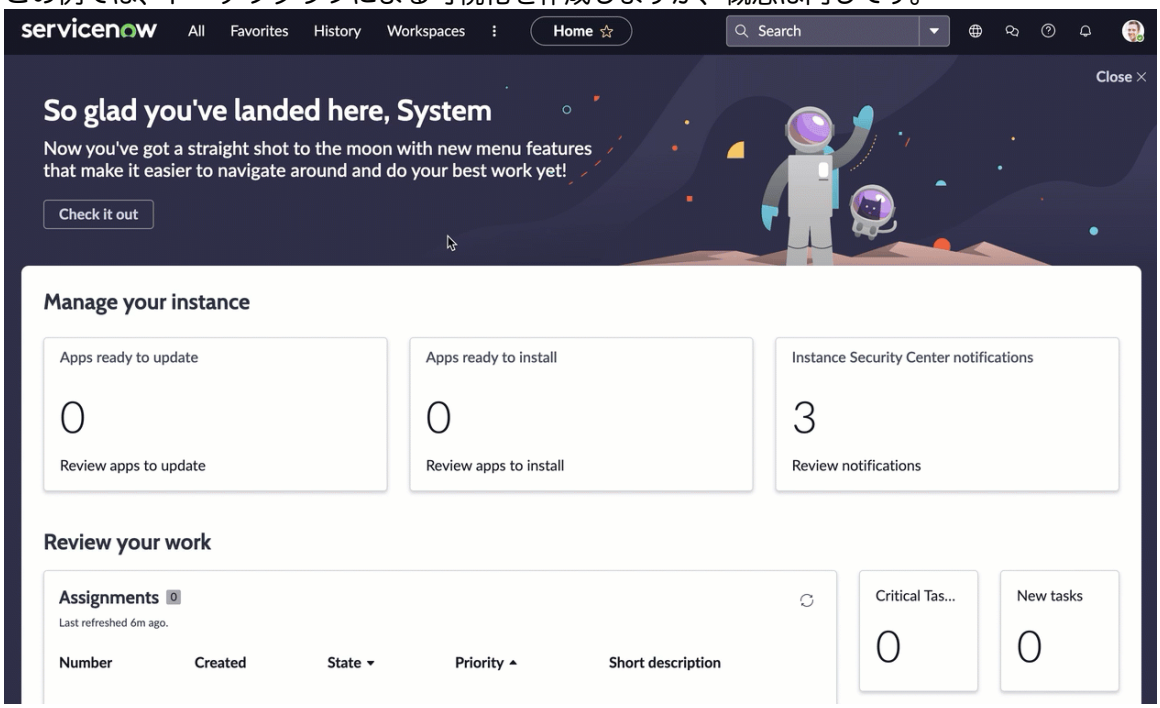
b. [新規] を選択します。

c. ドーナツグラフ ( ) または半ドーナツグラフ (の可視化タイプのアイコン) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、ドーナツグラフによる可視化を作成しますが、概念は同じです。



2. とりあえず、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。

a. [データソースを追加] を選択します。

b. インシデント [incident] テーブルを選択します。

c. この可視化ではオープンインシデントが表示されるため、[フィルター] セクションに Incidents.Open 条件を追加しましょう。
このフィルターを選択すると、可視化にはアクティブなインシデントの数のみが表示されます。

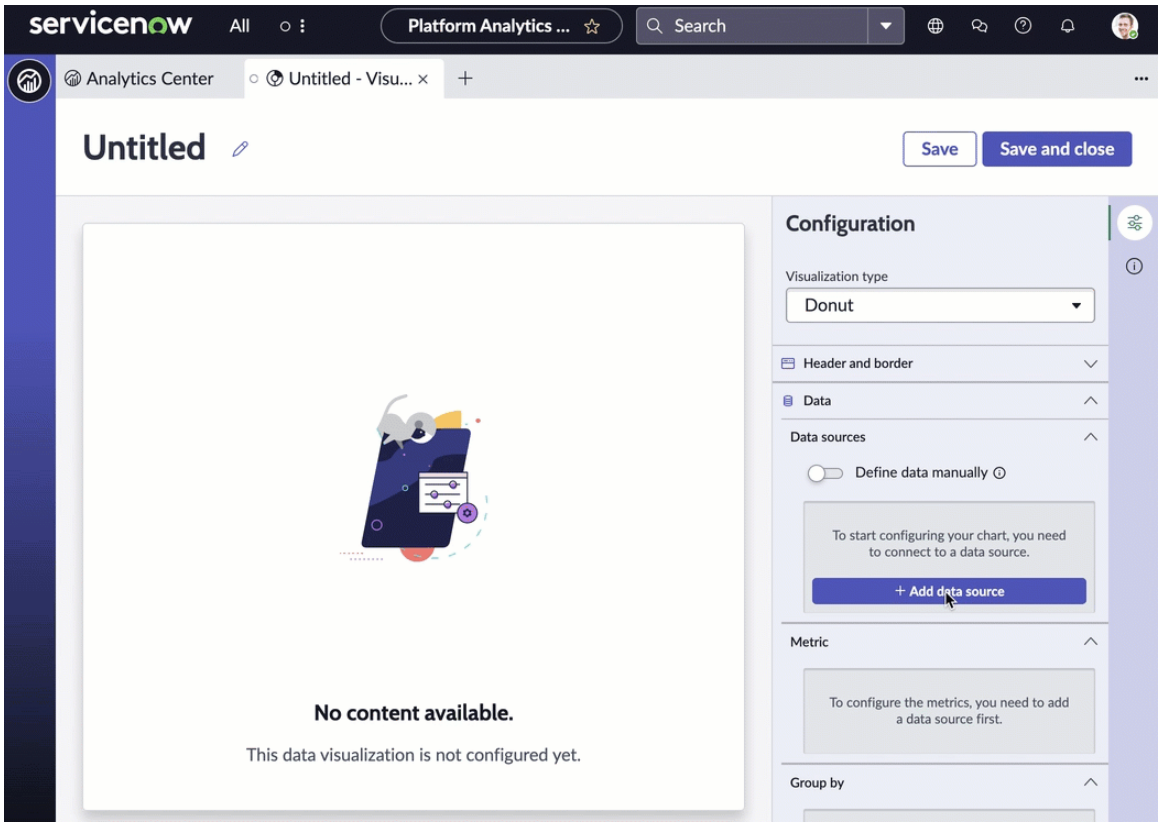
d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。

e. [このソースを追加] を選択します。

選択したデータの現在の値を含む円グラフの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。可視化がアクティブなインシデントを表しているという情報のみが表示されているため、Active=True と Active=False の 2 つの楔形のみが表示されます。ステップ 4 で優先度とアサイン先グループを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

b. [**Show header**] を選択し、チャートタイトルに「 Open incidents - Priority」（オープン中のインシデント - 優先度) を入力します。
[ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

c. 可視化の説明を入力します。 すべての優先度のオープンインシデント。
説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

d. [保存] を選択し、レポートに「ドーナツ - オープンインシデント」という名前を付けます。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] を追加して、グラフ内の情報を区別します。
[Group by] で、[**Priority]** を選択します。

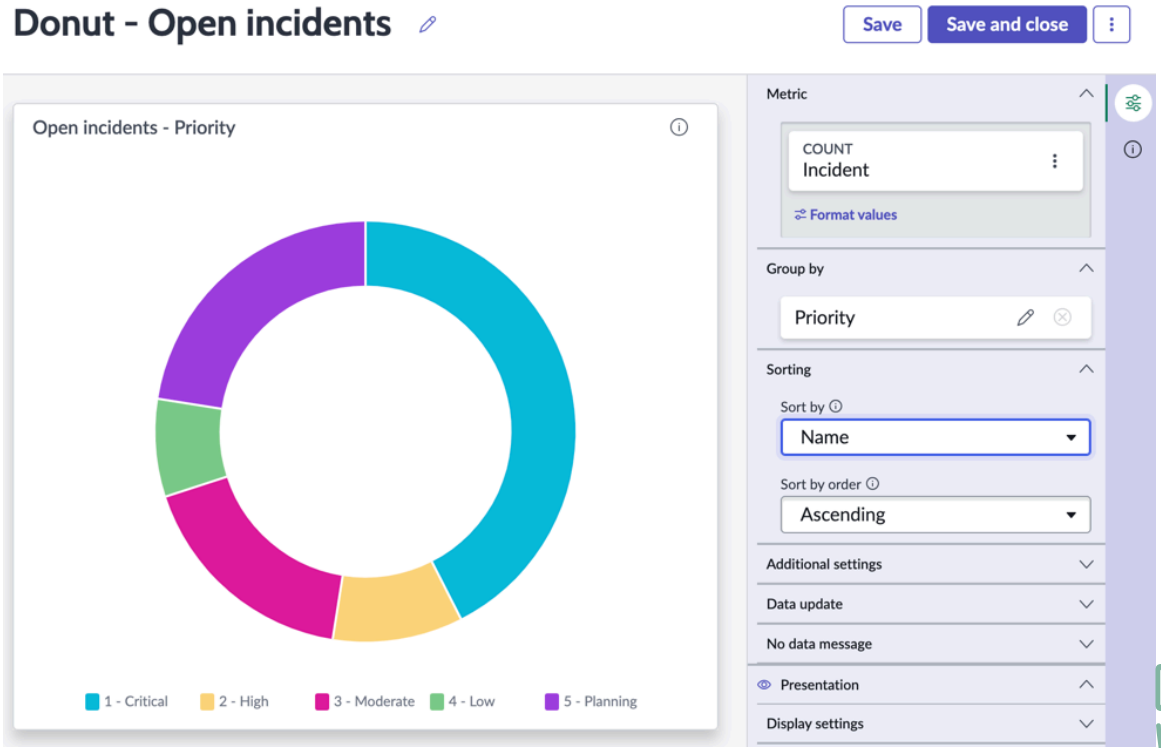
6. [ソート] で、ソートするフィールドとソートの順序を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 名前でソートすることを選択します。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
セグメントは、優先度順に、1 - 重大、2 - 高の順に並べられます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. ドーナツの各セクションの説明を表示する方法を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [凡例を表示] は、可視化の各値の色分けの例を示しています。凡例を表示するかどうか、凡例を配置する場所、表示する量を選択できます。理想的な配置は、ダッシュボード上のコンテナのサイズによって異なります。水平方向のスペースに余裕がある場合は、凡例を左または右に配置します。垂直方向のスペースがもっとある場合は、上または下に配置します。
- データラベルを表示 は、可視化のセグメントの横にラベルと値の情報を追加します。

a. [凡例を表示] を選択して、凡例オプションを有効にします。

b. [凡例値を表示] を選択します。
このオプションは、メトリクスに関連付けられた番号を加算します。この場合、優先度の高いインシデントの数が多いため、優先度の高いインシデントに 4 が加算されます。

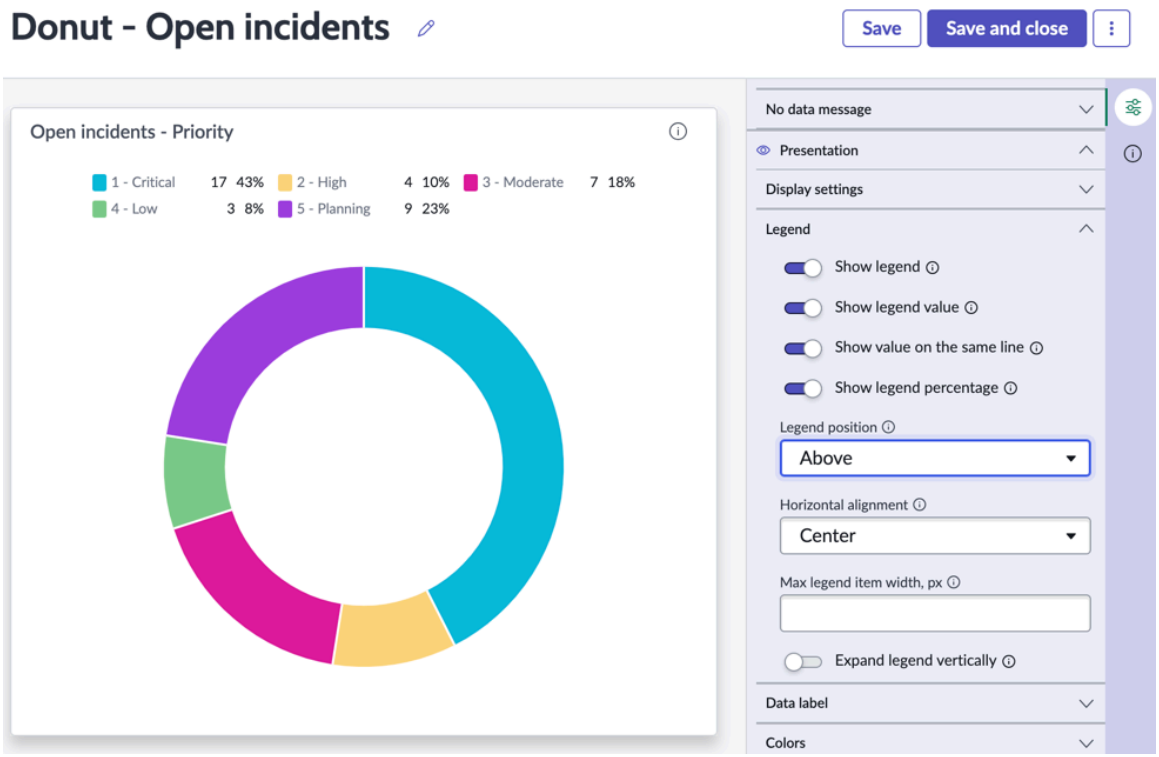
c. アサイン先グループ名の値を保持するには、[同じ行に値を表示] を選択します。

d. [凡例のパーセンテージを表示] を選択すると、値に関する詳細情報が表示されます。

e. 視覚化の上の凡例をどこに配置するかを試してください。
凡例は、可視化の上、下、または右または左に配置することを選択できます。

f. [中央 水平配置] を選択します。
凡例を可視化の右または左に配置した場合、水平配置は使用できません。開始と終了 凡例を可視化の左または右に移動します。(右から左に読む言語では、開始と終了は右と左です)。

g. 凡例アイテムの最大幅を変更して、これらの値に十分なスペースを与えます。



9. [凡例の表示] をクリアし、[データ ラベルの表示] を選択します。

a. データラベルタイプを選択します。
[値] を選択してラベルの横に数値を表示するか、[パーセント] を選択して値が表す割合を表示するか、[値とパーセント] を選択して両方を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. Max label size を `50` に変更します。
ラベルは追加の行に折り返されます。[切り捨て] タイプでは、ラベルが折り返されるため、違いはありません。

c. [ラベルを折り返す] オプションをオフにします。
[切り捨て] タイプを変更すると、[終了] によって長いラベルの末尾が 3 つのドットに置き換えられることがわかります。[開始] を選択すると、長いラベルの最初の部分が 3 つのドットに置き換えられます。また、中央を選択しても同じことが起こります。

10. ビジュアル化の [デフォルトの 色タイプ] を選択します。

- デフォルトでは 、UX テーマに関連付けられた色が適用されます。
- カラーパレット は、同じ色の色相を使用します (例:青、明から暗)。
- 固定要素 では、ハードウェアインシデントなどの各要素に同じ色を指定します。固定要素の色を使用するすべてのデータ可視化では、同じ要素が同じ色で表示されます。

タスクの結果
1 つの値でグループ化されたドーナツ可視化が作成されました。可視化のラベル、凡例、および色も構成しました。

次のタスク
半ドーナツ可視化を作成します。

- [その他のアクション] ボタン ( ) を選択し、[複製] を選択します。
- 新しい可視化に「 `半ドーナツ - オープンインシデント` 」という名前を付け、 [複製] を選択します。
- [視覚化の種類] を [半ドーナツ] に変更し、 [保存] を選択します。

半ドーナツの設定はすべてドーナツと同じですが、完全な円ではなく半円になります。

でのパレート図棒グラフによる可視化の作成 可視化デザイナー

パレート図の棒グラフによる可視化を使用して、大規模なディメンションセットで最も重要なディメンションを特定します。パレート図法の可視化列には、データが降順で表示されます。線は累積パーセンテージを示します。

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードでの パレート図の棒グラフによる可視化 の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト. このサイトでは、 UI ビルダーのパレート図バーデータ可視化コンポーネントについて説明します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.

2. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. パレート図の棒グラフによる可視化 ( ) の可視化タイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

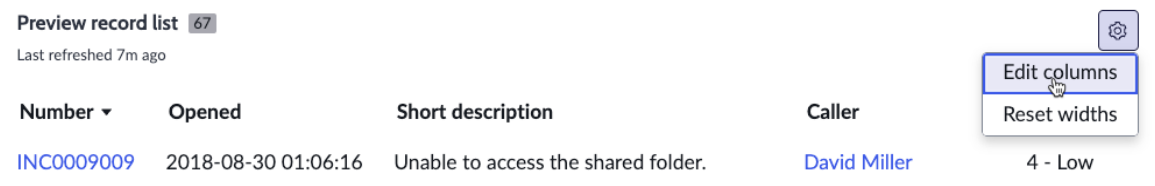
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択でき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

注:

- 可視化のタイプによっては、複数のデータソースを選択できる場合があります。ただし、すべてのデータソースは同じタイプである必要があります。
- JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。
   - 可視化がテーブルデータを表す場合は、[パレート図バーによるチャート化のテーブルデータオプション] に移動します。
   - チャート化でインジケーター データを表す場合は、[パレート図バーによるチャート化のインジケーターデータオプション] に移動します。
   - 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パレート図バーによる可視化の場合] に移動します。
7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

   [表示設定] で、データテーブルを表示できます。このテーブルには、スクリーンリーダーアクセスを容易にするためのグラフとチャートデータが表示されます。また、データ値にカーソルを合わせると、ツールヒントがすべてのデータ値で開くか、選択したデータ値の詳細のみが表示されるかを選択することもできます。

X 軸のオプション

フィールド [プロパティ]	説明
軸を非表示	棒メートル法の Y 軸とパレート図の Y 軸の両方を非表示にします。
軸スタイル	X 軸のスタイル。 ○ クリーン `クリーン`:X 軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし、 `目盛りなし`:X軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 `のデフォルト`:X 軸に線と目盛りを追加します。 **注:** 縦棒グラフの [グリッドを表示] が true の場合にのみ使用できます。
軸タイトル (X 軸)	可視化の横軸に表示するタイトル。
ラベルを折り返す	長いラベルを横軸で折り返します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	横軸の最大ラベルサイズ (ピクセル単位)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Y 軸のオプション

フィールド [プロパティ]	説明
軸を非表示	棒メートル法の Y 軸とパレート図の Y 軸の両方を非表示にします。
軸タイトル (Y 軸)	棒軸にのみ影響し、パレート図軸には影響しません。
グリッドを表示	チャートにグリッド線を追加します。このオプションは Y 軸にのみ適用されます。
軸スタイル	Y 軸のスタイル。 ○ クリーン `クリーン`:Y軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし、 `目盛りなし`:Y軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 `のデフォルト`:Y 軸に線と目盛りを追加します。 **注:** 縦棒グラフの [グリッドを表示] が true の場合にのみ使用できます。

凡例のオプション

フィールド	説明
凡例を表示	凡例を表示するオプション。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左

データラベルオプション

フィールド	説明
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
データラベルの位置	データラベルの場所:棒の上部、中央、または下部。 **注:** [データラベルを表示] が true の場合にのみ使用できます。

カラーオプション

フィールド	説明
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリック当たりの色: [値の色を設定] フィールドで単色を選択します。そのフィールドを操作すると、アイコンのセットまたはリストから色を選択できるセレクターが開きます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	可視化に複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが表示されます。このオプションを使用すると、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データ可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
   次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

パレート図バーによるチャート化のテーブルデータオプション

パレート図の棒グラフによる可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。 注: パレート図の場合、一度に定義できるデータソースは 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。 注: 一度に 1 つの パレート図の棒グラフによる可視化 に対して定義できるメトリクスは 1 つだけです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • `ダウン ダウン` • 天井 CEILING • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に変数または質問フィールドのいずれかでグループ化するオプションがあります。パレート図で定義できる グループは 1 つだけです。[代替グループ化基準] は、パレート図による視覚化に対して定義できます。 複数のデータソースを含む垂直バー、水平バー、およびピボットレポートの場合:最初のソースを選択フィールドでグループ化すると、2 番目のソースを適用可能な選択フィールドでグループ化できます。 • [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでデータをグループ化またはスタックすることはできません。 • 日付や整数などの連続した値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、その他のグループに集計されます。その集

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	計は、[その他の表示] オプションで表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data_max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定されていて、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計が [その他] グループとして表示されます。
値が 0 の要素を非表示	オンに切り替えると、行やデータポイントなど、値が NULL または 0 の要素は表示されません。メトリクスが COUNT の場合、このコントロールは使用できません。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

パレート図バーによるチャート化のインジケーターデータオプション

パレート図の棒グラフによる可視化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナーでインジケーターまたはユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。 **注:** 一度に定義できるデータソースは 1 つだけです。
メトリクス	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。 **注:** 一度に 1 つの パレート図の棒グラフによる可視化 に対して定義できるメトリクスは 1 つだけです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7 日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含め、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	
日付範囲を適用	データの可視化に日付範囲フィルターを適用するオプション。フィルターは、フィルターコンポーネントから取得することも、データの可視化で手動で構成することもできます。
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パレート図バーによる可視化の場合

パレート図の棒グラフによる可視化のユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

重要:
パレート図による可視化はイベントデータにのみ適しており、ユーザーやセッションには適していません。グループ化する値があるのはイベントのみです。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナーでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。 **注:** パレート図に対して定義できるデータソースは一度に 1 つだけです。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 一度に 1 つの パレート図の棒グラフによる可視化 に対して定義できるメトリクスは 1 つだけです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • `ダウン ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 **注:** イベントメトリクスにのみ適用されます。その場合は必須になります。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	
選択した期間のデータを以下として表示	最新スコア、合計、平均など、選択した期間のスコアを表示する方法を示すインジケーターアグリゲーションロジック。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

でピボットテーブルの可視化を作成 可視化デザイナー

ピボットテーブルの可視化を作成して、大きなデータセットを 1 つのテーブルで複数のディメンションに分割して要約します。セルには、各行と列の値の組み合わせが表示され、小計を表示することもできます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでのピボット ビジュアリゼーションの使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのピボットデータ可視化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 可視化タイプ [ピボットテーブル] (ピボット) を選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

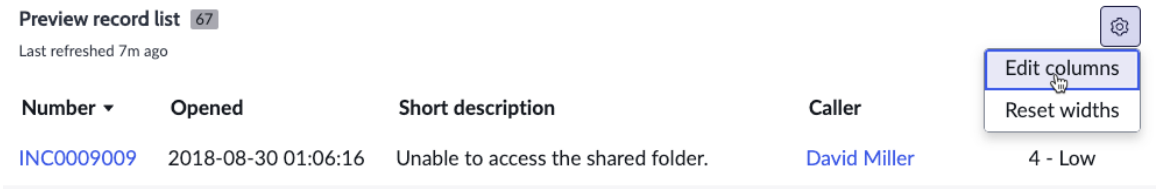
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。



   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。インジケーターをデータソースとして選択した場合、ブレークダウンと、結果をフィルタリングするための 1 つまたは複数の要素を選択できます。ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:

   - 可視化のタイプによっては、複数のデータソースを選択できる場合があります。ただし、すべてのデータソースは同じタイプである必要があります。
   - JSON でデータソースを手動で追加することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 可視化がテーブルデータを表す場合は、[ピボットテーブルによるチャート化のテーブルデータオプション] に移動します。
- チャート化でインジケーター データを表す場合は、[ピボットテーブルによるチャート化のインジケーターデータオプション] に移動します。
- 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ピボットテーブルによる可視化のデータオプション] に移動します。

7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定	
行ヘッダーを固定	ユーザーが可視化内の別の領域にスクロールするときに、ヘッダーを表示したままにできるようにします。
行フッターを固定	ユーザーがビジュアル化内の別の領域にスクロールするときに、フッターを表示したままにできるようにします。
最初の列を固定	スクロール中に最初の列を表示したままにします。
行の代替色を表示	代替行の背景色を切り替えて、可視化を読みやすくします。
列の代替色を表示	代替列の背景色を切り替えて、可視化を読みやすくします。
行の線を表示	行を区切る境界線を表示します。
列の線を表示	列を区切る境界線を表示します。
テーブルサイズの設定	
最初の列を切り捨てる [truncateFirstColumn]	true の場合、最初の列の幅を制限します。この幅を超える最初の列の内容は切り捨てられます。最初の列のヘッダーは切り捨てられません。この幅制限を [最初の列の最大幅] で **px** 単位で指定します。
最初の列の最大幅 (px)	最初の列の最大幅。これを超えると、その内容が切り捨てられます。この最大幅を最初の列ヘッダーの幅より小さくすることはできません。幅は切り捨てられることはありません。ヘッダー幅より小さい値は無視されます。 [最初の列を切り捨て] がアクティブな場合にのみ有効になります。デフォルト値は 200px です。
列ヘッダーを折り返す	ヘッダーテキストをコンテンツの幅に一致する行に分割します。最小制限は 100px です。最初の列には適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	列ヘッダーの折り返しと切り捨ての両方を行うことはできません。
列ヘッダーを切り捨てる	ヘッダーテキストをコンテンツ幅に一致する行に切り捨てます。最小制限は 100px です。最初の列には適用されません。 列ヘッダーの折り返しと切り捨ての両方を行うことはできません。
色	
色タイプの設定	○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ 単色/メトリック当たりの色: [値の色を設定] フィールドで単色を選択します。そのフィールドを操作すると、アイコンのセットまたはリストから色を選択できるセレクターが開きます。色を検索することもできます。検索値を入力すると、その検索値でフィルタリングされた色のリストがセレクターに表示されます。 可視化に複数のメトリクスがある場合は、代わりに [メトリクスごとの色] オプションが表示されます。このオプションを使用すると、メトリクスごとに 1 つの色を選択できます。 または、動的な色を定義するルールを追加することもできます。詳細については、「データ可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。 **注:** プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

Example: 複数のデータソースを含むピボットテーブル

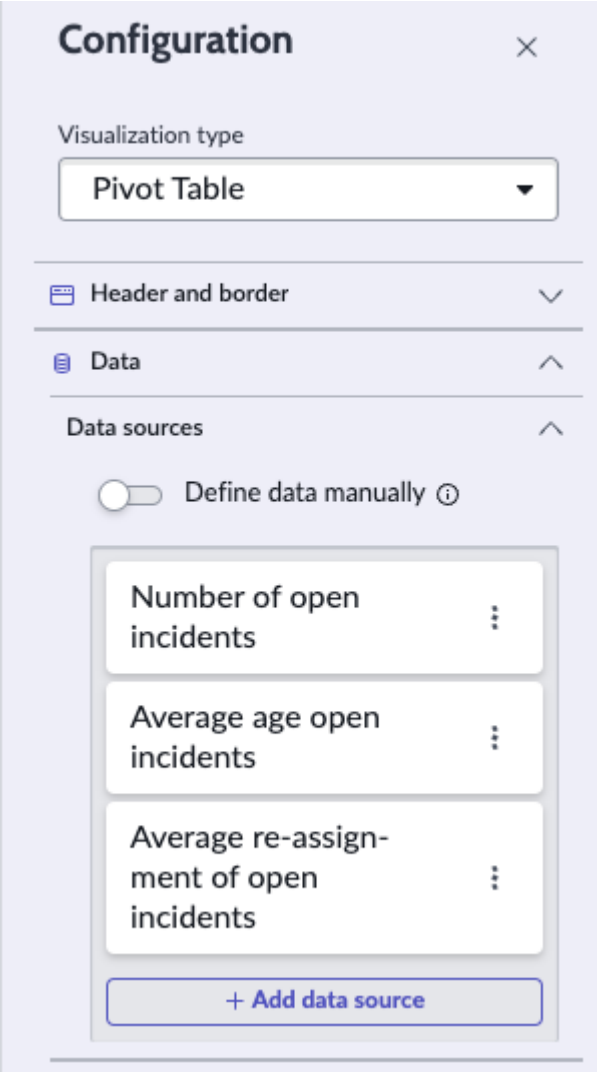
次の情報をアサイン先グループごとに分割して表示するケースを考えてみましょう。

- アサインされたオープンインシデントの数
- アサインされたオープンインシデントの平均経過時間
- インシデントが再アサインされた平均回数

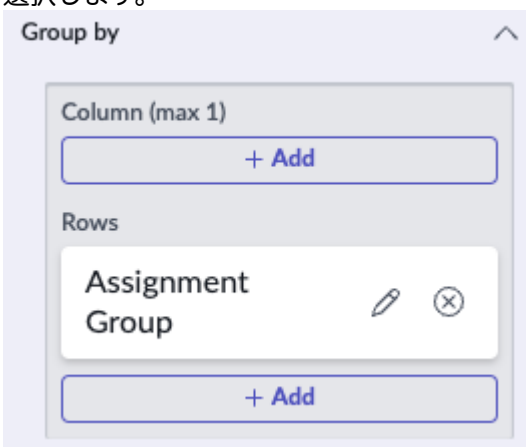
この情報は単一のピボットテーブルで表示できます。各情報セットは、異なるデータソースから取得されます。この情報を使用して、3 つのテーブルまたは 3 つの パフォーマンスアナリティクス インジケーターを見つける必要があります。異なるタイプのデータ ソース を混在させることはできません。幸い、インスタンスに 3 つの適切なインジケーターが既に定義されています。それらをピボットテーブルのデータソースとして選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



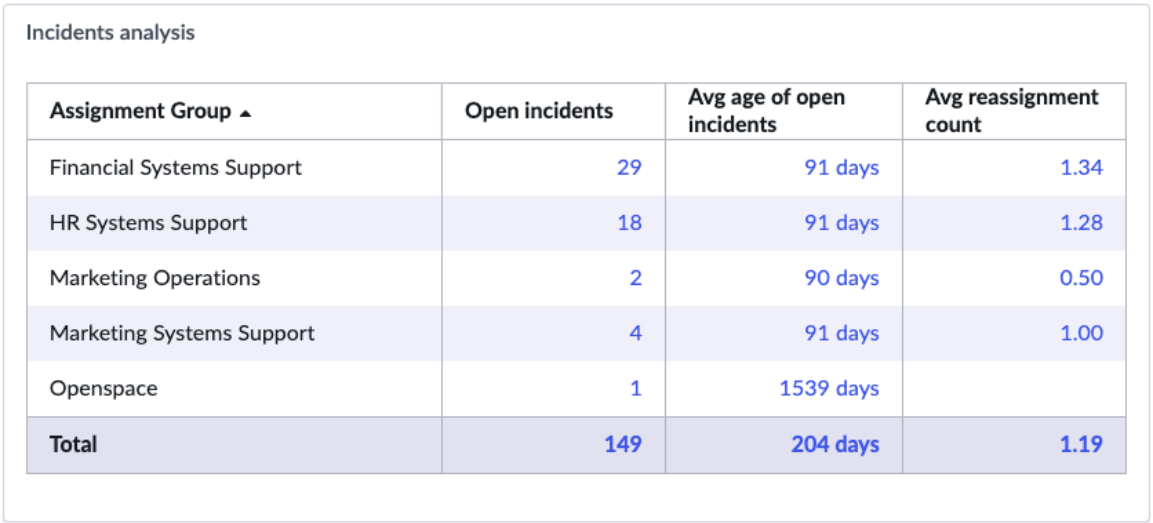
これらのインジケーター スコアをアサイン先グループ別にブレークダウンして表示したいと考えています。したがって、[グループ] で [アサイン先グループ] を選択します。3 つのデータソースは 3 つの列として表示されるため、[列] フィールドをスキップして、行として [アサイン先グループ] を選択します。



これで完了です。データの可視化を保存し、ダッシュボードで使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。


Incidents analysis

Assignment Group ▲	Open incidents	Avg age of open incidents	Avg reassignment count
Financial Systems Support	29	91 days	1.34
HR Systems Support	18	91 days	1.28
Marketing Operations	2	90 days	0.50
Marketing Systems Support	4	91 days	1.00
Openspace	1	1539 days	
Total	**149**	**204 days**	**1.19**

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

ピボットテーブルによるチャート化のテーブルデータオプション

ピボットテーブルによる可視化のテーブルデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でピボットテーブルの可視化を作成 可視化デザイナーでテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
列を選択	値がそれぞれ垂直列に表示されるフィールド。
グループの最大数	表示するグループの最大数を選択します。ソートによって決定されたこの数を超えるグループは、その他のグループに集計されます。その集計は、[その他の表示] オプションで表示できます。 デフォルトでは、50 を超えるグループを表示することはできません。admin ロールを持っている場合は、*par_viz.table_data_max_groups* システムプロパティでこの制限を変更できます。
その他の表示	[グループの最大数] が設定されていて、このオプションがオンになっている場合、最大数を超えるグループの集計が [その他] グループとして表示されます。
行	水平に値が表示されるテーブルフィールドの階層。
のフィールド <table>	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に変数または質問フィールドのいずれかでグループ化するオプションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでデータをグループ化またはスタックすることはできません。 • 日付や整数などの連続した値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
行の合計を表示	各行の合計を含む最後の列を表示するオプション
列の合計を表示	各列の合計を含む最後の行を表示するオプション
親行の合計を表示	行に複数のフィールドの階層がある場合、このオプションでは、階層の上位にあるフィールドの小計が表示されます。
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ピボットテーブルによるチャート化のインジケーターデータオプション

ピボットテーブルによるチャート化のインジケーターデータソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でピボットテーブルの可視化を作成 可視化デザイナーでインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ アップ • ダウン ダウン • 天井 CEILING • フロア フロア • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含め、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
グループの最大数	列に表示するブレークダウン要素の最大数。このプロパティは行には適用されません。
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。 **注:** • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] **(**定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ピボットテーブルによる可視化のデータオプション

ピボットテーブルビジュアル化の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを選択すると、次のデータ構成オプションを使用できます。

> **重要:**
> ピボットテーブルの可視化は、イベントデータにのみ適しており、ユーザーやセッションには適していません。グループ化する値があるのはイベントのみです。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	でピボットテーブルの可視化を作成 可視化デザイナーで、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースであるイベントアプリケーションを選択しました。
メトリクス	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
グループ	
列	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース内のイベントのプロパティ。 **注:** イベントメトリクスでのみ使用可能です。その場合は必須です。
行	水平に値が表示されるテーブルフィールドの階層。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
イベントプロパティ	列または行に対して選択するイベントのプロパティの選択。
行の合計を表示	各行の要素の合計値を表示します。
列の合計を表示	各列の下部に要素の合計値を表示します。
親行の合計を表示	行の階層の場合は、メトリクスのアグリゲーションに応じて、列ごとのすべての子行の合計を表示します。
追加の設定	
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	オンにすると、空 (NULL) 値がゼロ (0) として表示されます。デフォルトは true です。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ピボットの可視化の例

ピボットテーブルには、データセットの複数のディメンションまたは変数が表示されます。この可視化では、行と列の値の組み合わせごとに個別のセルが表示され、第 1 レベルの行ごとに列の小計が表示されます。集計情報は、チャートの左上に表示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

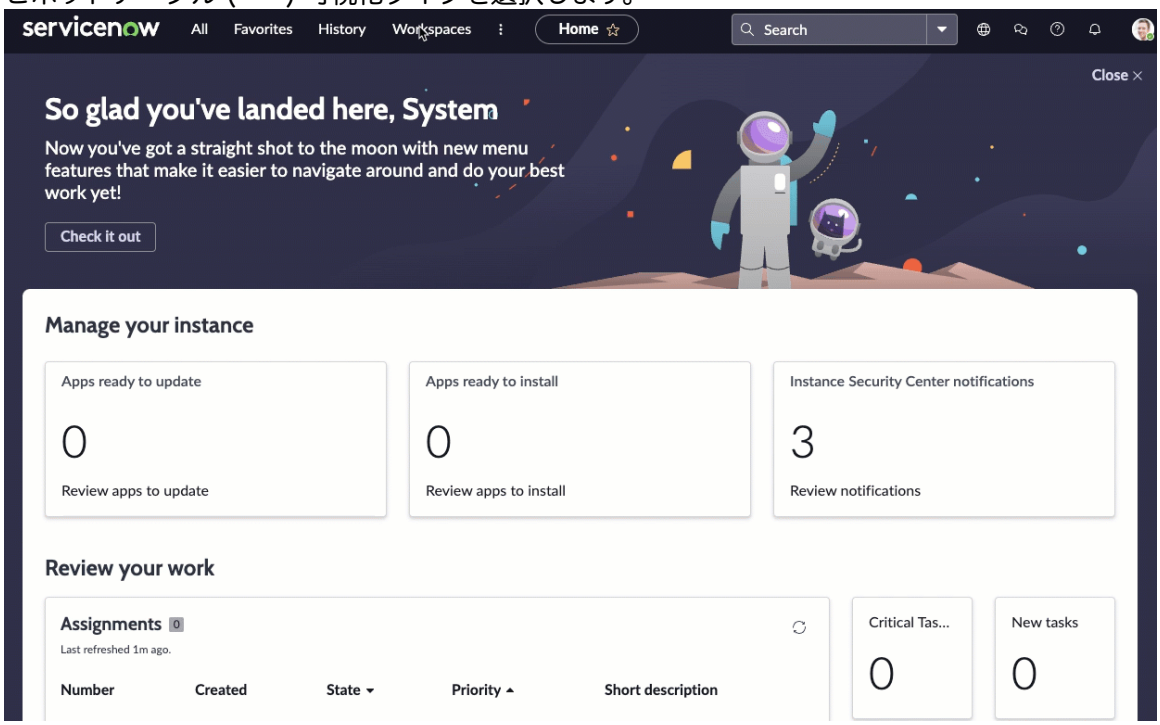
自動翻訳

ザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
この可視化タイプを使用して、単一のグラフに複数の変数を表示します。異なる変数間の関係を示すのに便利です。この例では、アサイン先グループ、優先度、および場所別にグループ化されたクローズ済みインシデントを確認します。

手順

1. でピボットテーブルの可視化を作成 可視化デザイナーの最初のステップに従います。
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. ピボットテーブル ( ) 可視化タイプを選択します。

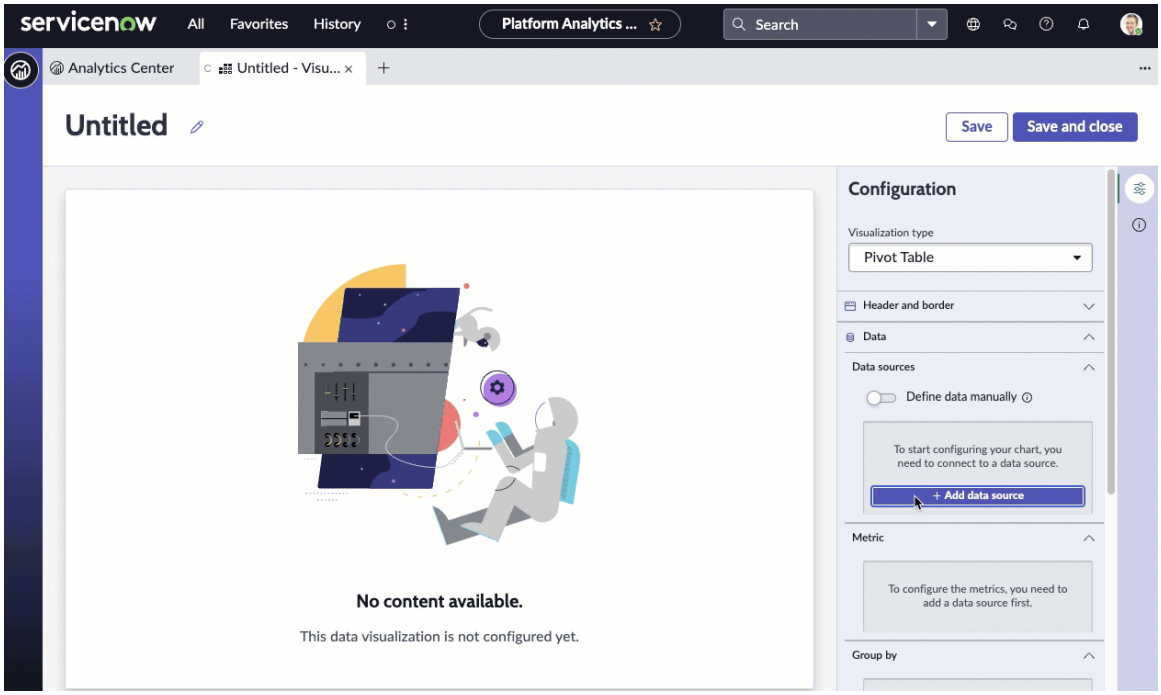


2. 現時点では、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動します。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. この可視化は完了したインシデントを示しているため、[フィルター] セクションに Incidents.Closed 条件を追加しましょう。
   このフィルターを選択すると、可視化には非アクティブなインシデントのみが表示されます。
   d. オプション: [実行] を選択して、可視化の基になるレコードをプレビューします。
   e. **[Add this source** (このソースを追加)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したデータの現在の値を含むピボットデータの可視化が 可視化デザイナーに表示されます。可視化がクローズ済みインシデントを表しているという情報のみが提供されるため、表示される行は 1 つだけです。次のステップで列と行を追加します。



3. 可視化を確認できたので、ユーザーのコンテキストを追加しましょう。

   a. [ヘッダーと境界線] セクションを展開します。

   b. [**Show header**] を選択し、チャートタイトルに [Completed incidents - Priority, Location and Assignment Group] を入力します。
   [ヘッダーを表示] を選択すると、タイトルと説明を追加できます。チャートのタイトルは、必ずしも可視化の名前と同じである必要はありません。可視化名により、 可視化デザイナー とリストで識別されます。チャートのタイトルが可視化内に表示されます。

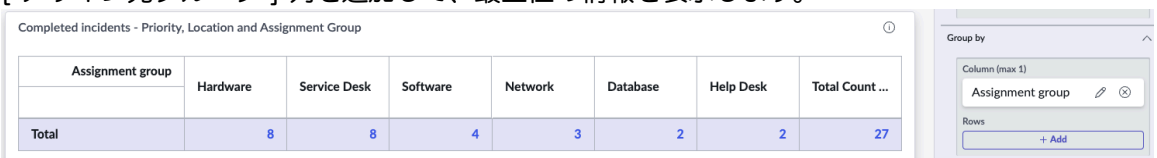
   c. 可視化の説明を入力します: 優先度と場所でグループ化されたすべてのアサイン先グループのクローズ済みインシデント。
   説明フィールドとタイトルフィールドは必須ではありませんが、この情報があると、ダッシュボードで可視化を理解しやすくなり、リストで識別しやすくなります。

   d. [**Save**] を選択し、レポートのタイトルを 「Pivot - Closed incidents」（ピボット - クローズしたインシデント) にします。

4. [メトリクス] セクションをスキップします。

5. [グループ] で、1 つの列と複数の行を追加して、複数の視点からデータを表示します。

   a. [アサイン先グループ] 列を追加して、最上位の情報を表示します。



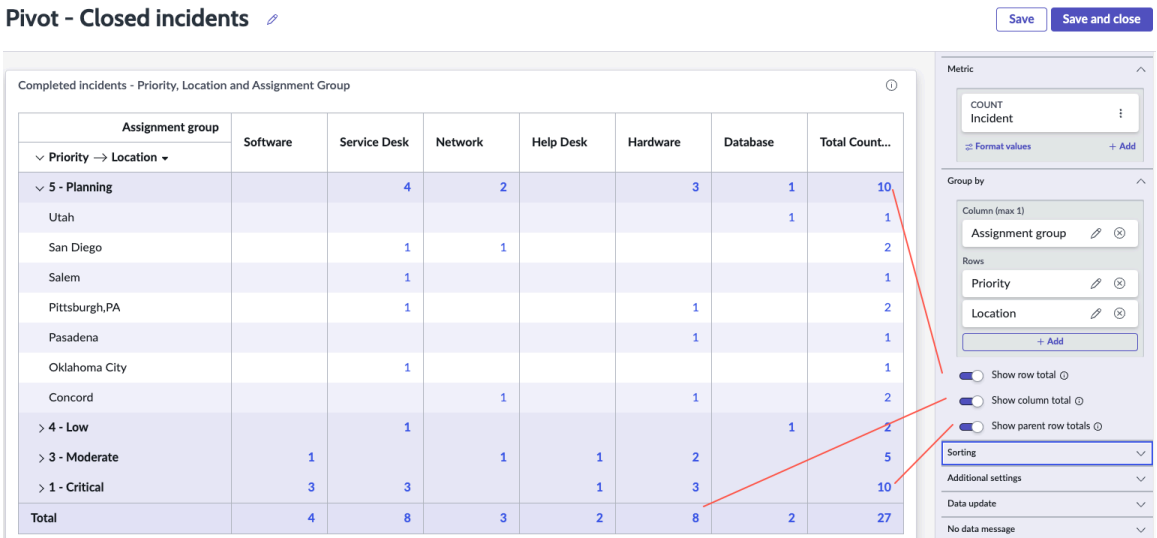
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [優先度] と **[**場所] の 2 つの行を追加します。

c. すべての合計を表示します。

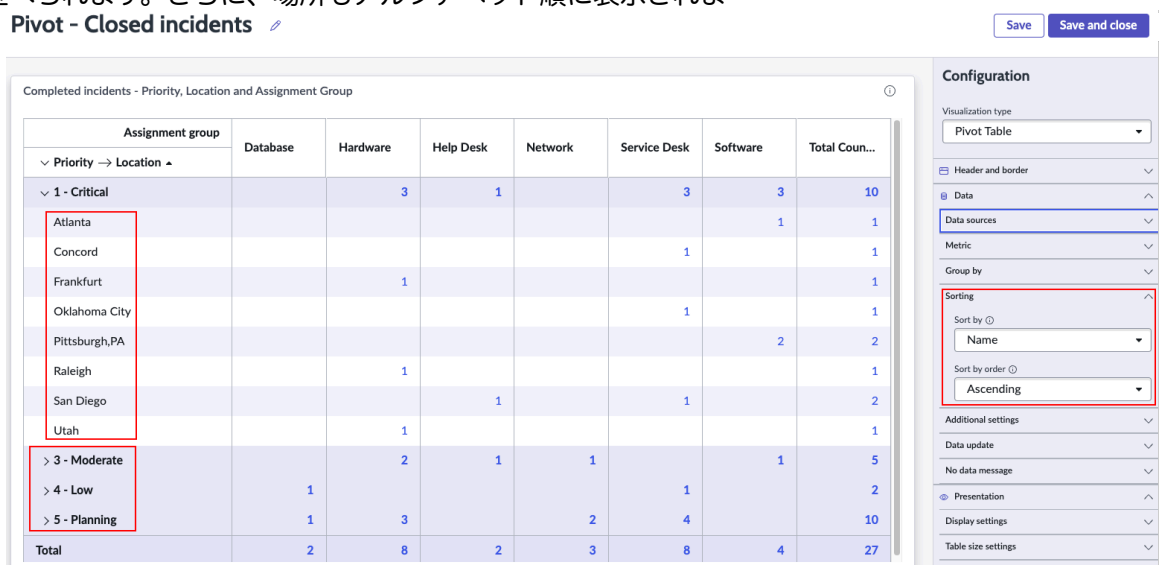
- [行の合計を表示] は、新しい列の各行の合計数を提供します。
- [列の合計を表示] は、新しい行の各列の合計を示します。
- [親行の合計を表示] には、その下の要素の各最上位行の合計が表示されます。たとえば、3 つの異なる場所でそれぞれ 1 つずつ、3 つの重要なハードウェアインシデントがあるとします。



6. [ソート] で、ソートするフィールドとソートの順序を選択します。

a. 名前でソートすることを選択します。
優先度名はそれぞれ数字で始まるため、1 - 重大、2 - 高、3 - 中という順に表示されます。

b. ソート順に [昇順] を選択します。
棒グラフは、一番上が 1 - 重大で、その後に 2 - 高、3 - 中の順に並べられます。さらに、場所もアルファベット順に表示されます。



7. [データの更新] で、対象者が可視化を操作する方法を構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [フィルターに従う] を選択します。
このオプションを使用すると、可視化は、同じテーブルに基づく、配置されているダッシュボードのインタラクティブフィルターに従うことができます。

b. [フィルターを表示] アイコンを選択して、可視化に適用されたフィルターの数を表示します。
たとえば、ダッシュボードフィルターによって可視化の値が制限されると、アイコンは、フィルターに一致するオープンインシデントの数が表示されていることを示します。その後で、どのフィルターが有効になっているかを確認できます。

c. [ドリルダウンを有効にする] を選択すると、閲覧者はチャート内のデータポイントを選択して関連情報に移動できるようになります。
一部の可視化は、関連付けられたデータのリストにのみドリルダウンします。通常、テーブルデータはアクセス制御リスト (ACL) によって制限され、閲覧者には関連するすべてのレコードが表示されない場合があります。

このコントロールは、[チャートのインタラクションを許可 **(Allow chart interaction)**] を反映しています。[チャートインタラクション] で、ドリルダウンの宛先を選択することもできます。

8. 表示設定で遊んでください。
このセクションの設定を使用すると、行と列の固定、行と列の線と網掛け、および最初の表示時のテーブルの展開または縮小により、テーブルを読みやすくすることができます。

9. 色の設定で遊んでください。
[色の種類の設定] から [単色] を選択して、背景色の設定と色ルールの構成を有効にします。

10. 可視化の色のルールを構成します。
この例ではクローズ済みインシデントを扱っていますが、オープンインシデントの場合は、値に基づいてスコアの色を変更する動的な色ルールを定義します。

a. [色ルール] で、[**+** ルールの追加] を選択します。

b. 最初の色ルールでは、[Operator (下降)] を選択し、[Value 6] (値 6) を入力して [Green] (緑) を選択し、[Apply] (適用) を選択します。

値は指定された数までですが、それは含まれません。

順序 100 を保持します。

c. より注意が必要な値を示すには、値を5 と 25 の間に [演算子] 、色とアイコンの色を [警告オレンジ]、順序を 50 にして 2 番目のルールを作成します。

d. 最も注意を払う必要がある値を表示するには、 演算子が 値より大きく、値が 25、色とアイコンの色が 赤、順序 が 25 の 3 番目のルールを作成します。

値が目的の値と一致しているかどうかを示す 3 つのルールを作成しました。

> **注:**
> 色のルールは個々の値にのみ適用され、指定された色と背景色を保持する列と行の合計には適用されません。

時系列の可視化を作成

経時的なデータの変化を表示します。さまざまな時系列グラフを使用して、傾向や個々の値など、データのさまざまな側面を強調します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて
時系列とは、時間の経過とともに連続的に取得された一連のメトリックを順序付けたものです。次のビジネスケースは、時系列の使用例の一部です。

- データの傾向、パターン、外れ値を特定する。
- 転換点 (ポリシーの変更がインジケーター スコアの変化につながったかどうかなど) を特定する。
- データソース間の関係を評価します。

時系列の可視化を選択するときは、データの傾向を強調するか、データの特定の変化を強調するかを検討します。また、1 つのデータソースを表示するのか、複数の関連データソースを比較するのかも検討します。

ダッシュボードでの時系列の視覚化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーの時系列データの視覚化コンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

時系列の視覚化の作成例については、「 時系列の可視化の例」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [時系列] セクションでいずれかのグラフタイプを選択します。
4. ヘッダーと境界線を設定します。ヘッダーと境界線のオプションは、すべてのデータソースで同じです。

ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
ヘッダーを表示	タイトルとアイコンを含む可視化ヘッダー。
ヘッダーセパレーターを表示	コンポーネントの残りの部分からヘッダーを分離する線を表示するオプション。
チャートタイトル	可視化のタイトル。
説明	エンドユーザーに表示される可視化の簡単な概要。
タイトルを折り返す	長いタイトルを 2 行目に折り返すオプション。false の場合、長いタイトルを切り捨てるための省略記号が表示されます。
ラベルを折り返す	長い要素ラベルを軸上で折り返す場合に選択します。
最大ラベルサイズ (ピクセル)	軸上の要素名の最大ラベルサイズを指定します。デフォルト = 100 px。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

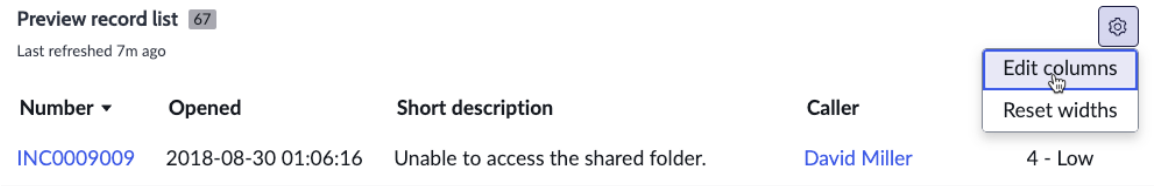
ヘッダーフィールドと境界線フィールド	説明
切り捨てタイプ	長いラベルを省略記号で切り捨てる場所を指定します。オプションは、[開始]、[中間]、および [終了] です。
境界線を表示	コンポーネントの周囲に線を表示するオプション。
ベア	データ可視化の周囲のパディングを削除して、ページ上の位置をよりコンパクトにするオプション。[境界線を表示] がオフになっている場合にのみ使用できます。

5. データソースを選択します。
データソースの一般的な説明については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

   - テーブル (ベースシステム で利用可能)。テーブルを選択した場合、条件でフィルタリングできます。

     構成されたレポートソースが [事前定義された条件] リストに表示されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

     カスタムフィルターの作成に役立つように、ビジュアル化に含まれるレコードのプレビューリストがあります。リストアクションで列として表示されるフィールドと列の幅を変更できます。

   - インジケーター (ベースシステム で利用可能)。ブレークダウンとブレークダウンの要素を選択してインジケーターをフィルタリングすることができます。

     ブレークダウンソースに要素フィルターが設定されている場合、その要素フィルターは要素フィールドで使用できます。ただし、データの可視化では、カウント、最小化、または最大化の集計を使用する自動インジケーターの要素フィルターのみがサポートされます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

   - メトリックベース (メトリックベース が有効になっている場合に利用可能)。メトリックベースデータソースを選択するときは、テーブルデータソースと同様に、条件と関連リスト条件を使用してそのデータソースのカスタムフィルターを作成できます。
   - ユーザーエクスペリエンスアナリティクス (必要なロールを持つユーザーは、User Experience PAR Integration アプリケーションで利用可能)。可視化タイプに応じて、このアプリケーションに含まれる最大 3 つの KPI から 1 つを選択します。詳細については、「データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

   注:
   - データソースは複数選択できますが、同じタイプである必要があります。
   - JSON でデータソースを手動で定義することもできます。ただし、この方法は専門家向けです。

6. データソースのオプションを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 可視化がテーブルデータを表す場合は、[時系列を可視化するためのテーブルデータオプション] に移動します。
- チャート化でインジケーター データを表す場合は、[時系列可視化のインジケーターデータオプション] に移動します。
- 可視化が ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表す場合は、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 時系列可視化のデータオプション] に移動します。
- 可視化が メトリックベース データを表す場合は、[メトリックベース 時系列可視化のデータオプション] に移動します。

7. [プレゼンテーション] で、表示と色の情報を入力します。

フィールド	説明
表示設定: [面グラフ] や [列] などのグラフの種類ごとに、表示設定のセットが異なります。「さまざまな時系列グラフの表示設定」を参照してください。	
Y 軸	
軸を非表示	第 1 軸を非表示にするオプション。
プライマリ軸のタイトル	可視化の縦軸に表示するタイトル。 このプロパティは 、[プライマリ軸を非表示] が false の場合にのみ適用されます。 複数の Y 軸がある場合は、プロパティ yAxis1Title、yAxis2Title などを表す追加の軸タイトルがあります。 メトリクスの [その他のオプション] メニューで、メトリクスの Y 軸スケールを追加します。
軸範囲 - 開始	第 1 軸の値の開始点。
軸範囲 - 終了	第 1 軸の値の終点。
グリッドを表示	第 1 軸に垂直な細い線のグリッドを表示し、値をその軸に合わせるのに役立ちます。
軸スタイル	第 1 軸のスタイル。 ○ クリーンクリーン:主軸に直線を追加します。 ○ 目盛りなし:目 盛りなし:主軸からすべてのマークを削除するオプション。 ○ 標準 のデフォルト:主軸に線と目盛りを追加します。
X 軸	
X 軸タイトル	可視化の横軸に表示するタイトル。
グリッドを表示	オンにすると、グリッド線がグラフに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
凡例	
凡例を表示	凡例を表示するオプション。400% ズームで自動的にアクティブになります。
凡例値を表示	カーソルを合わせたチャートの領域に対応する値を表示するオプション。値はツールヒントとしてチャートの凡例に表示されます。
凡例の位置	チャートに対する凡例の場所:上、下、右、または左
水平配置	凡例の要素の水平配置:開始、中央、または終了
凡例アイテムの最大幅 (ピクセル)	凡例のアイテムが切り捨てられるピクセル数。
凡例を垂直に展開	オンにすると、凡例のコンテンツは、最大 2 行ではなく、スクロールせずに凡例を収めるために必要なだけスペースを取ります。
データラベル	
データラベルを表示	各データポイントのスコアを表示するオプション。
色	
色タイプの設定	コンポーネントに適用するカラースキームのタイプ。次のオプションが含まれます。 ○ デフォルト：インスタンスに適用される UX テーマから取得される色または色のセット。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。 ○ カラーパレット：チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブル内の事前定義されたシステムパレットから選択するカラーパレットのリスト。グループ化されたデータまたは積み重ねデータの場合、色は最大値から最小値の順に適用されます。複数のデータソースの場合、パレットの色はデータソースの順番で適用されます。たとえば、パレットの最初の色は最初のデータソースに適用され、2 番目のパレットの色は 2 番目のソースに適用されます。同じカラーパレットを使用するすべての可視化は、表示するデータに関係なく、同じ色で表示されます。 ○ 固定要素の色：各要素のチャートの色テーブル [sys_report_chart_color] から特定の色

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を使用します。固定要素の色を使用するすべてのデータの可視化では、グローバルスコープの重要インシデントなどの同じ要素が同じ色で表示されます。 このオプションは、テーブルデータソースでのみ使用でき、複数のデータソースまたは測定基準が追加されておらず、[グループ] が定義されている場合にのみ使用できます。 **注:** 単色は、[グループ] が選択されていない場合にのみ使用できます。

8. [チャートのインタラクション] で、ビューアーが可視化上のチャートまたはチャートセグメントをクリックしたときに何が起こるかを設定します。

フィールド	説明
チャートのインタラクションを許可	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときにイベントが発生するようにします。
アクション	ユーザーがチャートまたはそのセグメントの 1 つをクリックしたときに発生するイベントを選択します。選択肢は、可視化のタイプとデータソースによって異なります。[チャートインタラクションを許可] がオンになっている場合にのみ適用されます。詳細については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。 ○ データビューに移動 :関連するセグメントまたはビジュアル化に関連するコア UI リストまたは KPI 詳細 でレコードビューを開きます。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースではサポートされていません。 ○ **[URL** に移動] を選択すると、指定した URL がインスタンス上または外部に表示されます。ツールヒント付きの可視化では、ツールヒントに表示するページ名を指定するオプションがあります。 ○ チャートにドリルダウン (可視化デザイナーのみ) 選択したデータでフィルタリングされた別のデータ可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのドリルダウンの最後のレベルは、常にコア UI リストです。ワークスペースの埋め込みリストではレコードが開きません。 チャートへのドリルダウンは 、テーブルデータソースのみをサポートしています。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

時系列可視化タイプのユースケース

時系列の視覚化では、データの傾向やデータの特定の変化を強調することができます。1 つのデータソースを表示することも、複数の関連するデータソースを比較することもできます。

時系列可視化タイプ

可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する	
線グラフ 	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによる可視化を使用して、データの傾向を強調します。 線グラフによる可視化は、時系列を表示するための選択肢 (デフォルト) として考えてください。使用する可視化が不明な場合は、線グラフを使用してください。
スプライン 	一連のデータポイントを適合曲線で結び、1 つ以上の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。この曲線は、個々のデータポイントの傾向を強調しています。スプライングラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
散布図 	X 軸の時間に対して、Y 軸の値の接続されていないポイントを表示します。通常は傾向ラインも表示されます。線でうまく接続できない広がりのあるデータで使用します。
データソース内のスコアの比較	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列可視化タイプ (続く)

可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する	
列 	比例する垂直列として表示して、値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。いずれかを使用して、1 つのデータソースの変化を可視化するか、データソースを比較します。データソースを縦棒グラフの可視化と比較するには、データソースを棒グラフの可視化に追加するか、複数の縦棒グラフの可視化をダッシュボードに並べて配置します。
ステップ 	個別の時点間でのデータソースの変化を強調します。特に線グラフによる可視化ではデータが不明瞭になる場合に、小さな増分変化を表示するために使用します。
データソース間のスコアまたは傾向の比較	
エリア 	線グラフによる可視化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のデータソースで使用すると、各データソースが全体に与える相対的な貢献度を強調できます。

時系列を可視化するためのテーブルデータオプション

次のデータ構成オプションは、テーブルデータのすべての時系列タイプのビジュアル化で使用できます。

フィールド	説明
データ	
Data source (データソース)	時系列の可視化を作成でテーブルデータソースを選択しました。
メトリクス メトリクスが複数ある場合は、[グラフタイプを変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、メトリクスが複数ある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスに Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
集計を選択	データを集計するための計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。
フィールド	[平均]、[合計]、または [個別のカウント] 集計でメトリクスを適用するフィールド。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。 データは、フィールドタイプと一致する形式で表示されます。たとえば、[優先度] フィールドなどの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。インシデントテーブルで [ビジネス時間] などの期間フィールドを選択した場合、集計データは日、時間、分で表されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • `ダウン ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 注: [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
[テーブル] のフィールド	グループ化の基準となるフィールド。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。テーブルに変数または質問フィールドが含まれている場合は、フィールドのリストの最後に変数または質問フィールドのいずれかでグループ化するオプションがあります。 **注:** • [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでデータをグループ化またはスタックすることはできません。 • 日付や整数などの連続した値を持つフィールドでグループ化する場合、値はデータに定義されているレポート範囲に従って自動的にグループ化されます。詳細については、「レポート範囲」を参照してください。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	をデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 時系列チャート化のすべての要素のソート順は、最新の要素に基づいています。たとえば、優先度別にグループ化された月ごとのインシデントを縦棒グラフで可視化した場合、すべての月の優先度の順序は直近の月の優先度を反映します。 複数のグループ化基準が追加されていて、すべてのグループ化フィールドが選択したソートオプションをサポートしている場合、選択したソートオプションはすべてに適用されます。 選択したソート方法をサポートしていないグループフィールドがある場合は、デフォルトで [名前] になります。インジケーター:日付/時刻フィールドの場合はグループバケット別にソート (例:それ以外の場合は「経過時間」) 要素の順序** 日付フィルターが適用されると、その期間が非表示になっていても、データは最新の期間でソートされます。
トレンドの基準	
集計期間	傾向を計算するために値を集計する期間。オプションは、標準カレンダーと、インスタンスで定義されているビジネスカレンダー (グレゴリオ暦など) から取得されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[テーブル] の日付フィールド	集計の基準となるテーブルの日付フィールド。次のデータタイプのフィールドのみを選択できます。 • 日付 • 日付/時刻 • 期日 • 正確な時刻
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフォローするフィルターのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンになっている場合は、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとのフィルターに従う」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

時系列可視化のインジケーターデータオプション

次のデータ構成オプションは、インジケーター スコアのすべての時系列タイプのチャート化で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Data source (データソース)	時系列の可視化を作成でインジケーターデータソースを選択しました。
メトリクス メトリクスが複数ある場合は、[グラフタイプを変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、メトリクスが複数ある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスに Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
時間集計	メトリクスに適用する時間アグリゲーション (7 日間分の集計や月別平均など)。デフォルトはインジケーター期間と同じです。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • `ダウン ダウン` • 天井 CEILING • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ HALF_UP • 半分以下切り捨て HALF_DOWN • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
ブレークダウン	インジケータースコアをグループ化するために選択するブレークダウンのリスト。 重要: • スクリプト化されたブレークダウンは、ダッシュボードフィルターではサポートされていません。 • データの可視化とダッシュボードフィルターを含め、合計で 2 つのレベルのブレークダウンのみがサポートされています。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してくだ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	さい。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
ソート	
ソート基準	[グループ] で設定されたメイングループと代替グループのソートオプション。次のオプションが含まれます。 • 名前:値をフィールド名または要素名のアルファベット順にソートします。 • 値:値を数値または数でソートします。 • 要素の順序:直接またはブレークダウンを使用して、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードでグループ化する場合、このオプションでは [シーケンス] フィールドの値に従ってグループがソートされます。 • グループバケット:該当する場合、要素をバケットグループ別にソートします。インジケーターデータソースで、 グループに使用される ブレークダウンがバケットグループに基づいている場合にのみ使用できます。 • レポート範囲:テーブルフィールドの値を範囲でソートします。テーブルデータソースで、[グループ] に使用されるテーブルフィールドにレポート範囲が関連付けられている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: • ソート基準の選択肢は、メインのデフォルトの [グループ] (定義されている場合) に基づきます。可能であれば、このソートは代替の group-by に適用されます。メインのグループ化に選択されたソート基準を代替のグループ化に適用できない場合 (代替のグループ化基準が選択肢テーブルにない場合の要素の順序によるソートなど)、そのグループ化基準のソートはデフォルトで [値] になります。 • メイン のグループ基準 が設定されていないが、代替のグループ化基準が定義されている場合は、名前または値でのみソートできます。 • ソートは、パレート図棒による可視化では使用できません。パレート図は常に値によって降順にソートされます。
ソート順	昇順または降順 時系列チャート化のすべての要素のソート順は、最新の要素に基づいています。たとえば、優先度別にグループ化された月あたりのインシデントを表示する縦棒グラフによる可視化の場合、すべての月の優先度の順序は直近の月の優先度を反映します。 一部のグループ基準フィールドが選択したソートをサポートしていない場合、デフォルトでは、[経過時間] などの日付/時刻フィールドのグループバケットでソートされます。他のすべてのフィールドでは、デフォルトで要素の順序になります。 日付フィルターが適用されている場合、データは最後に完了した期間でソートされます。
日付範囲	
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間の終了	絶対期間の終了日。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアには、定義済みのオプションのセットを備えた日付範囲セレクタコントロールがあります。
追加の設定	
ターゲットを表示	インジケーターに対して定義されている場合にグローバルターゲット値を表示します。
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。 **注:** 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列の可視化で予測を構成する」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
トレンドを表示	インジケーターの移動方向、または時間の経過に伴う値の変化を表示するオプション。
信頼帯を表示	インジケータースコアが移動している帯域幅を表示するオプション。
しきい値を表示	最高値や最低値など、選択したインジケーターに設定されたアクティブなしきい値セットを表示するオプション。しきい値は、選択したインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
コメントを表示	データポイントに追加されたコメントを表示するオプション。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフォローするフィルターのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンになっている場合は、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとのフィルターに従う」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
フィルターを個別の系列として表示	オンにすると、複数の要素を適用するフィルターがある場合、これらの要素はチャートに別々の線として表示されます。フィルターは、ダッシュボードまたは UIB ページに追加されるコンポーネントにすることも、データの可視化自体の「次の値のいずれか」のフィルター条件にすることもできます。 この機能は、一度に 1 つのブレークダウンのみをサポートします。他のブレークダウンフィルターはグラフには影響しません。フィルターの優先順位は次のように機能します。 • データの可視化の最初の「次の値のいずれか」フィルター条件は、他のすべてのフィルター条件とすべての単一/複数の選択フィルターコンポーネントを上書きします。 • 「次の値のいずれか」フィルター条件がない場合は、選択された最初の複数選択フィルターが、他のすべての単一/複数選択フィル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ターとすべてのフィルター条件を上書きします。 • 最初の複数選択フィルターをクリアすると、別の複数選択フィルターが有効になります。 デフォルト:オフ。すべての要素に対して 1 本の集計線が表示されます。 ServiceNow Store の最新の Data Visualization アプリケーションが必要です。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 時系列可視化のデータオプション

次のデータ構成オプションは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データのすべての時系列タイプの可視化で使用できます。

フィールド	説明
Data source (データソース)	時系列の可視化を作成でユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを選択しました。
メトリクス メトリクスが複数ある場合は、[グラフタイプを変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、メトリクスが複数ある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスに Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム書式設定を使用	コンポーネントでカスタム書式設定を使用するオプション。
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
グループ	
イベントプロパティ [eventPropertyValue]	プロパティを持つ ユーザーエクスペリエンスアナリティクス イベントソースに対して選択するプロパティのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: イベントメトリクスにのみ適用されます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。 複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
トレンドの基準	
アグリゲーション期間 [trendByFrequency]	傾向を計算するために値を集計する期間。オプションは、標準カレンダーと、インスタンスで定義されているビジネスカレンダー (グレゴリオ暦など) から取得されます。
日付範囲	
最大範囲を表示	利用可能な日付の最大範囲を表示するオプション。
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の開始	絶対期間の開始日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間の終了	絶対期間の終了日。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。 終了日を現在の日付に自動的に更新するには、[期間の終了に現在の日付を使用] を選択します。(開始日が将来の場合は利用できません。)
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアには、定義済みのオプションのセットを備えた日付範囲セレクタコントロールがあります。
デフォルトで範囲ピッカーを表示	オンにすると、日付範囲セレクターは、視聴者が開かなくても視聴者に表示されます。オフの場合、閲覧者は [その他のオプション] メニューの日付範囲セレクターを開く必要があります。 デフォルト:off (false)
追加の設定	
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。ライセンスされた パフォーマンスアナリティクスが必要です。 **注:** 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列の可視化で予測を構成する」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフォローするフィルターのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンになっている場合は、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとのフィルターに従う」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

メトリックベース 時系列可視化のデータオプション

次のデータオプションは、 メトリックベース データのすべての時系列タイプのビジュアル化で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Data source (データソース)	時系列の可視化を作成でメトリックベースデータソースを選択しました。
メトリクス メトリクスが複数ある場合は、[グラフタイプを変更] アイコンをクリックして、そのメトリクスの時系列グラフタイプを変更できます。また、メトリクスが複数ある場合は、[その他のオプション] リストを使用してメインメトリクスを選択し、各メトリクスに Y 軸を追加できます。最後に、特定のメトリクスにのみ適用されるようにダッシュボードフィルターを設定できます。詳細については、「複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。	
ラベル	メトリクスのラベル。デフォルトでは、データソースの名前と同じです。
測定基準	測定基準は MetricBase データベースで決定されます。
変換	データに変換を適用するオプション。たとえば、[エンベロープ] を選択して、データセット内の最小値と最大値 (エンベロープ) を表示できます。詳細については、「 メトリックベース変換」を参照してください。
時間範囲に基づく動的期間	有効にすると、アグリゲーション期間は時間範囲に従って設定されます。時間範囲 < 4 時間：分単位の集計。時間範囲 4 時間 - 3 日：時間単位の集計。3 日間>時間範囲:日次集計。 [変換] が [リサンプル] の場合にのみ適用されます。
ラベル	変換に適用するラベル。 このプロパティは 、[変換] が [ラベル] の場合にのみ適用されます。
モデル	データの変換に使用する予測モデル。モデルがまだ存在しない場合は作成できます。詳細については、「 予測モデルを使用してメトリックベースデータの異常を検出する」を参照してください。 このプロパティは 、[変換] が [予測] の場合にのみ適用されます。
カウント	メトリクスデータセットに表示する指定された値の数。 このプロパティは 、[変換] が [上] または [下] の場合にのみ適用されます。
被加数	データセット内のデータポイントに追加する、指定された値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは 、[変換] が [追加] の場合にのみ適用されます。
減数	データセット内のデータポイントから減算する指定された値。 このプロパティは 、[変換] が [減算] の場合にのみ適用されます。
係数	データセット内のデータポイントを乗算する値。 このプロパティは 、[変換] が [乗算] の場合にのみ適用されます。
除数	データセット内のデータポイントを除算する値。 このプロパティは 、[変換] が [除算] の場合にのみ適用されます。
期間	結果の計算に使用される新しいデータポイントの指定された期間。 このプロパティは 、[変換] が [補間] の場合にのみ適用されます。
小数部	新しいデータセットを作成するための基礎となるデータのパーセンタイル。 このプロパティは 、Transform が Fractiles の場合にのみ適用されます。
関数	新しいデータセットの計算に使用される集計関数。 このプロパティは、[変換] が [リサンプル]、[フィルター]、または [パーティション] の場合にのみ適用されます。
期間	データセットに適用する新しい期間。 このプロパティは 、[変換] が **[** リサンプル] の場合にのみ適用されます。
ウィンドウ	新しいデータセットを作成するための指定された期間のスライディング期間。 このプロパティは 、[変換] が [フィルター] または [パーティション] の場合にのみ適用されます。
ベース	パーティションウィンドウを整列させるタイムスタンプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このプロパティは 、[変換] が [パーティション] の場合にのみ適用されます。
フォーマットの値	[値の書式設定 **(Formatting values**)] ダイアログを選択して開きます。詳細については、「レポートの値の書式設定」を参照してください。
値の書式設定	
書式設定	デフォルト、数値、または期間の形式を選択
--数値形式	
小数点以下桁数	測定基準に表示する小数点以下の桁数。このフィールドは、[カスタム書式を使用] オプションが有効になっている場合にのみ使用できます。
丸め	[小数点以下桁数] フィールドの小数点以下桁数に達するために使用する丸めのタイプ。次のオプションが含まれます。 • アップ `アップ` • ダウン `ダウン` • 天井 `CEILING` • フロア `フロア` • 半分以上切り上げ `HALF_UP` • 半分以下切り捨て `HALF_DOWN` • 偶数へのHALF_EVENの半分 **注:** [カスタム書式を使用] が true の場合にのみ使用できます。
3 桁ごとの区切り文字を使用	数千のグループをカンマで区切るオプション。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
略語を有効化	アルファベットの省略形を使用するオプション。たとえば、M は 100 万を表します。 **注:** [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
例	コンポーネントに表示する最終値の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [カスタム書式設定を使用] が true の場合にのみ使用できます。
--期間形式	
単位形式	時間単位を短縮するか、完全な単語を使用するオプション
最大期間単位	表示中の最大の時間単位
最小期間単位	表示の最小時間単位
期間が 1 分を超える場合は秒を非表示	秒が最小期間単位である場合、これをオンにすると、期間が 1 分を超えた後の秒が非表示になります。
ツールヒントに元の値を表示	表示されているメトリクス値にポインターを合わせると、デフォルトの書式設定された値がツールヒントに表示されます。
例	書式設定されたメトリクス値の例
グループ	
グループ	グループ化の基準となるメトリックベースデータソースのフィールド。たとえば、監視可能アイテムデータソースを可視化する場合、[作成者]、[名前]、[プライマリ]、[タグ]、[タイプ]、または [更新者] でグループ化できます。
代替グループ化基準を追加	この選択により、ダイアログが開き、可視化内のデータをグループ化できる追加のアイテムを選択できます。可視化の閲覧者は、これらのアイテムのうちどれを使用してデータをグループ化するかを選択できます。閲覧者は、可視化の [その他のアクション] メニューでセレクターの表示/非表示を切り替えます。[その他のアイテム] ダイアログで、[デフォルトで表示されるセレクター] を切り替えることで、このセレクターをデフォルトで表示するかどうかを設定できます。 [グループ] で値を選択した場合、それがデフォルトのグループ別の値になります。代替のグループ別の値を指定するために [グループ] 値を選択する必要はありません。この場合、デフォルトのグループ別値は使用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	複数のメトリクスの代替グループ化の設定の詳細については、「 複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション」を参照してください。代替のグループ別値から選択する閲覧者エクスペリエンスの詳細については、「ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する」を参照してください。 **重要:** • 1 つの可視化で最大 3 つのメトリクスのみが代替グループ化をサポートします。 • 代替グループ化は、データソースでのデータバインディングをサポートしていません
日付範囲	
絶対期間を設定	絶対開始日と絶対終了日を設定するオプション。
期間の数	表示する日付期間の数。 このプロパティは、[絶対期間を設定] が true の場合にのみ適用されます。
期間	各日付期間の時間間隔。 • D 日目 • 月 M • 年 Y このプロパティは、[絶対期間を設定] が false の場合にのみ適用されます。
日付形式	X 軸の日付形式を定義します。 • デフォルト デフォルト • 日付 日付 • 月 月
日付範囲の変更を許可	オンにすると、ビューアには、定義済みのオプションのセットを備えた日付範囲セレクタコントロールがあります。
デフォルトで範囲ピッカーを表示	オンにすると、日付範囲セレクターは、視聴者が開かなくても視聴者に表示されます。オフの場合、閲覧者は [その他のオプション] メニューの日付範囲セレクターを開く必要があります。 デフォルト:off (false)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
追加の設定	
予測を表示	現在の傾向データに基づいてチャートに予測データを表示するオプション。ライセンスされた パフォーマンスアナリティクスが必要です。 **注:** 予測を生成するのに十分な履歴データがない場合、予測またはエラーは表示されません。
予測を構成	このデータ可視化の予測を構成するためのダイアログを開きます。データ可視化の予測の構成は、インジケーターなどのデータソースに設定されている構成を上書きします。この上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。 このオプションは、[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。詳細については、「時系列の可視化で予測を構成する」を参照してください。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼区間を表示するオプション。[予測を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。
データの更新	
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
メトリクスごとのフォローフィルター	可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとにフォローするフィルターのオンとオフを切り替えます。デフォルト:[フィルターに従う] がオンになっている場合は、すべてのメトリクスがフィルターに従います。詳細については、「メトリクスごとのフィルターに従う」を参照してください。
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるフィルターの数を表示するオプション。可視化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。
指定時間 (分) 非アクティブになると更新	可視化が更新されるまでにユーザーが非アクティブである時間 (分)。
データなしメッセージ	
データがない場合のカスタムメッセージを設定します	データが返されない場合に表示されるカスタムメッセージを構成するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
図	メッセージに含めるイラスト。
見出し	データが返されなかった理由を説明するメッセージのヘッダーテキスト。
コンテンツ	追加の詳細を提供するメッセージのセカンダリテキスト。
位置調整	メッセージ内の図とテキストの配置。

さまざまな時系列グラフの表示設定

時系列の可視化タイプごとに、表示設定のセットは異なります。

面グラフの表示設定

フィールド	説明
行ストロークの幅	チャート上のアイテムの行ストローク幅をピクセル単位で設定します。
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントには、カーソルを合わせているデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ(ただし、ズームが400%の場合は自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
マーカーを表示	特定の値を簡単に識別できるように、チャート上の各データポイントに記号を表示します。線グラフ、スプライングラフ、面グラフ、ステップグラフで使用できます。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	選択したデータセットまたは構成に値がない場合に 0 を表示するかどうかを選択します。
実線を表示	[利用可能なデータがない場合に **0** を表示] が選択されていない場合に使用できます。選択されている場合、特定の時間のデータがない場合、チャートにはギャップがなく、実線で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

散布図の表示設定

フィールド	説明
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントには、カーソルを合わせているデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ(ただし、ズームが400%の場合は自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
利用可能なデータがない場合は 0 を表示	選択したデータセットまたは構成に値がない場合に 0 を表示するかどうかを選択します。

縦棒グラフ表示設定

フィールド	説明
チャートのバリエーション	グループ化値を積み上げ縦棒で表示するか、並べて表示するかを選択します。
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントには、カーソルを合わせているデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ(ただし、ズームが400%の場合は自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプライン、折れ線グラフ、ステップグラフの表示設定

フィールド	説明
行ストロークの幅	チャート上のアイテムの行ストローク幅をピクセル単位で設定します。
ツールチップを無効にする	カーソルを合わせたときにツールヒントを削除するオプション。 デフォルト値：false
ツールヒントにデータポイントを 1 つだけ表示	オンにすると、ツールヒントには、カーソルを合わせているデータポイントのみが表示されます。オフにすると、ツールヒントにすべてのデータポイントが表示されます。 デフォルト:オフ(ただし、ズームが400%の場合は自動的にオンになります)。
データテーブルを表示	スクリーンリーダーアクセスを簡易にするため、チャートとグラフデータを含むテーブルを表示します。データには、必要に応じて、各値の合計に対する割合が含まれます。
マーカーを表示	特定の値を簡単に識別できるように、チャート上の各データポイントに記号を表示します。線グラフ、スプライングラフ、面グラフ、ステップグラフで使用できます。
実線を表示	選択されている場合、特定の時間のデータがない場合、チャートにはギャップがなく、実線で表示されます。

時系列の可視化で予測を構成する

時系列のビジュアル化が予測を表示するように構成されている場合は、そのビジュアル化の予測を構成できます。

始める前に

この手順では、テーブル以外のデータソースの 時系列のビジュアル化 を作成し、そのビジュアル化の予測を構成することを前提としています。

> **注:**
> テーブルデータの時刻または曜日の集計はサポートされていません。

必要なロール:時系列のビジュアル化を作成できる任意のロール。インジケーター以外のデータソースの場合は、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションも必要です。

このタスクについて

データの可視化で予測を構成すると、インジケーターなどのデータソースに設定された予測構成が上書きされます。上書きは、特定のデータ可視化にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 時系列可視化の構成パネルを開きます。
2. [追加の設定] で、[予測を表示] をアクティブ化します。
   テーブルデータソースは予測をサポートしていません。
3. [予測の構成] を選択します。
   [予測を構成] ペインが開きます。
4. 以下のフィールドを入力します。

フィールド	説明
予測方法	このインジケーターの値を予測するためにシステムで使用される統計手法。デフォルト値は [自動] で、データに最適な方法が選択されることを意味します。詳細については、「予測方法」と「予測方法の自動選択」を参照してください。
期間の長さ	時系列でパターンを確立するために必要なデータポイントの数。 [デフォルトを使用] を選択した場合、期間の長さはデータソースの頻度によって異なります。たとえば、日次頻度の時系列の期間の長さは、デフォルトでは 7 データポイントです。詳細については、「デフォルトの予測期間の長さ」を参照してください。
先読みする期間の数	スコアを予測する将来のデータ期間の数。
予測範囲の下限	予測スコアの意味のある最小値。この値よりも低いスコアが予測される場合は、代わりにこの値が表示されます。
予測範囲の上限	予測スコアの意味のある最大値。この値よりも高いスコアが予測される場合は、代わりにこの値が表示されます。

5. 予測の基礎となるデータを選択します。

オプション	説明
可視化日付範囲	可視化の日付範囲内のすべてのデータ
前の期間	予測の基礎となる現在までのデータ期間の数。これらのデータ期間は、[期間の長さ] のデータ期間と同じ長さです。 前の期間を選択した場合は、[考慮する期間の数] フィールドに期間の数も指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
特定の開始日付	開始日後に収集されたすべてのスコア。[特定の開始日] を選択した場合は、[開始日] も指定します。

警告:
予測を生成するためのデータポイントが不足している場合は、何も表示されず、予測もメッセージも表示されません。

関連情報

パフォーマンスアナリティクススコア予測

予測方法

予測では、標準的な統計手法が使用されます。メソッドを選択することも、システムに自動選択させることもできます。

メソッド	説明
リニア	定数と傾向を説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。
季節雇用	季節ダミーを説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。 この分析の「季節」は 1 つの期間です。
季節傾向	季節性がありますが、説明変数として傾向が含まれています。
Loess による季節傾向分解 (STL)	最適な関数に基づいて季節予測を生成します。この方法は、指数関数的に重み付けされた移動平均アプローチを使用して、傾向、季節、およびランダムノイズプロセスをデータに適合させます。予測は完全なデータセットに基づいており、最近の観測結果ほど重み付けが高くなります この分析の「季節」は 1 つの期間です。
ランダムフォレスト (RF)	意思決定ツリーの組み合わせを作成し、これらのツリーによって生成された予測を平均して単一の予測を取得します。ランダム性は、利用可能なデータと入力のランダムなサブセットからビルドされた各ツリーに由来します。ランダムフォレスト手法の詳細については、この「Medium の記事」を参照してください。
自己回帰 (AR)	自己回帰 (AR) モデルは、傾向、季節ダミー、および過去の値の線形結合を使用して、インジケーターの将来の値を予測します。ランダムフォレスト (RF) モデルと同様に、AR モデルは最適な遅延数をチェックします。ただし、AR モデルは現在と過去の値を直線的に関連付けますが、RF モデルは非線形です。

予測方法の自動選択

統計の専門家であれば、予測方法を手動で選択することができます。デフォルトでは、メソッドの適合性に基づいて、インスタンスによって最適なメソッドが自動的に選択されます。

最適な予測方法を決定するために、インスタンスでは各予測方法と履歴データを使用して予測を生成します。インスタンスは、予測する期間に基づいて、それらの予測を最新のデータと比較します。インスタンスは、予測を表示するたびにこの評価を実行します。したがって、追加のスコアを収集したり、予測期間を変更したりすると、使用される予測方法が変更される可能性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

日次頻度の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの時系列チャート化を考えてみましょう。7 日間の期間を使用し、前の 2 つの期間に基づいて予測を行うように、ビジュアル化で予測を構成します。インスタンスは、2 週間以上経過した履歴データに各予測方法を適用します。次に、インスタンスはそれらの予測を最新の 2 週間分のデータと比較します。次に、直近 2 週間分のデータに最も近い予測が、データセット全体を使用して再計算されます。チャート化は、この最終計算の結果を示しています。

デフォルトの予測期間の長さ

予測期間には、データソースの頻度に依存するデフォルトの長さがあります。すべてのデータソースの頻度が同じではありません。

すべてのデータソースに共通のデフォルトの期間の長さ

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
日次	7	1 週間
週次	13	1 四半期
隔週	6	1 四半期
4 週間ごと	13	1 年
月次	12	1 年
隔月	6	1 年
四半期ごと	4	1 年
会計四半期ごと	4	1 年
半年ごと	2	1 年
年次	4	4 年
会計年度ごと	4	4 年

に固有のデフォルトの期間の長さ メトリックベース

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
毎分	100	動的、クエリに応じてデータソースによって制御される

複数のメトリクスを持つ時系列のチャートオプション

時系列データの可視化で複数のメトリクスを表示している場合は、各メトリクスのグループ化基準、可視化タイプ、および Y 軸スケールを設定できます。ダッシュボードのフィルターを特定のメトリクスにのみ適用することもできます。

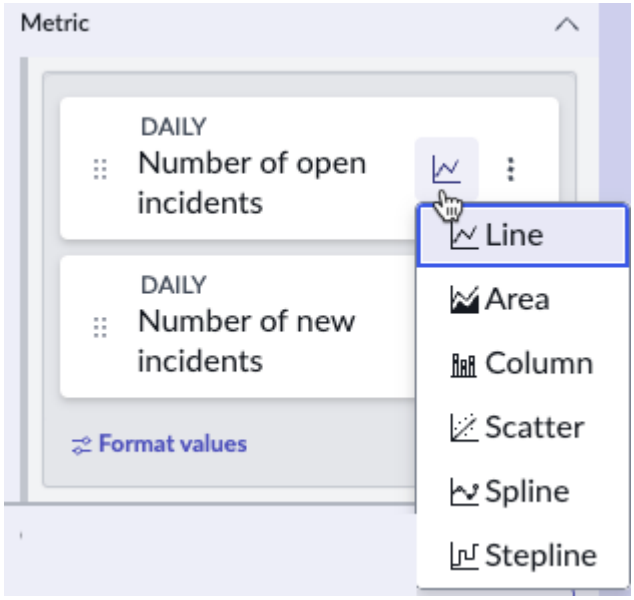
https://player.vimeo.com/video/1002743383?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

メトリクスごとに個別のグラフ

複数のデータソースを含むデータ可視化がある場合は、データソースごとに個別のメトリクスがあります。時系列データの可視化では、メトリクスごとに個別のグラフタイプを選択して、グラフを読みやすくすることができます。各 [メトリクス] タイルでチャートアイコンを選択すると、選択可能なチャートタイプのリストが開きます。

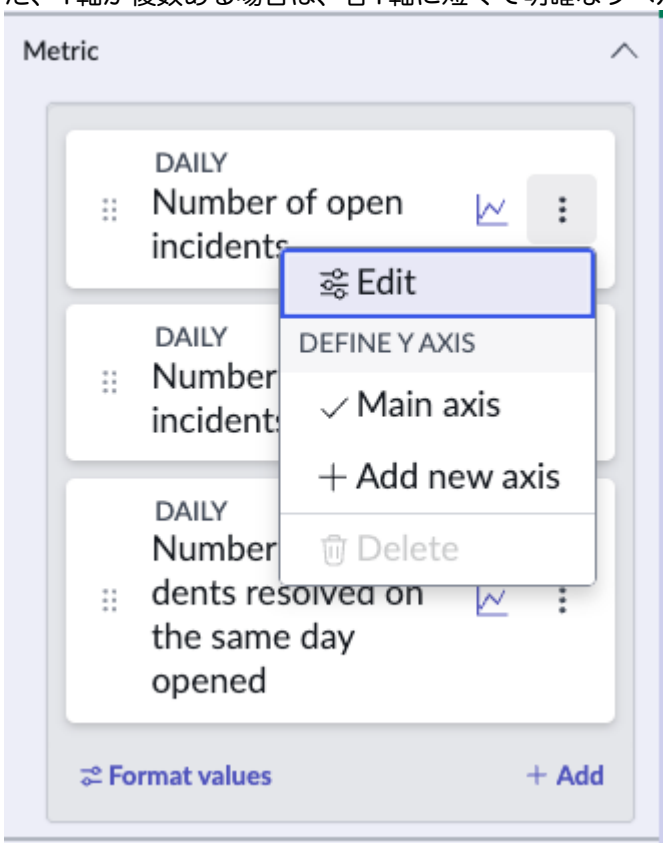
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



複数の Y 軸

一部の時系列では、メトリクスの値の範囲の違いにより、同じ Y 軸スケールを共有するメトリクスを読み取ることが困難になります。この場合、メトリクスに個別の Y 軸スケールを設定できます。メトリクスタイルの [その他のオプション] アイコンを選択して、メトリクスの Y 軸を追加します。ただし、Y 軸の目盛りが多すぎるとグラフが読みにくくなるため、この機能には注意が必要です。また、Y軸が複数ある場合は、各Y軸に短くて明確なラベルを付けるようにしてください。

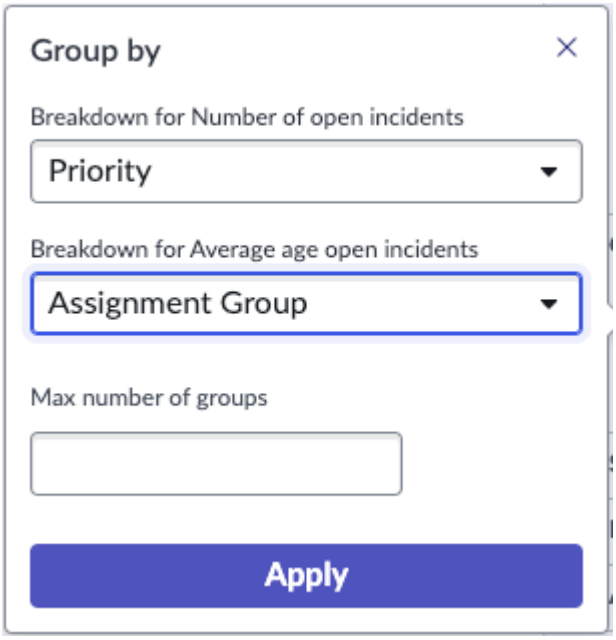


メトリクスごとにグループ化

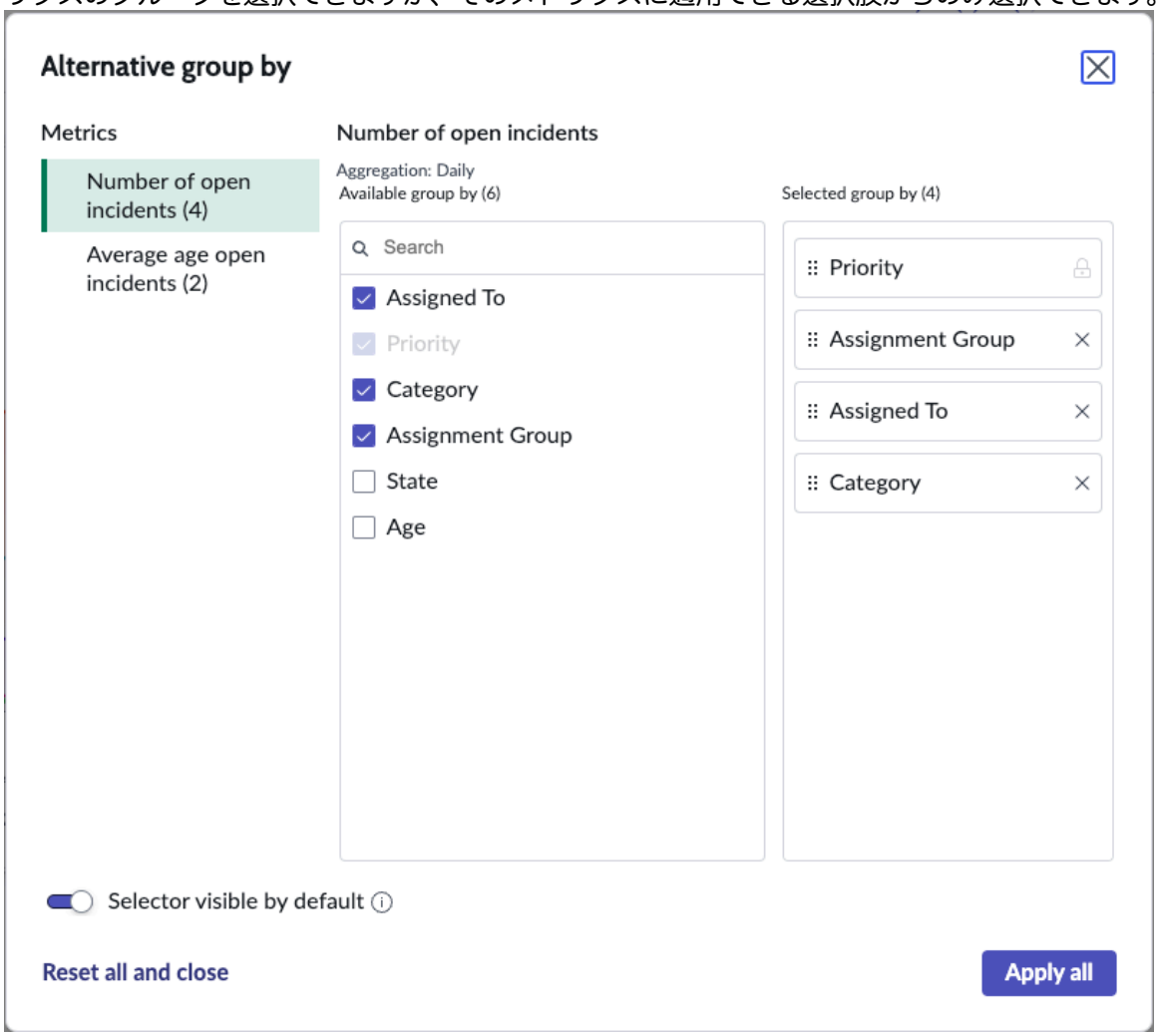
メトリクスごとに個別のグループ値を設定することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



メトリクスが 3 つ以下の場合は、代替の group-by を設定することもできます。任意のメトリクスに適用できる任意のフィールドまたはブレークダウンを選択できます。代替のグループ化を選択するダイアログに、各メトリクスに適用される選択の数が示されます。実行時には、ビューアーは各メトリクスのグループを選択できますが、そのメトリクスに適用できる選択肢からのみ選択できます。



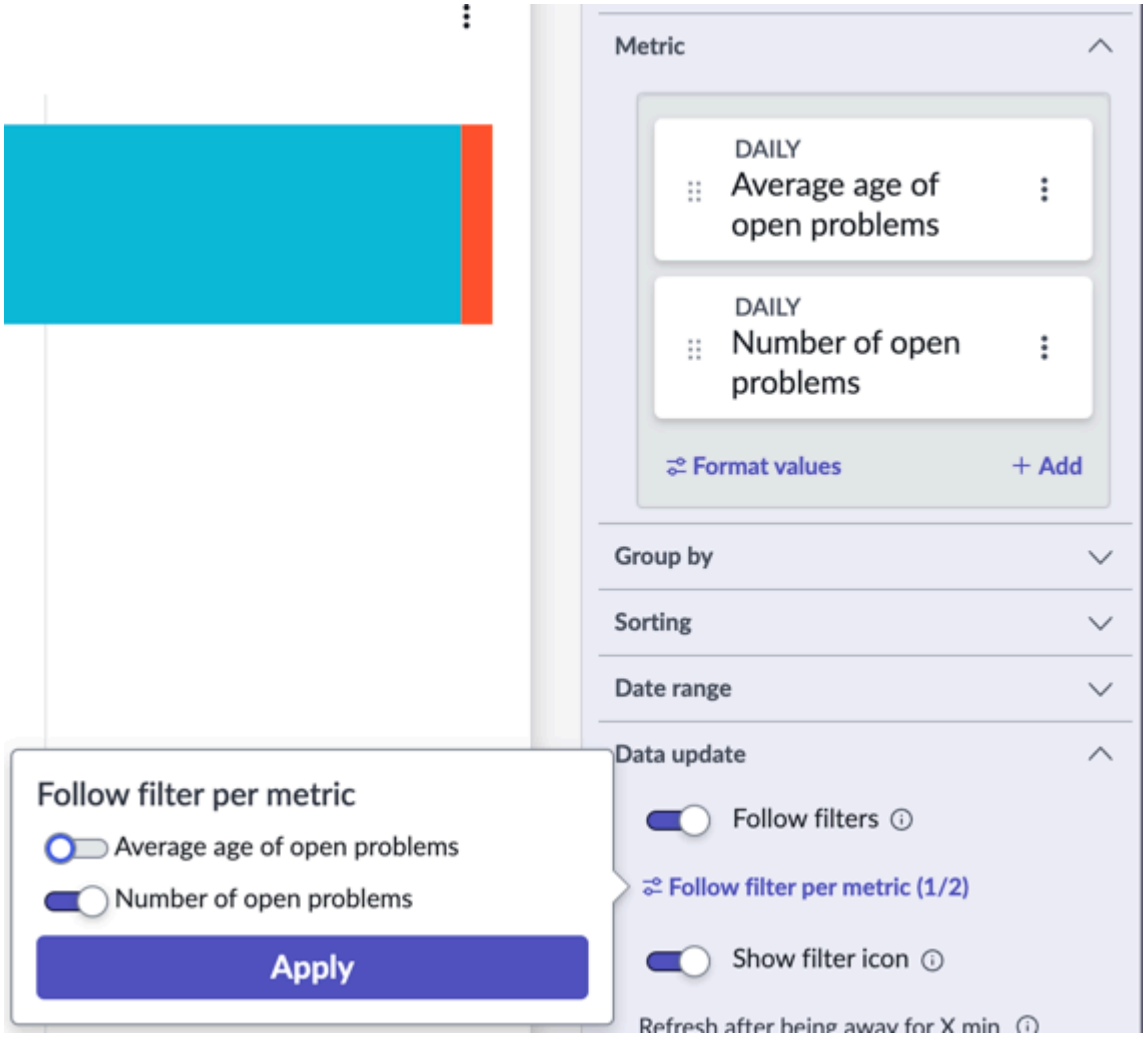
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メトリクスごとのフォローフィルター

複数のメトリクスを表示する時系列または棒グラフによる可視化で [フィルターに従う] が有効になっている場合、構成パネルには [メトリクスごとのフィルターに従う] と呼ばれる展開可能なアイテムが表示されます。このアイテムを展開して、各メトリクスのフィルターフォローのオンとオフを切り替えます。

たとえば、未解決の問題の数と未解決の問題の平均経過時間を示す棒グラフによるチャート化を考えてみます。この可視化は、未解決の問題の数がダッシュボードの該当するフィルターに従うように構成できますが、問題の平均経過時間は従わないようにします。



時系列の可視化の例

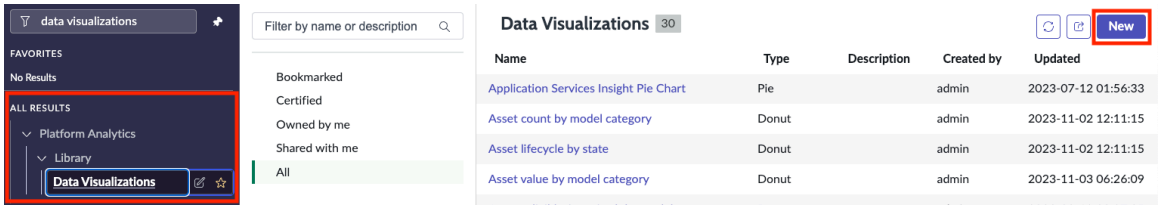
時系列の可視化は、時間の経過に伴うデータの変化を示します。この例では、単一のインジケーターデータソースから開始し、さらに複雑になります。

この例では、時間の経過に伴うオープンインシデント数の変化を表示する必要があります。次に、傾向を表示し、次にオープンインシデントの数を優先度別に表示します。最後に、オープンインシデントの数と新しいインシデントの数を比較します。

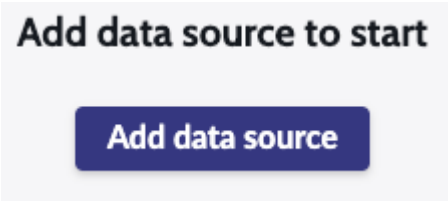
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

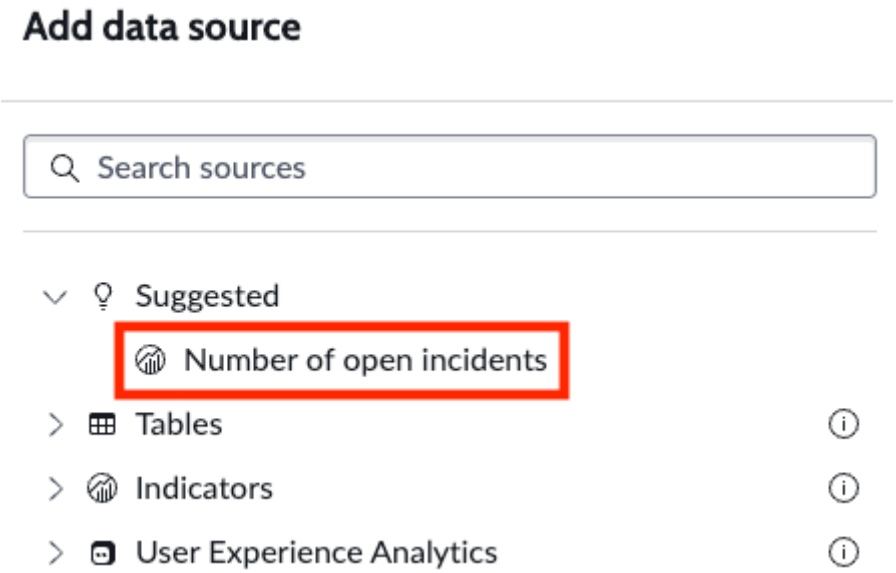
1. まず、統一ナビゲーションで データの可視化 を検索し、新規 を選択します。



2. 空の新しいデータの視覚化で、 [データ ソースの追加] を選択します。



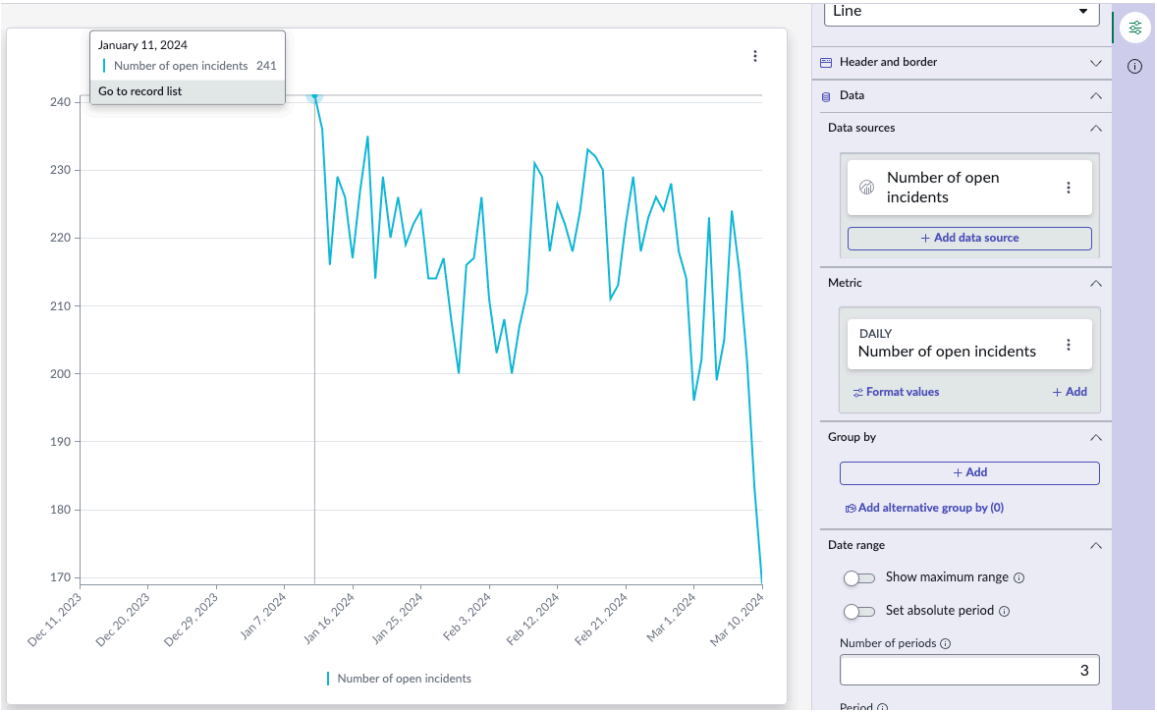
3. インジケーター [オープンインシデントの数] を使用する。幸い、このインジケーターは以前に使用したことがあり、[提案されたデータソース]の下にリストされているため、検索する手間が省けます。横に小さな列とトレンドアイコンが表示されているため、[オープンインシデントの数] がインジケーターデータソースであることがわかります。



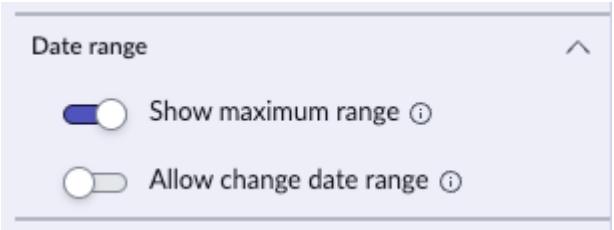
4. 可視化に戻ると、デフォルトで [線の種類] が選択されていることがわかります。線は最も一般的なタイプの時系列であり、時系列はインジケーターの通常の可視化です。線グラフの横には、このデータ可視化用の構成パネルも開いています。チャートは、ビジュアル化を構成するとリアルタイムで変更されます。

自動翻訳

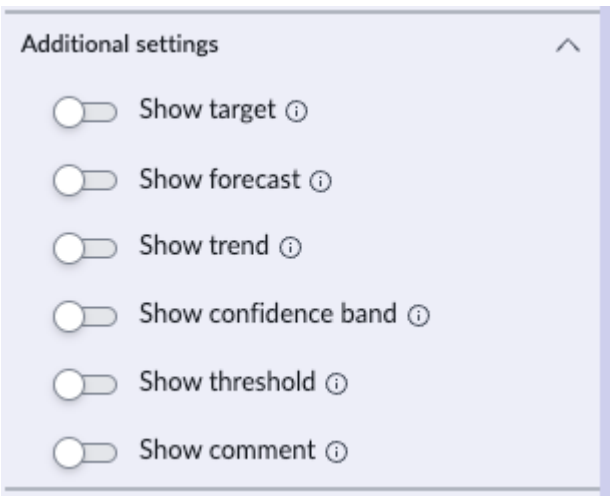
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. インジケーターを 1 月 11 日に作成したばかりであるため、データの表示はあまり見栄えがよくありません。幸い、[構成] パネルには、表示される日付をトリミングできる [日付範囲] セクションがあります。この場合、[最大範囲を表示] を選択すると、データがあるすべての日付が表示されますが、それらの日付のみが表示されます。



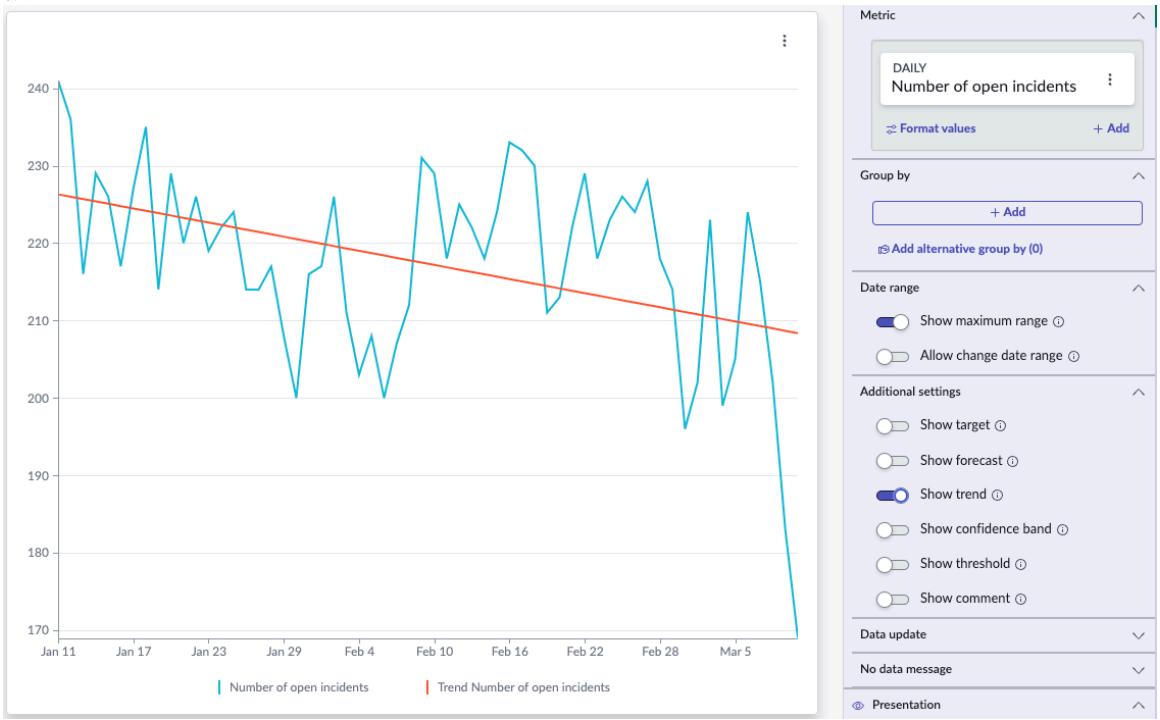
6. また、このデータについてさらにどのような情報を提供できるかを確認したいので、[追加の設定] セクションを展開します。インジケーターの場合、これらの設定は KPI 詳細 チャート オプションと同じです。詳細についてはのチャートオプション KPI 詳細KPI 詳細ドキュメントの「」を参照してください。必要なロールがある場合は、KPI 詳細 でインジケーターのターゲットとしきい値を設定できます。



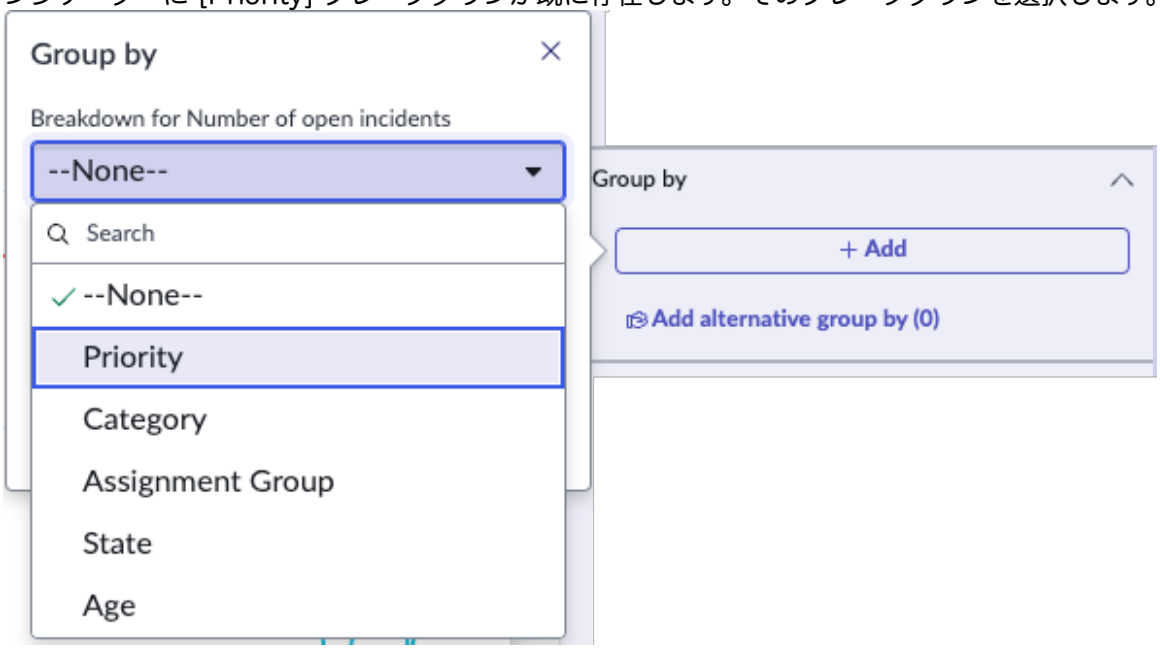
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. クリスマス休暇前にインジケーターがどこに向かっていたかを視聴者に知らせるために、データの傾向を表示することにしました。



8. ここで、このデータの可視化を複製しながら、優先度に従ってインシデントの数をグループに分割するという新しいタスクが作成されました。[構成] パネルの [グループ] セクションで時系列の視覚化でデータをグループ化します。このセクションを展開すると [Number of open incidents] インジケーターに [Priority] ブレークダウンが既に存在します。そのブレークダウンを選択します。



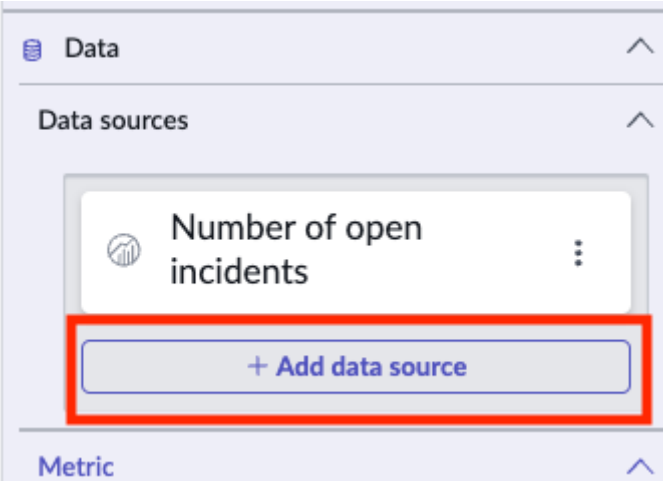
9. [グループ] の値ごとに個別の行を取得します。ここでは、傾向を表示できなくなったことがわかります。[構成] パネルの [追加の設定] セクションを再度展開すると、[グループ] の値を設定したため、予測以外の追加情報は表示できないことがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



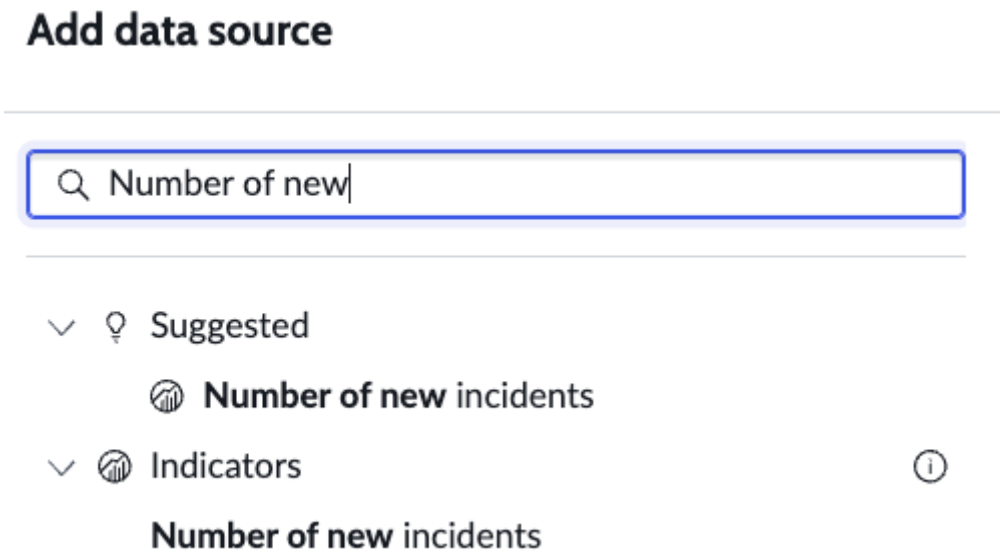
10. これで、比較のために同じチャート化で [新規インシデントの数] インジケーターを表示するという追加要件が作成されました。このインジケーターを表示するには、 [構成] パネルの [データ] セクションを展開し、 [データ ソース] で **[+** データ ソースの追加] を選択します。



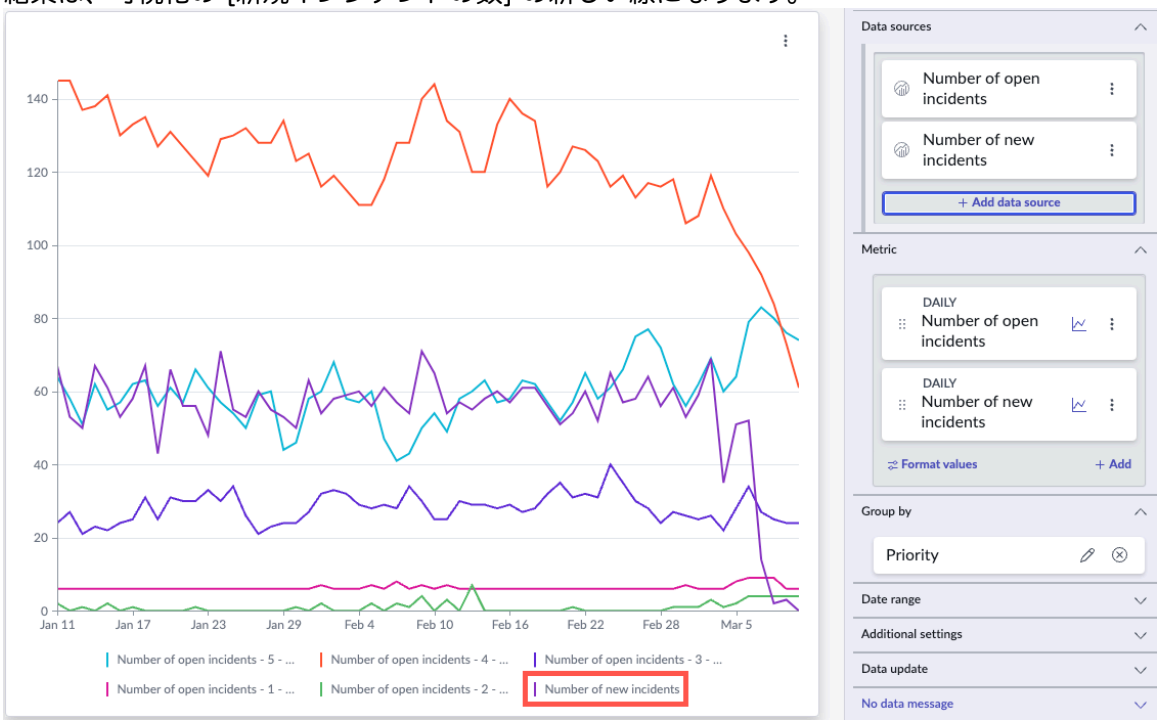
11. 次に、新規インシデントの数インジケーターを検索して追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



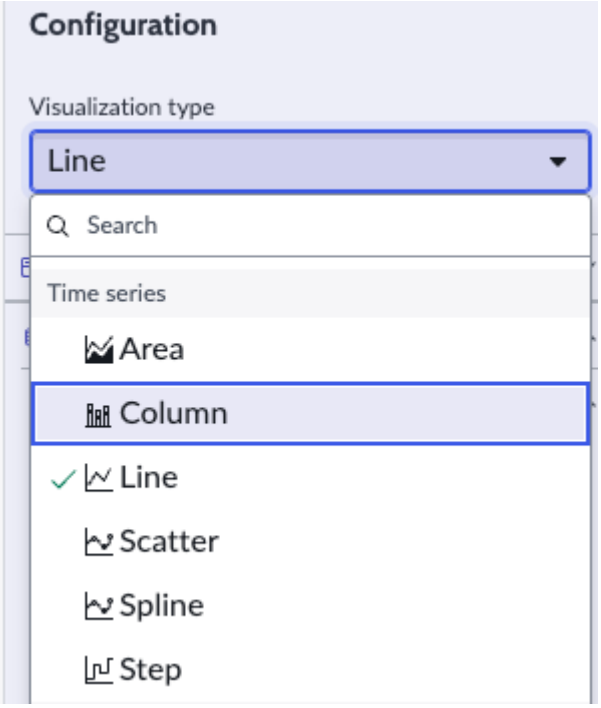
結果は、可視化の [新規インシデントの数] の新しい線になります。



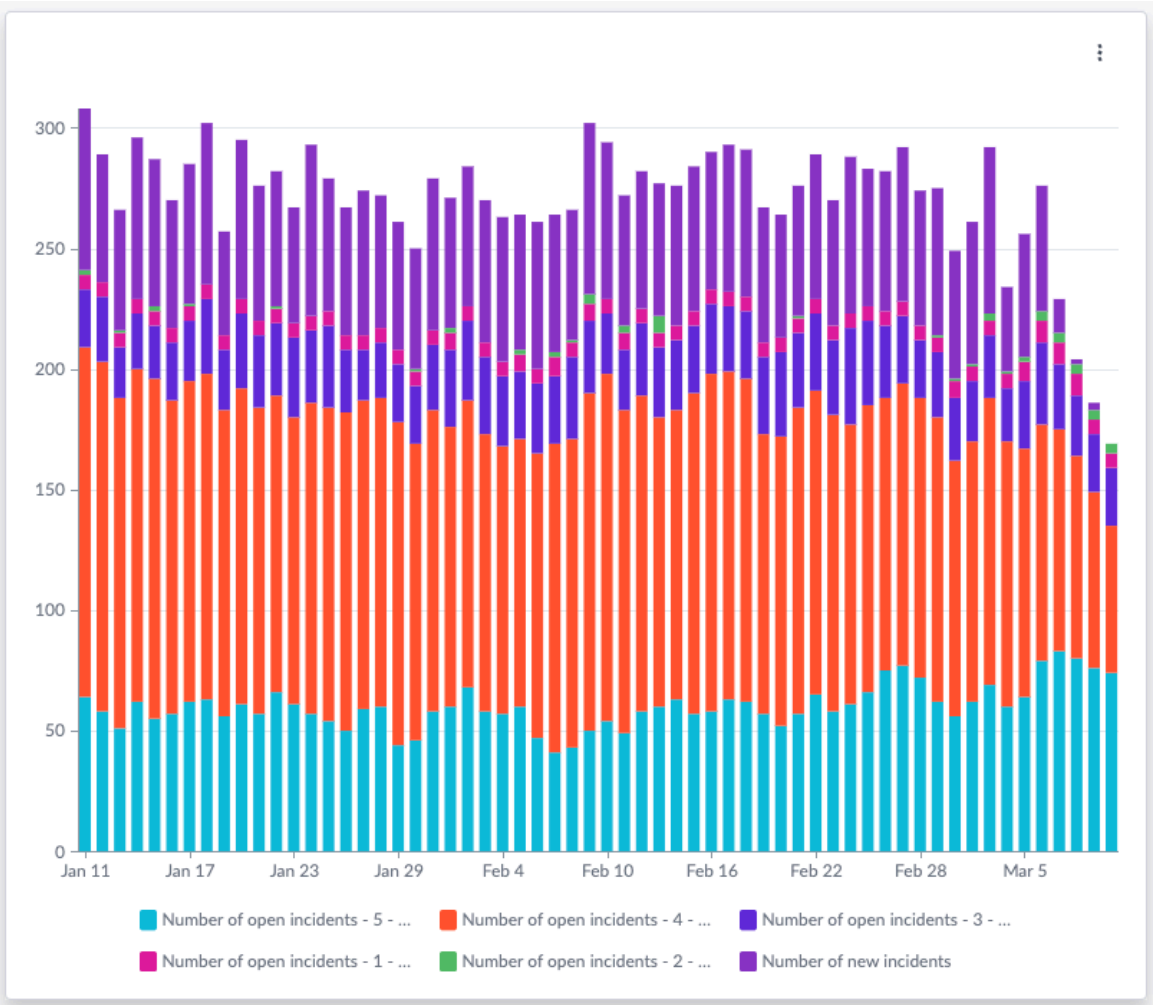
12. これは読みにくく、使用するのに最適な視覚化かどうかわかりません。時系列可視化タイプのユースケースを読んだ後、ビジュアル化を縦棒表示に変更することにしました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



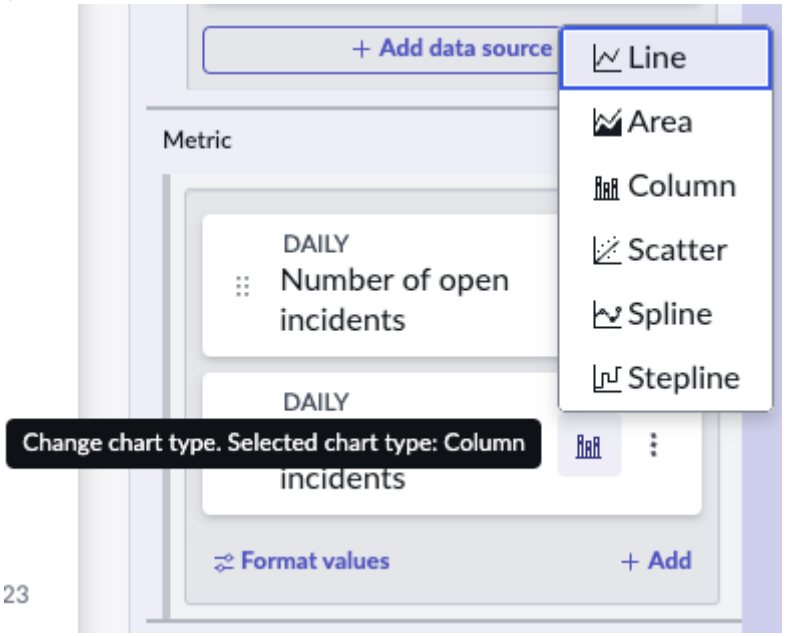
13. これは確かに改善ですが、あなたはまだもっとうまくやれると思います。



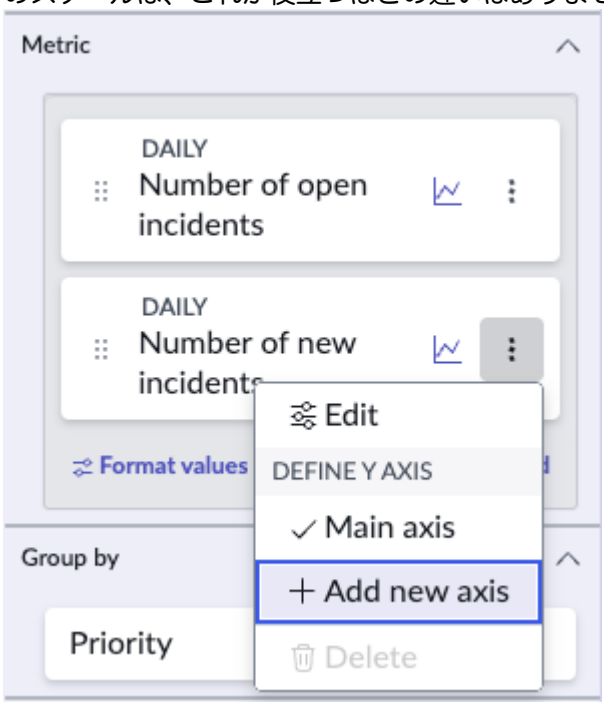
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. 幸いなことに、メトリクスごとに異なる可視化タイプを設定できます。[Metrics] タイルに移動し、[Number of new incidents] の可視化タイプアイコンの下にあるメニューを展開します。ここでは、線グラフの可視化をもう一度選択します。これは、複数のメトリクスがある場合にのみ実行できます。



15. 各 [メトリクス] タイルの [その他のオプション] メニューから、[オープンインシデントの数] と [新規インシデントの数] に異なる Y 軸を設定することもできます。ただし、2 つのデータソースのスケールは、これが役立つほどの違いはありません。



16. 視覚化はまだ少しビジーですが、ビューアーはカーソルを列に合わせ、その日付のスコアの内訳を確認できます。

自動翻訳

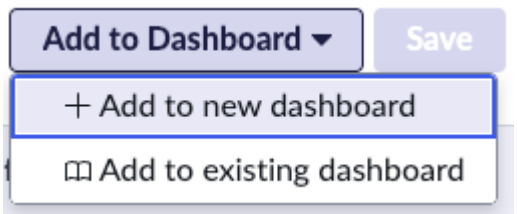
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

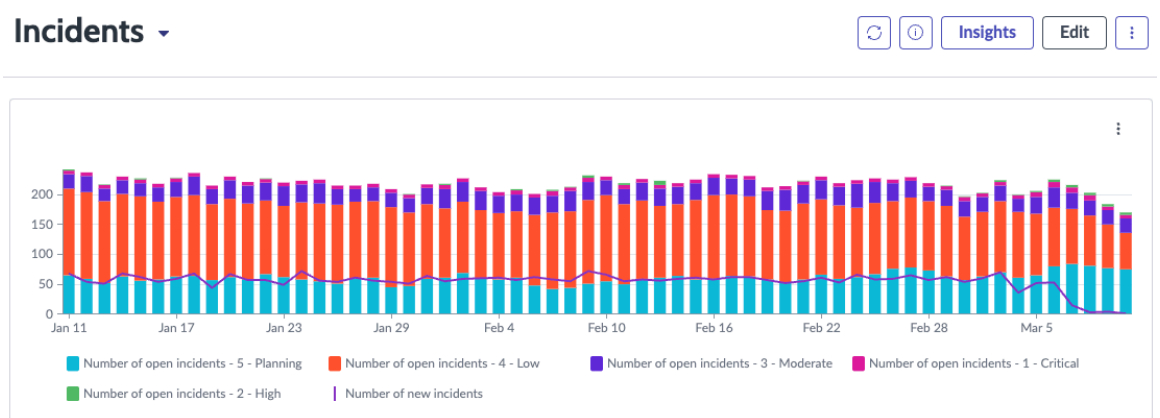


17. 最後に行うことは、凡例を読みやすくすることです。現時点では、視聴者が各優先度が実際に何であるかを確認する前に、エントリが切り捨てられています。そこで、凡例アイテムの幅を 300px に拡張してみます。



18. 上手くいきました。ビジュアル化を保存すると、ダッシュボードに追加する準備が整います。適切なロールがある場合は、他のダッシュボードデザイナーが使用できるように、可視化を [データの可視化] ライブラリに保存できます。





でのカレンダーレポートの可視化の作成 可視化デザイナー

カレンダーレポートのビジュアル化を作成して、日付駆動型イベントを表示および強調表示します。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

ダッシュボードでのカレンダー レポートの視覚化の使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのカレンダーレポートコンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

このタスクについて
カレンダーによる可視化は、ほとんどのデータの可視化よりも長い時間スパンにわたるアクティビティを表示するために使用されます。日付固有の情報を小さなスペースに凝縮する場合に使用します。

注:
コア UI から移行されるカレンダービジュアル化では、[開始日] フィールドに開始時刻、[終了日] フィールドに終了時刻を入力する必要があります。これらのフィールドは、 コア UI では必須ではありませんが、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスでは必須です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. カレンダーレポート ( ) 可視化タイプを選択します。
4. 構成パネルで、 コンポーネントヘッダーを構成します。

フィールド	説明
コンポーネントタイトル	共有されている情報を反映するカレンダーレポートの可視化のタイトル。
大きいフォントサイズを使用する	カレンダータイトルの表示に使用するスタイルを定義します。true の場合、太字ではない [タイトル (ターシャリ)] フォントが使用されます。それ以外の場合は、太字のヘッダーセカンダリフォントが使用されます。 デフォルト値：false
コンポーネントの説明	コンポーネントに入力する説明。このフィールドの文字数は 250 文字に制限されています。
説明を表示	可視化に情報アイコン ( ) を追加します。このアイコンをクリックすると、コンポーネントの説明がポップアップで開きます。

5. [データ] セクションで、ソーステーブル、事前定義された条件、日付範囲、およびフィルターオプションを指定します。

データフィールド	説明
テーブル	カレンダーイベントをレポートするテーブルまたは データベースビュー を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データフィールド	説明
	デフォルト値:task
事前定義された条件	イベントレコードをフィルタリングするための、レポートソース [sys_report_source] テーブルからの事前定義された条件。
フィルターテーブルを編集	イベントレコードをフィルタリングするための条件。このフィルターは、エンドユーザーがカレンダーを表示するときに適用されます。フィルターコンポーネントがページに追加されている場合、ユーザーはさらにフィルタリングを行うことができます。 **注:** このプロパティは、テーブルと事前定義された条件 (適用される場合) に加えて、フィルター条件を追加します。
開始日フィールド	開始イベントとして表示するレコードのフィールド。日付フィールドを選択する必要があります。 デフォルト値:オープン
終了日フィールド	終了イベントとして報告するフィールド。日付フィールドを選択する必要があります。 デフォルト値:クローズ済み [closed_at]
イベント表示フィールド	すべてのカレンダーイベントに表示するために選択する 1 つ以上のフィールド。 デフォルト値:number、short_description

6. [追加設定] セクションには、さまざまなオプションがあります。

データフィールド	説明
フィルターに従う	有効にすると、可視化は同じダッシュボードタブ内またはダッシュボード全体のすべてのフィルターに従います。
フィルターの概要を表示	フィルターパネルを開くフィルターアイコンを表示します。このパネルには、構成フィルター (「アクティブが true」など) と、ダッシュボードでフォローされているフィルターが表示されます。事前定義された条件は表示されません。
デフォルトビュー	デフォルトとして適用するカレンダービュー形式。以下から選択します。 ○ 曜日 ○ 週

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データフィールド	説明
	○ 作業週 ○ 月 デフォルト値:月

7. [**Save** (保存)] をクリックする。
次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

[store-future: BEGIN review]

カレンダーの可視化の例

カレンダーデータの可視化では、カレンダーグリッドに日付駆動型イベントが表示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

この可視化タイプを使用して、先月のインシデントの期間を表示します。

手順

1. 最初の手順に従って でのカレンダーレポートの可視化の作成 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または アナリティクスセンター ( ) コンポーネントを含む別のワークスペース。アクセスできるワークスペースは異なる場合があります。
   b. [データの可視化] タブを選択します。
   c. [新規] を選択します。
   d. [ ) 可視化タイプを選択します。
2. とりあえず、ヘッダーと境界線のセクションをスキップして、データソースに移動できます。
   a. [データソースを追加] を選択します。
   b. インシデント [incident] テーブルを選択します。
   c. ここではオープンインシデントに関心があるため、Incidents.Open 条件を追加して、アクティブなインシデントの数のみが可視化に表示されるようにします。

[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で簡単なリスト可視化を作成する 可視化デザイナー

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデントレポートには、優先度の名前と、ユーザーが優先度を選択した場合に表示されるいくつかのレコードのみが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの簡易リストの使用については、次を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダー の簡易リストコンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

注:
スポットライト情報を簡易リストに含めることができます。スポットライト [spotlight] テーブルの情報を表示するようにリストを構成します。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのスポットライト」を参照してください。スポットライト機能に関する一般的な情報については、「 スポットライトでレコードをランク付けする」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. 可視化タイプとして [リスト - シンプル] ( ) を選択します。
4. タイトル、フィルター、表示される列、およびハイライト表示される値を構成します。

フィールド	説明
テーブル	簡易リストレポートのソーステーブルを選択します。
固定フィルターを編集	クエリ条件をテーブルに適用します。ここで指定した条件は、実行時に変更できません。
フィルターに従う	ページに設定されたフィルターに従います。有効にすると、ページに設定されたフィルターを使用して可視化がワークスペースに表示されます。オフに切り替えると、可視化がフィルター入力を受け入れなくなります。
列	表示する列を選択します。
表示される列の数	選択したビューの列が多すぎる場合は、表示する列の最大数を設定できます。
フィルターを編集	可視化に追加のフィルター条件を指定します。これらの条件は、実行時にビューアーによって変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループ	リストをグループ化するフィールドを選択します。実行時には、このフィールドは折りたたまれており、ユーザーは展開できます。たとえば、優先度別にグループ化すると、ユーザーには優先度名のみが表示されます。名前を選択すると、その優先度のすべてのレコードが表示されます。
最大行	表示する行の最大数を指定します。この値の入力は、ユーザー設定を上書きします。たとえば、値の入力が 10 に設定されている場合、リストにはユーザー設定に関係なく常に 10 件のレコードが表示されます。ユーザー設定を優先するには、フィールドを空白のままにします。
[すべて表示] フッターを非表示	デフォルトでは、[簡易] リストには、対象テーブルのコア UIにあるテーブルレコードの標準リストを開く [すべて表示] リンクがあります。この簡易リストコンポーネントのフィルターは、そのビューには適用されません。閲覧者がそのリンクに移動できないようにするには、このオプションをオンにします。
ハイライト表示された値を非表示	ハイライト表示される値 [sys_ux_highlighted_value_config] テーブルからの値のハイライト表示が適用されないようにします。
ハイライト表示される値	ハイライト表示される値 [sys_ux_highlighted_value_config] テーブルから適用するハイライト表示ルールを選択します。[ハイライト表示された値を非表示] が false の場合にのみ使用できます。
注目コンテンツを非表示	ユーザーがテキストを強調表示できないようにします。このプロパティは、検索結果と組み合わせて使用します。
注目コンテンツ	ハイライト表示するコンテンツと使用する色を定義する JSON プロパティ。[ハイライト表示されたコンテンツを非表示] が false の場合にのみ使用できます。
リンクを非表示	リスト内のすべてのリンクを削除します。参照フィールドとリンクはプレーンテキストとしてレンダリングされます。
ワードラップを有効化	オンにすると、テキストはリストのすべての列で折り返されます。
ワードラップのユーザー設定を上書き	ユーザー設定で構成されたワードラップを [ワードラップを有効にする] の値で上書きします。
最大文字数	グリッド行セルの最大文字数を決定する整数。この制限を超えるテキストは切り捨てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルト:4000
空ステータスの画像を非表示	オンにすると、リストコンポーネントの空ステータスの画像は表示されません。

5. エンドユーザー機能を構成します。
トグルスイッチを移動して、これらの機能を非表示にします。

フィールド	説明
列のパーソナライゼーションのオプションを非表示	列を追加、削除、および順序変更する機能を無効にする
ドット連結を無効化	リストのカスタマイズでドット連結機能を無効にします。(列をカスタマイズするオプションを非表示が オフの場合にのみ有効です。)
列をドラッグアンドドロップするオプションを非表示	オフにすると、ユーザーは実行時にリストの列を並べ替えることができます。
レコードをグループ化するオプションを非表示	オフにすると、ユーザーは使用可能な列の値でリストをグループ化できます。
列のサイズ変更を非表示	オフにすると、ユーザーは列をドラッグして幅をサイズ変更できます。
列のフィルターを非表示	オフにすると、ユーザーは列ヘッダーからリストのコンテンツをフィルタリングできます。
列のソートを非表示	オフにすると、ユーザーは列ヘッダーからリストコンテンツをソートできます。

6. 境界線と間隔を設定します。

フィールド	説明
境界線を表示	リストの周囲に境界線を表示します。
ベア	オンにすると、リストの周囲のパディングが削除され、ページ上の位置がよりコンパクトになります。

7. ヘッダーを構成します。
トグルスイッチを移動して、これらの機能を非表示にします。

フィールド	説明
ヘッダーを非表示	可視化のタイトル、レコードの数、最後の更新時刻、更新オプションなど、すべてのヘッダーコンテンツを削除します。
タイトルを非表示	可視化のタイトルを削除します
Title (役職)	リスト可視化の名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
合計レコード数を非表示	通常はタイトルの横にあるレコードの数を削除します。
前回の更新情報を非表示	可視化が最後に更新された時間の表示を非表示にします。
更新するオプションを非表示	可視化からリフレッシュアイコン () を削除します。

8. 詳細オプションを設定します。
これらのオプションには専門知識が必要であり、通常は設定する必要はありません。

ラベル **[property]**	説明
インライン編集を非表示	オンにすると、閲覧者はリストを編集できなくなります。
ランドマークキーボードショートカットに含める	オンにすると、コンポーネントはランドマークキーボードショートカットの循環動作に含まれ、ユーザーはページ上の主要な要素間でフォーカスをすばやく移動できるようになります。
リフレッシュが要求されました	リフレッシュをトリガーするために渡すことができるタイムスタンプを含むオブジェクト。
列設定キー	ユーザー設定を調達して保存するために使用するキー。表示する列と順序を指定します。これは、コンポーネントがユーザー設定の保存に使用するデフォルトキーを正しく決定できない場合のフォールバックとして使用することを目的としています。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

簡易リストの可視化の例

簡易リストデータの可視化は、ソーステーブルから選択した生データを表示するために使用されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

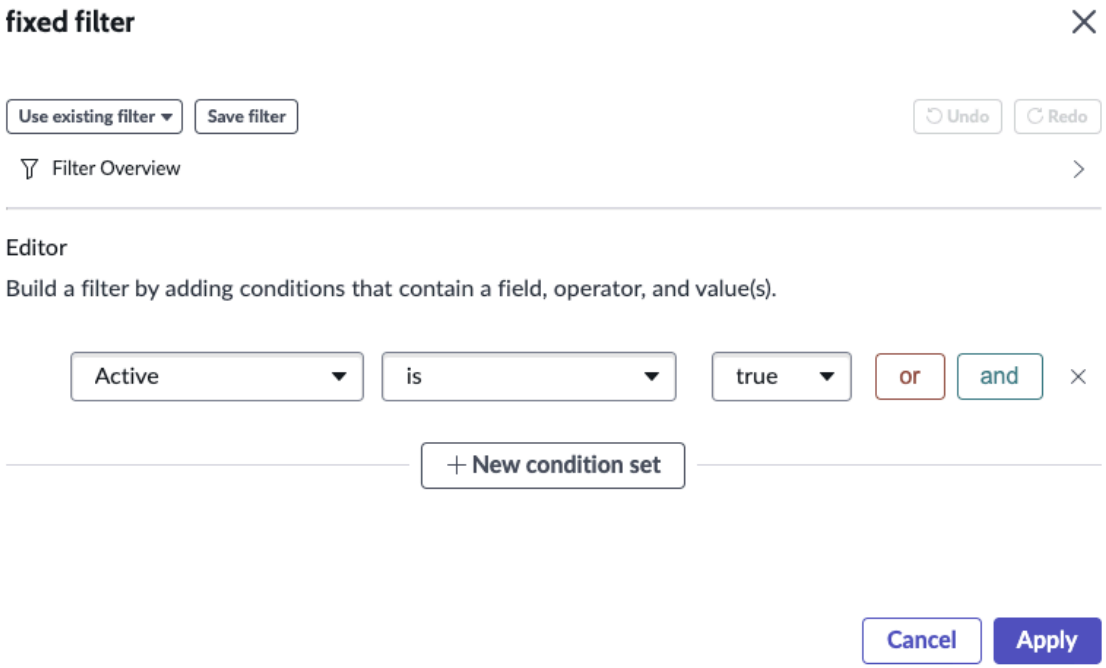
リストによる可視化では、ソーステーブルから選択したデータを直接表示できるだけでなく、列のカスタマイズ、並べ替え、フィルタリング、ソートなどの情報を操作できます。これらの機能を 1 つ以上非表示にすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 最初の手順に従って で簡単なリスト可視化を作成する 可視化デザイナー:
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
   b. [新規] を選択します。
   c. 可視化タイプとして [シンプルなリスト]) を選択します。
2. [データ] セクションで、タスク [task] テーブルを選択します。
3. [固定フィルターを編集] を選択して、リストに表示するデータを選択します。
   アクティブなタスクに関心があるため、条件を [アクティブが true] に設定し、[適用] を選択します。



4. [デフォルトの表示] で、表示する列を編集します。
   [期日] 列を追加します。デフォルトで表示される列数は 5 です。選択したすべてのフィールドを表示するには、 表示される列の数 を 7 に増やします。
5. グループを追加します。
   リストが非常に長い場合は、いずれかのフィールドでグループ化できます。グループ化されたリストは、ユーザーが展開できるフィールドの各エントリごとに 1 行に折りたたまれます。このリストをステータス別にグループ化します。
6. 最大行数 と [すべて表示] フッターを非表示にします。
   最大行数は、実行時に表示するリストの行数を決定します。リストの下部にある [すべて表示] リンクを使用すると、ユーザーはリスト内または選択したグループのすべてのレコードを表示できます。そのリンクを非表示にして、最大行数のみを表示します。
7. エンドユーザー機能を構成します。
   選択したすべての情報がユーザーに表示されるようにするため、カスタマイズ、列のフィルタリング、および列のソートのオプションを非表示にします。

   列のパーソナライゼーションのオプションを非表示

   列の追加と削除、およびソート順の変更機能を無効にします。

   ドット連結を無効にする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列のカスタマイズが有効になっている場合でも、関連テーブルに移動する機能 (ドット連結) を無効にすることができます。

列をドラッグアンドドロップするオプションを非表示

列をドラッグして並べ替えられないようにします。

レコードをグループ化するオプションを非表示

選択したフィールドによるレコードのグループ化を無効にします。

列のサイズ変更を非表示

列幅のサイズ変更を無効にします。

列のフィルターを非表示

列見出しからのフィルタリングを無効にします。

列のソートを非表示

列見出しによるリストのソートを無効にします。

8. [ヘッダー] セクションで、ヘッダーとタイトルを表示したままにして、可視化のタイトルを「All Active Tasks」にします。
合計レコード数、前回の更新情報、および更新オプションは表示したままにします。
9. [詳細] セクションで、[インライン編集を非表示] をオフのままにします。
選択すると、ユーザーはリスト内のどのセルも編集できなくなります。編集機能を使用すると、ユーザーはタスクのアサイン先や期日を変更できます。

タスクの結果

ユーザーがすべてのレコードを編集して表示できる、ステータス別にグループ化されたリスト可視化が作成されました。

インジケータースコアカードの作成

インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間でデータを視覚化して比較できます。最後に収集されたスコア、前のデータポイントからの変化、経時的な傾向、および達成すべきターゲットの値に関する情報が強調表示されます。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードでの インジケータースコアカード の使用については、以下を参照してください。 the 開発者サイト . このサイトでは、 UI ビルダーのインジケータースコアカードコンポーネントに関する情報を提供します。一部の構成オプションは可視化デザイナーとは異なる場合があります。

注:
UI ビルダーで以前のスコアでソートすることはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. インジケータースコアカード ( ) 表示方法タイプを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. インジケータースコアカードのフィルタリング機能とソート機能を設定します。

フィールド	説明
スコアカードタイプ	スコアカードタイプから選択するリスト。次のオプションが含まれます。 ○ リスト:インジケーターとメトリクスのリストを列として表示します。 ○ ピボット:インジケーターを行として表示し、ブレークダウンを列として表示します (またはその逆)。
ヘッダーを表示	ヘッダーの表示と非表示を切り替えます。
Title (役職)	コンポーネントのタイトル。
説明	実行時に情報アイコンに表示されるコンポーネントの説明。
ソース定義	表示するインジケーターの設定方法を選択します。次のオプションが含まれます。 ○ 条件ベース:表示するインジケーターを決定する条件を設定できます。 ○ 手動で選択済み:[データソースを追加] ペインからインジケーターを手動で追加できます。 ブレークダウンと要素を選択して、手動で選択した各インジケーターのインジケーターをフィルタリングできます。 インジケーターを 1 つだけ選択した場合は、[ブレークダウンのみを表示] を設定して、インジケーター スコアなしでそのインジケーターの要素を表示できます。 ○ インジケーター グループ:インジケーター グループをソースとして設定します。
フィルター	表示するインジケーターをフィルタリングするためのエンコードされたクエリ文字列。フィルターを静的に作成するには、提供されている条件ビルダーを使用します。 **注:** ソース定義が条件ベースの場合にのみ使用できます。
インジケーターグループ	リストのインジケーターグループに基づいてテーブルをフィルタリングします。 **注:** ソース定義がインジケーターグループである場合にのみ使用できます。
ブレークダウン	表示するブレークダウンを選択します。ブレークダウンタイルをドラッグして並べ替えることができます。
グループの最大数	ブレークダウンに表示する要素の最大数。[要素をフィルター] に表示する要素を選択しない場合、表示される要素はブレークダウン ソースと [並べ替えの方向] の値によって異なります。たとえば、グループ [sys_group] テーブルの [名前] フィールドを使用するアサイン先グループブレークダウンを考えてみましょう。[グループの最大数] がデフォルトの 5 である場合は、ソート方向が昇順か降順かに応じて、最初

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	の 5 つのグループ名または最後の 5 つのグループ名がアルファベット順に表示されます。このような場合は、[要素をフィルター] フィールドで要素を選択することを検討してください。 デフォルト：5
要素をフィルター	関連するブレークダウンに表示する要素を選択します。要素を選択しない場合は、グループの最大数までのすべての要素が表示されます。
ブレークダウンを列として表示	true の場合、ブレークダウン要素はピボットテーブルに列として表示されます。false の場合、ブレークダウン要素は行として表示されます。1 つのブレークダウンのみをサポートし、ピボット スコアカードにのみ適用されます。 デフォルト値：false
ブレークダウンのみを表示	true に設定すると、インジケーターの合計が非表示になり、ブレークダウン要素と選択したメトリクスのみが表示されます。[ソース定義] が [手動で選択] で、インジケーターが 1 つしか選択されていない場合に、リストのスコアカードでのみ使用できます。 デフォルト値：false
変更ブレークダウンを許可	true の場合、ビューアーは表示されるブレークダウンを変更できます。[ブレークダウンのみを表示] が true の場合にのみ使用できます。 デフォルト値：false
ブレークダウンのヴィジビリティセレクター	true の場合、ブレークダウンセレクターがスコアカードの表示者に表示されます。false の場合、ブレークダウンセレクターは [その他のオプション] メニューから開く必要があります。[変更ブレークダウンを許可] が true の場合にのみ使用できます。 デフォルト値：false
メトリクス	インジケーターリストに表示するアナリティクスを選択します。メトリクスタイルをドラッグアンドドロップして並べ替えることができます。 デフォルト:lastScore、changeAndChangePercent、target、trend
時系列アグリゲーション	選択したすべてのインジケーターに適用する時系列アグリゲーション。時系列集計の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。
ソート基準	インジケーターをソートする基準となる列。 値:名前、最新スコア、ターゲット、変更、changePercent、indicator_group 注: 以前のスコアでソートすることはできません。 デフォルト:名前
ソートの方向	インジケーターやブレークダウン要素のソート方向。ブレークダウン要素への影響は、ブレークダウンソースによって異なります。たとえば、選択肢 [sys_choice] テーブルのブレークダウン要素は [シーケンス]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フィールドの値に従ってソートされますが、グループ [sys_group] のブレークダウン要素は [名前] フィールドに従ってアルファベット順にソートされます。 値:昇順 (昇順) または降順 (降順) デフォルト:asc
追加の設定	
フィルターに従う	オンにすると、ダッシュボードで設定されたフィルターがインジケータースコアカードに適用されます。 デフォルト：true
フィルターアイコンを表示	フィルターアイコンと可視化に影響を与えるダッシュボードフィルターの数を表示します。ビジュアル化に適用するフィルターが選択されていない場合、アイコンは表示されません。オフに切り替えると、フィルターアイコンと適用されたフィルターの数が非表示になります。 デフォルト：true
ドリルダウンを有効にする	ユーザーがデータポイントを選択したときに、基礎となるデータにリダイレクトします。このインタラクションを防ぐには、オフに切り替えます。 デフォルト：true
フィルター要素を表示	インジケーター名の横に適用されたフィルター要素を表示するオプション。フィルターをビジュアル化に適用できない場合、要素は表示されません。オフに切り替えると、フィルター要素が非表示になり、インジケーター名のみが表示されます。 デフォルト：true
ブックマークを表示	ブックマークの列の表示と非表示を切り替えます。オンにすると、ユーザーは自分のインジケーターとブレークダウンをブックマークできます。 デフォルト：true
インジケーター情報を表示	インジケーター情報アイコンの表示と非表示を切り替えます。インジケーター情報を表示すると、前回の収集日、収集頻度、および方向に関する情報が含まれます。 デフォルト：true
ブックマークされたアイテムのみを表示	オンに切り替えると、ブックマークされたインジケーターまたはブレークダウン要素のみが表示されます。 デフォルト値：false
表示設定	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ページあたりの最大要素数	ページに表示できるインジケーターまたはブレークダウン要素の最大数で決まるページサイズ。増分は、10、20、50、および 100 個のインジケーター/要素です。 デフォルト値：10
ターゲットのカラースキーム	ターゲットのカラースキームを選択します。デフォルトでは、[パフォーマンスアナリティクスプロパティ] ページの [デフォルトのインジケーター ターゲット カラー スキーム] プロパティで定義された値が適用されます。
行の色を交互に表示	行の色を交互に表示します。
行の線を表示	行間に分割線を追加します。
列の線を表示	列間に分割線を追加します。
チャートのインタラクション	
チャートのインタラクションを許可	インジケーターの名前が選択されている場合、そのインジケーターの KPI 詳細 ページへのナビゲーションを有効にします。
アクション	[データビューに移動] インタラクションのみを使用できます。このアクションにより、インジケーターが KPI 詳細で開きます。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックして [データの可視化] リストに戻ります。

次のタスク

- からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー
- でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー
- で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

[store-future: BEGIN review]

インジケーター スコアカードの可視化の例

インジケータースコアカードコンポーネントを使用すると、複数の パフォーマンスアナリティクス インジケーター間でデータを視覚化して比較できます。

インジケーターのリストとそのスコアを表示するには、この可視化タイプを使用します。インジケーターごとに最大 2 レベルのブレークダウンを表示でき、この情報をリストの代わりにピボット テーブルに表示することもできます。

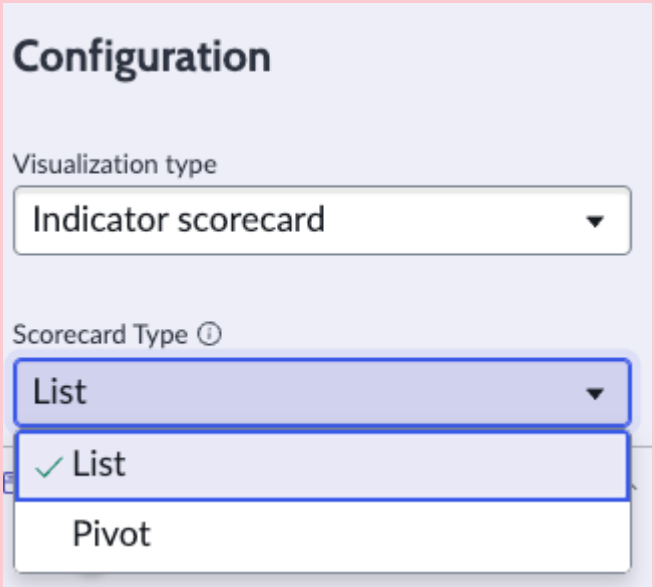
Example: 2 つのブレークダウンを持つインジケーターのリスト

この例では、オープンインシデントに関連するすべてのインジケーターのリストが必要です。各インジケーターの下で、ビューアーが [優先度] を展開して各要素のスコアを表示できるようにします。このデータ可視化を複数のダッシュボードで使用できるようにする予定である。

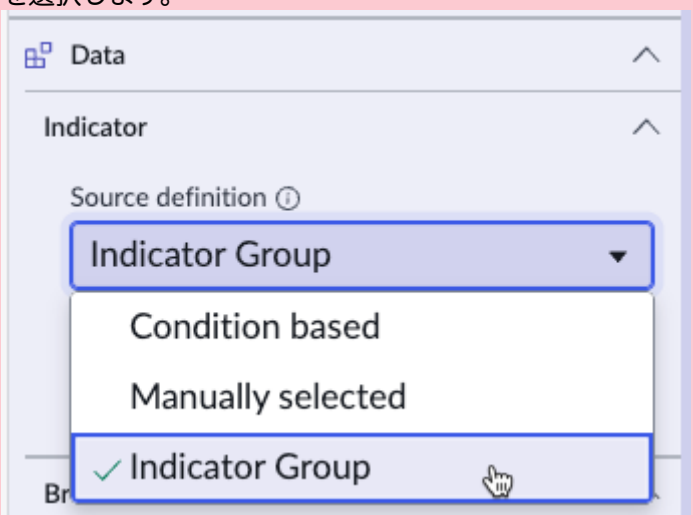
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. に移動します **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化. データ可視化ライブラリが開きます。インジケーター スコアカードを特定のダッシュボードにのみ表示する場合は、代わりにそのダッシュボードを開くこともできます。
2. デフォルトでは、リストスコアカードタイプが選択されています。



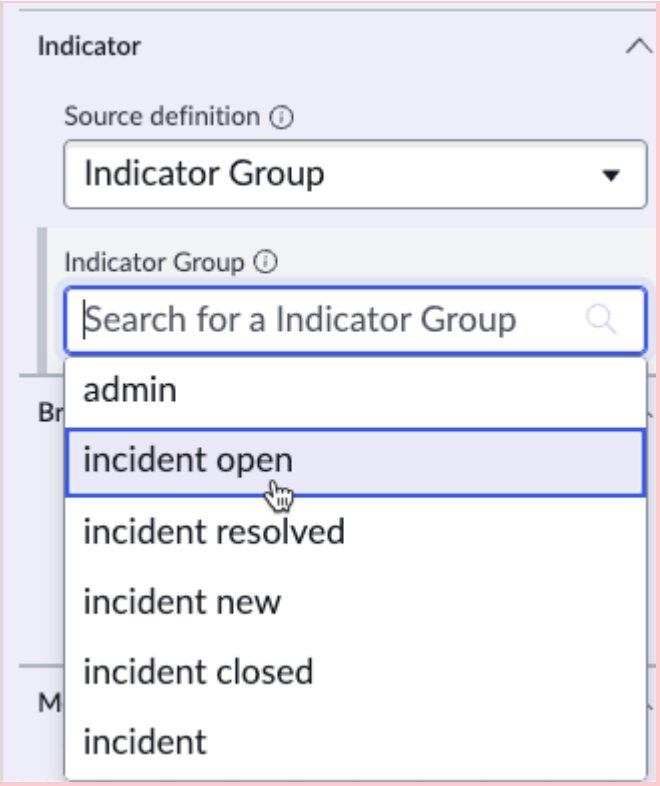
3. ここでは、ヘッダーと説明をスキップして、[データ] エリアに移動します。インジケーターを選択する必要があるため、最初に [ソース定義] リストを展開します。オープンインシデントに対して定義されたインジケーターグループが既に存在すると思われる場合は、[インジケーターグループ] を選択します。



4. ここで、オープンインシデントのみを含むインジケーターグループを検索します。そして、あなたは幸運です! 「インシデントオープン」グループが存在するため、フィルター条件を作成したり、インジケーターを手動で選択したりする作業が不要になります。

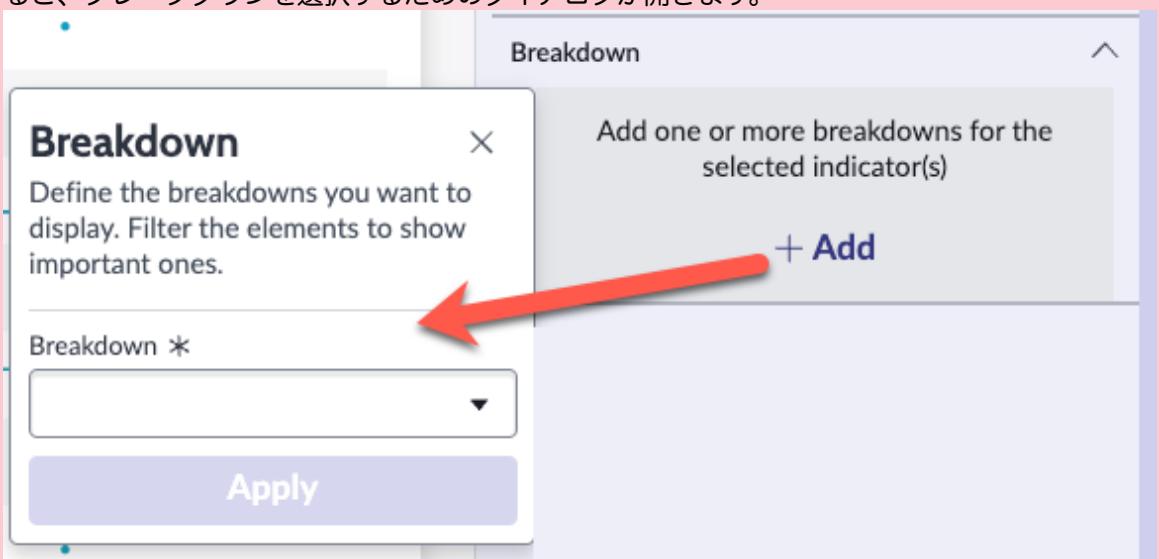
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[オープン中のインシデント] を選択するとすぐに可視化が更新され、グループ内の 13 個のインジケーターが表示されます。

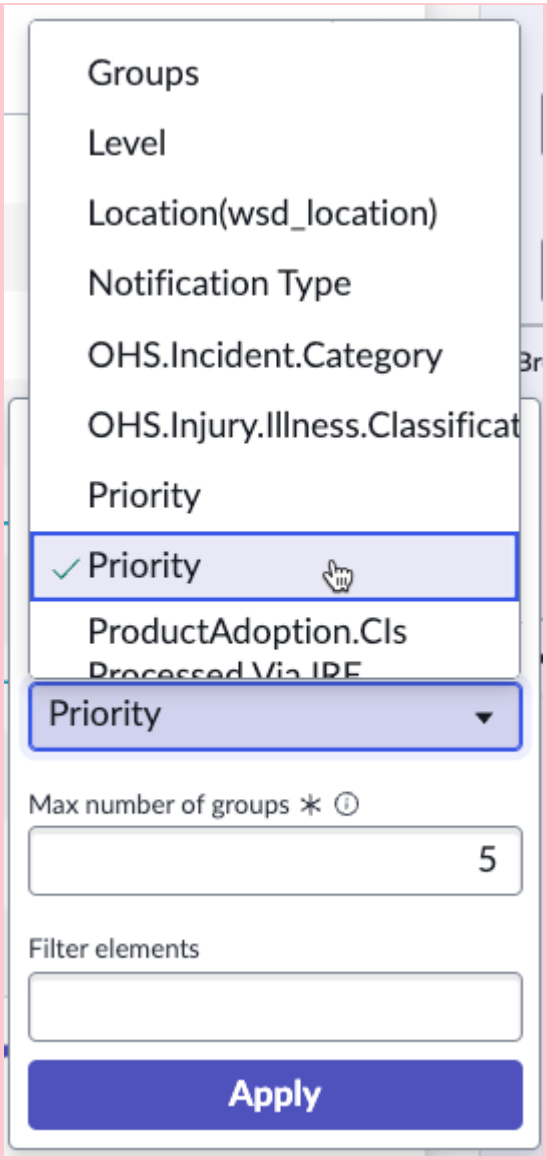
5. 次に、最初のブレークダウンを選択します。[ブレークダウン] セクションで [+ 追加] を選択すると、ブレークダウンを選択するためのダイアログが開きます。



6. リストを [優先度] まで下にスクロールします。残念ながら、[優先度] という名前のブレークダウンが 2 つあり、リストにはブレークダウンソースが表示されていないため、どちらが正しいかわかりません。最初の方法を試し、 [適用] を選択して、何が起こるかを確認します。可視化はまったく変更されないため、これが間違ったブレークダウンであると考えられます。選択したブレークダウンを編集し、2 番目の優先度ブレークダウンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

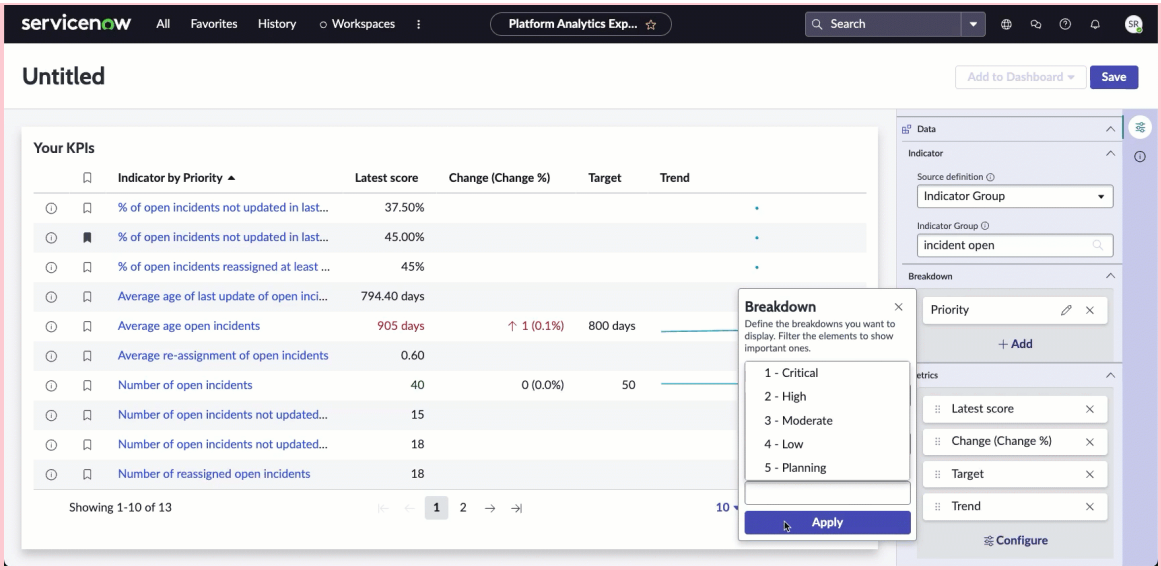


7. [グループの最大数] フィールドに従って、デフォルトで最大 5 つのブレークダウン要素が表示されます。よろしいですか? [要素をフィルター] フィールドをクリックして、要素の数を確認します。ちょうど5人です! そのため、デフォルト値のままにして [適用] を選択します。

   今度は [適用] を選択すると、関連する各インジケーターの下で展開可能な [優先度] ブレークダウンで可視化が更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. ステップ 5 と 6 を繰り返して、カテゴリブレークダウンを追加します。



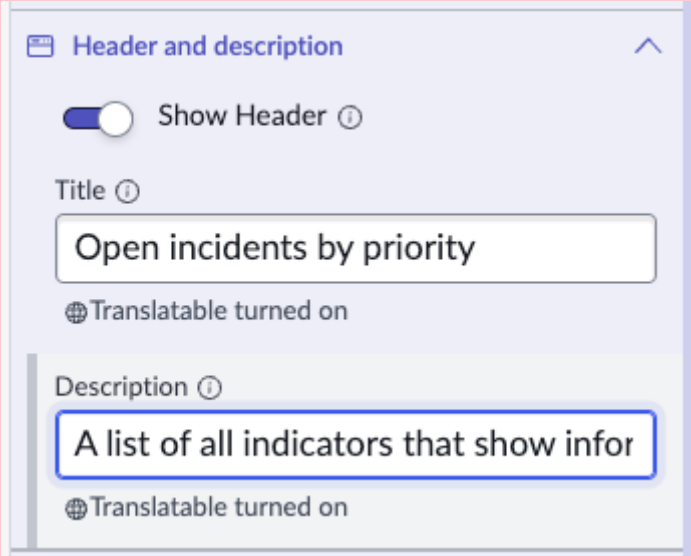
9. 優先度別のインシデントカテゴリではなく、カテゴリ別の優先度を表示する必要があるとします。そのため、構成パネルの [優先度] の上に [カテゴリ] をドラッグします。



10. [ヘッダーと説明] セクションに戻り、技術者以外のユーザーが見ている内容を理解できるように、可視化のタイトルを「優先度別のオープンインシデント」と簡単な説明にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

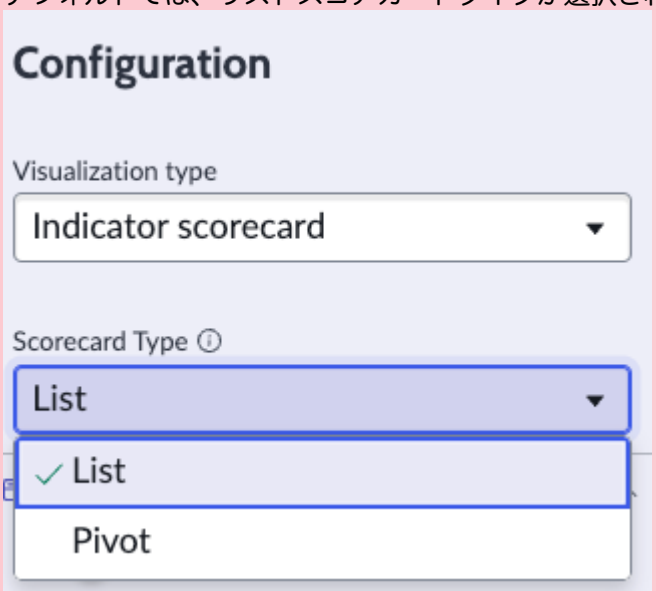


11. これで完了です。[保存] を選択し、視覚化にわかりやすい名前を付けて、ライブラリにアクセスできる他のユーザーがその目的を把握し、ダッシュボードで使用できるようにします。

Example: インジケーターのブレークダウンスコアカード

この例では、閲覧者が [オープンインシデントの数] インジケーターのブレークダウンを表示できるようにします。

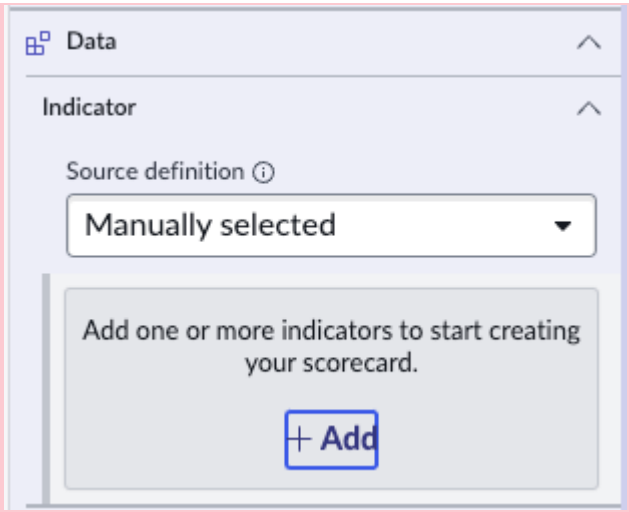
1. に移動します **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化. データ可視化ライブラリが開きます。インジケーター スコアカードを特定のダッシュボードにのみ表示する場合は、代わりにそのダッシュボードを開くこともできます。
2. デフォルトでは、リストスコアカードタイプが選択されています。



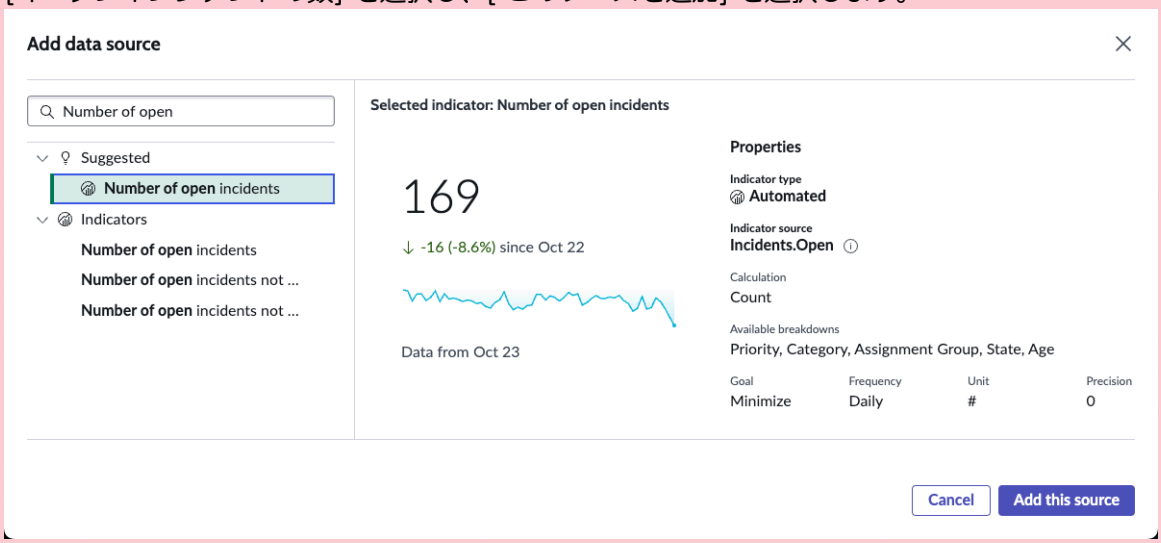
3. でインジケーターを設定する必要があります データ > インジケーター 節。特定のインジケーターが 1 つあるため、[ソース定義] リストを展開し、[手動で選択済み] を選択します。

自動翻訳

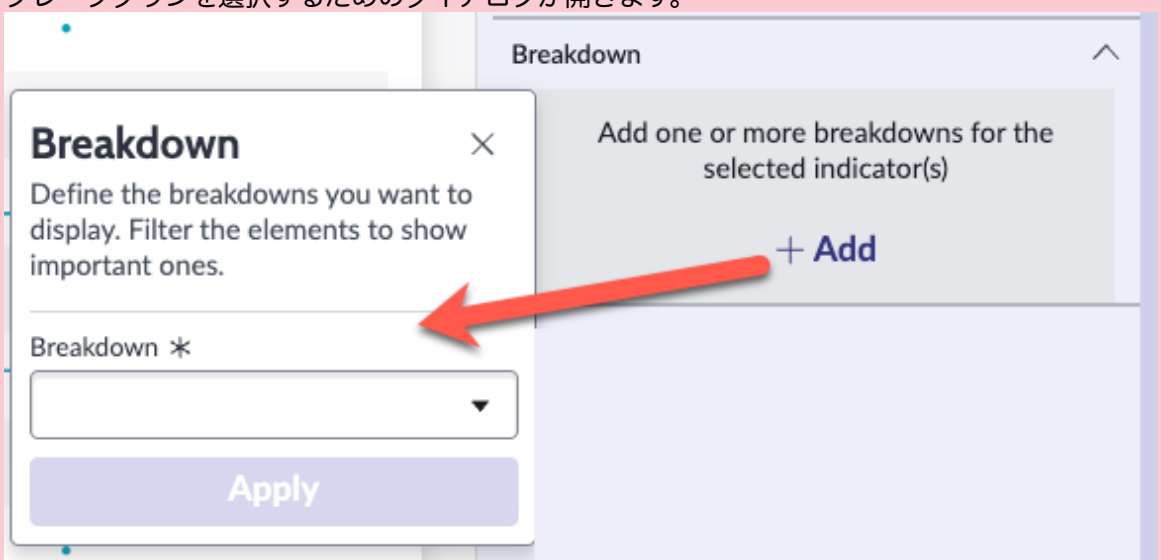
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 引き続き [インジケーター] セクションで、[+ 追加] を選択して [データ ソースの追加] ページを開きます。
5. [オープンインシデントの数] を選択し、[このソースを追加] を選択します。



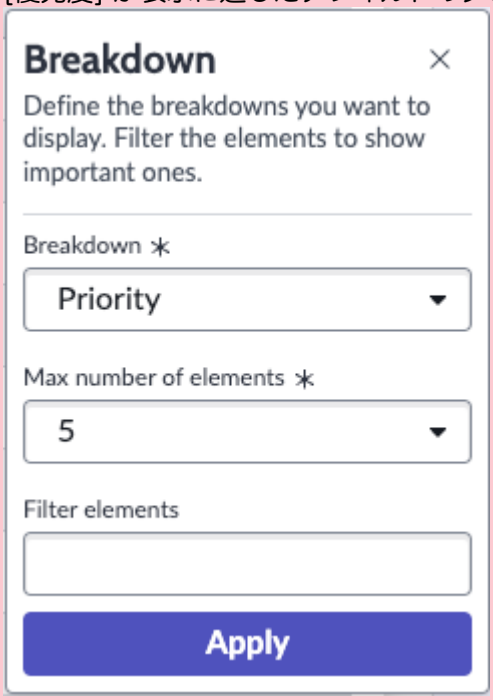
6. 次に、ブレークダウンを選択します。[ブレークダウン] セクションで [+ 追加] を選択すると、ブレークダウンを選択するためのダイアログが開きます。



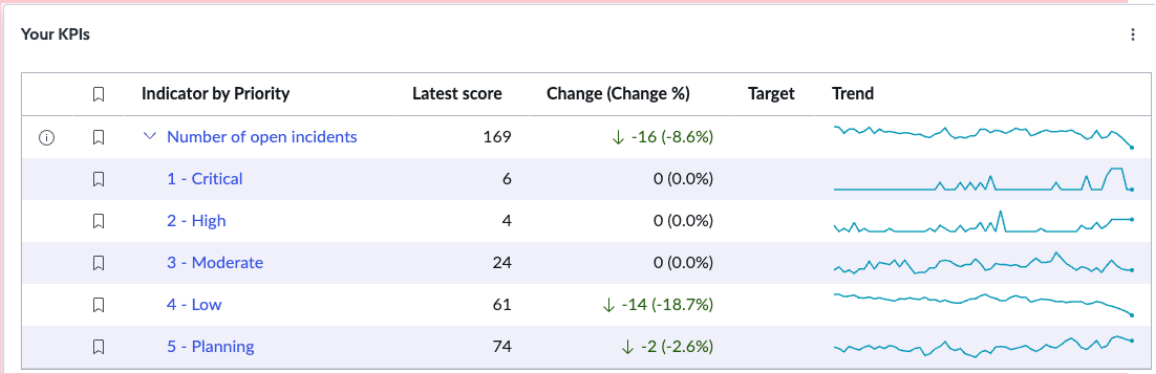
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

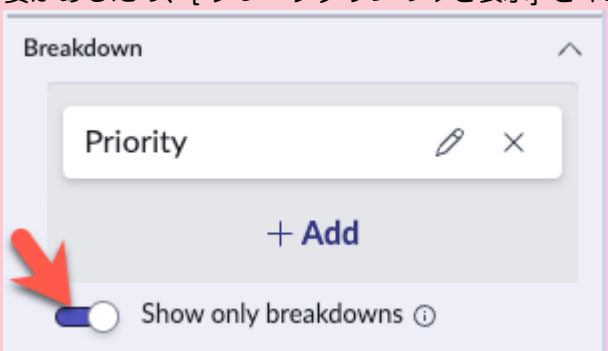
7. [優先度] が表示に適したデフォルトのブレークダウンであると判断しました。



8. これで、オープンインシデントの数インジケーターのスコアを示すグラフが作成されました。ビューアーはインジケーターを展開して、優先度ブレークダウンの要素を確認できます。



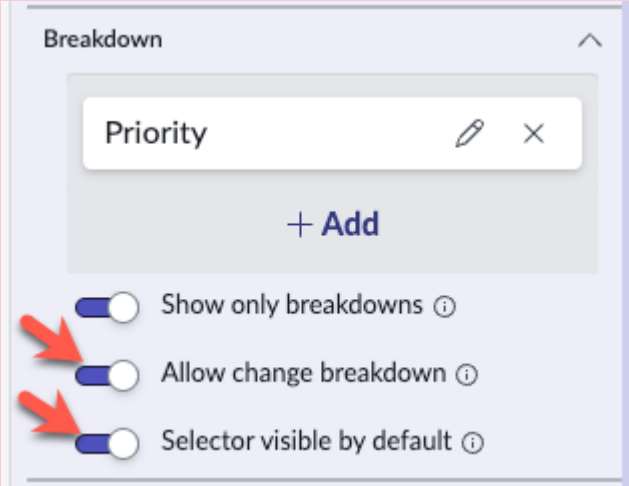
9. ただし、ステークホルダーは、オープンインシデントの数のブレークダウンを表示できることを望んでいます。まず、ブレークダウン要素のみを表示するようにビジュアリゼーションを変更する必要があるため、[ブレークダウンのみを表示] をオンにします。



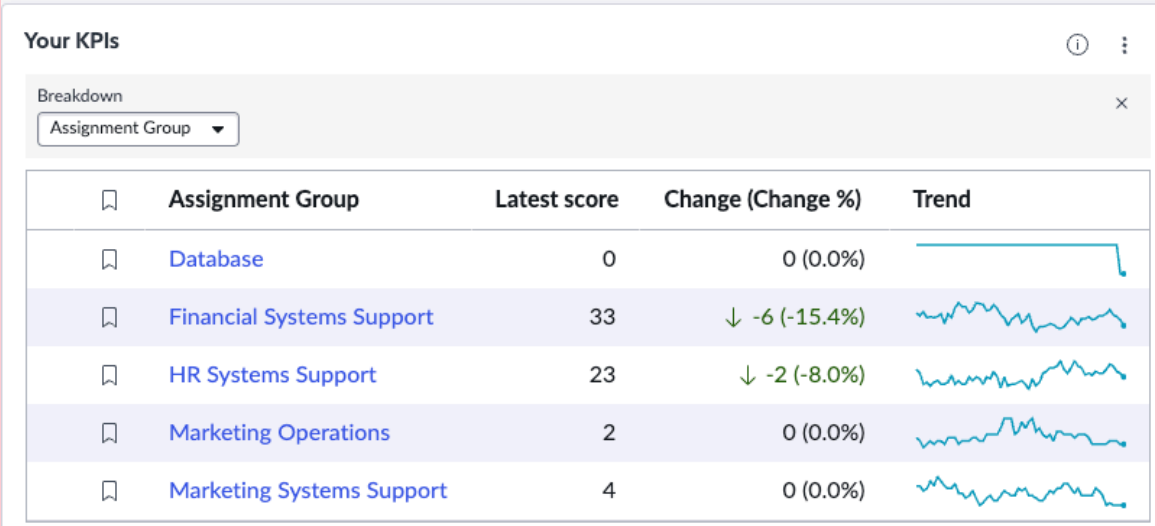
10. 閲覧者に表示される内訳を変更できるようにするオプションが追加されました。また、デフォルトでブレークダウンセレクターを表示したいので、これをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



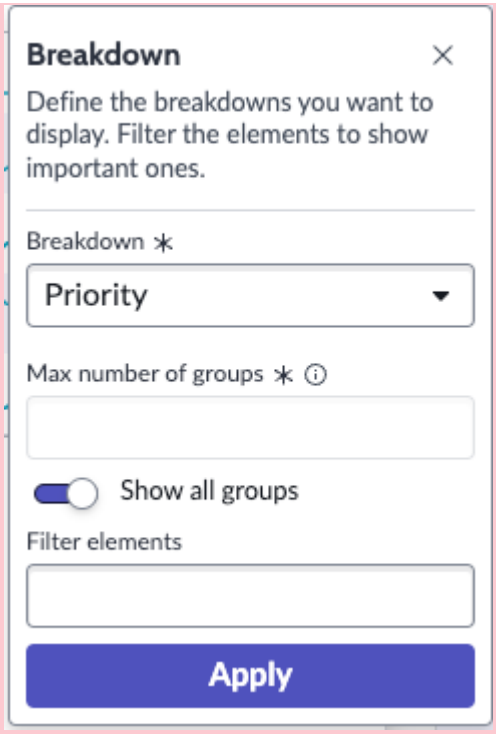
11. セレクターをテストすると、[Assignment Group] ブレークダウンを選択すると、十分な要素が表示されていないと感じます。



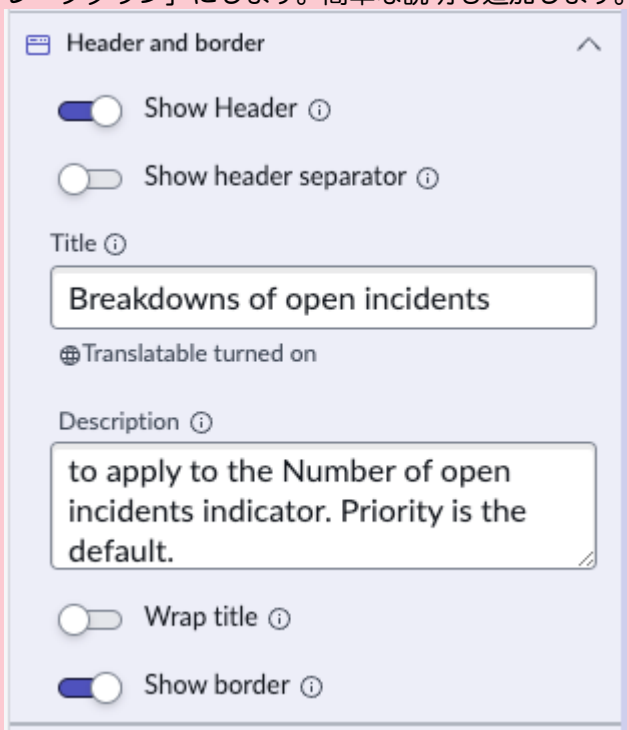
この問題を解決するには、[優先度ブレークダウン] カードを編集し、[すべてのグループを表示] をオンに切り替えます。このブレークダウンの設定は、ビューアーが選択するブレークダウンに影響します。2 番目のブレークダウンを追加すると、最初のブレークダウンの設定は第 1 レベルのブレークダウンに影響し、2 番目のブレークダウンの設定は第 2 レベルのブレークダウンに影響します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



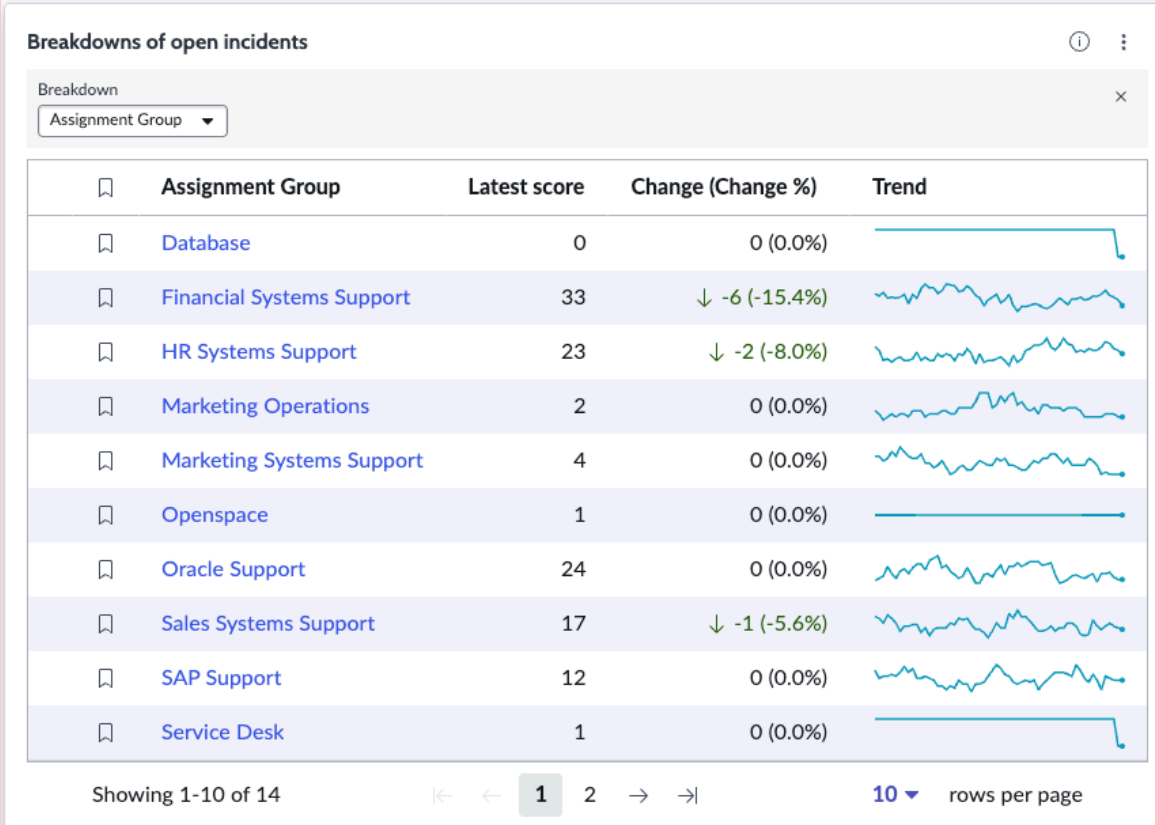
12. これで、オープンインシデントインジケーターの優先度ブレークダウン要素の値を示すグラフが作成されました。しかし、視聴者はこれが彼らが見ているものであることをどうやって知るのでしょうか? [ヘッダーと境界線] セクションに戻り、可視化のタイトルを「オープンインシデントのブレークダウン」にします。簡単な説明も追加します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. これで、必要なブレークダウンスコアカードが作成されました。[保存] を選択し、他のダッシュボード設計者が簡単に見つけて使用できるように、可視化に内部参照用のわかりやすい名前を付けます。



[End]

リストからデータの可視化を作成

コア UIリスト内から、プラットフォームアナリティクス縦棒または円グラフのデータ可視化を作成できます。データ可視化ロールを持っている場合は、可視化を保存、共有、エクスポート、または複製できます。

始める前に

必要なロール:リストへのアクセス権を付与するロールが必要です。可視化を保存、共有、エクスポート、または複製するには、itil、viz_creator、またはレポートロールなどのviz_creatorを含むロールが必要です。

このタスクについて

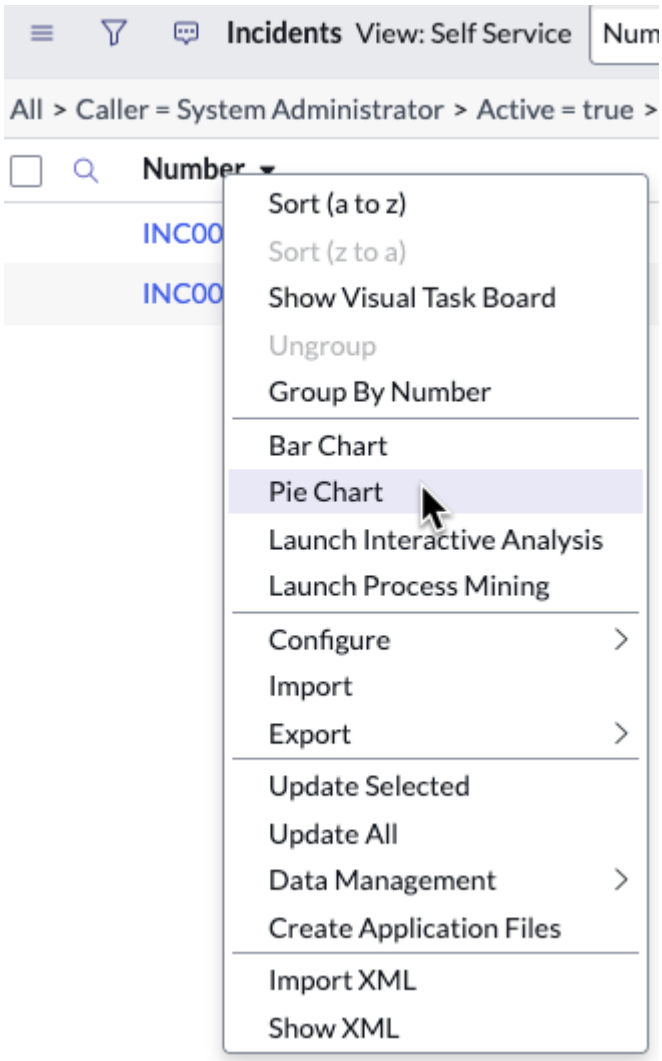
新しいインスタンスまたは プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスを使用している場合は、次の手順に従います。それ以外の場合は、代わりに コア UI 円グラフまたは横棒グラフレポートを作成します。この場合は、「 リストからのレポートの実行」を参照してください。

手順

1. リストに移動します。
2. グラフの棒またはスライスとして表示する値を含む列の見出しを右クリックします。
3. [円グラフ] または [棒グラフ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化が生成され、可視化デザイナーで開きます。

一般的なデータ可視化タスク

プラットフォームアナリティクスデータの可視化を編集、共有、複製、および削除する方法を、その他の一般的なタスクとともに表示します。ほとんどのタスクは同じメニューから起動されます。

インラインダッシュボードでデータの可視化を編集する

インラインダッシュボードエディター内からデータの可視化を作成および編集できます。すべてのオプションが 可視化デザイナーと同じではありません。インラインエディターと 可視化デザイナーの間を移動できます。

プラットフォームアナリティクスダッシュボード要素を編集するで説明されているように、[新しい要素を追加] メニューからダッシュボードにデータ可視化を追加できます。ダッシュボードを編集モードにして可視化を選択すると、ダッシュボードで可視化を編集できます。ただし、一部の動作は異なる場合があります。

- 可視化がライブラリにあり、所有している場合、それを編集するには itil、report_user、または viz_creator ロールが必要です。編集内容を保存すると、ビジュアル化をライブラリに保存するか (ビジュアル化を表示するすべてのダッシュボードに影響します)、ダッシュボードのローカルコピーのみを保存するかを選択できます。
- 可視化がライブラリにあり、所有していない場合、それを編集するには viz_admin または admin ロールが必要です。編集内容を保存すると、ビジュアライゼーションをライブラリに保存するか

自動翻訳

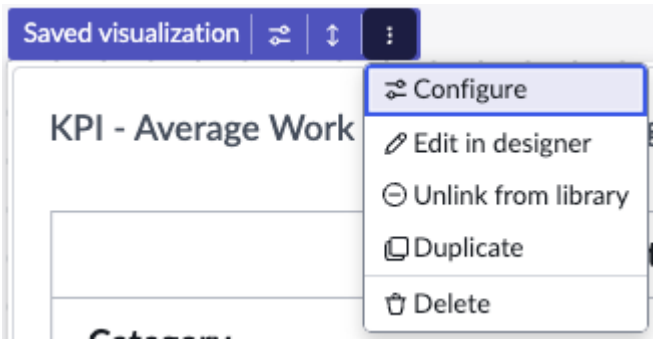
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(ビジュアライゼーションを表示するすべてのダッシュボードに影響します)、ローカルコピーを保存するかを選択できます。

- 可視化がライブラリにあり、それを編集するために必要なロールがない場合は、編集可能なローカルコピーを作成することで、可視化の「リンクを解除」できます。詳細については、「データ可視化のダッシュボードコピーをライブラリからリンク解除」を参照してください。
- 一部のオプションは、インラインエディターと 可視化デザイナーで異なる場合があります。たとえば、チャートのインタラクションでは、 可視化デザイナー内の別のチャートにのみドリルダウンするようにチャートを設定できます。

重要:
プラットフォームアナリティクスダッシュボードにコア UIレポートまたはパフォーマンスアナリティクスウィジェットを配置することはできません。代わりにデータの可視化を追加してください。

可視化自体の [アクション] メニューには、エディターを変更するためのオプションがあります。また、可視化 の構成 、ダッシュボードでの可視化の 複製 、またはダッシュボードからの可視化 の削除 を選択することもできます。



その他のトピック

ダッシュボードから 可視化デザイナー 内の可視化を開く

ダッシュボードエディターから、 可視化デザイナーでデータの可視化を開きます。別のオプションセットがあります

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

ダッシュボードエディターで作業しているときに、ダッシュボードエディターではなく、 可視化デザイナーでのみ可能な方法でデータ可視化を再構成したい場合があります。たとえば、[チャートへのドリルダウン] インタラクションを構成できます。データの可視化の [アクション] メニューを使用すると、多くのナビゲーション操作なしで、 可視化デザイナー 内の可視化をワンステップで開くことができます。

手順

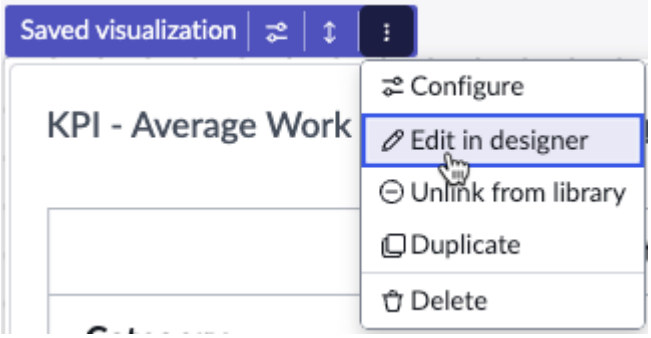
1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ダッシュボードをクリックし、ダッシュボードを開きます。
2. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
3. データの可視化がまだない場合は、追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード要素を編集する」を参照してください。

4. データの可視化で、[アクション] メニューを展開します。



5. [デザイナーで編集] を選択します。

次のタスク

でデータの可視化を編集する 可視化デザイナーの説明に従って、データの可視化の編集に進みます。

データ可視化のダッシュボードコピーをライブラリからリンク解除

ライブラリから保存されたデータの可視化をダッシュボードで編集し、変更がダッシュボードにのみ適用されるようにするには、ライブラリから可視化のローカルコピーのリンクを解除します。

始める前に

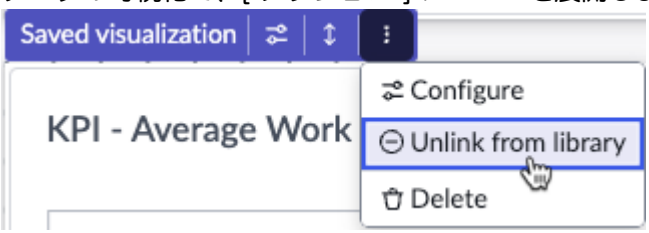
必要なロール:任意

このタスクについて

編集権限のあるダッシュボードでデータの可視化を変更する必要が生じる場合があります。ただし、ライブラリの共有ダッシュボードの場合は、他のユーザーが使用するライブラリのコピーを編集することになります。このような操作はしたくないかもしれませんし、許可されたくないかもしれません。ただし、ダッシュボードを編集できる限り、ダッシュボード上の可視化をライブラリからリンク解除できます。次に、自由に編集できるローカルバージョンができあがります。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ダッシュボードをクリックし、ダッシュボードを開きます。
2. [編集] を選択して、ダッシュボードを編集モードにします。
3. 保存されたデータの可視化をライブラリから追加します (まだ存在しない場合)。
   詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード要素を編集する」を参照してください。
4. データの可視化で、[アクション] メニューを展開します。



5. [ライブラリからリンクを解除] を選択します。

> **注:**
> 複製する権限がない場合でも、ライブラリから可視化のリンクを解除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
データの可視化は、ダッシュボードにローカルコピーとして存在し、必要に応じて編集できます。

でデータの可視化を編集する 可視化デザイナー

データの可視化を作成したら、それに戻り、データの可視化の外観やその他の側面を編集できます。

始める前に
必要なロール:ライブラリ内の共有ビジュアル化でない限り、所有しているデータビジュアル化を編集できます。データの可視化がライブラリにあり、所有している場合、それを編集するには itil、report_user、または viz_creator ロールが必要です。viz_admin 以上のロールを持つ任意のデータ可視化を編集できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. 編集する可視化を選択します。
3. 可視化デザイナーで、構成アイコン ( ) を選択して、ヘッダー、データ、およびプレゼンテーションのオプションを編集します。
4. 情報) を選択して、名前、説明、認定、および要求者情報を編集します。

データ可視化の詳細

[詳細] ペインには、現在編集しているデータの可視化に関する重要な情報の概要が表示されます。

可視化デザイナーの [詳細] を選択して、編集している可視化の詳細を表示します。次の情報を表示できます。

フィールド	説明
[Name (名前)]	名前には意味のあるものが必要です。編集権限がある場合は、ここで名前を変更できます。
説明	説明は、他のユーザーが可視化の性質と目的を理解するのに役立つ情報である必要があります。編集権限がある場合は、ここで説明を変更できます。
認定としてマーク	組織で使用するデータの可視化を認定できるロールがある場合は、ここで可視化を認定または非認定します。詳細については、「でデータ可視化を認定する 可視化デザイナー」を参照してください。
要求者	インスタンスのユーザーがこの可視化の作成または編集を要求した場合は、ここでその人に名前を付けることができます。ユーザーは責任ユーザーと見なされます。データの可視化は、編集権限を持つユーザーと共有されます。
作成者、最終更新者	この可視化を作成し、最後に更新したユーザー
使用法	
n ダッシュボード	可視化がダッシュボードで使用されている場合は、ダッシュボードの数がここに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[ダッシュボードを表示] リンクをクリックすると、自分が作成したダッシュボード、または自分と共有された、このデータの可視化を含むダッシュボードの簡単なリストが開きます。リストされるダッシュボードの数は、ビジュアル化を含むダッシュボードの合計数よりも少なくすることができます。
共有	ビジュアル化が共有されているすべてのユーザーのアイコン。アイコンをポイントすると、ユーザーのフルネームと共有の詳細が表示されます。詳細については、「でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー」を参照してください。

でデータ可視化を認定する 可視化デザイナー

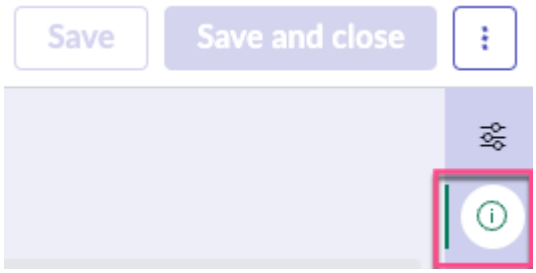
データの可視化を認定して、再利用が会社によって承認されていることを示します。

始める前に

必要なロール:admin、viz_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) ワークスペース、または認定するアナリティクスセンター ( ) ページとダッシュボードを含むワークスペース。
2. [データの可視化] タブで、認定するダッシュボードを選択します。
3. 情報ボタン ( ) を選択して [詳細] パネルを開きます。



4. [認定済みとしてマーク] というラベルの付いたトグルを選択します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

認定バッジは、可視化デザイナーで可視化の名前の横に表示されます。

[データの可視化] タブの [認定されたデータの可視化] の下に可視化が表示されます。可視化は、[認定済み] 列でも True とマークされます。この列は表示されない場合があります。[列を編集] アイコン ( ) を選択して追加します。

からダッシュボードに可視化を追加する 可視化デザイナー

可視化デザイナーから新しいダッシュボードまたは既存のダッシュボードに可視化を追加します。

始める前に

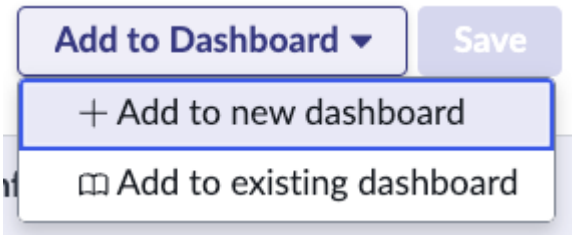
必要なロール:ビジュアル化内のデータへのアクセスを許可するロールが必要です。ビジュアル化を所有しているか、共有する必要があります。可視化を追加するダッシュボードを編集する権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

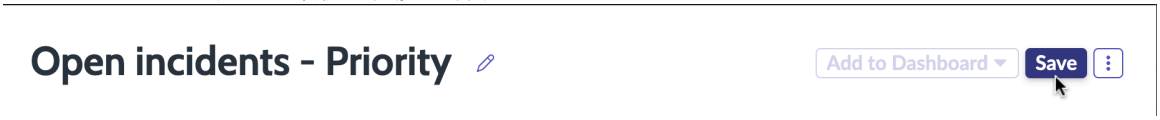
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. データの可視化を作成するか、ダッシュボードに追加するデータの可視化を開きます。
3. [ダッシュボードに追加] を展開し、次のオプションから選択します。



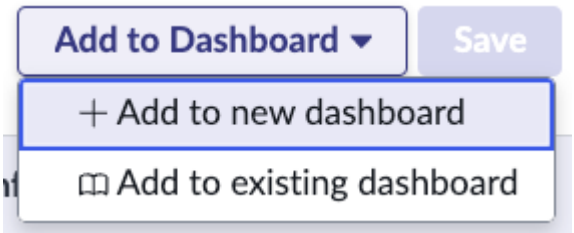
Example: 既存のダッシュボードへの可視化の追加

データの可視化「オープンインシデント - 優先度」の作成が完了しました。編集権限のあるダッシュボード [インシデントの概要] に追加する必要がある。

1. まず、ビジュアル化への最後の変更を保存します。



2. 保存すると、[ダッシュボードに追加] オプションが使用可能になります。



3. 既にダッシュボードを念頭に置いているため、[既存のダッシュボードに追加] を選択します。ダイアログボックスが開きます



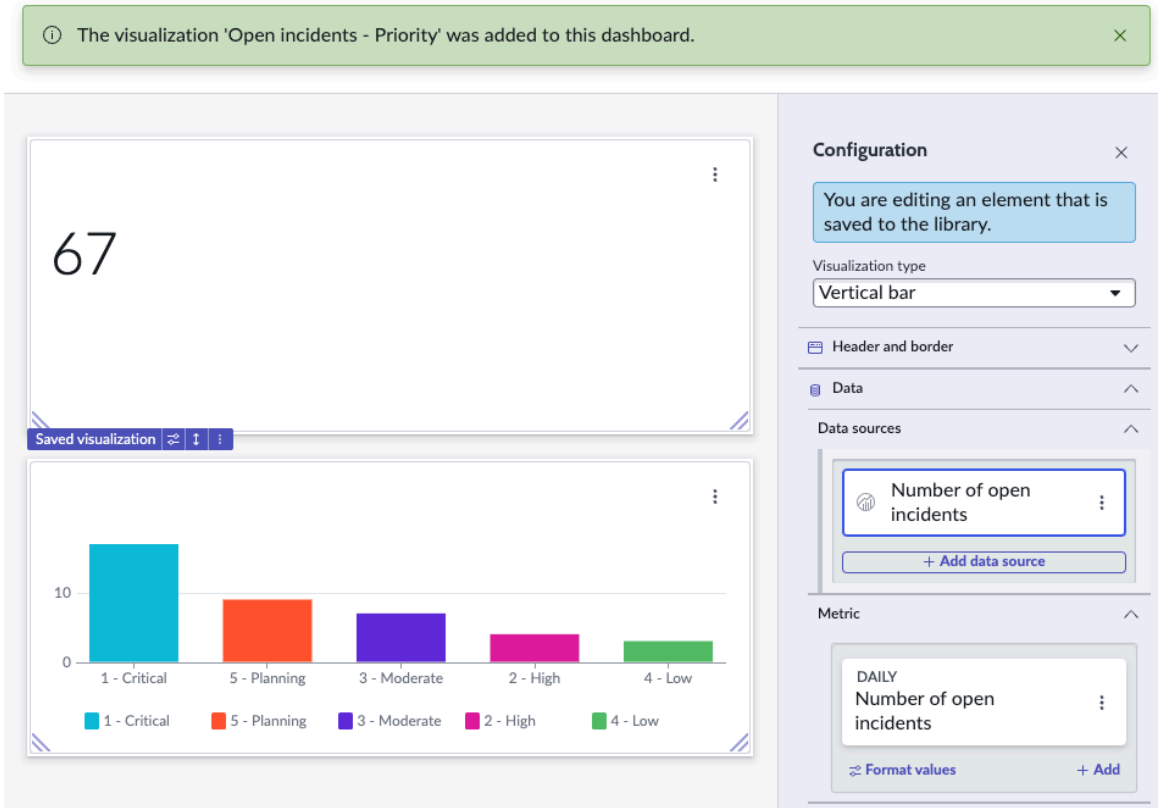
4. [**Select dashboard**] フィールドに「Inc」と入力すると、[Incidents Overview] ダッシュボードが一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [インシデントの概要] ダッシュボードを選択し、[ダッシュボードに追加] を選択します。
6. インシデントの概要ダッシュボードがインラインエディターで開きます。ブラウザーページを更新すると、最後に [オープンインシデント - 優先度] データの可視化が追加されます。



自動翻訳

での可視化の複製 可視化デザイナー

可視化のコピーでソースの側面を使用できるように、可視化を複製します。

始める前に

必要なロール：viz_creator

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [データの可視化] タブを選択します。
3. 複製する可視化を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [その他のアクション] メニュー ( ) から、[複製] を選択します。
5. 複製に一意の名前を付け、[複製] を選択します。

タスクの結果

可視化が新しい名前でコピーされます。視覚化の他のすべての側面は同じままです。

重要:
可視化の新しいコピーが自動的に保存されます。

でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー

可視化を共有して、ユーザー、グループ、またはロールに表示または編集権限を付与します。ユーザーは、元のインスタンスの任意のワークスペースで共有されている可視化にアクセスできます。

始める前に

重要:
ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

必要なロール:作成したデータ可視化を共有できます。データの可視化を共有すると、その可視化をさらに共有する権限を渡すことができます。また、編集権限と共有するか、表示権限のみと共有するかも決定します。データの可視化が共有および編集権限で共有されている場合は、編集権限を渡すこともできます。

admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーは、すべてのデータ可視化を共有できます。admin ロールおよび viz_admin ロールを持つユーザーのみが、ロールとデータの可視化を共有できます。

可視化をユーザー、グループ、またはロールと共有すると、その可視化が [データの可視化] の概要の [自分と共有] タブに追加されます。ロールを持つユーザーは誰でも、テーブルレベルであらゆる可視化をリストおよび表示できます。Report_viewアクセス制御リスト (ACL) は、ユーザーがどのように可視化にアクセスしても適用されますが、ACL を変更すると、UI ビルダーで使用されるデータの可視化が壊れる可能性があります。

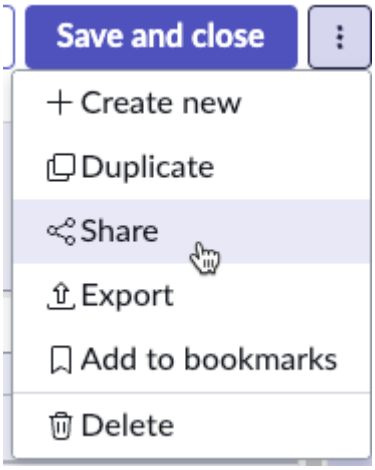
データの可視化を共有することによって付与される編集権限は、ダッシュボードに配置されたその可視化には適用されず、可視化デザイナーにのみ適用されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化、または自分が所有する可視化を含むワークスペースに移動します。
2. 共有する可視化を見つけて開きます。
3. [その他のアクション] メニューを展開し、[共有] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. データの可視化を共有する 1 人以上のユーザー、グループ、またはロールの名前を入力します。

   注:
   - データの可視化を非アクティブなユーザーと共有することはできません。
   - admin または viz_admin ロールを持つユーザーにのみ、可視化をロールと共有するオプションが表示されます。

5. データの視覚化を共有するユーザーがそのデータの視覚化を共有できるようにするには、 受信者に共有を許可する を選択します。
   ユーザー、グループ、またはロールをビューアーとして追加すると、ビューアーとしてのみ可視化を共有できます。ユーザー、グループ、またはロールをエディターとして追加すると、閲覧者またはエディターとしてダッシュボードを共有できます。
6. 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
閲覧者として追加	可視化を共有しているユーザー、グループ、またはロールにのみ、表示権限を付与します。受信者は編集できません。
編集者として追加	可視化を共有するユーザー、グループ、またはロールに編集権限を付与します。

7. [**Confirm** (確認)] を選択します。

データ可視化へのアクセスの管理

データの可視化を共有するユーザーのアクセス権を変更できます。

始める前に

重要:
ダッシュボードまたはデータ可視化を共有する権限には、そのダッシュボードまたはデータ可視化に対する、任意のユーザー、グループ、またはロールの共有権限を追加、編集、削除する権限が含まれます。最初に編集権限が付与されていないユーザーは、この機能を使用して自分や他のユーザーに編集権限を付与することはできません。

必要なロール:ロールに関係なく、作成したすべてのデータ可視化に対するアクセス権を変更できます。admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーは、すべてのデータ可視化に対するアクセス権を変更できます。admin ロールと viz_admin ロールを持つユーザーのみが、データの表示方法に

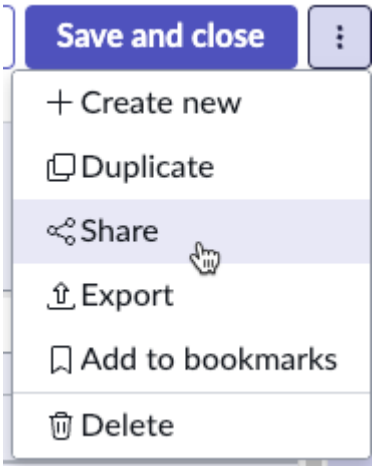
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

対するロール関連のアクセス権を変更できます。デフォルトでは、すべてのユーザーがデータの可視化を表示できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化、またはアナリティクスセンターテンプレート ( ) に基づくコンポーネントと共有するデータ可視化を含むワークスペースに移動します。
2. [データの可視化] タブを開き、アクセス権を管理するデータの可視化を選択します。
3. [その他のアクション] メニューを展開し、[共有] を選択します。



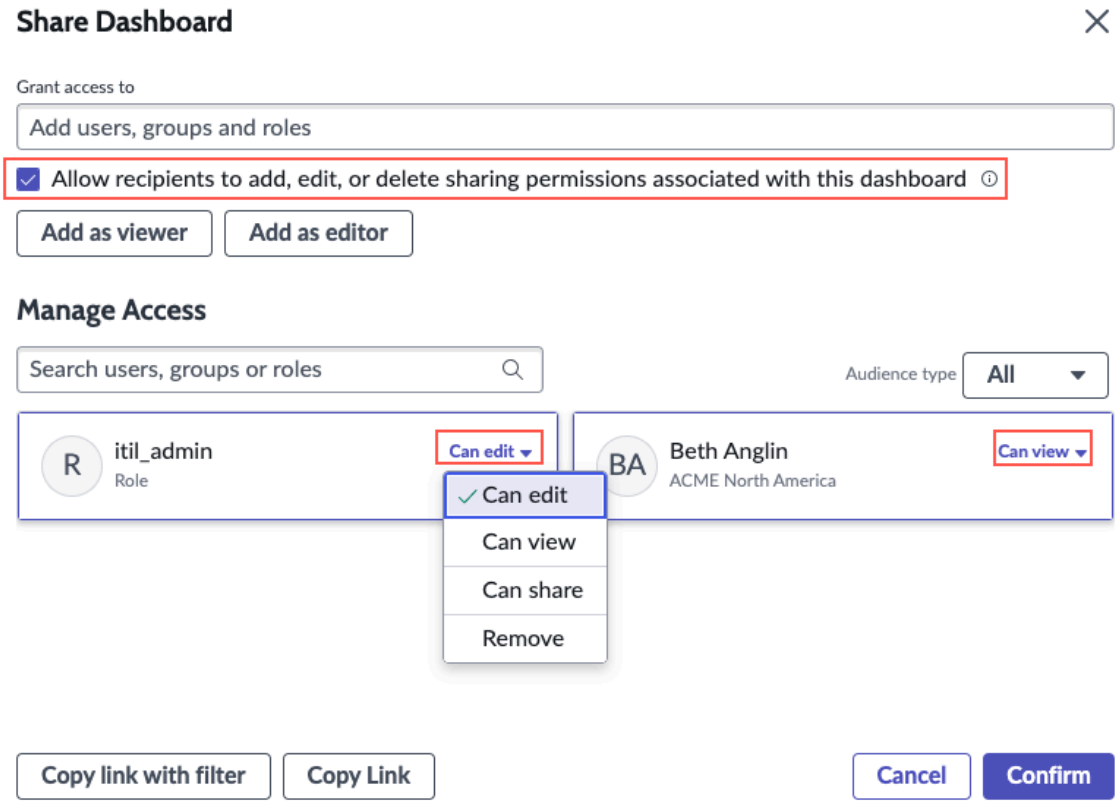
[アクセスを管理] に、データの可視化が共有されているすべてのユーザー、グループ、またはロールのタイルが表示されます。

4. オプション: ユーザータイルをフィルタリングします。
   a. [対象者タイプ] で、表示されるタイルを、ユーザーのみ、グループのみ、またはロールのみを表示するように制限します。
   b. 検索フィールドにユーザー、グループ、またはロールの名前の一部を入力します。
5. 目的のタイルを見つけたら、権限のリストを展開し、付与する権限を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

編集権限を付与することも、表示権限のみを付与することもできます。データの可視化を共有する権利を付与または剥奪することができます。最後に、ユーザーを削除して、データの可視化をそのユーザーと共有しないようにすることができま



す。

自動翻訳

から可視化をエクスポートする 可視化デザイナー

個々のデータの可視化をさまざまな形式とサイズにエクスポートします。エクスポートをダウンロードするか、メールで共有します。

始める前に

必要なロール:自分が作成した、または自分と共有された可視化をエクスポートできます。admin または viz_admin ロールを持つユーザーは、データの可視化をエクスポートできます。

このタスクについて

注:

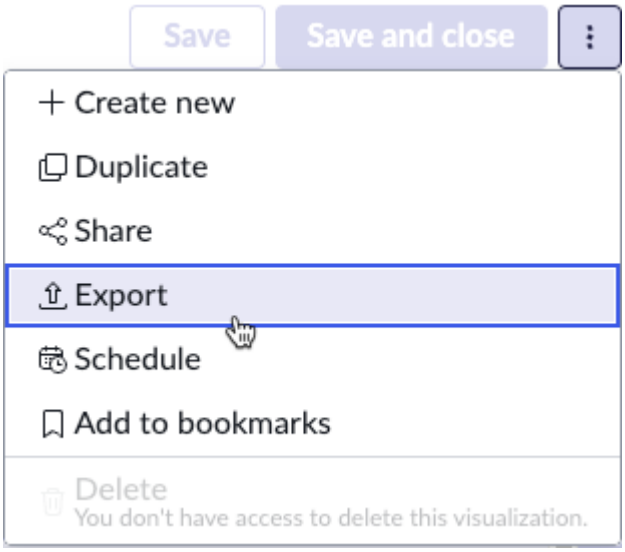
- カレンダーレポートまたはインジケータースコアカードはエクスポートできません。
- インスタンスに Pro Plus ライセンスがある場合は、 Now Assist パネルを使用してダッシュボードを会話形式でエクスポートできます。「」を参照してください。

PowerPoint にエクスポートされたデータの可視化には、タイトルと説明が含まれます (これらの情報がソースの可視化で指定されている場合)。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. エクスポートする可視化を選択します。
3. [その他のアクション] メニュー ( ) から 、[エクスポート] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [エクスポートするファイル (File to export)] セクションで、次の情報を構成します。

フィールド	説明
ファイルタイプ	データの可視化を Microsoft PowerPoint、PDF、PNG、または JPEG 形式でエクスポートします。PNG を添付ファイルまたは ZIP として送信する代わりにメール本文に埋め込むには、[埋め込み **PNG**] を選択します。画像に関するメールを編集できます。 リスト - シンプルな視覚化は、PDF ファイルまたは Microsoft Excel ファイルとしてエクスポートできます。
ページ形式	PDF、PNG、埋め込み PNG、JPEG の場合は、[レター]、[A4]、または [A3] を選択して、印刷されるビジュアリゼーションの用紙寸法に対応します。ピボットテーブルをエクスポートする場合は、[動的] を選択して、表示しているページに合わせて可視化のサイズを変更できます。 リスト - 簡易可視化ではページ形式を設定できません。
向き	[縦向き] または [横向き] を選択します。PowerPoint のエクスポート、動的形式のピボットテーブル、またはリスト - 簡易可視化では使用できません。

5. [配信] で、[ファイルのダウンロード] または [メールでファイルを送信] を選択します。

- ファイルのダウンロードを選択すると、エクスポートの完了後に [ダウンロード] ボタンが使用可能になります。<visualization-name>.<filetype> という名前のファイルが、デフォルトのローカル宛先にダウンロードされます。
- メールでファイルを送信する場合は、インスタンス上のユーザーとグループ、または許可された任意のメールアドレスを選択できます。セキュリティ上の制約により、メールの送信先が制限される場合があります。件名を指定する必要があり、メッセージを追加することもできます。完了したら、[エクスポート] を選択します。

  注:
  インスタンス上にいないユーザーにメールを送信するには、送信メールを設定する必要があります。開発者サイトの「送信メール設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化またはダッシュボードのエクスポートをスケジュールする

データビジュアル化のエクスポートとメール送信を自動化します。同僚がプレゼンテーションを作成したり、外部ユーザーと情報を共有したり、データを経時的に追跡したりするのに役立ちます。

始める前に

必要なロール:アクセスできるダッシュボードまたはビジュアリゼーションのエクスポートをスケジュールするためのpar_scheduler、またはそれを含む任意のロール。par_scheduler_adminロールまたはそれを含むロールがある場合は、任意のデータ可視化のエクスポートをスケジュールできます。

このタスクについて

複数のダッシュボードとデータの可視化を 1 つのスケジュール済みメールにまとめてエクスポートできます。

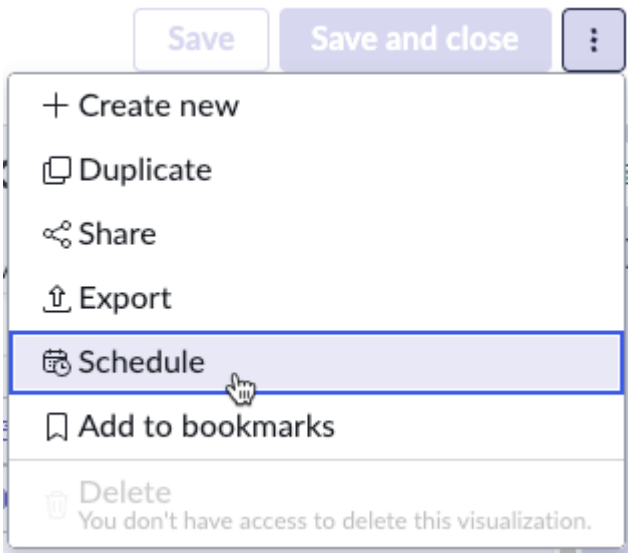
注:
このトピックは、ダッシュボードとデータ可視化の両方のドキュメントで利用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ をクリックし、[データの可視化] または [ダッシュボード] を選択します。
2. 定期的にエクスポートするアイテムを選択します。

   注:
   カレンダーレポートまたはインジケータースコアカードはエクスポートできません。

3. [その他のアクション] メニュー (⋮) から 、[スケジュール] を選択します。
   編集モードにすることはできません。



   ダッシュボードまたはデータの可視化をエクスポートするためのすべてのオプションが表示されます。このオブジェクトをエクスポートしない場合は、「 変更」を選択します。
4. ファイルタイプを選択します。
5. ダッシュボードまたはデータの可視化を PDF にエクスポートする場合、またはデータの可視化をグラフィックファイルにエクスポートする場合は、ページの形式と向きを選択します。
6. ダッシュボードを Power Point にエクスポートする場合は、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

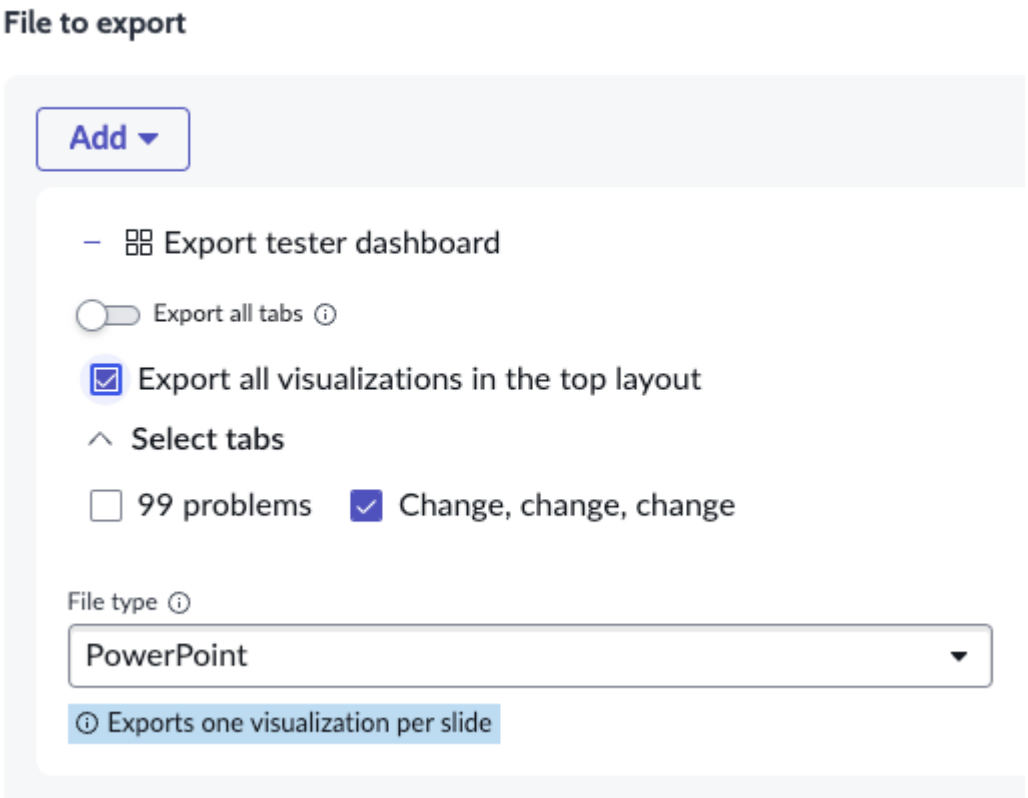
a. すべてのタブをエクスポートするか、特定のタブのみをエクスポートするかを選択します。

b. 特定のタブのみをエクスポートする場合は、エクスポートするタブと、上部レイアウトの内容を含めるかどうかを選択します。

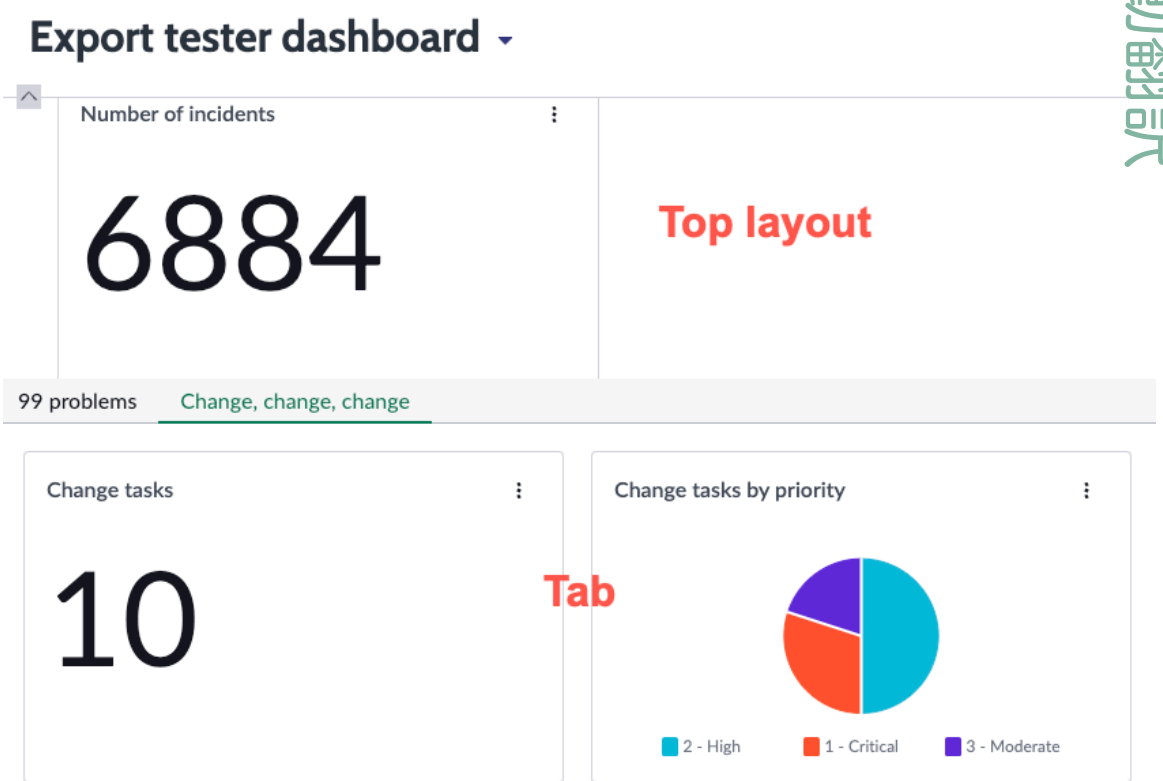
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードタブのエクスポートの構成



エクスポートされる可視化



7. エクスポートにダッシュボードまたはデータの可視化をさらに追加するには、次の手順を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [追加] メニューを展開します。

b. [ダッシュボード] または [データの可視化] を選択します。

c. エクスポートするダッシュボードまたは可視化を 1 つ以上選択します。

d. ステップ 4 から 6 のように、追加した各ダッシュボードまたは可視化のエクスポート基準を構成します。

ダッシュボードとデータの可視化の両方を 1 つのエクスポートに追加できます。

8. 埋め込まれていない書き出しを ZIP ファイルとして送信するには、「 **ZIP** ファイルとして送信」をオンにします。

9. [メールスケジュール] セクションで、メールを送信するタイミングと頻度を指定します。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	オンにすると、スケジュール済みエクスポートメールの配信が有効になります。
再発	エクスポートメールを送信する頻度を選択します。
曜日、時刻、その他のカレンダーフィールド	メールを送信するタイミングを指定します。オプションは、[繰り返し] でメールを送信する頻度によって異なります。時間フィールドは HH:MM:SS 形式です。
レコードがない場合は省略	オンにすると、空のメールが配布されなくなります。
使用条件	オンにして、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。Now Platform 上のスクリプトの詳細については、「スクリプト」を参照してください。 **⚠ 警告:** スケジュール設定済みメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。

10. [メールの詳細] セクションで、受信者とメールの件名を指定します。
インスタンスのユーザーとグループ、または許可された内部または外部のメールアドレスを入力できます。セキュリティ上の制約により、レポートの送信先が制限される場合があります。メッセージを追加することもできます。インスタンス上にいないユーザーにメールを送信するには、送信メールを設定する必要があります。送信メールの設定を参照してください。

11. [保存] を選択してスケジュールを保存します。

で可視化をブックマーク 可視化デザイナー

可視化をブックマークして、[データの可視化] ライブラリで簡単に見つけられるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：なしデータビジュアライゼーションにアクセスできるユーザーは誰でも、自分でブックマークできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. ブックマークする可視化を選択します。
3. その他のアクションメニュー( )から、「 ブックマークに追加」を選択します。

タスクの結果
[データの可視化] タブで、選択したビジュアライゼーションが [ブックマーク済み] リストに表示されます。

次のタスク
ブックマークを削除するには、ブックマークされたビジュアライゼーションを選択し、[その他のアクション] メニュー( )から [ブックマークを削除] を選択します。

で可視化を削除する 可視化デザイナー

役に立たなくなったデータ可視化を削除することができます。

始める前に
可視化を表示できるすべてのユーザーに、それを削除することを通知します。可視化がダッシュボードで使用されているかどうかを確認するための検証は実行されません。

必要なロール:作成したデータ可視化を削除できます。admin ロールまたは viz_admin ロールを持っている場合は、データの可視化を削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. 削除するデータの可視化を開きます。
3. [その他のアクション] メニュー ( ) から 、[削除] を選択します。
4. 削除を確定します。
   このアクションを元に戻すことはできません。

データの可視化の表示

ダッシュボードビューアーには、データ可視化が実行時に表示される内容に影響を与える方法がいくつかあります。

ビューアーとしてデータの可視化でグループ化値を選択する

データ可視化のビューアーは、可視化内のデータをグループ化するための値を選択できます。

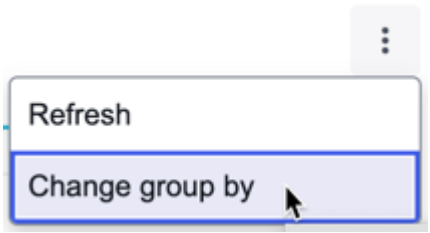
データの可視化が代替のグループ別値で構成されている場合、ビューアーは適用する値を選択できます。編集権限は必要ありません。

注:
代替グループ化基準を構成する手順は、関連するデータ可視化のデータオプションのトピックに含まれています。

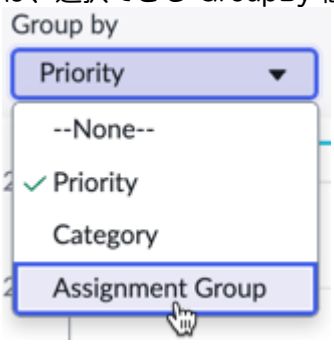
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

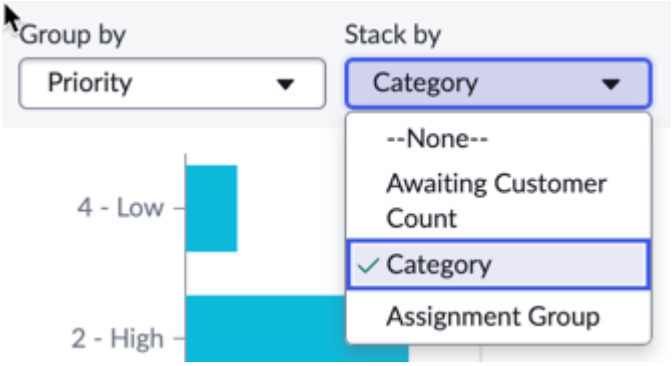
データの可視化の [その他のアクション] メニューで [グループの変更] を選択して、グループ化値のセレクターの表示を切り替えます。可視化の編集者は、セレクターをデフォルトで表示するか非表示にするかを設定できます。



グループ化をサポートするすべてのデータ視覚化では、ピボットテーブルを除き、閲覧者がグループ化値を選択することもできます。棒グラフによるチャート化を除くすべてのデータのチャート化では、選択できる GroupBy 値は 1 つだけです。

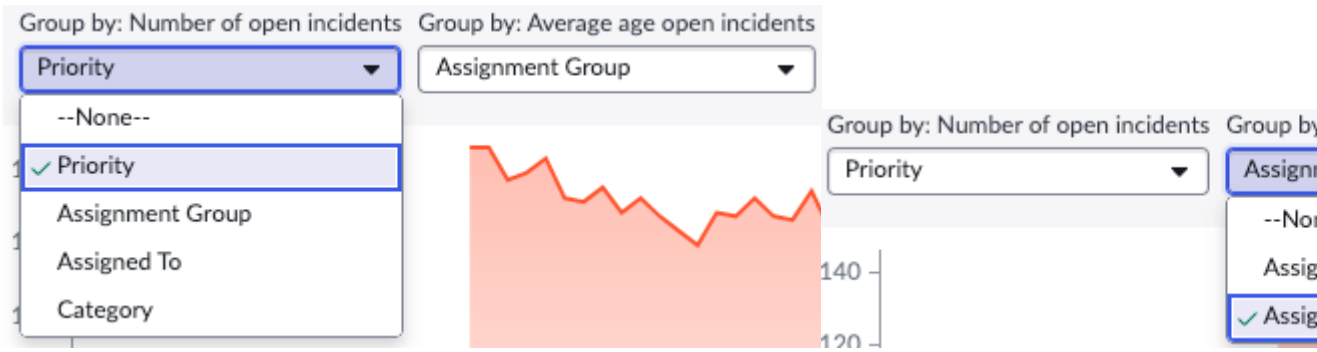


棒グラフによる可視化を表示している場合は、積み重ね値とグループ値を選択できます。



複数のメトリクスを表示する時系列の可視化では、メトリクスごとにグループを選択するオプションがある場合があります。有効な選択肢のみが与えられます。

時系列の各メトリクスのグループ値の選択



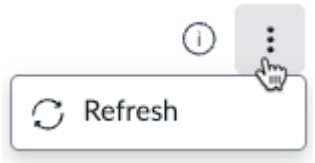
ビューアーとしてデータの可視化を更新する

データ可視化のビューアーは、ページを更新したり編集権限を持たせたりすることなく、そのデータ可視化を更新できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データの可視化を表示しているユーザーは誰でも、可視化の [その他のアクション] メニューからその可視化を更新できます。



データの可視化の構成

詳細構成オプションの詳細について説明します。ほとんどの構成オプションは、特定のタイプのデータ可視化を作成するコンテキストでのみ説明されていますが、これらのオプションはより複雑で、すべての可視化タイプで共有される特性があります。

データ可視化のためのデータソースの選択

データの視覚化の主な目的は、データを表示することです。したがって、データの視覚化を作成する上で最も重要な手順の 1 つは、表示するデータのソースを選択することです。

> **注:**
> このドキュメントは、可視化デザイナーまたはインラインダッシュボードエディターでのデータの可視化に焦点を当てています。この情報は UI ビルダーにも適用されますが、後者の環境では、カスタムデータソースや JSON データソースなど、より多くのオプションがあります。

データソースは、データ可視化のために最初に選択する 2 つのもののうちの 1 つで、可視化タイプの直前または直後に選択します。

データ可視化のためのテーブルデータソースの選択

レコードを表示するテーブルを選択します。事前定義条件またはカスタム条件でフィルタリングします。レコードリストをプレビューします。

始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

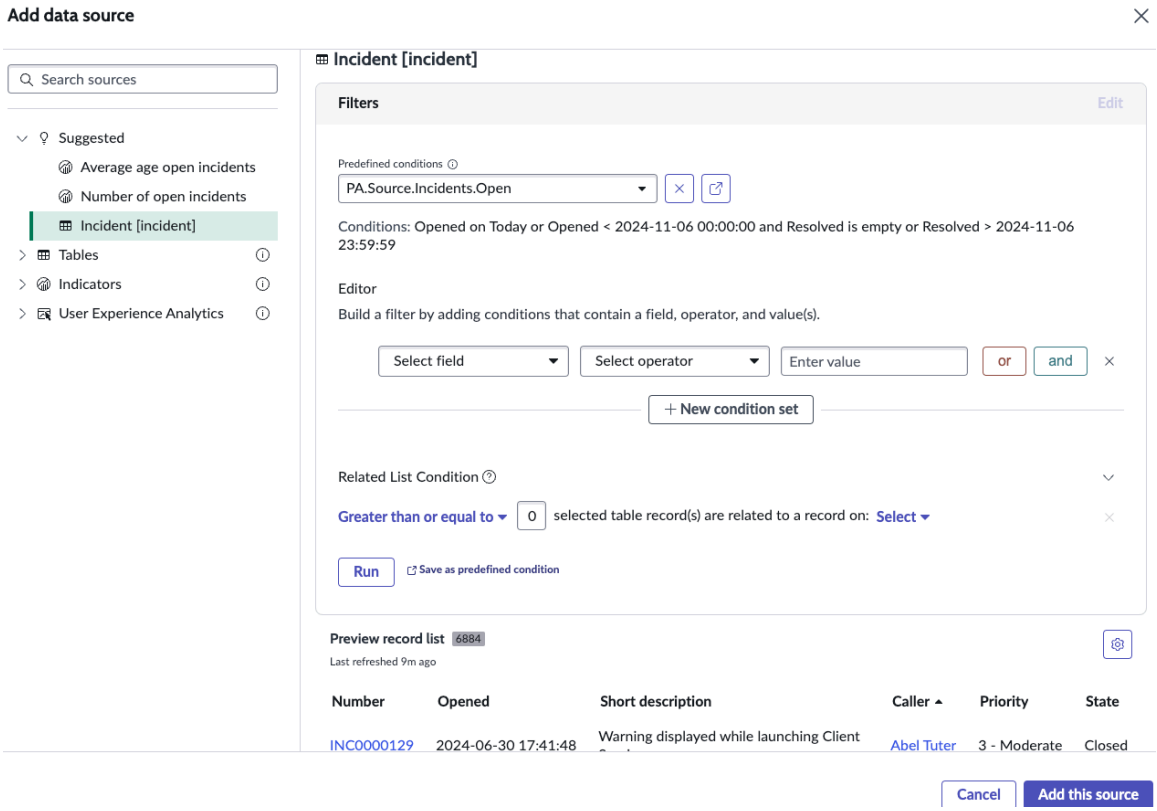
このタスクについて

この手順は、データビジュアル化を作成または編集しており、データソースの選択に関する詳細情報が必要であることを前提としています。また、可視化デザイナーまたはインラインダッシュボードエディターのいずれかで作業していることも前提としています。UI ビルダーでは、さらに多くのオプションを使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化へのテーブルデータソースの追加



手順

1. 新しいデータ可視化の作成を開始するか、既存の可視化を編集用に開きます。
   詳細については、「データの可視化の作成」を参照してください。
2. 次のいずれかを選択します。
   - グラフタイプをまだ選択していない場合は、メインパネルから [データソースの追加] を選択します。
   - グラフタイプを選択した場合は、構成パネルの [データソース] セクションから [データソースの追加] を選択します。
3. テーブルデータソースを選択するには、次のいずれかを選択します。
   - [検索ソース] フィールドにテーブル名または名前の最初の数文字を入力します。
   - [提案] リストでテーブルを見つけます。テーブルはテーブルアイコンで示されます。
   - [テーブル] リストを展開し、目的のテーブルまで移動します。

   テーブルを選択すると、フィルターとプレビューリストが利用可能になります。
4. オプション: 事前定義フィルターを選択します。
   事前定義フィルターは、レポートソース [sys_report_source] テーブルで定義されます。詳細については、「レポートソース」を参照してください。
5. オプション: **[+** カスタム条件の追加] を選択し、Now Platform条件ビルダーでフィルターを作成します。
   詳細については、「Condition builder」を参照してください。
6. **[+** カスタム条件を追加] を開いた状態で、[関連リスト条件] を展開して別のテーブルのフィールドとの関係を追加します。
   関連リスト条件の作成については、「 Add related list conditions」を参照してください。
7. フィルタークエリを実行するか、レポートソーステーブルに事前定義された条件として保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [Preview records] リストでフィルタリングされたレコードリストを確認します。
   列ヘッダー行のリストを並べ替えたり、ソートしたり、サイズを変更したりすることができます。
   表示する列を選択するか、リストアクションの元の幅に戻すことができます 歯車 。
9. [キャンセル] または [このソースを追加] を選択します。
   データ可視化エディターに戻ります。構成パネルでは、グラフのタイプに応じて、[グループ] フィールドを追加したり、その他のデータプロパティを設定したりできます。

データ可視化のインジケーターデータソースの選択

データのビジュアル化に表示する パフォーマンスアナリティクス インジケーター (KPI) を選択します。インジケーター スコアはブレークダウンでフィルタリングできます。

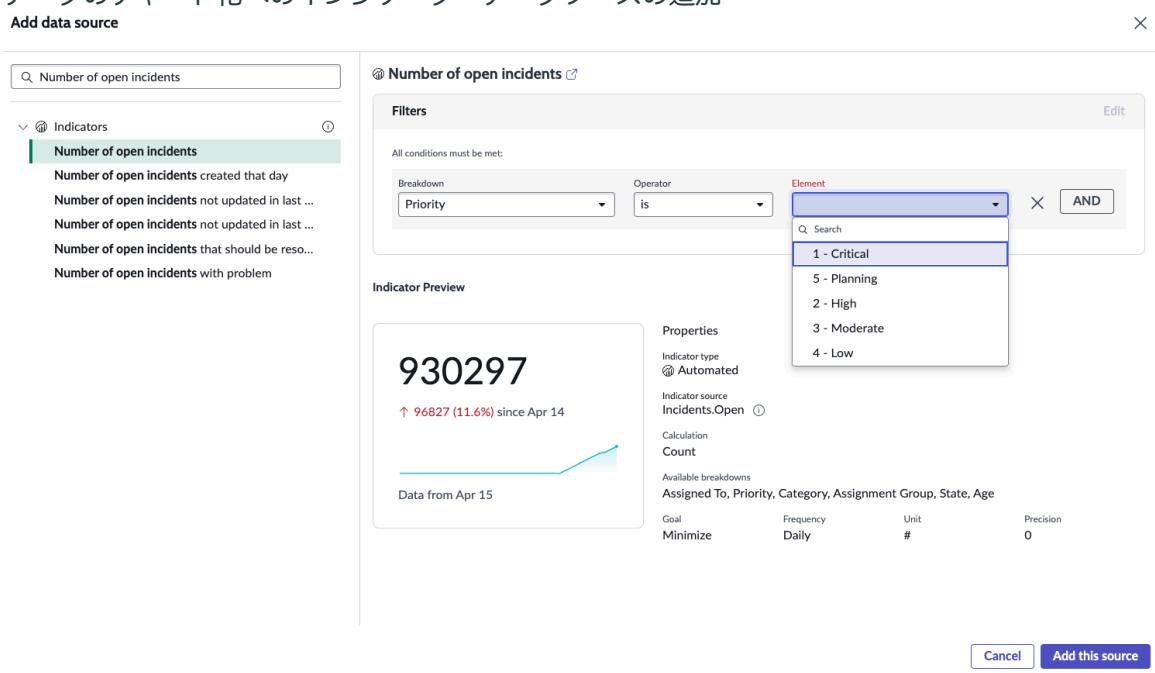
始める前に

必要なロール：データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。itil、report_user、admin、または viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーでビジュアライゼーションを作成すると、ライブラリに保存されます。アクセスの詳細については、「 report_view のアクセス制御 と プラットフォームアナリティクスのロール」を参照してください。

このタスクについて

この手順は、データビジュアル化を作成または編集しており、データソースの選択に関する詳細情報が必要であることを前提としています。また、可視化デザイナーまたはインラインダッシュボードエディターのいずれかで作業していることも前提としています。UI ビルダーでは、さらに多くのオプションを使用できます。

データのチャート化へのインジケーターデータソースの追加



手順

1. 新しいデータ可視化の作成を開始するか、既存の可視化を編集用に開きます。
   詳細については、「データの可視化の作成」を参照してください。
2. 次のいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- グラフタイプをまだ選択していない場合は、メインパネルから [データソースの追加] を選択します。
- グラフタイプを選択した場合は、構成パネルの [データソース] セクションから [データソースの追加] を選択します。

3. インジケーターデータソースを選択するには、次のいずれかを選択します。
   - [検索ソース] フィールドにインジケーター名または名前の最初の数文字を入力します。
   - [提案] リストでインジケーターを探します。インジケーターはインジケーターアイコンでマークされます。
   - [インジケーター] リストを展開し、目的のインジケーターまで移動します。

   インジケーターを選択すると、ブレークダウンセレクターとプレビューリストが利用可能になります。
4. オプション: それぞれに演算子と 1 つ以上の要素を含むブレークダウンを 1 つ以上選択します。ブレークダウンと要素の数は制限される場合があります。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン」を参照してください。
5. インジケーターのプロパティとスコアを確認します。
6. [キャンセル] または [このソースを追加] を選択します。

   データ可視化エディターに戻ります。構成パネルでは、グラフのタイプに応じて、[グループ] フィールドを追加したり、その他のデータプロパティを設定したりできます。

関連情報

データの可視化の作成

インジケーター管理とパフォーマンスアナリティクス

データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース

データビジュアル化コンポーネントで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス に関連するメトリクスを表示できます。使用可能なメトリクスは、可視化のタイプによって異なります。

注:
ユーザーが可視化に ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースを追加するには、アドミン、analytics_admin、または analytics_viewer ロールが必要です。

で利用可能な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション ServiceNow® Store は、いくつかのデータソースを提供します。

イベント

このデータソースは、アプリケーションでトリガーされたイベントを追跡します。可視化のデータソースとして [イベント] を選択した場合は、アプリケーションとイベントも選択する必要があります。棒グラフまたは円/ドーナツグラフによる可視化で、[グループ] フィールドを使用してイベントプロパティを選択します。その後、その単一のイベントプロパティの発生回数と値分布を表示できます。

セッション

このデータソースは、アプリケーションでトリガーされたセッションの数を追跡します。

可視化でこのデータソースを選択する場合は、アプリケーションとカテゴリも選択する必要があります。単一スコアの可視化の場合のみ、カテゴリとして条件を選択できます。条件ビルダーで条件を追加または編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- すべてのセッション:アプリケーションで作成されたすべてのセッションの数を表します。
- 新規セッション:直近の期間に作成されたセッションの数を表します。
- 再ユーザー:複数のセッションを作成したユーザー。
- ロイヤルユーザー:5 つ以上のセッションを作成したユーザー。
- 短いセッション:20 秒未満のセッションの数。
- 長いセッション:300 秒を超えるセッションの数。
- カスタム:このカテゴリを定義するには、少なくとも 1 つの条件を作成します。

ユーザー

アプリケーションを使用しているアクティブな一意のユーザーの数。可視化でこのデータソースを選択する場合は、アプリケーションとユーザーのカテゴリも選択する必要があります。単一スコアの可視化の場合のみ、カテゴリとして条件を選択できます。条件ビルダーで条件を追加または編集できます。

- アクティブユーザー： アプリケーション内のすべてのユーザーの数を表します。
- 新規ユーザー：最初のセッションを実行したユーザーの数を表します。
- 再ユーザー:複数のセッションを作成したユーザー。
- ロイヤルユーザー:5 つ以上のセッションを作成したユーザー。
- 戻らないユーザー:セッションを 1 つだけ作成したユーザー。
- マルチデバイスユーザー:複数のデバイスとのセッションを作成したユーザー。
- カスタム:このカテゴリを定義するには、少なくとも 1 つの条件を作成します。

重要:
すべての可視化タイプのすべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースの日付範囲を指定する必要があります。

次のデータ可視化は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースをサポートしていません。

- カレンダー
- ジオマップ
- ヒートマップ
- ピボットテーブル
- 簡易リスト
- インジケータースコアカード

次のデータ可視化は、イベントのみをサポートしています。

- 円/ドーナツ
- 棒グラフ

時系列データとスコアデータの可視化は、すべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースをサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのデータソース

メトリクス	サポートされている可視化タイプ	グループ	対応
イベント	• スコア (単一スコア、ダイヤル、ゲージ) • 時系列 • パレート図を含むバー • 円とドーナツ • ピボットテーブル	棒グラフ、ピボットテーブル、円グラフ/ドーナツ:イベントのプロパティでサポートされています その他の可視化タイプ:サポート対象外	時系列:日付範囲内のイベントの数 スコア:イベントの発生回数 棒、円/ドーナツ、ピボット:プロパティ別の日付範囲内のイベントのブレークダウン
セッション	• 時系列 • スコア	サポート対象外	時系列:日付範囲内のセッション数 スコア:作成されたセッションの数。応答は条件でフィルタリングすることもできます。
ユーザー	• 時系列 • スコア	サポート対象外	時系列:日付範囲内のアクティブまたは新規ユーザーの数 スコア:アクティブなユーザーまたは新規ユーザーの数。応答は条件でフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

ロール別にデータソースの可用性を制御する

ユーザーがデータの可視化を作成できるデータソースをロール別に制限します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

デフォルトでは、すべてのロールがすべてのデータソースのデータ可視化を作成できます。代わりに、許可リストによって利用可能なデータソースを制限することができます。データソースの可視化データソースの可視化 [sys_viz_data_source_role] レコードを作成すると、指定したロールの少なくとも 1 つを持つユーザーのみが、そのデータソースのデータ可視化を作成できます。許可リストを作成する前に作成した可視化は、まだ存在しています。ただし、ビジュアル化を作成したユーザーは、許可リストのロールのいずれかを持っていない限り、そのビジュアル化を編集できなくなります。

重要:
データソースの可視化データソース可視化レコードを 1 つだけ作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 可視化データソースの可視化 [sys_viz_data_source_role] テーブルに新しいレコードを作成します。
   たとえば、テーブルのリストビューに移動し、[新規] を選択できます。
2. [**Viz** データソース] フィールドで、使用を制限するデータソースを選択します。
   選択肢には、Viz フレームワークデータソース [sys_viz_data_source] テーブルで作成したカスタムデータソースが含まれます。
3. [ロール] の横にある [ユーザーロールの編集] アイコン ( ) を選択します。
4. [利用可能] フィールドで、このデータソースのデータ可視化を作成できるロールをハイライト表示します。
   追加したロールを持つユーザーのみがデータソースにアクセスできます。このレコードを再度開いて、後でロールを追加または削除できます。ロールが削除されているユーザーには、データソースに基づいて可視化を編集しようとすると、データソースにアクセスできないというメッセージが表示されます。
5. 右矢印>ボタンを選択して、ハイライト表示されたロールをレコードに追加します。
6. **[Done** (完了)] を選択します。
7. [**Submit** (送信)] を選択します。

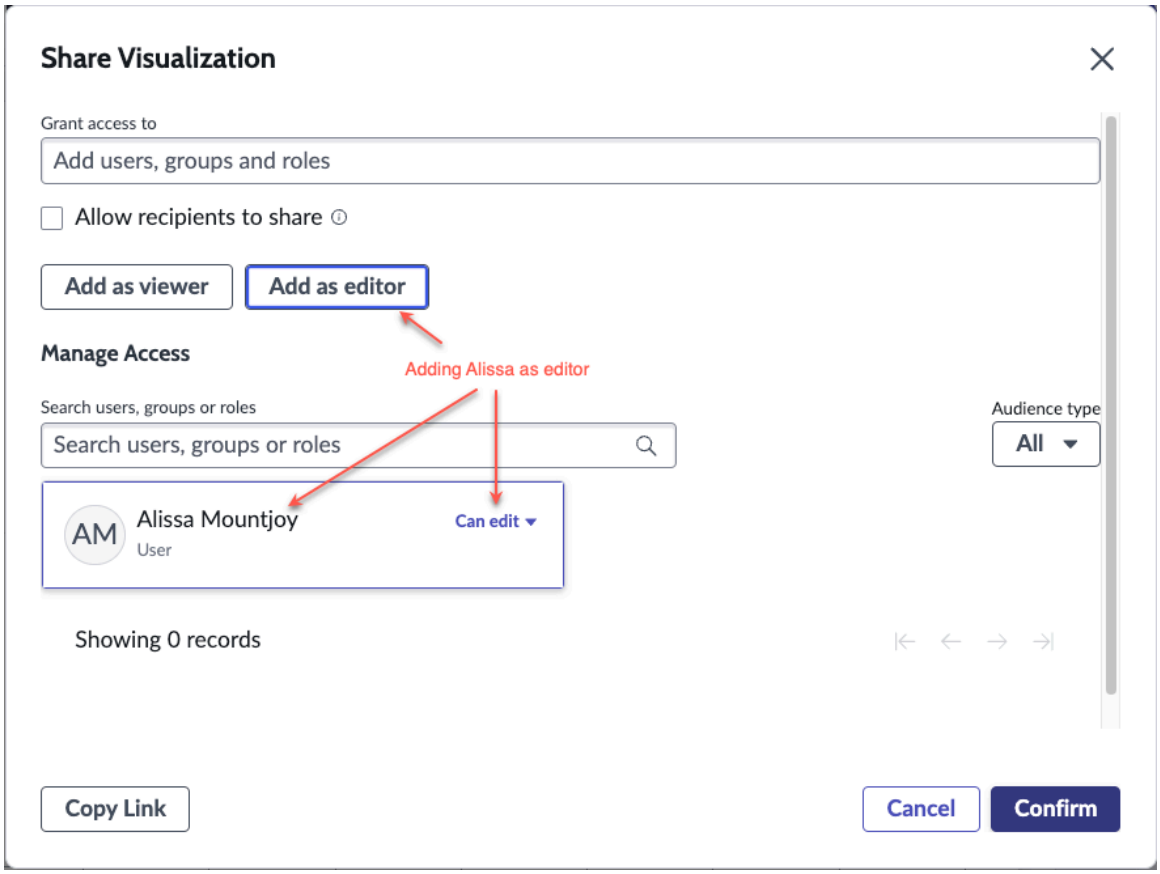
Example: ロール別にデータソースを制限することによる影響

Abel Tuter は、トップのビジネスアナリストです。アベルはpa_power_userロールを持ち、インジケーターを作成できます。Alissa Mountjoy は、インジケーターの データ収集ジョブ をスケジュール設定する技術エキスパートですが、ビジネス アナリストではないためインジケーターを作成しません。Alissa にはpa_data_collectorロールがあります。デフォルトでは、Abel と Alissa の両方がインジケーターに基づいてデータの可視化を作成できます。

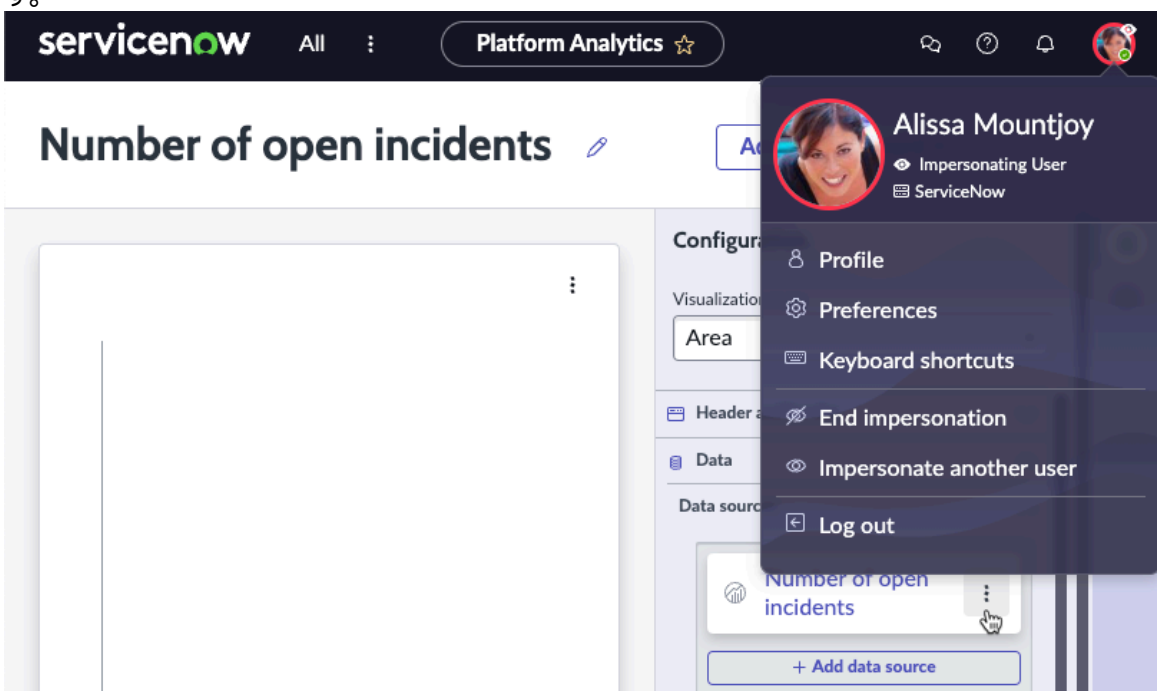
Abel は、オープンインシデントの数インジケーターの時系列データの可視化を作成します。Abel はこの視覚化を Alissa と共有し、編集権限も付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



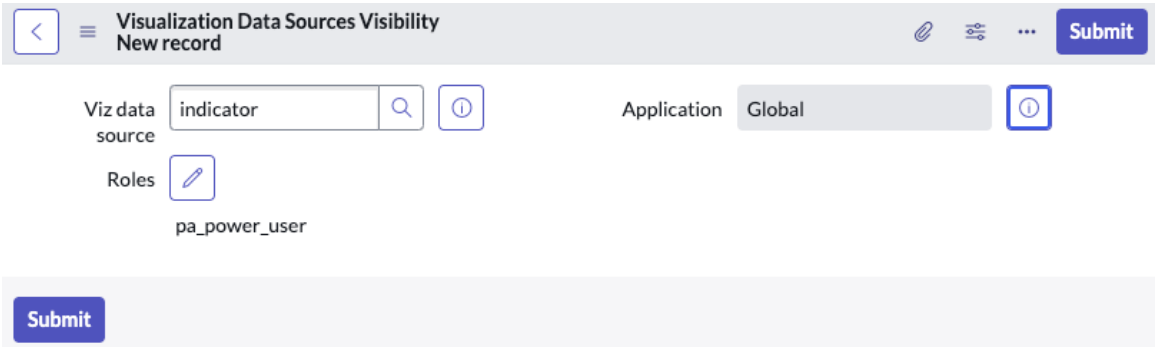
Alissa は、この可視化を編集モードで開き、構成パネルにアクセスできます。彼女はデータソースを編集できます。彼女は、インシデントデータソースを使用して自分で可視化を作成することもできます。



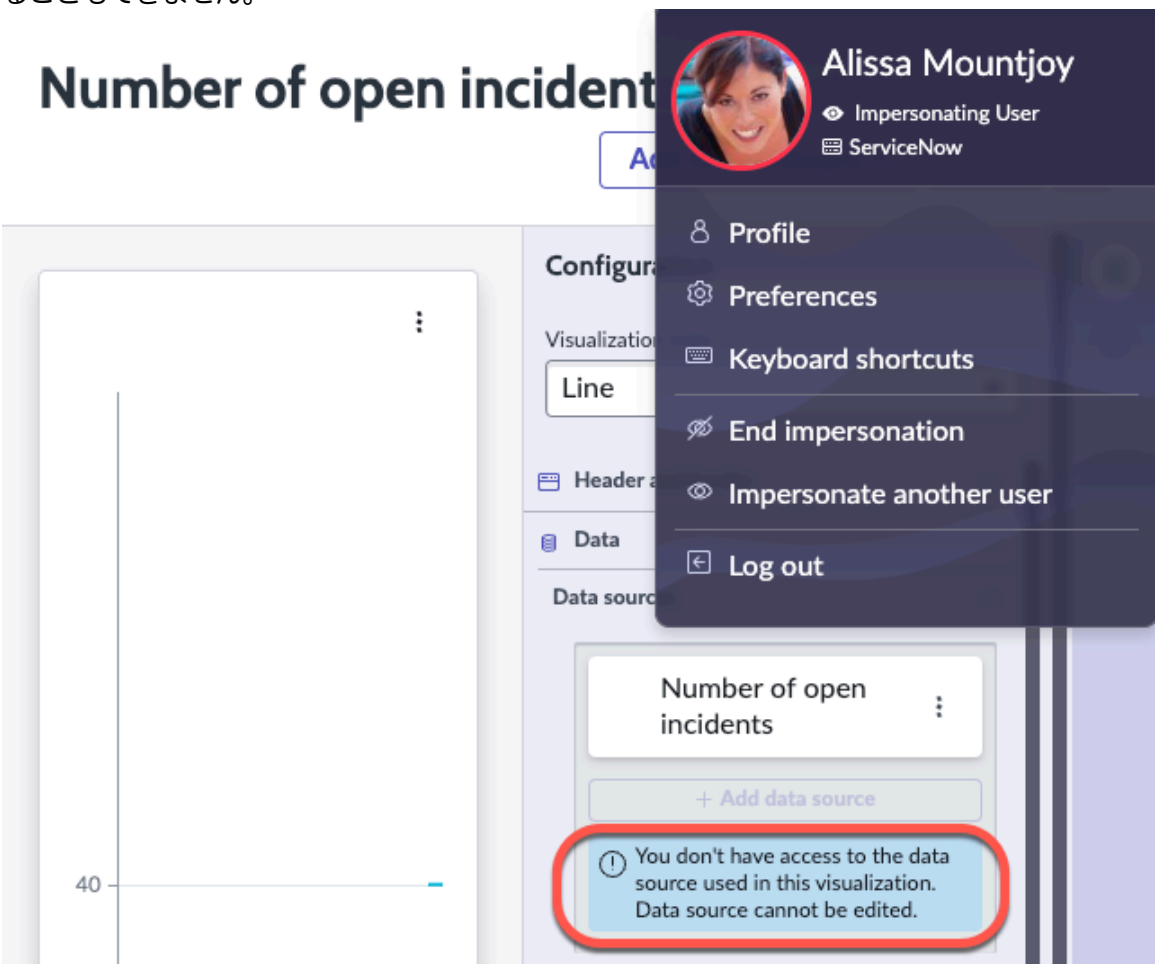
システムアドミニストレーターは、pa_power_userロールを持つビジネスエキスパートのみがインジケーターに基づいてデータの可視化を作成できるようにする必要があると判断しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Alissa には引き続きデータビジュアライゼーションの編集権限がありますが、データソースを編集することはできません。Alissa は、インシデントデータソースを使用してデータの可視化を作成することもできません。



関連情報

データ可視化のデータソース

データ可視化の参照フィールドからのドット連結

ドット連結を使用すると、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドにアクセスでき、これらのテーブルのフィールドでデータの可視化を作成できます。

拡張テーブルの参照には、構成パネルの [メトリクス]、[グループ/積み重ね基準]、[列/行]、または [傾向の基準] フィールドからアクセスするか、データソースを選択するときにカスタム条件を追加するときにアクセスできます。[ソート] オプションを使用すると、拡張テーブル上の適用可能な参照フィールドのソート順を設定することもできます。他のテーブルを参照するテーブルには、矢印 ( ) アイコンが付きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドット連結は、ドット (ピリオド) で区切られたフィールド名のチェーンを作成することによりフィールドを参照します。たとえば、 *incident.assigned_to.company* はインシデントに割り当てられたユーザーの会社を参照します。チェーンの長さの上限は 3 レベルを推奨します。

注:
ドット連結は、テーブルデータソースの可視化にのみ適用されます。

関連情報

ドット連結の例

のドット連結フィールド 可視化デザイナー

テーブルデータのデータ可視化でテーブルフィールドをドット連結する方法について説明します。タスクなどの親テーブルから開始し、インジケーターや問題などの拡張テーブルのデータをドット連結する方法を確認します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

このタスクについて

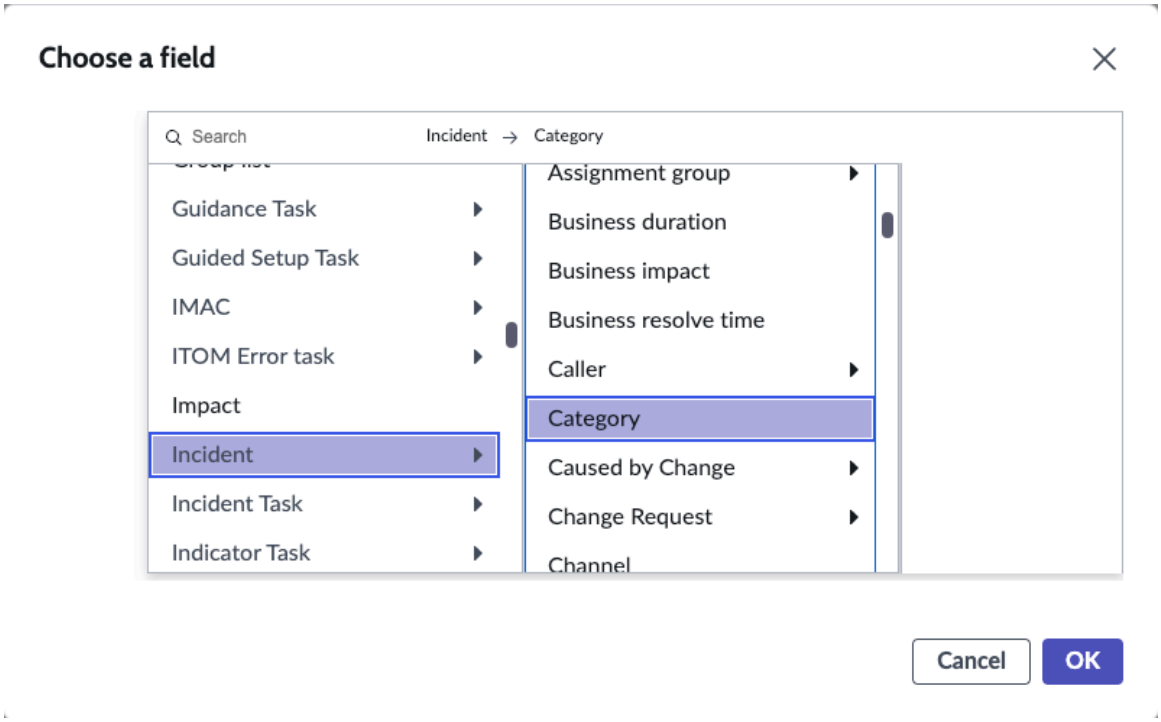
注:
どのフィールドからもドット連結できない場合は、 Now Platform アドミニストレーターに、インスタンスでシステム UI プロパティ *glide.ui.list.allow_extended_fields* が有効になっているかどうかを確認してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. [新規] を選択します。
3. [データの可視化の作成] の下にリストされているデータの可視化のいずれかを作成し、テーブルデータソースを選択します。
4. 可視化のタイプに応じて、構成タブの次のいずれかのセクションを開きます。
   - データソースに **[+** カスタム条件を追加] で開く条件ビルダー。
   - メトリクス
   - グループ
   - 傾向の基準
   - 列
5. セクションでアイテムを編集または追加します
   メトリクスの場合は、[カウント] 以外のアグリゲーションを選択します。
6. [フィールド] で、目的の参照フィールドに移動します。
   参照フィールドには、 ▶ 。
7. 展開矢印を選択して、参照フィールドが指すテーブル内のフィールドのリストを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

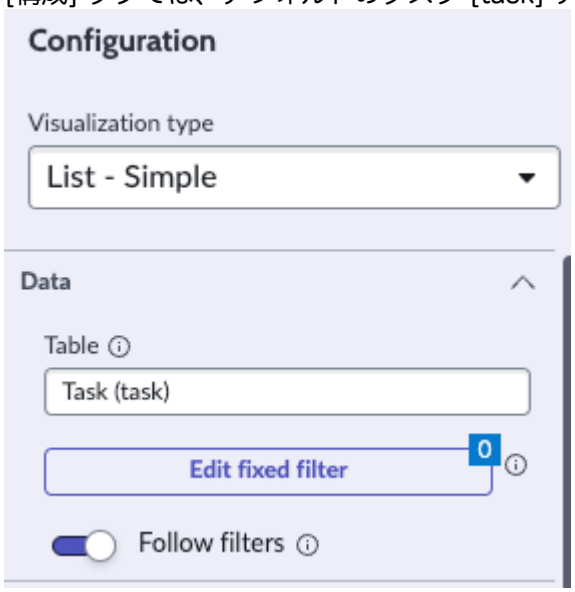


8. フィールドを選択するか、目的のフィールドが見つかるまで参照フィールドをドット連結します。
9. **[OK]** または [適用] を選択します。

Example: タスク **[task]** を拡張する **2** つのテーブルへのドット連結

この例では、タスクテーブルからデータの簡単なリストを作成し、タスクを拡張するインジケーター [indicator] テーブルと問題 [problem] テーブルのフィールドを含めます。

1. プラットフォームアナリティクスライブラリの [データの可視化] リストに移動し、[新規] を選択します。
2. 可視化タイプ フィールドで、簡易リスト ( ) を選択します。
3. [構成] タブでは、デフォルトのタスク [task] テーブルをそのまま使用します。

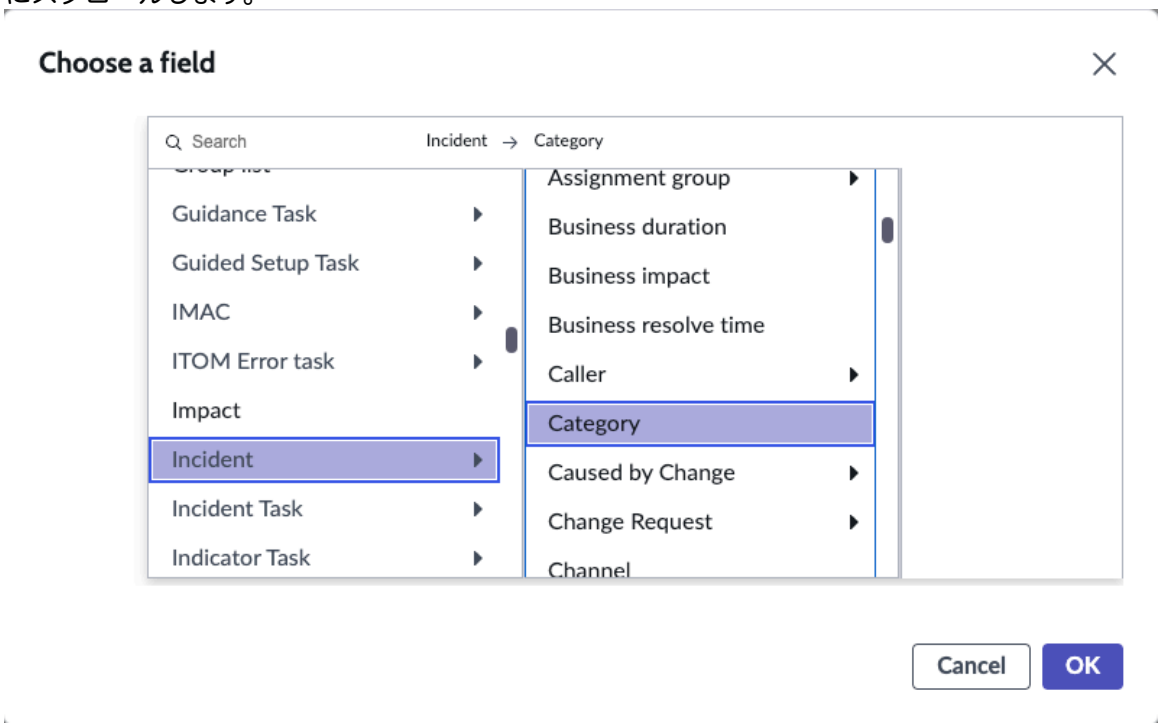


4. [列] フィールドで [+ 追加] を選択し、[インシデント] まで下にスクロールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

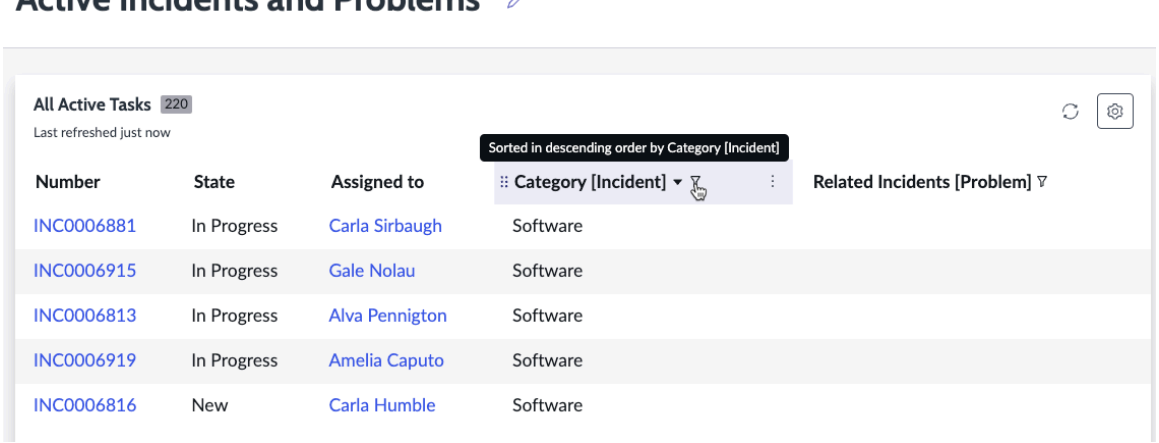
5. [インシデント] の横には、ドット連結が可能であることを示す ▶ があります。その矢印をクリックし、選択する [カテゴリ] フィールドに到達するまで [インシデント] テーブルのフィールドを下にスクロールします。



6. このプロセスを繰り返して、[Problem.Related incident] フィールドを追加します。
7. [番号]、[状態]、[アサイン先]、および [簡単な説明] フィールドを追加し、目的の順序に移動します。
8. 関連するエントリのみを表示するには、次のフィルターを追加します。
   - アクティブが true かつ
   - カテゴリ [インシデント] が Null ではない OR
   - 関連インシデント [問題] が空ではない
9. 可視化を保存し、「アクティブなインシデントと問題」というタイトルを付けます。

最終的なチャート化では、Incident.Category 値、Problem.Related Incidents 値、またはその両方が表示されます。

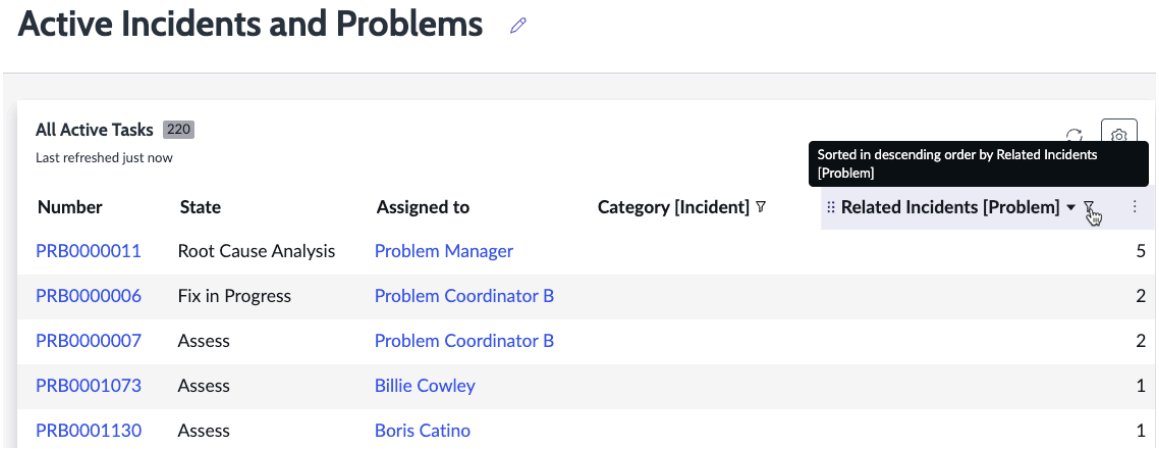
Incident.Category コンテンツを示すアクティブなインシデントと問題データの可視化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連インシデントを示すアクティブなインシデントと問題データの可視化。問題のコンテンツ



データ可視化でのチャートインタラクション

棒グラフの列を選択するなどして、ユーザーがグラフを操作したときの動作を設定できます。URL に移動する、別のデータビジュアリゼーションを開く、ダッシュボード上のすべてのビジュアリゼーションを選択した値でフィルタリングすることなどが可能です。

https://player.vimeo.com/video/1003324543?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

データ可視化の構成パネルには、[チャートのインタラクション] というラベルの付いたセクションがあります。このセクションでは、「クリック時の動作」と呼ばれるものを設定します。この用語は、ユーザーが値を表すグラフのセグメントを操作したときに何が起こるかを指します。たとえば、時系列上のポイントや、円やドーナツのセグメントを選択します。可視化のチャートインタラクションを無効にすることもできます。

重要:
テクニカルダッシュボードやその他の UI ビルダー ページでデータ可視化のチャートインタラクションを構成することはできません。[ドリルダウンを有効にする] トグルを使用してチャートインタラクションのオンとオフを切り替えることができますが、それ以外の場合は変更できません。代わりに、クリック時のイベントのハンドラーを構成する必要があります。テクニカルダッシュボードでデータ可視化からドリルダウンを構成する方法については、「テクニカルダッシュボードのデータ可視化にドリルダウンイベントを追加する」を参照してください。

チャートインタラクションでは、次のアクションを使用できます。

データビューに移動

データタイプに適したデータのビューを開きます。各データソースのビューの詳細については、「さまざまなデータソースのデータビュー」を参照してください。

注:
データビューに移動は、サポートされているすべてのデータソースのデフォルトインタラクションです。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データはサポートされていません。

URL に移動

指定した URL を開きます。この URL は、インスタンス上またはインスタンスの外部に設定できます。必要に応じて、ツールヒントで開くページの名前を指定できます。[URL に移動] は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データソースのデフォルトのインタラクションです。

フィルターとして適用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボード上の適用可能なすべてのデータ可視化を、選択したセグメントの値でフィルタリングします。[グループ] フィールドが期間の場合は適用されません。水平バーと垂直バー、円グラフ/ドーナツグラフによるチャート化と、テーブルとインジケーターのデータ ソースでのみ使用できます。UI ビルダーでは利用できません。

チャートへのドリルダウン

選択したデータでフィルタリングされた別のデータの可視化を開きます。親ビジュアリゼーションの各メトリクスのドリルダウンビジュアリゼーションを追加できます。この新しいドリルダウン可視化は、チャートインタラクションを構成するプロセスの一部としてシームレスに構成します。

注:
チャートへのドリルダウンには次の制限があります。

- [チャートへのドリルダウン] はインラインダッシュボードエディターでは構成できず、 可視化デザイナーでのみ構成できます。
- [チャートへのドリルダウン] は、テーブルデータソースでのみ使用できます。
- カレンダー、ジオマップ、インジケータースコアカード、またはリストの可視化からチャートへのドリルダウンを設定することはできません。ただし、サポートされている可視化から、テーブルデータを表示できる任意の可視化にドリルダウンすることはできます。

グラフのインタラクションが異なれば、サポートされるデータソースとデータ可視化タイプも異なります。次の表は、サポートのマトリックスを示しています。

チャートインタラクションのサポート

アクション	サポートされているデータの可視化	サポートされているデータソース
データビューに移動	All (すべて)	可視化でサポートされているものすべて (を除く) ユーザーエクスペリエンスアナリティクス
URL に移動	All (すべて)	可視化がサポートするすべてのもの
フィルターとして適用 (インラインダッシュボードエディターでのみ使用可能)	• 水平バーと垂直バー • 円とドーナツ	テーブルとインジケーター
チャートへのドリルダウン (可視化デザイナーでのみ利用可能)	カレンダー、インジケータースコアカード、リスト、ジオマップを除くすべて	テーブル

チャートインタラクションの構成

編集中のデータ可視化のチャートのセクションをビューアーが操作したときの動作を選択します。

始める前に

必要なロール:作成するすべての可視化でこのオプションを構成できますが、データの可視化を表示するユーザーには、基礎となるデータを表示する権限が必要です。

このタスクについて

グラフのインタラクションは、 可視化デザイナー またはインラインダッシュボードエディターでのみ構成でき、 UI ビルダーで構成することはできません。

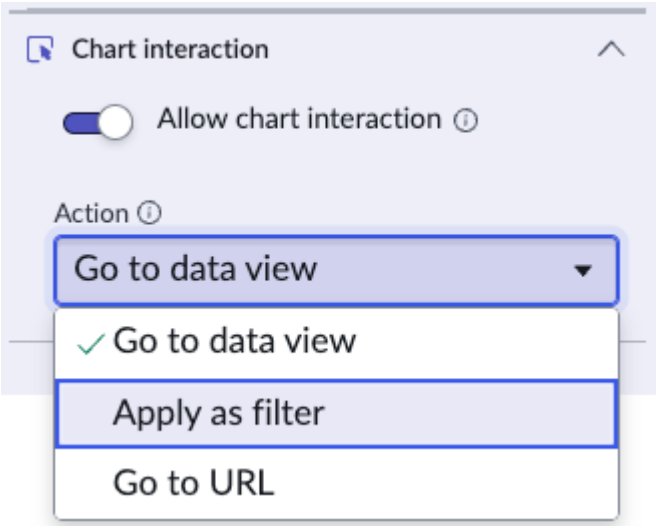
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.
2. 構成する可視化を選択または作成します。
3. [チャートのインタラクション] で、[チャートのインタラクションを許可] をオンにします。
4. [アクション] で、使用可能なチャートインタラクションから選択します。
   可能なインタラクションは次のとおりです。
   - データビューに移動
   - URL に移動
   - チャートへのドリルダウン (可視化デザイナー内から利用可能):チャートの複数のレイヤーを追加して、ビジュアリゼーション内の各メトリクスからドリルダウンできます。
   - フィルターとして適用 (ダッシュボード内で編集する場合のみ利用可能)

   インタラクションについては、 データ可視化でのチャートインタラクションで説明しています。



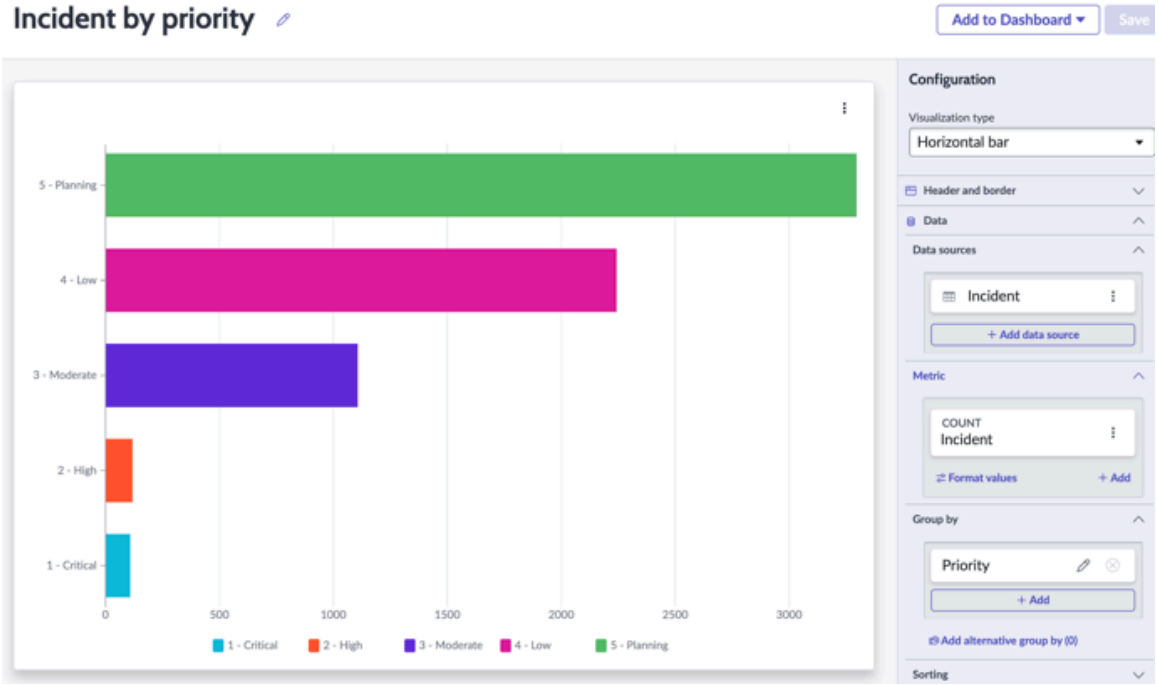
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

Example: チャートへのドリルダウン

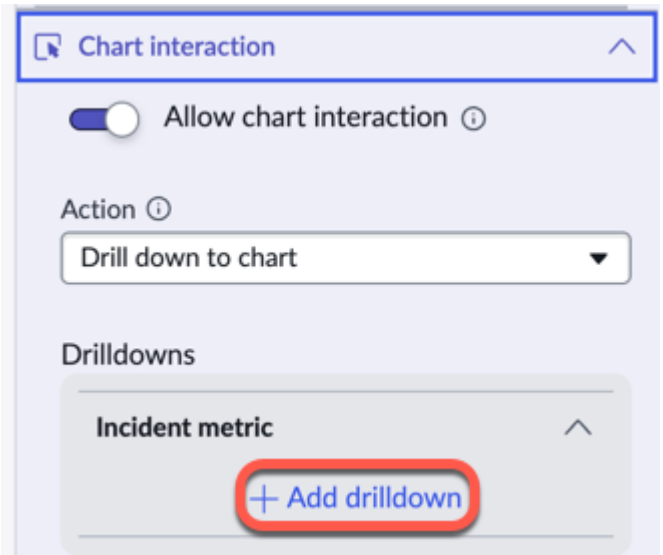
優先度別にグループ化されたインシデントテーブルのインシデント数の水平棒グラフデータによる可視化を考えてみましょう。このチャートの値から、インシデントの合計数を示す単一スコアチャートにドリルダウンする必要があると判断します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



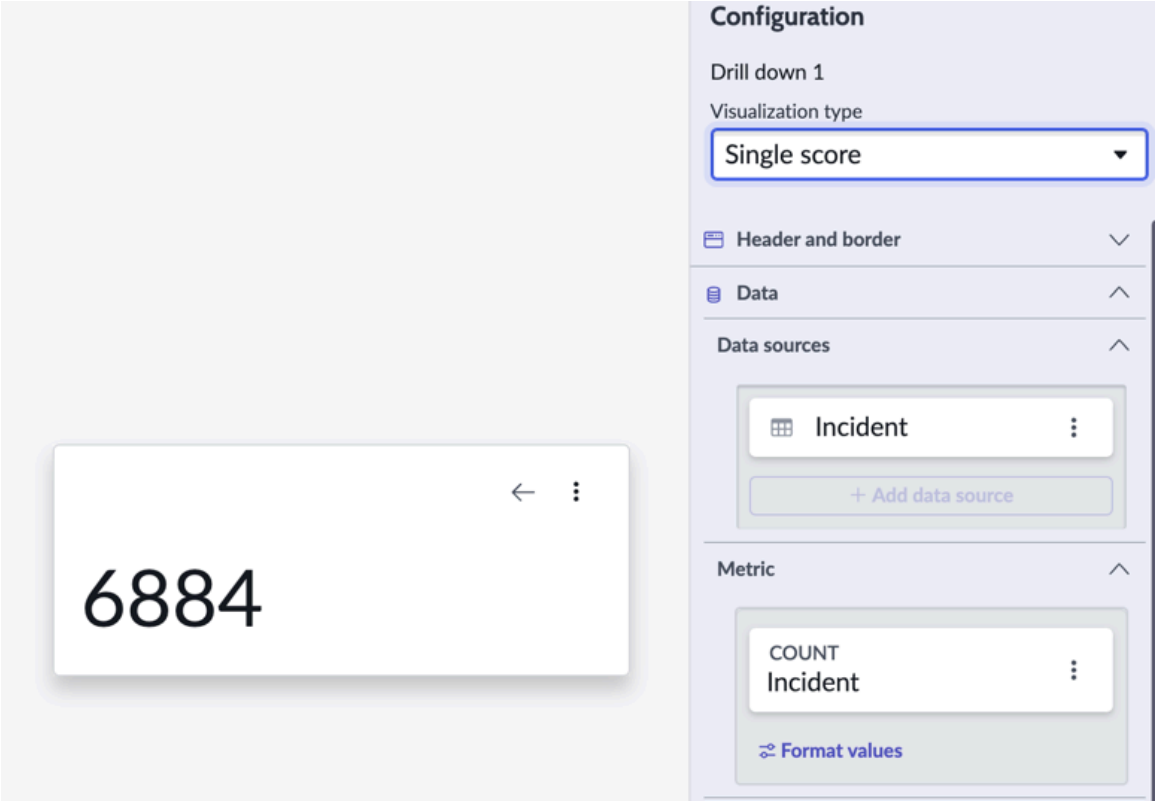
1. 構成パネルの [チャートのインタラクション] セクションに移動します。ここでは、アクションとして [チャートにドリルダウン] を選択します。ビジュアル化内の任意のメトリクスにドリルダウングラフを追加できます。インシデントメトリクスは可視化上で唯一のメトリクスであるため、このメトリクスが唯一の選択肢となります。



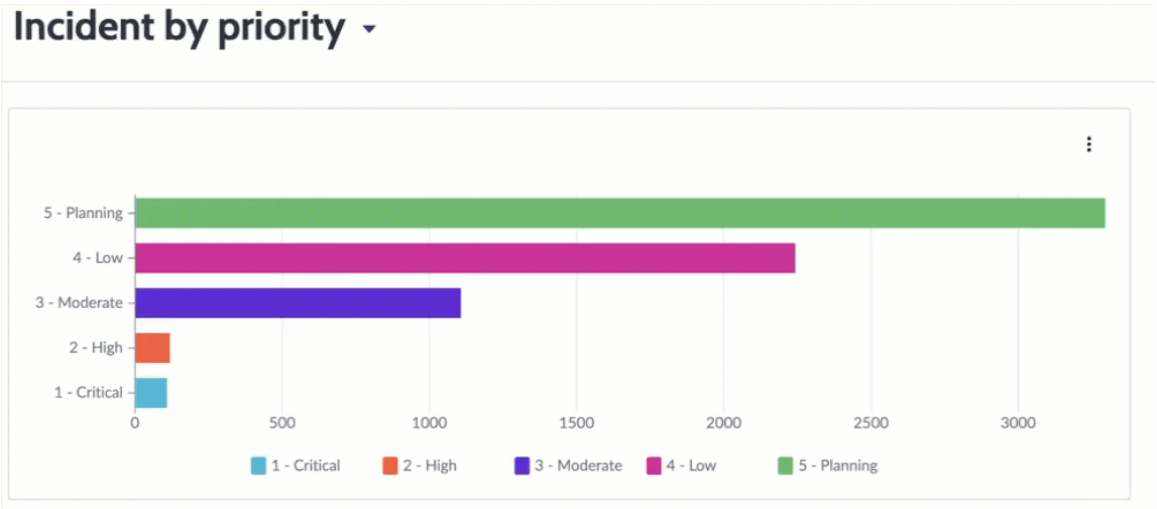
2. インシデントメトリクスの **[+** ドリルダウンを追加] を選択します。[ドリルダウン 1] という新しいチャートの構成パネルが開きます。
3. インシデントテーブルのインシデントレコードの数を表す単一のスコアを表示するようにチャートを構成し、チャートを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 作成した単一のスコアチャートからドリルダウンする別のチャートを追加することもできますが、その必要はないと考えています。
5. これで、ビューアーがダッシュボードでこの可視化を操作するときに、棒グラフから単一のスコアチャートにドリルダウンして上に戻ることができます。同様に、自分または別のビジュアル化の編集者が、親グラフと子グラフの間を移動して、いずれかの構成を編集できます。



さまざまなデータソースのデータビュー

データ可視化のチャートインタラクションが [データに移動] に設定されている場合、チャート上のデータ値を操作すると、データソースに応じて異なるページが開きます。

注:
データのビジュアル化に使用できるデータソースの概要については、「データ可視化のデータソース」を参照してください。

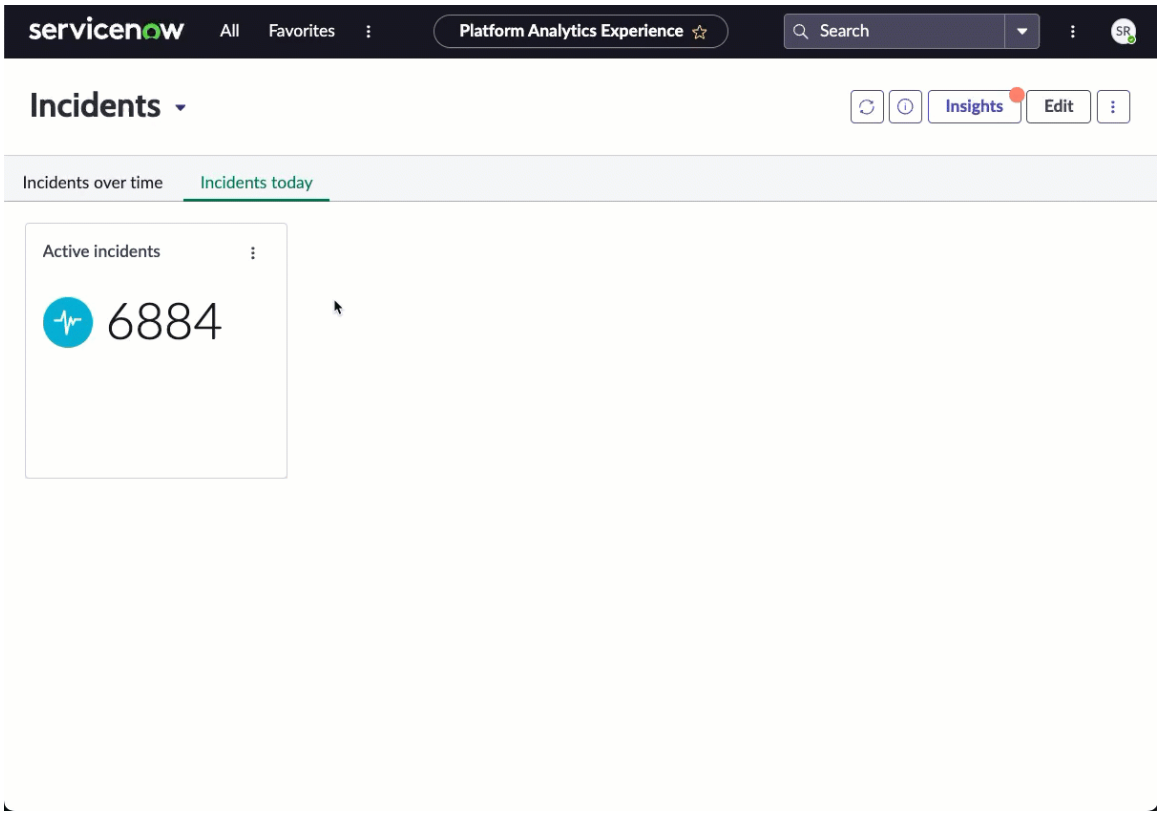
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルデータの可視化

テーブルデータの可視化からデータチャートのインタラクションに移動 テーブルレコードの関連 コア UI リストを開きます。

注:
このチャートインタラクションでは、現在コア UIにあるテーブルレコードのデフォルトNow Platformリストビューのみを開くことができます。技術的な理由から、簡易リストやその他の プラットフォームアナリティクス コンポーネントを開くことはできません。この制限は、チャートインタラクションの代わりに手動で構成されたイベントハンドラーを使用する構成可能なワークスペースおよびエクスペリエンスのダッシュボードには適用されません。

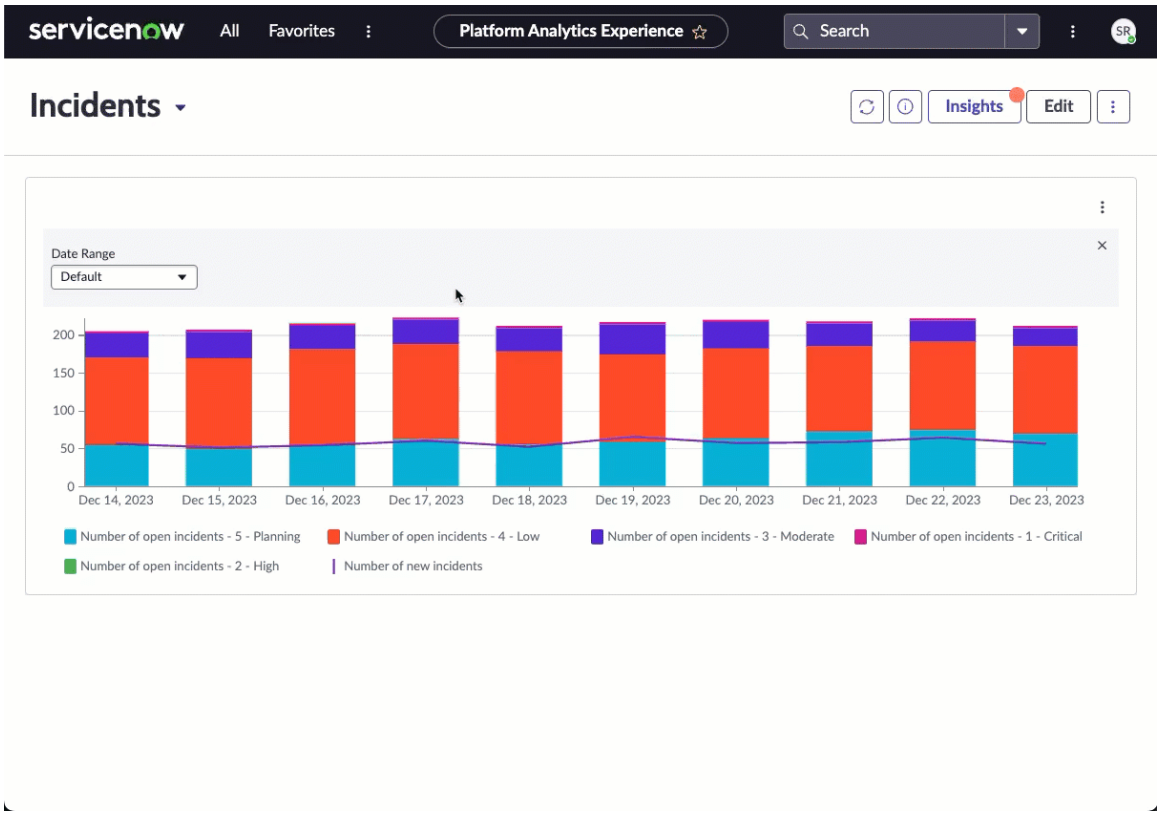


インジケーターの可視化

インジケーターの可視化からデータチャートのインタラクションに移動する 関連するKPI 詳細ページを開きます。詳細については、「KPI 詳細」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヘルスログアナリティクス

ヘルスログアナリティクスデータの可視化からデータチャートのインタラクションに移動し、ログビューアーを開きます。詳細については、「Health Log Analytics」を参照してください。

注:
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスからヘルスログアナリティクスのデータ表示方法を作成または編集することはできませんが、UI ビルダーからのみ作成できます。

メトリックベース

メトリックベース可視化からデータチャートのインタラクションに移動し、メトリクスエクスプローラーを開きます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

重要:
データグラフのインタラクションに移動するメトリックベースService Operations (sn_sow_metric_exp) の Metric Explorer プラグインが必要です。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は [データに移動] チャートのインタラクションをサポートしていません。

データ可視化のサービスカタログ変数

選択したサービスカタログアイテムの変数別に可視化されたデータをグループ化またはフィルタリングします。

変数に関するレポートは、たとえば、特定のカタログアイテムがインスタンスで有用であるかどうかを判断するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さらに、同じ変数にフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

データの可視化でサービスカタログ変数を使用する

サービスカタログデータに基づくデータの可視化では、変数の積み上げとグループ化を行い、変数を簡易リストの列として、またマルチレベルのピボットテーブルの列と行として使用します。

始める前に

必要なロール:viz_creator 以上 (itil を含む)。データを表示するには、データソーステーブルに対するreport_viewアクセス制御によって許可されているロールが必要です

注:

- アドミニストレーターとして、オプション [sc_item_option]、変数所有権 [sc_item_option_mtom]、および変数 [item_option_new] テーブルのアクセス制御リスト (ACL) にロールを追加した場合、viz_admin 以外のロールを持つユーザーはサービスカタログ変数を使用できます。
- 可視化のデータソースは、要求アイテムテーブル [sc_req_item] またはカタログタスクテーブル [sc_task] に基づいている必要があります。他のタイプの変数を使用すると、レポートを生成するときにエラーが発生します。
- Oracle データベースの CLOB フィールドには、レポート内の変数データを取得する機能がありません。列文字列フィールドが 4000 バイト未満の場合は、列タイプを varchar2 に変更できます。小さいサイズのCLOB列を比較するには、to_char()関数を使用します。CLOB のサイズが大きい場合は、dbms_lob.substr関数を使用して比較用の部分文字列を取得する必要があります。

このタスクについて

変数をフィルター、グループ化基準、または代替グループ化基準として使用します。

注:
リスト、ボックス、および Trendbox の可視化では、サービスカタログ変数をグループ化基準または代替グループ化基準として使用することはできません。単一スコア、カレンダーレポート、およびジオマップの可視化は、どのフィールドでもグループ化をサポートしていません。簡易リストでは、サービスカタログ変数を列としてのみ使用できます。ピボットテーブルの可視化は、列または行としてのみ変数別にグループ化できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 をクリックし、変数を追加する可視化を開きます。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
変数をフィルターとして使用	データソースを追加または編集し、[カスタム条件の追加] を選択します。カスタム条件が既に定義されている場合は、 **[+** 追加] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。
変数を列として簡易リストに追加する	[既定の表示] で、 [列] の横にある **[+** 追加] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。

自動翻訳

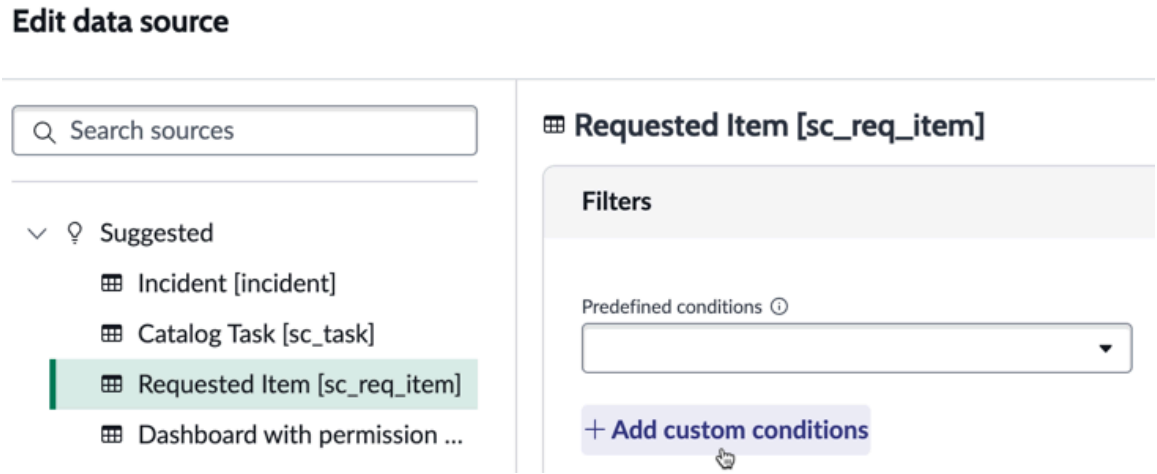
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
変数をグループ化基準として追加	[グループ化] で、 **[+** 追加] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。
代替グループ化基準として変数を追加	**[Group by**] で、[**Add alternative group by**] を選択します。次に、フィールドリストの下部にある [変数] を選択します。
変数をピボットテーブルの列または行として追加します	**[Group By** (グループ化)] で、[列] または [行] の **[+** 追加] を選択し、フィールドリストの下部にある **[Variables** (変数)] を選択します。 注: ◦ メインの [グループ] として変数を使用してレポートを作成すると、変数は内部結合として動作します。 ◦ プライマリグループ化用の通常のフィールドと変数のセカンダリグループ化を使用してレポートを作成すると、その変数は外部結合として機能します。

3. フィールドのリストの最後までスクロールし、[変数] を選択します。
   利用可能な変数が表示されます。グループ化値として使用できるすべての変数が、代替グループ化値としても使用できるわけではありません。
4. 必要な変数を選択します。
5. サービスカタログ変数をフィルターとして使用する場合は、演算子と値を選択します。
6. [適用] を選択します。

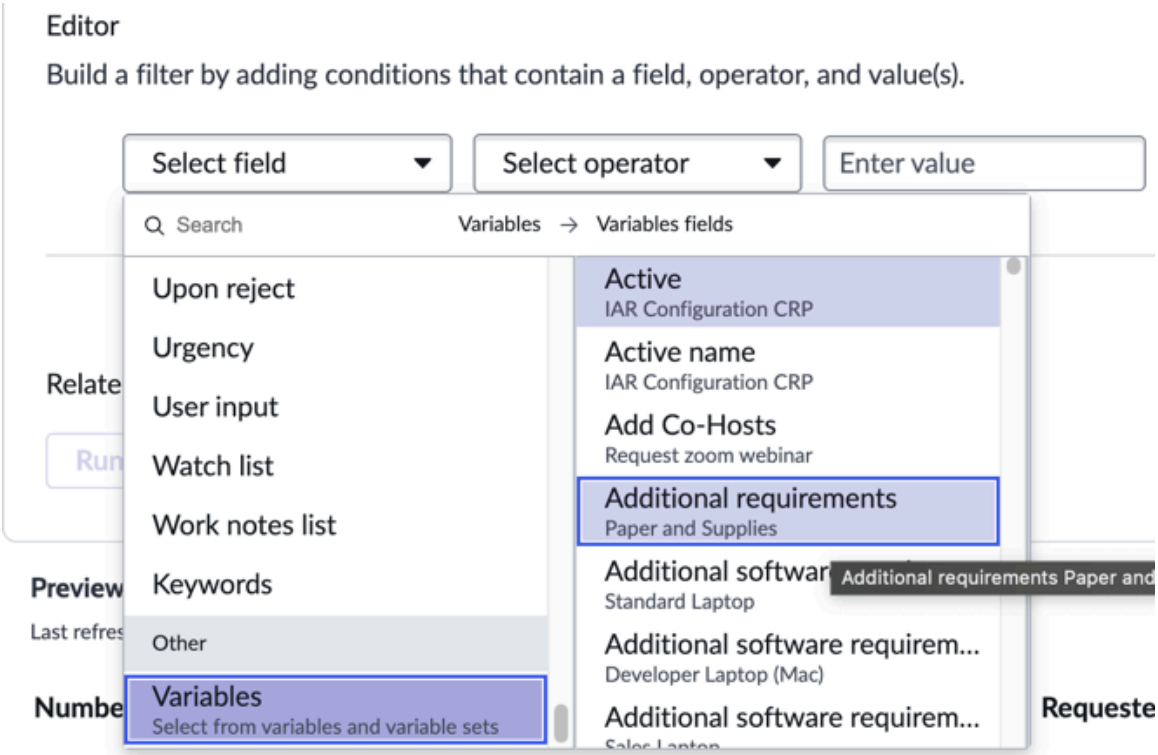
Example: フィルターとしての変数

ここでは、データ可視化の [データソースの編集] ページを開きました。このデータ可視化にはカスタム条件が定義されていないため、[カスタム条件の追加] を選択します。



次に、[Select field] リストを下にスクロールして [Variable] までスクロールし、これを選択して変数を選択します。

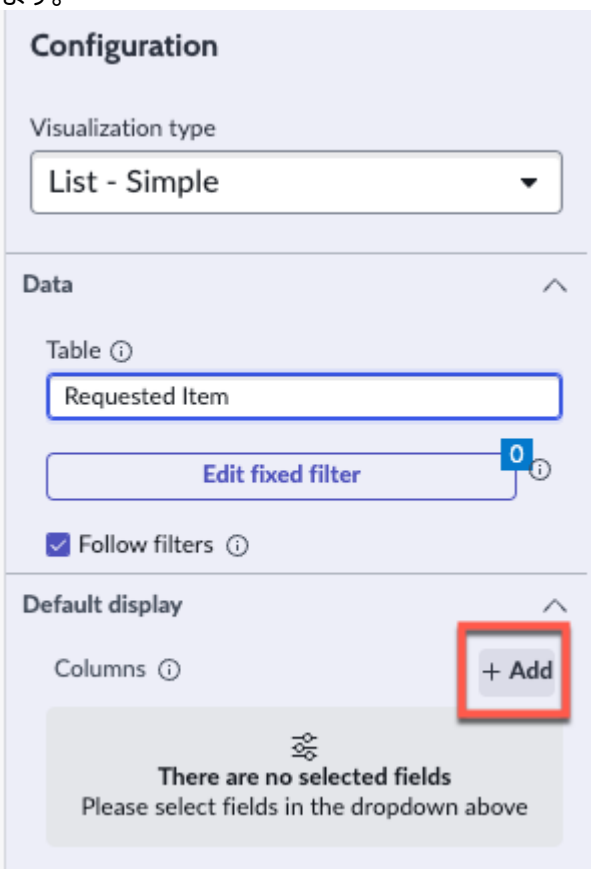
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、演算子と値 (Is |A4 をクリックし、[適用] を選択します。

Example: 簡易リストの列としての変数

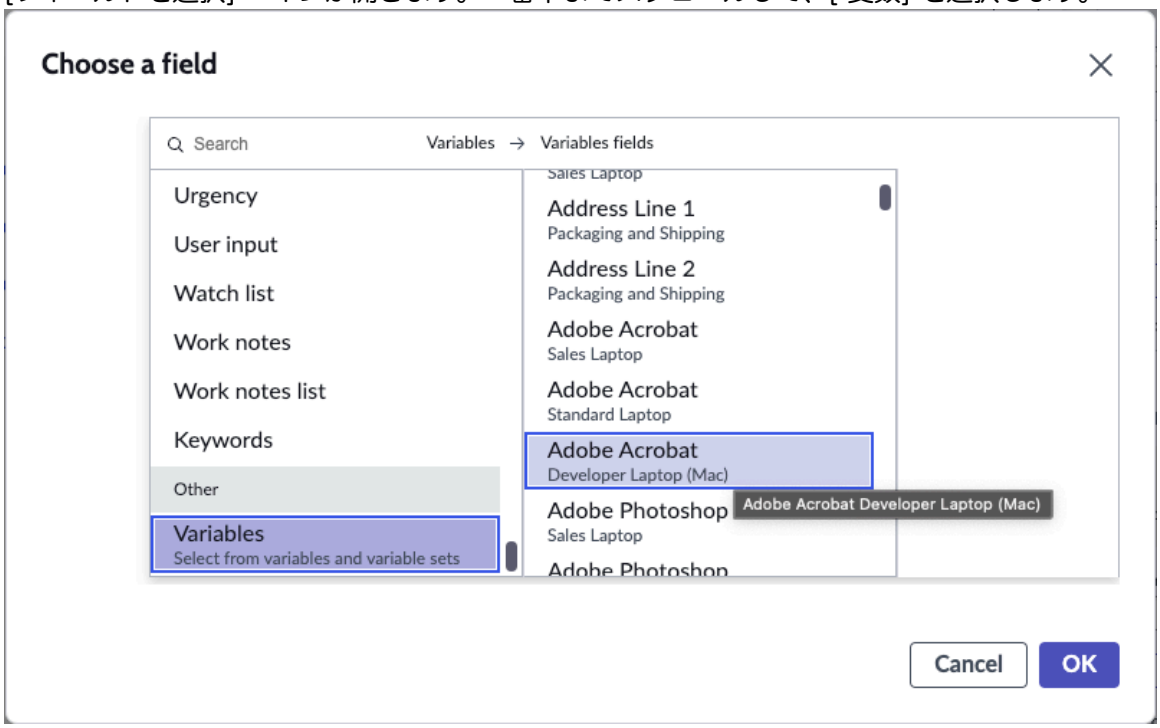
ここには、要求アイテムテーブルのレコードを示す簡単なリストがあります。いずれかのサービスカタログ変数の列を追加する場合。そのため、まず、既定の表示設定の 列 の横にある + 追加 を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィールドを選択] ペインが開きます。一番下までスクロールして、[変数] を選択します。



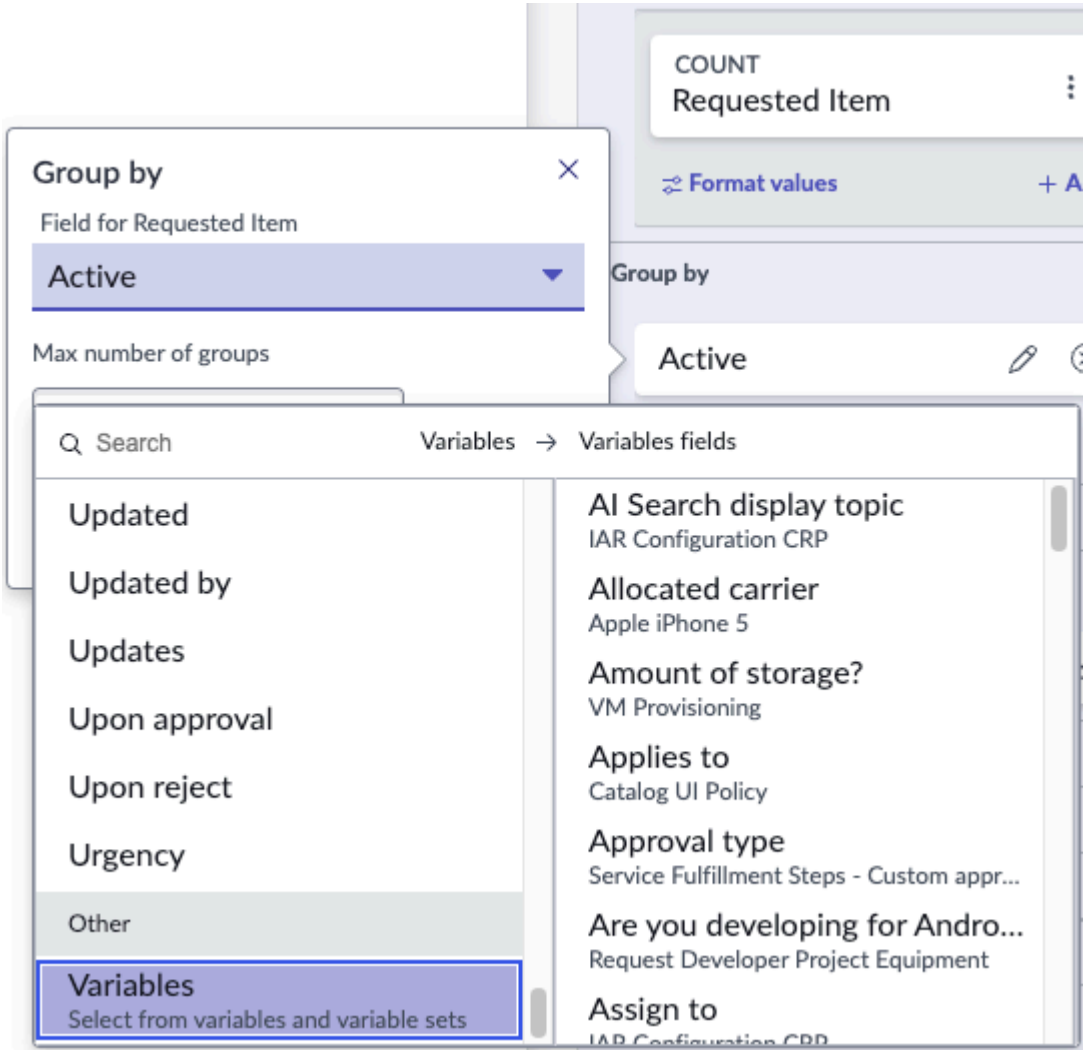
開発者用ラップトップ用の Adobe Acrobat など、必要な変数を選択し、[**OK]** を押します。

Example: グループとしての変数

この場合、[要求アイテム] テーブルにはデータの水平棒グラフによる可視化があります。[グループ] セクションで、グループ化の基準を編集します。フィールドのリストの一番下までスクロールし、[アクティブ] フィールドを [変数] に置き換えて、変数を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



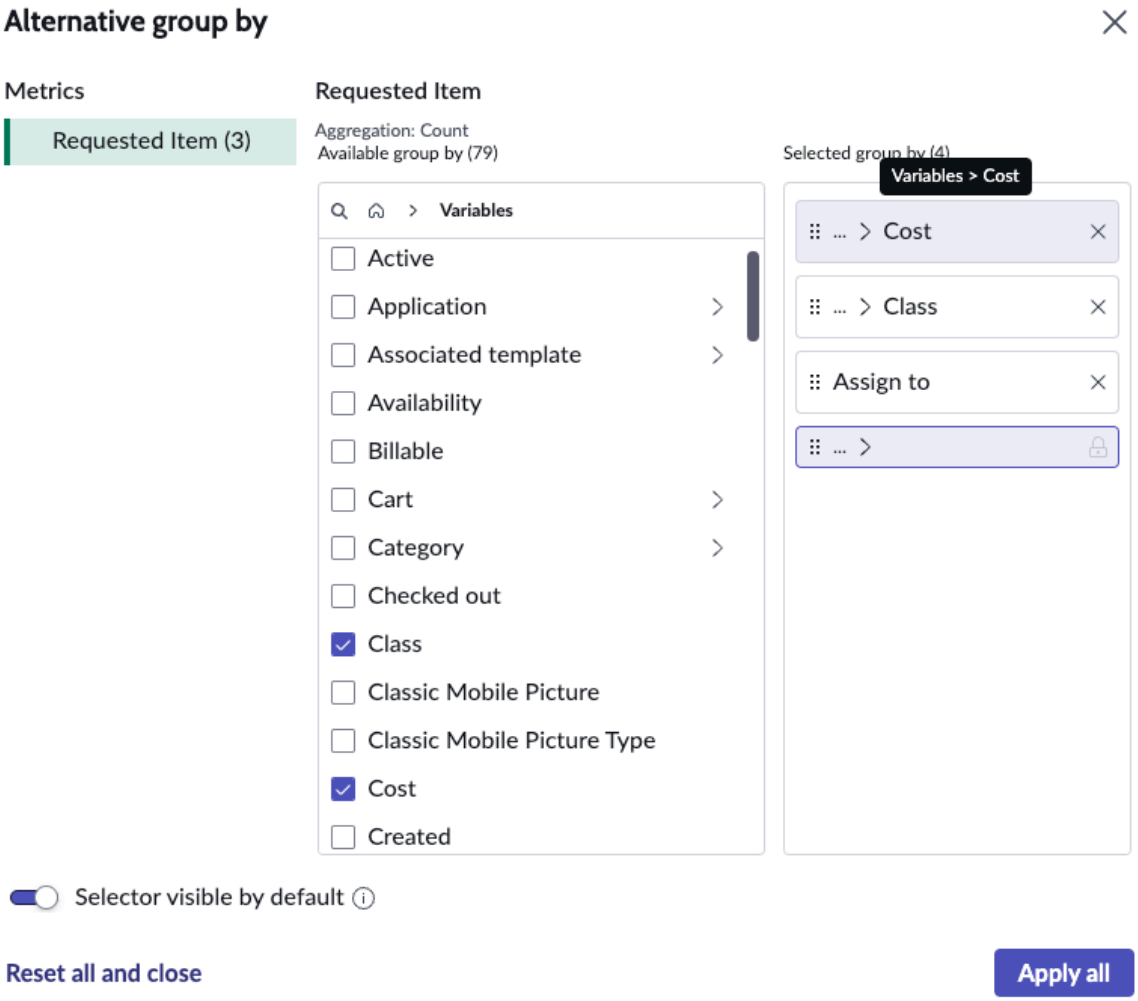
サービスカタログ変数をピボットテーブルの行または列として追加する場合、操作性はほとんど同じです。

Example: 代替グループ化基準としての変数

代替グループ化基準として別のサービスカタログ変数が必要な場合。[代替グループ化基準の追加] を選択し、一番下までスクロールします。[変数] を展開すると、リストが変数の選択に変わります。グループとして使用できたすべての変数が代替グループ化できるわけではありません。とにかく、いくつかの変数を選択して、[すべて適用]を押します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

サービスカタログ変数によるデータの可視化のグループ化

選択したサービスカタログアイテムで変数別にグループ化されたデータの可視化を作成できます。さらに、同じ変数にフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GB のストレージを持つ電話のみを表示する可視化を作成できます。

始める前に
必要なロール:viz_admin 以上

このタスクについて
レポートソースに変数が関連付けられている限り、これらのステップを任意のデータ可視化タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、[グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドに [変数] オプションは表示されません。

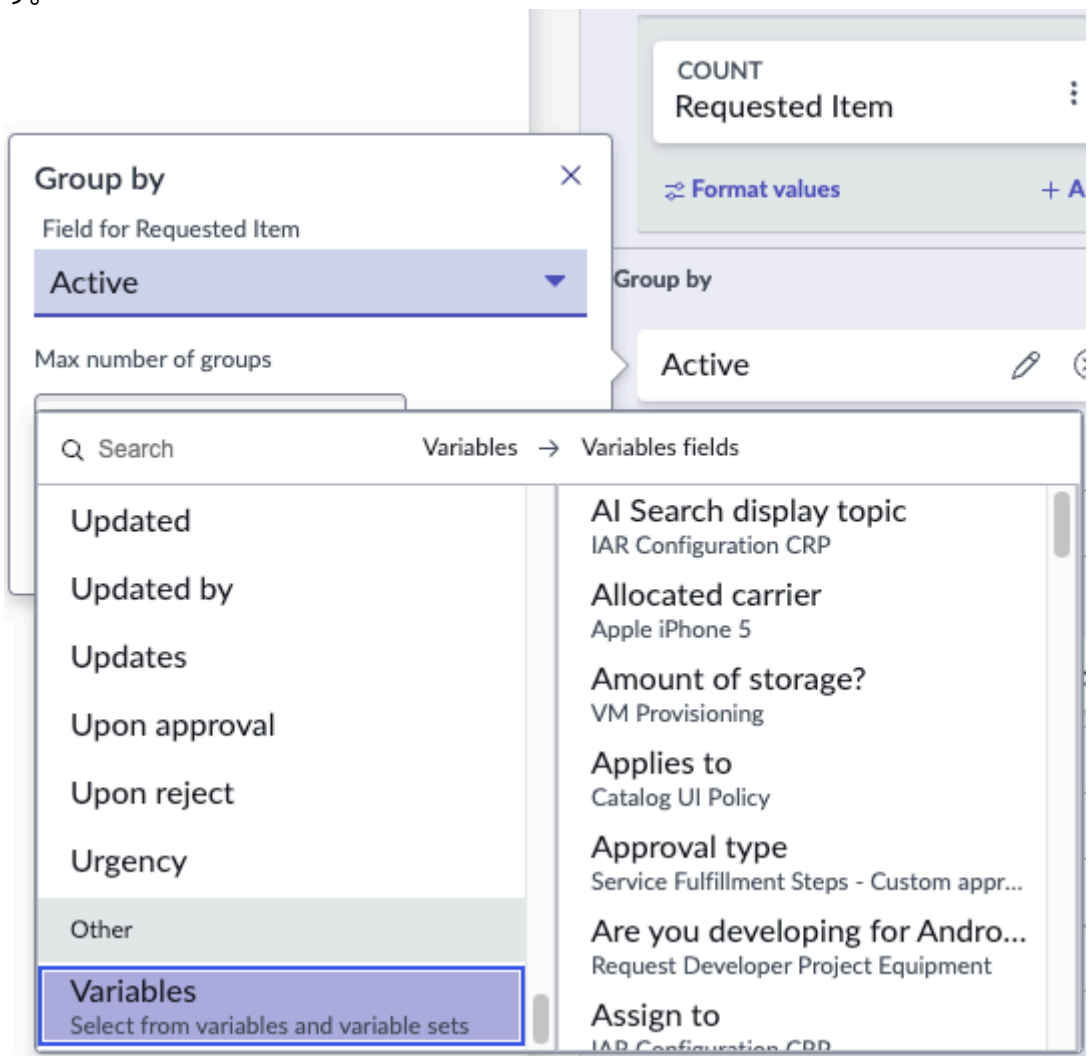
注:
リスト、ボックス、Trendbox、およびピボットの可視化では、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの グループ化基準として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップレポートでは、どのフィールドでも [グループ] はサポートされていません 。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 [新規] を選択します。
2. グループ化する情報を反映した名前を可視化に付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 変数をサポートする可視化タイプを選択します。
   リスト、ボックス、Trendbox、およびピボットの可視化では、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの グループ化基準として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップレポートでは、どのフィールドでも [グループ] はサポートされていません 。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。
4. 変数が関連付けられているデータソースを選択し、[適用] を選択します。
5. [構成] タブで、[フィルターごとにグループ化] または [積み重ね基準] から **[+** 追加] を選択します。



6. グループ化または積み重ねの基準となるアイテムに関連付けられた変数を検索して選択します。
7. タイプに応じて、引き続きビジュアル化の構成とスタイルを設定します。

サービスカタログの可視化に変数別のグループ化を追加する

選択したサービスカタログアイテムで、任意のフィールドでグループ化された、追加のグループ化変数でデータの可視化を作成できます。さらに、同じ変数にフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GB のストレージを持つ携帯電話のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール:データの可視化を編集する権限がある場合、任意のロール。viz_admin 以上のロールでは、インスタンス上の任意のサービスカタログデータ可視化に group-by 変数を追加できます。

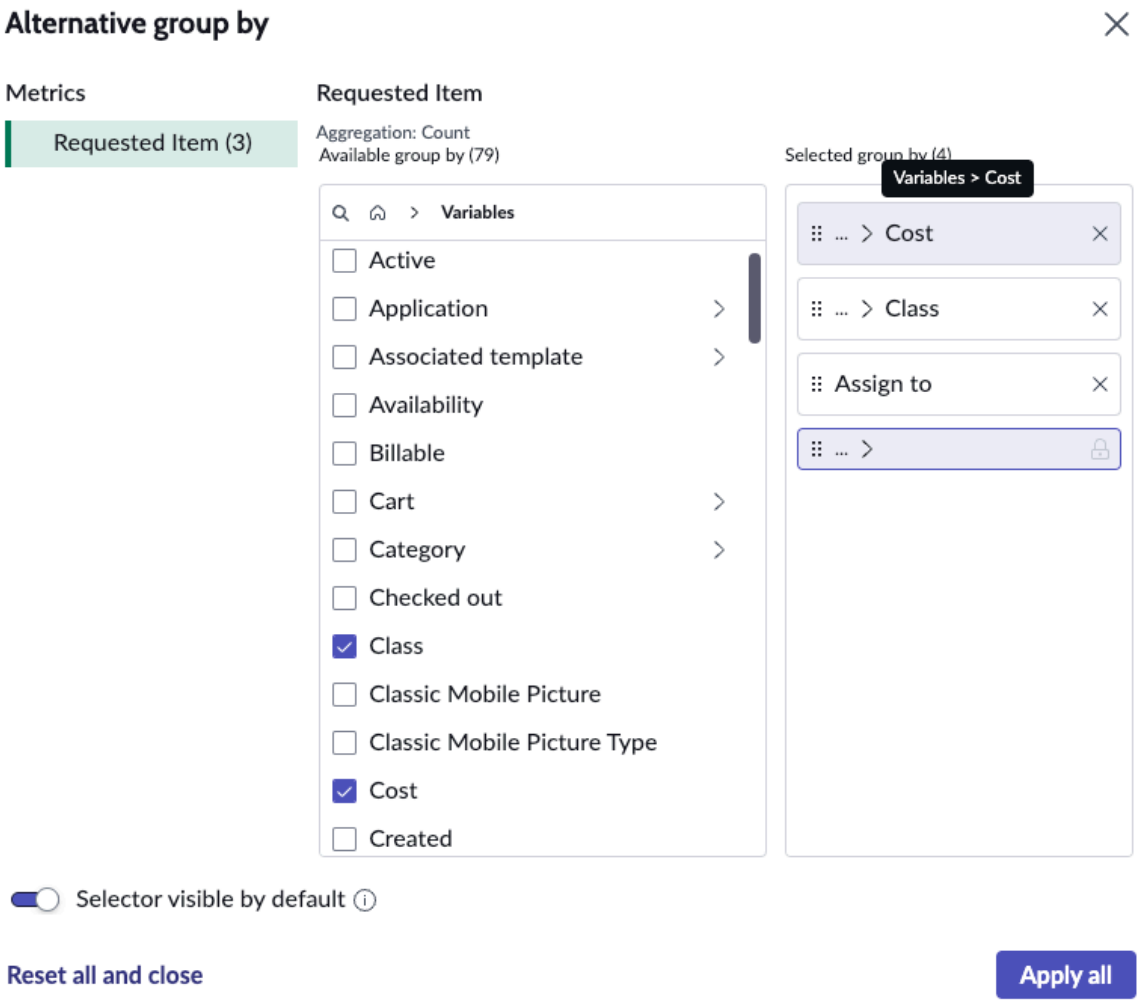
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、 [変数] オプションは [追加のグループ化] フィルターに表示されません。

手順

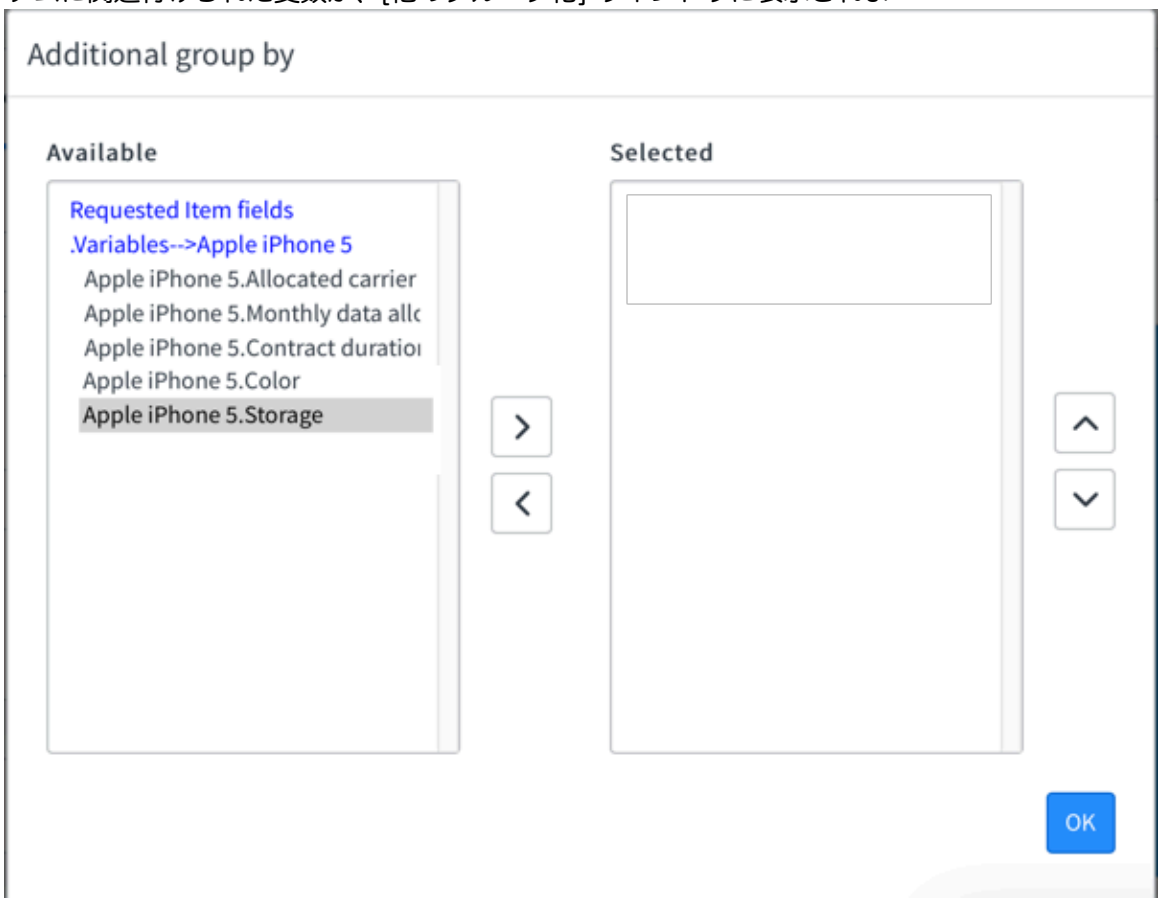
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化 [新規] を選択します。
2. 変数をサポートする可視化タイプを選択します。
   リスト、ボックス、Trendbox、およびピボットの可視化では、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの グループ化基準として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップレポートでは、どのフィールドでも [グループ] はサポートされていません 。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。
3. [ヘッダーと境界線] セクションで、グループ化する情報を反映したチャートタイトルを可視化にします。
4. 変数が関連付けられているデータソースを選択し、[適用] を選択します。
5. [グループ] フィルターを選択します。
6. [**Additional group by**] をクリックします。
7. [変数] を選択し、[適用] を選択します。



8. [カタログ アイテム] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムに関連付けられた変数が、[他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

9. 目的の変数を [選択済み] 列に追加し、[**OK]** を選択します。
10. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートタイプ」を参照してください。

データの可視化の色

データの可視化に応じて、各 [グループ] 要素の固定色、事前定義されたカラーパレット、高い値と低い値にまたがるスペクトル、または単一の色など、さまざまな色を選択できます。

デフォルトでは、データの可視化は、インスタンスで使用される UX テーマ [sys_ux_theme] で設定された色を使用します。これらの色は、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_properties] テーブルで定義されます。テーマには次の色が含まれています。

- デフォルトの単色
- デフォルトのカラーパレット
- 色範囲のデフォルトの色合いスペクトル

テーマを作成し、特定のユーザー用に選択することも、インスタンスのデフォルトテーマとして設定することもできます。詳細については、「Working with themes in Next Experience」を参照してください。

特定の可視化では、UX テーマで設定された色を上書きできます。可視化の構成パネルの [プレゼンテーション] セクションの [色] サブセクションで色を設定します。使用可能なオプションについては、「作成...」トピックを可視化タイプごとに説明します。

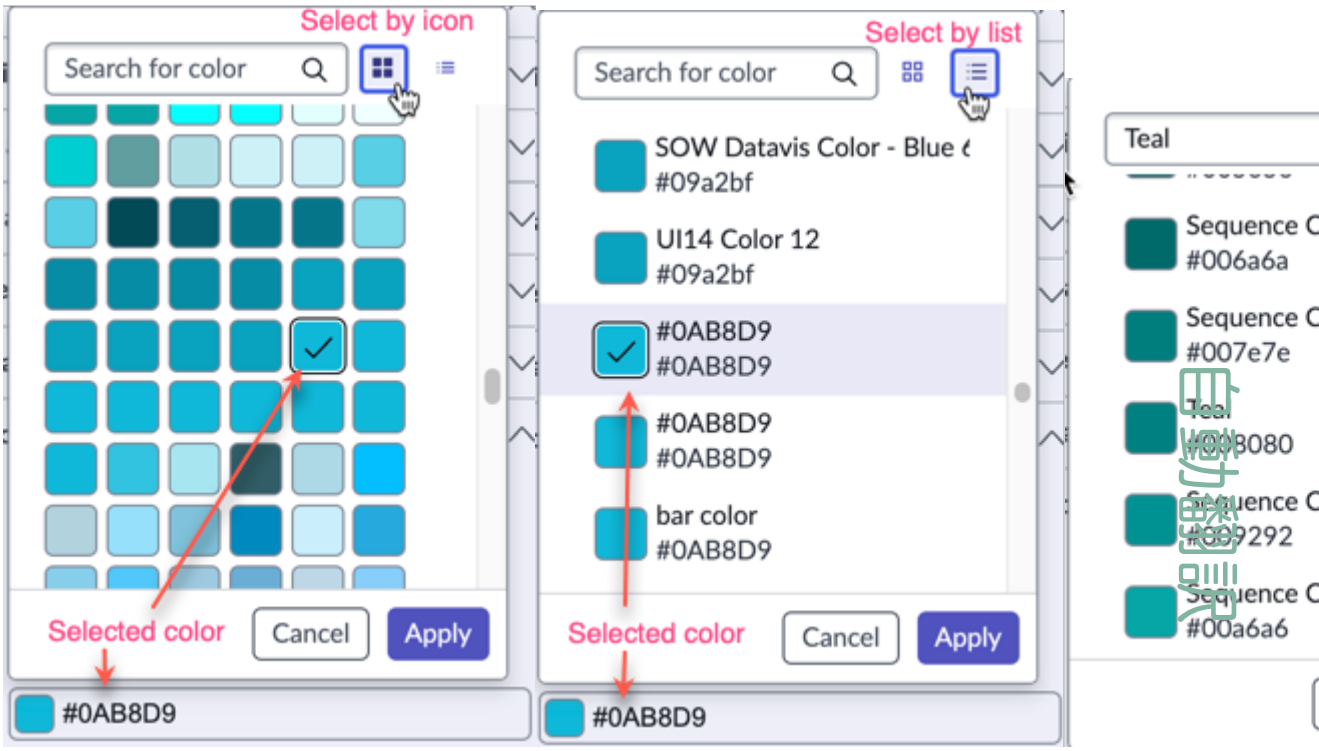
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一の値の色またはメトリクスごとの色の選択

ゲージと円/ドーナツグラフを除くすべての可視化に対して、単一の値の色を選択できます。単一の色を選択すると、最初にデフォルトの色が表示されます。代わりに、[値の色を設定] フィールドで色を選択できます。そのフィールドを操作すると、セレクターが開き、色ごと、アイコンごと、またはリストから色を選択できます。リストには、各エントリのアイコンも表示されます。セレクターには検索フィールドもあります。その検索フィールドに値を入力すると、検索用語でフィルタリングされた色のリストが表示されます。検索用語は、わかりやすい言葉または 16 進コードの一部にすることができます。

データの可視化に複数のメトリクスが表示される場合は、メトリクスごとに単一の色を選択できます。

アイコンモードとリストモードのカラーセレクター



ピボットテーブル、ダイヤル、および単一スコアの可視化の色ルール

単一スコア、ダイヤル、およびピボットテーブルのビジュアル化では、データが特定の条件を満たすときに動的に設定される単一の色を使用できます。たとえば、25 未満の値のスコアを緑色で表示するルールを作成できます。詳細については、「データ可視化の色分けルールの作成」を参照してください。

[テーブルデータソースの値でグループ化] の色オプション

テーブルデータソースに基づく可視化で値でグループ化する場合、次の 2 つの色範囲オプションがあります。

カラーパレット

[グループ] 要素に適用される一連の色。色は、最大値から最小値の順に繰り返されます。色で順序を示す場合は、データの可視化でカラーパレットを使用します。同じパレットを使用する可視化は、表示されているデータに関係なく同じ色を使用します。

カラーパレットは、[グループ] の値が定義されているデータ可視化におけるデフォルトのカラーリングパターンです。カラーパレットを指定しない場合は、UX テーマのカラーパレットが使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルト以外のカラーパレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。カラーパレットを作成するには、admin または pa_admin ロールが必要です。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

次の例では、インシデントを示す 2 つのデータの可視化が表示されています。1 つのチャート化では優先度別にグループ化されたインシデントが表示され、もう 1 つのチャート化ではカテゴリ別にグループ化されたインシデントが表示されます。どちらのビジュアライゼーションでも、6 つの濃淡の青を使用する青の暗から明 (6) カラーパレットを使用しています。どちらの可視化も、値は異なりますが、値の同じランクに対して同じ色で表示されます。

カラーパレット:青(明から暗)



固定要素の色

固定要素の色は、同じグループ化または積み重ね値に常に同じ色を適用します。チャート化によってグループ化および積み重ねの値が異なると、色が異なります。たとえば、優先度 > 1 - 重大などの要素を常に同じ色にする場合は、固定要素の色を使用します。

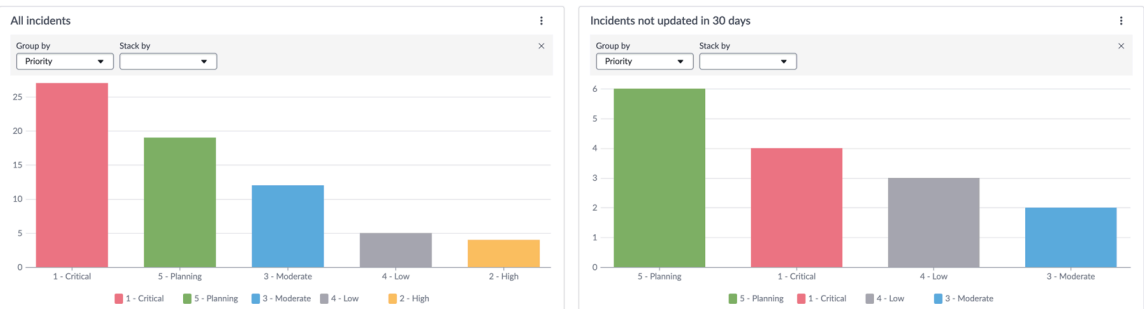
重要:

固定要素の色は、テーブルデータソースの可視化でのみ使用できます。

固定された要素の色を使用しているデータの可視化に要素が初めて表示されると、その要素に色が定義されます。その後、その要素は、それを表示するすべてのデータビジュアル化で同じ色になります。色は、チャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルの要素ごとに保存されます。要素に割り当てられた色を変更するには、admin ロールまたは report_admin ロールが必要です。詳細については、「データカテゴリの色の定義」を参照してください。

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントを示す 2 つのデータの可視化が表示されています。どちらの可視化も、固定要素の色を使用します。優先度の値が同じでも、順序は異なりますが、同じ色になります。

固定要素の色:同じ要素、異なる順序



次の例では、データの可視化はさまざまなフィールドでグループ化され、固定要素の色を使用しています。各要素の色は一意であるため、バーの色は異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

固定要素の色:異なる要素





関連情報

Working with themes in Next Experience

データ可視化の色分けルールの作成

数値の表示方法に関するルールを構成して、値が重要な理由を簡単に強調できるようにします。

始める前に

必要なロール:可視化に対する任意のロールと編集権限

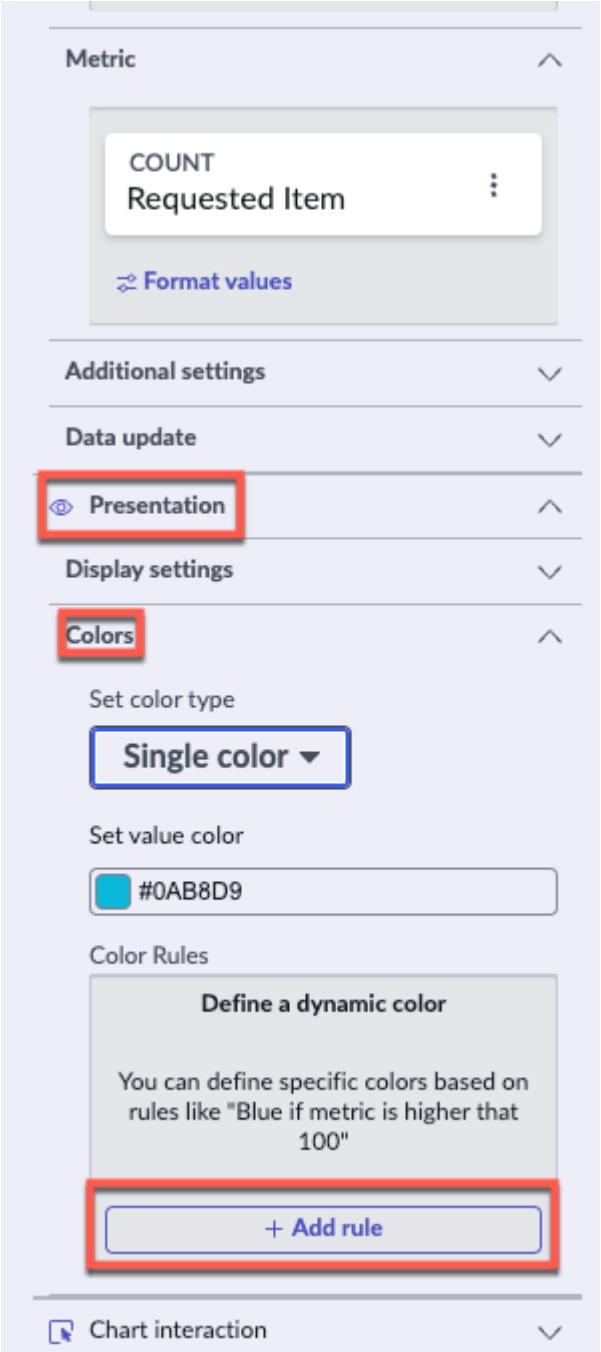
このタスクは、一部のデータ可視化の表示設定の構成の一部です。

手順

1. ダッシュボードのインラインエディターまたは可視化デザイナーで、編集するデータの可視化を開きます。
   詳細については、「インラインダッシュボードでデータの可視化を編集する」または「でデータの可視化を編集する 可視化デザイナー」を参照してください。
2. 構成パネルの [プレゼンテーション] 領域で、[色] セクションを開きます。
3. 単色タイプを選択し、[ルールの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームのフィールドに入力します。

色ルールフィールド

フィールド	説明
オペレーター	値を評価するときに使用される演算子 (**greater than** や **between**)。たとえば、5 未満の値をスタイル設定するには、[より小さい] を選択し、[値 **1**] の値を 5 に指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ カラー ルールが集計値に適用されます。 ○ 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致する最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致する値に適用するフォントの色。
ルールの順序 (オプション)	ルールが適用される順序を決定する数値。 ルールは最低値から最高値の順に評価されます。たとえば、1 つ目のルールで値 7 に青色を適用し、2 つ目のルールで 1 から 10 の値に赤色を適用するとします。7 を青色にするには、1 つ目のルールの [ルール オーダー] の値の方を大きくして、2 つ目のルールによって上書きされないようにします。 ルール オーダーを指定しない場合、カラーリング ルールは作成された順に適用されます。

5. [適用] を選択してルールを保存します。
   新しいルールを作成するか、 可視化デザイナーに戻ります。

ドメインセパレーションとデータの可視化

ドメインセパレーションはデータの可視化でサポートされており、データの可視化自体と表示されるデータに関連しています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

ドメインセパレーションの概要

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「 ドメインセパレーションの要求 」を参照してください。

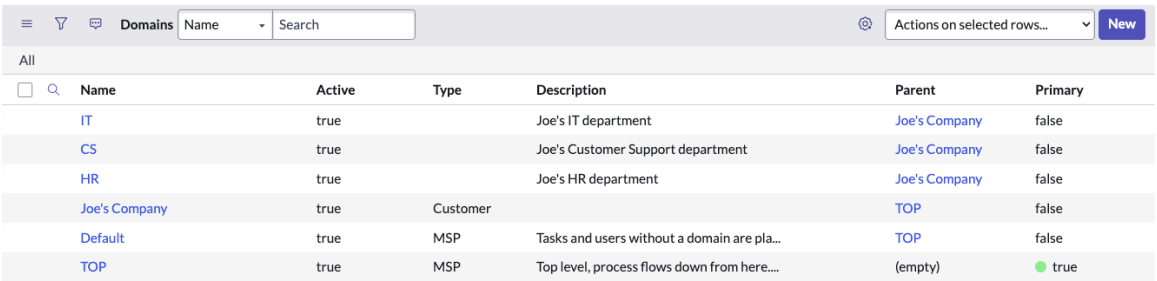
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化におけるドメインセパレーションの仕組み

分離されたデータには、データ可視化デザインとデータ可視化コンテンツが含まれます。グローバルレベルで定義されたデータの可視化は、すべての子ドメインのユーザーに表示されます。

- TOP ドメインで作成されたデータの可視化は、Joe's Company ドメインと、Joe's Company の HR、CS、および IT の子ドメインのユーザーに表示されます。
- IT、CS、または HR のいずれかの子ドメインで作成されたデータの表示方法は、他の子ドメインのユーザーには表示されませんが、親 Joe's Company ドメインのユーザーには表示されます。
- 親 (Joe's Company) ドメインで作成されたデータの可視化は、そのドメインのユーザーのみが使用できますが、子ドメインのユーザーは利用できません。



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

あるドメインでデータの可視化を作成して別のドメインにコピーすると、データの可視化構造は変わりませんが、データの可視化データはドメインに合わせて調整されます。たとえば、Active=true のインシデントテーブルのデータを含むデータの可視化では、親グローバルドメインのユーザーにはすべてのアクティブなインシデントが表示されますが、IT ドメインのユーザーには IT インシデントのみが表示されます。

データ可視化の参照

参照トピックには、データの可視化を操作するためのロール、変数、およびその他の情報が記載されています。

データ可視化のデータソース

各ワークスペースデータの可視化は、特定のデータソースを参照します。

Data source (データソース)	利用可能	説明
テーブル	ベースシステム	テーブルデータソースは、データの現在のステータスをまとめて構成するデータベースレコードのコレクションです。テーブルの行はレコードに対応し、列はフィールドに対応します。多くの場合、データの可視化を構成するときは、多くの場合、テーブルとフィールドの両方を選択するか、フィールドごとにデータをグループ化します。テーブルデータのフィルタリングを選択すると、構成されたレポートソースが [事前定義条件] リストに表示されます。
インジケーター	ベースシステム	インジケーターは、重要業績評価指標 (KPI) とも呼ばれ、一定期間にわたるテーブルデータの変更の記録です。インジケーターを使用して傾向を判断し、将来を予測します。インジケーターは、集計と条件をデータに適用します。たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] は、カウント集計をインシデントテーブルに適用し、その結果、インシデントの数が生成されます。また、インシデントのステータスが [クローズ済み] または [キャンセル]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Data source (データソース)	利用可能	説明
		であってはならず、[アクティブ] フィールドが [True] でなければならないという条件も適用されます。 多くの場合、インジケーターにはブレークダウンが適用されています。ブレークダウンは、インジケーター スコアをフィルタリングするための定性的プロパティです。たとえば、インシデントデータの場合、インシデントの優先度、カテゴリ、およびアサイン先グループはすべて、一般的に適用されるブレークダウンです。 詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	デフォルトでアクティブになっています。ただし、可視化にユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソースを含めるには、ServiceNow Store の PAR 統合アプリケーションのユーザーエクスペリエンスアナリティクスが必要です。	ServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションには、Web アプリケーション、仮想エージェント、ServiceNow モバイル、サービスポータルの各アプリケーションの利用状況アナリティクスを監視するためのダッシュボードビューが用意されています。測定基準とやり取りを可視化してユーザーエクスペリエンスをより的確に把握し、より直観的な操作をユーザーに提供します。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスに関する一般的な情報については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。データの可視化に固有の詳細については、「 データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。
メトリックベース	別のサブスクリプションが必要であり、 ServiceNow 担当者によるアクティブ化が必要です。	メトリックベースアプリケーションには、一定の間隔でサンプリングされるデータである時系列データが保存されます。保存されたデータをグラフ化するか、フローデザイナーを実行するトリガーで使用できます。メトリックベースは、大量の機械生成データを監視または処理する IoT ベースのアプリケーションを使用する開発者を支援します。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。
ヘルスログアナリティクス	別のサブスクリプションが必要であり、 ServiceNow 担当者によるアクティブ化が必要です。	ヘルスログアナリティクスアプリケーションは、ユーザーが影響を受ける前に IT の問題を防止するのに役立ちます。このアプリケーションによって、関連ログをトリアージして生データを分析できるようになり、その結果、問題の根本原因を特定できるようになります。詳細については、「Health Log Analytics 」を参照してください。 **注:** ヘルスログアナリティクスのデータ可視化は、プラットフォームアナリティクス 可視化デザイナーやダッシュボードではなく、UI ビルダーでのみ作成および編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター管理とパフォーマンスアナリティクス

インジケーターデータソースは、 パフォーマンスアナリティクス アプリケーションのアーキテクチャによって作成および管理されます。この機能は プラットフォームアナリティクス 管理の一部になりました。

Now Platform® を長年使用するユーザーは、パフォーマンスアナリティクス に精通している可能性があります。パフォーマンスアナリティクス は、インジケーター (KPI) を作成するためのアプリケーションです。これには、インジケーター、ブレークダウン、インジケーターとブレークダウンのソース、スケジュール設定済みデータ収集ジョブのバックエンドが含まれます。また、レスポンシブダッシュボードに表示されるPAウィジェットの コア UI フロントエンドと、インジケーターを詳細に調査するための アナリティクスハブ も含まれていました。

プラットフォームアナリティクスでは、古いパフォーマンスアナリティクスフロントエンドが交換されます。多くのデータソースに適用できるデータの可視化は、PA ウィジェットとレポートの両方に置き換わるものです。新しいタイプのダッシュボードまたはUIBページに配置できます。KPI 詳細アナリティクスハブを置き換えます。

新規顧客の場合、またはプラットフォームアナリティクスに完全に移行した場合、パフォーマンスアナリティクスのバックエンド機能はプラットフォームアナリティクス管理の下にグループ化されます。ただし、 パフォーマンスアナリティクス に言及する次の資料は、少なくともバックエンドに関しては引き続き適用されます。

- トレーニング資料
- ServiceNow University つのコース
- ServiceNow コミュニティ 楨
- 製品ドキュメント

インスタンスをアップグレードしたが、まだ プラットフォームアナリティクスに完全に移行していない場合は、インスタンスのナビゲーション領域として パフォーマンスアナリティクス が引き続きあります。また、パフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むサービスポータルページを管理する管理者は、それらのページのコア UI パフォーマンスアナリティクスフロントエンドオブジェクトに引き続きアクセスできます。

データ可視化ロール

可視化デザイナー可視化ライブラリにはいくつかのロールが関連付けられています。ロールは、ユーザーが可視化でできることを制限します。

ロール

任意のロール

どのロールを持つユーザーでも、編集権限を持つダッシュボードで可視化を作成できます。表示するデータにアクセスする必要があります。また、それらの可視化が共有されている場合は、ライブラリからダッシュボードに可視化を追加することもできます。また、 可視化デザイナーから共有されている可視化をブックマークしたり、エクスポートしたりすることもできます。可視化が共有権限で共有されている場合は、他のユーザーやグループとビジュアル化を共有できます。可視化デザイナーで可視化を作成または編集するには、特定のロールが必要です。

viz_creator、itil、report_user

可視化デザイナーで可視化を作成し、データ可視化ライブラリで組織全体で使用できるようにします。共有されている可視化は削除できません。ライブラリ内の可視化は、自分が作成した場合、または可視化が編集権限で共有されている場合にのみ編集できます。グループおよびユーザーとのみ可視化を共有できます。

viz_admin、platform_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可視化デザイナーで可視化を作成し、データ可視化ライブラリで組織全体で使用できるようにします。可視化の編集、削除、共有、エクスポート、およびエクスポートのスケジュール設定を行います。可視化をユーザーまたはグループだけでなくロールと共有できます。インスタンス上のデータ可視化のエクスポートとメール送信をスケジュールできます。

report_admin、アドミン

viz_adminの権限を持ち、サービスポータルに関するレポートを含むすべてのコア UIレポートを管理することもできます。

par_scheduler

アクセスできる可視化のエクスポートと電子メール配布をスケジュールします。このロールを持つユーザーには、可視化を作成、編集、および共有する権限を付与する別のロールも必要です。

par_scheduler_admin

インスタンス上のデータ可視化のエクスポートとメール送信をスケジュールします。

データ可視化ロール

ユースケース	必要なロール
データの可視化を作成	データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。
データの可視化の編集	自分が作成した可視化、または編集権限で共有された可視化は、ライブラリにない場合は編集できます。ライブラリにある場合は、viz_creatorロールも必要です。 インスタンスの可視化を viz_admin 以上で編集します。
ライブラリからダッシュボードへの可視化の追加	任意のロール (可視化が自分と共有されている場合)。 ライブラリから可視化を追加するviz_creator。
ダッシュボードで作成された可視化をライブラリに追加します	viz_creator 歳以上で、ダッシュボードを編集する権限がある
ダッシュボード上のデータ可視化をライブラリからリンク解除し、そのダッシュボードに対してローカルなバージョンを作成します。	可視化を含むダッシュボードを編集できる場合は、任意のロール
での可視化の複製 可視化デザイナー	viz_creator 以上
ユーザーまたはグループとの可視化の共有	自分が作成したデータ可視化、または共有権限で共有されたデータ可視化を共有するための任意のロール。viz_admin 以上のロールでは、インスタンス上の任意のデータ可視化を共有できます。データの可視化を共有すると、その可視化をさらに共有する権限を渡すことができます。また、編集権限と共有するか、表示権限のみと共有するかも決定します。データの可視

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ可視化ロール (続く)

ユースケース	必要なロール
	化が共有および編集権限で共有されている場合は、編集権限を渡すこともできます。
ロールとのデータ可視化の共有	viz_admin以上
可視化のエクスポート	可視化デザイナーで可視化を表示できる場合、任意のロール。
データ可視化のエクスポートをスケジュールする	par_scheduler以上:編集可能なデータ可視化のエクスポートをスケジュールします。par_scheduler_admin以上:表示可能なデータ可視化のエクスポートをスケジュールします。
可視化の削除	任意のロール:作成したデータ可視化を削除します。インスタンスのデータ可視化を削除するには、viz_admin以上にします。
ロール別にデータソースの可用性を制御する	アドミン
チャートインタラクションの構成	データの可視化を編集する権限があれば、任意のロール。ビューアーには、ドリルダウンするデータを表示する権限が必要です。
データの可視化でサービスカタログ変数を使用する	viz_creator 以上
データ可視化の色分けルールの作成	データの可視化を編集する権限があれば、任意のロール。

自動翻訳

データの可視化プロパティ

データの可視化に表示できる内容を制限するいくつかのプロパティ。

これらの プラットフォームアナリティクス データ可視化プロパティは、システムプロパティ [sys_properties] テーブルで使用できます。

注:
[システムのプロパティ] テーブルを開くには、ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list.do 」と入力します。

データの可視化のプロパティ

プロパティ	説明
par_vis_config.data_source.can_select_indicator	[データの可視化] 構成パネルからインジケーターをデータソースとして選択できるロールを指定します（カンマ区切り形式）。空の場合、すべてのユーザーは、自身がアクセス権を持つインジケーターソースを選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データの可視化のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：文字列 • デフォルト値：空 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
par_vis_config.live_refresh_rate_min_value	[データの可視化] 構成の [ライブリフレッシュレート] 設定の最小間隔を、秒単位で指定します。設定されていても、空または 0 の値にすることができます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 (秒) • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
par_viz.table_data_max_data_points	テーブルソースに基づくデータ可視化チャートのデータポイントの最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10000 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
par_viz.table_data_max_groups	[グループ] を持つデータ可視化の maxNumberOfGroups プロパティで認識される最大値設定。テーブルデータにのみ適用されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：50 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル

のフィルター プラットフォームアナリティクス

インラインダッシュボードまたはテクニカルダッシュボードでリストとデータの可視化をフィルタリングします。可能なデータ値、値が true か false か、または日付でフィルタリングします。

複数選択テーブルデータフィルターのダッシュボードへの追加

前のビデオは、フィルター (この場合はテーブルデータの複数選択フィルター) を作成する方法を示しています。

インラインダッシュボードまたはテクニカルダッシュボードのいずれかのフィルターを作成できます。インラインダッシュボードは、インラインダッシュボードエディターで作成および入力されるダッシュボードです。テクニカルダッシュボードは UI ビルダー に入力され、柔軟性は高くなりますが、かなり多くの専門知識が必要になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インラインダッシュボードのフィルター

インラインダッシュボードの場合は、インラインエディターを使用してダッシュボードに直接フィルターを作成するか、フィルターライブラリからダッシュボードにフィルターを追加できます。いずれの場合も、特定のタブにフィルターを追加するか、ダッシュボード全体に適用することができます。これらのアクションを実行するには、ダッシュボードを編集する権限のみが必要です。

analytics_filter_admin ロールを持っている場合は、フィルターデザイナーを使用してライブラリのフィルターを作成したり、既存のフィルターをライブラリにコピーしたりすることもできます。

. フィルターは、フィルターのターゲットを含むデータの可視化およびリストコンポーネントに適用されます。

ダッシュボードに複数のフィルターを配置する場合は、フィルターグループの追加を検討してください。フィルター グループでは、複数のフィルターを構成し、1 回のアクションでそれらを適用またはクリアして、データベースを 1 回だけ呼び出します。したがって、フィルター グループは、複数の個別のフィルターよりも効率的である可能性があります。

フィルターを作成するときは、最初にフィルタータイプを指定します。それ以降のすべての構成オプションは、選択したタイプによって異なります。

重要:
このドキュメントを使用する場合は、まずフィルターを作成するためのトピックを選択します。フィルターを作成してフィルタータイプを選択したら、該当するトピックに従って、そのタイプのフィルターを構成します。

フィルター値の保持

インラインダッシュボードでは、フィルターはログインやページの更新後も値を保持します。ただし、これらの値は、フィルター構成が編集されると保持されなくなります。その後、フィルターはすべてのユーザーについて、次回のログイン時またはページの更新時にデフォルト値に戻ります。UI ビルダー で作成されたテクニカルダッシュボードおよびページでは、フィルターは、ログインまたは更新後は値を保持しません。例外については、「 ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」を参照してください。

インラインダッシュボードをエクスポートするときにも、フィルター値を保持できます。ダッシュボードを Microsoft PowerPoint にエクスポートすると、フィルター値が自動的に適用されます。ダッシュボードを PDF にエクスポートする場合、フィルター値を保持するかどうかを選択できます。テクニカルダッシュボードをエクスポートするときにフィルター値は保持されません。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート」を参照してください。

ドメインフィルター

ドメインセパレーションされたインスタンスでは、可視化をドメイン別にフィルタリングできます。ドメインフィルタリングは別のコンポーネントを使用します。詳細については、「ドメインフィルターの作成」を参照してください。

インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します

フィルターを作成するか、フィルターライブラリからフィルターを選択します。フィルターを作成するときは、フィルターに名前を付け、単一選択、複数選択、日付、または true/false フィルターを作成するかどうかを選択します。

始める前に

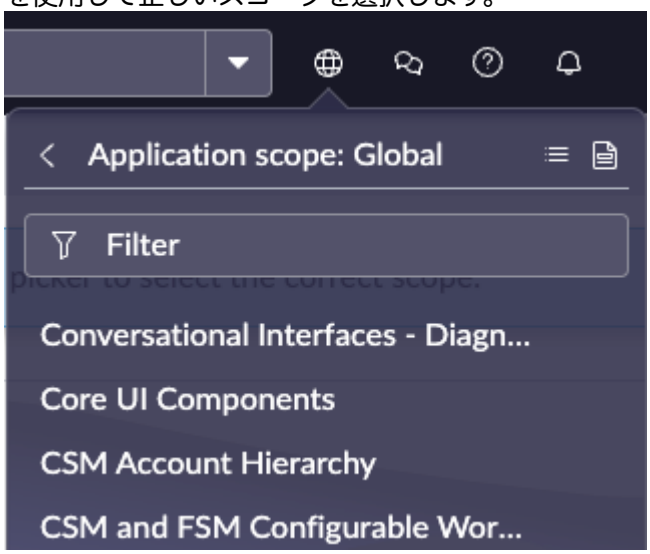
必要なロール：dashboard_admin、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オープン **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.
2. プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集の説明に従って、ダッシュボードライブラリでダッシュボードを見つけて開き、編集します。
   ダッシュボードがインラインエディターにある場合は、[編集] ボタンが表示されます。テクニカルダッシュボードの場合は、[**UI** ビルダーで編集] ボタンが表示されます。後者の場合は、 のテクニカルダッシュボードでのフィルターの作成 UI ビルダーに進みます。
3. ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



4. [編集] を選択して編集モードに入ります。
5. [新しい要素を追加] を選択します。
6. [フィルター] を選択し、新しいフィルターまたは保存されたフィルターを選択します。
   - フィルターを最初から作成するには、[新しいフィルター] を選択します。
   - ライブラリからフィルターを再利用するには、[**Saved filter** (保存済みフィルター)] を選択します。

   [新しいフィルター] を選択すると、選択したフィルターの [構成] パネルが開きます。[保存済みフィルター] を選択すると、既存のフィルターを選択してダッシュボードに追加できます。
7. 新しいフィルターを作成する場合は、フィルター処理するデータの種類を選択します。

   その他の構成オプションは、選択したデータタイプによって異なります。

   - 単一選択:一連の選択肢からの単一の値。[Single select (単一選択)] はデフォルトのフィルターの種類です。
   - 複数選択:「高」と「重大」の両方の優先度など、一連の選択肢からの複数の値
   - 日付:カレンダー日付。時間も設定できます。ページまたはタブ上のすべてのインジケーターデータに自動的に適用されます。
   - True/False:フィールド値が true か false か。また、値が 2 つしかない バケットグループ に基づくインジケーターブレークダウンでも使用できます。
8. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
   この名前は、ランタイムユーザーに表示される名前です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

注:
フィルター値は、ユーザーセッションをまたいで保持されます。閲覧者がダッシュボードを再度開くと、ダッシュボードのフィルターに対して最後に選択した値が事前に選択されます。この機能は、テクニカルダッシュボードではなく、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。

フィルターデザイナーでフィルターを作成する

フィルターデザイナーで プラットフォームアナリティクス フィルターを作成し、ライブラリに追加して再利用します。

始める前に

注:
フィルターライブラリに保存されたフィルターは、テクニカルエディター (UI ビルダー) ではアクセスできません。

必要なロール:analytics_filter_admin、admin

手順

1. フィルターライブラリにフィルターを追加するには、次に移動します: **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > フィルター [新規] を選択します。
   フィルターデザイナーが開きます。
2. フィルタリングするデータのタイプを選択します。

   その他の構成オプションは、選択したデータタイプによって異なります。

   - 単一選択:一連の選択肢からの単一の値。[Single select (単一選択)] はデフォルトのフィルターの種類です。
   - 複数選択:「高」と「重大」の両方の優先度など、一連の選択肢からの複数の値
   - 日付:カレンダー日付。時間も設定できます。ページまたはタブ上のすべてのインジケーターデータに自動的に適用されます。
   - True/False:フィールド値が true か false か。また、値が 2 つしかない バケットグループ に基づくインジケーターブレークダウンでも使用できます。
3. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
   この名前は、ランタイムユーザーに表示される名前です。

タスクの結果
保存すると、フィルターはライブラリに保存され、すべてのユーザーがダッシュボードに追加できます。

フィルターグループの作成

同時に適用できる一連のフィルターを作成します。複数のフィルターがある場合は、個別に適用するよりもまとめて適用する方が高速です。

始める前に
必要なロール:dashboard_admin、またはダッシュボードの所有者であるか編集権限を共有されている場合の任意のロール。

このタスクについて
ダッシュボードの多くの可視化に適用するフィルターが多数ある場合、すべてのフィルターを適用するのに時間がかかることがあります。値を設定した各フィルターは、 Now Platformを個別に呼び出

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

します。フィルターをグループに整理し、1 回の呼び出しで一度に複数のフィルターを適用することで、このプロセスを高速化できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ダッシュボード.
2. フィルターグループを追加するダッシュボードを見つけて開き、または作成します。
   技術ダッシュボードはサポートされていません。フィルターグループは、インラインエディターでのみダッシュボードに追加できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集」を参照してください。
3. [新しい要素の追加] を選択し、フィルターグループ要素を追加します。
4. [**UI** 要素] セクションで、フィルターグループの外観を設定します

UI 要素の設定

オプション	説明
フィルターグループラベルを表示	オンにすると、フィルターグループのラベルが表示されます。 デフォルト:on
フィルターグループラベル	ユーザーに表示されるフィルターグループのわかりやすい名前。[フィルターグループラベルを表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。 デフォルト:ラベル
フィルターグループレイアウト	フィルターを並べて表示するには、[水平] を選択します。列にフィルターを表示するには、[垂直] を選択します。 デフォルト:水平
フィルター間隔	フィルターの間隔を選択します。 オプション:S、M、L デフォルト:S
ピルに値を表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターについて、ピル内に選択したフィルター要素が表示されます。 デフォルト:on
境界線を表示	オンにすると、フィルターグループの周囲に線が表示されます。 デフォルト:on
ベア	オンにすると、フィルターグループの周囲のパディングが削除され、よりコンパクトな配置が可能になります。[境界線を表示] がオフの場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	デフォルト:off
丸い角を表示	オンにすると、グループの境界線および半径が、ピルの境界線および半径と一致します。[ピルに値を表示] がオフになっており、[境界線を表示] がオンになっている場合にのみ使用できます。 デフォルト:off

5. フィルターを追加します。
ドメイン以外の任意のタイプのフィルターを追加できます。フィルター構成は、Filter コンポーネントの場合と同じです。
   - 単一/複数の選択フィルターまたはカスケードフィルターの構成
   - True/False フィルターの構成
   - インラインエディターで日付フィルターを構成する

   各フィルターの構成が完了したら、[グループ構成に戻る] を選択します。

6. 変更する追加の設定を構成します。

追加の設定

オプション	説明
グループの適用を表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターをまとめて適用できるようになります。無効にすると、グループ内の個々のフィルターへの変更がすぐに適用されます。 デフォルト:on
グループのクリアを表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターをまとめてクリアできるようになります。 デフォルト:on
グループリセットを表示	オンにすると、グループ内のすべてのフィルターをまとめてクリアできるようになります。 デフォルト:off
クリアとリセットを組み合わせる	オンにして、[クリア] と [リセット] を [その他のアクション ⋮ メニューに移動します。 [グループ リセットを表示] がオンの場合にのみ使用できます。
セパレーターを表示	オンにすると、ダッシュボード上のフィルターと他のコンテンツの間に線が表示されます。

自動翻訳

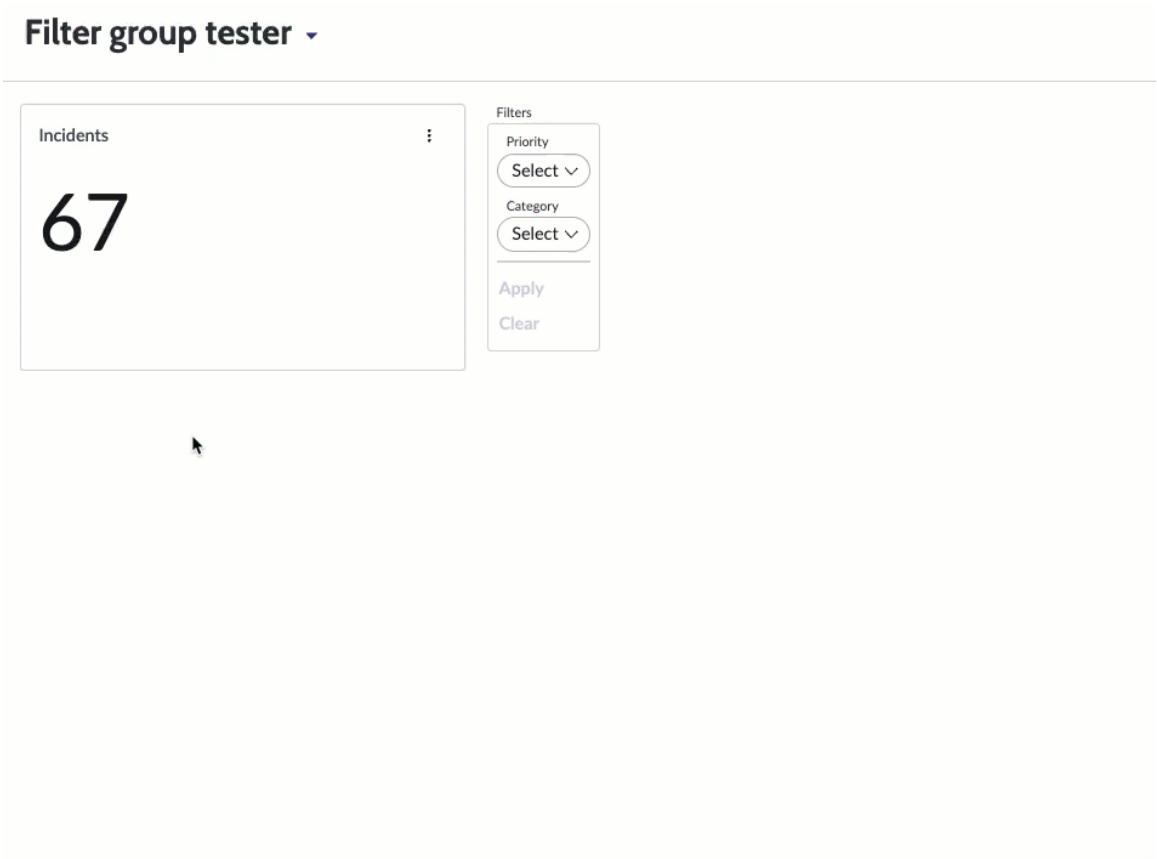
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	デフォルト:on
フィルターアイテムの最大幅 (ピクセル)	グループ内の各フィルターに許可されるピクセル数を定義します。この制限よりも幅の広いテキストは、新しい行に折り返されます。

Example: フィルターグループの使用例

次の例は、データの可視化に適用される 2 つのフィルターのグループを示しています。ここでは、明確さと簡潔さのためにシンプルなユースケースを使用しています。実際には、複数の可視化とフィルターを含むフィルターグループを使用します。

簡易フィルターグループ



のテクニカルダッシュボードでのフィルターの作成 **UI** ビルダー

テクニカルダッシュボードでデータの可視化と簡易リストをフィルタリングするには、 UI ビルダーにフィルターコンポーネントを追加し、イベントハンドラーを構成します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

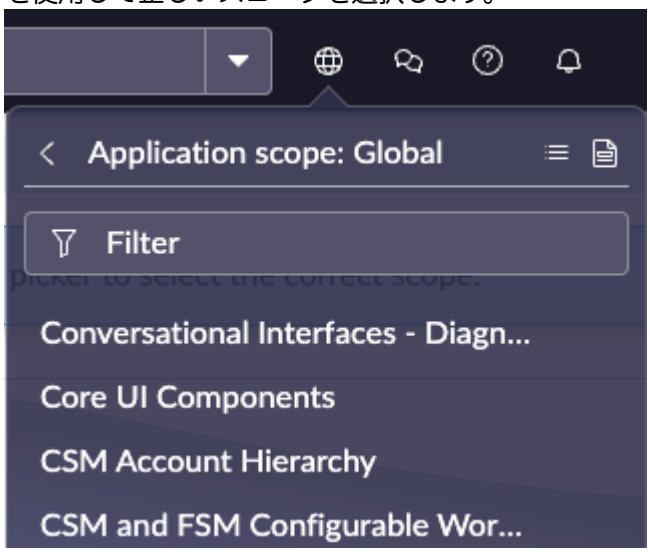
手順

1. プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集の説明に従って、ダッシュボードライブラリでダッシュボードを見つけて開き、編集します。
   ダッシュボードがテクニカルダッシュボードの場合は、[**UI** ビルダーで編集] ボタンが表示されます。インラインエディターにある場合は、[編集] ボタンが表示されます。後者の場合は、 インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加しますに進みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ダッシュボードとは異なるアプリケーションスコープ内にいる場合は、アプリケーションピッカーを使用して正しいスコープを選択します。



3. **UI** ビルダーで [編集] を選択します。
4. コンポーネントの追加と構成 の説明に従って、レイアウト要素とフィルターコンポーネントを追加します。
5. 開発者サイトのフィルターコンポーネントリファレンス の説明に従って、フィルターを設定します。
   このリファレンスには、各構成フィールドの説明と、 UI ビルダー ページに一般的に適用される一般的な使用情報が含まれています。

> **重要:**
> フィルターを関連するデータの可視化またはリストにリンクするように、イベントハンドラーとページスクリプトを必ず構成してください。

単一/複数の選択フィルターまたはカスケードフィルターの構成

ユーザーが、インシデント優先度などの一連の選択肢から 1 つ以上の値でダッシュボードタブをフィルタリングできるようにします。単一または複数の選択フィルターをカスケードで別のフィルターの後に追従させることができます。

始める前に

この手順では、フィルターデザイナーでフィルターを作成しているか、単一選択または複数選択フィルタータイプでダッシュボードにフィルターを追加していることを前提としています。「インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します」、「フィルターデザイナーでフィルターを作成する」、または「フィルターグループの作成」を参照してください。

必要なロール: インラインダッシュボードエディターでの操作: dashboard_admin、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

フィルターデザイナー (ライブラリ > フィルター > 新規):analytics_filter_admin、アドミン

このタスクについて

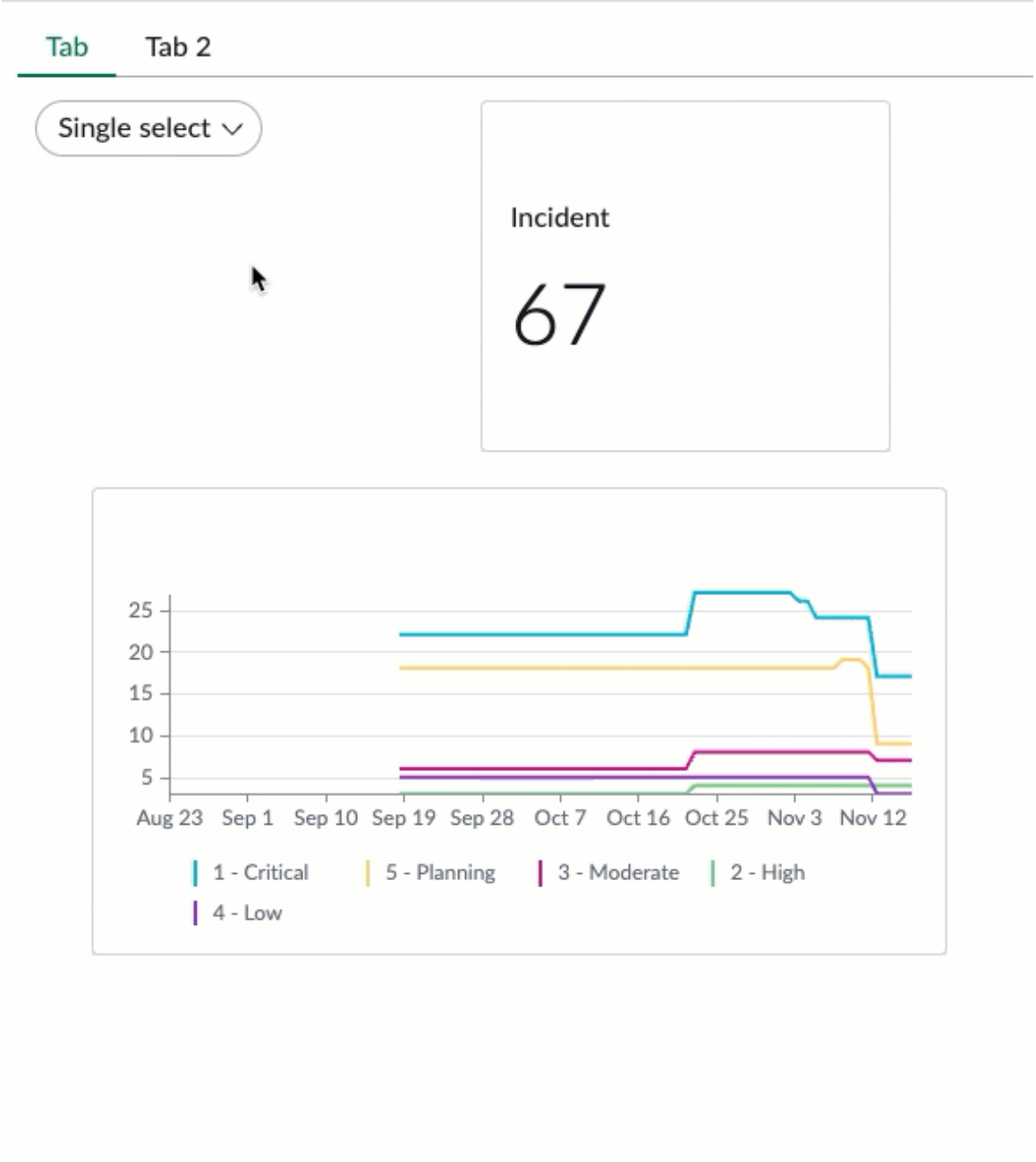
フィルターは、データの可視化と簡易リストに適用されます。フィルターを特定のデータ可視化に適用するには、その可視化と同じテーブルまたはインジケーターブレークダウンに基づいている必要があります。リストに適用するには、リスト内のフィールドをフィルタリングする必要があります。

タブ付きダッシュボードでは、フィルターは単一のタブ内のアイテムまたはダッシュボード全体に適用できます。フィルターを単一のタブに適用するには、そのタブにフィルターを追加します。フィルターをダッシュボード全体に適用するには、タブの上にフィルターを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

単一選択フィルターを使用すると、ユーザーは 1 つの値でアイテムをフィルタリングできます。



複数選択フィルターを使用すると、ユーザーはフィールドまたはブレークダウンの複数の値を選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. フィルターを作成し、「 インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します 」または「 フィルターデザイナーでフィルターを作成する」の説明に従って、[単一] または [複数選択] フィルタータイプを選択します。
2. [フィルターソースタイプ] で、[テーブル] または [インジケーターブレークダウン] を選択します。
   メトリックベース テーブルは [テーブル] の下にあります。
3. ソースタイプに応じてフィルターソースを指定します。

自動翻訳

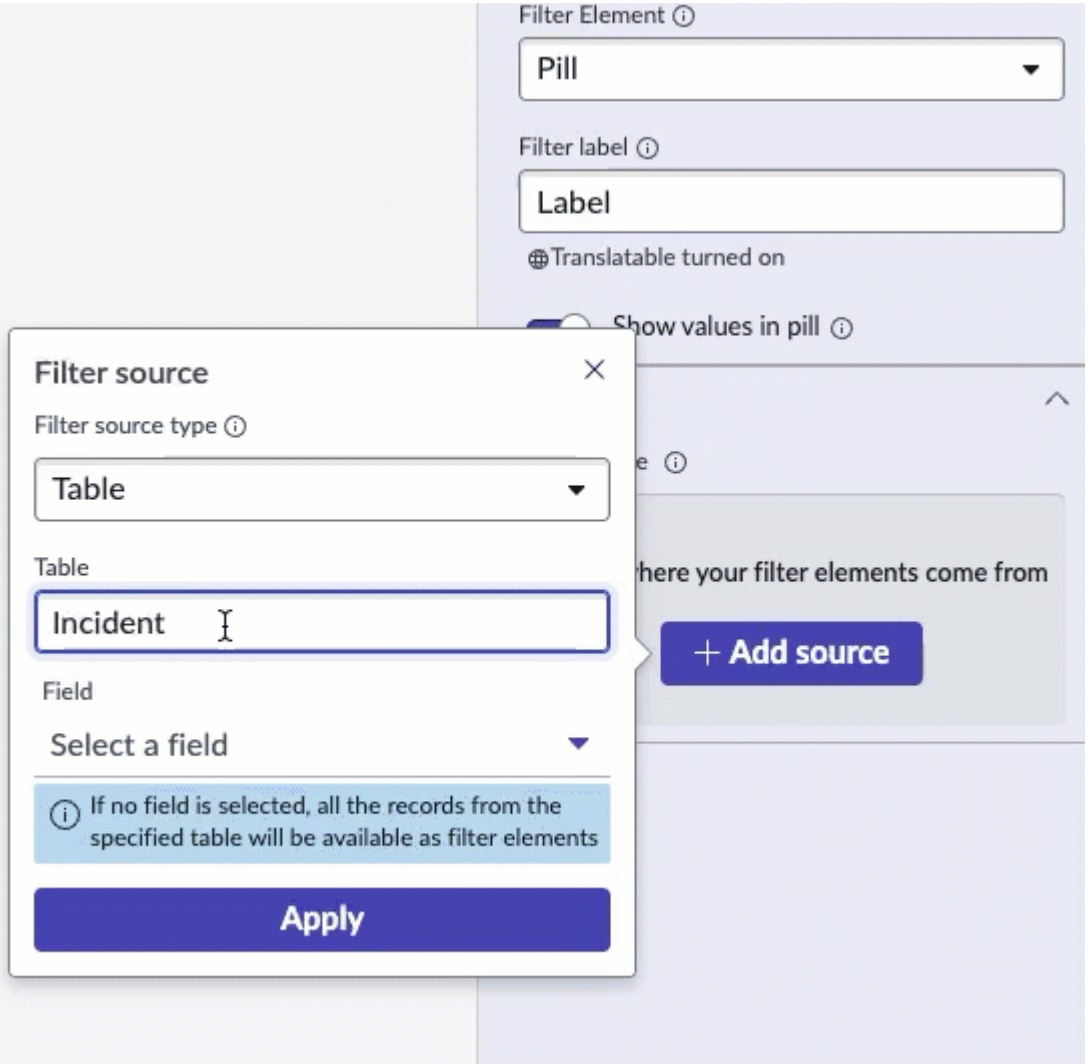
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [Table (テーブル)] タイプを選択した場合は、テーブルとフィールドを選択します。

  注:

  - 参照フィールドと選択リストがあるフィールドのみを選択できます。テーブルに非参照文字列フィールドと数値フィールドしかない場合、選択できるフィールドはありません。
  - フィールドを選択しない場合は、そのテーブルまたはそのテーブルを指す参照フィールドのデータしかフィルター処理できません。たとえば、フィルターソースとして Company (会社) テーブルを選択した場合、Company (会社) テーブルまたは会社を指す参照フィールド (Incident.Caller.Company や Incident.Location.Company など) のみをフィルター処理できます。
  - メトリックベーステーブルを選択する場合は、フィールドを選択しないでください。

  - 別のテーブルへの参照フィールドであるフィールドを選択すると、フィルターソースがリセットされ、フィールドが選択されていない状態でそのテーブルを参照します。フィルタリングするデータは、最初に選択した参照フィールドに自動的に設定されます。フィルタリングする追加データとして、フィルターソース内のテーブルまたはそのテーブルを指す他の参照フィールドのみを設定できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [Indicator Breakdown (インジケーターブレークダウン)] タイプを選択した場合は、インジケーターブレークダウンを選択します。

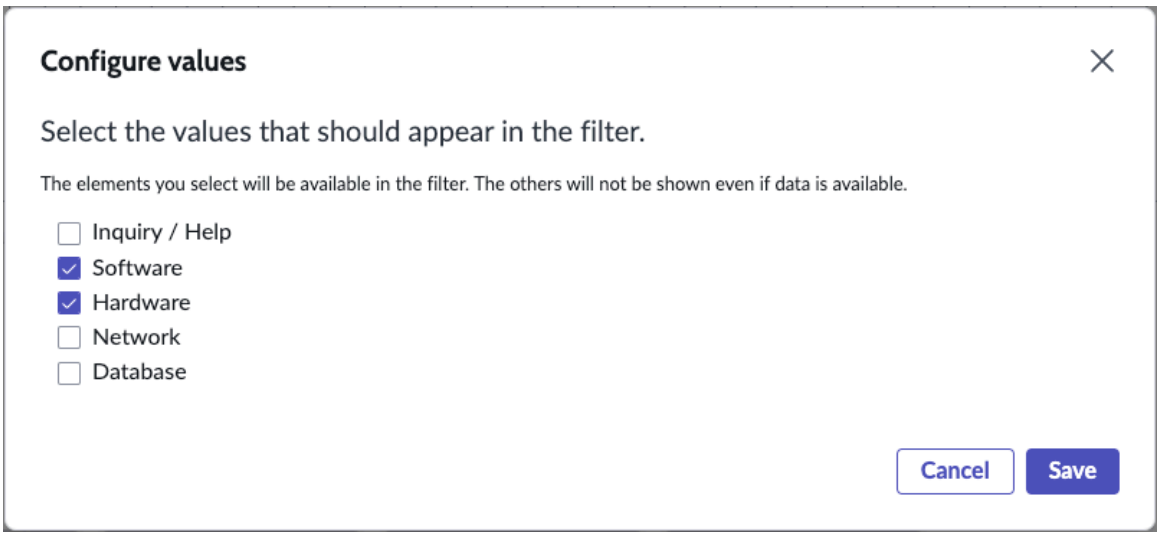
> **重要:**
> - 少なくとも 1 つのインジケーターで使用されているブレークダウンのみを選択できます。
> - データの可視化でのスクリプト化されたブレークダウンはサポートされていません。
> - インジケーターに同時に適用できるブレークダウンレベルは 2 つのみです。ダッシュボードでは、これは 2 つのフィルター、または 1 つのフィルターと、データの可視化で指定されたブレークダウンです。ただし、このインジケーターでデータスナップショットが有効になっている場合、この制限は適用されません。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

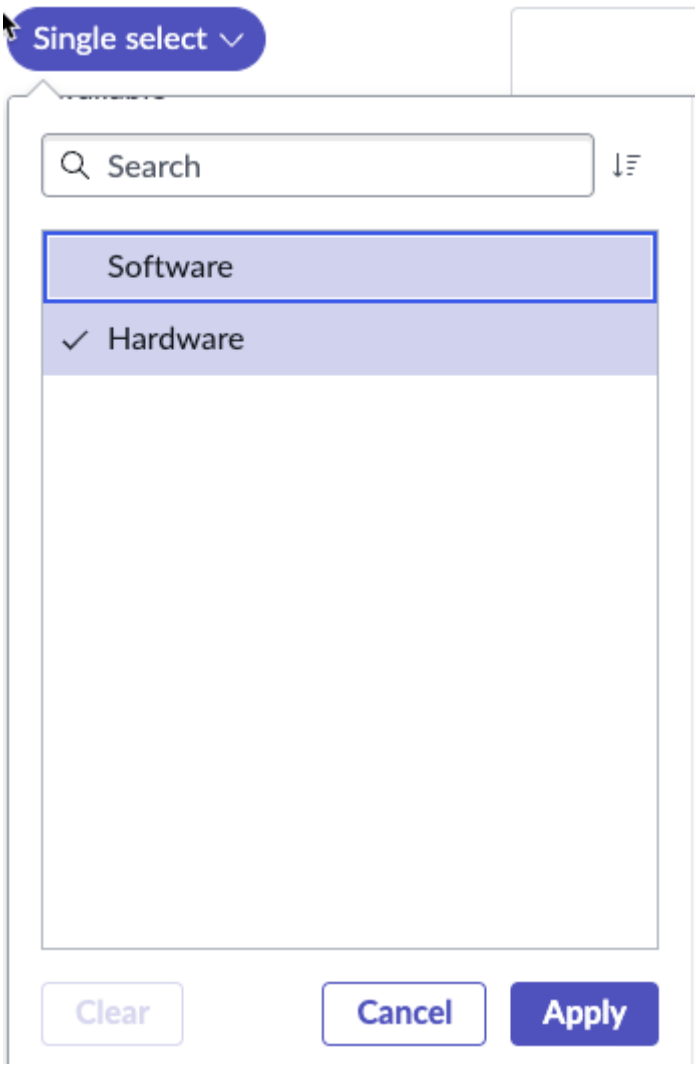
4. オプション: ランタイムユーザーがフィルタリング用に選択できる値を制限するには、[値 (数値) の構成] を選択します。
使用可能な値のリストが開きます。ランタイムユーザーがフィルタリングできないようにするには、値をクリアします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実行時に値リストとその結果の選択肢を構成する





自動翻訳

注:
フィルターソースがテーブルへの参照の場合、構成する値のリストはありません。代わりに、フィルターに値を設定する条件を作成できます。関連リスト条件を設定することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: フィルターのデフォルト値を選択します。
   ユーザーがダッシュボードを開くと、ダッシュボードはこれらの値を適用します。
6. オプション: フィルタリングするデータを選択します。
   フィルタリングする一部のデータは、フィルターソースに応じて自動的に選択されます。たとえば、Incident.Category ブレークダウンソースからカテゴリインジケーターブレークダウンを選択すると、インシデントテーブルの [カテゴリ] フィールドと、カテゴリブレークダウンを持つインジケーターがフィルターによって自動的にフィルタリングされます。自動データ選択を編集したり、フィルターするデータを追加したりできます。

   注:
   フィルターソースの選択は、フィルタリングできるデータに影響を与える可能性があります。詳細については、「ステップ 3」を参照してください。

7. [フォローするその他のフィルター] で、条件が満たされている場合は、階層で現在のフィルターがフォローする別のフィルターを選択してカスケードを作成できます。

   注:
   [フォローするその他のフィルター] は、フィルターデザイナーからではなく、ダッシュボードでフィルターを構成する場合にのみ設定できます。

   別のフィルターに従うようにフィルターを設定すると、次のフィルターで使用可能な選択肢は、フォローされているフィルターで行われた選択肢によって制限されます。詳細については、 マネージャーとアサイン先グループのカスケードフィルターの例を参照してください。

   Conditions :
   - ピルがそのフィルターの UI 要素である場合にのみ、フィルターに従うことができます。
   - テーブルとインジケーターのブレークダウンフィルターのみがカスケードフィルターをサポートしています。
   - フォローするフィルターでは、次のフィルターのフィルターソースと同じテーブルでデータをフィルターする必要があります。

   注:
   - 一部のフィルターには多対多の関係があり、両方のフィルターの値が他方のフィルターの複数の値と一致する場合があります。このようなフィルターの 1 つは、接続テーブルを介してのみ別のフィルターをフォローできます。アドミンのみがこれらのカスケードフィルターを設定できます。詳細については、「多対多の関係で別のフィルターをフォローするようにフィルターを設定する」を参照してください。
   - 2 つのフィルターが連続して使用できますが、追加の要件があります。詳細については、「2 つのフィルターが互いにフォローするための条件」を参照してください。

8. [ソートの方向] を選択します。
   [昇順] を選択すると、フィルタリングされたうちで最も低い値が最初に表示されます。[降順] を選択すると、最も大きい値が最初に表示されます。ユーザーはこの値を変更できます。
9. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
10. オプション: 初期および各ページ更新時にロードされる要素の最大数を設定します。
    デフォルト値は 500 です。
11. [保存] を選択します。

タスクの結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

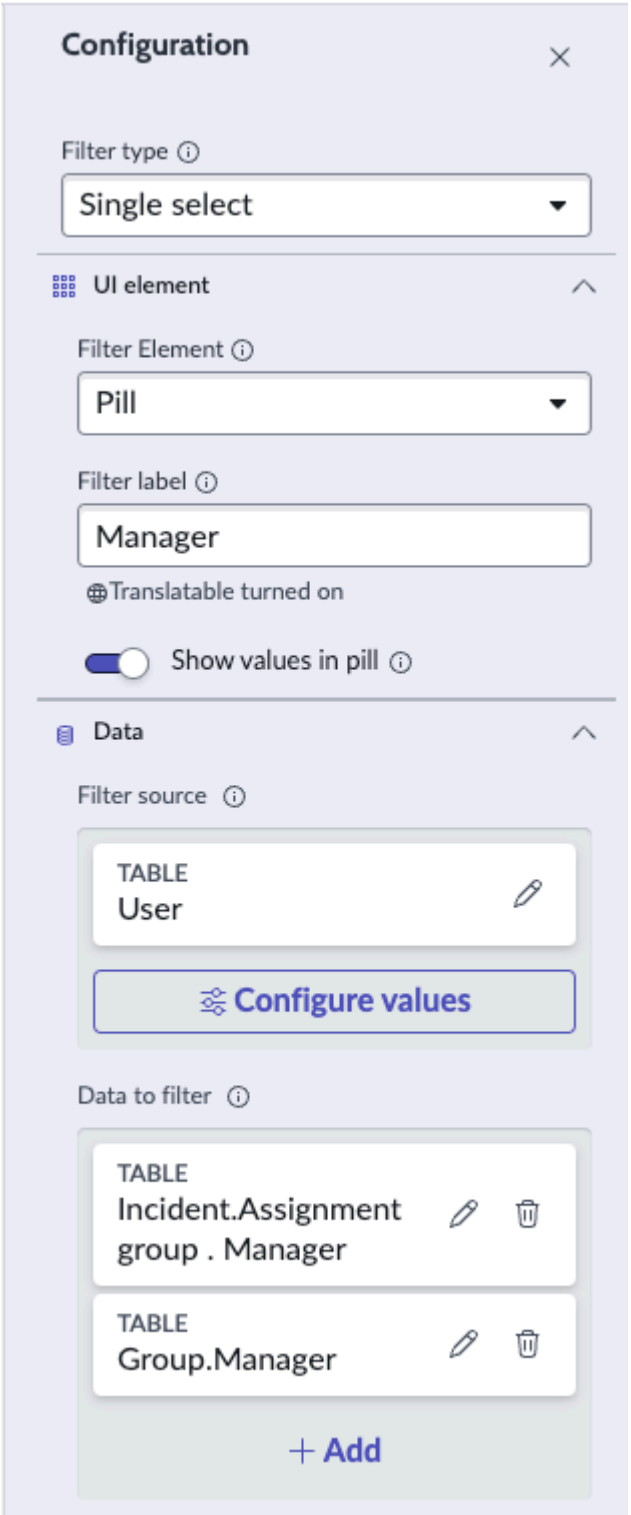
Example: マネージャーとアサイン先グループのカスケードフィルター

ユーザーがマネージャーまたはアサイン先グループでインシデントをフィルタリングできるようにするケースを考えてみましょう。また、2 番目のフィルターで利用可能なアサイン先グループを、最初のフィルターでマネージャーが選択されているグループに限定するとします。

1. インシデント [incident] テーブルのインシデント数の単一スコアデータによる可視化など、インシデントのデータの可視化を作成します。
2. アサイン先グループマネージャー別にインシデントをフィルタリングするフィルターを作成します。これを行うには、データソースとしてユーザー [sys_user] テーブルに基づいて単一または複数の選択フィルターを作成します。そのテーブルにある [マネージャー] フィールド。このフィルターをインシデントテーブルデータのデータ可視化に適用するため、Incident.Assignment グループを指すようにフィルターするデータを編集します。支配人。また、グループ [sys_user_group] テーブルの [マネージャー] フィールドをフィルタリングするデータとして追加します。このフィールドは、後でカスケードフィルターを設定するときに必要になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

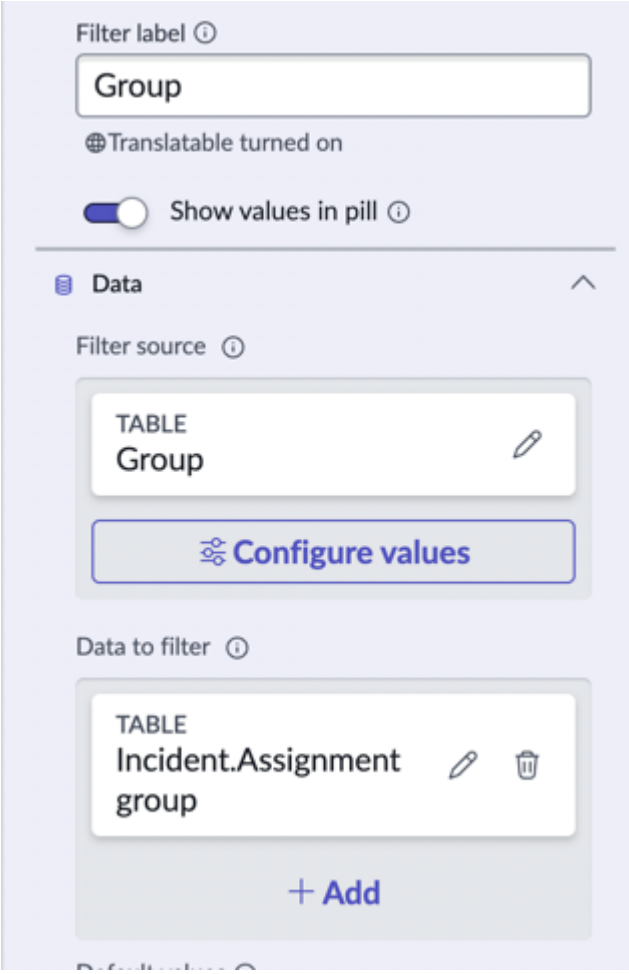


3. アサイン先グループ別にインシデントデータをフィルタリングするフィルターを作成します。
   a. まず、[グループ] というラベルの付いた複数選択フィルターを作成します。
   b. 次に、インシデント [incident] テーブルの [アサイン先グループ] フィールドをフィルターソースとして選択します。

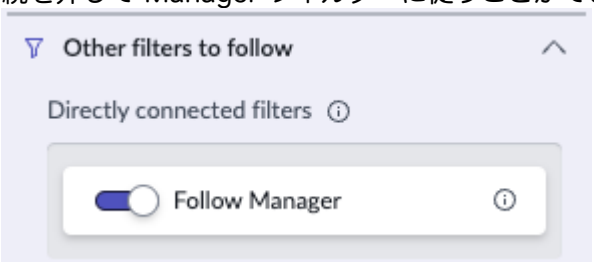
   [アサイン先グループ] はグループ [sys_user_group] テーブルを参照する参照フィールドであるため、フィルターソースは自動的に [グループ] テーブルにリセットされます。フィルタリングするデータは Incident.Assignment Group のままです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. マネージャーでフィルタリングしたグループをユーザーが選択できるようにする必要があることに注意してください。これを行うには、グループフィルターがマネージャーフィルターに従う必要があります。このカスケードを可能にするには、グループテーブルのデータをフィルタリングするようにマネージャーフィルターを構成する必要があります。この要件が、フィルターリングするマネージャーフィルターのデータとして Group.Manager を追加した理由です。[Configuration] パネルを下にスクロールして **[Other filters to follow]** に移動すると、[Group] フィルターが直接接続を介して Manager フィルターに従うことができることがわかります。

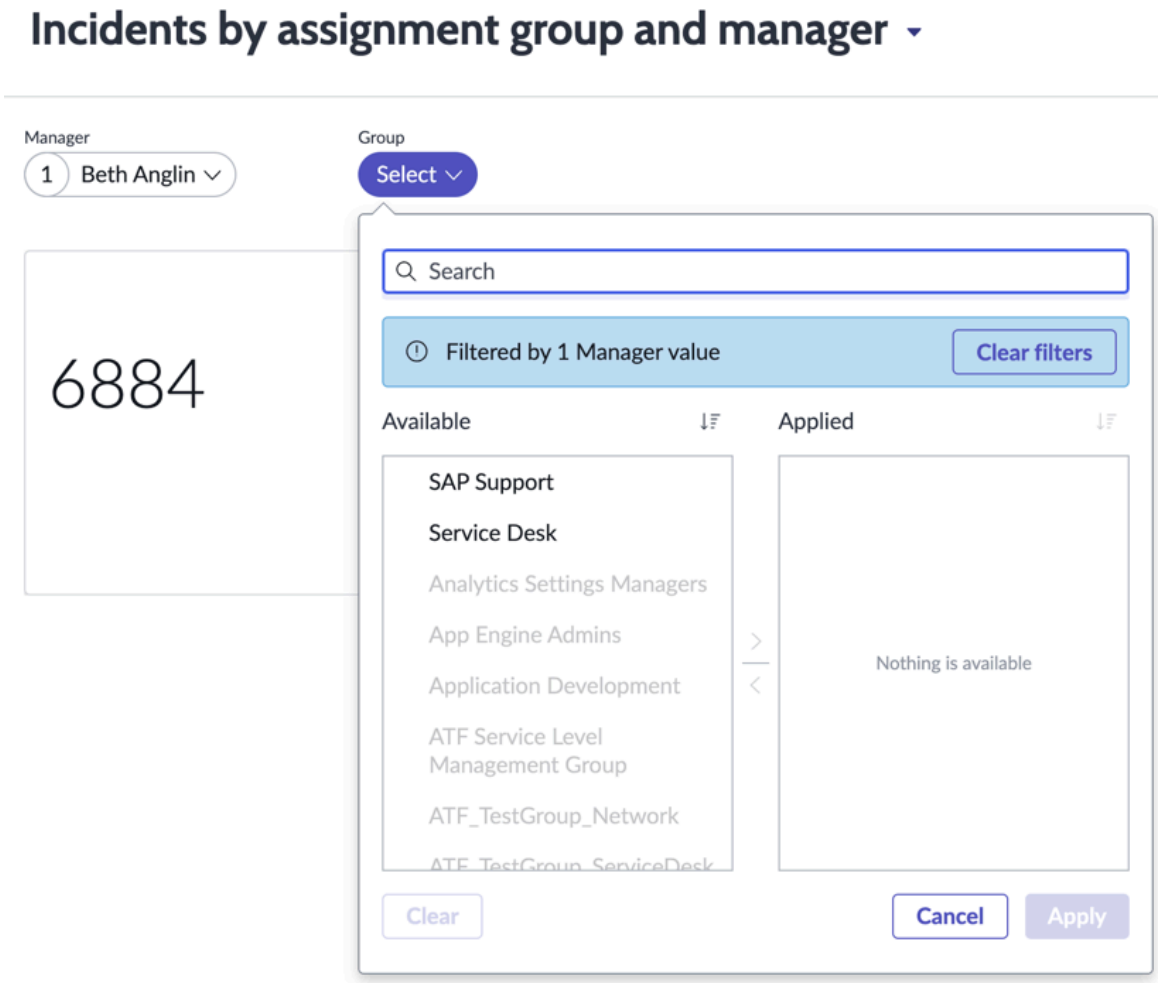


5. マネージャーフィルターに従うようにグループフィルターを設定し、保存して編集モードを終了します。その後、ダッシュボードビューアーは [マネージャー] フィルターで Beth Anglin を選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

します。これにより、グループフィルターでアサイン先グループを選択すると、Beth Anglin がマネージャーであるグループのみが利用可能になります。



次のタスク

必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスフィルターの編集」を参照してください。

関連情報

プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

多対多の関係で別のフィルターをフォローするようにフィルターを設定する

場合によっては、フィルターのペアの値が、互いの複数の値を参照することがあります。このようなフィルターが別のフィルターに続くには、接続テーブルを通過する必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ほとんどの場合、フィルターは 1 対 1 の関係または 1 対多の関係のいずれかで別のフィルターに従います。後者の場合、フィルターソースは参照フィールドです。ダッシュボードを編集できるユーザーは誰でも、直接接続して、そのダッシュボードで別のフィルターをフォローするように設定できます。analytics_filter_admin ロールを持つユーザーは、フィルターライブラリでこのようなフィルターを作成することもできます。詳細については、「 単一/複数の選択フィルターまたはカスケードフィルターの構成」の例を参照してください。

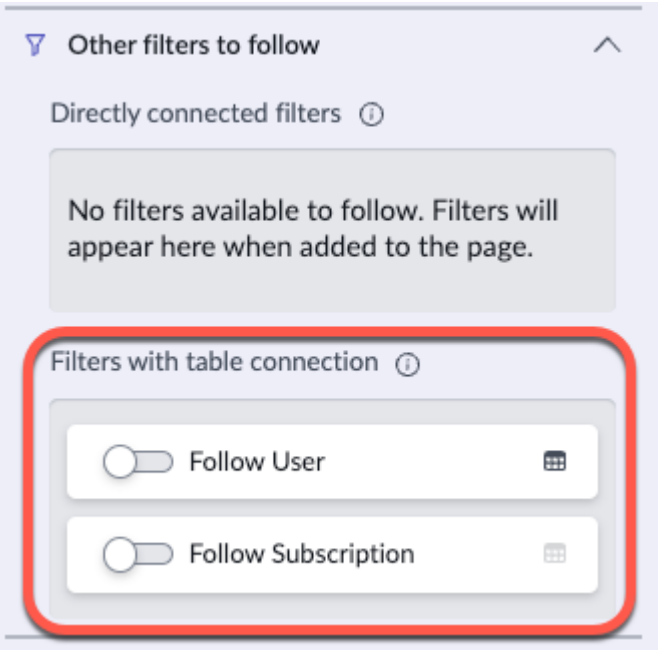
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各フィルターの値が他のフィルターの値 (多対多の関係) の複数の値を参照できる場合は、接続テーブルを選択する必要があります。この接続テーブルには、2 つのフィルター間で考えられるすべての参照に対する一意のレコードがあります。2 つのテーブル間の接続テーブルは、コレクション [sys_collection] テーブルと多対多定義 [sys_m2m] テーブルで定義されます。これらのテーブルにアクセスできるのはアドミンのみです。

接続テーブルは、 ベースシステム または プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるすべての関連テーブルに対して事前定義されています。ただし、多対多の関係でカスタムテーブルを使用する場合は、多対多の定義テーブルでその関係を定義する必要があります。詳細については、「Create a many-to-many table relationship」を参照してください。

手順

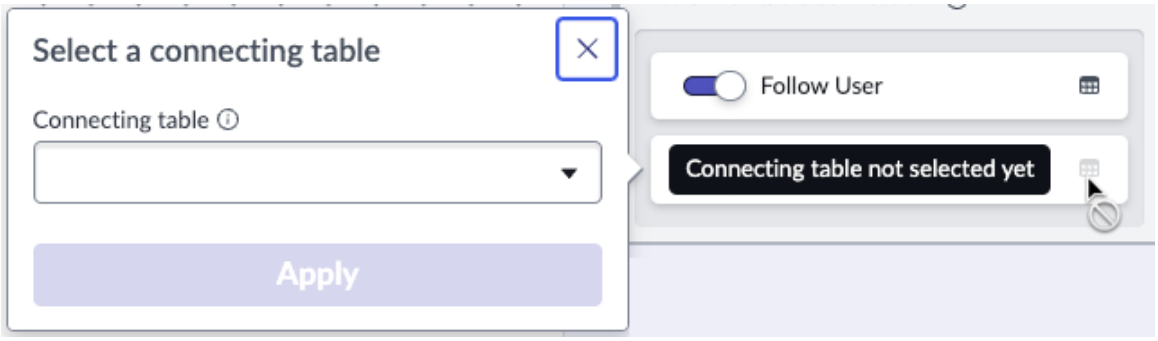
1. 関連するダッシュボードに少なくとも 2 つの単一または複数の選択フィルターを追加します。
   ダッシュボードへのフィルターの追加の詳細については、「 インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します」を参照してください。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
3. 他のフィルターをフォローするフィルターの設定メニューを開きます。
   フィルターが多対多の関係でダッシュボードの他のフィルターに従うことができる場合、これらのフィルターは [フォローするその他のフィルター] セクションの [テーブル接続によるフィルター] に一覧表示されます。



4. このフィルターがフォローするフィルターのフォローをオンにします。
5. そのフィルターに対して接続テーブルが選択されていない場合は、接続テーブルを選択するためのダイアログが開きます。
   接続テーブルがまだ選択されていない場合、トグルによるテーブルアイコンはグレー表示されます。

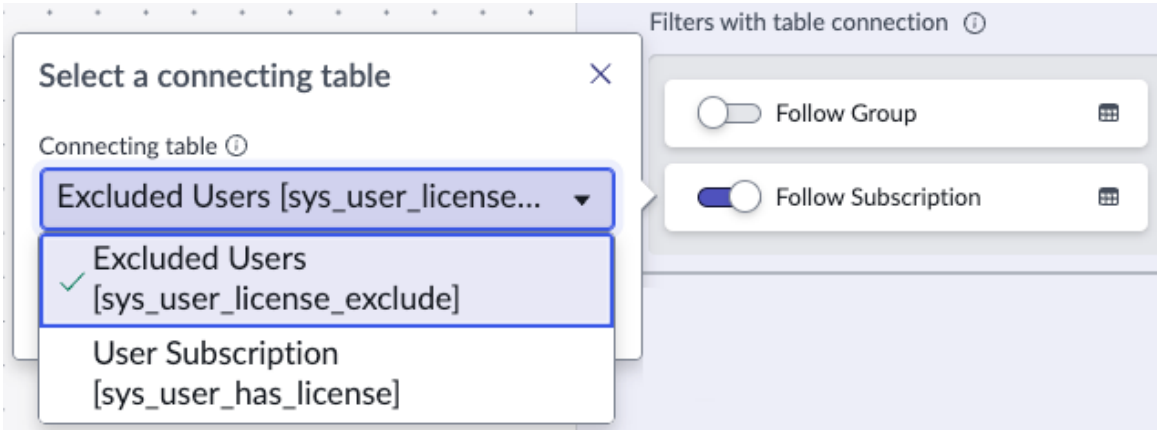
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



接続テーブルを設定した後、テーブルアイコンを選択して変更できます。

Example
複数の接続テーブルから選択できる場合は、接続テーブルの名前から選択すべきテーブルが示されます。たとえば、除外ユーザー [sys_user_license_exclude] はサブスクリプションを持っていないユーザーをフィルターし、ユーザーサブスクリプション [sys_user_has_license] はサブスクリプションを持っているユーザーをフィルターします。



6. ダッシュボードを保存し、編集モードを終了します。

2 つのフィルターが互いにフォローするための条件

2つのフィルターを相互にフォローするように設定することができます。ただし、いくつかの技術的な制限が適用されます。

2 つの単一/複数選択フィルターは、 単一/複数の選択フィルターまたはカスケードフィルターの構成で説明されているように、直接接続を介して互いにフォローできます。そのトピックで説明されている条件は、両方のフィルターに適用されます。たとえば、両方のフィルターが他方のフィルターソースのデータをフィルタリングする必要があります。

多対多の関係で別のフィルターをフォローするようにフィルターを設定するで説明されているように、2 つの単一/複数選択フィルターは、多対多の接続を介して相互にフィルター処理することもできます。アドミンのみがこのような接続を設定できます。

フィルターが別のフィルターに従うための一般的な条件に加えて、次の条件も適用されます。

混合接続タイプが無効です

両方のフィルターは、直接接続または多対多接続のいずれかを介して互いにフォローする必要があります。一方のフィルターが他方のフィルターに直接フォローすることはできず、多対多の接続でフォローすることはできません。

多対多の接続では、同じ接続テーブルを使用する必要があります

2 つのフィルターが多対多の接続を介して互いに続く場合、両方の接続で同じ接続テーブルを使用する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

True/False フィルターの構成

ユーザーが true/false フィールドとブレークダウン要素をフィルタリングできるようにします。たとえば、[アクティブ] フィールドが **true** に設定されているインシデントのみをユーザーが選択できるようにすることができます。

始める前に

この手順では、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、[True/False] フィルタータイプでダッシュボードにフィルターを追加していることを前提としています。詳細については、「インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します」または「フィルターデザイナーでフィルターを作成する」を参照してください。

必要なロール: ダッシュボードインラインエディターでの操作: dashboard_admin、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

フィルターデザイナー (ライブラリ > フィルター > 新規):analytics_filter_admin、アドミン

このタスクについて

フィルターは、フィルターの配置に応じて、同じダッシュボードまたは同じダッシュボード タブ上のすべての要素に適用されます。

手順

1. 「 インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します 」または「 フィルターデザイナーでフィルターを作成する」で説明されているように、フィルターを作成し、[True/False] フィルタータイプを選択します。
2. オプション: 「True」と「False」の代わりに、「Yes」と「No」などのカスタム表示ラベルを設定します。
3. [フィルタリングするデータ] で、フィルタリングするテーブルフィールドまたはインジケーターブレークダウンを指定します。
   フィルターには任意の数のターゲットを追加できます。テーブルとフィールド、または特定のブレークダウンを持つすべてのインジケーターを選択します。テーブルを選択した場合は、関連テーブルの階層 (親、子、兄弟、およびそのテーブルを含むすべての データベースビュー) にフィルターを適用することもできます。

   メトリックベース テーブルはフィルタリング可能で、他のテーブルと一緒にリストされます。

   注:

   - テーブルを選択する場合は、少なくとも 1 つの true/false (ブール) フィールドを選択する必要があります。選択できるのは true/false フィールドのみです。
   - True/False インジケーターブレークダウンのみを選択できるように、選択は 2 つの値のみを持つバケット [pa_buckets] に基づくブレークダウンに制限されています。ただし、インジケーターブレークダウンが本当に true/false であるかどうかはチェックできません。ブレークダウンがブール値であるかどうかは、自分で判断する必要があります。Now Platformアドミニストレーターにサポートを依頼してください。
   - フィールドは空 (null) 値にすることができます。したがって、true 値と false 値の合計数は、レコードの合計数よりも少なくなったり、レコードをカウントするインジケーター スコアよりも少なくなったりする可能性があります。

4. オプション: デフォルト値を true または false に指定します。
   ダッシュボードを開くと、フィルターにこの値が適用されます。
5. [ソートの方向] を選択します。
   [昇順] を選択すると、フィルタリングされたうちで最も低い値が最初に表示されます。[降順] を選択すると、最も大きい値が最初に表示されます。ユーザーはこの値を変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

次のタスク
必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス フィルターの編集」を参照してください。

関連情報
プロセスマイニングマップへのフィルターの適用

インラインエディターで日付フィルターを構成する

ユーザーが事前定義された期間を選択したり、ダッシュボードタブ上のデータのカスタム開始日と終了日を指定したりできるようにします。

始める前に
この手順では、フィルターデザイナーでフィルターを作成したか、日付フィルタータイプを使用してダッシュボードにフィルターを追加していることを前提としています。手順については、「 インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します 」または「 フィルターデザイナーでフィルターを作成する」を参照してください。

必要なロール: ダッシュボードインラインエディターでの操作: dashboard_admin、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

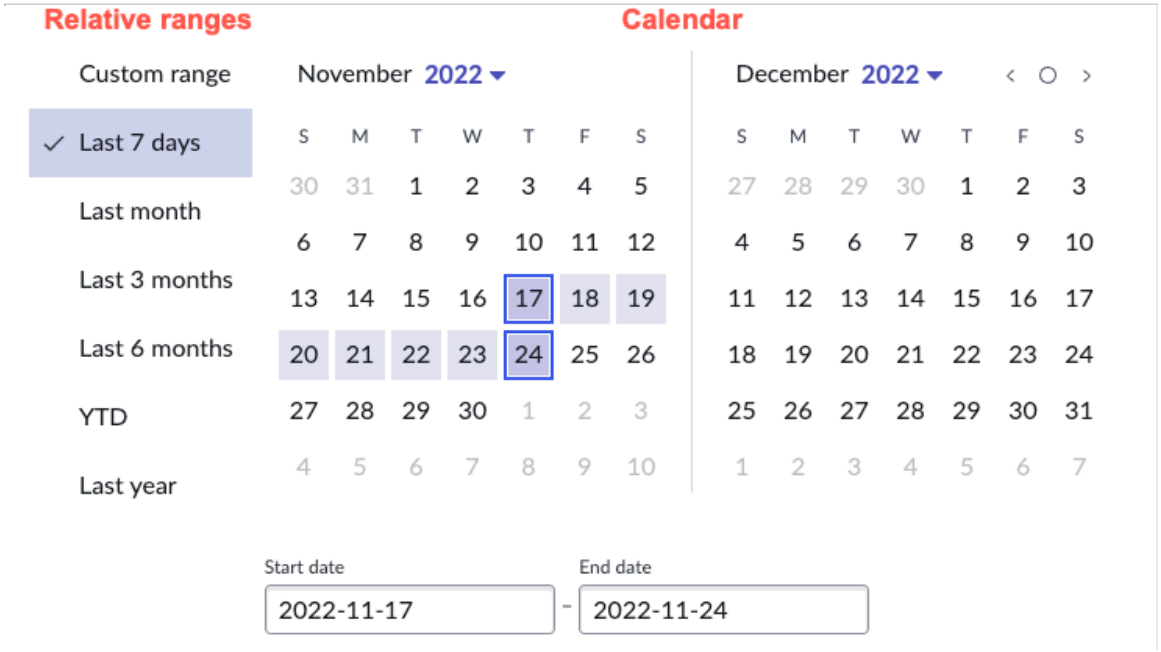
フィルターデザイナー (ライブラリ > フィルター > 新規):analytics_filter_admin、アドミン

このタスクについて
日付フィルターは、インジケーターの時系列の可視化と、テーブルの棒グラフ、円グラフ、ドーナツグラフ、および単一スコアの可視化に適用されます。フィルターは、フィルターと同じダッシュボード (タブの上に配置されている場合) またはダッシュボード タブ内のすべての可視化に適用されます。

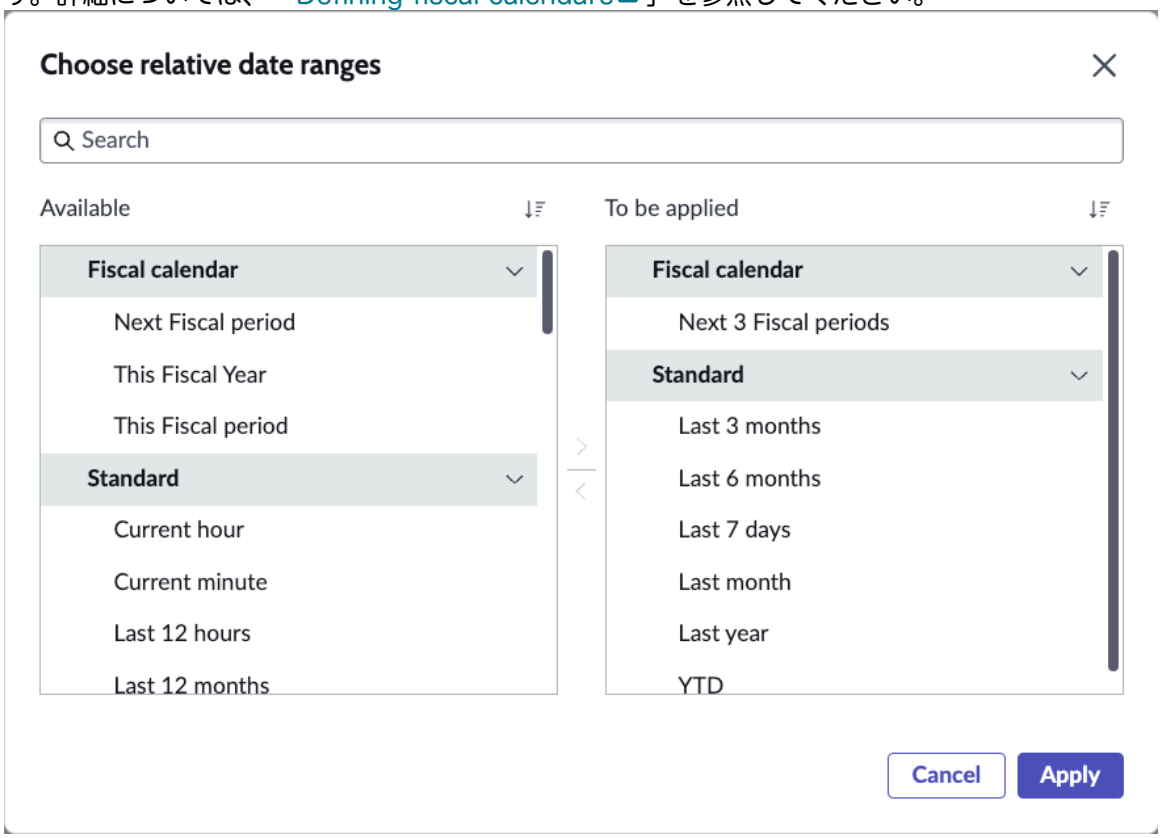
手順
1. フィルターを作成し、「 インラインダッシュボードでフィルターを作成または追加します 」または「 フィルターデザイナーでフィルターを作成する」の説明に従って、[日付] フィルタータイプを選択します。
2. フィルタリングするデータを指定します。
   フィルターは、タブまたはダッシュボードのすべての パフォーマンスアナリティクス インジケーターと メトリックベース KPI に自動的に適用されます。フィルターを適用するテーブルに任意の数の日付フィールドを追加できます。テーブルフィールドを追加する場合は、関連するテーブルの階層 (親、子、兄弟、およびテーブルを含むすべてのデータベースビュー) にフィルターを適用することもできます。
3. [日付フィルター] ビューで、ランタイムユーザーが日付範囲を選択するためのオプションを選択します。
   - カレンダーと相対範囲 (7 日間や年度累計 (YTD) など) の両方
   - カレンダーのみ
   - 相対範囲のみ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. オプション: ユーザーが相対範囲から選択できるようにする場合は、[事前定義された範囲の選択] で選択できる相対範囲を選択できます。
   会計カレンダーがインストールおよび構成されている場合は、会計カレンダー範囲から選択できます。詳細については、「Defining fiscal calendars」を参照してください。



5. ユーザーが日付だけでなく時間と分で時間をフィルタリングできるようにするには、[時間の選択を許可] を有効にします。
6. オプション: [デフォルト値] で、ダッシュボードを開いたときに自動的にフィルタリングする相対範囲を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. ユーザーがフィルターに対して選択した値を自分でクリアできるようにするには、[フィルターのクリアを許可]を有効にします。
8. [保存] を選択します。

タスクの結果
編集モードを終了すると、フィルターが使用可能になります。

次のタスク
必要なロールがある場合は、フィルターをフィルターライブラリに追加します。フィルターを再構成、削除、または複製することもできます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスフィルターの編集」を参照してください。

ドメインフィルターの作成

ドメインフィルターを作成して、ドメインセパレーションされたインスタンス内のドメインでデータの表示方法をフィルタリングできるようにします。ドメインフィルターを使用すると、ユーザーは 1 つ以上のドメインに関連付けられたデータを表示できます。

始める前に
ドメインフィルターは、ドメインセパレーションが有効になっているインスタンスで使用できます。ドメインフィルターは、デフォルトでは自動的に有効になりません。これらを有効にするには、次の 2 つのプラグインをインストールします。

- com.glide.domain.msp_extensions.installer
- com.snc.pa.domain_support

詳細については、「サービスプロバイダーのドメインセパレーション」を参照してください。ドメインフィルターは、フィルターコンポーネントとは異なるコンポーネントです。

必要なロール:ui_builder_admin または admin

このタスクについて
ドメインフィルターは、インスタンスのドメインのリストと パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成の両方をサポートします。ドメインリストに基づくフィルターは、ドメイン構成に基づくフィルターとは異なる結果を提供します。詳細については、「ドメインリストとドメイン構成フィルターの違い」を参照してください。

フィルターは、フィルターの配置に応じて、同じダッシュボードまたは同じダッシュボード タブ上のすべての要素に適用されます。 ダッシュボードタブのフィルターは、トップレベルのフィルターよりも優先度が高くなります。

手順

1. オープン **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.
2. プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集の説明に従って、ダッシュボードライブラリでダッシュボードを見つけて開き、編集します。

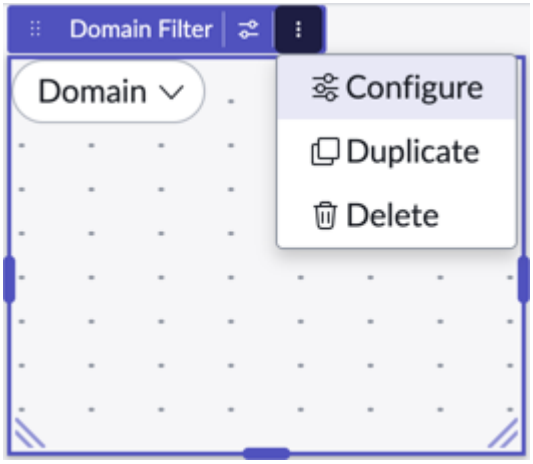
   注:
   これらの手順は、インラインダッシュボードエディターを使用するためのものです。UI ビルダーでテクニカルダッシュボードを編集する場合は、開発者サイトのコンポーネントリファレンス を参照してください。

3. ドメインフィルターを追加するダッシュボードを作成するか、開きます。
   詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [編集] を選択します。
5. [新しい要素を追加] メニューから [ドメインフィルター] を選択します。
   ドメインフィルターは、最初に利用可能なスペースのダッシュボードレイアウトに追加されます。この場所は、既存のダッシュボード要素の下にある場合があります。
6. ドメインフィルターの 3 つのドットメニューを選択し、[設定] を選択します。



7. [フィルターラベル] フィールドに、フィルターのわかりやすい名前を入力します。
   この名前は、ランタイムユーザーに表示される名前です。
8. フィルターに表示するデータを決定するには、ドメイン表示を構成し、ドメインデータを含めるかどうかを構成します。

   a. [ドメイン] 表示を選択します。
      ドメイン構成または標準ドメインリストのいずれかでフィルタリングできます。

オプション	説明
パフォーマンスアナリティクスドメイン構成を使用する	ユーザーがドメイン構成に基づいて結果をフィルタリングできるようにします。ドメイン構成の詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。
標準ドメインリストを使用	ユーザーがドメインのリストに基づいて結果をフィルタリングできるようにします。このリストには、アクティブなドメインのみが表示されます。集計は含まれません。

   これらのプロパティがフィルターの結果にどのように影響するかの詳細については、「ドメインリストとドメイン構成フィルターの違い」を参照してください。

   b. グローバルドメインデータを含めるかどうかを選択します。
      選択すると、グローバルドメイン内のレコードの値がフィルターに含まれます。通常、グローバルドメインには設定レコードのみが含まれます。

9. [保存] を選択します。

ドメインリストとドメイン構成フィルターの違い

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成に基づくドメインフィルターは、プラットフォームドメインのリストに基づくドメインフィルターとは異なる動作をします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

相違点の概要

ドメインフィルタリングの結果は、子ドメインの存在とグローバルドメインの包含によって異なります。ドメイン構成を使用する場合、結果もアグリゲーションに依存します。

プラットフォームドメインリスト

グローバルドメインが含まれる

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインのスコアは含まれません。値は、 データ収集ジョブ と手動入力の両方から取得できます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

グローバルドメインと選択したドメイン、および任意の子ドメインまたは親ドメインの値を結合します。

グローバルドメインが含まれていません

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインのスコアは含まれません。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメインの値と子ドメインの値を結合します。

パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成

ドメイン構成の詳細については、 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化 を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でドメインをグループ化した後、その構成でドメインをフィルタリングするときには、次の 2 つの考慮事項があります。

- ドメインには子がありますか、それともスタンドアロンドメインですか?
- データは集計されていますか?

グローバルドメインが含まれる

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。また、データ収集ジョブがそのドメインのインジケータースコアを収集した場合にのみ表示します。

集計されたスコアは、ドメイン構成内のすべてのドメインから取得されますが、子ドメインは除外されます。グローバルドメインも除外されます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメイン、そのドメインのすべての子ドメイン、およびグローバルドメインの値を含めます。

集計結果は、子ドメインを含む構成内のすべてのドメインとグローバルドメインから取得されます。

グローバルドメインが含まれていません

インジケーターデータに基づく可視化

選択したドメインのスコアのみを表示します。子ドメインとグローバルドメインは除外されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

集計されたスコアは、ドメイン構成内のすべてのドメインから取得されますが、子ドメインは除外されます。グローバルドメインも除外されます。

テーブルデータまたはデータベースビューに基づく可視化

選択したドメインの値と選択したドメインの子 (存在する場合) を含めます。グローバルドメイン値は含まれません。

集計結果は、ドメイン構成内のすべてのドメインとその構成内のドメインの子から取得されます。グローバルドメイン値は含まれません。

関連情報

ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ

プラットフォームアナリティクスフィルターの編集

フィルターを作成するときは、作成したダッシュボードでのみ使用することも、ライブラリに保存することもできます。ライブラリから、他のユーザーが自分のダッシュボードに追加できます。フィルターをライブラリに保存するには、analytics_filter_admin ロールが必要です。

始める前に
必要なロール：dashboard_admin、ダッシュボードの所有者であるか、編集権限を共有している必要があります。

手順

1. 編集するフィルターがあるダッシュボードに移動します。
2. [編集] を選択します。
3. 編集するフィルターを選択し、[その他のアクション]) を選択します。
4. 次のいずれかのオプションを選択します。



5. [保存] を選択して変更を保存し、編集を続行するか、[編集モードの終了] を選択して編集を終了します。
フィルターへの変更を保存する場合、次の 2 つの選択肢があります。
   - 現在のダッシュボードの変更のみを保存します。

     このアクションにより、新しいバージョンのフィルターが作成されます。ライブラリにフィルターのバージョンがある場合、そのバージョンは変更されません。

   - ライブラリへの変更を保存します。

     この選択を行うと、新しいバージョンのフィルターが、それを使用するすべてのダッシュボードで有効になります。

独自のワークスペースでの プラットフォームアナリティクス ページの作成

App Engine Studio で事前設定されたプラットフォームアナリティクスページを使用して新しいワークスペースを作成することも、独自のワークスペースにプラットフォームアナリティクスページを追加することもできます。

ワークスペースに プラットフォームアナリティクス を追加するには、次のいずれかの方法を選択します。これらのアプローチは、提供するカスタマイズの度合いが異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- App Engine Studio からビルド済みワークスペース全体を追加します。
- UI ビルダーで提供されているページテンプレートを使用します。すべてのエクスペリエンス プラットフォームアナリティクス 再作成することも、選択した部品のみを追加することもできます。

からの プラットフォームアナリティクス ワークスペースの作成 App Engine Studio

App Engine Studioには、アプリケーションに追加できるビルド済みのワークスペースが含まれています。このワークスペースには、アナリティクスセンターページと、アナリティクスセンターがリンクするページが含まれています。

ワークスペースのアナリティクスセンターコンポーネントのイベントハンドラーはすべて事前設定されています。たとえば、インジケーター スコアカードでインジケーターを選択すると、そのインジケーターが KPI 詳細で開きます。

App Engine Studio を使用してアナリティクスセンターでワークスペースを作成する方法の詳細については、「アプリケーションエクスペリエンスの追加」を参照してください。

への プラットフォームアナリティクス ページの追加 構成可能ワークスペース

ページテンプレートを使用して、 アナリティクスセンター とその関連ページを独自のワークスペースに追加します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

ワークスペースでは、 アナリティクスセンター は、 プラットフォームアナリティクスに関連する他のすべてのページのタブを含む中央ページを提供します。アナリティクスセンターを追加する必要はありませんが、この手順ではそのページを例として使用します。テンプレートから他の プラットフォームアナリティクス ページを追加する場合も、同じ手順が適用されます。これらのページの詳細については、このトピックの最後に記載します。

手順

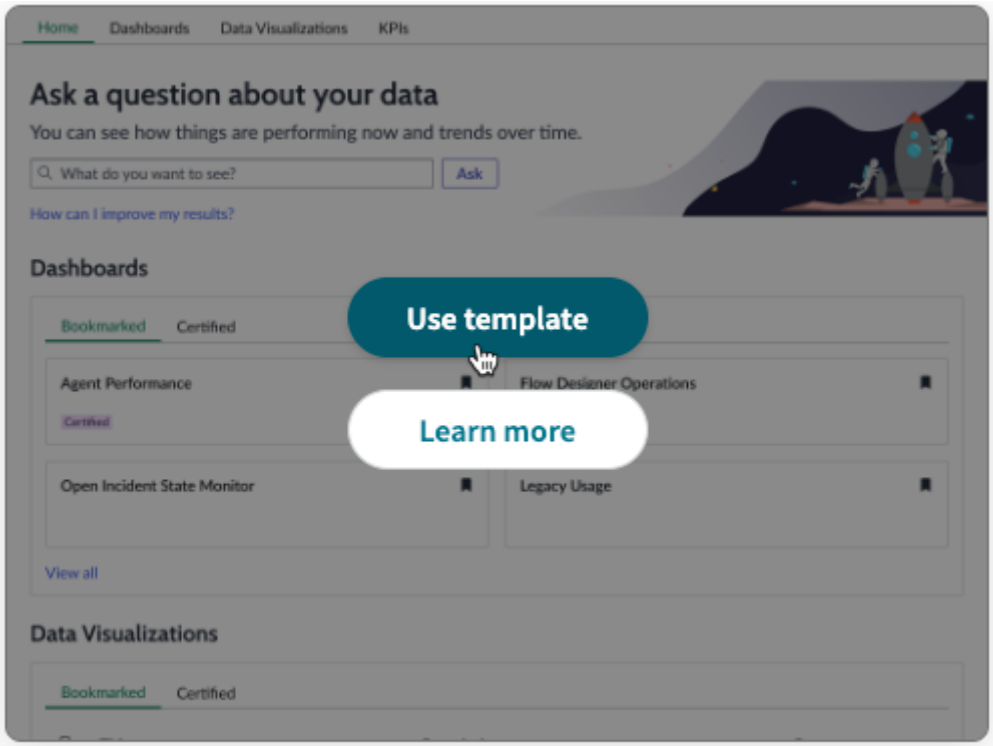
1. UI ビルダーで構成可能ワークスペースを開きます。
2. [ページとバリアント] の横にあるプラス記号を選択し、[新しいページの作成] を選択します。



3. 「ページ・テンプレートの選択」ダイアログで、「 従来のテンプレートの表示」を展開します。
4. アナリティクスセンターテンプレートの上にカーソルを置き、[テンプレートを使用] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Analytics Center

5. ページの名前とパスを指定します。
6. [元のページを使用 (カスタマイズ制限あり)] を選択します。

> ⚠ 警告:
> [ページのコンテンツをコピー] オプションでは、完全に機能するアナリティクスセンターは得られません。イベントを正しくディスパッチするには、元のページを使用する場合にのみ含まれるクライアントスクリプトが必要です。

7. [作成] をクリックします。
   ワークスペースのページのリストに戻ると、新しいアナリティクスセンターが含まれています。
8. [アナリティクスセンター] ページのエントリ (ページのバリアントではありません) で、[設定] を開きます。
   [全般設定] ダイアログが開きます。
9. [ページパラメーター] で、次のオプションのパラメーターを追加します。
   - タブ
   - フィルター

   これらのパラメーターにより、ページが更新されたときに、アナリティクスセンターの最後に開いたタブが開きます。また、最後に選択したフィルター (ブックマークなど) が有効になります。

タスクの結果

これで、すべてのコンポーネントを含む完全に構成された アナリティクスセンターを含むページが作成されました。ただし、他のページへのリンクは、それらのページが追加されて設定されるまで機能しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
次のテンプレートを使用してページを作成します。コンテンツをコピーする代わりに元のページを使用するなど、 アナリティクスセンター ページの作成に使用したのと同じプロセスに従います。ページに次のパスとパラメーターを指定します。

注:

- KPI 詳細、簡易リスト、およびダッシュボードの概要は、アナリティクスセンターなどの従来のページテンプレートです。これらのページのパラメーターは手動で指定する必要があります。新しいページテンプレートでは、ページ作成の過程でパラメーターが提供されます。
- プラットフォームアナリティクス モジュール式です。一部のページのみを作成して、そのスタンドアロン機能を取得できます。たとえば、ダッシュボードのサポートまたは KPI 詳細のみが必要な場合は、その機能を備えたページを作成し、 アナリティクスセンターは作成しません。

テンプレート名	関数	必須パラメーター	オプションのパラメーター	パス
KPI 詳細	単一のインジケーターの詳細を表示します	uuid	scoreDate、breakdown、domain、aggregate	do_kpi_details
簡易リスト	テーブルレコードリストを表示します	テーブル	listTitle、query、displayInlineEditing、listView	簡易リスト
標準レコード	テーブルレコードの詳細を表示します	table、sysId	query、extraParams、views、selectedTabIndex	record
ダッシュボードの概要	すべてのダッシュボードタイルを表示	なし	なし	all-dashboards
ダッシュボード	ダッシュボードを作成、編集、およびそれらのダッシュボード内のデータ可視化とともに表示するために使用されます。このページテンプレートは、ダッシュボードをサポートするための最小要件です。	なし	編集、sysId、tabSysId、フィルター、要素	ダッシュボード
可視化デザイナー	ダッシュボードエディターを使用せずに、ダッシュボードから独立してデータの可視化を作成および編集するために使用されます。	sysid	なし	visualization-designer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
これらのパスを使用する必要があります。これは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスのページと同じパスです。ページ上の事前設定されたイベントハンドラーは、これらのパスを使用します。ページにこれらのパスを指定しない場合、イベントハンドラーは機能しません。

関連情報

ダッシュボードページへのダッシュボードの追加

ダッシュボードページへのダッシュボードの追加

テクニカルダッシュボードまたはインラインエディターで作成されたダッシュボードを、ダッシュボードページテンプレートからビルドしたページに追加できます。そのページでダッシュボードコンポーネントを構成します。

始める前に

必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

UI ビルダー のページにダッシュボードを追加するには、ダッシュボードページテンプレートからページを作成します。その後、インラインエディターでダッシュボードに入力するか、既存のダッシュボードを公開することができます。既存のダッシュボードは、テクニカルダッシュボードまたはインラインエディターで作成されたダッシュボードのいずれかになります。ダッシュボード全体を公開することも、選択したタブのみを公開することもできます。

手順

1. エクスペリエンスに表示する既存のダッシュボードがある場合は、そのダッシュボードの詳細にある [ダッシュボードの可視化] フィールドにエクスペリエンスまたは構成可能ワークスペースを追加します。
   ダッシュボードの詳細は、テクニカルダッシュボードの場合でもインラインエディターから利用できます。詳細については、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」を参照してください。

   注:
   表示する既存のダッシュボードがない場合は、この手順を無視してください。代わりに、ステップ 2、6、7 のみを実行してから、インラインエディターでダッシュボードに入力します。

2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エクスペリエンス をクリックし、ワークスペースを開きます。
3. ダッシュボードページテンプレートを使用してワークスペースにページを作成するか、テンプレートから作成された既存のページを開きます。
   詳細については、「Create a page from a template」と「への プラットフォームアナリティクス ページの追加 構成可能ワークスペース」を参照してください。

   注:
   ダッシュボードコンポーネントをページに追加することはできません。ダッシュボードテンプレートからのみページを作成できます。このページには、ダッシュボードコンポーネントが含まれます。

   これで、入力可能な空のダッシュボードができました。
4. ページでダッシュボードコンポーネントを開き、構成パネルに移動します。
5. [デフォルトのダッシュボード] で、ページに追加するダッシュボードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 表示したい特定のダッシュボードがある場合は、ドロップダウンリストから選択します。ダッシュボードがリストにない場合は、ステップ 1 の説明に従って、このワークスペースまたはエクスペリエンスに表示されていることを確認してください。
- ビューアーがページで行った選択に応じて異なるダッシュボードを表示する場合は、データバインディングを使用して、@state変数に従ってダッシュボードを選択します。
- ダッシュボードを動的に選択する他の方法については、スクリプトを記述します。

> **注:**
> インラインエディターで作成されたダッシュボードを選択した場合、フィルター構成が編集されていない限り、そのダッシュボードのフィルターはログインまたはページの更新後も値を保持します。

6. インポートされたダッシュボードの特定のタブのみを表示する場合は、 タブ **SysID** を指定します。
   ダッシュボード自体と同様に、タブを指定することも、データバインディングまたはスクリプティングを使用してタブを動的に選択することもできます。
7. ページの URL パラメーターとは別にページ内のダッシュボードコンポーネントを使用する場合は、[埋め込みとして使用] を選択します。
   つまり、オンにすると、URL パラメーターに関係なく、ダッシュボードに表示される内容を完全に制御できます。[URL のコピー] および [フィルター付き URL のコピー] オプションは、このような埋め込みダッシュボードでは使用できません。
8. その他の構成オプションは、「 ダッシュボードコンポーネントのプロパティ」の説明に従って設定します。

次のタスク

ランタイムでダッシュボードを開き、インラインエディターで編集できます。編集権限を持つすべての閲覧者が同じことができます。ビューアーがダッシュボードをライブラリに保存する権限を持っている場合、ダッシュボードをローカルに保存するか、ライブラリ内の元のダッシュボードを プラットフォームアナリティクスで変更するかを選択できます。

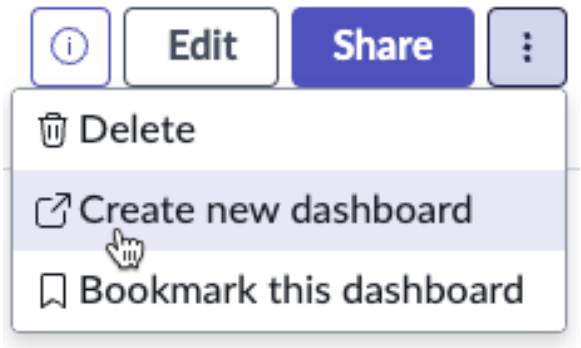
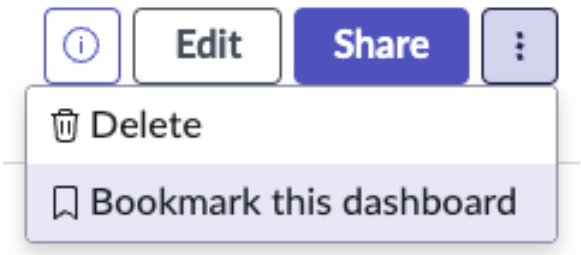
ダッシュボードコンポーネントのプロパティ

これらのプロパティを使用して、ダッシュボードコンポーネントのランタイムユーザー機能を無効または有効にします。

フィールド	説明
タブ Sys ID [tabSysId]	既存のダッシュボードのタブを 1 つだけ表示する場合は、そのダッシュボードの SysID を指定します。[デフォルトのダッシュボード] でもダッシュボードを指定します。 ダッシュボードは、ステータス変数またはスクリプトを使用して静的または動的に選択できます。
デフォルトのリダイレクトを使用 [defaultDrilldowns]	インラインエディターを有効にすると、データ可視化のグラフがクリックされたときのために、デフォルトの事前設定されたリダイレクトが追加されます。カスタムドリルダウンを実装するには、このプロパティを false に設定し、[イベント] セクションの説明に従って、ダッシュボードウィジェットクリックイベントハンドラーを追加してカスタマイズします。 デフォルト：true
ヘッダー全体を無効にする [hideHeader]	閲覧者にはダッシュボードヘッダーは表示されず、コンテンツのみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ダッシュボードピッカー [hideDashboardPicker] を非表示にする	true の場合、ワークスペース内のすべてのダッシュボードでダッシュボードピッカーが非表示になります デフォルト値：false
共有を無効にする [hideShareButton]	すべてのユーザーに対してすべてのダッシュボードの [共有] ボタンを非表示にしますが、この値が設定されている [ダッシュボード] ページにのみ適用されます。 デフォルト値：false
編集を無効にする [hideEditButton]	すべてのユーザーに対してすべてのダッシュボードの [編集] ボタンを非表示にしますが、この値が設定された [ダッシュボード] ページにのみ適用されます。 デフォルト値：false
ダッシュボードの作成を無効にする [hideCreateNewButton]	[ダッシュボード] ページのコンテキストメニューで [新規ダッシュボードを作成] オプションを非表示にします。ユーザーは、アナリティクスセンターまたはダッシュボードライブラリ (ダッシュボードの概要コンポーネント) からダッシュボードを作成できます。 false の場合:  true の場合:  デフォルト値：false
埋め込みとして使用 [useAsEmbedded]	開発者がページの URL パラメーターとは別にページ内のダッシュボードコンポーネントを使用する場合は、true に設定します。つまり、URL パラメーターに関係なく、ダッシュボードに表示される内容を完全に制御する必要があります。[URL のコピー] および [フィルター付き URL のコピー] オプションは、このような埋め込みダッシュボードでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルト値：false
デフォルトのダッシュボード [defaultDashboard]	このダッシュボードコンポーネントに表示する既存のダッシュボードを選択します。この他のダッシュボードは通常、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス内にあります。そのダッシュボードを表示するには、「ダッシュボードの詳細 プラットフォームアナリティクス 構成」で説明されているように、ダッシュボードの詳細の [ダッシュボードのヴィジビリティ] フィールドにワークスペースまたはエクスペリエンスを含める必要があります。 ダッシュボードは、ステータス変数またはスクリプトを使用して静的または動的に選択できます。
共有可能フィルター SysID [filterId]	ダッシュボードの永続化されたフィルター設定の sysId
グローバルフィルター [globalFilters]	ダッシュボード内の可視化のフィルター。これらのフィルターは、関連するすべてのデータ可視化に適用されます。globalFilter に渡される値の形式は、{encodedQueries: 'encoded-queries-string', filters: 'PAR-Filter'} の文字列化された形式です。encodedQueries とフィルターの両方が内部で PAR フィルターに変換され、ダッシュボードの既存のフィルターと結合されます。 encodedQueries、フィルター、またはその両方を指定できます。次の例では、同等の encodedQueries 値と フィルター 値がどちらも、ステータスフィールド値 1 または 2 に基づいてインシデント [incident] テーブルのレコードを表示するチャート化をフィルタリングします。 `JSON.stringify({ encodedQueries: {incident: 'stateIN1,2'}, parFilters: [{ order: 0, apply_to: ['incident.state'], values: ['1', '2'] }] })`
コア UI へのドリルダウン [drilldownToCoreUI]	テーブルデータソースのドリルダウンをオンに切り替えると、テーブルレコードの コア UI リストにリダイレクトされます。オフにすると、ワークスペースに簡易リストが含まれている場合、ドリルダウンするとテーブルレコードの簡易リストコンポーネントが開きます。 テクニカルダッシュボードには適用されません。テクニカルダッシュボードのデータの可視化では、ドリルダウン用に Visualization Clicked イベントハンドラーが構成されている必要があります。 デフォルト:off
データブローカーを使用してデータをフェッチ [useDataBroker]	オンにすると、ダッシュボードはデータブローカーを使用してダッシュボードメタデータなどの静的 JavaScript をプリフェッチします。ダッシュボードデータブローカープリセットは、このプロパティを自動的にオンに切り替えます。プリセットを使用しない場合、このプロパティはデフォルトでオフになっています。詳細については、「ダッシュボードデータブローカーを構成」を参照してください。
ダッシュボードのデータブローカー応答 [data]	データブローカーが使用される際の応答。ダッシュボードデータブローカープリセットは、このプロパティの JSON オブジェクトを自動的に設定します。どうしても必要な場合は、この値を上書きすることも、プリセットをオンにせずに手動で設定することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードコンポーネントイベント

イベントハンドラーを選択して、ダッシュボードコンポーネントで提供されるアクション (イベント) を構成します。

[イベント] タブには、ダッシュボードコンポーネントで使用されるイベントが表示されます。使用可能なイベントを表示するには、 **[+** イベントマッピングの追加] を選択します。リスト内のイベントを選択して、1 つ以上のイベントハンドラーを追加します。

イベントハンドラー

イベントハンドラーは、データリソースと連携して、ダッシュボードアクションをユーザーに表示するデータにリンクします。リスト内のイベントを選択して、1 つ以上のイベントハンドラーを追加します。

イベントの説明

イベント	説明

ダッシュボードの概要ページに移動	ダッシュボードが閉じられ、ダッシュボードライブラリにリダイレクトされたときにディスパッチされます。この動作をカスタマイズするには、ダッシュボードリストにリダイレクトクライアントスクリプトでルートとタイトルを変更します。クライアントスクリプトを開くには、ページのサイドバーにある<>アイコンを選択します。
	`* @param {params} params`
	`* @param {api} params.api`
	`* @param {any} params.event`
	`* @param {any} params.imports`
	`* @param {ApiHelpers} params.helpers`
	`*/`
	`function handler({api}) {`
	`  api.emit('SCREEN_STATUS_CHANGED', {status: 'closed'});`
	`  api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', {`
	`  route: 'dashboard-library',`
	`  title: 'Dashboard Library',`
	`  });`
	`}`

ダッシュボードウィジェットがクリックされました	ダッシュボードのグラフがクリックされたときに、デフォルトのドリルダウンをカスタム動作で上書きする場合は、このイベントハンドラーを追加します。ダッシュボードウィジェットがクリックされたクライアントスクリプトを使用します。カスタムドリルダウンを追加するには: **1.** defaultDrilldowns プロパティを false に設定します。 **2.** ダッシュボードウィジェットがクリックされたイベントハンドラーを追加します。 **3.** ダッシュボードウィジェットを開く クリックされたクライアントスクリプト。クライアントスクリプトを開くには、ページのサイドバーにある<>アイコンを選択します。 **4.** コード `api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', payload);` を見つけて、カスタムリダイレクトロジックに合わせてペイロードを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードからのカスタムリダイレクトの構成

ダッシュボードページテンプレートからワークスペースにページを作成した場合は、インラインエディターで作成されたそのページのダッシュボードコンポーネントから、クリック時のリダイレクトをカスタマイズできます。

始める前に

ダッシュボードページテンプレートから生成されたページを使用して、 UI ビルダー にワークスペースを作成しました。次に、「 ダッシュボードページへのダッシュボードの追加」の説明に従ってダッシュボードを追加しました。ダッシュボードはインラインエディターで作成されている必要があります。

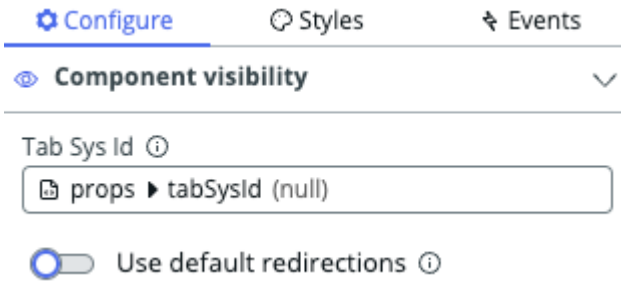
必要なロール：ui_builder_admin

このタスクについて

重要:
ここで説明する手順は、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ適用されます。テクニカルダッシュボードでは、データの可視化ごとにドリルダウンイベントを介してリダイレクトを構成します。詳細については、「テクニカルダッシュボードのデータ可視化にドリルダウンイベントを追加する」を参照してください。

手順

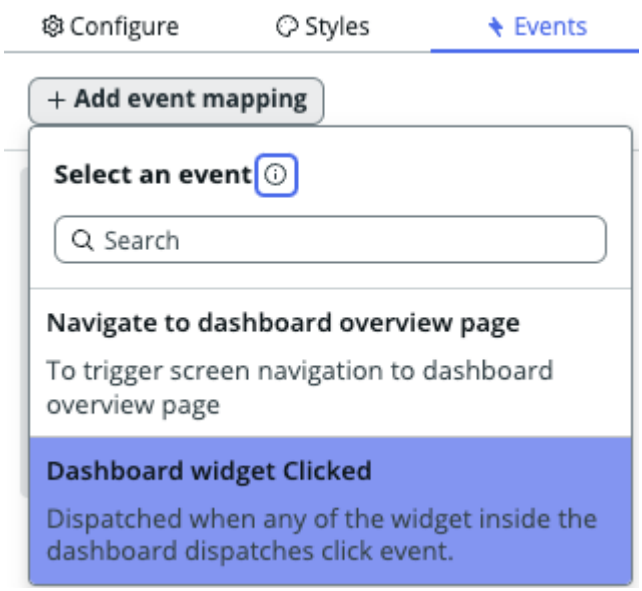
1. UI ビルダー でワークスペースを開きます。
2. 関連するページを開きます。
   このページは、Dashbords ページテンプレートを使用してビルドされています。
3. ダッシュボードコンポーネントを選択します。
4. 構成パネルで、[デフォルトのリダイレクトを使用] をオフにします。



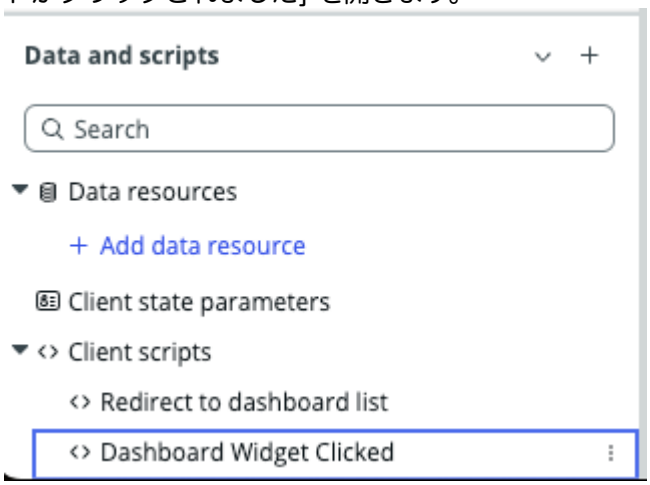
   リダイレクトをオフにしました。実行時にチャートをクリックしても、アクションはトリガーされません。
5. イベント パネルで、 **[+** イベント マッピングの追加] を選択します。
6. 利用可能なイベントのリストから、[ダッシュボードウィジェットがクリックされました] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. ページの [データとスクリプト] 領域の [クライアントスクリプト] で、[ダッシュボードウィジェットがクリックされました] を開きます。



8. [クライアントスクリプトの編集] ペインで、 `api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', payload);` の行を見つけます。
9. カスタムリダイレクトロジックに合わせてペイロードを更新します。

タスクの結果
そのダッシュボードのデータ可視化からのすべてのリダイレクトで、指定したターゲットが開きます。

グローバルフィルターをダッシュボードページテンプレートに渡す

グローバルフィルターはダッシュボードに送信され、ダッシュボード内の可視化のフィルターとして機能します。これらのフィルターは、ダッシュボードの既存のフィルターと結合されます。

このタスクについて
グローバルフィルターは、ターゲットダッシュボードの可視化に適用されるフィルターです。これらのフィルターは、関連するすべてのデータ可視化に適用されます。globalFilter に渡される値の形式は、{encodedQueries: 'encoded-queries-string', filters: 'PAR-Filter'} の文字列化された形式です。encodedQueries とフィルターの両方が内部で プラットフォームアナリティクス フィルターに変換され、ダッシュボードの既存のフィルターとマージされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

encodedQueries、フィルター、またはその両方を指定できます。次の例では、同等の encodedQueries 値と フィルター 値がどちらも、ステータスフィールド値 1 または 2 に基づいてインシデント [incident] テーブルのレコードを表示するチャート化をフィルタリングします。

```
JSON.stringify({
   encodedQueries: {incident: 'stateIN1,2'},
   parFilters: [{ order: 0, apply_to: ['incident.state'], values: ['1', '2'] }]
})
```

UI ビルダーページのダッシュボードへのリンクを構成して、既にフィルタリングされているダッシュボードを開きます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. グローバルフィルターを追加する UI ビルダー ページに移動します。
2. 指定したsys_IDを持つダッシュボードを指すように、ページ上のハイパーリンクまたはボタン (またはその他) の動作を構成します。
   この例では、sys_IDは 1238 です。

   showInfoMessage パラメーターは、true の場合、フィルターが渡されたときに、リンクされたダッシュボードに設定された infoMessage を表示します。

```
api.emit('NAV_ITEM_SELECTED', {
      route: 'dashboards',
      params: {
         sysId: '1238',
         unifiedFilters: JSON.stringify({
            showInfoMessage: true, // default false
            infoMessage: 'custom info message', // if not passed and if showInfoMessage is
 true then the default message is displayed
            encodedQueries: {
               incident: 'priority=1'
            },
         })
      }
   });
```

ダッシュボードデータブローカーを構成

ダッシュボードデータブローカープリセットを有効にし、一部のデータをプリフェッチすることでダッシュボードのロードを高速化できるようにデータブローカーを構成します。

始める前に
必要なロール：ui_builder_admin、admin

このタスクについて
ダッシュボードには、ダッシュボードデータブローカーのプリセットが含まれています。このデータブローカーは、ダッシュボードに表示される可視化に必要なすべての静的 JavaScript アセットをプリフェッチします。このプリフェッチにより、そのようなアセットを多く含む可視化の読み込みが高速化される可能性があります。

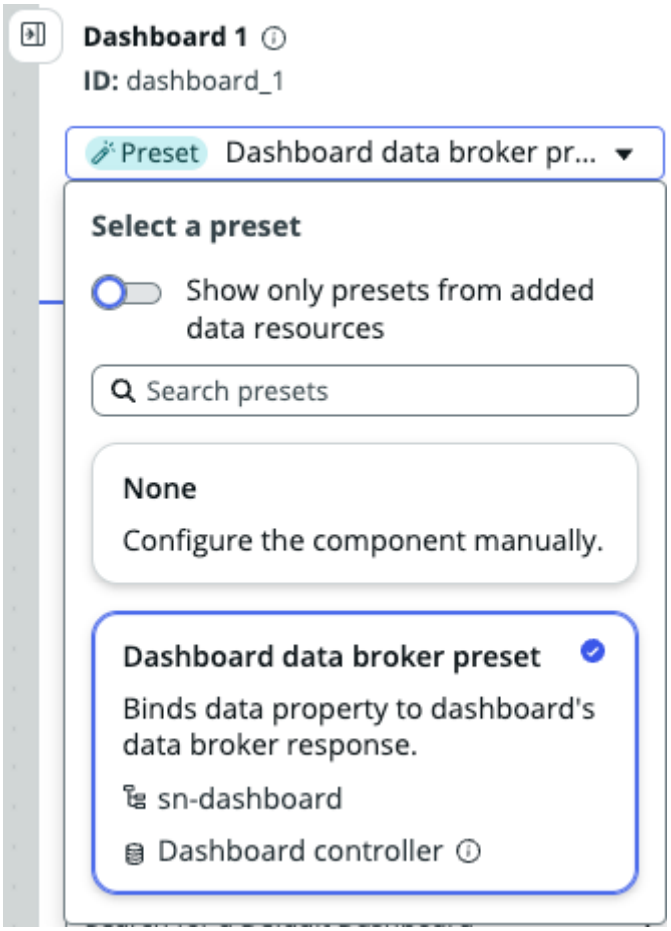
このデータブローカーは、直接ページロード時にのみデータをプリフェッチします。別のページから URL リンクを選択してダッシュボードを開いた場合など、クリックスルーページの読み込みには適用されません。また、ダッシュボードが埋め込みコンポーネントとして使用されている場合も機能しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. ワークスペースを開き、ダッシュボードテンプレートからページを作成するか、そのテンプレートから既存のページに移動します。
2. Dashboard コンポーネントの構成パネルで [構成] タブを開きます。
3. ダッシュボードデータブローカープリセットがアクティブかどうかを確認します。
   プリセットはデフォルトでアクティブになっています。



4. ページの [データとスクリプト] セクションで、次を開きます **Data resources** (データリソース) > データコントローラー **1**.
   必要に応じて、データリソースの名前を変更できます。
5. プロパティが正しいかどうかを確認します。

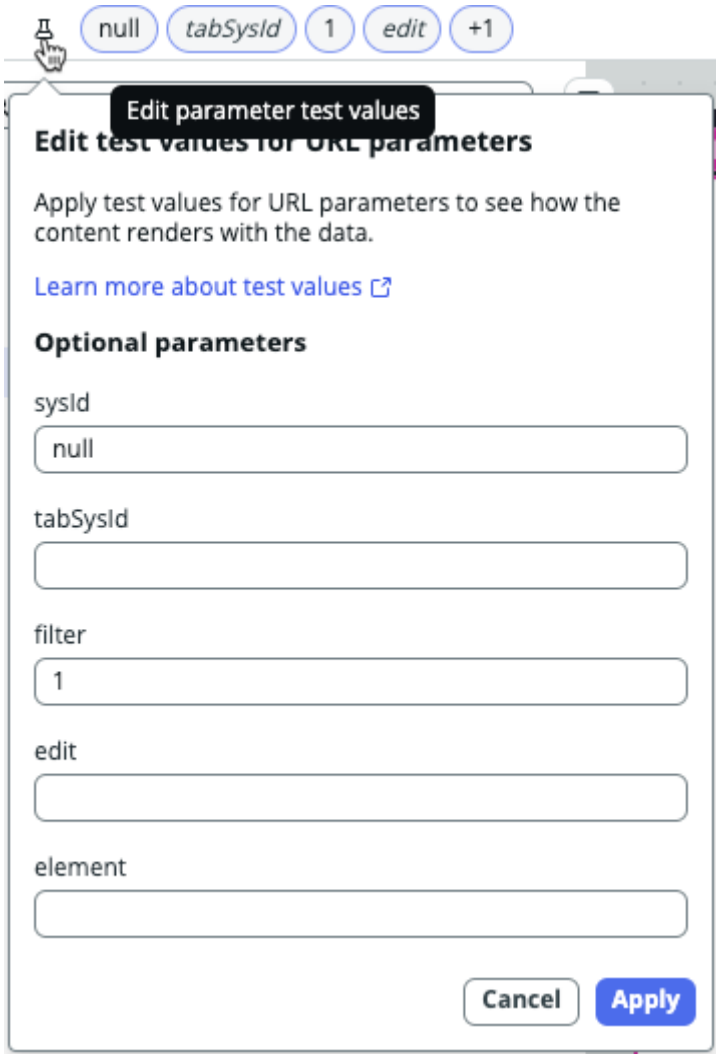
プロパティ	**Value** (値)
experienceId	appId >アプリ
dashboardSysId	sysId >プロパティ
filterId	プロパティ>フィルター

6. オプションのページパラメーターのデフォルト値を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター	Value (値)
sysId	null
フィルター	1



7. 構成パネルで、次のプロパティが正しく設定されているかどうかを確認します。

プロパティ	Value (値)
データブローカーを使用してデータをフェッチ	true
データブローカーの応答	ダッシュボード>データ:({"成功":false})

これらの値はカスタマイズできますが、実際に行う必要はないでしょう。

8. ページを保存し、実行時に開きます。

のインジケーターライブラリ プラットフォームアナリティクス

インジケーターライブラリには、アクセスできるすべての パフォーマンスアナリティクス インジケーター/KPI が一覧表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

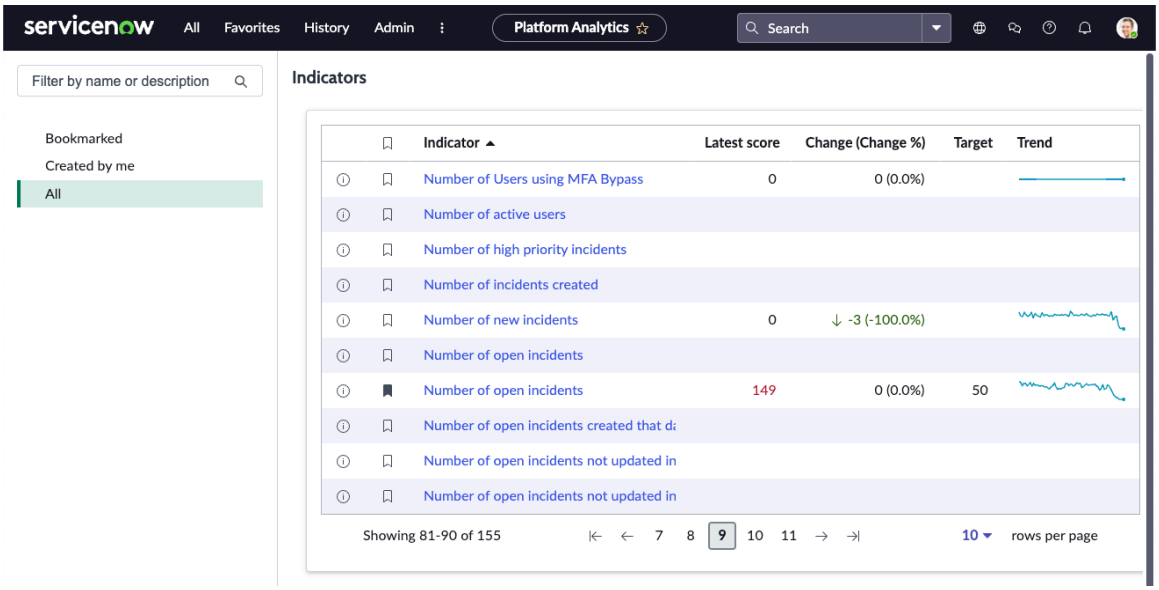
自動翻訳

でインジケーターのリストを開く **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > インジケーター. インジケーターのリストには、名前、傾向、スコア、変更、およびターゲットが含まれます。インジケーターは、アルファベットの昇順または降順で、または数値列の 1 つでソートできます。インジケーターをフィルタリングするには、縦に並んだ 3 つのドットをクリックし、開いたダイアログにフィルター用語を入力します。フィルターはインジケーターの名前と説明に適用されます。

ロールによってアクセス権が付与されている自動、式、外部、または手動のインジケーターを表示できます。ただし、ベンチマークインジケーターは表示されません。実際のベンチマーキングデータには、クラシック アナリティクスハブの [比較] タブからのみアクセスできます。また、インジケーターレコードで [ライブラリに表示] が有効になっているインジケーターのみを表示することもできます。

インジケーターの名前をクリックすると、その KPI 詳細が開きます。

インジケーターリスト



インジケーターフィルター

- [ブックマーク 済み] には、ブックマークされたインジケーターのみが表示されます。アクセス可能な KPI をブックマークして、ここで簡単に見つけられるようにします。
- [自分が作成] には、自分が作成したインジケーターのみが表示されます。
- [すべて] には、アクセスできるすべてのインジケーターが表示されます。

関連情報

KPI 詳細

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

Performance Analytics Essentials トレーニング

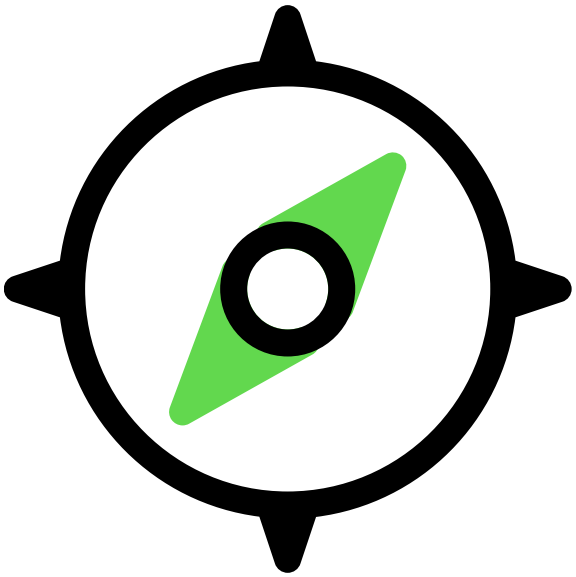
KPI 詳細

KPI 詳細 ページでは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーター (KPI) 内の情報を詳しく調べることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

探索



KPI 詳細の目的と開き方を学習する

インジケーターの調査



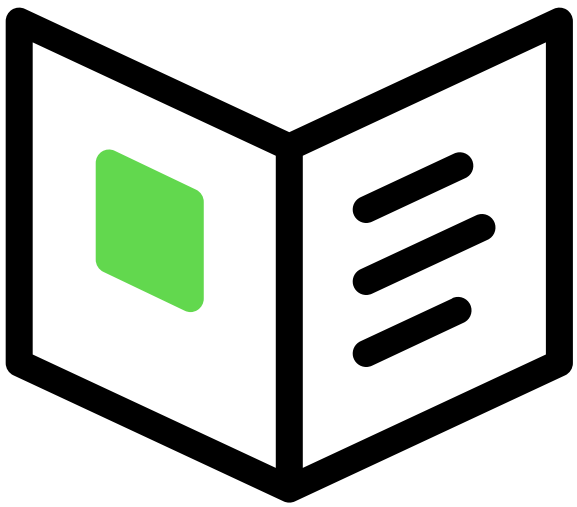
を使用してインジケーターから
情報を抽出する方法 KPI 詳細

ターゲットとしきい値の設定



インジケーター値の目標を
定義し、制限を設定する

参照



システムプロパティなど

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- インジケーターについて質問したり、他のリソースを調べたりします。 KPI 詳細 AND プラットフォームアナリティクス 一般的には ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

関連情報

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

KPI 詳細の詳細

KPI 詳細 は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。

https://player.vimeo.com/video/1058665909?h=4d57780e26

KPI 詳細では、次のような質問に答えることができます。

- 「前回の更新以降、毎日の新しい重大なインシデントは増加していますか?」
- 「最重要インシデントの増加は、P3インシデントの増加よりも速いですか?」
- 「過去四半期に最重要インシデントの増加が最も大きかった上位 3 つのグループはどれか?」
- 「先週の事件の急増に対応する具体的な事件は何ですか?」
- 「過去3週間の新規インシデントの通常の数(中央値/平均/合計)はどれくらいですか? 過去2ヶ月?」

KPI 詳細を使用して次のタスクを実行する方法について説明します。

- インジケーターの全体的な健全性を確認します。
- 任意のインジケーターの傾向を調べます。
- 任意の日付に対応する個々のレコードをレビューします。
- インジケーターの のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細 を管理します。

KPI シグナルの重要な傾向の通知を設定することで、KPI 詳細を強化します。

ヒント:
KPI 詳細 向けの無料トレーニングは、NOW ラーニングセンター から利用できます。

注:
10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

KPI 詳細を表示

インジケーターのリストからインジケーターを選択して、その KPI 詳細 ページを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要になる場合があります。

このタスクについて
次のアクションで KPI 詳細が開きます。

手順

- プラットフォームアナリティクスライブラリの KPI ページでインジケーターを選択します。
  Platform Analytics (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > **KPI**.
  インジケーターをそのリストに表示するには、そのインジケーター レコードの [アクセス制御] タブの [ライブラリに表示] 設定を選択 (true) する必要があります。
- データビジュアル化のインジケーターのグラフ上のポイントを選択します。
  デフォルトでは、これにより KPI 詳細が開きますが、特定のデータの可視化では開かれない設定になっている場合があります。
- アナリティクス Q&A のクエリでインジケーターが返された場合は、インジケータースコアをクリックしてインジケーターを KPI 詳細で開きます。
- ネクストエクスペリエンスのコンポーネントでビルドされたアプリケーションでは、インジケータースコアカードなどのコンポーネントがKPI 詳細にリンクする場合があります。

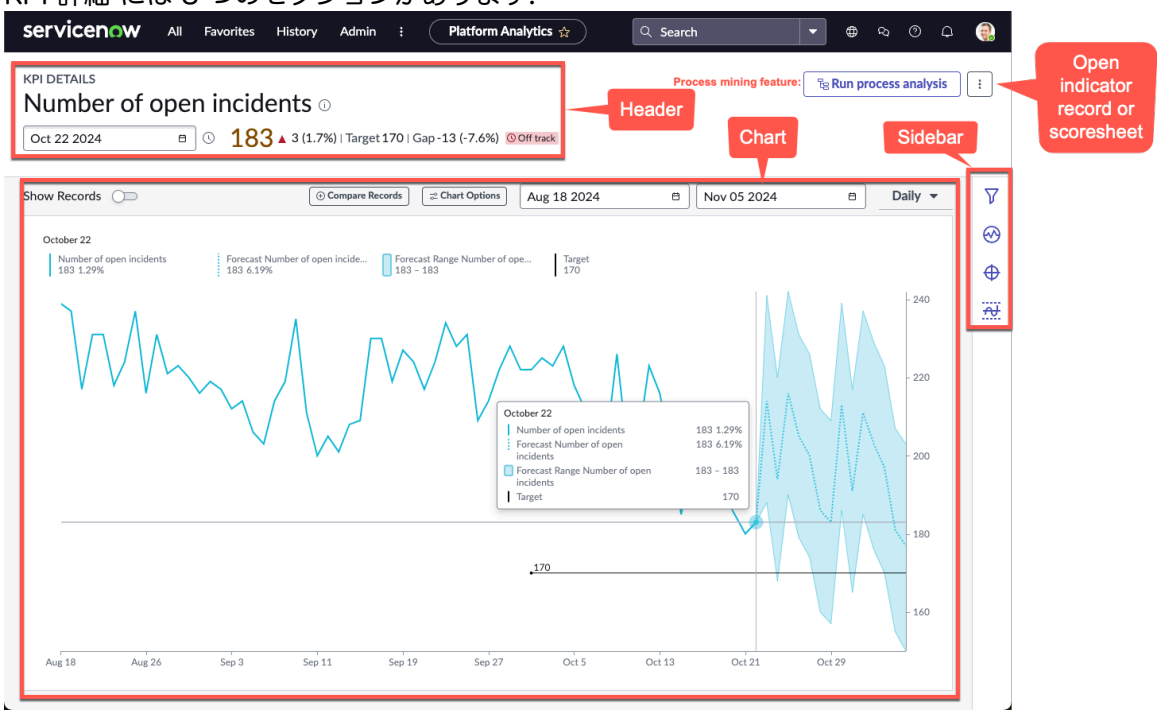
タスクの結果
選択したインジケーターの KPI 詳細 ページが開きます。

によるインジケーターの検査 **KPI** 詳細

KPI 詳細機能を使用すると、重要業績評価指標の背後にある情報を掘り下げることができます。予測、傾向、ターゲット、およびしきい値を適用します。ブレークダウン要素でフィルタリングするか、時系列集計を適用します。

KPI 詳細の概要

KPI 詳細 には 3 つのセクションがあります:



ヘッダー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヘッダーには、インジケーターの名前、日付セレクター (デフォルト:前回のデータ収集)、およびその日付のスコアが含まれます。そのスコアと以前に収集されたスコアとの絶対差とパーセンテージの差が表示されます。インジケーターに [最大化] または [最小化] が設定されている場合、スコアの色とスコア変更方向矢印は、スコアが改善されているか悪化しているかを示します。

日付セレクターは、インジケーターが使用するカレンダーを使用します。

インジケーターでリアルタイムスコアが有効になっている場合は、時計アイコン リアルタイム を使用して、それらを表示するかどうかをヘッダーで選択します。このアイコンは、リアルタイムスコアが無効になっている場合は透明で、有効になっている場合は点灯しています。 リアルタイムが有効になっている場合はリアルタイム 。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

選択した日付にターゲットが設定されている場合、ヘッダーには、ターゲット値とその日付のスコアとターゲットとのギャップが、絶対値とパーセンテージの両方で表示されます。のチャートオプション KPI 詳細 で設定されたようにターゲットと予測の両方が表示されている場合は、インジケーターがレビュー日までにターゲットを達成できるよう順調に進んでいるか外れているかがバッジに表示されます。

> **警告:**
> リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。

インジケーターチャート

インジケーターチャートには以下が表示されます。

- [チャートオプション] メニュー。詳細については、「のチャートオプション KPI 詳細」を参照してください。
- チャート内の情報の日付範囲を選択するための日付ピッカー。
- 経時的なインジケーターの時系列グラフィック表現。グラフ内のポイントをクリックすると、その日付の詳細が表示されます。
- 時系列集計セレクター。詳細については、「での時間アグリゲーションの選択 KPI 詳細」を参照してください。
- 選択した日付のインジケータースコアに関連付けられたレコードを表示する [レコードを表示] トグル。詳細については、「KPI 詳細でのレコードの表示、比較、作成、編集」を参照してください。

> **警告:**
> 場合によっては、第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「 KB0748969 」を参照してください。

> **重要:**
> フィルターで [不一致] ブレークダウン要素を選択した場合、そのブレークダウン要素のレコードはリストされません。

サイドバー

サイドバーコントロールを使用して、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンと要素でフィルター 。
- インジケーターの表示 KPI シグナル ( )。「KPI シグナル」を参照してください。
- インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定します ( )。「のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細」を参照してください。

これら3つのセクションに加えて、 プロセス分析の実行 ボタンを使用すると、インジケーターの プロセスマイニング 分析を開始できます。また、インジケーター レコードとスコアシートにアクセスできる [もあります。詳細については、「KPI 詳細からインジケーターレコードまたはスコアシートにアクセス」を参照してください。

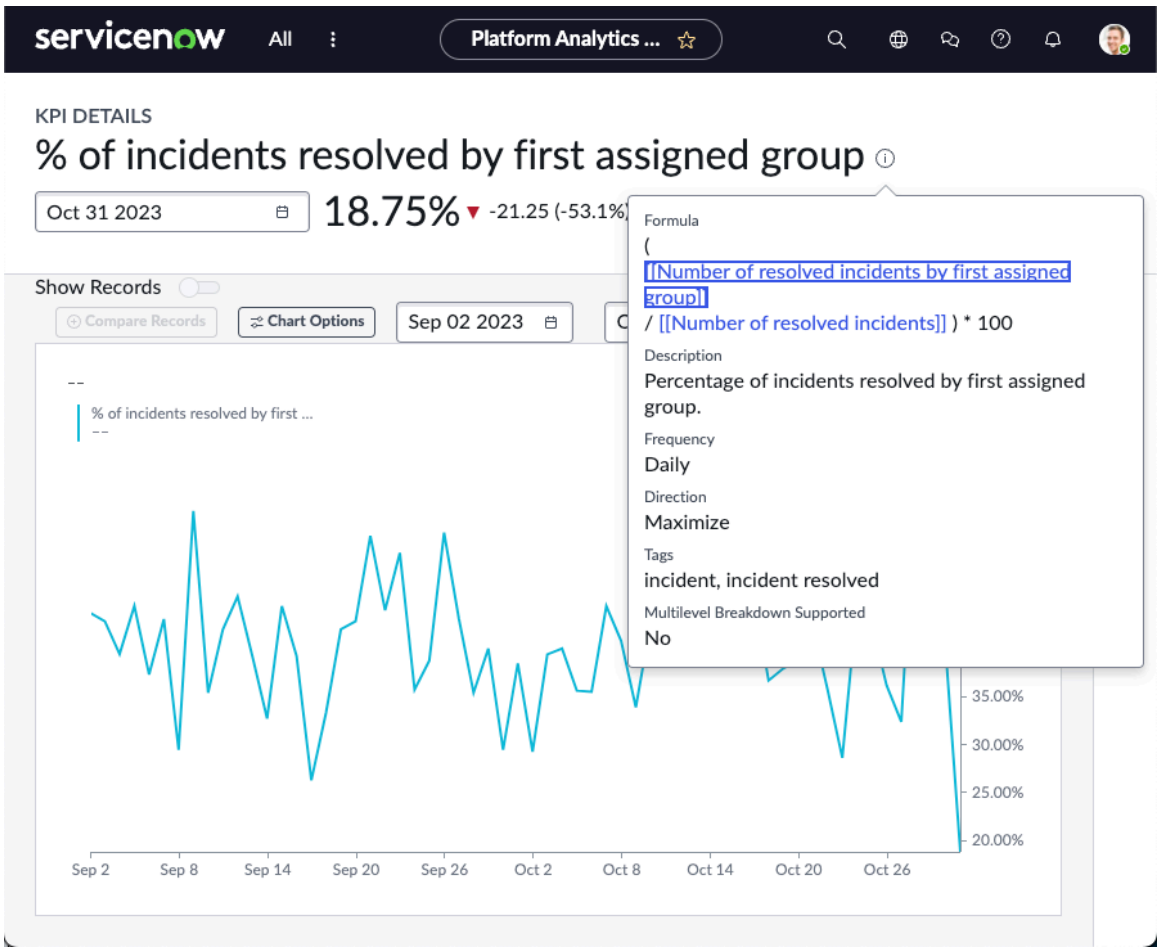
関連情報

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

で式に寄与するインジケーターを表示する **KPI** 詳細

KPI 詳細 で式インジケーターを表示している場合は、その式への貢献インジケーターを一覧表示できます。KPI 詳細構成に応じて、KPI 詳細で貢献インジケーターを開くことができます。

情報アイコン インジケーターの名前の横をクリックすると、情報ペインが開きます。インジケーターが式インジケーターの場合、情報ペインには式が含まれます。



表示している KPI 詳細 コンポーネントを UI ビルダー アドミンがどのように構成したかに応じて、貢献インジケーターの名前をクリックできます。クリック可能な場合、インジケーター名を選択

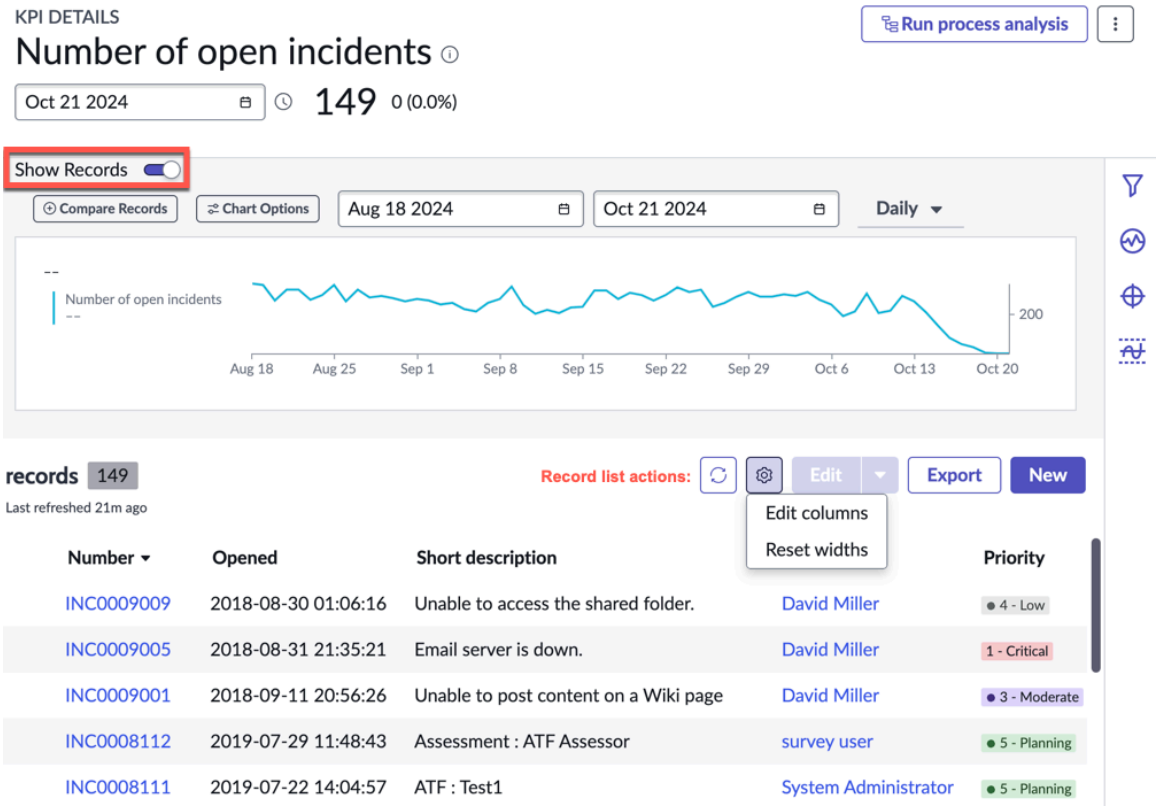
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すると、そのインジケーターが KPI 詳細で開きます。ここでも、構成に応じて、インジケーターは同じ KPI 詳細 タブまたは同じワークスペース内の新しいタブで開くことができます。

KPI 詳細でのレコードの表示、比較、作成、編集

インジケーター スコアの基礎となるレコードのリストを表示できます。レコードの作成、個々のレコードの編集、またはレコードの比較を行うことができます。レコードリストをエクスポートすることもできます。

自動インジケーターのスコアは、テーブルレコードから収集された値に基づいています。KPI 詳細で自動インジケーターを表示している場合は、[レコードを表示] を切り替えて、インジケーター スコアの基礎となるレコードのリストを表示します。選択した日付のスコアの背後にあるレコードが表示されます。



注:

- レコードは、パーセンテージや平均を計算するインジケーターなどの 式インジケーターには使用できません。
- 表示されるレコードのリストビューは、優先度順に次のいずれかの設定に従います。
  1. UI ビルダーのレコードリストビュー構成プロパティの値 (設定されている場合)
  2. インジケーターソースの [リストビュー] フィールドの値 (設定されている場合)
  3. デフォルトビュー

レコードの表示または編集

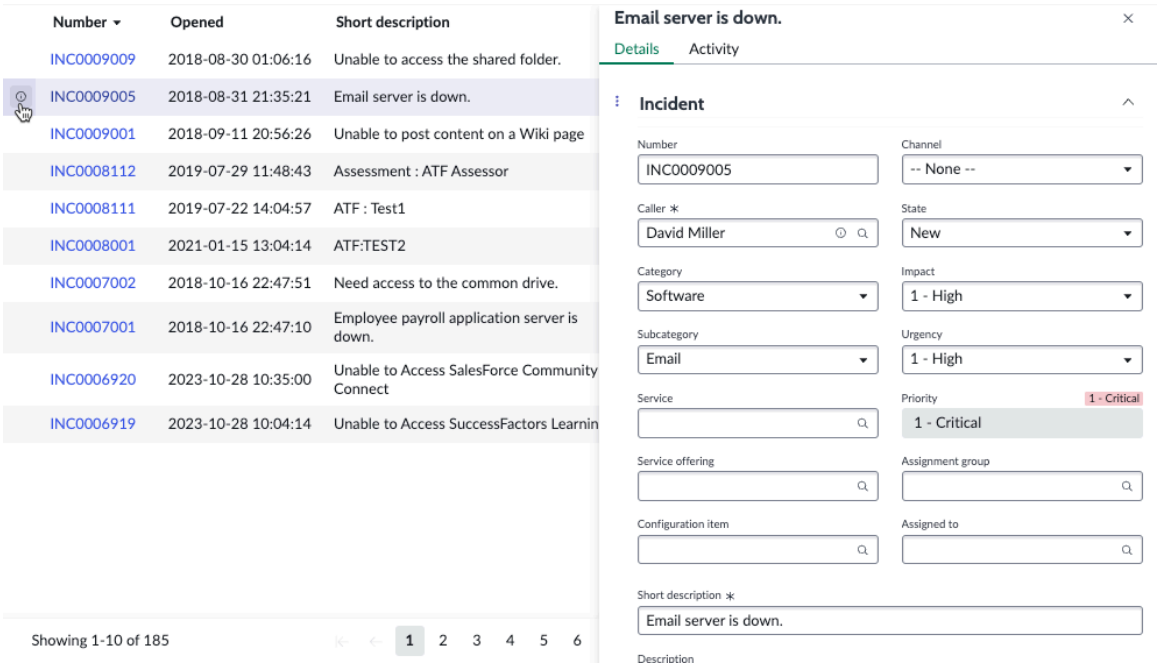
[レコードを表示] を有効にすると、 KPI 詳細 内からレコードの 1 つを編集できます。

KPI 詳細コンポーネントの構成方法に応じて、次のいずれかの方法でリストされたレコードを編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

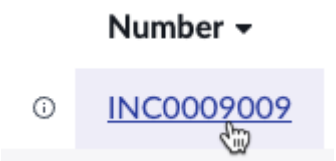
- [クイックビュー] ペイン内。レコードのクイックビューを開くには、レコードのリストエントリの横にある情報アイコン (ⓘ) をクリックします。レコードのアクティビティを表示したり、レコードを編集したりできます。完了したら、[更新] をクリックします。



す。

クイックビューペインは、 UI ビルダー でオンになっている場合にのみ使用できます。

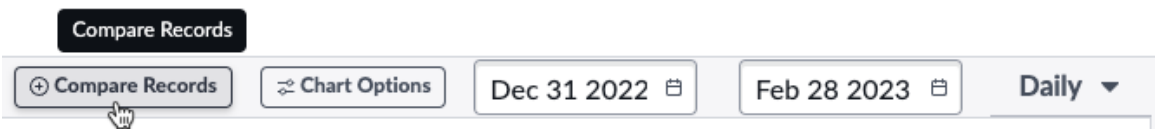
- レコードの別のタブ。新しいタブでレコードを開くには、リストエントリの最初の列の値をクリックします。



比較レコード

任意の 2 つの期間のインジケーター スコアと基になるレコードを比較できます。これらの期間の間に移動、共有、または移動されたレコードを一覧表示します。

チャートの上にある [レコードを比較] をクリックして、レコード比較ビューを開きます。



日付を入力するか、カレンダーを使用して、比較する期間を選択します。日付は [Jan-Dec] DD YYYY 形式です。左側の期間は、右側の期間より前である必要があります。左側で後の期間を選択したり、右側で以前の期間を選択したりすると、両方のスコアが選択した期間に切り替わります。

2 つのスコアの間には、これらの期間に移動、共有、または移動されたレコードの数が表示されます。これらの各値はボタンです。値を選択すると、対応するレコードが一覧表示されます。

それぞれに 1 つの要素がある、最大 2 つの ブレークダウンでフィルタリングされたレコードを比較できます。複数のレベル要素でフィルタリングされたレコードを比較することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

過去のレコードをリアルタイムスコアと比較できます。リアルタイムスコアがオンになっている場合、デフォルトでは、最後に収集された期間のスコアとリアルタイムスコアを比較します。

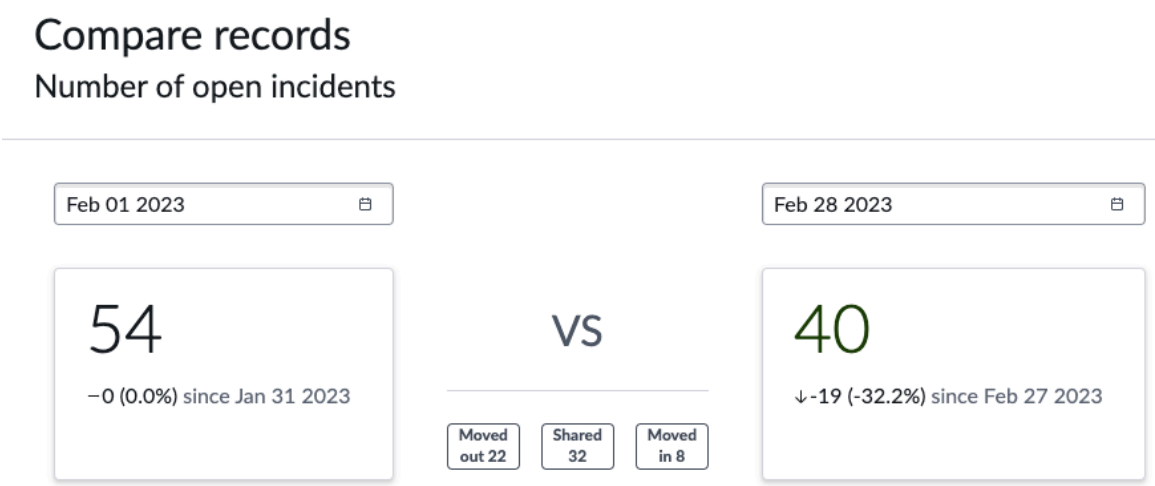
重要:
レコード比較は、レコード収集がオンになっている自動インジケーターでのみ使用できます。また、時間集計を適用する場合は、レコードではなくスコアのみを比較できます。

Example: レコードの比較

この例では、2023 年 2 月 1 日のオープンインシデントレコードの数が 2 月 28 日と比較されます。次の変更が見られます。

2月1日	2月28日
54レコード	40 レコード
1月01日からの0%増減	2月27日から19件減少(-32.2%)

- 退去 (日付の間に削除): 22
- 共有(両方の日付に存在):32
- 転入 (日付の間に追加): 8



KPI 詳細のレコードリストアクション

基になるレコードを KPI 詳細に表示する場合は、リストを更新またはエクスポートしたり、表示する列を選択したり、新しいレコードを作成したりできます。

KPI 詳細 のレコードリストには、リスト上のアクション (



) 用のボタンとアイコンのセットがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 更新アクション  は、単にリストを更新します。
- [レコード - リストアクション  コントロールを使用すると、リストに表示する列を選択できます。このアイコンを選択すると表示される [幅をリセット] オプションは、 KPI 詳細では有効になっていません。
- [編集] ボタンは KPI 詳細に対して有効になっていません。技術的な理由から、個々のレコードを編集するための別のメカニズムが提供されています。詳細については、「レコードの表示または編集」を参照してください。
- [エクスポート] ボタンをクリックするとダイアログが開き、レコードリストをローカルファイルまたはメールの添付ファイルとして次のいずれかの形式でエクスポートできます。
  - Microsoft Excel
  - CSV
  - JSON
  - PDF
- [新規] ボタンをクリックすると、レコードテーブルに空白のフォームが開きます。

のチャートオプション **KPI** 詳細

KPI 詳細 [チャートオプション] メニューを使用すると、インジケーターによるビジュアル化の表示、非表示、または要素の変更を行うことができます。選択したチャートオプションは、インジケーターごとにユーザーごとに保持されます。チャートオプションは、分析、時系列、およびチャートタイプのオプションに分けられます。

分析オプション

注:
インジケーター スコアが複数の要素で集計される場合、ターゲット、しきい値、傾向、およびコメントは KPI 詳細 ではサポートされません。

ターゲット

ターゲットは、インジケーターの目的スコアです。ビジュアル化で インジケーターターゲット を表示する場合に選択します。インジケーターにターゲットが設定されていない場合、このオプションは使用できません。

しきい値

しきい値は、インジケーターの通常のスコア範囲を定義します。ビジュアル化に インジケーターのしきい値 を表示する場合に選択します。インジケーターにしきい値が設定されていない場合、このオプションは使用できません。

予測

予測を使用すると、既存の傾向に基づいて将来のスコアを予測できます。予測を構成するには、「 パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。予測がインジケーターに設定されていない場合、このチャートオプションは使用できません。

傾向

選択した期間におけるスコア値の線形トレンドを表示します。傾向は、複数の要素でフィルタリングされたインジケーターには使用できません。

コメント

アナリティクスハブのインジケーターに追加されたコメント、またはシステム計算によって生成されたコメントを表示する場合に選択します。システム計算には、しきい値違反の通知が含まれます。

ラベル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベルには、インジケーターの主な時系列値が表示されます。ターゲットやしきい値などの派生した時系列線のラベルは表示されません。

統計情報

オンにすると、選択した日付範囲のインジケーターの統計情報セットが表示されます。詳細については、このトピックの「統計情報」セクションを参照してください。

統計情報



[統計グラフ] オプションを有効にすると、 KPI 詳細 グラフに表示される日付範囲全体で次の統計情報が表示されます。

スコア数

選択した時間範囲内のインジケータースコアの数。

最大

選択した時間範囲内の最高または最大のスコア値。

最小

選択した時間範囲内の最低または最小のスコア値。

合計

選択した時間範囲内のスコアの合計。

平均

合計をスコア数で割って計算された、選択した時間範囲の平均スコア。平均値は、外れ値がないか少ないスコアの正規分布がある場合に、中央値よりも適しています。

中央値

スコア分布の中央の数字。スコアの半分はこの数値より高く、スコアの半分は低くなります。スコアに 1 つ以上の外れ値 (系列 2、3、3、5、7、130 の 130 など) が含ま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

れている場合は、中央値が平均よりも優先されます。平均値と中央値の間に大きな差がある場合、おそらく中央値の方が意味のある統計量です。

変更

選択した時間範囲内の最後のスコアと最初のスコアの差。

変更%

選択した時間範囲内の最後のスコアと最初のスコアの差 (最初のスコアに対するパーセンテージ)。

標準偏差

選択した時間範囲のスコア間の平均値からの変動量。標準偏差が低いということは、スコアが平均に近いことを意味します。 KPI 詳細 では、母標準偏差ではなくサンプル標準偏差が計算されます。

すべての統計がすべての指標に適用できるわけではありません。インジケーター レコードでは、該当しない統計情報を除外して、 KPI 詳細 または アナリティクスハブのいずれかに表示されないようにすることができます。たとえば、単位がパーセンテージであるインジケーターでは、変更 % 統計情報が表示されないようにすることができます。詳細については、「インジケーターの詳細設定」を参照してください。

時系列オプション

時系列オプションは、グラフに表示される測定値の種類を設定します。すべての測定値 一緒に表示できます。

- スコア (デフォルト)
- 変更
- 変更%

グラフのタイプオプション

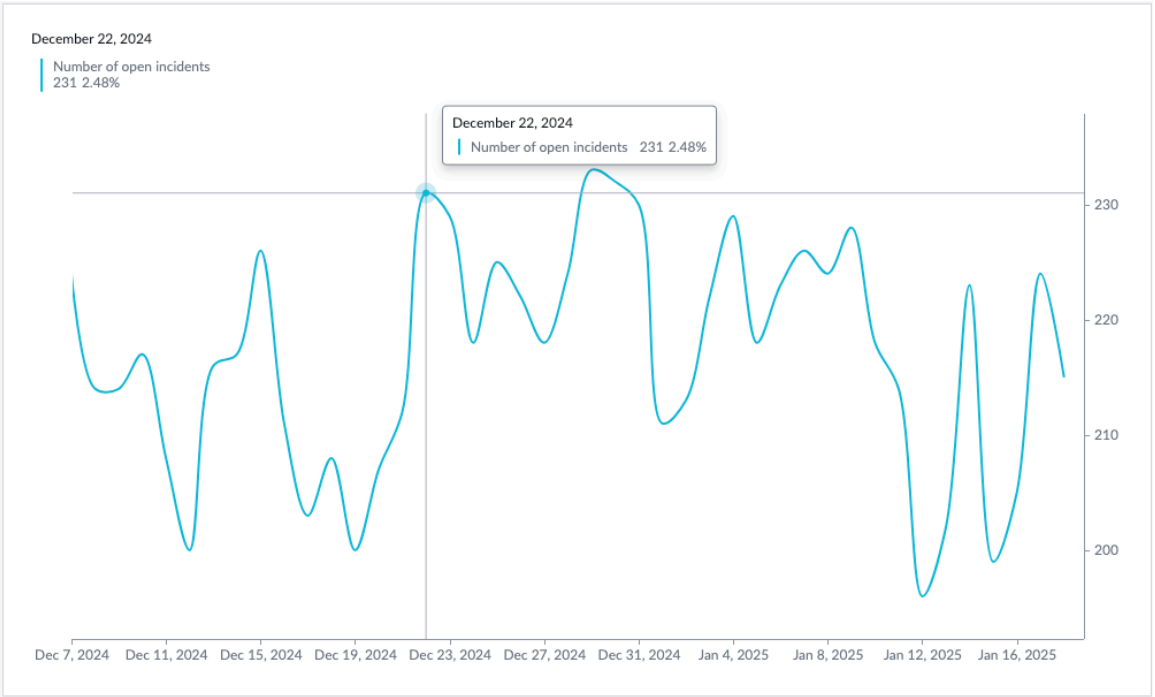
次のチャートの可視化から選択します。

- 線グラフ (デフォルト)。時間の経過に伴う変化を追跡し、インジケーター スコアの違いを確認するのに役立ちます。

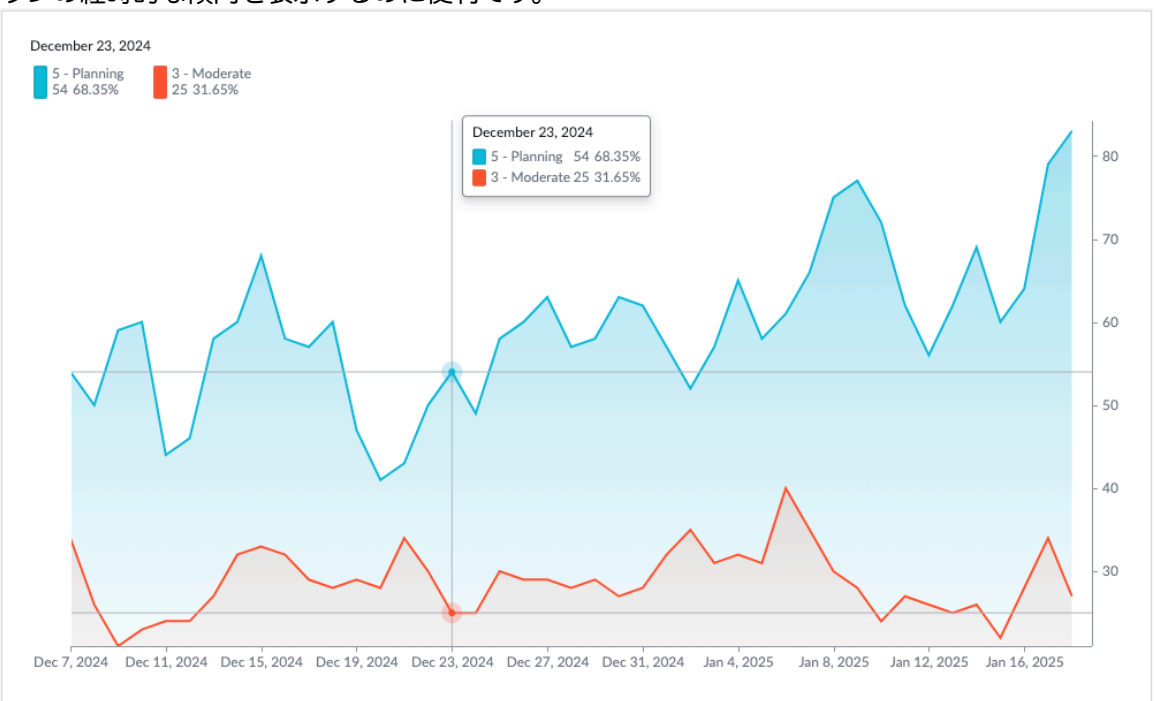


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スプライン。スムーズで段階的な変化を提案するのに便利です。



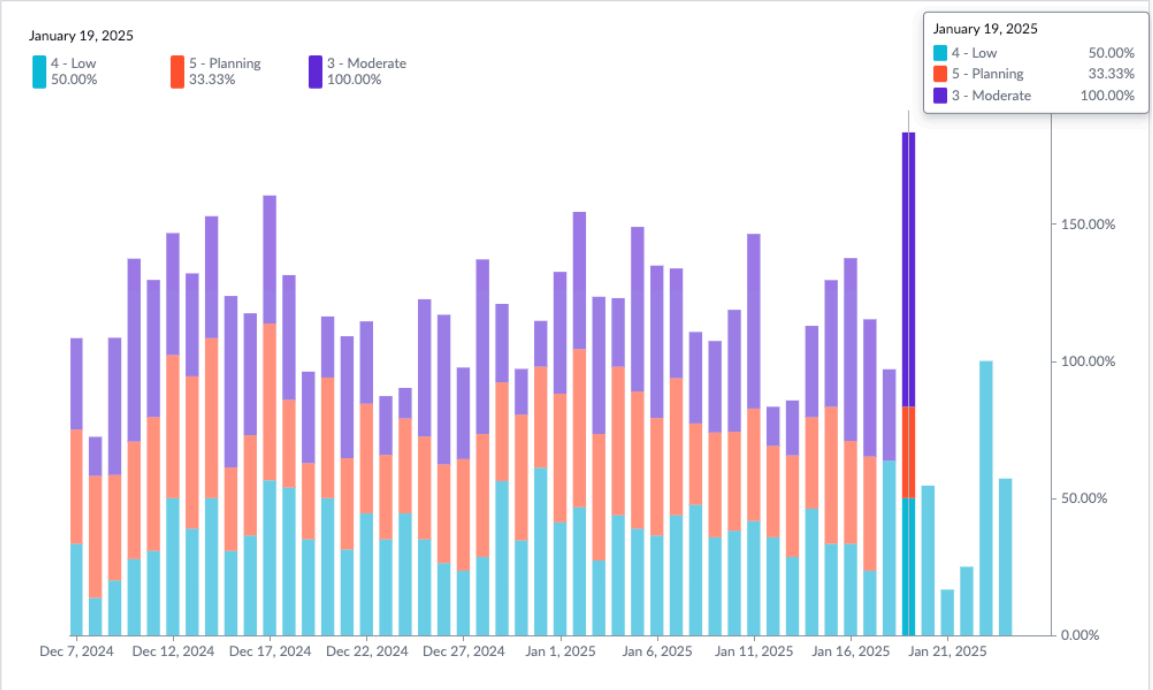
- 面積。[フィルター] で [個別の時系列として表示] が選択されている場合に、関連するブレークダウンの経時的な傾向を表示するのに便利です。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コラム。[フィルター] で [個別の時系列として表示] が選択されている場合に、複数のブレークダウン要素を比較するのに便利です。



での時間アグリゲーションの選択 **KPI** 詳細

インジケーターの変化を個別の時間間隔にアグリゲートできます。時間集計は、AVG 関数または SUM 関数と時系列 ([四半期ごと] など) の組み合わせで構成されます。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要になる場合があります。

このタスクについて
インジケーターのさまざまな時間側面を調べるには、次のいずれかの時間集計を適用します。

実行中

スパイクを滑らかにして傾向を明らかにします。たとえば、日次のインシデント数を見ると、毎週末に減少が見られる場合がありますが、7 日間の実行平均でそれらの減少は平滑化されます。

期間

頻度の低い期間にデータをアグリゲートします。たとえば、P1 インシデントの数を毎日追跡したいが、スコアを毎日考慮すると頻度が高すぎる場合があります。代わりに、「月別」の時系列を使用して月次レベルでターゲットを設定できます。

終了日

累積スコアを表示します。これらの時間集計は、達成すべき毎月の目標があるが、月全体の速度を確認する必要がある場合に役立ちます。

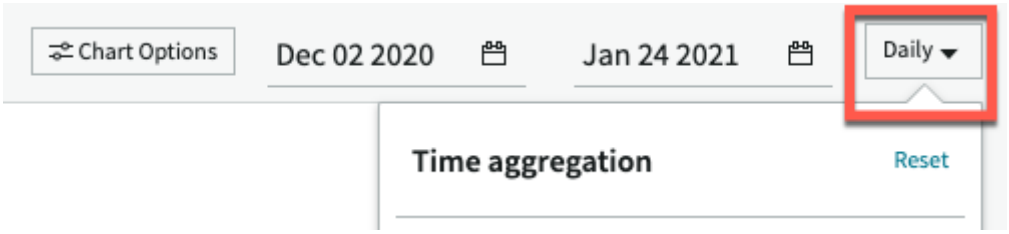
時間集計の使用、動作、および制限の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。インジケーターでの時系列集計の使用例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy のビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. KPI 詳細で、インジケーターによるチャート化の時間アグリゲーションメニューを展開します。



> **注:**
> 時間集計はリアルタイムスコアには使用できません。時間アグリゲーションを選択すると、リアルタイムスコアは無効になります。デフォルトの頻度に戻すと、リアルタイムスコアは再び有効になりますが、オフになります。必要に応じてオンにすることができます。

2. 構成する [実行中]、[期間]、または [終了日] アグリゲーションのいずれかを選択します。
3. 期間を選択します。
   インジケーター頻度の無効な期間と除外された期間は有効になっていません。除外期間の詳細については、「 インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。
4. 平均関数または合計関数を選択します。
5. 期間アグリゲーションを選択した場合は、部分的な期間を含めるかどうかを決定します。
   部分的な期間を含めると、現在の期間がまだ完了していなくても、その期間のスコアが表示されます。部分的な期間を含めると平均が歪む可能性があるため、注意してください。

タスクの結果

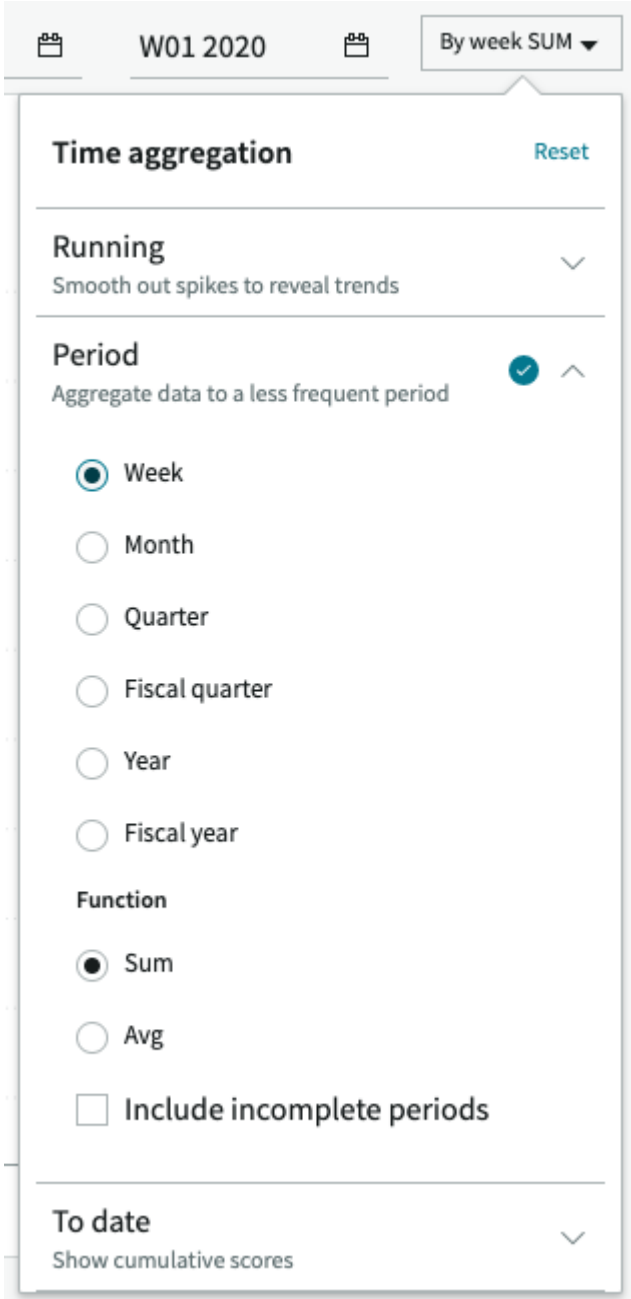
インジケーターの可視化は、選択するたびに更新されます。選択内容を好きなだけ変更してください。インジケーターのデフォルトの時間集計に戻すには、[リセット] を選択します。

Example: 日次インジケーターの時間アグリゲーション

次の時間アグリゲーションメニューでは、日次インジケーター [オープンインシデントの数] が期間別に集計され、週次の合計になります。一部の週は含まれていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ブレークダウン要素で **KPI** 詳細 をフィルタリング

KPI 詳細では、[フィルター] サイドバーのインジケーターにブレークダウンと要素を適用します。

始める前に
必要なロール：なしただし、アップグレードされたインスタンスにはpa_viewerが必要になる場合があります。

このタスクについて
インジケーターがサポートする数のブレークダウンを選択できます。インジケーターで ブレークダウン マトリクスの収集 を有効にすると、最大 2 つのレベルのブレークダウンを選択できます。最初のブレークダウンでは複数の要素を選択できます。(インジケーターが式インジケーターの場合、貢献する自動インジケーターでブレークダウンマトリクス収集を有効にする必要があります。)インジケーターで データスナップショット を有効にすると、任意の数のブレークダウンと要素を選択できます。

自動翻訳

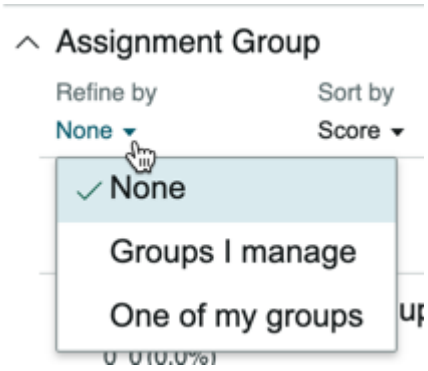
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. KPI 詳細 のサイドバーで、[フィルター] アイコンを選択します。
   このインジケーターのブレークダウンのリストが表示されます。
2. ブレークダウンを展開します。
   ブレークダウンの要素のリストが表示されます。
3. ブレークダウンに要素フィルターが存在する場合は、それを使用して要素のリストを絞り込むことができます。

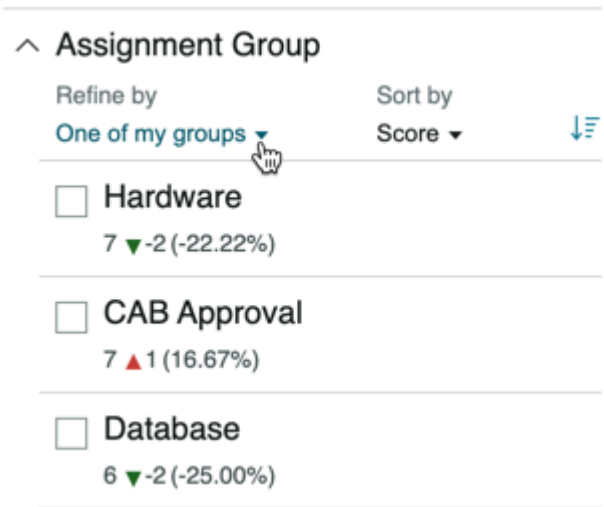
   a. [絞り込み基準] リストを展開して、使用可能な要素フィルターを表示します。

   Example
   この画像は、 ベースシステムのアサイン先グループブレークダウンで使用できる [自分が管理するグループ] および [自分のグループの 1 つ] 要素フィルターを示しています。



   b. 要素フィルターを選択します。

   Example
   この画像では、「自分のグループの 1 つ」が選択されています。要素のリストには、ログオンしたユーザーが属するアサイン先グループのみが含まれるようになりました。



4. [ソート基準] メニューで、名前、選択した日付のスコア、または前の日付からの変化で要素をソートします。
   リアルタイムスコアが有効になっている場合は、名前によるソートのみを使用できます。
5. 1 つまたは複数の要素を選択します。

自動翻訳

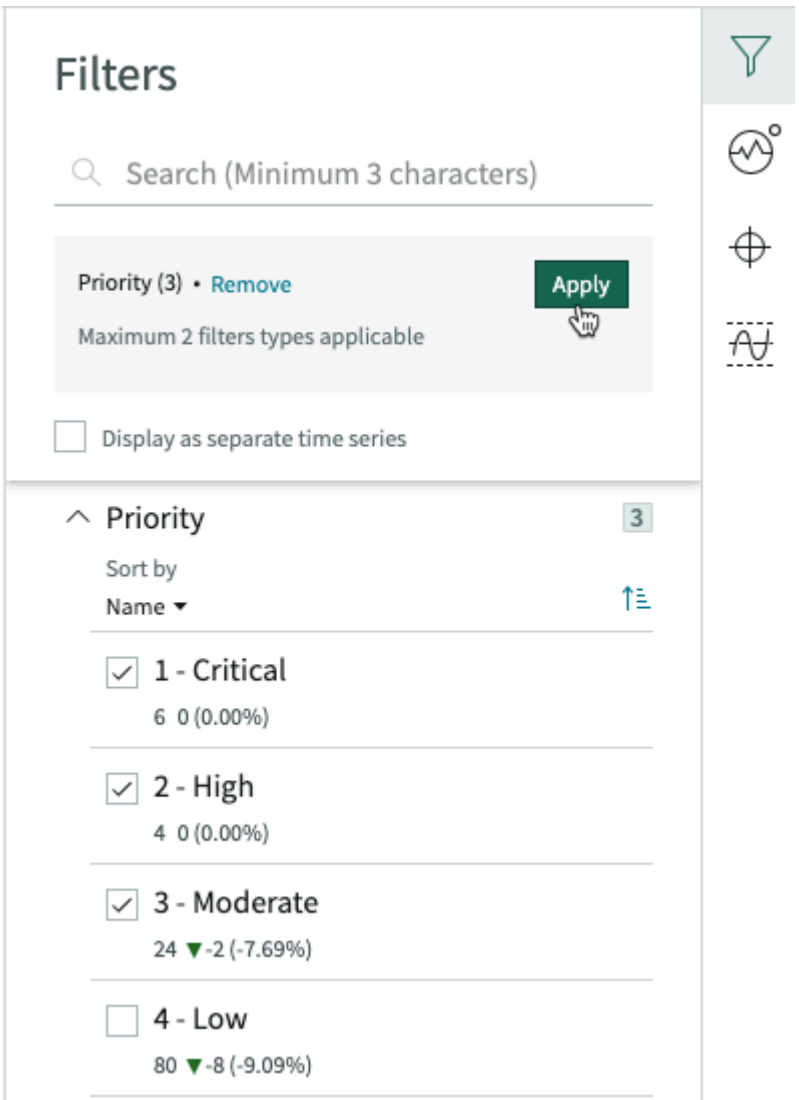
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素がスコアでソートされている場合、フィルターパネルには、選択した日付の各ブレークダウン要素のスコアが表示されます。要素が変更順にソートされている場合、フィルターパネルには、選択した日付の前回の収集期間からの変化率が表示されます。リアルタイムスコアがオンになっている場合、プレビューは利用できません。

6. オプション: 第 2 レベルのブレークダウンを選択します。
   a. 2 つ目のブレークダウンを展開します。
   b. 要素を 1 つだけ選択してください。
7. 複数の要素を選択した場合は、要素の表示方法を選択します。
   デフォルトでは、アグリゲートスコアが表示されます。各要素を個別に表示するには、[個別の時系列として表示] を選択します。集計スコアと個別スコア表示の両方が可能な場合にのみ選択を行うことができます。詳細については、「複数要素のスコアをアグリゲート」を参照してください。
8. [**Apply** (適用)] をクリックします。

Example: フィルター基準となる要素の選択

この例では、フィルターサイドバーが開いています。[優先度] ブレークダウンを展開し、[1 - 重大]、[2 - 高]、および [3 - 中] 要素を選択します。[適用] をクリックしようとしています。[個別の時系列として表示] を選択しなかったため、これらの要素の値は 1 つの集計として表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数要素のスコアをアグリゲート

複数のブレークダウン要素でインジケーターをフィルタリングする場合、すべての要素の単一の集計スコアを表示することも、要素ごとに個別のスコアを表示することもできます。ただし、すべてのインジケーターが複数の要素の集計スコアをサポートしているわけではありません。

次のインジケーターは、複数の要素の集計スコアをサポートしています。

- データをカウント、合計、最小、または最大値としてアグリゲートする自動インジケーター

  注:
  ここでは、「アグリゲート」という単語が、複数のインジケーター スコアのアグリゲートビューと、インジケーターに設定されているデータ集計の 2 つの異なる目的で使用されます。

- 手動インジケーター
- SQL ステートメントで SQL AVG() または SQL COUNT(DISTINCT...) を使用しない外部インジケーター
- インジケーターレコードで集計要素ビューが有効になっている式インジケーター。詳細については、式インジケーターの作成 の [その他] タブにある [複数のブレークダウン要素スコアのアグリゲーションを許可] フィールドのエントリを参照してください。

注:
ワークスペースエクスペリエンス上のパフォーマンスアナリティクスウィジェットからKPI 詳細に移動し、このウィジェットが複数の要素を返す要素フィルターを使用している場合、最初の要素のみが適用されます。

インジケーターが複数の要素のビューをサポートしている場合、 KPI 詳細 は [フィルター] サイドバーに [個別の時系列として表示] コントロールを表示します。このコントロールの動作は、サポートされている複数の要素のビューによって異なります。

- インジケーターがアグリゲートビューと個別ビューの両方をサポートしている場合、デフォルトでアグリゲートビューが表示されます。ブレークダウンの要素ごとに個別の線を表示するには、[個別の時系列として表示] を選択します。
- インジケーターが複数の要素を別々の線として表示することのみをサポートしている場合は、[個別の時系列として表示] が選択され、選択は無効になります。

注:
[個別の時系列として表示] コントロールは、複数の要素を選択するまで有効になりません。

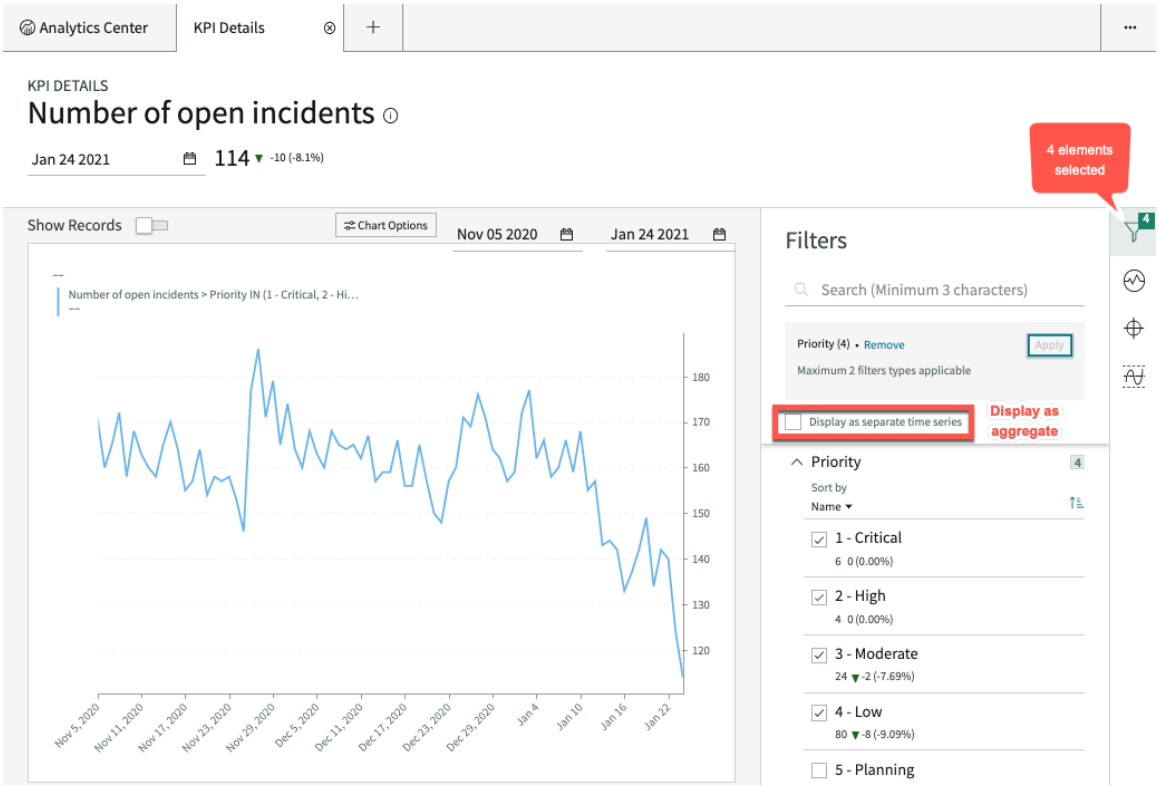
Example: 複数の要素の個別のビューと比較したアグリゲート

この例では、オープン インシデントの数インジケーターはカウントごとに集計されるため、複数の要素の集計ビューをサポートします。集計ビューと個別ビューの両方が表示されます。

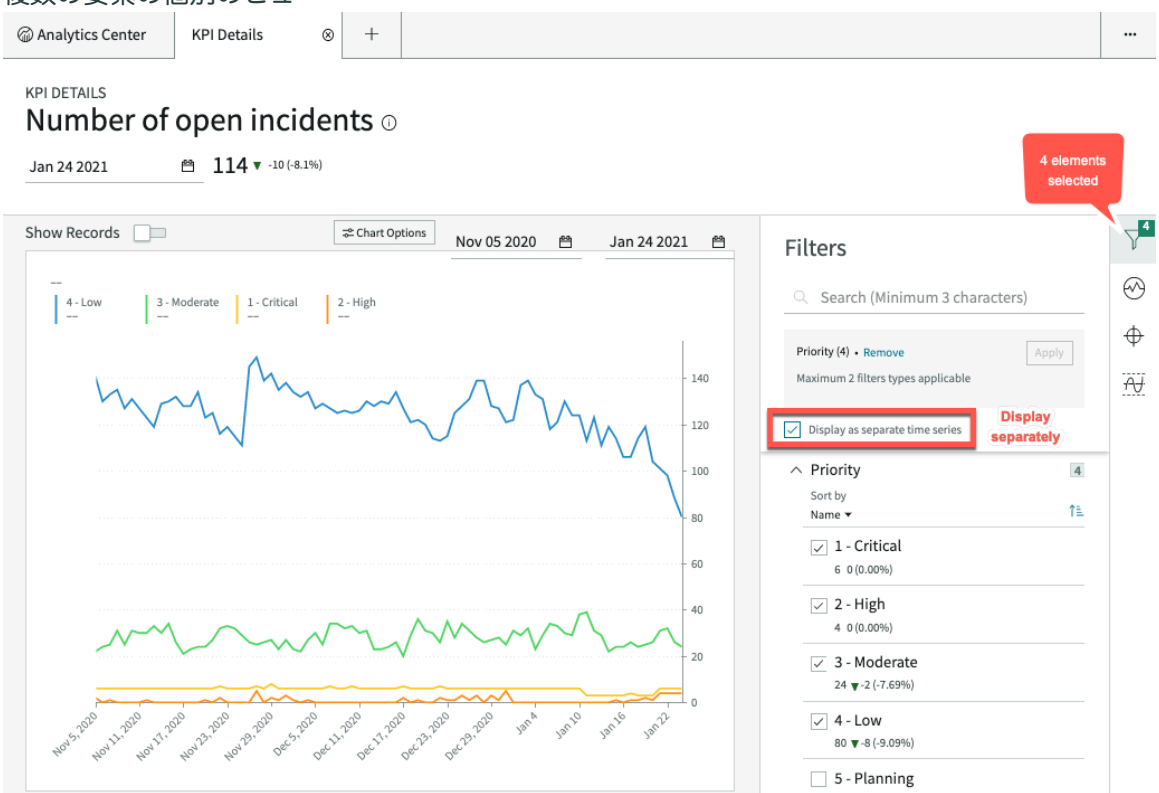
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数要素のアグリゲートビュー



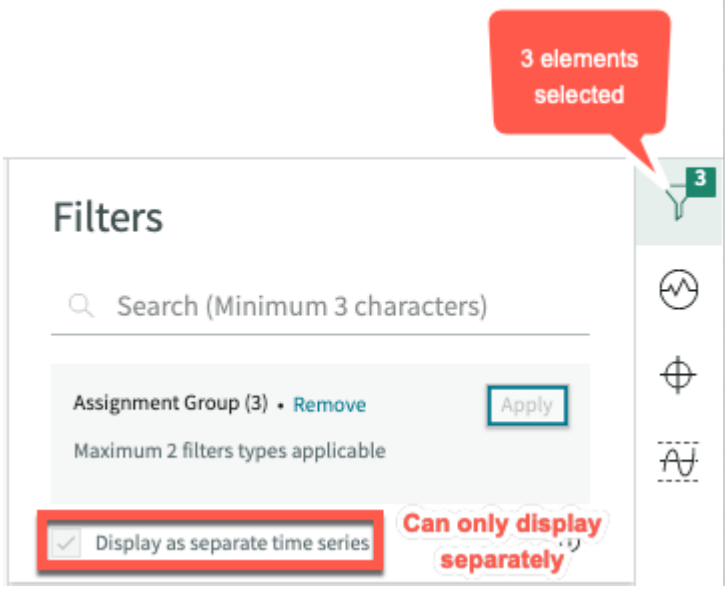
複数の要素の個別のビュー



次の式インジケーターでは、複数要素の集計ビューが有効になっていません。[個別の時系列として表示] オプションが自動的に選択され、変更することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アグリゲートビューをサポートしていないインジケーターのフィルターサイドバー



関連情報

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

KPI 詳細からインジケーターレコードまたはスコアシートにアクセス

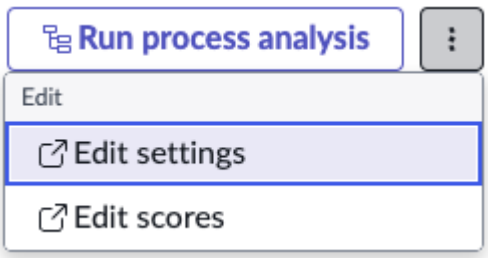
KPI 詳細 では、[その他のアクション] メニューを使用して、表示しているインジケーターのレコードまたはスコアシートを開くことができます。

始める前に
この手順では、すでに KPI 詳細 インジケーターを調べていて、インジケーターレコードまたはスコアシートを表示または編集することを前提としています。KPI 詳細していない場合は、統一ナビゲーションからこれらのアイテムのいずれかを直接開くことができます。

必要なロール:記録の場合は pa_power_user、pa_admin、または admin。スコアシートの pa_adminまたはアドミン

手順

1. KPI 詳細 で、[その他のアクション] メニュー [⋮]を展開します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
   - インジケーター レコードを開くには、[設定を編集] を選択します。
   - スコアシートを開くには、[スコアの編集] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- 自動インジケーターの作成
- 式インジケーターの作成
- インジケーターのスコアの手動での追加または編集

のインジケーターターゲットとしきい値 **KPI** 詳細

ターゲットは、組織が達成したい目標です。これらは、特定の日付のインジケーターの望ましいスコアと実際のスコアの差を示します。 しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高い状態であるなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

インジケーター ターゲット

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人ターゲットを共有することはできないため、ターゲットは KPI 詳細 と アナリティクスハブにのみ表示されます。グローバルターゲットは、時系列および単一スコアデータの可視化で表示することもできます。ダッシュボードでは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを使用して、ターゲットに関連するイベントについて閲覧者にアラートを発することができます。

インジケーター しきい値

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、メッセージは KPI 詳細から直接利用できます。

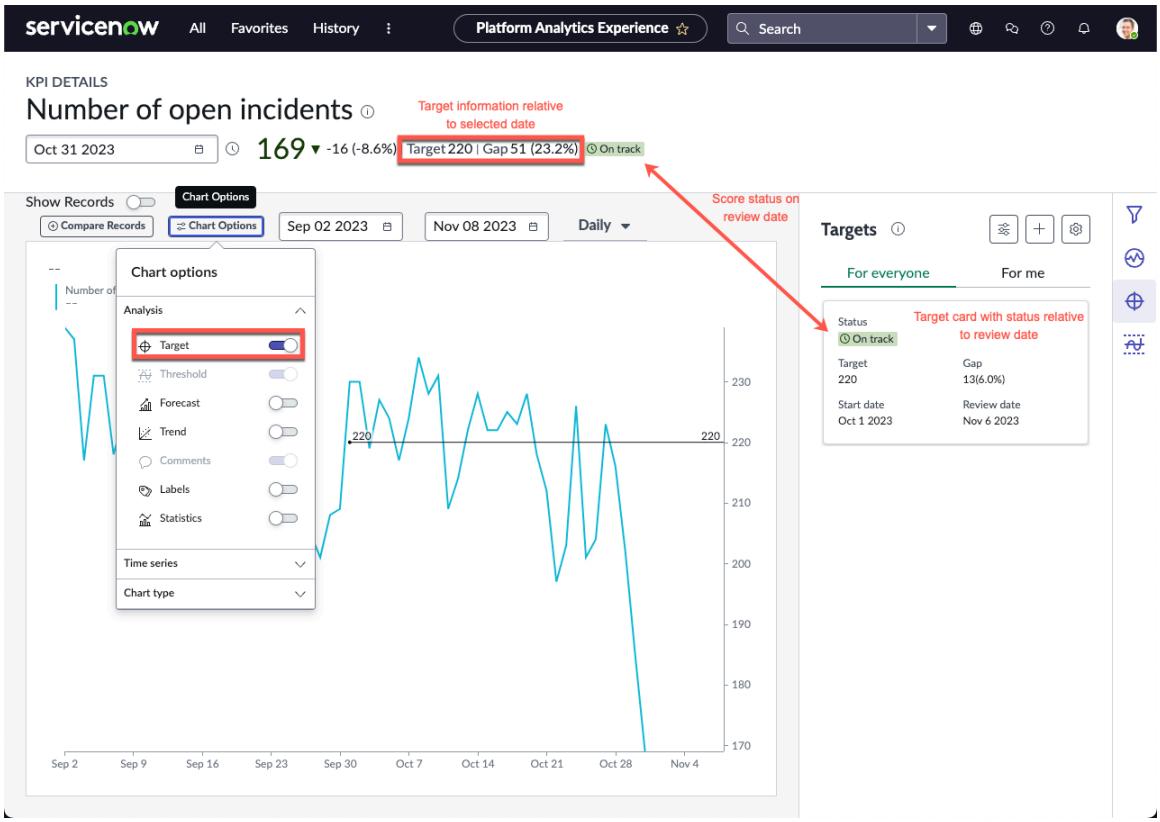
しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、それを作成したユーザーにのみ表示されます。薄いグレーの点線で表示されます。グローバルしきい値はすべてのユーザーに表示され、ダークグレーの点線で表示されます。個人のしきい値は共有できないため、KPI 詳細にのみ表示されます。グローバルしきい値は、時系列データの可視化にも表示できます。ダッシュボードでは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを使用して、しきい値に関連するイベントについて閲覧者に警告できます。

Example: 現在のターゲットの **KPI** 詳細

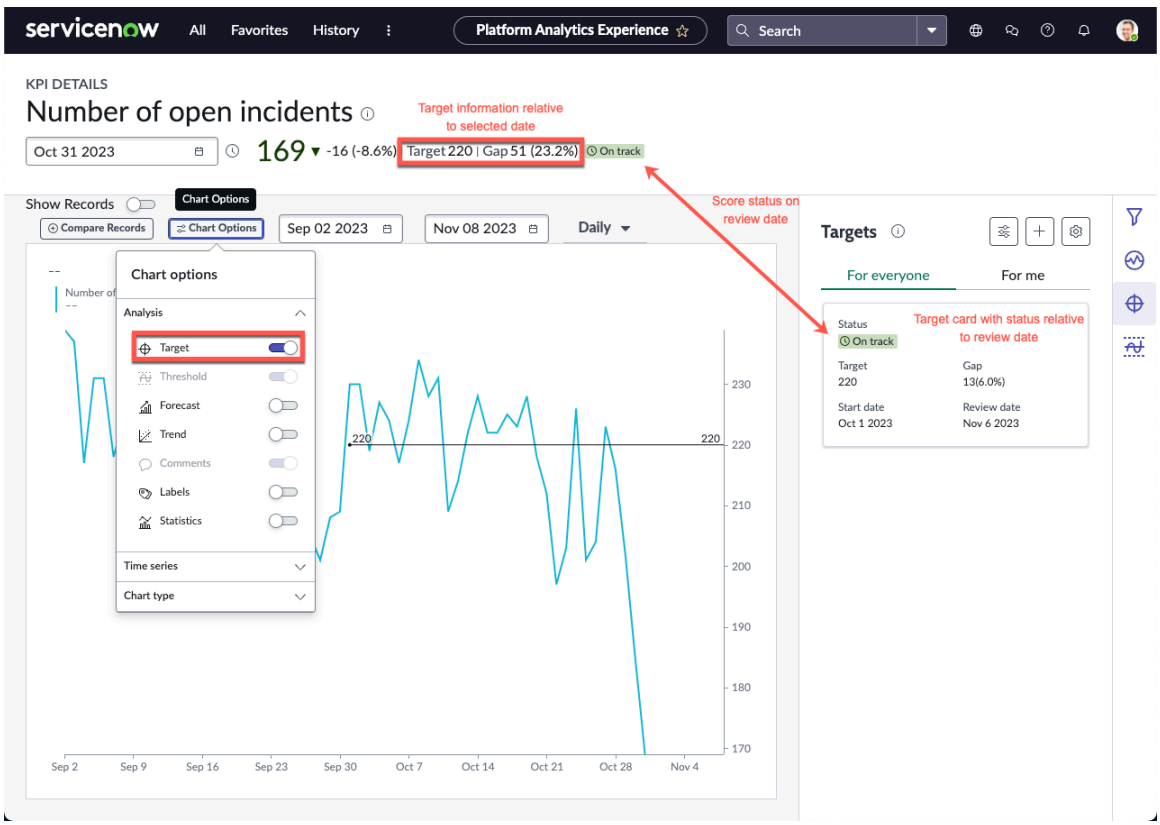
次の例では、インジケーターに 1 つのターゲットが設定されています。この目標は10月1日に設定され、レビュー日は11月6日です。10月31日のスコアは169でした。3 月 15 日のギャップは、「ターゲット値 - 選択した日付のスコア」として計算されます。したがって、ギャップは51、つまり23.2%です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ターゲット] パネルのターゲットのカードには、別のギャップ値が表示されます。このギャップは、レビュー日のターゲット値 - 予測スコアと等しくなります。[チャートオプション] で [予測] を有効にすると、このギャップがどのように計算されるかをより明確に確認できます。次の例では、レビュー日の予測スコアが 29 で、ターゲットが 30 であることがわかります。したがって、タイルの隙間は1つです。



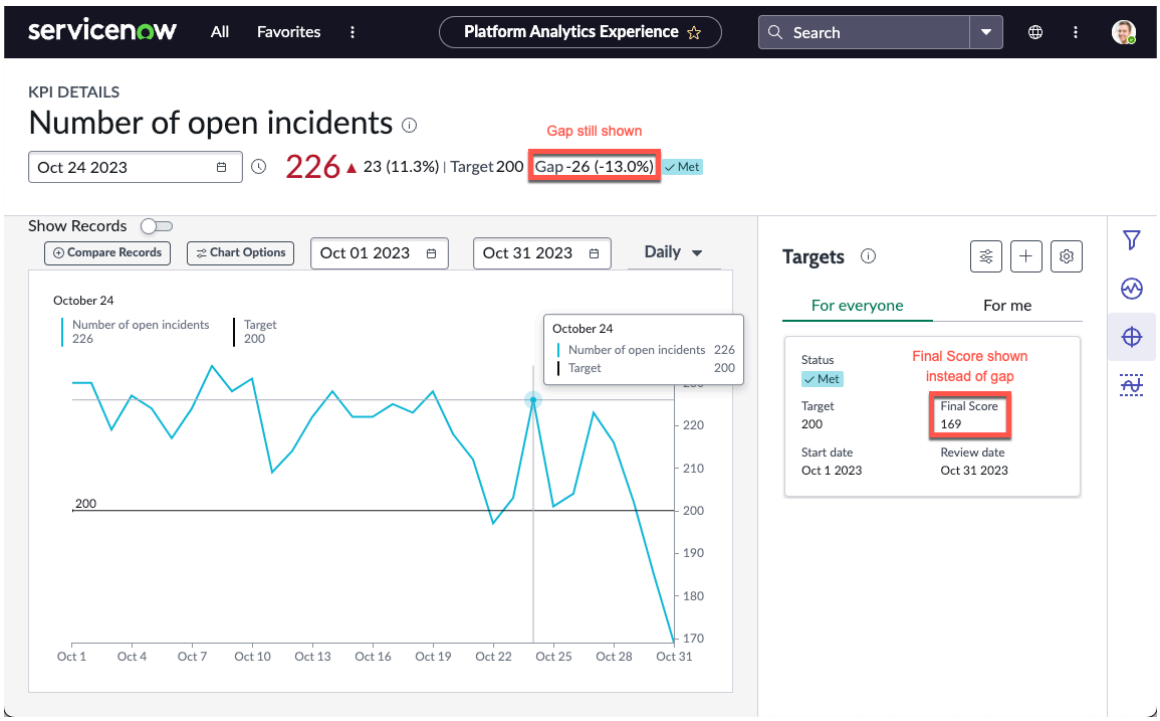
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコンには、ステータスが [オントラック (On track)]、[オフトラック (Off track)]、または [追跡するには早すぎる (Too early to track)] として表示されます。このアイコンは、チャートとターゲットパネルの両方に表示されます。ステータスは、レビュー日に予測されるターゲットとスコアのギャップに基づいています。予測されたスコアはターゲットよりも優れているため、オントラックアイコンが表示されます。ターゲットよりも悪い場合は、オフトラックアイコンが表示されます。ターゲットが達成されるかどうかを予測するのに十分なデータがない場合は、[追跡するには早すぎる] アイコンが表示されます。

Example: 過去のターゲットを含む **KPI** 詳細

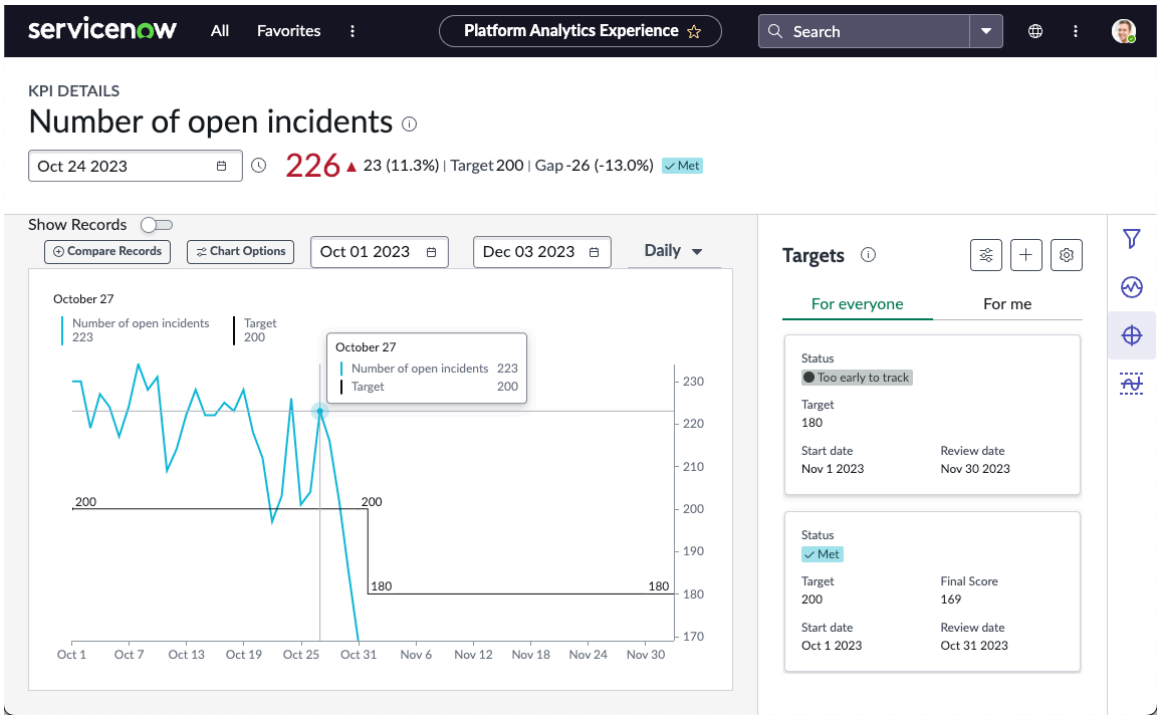
ターゲットがレビュー日に達すると、ターゲットが満たされているかどうかがわかります。[オントラック]、[オフトラック]、および [トラックには早すぎる] アイコンは適用されなくなりました。代わりに、[満たした] または [満たしていない] アイコンが表示されます。次の例では、インジケーターはレビュー日のターゲットを 2 マージンで達成しています。カードでは、ギャップ情報がレビュー日の最終スコアに置き換えられます。このスコアは、チャートで選択されている日付に関係なく表示されます。グラフには、選択した日付におけるスコアとターゲットのギャップがそのまま表示されます。



Example: 過去と現在のターゲット

ターゲットがレビュー日に達すると、アクティブではなくなります。通常は、新しいターゲットを有効にする必要があります。新しいターゲットを追加しても、期限切れのターゲットはチャートとカードの両方に表示されます。ここでは、前の例のターゲットの有効期限が切れた後に、新しいターゲットがインジケーターに追加されます。この目標は、 でのターゲットの作成 KPI 詳細で説明されているように、以前の目標から 10% の改善に基づいています。チャートには、選択した日付に有効なターゲットに関する情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

でのターゲットの作成 **KPI** 詳細

特定のブレークダウン要素と時系列集計にのみ適用されるインジケーターのターゲット値を設定できます。ターゲットは選択した日付で適用を開始し、次のターゲットを設定するまで適用を続けます。ターゲットに到達すると予想される日付を設定し、その時点で新しいターゲットを設定できます。

始める前に
必要なロール:すべてのユーザーに表示されるグローバルターゲットを作成する pa_target_admin。KPI 詳細のインジケーターを表示できるユーザーは、ターゲットを表示し、個人のターゲットを作成できます。個人のターゲットとしきい値は、それらを作成したユーザーにのみ KPI 詳細 に表示されます。

責任ユーザーは、ロールに関係なく、担当するターゲットを置き換えるグローバルターゲットを作成できます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

手順

1. 作業するインジケーターのあるワークスペースに移動します。
2. そのインジケーターの KPI 詳細 ページを開きます。

   [アナリティクスセンター] アイコン ( ) を選択して、 **KPI** のリストを開きます。

   インジケーターは、インジケータースコアカードから、またはプラットフォームアナリティクスワークスペース (ServiceNow Store から入手可能) で提供されるアナリティクスセンターなど、アナリティクス Q&A のクエリ結果から開くことができます。
3. ターゲットをスコアのサブセットに制限するには、フィルターを開き、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 複数のブレークダウン要素のターゲットを追加するには、「 での複数のブレークダウン要素のターゲットの追加 KPI 詳細」を参照してください。

4. ターゲットを特定の時系列集計に適用する場合は、時系列を選択します。
   時系列集計の詳細については、「 時系列集計の適用」を参照してください。
5. ターゲットアイコン ( ) をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
6. [ターゲットを作成] アイコン ( ) をクリックします。
7. [全員用] または [自分用] を選択します。
   [全員用] オプションでは、グローバルターゲットが作成されます。[自分用] オプションは、個人用ターゲットを作成します。
   このインジケーターには、選択したブレークダウン要素または時系列に適用される、既存のグローバルターゲットまたは個人ターゲットがすべて表示されます。ブレークダウン要素または時系列の選択と選択解除をインタラクティブに行うことができ、ターゲットのリストが更新されます。

   > **注:**
   > 新しいターゲットを作成する代わりに、これらの既存のターゲットのいずれかを編集できます。ターゲットのタイルを選択して、そのターゲットを編集します。ターゲットの絶対値と開始日とレビュー日のみを変更できます。より高度なターゲット編集については、「 でのターゲットの編集 KPI 詳細」を参照してください。

8. [基準] フィールドで、[新しい値]、[平均スコア]、または [前のターゲット] のいずれかを選択します。
   新しい値は 、入力したターゲットの絶対値です。[平均スコア] では、平均スコアの改善としてターゲットが選択されます。改善の量を設定します。平均は、グラフに表示されている期間にわたって計算されます。この平均 値は、[平均値] フィールドに読み取り専用値として表示されます。

   前のターゲット は、前のターゲットが存在する場合にのみ使用できます。新しいターゲットは、アクティブなターゲットからの変更に基づいて計算された値です。アクティブなターゲットが読み取り専用の [参照値] フィールドに表示されます。
9. [新しい値] を選択した場合は、[新しい値] フィールドにターゲット値を入力します。
10. [平均スコア] または [前のターゲット] を選択した場合は、次のオプションを完了します。

オプション	説明
方向	[増加] または [減少] を選択します。増加 はターゲットが平均スコアまたは前のターゲットよりも高くなることを意味し、 減少は ターゲットが低くなることを意味します。デフォルトでは、値はインジケーターの方向に対応しています。
変更	ターゲットを平均スコアまたは以前のターゲットとどの程度異なるようにするかを入力します。この値は、絶対単位またはパーセンテージにすることができます。
% / 単位	変更が絶対単位かパーセンテージかを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのフィールドに入力すると、計算されたターゲット値が読み取り専用の [新しい値] フィールドに表示されます。

11. 開始日を選択
    将来の日付を設定できます。
12. レビュー日を選択します。
    ターゲットは、選択した開始日から次のターゲットの開始日 (存在する場合) まで適用されます。後のターゲットを定義しない場合、ターゲットは無期限に適用されます。したがって、レビュー日は、ターゲットの変更を検討するリマインダーとして機能します。レビュー後にターゲット値を変更するかどうかにかかわらず、新しい将来のレビュー日を選択することを検討してください。

    レビュー日を選択すると、その日にターゲットの達成に向けて順調に進んでいるかどうかを示すステータスアイコンがチャートに表示されます。

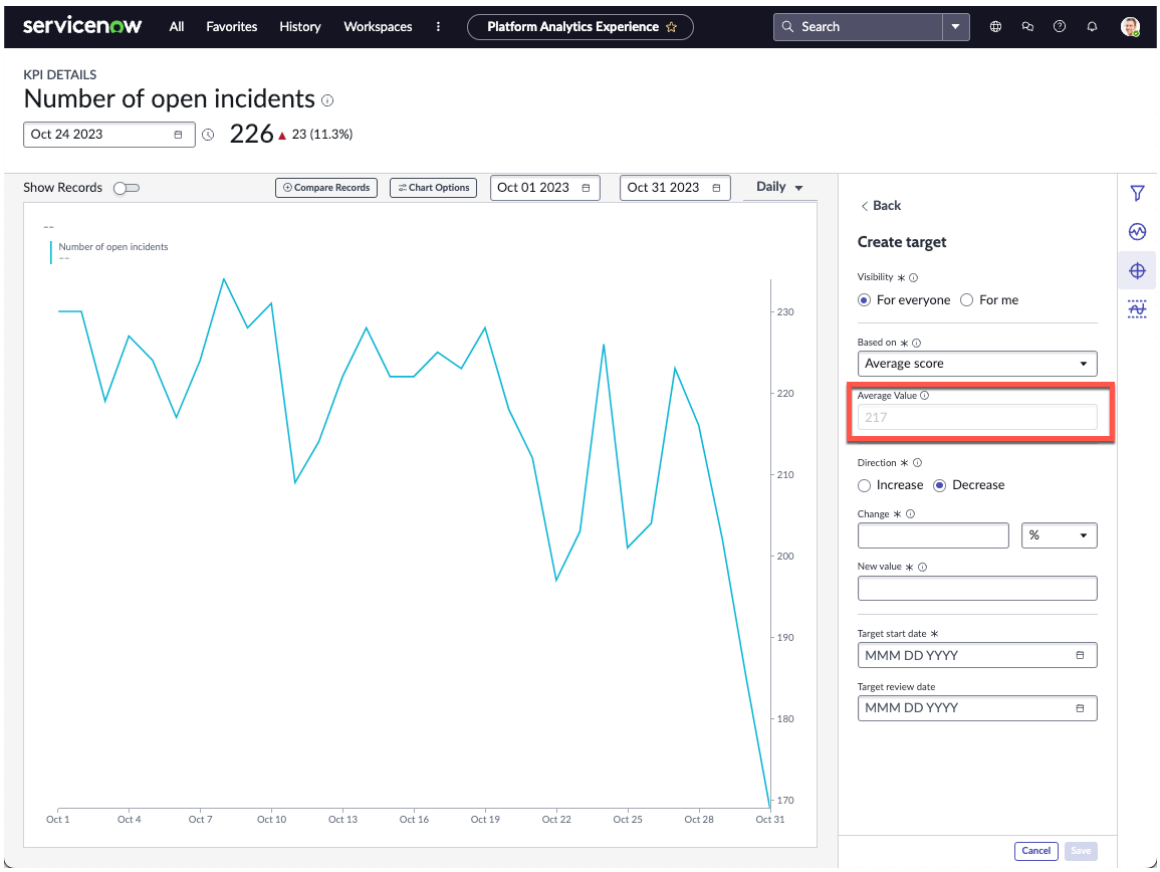
    注:
    KPI 詳細は、重複するターゲットをサポートしていません。一度にアクティブにできるターゲットは 1 つだけです。

13. **[Save** (保存)] をクリックします。

Example: ターゲットの作成

今日は 11 月 1 日ですが、ネットワークカテゴリのオープンインシデントの数は先月かなり変化しており、最近急激に落ち込んでいます。

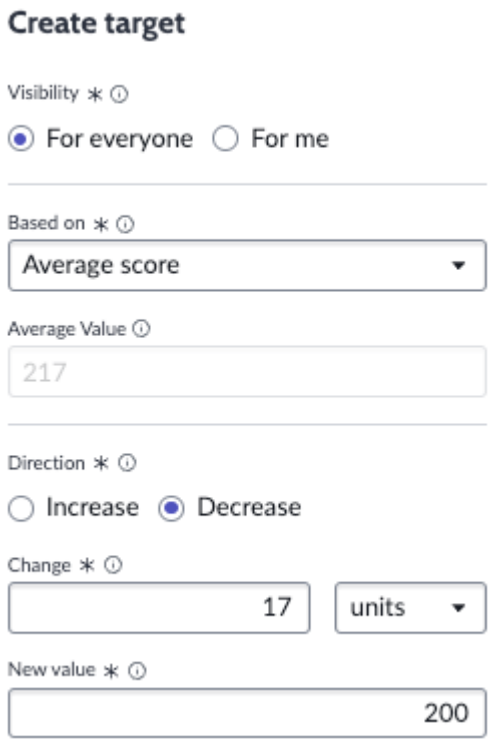
インシデントマネージャーは、オープンインシデントの数を減らしたいと考えています。スコアからは、設定に適した目標がわかりません。10月の平均を下回ったままであれば、あなたは幸せです。そのため、その月の平均スコアに基づいてターゲットを作成することから始めます。



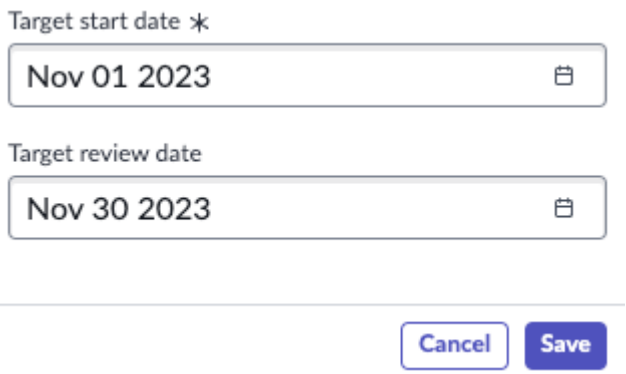
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

平均値が 217 であることがわかりますが、あなたは楽観主義者であり、チームがもう少しうまくいくかもしれないと考えています。したがって、実際にインシデントの数を減らしたいので、[減少] を選択したままにしておきます。チャートの最低点のほとんどは200前後だったので、それを新しいターゲットとして決定します。



最後に、翌月の初めに目標を実行することにしました。月末までに目標を達成したいため、月の最後の営業日をレビュー日として設定します。



[保存] をクリックすると、ターゲットが作成されます。このようなターゲットが KPI 詳細でどのように表示されるかの例については、「 のインジケーターターゲットとしきい値 KPI 詳細」を参照してください。

次のタスク
グローバルターゲットを作成したら、自分または別のユーザーにターゲットの維持の責任を負わせてください。「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

でのターゲットの編集 **KPI** 詳細

1 つ以上の既存のターゲットを終了して後日から新しいターゲットを開始するのではなく、開始日から遡及的に変更します。複数のターゲットを編集して、同じ値、同じ値の変更、または同じ日付にすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:すべてのグローバルターゲットを編集するにはpa_target_admin。個人ターゲットを持つユーザーは誰でもそのターゲットを編集できます。

責任ユーザーは、ロールに関係なく、担当するグローバルターゲットを編集できます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

このタスクについて
同じインジケーターに複数のターゲットが設定されている場合、 KPI 詳細 の [ターゲット構成] パネルを使用すると、開始日、レビュー日、または値を同じにするように一括で設定できます。マネージャーは、この機能を使用して、一連のセグメントのターゲットを変更できます。

同じターゲット値のみを新しい値に変更できます。異なる開始日とレビュー日を、新しい同じ開始日またはレビュー日に変更できます。ただし、ターゲットが適用される新しい期間は、同じフィルターに一致する他のターゲットの期間と重複することはできません。

注:
単一のターゲットをすばやく編集するための代替インターフェイスを使用できます。[ターゲット] パネルを開き、ターゲットのタイルを選択します。ターゲットの絶対値と開始日とレビュー日を変更できます。ターゲットを編集するためのその他のオプション、または複数のターゲットを編集する場合は、代わりに次の手順を使用してください。

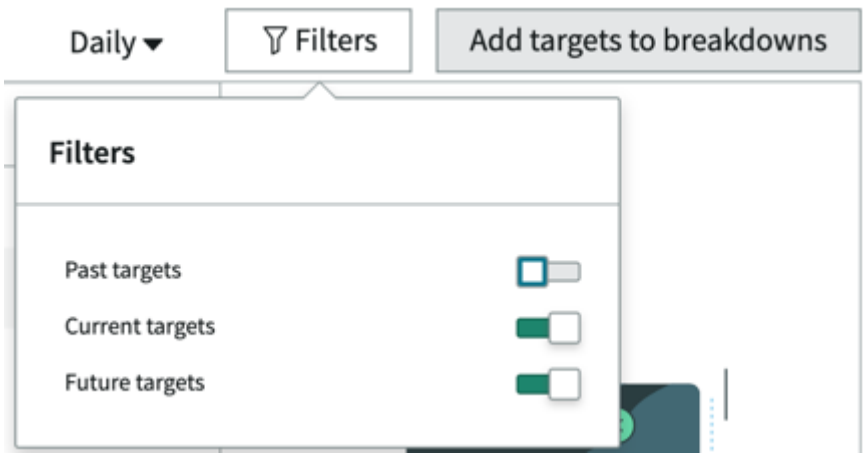
手順

1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
2. ターゲットアイコン をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
3. 歯車をクリックして [ターゲット設定] ページを開きます。



[ターゲット構成] ビューが開きます。

4. [フィルター] をクリックして、期限切れのターゲット、現在有効なターゲット、または今後有効になるターゲットのいずれを表示するかを設定します。
   デフォルトでは、現在有効なターゲットと今後有効になるターゲットが表示されます。

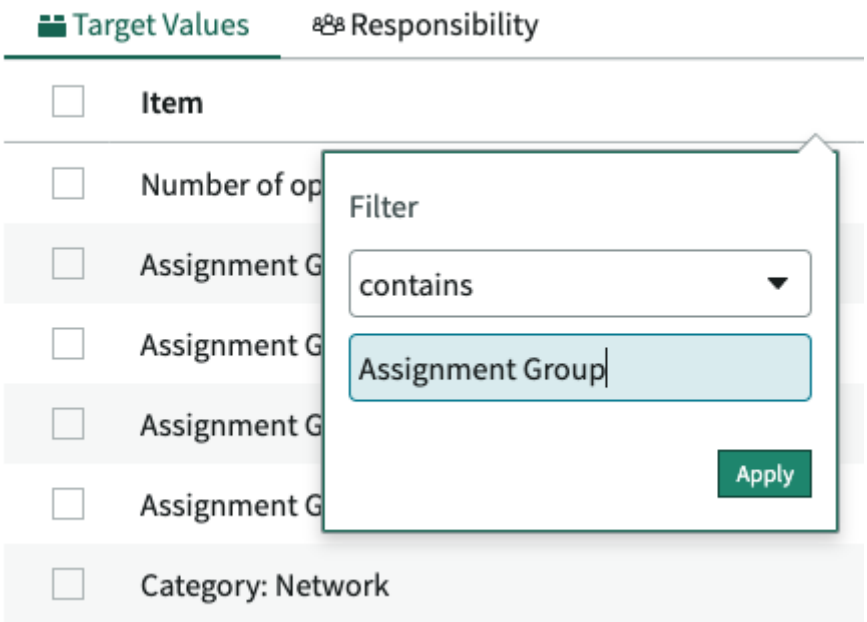


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ターゲットの選択をさらにフィルタリングするには、各列ヘッダーの右側にある非表示のフィルターアイコンを選択します。
アイテムの名前、値、開始日、またはレビュー日でフィルタリングまたはソートできます。次の例では、優先度を含む名前で [アイテム] 列をフィルタリングしようとしています。優先度ブレークダウンのターゲットのみが表示されます。

ヒント:
ブレークダウンまたは時間集計のアイテム名でフィルタリングできます。たとえば、 7 日間でフィルタリングすると、週次時間集計のターゲットのみが返されます。



6. 1 つ以上のターゲットを選択します。
7. 新しいターゲット値を絶対値として、または計算によって設定します。
   - ターゲットの絶対値を設定するには、[ターゲット計算] で [なし] を選択し、[値] フィールドで絶対値を選択します。
   - 現在のターゲットから変更を選択するには、以下を選択します。

フィールド	**Value** (値)
ターゲット計算	現在のターゲット (単位) または現在のターゲット (%)
方向	新しいターゲット値が現在のターゲットよりも大きくなる場合は [増加] を選択し、新しい値が現在のターゲットよりも小さくなる場合は [減少] を選択します。
変更 (単位) または変更 (%)	[方向] の設定に応じて、新しいターゲットを計算するために現在のターゲットに加算または減算される値。入力する値は、絶対値 (単位) またはパーセンテージです。 たとえば、値が 20 と 5 の 2 つのターゲットを選択したとします。また、ターゲット計算として[現在のターゲット(単位)]を選択し、方向として[減少]を選択しました。[変更 (単位)]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	に 2 を入力すると、新しいターゲット値は 18 と 3 になります。代わりに、ターゲット計算として現在のターゲット (%) を選択し、変更 (%) に 25 を入力すると、新しいターゲット値は 15 と 4 になります。
最小ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最小値。値を指定する必要はありません。
最大ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最大値。値を指定する必要はありません。

- 一定期間の平均スコアから変化を選択するには、以下を選択します。

フィールド	**Value** (値)
ターゲット計算	平均スコア (単位) または平均スコア (%)
最初のスコア	平均スコアを計算する期間の開始日
最後のスコア	平均スコアを計算する期間の終了日
方向	ターゲットを平均スコアより高くするには [増加] を選択し、ターゲットを平均スコアより低くするには [減少] を選択します。
変更 (単位) または変更 (%)	[方向] の設定に応じて、新しいターゲットを計算するために平均スコアに加算または減算される値。入力する値は、絶対値 (単位) またはパーセンテージです。
最小ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最小値。値を指定する必要はありません。
最大ターゲット値	計算に関係なく、ターゲットに設定する最大値。値を指定する必要はありません。

8. 開始日、ターゲットが有効になる日付、およびレビュー日を選択します。
   レビュー日までに目標を達成するか、少なくともその時点で進捗状況を確認することを期待しています。

でのしきい値の作成、変更、または削除 **KPI** 詳細

個人のしきい値を追加、変更、または削除します。必要なロールがあれば、すべてのユーザーのしきい値を追加、変更、および削除することもできます。

始める前に

必要なロール:自分だけのしきい値に対応する任意のロール。グローバルしきい値用および他のユーザーによって作成された個人用しきい値用のpa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、またはアドミン)。

このタスクについて

注:
複数のブレークダウン要素が選択されている場合、しきい値は使用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 作業するインジケーターのあるワークスペースに移動します。
2. [アナリティクスセンター] アイコン ( ) をクリックし、[KPI] タブに移動します。
3. しきい値アイコン ( ) をクリックします。
4. [グローバル] または [個人のしきい値] を選択します。
   このインジケーターには、既存のグローバルまたは個人のしきい値がすべて表示されます。
5. [しきい値を作成] アイコン ( ) をクリックするか、既存のターゲットを選択して編集します。
6. しきい値の可視化を [グローバル] または [個人] から選択します。
7. しきい値タイプを選択または変更します。
   - 最大値
   - 最小値
   - 次の値未満

     インジケーターの値がしきい値を下回った場合にメッセージをトリガーするしきい値を入力します。
   - より大きい

     インジケーターの値がしきい値を超えた場合にメッセージをトリガーするしきい値を入力します。
8. しきい値を作成する場合は [保存] をクリックし、しきい値を変更する場合は [更新] をクリックします。

での複数のブレークダウン要素のターゲットの追加 KPI 詳細

KPI 詳細ターゲット構成パネルで複数のブレークダウン要素を選択します。各要素にターゲットを追加します。このターゲットは、絶対値ではなくベースラインの改善にすることができます。

始める前に
必要なロール:pa_admin、pa_target_admin、pa_power_user、または admin

手順

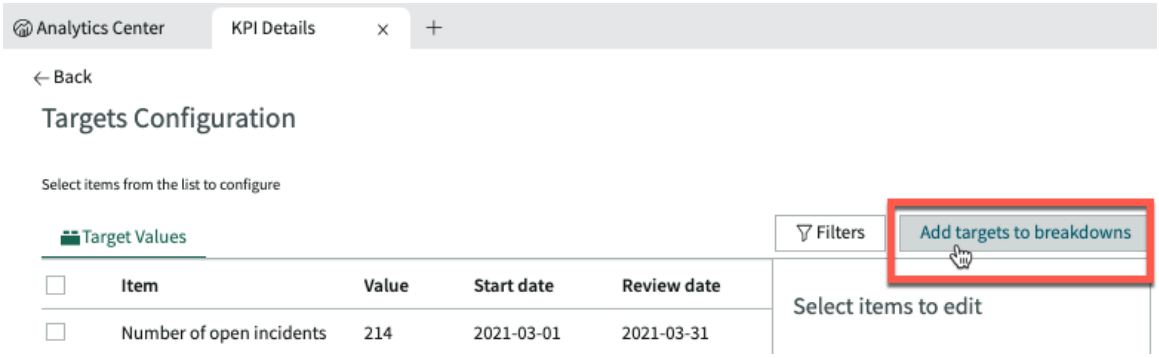
1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
2. ターゲットアイコン ( ) をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。
3. 歯車をクリックして [ターゲット設定] ページを開きます。



   [ターゲット構成] ビューが開きます。
4. [ブレークダウンにターゲットを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



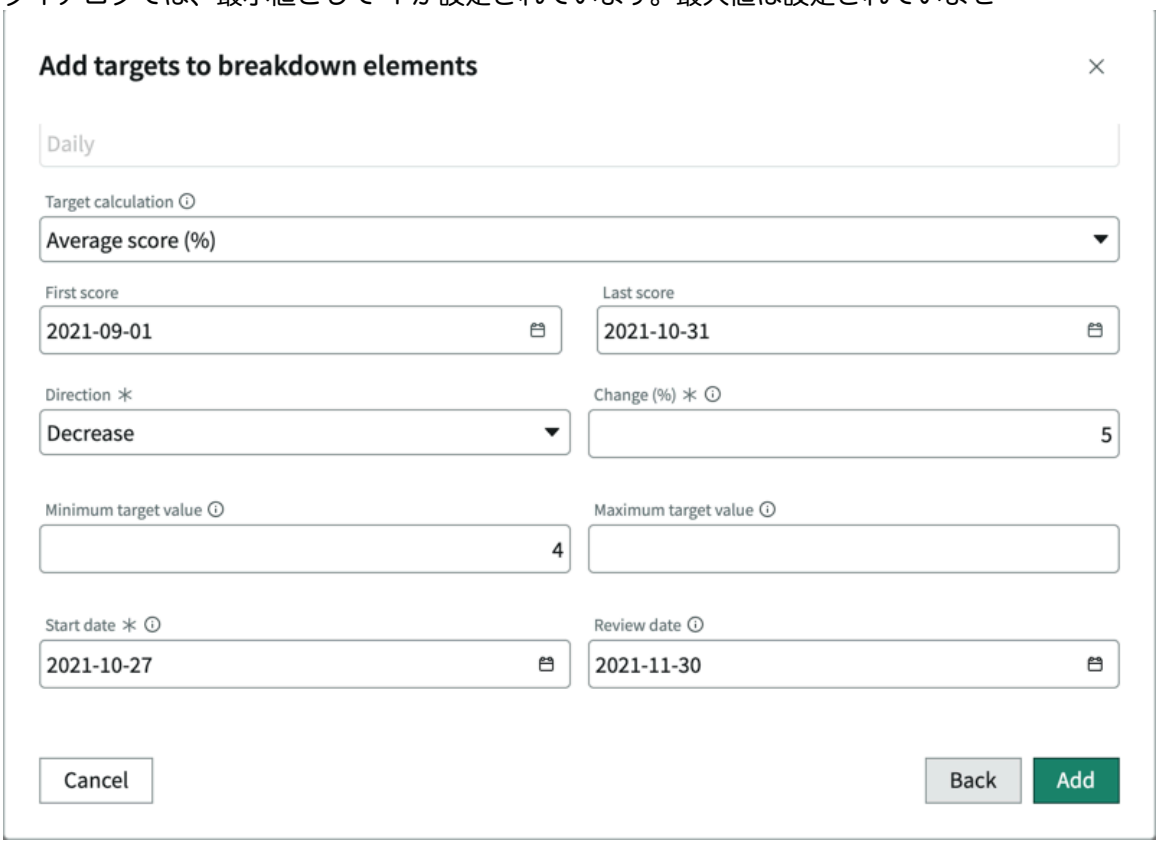
[ブレークダウン要素にターゲットを追加] ダイアログが開きます。

5. インジケーターのブレークダウンのリストからブレークダウンを 1 つ選択します。
6. ブレークダウンの要素をいくつでも選択し、[次へ] をクリックします。

> **ヒント:**
> スクロールする要素が多数ある場合は、いずれかの列の値をソートまたはフィルタリングします。[フィルター] をクリックし、条件ビルダーを使用して選択を絞り込むこともできます。

7. でのターゲットの編集 KPI 詳細 のステップ 7 の説明に従って、要素のターゲットを設定します。
8. 開始日、ターゲットが有効になるとき、およびレビュー日を設定します。
9. オプション: 平均または以前のスコアからターゲットを計算していて、新しいターゲットが特定の値を上回ったり下回ったりしないようにする場合は、最小値と最大値を設定します。

Example
このダイアログでは、最小値として 4 が設定されています。最大値は設定されていません。



10. [**Add**] を選択します。

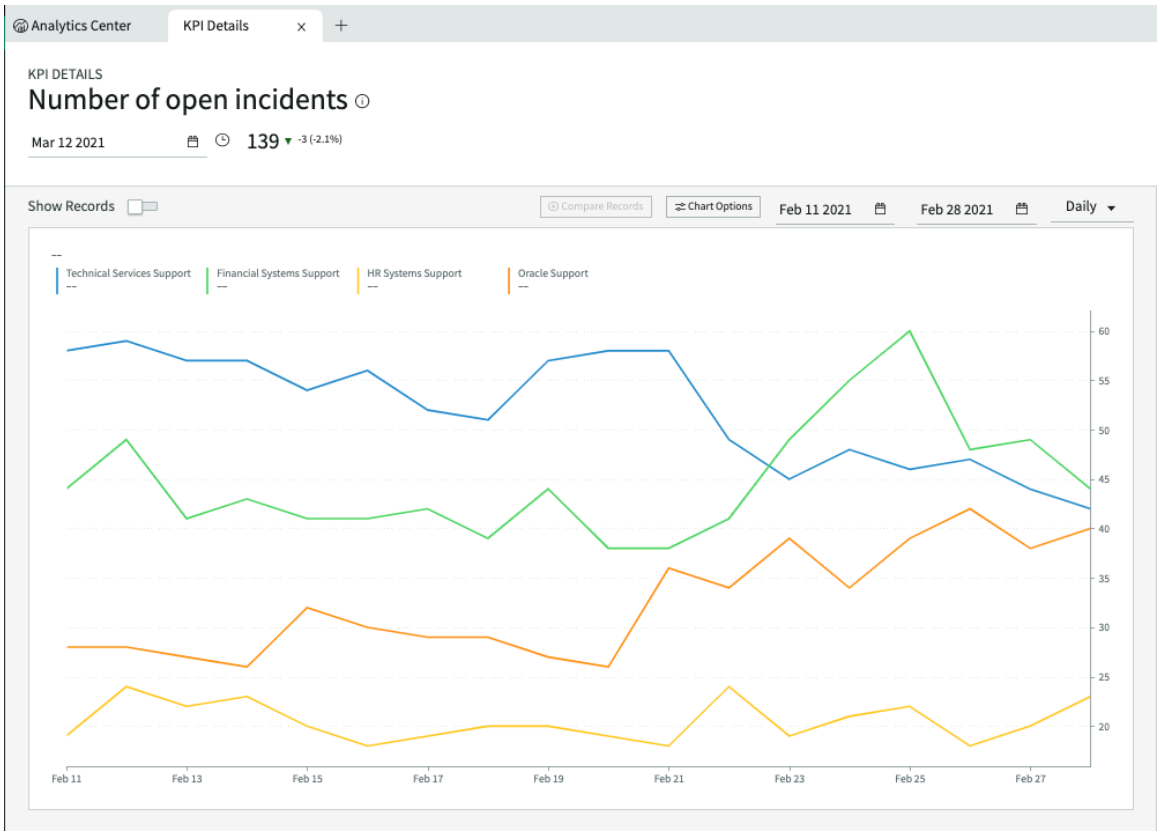
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

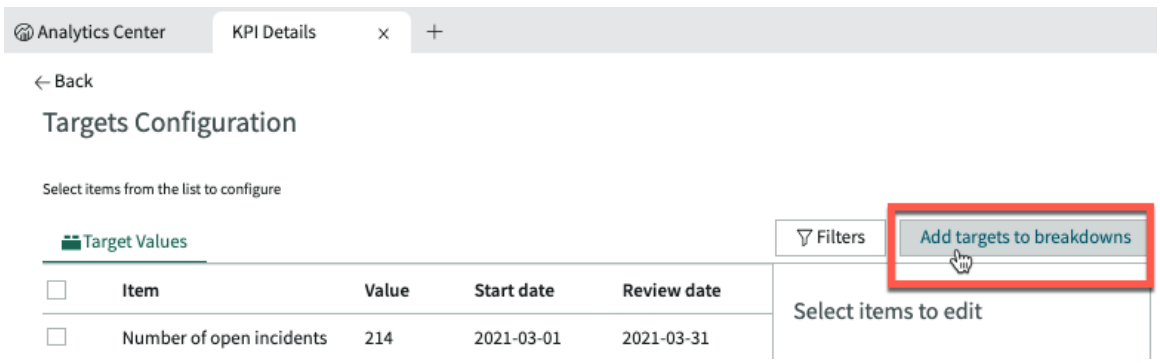
タスクの結果
バッチターゲットの作成は非同期に行われます。進捗状況バーが表示される場合があります。

Example: 複数要素のターゲットの構成

2 月 11 日から、会社は各アサイン先グループのオープンインシデントの追跡を開始しました。月末までに、上位 4 つのグループにアサインされたオープンインシデントの数は 18 から 60 に変化しました。傾向も大きく変動しました。

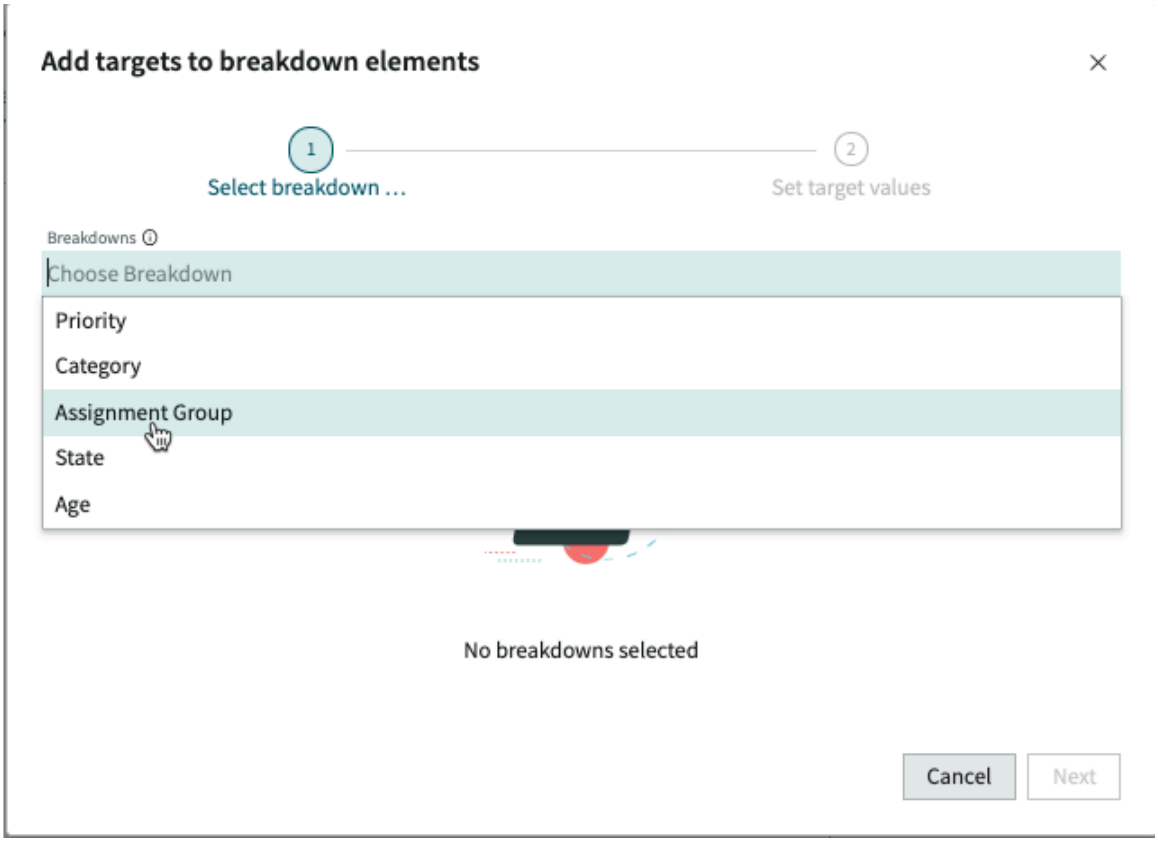


これらの 4 つのグループ全体で一貫した改善が必要です。したがって、絶対値の違いにかかわらず同等のターゲットを設定します。また、ターゲットをまとめて設定します。この目的を達成するには、「 ターゲット構成」ビュー を開き、「 ブレークダウンにターゲットを追加」をクリックします。

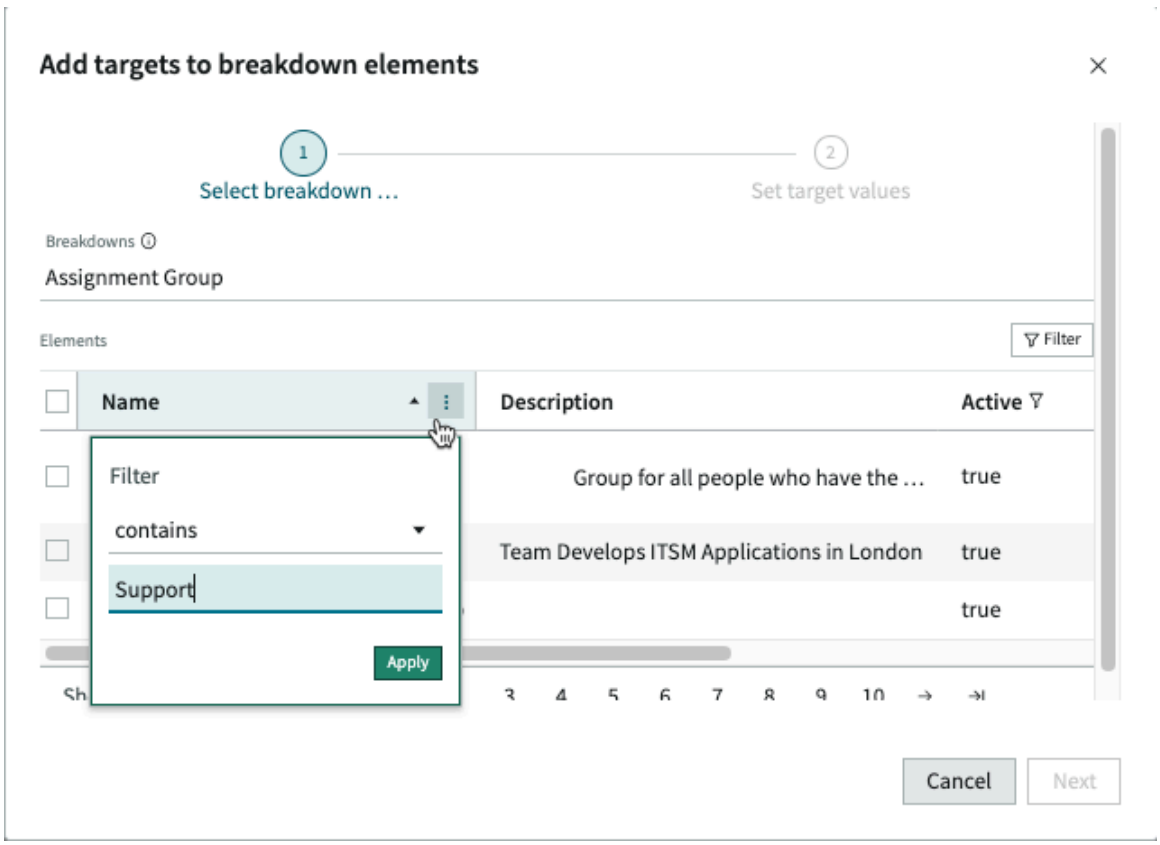


アサイン先グループブレークダウンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アサイン先グループブレークダウンの要素のリストを取得します。要素が多いです。探している 4 つの要素はすべて名前に「サポート」が含まれているため、「サポート 」の [名前] 列をフィルタリングします。



自動翻訳

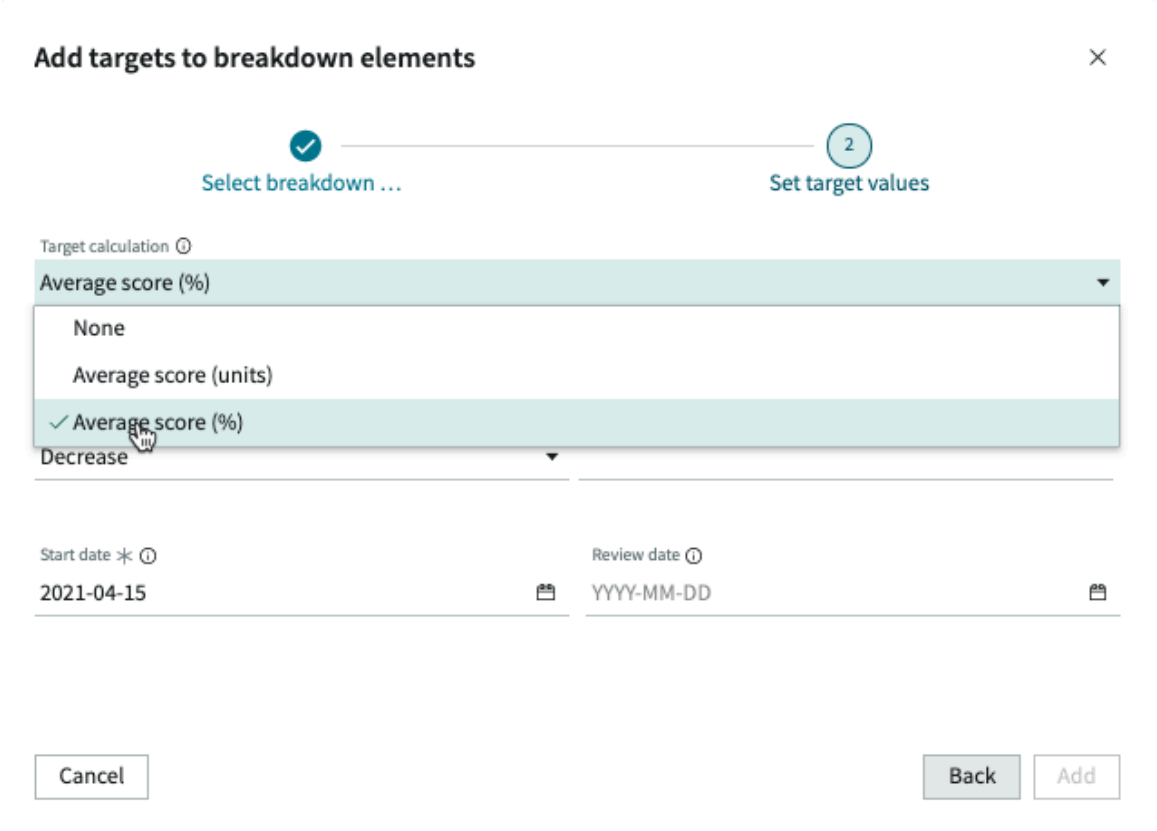
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターにより、参照する要素の数が 9 つに減り、その中から必要な 4 つを簡単に選択して [次へ] をクリックします。

ターゲット値を指定することも、計算に基づくこともできます。HR システムサポートと他の 3 つの要素の差が大きすぎるため、4 つの要素すべてに同じターゲット値を指定することはできません。したがって、各要素に適用される計算に基づいてターゲットを設定します。

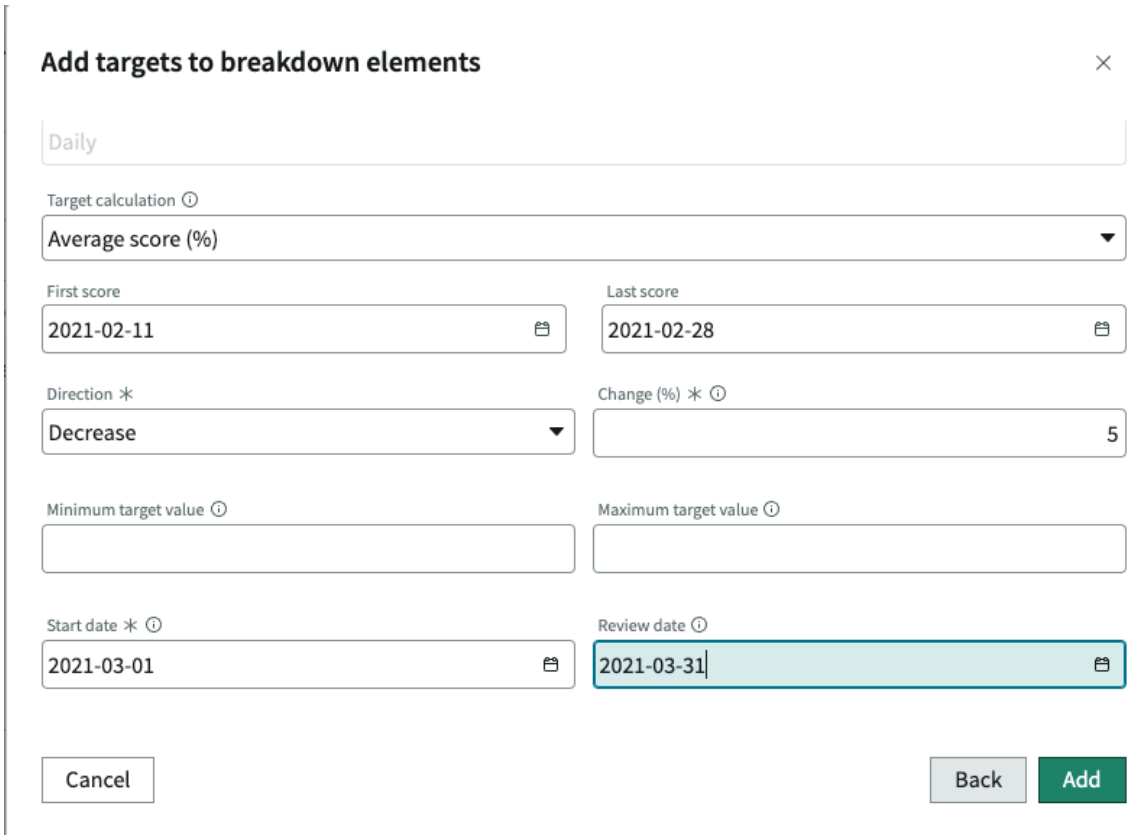
計算は、既存のターゲットに対して行うことも、一定期間の平均スコアに対して行うこともできます。これらの要素には既存のターゲットがないため、平均スコアを選択する必要があります。

ターゲットは、平均スコアに対する単位数の改善 (3 や 4.5 など)、または改善の割合として設定できます。スコアは十分に近いので、おそらくユニット番号を使用できます。ただし、平均スコアの改善をパーセンテージでターゲットとして設定することにします。

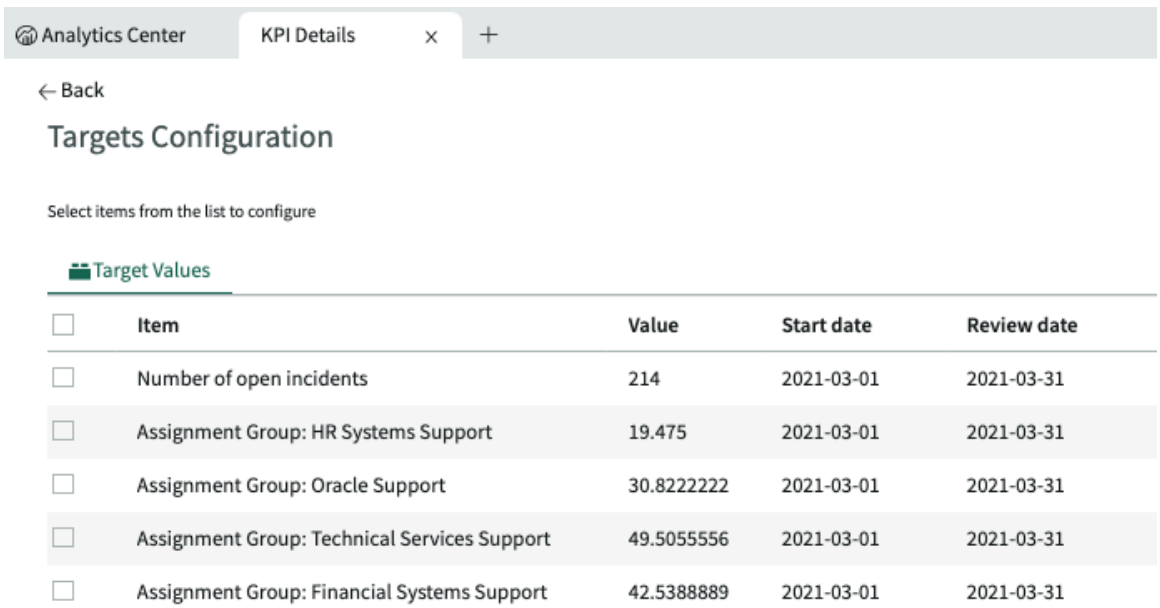


2 月 11 日から 2 月 28 日までの平均スコアを取ります。5% が翌月の改善目標として適切であると考えられるため、3 月 1 日から開始し、3 月 31 日に見直すように目標を設定します。ターゲット値を範囲内に制約する必要がないため、最大値または最小値は設定しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[追加] をクリックして成功メッセージを閉じると、作成した 4 つのターゲットが表示されます。



作成したターゲットとその値を含むテーブルを次に示します。すべての目標は3月1日に発効し、3月31日に見直される予定です。

ターゲット	値 (整数に丸められました)
アサイン先グループ:HR システムサポート	20
アサイン先グループ: Oracle サポート	31

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット	値 (整数に丸められました)
アサイン先グループ:テクニカルサービスサポート	50
アサイン先グループ:財務システムサポート	43

グローバルインジケーターターゲットの責任

ユーザーは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス インジケーター/ブレークダウンの組み合わせ (KPI) のターゲットを担当できます。責任ユーザーは、ターゲットに向けた進捗状況を追跡することが期待されており、KPI のターゲットを変更できます。

責任は、アクセス制御リスト (ACL) ベースのロールとは別です。pa_target_admin などのターゲットアドミンロールを使用すると、ユーザーはインジケーター/ブレークダウン要素の一意の組み合わせ (ここでは KPI と呼びます) でグローバルターゲットを作成および編集できます。このような役割は通常、少数の パフォーマンスアナリティクス 専門家に限定されています。ただし、マネージャーなどのビジネスエリアの専門家は、特定のKPIに設定する適切なターゲットについてより詳しく知っている可能性があります。逆に、 パフォーマンスアナリティクス の専門家が組織内のすべてのKPIに対して適切な目標を維持できる可能性は低いです。

ここで責任の概念が登場します。任意のロールを持つユーザーが、誰もが表示できる KPI のグローバルターゲットの管理を担当できます。 新しいターゲットを作成したり、担当する KPI のターゲットを編集したりできます。責任ユーザーは、 KPI 詳細 またはクラシック アナリティクスハブのいずれかでターゲットを作成または編集できます。ただし、この権限があるのは、明示的に責任を負った KPI に対してのみです。また、ACL によってユーザーによる KPI の表示が禁止されている場合、そのユーザーはその KPI に対して責任を負うことはできません。

グループではなくユーザーのみが責任を持つことができます。責任者ユーザーは、自分の KPI の責任を他のユーザーにアサインしたり、他のユーザーや自分自身から責任を剥奪したりできます。1 人のユーザーが複数の KPI のターゲットを担当でき、1 つの KPI で複数のユーザーがそのターゲットを担当できます。

注:
ターゲットに対する責任は、シグナルに対する責任など、KPI に対するその他の責任とは無関係です。

ターゲットアドミンロールを持つユーザーは、KPI の初期グローバルターゲットを作成する必要があります。そのターゲットを作成した後、ユーザーが KPI を表示できる場合、任意のロールを持つ任意のユーザーに責任をアサインできます。責任ユーザーは、その後その KPI のターゲットを維持します。想定されるワークフローは次のとおりです。

1. ターゲットアドミンは、KPI に最初のグローバルターゲットを作成します。このターゲットは、意味のある値にすることも、責任ユーザーが変更することが想定されるプレースホルダーにすることもできます。
2. ターゲットアドミニストレーターは、KPI のターゲットに対して自分自身または別のユーザーに責任を負わせます。
3. 責任ユーザーは、任意の時点で他のユーザーに責任を負わせるか、ユーザーから責任を取り除きます。
4. 担当ユーザーは、担当するターゲットを置き換えたり編集したりします。

注:
責任は、 KPI 詳細 でのみターゲットに割り当てることができます。KPI ターゲットコンポーネントから責任をアサインすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットに責任をアサイン

アドミニストレーターがターゲットを作成したら、ターゲットのレビューと編集の責任をビジネスエリアの対象分野の専門家 (SME) にアサインします。

始める前に
必要なロール:pa_admin、pa_target_admin、pa_power_user、または admin

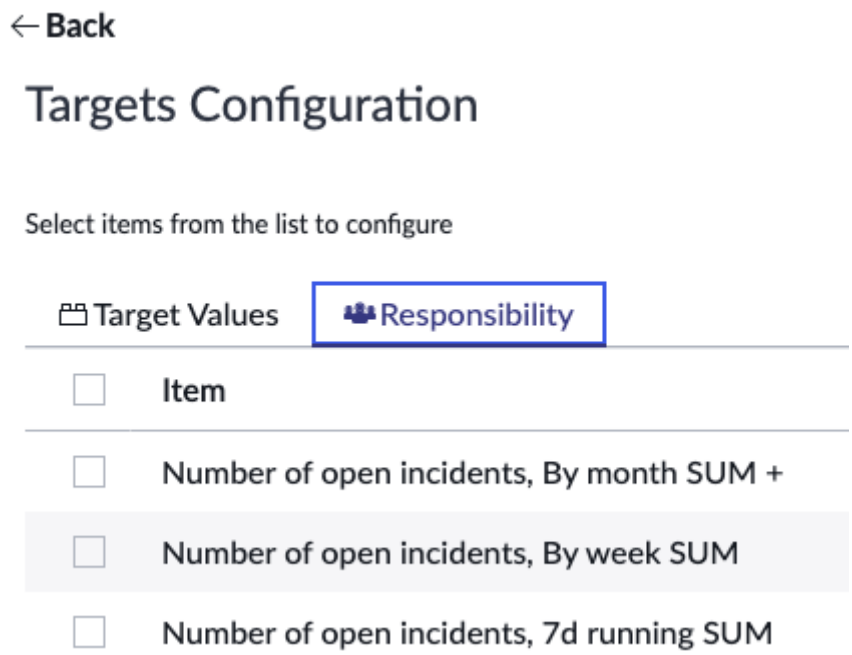
手順

1. ワークスペースでKPI 詳細を開きます。
2. いずれも：
   - でのターゲットの作成 KPI 詳細の説明に従ってターゲットを作成します。
   - でのターゲットの編集 KPI 詳細の説明に従って、既存のターゲットを開きます。
3. 歯車をクリックして [ターゲット設定] ページを開きます。



[ターゲット構成] ビューが開きます。

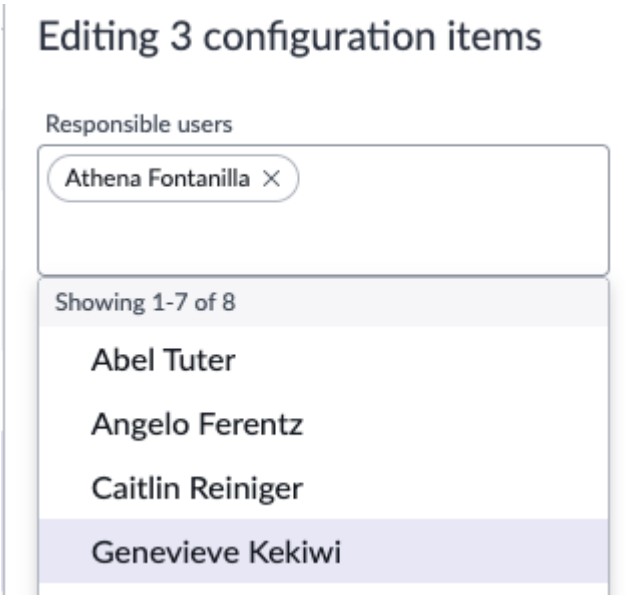
4. [責任] タブを開きます。



5. インジケーター/ブレークダウン要素 (KPI) の一意の組み合わせを 1 つ以上選択します。
6. [構成アイテムの編集] パネルで、担当する 1 人以上のユーザーを選択します。
   一度に選択できるユーザーは 1 人だけですが、選択プロセスは必要なだけ何度でも繰り返すことができます。選択したすべての KPI を表示できるユーザーのみを利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [Update (更新)] をクリックします。

タスクの結果
選択したユーザーが、選択した KPI の [責任ユーザー] 列に表示されます。

KPI 詳細の参照

KPI 詳細に関連付けられたシステムプロパティを表示します。UUID がどのように形成されるかも参照してください。

KPI 詳細 パフォーマンスアナリティクス プロパティ

KPI 詳細 はいくつかの パフォーマンスアナリティクス プロパティをサポートしています。これらのシステムプロパティは、KPI 詳細コンテキストでのパフォーマンスアナリティクス要素の動作を制御します。

プロパティを設定するには、次に移動します: パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ または **sys_properties.list**。

プロパティ	説明
com.snc.pa.indicator_target_default_color_schema	デフォルト インジケーターのターゲット カラー スキーム
com.snc.pa.chart_default_color_schema	デフォルトのチャート化のカラー スキーム
com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_elements	KPI 詳細リスト内のブレークダウン要素の最大数。
com.snc.pa.target_batch_operation_limit	[ターゲット構成を KPI 詳細] ページで 1 回の一括アクションで挿入または更新できるターゲットの最大数。ターゲットの一括挿入または更新中にタイムアウトが発生する場合は、この制限を減らすことを検討してください。 デフォルト：100
com.snc.pa.default_chart_line_color	傾向ラインとブレットグラフを含む、 KPI 詳細ページとウィジェットのスコアの色。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
com.snc.pa.defaut_chart_target_color	チャート内のターゲットの色。
com.snc.pa.default_chart_personal_target_color	KPI 詳細ページに表示される個人ターゲットの線の色。
com.snc.pa.default_chart_threshold_color	グラフの しきい値 の色。
com.snc.pa.default_chart_personal_threshold_color	KPI 詳細ページに表示される個人のしきい値の線の色。

KPI 詳細 UUID

インジケーターに指定するブレークダウン、要素、時系列集計、およびドメインのすべての組み合わせには、一意の識別子 (UUID) があります。KPI 詳細 アプリケーションと KPI シグナル アプリケーションがどのように機能するかを理解するには、これらの UUID がどのように構築されるかを理解する必要があります。

アナリティクスハブ およびワークスペース KPI 詳細でインジケーターを選択し、次のようにしてさらに指定できます。

- 最大 2 レベルのブレークダウン
- 要素フィルタ
- レベルごとに複数の要素を含む、最大 2 レベルのブレークダウン要素 (アグリゲートスコア)
- 時系列アグリゲーション
- ドメインセパレーション

各組み合わせは、いわゆるUUIDで表されます。UUID は、インジケーターとこれらの指定子のいずれかのsys_IDsから、次の順序で連結されます (ドメイン ID の前のセミコロンに注意してください)。

<indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id>

indicator_sys_id 以外のすべての指定子は省略可能ですが、1 つの例外があります: *breakdown_sys_id*が指定されている場合は、少なくとも 1 つの*element_sys_id*が必要です。ブレークダウンを指定して要素を指定しない場合 (たとえば、すべての要素のリストを取得する場合)、ブレークダウンsys_idを別のパラメーターに入れることができます。例については、この GET/now/pa/scorecards REST API の例を参照してください。指定されたブレークダウンのどの要素とも一致しないスコアを参照するには、文字列 `unmatched` を *element_sys_id*の代わりに使用します。

ターゲット、しきい値、およびその他の アナリティクスハブ 機能と KPI 詳細機能は、UUID ごとに適用されます。つまり、インジケーター、ブレークダウン、要素と要素フィルター、時系列集計、およびドメインの一意の組み合わせに個別に適用されます。また、 KPI シグナル アプリケーションは、完全に指定された各インジケーターを UUID ごとに個別に監視します。

KPI シグナル

KPI シグナル プロセスの動作が大幅に変更されたときに通知します。この機能は、標準的な統計プロセス動作チャートを パフォーマンスアナリティクス インジケーターに適用します。

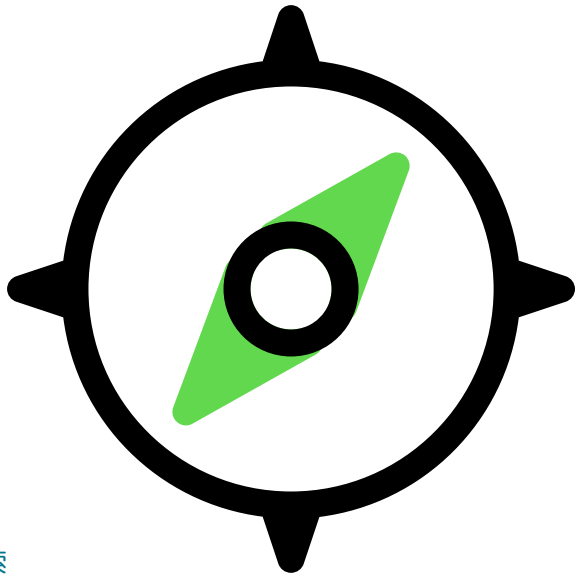
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

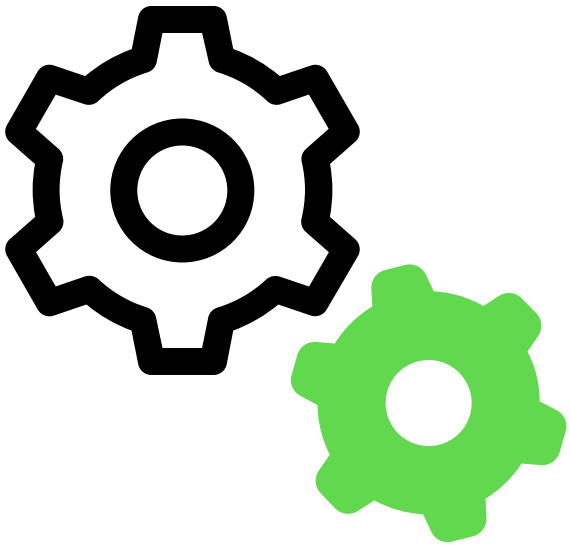
探

索



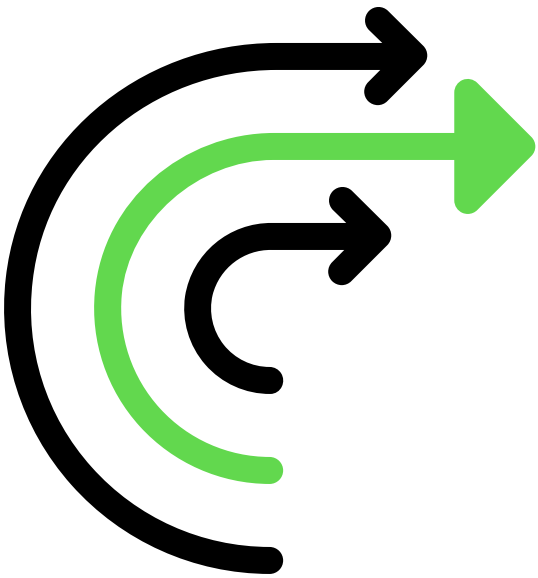
信号、アンチシグナル、および信号がない場合の説明。

構成



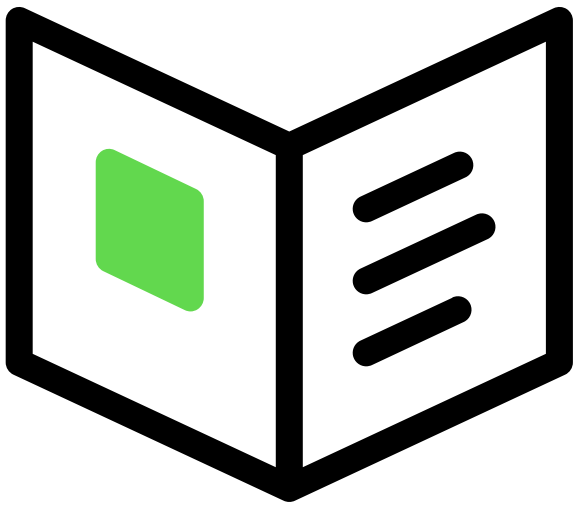
インジケーターの KPI シグナル を有効にし、シグナルの検出と通知を構成します。責任ユーザーを追加します。

使用



問題を修正し、シグナルを却下するかベースラインをリセットすることで、 KPI シグナル 通知に応答します

ロール参照



関連するロール KPI シグナル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- インジケーターについて質問したり、他のリソースを調べたりします。 KPI シグナル、および プラットフォームアナリティクス 一般的には ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

KPI シグナルの詳細

KPI シグナル プロセスの動作が大幅に変更されたときに通知します。この機能は、標準的な統計プロセス動作チャートを パフォーマンスアナリティクス インジケーターに適用します。

KPI シグナルの概要

ヒント:
KPI シグナル 向けの無料トレーニングは、NOW ラーニングセンター から利用できます。

すべてのプロセスにバリエーションがあります。このバリエーションのほとんどは、名前に署名するたびに小さな違いがあるなど、通常の、または「一般的な原因」のバリエーションです。知っておく必要があるのは、オフハンドで署名する場合など、異常または「特殊原因」のバリエーションです。KPI シグナル は、異常な変動が発生したときに通知します。 KPI シグナル にはプロセス動作チャートが組み込まれています。これらのチャートは、標準的な統計的手法を使用して、一般的な原因変動のノイズから特殊原因変動のシグナルを抽出します。

KPI シグナル は標準の3シグマパラメータを使用します。「スリーシグマ」とは、工程の指標スコアが、ほとんどの場合、標準から3標準偏差以内にとどまると予想されることを意味します。グラフには、パラメーターを計算するために少なくとも 5 つの連続したスコアが必要です。

KPI シグナル ユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
プロセスオーナー	次の状況でインジケーターのシグナルモニタリングを要求します。 インジケーターが十分に重要であるため、プロセスオーナーは傾向が著しく悪化するかどうかを知り、このプラットフォーム外の通知を受け取りたいと考えています。ただし、プロセスオーナーは傾向を継続的に追跡することを望んでいません。代わりに、より詳しく調べる必要があるときにシステムに通知してもらいたいと考えています。または、プロセスオーナーは、プロセスの早い段階で、人間の目にはっきりするほどひどい状態になる前にトレンドを把握したいと考えています。
KPI シグナル アドミニストレーター	プロセスオーナーの要求に応じてインジケーターの KPI シグナルを設定します。また、通常はプロセスオーナーの要求に応じて、インジケーターの責任ユーザーをアサインします。
責任ユーザー	シグナル通知を受信し、それに基づいてアクションを実行します。通常、プロセスオーナーは主要な責任者ユーザーですが、この責任を他のユーザーに委任することもできます。

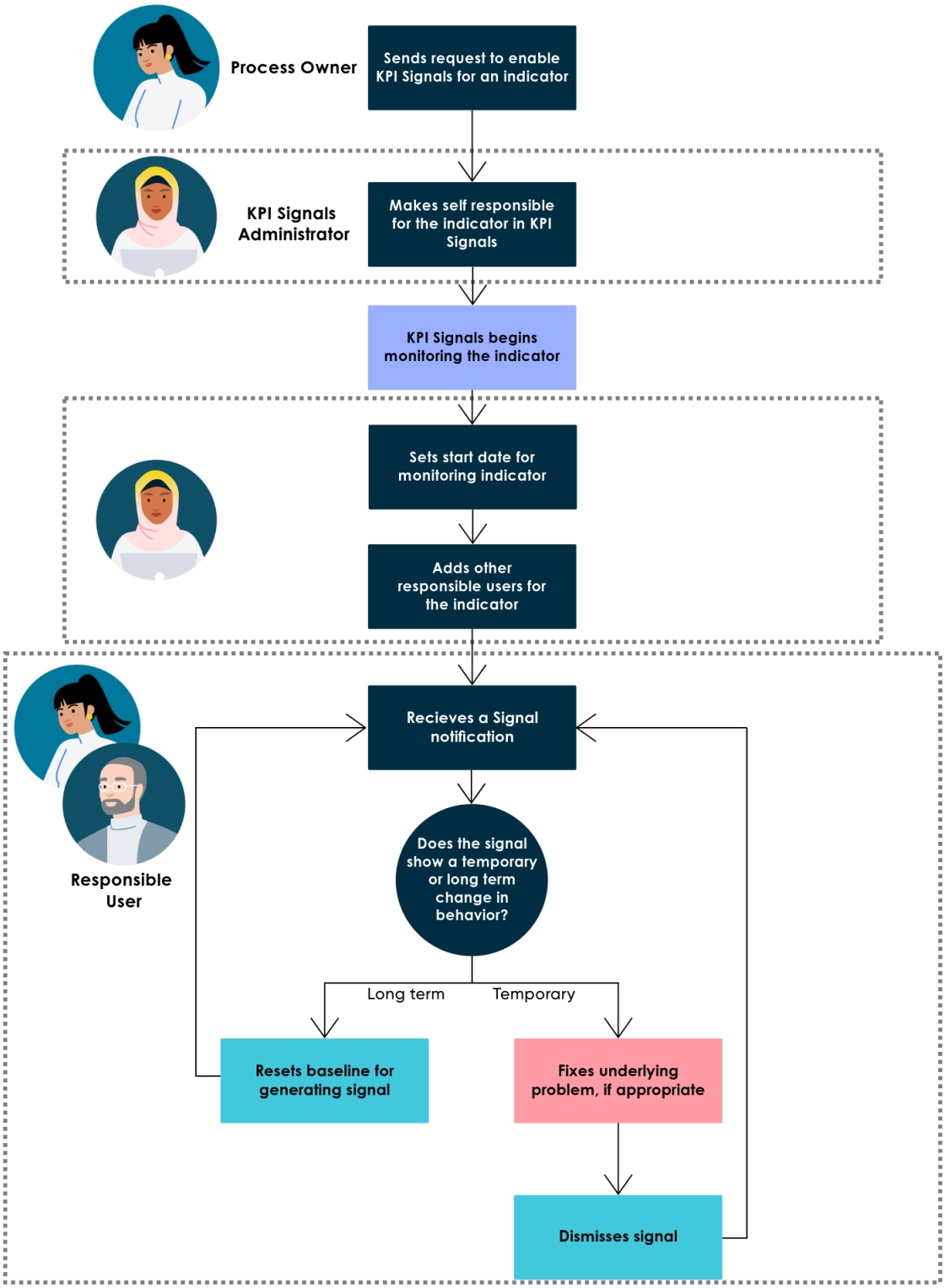
KPI シグナル のワークフロー

次の図は、パフォーマンスアナリティクスインジケーターのKPI シグナルを設定するためのワークフローと、シグナル通知に応答するためのワークフローを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のセットアップと使用 **KPI** シグナル



自動翻訳

1. プロセスオーナーは、インジケーターの KPI シグナル を有効にするようにアドミニストレーターに要求します。
2. アドミニスタは自分自身をインジケーターの責任ユーザーにします。これにより、インジケーターの KPI シグナル 監視が有効になります。
3. アドミニストレーターは、監視インジケーターの開始日を設定します。
4. アドミニストレーターは、他の担当ユーザーを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 責任ユーザーは、インジケーターを調べる必要があるという通知を KPI シグナルから受け取ります。
6. 責任ユーザーは、修正可能な問題が原因でシグナルが一時的な変化を示しているのか、それともシグナルがプロセス動作の長期的な変化を示しているのかを判断します。
7. 変更が一時的なものである場合、担当ユーザーは、必要に応じて根本的な問題に対処し、シグナルを無視します。
8. 変更が長期にわたる場合、担当ユーザーはシグナルを適切に生成するためのベースラインをリセットします。

その他の探索トピック

シグナル、シグナルなし、アンチシグナル

KPI シグナル KPI のスコアの異常な変動を検出すると、シグナルが生成されます。KPI シグナルが異常な変動を長時間検出しない場合、「アンチシグナル」を生成します。アンチシグナルは、ワークフローが制御下にあることを知らせます。

信号の有無の両方が情報を伝えます。

- シグナルの存在により、ワークフローが変更されたか、少なくとも統計的に安定していないことがわかります。
- シグナルが長期間存在しないことは、ワークフローが統計的に安定していることを示しています。この情報を使用して、たとえば、プロセス改善イニシアチブの開始を決定できます。

注:
デフォルトでは、 KPI シグナル が有効になっているインジケーターを表示するダッシュボードには、生成されるシグナルのインサイトカードがあります。詳細については、「ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト」を参照してください。

シグナル

KPI シグナルアプリケーションは、特殊原因の変動を「シグナル」するために次の動作を考慮します。

外れ値
: 3 標準偏差 (3 シグマ) の上限または下限を超えるすべてのスコア。

短時間実行
: 中心線の同じ側にある 4 つの連続したスコアで、そのうちの 3 つのスコアが上限または下限に近い。「限界に近い」とは、2 つの標準偏差の外側として定義されます。

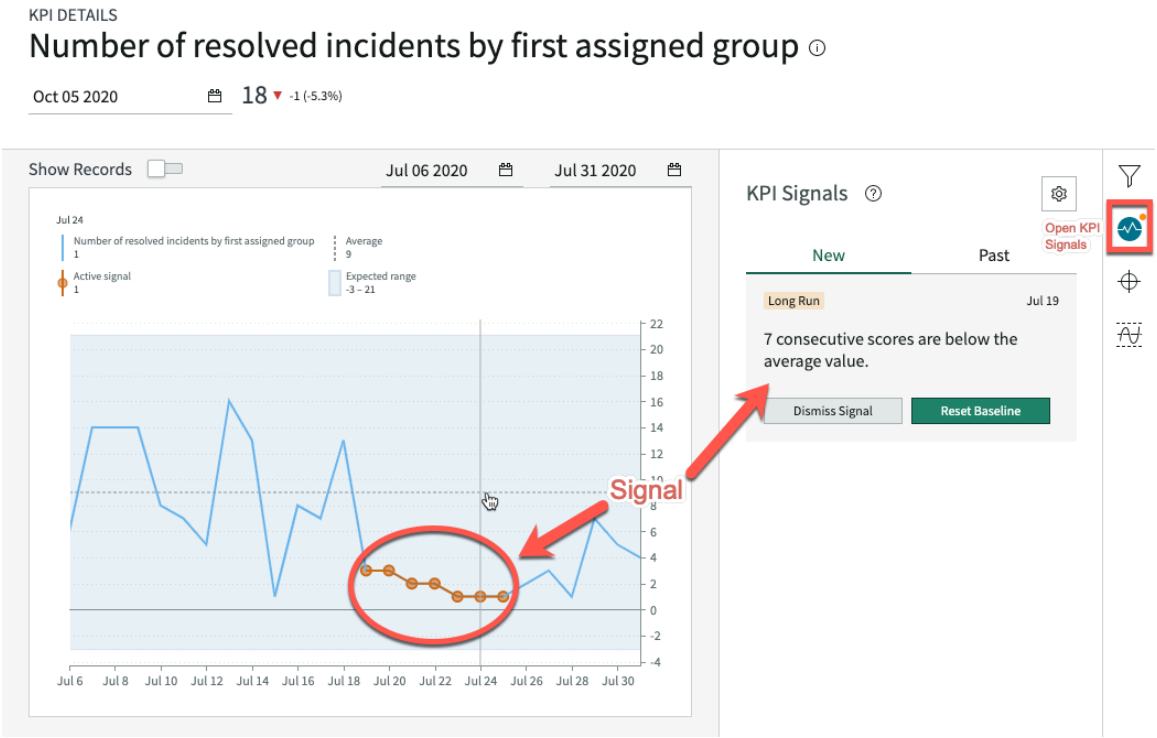
長時間実行
: 中心線の同じ側での7つの連続スコア。つまり、連続して 7 つのスコアがすべて平均値より大きいか、すべて平均値より小さいということです。

注:
KPI シグナルアプリは、短期実行と長期実行のどちらが発生したかを計算するときに、外れ値 (却下されたかどうか) をカウントします。

次の例では、中心線の上または下に 7 つの連続スコアを示す「ロングラン」信号が表示されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
KPI シグナルアプリケーションは、第 1 レベルのブレークダウン要素が 1 つ以下のインジケーターのシグナルを検出できます。アプリケーションは、複数のブレークダウン要素または第 2 レベルのブレークダウンをサポートしていません。

アンチシグナル

アプリケーションは、次の式に等しい時間信号を検出しなかった場合、アンチシグナルを発行します。

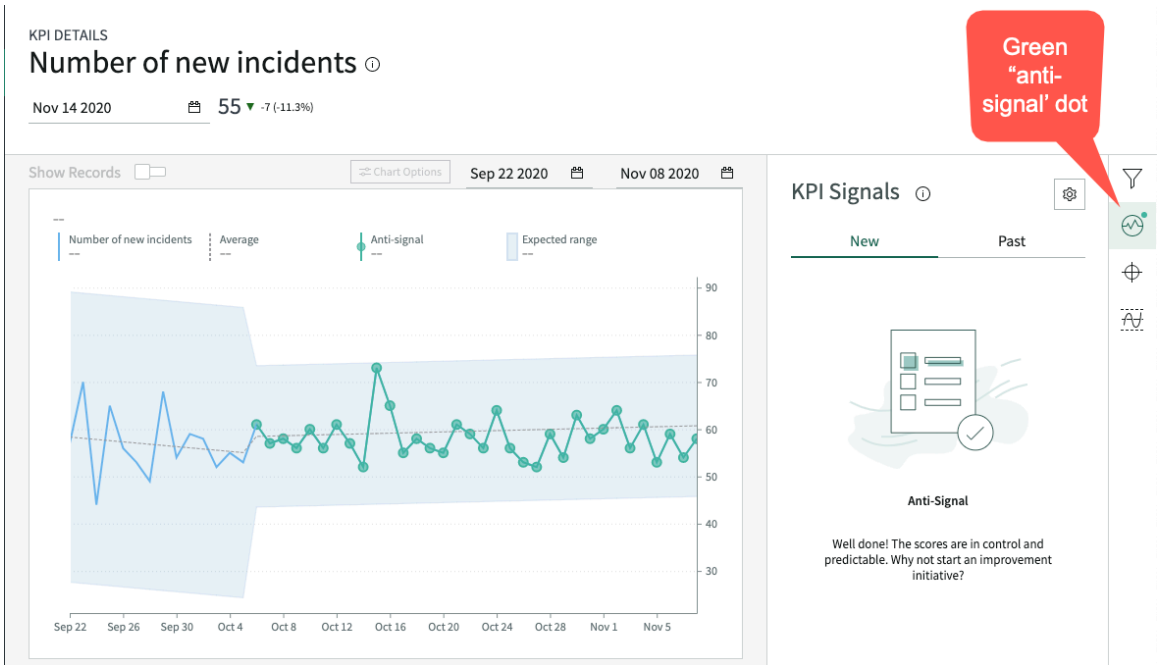
```
Length of time to calculate the baseline for the KPI * Anti-signal factor
```

日次インジケーターのベースラインを計算するには、デフォルトで 14 日かかります。デフォルトのアンチシグナル係数は 2 です。したがって、日次インジケーターでアンチシグナルを検出するデフォルトの期間は28日です。ベースラインを計算する時間の設定の詳細については、「シグナル検出の構成」を参照してください。アンチシグナルファクターの設定の詳細については、 シグナル通知の構成を参照してください。

この例では、デフォルトの構成値が日次インジケーターに適用されます。アプリケーションは 28 日間信号を検出していないため、28 日間のアンチシグナルを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

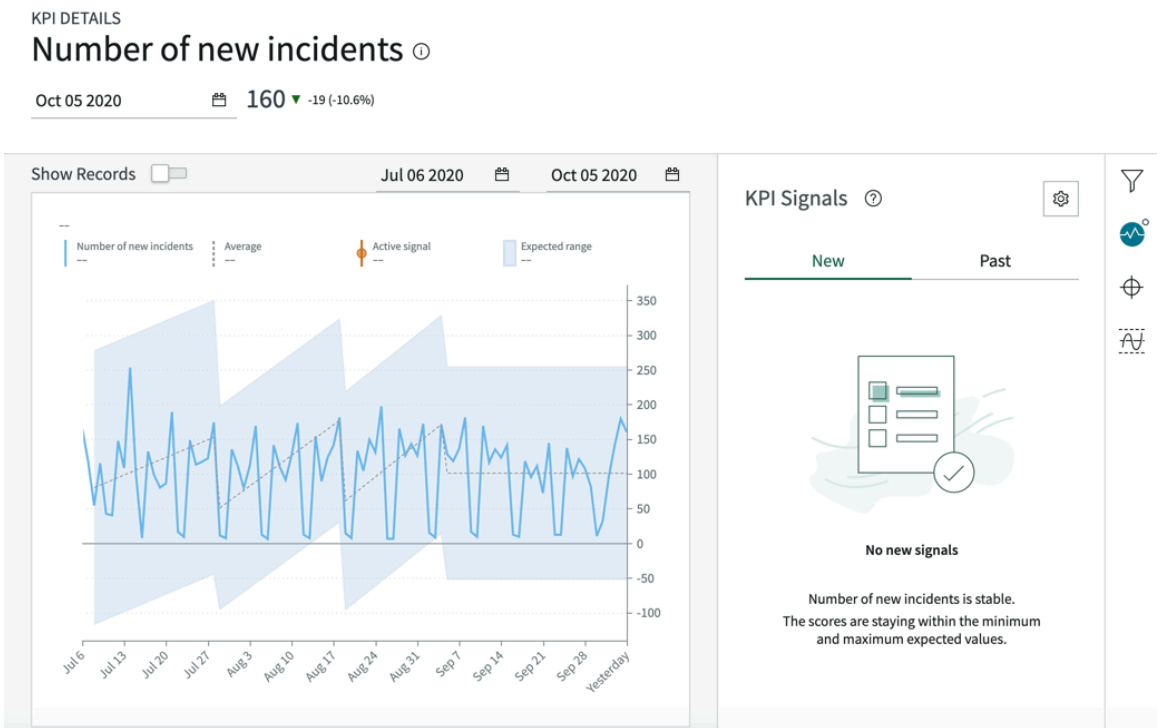


アンチシグナルが生成されると、担当ユーザーに通知されますが、アクションは必要ありません。

シグナルなし

通常、アンチシグナルの検出にかかる時間よりも短い時間、信号が検出されません。この場合、アプリケーションは単純な「シグナルなし」メッセージを表示します。通知は送信されず、アクションは必要ありません。

次の例では、ベースラインが最後にリセットされてから 5 日間は信号が検出されません。ベースラインは、表示されている期間に 3 回リセットされました。



KPI シグナルを表示

KPI 詳細ページからKPI シグナルにアクセスします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:ワークスペースへのアクセスに必要なロール。インジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) も優先されます。

手順

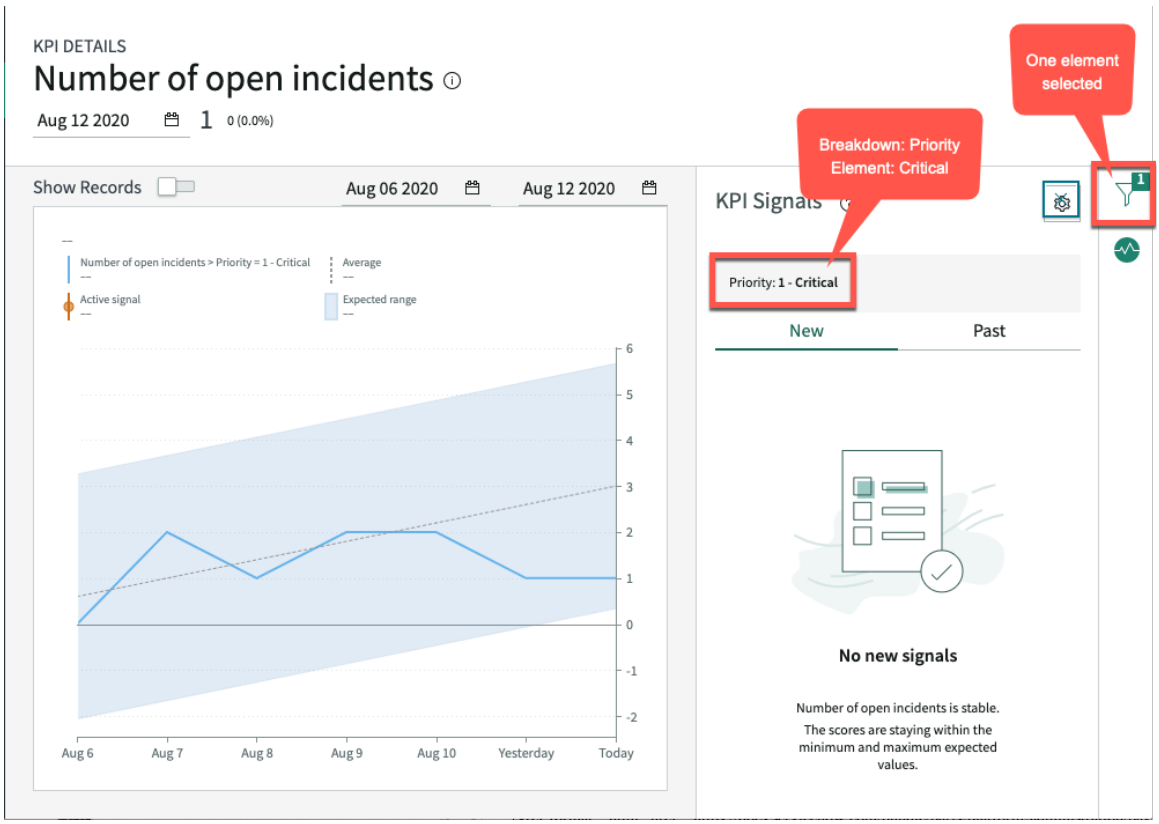
1. 「KPI 詳細を表示」で説明されているように、インジケーターのKPI 詳細を開きます。
2. オプション: フィルター ( ) パネルを開き、1 つのブレークダウンと 1 つの要素を選択します。
   KPI シグナル は、第 1 レベルの各ブレークダウンとインジケーターに適用された要素を監視できます。第 2 レベルのブレークダウンは監視できません。

   注:
   KPI シグナルコンテキストでは、*KPI* という用語は、オプションで第 1 レベルのブレークダウンと要素を含むインジケーターを指します。

3. [KPI シグナル を開く] アイコンを選択します。
   KPI シグナルパネルが開きます。
4. この KPI に対して KPI シグナル モニタリングがアクティブでない場合は、「 インジケーター (KPI) の KPI シグナル 監視のアクティブ化」の指示に従うことができます。
   KPI の KPI シグナル モニタリングをアクティブ化できるロールがない場合は、代わりにアドミニストレーターにお問い合わせください。

Example: ブレークダウン要素を含む KPI シグナル

次の例では、オープンインシデントの数インジケーターの KPI シグナル パネルが表示されています。このインジケーターは、「優先度:1 - 重大」ブレークダウン要素でフィルタリングされます。シグナルが検出されませんでした。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターの KPI シグナルの構成

インジケーターの KPI シグナル を有効にし、シグナルの検出と通知を設定します。インジケーターの KPI シグナル 通知の受信と処理の責任者をアサインします。

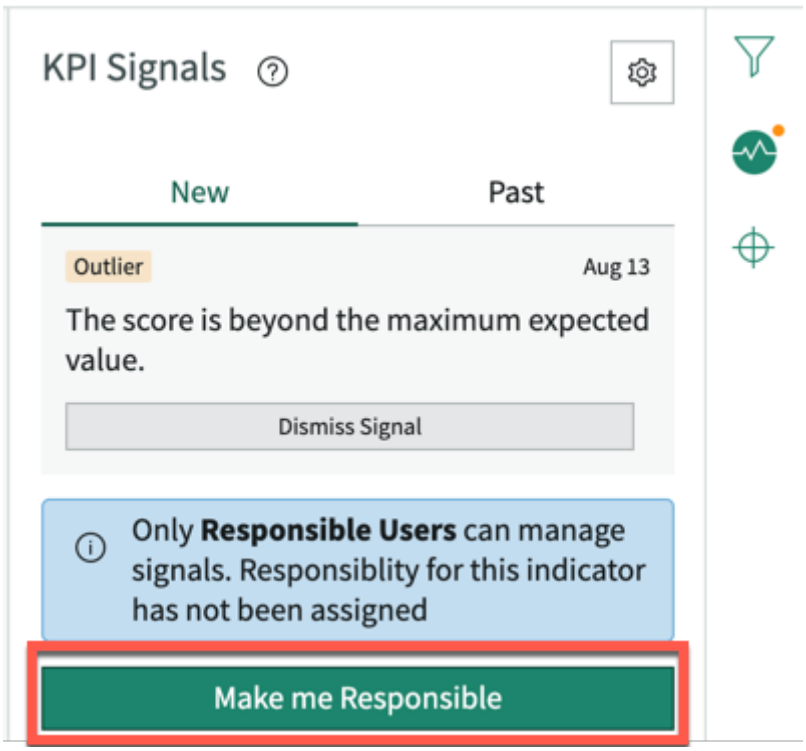
インジケーター (KPI) の KPI シグナル 監視のアクティブ化

KPI シグナル はデフォルトでインジケーターを監視しません。個々のインジケーターの監視をアクティブ化します。インジケーターの KPI シグナル を有効にすると、自分自身がそのインジケーターの責任ユーザーになります。

始める前に
必要なロール:pa_kpi_signal_admin、pa_admin、または admin

手順

1. KPI シグナルを表示で説明されているように、インジケーターのオープンなKPI シグナル。
2. インジケーターKPI シグナル監視がアクティブになっていない場合は、KPI シグナルパネルで[責任を負わせる]をクリックします。

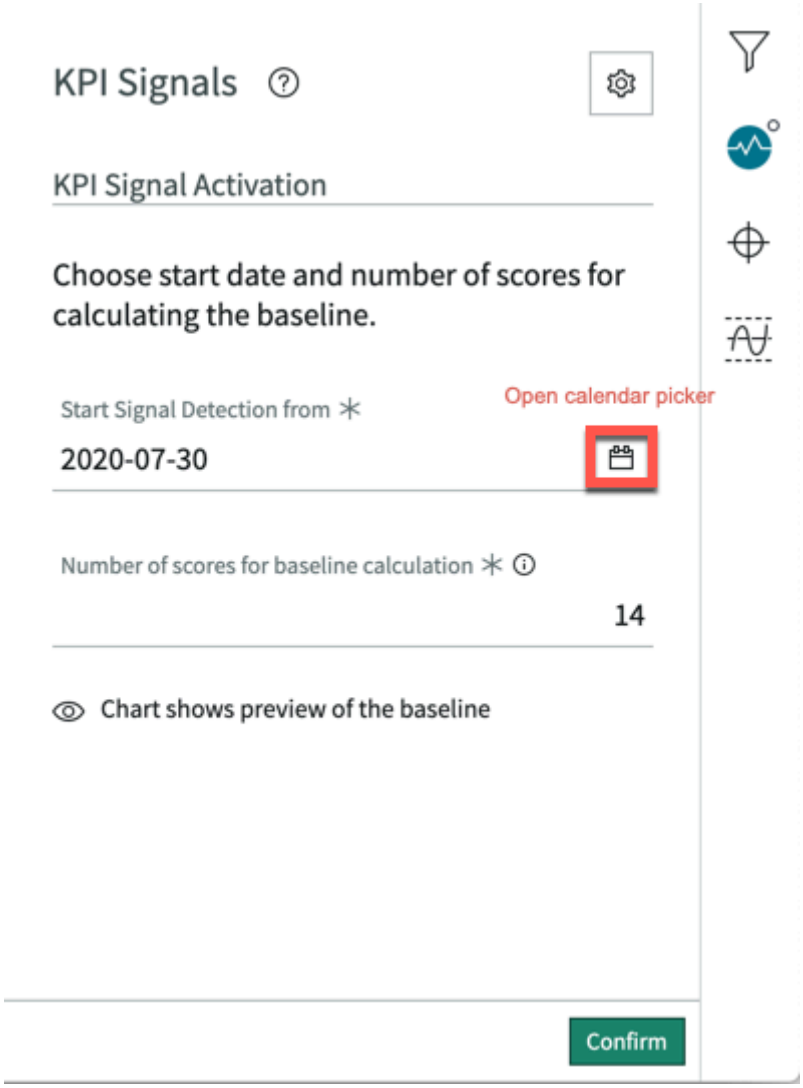


KPI シグナル 責任ユーザーが少なくとも 1 人いない限り、インジケーターのモニタリングをアクティブにすることはできません。したがって、モニタリングを有効にすると、自動的に自分自身が責任あるユーザーになります。その後、責任を再アサインできます。詳細については、「KPI シグナルの責任の構成」を参照してください。

3. シグナルのインジケーターを評価する開始日を選択します。
デフォルトでは、シグナルはインジケーターの KPI シグナル を有効にする 3 か月前から計算されます。ベースラインを計算するための意味のあるデータがこの日付より前または後に始まる場合は、日付を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. ベースラインの計算に使用するインジケーター スコアの数を設定します。
ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。
5. [確認] をクリックします。

次のタスク

インジケーターの KPI シグナル 監視を有効にすると、次のことができます。

- インジケーターの監視を非アクティブ化
- モニタリングを非アクティブ化していた場合は再アクティブ化します。
- ベースラインを計算するためのポイント数を再構成する
- ベースライン計算の開始日の変更
- ベースラインの傾向計算のタイプを変更する

詳細については、「シグナル検出の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シグナル検出の構成

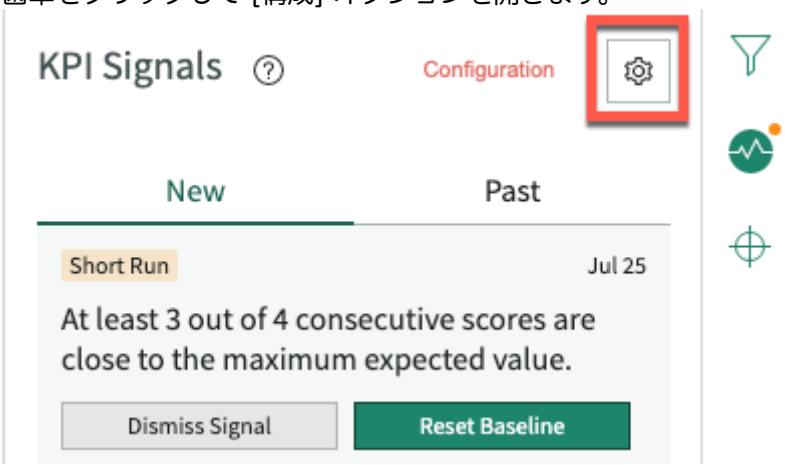
現在のベースライン計算の開始日、ベースラインの計算に使用するスコアの数、および傾向の方法を設定できます。KPI の KPI シグナル モニタリングを非アクティブ化または再アクティブ化することもできます。

始める前に
必要なロール:admin、または責任ユーザーである必要があります。

手順

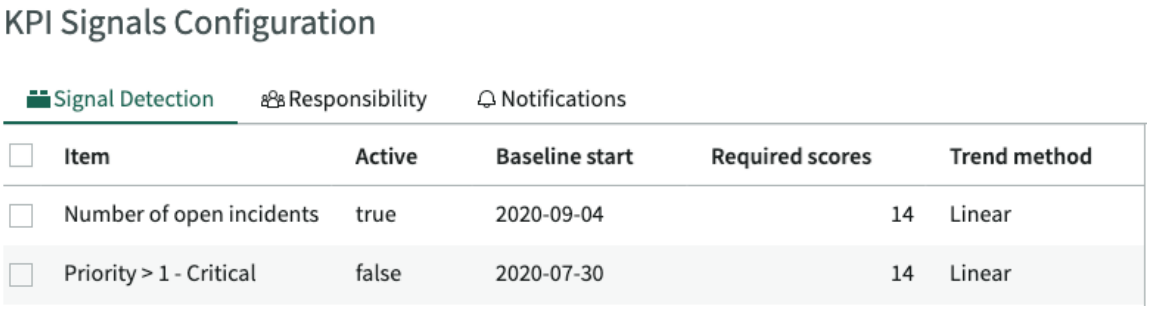
1. KPI のオープン KPI シグナル 。

2. 歯車をクリックして [構成] オプションを開きます。



3. [信号検出] タブを開きます。

この画像では、ブレークダウンのない [オープン インシデントの数] インジケーターと、[優先度 = 1 - 重大] ブレークダウンおよび要素を持つ同じインジケーターが表示されています。優先度 = 1 - 重大ブレークダウンの KPI が非アクティブ化されました。ある時点でアクティブ化された KPI のみがこのリストに表示されます。



4. 編集する KPI を選択します。

5. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
アクティブ (チェックボックス)	KPI の KPI シグナル モニタリングを非アクティブ化するには、選択を解除します。その後、KPI はリストに残ります。[後でアクティブ] を選択して、KPI の監視を再度アクティブ化します。KPI でモニタリングを再アクティブ化する場合、モニタリングを再アクティブ化し

自動翻訳

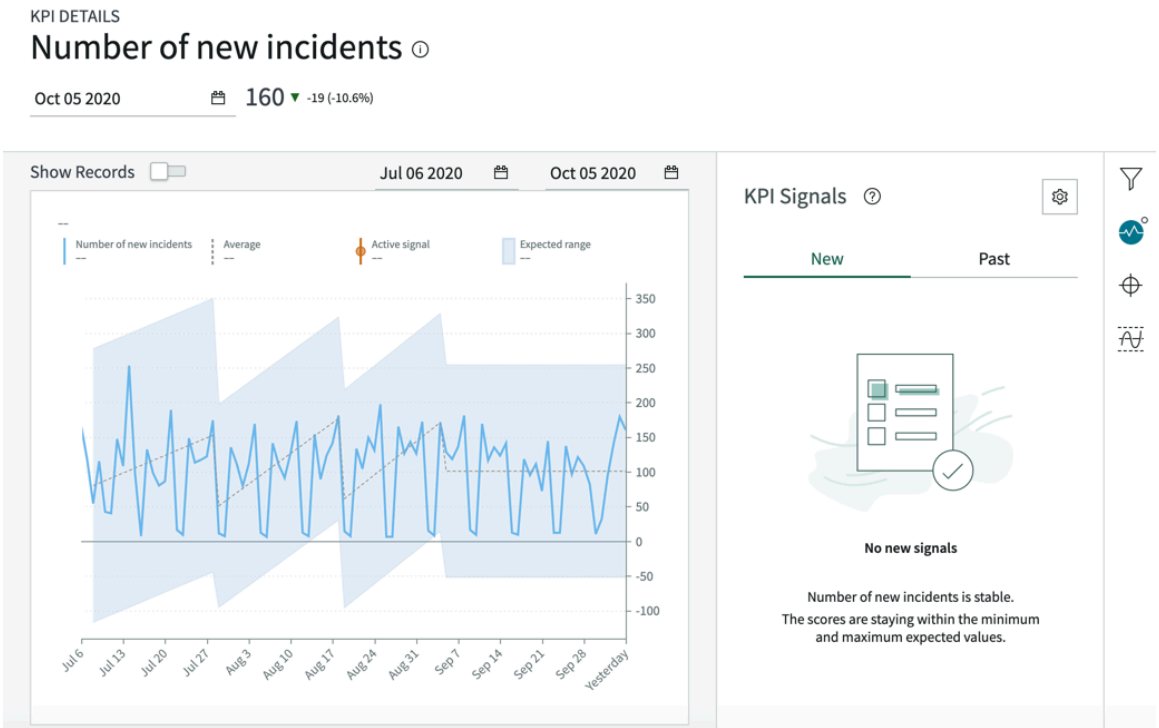
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	た日付ではなく、モニタリングを非アクティブ化した日から開始されます。
ベースライン開始	ベースラインの計算に使用されるデータポイントの開始日。この日付は、最後に解決されたシグナルに基づいています。解決済みのシグナルがない場合は、KPI の監視が最初にアクティブ化されたときに日付が設定されています。
ベースライン計算のスコア数	アプリケーションがベースラインを計算するために使用するスコアまたはデータポイントの数。 ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。
トレンド手法	ベースラインを計算するための統計的手法。オプションは次のとおりです。 ○ 線形回帰によって計算される線形トレンド ○ 傾向はなく、平均スコアのみ

6. **[Save** (保存)] をクリックします。

Example: 線形傾向と傾向なし

次の例では、平均が安定しているにもかかわらず、最初の線形トレンドがシグナルをもたらし続けました。9月上旬のシグナルに続いて、シグナル検出は「トレンドなし」に変更されました。この変化の後、平均は安定しており、それ以上のシグナルは検出されませんでした。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI シグナルの責任の構成

セキュリティアクセスに加えて、ユーザーにはシグナルに基づいて行動するための責任レベルが必要です。責任は、 KPI シグナル アプリケーションが監視する個々のインジケーター/ブレークダウン要素の組み合わせ (KPI) に対して付与されます。

KPI には複数の責任 ユーザーを設定できます。

admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持つユーザーは、明示的に責任ユーザーでなくても、ベースラインをリセットしたり、シグナルを却下したりできます。他のロールを持つユーザーが、このようなアクションを実行するには、責任ユーザーになる必要があります。これらのユーザーには、関連するワークスペースへのアクセス権を付与するロールも必要です。

責任ユーザーは、次の事項に関するメール通知を受け取ります。

- 新しいシグナル
- 未解決のシグナル
- シグナルを解決するアクション
- KPI が長期的に安定していることを示す「アンチシグナル」

ワークスペースへのアクセス権を持たない責任あるユーザーでも、これらのメール通知は送信されます。

関連情報

シグナル通知の構成

シグナルの責任をアサイン

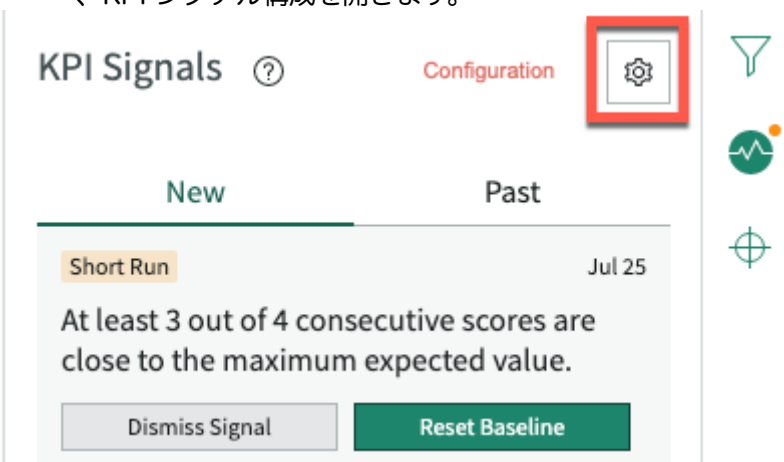
KPI KPI シグナル の責任を自分または他のユーザーにアサインできます。責任のアサインを解除することもできます。

始める前に

必要なロール:担当ユーザー、pa_admin、またはアドミニストレーターの場合は任意のロール

手順

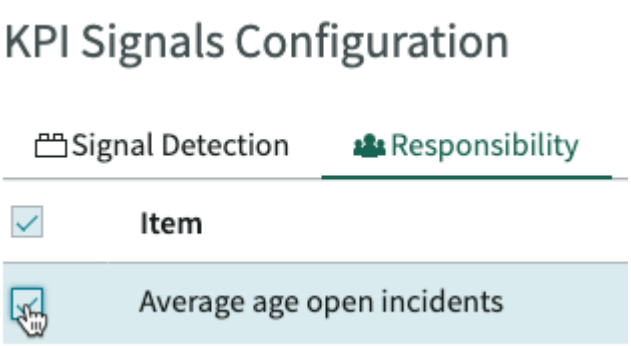
1. KPI シグナルを表示で説明されているように、インジケーターのオープンなKPI シグナル。
2.  、KPI シグナル構成を開きます。



3. [KPI シグナル構成] 画面で、[責任] タブを開きます。
4. 責任をアサインする KPI を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



ユーザーには、シグナルを表示またはアクションするために、関連するワークスペースロールが必要です。ただし、これらのロールを持たない責任ユーザーは、未解決のシグナルまたはシグナルに対するアクションに関するメール通知を受信します。

5. [構成アイテムの編集] パネルで、ユーザーのリストを開き、責任を割り当てるユーザーを選択します。
6. 責任のアサインを解除するには、ユーザー名の横にある [x] をクリックします。
7. **[Save** (保存)] をクリックします。

シグナル通知の構成

責任ユーザーは、解決されていないシグナルに関するリマインダーメールを受信します。これらのリマインダーを取得する頻度と、シグナルに対して取得するリマインダーの最大数を構成できます。

始める前に

必要なロール:admin、または責任ユーザーである必要があります

このタスクについて

責任ユーザーは、次の状況でメール通知を受信します。

- 担当している KPI で新しいシグナルが検出されました。
- 長期的に安定していると見なされるのに十分な期間のシグナルが KPI で検出されていません (「アンチシグナル」)。
- 担当している KPI のシグナルが解決された (ベースラインリセットまたは却下)。
- 後続のシグナル収集ジョブによると、担当している KPI のシグナルは解決されていません。

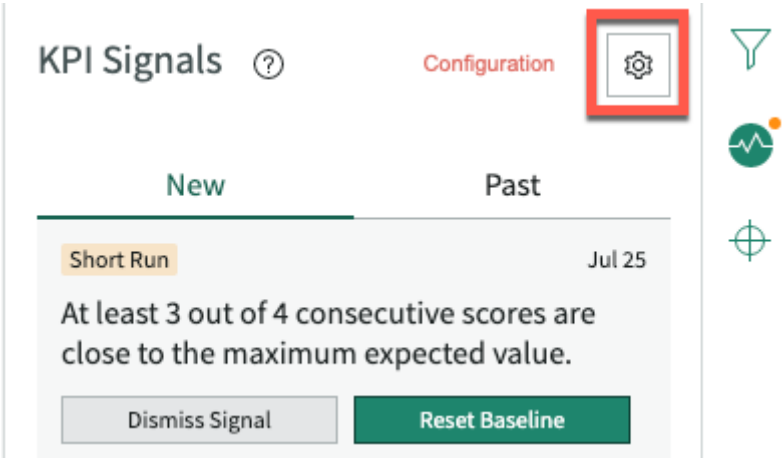
この最後のケースでは、KPI の解決を確認する頻度を設定できます。また、受け取るリマインダーの最大数を設定することもできます。

手順

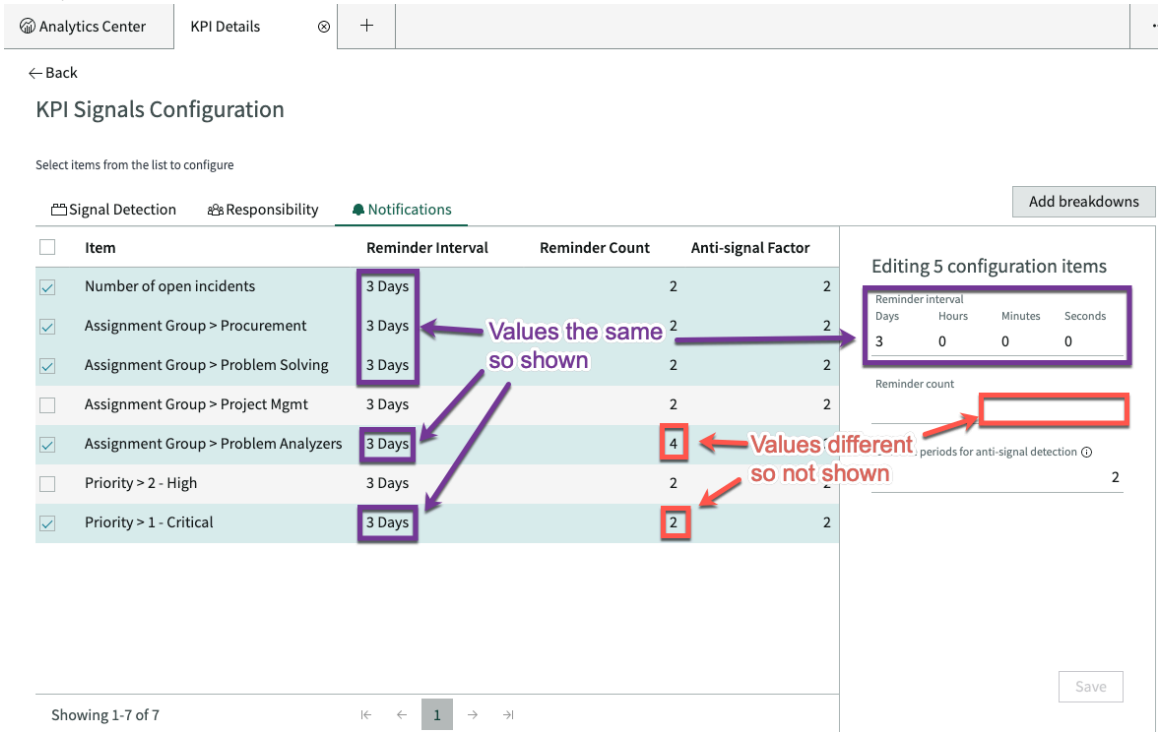
1. KPI のオープン KPI シグナル 。
2. 歯車をクリックして [構成] オプションを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [通知] タブを開きます。
   このインジケーターで担当しているすべての KPI のリストが表示されます。*KPI* とは、インジケーターとブレークダウン要素の組み合わせを指します。
4. 編集する KPI を選択します。
   1 つの KPI を選択すると、その設定が [構成アイテムの編集] パネルに表示されます。複数の KPI を選択すると、これらすべての KPI で同じ値のみがパネルに表示されます。そのパネルに新しい値を入力すると、選択したすべての KPI に適用されます。



5. 未解決のシグナルに関するリマインダーを取得する間隔を設定します。
6. 未解決のシグナルについて受信するリマインダーの最大数を設定します。
7. アンチシグナルファクターを設定します。
   この要因は、次の式に従って、KPI が「アンチシグナル」を生成するのに十分安定しているかどうかを判断するのに役立ちます。

Length of time to calculate the baseline for the KPI * Anti-signal factor

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトのアンチシグナル係数は 2 です。変更する必要があると判断した場合は、この要素を設定します。詳細については、「シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」を参照してください。

8. [保存] をクリックします。

ブレークダウン要素のシグナルの構成

シグナル検出を構成し、1 つのインジケーターで複数のブレークダウンとブレークダウン要素に責任を割り当てます。

始める前に

アドミニストレーターはインジケーターの KPI シグナル を有効にする必要があります。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル 監視のアクティブ化」を参照してください。

必要なロール:インジケーターの責任ユーザーまたはアドミン。

このタスクについて

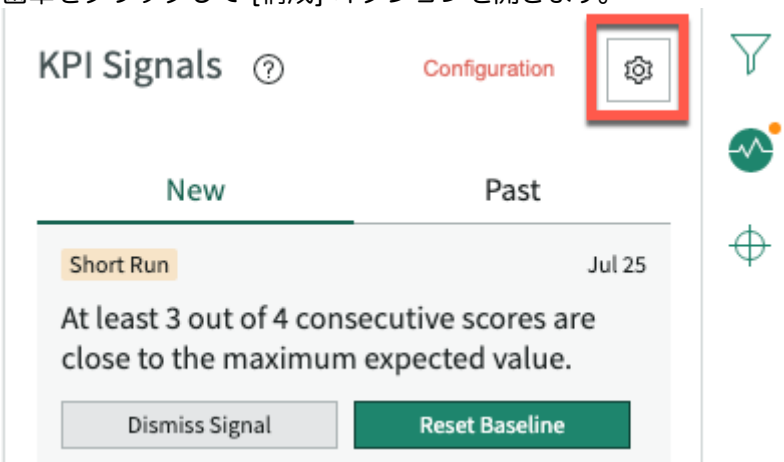
たとえば、 KPI シグナル 次のインジケーターとブレークダウンを同時に監視できます。

- オープン中のインシデントの数 (ブレークダウンなし)
- オープン中のインシデントの数、優先度 = 1 - 重大
- オープン中のインシデントの数、優先度 = 2:高
- オープン中のインシデントの数、カテゴリ = ソフトウェア

しかし KPI シグナル 「オープンインシデントの数、優先度 = 1 - 重要、カテゴリ = ソフトウェア」を監視できませんでした。

手順

1. KPI 詳細でフィルタリングブレークダウンを最初に選択せずに、インジケーターのKPI シグナルを開きます。
2. 歯車をクリックして [構成] オプションを開きます。

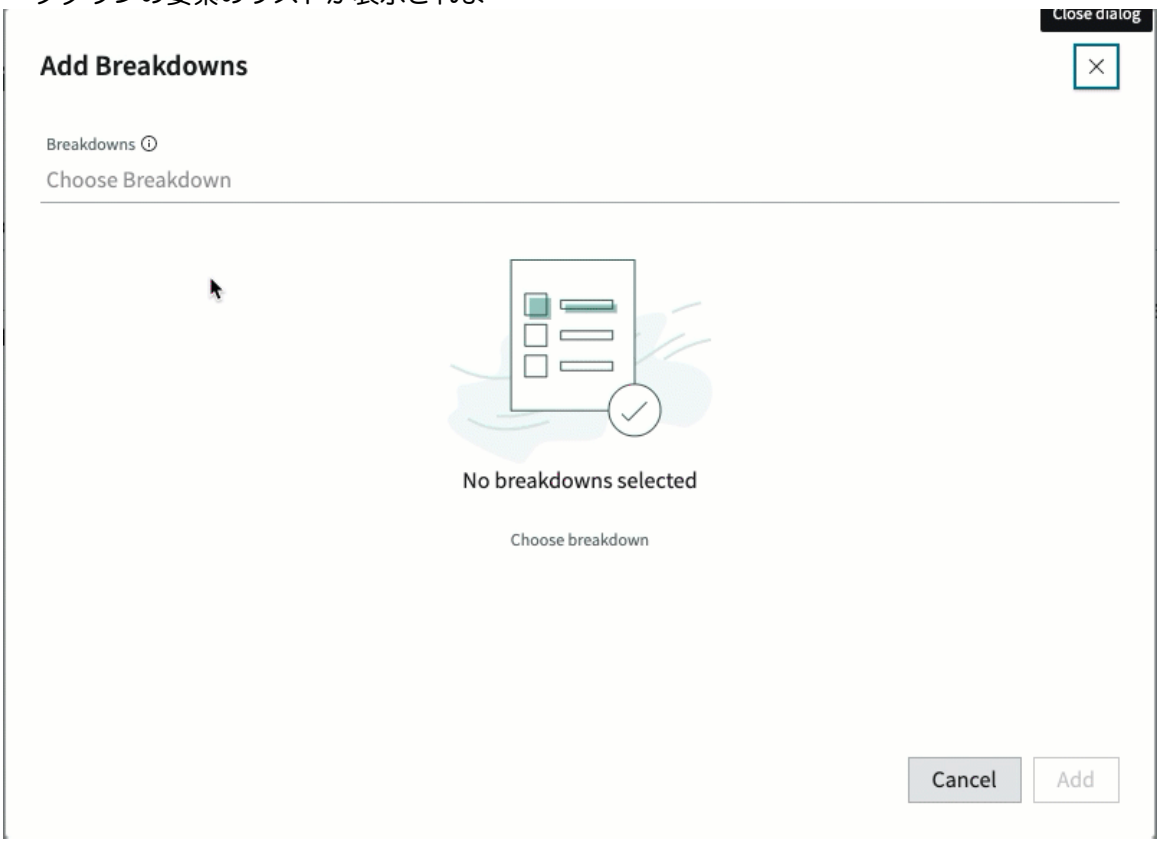


3. [ブレークダウンの追加] をクリックします。
   [ブレークダウンを追加] ダイアログが開きます。
4. [ブレークダウン] フィールドをクリックし、ブレークダウンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンの要素のリストが表示されま



す。

5. オプション: [フィルター] をクリックし、条件ビルダーを使用して要素のフィルターを作成します。
6. 少なくとも 1 つの要素を選択し、[追加] をクリックします
7. 別のブレークダウンの要素の信号を監視するには、 ブレークダウンの追加 をもう一度クリックして手順を繰り返します。
8. [シグナル検出] タブで、KPI の監視を有効にし、ベースラインの計算に必要なベースライン開始とスコア数を設定します。
   [信号検出] タブの設定の詳細については、「 シグナル検出の構成」を参照してください。
9. [責任] タブを開き、各 KPI に責任ユーザーをアサインします。
   責任ユーザーと [責任] タブの設定の詳細については、「 KPI シグナルの責任の構成」を参照してください。
10. [通知] タブを開き、担当ユーザーが未解決のシグナルに関するメール通知を受け取る頻度を設定します。
    また、未解決のシグナルに対して担当ユーザーが受け取るリマインダーの合計数を設定することもできます。また、信号のないスコアが反信号になるスコアの数を計算するために使用されるアンチシグナル係数も設定します。アンチシグナルの詳細については、「 シグナル、シグナルなし、アンチシグナル」を参照してください。[通知] タブの設定の詳細については、「 シグナル通知の構成」を参照してください。

KPI シグナル自動検出ジョブ

KPI シグナルアプリケーションには、シグナルを自動的に検出するジョブが含まれています。これらのジョブが実行されるため、担当ユーザーはアプリケーションを開かずに新しいシグナルを通知できます。式インジケーターのシグナルのジョブには、スケジューリングが必要です。

インジケーターを KPI 詳細 で表示して KPI シグナル パネルを開くと、そのインジケーターのシグナルがチェックされます。したがって、常に最新のシグナルを得ることができます。ただし、 KPI シ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グナル アプリケーションには自動信号検出ジョブもあります。これらのジョブは、登録済みユーザーがアプリケーションを開かなくても、シグナルに関する通知を送信します。

自動インジケーターの場合、これらのジョブはデータ収集ジョブが実行されるたびに実行されます。KPI シグナル アプリケーションは、アクティブになっているすべてのインジケーターとブレークダウン要素の組み合わせをチェックします。データ収集ジョブはドメイン固有であるため、シグナルもドメイン固有です。

式インジケーターでは状況が異なります。式インジケーターの式は、他のインジケーターのスコアを使用します。これらの他のインジケーターは、 貢献インジケーターと呼ばれます。これらのインジケーターのスコアは、さまざまなデータ収集ジョブで収集できます。KPI シグナルの計算では、最後に検出された貢献インジケータースコアを使用することに注意してください。KPI シグナルジョブは、すべての貢献インジケーターのスコアが検出された後に実行する必要があります。

式インジケーターのシグナルが適切なタイミングでチェックされるように、 KPI シグナル アプリケーションにはスケジュール済みジョブ (PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブ) が付属しています。このジョブのデフォルト設定では 8 時間ごとに実行されますが、このタイミングを最適化することもできます。

式インジケーターのシグナルを検出するジョブをスケジュールします

PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブを、すべてのデータ検出ジョブが実行された後に実行するように設定します。

始める前に

パフォーマンスアナリティクスデータ検出ジョブを確認します。これらのジョブが実行された後、式インジケーターのシグナルが検出される時間を決定します。

> **注:**
> この手順はオプションです。ジョブスケジュールを変更すると、式インジケーターの新しいスコアと新しいシグナルの間の遅延を防ぐことができます。ただし、8時間ごとのデフォルトの信号検出ではエラーは発生せず、十分な場合があります。

必要なロール：admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. 名前に KPI シグナルが含まれるジョブのリストをフィルタリングします。
3. PA - KPI シグナル - 式インジケーターシグナル計算ジョブを開きます。
4. 次のフィールドを変更して、ジョブをスケジュールします。

フィールド	説明
実行	ジョブを実行する頻度。後続のフィールドの選択は、このフィールドの設定によって異なります。 デフォルトでは、ジョブは 定期的に実行されます。
曜日	スケジュール済みジョブを実行する日。 [実行] フィールドで [週次 **(Weekly)]** を選択した場合、このフィールドには曜日が表示されます。[実行] フィールドで [月次 **(Monthly)]** を

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	選択した場合、このフィールドには月日が表示されます。
時間	スケジュール済みジョブを開始する時刻。
繰り返し間隔	スケジュール済みジョブが再度実行されるまでの日数と時間数。このフィールドは、[実行] リストから [定期的] が選択されている場合に表示されます。 デフォルトでは、ジョブは 8 時間ごとに実行されます。
開始日時	定期的な更新を開始する日時。このフィールドは、[実行] リストから [定期的] が選択されている場合に表示されます。

KPI シグナルの無効化

KPI シグナル 要求に応じて無効にすることができます。

KPI シグナル はデフォルトで有効になっています。この機能が必要ない場合は、 Now Platform アドミニストレーターにプロパティ *com.snc.pa.activate_kpi_signals* を *false* に設定するように依頼してください。このプロパティはデフォルトでは存在しないため、アドミニストレーターが追加する必要があります。それらを「システムプロパティを追加する」を参照してください。

重要:
KPI シグナルを再アクティブ化すると、シグナル検出は、機能を再アクティブ化した時点からではなく、最初に非アクティブ化した時点から再開されます。

KPI シグナルの使用

責任あるユーザーは、シグナル通知を受信すると、シグナルを無視するか、ベースラインをリセットします。

KPI シグナル通知に対する応答の概要

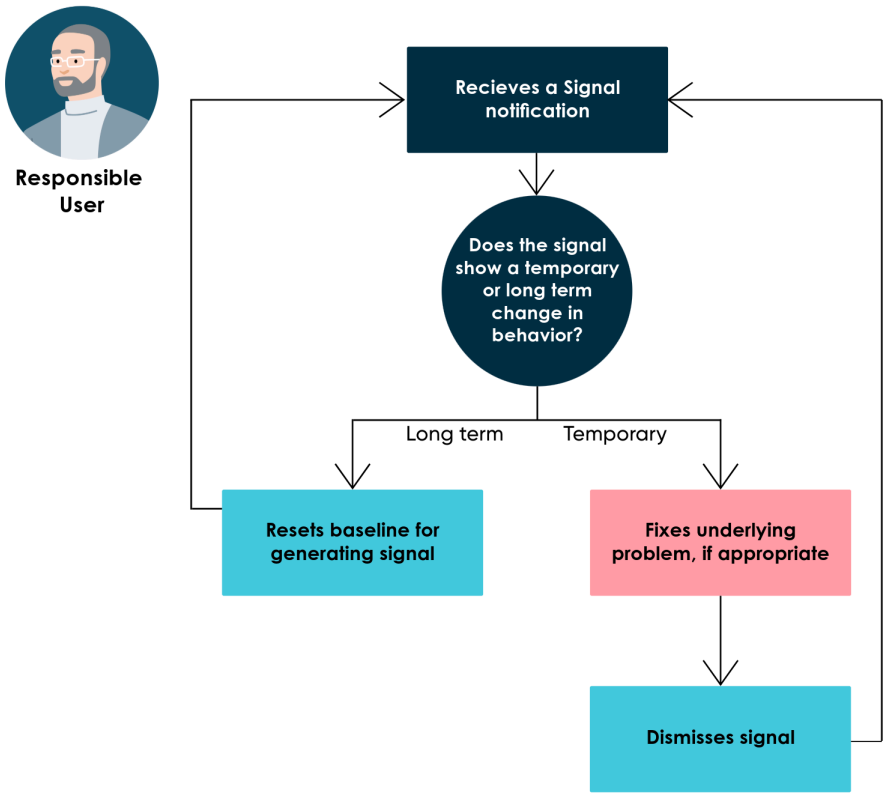
責任ユーザーが KPI シグナル 通知を評価します。根本的な問題が一時的な問題であると判断した場合、必要に応じて問題を修正し、シグナルを無視します。通知が基盤となるビジネスプロセスの動作の長期的な変化によるものであると判断した場合は、シグナルの生成に使用されるベースラインを更新します。

シグナルを却下したりベースラインを更新したりしたことが間違いであったと後で判断された場合、責任者ユーザーはアクションを元に戻すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI シグナル通知への応答



1. インジケーターを調べる必要があるという通知を KPI シグナルから受信します。
2. 修正可能な問題が原因でシグナルが一時的な変化を示しているのか、それともシグナルがプロセス動作の長期的な変化を示しているのかを判断します。
3. 変更が一時的なものである場合は、必要に応じて根本的な問題に対処し、シグナルを無視します。
4. 変化が長期にわたる場合は、信号を適切に生成するためのベースラインをリセットします。
5. 決定が正しくないことが判明した場合は、元に戻します。

その他の使用トピック

ベースラインをリセットまたはシグナルを却下

異常な変動が発生したという信号を受け取ったら、信号を無視するか、パラメーターを再計算します。

始める前に

必要なロール:admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持っていない限り、 責任ユーザーである必要があります。

このタスクについて

ベースラインをリセットするか、信号を却下するかを決定する前に、変動の理由を調査します。信号が「新しい法線」を表していると判断した場合は、ベースラインを再計算します。シグナルが一時的な状況の結果であると判断した場合は、シグナルを却下します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. KPI 詳細からKPI シグナルを開きます。
   インジケーターの [KPI 詳細] ページでは、[KPI シグナル] タブに通知ドットが表示されます。このドットは、インジケーターのシグナルがあることを示しています。 

   注:
   KPI シグナル は、1 つの第 1 レベルのブレークダウン要素でフィルタリングされたインジケーターのシグナルを検出できます。複数の要素または第 2 レベルのブレークダウンはサポートされていません。

2. シグナルを調べ、プロセス動作のこの変動の背後にあるビジネス上の理由を調査します。
   - シグナルが動作に一時的な変化を示していると判断した場合は、[シグナルの却下] をクリックします。一時的な行動の変化は、状況の一時的な変化による場合もあれば、すぐに修正できる問題による場合もあります。
   - シグナルがプロセス動作の長期的かつ実際の変化を示していると判断した場合は、[ベースラインのリセット] をクリックします。

3. ベースラインを再計算する場合は、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
日付からリセット	新しいベースラインの計算を開始する日付。デフォルトでは、この日付がシグナルの最初の日付です。シグナルが不規則であるか、直後に変動が続く場合は、開始日を遅らせることを検討してください。
ベースライン計算のスコア数	ベースラインを計算するためのデフォルトのスコア数は、インジケーターの頻度によって異なります。正当な理由があると確信できる場合を除き、この番号を変更しないでください。最小数は 5 です。

4. シグナルを却下するにせよ、ベースラインをリセットするにせよ、決定の理由を説明してください。
   [変更点] というラベルの付いた必須フィールドがKPI シグナルパネルに表示されます。シグナルの調査結果を簡単に説明してください。

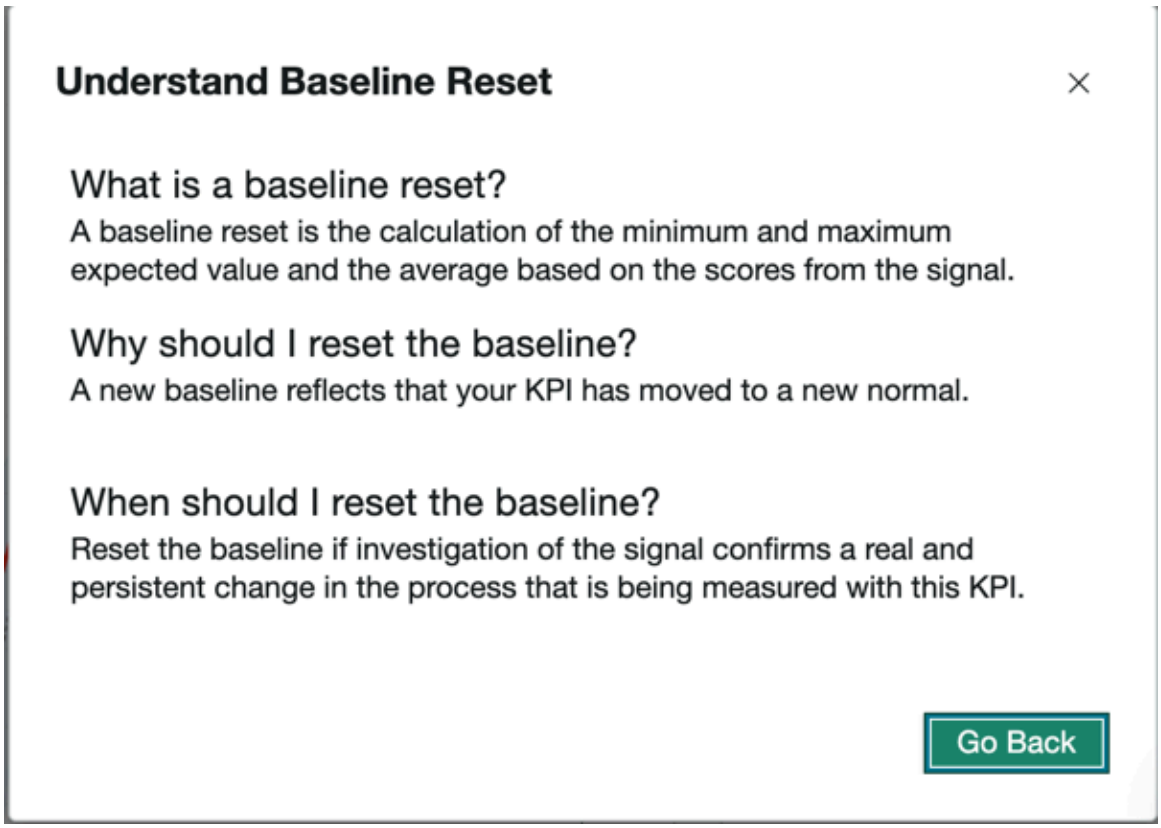
   この決定の理由は、[過去の シグナル] を表示すると表示されます。これは、シグナル却下またはベースラインリセットを元に戻すかどうかを決定するための重要な情報です。

5. [シグナルを却下] または [確認] をクリックして、それぞれシグナルを却下するか、ベースラインをリセットします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースラインをリセットするためのダイアログで、最初に **[How does it work?]** これにより、ウィンドウが開き、ベースラインリセットとは何か、いつ実行するかについての情報が表示されます。



タスクの結果
ベースラインをリセットすると、ベースラインがリセットされたことを示すメッセージが表示されます。また、処理したシグナルよりも新しいシグナルがあるかどうかも確認できます。[過去] タブで、却下したシグナルとベースラインのリセットを確認できます。

ベースラインリセットまたはシグナル却下を元に戻す

以前の決定を確認して、 KPI シグナル ベースラインをリセットするか、シグナルを却下します。必要に応じて決定を元に戻します。

始める前に
KPI 詳細へのアクセス権が必要です。

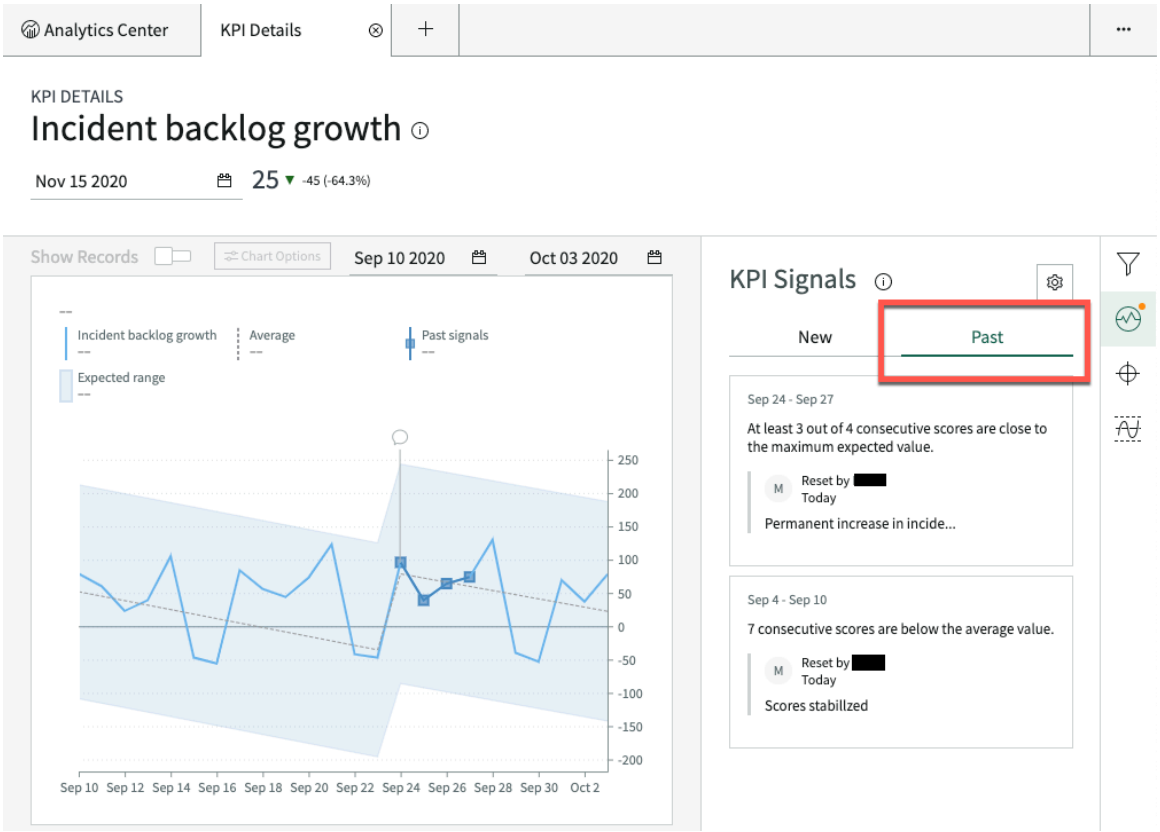
必要なロール:KPI の責任ユーザーであるか、admin、pa_admin、または pa_kpi_signal_admin ロールを持っている必要があります。

手順

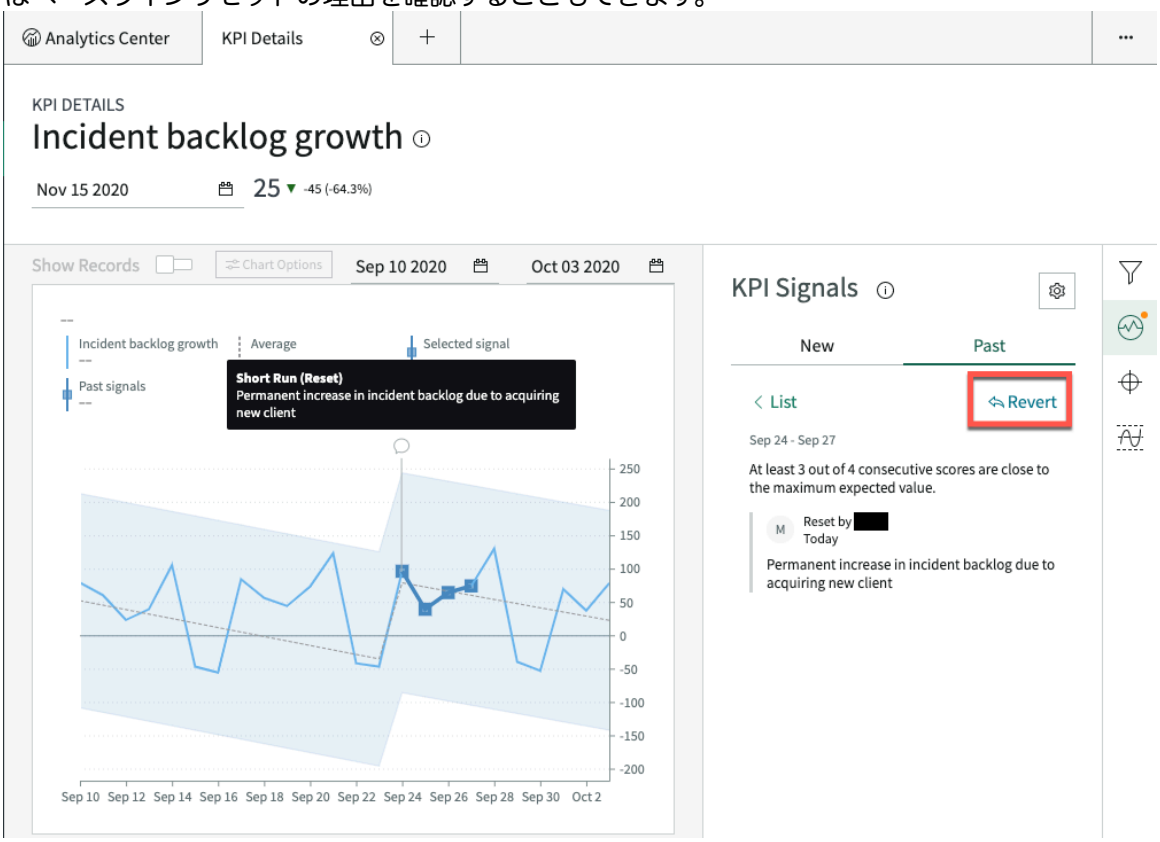
1. [KPI 詳細] から [KPI シグナル] パネルを開きます。
2. [過去] タブに切り替えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ベースラインのリセットまたはシグナル却下に焦点を当てるには、その決定のカードをクリックします。
シグナルの吹き出しをポイントして、シグナルの却下または
はベースラインリセットの理由を確認することもできます。

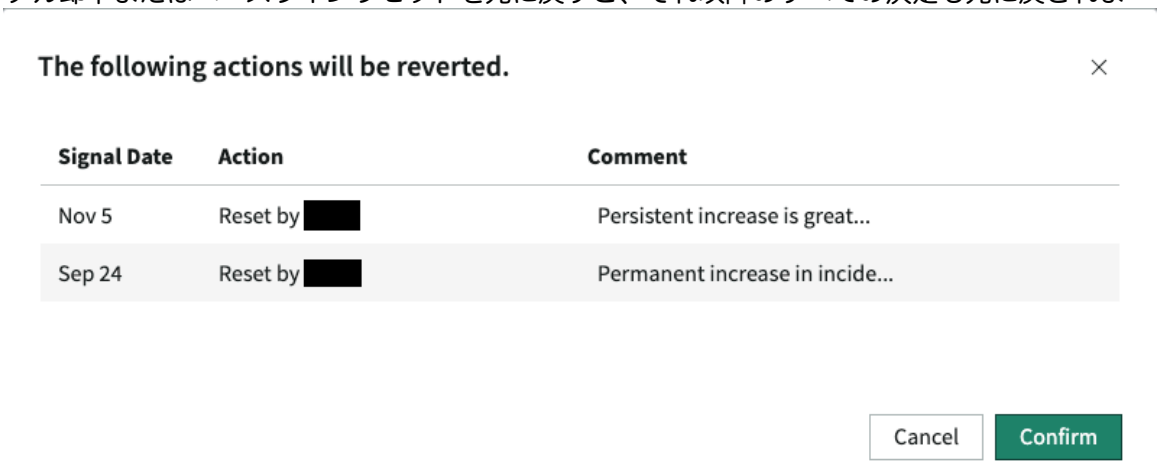


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
アンチシグナルを元に戻すことはできません。

4. シグナルを却下したり、ベースラインをリセットしたりする以前の決定が間違っていたと判断した場合は、[元に戻す] をクリックします。
5. 元に戻すすべての意思決定のリストを確認します。
シグナル却下またはベースラインリセットを元に戻すと、それ以降のすべての決定も元に戻されます。



6. 決定を元に戻す場合は、[確認] をクリックします。

次のタスク
次に、決定を元に戻した最も古いシグナルに対して新しい決定を下します。次に、後続のシグナルを処理します。

KPI シグナルロール

KPI シグナルには、次のロールが適用されます

任意のロール

任意のロールを持つユーザーに、特定のインジケーターのシグナル通知の受信と応答の責任を負わせることができます。このユーザーは、シグナルの検出と通知を構成し、担当するインジケーターの責任を割り当てることもできます。インジケーターへのアクセス権も必要です。

pc_kpi_signals_admin

このロールを持つユーザー、または (pa_admin または admin を介して) このロールを継承するユーザーは、インジケーターの KPI シグナル を有効にすることができます。また、シグナルの検出と通知を構成し、インスタンス上のインジケーターに責任を割り当てることもできます。

プラットフォームアナリティクスでのデータキャッシュ

データキャッシュは、使用可能な場合は古い応答を再利用することで、データの可視化のロードを高速化するのに役立ちます。ユーザーは、ダッシュボードを手動で更新することで、常に最新のデータを取得できます。

次の理由により、データキャッシュにより、特に大規模なデータセットの場合、ダッシュボードとデータ可視化のロード時間が短縮される可能性があります。

- キャッシュにより、データに変更がない場合に、長いアグリゲーション計算を回避できます。
- キャッシュにより、同じ集計結果データにアクセスできるユーザーの集計計算を回避できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- キャッシュにより、実行時間の長い要求が山積みになることによるインスタンスの負荷を軽減できます。
- キャッシュは、ユーザーがデータの鮮度よりもダッシュボードのロード速度に関心があるユースケースに適している場合があります。

サポートされているデータソース

テーブルとインジケーターのデータはキャッシュをサポートしています。

データキャッシュのアクティブ化

データキャッシュを有効にする前に、プロパティ *glide.analytics.cache.enabled* を true に設定する必要があります。

インラインダッシュボードエディターでは、ダッシュボードごとのデータキャッシュを有効または無効にすることができます。キャッシュは、それをサポートするデータソースを持つ、そのダッシュボード上のすべてのデータ可視化に適用されます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボード設定の構成」を参照してください。

UI ビルダーでは、データの可視化ごとにデータキャッシュを有効または無効にすることができます。例については、「単一スコア UIB セットアップ」のテーブルまたはインジケーターデータソースの *useDataCache* プロパティを参照してください。

UI ビルダーでは、テーブルまたはインジケータータイプのローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にすることもできます。詳細については、「ローカルデータインスタンスのデータキャッシュを有効にする」を参照してください。

デフォルトのダッシュボードキャッシュ

デフォルトでは、インラインエディターで作成した新しいダッシュボードではキャッシュが有効になっていません。前のセクションで説明したように、ダッシュボードごとにキャッシュを有効にする必要があります。ただし、デフォルトの動作を変更して、インラインエディターで作成するすべての新しいダッシュボードでキャッシュを有効にすることができます。これを行うには、プロパティ *glide.analytics.cache.enable_dashboard_default*を true に設定します。

新しいダッシュボードでキャッシュを有効にするようにデフォルトの動作を設定する場合は、デフォルトの有効期限を変更するかどうかを検討してください。デフォルトの有効期限のデフォルト値は 24 時間です。この値はプロパティ *glide.analytics.cache.dashboard_default_value*で設定できます。オプションは、1、2、4、8、12、または 24 時間です。この値を設定するときは、データのプリフェッチへの影響を考慮してください。

UI ビルダーで作成されたデータ可視化のキャッシュをデフォルトで有効にすることはできません。

データのプリフェッチ

ダッシュボードの最初のロードには使用するキャッシュデータがないため、ロード時間が遅くなる可能性があります。たとえば、IT エージェントがその日に初めてログインすると、前日のキャッシュデータの有効期限が切れるため、システムがデータをフェッチするのを待ってからダッシュボードをロードする必要があります。プリフェッチメカニズムは、キャッシュ有効期限が長い、頻繁に使用されるダッシュボードやデータの可視化に関するこの問題に対処します。

プリフェッチでは、キャッシュが有効期限に近づくと、ユーザーの操作なしでデータが自動的に更新されるため、キャッシュエントリが維持されます。スケジュール済みジョブは、プリフェッチが有効になっているキャッシュエントリで、エントリが 30 分以内に期限切れになる予定のエントリを探します。ジョブはそのようなレコードをすべて収集し、リフレッシュのためにキューに入れます。リフレッシュすると、有効期限がリセットされます。このスケジュール済みジョブは 15 分ごとに実行されるため、テーブルクリーナーはまだ処理されていない有効なキャッシュエントリを削除しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プリフェッチの設定とデフォルト

プリフェッチはデフォルトで有効になっており、システム負荷の最小化とユーザーへの価値の最大化のバランスを取るように選択された設定が選択されます。アドミニストレーターはこれらの値を変更できますが、この変更は差し迫った理由がある場合に限り、十分に注意して行う必要があります。

プロパティ	設定	**Value** (値)	メモ
glide.analytics.cache.prefetch.min_age_in_seconds	プリフェッチの対象となるデータのキャッシュ有効期限 [cacheExpirationTime] の下限	8 Hours (8 時間)	キャッシュデータをプリフェッチするための最短のセーフ有効期間は 8 時間です。この値を増やす必要がある場合がありますが、減らすべきではありません。
glide.analytics.cache.prefetch.max_refresh_counter	このデータのプリフェッチが停止するまでに、キャッシュヒットなしでデータが連続してプリフェッチされる回数	10	プリフェッチは、頻繁に使用されるデータを対象としています。システム負荷を軽減するために、ユーザーがデータを参照せずにデータが

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	設定	Value (値)	メモ
			10 回連続してプリフェッチされると、プリフェッチは停止します。その後、データはデフォルトのキャッシュ動作に従い、次に表示されるときに再読み込みされます。デフォルト値は週末をカバーするように選択されています。この値は減らす必要がありますが、増やさないでください。

自動翻訳

プラットフォームアナリティクスのロール

プラットフォームアナリティクス には、一意のロールと、適用される他のアプリケーションのロールの両方があります。

何らかのロールを持つユーザー

どのロールを持つユーザーでも、編集権限を持つダッシュボードで可視化を作成できます。表示するデータにアクセスする必要があります。共有されているデータの可視化をダッシュボードに追加でき

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。可視化デザイナーでは、そのような可視化をブックマークまたはエクスポートでき、可視化が共有権限で共有されている場合は、他のグループやユーザーと共有できます。可視化デザイナーで可視化を作成または編集するには、特定のロールが必要です。

任意のロールを持つユーザーは、ダッシュボードを作成して、グループ、ユーザー、およびロールと共有できます。データの可視化が共有されている場合は、ライブラリからダッシュボードにこの可視化を追加できます。共有権限も付与されている場合、これらのユーザーは共有されているダッシュボードを共有できます。付与されれば、編集権限を渡すことができます。

ユーザーグループ

個々のユーザーではなく、特定のペルソナに必要なすべてのロールを含むグループを作成することで、ユーザー管理を簡素化します。個々のユーザーをそれらのグループにアサインできます。ユーザーが新しいロールに移行したときは、そのグループメンバーシップを再アサインして、ユーザーが予期しないロールを保持するシナリオを回避できます。

ユーザー、グループ、およびロールの管理方法の詳細については、「ユーザー管理」を参照してください。

ロールの説明

次の表に、 プラットフォームアナリティクスに関連付けられた各ロールに関する次の情報を示します。

ロール名
: ロール [sys_user_role] テーブルの [名前] フィールドのロールの名前。

説明
: ロールとその使用目的の説明。

ロールを含む
: ロール内に含まれるロールのリスト。

ロールに含まれる (admin を除く)
: admin 以外のロールに含まれるロール。admin ロールには、すべてのロールが含まれています。

次の属性はすべてのロールで共有されます。

- デフォルトでは、どのロールもグループにアサインされません。
- どのロールでも、有料サブスクリプションの一部としてユーザーを割り当てる必要はありませんが、ほとんどの パフォーマンスアナリティクス 機能には有料サブスクリプションが必要です。
- どのロールも昇格されていないため、高セキュリティ設定へのアクセス権を付与するロールはありません。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス と プロセスマイニング にそれぞれ含まれる analytics_admin と sn_process_optimization_analyst を除き、すべてのロールがベースシステムに含まれます。

ヒント:
必要なアクセス権を提供する、最も包括的でないロールをアサインするようにしてください。たとえば、ユーザーがライブラリでデータビジュアル化を作成してユーザーと共有できるようにするが、エクスポートをスケジュールしない場合は、そのユーザーにviz_adminではなくviz_creator付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミンを除く)
アドミン	ダッシュボードを作成できます。可視化デザイナーでデータの可視化を作成できます。この可視化は、ライブラリに自動的に保存されます。ダッシュボードとデータの可視化を編集、複製、共有、および削除できます。フィルターライブラリにフィルターを追加したり、フィルターを編集または削除したりできます。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アドミニストレーター権限があります。	このテーブルの他のすべてのロール	該当なし
platform_analytics_admin	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでの管理権限のロール。このロールには、パフォーマンスアナリティクス や ユーザーエクスペリエンスアナリティクス など、プラットフォームアナリティクス の一部である製品および機能の管理権限が含まれます。レポート コア UI 権限を除く、ここにリストされているすべてのロールの権限report_admin持っています。 セキュリティの観点からは admin ロールに相当します。	• analytics_admin • analytics_categories_admin • analytics_filter_admin • Dashboard_admin • pa_admin • par_scheduler • viz_admin	なし
analytics_admin	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス管理権限のロール	その他すべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アドミンロールとビューアーロール。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール」を参照してください。	platform_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミンを除く)
analytics_categories_admin	ダッシュボードのカテゴリタグを作成、編集、または削除するためのロール。	なし	• platform_analytics_admin • Dashboard_admin
analytics_filter_admin	プラットフォームアナリティクスフィルターを編集または削除するためのロール。フィルターライブラリにフィルターを追加できます。詳細については、「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。	なし	• platform_analytics_admin • Dashboard_admin • pa_admin • report_admin • viz_admin
Dashboard_admin	任意のダッシュボードを作成、編集、複製、共有、および削除できます。これらの権限は、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードとレスポンシブダッシュボードの両方に拡張されます。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。	• analytics_filter_admin • analytics_categories_admin • par_scheduler_admin • par_scheduler	platform_analytics_admim
pa_kpi_signal_admin	インジケーターの KPI シグナル をアクティブ化できます。詳細については、「インジケーター (KPI) の KPI シグナル 監視のアクティブ化」を参照してください。	なし	なしただし、pa_admin同じ権限を持っています
pa_admin	パフォーマンスアナリティクス管理権限のロール。セキュリティの観点からは admin ロールに相当します。	• viz_admin • analytics_filter_admin • その他すべての パフォーマンスアナリティクス ロール。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ロール」を参照してください。	platform_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

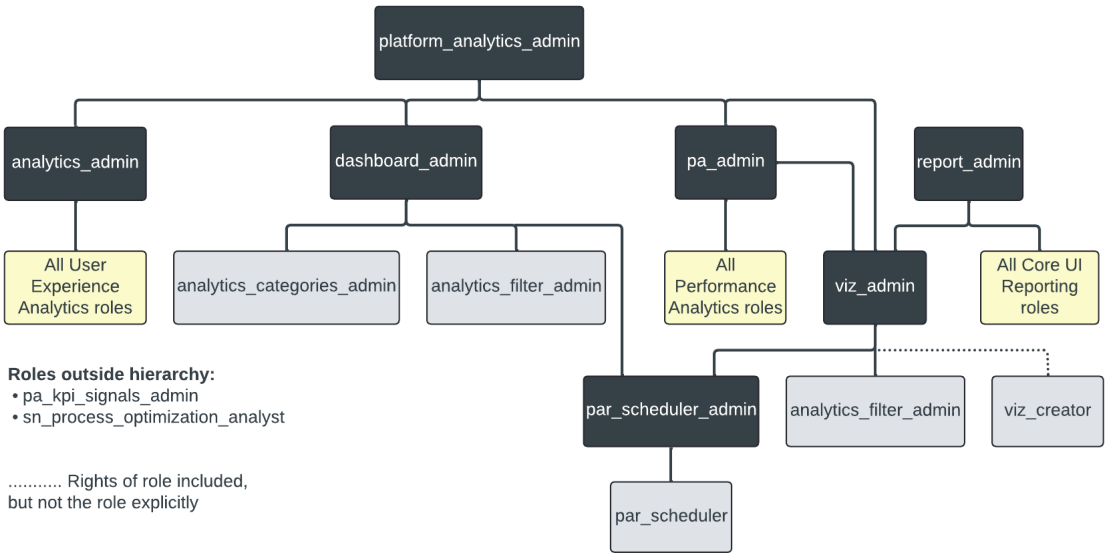
ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミンを除く)
par_scheduler_admin	インスタンス上の任意のダッシュボードまたはデータ可視化のエクスポートとメール配布をスケジュールできます	par_scheduler	• Dashboard_admin • viz_admin
par_scheduler	表示または編集できるダッシュボードまたはデータ可視化のメール配布をスケジュールできます	なし	par_scheduler_admin
sn_process_optimization_analyst	ダッシュボードに プロセスマイニング マップを構成できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。	なし	なし
viz_creator	可視化デザイナーでデータの可視化を作成し、ライブラリで使用できます。また、 可視化デザイナー内のデータの可視化を編集、エクスポート、および共有することもできます (その可視化を所有している場合、または関連する権限で共有されている場合)。自分が作成した可視化のみを削除できます。グループおよびユーザーとのみ可視化を共有できます。	なし	• viz_admin (暗黙) • itil • report_user
viz_admin	可視化デザイナーでデータの可視化を作成し、ライブラリで使用できます。ライブラリ内のすべてのビジュアル化にアクセスして、ダッシュボードに追加するか、 可視化デザイナーで開くことができます。任意の可視化に対して 可視化デザイナー 内のすべてのアクションを実行できます。可視化をグループ、ユーザー、またはロールと共有できます。可視化のエクス	• analytics_filter_admin • par_scheduler_admin viz_creatorと同じ権限も含まれます	platform_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール名	説明	ロールを含む	ロール別 (アドミンを除く)
	ポートをスケジュールすることもできます。		
report_admin	viz_adminだけでなく、サービスポータル上のレポートを含むすべてのコア UIレポートを作成、編集、削除、エクスポートすることもできます。	• viz_admin • analytics_filter_admin • report_user	

テーブル内のロール階層は、次の図にも示されています



ユースケース別のロールのルックアップ

ダッシュボードロール

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードを作成	任意のロール
ダッシュボードを共有	自分が作成したデータ可視化、または共有権限で共有されたデータ可視化を共有するための任意のロール。viz_admin 以上のロールでは、インスタンス上の任意のデータ可視化を共有できます。データの可視化を共有すると、その可視化をさらに共有する権限を渡すことができます。また、編集権限と共有するか、表示権限のみと共有するかも決定します。データの可視化が共有および編集権限で共有されている場合は、編集権限を渡すこともできます。 任意のダッシュボードを共有する dashboard_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードロール (続く)

ユースケース	必要なロール
	ロールと共有するロール [sys_user_role] テーブルへの読み取りアクセス権を持つロール
ダッシュボードを編集	ダッシュボードを作成した場合、またはダッシュボードを編集権限で共有していた場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上 テクニカルダッシュボードにも ui_builder_adminが必要です
ダッシュボードの複製	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。テクニカルダッシュボードを複製することはできません。
ダッシュボードの印刷用コピーを作成する	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。
ダッシュボードのエクスポート	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。
ダッシュボードのエクスポートをスケジュールする	自分が所有している、または自分と共有されているダッシュボードのpar_scheduler。 任意のダッシュボードで par_scheduler_admin 以上
ダッシュボードのブックマーク	ダッシュボードを表示できる場合、任意のロール。
ダッシュボードの削除	ダッシュボードを作成した場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボードの詳細を構成	ダッシュボードを作成した場合、またはダッシュボードを編集権限で共有していた場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボード設定の構成	ダッシュボードを作成した場合、またはダッシュボードを編集権限で共有していた場合は、任意のロール。 任意のダッシュボードで dashboard_admin 以上
ダッシュボードタブのキャッシュタイムアウトの設定	アドミン
ダッシュボードカテゴリの作成	analytics_categories_admin以上

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードロール (続く)

ユースケース	必要なロール
ダッシュボードへのカテゴリの割り当て	ダッシュボードを編集できる場合、任意のロール。 ダッシュボードにカテゴリをアサインするには、analytics_categories_admin以上です。

データ可視化ロール

ユースケース	必要なロール
データの可視化を作成	データにアクセスできるユーザーは誰でも、自分が所有するダッシュボードでそのデータの可視化を作成できます。viz_creator ロールを持つユーザーは、 可視化デザイナーで可視化を作成できます。可視化デザイナーで可視化を作成すると、ライブラリに保存されます。
データの可視化の編集	自分が作成した可視化、または編集権限で共有された可視化は、ライブラリにない場合は編集できます。ライブラリにある場合は、viz_creatorロールも必要です。 インスタンスの可視化を viz_admin 以上で編集します。
ライブラリからダッシュボードへの可視化の追加	任意のロール (可視化が自分と共有されている場合)。 ライブラリから可視化を追加するviz_creator。
ダッシュボードで作成された可視化をライブラリに追加します	viz_creator 歳以上で、ダッシュボードを編集する権限がある
ダッシュボード上のデータ可視化をライブラリからリンク解除し、そのダッシュボードに対してローカルなバージョンを作成します。	可視化を含むダッシュボードを編集できる場合は、任意のロール
での可視化の複製 可視化デザイナー	viz_creator 以上
ユーザーまたはグループとの可視化の共有	自分が作成したデータ可視化、または共有権限で共有されたデータ可視化を共有するための任意のロール。viz_admin 以上のロールでは、インスタンス上の任意のデータ可視化を共有できます。データの可視化を共有すると、その可視化をさらに共有する権限を渡すことができます。また、編集権限と共有するか、表示権限のみと共有するかも決定します。データの可視化が共有および編集権限で共有されている場合は、編集権限を渡すこともできます。
ロールとのデータ可視化の共有	viz_admin以上
可視化のエクスポート	可視化デザイナーで可視化を表示できる場合、任意のロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ可視化ロール (続く)

ユースケース	必要なロール
データ可視化のエクスポートをスケジュールする	par_scheduler以上:編集可能なデータ可視化のエクスポートをスケジュールします。par_scheduler_admin以上:表示可能なデータ可視化のエクスポートをスケジュールします。
可視化の削除	任意のロール:作成したデータ可視化を削除します。インスタンスのデータ可視化を削除するには、viz_admin以上にします。
ロール別にデータソースの可用性を制御する	アドミン
チャートインタラクションの構成	データの可視化を編集する権限があれば、任意のロール。ビューアーには、ドリルダウンするデータを表示する権限が必要です。
データの可視化でサービスカタログ変数を使用する	viz_creator 以上
データ可視化の色分けルールの作成	データの可視化を編集する権限があれば、任意のロール。

フィルターロール

ユースケース	ロール
ダッシュボードへのフィルターまたはフィルターグループの追加	ユーザーがダッシュボードの編集権限を持っている場合、任意のロール。 dashboard_admin 以上で任意のダッシュボードにフィルターまたはフィルターグループを追加できます
ダッシュボードのフィルターを編集する	ユーザーがダッシュボードの編集権限を持っている場合、ライブラリにないフィルターの任意のロール。 フィルターがライブラリにある場合は、analytics_filter_admin以上も必要です。または、ダッシュボードのフィルターをライブラリからデタッチし、ローカルコピーを編集することもできます。
ダッシュボードのローカルフィルターをライブラリに追加します	analytics_filter_admin 以上、およびダッシュボードの編集権限
フィルターデザイナーでフィルターを作成または編集する	analytics_filter_admin以上

その他のロール

ユースケース	ロール
ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成	sn_process_optimization_analyst

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

その他のロール (続く)

ユースケース	ロール
インジケーター (KPI) の KPI シグナル 監視のアクティブ化	pa_kpi_signal_admin

関連情報

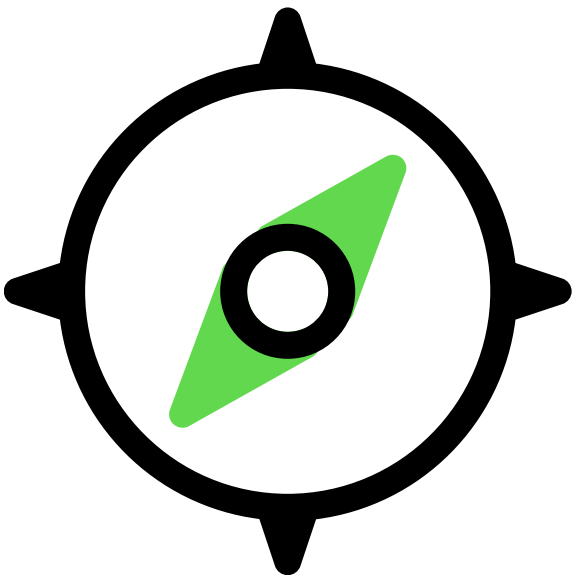
- パフォーマンスアナリティクス ロール
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール
- レポート ロール
- ダッシュボードおよびその他の一般的なダッシュボードタスクの作成
- 一般的なデータ可視化タスク

アナリティクス 生成

アナリティクスの生成を使用して、会話のインタラクションから プラットフォームアナリティクス アーティファクトを生成します。たとえば、オープンインシデントの数に関する情報を要求し、単一スコアのデータを可視化することができます。アナリティクスの生成は クリエーターの Now Assist アプリケーションの一部です。

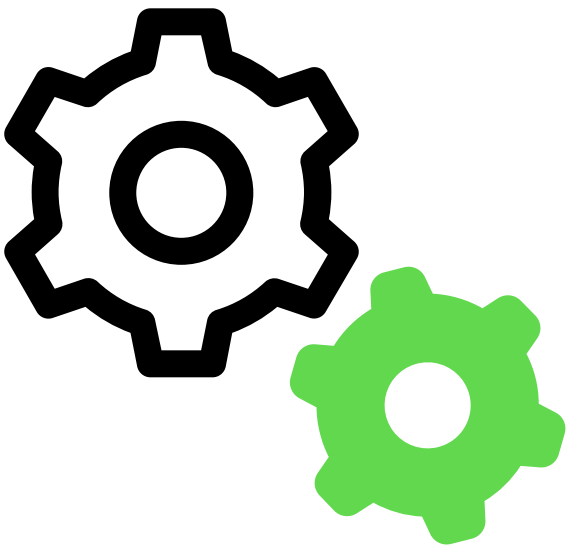
始めましょう

探索



アナリティクスの生成でサポートされる内容の詳細

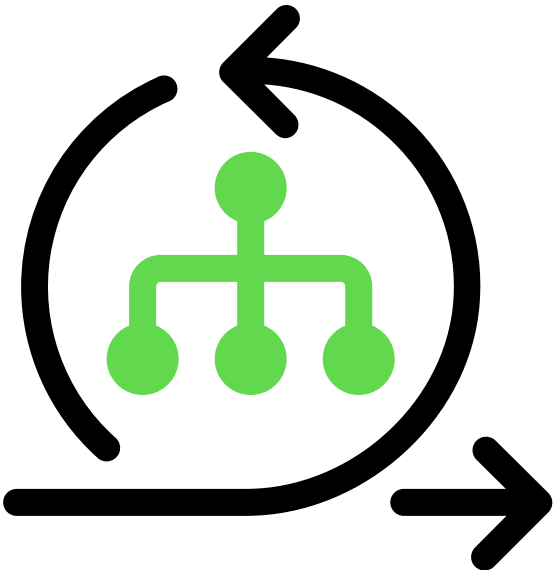
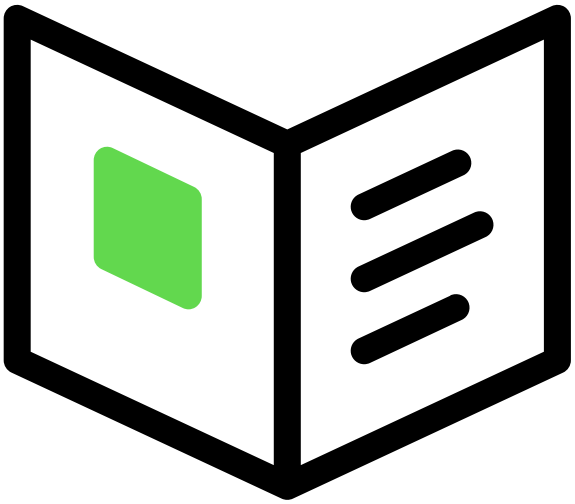
構成



インスタンスのアナリティクス生成を有効にする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用	参照
	
AI を使用してアナリティクスを生成	バックエンドに関する情報

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは 分析の生成に使用されるテーブルとインジケーターからの情報。たとえば、インシデントデータを可視化する要求について、インシデントテーブルまたはオープンインシデントの数インジケーターからの情報を収集できます。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、を参照してください。 Now Assist ドキュメント .

アナリティクス生成の詳細

アナリティクスの生成を使用して、会話のインタラクションから プラットフォームアナリティクス アーティファクトを生成します。たとえば、オープンインシデントの数に関する情報を要求し、単一スコアのデータを可視化することができます。

アナリティクス生成の概要

アナリティクスの生成には、現在、データの可視化生成スキルが含まれています。データ可視化生成スキルを使用すると、開発者は プラットフォームアナリティクスを活用して、自然言語クエリと利用可能なデータに基づいて関連するグラフとスコアを作成できます。チャートには、 Now Platform テーブルのデータを表示できます。ユーザーは、可視化をダッシュボードに追加できます。このスキルにより、データの可視化の生成と構成のプロセスが簡素化され、効率が向上する可能性があります。

ロール

アナリティクスの生成を使用するには、now.assist.creator ロールと now_assist_panel_user ロールが必要です。ユーザーは、可視化を要求しているデータにもアクセスできる必要があります。

アナリティクスの生成を構成するには、admin ロールが必要です。

ユーザーは、ロールに関係なく、生成された可視化を、編集権限を持つ任意のダッシュボードに追加できます。

Activation (アクティブ化)

Analytics Generation は、 クリエーターの Now Assist (sn_now_creator) アプリケーションとともにインストールされます。このアプリケーションは、 ServiceNow Store Web サイトからインストールできます。

サポートされている **Now Assist** スキル

アナリティクスの生成では、現在、データ可視化生成スキルのみがサポートされています。

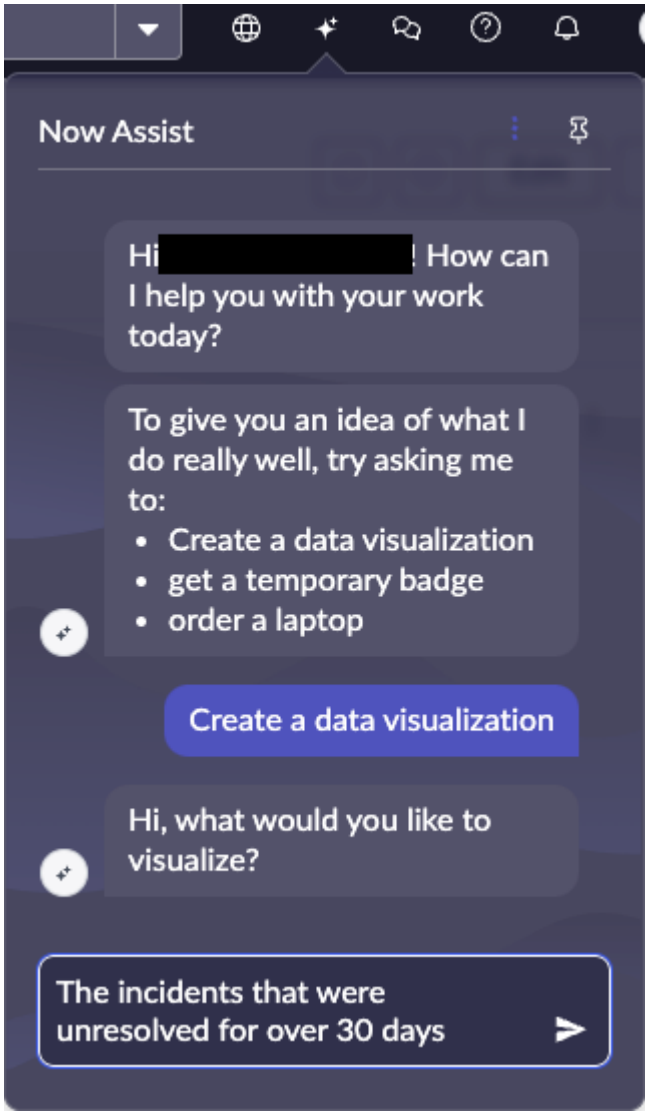
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポート対象のユーザーインターフェイス

データ可視化生成スキルにアクセスするには、 Now Assist で会話を開始し、 プラットフォームアナリティクス データソースから利用可能な情報を要求します。

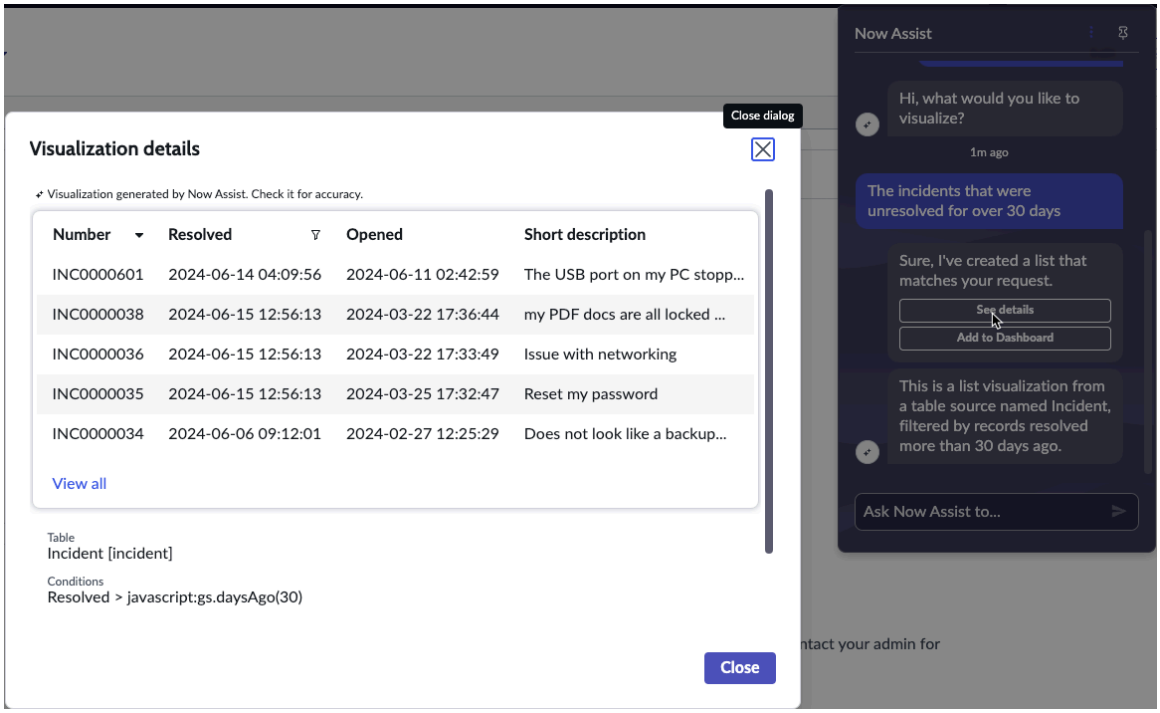
Now Assist にデータの可視化を依頼する



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成されたデータの可視化の例



ガイドラインと質問例

このセクションでは、データの可視化を生成するために [Now Assist] パネルで尋ねることができるガイドラインと一般的な質問をいくつか紹介します。

Now Assistにデータの可視化の生成を依頼するときは、次のガイドラインに従ってください。

質問は正確にしてください

- 必要なデータの件名には、「インシデント」や「変更要求」などの正しい用語を使用してください。テーブルの名前がわかっている場合は、その名前を質問に含めます。
- あなたの条件はできるだけ詳細かつ正確にしてください。「30 日間解決されていないすべてのインシデント」とは言わず、「作成されてから 30 日後にまだオープンだったすべてのインシデント」と言ってください。
- 特定の可視化タイプが必要な場合は、その旨を伝えます。

質問を試す

変更されたバージョンを含め、質問をどこかに保存してください。質問を保存すると、結果を簡単に比較できます。

データの可視化を生成するときは、よく見てください。あなたが知りたいことが本当に表示されているかどうかを確認してください。満足するまで質問を絞り込み続けてください。

注:
データ可視化の生成では、アナリティクス Q&A と同じエンジンを使用します。したがって、詳細については、「 アナリティクス Q&A」の質問ガイドラインを参照してください。

例

オープン中のインシデントの数を優先度 で表示

[優先度] 列の値に従ってグループ化されたインシデントテーブルのレコードのグラフを示します。

タスク SLA を円グラフで表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ここでは、タスク SLA レコードの円グラフを求めていますが、レコードをグループ化するフィールドを指定していません。 Now Assist では、選択できるフィールドのリストが表示され、選択に基づいて円グラフが表示されます。

アサイン先グループが空でない場合の未解決の問題を表示

[アサイン先グループ] フィールドに値があるレコードのみを表示するようにフィルタリングされた、問題 [problem] テーブルのレコードリストを提供します。

高優先度のタスクの合計数を表示

優先度 2 (高) のタスクテーブルの一意のレコード数 (個別のカウント集計) を含む単一のスコアチャートを提供します。

今月作成されたタスク、優先度別にグループ化

今月作成されたタスクテーブルのレコードを [優先度] フィールドの値でグループ化した棒グラフを示します。

アナリティクス生成の構成

クリエーターの Now Assist アプリケーションでアナリティクス生成スキルを有効にして、アナリティクスを使用して生成 AI 機能をユーザーに提供します。

始める前に

クリエーターの Now Assist アプリケーションをインストールします。詳細については、「Install Now Assist for Creator」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

データの可視化の生成は、アナリティクスの生成に現在使用できる唯一のスキルです。このスキルを使用すると、組織全体の開発者が会話 プラットフォームアナリティクス データの可視化を生成できます。

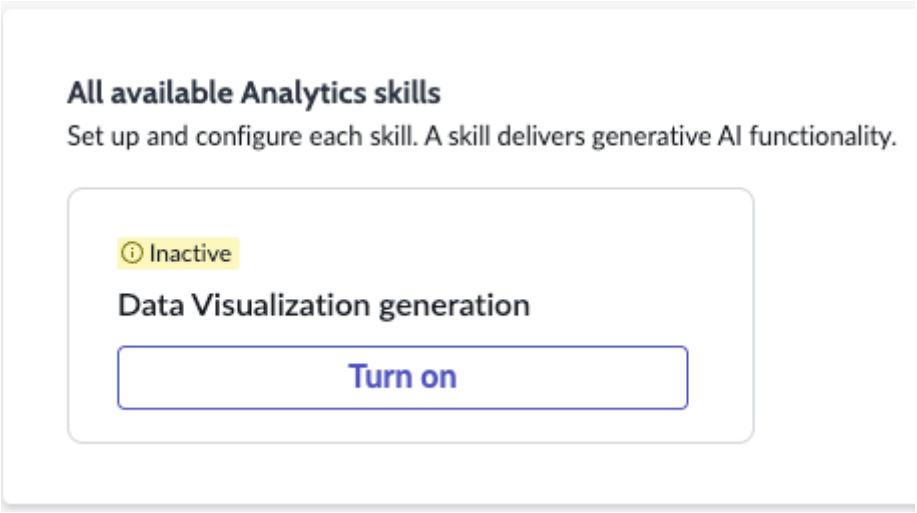
> **重要:**
> アナリティクスの生成には、 クリエーターの Now Assistの別のサブスクリプションが必要です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > *Now Assist* アドミン > 機能.
   既に *Now Assist* アドミン コンソールが表示されている場合は、[Now Assist 機能] タブを選択します。
2. ナビゲーションパネルで、 **Creator** ワークフローを選択します。
3. [分析の生成] カードで、[詳細を表示] を選択します。
4. [利用可能なすべてのアナリティクススキル] で、データ可視化生成用のカードを見つけます。

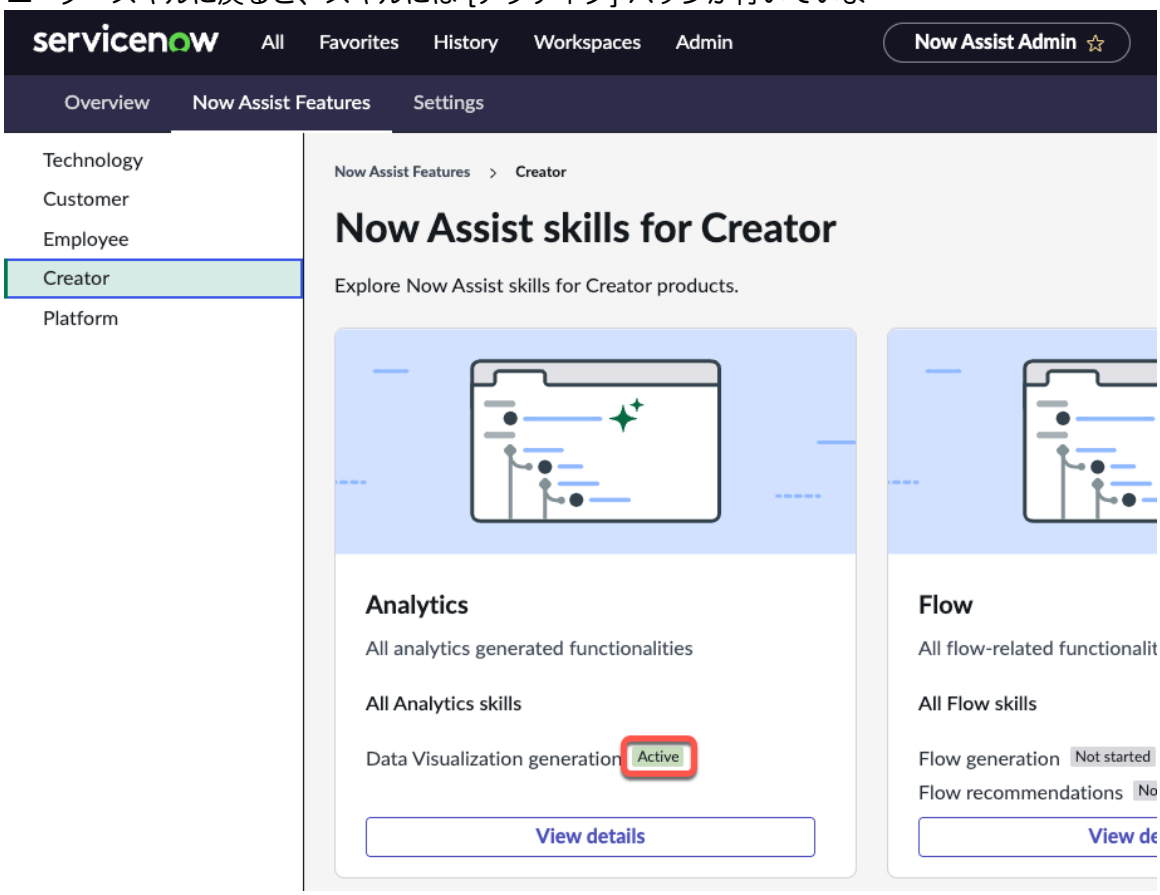
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [オンにする] を選択します。

タスクの結果
スキルが正常にアクティブ化されると、システムから通知されます。また、クリエータースキルに戻ると、スキルには [アクティブ] バッジが付いています。



アナリティクス生成を使用

Now Assistパネルで、表示するデータの可視化を作成するよう生成 AI に要求します。編集可能なダッシュボードを表示している場合は、そのダッシュボードに可視化を追加できます。

始める前に
クリエーターの Now Assist がインスタンスにインストールされ、データ可視化スキルがアクティブ化されている必要があります。そうでない場合は、アドミンにお問い合わせください。

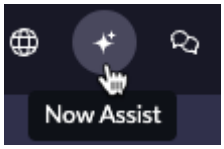
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

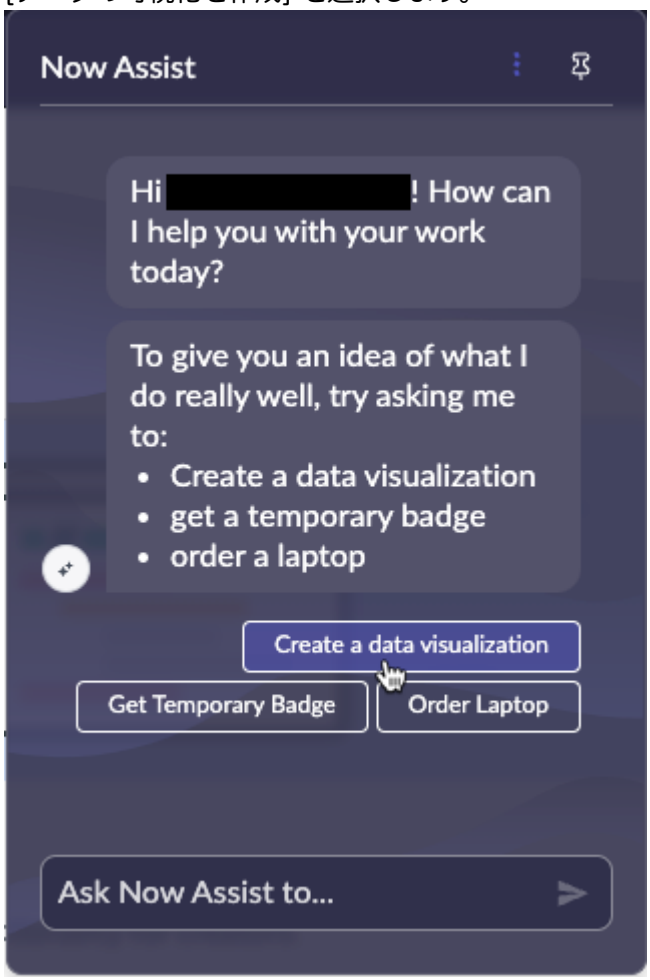
必要なロール:now.assist.creator、now.assist.analytics.creator、 および now_assist_panel_user。表示するデータにアクセスする必要があります。可視化をダッシュボードに追加する場合は、そのダッシュボードに対する編集権限が必要です。

手順

1. 編集可能な可視化をダッシュボードに追加する場合は、そのダッシュボードを開きます。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > ダッシュボード.
2. Now Assistパネルを開きます。



3. [データの可視化を作成] を選択します。



4. 表示するデータを要求します。
たとえば、「オープンインシデントを優先度別に表示できますか?」と尋ねます。次に、active=true の場合、優先度ごとに分割されたインシデント数のグラフを取得します。グラフの種類を指定することもできますが、すべてのグラフがサポートされているわけではありません。質問の種類の詳細については、「 ガイドラインと質問例 」および「 データの可視化の生成に関する制限」を参照してください。

> **注:**
> アナリティクス生成は、ユーザードメインとアクセス制御リストを尊重しながら、タスク [task] テーブル階層内のデータの可視化のみを返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 可視化をダッシュボードに追加するには、 [ダッシュボードに追加] を選択します。
   編集可能な任意のダッシュボードから選択できるペインが開きます。可視化を格納する新しいダッシュボードを作成することもできます。ただし、テクニカルダッシュボードはサポートされていません。
6. 可視化を編集するには、 可視化デザイナーで [編集] を選択します。
   viz_creatorロールを持っている場合は、可視化をデータ可視化ライブラリに保存できます。詳細については、「でデータの可視化を編集する 可視化デザイナー」を参照してください。
7. 表示される可視化を変更するためのオプションの反復プロセスがあります。

   a. 質問に対して [はい] を選択します 生成された可視化を変更しますか?



   b. 「何を変更しますか **(What would you like to** modify)」というプロンプトに応えて、次のいずれかを要求します。

   - 同じチャートグループ内の別のチャート。たとえば、水平バーから垂直バーへの変更や、折れ線グラフ (時系列) から縦棒グラフ (時系列) への変更を要求できます。ただし、水平バーは棒グラフグループにあり、線グラフは時系列グラフグループ内にあるため、水平バーから線グラフに変更することはできませんでした。
   - グラフグループがグループ化をサポートしている場合は、別のグループ化基準。
   - 異なる傾向 (時系列グラフがある場合)。
   - 別のフィルタークエリ

   変更によって別のチャートグループが必要となる場合は、その旨が通知されます。同じグループ内のグラフタイプの提案や、最初からやり直すオファーが表示される場合があります。

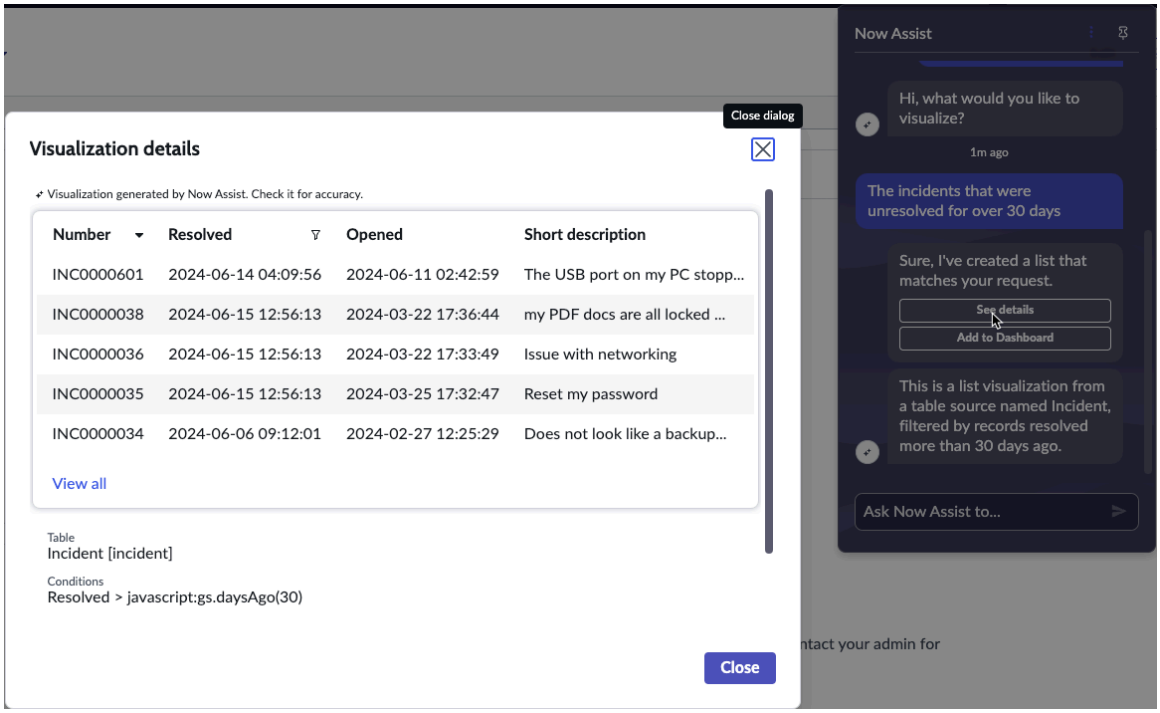
タスクの結果

生成されたデータの可視化が得られます。この可視化は、収まる場合は Now Assist パネル内にあります。その場合は、ポップアウトするオプションがあります。可視化が収まらない場合は、デフォルトでポップアウトされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成されたデータの可視化の例



データの可視化の生成に関する制限

アナリティクス生成は幅広いクエリとシナリオを処理するように設計されていますが、特定のケースは現在サポートされていないか、部分的にしかサポートされていません。

サポートされていないクエリ

クエリコンテンツ	例	制限事項
グラフのタイプ	「過去 3 か月間のオープンインシデントの折れ線グラフを表示してください。」	次のチャートタイプのみがサポートされています。 • スコア:シングルスコア、ダイヤル、ゲージ • バー:水平バーと垂直バー • 円/ドーナツ • 時系列:面、折れ線、縦棒、散布図、スプライン、ステップ • 簡易リスト
Data source (データソース)	「未解決の問題を表示」	タスクテーブル階層内のテーブルデータソースのみがサポートされています。
[複数のグループ化] 条件	「グループおよびステータス別にオープン中のインシデントを表示 (Show me open incidents by group and state)」	アナリティクスの生成では結果が生成されますが、考慮されるのは最初の「group by」節 (group) のみです。2 番目の 'group by' 句 (state) は、現在の出力では無視されます。
複数の期間	「先週、月、および年のオープンインシデントを表示してください。」	アナリティクス生成は現在、複数の期間のデータを同時に要求するクエリを処理できません。一度に処理できる期間は 1 つだけです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされていないクエリ (続く)

クエリコンテンツ	例	制限事項
競合する条件または補完的な条件	「先週の解決済みと未解決のケースを表示してください。」	アナリティクス生成では、[ステータス] 列の最初の条件 (解決済み) のみが検出されます。2 番目の条件 (未解決) は誤って解釈され、誤って別の列にマップされたり無視されたりする可能性があります。
複数のデータテーブル	「高優先度のインシデント、問題、および変更を表示」	アナリティクス生成は最初のテーブルのみを識別し、他のテーブルを無視します。
英語以外のクエリ	--	英語のみがサポートされています
テクニカルダッシュボード	--	データの可視化は、インラインエディターで作成されたダッシュボードにのみ追加できます。技術ダッシュボードはサポートされていません。

制限を回避するための可能な方法

- 一度に 1 つの「group by」句に焦点を当てることで、クエリを簡素化します。
- クエリごとに 1 つの期間を指定します。
- 1 回のクエリで複数の条件を使用しないようにします。

アナリティクス生成の参照

アナリティクス生成の背後にあるクエリ生成バックエンドの詳細。

2025 年 2 月のストアリリース以降、アナリティクス生成では、 自然言語クエリー エンジンの代わりに LLM ベースのエンジンである Text to Query が使用されます。Text to Query を使用すると、 自然言語クエリーよりも緩やかで自然なデータ視覚化の要求が可能になります。

注:
セマンティックレイヤーは現在、タスク [task] 階層のテーブルのみをサポートしています。

統一ナビゲーションの [クエリの生成] で、アナリティクスの生成に関連付けられたセマンティックレイヤー、セマンティックフィルター、およびログを確認できます。セマンティック定義やフィルター条件の調整については、 カスタマーサービス & サポート にご相談ください。

警告:
[クエリ生成] のテーブルやその内容を変更しないでください。希望する変更については、 カスタマーサービス & サポート にご相談ください。

パフォーマンスアナリティクス (インジケーターデータソース)

ServiceNow® パフォーマンスアナリティクス は、インジケーター (KPI) を利用して重要なビジネス上の質問に答えるプラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。 パフォーマンスアナリティクスは、品質向上とサービスデリバリコストの削減に役立ちます。

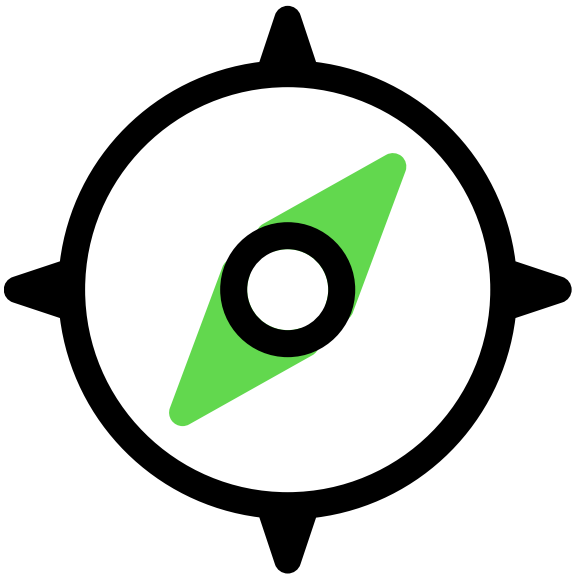
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

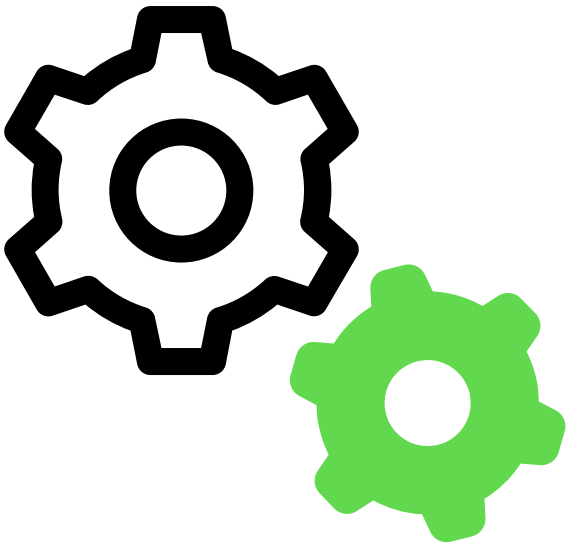
KPI Composer、KPI 詳細、スポットライトなどの パフォーマンスアナリティクス ツールを使用すると、管理者やその他のステークホルダーがリアルタイムデータを使用して現在のステータスに対処し、傾向を正確に評価できます。

パフォーマンスアナリティクス の詳細



インジケーター、ブレークダウン、データ収集などの パフォーマンスアナリティクス 概念と機能について説明します。

パフォーマンスアナリティクス **Fundamentals** の構成

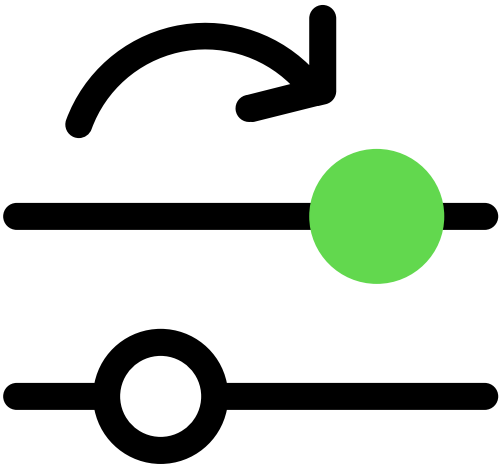


パフォーマンスアナリティクスソリューションを設計し、インジケーターとブレークダウンを構成し、集計を適用する方法について説明します。

自動翻訳

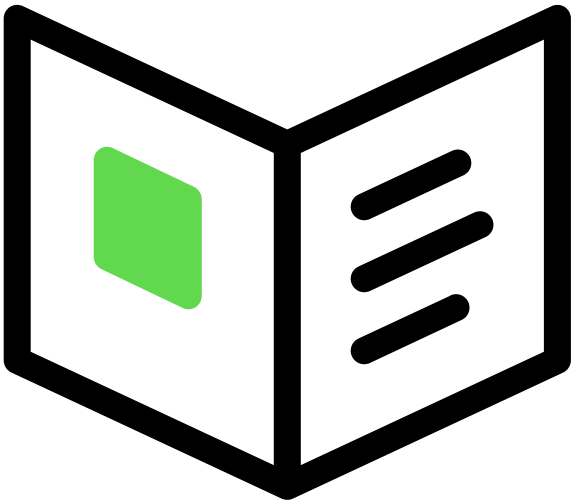
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細構成 パフォーマンスアナリティクス



スポットライト、診断、ログ記録などの高度な機能を掘り下げます。

参照



ロール、システムプロパティ、用語集

トラブルシューティングとサポート

- で質問し、専門知識を共有してください ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート
- Performance Analytics トレーニング
  - Performance Analytics Essentials
  - Performance Analytics Fundamentals
  - Performance Analytics Advanced

パフォーマンスアナリティクス の詳細

パフォーマンスアナリティクスユースケース、コンポーネント、アーキテクチャを確認し、製品の実装を開始します。

パフォーマンスアナリティクス は、企業が目標に対する進捗状況を設定、追跡、分析できるようにすることで、ビジネストランスフォーメーションを促進します。より多くの人々をより短い時間でより良いデータに結び付け、本当に重要なことに集中できるようにします。この 5 分間のビデオを視聴して、 パフォーマンスアナリティクス を使用してサンプルビジネスシナリオを解決する方法を学習してください。

https://player.vimeo.com/video/1056082790?h=c51d5ad62a&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

パフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むさまざまなダッシュボードが組織の ITSM 部門のさまざまなペルソナにどのように役立つかについてのビデオについては、「 ITSM Success Dashboard indicators 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パフォーマンスアナリティクスは、以下によってパフォーマンスを向上させ、継続的なサービス改善を加速させます：

- 重要なプロセスのメトリクスと傾向を追跡する。
- 組織のターゲットに対してプロセスの健全性と動作を測定します。
- プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定します。
- ロールベースのダッシュボードで履歴およびリアルタイムのプロセス健全性統計を継続的に視覚化し、個々のステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行えるようにします。

パフォーマンスアナリティクスを使用するメリットは次のとおりです。

インサイトを瞬時に提供

従業員は、データベースやスプレッドシートからデータをエクスポートする代わりに、ボタンをクリックするだけで、関連性のあるパーソナライズされたインサイトを得ることができます。すぐに古くなってしまうレポートを手動で作成する必要はありません。

信頼できる唯一のバージョンの確立

視覚化を定義し、一貫性のある正確なデータに基づいていることを確認することで、チームが前向きな変化を推進するために使用できる現実の単一バージョンを提供できます。

価値実現までの時間を短縮

数か月ではなく数週間以内に パフォーマンスアナリティクス を実装し、データインサイトをすばやく活用します。

継続的改善に向けた取り組み

パフォーマンスアナリティクス は、改善が必要な領域を特定するのに役立ちます。主要なインジケーター、モバイル対応のスコアカード、タイムチャート、ドリルダウン、およびダッシュボードに基づいて行動します。

ヒント:
パフォーマンスアナリティクス の使用の概要については、Performance Analytics Essentials コースを受講してください。

パフォーマンスアナリティクス コンセプト

ServiceNowプラットフォームには独自性があるため、パフォーマンスアナリティクスでは業界の標準とは異なる用語や概念を使用しています。

注:
パフォーマンス分析は、ベンチマークなどの他のアプリケーションで使用されます。以下の情報は、パフォーマンス分析のコア機能について説明しています。パフォーマンス分析を使用するその他のアプリケーションについては、それらのアプリケーションのドキュメントを参照してください。

パフォーマンスアナリティクス には次の概念とコンポーネントが含まれています。

主要コンポーネント

Indicators (インジケーター)

(KPI) は、定期的に取得されるビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動のパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。企業はこれらのスコアを追跡して、現在の状況を測定し、傾向を予測します。

技術的には、インジケーターは、データセットとデータ集計 (カウントなど) をオプションの条件と組み合わせます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化と KPI 詳細で表示または分析できます。コア UIで、ダッシュボードのアナリティクスハブまたはウィジェットに表示します。

利便性を向上させるために、インジケーターをテーマ別にインジケーターグループに整理することができます。

同義語：メトリック、ビジネス評価指標、KPI

ブレークダウンおよび要素

を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。アナリティクスハブ、KPI 詳細、およびダッシュボードにブレークダウンを適用できます。

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレークダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

1 つのインジケーターに 2 つ以上のレベルのブレークダウンを適用することはできません。

同義語：様相、ドリルダウン

データコレクター

は、プロセステーブルの定期的なスナップショットを取得してスコアテーブルとスナップショットテーブルに保存するエンジンです。データコレクタージョブを設定することで、スケジュールに従って自動的に実行できます。通常、インジケーターソースの頻度と一致するスケジュール済みジョブを設定します。1 つのジョブは、通常、同じインジケーターソースを使用する複数のインジケーターのスコアを生成します。履歴ジョブなど手動で実行するジョブを設定し、新しいインジケーターのデータを収集するときにのみ実行することもできます。

その他の概念

集計/集計

次のいずれかの機能を参照できます。

- 時間に伴った集計、収集、インジケーター スコアの パフォーマンスアナリティクス機能。このインジケーター構成にはインジケーター スコアが収集される周期が含まれます。
- ある期間に集められたインジケーター スコアに適用される統計機能。例えば、インジケーター スコアに 3 か月の合計を適用することができます。集計関数は、インジケーターフォーム、または アナリティクスハブ かウィジェットの後のいずれかに追加できます。アナリティクスハブ またはウィジェットの集計関数は、時系列の名前が付けられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンマッピング

インジケーターソースへの関係または「マッピング」ブレークダウンを指定します。ブレークダウンマッピングは、インジケーターソースのフィールドを指定するか、インジケーターソースをクエリするスクリプトを指定します。後者はスクリプト化されたブレークダウンマッピングと呼ばれることがあり、このようなマッピングを使用するブレークダウンはスクリプト化されたブレークダウンと呼ばれます。

ブレークダウンソース

ブレークダウン要素と呼ばれる一意の値のうち、ブレークダウンに含まれるものを指定します。 ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。たとえば、オープン変更の数インジケーターにすべてのアサイン先グループを表示するのではなく、ブレークダウンソースを構成して、変更プロセスの一部であるグループのみに要素リストを制限できます。

バケットグループ

たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化します。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコードには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

日

パフォーマンスアナリティクスの 1 日は常に 24 時間で定義されます。パフォーマンスアナリティクス では「営業日」という概念を使用しません。

インジケーターソース

は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからのフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーター ソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーターソースの条件には、通常、[オープン] [次の値に等しい **(=)**] [今日] のような日付関連のフィルターが含まれます。収集頻度の低いインジケーターでは、[クローズ済み] [次の値に等しい **(=)**] [今月] のような広い日付範囲を指定できます。

スクリプト化されたブレークダウン

スクリプトを使用してインジケーターソースをブレークダウンマッピングとしてクエリするブレークダウンです。

スナップショット

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

は、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

レコードのスナップショット/リストは、 アナリティクスハブ または KPI 詳細で取得できます。

スナップショットは、メインのインジケーターと最初のレベルのブレークダウン用に保持されます。ブレークダウレベル 2 のスナップショットは、ブレークダウンレベル 1 の 2 つのスナップショットリストの共通部分として派生されます。

レコードにスポットライトを当てる

スポットライト機能を使用して、見落としがちなレコードを照らします。

重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高いアイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスはベース システムに含まれているパフォーマンスアナリティクスの限定版であり、これを使って機能に慣れることができます。パフォーマンスアナリティクス に登録すると、すべての機能を利用できます。

注:
無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス を使用する代わりに、非本番インスタンスでサブスクリプションなしで パフォーマンスアナリティクス の全機能を備えたプラグインをアクティブ化することができます。

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス には次の機能と制限があります。

- パフォーマンスアナリティクス 管理コンソールが含まれており、これを使用して パフォーマンスアナリティクス の全機能セットをアクティブ化することができます。
- インジケーターの追加や削除はできません
- 今日の日付から起算して、最大 180 日間の履歴スコアが可視化されます。
- グローバル ドメインでのみ使用可能です

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスを試すには、次の場所に移動します。パフォーマンスアナリティクス > **Guided Setup** をクリックし、インシデント管理ガイド付きセットアップを起動します。この設定では、インジケーター、ブレークダウン、ソース、データ収集、および結果表示のガイドが表示されます。

無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスを使用してスポットライト機能を試すこともできます。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、作業を優先順位付けできるようにします。ライセンスがない場合は、スポットライトをインシデント・レコードでのみ使用でき、スポットライトのインタラクティブ分析にはアクセスできません。スポットライトを試すには、パフォーマンスアナリティクス - スポットライト - インシデントスポットライトプラグインを有効にし、次の場所にあるガイド付きセットアップに従ってください スポットライト > **Guided Setup**. プラグインを有効にするには admin ロールが必要です。

2 時間の無料コース Performance Analytics Essentials では、無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクスで使用できる PA コンポーネントと概念を紹介しています。(登録が必要です。)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パフォーマンスアナリティクスとレポートの比較

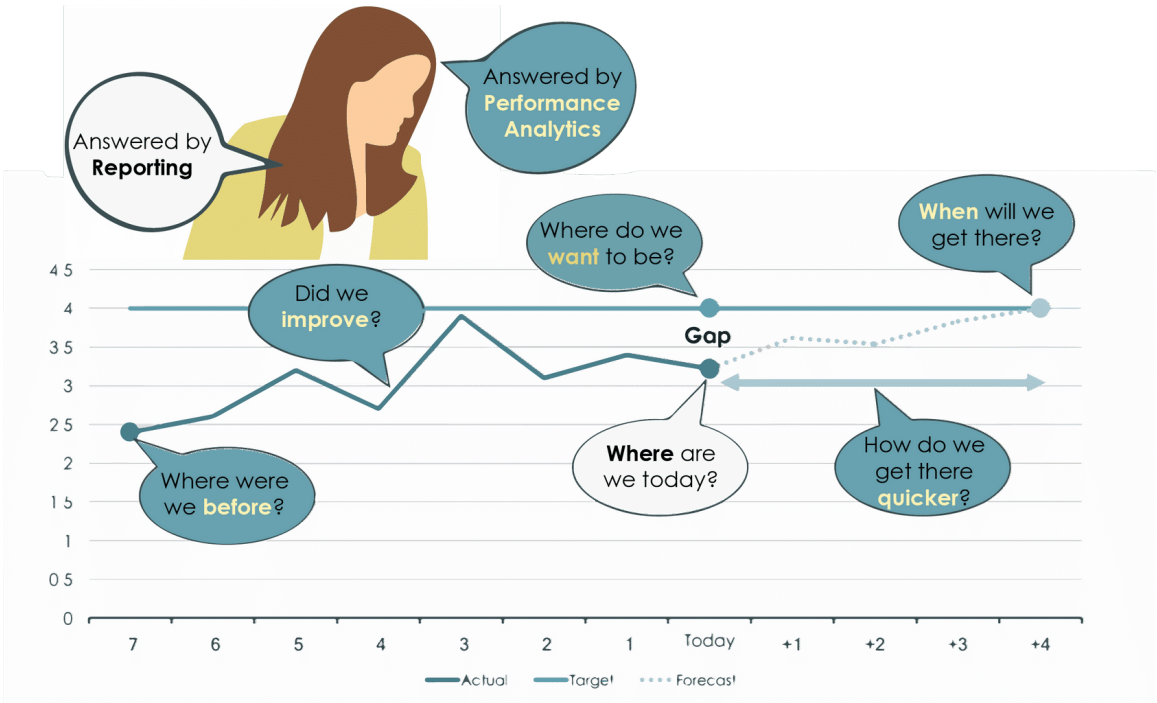
パフォーマンスアナリティクス と レポート は 2 つの異なるアプリケーションです。異なるユースケースに対応し、相互に補完します。

> **注:**
> レポート アプリケーションは段階的に廃止され、Xanadu 以降の正味の新しいインスタンスでアドミン以外のユーザーは利用できなくなります。ただし、テーブルデータソースを使用したデータ可視化と パフォーマンスアナリティクスを使用したデータ可視化の比較は引き続き適用されます。

レポートと分析の境界線は必ずしも明確ではありません。一般的に、レポートは現在の状態を示し、分析は傾向を示します。レポートはレコードの管理に適しており、分析はプロセスの管理に重点を置いています。両方が必要です。

パフォーマンスアナリティクス では、定期的なスケジュールで連続スナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、 レポート は「今日はどこにいるのか」という質問に答え、 パフォーマンスアナリティクス は時間の経過とともに何が起こっているのかという質問に答えます。

プロセスインサイトに関する一般的な質問 レポート および パフォーマンスアナリティクス



スナップショットからの傾向の計算に加えて、 パフォーマンスアナリティクス 次のことができます。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値に達したときにアラートを出します。
- 将来のパフォーマンス予測
- さまざまな時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスの測定基準を使用して価値実現までの時間を短縮します。

最後に、レポートソリューションの開発は試行錯誤しながら行うことができますが、Performance Analytics には機能の仕組みに関する予備知識が必要です。本番環境に実装する前に、 パフォーマンスアナリティクス ソリューションを慎重に計画し、テストする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
トレーニングなしで パフォーマンスアナリティクス を構成しようとしないでください。設計が不十分な パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、パフォーマンスに深刻な影響を与え、インスタンスを不安定にする可能性があります。初回トレーニングである Performance Analytics Essentials は無料で利用できます。

関連情報

- インジケーターの計画立案
- インジケーターを作成するためのワークフロー
- を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer

パフォーマンスアナリティクス の実装

パフォーマンスアナリティクス の使用を開始してサービスレベルを向上させるには、次の手順に従います。

適切に実装された パフォーマンスアナリティクス ソリューションにより、社内の特定のユーザーのニーズに合わせて調整された一連のダッシュボードが作成されます。例については、 ITSM Success Dashboard indicators からリンクされているビデオを参照してください。

計画して準備する

改善を評価して推進するための目標と測定値を定義します。

1. 測定して改善するビジネスプロセスを特定します。
2. これらのビジネスプロセスの健全性に影響を与える要素と動作を特定します。
3. 測定するメトリクスを決定します。

パフォーマンスアナリティクスソリューションの計画と準備に役立つツールについては、「を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer」を参照してください。

端を発する プラットフォームアナリティクスソリューション

新しいインジケーターを作成する前に、 プラットフォームアナリティクスソリューション で利用可能な組み込みのダッシュボードとインジケーターを試してください。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

1. アナリティクスソリューションの説明に従って、ライセンスエンタイトルメントを確認し、該当するソリューションをアクティブ化します。
2. インジケーターとブレークダウンのソースが正しいテーブルを参照していることを確認します。
3. 組織のニーズに合わせてインジケーターとブレークダウンをカスタマイズします。

.

データの収集

収集ジョブは、必要な頻度で実行されるように構成し、アクティブ化する必要があります。

1. データコレクタージョブをスケジュールしてアクティブ化します。
2. 履歴データコレクタージョブをワンオフとして実行し、空のインジケーターを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

結果を共有

ビジネスプロセスのストーリーを伝える実用的な KPI を表示し、意図した閲覧者に適切なレベルの情報を表示します。

1. 利用可能な事前設定されたコンテンツを探索してデータの感触をつかみ、ダッシュボードのカスタマイズを決定します。
2. ステークホルダーにダッシュボードアクセス権を付与します。
3. 組み込みのリアルタイム分析により、誰もがアクションを実行できるようにします。

インジケーターの計画立案

インジケーターを作成する前に、インジケーターで達成したい目標を明確にします。

インジケーターを作成する前に、次の質問を行ってください。

- 対象
  - 何を測定しますか? 何を測定したいかは、ビジネスゴールに向けた進捗状況に基づいていますか? ビジネスゴールから始めて、何を測定するかを決定することを検討してください。次を使用できます: KPI Composer あなたを助けるために。

    オープンインシデントの数などの単純なカウントが必要ですか、それともインシデントの平均経過時間などのより高度なカウントが必要ですか?
  - より良い方が良いですか、それとも少ない方が良いですか?

    たとえば、オープンインシデントの数をできるだけ少なくし、売上の数を増やしたいとします。
  - この数字に最も貢献している要因は何ですか?
  - この数字を歪める要因は何ですか?

    季節。スタッフの数や構成の変化?
  - 数値が良いものから悪いものになったらどうしますか?
- 役割
  - このインジケーターの責任者は誰ですか?

    要求履行者ですか? マネージャーですか?
  - この情報を表示してはいけないのは誰ですか?
- 理由
  - 次に尋ねる質問は何ですか?

    たとえば、オープンインシデントの数がわかったら、そのうちの何パーセントが 30 日を超えてオープンになっているかを知りたい場合があります。
  - この数字は何が起こるかを予測していますか、それとも何が起こったかを示していますか?
- 方法
  - 今日、これを測定していますか?
  - はいの場合、それをどうしますか?
  - いいえの場合、なぜですか?
- Discovery が

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データ変更はどのくらいの速さで変わりますか?
- 見るべき意味のある期間は何ですか?

  日々の変化は意味がありますか、それともノイズが多すぎますか? 実際の傾向を確立するにはどのくらい時間がかかりますか?

- ユースケースに一致するインジケーターが既に存在しますか、それとも独自のインジケーターを構築する必要がありますか?
  - 対象領域の プラットフォームアナリティクスソリューション はインストールされていますか? これらのソリューションには、多くの一般的なユースケースのインジケーターが含まれています。
  - インジケーターリストに、要件に一致する、またはほぼ一致するインジケーターがありますか? 既存のインジケーターを複製して微調整することはできますか?
  - 既存のインジケーターから要件を満たすインジケーター (計算) を作成できますか?

関連情報

アナリティクスソリューション

を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer

パフォーマンスアナリティクスのデータフロー

パフォーマンスアナリティクスを開始する前に、プラットフォーム内でデータがどのように流れるかを理解し、最終的にプロセスの改善を視覚化できるようにします。

1. 日々の事業運営とデータ連携から生成されたデータが、それぞれのビジネスプロセスのテーブルに入力されます。

   例:新しいインシデントを送信すると、インシデントテーブルにレコードが作成されます。

2. アクティブなスケジュール済みジョブが定期的に実行され、プロセス動作のスナップショットが定期的に取得されます。各ジョブは、PA インジケーターとブレークダウンのメタデータに基づいてインジケーター (KPI) スコアを計算します。時間の経過とともに、この連続したスコアの流れによって傾向が構築されます。

   例:収集ジョブでは、インシデントテーブル内のインシデントの数を毎日カウントします。1 か月後、約 30 のデータポイントを含む傾向を表示できるようになります。

3. データスナップショットとスコアは、 パフォーマンスアナリティクス データテーブルに保存されます。これらのテーブルは、 パフォーマンスアナリティクス すべての可視化のソースです。
4. ウィジェットは、傾向ラインや棒グラフなどの特定の形式でインジケーター スコアを表示します。

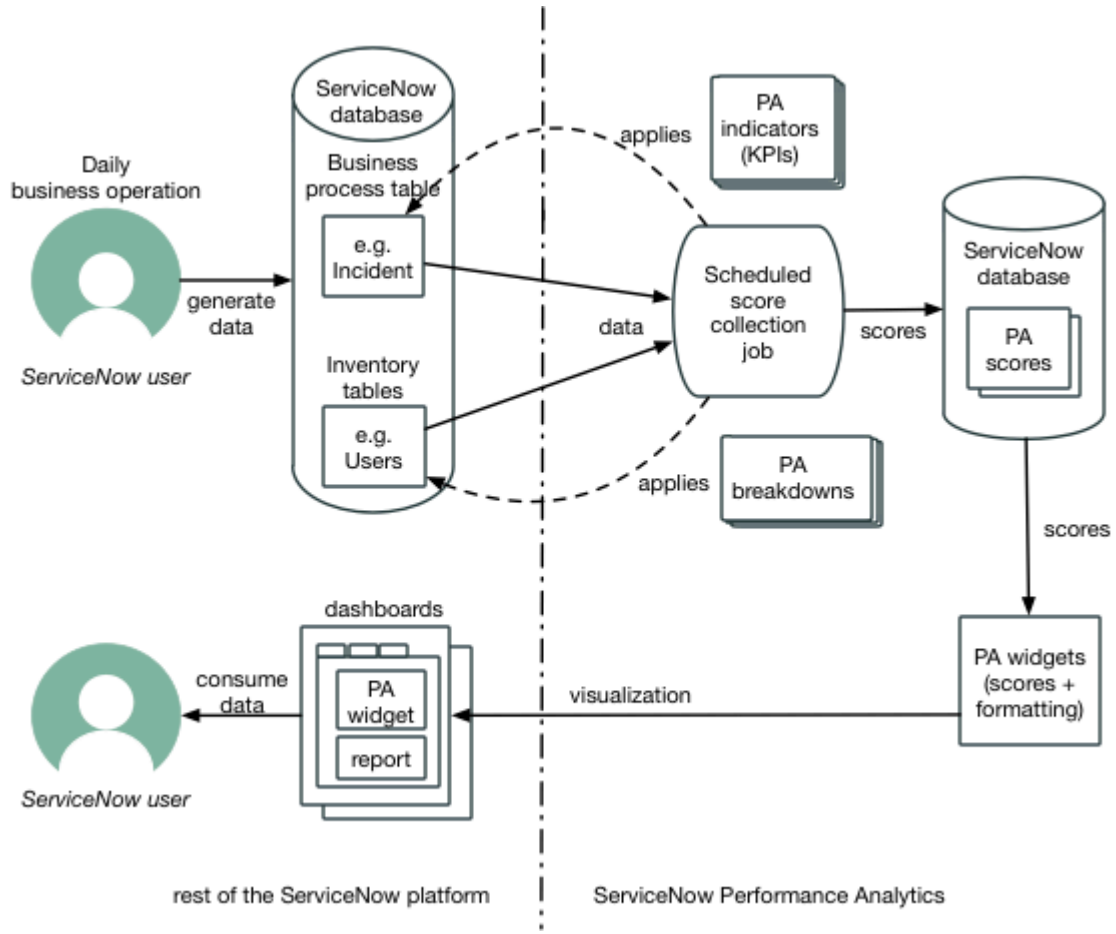
   例:新規インシデントの数は、追跡が可能なインジケーターです。このインジケーターは、適切なウィジェットを構成することで、単一のスコアまたは経時的な日次測定値の傾向として視覚化できます。

5. 複数の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが単一のダッシュボードビューに表示されるため、ステークホルダーは関連するすべてのビジネスプロセス情報を 1 か所で表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスのデータフロー



パフォーマンスアナリティクス **Fundamentals** の構成

インジケーターとブレークダウンを作成および構成します。データを収集します。計算された パフォーマンスアナリティクス スコアを表示します。

パフォーマンスアナリティクス の基本的な使用法の概要については、無料のトレーニング「Performance Analytics Essentials」を受講してください。

注:
すべての可視化において、ハイスコアはメトリクスシステムに従って省略されます。したがって、百万のスコアはMで省略され、(米国)数十億のスコアはGで省略されます。

を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 **KPI Composer**

KPI Composer パフォーマンス管理戦略がビジネスゴールと一致し、エグゼクティブスポンサーからのサポートを受けられるようにします。KPI Composerを使用して、パフォーマンス測定戦略を定義することと、その戦略を内部からパフォーマンスアナリティクスで実現することとの間のギャップを埋めます。ビジネス目標から始めて、インジケーターを使用して最終的なダッシュボードまでのすべてのコンポーネントを計画します。

KPI Composer は、実装目標、望ましいビジネス成果、および必要な技術成果物を簡潔で視覚的に要約して可視化することで、パフォーマンス管理要件を引き出し、ステークホルダーの連携を促進するのに役立ちます。この包括的なアプローチにより、実装者が技術的な成果物の作業に時間を費やす前に、ステークホルダーが望ましい結果と要件について完全に足並みを揃えることができます。準備が整うと、Performance Analytics の実装者は、目標をサポートするために作成する必要があるもの (インジケーター、ブレークダウン、レポート、ダッシュボード) の正確なタスクリストを取得します。また、KPI Composer を使用して実装の進捗状況を追跡することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow University では、KPI Composerの無料トレーニングを利用できます。また、適切に設計された パフォーマンスアナリティクス ソリューションが組織内のさまざまなユーザーにどのように役立つかの例を ITSM Success Dashboard indicators で確認することもできます。

KPI コンポーザーのアクティブ化

KPI Composer は ServiceNow Store で利用できます。次のように移動する。 システム アプリケーション > **ServiceNow Store** を検索をクリックするか、ブラウザーで https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/home を参照します。KPI Composerという名前のアプリケーションを検索します。アプリケーションを本番インスタンスにダウンロードする場合は、 Now Support アカウントが必要です。

アプリケーションをダウンロードしたら、 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).KPI Composerアプリケーションを検索してインストールします。例については、次を参照してください。 のアクティブ化 ServiceNow Store application .

注:
KPI Composerを完全に使用するには、パフォーマンスアナリティクスを使用するための適切なエンタイトルメントが必要です。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ロール

アクセス先：**KPI Composer**

KPI Composerへのアクセスレベルによって、ユーザーがKPI Composerプロジェクトを作成、編集できるか、表示のみできるかが決まります。また、ユーザーがアクセスできるプロジェクトや、基礎となるレコードにアクセスできるか、UI のみにアクセスできるかも決定します。

KPI Composerへのアクセスは、以下を単独で、または組み合わせて決定します。

- ユーザーロール
- 責任
- 共有中に許可されるアクセス

ロールベースのアクセス

アドミニストレーターは、 KPI Composer アドミンまたはユーザーのロールをユーザーに付与できます。KPI Composerアドミンには、KPI ComposerNow Platformアドミンと同じ権限があります。KPI Composerユーザーは、自動的にすべてのプロジェクトにアクセスできるわけではなく、インジケーターまたはブレークダウン定義を実際のパフォーマンスアナリティクスエンティティに関連付けることはできません。

のユーザーロール **KPI Composer**

ロール	包含	説明
sn_kpi_composer.admin または admin	pa_viewer	• レコードを含む、 KPI Composerのすべてのコンポーネントへのフルアクセス。 • すべてのプロジェクトへのフルアクセス。 • プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のユーザーロール **KPI Composer** (続く)

ロール	包含	説明
		• インジケーターとブレークダウンの定義を パフォーマンスアナリティクス インジケーターとブレークダウンに関連付けることができます。
sn_kpi_composer.user	なし	• 自分が作成したプロジェクトにのみアクセスできます。 • 自分が作成したプロジェクトの責任を共有またはアサインできます。 • これらのプロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。 • それぞれの定義に パフォーマンスアナリティクス インジケーターまたはブレークダウンを追加することはできません。 このロールを持つユーザーは、責任または共有されているプロジェクトに基づいて、より多くのプロジェクトにアクセスできます。

パフォーマンスアナリティクスでKPI Composer設計を実装するには、適切なパフォーマンスアナリティクスロールも必要です。

プロジェクトの責任

責任ユーザーは、担当するプロジェクトに対して次のアクセス権を持ちます。

- プロジェクトを表示および編集できます。
- プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。
- これらのプロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。
- それぞれの定義に パフォーマンスアナリティクス インジケーターまたはブレークダウンを追加することはできません。

このレベルのアクセスは、sn_kpi_composer.user ロールが付与するものと同じです。また、プロジェクトを編集権限と共有することと同じです。責任は、まず、どの役割からも独立しているという点で異なります。2つ目の違いは、技術的な違いではなく、手続き的なもので、責任ある利用者は、プロジェクトの監督と実施を担当すると理解されています。したがって、プロジェクトの作成者でさえ、自動的に責任を負うわけではありません。

責任ユーザーは、プロジェクトのプロパティで指定されます。編集権限を持つ任意のユーザーが、担当ユーザーに名前を付けることができます。責任ユーザーの命名の詳細については、「 プロジェクトのプロパティの定義」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

共有プロジェクト

編集権限を持つすべてのユーザーがプロジェクトを共有できます。プロジェクトを共有する場合、次の 2 つのレベルのいずれかにアクセス権を付与します。

アクセスを編集

このレベルのアクセスは、技術的には責任ユーザーまたは sn_kpi_composer.user ロールを持つユーザーのアクセスと同じです。最初の違いは、ロールが不要なことです。2番目の違いは、プロジェクトを監督または実行する責任がないことです。

ビューアクセス

表示アクセス権を持つユーザーは、共有プロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、ブレークダウン定義を読み取ることができます。検索やフィルターなど、すべての表示ユーティリティを使用できます。ただし、プロジェクト内の何も変更することはできません。追加できるのはジャーナルエントリだけです。

詳細については、「KPI コンポーザープロジェクトの共有」を参照してください。

KPI Composer プロジェクト

KPI Composer は プロジェクトに基づいています。KPI Composerの各プロジェクトは、重要業績評価指標 (KPI) ツリーと、それらのツリー内のすべてのアーティファクトの機能的および技術的な定義で構成されます。複数のプロジェクトを作成できます。

KPI Composerプロジェクト UI には、プロジェクトのフェーズに対応する一連の 4 つのタブがあります。

分析

このフェーズでは、ビジネスゴール、重要な成功要因、および測定 (KPI) の階層ツリーを作成します。KPI を概念的に定義し、それらを目標と成功要因にマッピングすることで、必要なすべてのパフォーマンスアナリティクス構成の詳細な機能仕様が生成されます。この仕様はビジネススポンサーによって精査され、技術実装者に明確な方向性を提供します。

ダッシュボードのデザイン

このフェーズでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードの設計仕様を作成します。実装の初期段階でプレゼンテーションの [ダッシュボードの可視化] タブを使用してタイムリーなフィードバックを得ることで、プロジェクトが完了したときにダッシュボード閲覧者が期待する可視化を得ることができます。

データの定義

このフェーズでは、分析中に定義した KPI と一致する パフォーマンスアナリティクス インジケーターの技術仕様を提供します。既存のインジケーターまたは後で作成する適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターに KPI をリンクさせることができます。

レビュー

このフェーズでは、プロジェクトの設計コンポーネントを確認し、システム定義の健全性チェックを実行して、 パフォーマンスアナリティクスでプロジェクトを実装するためのタスクリストを生成します。

KPI Composer プロジェクトの作成

KPI Composerを使用する最初のステップとして、プロジェクトを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

自動翻訳

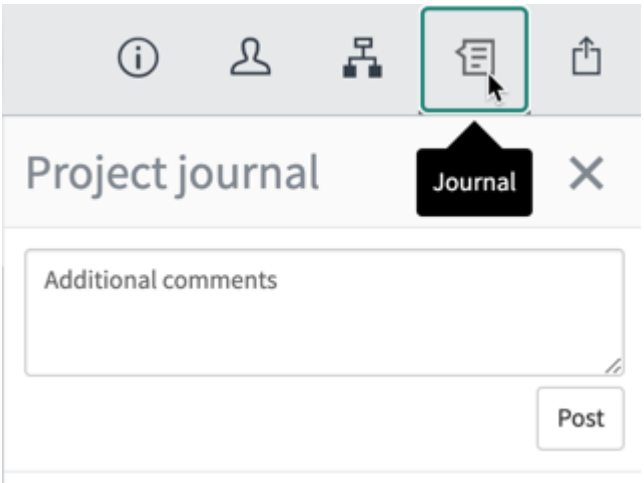
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** > プロジェクト をクリックし、[新規] をクリックします。
2. 「新規プロジェクトの作成」ダイアログで、プロジェクトにわかりやすい名前を付け、「 保存」をクリックします。

タスクの結果
プロジェクトが作成され、[プロジェクト] ページに表示されます。

次のタスク
プロジェクトで作業するときは、プロジェクトジャーナルで共同で追跡します。



プロジェクトのプロパティの定義

プロジェクトプロパティでは、ナレッジ記事、所有者、および連絡担当者をプロジェクトに関連付けることができます。

始める前に

注:
プロジェクトのプロパティは、アーティファクトプロパティの [情報] タブに似ています。スコープが異なるだけです。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成または開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にある情報アイコン ( ) をクリックします。
3. プロジェクトにわかりやすい名前を付けます。
4. 他のユーザーがプロジェクトの目的を理解できるように、プロジェクトの詳細な説明を追加します。
5. このプロジェクトで達成したい事業達成目標を指定します。
6. 次のいずれかの詳細を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトに関連する情報を含むナレッジ記事。任意の数のナレッジ記事をリンクできます。
- 責任ユーザー。責任あるユーザーは、完全な編集権限を持っていますが、プロジェクトの実装にも責任を持つことが期待されています。この責任により、責任ユーザーは、プロジェクトが編集権限と共有されているユーザーと区別されます。
- 連絡担当者

プロジェクトにペルソナを追加する

各プロジェクトには、設計する パフォーマンスアナリティクス ソリューションでさまざまなロールを持つ複数のペルソナがあります。ペルソナは、サービスデスクマネージャーやサービスオーナーなどの、社内のロールです。

始める前に

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

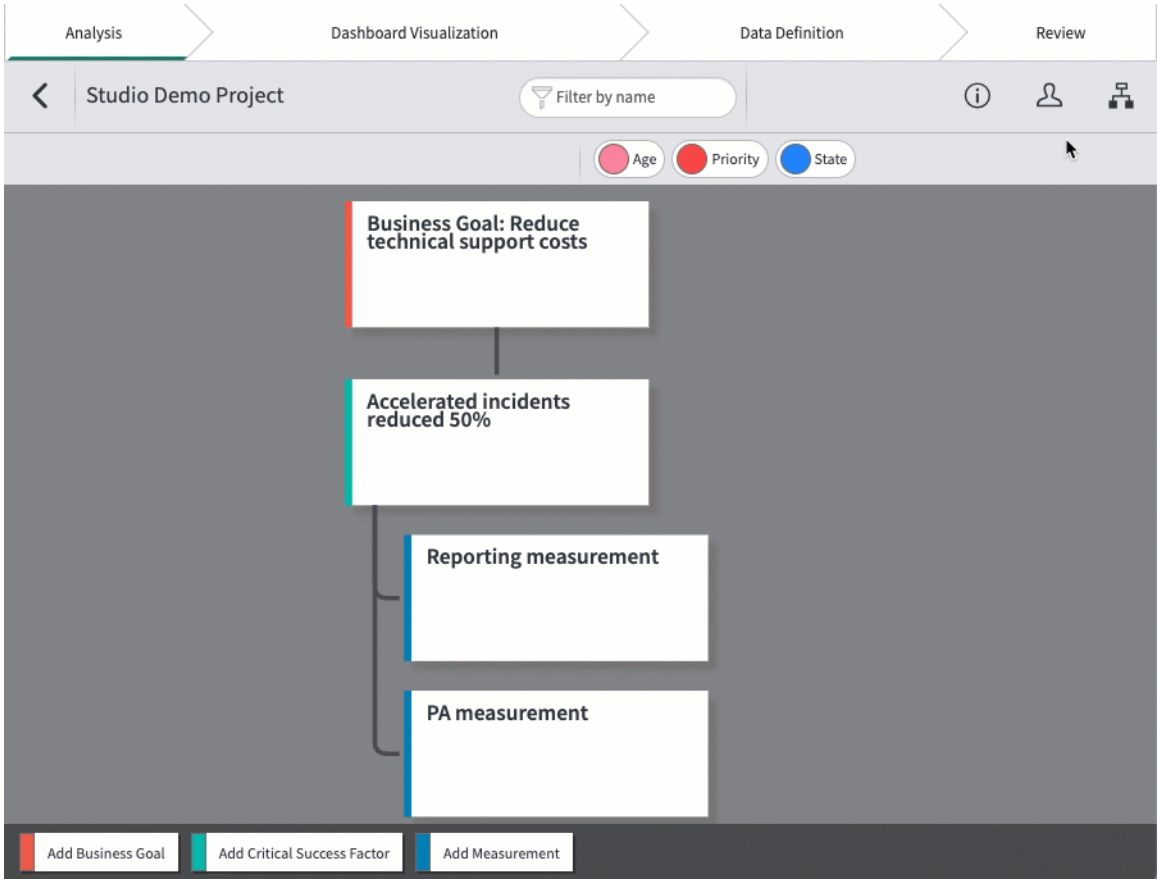
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成または開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にあるペルソナアイコン ( ) をクリックします。
3. [ペルソナ] ダイアログで、[項目の追加] をクリックします。
4. 新しいペルソナの名前を入力し、テキスト ボックスの外側をクリックします。
   ペルソナは、KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。各ペルソナは、名前に含まれる最初の 2 つの単語 (1 つの単語の場合は最初の 2 文字) に基づいて、2 文字の識別子を自動的に取得します。
5. さらにペルソナを追加するには、これらの手順を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ペルソナを KPI Composer プロジェクトに追加

次の短いアニメーションでは、ペルソナとしてエージェントと CIO をプロジェクトに追加する方法を示しています。次に、CIO ペルソナをビジネスゴールに追加する方法を見ていきます。



次のタスク
ペルソナをキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグして、それらのアーティファクトに追加します。アーティファクトに追加できるペルソナの数に制限はありません。アーティファクトに 3 つ以上のペルソナがある場合、ペルソナのフルネームは非表示になります。フルネームを表示するには、ペルソナをポイントします。
Ctrl/Command キーまたは Alt/Option キーを押しながらペルソナをアーティファクトにドロップすると、次の高度な機能がアクティブになります。

Ctrl キーを押しながらドロップします
: ドロップ先のアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトにペルソナを追加します。

Alt キーを押しながらドロップします
: ドロップ先のアーティファクトからペルソナを削除します。

Ctrl キーと Alt キーを押しながらドロップします
: ドロップされたアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトからペルソナを削除します。

ブレークダウン定義別にデータをグループ化

各プロジェクトには、KPI でデータをグループ化するために使用できる一連のブレークダウン定義を含めることができます。これらのブレークダウン定義は、最終的に作成する パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンの仕様を提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

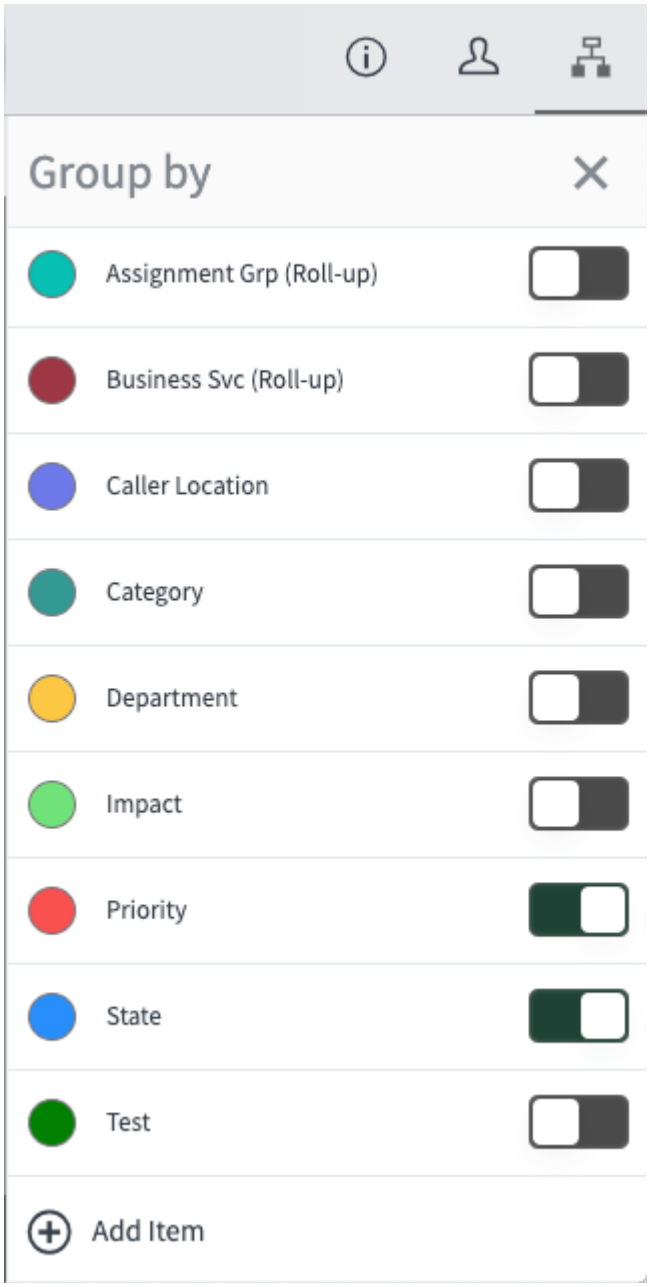
始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成または開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にある [Group by] アイコン ( ) をクリックします。
3. [Group by] ダイアログで、スライダーを使用して、プロジェクトに含めるブレークダウン定義を選択します。



選択したブレークダウン定義が KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。ここから、アーティファクトにドラッグできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

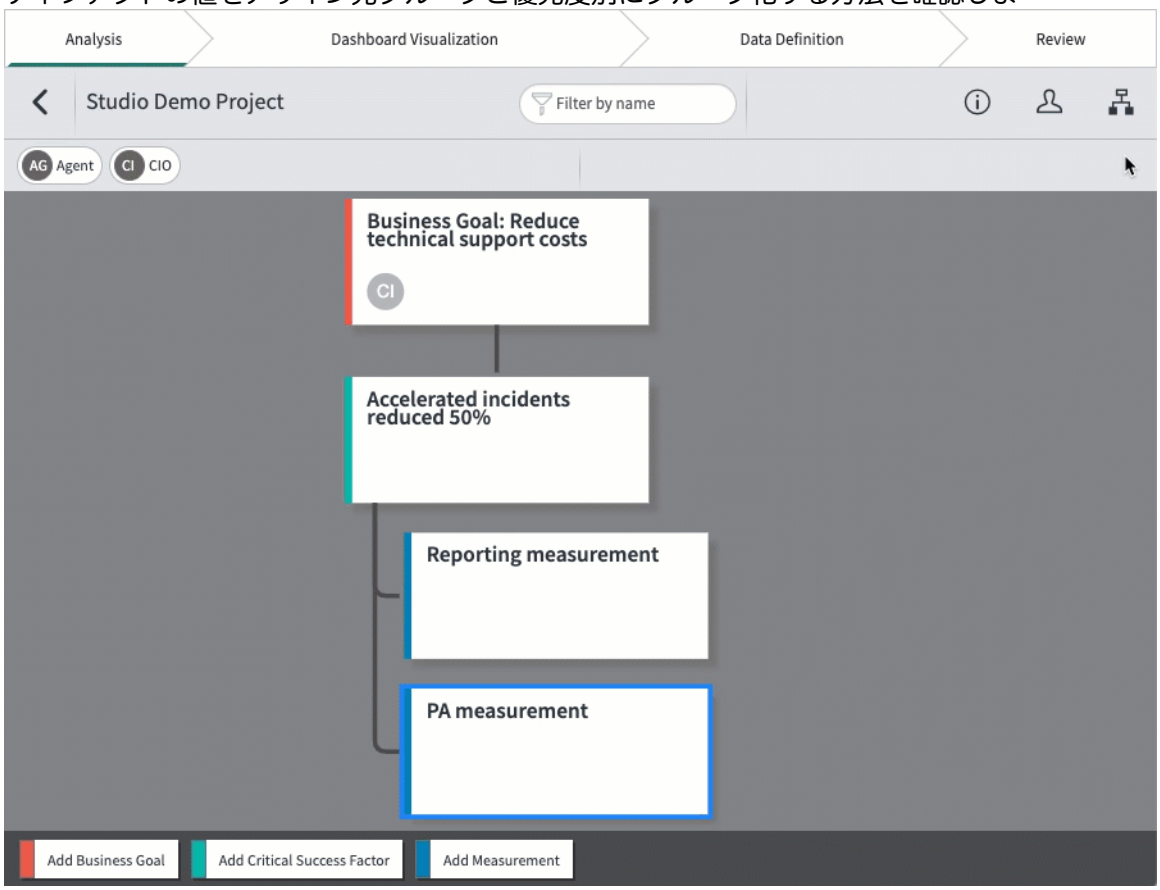
4. 新しいブレークダウン定義をプロジェクトに追加するには、[項目の追加] をクリックして用語を入力します。



新しいアイテムが [グループ] リストに表示され、一致するブレークダウン定義レコードが作成されます。

Example: KPI Composerプロジェクトのブレークダウン定義の選択

次の短いアニメーションでは、プロジェクトのブレークダウン定義である [アサイン先グループ]、[影響度]、および [優先度] を選択する方法を示しています。次に、KPI ツリーアーティファクトの値をアサイン先グループと優先度別にグループ化する方法を確認します。



次のタスク

ブレークダウン定義 (「グループ化」アイテム) をキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグします。アーティファクトに関連付けられたデータは、任意の数のブレークダウン定義でグループ化できます。アーティファクトのカラードットは、アーティファクトがグループ化されているブレークダウン定義を示します。これらのブレークダウン定義の名前を表示するには、アーティファクト上の色付きのドットのいずれかをポイントします。

Ctrl / Command キーまたは Alt / Option キーを押しながらブレークダウン定義をアーティファクトにドロップすると、次の高度な機能がアクティブ化されます。

Ctrl キーを押しながらドロップします

ドロップ先のアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトにブレークダウン定義を追加します。

Alt キーを押しながらドロップします

ドロップ先のアーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Ctrl キーと Alt キーを押しながらドロップします

ドロップされたアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

ブレークダウンの定義

ブレークダウン定義で実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンをビルドする方法について、機能的な説明を入力します。適切な パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンができたら、ブレークダウン定義でそのブレークダウンにリンクできます。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin (パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンにリンクするため)、admin。担当ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへのリンクへのリンクを除き、ロールは必要ありません。

このタスクについて

KPI コンポーザープロジェクトに追加するブレークダウン定義は、実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンではありません。これらは、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンの内容を説明するプレースホルダーにすぎません。KPI Composerブレークダウン定義では、次のいずれかまたは両方の情報を指定します。

- パフォーマンスアナリティクスエキスパートが実際のブレークダウンを作成するために必要な詳細情報。
- 要件を満たす既存の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへの参照。

手順

1. [分析] タブで、[Group by] アイコン ( ) をクリックします。
2. 定義するブレークダウンの名前をクリックします。
3. 次の情報を入力します。

フィールド	説明	メモ
PA ブレークダウン (sn_kpi_composer.admin および admin ロールに制限されています)	このインスタンスに存在する パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン。	ブレークダウン定義に パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへの参照がない場合は、そのブレークダウンの作成を検討してください。
ファクトテーブル	パフォーマンスアナリティクスブレークダウンのブレークダウン ソースが参照する必要があるテーブル。	ブレークダウンを作成するための重要な情報。
条件	ブレークダウン ソースまたはブレークダウン自体のファクト テーブルに適用するフィルター条件。	

プロジェクトのジャーナルエントリの書き込み

ジャーナルエントリで KPI Composer プロジェクトを追跡する

始める前に

必要なロール:表示アクセスを含む、 KPI Composer プロジェクトへのアクセス権を持つすべてのユーザーがジャーナルエントリを書き込むことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

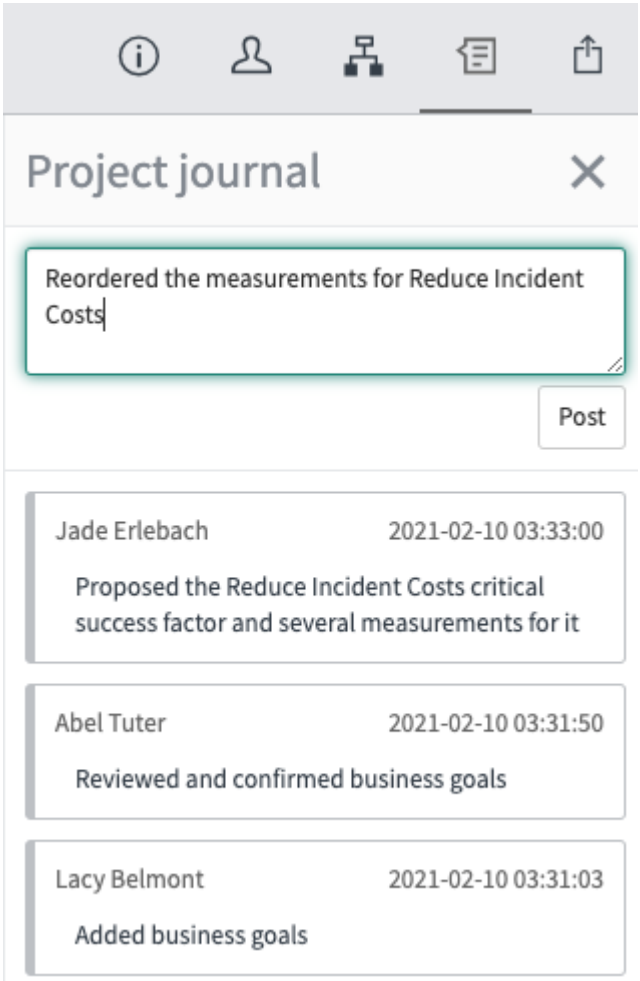
前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. ジャーナルアイコン ( ) をクリックします。
2. ジャーナルエントリを書きます。
3. [**Post**] をクリックします。

タスクの結果
投稿されたすべてのジャーナルエントリは、降順で表示されます。



自動翻訳

KPI コンポーザープロジェクトの共有

自分が所有している、または担当している KPI Composer プロジェクトを共有できます。ユーザーに読み取り/書き込みアクセスまたは読み取り専用アクセス権を付与できます。

始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

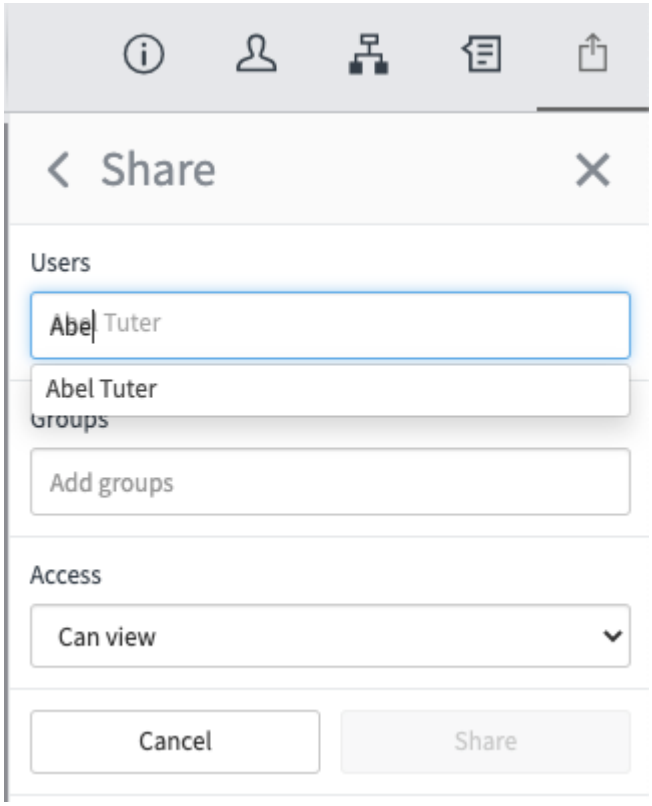
KPI Composer プロジェクトの作成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
編集権限を持つプロジェクトを共有する場合、そのユーザーは技術的には責任あるユーザーと同じ権限を持ちます。違いはプロジェクト管理に関係しています:プロジェクトを共有したユーザーは単にプロジェクトを編集できるのに対し、責任あるユーザーはプロジェクトの実装の成功に責任があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成または開きます。
2. ツールバーの [共有] アイコン ( ) をクリックします。
3. [グループとユーザーの追加] をクリックします。
4. 入力して、グループまたはユーザーのいずれかを検索します。



5. [表示可能] または [編集可能] アクセスのいずれかを選択します。
6. [共有] または [キャンセル] を選択します。

KPI Composerプロジェクトのエクスポート

インスタンス間で KPI Composer プロジェクトをコピーするには、まずプロジェクトを JSON ファイルとしてエクスポートします。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

このタスクについて
次のフィールドはプロジェクトとともにエクスポートされません。

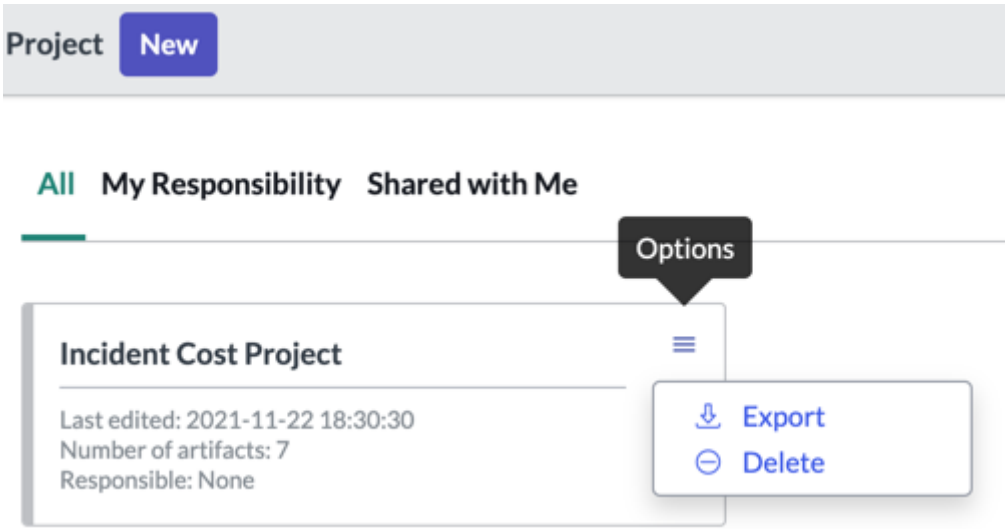
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 責任ユーザー
- 担当者
- プロジェクトジャーナルエントリ
- ナレッジ記事への参照

手順

1. **KPI Composer** に移動します。
   プロジェクトカードのページが開きます。
2. エクスポートするプロジェクトの [オプション] メニューから [エクスポート] を選択します。



3. エクスポートされないフィールドに関する通知をお読みください。
4. [ダウンロード] をクリックします。

タスクの結果
KPI Composerプロジェクトは、コンピューターのダウンロード先に JSON ファイルに保存されます。ファイル名の形式は ProjectExport.[ですProject_name]。[タイムスタンプ].json。たとえば、「インシデントコストプロジェクト」という名前のプロジェクトの場合、エクスポートファイル名は ProjectExport.Incident_Cost_Project.2021-11-22_19_13_20.json です。

KPI Composerプロジェクトのインポート

エクスポートされた KPI Composer プロジェクトがある場合は、インスタンスにインポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** > プロジェクトをインポート.
2. [ファイルを選択] を選択し、ファイル システム内のエクスポートされたプロジェクトに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [インポート] を選択します。
   同じプロジェクトのコピーが既にある場合は、インポートによって上書きされます。

タスクの結果
これで、プロジェクトを KPI Composerで開くことができます。

分析と **KPI** ツリー

KPI コンポーザーの [分析] タブで、KPI ツリーを設計します。ビジネスゴール、それに関連する重要な成功要因、およびそれらの要素に関連する測定を指定します。これらの要素と、それらを担当するペルソナとの間の論理的な関係をグラフ化します。

KPI ツリーには、次の階層的に関連する アーティファクトが含まれています。

ビジネスゴール

通常、ビジネスゴールは KPI ツリーの一番上に配置します。この目標は、このプロジェクトから得られるダッシュボードで達成したいことを表しています。ビジネス目標は、「コスト効率」や「品質保証」などです。

重要な成功要因

これらの要素をビジネスゴールの下に置き、ビジネスゴールを達成するために組織が行う必要があることを特定します。重要成功要因は、ビジネスゴールまたはその他の重要成功要因の下に置くことができます。

測定

重要な成功要因のパフォーマンスを測定する方法を決定します。測定は、KPI ツリーの中で最も「インジケーターに近い」アーティファクトです。それらには、測定方法の機能的な説明が含まれています。さらに、測定の責任者と、この測定がさまざまなプロジェクトで使用される場合の連絡先を保存できます。

KPI ツリーには、次のドラッグアンドドロップアイコンを含むヘッダーとフッターがあります。

- フッターの左側にあるアーティファクト
- ヘッダーの右側にあるブレークダウン定義 (ブレークダウン定義別にデータをグループ化 を参照)
- ヘッダーの左側にあるペルソナ (プロジェクトにペルソナを追加する を参照)

フィルタリング

[分析] タブでは、次のフィルターオプションを使用できます。

- ペルソナでフィルタリングします。ヘッダーのペルソナアイコンを選択して、ペルソナにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のペルソナを選択できます。この場合、選択したペルソナの少なくとも 1 つにリンクされているアーティファクトがハイライト表示されます。
- ブレークダウン定義によるフィルタリング。ヘッダーの [ブレークダウン定義] アイコンを選択して、ブレークダウンにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のブレークダウンを選択できます。この場合、選択したブレークダウンの少なくとも 1 つにリンクされているアーティファクトがハイライト表示されます。
- テキストにフィルターを適用します。フィルターフィールドにテキストを入力し、フィールドから離れます。そのテキストを含むすべてのアーティファクトがハイライト表示されます。

すべてのフィルター機能は相互に使用できます。

自動翻訳

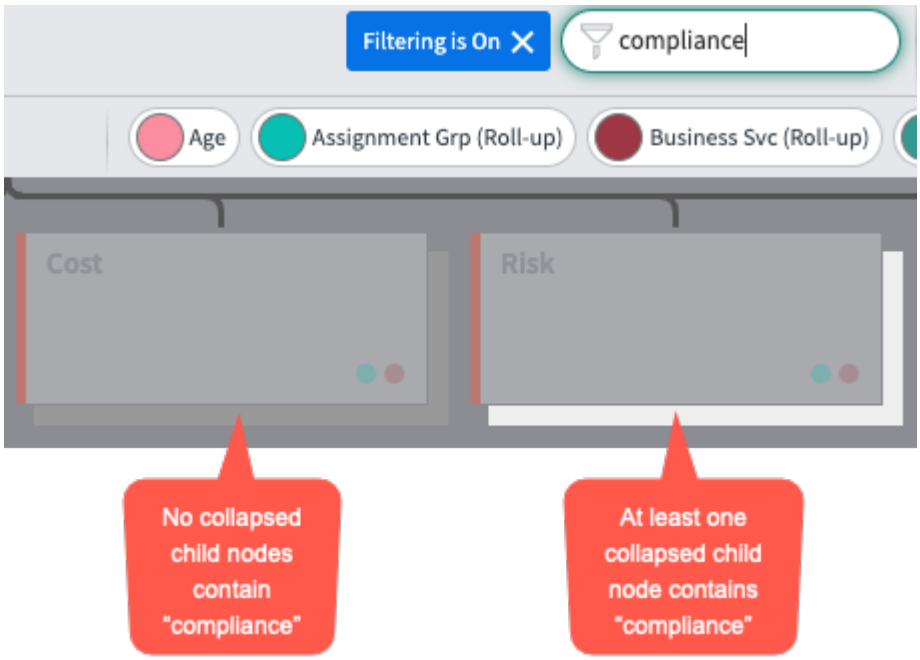
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ツリーノードの展開と折りたたみ

大きな KPI ツリーで作業する場合は、現在作業していないツリーの部分を閉じることができます。ツリーの一部を折りたたむには、子アーティファクトを持つアーティファクトのマイナス - アイコンをクリックします。折りたたまれたノードは、トップレベルのノードの下に影として表示されます。折りたたまれたノードを展開するには、プラス + アイコンをクリックします。



フィルターまたは検索が折りたたまれて非表示になっているアーティファクトと一致する場合、ツリーは展開されません。代わりに、最上位の要素は灰色のままですが、"影" は白に変わります。



KPI ツリーへのアーティファクトの追加

プロジェクトキャンバスの下部にあるドラッグアンドドロップタイルを使用して、KPI ツリーにアーティファクトを追加します。

始める前に

プロジェクトに取り掛かる前に、ビジネスゴールと重要な成功要因について検討してください。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. **KPI** コンポーザーに移動し、プロジェクトを開くか作成してから、[分析] タブに移動します。
2. 画面の下部にある KPI ツリーアーティファクトを見つけます。

3. ビジネスゴールアイコンをプロジェクトの上部にドラッグします。
   計画をシンプルにするために、通常はプロジェクトごとに 1 つのビジネスゴールがありますが、ビジネスゴールを他のビジネスゴールの子として持つこともできます。
4. 「アーティファクトのプロパティ」の説明に従って、ビジネスゴールのプロパティを設定します。
   これらのプロパティは、アーティファクトタイルの [編集] アイコン ( ) をクリックして後で編集できます。
5. 重要な成功要因と測定についてこのプロセスを繰り返します。

自動翻訳

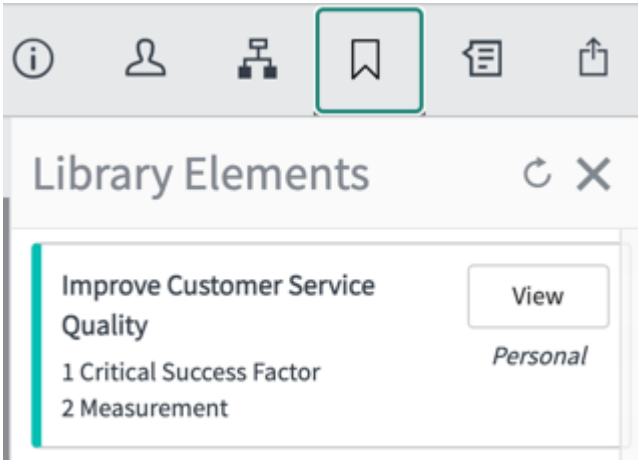
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーティファクトを別のアーティファクトの上にドロップして、新しいアーティファクトを既存のアーティファクトの子として表示します。重要成功要因は、ビジネスゴールまたはその他の重要成功要因の子にすることができます。測定は、任意のアーティファクトの子にすることができます。

6. すべてのアーティファクトを作成して構成する代わりに、既存のライブラリ要素を追加できます。

   a. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。

   b. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。



詳細については、「クロスプロジェクトライブラリ要素」を参照してください。

次のタスク

ツリー内の関係について気が変わった場合は、既存のアーティファクトを選択して別のアーティファクトにドラッグすることができます。アーティファクトの順序を変更することもできます。子アーティファクトを親にドラッグして、兄弟の中で一番上の位置に移動します。

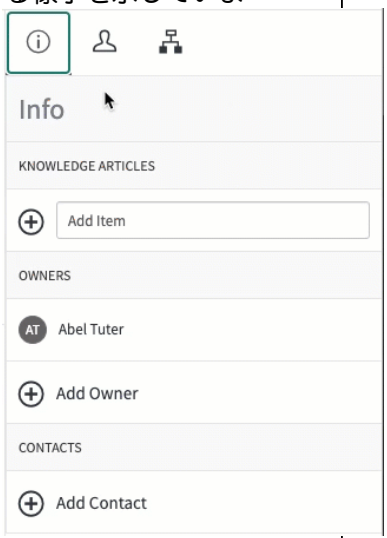
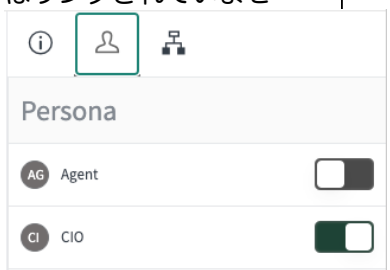
アーティファクトプロパティ

KPI ツリー内の各アーティファクトは、ナレッジベース記事、ペルソナ、またはブレークダウン定義を参照できます。

プロパティ	説明	例
[Name (名前)]	一意で意味のある名前	高品質で費用対効果の高いビジネス上の解決策 (ビジネスゴールのアーティファクト用) インシデント解決コストの合計 (測定アーティファクトの場合)
説明	他のユーザーがアーティファクトの目的を理解し、冗長性を回避するのに役立つ、アーティファクトの詳細な説明	推定給与および機会費用を含む、インシデントが発生してから解決されるまでの合計コスト
ターゲット	パフォーマンスアナリティクスによって必要な将来のパフォーマンス向上。インジケーターの定量的ターゲットスコアがまだない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% の削減。

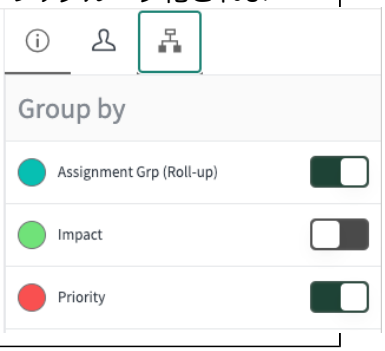
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
この要素をライブラリリンクに追加	このアーティファクトと KPI ツリー内の子アーティファクトを、マルチプロジェクトの再利用可能なライブラリ要素に追加します。	詳細については、「クロスプロジェクトライブラリ要素」を参照してください。
情報 	次のいずれかの詳細を指定します。 • アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。任意の数のナレッジ記事をリンクできます。 • アーティファクトオーナー • 連絡担当者	この短いアニメーションは、ナレッジ記事がアーティファクトに追加されている様子を示していま  す。
ペルソナ 	現在プロジェクトにリンクされているペルソナ。アーティファクトのプロパティでは、アーティファクトに追加および削除できるのはペルソナのみです。プロジェクトにペルソナを追加する方法については、「プロジェクトにペルソナを追加する」を参照してください。	この画像では、エージェントと CIO のペルソナがプロジェクトにリンクされています。CIO ペルソナはアーティファクトにリンクされていますが、エージェントペルソナはリンクされていませ  ん。
グループ 	プロジェクトに対して選択された 1 つ以上のブレークダウン定義によって、アーティファクトに関連付けられたデータをグループ化します。プロジェクトにブレークダウン定義を追加する方法については、「ブレークダウン定義別にデータをグループ化」を参照してください。	この画像では、アサイン先グループ、影響度、および優先度のブレークダウン定義をアーティファクトに使用できます。アーティファクトのデータは、アサイン先グルー

自動翻訳

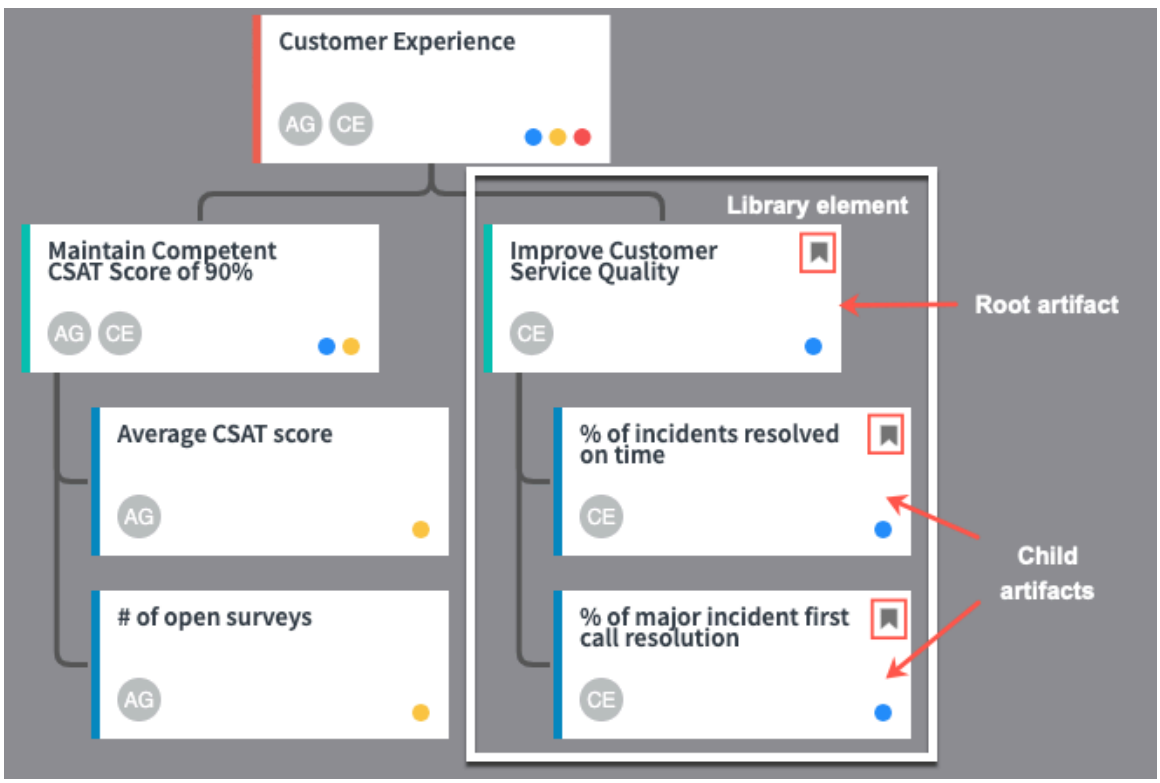
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
		プでのみグループ化されま  す。

クロスプロジェクトライブラリ要素

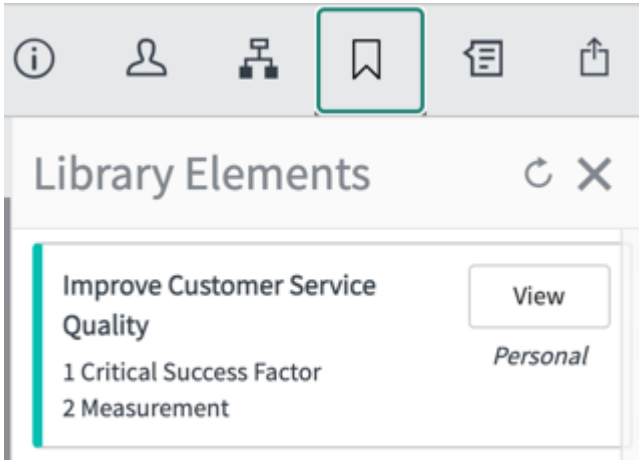
ライブラリ要素は、複数のプロジェクトで再利用できる単一のアーティファクトまたはアーティファクトのツリーです。

各ライブラリ要素には 1 つのルートアーティファクトがあります。そのアーティファクトのすべての子アーティファクトは、ライブラリ要素に含まれます。次の画像は、[カスタマーサービス品質の向上] の重要な成功要因に基づくライブラリ要素を示しています。その子である 2 つの測定アーティファクトは、ライブラリ要素に自動的に含まれます。



ライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグするには、任意のプロジェクトの [分析] タブにある [ライブラリ要素] メニューから行います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ライブラリ要素の作成

KPI ツリー内のアーティファクトとその子を、 KPI Composer プロジェクト間ライブラリ要素に変換します。

始める前に

少なくとも 1 つのアーティファクトを含む KPI ツリーを持つ既存のプロジェクトが必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

このタスクについて

注:
ライブラリ要素はネストできます。つまり、子孫に別のライブラリ要素を含むアーティファクトからライブラリ要素を作成できます。元のライブラリ要素の要素は、新しい上位レベルの要素に含まれています。元のライブラリ要素はまだ存在し、単独で KPI ツリーに含めることができます。

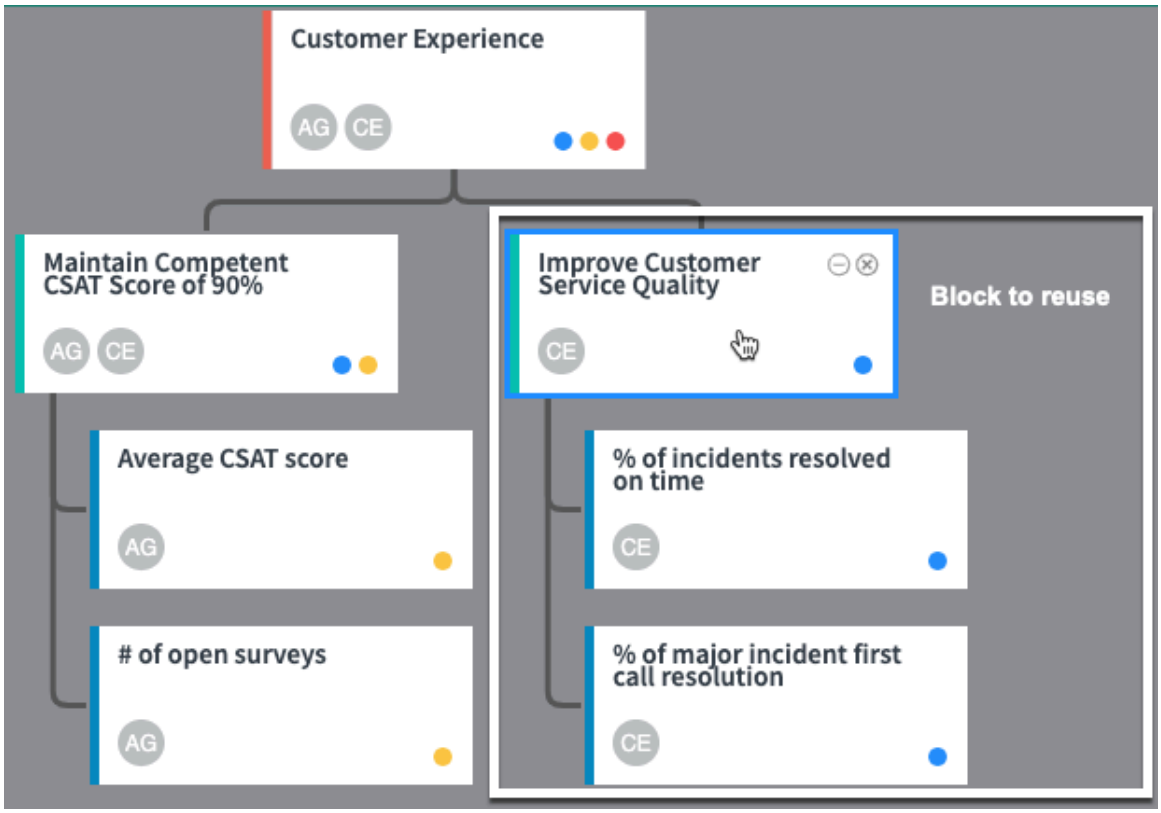
手順

1. KPI Composerプロジェクトの [分析] タブを開きます。
2. ツリーでアーティファクトを選択します。
   他のプロジェクトで再利用できるようにするアーティファクトを選択します。アーティファクトのグループを再利用する場合は、ルートアーティファクトを選択します。ルートアーティファクトのすべての子孫アーティファクトがライブラリ要素に含まれます。

   Example
   この例では、「カスタマーサービス品質の向上」の重要な成功要因を再利用します。これを、「時間どおりに解決されたインシデントの割合」と「重大なインシデントの最初の応対での解決の割合」という 2 つの子測定値とともに使用します。

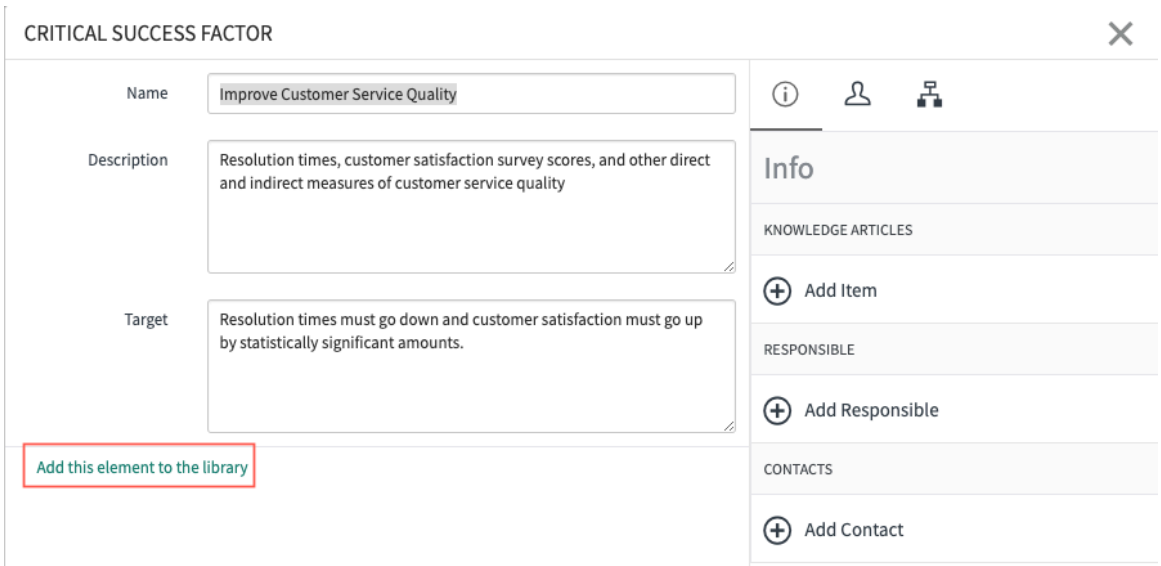
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. アーティファクトのプロパティウィンドウで、[この要素をライブラリに追加] を選択します。

Example
この例では、「顧客サービス品質の向上」アーティファクトのプロパティを開き、「 この要素をライブラリに追加」をクリックしようとしています。



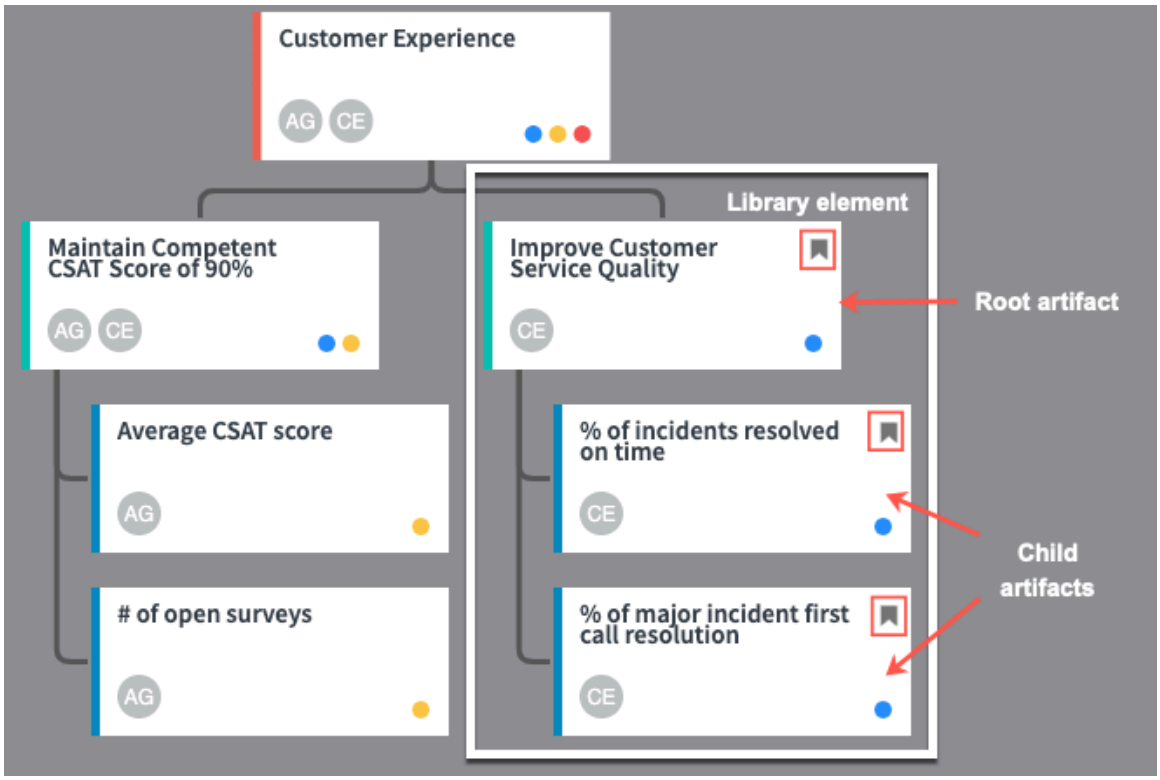
タスクの結果
選択したアーティファクトとその子孫がライブラリ要素に変換されます。各タイルにはブックマークアイコンが追加され、ライブラリ要素に属していることが識別されます。元のプロジェクトでは編集できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 「カスタマーサービス品質の向上」ライブラリ要素

この例は、手順ステップの結果であるライブラリー要素を示しています。ルートアーティファクトは「カスタマーサービス品質の向上」です。ライブラリ要素は、この要素と、「時間どおりに解決されたインシデントの割合」と「重大なインシデントの最初のコールでの解決の割合」の 2 つの測定値で構成されます。



次のタスク
ライブラリ要素は、スコープ内の [個人用] として開始されます。作成したユーザーのみが KPI ツリーに追加できます。admin または sn_kpi_composer_admin ロールを持っている場合は、ライブラリ要素のスコープをグローバルに変更できます。すべてのユーザーが、グローバルライブラリ要素を KPI ツリーに追加できます。
プロジェクト内からライブラリ要素を編集することはできません。

ライブラリ要素の使用

ライブラリ要素を KPI Composer プロジェクトの KPI ツリーに追加します。

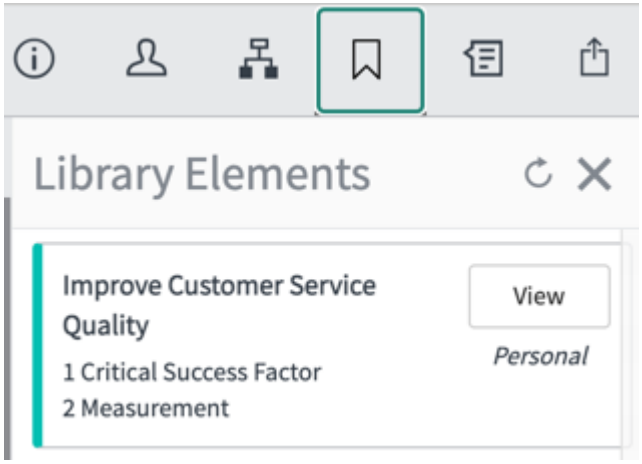
始める前に
使用できるライブラリ要素が少なくとも 1 つ必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > アプリケーション > モジュール.
2. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。
3. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。
   ライブラリ要素のタイルには、要素に含まれるアーティファクトの数とタイプが一覧表示されます。次の画像は、1 つの重要な成功要因と 2 つの測定値を持つライブラリ要素のタイルを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. KPI ツリーからライブラリ要素を削除するには、ルートアーティファクトを削除します。
   ライブラリ要素内の他のアーティファクトからの削除オプションはありません。

次のタスク
ライブラリ要素は、必要な数だけ KPI ツリーに追加できます。同じライブラリ要素は何度でも追加できます。

ライブラリ要素の編集または削除

アーティファクトをライブラリ要素に追加したり、ライブラリ要素をプロジェクトベースのアーティファクトに変換し直したりすることができます。ライブラリ要素内のアーティファクトのデータ定義を編集することもできます。

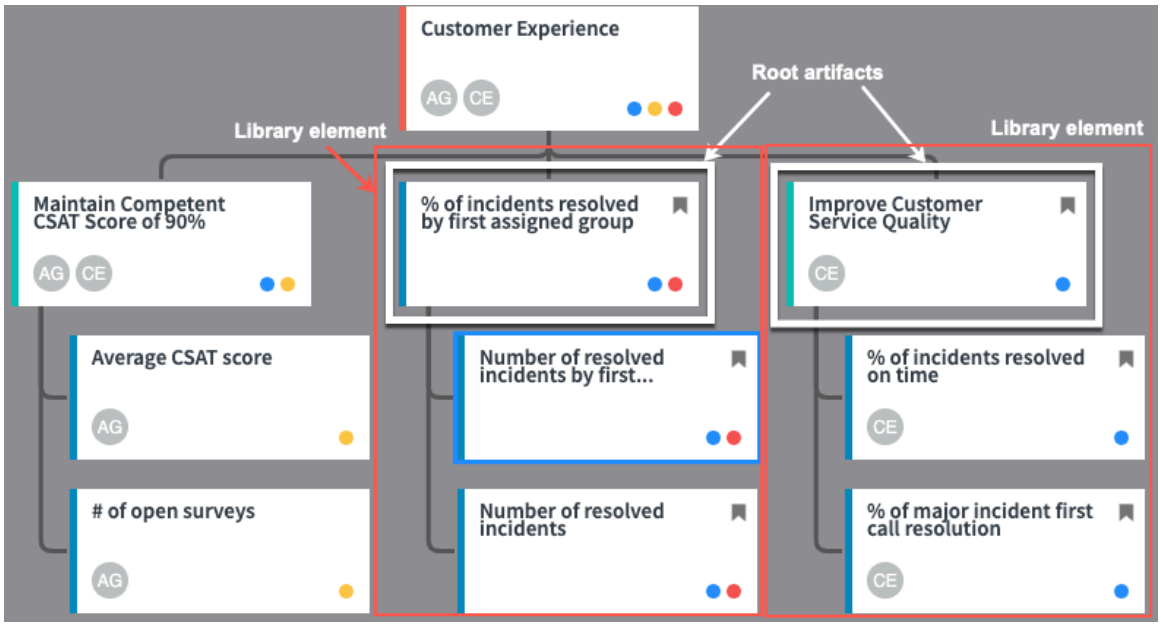
始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin または admin (完全な編集機能の場合)

手順

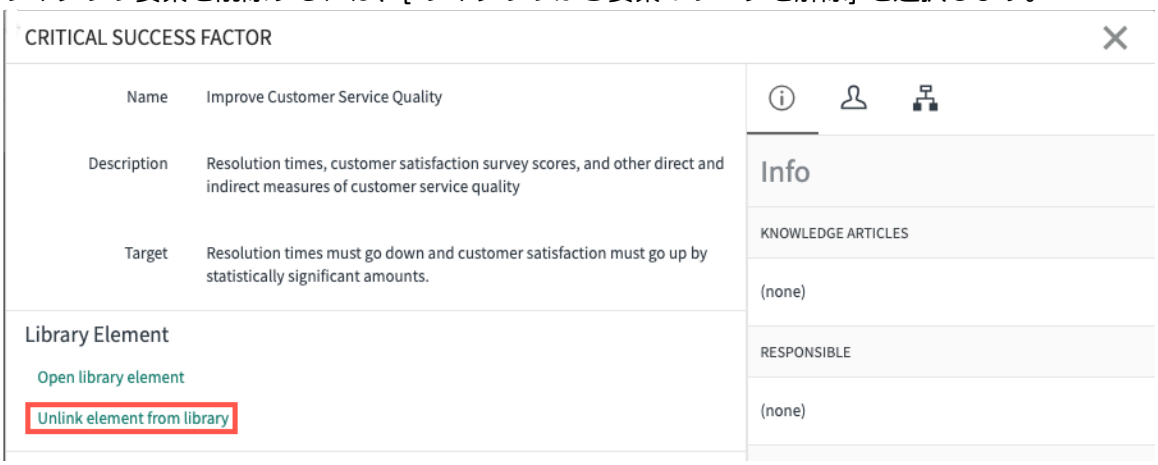
1. KPI Composerプロジェクトの [分析] タブを開きます。
2. KPI ツリーのいずれかのライブラリー要素のルートアーティファクトを選択して、そのプロパティを開きます。
   ブックマークアイコン ( ) は、ライブラリ要素内のアーティファクトを識別します。ルートアーティファクト (親アーティファクト) は、各ライブラリー要素内の最上位のアーティファクトです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ライブラリ要素を削除するには、[ライブラリから要素のリンクを解除] を選択します。



アーティファクトは、そのライブラリ要素のメンバーではなくなります。ただし、そのライブラリ要素を含むすべての KPI ツリーには、これらの成果物が引き続き含まれており、各ツリー内の通常の成果物の個別のセットになりました。

4. ライブラリ要素を編集するには、[ライブラリ要素を開く] を選択します。

注:

- ライブラリ要素は、ルートアーティファクトだけでなく、その要素内の任意のアーティファクトから開くことができます。
- ユーザーが sn_kpi_composer.admin または admin ロールを持っている場合は、代わりに **KPI Composer** > ライブラリ をクリックし、ライブラリ要素タイルのセットからライブラリ要素を開きます。

5. アーティファクトをライブラリ要素に追加するには、 KPI ツリーへのアーティファクトの追加の指示に従ってください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 新しいアーティファクトのプロパティで [この要素をライブラリに追加] をクリックする必要はありません。このリンクをクリックすると、このライブラリ要素内にネストされている新しいライブラリ要素に新しいアーティファクトが追加されます。
- 新しいアーティファクトを追加する代わりに、別のライブラリ要素を追加して、このライブラリ要素内にネストすることができます。詳細については、「ライブラリ要素の使用」を参照してください。

6. ライブラリ要素のアーティファクトにインジケーターとレポートの定義を追加するには、[データ定義] タブを開き、 インジケーターとレポートの定義の指示に従ってください。
7. 情報アイコン ( ) を選択して、ライブラリ要素のスコープがグローバルか個人用かなど、ライブラリ要素のプロパティを表示または編集します。
プロパティを編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。それ以外の場合は、読み取り専用です。

ライブラリ要素のプロパティ

各 KPI Composer ライブラリ要素には、次のプロパティがあります。これらを編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

プロパティ	説明	例
[Name (名前)]	一意で意味のある名前	デフォルトでは、名前はルートアーティファクトの名前と同じです (「カスタマーサービス品質の改善」など)。
説明	他のユーザーがアーティファクトの目的を理解し、冗長性を防ぐためのアーティファクトの詳細な説明	推定給与および機会費用を含む、インシデントが発生してから解決されるまでの合計コスト
達成目標	パフォーマンスアナリティクスによって必要な将来のパフォーマンス向上。インジケーターの定量的ターゲットスコアがまだない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% の削減。
グローバルはい |いいえ	「はい」の場合、すべてのユーザーがこのライブラリ要素を KPI ツリーに追加できます。いいえの場合、このライブラリ要素は個人用であり、作成したユーザーのみが使用できます。デフォルト:いいえ	N/A (該当なし)
ナレッジ記事	ライブラリ要素に関する詳細な説明を含むナレッジベースの記事。次のいずれかの詳細を指定します。	KB0000006 スパイウェアとウイルスへの対処

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
	• アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。任意の数のナレッジ記事をリンクできます。 • アーティファクトオーナー • 連絡担当者	
責任のある	責任あるユーザーは、完全な編集権限を持ちますが、ライブラリ要素のメンテナンスも担当することが期待されています。詳細については、「アクセス先：KPI Composer」を参照してください。	Abel Tuter
担当者	図書館の要素に責任はないが、相談する利害関係者または関連する対象分野の専門家である人。	エイブラハム・リンカーン

ダッシュボードの設計

[ダッシュボードの可視化] タブでは、[分析] タブのアーティファクトに対応する可視化を含む複数のダッシュボードのモックアップを作成できます。このモックアップのウィジェットを パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにリンクできます。

プロジェクトの最終的な出力は パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードであり、おそらく個別のダッシュボードまたは重大成功要因に対応する個別のタブと、測定値を表示するウィジェットがあります。パフォーマンスアナリティクスでは、基になるすべてのインジケーターとブレークダウンを作成するまで、これらのダッシュボードを作成することはできません。これらのインジケーターのウィジェットの設計もやや技術的であり、少なくとも pa_power_user ロールが必要です。最終的なダッシュボードを共有すると、ダッシュボードを必要とする閲覧者から、デザインがニーズや期待を完全に満たしていないというフィードバックを送信することがよくあります。

[KPI Composer ダッシュボードの可視化] タブでは、ワークフローのかなり早い段階でダッシュボードの設計を開始できます。[分析] タブに成功要因と測定値の概念ツリーしかない場合は、ビジュアライゼーションの作業を開始できます。さらに、プロセスの早い段階で他のステークホルダーを関与させることができます。プレゼンテーションの早い段階で KPI Composer を使用してタイムリーなフィードバックを得ることで、プロジェクトが完了したときに、ダッシュボードの閲覧者が期待する可視化を得ることができます。

ダッシュボードを追加

ダッシュボードを設計する最初のステップとして、空のダッシュボードを [KPI Composer ダッシュボードの可視化] タブに追加します。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

自動翻訳

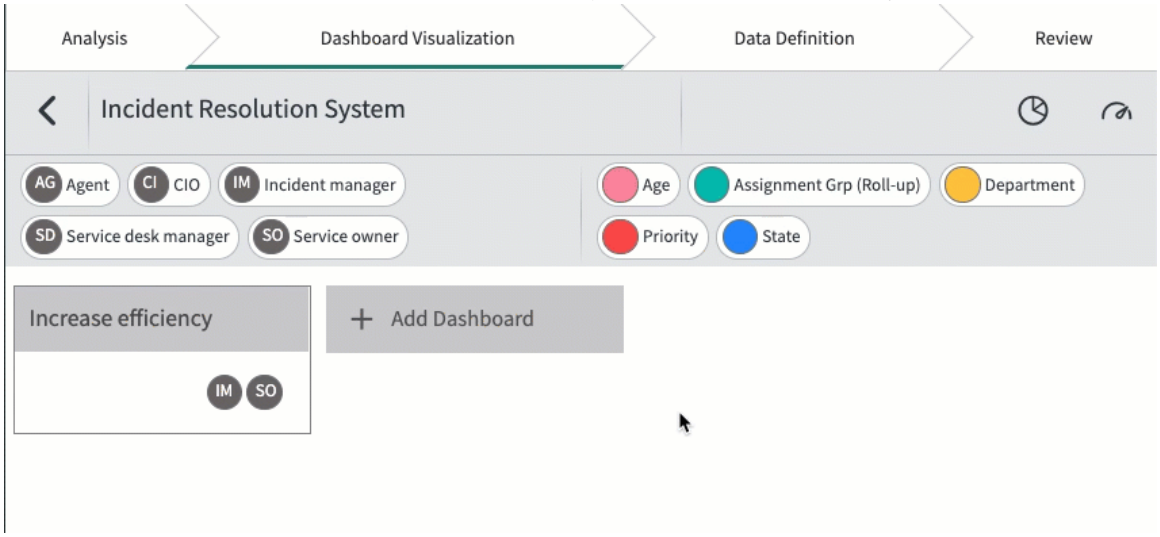
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
3. **[+** ダッシュボードの追加] をクリックします。
4. ダッシュボードにわかりやすい名前を付けます。おそらく、KPI ツリーのビジネスゴールまたは上位レベルの重要成功要因に対応します。
5. オプション: ダッシュボードアーティファクトの [アイテムの編集] アイコン ( ) をクリックして、ダッシュボードのプロパティを編集します。
6. ダッシュボードを作成するすべてのビジネスゴールまたは重大な成功要因について、このプロセスを繰り返します。

Example: [デザイン] タブへのカスタマーエクスペリエンスダッシュボードの追加

次の短いアニメーションでは、ユーザーが [Critical Success Factor] の後に [Customer Experience] という名前のダッシュボードを作成しているのがわかります。ユーザーは、ダッシュボードを表示する予定のエージェントと CIO のペルソナを追加します。ユーザーは、ブレークダウンダッシュボードを作成するために、ダッシュボード上のすべてのウィジェットをアサイン先グループ別にグループ化しま



す。

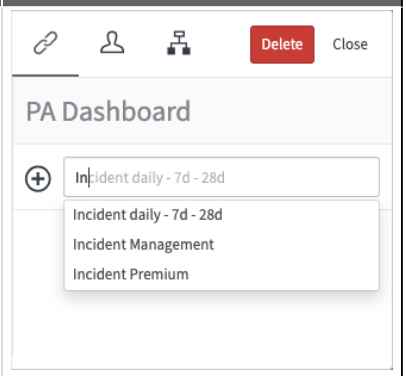
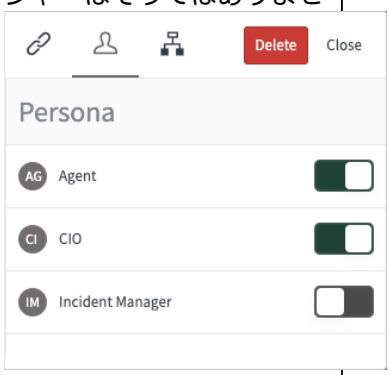
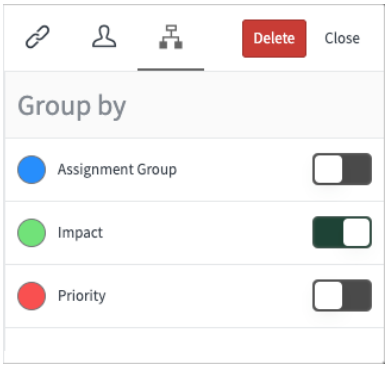
KPI Composer ダッシュボードの詳細

各 KPI Composer ダッシュボードのモックアップは、プロジェクトペルソナ、または「グループ」カテゴリ、または既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードを参照できます。

Detail (詳細)	説明	例
PA ダッシュボード	既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードへのリンク。これは、ユースケースに対応する古いダッシュボードにすることも、この KPI Composer 設計に基づいて作成した新しいダッシュボードにすることもできます。ダッシュボードを作成するときにダッシュボードをリンクすること	この画像では、既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードが「インシデント」という単語でフィルタリングされているのがわかります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Detail (詳細)	説明	例
	で、プロジェクトのステータスを追跡できます。	
ペルソナ	最終的なダッシュボードを表示する予定のペルソナ。現在プロジェクトにリンクされているペルソナから選択します。プロジェクトにペルソナを追加する方法については、「プロジェクトにペルソナを追加する」を参照してください。 ペルソナをダッシュボードのモックアップにリンクすると、それらのペルソナに関連付けられている [アナリティクス] タブのアーティファクトのみが利用可能になります。	この画像では、エージェント、CIO、インシデントマネージャーのペルソナがプロジェクトにリンクされています。エージェントと CIO のペルソナは、ダッシュボードにリンクされています。インシデントマネージャーはそうではありません。 
グループ	ダッシュボードに配置するすべてのウィジェットを 1 つ以上のブレークダウン定義でグループ化します。(結果のデザインは、パフォーマンスアナリティクスブレークダウンダッシュボード用です)。プロジェクトに対して現在選択されているブレークダウン定義から選択します。プロジェクトにブレークダウン定義を追加する方法については、「ブレークダウン定義別にデータをグループ化」を参照してください。	この画像では、アサイン先グループ、影響度、および優先度のブレークダウン定義をプロジェクトのダッシュボードで使用できます。ダッシュボードのデータは、影響度のみ別にグループ化されます。 

関連情報

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードへのタブと行の追加

KPI Composer のダッシュボードのモックアップでは、ビジュアルコンポーネントを追加する前にタブと行をレイアウトする必要があります。

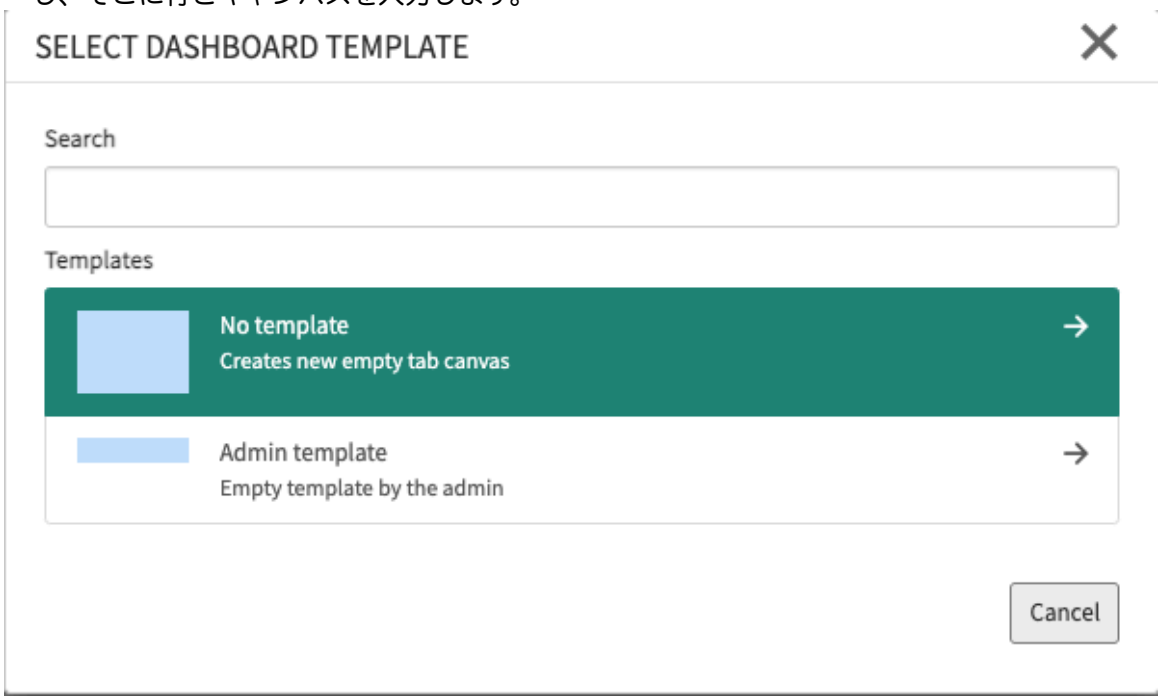
始める前に
[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。また、[ダッシュボードの可視化] タブに少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されています。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. を開く **KPI Composer** プロジェクトに移動し、[ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
2. タブのいずれかのダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボードの下にある [+] アイコンをクリックして。

4. いずれも：
   - タブテンプレートを選択します。タブは、テンプレートから継承された名前、行、キャンバスを使用して作成されます。行やキャンバスを追加する必要はありませんが、持っているものは編集できます。
   - [テンプレートなし] を選択します。この手順の残りの部分で説明するように、空のタブを作成し、そこに行とキャンバスを入力します。



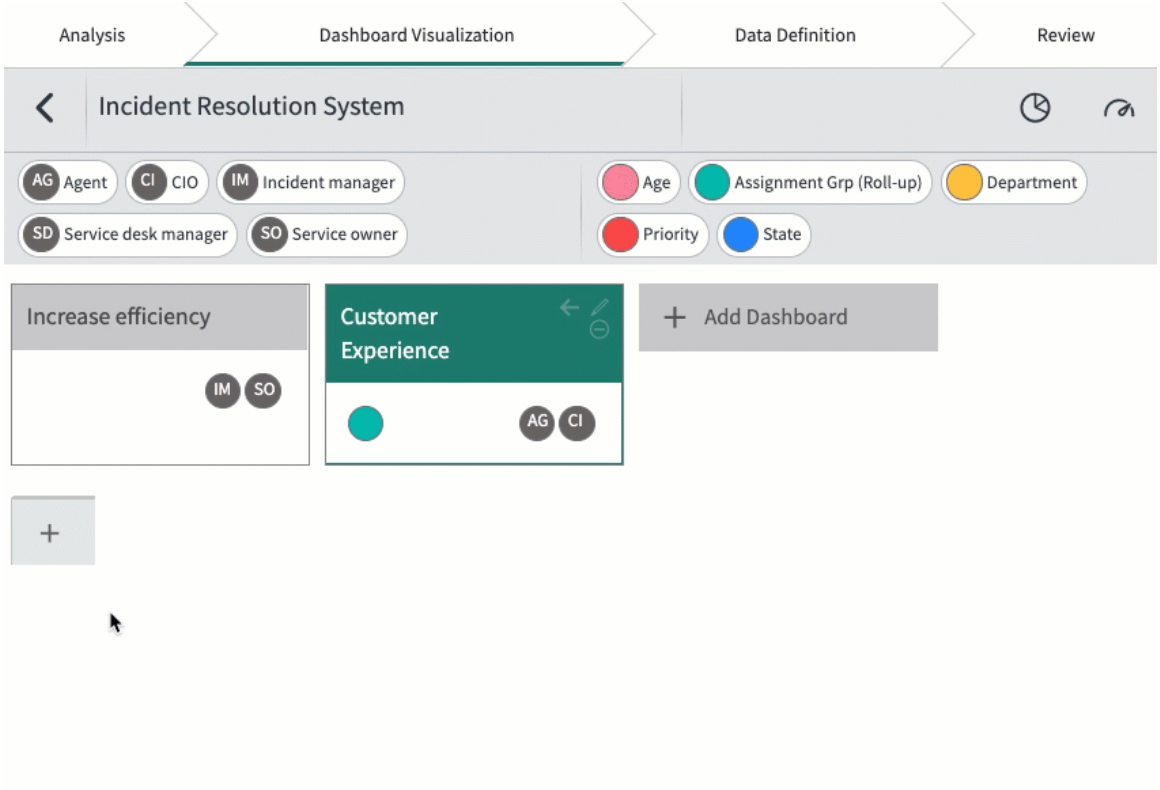
5. タブにわかりやすい名前を付けます。おそらく下位レベルの [重要成功要因] と一致します。
6. [行の追加] をクリックします。
   行は水平方向のデザイン領域です。各タブに少なくとも 1 行を追加します。
7. [行の詳細] ダイアログで、行のキャンバスの数を選択します。
   ここでの「キャンバス」という用語は、ウィジェットを保持し、アーティファクトを参照するスペースを指します。行に水平に配置するキャンバスの数を決定します。最大 3 つのキャンバスを選択できます。この番号を変更するか、後で行を移動することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ダッシュボードへのタブと行の追加

次の短いアニメーションでは、ユーザーがカスタマーエクスペリエンスダッシュボードのモックアップに [サービス品質] タブを追加している様子が見られます。ユーザーは、このタブの最初の行に 3 つのキャンバスを表示します。



次のタスク

この手順に従って、行またはタブを追加します。または、作成した行にキャンバスを追加してから戻って、後でタブや行を追加することもできます。

ダッシュボードタブにキャンバスを追加する

アナリティクスアーティファクトとウィジェットを組み合わせて、 KPI Composer ダッシュボードのモックアップ上にキャンバスと呼ばれるビジュアルコンポーネントを作成します。「ウィジェット」には、レポート、インタラクティブフィルター、スポットライト、およびコンテンツブロックが含まれます。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。また、[ダッシュボードの可視化] タブに少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されています。最後に、これらのダッシュボードの 1 つには、少なくとも 1 つの行を含むタブが少なくとも 1 つあります。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

ダッシュボードを追加

手順

1. を開く **KPI Composer** プロジェクトに移動し、[ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
2. タブのいずれかのダッシュボードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

少なくとも 1 つのタブと空のキャンバススロットがある行を含むダッシュボードを選択します。

3. [ダッシュボードの可視化] タブの右上にある [アーティファクト] アイコン ( ) を展開します。
4. キャンバススロットに表示するアーティファクトを選択し、アーティファクトをスロットにドラッグします。
これらの アーティファクトは、以前に KPI ツリーの [分析] タブで定義しています。

   複数のアーティファクトを同じキャンバススロットにドロップできます。キャンバススロットにウィジェットを追加した後、そのスロットにアーティファクトをドロップすることもできます。ただし、コンテンツブロックまたはインタラクティブフィルターウィジェットを含むキャンバススロットにアーティファクトをドロップすることはできません。

   アーティファクトを名前のないキャンバスにドラッグすると、アーティファクトの名前がキャンバスに付けられます。追加のアーティファクトをキャンバスにドラッグしても、名前は変更されません。

   ダッシュボードのプロパティでペルソナを選択した場合は、それらのペルソナにリンクされているアーティファクトのみを使用できます。

5. [ダッシュボードの可視化] タブの右上にある [ウィジェット] アイコン ( ) を展開します。
6. 以前に選択したアーティファクトのデータを表すウィジェットを決定し、同じキャンバススロットにドラッグします。
ウィジェットの設計では、実際のデータの視覚化ではなく、静的画像を使用します。

   インタラクティブフィルターウィジェットは、同じダッシュボード上にあるレポートウィジェットにのみ影響します。

   スポットライト「ウィジェット」は、スポットライトインタラクティブ分析を表します。通常は、ダッシュボード上のレポートではなく共有 URL を介してアクセスされます。詳細については、「スポットライトインタラクティブ分析」を参照してください。

   キャンバス上のウィジェットを置き換えるには、別のウィジェットをそのウィジェットにドラッグします。元のウィジェットのタイトルは、コンテンツブロックに置き換えない限りそのまま残ります。ウィジェットを置き換えても、キャンバスに関連付けられているアーティファクトには影響しません。

   ウィジェットをドラッグすると、[キャンバスの詳細] ダイアログが開きます。
7. 次のように、キャンバスの詳細を入力します。

> **注:**
> 既存のウィジェットのキャンバスの詳細を変更するには、キャンバス上の鉛筆アイコン ( ) をクリックします。このアイコンは、キャンバスの右上隅をポイントすると表示されます。

すべてのウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
ウィジェットタイプ	アーティファクトを表すウィジェットのタイプを選択します。ウィジェットタイプを既に選択している場合は、そのタイプを変更できます。他のフィールドは、選択したウィジェットタイプによって異なります。
Title (役職)	「アサイン先グループあたりのインシデントの割合」など、わかりやすいタイトルを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	コンテンツ
説明	式インジケーターに基づくウィジェットなど、内部使用のためのウィジェットに関する情報 アサイン先グループ別のオープン中のインシデントの割合 . このエントリはウィジェットには表示されません。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ	要素を最もよく表している可視化を決定します。
要素をフォロー	このウィジェットが、 パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン ダッシュボードでビューアーが選択するブレークダウン要素に従うかどうかを設定します。
時系列	日次、週次、または月次の増分で結果を表示します。
測定	このウィジェットで測定されたアーティファクト。このフィールドでは、[測定] だけでなく、任意のアーティファクトを選択できます。
PA ウィジェット	このモックアップウィジェットに一致する既存の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを選択します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

コンテンツブロックウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
コンテンツブロック	既存のコンテンツブロックから選択します。詳細については、「コンテンツブロック」を参照してください。

インタラクティブフィルターウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
UI コントロールタイプ	インタラクティブフィルターの UI スタイルを選択します。
インタラクティブフィルター	既存のインタラクティブフィルターを選択します。詳細については、「インタラクティブフィルター」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートウィジェットのキャンバスの詳細オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ	要素を最もよく表している可視化を決定します。
インタラクティブフィルターに従う	ダッシュボードのインタラクティブフィルターでレポートをフィルタリングできるかどうかを設定します。[はい] を選択した場合は、インタラクティブフィルターウィジェットも含めます。
測定	このレポートに表示される測定アーティファクトを選択します。
レポート	既存のレポートを選択します。詳細については、「レポートの作成」を参照してください

スポットライトウィジェットのキャンバス詳細オプション

フィールド	コンテンツ
測定	このレポートに表示される測定アーティファクトを選択します。
スポットライトグループ	既存のスポットライトグループを選択します。詳細については、「 スポットライトによるレコードのランキング」を参照してください。

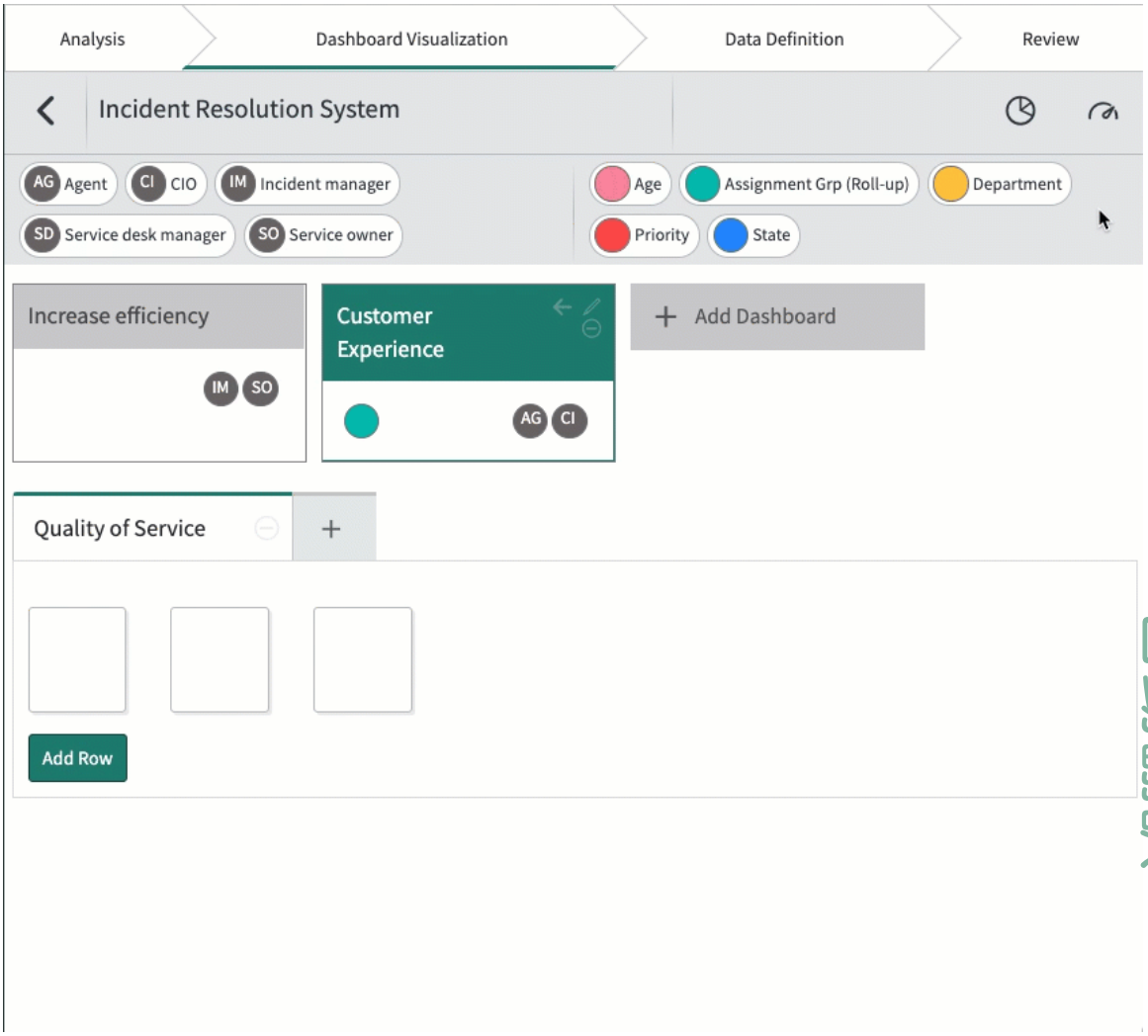
タスクの結果
分析からの アーティファクトと、そのアーティファクトをダッシュボードに表示するための可視化があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ダッシュボードへのキャンバスの追加

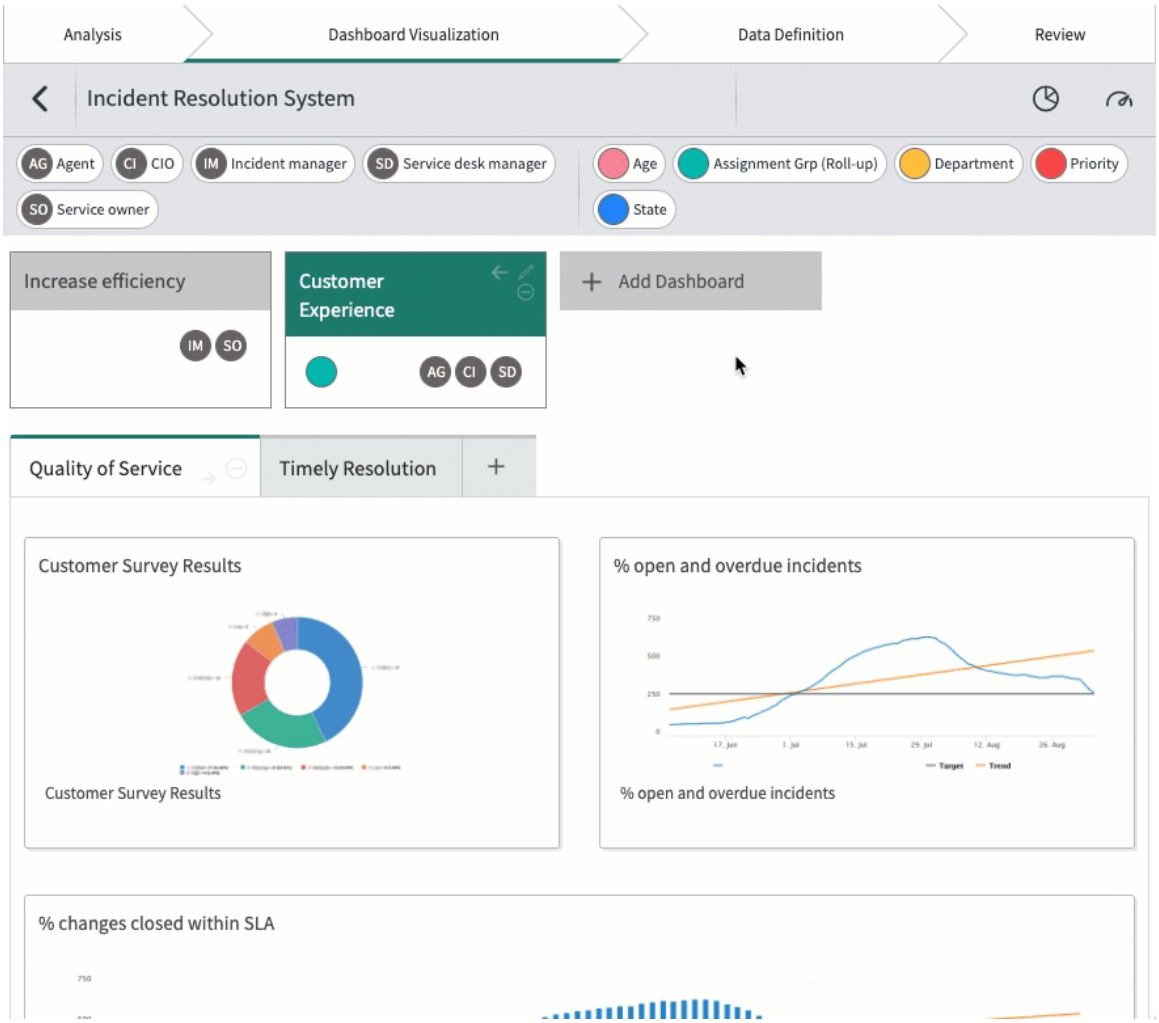
注:
この短いアニメーションでは、カスタマーエクスペリエンスダッシュボードの [Quality of Service] タブにキャンバスが追加されます。ユーザーはまず KPI ツリーからアーティファクトを選択し、次にそのアーティファクトを説明するウィジェットを選択します。



次のタスク
ダッシュボードに入力すると、アーティファクトバナーの行の順序、ウィジェットの順序、またはウィジェットのタイトルを変更できます。次の短いアニメーションは、ダッシュボードコンポーネントを移動する方法を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

ダッシュボードタブテンプレートの作成

ダッシュボードタブのデザインを再利用するには、そのタブからテンプレートを作成します。

始める前に

キャンバスが入力されたタブを含むダッシュボードを作成します。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin 担当ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

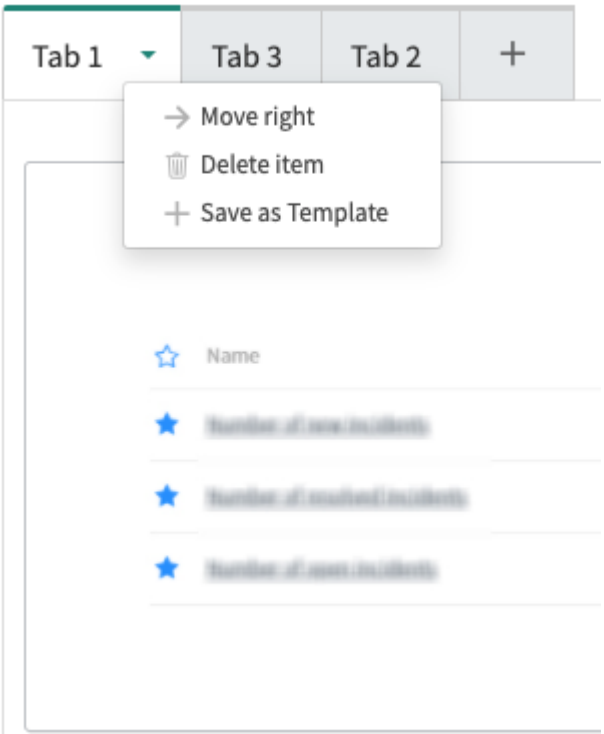
ダッシュボードを追加

ダッシュボードへのタブと行の追加

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードタブのメニューを開き、[テンプレートとして保存] を選択します。



2. テンプレートにわかりやすいタイトルと説明を付けます。
3. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
ダッシュボードに新しいタブを作成するために使用できる個人用テンプレートがあります。このテンプレートは編集できません。

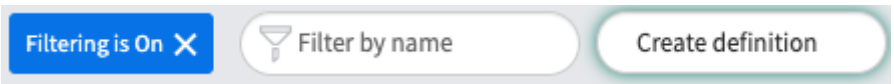
次のタスク
このテンプレートを他のユーザーが使用できるようにするには、 KPI Composer アドミンにテンプレート のグローバル 値を `true` に設定するように依頼してください **KPI Composer** > ダッシュボードタブテンプレート.

インジケーターとレポートの定義

[KPI Composer データ定義] タブでは、分析中に定義したアーティファクトをさらに指定し、それらをインジケーター定義とレポート定義にリンクします。

[データ定義] タブを開くと、[分析] タブで定義したのと同じ KPI ツリーが表示されます。ペルソナとブレークダウン定義を含むヘッダーと、新しいアーティファクトを含むフッターはなくなります。

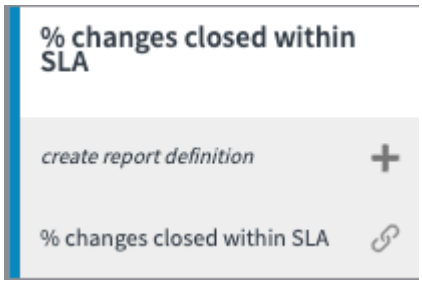
ダッシュボードの可視化で パフォーマンスアナリティクス ウィジェットに関連付けられている各アーティファクトは、インジケーター定義を参照する必要があります。レポートウィジェットに関連付けられている各アーティファクトは、レポート定義を参照する必要があります。アーティファクトは、インジケーターとレポート定義の両方に関連付けることができます。定義がない場合は、クリック可能なプラス記号 [+] が、定義を作成するためのメッセージとともに表示されます。アーティファクトがいずれかの定義にリンクされている場合は、各定義を開くためのハイパーリンクがあります。[定義を作成] でフィルタリングすることで、定義が欠落しているアーティファクトの概要をすばやく把握できます。



自動翻訳

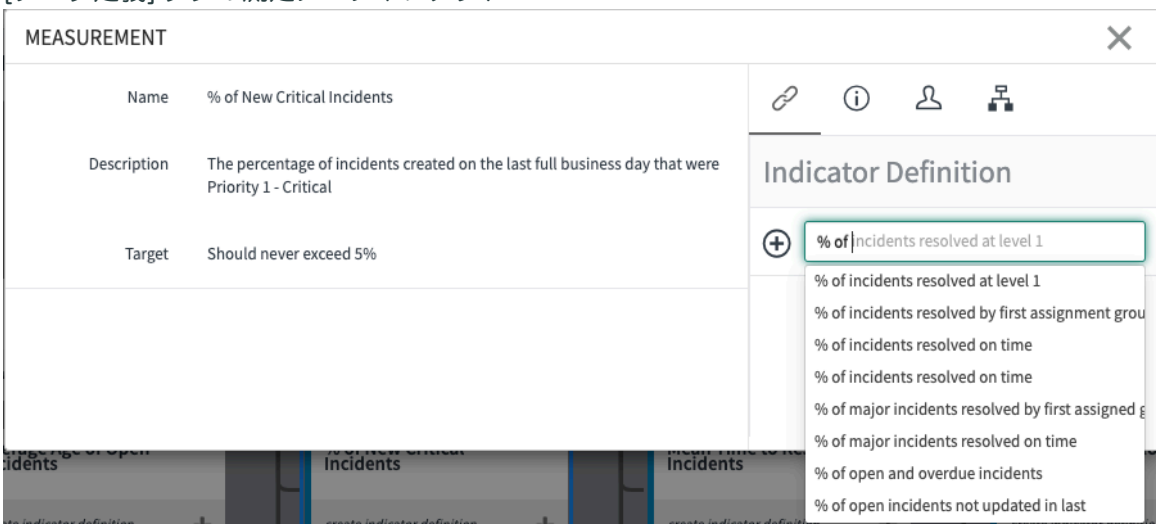
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、レポートとインジケーター定義の両方を必要とする測定アーティファクトを示しています。「SLA 内でクローズされた変更の割合」という名前のアーティファクト定義がリンクされています。アーティファクトにはまだレポート定義が必要です。



新しい定義を作成する前に、適切な定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックすると、そのプロパティが開きます。[分析] タブに設定したプロパティの読み取り専用ビューが表示されます。さらに、アーティファクトを既存のインジケーターやレポート定義にリンクできます。入力を開始して、一致する定義のリストを入力します。既存の定義をリンクする方が、インジケーターまたはレポート定義レコードよりもプロパティダイアログの方が簡単です。

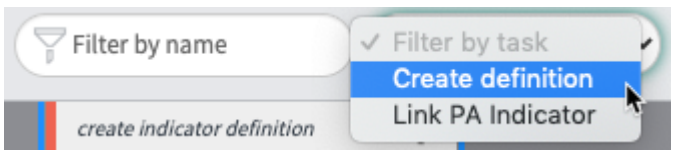
[データ定義] タブの測定アーティファクト



フィルタリング

[データ定義] タブでは、次のフィルターオプションを使用できます。

- アーティファクト名に表示される 1 つ以上の単語でフィルタリングするための名前によるフィルタリング
- タスクでフィルター
- インジケーターまたはレポートの定義が必要かどうかでフィルタリングするための定義を作成します
- PA インジケーターをリンク。 パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクされていないインジケーター定義を持つアーティファクトでフィルタリングします。



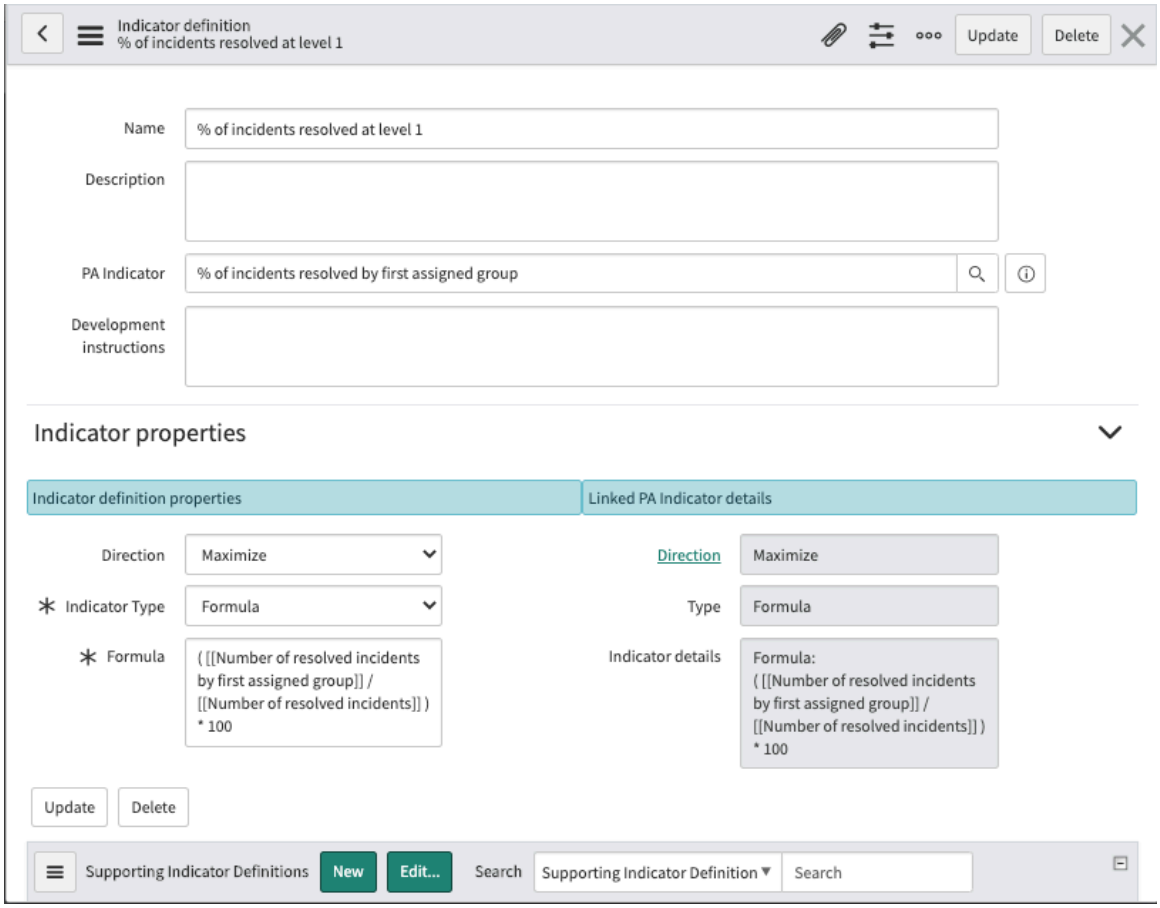
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター定義

インジケーター定義には、特定の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの開発方法の説明が含まれています。インジケーター定義自体は パフォーマンスアナリティクス インジケーターではありません。インジケーター定義は、KPI ツリー内の機能指向のアーティファクトと パフォーマンスアナリティクス 内のインジケーターの技術的実装を橋渡しします。

適切なインジケーター定義が存在しない場合は、アーティファクトタイルの [インジケーター定義を作成] リンクをクリックします。インジケーターの必要なプロパティを指定します。また、用意されているフィールドに開発指示書を記入してください。自動インジケーターを定義する場合は、インジケーター ソースのファクト テーブルを指定します。また、インジケーター自体またはインジケーターソースのいずれかの条件についても説明します。条件ビルダーの形式に従わずに定性的に条件を記述できます。式インジケーターを定義する場合は、その 貢献インジケーターの定義を追加します。

適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターが存在する場合は、インジケーター定義にそのインジケーターへのリンクを追加できます。リンクされたインジケーターの技術的な詳細を確認できます。パフォーマンスアナリティクスインジケーターを正確に再現するか、変更されたバージョンを指定します。

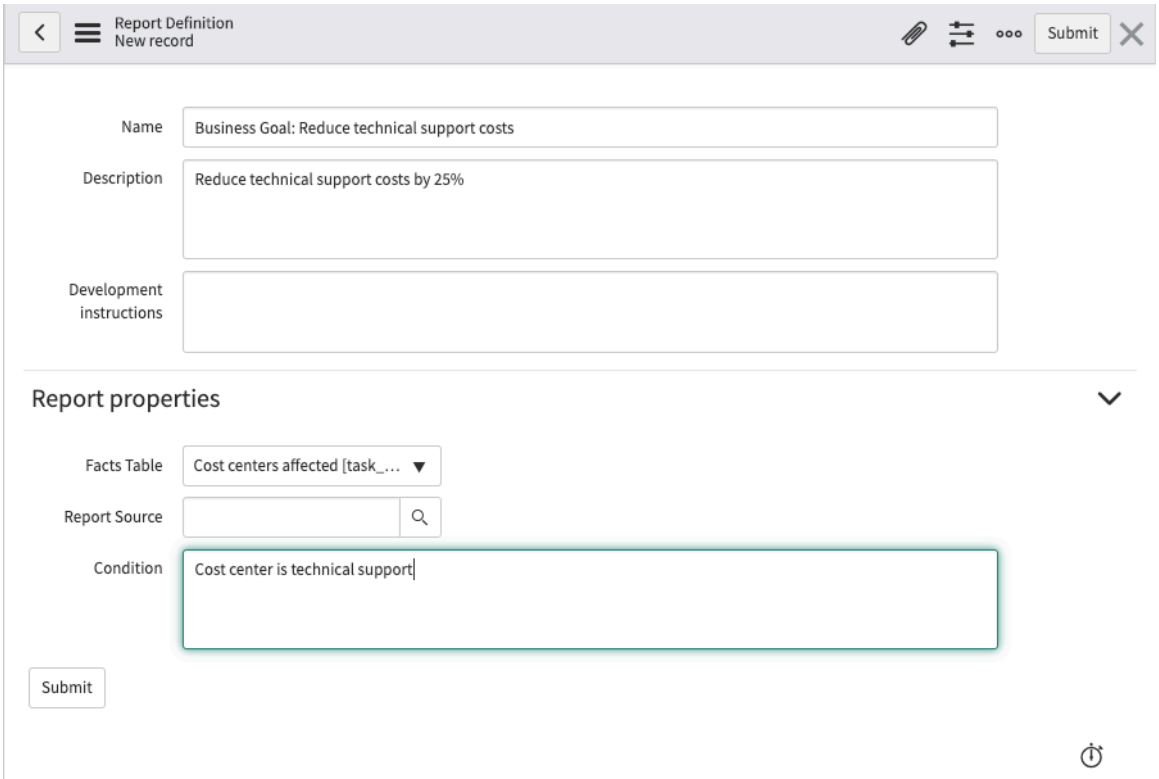


レポート定義

レポート定義には、レポートを作成するための説明が含まれています。重要な情報は、ファクトテーブルまたはレポートソースと条件です。条件を記述するときに技術的な書式に従う必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーター定義の作成

[データ定義] タブで、関連するアーティファクトから新しい KPI Composer インジケーター定義を直接作成できます。インジケーターの定義に、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターを作成するために必要な情報を入力します。

始める前に

既存の KPI Composer プロジェクト [アナリティクス] タブに KPI ツリー の完全なドラフトが表示されます。また、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターに関する技術的な知識も必要です。

必要なロール: パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクする場合は sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能の場合は sn_kpi_composer.user。担当ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクする場合を除き、ロールは必要ありません。

このタスクについて

インジケーター定義は、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットに関連付けられているかどうかにかかわらず、プロジェクト内のすべてのアーティファクトに対して作成できます。アーティファクトに複数のインジケーター定義を追加することはできません。ただし、アーティファクトを式インジケーターにリンクすると、式内のすべての 貢献インジケーター に自動的にリンクされます。

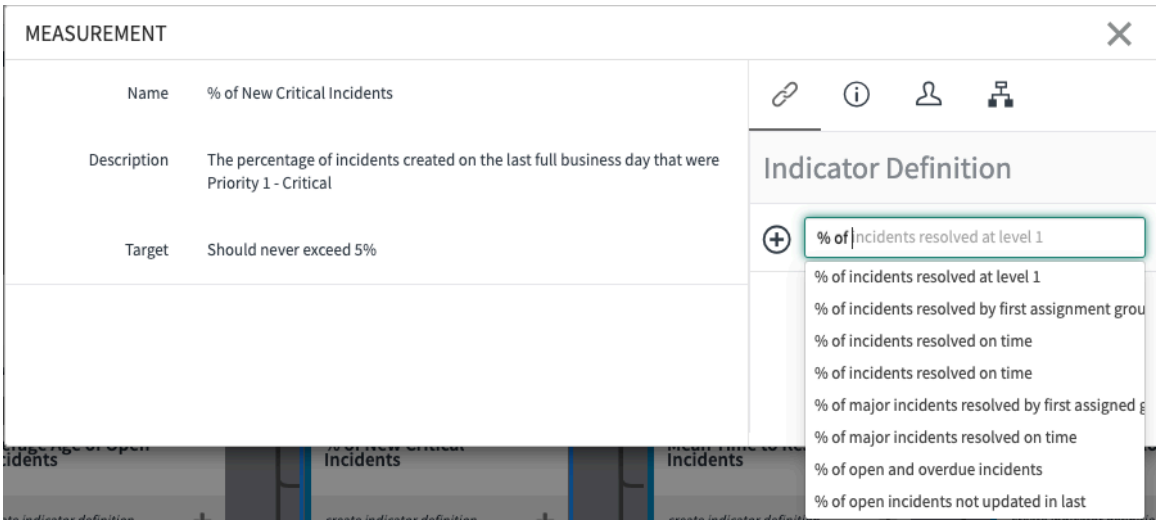
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. [データ定義] タブに移動します。
3. インジケーターを定義するアーティファクト (おそらく測定) を見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
インジケーター定義の作成を続行する前に、適切なインジケーター定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックして、そのプロパティを開きます。次に、使用可能なインジケーター定義のリストを参照します。

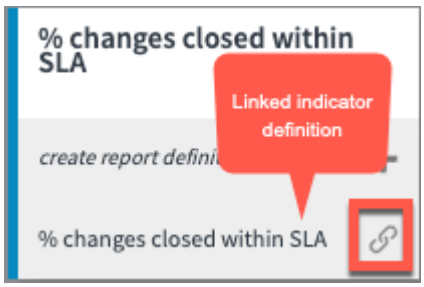


4. プラス記号 [+] を選択します。
5. **[PA** インジケーター] フィールドで、このインスタンスの既存のパフォーマンスアナリティクスインジケーターを検索して、このインジケーター定義に一致するインジケーターがあるかどうかを確認できます。
パフォーマンスアナリティクスインジケーターを選択すると、そのプロパティは [リンクされた PA インジケーターの詳細] 列に読み取り専用で表示されます。この情報は、リンクされたインジケーターに基づいてインジケーター定義を作成するのに役立ちます。

   注:
   sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

   インジケーターは名前でのみ検索できます。

   アーティファクトでは、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターにリンクされているインジケーター定義の名前の横にリンクアイコンが表示されます。



6. フォームの残りの部分にない開発者向けの情報を [開発手順] フィールドに入力します。
[開発手順] の情報は、内部開発者のみが使用できます。[説明] フィールドにインジケーターの詳細を入力することもできます。[説明] フィールドの情報は、結果のパフォーマンスアナリティクスインジケーターの [説明] フィールドに複製する必要があります。
7. インジケーターの 方向 を決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 自動インジケーター、式インジケーター、または手動インジケーターのどれがアーティファクト内の情報を最もよく表しているかを決定します。

9. 残りのフィールドがあれば入力します。
   - 手動インジケーターを定義する場合は、これ以上情報を追加する必要はありません。
   - 式インジケーターを定義する場合は、 パフォーマンスアナリティクス アドミニストレーターに式の作成方法を明確に説明してください。実際の式インジケーターの JavaScript 構文を使用する必要はありません。
   - 自動インジケーターを定義する場合は、次の情報を含めます。

フィールド	説明
集計	インジケーター ソースからのデータに適用する集計関数。
頻度	データ収集の想定される周期性。通常、インジケーターの [頻度] はインジケーターソースの [有効期間] の頻度の値と一致します。
ファクトテーブル	インジケーター ソースが参照するテーブル。
条件	ファクトテーブルからレコードをフィルタリングするための条件のテキストによる説明。条件ビルダー構文を使用する必要はありません。

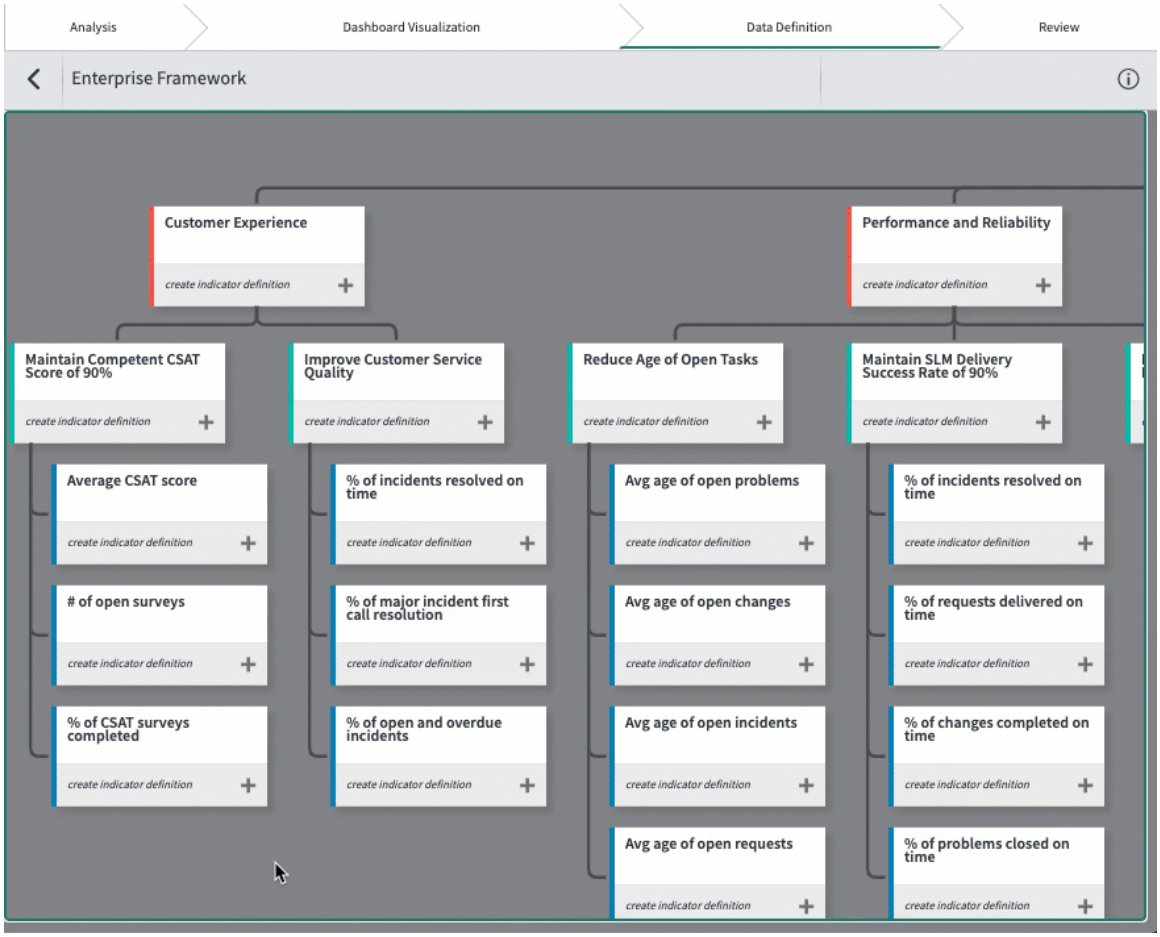
10. [送信] をクリックするか、サポート インジケーターを定義する場合は、コンテキスト メニューを開いて [保存] をクリックします。

Example: インジケーター定義の作成

次の短いアニメーションでは、ユーザーは「重大なインシデントの最初のコールでの解決の割合」測定の式インジケーターを定義します。このインジケーターは、同様のパーセンテージを計算する既存の PA インジケーターに基づいていますが、優先度はフィルタリングしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

- 自動インジケーター
- インジケーターソース
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

貢献インジケーターの追加

KPI Composer でインジケーター定義を作成した後、その定義に貢献インジケーターを追加できます。式インジケーター定義では、式に 1 つ以上の他のインジケーターが含まれており、貢献インジケーターが入力されている必要があります。

始める前に

[アナリティクス] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。このプロジェクトには、他のインジケーターへの参照を必要とするインジケーター定義が少なくとも 1 つあります。

パフォーマンスアナリティクスインジケーターの技術的な知識が必要です。

必要なロール:インジケーター定義の作成と同じです

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ定義] タブの関連するアーティファクトで、インジケーター定義名をクリックしてインジケーター定義を開きます。



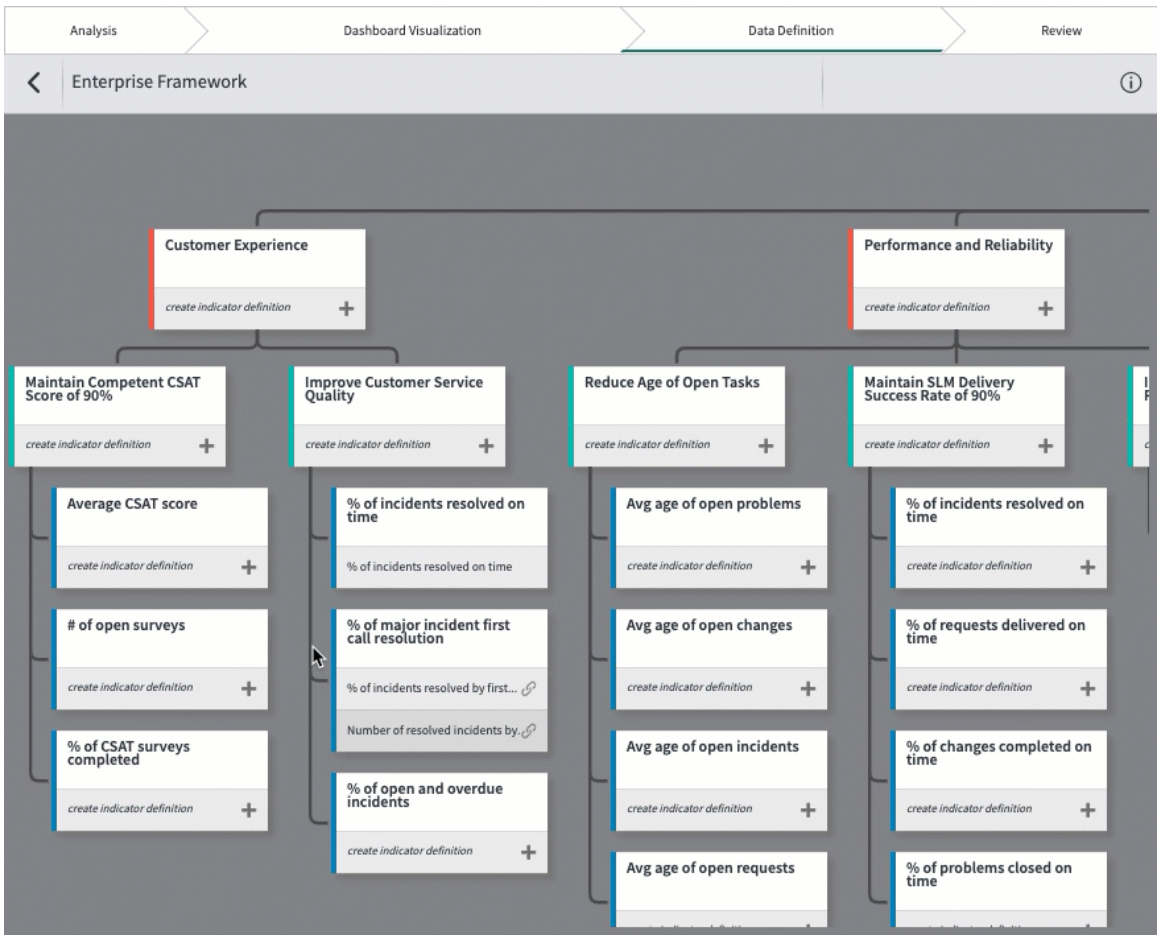
2. [サポートインジケーターの定義] 関連リストで、次のいずれかのボタンをクリックします。
   - [新規] をクリックして、新しいインジケーター定義を作成します。インジケーター定義の作成と同じ手順に従います。
   - [編集] をクリックして、このプロジェクトの既存のインジケーター定義のリストを開きます。インジケーターは必要な数だけ選択できます。

   インジケーターが重複しないように、新しいインジケーター定義を作成する前に既存のインジケーター定義を検索してください。

タスクの結果
変更を保存した後、[データ定義] タブのアーティファクトでは、メインインジケーター定義の下に貢献インジケーター 定義が暗い背景で表示されます。

Example: 貢献インジケーターの追加

この例では、貢献インジケーター [解決済みインシデントの数] が、重大なインシデントの最初の応対での解決アーティファクトの割合に追加されます。このインジケーターは、既存のインジケーター定義と一致します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート定義の作成

[データ定義] タブで、関連するアーティファクトから新しい KPI Composer レポート定義を直接作成できます。レポートの作成に必要な情報をレポート定義に入力します。

始める前に

既存の KPI Composer プロジェクト [アナリティクス] タブに KPI ツリー の完全なドラフトが表示されます。また、 レポートに関する技術的な知識も必要です。

必要なロール:既存のレポートにリンクする場合は sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能の場合は sn_kpi_composer.user。責任ユーザーおよび編集アクセス権を持つユーザーは、既存のレポートへのリンク以外の機能を使用することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **KPI Composer** をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. [データ定義] タブに移動します。
3. レポート定義の作成リンクがあるアーティファクトを見つけて、そのリンクを開きます。
   [ダッシュボードの可視化] タブのレポートウィジェットに関連付けられたアーティファクトにのみ、レポート定義を作成するためのリンクがあります。
4. レポートの名前と説明を入力します。
   デフォルトでは、レポート定義の名前は、それを含むアーティファクトと同じです。このデフォルト名は、そのアーティファクトのインジケーター定義のデフォルトと同じであるため、区別することを検討してください。
5. [開発手順] フィールドで、レポートプロパティ以外の必要な技術情報を開発者に提供します。
   [説明] フィールドには、ユーザーの情報が含まれている必要があります。[開発手順] フィールドには、開発者の内部情報が含まれている必要があります。
6. ファクトテーブルまたはレポートソースのいずれかを選択します。
7. [条件] フィールドで、レポートのフィルタリング条件を記述します。
   条件ビルダー構文の代わりにプレーンテキストで条件を記述することができます。

プロジェクトのレビュー

作成された KPI Composer プロジェクトアーティファクトと計画された パフォーマンスアナリティクス コンポーネントの両方を要約します。プロジェクトのコンテンツを検証します。計画 パフォーマンスアナリティクス コンポーネントをビルドするタスクを生成します。

[レビュー] タブに移動して、完了した設計作業と処理待ちのパフォーマンスアナリティクス構成に関する最新のアカウントを確認できます。

[レビュー] タブには、次の 4 つの情報が表示されます。

まとめ

[分析] タブで定義されたアーティファクトとペルソナの数を合計します。アイテムタイプをクリックすると、それらのアイテムのリストが開きます。

PA アーティファクト

プロジェクト内のインジケーター定義とブレークダウン定義の数を表示します。アーティファクトタイプをクリックすると、それらのアーティファクトのリストが開きます。

プロジェクトの検証

新しい定義を追加するか既存の定義を編集した後、[データを更新] をクリックします。次のレベルの問題が特定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 警告:重要な成功要因はインジケーター定義にリンクされていません。
- エラー:測定がインジケーター定義にリンクされていないか、インジケーターまたはブレークダウン定義がファクトテーブルにリンクされていません。

Tasks (タスク)

プロジェクトで定義した パフォーマンスアナリティクス 要素と レポート 要素を作成するためのタスクを生成してリスト表示します。詳細については、「KPI コンポーザーでのタスクの生成」を参照してください。

KPI コンポーザーでのタスクの生成

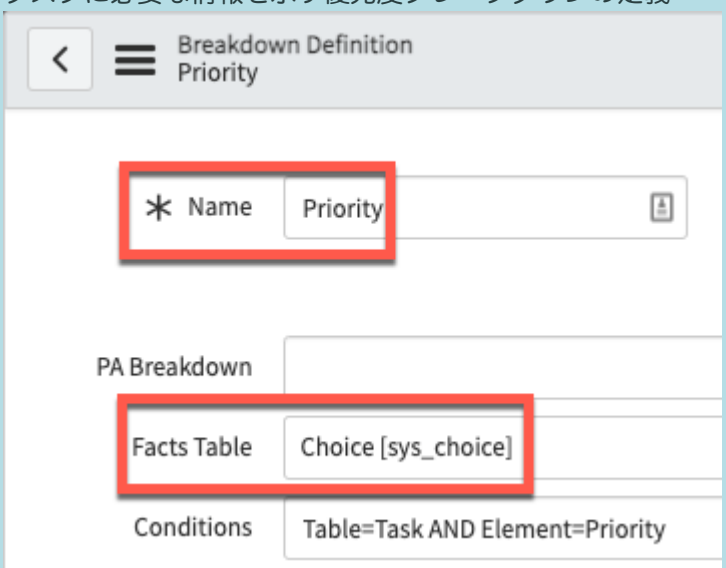
プロジェクト内の KPI Composer アーティファクトごとに、同等の パフォーマンスアナリティクス 要素を作成するタスクを生成できます。すべてのタスクは 1 回のアクションで作成されます。タスクは、アナリティクス実装の責任者グループに自動的にアサインされます。

タスクを生成して、KPI Composerプロジェクトの定義に基づいて次のパフォーマンスアナリティクス要素とレポート要素を作成できます。タスクは、要素のタイプごとに次の順序で生成されます。

- ブレークダウン
- レポート
- インタラクティブフィルター
- インジケーター
- ウィジェット
- スポットライトグループ
- コンテンツブロック
- ダッシュボード

重要:
要素を作成するタスクを生成するには、関連付けられた KPI Composer アーティファクト定義に必要なすべての情報が含まれている必要があります。たとえば、ブレークダウンまたは自動インジケーターを作成するタスクを生成するには、名前とファクト テーブルをその定義で指定する必要があります。

タスクに必要な情報を示す優先度ブレークダウンの定義



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI Composerタスクをアサイン

KPI Composerプロジェクトのタスクをグループにアサインします。デフォルトでは、タスクは [アナリティクス実装者] アサイン先グループにアサインされます。このグループにユーザーとグループを追加することも、別のアサイン先グループを選択することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

このタスクについて
KPI Composerプロジェクト内のすべてのタスクは、同じアサイン先グループにアサインされます。タスクを生成すると、グループは通常のワークフローでタスクを処理します。

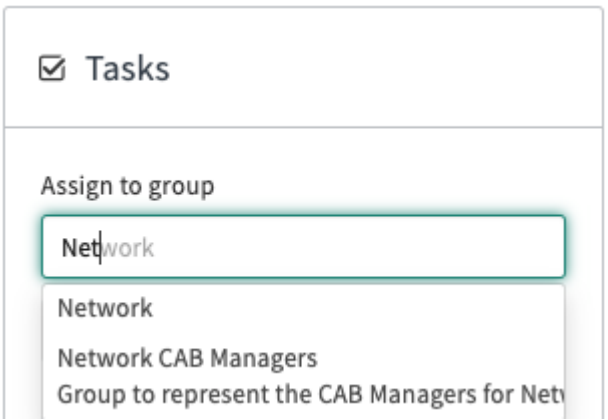
デフォルトでは、タスクは KPI Composer で提供される Analytics Implementers グループにアサインされます。このグループには、デフォルトでpa_adminロールが含まれます。このグループに追加するすべてのユーザーに、このロールが付与されます。このグループへのアクセス元 ユーザー管理 > グループをクリックするか、[レビュー] タブの [タスク] タイルにある [アナリティクス実装者] リンクに従ってください。このグループを編集するには、user_admin ロールが必要です。このグループのユーザーの追加と削除の詳細については、「 ユーザーグループの作成 」を参照してください。

アサイン先グループを変更するには、次の手順に従います。

手順

1. KPI Composerプロジェクトを開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. 現在のアサイン先グループの名前の横にある クリア アイコンを見つけて選択します。

5. アサイン先グループをクリアすることを確認します。
6. 目的のアサイン先グループの名前の入力を開始します。
   KPI Composer は、予測される一致のリストを提供します。



7. グループを選択します。

次のタスク
選択したグループにアサインするタスクを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクを生成

十分に定義されたすべての KPI Composer アーティファクトのタスクを 1 回のアクションで生成します。

始める前に

- Analytics Implementers グループにユーザーを入力します。
- KPI Composerプロジェクトの設計を完了します。必要なアーティファクトをすべて定義する必要があります。ただし、後で変更した場合は、タスクを再生成できます。タスクの再生成は、その完了を追跡するための良い方法です。

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

手順

1. KPI Composerに移動し、完全に定義されたプロジェクトを開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. [タスクを生成] を選択します。

タスクの結果

アーティファクト パフォーマンスアナリティクス および レポート を作成するためのタスクを生成します。これらのタスクは、アナリティクス実装者アサイン先グループに自動的にアサインされます。

次のタスク

作成したタスクを表示します。[タスク] タイルには、アクティブなタスク、保留中のタスク、および完了したタスクへのリンクがあります。リンクをクリックすると、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] テーブルに移動します。

タスク定義レコード

KPI Composer タスクは、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] レコードで定義されます。タスクを生成するときは、これらのレコードを作成するか、そのステータスを更新します。

既存のタスク定義レコードには、[レビュー] タブの [タスク] タイルにあるリンクからアクセスできます。これらのリンクをクリックすると、次のようにフィルタリングされたレコードリストが表示されます。

リンク	フィルター
アクティブなタスク	• プロジェクトには<プロジェクト名>が含まれます • ステータス (作成、更新) • 依存関係を待機中 = false
保留中のタスク	• プロジェクトには<プロジェクト名>が含まれます • ステータス (作成、更新) • 依存関係を待機中 = true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リンク	フィルター
完了したタスク	• プロジェクトには<プロジェクト名>が含まれます • ステータス = OK

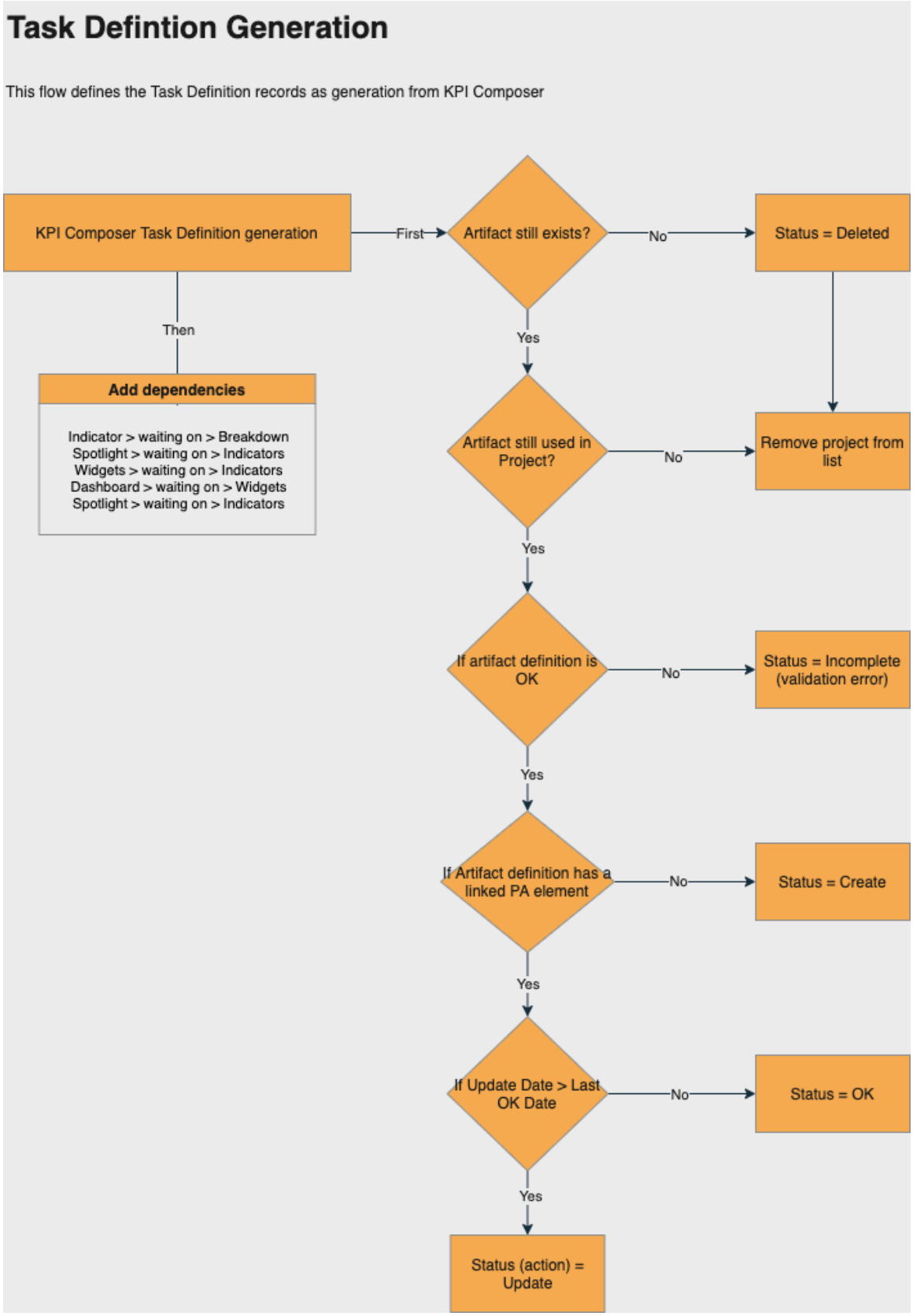
タスクステータス

タスクジェネレーターを実行すると、すべてのタスクのステータスが決定されます。タスク生成では、次のロジックを使用してタスクを作成し、そのステータスを設定します。

1. KPI Composerアーティファクトはまだ存在しますか? そうでない場合、ステータスは [削除済み] になります。
2. 既存の KPI Composer アーティファクトに有効な定義はありますか? そうでない場合、ステータスは [未完了] になります。
3. 有効なKPI Composerアーティファクト定義は、パフォーマンスアナリティクスインジケーターやCMS コンテンツブロックなどの既存のNow Platform要素にリンクしていますか? そうでない場合、ステータスは [作成] です。
4. リンクされた要素が存在し、ステータスが以前に [OK] に設定されていた場合、アーティファクト定義はその後更新されましたか? その場合、ステータスは [更新] になります。
5. それ以外の場合、リンクされた要素が存在する場合、ステータスは OK です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アーティファクト更新トラッキング

タスク生成では、ステータスが [OK] のタスク定義を含むすべてのタスク定義がチェックされます。タスクステータスが [OK] に設定されてからアーティファクト定義が変更された場合、次のタスク生成ジョブでタスクステータスが [更新] に変更されます。変更がチェックされるアーティファクト定

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

義のフィールドは、アーティファクトタイプによって異なります。他の関連するアーティファクトを変更すると、ステータスが [更新] に変わることもあります。次の表に、フィールドと関連するアーティファクトを示します。

アーティファクト定義	フィールド	関連するアーティファクトの変更
ブレークダウン	条件	
	ファクトテーブル	
	[Name (名前)]	
インジケーター	集計	追加されたブレークダウン
	条件	削除されたブレークダウン
	方向	
	ファクトテーブル	
	計算式	
	頻度	
	インジケータータイプ	
	[Name (名前)]	
レポート	集計	
	条件	
	説明	
	ファクトテーブル	
	[Name (名前)]	
	レポートソース	
	ソースタイプ	
インタラクティブフィルター	UI コントロールタイプ	
	Title (役職)	
	説明	
	インタラクティブフィルター	
PA ウィジェット	ウィジェットタイプ	
	可視化タイプ	
	Title (役職)	
	説明	
	要素をフォロー	
	時系列	
	アーティファクト	
スポットライト	Title (役職)	
	説明	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーティファクト定義	フィールド	関連するアーティファクトの変更
	アーティファクト	
ダッシュボード	[Name (名前)]	追加されたブレークダウン
	説明	削除されたブレークダウン
		キャンバスレイアウトの変更 - キャンバスの並べ替え/削除/追加

タスクフロー

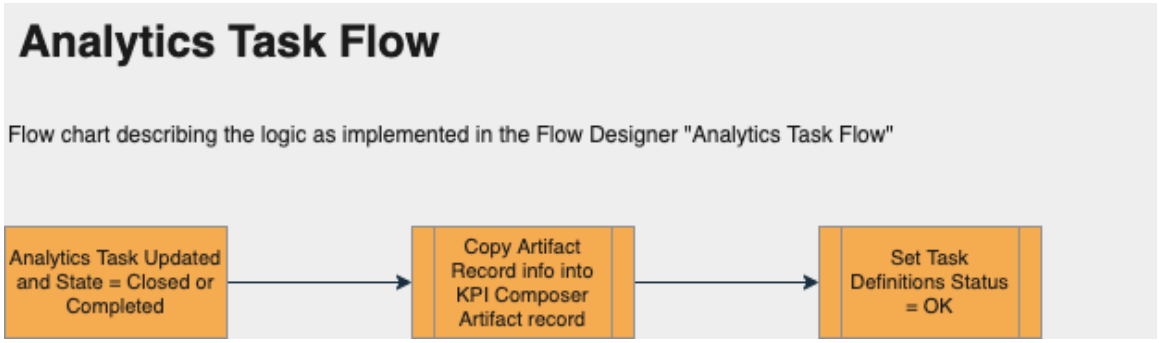
KPI Composer タスクは、 Now Platform® フローデザイナーで作成されたフローを利用します。

KPI Composer には、タスクステータス間の移行を管理する 2 つのフローが用意されています。

- KPI コンポーザ - アナリティクスタスクフロー
- KPI コンポーザ - タスク定義フロー

これらのフローはどちらもフローデザイナーで変更できます。ただし、フローを直接変更するのではなく、フローをコピーしてコピーを変更する必要があります。コピーをアクティブにし、指定されたフローを非アクティブ化します。これを行う理由は、 KPI Composer の更新にフローの更新が含まれる場合があるためです。提供されたフローを変更すると、それらのフローの更新が失敗する可能性があります。代わりに、更新後に、指定されたフローで変更を確認できます。コピーしたフローにこれらの変更を組み込みます。

次の図は、提供されたフローをまとめたものです。

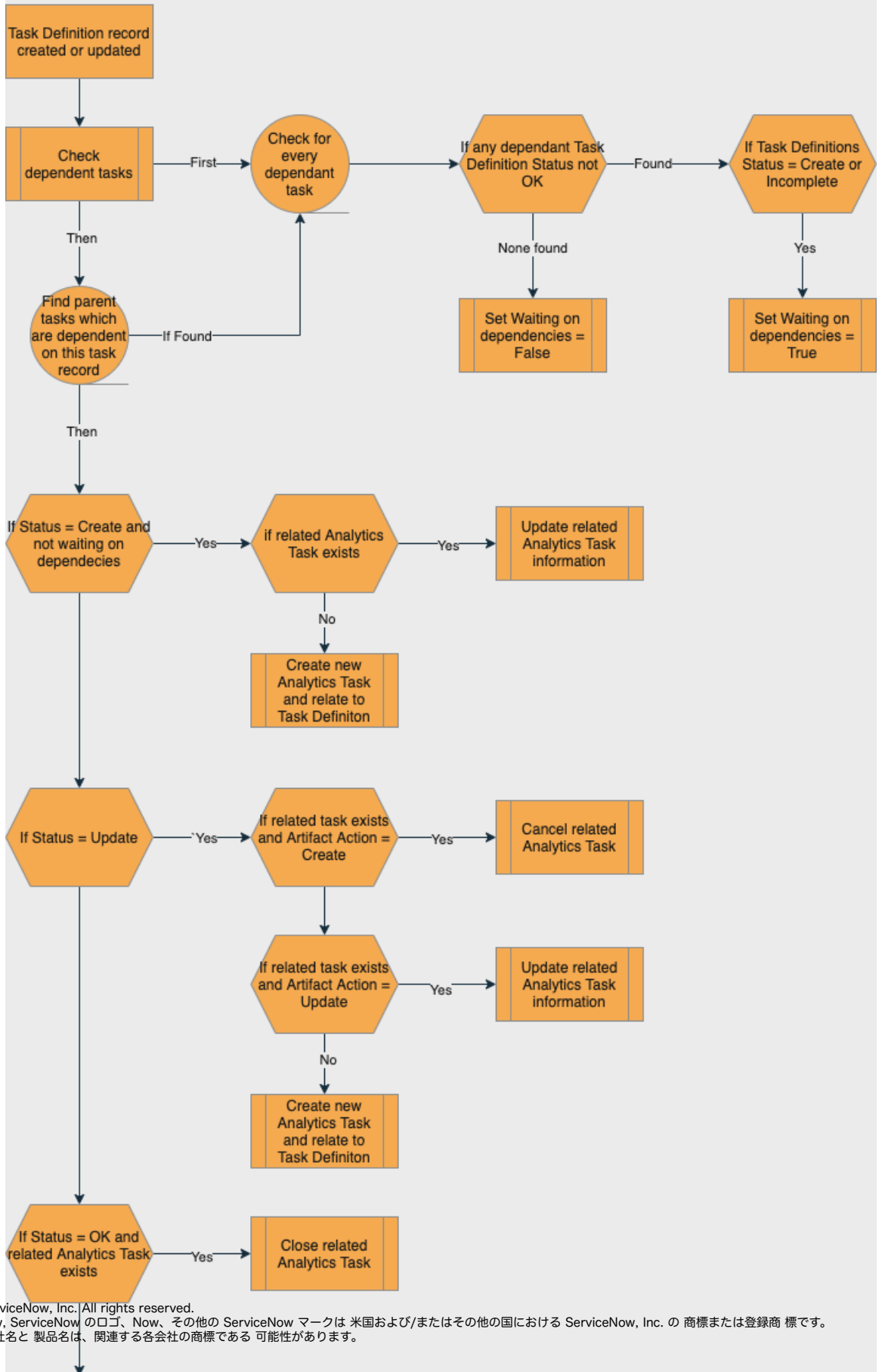


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Task Definition Flow

Flow chart describing the logic as implemented in the Flow Designer "Task Definition Flow"



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Flow Designer

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

インジケーター (KPI) は、定期的に取得されるビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動のパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。

https://player.vimeo.com/video/995194468?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

さまざまな種類のインジケーターとその作成方法の詳細については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化と KPI 詳細で表示または分析できます。コア UIで、ダッシュボードのアナリティクスハブまたはウィジェットに表示します。

インジケーターソースに直接基づくインジケーターは、最も一般的なタイプのインジケーターです。これらのインジケーターは 、自動インジケーターと呼ばれます。他のインジケーターのスコアから式で計算されるインジケーターは、 式インジケーターと呼ばれます。スコアを手動で入力するインジケーターは、 手動インジケーターと呼ばれます。手動インジケーターは、主にテスト目的で使用されることを意図しています。最後に、高度な機能として、外部データソースからインジケーターを作成できます。

インジケーターの例については、 ベースシステム で提供されている [オープンインシデントの数] 自動インジケーターを参照してください。このインジケーターは、毎日オープンされているインシデントの数を測定し、これらの数値を経時的に保存します。インジケーター スコアは、 KPI 詳細 またはコア UI アナリティクスハブで確認できます。pa_power_userロールを持っている場合は、[自動インジケーター] の下にインジケーターレコードが表示され、そのレコードからインジケーターソースに移動できます。

関連情報

自動インジケーター

インジケーター (計算)

手動インジケーター

外部データとのパフォーマンス分析の使用

インジケーターを作成するためのワークフロー

Now Platformテーブルから始めて、ダッシュボードで共有できるスコア収集を使用して完成したインジケーターまで作業します。

始める前に

KPI を作成する前に設計してください。KPI Composerを使用して、パフォーマンスアナリティクスで達成したいビジネスゴールを決定することから始めます。ビジネスゴールごとに、そのゴールの重要成功要因を決定します。最後に、これらの重要な成功要因の進捗状況を確認するために必要な測定を決定します。これらの測定値は、実装する必要がある KPI に対応しています。パフォーマンスアナリティクスソリューションの設計の詳細については、「 を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

PA インジケーターを設計したら、ServiceNow から入手できるパッケージ済みプラットフォームアナリティクスソリューションのいずれかがニーズを満たしているかどうかを確認します。一般的に言えば、これらのパッケージ化されたソリューションの 1 つをカスタマイズする方が、ゼロから構築するよりもはるかに簡単です。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

必要なロール：なし

このタスクについて
必要な KPI がわかったら、インジケーターとブレークダウン、および必要に応じてそれらのデータソースの作成を開始できます。次のワークフローは、Now Platformデータベーステーブルからスコアを収集する KPI の実装である自動インジケーターに適用されます。(計算式インジケーターの自動インジケーターに操作を組み合わせて適用できることを覚えておいてください。また、Now Platform データベースをまったく参照しない手動インジケーターと外部インジケーターを使用することもできます)。

重要:
Performance Analytics は、資格のある担当者が実装する必要があります。この説明のように、いくつかのトレーニングコースが利用可能です ServiceNow コミュニティ 記事. このドキュメントは、トレーニングに代わるものではありません。

パフォーマンスアナリティクスの KPI の設計はトップダウンプロセスですが、インジケーターの技術的実装はボトムアッププロセスです。

手順

1. 分析するデータを含むテーブルを特定します。

   最小ロール:pa_data_collector。

   KPI はどのテーブルを参照していますか? たとえば、KPI がインシデントに関するものである場合、情報はインシデント [incident] にあります。KPI が変更要求に関するものである場合、テーブルは変更要求 [change_request] です。KPI Composer を使用して KPI を設計する場合、この情報は既にあります。

2. KPI に関連するレコードのサブセットを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector。

   ほぼ確実に、テーブルのすべてのレコードを参照する KPI はありません。代わりに、オープンインシデントの数、少なくとも 1 回再アサインされたオープンインシデント、オープン日に解決されたインシデントなど、レコードのサブセットを参照する KPI があります。各テーブルについて、関連するレコードのサブセットを定義するために使用できる条件 (「オープン」、「少なくとも 1 回再アサイン」、「解決済み」、「オープン日のステータス>解決済み」など) をメモします。

   繰り返しになりますが、 KPI Composer を使用してKPIを設計する場合、この情報はすでにあります。

3. KPI に関連するレコードのサブセットを定義する条件に基づいて、必要なインジケーターソースを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector。

   インジケーターソースは、ServiceNow テーブルとそのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照するデータソースです。インジケーター ソースをできるだけ少なくする必要があります。この倹約の主な理由は効率です。データ収集では、各インジケーターではなく、インジケーター ソースを共有する一連のインジケーターについてデータベースをクエリします。インジケーターソースの数を最小限に抑えることは、インジケーター全体で信頼できる唯一の情報源を

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

維持するのにも役立ちます。条件を変更する必要がある場合は、インジケーター ソースで条件を変更し、この変更を関連するすべてのインジケーターに自動的に反映することができます。

インジケーター ソースを設計するときに、複数のインジケーターに適用できる一般的な条件を探します。次の KPI を考慮してください。

- オープン中のインシデントの数。
- 1 回以上再アサインされたオープンインシデントの数。
- 30 日を超えてオープンになっているインシデント。
- 「解決済み」とマークされたインシデント。
- オープンされた日に解決されたインシデント。

これらすべての KPI のスコアを収集する 2 つのインジケーターソースを作成できます。

- 1 つは [インシデント] テーブルで、オープンなインシデントをフィルタリングします。
- [インシデント] テーブルのもう 1 つ。解決されたインシデントをフィルタリングします。

4. ニーズに合った既存のインジケーターとインジケーターソースを検索します。

   最小ロール:pa_data_collector、pa_power_user (インジケーターのみ)。

   冗長なインジケーターとインジケーター ソースは一般的な問題です。適切なインジケーターまたはインジケーターソースが存在しないことを確認した場合にのみ、インジケーターとインジケーターソースを作成します。

   ニーズを満たすインジケーターソースが見つかった場合は、それらのソースに設計した KPI に一致するインジケーターが既に存在するかどうかを確認します。

   > **注:**
   > KPI Composer は、適切な既存の パフォーマンスアナリティクス 指標の検索を設計プロセスに組み込みます。

5. 必要な不足しているインジケーターソースを作成します。

   最小ロール:pa_data_collector。

6. 必要な KPI に一致する、不足している自動インジケーターを作成します。

   最小ロール:pa_power_user。

   インジケーター ソースを取得した後、ビジネス アナリストなどのpa_power_userロールを持つユーザーが自動インジケーターを作成できます。

   インジケーターを作成するときに、 条件を追加します。これらの条件は 1 つまたは 2 つのインジケーターにのみ適用され、インジケーター ソースのレベルで適用するには効率的ではありません。インジケーター ソースとインジケーターの間で条件を効率的に分割している場合、インジケーター ソースの一部のインジケーターには追加条件がありません。これらのインジケーターは、インジケーター ソースの列の単なる集計です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. 関連するブレークダウンを新しいインジケーターに関連付けてマッピングします。

   最小ロール:pa_power_user。

   インジケーターを設計するときは、インジケーターに適用するブレークダウンも設計しておく必要があります。ブレークダウンデザインは KPI Composerに含まれています。新しいブレークダウンまたはブレークダウンソースの作成が必要になる場合がありますが、それはこのワークフローの範囲外です。

8. ブレークダウンのマトリクスを収集して管理します。

   最小ロール:pa_power_user。

   優先度とカテゴリの両方でブレークダウンするなど、複数のレベルのブレークダウンを収集する場合は、ブレークダウンマトリクスを設定します。不必要または無意味なブレークダウンの組み合わせは必ず除外してください。

9. インジケーターのジョブを編集します。

   最小ロール:pa_data_collector。

   1 つのスケジュール設定済みデータ収集ジョブと (通常は) 1 つのスケジュール設定されていないデータ収集ジョブをインジケーターに追加します。履歴データが存在する場合は、スケジュールされていないジョブを実行してインジケーターの履歴データを収集します。通常、このジョブはインジケーターを作成するときにのみ実行し、今後は実行しません。スケジュール済みジョブをアクティブ化して、通常はインジケーターの頻度に従って、今後の定期的なデータを収集します。1 期間のみ収集します。たとえば、頻度が [日次] のインジケーターがある場合、前日 (最後に完了した) 日を毎日収集するようにスケジュール済みジョブを設定します。

タスクの結果
このワークフローの最後には、データが入力された自動インジケーターが作成されます。この自動インジケーターは、KPI コンポーザーで設計した測定、重要成功要因、またはサポートインジケーターに対応します。

次のタスク
このインジケーターは、式インジケーターに含めることができます。インジケーターを可視化するウィジェットを設計し、ダッシュボードを作成してこれらの可視化を適切なステークホルダーと共有することもできます。

インジケーターソース

インジケーター ソース は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからのフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。

インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーター ソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーター ソースの条件には、[オープン済み][日付][今日] のような日付関連のフィルタが含まれている必要があります。収集周期の低いインジケーターでは、[クローズ済み][日付][今月] のようなより広い日付範囲を指定できます。

注意深くインジケーター ソースを作成します。インジケーター ソースには複数のインジケーターがリンクされる可能性があるため、インジケーター ソースを作成した後に変更することは容易ではありません。さらに、インジケーターソースを変更すると、既に収集したスコアと不整合が生じる可能性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
インジケーターを作成する前に、インジケーター ソースを作成する必要があります。

インジケーター ソースの定義

1 つ以上のインジケーターで評価できるフィルター済みレコードのデータセットを提供するには、インジケーターソースを作成します。

始める前に
次の理由から、インジケーターソースのリストを確認します。

- 要件を満たすインジケーターソースが既に存在している可能性があります。インスタンスを維持するため、インジケーター ソースを重複して作成しないでください。
- 作成するインジケーターソースには、必ず一意の名前を付けてください。異なるインジケーターソースに同じ名前を付けると、混乱を招く可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合、次の場所に移動します: **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ソース > インジケーターソース [新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、次に移動します: **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > データソース > インジケーターソース [新規] を選択します。
2. インジケーター ソースの使用目的を簡単に確認できる一意 の名前を入力します (「Incidents.Open」など)。
3. 他のユーザーがこのインジケーター ソースの使用と目的を理解し、重複の作成を回避できるように、詳細な 説明 を追加します。
4. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダーまたはインスタンスで定義されているビジネスカレンダーのいずれかを選択します。

   警告:
   ビジネスカレンダーを使用し、後でそのビジネスカレンダーのエントリを変更すると、 パフォーマンスアナリティクス データが無効になります。エントリーを変更する前に収集したスコアは、エントリーを変更した後に収集したスコアと互換性がありません。この警告は、会計カレンダーのスケジュールにも適用されます。

   ビジネスカレンダーを使用する場合は、[ビジネスカレンダー:エントリ開始時間 (Business Calendar: Entry start)] または [ビジネスカレンダー:エントリ終了時間 (Business Calendar: Entry end times)] で実行されるデータ収集ジョブを作成できます。

5. [有効な頻度] または [カレンダー頻度] フィールドに入力します。
   - 標準カレンダーを選択した場合は、[有効期限] 頻度フィールドがあります。このフィールドでは、標準のインジケーター頻度を選択できます。デフォルトの選択は [日次] です。
   - ビジネスカレンダーを選択すると、[カレンダー頻度] フィールドが表示されます。このフィールドは必須です。選択したビジネスカレンダーによって、使用可能な頻度の範囲が決まります。

   このインジケーターソースに基づくインジケーターは、このフィールドの値をインジケーター の頻度として使用します。デフォルトでは、インジケーターのスコア収集期間はこの周期に従います。インジケーターレコードでこの動作を上書きできます。

   設定する周期がわからない場合は、ビジネス サイクルの周期を基準にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 直接、またはレポートソースを再利用して、ファクトテーブルを選択します。

> ⚠ 警告:
> - パフォーマンスアナリティクス はリモートテーブルをサポートしていません。
> - データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

7. ファクトテーブルを直接選択する場合は、データをサブセットに含める前に満たす必要がある 条件 を追加します。

Example
たとえば、条件 [有効][次の値に等しい (=)][true]、[作成日][次の値もしくはそれ以前（<=）][日付] などと設定します。

> 💡 ヒント:
> - テキスト フィールドのインジケーター ソース条件では、大文字と小文字は区別されません。
> - インジケーター ソースとインジケーターに設定された条件がすべて適用されます。
> - インジケーターにリアルタイム スコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーター ソースのいずれかに条件を設定します。
> - インジケーター ソースを再利用できるように、上位レベルの条件のみを使用してインジケーター ソース条件を定義してください。データをより深く理解するには、個々のインジケーターの詳細フィルタを使用します。
> - インジケーターソースには、[作成日][日付][今日] など、少なくとも 1 つの日付条件が必要です。
> - 通常、日付条件はインジケーター頻度と同じ期間を参照する必要があります。たとえば、日数に関する条件は日次インジケーターにのみ設定する必要があります。月数に関する条件は、月次指標にのみ記載する必要があります。
> - テーブルのsys_idまたは表示値へのドット連結は避けてください。不要な結合が作成されないように、代わりに参照フィールドを単独で使用します。
> - インジケーター ソースの条件を適切に設計すると、そのソースの少なくとも 1 つのインジケーターに追加条件がなくなります。

条件のビルドに関する一般的な情報については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

8. オプション: 関連リスト条件を定義して、フィルターに別のテーブルとの関係を含めます。
詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。
9. このインジケーター ソースが返すレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。

> ⚠ 警告:
>
> プレビュー機能に表示される内容にかかわらず、収集されるレコードの上限を超える可能性があります。プレビュー機能では、データコレクターが実際にフェッチするレコード数よりも少ないレコード数が表示されます。データコレクションジョブはレコードをフェッチするときに ACL とビジネスルールを無視しますが、プレビュー機能はそれらに従います。詳細については、「 KB0756238 」を参照してください。

10. [レコードビュー] タブ のリストビューで、デフォルトビューを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのビューは、ワークベンチウィジェットと、 アナリティクスハブ および KPI 詳細で このインジケーターソース用に収集されたレコードリストに適用されます。使用可能なビューは、ファクトテーブルによって異なります。

11. オプション: [レコード収集] タブで、このインジケーター ソースについてのみ、単一のインジケーター ソースに対してジョブが収集できるレコードの最大数を上書きします。
[レコード収集の上書き] を選択し、[収集されるレコードの最大数] に値を入力します。プロパティ *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*に設定されているデフォルト値を上書きしています。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。
12. コンテキストメニューを展開して [保存] をクリックします。
13. オプション: ビジネス カレンダーを使用するようにこのインジケーター ソースを構成した場合は、スコアとスナップショットを保持し、季節パターンを検索するための期間数を設定します。これらの設定は、同じカレンダー頻度を使用するすべてのインジケーター ソースとインジケーターに適用されます。インジケーターのオーナーは、そのインジケーターのこれらの設定を上書きできます。インジケーター ソースでこれらの値を設定しないと、このカレンダー頻度を使用して初めてインジケーターを作成するときに、これらの値を設定するように求められます。

    a. 関連リンクで、[保存期間の設定] をクリックします。
    PA ビジネスカレンダー保持期間レコードが開きます。

    b. [季節性を確立するエントリの数] フィールドに、季節パターンを見つけるために必要な、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されている期間の数を入力します。
    ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

    c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されているように、スコアとスナップショットを保持する期間を設定します。
    デフォルト値は 1 ですが、変更を検討する必要があります。

Example: シンプルなインジケーターソース

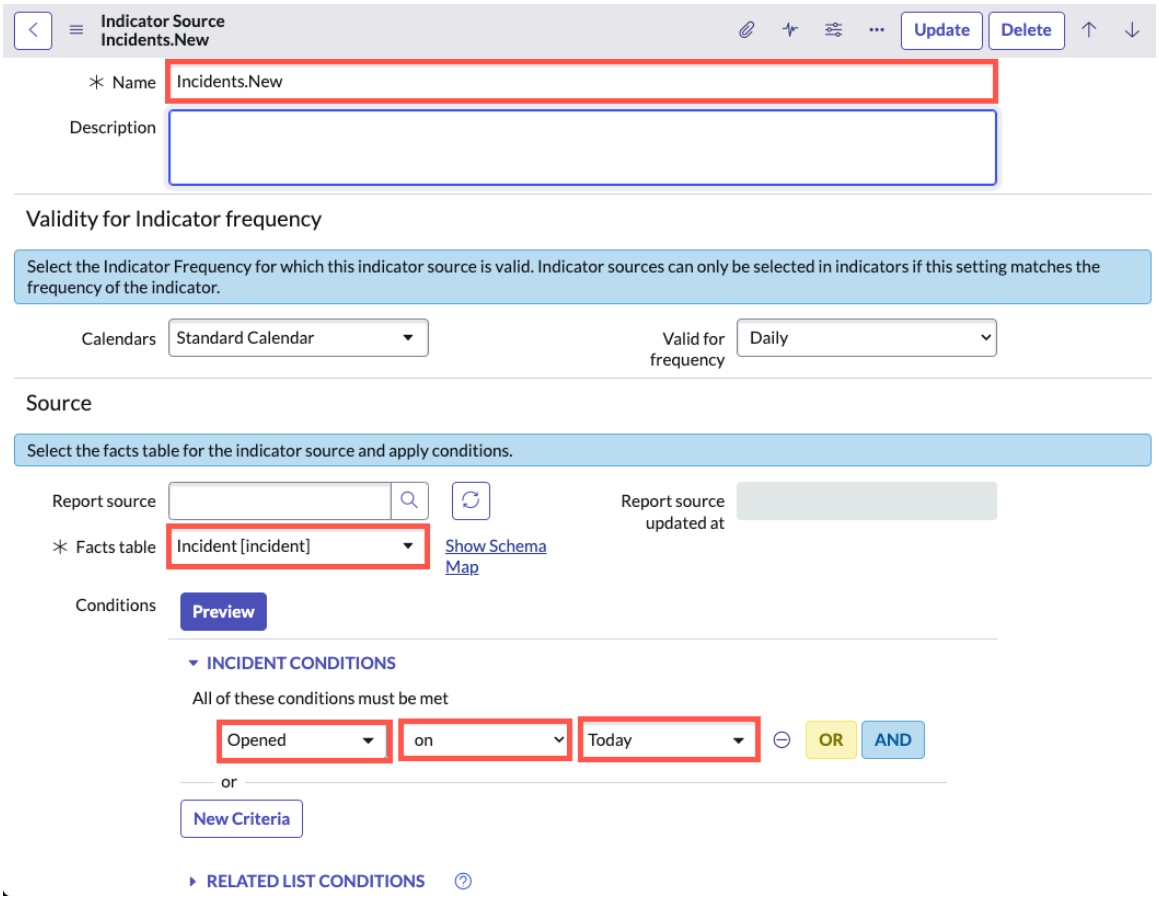
次の設定は、毎日新しいインシデントを収集するインジケーター ソースを作成します。

- [名前]：Incidents.New
- [周期]：日次
- [ファクトテーブル]：インシデント [incident]
- [条件]：[オープン済み][日付][今日]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター ソースの作成



次のタスク
インジケーター ソースを作成した後、レコードの関連リストでテキスト インデックス構成を定義できます。これらの構成を使用して、ワードクラウドで パフォーマンスアナリティクス テキストウィジェットを作成します。詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。

レポート ソースを再利用していて、レポート ソースが変更されると、インジケーター ソース レコードに警告が表示されます。レポート ソースと一致するようにインジケーター ソースを更新するには、[レポート ソースの更新] をクリックします。[レポートソース] フィールドの横にある更新ボタンをクリックすることもできます。

読み取り専用の [レポートソース更新日時] フィールドにレポート ソースが最後に更新された時刻が表示されます。この日付と時刻は常に GMT タイムゾーンで表示されます。

関連情報

- レポートソース
- ビジネスカレンダーの作成

インジケーター ソースでのデータベース ビューの使用

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択できます。データベース ビューを使用すると、デフォルトでは接続されていないServiceNowインスタンスのテーブルのデータを統合することができます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

自動翻訳

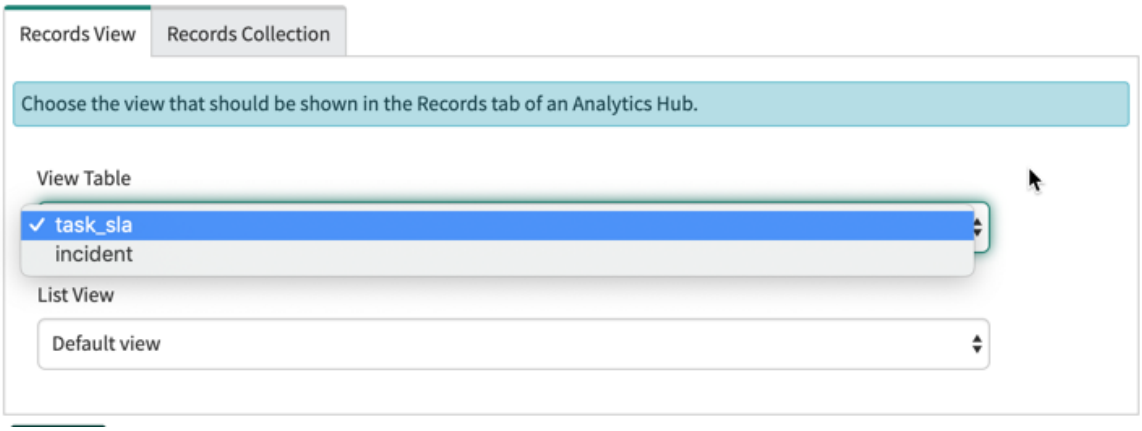
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
データベースビューでテーブルを結合すると、ビューを呼び出してテーブルに簡単にアクセスできます。次に、ビューに含まれる任意のテーブルからフィールドを選択できます。たとえば、違反した SLA の数をレポートする場合、SLA とインシデント テーブル両方のフィールドが必要です。

手順

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択した場合は、インジケーター ソース フォームの [レコードビュー] セクションで追加の構成を行います。

インジケーターソースフォームの [レコードビュー] セクション



フィールド	説明
ビューテーブル	レコードのスナップショットは、データベースビューの 1 つのテーブルからのみ収集されます。レコードを収集するテーブルを選択します。 **重要:** この値を変更すると、以前のスナップショットがすべて削除されます。この変更は、次回データ収集ジョブが実行されるときに有効になります。この変更は、履歴スコアには影響しません。
リストビュー	収集されたレコード セットの表示に使用するリスト ビューを選択します。デフォルトのビューが提案されますが、 ワークスペースなどの定義されたビューを選択できます。

注:
一意のシステム ID を生成しないビューテーブルで第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しない場合があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。一意でないsys_idsのアーティファクトであるため、レコード数が間違っています。

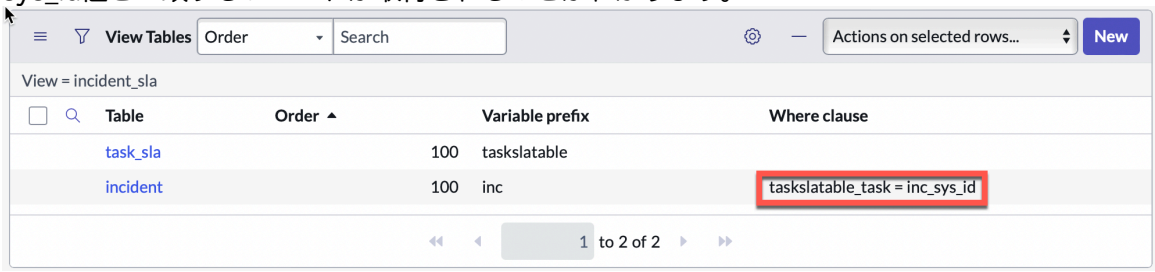
Example: データベースビューからのインジケーターソース

SLA に違反したインシデントの数を追跡するインジケーターを作成するとします。タスク SLA [task_sla] テーブルとインシデント [incident] テーブルを結合する incident_sla と呼ばれるデータベースビューが ベースシステム に既に含まれています。したがって、このデータベース ビューを使用して新しいインジケーター ソースを作成します。

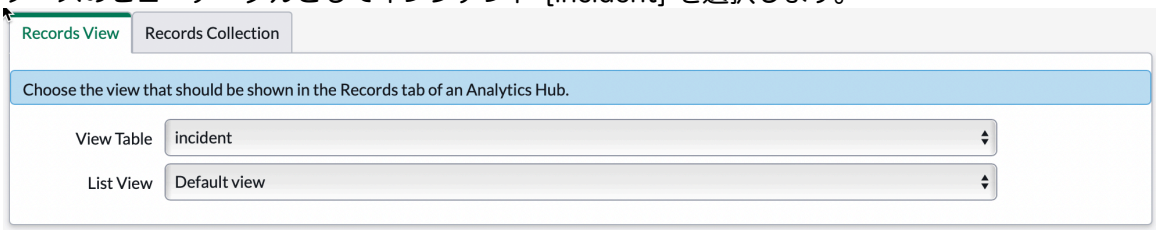
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データベースビューを見ると、タスク SLA テーブルのタスクがインジケーターテーブルの一意の sys_id値と一致するレコードが取得されることがわかります。



スナップショットは 1 つのテーブルからしか取得できません。通常は、一意の値を持つフィールドを持つテーブルのスナップショットを取得することをお勧めします。したがって、インジケーターソースのビューテーブルとしてインシデント [incident] を選択します。



関連情報

データベースビュー

自動インジケーター

自動インジケーターは、インジケーター ソースをデータ セットとして使用します。インジケーターソースは、テーブルまたはデータベース ビュー、そのソースからのレコードをフィルタリングするための条件、およびデータを表示する予定の頻度を指定します。インジケーターは、このデータに集計関数とオプションの条件を適用します。

自動インジケーターは、最も頻繁に使用されるタイプのインジケーターであり、おそらく パフォーマンスアナリティクスの最も基本的なコンポーネントです。自動インジケーターを使用して、変更要求や HR ケースなどのビジネスプロセスに関する情報を格納するテーブルから、一連のレコードのスコアを計算します。インジケーター ソースの周期と同じ周期性に従うスケジュール設定済み データ収集ジョブで、スコアが自動的に計算されます。また、インジケーターを最初に作成するときに履歴データを収集するなど、手動で実行するデータ収集ジョブを 1 つ以上設定します。

インジケーターを任意の数のブレークダウンに関連付けて、インジケーター スコアをスライスまたはフィルタリングできます。たとえば、オープンインシデントの数を示すインジケーターがある場合は、このインジケーターを優先度ブレークダウンに関連付けて、優先度が「最重要」のインシデントの数を確認できます。インジケーターをカテゴリブレークダウンに関連付けて、ハードウェアとソフトウェアのインシデントの数を比較することもできます。

使用するインジケーター ソースがあり、非常に簡単な自動インジケーターを作成する場合は、ウィザードを使用できます。インジケーターをより詳細に指定する必要がある場合は、このセクションで説明するフォームを使用します。ウィザードからのインジケーターの作成の詳細については、「ウィザードによる自動インジケーターの作成」を参照してください。いずれかの方法でインジケーターを作成する前に、 インジケーターの計画立案の説明に従ってインジケーターを計画します。また、適切なインジケーターがベースライン パフォーマンスアナリティクス ソリューションコンテンツパックのいずれかで既に利用可能かどうかを確認します。

自動インジケーターを式インジケーターへの入力として使用できます。たとえば、新規インシデントであるオープンインシデントの割合を計算する場合などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動インジケーターの作成

ServiceNowテーブルに記録されているビジネスプロセスのパフォーマンスを分析するには、自動インジケーターを使用します。適切なインジケーターが プラットフォームアナリティクスソリューションに指定されていない場合は、新しいインジケーターを作成します。

始める前に

自動インジケーターで説明されているように、適切なインジケーターソースが必要です。また、「を使用した パフォーマンスアナリティクス ソリューションの設計 KPI Composer 」および「インジケーターの計画立案」で説明されているように、KPI を作成する前に、ビジネス戦略の一部として KPI を設計する必要があります。また、 インジケーターを作成するためのワークフローに慣れておいてください。

注:

- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在属しているドメインに作成されます。

必要なロール:pa_admin、pa_power_user、pa_data_collector、または admin

このタスクについて

このフォームには、自動インジケーターを作成するための多くのオプションがすべてあります。単純な自動インジケーターをすばやく作成するには、「ウィザードによる自動インジケーターの作成」を参照してください。ただし、インジケーター オプションの詳細とヒントについては、まずこのトピックをお読みください。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。

- プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合、次の場所に移動します: **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動) [新規] を選択します。
- 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、次に移動します: **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーター (自動) [新規] を選択します。

2. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。

3. いずれも：

- カレンダーと頻度を選択してから、インジケーター ソースを選択します。手順 4 に進んでから、手順 5 を実行します。
- 最初にカレンダーまたは頻度を選択せずに、インジケーター ソースを選択します。ステップ 4 をスキップして、ステップ 5 を実行します。

カレンダーと頻度を手動で設定する場合は、カレンダーと頻度が一致するインジケーター ソースのみを選択できます。カレンダーと頻度を設定しない場合は、任意のインジケーター ソースを選択できます。後者の場合、インジケーターはそのインジケーター ソースのカレンダーと頻度を継承します。

注:
このインジケーターのデータ スナップショット を有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度が上書きされ、頻度は毎日になります。

4. オプション: カレンダーと頻度を設定します。

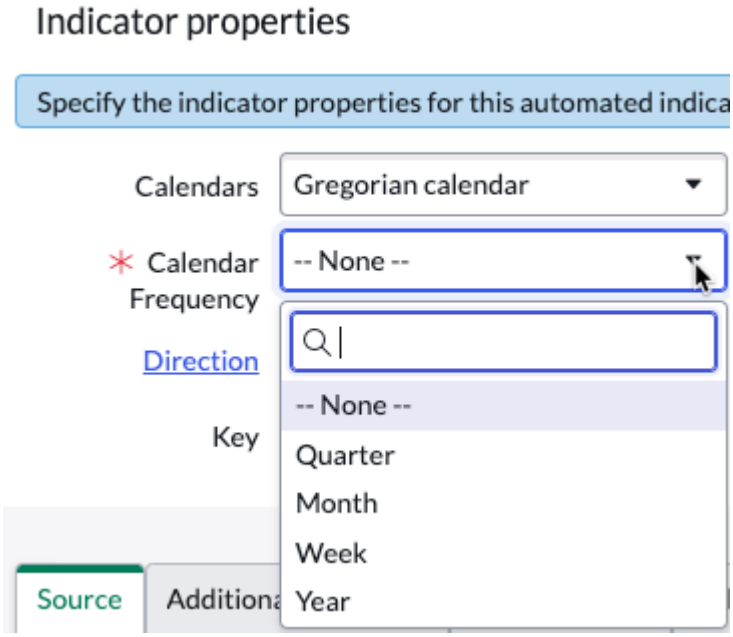
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダー、または会計カレンダーグループを選択します。

b. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

Example
たとえば、グレゴリオ暦には、四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、次のいずれかの頻度を選択する必要があります。

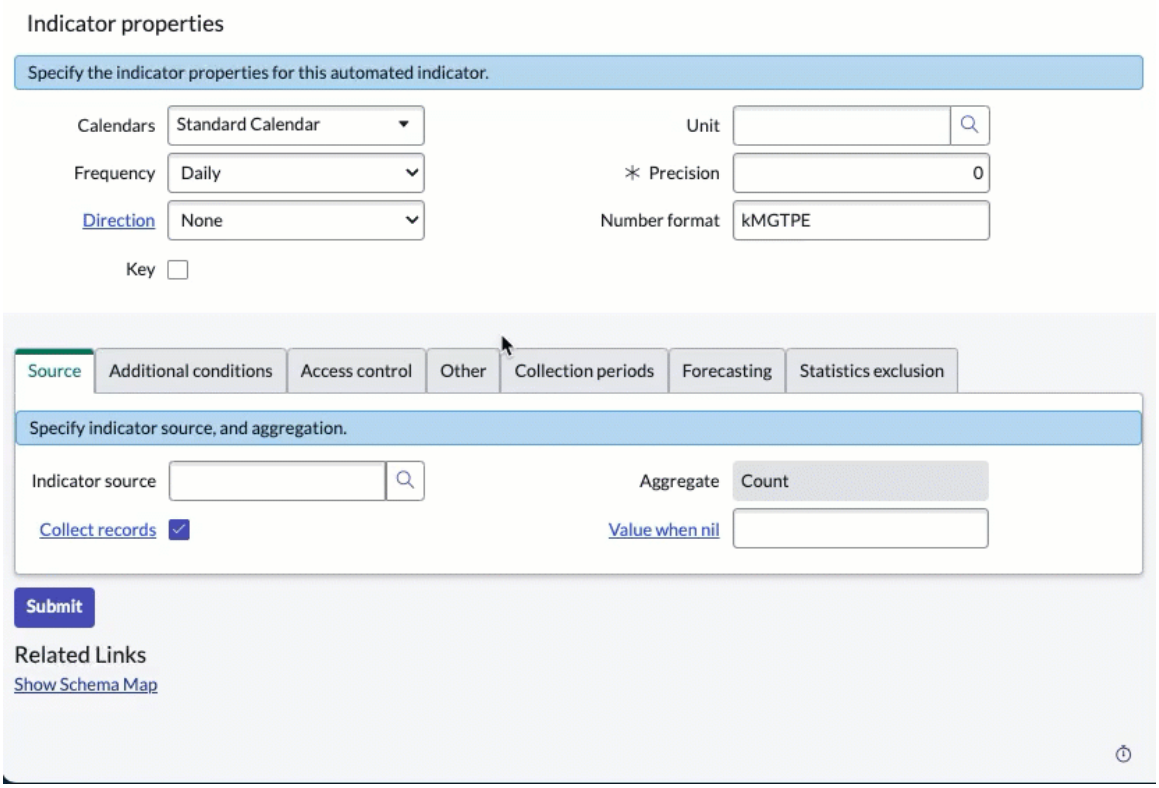


c. オプション: 標準カレンダーを選択した場合は、インジケーターの頻度を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター頻度を選択しない場合、頻度はインジケーター ソースから継承されます。



5. [ソース] タブまでスクロールし、[インジケーターソース] を選択します。
フィールドに名前の一部を入力すると、それに応じて使用可能なインジケーター ソースのリストがフィルタリングされます。

   ドメインセパレーションを使用している場合は、表示可能なインジケーターソースのみを選択できます。

   [カレンダー頻度] または [頻度] が指定されている場合は、カレンダーと頻度が一致するインジケーター ソースからのみ選択できます。

6. [ソース] タブの [集計] フィールドで、インジケーター ソースからのデータに適用する集計関数を選択します。

   [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定されたアグリゲート演算を実行します。

   [合計]、[最小]、または [最大] 集計を選択する場合は、一部のタイプの時系列がインジケーターに適用されないように除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

   > **ヒント:**
   > 平均集計は時系列の使用を複雑にする可能性があるため、使用しないようにしてください。代わりに、合計自動インジケーターとカウント自動インジケーターを作成します。次に、Sum インジケーターを Count インジケーターで除算して平均を計算する式インジケーターを作成します。

7. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、[最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

8. [ソース] タブで、残りのフィールドを入力します。
[アグリゲート] が [カウント] に設定されている場合は、[レコードを収集] フィールドと [値 **(Value when nil)**] フィールドのみを使用できます。

[ソース] タブのフィールド

フィールド	説明
レコードの収集	インジケーターが収集されたときに個々のレコード sys_ids が格納されているかどうかを示すチェック ボックス。このチェックボックスをオンにすると、 アナリティクスハブ とウィジェットの詳細にドリルダウンできます。利用可能な場合、収集されたレコードが [記録] タブに表示されます。 ヒント: 一般に、カウントと合計以外の集計を含むレコードの収集は避けてください。ユーザーが [最小] または [最大] に入るレコードを表示することはめったにありません。[個別のカウント] のレコード数がスコアと異なる場合があります。ユーザーが要求した場合にのみ、これらの他の集計を含むインジケーターのレコードを収集することを検討してください。 このオプションは、スポットライト グループのメイン インジケーターに対して有効にする必要があります。そうしないと、[スポットライト] グループは収集したレコードのスナップショットを評価できません。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。
スクリプト化	スクリプトに基づいて値を集計するかどうかを示すチェック ボックス。このオプションは、[集計] が [カウント] に設定されていない場合にのみ利用できます。[スクリプト化済み] チェック ボックスをクリアしてフィールドの値を集計します。
フィールド	集計操作を実行するフィールド。このフィールドは、[集計] で [カウント] ではなく [スクリプト化済み] を選択している場合にのみ表示されます。
スクリプト	スクリプトを選択するか、集計用のスクリプトを作成します。このオプションは、[スクリプト化済み] チェック ボックスが選択されている場合にのみ利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

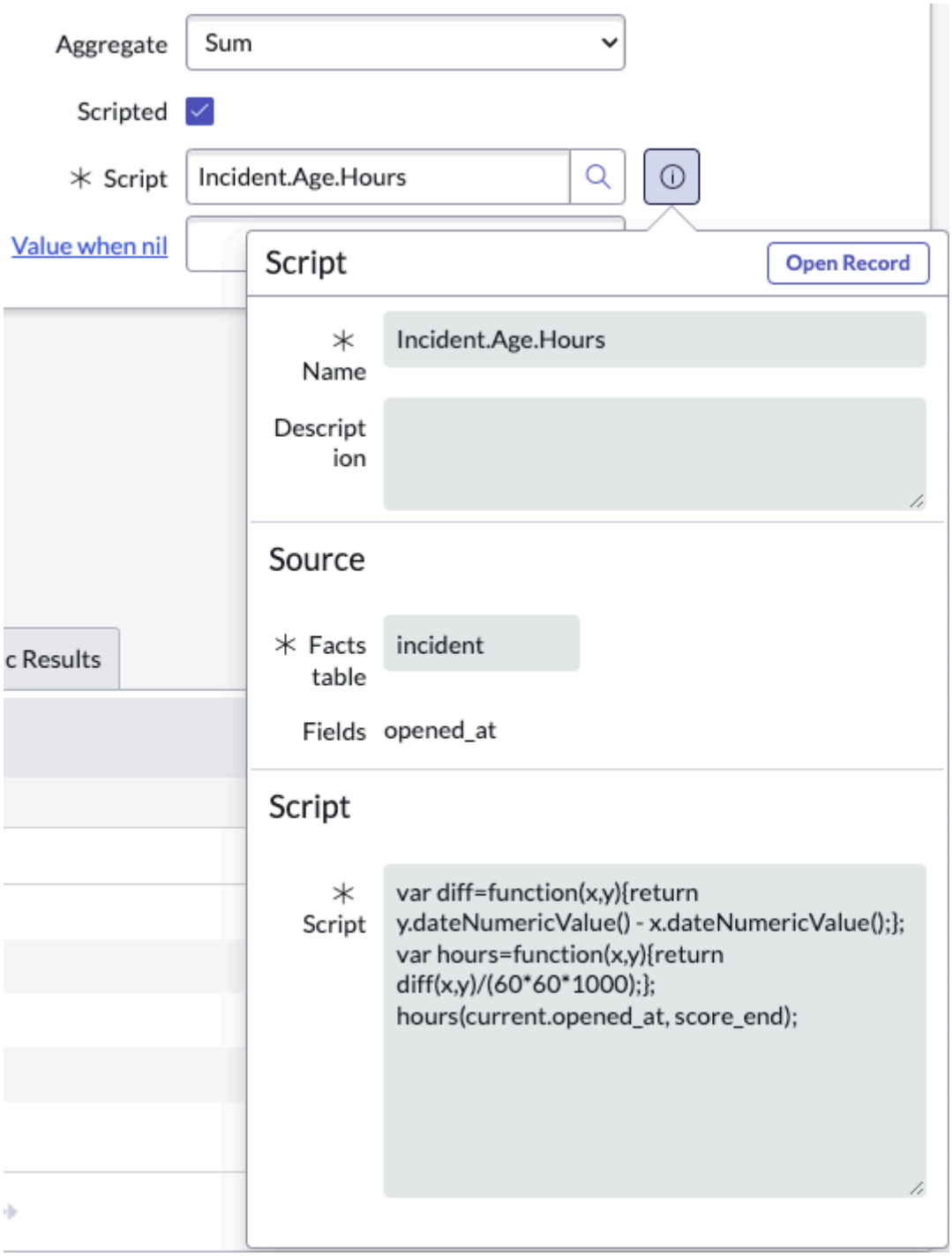
フィールド	説明
	詳細については、「スクリプト： パフォーマンスアナリティクス」を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。この値は、ブレークダウンが適用されているかどうかに関係なく挿入されます。 この値は、数式や集計 (平均など) の計算には使用されません。

Example

たとえば、インジケーター [オープンインシデントの合計経過時間] は、合計集計を使用します。この集計を使用するため、フィールドまたはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。この場合、スクリプト化され、Incident.Age.Hours スクリプトを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロールで制限するかどうかを設定します。[ライブラリに共有] を有効にすると、インジケーターが次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブただし、完全には移行されていないアップグレード済みインスタンスのみが対象です プラットフォームアナリティクス
10. このインジケーターに 2 つ以上のレベルのブレークダウンを適用できるようにするには、[無制限のブレークダウンを有効にする] を選択します。

自動翻訳

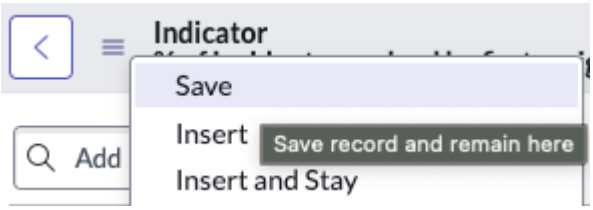
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



すべてのインジケーターが複数のブレークダウンをサポートしているわけではありません。このインジケーターが複数のブレークダウンをサポートしていない場合は、その理由を示すメッセージが表示されます。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

複数のブレークダウンを有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度が上書きされます。インジケーターは日次になります。

11. コンテキストメニューを展開して [保存] をクリックします。



12. 次のいずれかの手順を実行します。
    - それ以上のアクションを実行するプロンプトが表示されず、インジケーターが要件を満たしている場合は、[ブレークダウンを管理] を選択してインジケーターにブレークダウンを追加します。詳細については、「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。
    - さらにアクションを実行するように求められた場合、またはより精巧なインジケーターを設計した場合は、インジケーターの詳細設定を完了します。

関連情報

インジケーター グループの作成

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

インジケーターの詳細設定

必要な設定で自動インジケーターを作成した後、オプションの詳細設定を構成できます。

始める前に

自動インジケーターを作成して保存しました。
必要なロール：pa_power_user

手順

1. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択し、このインジケーターがこのカレンダー頻度で作成された最初のインジケーターである場合は、周期性を設定するように求められます。
   これらの設定は、[収集期間] タブの設定を上書きしない限り、同じカレンダー頻度を持つすべてのインジケーターに適用されます。詳細については、「ビジネスカレンダーのインジケーター」セクションを参照してください。

   a. [関連リンク] セクションで、[周期性の設定] をクリックします。
      PA ビジネスカレンダー保持期間レコードが開きます。

   b. [季節性を確立するエントリの数] フィールドに、季節パターンを見つけるために必要な、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されている期間の数を入力します。
      ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリで定義されているように、スコアとスナップショットを保持する期間を設定します。
デフォルト値は 1 ですが、変更を検討する必要があります。

2. [他の条件] タブで、インジケーターが評価するレコード セットを制限する条件を追加します。
インジケーター ソースの条件に加えてインジケーターの条件が適用されます。リアルタイム スコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーター ソースで条件を設定する必要があります。

ただし、次の演算子はインジケーターではサポートされていません。代わりに、インジケーター ソース条件で次の演算子を使用できます。

- キーワード
- 次のフィールド値を超える **(>)**
- 次のフィールド値未満 **(<)**
- 次のフィールド値以上 **(>=)**
- 次の値以下 **(<)** フィールド

> **警告:**
> データ収集ジョブがエラーで完了しないようにするには、次の制限に従います。
>
> - インジケーターにロールを参照する条件を追加しないでください。ロールテーブルはインジケーター ソースでのみ参照できます。
> - ドット連結フィールドのみを参照する条件を定義する場合は、少なくとも 1 つのブレークダウンをインジケーターに関連付ける必要があります。
>
> 一般に、テーブルのsys_idや表示値へのドット連結は避けてください。ドット連結すると不要なテーブル結合が作成されます。

> **ヒント:**
> 条件が適切に設計されていることを確認するには、インジケーター ソースのインジケーターを一覧表示し、ビューに [条件] フィールドを含めます。インジケーター ソースの条件のみを使用するインジケーターが少なくとも 1 つ必要です。それ以外の場合は、インジケーター ソースが未使用のデータを収集している可能性があります。この場合は、共通条件をインジケーターからインジケーター ソースに移動するか、インジケーター ソースを分割することを検討してください。

Indicator source = Incidents.Open

Name	Aggregate	Conditions
Number of open incidents not updated in ...	Count	Updated <= javascript:gs.daysAgo(5)
Number of open incidents not updated in ...	Count	Updated <= javascript:gs.daysAgo(30)
Summed re-assignment of open incidents	Sum	
Summed age of last update of open incidents	Sum	
Number of open incidents	Count	
Summed age of open incidents	Sum	
Number of reassigned open incidents	Count	Reassignment count > 0

3. オプション: 次のいずれかのインジケータープロパティを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) 価格、通貨、または FX 通貨フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、一部のタイプの時系列をインジケーターに適用しないようにすることを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時刻は日、時間、および分で示されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* 存在し、true である場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドに秒も表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 単位が [参照通貨を使用] の場合、このフィールドは使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	クインティリオンまでの数千の大きな数に使用される略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

4. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターにデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは、時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を取得するようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
順序	(Optional) インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターだけに数値を入力すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 を初めて開くときは、デフォルトのチャート タイプが使用されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でグラフタイプが変更された場合、その設定は記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターの切れ目のないデータ行が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットや、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。

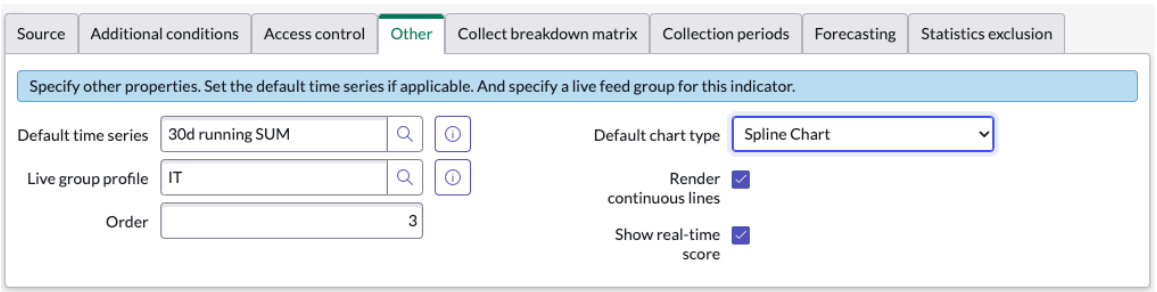
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) 選択すると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 に、このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスをリアルタイムで表示できます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイム スコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーター ソースに条件を設定する必要があります。

Example
たとえば、[その他] タブでは、インジケーターを次のように設定できます。

- デフォルトでは、30 日間分のスコアの合計がウィジェットに表示されます。このデフォルトは、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、ダッシュボードウィジェット、またはワークスペース データの可視化で上書きできます。
- インジケーターの変更が IT Live グループに通知されます。
- このインジケーターは、インジケーターの アナリティクスハブ リストで 3 番目にリストされています。他のすべてのインジケーターにも位置が指定されています。この設定は、 KPI 詳細上のインジケーターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフタイプは、 アナリティクスハブ と KPI 詳細のスプラインです。
- インジケーターのデータ行は、データが欠落している場合でも切れ目なしで表示されます。
- アナリティクスハブとKPI 詳細は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



5. オプション: [ブレークダウンマトリクスフィールドを収集] タブで、インシデントを [優先度別カテゴリ別に開く] など、インジケーターのブレークダウンレベル 2 を有効にすることができます。ブレークダウンレベル 2 を有効にすると、パフォーマンスに重大な影響を与える可能性があります。詳細については、「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。
6. オプション: [収集期間] タブで、スコアとスナップショットが収集され、保持される今日までの最大期間数を設定するプロパティを上書きします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
8. オプション: [統計情報の除外] タブで、KPI 詳細または アナリティクスハブに表示しない統計情報を選択します。

Example
たとえば、パーセンテージ単位のインジケーターの [変化 % (Change %)] を表示したくない場合があります。

9. [ブレークダウンを管理] をクリックします。

ビジネスカレンダーのインジケーター

ビジネスカレンダーと会計カレンダーには標準期間はありません。 パフォーマンスアナリティクスは、これらのカスタム期間に対応するためにいくつかの革新を導入しました。それに応じて、インジケーターを作成するためのワークフローも異なります。

重要:
新規作成インジケーター作成ウィザードは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーに基づくインジケーターをサポートしていません。

期間の定義方法の違い

標準カレンダーとは異なり、ビジネスカレンダーにはビジネスカレンダーエントリに基づくカスタム期間があります。この違いに対応するために、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターでは、次のプロパティが別々に定義されています。

- インジケーターの頻度は、静的な選択肢のリストではなく、ビジネスカレンダーから導出されます。インジケーター レコードの [頻度] 列は無視されます。代わりに、[カレンダー頻度] 列が使用されます。
- 予測では、季節パターンを見つけるために必要な期間の数を指定する必要があります。この値は、標準カレンダーのようにカレンダー期間から自動的に決定することはできません。この値は、PA ビジネスカレンダー保持期間 [pa_calendars_retention] レコードのカレンダー頻度ごとに設定します。
- スコアと スナップショットを保持するには、カレンダー期間の数を設定する必要があります。データを保持するためのデフォルトのカレンダー期間を設定するシステムプロパティは無視されます。代わりに、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードのカレンダー頻度ごとにこれらの数値を設定します。

PA ビジネスカレンダー保持期間レコードとその上書き

特定のカレンダー頻度を使用するインジケーターを初めて作成すると、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードを完了するように求められます。そのカレンダー頻度で将来作成するインジケーターは、同じ PA ビジネスカレンダー保持期間レコードを使用します。

特定のインジケーターの PA ビジネスカレンダー保存期間レコードの設定を上書きできます。標準のカレンダーインジケーターの場合と同様に、インジケーターレコードの [収集期間] タブでデフォルトを上書きします。ただし、最初に [保存期間を上書き] を選択すると、標準カレンダーの日次インジケーターの既定の保存期間が表示されます。これらの値は表示アーティファクトのみであり、無視してかまいません。必要な値を入力すると、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの値が上書きされます。

注:
PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの [季節性を確立するエントリの数] の値を上書きすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ビジネスカレンダーグループ

標準カレンダー以外の [カレンダー] フィールドでエントリを選択すると、実際にはビジネスカレンダーグループまたは会計カレンダーグループが選択されます。ビジネスカレンダーグループと会計カレンダーグループの両方が ビジネスカレンダー > ビジネスカレンダーグループ. 各ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーグループには、[カレンダー頻度] で選択するビジネスカレンダーのセットが含まれています。各ビジネスカレンダーには、ビジネスカレンダーまたはビジネスカレンダーと会計カレンダーのスケジュールエントリのセットが含まれています。

会計カレンダーを生成するプロセスでは、会計カレンダーグループが自動的に作成されます。ビジネスカレンダーの場合、ビジネスカレンダーの作成者はビジネスカレンダーグループも手動で作成する必要があります。質問がある場合は、ビジネスカレンダーの作成を担当するアドミンにお問い合わせください。詳細については、「 ビジネスカレンダーグループの作成 」を参照してください。

式の自動インジケーター

式インジケーターには、ビジネスカレンダーを使用する 自動インジケーター を含めることができます。式インジケーターでは、少なくとも 1 つの貢献自動インジケーターと同じビジネスカレンダーを使用する必要があります。詳細については、「式インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウンのアサインとマップ

インジケーターにアサインするブレークダウンを選択します。ブレークダウン ソースを参照するインジケーター ソースのフィールドをマップします。適切なフィールドがない場合は、スクリプトを指定してインジケーターとブレークダウン ソースを関連付けます。

始める前に
必要なブレークダウンが、ブレークダウン ソースで定義されている必要があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

注:

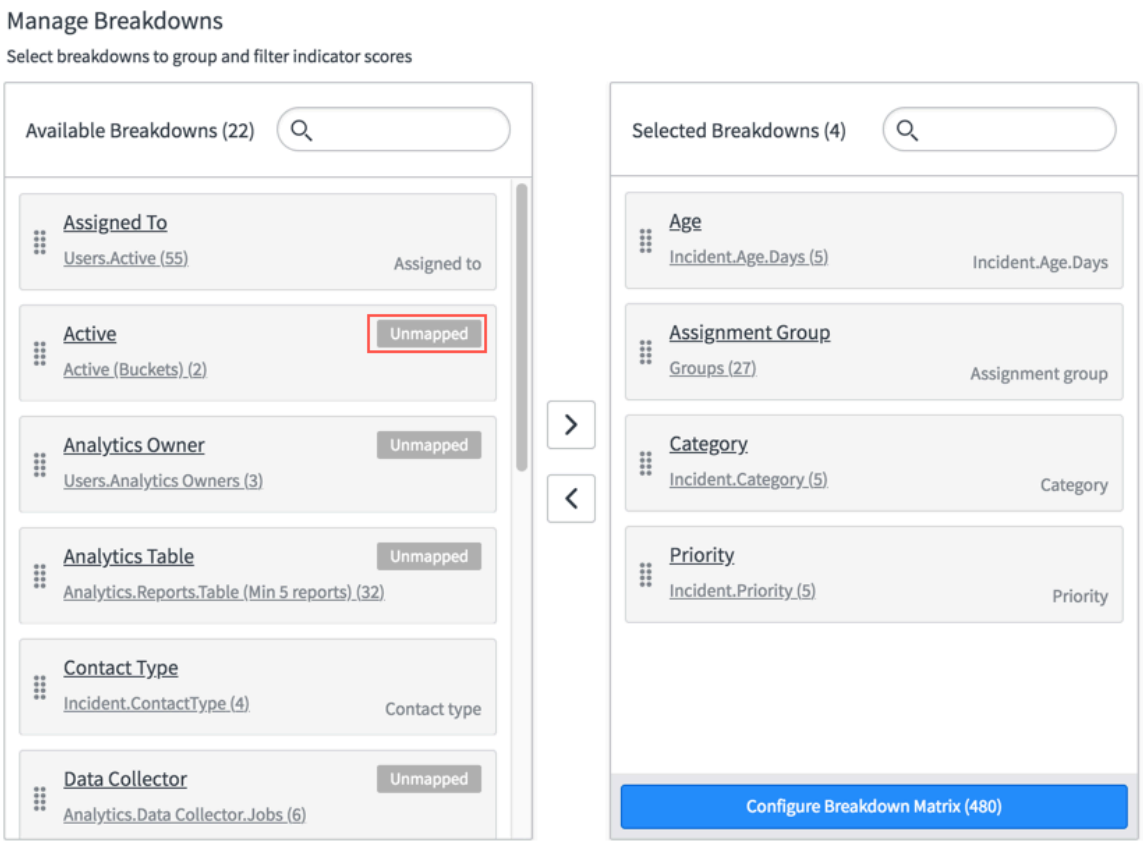
- ブレークダウンは自動インジケーターにのみマッピングできます。ブレークダウンを式インジケーターに割り当てる場合は、式の自動インジケーターに既にマッピングされているブレークダウンを選択してください。
- データ収集に含めることができる ブレークダウン要素 の最大数は、プロパティ `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit` で設定されます。この値を超えると、ツールに警告が表示されます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。
- このページの手順では、グラフィカル ツールを使用します。代わりに、インジケーター フォームの [ブレークダウン] 関連リストでインジケーターのブレークダウンを選択できます。ブレークダウン フォームでインジケーター ソースのインジケーター フィールドまたはクエリをマップすることもできます。詳細については、「ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成」を参照してください。

手順

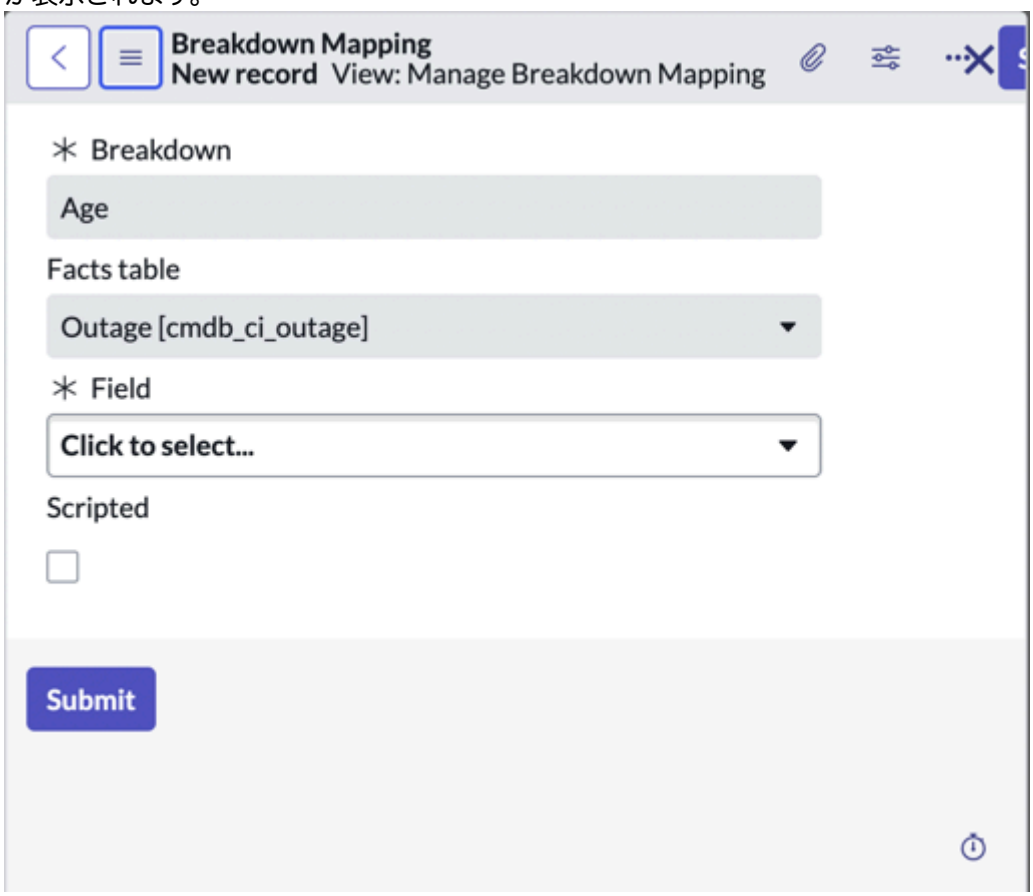
1. ブレークダウンをアサインするインジケーターに移動します。
2. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
3. [利用可能なブレークダウン] から [選択済みのブレークダウン] に、インジケーターにアサインするブレークダウンを移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マッピングされていないブレークダウンを追加すると、[ブレークダウンマッピング] ダイアログが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

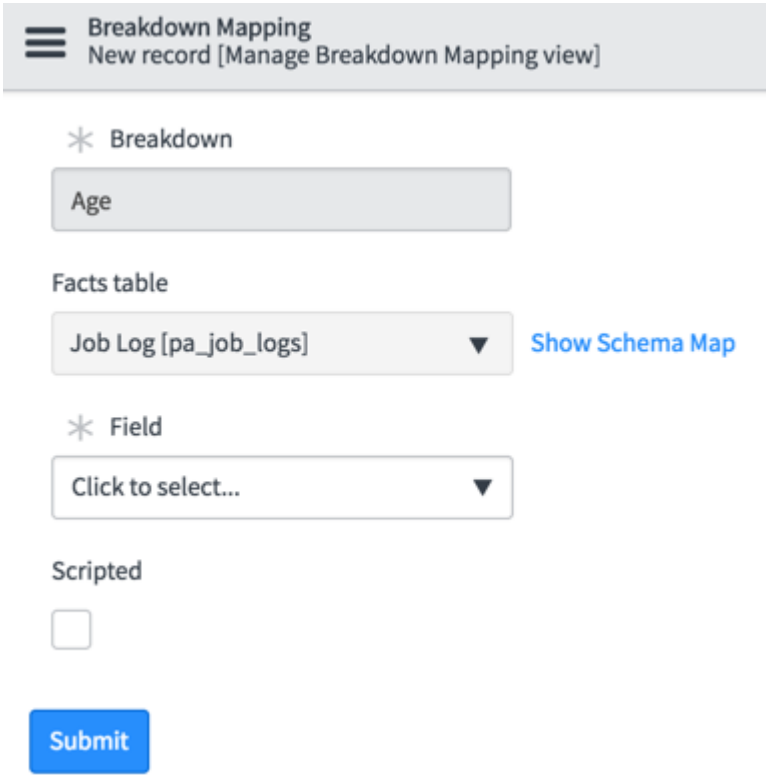
注:
ブレークダウンを式インジケーターに割り当てる場合、 マップされていない アイコンは表示されず、[ブレークダウンマッピング] ダイアログは表示されません。ブレークダウンを式インジケーターにマップすることはできません。ブレークダウンを式インジケーターに正常に適用するには、式内のすべての自動インジケーターにマッピングされていることを確認します。式に他の式インジケーターが含まれている場合は、それらの式の自動インジケーターをチェックします。再帰的に、一番下までチェックします。ブレークダウンのフォローが防止されている自動インジケーターをチェックする必要はありません。

4. 次のようにブレークダウンマッピングに入力します。

オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。 [カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。 ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを使用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユース ケースは、ブレークダウン ソースが バケット グループ であり、スクリプトがバケットにインジケーター スコアを割り当てるための整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイム スコアを表示することはできません。 **ヒント:** [レベル 1 のマッピングとレベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分と等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装します。そうしないと、スコアとレコード数が第 2 レベルのブレークダウンで一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「 KB0748969 」を参照してください。 Now Support ログインが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[ファクトテーブル] 選択リストをクリックすると、選択リストが表示されますが、別のファクト テーブルを選択することはできません。



5. [送信] をクリックします。

6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

次のタスク
自動インジケーターに少なくとも 2 つのブレークダウンをアサインすると、2 つのブレークダウンの組み合わせを収集できます。そうすると、意味のない組み合わせのブレークダウンが収集されなくなり、システム リソースが節約されます。「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。

重要:
インジケーターのデータスナップショットを有効にすると、2 つのブレークダウンの組み合わせに制限されず、インジケーターにはブレークダウン マトリクスがありません。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

次のいずれかの方法でブレークダウンを適用します。クラシック環境の場合:

- 上の アナリティクスハブ
- ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェット を構成する場合
- ブレークダウンダッシュボード上
- ダッシュボードの ブレークダウンウィジェット 内

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスの場合:

- で KPI 詳細
- インジケーターデータソースのデータ 可視化 を構成する場合

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

インジケーターの 2 つのブレークダウンの組み合わせのマトリクスを収集します。不必要な、または意味のないブレークダウンの組み合わせは収集から除外します。

始める前に
ブレークダウンにはインジケーターをアサインする必要があります。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

重要:
インジケーターのデータスナップショットを有効にすると、2 つのブレークダウンの組み合わせに制限されず、インジケーターにはブレークダウン マトリクスがありません。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
すべてのブレークダウンの組み合わせが有用な情報を提供しないこともあります。たとえば、[国, 地域] の組み合わせは、国ブレークダウンと同じスコアを返します。ブレークダウン マトリクスの除外を使用して、これらの無効な組み合わせのデータをインスタンスが収集しないようにすることができます。これらの除外は、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、またはスコアシートには表示されません。また、ウィジェットまたはデータのビジュアル化を作成するときに、除外されたブレークダウンの組み合わせを選択することもできます。

パフォーマンスの問題を防ぐために、このプロパティ `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit` では、データ収集に含まれるブレークダウン接続の要素の数を制限しています。この制限を超えると、マトリクス内の一部の組み合わせがグレー表示されます。一部のブレークダウンの組み合わせを除外することで、この制限を超えないようにすることができます。詳細については「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。

注:

- これらのブレークダウンの組み合わせが除外されても、個々のブレークダウンのスコアは収集されます。
- ブレークダウンの組み合わせの以前のジョブで収集されたスコアは、組み合わせが後で除外されても、削除されません。これらの組み合わせの新しいスコアは収集されません。
- 以下の手順は、グラフィカル ツールを使用してブレークダウン マトリクスの除外を管理するためのものです。ただし、インジケーター フォームの [ブレークダウンマトリクスの除外] タブで管理することもできます。

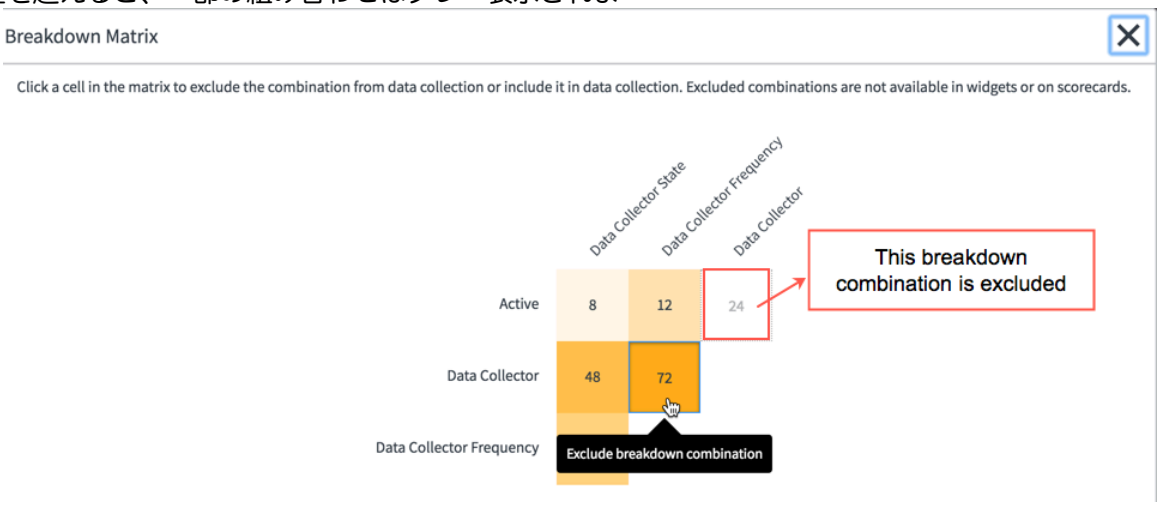
手順

1. 次のように移動する。 インジケーター (自動).
2. ブレークダウン マトリクスを構成する自動インジケーターを選択します。
3. [インジケータープロパティ] で、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブを選択します。
4. [ブレークダウンマトリクスを収集] チェック ボックスをオンにします。
5. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
6. [ブレークダウンマトリクスの構成] をクリックします。
   このマトリクスには、2 つのブレークダウンの要素数を乗算して計算された、各ブレークダウンペアの要素の組み合わせの数が表示されます。組み合わせの数が多いブレークダウンペアは暗い色で表示され、潜在的なパフォーマンスのボトルネックを一目で見つけることができます。デフォルトでは、すべての組み合わせがデータ収集に含まれます。データ収集から除外する組み合わせを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: [ブレークダウンマトリクス] ポップアップで、 アナリティクスハブ ウィジェットとダッシュボードウィジェットから除外するブレークダウンの組み合わせを選択します。
ブレークダウン マトリクスで、含まれる組み合わせは網掛けされています。除外された組み合わせは白です。ブレークダウンの組み合わせの数が *com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit* の値を超えると、一部の組み合わせはグレー表示されます。



8. オプション: インジケーター フォームで [ブレークダウンマトリクスの除外] タブを開き、除外されたブレークダウンの組み合わせを確認します。
グラフィカル ツールを使用する代わりに、このタブで、除外するブレークダウンの組み合わせを管理できます。

インジケーターに収集ジョブを追加する

自動インジケーターのスコアを収集するには、そのインジケーターに収集ジョブを追加します。

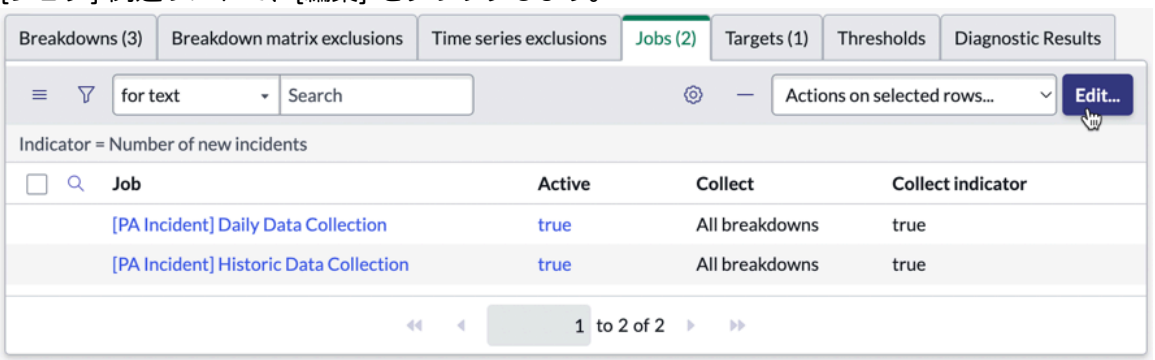
始める前に

注:
この手順では、インジケーター側から完全に構成されたデータ収集ジョブを自動インジケーターに追加する方法を示します。データ収集ジョブを構成し、ジョブ側からインジケーターに追加する方法については、「 ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。パフォーマンスアナリティクスアドミニストレーターなど、pa_data_collectorロールを持つユーザーのみがジョブ インジケーターを構成できます。

必要なロール:pa_power_user、または admin

手順

1. 既存の自動インジケーターを開きます。
2. [ジョブ] 関連リストで、[編集] をクリックします。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. オプション: [フィルタを追加] および [フィルタ実行] を使用してジョブの選択を制限します。
4. [コレクション] または [ジョブリスト] で 1 つまたは複数のジョブを選択します。
   他に行う明確なユースケースがない限り、インジケーターに対して選択できるスケジュール済みジョブは 1 つだけにして、ジョブを管理しやすい状態に保ちます。関連する数の未スケジュールジョブを選択します。通常は、新しいインジケーターで 1 回だけ実行する履歴ジョブを 1 つ追加します。
5. 矢印ボタンを使用して、ジョブを他のリストに移動します。
6. **[Save** (保存)] をクリックします。

パフォーマンスアナリティクススナップショット

スナップショットは、それらのレコードのスコアが収集されるときに収集されるレコード (sys_ids) のリストです。スナップショットを使用すると、ユーザーは パフォーマンスアナリティクス インジケーターの可視化からレコードにドリルダウンできます。

スナップショットを保持できるのは、自動インジケーターのみです。スナップショットは、[レコードの収集] が有効になっている自動インジケーターに対してのみ作成されます。次の機能では、レコードを収集する必要があります。

- パフォーマンスアナリティクスウィジェットのスコアから個々のレコードにドリルダウンする。
- レコードを アナリティクスハブで表示しています。
- レコードを KPI 詳細で表示しています。

保存期間

デフォルトでは、スナップショットは 183 日間保持されます。この期間は、グローバルに、または特定のインジケーターに対して変更できます。

- グローバルスナップショットの保持期間を変更するには、システムプロパティ *com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.frequency*を編集します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」を参照してください。
- インジケーターのスナップショット保持期間を変更するには、インジケーター フォームの [収集期間] タブで [収集期間の上書き] を構成します。詳細については、「インジケーターの詳細設定」を参照してください。

ウィザードによる自動インジケーターの作成

インジケーターのブレークダウン、ウィジェット、データ収集ジョブを使用して、パフォーマンスアナリティクスの自動インジケーターをすばやく作成します。このウィザードを使用するには、 パフォーマンスアナリティクス のトレーニングを受け、KPI を計画しておく必要があります。

始める前に

パフォーマンスアナリティクス コンセプトについて理解し、分析戦略の一環としてのみインジケーターを作成してください。を使用して KPI を計画する KPI Composer.インジケーターを作成するためのワークフローを研究してください。

インジケーター ソース ファクト テーブルに少なくとも 1 つのインジケーター ソースとデータ収集ジョブがあることを確認してください。

> ⚠ **警告:**
> ウィザードでは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用したインジケーターの作成はサポートされていません。

必要なロール：pa_contributor、pa_data_collector、pa_power_user、または pa_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
これらの手順は、ウィザードを使用して簡単な自動インジケーターを迅速に作成するためのものです。インジケーター パラメータの全範囲にアクセスする必要がある場合は、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

注:
ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在属しているドメインに作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 インジケーター > 新規作成.
2. [全般] タブに入力します。

[全般] タブのフィールド

フィールド	説明
インジケーター名	わかりやすい名前 (「オープンインシデントの平均数」など)。
説明	インジケーターのオプションの説明テキスト。目的と内部ロジックを含めることができます。説明は、自分や他のユーザーがインジケーターの目的を思い出すのに役立ちます。
方向	次のいずれかを選択します。 ○ なし:インジケーターに好ましい上昇または下降の傾向はありません。 ○ 最小化:インジケータースコアは時間とともに減少します。 ○ 最大化:インジケータースコアは時間の経過とともに増加します。
単位	インジケーターのスコアの単位。可能な単位は次のとおりです。 ○ **#**:単純数 (デフォルト) ○ **$**:ドル ○ **%**:パーセント
グループ	インジケーターが属するインジケーターグループ (存在する場合)。

3. [次へ] をクリックし、[データ ソース] タブに入力します。

[データソース] タブのフィールド

フィールド	説明
インジケーターソース	利用可能なインジケーターソースの選択。インジケーターソースは、 Now Platform テーブルとそのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照するデータソースです。ソースを選択した後、 このインジケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ター ソースの [レコードをプレビュー] を選択できます。 ドメインセパレーションを使用している場合は、表示可能なインジケーターソースのみを選択できます。
アグリゲート	インジケーターソースでインジケーターを計算するときに適用するアグリゲート関数。 [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定されたアグリゲート演算を実行します。
フィールド/スクリプト	[カウント] 以外の集計では、インジケーターソースが使用するテーブル内のフィールド、またはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。集計関数は、フィールドの値またはスクリプトが返す値のいずれかに適用されます。
条件	インジケーター ソースが使用するテーブルのフィールドに適用する値と操作のリスト (オプション)。これらの条件は、インジケーターソースで指定された条件とスタックします。 インジケーターの条件にはいくつかの制限事項があります。詳細については、「 自動インジケーターの作成」で条件を追加する手順を参照してください。

4. [ブレークダウン] タブで、利用可能なブレークダウンのうち、このインジケーターに適用するブレークダウンを選択します。
   2 つのレベルのブレークダウンを適用する場合は、[ブレークダウンマトリクスを収集] も選択します。
5. [データ収集] タブで、このインジケーターのスコアを収集するデータ収集ジョブを選択します。
   スコアは、ジョブのスケジュールに応じて収集されます。ジョブを手動で実行することもできます。
6. 過去のスコアを収集して傾向を作成するには、[過去からデータを収集] を選択し、期間を指定します。
   このジョブは、インジケーターの作成時に一度だけ実行されます。すべてのインジケーターで遡及的なスコアの収集が許可されるわけではありません。別の方法として、履歴データ収集ジョブをインジケーターに手動で関連付けて実行することもできます。
7. [ウィジェット] タブで、時系列ウィジェット、最終スコアウィジェット、およびブレークダウンウィジェットの任意の組み合わせを選択して作成します。
   既存のダッシュボードのタブにウィジェットを配置することもできます。このウィザードからのウィジェットの作成と表示の詳細については、「 インジケーター作成ウィジェットのオプション」を参照してください。
8. [概要] タブで変更を確認し、[適用] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターが作成され、選択したインジケーター ソース、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブにリンクされます。インジケーターに関連付けられたウィジェットが作成され、指定したダッシュボード タブに追加されます。

9. オプション: [別のインジケーターを作成] をクリックして、新しいインジケーターでプロセスを再開します。

次のタスク

データ収集ジョブが過去のスコアを収集するように構成されている場合、[実行] 値が **[1** 回] の一時的なデータ収集ジョブが作成されます。このジョブ レコードは、ジョブの実行後に削除できます。

関連情報

- 自動インジケーターの作成
- インジケーターソース
- インジケーター スコアの収集

インジケーター作成ウィジェットのオプション

インジケーターと関連レコードを作成するときにインジケーター データを表示するウィジェットを作成するためのオプションがいくつかあります。利用可能なウィジェットタイプのいずれかまたはすべてを作成できます。

時系列ウィジェットオプション

フィールド	説明
時系列ウィジェットオプション	
時系列ウィジェット	インジケーター データを表示する時系列ウィジェットを作成するには、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
可視化	データの表示に使用するチャートの種類を選択します。[線]、[列] など。

最新スコアウィジェットオプション

フィールド	説明
最新のスコア ウィジェット	[チャート化] の値を [最新スコア] にしてインジケーター データを表示するスコア ウィジェットを作成する場合、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最新スコアウィジェットオプション (続く)

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
期間を遡る	スコアを比較する期間の数を選択します。たとえば、[時系列] が [週別合計] の場合は、現在のスコアと過去 4 週間のスコアを比較するために [期間を遡る] の値に **4** を入力します。

ブレークダウンウィジェットのオプション

フィールド	説明
ブレークダウンウィジェット	このインジケーターに適用される各ブレークダウンのスコアカードによるチャート化を含むブレークダウン ウィジェットを作成するには、このチェックボックスをオンにします。

ウィジェットのダッシュボード表示オプション

フィールド	説明
ダッシュボードの新しいタブにウィジェットを配置	これらのウィジェットを追加するダッシュボードを選択します。ダッシュボードを選択しない場合、ウィジェットレコードは作成されますが、どのダッシュボードにも追加されません。
新しいタブ名	これらのウィジェットを表示するために作成した新しいタブの名前を入力します。このフィールドは、ダッシュボードを選択する場合に必要です。

関連情報

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

インジケーター (計算)

式インジケーターは、他のインジケーターからのデータを使用して新しいメトリクスを計算します。

自動インジケーターとは異なり、式インジケーターはデータ収集中に入力されるインジケーターソースに基づきません。式インジケーターのスコアは、1 つ以上の他のインジケーターからのデータを含む数学的なステートメントから計算されます。このデータは、インジケーターのスコアまたはインジケーターの `PAFormulaUtils()` 計算値にすることができます。たとえば、式には、インジケーターのスコアと アナリティクスハブ または KPI 詳細に設定されたインジケーター ターゲット値との間のギャップまたは差異を含めることができます。

重要:
インジケーター (計算) スコアは、ユーザーがダッシュボード、 KPI 詳細 、または アナリティクスハブでインジケーターを表示したときに計算されます。

次の場合は、式インジケーターを作成します。

- 2 つのインジケーターの平均など、複数のインジケーターからスコアを計算します。
- `PAFormulaUtils()` API からインジケーターの計算値を抽出し、その値に対して操作を実行します。
- 複数の結合インジケーター (インデックスインジケーター) の全体的なターゲットとのギャップを測定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
式インジケーターの作成と使用に関するトレーニングを利用できます。NOW ラーニングセンターの「 式インジケーターの概要 」コースを参照してください。

式インジケーターの作成

式インジケーターを作成して、1 つ以上の他のインジケーターから新しい計算済みスコアを生成します。式には、インジケーター スコアの他に、インジケーター スコアとインジケーター ターゲットの間のギャップなどの計算を含めることができます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
多くの場合、式は以下の目的で使用されます。

- 比率とパーセンテージを計算する。
- 異なるアプリケーションのデータを結合する。
- 履歴パフォーマンスに基づいて予測インジケーターを構築する。

式インジケーターのフィールドは、自動インジケーターのフィールドに似ています。ただし、Source、Additional Conditions、および Collection プロパティの代わりに、Formula ステートメントが定義されます。式は、他のインジケーター、定数、変数、時系列、またはこれらの要素の任意の組み合わせで構成できます。

注:
- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在属しているドメインに作成されます。

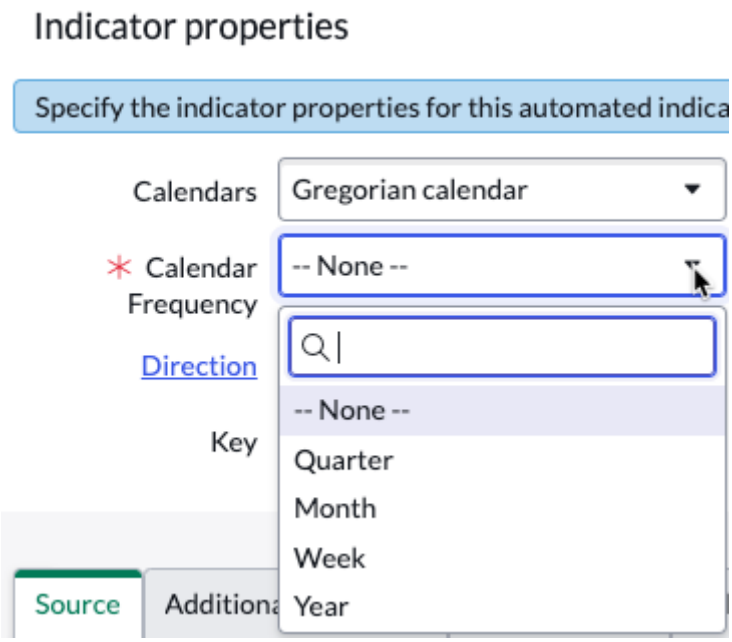
手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合、次の場所に移動します: **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (計算) [新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、次に移動します: **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーター (計算) [新規] を選択します。
2. [名前] フィールドで、インジケーターにわかりやすい名前を付けます (「オープンインシデントの平均期間」など)。
3. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダー、または会計カレンダーグループを選択します。
4. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。式内の少なくとも 1 つのインジケーターが、指定されたカレンダー頻度と一致する必要があります。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

   Example
   たとえば、グレゴリオ暦には、四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、次のいずれかの頻度を選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

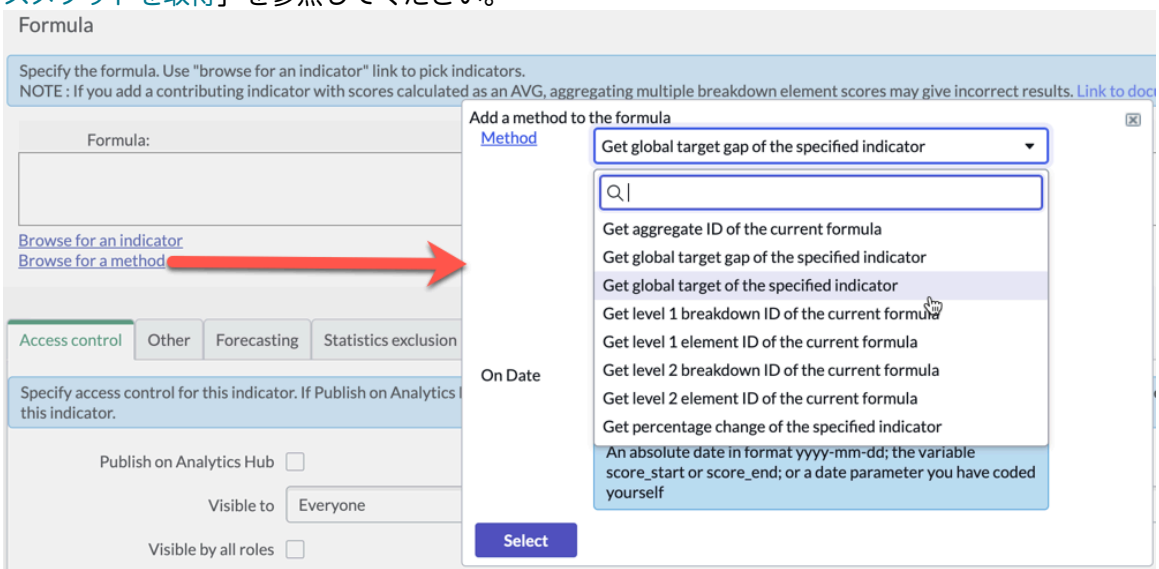


5. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

> **ヒント:**
> 可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、[最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

6. このインジケーターの計算式を定義します。

   a. 計算値を数式で使用するには、 メソッドの参照 (繰り返し可能) をクリックします。
   PAFormulaUtils() のメソッドを式に挿入するためのダイアログが開きます。この API は、インジケーターの計算値を返します。この API の使用の詳細については、「 式でアナリティクスメソッドを取得」を参照してください。



   b. インジケーターのスコアを式に配置するには、[インジケーターの参照] リンクをクリックし、ダイアログに入力します ([繰り返し可能])。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター選択ダイアログ

フィールド	説明
インジケーター	貢献インジケーターとして式に挿入するインジケーター。 このインジケーターにビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用する場合は、式の少なくとも 1 つのインジケーターで、一致するカレンダーとカレンダー頻度を使用する必要があります。
ブレークダウン、要素、第 2 レベルのブレークダウン、第 2 レベルの要素	インジケーターのスコアをフィルタリングするための最大 2 つのレベルのブレークダウンと要素。ブレークダウンを指定する場合は、そのブレークダウンの要素を指定する必要があります。これらのブレークダウンと要素は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。
時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。 この時系列は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。
ブレークダウンを許可	式の個々のインジケーターではなく、式インジケーター全体に適用されるブレークダウンを適用して、この貢献インジケーターに適用します。デフォルトで有効になっています。詳細については、「式の貢献インジケーターがブレークダウンに追従しないようにする」を参照してください。 ブレークダウンは、インジケーターの保存後に利用できる [ブレークダウンの管理] ダイアログを使用して式全体に追加されます。「ステップ 12」を参照してください。
メソッドで使用します。	このインジケーターのスコアの代わりに一意の識別子を返します。式でメソッドのインジケーターを指定する場合は、このボックスを選択します。これらのメソッドは、 アナリティクスハブからインジケーターの計算値を取得します。これらのメソッドの使用の詳細については、「 式でアナリティクスメソッドを取得」を参照してください。

インジケーターは手動で追加できます。ただし、[インジケーターの参照] 機能を使用すると、インジケーターと ブレークダウン要素が正しく表記されていることがわかります。

式インジケーターを保存すると、式のインジケーターが [貢献インジケーター] 関連リストに表示されます。式インジケーターを含めると、そのインジケーターの貢献インジケーターもリストされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. 必要に応じて、数式に算術演算子と記号を追加します。

式に含める演算子や数値を入力します。+、-、/、%、>、< などの有効な演算子記号を使用します。式にインジケーターをさらに追加することもできます。たとえば、オープンインシデントの経過時間とオープンインシデントの数の合計に基づいてオープンインシデントの平均経過時間を計算するには、[[オープンインシデントの合計経過時間]] / [[オープンインシデント]] / 24 の計算式を使用します。

式でデータ収集期間を指定するには、変数 score_start と score_end を使用して、それぞれデータ収集期間の開始と終了を参照できます。ただし、 ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了への変更の注意事項を参照してください。

> **⚠ 警告:**
> パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで `GlideRecords` または `GlideAggregates` を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

7. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロールで制限するかどうかを設定します。

8. [その他] タブで、その他のプロパティを設定します。
これらのプロパティは、式インジケーター全体に適用されます。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	7 日間の実行平均などの事前定義された分析関数。[結果に時系列を適用] が設定されているかどうかに応じて、この時系列は、結果が計算される前に各コンポーネント インジケーターまたは結果に適用できます。
ライブグループプロファイル	ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を取得するようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
順序	インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターだけに数値を入力すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
実線のレンダリング	選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターの切れ目のないデータ行が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットや、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。
時系列を結果に適用	結果が計算される前に各コンポーネントインジケーターにではなく、式の計算結果に時系列集計を適用します。このオプションは、ウィジェットまたは アナリティクスハブのインジケーターに対して選択された時系列に適用されます。インジケーターにデフォルトの時系列が指定されている場合、このオプションはその時系列にも適用されます。詳細については、「結果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
計算式コンポーネントが NULL となることを許可する	null スコアが含まれている場合でも計算式が計算されます。トラブルシューティングに役立ちます。詳細については、「式にスコアのないインジケーターを検出」を参照してください。
複数のブレークダウン要素のスコアのアグリゲーションを許可	ウィジェットがこのインジケーターの複数のブレークダウン要素の合計スコアを表示できるようにします。このフィールドが選択されている場合、このインジケーターを使用するブレークダウンダッシュボードのフォームで集計値または分離値を選択できます。足し算、引き算、または乗算に基づく式は、一般に集計を許可するための良い候補です。パーセンテージの合計が 100% であれば、パーセンテージもサポートされます。一方、平均で要素を集計した結果、または関連のないパーセンテージの結果は、通常、意味がありません。 ⚠ 警告: これらの集計では、数学的妥当性はチェックされません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
10. このインジケーターに 2 つ以上のレベルのブレークダウンを適用できるようにするには、[無制限のブレークダウンを有効にする] を選択します。

自動翻訳

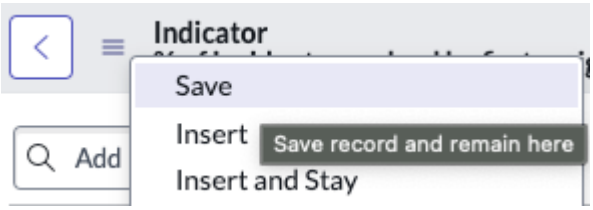
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



すべてのインジケーターが複数のブレークダウンをサポートしているわけではありません。このインジケーターが複数のブレークダウンをサポートしていない場合は、その理由を示すメッセージが表示されます。詳細については、「データスナップショットと複数のブレークダウン」を参照してください。

複数のブレークダウンを有効にすると、インジケーターに設定したカレンダーと頻度が上書きされます。インジケーターは日次になります。

11. コンテキストメニューを展開して [保存] をクリックします。



12. 式インジケーター全体にブレークダウンを適用するには、ページ上部の [ブレークダウンの管理] をクリックします。
デフォルトでは、式のすべての貢献インジケーターに構成されたブレークダウンのみを適用できます。

> **注:**
> この動作を制御するシステムプロパティ *com.snc.pa.formula_indicator_valid_breakdown* 。デフォルトでは true です。これを false に変更すると、少なくとも 1 つの貢献インジケーターがブレークダウンを使用している場合に、そのブレークダウンを式インジケーターに適用できます。ウィジェット、 アナリティクスハブ、または KPI 詳細 でサポートされていないブレークダウンのスコアを表示しようとすると、値の代わりに警告メッセージが表示されます。

式インジケーターレコードでブレークダウン要素を選択することはできません。ブレークダウンを選択できます ブレークダウンはインタラクティブにのみ使用できます。つまり、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、適切に構成されたウィジェット、ブレークダウンダッシュボードで使用できます。[ブレークダウンを管理] ツールの使用方法の詳細については、「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

Example: インシデントバックログの増加

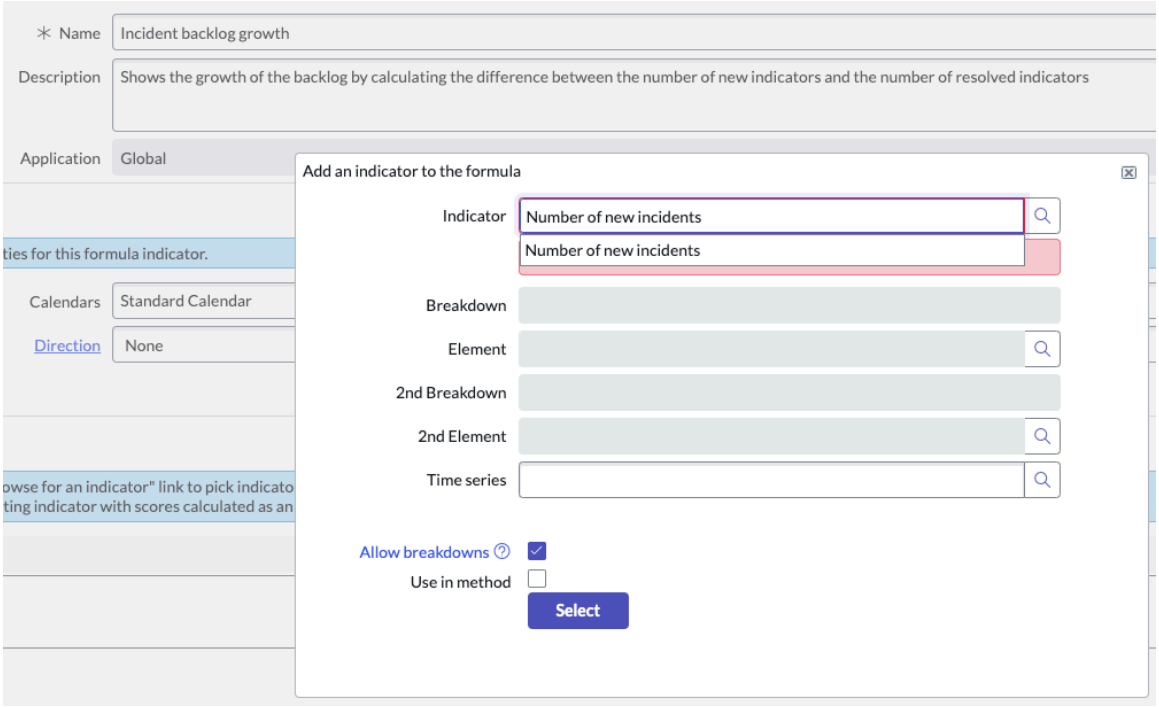
インシデントマネージャーは、インシデント解決の効率を向上させたいと考えています。新規インシデントと解決済みインシデントは、新規インシデントの数および解決済みインシデントの数インジケーターとして既に追跡されています。ただし、これらのインジケーターでは、インシデントの解決を改善するという目標を達成できているかどうかはわかりません。

未解決のインシデントの量を測定するには、新しいバックログの増加 KPI が必要です。この KPI を実装するには、次の式を使用して、「インシデントバックログの増加」という名前の式インジケーターを作成します。

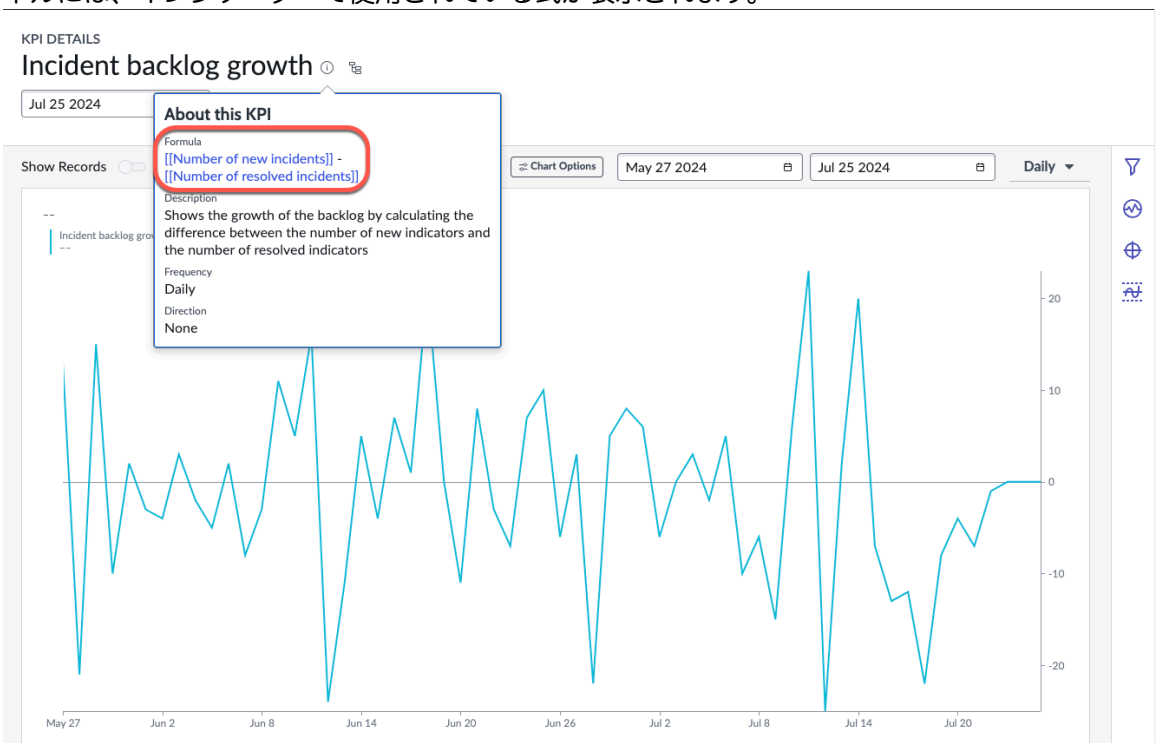
```
[[Number of new incident]] - [[Number of resolved incidents]]
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ライブラリに表示] をオンにすると、インジケーターがKPI 詳細に表示されます。KPI 詳細の情報パネルには、インジケーターで使用されている式が表示されます。



式でアナリティクスメソッドを取得

アナリティクスハブの計算値を式に挿入するには、式でメソッドを使用します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

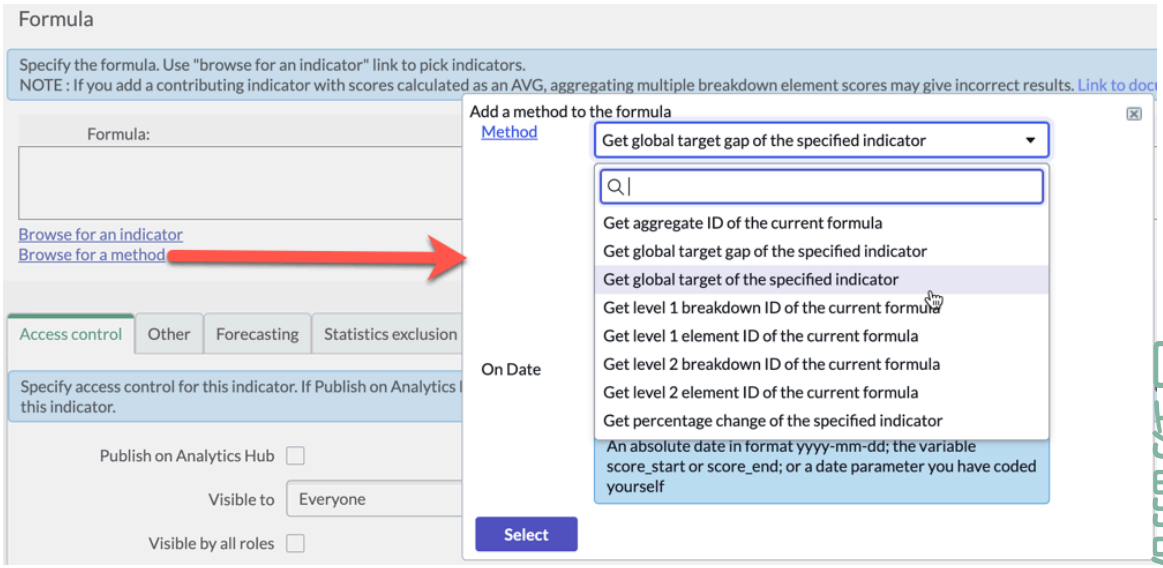
アナリティクスハブで計算された値を式の入力として使用できます。この値は、現在の式インジケーター自体を含む、任意のインジケーターから取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスハブから値を取得するには、*PAFormulaUtils()* のメソッドを式に挿入します。これらのメソッドのいずれかを呼び出すには、 パフォーマンスアナリティクス 変数 pa を使用します。たとえば、 *PAFormulaUtils.getScore* メソッドを使用するには、 pa.getScore を呼び出します。詳細については、「PAFormulaUtils API」を参照してください。

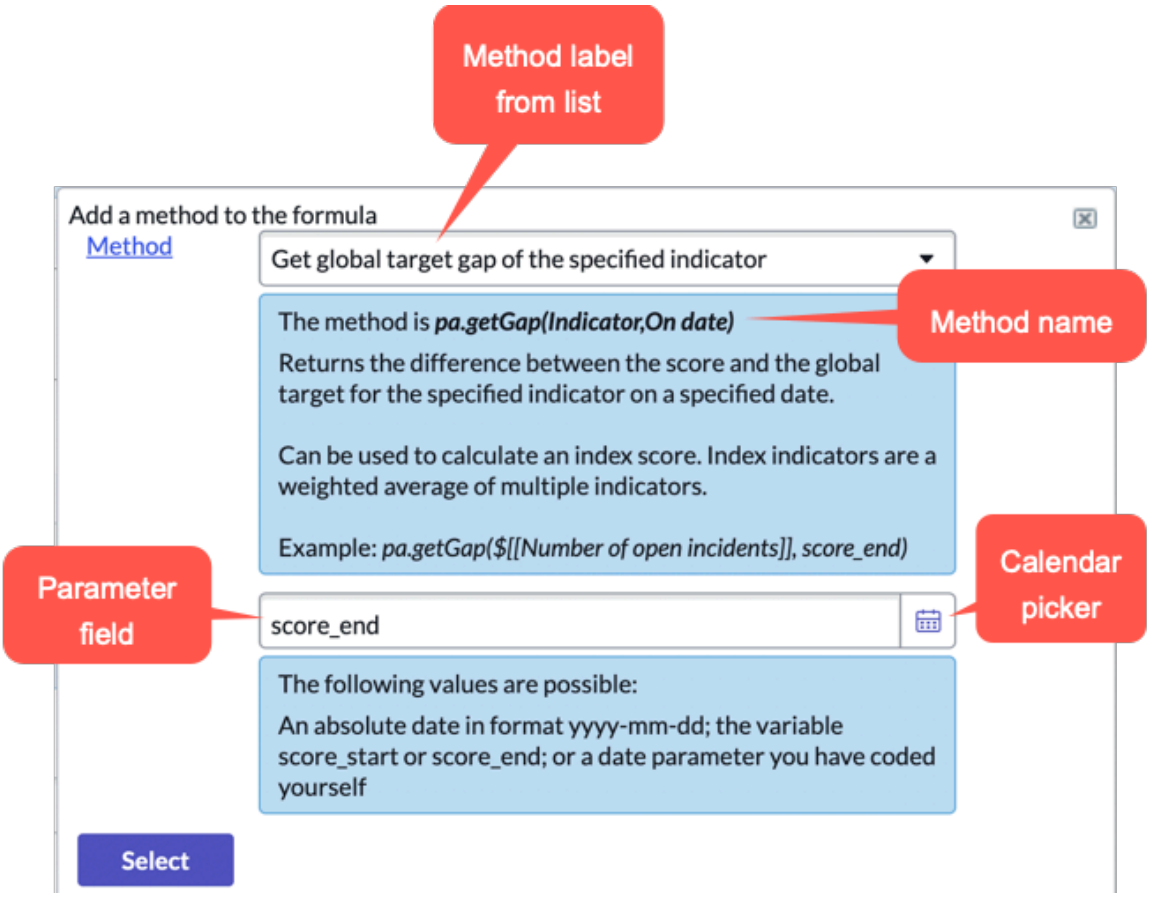
手順

1. 式インジケーターレコードを開きます。
2. [式] ボックスの下で、 メソッドの [参照] をクリックします。
   メソッドを選択できるダイアログボックスが開きます。
3. ニーズに合った方法を参照します。
   メソッドは、編集中の現在の式、または指定する必要がある別のインジケーターを参照します。リストには、メソッド名の代わりに各メソッドの説明ラベルが表示されます。



4. メソッドを選択します。
   メソッドを選択すると、メソッドの名前やパラメーターフィールドを含む説明が開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

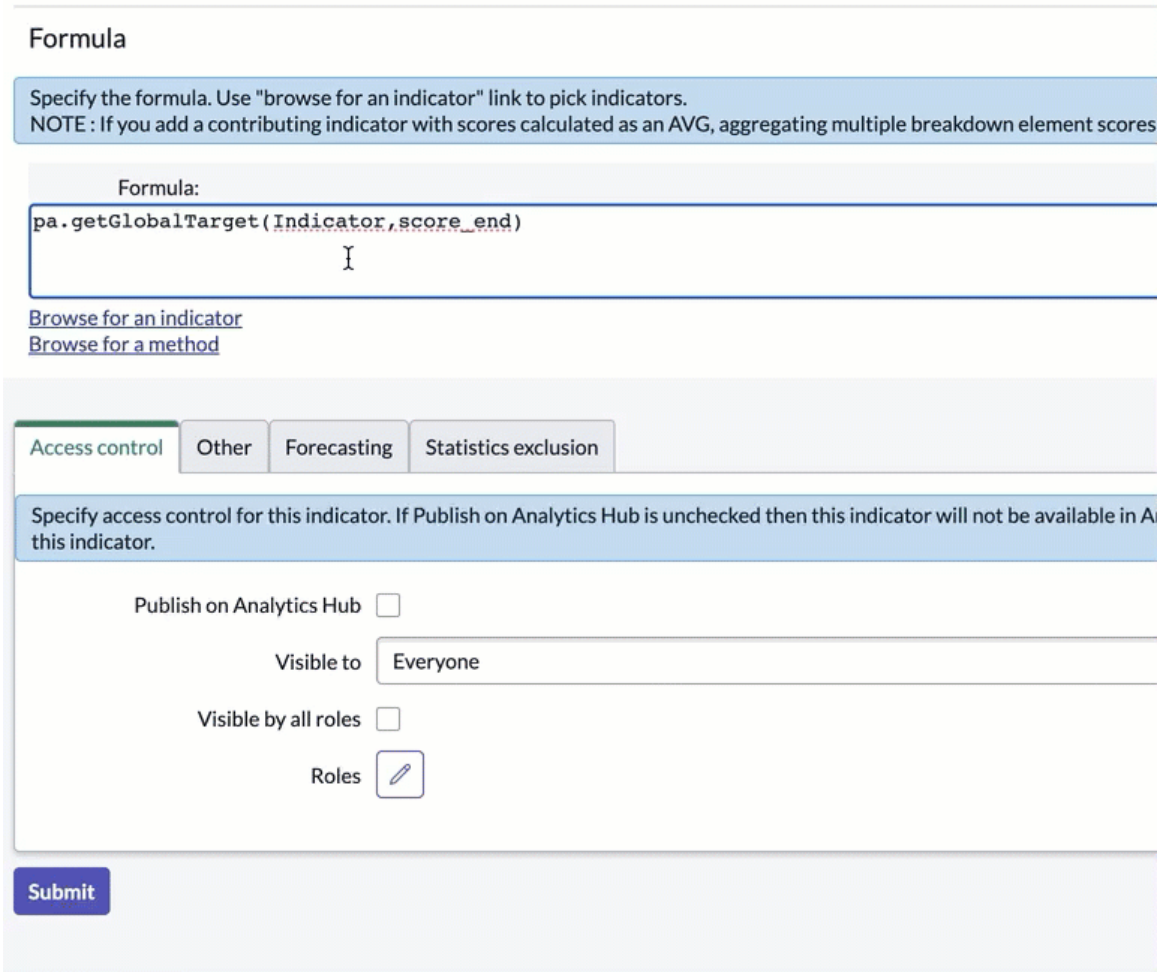


日付フィールドは次の値を取ることができます。

- 2018-12-21 などの YYYY-MM-DD 形式の絶対日付。
- 変数 score_start または score_end。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の秒を表します。時間は、ユーザのタイムゾーンとデータベース・サーバのタイムゾーン (GMT) の差から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了への変更」を参照してください。
- *GlideDate* または *GlideDateTime* API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

5. 任意のパラメーターを入力し、[選択] をクリックします。
ダイアログが閉じ、インジケーター フォームの式フィールドにメソッドが表示されます。
6. メソッドでインジケーターを指定する必要がある場合は、カーソルで インジケーター パラメーターを選択し、 インジケーターの [参照] をクリックします。
インジケーター選択ダイアログが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

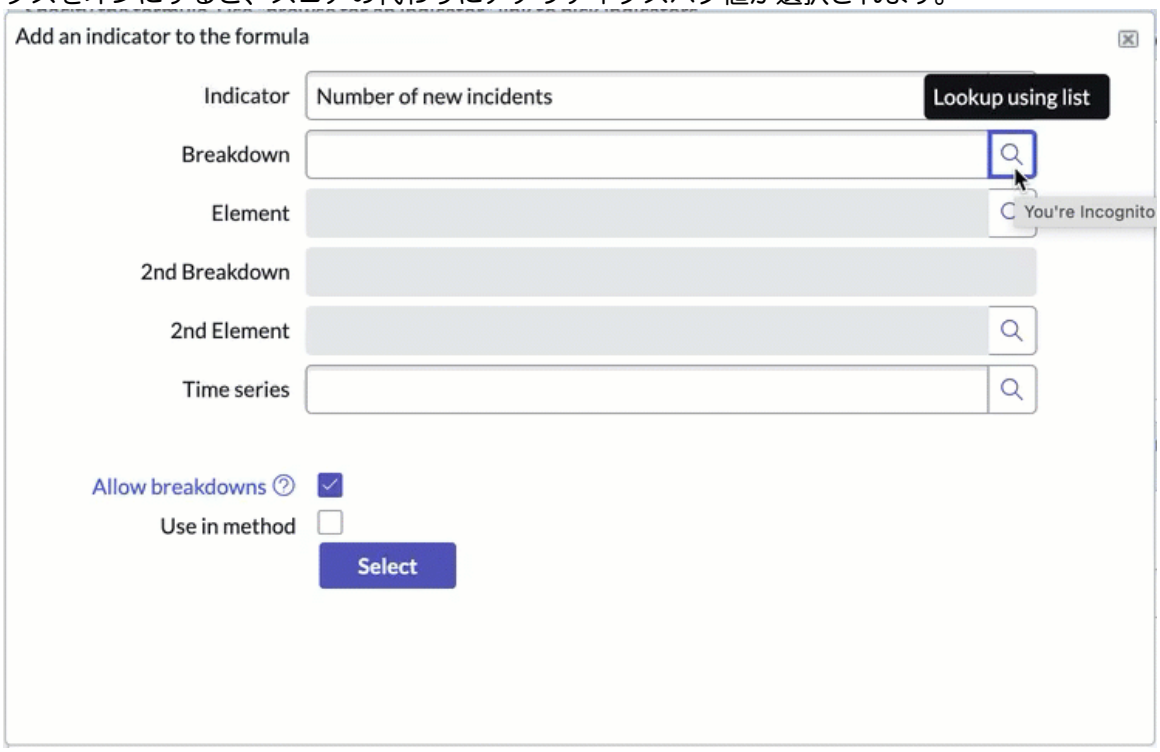


7. インジケーターを選択します。
8. オプション: ブレークダウンまたは要素と時系列集計を選択します。
9. [メソッドで使用] を選択し、[送信] をクリックします。
   インジケーターが選択された状態でメソッドが完了しました。インジケーターの前にドル記号 $ が付いていることに注意してください。このドル記号は、インジケータースコアではなくインジ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーターの アナリティクスハブ 値が返されることを意味します。[メソッドで使用] チェックボックスをオンにすると、スコアの代わりにアナリティクスハブ値が選択されます。



Example: インデックスインジケーター

インデックスインジケーターは、複数のインジケーターを表す単一のスコアを生成する式インジケーターのユースケースです。次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバルターゲットの間のギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この単一のインデックスを取得するには、[方向] を [最大化] に設定して式インジケーターを作成します。すべてのインデックスインジケーターを最大化する必要があります。次に、 メソッドの参照関数と インジケーターの参照 関数を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

Example: 変更自体にターゲットを設定する

インシデントバックログを前月比で 10% 削減するというチームの目標を設定したいと考えています。次の式を使用して式インジケーターを作成し、 アナリティクスハブでこのインジケーターに -10% のターゲットを設定します。

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYearUTC() + '-' +
 score_start.getMonthUTC() + '-01');
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod.addDaysUTC(-1),
 score_start);
```

Example: ブレークダウンと要素に基づいてスコアを除外する

優先度 = 1 - 重大のインシデントのスコアを除外したいと考えています。

1. 優先度ブレークダウンと 1 - 重大要素の一意のレコード識別子を取得します。ブレークダウンレコードはブレークダウンテーブルにあります。要素レコードの場所はさまざまですが、ブレークダウンのブレークダウンソースで識別されます。この場合、要素は選択肢 [sys_choice] レコードです。一意のレコード識別子を取得する方法については、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。

   一意のレコード識別子は、優先度ブレークダウンが baec0752bf130100b96dac808c0739ed で、1 - 重要な要素が 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。

2. 次の式でインジケーターを作成します。

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
{
res = 0;
}
res;
```

PAFormulaUtils API

PAFormulaUtils API を使用すると、 アナリティクスハブ で計算された値を取得し、その値を式の入力として使用できます。

PAFormulaUtils APIを使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- この API を使用する式インジケーターを作成するユーザーには、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールが必要です。

PAFormulaUtils パラメーターのインジケーター名の前にドル記号 $ が付きます。この例のオープン インシデントの数インジケーターは pa.getGap($[[オープン インシデントの数]], score_end); です。このドル記号は、インジケータースコアの代わりにインジケーターの アナリティクスハブ 計算値が返されることを意味します。

*PAFormulaUtils*メソッドの日付パラメータは、次のいずれかの形式を取ります。

- 2018-12-21 などの YYYY-MM-DD 形式の絶対日付。
- 変数 score_start または score_end。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の秒を表します。時間は、ユーザのタイムゾーンとデータベース・サーバのタイムゾーン (GMT) の差から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了への変更」を参照してください。
- *GlideDate* または *GlideDateTime* API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

> ⚠ 警告:
> *PAFormulaUtils* API は、式インジケーターでのみ使用でき、スクリプトでは使用できません。

PAFormulaUtils APIには、次のメソッドが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

getChange(文字列インジケーター, オブジェクト **fromDate,** オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付間のインジケーターのスコアの変化を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	変更を計算するインジケーターの一意の識別子。
開始日	オブジェクト	比較の最初の日付。
終了日	オブジェクト	比較の終了日。

戻り値

タイプ	説明
[Number (番号)]	2 つの日付間の指定されたインジケーター スコアの差。

Example: 月初から最後の収集期間までの変更

この例では、スコアが毎日収集されるオープンインシデントの数というインジケーターがあります。fromDate パラメーターは、現在の月の最初の秒であり、最後の収集期間 (score_start) のタイムスタンプを取得し、タイムスタンプから年と月を抽出し、その日の数字 01 を追加することによって構築されます。toDate パラメーターは、最後の収集期間の開始時のタイムスタンプで、タイムゾーンの差に応じて、前日の最初の 1 秒間になります。

```
pa.getChange($[[Number of open incidents]], new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' +
 score_start.getMonth() + '-01'), score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getChangePercentage(文字列インジケーター, オブジェクト **fromDate,** オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付間のインジケーターのスコアの変化率を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	変更の割合を計算するインジケーターの一意の識別子。
開始日	オブジェクト	比較の最初の日付。
終了日	オブジェクト	比較の終了日

戻り値

タイプ	説明
[Number (番号)]	指定された 2 つの日付の間の指定されたインジケーターの変化率。

例：

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' + score_start.getMonth() +
 '-01');
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod, score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentAggregateID()

現在の式のインジケーターから時系列集計識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブ での選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的な時系列集計 ID。時系列集計 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentAggregateID() == '89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc')
  {
    res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定のブレークダウンの式を変更するときに、このメソッドを使用してレベル 1 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的レベル 1 ブレークダウン ID。レベル 1 ブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownSysID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementSysID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定のブレークダウンの式を変更するときに、このメソッドを使用してレベル 2 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的レベル 2 ブレークダウン ID。レベル 2 ブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentElementID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定の要素の式を変更する場合は、この方法を使用します。たとえば、変更のないグループから変更のスコアを除外するなど、さまざまな属性をカウントするには、クエリを実行するときにこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的レベル 1 ブレークダウン要素 ID。レベル 1 ブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentElementLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。 アナリティクスハブ の選択内容が変更されると、sys_idが動的に返されます。

特定の要素の式を変更する場合は、この方法を使用します。たとえば、変更のないグループから変更のスコアを除外するなど、さまざまな属性をカウントするには、クエリを実行するときにこのメソッドを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	アナリティクスハブでの選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的レベル 2 ブレークダウン要素 ID。レベル 2 ブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getGap(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターのグローバルターゲットギャップを返します。

ギャップは、指定された日付とターゲットのスコアの差です。最大化方向のインジケーターの場合、ギャップはスコアからターゲットを引いて計算されます。最小化方向を持つインジケーターまたは方向なしのインジケーターの場合、ギャップはターゲットからスコアを引いたものとして計算されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	ギャップ情報を提供するインジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	ターゲットスコアと比較するために使用するスコアの日付。

戻り値

タイプ	説明
[Number (番号)]	指定された日付のスコアとグローバルターゲットスコアの差。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

PAFormulaUtils API

getGlobalTarget(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられたグローバルターゲットを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	グローバルターゲットを返す日付。

戻り値

タイプ	説明
[Number (番号)]	指定された日付とインジケーターのグローバルターゲット。

例：

```
pa.getGlobalTarget($[[% of open overdue incidents]],score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getPersonalTarget (文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられた個人ターゲットを返します。

このメソッドを使用して、個人インデックススコアを取得します。「個人」とは、 アナリティクスハブを見ているアクティブなユーザーを指します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	個人ターゲットを返す日付。

戻り値

タイプ	説明
[Number (番号)]	指定された日付とインジケーターの個人ターゲット。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getPersonalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

PAFormulaUtils API

getScore(文字列インジケーター, オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターのスコアを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	スコアを取得するインジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	スコアを返す日付。

戻り値

タイプ	説明
[Number (番号)]	指定された日付とインジケーターのスコア。

例：

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

式の貢献インジケーターがブレークダウンに追従しないようにする

式でブレークダウンしないように貢献インジケーターを選択できます。ユーザーが式インジケーターにブレークダウンを適用すると、ブレークダウンはこれらのインジケーターに適用されません。

ブレークダウンダッシュボードなどで 式インジケーターにブレークダウンを適用すると、そのブレークダウンはすべての 貢献インジケーターに適用されます。構文 {{Indicator}} を使用して、貢献インジケーターがブレークダウンされないようにします。[インジケーターの参照] ダイアログの [ブレークダウンを許可] チェックボックスをオフにすることで、貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにすることもできます。このダイアログは、

たとえば、式 [[インシデント]] / [[顧客]] を考えてみます。このインジケーターに地域ブレークダウンを適用し、ブレークダウン要素として EU を指定すると、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = eu]] / [[顧客 > 地域 = eu]] を使用してスコアを返します。しかし、すべての地域のインシデントの合計数で割った EU のインシデント数を表示するために、式 [[インシデント]] / {{Customers}} を記述することができます。{{Indicator}} 形式を使用すると、顧客インジケーターはブレークダウンを無視します。この方法で、EU ブレークダウン要素で地域ブレークダウンを適用するしたときに、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = EU]] / [[顧客]] と等しくなります。

式インジケーター全体のブレークダウンに従わない貢献インジケーターのブレークダウンと要素を指定することはできます。式 [[インシデント]] / {{Customers > importance = high}} を考えてみましょう。この例では、式の分母は常に重要度の高い顧客のみを含むように分解されます。地域ブレークダウンなど、式インジケーターに適用されるブレークダウンは、顧客インジケーターには適用されません。

式インジケーターのブレークダウン マトリクス

式インジケーターは、式内のインジケーターからブレークダウン マトリクスを継承します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

式内のすべてのインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集する場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンを使用できます。式内のインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集しない場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンは使用できません。式内の一部のインジケーターだけがブレークダウン マトリクスを収集する場合、それらのインジケーターのみを第 2 レベルで分解することができます。

Example: 2 つの 貢献インジケーター を持つ式。一方または両方のインジケーターについてブレークダウンマトリクスが計算されます

[オープンインシデントの合計経過時間] インジケーターと [オープンインシデントの数] インジケーターのブレークダウンマトリクスが収集される場合を考えてみましょう。次に、次の式でインジケーターを作成します。

```
[[Summed age of open incidents]]/[[Number of open incidents]]/24
```

特定の日におけるこの式インジケーターのスコアは 170 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 2
Formula: 8152/2/24=170
```

ブレークダウンマトリクスが [オープンインシデントの合計経過時間] についてのみ計算されるとしたらどうなりますか? この場合、[オープンインシデントの数] は優先度ではなくカテゴリ別にのみブレークダウンされます。同じ日の同じ式インジケーターのスコアは 11 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software: 31
Formula: 8152/31/24=11
```

結果または貢献インジケーターへの時系列の適用

式インジケーターの場合、時系列集計は式の各インジケーターに個別に適用することも、式の結果に適用することもできます。

[時系列を結果に適用] オプションを使用して、時系列アグリゲーションの適用方法を決定します。このオプションは、式インジケーター レコードの [その他の プロパティ] タブで選択または無効にできます。このオプションは、 コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェット と アナリティクスハブ、または でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクスでインジケーターに適用するすべての時系列集計に適用されます。このオプションは、インジケーターに時系列が設定されている場合、デフォルトの時系列にも適用されます。

注:

- デフォルトの時系列は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細にのみ適用されます。ウィジェットまたはデータビジュアル化で時系列集計を選択しない場合、デフォルトの時系列は適用されません。
- アナリティクスハブまたはKPI 詳細で設定を有効にするには、インジケーターにデフォルトの時系列が設定されていない場合は、実際の集計を選択する必要があります。時系列がインジケーターの頻度 (日次、週次など) のみの場合、[時系列を結果に適用] 設定は適用されません。

[結果に時系列を適用] をオンにすると、最初に式が評価され、次に選択した時系列が最終結果に適用されます。[結果に時系列を適用] がオフの場合、各 貢献インジケーター が評価され、デフォルトの時系列が適用されます。次に、式が評価されます。2 つの設定の結果は大きく異なる場合があります。どちらの設定も間違っていませんが、選択する前に、何を測定しているかを慎重に検討する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

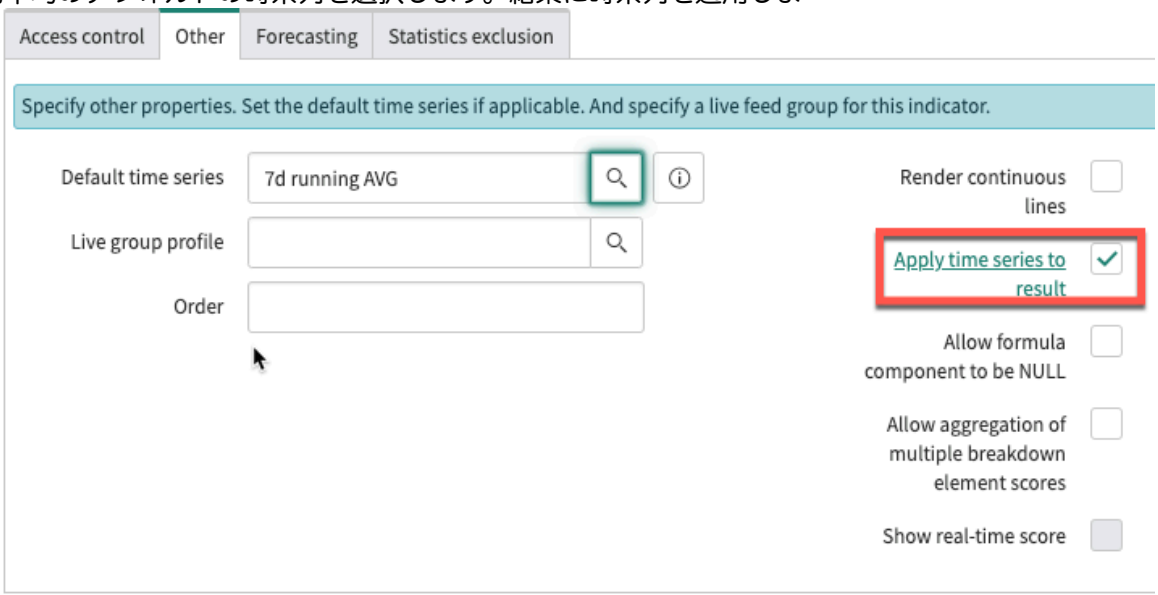
自動翻訳

Example: 貢献インジケーターへの適用と比較した結果への時系列の適用

式インジケーター「新規 P1 インシデントの割合」を考えてみましょう。このインジケーターは、新規インシデントの優先度 1 - 重大の割合を毎日計算します。

([[新規インシデントの数 > 優先度 = 1 - 重大]] / [[新規インシデントの数]]) * 100

結果にデフォルトで 7 日間の移動平均を アナリティクスハブに表示することにします。インジケーター レコードの [その他] タブで、7 日間移動平均のデフォルトの時系列を選択します。結果に時系列を適用します。



結果の計算では、式は毎日解決されます。次に、その日と過去 6 日間の結果の平均が取得されます。

((新P1/新$_{1日目}$ * 100) + (新P1/新$_{2日目}$ * 100)+ ...(新しいP1/すべて新しい$_{7日目}$ * 100))/ 7

最終結果の 7 日間平均が必要か、各インジケーターの 7 日間の平均が必要かがわかりません。したがって、前の式インジケーターを同じ時系列でコピーしますが、[結果に時系列を適用する] チェックを外した状態でコピーします。これで、式が解決される前に、[優先度 = 1 - 重大] インジケーター > [新規インシデントの数] インジケーターと [新規インシデント貢献数] インジケーターに時系列が適用されます。

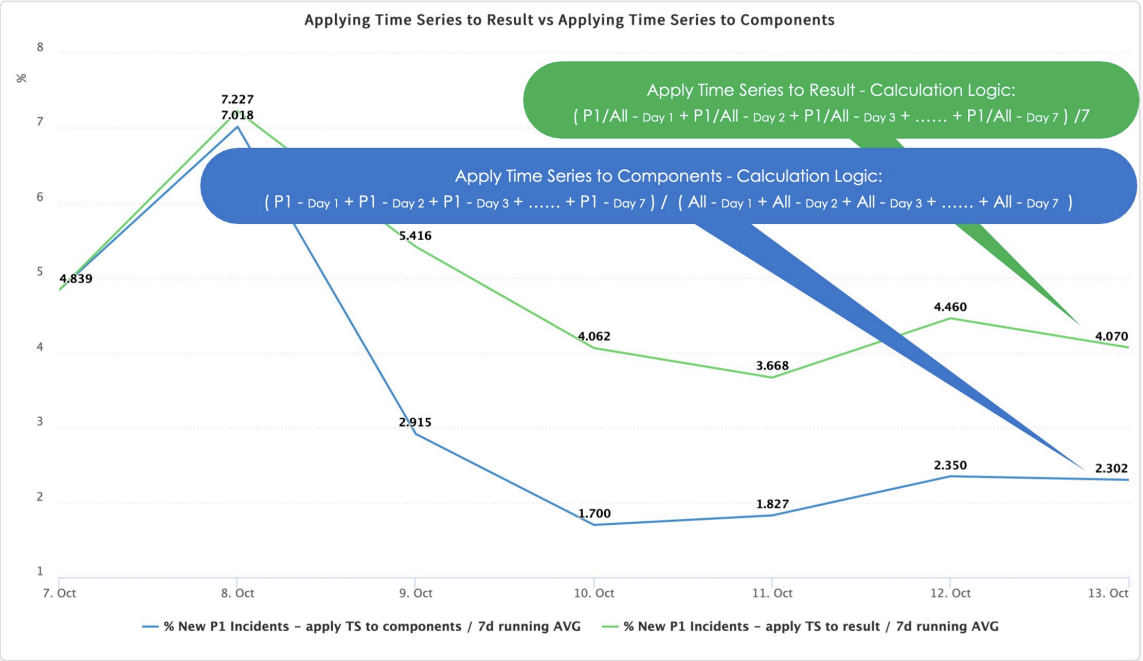
(新P1$_{1日目}$ + 新P1$_{2日目}$ + ...新しいP1$_{7日目}$) / (すべて新しい$_{1日目}$ +すべて新しい$_{2日目}$ + ...すべて新しい$_{7 日目}$) * 100

両方の式インジケーターを時系列ウィジェットにプロットして、2 つの設定の結果の違いを確認します。デフォルトの時系列は アナリティクスハブにの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

み適用されるため、7 日間移動平均の時系列もウィジェットに追加します。



関連情報

時系列集計の適用

式にスコアのないインジケーターを検出

計算式の作成者は、スコアが null の貢献インジケーターを処理できます。まず、式インジケーターが null スコアを含む場合でも式を計算するように設定します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

通常、式インジケーターの式には、1 つ以上の他のインジケーターが含まれています。これらのインジケーターのいずれかにスコアがない場合、デフォルトでは式は計算されず、式インジケーターはスコアを返しません。ただし、式インジケーターが null を返す代わりにスコアのないインジケーターを識別するユースケースがいくつかあります。まず、式のインジケーターにスコアがない場合に計算される式を有効にします。その後、スコアのないインジケーターに値を割り当てることができます。

手順

1. 対象の式インジケーターを開きます。
2. [計算式コンポーネントを **null** にすることを許可する] を選択します。
3. [式] で、スコアがないときに値をインジケーターに帰する `if{} else {}` ステートメントを追加します。

Example: 計算式コンポーネントを **null** にすることを許可するフィールドインジケーター

クローズされたインシデントがないため、インジケーター [クローズされたインシデントの数] にスコアがない収集期間については、次の式インジケーターを検討してください。

フォーミュラ1:

```
[[Number of open incidents]] / [[Number of closed incidents]]
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーミュラ2:

```
[[Formula 1]] + 23
```

式3:

```
if ([[Formula 1]] == null) { 23 } else { 11 }
```

フォーミュラ4:

```
[[Formula 2]] || 64
```

式5:

```
(([[Formula 1]] == null && [[Formula 2]] == null) ? 11 : 18)
```

どの式インジケーターに対しても [計算式コンポーネントを **null** にする] が選択されていない場合、スコアを持つインジケーターはありません。

すべての式 インジケーターで [計算式コンポーネントを **null** にする] を選択した場合、スコアは次のようになります。

- 式 1 = null
- 式 2 = 23
- 式 3 = 23
- 式 4 = 64
- 式 5 = 11

式 2、式 3、式 4、および式 5 は、null スコアを処理する 4 つの異なる方法を表します。

式での複数のインジケーターのインデックス作成

複数の組み合わせたインジケーターの全体的なターゲットとのギャップを測定する式を記述できます。このような式インジケーターは「インデックスインジケーター」と呼ばれます。

プロセス、サービス、グループ、およびその他のビジネスエンティティのパフォーマンスは、多くの場合、複数のインジケーターを使用して追跡および監視されます。これらのプロセス、ビジネスサービス、またはワークグループのパフォーマンスを表示および分析すると、全体像が複雑であいまいになる可能性があります。例：

- 3 つのインジケーターのスコアはいくらか改善されましたが、そのうちの 2 つのスコアはまだ目標を下回り、1 つは目標を上回っています。
- 1つの指標のスコアはほぼ同じままで、依然として目標を下回っています。
- 1つの指標のスコアは大幅に低下しましたが、幸いなことに目標をわずかに上回っています。

この情報を見ると、次の質問に対する答えは明確ではありません。

- プロセス/サービス/グループの全体的なパフォーマンスは、依然として目的レベル以上でしょうか？
- 全体的なパフォーマンスは向上しましたか？

インデックスインジケーターは、これらの質問に回答できます。インデックスインジケーターでは、複数のインジケーターのスコアが 1 つのスコアに集計されます。これは、いくつかの指標の加重平

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

均です。これらのインジケーターの加重合計が改善されている場合、インデックス式の計算済みスコアは上昇します。他のインジケーターと同様に、インデックスインジケーターは、スコアが良いかどうか、およびスコアが改善されたかどうかを示します。

インデックスインジケーターの背後にある原則は、インジケーターごとに 100 にインデックス付けされたスコア値を計算することです。これらのインデックス付きスコアがある場合、それらの全体的な平均を数学的に計算できます。

インデックスインジケーターに含めるには、インジケーターに方向とターゲットが必要です。最大化方向を持つインジケーターのインデックス付きスコアを計算するための基本的な式は次のとおりです。

```
100 + (((actual score - target) / target) * 100)
```

最小化方向のインジケーターの場合、式は次のようになります。

```
100 - (((actual score - target) / target) * 100)
```

インジケーターに均等に重み付けする場合は、個々のインジケーターを 100 にインデックスを付ける代わりに、最終的な集計に 100 をインデックス付けできます。

PAFormulaUtils() APIのメソッドを使用して、アナリティクスハブから指標のスコアとターゲットの間のギャップを取得できます。詳細については、 式でアナリティクスメソッドを取得を参照してください。

```
pa.getGap(indicator, On date) / pa.getGlobalTarget(indicator, On date)
```

演算子が方向によって異なるため、基になるインジケーターのスコアが改善 (上または下降) している場合、インデックスインジケーターのスコアは増加しています。したがって、インデックスインジケーターの方向は常に 最大化に設定してください。

インジケーターにターゲット値が設定されていない場合は、代わりに基準値を使用します。ターゲット値またはノルム値が 0 に等しいインジケーターは、0 で除算する必要があるため、インデックスインジケーターでは使用できません。

各インデックスインジケーターに 100 のターゲットを設定します。このターゲットは、基になるすべてのインジケーターの実際のスコアがターゲット値または標準値と等しい場合に、計算されたインデックス付き総合スコアです。

インデックスインジケーターは、複数の組み合わせたインジケーターの全体的なターゲットとのギャップを測定しています。「目標達成率」を測定しています。

Example: PAFormulaUtils() メソッドを使用したインデックスインジケーター

次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバルターゲットの間のギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この単一のインデックスを取得するには、次の手順に従ってインデックス インジケーターを生成します。

1. に移動します パフォーマンスアナリティクス > インジケーター (計算) をクリックし、[新規] をクリックします。インデックスインジケーターは、式インジケーターのユースケースです。
2. インジケーターには、「 インシデントギャップの集計」などのわかりやすい名前を付けます。
3. インデックス インジケーターを作成しているため、[方向] を [最大化] に設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [式] フィールドで、[メソッドの参照] 関数と [インジケーターの参照] 関数を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

3 つのインジケーターは均等に重み付けされるため、集計は個々のインジケーターではなく 100 にインデックス化されます。

ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了への変更

式インジケーターの場合、変数 score_start と score_end の値は、式を実行しているユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。異なるタイムゾーンのユーザーが同じ式を実行すると、score_start と score_end の値が変更されます。

> ⚠ **警告:**
> 異なるタイムゾーンのユーザーが同じ式を表示すると、 score_start 変数と score_end 変数の日付値がシフトする可能性があります。

式には、式が参照するインジケーターのパラメーターとして score_start 変数または score_end 変数を含めることができます。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される特定の収集期間の最初と最後の秒を表します。score_start 変数と score_end 変数の値は、式を実行しているユーザーのタイムゾーンとデータベースサーバーのタイムゾーン (GMT) の差から計算されます。ユーザーは、ダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示するたびに式を実行します。その結果、異なるユーザーが同じ式を表示すると、収集期間の開始または終了の日付値がシフトする可能性があります。

Example: ユーザーのタイムゾーンごとに異なる**score_end**値

日次頻度と次の式を持つ式インジケーターを考えてみましょう。

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

10 月 18 日に、3 人の異なるユーザーがこの式インジケーターを使用してダッシュボードウィジェットを表示します。データベースサーバーは、10 月 18 日の score_end を 10 月 18 日の 23:59:59 GMT と見なします。

- 1 人のユーザーがヨーロッパ/ベルリンのタイムゾーンにいます。score_end値は「2019-10-18 21:59:59」で、10月18日のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが米国/太平洋タイムゾーンにいます。score_end値は「2019-10-19 06:59:59」で、10月19日のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが GMT タイムゾーンにいます。score_end値はデータベースサーバー「2019-10-18 23:59:59」と一致し、10月18日のスコアが返されます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス の変数

手動インジケーター

手動インジケーターでは、データベースから収集されたスコアは使用されません。 手動インジケーターは通常、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。データが第三者の営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
手動インジケーターは、インジケーター ソースに関連付けられていません。手動インジケーターのスコアは、データ収集ジョブによって自動的に生成されません。代わりに、スコアシートに手動でスコアを追加することで、これらのインジケーターに入力します。

注:

- インジケーターを作成するには、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。
- ドメインセパレーションを使用している場合、インジケーターは現在属しているドメインに作成されます。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合、次の場所に移動します: **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (手動) [新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、次に移動します: **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーター (手動) [新規] を選択します。
2. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。
3. [周期] フィールドで、スコアが設定される周期を選択します。
   デフォルト値は [日次] です。

   注:
   手動インジケーターの周期では、そのデータをチャート化する方法を指定します。たとえば、チャートで 1 日あたりまたは 1 か月あたりのデータ ポイントを設定した場合、この設定はスコアシートにも影響するため、日次または月次のどちらの値を入力できるかが決まります。

4. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

   ヒント:
   可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、[最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

5. オプション: 次のいずれかのインジケータープロパティを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) 価格、通貨、または FX 通貨フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	単位として % または期間を選択する場合は、一部のタイプの時系列をインジケーターに適用しないようにすることを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時刻は日、時間、および分で示されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* 存在し、true である場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドに秒も表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 単位が [参照通貨を使用] の場合、このフィールドは使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	クインティリオンまでの数千の大きな数に使用される略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

自動翻訳

6. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロールで制限するかどうかを設定します。
[ライブラリに共有] を有効にすると、インジケーターが次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブただし、完全には移行されていないアップグレード済みインスタンスのみが対象です プラットフォームアナリティクス
7. [アクセス制御] タブで、インジケーター スコア追加の権限を持つ貢献者になるユーザーを設定します。
pa_admin、pa_power_user、または pa_contributor ロールを持つユーザーのみを選択できます。
8. [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デフォルトの時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターにデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは、時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を取得するようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。 この値はインジケーター スコアにのみ適用されます。ブレークダウン要素のスコアには影響しません。
順序	インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターだけに数値を入力すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
実線のレンダリング	選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターの切れ目のないデータ行が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットや、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。

次のタスク
手動ブレークダウンを作成して、このインジケーターにアサインします。次に、手動でスコアを追加します。

関連情報
- 手動ブレークダウン
- インジケーターのスコアの手動での追加または編集

パフォーマンスアナリティクススコア予測

パフォーマンスアナリティクス を使用すると、過去の動作に基づいて将来のスコアを予測できます。時系列ウィジェット、時系列データの可視化、 KPI 詳細、および アナリティクスハブでスコアを予測できます。予測スコアは点線で表示されます。

予測は、インジケーター レコードの [予測] タブで設定します。予測に含まれるデータポイントの数は、インジケーターの頻度と、インジケーターに構成された 予測期間 の数によって異なります。期間は、インジケーターの頻度に基づく一連のスコア数です。設定と予測方法に関係なく、生成される予測データポイントは 2688 個までです。

注:
構成可能ワークスペースの時系列データのビジュアル化では、インジケーターに設定されている予測構成を上書きできます。この上書きは、そのデータ可視化にのみ適用されます。

また、時系列データの可視化では、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターの予測に限定されません。パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションバージョンを使用している場合は、テーブルを除くすべてのデータソースの予測を生成できます。詳細については、「時系列の可視化を作成」を参照してください。

この機能には、ServiceNow® Store のデータの可視化 24.0.x アプリケーションが必要です。

関連情報
- 自動インジケーターの作成

インジケーターの予測の構成

自動インジケーターのレコードで、 アナリティクスハブ、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、時系列データの可視化に表示される予測を構成します。

始める前に
必要なロール:pa_power_user、pa_admin、admin

手順
1. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > 自動インジケーター.
2. 予測を構成する自動インジケーターを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [予測] タブに移動します。
4. 以下の値を設定します:

フィールド	説明
使用した予測方法	このインジケーターの値を予測するためにシステムで使用される統計手法。デフォルト値は [自動] で、データに最適な方法が選択されることを意味します。詳細については、「予測方法の選択」を参照してください。
予測期間	スコアを予測する将来のデータ期間の数。 **注:** 期間の長さは、インジケーターの頻度に基づきます。詳細については、「インジケーターの予測期間」を参照してください。
予測下限	予測スコアの意味のある最小値。この値よりも低いスコアが予測される場合は、代わりにこの値が表示されます。
予測上限	予測スコアの意味のある最大値。この値よりも高いスコアが予測される場合は、代わりにこの値が表示されます。

5. 予測の基礎となるスコアを選択します。

オプション	説明
すべてのスコア	このインジケーター用に収集されたすべてのスコア
前の期間	予測の基礎となる現在までのデータ期間の数。これらのデータ期間は、[予測期間] のデータ期間と同じ長さです。 前の期間を選択した場合は、[期間] フィールドに期間の数も指定します。
開始日（固定）	開始日後に収集されたすべてのスコア。[固定開始日] を選択した場合は、[開始日] も指定します。

予測方法の選択

統計の専門家であれば、予測方法を手動で選択することができます。デフォルトでは、メソッドの適合性に基づいて、インスタンスによって最適なメソッドが自動的に選択されます。

最適な予測方法を決定するために、インスタンスでは各予測方法と履歴データを使用して予測を生成します。インスタンスは、予測する期間に基づいて、それらの予測を最新のデータと比較します。インスタンスは、予測を表示するたびにこの評価を実行します。したがって、追加のスコアを収集したり、予測期間を変更したりすると、使用される予測方法が変更される可能性があります。

たとえば、2 期間先を予測するために日次周期のインジケーターを設定すると、インスタンスでは 2 週間以上経過した履歴データに各予測方法が適用されます。次に、インスタンスはそれらの予測を最

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新の 2 週間分のデータと比較します。次に、直近 2 週間分のデータに最も近い予測が、データセット全体を使用して再計算されます。インスタンスは、この最終計算の結果を アナリティクスハブ または KPI 詳細で表示します。

予測方法

パフォーマンスアナリティクス では、次の標準的な予測方法を使用できます。

メソッド	説明
リニア	定数と傾向を説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。
季節雇用	季節ダミーを説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。 この分析の「季節」は 1 つの期間です。
季節傾向	季節性がありますが、説明変数として傾向が含まれています。
Loess による季節傾向分解 (STL)	最適な関数に基づいて季節予測を生成します。この方法は、指数関数的に重み付けされた移動平均アプローチを使用して、傾向、季節、およびランダムノイズプロセスをデータに適合させます。予測は完全なデータセットに基づいており、最近の観測結果ほど重み付けが高くなります この分析の「季節」は 1 つの期間です。
ランダムフォレスト (RF)	意思決定ツリーの組み合わせを作成し、これらのツリーによって生成された予測を平均して単一の予測を取得します。ランダム性は、利用可能なデータと入力のランダムなサブセットからビルドされた各ツリーに由来します。ランダムフォレスト手法の詳細については、この「Medium の記事」を参照してください。
自己回帰 (AR)	自己回帰 (AR) モデルは、傾向、季節ダミー、および過去の値の線形結合を使用して、インジケーターの将来の値を予測します。ランダムフォレスト (RF) モデルと同様に、AR モデルは最適な遅延数をチェックします。ただし、AR モデルは現在と過去の値を直線的に関連付けますが、RF モデルは非線形です。

インジケーターの予測期間

スコアの頻度に応じて、異なる期間の長さが選択されます。この表を参照して、系列に使用される期間の長さを確認してください。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
日次	7	1 週間
週次	13	1 四半期
隔週	6	1 四半期
4 週間ごと	13	1 年
月次	12	1 年
隔月	6	1 年
四半期ごと	4	1 年
会計四半期ごと	4	1 年

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
半年ごと	2	1 年
年次	4	4 年
会計年度ごと	4	4 年

予測とターゲット

インジケーターの予測が有効になっていて、グローバル ターゲットが定義されている場合、ターゲットに達するタイミングが予測に表示されます。

さらに、インスタンスは、ターゲットに到達する予定の 14 日前に通知を送信します。*pa.job.forecast.target.days_to_check* プロパティを設定することで、通知の送信日数を変更できます。

この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。しきい値と個人のターゲットは、予測に関係しません。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

時系列集計による予測

インジケーターに時系列集計を適用すると、予測期間の長さが変更されます。変化は時系列のタイプによって異なります。

時系列アグリゲーションが予測期間に及ぼす影響

時間アグリゲート	予測期間への影響	例
実行中	期間内のポイント数は、[範囲] フィールドの値と同じです。	7 日間移動合計の場合、予測期間には 7 つのデータポイントがあります。28 日間移動合計の場合、28 個のデータポイントがあります。
期間別	選択した期間は、インジケーターの頻度であるかのように扱われます。	日次インジケーターに適用される「週別」の時間アグリゲートには、予測期間 (四半期) ごとに 13 個のデータポイントがあります。この予測期間は、時間集計のない週次インジケーターの場合と同じです。
終了日	期間の長さは集計の時間スパンと一致します。期間あたりのデータポイントの数は、この時間スパンとインジケーター頻度の積です。	このセクションの残りの部分を参照してください。

頻度が日次のインジケーターの場合、現在までの集計には、期間ごとに次のデータ ポイント数があります。

終了日時アグリゲーションを使用した日次インジケーターの期間あたりのデータポイント

週度累計	月度累計	四半期累計	年度累計
7	30	91	365

1 つの例外を除き、日以外の頻度のインジケーターは、現在までの時間集計のうち年度累計のみをサポートします。月次インジケーターは例外です。また、四半期累計の集計もサポートしています。四

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

半期累計集計の月次インジケーターには、期間ごとに 3 つのデータポイントがあります。年初来の集計を伴うさまざまなインジケーター頻度の予測期間あたりのデータポイントの数は次のとおりです。

年度累計の時系列集計の予測期間あたりのデータポイント数

インジケーターの周期	期間別のデータポイント、年度累計
日次	365
週次	52
4 週間	13
隔週	26
四半期ごと (会計)	4

関連情報

時系列集計の適用

インジケータースコア予測の表示

クラシック環境では、時系列ウィジェットまたは アナリティクスハブに予測を表示します。構成可能ワークスペースで、時系列データの可視化またはKPI 詳細で予測を表示します。

時系列ウィジェットに予測を表示するには、ウィジェットフォームの [表示設定] セクションで [予測を表示] を選択します。[予測範囲を表示] を選択すると、予測の 95% 信頼間隔を表示することもできます。詳細については、「時系列ウィジェット」を参照してください。

アナリティクスハブに予測を表示するには、チャート設定アイコン ( ) をクリックし、[予測] オプションを有効にします。同様に、[KPI 詳細] で [チャートオプション] を開き、[予測] を有効にします。

時系列データの視覚化で予測を表示するには、 [追加設定] を展開し、 [予測の表示] をオンにします。その後、需要予測範囲を表示するオプションがあります。[予測の構成] を開くと、この特定のデータ可視化のインジケーターの予測構成を上書きできます。

KPI 詳細でインジケーターの予測を表示するには、のチャートオプション KPI 詳細で予測をオンにします。

関連情報

時系列ウィジェットの追加の設定

アナリティクスハブ 特定のインジケーターに対して

時系列可視化のインジケーターデータオプション

によるインジケーターの検査 KPI 詳細

インジケーター グループの作成

便宜上、関連するインジケーターをインジケーターグループに整理できます。複数のインジケーターを表示する一部のチャート化を構成する場合は、個々のインジケーターの代わりにインジケーターグループを指定できます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
インジケーター グループを作成すると、最も役立つテーマに沿ってインジケーターを整理できます。インジケーターは同じタイプである必要はなく、インジケーター ソースやデータ コレクタ ジョブを共有している必要もありません。インジケーター グループを使用すると、次のオブジェクトを構成するときに複数の個別のインジケーターを指定する手間が省けます。

- リストウィジェット
- 相対比較の可視化を使用した時系列ウィジェット
- インジケーターに関するメール通知
- セキュリティインシデントアナリティクスツリーマップ

インジケーター グループを作成したら、グループにインジケーターを追加したり、グループから削除したりできます。この変更は、インジケーター グループを使用するすべてのオブジェクトに反映されるため、オブジェクトの構成を編集する必要はありません。

手順

1. 次のいずれかのナビゲーションパスを使用します。
   - プラットフォームアナリティクス に移行されていないアップグレード済みインスタンスを使用している場合、次の場所に移動します: **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーターグループ [新規] を選択します。
   - 新しいインスタンスを使用している場合、または プラットフォームアナリティクス に移行した場合は、次に移動します: **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > インジケーターグループ [新規] を選択します。
2. [**New**] をクリックします。
3. インジケーター グループの [ラベル] を入力します。
4. [他のアクション] メニュー ( ) を開き、[保存] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストが表示されます。
5. [インジケーター] 関連リストの [編集] をクリックし、グループにインジケーターを追加します。
6. [保存] をクリックしてインジケーターの追加を終了し、[更新] をクリックしてインジケーター グループ レコードを終了します。

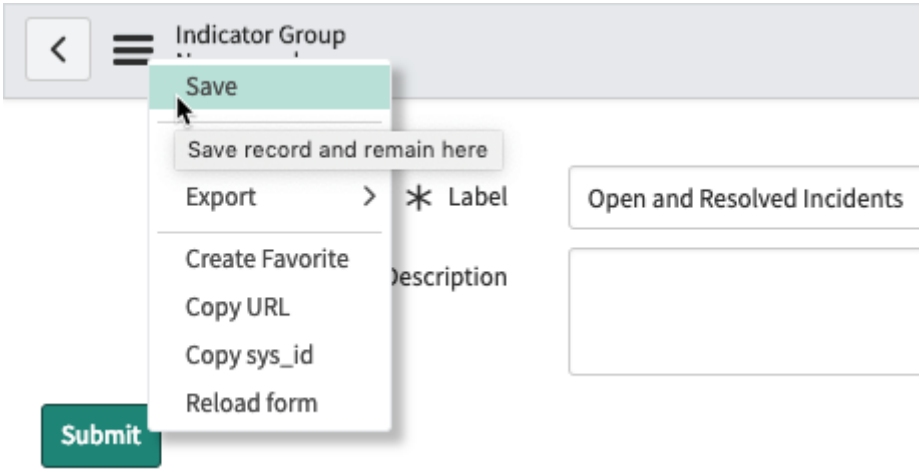
Example: 「オープンかつ解決済みのインシデント」インジケーターグループの作成と使用

この例では、オープンまたは解決済みのインシデントを参照するすべてのインジケーターを含むインジケーターグループを作成します。インシデントはすべて、 パフォーマンスアナリティクス のデモデータに含まれています。インジケーター グループを作成したら、インジケーター グループを使用するリスト ウィジェットを作成し、ウィジェットをダッシュボードに追加します。

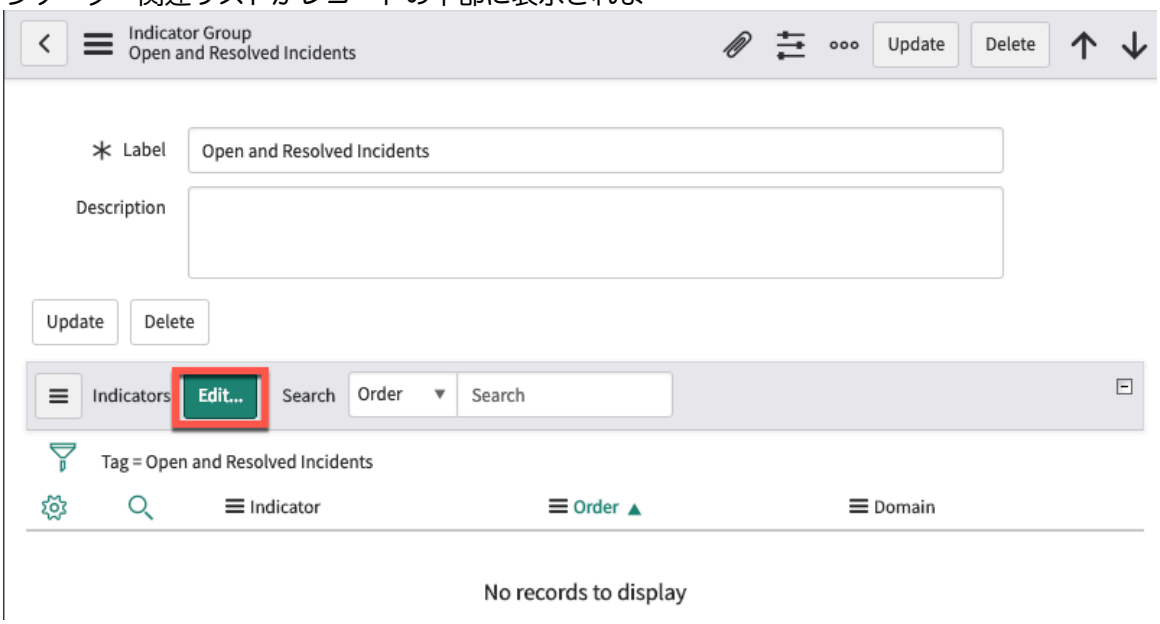
1. まず、 パフォーマンスアナリティクス > インジケーターグループ をクリックし、[新規] をクリックします。空のインジケーターグループフォームが開きます。
2. インジケーターグループに 「オープンおよび解決済みのインシデント」というラベルを付け、[他のアクション] メニューからフォームを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーター関連リストがレコードの下部に表示されま

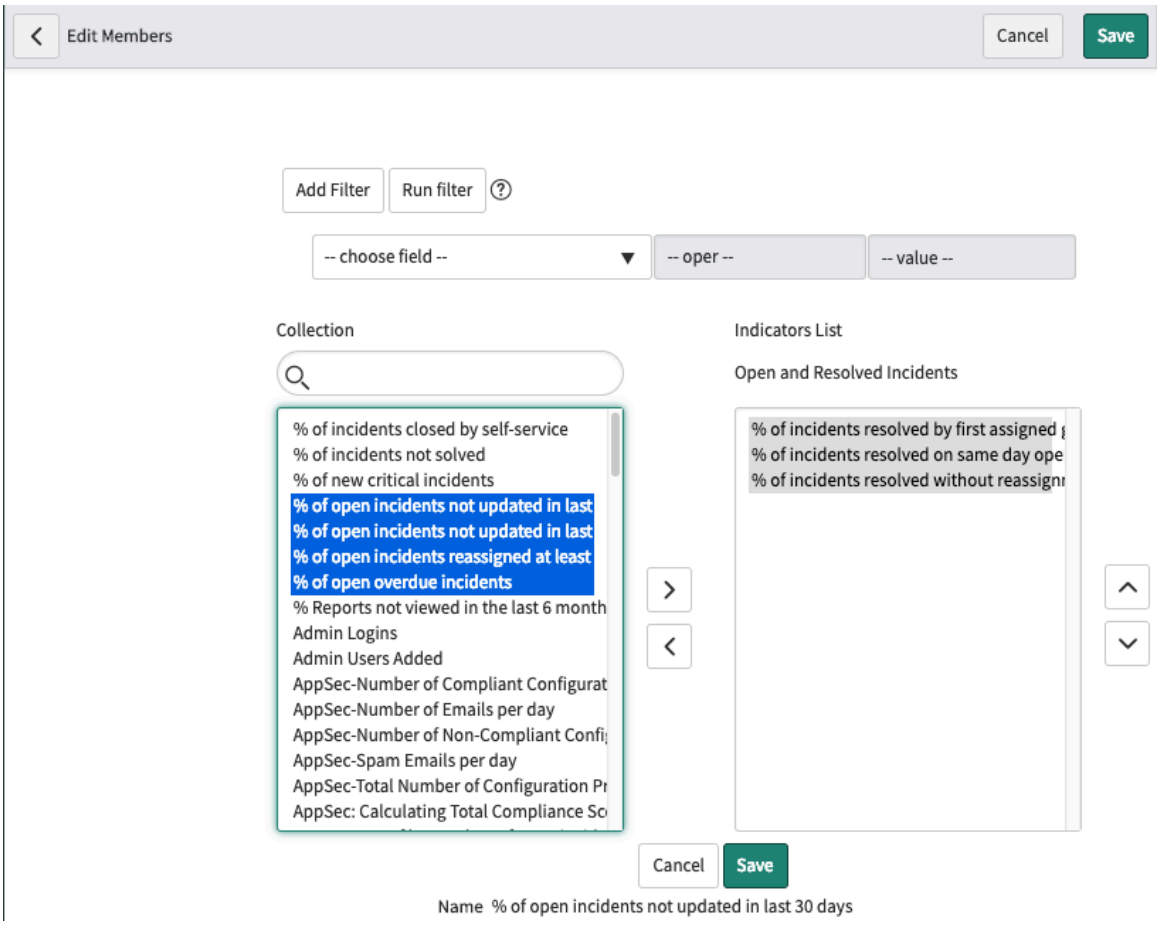


す。

3. 「編集」をクリックすると、「メンバーの編集」ダイアログが開きます。解決済みまたは未解決のインシデントを含むすべてのインジケーターをグループ化するには、名前に「解決済み」または「オープン」を含むすべてのインジケーターを追加します。インシデントバックログの増加インジケーターも追加します。

自動翻訳

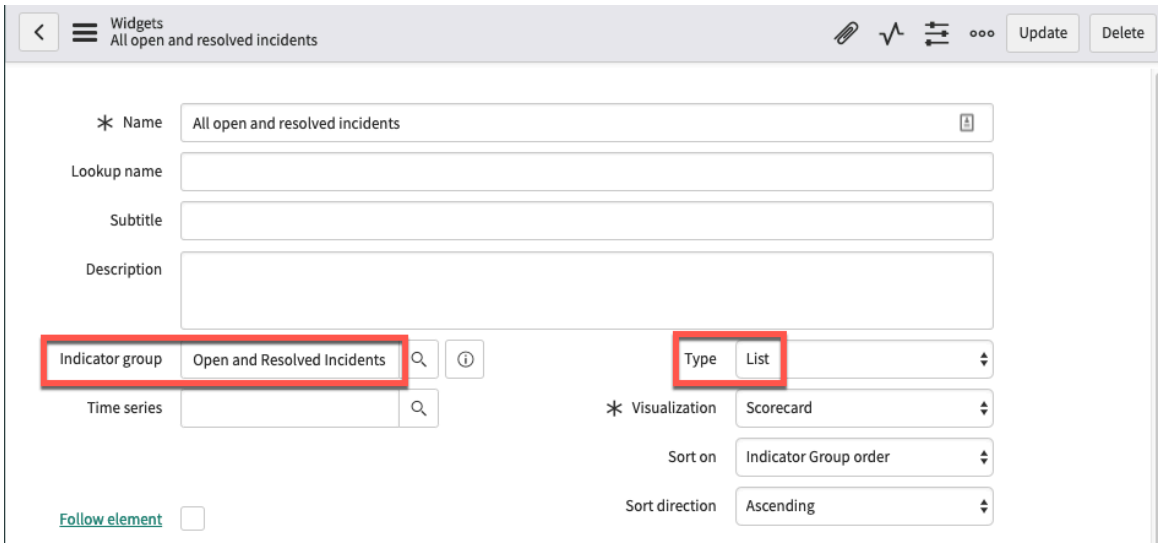
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



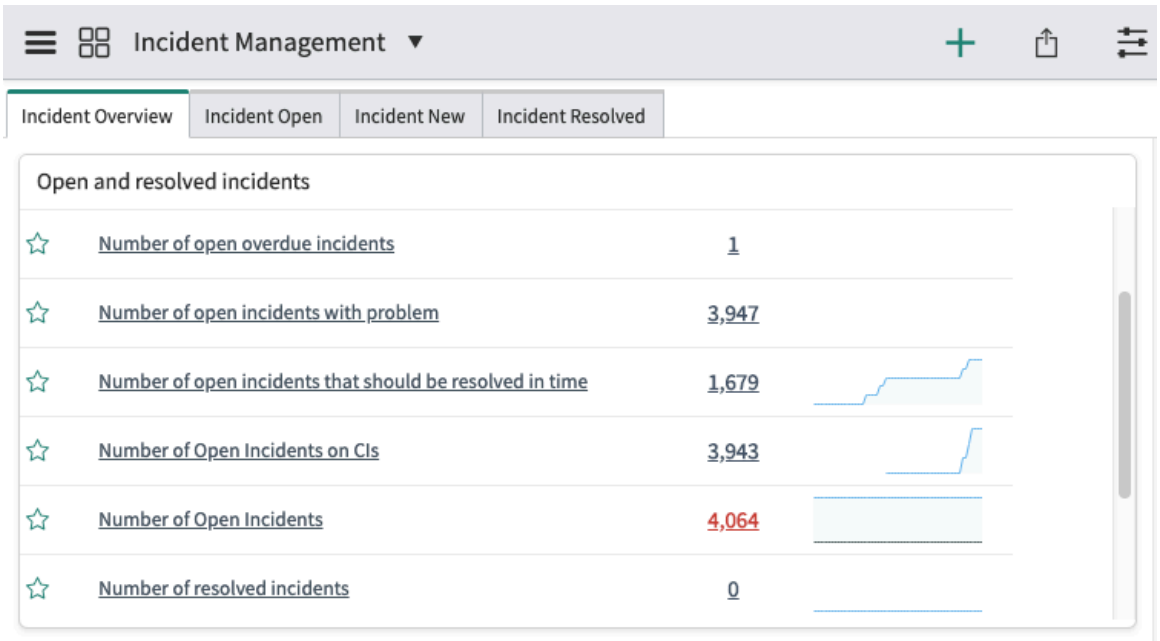
4. インジケーターグループが完成しました。[メンバーの編集] ダイアログで [保存] をクリックし、インジケーター グループ レコードで [更新] をクリックします。
5. 次に、 パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットを作成し、[オープンおよび解決済みのインシデント] インジケーターグループを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. ウィジェットを他のユーザーと共有するには、ウィジェットをインシデント管理ダッシュボードに追加しま



す。

関連情報

- リストウィジェット
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成
- インジケーターのメール通知を作成する
- ツリーマップカテゴリの作成または更新 (セキュリティインシデントアナリティクス)

インジケーターの丸めと精度

インジケーターは、インジケーター [精度] に応じて、「銀行家の丸め」または数学的な丸めを使用して、結果の小数部を丸めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアが 10,000 未満

インジケーターの [精度] が 0 の場合、インジケーターは結果を最も近い偶数の整数に丸めます。たとえば、[精度] が 0 のインジケーターが値 7 + (5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。ただし、式が 2 + (5 / 2) を計算した場合、インジケーターは結果を 4 に丸めます。

インジケーターの [精度] が 0 より大きい場合、指定された精度に最も近い小数点に丸めます。たとえば、[精度] が 1 のインジケーターは、4.45 の結果を 4.5 に丸めます。

10,000 を超えるスコア

インジケータースコアが 10,000 を超えると、スコアは丸められ、次のように単位の省略形で表示されます。

大きな数の表示

[Number (番号)]	略称	例:precision=0	例:precision=1
10,000-999,999	最も近い千、k	13,291 を 13 k として表示	13,291 を 13.3 k として表示
1,000,000-999,999,999	最も近い百万、M	17,824,391 は 18 M として表示	17,824,391 (17.8 M として表示)
1,000,000,000	最も近い 10 億、G	2,378,425,321 (2 G として表示)	2,378,425,321 (2.4 G として表示)
1,000,000,000,000	最も近い兆、T	3,456,398,231,094 (3 T として表示)	3,456,398,231,094 (3.5 T として表示)
1,000,000,000,000,000	最も近い quadrillion、P (Peta の場合)	18,103,456,398,231,094 は 18 P として表示	18,103,456,398,231,094 (18.1 Pとして表示)
1,000,000,000,000,000,000	最も近い五分の一、E (Exa の場合)	7,618,103,456,398,231,094 を 8 E として表示	7,618,103,456,398,231,094 を 7.6 E として表示

注:

- 10,000 未満の数値とは異なり、精度 = 0 の場合、大きい数値は最も近い偶数に丸められません。
- ユニットの略称は設定できません。

例外

線グラフまたは縦棒グラフにプロットされた Y 軸の値は丸められません。チャート上の値をポイントすると表示されるスコアとツールヒントは、インジケーターの [精度] に基づいて丸められます。

注:
式インジケーターでは、丸めは式の結果にのみ適用されます。式内の値は丸められません。

参照通貨でのインジケータースコア

価格、通貨、または FX 通貨タイプの通貨フィールドの傾向を追跡できます。これらのいずれかのフィールドに基づくインジケーターのスコアは、参照通貨の値で収集されます。

これらのスコアを収集するには、インジケーターで単位として [参照通貨を使用] を選択します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告:
インジケーターの設定後にフィールドの参照通貨が変更されると、スコアが正しく収集されなくなります。

場合によっては、標準通貨に変換された金銭的 KPI をユーザーに提供する必要があります。多くの異なる元の通貨でプロジェクトコストを扱うグローバルプロジェクトマネージャーまたはCFOを考えてみましょう。彼らは、グローバルな傾向に基づいて意思決定を下せるように、これらすべてのコストがグローバルな企業通貨に変換されるのを確認する必要があります。このようなユーザーに必要な KPI を提供するために、参照通貨建てのスコアを収集するように パフォーマンスアナリティクス インジケーターを構成できます。

参照通貨でインジケータースコアを収集するには、次の特性を持つインジケーターを作成します。

- インジケーターは 自動インジケーターであり、式や手動インジケーターではありません。
- アグリゲートが [カウント] または [個別のカウント] ではなく、インジケーターが スクリプト化されていません。
- アグリゲートするために選択された フィールド のタイプは、価格、通貨、または FX 通貨です。
- スコアの 選択された単位 は [参照通貨を使用] です。

このようなインジケーターを作成する完全な手順については、 自動インジケーターの作成を参照してください。

注:

- FX 通貨フィールドは、インジケーターで使用する前にアドミニストレーターが設定する必要があります。
- [参照通貨を使用] が選択されている場合、インジケーターフォームで [精度] フィールドは使用できません。代わりに、精度は FX 通貨構成から継承されます。

スコアを収集したら、 アナリティクスハブ でスコアを詳しく調べたり、ウィジェットで共有したりできます。参照通貨の精度と記号は、スコア値、変更値、ターゲット、しきい値、ツールヒントなど、すべてのビジュアル要素で使用されます。

システム参照 通貨参照

パフォーマンスアナリティクスエキスパートは、参照通貨を設定しません。通貨アドミニストレーターロールを持つユーザーがこのタスクを実行します。ただし、参照通貨が Now Platformでどのように機能するかを知りたい場合もあります。リンク付きの簡単な要約が続きます。

[価格] または [通貨] フィールドの場合、システム参照通貨はローカリゼーションプロパティで設定された `glide.system.locale` の値です。このプロパティが設定されていない場合は、物理的な場所に基づくシステムのデフォルトが使用されます。これらのフィールドの参照通貨の設定の詳細については、「 標準通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

注:
パフォーマンスアナリティクス インジケーターはセッション通貨値を使用しません。

FX 通貨フィールドの場合、インジケータースコアは次の構成設定の階層に基づきます。

1. フィールドレベルの FX 通貨設定が設定されている場合、これらが優先されます。設定されていない場合...
2. グローバル FX 通貨構成が使用されます。グローバル構成が設定されていない場合...
3. `glide.system.locale` の設定が使用されます。このプロパティに値が設定されていない場合...
4. システムのデフォルトが使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

FX 通貨フィールドの構成の詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作」 を参照してください。

単位の作成

パフォーマンス分析インジケーターのスコアが表示される単位を定義できます。単位は、数値、パーセンテージ、通貨、時間数、または定義したその他のエンティティにすることができます。よく使用される単位は、デフォルトで提供されています。

始める前に

必要なロール：pa_admin または pa_data_collector

重要:
デフォルトで提供されている単位は削除しないでください。たとえば、[参照通貨単位を使用] を削除すると、インジケーター スコアを参照通貨で表示できなくなります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > システム > 単位.
2. [**New**] をクリックします。
3. 単位の名前を入力します。

   Example
   たとえば、Gallon と入力します。
4. 単位を書式設定する方法を指定します。

   Example
   たとえば、{0}Gal とすると、略語 Gal でガロン数が表現されます。通貨の場合、${0} のように数値の前に単位記号を置くことができます。
5. [送信] をクリックします。
   単位は、自動、手動、および式インジケーターで使用できます。

インジケーターからの時系列の除外

時系列集計の中には、一部のインジケーターに適用するのに不適切なものがあります。自動、数式、および手動インジケーターでは時系列を除外できます。除外された時系列は、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、またはウィジェットから選択できません。他の時系列は選択可能なままになります。

インジケーターから時系列を除外するには、インジケーターフォームの [時系列の除外] 関連リストで時系列を選択します。

時系列を除外するユースケースの 1 つは、インジケーターアグリゲーションと時系列アグリゲーションの間の論理的な関係です。たとえば、それ自体が平均であるインジケーターの合計または平均を取る時系列集計を許可したくない場合があります。

インジケーターアグリゲーションに基づく可能な時系列除外

インジケーターアグリゲート	時系列を除外することを検討してください。
平均	すべての合計、平均。すべての部分ピリオド (+)。
合計	すべての合計
最低	すべての合計
最大	すべての合計

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター単位タイプに基づいて時系列を除外することもできます。たとえば、スコアがパーセンテージ値であるインジケーターがある場合、これらのパーセンテージの合計を表示したくない場合があります。同様に、インジケーター自体が日、週、月、四半期、または年で測定される時系列集計は、あまり意味をなさない可能性があります。

最後に、インジケーターの主題について考えてみましょう。時系列集計の中には、定性的な理由からインジケーターに適さないものがあります。

インジケーターへのアクセスの制御

特定のインジケーターに対して、どのユーザー ロールにアクセス権を付与するかを制御できます。インジケーターへのアクセスは、インジケーター レコードによって規制されます。

始める前に

必要なロール：pa_admin または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター (自動) または 該当する場合は、手動インジケーター または 式インジケーター を使用します。
2. インジケーター レコードを選択します。
3. [アクセス制御] の選択で [全てのロールに公開] チェック ボックスをクリアします。
4. インジケーターへのアクセス権を付与する [ロール] を選択します。
5. **[Update** (更新)] をクリックします。

関連情報

- ブレークダウン要素を表示する機能の制御
- レスポンシブ ダッシュボードの共有

インジケーターのメール通知を作成する

パフォーマンスアナリティクスでは、1 つ以上のインジケーターのスコア、変更 % ターゲット、スコアとターゲットのギャップ % を含むメールを自動的に生成できます。

始める前に

サマリーメールを使用する前に、メール通知を有効にして設定してください。

必要なロール：pa_admin または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 自動化 > サマリーメールの設定.
2. [**New**] をクリックします。
3. サマリー メールの [名前] と [説明] を入力します。
4. [アクティブ] チェック ボックスをオンにすると、サマリー メールを作成する、スケジュール設定済みジョブが実行されます。
5. ジョブをいつ実行するかを選択します。
   - 日次
   - 週次
   - 月次
   - 定期的

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 1 回
- オンデマンド

6. 時、分、秒を変更して、ジョブを実行する時間を設定します (24 時間表記を使用)。
デフォルトでは、ジョブは深夜に実行されます。
7. サマリーに含めるインジケーターを動的または手動で選択します。

動的

[条件別] チェック ボックスをオンにします。条件ビルダーを使用して、概要メールに含まれるインジケーターを決定する条件を定義します。たとえば、条件を [キー] [次の値に等しい] [true] に設定することで、すべてのキーインジケーターを選択できます。

手動

[条件別] チェック ボックスをオフにします。[スケジュール設定済みメールサマリー] フォームを保存した後、[インジケーター] 関連リストのサマリーに含めるインジケーターを個別に選択します。

8. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。
関連リストが利用可能になります。
9. [ユーザー] 関連リストで任意の数のユーザーを選択します。
10. インジケーターを手動で選択する場合は、[インジケーター] 関連リストで選択します。

タスクの結果

サマリー メール ジョブは、設定したスケジュールに基づいて実行されます。[今すぐ実行] をクリックして、ジョブを手動で実行することもできます。

関連情報

メール通知/SMS 通知

インジケーターのエクスポートと配布をスケジュールする

インジケーターにスケジュールを設定し、配布を自動化します。

始める前に

この機能を使用するには、パフォーマンスアナリティクス のライセンス バージョンが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > スケジュール設定済みインジケーター をクリックし、新しいレコードを作成します。

[スケジュール設定済みインジケーター] のフィールド

フィールド	説明
インジケーター	エクスポートするインジケーターを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ブレークダウン	ブレークダウンを選択して、インジケーターのスコアをフィルタします。
要素	ブレークダウンを選択した場合は、ブレークダウン要素を選択し、その要素に関連付けられたスコアのみを表示します。
チャート	このチェックボックスを選択すると、PDF にスコアのチャート化を含めることができます。チャート化はインジケーター アナリティクスハブに表示されるものと同じです。
ブレークダウン	このチェックボックスを選択すると、PDF の下部の各テーブルにブレークダウンおよびブレークダウン要素のスコアを含めることができます。[ブレークダウン] および [要素] を選択した場合、PDF の下部に表示されるブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンになります。
ユーザー	インジケーターを受け取るユーザー。 インジケーターを受信するには、ユーザーにメール アドレスが定義されていてユーザー レコードの [通知] が [有効化] に設定されている必要があります。
グループ	インジケーターを受け取るグループ。
メールアドレス	インジケーターを受け取るが、システムにないユーザーのメール アドレス。
アクティブ	インジケーターのスケジューリングを有効 (選択) または無効 (クリア) にするチェックボックス。
実行	インジケーターをエクスポートする頻度。
時刻	インジケーターをエクスポートする時刻。
条件節	[条件節] フィールドを表示 (選択) するか、または非表示にする (クリア) チェック ボックス。このフィールドでは、インジケーターがエクスポートされる条件を指定できます。
条件	インジケーターをエクスポートする前に特定の条件が満たされているかどうかをチェックするユーザー作成のスクリプト。 このフィールドは、[条件節] が選択されている場合にのみ表示されます。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	インジケーターとともに提供される追加メッセージ。
一緒に含める	追加で送信するスケジュールされたインジケーター。
向き	横向きまたは縦向きで、ページの向きを選択します。
ZIP 出力	インジケーターを ZIP ファイルとして送信するには、このチェック ボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動インジケーターのベンチマークへのリンク

インジケーターを ITSM および ITOM ベンチマークと比較できるようにするには、自動インジケーターを対応するベンチマーク KPI にリンクします。ベンチマーク KPI は、1 つのインジケーターにのみリンクできます。アナリティクスハブ内のリンクされたインジケーターを比較できます。

始める前に
ServiceNow® ベンチマーク アプリケーションにオプトインする必要があります。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注:
sn_bm_client.benchmark_admin ロールを持っている場合は、ベンチマークセットアップインターフェイスからパフォーマンスアナリティクスインジケーターをベンチマークインジケーターにリンクできます。そのインターフェイスを介してインジケーターをリンクする手順については、「 ベンチマーク KPI をリンクまたはカスタマイズする 」を参照してください。

このタスクについて
ベンチマーキングと パフォーマンスアナリティクス を併用することで、業界標準に照らしてエンタープライズ ITSM と ITOM を測定し、すべての重要な測定基準にわたって改善を促進できます。詳細については、「 ベンチマーク 」を参照してください。

手順

1. 自動インジケーターのリストまたは式インジケーターのリストで、どのベンチマークインジケーターを他のどのインジケーターにリンクするかを特定します。
   ベンチマークインジケーター名は 「ベンチマーク」という単語で始まります。
2. ベンチマークインジケーターとリンクされたインジケーターが互換性を持って構成されていることを確認します。
   具体的には、次のプロパティが両方のインジケーターで一致していることを確認します。
   - インジケーターソース
   - 単位
   - 式 (式インジケーター用)

   警告:
   プラットフォームアナリティクスソリューション内のインジケーターは、一致するベンチマークインジケーターと同じように構成されていません。
3. ベンチマークインジケーターレコードを開きます。
4. [インジケーターのプロパティ] の [リンクされたインジケーター] フィールドで、ベンチマークにリンクする自動インジケーターを選択します。

   注:
   - パフォーマンスアナリティクスの自動インジケーターと式インジケーターの完全なリストを表示するには、完全にライセンス認証されたバージョンのパフォーマンスアナリティクスを有効にする必要があります。
   - [リンクされたインジケーター] フィールドを編集するには、レコードの上部にある、作業しているスコープ対象のアプリケーションを変更することが必要な場合があります。
   - ベンチマークインジケーターの名前とリンクするインジケーターが一致しない可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ベンチマーク KPI レコードを更新した後、自動インジケーターの アナリティクスハブ の [比較] タブでベンチマーク KPI と自動インジケーターを比較できます。詳細と例については、「 スコアを比較」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

故障 を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。アナリティクスハブ、KPI 詳細、およびダッシュボードにブレークダウンを適用できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレークダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

ウィザードからのブレークダウンの作成

ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびブレークダウンマッピングを作成し、ブレークダウンをインジケーターに関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_data_collector、または admin

> **注:**
> pa_power_user ロールしかないユーザーは、ブレークダウン ソースを作成できません。

このタスクについて
既存のインジケーターに基づいて、単純なブレークダウンを作成します。複雑なフィルタを使用してデータ セットを制限するなど、より高度なブレークダウンやブレークダウン ソースを作成するには、ブレークダウンやブレークダウンのソース レコードを直接作成または更新します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 新規作成.
2. ブレークダウンを作成するインジケーターを選択します。
   [テーブル] フィールドは、インジケーター ソース テーブルに基づいて自動的に入力されます。[インジケーターへのリンク] タブの同じソース テーブルを使用し、新しいブレークダウンを他のインジケーターに適用することができます。
3. どのフィールドに基づいてブレークダウンを作成するかを選択します。
   ブレークダウンでは、このフィールドの値をブレークダウン要素として使用し、各レコードのこのフィールドの値に基づいて収集されたデータに基づいてブレークダウンを作成します。
4. [次へ] をクリックします。
   [ブレークダウンを定義] タブには、指定したインジケーター、テーブル、およびフィールドのブレークダウン、ブレークダウン ソース、またはブレークダウンマッピングが存在するかどうかによって異なるデータが表示されます。
5. 次のいずれかの操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびマッピングを作成する	指定したテーブルにブレークダウンまたはブレークダウン ソースが存在しない場合は、新しいブレークダウンの名前を入力します。選択したテーブルおよびフィールドのブレークダウン ソースおよびマッピングは、自動的に作成されます。[フィルタを表示して調整する] をクリックし、ブレークダウン ソースに含まれるデータをフィルタします。
既存のブレークダウン ソースを使用してマッピングを作成する	指定したテーブルに少なくとも 1 つのブレークダウン ソースが存在し、ソースを使用する 1 つ以上のブレークダウンがある場合は、マッピングを作成するブレークダウンを選択します。 選択したソースを持つブレークダウンとインジケーター テーブルの親のフィールドとの間にマッピングが存在する場合は、マッピングを作成する既存のブレークダウンを選択するだけしかできません。そのような親テーブルのマッピングが存在しない場合は、既存のブレークダウンを選択するか、新しいブレークダウンを作成することができます。
既存のレコードを確認する	指定したテーブルのブレークダウンおよびブレークダウン ソースが存在し、指定したブレークダウンおよびフィールドのブレークダウン マッピングが存在する場合は、設定を確認します。何も変更する必要はありません。

6. [次へ] をクリックします。
7. [インジケーターへのリンク] タブで、ブレークダウンを適用する追加のインジケーターを選択します。
   最初に選択したインジケーターと同じソース テーブルを持つ他のインジケーターにブレークダウンを適用できます。ブレークダウンが既にインジケーターに適用されている場合、そのインジケーターは表示されません。
8. [次へ] をクリックします。
9. [データコレクション] タブで、過去何日分のブレークダウンされたスコアおよびスナップショットを収集するかを選択します。または、[過去のデータを収集します] をクリアします。
10. [次へ] をクリックします。
11. 設定を確認し、正しいレコードが作成されたことを確認してから、[適用] をクリックします。
    作成後、各レコードの横にチェック マークが表示されます。すべてのレコードが作成されると、[別のブレークダウンを作成] ボタンが表示されます。

ブレークダウンソース

ブレークダウン ソース ブレークダウン要素と呼ばれる一意の値のうち、ブレークダウンに含まれるものを指定します。

ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。たとえば、オープン変更の数インジケーターにすべてのアサイン先グループを表示するのでは

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

なく、ブレークダウンソースを構成して、変更プロセスの一部であるグループのみに要素リストを制限できます。

ブレークダウン ソースの定義

ブレークダウンのデータソースとして使用するファクトテーブルを指定します。条件を適用して、このブレークダウンソースの要素を指定します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector、pa_admin、または admin。ブレークダウン ソースの作成者には、インジケーター ソースが使用するテーブルおよび参照列へのアクセス権が必要です。

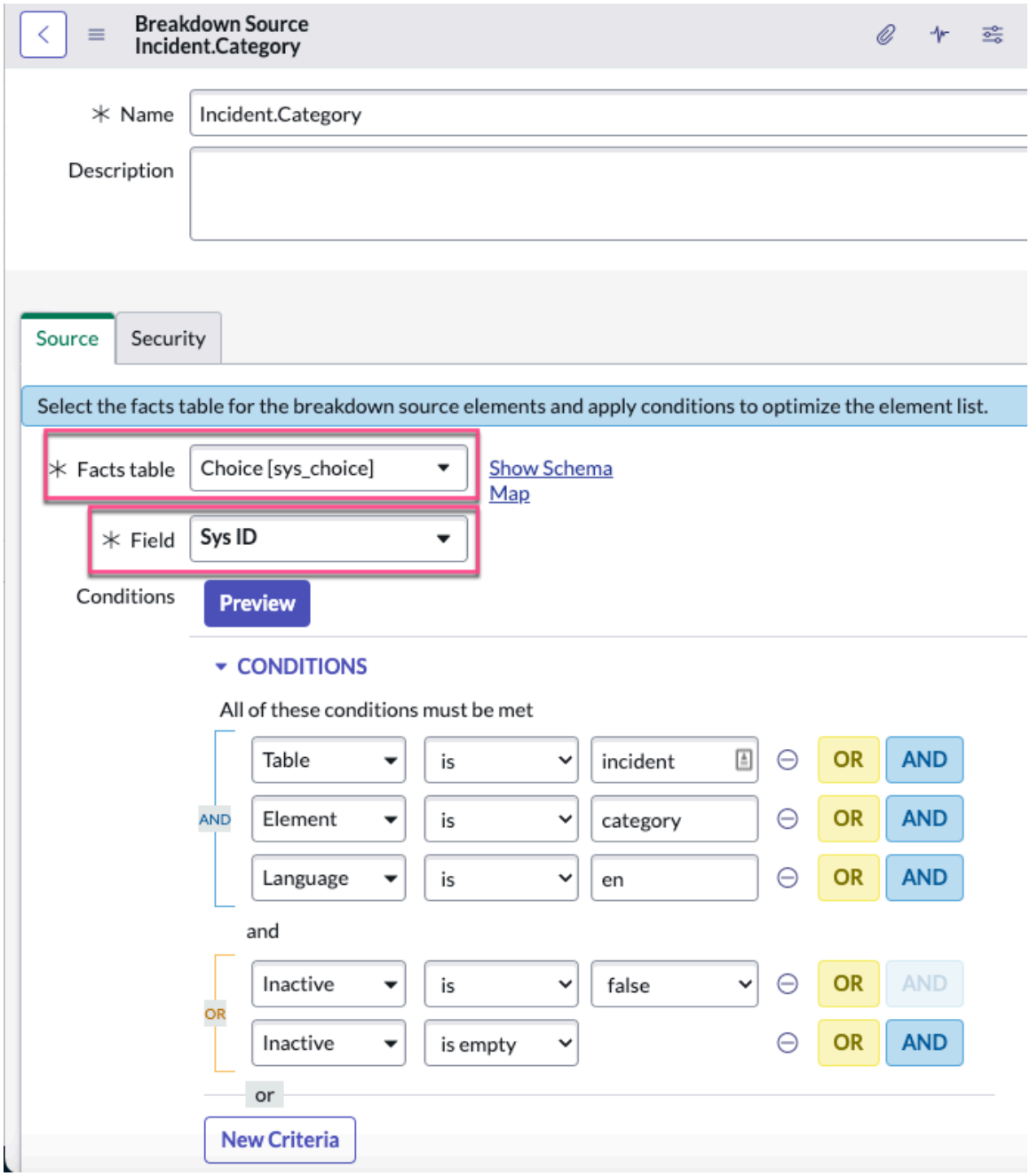
このタスクについて

レコードごとに一意の値があるフィールドを持ったファクト テーブルを常に使用します (通常は、**Sys ID**)。たとえば、Incident.Category ブレークダウン ソースは、[選択肢] テーブルから要素を取得します。その要素は、**[Sys ID]** フィールドによって特定されます。ブレークダウン ソースは、[インシデント] テーブル上に存在し、英語で、非アクティブでないものに、選択肢を絞り込みます。

ヒント:
この例のように、ファクトテーブルに選択肢 [sys_choice] を使用する場合は、[テーブル]、[要素]、および [言語] フィールドに条件を設定します。非アクティブなレコードも除外します。

自動翻訳

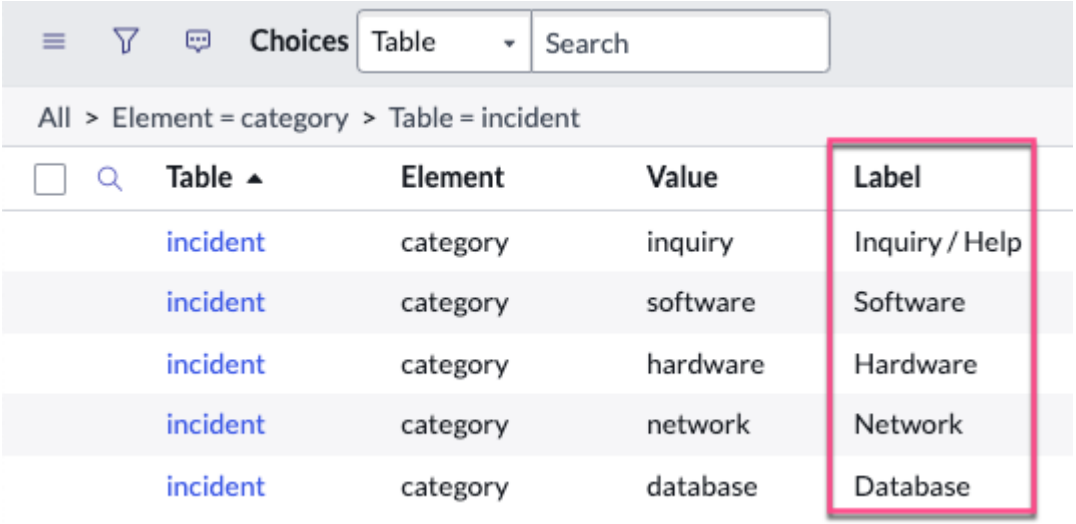
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ブレークダウンソースは、選択肢テーブルの次のレコードを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[選択肢] テーブルには、すべてのテーブルからの可能な選択肢がすべて含まれています。そのため、[テーブル] 列と [要素] 列があります。ブレークダウン ソースに使用するその他のファクト テーブルは、ほとんどが単純です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウンソース をクリックし、[新規] をクリックします。
2. ブレークダウン ソースにわかりやすい名前を付けます。
3. 他のユーザーがこのブレークダウンソースの使用と目的を理解し、重複の作成を回避できるように、詳細な 説明 を追加します。
4. ファクトテーブルでは、ブレークダウン ソースが要素を取得するテーブルを選択します。
たとえば、ブレークダウン ソースでユーザー グループを要素として指定するには、グループ **[sys_user_group]** を選択します。

   警告:
   データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

5. [フィールド] テーブルで、各レコードの一意の値を含むフィールドを選択します。
このフィールドは通常、**[Sys ID]** です。
6. 不要な要素を除外するための 条件 を設定します。
選択肢 [sys_choice] をファクトテーブルとして設定する場合は、常にテーブル、要素、および言語でフィルタリングし、非アクティブなレコードを除外します。例：

   [テーブル] [次の値に等しい **(=)**] [インシデント] および

   [要素] [次の値に等しい **(=)**] [カテゴリ] および

   [言語] [次の値に等しい **(=)**] **[en]** および

   [無効] [次の値に等しい **(=)**] **[false]** または

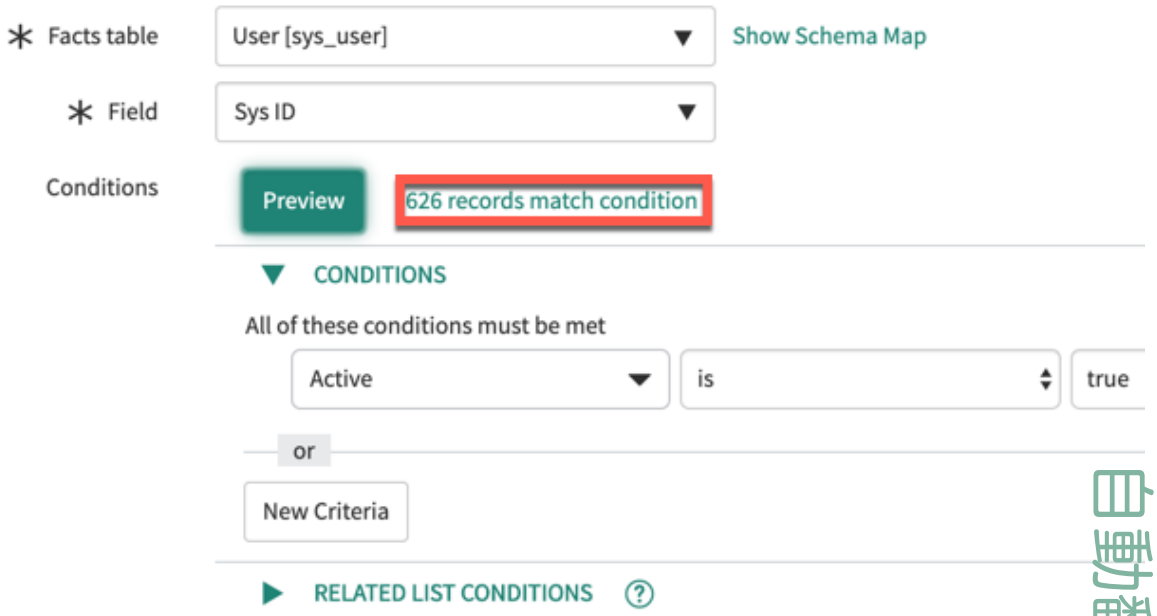
   [非アクティブ] [次の値に等しい **(=)**] [空]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 選択した条件に一致するレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。
8. オプション: 関連リスト条件を定義して、フィルターに別のテーブルとの関係を含めます。
   詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。

   Example
   たとえば、構成アイテム (CI) マネージャーのブレークダウンソースを考えてみましょう。ファクトテーブルはユーザー [sys_user] ですが、このテーブルから適用できる唯一の条件はアクティブなユーザーのフィルタリングです。テーブルのどのフィールドでも、CI マネージャーであるユーザーのみを選択できます。何百もの結果が得られます。

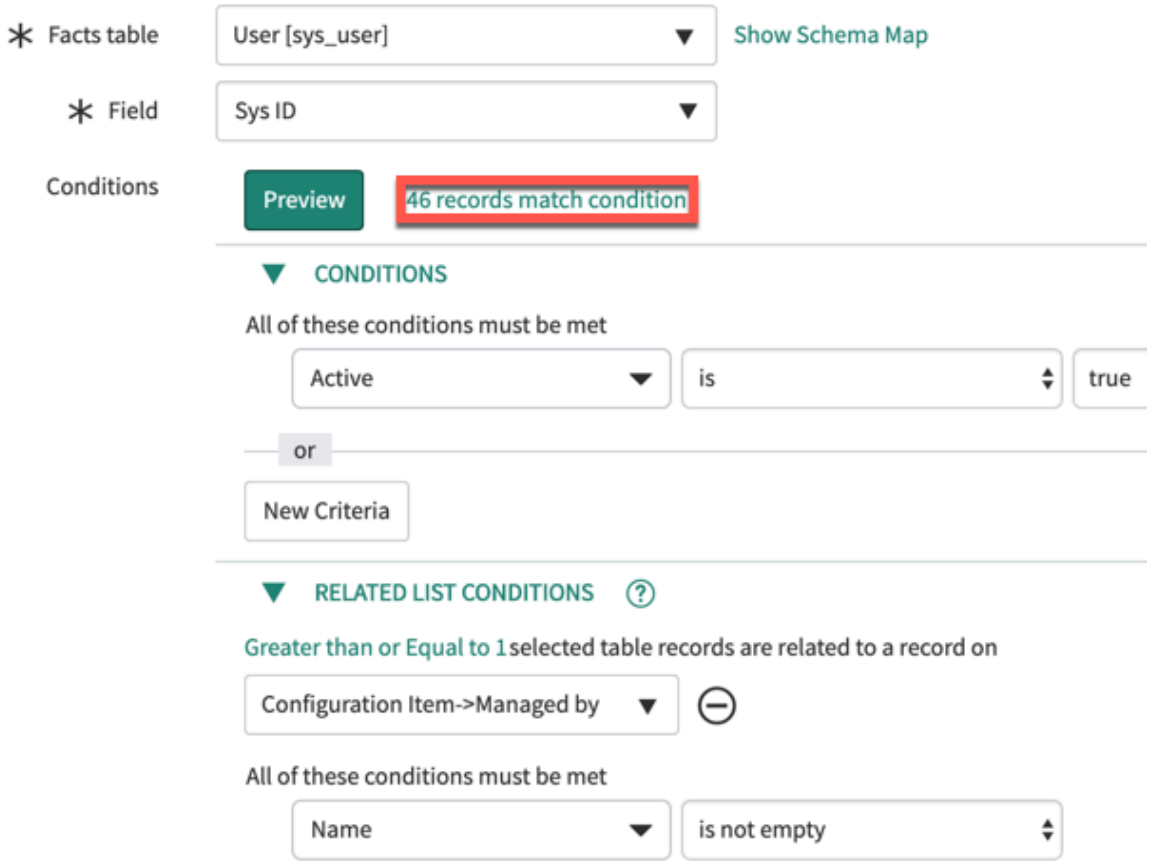


   (Optional)

   ユーザーレコードの名前が構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの [管理担当者] 列の少なくとも 1 つのエントリと一致する必要があるという条件を追加すると、ブレークダウンソースは CI マネージャーであるユーザーのみを返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: [不一致のラベル] に、インジケーター ソース レコードのマッピングされたフィールドの値がブレークダウン ソースのどの要素とも一致しない場合に使用するカスタム ラベルを記述します。
デフォルトのラベルは、[不一致] です。

   Example
   Incident.Category ブレークダウンソースは、[テーブル] フィールドの値が [インシデント]、[要素] フィールドの値が [カテゴリ] である [sys_choices] テーブルのレコードを参照します。カテゴリブレークダウンには、Incident.Category ブレークダウンソースからインシデント [incident] テーブルの [カテゴリ] フィールドへのマッピングが含まれています。インシデントレコードの [カテゴリ] フィールドに null 値がある場合、このレコードにカテゴリブレークダウンを適用したときの値はデフォルトで [不一致] になります。

10. [セキュリティ] タブで、要素のセキュリティリストに基づいて、ブレークダウン ソースの要素をロール別に除外するか、または含めるかを設定します。
詳細については、「要素のセキュリティ リストの定義」を参照してください。

次のタスク
このブレークダウンソースを使用するブレークダウンを作成します。[ブレークダウン] タブを開き、[新規] をクリックします。自動ブレークダウンの作成の説明に従って、[ブレークダウン] フォームが開きます。このソースを使用するブレークダウンを作成すると、これらのブレークダウンが [ブレークダウン] タブに一覧表示されます。

ブレークダウンソースのバケットグループ

バケットグループ たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化します。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

関連情報

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

フィールド値のバケットへのグループ化

スクリプトを使用しないブレークダウンマッピングでバケットグループを使用して、バケットにマップされたフィールドの値をグループ化できます。

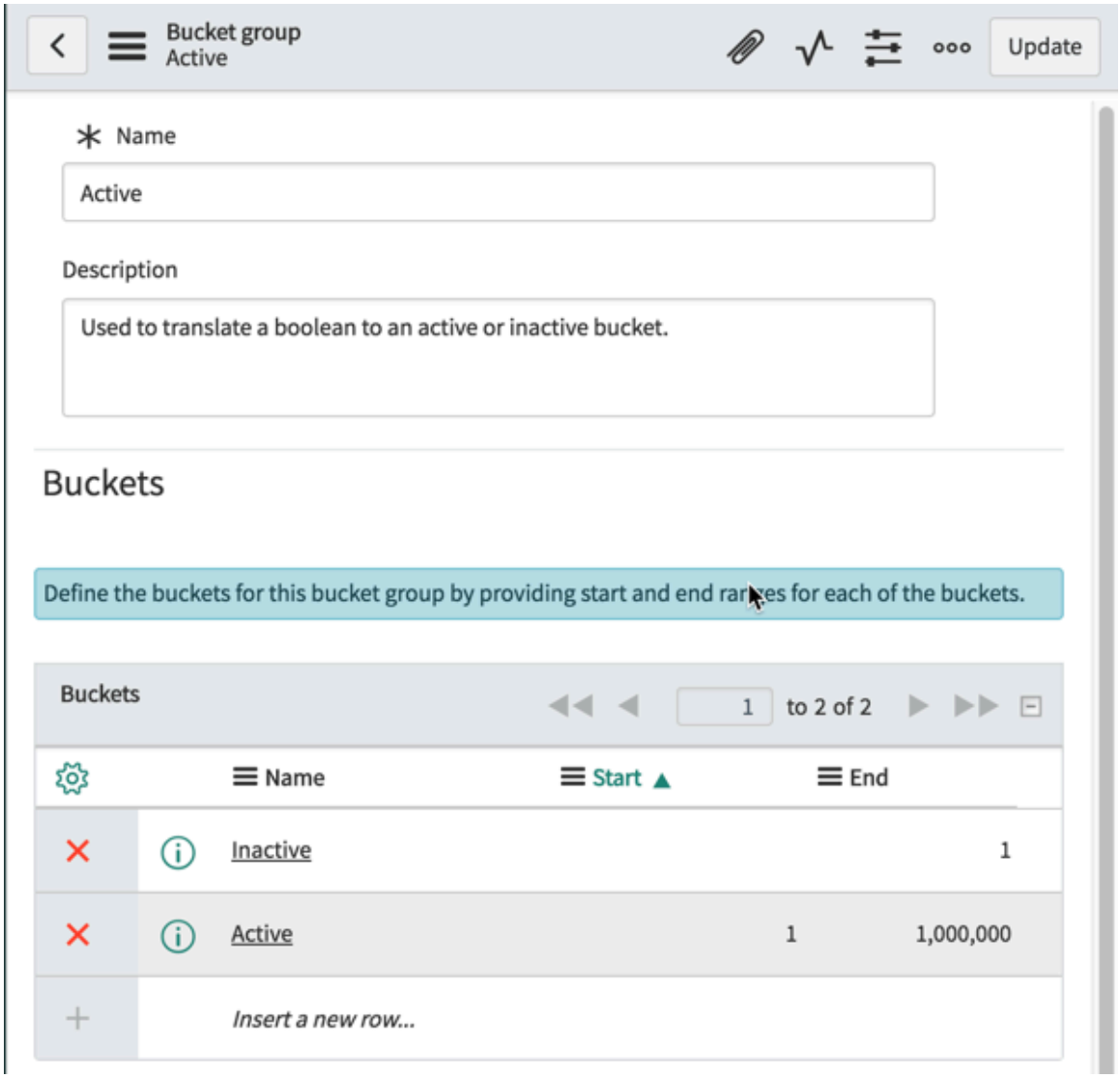
ユースケースは、ブール値の `true` 値と `false` 値を意味のあるラベルを持つ 2 つのバケットに変換するのと同じくらい簡単です。

Example: ブール値のバケットへのソート

基本 パフォーマンスアナリティクス インストールには、アナリティクス使用率の概要の一部としてアクティブブレークダウンが含まれています。このブレークダウンでは、ジョブログ [pa_jobs_logs] テーブルの job.active ブールフィールドへのマッピングを使用します。ブレークダウンソースは、job.active の `true` 値はアクティブなバケットにソートされ、 `false` の値は非アクティブなバケットにソートされるバケットグループを使用します。`false` 値は数値的には 1 未満の値と見なされますが、`true` 値は数値的には 1 以上であることに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

スクリプトの結果をバケットにグループ化

値の範囲を収集するブレークダウンマッピングスクリプトがある場合は、それらの値を個別のバケットに分割するバケットグループを定義できます。

バケットグループを作成したら、バケットグループに基づいてブレークダウンソースを作成します。次に、そのブレークダウンソースを使用するブレークダウンを作成します。ブレークダウンのブレークダウンマッピングを作成するときは、マッピングのスクリプトを定義または選択します。ブレークダウンは、スクリプトが返す結果をバケットグループのバケットにグループ化します。例については、「例：スクリプト マッピング」を参照してください。

既存のスクリプトのバケットグループを記述することも、最初にバケットグループを作成してからスクリプトを作成することもできます。ブレークダウンを作成するには、両方が存在する必要があります。

注:
同じスクリプトを任意の数のバケットグループで使用できます。また、原則として、同じ種類のデータを返すスクリプトを同じバケットグループで使用できます。

バケット グループの作成

データを再分類するバケットのグループを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ブレークダウン > バケットグループ.
2. [**New**] をクリックします。
3. バケット グループを明確に特定する名前 (経過範囲（日数）など) を入力します。
4. [新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいバケットを追加します。
5. 最初のバケットに名前を入力し、Enter キーを押すか、緑のチェック アイコンをクリックします。
6. [開始] および [終了] 列をダブルクリックし、開始値と終了値を入力します。
   終了値と一致するレコードはバケットから除外されます。したがって、1 つのバケットの終了値と次のバケットの開始値を同じ値に設定します。その値と完全に一致するレコードは、その値を開始値として持つバケットにソートされます。

   ⚠ 警告:
   1 つのバケットの終了値が次のバケットの開始値と一致しない場合、レコードがどのバケットにもソートされない「ホール」が発生します。たとえば、終了が 20 のバケットがあり、次のバケットが 21 で開始する場合、スクリプトが 20.0000~ から 20.9999~ の値を返すレコードは、どのバケットにもソートされません。

7. すべてのバケット範囲を定義した後、[送信] をクリックします。

Example: インシデント経過時間範囲バケットグループ

次のように、インシデントを経過時間別にグループ化する場合を考えてみましょう。

- 1 日未満
- 1 ～ 5 日
- 6 ～ 30 日
- 31 ～ 90 日
- 90 日を超える

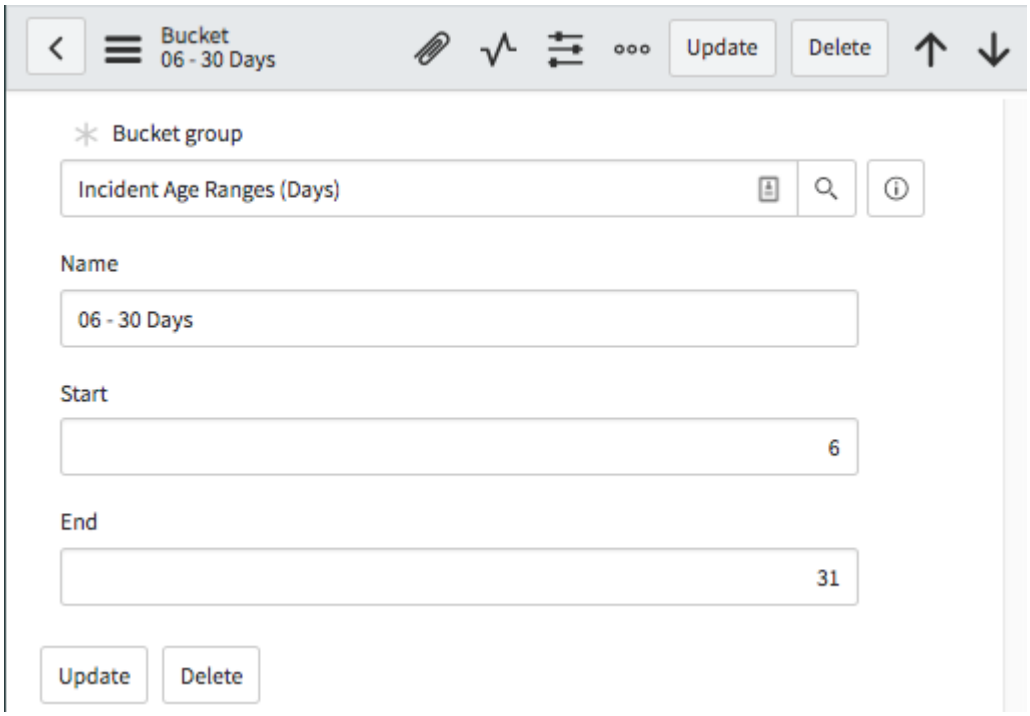
メンテナンス パフォーマンスアナリティクス > スクリプトの場合、Incident.Age.Days という名前のスクリプトが既に存在します。このスクリプトは、インシデントの開始日とスコアが収集された最新の日付から、インシデントの経過時間 (日数) を導き出します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

「インシデント経過時間範囲 (日数)」という名前の新しいバケットグループを作成します。このバケットグループでは、希望の日付に開始し、次のバケットの開始時に終了する一連のバケットを定義します。たとえば、6 ～ 30 日のバケットは 6 から始まり、31 日に終了します。これは 6

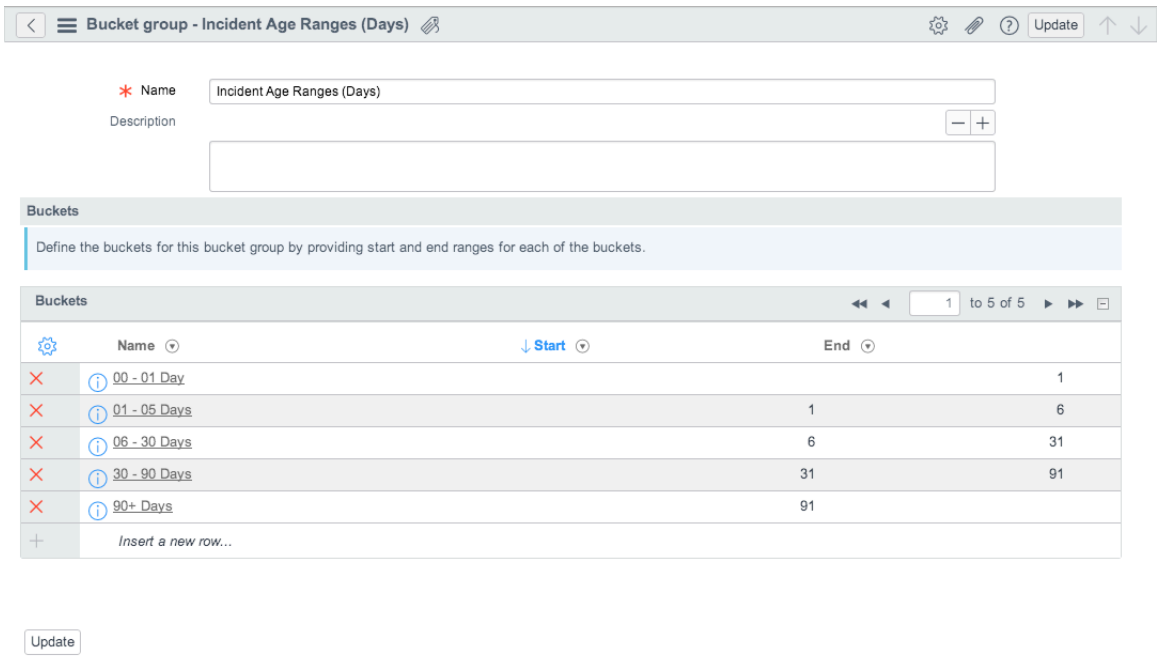
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このバケットには、正確な 6 日から 30 日と 23 時間 59 分 59 秒までのインシデントが含まれます。

最後に、インシデントを分割する経過時間範囲に対応する 5 つのバケットを含むバケットグループが作成されます。



スクリプトマッピングの例は、このバケットグループとスクリプトを使用するブレークダウンを示しています。

次のタスク
バケット [pa_buckets] ファクトテーブル、Sys ID フィールド、および条件 [バケットグループ][次の値に等しい][<作成したバケットグループの名前>] を使用するブレークダウンソースを作成します。次に、このブレークダウンソースを使用し、ブレークダウンマッピングに関連するスクリプトを使用するブレークダウンを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

例：スクリプト マッピング

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウン

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。

自動ブレークダウンは、テーブルの一連のレコードであるブレークダウン ソースに基づいています。ブレークダウンは、ブレークダウン要素と呼ばれるこれらのレコードを、インジケーターがスコアを収集するテーブルのフィールドとともにマッピングします。マッピングされたテーブルから収集したスコアは、マッピングされたフィールドやブレークダウン要素の値に基づいてグループ化、フィルタリングされます。

たとえば、[グループ] のブレークダウン ソースは、このグループの [sys_user_groups] テーブルからのレコードを含み、デフォルトで使用できます。このブレークダウン ソースはフィルタ [アクティブ] [次の値に等しい **(=)] [true]** を指定し、要素としてアクティブになっているグループのみを含みます。このブレークダウン ソースは、インシデントの [アサイン先グループ] フィールドなど、[グループ] テーブルを参照する他のテーブルのフィールドにマップできます。マップされたテーブルから収集されるスコアは、そのフィールドの値に基づいてグループ化されます。次に、ブレークダウンと要素を選択して アナリティクスハブ とダッシュボードのスコアをフィルタリングできます (たとえば、ハードウェアグループにアサインされたインシデントのスコアのみを表示する場合など)。

自動ブレークダウンの作成

自動ブレークダウンを作成するには、そのブレークダウン ソースを選択し、アクセス制限を適用します。次に、インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかをマップします。最後に、インジケーターをブレークダウンに割り当てます。

始める前に

ブレークダウン全般、また特に自動ブレークダウンについて、その定義と使用方法を理解してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。 既存のブレークダウン ソースを使用することも、新しいブレークダウン ソースを定義することもできます。

> **注:**
> このプロセスにより、完全にカスタマイズされたブレークダウンを作成することができます。簡単な自動ブレークダウンを作成するには、「ウィザードからのブレークダウンの作成」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 自動ブレークダウン をクリックし、[新規] をクリックします。
2. わかりやすい名前を付けます。
   ブレークダウンの名前は、ブレークダウンマッピングで使用されているフィールドのラベルに基づいていることがよくあります。
3. [自動] タブで、[ブレークダウンソース] を選択します。
4. オプション: [デフォルトフィルタ] を選択します。
   要素フィルタを使用して、ユーザーが表示できる要素を制限します。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: [アクセス制御] タブで、ブレークダウンを表示できるユーザーを設定します。
これらの制限は、ブレークダウンのリストでのブレークダウンの表示、 アナリティクスハブ または ダッシュボードでのブレークダウンの表示、ウィジェットの作成時にのブレークダウンの使用のすべての場合に適用されます。

次のタスク
ブレークダウンマッピングを作成し、インジケーターをブレークダウンに関連付けます。これは、グラフィカルツールを使用してインジケーターから実行できます (ブレークダウンのアサインとマップを参照)。

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかを指定します。適切なフィールドがない場合は、インジケーター ソースをクエリするためのスクリプトを指定します。

始める前に
マッピングを作成する前に、ブレークダウン ソースをブレークダウンに割り当てます。

必要なロール:ブレークダウンの作成と同じです。

このタスクについて
同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

> **注:**
> このページの手順では、ブレークダウン フォームの関連リストを使用しています。代わりに、インジケーター フォームからアクセスするグラフィカル ツールも使用できます。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

手順
1. 既存のブレークダウンにマッピングを追加する場合は、該当するリストのブレークダウンを見つけて開きます。
2. [ブレークダウンマッピング] 関連リストで、[新規] をクリックします。
3. [ファクトテーブル] を選択します。
このテーブルは、ブレークダウンを作成するインジケーター ソースです。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。 [カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。 ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを使

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
	用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユース ケースは、ブレークダウン ソースが バケット グループ であり、スクリプトがバケットにインジケーター スコアを割り当てるための整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイム スコアを表示することはできません。 ヒント: [レベル 1 のマッピングとレベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分と等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装します。そうしないと、スコアとレコード数が第 2 レベルのブレークダウンで一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「 KB0748969 」を参照してください。 Now Support ログインが必要です。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

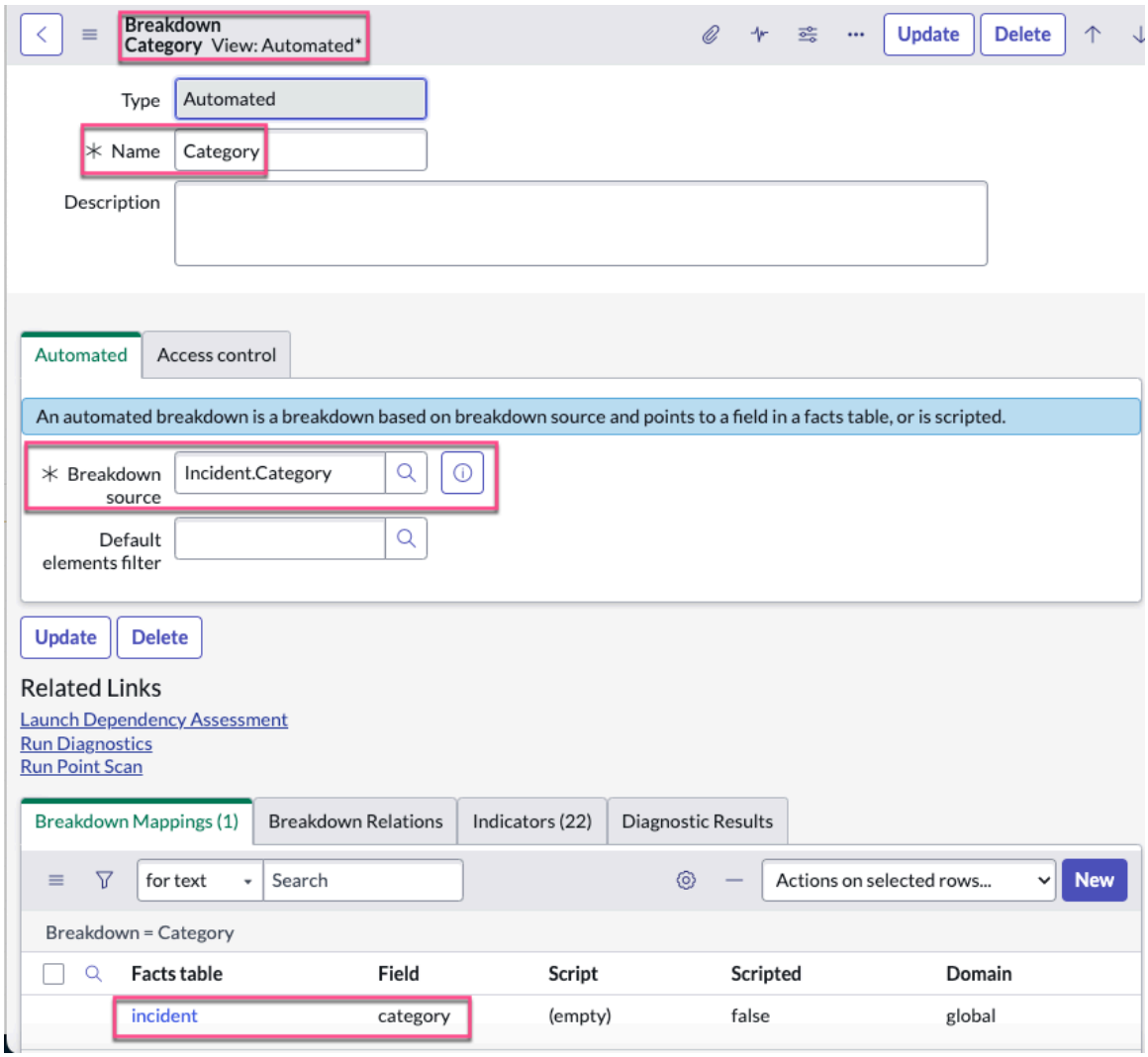
例：フィールド マッピング

[カテゴリ] ブレークダウンは、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドを Incident.Category ブレークダウン ソースにマップします。このブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルを参照します。

最初の画像では、Incident.Category ブレークダウン ソースとともに [カテゴリ] ブレークダウンが表示されています。このブレークダウンには、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドに対するブレークダウンマッピングがあります。

自動翻訳

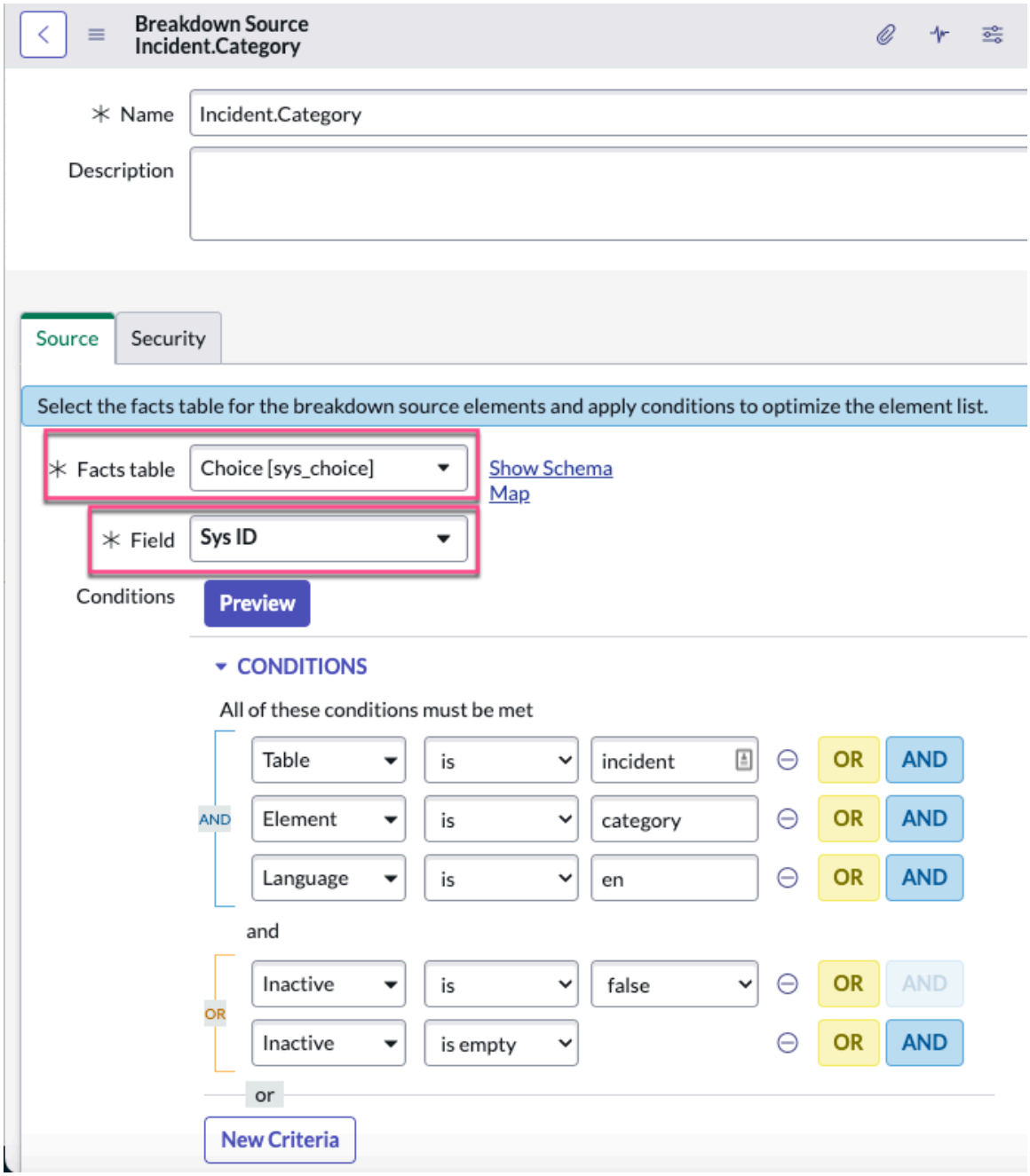
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Incident.Category ブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードを使用します。

自動翻訳

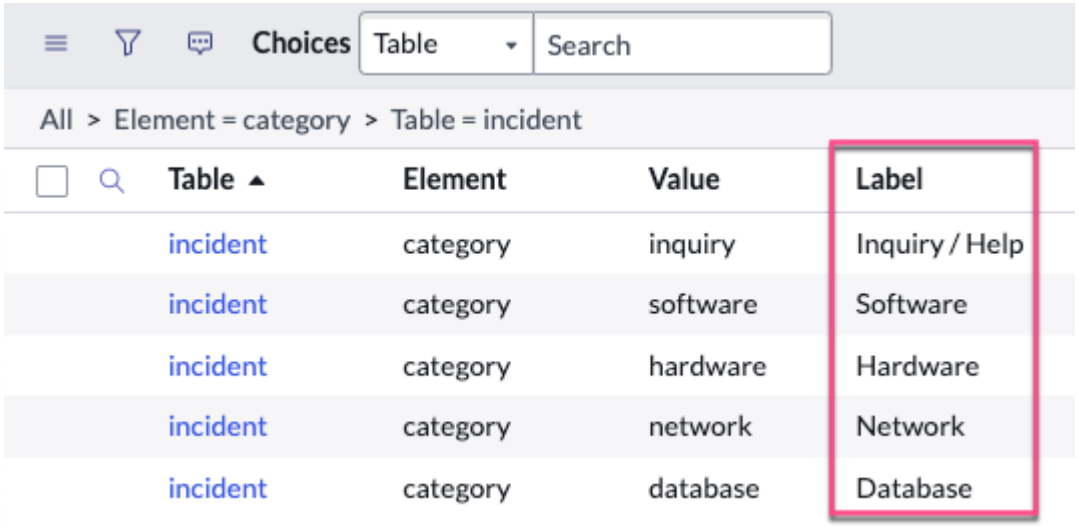
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



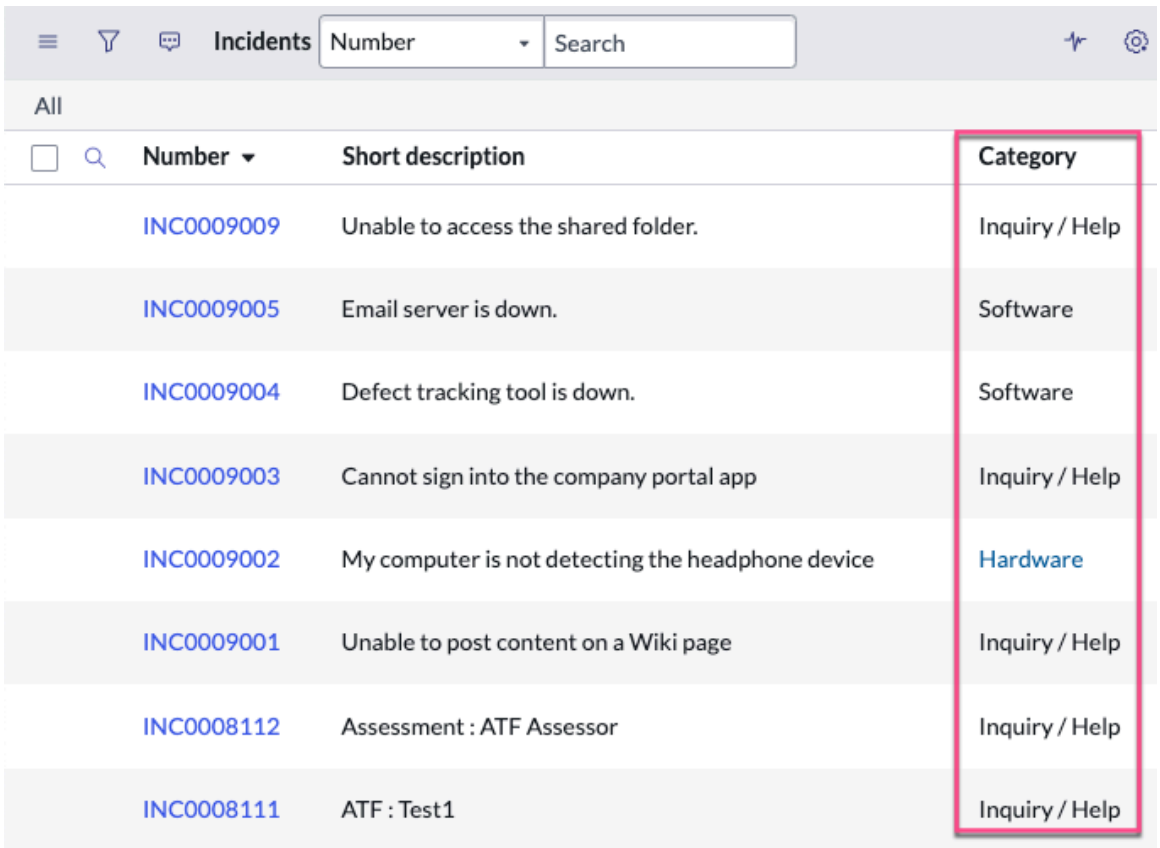
次の画像は、Incident.Category ブレークダウンソースで指定された条件を満たす選択肢 [sys_choice] テーブルレコードを示しています。[ラベル] フィールドの値に注目してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、[インシデント] テーブルのいくつかのレコードの [カテゴリ] フィールドが表示されます。このフィールドは [カテゴリ] ブレークダウンにマップされています。このフィールド値は、Incident.Category ブレークダウン ソースがフィルタリングする選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードの [ラベル] フィールドと一致します。



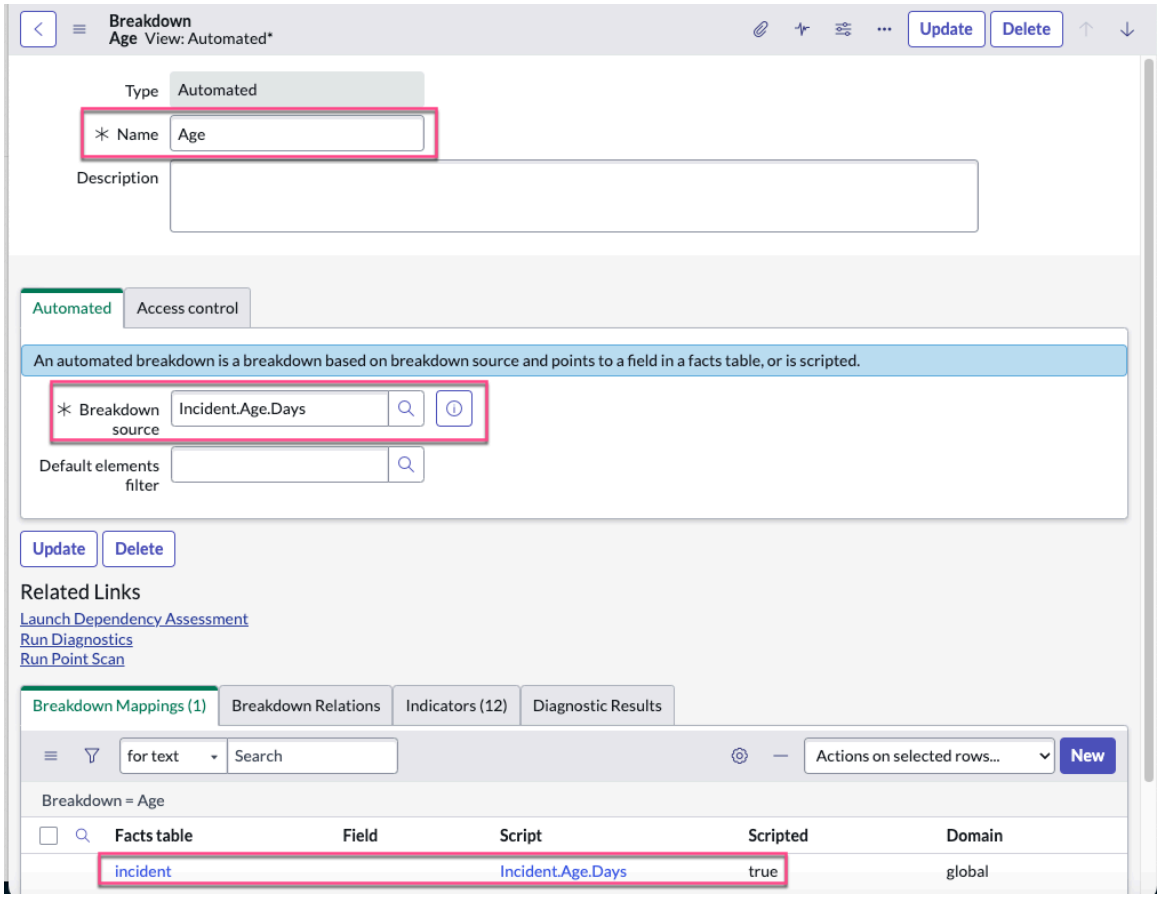
例：スクリプト マッピング

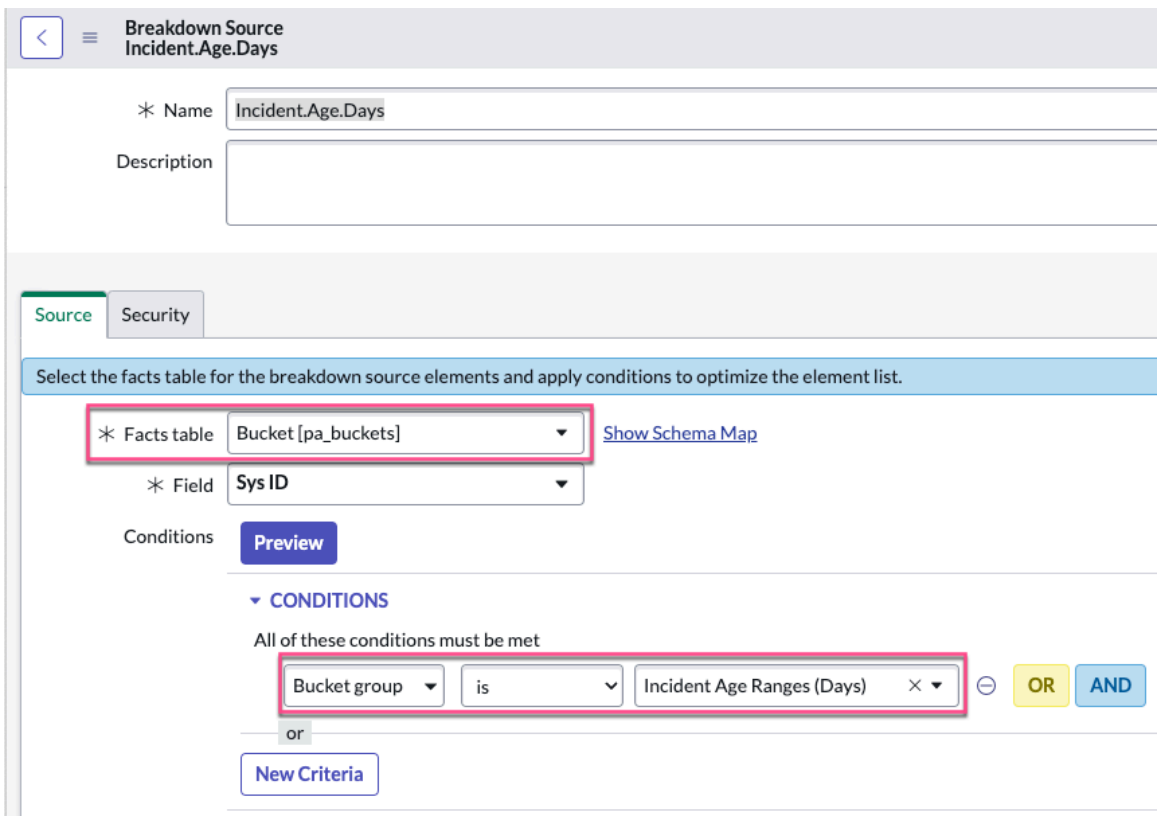
[経過時間] ブレークダウンでは、Incident.Age.Days スクリプトを使用してインシデントの日数を計算し、その値を [インシデント経過時間範囲] バケット グループにマップします。

最初の 2 つの画像では、[経過時間] ブレークダウンが表示されており、Incident.Age.Days ブレークダウン ソースと、ブレークダウンマッピング用の Incident.Age.Days スクリプトを使用しています。また、ブレークダウン ソースは、[インシデント経過時間範囲 (日数)] バケット グループを参照していることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





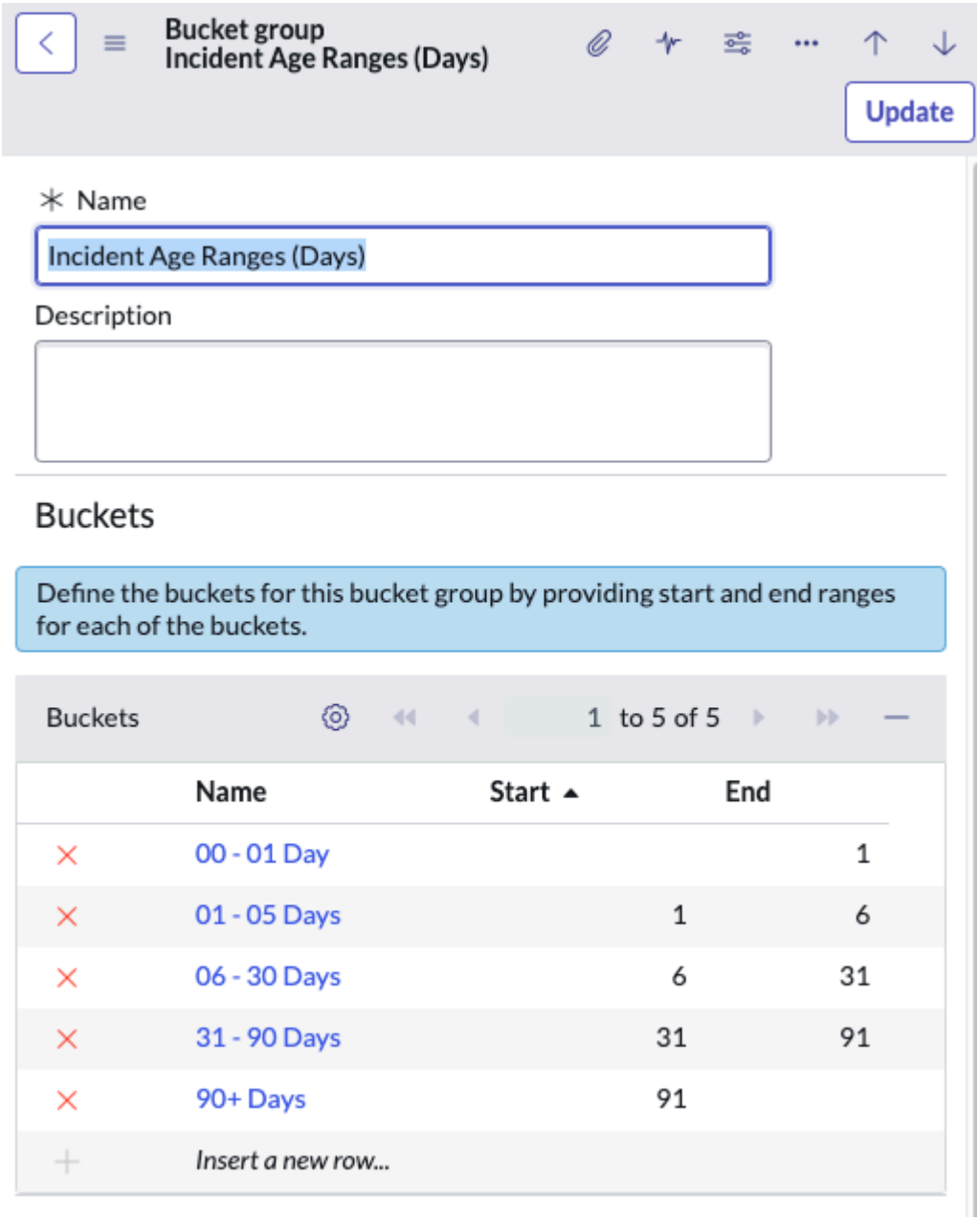
Incident.Age.Days スクリプトは、インシデントがインシデント テーブルからオープンになったときにタイムスタンプを取得し、これを収集期間の最後のタイム スタンプから差し引きます。スクリプトは、この値をミリ秒から日数に変換します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

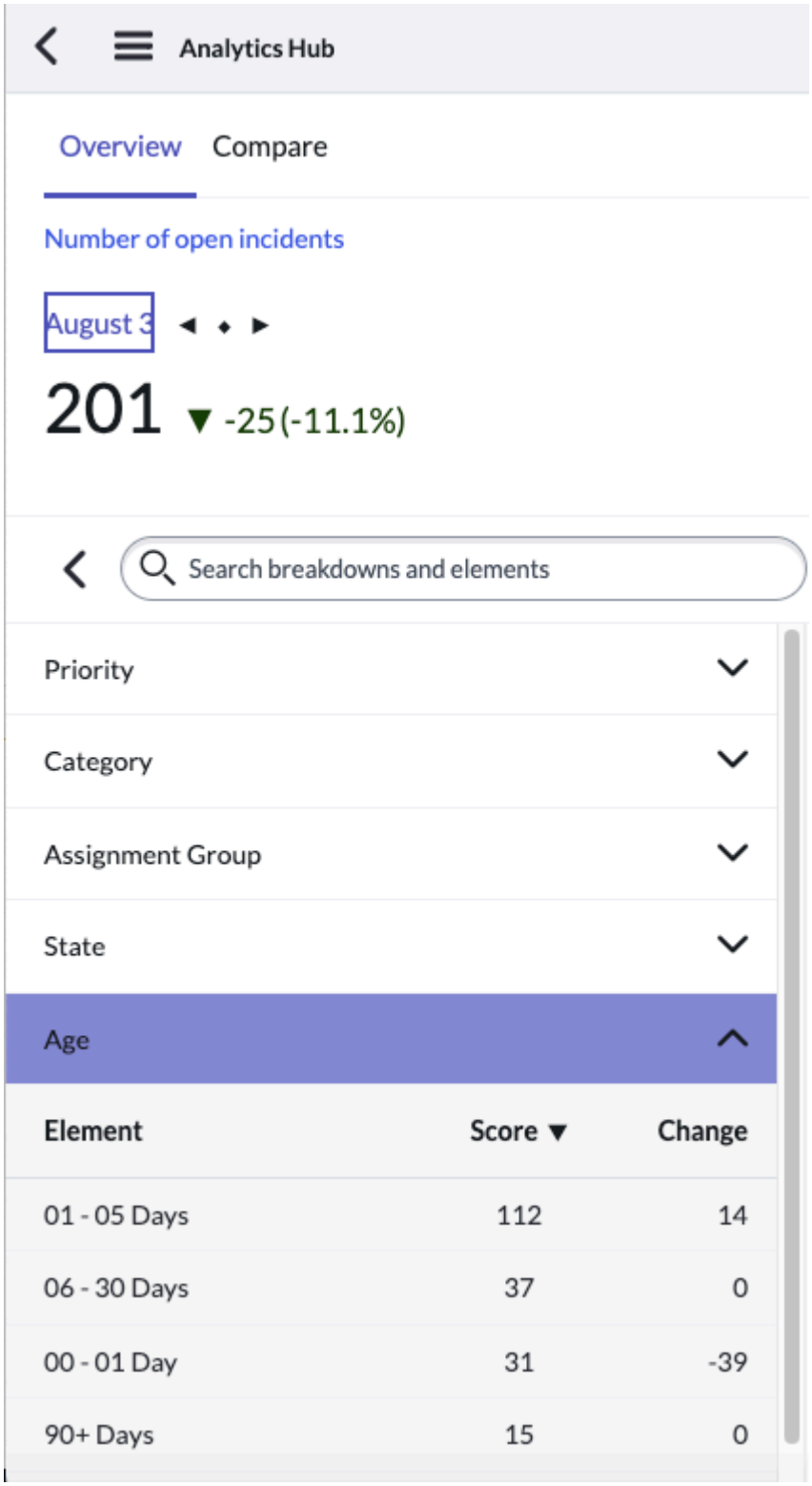
結果の日数は、バケット グループのバケットにソートされます。



以下に、オープン インシデント インジケーターの [番号] についてこのスクリプトを実行した結果を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウンへのインジケーターのを割り当て

自動または式インジケーターをブレークダウンに関連付けて、それらのインジケーターのブレークダウンされたスコアの収集を可能にします。

始める前に
ブレークダウンには、インジケーター ソース テーブルへのブレークダウンマッピングが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 自動ブレークダウン.
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、アナリティクスハブ ウィジェットとダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
   [表示] フィールドが false の場合、データ収集中にブレークダウンスコアが入力されますが、アナリティクスハブまたはダッシュボードウィジェットではブレークダウンを選択できません。

次のタスク
インジケーターでデータ収集ジョブを実行して、新しいブレークダウンのスコアを収集します。

重要:
すでにスコアがある既存のインジケーターにブレークダウンを追加する場合は、収集したスコアを上書きせずに新しいブレークダウンのスコアを収集してください。

この目的のために、特別な 1 回限りの収集ジョブを作成します。必要なだけさかのぼってデータを収集するようにジョブを設定します。このブレークダウンを追加したインジケーターのみを選択します。他のすべてのブレークダウンを除外するように結果のジョブインジケーターを構成します。ジョブ インジケーターの [インジケーターの収集] オプションをクリアします。次に、ジョブを実行します。

ロールで収集ジョブの作成が許可されていない場合は、 パフォーマンスアナリティクス アドミンにお問い合わせください。

詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」と「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。

手動ブレークダウン

手動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースからのレコードを使用する代わりに、各要素のブレークダウン要素とインジケーターのスコアを手動で定義します。

自動ブレークダウンとは異なり、手動ブレークダウンはインジケーター ソース テーブルのどのフィールドにもマッピングしません。代わりに、ユーザーはブレークダウンしたスコアを手動で入力する必要があります。

手動ブレークダウンの作成

スコアを手動で追加するインジケーターのブレークダウンを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 手動ブレークダウン.
2. [**New**] をクリックします。
   [タイプ] が自動的に [手動] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. [手動] セクションで、[新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいブレークダウン要素を追加します。
6. Enter を押すか、緑色のチェック マークをクリックしてエントリを保存します。
7. オプション: [順番] の値を変更します。
   [順序] の値が小さい要素は、アナリティクスハブやダッシュボードなどの要素リストの上位に表示されます。
8. 手順 5 ～ 7 を繰り返して、さらにブレークダウン要素を追加します。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
手動インジケーターをこのブレークダウンに関連付け、スコアシートを使用してスコアを入力します。

手動ブレークダウンへの手動インジケーターの割り当て

手動インジケーターを手動ブレークダウンに関連付けて、インジケーターのブレークダウン スコアを入力できるようにします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
注:
手動インジケーターのスコアは、一度に 1 つのブレークダウンのみでブレークダウンすることができます。手動インジケーターに第 2 レベルのブレークダウンを適用することはできません。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 手動ブレークダウン.
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、アナリティクスハブ ウィジェットとダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
   [表示] フィールドが false の場合、データ収集中にブレークダウンスコアが入力されますが、アナリティクスハブまたはダッシュボードウィジェットではブレークダウンを選択できません。

次のタスク
スコアシートを使用してインジケーターのブレークダウン スコアを入力します。

要素フィルタ

要素フィルターを使用すると、ビジュアル化で表示されるブレークダウン要素を指定または制限することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要素フィルターは、条件付きフィルターまたは関連リスト条件と、条件が適用されるブレークダウンソースで構成されます。

ヒント:
動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットにパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

関連情報

- アナリティクスハブ
- によるインジケーターの検査 KPI 詳細
- パフォーマンスアナリティクスウィジェット

要素フィルターの作成

ブレークダウン ソースを選択し、そのブレークダウン ソースからブレークダウン要素をフィルタリングするフィルタ条件を選択します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

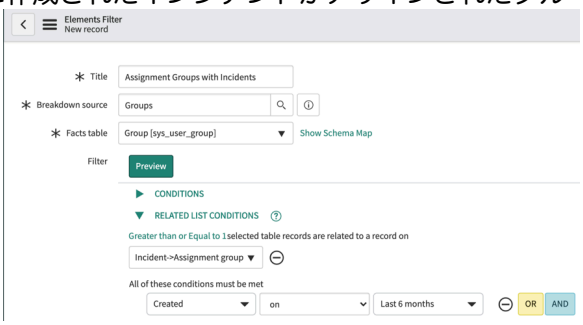
次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 要素フィルター をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	要素フィルタを作成するブレークダウン ソースを選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	読み取り専用。ブレークダウン ソースのファクト テーブルを表示します。
フィルター	CONDITIONS:フィルター条件を指定して、使用可能な要素を制限します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 たとえば、ブレークダウンソースのファクトテーブルがユーザー [sys_user] の場合、HR 部門のユーザーのみを含めるフィルター条件を追加できます。このフィルター条件は [部門][次の値に等しい][HR] です。 パーソナライズされたビジュアルの場合、フィルター条件の演算子は [次の条件に一致 (動的)] である必要があります。
	関連リスト条件:別のテーブルとの関係を条件に含めます。たとえば、グループ [sys_user_group] テーブルを使用するグループブレークダウンソースに要素フィルターを作成できます。インシデント [incident] - >アサイン先グループに関連リスト条件を追加すると、インシデントがアサインされているグループのみが表示されます。この条件に [[作成日][日付][過去 6 か月]] が含まれていた場合、過去 6 か月以

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	内に作成されたインシデントがアサインされたグループを取得しま  す。
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。

次のタスク
動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットにパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

この要素フィルターを使用するすべてのウィジェットインジケーターと、この要素フィルターに言及するすべての診断結果は、要素フィルターレコードの下部に一覧表示されます。

可視化の要素フィルター

要素フィルターは、 プラットフォームアナリティクス データの可視化または KPI 詳細で確認できます。コア UIでは、パフォーマンスアナリティクスウィジェットまたはアナリティクスハブで確認できます。いくつかの制限が適用されます。

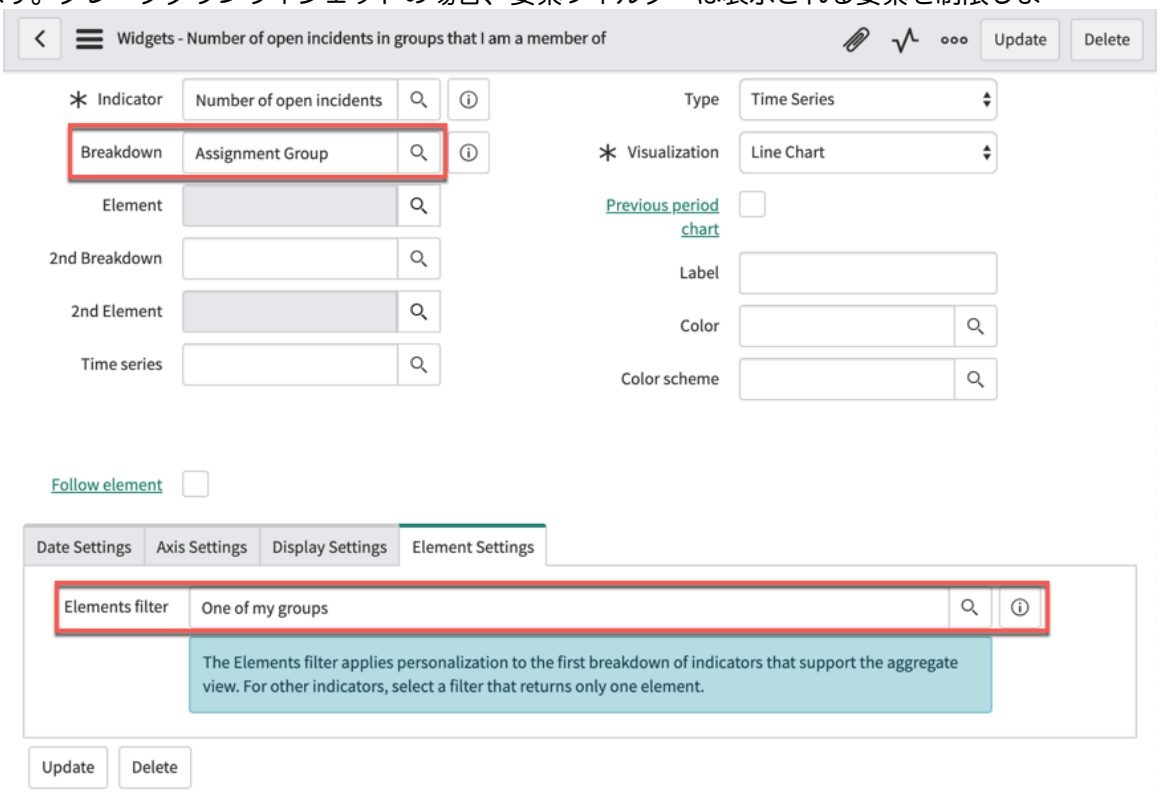
さまざまなビジュアル化で、次の方法で要素フィルターを選択できます。

- コア UI アナリティクスハブ時:ブレークダウンを選択すると、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、それらのリストが表示され、そこから選択できます。
- コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの場合:ウィジェットを構成するときに、[要素設定] タブの [要素フィルター] フィールドに入力します。ブレークダウン、時系列、およびスコアのウィジェットのみが要素フィルターをサポートしています。時系列ウィジェットとスコアウィジェットでは、要素フィルターが第 1 レベルのブレークダウン要素を置き換

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

えます。ブレークダウンウィジェットの場合、要素フィルターは表示される要素を制限しま

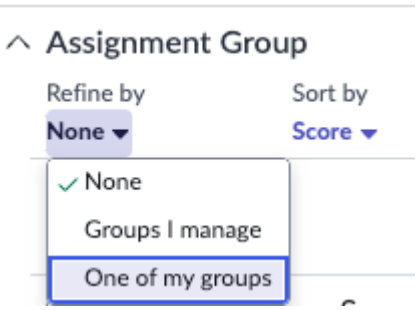


す。

- 時系列ウィジェットの コア UI ウィジェットインジケーターの場合:[要素設定] の [要素フィルター] フィールドでフィルターを選択します。まず、ブレークダウンソースで要素フィルターを使用してブレークダウンを選択する必要があります。

  注:
  適用されるすべての要素の名前がインジケーターの名前またはラベルに追加されます。

- プラットフォームアナリティクスの KPI 詳細:[フィルター] ペインでブレークダウンを選択すると、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、[絞り込み基準] の下で選択できるそれらのリストが表示されます。

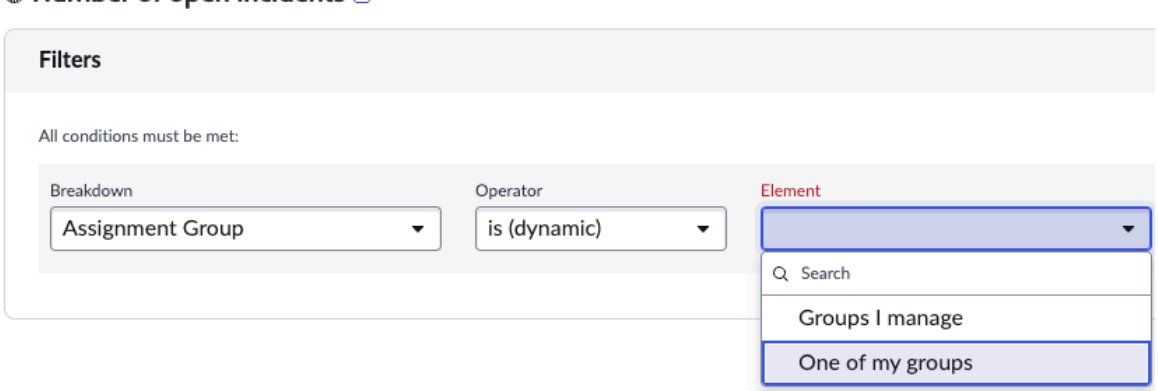


- プラットフォームアナリティクス データのビジュアル化：データのビジュアル化を設定するときに、インジケーターデータソース、ブレークダウン、および [is (dynamic)] 演算子を選択し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。そのブレークダウンの要素フィルターが [要素] フィールドで使用できるようになります。Count、Min、Max のアグリゲートを使用した自動インジケーターのみがサポートされます。



いずれの場合も、最初にブレークダウンソースに少なくとも 1 つの要素フィルターがあるブレークダウンを選択した場合にのみ、要素フィルターを選択できます。また、そのフィルターの設定によっては、要素フィルターを選択するために特定のロールが必要な場合もあります。

ビジュアル化で要素フィルターを指定するだけでなく、ブレークダウンレコードで デフォルト要素フィルター を指定することもできます。その要素フィルターは、すべてのビジュアリゼーションのそのブレークダウンに対して自動的に選択されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でブレークダウンを表示するユーザーは、選択した要素フィルターを変更またはクリアできます。

注:
ダッシュボードまたはワークスペースでビジュアルを表示するだけでは、ビジュアルのパーソナライズに使用される要素フィルターを変更することはできません。要素フィルターを変更できるのは、基礎となるウィジェットまたはデータの可視化を編集する権限を持つユーザーのみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション

ブレークダウンの関連付けは、あるブレークダウン要素から別のブレークダウン要素に移動することによって、ブレークダウンスコアを表示するための新しいナビゲーションパスを開きます。ブレークダウンの関連付けは、異なるブレークダウンの要素間で行うことも、同じブレークダウンの要素の階層構造内に設定することもできます。ブレークダウンの関連付けは、 アナリティクスハブ とブレークダウンウィジェットのナビゲーションに影響します。

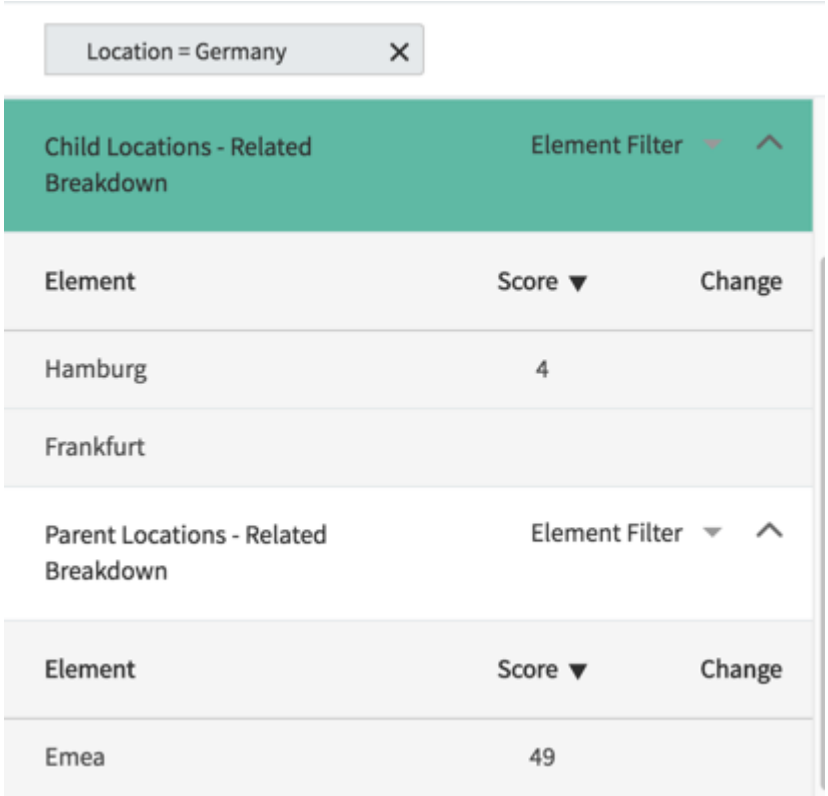
重要:
プラットフォームアナリティクスKPI 詳細やデータのビジュアル化などの機能は、ブレークダウン関係をサポートしていません。

ブレークダウンの関連付けを使用して、階層関係にある単一のブレークダウンの要素間を移動できます。たとえば、場所ブレークダウンには「親」要素と「子」要素の階層があり、国を市区町村の親にすることができます。ブレークダウン関係を使用すると、 アナリティクスハブ 閲覧者は、国から都市へ、都市から国へ、または同じ国内の都市間を移動できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同じブレークダウンの要素間の アナリティクスハブ 移動

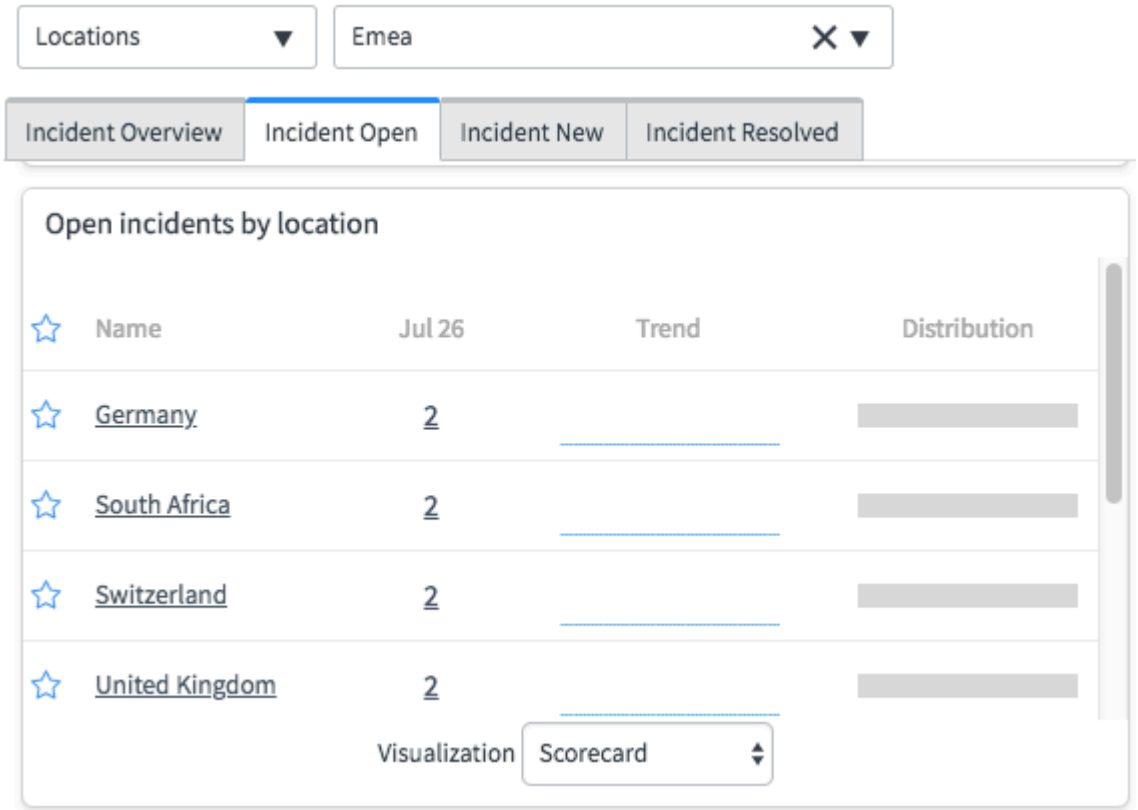


同様に、ブレークダウンウィジェットには、ブレークダウンダッシュボード用に選択された要素の親、子、または兄弟要素を表示できます。ブレークダウンダッシュボードでのブレークダウンの関連付けの使用の詳細については、「 ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EMEA 要素の子を表示するブレークダウンダッシュボード

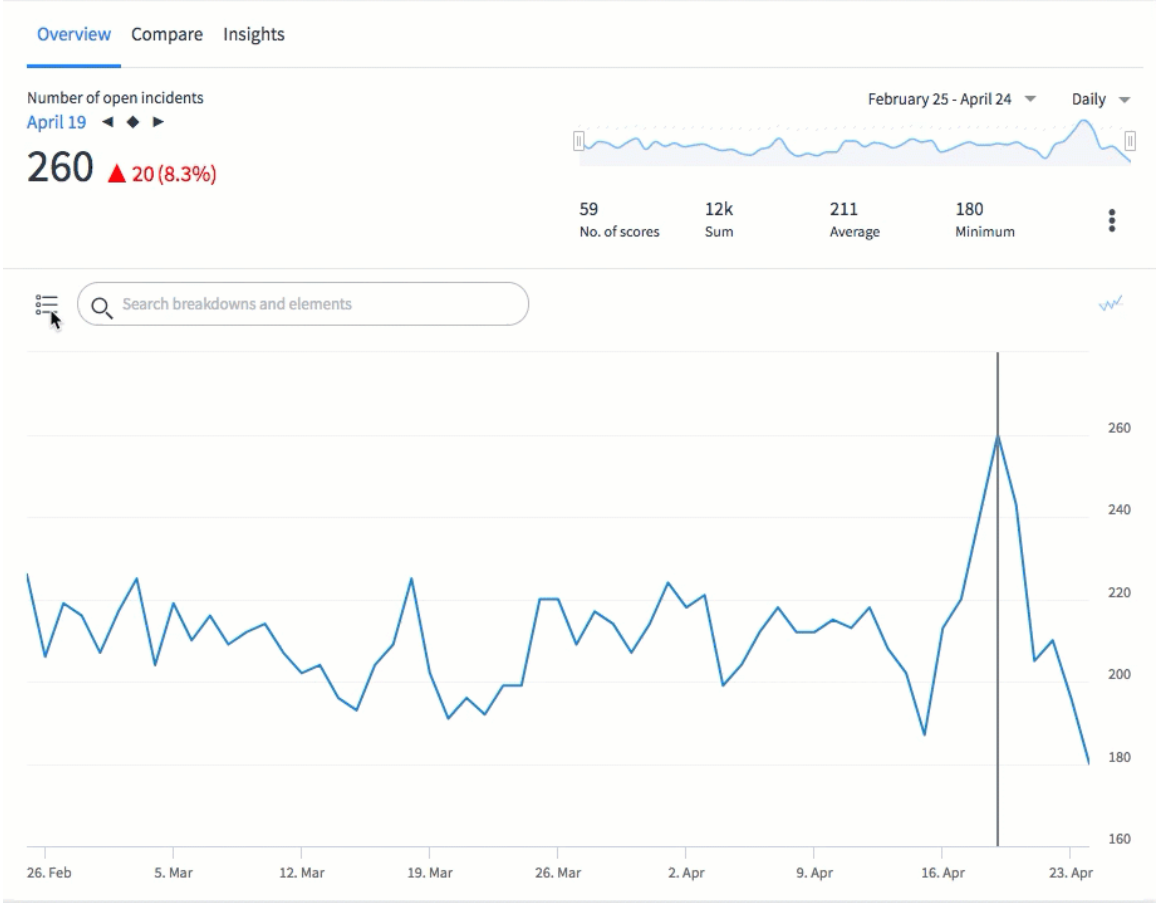


ブレークダウンの関連付けにより、異なる第 1 レベルのブレークダウンの要素間のナビゲーションも可能になります。たとえば、最初に [アサイン先グループ] ブレークダウンの要素を選択してから、[メンバー] ブレークダウンの関係を確認します。この関係性で、[アサイン先] ブレークダウンの要素に移動します。[アサイン先] の選択されたメンバーは、必ずしもアサイン先グループのメンバーである必要はありません。さらに、[アサイン先] のメンバーのアサイン数が、選択したアサイン先グループのアサイン数を超えています。最初に選択したアサイン先グループ内のアサインだけでなく、すべてのアサインの合計が表示されます。表示する第 1 レベルのブレークダウンを変更していますが、第 2 レベルのブレークダウンと要素にドリルダウンすることはありません。繰り返しになりますが、このブレークダウンの関係は、 アナリティクスハブ とブレークダウンダッシュボードのブレークダウンウィジェットの両方で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

異なるブレークダウンの要素間の アナリティクスハブ 移動



ブレークダウンの関連付けを使用するこれらのケースの詳細については、ブレークダウンの関連付けの作成に関するトピックを参照してください。

ブレークダウン間のブレークダウンの関連付けの作成

同じレベルにある 2 つのブレークダウンの要素間でビジュアリゼーションのナビゲーションを設定するには、ブレークダウン間にブレークダウンの関連付けを作成します。両方のブレークダウンのレコードを参照するフィールドを含むテーブルが存在する必要があります。

始める前に

ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーションでブレークダウン関係のユースケースを確認します。

重要:
プラットフォームアナリティクスKPI 詳細やデータのビジュアル化などの機能は、ブレークダウン関係をサポートしていません。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注:
通常はpa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、作成すべきブレークダウン関係を知っている可能性が高くなりますが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセスが必要です。pa_adminは両方を理解する可能性があります。pa_admin関係を作成するか、pa_power_userとpa_data_collectorのコラボレーションを検討してください。

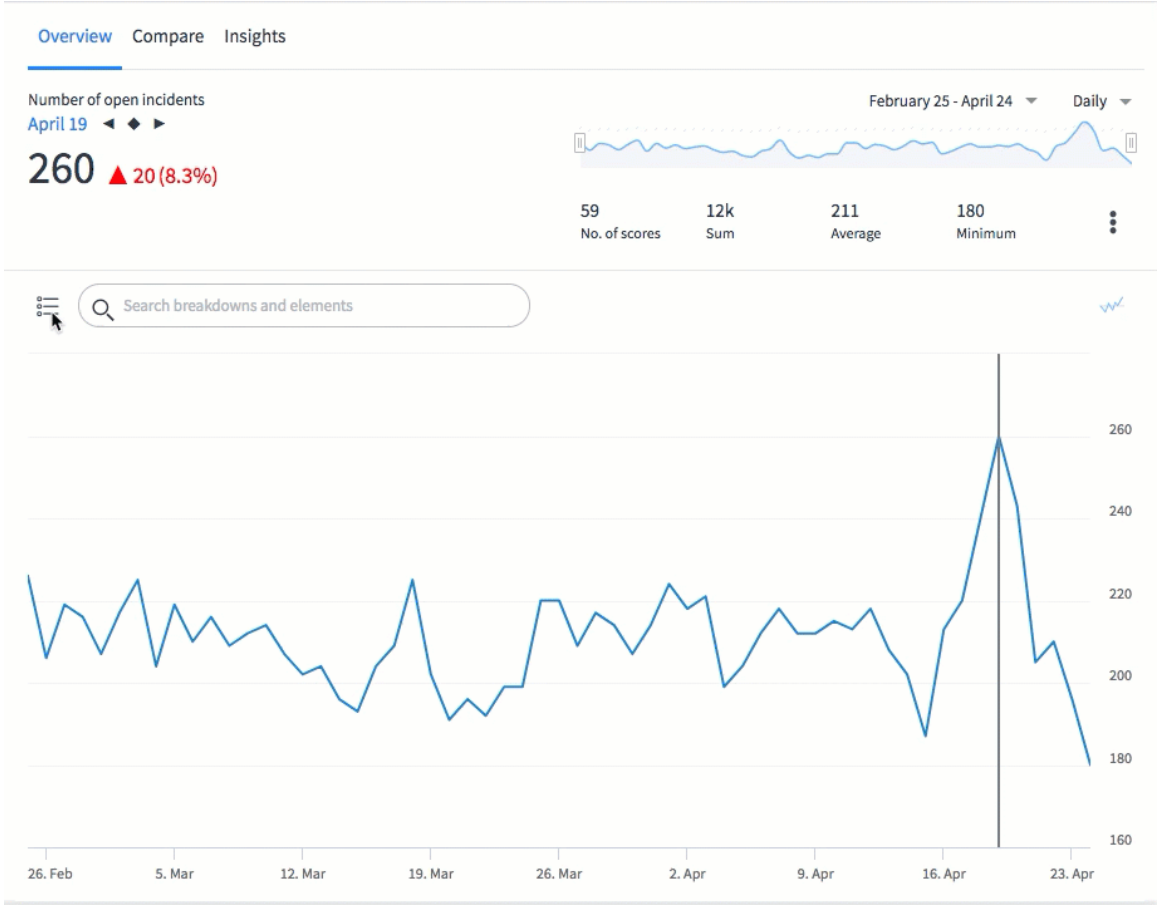
このタスクについて

論理的に関連する同じレベルの 2 つのブレークダウン間をすばやく移動できるようにする必要があります。このトピックで使用する例は、インジケーター [オープンインシデントの数] のブ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レークダウン [アサイン先グループ] と [アサイン先] が含まれています。次のアニメーションでは、Oracle Support グループにアサインされたインシデントの数と、Candace Bruckman にアサインされたインシデントの数の表示に切り替えています。どちらのブレークダウンも第 1 レベルです。つまり、Oracle サポートにアサインされたインシデントの合計数と、Candace Bruckman にアサインされた合計が表示されます。ブレークダウン関係ではなく、第2レベルのブレークダウンとしてキャンディスを選択した場合は、作業しているOracleサポートの問題のみが表示されます。



自動翻訳

> **注:**
> ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。双方向の関係を作成するには、複数のブレークダウンの関連付けを定義します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[新規] をクリックします。
2. フォームのフィールドに次のように入力します。

[ブレークダウンの関連付け] フォーム

フィールド	説明	例
ブレークダウン	この関係が属しているブレークダウンを選択します。このブレークダウンからのみ、関連付けられたブレークダウンにアクセスできます。	この例では、アサイン先グループを選択したときにグループメンバーの選択を表示する場合、[ブレークダウン] は [アサイン先グループ] です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明	例
関連ブレークダウン	最初のブレークダウンと関連付けるブレークダウンを選択します。	この例では、アサイン先グループのメンバーを含む関連ブレークダウンは [アサイン先] です。
テーブル	両方のブレークダウンのソースのファクトテーブルレコードを参照するフィールドを持つテーブルを選択します。多対多の関係の場合は、多対多のテーブルを選択します。1 対多の関係の場合は、ファクトテーブルを選択します。	アサイン先グループブレークダウンでは、グループデータが使用されます。[アサイン先] ブレークダウンではユーザーデータが使用されます。アサイン先グループには多くのメンバーを含めることができ、ユーザーは複数のアサイン先グループのメンバーになることができるため、多対多の関係になります。そのため、グループとユーザーを結合する多対多のテーブルであるグループメンバー [sys_user_grmember] テーブルを選択します。
明細フィールド	指定したテーブルから、移動元となるブレークダウン要素を識別するフィールドを選択します。	この例では、[グループ] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、アサイン先グループブレークダウンの要素を識別します。
関連ブレークダウンフィールド	この関係を表示するときに移動できるブレークダウン要素を識別するフィールドを、指定されたテーブルから選択します。	この例では、[ユーザー] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、[アサイン先] ブレークダウンの要素を識別します。
共通フィールド	ブレークダウン間の関係を定義する場合は、このフィールドを空のままにします。	
条件	この関係の関連ブレークダウンとして表示するためにレコードが満たす必要があるその他の条件を定義します。	この例では、条件 **[User.Active] [is] [true]** を追加して、非アクティブなグループメンバーをフィルタリングします。

自動翻訳

タスクの結果

[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ でナビゲーションオプションが使用可能になります。最初に データ収集ジョブ を実行する必要はありません。

次のタスク

すべてのインスタンスにデフォルトで付属するブレークダウン関係の例を表示します。ここに示されている例は、 メンバー ブレークダウンの関係です。[次のメンバー] ブレークダウン関係は、[アサイン先] の要素から始まり [アサイン先グループ] までという逆方向のナビゲーションを提供します。最後に、 マネージャー ブレークダウンの関係は メンバーと似ていますが、各アサイン先グループにはマネージャーが 1 人しかいないため、多対 1 の関係を示しています。したがって、多対多テーブルの代わりにファクトテーブルを使用します。

1 つのブレークダウンの要素間の関係の作成

ブレークダウンの関連付けを使用して、同じブレークダウン内の要素の階層間の アナリティクスハブ でのナビゲーションを設定します。ブレークダウンレコードのフィールドは、あるレコードと別のレコードの階層関係を識別する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーションでブレークダウン関係のユースケースを確認します。

重要:
プラットフォームアナリティクスKPI 詳細やデータのビジュアル化などの機能は、ブレークダウン関係をサポートしていません。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注:
通常はpa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、作成すべきブレークダウン関係を知っている可能性が高くなりますが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセスが必要です。pa_adminは両方を理解する可能性があります。pa_admin関係を作成するか、pa_power_userとpa_data_collectorのコラボレーションを検討してください。

このタスクについて
ブレークダウンの関連付けを作成して、ブレークダウンの要素間の次の階層関係を移動できます。

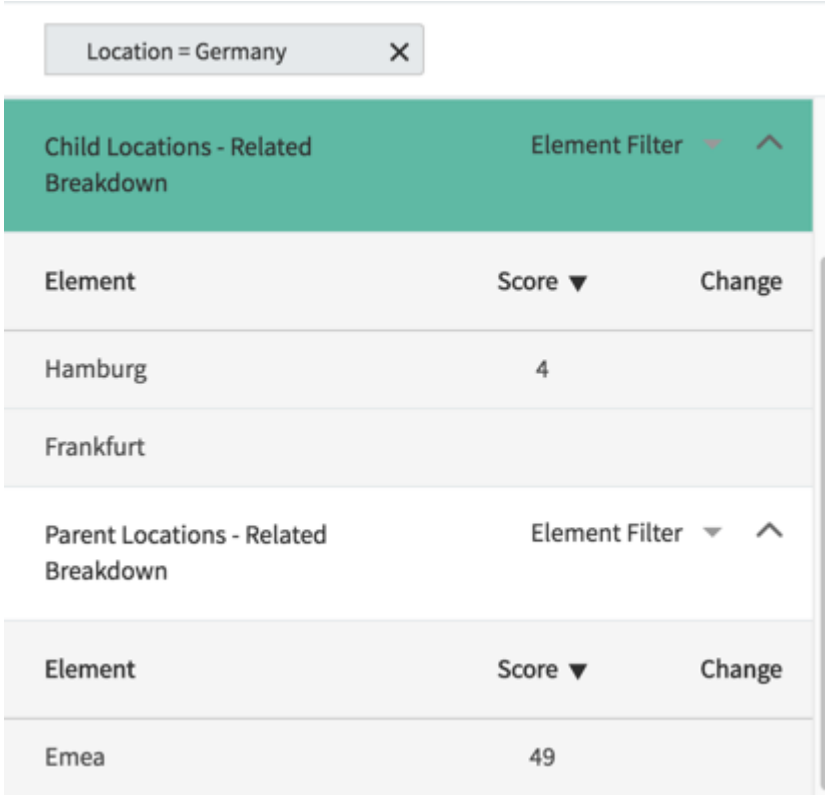
- 親要素からその子要素に移動するための子関係
- 子要素から親要素に移動するための親関係
- 同じ親要素を共有する要素間を移動するための兄弟関係 (ピア関係)

要素間の階層関係を持つブレークダウンでは、要素レコード内の 1 つのフィールドが階層内の要素の位置を識別します。通常、このフィールドは親であり、親要素を識別します。1 つの要素の親である要素自体が親要素を持つことができ、 アナリティクスハブ内でこの複数レベルの階層を移動できます。

このトピックで使用される例は、オープンインシデントの数インジケーターの場所ブレークダウンです。子関係と親関係は、地域間や国間、都市間など、複数のレベルの階層を移動するために必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。複数のブレークダウンを定義し、双方向の関係を作成します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [ブレークダウン] および [関連ブレークダウン] フィールドで、要素間を移動するブレークダウンを選択します。
   同じブレークダウンの要素間の関係を作成する場合、これらのフィールドは同じ値になります。この例では、両方のフィールドで [場所] ブレークダウンを選択します。
3. [テーブル] フィールドで、ブレークダウンソースのファクトテーブルと同じテーブルを選択します。
   この例では、 場所 **[cmn_location]** を選択します。
4. フォームの残りの部分は、子、親、兄弟/ピア関係のいずれを作成するかに応じて入力します。

[ブレークダウンの関連付け] フォーム

フィールド	子関係	親関係	兄弟/ピア関係
明細フィールド	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで [親] を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、場所のブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、場所のブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	子関係	親関係	兄弟/ピア関係
関連ブレークダウンフィールド	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、場所のブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで [親] を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 ほとんどのブレークダウンと同様に、場所のブレークダウンには [**Sys ID**] を選択します
共通フィールド	空のままにします。	空のままにします。	親要素を識別するフィールドを選択します。 [場所] ブレークダウンで [親] を選択します。

5. [条件] で、この関係の関連ブレークダウンとして表示されるためにレコードが満たす必要のあるその他の条件を定義します。

タスクの結果
[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ でナビゲーションオプションが使用可能になります。最初にデータ収集ジョブを実行する必要はありません。

次のタスク
すべてのインスタンスにデフォルトで付属するブレークダウン関係の例を表示します。場所ブレークダウンには、 子場所 と 親場所 ブレークダウンの関係が含まれています。兄弟グループブレークダウン関係は、兄弟関係またはピア関係の例です。

ブレークダウン要素を表示する機能の制御

一部のユーザーがインジケーターで表示できるブレークダウン要素を制限するには、要素セキュリティを実装します。要素のセキュリティは、ウィジェット、ワークスペース、および アナリティクスハブ に適用されます。

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて
ブレークダウンの表示オプションはありません。代わりに、ブレークダウンへのアクセスは、ブレークダウン ソースの ACL によって制限されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウンソース.
2. アクセス権を設定するブレークダウンのブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [セキュリティタイプ] リストで、次の選択肢から選択します。
4. 要素セキュリティリストレコードを定義し、次のいずれかを定義します。
   - リストの要素を選択します。
   - リストに表示する要素を定義する条件を設定します。
5. 要素セキュリティリストが適用されるロールを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素のセキュリティ リストの定義

要素のセキュリティリストは、ブレークダウン要素への不正アクセスを防ぎます。

始める前に

必要なロール：pa_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウンソース.
2. 既存のブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [要素のセキュリティリスト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

名前	説明
名前	要素のセキュリティ リストの記述名
説明	要素のセキュリティ リストの実行内容と、その目的の詳細な説明。
アクティブ	要素のセキュリティ リストをアクティブ (選択) にするか、または非アクティブ (クリア) にするためのチェック ボックス。
すべてのロール	リストがすべてのロールに適用されることを示す場合に選択します。この要素のセキュリティ リストに属するロールを指定するには、チェック ボックスをオフにして、ロック アイコンをクリックします。特定のロールを検索するには、検索ボタンを使用します。
セキュリティタイプ	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースのために選択されたセキュリティ タイプ。
様相	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択された様相。
ファクトテーブル	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択されたファクト テーブル。
要素の選択	このセキュリティ・リストが適用される要素を明示的に指定する場合に選択します。このオプションの選択を解除した場合は、 条件 を使用して含める要素を決定します。
すべての要素	セキュリティリストにすべての要素を含める場合に選択します。このセキュリティ・リスト内の個々の要素を指定する場合はクリアします。デフォルト:オン
空オプションを表示	ブレークダウンダッシュボードのユーザーがブレークダウン要素を指定せずにスコアを表示できるようにする場合に選択します。クリアすると、ブレークダウンダッシュボードのユーザーは、自分のロールに表示されるブレークダウン要素のスコアのみを表示できます。 この設定は、ブレークダウンダッシュボード要素に従うウィジェットにのみ影響します。admin ロールを持つユーザーは、ブレークダウンダッシュボードでフィルターされていないスコアを常に表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
条件	セキュリティリストが適用されるブレークダウン要素を決定するための条件。たとえば、[**User.Manager] [is (dynamic)] [Me]** などです。条件は、ブレークダウンのソース条件で最優先のものとして適用されます。このフィールドは、[要素を選択] が選択されていない場合にのみ使用できます。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

拒否リストによるロール制限

ブレークダウンソースに拒否リストセキュリティが指定されていて、ユーザーのロールのいずれかがそのブレークダウンソースの要素セキュリティリストに含まれている場合、そのユーザーはそのセキュリティリストが適用される要素を表示できません。

拒否リストセキュリティを持つユーザーロール別のブレークダウン要素の可視化

要素セキュリティリストのユーザーロールは?	要素のヴィジビリティ
ユーザーのロールはいずれも要素セキュリティリストに含まれていません。	セキュリティリストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーのロールはすべて要素セキュリティリストに含まれています。	セキュリティリストが適用される要素は表示されません。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

許可リストによるロール制限

ブレークダウン・ソースに許可リスト・セキュリティが指定されており、ユーザーのロールのいずれかがそのブレークダウン・ソースの要素セキュリティ・リストに含まれている場合、そのユーザーはそのセキュリティ・リストが適用される要素を表示できます。

許可リストセキュリティを持つユーザーロール別のブレークダウン要素の可視化

要素セキュリティリストのユーザーロールは?	要素のヴィジビリティ
ユーザーのロールはいずれもセキュリティリストにありません。	セキュリティリストが適用される要素は表示されません。
ユーザーのロールはすべてセキュリティ・リストにあります。	セキュリティリストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ダッシュボードにブレークダウン ソースを追加できます。ダッシュボードユーザーは、ブレークダウンソースと 1 つ以上のブレークダウン要素を選択して、ダッシュボード上の可視化のスコアをフィルタリングできます。

選択した要素は、次の条件に従うダッシュボード上の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットをフィルタリングします。

- ウィジェットのインジケーターは、選択したブレークダウンソースに基づくブレークダウンを使用します。式インジケーターの場合、式のすべての貢献インジケーターでこのソースに基づくブレークダウンを使用する必要があります。
- ウィジェットはブレークダウンダッシュボードの要素に従います。

選択した要素は、次の条件下でダッシュボードのレポートをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

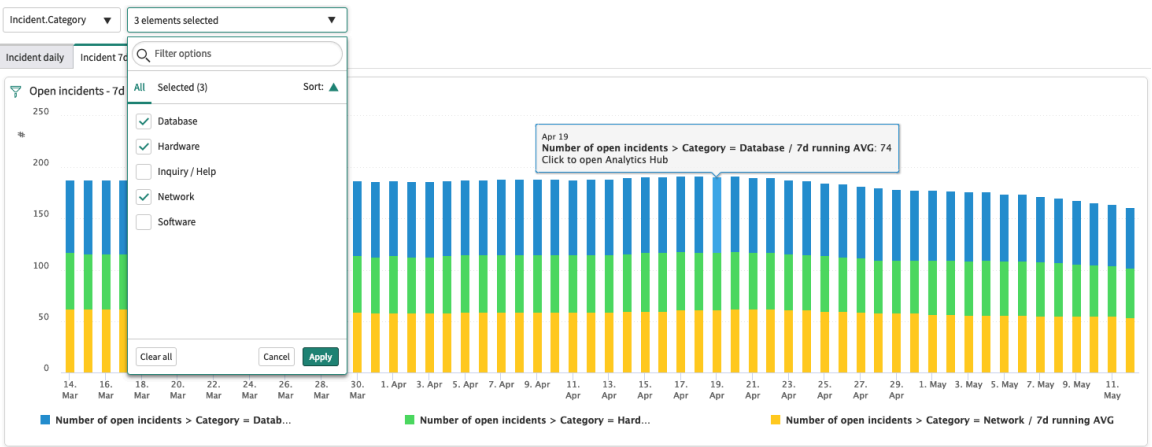
- ブレークダウンソースをインタラクティブフィルターとして使用するようにダッシュボードを構成しました。
- レポートは、ダッシュボードのインタラクティブフィルターに従います。

ダッシュボードユーザーが複数の要素を選択した場合、ウィジェットのタイプと構成に応じて、ウィジェットはそれらの要素のスコアを個別に表示することも、単一の集計を表示することもできます。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

注:
ウィジェットにブレークダウンの関連付けを表示する場合、そのウィジェットは複数の要素を表示できません。詳細については、「ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

次の図は、カテゴリブレークダウンの選択した要素ごとに個別にスコアが与えられたブレークダウンウィジェットを示しています。ダッシュボードユーザーは、Incident.Category ブレークダウンソースの 3 つの要素を選択しました。このユーザーに アナリティクスハブへのアクセス権がある場合は、任意のスコアをクリックして アナリティクスハブにスコアの傾向を表示できます。

ブレークダウンダッシュボードの時系列ウィジェット



注:
ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

関連情報

- パフォーマンスアナリティクスウィジェット
- パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン
- ブレークダウン ソースの定義
- アナリティクスハブ 特定のインジケーターに対して
- ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボードにブレークダウンソースを追加する

ダッシュボードユーザーがダッシュボードの可視化をブレークダウン要素でフィルタリングできるようにするには、ダッシュボードにブレークダウンソースを追加します。

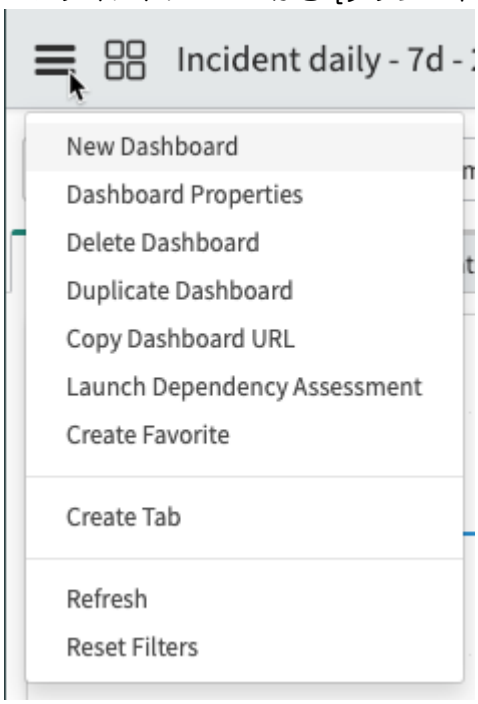
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて

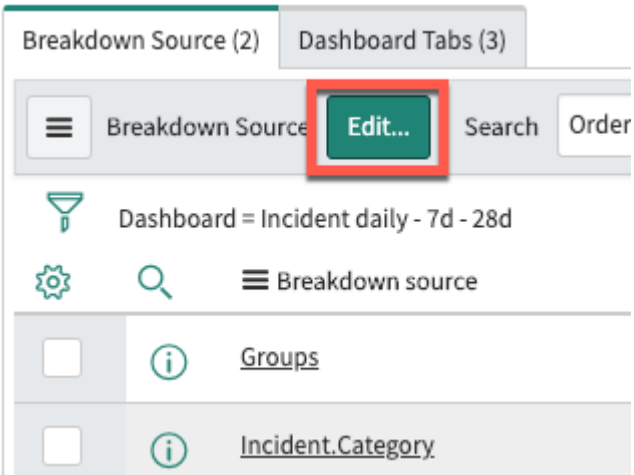
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 関連するダッシュボードを開きます。
3. コンテキストメニューから [ダッシュボードのプロパティ] を選択します。



ダッシュボードレコードが開きます。

4. ブレークダウン ソース関連リストの [編集] をクリックします。



ダイアログが開き、ブレークダウンソースをリストとの間で移動できます。

5. 適用するブレークダウン ソースをブレークダウン ソース リストに移動します。
6. **[Save** (保存)] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ブレークダウンソースはダッシュボードで利用できます。ユーザーは、選択した要素でダッシュボードをグループ化できます。

次のタスク

- ダッシュボードのレポートでブレークダウンソースをインタラクティブフィルターとして使用できるように、[ブレークダウンソース] 関連リストのエントリを構成できます。まず、ブレークダウンソースと同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターを作成します。詳細については、「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。

- ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを構成し、ユーザーがダッシュボードのブレークダウン要素を選択してウィジェットをフィルタリングできるようにします。詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成

ブレークダウンダッシュボードに配置される各ウィジェットを構成します。構成によって、ウィジェットがダッシュボードで選択された要素に従うかどうか、またどのように従うかが決まります。一部のウィジェットとインジケーターでは、複数の要素値を個別に表示するか、集計として表示するかを選択できます。

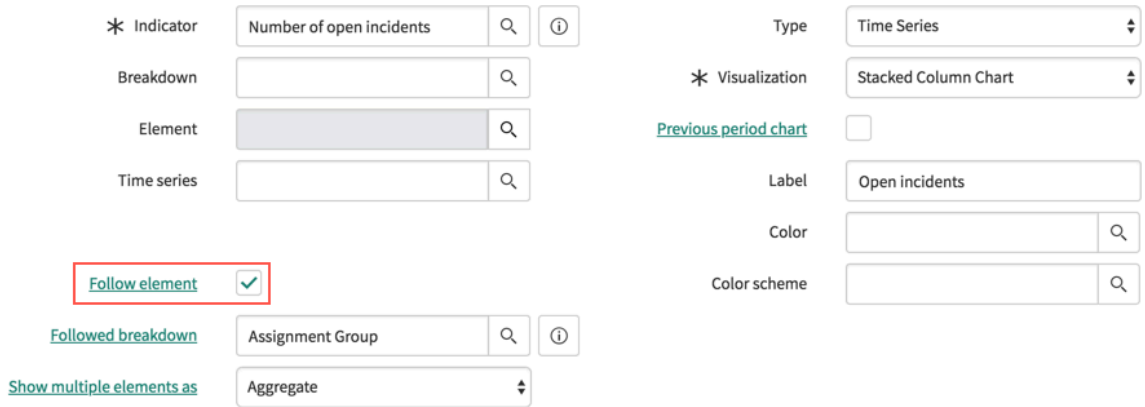
始める前に
このタスクは、ブレークダウンダッシュボードが開いている状態から開始することを前提としています。

必要なロール:pa_power_user、admin

手順

1. ブレークダウンダッシュボードで、プラス (+) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
2. ウィジェットをポイントし、鉛筆アイコン( )をクリックします。
   ウィジェットレコードが開きます。
3. ウィジェットレコードで [要素をフォロー] を選択します。

オプションを示すウィジェットレコード



ウィジェットの [要素をフォロー] を選択しない場合、そのウィジェットはダッシュボードで選択されたどのブレークダウン要素もフォローしません。[フォロー中] ブレークダウンと [複数の要素を表示] オプションは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターが、ダッシュボードで選択したブレークダウンソースをサポートしている必要があります。それ以外の場合、スコアはウィジェットに表示されません。この場合、状況を通知するメッセージが表示されます。

> **重要:**
> ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

4. 複数のブレークダウンがダッシュボードのブレークダウンソースの 1 つを使用している場合は、[フォローしているブレークダウン] でウィジェットに適用するブレークダウンを指定します。

   Example
   たとえば、オープン担当者、要求元、要求、アサイン先などのブレークダウンは、Users.Active ブレークダウン ソースを使用します。ダッシュボードに Users.Active を追加する場合は、そのダッシュボードにある各ウィジェットの [フォローしているブレークダウン] で関連するブレークダウンを選択します。このオプションは、ダッシュボードに追加した他のブレークダウンソースには影響しません。

5. [複数の要素を表示] フィールドで、ダッシュボードビューアーが複数のブレークダウン要素を選択したときにスコアを表示する方法を選択します。
   次の 2 つの選択肢から選択します。

   - 集計。選択したすべての要素の単一の集計スコアを表示します。
   - [分離] では、選択した各要素が個別に表示されます。

   すべてのウィジェットとインジケーターのタイプが両方のビューをサポートしているわけではありません。一部のタイプでは、複数の要素の選択がまったくサポートされていません。ウィジェットとインジケーターの組み合わせに対して複数の要素を選択できない場合、フィールドに は [利用不可] と表示されます。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

複数の要素を個別に表示または集計して表示する

ダッシュボードで複数の要素を選択すると、これらの要素に続くウィジェットにそれらの値を個別に、または集計として表示できます。

ウィジェットフォームで、[複数の要素を表示] フィールドを使用して、複数の要素を個別に表示するか、集計として表示するかを設定します。ビュータイプ が [個別] のウィジェットでは、選択したブレークダウン要素 ごとに異なる値が表示されます。ビュータイプが [アグリゲート] のウィジェットには、選択したすべてのブレークダウン要素の集計値を表す単一の値が表示されます。

ウィジェットタイプによって、集計ビュー、個別のビュー、またはその両方が利用可能かどうかが論理的に決定されます。また、 式インジケーター は、インジケーターレコードで集計ビューが明示的に有効になっている場合にのみ、集計ビューをサポートします。たとえば、スコアウィジェットは集計ビューのみを表示できます。集計ビューを有効にしないと、式インジケーターのスコア ウィジェットを複数の要素でフィルタリングすることはできません。この場合、[複数の要素を表示] フィールドに は [利用不可] と表示され、淡色表示されます。詳細については、「 複数の要素の集計をサポートするインジケーター」セクションを参照してください。

アグリゲートビューと個別ビューのウィジェットサポート

- 時系列ウィジェットは、集計ビューと個別ビューをサポートしています。
- リストウィジェットは、アグリゲートビューと個別ビューをサポートしています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スコアウィジェットは集計ビューのみをサポートしています。
- ブレークダウンウィジェットは、アグリゲートビューのみをサポートしています。

注:
ピボット、ワークベンチ、またはテキストによる可視化で複数の要素を選択することはできません。

複数の要素の集計をサポートするインジケーター

次のインジケーターが集計ビューをサポートしています。

- データをカウント、合計、最小、または最大値としてアグリゲートする自動インジケーター

  注:
  ここでは、「アグリゲート」という単語が、複数のインジケーター スコアのアグリゲートビューと、インジケーターに設定されているデータ集計の 2 つの異なる目的で使用されます。

- 手動インジケーター
- SQL ステートメントで SQL AVG() または SQL COUNT(DISTINCT...) を使用しない外部インジケーター
- インジケーターレコードで集計要素ビューが有効になっている式インジケーター。詳細については、式インジケーターの作成 の [その他] タブにある [複数のブレークダウン要素スコアのアグリゲーションを許可] フィールドのエントリを参照してください。

重要:

- データを平均または個別のカウントとして集計するインジケーターは、集計ビューをサポートしていません。
- [複数の要素を表示] の値は、メインウィジェットとインジケーターウィジェットの両方に適用されます。[アグリゲート] が選択されていても、インジケーター ウィジェットの 1 つが [アグリゲート] ビューをサポートしていない場合、そのインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素に従いません。代わりに、インジケーターはウィジェット構成で設定された第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素に従い、それらの値の集計を示します。

アグリゲートビューを表示する場合の結果

複数の要素の集計ビューでは、インジケーターのデータ集計に応じて異なる結果が表示されます。

自動インジケーターデータアグリゲーション	外部インジケーター **SQL** ステートメント	ウィジェットで、複数の要素のアグリゲートビューに表示される内容
総数	SQL COUNT()	選択した要素のスコアの合計
合計	SQL SUM()	選択した要素のスコアの合計。それ自体が合計です
最大	SQL MAX()	各時点で値が最も高い要素
最小	SQL MIN()	各時点で値が最小だった要素

アグリゲートビューを選択すると、すべてのウィジェットですべての機能が利用できるわけではなく、ユーザーがウィジェットから アナリティクスハブに移動したときにも使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

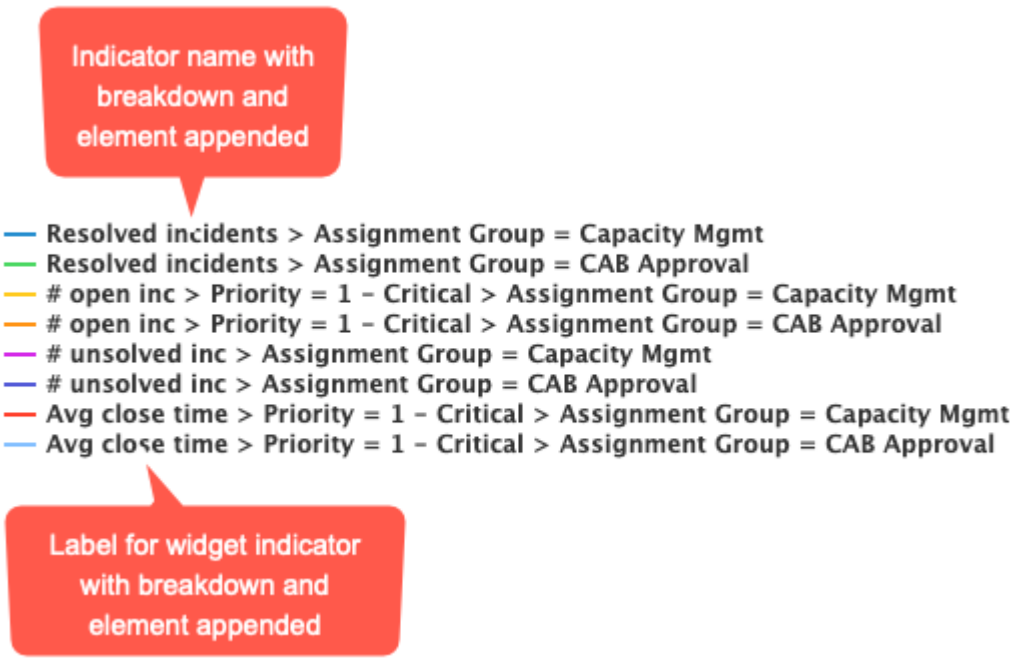
- アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。
- ターゲットとしきい値は、時系列ウィジェットでは使用できません。
- ターゲットとブレットグラフは、リストウィジェットでは使用できません。

ウィジェットインジケーターとブレークダウンダッシュボード

ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

- ウィジェットは複数の要素のアグリゲートビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

複数の要素が選択された個別のビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素が選択されたアグリゲートビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル

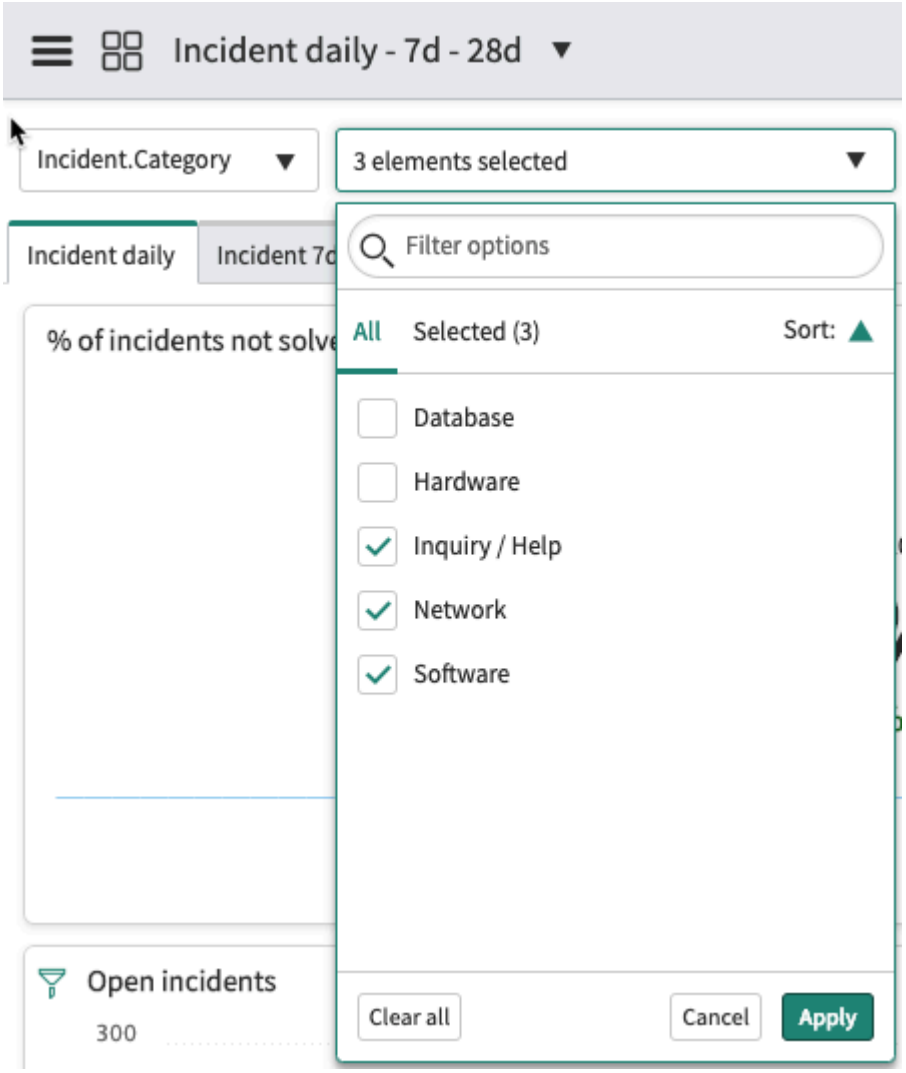


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 複数の要素の集計値と個別の値を持つオープンインシデント

[Incident.Category] ブレークダウンソースと、[Inquiry/Help]、[Network]、および [Software] の 3 つの要素が選択されているブレークダウンダッシュボードを考えてみましょう。



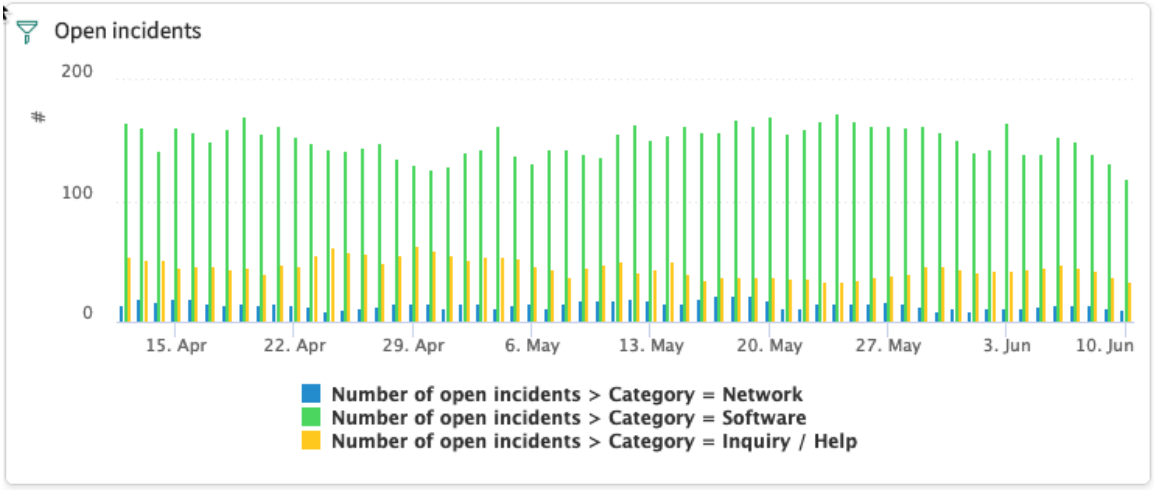
ダッシュボードには、[オープンインシデント] と呼ばれる時系列ウィジェットが含まれています。このウィジェットには、カウントアグリゲートを持つオープンインシデントの数インジケーターが表示されます。ウィジェットは、ダッシュボードで選択された要素に従います。したがって、ウィジェットでは、ダッシュボードで選択された複数の要素を個別に、または集計値として表示できます。[複数の要素を以下として表示] フィールドが [分離] に設定されている。



自動翻訳

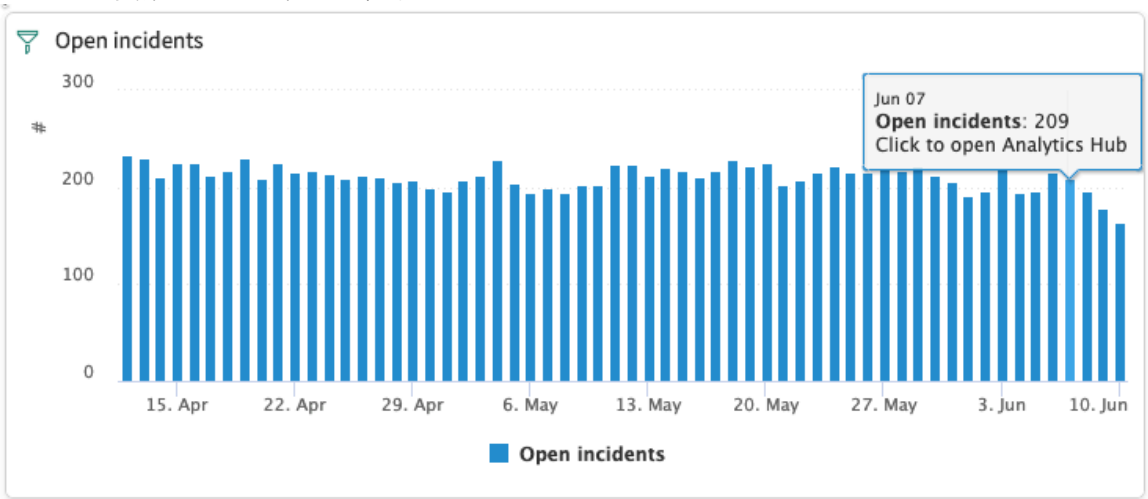
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードでは、選択した 3 つの要素のそれぞれについて、日ごとに個別の列が表示されま



す。

[複数の要素を表示] フィールドを [集計] に設定すると、 選択した 3 つの要素に対して単一の集計スコアが表示されま



す。

ウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウン

ウィジェットがダッシュボードと同じブレークダウンを使用する場合、ダッシュボード ブレークダウンは適用されません。

ウィジェットを設計するときは、そのウィジェットに適用するブレークダウンのレベルを最大 2 つ指定できます。その後、そのウィジェットをブレークダウンダッシュボードを含む任意のダッシュボードに追加できます。ダッシュボードのブレークダウンの 1 つがウィジェットのブレークダウンの 1 つと同じである場合、そのダッシュボード ブレークダウンはウィジェットに影響しません。そのブレークダウンの動作は、このウィジェットで [要素をフォロー] が無効にされた場合と同じになります。

インタラクティブにブレークダウンを選択できるブレークダウンタイプウィジェットをダッシュボードに追加した場合、この制限の一部には適用されません。ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

Example: ブレークダウンダッシュボードのブレークダウンウィジェット

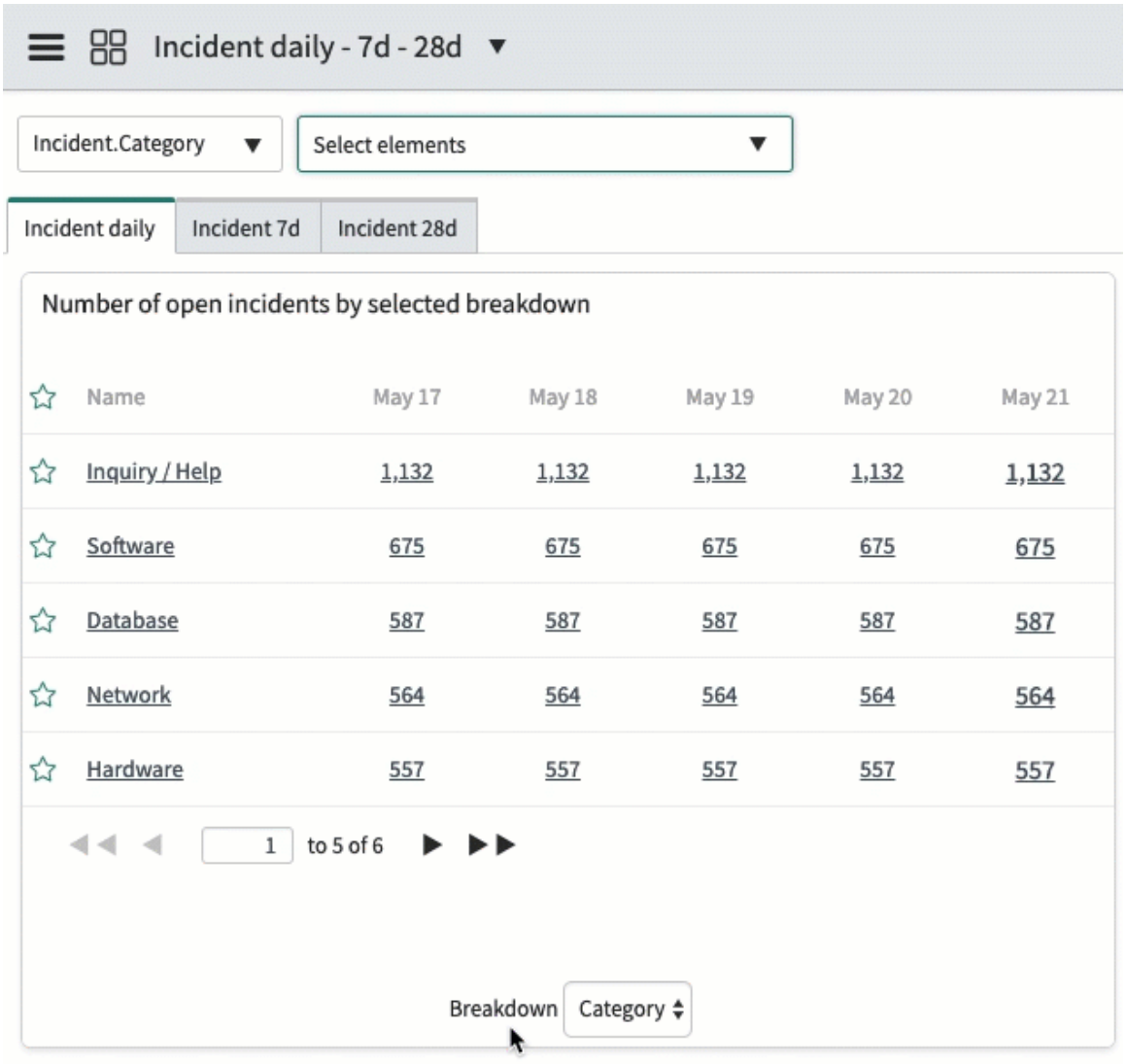
次のアニメーションでは、ブレークダウンダッシュボードにブレークダウンウィジェットがあります。ウィジェットの構成で [フォロー] 要素 が選択されています。ダッシュボードとウィジェットの両方で、カテゴリブレークダウンの要素が使用されています。ダッシュボード上の要素を選択して

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

も、ウィジェットには影響しません。次に、ウィジェットの [緊急度] ブレークダウンを選択します。ダッシュボードの要素を選択するとウィジェットに影響するようになりましたウィジェットのブレークダウンではなくダッシュボードのブレークダウンソースを変更した場合、ダッシュボードの要素を選択するとウィジェットにも影響します。

ブレークダウン ダッシュボードのインタラクティブなブレークダウン選択を持つウィジェット



ダッシュボードのブレークダウン関係の表示

ブレークダウン ウィジェットは、ダッシュボード用に選択された要素に関連する第 1 レベルのブレークダウン要素を表示できます。ウィジェットはブレークダウン ダッシュボード上になければなりません。そのダッシュボードには、関連するブレークダウンのブレークダウン ソースが含まれている必要があります。

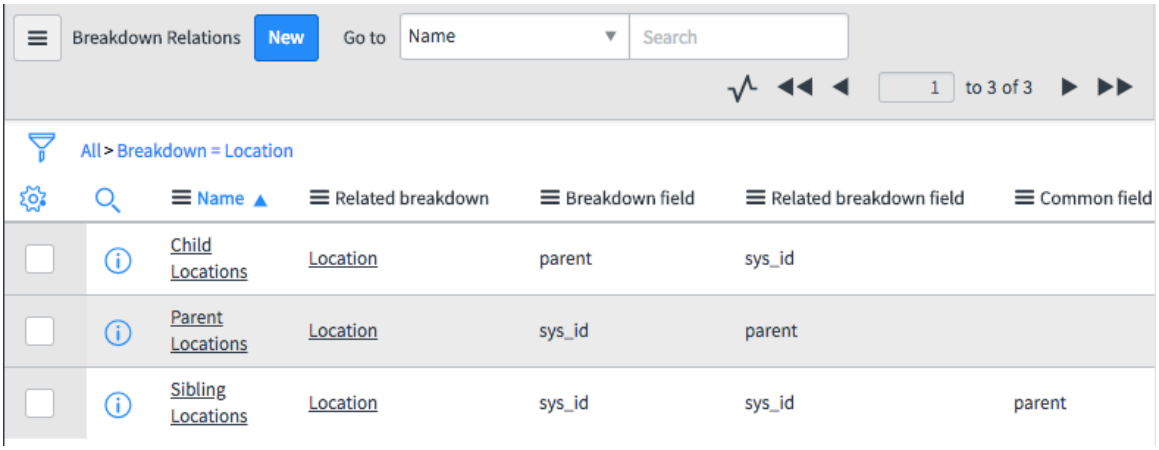
注:
ブレークダウンの関係を表示するウィジェットのダッシュボードで複数の要素を選択することはできません。

オープン インシデントの数などのインジケーターを考えてみましょう。このインジケーターは、場所ブレークダウンを使用します。場所ブレークダウンには、その要素間に 3 つのブレークダウン関係があります。場所の要素の場合、これらの関係は次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

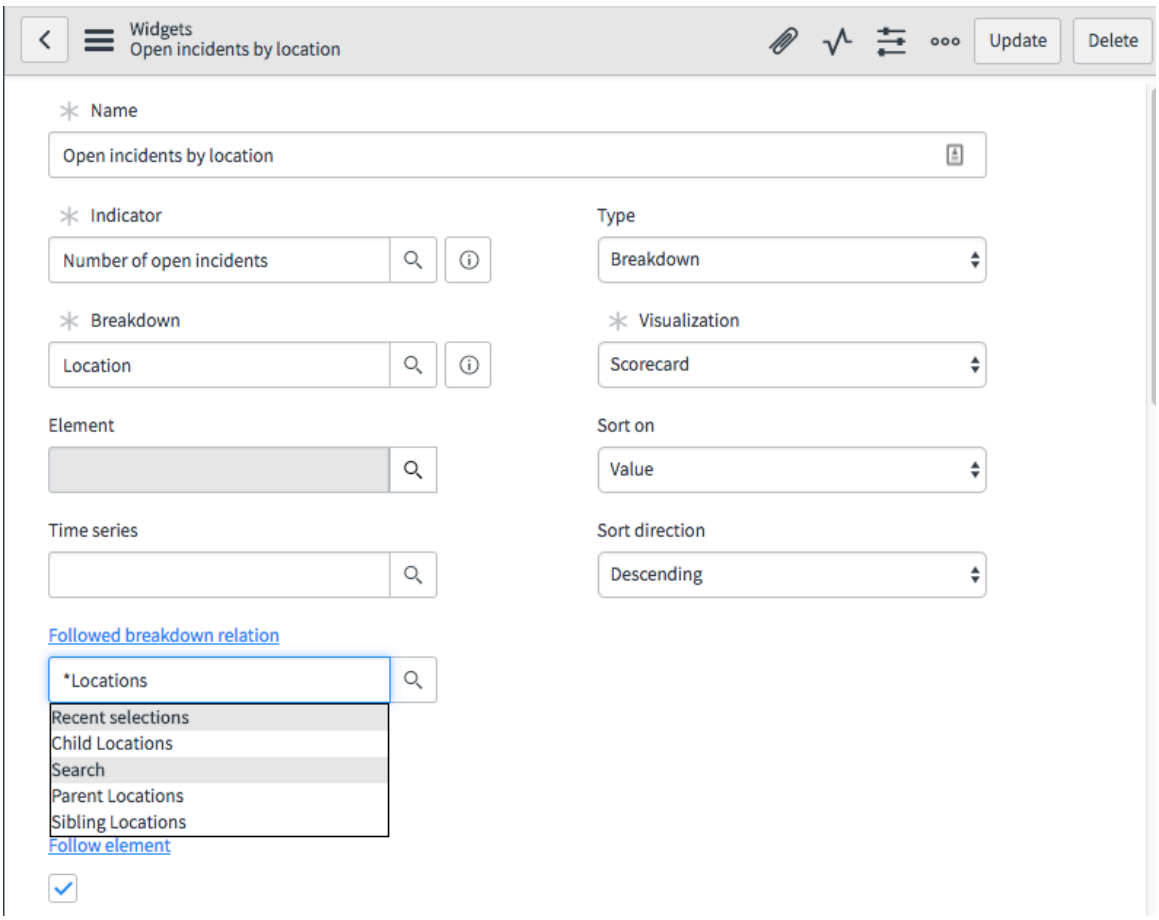
- 親場所。Sys ID 値が他の場所要素の [親] フィールドにあります。
- 子場所。その [親] フィールドの他の場所要素のSys ID 値を持ちます。
- 兄弟場所。[親] フィールドで同じ値を共有する場所要素で構成されます。

場所の要素間のブレークダウン関係



ここで、場所別にグループ化されたオープン インシデントの数インジケーター スコアを表示するウィジェットを考えてみましょう。ブレークダウン ダッシュボードで選択された要素をフォローするようにウィジェットを設定します。ここで、フォローするブレークダウン関係を選択する必要があります。

ブレークダウン関係別に要素を表示するウィジェットの設定



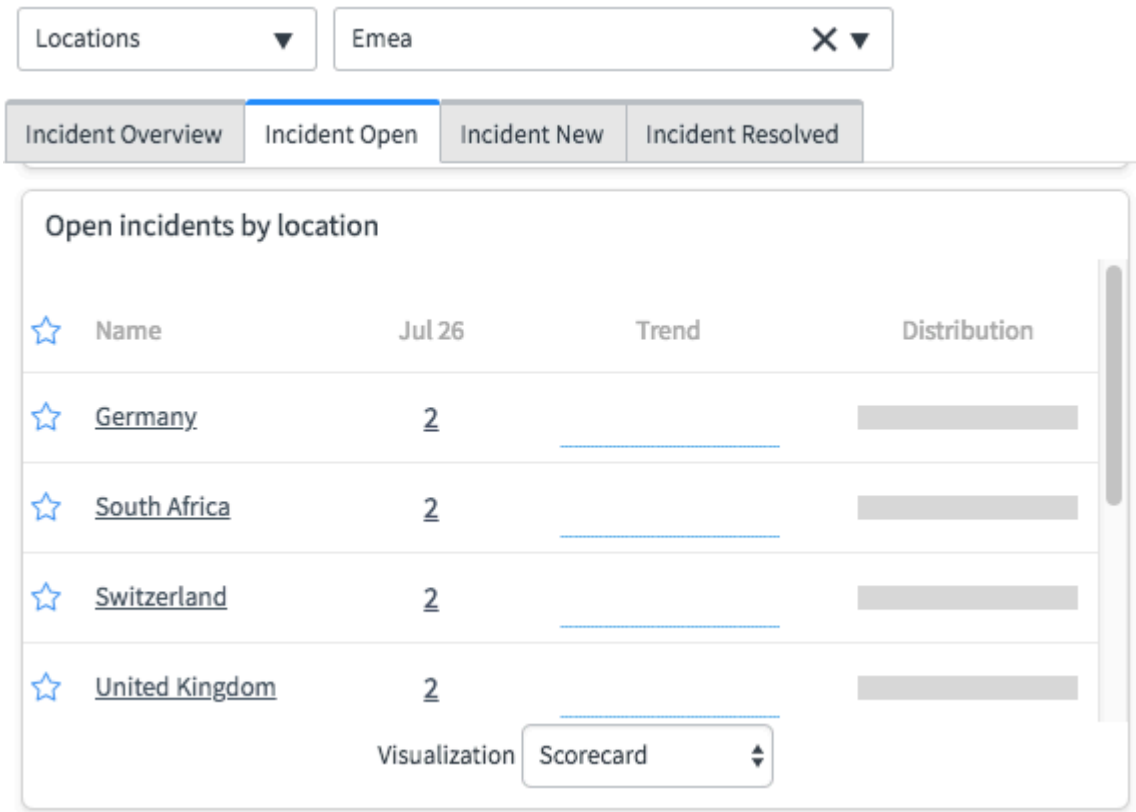
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
[フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、[スコアカード] のチャート化が選択されている場合にのみ機能します。ユーザーが他のチャート化でブレークダウン関係をフォローできるようにするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

子場所を選択します。これで、場所ブレークダウン ソースを使用するブレークダウン ダッシュボードにウィジェットを配置しました。場所は場所ブレークダウンのブレークダウン ソースなので、ダッシュボードで場所の要素を選択することができます。[EMEA] を選択すると、EMEA を親として持つ場所がウィジェットに表示されます。

ダッシュボード要素の子を表示するブレークダウン ダッシュボードのウィジェット

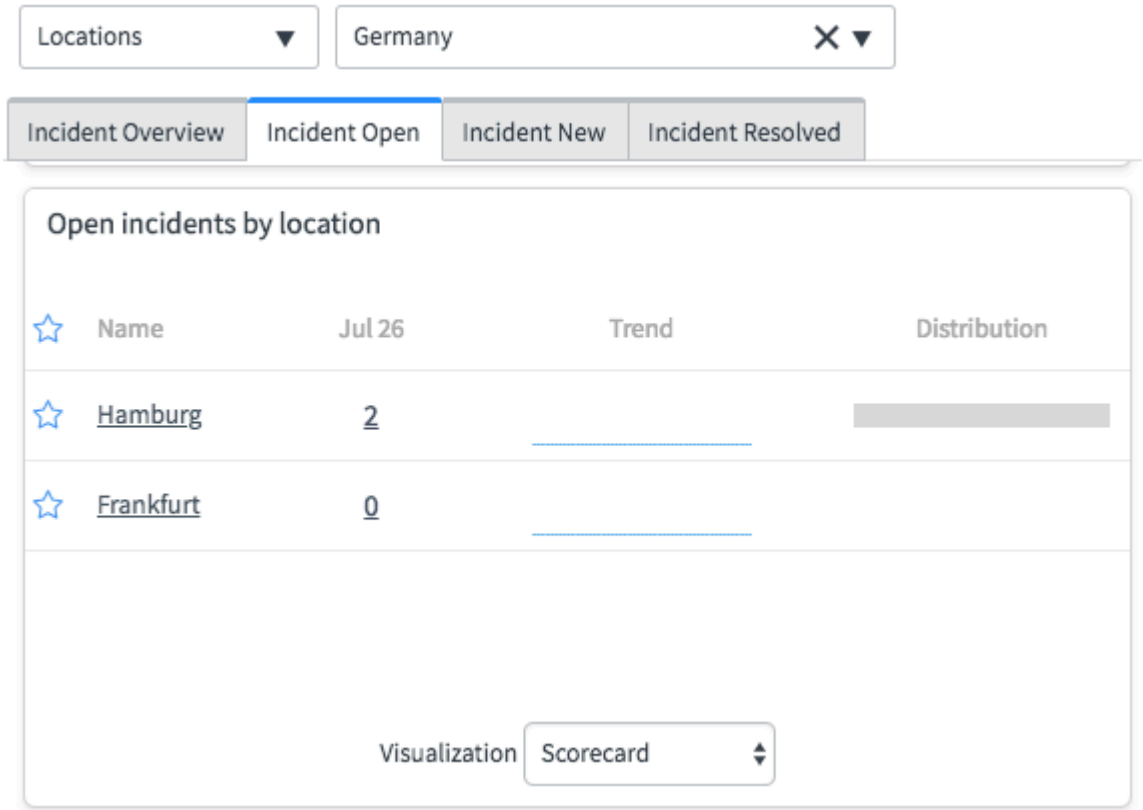


「孫」要素や「曾孫」要素まで、レベルを下げることができます。たとえば、ここではドイツの場所が選択されています。

自動翻訳

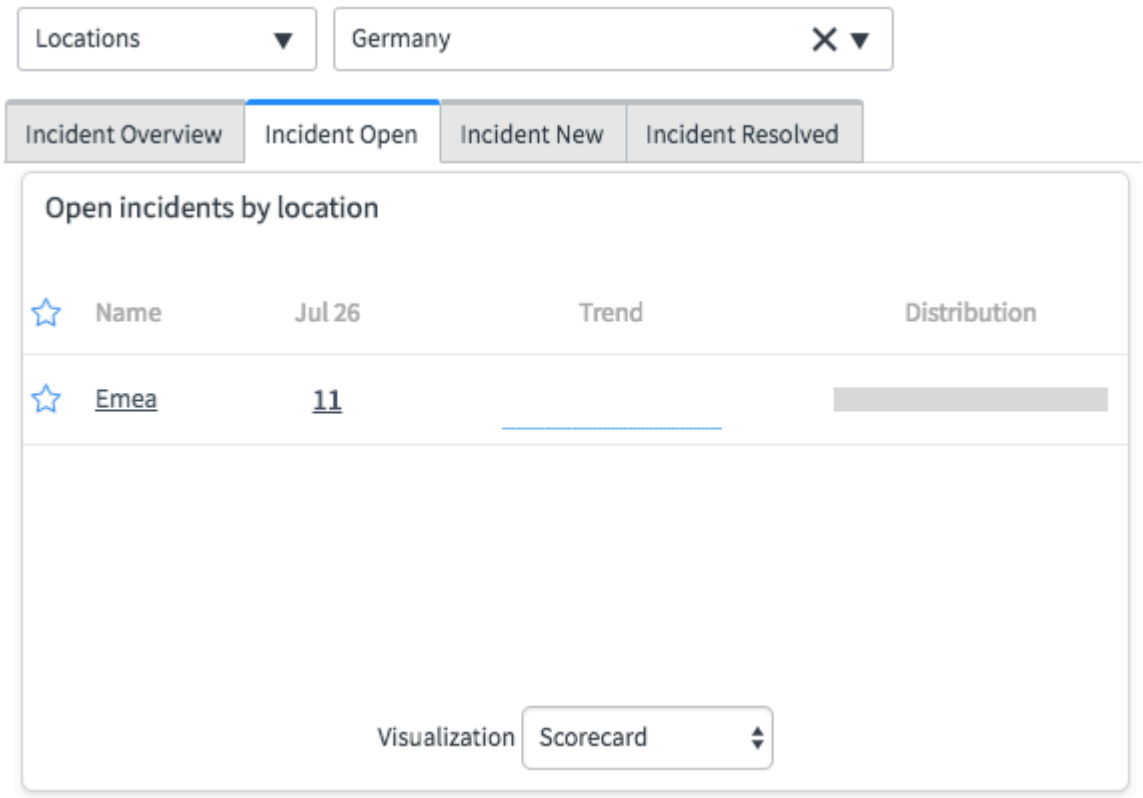
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EMEA の子が選択されているブレークダウン ウィジェット



子場所の代わりに親場所を表示するようにウィジェットを編集し、ダッシュボードで再度ドイツを選択すると、ドイツの親場所が表示されます。

ダッシュボード要素の親を表示するブレークダウン ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション
- ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

データスナップショットと複数のブレークダウン

プラットフォームアナリティクスのデータスナップショットでは、インジケーター (KPI) を分析しながら複数のブレークダウンを行うことができます。このアーキテクチャでは、変更データキャプチャ (CDC) プロセスを使用して、実行時にスコアと時系列を生成するために最適化された構成可能なテーブルからデータ変更をキャプチャします。

クラシック パフォーマンスアナリティクス では、常にマトリクスを通じてインジケーターに適用される複数のブレークダウンを計算してきました。数学的には、計算の数はブレークダウンの数とともに幾何学的に増加します。実際には、このアプローチでは、インジケーターに同時に適用できるブレークダウンは最大 2 つに制限されます。

データスナップショットではブレークダウンマトリクスは使用されません。代わりに CDC を使用することで、複数のブレークダウンレベルを適用できます。2 つ以上のレベルのブレークダウンを適用できることで、 パフォーマンスアナリティクスの長年の問題点の 1 つを解決できます。この機能により、データ分析能力が深まり、 パフォーマンスアナリティクスを通じて得られるインサイトの幅が広がります。

重要:

- データスナップショットでは、インスタンスで RaptorDB Professional データベースを使用する必要があります。
- ドメインセパレーションされたインスタンスはサポートされていません。
- データスナップショットを取得して複数レベルのブレークダウンを有効にするには、データスナップショット (com.snc.pa.mlb) プラグインを有効にします。パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションと admin ロールが必要です。データスナップショットを本番インスタンスでアクティブ化する前に、開発環境でテストすることを検討してください。
- データスナップショットプラグインをアクティブ化した場合でも、サポートされているインジケーターに対して有効にする必要があります。詳細については、「データスナップショットのアクティブ化」を参照してください。
- プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスコンポーネント (データの可視化、KPI 詳細) のみがデータスナップショットをサポートしています。PA ウィジェットやアナリティクスハブなどのコア UIコンポーネントには、2 つ以上のレベルのブレークダウンを表示することはできません。
- データスナップショット収集ジョブにより、 パフォーマンスアナリティクスによるストレージの使用が増加する可能性があります。ジョブはソーステーブルのサブセットをコピーし、関連レコードの毎日の変更をすべて保存します。

次のインジケーターがデータスナップショットをサポートしています。

- スクリプト化されていない自動インジケーター
- スクリプト化されていない自動貢献インジケーターのみを含むインジケーター (計算)
- 他の式インジケーターを含む式インジケーター (基になるインジケーターが最終的にスクリプト化されておらず、自動化されている場合)。

重要:

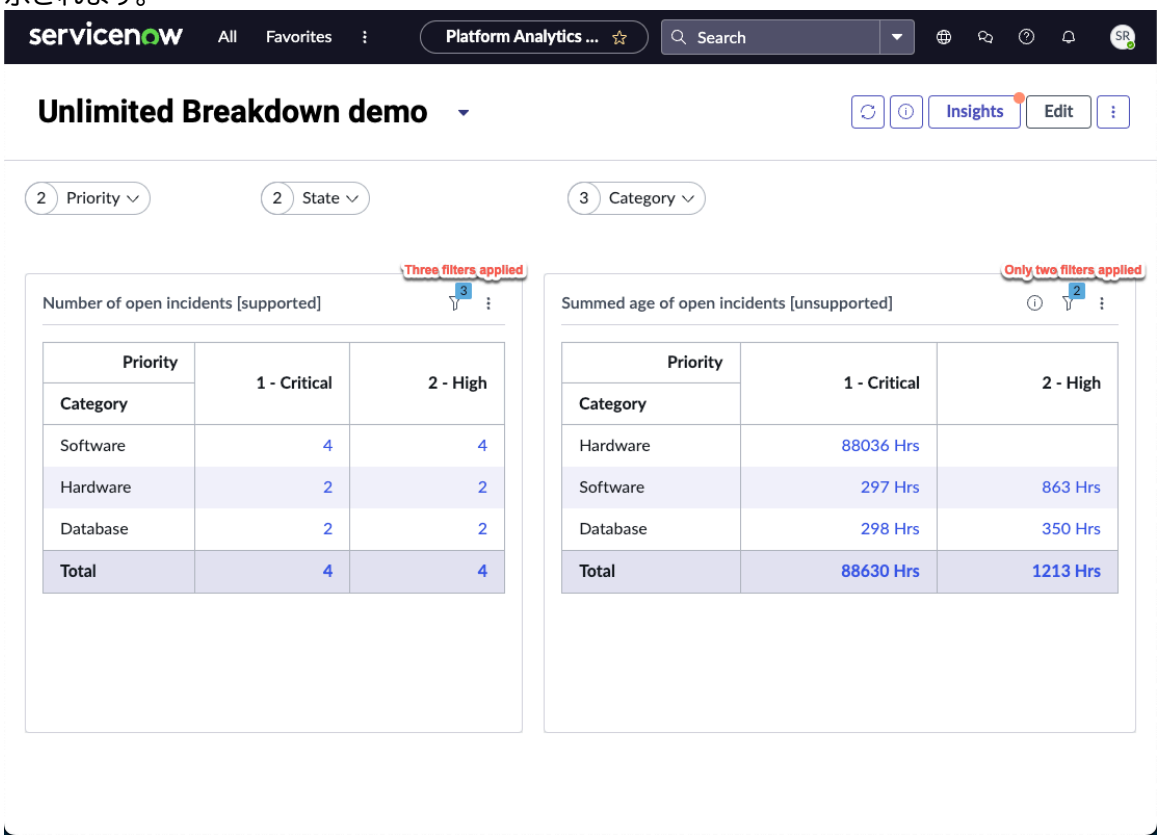
機能がアクティブ化される前に収集されたデータに複数のブレークダウンを適用することはできません。このようなデータには 2 つのレベルのブレークダウンのみを適用できます。より多くのレベルのブレークダウンを適用しようとすると、データの可視化または KPI 詳細 チャートでその日付範囲の空の領域が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: サポートされているインジケーターとサポートされていないインジケーター

複数のブレークダウンをサポートするインジケーターとサポートしないインジケーターのチャート化には、フィルターの適用方法が異なります。この例では、2 つのピボットテーブルデータ可視化を含むダッシュボードがあります。1 つのピボットテーブルには、インジケーター [オープンインシデントの数] が表示されます。このインジケーターはスクリプト化されていないため、複数のブレークダウンをサポートしています。もう一方のピボットテーブルには、オープンインシデントの合計経過時間インジケーターが表示されます。このインジケーターはスクリプト化されているため、複数のブレークダウンはサポートされていません。ダッシュボードには 3 つのフィルターがあり、それぞれが両方のインジケーターにあるブレークダウンをフィルタリングします。3 つのフィルターがすべて適用されています。フィルターは、最初に優先度、次にカテゴリ、次にステータスという時系列で適用されました。[オープンインシデントの数] のチャート化では 3 つのフィルターが適用されていることが示され、オープンインシデントの合計経過時間のチャート化では 2 つのフィルターのみが表示されます。

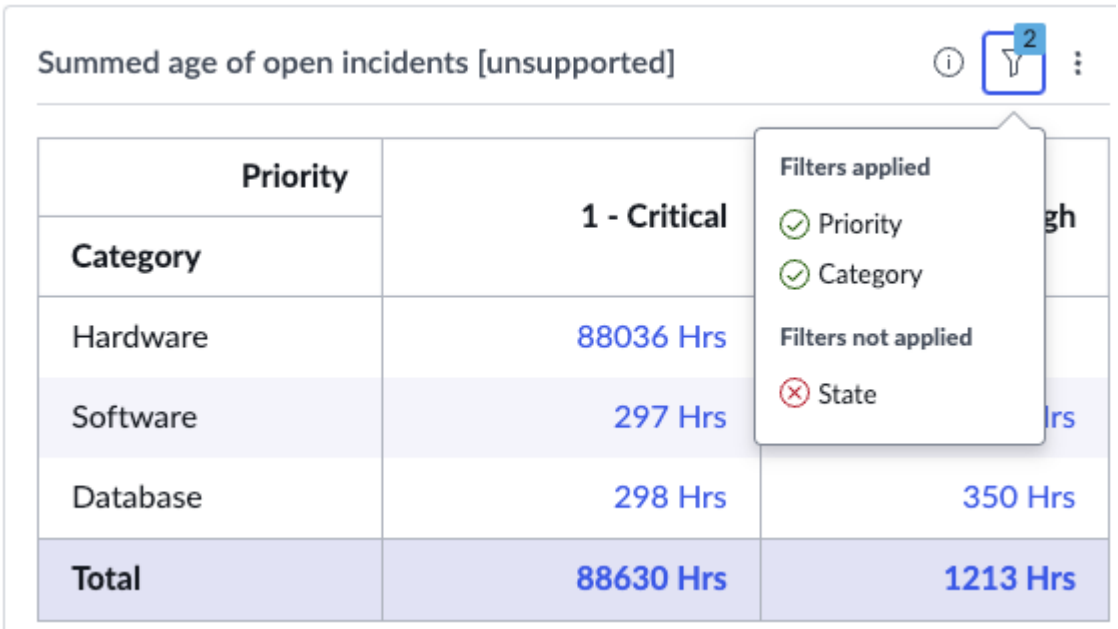


[Number of open incidents] インジケーターに適用されているフィルターを確認すると、3 つのフィルターがすべて適用されていることがわかります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[オープンインシデントの合計経過時間] インジケーターでは、ダッシュボードに適用された最初の 2 つのフィルターのみがこのインジケーターに適用されることがわかります。

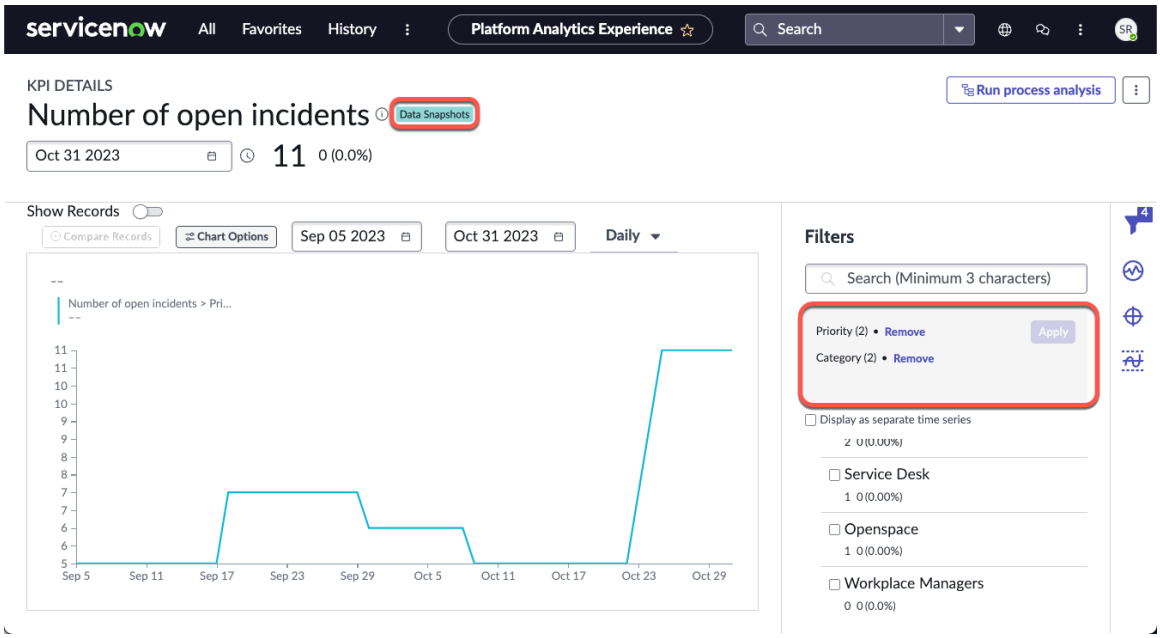


Example: データスナップショットを使用するインジケーターの **KPI** 詳細

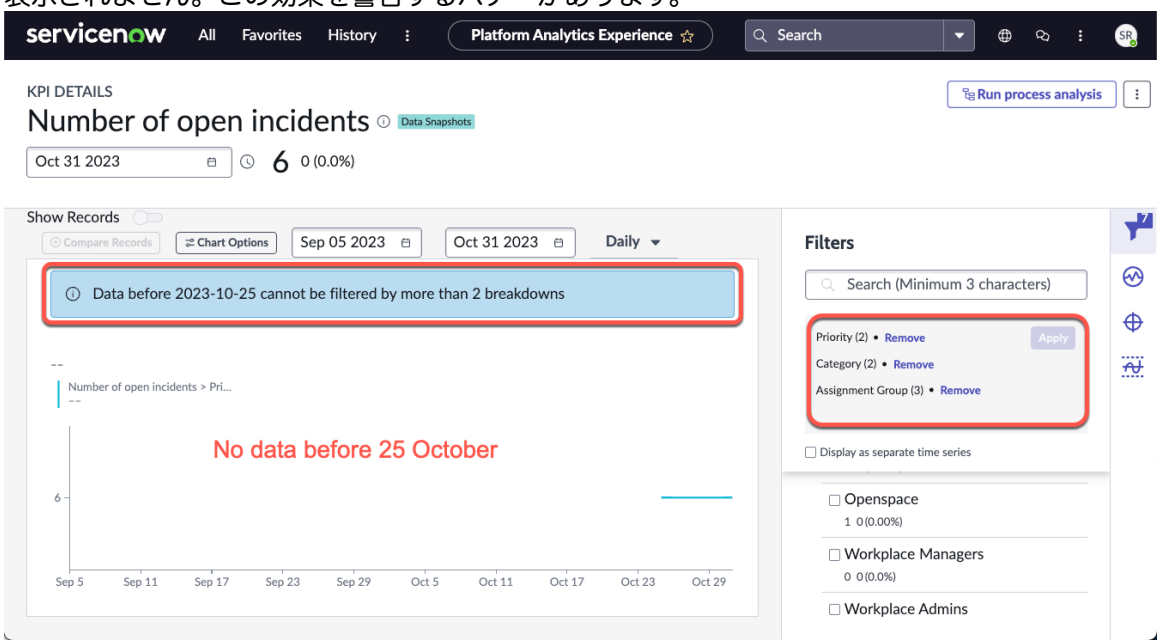
この例は、オープンインシデントの数インジケーターの KPI 詳細 を示しています。このインジケーターは、ヘッダーのバッジで示されるように、データスナップショットと複数のブレークダウンをサポートしています。2 つのブレークダウンが設定されており、それぞれに 2 つの要素があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3 番目のブレークダウンを選択できます。ただし、データスナップショットがこのインスタンスに実装されたのは数日前のことです。3 番目のブレークダウンを選択すると、この日付より前のデータは表示されません。この効果を警告するバナーがあります。



データスナップショットのアクティブ化

インスタンス全体およびインスタンス上の個々の既存インジケーター (KPI) でデータスナップショットを有効にします。データ スナップショットを有効にすると、インジケーターに複数のブレークダウン レベルを適用できます。

始める前に

データスナップショット (com.snc.pa.mlb) プラグインをインスタンスでアクティブ化する必要があります。また、「パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化」で説明されているように、本番インスタンスでデータスナップショットを使用するには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションも必要です。非本番インスタンスで、 パフォーマンスアナリティクス Premium プラグインのいずれかを有効にします。

必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
特定のインジケーターでは、2 レベルを超えるブレークダウンがサポートされています。この機能は 複数ブレークダウンと呼ばれ、データスナップショットの機能の 1 つです。この機能は、すべてのインジケーターで使用できるわけではありません。制限のリストについては、「データスナップショットの制限事項と要件」を参照してください。

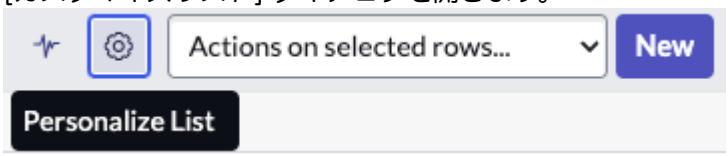
データスナップショット (com.snc.pa.mlb) プラグインを有効にして、インスタンスのデータスナップショットを有効にする必要があります。その後、インジケーターごとに一度に 1 つずつ、または一括でアクティブ化する必要があります。インジケーターのデータスナップショットをアクティブ化した後、そのインジケーターの変換ジョブを実行します。

重要:
クラシック パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブは、データスナップショットが有効になっているインジケーターで引き続き並行して実行されます。クラシックジョブが収集するスコアは、データスナップショットが有効である間は使用されません。並列ジョブ収集により、必要に応じてスムーズなロールバックが保証されます。

手順

1. 自動インジケーターまたは式インジケーターのリストに移動します。
2. 2 つ以上のレベルのブレークダウンをサポートするように複数のインジケーターを設定するには、次のアクションを実行します。

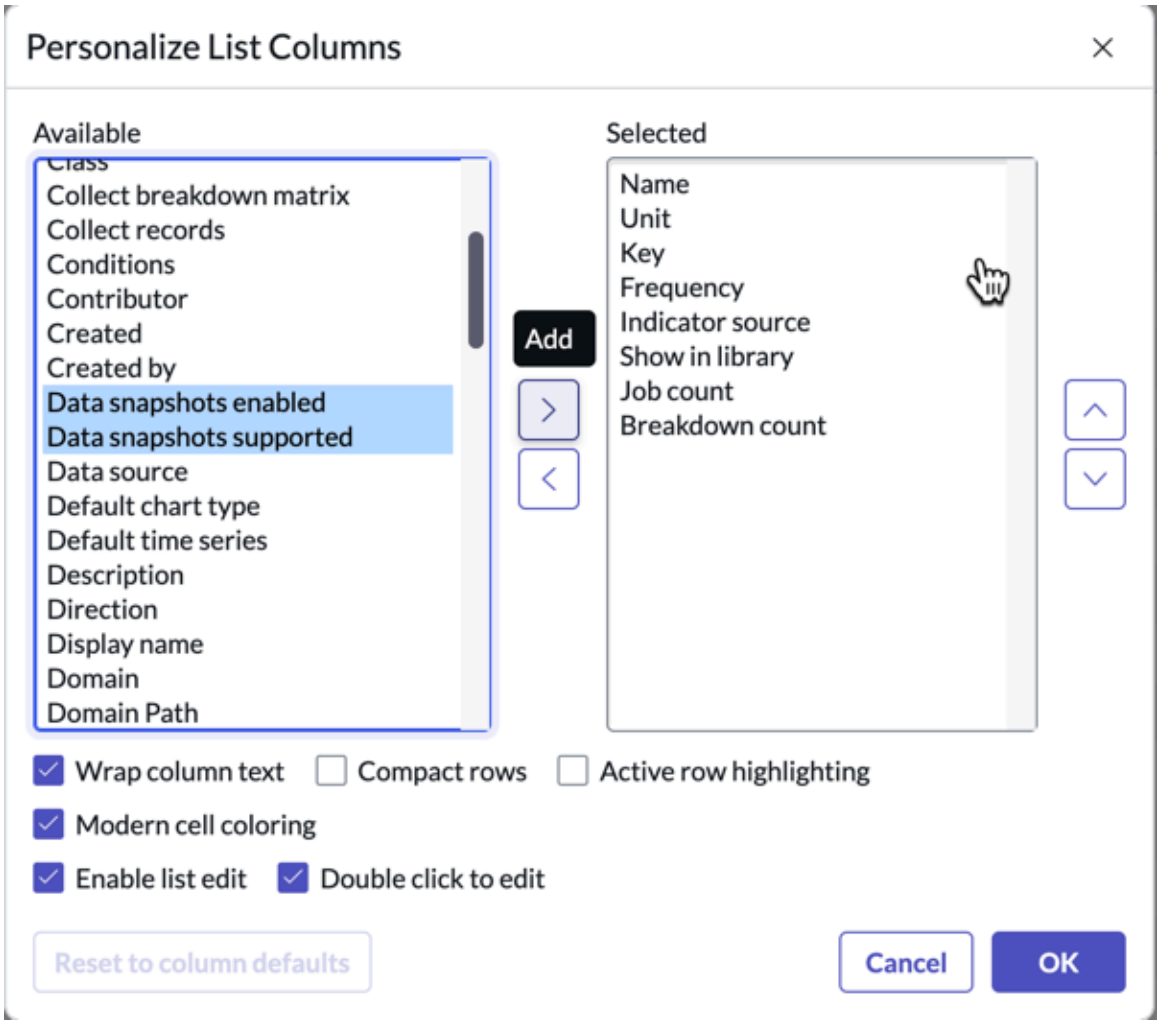
   a. [カスタマイズリスト] ダイアログを開きます。



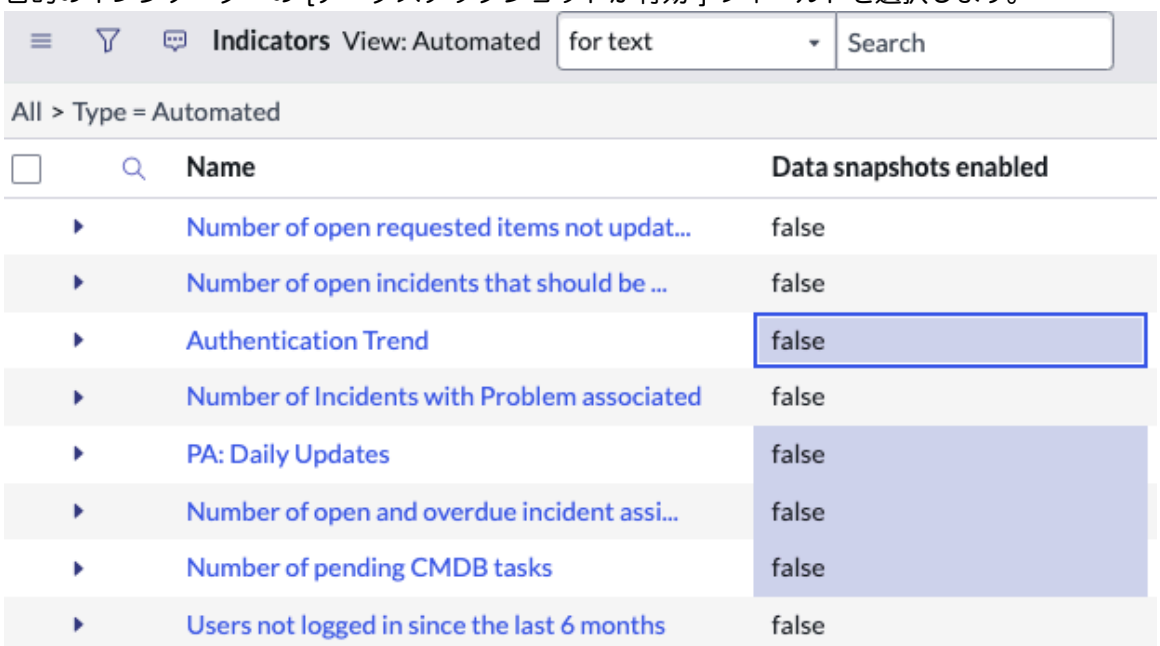
   b. **[Data snapshots enabled]** 列と **[Data snapshots supported]** 列を [Selected] リストに移動し、[OK] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



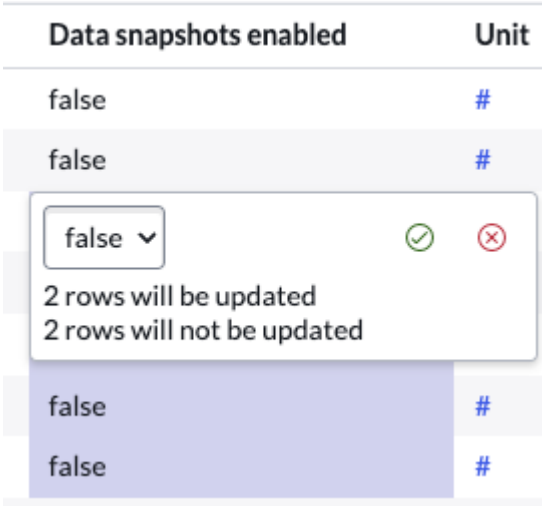
c. 目的のインジケーターの [データスナップショットが有効] フィールドを選択します。



d. これらのフィールドの値を変更できるダイアログを開くには、選択したフィールドの 1 つをダブルクリックします。
ダイアログに、変更されるフィールドの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

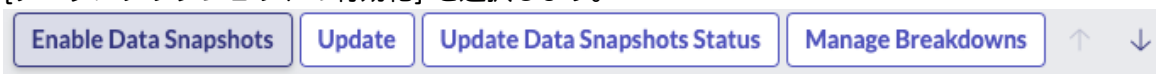


e. 値を「false」から「true」に変更して確定します。

3. 3 つ以上のレベルのブレークダウンをサポートするように個々のインジケーターを設定するには、次のアクションを実行します。

a. インジケーターレコードを開きます。

b. [データスナップショットの有効化] を選択します。



データスナップショットを有効にするプロセスを説明するモーダルが開きます。

- インジケーターが適切な データスナップショットソース (存在する場合) にリンクされること
- 適切なデータスナップショットソースが存在しない場合は作成されます
- データスナップショットの要件のうち、どの要件が満たされているか、または満たされていないか
- レコードボリュームがライセンスの許容しきい値内にあるかどうか

c. すべての要件を満たし、プロセスに同意する場合は、[続行] を選択します。

次のタスク

スケジュールされた変換プロセスは 1 時間ごとに実行され、既存のインジケーターへの変更が同期されます。このジョブは、新しく作成されたインジケーターも変換します。変換プロセスをトリガーし、変更を手動で同期するには、[データスナップショットのステータスを更新] を選択します。たとえば、サポートされていないインジケーター構成を修正し、そのインジケーターのデータスナップショットを有効にした後、変更を手動で同期します。

一部のインジケーターでデータ スナップショットが有効になっていない場合、インジケーター レコードには、そのインジケーターに互換性がなかった理由を示すメッセージが入ります。また、インジケーターに互換性を持たせる方法についての提案も得られます。

関連情報

自動インジケーターの作成

式インジケーターの作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データスナップショットの制限事項と要件

インジケーターとブレークダウンのいくつかの機能は、データスナップショットと複数のブレークダウンではサポートされていません。

インスタンスレベルの制限

制限またはサポートされていない機能	メモ
データベース要件	を持つインスタンスのみ RaptorDB Professional (PostgreSQL) データベース OracleやMariaDB/MySQLではなく、サポートされています。(プラグインが有効な場合にオンになります。)
ドメインセパレーション	ドメインセパレーションされたインスタンスはサポートされていません。

テーブルレベルの制限

制限またはサポートされていない機能	メモ
システムテーブル	システムテーブル (sys_* という名前) はサポートされていません。
テーブルサイズの技術的な制限	変更データキャプチャ (CDC) は、変更されたデータ (「デルタ」) を判断して追跡することで機能します。インジケーター ソースが大きすぎてデータ スナップショットが差分を追跡できない場合、そのインジケーターでは複数のブレークダウンはサポートされません。
テーブルサイズのライセンス制限	1,000 万件を超えるレコードを含むデータソースは、潜在的なパフォーマンスの問題により警告をトリガーします。
大量の変更	データソースとして、またはブレークダウンや条件によってインジケーターに寄与するテーブルで、先月の変更回数が 100 万回を超えた場合、そのインジケーターのデータスナップショットは有効になりません。
ベンチマーキングインジケーター	サポート対象外

インジケーターレベルおよびブレークダウンレベルの制限

制限またはサポートされていない機能	メモ
ベンチマーキングインジケーター	サポート対象外
条件のないインジケーター	サポート対象外
スクリプト化されたブレークダウンマッピング/集計	サポート対象外
文字列および数値タイプのフィールドでのブレークダウン/集計はサポートされていません	従来の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンやインジケーターと同じ制限が適用

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限またはサポートされていない機能	メモ
	されます。文字列または整数の選択肢フィールドでのブレークダウンがサポートされています。純粋な文字列フィールドと数値フィールドのみはサポートされていません。たとえば、[カテゴリ] は選択肢フィールドであるため、Incident.Category のブレークダウンがサポートされます。[簡単な説明] は純粋に文字列であるため、ブレークダウンはサポートされません。
一部のクエリ演算子のみがサポートされています	ソースの各フィールドタイプでサポートされていない演算子: • ブール/ChoiceTable/参照:ISEMPTYSTRING • SysClassName:INSTANCEOF • 文字列:MATCH_PAT および MATCH_RGX • 通貨:NOT_EQUALS、LESS_THAN、GREATER_THAN、LESS_次の間、等しい • 相対日付:LESS_THAN、LESS_THAN_EQ、GREATER_THAN、GR次の間
インジケーター (計算)	すべての 貢献インジケーター は、データスナップショットをサポートする必要があります。
計算式メソッド	式でメソッドを使用する式インジケーターはサポートされていません。
手動または外部のインジケーターまたはブレークダウン	自動インジケーター、インジケーター (計算)、および自動ブレークダウンのみがサポートされています。式インジケーターをサポートするには、式インジケーターのすべての貢献インジケーターがサポートされている必要があります。
データベースビューに基づくインジケーター	結合条件にsys_id以外のフィールドが含まれていない場合にのみサポートされます。
データベースビュープリフィックスの制限	インジケーター ソースがデータベース ビューで、データベース ビューのプレフィックスに大文字が含まれている場合、そのインジケーターはサポートされません。また、データベース ビュー内の 2 つのテーブルのプリフィックスが同じ場合、このインジケーターはサポートされません。
250 を超えるブレークダウン/アグリゲーションフィールドを持つインジケーター	250 レベルのブレークダウンのみがサポートされています。
収集ジョブに複数のタイムゾーンがあるインジケーター	日次収集と 1 つのタイムゾーンのみがサポートされています。
履歴処理	有効日後に収集されたデータのみがサポートされます。古いデータに 2 レベルを超えるブレー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限またはサポートされていない機能	メモ
	クダウンを適用しようとしても、結果は返されません。
ブレークダウンマトリクス	適用外です。すべてのブレークダウンの組み合わせは設計上サポートされています。
データコレクターに設定された収集期間	すべてのコレクションは毎日です。

フィールドレベルの制限 (インジケーター、ブレークダウン、ソース、およびデータコレクターフィールド)

制限またはサポートされていない機能	メモ
不適合時のラベル	ブレークダウンソースの [不一致のラベル **(Label for unmatched**)] オプションは、データスナップショットでは無視されます。
値がない時の挿入値	自動インジケーターの [値 (値が **nil** の場合)] オプションは、データスナップショットでは無視されます。
セキュリティタイプ	データスナップショットは、ブレークダウンソースで定義されたセキュリティタイプをサポートしていません。
データ収集ジョブの設定	開始/終了期間、特定の時間構成、およびその他の設定は、データスナップショットには影響しません。すべてのデータ収集は毎日行われます。データコレクションレコードに設定されたタイムゾーンのみが影響します。
バケットグループ	サポート対象外
関連リスト条件	関連リスト条件はデータスナップショットには適用されません
ターゲットとしきい値	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。
KPI シグナル	サポートするフィルターは 1 つだけです。
インジケータースコアカードの可視化	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。
スコアシート	データ スナップショットで有効になっているインジケーターのスコアシートを手動で変更しても、効果はありません。
インジケーターまたはソース条件の文字列フィールド	4,000 文字の上限

インジケーターのデータスナップショットの非アクティブ化

インジケーターがデータスナップショットをサポートしている場合は、インジケーターのデータスナップショットをオンまたはオフにすることができます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
データスナップショットの制限により、インジケーターが使用できなくなる可能性があります。この場合、そのインジケーターのデータスナップショットを非アクティブ化できます。後でそのインジ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ケーターのデータスナップショットを再アクティブ化できます。詳細については、「データスナップショットの制限事項と要件」を参照してください。

> **重要:**
> アドミニストレーターは、システムプロパティ com.snc.pa.dm.enable.mlb を false に設定することで、インスタンス全体のデータスナップショットを無効にできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インジケーター > 自動インジケーター または **All** (すべて) > インジケーター > インジケーター (計算)インジケーターによって異なります。
2. 前のインジケーター、ブレークダウンソース、およびブレークダウンマトリクスに復元するインジケーターを開きます。
3. [データスナップショットの無効化] を選択します。
4. [**Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
将来のいつでもこの手順を取り消すことができます。その後、インジケーターは、データスナップショットをサポートする新しいソースタイプに移動されます。アドミンがインスタンスのデータスナップショットを無効にしてから再度有効にすると、以前に有効にしていたインジケーターに対してデータスナップショットが自動的に再度有効になります。

データスナップショットのソースとコレクション

データスナップショットには、インジケータースコア収集用のデータソースと、インジケーターとこれらのソース間のマッピングが含まれます。

インジケーターとデータスナップショットソース間のマッピング

データスナップショットが正常にアクティブ化されたインジケーターごとに、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターとブレークダウンのソースがデータスナップショットソースに置き換えられます。これらのソースとインジケーター間のマッピングは、インジケーターからデータスナップショットへのマッピング [pa_cdc_indicator_analytics_mapping] テーブルに表示されます。表示するには、pa_adminロールが必要です。このテーブルには、各インジケーターのデータスナップショットデータソースと、インジケーターでデータスナップショットのサポートが開始された日付が表示されます。この日付より前から複数のブレークダウンスコアを収集することはできないため、この日付は重要です。

[データスナップショット] フィールドから、データスナップショットデータソースに移動できます。

データスナップショットデータソース

データスナップショットソースは、データスナップショット [pa_dm_analytics_source] テーブルで pa_admin ロールを持つユーザーが使用できます。デフォルトでは、このテーブルの内容は読み取り専用です。ただし、admin ユーザーは [データ収集を有効にする] チェックボックスをフォームに追加できます。この場合、pa_adminユーザーはデータ収集ジョブを有効または無効にできます。

データスナップショット収集ジョブ

データスナップショットジョブは、pa_adminユーザーが読み取り専用でアクセスできます。ジョブを開くには、次に移動します: プラットフォームアナリティクス管理 > データコレクション > データスナップショット.

クラシック パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブは、引き続きデータスナップショット収集ジョブと並行して実行されます。クラシックジョブのスコアは、データスナップショットが有効

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

になっているインジケーターには使用されません。必要に応じて、ロールバックを簡素化するためにクラシックジョブを引き続き実行します。

データスナップショット収集ジョブは、ソーステーブルのサブセットをコピーします。これらのジョブでは、レコードのすべての日次変更のコピーも作成されます。したがって、これらのジョブにより、 パフォーマンスアナリティクスによるストレージ使用量が増加する可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

ターゲットとしきい値を使用すると、データ内の重要なポイントを定義し、スコアが特定のポイントに達したときに通知を行うことができます。

パフォーマンスアナリティクス ターゲット

ターゲットは、組織が達成したい目標です。ターゲットは、特定の日付の希望のスコアとインジケーターの実際のスコアとの差異を示します。

ターゲットは、 KPI 詳細 またはそれ コア UI に相当する アナリティクスハブ に作成できます。

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人ターゲットを共有することはできないため、 アナリティクスハブ と KPI 詳細にのみ表示されます。ターゲットの可視化のマトリクスは次のとおりです。

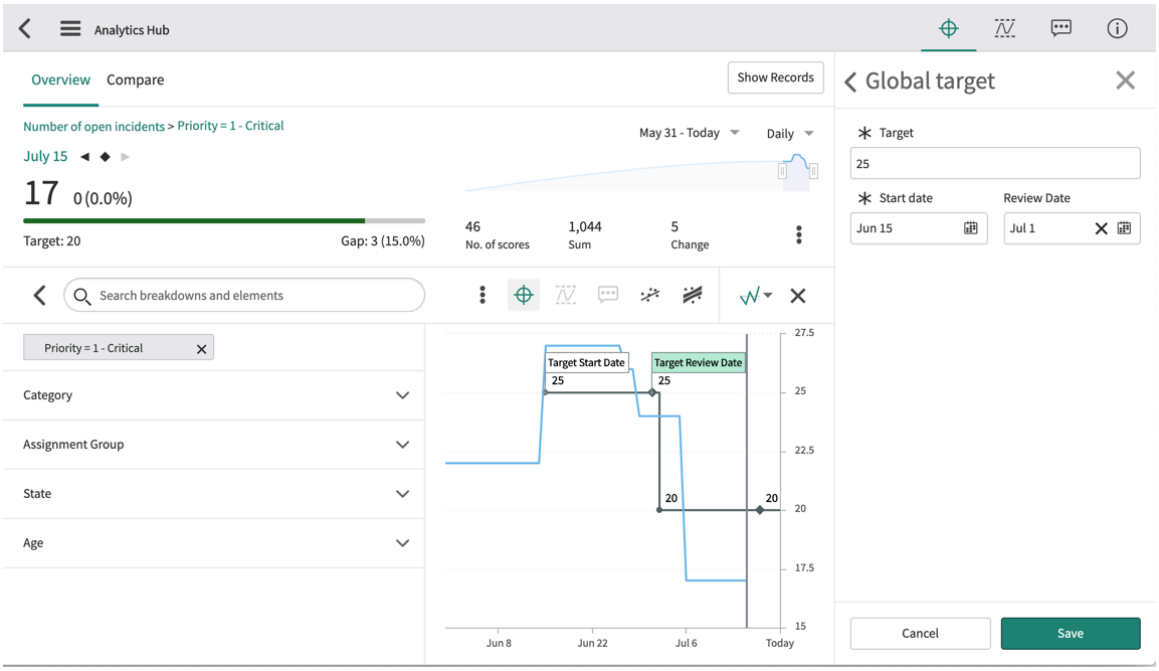
ターゲットを示す機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人のターゲット	表示または設定
KPI 詳細	アナリティクスハブ	グローバルでパーソナル	設定して表示
時系列 データと 単一スコア プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル	表示のみ
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス ターゲットを示す時系列または単一スコアデータの可視化を含む	ターゲットを表示する時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェットを含むレスポンシブダッシュボード	グローバル	表示のみ
プラットフォームアナリティクスダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイトカードには、達成または違反しているターゲットが表示されます	同等のものはありません	グローバル	表示のみ
UI ビルダー ターゲットを示す時系列または単一スコアデータの可視化を含むページ	同等のものはありません	グローバル	表示のみ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットを編集用に開く



ターゲットの作成または編集

インジケーターのターゲット値を設定できます。ターゲットを特定のブレークダウン要素と時系列にのみ適用することができます。ターゲットは選択した日付で適用を開始し、次のターゲットを設定するまで適用を続けます。ただし、ターゲットを再検討するレビュー日を設定できます。

始める前に

必要なロール:すべてのユーザーに表示されるグローバルターゲットを作成する pa_target_admin。アナリティクスハブまたはKPI 詳細にインジケーターを表示できるユーザーは、ターゲットを表示し、個人のターゲットを作成できます。pa_target_admin、pa_power_user、またはpa_adminは、任意のグローバルターゲットを編集できます。

手順

1. いずれも：
   - インジケーターの アナリティクスハブ を開きます。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスで作業している場合は、インジケーターのKPI 詳細を開きます。詳細については、「でのターゲットの作成 KPI 詳細」を参照してください。

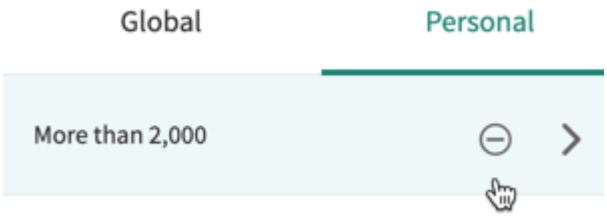
     注:
     KPI 詳細 には、複数のブレークダウン要素のターゲットを一括で設定する追加オプションがあります。詳細については、「での複数のブレークダウン要素のターゲットの追加 KPI 詳細」を参照してください。

2. ターゲットをスコアのサブセットに制限するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。
3. ターゲットを 7 日間の合計など、特定の時系列にのみ適用する必要がある場合は、時間アグリゲーションを選択します。
   詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
4. [ターゲット] アイコン ( ) をクリックします。
   [ターゲット] パネルが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [ターゲット] パネルで、グローバルターゲットまたは個人ターゲットを選択します。
このインジケーターには、選択したブレークダウン要素または時系列に適用される、既存のグローバルターゲットまたは個人ターゲットがすべて表示されます。ブレークダウン要素または時系列の選択と選択解除をインタラクティブに行うことができ、ターゲットのリストが更新されます。
6. 新しいターゲットを作成するか、既存のターゲットを編集または削除します。
   - ターゲットを作成するには、+ プラス記号をクリックします。
   - 既存のターゲットを編集するには、[ターゲット] パネルでターゲットをクリックします。
   - アナリティクスハブ内の既存のターゲットを削除するには、削除アイコンをクリックします。



7. 次のいずれかの方法でスコアのターゲット値を入力します。
   - ターゲットに絶対値を入力するか、
   - ベースラインの改善としてターゲットを設定する を選択します。このオプションを選択すると、次のフィールドが利用可能になります。

フィールド	説明
ターゲット計算	改善のパーセンテージまたは改善するインジケーターの単位数を選択します。
方向	インジケーターに方向が定義されている場合、このフィールドは読み取り専用です。インジケーターの方向が変わると、このフィールドも変更されます。それに応じてターゲットが再計算されます。 インジケーターに方向がない場合は、ここでターゲットの方向を設定できます。ただし、通常はインディケータの方向を定義する方が良いです。たとえば、改善または低下を示すスコアの色は、インジケーターで方向が定義されている場合にのみ機能します。
KPI のパーセンテージ/単位	ベースラインに対するターゲット変更として必要な KPI の割合または単位数を入力します。
ベースライン	改善を既存のターゲットに適用するか、 アナリティクスハブ で選択した日付範囲の平均値に適用するかを決定します。既存のターゲットを選択するには、別のターゲットが既に存在している必要があります。日付範囲の詳細については、「アナリティクスハブのスコアの日付範囲」を参照してください。
ベースライン値	ターゲットのベースとして機能する読み取り専用の計算値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ターゲット	この値は、ベースラインとターゲット計算から計算されます。たとえば、カウントの小数値を整数に変更するなど、この値を調整することができます。ターゲットを調整すると、KPI のパーセンテージ/単位が再計算されます。

8. 開始日を選択
   将来の日付を設定できます。
9. レビュー日を選択します。
   ターゲットは、選択した開始日から次のターゲットの開始日 (存在する場合) まで適用されます。後のターゲットを定義しない場合、ターゲットは無期限に適用されます。したがって、レビュー日は、ターゲットの変更を検討するリマインダーとして機能します。レビュー後にターゲット値を変更するかどうかにかかわらず、新しい将来のレビュー日を選択することを検討してください。

   注:
   ターゲットを重複させることはできません。一度にアクティブにできるターゲットは 1 つだけです。

10. **[Save** (保存)] をクリックします。

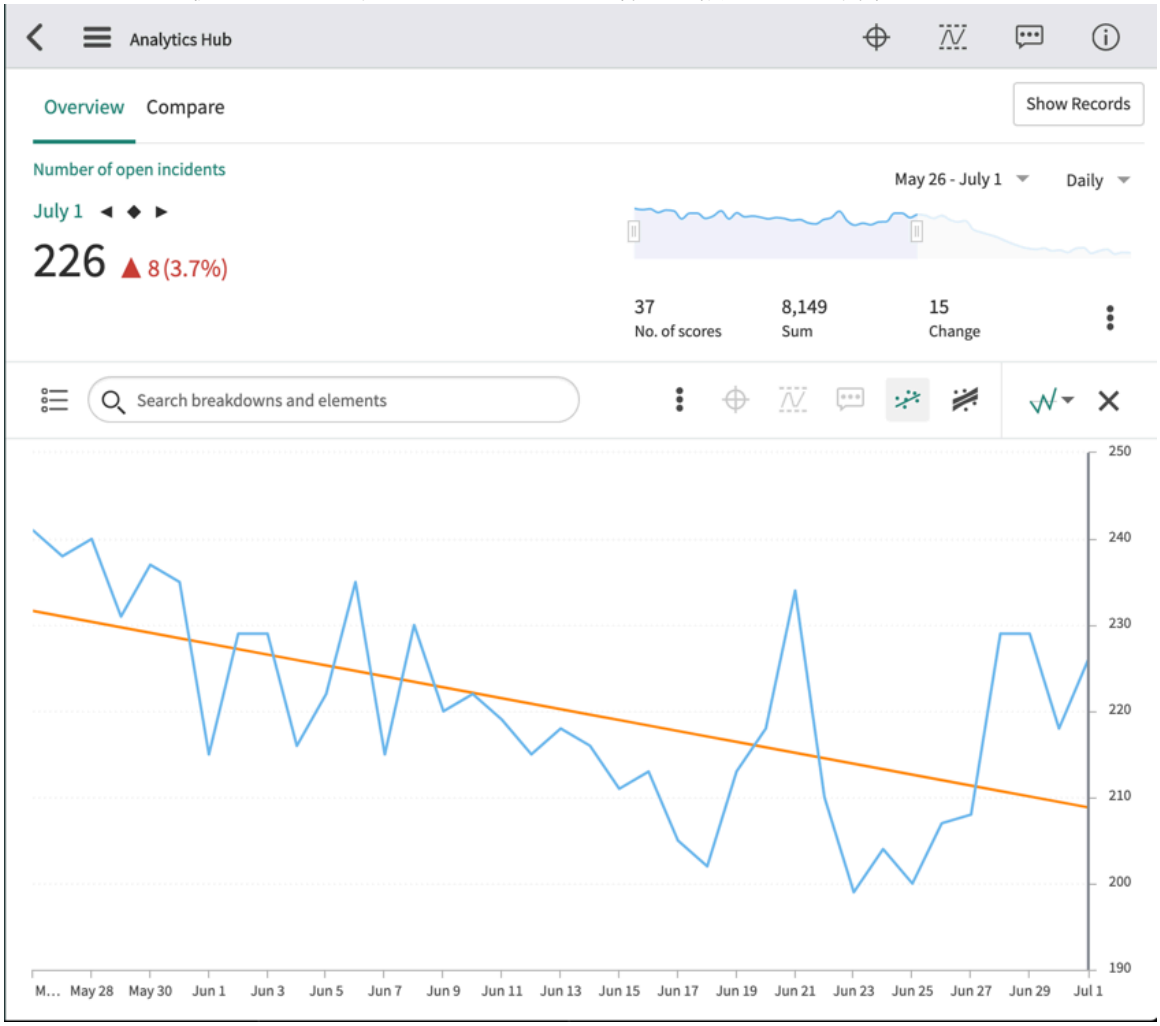
Example: ターゲットの作成、レビュー、および編集

ここでは、より高度なターゲット機能を見ていきます。今日が 7 月 1 日で、オープンインシデントの数が 5 月下旬から 6 月中旬にかけて定期的に変化し、徐々に減少傾向に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

あるとします。その後、大きく上下し始めましたが、全体的な傾向はまだ下降していま



す。

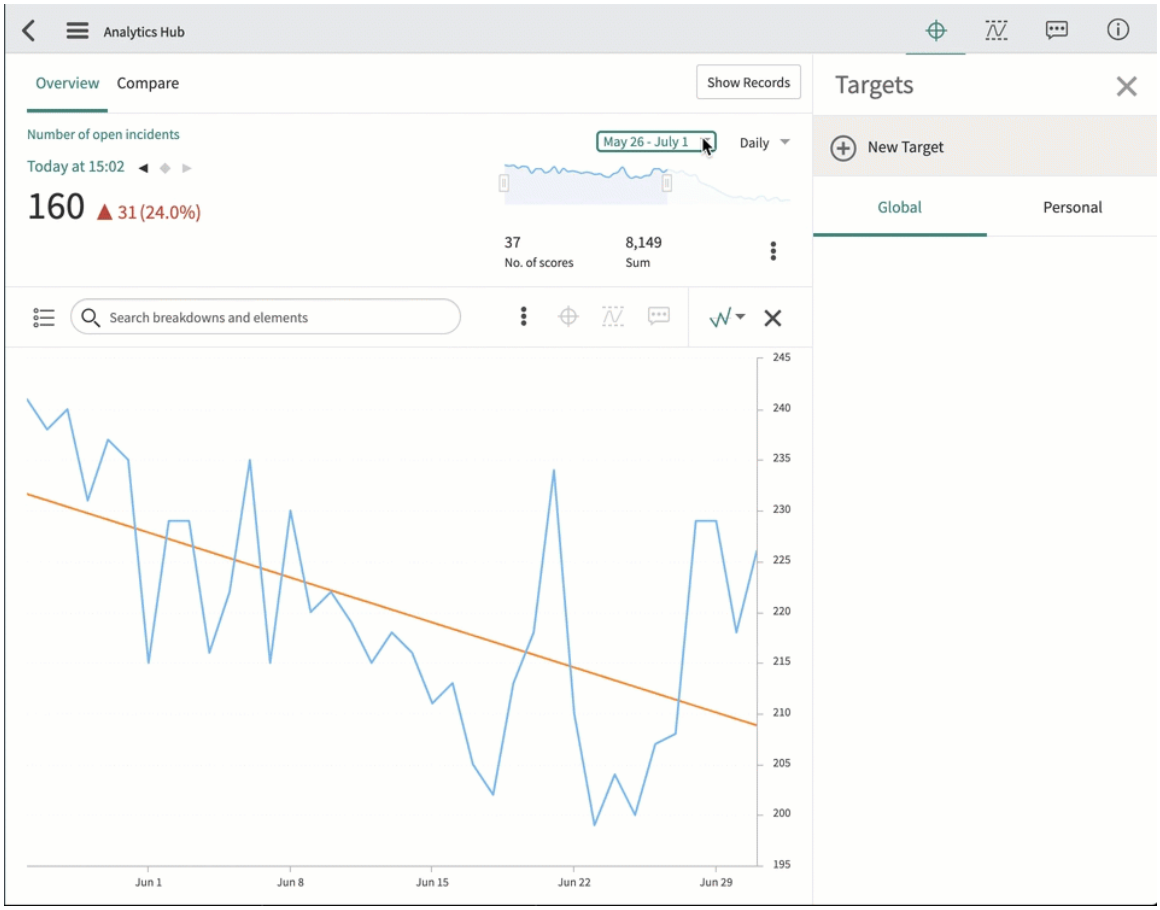
インシデントマネージャーは、オープンインシデントの数を減らしたいと考えています。スコアからは、設定に適した目標がわかりません。しかし、6月中旬までの数字は信頼できるように見えるので、それまでの平均スコアが10%減少することは妥当なように思われます。チームの新しいグローバルターゲットを作成します。6 月 15 日までの日付範囲を選択し、その期間の平均の 10% の減少を目標として設定します。今日からターゲットを開始し、7 月 15 日に評価することにしました。

最初のターゲットのフィールド設定

フィールド	**Value** (値)
ターゲット計算	割合 (%)
パーセンテージ	10
ベースライン	選択した日付範囲の平均スコア (古いターゲットが設定されていないため、選択肢のみ)
ターゲット	当初は 202.5 と計算されていました。インシデント数は整数でしかないため、この値を 203 に四捨五入することにします。
開始/終了日	7月1日/7月15日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

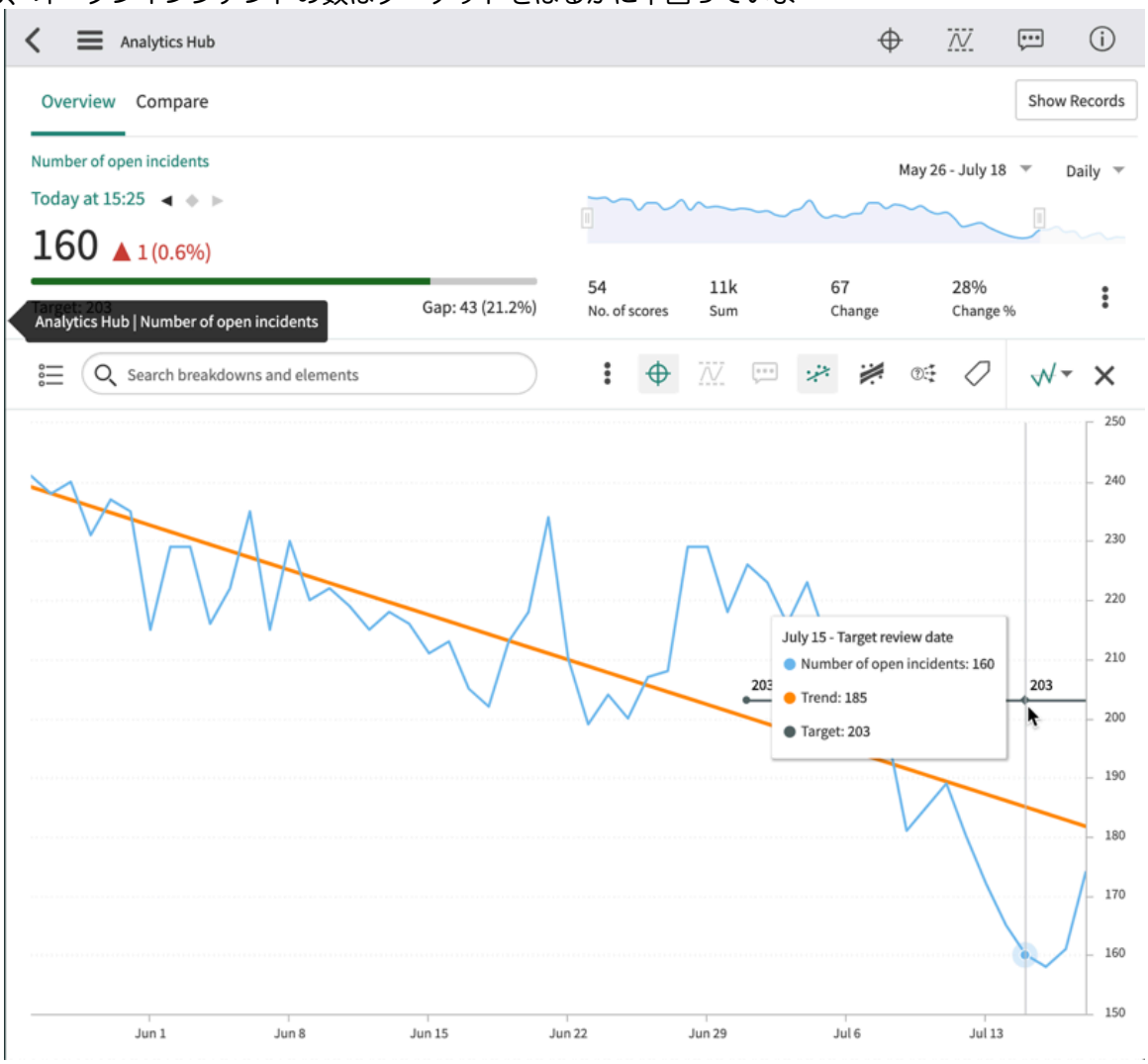


7 月 15 日が近づき、チームはすべての予想を上回りました。または、顧客が休暇中でインシデントを報告していない場合もあります。いずれの場

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合も、オープンインシデントの数はターゲットをはるかに下回っていま



す。

いくつかのオプションがあります。

- 既存のターゲットを編集します。新しいターゲット値と新しいレビュー日を設定します (例:160 と 8 月 15 日)。
- 別のターゲットを作成します。古いターゲットは、新しいターゲットが開始された日付で適用されなくなります。新しいターゲットは、再びベースラインの改善になる可能性があります。古いターゲットを新しいターゲットのベースラインとして設定するオプションがあります。

次のタスク

通知を受信するユーザーを選択します。ターゲットが達成された場合、または 14 日以内に達成されると、通知が送信されます。詳細については、「ターゲット通知を受信するユーザーの構成」を参照してください。

また、 KPI 詳細 のターゲットに対して責任ユーザーを指名することもできます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

関連情報

KPI 詳細

ターゲットのカラー スキームの作成

ターゲットのカラー スキームを使用すると、ターゲットに対するインジケーター スコアの位置を可視化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
たとえば、オープンになっているインシデントの数をフィルタリングする場合、25% 増加のスコアは赤で、10% 増加のスコアはオレンジで、変化なしは黄色で表示することができます。一方、たとえば、25% の減少は暗緑色で示すことができます。パフォーマンス分析では、デフォルトで 3 色の信号と 5 色の信号の 2 つのターゲットのカラースキームが利用できます。

注:
カラースキームはグローバルターゲットに対してのみ設定でき、個人ターゲットに対しては設定できません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > システム > ターゲットのカラースキーム.
   ベースシステムにはいくつかのターゲットカラースキームが用意されています。
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] と [説明] を入力します。
4. 5 つの範囲のそれぞれとそれに関連する色を定義します。

   すべての範囲を使用しない場合は、複数の範囲の制限に対し、同じ範囲の色を使用できます。

   色定義 [sys_report_color] テーブルから色を選択します。その他の色を定義する方法については、「 アナリティクスのシステム色を定義します」を参照してください。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

   デフォルトのインジケーター ターゲットのカラー スキームは、 パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ. これは、インジケーター ターゲットに対してカラー スキームが選択されていない場合に使用されます。

ブレークダウンのすべての要素へのターゲットの追加

ブレークダウンのあるインジケーターのデータの各サブセットに個別に適用されるターゲットを指定できます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin または admin

このタスクについて
たとえば、各アサイン先グループのスコアに個別に適用されるインシデント インジケーターにターゲットを設定することができます。

注:
この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。[すべての要素] チェック ボックスは、個人のターゲットには表示されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ターゲット.
2. ターゲットを設定する [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] を選択します。
   [すべての要素] チェック ボックスはデフォルトで選択されています。このチェック ボックスをオフにしないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: [時系列] を選択します。
   たとえば、クローズされたインシデントを毎日測定し、クローズするインシデントの月間目標を設定することができます。
5. オプション: ターゲットの [カラースキーム] を選択します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク
新しいターゲットのターゲット値を定義します。

ターゲット通知を受信するユーザーの構成

ターゲットが達成されたときに通知を受信するユーザーを制御できます。今後 14 日以内に目標が達成されると思われる場合にも通知が送信されます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin

このタスクについて
この機能はグローバル ターゲットにのみ適用されます。個人のターゲットの場合、ターゲットの所有者は自動的に通知を受け取ります。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ターゲット.
2. ターゲットを選択します。
3. [ユーザー] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. 通知するユーザーを [コレクション] 列から [ユーザーリスト] 列に移動します。
5. [保存] をクリックします。

次のタスク
通知は、ターゲットに達すると自動的に送信されます。通知を受信するユーザーは、その通知の登録を解除することができます。

関連情報
通知

パフォーマンスアナリティクス しきい値

しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高い状態であるなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、メッセージは アナリティクスハブ または KPI 詳細から直接利用できます。

しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、それを作成したユーザーのみが表示でき、明るい灰色の点線で表示されます。グローバルしきい値はすべてのユーザーに表示され、濃い灰色の点線で表示されます。個人のしきい値は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細にのみ表示されます。しきい値のヴィジビリティのマトリクスは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しきい値を表示する機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人のターゲット
KPI 詳細	アナリティクスハブ	グローバルでパーソナル
時系列 プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル
のダッシュボード プラットフォームアナリティクス しきい値を示す時系列データの可視化を含む	しきい値を表示する時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェットを含むレスポンシブダッシュボード	グローバル
プラットフォームアナリティクスダッシュボードのプロアクティブアナリティクスインサイトカードには、違反しているしきい値が表示されます	同等のものはありません	グローバル
UI ビルダー しきい値を示す時系列データの可視化を含むページ	同等のものはありません	グローバル

グローバルしきい値は、 パフォーマンスアナリティクス 時系列ウィジェット と データの可視化にも表示できます。 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、 プロアクティブアナリティクスインサイトカードを使用して、しきい値に関連するイベントについて閲覧者に警告できます。

自動翻訳

しきい値の作成または編集

正常と見なされるスコアの範囲を定義するためのしきい値を作成します。

始める前に

必要なロール:自分だけのしきい値に対応する任意のロール。グローバルしきい値用および他のユーザーによって作成された個人用しきい値用のpa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール(pa_power_user、pa_admin、またはアドミン)。

このタスクについて

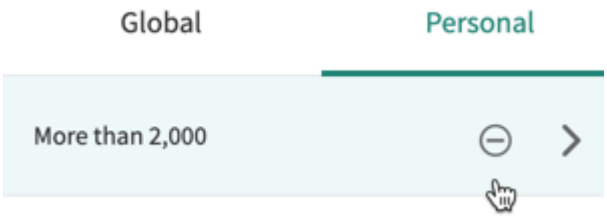
しきい値は任意のインジケーターに設定できます。ブレークダウンと要素の組み合わせ、およびしきい値が適用される時系列集計を指定できます。

手順

1. インジケーターの KPI 詳細 を開きます。
   プラットフォームアナリティクスを使用していない場合は、代わりにアナリティクスハブを開きます。
2. しきい値をスコアのサブセットに制限するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。インジケーターで データスナップショット が有効になっている場合は、さらにブレークダウンを選択できます。
3. しきい値をデータの特定の集計にのみ適用する必要がある場合は、時系列集計を選択します。
4. しきい値アイコン ( ) をクリックします。
   [しきい値] パネルが開きます。
5. [しきい値] パネルで、[グローバル] または [個人] のしきい値を選択します。
   個人のしきい値は自分にのみ表示されますが、admin ロールを持つユーザーは編集または削除できます。個人のしきい値はウィジェットには表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 新しいしきい値を作成するか、既存のしきい値を編集または削除します。
   - しきい値を作成するには、プラス + 記号をクリックします。
   - 既存のしきい値を編集するには、[しきい値] パネルでそのしきい値をクリックします。
   - アナリティクスハブ内の既存のしきい値を削除するには、削除アイコンをクリックします。



   KPI 詳細の既存のしきい値を削除するには、そのしきい値を編集用に開き、[削除] をクリックします。

7. しきい値を作成または編集している場合は、しきい値通知をトリガーする条件を選択します。スコアが過去最高値に達したとき、またはスコアが特定の値を下回ったときなどの条件があります。
8. **[Save** (保存)] をクリックします。

次のタスク
しきい値を作成したら、しきい値通知を設定します。

関連情報
KPI 詳細

しきい値通知を受信するユーザーの構成
しきい値に達したときにメールを受信するユーザーを設定します。

始める前に
必要なロール:pa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、または admin)

このタスクについて
この手順は、グローバルしきい値に適用されます。個人のしきい値の通知は、そのしきい値の所有者にのみ送信されます。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター > しきい値.
   プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていない場合、パスは **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > しきい値
2. しきい値を開きます。
3. [ユーザー]関連リストで、[編集]をクリックします。
4. [メンバーの編集] 画面で、メンバーを選択して追加します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。

次のタスク
各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。詳細については、「しきい値の概要通知の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

しきい値のコメントの設定

[PA しきい値のチェック] ジョブは、PA しきい値到達コメント スクリプト アクションをトリガーします。このアクションは、しきい値に達したインジケーターにコメントを追加します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
コメントは、インジケーターの KPI 詳細 または アナリティクスハブ を開くと表示されます。異なるテキストを表示するには、しきい値コメントを設定します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムポリシー > イベント > スクリプトアクション.
2. **[PA** しきい値到達コメント] を開きます。
3. スクリプト内の *`buildMessage`* 関数を変更します。
4. [**Update** (更新)] を選択します。

しきい値の概要通知の構成

各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、概要通知にアクセスし、通知を受け取るユーザーおよび通知の内容を変更する方法について説明します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムポリシー > メール > 通知.
2. **[PA** しきい値通知] を選択します。
3. オプション: [受信者] セクションに、[ユーザー] または [グループ] のいずれかのロック アイコンをクリックしてから適切なユーザーまたはグループを選択し、追加します。
4. オプション: [メッセージ] フィールドを変更し、メッセージの内容を変更します。
5. [更新] をクリックします。

ターゲット/しきい値を一括削除するか、別のユーザーの個人のターゲットまたはしきい値を削除します

グローバルターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、一括で削除できます。同じプロセスを使用して、別のユーザーの個人のターゲットまたはしきい値を削除します。

始める前に
必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

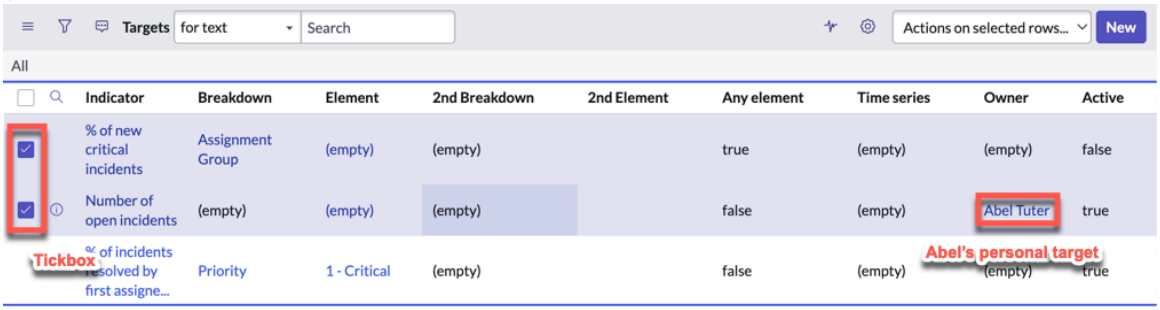
このタスクについて
ロールでグローバルターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、ターゲットまたはしきい値リストから、個人のターゲットまたはしきい値を含む任意のターゲットまたはしきい値を削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > ターゲット または パフォーマンスアナリティクス > しきい値.
2. 削除するターゲットまたはしきい値のチェックボックスをオンにします。
   所有者がターゲットまたはしきい値に指定されている場合、それはその個人のターゲットまたはしきい値で



す。

3. [選択した行のアクション...] リストを展開し、[削除] を選択します。
   確認ダイアログが開きます。
4. 確認ダイアログの警告を読み、安全であることが確実な場合は、[削除] を選択します。

他のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値の追加または変更

グローバルターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、任意のユーザーの個人ターゲットとしきい値を変更または追加できます。

始める前に
必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

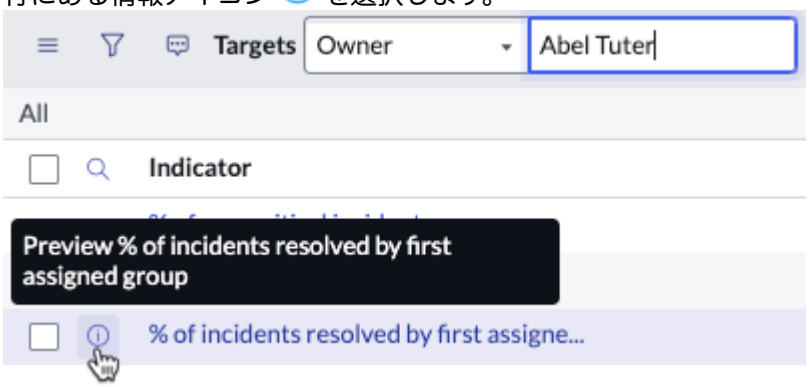
このタスクについて
ユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を検索するか、新しいターゲットまたはしきい値を作成してユーザーに割り当てることができます。

手順

1. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > ターゲット または パフォーマンスアナリティクス > しきい値.
2. 既存の個人のしきい値またはターゲットを開いて変更するには、次の手順を実行します。

   a. 所有者でレコードを検索します。

   b. 変更するターゲットまたはしきい値が見つかったら、そのターゲットまたはしきい値レコードの行にある情報アイコン ⓘ を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

そのターゲットまたはしきい値レコードのプレビューが表示されます。

c. プレビューで、[レコードを開く] を選択します。
プレビューされたレコードが開きます。

3. 新しい個人のしきい値またはターゲットを作成するには、次の手順を実行します。

a. [ターゲット] または [しきい値] リストで、[新規] を選択します。

b. 開いたターゲットフォームまたはしきい値フォームで、[所有者] を指定します。
オーナーは、インジケーターの KPI 詳細 または アナリティクスハブでこのターゲットまたはしきい値が表示される唯一のユーザーです。

しきい値の場合、1 人の所有者を選択する代わりに、関連リストで複数のユーザーを指定できます。これらすべてのユーザーには、インジケーターの KPI 詳細 と アナリティクスハブ でこのしきい値が表示されます。

4. インジケーターと、ターゲットまたはしきい値のブレークダウン、ブレークダウン要素、または時系列集計を指定または変更します。
5. その他の関連フィールドに入力します。
6. 新しいターゲットを作成する場合は、保存します。
[ターゲット値] 関連リストが表示されます。
7. ターゲットの場合、既存のターゲット値の開始日、レビュー日、または値を変更するか、[新規] を選択して新しいターゲット値を作成します。
複数のターゲット値を設定できますが、開始日とレビューの日付範囲を重複させることはできません。

リアルタイムスコア

最新のデータ収集ジョブからではなく、一部の パフォーマンスアナリティクス スコアをリアルタイムで表示できます。リアルタイムスコアが有効になっている場合は、 KPI 詳細 および一部のデータビジュアル化で表示できます。

通常、可視化で表示できる最新のスコアは、正常に実行された最新の データ収集ジョブのスコアです。ただし、一部のチャート化ではインジケーター スコアをリアルタイムで表示できます。

次の基準を満たすインジケーターのリアルタイムスコアを表示できます。

- インジケーターは 自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターのアグリゲート関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーター ソースは データベース ビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

次の可視化では、スコアをリアルタイムで表示できます。

- アナリティクスハブ。
- プラットフォームアナリティクス 単一スコアなどのリアルタイム更新をサポートするデータの可視化。
- KPI 詳細

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- パフォーマンスアナリティクス リアルタイム可視化によるウィジェットのスコアリング
- ワークベンチウィジェット、メインインジケーター用

警告:
リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。

重要:
アナリティクスハブ リアルタイムスコアは自動的に更新されません。 アナリティクスハブ の最新のスコアを表示するには、ブラウザーページを更新します。ウィジェットと KPI 詳細 は自動的に更新されます。

関連情報

- 自動インジケーターの作成
- アナリティクスハブ 特定のインジケーターに対して
- スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成
- 単一スコア レポート
- ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

時系列集計の適用

インジケーターの変化を個別の時間間隔にアグリゲートできます。これらの集計により、傾向がわかりやすくなったり、ターゲットに対する進捗状況を追跡したりすることができます。

時系列集計は、AVG や SUM などの数学関数と、四半期ごとの時間数式を組み合わせたもので構成されます。プラットフォームアナリティクス では、KPI 詳細でインジケーターを探索するとき、またはインジケーターデータソースのデータ可視化 (時系列の可視化など) を作成するときに、集計を選択できます。コア UIでは、次のいずれかで集計を選択できます。 アナリティクスハブ または、スコアウィジェットなどのパフォーマンスアナリティクスウィジェットを作成する場合。

時系列集計を理解するには、まず、毎日歩いた歩数を監視する時計、電話、またはフィットネストラッカーを検討してください。これらのデバイスはすべて、分単位で測定値を収集して保存します。ただし、アプリとレポートは、多くの場合、先週、先月、または昨年と比較してアクティビティの進行状況を表示するように設計されています。正午と午前10時のどちらがより活発であったかを確認するのは1つのことです。しかし、本当に知りたいのは、時間をかけて改善し続けているかどうかです。ステップを週次、月次、および年次スコアに集計すると、アクティビティの傾向を簡単に特定できます。

日次インジケータースコアは基本であり、ほとんどの場合必要ですが、週、月、または四半期ごとにスコアを使用できるようにしたい場合もあります。それ以外の場合は、現在の時点までの累積的な進捗状況を示す月/四半期/年度累計の数値が必要です。複数のインジケーター ソースとインジケーターを定義して各間隔を追跡する代わりに、 パフォーマンスアナリティクス ネイティブにデータを 1 回キャプチャしてからビューを調整できます。次のいずれかのシナリオでは、時系列集計を使用します。

- 期間時系列を使用して、頻度の低い期間にデータをアグリゲートします。
- データのスパイクを滑らかにし、実行時間系列で傾向を明らかにします。
- 終了日の時系列を使用して、期間累計累積スコアを決定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットまたは アナリティクスハブ エントリに時系列集計を設定することはできません。

インジケーターでの時系列集計の使用例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy のビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス.

部分期間

一部の時系列には、不完全な収集期間のインジケーター スコアが含まれます。これらの期間には、現在の期間とデータ収集の開始からの期間を含めることができます。名前のプラス記号 + で、このような時系列を識別します。

部分期間のデータを含まない時系列には、期間の始めと終わりのデータが必要です。たとえば、 月別合計 の時系列集計では、月の初めと終わりのスコアが存在する必要があります。そうでない場合、その月は含まれません。[月別合計 +] など、部分的な期間のデータを含む時系列には、期間内の 1 日のデータのみが必要です。

警告:
部分期間は、平均などの特定の集計の結果を歪める可能性があります。

アグリゲーション定義

パフォーマンスアナリティクス には、デフォルトの SUM、AVG、およびその他の時系列アグリゲーション定義が付属しています。

危険:
これらの定義を変更しないでください。新しい定義を追加しないでください。集計定義を変更すると、予期しない結果が生じる可能性があります。新しい定義を作成すると、データコレクタージョブが実行されなくなる可能性があります。

許可されていない時系列集計

パーセントを単位とするインジケーターに合計集計を配置することはできません。パーセンテージを合計しても意味がありません。

時系列集計の検証

時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

インジケーターの時系列集計の除外

一部の時系列集計は、技術的には許可されていますが、インジケーターに適用すると役に立ちません。たとえば、パーセンテージ値の合計が有用なインサイトを提供してくれる可能性は低いです。これらの時系列集計をインジケーターから除外できます。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

日付範囲セレクターを使用した時系列集計の表示

ウィジェットで [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、予想よりも期間が 1 つ多く表示されることがあります。その理由は、日付範囲セレクターで 3m などの期間が選択されている場合、インスタンスはそれを 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示するためです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- 結果または貢献インジケーターへの時系列の適用
- での時間アグリゲーションの選択 KPI 詳細
- アナリティクスハブでの時系列集計
- 時系列可視化のインジケーターデータオプション
- スコア ウィジェットでの最新スコアによるチャート化の作成

時系列集計のユースケース

パフォーマンスアナリティクス は 4 つの異なるタイプの時系列を提供します。ユースケースを理解して、使用するタイプを把握します。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

時系列のタイプごとのユースケースと例

タイプ	例	**Use Case** (ユースケース)
実行中	28 日間分の移動平均/合計 30 日間分の移動平均/合計 7 日間分の移動平均/合計 12 か月間移動平均/合計 3 か月間移動平均/合計 6 か月間移動平均/合計 13 週間分の平均/合計を実行 4 週間分の平均/合計を実行 四半期移動平均/合計	傾向を見つけやすくするために、データのスパイクを滑らかにします。たとえば、日次インシデント数を見ると、毎週末に減少が見られる場合がありますが、7 日間の実行平均でそれらの減少は平滑化されます。
終了日	会計四半期累計平均/合計 会計年度累計平均/合計 月度累計平均/合計 四半期累計平均/合計 週累計平均/合計 年度累計平均/合計	期間の累積スコアを表示します。これらの時系列集計は、達成する毎月の目標がある場合に非常に役立ちますが、月全体の速度も確認する必要があります。
期間別	週別平均/合計 月別平均/合計 会計四半期別平均/合計 四半期別平均/合計	期間全体の累積スコアを表示します。P1 インシデントの数を毎日追跡したい場合もありますが、スコアを毎日考慮すると頻度が高すぎます。代わりに、「月別」の時系列を使用して月次レベルでターゲットを設定できます。現在の期間は不完全であるため、結果には表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列のタイプごとのユースケースと例 (続く)

タイプ	例	**Use Case** (ユースケース)
	会計年度別の平均/合計 年別平均/合計	
期間別 (部分的を含む)	週別 + 平均/合計 月別 + 平均/合計 会計四半期別 + 平均/合計 四半期別 + 平均/合計 会計年度別 + 平均/合計 年別 + 平均/合計	時系列の「+」バージョンには部分的な期間が含まれているため、常に現在の期間のスコアが提供されます。

時系列集計のインジケーター頻度制限

インジケーターのスコアが収集される周期で、適用可能な時系列が決まります。一部の時系列には、部分収集期間のデータが含まれます。

時系列集計を選択すると、インジケーター スコアが収集される頻度によって、選択できる時系列が制限されます。スコアが収集されるよりも頻繁にスコアに適用される時系列集計を選択することはできません。たとえば、 週別合計 の時系列集計は、日次頻度のインジケーターに適用できます。ただし、[週別合計] は、週次、月次、四半期ごと、または年次の頻度のインジケーターには適用できません。

注:

- 週次インジケーターのみが 、4 週間実行 および **13** 週間実行 の時系列をサポートしています。週次インジケーターは、週次および年次時系列のみをサポートします。
- 隔月および年次インジケーターは、時系列集計をサポートしていません。

次の表は、どのインジケーター頻度でどの時系列がサポートされているかを示しています。これらの関係は、時系列と組み合わされる集計 (AVG、SUM、またはカスタム) とは無関係であるため、時系列のみが表示されます。

時系列および関連するインジケーター周期

時系列	インジケーターの周期			
	日次	週次	月次	四半期ごと (会計四半期、4 週間、隔週)
日次	要	いいえ	不可	いいえ
7 日間移動	要	いいえ	不可	いいえ
28 日間移動	要	いいえ	不可	いいえ
30 日間移動	要	いいえ	不可	いいえ
4 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ
13 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列および関連するインジケーター周期 (続く)

時系列	インジケーターの周期			
	日次	週次	月次	四半期ごと (会計四半期、4 週間、隔週)
3 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
6 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
12 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
四半期移動	いいえ	不可	いいえ	要
週別、週別 +	要	いいえ	不可	いいえ
月別、月別 +	要	いいえ	不可	いいえ
四半期別、会計四半期別、四半期別 +、会計四半期別 +	要	いいえ	はい	いいえ
年別、会計年度別、年別 +、会計年度別 +	要	はい	はい	要
週度累計	要	いいえ	不可	いいえ
月度累計	要	いいえ	不可	いいえ
四半期累計、会計四半期累計	要	いいえ	はい	いいえ
年度累計、会計年度累計	要	はい	はい	あり

パフォーマンスアナリティクスのインタラクティブアナリシス

インタラクティブアナリシスでは、視覚化を使用して パフォーマンスアナリティクス データをすばやく探索できます。

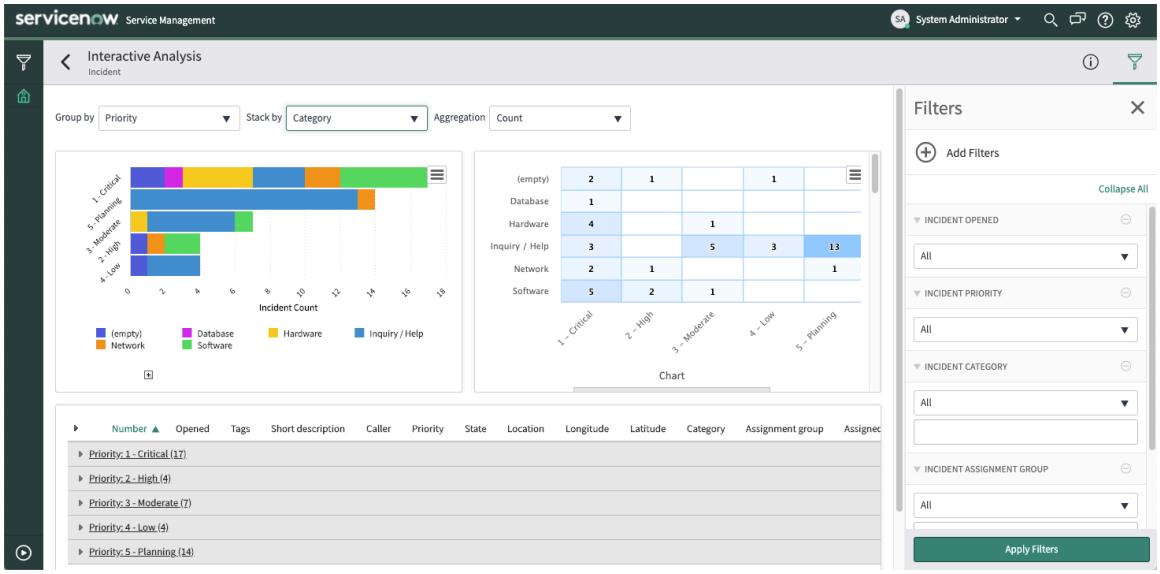
注:
プラットフォームアナリティクス はインタラクティブアナリティクスをサポートしていません。

レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウンします。情報アイコン ( ) をクリックしてソースフィルターを編集し、適用されたフィルターのリストを表示して、分析の URL をコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。
   インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。
3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブールフィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブアナリシスの起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

フォーム内分析

フォーム内分析では、パフォーマンスに関するインサイトがフォームに統合されるため、ユーザーはコンテキスト内の重要なメトリクスにアクセスし、より適切な意思決定を行うことができます。

フォーム内分析には、ブレークダウンに基づいてダッシュボードのビューを開くフォームの UI アクションが関係します。このブレークダウンダッシュボードは、フォームに入力しているユーザーに有用なパフォーマンスのインサイトを提供します。たとえば、サポートエンジニアがインシデントを作成するときに、インシデントカテゴリに基づいてインシデントをクローズするまでの予想時間を確認できるようにするとします。エンジニアがこの情報を表示できるようにするには、インシデントフォームのフォーム内アナリティクス UI アクションを作成します。この UI アクションはインシデントを開きます。インシデントのクローズに要する予想時間を示すウィジェットを含むカテゴリブレークダウンダッシュボード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
フォーム内アナリティクスは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。レスポンシブダッシュボード コア UI のみが開きます。プラットフォームアナリティクス に完全に移行すると、フォーム内アナリティクスは使用できなくなります。

インシデント:カテゴリフォーム内アナリティクス



フォーム内アナリティクスの UI アクションは、ブレークダウンを表すフォーム上のフィールドの横にあるアイコンを介してアクティブ化されます。そのフィールドがフォームビューに表示されていない場合、アイコンも表示されません。フォーム内アナリティクスを設定するときに、フォームに [関連アクション] リンクを含めることもできます。このリンクは常に利用可能です。

関連情報

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

UI アクション

フォームへのフォーム内分析の追加

ユーザーがフォームの入力中に関連するアナリティクスを表示できるようにする UI アクションを作成します。UI アクションは、フォームを使用するテーブル、そのテーブルで使用されるブレークダウン、およびブレークダウンダッシュボードを関連付けます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin パフォーマンス分析のロールに加えて、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにレコードを作成できる必要があります。

特定のテーブルとブレークダウンのフォーム内アナリティクスを追加する前に、そのテーブルとそのブレークダウンのブレークダウンソースを使用するブレークダウンダッシュボードを作成します。ダッシュボードを設計して、そのテーブルでレコードを作成するユーザーにとって最も有益な情報が目立つように表示します。ブレークダウンダッシュボードの詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

フォーム内分析を作成するには、パフォーマンス分析を有効にする必要があります。

このタスクについて

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > フォーム内アナリティクス をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

フォーム内分析のフィールド

フィールド	説明
名前	UI アクションのわかりやすい名前。
テーブル	分析を表示するテーブル。このテーブルのフォームにページ内アイコンが表示されます。
ブレークダウン	テーブルを分析するためのブレークダウン。フィールドがフォームビューに含まれている場合、このブレークダウンに対応するフィールドの横に UI アクションアイコンが表示されます。
ダッシュボード	表示するブレークダウン ダッシュボード。ダッシュボードでは、選択した テーブル と ブレークダウンのブレークダウンソースを使用する必要があります。

自動翻訳

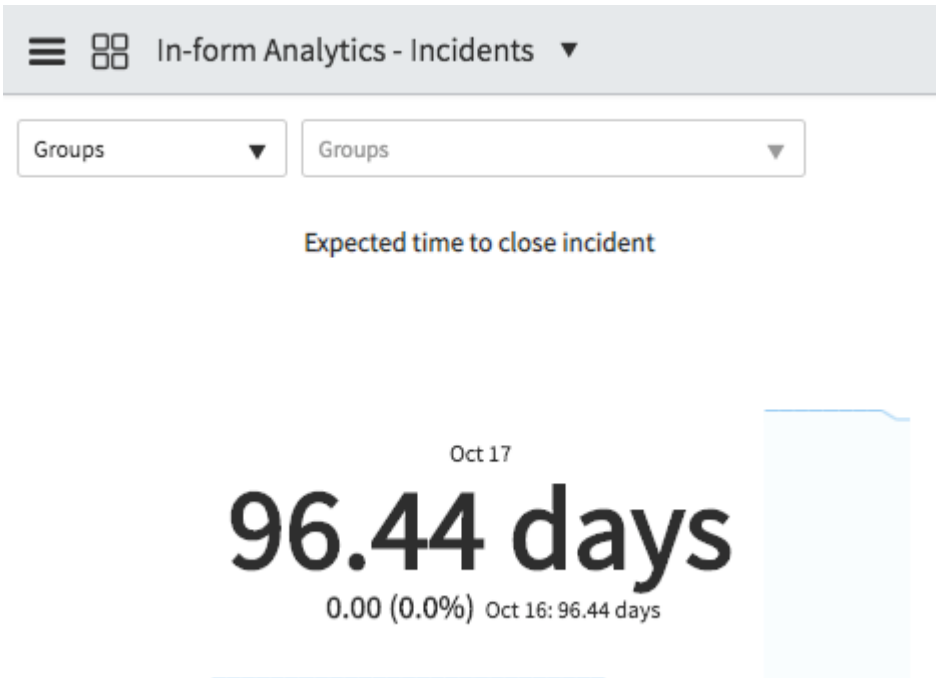
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アイコン	フォームのブレークダウン関連フィールドの横に表示するアイコン。
アイコンの色	フォーム アイコンの色。
フォーム内リンクを作成	このチェックボックスをオンにすると、アイコンに加えてフォーム上に関連リンクを表示します。関連リンクはアイコンと同じダッシュボードに誘導します。

Example: インシデントアサイン先グループのフォーム内アナリティクス

インシデントを作成するサポートエンジニアが、アサイン先グループに基づいてインシデントをクローズするまでの予想時間を確認できるようにするケースを考えてみましょう。インシデントのクローズに要する予想時間を表示するウィジェットを設計しました。このウィジェットを、グループブレークダウンソースを使用するフォーム内アナリティクスブレークダウンダッシュボードに追加しました。「グループ」は、アサイン先グループブレークダウンのソースです。

ブレークダウン ダッシュボード

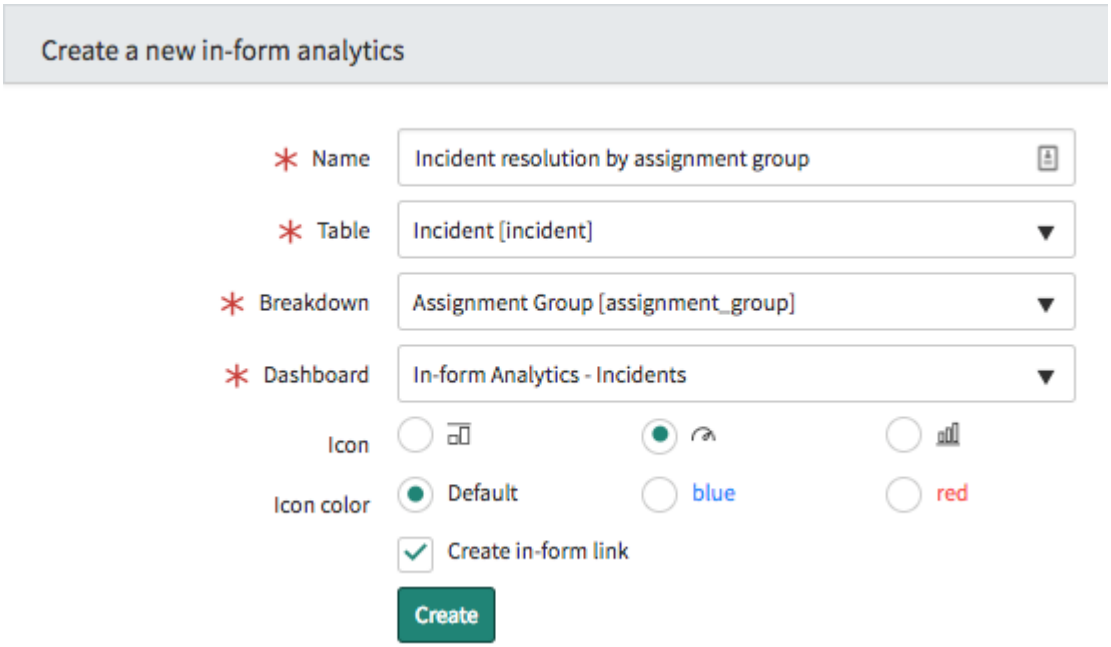


次に、インシデント [incident] テーブル、アサイン先グループブレークダウン、およびフォーム内アナリティクス - インシデントダッシュボードのフォーム内アナリティクスを作成します。UI アクションのアイコンを選択します。このアイコンは、[アサイン先グループ] フィールドの横に表示されます。ダッシュボードへの関連リンクを作成することも決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム内分析の作成



目盛りアイコンをクリックすると、ダッシュボードのポップアップビューが開きます。ダッシュボード名の代わりに、ポップアップウィンドウのタイトルが「[ブレークダウン名] の分析」であることに注意してください。

インシデントフォームからダッシュボードビューを開いています

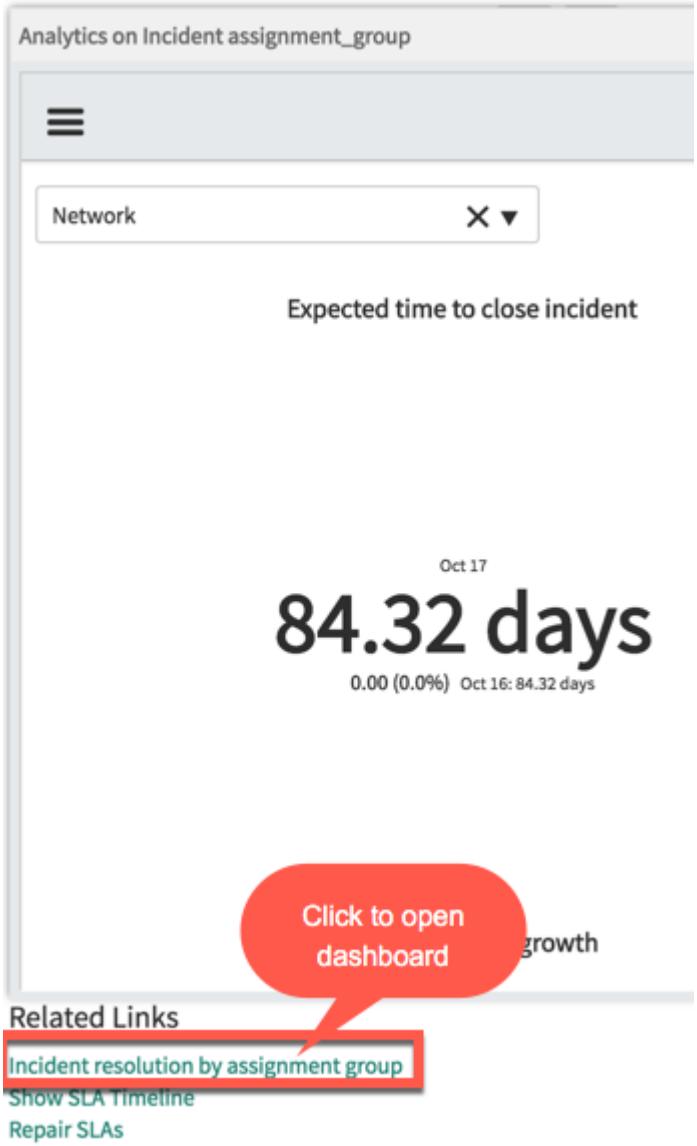


セルフサービスビューには、デフォルトで [アサイン先グループ] フィールドが表示されません。この場合でも、関連リンクからアナリティクスを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスへの関連リンク



事前設定されたフォーム内アナリティクス

事前設定されたフォーム内アナリティクスは、いくつかのアプリケーションおよびそれに関連するテーブルとフォームのプラグインとして使用できます。

フォーム内アナリティクスプラグインと関連テーブル

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - 変更管理のためのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.change.context_sensitive_analytic	変更要求 [change_request]
パフォーマンスアナリティクス - チャットのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.chat.context_sensitive_analytic	チャットキューエントリー [chat_queue_entry]
パフォーマンスアナリティクス - Context Sensitive Analytics for Customer Service	com.snc.pa.cs.context_sensitive_analytic	ケース [sn_customerservice_case]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フォーム内アナリティクスプラグインと関連テーブル (続く)

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - インシデントのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.incident.context_sensitive_analytic	incident (インシデント) [incident]
パフォーマンスアナリティクス - 問題管理のためのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.problem.context_sensitive_analytic	problem (問題) [problem]

注:
事前設定されたフォーム内アナリティクスのプラグインを有効にすると、そのアプリケーションの パフォーマンスアナリティクス ソリューションも有効になります。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

高度な機能 パフォーマンスアナリティクス 構成

主要評価指標とスコアを生成するデータ構造を定義します。

このセクションのトピックは、主にデータ構造を直接扱う パフォーマンスアナリティクス 管理者を対象としています。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化

有料 パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションがない場合、使用は180日間のデータ収集(月次インジケーターの場合は5か月)と ServiceNowが提供する特定のインジケーターに制限されます。すべての機能に無制限にアクセスするには、 パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプションを購入します。

サブスクリプションを購入した後、本番インスタンスでそのサブスクリプションに関連付けられたプラグインをアクティブ化する必要がある場合があります。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを使用すると、ベースシステム で利用可能な機能以外に次の機能を使用できます。

- カスタム パフォーマンスアナリティクス インジケーター、ブレークダウン、ウィジェット、またはその他の設定レコード
- スコアは 180 日以上保存されます (月次インジケーターの場合は丸 5 か月)
- テキストアナリティクスウィジェット (コア UI のみ)
- ダッシュボードでのプロアクティブなアナリティクスインサイト

Professional または Enterprise オファリングを通じて パフォーマンスアナリティクス を購入した場合、以下の状況では制限なく使用できます。

- 関連付けられたサブスクリプションのテーブル (関連付けられている ServiceNow ストアアプリを含む)
- 任意のプラットフォームと一般的なアプリ (ナレッジ管理、CMDB、カタログなど) を使用
- 有料のパートナーストアアプリを使用

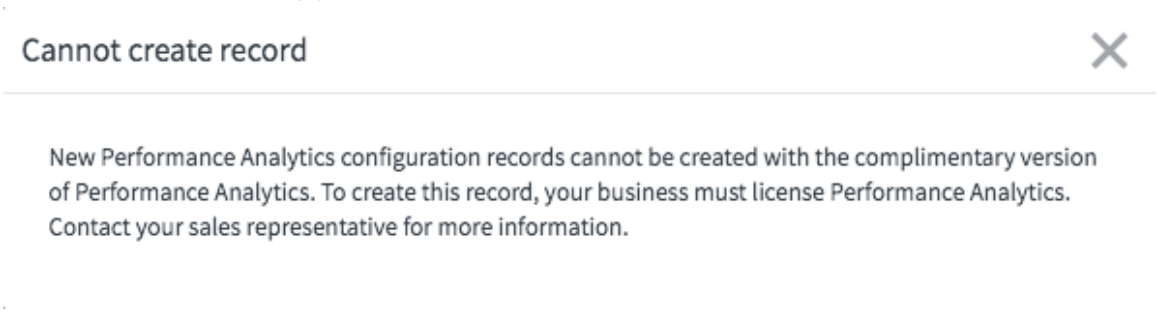
注:
無料のパートナー ストア アプリのテーブルはカスタム テーブルと見なされ、 ServiceNow サブスクリプションにマップされます。これらのテーブルを パフォーマンスアナリティクス で使用する権限は、マッピングされたサブスクリプションの パフォーマンスアナリティクス 資格によって異なります。

自動翻訳

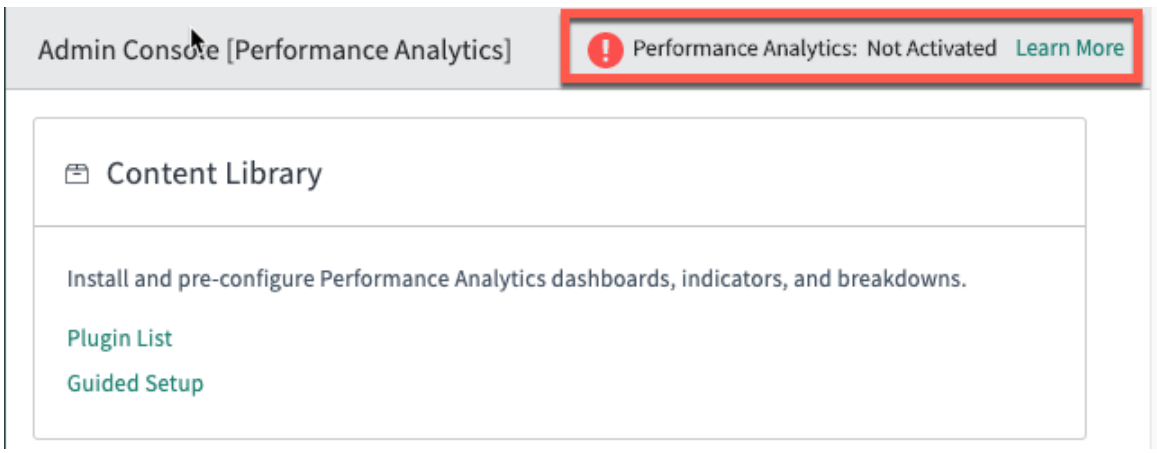
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションがない本番インスタンスでこれらのタスクを実行しようとすると、サブスクリプションが必要であるという警告が表示されます。

サブスクリプションが必要であるという警告



パフォーマンスアナリティクス アドミンコンソールは、インスタンスでフルバージョンの パフォーマンスアナリティクス がアクティブ化されていない場合にも警告を表示します。



パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプション管理

パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入すると、機能が自動的に有効になります。

Tokyo 年以降、サブスクリプション管理パフォーマンスアナリティクスに適用されます。サブスクリプション管理を使用する場合は、パフォーマンスアナリティクスプラグインを手動でアクティブ化する必要はありません。このページの残りの部分では、サブスクリプションをアクティブ化する古い手動システムについて説明します。

この機能は、ホストされたインスタンスでのみ使用できます。セルフホストインスタンスおよび非本番インスタンスでも、適切な パフォーマンスアナリティクス プラグインを手動でアクティブ化する必要があります。詳細については、「 サブスクリプション管理 」を参照してください。

に対するエンタイトルメントを特定 パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス製品ラインのサブスクリプションを購入すると、本番インスタンスで対応するプラグインを有効にする権利があります。

アドミニストレーターとして、次の場所に移動して パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを表示します。 サブスクリプション管理 > サブスクリプション. サブスクリプション管理から、アクティブ化する資格がある パフォーマンスアナリティクス プラグインを見つけることができます。詳細については、「Exploring Subscription Management 」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのプラグインをアクティブ化する

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションを購入し、関連するプラグインを特定したら、次のようにそのプラグインをアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

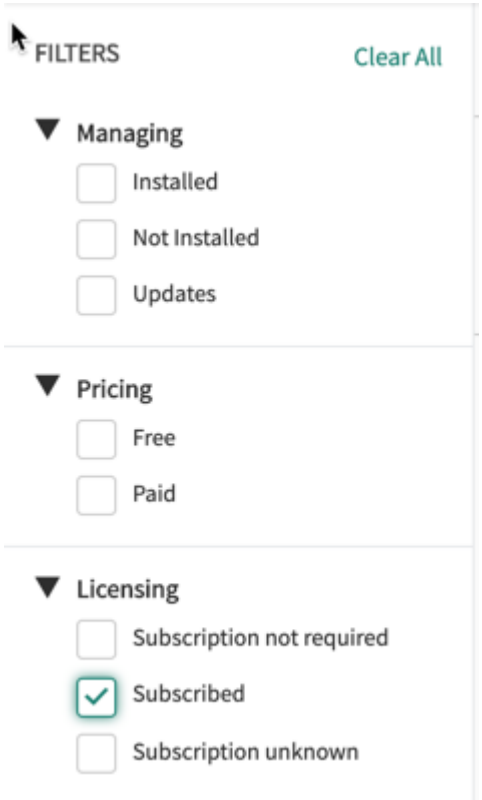
始める前に

重要:
本番インスタンスで設定する前に、非本番インスタンスで パフォーマンスアナリティクス を設定してテストします。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. [フィルター] で、[ライセンス] セクションを見つけて [登録済み] を選択します。



3. 名前に パフォーマンスアナリティクスプレミアム が含まれるプラグインを検索します。
4. エンタイトルメントに一致する パフォーマンスアナリティクス プレミアムプラグインを見つけて、[インストール] をクリックします。
フィルタリングされたリストには、サブスクリプションがあるパフォーマンスアナリティクスプレミアムプラグインのみが表示されます。
[プラグインをアクティブ化] ダイアログが開きます。
5. [プラグインを有効にする] ダイアログで、[有効化] をクリックします。

タスクの結果

進捗状況バーには、プラグインの有効化の進捗状況が表示され、その後に表示内容を決めるオプションがいくつかあります。

次のタスク

プロセスが完了したら、事前設定されたダッシュボードと必要なすべての基本コンポーネントを含むアナリティクスおよびレポートソリューションのインストールを検討してください。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

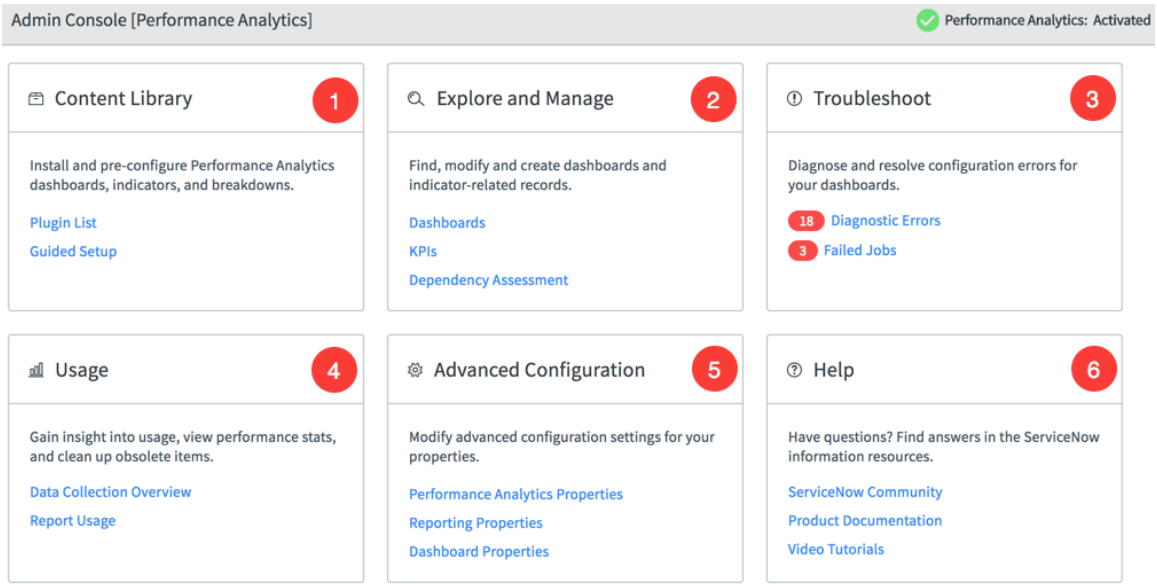
また、スポットライトを有効にすることを検討してください。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、レコードを優先順位付けできるようにします。詳細については、「スポットライトでレコードをランク付けする」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール

アドミニストレーターは単一のコンソールから、 プラットフォームアナリティクスソリューションコンテンツの管理、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットとダッシュボードの管理、エラーの診断と解決、利用状況アナリティクスの表示、構成設定の変更、 ServiceNow ヘルプへのアクセスを行うことができます。

重要:
この管理コンソールは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットとレスポンシブダッシュボードの情報のみが表示されます。

admin ロールまたは pa_admin ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.パフォーマンスアナリティクスが有効になっていない場合は、[詳細] をクリックして有効にする方法を確認してください。



1 コンテンツライブラリ

プラットフォームアナリティクスソリューションのガイド付きセットアップ。

[プラグインリスト] をクリックすると、非アクティブな プラットフォームアナリティクスソリューションで利用可能なシステムプラグインのリストが表示されます。

注:
プラグインのリストを表示するには、admin ロールが必要です。

[ガイド付きセットアップ] をクリックして、プラットフォームアナリティクスソリューションのガイド付きセットアップを起動します。

2 探索および管理

1 か所で、自分のパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定して管理したり、変更の影響度を評価したりします。たとえば、フィールド名を変更した場合に影響を受ける、ダッシュボード グループ内のすべてのレポート、インジケーター、インタラクティブ フィルタを特定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ダッシュボード] をクリックすると、グループ別にソートされたインスタンス内のすべてのダッシュボードを探索できます。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。

KPI をクリックしてアナリティクスハブを開くと、インジケーターの探索的ビューが表示されます。

依存関係アセスメントを使用して、パフォーマンスアナリティクスコンポーネントを表示、分析、および管理します。

3 トラブルシューティング

[トラブルシューティング] パネルを使用すると、ServiceNowアプリケーションが提供する診断を利用して、エラー警告や失敗したデータ収集ジョブの原因となったテストを調査できます。すぐに使用できる診断はスケジュールに従って実行されますが、オンデマンドで実行することもできます。[スケジュールされたデータ収集] リストは、一度だけ実行されるジョブと、オンデマンドでのみ実行されるジョブを除外します。

> **注:**
> [トラブルシューティング] カードのいずれかの数字が 0 より大きい場合、パフォーマンスアナリティクスの実装に何らかの問題がある可能性があります。

- [診断エラー] をクリックすると、[診断実行] リスト、実行された診断テストの数、および見つかった問題の数が表示されます。[状態] フィールドを使用して、解決された問題を追跡します。診断実行の詳細については、「 分析診断」を参照してください。
- [失敗したジョブ] をクリックすると、[スケジュールされたデータ収集] リストが表示されます。失敗したジョブは、最新の完了した実行の状態が **collected_error** であるスケジュール設定済みジョブです。データ収集の詳細については、「 パフォーマンス分析データの収集とクリーンアップ」を参照してください。

4 使用率

データ収集ジョブに関する統計情報とレポートの使用率に関するダッシュボード。

- [データ収集の概要] ダッシュボードを使用して、データ収集を追跡および管理します。データ収集ジョブはデフォルトでは実行されないことに注意してください。ダッシュボードウィジェットは、関連するデータ収集ジョブを実行するまでデータを表示しません。詳細については、「 パフォーマンス分析データの収集とクリーンアップ」を参照してください。
- [レポートの使用率] ダッシュボードを使用して、レポートの使用率を追跡および管理します。詳細については、「 レポート統計」を参照してください。

5 詳細設定

詳細設定のクイック リンク。

- パフォーマンスアナリティクスのプロパティ
- レポートのプロパティ
- レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

6 ヘルプ

コミュニティ、製品ドキュメント、およびServiceNow YouTube チャンネルのビデオチュートリアルでは、パフォーマンスアナリティクス機能を詳しく紹介しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

インタラクティブ分析情報パネル

インジケーター スコアの収集

パフォーマンスアナリティクス はデータ収集ジョブを使用して、スコアとスナップショットを収集して消去します。インジケーター スコアを手動で設定することもできます。

既存のレコードのデータをすぐに収集するには、履歴データ収集ジョブを実行します。

進行中のデータ収集では、次のいずれかの方法を選択し、データの頻度と完全性に基づいてインジケーター スコアとスナップショットを収集します。

- インジケーターを 1 か月、四半期、または 1 年に 1 回測定する必要がある場合は、手動でスコアを入力するか、スコアをインポートします。
- インジケーターをより頻繁に測定する必要がある場合や、人間の関与を排除したい場合は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用します。

注:
パフォーマンスアナリティクス スナップショットは これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブは、プロパティ `com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for`で指定されたよりも古いスコアを収集しません。この値より古いスコアまたはスナップショットは、データ収集中に収集されません。

履歴データの収集

履歴データ収集ジョブを実行し、既存のレコードのスコアとスナップショットを収集します。新しいインジケーターなど、初めてのデータ収集では、履歴データ収集を 1 回実行して、既存のレコードのスコアとスナップショットを生成します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクス は、継続的にデータからスコアを定期的に収集します。アプリケーションにパフォーマンスアナリティクスを最初にセットアップしたとき、または新しいインジケーターまたはインジケーター ソースを作成したときは、履歴データ収集を実行して既存のデータのスコアを収集します。履歴データ収集を使用すると、設定前に存在していたデータを分析できますパフォーマンスアナリティクス。

警告:
- 履歴収集ジョブを複数回実行しないでください。たとえば、新しいインジケーターを作成する場合は、既存のジョブに追加するのではなく、そのインジケーターの新しいデータ収集ジョブを作成することを検討してください。
- 履歴データ収集ジョブは、ジョブが対象とする期間およびインジケーターに対し、以前に収集したデータを削除します。その日付範囲外のデータやその他のインジケーターは削除されません。

履歴ジョブは、既存のデータのスナップショットも収集します。パフォーマンスアナリティクススナップショットは、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. [PA 変更] 履歴データ収集などの履歴データ収集ジョブを選択するか、新規履歴データ収集ジョブを作成します。
3. 履歴データ収集ジョブを作成または編集する場合は、データ収集ジョブの作成またはスケジュールの手順に従ってください。

   重要:
   履歴データ収集ジョブの場合は、[実行] を [オンデマンド] に設定します。履歴データ収集ジョブを、固定のスケジュールで実行しないでください。

4. ジョブ インジケーターで、履歴収集期間中に値が変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは除外します。これについては、「ジョブ インジケーターの構成」で説明しています。
   たとえば、提供されている [PA インシデント SLA] 履歴データ収集ジョブでは、ジョブ インジケーター [未解決で期限切れのインシデントの数] には、[アサイン先グループ] と [状態] ブレークダウンが含まれません。これらのブレークダウンの両方の値は、データ収集期間にわたって変化する可能性があり、その結果は無意味になります。
5. [今すぐ実行する] をクリックします。

次のタスク
履歴データを収集した後は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用し、定期的に新しいスコアを収集します。

データ収集ジョブの作成またはスケジュール

インジケーター スコアとスナップショットを定期的に収集するデータ収集ジョブをスケジュール パフォーマンスアナリティクス 。

始める前に
データ収集ジョブを定義する前に、インジケーター ソース、ブレークダウン ソース、およびインジケーターが定義されていることを確認してください。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。

必要なロール：pa_data_collector または admin

このタスクについて
データ収集ジョブを構成するときに知っておくべき重要な項目は、次のとおりです。

- 収集期間
- 収集タイムゾーン
- ドメインが使用される場合は、収集されるスコアのドメイン。
- コレクション ジョブは、どのような制限もなく実行されます。実行するユーザーの権限は使用しません。

データ収集ジョブは、スコアを収集するため、およびテキスト分析データを収集するために、異なるステップを実行します。デフォルトでは、ジョブは両方のタイプのデータを収集します。パフォーマンスを向上するため、スコアとテキスト分析データに別々のジョブをスケジュールすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ をクリックし、[新規] をクリックします。
   代わりに、ジョブの実行スケジュールを変更するなど、既存のデータ収集ジョブを編集することもできます。この場合は、 パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ をクリックし、ジョブ名をクリックします。
2. [名前] フィールドには、わかりやすい名前を付けます。
   [PA インジケーター] 日次データ収集や [PA インジケーター] 履歴データ収集など、データ コレクタ ジョブの命名のための標準形式に従います。
3. [演算子] フィールドで、データ収集を絶対時間でするのか、または相対時間でするのか選択します。
4. [期間指定] を演算子として選択した場合、[開始日（固定）] 日付と [終了日（固定）] 日付を選択します。
5. [相対] を演算子として選択した場合、データを収集する実行時間より前の間隔を指定します。

   a. [開始日（相対）] と [開始日指定（相対）] のフィールドで、データを収集する過去の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

   b. [終了日（相対）] と [終了日指定（相対）] のフィールドで、データの収集を開始する過去の最後の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

   ヒント:

   - ほとんどのインジケーター、したがってほとんどのデータ収集ジョブは毎日実行されます。日次スケジュール済みジョブは、通常、最後に完了した日について収集する必要があります。したがって、開始日 (相対) と終了 (相対) の両方が 1 日前である必要があります。収集期間が長い履歴データコレクションジョブは 1 回のみ実行します。
   - ビジネスカレンダーを使用するインジケーターでこのジョブを使用する場合は、 期間前の 間隔を考慮してください。この間隔は、ビジネスカレンダーに定義された期間に基づいています。

   Example
   たとえば、同じインジケーター ソースを使用して、日次の頻度で複数の新しいインジケーターのセットのスコアを収集するとします。まず、2 か月前から昨日までのデータを収集する履歴データ収集ジョブを作成します。このジョブで、[開始日（相対）] に **60** を、[開始日指定（相対）] に日前を入力します。[終了日（相対）] に **2** を、[終了日指定（相対）] に日前を入力します。[実行] フィールドを [オンデマンド] に設定します。[今すぐ実行] をクリックし、このジョブを 1 回実行して最初のスコアを収集します。

   開始日 (相対) と終了日 1 日前で 2 番目のジョブを作成し、[実行] フィールドを [日次] に設定します。このジョブを有効化し、昨日のスコアと、そのジョブが実行される前日について、将来のスコアをすべて収集します。

6. 必要に応じて [ジョブパラメータ] を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブ パラメータ	説明
実行方法	ドメインセパレーションインスタンスの場合は、このジョブを実行するユーザーを選択します。このジョブは、グローバルドメインを持つか、このユーザーのドメインにあるファクトテーブルおよび パフォーマンスアナリティクス レコードからスコアを収集します。 データコレクションジョブはドメインのみに従い、このユーザーの権限はフォローしません。ACL とビジネスルールは、データ収集ジョブには適用されません。すべてのユーザーがジョブを実行できます。 **重要:** このジョブのドメイン構成を選択すると、[ユーザーとして実行] が上書きされます。このトピックのステップ 9 を参照してください。
実行時のタイムゾーン	クエリがジョブから実行されるときに使用するタイムゾーンを選択します。会社のレポートのタイムゾーンが存在する場合は、それを使用します。デフォルトでは、システムのタイムゾーンが使用されます。 このタイムゾーンは、[[オープン][日付][今日]] などの条件で「今日」の曜日を決定します。
[Active (アクティブ)]	オンの場合、デフォルトではスケジュールされた日時にデータ収集が行われます。
実行	データを収集するスケジュールを選択します。選択肢は次のとおりです。 ○ 日次 ○ 週次 ○ 月次 ○ 定期的 ○ 1 回 ○ オンデマンド ビジネスカレンダーを使用している場合は、ビジネスカレンダー期間の開始と終了について、次のオプションもあります (ビジネスカレンダーエントリの定義 を参照)。 ○ ビジネスカレンダー:エントリー開始 ○ ビジネスカレンダー:エントリー終了 履歴データ収集ジョブを作成する場合は、オンデマンドで実行するようにジョブをスケジュールします。
曜日	○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を指定します。 ○ [実行] が [月次] の場合は、日付を指定します。 月末に収集するには、1 日目に設定し、[時間] を午前 0 時直後に設定します。この設定は、月の長さに関係なく、完了した月のデータを収集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブ パラメータ	説明
繰り返し間隔	[実行] が [定期的] の場合は、スケジュールされるデータ収集の間隔を日数と時間数で指定します。
開始中	[実行] が [定期的] または **[1** 回] の場合、スケジュールされる最初のデータ収集の日時を指定します。
時間	ジョブの実行時間 (24 時間制)。フィールドは 、[アクティブ] が選択された後に表示されます。 ○ 実行時のタイムゾーンではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づく時間です。 ○ 通常、会社の深夜 0 時から午前 6 時までの 1 時間に設定して、最後の完了した期間を収集します。 たとえば、ニューヨークにいて、ロサンゼルス時間の会社の午前 5 時にデータを収集する場合は、時間を 08:00:00 に設定します。
収集	データ収集ジョブには、スコア収集とテキスト分析の収集のために個別のステップがあります。次のいずれかを選択します。 ○ スコアのみ ○ テキストインデックスのみ ○ スコアとテキストインデックスの両方 (デフォルト) 詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。
条件節	オンにすると、特定の条件が満たされた場合にのみデータ収集が行われます。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。 ⚠ 警告: パフォーマンスアナリティクス データコレクションジョブの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。 アップグレード後に、これらの許可されていない API コンポーネントを含む条件付きスクリプトがあるジョブは、「収集済み (エラーあり)」というメッセージが出て終了します。これらのジョブはスコアを収集しません。 com.snc.pa.dc.script.use.sandbox システムプロパティは、データ収集スクリプトがサンドボックスを使用するかどうかを制御します。このプロパティを有効化できるのは、security_admin ロールを持つユーザーに限られます。このプロパティをオフにするときは注意が必要です。false に設定すると、権限のないユーザーがインスタンスに対して悪意のあるアクションを実行する可能性があります。

7. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックし、このジョブがデータを収集するインジケーターを選択します。

   重要:
   - ジョブのインジケーターを少なくとも 1 つ含めます。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。
   - ジョブをメンテナンスしやすくするために、明確なユースケースがない限り、インジケーターを複数のアクティブな収集ジョブに関連付けないようにしてください。リアルタイムデータを取得しようとしている場合は、リアルタイム インジケーターの使用を検討してください。
   - データ収集ジョブは、関連するインジケーターのインジケーター ソースごとに 1 つのデータベース クエリを生成します。したがって、インジケーター ソースを共有するすべてのインジケーターのデータは、同じ時点を表します。

9. ドメイン構成を有効にしている場合は、[ドメイン構成] 関連リストでこのジョブに関連付けるドメイン構成を選択できます。
   ドメイン構成は、ユーザーグループに対する可視化またはその他の条件に基づいてドメインをグループ化します。これらのグループには、親子関係を含めることができます。ジョブのドメイン構成を選択すると、ジョブはグローバルドメインを含む構成のドメイン内のレコードのスコアを収集します。ドメイン設定は [ユーザーとして実行] を上書きします。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。

10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

- デフォルトでは、各ジョブ インジケーターごとに、すべてのブレークダウンとインジケーター自体のデータが収集されます。インジケーターのこの設定を変更するには、「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。
- ドメイン サポートを有効にしている場合は、[ドメイン設定] という関連リストがあります。このタブで、[編集] をクリックし、既存のドメイン設定とこのジョブを関連付けます。または、[新規] をクリックして新しいドメイン設定を作成します。詳細については、「ドメイン構成の作成」を参照してください。

ジョブ インジケーターの構成

必要かつ合理的なデータのみを収集するようにジョブ インジケーターを構成することにより、データ収集の効率を向上させます。

始める前に

必要なロール：admin、pa_admin

このタスクについて

デフォルトでは、ジョブ インジケーターは、インジケーター自体のデータと、そのインジケーターに関連付けられているすべてのブレークダウンのデータを収集します。ただし、すべてのブレークダウンデータが特定の データ収集ジョブに適しているとは限りません。たとえば、アサイン先グループや状態など、収集期間中に変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは、通常、履歴ジョブから除外されます。多くの場合、ジョブはジョブの実行時にのみアサイン先グループとステータスの値を収集します。6か月前のインシデントは、うまくいけば完了しても、6か月の履歴全体で「完了」の状態になる可能性があります。そのような価値観は誤解を招く。

あるいは、ブレークダウン データのみを収集する必要があり、インジケーター スコアを計算する必要がない場合もあります。不要なデータや無意味なデータを収集しないようにジョブ インジケーターを構成することで、ジョブのリソース消費を削減できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ジョブ.
2. ジョブ インジケーターを構成するジョブを開きます。
   ジョブ インジケーターは、ジョブ インジケーターを使用するジョブに固有のものです。
3. [インジケーター] タブで、構成するジョブ インジケーターの名前をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

フィールド	説明
ジョブ	ジョブ名から自動的にコピーされます。
インジケーター	関連付けられた自動インジケーター。スケジュール設定済みデータ収集レコードの [編集] ボタンでジョブインジケーターを追加する場合は、自動インジケーターを選択します。
収集	[すべてのブレークダウン] を収集するか、[ブレークダウンなし] を選択するか、または特定のブレークダウンを除外するように選択します。
インジケーターの収集	インジケーター自体のデータを収集するには、このチェック ボックスをオンにします (デフォルト)。ブレークダウンのデータのみを収集する場合は、このチェック ボックスをオフにします。 **ヒント:** 既存のインジケーターにブレークダウンを追加した場合は、これらのインジケーターで 1 回限りの履歴収集ジョブを実行して、そのブレークダウンのスコアを取得することを検討してください。インジケーター自体ではなく、追加されたブレークダウンでのみ収集します。

5. [収集] フィールドで **[1** ブレークダウン] を選択した場合は、除外するブレークダウンを選択します。

   a. コンテキストメニューを開いて [保存] をクリックします。
      除外されたブレークダウンの関連リストが表示されます。

   b. [ブレークダウンを除外] リストで [編集] をクリックし、除外するブレークダウンを追加または削除します。

データ収集ジョブのキャンセル

ジョブがスコアを収集しないようにするには、アクティブなデータ収集ジョブをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector および schedule_admin、または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. キャンセルするジョブを選択します。
3. [ジョブのキャンセル] をクリックします。

インジケーターのスコアの手動での追加または編集

自動インジケーターおよび手動インジケーターのスコアデータを手動で入力できます。自動インジケーターのスコアを編集するときは注意してください。

始める前に
必要なロール：pa_contributor、pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
通常、月に 1 回以下の頻度でのみ更新が必要なインジケーターに対しては、手動でスコアを追加します。さらに、顧客などの一部のエンティティで自動的にデータを収集できない場合は、手動でデータを入力またはインポートすることができます。

ジョブが収集したデータは手動で上書きできます。ただし、次回このデータを収集するジョブが実行されると、今度は手動で入力したデータが上書きされます。

注:

- 監査では、スコアシートの手動変更は追跡されません。すべてのテーブルに対して辞書レベルで監査が有効になっている場合でも、手動による挿入、更新、および削除は監査pa_scoresされません。
- 式インジケーターのスコアを手動で編集することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > スコアシート > .
2. 手動スコアを入力するインジケーターを選択します。
3. オプション: 日付範囲の左または右の矢印をクリックし、選択されている日付を変更するか、日付範囲をクリックして新しい範囲を選択します。
4. [インジケータースコア] 行のインジケーターでメイン スコアを入力します。
   または、インジケーターにブレークダウンが含まれている場合は、ブレークダウン要素ごとのインジケーター スコアを入力します。

   注:
   スコアの各列の上にあるパーセンテージバーは、スコアを含むブレークダウン要素の割合を示します。値 0 はスコアとしてカウントされます。値が存在しない場合のみ空としてカウントされます。

   a. [スコアの集計] をクリックします。

   b. インジケーターの特定のブレークダウンのメイン スコアを計算するために、合計を使用するのか、平均を使用するのかを選択します。

   c. [優先度] など、集計するブレークダウンを選択し、[適用] をクリックします。

      そのブレークダウンのすべてのスコアが合計されるか、それらの平均が計算されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

第 2 レベルのブレークダウンを収集し、2 つ以上のブレークダウン ソースに基づく自動インジケーターの場合、複数レベルのブレークダウンをスコアシートに入力できます。たとえば、ワークグループ別の優先度によるオープン インシデントでは、ワークグループ (第 1 レベル) の要素と優先度 (第 2 レベル) の要素の両方のスコアを入力できます。これらのインジケーターの集計は、他の内訳と同じ方法で計算されます。

関連情報

手動インジケーター

スポットライトでレコードをランク付けする

スポットライトを使用して、複数の重み付けされた条件に基づいて関心のあるレコードを識別してランク付けします。

スポットライトにより、見逃しやすいレコードがわかりやすくなります。 重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高いアイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

たとえば、長期間オープンになっている場合や複数回再アサインされた場合は、優先度が低いインシデントでも注意を喚起することができます。これらのインシデントの中で、長期間オープンされ、複数回アサインされているインシデントを、長期間しかオープンしていないインシデントよりも上位にランク付けしたい場合があります。

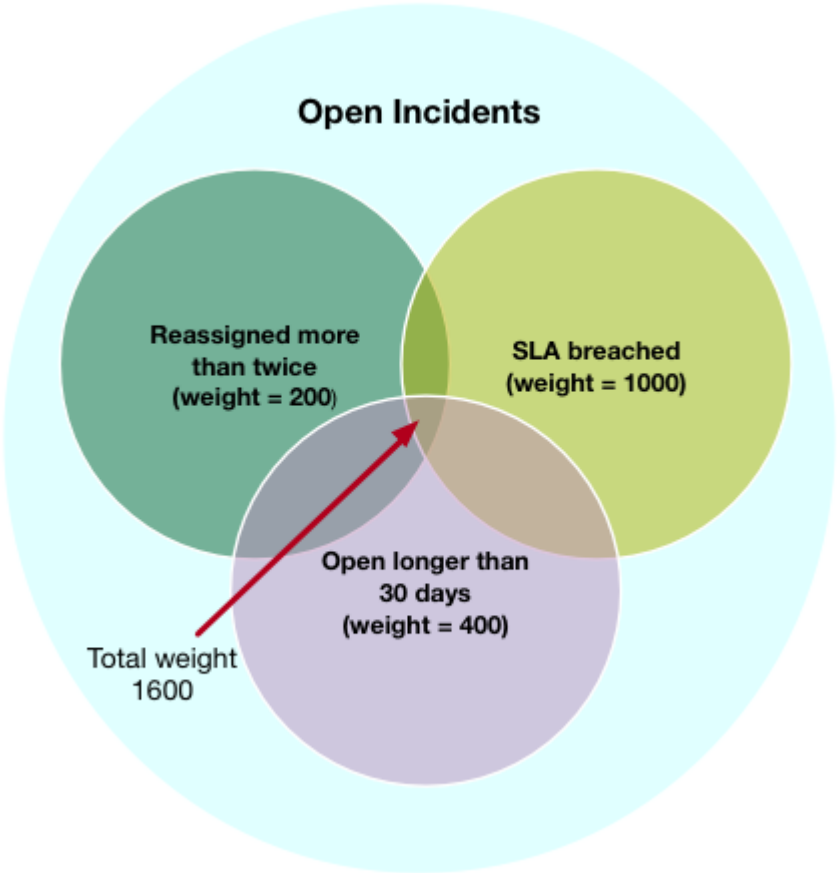
スポットライトは、レコードを評価するために実行されるスケジュール済みのジョブを使用します。これらのジョブの結果は、スポットライトの対話型分析で表示できます。スポットライト結果を共有するには、pa_spotlight_viewerロールを持つ任意のユーザーと分析の URL を共有します。

次の図は、スポットライトのスコアリングを示します。大きな円は、すべてのオープン インシデントの集合を表します。小さな円は、オープン インシデントのサブセットに適用される重み付けされたスポットライト条件を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライトの図



注:
スポットライトを使用するには、アドミニストレーターがスポットライトプラグインをアクティブ化する必要があります。

スポットライトの設定

評価して重要度別にランク付けするテーブル レコードのセットごとにスポットライトを設定します。レコードはインジケーターと関連付ける必要があります。

スポットライト グループを作成して評価するレコードを指定します。複数のスポットライト条件を作成し、レコードの重み付け方法を定義するグループと関連付けます。スポットライト グループで、スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要がある条件の重み付けの合計を設定します。

注:
スポットライトの使用を開始する前に、アドミニストレーターがスポットライトプラグインをアクティブ化する必要があります。

スポットライト グループと複数のスポットライト条件を作成したら、スポットライト グループを有効にします。グループがアクティブ化されると、スポットライトグループジョブのスケジュールに従ってスポットライトスコアが自動的に収集されます。アクティブなグループのスポットライトスコアは、いつでも手動で収集できます。スポットライトグループのしきい値を超えるスポットライトスコアを持つレコードに対してスポットライトが自動的に作成されるため、最も優先度の高い作業をすばやく特定できます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス コンセプト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループの作成

スポットライト グループを作成して、評価するレコードを定義します。スポットライトの作成がトリガーされるためには、スポットライト グループで、レコードのスコアが超える必要のあるしきい値も設定します。

始める前に

アドミニストレーターは、スポットライトプラグインをアクティブ化しておく必要があります。

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト グループでは、評価するレコードのセットおよびしきい値を指定します。データセット内のレコードのスコアがしきい値を超えると、このレコードに対してスポットライトが作成されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

評価するレコードのセットは パフォーマンスアナリティクスインジケーターと関連付ける必要があります。スポットライト グループはこのインジケーターを指定します。スポットライトグループは 1 つのファクトテーブルのみを参照できます。グループのメインインジケーターとすべてのスポットライト条件の両方が同じテーブルを参照する必要があります。

注:
既存のスポットライト グループのメイン インジケーターを変更できます。ただし、グループの条件を選択した後は、メイン インジケーターを同じファクト テーブルを使用する別のインジケーターにのみ変更できます。

ドメインセパレーションを有効にしている場合は、作成時にログインしているドメインにスポットライトグループを作成します。スポットライトグループを構成した後、「 スポットライトグループをドメインにコピーする」で説明されているように、複数のドメインにコピーできます。

警告:
グローバルドメインにスポットライトグループを作成すると、すべてのドメインがそのグループにアクセスできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > スポットライト > スポットライトグループ をクリックし、[新規] をクリックします。
2. フィールドを入力します。

スポットライト グループ フォーム

フィールド	説明
しきい値	スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要があるスポットライト条件の重み付けの合計。 スポットライト条件に重み付けを割り当てる場合は、この値を再検討します。
メイン インジケーター	このスポットライト グループを評価するレコードを収集するインジケーター。 メイン インジケーターは次の要件を満たしている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 自動インジケーターである必要があります。 ○ インジケーターの collect_records プロパティを [true] に設定する必要がある。このプロパティはインジケーター フォームの [ソース] タブで設定する必要があります。 ○ インジケーターのインジケーター ソースは、データベース ビューではなく、実際のテーブルを参照する必要がある。 このスポットライト グループを評価するためのすべての条件は、メイン インジケーターのインジケーター ソースと同じファクト テーブルを使用します。

3. オプション: 評価するレコードをフィルタするには、[ブレークダウン] および [要素] を選択します。

> **重要:**
> スポットライトグループの作成では、ブレークダウンソーステーブルのアクセス制御リスト (ACL) が優先されます。したがって、ACL によっては、admin ロールを使用しても、ブレークダウンのすべての既存の要素が表示されない場合があります。

スポットライトグループが完成したら、完成したスポットライトグループを同じブレークダウン内の他の要素にコピーできます。[ブレークダウンのスポットライト グループをコピー] をクリックします。詳細については、「スポットライトグループをブレークダウン要素にコピーする」を参照してください。

4. [スコアの評価元] フィールドで、スポットライトジョブがスナップショットからスコアを評価するか、プラットフォームからスコアを評価するかを選択します。
詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。
5. コンテキスト メニューで、[保存] を選択します。

タスクの結果

インジケーターとしきい値を使用してスポットライト グループを作成し、スナップショットまたはプラットフォーム データに基づいてスコアを収集するかどうかを定義しました。

次のタスク

- スポットライト グループのスポットライト条件を作成し、スポットライト スコアを収集するスケジュールを設定します。「スポットライト条件の作成」を参照してください。
- ドメインセパレーションを使用している場合、スポットライトグループは、グループの作成時に属していたドメインに作成されます。条件やスケジュール設定などのスポットライト グループの構成が完了したら、[ドメインにコピー] をクリックしてスポットライト グループを別のドメインにコピーできます。
- メイン インジケーターのブレークダウンと要素を指定した場合は、スポットライト グループを同じブレークダウン内の他の要素にコピーできます。これを行うには、[ブレークダウンのスポットライト グループのコピー] をクリックします。まず、基準とスケジュールを含むスポットライトグループを完成させます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
スポットライトグループを他のドメインまたは他のブレークダウン要素にコピーすると、元のスポットライトグループに対して既に生成されたスポットライトジョブの結果はコピーされません。

関連情報

- スポットライトによるドメインセパレーション
- スポットライト インタラクティブ分析
- パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- インジケーター スコアの収集

スナップショットまたはプラットフォームデータの評価

スポットライトジョブが実行されると、収集されたレコードのスナップショットを評価するか、プラットフォームから直接データを収集して評価します。

注:
新しいスポットライトスコアは、スコアがスナップショットからのものかプラットフォームデータからのものかに関係なく、以前のスコアを上書きします。

スナップショット レコードの評価

デフォルトでは、新しいスポットライトグループはレコードのスナップショットを使用します。スナップショット これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。 スポットライト グループのメイン インジケーターと条件インジケーターの パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブ によってスナップショットが作成されます。スポットライト評価ジョブを実行する前に、これらのジョブを実行してレコードを収集する必要があります。

スナップショット レコードを使用するスポットライト グループの場合、データ収集とスポットライト評価ジョブは次の条件を満たす必要があります。

- スポットライト グループの条件で使用されるメイン インジケーターおよびすべてのインジケーターでは、レコード収集が有効になっています。

  注:
  インジケーター フォームの [レコードの収集] オプションでは、自動インジケーターの作成の説明のとおりにレコード収集が有効になります。

- スポットライト グループ条件で使用されるメイン インジケーターとすべてのインジケーターで、同じデータ収集頻度を使用します。
- すべてのスポットライトグループインジケーターのデータコレクションジョブをできるだけ一緒に実行し、データを同期させた状態に保ちます。基準インジケーターのスナップショットの日付は、メインインジケーターの最終スコア日と同じである必要があります。メインインジケーターとすべての基準インジケーターが同じデータコレクションジョブ内にあると理想的です。
- スポットライト スコア収集ジョブは、ジョブの完了後にすぐにデータ収集ジョブと同じ頻度で実行します。スポットライト スコア収集をこの方法でスケジュールすると、最新で役立つ結果になります。

注:
インジケーターベースのスポットライト基準のみがスナップショットレコードを評価します。スナップショットからのデータを評価するようにグループを設定した場合でも、クエリベースの基準は常にプラットフォームデータを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームデータの評価

スポットライトでは、スポットライトジョブの実行時にプラットフォームから直接レコードを収集して評価できます。結果のスポットライトスコアは、最新のスポットライトジョブの時点でのプラットフォームのステータスを反映します。

プラットフォームデータに基づくスポットライトスコアは、実際には「リアルタイム」ではありません。レコードはプラットフォームで変更される可能性がありますが、次回スポットライトジョブが実行されるまで、レコードのスポットライトスコアにはこの変更が反映されません。

プラットフォームデータの評価では、スナップショットのレコードの評価に比べ、インジケーターデータをクエリするためにより多くのシステムリソースを必要とします。

また、スクリプト化されたブレークダウンが適用される場合、インジケーターベースの条件を使用してプラットフォームデータを評価することはできません。特定の制限は次のとおりです。

- 基準のインジケーターが、スクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合は、この特定の条件を使用できません。プラットフォームデータの代わりにスナップショットを収集するか、インジケータベースの基準の代わりにクエリベースの基準を作成します。
- スポットライトグループのメインインジケータがスクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合、プラットフォームデータを評価することはできません。スナップショットのみに基づいてデータを収集するようにスポットライトグループを設定します。

スポットライト条件の作成

レコードの重み付けのタイミングと割り当てる重み付けを定義するスポットライト条件を作成します。

始める前に

スポットライト グループの作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト条件は、特定の属性に基づいてレコードに重みを付ける方法を定義します。各スポットライト条件はスポットライト グループと関連付けます。

スポットライト条件では、インジケーターを参照するか、ファクト テーブルに対して直接クエリを使用できます。前者の条件はインジケーターベースの条件と呼ばれ、後者はクエリベースの条件と呼ばれます。インジケーターベースの条件のインジケーターは、次の要件を満たす必要があります。

- 自動インジケーターである必要がある。
- レコードを収集するように設定する必要がある。
- これは、メイン インジケーターのインジケーター ソースと同じテーブルに基づいている必要があります。このテーブルをデータベースビューにすることはできません。
- スポットライトグループがプラットフォームデータを評価する場合、インジケーターはスクリプト化されたブレークダウンを使用できません。

クエリベースの条件は、メイン インジケーターのインジケーター ソースと同じテーブルをクエリします。インジケーターベースとクエリベースの条件の適合性は、スポットライトグループがプラットフォームデータとレコードのスナップショットのどちらを評価するかによっても異なります。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。

一部の条件は他の条件よりも重要で、重み付けが高くなる場合があります。複数の条件の重み付けはスポットライト グループ内で累積されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

ドメインセパレーションを有効にしている場合:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- グローバルスポットライトグループのスポットライト条件を作成すると、ログインしているユーザーのドメインに条件が作成されます。
- 特定のドメインにあるスポットライトグループのスポットライト条件を作成すると、スポットライト条件がそのドメインに作成されます。

スポットライト条件を作成するときに、ドメインの状況を通知するメッセージが表示されます。詳細については、「スポットライトによるドメインセパレーション」を参照してください。

手順

1. スポットライトグループレコードで、[スポットライト条件] 関連リストを見つけて [新規] をクリックします。
2. この条件を満たすレコードに割り当てる [重み付け] を入力します。
   関連するスポットライトグループに設定されている しきい値 を再検討することを検討してください。グループとグループのしきい値のスポットライト条件を互いに比較して重み付けを最適化します。
3. [基準タイプ] を選択すると、指定した重み付けが割り当てられるレコードが特定されます。

オプション	説明
インジケーター	[インジケーター] を選択すると、このインジケーターに含まれるすべてのレコードに重み付けが割り当てられます。必要に応じて、1 つまたは 2 つのブレークダウンと要素を選択し、指定したブレークダウン要素値を含むレコードのみにレコードを制限します。
クエリ	[フィルタ条件] を設定します。指定した重み付けは、フィルタ条件と一致するファクト テーブルのすべてのレコードに割り当てられます。スポットライト グループのメイン インジケーターのファクト テーブルは自動的に選択されます。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
スポットライト グループの基準を使用します。

Example: 3 つの基準が含まれるスポットライト グループ

インジケーターを参照する次の 3 つの基準すべてが含まれるスポットライト グループを検討します。

- 30 日間更新されないオープン インシデントで、重み付けが 1000 である。
- 再割り当て> 3 回、重み付け 800
- 説明が空で、重み付けは 300 です

この例では、4 回再アサインされ、[説明] フィールドが空のオープンインシデントの合計スコアは 1100 です。このインシデントは、合計スコアが 1000 の 30 日間更新されていないインシデントよりも優先されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
手順を繰り返して、必要な数の基準を作成します。次にスコアを収集します。「スポットライト スコアの収集」を参照してください。

スポットライト スコアの収集

スポットライト スコアを収集するには、スコアの収集をスケジュールし、スポットライト グループを有効にします。また、アクティブなスポットライト グループのスコアを手動で収集することもできます。

始める前に

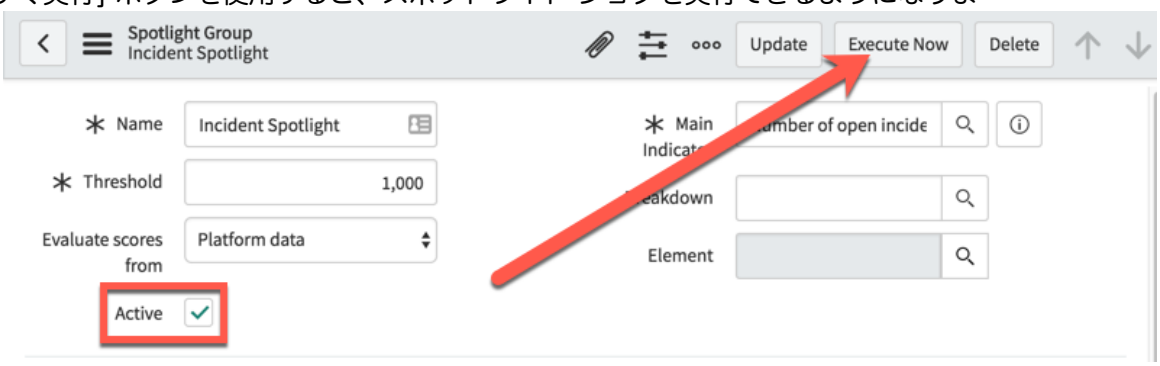
1. スポットライト グループの作成
2. スポットライト条件の作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて
スポットライトがスコアを収集する場合、スポットライトは、例外なく関連するスポットライト グループの古いスポットライト レコードもすべて削除します。

手順

1. スコアを収集するスコア グループを開きます。
2. まだ選択されていない場合は、チェックボックスで [有効] を選択し、スポットライト グループ フォームを保存します。
   デフォルトでは、新しいスポットライト グループは有効です。
   [今すぐ実行] ボタンを使用すると、スポットライト ジョブを実行できるようになりま



す。
3. スコアをすぐに収集するには、[今すぐ実行] をクリックします。
4. [スケジュール] セクションに移動し、[実行] フィールドでスポットライトスコアを収集する頻度を選択します。
5. スポットライト スコアを収集するタイミングの具体的な情報を入力します。
   必要な情報は、[実行] フィールドで選択した期間に応じて異なります。たとえば、[日次] を選択した場合は、実行する日時を入力する必要があります。[月次] を選択した場合は、実行する月の日付と時刻を入力する必要があります。
6. ドメインセパレーションを使用している場合は、[実行方法] フィールドでユーザーを指定します。

   実行ユーザーを指定しない場合、スコアはグローバルドメインに対して評価されます。この場合、すべてのドメインのすべての一致するレコードに対してスポットライトスコアリングが実行されます。

   詳細については、「スポットライトによるドメインセパレーション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

スポットライトでは、設定したスケジュールに従ってスコアの収集が開始されます。また、[今すぐ実行] をクリックすると、スコアをいつでも手動で収集することができます。スケジュールのトラブルシューティングが必要な管理者は、「スポットライトのスケジュール [sys_trigger] レコード」を参照してください。

次のタスク

スポットライト スコアに寄与する基準の詳細を確認できます。詳細については、「スポットライト スコアの詳細の確認」を参照してください。また、結果のインタラクティブな分析を確認および共有することもできます。

スポットライト スコアの詳細の確認

スポットライト スコアに寄与した重み付けの基準を確認するには、スポットライト レコードの詳細を確認します。

始める前に

必要なロール：pa_spotlight または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > スポットライト > スポットライト または、スポットライト グループレコードの スポットライト 関連リストを表示します。
2. 目的のスポットライトを見つけて、情報アイコン をクリックします。
3. [レコードを開く] をクリックします。

タスクの結果

スポットライト レコードが開きます。スポットライト監査関連リストでは、レコードが一致したスポットライト基準と、合計スコアに対する各基準の寄与を確認できます。

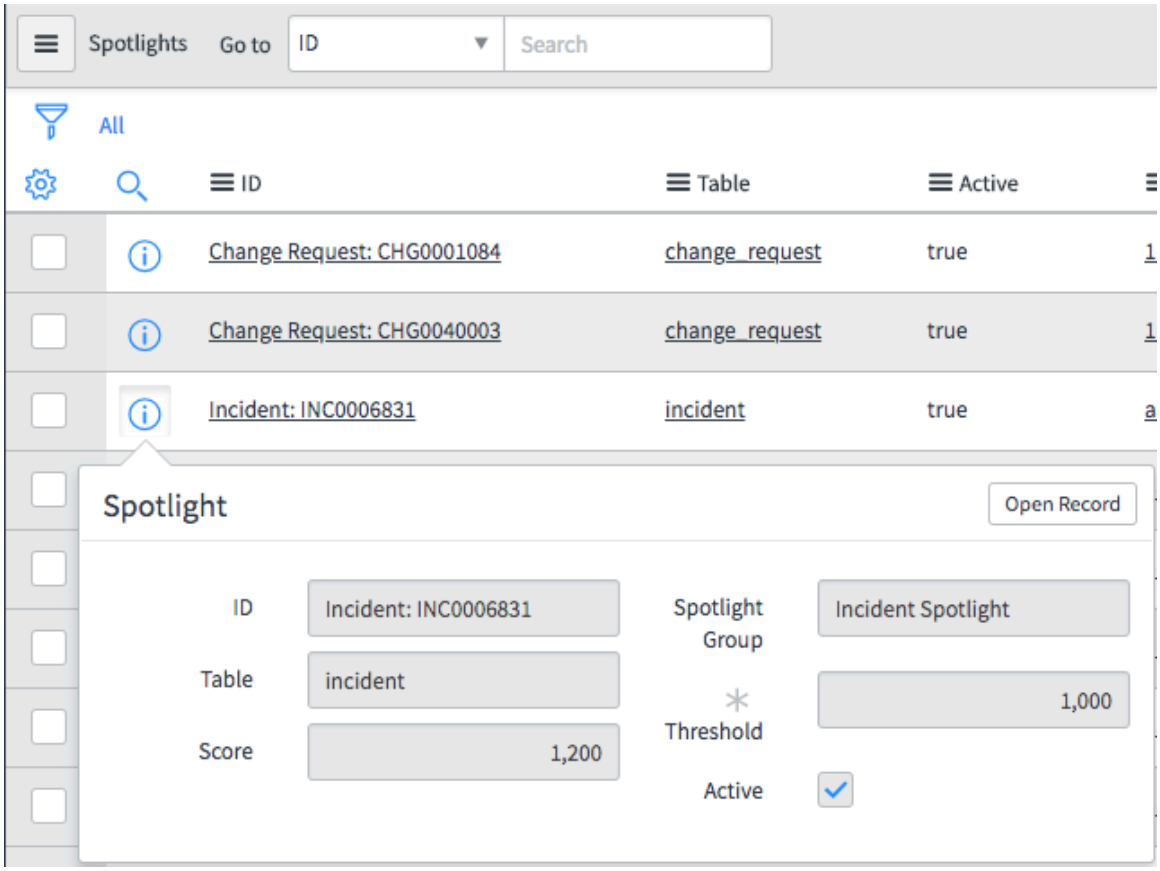
Example: 合計スコアに寄与するスポットライト条件

しきい値 1,000 に対するスポットライト スコアが 1,200 のインシデント INC0006831 のスポットライト レコードを検討します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したレコードのスポットライト リスト



スポットライト レコードを開くと、合計スコアに寄与する次の条件の重み付けが表示されます。

条件	重み付け
30 日間更新されていないオープン インシデント	1,000 日
28 日間より古いインシデント	25
7 日間より古いインシデント	25
5 日間更新されていないオープン インシデント	100
14 日間より古いインシデント	25
90 日間より古いインシデント	25
合計スコア：	1,200

スポットライト インタラクティブ分析

スポットライト インタラクティブ分析は、スポットライト ジョブの重要な結果を示します。スポットライトグループレコードから分析にアクセスします。

スポットライトインタラクティブアナリシスを開くには、対象グループのスポットライトグループレコードを開き、[インタラクティブアナリシスを起動] 関連リンクをクリックします。pa_spotlight または admin ロールが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インタラクティブ分析では、スポットライトデータベースビューを使用します。スポットライトは、グループの作成時に各スポットライトグループのデータベースビューを作成します。データベースビューが見つからない場合は、警告が表示されます。pa_spotlight ロールまたは admin ロールがある場合は、データベースビューを生成するためのリンクも表示されます。詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インシデント以外のテーブルでインタラクティブ分析を使用するには、 完全に有効なサブスクリプションバージョンが必要です。「 パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

インタラクティブ分析 Interactive Analysis には、次の情報が含まれています。

- スポットライト レコードの数。また、この値は、スポットライト グループのしきい値を超えた対応するファクト テーブル レコードの数でもあります。
- スポットライトしきい値を超えた未アサインのファクトテーブルレコードの数。これらのレコードには、[アサイン先] 列に値がありません。
- スポットライト テーブルとメイン インジケーターのファクト テーブルを結合するデータベースビュー。このビューの各行には、スポットライト レコードの列と対応するファクト テーブル レコードが表示されます。

  注:
  - ユーザーがこのテーブルの値を表示できない場合は、itil ロールを使用していることを確認します。
  - ドメインセパレーションが有効になっている場合、ユーザーは、ドメインに含まれる対応するファクトテーブルレコードのスポットライトレコードのみを表示できます。
  - このデータベース ビューをデータソースとして使用すると、レポートを作成できます。これらのレポートをダッシュボードに含めることができます。各分析およびレポートスポットライトソリューションには、このようなダッシュボードとレポートが含まれています。

  詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インタラクティブなフィルタを分析に適用できます。一致する列を含むファクト テーブルでは、次のフィルタが使用できます。

- ファクト テーブル レコードの [優先度] (タスクのみ)
- レコードが [オープン] である場合
- レコードの [経過時間]
- [アサイン先グループ] (タスクのみ)
- レコードの [状態]

これらのフィルターの追加または削除については、「 インタラクティブ分析へのフィルタの追加 と インタラクティブ分析からのフィルタの削除」を参照してください。

注:
スポットライト インタラクティブ分析用のインタラクティブ フィルタを作成する場合は、関連するスポットライト データベース ビューの上部にフィルタを作成する必要があります。データベース ビューにアクセスするには、admin ロールが必要です。このロールを持っていない場合は、システム管理者に連絡してください。

インタラクティブ分析を共有するには、フィルタ情報から URL を共有します。インタラクティブ分析を共有するユーザーには、pa_spotlight_viewer ロールが必要です。フィルタ情報の詳細については、「インタラクティブ分析情報パネル」を参照してください。

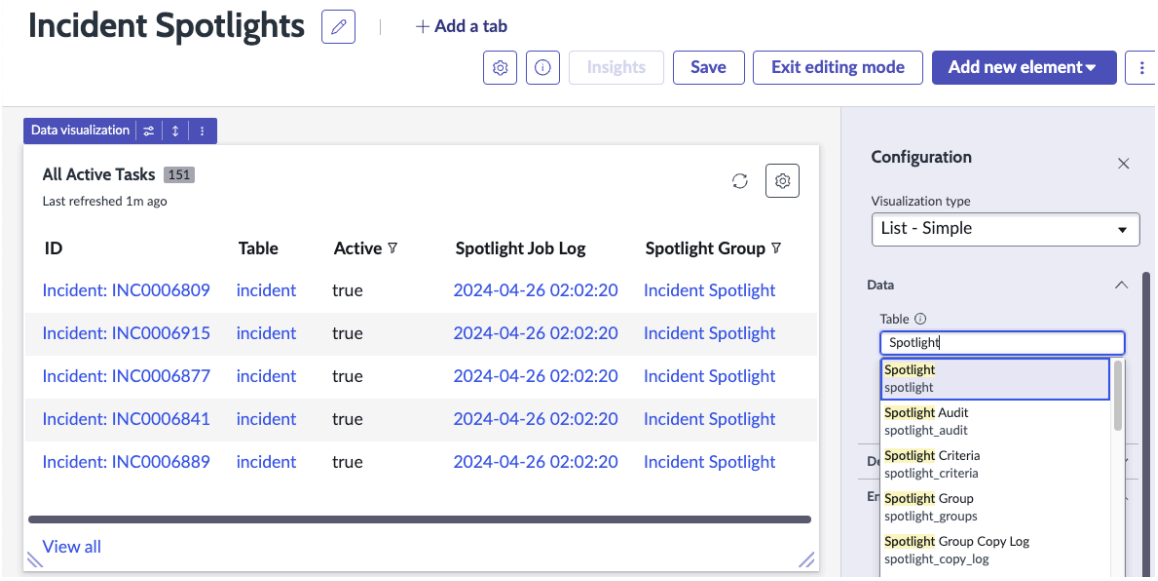
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プラットフォームアナリティクスダッシュボードのスポットライト

スポットライトを一覧表示し、構成可能なワークスペースのダッシュボードに表示できます。

プラットフォームアナリティクスにスポットライトを表示するには、インラインエディターでダッシュボードを作成します。スポットライト [spotlight] テーブルのレコードを表示するリストをそのダッシュボードに追加します。インシデントスポットライトなどのスポットライトグループでフィルタリングできます。



関連情報

- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- で簡単なリスト可視化を作成する 可視化デザイナー

スポットライトジョブログ

スポットライト ジョブの手順はログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

- 時間： スポットライト > スポットライトログ.
- 関連するスポットライトグループレコードのスポットライトジョブログ関連リストとして。

スポットライト グループ フォームではなく、同じスポットライト ジョブ ログ リストは両方の場所で開き、リストはこのスポットライト グループによってフィルタリングされます。

スポットライト ジョブをデバッグするには、リストからジョブ ログを開き、ジョブ ログの行フィールドを調査します。

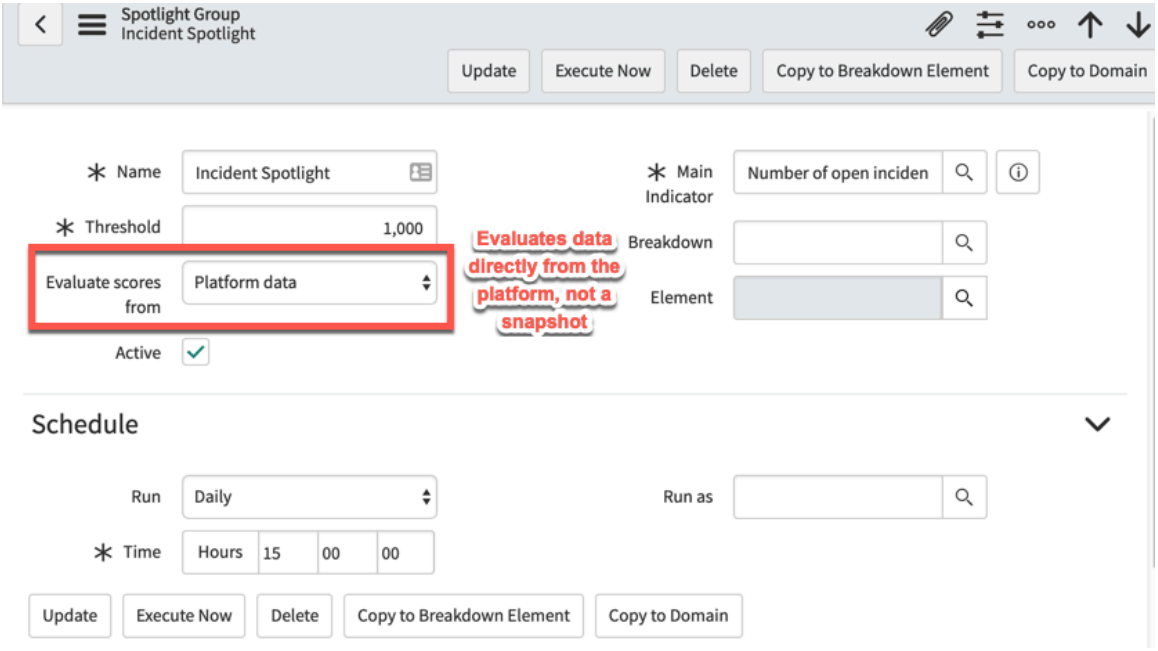
Example: スポットライト ジョブのデバッグ

インシデント [incident] テーブルのリアルタイムデータを評価するインシデントスポットライトグループを検討してください。このテーブルは、[オープン インシデントの数] インジケーターのインジケーターソースが使用するテーブルです。ス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

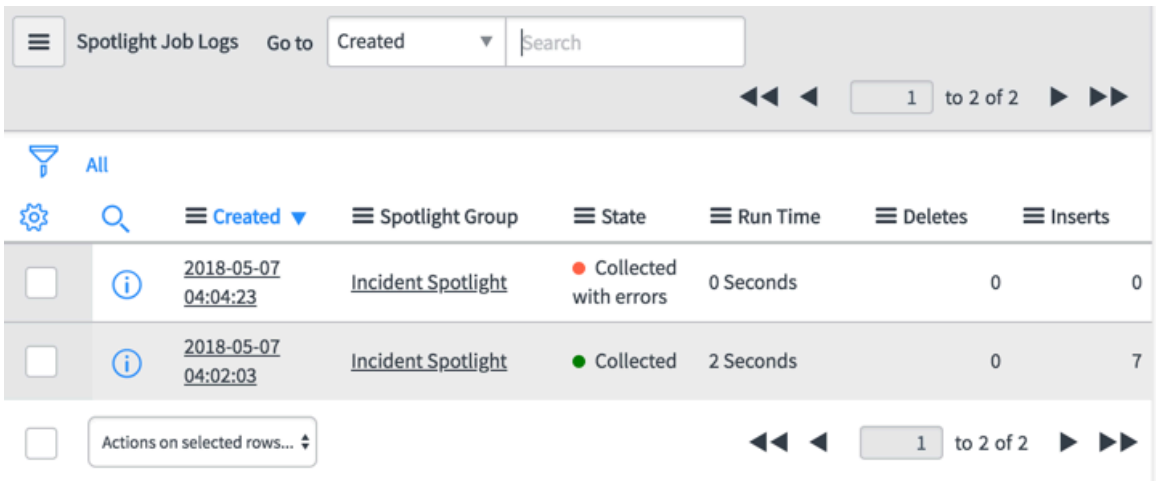
ポットライトジョブは、このスポットライトグループで毎日 15:00 に実行されま



す。

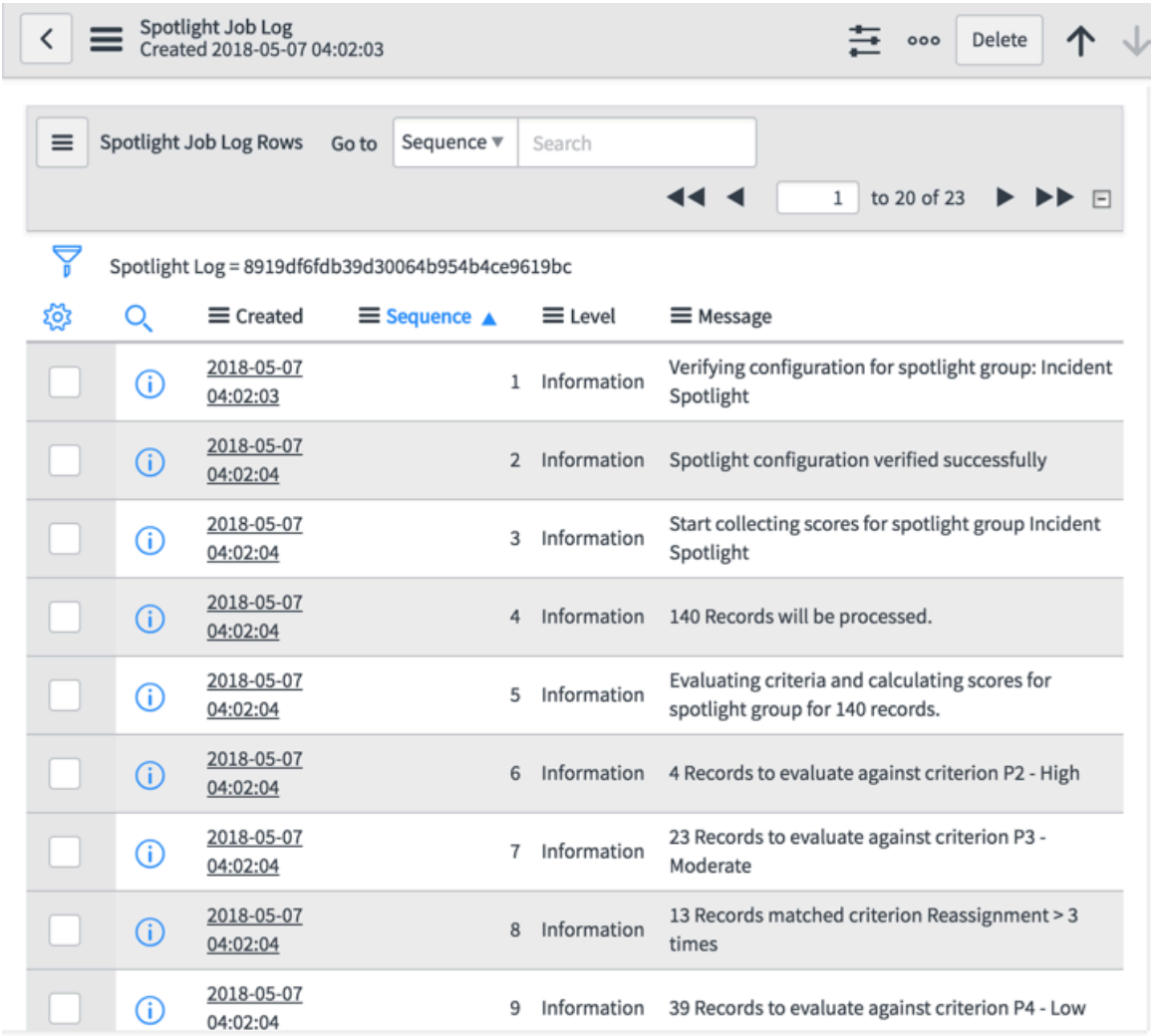
このグループのスポットライトジョブは、次のスポットライトジョブログのリストを生成します。ここでは、最新のジョブがエラーで完了しました。

スポットライトジョブログ

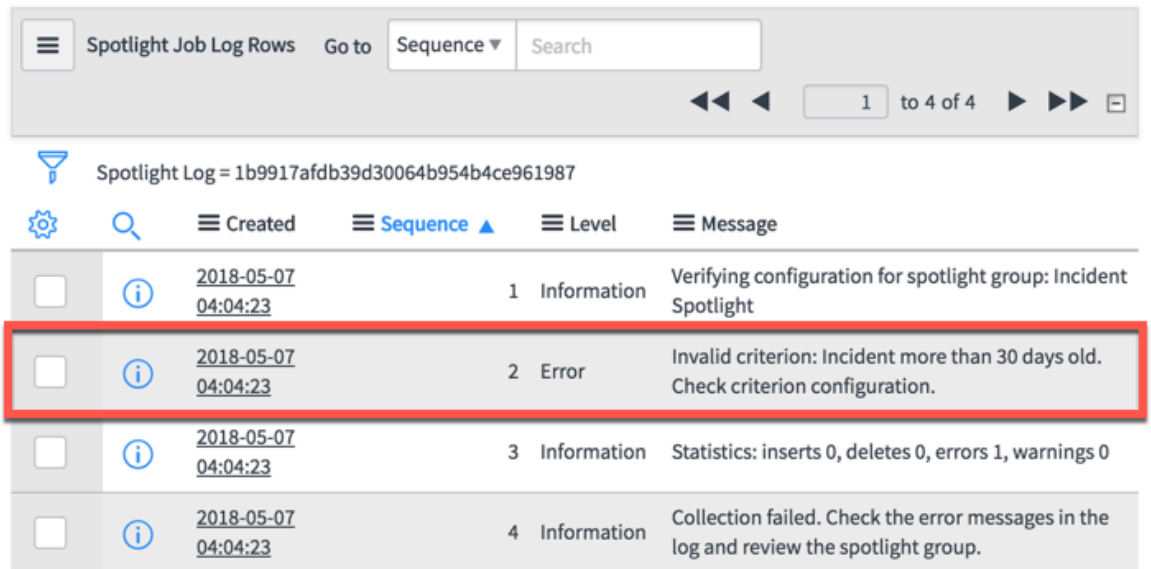


04:02:03 ジョブのタイムスタンプをクリックすると、情報メッセージのみを含む成功したジョブが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



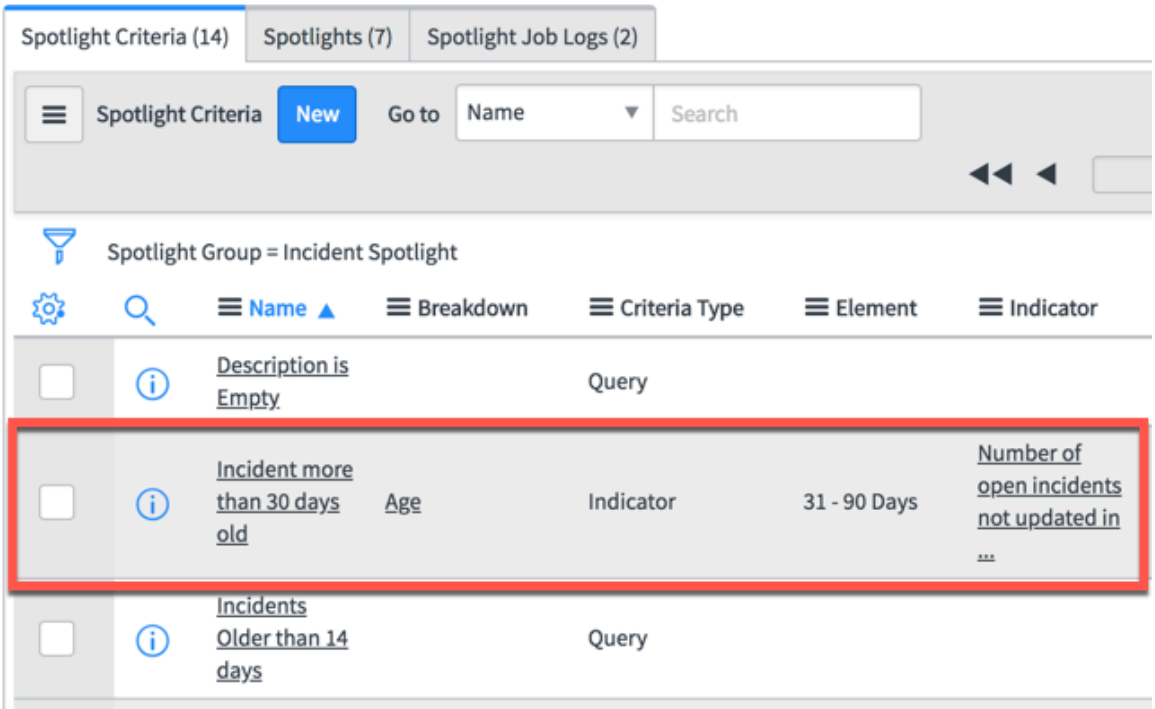
リストに戻り、エラーが発生したジョブのログを開くと、スポットライト基準 **[30** 日間より古いインシデント] は無効であることがわかります。



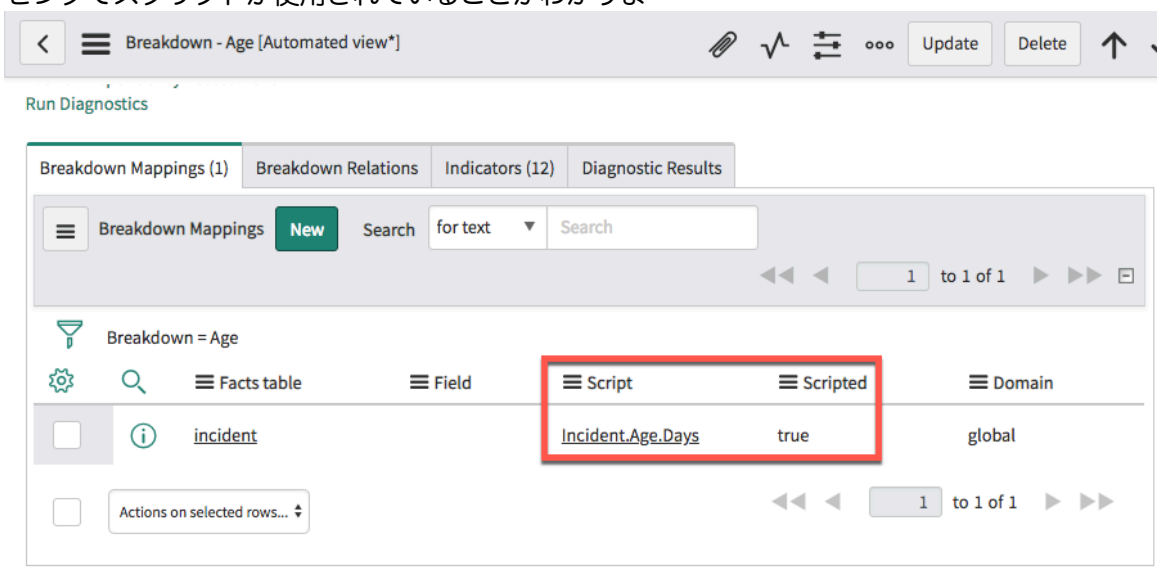
スポットライト基準に移動すると、**[30** 日間より古いインシデント] が経過時間ブレークダウンを使用するインジケーターベースの基準であることがわかります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



[経過時間] ブレークダウンを表示すると、ブレークダウン
マッピングでスクリプトが使用されていることがわかりま



す。

一番上に示されているように、インシデントスポットライトグループはリアルタイムデータを評価します。したがって、グループはスクリプト化されたブレークダウンを使用する基準をサポートできません。ジョブをエラーなしで実行するには、この条件を、インジケーターとブレークダウンの代わりにクエリを使用する条件に置き換えます。たとえば、次の条件でインシデント [incident] テーブルをクエリする基準を作成します。

- [[オープン] [相対] [次の値以前] [30] [日] [前]]
- [[オープン] [相対] [当日またはそれ以降] [90] [日] [前]]

詳細については、「スポットライト条件の作成」を参照してください。

スポットライトによるドメインセパレーション

ドメインセパレーションを有効にしている場合、スポットライトジョブ中にスポットライトが適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スポットライトグループのドメイン

スポットライトグループを作成するときは、グループの作成時にログインしているユーザーのドメインに作成します。たとえば、ACME 製品ドメインのユーザーがスポットライトグループを作成した場合、そのグループは ACME 製品ドメインに作成されます。どのドメインのメンバーにも属していないユーザーとしてスポットライトグループを作成する場合、そのスポットライトグループはグローバルドメインに含まれます。

Now Platform® ドメインセパレーションの定義に従って、スポットライトグループを他のドメインにコピーできます。

セッションドメインとスポットライトグループドメイン

スポットライトグループのドメインとは異なるドメインにログインしている場合、そのスポットライトグループレコードを編集することはできません。この場合、スポットライトグループを別のドメインにのみコピーできます。

スポットライト条件ドメイン

- グローバルスポットライトグループのスポットライト条件を作成すると、ログインしているユーザーのドメインに条件が作成されます。
- 特定のドメインにあるスポットライトグループのスポットライト条件を作成すると、スポットライト条件がそのドメインに作成されます。

メッセージは、スポットライト条件を作成するときにドメインの状況を通知します。

ドメインセパレーションによるスコアの評価

スポットライトグループがプラットフォームデータを評価する場合、 実行 ユーザーのドメインとドメインの可視化に従って、メインインジケーターとすべての基準がクエリされます。スポットライト グループがスナップショットのレコードを評価する場合、メイン インジケーターおよびインジケーターベースの条件は、実行ユーザー ドメイン専用に収集されたパフォーマンスアナリティクス スナップショットを使用します。この場合、 実行ユーザーの ドメイン可視化はインジケーターには適用されません。(スナップショットを評価するようにスポットライト グループが構成されている場合でも、クエリ ベースの条件ではプラットフォーム データが常に評価されます。したがって、クエリベースの基準は、常に ドメインと実行ユーザーの ドメインの可視化の両方に従います。

注:
各インジケーターのスナップショットは、スナップショットを作成する パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブ のドメイン構成によって異なる場合があります。

関連情報

- スポットライト グループの作成
- スナップショットまたはプラットフォームデータの評価
- スポットライトグループをドメインにコピーする
- ドメインセパレーションとパフォーマンスアナリティクス

スポットライトグループをドメインにコピーする

スポットライトグループを他のドメインにコピーできるため、ドメインごとにグループを手動で再現する手間が省けます。

始める前に
コピーするスポットライトグループの構成を完了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight_copy_domain

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
スポットライトグループを初めて作成すると、ログインしているドメインに作成されます。他のドメインに同一のスポットライトグループを作成するには、コピー機能を使用します。コピー機能は、Now Platform ドメインセパレーションに従います。

手順

1. [スポットライトグループ] リストからスポットライトグループレコードを見つけて開きます。
2. [ドメインにコピー] をクリックします。
3. [スポットライト グループのコピー] ダイアログで、[名前の設定] の値を選択します。
4. [スポットライト グループをコピー] ダイアログの残りのフィールドに次のように入力します。

フィールド	説明
新しい名前	作成しているスポットライトグループのコピーの名前が表示されている編集可能なフィールド。このフィールドは、[名前の設定] で [名前を変更しない] 以外の値を選択した場合に表示されます。[ドメイン名をプリフィックスとして新しい名前に追加] または [ドメイン名をサフィックスとして新しい名前に追加] を選択しない限り、すべてのコピーが同じ名前になります。ドメイン名のプリフィックスまたはサフィックスは、このフィールドには表示されません。
ドメイン	任意の数のドメインを選択します。選択肢には、親ドメインとすべてのサブドメインが含まれます。選択したドメインごとにスポットライトグループのコピーが作成されます。

5. **[OK]** をクリックします。
スポットライトグループがコピーされます。コピーが成功すると、作成したスポットライトグループのリストが開きます。コピープロセス中にエラーメッセージや警告が表示された場合は、 スポットライトグループコピーログをお読みください。
6. 作成したスポットライトグループをそれぞれ開き、次の手順を実行します。
   a. [別のユーザーとして実行] ユーザーがスポットライトグループのドメインにアクセスできることを確認し、必要に応じてこのユーザーを変更します。
   b. スポットライトジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。
   c. スポットライトグループを有効にします。

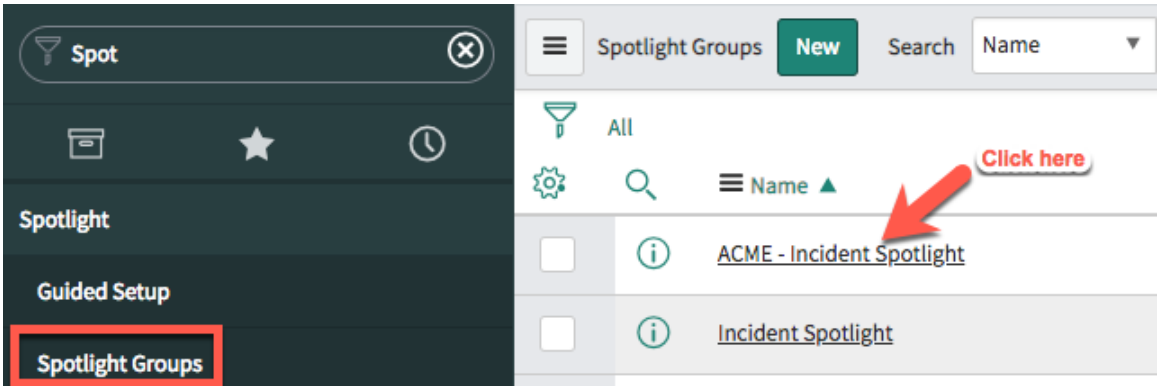
Example: スポットライトグループを複数のドメインにコピーする

この例では、ACME ドメインで作成された ACME - インシデントスポットライトグループが、ACME 社の製品部門のサブドメインにコピーされます。

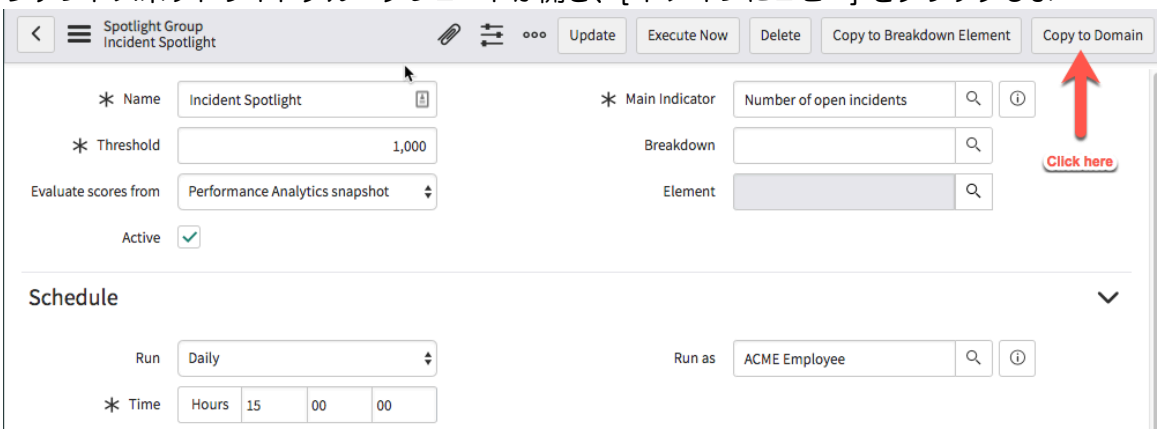
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. [スポットライトグループ] リストを開き、[**ACME -** インシデントスポットライト] をクリックします。



2. インシデントスポットライトグループレコードが開き、[ドメインにコピー] をクリックします。

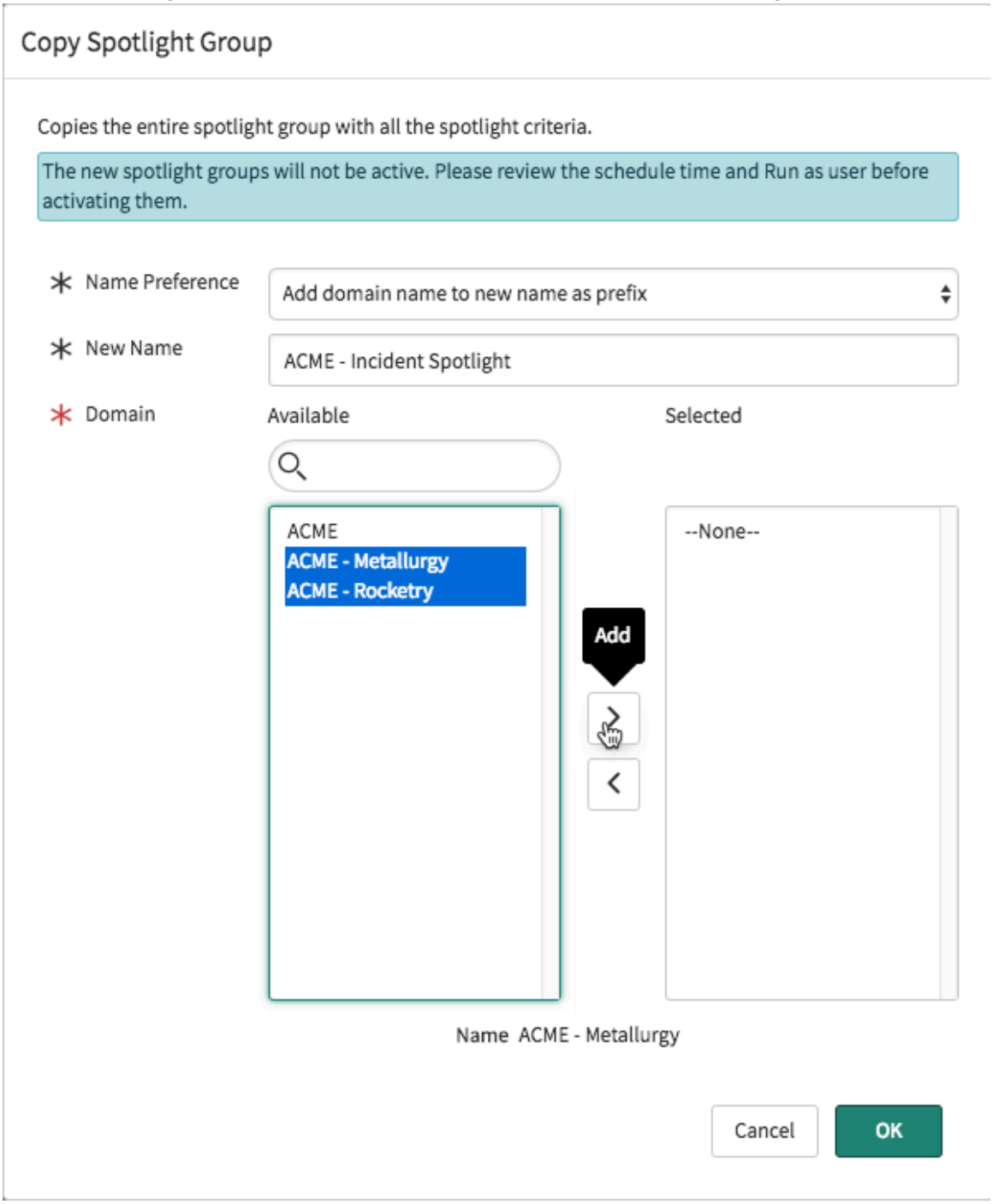


3. **Copy Spotlight Group**ダイアログで、ACME - MetallurgyおよびACME - Rocketryサブドメインを選択します。元のスポットライトグループは ACME ドメインで作成されているため、ACME および ACME サブドメインのみを使用できます。ドメイン名をグループ名の先頭

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に表示する場合は、[ドメイン名 をプレフィックスとして新しい名前に追加する] も選択しま

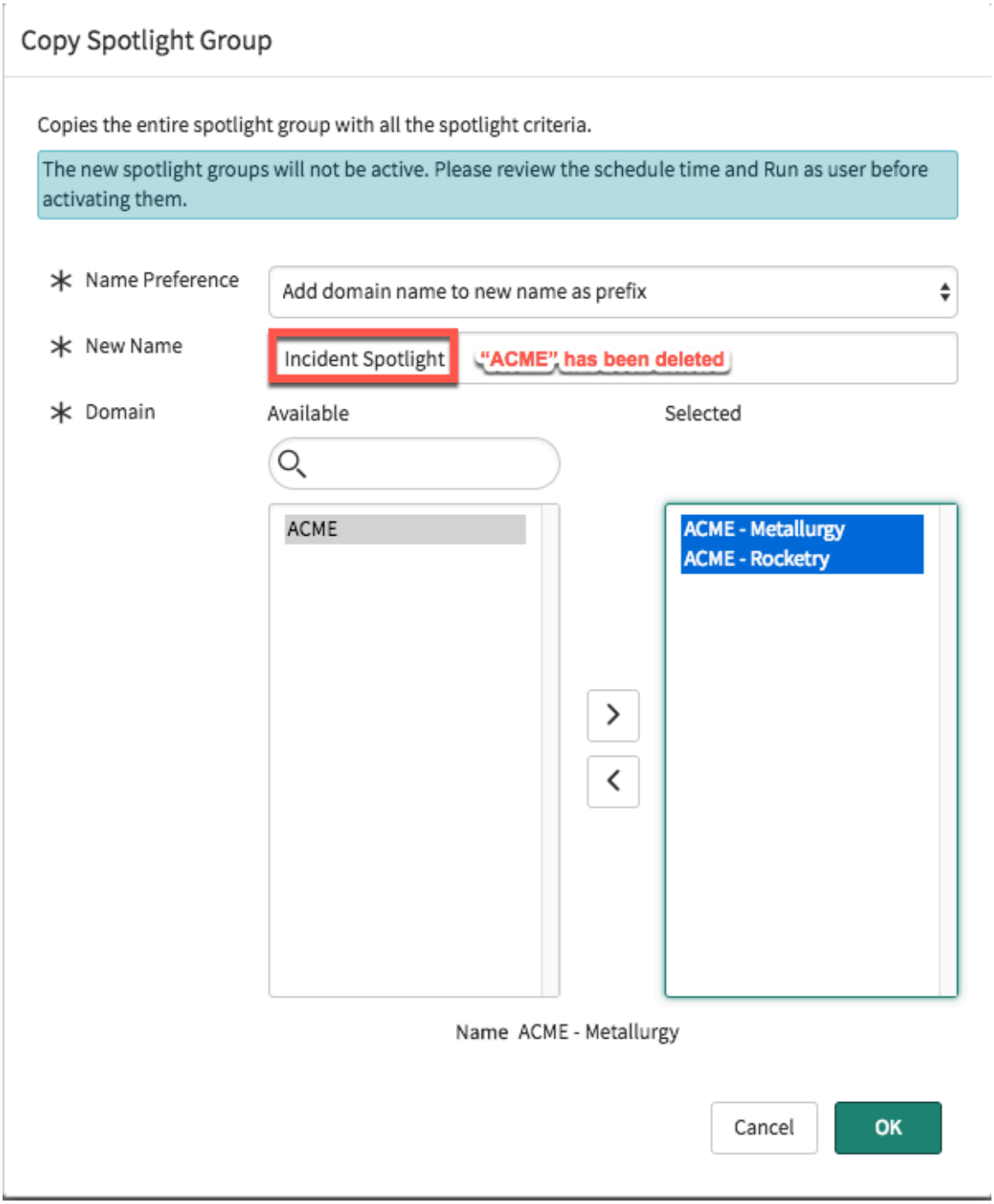


す。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プリフィックスとして追加されるドメイン名は ACME で始まるため、グループのベース名に ACME は必要ありません。したがって、削除しま



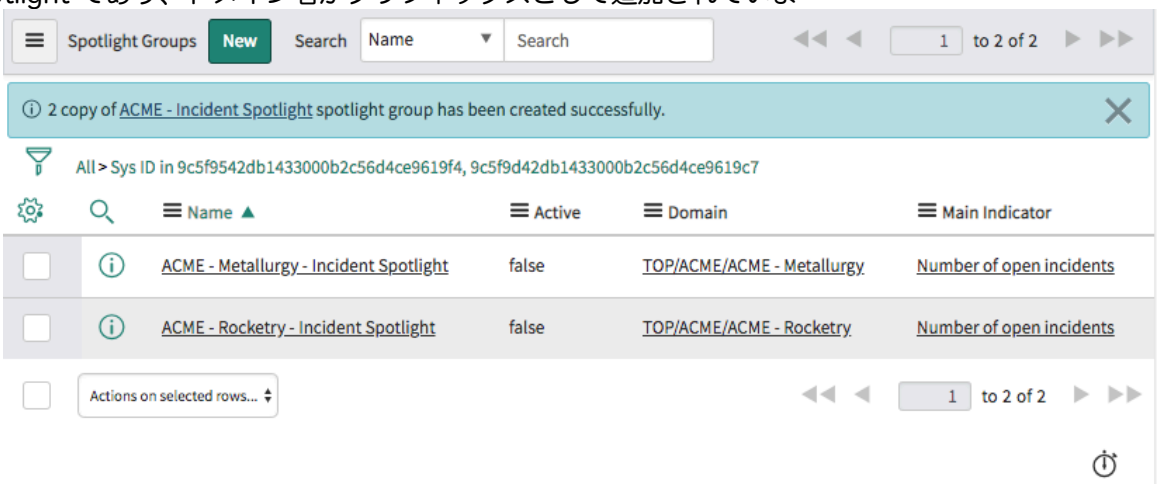
す。

5. **[OK]** をクリックすると、作成したスポットライト グループを示すリストが表示されます。[スポットライトグループのコピー] ダイアログの [新しい名前] フィールドに示されているように、どちらもベース名が Incident

自動翻訳

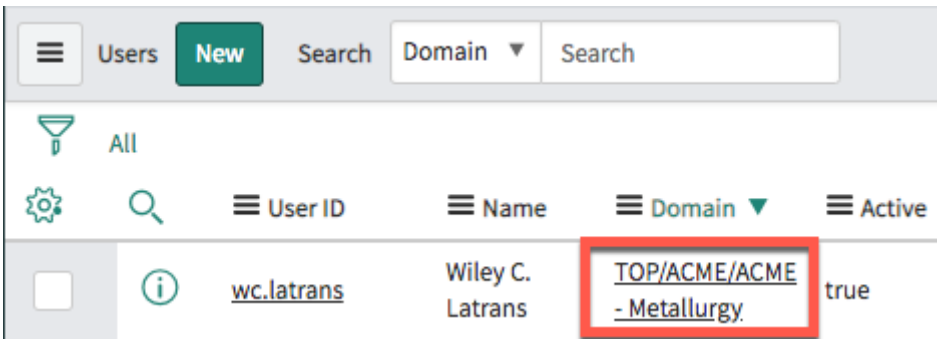
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Spotlight であり、ドメイン名がプリフィックスとして追加されていま

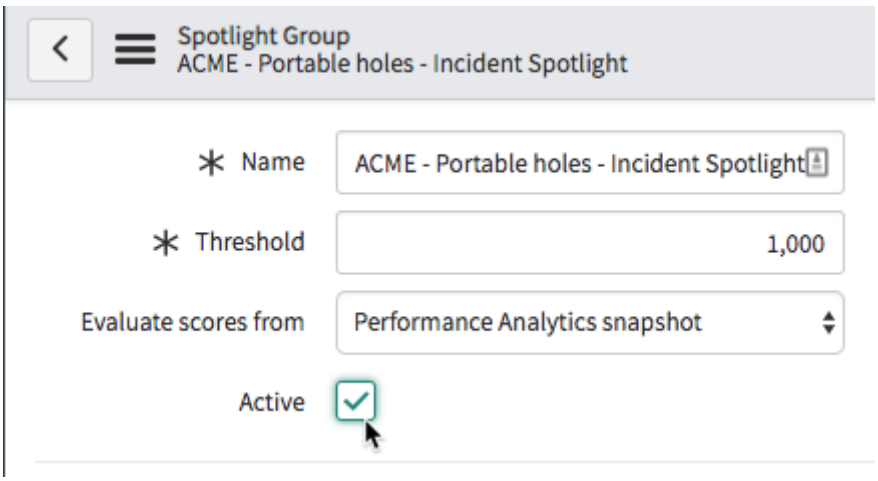


す。

6. [実行方法] フィールドで、ACME - 冶金ドメイン内のユーザーを参照し、[Wiley C. Latrans] を選択します。グローバルユーザーとスポットライトグループのドメイン内のユーザーのみを使用できます。スポットライトジョブは、このドメインに表示されるレコードのみが評価されるため、スポットライトグループと同じドメイン内の 実行ユーザー の方がより効率的に実行されます。



7. スポットライトジョブの実行スケジュールを確認し、スポットライトグループを有効にします。



8. ACME - Rocketry - インシデントスポットライトグループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク
コピープロセス中にエラーメッセージや警告が表示された場合は、 スポットライトグループコピーログをお読みください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライトグループをブレークダウン要素にコピーする

1 つのブレークダウンの複数の要素にスポットライトグループをコピーできます。

始める前に

コピーするスポットライトグループの構成を完了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight、pa_spotlight_copy_breakdown

このタスクについて

スポットライト グループを初めて作成するときは、1 つのブレークダウンの最大 1 つの要素に関連付けることができます。ブレークダウンの複数の要素に同一のスポットライトグループを作成するには、コピー機能を使用します。たとえば、 国 ブレークダウンの複数の要素に同じスポットライトグループ構成を使用する場合は、1 つの国のスポットライトグループを作成し、それを他の国にコピーします。

手順

1. [スポットライトグループ] リストからスポットライトグループレコードを見つけて開きます。
2. [ブレークダウン要素にコピー] をクリックします。
3. [スポットライト グループのコピー] ダイアログで、[名前の設定] の値を選択します。
4. [スポットライトグループをコピー]ダイアログの残りのフィールドに入力します。

フィールド	説明
新しい名前	作成しているスポットライトグループのコピーの名前が表示されている編集可能なフィールド。このフィールドは、[名前の設定] で [名前を変更しない] 以外の値を選択した場合に表示されます。[要素名を接頭辞として新しい名前に追加] または [要素名を接尾辞として新しい名前に追加] を選択しない限り、すべてのコピーは同じ名前になります。要素名のプリフィックスまたはサフィックスは、このフィールドには表示されません。
ブレークダウン	元のスポットライト グループの作成時にブレークダウンを指定した場合は、このフィールドにブレークダウン名が表示されます。それ以外の場合は、ブレークダウンを選択します。メインインジケーターに関連付けられているブレークダウンのみが利用可能です。
要素	指定したブレークダウンの要素をいくつでも選択します。選択した要素ごとにスポットライトグループのコピーが作成されます。

5. **[OK]** をクリックします。
   スポットライトグループがコピーされます。コピーが成功すると、作成した新しいスポットライトグループのリストが開きます。コピープロセス中にエラーメッセージや警告が表示された場合は、スポットライトグループコピーログをお読みください。
6. 作成した各スポットライトグループを開き、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

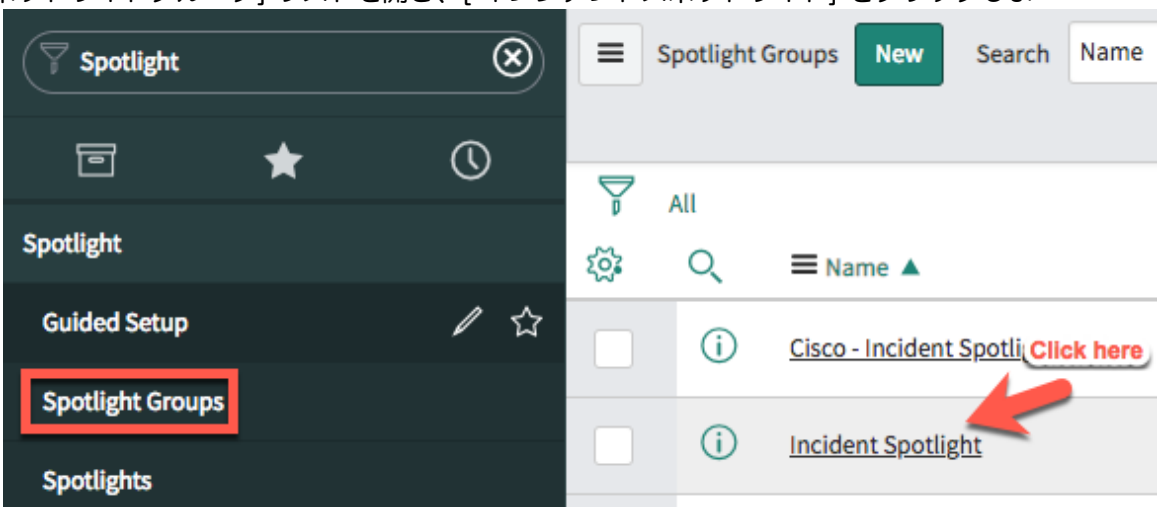
a. スポットライトジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。

b. スポットライトグループを有効にします。

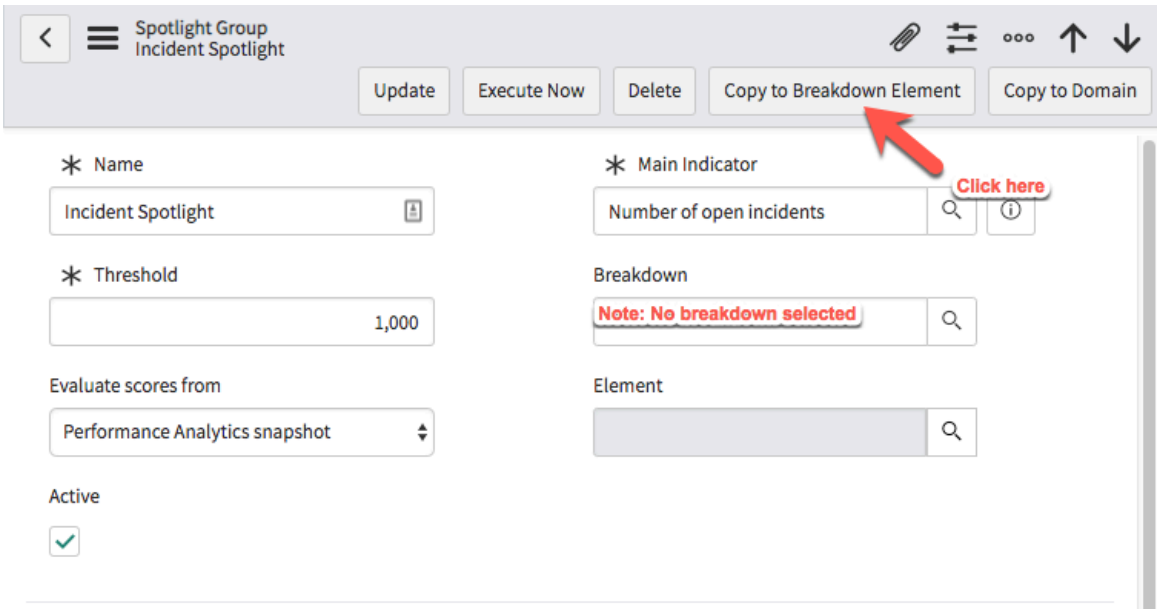
Example: 複数のブレークダウン要素のスポットライトグループのコピー

この例では、ブレークダウン要素 [カテゴリ:ハードウェア] と [カテゴリ:ソフトウェア] のインシデントスポットライトグループをコピーします。

1. [スポットライトグループ] リストを開き、[インシデントスポットライト] をクリックします。



2. インシデントスポットライトグループレコードが開き、[ブレークダウン要素にコピー] をクリックします。

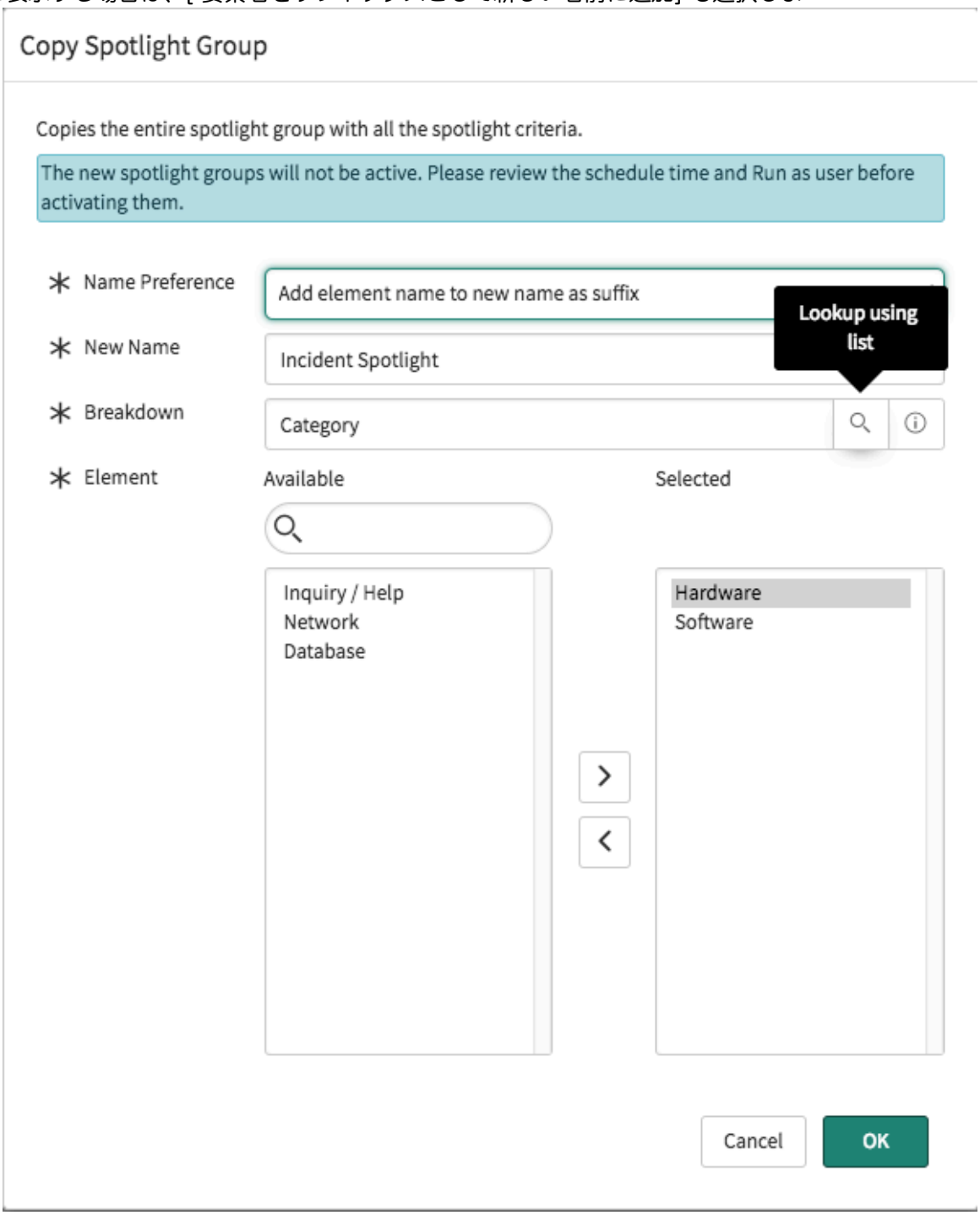


3. [スポットライトグループをコピー] ダイアログで、カテゴリブレークダウンを指定し、ハードウェア要素とソフトウェア要素を選択します。要素名をグループ名の末

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

尾に表示する場合は、[要素名をサフィックスとして新しい名前に追加] も選択しま



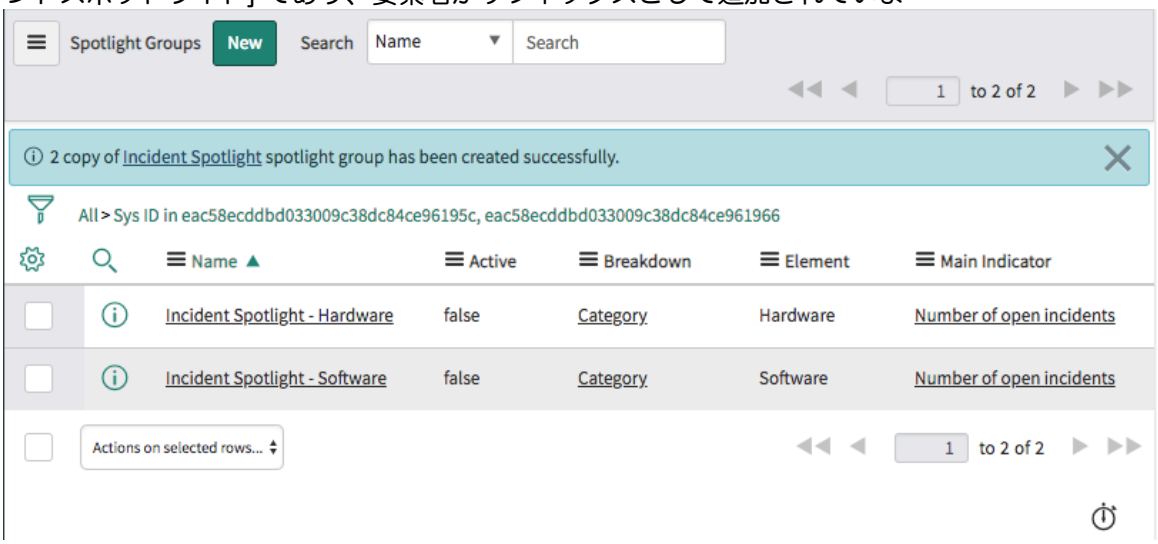
す。

4. **[OK]** をクリックすると、作成したスポットライトグループを示すリストに移動します。[スポットライトグループのコピー] ダイアログの [新しい名前] フィールドに示されているように、どちらのスポットライトグループも基本名が [イン

自動翻訳

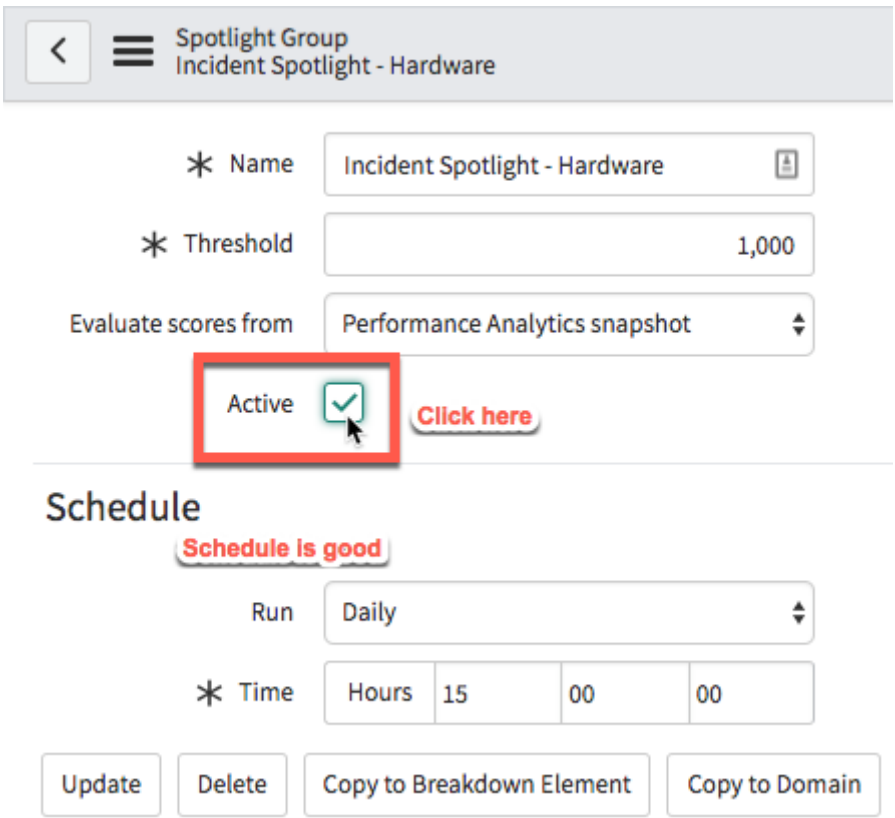
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シデントスポットライト] であり、要素名がサフィックスとして追加されていま



す。

5. [Incident Spotlight - Hardware] グループを開きます。ここでは、スポットライトジョブのスケジュールが適切であることを確認し、グループをアクティブ化します。



6. インシデントスポットライト - ソフトウェアグループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク
コピープロセス中にエラーメッセージや警告が表示された場合は、 スポットライトグループコピーログをお読みください。

スポットライトグループコピーログ

スポットライトグループがコピーされると、コピープロセスのステップがログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

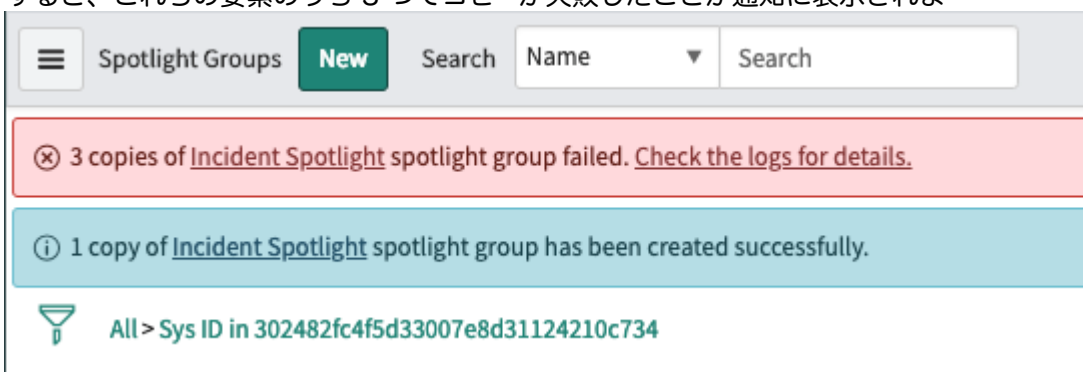
- 時間： スポットライト > スポットライトグループコピーログ.
- 関連するスポットライトグループレコードのスポットライトグループコピーログ関連リストとして。

両方の場所で同じスポットライトグループコピーログリストが開きますが、スポットライトグループフォームでは、リストはそのスポットライトグループによってフィルタリングされます。

スポットライトグループコピージョブをデバッグするには、リストからグループコピーログを開き、ログ行フィールドを調べます。コピー ジョブの最後に表示される通知からグループ コピー ログを開くこともできます。

Example: エラーのあるグループコピーログ

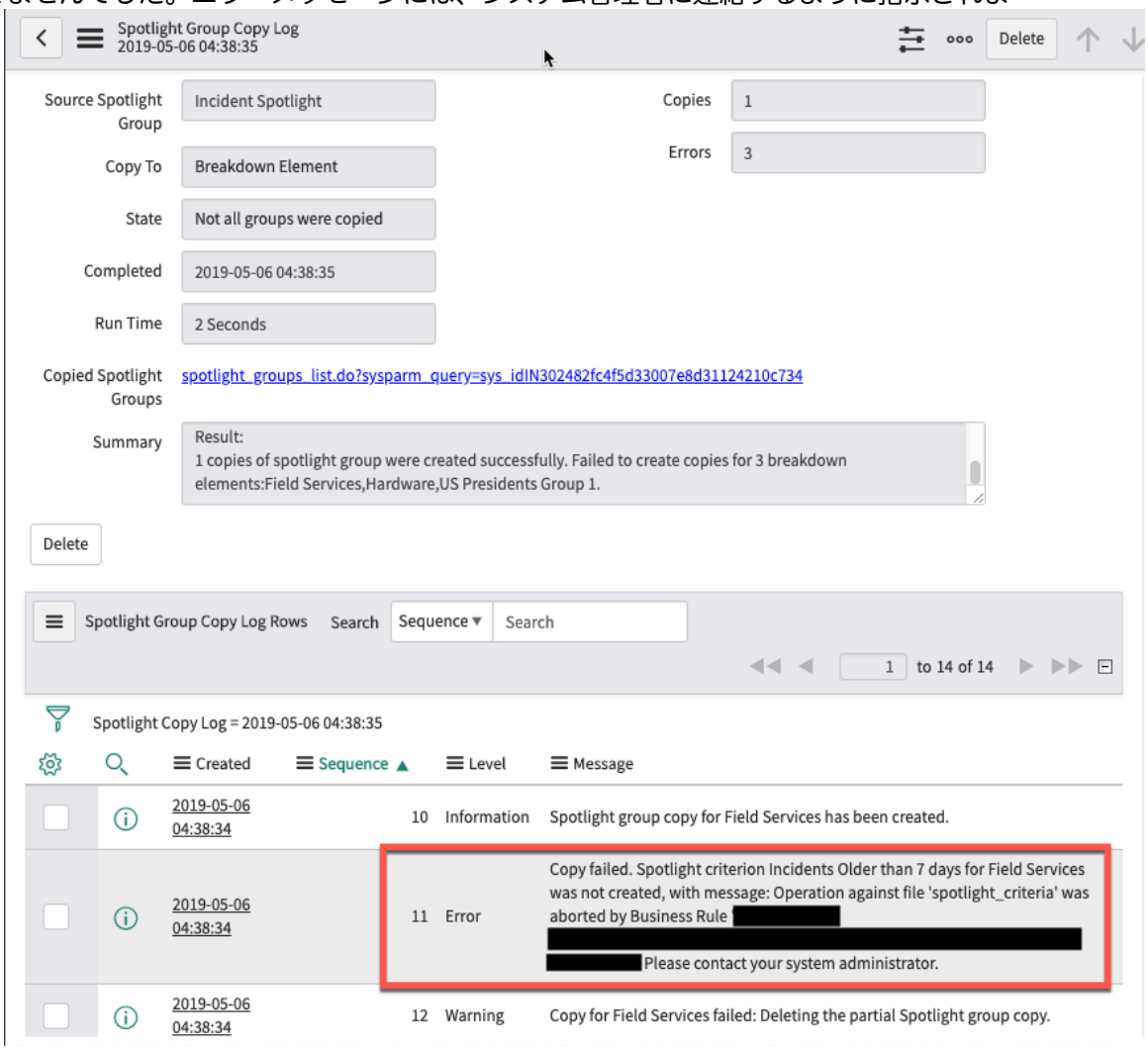
この例では、インシデントスポットライトグループが、アサイン先グループのブレークダウン要素であるデータベース、フィールドサービス、ハードウェア、および米国大統領グループ 1 に対してコピーされています。ただし、コピー ジョブが完了すると、これらの要素のうち 3 つでコピーが失敗したことが通知に表示されます。



[詳細については、ログを確認してください] をクリックすると、このコピー ジョブのスポットライト グループ コピー ログが開きます。このログでは、各エラーの原因となったエラーを見つけることができます。次の例では、ビジネスルール違反により、コピーを作成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

できませんでした。エラーメッセージには、システム管理者に連絡するように指示されま



す。

スポットライトの管理

admin ロールを持つユーザーは、スポットライトの下位コンポーネントにアクセスできます。

スポットライト データベース ビュー

スポットライトでは、データベース ビューがスポットライト グループで評価されるレコードのスポットライト [spotlight] テーブルとファクト テーブルを結合します。スポットライトインタラクティブ分析を使用するには、このデータベースビューが必要です。アドミニストレーターは、このデータベースビューにアクセスして、レポートを作成したり、問題を診断したりできます。

データベースビューを作成した後、スポットライトは、スポットライトグループ [spotlight_groups] テーブルの関連するスポットライトグループレコードにそのビューへの参照を追加します。参照は、レコードの database_view 列にあるデータベースビューのプライマリキーフィールド値で構成されます。

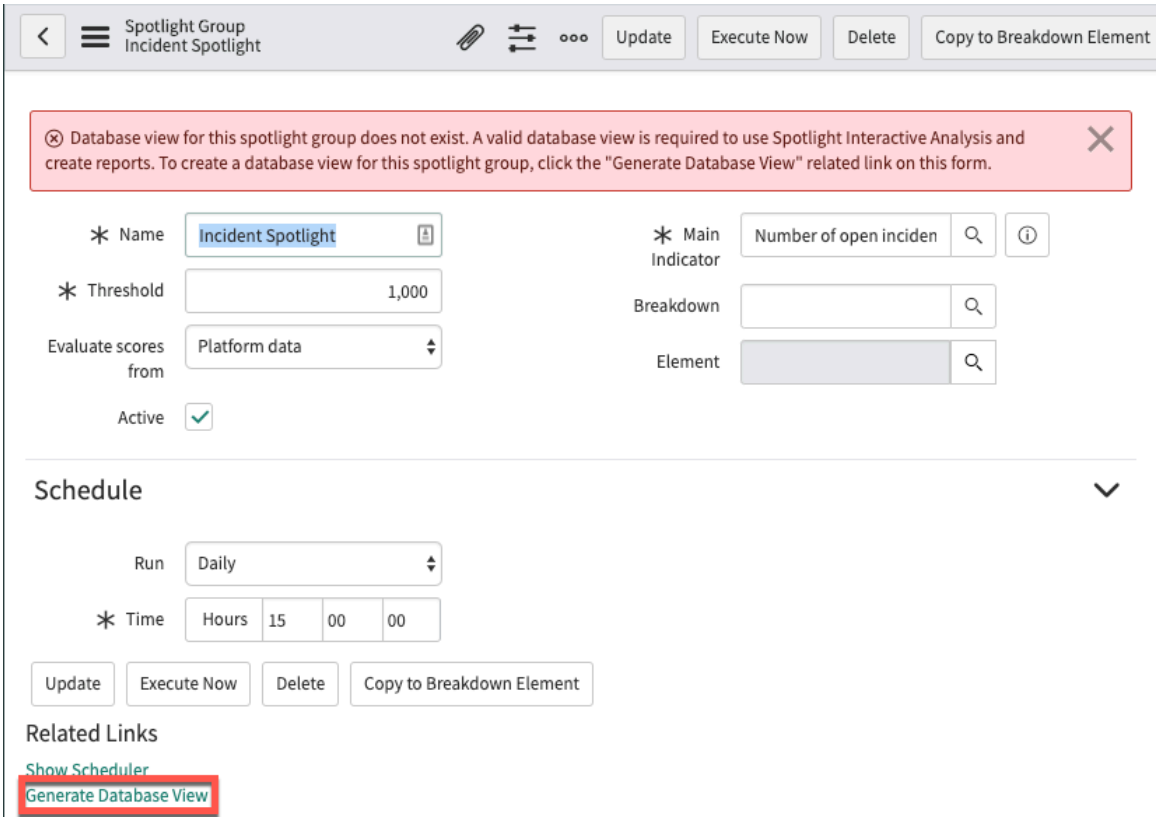
注:
London より前のバージョンからアップグレードする場合は、spotlight_groupsレコードの [database_view] 列に空のdatabase_view値から開始します。この空の列は影響を与えません。この列は、ユーザーがspotlight_groupsテーブルのレコードを変更すると入力されます。

管理者の場合は、データベース ビューに直接アクセスできます。スポットライト グループのデータベース ビューを表示するには、スポットライト グループ フォームの [データベースビューを表示] 関連リンクをクリックします。また、[データベースビュー] 列をスポットライト グループ リストにも追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データベースビューがないか無効である場合、スポットライトグループレコードにエラーメッセージが表示されます。この場合は、[データベースビューを生成] 関連リンクをクリックすると、使用可能になります。その後、データベースの生成が成功したかどうかを通知するメッセージが表示されます。

データベースビューがないスポットライトグループ



スポットライト グループを削除すると、安全に行うことができる場合、スポットライトはそのグループに関連付けられたデータベース ビューを削除します。データベースビューを削除しても安全かどうかを判断するために、スポットライトは次の条件をチェックします。

- 他のスポットライト グループにそのデータベース ビューへの参照が含まれていますか？
- 他のスポットライト グループは、削除しようとしているグループのメイン インジケーターと同じファクト テーブルを使用するメイン インジケーターで定義されていますか?

どちらの条件も true でない場合、スポットライトはデータベースビューを削除します。

データベース ビューを作成、変更、または削除する場合、スポットライトは次のビジネス ルールを実行します。

- データベース ビューの更新
- データベース ビューの削除
- 挿入時の DB ビューの設定

関連情報

データベースビュー

スポットライトのスケジュール **[sys_trigger]** レコード

スポットライト グループを [有効] に設定すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが作成されます。管理者は、このレコードにアクセスしてスケジューリングをトラブルシューティングします。このレコードには、スポットライト グループで設定されたスケジュール情報が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループ レコードのスケジュールを編集すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが新しいレコードに置き換えられます。スポットライト グループを無効または削除すると、スケジュール レコードが削除されます。スポットライト グループを再び有効にする場合は、新しいスケジュール レコードを作成します。

注:
アドミニストレーター スポットライトグループフォームの [スケジューラーを表示] をクリックすることで、スポットライトグループのスケジュールアイテム [sys_trigger] レコードにアクセスできます。

スケジュール [sys_trigger] レコードの作成、編集、および削除のプロセスでは、次のようなビジネス ルールが使用されます。

スポットライト グループの有効化、ビジネス ルール、スケジューリング

アクション	ビジネス ルール	スケジュール レコードへの影響
スポットライト グループの有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループ レコードのスケジュールの編集	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは、新しいスケジューリング情報を含む新しいレコードに置き換えられます。
スポットライト グループの無効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。
スポットライト グループの再有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループの削除	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。

データ収集プロセスとログ記録

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブはインジケーター スコアを収集します。データ収集をデバッグするには、データ収集プロセスと、データ収集プロセスがジョブログにどのように反映されるかを理解しておくと役立ちます。

管理者として、データ収集ジョブをデバッグする必要が生じることがあります。各ジョブはログを生成しますが、このログのエントリを理解するには、データ収集プロセスのどのステップでエントリが生成されたかを知る必要があります。 パフォーマンスアナリティクス には、次の 3 つのレベルのログがあります。

- 実行されたジョブを示すジョブイベント。
- 実行された各ジョブの概要を示すジョブログ。
- 実行されたジョブの各ステップで何が起こったかを説明するジョブログの詳細。

管理コンソールには、日次、週次、月次のデータ収集ジョブの概要も表示されます。

データ収集の最適化

最適化された パフォーマンスアナリティクス データコレクターにより、大きなデータセットを処理するための時間、メモリ、および CPU 使用率が削減されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

最適化されたデータコレクターは、Tokyo 以降のすべてのインスタンスでデフォルトでアクティブになっています。アップグレード時に有効になります。最適化されたコレクターを非アクティブ化するには、システムプロパティ *com.snc.pa.dc.hsql* を作成し、それを false に設定します。詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

重要:
Oracle データベースはサポートされていません。パフォーマンスアナリティクススコア [pa_scores] テーブルを引き続き使用する他のインスタンスもサポートされません。最適化されたデータコレクターは、インジケータースコアがスコアレベル 1 [pa_scores_l1] とスコアレベル 2 [pa_scores_l2] の 2 つのテーブルにあるインスタンスのみをサポートします。詳細については、「パフォーマンス分析スコアの移行」を参照してください。

最適化されたデータコレクターは、次の機能をサポートしています。

- パフォーマンスに悪影響を与えることなく 1,000 万件を超えるレコードを処理できます。
- ブレークダウンマトリクスを有効にした状態で、少なくとも 10 個のブレークダウンをサポートします。ブレークダウンのサポートには次のものが含まれます。
  - ドット連結条件
  - 最大 100 万件のレコードを含む 2 つの大きなブレークダウン
  - ブレークダウンの関連付け
- インジケーターとブレークダウンに関する追加条件のサポート。
- 個別のカウント集計の最適化。

注:
データ収集を最適化するために、インジケーター ソースごとに許可されているレコードのデフォルトの最大数が増加しました。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスのプロパティ」の *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source* プロパティを参照してください。

最適化は、組み込みデータベースの使用に起因します。標準のデータ収集ジョブでは、ジョブ中にすべてのスコアがノードメモリに保存されます。ただし、最適化されたデータ収集ジョブは、スコアのパケットをディスク上の一時ストレージに移動します。ジョブの終了時に、スコアがスコアテーブルに書き込まれ、一時データベースがクリアされます。

注:
遅延読み込みを使用したメモリ最適化は、メモリ不足エラーを排除するために実装されました。ただし、このメモリの最適化により、CPU 使用率が増加し、大規模なジョブの処理時間が長くなる可能性があります。詳細については、 カスタマーサービス & サポート にお問い合わせください。

データ収集ジョブのイベントの表示

ジョブ イベントは、パフォーマンス分析のために実行されたジョブと、ServiceNow インスタンスでどのようなアクション (通知やビジネス ルールなど) がトリガーされたかを示します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブイベント.
2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブ イベントの詳細を表示します。
   ジョブ イベントに関する追加情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

データ収集ジョブ履歴の表示

データ収集ジョブ履歴の表示

ジョブ履歴には、パフォーマンス分析のために実行されたデータ収集ジョブに関する情報が表示されます。ジョブ履歴を表示したり、イベントを作成したり、イベントレジストリを表示および編集したりできます。リスト ビューには、フィルタリングされていない限り、すべての履歴エントリが表示されます。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ履歴.
   履歴には、すべての履歴に関して次の情報が表示されます。

   データ収集ジョブ履歴

フィールド	説明
作成日時	データ収集ジョブが開始された日時。
ステータス	[収集中]、[収集済み]、または [収集済み (エラーあり)] のいずれかの値です。
名前	ジョブの名前。
完了	データ収集ジョブが終了した日時。
挿入	挿入された新規レコードの数。
更新	更新された既存のレコードの数。
警告	データ収集プロセス中に発生した警告の数。
エラー	データ収集プロセス中に発生したエラーの数。
実行時間	ジョブの所要時間。

2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブの詳細を表示します。
   ジョブ設定およびシーケンス ステップに関する追加情報が表示されます。通知が有効になっている場合は、データ収集結果に関するメールをユーザーに送信できます。

次のタスク

ジョブの詳細ログを表示するには、リスト内のジョブをクリックします。 個々のジョブログの内容については、 クラシック版データコレクターのログの詳細 を参照してください。

注:
ログが次のエラーを返す場合、 java.lang.IllegalStateException: Sparse storage format には 1 つのフィールド sys_id があります。 KB0550063 を参照してください。

関連情報

データ収集ジョブのイベントの表示

最適化されたデータコレクターのログの詳細

Tokyo リリース以降、最適化された新しいデータコレクターを利用できます。このデータコレクターのログの詳細は、従来のデータコレクターのログの詳細とは異なります。

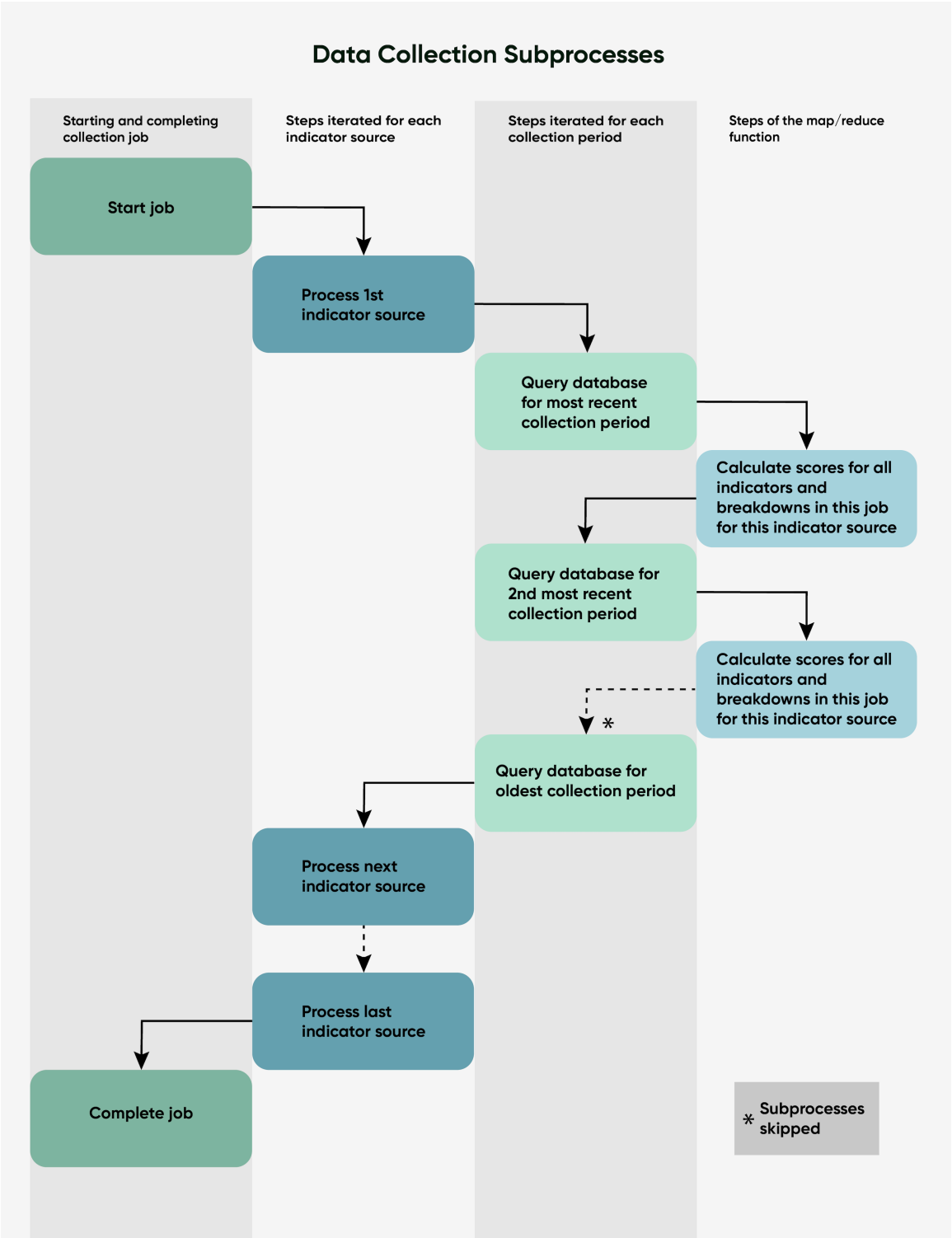
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コレクションの概要

データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリは、開始日から停止日まで収集時間ごとに繰り返されます。その後、次のインジケーター ソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブログに記録されます。

データ収集ジョブの概要



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブの開始と完了

ログメッセージに示されているデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、それぞれのテーブルに分かれています。

注:
このログは、 データ収集の最適化で説明されているように最適化された HSQL データコレクター用です。`com.snc.pa.dc.hsql`が「false」の場合は、従来のデータコレクターを使用しています。それ以外の場合は、最適化されたデータコレクターを使用します。そのログの詳細については、「 クラシック版データコレクターのログの詳細」を参照してください。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの実行ユーザーのドメインを表示します。	グローバルドメインに属するユーザー <admin>
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージには、最適化された HSQL データコレクターが使用中であること、およびデバッグログが有効かどうかも明記されます。デバッグログを有効にできるのは カスタマーサービス & サポート のみです。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値: HSQL データコレクターの使用:true デバッグログが有効:true ノード名:vsr007
スコアが収集されるドメインを表示します。また、ドメインに関するその他の関連する詳細も表示されます。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト - 3d359877b77000106886e664de11a97c、タイプ:conditions、RollUpType:roll_up_children、collectAggregat はい、collectChildren?:はい、AggregateDomain:名前:3d359877b77000106886e664de11a97c-SysID:d1659c77b77000106886e664de11a91e、ドメイン:デフォルト、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines
ジョブがデータを収集するインジケーターソースを、一意の ID とともに一覧表示します。	収集するインジケーターソース:Incidents.New:b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f、
ジョブに関連付けられた各インジケーターと、データ収集に関連するインジケーター プロパティを一覧表示します。 • レコードは スナップショットに収集されますか? • ブレークダウンは除外されていますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか? • ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集される場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	JobIndicator:オープン中のインシデントの数:de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケーターのプロパティ:collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されるブレークダウン:アサイン先グループ、ステータス インジケータープロパティ => CollectingRecords:はい、上書きされた収集期間:いいえ、スクリプト化:いいえ、ブレークダウンの組み合わせ:はい、除外されます ブレークダウンの組み合わせ:除外される組み合わせはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
各インジケーターソースのステップを反復	テーブルを参照してください インジケーターソースごとに繰り返されるステップ。
データ収集ジョブの統計情報を表示	統計情報: 挿入数 184、更新数 0、削除数 92、エラー 0、警告数 0
ジョブを完了	収集が終了しました

インジケーターソースごとに反復されるステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
最適化された HSQL データコレクターが使用されていることを繰り返します。	
インジケーター ソースから継承した条件以外の条件があるインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:管理ログイン:[インジケーターのsys_id]、他の条件:ref_isc_login_event.login_type=login_admin、レコードの収集:true
収集期間ごとにステップを反復します。	テーブルを参照 収集期間ごとに繰り返されるステップ
次のインジケーターソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.New を処理しています。

収集期間ごとに繰り返されるステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open の 20191103収集
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常は sys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド • テキストインデックスが収集される場合にテキスト分析で使用されるインジケーターソースフィールド (通常はshort_descriptionを含む)	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group 説明、優先度、カテゴリ」をフェッチしています
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
注: インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン] [次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。日が 07:00:00 に開始するように定義されている場合、2019-10-28 のデータが収集されると、ジョブによって右側の SQL スクリプトが生成されます。	07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')
SQL によってフェッチされたレコードの数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
以前の結果を削除します。	以前の結果を削除しました 1 (インジケーター: 代理操作)
マップ/低減機能を実行してインジケーター スコアを計算します。	表「マップ/低減機能のステップ」を参照してください
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中 Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
次のいずれかのしきい値を超えると、オブジェクトが HSQL データベースにオフロードされます。 • スコア数 • スナップショットの数 • 個別のカウント値の合計数 オブジェクトのカテゴリごとにオフロード制限を超えた回数をログに記録します。1 つのカテゴリでオフロード制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトが HSQL 一時データベースストレージに移動されます。map/reduce 関数の最後に、残りのレコードがオフロードされます。残りのレコード数は通常しきい値を下回っており、このオフロードもログに記録されます。	オフロード制限がスコアのしきい値を超えた回数:275 スナップショットのオフロード制限がしきい値を超えた回数:0 個別の値のオフロード制限がしきい値を超えた回数:0 しきい値を超えなかったレコードのオフロードバッチ:1
インジケーター ソースに対して新しく収集された結果の保存を開始します。	インジケーターソース Incidents.Resolved の収集された結果を保存しています
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「ゼロ時の値」:0.0 (インジケーターのスコア): ナレッジ別の却下されたインシデントの数
結果の保存を終了します。	保存されている収集結果

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソース Incidents.Open の 20200519 のコレクションが完了しました
インジケーターに設定された追加の条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加のインジケーター条件の処理に要した平均時間:138 ミリ秒

マップ/低減機能のステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブに対してテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成がないか無効であるために実行できない場合に警告します。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーター ソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの現在までの累計を追跡します。 結果のスコアまたはスナップショットの数が制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトが HSQL データベースにオフロードされます。オフロードは、map/reduce 関数が完了した後にログに記録されます。 各レコードの処理には、以下が含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて： 1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。 3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは 、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです。	処理済み 15.8% (3) 件のレコード 31.6% (6) 件のレコードを処理しました 処理済み 47.4% (9) 件のレコード 63.2% (12) 件のレコードを処理しました 78.9% (15) 件のレコードを処理しました 処理済み 94.7% (18) 件のレコード 100% (4) 件のレコードを処理しました。結果オブジェクトサイズ:20 MB
マップ/縮小関数が完了します。	適用されたマップ/低減関数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- データ収集の最適化
- データ収集ジョブ履歴の表示

クラシック版データコレクターのログの詳細

パフォーマンスアナリティクス スコアの収集は、ここで説明するプロセスに従います。トラブルシューティングを支援するために、ジョブステップとログエントリ間のマッピングが提供されています。

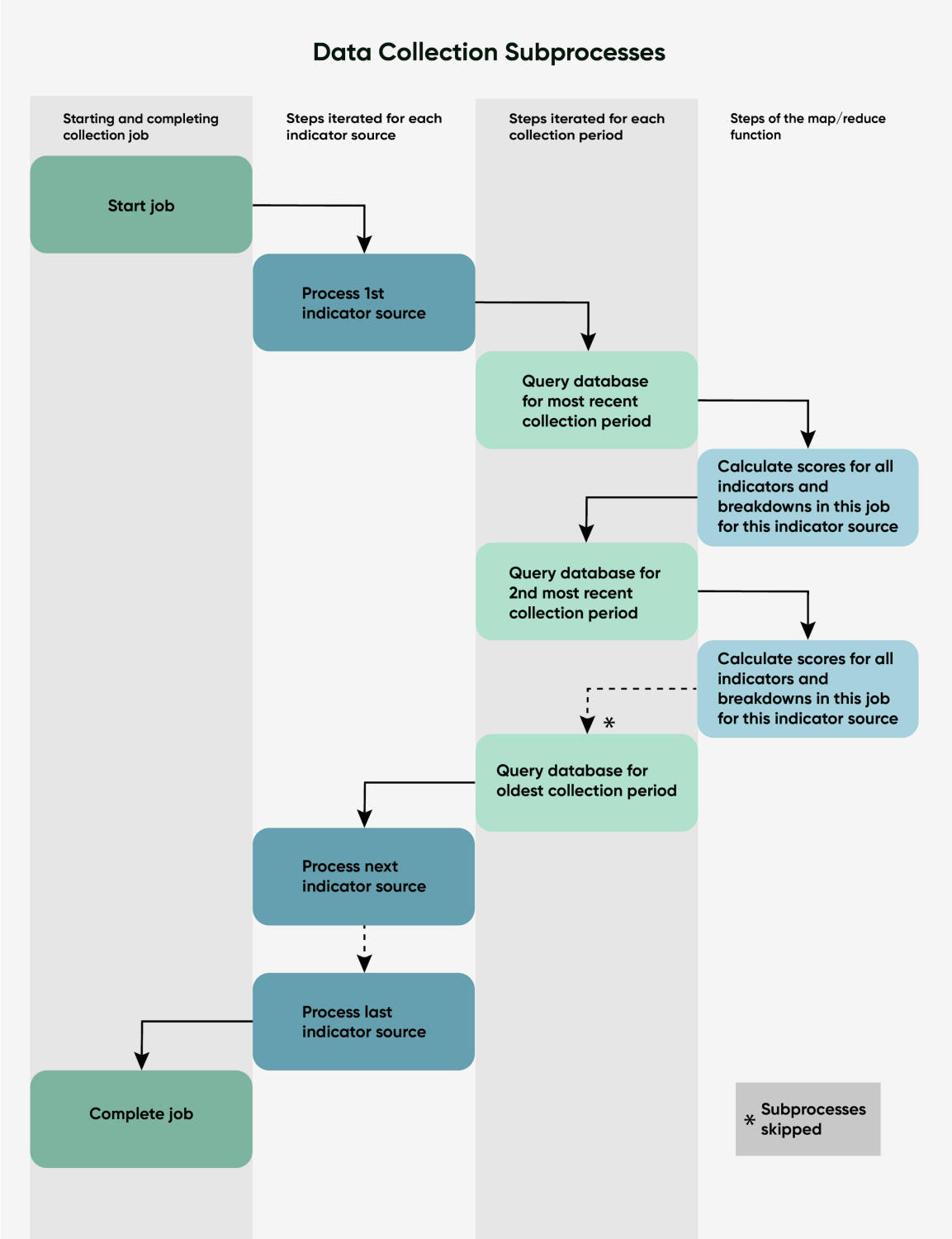
コレクションの概要

データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリは、開始日から停止日まで収集時間ごとに繰り返されます。その後、次のインジケーター ソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブログに記録されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ収集ジョブの概要



ログに表示される最適化プロパティ

データコレクターには、システムのプロパティでオンまたはオフにできるいくつかの最適化機能があります。ジョブログの先頭には、これらのプロパティのステータスが含まれています。

注:
これらの最適化プロパティを、新しく最適化されたデータコレクターと混同しないでください。これらのプロパティは、従来のデータコレクターにのみ適用されます。新しいデータコレクターは、より基本的なレベルで最適化されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データ収集の最適化プロパティ

最適化	説明	システムプロパティ
ネストされたコレクション	フラットマッピングを置き換えて、冗長なオブジェクトを減らします。たとえば、すべてのブレークダウンとそのインジケーターの要素に同じインジケーター オブジェクトを作成する代わりに、インジケーターに対して 1 つのオブジェクトのみを作成します。	*com.snc.pa.dc.nested_collectio* デフォルト：true
スナップショットをフラッシュ	Now Platformは、データベースにオフロードする前に、最大数のパフォーマンスアナリティクス スナップショットをメモリに格納します。	*com.snc.pa.dc.flush_snapshot_c* デフォルト：1000
個別のカウントにハッシュコードを使用	個別のカウント集計を個別の値ではなくハッシュコードとして格納します。	*com.snc.pa.dc.use_hashcode_for_* デフォルト：true

収集ジョブの開始と完了

ログメッセージに示されているデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、それぞれのテーブルに分かれています。

注:
このログは元のデータコレクター用です。インスタンスでこのデータコレクターを使用している場合、システムパラメーター *com.snc.pa.dc.hsql* が存在し、「false」になっています。それ以外の場合は、「 データ収集の最適化」で説明されているように最適化されたデータコレクターを使用します。そのログの詳細については、「 最適化されたデータコレクターのログの詳細」を参照してください。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの実行ユーザーのドメインを表示します。	グローバルドメインに属するユーザー <admin>
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージには、データ収集の最適化プロパティの設定も指定されます。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値: フラッシュスナップショット数:1,000 ネストされたコレクション:true 個別のカウントにハッシュコードを使用する:true
スコアが収集されるドメインを表示します。また、ドメインに関するその他の関連する詳細も表示されます。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト - 3d359877b77000106886e664de11a97c、タイプ:conditions、RollUpType:roll_up_children、collectAggregatはい、collectChildren?:はい、AggregateDomain:名前:3d359877b77000106886e664de11a97c-SysID:d1659c77b77000106886e664de11a91e、ドメイン:デフォル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
	ト、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines
ジョブがデータを収集するインジケーターソースを、一意の ID とともに一覧表示します。	収集するインジケーターソース:Incidents.New:b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f、
ジョブに関連付けられた各インジケーターと、データ収集に関連するインジケーター プロパティを一覧表示します。 • レコードはスナップショットに収集されますか? • ブレークダウンは除外されていますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか? • ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集される場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	JobIndicator:オープン中のインシデントの数:de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケーターのプロパティ:collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されるブレークダウン:アサイン先グループ、ステータス インジケータープロパティ => CollectingRecords:はい、上書きされた収集期間:いいえ、スクリプト化:いいえ、ブレークダウンの組み合わせ:はい、除外されます ブレークダウンの組み合わせ:除外される組み合わせはありません。
各インジケーターソースのステップを反復	テーブルを参照してください インジケーターソースごとに繰り返されるステップ。
データ収集ジョブの統計情報を表示	統計情報: 挿入数 184、更新数 0、削除数 92、エラー 0、警告数 0
ジョブを完了	収集が終了しました

インジケーターソースごとに反復されるステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
インジケーター ソースから継承した条件以外の条件があるインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:再アサインされたオープンインシデントの数:ffb59561ff2302001e68ffffffff33、他の条件:reassignment_count>0
スコア収集がフラットマッピングを使用するのではなく、ネストされたデータ構造に従っているかどうかを示します。入れ子になったコレクションでは、メモリ内の冗長なオブジェクトが少なくなります。 ネストされていないコレクションは、スコアのバッチ処理をサポートします。	ネストされたコレクションの使用。 注意:ネストされたコレクションでは、スコアのバッチ挿入はサポートされていません。
収集期間ごとにステップを反復します。	テーブルを参照 収集期間ごとに繰り返されるステップ
次のインジケーターソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.New を処理しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集期間ごとに繰り返されるステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open の 20191103収集
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常は sys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド • テキストインデックスが収集される場合にテキスト分析で使用されるインジケーターソースフィールド (通常はshort_descriptionを含む)	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group 説明、優先度、カテゴリ」をフェッチしています
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。 **注:** インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン] [次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。日が 07:00:00 に開始するように定義されている場合、2019-10-28 のデータが収集されると、ジョブによって右側の SQL スクリプトが生成されます。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28 07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')
SQL によってフェッチされたレコードの数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
マップ/低減機能を実行してインジケーター スコアを計算します。	表「マップ/低減機能のステップ」を参照してください
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中 Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
インジケーター ソースに対して新しく収集された結果の保存を開始します。	保存されるスコア:374,842 (遅延評価されたインジケーターのレベル 2 個別のカウントスコア - ID - 3 つすべてのブレークダウンを含むすべてのインシデントを除く)
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「ゼロ時の値」:0.0 (インジケーターのスコア): ナレッジ別の却下されたインシデントの数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
結果の保存を終了します。	保存されているスコア:1,125,057
	保存されている収集結果
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソース Incidents.Open の 20200519 のコレクションが完了しました
インジケーターに設定された追加の条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加のインジケーター条件の処理に要した平均時間:138 ミリ秒

マップ/低減機能のステップ

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブに対してテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成がないか無効であるために実行できない場合に警告します。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーター ソースを使用するインジケーターとブレークダウンの以前のスコアを削除します。	インジケーターソース Incidents.Open の以前の結果を削除しています。
	以前の結果を削除しました 38 インジケーター:外部ログイン
	インジケーター:ログイン失敗の以前の結果 21 を削除しました
インジケーター ソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの累計とメモリ使用量を追跡します。各レコードの処理には、以下が含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて： 1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。 3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは 、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティ	18%% (1) 件のレコードを処理しました。結果オブジェクトサイズ:5 MB
	42% (2) 件のレコードを処理しました。結果 オブジェクトサイズ:9 MB
	76% (3) 件のレコードを処理済み、結果 オブジェクトサイズ:14 MB
	100% (4) 件のレコードを処理しました。結果オブジェクトサイズ:20 MB

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブステップ	結果のログ エントリの例
ファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです。	
マップ/縮小関数が完了します。	適用されたマップ/低減関数

データ収集の使用法の表示

データ収集ジョブに関する統計を表示するには、パフォーマンスアナリティクス管理コンソールの [使用法] タイルにある [データ収集の概要] をクリックします。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.
2. [使用法] タイルで、[データ収集の概要] をクリックします。

タスクの結果
次のウィジェットが表示されます。

- 新しいネット スコア、平均実行時間、および 1 日のエラー数
- 週次の新しいネット スコアと平均実行時間
- 経時的なデータ収集ジョブの挿入および削除の回数

次のタスク
デフォルトでは、週次の統計はデータコレクター別に分類された アナリティクスハブで表示されます。ウィジェット内のさまざまなチャート化とブレークダウンを選択できます。

パフォーマンス分析診断

無効なレコードについてデータベースで検証し、問題解決に向けた提案を提供するための事前定義されたスクリプトを使用して、構成の問題を特定、診断します。

各診断には、重大度コード、メッセージ テキスト、推奨されるソリューションを含むスクリプトまたはデータベース クエリが含まれます。診断は読み取り専用です。診断の作成や編集はできません。

適用可能なすべてのレコードに対して 1 つまたはすべての診断を実行したり、1 つのレコードに対して適用可能なすべての診断を実行したりできます。

⚠ 警告:
パフォーマンスアナリティクス 診断は プラットフォームアナリティクス アーティファクトには適用されません。たとえば、どのウィジェットでも使用されていないインジケーターが、 プラットフォームアナリティクス データのチャート化で引き続き使用されている可能性がありますが、診断ではその使用を認識できません。

すべてのレコードに対して診断を実行

構成の問題が パフォーマンスアナリティクス の実装に影響を与える可能性があるかどうかを判断するには、診断を実行します。1 つの診断を実行するか、すべての診断を実行するかを選択できます。診断は、論理的に適用される パフォーマンスアナリティクス レコードのサブセットを調べます。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 診断.
2. 実行する診断を選択します。
   すべてのアクティブな診断を実行するには、リストから [すべて実行] をクリックします。
3. [診断を実行] をクリックします。
   診断スクリプトは、実行に 2 分以上かかると自動的にキャンセルされます。
4. 診断が完了したら、[結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

1 つのレコードに対してすべてのアクティブな診断を実行する

レコードの設定詳細のいずれかがパフォーマンスアナリティクスの実装に影響するかどうかを判断するには、そのレコードに対して適用可能なすべての診断セットを実行します。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

手順

1. [パフォーマンス分析] に移動し、インジケーター、インジケーター ソース、ブレークダウン、ブレークダウンソース、ウィジェットなどのコンポーネントのリストを開きます。
2. 対象のレコードを特定して開きます。
3. [診断を実行] リンクをクリックします。
   診断の進行状況を示すダイアログが開きます。
4. 診断実行が完了したら、進行状況ダイアログの [結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

依存関係アセスメント

依存関係アセスメントを使用すると、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどのパフォーマンス分析コンポーネントを単一のビューから表示、分析、編集できます。コンポーネントの階層とそれらの関係を表示することで、変更の影響を受けるユーザーと変更の影響をすぐに確認できます。

重要:
依存関係アセスメントは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、データの可視化プラットフォームアナリティクスは分析しません。また、依存関係アセスメントはコア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

依存関係アセスメントは、いくつかのコンポーネントで構成されています。

トップダウン ツリー ビュー

トップダウン ツリー ビューは、パフォーマンス分析エンティティのコンポーネントを階層ビューで表示します。 ダッシュボードで依存関係アセスメントを開始すると、たとえばトップダウン ツリー ビューには各ダッシュボード タブのノードが表示されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。ダッシュボード タブを選択すると、ツリー ビューが展開され、ダッシュボード上の各ウィジェットを表すノードが表示されます。

ボトムアップ ツリー ビュー

ボトムアップ ツリー ビューは、インスタンスでパフォーマンス分析エンティティが使用されている場所を表示します。ツリー ビュー コンポーネントのコンテキスト メニューから [使用者を表示] を選択した場合、ツリー ビューにはそのエンティティが使用されているすべての場所が表示されます。リセットアイコン ( ) をクリックして、トップダウンツリービューに戻ります。

コンポーネントの概要

情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、コンポーネントの概要が表示されます。

その他のアクション

任意のコンポーネントでコンテキスト メニュー アイコン (☰) をクリックすると、そのコンポーネントで使用可能なアクションが表示されます。たとえばコンポーネントの編集、コンポーネントのスキーマ マップの表示、ウィジェットのプレビューなどがあります。

注:
ツリー ビューは永続的です。依存関係アセスメントに戻ると、ツリービューには前回の訪問と同じ構成が表示されます。

依存関係アセスメントを起動

依存関係アセスメントのツリー ビューを使用すると、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどの パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを単一のビューから表示および編集できます。変更の影響はすぐに確認できます。

始める前に
必要なロール:pa_admin。

重要:
依存関係アセスメントは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、データの可視化プラットフォームアナリティクスは分析しません。また、依存関係アセスメントはコア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

このタスクについて
[依存関係アセスメント] ツリービューは、起動したときと同じブラウザーウィンドウで開きます。編集ウィンドウはポップアップで開くため、ブラウザ ウィンドウ間を移動したりコンテキストを失ったりする必要はありません。このタスクでは、[ダッシュボード] リストから依存関係アセスメントを起動する方法について説明します。次の場所のいずれかに移動し、リストからアイテムを選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックする方法もあります。

- パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス > スクリプト
- パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動)
- パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (手動)
- パフォーマンスアナリティクス > ソース > インジケーターソース
- パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 自動ブレークダウン
- パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 手動ブレークダウン
- パフォーマンスアナリティクス > ソース > ブレークダウンソース

自動翻訳

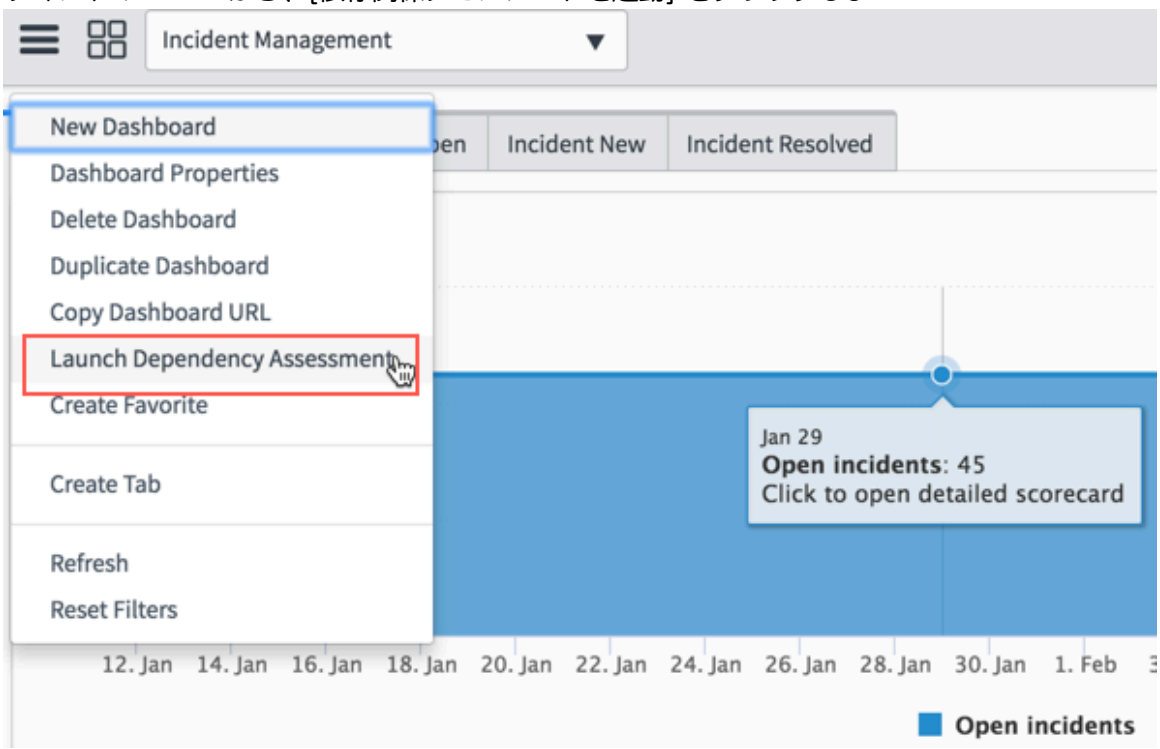
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- パフォーマンスアナリティクス > スコアカード

> **注:**
> アナリティクスハブ から、コンテキストメニューを選択し、[依存関係アセスメントを開始] を選択します。

手順

1. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード > または セルフサービス > ダッシュボード.
2. 分析するダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニューから、[依存関係アセスメントを起動] をクリックしま



す。
また、[ダッシュボードプロパティ] を選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックすることもできます。

タスクの結果
選択したダッシュボードのツリー ビューが開きます。

依存関係アセスメントのツリー ビュー

ツリー ビューを使用すると、管理者ユーザーは PA エンティティ間の関係を確認したり、ツリー ビュー階層内の任意のノードに対する変更の影響を把握したりすることができます。

> **重要:**
> 依存関係アセスメントは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、データの可視化プラットフォームアナリティクスは分析しません。また、依存関係アセスメントはコア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

依存関係アセスメントのツリー ビューは、さまざまなノードと凡例から構成されています。ノードは、パフォーマンス分析エンティティを表します。ノードを指すと、ノードのタイプが凡例でハイライトされます。ツリー ビューでノードをクリックすると、子ノードが開きます。ツリー ビューのあ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

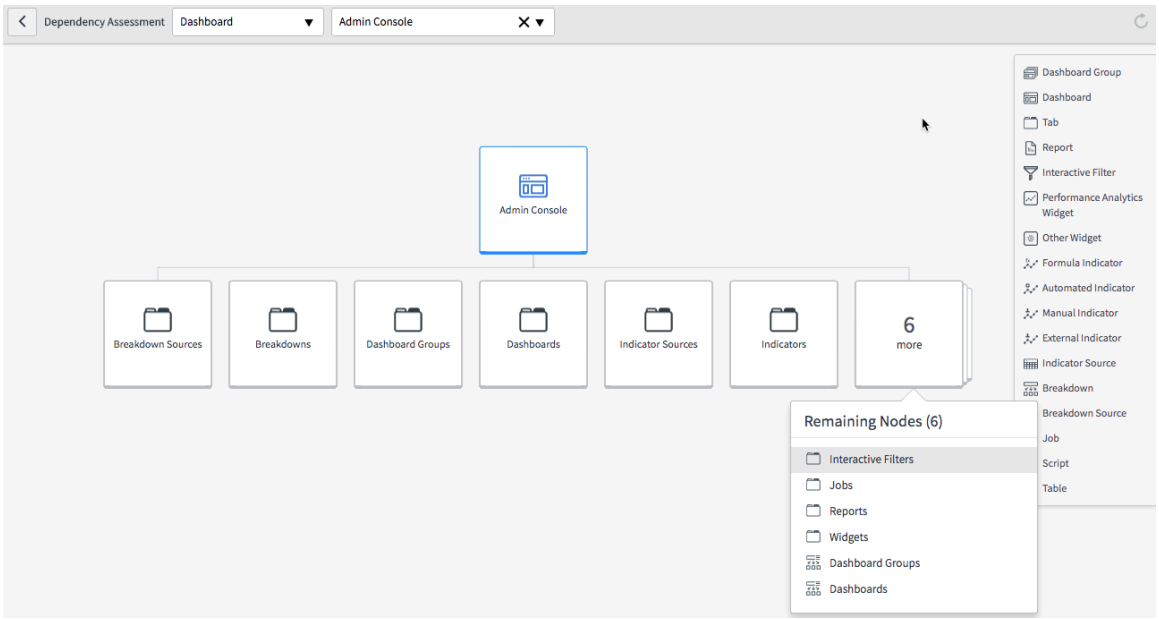
自動翻訳

るレベルに 8 つ以上のノードがある場合は、6 つが表示され、7 番目のノードには表示されていないノードの数が示されます。このノードをクリックすると、他のノードのリストが表示されます。

ツリー ビュー ヘッダーには、PA エンティティタイプと値を変更するための選択リストが含まれています。選択した内容に応じてツリー ビューが更新されます。 リセットボタン ( ) をクリックすると、ツリービューが始点に戻り、第 1 レベルの親ノードとその直接の子ノードのみが表示されます。

各ノードにはコンテキスト メニュー ( ) があり、いくつかのアクションから選択できます。[使用者を表示] を選択すると、ツリー ビューが変更され、インスタンスでノードが使用されている場所が表示されます。詳細については、「ボトムアップ ツリー ビュー」を参照してください。

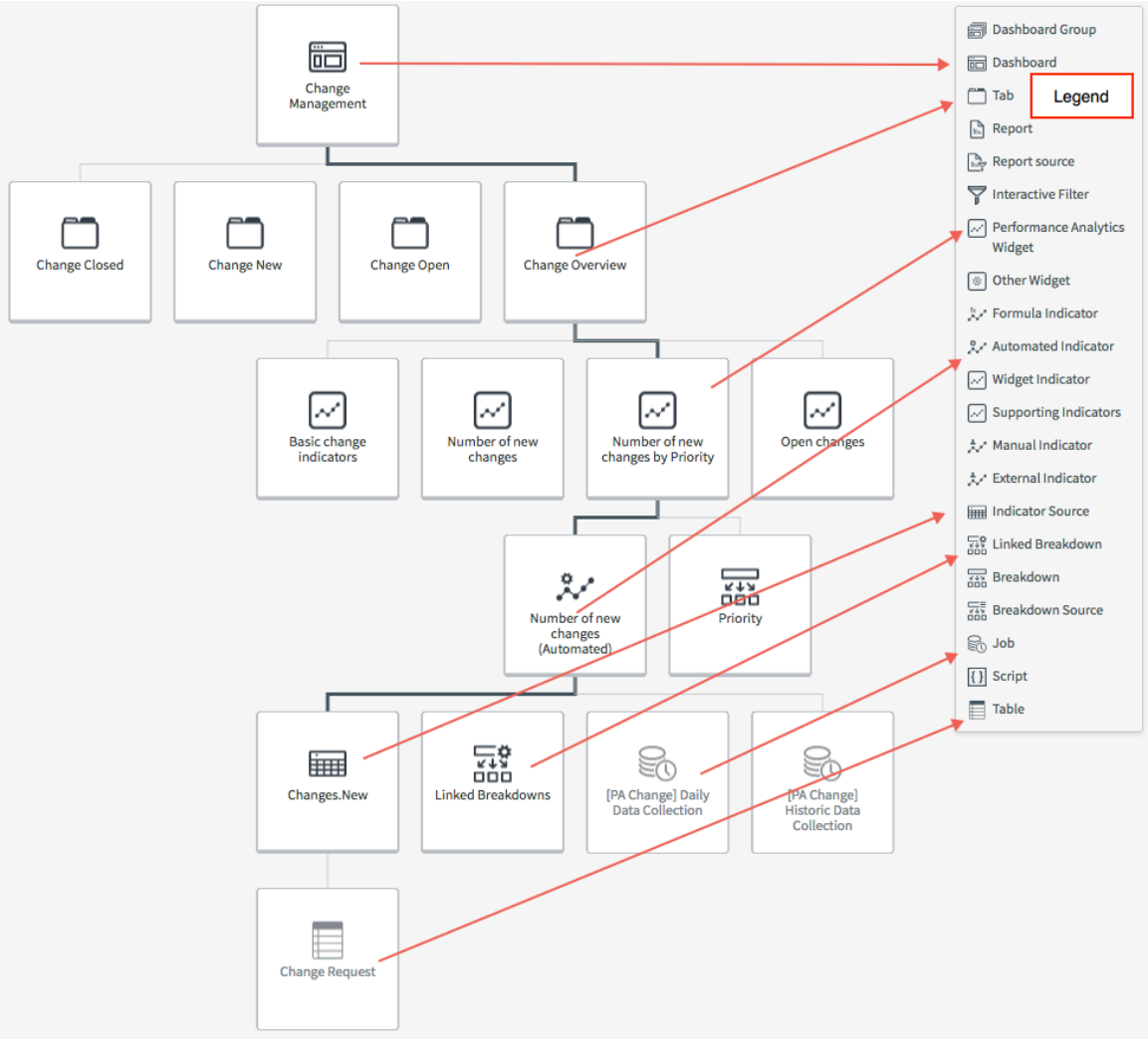
依存関係アセスメントのツリービュー



下の図は、トップダウン ツリー ビューの例を示しています。トップ レベルにダッシュボード、第 2 レベルにタブ、第 3 レベルにいずれかのダッシュボード タブのウィジェットがあります。この例のツリー ビューには、ブレークダウン フォームで定義されているすべてのブレークダウンとサポートされているインジケーターが表示されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

ボトムアップ ツリー ビュー

ツリー ビュー内で要素が使用されている場所を確認できます。これは、インジケーターやブレークダウンなどの要素を変更するときに、変更が他の PA 要素に及ぼす影響を確認する場合に便利です。

始める前に

必要なロール：admin

重要:

依存関係アセスメントは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、データの可視化プラットフォームアナリティクスは分析しません。また、依存関係アセスメントはコア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクスダッシュボードからは起動できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 依存関係アセスメントを起動 (調査対象のパフォーマンス分析エンティティ上)。

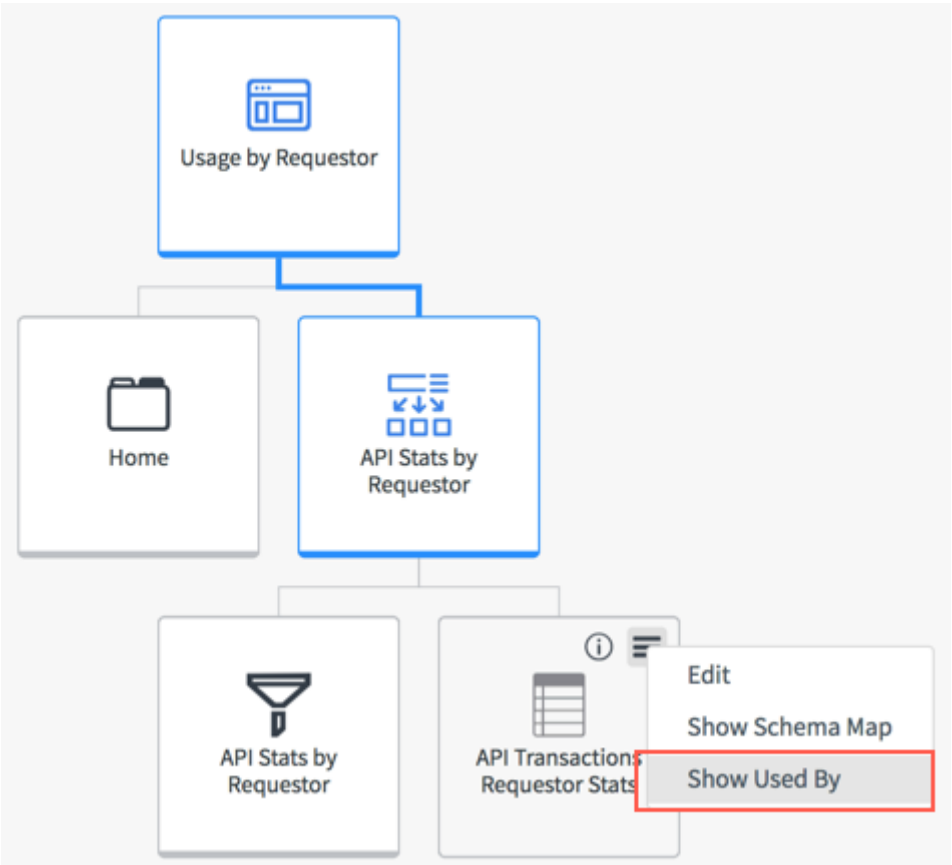
   a. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.

   b. 調査するダッシュボード、または調査対象のエンティティを使用するダッシュボードを選択します。
   この例では、[要求者別の使用率] ダッシュボードから始めます。

   c. コンテキストメニュー ( ) から、[依存関係アセスメントを起動] を選択します。

2. ツリー ビューを展開して、調査対象のエンティティを探します。

3. エンティティのコンテキストメニュー ( ) をクリックし、[使用者を表示] を選択します。

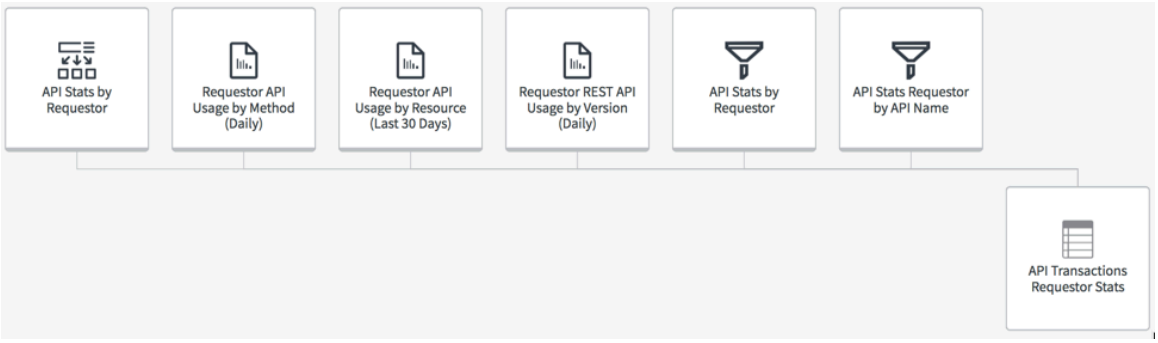


4. トップダウン ツリー ビューは、選択されたエンティティを使用するすべてのエンティティを表示するビューに置き換えられます。

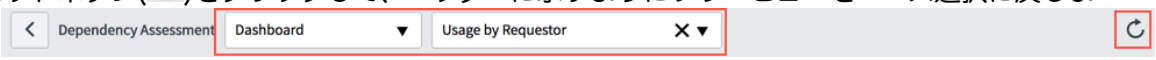
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、[API トランザクション要求者の統計情報] テーブルは、1 つのブレークダウン ソース、3 つのレポート、および 2 つのインタラクティブ フィルタで使用されています。



5. リセットボタン( )をクリックして、ヘッダーに示すようにツリービューをベース選択に戻します。



ツリー ビュー ナビゲーション

管理コンソールのツリー ビューを効果的にナビゲートするには、ツリー ビューのさまざまなアイコンやその他のビジュアル データの意味を理解しておくとよいでしょう。

重要:
依存関係アセスメントは、 プラットフォームアナリティクス アーティファクトをサポートしていません。コア UI パフォーマンスアナリティクスウィジェットの情報のみを分析し、データの可視化プラットフォームアナリティクスは分析しません。また、依存関係アセスメントはコア UI レスポンシブダッシュボードから起動できますが、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードからは起動できません。

ツリー ビュー内を移動する

ツリー ビューをクリックしてドラッグすると、画面の外部にあるノードを表示できます。Ctrl + A キーを使用してから矢印キーを使用してツリー ビューを移動することもできます。ツリーの最初のノードに戻るには、Tab を使用します。

ノードタイプ

ノードタイプには、 パフォーマンスアナリティクスのさまざまな機能が反映されます。ノードをクリックすると、ツリー ビューの次のレベルにある子フィーチャに展開されます。

ダッシュボード関連のノード

ダッシュボード グループ ノードはダッシュボードが展開されます。ダッシュボードにタブが 1 つしかない場合でも、ダッシュボードはダッシュボード タブに展開されます。ダッシュボード タブは、タブの内容に展開されます。

ウィジェット

ウィジェットは、その構成要素を表示するノードを開きます。

インジケーター

すべてのインジケーター ノードは、コンポーネント ソース、ブレークダウン、ジョブ、およびスクリプトのノードで開きます。インジケーター ノードには、自動インジケーター、式インジケーター、ウィジェットインジケーター、手動インジケーター、外部インジケーター、およびサポート インジケーターが含まれます。

レポート

レポートは、コンポーネント テーブルを表示するノードを開きます。

ブレークダウン

ブレークダウンは、ソースを表示するノードをオープンします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソース

すべてのソース ノード (ブレークダウン、インジケーター、およびレポート ソース) は、ソース テーブルを表示するノードを開きます。

テキストウィジェットをクリックすると、基礎となるファイルがツリービュー上にポップアップとして表示されます。コンテキストメニューからの選択肢もポップアップに表示されます。

アイコン

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ダッシュボード グループ	編集
	ダッシュボード	• 編集 • ダッシュボードを表示 [ダッシュボードを表示] を選択すると、ダッシュボードがツリー ビューの上にポップアップで表示されます。共有、レイアウト構成、ウィジェットの追加など、ダッシュボードのすべての機能を利用できます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ダッシュボード タブ	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	レポート	• 編集 レポート デザイナーのレポートをポップアップ ウィンドウに開きます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
		このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	レポート ソース	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	インタラクティブフィルター	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	その他のウィジェット	コンテキスト メニューなし。
	式インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	自動インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • スコアを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリービュー を起動します。
	ウィジェットインジケーター	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。
	サポート インジケーター	編集
	手動インジケーター	編集
	外部インジケーター	編集
	インジケーターソース	• 編集 • スキーママップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリービュー を起動します。
	リンクされているブレークダウン	コンテキスト メニューなし。タイルをクリックすると、関連するブレークダウンが表示されます。
	ブレークダウン	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリービュー を起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ブレークダウンソース	• 編集 • スキーママップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ジョブ	• 編集 • 今すぐ実行 • すべてのログを表示 • 最後に実行されたログを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	スクリプト	編集
	テーブル	• 編集 • スキーママップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。
	ウィジェットをフィルタ	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する ボトムアップ ツリー ビュー を起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その他のビジュアル データ

各ノードには、これらのアイコンが 1 つ以上あります。ノードの右上隅をポイントすると表示されます。

情報ボタン [ⓘ]

情報ボタンをクリックすると、ノードの詳細が表示されます。ノードの情報パネルには、ノードのタイプに応じて異なる情報が表示されますが、すべての情報パネルに [レコードを開く] ボタンがあります。[レコードを開く] をクリックして編集するレコードを開きます。

コンテキスト メニュー [☰]

コンテキスト メニュー アイコンをクリックすると、ノードのソースに対してさらにアクションを実行できます。

エラー インジケーター [⚠]

問題を修正できるように、ノードが参照する要素を開きます。

ドメインセパレーションとパフォーマンスアナリティクス

ドメインセパレーションは パフォーマンスアナリティクス でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。 パフォーマンスアナリティクス は複数のドメインからのスコアの収集をサポートしており、ドメイン固有の管理を有効にするように構成できます。複合ドメインを持つお客様は、拡張ドメイン構成機能を利用できます。

サポートレベル：拡張

- **Basic** および **Standard** レベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

要件

- ある 完全に有効なサブスクリプションバージョンが必要です。「 パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。
- Domain Support - Domain Extension Installer プラグイン。

⚠ 警告:
複数のサービスプロバイダー (MSP) によくあるように、多数のドメインを持つインスタンスでは、 パフォーマンスアナリティクス スコアを取得するときにパフォーマンスが低下する可能性があります。考えられる解決策については、「 KB1516963 」を参照してください。Now Supportへのアクセスが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションのアプローチ

パフォーマンスアナリティクスのドメインセパレーションには、次の 3 つのアプローチがあります。

グローバル

インジケーターやブレークダウンなどの パフォーマンスアナリティクス レコードはすべてグローバルドメインにあります。データ収集ジョブは、インジケータースコアを収集するときに、インシデントなどのファクトテーブルレコードのドメインを尊重します。ユーザーには、ユーザーが可視化できるドメインのスコアのみが表示されます。 プラットフォームアナリティクスソリューション このアプローチを使用します。ほとんどの場合、これが最適なアプローチです。

ドメイン固有

パフォーマンスアナリティクスレコード自体はドメインセパレーションされています。各ドメインには、 パフォーマンスアナリティクスを管理するためのpa_adminおよびその他のロールを持つユーザーがいます。

Hybrid (ハイブリッド)

インジケーター ソースなどの下位レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードはグローバルです。ウィジェットなどの高レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードは、ドメインセパレーションされています。pa_adminユーザーは、下位レベルのグローバルレコードを管理します。各ドメインには、上位レベルのレコードを管理する pa_power_user などのロールを持つユーザーがいます。このアプローチは高度です。

詳細については、以下を参照してください。

- ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ
- マネージドサービスプロバイダーのパフォーマンスアナリティクス
- SPM プロジェクトポートフォリオ管理、ドメインセパレーション、マネージドサービスプロバイダー

複合ドメインの拡張機能

パフォーマンスアナリティクスのドメインセパレーションのサポートは、特に複雑なドメインを持つ顧客向けに設計された次の機能で拡張できます。

階層マルチドメイン構成

ユーザーグループに対する可視化またはその他の条件に基づいて、ドメインをグループ化します。これらのドメインの一部またはすべての子ドメインでスコアを収集するか、またはまったくスコアを収集しない。子ドメインスコアを親ドメインにロールアップするかどうか、およびすべての子にロールアップするか、構成内で明示的にロールアップするかを決定します。

アグリゲートスコアを収集

ドメイン構成内の複数のドメインのスコアを組み合わせて、アグリゲートスコアを作成します。

ドメイン別のダッシュボードフィルタリング

ダッシュボードをフィルタリングして、ブレークダウンと同様にドメイン別またはドメインアグリゲート別にスコアを表示します。

拡張機能は、パフォーマンスアナリティクス - ドメインセパレーションサポートプラグインで利用できます。パフォーマンスアナリティクス におけるドメインセパレーションの一般的な要件も適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

拡張機能は、ドメインセパレーションへのグローバルなアプローチのみをサポートしています。

この拡張機能の詳細については、以下を参照してください。 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ

ドメインセパレーションで パフォーマンスアナリティクス を使用すると、ドメイン固有のスコアを収集できます。グローバルまたはドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス テーブルレコード、あるいはその両方の組み合わせを使用できます。

グローバルなアプローチとドメイン固有のスコアの収集

インジケーター、ブレークダウン、ウィジェットなどのすべての パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバル ドメインに保持できます。この場合、ドメイン固有の データコレクションジョブを通じてドメインセパレーションを適用します。

データ収集ジョブをドメイン固有に構成するには、 実行 ユーザーをジョブに追加します。実行ユーザーによって、データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストが決まります。詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

ドメイン構成を指定することもできます。ドメイン構成は、ドメインサポート用の パフォーマンスアナリティクス プラグインの一部であり、複雑なドメイン管理を支援することを目的としています。詳細については、「データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

データコレクションジョブは、グローバルドメインのファクトテーブルレコードに対してスコアを収集します。このジョブは、 実行 ユーザーのドメイン内のレコードに対するスコアも収集します。このジョブは、スコアの収集元のドメインにスコアを保存します。データの可視化では、ユーザーには可視化のあるドメインのスコアのみが表示されます。

実行ユーザーのみを指定すると、すべての子ドメインのスコアが親にロールアップされます。ドメイン構成も指定する場合は、さらに多くのオプションを使用できます。子ドメインスコアの収集とロールアップのオプションの詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。

ジョブがスコアを収集するいずれかのドメインのメンバーであるpa_adminロールを持つユーザーのみが、ドメインセパレーションされたデータコレクションジョブを変更できます。pa_adminを持つグローバルユーザーは、任意のジョブを変更できます。

デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクスソリューション グローバルなアプローチを使用します。

注:
ドメイン構成には、ドメインセパレーションに対するグローバルなアプローチが必要です。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化」を参照してください。

ドメイン固有のアプローチ

ドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス レコードを使用することで、ドメインユーザーにpa_adminロールを付与し、独自のドメイン固有のコンポーネントを作成できます。アドミニストレーターを含むユーザーは、自分のドメイン内でのみ パフォーマンスアナリティクス レコードを作成および編集できます。子ドメインのユーザーは、親ドメインの パフォーマンスアナリティクス レコードを読み取ることはできますが、編集することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

そのドメインで使用するには、 パフォーマンスアナリティクス レコードのドメイン固有のコピーを作成する必要があります。たとえば、インジケーター ソースにドメイン固有の条件を追加するには、そのドメインにインジケーターとインジケーター ソースのコピーを作成する必要があります。

インジケーターまたはブレークダウンと関連データを別のドメインからすばやくコピーできます。インジケーターフォームまたはブレークダウンフォームで [挿入と維持 (関係あり)] UI アクションを使用します。ブレークダウン、ブレークダウンの除外、または時系列の除外の関係もコピーされます。関連付けられているスケジュール設定済みジョブは、そのジョブの [実行ユーザー] が現在のユーザーの場合にのみコピーされます。

スコアを収集するには、ドメイン固有のインジケーターに関連付けられた新しいデータ コレクタ ジョブを作成します。

注:
ドメインユーザーは、`com.snc.pa` で始まるパフォーマンスアナリティクスプロパティを設定することはできません。グローバルドメインで admin ロールまたは pa_admin ロールを持つユーザーのみが、これらのプロパティを表示または設定できます。

ハイブリッドアプローチ

ハイブリッドアプローチでは、グローバルドメインまたは親ドメイン内のインジケーターソースなどの再利用可能な基本 パフォーマンスアナリティクス レコードが維持されます。同時に、他のドメインのアドミニストレーターは、インジケーターやウィジェットなどのドメイン固有の上位レベルのパフォーマンスアナリティクス レコードを作成します。

注:
ハイブリッドアプローチは高度なオプションです。ハイブリッドアプローチを使用する前に、グローバルアプローチまたはドメイン固有のアプローチのいずれかを正常に実装してください。

ハイブリッドアプローチを使用する場合、基盤レコードはグローバルドメインまたは親ドメイン内でのみ管理する必要があります。ウィジェットやインジケーターなどの他のすべての パフォーマンスアナリティクス レコードは、各子ドメイン内で個別に管理する必要があります。次のレコードタイプは、基盤レコードと見なされます。

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

ドメイン間で パフォーマンスアナリティクス レコードをコピーする

複数のドメインで パフォーマンスアナリティクス レコードを再利用できます。`PADomainUtils` API は、アドミニストレーターがドメイン間でパフォーマンスアナリティクスレコードを移動またはコピーできるようにする機能を提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスドメイン構成でのドメインのグループ化

特定のユーザーのドメインに対して パフォーマンスアナリティクス を構成する代わりに、再利用可能なドメイン構成を作成します。ユーザーのグループに表示されるドメインを選択するか、ドメインを直接フィルタリングします。ドメイン構成では、複数のドメインにわたって階層関係を定義し、スコアをアグリゲートすることができます。

注:
パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成は、 パフォーマンスアナリティクス – ドメインセパレーションサポートプラグインで有効になります。プラグインの詳細については、「 プラグインのアクティブ化 」を参照してください。

これらのドメイン構成を特定のデータ収集ジョブおよびダッシュボードに関連付けて、関連するスコアをユーザーに提供します。同時に、インジケーター、ブレークダウン、ソースなどの パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインで管理します。

重要:
ドメイン設定を使用するかどうかに関係なく、データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストは、常に 実行ユーザー によって決定されます。

構成内のすべてのドメインにアクセスできる パフォーマンスアナリティクス アドミンのみが、ドメイン構成が適用されたデータ収集ジョブを編集できます。

必要なアプローチ

ドメインセパレーションを使用した パフォーマンスアナリティクス へのグローバルなアプローチのみがドメイン構成をサポートします。詳細については、「ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ」を参照してください。

データテーブル、プロセステーブル、および [ユーザーとして実行]

データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストは、常に [実行ユーザー] によって決定されます。インシデント [incident] などのデータテーブルでのみスコアを収集する場合は、グローバルドメインのアドミニストレーターを [ユーザーとして実行] ユーザーとして設定します。このユーザーとその下で実行されているデータコレクターは、すべてのデータテーブルレコードを完全に表示できます。

プロセスドメインでスコアを収集する場合は、別のアプローチが必要です。プロセスドメインでビジネスルールや SLA などのプロセスレコードを定義するのが一般的です。この場合、グローバル管理者である 実行ユーザーは 、これらのテーブルのグローバル ドメイン レコードのみを表示できます。この制限は、たとえば contract_sla などの SLA テーブルに対して結合が行われた場合など、データベースビューを通じて収集されるスコアにも影響します。このような場合は、関連するプロセスドメインを明示的に表示できるユーザーを [実行ユーザー] ユーザーとして設定します。

収集、ロールアップ、およびアグリゲーションのオプション

ドメイン設定レコードは、ドメインレコードがスコアに貢献する方法に柔軟性をもたらします。ドメインサポートプラグインが利用可能になる前は、子ドメインのレコードは「ロールアップ」され、親ドメインのスコアに寄与していました。ドメインサポートプラグインには、子ドメインのレコードの処理方法に関する追加オプションが用意されています。

- 個々の子ドメインからスコアを収集するかどうかを選択します。
- 子ドメインのスコアを親ドメインのスコアにロールアップするかどうかを選択します。個々のスコアの収集の有無にかかわらず、子ドメインスコアをロールアップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 子ドメインから親ドメインにスコアをロールアップする場合は、すべての子ドメインをロールアップするか、ドメイン構成に明示的に含まれている子ドメインのみをロールアップするかを選択します。
- 収集したすべての個々のドメインスコアを集計スコアにするかどうかを選択します。このスコアは別のドメインに保存されます。

次の表は、1 つの親ドメインと 3 つの子顧客ドメインを持つさまざまな構成で収集されるスコアを示しています。テーブルには集計値も表示されます。

3 人の子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** には顧客が含まれています		
	CMDB 360 テーブルの	**B**	**C**	**MSP**	カスタマー	アグリゲート
			データ			
新規インシデントレコード	30	100	50	20	0	-
			結果			
アグリゲートオプションなし	-	-	-	20	-	-
アグリゲートオプションなし + アグリゲート	-	-	-	20	-	20
子の収集	30	100	50	20	0	-
子収集 + アグリゲート	30	100	50	20	0	200
子の収集 + 選択したドメイン (A および C) のみをロールアップ	30	100	50	100	80	-
子収集 + 選択したドメイン (A および C) のみをロールアップ + アグリゲート	30	100	50	100	80	200
子の収集 + すべての子ドメインのロールアップ	30	100	50	200	180	-

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 人の子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例 (続く)

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** には顧客が含まれています		
	CMDB 360 テーブルの	**B**	**C**	**MSP**	カスタマー	アグリゲート
子の収集 + すべての子ドメインのロールアップ + アグリゲート	30	100	50	200	180	380
選択したドメイン (A および C) のみをロールアップする	-	-	-	100	-	-
選択したドメイン (A および C) のみロールアップ + アグリゲート	-	-	-	100	-	100
すべての子ドメインをロールアップ	-	-	-	200	-	-
すべての子ドメインをロールアップ + アグリゲート	-	-	-	200	-	200

ドメイン設定レコード

パフォーマンスアナリティクス – ドメインセパレーションサポートプラグインは、ドメイン構成 [pa_domain_configurations] テーブルをインスタンスに追加します。各ドメイン構成の詳細は、次のいずれかのレコードに保存されます。

インスタンス間でのレコードの転送

更新セットを使用して、インスタンス間でドメイン構成を転送します。ドメイン構成で [集計の収集] が有効になっている場合は、集計ドメインも個別に転送します。詳細については、「スコア集計を使用するドメイン構成の転送」を参照してください。

ドメイン構成の作成

ドメイン構成を作成して、スコアを収集するドメインと、ドメイン階層内にスコアを格納する方法を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:pa_admin または admin
パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ドメイン構成 をクリックし、新しいレコードを作成します。

フィールド	説明
構成タイプ	この構成に含めるドメインを決定する方法を指定します。 特定のグループに関連付けられた既存の可視化ドメインに基づいて、そのグループに表示されるすべてのドメインを含めるには、[可視化グループ] を選択します。 条件を使用してドメインを直接指定するには、[条件] を選択します。
ヴィジビリティグループ	構成タイプが [ヴィジビリティグループ] の場合は、少なくとも 1 つのヴィジビリティドメインを持つグループ [sys_user_group] を選択または作成します。このグループで利用可能なすべてのヴィジビリティドメインが、このドメイン構成に含まれます。ヴィジビリティドメインの詳細については、「 ヴィジビリティドメイン」および「包含ドメイン 」を参照してください。
条件	[構成タイプ] が [条件] の場合に、この構成に含まれるドメインを決定する条件を指定します。選択した条件は、ドメイン [domain] テーブルに適用されます。たとえば、すべてのマネージドサービスプロバイダードメインを選択するには、[[タイプ][次の値に等しい][MSP]]を選択します。
アグリゲートを収集	指定したドメイン階層からのスコアを集計します。集計スコアは、ドメイン階層の外にあり、スコアのみを含む別のドメインに格納されます。 [集計の収集] が選択されているドメイン構成ごとに 1 つの集計ドメインが作成されます。このドメインの名前は、読み込み専用の [集計ドメイン] フィールドに表示されます。 集計ドメインは、パフォーマンスアナリティクスの集計コンテナ ドメインの子として格納されます。
子の収集	指定したドメインの子からスコアを収集するには、このオプションを選択します。指定したドメインの直接の子のドメインだけでなく、すべての子ドメインからスコアが収集されます。 子ドメインから収集されたスコアは、そのドメインに格納されます。
ロールアップ	子ドメインの収集されたスコアを階層の最上位の親ドメインにロールアップするには、このオプションを選択します。
ロールアップタイプ	指定したドメインとそのすべての子ドメインからスコアをロールアップするには、[すべての子ドメイン] を選択します。ドメイン構成に明示的に含まれている子ドメインからのみスコアをロールアップするには、[選択したドメインのみ] を選択します。ヴィジビリティグループの場合、そのドメインとその親ドメインがグループのヴィジビリティドメインにある

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	場合、ドメイン構成に子ドメインが明示的に含まれます。条件では、条件で子ドメインとその親ドメインが選択されている場合、ドメイン構成に子ドメインが明示的に含まれます。

関連情報

ドメインセパレーションのセットアップと管理

データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け

ドメイン構成で指定されたドメインから パフォーマンスアナリティクス インジケータースコアを収集するには、そのドメイン構成を収集ジョブに関連付けます。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin
パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

このタスクについて

重要:
ドメイン構成を使用するかどうかにかかわらず、データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストは常に実行ユーザーによって決定されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ジョブ.
2. データ収集ジョブを選択します。
3. [ドメイン構成] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. このジョブに関連付けるドメイン構成を選択します。
   構成に含まれるドメインごとに個別のデータ収集ジョブが実行されます。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: ドメイン構成の [順番] を変更します。
   複数のドメイン構成が収集ジョブに関連付けられている場合、含まれているドメインの重複が原因で、スコアが正しく収集されない場合があります。重複しているドメインでは、[順番] の値が最も大きいドメイン構成の収集されたスコアのみが保持されます。

   ヒント:
   単一のジョブに複数のドメイン構成を使用する場合は、各ドメイン構成で一意のドメインのセットが指定されていることを確認します。

ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け

ダッシュボードにドメインピッカーを表示して、そのダッシュボードのユーザーが特定のドメインのスコアを表示できるようにします。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin
パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

このタスクについて

ダッシュボードでドメイン固有のスコアを表示するには、ユーザーにドメイン構成内のすべてのドメインの可視化が必要です。

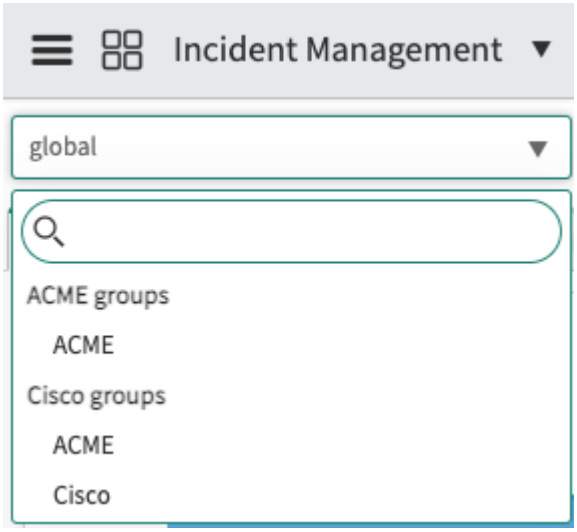
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード管理.
2. ダッシュボードを選択します。
3. [ドメイン構成] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. このダッシュボードに関連付けるドメイン構成を選択します。
5. **[Save** (保存)] をクリックします。

タスクの結果
アドミンなど、ドメイン構成内のすべてのドメインを可視化できるユーザーは、ドメインを選択できます。ダッシュボードのレポートとウィジェットには、そのドメインのスコアと値のみが表示されます。



次のタスク
ドメインピッカーを使用してダッシュボードから アナリティクスハブ を開くと、選択したドメインについて収集されたスコアのみが表示されます。追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

スコア集計を使用するドメイン構成の転送

スコアを集計するように構成されたパフォーマンスアナリティクスドメイン構成をインスタンス間で転送するには、構成と集計ドメインの両方を転送します。

始める前に
更新セットを使用してドメイン構成を転送します。更新セットを使用してインスタンス間で構成を転送する方法の詳細については、「 システムアップデートセット 」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. ドメイン構成の転送元のソース インスタンスに、admin としてログインします。
2. 次のように移動する。 データコレクター > ドメイン構成.
3. 更新セットで転送したドメイン構成レコードを開きます。
4. フォームのヘッダーを右クリックし、**[XML** 表示] を選択します。
5. aggregate_domain要素の値であるsys_idをコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.


```
▼<xml>
  ▼<pa_domain_configurations>
    <aggregate_domain
    display_value="OpCos">676a49440fa8060094a9716ce1050e14</aggregate_domain>
    <aggregate_domain_parent display_value="PA aggregation
    container">a42da8e7d70022006ecfa3b20e61037f</aggregate_domain_parent>
    <collect_aggregate>true</collect_aggregate>
    <collect_children>true</collect_children>
    <conditions table="domain"/>
    <domain_table>domain</domain_table>
    <name>SILVA PA OPCOS</name>
    <roll_up>true</roll_up>
    <roll_up_type>roll_up_children</roll_up_type>
    <sys_class_name>pa_domain_configurations</sys_class_name>
    <sys_created_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_created_by>
    <sys_created_on>2018-02-15 12:11:40</sys_created_on>
    <sys_customer_update>true</sys_customer_update>
    <sys_id>1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7</sys_id>
    <sys_mod_count>4</sys_mod_count>
    <sys_name>SILVA PA OPCOS</sys_name>
    <sys_package display_value="Global" source="global">global</sys_package>
    <sys_policy/>
    <sys_replace_on_upgrade>false</sys_replace_on_upgrade>
    <sys_scope display_value="Global">global</sys_scope>
  ▼<sys_update_name>
      pa_domain_configurations_1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7
    </sys_update_name>
    <sys_updated_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_updated_by>
    <sys_updated_on>2018-06-05 15:11:06</sys_updated_on>
    <type>visibility_group</type>
    <visibility_group display_value="SILVA PA OPCOS" name="SILVA PA
    OPCOS">e3bf9aa54f589300a02a4c318110c75d</visibility_group>
  </pa_domain_configurations>
</xml>
```


6. 次のように移動する。 ドメイン管理 > ドメイン.
7. 転送されたドメイン構成からコピーした sys_id でドメインのリストをフィルタリングします。
8. フィルタリングされたドメインを開き、コンテキスト メニューからドメイン レコードを XML にエクスポートします。
9. ターゲット インスタンスに admin としてログインします。
10. 次のように移動する。 ドメイン管理 > ドメイン.
11. コンテキスト メニューから、ドメイン レコードの XML ファイルをソース インスタンスからインポートします。

タスクの結果

転送されたドメインのデータ収集ジョブを実行できます。

PADomainUtils - グローバル

`PADomainUtils` API を使用すると、同じインスタンス上の異なるドメイン間でパフォーマンスアナリティクスレコードをコピーできます。

サーバースクリプトでこの API を使用して、インジケーターやブレークダウン、ダッシュボードなどの パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。この API を使用すると、1 つのドメインに パフォーマンスアナリティクス レコードを作成し、そのレコードを任意の数の追加ドメインにコピーできます。

注:
この API では、レコードをグローバル ドメインにコピーすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

⚠ 警告:
設定レコードが別のドメインに移動されると、スコアにアクセスできなくなります。

PADomainUtils を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- スクリプトを実行するユーザーには admin ロールが必要です。
- インスタンスがドメインセパレーションを使用する必要があります。
- グローバル ドメインからスクリプトを実行する必要があります。
- レコードを移動またはコピーする場合は、ソース ドメインとターゲット ドメインが異なる必要があります。

PADomainUtils - PADomainUtils()

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、グローバルドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメイン以外のドメインからレコードを移動またはコピーする際は、代わりに PADomainUtils(文字列 *domainFrom)* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
// PADomainUtils initialized with the global domain
var globalUtils = new SNC.PADomainUtils();
```

PADomainUtils - PADomainUtils(文字列 domainFrom)

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、指定したドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメインから移動またはコピーする際は、代わりに *PADomainUtils()* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
domainFrom	文字列	レコードのコピー元のドメイン

```
// c90d4b084a362312013398f051272c0d is the sys id of the ACME domain
var acmeUtils = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
```

PADomainUtils - setFoundation(ブーリアン foundation)

ハイブリッドドメイン構成の基盤レコードのみを移動またはコピーするには、このメソッドを使用します。

レコードの一部のタイプを親ドメイン内で管理し、一部のタイプを子ドメイン内で管理することで、ハイブリッドアプローチを実施できます。通常、親ドメインには基盤レコードが入り、子ドメインにはウィジェットなどの上位レベルのレコードが入ります。基盤レコードとみなされるのは以下のタイプのレコードです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

他の パフォーマンスアナリティクス のレコード (ウィジェットやインジケーターなど) は、基盤レコードではありません。これらの追加レコードも移動またはコピーするには、このメソッドを false に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
foundation	ブーリアン	この PADomainUtils オブジェクトで基盤レコードのみをコピーまたは移動する必要があるかどうかを示します。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils().setFoundation(true);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - setOverrides(ブール **overrides)**

レコードをコピーして新しいレコードの sys_override 値を元の親レコードに設定する前に、このメソッドを使用します。

このメソッドを使用すると、親ドメインのレコードを自動的に上書きできます。親レコードを上書きすることで、親レコードから子ドメインに影響を与えることはありません。レコードのコピー時にソースドメインがターゲットドメインの親でない場合は、sys_override 値を設定しても動作に影響はありません。レコードの移動時ではなく、レコードのコピー時にのみ上書きを指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
overrides	ブーリアン	子ドメインのコピーされたレコードが、親ドメインのソースレコードを上書きする必要があることを示します。この値のデフォルトは true です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
pa.setOverrides(false);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - copy(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。

ダッシュボードまたはスケジュール設定済みジョブをコピーするには、「copyDashboard」および「copyJob」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインを持つユーザー。

戻り値

タイプ	説明
なし	

```
// copy all the Performance Analytics records from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copy('09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - copyJob(文字列 **paJob,** 文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ レコードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paJob	文字列	パフォーマンスアナリティクススケジュール設定済みデータ収集ジョブ [sysauto_pa] レコードのSys_id。
runAs	文字列	ジョブのコピー先のドメインを持つユーザー。

戻り値

タイプ	説明
文字列	エラーが発生した場合はエラーメッセージ、エラーがない場合は空の文字列。

```
// No source domain needs to be set
var pa = new SNC.PADomainUtils();
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// copy the '[PA Incident] Daily Data Collection job'
// set the 'run as' of the new record to be the 'acme.itil' user
// first argument is the sys_id of the sysauto_pa record
// the second is the sys_id of the acme.itil user record
pa.copyJob('82ba2023d7101100b96d45a3ce6103cd','797d14341f1310005a3637b8ec8b7010');
```

PADomainUtils - copyDashboard(文字列 **dashboardId,** 文字列 **runAs)**

ダッシュボードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dashboardId	文字列	コピーするダッシュボードのSys_id。
runAs	文字列	ダッシュボードのコピー先のドメインを持つユーザー。

戻り値

タイプ	説明
なし	

```
//Copy Incident Management dashboard from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copyDashboard('a64b7031d7201100b96d45a3ce610335','09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - move(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// move all the Performance Analytics records from the global to the customers domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.move('774190f01f1310005a3637b8ec8b70ef')
```

PADomainUtils - isWriteable(文字列 **table,** 文字列 **id)**

table と sys_id によって識別される特定のレコードに書き込むことができるかどうかを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
table	文字列	pa_indicators などの、クエリーするレコードを含むテーブルの名前。
ID	文字列	クエリするレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードに書き込めることを示します。レコードが現在のユーザーのドメイン内に存在する場合は true を返します。レコードが存在しないか、別のドメインにある場合は false を返します。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.isWriteable('pa_incidents','cd8125b5140012007665a83e633b028d');
```

パフォーマンスアナリティクス の統合

パフォーマンスアナリティクスを外部システムと統合して、リモートデータに基づいてスコアを収集したり、アナリティクスハブ情報を公開したりします。

クエリの作成には、REST API と Javascript API を使用できます。

パフォーマンス分析 **API** の例

次の例では、cURL コマンドを使用して REST クエリを実行し、各コマンドで返されるデータを表示する方法を示しています。以前の例で返されるデータを使用した次の各例は、最後の例を基に作成されます。

に表示されるすべてのインジケーターを返します アナリティクスハブ

一意のレコード識別子を含む、アナリティクスハブ に表示されるすべてのインジケーターのリストを要求できます。

注:
これらの例では、curl コマンドに macOS 構文を使用しています。Windows 構文は異なる場合があります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards"
```

次の応答は、このページの他の例で使用されている [オープンインシデントの数] インジケーターのみを表示するように短縮されています。

```
//{
  "result" : [
...

    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "value_formatted" : "",
    "period_title" : null,
    "gapperc" : null,
    "gap" : null,
    "target" : null,
    "period" : null,
    "target_formatted" : "",
    "favorite" : false,
    "direction_label" : "Minimize",
    "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
    "name" : "Number of open incidents",
    "value_color" : "#000000",
    "frequency_label" : "Daily",
    "change" : null,
    "gap_formatted" : "",
    "gapperc_formatted" : "",
    "value" : null,
    "unit" : {
      "display_value" : "#",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "changeperc_formatted" : "",
    "direction" : 2,
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "changeperc" : null,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  },
...

 ]
}
```


インジケーターの詳細を返す

sysparm_uuid パラメーターにインジケーター sys_id 値を指定することで、特定のインジケーターの アナリティクスハブ をクエリできます。この場合、アナリティクスハブ 内のすべてのインジケーターを取得したときに、最初の例で取得した [オープンインシデントの数] インジケーターの sys ID を使用します。


```
"uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
"name" : "Number of open incidents",
```


コマンド：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4"
```

応答：


```
{
  "result" : [
    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "gap" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す

sysparm_include_available_breakdowns および *sysparm_include_available_aggregates* パラメーターを true に設定することで、インジケーターの利用可能なブレークダウンと集計のリストをクエリすることができます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4&sysparm_include_available_breakdowns=true&sysparm_include_availa
ble_aggregates=true"
```

応答：

```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "aggregates" : [
        {
          "display_value" : "7d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba98
6f14ce6103dc",
          "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
        },
        {
          "display_value" : "28d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/4dfa4c11d7001100ba986
f14ce6103e2",
          "value" : "4dfa4c11d7001100ba986f14ce6103e2"
        },
        {
          "display_value" : "30d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/3e409011d7001100ba98
6f14ce610319",
          "value" : "3e409011d7001100ba986f14ce610319"
        },
        // Aggregates truncated for brevity

      ],
      "changeperc" : null,
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "value_unit" : "",
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "value_color" : "#000000",
    "frequency_label" : "Daily",
    "change" : null,
    "gap_formatted" : "",
    "gapperc_formatted" : "",
    "value" : null,
    "unit" : {
      "display_value" : "#",
      "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "breakdowns" : [
      {
        "display_value" : "Priority",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
        "value" : "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      {
        "display_value" : "Category",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe",
        "value" : "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
      },
      {
        "display_value" : "Assignment Group",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
        "value" : "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      // Information for State and Age indicators truncated

    ],
    "changeperc_formatted" : "",
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "direction" : 2,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  }
 ]
}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケータースコアの時系列集計を返す

sysparm_uuid 値と集計の sys_id を使用して、[7 日間分の集計を実行] 集計を アナリティクスハブ に適用できます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
```

応答：


```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "aggregate" : {
        "display_value" : "7d running SUM",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba98
6f14ce6103dc",
        "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
      },
      "gapperc" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc",
      "name" : "Number of open incidents / 7d running SUM",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
   }
 ]
}
```

ブレークダウンの要素を返す

ブレークダウンの各要素に関連付けられたスコアを取得し、それらの要素の sys_id を取得するには、ブレークダウンの sys_id とともに *sysparm_breakdown* パラメーターを使用します。この例では、[オープンインシデントの数] インジケーターのアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。前の例では、[オープンインシデントの数] インジケーターの sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4 で、アサイン先グループブレークダウンの sys_id が baec0752bf130100b96dac808c0739ed になっています。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
```

応答は一連の indicator オブジェクトで構成され、それぞれに 1 つの element オブジェクトが含まれています。element オブジェクトにはそれぞれ、オブジェクトの名前と sys_id が含まれています。インジケーターに関する情報は各 indicator オブジェクトで同じであるため、この例では最初の indicator オブジェクトのみが詳細に示されています。

応答：

```
{
  "result":[
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6
103b4",
      "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "changeperc_formatted":"0.0%",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {
      "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatche
d",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"14",
    "indicator_frequency":10,
    "value":14.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
      "name":"incident",
      "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
      "display_value":"Unassigned",      //Element name

 "link":"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/unmatched",
      "value":"unmatched"              //No sys_id for unmatched scores
    },
    "period_title":"Jul 22",
    "period":"Jul 22",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^O
Ropened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript
:gs.endOfToday()^state!=8",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103a
d",
      "type":"formatted",
      "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"14",           // Score where Assignment Group=Unassigned
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Unassigned",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
  },
  {"indicator": {

    "element": {
      "display_value":"Software",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4ba
f547aa7",
       "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"    // sys_id of element Software
     },
     ...

     "value_formatted":"6",                    // Score where Assignment Group: Software
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {
     ...

     "element": {
       "display_value":"Service Desk",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/d625dccec0a8016700a222a0f
7900d06",
       "value":"d625dccec0a8016700a222a0f7900d06"   // sys_id of element Service Desk
     },

     ...

     "value_formatted":"5",                    // Score for Assignment Group: Service Desk
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Service Desk",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {

     ...

     "element": {
       "display_value":"Hardware",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a5055c9c61122780043563ef
53438e3",
       "value":"8a5055c9c61122780043563ef53438e3"   // sys_id for element Hardware
     },

     ...

     "value_formatted":"3",                    // Score for Assignment Group: Hardware
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Hardware",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   },
   {"indicator": {

 ...

     "element": {
       "display_value":"Network",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e",
       "value":"287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"},  // sys_id for element Network

...

     "value_formatted":"3",                    // Score for Assignment Group: Network
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Network",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
 ...
 ]
...
}
```

ブレークダウンと要素でフィルタリングされたインジケーターを返す

ブレークダウンを適用するには、ブレークダウンおよびブレークダウン要素 sys_id 値を *sysparm_uuid* パラメーターに付加します。この例では、優先度 1 インシデントを表示するためにデータがブレークダウンされています。優先度ブレークダウンの sys_id は 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 で、「インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す」の例にあります。「1：重大」要素の sys_id を取得するには、「ブレークダウンのすべての要素を返す」と同じコマンドを実行しますが、アサイン先グループではなく優先度ブレークダウンを使用します。「1：重大」要素の sys_id は 5f012106db5123003ee8f93baf9619bd です。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
```

応答：

```
{
// The request is made Dec 12. The
// score is 76, which is unchanged from
// Dec 11, and which exceeds the
// target of 70.
  "result": [
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"-6",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Priority",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
        "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "value_color":"#ff8c00",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd",
      "frequency":10,
      "gap":-6.0,
      "value_unit":"76",
      "indicator_frequency":10,
      "value":76.0,
      "indicator_aggregate":1,
      "facts_table": {
        "name":"incident",
        "label":"Incidents"
      },
      "key":false,
      "indicator_frequency_label":"Daily",
      "direction":2,
      "element": {
        "display_value":"1 - Critical",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/5f012106db5123003ee8f93baf9619bd",
        "value":"5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
      },
      "period_title":"Dec 12",
      "period":"Dec 12",
      "target_formatted":"70",
      "change":0.0,
      "gapperc_formatted":"-8.6%",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8^priority=1^EQ",
      "realtime_enabled":true,
      "changeperc":0.0,
      "target":70.0,
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "type":"formatted","value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"76",
    "name":"Number of open incidents > Priority = 1 - Critical",
    "gapperc":-0.08571428571428572,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":true,
    "personal_target_formatted":""
  }
 ]
}
```


場所別にブレークダウンしたインジケーターを返す

パフォーマンス分析 API は、利用可能な場合に位置情報データを返します。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=656d5662eb23310065deac6aa206fee7"
```

応答：


```
{
 "result": [
  {
    ...
    "element": {
      "display_value": "San Diego",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/108752c8c611227501d
4ab0e392ba97f",
      "value": "108752c8c611227501d4ab0e392ba97f",
      "longitude": -117.15726,
      "latitude": 32.71533
    },
    ...
  }
  {
    ...
    "element": {
      "display_value": "Florida",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/8e3e85f037d0200044e
0bfc8bcbe5d14",
      "value": "8e3e85f037d0200044e0bfc8bcbe5d14",
      "longitude": -95.71289,
      "latitude": 37.09024
    },
    ...
  }
```


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
 ]
}
```

第 1 および第 2 レベルのブレークダウンスコアを返す

*sysparm_uuid*パラメーターに 2 つのブレークダウンsys_idsを追加することで、2 つのレベルのブレークダウンを適用できます。この例では、優先度 1 インシデントを表示するために優先度別にデータをブレークダウンし、データベース インシデントを表示するためにカテゴリ別にデータをブレークダウンしています。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a
805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d4020033100766597829 9a805c1"
```

応答：

```
{
 "result": [
  {
   "value_formatted": "",
   "indicator": {
    "display_value": "Number of open incidents",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a
3ce6103b4",
    "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
   },
   "gapperc": null,
   "change": null,
   "value_color": "#000000",
   "direction": 2,
   "target_formatted": "",
   "frequency": 10,
   "changeperc_formatted": "",
   "direction_label": "Minimize",
   "period_title": null,
   "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
   "name": "Number of open incidents / Priority / 1 - Critical / Category / Database",
   "value": null,
   "key": false,
   "gap_formatted": "",
   "element": {
    "display_value": "1 - Critical",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/e590014020033100766597829
9a805f3",
    "value": "e590014020033100766597829 9a805f3"
   },
   "precision": 0,
   "element_level2": {
    "display_value": "Database",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/9e418d4020033100766597829
9a805c1",
    "value": "9e418d4020033100766597829 9a805c1"
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "breakdown": {
      "display_value": "Priority",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
      "value": "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
    },
    "period": null,
    "favorite": false,
    "change_formatted": "",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "breakdown_level2": {
      "display_value": "Category",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe",
      "value": "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
    },
    "target": null,
    "changeperc": null,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033
1007665978299a805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d4020033100766597829 9a8
05c1",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "",
    "gap": null
  }
 ]
}
```


第 2 レベルのブレークダウンの日付の範囲のスコアを返す

すべての使用可能な日付の個々のスコアのリストを要求するには、*sysparm_include_scores* パラメーターを true に設定します。スコアの日付範囲を指定するには、*sysparm_from* パラメーターと *sysparm_to* パラメーターも使用します。この例では、第 1 レベルのブレークダウンと要素は [アサイン先グループ：ソフトウェア] (sys_id baec0752bf130100b96dac808c0739ed と 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7) です。第 2 レベルのブレークダウンと要素は [優先度：1：重大] (sys_id 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 と e590014020033100766597829 9a805f3) です。2018 年 11 月 30 日以降のスコアのみが返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "resttest:resttest" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4b
af547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a805f3&syspar
m_include_scores=true&sysparm_from=2018-11-30"
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答：


```
{
 "result": [
  { "indicator": {
      "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6
103b4",
      "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "scores": [
     { "end_at":"2018-12-04",
       "period":"Dec 04",
       "value_formatted":"2",
       "start_at":"2018-12-04",
       "value":2.0
     },
     ...

     { "end_at":"2018-11-30",
       "period":"Nov 30",
       "value_formatted":"0",
       "start_at":"2018-11-30",
       "value":0.0
     }
    ],
    "changeperc_formatted":"",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {                  //First-level breakdown
     "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73
c6112278017a6a4baf547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597 8
299a805f3",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"2",
    "indicator_frequency":10,
    "value":2.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "direction":2,
    "element": {                    //First-level breakdown element
      "display_value":"Software",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7",
       "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
    },
    "period_title":"Dec 04",
    "period":"Dec 04",
    "target_formatted":"",
    "change":2.0,
    "gapperc_formatted":"",
    "realtime_enabled":false,
    "changeperc":null,
    "target":null,
    "unit":{
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"2",            //Second-level breakdown and element
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software > Priority =
 e5900140200331007665978299a805f3",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"2",
    "favorite":false,
    "breakdown_level2": {
      "display_value":"Priority",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
       "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
    },
    "personal_target_formatted":""
   }
  ]
}
```


ブレークダウンと要素のブレークダウンの関連付けを返す

インジケーターに関連付けられたすべてのブレークダウンの関連付けの sys_id 値を取得するには、*sysparm_include_available_breakdowns* パラメーターを使用します。*sysparm_uuid* パラメーターには、第 1 レベルのブレークダウンの sys_id と、目的の関連付けを持っている要素を含めます。この例では、*sysparm_uuid* パラメーターには、アサイン先グループブレークダウンの sys_id とソフトウェア要素の sys_id が含まれています。アサイン先グループの sys_id は、すべてのブレークダウンと集計が返された例で取得されました。ソフトウェア要素の sys_id は、アサイン先グループのすべての要素が返された前の例で取得されました。アサイン先グループブレークダウンの sys_id は baec0752bf130100b96dac808c0739ed であり、ソフトウェア要素の sys_id は

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4である [オープンインシデントの数] インジケーターのブレークダウンの関連付けが取得されます。

注:
[アサイン先グループ：未アサイン (Assignment Group: Unassigned)] など、ブレークダウンの要素値と一致しないインシデントのブレークダウンの関連付けを検索するには、要素 sys_id の代わりに文字列 unmatched を使用します。この場合、パラメーターは sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatchedになります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4b
af547aa7&sysparm_include_available_breakdowns=true"
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96
d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gapperc": null,
      "change": 9.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "32.1%",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": "Jul 22",
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Software",
      "value": 37.0,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "Software",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100
ada7950d0b1b73",
        "value": "8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
      },
      "precision": 0,
      "breakdowns": [
        // Information about each breakdown

      ],
      "breakdown_relations": [
        {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Child Groups",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/301fd511eb
23310065deac6aa206fe31",
        "value": "301fd511eb23310065deac6aa206fe31"
       },
       {
        "display_value": "Parent Group",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/790b6e11eb
23310065deac6aa206fe1c",
        "value": "790b6e11eb23310065deac6aa206fe1c"
       },
       {
        "display_value": "Sibling Groups",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/15e15a12eb
233100871aac6aa206fe59",
        "value": "15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
       }
     ],
     "breakdown": {
       "display_value": "Assignment Group",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b
96dac808c0739ed",
       "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
     },
     "period": "Jul 22",
     "favorite": false,
     "change_formatted": "9",
     "unit": {
       "display_value": "#",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f1
4ce6103ad",
       "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
     "frequency_label": "Daily",
     "target": null,
     "changeperc": 0.32142857142857145,
     "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112
278017a6a4baf547aa7",
     "gapperc_formatted": "",
     "value_unit": "6",
     "gap": null
   }
 ]
}
```


ブレークダウンの関連付けを使用してインジケーターを返す

ブレークダウンの関連付けを使用するには、*sysparm_uuid* パラメーターにインジケーター、ブレークダウン、および要素の sys_id 値を含め、*sysparm_breakdown_relation* パラメーターに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンの関連付けの sys_id を含めます。この例では、前の例の [アサイン先グループ：ソフトウェア] の兄弟グループ値が返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7&sysparm_breakdown_relation=15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
```

応答：

```
{
 "result": [
  {
   "indicator": {
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "changeperc_formatted":"0.0%",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {
     "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"0",
    "indicator_frequency":10,
    "value":0.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
     "name":"incident",
     "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
     "display_value":"Application Development",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
      "value":"0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2"
    },
    "period_title":"Dec 03",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "period":"Dec 03",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^O
ROpened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript
:gs.endOfToday()^state!=8^assignment_group=0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2^EQ",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103a
d",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
    "value_formatted":"0",
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Application Development",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
   }
   // Followed by an indicator object with an element object for every element in the Sibling
 Group
 ]
}
```

ブレークダウンの要素のフィルタリングされたセットを返す

パフォーマンスアナリティクス要素フィルターレコードのsys_idで **sysparm_elements_filter** パラメーターを使用して、アナリティクスハブデータにフィルターを適用できます。

「」で説明されているように、要素フィルターレコードから要素フィルターのsys_idを取得します。

この例では、要素フィルターが [[Parent][is][Database]] の条件でグループブレークダウンソースに適用されます。この要素フィルターの sys_id は 7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11 です。この例では、要素データベースを親として持つアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed&syspa
rm_elements_filter=7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11"
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gapperc": null,
    "change": 9.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "32.1%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database",
    "value": 37.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
      "value": "287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "9",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.32142857142857145,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "37",
    "gap": null
  },
  {
    "value_formatted": "20",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "indicator": {
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    // Database Atlanta
    "gapperc": null,
    "change": 4.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "25.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database Atlanta",
    "value": 20.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database Atlanta",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
      "value": "db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "4",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.25,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "20",
    "gap": null
  },
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    "value_formatted": "19",
    "indicator": {
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96
d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    ...

    // Database San Diego
    "gapperc": null,
    "change": 0.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "0.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database San Diego",
    "value": 10.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database San Diego",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53a9290a0a0a650
091abebccf833c6",
      "value": "db53a9290a0a0a650091abebccf833c6"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"http://localhost:8080/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739
ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "0",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14
ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.0,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53a9290a0a0
a650091abebccf833c6",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "10",
    "gap": null
   }
  ]
}
```

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクスは、パフォーマンスアナリティクスデータのクエリのためのスクリプトと API で使用するための、いくつかのスクリプト オブジェクトを提供しています。このスクリプトはブレークダウンマッピングとして機能するか、インジケーターから値を計算します。

スクリプトに関するヒント

- 一般に、スクリプトは、 score_start 変数と score_end 変数を使用して、日付処理で経過時間などのインジケーターをサポートする場合にのみ使用します。
- 不要なフィールドを制限する。ドット連結フィールドを追加するたびに、クエリに結合が追加されます。
- パフォーマンスを向上させるには、手動ブレークダウンを データベースビュー に置き換えてみてください。
- 一般的な関数にはスクリプトインクルードを使用してください。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。
- レポートに必要な方法でデータが構造化されていない場合は、スクリプトを作成する代わりに、運用テーブルに「レポートフィールド」を追加してみてください。詳細については、この コミュニティの投稿 を参照してください。
- パフォーマンスアナリティクススコアまたはスナップショットテーブルをクエリーするバックグラウンドスクリプトを実行している場合、そのアプリケーションに対する適切なロールがなければ、スコープ対象のアプリケーションに関するデータにアクセスすることはできません。

警告:
パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで `GlideRecords` または `GlideAggregates` を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

ブレークダウンマッピングとインジケータースクリプト

ブレークダウンマッピングスクリプトは通常、ブレークダウン要素のsys_idまたはスコアをバケットに入れる整数を返します。インジケーター スクリプトは、1 つ以上のフィールドから計算されたスコアを返します。同じスクリプトを、ブレークダウンマッピング スクリプトとインジケーター スクリプトの両方として機能させることができます。

Example: ブレークダウンスクリプト

たとえば、インシデントテーブルの opened_at フィールドを使用する、提供された Incident.Age.Days スクリプトを考えてみましょう。このスクリプトは、経過時間ブレークダウンのブレークダウンマッピングとして機能し、インシデント経過時間範囲 (日数) バケットグループ をブレークダウンソースとして使用します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、 current.opened_at は現在評価されているレコードが開かれたときのタイムスタンプを取得します。score_end スクリプト変数はデータコレクターから取得され、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターが収集される場合、 score_end は月末になります。ここでは、インシデントがオープンされたときのタイムスタンプが、収集期間の終わりのタイムスタンプから減算され、結果が日に変換されます。

この例には、このスクリプトの [フィールド] フィールドで指定されている Incident.opened_at フィールドが含まれています。score_startとscore_endを [フィールド] フィールドで定義しなくても使用できます。

関連情報

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

サーバースコープ API リスト

パフォーマンス分析でのスクリプトの作成

スクリプトを作成するには、まず、スクリプトを適用するファクト テーブルを選択し、明示的にフィールドを選択します。

始める前に

必要なロール:admin、pa_admin。パフォーマンスアナリティクステーブルのスコープ対象のアプリケーションのデータにアクセスするには、そのアプリケーションの適切な admin ロールも必要です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > スクリプト をクリックし、[新規] をクリックします。
2. スクリプトにわかりやすい [名前] を付けます。
3. スクリプトを適用する [ファクトテーブル] を選択します。
   これと同じファクト テーブルを使用するインジケーターのみが、このスクリプトを使用できます。
4. スクリプトで使用されるファクト テーブルの [フィールド] がある場合は、選択します。
   フィールドはラベルで選択します。
5. スクリプトを記述します。
   スクリプトは、次の関係と制限に従う必要があります。
   - このフォームで選択したフィールドとスクリプト変数のみを含めることができます。詳細については、パフォーマンスアナリティクス変数に関するセクションを参照してください。
   - スクリプトでフィールドを使用する場合は、列名を使用します。必要に応じて、ファクト テーブルの列名をルックアップします。
   - データベース ビューのフィールドを使用する場合は、プリフィックスを含める必要があります。たとえば、incident_sla データベース ビューには、taskslatable というプリフィックスを持つ task_sla テーブルが含まれています。task_sla には、business_duration 列が含まれています。incident_slaデータベースビューのbusiness_durationフィールドを使用するには、*`taskslatable_business_duration`*として記述します。データベース ビューにアクセスできない場合は、システム管理者にプリフィックスの検索を依頼してください。

次のタスク

スクリプトを作成したら、そのスクリプトを使用するブレークダウンマッピングまたはインジケーターを作成します。ブレークダウンマッピングまたはインジケーター フォームを開くには、[ブレークダウンマッピング] タブまたは [インジケーター] タブのいずれかで [新規] をクリックします。このスクリプトを使用するブレークダウンマッピングとインジケーターがこれらのタブに一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス の変数

いくつかの変数は、 パフォーマンスアナリティクス スクリプトと式インジケーターで使用できます。

パフォーマンスアナリティクススクリプトと式で次の変数を使用できます。

- score_start:最初のインジケーター スコア収集の 1 日の最初の 1 秒。スクリプトの場合、時間は、収集ジョブの実行ユーザーのタイムゾーンとデータベースのタイムゾーン (GMT) の差に基づいて計算されます。式の場合、時間は式を実行するユーザーのタイムゾーンと GMT の差に基づいて計算されます。ユーザーは、ダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示して、式を実行します。
- score_end:最後のインジケータースコア収集の日の最後の 1 秒。時間は score_startと同じ方法で計算されます。
- pa:スクリプトでは使用できない式変数で、 アナリティクスハブ 属性とメソッドのセットを提供します。

スクリプトでは、スコア収集の開始変数と終了変数は *GlideElementGlideObject* オブジェクトです。次の例のように、*getGlideObject()* を呼び出すことで、これらの変数から *GlideDateTime* オブジェクトを取得できます。 gs.log("Score main = " + score_end.getGlideObject().getDayOfWeek());

計算式では、スコア収集の開始変数と終了変数は既に *GlideDateTime* オブジェクトになっています。したがって、次の例のように、 *getGlideObject()* を呼び出さずに変数を直接使用できます: gs.log("Score main = " + score_end.getDayOfWeek());

開始変数と終了変数の値は、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターが収集される場合、 score_end は月末になります。

score_startとscore_endの値は、関連するユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。パフォーマンスアナリティクススクリプトの場合、これは収集ジョブの実行時のタイムゾーンです。式の場合、これはダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示するユーザーのタイムゾーンです。したがって、異なるタイムゾーンのユーザーは、式の score_start と score_end の日付が異なる場合があります。

関連情報

式でアナリティクスメソッドを取得

ユーザーのタイムゾーンが異なるため、score_start/終了への変更

外部データとのパフォーマンス分析の使用

外部データソースに対するパフォーマンス分析により、ServiceNow インスタンスにないデータに対して詳細な分析を実行できます。

外部データのスコアを収集する場合、パフォーマンス分析は、インスタンスに外部データのスコアとブレークダウン要素を保存します。分析される生データは外部データソースに残り、インスタンスにはコピーされません。この機能を使用すると、基礎となるデータを複製せずにメトリックを分析および共有できます。

パフォーマンス分析の外部データ収集では、次の 3 つのタイプの構成レコードが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スコアを収集するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部インジケーター
- ブレークダウン要素を指定するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部ブレークダウン
- 外部インジケーターとブレークダウンの関係を定義する外部インジケーター ブレークダウンと、そのインジケーターの各ブレークダウン要素のスコアを収集するために使用される SQL ステートメント

外部データでサポートされているデータベース形式

パフォーマンスアナリティクス は、 ServiceNow がデフォルトでサポートするデータベース形式のみをサポートしています。顧客がサポートされていないデータベース形式の JDBC ドライバーを追加した場合、 パフォーマンスアナリティクス はそのデータベース形式を外部データソースとしてサポートしません。

サポートされているデータベース形式

SQL Server タイプ	ポート
MySQL	3306
Microsoft SQL Server	1433
Oracle	1521

関連情報

JDBC タイプのデータソース

外部データのインジケーターの作成

外部インジケーターを作成して、評価するデータと、インジケーター スコアを決定するために使用される SQL ステートメントを定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 外部インジケーター をクリックし、[新規] をクリックします。
2. インジケーターにわかりやすい [名前] を付けます。
3. [周期] フィールドに、[日次]、[週次]、または [月次] などの、インジケーターのデータ ポイントの周期を指定します。
4. [ソース] タブで、スコアを収集する [データソース] を選択します。

   パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

   注:
   データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルはパフォーマンス分析では使用されません。

5. スコア値を計算するために使用する **[SQL** ステートメント] を指定します。
   SQL ステートメントは、エイリアス *value* で集計値を返す必要があり、日付フィールドに基づいてデータをフィルタリングする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
集計の別名は、[値] である必要があります。

Example
単純なインジケーターの場合、SQL ステートメントは SELECT count(*) AS value FROM... のようになります。ここで、DATE(date_field) >= DATE(${start_at})。

より複雑なインジケーターの場合は、DATE が DATEADD が返す日付よりも前であるという条件も必要になる場合があります。ここで、複合データを含む月次インジケーターには、SQL ステートメント SELECT count(*) AS value FROM... ここで、DATE(date_field) >= DATE(${start_at}) および DATE(date_field) < DATEADD(month, 1, ${start_at})。

6. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

ヒント:
可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターは、[最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

7. オプション: 次のいずれかのインジケータープロパティを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) 価格、通貨、または FX 通貨フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、一部のタイプの時系列をインジケーターに適用しないようにすることを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時刻は日、時間、および分で示されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* 存在し、true である場合は、秒も表示されます。この場合、インスタンスのすべての時間フィールドに秒も表示され、 Microsoft Excel へのエクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 単位が [参照通貨を使用] の場合、このフィールドは使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数値形式	クインティリオンまでの数千の大きな数に使用される略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ.プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。

8. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをライブラリに保存するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロールで制限するかどうかを設定します。[ライブラリに共有] を有効にすると、インジケーターが次の場所で使用できるようになります。
   - プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスライブラリの KPI のリスト
   - KPI 詳細
   - アナリティクスハブただし、完全には移行されていないアップグレード済みインスタンスのみが対象です プラットフォームアナリティクス
9. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターにデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは、時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブフィードグループのライブグループプロファイル [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を取得するようにします。 Now Platform上のこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「ライブフィード」を参照してください。
順序	(Optional) インジケーターが アナリティクスハブに表示される順序を示す番号。最小値のインジケーターがリストの一番上に表示され

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

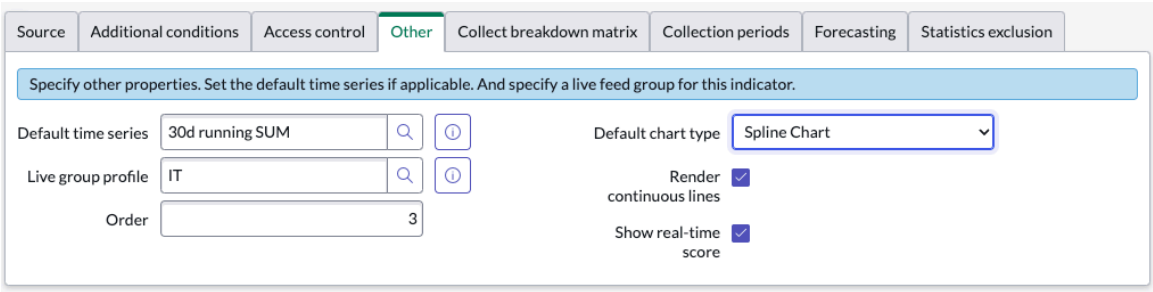
フィールド	説明
	ます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターだけに数値を入力すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。 プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスでは使用されません。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 を初めて開くときは、デフォルトのチャート タイプが使用されます。アナリティクスハブまたはKPI 詳細でグラフタイプが変更された場合、その設定は記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 にこのインジケーターの切れ目のないデータ行が表示されます。この動作は、開始日が異なるデータセットや、在庫情報など定期的に更新されないデータを表示する場合に便利です。 インジケーター、 アナリティクスハブ 、または KPI 詳細に時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) 選択すると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 に、このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスをリアルタイムで表示できます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイム スコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーター ソースに条件を設定する必要があります。

Example
たとえば、[その他] タブでは、インジケーターを次のように設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デフォルトでは、30 日間分のスコアの合計がウィジェットに表示されます。このデフォルトは、 アナリティクスハブ、 KPI 詳細、ダッシュボードウィジェット、またはワークスペースデータの可視化で上書きできます。
- インジケーターの変更が IT Live グループに通知されます。
- このインジケーターは、インジケーターの アナリティクスハブ リストで 3 番目にリストされています。他のすべてのインジケーターにも位置が指定されています。この設定は、 KPI 詳細上のインジケーターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフタイプは、 アナリティクスハブ と KPI 詳細のスプラインです。
- インジケーターのデータ行は、データが欠落している場合でも切れ目なしで表示されます。
- アナリティクスハブとKPI 詳細は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



10. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「パフォーマンスアナリティクススコア予測」を参照してください。
11. インジケーターを保存します。
12. **[Test Collection]** を押します。
このアクションは、インジケーターのメインクエリをテストします。

次のタスク
インジケーターのブレークダウン スコアを収集する場合は、外部ブレークダウンを定義し、インジケーターに関連付けます。

外部データを使用したブレークダウンの作成

外部ブレークダウンを作成して、外部インジケーター スコアのブレークダウンに使用できる要素を定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
デフォルトでは、外部ブレークダウンには最大で 5000 個の要素を含めることができます。この制限は、プロパティ `com.snc.pa.dc.max_external_elements` によって制御されます。

外部ブレークダウン要素は、pa_ext_elements テーブルに格納されます。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 外部ブレークダウン.
2. **[New]** をクリックします。
3. ブレークダウン要素として使用するレコードを含むデータソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データ ソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

> **注:**
> データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルは パフォーマンス分析では使用されません。

4. **[SQL** ステートメント] を指定して、ブレークダウン要素を選択します。
   SQL ステートメントは、エイリアス *id* を持つ各ブレークダウン要素の一意のキーと、エイリアス *name* を持つ要素表示名 (SELECT guid AS id, user_name AS name FROM... など) を返す必要があります。

   > **重要:**
   > 一意のキーの別名は **[ID]**、表示名の別名は [名前] である必要があります。

5. ブレークダウンを保存します。
6. **[Test Collection]** を押します。
   このアクションでは、ブレークダウン要素を選択するクエリをテストします。

次のタスク

ブレークダウン要素の収集方法を定義したら、外部ブレークダウンを 1 つ以上の外部インジケーターに関連付けます。

外部ブレークダウンを使用するための外部インジケーターの構成

外部インジケーターと外部ブレークダウンを関連付けて、インジケーターのブレークダウンスコアの収集方法を定義します。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 外部インジケーター.
2. [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 外部の [ブレークダウン] を選択してこのインジケーターに適用します。
5. **[SQL** ステートメント] フィールドに、各ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントを入力します。
   SQL ステートメントには、COUNT などの、インジケーター SQL ステートメントと同じ集計関数を使用する必要があります。SQL ステートメントは、エイリアス *value* を含む集計値と、エイリアス **ID** を含むブレークダウン要素の一意のキーを返す必要があります。また、SQL ステートメントは、ブレークダウン要素の値を含む列でデータをグループ化する必要があります。

   例: SELECT count(*) AS value, guid as id FROM... ここで DATE(date_field) >= DATE({$start_at}) GUID でグループ化

   > **重要:**
   > 集計の別名は [値]、ブレークダウンの一意のキーの別名は **[ID]** である必要があります。

6. 変更内容を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. **[Test Collection]** を押します。
   このアクションでは、ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントをテストします。

次のタスク
前の手順を繰り返して、インジケーターにブレークダウンを追加します。各ステートメントを追加した後、SQL ステートメントをテストします。

外部インジケーターとブレークダウンのテスト

外部インジケーターとブレークダウンをテストし、外部データソースに接続して期待するデータを収集できることを確認します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
インジケーターをテストして、そのインジケーターのクエリと、すべてのブレークダウン要素のクエリをテストします。ブレークダウンをテストして、利用可能なブレークダウン要素を決定するために使用されるクエリをテストします。

インジケーターまたはブレークダウンをテストするときは、スコアまたはブレークダウン要素は保存されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 外部インジケーター または パフォーマンスアナリティクス > 外部ブレークダウン.
2. テストするインジケーターまたはブレークダウンを選択します。
3. [テスト] ボタンをクリックします。
   クエリが正常に実行されると、収集されるスコアまたはブレークダウン要素の数が表示されます。テスト中にエラーが発生すると、エラー メッセージが表示されます。

次のタスク
すべてのクエリが正常に実行され、期待するデータが返されることを確認したら、データ収集ジョブに外部インジケーターを追加して、スコアの収集を開始します。

日付による外部データのフィルタリング

外部データとともにパフォーマンス分析を使用する場合は、スコアを収集する SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要があります。

インジケーターおよびインジケーターブレークダウンの SQL ステートメントで、クエリを日付でフィルタリングします (例:`WHERE DATE(my_date_field) >= DATE(${start_at}))`。ブレークダウン SQL ステートメントは、スコアではなく要素のみを収集するため、ブレークダウン SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要はありません。

変数 ${start_at} には、収集される期間の日付が YYYYMMDD の形式で含まれます。日次インジケーターの場合、この値は常に収集される日付です。週次や月次などの、収集頻度の長いインジケーターの場合、この日付は収集期間の最初の日となります。データ収集ジョブが実行される日付は、この変数に影響しません。

インジケーターまたはブレークダウンをテストすると、${start_at} 変数は常に現在の日付に設定されます。

外部データとパフォーマンス分析を使用する場合の制限事項

外部データを測定するときは、特定のパフォーマンス分析機能が利用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スナップショットは収集できません。
- リアルタイム スコアは表示できません。
- 第 2 レベルのブレークダウンは適用できません。
- 外部データを持つ第 2 レベルのブレークダウンに依存するウィジェットのチャート化を使用することはできません。これには、ピボットやヒートマップによるチャート化が含まれます。
- スナップショットが利用できないため、収集されたレコードの変更を表示できません。

収集されたパフォーマンスアナリティクスデータのクリーニング

パフォーマンスアナリティクス のスコアとスナップショットは時間とともに増加する可能性があるため、最適なパフォーマンスと正確なデータを確保するために定期的にクリーニングする必要があります。

パフォーマンスアナリティクス は、スケジュール設定済みジョブを使用して古いスコアとスナップショットを削除します。

PA 収集のクリーニングのスケジュール設定済みジョブは、デフォルトでアクティブであり、パフォーマンスに影響を与えません。デフォルトでは、このジョブは毎日実行されるため、削除する必要があるのは少量のデータのみです。

注:
テーブル属性の attributes nibble_size と nibble_sleep は、属性がスコアまたはスナップショットのテーブルに定義されている場合、コレクションクリーナー ジョブの動作に影響します。

関連情報

Altering tables and fields using dictionary attributes

KB0720725:パフォーマンスアナリティクススコアデータのクリア

PA 収集のクリーニング ジョブの変更

スケジュール設定済みジョブを変更して、パフォーマンス分析のスコアとスナップショットがいつクリーニングされるかを設定します。スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブは、データ収集ジョブの実行中は実行しないでください。

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて
デフォルトでは、PA 収集のクリーニング ジョブは 05:00 に実行されます。これは、デフォルトのデータ収集ジョブを使用する場合に適切です。追加のデータ収集ジョブを作成する場合は、PA 収集のクリーニング ジョブの開始時間を変更する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 自動化 > スケジュール.
2. **[PA** 収集のクリーニング] ジョブを選択します。
3. 必要な変更を行います。
   たとえば、ジョブが実行される時間を変更するには、[実行時間] フィールドの値を変更します。
4. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

スケジュール済みジョブ

KB0721309: パフォーマンスアナリティクス テーブルクリーナーの設定

パフォーマンス分析スコアの移行

パフォーマンスアナリティクススコア [pa_scores] テーブルが 2 つのテーブルに分割されました。この構造は、多数のスコアを処理するのに役立ちます。スコア移行ツールを使用して、古いテーブル構造から新しいテーブル構造にスコアを移行できます。

警告:
新しいテーブル構造は、Oracle データベースではサポートされていません。

Istanbul では、スコア [pa_scores] テーブルはスコアレベル 1 [pa_scores_l1] とスコアレベル 2 [pa_scores_l2] に分割されました。pa_scores_l2テーブルにはスコアの第 2 レベルのブレークダウンマトリクスが含まれ、pa_scores_l1テーブルには他のすべてのスコアが含まれます。このスコアの分離により、スコアの収集および分析時に最適なパフォーマンスが保証され、より多くのスコアセットが可能になります。Istanbul リリース以降に作成された新しいインスタンスは、デフォルトで新しいスコアテーブルを使用します。

Istanbul前に作成されたインスタンスは、アップグレード後も元のスコア [pa_scores] テーブルを使用します。

重要:
パフォーマンスアナリティクススコアを新しいテーブル構造に移行する方法の詳細については、「KB1294371」を参照してください。

移行モニター

移行を開始した後、次に移動して移行ステータスを追跡できます: パフォーマンスアナリティクス > スコア移行モニター。

移行中にエラーが発生した場合は、問題を解決するためにカスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

スコアの移行開始の遅延

次のいずれかのプロセスが実行されている場合、スコアの移行は停止するまで待機ステータスのままになります。

- データ コレクタ ジョブ
- コレクションクリーナージョブ
- スコアシートの編集

パフォーマンス分析スコアの移行のスケジュール

自動化された移行プロセスをスケジュールして、既存のスコアを新しいテーブル構造に移動します。

始める前に
必要なロール：admin pa_admin ロールを持つユーザーは、移行モニター ページを表示できますが、移行をスケジュールすることはできません。

このタスクについて
スコアの移行により、パフォーマンスアナリティクスのパフォーマンスとスケーラビリティが向上します。移行はピーク時間外に実行する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移行中はスコアの収集、変更、または削除を行うことはできません。スケジュール設定済みのデータコレクションジョブは、移行中は実行されません。移行の完了後に、移行時に実行するようにスケジュール設定されたデータ収集ジョブを確認してください。これらのジョブは一時停止されました。

注:

- スコアの数に応じて、スコアの移行には数時間かかる場合があります。非本番インスタンスでの移行をスケジュールしてから、本番インスタンスでの移行を慎重に計画します。
- 移行に成功してから 10 日後に元のスコア [pa_scores] テーブルが切り捨てられます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > スコアの移行モニター.
2. [スコアの移行のスケジュール] ボタンをクリックします。
   スコアの移行がスケジュールされます。このページには、移行の開始がスケジュールされた時間と、完了予定時間が表示されます。
3. オプション: 移行に関する追加情報を表示するには、[ログ] リンクまたは [アクティブジョブ] リンクをクリックします。
   移行を開始したときに実行中のデータ収集ジョブまたはクリーンアップ ジョブがある場合は、移行の開始前にそれらのジョブの完了が待機されます。移行中は、すべてのスケジュール設定済みの収集ジョブとクリーンアップ ジョブが一時停止されます。

次のタスク
何らかの理由で移行が失敗した場合は、カスタマーサービス & サポートに連絡してサポートを受けてください。既存のスコアはそのまま残ります。

(従来)タスクテーブルの パフォーマンスアナリティクス をすばやく構成する

構成ジェネレータを使用すると、パフォーマンスアナリティクスをすばやく構成して任意のタスクテーブルのデータを表示することができます。

注:
構成ジェネレーターはレガシー機能です。パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、ダッシュボードを含む パフォーマンスアナリティクス コンポーネントのコンテンツパックです。これらの パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、過去数回のリリースで大幅に拡張されました。独立した構成ジェネレータは、その価値のほとんどを失っています。カスタムアプリケーションの場合は、密接に関連する パフォーマンスアナリティクス ソリューションを見つけてインストールし、必要に応じて変更する方が理にかなっています。詳細については、「アナリティクスソリューション」を参照してください。

レポートするタスクベースのテーブルを指定することができ、構成ジェネレータによりインジケーター、ブレークダウン、計算、データ収集ジョブ、およびダッシュボードが自動的に作成されます。この構成ではパフォーマンスアナリティクスのインシデント解決と同じ要素が提供されますが、任意のタスク テーブル用です。ドメインセパレーションを使用する場合は、すべてのレコードが現在のユーザーのドメインに作成されます。

注:
タスクを拡張するテーブルでのみ構成ジェネレータを使用できます。ジェネレータによって作成されたファイルを使用する前に、構成を微調整する必要がある場合があります。

構成ジェネレータにアクセスするには、次に移動します: パフォーマンスアナリティクス > 構成ジェネレータ.

選択したテーブルの構成を生成した後は、[設定レコードに移動]、[生成済みインジケーター]、および [生成済みジョブ] 関連リンクを使用して作成したレコードを表示できます。生成されたレコードは、必要に応じて標準のパフォーマンスアナリティクスの設定オプションを使用して変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータの有効化

管理者として、パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータ プラグイン (com.snc.pa.configurationgenerator) を有効にすることができます。

始める前に

必要なロール：admin
この手順を開始する前に、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが必要です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注:
   ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスの参照

参照トピックには、ロールとプロパティに関する情報が記載されており、用語集が含まれています。

パフォーマンスアナリティクス ロール

ユーザーが必要なすべてのアクションを確実に実行できるようにロールを割り当てます。

ロールとペルソナ

警告:
誰かにpa_adminロールまたはpa_data_collectorロールを付与することは、セキュリティの観点からは、そのユーザーに管理者を付与することと同じです。

ロール	認証	典型的なペルソナ
ロールなし	• サービスポータルでパフォーマンス分析のビジュアルを表示します。 • このユーザーと共有されているダッ	結果の特定の可視化を超えて パフォーマンスアナリティクス へのアクセスを必要としない要求者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	シュボードを表示します。 HR エージェントダッシュボードの sn_hr_core_basic など、一部のダッシュボードでは、表示するために該当分野のロールが必要です。ダッシュボードの所有者と管理者は、ロールごとにダッシュボードのアクセスを制限することもできます。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。	
任意のロール (パフォーマンスアナリティクスロールである必要はない)	• ダッシュボードを作成します。 • ロールによるアクセスを作成したダッシュボードに制限します。 • 自分が所有するダッシュボードを共有します。	自動翻訳
pa_viewer 次のものに含まれる：pa_contributor 以外のすべてのロール	Quebec前は、このロールは次のアクションに必要でした。アップグレードされたインスタンスでは引き続き必要になる場合があります。 • アナリティクスハブ を表示します。 • インジケーターの個人のしきい値とターゲットを作成します。 • 作成したしきい値とターゲットを読み込み、更新、および削除します。	重要業績評価指標の詳細を必要とし、理解している要求者

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	• ダッシュボード上のテキスト分析ウィジェットを表示します。	
sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic 次のものに含まれる：pa_admin	• 診断テーブルから読み込みます。 • 診断を有効または無効にします。 • 診断を実行します。 • メッセージ レコードと診断ログを削除します。	特定のペルソナはありませんが、このロールは通常、個々のビジネス アナリストまたは担当者のグループに割り当てられます。
pa_contributor 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	ユーザーが貢献者として指定されたインジケーターの場合： • スコアシートのスコアを読み込んで更新します。 • アナリティクスハブを表示します。 このユーザーは、共有されているダッシュボードを読み込むこともできます。	特定のペルソナはありませんが、このロールは通常、インジケーターのスコアを手動で設定できる個々の担当者またはグループに割り当てられます。
pa_kpi_signal_admin 含まれる担当者:admin	ユーザーがシグナルを却下したり、 KPI シグナルのベースラインをリセットしたりできるようにします。	パフォーマンスアナリティクスのトレーニングも受けているプロセス オーナー。また、pa_viewer ロールも必要です。
pa_target_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• ターゲットを作成します。 • 所有していないターゲットを含め、すべてのターゲットを読み込	設定するターゲットを知っているが、それ以上の入力がない可能性のあるマネージャ パフォー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	み、更新、および削除します。 • ターゲットをインジケーターに割り当てます。	マンスアナリティクス
pa_threshold_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• グローバルしきい値を作成します。 • 所有していないしきい値を含め、すべてのしきい値を読み込み、更新、および削除します。 • しきい値をインジケーターに割り当てます。	設定するしきい値を知っているが、それ以上の入力がない可能性のあるマネージャ パフォーマンスアナリティクス
pa_analyst 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• テキスト分析のキーワード、フレーズ、ストップワードの CRUD 操作を実行します • インジケーターソースを読み込みます。	特定のペルソナはありませんが、このロールは、ワードクラウドのキーワード、フレーズ、ストップワードを専門とする個々の担当者またはグループに割り当てられます。
pa_power_user 次のものに含まれる：pa_admin pa_power_user ロールには、pa_viewer、pa_contributor、pa_target_admin、pa_analyst、および pa_threshold_admin ロールが含まれます。	• インジケーターとブレークダウンの CRUD 操作を実行します。 • ウィジェットの CRUD 操作を実行します • ダッシュボードにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加します。 • テキスト分析のテキスト インデックス構成の CRUD 操作を実行します。	ビジネス アナリスト。パフォーマンスアナリティクスのビジネスユース・ケースおよびインジケーターとブレークダウンの要件を理解します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	• バケット グループの CRUD 操作を実行します。 • インジケーター グループの CRUD 操作を実行します	
pa_data_collector 次のものに含まれる：pa_admin	• データコレクションジョブの CRUD、スケジュール設定、および実行 • インジケーターとブレークダウンのソースの CRUD 操作を実行します • 一部のシステム プロパティを読み込みます • システム ユニットの CRUD 操作を実行します • スクリプトと自動通知の CRUD 操作を実行します • バケット グループの CRUD 操作を実行します	の基礎となるデータベース レコード構造を理解している技術専門家 パフォーマンス アナリティクス
pa_admin pa_admin ロールには、pa_power_user、sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic、viz_admin、および pa_data_collector ロールが含まれています。	• プロパティを読み取り パフォーマンス アナリティクス 。 • 管理コンソールにアクセスします • 依存関係アセスメントを起動	パフォーマンス アナリティクス ビジネス ニーズを理解している技術エキスパート。
アドミン	システムアドミニストレーターロール。admin ロールを持つユーザーは、pa_adminすべての機能の実行、プロパティの編集、 データベースビューの作成、	システムアドミニストレーター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	ダッシュボードの CRUD、およびダッシュボードへの所有権のアサインを行うことができます。	

スポットライトロール

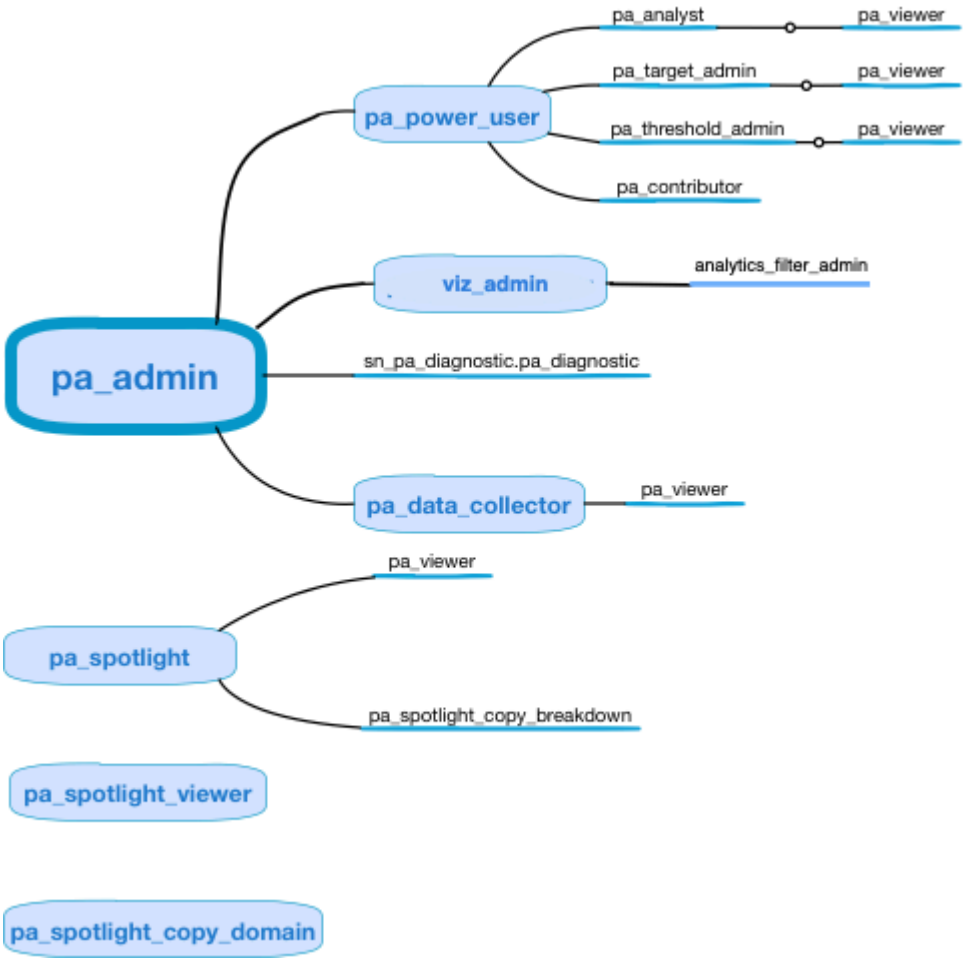
ロール	認可	典型的なペルソナ
pa_spotlight 含まれるもの:pa_viewer、pa_spotlight_copy_breakdown	CRUD スポットライトグループと基準。	どのレコードにリマインダーが必要なのかというビジネスロジックを理解しているエキスパート。
pa_spotlight_viewer	アナリティクスおよびレポートのスポットライトソリューションからダッシュボードにアクセスします。	アクションが必要なレコードを思い出させるために、単純な優先度設定以上のものを必要とする履行者。
pa_spotlight_copy_breakdown	スポットライトグループをブレークダウンの複数の要素にコピーできます。	ブレークダウン要素によるスポットライトグループの適用性を理解しているスポットライトエキスパートまたはビジネスアナリスト。
pa_spotlight_copy_domain	スポットライトグループを複数のドメインにコピーできます	パフォーマンスアナリティクス専門知識を持つドメインアドミニストレーター

ロール階層

pa_power_user や pa_admin などの特定のロールには、他のロールも含まれます。たとえば、pa_power_user には pa_contributor が含まれます。この図は、ロール階層を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクションに必要なロール

モジュール	アクション	最低限必要なロール
管理コンソール	アクセス	pa_admin
アナリティクスハブ (スコアカード)	ビュー	Quebec年以降、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続きpa_viewerが必要な場合があります。
自動インジケーター	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
自動化スケジュール	読み込みと削除 (他のセキュリティ制限が適用される可能性があります)	pa_data_collector
自動化スクリプト	CRUD	pa_data_collector
ブレークダウンと要素 (ブレークダウン関係を含む)	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
バケット グループ	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
チャートとターゲットのカラースキーム	CRUD	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	ダッシュボードを作成してください。ロールによるアクセスを制限するなど、作成したダッシュボードを更新します。	表示するデータにアクセスするために必要なロール、またはいずれかのロール
レスポンシブダッシュボード	所有しているレスポンシブダッシュボードに パフォーマンス アナリティクス ウィジェットを追加します。	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	共有されているダッシュボードを読み込みます	デフォルトではロールはありませんが、ダッシュボードにはデータを表示するためにロールが必要になる場合があります。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	自分が所有するダッシュボードを更新、削除、または共有します。	pa_power_user
ダッシュボード (レスポンシブまたは プラットフォームアナリティクス)	任意のダッシュボードを更新、削除、または共有します。ダッシュボードの所有権を再割り当てします。	admin (およびダッシュボードのロール dashboard_admin)
データ コレクタ ジョブ	読み込み、書き込み、実行します	pa_data_collector
依存関係アセスメント	インジケーターまたはブレークダウン フォームから依存関係アセスメントを開始します	pa_admin
外部インジケーターとブレークダウン	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
計算式およびマニュアル インジケーター	CRUD	pa_power_user
インジケーター グループ	CRUD	pa_power_user
ソース (インジケーターまたはブレークダウン)	CRUD	pa_data_collector
インジケーター ターゲット	自分が所有していないターゲットを読み込みおよび編集します	pa_target_administrator
インジケーター ターゲットまたはしきい値	新規作成します。自分が所有しているものを読み込みまたは編集します。	Quebec年以降、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続きpa_viewerが必要な場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
インジケーター しきい値	自分が所有していないしきい値を読み込みおよび編集します	pa_threshold_administrator
フォーム内分析	CRUD	pa_power_user
KPI シグナル	ベースラインをリセットまたはシグナルを却下	pa_kpi_signal_admin
すべてのアプリケーション内のリスト	インタラクティブ分析にアクセスします	デフォルトでロールはありませんが、一部のインタラクティブ分析にはテーブルを表示するためのロールが必要です
診断の管理	読み込み、実行、削除します	sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic
スケジュール設定済みメール概要ジョブ	CRUD	pa_power_user
スコアシート	CRUD	pa_power_user
サービスポータル	パフォーマンス分析のビジュアルを表示します	ロールなし
システム プロパティ	編集	アドミン
システムプロパティ	読み取り	一部の人にとっては pa_data_collector、すべての人にとってpa_admin
システム ユニット	CRUD	pa_data_collector
テキスト分析	テキスト インデックス構成を設定します	pa_power_user
テキスト分析	ダッシュボード上にテキストウィジェットを表示します	Quebec年以降、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続きpa_viewerが必要な場合があります。
テキスト分析のキーワード、フレーズ、またはストップ ワード	CRUD	pa_analyst
ニュース移動ルールと統計情報ジェネレータに関する情報	読み込みおよび編集します	pa_power_user
コア UI パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	CRUD	pa_power_user

関連情報

- ダッシュボード権限
- レポートの管理

パフォーマンスアナリティクスのプロパティ

これらのシステム プロパティがパフォーマンスアナリティクスの動作を制御します。

プロパティを設定するには、次に移動します: パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ または sys_properties_list.do。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ここでは、[パフォーマンスアナリティクス プロパティ] ページのプロパティのみを説明します。sys_properties.list ページには、パフォーマンスアナリティクスに影響を与える他のプロパティが含まれています。詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。

コレクションのクリーンアップ パフォーマンスアナリティクスのプロパティ

いくつかのプロパティにより、パフォーマンスアナリティクスのスコアとスナップショットが、スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブにより削除される前に維持管理される期間が決まります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.keep_scores_for.frequency	スコアが収集されて保持される、今日までの期間の最大数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスコアは、データ収集中に収集されません。 **注:** このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：732;105;53;40;60;30;20;20;20;10;10 • 場所： パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ
com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.frequency	スコアに関連するレコードリスト (スナップショット) が収集されて保持される、今日までの最大期間数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスナップショットは、データ収集中に収集されません。 **注:** このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：183;26;13;10;15;8;5;5;5;3;3 • 場所： パフォーマンスアナリティクス > システム > プロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

会計年度 パフォーマンスアナリティクスプロパティ

これらのプロパティは、会社の会計年度と一致するようにパフォーマンスアナリティクスの年を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.fy_start	会社の会計年度の開始 範囲:1 (1 月) ～ 12 (12 月) デフォルト値：1

デフォルトのカラースキーム パフォーマンスアナリティクスプロパティ

これらのプロパティは、チャート全体とインジケーター ターゲットのデフォルトの色を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.indicator_target_default_color_schema	デフォルトの インジケーター ターゲット カラー スキーム デフォルト:3 色の信号
com.snc.pa.chart_default_color_schema	デフォルトのチャート化のカラー スキーム デフォルト:デフォルト UI14

ブレークダウンとインジケーター パフォーマンスアナリティクスのプロパティ

これらのプロパティは、主に視覚化のコンテキストで、ブレークダウン要素とインジケーターに制限を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.scoresheet.max_element	スコアシートに表示できるブレーク ダウン要素 の最大数 デフォルト：500
com.snc.pa.breakdown_element_cutoff	アナリティクスハブとKPI 詳細がスコアのない要素を表示する場合に、ブレークダウンに含めることができる要素の最大数。 要素は、次のいずれかの条件を満たす場合、スコアレスになります。 • リアルタイムスコアの場合、要素にスコアはありません。 • 式インジケーターの場合、要素に 1 つ以上の 貢献インジケーターのスコアがありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• 自動インジケーターの収集されたスコアでは、要素にスコアがありません。ただし、まだ表示される要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* 値を超える場合は、選択した日付のスコア値または変更値を持つ要素のみが表示されます。詳細と例については、「収集されたスコアとcom.snc.pa.breakdown_element_cutoff」を参照してください。 **注:** このパラメータは、一致しない要素が表示されるかどうかには影響しません。 デフォルト：50
com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_elements	アナリティクスハブリスト内のブレークダウン要素の最大数 デフォルト：1000 最大:10,000。10,000 を超える値を設定すると、すべて 10,000 として扱われます。 **ヒント:** この値がインジケーターに対して十分に高くない場合は、 パフォーマンスアナリティクス ソリューションの再設計を検討してください。
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.max_rows	チャート化のブレークダウン要素の数 デフォルト値：10
com.snc.pa.thresholds.frequency_intervals_in_the_past_limit	しきい値インジョブが分析する過去の頻度間隔の最大数 デフォルト値：2
com.snc.pa.scorecard.max_record_num	単一のインジケーターの アナリティクスハブ の [レコード] タブに自動的にロードされるレコードの数。レコードの数がこのプロパティの値を超えると、レコードは自動的にロードされません。この場合は、メッセージとすべてのレコードをロードするためのボタンがユーザーに表示されます。 デフォルト:50,000
com.snc.pa.breakdown_element_ui_max_records	アナリティクスハブ で使用廃止。ブレークダウンのためにフェッチされる要素数の制限。ルックアップフィールド (ブレークダウンダッシュ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
	ボード、旧詳細スコアカードなど) に使用されます。 デフォルト：100
com.snc.pa.target_batch_operation_limit	KPI 詳細にのみ適用：[ターゲット構成] ページで 1 回の一括アクションで挿入または更新できるターゲットの最大数。ターゲットの一括挿入または更新中にタイムアウトが発生する場合は、この制限を減らすことを検討してください。 デフォルト：100
com.snc.pa.widget.max_widget_indicators	ウィジェットに追加できるメインインジケーターに加えて、ウィジェットインジケーターの最大数 デフォルト値：7
com.snc.pa.widgets.respect_acl	インジケーターおよびブレークダウンの ACL に従って、ウィジェットの表示を制限します。true|false です。 • 新しいインスタンスのデフォルト:true • Quebec より前のアップグレード済みインスタンスのデフォルト:false

パフォーマンスアナリティクスのチャートプロパティ

ここでいう チャート とは、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットまたは アナリティクスハブのグラフィカルコンポーネントを指します。これらのプロパティはコア UI にのみ適用され、構成可能なワークスペースの可視化には適用されません。

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_line_color	傾向ラインとブレットグラフを含む、 アナリティクスハブ とウィジェットのスコアの色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.text.trendline_points_for.frequency	テキストアナリティクストレンド ラインに表示されるポイントの最大数 デフォルト値：30
com.snc.pa.default_chart_target_color	グラフ内のターゲットの色。 • 形式：16 進数 • デフォルト:#506163

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_personal_target_color	単一のインジケーターの アナリティクスハブ に表示される個人ターゲットの線の色。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_threshold_color	チャート内のしきい値の色。 • 形式：16 進数 • デフォルト:#506163
com.snc.pa.default_chart_personal_threshold_color	単一のインジケーターの アナリティクスハブ に表示される個人のしきい値の線の色。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_area_color0	グラフの最初のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.default_chart_area_color1	グラフの 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0
com.snc.pa.navigator_line_color	チャート ナビゲータの線の色。 • 形式：RGBA • デフォルト:106,183,239,1
com.snc.pa.navigator_area_color0	グラフナビゲーターの最初のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.25
com.snc.pa.navigator_area_color1	グラフナビゲーターの 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.5
com.snc.pa.navigator_mask_fill_color	アナリティクスハブ で廃止されました。 チャート ナビゲータのマスク塗りつぶし色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0.25

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.spark_line_width	チャートの線のピクセル幅。ワークベンチ ウィジェットでのみ使用されます。 デフォルト値：1
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.name_max_length	ブレークダウン ウィジェットにある凡例の要素名の最大数。 デフォルト：27

データコレクターのパフォーマンスアナリティクスプロパティ

データ コレクタのプロパティを使用すると、パフォーマンスアナリティクスのデータ収集のさまざまな制限を設定できます。このプロパティは、データ収集プロセスを保護するために設定されます。デフォルト値はほとんどの環境に適しています。

注:
これらの値を必要以上に増やさないようにしてください。実装によっては、これらの値の増加がパフォーマンスに影響を与える可能性があります。可能であれば、資産価値を高めるための代替ソリューションを見つけることができる可能性のあるドメインエキスパートまたは実装パートナーに相談してください。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.script_timeout	インジケーター ソース スクリプトやブレークダウン スクリプトなどのスクリプトをデータ収集サイクル中に実行できる最大時間 (秒)。 この制限は、データ収集ジョブによって処理されるレコードごとに個別に適用されます。スクリプトがこの制限を超えると、データ収集ジョブは現在のレコードをスキップします。 スクリプトが頻繁にデフォルトの制限に達する場合は、このプロパティを変更する前にスクリプトを可能な限り簡素化してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30
com.snc.pa.dc.query_time_limit	警告がログに記録される前にデータ収集ジョブの単一クエリを実行できる最大期間 (分)。 • タイプ：整数 • デフォルト値：60
com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source	単一のインジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。デフォルトの条件である最適化されたデータ収集が有効になっている場合は、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_sou* 参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるインジケーターソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けられたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーター ソースから 12 個のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 150,000 件のレコードを収集できます。各インジケーター ソースから 50,000 件です。 **警告:** • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーター ソースで上書きできます。この場合、行数が *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* の値よりも少なくても、個々のインジケーター ソースが収集されないことがあります。 • タイプ：整数 • デフォルト値：50,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source	単一インジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は、*com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* が適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるインジケーターソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けら

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	れたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーター ソースから 12 個のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 300 万件のレコード (各インジケーター ソースから 100 万件) を収集できます。 San Diego より後のバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータコレクターが有効になります。このプロパティは、*com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* を上書きします。*com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*の値が 100 万を超えない限り、新しいプロパティの値はデフォルトの 100 万に設定されます。後者の場合、元のプロパティ値は保持されます。 ⚠ 警告: • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーター ソースで上書きできます。この場合、行数が *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_s* の値よりも少なくても、個々のインジケーター ソースが収集されないことがあります。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit	各ブレークダウンソースのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超えると、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。 ℹ 重要: このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集については、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi* 参照してください。データ収集の最適化も参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	れます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのブレークダウンソースから 12 のブレークダウンのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 30,000 件のレコードを収集できます (各ブレークダウンソースから 10,000 件)。 ⚠ 警告: この制限を増やすと、ノードの処理負荷が増加します。 このプロパティは、ネストされたコレクションが有効かどうかによって処理が異なります。 ネストされたコレクションが有効になっている場合、null 以外のスコアを持つ要素のみがこの制限に対してカウントされます。カウントは、データ収集ジョブの実行時に取得されます。スコアのある要素の数がこの制限に達すると、ブレークダウンソースが無効になり、スコアがメモリから消去されます。 ネストされたコレクションが有効になっていない場合、ブレークダウンソースのすべての要素が制限に対してカウントされます。スコアが収集される前にカウントが取得されます。 100 万要素を含むブレークダウンソースにデフォルトの制限である 10,000 要素が適用され、そのうち 5,000 要素にスコアがある場合を考えてみましょう。ネストされたコレクションの下で、ジョブはこれらの 5,000 要素のスコアを収集します。ネストされたコレクションをオフにすると、ジョブはこのブレークダウンソースのスコアを収集しません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limit	ブレークダウンソースごとのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超えると、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は、*com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* が適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この制限は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用されます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この制限に影響しません。 デフォルトでは、ブレークダウン要素の数に制限は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを含むジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、 カスタマーサービス & サポート と相談して制限を設定することを検討してください。 San Diego より新しいバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータ収集が有効になります。このプロパティは、*com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* を上書きします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit	2 つのブレークダウンのマトリクスで許容されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、マトリクス内のブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集については、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_leve* 参照してください。データ収集の最適化も参照してください。 たとえば、デフォルトの制限が 100 万要素で、第 1 レベルのブレークダウンが 10,000 で、第 2 レベルのブレークダウンが 500 の場合、500 万要素のマトリクスは収集されません。第 1 レベルのブレークダウンに 1,000 個の要素しかない場合、結果の 500,000 個の要素が収集されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	注: この制限は、*com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* プロパティの影響も受けます。いずれかのブレークダウンソースがその制限を超えた場合、ブレークダウンマトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_level2_limit	2 つのブレークダウンのマトリクスで許容されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、ブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。「データ収集の最適化」を参照してください。 デフォルトでは、マトリクス内のブレークダウン要素の数に制限は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを含むジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、カスタマーサービス & サポート と相談して制限を設定することを検討してください。 **注:** この制限は、*com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi* プロパティの影響を受ける可能性があります。この制限が設定されている場合、いずれかのブレークダウンソースがその制限を超えた場合、ブレークダウンマトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
com.snc.pa.dc.max_error_count	データ収集が停止されるまでに単一のデータ収集ジョブ実行で発生できるエラーの最大数。 データ収集中のエラーは、通常、無効なスクリプトやスクリプトのタイムアウト制限が原因で発生します。 この制限が適用された場合は、データ収集中に実行されるすべてのスクリプトを調べて、スクリプトが有効であり、想定どおりに機能することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 500
com.snc.pa.dc.max_records	単一のスナップショット [pa_snapshots] レコードに保存される sys ID の最大数。収集されたスコアごとにスナップショットレコードが作成され、このレコードのフィールドには、スコアに寄与するレコードのすべての Sys ID が含まれます。この制限を超えると、最大数のレコードでスナップショットレコードが作成されます。この制限は、インジケーターに [レコードの収集] が選択されている場合にのみ適用されます。 たとえば、デフォルトの制限である 5,000 を使用していて、5,010 レコードがスコアに寄与するジョブを実行するとします。[sys_id] フィールドの最初の 5,000 個の sys id をカンマで区切ったリストを使用して、スナップショットレコードが作成されます。 一般には、デフォルトの限界値によって、収集されたレコードの十分な詳細が得られます。この制限を増やすと、データ収集中またはスナップショットテーブルで操作を実行する際のパフォーマンスに影響を与える可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 5000

収集されたスコアと**com.snc.pa.breakdown_element_cutoff**

選択した日付で アナリティクスハブ と KPI 詳細 に表示されるブレークダウンの要素は、要素の数と *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*の値によって異なります。

一般に、ブレークダウンの要素数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* を超えると、 アナリティクスハブ と KPI 詳細 には、これまでにスコアがあった要素のみが表示されます。

式インジケーターの場合、これまでにすべての貢献自動インジケーターのスコアを持つ要素が表示されます。これらのスコアは同じ日付である必要はありません。要件は、 各貢献指標について、ある日に要素のスコアがあったことだけです。

自動インジケーターの収集されたスコア (つまり、リアルタイム スコア以外のすべてのスコア) には、次の 2 つの動作があります。

- これまでにスコアを獲得した要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* で設定された制限を下回ると、選択した日付についてこれらの要素がすべて一覧表示されます。選択した日付のスコアがない要素も、その日付でリストされます。この動作は、リアルタイムスコアの動作と同じです。
- これまでにスコアがあった要素の数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* で設定された制限より大きい場合、選択した日付のスコア値または変更値を持つ要素のみがその日付に一覧表示されます。その日付のスコアまたは変更値がない要素は、他の日付のスコアがあるかどうかに関係なくリストされません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

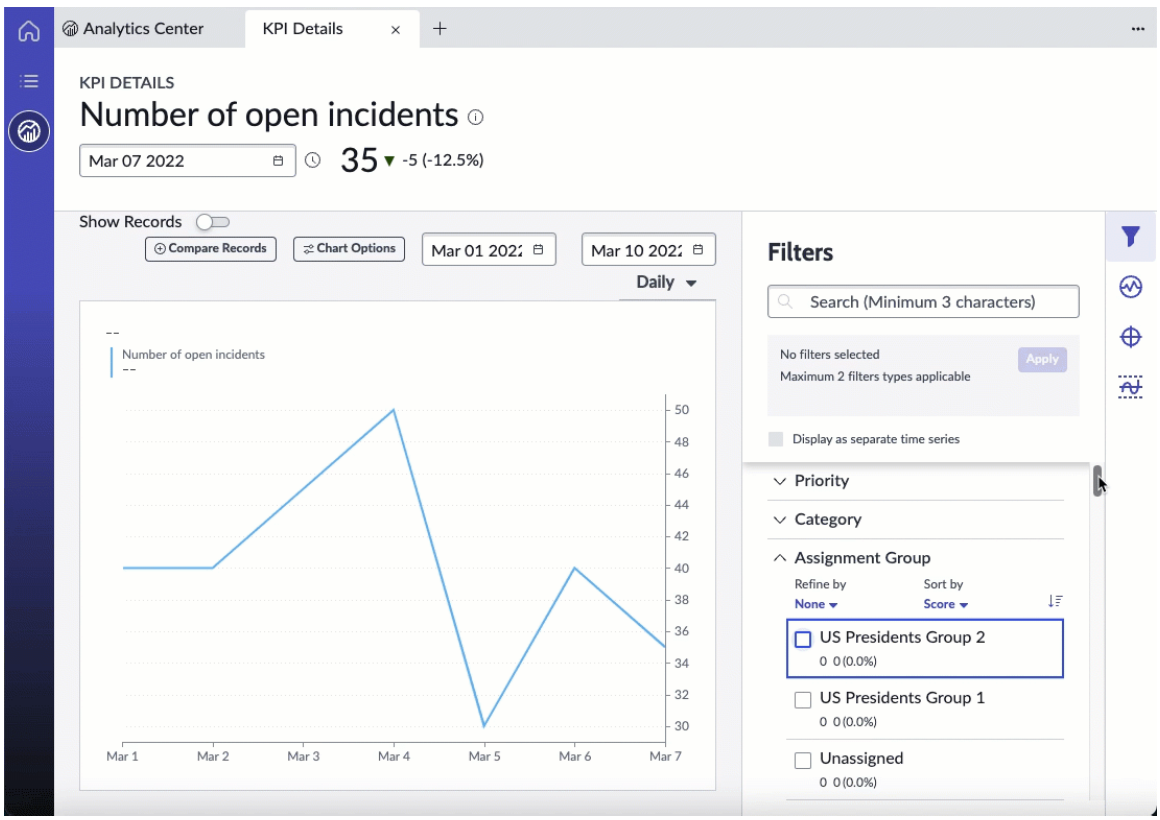
ヒント:

自動インジケーターの アナリティクスハブ または KPI 詳細 に null スコアの要素が表示されないようにするには、0 や 1 などの低い値を *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* に設定することを検討してください。ただし、リアルタイムスコアと式インジケーターでは、null スコアの要素が表示される場合があります。

Example: さまざまな**com.snc.pa.breakdown_element_cutoff**値の自動インジケーターに表示されるスコア

この例では、 KPI 詳細 を使用して、「オープンインシデントの数」インジケーターのアサイン先グループブレークダウンを調べます。この例で使用されているインスタンスのアサイン先グループブレークダウンには、50 弱の要素があります。

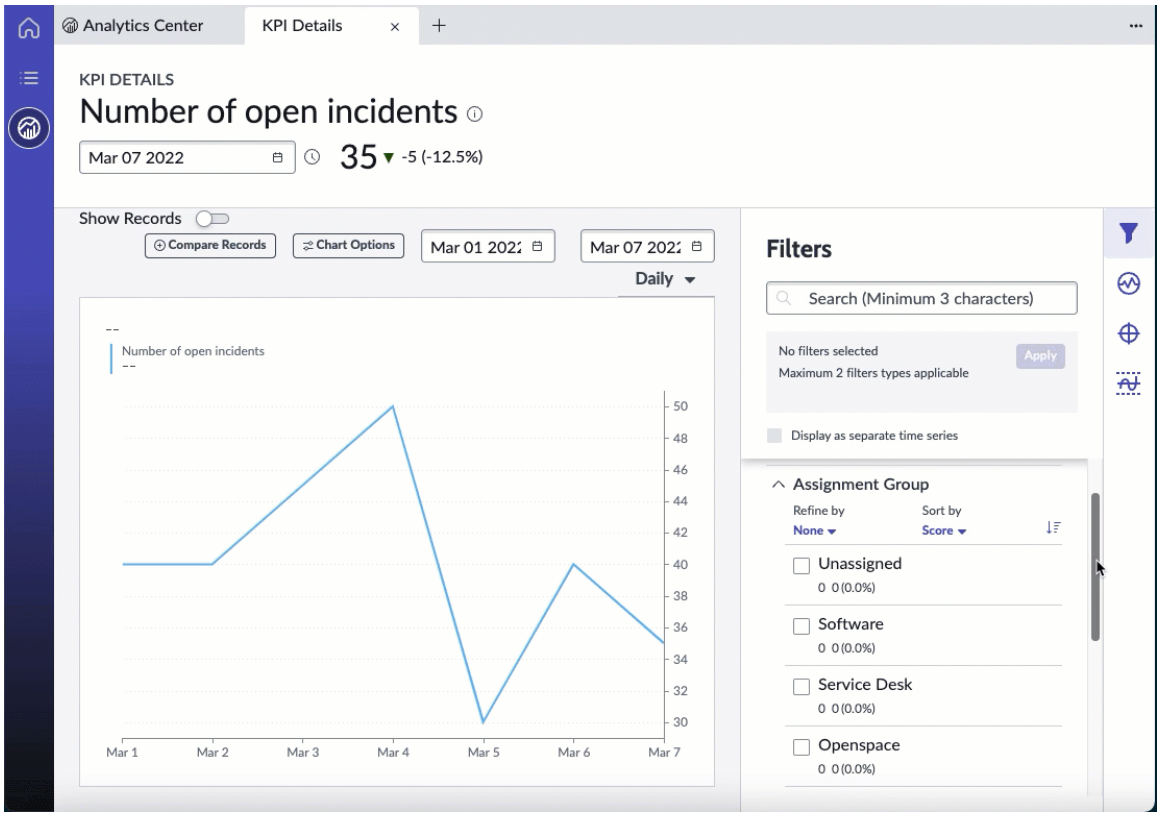
1 つ目はデフォルトのケースで、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=50 です。この値は、アサイン先グループの要素数よりも大きい値です。したがって、選択した日付について、ブレークダウングループのすべての要素が表示されます。



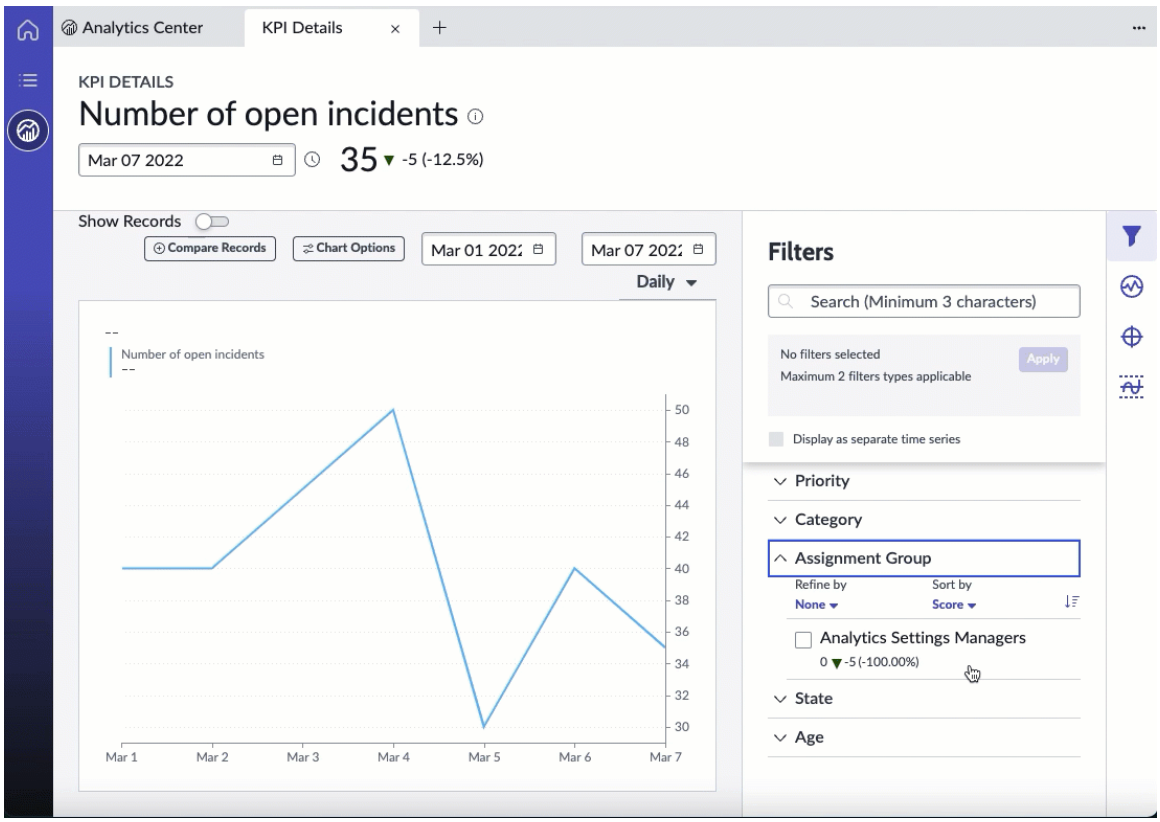
次のケースは、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=10の場合です。アサイン先グループブレークダウンの要素数がこの値をはるかに超えています。しかし、これまでにスコアを獲得したのは8つの要素だけです。この数値はカットオフ値の 10 より小さいため、任意の日付について、null の場合でも 8 つの要素すべてが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*=5の場合があります。この数は、これまでにスコアがあった要素の数よりも少なくなります。これで、選択した日付に null 以外の値または変更値を持つ要素のみがその日付に表示されるようになります。したがって、異なる日付に対して異なる要素が表示されます。

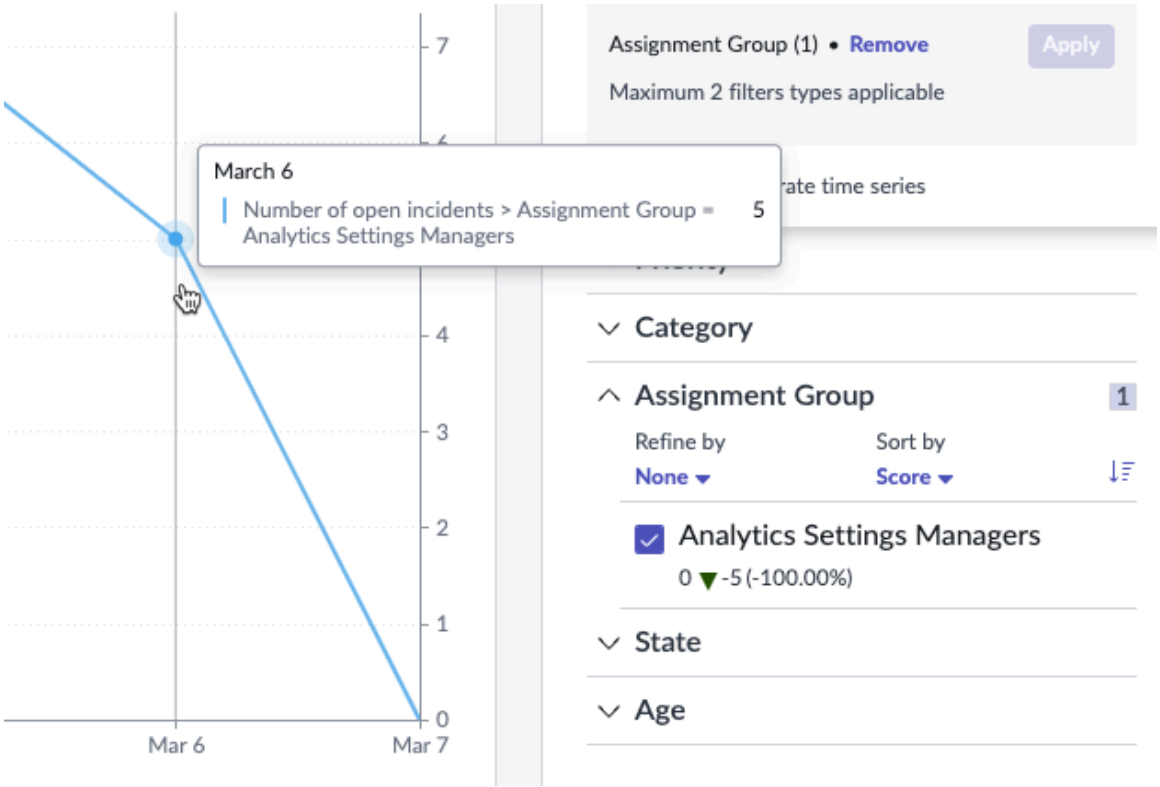


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

分析設定マネージャー要素は、null 値であるにもかかわらず、3 月 7 日について表示されます。前回の収集期間の値が 5 であったため、3 月 7 日の変更値が -5 であるために表示されます。



パフォーマンスアナリティクスの用語

ServiceNowプラットフォームには独自性があるため、パフォーマンスアナリティクスでは業界の標準とは異なる用語や概念を使用しています。

自動ブレークダウン

自動ブレークダウンは、テーブルの一連のレコードであるブレークダウン ソースに基づいています。ブレークダウンは、ブレークダウン要素と呼ばれるこれらのレコードを、インジケーターがスコアを収集するテーブルのフィールドとともにマッピングします。マッピングされたテーブルから収集したスコアは、マッピングされたフィールドやブレークダウン要素の値に基づいてグループ化、フィルタリングされます。

自動インジケーター

自動インジケーターは、インジケーターソースをデータセットとして使用します。インジケーター ソースは、テーブルまたはデータベース ビュー、そのソースからのレコードをフィルタリングするための条件、およびデータを表示する予定の頻度を指定します。インジケーターは、このデータに集計関数とオプションの条件を適用します。このインジケーターは、データコレクションジョブと適用するブレークダウンも指定します。

関連情報

- インジケーター (KPI)
- データベースビュー

ブレークダウン

優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性に基づくインジケータースコアのグループ化またはフィルター。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

ブレークダウン要素

インジケーター (KPI)

ブレークダウン要素

ブレークダウンの値。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。

関連情報

ブレークダウン

ブレークダウンマッピング

ブレークダウンマッピングは、ブレークダウンとインジケーターソースの関係を指定します。ブレークダウンマッピングは、インジケーター ソースのフィールドまたはインジケーター ソースをクエリするスクリプトのいずれかを参照します。

ブレークダウンソース

ブレークダウンソースの一意の値またはブレークダウン要素を構成する、テーブルビューまたはデータベースビューの一連のレコード。バケットグループを指定できます。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。

関連情報

ブレークダウン

ブレークダウン要素

バケットグループ

バケットグループ

ブレークダウン要素として機能できるテーブルフィールドがない場合に、連続データを個別のグループに収集します。たとえば、バケットグループはタイムスタンプ間の差異を取得し、それらを時間単位の期間に分割する場合があります。

貢献インジケーター

式インジケーターの式で使用されるインジケーター。貢献インジケーターは、自動インジケーターまたは式インジケーターにすることができます。

データベースビュー

データベースビューでは、レポートの目的でテーブルの結合を定義します。

たとえば、データベースビューはインシデントテーブルをメトリクスの定義テーブルに結合できます。このビューは、インジケーター ソースに使用できます。

データコレクター、データコレクションジョブ

1 つ以上のインジケーター ソースからデータを収集してインジケーター スコアを生成するスケジュール済みジョブ。

式インジケーター

1 つ以上の他のインジケーターから計算されたインジケーター スコアを生成します。式には、インジケーター スコアの他に、インジケーター スコアとインジケーター ターゲットの間のギャップなどの計算を含めることができます。

インジケーター **(KPI)**

定期的に取得されるビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動のパフォーマンス測定値。これらのパフォーマンス測定値では、時間とともに一連のインジケータースコアを得られます。企業はこれらのスコアを追跡し、現在の状況を測定し、傾向を予測します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケータースコア

特定の収集期間のインジケーターの値。自動インジケーターの場合、この値はデータ収集ジョブで計算されます。式インジケーターの場合、この値は複数の自動インジケーターで操作を実行して計算されます。

インジケーターソース

ServiceNow テーブルまたはデータベースビューから、共通の特性 (たとえば、[優先度] フィールド値が重大) を持つレコードのセットを定義します。インジケーターはインジケーターソースを使用してスコアを計算します。インジケータースコアは KPI 値です。インジケーターソースは、テーブル、フィルタリング条件、およびデータの収集頻度を指定します。

KPI

KPI は、インジケーターの同義語にすることも、インジケーターと特定のブレークダウン要素の一意の組み合わせを指すこともできます。

手動ブレークダウン

ブレークダウン ソースからのレコードを使用するのではなく、各要素のブレークダウン要素とインジケーター スコアを手動で定義するプロセス。

手動インジケーター

インジケーター ソースに関連付けられていないインジケーター。インジケーターのスコアは、データ収集ジョブによって自動的に生成されることはありません。代わりに、ユーザーは手動でスコアシートにスコアを追加して、これらのインジケーターを入力します。

スナップショット

これらのレコードのインジケータースコアが収集されるときに収集されるテーブルレコード (sys_ids) のリスト。

ターゲット

組織が達成したい目標を表す、将来期待されているインジケータースコア。ターゲットは、グローバルにすることも、1 人のユーザーに限定することもできます。

テクニカルダッシュボード

ダッシュボードライブラリから利用できる UI ビルダー ページ。ページはダッシュボードエディターで作成されますが、 UI ビルダーで入力されます。他のダッシュボードとは異なり、手動データソースとあらゆる種類の UIB コンポーネントをサポートしています。詳細については、「」を参照してください。

しきい値

インジケーターのスコアの通常範囲のユーザー定義の上限または下限。しきい値の違反とその方法 (スコアが常に高いか低いかなど) を通知するアラートを設定できます。

アナリティクスソリューション

多くのServiceNow® 製品では、データの可視化とパフォーマンスアナリティクスインジケーター (KPI) を備えたプラットフォームアナリティクスダッシュボードを備えたパッケージ済みソリューションが用意されています。これらのソリューションを使用して簡単に始めることができます。

ソリューション内の パフォーマンスアナリティクス

プラットフォームアナリティクス データの可視化では、 パフォーマンスアナリティクス インジケーター データを使用してデータを経時的に表示し、ビジネスプロセスの分析や改善が必要な領域の特定に役立ちます。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセット

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

プラットフォームアナリティクスソリューション には、デフォルトアプリケーションの分析に必要なすべての設定レコードが用意されています。本番環境で使用するために、これらのレコードをカスタマイズします。詳細については、次を参照してください。 構成 プラットフォームアナリティクスソリューション.

必要な パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメント

プラットフォームアナリティクスソリューションを有効にするには、関連するServiceNow製品でプラットフォームアナリティクスを使用するエンタイトルメントが必要になる場合があります。適切なエンタイトルメントがないと、パッケージがアクティブ化できないか、パッケージのデータ範囲が制限される可能性があります。たとえば、すぐに利用可能なカスタマーサービス管理 (CSM) -アドバンスト プラットフォームアナリティクスソリューション ソリューションを有効にするには、パフォーマンスアナリティクスカスタマーサービス管理 (CSM) を使用する資格が必要です。

パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを含まない プラットフォームアナリティクスソリューション には パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントは必要ありません。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化

利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション

以下のプラットフォームアナリティクスソリューションは、対応する ServiceNow パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントで利用可能です。ソリューションには追加料金はかかりませんが、基盤となるアプリケーションには適切なライセンスが必要です。

プラットフォームアナリティクスソリューションは、ダッシュボードと基礎となる パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを提供します。これらのダッシュボードは、 パフォーマンスアナリティクスを活用して、それぞれのプラットフォームアナリティクスソリューションがサポートする製品の価値を高めます。

一般的な パフォーマンスアナリティクス ソリューション

次の パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、有料の パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントで有効になります。

- 構成管理 (CMDB) (com.snc.pa.cmdb)
- ガイド付きツアーダッシュボード
- ナレッジ管理 (com.snc.pa.knowledge_v2)
- サービスデスク チャット (com.snc.pa.chat)

APM 向け パフォーマンスアナリティクス ソリューション

APM エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- プリケーションポートフォリオ管理と変更管理 (com.snc.pa.apm.change_request)
- アプリケーションポートフォリオ管理と 問題管理 (com.snc.pa.apm.problem)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)
- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)
- ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションは プロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

カスタマーサービスソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

カスタマーサービスエンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- 高度なワークアサインメント (com.snc.pa.awa)
- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- Communities (com.snc.pa.communities)
- カスタマーサービス (com.snc.pa.customer_service)
- カスタマーサービス管理 (CSM) - Advanced (com.snc.pa.customer_service_advanced) - カスタマーサービス管理 (CSM) の事前設定済みパフォーマンスアナリティクスインジケーターとブレークダウン。旧 OOTB カスタマーサービスパフォーマンスアナリティクスソリューションのコンテンツを備え、次の機能もサポートしています。
  - ケース管理
  - 重大な問題管理
  - カスタマーサービスケースアクションステータス
  - 要求管理によるカスタマーサービス
  - サービス管理によるカスタマーサービス
  - エージェントチャット
  - CSM 向け高度なワークアサインメント
  - パフォーマンスアナリティクス - Content Pack - 高度なワークアサインメント
- フィールド サービス管理(com.snc.work_management_pa)
- インシデント管理 (com.snc.pa)

  注:
  インシデント管理コンテンツは、パフォーマンスアナリティクスの 試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクス (com.snc.pa.self_service_analytics_csm)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> パフォーマンスアナリティクス をセルフサービスアナリティクスでカスタマーサービス管理 (CSM) 以外のアプリケーションで使用するには、「Self-Service Analytics」を参照してください 。

- 仮想エージェントコンテンツパック：この プラットフォームアナリティクスソリューションは、Quebec リリースから廃止されました。代わりに対話型アナリティクスダッシュボード を使用します。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

GRC エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、まず GRC：パフォーマンスアナリティクス プレミアム統合プラグインをアクティブ化します。次のソリューションをアクティブ化します。

- GRC: Audit Management
- GRC：ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC: Risk Management

人事リソース管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

人事リソース管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Content Analytics
- ヒューマンリソース (HR) 従業員ドキュメント管理スコープ対象アプリ (com.sn_hr_employee_files_pa)
- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象アプリ (com.sn_hr_pa)

> **注:**
> ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンのソリューション (com.snc.pa.hr_core) は不使用になりました。ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンを使用していて、そのソリューションプラグインを有効にする場合は、カスタマーサポートカスタマーサービス & サポート に連絡してください。

- ヒューマンリソース (HR) ライフサイクルイベントスコープ対象アプリ (com.sn_hr_lifecycle_pa)

ビジネス管理、ファイナンシャルマネジメント、およびサービス戦略ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

ビジネス管理向け パフォーマンスアナリティクス、財務管理向け パフォーマンスアナリティクス、サービス戦略向け パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントがある場合は、次のソリューションを有効にします。

- Agile 2.0 (sn_scrum_dashboard ServiceNow Store)
- Essential SaFE
- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- Application Portfolio Management の Financial Management (com.snc.pa.apm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)
- Financial Services Operations (sn_bom_pa)
- ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションはプロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

ITOM ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

IT 運用スイート向け パフォーマンスアナリティクス または IT Operations Management エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- ディスカバリ (com.snc.pa.discovery)
- イベント管理 (com.snc.pa.em)
- オペレーショナルインテリジェンス (com.snc.sa.metric.pa.content)
- サービスマッピング (com.snc.service-mapping.pa.content)

プロジェクトポートフォリオ管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

プロジェクトポートフォリオ管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションを有効にします：ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート(com.snc.financial_planning_pmo) 。New York 以降、このソリューションは、Project Portfolio Suite (com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。タイムカード管理のダッシュボードが含まれています。

セキュリティインシデントと **Vulnerability Response** ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

セキュリティインシデントレスポンスエンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- セキュリティインシデントレスポンス (com.snc.security_incident.analytics - in ServiceNow Store)
- 脆弱性対応 (com.snc.vulnerability.analytics - in) ServiceNow Store)

サービス管理 ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

サービス管理 エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- インシデント管理 (com.snc.pa)

  注:
  インシデント管理コンテンツは、パフォーマンスアナリティクスの 試用： 無料のインシデント管理向けパフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ITSM 予測インテリジェンスワークベンチダッシュボード - ITSM Pro SKU で利用可能な 予測インテリジェンス アプリケーションが必要です。
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)

ソフトウェア資産管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

サービス管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) ソリューションをアクティブ化します。

[セルフサービスアナリティクス] ウィジェットをダッシュボードまたはサービスポータルに追加

セルフサービスアナリティクスをインスタンスでアクティブ化してある場合は、セルフサービスアナリティクスウィジェットを パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードまたはサービスポータルに追加できます。インジケーターとブレークダウンの既製セットを取得するには、セルフサービスアナリティクス PA (`com.snc.pa.self_service_analytics`) プラグインをアクティブ化してください。セルフサービスインジケーターを パフォーマンスアナリティクス アドミンコンソールで検索して、ウィジェットを作成してダッシュボードまたはポータルに追加します。[SSA] セルフサービスアナリティクスデータコレクションジョブもアクティブ化します。

注:
カスタマーサービス管理 (CSM) カスタマーは、カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクスの プラットフォームアナリティクスソリューション をインストールできます。このソリューションには、追加のカスタマーサービス固有のインジケーターとブレークダウンに加えて、ウィジェットとダッシュボードが含まれています。詳細については、「カスタマーサービスのセルフサービスアナリティクス」を参照してください。

ITSM ダッシュボードソリューション

ITSM ダッシュボードプラグイン (com.snc.pa.itsm_dashboards) は、以下のソリューションと、一連の追加ダッシュボードをアクティブ化します。

- 変更管理 (com.snc.pa.change)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- 重大インシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 固定費 (fixed_costs snc)

ServiceNow Store® パフォーマンスアナリティクスコンテンツを含むアプリケーション

ServiceNow Storeの次のアプリケーションには、インジケーターのウィジェットを表示するダッシュボードなどのパフォーマンスアナリティクスコンポーネントが含まれています。

プラットフォームアナリティクスソリューションとは異なり、これらのアプリケーションにはスタンドアロン機能が含まれています。アプリケーションに含まれる パフォーマンスアナリティクス コンポーネントがこの機能をサポートしています。

パフォーマンスアナリティクスアドミニストレーターは、これらのアプリケーションで提供されるデータ収集ジョブを再スケジュールする必要がある場合があります。ほとんどのアプリケーションには履歴データコレクションジョブがなく、スケジュール済みジョブはデフォルトでアクティブになっています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
これらのアプリケーションにはライセンス要件がある場合があることに注意してください。ServiceNow Storeでアプリのエントリを確認します。

構成管理データベース アプリケーション

CSDM および CMDB データ基盤ダッシュボード

カスタマーサービスアプリケーション

- Conversational Analytics dashboard in Platform Analytics experience
- カスタマーサービス管理 (CSM) のワークフォース最適化

DevOps アプリケーション

DevOps Insights

Employee Service Management (従業員サービス管理 **(ESM)**)

セーフワークプレイスダッシュボード

IT Asset Management アプリケーション

クラウドインサイト

戦略的ポートフォリオ管理 **(SPM)** アプリケーション

Strategic Spend Tracking for PPM

IT Operations Management (ITOM) アプリケーション

Firewall Audits and Reporting

IT Service Management アプリケーション

- コーチング
- Continual Improvement Management (継続的改善管理)
- オンコールスケジューリング
- サービスポートフォリオ管理 Premium (Service Owner Workspace)

AI エクスペリエンスアプリケーション

NLU ワークベンチ

ガイド付きセットアップを使用したソリューションのアクティブ化

製品に パフォーマンスアナリティクス ガイド付きセットアップがある場合は、そのガイド付きセットアップを使用して、関連するアナリティクスおよびレポートソリューションを迅速かつ一貫してアクティブ化して構成します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクス ガイド付きセットアップでは、関連製品のアナリティクスおよびレポートソリューションを有効にしてテストする手順を説明します。ガイド付きセットアップを完了すると、 アナリティクスハブ および事前構成されたソリューションダッシュボードでデータを収集し、インジケータースコアを表示できます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

ソリューションにガイド付きセットアップを使用できない場合は、プラグインリストからそのソリューションをインストールできます。ソリューションがプラグインリストにない場合は、ServiceNow Storeで探します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > **Guided Setup**.
   パフォーマンスアナリティクス アドミンコンソールからガイド付きセットアップを実行することもできます。
2. **[Get Started** (開始する)] を選択します。
3. インシデントやカスタマーサービスなど、ソリューションをセットアップするアプリケーションまでスクロールします。
4. プラグインがまだ有効でない場合、ソリューション プラグインを有効にするまでガイド付き設定はロックされます。

   注:
   これらの手順を実行するには、admin ロールが必要です。

   a. [プラグインを表示] を選択します。

   b. [アクティブ化/アップグレード] 関連リンクを選択します。

   c. **[Activate** (アクティブ化)] を選択します。
   パフォーマンス分析ソリューション プラグインを有効にすると、関連付けられているアプリケーションのプラグインも有効になります (有効でない場合)。たとえば、パフォーマンス分析 - コンテンツパック - カスタマーサービス プラグインを有効にすると、カスタマーサービス プラグインが有効になっていない場合は有効になります。

   d. プラグインが有効になったら、プラグイン ウィンドウを閉じてガイド付き設定に戻ります。

5. 設定するアプリケーションで [開始] を選択します。
6. ガイド付き設定の手順に従って、インジケーター、ブレークダウン、ウィジェット、ダッシュボードなどの提供されたレコードをレビューし、パフォーマンス分析スコアの収集を開始します。
   各ステップを実行すると、右側の [ヘルプ] メニューに追加情報が表示されます。

関連情報

ガイド付きセットアップの使用

プラグインのリスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードのインストール

ソリューションライブラリを使用して、ダッシュボードとそれに関連するすべての可視化 (ウィジェットやレポートなど) のインストール、および既存のダッシュボードの構成を行います。

始める前に
必要なロール:pa_admin。

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクスソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

同じダッシュボードで使用される他のレコードに影響を与えずに、ウィジェットなどのダッシュボードからソリューションメタデータレコードを再インストールするには、「 単一のソリューションメタデータレコードのインストール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.
2. インストールするダッシュボードを選択します。

   ソリューションライブラリで提供されるダッシュボードは、インジケーター、インジケーターソース、またはその他の設定レコードに依存する場合があります。ソリューションライブラリのコンテンツには、関連付けられた可視化と構成のコンテンツが常に含まれています。
3. [インストール] をクリックします。
4. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。
   確認後、インストールが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウは閉じますが、進行中のインストールは停止されません。
   インストールが完了すると、確認ウィンドウが消え、[インストール済みメタデータ] 関連リストにインストールされたレコードが入力されます。

次のタスク
ダッシュボードに移動して、データの分析を開始します。

関連情報
プラグインを有効にする

ダッシュボードのアップグレード

ダッシュボードをアップグレードすると、ダッシュボードに追加された新しいレコードを含む、更新可能なソリューションメタデータがインストールされます。カスタマイズしたソリューションメタデータレコードは、新しいリリースで更新された場合でも影響を受けません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクスソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

手順

1. 次のように移動する。 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.
   [更新可能] フィールドが true のレコードはアップグレードできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. アップグレードするダッシュボードを選択します。
3. [ソリューション メタデータ] 関連リストをレビューします。
   [アップグレード] をクリックすると、update_available = true のソリューションメタデータレコードがインストールされます。以前にカスタマイズしたレコードは上書きされません。
4. [アップグレード] をクリックします。
   [アップグレード] ボタンは、少なくとも 1 つのソリューションメタデータレコードに利用可能な更新があり、ソリューションコンテンツが少なくとも 1 回インストールされている場合に使用できます。
5. 確認ウィンドウで、[アップグレード] をクリックします。
   確認後、アップグレードが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウは閉じますが、進行中のアップグレードは停止しません。

タスクの結果
新しいダッシュボードレコードがダッシュボードに追加されます。カスタマイズされていないダッシュボードレコードへの更新が適用されます。カスタマイズしたダッシュボードレコードは変更されません。

次のタスク
ソリューションコンテンツのインストール後にダッシュボードが期待どおりに表示されない場合は、アンインストールされたレコードが顧客アップデートテーブルに表示されるかどうかを確認してください。このテーブルのアンインストールされたレコードは、以前にカスタマイズされています。顧客アップデートテーブルを表示するには、フィルターナビゲーターに「sys_update_xml.list 」と入力します。

単一のソリューションメタデータレコードのインストール

ウィジェットなどのダッシュボードで使用される単一のソリューションメタデータレコードをインストールして、同じダッシュボードで使用される他のレコードに影響を与えることなく、最新バージョンのレコードと一致させます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボード全体とすべての関連レコードをインストールするには、「 ダッシュボードのインストール」を参照してください。

注:
レコードをインストールしても、そのレコードに加えたカスタマイズは上書きされません。

利用可能なソリューションメタデータタイプ:

- ブレークダウン
- ブレークダウンソース
- バケットグループ
- ダッシュボード
- ダッシュボードグループ
- フィルター
- インジケーター
- インジケーターのソース
- 権限

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- レポート
- レポートソース
- スケジュールされたデータ収集
- スクリプト
- タグ
- ウィジェット

手順

1. 次のように移動する。 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.
2. インストールするレコードを使用するダッシュボードを選択します。
3. [ソリューションメタデータ] 関連リストで、インストールするレコードを選択します。
4. [インストール] をクリックします。
5. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。

アナリティクスおよびレポートソリューションダッシュボードの複製

プラットフォームアナリティクスソリューションダッシュボード (タブ、ポータルページ、キャンバスレコードを含む) をコピーします。ダッシュボードのウィジェットは複製されません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボードを複製することで、他のコピーに影響を与えることなく、一方のコピーを変更またはアップグレードできます。

> **注:**
> ダッシュボードを複製しても、ダッシュボードに表示されるウィジェットは複製されません。他のダッシュボードに影響を与えることなく、1 つのダッシュボード コピーからウィジェットを再配置または削除できます。ただし、ウィジェット レコードを変更すると、元のダッシュボードと複製の両方が影響を受けます。

プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれていないダッシュボードをコピーするには、「レスポンシブ ダッシュボードの管理」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション.
2. [ソリューション] リストで、コピーするダッシュボードの名前をクリックします。
3. ソリューションフォームで、 ダッシュボードの複製 アイコン ( ) をクリックします。
4. ダッシュボードを複製することを確認します。

タスクの結果
ダッシュボードのコピーが、「(元のダッシュボード名) のコピー」という名前で作成されます。ダッシュボードの概要で表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスソリューション の構成

プラットフォームアナリティクスソリューション は、 Now Platform データをテーブルとフィールドの標準セットに保持するように構成されています。別のフィールドを使用している場合は、正しい場所を指すようにソリューションを構成します。

ヒント:
プラットフォームアナリティクスソリューションを構成するための出発点として、パフォーマンスアナリティクス管理コンソールを使用すると便利な場合があります。管理コンソールから、次のアクションを実行できます。

- プラグインリストから、またはガイド付きセットアップ (利用可能な場合) を使用して、ソリューションをアクティブ化します。(ServiceNow Store でのみ利用可能なソリューションを管理コンソールからアクティブ化することはできません)。
- このインスタンスで パフォーマンスアナリティクス が完全にアクティブ化されているかどうかを確認します。
- 診断を実行します。
- 構成する KPI を検索します。
- 依存関係アセスメントを使用して、ソリューションの関連 インジケーター、 ブレークダウン、およびソースを検索します。

詳細については、「パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール」を参照してください。

診断を実行

プラットフォームアナリティクスソリューションをインストールしたら、すべてのレコードに対して診断を実行の説明に従って、すべてのレコードに対してすべての診断を実行します。これらの診断では、プラットフォームアナリティクスソリューション とテーブルの構成間の不一致が多数検出される可能性があります。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

デフォルトでは、システムアドミニストレーターは、プラットフォームアナリティクスソリューション内のデータコレクションジョブの実行ユーザーです。このユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っていることを確認します。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。ドメインセパレーションを有効にしている場合は、各ドメインで適切な 実行 ユーザーを設定してください。

インジケーター ソースをレビュー

パフォーマンスアナリティクスを有効にする各アプリケーションで、探しているデータが含まれているフィールドを決定します。

始める前に
エンタイトルメントに応じて パフォーマンスアナリティクス を有効にしました。また、関連するアナリティクスおよびレポートソリューションもインストールし、診断を実行しておきます。

必要なロール：pa_admin、admin

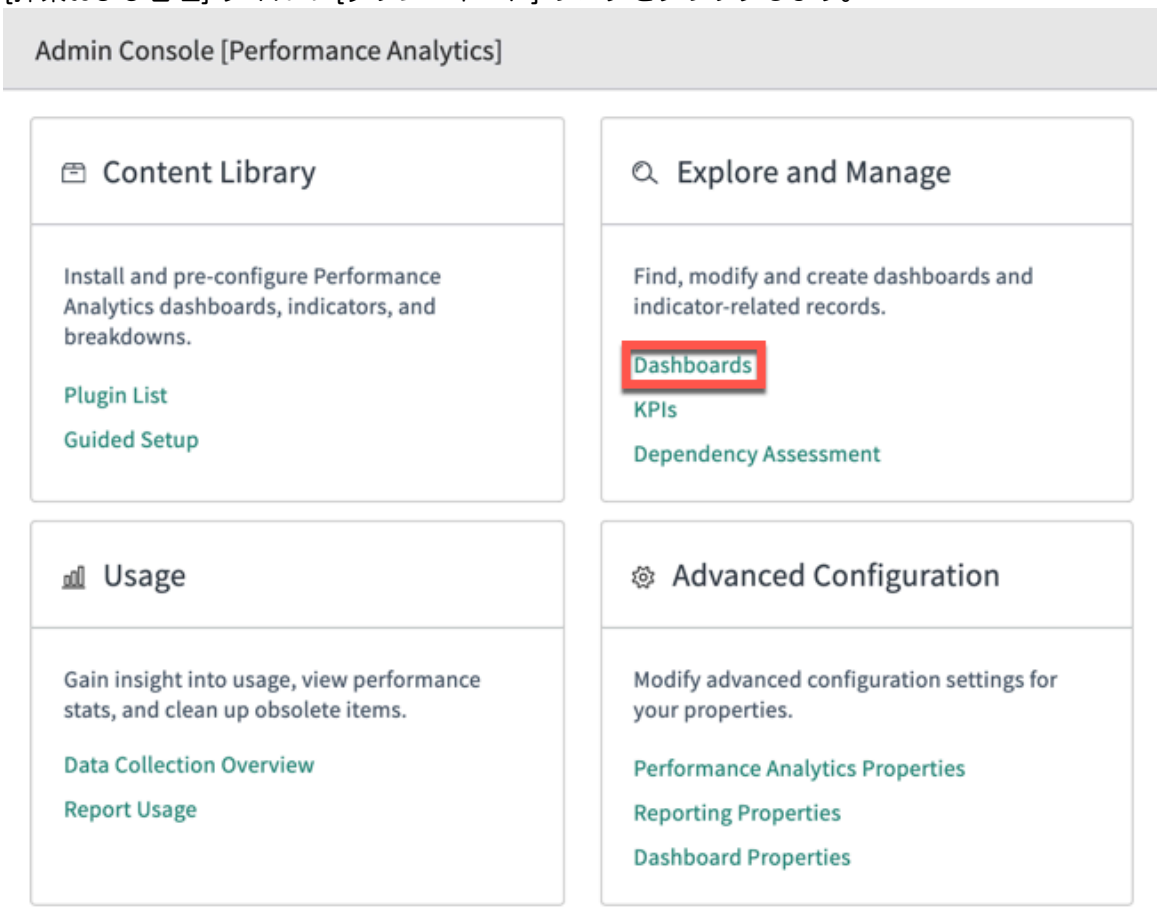
このタスクについて
含まれているインジケーターソースが プラットフォームアナリティクスソリューション プロセスのパフォーマンスを測定するための正しいフィールドを指していることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.
2. [探索および管理] タイルの [ダッシュボード] リンクをクリックします。



3. このプラットフォームアナリティクスソリューションとともにインストールされているダッシュボードの名前を確認します。
4. [インジケーターソース] タブを開きます。
5. この プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれる各ダッシュボードで、以下のことを行います。

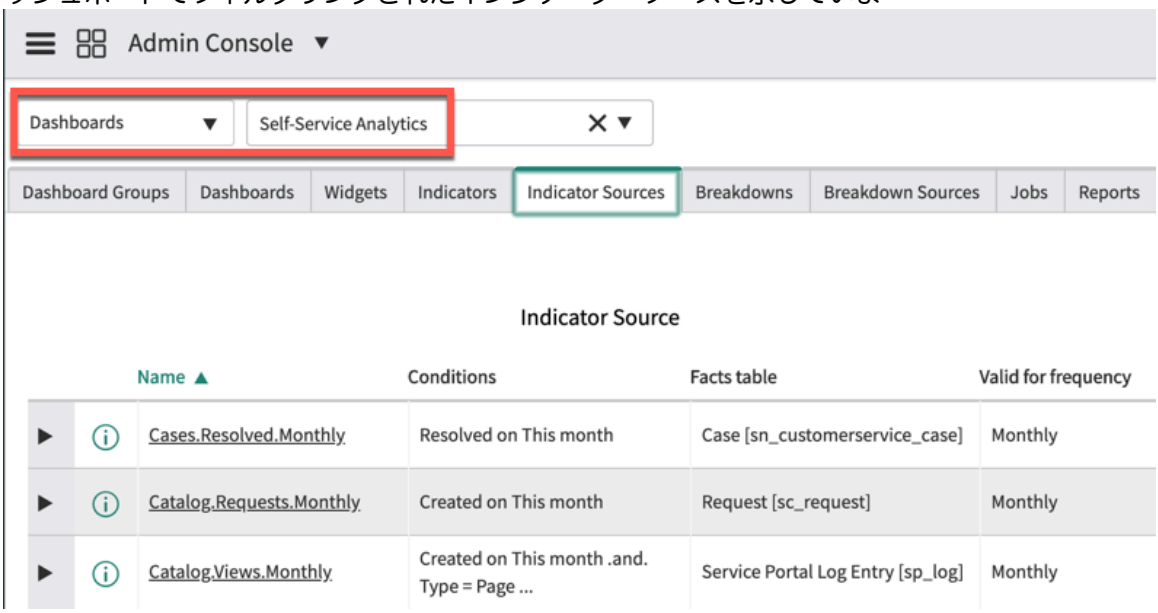
   a. ダッシュボード名のインジケーターソースをフィルタリングします。

   Example
   このスクリーンショットは、CSM のセルフサービスアナリティクス プラットフォームアナリティクスソリューションからセルフサービスアナリティク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スダッシュボードでフィルタリングされたインジケーターソースを示していま



す。

b. インジケーターソースのファクトテーブル、条件、および頻度を、使用中のインスタンスのデータ構造と比較して確認します。

> **重要:**
> 条件の [解決済み]、[オープン]、[作成済み] などのタイムスタンプフィールドに特に注意してください。別のタイムスタンプフィールドを使用することが必要になる場合があります。

c. 必要に応じて、インジケーターソースを開き、修正します。

d. インジケーターソースレコードを編集している場合は、[インジケーター] 関連リストに移動し、各インジケーターの [条件] フィールドを確認します。
インジケーターソースを変更すると、個々のインジケーターの追加条件にも影響を与える可能性があります。

e. [更新] をクリックして変更を保存します。

関連情報

インジケーターソース

パフォーマンスアナリティクススクリプトの更新

プラットフォームアナリティクスソリューション レコードの計算を実行するための パフォーマンス アナリティクス スクリプトを含めます。これらのスクリプトは、インジケーター ソースのタイム スタンプ フィールドを使用します。インジケーター ソースのタイム フィールド スタンプを変更する場合は、関連するスクリプトも変更します。

始める前に

> **重要:**
> プラットフォームアナリティクスソリューション内のインジケーターソースを更新しなかった場合は、このタスクをスキップします。

必要なロール：pa_admin、admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

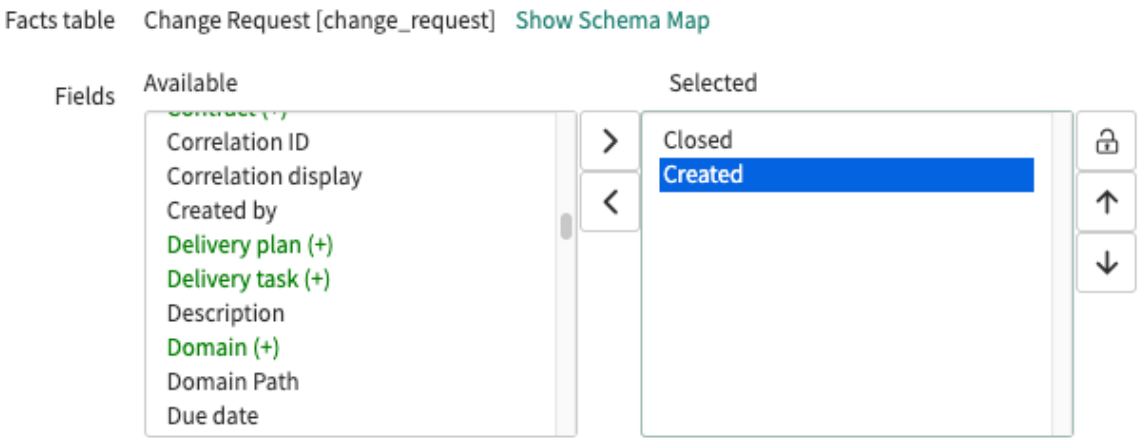
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 自動化 > スクリプト.
2. スクリプトをクリックすると、その詳細が開きます。

   Example
   たとえば、Change.CloseTime.Hours スクリプトレコードには次のスクリプトが含まれています。

   ```
   var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
   var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
   hours(current.opened_at, current.closed_at);
   ```

3. [ソース] セクションで、フィールドのリストの横にあるロックアイコンをクリックします。 [フィールド] セレクターが開きます。
4. 目的のフィールドをスクリプトに対して 選択 されているフィールドに移動し、適切でないフィールドを削除します。

   Example
   たとえば、組織で [作成された タイムスタンプ] フィールドを使用して新しい変更を定義している場合は、[オープン] を [作成済み] に置き換えます。

5. [スクリプト] フィールドで、使用されていないフィールドへの参照を、選択したフィールドへの参照に置き換えます。

   Example
   この例では、[オープン] フィールドへの参照が [作成済み] への参照に置き換えられます。

   ```
   var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
   var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
   hours(current.opened_atcurrent.sys_created_on, current.closed_at);
   ```

6. [更新] をクリックして変更を保存します。

ブレークダウンソースをレビュー

ブレークダウンソースは、KPI をより詳細に調べるために使用する要素を表します。ブレークダウンソースを変更して、要素リストをデータ分析に意味のあるアイテムのみに制限します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
たとえば、アサイン先グループの自動ブレークダウンはグループブレークダウンソースを使用します。このブレークダウンソースは、インスタンス内のすべてのアクティブなグループを返し、システムはこれらすべてのグループを使用してデータを調べます。[Number of Open Changes] インジケーターと [Assignment Group] ブレークダウンを確認すると、実際に変更要求に取り組んでいるグループだけでなく、インスタンス内のすべてのグループが表示されます。

ブレークダウンソースが返す要素の数を制限することには、次のメリットがあります。

- 要素リストを小さくすると、コンシューマーが必要なデータを見つけやすくなります。特定のプロセスに関連付けられた 25 のグループのリストをソートする方が、何千ものグループをソートするよりも簡単です。
- 要素リストが小さいほど、データ収集が少なくなり、データをより効率的に使用できます。データコレクターが1,000の異なるグループを処理する代わりに、データコレクターはプロセスにとって意味のある25のグループを分析できます。

注:
プラットフォームアナリティクスソリューションでブレークダウンソースを変更する必要はおそらくありません。ただし、プロセスで測定されている内容を正確に確認して理解することが役立つ場合があります。

手順

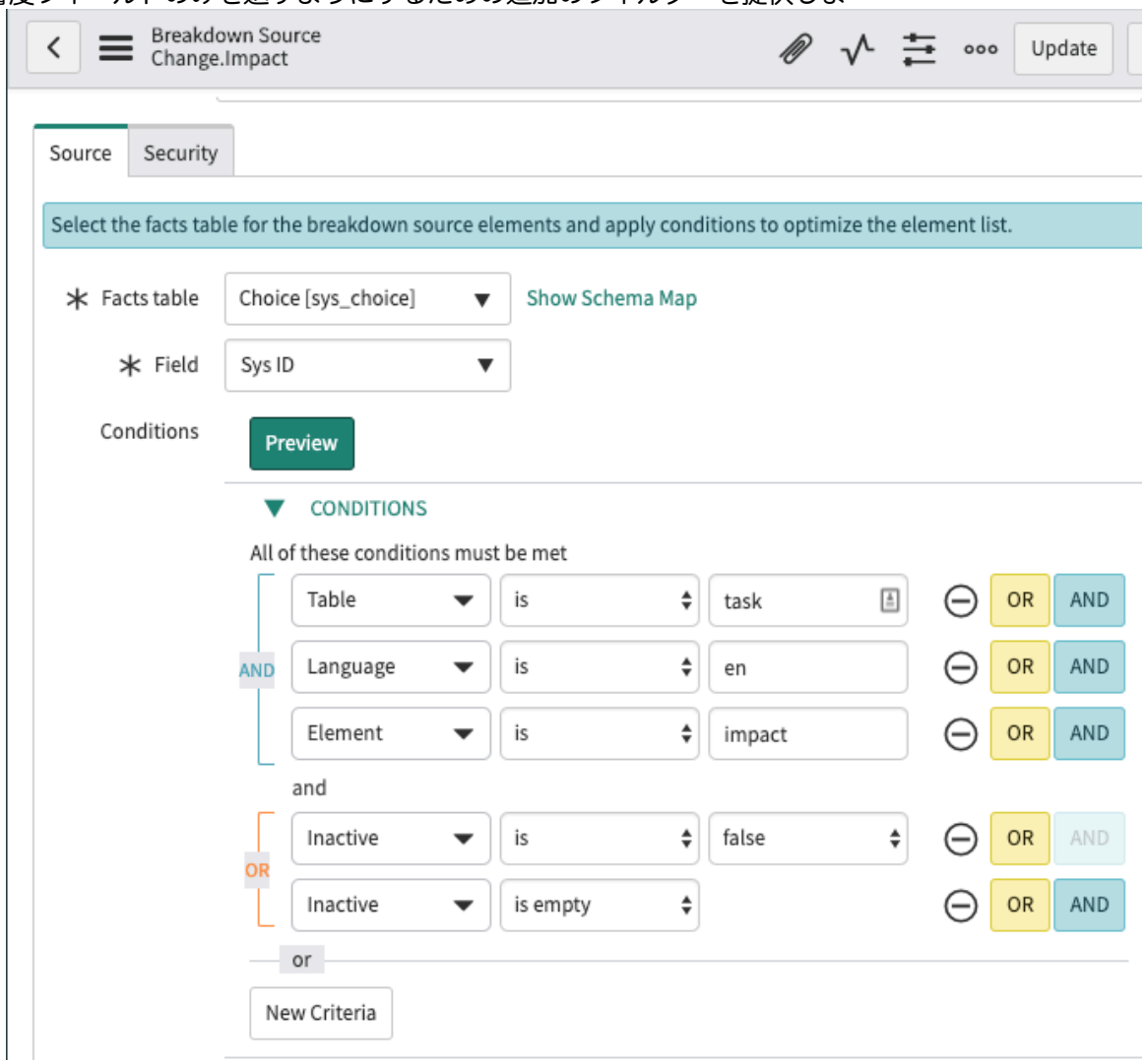
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ソース > ブレークダウンソース.
2. ブレークダウンソースをクリックすると、その詳細が表示されます。
3. [ソース] タブで、sys_idsの一意のリストを含むテーブルなど、ブレークダウン要素の定義を確認します。

Example
たとえば、Change.Impact ブレークダウンソースでは、[変更要求の影響度] フィールドに含まれる一意の値は、選択肢 [sys_choice] テーブルから取得されます。これらの条件は、クエリが選択肢 [sys_choice] テーブルの変更の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

影響度フィールドのみを返すようにするための追加のフィルターを提供しま



す。

4. [プレビュー] をクリックして、クエリが返す要素の数を確認します。

Example
この例では、クエリは 3 つの影響要素を返します。

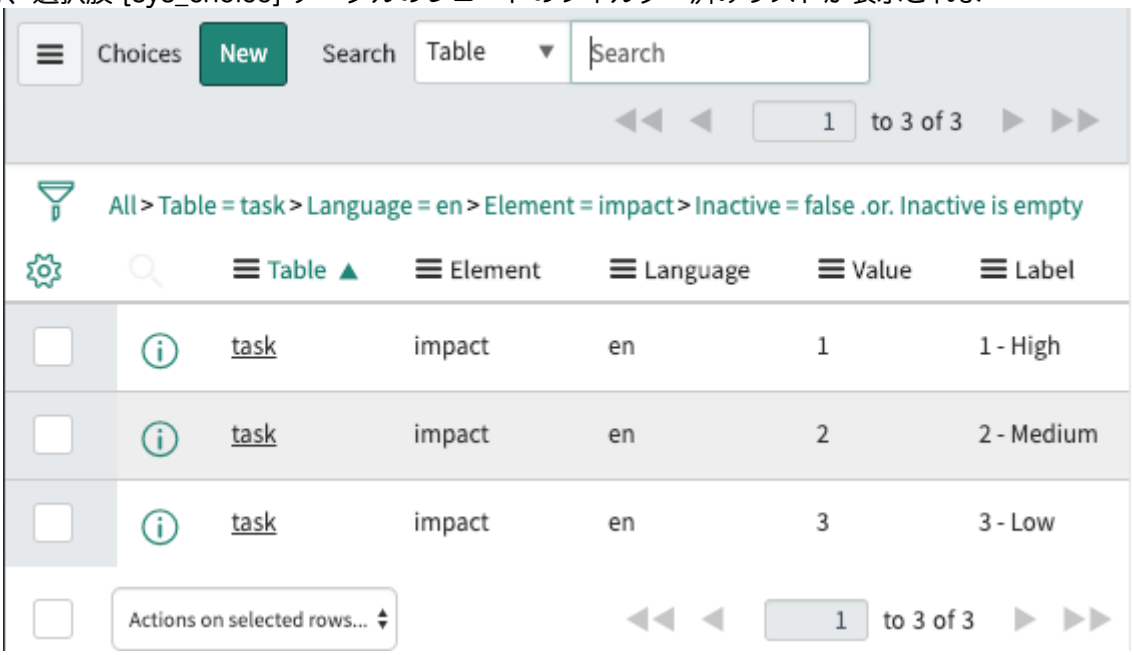


5. [**x** レコード一致条件] をクリックして、クエリが返した特定の値を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
この例では、[**3** つのレコード一致条件] をクリックすると、新しいブラウザータブが開き、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードのフィルター済みリストが表示されます。



6. レコードリストが、ブレークダウン要素リストで表示される予定と一致していることを確認します。
7. レコードが期待していたものではなかった場合は、ご使用の環境に合わせてブレークダウンソースの [ソース] タブの条件を変更し、満足するまでステップ 4 ～ 6 を繰り返します。
8. [更新] をクリックして変更を保存します。

次のタスク
これで、「 のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューション」で説明されているように、データを収集する準備ができました。

関連情報

ブレークダウン ソースの定義

のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションをインストールし、インスタンス内の正しいデータ構造を指していることを確認したら、インジケーターとブレークダウンのデータを収集します。

プラットフォームアナリティクスソリューションをアクティブ化するたびに、そのソリューションのデータコレクタージョブが自動的にインストールされます。これらのデータコレクタージョブは、ソリューションのインジケーターとブレークダウンの分析情報を収集します。ジョブの実行後、ソリューションのウィジェットとダッシュボードでデータを確認できます。技術的には、データコレクタージョブは次のアクションを実行します。

- 定期的に、通常は毎日実行します
- 運用テーブルの読み取り
- インジケーターとブレークダウンで指定されている定義に照らして期間 (通常は 1 日) のデータを測定します
- 結果の測定スコアと (オプションで) 生データを パフォーマンスアナリティクス テーブルに保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスソリューションのプラグインまたはServiceNow Storeアプリケーションは、通常、次の 2 つのジョブをインストールします。

履歴データ収集

プラットフォームアナリティクスソリューションを初めてインストールするときは、履歴データコレクタージョブを実行します。デフォルトでは、履歴データコレクタージョブは、ジョブで指定されたインジケーターの過去 60 日間のデータを収集します。さらに時間をさかのぼる場合は、より多くの履歴データを収集するようにジョブを設定できます。履歴データコレクタージョブは、収集期間中のすべてのデータを上書きします。そのため、 プラットフォームアナリティクスソリューション を初めてインストールするときは、一度だけ実行してください。後続のすべてのデータに対して定期的なデータコレクタージョブを実行します。

定期的なデータ収集 (通常は毎日)

このジョブは、今後のデータを パフォーマンスアナリティクス テーブルに入力します。定期的なデータ収集を、データを収集するインジケーターの頻度と同じ周期で実行するようにスケジュールします。ほとんどのインジケーターの頻度は日次であるため、ほとんどのデータコレクタージョブも毎日実行されます。ジョブをスケジュールした後、アクティブであることを確認します。そうしないと実行されません。

関連情報

インジケーター スコアの収集

の履歴データ収集の実行 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションをアクティブ化した後、履歴データコレクションジョブを実行します。このジョブでは、既存のデータからすぐにインサイトを得ることができます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. 「Historic」という単語を含むジョブのリストをフィルタリングします。
3. 新しい プラットフォームアナリティクスソリューションに対応する履歴ジョブを見つけて開きます。
4. [コレクション パラメーター] セクションに移動し、[開始日 (相対)] フィールドと [開始日 (相対) 間隔] フィールドを設定して、必要なだけさかのぼってデータを収集します。
   データコレクターは、フォームで指定された日数 (またはその他の収集期間) に等しい回数実行されます。たとえば、デフォルト構成の 60 日では、データコレクターが 60 回連続して実行されます。データコレクターは T-60 日目から開始し、すべてのレコードを 60 日前の日付として調べます。これらのレコードを処理した後、データコレクターは T-59 日に再度実行されます。データコレクターは、現在の日付に達するまでプロセスを繰り返します。

   テーブルのサイズによっては、毎日の収集が完了するまでに1～2分かかる場合があります。複数か月にわたる履歴データ収集は、完了するまでに時間がかかる場合があります。

   プラットフォームアナリティクスソリューションをインストールした製品またはアプリケーションが新しい場合は、履歴データがあまりない可能性があります。この場合、相対開始間隔を短くすることができます。製品またはアプリケーションをまだ使用していない場合は、履歴データの収集を完全にスキップできます。
5. [別のユーザーとして実行] フィールドに指定されたユーザーが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションを使用している場合は、[別のユーザーとして実行] ユーザーが表示できるドメインのレコードのみを収集します。ただし、 実行ユーザーの ACL 権限はデータ収集には影響しません。

6. 実行時のタイムゾーンが会社に適していることを確認します。
   このインジケーター ソースに基づくデータベース クエリは、このタイムゾーンを使用します。このタイムゾーンは、データ収集ジョブのタイムスタンプに影響します。このタイムゾーンは、[[作成日][日付][今日]] などの条件で「今日」の曜日も定義します。
7. [今すぐ実行] をクリックして、スケジュール設定済みジョブを実行します。
8. 次のように移動する。 データコレクター > ジョブ履歴.
9. 実行中の ジョブのステータスを確認します 。
   ジョブが完了するまで、定期的にビューを更新します。ジョブが成功すると、 ステータス が [収集済み] に変わります。

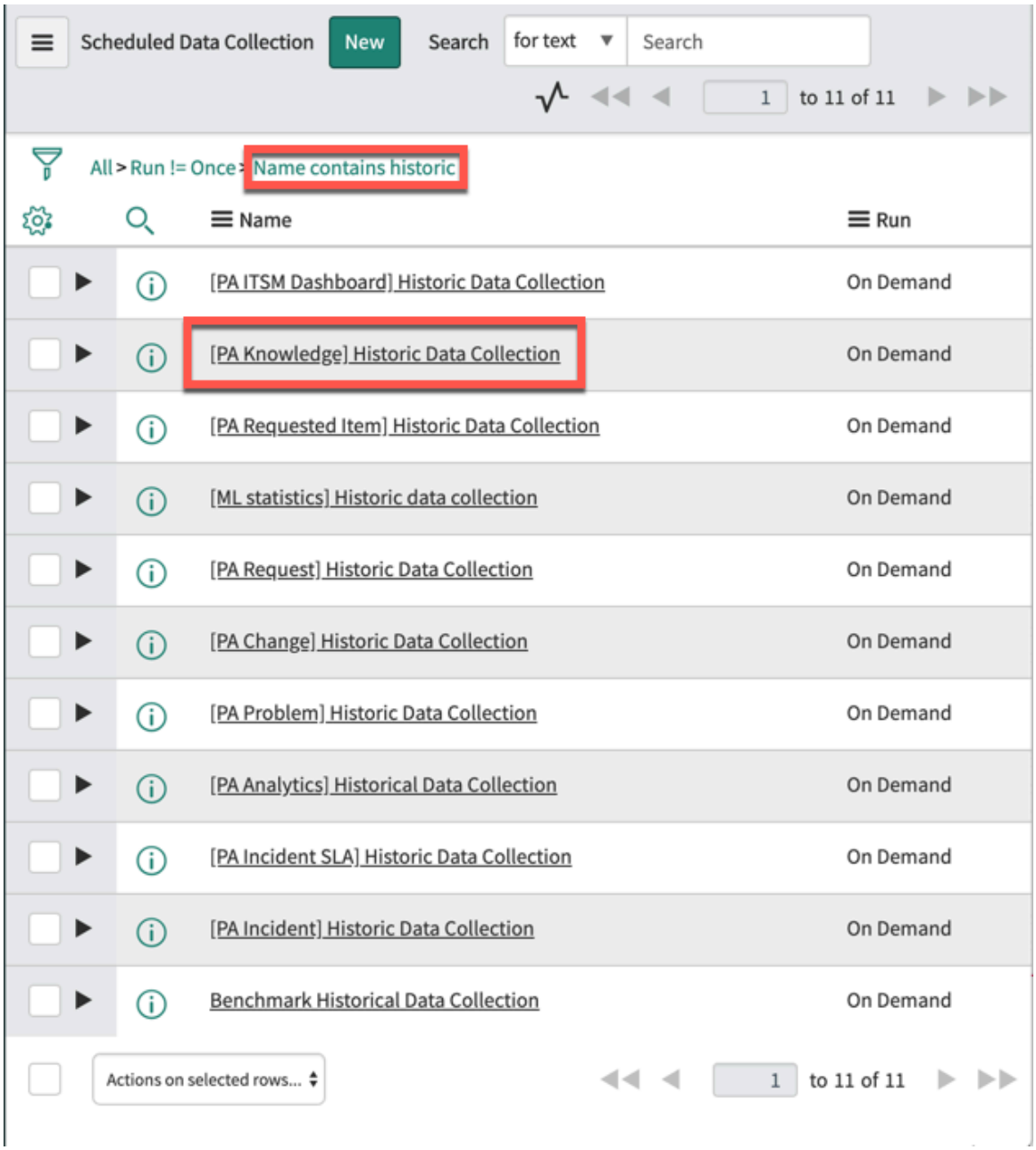
Example: 新しくインストールされた履歴データの収集 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションのセットをインストールしました。最初の履歴データコレクションジョブを実行する必要があるため、 パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.プラットフォームアナリティクスソリューションの履歴ジョブを検索するには、[[名前][含む][履歴]] でリストをフィルタリングします。

ヒント:
独自の履歴データコレクタージョブの作成を開始するときは、名前に「履歴」という単語を含めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

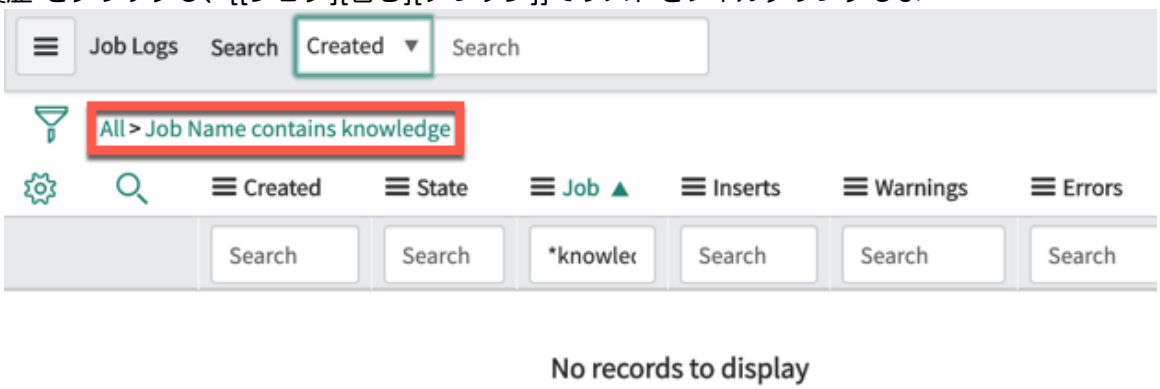


最初にナレッジ管理ソリューションのジョブを実行することにします。ナレッジ管理履歴ジョブをまだ実行していないことを確認するには、 データコレクター > ジョ

自動翻訳

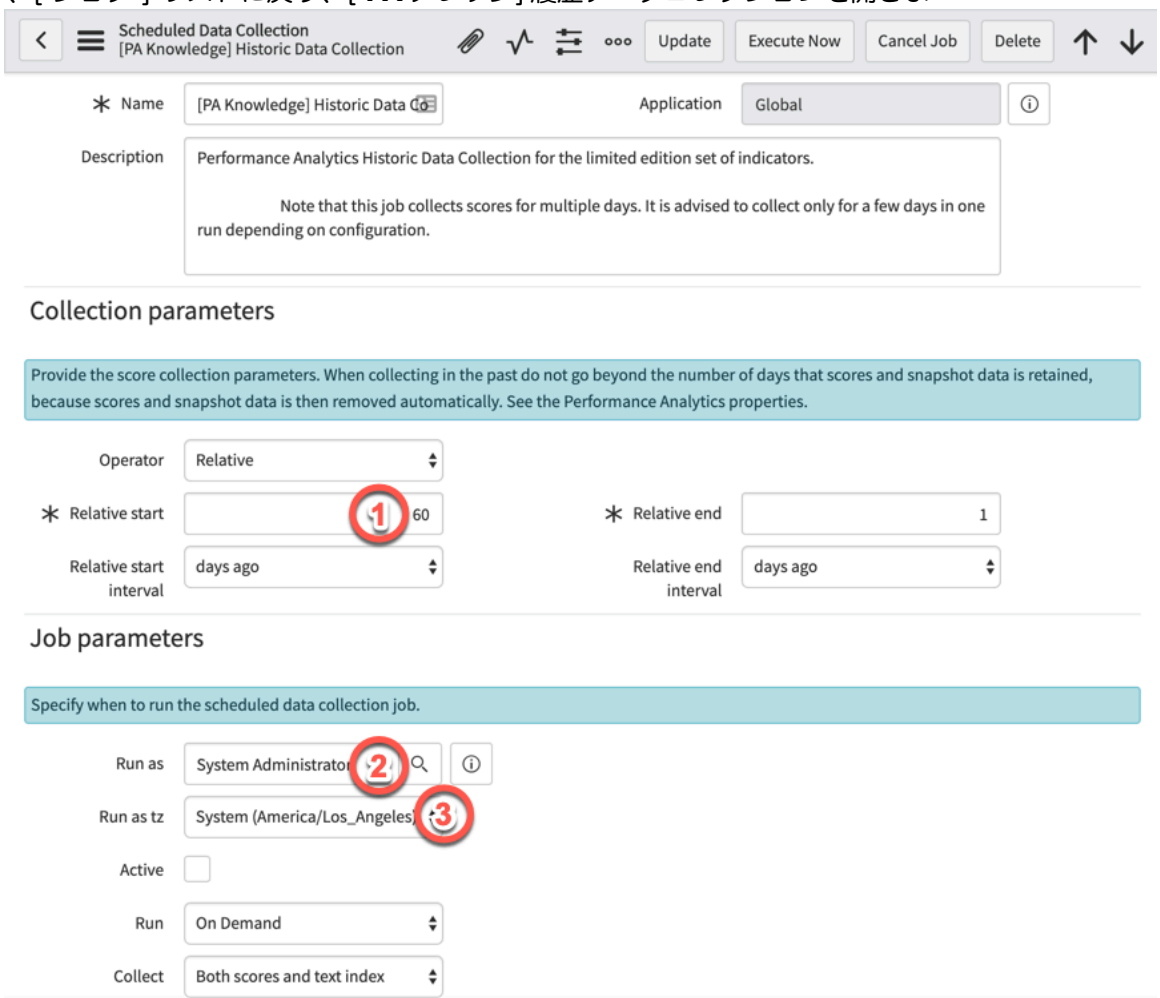
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブ履歴 をクリックし、[[ジョブ][含む][ナレッジ]]でリストをフィルタリングしま



す。

この場合、ジョブは最後の zBoot 以降実行されていないことがわかります。そのため、[ジョブ] リストに戻り、[**PA** ナレッジ] 履歴データコレクションを開きま

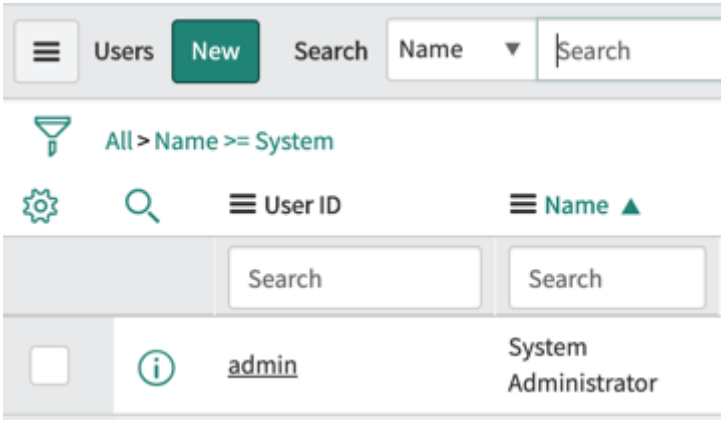


す。

フォームで、次の詳細を確認します。

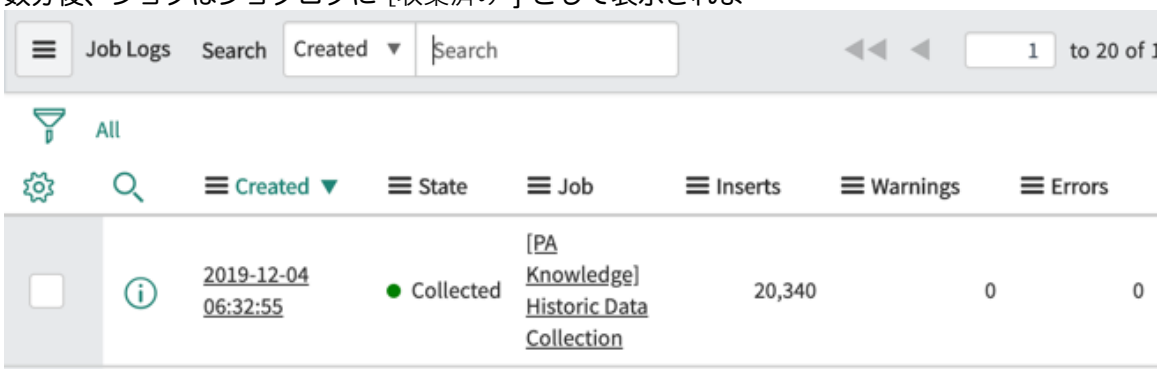
1. [開始日 (相対)] フィールドはデフォルトの 60 日間に設定されています。これは問題ありません。
2. インスタンスに [実行ユーザー] が存在します。それ以外の場合は、別のユーザーを選択する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. タイムゾーンは会社に適しています。

履歴ジョブの設定に問題がなければ、[今すぐ実行] をクリックします。数分後、ジョブはジョブログに [収集済み] として表示されます。



関連情報

履歴データの収集

のデータ収集のスケジュール設定 プラットフォームアナリティクスソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューションの定期的なデータ収集ジョブを有効にします。実行時間が正しいことを確認します。

始める前に

必要なロール：pa_admin、admin

このタスクについて

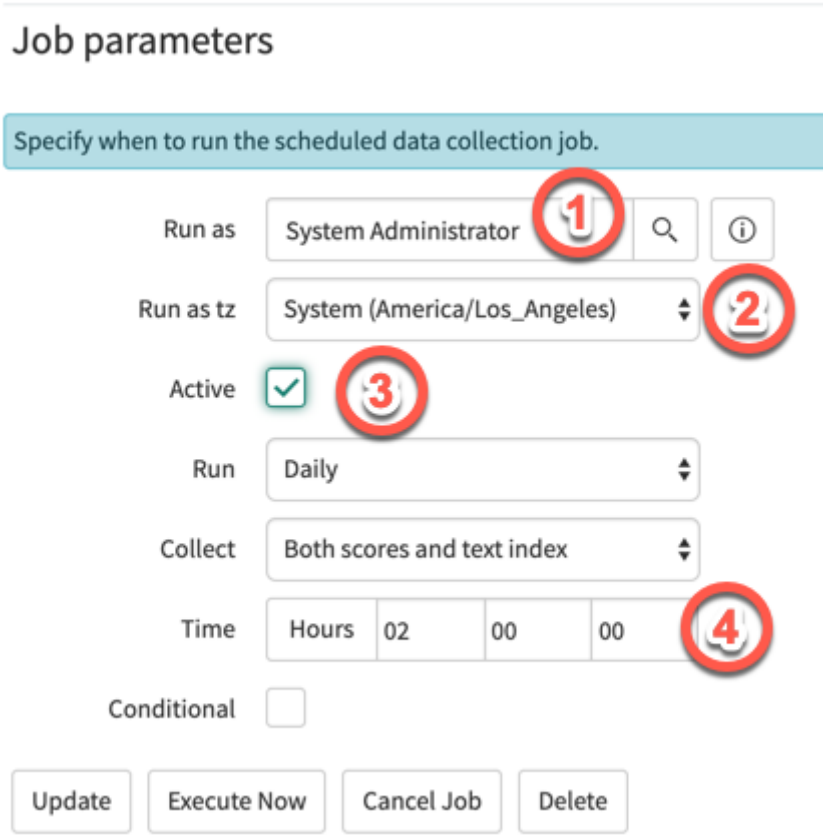
すべての プラットフォームアナリティクスソリューション には、定期的な データ収集ジョブが含まれています。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > データコレクター > ジョブ.
2. ジョブリストを [[[Run][is not one of][Once |オンデマンド]] AND [[アクティブ][次の値に等しい][false]]]。
   アクティブ化していない定期的なデータ収集ジョブのみが表示されるようになりました。
3. プラットフォームアナリティクスソリューションの定期的なデータコレクションジョブを開きます。
   次の手順は、ジョブレコードの [ジョブパラメーター] セクションを参照します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



4. [別のユーザーとして実行] フィールドに指定されたユーザーが存在することを確認します。
ドメインセパレーションを使用している場合は、 実行 ユーザーが表示できるドメインからのみレコードを収集します。ただし、 実行ユーザーの アクセス制御リスト権限はデータ収集には影響しません。
5. 実行時のタイムゾーンが会社に適していることを確認します。
このジョブに対して作成されたデータベースクエリは、このタイムゾーンを使用します。タイムゾーンは、このジョブのログに反映されます。このタイムゾーンは、[[作成日][日付][今日]] などのインジケーター条件の「今日」の曜日も決定します。
6. [アクティブ] を選択して、ジョブのスケジュール実行を有効にします。
スケジュールオプションが利用可能になりました。
7. ジョブの実行時間が会社のダウンタイム中であることを確認してください。
   - 時間の値は、実行時のタイムゾーンではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づいています。
   - 1 日の正確な測定値を得るには、その日が完了している必要があります。日次ジョブの場合、時間 値は、前日のデータを収集するために、 実行時のタイムゾーン の午前 0 時から 06:00 の間である必要があります。たとえば、ニューヨークからログインしていて、システム/ロサンゼルスタイムゾーンの 05:00 にジョブを実行する場合は、[時間] を 08:00:00 に設定します。
   - 月次ジョブの場合は、ジョブを実行する日も設定します。通常は、[実行時のタイムゾーン] タイムゾーンの真夜中直後の月の最初の日に実行するように設定します。この設定では、月の長さに関係なく、前月のすべてのデータを取得します。

タスクの結果
次の収集期間が過ぎると、ダッシュボードとウィジェットにはその期間のスコアが表示されます。

次のタスク
ジョブログをチェックして、次の期間後にジョブが正常に実行されたかどうかを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

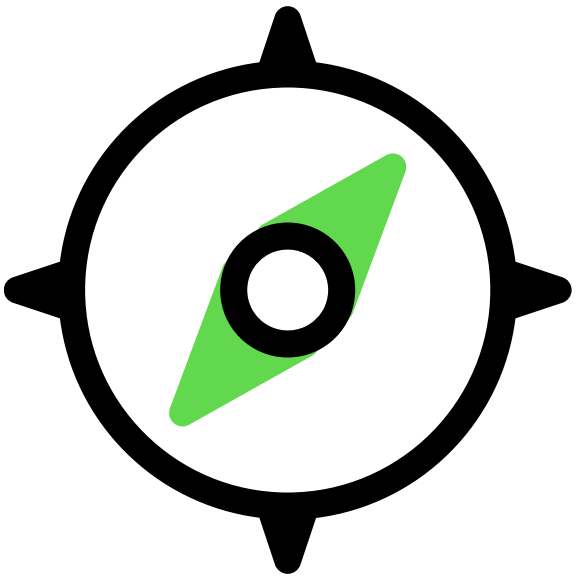
データ収集ジョブの作成またはスケジュール

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションを使用すると、ユーザーが ServiceNow コア UI、ネクストエクスペリエンス、ポータル、およびモバイルアプリケーションをどのように操作するかを監視できます。ユーザーがこれらのアプリケーションをどのように操作しているかを把握することで、 ServiceNow インスタンスの管理方法を改善できます。

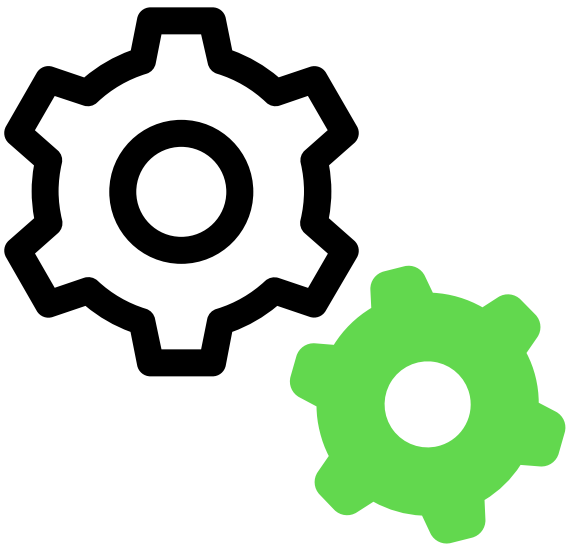
始めましょう

探索



ユーザーエクスペリエンスアナリティクス機能について学習する

Web 経由のユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成

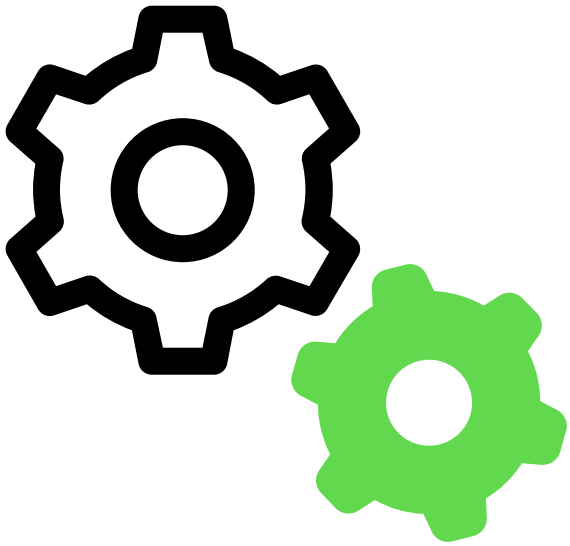


アプリケーションの追跡とユーザーの同意を有効にする

自動翻訳

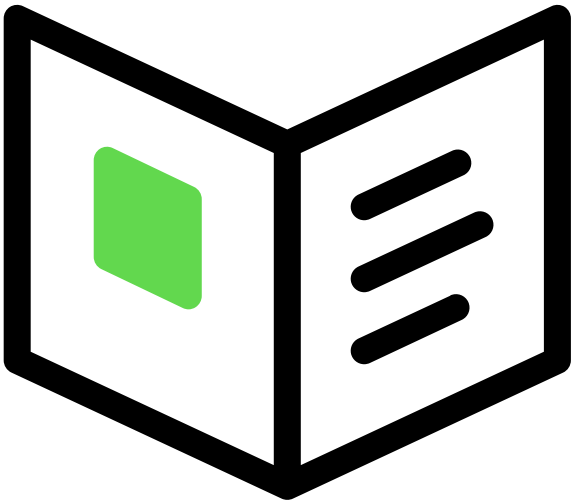
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの使用



機能と可能なカスタマイズを発見する

参照



ユーザーロールと関連プロパティについて

トラブルシューティングとサポート

- プラットフォームアナリティクスコミュニティ で質問し、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの記事とビデオコンテンツを表示します。
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

その他の参照

- User Experience Analytics for mobile applications
- User Experience Analytics for Service Portal

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの詳細

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションを使用すると、ユーザーがServiceNow コア UI、ネクストエクスペリエンス、モバイル、およびサービスポータルアプリケーションをどのように操作するかを監視できるため、製品マネージャーとアプリケーションオーナーは使用状況とアダプションに関するインサイトを得ることができます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの機能

機能	ベネフィット
リテンションとコホート分析	ユーザー維持率レポート とコホートは、ユーザーが再訪する頻度や、あらかじめ決められた一連のアクションを実行する頻度を把握するのに役立つため、ユーザーが目的の行動を示したかどうかを判断できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

機能	ベネフィット
コンバージョンじょうごグラフ	コンバージョンファネルは、 コンバージョン率とユーザー行動の傾向を集約して表示し、特定のアプリ内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。
ナビゲーションパス	ナビゲーションパス を使用すると、Web またはモバイルアプリケーションを介したユーザーのジャーニーをすばやく把握して分離できます。ユーザーが使用する最も一般的なナビゲーションパスと最も一般的でないナビゲーションパス、およびそれらを改善する方法を評価します。
ユーザー、セッション、イベント、ページの分析	セッションモジュールには、より詳細なインサイトを得るためにドリルダウンできるフィルター可能なアプリケーションセッションが一覧表示されます。 個々のセッション、特定のユーザーインタラクション (イベント)、およびページパフォーマンスセッションにドリルダウンすると、製品と実装をより適切に決定するのに役立つより詳細なインサイトが得られます。
カスタマイズ可能なユーザーの同意管理	ユーザーのプライバシー、追跡、および同意管理 は、KPI の採用、保持、および使用状況を測定するために使用され、製品と実装に関するより良い意思決定を行うのに役立ちます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションの操作

[すべてのアプリケーション] ビューや個々のアプリケーションビューなど、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションの操作方法を理解します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスビューアーロールを持つユーザーは、次の場所に移動してアプリケーションにアクセスできます。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス..

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションで持つ権限や権限は、ユーザーによって異なります。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール」を参照してください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションのカウンターには、集計されたユーザー数が含まれます。

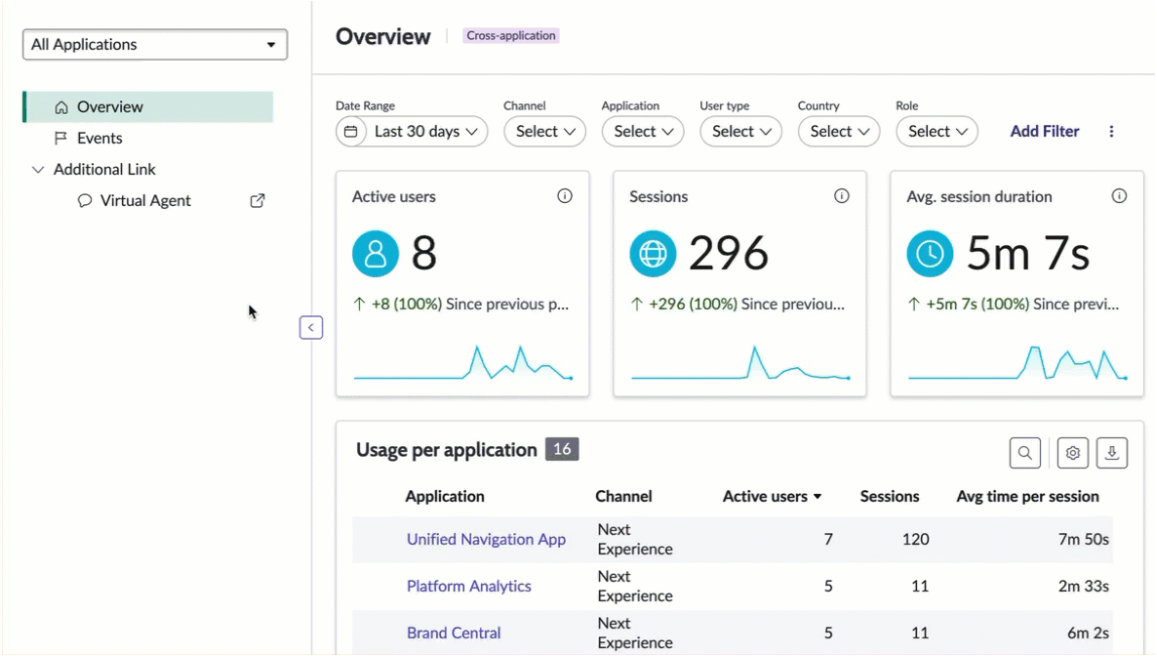
注:
[無効] という名前の追跡同意ポリシーが選択されている場合、ユーザーメトリクスは追跡されません。

[すべてのアプリケーション] ビュー

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを起動すると、[概要] と [イベント] の 2 つのタブが表示されます。[概要] タブでは、追跡対象アプリケーション全体の特定の期間内のアグリゲート使用状況を表示できます。アクティブユーザー、セッション、平均セッション期間のスコアと、個々のアプリケーションの使用状況を示すリストを表示するために構成できるフィルターがいくつかあります。[イベント] タブでは、有効な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション全体で追跡されるユーザーインタラクションのリストをフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



個々のアプリケーションビュー

個々のアプリケーションビューには、指定したアプリケーションのより詳細な情報が表示されます。

[分析] メニュー項目では、リテンション、コホート分析、コンバージョンじょうごグラフ、ナビゲーションパスの各モジュールにアクセスできます。データ基盤メニュー項目は、[ユーザー]、[セッション]、[イベント]、および [ページ] モジュールへのアクセスを提供します。

分析

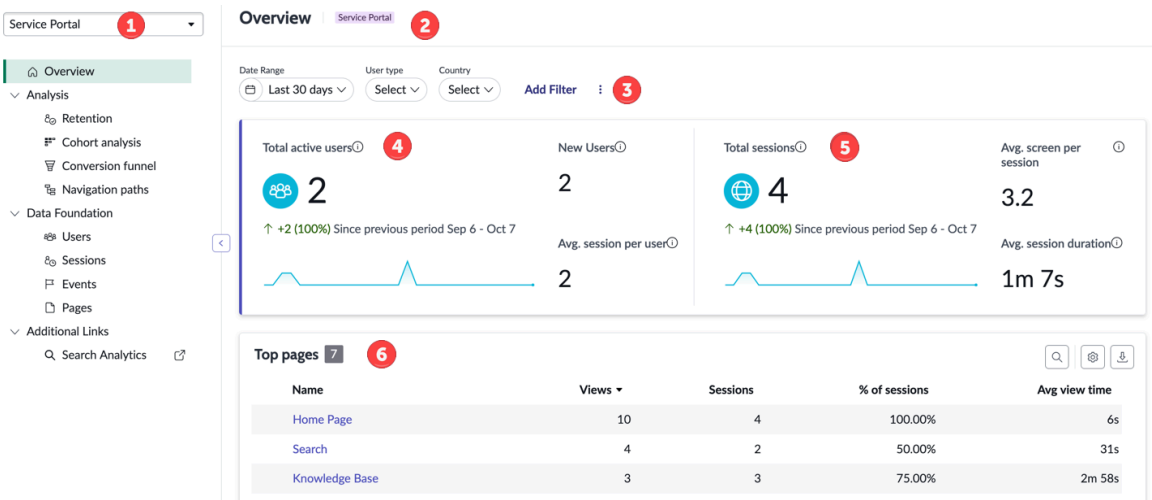
モジュール	説明
保持	新規ユーザーとその再来ユーザー率および訪問間隔を可視化します。詳細については、「ユーザー維持」を参照してください。
コホート分析	類似の特性またはアクションによって他のユーザーから分離されたカスタムコホートまたはユーザーのグループを作成および分析します。特定のアクションシーケンスを実行したユーザーの数と、指定されたアクションを実行するためにユーザーが戻ってくる頻度を分析します。詳細については、「でのコホート分析 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。
コンバージョンじょうごグラフ	じょうごグラフレポートを作成して、特定のタスクのユーザー完了率を分析し、ユーザーが必要なものを適切なタイミングで見つけているかどうかを把握するのに役立ちます。コンバージョン率、あるステップから次のステップに進むユーザーの数、ユーザーが各ステップに進んでじょうごグラフを完了するまでの平均時間を表示します。詳細については、「のじょうごグラフレポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。
ナビゲーションパス	アプリケーションを介したユーザーのジャーニーを可視化して分離し、最も人気のあるパスと最も人気のないパスを検出します。詳細については、「ナビゲーションパス」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ基盤

モジュール	
ユーザー	フィルタリング、ドリルダウン、およびエクスポートが可能なユーザーのリスト。
セッション	指定された期間のセッション数を示す可視化、傾向分析、ブレークダウン分析、およびフィルタリング、ドリルダウン、エクスポートが可能なセッションのリスト。
イベント	フィルタリング、ドリルダウン、エクスポートできる、ページナビゲーションやメニュー選択などの構成されたイベントのリスト。
ページ	フィルタリング、ドリルダウン、およびエクスポートが可能な、インスタンス上のアクセス済みページのリスト。



アプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのメニュー

特長エリア	UI コンポーネント	説明
1	アプリケーションリスト	登録済みの Web およびモバイルアプリケーションのリスト。次のビューから選択できます。 • [すべてのアプリケーション] (デフォルトのランディングページ) には、現在のインスタンス内のすべてのアプリケーションの基本的な統計情報が表示されます。 • アナリティクスを表示する個々のアプリケーションを選択します。
2	選択したアプリケーション	選択した [概要]、[分析]、または [データ基盤] アイテム。この例では、[概要] が選択されています。
3	フィルター	日付範囲、ユーザータイプ、場所など、データを制限するために使用できるデフォルトのフィルター。[フィルターを追加] オプションを使用して、ページにフィルターを追加します。詳細については、「ページのフィルタリング」を参照してください。
4	合計アクティブユーザー	アクティブユーザー、新規ユーザー、およびユーザーごとの平均セッション数を表示します。このセクションの任意の可

自動翻訳

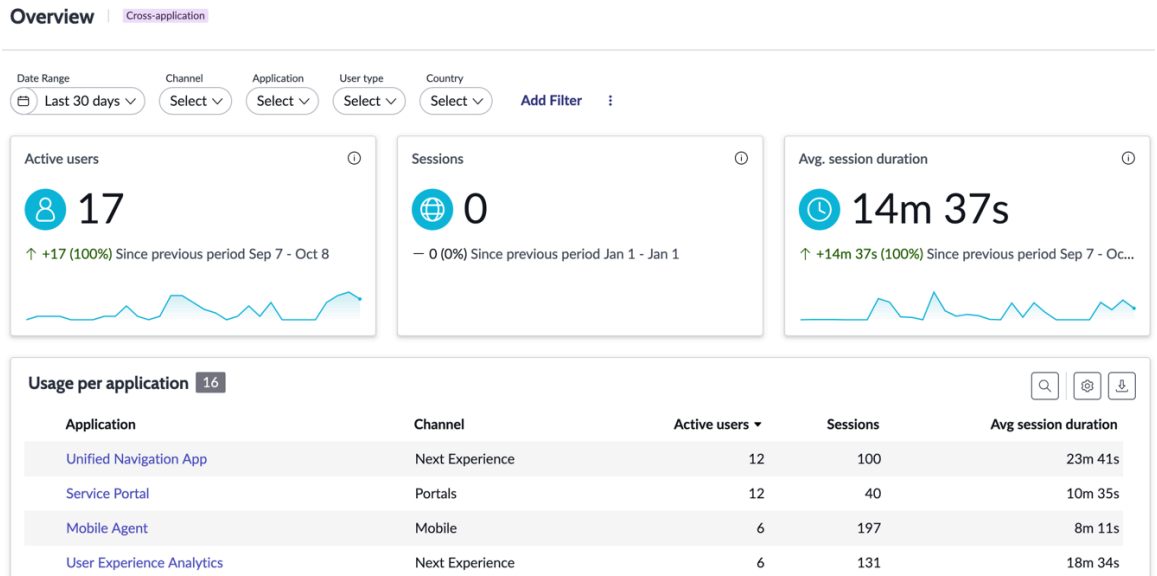
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのメニュー (続く)

特長エリア	UI コンポーネント	説明
		視化を選択すると、アクティブユーザーの傾向分析が表示されます。
5	合計セッション数	合計セッション数、セッションあたりの平均ページビュー、および平均セッション時間を表示します。このセクションで任意の可視化を選択して、セッションの傾向分析を表示します。
6	トップページ	最も多くのビューと最も多くのセッションを持つページのリスト。リスト内の任意のエントリを選択して、ビューと関連情報に移動します。

すべてのアプリケーションのメトリクス

インスタンス内のすべてのアプリケーションの基本的なアプリケーション使用状況とイベントの詳細を表示できます。これらのメトリクスを同時に表示するには、アプリケーションリストから [すべてのアプリケーション] を選択します。



アプリ使用率 **KPI**

KPI	説明
合計アクティブユーザー数	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザー (新規ユーザーを含む) の合計数。
セッション	発生したセッションの合計数と 1 日あたりの平均セッション数。
平均画面数/セッション	セッションごとに表示されたページまたは画面の平均数と実行されたアクション。
平均セッションの期間	すべてのユーザーのセッション全体で費やされた平均時間。
合計セッション数	日次、週次、および月次で実行されたセッションの合計数。
ユーザー	日次、週次、月次のアクティブユーザーと新規ユーザーの合計数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリ使用率 **KPI** (続く)

KPI	説明
新規/リピーター	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの割合と、その後 2 回目のセッションを開始したユーザーの割合。
アプリケーションバージョン	選択したプラットフォーム用にユーザーがインストールしたアプリのバージョン。
アプリバージョンのアダプション	アプリの異なるバージョン間のセッションセグメンテーションを表示します。たとえば、昨日新しいアプリバージョンがリリースされ、今日はすべてのアプリセッションの 10% が表示された場合、新しいアプリバージョンの現在の採用率は 10% です。
セッションの期間	長さ/期間でセグメント化されたセッションの割合。
時間ごとの使用状況	すべての日の特定の時刻に発生したアプリ起動の平均数。

カスタムデータの可視化で ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを表示する

ServiceNow Store から ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス Integration プラグインをインストールすると、カスタムネクストエクスペリエンスページとインライインダッシュボードでユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータをグラフィカルに表現できます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータとプラットフォームアナリティクスの統合は、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションに含まれています。

利用可能なデータソースとビジュアル化の詳細については、「 データ可視化のためのユーザーエクスペリエンスアナリティクスデータソース」を参照してください。

手順

1. インスタンスで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン [com.glide.appsee] がアクティブになっていることを確認します。
2. ServiceNow Storeに移動し、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合を検索します。
3. 最新バージョンの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合 を選択します。
   ストアは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合 とデータ構成ツールの更新をインストールします。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの構成

アドミニストレーターは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションで追跡する ServiceNow アプリケーションとユーザー追跡同意ポリシーを構成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成の概要

ネクストエクスペリエンスとコア UI では、アプリケーショントラッキングはデフォルトで有効になっています。サービスポータルでは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効にする必要があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン (com.glide.appsee) は、新規およびアップグレードされたインスタンスのNow Platformでデフォルトでアクティブ化されています。このプラグインは以下を担当します。

- ServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーに登録する新しいアプリケーションを 1 時間ごとにチェックする
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス機能へのアクセスを提供します。

> **注:**
> ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はオンプレミスインスタンスではサポートされていません。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の有効化

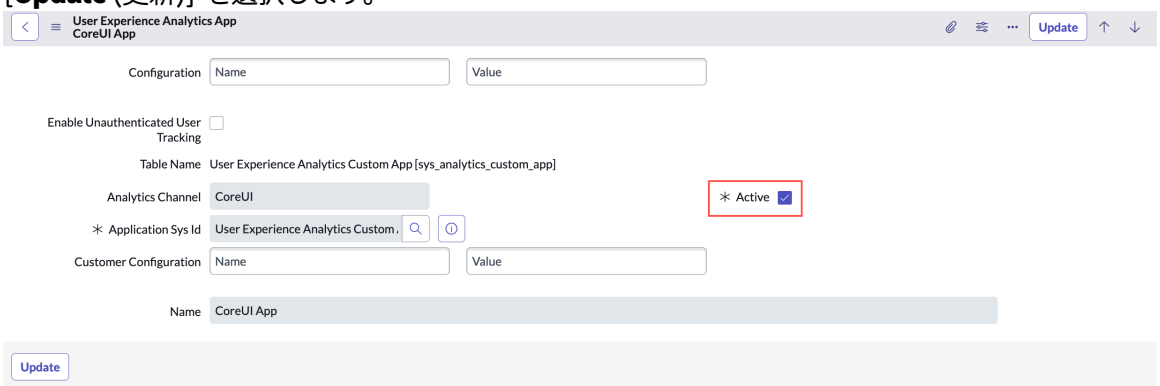
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定テーブルで、特定のアプリケーションのユーザーエクスペリエンスアナリティクスを有効または無効にすることができます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定 > 設定.
2. リストで、アナリティクスの追跡を有効にするアプリケーションのレコードを見つけます。 アプリケーション名が [名前] 列に表示されます。
3. アプリケーションの名前を選択します。
4. フォームで [アクティブ] を選択します。
5. [**Update** (更新)] を選択します。



次のタスク

ユーザーにweb_analytics_viewerまたはportal_analytics_viewerロールをアサインして、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションを表示できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのユーザーのプライバシー、追跡、およびユーザーの同意管理 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、ユーザーアクティビティの追跡に依存して KPI の採用、維持、および使用状況を測定し、製品と実装に関するより良い意思決定を行うことができます。

でのユーザーの追跡 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、 ServiceNow コア UI、 ネクストエクスペリエンス、ポータル、およびモバイルアプリケーション全体のユーザーの行動を追跡するために使用できます。Web およびモバイルアプリケーションで使用される ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、個別に割り当てられた ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ユーザー ID、ハッシュ化されたシステムユーザー ID、セッションの開始時間と期間、都市レベルの場所など、限られた情報を収集します。

アドミニストレーターは、ユーザーの同意管理 (UCM) を使用して、追跡対象のすべてのアプリケーションでアナリティクス追跡設定を構成できます。この機能により、各国の同意ポリシーをカスタマイズしたり、ユーザーの場所を検出する方法を柔軟に選択できます。

ユーザーの同意管理で使用できるオプションの一部は次のとおりです。

- 国ごとに異なる追跡同意ポリシーを適用する。
- 特定のユーザーまたは特定のロールを持つユーザーを追跡します。
- ユーザーの場所を検出する方法を定義します。

注:

- [無効] という名前の追跡同意ポリシーが選択されている場合、ユーザーメトリクスは追跡されません。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションのカウンターには、集計されたユーザー数が含まれます。
- 「同意不要」は、すべてのユーザーのデフォルト設定です。ただし、ユーザーはアプリケーション設定で ServiceNow アプリケーションを個別にオプトインまたはオプトアウトできます。ユーザーのログイン時にオプトインメッセージまたは通知を提供する場合は、追跡同意ポリシーを構成する必要があります。

追跡同意ポリシーのタイプ

基本追跡

admin ロールを持つユーザーは、使用状況メトリクスのみを取得できます。この同意ポリシーは、ユーザーアクティビティを追跡および処理しますが、ハッシュ化されたユーザー ID を含む基本的なユーザーデータのみを保存し、セッション時間を含む部分的なセッションの詳細のみを保存します。

明示的なオプトイン

ユーザーには、追跡をオプトインするか拒否するかを選択するためのメッセージが表示されます。このポリシーは、EU、EFTA、および英国のユーザーのデフォルトの同意ポリシーです。

通知

ユーザーには、アプリケーションでのアクティビティが追跡されることを説明するメッセージが表示されます。

同意不要

ユーザーは自動的に追跡され、オプトイン/拒否メッセージは表示されません。このポリシーは、すべてのユーザーに対するデフォルトの同意ポリシーです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

無効

どのユーザーエクスペリエンスアナリティクス追跡対象アプリケーションでもユーザーの追跡は行われません。使用状況メトリクスは、これらのユーザーからは取得されません。

のユーザー追跡設定 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

個人は、いつでも高度な追跡 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス オプトインまたはオプトアウトを選択できます。

始める前に
必要なロール：ユーザー

このタスクについて
詳細トラッキングのオプトインまたはオプトアウトは、モバイルデバイス、 サービスポータル、または Web ベースの UI で行うことができます。オプトインまたはオプトアウトの選択は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 詳細追跡が行われるすべての領域に適用されます。

手順

プラットフォームにアクセスして、モバイルアプリケーション、サービスポータル、または Web ベースの UI を介してユーザーエクスペリエンスアナリティクス高度なトラッキング設定を構成します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクストラッキングの有効化または無効化

アドミニストレーターは、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス設定を更新することで、プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、およびサービスポータルの追跡をオフまたはオンにすることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、now_experience_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定 > 設定.
2. リストから、アナリティクスの追跡を無効にするアプリケーションのレコードを見つけます。アプリケーション名が [名前] 列に表示されます。
3. 同じ行で **[true**] または **[false**] を選択してレコードを開きます。
4. フォームで、次のいずれかの操作を行います。
   - 追跡をオンにする には、[有効] チェックボックスをオンにします。
   - 追跡をオフにするには、[有効] チェックボックスをオフにします。
5. [**Update** (更新)] を選択します。

プライバシーポリシーへのリンクを設定する

プライバシーポリシーリンクは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス が有効になっていて、ユーザーが追跡を有効にするか無効にするかを選択する場合に表示されます。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. システムプロパティ *glide.analytics.privacy.link* を作成します。
   詳細については、「Add a system property」を参照してください。
3. [タイプ] フィールドに文字列を入力します。
4. [値] フィールドに、会社のプライバシーステートメントの URL を入力します。
5. [**Update** (更新)] を選択します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ

個々の国に対して定義できる追跡同意ポリシーには 5 つのタイプがあります。このオプションを使用すると、国やユーザーやロールに応じて追跡ポリシーを柔軟に定義できます。

次の 3 つの異なるユーザーグループに対してデフォルトの設定があります。

- 米国からのユーザー
- EU、英国、欧州自由貿易連合 (EFTA) 諸国 (アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイス) のユーザー
- 他のすべての国のユーザー。

デフォルトの同意ポリシーは、エンドユーザーの位置情報管理によって異なります。

上記の一覧では、使用可能な追跡同意ポリシーの詳細と、米国のユーザー、EU、EFTA、および英国のユーザー、 他のすべての場所からのユーザーのデフォルトの設定が取り上げられています。

基本追跡

基本追跡同意ポリシーにより、アドミンロールを持つユーザーは使用状況メトリクスのみを取得できます。この同意ポリシーは、ユーザーアクティビティを追跡および処理しますが、基本的なユーザーデータのみを保存します。この基本データには、ハッシュ化されたユーザー ID (情報がServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクスサーバーに送信される前にエンドユーザー識別子をハッシュするプロセス) と、セッション時間を含む部分的なセッションの詳細の保存内容が含まれます。

> **注:**
> ユーザーが追跡をオプトアウトすると、基本追跡は有効ではなくなります。ユーザーは、オプトインプロンプトに「いいえ」と答えるか、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 追跡の有効化/無効化.

無効

どのユーザーエクスペリエンスアナリティクス追跡対象アプリケーションでもユーザーの追跡は行われません。使用状況メトリクスは、これらのユーザーからは取得されません。

明示的オプトイン

ユーザーには、追跡をオプトインするか拒否するかを選択するためのメッセージが表示されます。このポリシーは、EU、EFTA、および英国のユーザー のデフォルトの同意ポリシーです。

通知

ユーザーには、アプリケーションでのアクティビティが追跡されることを説明するメッセージが表示されます。このポリシーは、米国以外および EU、EFTA、および英国のユーザー 以外のデフォルトの同意ポリシーです。

同意不要

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーは自動的に追跡され、オプトインするか追跡を拒否するかを尋ねるメッセージは表示されません。このポリシーは、米国ユーザーのデフォルトの同意ポリシーです。

注:
同意ポリシーは、関連するカウンターを更新することで、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の数値 KPI に影響を与えます。このプロセスでも、ユーザーベース全体のメトリクスを表示できます。たとえば、すべてのユーザーに関連するイベント数といったアグリゲートデータなどです。

国に応じて同意ポリシーを定義する

さまざまな国のユーザーに対して追跡同意ポリシーを定義します。すべての国に対して同じ追跡同意ポリシーを選択するか、割り当てられたデフォルト値を使用するか、国ごとに異なる同意ポリシーを定義することができます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このタスクでは、[同意ポリシーを ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] ページにあるさまざまな追跡同意ポリシーオプションを設定する方法について詳しく説明します。ポリシーをデフォルト値に戻すこともできます。以下の国のデフォルトの追跡同意ポリシーが利用可能です。

注:
EFTAは、欧州自由貿易連合(アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイス)の略です。

- 米国のユーザー - 同意不要
- EU、EFTA、および英国のユーザー - 明示的なオプトイン
- 米国以外および非EU、EFTA、および英国のユーザー – 通知

追跡ポリシーの詳細については、「 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定 > 同意ポリシー.
   [ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの同意ポリシー] ページが表示されます。

   注:
   ポリシーを選択すると、選択したポリシーに関連付けられているすべての国のリストが表示されます。

2. 次のいずれかの操作を実行します。

   注:
   特定の国に追跡同意ポリシーを適用する方法については、「 各国の同意追跡ポリシーを表示および更新ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

通知および明示的なオプトインユーザーの同意管理ポリシーのテキストを定義する

通知および明示的なオプトインの同意ポリシーのテキストを、提供されたデフォルトのテキストから編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて).
2. ナビゲーターで、「 sys_ui_message.list 」と入力して [メッセージ] ページを開きます。
3. [キー] フィールドに次のいずれかを入力します。
   - glide.analytics.consent.text.notice
   - glide.analytics.consent.text.explicit_opt_in
4. 編集するキーメッセージを選択します。
5. メッセージ領域で、更新したテキストを入力し、[更新] を選択します。

ユーザーの同意管理ポリシーを表示する

ユーザーとその追跡選択設定に関する詳細を表示および分析します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて).
2. ナビゲーターで「 sys_analytics_user_consent_decision.list 」と入力して、[ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのユーザーの同意の決定] ページを開きます。
3. ユーザーの追跡の選択に適用されるデータを確認します。
   このテーブルには、検出ポリシープロバイダーと、廃止されたテーブル [m2m_user_consent_info] からの移行日も含まれています。

ユーザーの場所を検出する方法を定義する

検出ポリシーを選択して優先順位を付けることで、ユーザーを検出します。これらのポリシーが適用される順序を定義することもできます。事前定義された検出ポリシーがありますが、カスタムスクリプトを作成して、定義の柔軟性を高めることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin

このタスクについて
ユーザーの場所を検出する方法は 4 つあります。[順序] フィールドを使用して方法に優先順位を付け、ポリシーを有効にするかどうかを選択します。

> **注:**
> 検出プロバイダーがアクティブでない場合、またはスクリプトが応答を返さない場合は、明示的なオプトインのシステムデフォルトポリシーが実装されます。

利用可能な検出ポリシープロバイダーは次のとおりです。

ユーザーの国
: ユーザーテーブル [sys_user] に格納されている国コード [country] 列を使用します。

国 顧客スクリプト
: ユーザーの場所を特定するために ServiceNow Platform にロードし、国の ISO 3166-2 コードを返すカスタムスクリプト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 顧客スクリプトが定義されていても アクティブ フィールドが選択されていない場合は、注文テーブルの次の優先度が有効になります。

ポリシーカスタマースクリプト

ユーザーの同意ポリシーを決定し、ユーザーエクスペリエンスアナリティクス同意ポリシーテーブル [sys_analytics_detection_policy_provider] からいずれかのポリシー名を返すために ServiceNow Platform にロードできるカスタムスクリプト。

> **注:**
> 顧客スクリプトが定義されていても、[アクティブ] フィールドが選択されていない場合は、[順番] テーブルの次の優先度が有効になります。

GeoIP

内部サービスを使用してユーザーの地理的位置を特定する IP ベースの検出プロバイダー。このプロバイダーは、検出ポリシーが選択されていない場合のデフォルトのオプションです。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > **UX** アナリティクス設定 > 検出ポリシープロバイダー.
   [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 検出ポリシープロバイダー] ページが表示されます。
2. いずれかの検出ポリシープロバイダーを選択して、そのアクティブステータスを更新し、ポリシーの適用順序を変更します。

   > **注:**
   > ポリシーを適用するには、ポリシーがアクティブである必要があります。

3. オプション: [国カスタマースクリプト] または [ポリシーカスタマースクリプト] のいずれかを選択し、スクリプトを入力して、ユーザーの場所またはユーザーの同意ポリシーのいずれかを特定し、値を返します。

   > **注:**
   > システムプロパティ *glide.analytics.consent.script_timeout* を使用して、スクリプトの実行時間を定義できます。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ」を参照してください。

   スクリプトの使用の詳細については、「JavaScript syntax editor」を参照してください。

各国の同意追跡ポリシーを表示および更新ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

すべての国の同意追跡ポリシーを表示するか、国を選択して既存のポリシーを更新します。

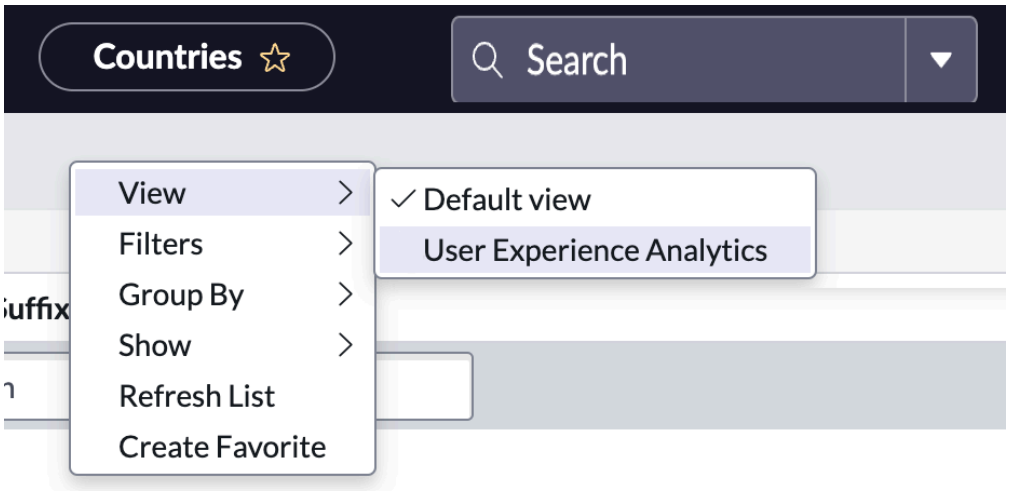
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ユーザー管理 **(User Administration)** > 国.
   [国] ページが表示されます。
2. ページヘッダーで右クリックしてメニューを表示し、 ビュー > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



選択したビューには、すべての国とその国に割り当てられた同意追跡ポリシーが表示されます。

3. 同意追跡ポリシーを更新する国名を選択します。
4. [国] ページ内の [アナリティクス同意ポリシー] フィールドで、検索アイコン (
5. 新しい アナリティクス同意ポリシーを選択します。
6. [**Update** (更新)] を選択します。

追跡対象アナリティクスのフィールドと **Cookie**

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、Web およびモバイルアナリティクスフィールド、クライアント側の Cookie など、複数のソースからのデータを追跡します。

の追跡対象 **Web** アナリティクスフィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は Web アプリケーションからデータを収集します。これらのテーブルには、追跡されるフィールドがリストされています。レポートとグラフは、次のフィールドから生成されます。

データの使用の詳細については、「 ユーザーアナリティクスの表示」を参照してください。

Web セッションに従って収集されるデータ

[**Name** (名前)]	説明	サンプル出力値
ユーザー ID	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの内部ユーザー ID (順次 ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_idの SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429abacf9f8c78d14fcf5c
セッション ID	一意のセッション ID	
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションの順次インデックス	5
開始時間	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの時間 (ミリ秒)	5165
DeviceType	電話/タブレット/デスクトップ	電話

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhone 12の
OSType	デバイスのオペレーティングシステム	iOS
OSVersion	OS のバージョン	16.5
市区町村レベルの場所	市区町村の場所は、エンドユーザーの IP アドレスから変換されます。IP はデータベースに保存されません。IP は、都市レベルの位置の近似値を提供する場合にのみ使用されます。	カリフォルニア州ロサンゼルス
ブラウザタイプ	Web ブラウザのタイプ	Chrome
ブラウザバージョン	Web ブラウザのバージョン	(クローム) 30.0
ロケール	ユーザーロケール文字列	EN-US

ページ訪問ごとに収集されるデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
説明	ページへのアクセスで収集されるデータに関する追加情報	ホームページ
ページ ID	ページの一意の識別子	ホーム
開始時間	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

自動翻訳

顧客イベントについて収集されたデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側 API を呼び出すことによって追加できます。

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
[Name (名前)]	イベントの名前	カタログ要求の送信
時間	セッション開始からのイベント時間 (ミリ秒)	945

イベントプロパティについて収集されたデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
ページ ID	現在のページの ID	ホーム
プロパティの名前と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"バージョン" : "1.0", "アクティブ" : "false"}

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのプロパティについて収集されたデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
プロパティの名前と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"言語" : "英語"}

の追跡対象モバイルアナリティクスフィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス モバイルデバイス上のモバイルアプリケーションからデータを収集します。これらのテーブルには、モバイルアプリケーションで追跡されるフィールドがリストされています。レポートとグラフは、次のフィールドから生成されます。

データの使用の詳細については、「 ユーザーアナリティクスの表示」を参照してください。

モバイルアプリセッションに従って収集されるデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
ユーザー ID	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの内部ユーザー ID (順次 ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_idの SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429b185d12b14fcf5c
セッション ID	一意のセッション ID	5a2b73857345abc3546243
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションの順次インデックス	5
開始時間	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの時間 (ミリ秒)	5165
アプリバージョン	アプリケーションのバージョン番号	3.4.0
デバイスタイプ	電話/タブレット	電話
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhone X13 Pro(アイフォン X13プロ)
ROM のバージョン	ROM版(Androidのみ)	4.3.9
オペレーティングシステムバージョン	デバイスのオペレーティングシステムのバージョン	iOS 16.5
ネットワーク接続	WiFi / セルラー	WiFi
市区町村の場所	ユーザーの IP アドレスから変換された市レベルの場所	カリフォルニア州ロサンゼルス

画面訪問ごとに収集されるデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
画面名	データが収集される画面の名前	ログイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
開始時間	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

画面アクション用に収集されたデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
種類	UI アクションのタイプ (ボタンのタップ、リストの選択など)	ボタンタップ
説明	UI アクションを説明するラベル	ログイン
開始時間	セッション開始時刻からの時間 (ミリ秒)	780

画面ジェスチャ用に収集されたデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
GestureType	ジェスチャのタイプ (タップ、スワイプなど)	蛇口
座標	タッチ ジェスチャの X、Y 座標	タップ (X = 100、Y = 200)
応答	ジェスチャーがレスポンシブであったかどうかを示します	真
開始時間	ジェスチャー開始時間 (ミリ秒)	925
終了時間	ジェスチャー終了時間 (ミリ秒)	933

顧客イベントについて収集されたデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側 API を呼び出すことによって追加できます。

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
[Name (名前)]	イベントプロパティの名前 (文字列)	購入完了
時間	イベントプロパティの値 (文字列、ブーリアン、日付、数値)	9456

イベントプロパティについて収集されたデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
プロパティ名	イベントプロパティの名前 (文字列)	記事名、言語
プロパティ値	イベントプロパティの値 (文字列、ブーリアン、日付、数値)	KB0050925

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザープロパティについて収集されたデータ

[Name (名前)]	説明	サンプル出力値
プロパティ名	ユーザープロパティの名前 (文字列)	英語
プロパティ値	ユーザープロパティの値 (文字列、ブーリアン、日付、数値)	5

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス クライアント側ストレージ Cookie

クライアント側のユーザー アクティビティを追跡するために、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、 プラットフォームアナリティクス、 コア UI、および サービスポータル に埋め込まれている SNAnalytics JavaScript SDK を使用します。

SNAnalytics SDK は、セッション ストレージ変数とローカル ストレージ変数の組み合わせを使用して、分析の追跡を容易にするために必要な情報を追跡します。

セッションストレージとローカルストレージの詳細については、 JavaScript.Info ドキュメントを参照してください。

SNAnalytics SDK の詳細については、開発者コミュニティの「 SNAnalytics - Client と SNAnalytics – 」を参照してください。

キー構造

ローカルに格納されたすべてのキーは、sn:{API_KEY}:{KEY NAME} の構造を使用して格納されます。

追跡される各ポータルには、インスタンスに格納される一意のAPI_KEYがあります。たとえば、API キーが abcd でキー名が tab であるポータルの場合、ローカルキーの値は sn:abc:tab になります

セッションストレージ

セッションストレージは、Web ページの更新とユーザーナビゲーションの間の情報の流れを維持するために使用されます。セッションストレージ内の情報は一時的なものであり、現在のタブの有効期間中にのみ利用可能になります。タブを閉じると、セッションストレージ情報が削除されます。

次の表に、セッションストレージに保存されているキーと値を示します。

キー	説明
SRT	サーバーの応答時間。SNAnalytics が前回 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーと正常に通信した時刻。
データ	一時的に保存されたアナリティクスデータポイントのキュー。定期的にバックエンドにフラッシュされます。
ページ	現在のページの名前。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス サーバーによって自動的にキャプチャされます。
タブ	現在のタブに対してランダムに生成された一意の識別子。

ローカルストレージ

ローカル ストレージは、追跡同意情報、ユーザーのハッシュ化された ID (同意が取り消されるとクリアされます)、およびブラウザーに対してランダムに生成された識別子を維持するために使用され

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

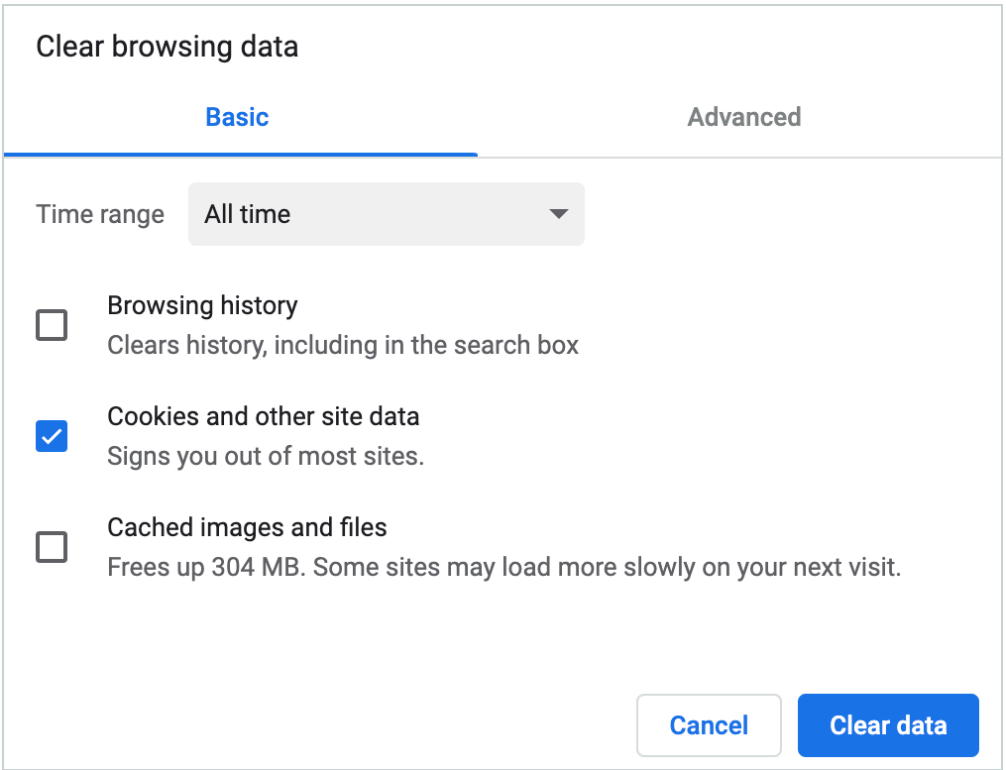
ます。ローカルストレージ変数はローカルで永続的であり、ユーザーが閲覧データをクリアすると削除されます。

次の表に、ローカルストレージに保存されているキーと値を示します。

キー	説明
ブラウザ	現在のブラウザーに対してランダムに生成された一意の識別子。
クライアント	ブラウザのキー値にマッピングされたサーバーによってアサインされた ID。
user	顧客によって提供されたハッシュ化されたユーザー ID。
同意	ユーザーが追跡に同意するかどうかを示すブール値 (はい/いいえ)。

ローカルストレージの削除

ローカルストレージ変数を削除するには、ユーザーはブラウザー内から閲覧データを消去する必要があります。たとえば、Chrome ブラウザでは、 履歴 > 履歴全体を表示 > 閲覧データを消去. [閲覧履歴データの消去] ウィンドウで、[**Cookie** とその他のサイト データ] を選択し、[データの消去] を選択します。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクスのドメインセパレーション

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションではドメインセパレーションはサポートされていません。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の使用

ネクストエクスペリエンス Web アプリケーション、コア UI、サービスポータル、ServiceNow モバイル、およびアプリケーションの利用状況アナリティクスを監視します。

始めましょう

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを使用して維持率を追跡し、コホートとじょうごグラフを使用し、ナビゲーションパスを解釈する方法について説明します。

ページのフィルタリング

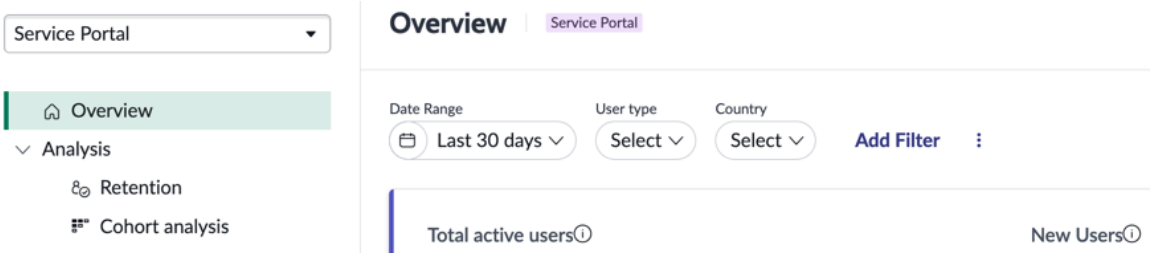
標準フィルターとカスタムフィルターを使用して使用状況データをドリルダウンします。

analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_experie ロールを持つユーザーは、自分がアクセス権を持つページをフィルタリングできます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションのほとんどのページには、表示可能なデフォルトのフィルターと、他の標準フィルターを追加するオプションがあります。ユーザー関連フィールドを追加するには、「 ユーザープロパティをフィルターとして追加 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

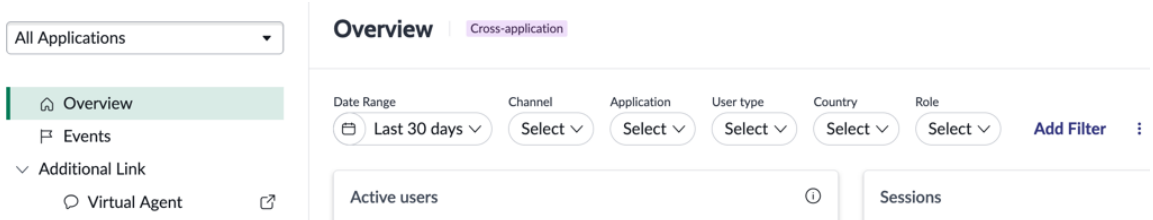
デフォルトフィルター

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの各ページには、ページ上の情報を制限するためのデフォルトのフィルターがいくつかあります。ほとんどのページには、日付範囲、ユーザータイプ、および国のフィルターがあります。



注:
モバイルアプリケーションには、オペレーティングシステムとバージョンの追加のデフォルトのフィルターがあります。

クロスアプリケーションの概要には、チャネル、アプリケーション、およびロールのフィルターもあります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

追加のフィルター

[フィルターの追加] を選択して、アプリケーションに構成された使用可能なフィルターから選択します。

> **注:**
> 追加のフィルターは、選択したデフォルトフィルターに AND 条件で結合されます。つまり、フィルターを適用するには両方のフィルター条件が true である必要があります。たとえば、[ユーザータイプ] = [戻り] および [追加のフィルター] = [パスワードのリセットが必要です] を選択します。パスワードをリセットする必要のある復帰ユーザーがいない場合、両方の条件を適用する必要があるため、ページ上のすべての可視化は空になります。

利用可能な追加フィルターは次のとおりです。

- パスワードのリセット要請
- ロール
- マルチファクター認証を有効にする
- [Active (アクティブ)]
- Department (部門)
- VIP

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションのページのデフォルトのフィルターに加えて、ユーザーのプロパティに基づいてフィルターを追加できます。詳細については、「ユーザープロパティをフィルターとして追加 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス」を参照してください。

ユーザープロパティをフィルターとして追加 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーションのページのデフォルトのフィルターに加えて、ユーザーのプロパティに基づいてフィルターを追加できます。これにより、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データを効果的にセグメント化して、ユーザーとその使用パターンをより深く理解することができます。ユーザープロパティベースのフィルターは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション内のすべてのページとオブジェクトのグローバルフィルターとしてサポートされています。

始める前に
必要なロール:admin または analytics_admin。

> **注:**
> デフォルトで利用可能な [部門] フィールドと [ロール] フィールドを含め、最大 20 個のフィールドを追加できます。

手順

1. **sys_analytics_user_property_config.list** に移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フィルターを適用するユーザープロパティを含むテーブルを選択します。

   sys_user
   : ブーリアン、選択肢、または参照タイプの任意のフィールドでフィルターを構成します。

   sys_user_grmember
   : ユーザーが属するグループを取得します。

   sys_user_has_role

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーが持つロールのリストを取得します。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

選択したフィールドは、単一およびクロスアプリケーションの概要、リテンション、コホート、じょうごグラフ、ページ、ユーザー、イベント、セッションなど、すべての ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ページにオプションのフィルターとして追加されます。ユーザーは、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードにも適用できます。

注:
フィルターはすぐに表示されますが、データをフィルターと同期して役に立つようにするには、24 時間から 48 時間かかります。

ユーザー維持

ユーザー維持率レポートは、アプリがユーザーのニーズと期待を満たしているかどうかを把握し、最適化の取り組みがユーザー維持率にどのように影響するかを測定するのに役立ちます。

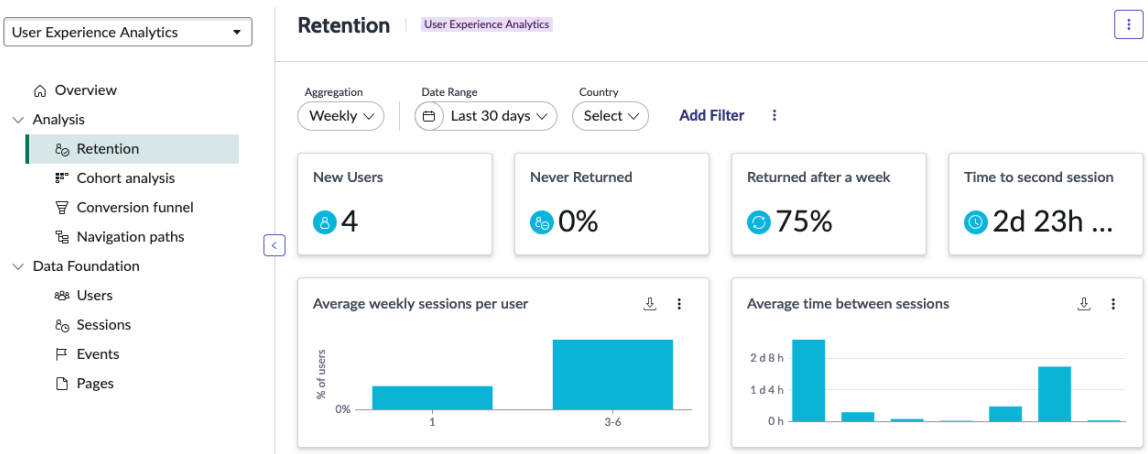
始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

このタスクについて

新規ユーザーの数、戻らなかったユーザーの数、翌日に戻ったユーザーの数などのデータを表示します。ユーザー維持率データには、ユーザーセッションの頻度と、特定のタイムバケットでのセッション間の平均時間も表示されます。ユーザー維持率分析は、次のような場合に役立ちます。

- コホート分析を使用して、定着率の低い月、週、または日を特定します。
- バージョンやデバイス間でリテンションアナリティクスを比較します。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [すべてのアプリケーション] リストから保持を確認するアプリケーションを選択します。
3. データをフィルタリングします。
   デフォルトのフィルターは、 アグリゲーション (日次、週次、または月次)、 日付範囲、および国です。ユーザーエクスペリエンスアナリティクスフィルターの詳細については、「ページのフィルタリング」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リテンション **KPI**

KPI	説明
新規ユーザー	指定されたタイムバケット内の新規ユーザーの数。
返却なし	最初のセッション後にアプリの使用に戻ることがなかったユーザーの割合。
1 日/1 週間/1 か月後に返却されます。	最初のセッション後の指定されたアグリゲーション期間にアプリを使用したユーザーの数。
2 回目のセッションまでの時間	最初のセッションと 2 番目のセッションの平均時間間隔。
セッション頻度	選択したタイムバケット内の平均セッション数を測定します (日次/週次/月次)。たとえば、ユーザーの 25% が 1 日に 2 回アプリを使用しました。
セッション間の平均時間	最初のセッションと後続のセッションの間の平均時間。

4. さまざまな指標を使用してリテンションコホートを表示します。
リテンション コホートは、指定したアグリゲーションを使用して指定した日付範囲内にアプリの使用を開始したユーザーの数または割合を示すヒートマップです。この例では、[集計] は [週次]、[日付範囲] は [過去 30 日間] 、[メジャー] は [パーセンテージ] です。



リテンションの計算方法

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス によるユーザーとアクションの保持の計算方法を理解します。

ユーザー維持

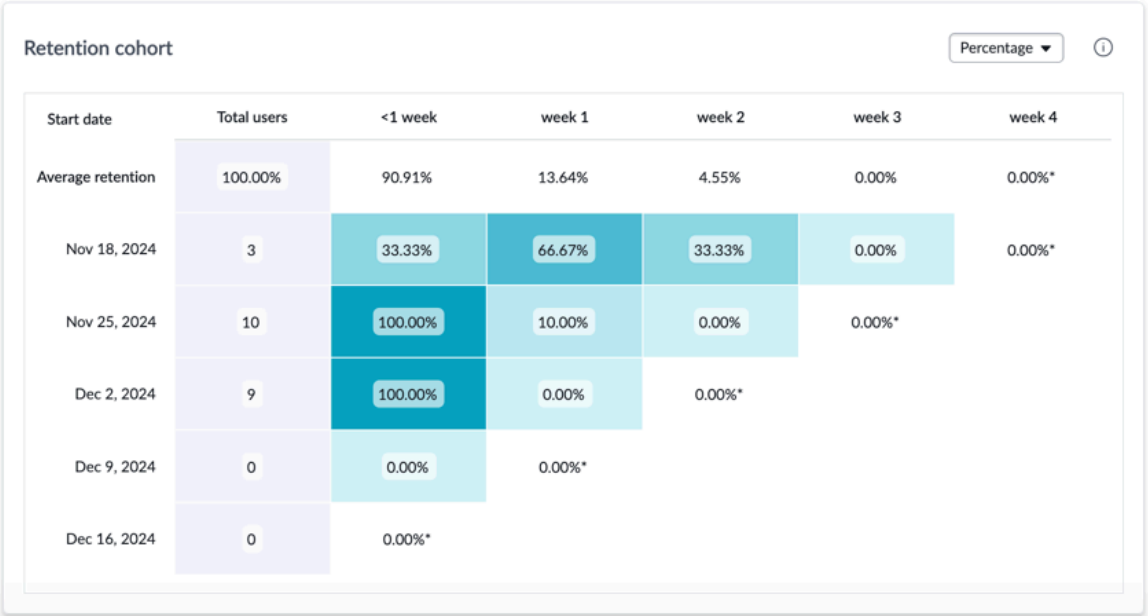
ユーザー維持分析では、ユーザーの総数ではなく、新規ユーザーがグループ化されます。コホートには、定義された期間と選択した日付バケット (日次/週次/月次) 内にアプリを使用するすべての新規ユーザーが含まれます。新規ユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、週単位のコホートを調べる場合、リテンション コホート レポートの上部にある <1 週間、第 1 週、第 2 週、第 3 週とマークされた数値は、週単位のバケットを示します。各週次バケットの下のパーセンテージは、その特定のバケット中にアプリケーションの使用に戻ったユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホートの新しいユーザーごとに異なります。**<1** 週間とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッション後の最初の丸 1 週間までの期間を示します。週の開始日は、可視化の左側に表示されます。たとえば、ユーザーの最初のセッションが 11 月 16 日に始まり、最初の丸 1 週間が 11 月 18 日に始まる場合、その間の期間の保持情報は <1 週間の列に表示されます。



アクションの保持

リテンションコホート分析では、アプリケーションユーザーの合計数ではなく、コホートに対して定義された最初のアクションを実行したユーザーの数がグループ化されます。コホートには、アプリを使用し、定義された期間と日付バケット (日次/週次/月次) 内で最初のアクションを実行するすべてのユーザーが含まれます。

たとえば、週単位のコホートを調べる場合、リテンション レポートの上部にある 1、2、3 とマークされた数字は、週単位のバケットを示します。各週次バケットの下のパーセンテージは、アプリケーションの使用に戻り、その特定のバケット中に 2 番目のアクションを実行したユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホートの新しいユーザーごとに異なります。「1」とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッションから 7 日間の期間を示します。たとえば、ユーザーの最初のセッションが日曜日の 10:00 に開始された場合、ユーザーのバケット 1 は翌週の日曜日の 10:00 に開始されます。ユーザーのバケット 1 は、最初のセッションから 7 日から 13 日まで延長されます。

新規ユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。たとえば、週次コホートがログインイベントに基づいている場合、毎週 1 回以上ログインする顧客がすべてのコホートに表示されます。

ユーザーが 2 番目のアクションを実行すると、最新のアクションだけでなく、期間内に実行された最初のアクションごとにカウントされます。各コホート細胞は一意です。ユーザーが同じバケット内で 2 番目のアクションを 2 回実行した場合は、1 回とカウントされます。両方のステップが類似しているコホートを作成すると、すべてのアクションが最初のアクションと 2 番目のアクションの両方として機能します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、あるコホートで 2 つの類似したログインアクションが定義されているとします。ユーザーが日曜日、月曜日、火曜日の 3 回ログインした場合、月曜日に実行されたアクションは、日曜日のログインに対する 2 番目のアクションとしてカウントされます。また、火曜日の行動が完了する新しいコホートも開かれます。

アプリケーションバージョンでフィルタリングすると、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが分析に表示されます。

でのコホート分析 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

コホートは、類似した特性またはアクションによって他のユーザーから分離されたユーザーのグループです。コホートを使用すると、事前に決められた一連のアクションを完了したユーザーの数を分析し、コンバージョン率を追跡できます。

コホート分析レポートは、アプリ内アクションが別のアクションとどのように関連しているかに関する情報を提供します。一連のアクションの間に経過する時間の測定値と、一定期間にわたるユーザーの行動とエンゲージメントの傾向を確認できます。

コホートを作成

各ステップでのコンバージョン率を追跡できるように、ユーザーのグループが完了する事前定義された一連のアクションを定義します。

始める前に
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセス権を持つアプリケーションのコホートを作成、編集、削除できます。

このタスクについて

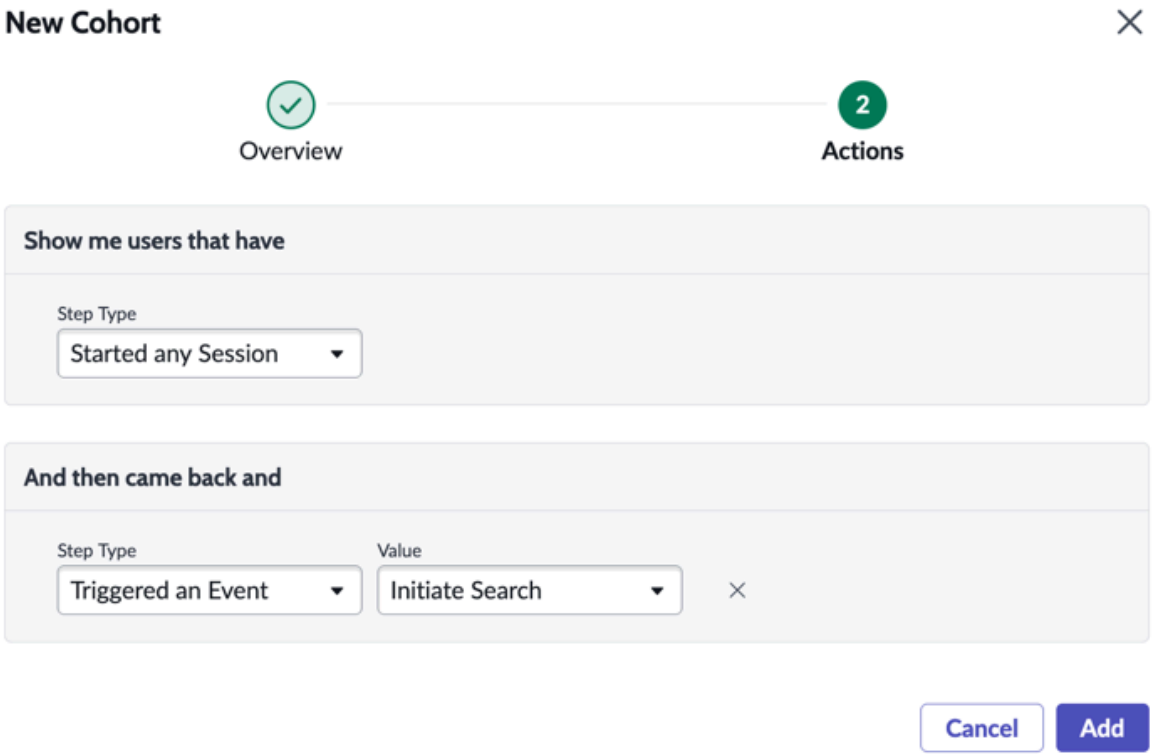
手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、コホートを作成するアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コホート分析.
4. 「 新しいコホートを作成 」)を選択します。
5. 測定するプロセスの名前と説明を入力します。
6. 2 つのステップタイプとその値を選択し、[追加] を選択します。
   ステップタイプは次のとおりです。
   - 画面にアクセスしました
   - イベントをトリガーしました
   - アクションを実行しました
   - 任意のセッションを開始しました
   - 最初のセッションを開始しました

   アクションはステップタイプによって異なります。

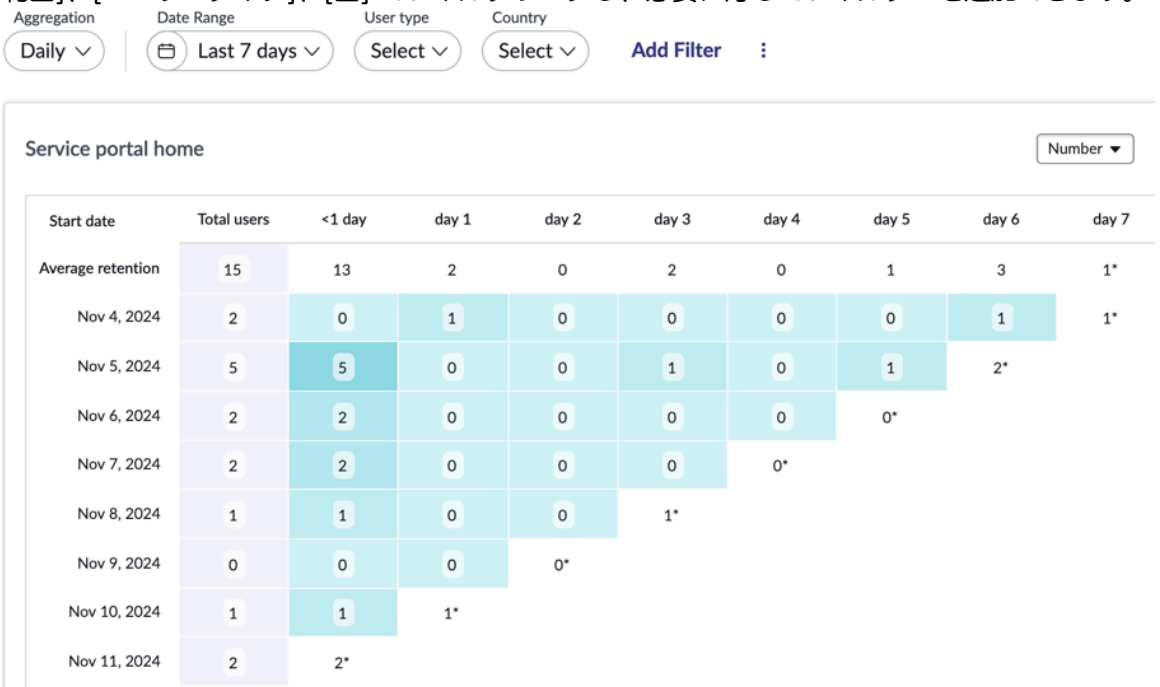
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [**Save** (保存)] をクリックする。

次のタスク
コホートを表示して、最初に定義されたアクションを実行したユーザーのうち、2 番目のアクションを実行するために戻ってきたユーザーの数を確認します。コホートを表示するときは、[集計]、[日付範囲]、[ユーザータイプ]、[国] でフィルタリングし、必要に応じてフィルターを追加できます。



Start date	Total users	<1 day	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5	day 6	day 7
Average retention	15	13	2	0	2	0	1	3	1*
Nov 4, 2024	2	0	1	0	0	0	0	1	1*
Nov 5, 2024	5	5	0	0	1	0	1	2*	
Nov 6, 2024	2	2	0	0	0	0	0*		
Nov 7, 2024	2	2	0	0	0	0*			
Nov 8, 2024	1	1	0	0	1*				
Nov 9, 2024	0	0	0	0*					
Nov 10, 2024	1	1	1*						
Nov 11, 2024	2	2*							

注:
コホート分析で示されたデータが最終的なものでない場合は、遡及データがまだ処理中であることを示すメモが表示されます。画面を更新して、最終データを含むレポートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コホートを編集する

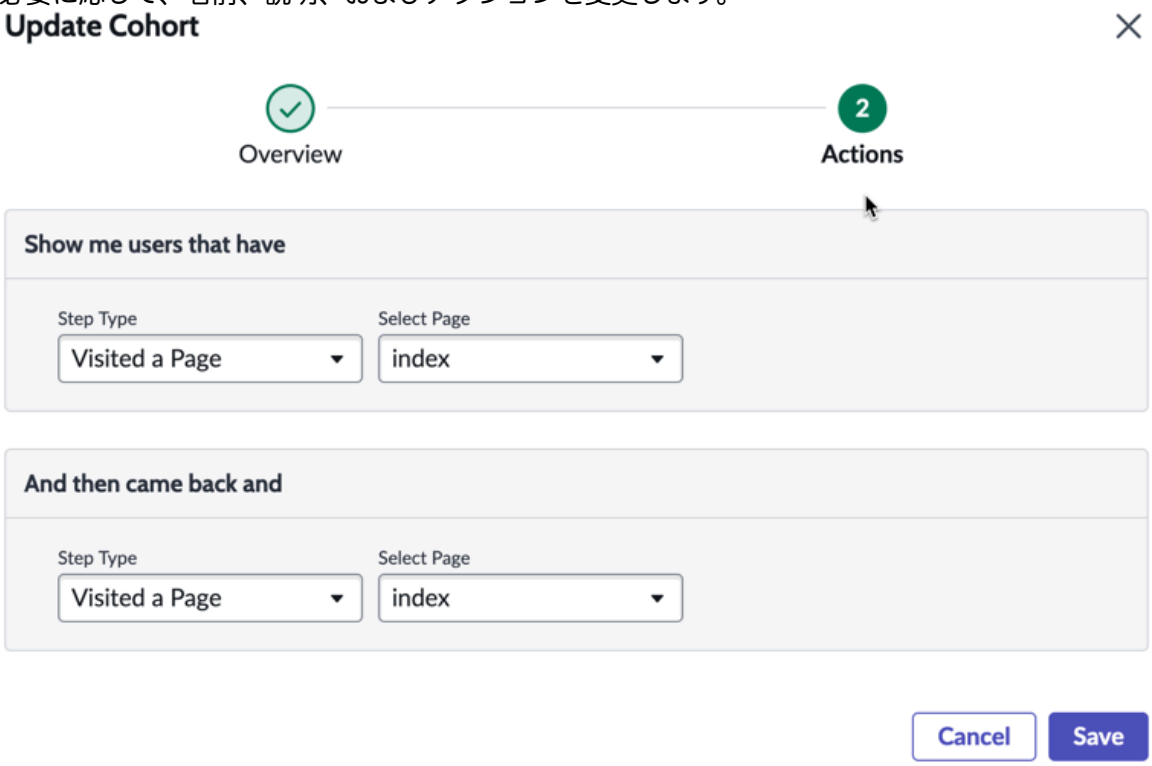
コホートセッションデータを編集して分析に含めます。

始める前に

必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセス権を持つアプリケーションのコホートを作成、編集、削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、編集するコホートを含むアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コホート分析.
4. 編集するコホートの [アクション を選択し、[編集] を選択します。
5. 必要に応じて、名前、説明、およびアクションを変更します。



6. 保存 を選択して、コホート構成を更新します。

コホートを削除する

コホートレポートを簡単に削除できます。

始める前に

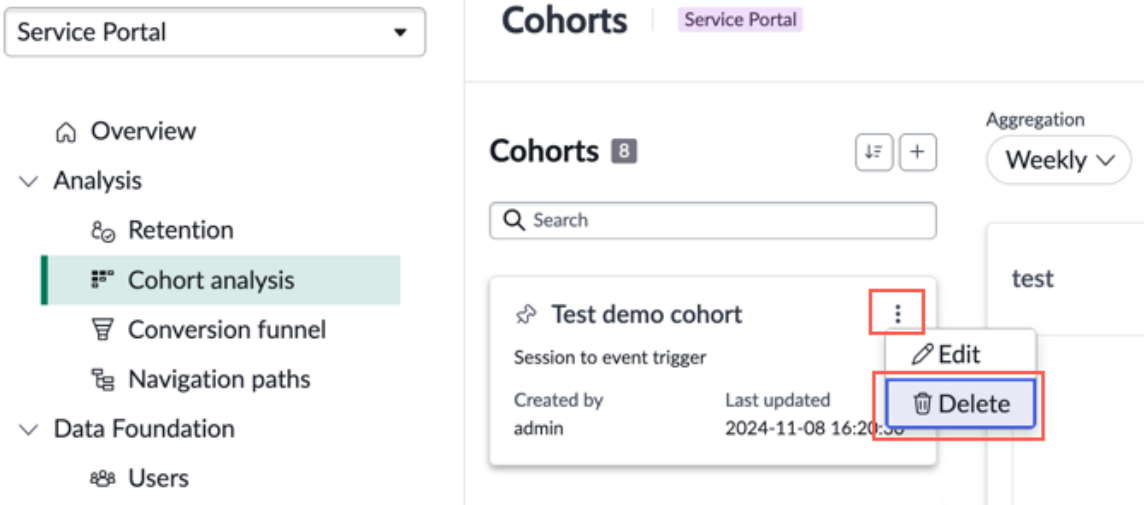
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセス権を持つアプリケーションのコホートを作成、編集、削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、削除するコホートを含むアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コホート分析.
4. 編集するコホートの [⋮] を選択し、[削除] を選択します。



5. [削除] を選択して選択を確定します。

のじょうごグラフレポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

コンバージョンファネルは、特定のアクションシーケンスを追跡し、コンバージョン率とユーザー行動の傾向を集約して表示し、特定のアプリ内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。コンバージョンファネルを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスのコンバージョン率を測定し、最適化するのに役立ちます。

じょうごグラフ分析では、オンボーディングの完了など、アプリケーションのクリティカルパスに沿って目的のアクションを完了したユーザーの割合が表示されます。ユーザーが離脱する理由を見つけることもできます。

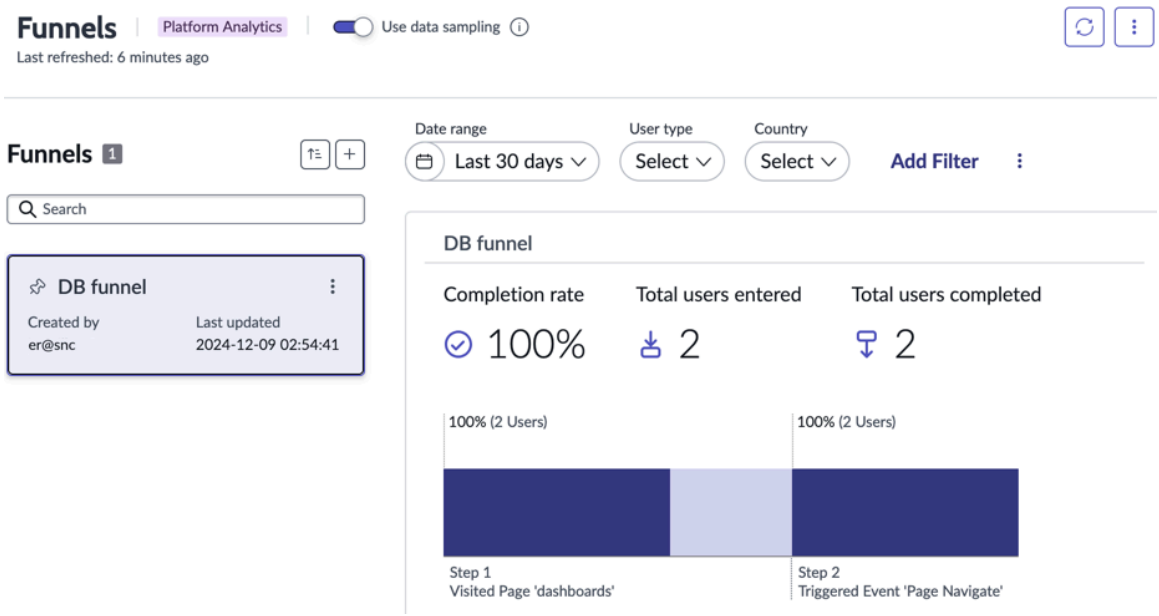
注:
コンバージョンファネルのデータは、完全なデータセットから分析されます。[データサンプリングを使用] をオンに切り替えて、15% のサンプルからのデータを分析します。

じょうごグラフには、コンバージョンの成功または失敗に至るまでのさまざまなアクションを含めることができます。ユーザーが目標に到達するまでの経路は複数ある可能性があるため、コンバージョン目標到達プロセスを複数作成して、どの目標経路がユーザーにとって最も関連性が高く効果的かを判断することをおすすめします。特定の目標に関するユーザーのコンバージョン率を測定するには、次の 3 つの主要な指標を使用して、コンバージョン ファネルの全体的な効果のベースライン評価を行います。

- あるステップから次のステップに進むユーザーの数
- 関連する換算レート
- ユーザーが次のステップに進むのにかかる平均時間

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コンバージョンじょうごグラフを作成する

コンバージョン率とユーザー行動のアグリゲートの傾向を表示して、特定のアプリケーション内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。コンバージョンファネルを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスのコンバージョン率を測定し、最適化するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp ロールを持つユーザーは、アクセス可能なアプリケーションのじょうごグラフを作成、編集、削除できます。

手順

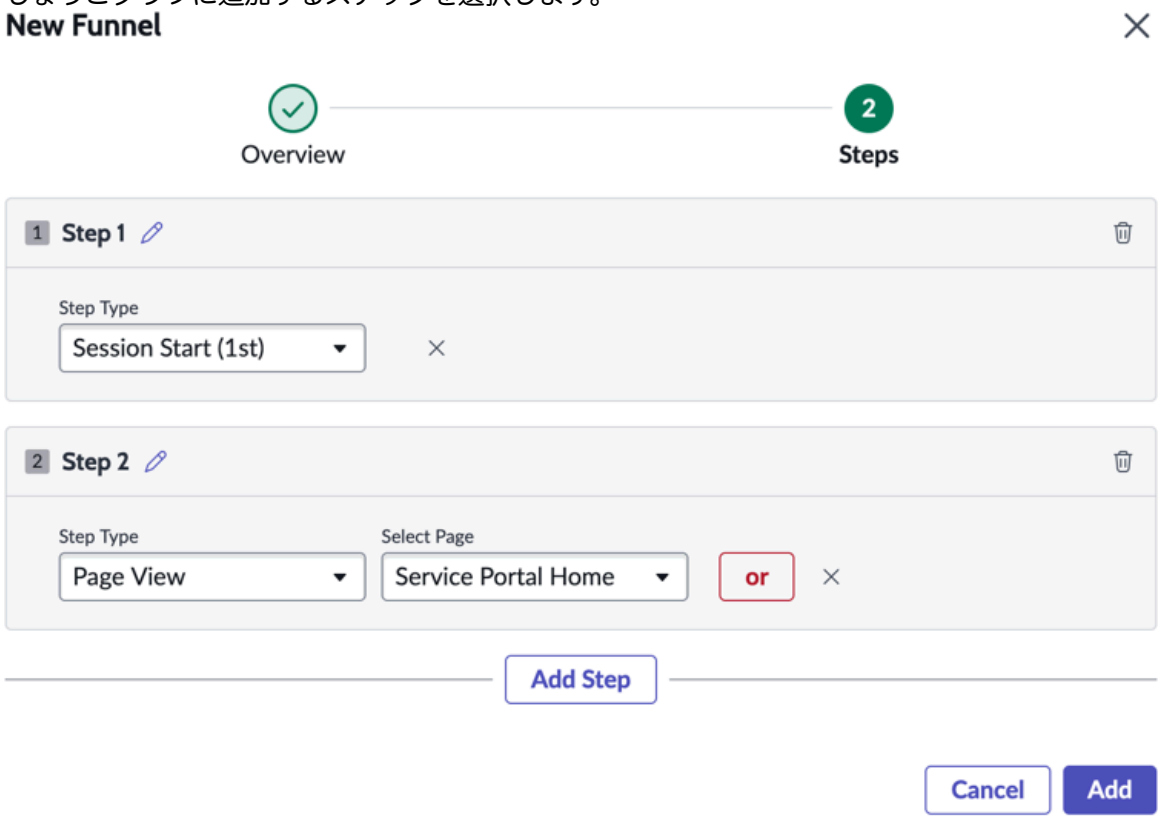
1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、コンバージョンじょうごグラフを作成するアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コンバージョンじょうごグラフ.
4. 「 新しいじょうごを作成 」ボタン(「 +)を選択します。
5. 測定する関連プロセスの名前と、必要に応じて説明を入力し、[次へ] を選択します。
6. [ステップタイプ] オプションから、測定するステップと、該当する場合は画面、イベント、またはアクションを選択します。

オプション	説明
イベントトリガー	測定する ユーザーアナリティクスイベント KPI を選択します。 選択したイベントを特定のプロパティで照合するには、[フィルタープロパティ] を選択し、ドロップダウンからプロパティを選択して、プロパティの値を入力します。
セッション開始 (初回)	ユーザーの最初のセッションを測定する場合に選択します。
セッション開始 (任意)	任意のユーザーセッションを測定する場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 該当する場合は、[または] ボタンを選択して、ユーザーがパスのその時点で選択できる代替ステップタイプを追加します。
8. じょうごグラフに追加するステップを選択します。



9. [追加] を選択してじょうごグラフを終了します。

コンバージョンじょうごグラフを編集する

収集するコンバージョンじょうごグラフのデータや、分析に含める手順を編集します。

始める前に

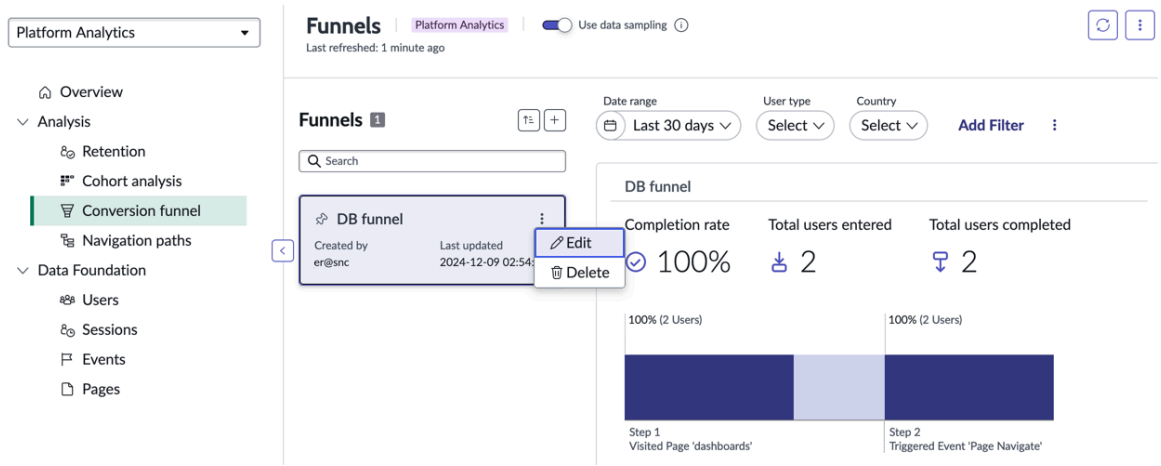
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセス可能なアプリケーションのじょうごグラフを作成、編集、削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、編集するじょうごグラフを含むアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コンバージョンじょうごグラフ.
4. 編集するじょうごの [アクション] メニュー を選択し、[編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. じょうごグラフの名前または説明を変更し、必要に応じてステップを編集または追加します。
6. [保存] を選択して、じょうごグラフの構成を更新します。

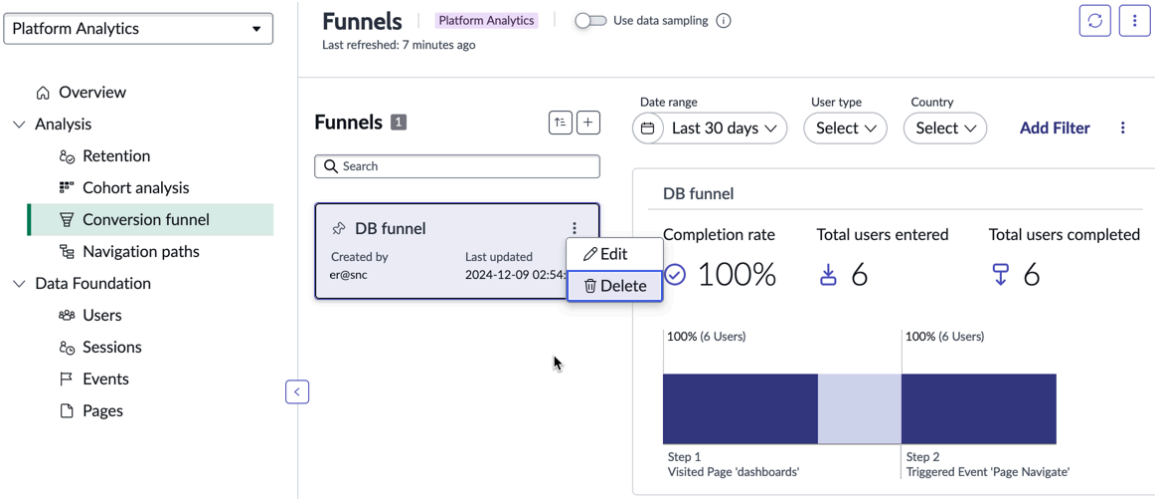
コンバージョンじょうごグラフを削除する

じょうごグラフを簡単に削除できます。

始める前に
必要なロール:analytics_viewer、portal_analytics_viewer、mobile_analytics_viewer、core_ui_analytics_viewer、now_exp
ロールを持つユーザーは、アクセス可能なアプリケーションのじょうごグラフを作成、編集、削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. [アプリケーション] リストから、削除するじょうごグラフを含むアプリケーションを選択します。
3. 選択 分析 > コンバージョンじょうごグラフ.
4. 削除するじょうごの [アクション] メニュー を選択し、[削除] を選択しま



す。

5. [削除] を選択して選択を確定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス がじょうごグラフに一致する方法

ユーザーが目標を達成する前に表示されると予想されるページのシーケンスを ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 照合する方法について説明します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス じょうご照合はセッションではなく一意のユーザーに基づいているため、セッション間でステップを照合できます。たとえば、ユーザーが最初のセッションでじょうごグラフの最初のステップを開始し、別のセッションで次のステップを続行することができます。ユーザーは選択した時間範囲で 1 回のみカウントされ、ステップ完了はユーザーごとに 1 回のみカウントされます。

じょうごグラフは、30 日以内にじょうごグラフ ステップを完了したユーザーを測定するため、ユーザーは 1 月 1 日に手順 #2 を完了し、1 月 30 日に手順 #3 を完了してカウントできます。

じょうごグラフのステップは緩やかに一致しています。ユーザーは、じょうごグラフを定義するステップ間で他のステップを実行できます。例：

じょうごグラフ A > B > C の場合:

- A > B > C が一致します。
- A > B > D > C も一致します。D は任意のユーザーアクションにすることができます。
- A > B > E が一致しない場合、ユーザーはステップ B のみを完了したと見なされます。

重複するステップを照合する場合、じょうごグラフ分析では、じょうごグラフを進行させる最初の発生が選択され、重複したステップは無視されます。たとえば、じょうごグラフ A > B > C の場合、B > C > A >を実行するユーザーの場合、2 番目の B は無視されます。

時間範囲を選択すると、分析には時間範囲内にじょうごグラフ全体を完了したユーザーのみが表示されます。ユーザーが選択した時間範囲の前後に最初のステップを開始した場合、その時間はカウントされません。

じょうごグラフ分析では、重複するじょうごグラフの入口が考慮されます。たとえば、じょうごグラフ A > B > C の場合、ユーザーは次のアクションを実行します。

A(日曜日)>B(月曜日)>A>(火曜日)>B(水曜日)>C(木曜日)

ユーザーは、日曜日 - 木曜日、月曜日 - 木曜日、火曜日 - 木曜日を選択すると戻りますが、水曜日 - 木曜日を選択した場合は戻りません。

この動作は、個々のセッションの確認と集計されたユーザー数の両方に当てはまります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 無視された発生を除き、選択したステップのじょうごプロセスを進行するすべてのセッションを表示し、ユーザーの複数のセッションを表示できます。

アプリケーションバージョンでフィルタリングすると、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが分析に表示されます。

ナビゲーションパス

ナビゲーションパスを使用すると、Web またはモバイルアプリケーションを介したユーザーのジャーニーをすばやく把握して分離できます。ユーザーが使用する最も一般的なナビゲーションパスと最も一般的でないナビゲーションパス、およびそれらを改善する方法を評価します。

ナビゲーションパスは、ユーザーがルート画面からたどるパスに関するインサイトを提供します。これらは次のことに役立ちます。

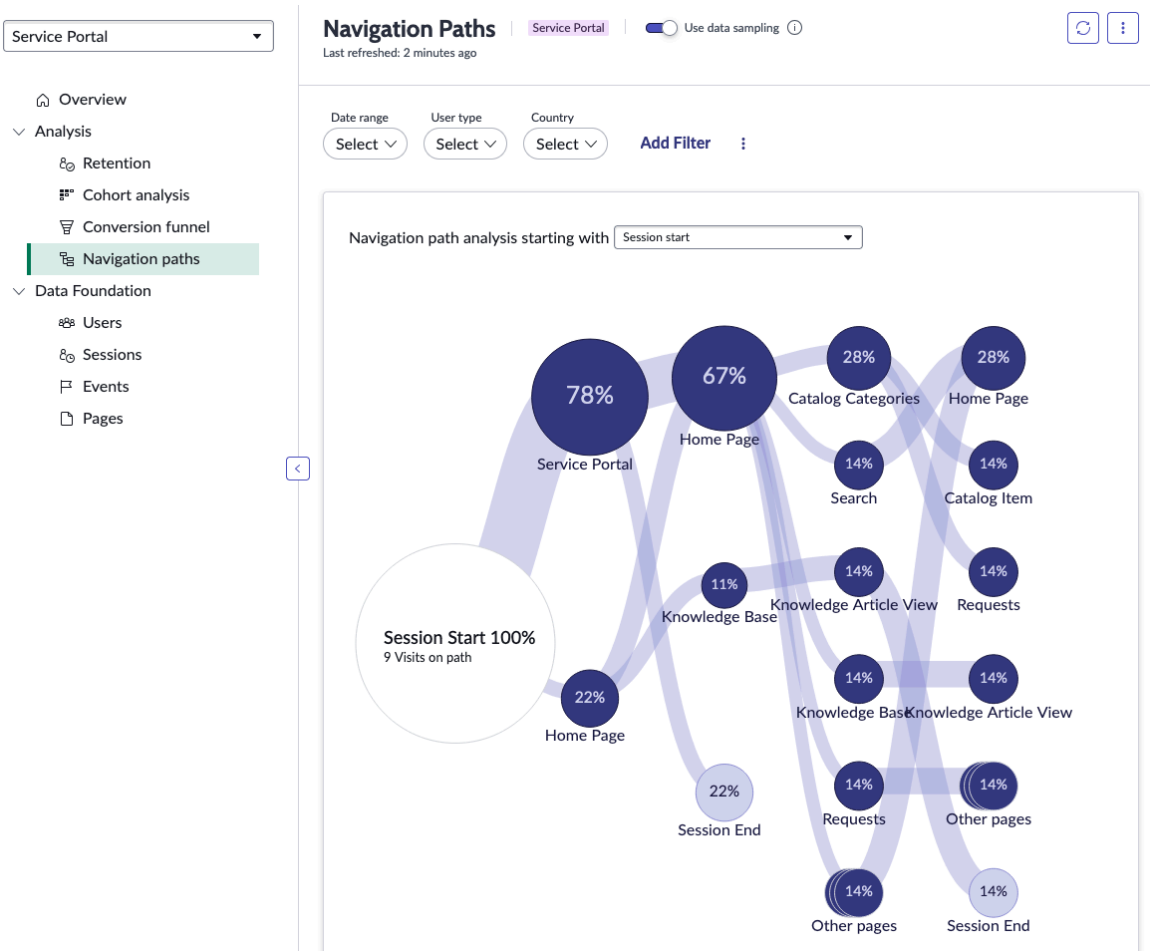
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- たとえば、2 つの画面間を行き来するナビゲーションなど、ユーザーの混乱を示すユーザージャーニーを特定します。
- 途中で終了する重要なジャーニーを特定します。
- ユーザーナビゲーションに対するポップアップの影響を理解します。

ナビゲーションパスは、アプリケーション内の特定の順序付けされたパスの頻度を示すため、ユーザーがたどる最も一般的なパスを確認できます。各画面は、ナビゲーションパス内に複数回表示できます。

注:
ナビゲーションパスデータは、デフォルトで 15% までサンプリングされます。[データ サンプリングを使用] をオフに切り替えて、完全なデータセットを分析します。



ナビゲーションパスの表示と操作

[ナビゲーションパス] 画面には、選択したアプリケーションに含まれるすべての画面のデータを含む初期可視化が表示されます。ビジュアリゼーションの各円はナビゲーションレベルを表し、前の画面からのナビゲーションの数 (最大 5 レベル) を示します。[すべてのユーザー]、[新規ユーザー]、または [リピーター] について、アナリティクスを含む可視化を表示するかどうかを選択できます。

ナビゲーションパスは、次の方法で操作できます。

自動翻訳

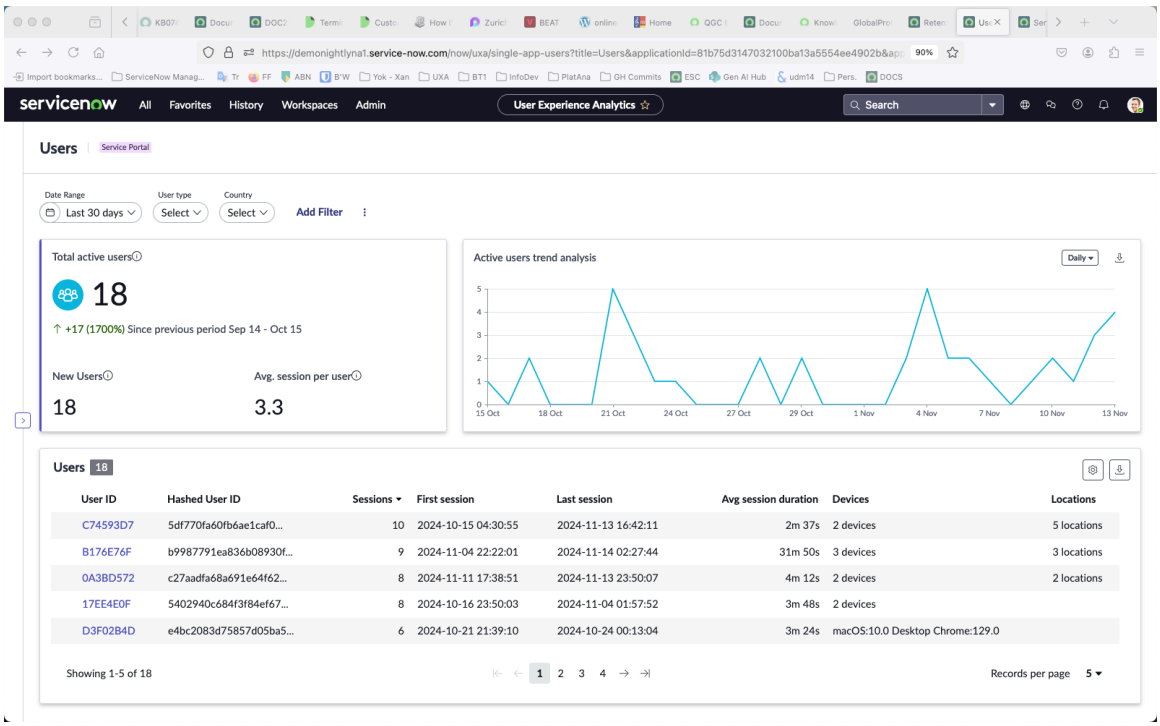
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	ステップ
ナビゲーションパスの可視化をフィルタリングします	[日付範囲]、[ユーザータイプ]、および [国] でフィルタリングすることを選択します。[フィルターの追加] を選択して、分析対象のアプリケーションに適したフィルターを現在のセッションに追加します。 ユーザータイプフィルターでは、[新規] または [戻る] を選択できます。選択をクリアすると、すべてのユーザーのアナリティクスが表示されます。
ルート画面を変更して、その画面以降のナビゲーションパスを表示します。	ルート画面を変更するには、いくつかの方法があります。 • [次で始まるナビゲーションパス分析] というラベルの付いたリストから開始画面を選択します。 • 任意のノードを選択し、もう一度選択して、そのノードをルートにします。 [ナビゲーションパス分析の開始] リストから [セッション開始] を選択して、完全なナビゲーションパス分析に戻ります。

ユーザーアナリティクスの表示

データ基盤モジュール内の [ユーザー] ページでは、最初のセッションから定義された日付範囲内の最新のセッションまで、アプリケーションの個々のユーザージャーニーを表示できます。

ユーザーのアナリティクスと動作 (タップやスワイプ、その他のタイムラインアクションなど) を表示します。表示するユーザーを選択し、フィルターを設定し、個々のユーザーセッションにドリルダウンして、より詳細なインサイトを得ることができます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーリスト

フィールド	説明
User ID (ユーザー ID)	ユーザーエクスペリエンスアナリティクスによって追跡された一意の各ユーザーにアサインされた、自動的に生成された番号。ユーザー ID を選択して、ユーザーのセッションとアクティビティタイムラインを表示します。
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ 化されたsys_id 値。実際のユーザー ID は表示されません。代わりに、SHA-256ハッシュ関数を介して自動的にハッシュされます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」と表示されます。
セッション	ユーザーがすべてのバージョンとデバイスで実行したセッションの合計数。
最初のセッション	ユーザーが最初にアプリケーションにアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
平均セッション期間	すべてのバージョンとデバイスでユーザーがアプリケーションで費やした平均時間。
デバイス	ユーザーがアプリケーションをインストールしたすべての Web またはモバイルデバイス。
所在地	ユーザーがアプリケーションにアクセスした場所の数。

注:
ユーザーリストは、ユーザーインデックスでのみ並べ替えることができます。

フィルターオプション

デフォルトでは、日付範囲、ユーザータイプ、および国でユーザーリストをフィルタリングできます。[フィルターの追加] オプションを使用すると、ロケール、部門、ロール、グループ、マネージャー、およびカスタムユーザーフィルターでフィルタリングできます。

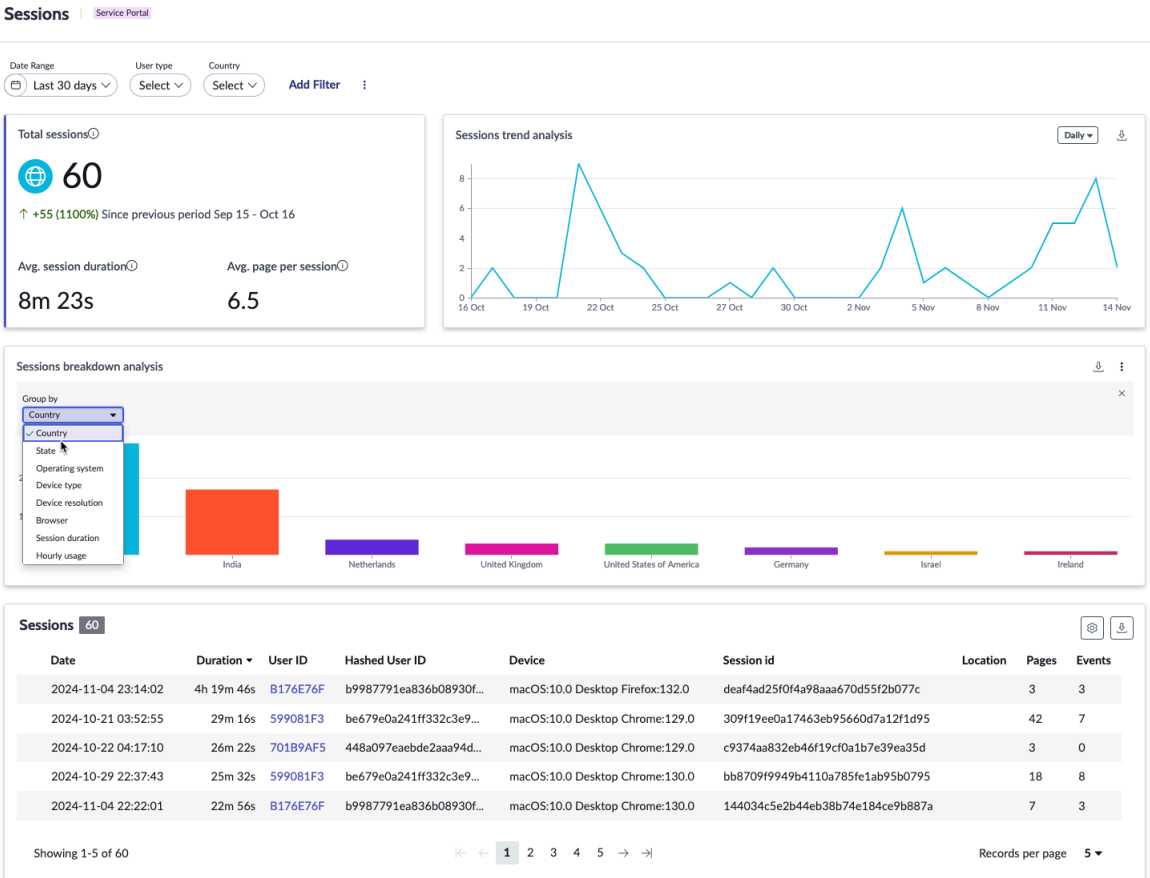
注:
[フィルターを追加] オプションでは論理 AND 演算子を使用します。つまり、結果が可視化に含まれるには、デフォルトのフィルターの条件と追加のフィルターの条件の両方を満たす必要があります。

セッションアナリティクスの表示

データ基盤モジュールの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス セッション] ページには、より詳細なインサイトを得るためにドリルダウンできるフィルター可能なアプリケーションセッションが一覧表示されます。セッションリストを絞り込んで、アプリケーションで選択された画面やイベントなどのデータに焦点を当てます。

セッションの概要を表示するには、次に移動します: **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクスを選択し、アプリケーションを選択してから、 データ基盤 > セッション 移動します[セッション] リストでユーザー ID を選択すると、そのユーザーのセッションが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



セッションリスト

フィールド	説明
日付	セッションが発生した日付。
期間	セッションが継続した時間。 **注:** ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、最大 4 時間のセッション長を追跡します。
User ID (ユーザー ID)	アプリケーションバージョンの一意のユーザーそれぞれに自動的に生成される番号。内部ユーザー ID の代わりに使用できます。ユーザー ID を選択して、ユーザーのセッションとアクティビティタイムラインを表示します。
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ 化されたsys_id 値。実際のユーザー ID は表示されません。代わりに、SHA-256 ハッシュ関数を介して自動的にハッシュされます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」と表示されます。
デバイス	ユーザーセッションが発生した特定のデバイス。
セッション ID	ユーザーの一意のセッション番号。ユーザーがセッションを開始するたびに、新しい連続するセッション番号が追跡されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セッションリスト (続く)

フィールド	説明
場所	ユーザーがアプリケーションにアクセスした場所。
ページ	ユーザーがセッション中にアクセスした画面数または表示したページ数。
イベント	ユーザーがセッション中に実行したアクションの数。

フィルターオプション

デフォルトでは、日付範囲、ユーザータイプ、および国でユーザーリストをフィルタリングできます。[フィルターを追加] オプションを使用すると、ロケール、部門、ロール、グループ、およびマネージャーでフィルタリングできます。

注:
[フィルターを追加] オプションでは論理 AND 演算子を使用します。つまり、結果が可視化に含まれるには、デフォルトのフィルターの条件と追加のフィルターの条件の両方を満たす必要があります。

セッション詳細レコード

特定のユーザーセッションの統計情報とタイムラインの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ユーザーセッションレコードからセッションの詳細レコードにアクセスします。

手順

1. 次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. アプリケーションを選択します。
3. セッションモジュールを選択します。
4. [セッション] リストでユーザー ID を選択すると、そのユーザーのセッションが表示されます。
5. セッションを選択します。

ユーザーセッションレコード

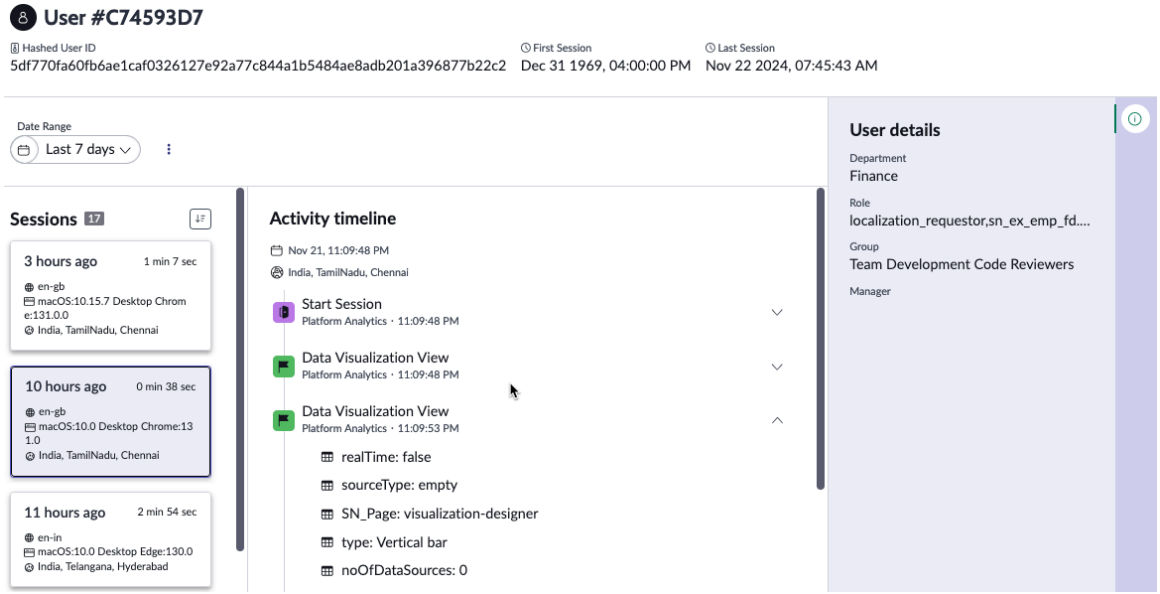
ユーザーの全体的なセッション統計情報と、ユーザーの特定のセッションのイベントタイムラインの詳細を表示します。

セッションまたはユーザーリスト画面からユーザーセッションレコードにアクセスできます。ハッシュ化されたユーザー ID を選択して、そのユーザーのセッションレコードを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開きます。セッションタイルを選択して、そのアクティビティタイムラインを表示しま



す。

フィールド	説明
User ID (ユーザー ID)	
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーごとに生成されたハッシュ 化されたsys_id 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数を介して自動的にハッシュされます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」と表示されます。
最初のセッション	ユーザーが最初にアプリケーションにアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
日付範囲	セッションリストに表示する日付の範囲を選択します。
ロケール	ユーザーがアプリケーションを表示した国、言語、地域。
デバイス	ユーザーが使用するブラウザの種類、デバイス、およびデバイスのバージョンを表示します。
セッション	次のセッションの詳細が表示されます。 • セッションが発生してからの相対時間 • 期間:セッションが続いた時間。 • セッションに使用されるオペレーティングシステム、バージョン、プラットフォーム、およびブラウザ。 • 検索:選択したユーザーのセッションに固有のセッションリストに移動します。 セッションは、日付、インデックス番号、セッション期間、またはアプリのバージョンで並べ替えることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティビティタイムライン	ユーザーセッションのイベントのタイムラインを表示します。 イベントの詳細を表示するには、タイムライン上のイベントの横にある展開アイコンをクリックします ⌄ 。
ユーザーの詳細	ロール、部門、ユーザーがアクティブかどうかなど、ユーザーに関連付けられた関連の詳細。

関連情報

セッション詳細レコード

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスイベントを表示

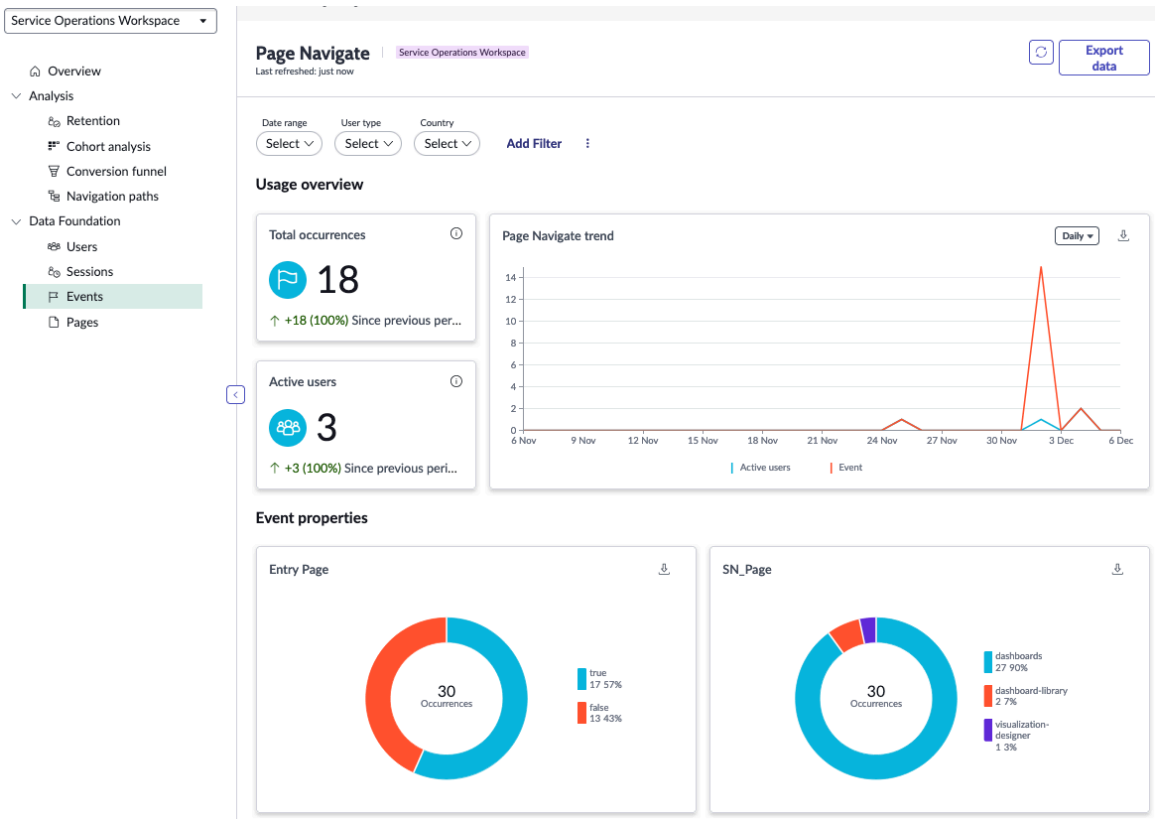
ユーザーアナリティクスイベントの発生を表示すると、ビジネスプロセス内のコアステップの分析に役立ちます。

始める前に

必要なロール：ユーザー

このタスクについて

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、アプリケーション内のすべての画面、ジェスチャー、およびユーザーアクションを自動的に検出します。メニューの選択、ボタンのクリック、スワイプなど、ユーザーがトリガーしたイベントの発生を表示できます。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. イベントを分析するアプリケーションを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 検索アイコン を選択して [検索] フィールドを開き、フィルタリングするイベントの名前を [イベント] リストに入力するか、スクロールして [イベント] リストを検索します。
すべてのアプリケーションのイベントを表示するには、アプリケーションリストから [すべてのアプリケーション] を選択し、[イベント] を選択します。

ユーザーアナリティクスイベント KPI

これらのイベント KPI は、Web およびモバイルプラットフォームで追跡されます。

イベント **KPI**

KPI	次の場合のイベントログ
アプリ起動 (外部)	ユーザーが通知またはディープリンクからアプリケーションを起動します。
ユーザーログイン	ユーザーが正常にログインしました。
アプリ/ALP を開く	ユーザーがALP /画面をタップします。
アプレットを開く	ユーザーがアプレットを開きます。
音声検索が盗聴されました	ユーザーがマイクアイコンをタップします。
サポートへの連絡がタップされました	ユーザーが [サポートへの連絡] アイコンをタップします。
フィールドアクション	ユーザーが [通話] や [メール] などのボタンをタップします。
検索開始	検索アクションが開始されます。
検索完了	検索アクションが完了しました。この時間はミリ秒単位で記録されます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ページおよび画面用

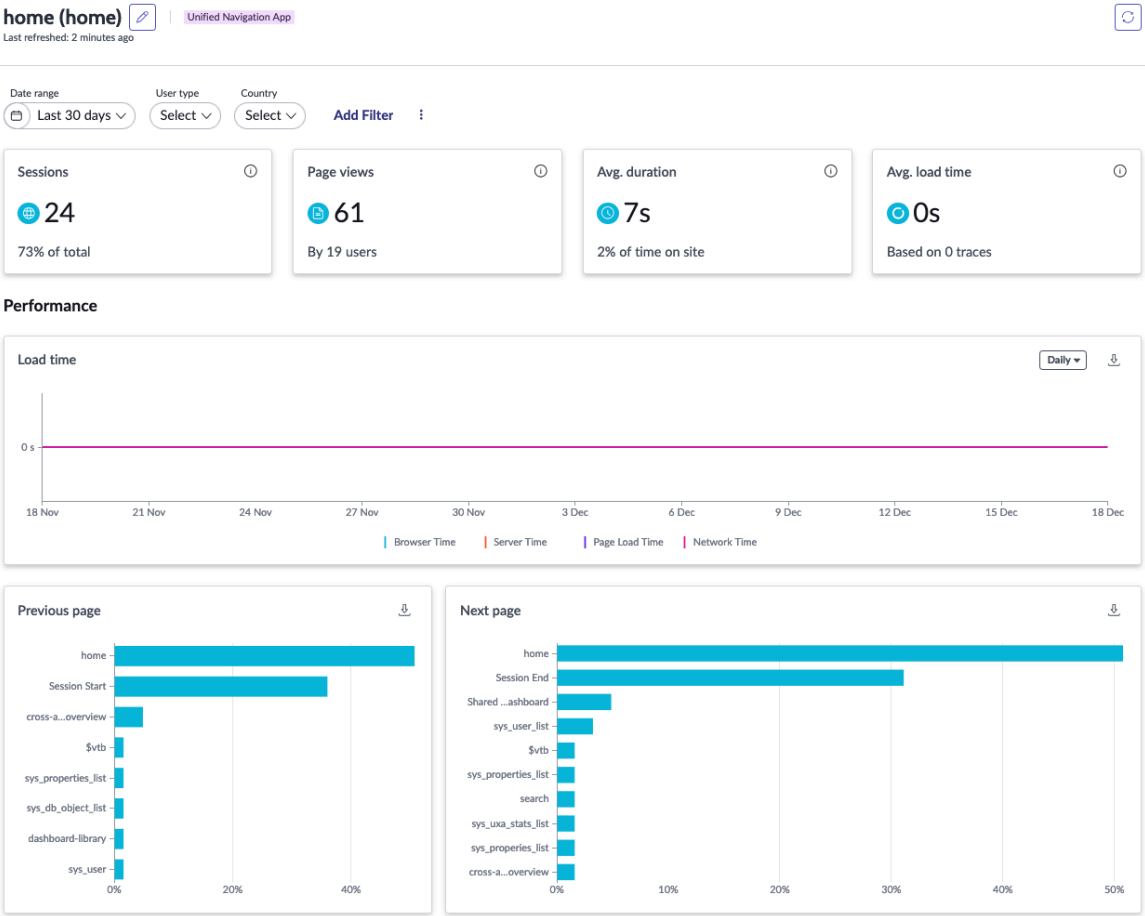
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の UI 分析のページモジュールには、ページの使用とナビゲーションに関して、Web ベースの UI のページに固有のアナリティクスが表示されます。各 Web ページのユーザーアクション、パフォーマンス、およびナビゲーションの詳細を表示して、ユーザーに問題が発生している可能性のあるページを特定し、それに応じてワークフローを最適化します。

モバイルアプリケーションの類似のモジュールはScreensです。詳細については、「User Experience Analytics for mobile applications」を参照してください。

注:
ページとリストのデータは、平均期間が使用されるたびに 15% にサンプリングされます。

自動翻訳

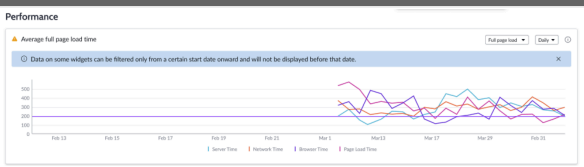
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アイテム	説明
ページ名	選択したページの名前。ページの名前を変更するには、編集アイコン 編集 を選択します。
セッション	指定されたページに含まれるセッションの数を表示します。セッション中にページが複数回開かれた場合は、1 回のみカウントされます。
ページビュー	選択したページのビュー数と、そのページにアクセスしたユーザーの数を表示します。
平均期間	ページで費やされた平均時間と、セッション中にアプリ全体で費やされた時間に対するページで費やされた時間の割合を表示します。
平均ロード時間	ページが表示された回数に基づいて、ページのロードにかかる平均時間を表示します。
パフォーマンスグラフ	選択したトレースタイプの日次、週次、または月次のパフォーマンス傾向をグラフで表示します。メニュー矢印から、[ブラウザー時間]、[サーバー時間]、[ページのロード時間]、[ネットワーク時間] のいずれかのトレースタイプを選択します。パフォーマンスグラフは、パッチ 1 のインストールからデータを収集 Yokohama 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
	
ページのロード時間	ブラウザーでページが完全にレンダリングされた時間からユーザーがページを要求した時間を差し引いた、ページの全体的な配信時間
サーバー時間	サーバーがトランザクションを処理するのにかかる時間
ネットワーク時間	ネットワークが要求を処理するのにかかる時間。ブラウザーでページのロードが開始された時間からユーザーの要求の時間を差し引き、さらにサーバーの処理時間を差し引いて計算されます。
クライアント時間	ブラウザーでページのロードを開始した時間から、ページが完全にレンダリングされた時間を差し引いた、ブラウザーがページを配信するためにかかった時間
ナビゲーション	
前のページ	ユーザーが選択したページにアクセスしたトップページを表示します。また、各ページへのナビゲーションの合計数に対する各ページから到着するセッションの割合。まれなアクションは省略される場合があります。
次のページ	選択したページからユーザーがアクセスしたトップページを表示します。また、そこからの総ナビゲーション数に対する、各ページに移動するセッションの割合。

フィルターオプション

デフォルトでは、日付範囲、ユーザータイプ、および国でページをフィルタリングできます。[フィルターを追加] オプションを使用すると、[ロケール] や [ロール] などの他のフィールドをフィルタリングできます。

> **注:**
> [フィルターを追加] オプションでは論理 AND 演算子を使用します。つまり、結果が可視化に含まれるには、デフォルトのフィルターの条件と追加のフィルターの条件の両方を満たす必要があります。

ページアナリティクスを表示

各ページのユーザーアクション、パフォーマンス、およびナビゲーション分析を表示します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス.
2. アプリケーションを選択してから、 データ基盤 > ページ.
   モバイルアプリケーションの場合は、 データ基盤 > スクリーニング.
3. ページリストをスクロールするか、検索アイコン (🔍) を使用してページを見つけて選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

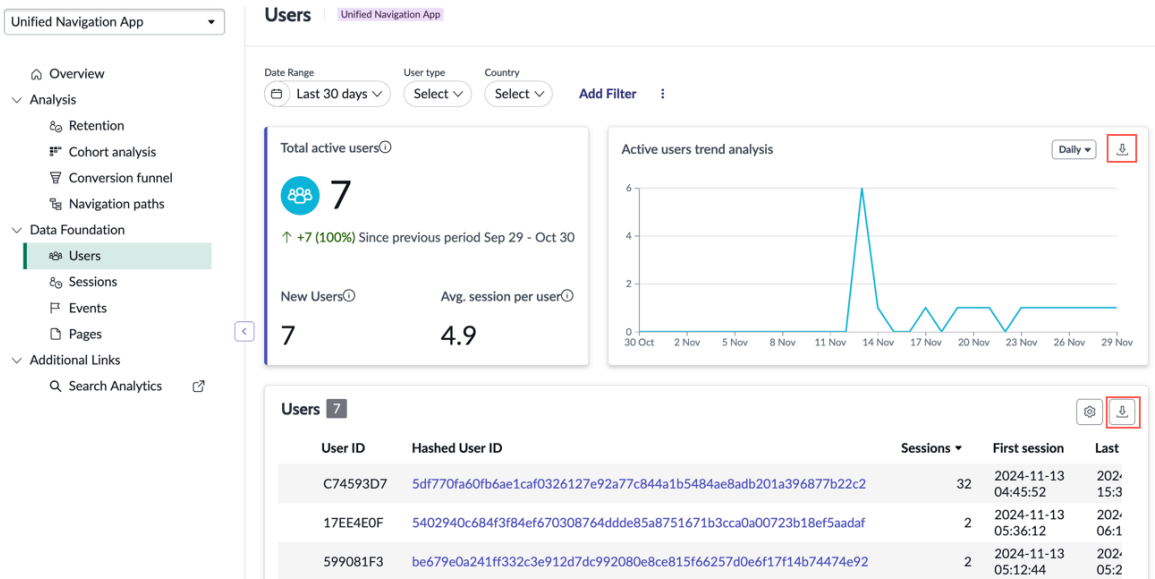
データのエクスポート

データレコードを CSV 形式にエクスポートできます。ユーザーとセッションのリスト、およびその他のアナリティクスデータを CSV にエクスポートすることは、ダウンロードアイコン ( ) が表示されている場所であればどこでも利用できます。

注:
ダウンロードアイコンのない可視化からデータをエクスポートすることはできません。ほとんどの [イベント] ページで [データをエクスポート] ボタンを使用して、ページ全体からデータを CSV 形式でエクスポートします。

概要モジュール、保持モジュール、ユーザーモジュール、セッションモジュール、イベントモジュール、ページモジュールにはすべて、エクスポート可能なデータを含む可視化が含まれています。テーブルからのデータのエクスポートは 10,000 レコードに制限されています。

( ) を選択して、データの自動エクスポートを開始します。ダウンロード場所はブラウザの設定で指定します。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの参照

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス とともにインストールされるロールとプロパティ。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスとともにインストールされるロール

さまざまなユーザーが ユーザーエクスペリエンスアナリティクス内で実行できるアクティビティを区別するために、いくつかのロールがインストールされます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はこれらのロールを使用します。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

アナリティクスアドミン **[analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内の設定を表示し、各モバイル、Web、およびサービスポータルアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ティクス 設定を制御します。アサインされたユーザーは、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション内でじょうごグラフレポートとコホートレポートを作成できます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- analytics_viewer
- chat_analytics_admin
- mobile_analytics_admin
- sdk_analytics_admin
- web_analytics_admin

- アプリケーションナビゲーターの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内で設定を表示できます。
- モバイル、Web、およびサービスポータルの各アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御できます。
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス内でじょうごグラフレポートとコホートレポートを作成できるようにするためのアドミンロール権限が必要です。

グループ

アナリティクスアドミン [analytics_admin] は、アナリティクス設定マネージャーグループに含まれています。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

モバイルアナリティクスアドミン **[mobile_analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 内で設定を表示し、各モバイルアプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御します。アサインされたユーザーには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション内でじょうごグラフレポートとコホートレポートを作成できるアドミンロール権限が付与されます。

ロールを含む

モバイルアナリティクスアドミン [mobile_analytics_admin] には、モバイルアナリティクスビューアー [mobile_analytics_viewer] ロールが含まれます。

グループ

モバイルアナリティクスアドミン [mobile_analytics_admin] は、モバイルアナリティクス設定マネージャーグループに含まれています。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「User Experience Analytics for mobile applications」を参照してください。

Web アナリティクスアドミン [web_analytics_admin]

アプリケーションナビゲーターの [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] で設定を表示し、各 Web アプリケーションの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を制御します。アサインされたユーザーには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーション内からじょうごグラフレポートとコホートレポートを作成するためのアドミンロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- core_ui_analytics_admin
- now_experience_analytics_admin
- portal_analytics_admin
- web_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスビューアー [analytics_viewer]

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を表示します。アサインされたユーザーには、モバイルアプリケーションおよび Web アプリケーション用の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の表示ロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- web_analytics_viewer
- mobile_analytics_viewer
- sdk_analytics_viewer
- chat_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルアナリティクスビューアー **[mobile_analytics_viewer]**

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を表示します。アサインされたユーザーには、モバイルアプリケーション向け ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの表示ロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし

詳細については、「User Experience Analytics for mobile applications」を参照してください。

Web アナリティクスビューアー **[web_analytics_viewer]**

アプリケーションナビゲーターで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を表示します。アサインされたユーザーには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス for Web アプリケーションのビューアーロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- portal_analytics_viewer
- core_ui_analytics_viewer
- now_experience_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

システムプロパティを使用して、プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、サービスポータル、および 仮想エージェント の [対話型アナリティクス] 領域でユーザーエクスペリエンスアナリティクスを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般的な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

プラットフォームアナリティクス、ServiceNow モバイルプラットフォーム、サービスポータル、および 仮想エージェント の [会話型アナリティクス] 領域で、次のシステムプロパティを使用します。

glide.analytics.enabled

ユーザーアナリティクスを追跡するオプションを有効にするかどうかを選択します。

- タイプ：true | false
- デフォルト値：false

glide.analytics.user.consent.script_timeout

プロバイダーのカスタムスクリプトをトリガーするときに、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの同意ポリシーメカニズム中にスクリプトを実行できる最大時間 (ミリ秒)。最小値は 100 ミリ秒です。最大値は 5000 ミリ秒です。

- タイプ: 文字列
- デフォルト値：2000

サービスポータル の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

次のシステムプロパティは、 サービスポータル でのみ使用します。

glide.analytics.tracking.force_allowed.portals

指定されたポータルのユーザーの同意ポップアップをオフにします。

- タイプ: 文字列
- デフォルト値：なし

glide.analytics.tracking.restricted.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡をオフにします。

このプロパティは *glide.sp.analytics.enabled.portals* プロパティを上書きします。ポータルを指定するには、その sys_id を [値] フィールドに貼り付けます。複数のポータルを指定するには、スペースを入れずにカンマ区切りのリストを入力します。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：なし

glide.sp.analytics.enabled.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡を有効にします。デフォルトでは、ベースシステムのサービスポータルで追跡が有効になっています。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：81b75d3147032100ba13a5554ee4902b

期間の計算

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス期間には特定の計算があります。これらの式を確認して、ページあたりの平均所要時間とサイト滞在時間の割合の値を把握してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページあたりの平均所要時間

ページあたりの平均所要時間は、ページの滞在時間の合計を、そのページのインプレッション数からそのページからの離脱数を差し引いて計算されます。

たとえば、指定した日付範囲内にダッシュボードの概要が 10 回表示されます。このページには合計 720 秒が費やされます。これらの外観のうち4回では、ダッシュボードの概要はページ上での対話なしにセッションを終了しました。したがって、平均期間の計算は 720 / 10 - 4 = 120 秒です。

オンサイト時間の割合

サイトでの滞在時間の割合は、ページ上の滞在時間の合計を、すべてのページ再生時間の合計に 100 を掛けて割って計算されます。

たとえば、サービスポータルアプリケーションには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスによって追跡される 3 つのページ (ホーム、ナレッジ、要求) が含まれています。指定された日付範囲内にホームページで費やされた合計時間は 900 秒です。[ナレッジ] ページでは 300 秒。[要求] ページで 300 秒。ホームページの時間の割合は、(900 / 900 + 300 + 300) * 100 = 60% として計算されます

プロセスマイニング

プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスを迅速に分析して最適化するのに役立ちます。

データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。プロセスマイニングでは、次のことができます。

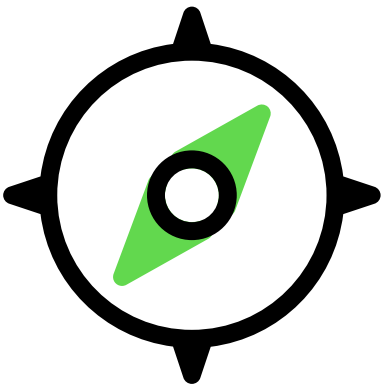
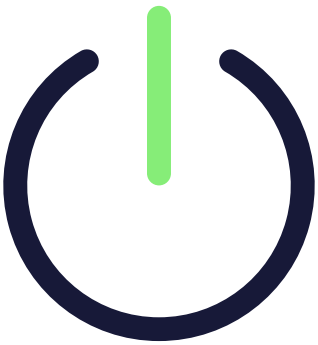
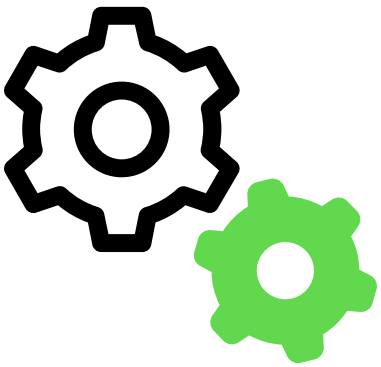
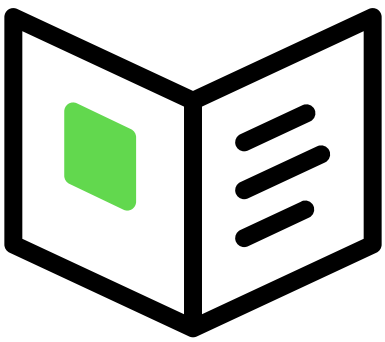
- プロセスの実行またはカスタマージャーニーを可視化し、採用およびユーザーエクスペリエンスについてのインサイトを提供します。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。
- ボトルネックを特定し、重要業績評価指数に与える影響を確認して、根本原因となる問題を解決できるようにします。詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
- 複数のテーブルを 1 つのビューにマイニングすることで、SLA 違反の理由を理解します。詳細については、「多次元マイニングの構成」を参照してください。
- 自分が作成したプロジェクト、自分と共有したプロジェクト、またはすべてに基づいて、アナリストワークベンチにフィルターを適用します。詳細については、「プロジェクトデータのフィルタリング」を参照してください。
- プロセスの監査により、重要な変更や潜在的な問題がビジネスに悪影響を及ぼす前に、すぐに検出することができます。
- ServiceNow® パフォーマンスアナリティクスおよび継続的改善管理と統合して、プロセスを改善する機会を見つけます。詳細については、「インジケーターデータソース (PA) との統合」および「継続的改善管理 との統合」を参照してください。
- プロセスを比較して、パフォーマンスの違いや逸脱を調査します。詳細については、「プロジェクトの比較」を参照してください。
- メインの業務に影響しているものをより包括的に把握するために、連携しているプロセスをリンクします。詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。
- アクティビティ移行を表示して、特定のメトリクス全体で上位の貢献アクティビティ移行を確認します。詳細については、「アクティビティへの移行フィルターの適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 機械学習と AI の拡張性によって、高度な計算を実行します。
- 機械学習 (ML) ベースのクラスター分析を実行して、インスタンスまたはレコードの類似のグループ化またはパターンを検出します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。

始めましょう

探索	アクティブ化	構成
		
プロセスマイニング概念と機能について説明します	アクティブ化する方法を学習する プロセスマイニング	プロセスマイニング の構成
使用	**参照**	
		
使用方法を学ぶ プロセスマイニング	主要な用語やインストールされているコンポーネント情報などの プロセスマイニング の詳細を取得します	

プロセスマイニング の探索

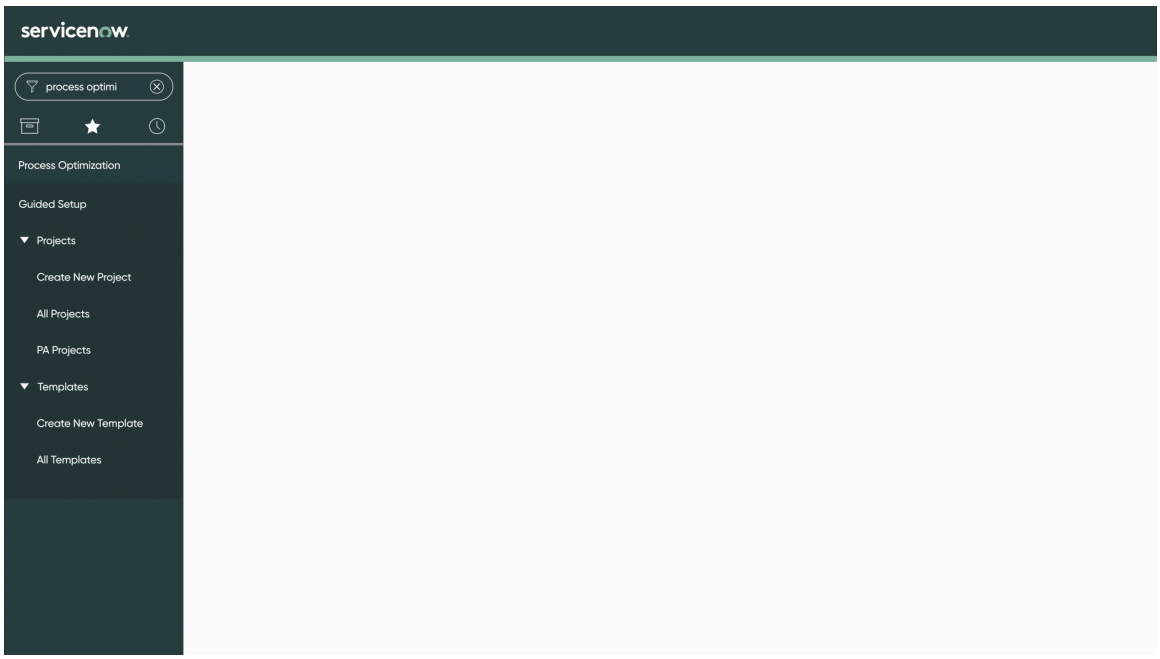
プロセスマイニングを使用して、ビジネスプロセスを分析および最適化します。

プロセスマイニング を使用すると、次のようなプロセス改善の質問に対する回答を見つけることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスに最も時間を費やしたり、無駄にしたりしている場所はどこですか?
- プロセスのパフォーマンスが遅い根本原因は何ですか?
- ビジネスはプロセスのどこに自動化を適用する必要がありますか?
- どこでやり直しが行われていますか?
- プロセス内の各アクティビティのコスト概算と節減額はどのくらいですか?
- ビジネスのプロセスにどの程度の逸脱がありますか?



アナリストは次のことができます。

- ITSM の CSM、 ファイナンシャルサービスオペレーション、 HR サービスデリバリ (HRSD) プロセスを積極的に評価して改善します。
- デジタルトランスフォーメーションを加速します。データとベストプラクティスコンテンツに基づいて、改善と自動化の領域を見つけます。

プロセスオーナーは、次のことができます。

- プロセスを可視化し、コラボレーションを開始します。
- プロセスのボトルネックを評価し、弱点のある領域を見つけて、最適化が可能な領域を見つけます。

プロセスマイニング の主な機能

このトピックでは プロセスマイニング の主な機能をいくつか紹介します。

自動プロセス検出

プロセステーブル、およびマイニングするアクティビティとブレークダウンを選択して、プロジェクトを定義します。プロジェクトビルダーでプロジェクトを編集することもできます。

ビジネスプロセスのアクティビティ定義を少なくとも 1 つ設定します。アクティビティは、ビジネスプロセスの一部として発生する可能性のあるさまざまなステップを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターとして機能し、カテゴリのボリューム、速度、および適合率に関するインサイトを提供するブレークダウンを構成する必要があります。

[サマリーとインサイト] ページ

プロセスのパフォーマンスをすばやく把握します。[サマリーとインサイト] ページから、重要業績評価指標、改善機会の概要、改善機会のリストを表示します。詳細については、「[サマリーとインサイト] ページ」を参照してください。

アナリストワークベンチ

インタラクティブなプロセスマップ、探索的フィルターパネル、およびビルド済みのパフォーマンスメトリクスを使用して、ビジネスワークフローを視覚的に分析します。プロセスのばらつき、ブレークダウン、ボトルネック分析、ML およびスマートルールベースのインサイトを確認できます。また、重複する監査がすべて削除され、グラフ内のすべてのセルフループが削除されます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

簡単なコラボレーションと共有

プロジェクトをステークホルダーと共有し、プロジェクト内でメモやスクリーンショットを使用して共同作業を行います。プロジェクトの共有の詳細については、「 プロセスマイニングプロジェクトの共有」を参照してください。メモの作成の詳細については、「 プロジェクトへのメモの追加」を参照してください。

統合された継続的な最適化

改善イニシアチブのステータスを作成および表示します。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスとベンチマークとの統合

- パフォーマンスアナリティクス統合を使用して、根本原因分析のために低パフォーマンスのインジケーターを分析します。詳細については、「インジケーターデータソース (PA) との統合」を参照してください。
- ベストプラクティスベースの実装を使用します。事前定義された ITSM プロセスマイニング プロジェクトと改善イニシアチブにより、価値実現までの時間を短縮できます。詳細については、「のコンテンツパック ITSM」を参照してください。

プロセスを比較

プロセスを比較して、パフォーマンスの違いや逸脱を調査します。詳細については、「プロジェクトの比較」を参照してください。

多次元プロセス

多次元プロセスとは、テーブルの階層のマイニングを指します。これはマルチテーブルマイニングです。これは、プロセスの依存関係をより包括的に表示するために使用されます。詳細については、「多次元マイニングの構成」を参照してください。

ボトルネック分析

ボトルネック分析機能で定義したアクティビティ移行を表示します。詳細については、「ビジネスインサイトの表示」を参照してください。

ML ベースのクラスタリングを使用したプロセスの分析

類似のレコードを機械学習パターン識別クラスターにグループ化します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。

パフォーマンスインジケーターとレコードリストの背後にあるプロセスを迅速に分析します

不適切なサービスレベルアグリーメントや CSAT スコアなどのシナリオの背後にあるプロセスを簡単に確認できます。任意のプラットフォームリストまたはレポートから分析を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価 プロセスマイニング

サポートされているいくつかのビジネスプロセスを使用して プロセスマイニング を評価します。

このセクションでは、次のセクションについて説明します。

プロセスマイニング の評価プロジェクト インシデント管理

プロセスマイニングインシデント管理の評価プロジェクトは、プロセスマイニングの制限付きバージョンです。これは プロセスマイニング プラグインの一部として出荷され、ITSMプロセスマイニングの資格がない顧客が利用できます。これにより、 プロセスマイニング 機能を使用したプロセスの改善に慣れることができます。

ITSM顧客は、本番インスタンスのインシデント管理ビジネスプロセスを使用してプロセスマイニングを評価できます。これが可能なのは、すべての本番インスタンスで プロセスマイニング プラグイン (sn_po) がデフォルトで有効になっているためです。プロセスマイニングを評価するために、独自のデータを使用して製品の機能に慣れることができる新しいプロジェクトタイプが導入されています。

注:
この新しいプロジェクトタイプでは、ITSM インシデント管理 KPI を使用して、限られたレコードで本番インスタンスのプロセスマイニングを評価できます。ただし、他の機能制限なしに、準本番インスタンスのサンプルマイニング機能を使用して、独自のプロジェクトを評価して プロセスマイニング 試すことができます。これらは、完全なライセンスなしで プロセスマイニング 機能を評価するための 2 つの代替的かつ補完的な方法です。

この評価版は、本番インスタンステーブルに保存したデータで動作します。インシデント管理の評価プロジェクトについてはプロセスマイニング次の点に注意してください。

- 過去 7 日間に解決されたレコードを最大 3600 件に制限されている、事前設定された プロセスマイニング プロジェクト構成のインシデント管理にアクセスできます。過去 7 日間に解決されたレコードが 3600 件を超える場合、評価は最初の 3600 件のレコードに制限されます。
- デフォルトのアクティビティ定義は、[ステータス] と [アサイン先グループ] です (ステータスとアサイン先グループを分析できます)。
- ピンポンややり直しなど、複数の自動化された改善の機会が含まれています。
- 紹介ビデオ、FAQ、アカデミーセッション、ユースケースが含まれています。

必要なロール (itil、snc_internal) がある場合は、ITSM インシデント管理 パフォーマンスアナリティクス KPI または プロセスマイニング ワークスペースを介して ITSM インシデント管理プロセスマイニングを評価できます。

パフォーマンスアナリティクス KPI 詳細とアナリティクスハブアイコンは、itil、sn_sd.success_dashboard_read、sn_sd.success_dashboard_details_read、および business_stakeholder ロールでのみ使用できます。promin.evaluation_pa_integration_rolesを sys_propertyテーブルに追加することで、KPI 詳細とアナリティクスハブで評価プロジェクトが公開されるロールをカスタマイズできます。デフォルトのロールが上書きされます。

詳細については、「評価プロジェクト プロセスマイニング 実行」を参照してください。

関連情報

- インラインエディターでダッシュボードを作成する
- アナリティクスハブ

プロセスマイニング の評価プロジェクト カスタマーサービス管理 (CSM)

プロセスマイニング Evaluation Project for カスタマーサービス管理 (CSM) (CSM) は、 プロセスマイニング の制限付きバージョンです。これは プロセスマイニング プラグインの一部として出荷さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

れ、CSMプロセスマイニングの資格がない顧客が利用できます。これにより、 プロセスマイニング機能を使用したプロセスの改善に慣れることができます。

CSM顧客は、本番インスタンスのCSMビジネスプロセスを使用してプロセスマイニングを評価できます。これが可能なのは、すべての本番インスタンスで プロセスマイニング プラグイン (sn_po) がデフォルトで有効になっているためです。プロセスマイニングを評価するために、独自のデータを使用して製品の機能に習熟できる新しいプロジェクトタイプが導入されました。

注:
この新しいプロジェクトタイプでは、CSM KPI を使用して、限られたレコードで本番インスタンスのプロセスマイニングを評価できます。ただし、他の機能制限なしに、準本番インスタンスのサンプルマイニング機能を使用して、独自のプロジェクトを評価して プロセスマイニング 試すことができます。これらは、完全なライセンスなしで プロセスマイニング 機能を評価するための 2 つの代替的かつ補完的な方法です。

この評価版は、本番インスタンステーブルに保存したデータで動作します。CSMの評価プロジェクトについてはプロセスマイニング次の点に注意してください。

- 過去 7 日間に解決された最大 3600 レコードに制限されている、事前設定されたプロセスマイニングプロジェクト構成CSMにアクセスできます。過去 7 日間に解決されたレコードが 3600 件を超える場合、評価は最初の 3600 件のレコードに制限されます。
- デフォルトのアクティビティ定義は、[ステータス] と [アサイン先グループ] です (ステータスとアサイン先グループを分析できます)。
- ピンポンややり直しなど、複数の自動化された改善の機会が含まれています。
- 紹介ビデオ、FAQ、アカデミーセッション、ユースケースが含まれています。

必要なロール (sn_customerservice_manager と sn_customer_service_agent) がある場合は、パフォーマンスアナリティクス KPI または プロセスマイニング ワークスペースを介してCSMのプロセスマイニングを評価できます。

詳細については、「評価プロジェクト プロセスマイニング 実行」を参照してください。

関連情報

インラインエディターでダッシュボードを作成する

アナリティクスハブ

プロセスマイニング ヒューマンリソース **(HR)** 向け評価プロジェクト

プロセスマイニング Evaluation Project for Human Resources (HR) は、 プロセスマイニング の制限付きバージョンです。これは プロセスマイニング プラグインの一部として出荷され、HRプロセスマイニングの資格がない顧客が利用できます。これにより、 プロセスマイニング 機能を使用したプロセスの改善に慣れることができます。

HR顧客は、本番インスタンスのHRビジネスプロセスを使用してプロセスマイニングを評価できます。これが可能なのは、すべての本番インスタンスで プロセスマイニング プラグイン (sn_po) がデフォルトで有効になっているためです。プロセスマイニングを評価するために、独自のデータを使用して製品の機能に習熟できる新しいプロジェクトタイプが導入されました。

注:
この新しいプロジェクトタイプでは、HR KPI を使用して、限られたレコードで本番インスタンスのプロセスマイニングを評価できます。ただし、他の機能制限なしに、準本番インスタンスのサンプルマイニング機能を使用して、独自のプロジェクトを評価して プロセスマイニング 試すことができます。これらは、完全なライセンスなしで プロセスマイニング 機能を評価するための 2 つの代替的かつ補完的な方法です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この評価版は、本番インスタンステーブルに保存したデータで動作します。HRの評価プロジェクトについてはプロセスマイニング次の点に注意してください。

- 過去 7 日間にクローズされたレコードを最大 3600 件に制限して、事前設定された プロセスマイニング プロジェクト構成にアクセスできます。過去 7 日間にクローズされたレコードが 3,600 件を超える場合、評価は最初の 3,600 件のレコードに制限されます。
- デフォルトのアクティビティ定義は、[ステータス] と [アサイン先グループ] です (ステータスとアサイン先グループを分析できます)。
- ピンポンややり直しなど、複数の自動化された改善の機会が含まれています。
- 紹介ビデオ、FAQ、アカデミーセッション、ユースケースが含まれています。

次の必要なロールがある場合は、[HR のプロセスマイニング] アイコンまたは [パフォーマンスアナリティクス KPI] アイコンが表示されます。

- pa_threshold_admin
- sn_hr_core.admin
- sn_hr_core.manager
- sn_hr_core.report_creator
- sn_hr_onboarding.admin
- sn_hr_pa.admin
- sn_piwb_hr_content.admin

promin.evaluation_pa_integration_rolesをsys_propertyテーブルに追加することで、KPI 詳細とアナリティクスハブで評価プロジェクトが公開されるロールをカスタマイズできます。デフォルトのロールが上書きされます。

詳細については、「評価プロジェクト プロセスマイニング 実行」を参照してください。

関連情報

インラインエディターでダッシュボードを作成する

アナリティクスハブ

評価プロジェクト プロセスマイニング 実行

プロセスマイニング評価プロジェクトを実行して、プロセスマイニング機能を使用したプロセスの改善について理解します。

始める前に

必要なロール：なし

プロセスマイニング評価プロジェクトを実行するための唯一の基準は、テーブルにアクセスできることです。評価プロジェクトは、テーブルにアクセスしなくても実行できますが、その場合、空のプロジェクトになります。

評価プロジェクトは、 プラットフォームアナリティクス または プロセスマイニング ワークスペースから実行できます。

このタスクについて

評価プロジェクトは、 プラットフォームアナリティクス または プロセスマイニング ワークスペースから実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プラットフォームアナリティクスから評価プロジェクトを実行するには:

   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > **KPI**.

   b. KPI を選択します。

   c. [プロセス分析の実行] を選択します。
   KPI が ITSM、 CSM、または HRに関連している場合、サンプルマイニングが開始されます。

   過去 7 日間のレコードと最大 3600 件のレコードを表示できます。

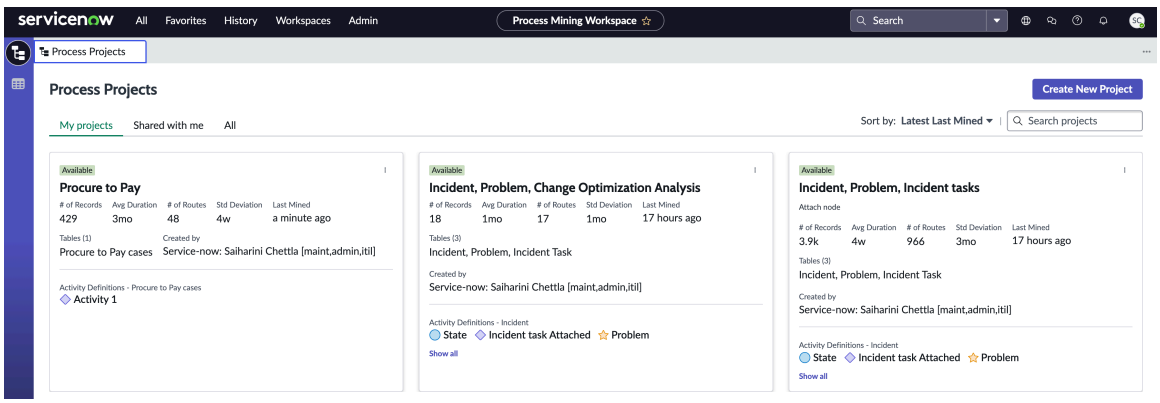
   > **注:**
   > プロセスマイニングで使用可能な評価プロジェクトの詳細については、「プロセスマイニング の評価プロジェクト インシデント管理」、「プロセスマイニング の評価プロジェクト カスタマーサービス管理 (CSM)」、および「プロセスマイニング ヒューマンリソース (HR) 向け評価プロジェクト」を参照してください。

2. プロセスマイニングワークスペースから評価プロジェクトを実行するには:
   a. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   b. 評価プロジェクトの [詳細] ボタンから、[サンプル マイニングの実行] を選択します。

プロセスマイニング ワークスペース

ビジネスプロセスとワークフローを プロセスマイニング ワークスペースから可視化して表示します。

プロセスマイニングワークスペースには、ビジネスプロセスの分析と最適化に役立つ詳細、サマリー、および可視化とともに、プロジェクトが表示されます。インスタンスフィルターナビゲーターから プロセスマイニング ワークスペースにアクセスして開始します。



プロセスマイニングワークスペースには次の機能が含まれています。

プロジェクトのランディングページ

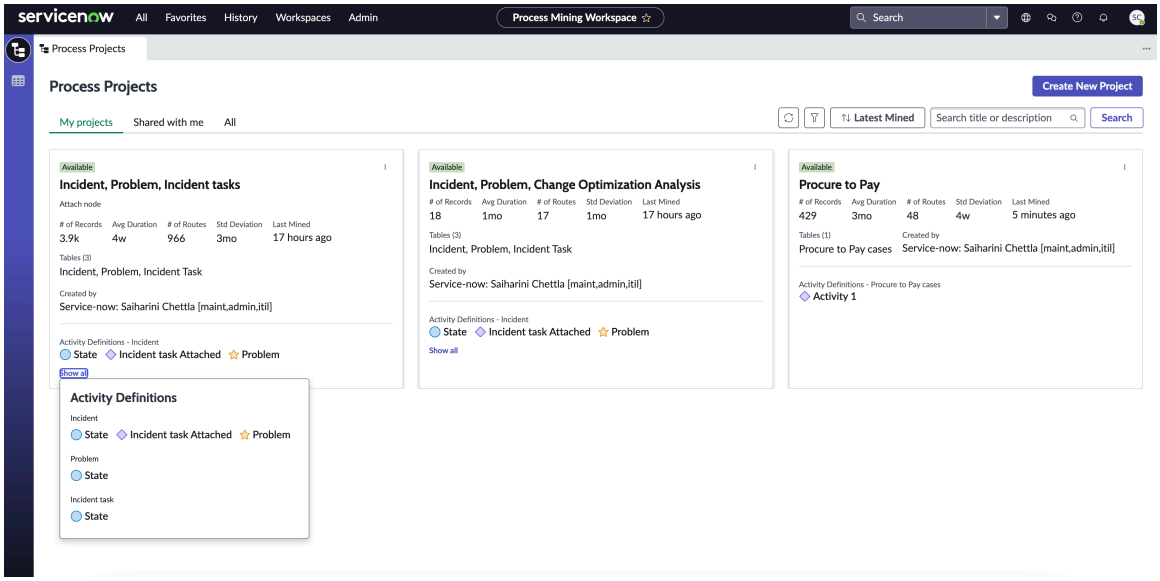
プロセスマイニング のプロジェクトランディングページから、生成されたプロジェクト、ビジネスプロセスインサイト、および Analyst Workbench にアクセスできます。

プロジェクトのランディングページには、作成された、または表示用に共有されたプロジェクトのプロジェクトカードが表示されます。作成済みでまだ生成されていないプロジェクトには、グレー表示されたタイトルの横に警告アイコン警告 ⚠ が表示されます。この警告は、プロジェクトを表示できないことを示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロジェクトのランディングページ



プロジェクトカードには、マイニングされたプロジェクトの概要の詳細が表示されます。テーブル、作成者、プロジェクト、アクティビティ定義、名前、または簡単な説明でフィルタリングできます。

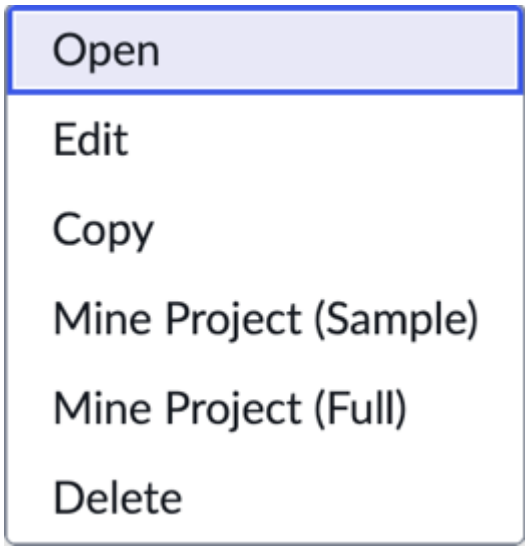
プロジェクトカードの詳細

フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトの名前。プロジェクト名を選択すると、Analyst Workbench が開き、ビジネスの結果にアクセスできます。
ステータス	プロジェクトの使用ステータスの指定。
プロジェクトの簡単な説明。	プロジェクトに関する簡単な説明が記載されています。
作成者	プロジェクトを作成したユーザー。
テーブル	プロジェクトが報告する選択されたテーブル。
最終マイニング日	プロジェクトのデータが最後にマイニングされた日時 (日単位)。
レコード数	プロジェクトの選択されたデータテーブルとフィルター構成に適用されるレコードの数。
プロセスバリエーション	プロセスステップ不確実性パーセンテージプロファイル。例：複数のルートをたどっているユーザー数と目標への理想的なパスの比較。パーセンテージは、バリアントの数をレコードの数で割って算出されます。
平均時間	クローズされたすべてのフィルター済みレコードに関するオープンされてからクローズされるまでの平均時間。

プロジェクトカードから、関連するユーザーロールはカードのメニューを選択することで次のタスクを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロジェクトカードのメニュー

メニュー項目	説明
オープン	プロジェクトを選択して開きます。
編集	プロジェクトを編集する場合に選択します。
コピー	構成をコピーしてプロジェクト定義を作成する場合に選択します。
プロジェクトのマイニング (サンプル)	完全なデータ抽出を実行する代わりに、限られたデータを使用してサンプルプロジェクトをマイニングします。
プロジェクトのマイニング (フル)	プロジェクトの完全なデータ抽出をマイニングします。
削除	プロジェクトを削除します。

自動翻訳

プロセスの詳細ページ

プロセスマイニング のプロセス詳細ページでは、インタラクティブで可視化されたプロセスマップに加えて、高レベルのインサイトと機会にアクセスできます。

プロセスの詳細ページから、次の操作を実行できます。

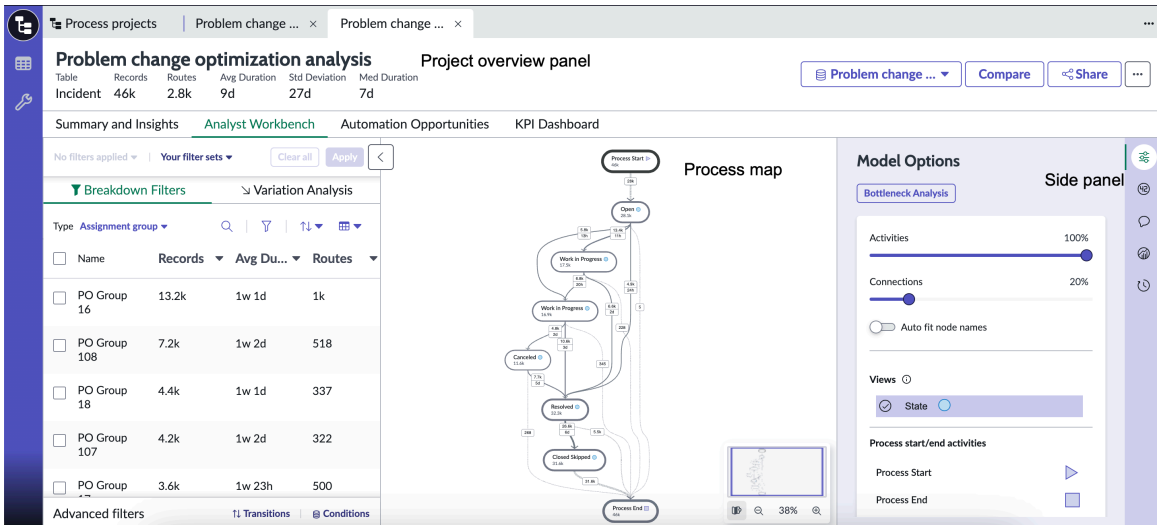
- [サマリーとインサイト] タブを選択して、プロセスに影響を与える速度、品質、コストに関するインサイトを確認します。
- **[Analyst Workbench]** タブを選択してプロジェクトダッシュボードにアクセスすると、プロジェクトの可視化されたプロセスマップを表示できます。
- [自動化機会] タブを選択し、機械学習とプロセスベースの分析を使用して自動化の機会を見つけます。
- [**KPI** ダッシュボード] タブを選択して、プロジェクト構成で構成した KPI ダッシュボードを表示します。

注:
すべてのプロジェクトカードを表示できるプロジェクトのランディングページに戻るには、[プロジェクトを処理] タブを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要パネル

プロジェクトをマイニングして開くと、アナリストワークベンチが開きます。



プロジェクトの概要パネルには、次の概要の詳細と簡単なコンテキストメニューが表示されます。

UI 要素	説明
概要の詳細	プロジェクトに関する重要な情報。 • プロジェクト名 • データがレポートするテーブル • 適用されたフィルターに応じた、プロジェクトのスコープ内の合計レコード • レコード内で表されるルートの数 • レコードがクローズするまでに要した平均日数 • ルート期間平均値からの標準偏差の差異 • 中央期間値
メニューアイコン (...)	メニューにアクセスして、その他のオプションを確認します。 プロジェクトを編集 現在のプロジェクトを編集するには、このオプションを選択します。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。 バージョンを編集 プロジェクトバージョンの名前を変更するには、このオプションを選択します。詳細については、「プロジェクトバージョン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	説明
	名の変更」を参照してください。 CIM の作成 新しい改善イニシアチブを作成するには、このオプションを選択します。詳細については、「からの改善イニシアティブの作成 プロセスマイニング」を参照してください。

プロジェクトパネル

プロジェクトビュー内のプロジェクトパネルには、ビジネスインサイト、データビューを絞り込むためのフィルターツール、およびルートの詳細へのアクセスが表示されます。

UI 要素	説明
[サマリーとインサイト] タブ	ビジネスゴール、重要業績評価指標のサマリーに関するインサイト、移行、およびルートバリエーションを確認します。詳細については、「e[サマリーとインサイト] ページ」を参照してください。
[Analyst Workbench] タブ	このタブを選択すると、以下にアクセスできます。 • [ブレークダウンフィルター] タブ:フィルターセットを作成および削除し、詳細フィルター条件を設定します。 • [変動分析] タブ: データ セット内のレコードに分布したルートを表示します。 詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。
[自動化機会] タブ	ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。ITSM でのみ使用できます。詳細については、「自動化機会ページ」を参照してください。
[KPI ダッシュボード] タブ	プロジェクト構成で構成した KPI ダッシュボードを表示します。

プロセスマップ

プロセスマップには、視覚化されたプロジェクトとルートが表示され、そのビューをフィルタリングおよびドリルダウンするための次のツールが用意されています。[Analyst Workbench] タブからプロセスマップにアクセスできます。

UI 要素	説明
メトリクス	プロセスマップに表示するプライマリメトリクスとセカンダリメトリクス。
絞り込む	マップ上のアクティビティと接続を調整します。このタブを選択すると、以下にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	説明
	• [アクティビティ] タブ:プロセスマップ上のアクティビティの詳細ビューを増減します。 • [接続] タブ:プロセスマップ上のアクティビティ間の接続の詳細ビューを増減します。
レコードを表示	選択した 1 つ以上のルートのレコードを表示します。
モデル統計情報	モデル全体の統計情報と比較するときに視点を提供するのに役立つプロセスモデルの統計情報を使用します。このタブには、フィルタリングされたレコードまたは選択したバリアントルートに関する次の統計情報が表示されます。 • メトリクス:比較したプロジェクト間の合計、プロジェクト固有、またはメトリクス値の差異を示します。 • レコード:選択したルートをたどるフィルタリングされたレコードの数。 • ルート:フィルタリングされたレコードがたどったルートの数。 • 平均期間:フィルタリングされたレコードまたは選択したルートのレコードがクローズするまでにかかった平均日数。この値は、モデル内のすべてのレコードの平均日数と比較されます。 • 標準偏差:ルート平均所要時間の値からの偏差。 • Med Duration: ルートの中間の期間値。
ボトルネック分析	指定したメトリクスフィルターに基づいて上位の移行を表示します。
アクティビティの凡例	アクティビティカテゴリを示す記号でプロセスマップに表示される定義済みのプロジェクトアクティビティ。
プロセスマップ	プロセスのメトリクスを表示したり、フィルタリングするアクティビティ条件を追加したり、他のアクションを実行したりできるインタラクティブマップ。
任意の分析	グラフの任意の移行またはノードから、移行分析、作業メモ分析、根本原因分析、またはクラスター分析を実行できます。
ズーム	プロセスマップのビューを拡大または縮小します。

メモ、イニシアチブ、およびスケジュール設定済みタスクパネル

メモ、イニシアチブ、およびスケジュールされたタスクパネルには、メモ、スナップショット、および改善イニシアチブを作成および表示するためのツールが用意されています。スケジュールしたマイニングタスクのステータスを確認することもできます。

UI 要素	説明
モデルオプションアイコン()	ボトルネック分析の表示と使用。
グローバルメトリクスアイコン ()	プライマリメトリクスとセカンダリメトリクスを表示します。
[メモ] アイコン 	メモリストの表示、メモの作成、メモの編集または削除を行います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

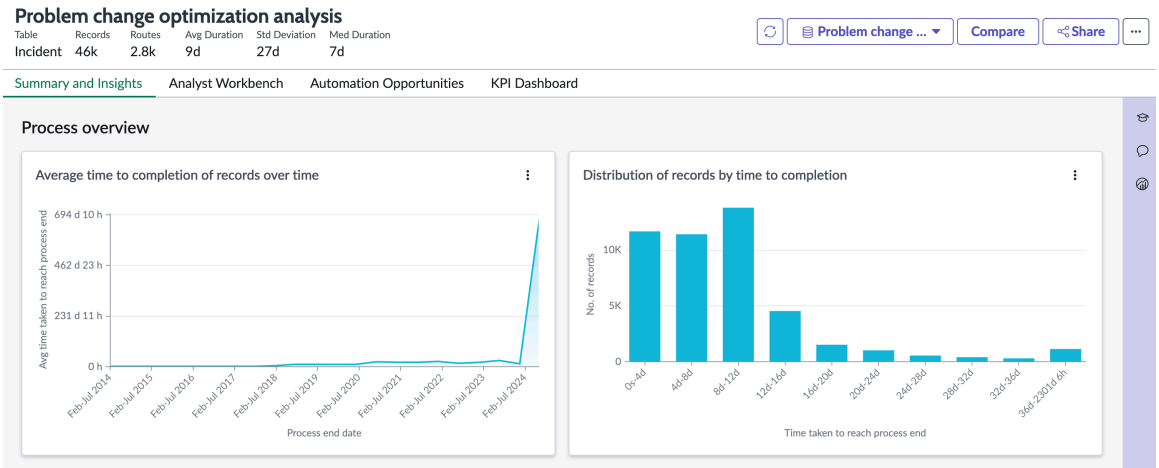
UI 要素	説明
改善イニシアチブアイコン ( )	イニシアチブリストの表示、新しいイニシアチブの作成、既存のイニシアチブへのリンク、またはイニシアチブの削除を行います。
[スケジュール設定済みのタスク] アイコン ( )	スケジュールされたマイニング、フィルタリング、および要求されたクラスター分析タスクのステータスを表示します。

[サマリーとインサイト] ページ

[サマリーとインサイト] ページでは、プロセスを最適化する機会を表示できます。プロセスマイニングプロジェクトからダッシュボードにアクセスします。

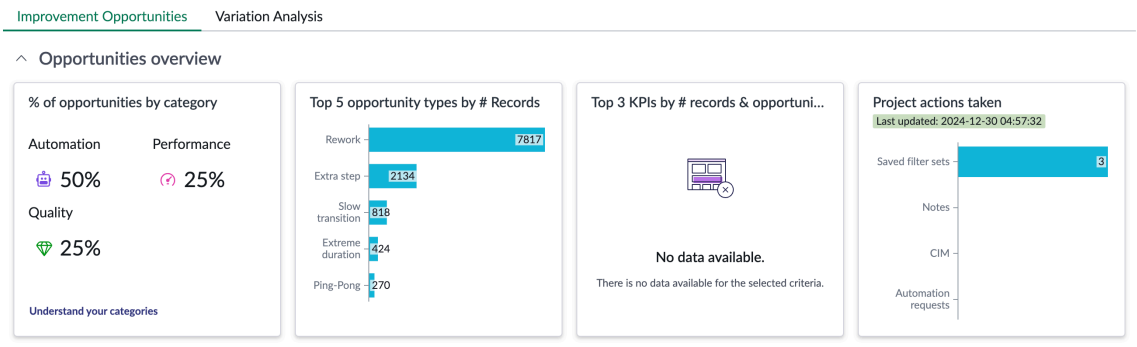
プロセスの概要ダッシュボードを表示して、マイニングされたデータに関する初期情報を確認できます。これは、次の 2 つのグラフで示されています。

- 時系列グラフ:レコードの完了に要した平均時間を経時的に示すトレンドライン。
- ヒストグラム:プロセス終了に達するまでにかかった時間別のレコードの分布。



改善の機会の概要

[概要とインサイト] ページで、「改善の機会の概要」を参照してください。ここでは、プロジェクトで生成されるプロジェクト関連の統計の概要を示します。



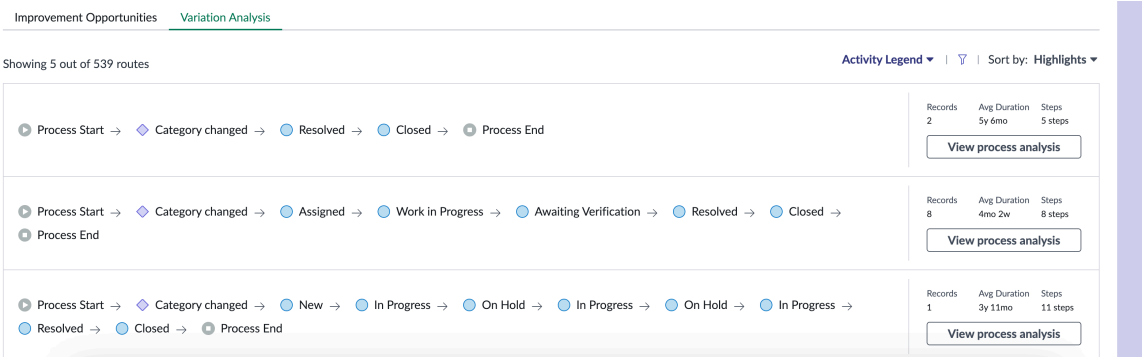
バリアント分析

[サマリーとインサイト] ページでは、データのバリアント分析を確認することもできます。

バリアント分析を使用すると、マイニングされたプロジェクトのさまざまなバリアントを比較し、選択したバリアントの分析を表示できます。

自動翻訳

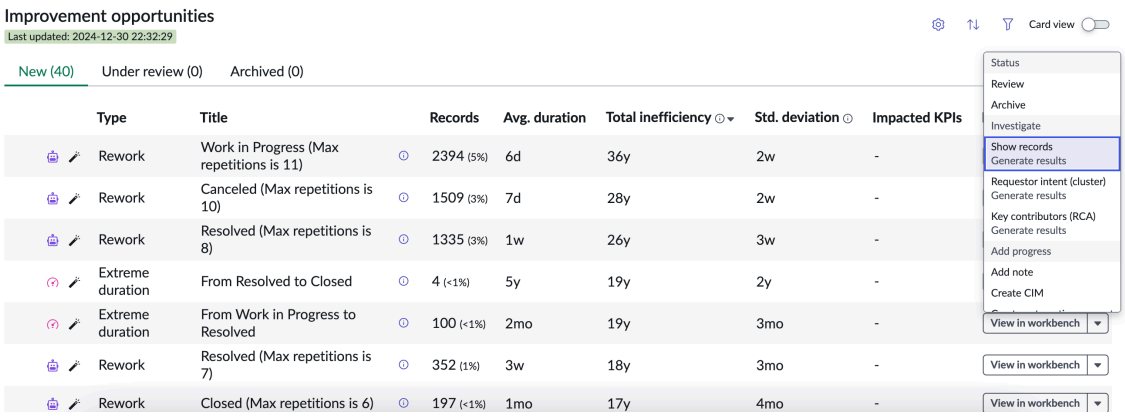
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- フィルターアイコンを使用してルートをフィルタリングします。
- [ソート基準] リストを使用して結果をソートします。
- [プロセス分析を表示] を選択して、選択したバリアントのグラフをアナリストワークベンチに表示します。

案件

[機会] セクションでは、プロジェクトに関連付けられたルールベースおよび自動化された改善機会のリストを表示できます。



次の詳細を表示できます。

- 新規、レビュー中、アーカイブ済みの改善の機会。
- すべての詳細を含む、プロジェクトに関連付けられた改善の機会のリスト。
- タイトルの横にある ⓘ を選択すると、改善の機会に関する詳細が表示されます。
- [ワークベンチで表示] の横にあるリストを選択して、その他のオプションを表示します。
  - ステータス (新規、レビュー中、アーカイブ済み) を使用して、そこにリストされている改善の機会の進捗状況を追跡できます。作業が行われていない新しい改善の機会は、[新規] ステータスになります。アクションが実行されると、改善の機会は [レビュー中] に移動します。バックグラウンドで何らかのアクションが実行されている場合は、改善の機会を手動で [レビュー中] に設定できます。関連性がなくなった場合は、アーカイブできます。ただし、改善の機会が [アーカイブ済み] ステータスの場合は、[新規] にのみ移行できます。また、[新規] 状態の改善の機会にメモ、CIM、または自動化要求を追加すると、改善の機会は自動的に [レビュー中] に移行します。
  - 根本原因分析の実行など、任意の調査アクションを開始できます。
  - メモを追加したり、CIM を作成したり、自動化要求を作成したりすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 列を表示または非表示にするには、[⚙ を選択します。
- [⇅ を選択して列をソートします。
- ▽] を選択して、改善の機会のリストをフィルタリングします。
- [カードビュー] トグルを選択すると、カードビューで改善の機会が表示されます。

パフォーマンスアナリティクスダッシュボードとの統合

パフォーマンスアナリティクスダッシュボードを統合して、必要な KPI と可視化を含めます。ダッシュボードビルダーを使用すると、プロジェクト専用のカスタムウィジェット/KPI を含む独自のダッシュボードを作成できます。これらのダッシュボードは、プロジェクトまたはプロセス構成レベルでリンクできます。

アナリストワークベンチ

可視化を管理するためのツールを使用して可視化されたプロセスマップを表示し、プロジェクトのページから分析タスクを実行します。

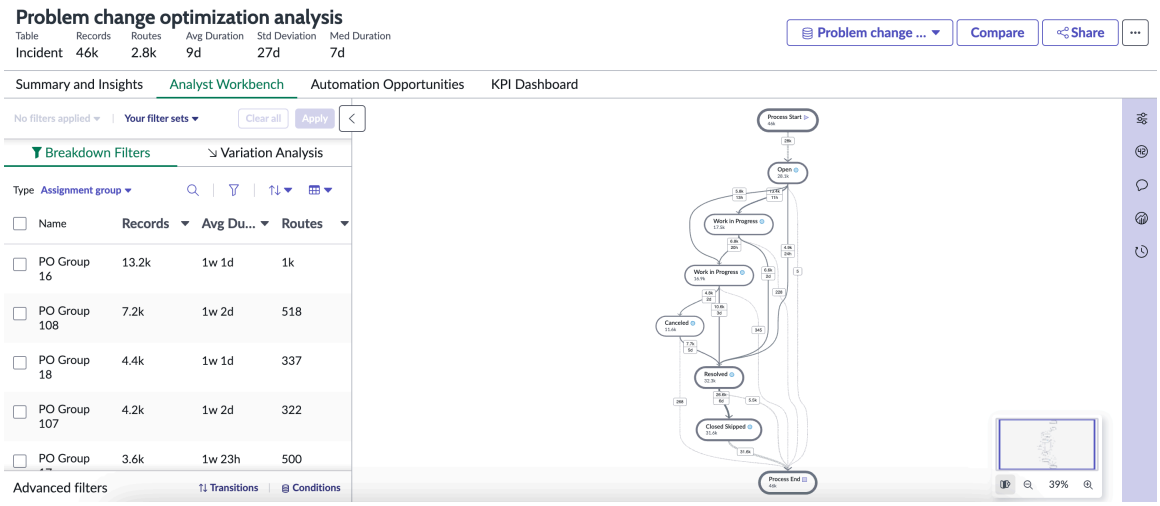
アナリストワークベンチへのアクセス

Analyst Workbench から、可視化されたプロセスワークフローデータとデータ分析ツールにアクセスできます。

Analyst Workbench にアクセスするには:

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを開き、アナリストワークベンチに移動します。

   プロジェクトを開くと、デフォルトでアナリストワークベンチが開きます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

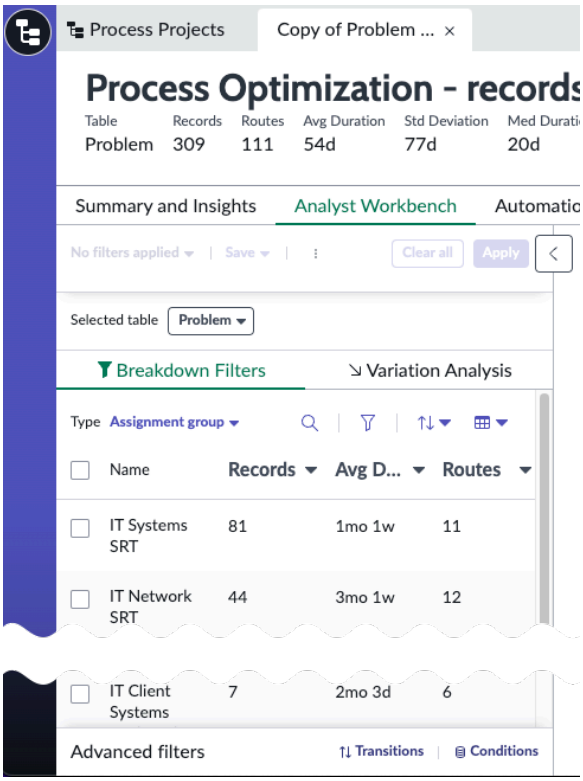
自動翻訳

ブレークダウンフィルター

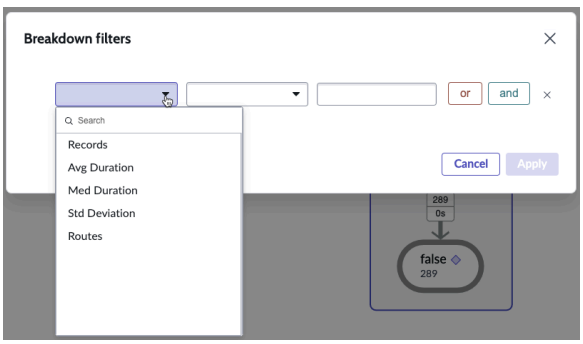
[ブレークダウンフィルター] タブを使用して、フィルターセットを作成および削除し、詳細フィルター条件を設定します。

[選択したテーブル] ドロップダウンを使用するか、プロセスマップ内の要素を選択して、さまざまな要素のブレークダウンを表示します。

注:
ブレークダウンフィルターは親テーブルにのみ適用できます。ただし、ブレークダウン統計は子テーブルと親テーブルの両方で使用できます。



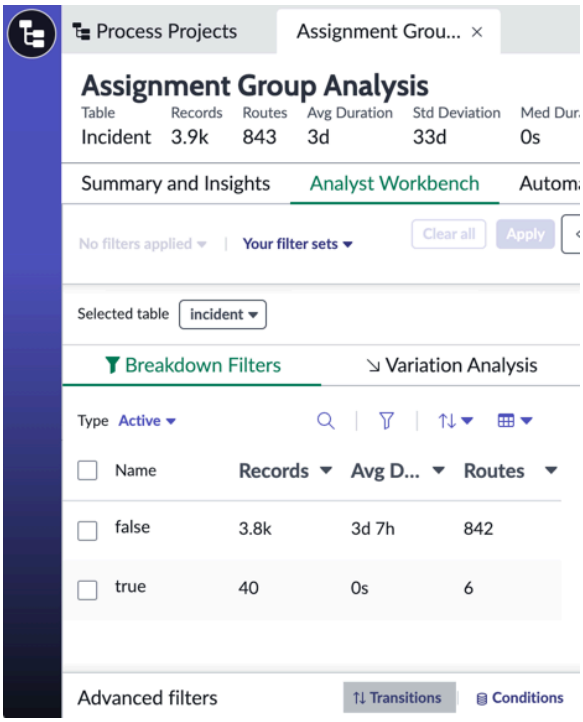
[ブレークダウンをフィルター] アイコン ( ) を使用して、[



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

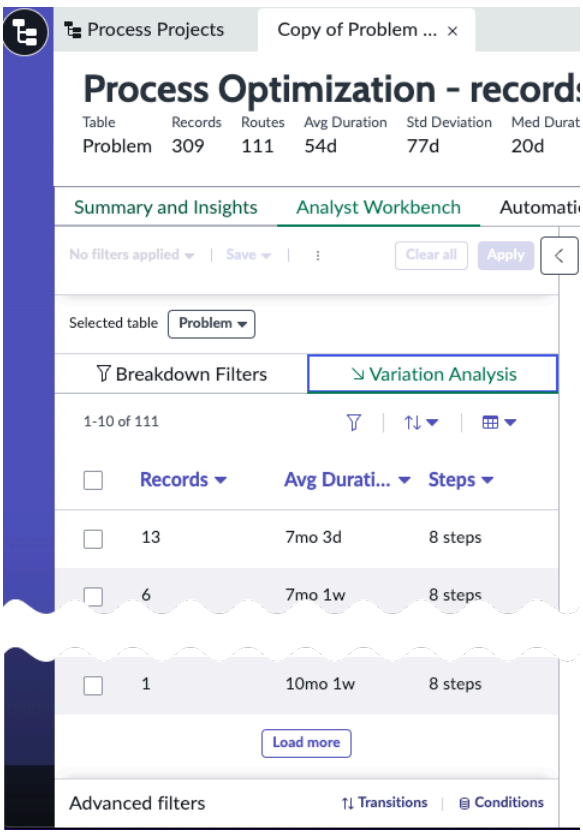
[移行] ボタンを使用して、移行の詳細フィルターを定義します。このプロセスの詳細については、「アクティビティへの移行フィルターの適用」を参照してください。



バリアント分析

[バリアント分析] タブを使用して、各ルートに含まれるレコードのルート、ケース数、平均期間、およびステップ数を表示します。プロセスマップでルートをハイライト表示するルートを選択します。

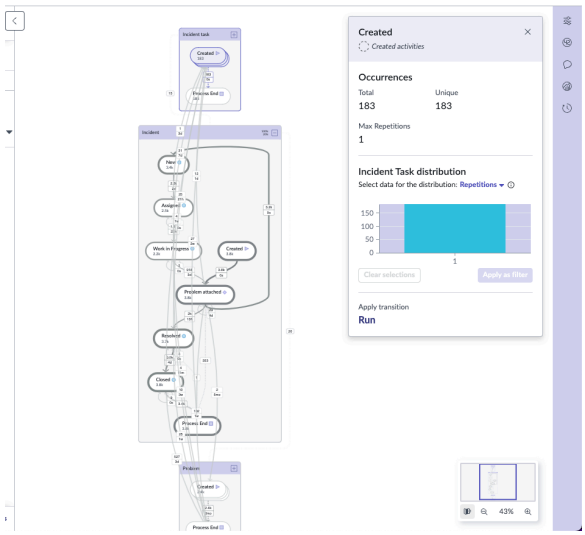
[選択済み] テーブルを使用するか、プロセスマップ内の要素を選択して、さまざまな要素の分析を表示します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマップ

プロセスマップを使用して、プロジェクトの可視化されたマップを表示します。マップ内では、ビジネスプロセスをドリルダウンして、ビジネスプロセスをよりよく理解して最適化できます。プロセスマップには、表示または測定する KPI に応じたルートも表示されます。



マップ内のノードまたは移行線を選択すると、選択したアイテムに関する追加の詳細がモーダルウィンドウに表示されます。

これらのウィンドウには、追加情報を表示する棒グラフヒストグラムが含まれています。

- ノードを選択して、分布または繰り返し情報を表示します。
- 移行線を選択して、期間または繰り返し情報を表示します。

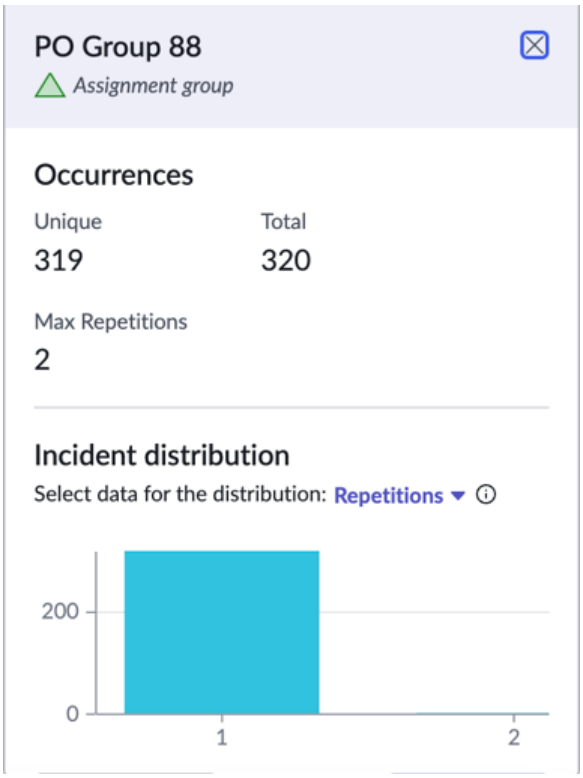
棒グラフを選択し、[フィルターとして適用] を選択して、これらの結果でフィルター処理します。

このツールの使用方法の詳細については、「 プロセスマップの絞り込み.

ノードを選択すると、モーダルウィンドウに、選択したノードを介したレコードの送受信分布が表示されます。

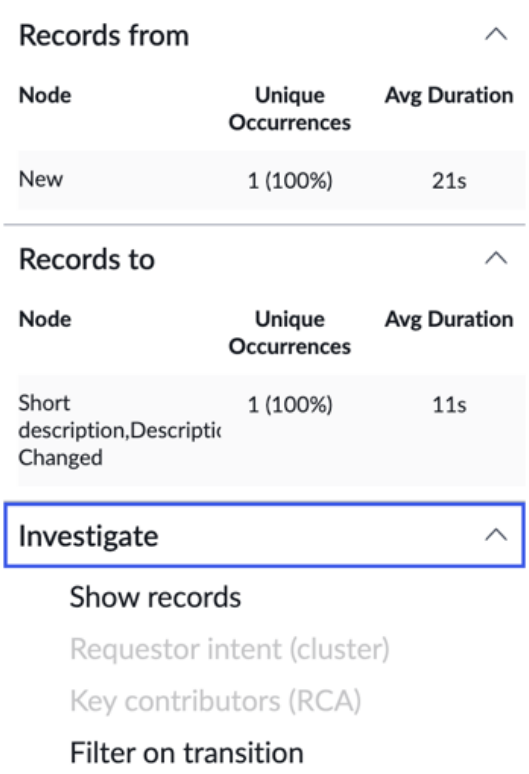
この情報は、[折りたたみ 可能な元のレコード] セクションと [折りたたみ 可能なレコード] セクションに表示されます。

[調査] ドロップダウンから、関連するレコードを表示したり、クラスター分析、根本原因分析を実行したり、移行を適用したりすることもできます。これらのタスクは、バックグラウンドで実行されるスケジュール設定済みタスクを使用して実行されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

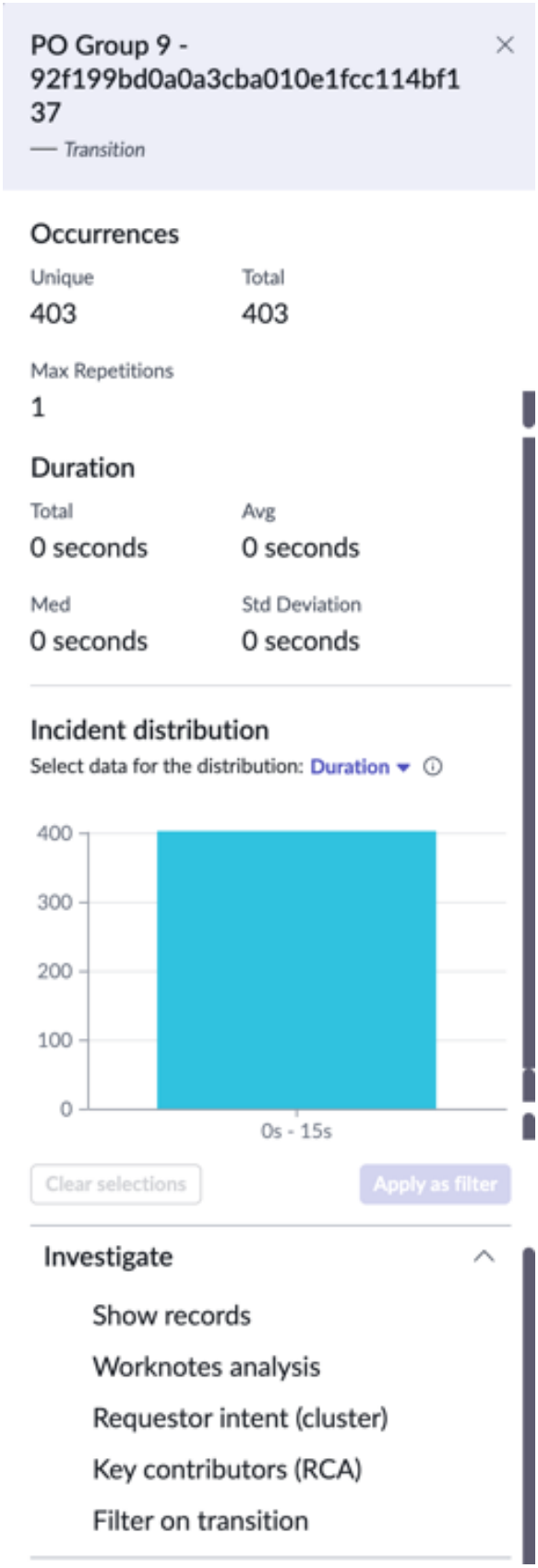
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移行線を選択すると、モーダルウィンドウに移行の発生回数、繰り返し回数、および期間が表示されます。

[調査] ドロップダウンから、関連レコードの表示、作業メモ分析、クラスター分析の実行、根本原因分析、または移行の適用を行うこともできます。これらのタスクは、バックグラウンドで実行されるスケジュール設定済みタスクを使用して実行されます。

各分析の詳細については、次のトピックを参照してください。

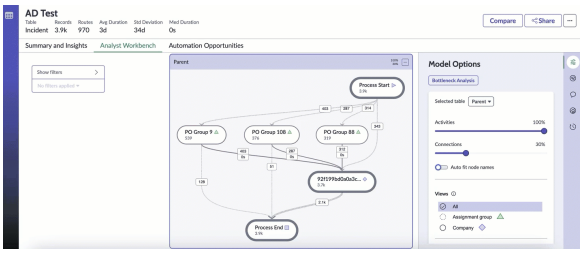
- クラスター分析
- 作業メモの分析
- 自動化された根本原因分析



自動翻訳

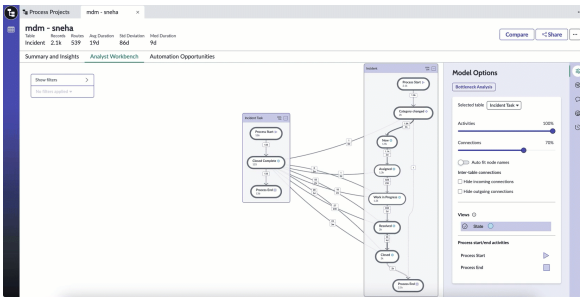
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ノード名が長くて切り捨てられている場合は、フルネームを表示できます。モーダルオプション(Modal Options)ウィンドウの ノード名の自動フィットオプション**(Auto fit node names**)オプション。



入射アークのみ、発信アークのみ、またはその両方を非表示にすることを選択できます。

[モーダルオプション] から、[受信接続を非表示]、**[**送信接続を非表示]、またはその両方を選択して、必要に応じて接続を表示します。



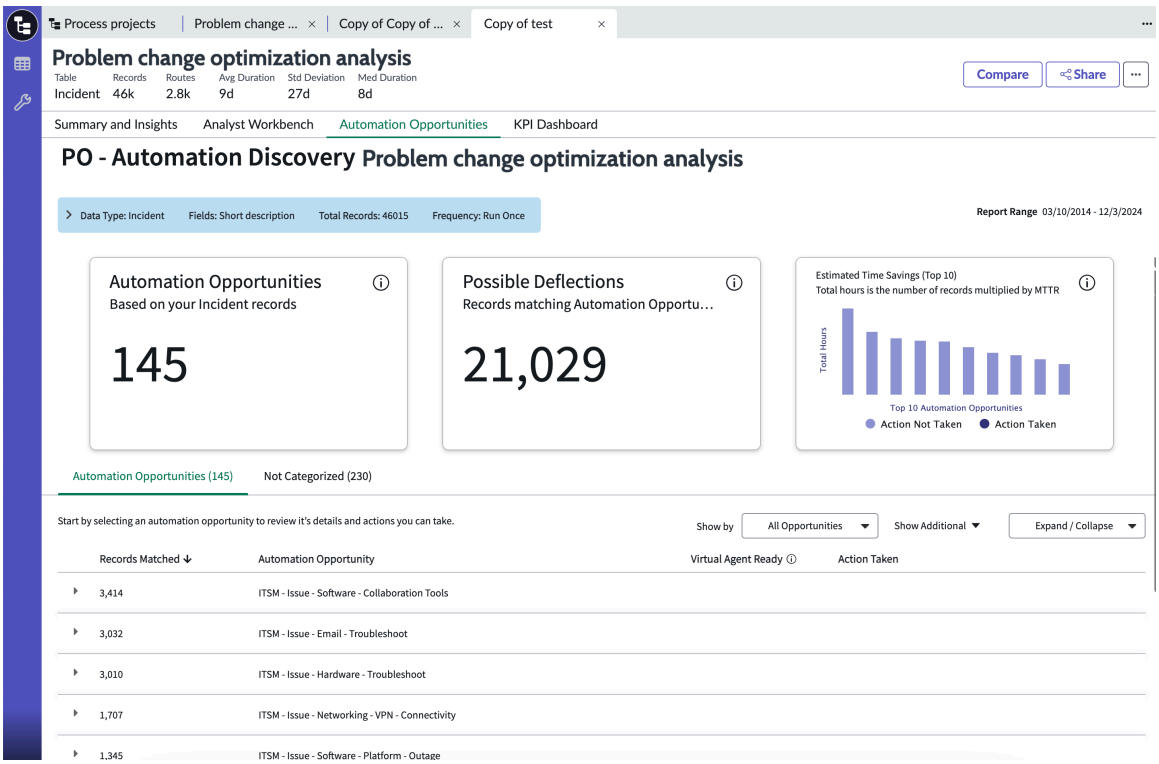
注:
このオプションは、複数テーブルのプロジェクトでのみ使用できます。

注:
プロセスマップのほとんどの機能は、構成可能なワークスペースのダッシュボードで再現できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。

自動化機会ページ

自動化機会ページを使用して、機械学習とプロセスベースの分析を使用して自動化機会を見つけます。

自動化機会ページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サマリーカード

ページの上部に表示されるカードには、検出された機会の簡単な概要が表示されます。概要には、影響を受けるレコードの数と、これらの自動化機会を使用することで節約できる推定時間が表示されます。

自動化機会

自動化機会カードには、オートメーションディスカバリーによって検出された数が表示されます。このカードセクションの下にある [自動化機会] リストで、検出された機会を確認します。

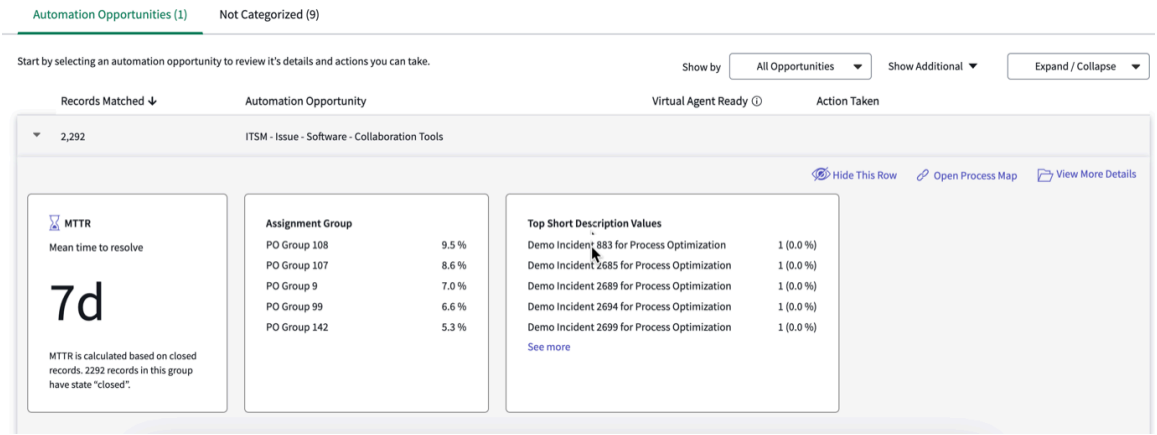
可能な回避

[可能な回避] カードには、検出された自動化機会の対象となるレコードの数が表示されます。この数は、このカードセクションの下にある [自動化機会] リストにも表示されます。

オポチュニティボリューム

機会ボリュームカードには、上位 10 個の自動化機会の合計レコードが表示されます。

自動化機会リスト



[自動化機会] リストを使用して、機会の概要、解決までの推定平均時間、およびこれらの自動化を実装するために実行できるアクションを確認します。

注:
自動化分類は ITSM でのみ使用できます。

KPI ダッシュボード

[**KPI** ダッシュボード] タブに、プロジェクトに設定した KPI ダッシュボードが表示されます。

ビジネスプロセスとユーザーのニーズに合わせてダッシュボードを構成すると、これらのダッシュボードからすばやくスナップショットを表示できます。

KPI ダッシュボードは、次の 2 つの場所から構成できます。

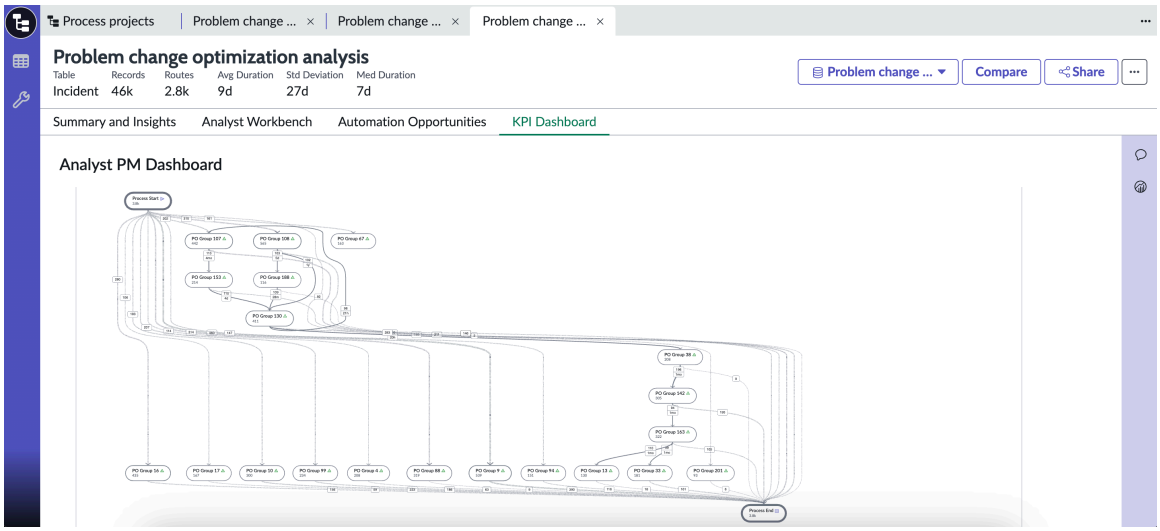
- プロジェクト構成から:プロジェクト用に構成された KPI ダッシュボードは、特定のプロジェクトでのみ使用できます。詳細については、「目標を設定」を参照してください。
- プロセス構成から:プロセステーブル用に構成された KPI ダッシュボードは、デフォルトでは、そのテーブルに基づくすべてのプロジェクトで使用できます。詳細については、「影響度メトリクスの構成」を参照してください。

注:
プロジェクト構成から KPI ダッシュボードを構成した場合、プロセス構成で構成された KPI ダッシュボードよりも優先されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の図は、プロジェクト構成で設定されたアナリスト PM ダッシュボードを示しています。



プロセスマイニング のアクティブ化

アプリケーションを使用してメリットを得るには、 プロセスマイニング をアクティブ化します。

プロセスマイニングにアクセスします

プロセスマイニング は Now Platform で利用できます。無料版では、サンプルマイニングのみを行うことができます。フルマイニングを行うにはライセンスが必要です。

サブスクリプションを購入するには、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

注:
サブスクリプションを購入する前に、ITSM、CSM、HR で利用可能な プロセスマイニング 評価プロジェクトを使用して機能を評価できます。詳細については、「評価 プロセスマイニング」を参照してください。

プロセスマイニングとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「プロセスマイニングとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

重要:
プロジェクト、プロセス構成、改善の機会などの事前定義されたテンプレートを提供するコンテンツパックを調べることができます。コンテンツパックをダウンロードしてインポートするには、「 コンテンツパックテンプレートを使用したプロセス構成の作成」を参照してください。

準本番インスタンスまたはクローンインスタンスで プロセスマイニング アクティブ化して探索する場合は、監査データとログデータをコピーして本番からクローンします。これを行うには、[クローン作成時に 監査データとログデータを除外 する] の選択を解除します。この手順を実行すると、監査ログを使用して プロセスマイニングを使用して完全なプロセスマップを作成するための監査ログを使用できるようになります。

外部データの プロセスマイニング を要求

外部データアプリケーションに対して プロセスマイニング を要求し、外部データをインポートして ServiceNow インスタンス内で操作できるようにします。

始める前に

必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. に移動します **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることもあります。
3. **[Install** (インストール)] を選択します。

プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化する

プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化して、ビジネスの特定の領域のビルド済みプロジェクトにアクセスします。

コンテンツパックを使用した Jumpstart プロセスマイニング

プロセスマイニング コンテンツパックには、プロセスモデル定義、プロセス検索定義、およびビジネスの特定の領域に関するビルド済みのプロセス改善インサイトを含むビルド済みプロジェクトが含まれています。

注:
プロセスマイニングコンテンツパックのアクティブ化はオプションの手順です。プロセスマイニングで使用可能なコンテンツパックのいずれかを使用する場合は、このタスクを実行する必要があります。

利用可能なコンテンツパック

コンテンツパック	説明
のコンテンツパック ITSM	ITSM プロセスマイニングコンテンツパックは、IT Service Management (ITSM) プロセス用に事前設定されたプロセスマイニングモデルと改善イニシアチブを提供します。
のコンテンツパック SPM	デマンド向け 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセスマイニング コンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立ち、継続的なパフォーマンス改善の機会を提供する、事前設定された プロセスマイニング プロジェクトを提供します。
のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション	ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) を含むプロセスマイニングコンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、FSOケースに関連するボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)	カスタマーサービス管理 (CSM) の プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。
通信事業注文のコンテンツパック	通信事業とメディア向け注文管理 の プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なコンテンツパック (続く)

コンテンツパック	説明
	に関連するプロセスを分析し、通信事業注文に関連するボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック HR サービスデリバリ (HRSD)	HR サービスデリバリ (HRSD) の プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

コンテンツパックのアクティブ化

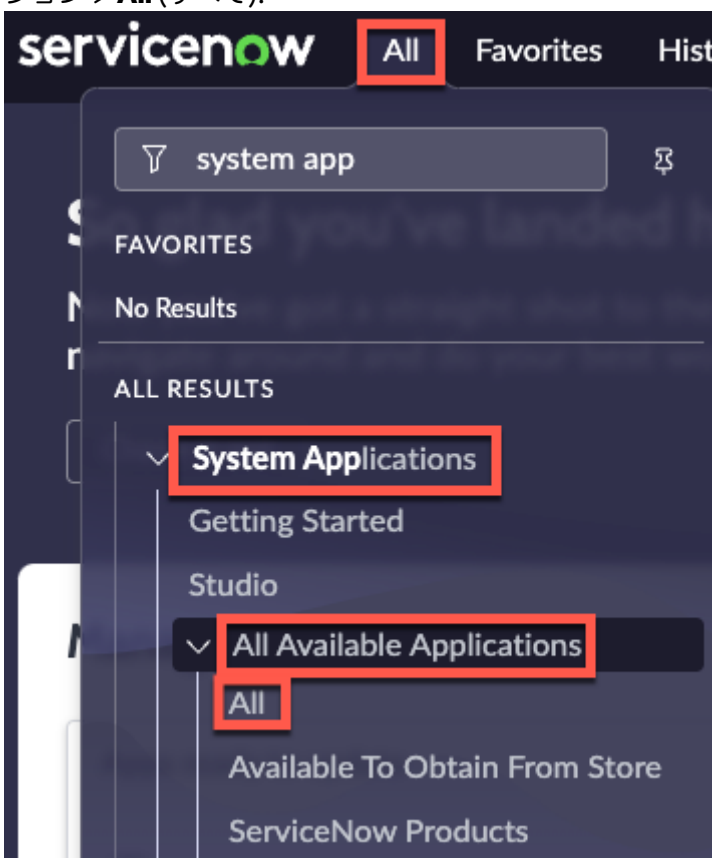
インスタンスのアプリケーションリストからコンテンツパックをアクティブ化します

始める前に
必要なロール:sm_cim_requestor、アドミニストレーター

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、インストールする プロセスマイニング コンテンツパックを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、コンテンツパックをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:**
   > インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

のコンテンツパック **ITSM**

ITSM プロセスマイニング コンテンツパックは、IT Service Management (ITSM) プロセス用に事前設定されたプロセスマイニングプロジェクトと改善イニシアチブを提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ITSM プロセスマイニングコンテンツパック (sn_itsm_po) は、次のITSMプロセス用にビルド済みのプロセスマイニングプロジェクト定義を追加します。

- インシデント管理
- 問題管理
- 変更管理
- 要求管理

このパックには、インシデントおよび変更プロセスのための事前定義 継続的改善管理 (CIM) イニシアチブも含まれています。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。

このコンテンツパックを有効にするには、 ServiceNow Storeに移動します。詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード

ITSM プロセスマイニングコンテンツパックのプロジェクトには、デフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じてダッシュボードに要素を追加することもできます。

ITSM 作業アイテムのクラスター分析構成

プロセスマイニング アプリケーションは、インシデント、問題、変更要求、および要求アイテムのソリューション定義を提供します。これらの定義を使用して、これらの作業アイテムのクラスター分析を構成できます。

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で利用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

クラスターリングソリューション定義構成

プロセスマイニングアドミニストレーター (sn_process_optimization_admin) は、次の場所に移動して、ITSM 作業アイテムソリューション定義構成にアクセスできます 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.

注:
デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されています。

- [フィールド] フィールドが [簡単な説明] に構成されます。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されています。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに構成されます。たとえば、インシデントクラスタリング定義は、インシデントのワードコーパスレコードに構成されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明データと簡単な説明データを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、次の表に示す純度フィールドも含まれています。

クラスターリングソリューション定義	純度フィールド
インシデント	• Assignment Group • カテゴリ • 構成アイテム (CI) • サービス
問題管理	• Assignment Group • カテゴリ • 構成アイテム (CI)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスターリングソリューション定義	純度フィールド
	• CMDB CI • ビジネスサービス
変更要求	• Assignment Group • カテゴリ • モデル • Risk • タイプ
要求アイテム	• Assignment Group • カテゴリアイテム • 要求元 • Assigned to (アサイン先)

プロセスマイニング アプリケーションからクラスター分析を実行する方法については、「クラスター分析の実行」を参照してください。

プロセスマイニング ダッシュボードでの **ITSM** 作業アイテムの **KPI** の構成

[プロセスマイニング サマリーとインサイト] ページで、ITSM 作業アイテムのパフォーマンスを監視するために必要な重要業績評価指標 (KPI) を追加します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で利用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. KPI を表示する ITSM 作業アイテムアプリケーションのプラグインを有効にします。
   インシデント管理プラグインはデフォルトで有効になっています。

2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ページに追加します。
   以下のテーブルにリストされている KPI は、デフォルトで利用可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業アイテム	重要業績評価指標
インシデント	○ インシデントの解決に要する平均時間 ○ 最初のアサイン先により解決されたインシデントの割合
問題管理	○ 問題の平均クローズ時間 ○ 最初のアサイン先によりクローズされた問題の割合
変更要求	○ 変更の平均クローズ時刻 ○ 新規の緊急変更の割合
要求アイテム	○ 要求アイテムの平均クローズ時間 ○ 却下された要求アイテムの割合

プロセスマイニングダッシュボードでの **ITSM** 作業アイテムのインサイトの構成

インシデント、問題、変更要求、または要求アイテムのルール定義を構成して、[サマリーとインサイト] ページでインサイトを検出します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で利用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

このタスクについて

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を構成します。
   以下のテーブルにリストされているインサイトフィルターは、デフォルトで使用できます。

ITSM 作業アイテムのインサイトフィルター

作業アイテム	インサイトフィルター
インシデント	○ マルチホップの問題 ○ ソリューション却下の問題 ○ [保留] ステータスの誤用 ○ SLA 未達成の問題
問題管理	○ 問題がキャンセルされました ○ 問題リスクが受け入れられました ○ 解決済みの問題が再分析されました

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業アイテム	インサイトフィルター
	○ 問題の修正が完了していない ○ 問題が再オープンされました
変更要求	○ モデルがプロセスで変更される ○ 事前に承認された変更要求 ○ 失敗した変更要求
要求アイテム	○ RITM ステータスが未完了でクローズまたはスキップしてクローズ ○ マルチホップ:2 回以上の再アサインを行う RITM

検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションに表示されます。

3. [サマリーとインサイト] ページで、選択したインサイトについて:
   - プロセス分析を実行するには、「 プロセス分析」を選択します。フィルターが適用された プロセスマイニング マップを表示できます。
   - クラスター分析を実行するには、[クラスター分析] を選択します。[クラスターの表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」をご参照ください。

のコンテンツパック **SPM**

デマンド向け 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセスマイニング コンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立ち、継続的なパフォーマンス改善の機会を提供する、事前設定された プロセスマイニング プロジェクトを提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ダッシュボード

SPM プロセスマイニングコンテンツパックのプロジェクトには、デフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じてダッシュボードに要素を追加することもできます。

SPM作業アイテムのクラスター分析構成

プロセスマイニング アプリケーションは、クラスター分析を構成するために使用できるデマンドのソリューション定義を提供します。

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスターリングソリューション定義構成

プロセスマイニングアドミニストレーター (sn_process_optimization_admin) は、次の場所に移動して、SPM作業アイテムソリューション定義構成にアクセスできます **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.

注:
デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されています。

- [フィールド] フィールドが説明に構成されます。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されています。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに構成されます。たとえば、デマンドクラスタリング定義は、デマンドワードコーパスレコードに構成されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明データと簡単な説明データを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、デマンドの純度フィールド (部門、business_unit、および優先度) も含まれています。

プロセスマイニングダッシュボードで**SPM**作業アイテムの **KPI** を構成する

目的の重要業績評価指標 (KPI) を追加して、[プロセスマイニングサマリーとインサイト] ダッシュボードでSPM作業アイテムのパフォーマンスを監視します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

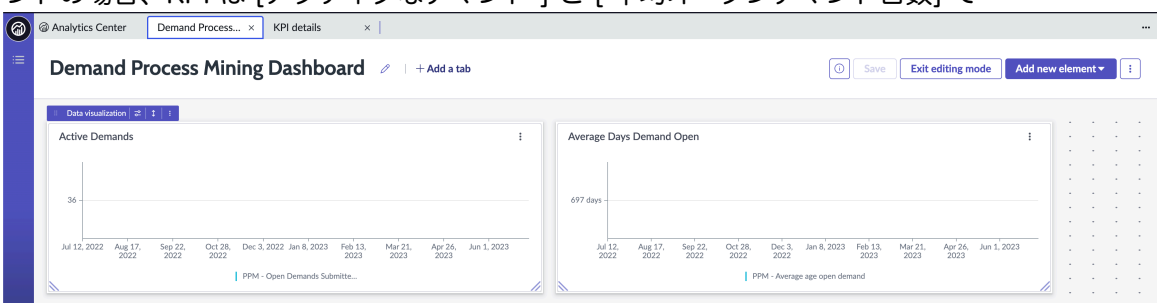
始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. プロジェクトポートフォリオ管理標準プラグインがインストールされていることを確認します。
2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ページに追加します。
   デマンドの場合、KPI は [アクティブなデマンド] と [平均オープンデマンド日数] です。



プロセスマイニングダッシュボードでの**SPM**デマンドのインサイトの構成

デマンドのルール定義を構成して、[サマリーとインサイト] ダッシュボードでインサイトを検出します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を構成します。
   デマンドに対してデフォルトで利用可能なインサイトフィルターは、次の表で定義されています。

   のデマンドに関するインサイト プロセスマイニング

検索定義	認定されずに承認されたデマンド
	承認されずに次のステージに移動したデマンド
自動検索定義	やり直し

   検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションに表示されます。
3. [サマリーとインサイト] ダッシュボードで、選択したインサイトについて:
   - プロセス分析を実行するには、「 プロセス分析」を選択します。フィルターが適用された プロセスマイニング マップを表示できます。
   - クラスター分析を実行するには、[クラスター分析] を選択します。[クラスターの表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」をご参照ください。

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) を含むプロセスマイニングコンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、FSOケースに関連するボトルネックを特定できます。

重要:
Vancouver リリース以降、プロセス最適化アプリケーションの名前が プロセスマイニング に変更されました。

FSO プロセスマイニングコンテンツパックの有効化については、「プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

最適化プロジェクト

コンテンツパックは、これらのファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーション用にビルド済みプロセスマイニングプロジェクトモデル定義を追加します。

- Financial Services Business Deposit Operations
- Financial Services Business Loan Operations
- Financial Services Business Lifecycle
- Financial Services Card Operations
- Financial Services Client Lifecycle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Financial Services Complaint Management
- ファイナンシャルサービス支払いオペレーション
- Financial Services Personal Loan Operations
- Financial Services Personal Deposit Operations
- Financial Services Treasury Operations
- Individual Life Servicing
- Group Life Servicing
- 企業保険請求
- 個人向け保険請求
- Intelligent Servicing for Fraud

ビルド済みプロジェクトに基づく新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

ロール

プロセスマイニングアプリケーションを使用しているファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーションに基づいて、次のロールが必要です。

のファイナンシャルサービスオペレーションに必要なロール プロセスマイニング

ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーション	必要なロール
Financial Services Card Operations	異議申し立て管理:sn_bom_credit_card.dispute_manager および sn_process_optimization_analyst
ファイナンシャルサービス支払いオペレーション	sn_bom_payment.payments_manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Business Loan Operations	sn_bom_loan_b2b.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Personal Loan Operations	sn_bom_loan.b2c_manager および sn_process_optimization_analys
Financial Services Business Lifecycle	sn_bom_clo_b2b.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Client Lifecycle	sn_bom_clo_b2c.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Complaint Management	sn_bom_compl.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Business Deposit Operations	sn_bom_deposit_b2b.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Personal Deposit Operations	sn_bom_deposit_b2c.manager および sn_process_optimization_analyst
企業保険請求	sn_ins_claim_cml.manager および sn_process_optimization_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のファイナンシャルサービスオペレーションに必要なロール プロセスマイニング (続く)

ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーション	必要なロール
個人向け保険請求	sn_ins_claim_pers.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Treasury Operations	sn_bom_treasury.admin および sn_process_optimization_analyst
Individual Life Servicing	sn_ins_indiv_life.manager および sn_process_optimization_analyst
Group Life Servicing	sn_ins_group_life.manager および sn_process_optimization_analyst
Intelligent Servicing for Fraud	sn_bom_fraud.manager および sn_process_optimization_analyst

関連情報

の プロセスマイニング 例 ファイナンシャルサービスオペレーション

の プロセスマイニング 例 ファイナンシャルサービスオペレーション

金融サービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、金融機関のプロセスアナリストで、金融サービスケースに関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。アナリストワークベンチを使用して、ファイナンシャルサービスの支払業務、ローン業務、および苦情管理のプロジェクト定義のマイニングプロセスにアクセスできます。

ケースプロセスフローを分析し、たとえば **B2C** プロジェクト定義のローン返済猶 予などのワークフローを使用して、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   ローン返済猶予ケースレコードがクローズされるまでの平均期間を確認できます。

2. [プライマリメトリクス] リストと [セカンダリメトリクス] リストをそれぞれ [一意の発生件 数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示し、プロセスマップを絞り込みます。

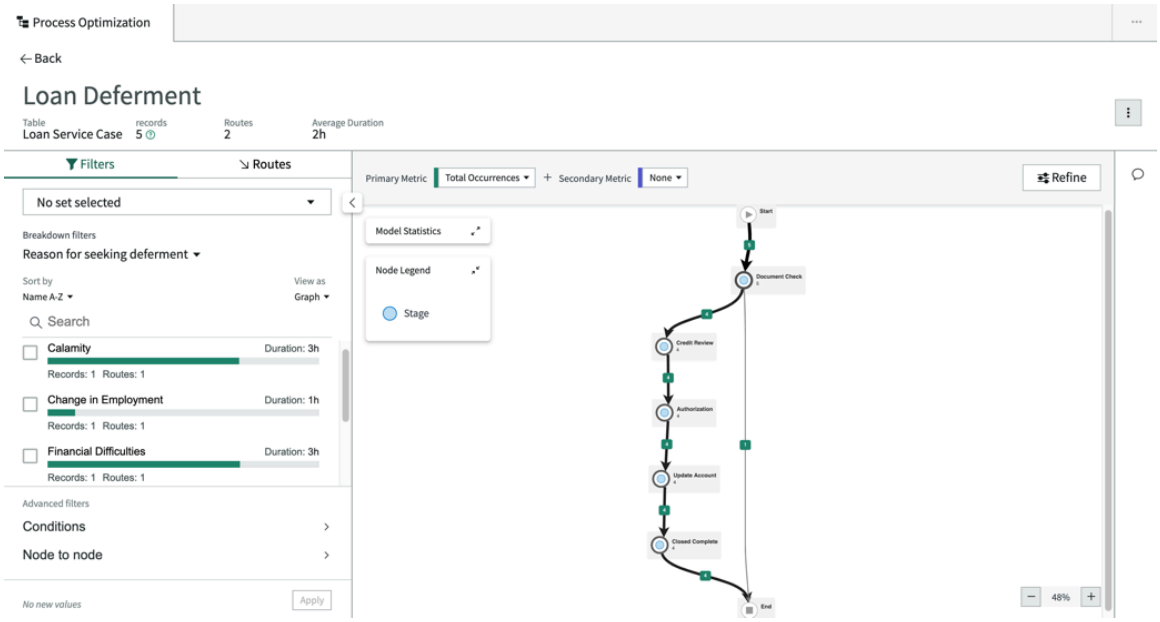
   状況移行とその期間を確認できます。

4. [フィルター] タブで、カテゴリの [ブレークダウンフィルター] リストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、ルートに含まれているステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ内のルートが強調表示されます。
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング **B2C** でのローン返済猶予用



関連情報

プロセスインサイトの分析と取得

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

のコンテンツパック カスタマーサービス管理 **(CSM)**

カスタマーサービス管理 (CSM) の プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

プロセスマイニング CSM 用コンテンツパックの有効化の詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、カスタマーサービスケースに関連するデータの分析ツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

プロセスマイニング アプリケーションを カスタマーサービス管理 (CSM) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセスマイニング ロール	カスタマーサービス管理 (CSM) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_power_user	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_analyst	sn_customer_service_agent

カスタマーサービスケースの最適化プロジェクト

プロセスマイニング CSM 用コンテンツパック (sn_csm_po) は、カスタマーサービスケースの事前定義されたカスタマーサービスケースプロジェクト定義を含むビルド済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、カスタマーサービスケースプロジェクトは、過去 2 四半期のカスタマーサービスケースをフィルタリングします。ビルド済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

カスタマーサービスケースプロジェクトには、カスタマーサービスケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどの状況移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、カスタマーサービスケースデータをさまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でフィルタリングできます。

カスタマーサービスケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

継続的改善管理 (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、Analyst Workbench から CIM プロジェクトを使用して、カスタマーサービスケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

カスタマーサービスケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス アプリケーションが有効になっている場合は、利用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づくパフォーマンスアナリティクス (PA) インジケーターから プロセスマイニング アプリケーションを開くことができます。詳細については、次を参照してください。 統合: パフォーマンスアナリティクス.

関連情報

の プロセスマイニング 例 CSM

の プロセスマイニング 例 **CSM**

カスタマーサービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、ACME 社のプロセスアナリストで、カスタマーサービスケースに関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。アナリストワークベンチを使用して、カスタマーサービスケース プロジェクトのマイニングされたプロセスにアクセスします。

ケースプロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

1. カスタマーサービスケースプロジェクト定義から [ワークスペースで表示] を選択します。アナリストワークベンチが新しいタブで開きます。

   カスタマーサービスケースレコードでケースがクローズされるまでに平均 16 日かかることがわかります。

2. [プライマリメトリクス] リストと [セカンダリメトリクス] リストをそれぞれ [一意の発生件 数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示し、プロセスマップを絞り込みます。

   「 対応中 - 情報待ち 」移行ステータスに 2 日以上かかっていることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

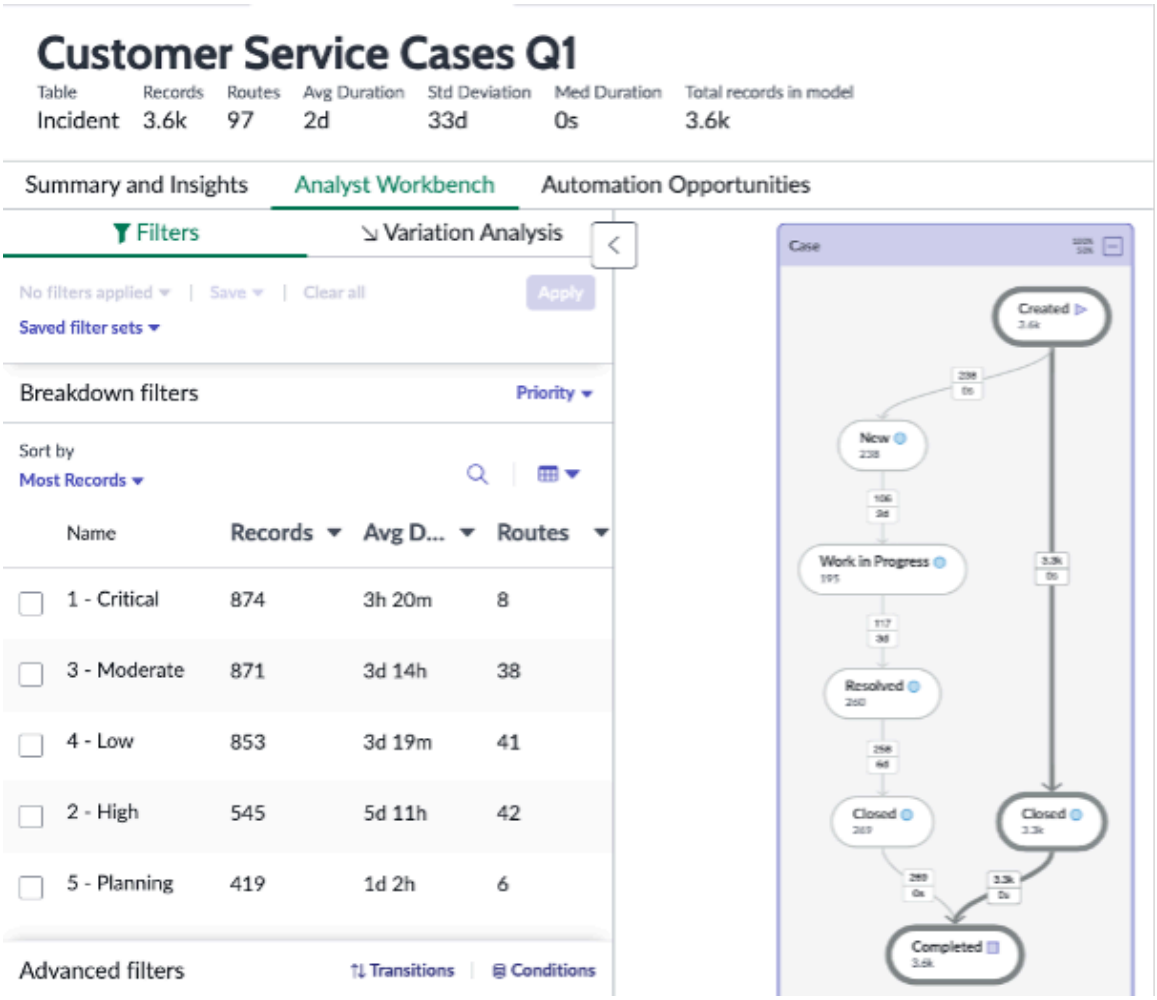
4. [フィルター] タブで、[ブレークダウンフィルター] リストを [アサイン先グループ] に設定し、アクティビティフィルターを使用して [対応中 - 情報待ち] アクティビティと [対応中] アクティビティ間のプロセスフローを表示します。
5. [ルート] タブで、選択したアクティビティ間で平均期間よりも長くかかったすべてのレコードを表示する必要があるため、[ソート基準] リストで [ほとんどのレコード] を選択します。次に、任意のプロセスパスを選択して、そのルート内のケースを表示します。

   ほとんどのケースがメールに関連していることがわかります。

6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモでは、エージェントと顧客間のメールトランザクションを改善するために標準化されたテンプレートを使用することを提案しています。

カスタマーサービスケースの プロセスマイニング



関連情報

プロセスインサイトの分析と取得

のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)

通信事業注文のコンテンツパック

通信事業とメディア向け注文管理 の プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、通信事業注文に関連するボトルネックを特定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

通信事業のプロセスマイニングを有効にする方法については、「プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、電気通信注文に関連するデータを分析するためのツールにアクセスできます。詳細については、「プロセスマイニング ワークスペース」を参照してください。

プロセスマイニングアプリケーションを使用している通信事業アプリケーションに基づいて、次のロールが必要です。

- 電気通信製品注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信サービスオーダーの場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信リソース注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信注文タスクの場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us

通信事業アプリケーションの最適化プロジェクト

コンテンツパックは、次の 通信事業とメディア向け注文管理 アプリケーションエンティティ用にビルド済みのプロセス最適化プロジェクト定義を追加します。

- 製品注文
- サービス注文
- リソース注文
- 注文タスク

ビルド済みプロジェクトに基づく新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

関連情報

の プロセスマイニング 例 通信事業

の プロセスマイニング 例 通信事業

電気通信注文のプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたが電気通信サービスプロバイダーのプロセスアナリストで、電気通信オーダーに関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、通信製品注文、サービス注文、リソース注文、および注文タスクのプロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスできます。

電気通信プロジェクト定義の製品注文に次のワークフローを使用することで、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   電気通信の顧客の注文が履行されるまでの平均時間を確認できます。

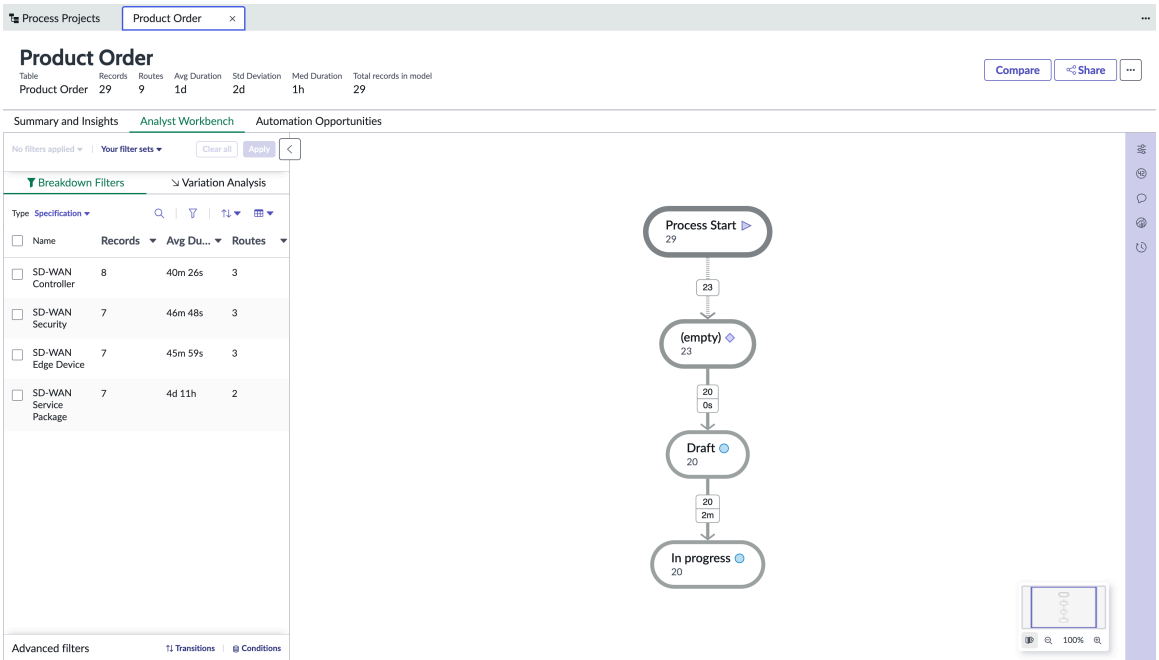
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. プライマリメトリクスリストとセカンダリメトリクスリストをそれぞれ 一意の発生件 数と 平均期間に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示し、プロセスマップを絞り込みます。

   状況移行とその期間を確認できます。
4. [フィルター] タブで、カテゴリの [ブレークダウンフィルター] リストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに含まれているステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ内のルートが強調表示されます。
6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

プロセスマイニング 電気通信の製品注文用



関連情報

プロセスマイニング ワークスペース

プロセスインサイトの分析と取得

通信事業注文のコンテンツパック

のコンテンツパック **HR** サービスデリバリ **(HRSD)**

HR サービスデリバリ (HRSD) の プロセスマイニング コンテンツパックを使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HRSD プロセスマイニングコンテンツパックの有効化の詳細については、「プロセスマイニングコンテンツパックをアクティブ化する」を参照してください。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、カスタマーサービスケースに関連するデータの分析ツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

プロセスマイニング アプリケーションを HR サービスデリバリ (HRSD) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセスマイニング ロール	HR サービスデリバリ (HRSD) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_hr_core.admin
sn_process_optimization_power_user	sn_hr_core.case_writer
sn_process_optimization_analyst	sn_hr_core.basic

HR ケースの最適化プロジェクト

HRSD プロセスマイニングコンテンツパック (com.sn_hr_process_optimization) は、事前定義された HR サービスケースと、インストールされている場合はライフサイクルイベントケースプロジェクト定義を含むビルド済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、プロジェクトは過去 2 四半期のケースをフィルタリングします。ビルド済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成」を参照してください。

プロジェクト定義には、ケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどの状況移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、さまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でケースデータをフィルタリングできます。

HR ケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

継続的改善管理 (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、Analyst Workbench から CIM プロジェクトを使用して、HR ケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「継続的改善管理 との統合」を参照してください。

HR ケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス (PA) アプリケーションが有効になっている場合は、利用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づくパフォーマンスアナリティクス インジケーターから プロセスマイニング アプリケーションを開くことができます。詳細については、次を参照してください。 統合: パフォーマンスアナリティクス.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の プロセスマイニング 例 **HR** サービスデリバリ **(HRSD)**

HR サービスのプロセスを分析するか、インストールされている場合はケースを ライフサイクルイベント してボトルネックを特定し、ケースフローの遅延を最小限に抑えてユーザーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、サービスデリバリの速度または品質を向上させたいと考えている HR オンボーディングプロセスアナリストで、現在のケースプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、HR サービスのマイニングされたプロセス、およびインストールされている場合は ライフサイクルイベント ケースプロジェクト定義にアクセスできます。

次のワークフローを使用して、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案することができます。たとえば、標準の HR サービスケースモデル定義の場合、次のことができます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   [すべて **HR** サービス別] タブで、HR サービスケースレコードがクローズされるまでにかかる時間を確認できます。

2. プライマリメトリクスリストとセカンダリメトリクスリストをそれぞれ 合計発生件 数と 平均期間に設定して、プロセスマップのメトリクスを表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示し、プロセスマップを絞り込みます。

   状況移行とその期間を確認できます。

4. [ブレークダウン] タブで、カテゴリの [ブレークダウンフィルター] リストを設定し、アクティビティ移行フィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、ルートに含まれているステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ内のルートが強調表示されます。

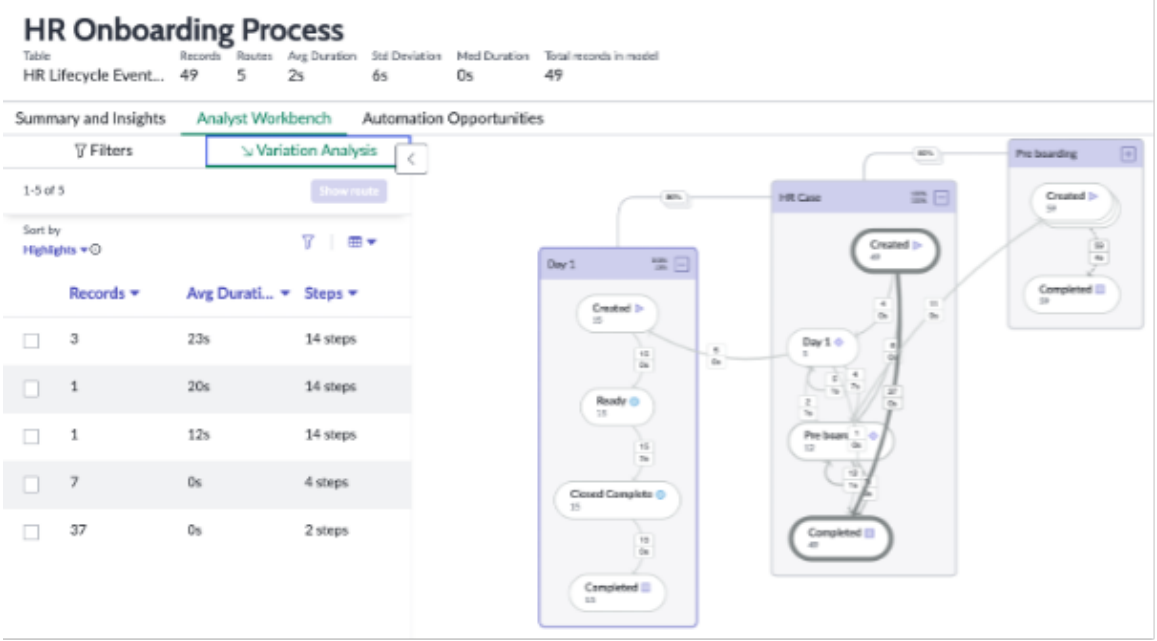
   注:
   1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウン フィルター] タブにリストされているブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

6. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング 標準的な **HR** サービスケースの場合



FSM 向けコンテンツパックの例

作業指示タスクのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してワークフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

この例では、ACME 社のプロセスアナリストであり、作業指示タスクに関連付けられている現在のプロセスに関する分析を送信する必要があります。Analyst Workbench を使用して、 作業指示タスク プロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスします。

作業指示書プロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

1. アナリストワークベンチを選択します。Analyst Workbench が新しいタブに表示されます。
2. [ブレークダウンフィルター] リストを [アサイン先グループ] に設定して、プロセスマップ内のすべてのレコードのスタンドアロン分析を表示し、[適用] を選択します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してメトリクスの完全なリストを表示し、プロセスマップを絞り込みます。

   タスクのスケジューリングが遅れる理由を観察し、分析します。
4. 選択して、データをフィルタリングしてレコードを表示します レコードを表示 > ビュー.

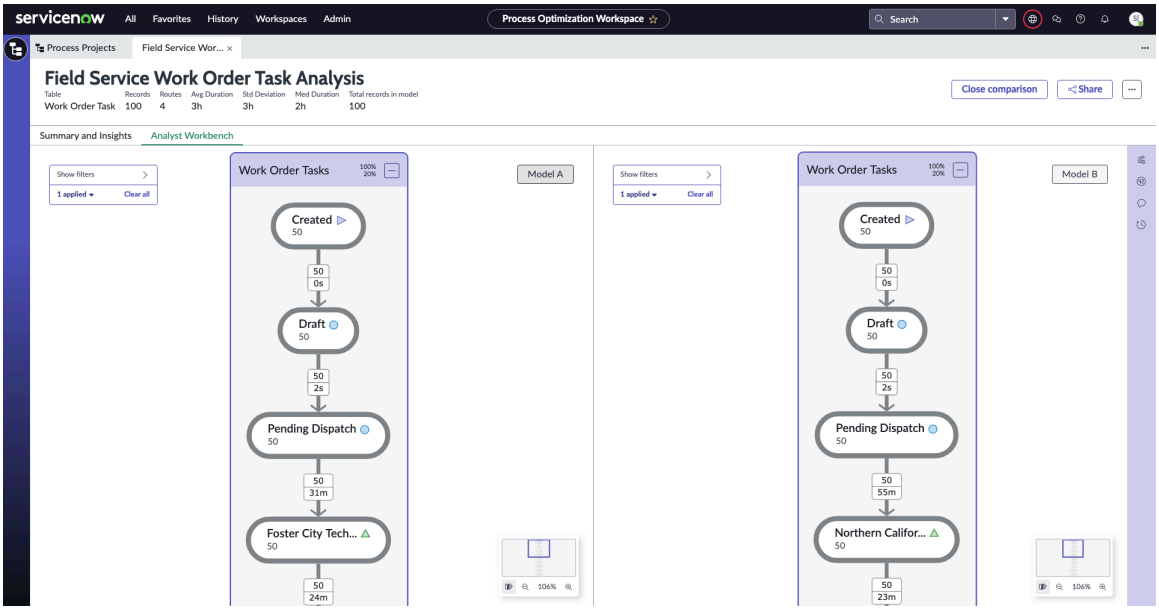
   ほとんどのタスクがインストールに関連していることがわかります。
5. メモアイコン ( ) を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモでは、インストールタスクのディスパッチ時間が長くなる理由を確認することを提案しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング フィールドサービス作業指示タスクの場合



関連情報

Process Mining for Field Service Management

プロセスマイニング の統合

継続的改善ライフサイクル全体を通じて プロセスマイニング を使用して、プロセスを一貫して正確に分析します。

アドミニストレーターは、 プロセスマイニング を他の ServiceNow アプリケーション (継続的改善管理、 パフォーマンスアナリティクス、 ITSM、 カスタマーサービス管理 (CSM)、 ファイナンシャルサービスオペレーションなど) と統合できます。

改善の機会を見つけてプロセスの変更を監視し、これらのステージを通じて進捗状況を監視します。

1. 特定: プロセスマイニング を使用して、現在のプロセスを積極的に評価し、改善の機会を見つけます。
2. 計画と実行:問題領域の根本原因を見つけ、新しいタスクや不足しているステップを明らかにします。
3. 対策:最新のプロセスデータを監視します。
4. 結果の表示:プロセスを再分析し、測定可能な結果を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

継続的改善管理 との統合

ServiceNow® 継続的改善管理 アプリケーションと統合すると、改善の機会を特定した後に要求を作成できます。

ServiceNow® 継続的改善管理 (CIM) アプリケーションとの統合により、プロセス改善関連のイニシアチブを要求および表示したり、既存のイニシアチブにタスクを追加したりすることができます。

プロセスマイニング プラグイン (com.sn_po) は、プロセスマイニング アプリケーションと 継続的改善管理 アプリケーションの統合を提供します。継続的改善管理 CIM (com.sn_cim) プラグインのアクティブ化と統合されます。

プロセスマイニングから:プロセスマイニングから改善イニシアチブを作成すると、プロジェクトへの参照が継続的改善レコードに追加されます。

継続的改善管理から:CIM から プロセスマイニング Analyst Workbench を起動します。

ロール

継続的改善管理 との統合では、プロセスマイニングロールに追加ロールが追加されることはありません。継続的改善管理機能を有効にするには、この機能を必要とするユーザーにagent_workspace_userロールを追加する必要があります。

関連情報

- を使用した 継続的改善管理 の例 プロセスマイニング
- 継続的改善管理
- Continual Improvement Management を要求する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIM から プロセスマイニング を起動

CIM ワークベンチから プロセスマイニング を起動して、既存のプロセスを分析し、新しい改善の機会を見つけます。

始める前に
必要なロール:improvement_manager

継続的改善管理 プラグイン (com.sn_cim) と プロセスマイニング プラグイン (com.sn_po) を有効にします。

手順

次のいずれかの方法で 、プロセスマイニング ワークベンチに移動します。

を使用した 継続的改善管理 の例 プロセスマイニング

改善要求を作成または追跡する方法を理解します。

改善マネージャーは、 継続的改善管理 ワークベンチダッシュボードを毎日使用して、進行中の運用作業とイニシアチブを表示します。インシデントプロセスを最適化し、平均解決時間 (MTTR) を短縮するためのオープンなイニシアチブがある。

イニシアチブフォームから、[プロセスマイニングに移動] を選択します。このアクションにより、過去 3 か月間にクローズされたケースを示す生成済みプロジェクトが プロセスマイニング Analyst Workbench に移動します。

プロセスマイニングとの統合により、継続的改善をルーチンの一部にする

ベンチマーク との統合

ITSM ベンチマーク との統合により、KPI に関連するプロセスを分析し、関連するインシデントを作成および表示できます。

関連情報

- を使用した ベンチマーク の例 プロセスマイニング
- のコンテンツパック ITSM

ベンチマークダッシュボードからの起動プロセスマイニング

ベンチマークダッシュボードからプロセスマイニングを起動して、パフォーマンスの低い KPI に関連するプロセスを分析します。

始める前に
必要なロール:sn_bm_client.benchmark_recommendation_viewer

プロセスマイニング プラグイン (com.sn_po) を有効にします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ベンチマーク > ダッシュボード.
2. [プロセスマイニングに移動] アイコン ( ) を選択します。

> **注:**
> KPI で必要なプロセスモデルが利用できない場合、ダッシュボードによって自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

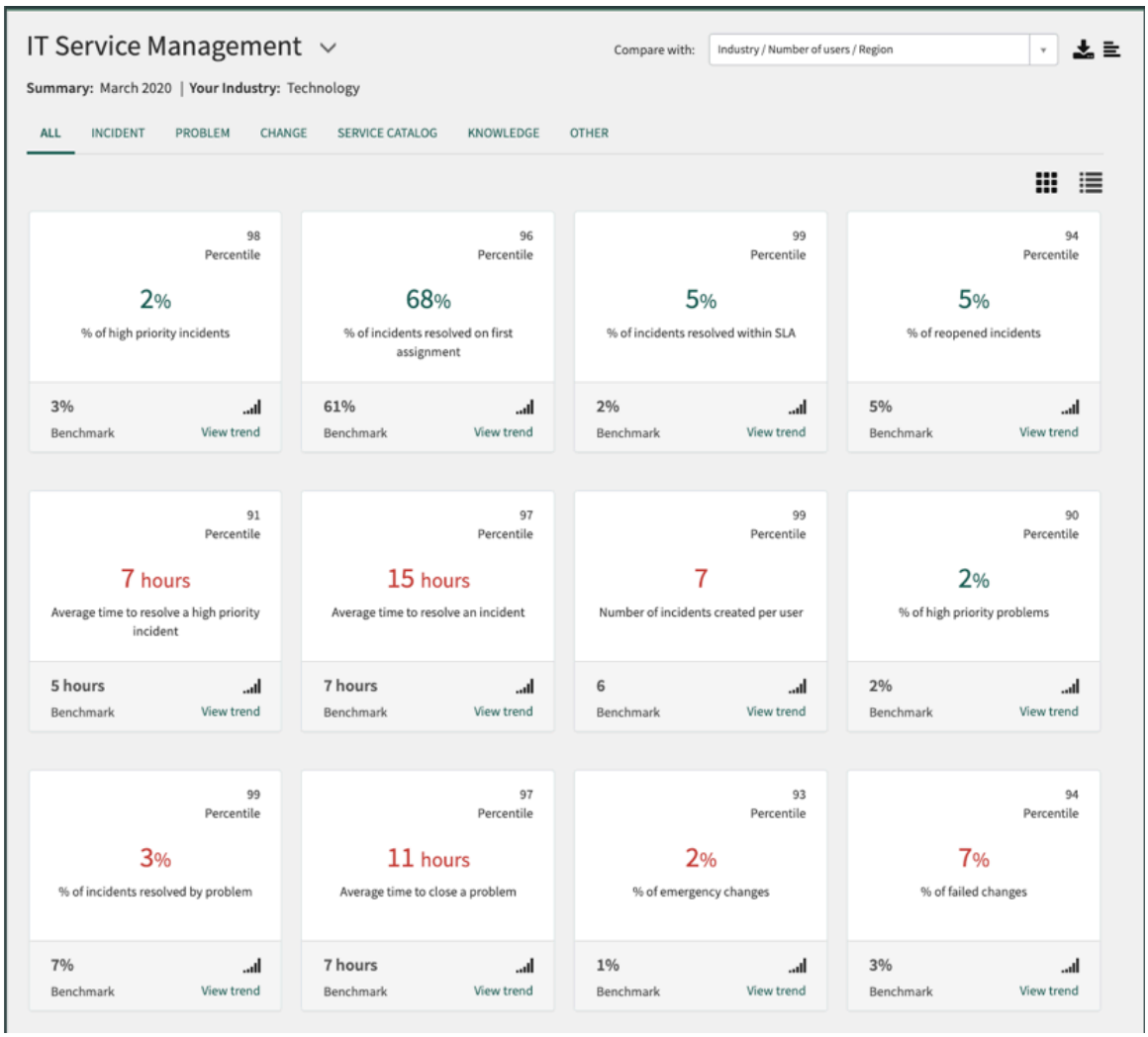
を使用した ベンチマーク の例 プロセスマイニング

KPI に関連するプロセスを分析する方法を理解します。関連するインシデントのステータスを作成または表示します。

特定、分析、実施:Now Platform でのプロセスマイニングの簡素化

IT アナリストが月次 ベンチマーク レポートを確認します。また、「高優先度インシデントの MTTR」KPI のパフォーマンスが同業他社と比較してマイナスであることに気付きました。CIO は、その理由を理解したいと考えています。

アナリストは、ベンチマーク KPI から [プロセスマイニングに移動] アイコンを選択します。このアクションにより、新しいタブの プロセスマイニング アナリストワークベンチに移動します。改善が必要な領域をすばやく検出し、CIM イニシアチブを提出します。CIM イニシアチブが完了すると、ベンチマーク 業界の同業他社比較チャートで改善を確認できます。



インジケーターデータソース **(PA)** との統合

プラットフォームアナリティクスインジケーターデータソースでプロセスマイニングを使用すると、インジケーターからデータ抽出を実行し、解決時間などの KPI に関連付けられたプロセスを分析できます。

プロセスマイニングプラグイン (com.sn_po) は、プロセスマイニングとインジケーターデータソースの統合を提供します。統合は、 プロセスマイニング プラグインを有効にすると自動的に行われます。その後、インジケーターのKPI 詳細からプロセスマイニングワークベンチを開くことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング プラグインは、次のテーブルを使用するインジケーターソースのテンプレート構成を提供します。

- カスタマーサービスケース [sn_customerservice_case]
- Incident (インシデント) [incident]
- 問題 [problem]
- 変更 [change]
- 要求アイテム [sc_req_item]

他のテーブルに基づくインジケーターをサポートするには、それらのテーブルのテンプレートを作成します。詳細については、「テーブル構成のセットアップ」を参照してください。

注:

- プロセスマイニングは自動インジケーターのみをサポートします。式インジケーターのKPI詳細から、プロセスマイニングを開くことはできますが、式で寄与する自動インジケーターのいずれかを選択する必要があります。
- プロセスマイニングは、データベースビューに基づくインジケーターソースをサポートしていません。

ロール

インジケーターと統合しても、 プロセスマイニング ロールにロールは追加されません。統合機能を有効にするには、この機能を必要とする プロセスマイニング ユーザーに PA ビューアーロール (pa_viewer) を追加する必要があります。同様に、インジケーターを管理し、プロセスマイニング機能を必要とするすべてのユーザーに適切なプロセスマイニングロールを追加します。

起動して使用 プロセスマイニング

インジケーターと統合すると、[プロセス分析を実行] オプションが [KPI 詳細] メニューに追加されます。ユーザーは次のことができます。

- KPI 詳細から特定のインジケーターのプロセスマイニングを開きます。



- パフォーマンスアナリティクスインジケーターからのデータ抽出をスケジュールします。

インジケーターのデータ抽出を開始すると、抽出の進行状況が表示されます。完了すると、 プロセスマイニング Analyst Workbench からプロジェクトを表示できます。後で同じインジケーター設定で別の日付に抽出を開始すると、新しい PA プロジェクトが プロセスマイニング > プロジェクト > **PA** プロジェクト 少し特別なマジックを 適用します

関連情報

を使用したインジケーターの例 プロセスマイニング

KPI 詳細を使用したインジケーターの探索

を使用したインジケーターの例 プロセスマイニング

インシデント、問題、変更、カスタマーサービスケース、または要求プロセスデータに基づくインジケーターからデータを抽出する方法を理解します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスアナリストがダッシュボードを表示すると、[解決済みのインシデントの数] インジケーターが過去 2 か月間で減少していることがわかります。この種のメトリクスが減少すると、顧客満足度が低下し、ビジネスコストが増加することを理解しています。数値をより深く掘り下げるには、インジケーターの KPI 詳細 を開きます。

KPI 詳細 解決済みのインシデントの数インジケーターの



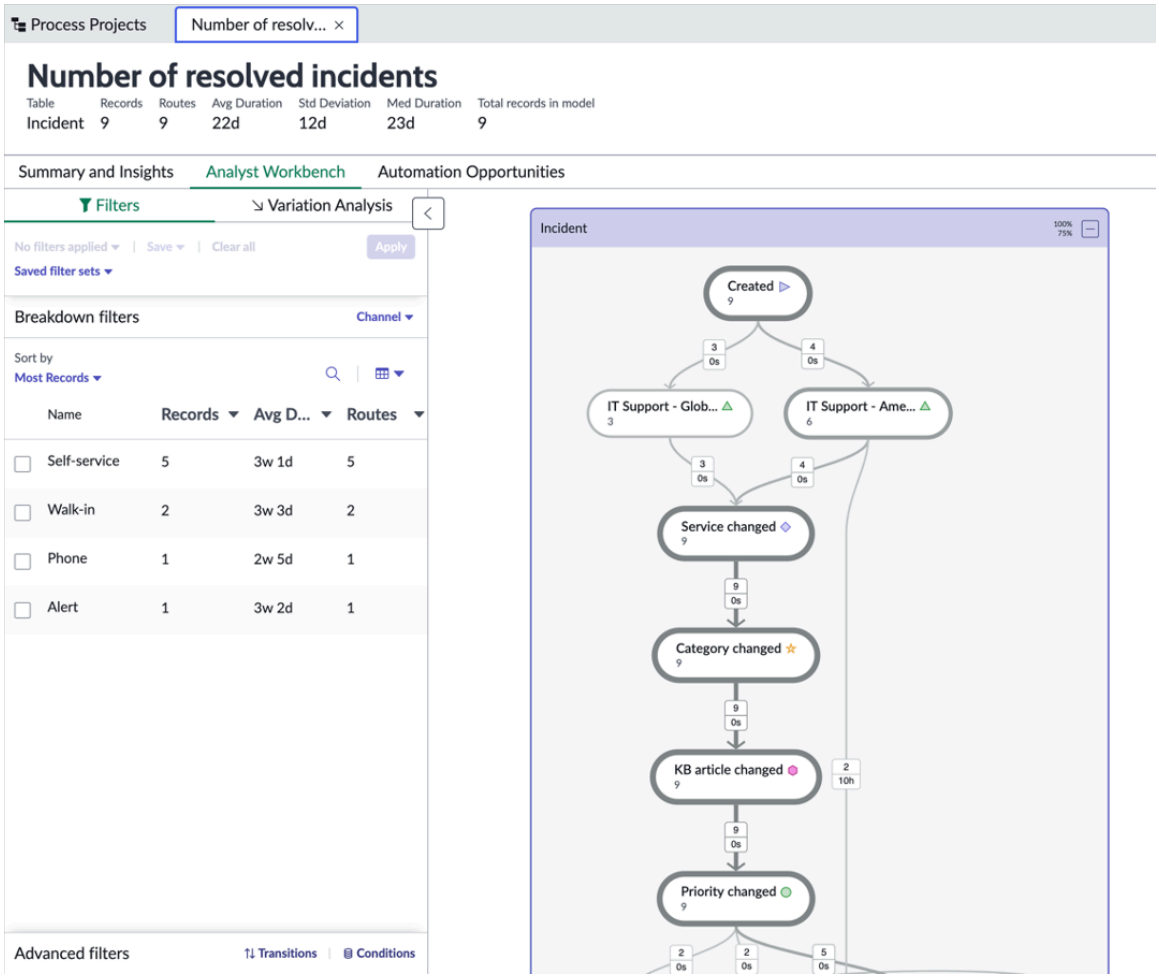
KPI 詳細の多くの分析ツールの中で、プロセスマイニングワークベンチを開くことができます。プロセスマイニングにより、この増加するインシデントを解決できる場合があります。

[プロセスマイニングで開く] アイコンを選択します。

このアクションにより、インジケーターのコンテキストでプロセスマップが自動的に作成されます。根本原因を調査するには、 プロセスマイニング Analyst Workbench に移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

解決済みインシデントの数インジケーターのアナリストワークベンチ



関連情報

インジケーターデータソース (PA) との統合

オートメーションディスカバリー との統合

プロセスマイニング内からオートメーションディスカバリーを実行します。

使用方法の概要

オートメーションディスカバリー はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このプロジェクトでは、レコードから 180 を超える自動化の可能性を特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートは関連するクラスターにレコードをグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

オートメーションディスカバリーの詳細については、「オートメーションディスカバリー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オートメーションディスカバリー の構成

オートメーションディスカバリー は、自動化のためにレコードと ID の機会を分析するのに役立ちます。

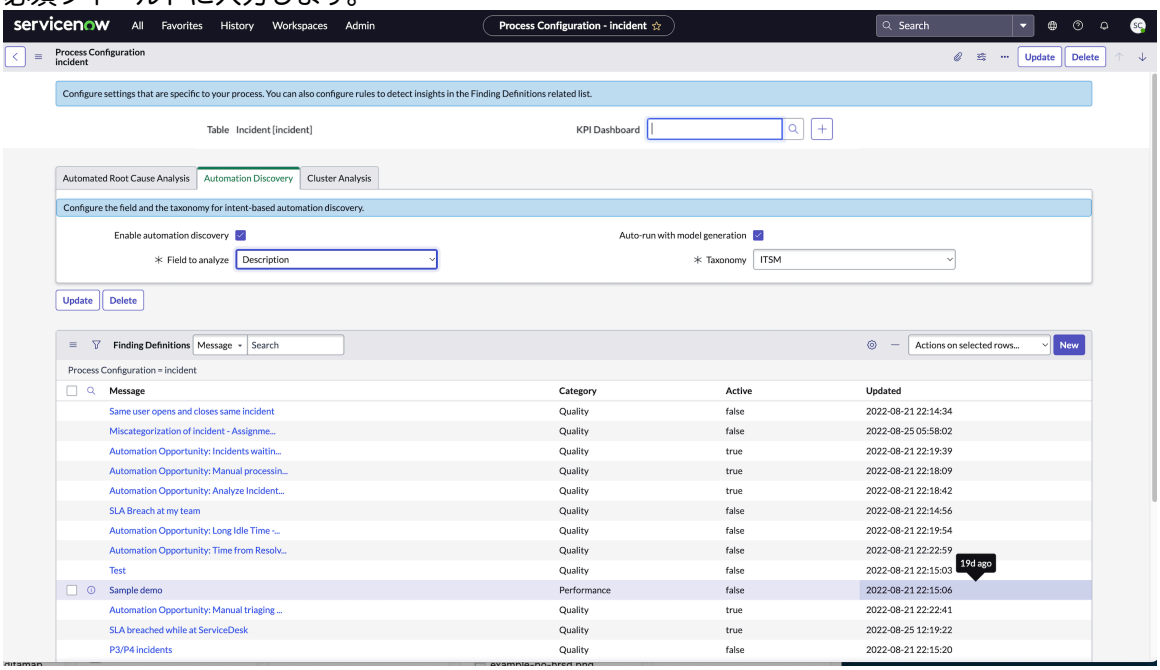
始める前に

構成する前に、 オートメーションディスカバリー アプリケーション (sn_auto_discovery) をインストールする必要があります。詳細については、「オートメーションディスカバリーのインストール」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. インシデントテーブル [incident] を選択します。
3. オプション: **[KPI** ダッシュボード] フィールドを使用して、このプロセス構成に関連付ける KPI ダッシュボードを選択します。
4. [オートメーションディスカバリー] タブに移動します。
5. [オートメーションディスカバリーを有効にする] および [モデル生成による自動実行] を選択し、必須フィールドに入力します。



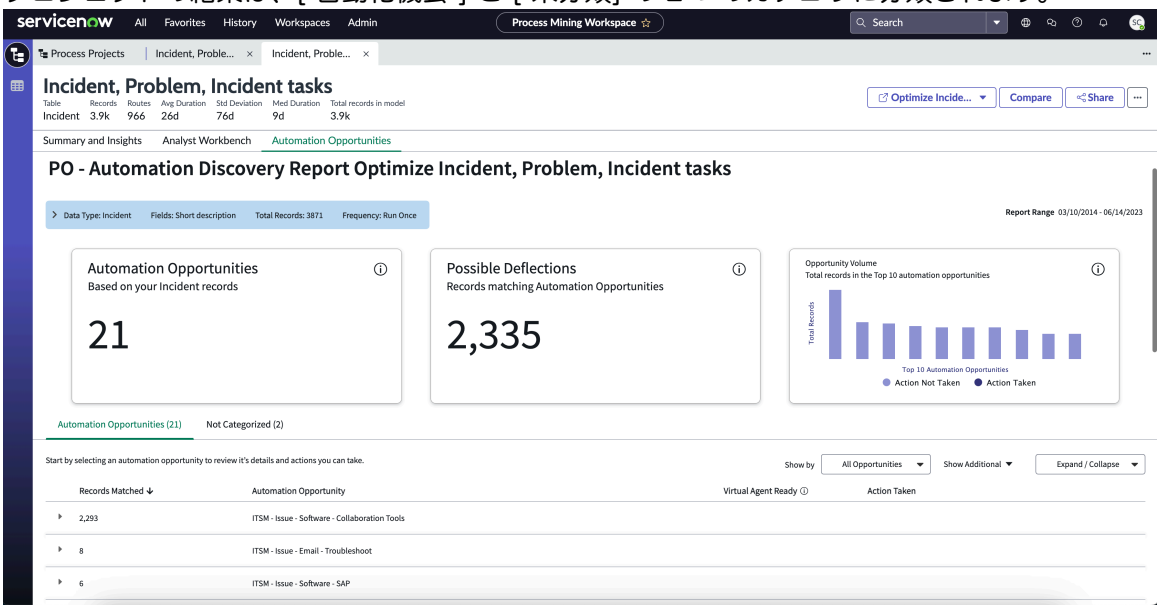
両方のオプションが選択されている場合、プロジェクトはオートメーションディスカバリーとモデル生成を自動的に実行します。

6. [**Update** (更新)] を選択します。
7. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース. [プロセスマイニング ワークスペース] ページが開きます。
8. プロジェクトを開き、[自動化機会] を選択します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

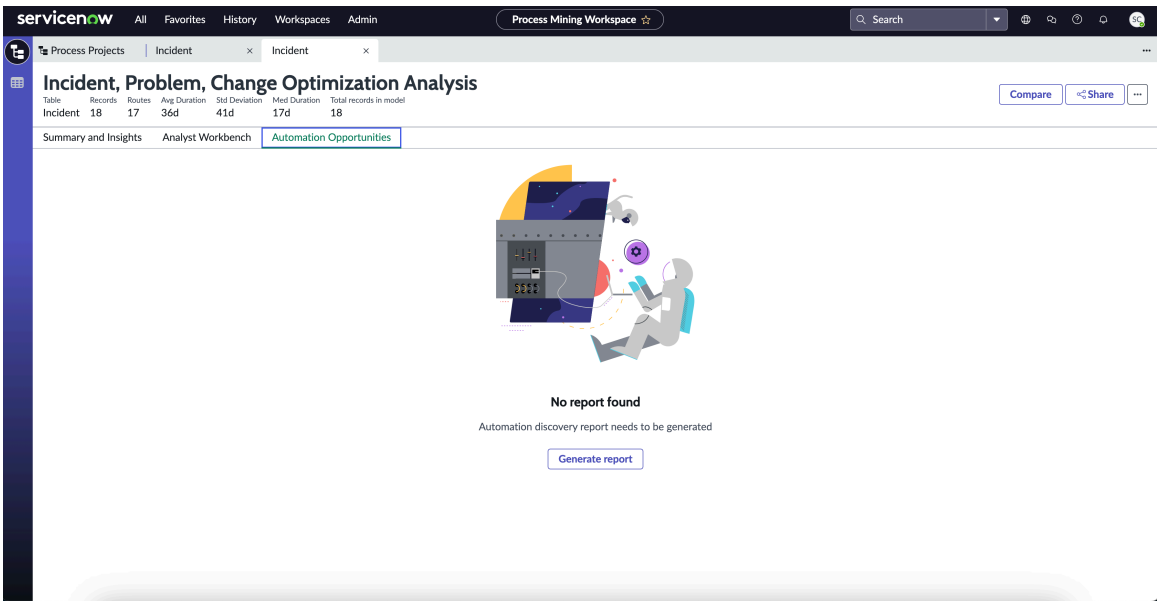
プロジェクトの結果は、[自動化機会] と [未分類] の 2 つのカテゴリに分類されます。



9. 追加情報を表示するには、レコードを選択します。

[プロセスマップを開く] をポイントして、追加のマイニングをトリガーします。

[オートメーションディスカバリーを有効にする] または [モデル生成による自動実行] を選択しない場合、自動化機会は表示されません。**Analyst Workbench** で、[レポートの生成] を選択してレポートを作成します。



必須フィールドに入力してレポートを作成します。

オートメーションセンター との統合

オートメーションセンター との統合により、オートメーションセンターワークスペースから自動化要求にアクセスできます。

プロセスマイニング から、オートメーションセンターワークスペースに表示する自動化要求を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化アイデアの送信

オートメーションセンターワークスペースを介して、さまざまなソースからの自動化要求を検出、優先順位付け、および管理します。

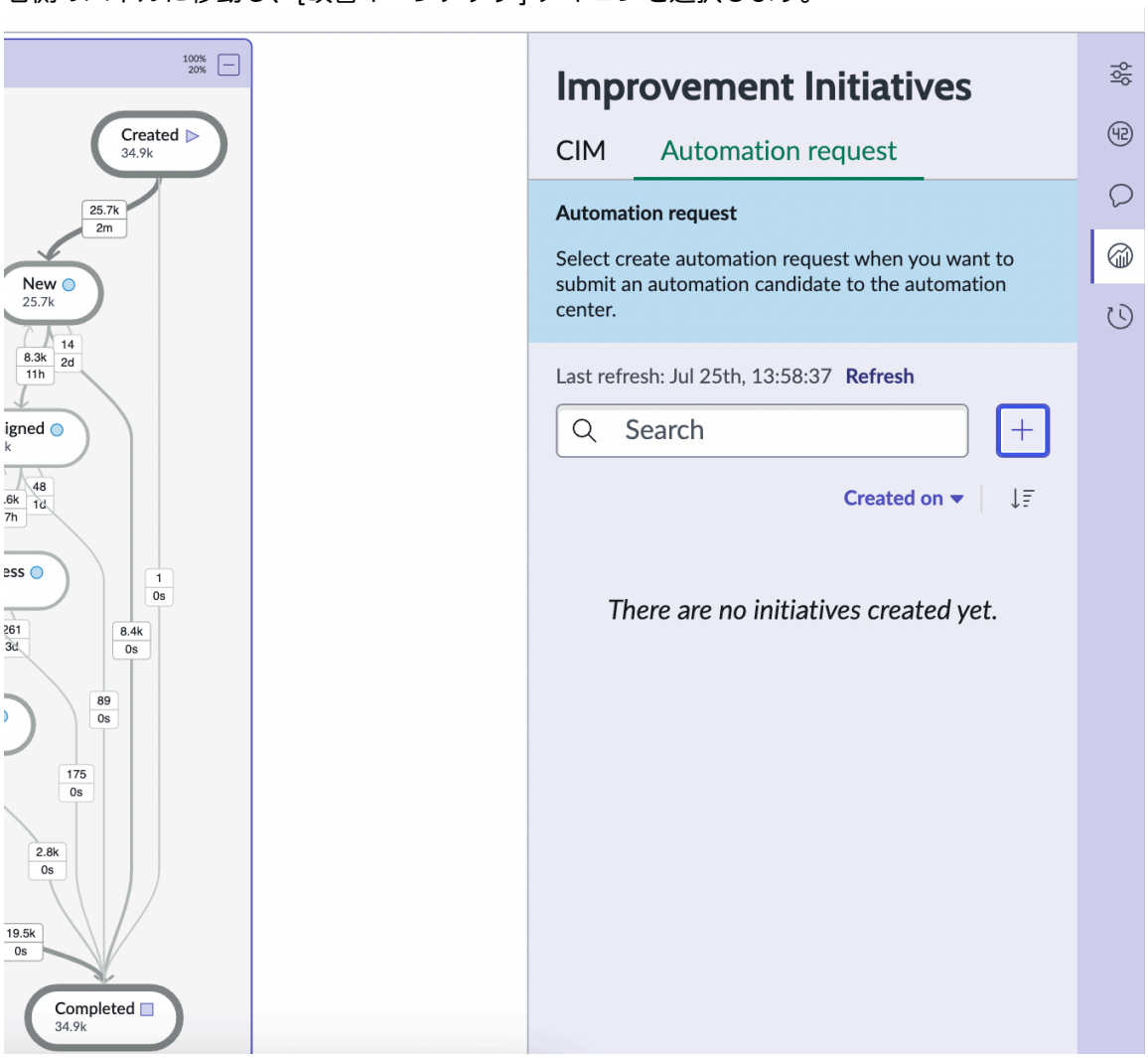
始める前に

構成する前に、オートメーションセンタープラグインをインストールして構成する必要があります。詳細については、「Install Automation Center」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
   オートメーションセンター機能は、[サマリーとインサイト] タブまたは [アナリストワークベンチ] タブに表示されます。
3. 右側のパネルに移動し、[改善イニシアチブ] アイコンを選択します。

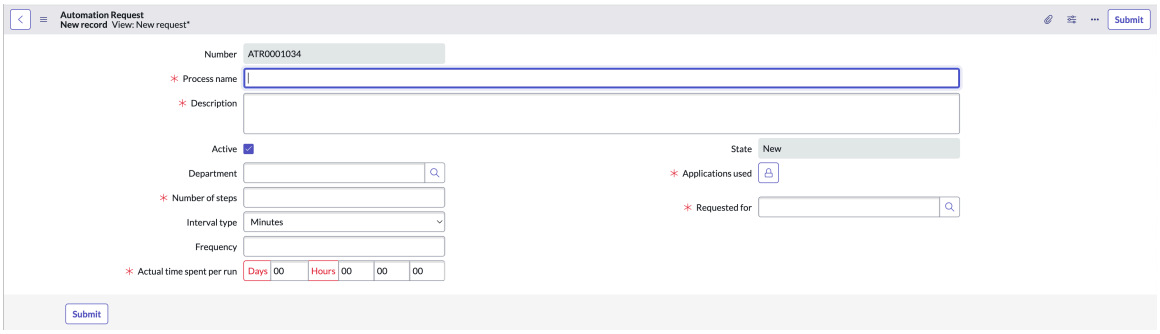


4. プラス記号を選択して、自動化アイデアを作成します。
   新しい [自動化要求] ページが開きます。

自動翻訳

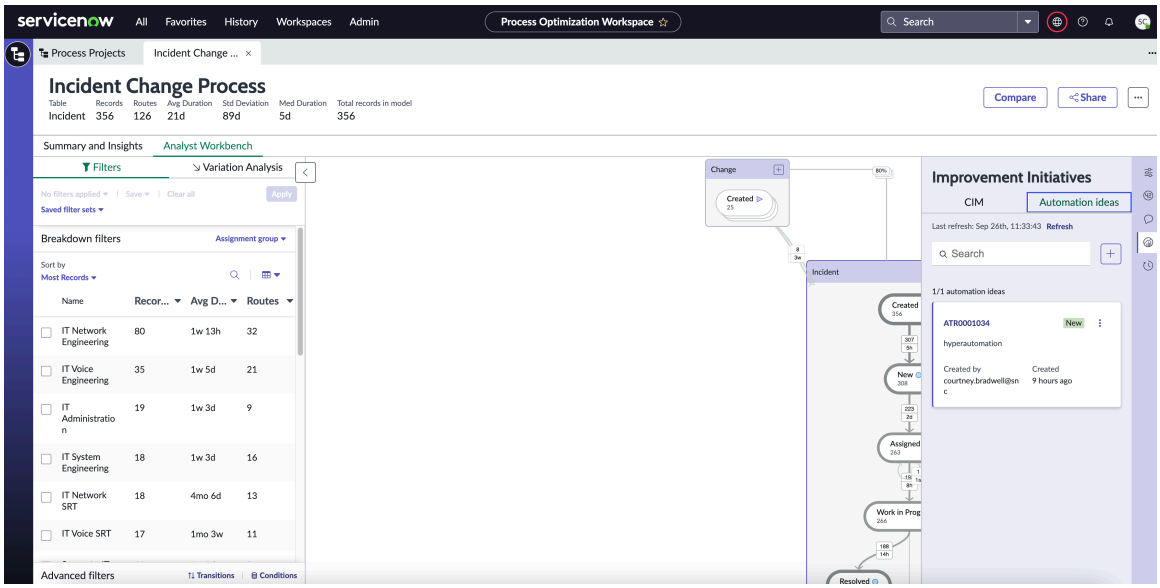
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 要求の必須フィールドに入力し、[送信] を選択します。



詳細については、「Automation request form from Automation Center」を参照してください。

タスクの結果
新しい要求が [改善イニシアチブ] パネルに表示されます。



プロセスマイニングの構成

アドミニストレーターは、アナリストとマネージャーがアナリストワークベンチにアクセスしてプロジェクトを作成および管理できるように プロセスマイニング を設定できます。

注:
プロセスマイニング は、インスタンスに 予測インテリジェンス が設定されている場合にのみ、オンプレミスインスタンスでサポートされます。セルフホスト環境の詳細については、KB 記事KB0782052 を参照してください。

プロセスマイニング を設定するには：

- プロセスマイニング (com.sn_po) プラグインを有効にします。
- ロールをアサインして、ユーザーがアプリケーションナビゲーターからプロジェクトを作成し、Analyst Workbench からプロジェクトを表示または管理できるようにします。
- (オプション) プロセスマイニング を他のアプリケーション (ITSM、カスタマーサービス管理 (CSM)、 ファイナンシャルサービスオペレーション などと統合する場合は、それぞれのコンテンツパックを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションがサポートされている

このアプリケーションはドメインセパレーションをサポートしています。詳細については、「ドメインセパレーションと プロセスマイニング」を参照してください。

アクセス制御

プロジェクトを生成または共有する場合、 プロセスマイニング テーブルのアクセス制御ルール (ACL) に従います。

プロジェクトを生成するとき、 プロセスマイニング プロジェクトがレポートするテーブルの ACL を優先し、監査テーブルの ACL を無視します。promin_viewer ロールを持つユーザーには、読み取り専用アクセス権があります。

プロジェクトを共有する場合:

- Analyst Workbench に表示されるすべてのデータは、プロジェクトにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。
- すべてのマイニング操作は、プロジェクト作成者の [sys_created_by] アクセス権に従って実行されます。これには、より高いアクセス許可レベルを持つロールによって実行されるマイニングが含まれます。これにより、マイニングされるデータが減少する可能性があります。

[サマリーとインサイト] ページ:

- KPI は、関連する KPI にアクセスするために必要な権限を持つすべてのユーザーに表示されます。
- インサイトは、プロジェクトにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。

プロセスマイニングのプロパティ

プロセスマイニングプロパティページには、プロセスマイニングの構成オプションがあります。

データクリーンアッププロパティ

スケジュールされたクリーンアップジョブによってプロジェクトが削除されるまで プロセスマイニング プロジェクトが維持される期間を決定するプロパティを設定します。

プロセスマイニングデータクリーンアップのプロパティ

プロパティ	説明
最終更新日から PA プロジェクト (プロジェクト定義) を保持する日数を定義します **promin.persist.pa_model**	プロセスマイニングプロジェクトが最後に更新された日付から何日間保持されるかを設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値:30 日 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
非アクティブ**promin.auto_retire_days**を理由にプロジェクトを廃止する日数を定義します	プロジェクトが廃止されるまでの非アクティブな日数を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングデータクリーンアップのプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値:90 日 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
廃止されたプロジェクトをクリーンアップする日数を定義します **promin.auto_clean_days**	廃止後、プロジェクトをクリーンアップするまでの日数を設定します。ただし、プロジェクト構成は保持されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値:90 日 • 場所：プロセスマイニング システム プロパティ

関連情報

を使用したインジケーターの例 プロセスマイニング

バージョンクリーンアップのスケジュールジョブ

スケジュール設定済みスクリプト **ProminVersionClean** を実行して、古いバックアップバージョンを削除し、クラスター分析レコードをクリーンアップするジョブをスケジュールします。

始める前に
必要なロール：administrator

このタスクについて
プロジェクトを再生成するときに、 **ProminVersionCleanup** ジョブは、古いキャッシュされた統計を削除します。古い統計情報は以前のバージョンに移行され、新しいバージョンは更新されたプロジェクトに対して作成されます。

プロジェクトを再生成または削除する場合、このジョブはクラスター分析中に作成されたレコードを消去します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > バックグラウンドジョブ.
2. スケジュール済みジョブ **ProminVersionClean** を選択します。
3. 以下を確認または設定してください。

   a. [アクティブ] チェックボックスをオンにします。
   b. [実行] フィールドが [毎日] かどうかを確認します。
   c. 時間を時間単位で設定します。

4. [今すぐ実行] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
バックアップバージョンとクラスターレコードのクリーンアップは毎日実行されます。

根本原因分析プロパティ

根本原因分析のしきい値を決定するプロパティを設定します。

根本原因分析しきい値 プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	説明
表示する上位インフルエンサーの数 **promin.rca.result-count**	プロジェクトの根本原因分析を有効にするために必要なインフルエンサーの数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
主要なインフルエンサーのリストに表示するために必要なレコードの最小割合 % (1 ～ 100) **promin.rca.min_condition_and_effect**	主要なインフルエンサーリストに表示されるレコードの最小割合を設定します。たとえば、指定された値が 10% で、合計で 100 件のレコードがある場合、10 件のレコードが表示されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 10 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
最低限必要なオッズ比 **promin.rca.min_odds_ratio**	根本原因分析を行うときに奇数比率を決定する最小値を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：1 • 場所：プロセスマイニング システム プロパティ

Analyst Workbench のプロパティ

Analyst Workbench に表示するデータの種類を決定するプロパティを設定します。

根本原因分析しきい値 プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	説明
Analyst Workbench のプライマリメトリクス **promin.primary_metric**	Analyst Workbench に結果を表示する際に使用する主要メトリクスを指定します。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:一意の発生件数 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

根本原因分析しきい値 プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
Analyst Workbench **promin.secondary_metric**のセカンダリメトリクス	Analyst Workbench に結果を表示する際に使用するセカンダリメトリクスを指定します。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値:平均期間 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ

アクティビティに関する推奨事項のプロパティ

プロジェクトの作成時にアクティビティフィールドの推奨事項を有効または無効にするには、プロパティを設定します。

根本原因分析しきい値 プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	説明
プロセスマイニングでアクティビティフィールドの推奨事項を有効または無効にするプロパティ **promin.activity.recommendation.enabled**	プロジェクトのアクティビティ定義を設定するときに推奨事項を表示できるようにするには、このフィールドを選択します。 • タイプ：ブーリアン • デフォルト値：True • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ

作業メモ分析プロパティ

作業メモ分析が利用可能になるタイミングを決定するプロパティを設定します。

根本原因分析しきい値 プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	説明
作業メモ分析**promin.worknotes.min_records**をトリガーする最小移行レコードを設定します	作業メモ分析をトリガーする最小移行レコードを設定します。移行レコードが指定された値を下回っている場合、作業メモ分析は利用できません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：50 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
対象作業メモの最小移行割合しきい値 (X%) **promin.work_notes.min_percentage_transition_threshold**	対象作業メモのしきい値として最小パーセンテージを設定します。たとえば、指定された値が 10% で、合計で 100 件のレコードがあ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

根本原因分析しきい値 プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	る場合、10 件のレコードが表示されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ
対象となる作業メモの最小数 **promin.work_notes.min_eligible_records**	対象となる作業メモの最小数の制限を設定します。作業メモは、プロセス構成の作成時に設定された基準 (作業メモの時間範囲、作業メモ分析の長さの範囲など) を満たしている場合に対象となります。詳細については、「調査機能の構成」を参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所：プロセスマイニング システム プロパティ

ブロックされたテーブル

プロセスマイニング のプロジェクトに使用しないテーブルを選択します。

根本原因分析しきい値 プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	説明
マイニング、アクティビティ定義、ブレークダウンからブロックする必要があるテーブルを定義します **promin.blocked.tables**	プロセスマイニングでの使用をブロックする必要があるテーブルを指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：なし • 場所: プロセスマイニング > システム > プロパティ

PAR ダッシュボードでの プロセスマイニング マップの構成

PAR ダッシュボードにプロセスグラフを表示するように プロセスマイニング マップを構成します。

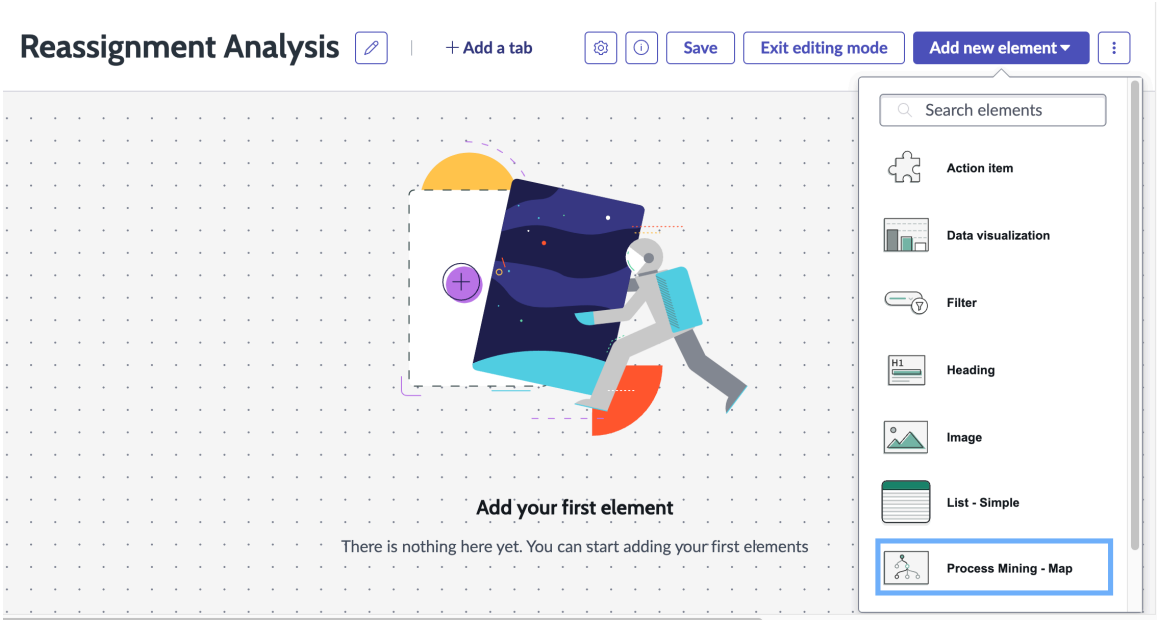
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

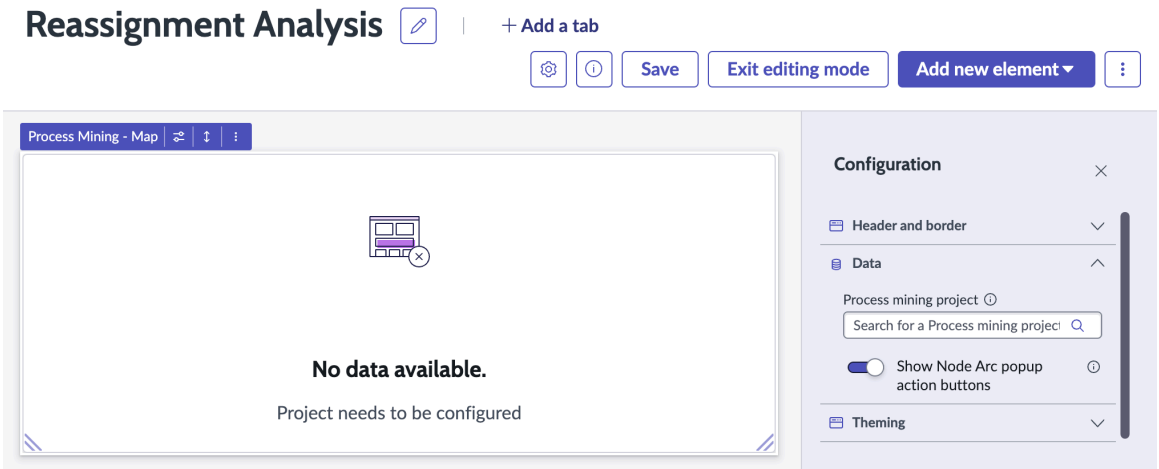
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. PAR ダッシュボードに移動します。
2. プロセスマイニングマップを構成します。
   a. [新しい要素を追加] を選択します。
   b. リストから [プロセスマイニング - マップ] を選択します。



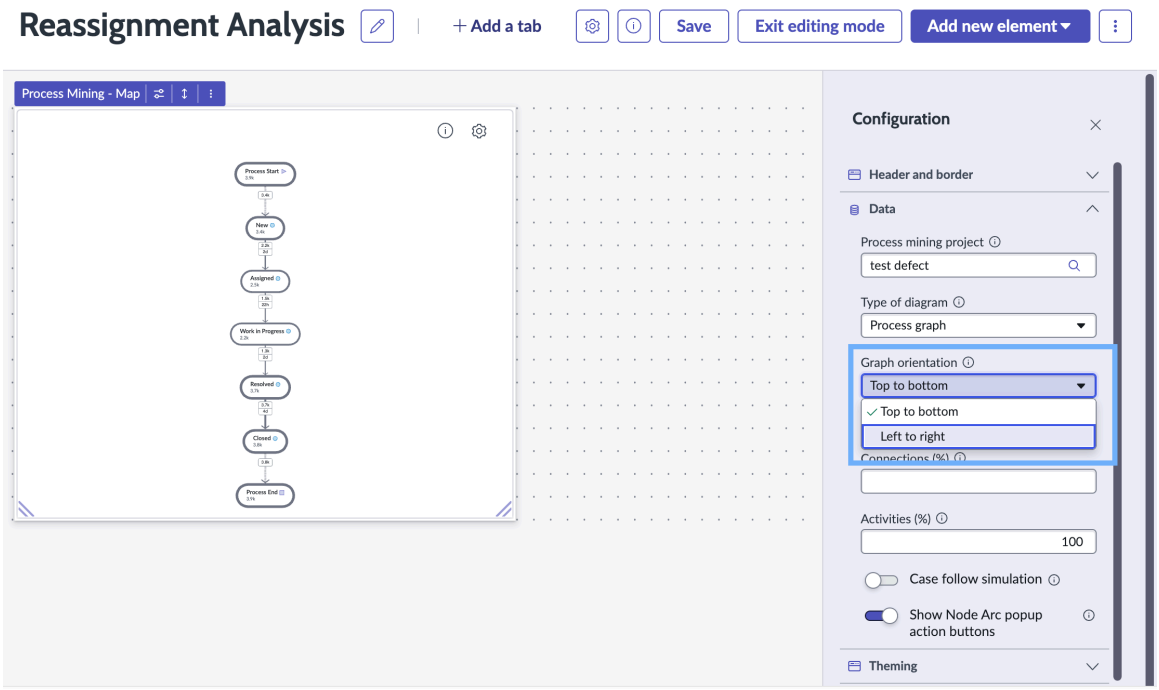
3. マップの プロセスマイニング プロジェクトを構成します。
   a. [構成] 領域の [プロセスマイニングプロジェクト] リストからプロセスマイニングプロジェクトを選択します。



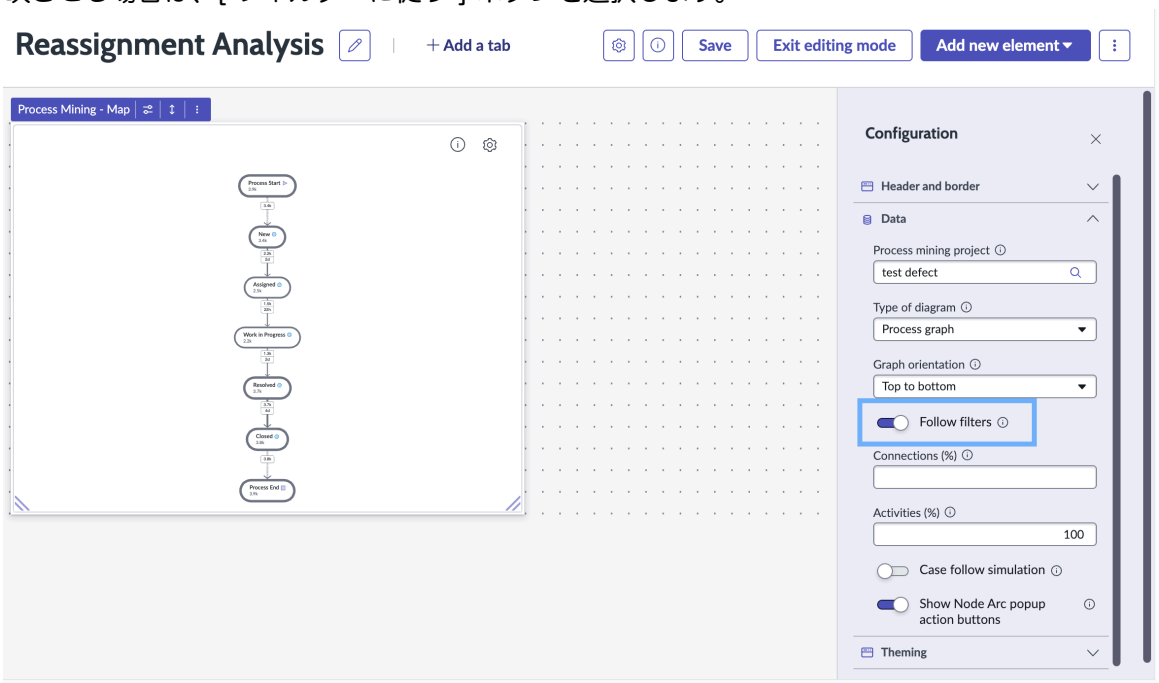
4. グラフ内にあるノードの現在のプロジェクトワークベンチに設定されたプロセスグラフのアウトラインの向きをカスタマイズします。
   たとえば、垂直方向のウィジェットを使用する場合、グラフと星形図を水平レイアウトではなく垂直レイアウトで表示したい場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. ダッシュボードでフィルターを構成し、適用されたフィルターを プロセスマイニング マップに反映させる場合は、[フィルターに従う] ボタンを選択します。

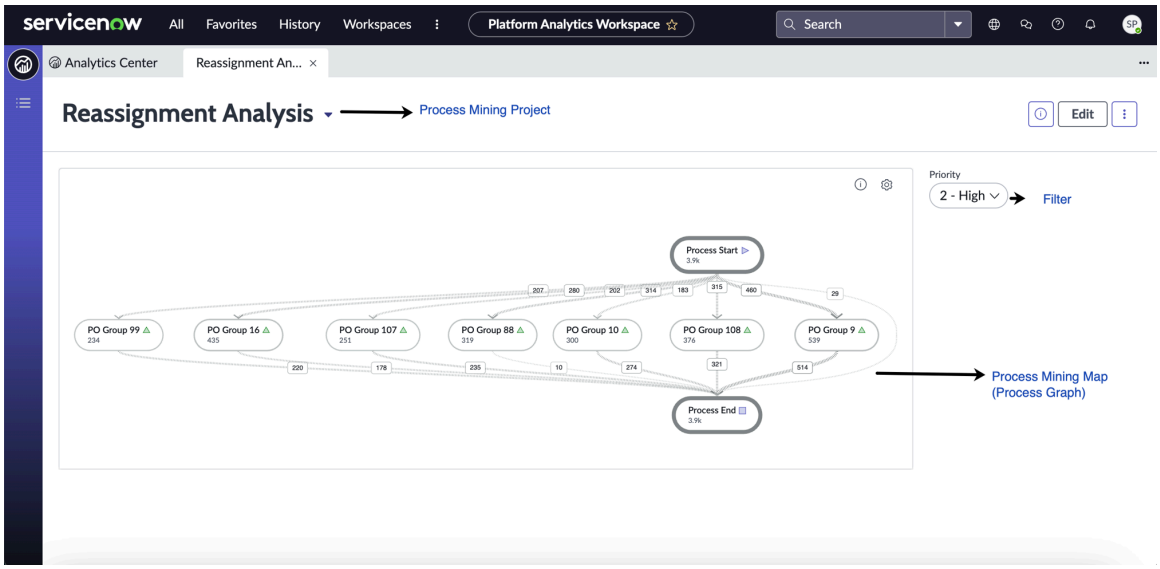


6. [保存して編集モードを終了] を選択します。

タスクの結果
プロセスマイニングマップは PAR ダッシュボードで利用できます。

自動翻訳

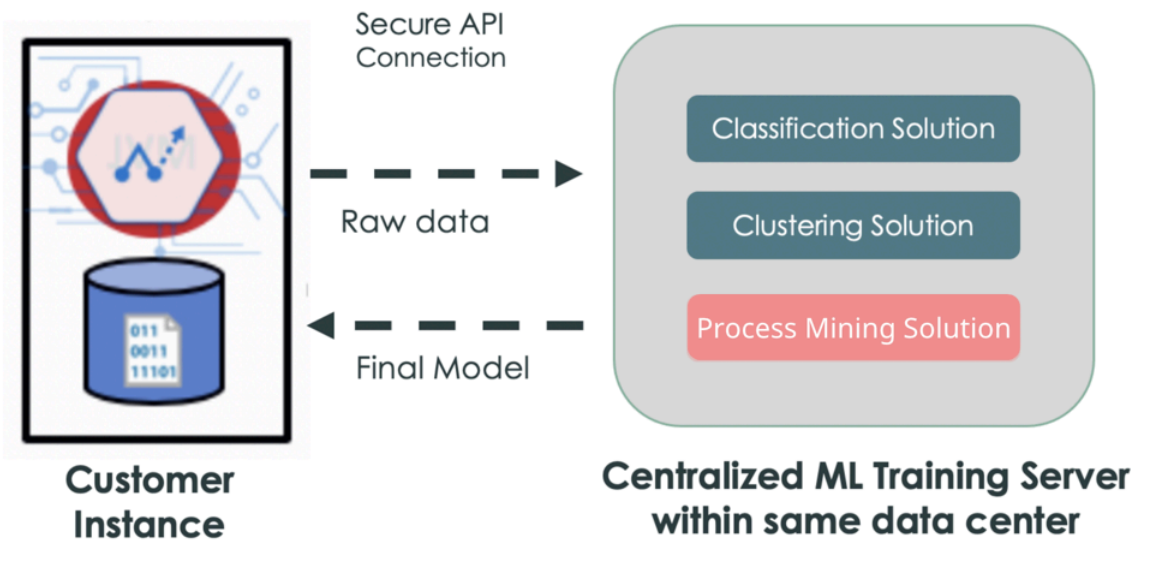
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマイニング アーキテクチャ

プロセスマイニングアーキテクチャの基本属性を理解します。

- プロセスマイニング マイニングエンジンは、プロジェクト設定に基づいて監査履歴からデータを抽出します。次に、データファイルは一元化されたトレーニングサーバー(ServiceNow® 予測インテリジェンス) を同じデータセンター内で行います。一元化されたトレーニングサーバーにより、新しいメトリクスの高度な計算が可能になります。一元化されたサーバーは、インスタンスにパフォーマンス負荷をかけることなく、より多くのデータをサポートしてスケーラビリティを実現します。
- プロセスマイニングプロジェクトの準備ができると、トレーニングサーバーは最終的なプロジェクトをインスタンスに送り返し、サーバーからすべてのプロジェクトデータを削除します。データは、安全で暗号化された API を使用して転送されます。
- プロジェクトの最新バージョンが、インスタンスのアナリストワークベンチ UI で可視化されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

予測インテリジェンス

プロセスマイニング の使用

最適化するプロセスを選択し、プロセスデータを生成してから、可視化された実用的なインサイトを取得します。

冗長性の排除、変更の予測、ワークフローの合理化などの分野でビジネスプロセスの改善を目指す場合、 プロセスマイニング はこれらの目標の達成を支援します。 プロセスマイニング は、エンドツーエンドの可視化、リスクの軽減、市場コンプライアンスの維持などに役立ちます。

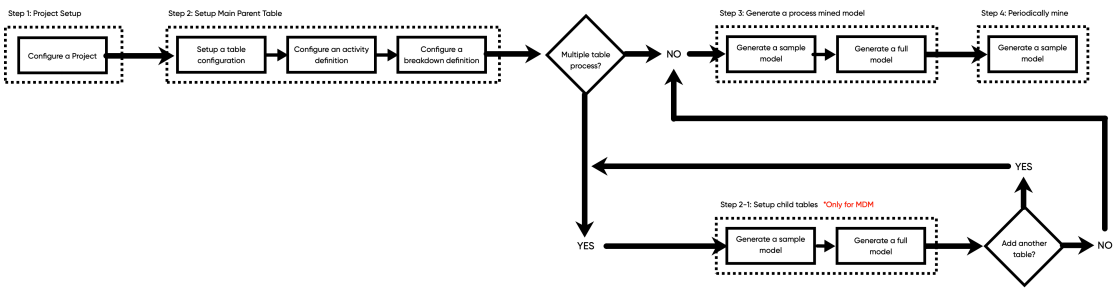
実装の計画

プロセスマイニング労力を最大化するために、次の手順を計画します。

- 特定:最適化が必要な問題のあるプロセス領域を特定します。
- 可視化:プロセスに含める必要がある重要な要素を特定します。目標、開始と終了、アクティビティ、およびプロセスに含める必要があるユーザーを理解します。
- 分析:最適化のために領域を分析し、目的の目標を達成できない場所と理由を特定します。
- 最適化:プロセスに不可欠でないステップを削除します。
- 監視:プロセスのパフォーマンスを監視し続け、領域が目的の目標を達成するまで改善します。

プロセスマイニング ワークフロー

次のフローチャートは、 プロセスマイニング用にプロジェクトを設定する手順を示しています。これらの手順の一部は省略可能であるか、多次元マイニング機能を利用するかどうかによって異なります。

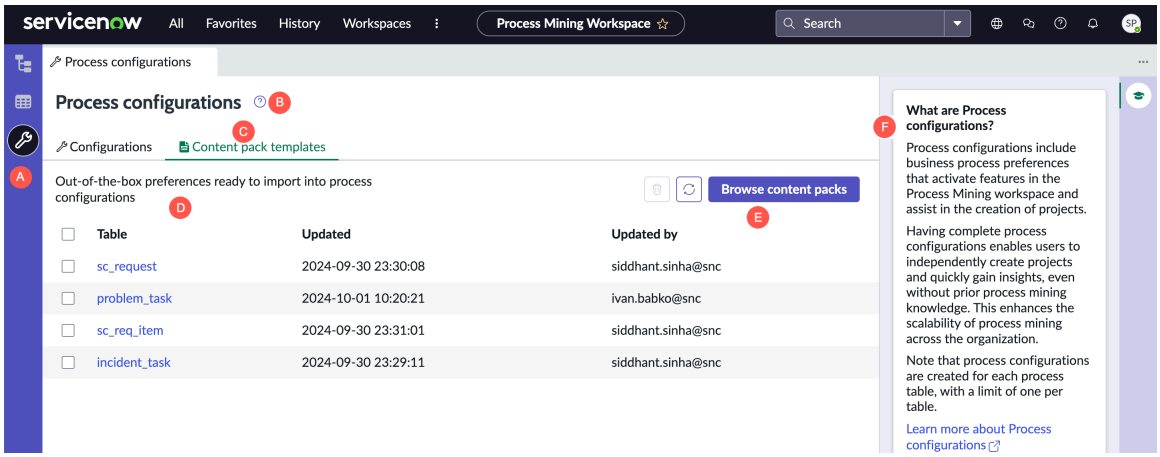


コンテンツパックテンプレートを使用したプロセス構成の作成

コンテンツパックテンプレートを使用してプロセス構成を作成します。コンテンツパックを選択すると、デフォルト構成を使用してプロジェクトを作成するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このページには、次の情報が表示されます。

- A:P rocess 構成アイコン
- B:プロセス構成ヘルプアイコン
- C:コンテンツパックアプリケーションからの読み取り専用プロセス構成テンプレート
- D:構成が作成されるテーブルのリスト
- E:新しい構成を作成できるボタン
- F:情報アイコンを選択した後に表示される情報(B)

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

プロセスマイニングコンテンツパックをインストール

コンテンツパックをインストールして、コンテンツパックのプロセス構成セットをプロセス構成にコピーします。

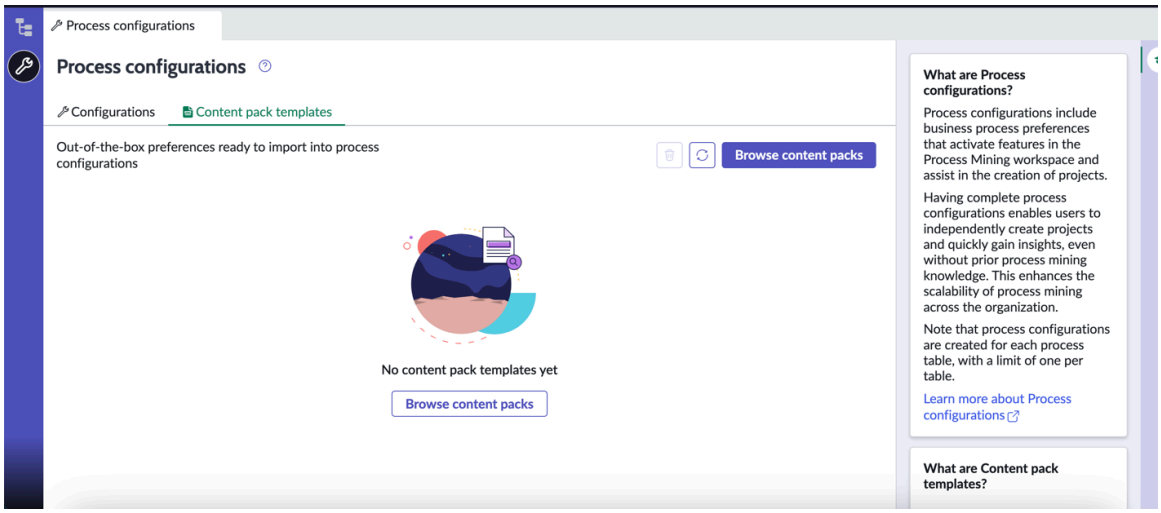
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

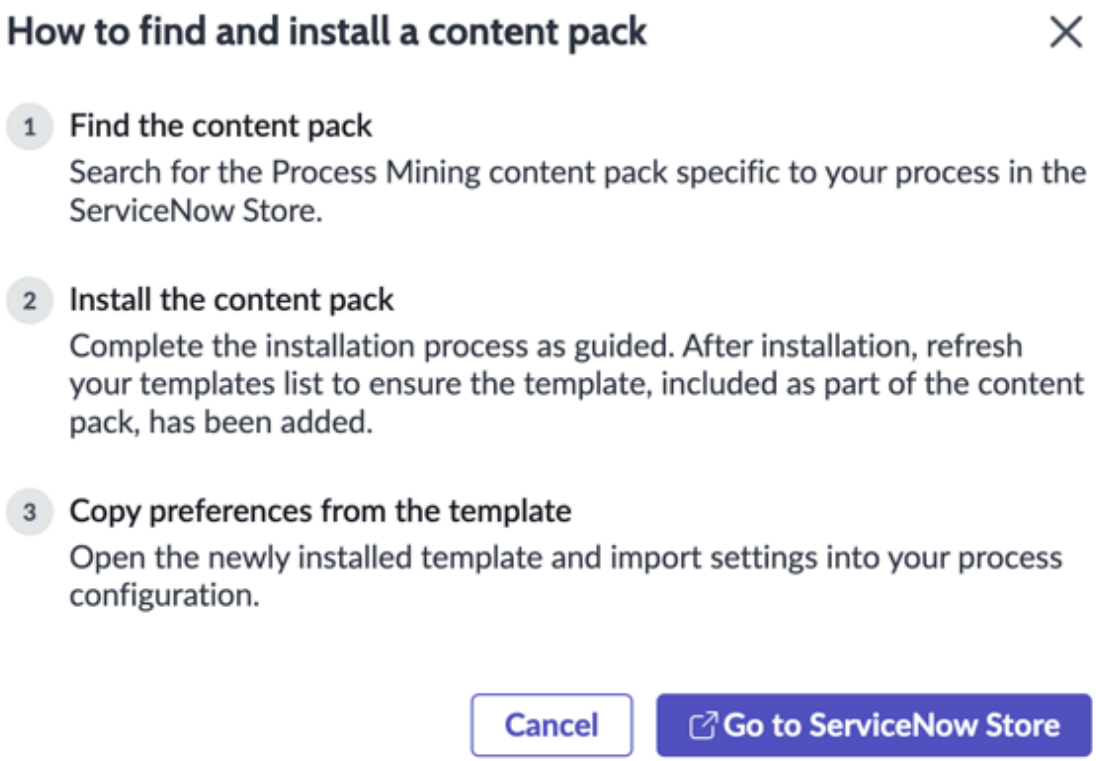
1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、プロセス構成 アイコン ( ) を選択します。
3. [コンテンツパックテンプレート] タブを選択します。
4. コンテンツパックテンプレートをインストールする場合は、[コンテンツパックを参照 **(Browse content packs**)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [**ServiceNow Store** に移動] を選択します。



6. 必要なコンテンツパックを見つけてインストールし、テンプレートから設定をコピーします。[コンテンツパックテンプレート] タブにテーブル名のリストが表示されます。ここに表示されるテーブルは、コンテンツパックの基になっているテーブルです。

コンテンツパックを使用したプロセス構成の作成

コンテンツパックを使用してプロセス構成を作成し、コンテンツパック用に既に作成されている構成を使用します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

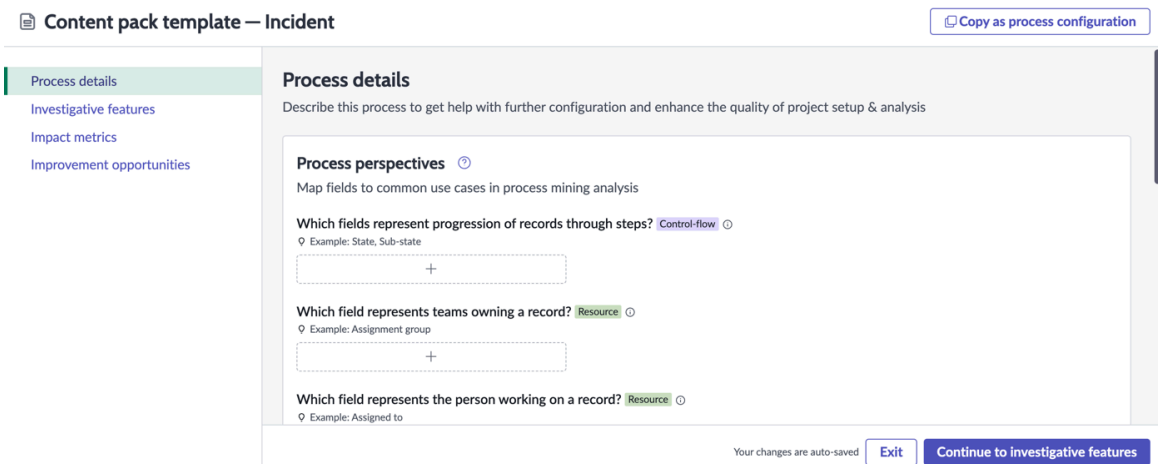
手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、プロセス構成 アイコン ( ) を選択します。
3. [コンテンツパックテンプレート] タブを選択します。

   注:
   構成を使用するコンテンツパックがインストールされていることを確認します。

4. リストからテーブルを開きます。

   注:
   インストールされているすべてのコンテンツパックのコンテンツパックが作成されるテーブルのリストが表示されます。



5. [プロセス構成としてコピー] ボタンを選択します。

   注:
   コンテンツパックの構成は編集できません。プロセス構成にコピーすることはできますが、コンテンツパック自体を編集することはできません。

6. 表示されるダイアログ ボックスで [作成] を選択します。
7. インポートボタンを選択します コンテンツ 。
   コンテンツパックに構成がある場合は、インポートされます。インポートボタンを選択すると、最初にその特定のフィールドの元の構成を削除するように指示されます。これを作成して初めて、コンテンツパックテンプレートから構成をインポートできます。ただし、そのセクションで一部のフィールドが入力され、入力されていないフィールドがある場合は、インポートされる値が明確に表示されます。

   注:
   コンテンツパックテンプレートは、そのテーブルの以前の構成を自動的に上書きしません。

8. プロセス構成ビルダーからコンテンツパックテンプレートを使用して、プロセステーブルを構成します。

   詳細については、「プロセス構成ビルダーを使用したプロセス構成の作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセス構成ビルダーを使用したプロセス構成の作成

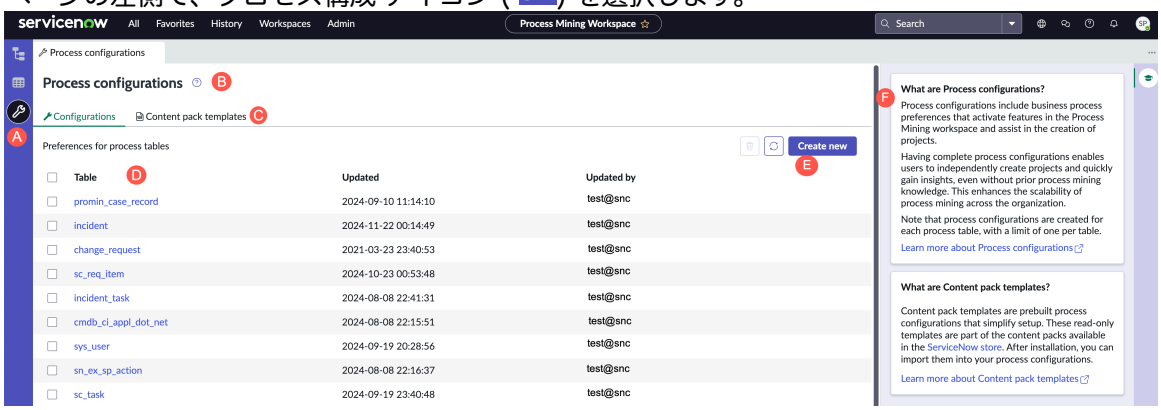
プロセス構成には、 プロセスマイニング ワークスペースの機能をアクティブ化し、プロジェクトの作成を支援するプロセス設定が含まれます。完全なプロセス構成を使用すると、プロセスマイニングの事前知識がなくても、プロジェクトを個別に作成し、迅速にインサイトを得ることができます。これにより、組織全体のプロセスマイニングのスケーラビリティが向上します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. ページの左側で、プロセス構成 アイコン ( ) を選択します。

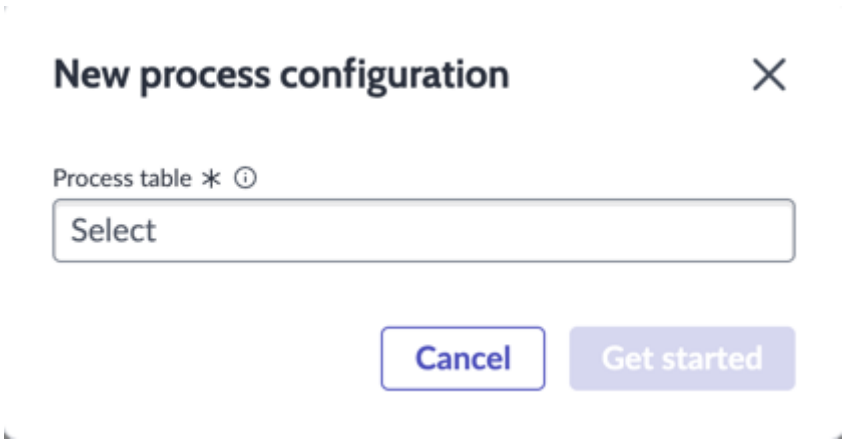


このページには、次の情報が表示されます。

- A:[プロセスの構成] アイコン
- B:プロセス構成ヘルプアイコン
- C:コンテンツパックアプリケーションからの読み取り専用プロセス構成テンプレート
- D:構成が作成されるテーブルのリスト
- E:新しい構成を作成できるボタン
- F:情報アイコンを選択した後に表示される情報(B)

3. [新規作成] を選択します。

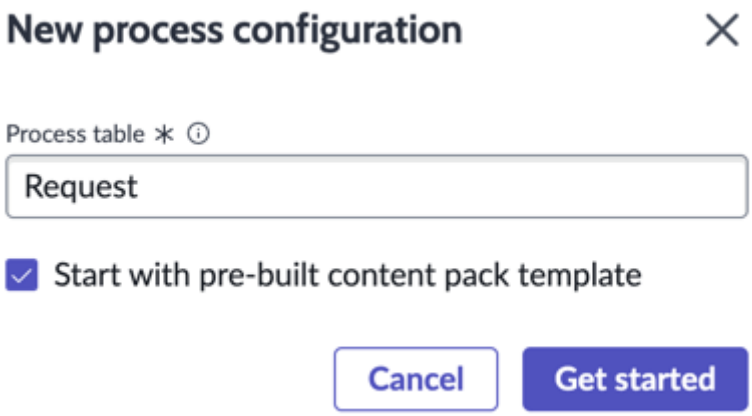
[新しいプロセス構成] ダイアログボックスが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスに対してコンテンツパックアプリケーションがインストールされている場合は、次のダイアログボックスが表示されます。



4. テーブルを選択します。
5. オプション: コンテンツパックテンプレートを使用する場合は、[ビルド済みコンテンツパックテンプレートから開始 する] オプションを選択します。

   注:
   このオプションは、プロセスに対してコンテンツパックアプリケーションがインストールされている場合にのみ使用できます。

   コンテンツパックを使用したプロセス構成の詳細については、「 コンテンツパックを使用したプロセス構成の作成」を参照してください。
6. [開始する] を選択します。

   重要:

   テーブルごとに許可されるプロセス構成は 1 つだけです。テーブルのプロセス構成を作成する前に、そのテーブルのプロセス構成がまだ作成されていないことを確認してください。テーブルで構成が利用可能な場合は、その構成を使用します。構成を編集するには、[構成] リストからテーブルを開きます。

   [プロセスの詳細] ページが表示されます。

プロセスの詳細を構成

詳細な構成を支援し、プロジェクトのセットアップと分析の品質を向上させるプロセスについて説明します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、プロセス構成 アイコン ( ) を選択します。
3. [構成] タブからテーブルを開きます。

   [プロセスの詳細] ページが表示されます。このページには、次の 3 つのセクションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

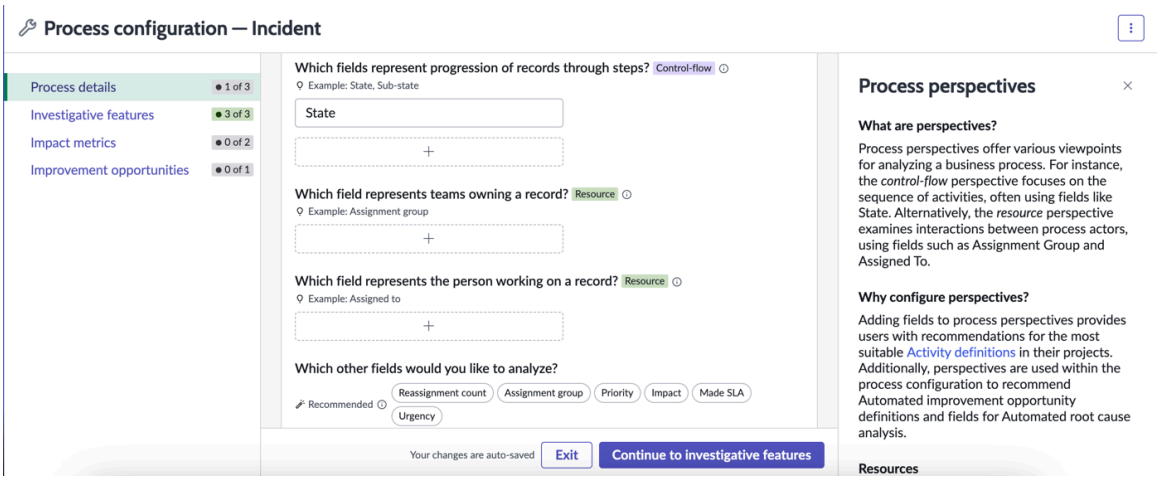
- プロセスパースペクティブ
- ブレークダウンフィールド
- 子テーブル

> **注:**
> ヘルプアイコン (?) を選択して、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細を表示します。また、リソースのリストも表示されます。

4. [プロセスの表示セット] セクションに詳細を入力します。

プロセスパースペクティブは、ビジネスプロセスを分析するためのさまざまな視点を提供します。プロセスパースペクティブにフィールドを追加すると、プロジェクトの作成時に最適なアクティビティ定義の推奨事項が提供されます。アクティビティ定義を設定するときに推奨フィールドがどのように表示されるかの詳細については、「 アクティビティ定義の設定 」セクションの表を参照してください。

さらに、パースペクティブはプロセス構成内で使用され、自動化されたルールベースの改善機会の定義と自動化された根本原因分析のフィールドを推奨します。自動根本原因分析を設定するときに推奨事項がどのように作成されるかを確認するには、[調査機能の構成] セクションの「自動根本原因分析」セクションを参照してください。改善の機会を設定するときに推奨事項がどのように作成されるかを確認するには、「 改善の機会を構成する」を参照してください。



5. 各セクションの下にある **[+**] 記号を選択します。
[フィールドを追加] ダイアログボックスが表示されます。

a. フィールドを選択します。

b. [**Save** (保存)] をクリックする。

プロセスパースペクティブ

フィールド	説明	例
ステップを通じたレコードの進行を表すフィールドはどれですか？	アクティビティの実行順序を説明するフィールドを選択します。通常、これはプロセスマイニング分析の開始点です。 これは、制御フローパースペクティブとも呼ばれます。	ステータス、サブステート

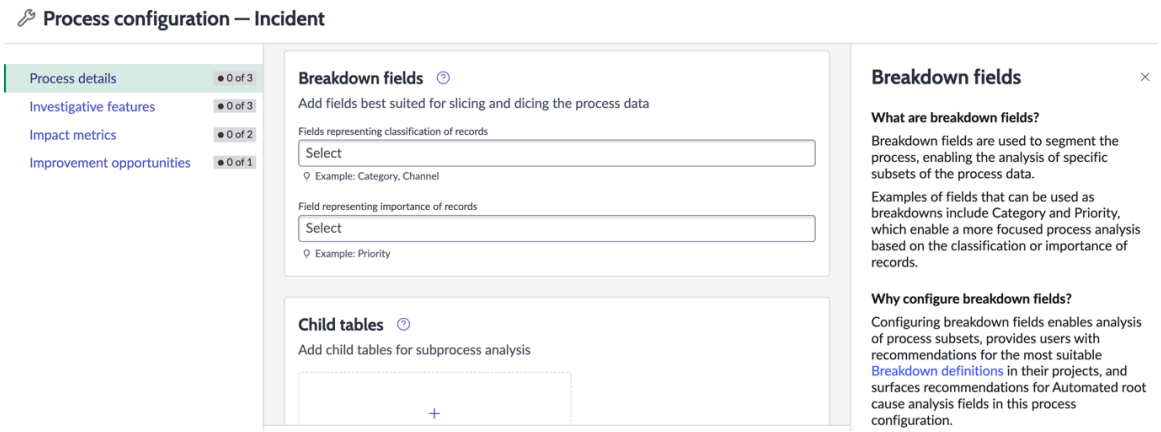
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明	例
レコードを所有するチームを表すのはどのフィールドですか？	プロセスの実行に必要なリソース (チームなど) と、リソースが互いにどのようにやり取りするかを説明するフィールドを選択します。 ここで選択したフィールドは、プロセスの構成中に自動根本原因分析の推奨事項として使用されます。 これは、リソースパースペクティブとも呼ばれます。	アサイン先グループ
レコードを操作しているユーザーを表すのはどのフィールドですか？	プロセスの実行に必要なリソース (人など) と、リソースが互いにどのようにやり取りするかを説明するフィールドを選択します。 これは、リソースパースペクティブとも呼ばれます。	Assigned to (アサイン先)
他のどのフィールドを分析しますか？	選択したその他のフィールド。 推奨フィールドから選択できます。これらのフィールドは、プロセスの変更頻度が高い場合に推奨されます。	優先度

自動翻訳

6. [ブレークダウンフィールド] セクションに詳細を入力します。



ブレークダウンフィールドを使用してプロセスをセグメント化し、プロセスデータの特定のサブセットを分析できるようにします。ブレークダウンフィールドを設定すると、プロセスサブセットの分析が可能になり、プロジェクト内で最も適したブレークダウンの推奨事項が提供され、このプロセス構成内の自動化された根本原因分析フィールドの推奨事項が示されます。

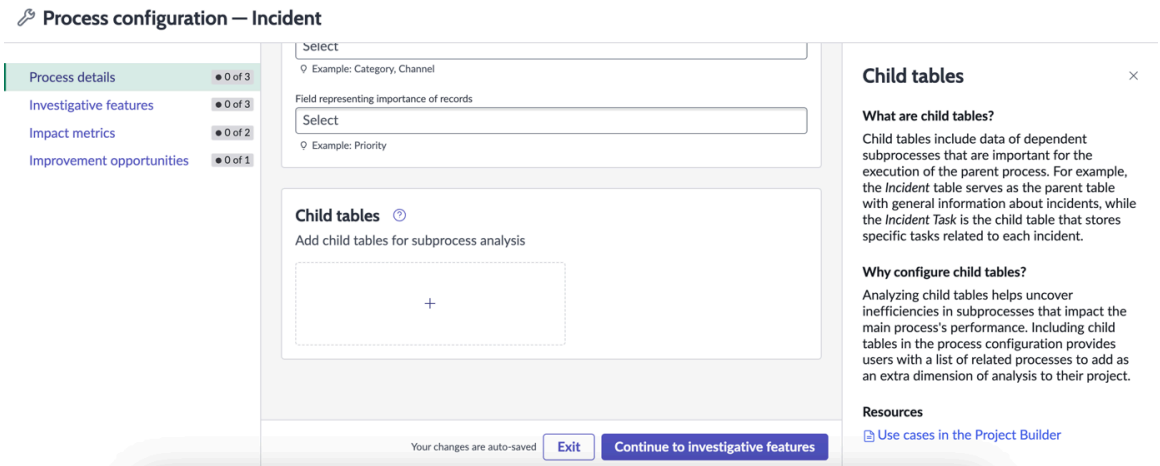
プロジェクトでブレークダウン定義を設定するときにこれらの推奨事項がどのように提供されるかについては、「 ブレークダウン定義の設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンフィールド

フィールド	説明	例
レコードの分類を表すフィールド	レコードの分類方法を説明するフィールドを選択します。 ドット連結の制限は 3 レベルです。 例:CI.BusinessService.assignment group ここで選択したフィールドは、プロセスの構成中に自動根本原因分析の推奨事項として使用されます。	カテゴリ、チャネル
レコードの重要度を表すフィールド	レコードの重要性を説明するフィールドを選択します。	優先度

7. [子テーブル] セクションに詳細を入力します。



子テーブルには、親プロセスの実行にとって重要な依存サブプロセスのデータが含まれています。子テーブルを分析することで、メインプロセスのパフォーマンスに影響を与えるサブプロセスの非効率性を明らかにすることができます。プロセス構成に子テーブルを含めると、プロジェクトに分析のディメンションとして追加する関連プロセスのリストが表示されます。

たとえば、インシデントテーブルはインシデントに関する一般的な情報を含む親テーブルとして機能し、インシデントタスクは各インシデントに関連する特定のタスクを格納する子テーブルです。

プロジェクトの作成時にこれらの設定を子テーブルで使用する方法の詳細については、「ユースケースの設定」を参照してください。

a. フィールドで **[+**] 記号を選択します。
[子テーブルを追加] ダイアログボックスが表示されます。

b. テーブルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 関係を識別する [ソースフィールド] の値を選択します。

d. [ターゲット] フィールドは デフォルトで入力されています。

8. [調査機能を続行する] を選択します。

調査機能の構成

調査機能を設定して、プロセスの高度なアナリティクス機能を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

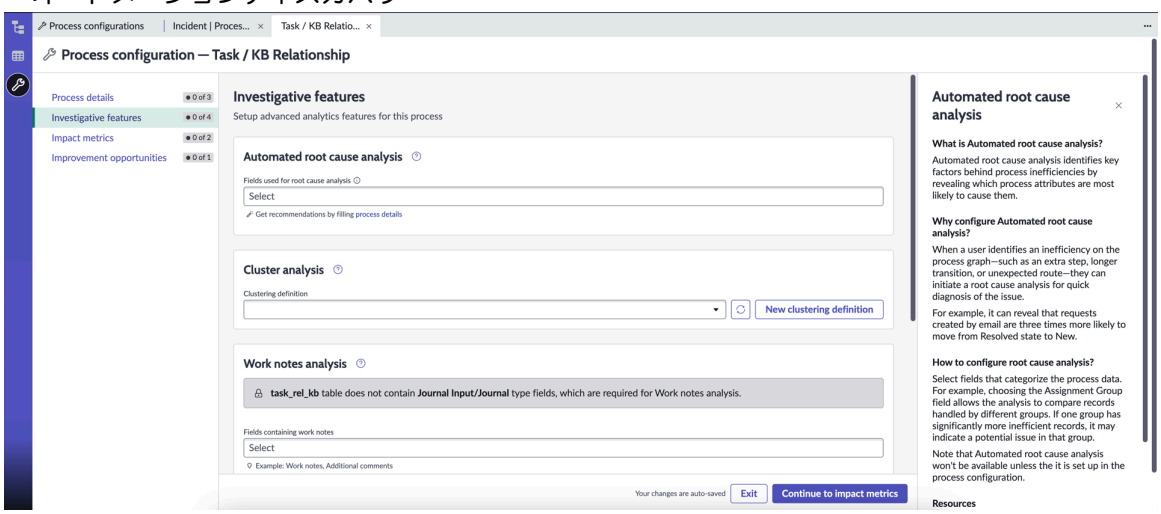
2. ページの横にある プロセス構成 アイコン ( ) を選択します。

3. [構成] タブからテーブルを開きます。
[プロセスの詳細] ページが表示されます。左側のバーから 調査機能 を選択します。

[プロセスの詳細] ページから続行している場合は、このページに移動します。詳細については、「プロセスの詳細を構成」を参照してください。

調査機能ページには、次の 4 つのセクションがあります。

- 自動化された根本原因分析
- クラスター分析
- 作業メモの分析
- オートメーションディスカバリー



4. [自動根本原因分析] フィールドに、自動根本原因分析のフィールドを追加します。

ヘルプアイコン (?) を選択して、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細を表示します。また、リソースのリストも表示されます。

[プロセスの詳細] ページの [プロセスの表示セット] セクションでの入力に基づいて、自動化された根本原因分析の推奨事項が得られます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動根本原因分析を設定すると、このテーブルに基づいてプロジェクトで根本原因分析を開始できます。ルートケース分析の実行の詳細については、「 自動化された根本原因分析レポートの実行」を参照してください。

> **注:**
> 自動根本原因分析は、プロセス構成に設定されていない場合は使用できません。

5. [クラスター分析] フィールドで既存のクラスターリング定義を選択します。

   ヘルプアイコン (?) を選択して、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細を表示します。また、リソースのリストも表示されます。

   クラスター分析の実行の詳細については、「 クラスター分析の実行」をご参照ください。

   クラスタリング分析がない場合は、[新しいクラスタリング定義] を選択します。

   クラスター分析の名前を指定し、クラスター分析に使用するフィールドを指定し、[構成] を選択します。

   > **注:**
   > プロセス構成でクラスタリング定義が選択されていない限り、クラスター分析は利用できません。

   詳細については、「クラスタリングソリューションのプロセスの構成」を参照してください。

6. オプション: クラスタリング分析が利用できない場合は、[新しいクラスタリング定義] を選択します。
   [新しいクラスタリング定義] ダイアログが表示されます。

   a. クラスター分析の名前を入力します。

   b. クラスター分析に使用するフィールドを選択します。
   レコードは、選択したフィールドのテキストの類似性に基づいてグループ化されることに注意してください。

   c. [**Configure**] を選択します。

7. [作業メモ分析] セクションに詳細を入力します。

   ヘルプアイコン (?) を選択して、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細を表示します。また、リソースのリストも表示されます。

   作業メモ分析の実行については、「 作業メモ分析の実行」を参照してください。

   > **注:**
   > 作業メモ分析は、プロセス構成でセットアップされていない限り利用できません。

   作業メモの分析

フィールド	説明	例
作業メモを含むフィールド	作業メモを含むフィールドを選択します。	作業メモ
これらのユーザーからのメモを除外する	メモの対象としないユーザーを選択します。	システムユーザーとボット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明	例
作業メモの時間範囲	作業メモが発生するとプロセスステップに関連付けられる期間を選択します。 デフォルト値は 120 です。	100
作業メモの最小長	作業メモが分析で無視される長さ未満を選択します デフォルト値は 5 語です。	10
作業メモの最大長	作業メモが分析で無視される長さを選択します。 デフォルト値は 100 ワードです。	50

8. [オートメーションディスカバリー] セクションに詳細を入力します。

ヘルプアイコン (?) を選択して、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細を表示します。また、リソースのリストも表示されます。

> **注:**
> このセクションは、オートメーションディスカバリーが利用可能な場合にのみ使用できます。

オートメーションディスカバリー は、プロセス内の自動化機会を特定するのに役立ちます。オートメーションディスカバリーレポートを使用して、仮想エージェント (VA) やエージェントアシストなどの自動化ソリューションを実装または改善できます。これらのレポートは、プロセスマイニングワークスペースの [自動化機会] タブで利用できます。

オートメーションディスカバリーの構成の詳細については、「オートメーションディスカバリー の構成」を参照してください。

オートメーションディスカバリー

フィールド	説明
オートメーションディスカバリーを有効にする	オートメーションディスカバリー機能を使用する場合は、フィールドを選択します。
自動化機会を表示するために使用されるフィールド	自動化機会のフィールドを選択します。
分類	レコードをクラスターにグループ化するのではなく、構築済みの自動化機会を使用してレコードを分類する分類を選択します。
マイニングによる自動実行	プロジェクトをマイニングするたびにオートメーションディスカバリージョブを自動的に実行する場合は、このフィールドを選択します。

9. [続行してメトリクスに影響を与える] を選択します。

影響度メトリクスの構成

このプロセスの重要業績評価指標 (KPI) を構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

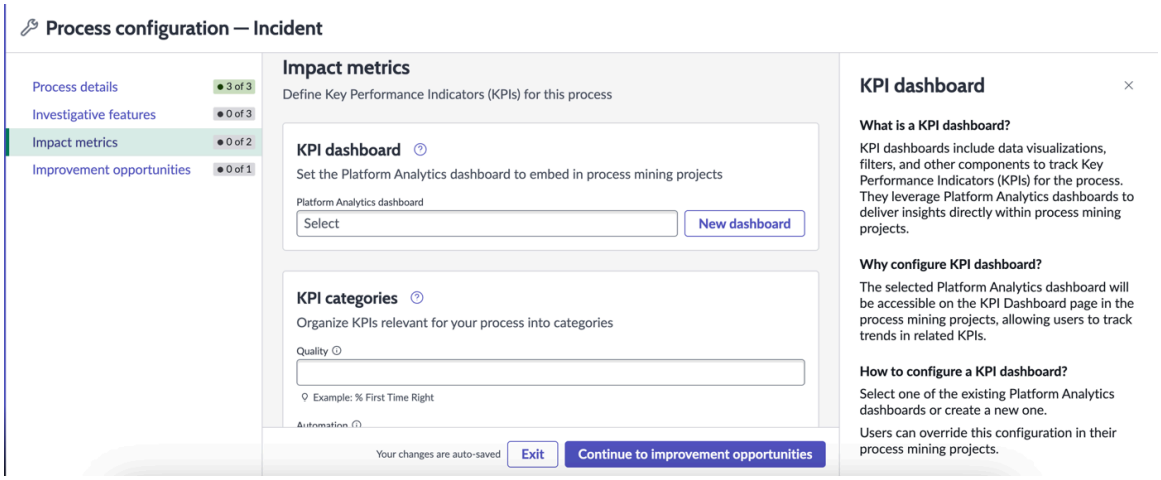
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの横にある プロセス構成 アイコン ( ) を選択します。
3. [構成] タブからテーブルを開きます。
   [プロセスの詳細] ページが表示されます。左側のバーから [影響度メトリクス] を選択します。

   調査機能ページから進めている場合は、このページに移動します。詳細については、「調査機能の構成」を参照してください。

   [影響度メトリクス] ページには、次の 2 つのセクションがあります。
   - KPI ダッシュボード
   - KPI カテゴリ



4. プラットフォームアナリティクス 重要業績評価指標 (KPI) ダッシュボードを選択します。

   ヘルプアイコン (?) を選択して、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細を表示します。また、リソースのリストも表示されます。

   新しい KPI ダッシュボードを作成する場合は、[新しいダッシュボード] を選択します。詳細については、「インラインエディターでダッシュボードを作成する」を参照してください。

5. 各 KPI カテゴリの値を指定します。

   ヘルプアイコン (?) を選択して、これらの詳細を設定する方法と理由の詳細を表示します。また、リソースのリストも表示されます。

   注:
   KPI カテゴリは動的であり、カテゴリの順序とヒント情報を含む sys_choice テーブルから取得されます。

6. [改善の機会に進む] を選択します。

改善の機会を構成する

非効率性のライブラリを作成して、プロジェクトの改善の機会を特定します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの横にある プロセス構成 アイコン () を選択します。
3. 構成リストからテーブルを開きます。
   [プロセスの詳細] ページが表示されます。左側のバーから [改善の機会] を選択します。

   [影響度メトリクス] ページから続行している場合は、このページに移動します。詳細については、「影響度メトリクスの構成」を参照してください。

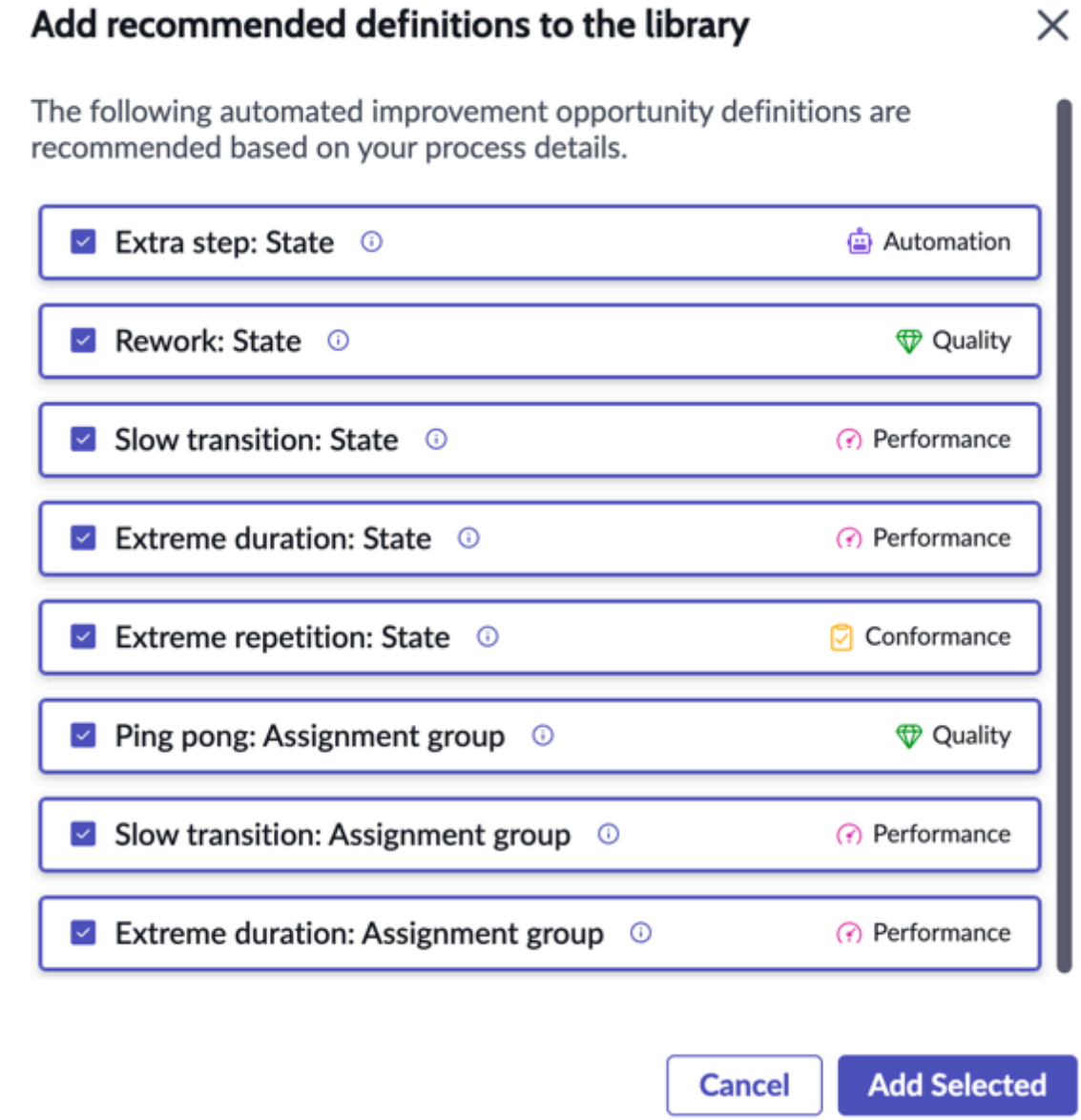
   [改善の機会] ページには以下が表示されます。

   - 自動化された改善機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。
   - ルールベースの改善機会:これらの改善機会は、順番に実行される 1 つ以上のルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会に一致するものとして分類されます。

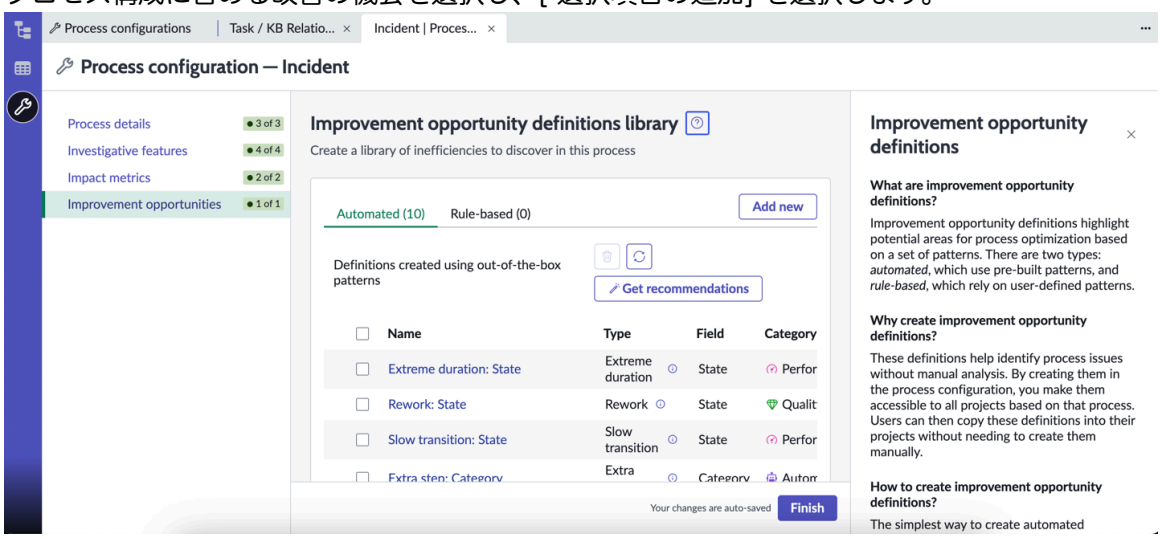
   改善機会の定義では、一連のパターンに基づいて、プロセス最適化の潜在的な領域が強調表示されます。
4. 推奨される自動改善機会のリストから選択します。
   推奨事項は、[プロセスの詳細] ページの [プロセスパースペクティブ] セクションへの入力に基づいて表示されます。プロセスパースペクティブの設定方法については、「 プロセスの詳細を構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. プロセス構成に含める改善の機会を選択し、[選択項目の追加] を選択します。



6. オプション: [新規追加] を選択して、新しい改善を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

改善機会の定義ページが表示されます。詳細については、「ルールベースの改善機会の設定」と「自動化された改善機会」を参照してください。

[推奨事項の取得] ボタンを選択して、[プロセスの詳細] ページの [プロセスの表示セット] セクションで設定した構成に基づいて、自動化された改善機会の推奨事項を取得します。

7. [完了] を選択します。
プロセスの構成が完了しました。

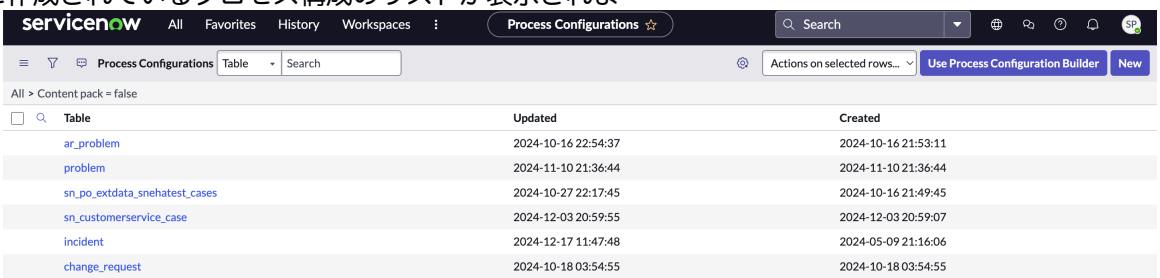
クラシックビューを使用してプロセス構成を作成

テーブルを使用してプロジェクトを作成するときは常に同じデフォルト構成を使用するように、テーブルのプロセス構成を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成 > すべての構成.
既に作成されているプロセス構成のリストが表示されま



す。

2. [新規] を選択して、テーブルのプロセス構成を作成します。

> **注:**
> テーブルごとに 1 つのプロセス構成のみを設定できます。

プロセス構成ビルダーを使用して追加機能を活用し、構成に関するガイダンスを取得してみてください。[プロセス構成ビルダーを使用] を選択し、プロセス構成ビルダーを使用してプロセス構成を作成します。詳細については、「プロセス構成ビルダーを使用したプロセス構成の作成」を参照してください。

3. フォームのフィールドに入力します。

プロセスの構成フォーム

フィールド	説明
テーブル	構成を作成するテーブルを選択します。
KPI ダッシュボード	KPI ダッシュボードを選択します。
自動化された根本原因分析	自動根本原因分析を設定する場合に選択します。詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
オートメーションディスカバリー	オートメーションディスカバリーを設定する場合に選択します。詳細については、「オートメーションディスカバリー の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
クラスター分析	クラスター分析を設定する場合に選択します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。
検索定義	クラシックビューまたは検索ビルダーのいずれかからルールベースの改善機会を設定する場合に選択します。 詳細については、「プロセステーブルの改善の機会の設定」を参照してください。
自動検索定義	クラシックビューまたは検索ビルダーのいずれかから自動改善機会を設定する場合に選択します。 詳細については、「プロセステーブルの改善の機会の設定」を参照してください。

4. [更新] を選択します。

プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

プロジェクトビルダーを使用してプロジェクトを作成およびマイニングし、ビジネスプロセスを分析および最適化します。同じプロジェクト条件を複数回使用する場合に再利用するテンプレートを作成します。プロジェクトビルダーでは、プロセス全体が 3 つのセクションと概要に分かれているため、タスクがより簡単かつ効率的になります。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトをマイニングするには、プロジェクトの親テーブルの 監査ログ が有効になっていることを確認します。

手順

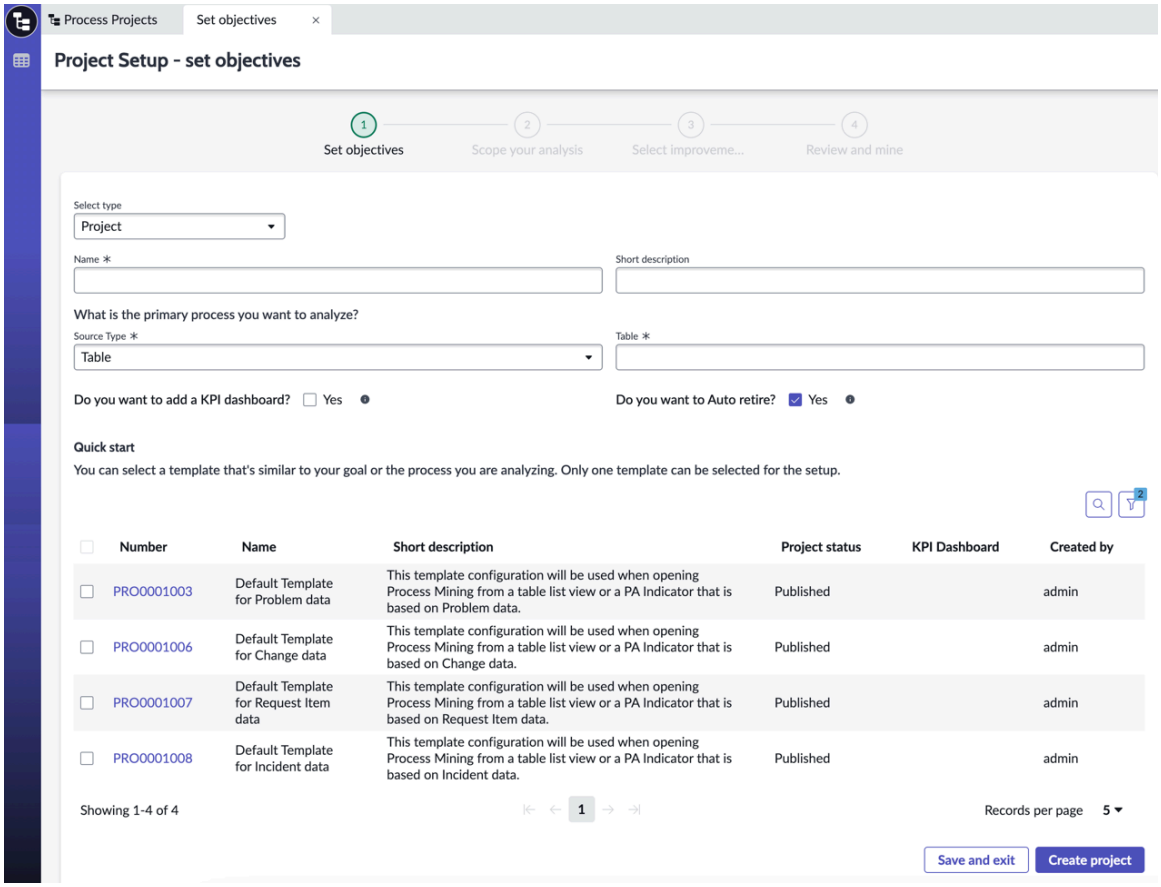
1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.

2. 右上隅にある [新しいプロジェクトの作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プロジェクト設定] ページが表示されます。



次のタスク
次のステップを実行します。

目標を設定

グラフで表示して分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータを含む特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [新しいプロジェクトの作成] を選択すると、[目標の設定] タブに移動します。
2. 次の詳細を入力します。
3. [プロジェクトの作成] を選択します。
   [分析のスコーピング] タブに移動します。
4. オプション: テンプレートを選択してプロジェクトを作成することもできます。
   既存のテンプレートを選択した場合は、テンプレートを選択すると、[レビューとマイニング] ページが表示されます。

分析をスコーピング

グラフに表示するデータを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データを表示するテーブルを選択しました。おそらく、データの 1 つの側面に焦点を当てる必要があります。グラフに表示するデータのみを表示するフィルターによって、プロジェクトのスコープが設定されます。

次のセクションで詳細を説明します。

フィルター条件を設定

分析の範囲を制限するフィルター条件を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

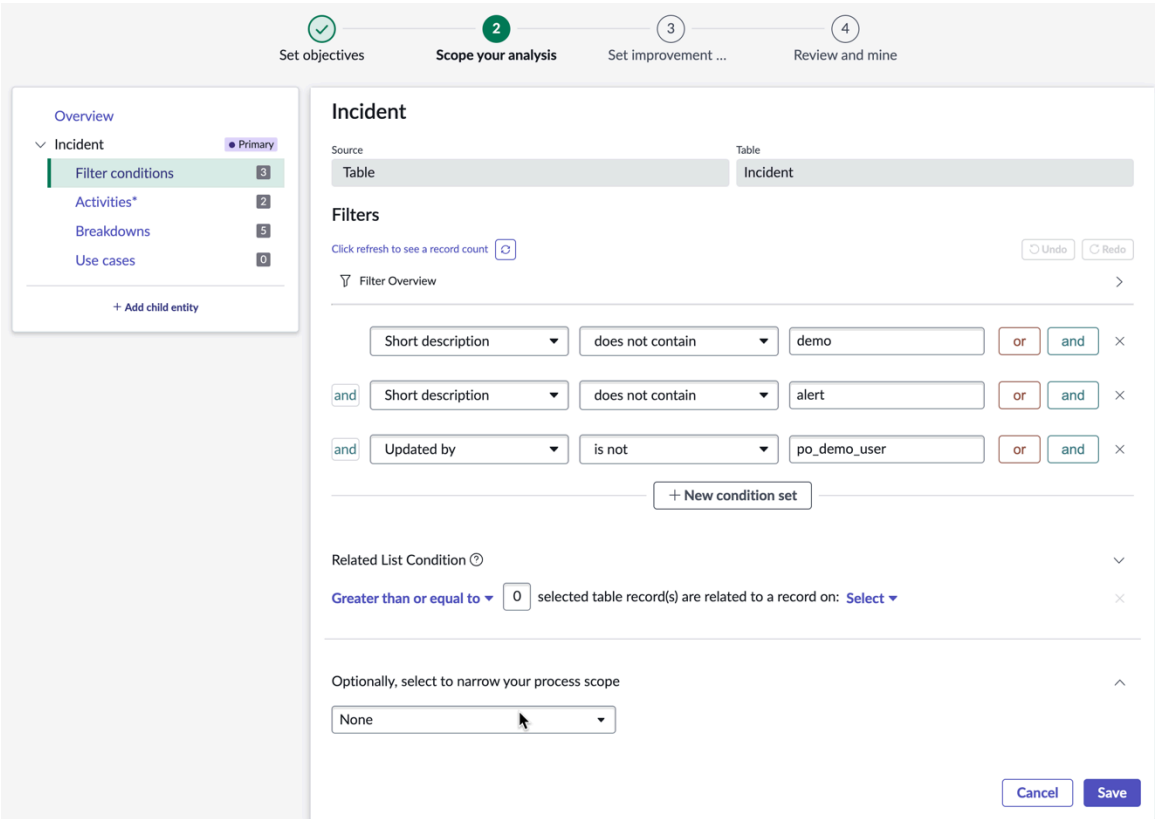
このタスクについて

フィルターの設定は、プロジェクト作成のオプションのタスクです。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコープ **(Scope your analysis**)] セクションの [編集] ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [フィルター条件] を選択します。

> **ヒント:**
> クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。



5. フォームに詳細を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィルター] フォーム

ソース	これは、[目標を設定] タブでの選択に基づいて自動的に入力されます。
テーブル	これは、[目標を設定] タブで選択したテーブルに基づいて自動的に入力されます。
フィルター	データをフィルタリングするルートテーブルから任意のフィールドを選択します。
関連リスト条件	表示するレコードの数を選択します。
必要に応じて、プロセススコープを絞り込むために選択します	このセクションには、次のオプションがあります。 ○ なし:フィルターは適用されません。これがデフォルト値です。 ○ 切り取り:プロセスを切り取り、開始条件と終了条件を指定してプロセスの特定の領域を表示します。開始条件の前と終了条件の後に発生したすべてのイベントは、プロセスグラフに表示されません。 **注:** アクティビティ定義として設定したフィールドで切り取りプロセスを指定できます。したがって、切り取りプロセスを設定する前に、プロジェクトのアクティビティ定義を設定します。 [開始条件] と [終了条件] の横にある [+] 記号を選択します。プロセスの開始条件とプロセス終了条件を設定します。 例:プロジェクトがアクティビティ定義として [ステータス] に設定されている場合、パスは次のようになります。 新規 **->** オープン **->** 対応中 **->** 解決済み **->** 対応中 **->** 解決済み **->** クローズ済み [対応中] の最初の発生時に開始条件が指定され、最後の [解決済み] の発生時に停止条件が指定された場合、モデルは次のようになります: 対応中 **->** 解決済み **->** 対応中 **->** 解決済み。 ○ 移行:移行フィルターは、選択したステップ間の特定の移行を含むプロセスパスに焦点を当てています。たとえば、ステータス:対応中から移行したレコードをマイニングし、最終的に ステータス:保留中と続きます。 移行フィルターを指定するには、ステップ 2 で「最終的に次が続く」または「直接次が続く」という開始条件を使用して、フィルター条件を設定する必要があります。 ここに指定できるステップは 2 つだけです。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

アクティビティ定義の設定

アクティビティ定義を指定してプロセスグラフに表示する内容を決定します。多くの場合、[ステータス]、[アサイン先グループ]、[担当者] などのアクティビティが選択されます。アクティビティ定義を使用すると、視覚的な表現を通じて実際のプロセスを検出、監視、改善できます。視覚的表現により、ワークフローのボトルネック、逸脱、および非効率性を特定することで、動作とパフォーマンスを理解できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

注:

テーブルには最大 5 つのアクティビティ定義を設定できます。アクティビティ定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

このタスクについて
アクティビティ定義の設定は、プロジェクトを作成するために必要なタスクです。

プロセスマイニング は、定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。プロセスマイニングプロジェクトを作成するには、少なくとも 1 つのアクティビティを設定します。

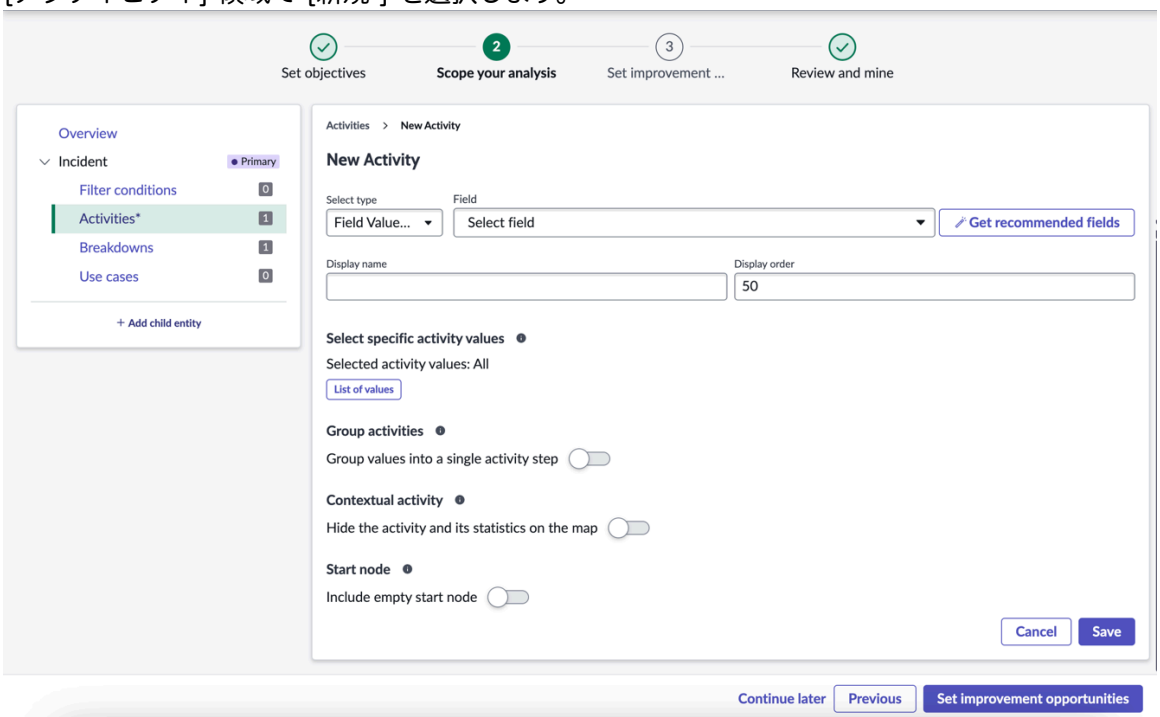
注:
プロジェクトを構成するときは、まずメイン (親) テーブルを設定し、アクティビティとブレークダウンの定義を定義します。テーブルが 1 つのみ必要な場合は、データを使用して完全なプロジェクトを生成します。複数のテーブルの場合は、追加の (子) テーブルを作成し、それらをメインテーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース. [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコープ **(Scope your analysis**)] セクションの [編集] ボタンを選択します。

ヒント:
クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。

4. 左側のバーから [アクティビティ] を選択します。
5. [アクティビティ] 領域で [新規] を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

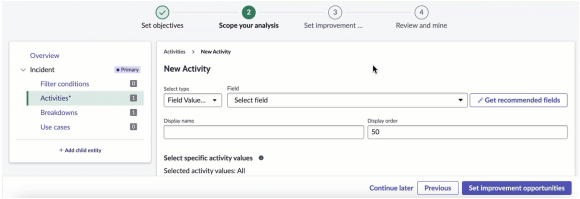
6. フォームに入力します。

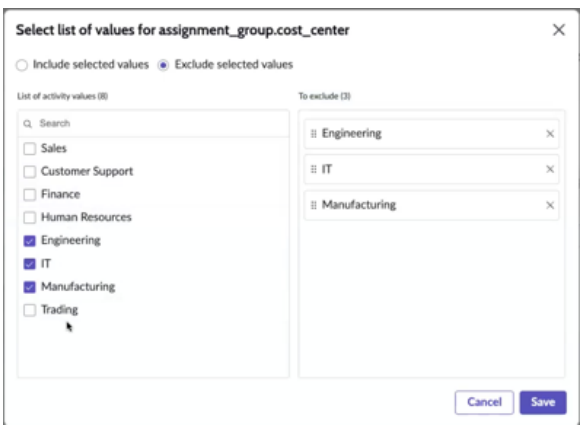
新しいアクティビティフォーム

タイプの選択	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。 ○ フィールド値 (デフォルト):これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 アクティビティ定義のジャーナルフィールドまたはテキストフィールドを選択すると、グループ化された値が [値を単一のアクティビティステップにグループ化] に設定されます。 ○ 添付された子:このオプションは、テーブル構成用に 2 つのテーブルを選択し、親子関係を設定した場合に便利です。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。グラフには、プロセスで子がいつアタッチされたかが表示されます。 ○ 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。 ○ 複合:営業、財務、セキュリティなど、特定のプロセスで任意の値に更新される 2 つ以上のアクティビティ定義の複合イベント。直前の変更によって別の承認プロセスが推測され、追加の手順が課せられ、その結果、解決時間が長くなる可能性があります。また、コンプライアンス違反につながる可能性もあります。たとえば、4 つのアクティビティ定義があり、1 つだけ更新される場合は、複合イベントでキャプチャする必要があります。 複合アクティビティ定義を使用するには、複合以外のタイプのアクティビティ定義が少なくとも 1 つ必要です。 作業メモやコメントなど、ジャーナルまたはテキストフィールドの複合アクティビティを作成できます。
フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。
推奨フィールドを取得	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 このボタンは、プロジェクトのアクティビティ定義として設定するのに理想的なフィールドの推奨事項を提供します。 これらの推奨事項は、プロジェクトの基になるテーブルのプロセス構成セットから取得されます。これらは、プロセス構成ビルダーの [プロセスの詳細] ページの [プロセスパースペクティブ] セクションから導出されます。 プロセスパースペクティブの詳細については、「 プロセスの詳細を構成」を参照してください。 テーブルのプロセス構成で何も指定していない場合でも、推奨事項が提供されます。[プロセスの詳細] ページで何も構成されていない場合は、変更頻度の高いフィールドをお勧めします。 ボタンを選択すると、推奨フィールドのリストから選択するためのダイアログボックスが表示されます。フィールドを選択し、[選択] を選択します。 推奨事項以外のフィールドを使用することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



添付されるテーブルの構成	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [添付された子] を選択した場合にのみ使用できます。 リストからテーブル名を選択します。ただし、子エンティティに使用されるテーブルのみが表示されます。
関連フィールドを表示	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] または [日時] を選択した場合にのみ使用できます。 関連フィールドのリストを表示するには、[関連フィールド] アイコン ( ) を選択し、フィールドを選択します。 このフィールドは、レコードのドット連結を設定するのに役立ちます。
表示名	このアクティビティに表示する名前。名前が入力されていない場合、[表示名] には [フィールド] に指定された値が表示されます。
表示順序	[コンテキストアクティビティ] を選択した場合、このフィールドは使用できません。 このフィールドの値は、複数のアクティビティ定義のタイムスタンプが同じ場合にプロセスグラフに最初に表示する必要があるイベントを決定します。 複数のアクティビティ定義の表示順序が同じ場合は、アルファベット順が適用されます。 任意の値を指定します (整数のみ)。デフォルト値は 50 に設定されています。
特定のアクティビティ値を選択します	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。分析する特定のアクティビティ値を選択します。 値を選択し、含めるか除外するかを選択できます。 

自動翻訳

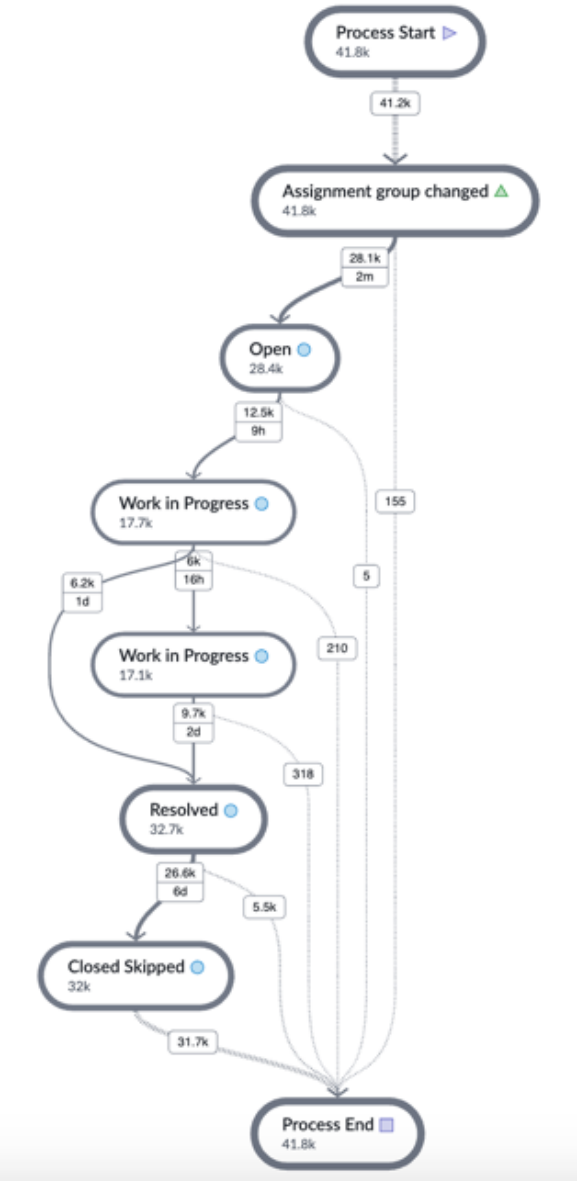
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	たとえば、 インシデント テーブルを選択したとします。次に、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループのデータベースを通過したレコードを表示します。このデータを表示するには、[フィールド] として [アサイン先グループ] を選択し、値のリストから[サービスデスク] と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	このフィールドでは、1 つのノードとしてグループ化されたアクティビティ定義のすべての変更を表示するか、アクティビティ定義の各変更を個別のノードとして表示するかを選択できます。 フィールドを [フィールド値 (デフォルト)] タイプのジャーナルフィールドまたはテキストフィールドとして選択した場合、または [複合] タイプを選択した場合、このフィールドは選択され、変更できなくなります。 このフィールドには次の 2 つのオプションがあります。 ○ 一意の値をそれぞれ個別のアクティビティステップとして表示:このオプションを選択すると、プロセスマップにアクティビティの変更のグループが個別のアイテムとして反映されます。 **注:** これは、[フィールド値] (デフォルト)、[添付された子]、[日時]、および [複合] ではデフォルトで無効になっています。 ○ 一意の値をグループ化し、単一のアクティビティステップとして表示する:このオプションを選択すると、プロセスマップには、アクティビティの変更のグループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。 たとえば、レポートするアサイン先グループとステータスを構成します。[一意の値をグループ化してアサイン先グループ] の **1** つのアクティビティステップとして表示 し、[ステータス] の 一意の値を個別のアクティビティステップとして表示します 。 アサイン先グループの変更は、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つのノードとして表示されます。レコードを表示したり詳細を表示したりして、どのレコードがどのように影響を受けるかを確認できます。ステータスへのすべての変更は、個別のノードとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更のグループ化



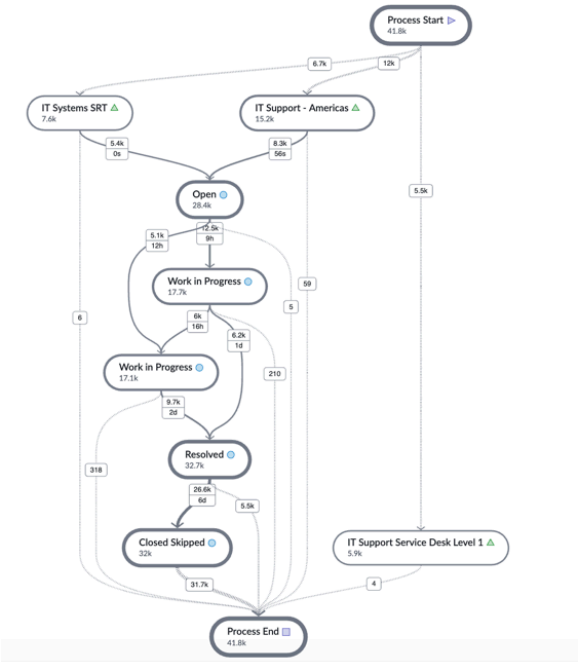
次のシナリオでは、 [アサイン先グループ] と [レポートする状態] を構成し、 [一意の値をそれぞれ、アサイン先グループ] と [状態] の 個別のアクティビティ ステップとして表示する を選択します。

アサイン先グループとステータスに対するすべての変更は、個別のノードとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更がグループ化されない



グループ化されたアクティビティ名	グループ化されたアクティビティの名前。 [一意の値をグループ化し、単一のアクティビティステップとして表示する] オプションを選択すると、[グループ化されたアクティビティ名] フィールドが表示されます。 デフォルトでは、表示される名前は <field-name changed> です。例:「アサイン先グループが変更されました」。
コンテキストアクティビティ	このフィールドは、アクティビティのグループ化を選択していない場合にのみ使用できます。 このオプションを選択すると、アクティビティ定義はプロセスグラフには表示されませんが、検出結果と移行で使用できます。
開始ノード	このフィールドは、[タイプの選択] フィールドで [フィールド値 (デフォルト)] を選択した場合にのみ使用できます。 このオプションを選択すると、選択したアクティビティ定義フィールドがレコード作成時に空の場合に、プロセスグラフに空のノードが表示されます。

注:
アクティビティ定義を編集するには、リストからアクティビティ定義を選択して編集します。アクティビティ定義を削除するには、リストからアクティビティ定義を選択し、削除アイコン ( ) を選択します。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。
作成したアクティビティ定義のリストが表示されます。
8. オプション: これらのエンティティのいずれかを追加する場合は、左側のパネルで [ブレークダウン]、[ユースケース]、または [子エンティティを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 改善の機会を選択して、改善の機会を設定します。
   詳細については、「改善の機会の設定」を参照してください。

関連情報

- ブレークダウン定義の設定
- ユースケースの設定
- 子エンティティを追加

ブレークダウン定義の設定

プロジェクトのフィルターとして機能するブレークダウン定義を設定します。ブレークダウン定義は、特定の基準または属性に基づいてデータをフィルタリングおよび分析するために使用されます。これらの定義により、プロセスの特定のディメンションまたは視点に焦点を当てて、分析をより小さなサブセットに分割できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

このタスクについて
これはオプションのタスクです。

注:
親テーブル構成には最大 10 個のブレークダウン定義、子テーブル構成には最大 5 個のブレークダウン定義を構成できます。ブレークダウン定義に対して 5,000 を超える要素を生成することはできません。

これはオプションのタスクです。

手順

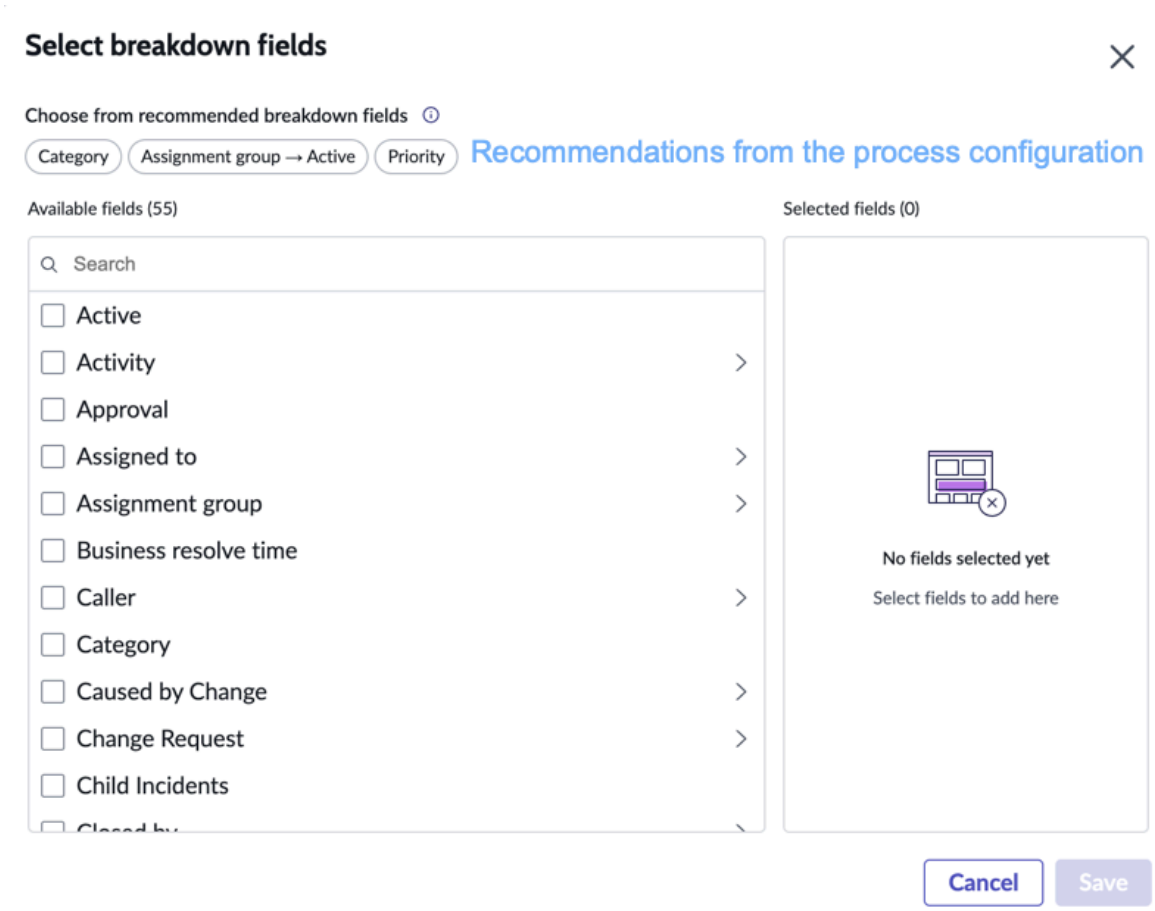
1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコープ **(Scope your analysis**)] セクションの [編集] ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [ブレークダウン] を選択します。

   ヒント:
   クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。

5. [ブレークダウン] 領域で [新規] を選択します。

自動翻訳

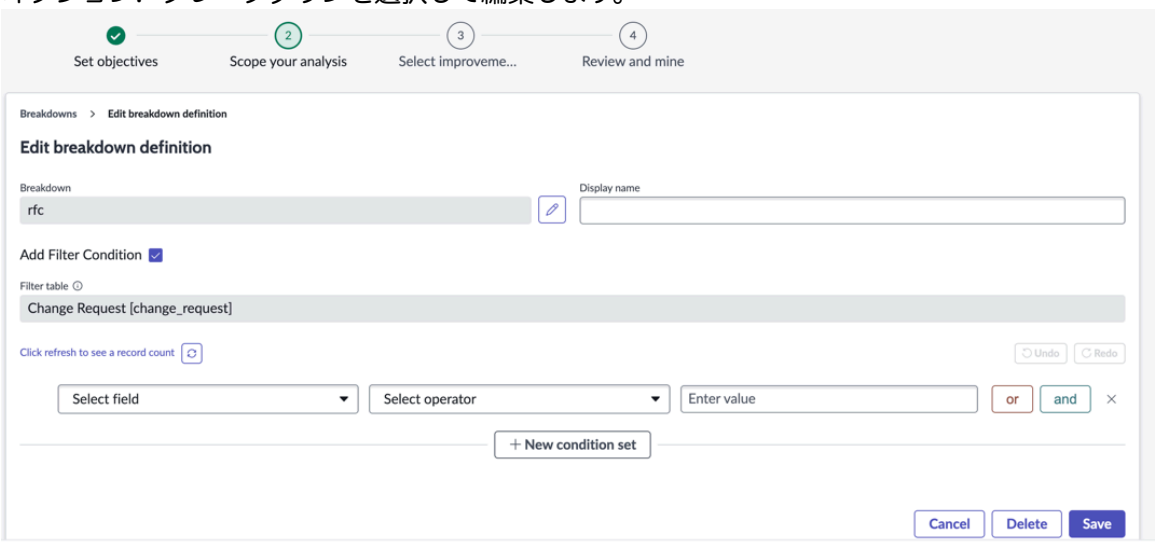
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. リストまたは推奨事項からブレークダウンを選択します。
   これらの推奨事項は、プロジェクトの基になるテーブルのプロセス構成セットから取得されます。これらは、プロセス構成ビルダーの [プロセスの詳細] ページの [ブレークダウンフィールド] セクションから導出されます。詳細については、「プロセスの詳細を構成」を参照してください。

   プロセス構成ビルダーで値が設定されていない場合、推奨事項は提供されません。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ブレークダウンがプロジェクトに追加されます。
8. オプション: ブレークダウンを選択して編集します。



表示名とフィルター条件をブレークダウンに追加できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. [改善の機会を選択] を選択します。
   [分析のスコープ **(Scope your analysis)**] ページで何かを追加または編集する場合は、[前へ] を選択します。

ユースケースの設定

ユースケースは、分析に関心を持つ可能性がある一般的なパターンです。有効にすると、プロジェクトに対して自動的に構成されます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [分析のスコープ **(Scope your analysis**)] セクションの [編集] ボタンを選択します。
4. 左側のバーから [ユースケース] を選択します。

   ヒント:
   クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。

5. プロセスに存在する承認の詳細を表示する場合は、[承認を含める] オプションを選択します。
   承認 [sysapproval_approver] テーブルは、プロジェクトの親テーブルに子エンティティとして添付されます。フィルター条件、アクティビティ、およびブレークダウンは、簡単にできるように既に選択されています。要件に応じて、これらのいずれも確認および編集できます。

   注:
   Xanadu より前のバージョンのプロジェクトで [承認を含める] オプションが選択されている場合、マイニングされたプロジェクトは使用停止になります。プロジェクトは自動的に現在の変更に更新されます。結果を表示するには、プロジェクトを再マイニングする必要があります。

6. プロセス内で違反がある場所を表示する場合は、[**SLA** 違反を含める] オプションを選択します。
   タスク SLA [task_sla] テーブルは、プロジェクトの親テーブルに子エンティティとして添付されます。フィルター条件、アクティビティ、およびブレークダウンは、簡単にできるように既に選択されています。要件に応じて、これらのいずれも確認および編集できます。
7. 関連テーブルを親テーブルに追加する場合は、[分析に子テーブルを含める] オプションを選択します。
   このフィールドは、プロセス構成の [プロセスの詳細] ページの [子テーブル] セクションを指定した場合にのみ使用できます。詳細については、「プロセスの詳細を構成」を参照してください。

   子テーブルには、親プロセスの実行にとって重要な依存サブプロセスのデータが含まれています。子テーブルを分析することで、メインプロセスのパフォーマンスに影響を与えるサブプロセスの非効率性を明らかにすることができます。

   たとえば、インシデントテーブルはインシデントに関する一般的な情報を含む親テーブルとして機能し、インシデントタスクは各インシデントに関連する特定のタスクを格納する子テーブルです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
子テーブルを設定した後、[子エンティティを追加] タブでアクティビティ定義とその他の設定を構成する必要があります。

8. [**Save** (保存)] をクリックする。

子エンティティを追加

子テーブルまたは関連テーブルを追加して、関連プロセスからアクティビティを追跡します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で行われます。これらの外部イベントを分析することが役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するために別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義する場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに「作成されたインシデントタスク」アクティビティとして表示されます。「作成済み」または「クローズ済み」イベントのみが、プロセスグラフにアクティビティとして表示されます。

注:
定義された子テーブルの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
[目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコーピング] ページが表示されます。

2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。

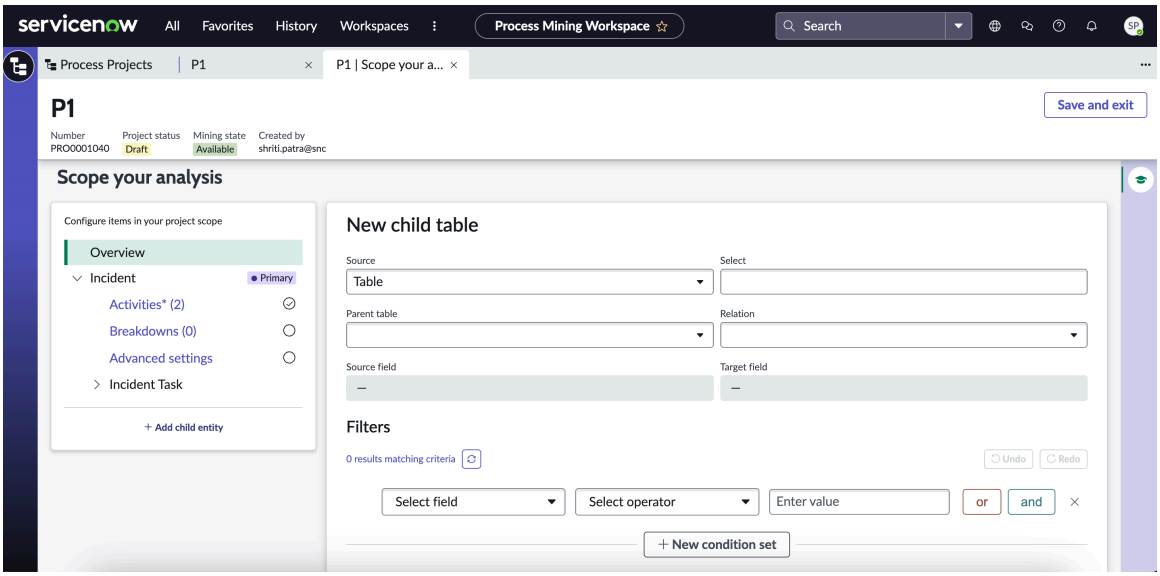
3. [分析のスコープ **(Scope your analysis**)] セクションの [編集] ボタンを選択します。

4. 左側のバーから [子エンティティの追加] を選択します。

ヒント:
クラシックビューでプロジェクトを編集する場合は、右上隅の [詳細ビュー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. フォームに詳細を入力します。

[新しい子テーブル] フォーム

ソース	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
選択	プロジェクトの親テーブルと関係のあるテーブルを選択します。
親テーブル	プロジェクトのプライマリテーブルを選択します。
関連	テーブル間の関係は、 子 または 参照のいずれかです。
ソースフィールド	子関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つフィールドを子テーブルから選択します。 参照関係を選択すると、[ソース] フィールドが自動入力されます。
ターゲットフィールド	参照関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つフィールドを子テーブルから選択します。 子関係を選択すると、[ターゲット] フィールドが自動入力されます。
フィルター (オプション)	必要に応じて、子テーブルのフィルターを設定できます。
関連リスト条件 (オプション)	フィルターセットに対して選択した数の関連レコードを表示します。さらにフィルタリングできます。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善の機会の設定

改善の機会を設定して、チームがプロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択することも、独自のルールを設定することもできます。設定したルールに基づいて、改善領域を表示できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

設定できる改善の機会には、次の 2 つのタイプがあります。

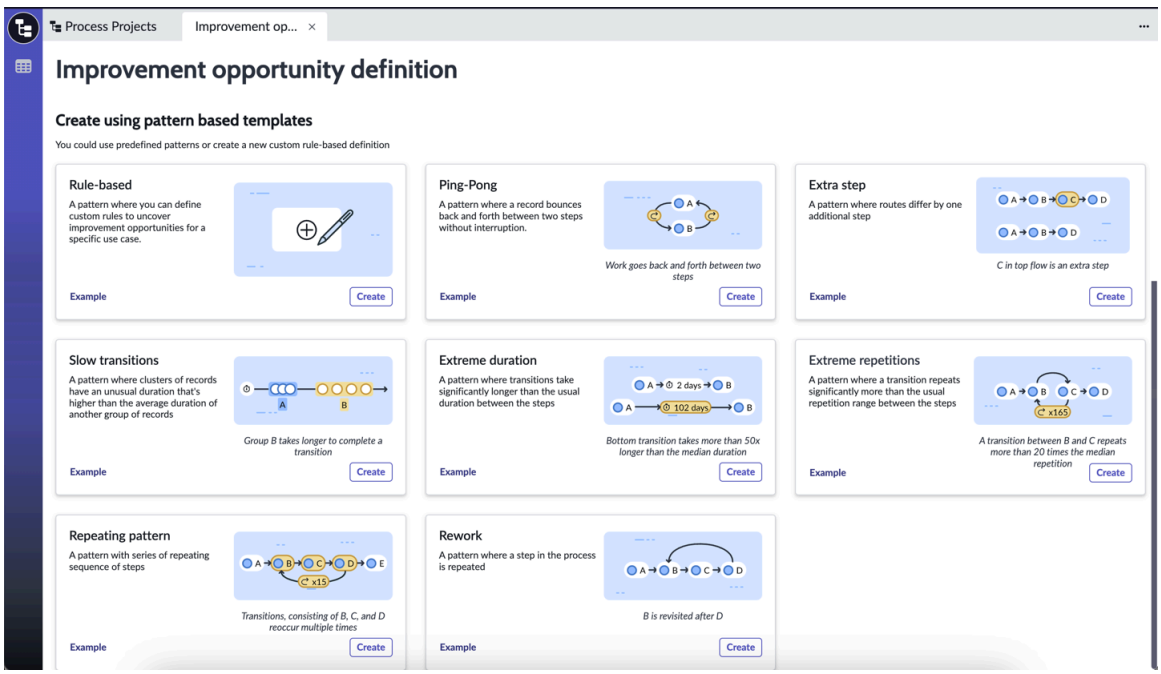
- ルールベースの改善機会:これらの改善機会は、順番に実行される 1 つ以上の検索ルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会に一致するものとして分類されます。

- 自動化された改善機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
   [分析のスコープを設定する] ページから続行する場合は、[改善の機会を設定する] タブを選択します。
2. 編集するプロジェクトの [編集] を選択します。
3. [改善の機会] セクションの編集ボタンを選択します。
4. [改善の機会を選択] タブで、 [新規] を選択します。

   [改善の機会の定義] ページが表示されます。このページには、利用可能なすべての改善機会定義が表示されます。各改善機会の定義は、図と例とともに確認できます。



5. いずれかのカードで [作成] を選択して、そのタイプの改善の機会を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルールベースの改善機会の詳細については、「 ルールベースの改善機会の設定」を参照してください。

自動化された改善の機会の詳細については、「 自動化された改善機会」を参照してください。

6. 改善の機会を編集するには、改善の機会を選択して詳細を編集します。
7. 改善の機会を削除するには、検索定義を選択し、 削除 を選択します。
8. オプション: ライブラリから改善の機会を選択するには、[ライブラリから追加] を選択し、改善の機会を選択します。
これらのルールは、テーブル構成から利用できます。プロジェクト用に選択したテーブルに改善の機会が構成されている場合は、それらの調査結果がライブラリに表示されます。テーブル構成の詳細については、「 クラシックビューを使用してプロセス構成を作成」を参照してください。

   注:
   1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動化された改善機会を設定できます。

9. [レビューとマイニング] を選択します。

プロジェクトのレビューとマイニング

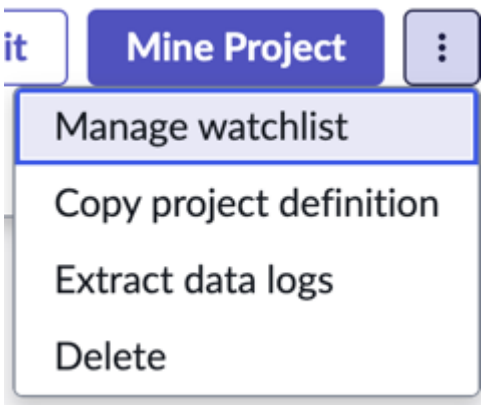
目標を設定し、分析をスコーピングし、改善の機会を追加してプロジェクトを作成したら、プロジェクトをマイニングします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
[改善の機会] ページから続行すると、[レビューとマイニング] ページが表示されます。
2. レビューおよびマイニングするプロジェクトの [編集] を選択します。
[**Review and mine**] タブに移動します。
3. [レビューとマイニング] タブで、プロジェクトをレビューします。

このページでは、いくつかの追加手順を実行できます。



- [ウォッチリストの管理 **(Manage watchlist**)] を選択して、マイニングされたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザーを追加します。
- [プロジェクト定義をコピー] を選択して、プロジェクトをコピーします。

自動翻訳

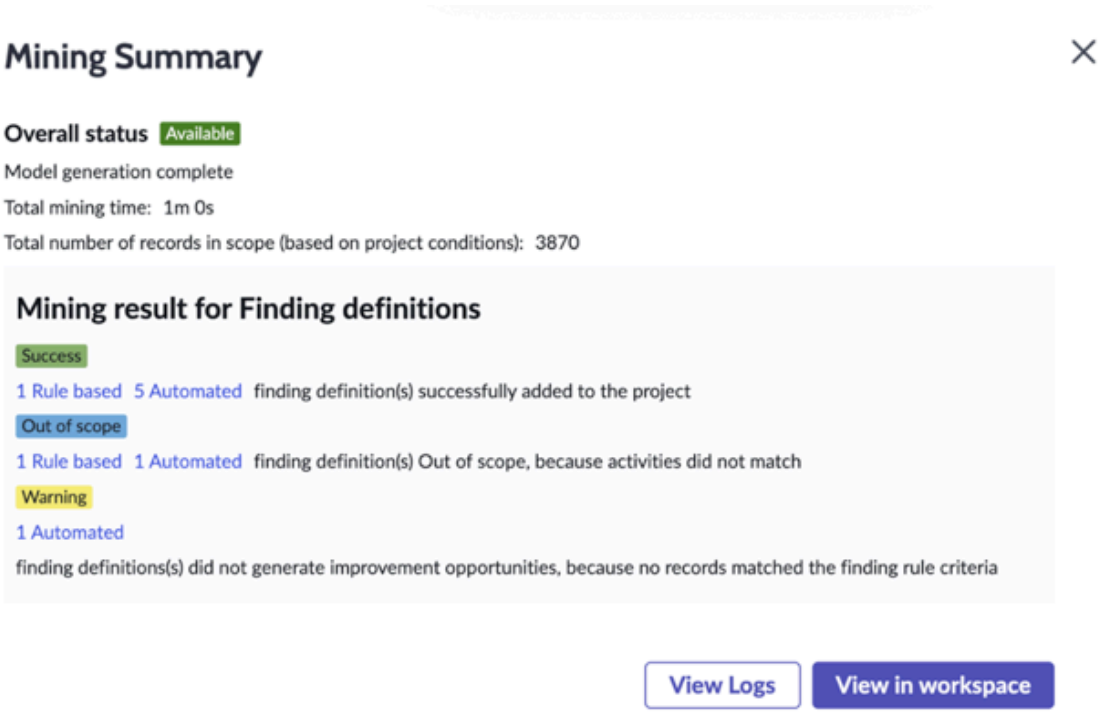
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [データログを抽出] を選択して、使用可能なログを表示します。
- [削除] を選択してプロジェクトを削除します。

4. [プロジェクトのマイニング] を選択して、プロジェクトをマイニングします。
5. [マイニング] ウィンドウで、[サンプル マイニング] または [フルマイニング] を選択し、[確認してマイニング] を選択します。

タスクの結果

[マイニングの進行状況] ページが表示されます。マイニングが完了すると、[マイニングの概要] ページが表示されます。このページには、マイニングに関する追加の詳細が表示されます。また、マイニングに含まれていなかった検索定義がリストされ、実際の原因を理解するためのリンクが提供されます。ログを表示したり、 プロセスマイニング ワークスペースに移動してグラフを表示したりすることもできます。



クラシックビューを使用したプロジェクトの作成

プロジェクトのステータスと分析するプロセスの概要を構成および管理します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトのモデルを生成するには、選択したテーブルの 監査ログ を有効にする必要があります。

このタスクについて

プロセス情報のフローの可視化されたインタラクティブなルートを表示するプロジェクト定義を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「プロジェクト定義フォーム」を参照して ください。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

   プロジェクト定義レコードが作成されます。

テーブル構成のセットアップ

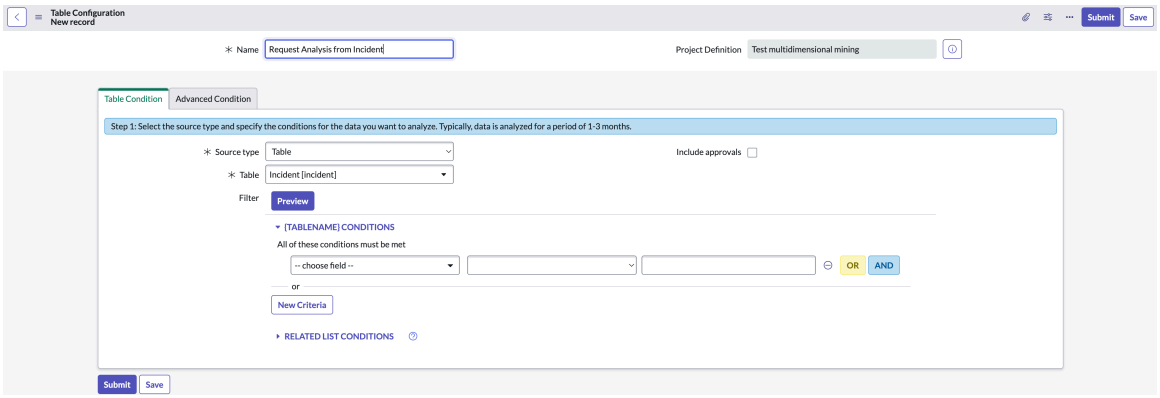
グラフで表示して分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータを含む特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトを開き、[テーブル構成] タブを選択します。
2. **[New** (新規)] を選択します。

   新しい [テーブル構成] ページが表示されます。



3. [名前] フィールドにテーブル構成の名前を入力します。
4. [テーブル条件] タブで、フィールドに入力します。

テーブル条件フィールド

フィールド	説明
ソース タイプ	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
承認を含める	承認を含めるかどうか。
テーブル	適切なテーブルを選択します。
フィルター	[フィルター] セクションの条件を使用して、分析するデータを選択します。 **注:** データを 1 ～ 3 か月の期間に制限することで、長いトランザクション時間を回避します。 [プレビュー] を選択して、設定されたフィルターで使用可能なレコードの数を確認します。

5. [送信] を選択して、テーブル構成を保存します。

   作成したテーブル構成を表示する [テーブル構成] ページが表示されます。テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

多次元マイニングの構成

多次元マイニングを使用して非効率性を特定し、複数の関連テーブルのデータを評価することでパフォーマンスを向上させます。

始める前に

テーブルで多次元マイニングを構成する前に、 プロセスマイニング プラグインをインストールして構成する必要があります。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で行われます。これらの外部イベントを分析することが役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するために別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義する場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに「作成されたインシデントタスク」アクティビティとして表示されます。「作成済み」または「クローズ済み」イベントのみが、プロセスグラフにアクティビティとして表示されます。

注: 定義された子テーブルの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

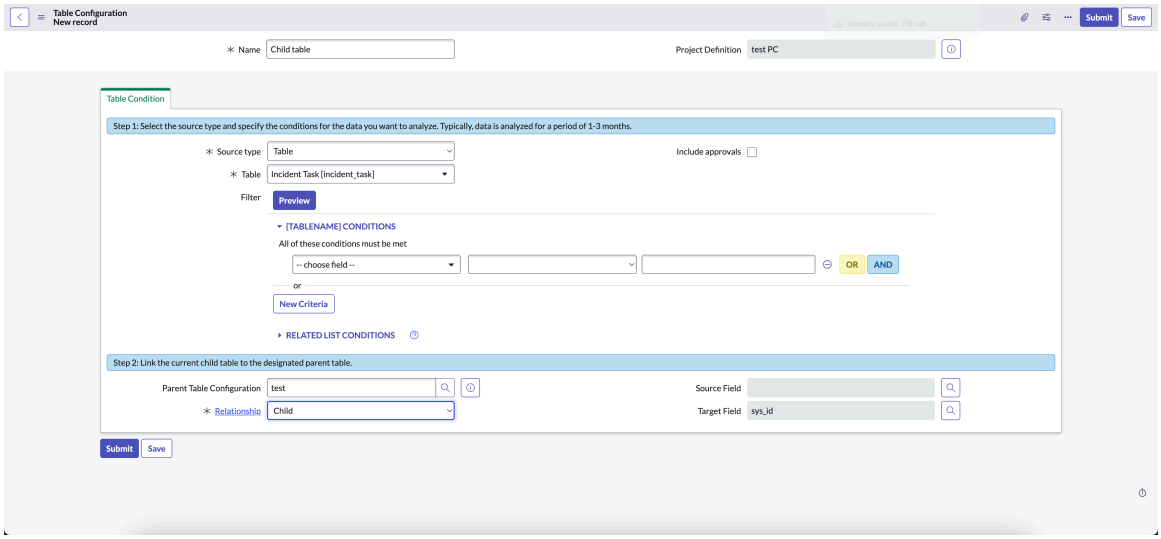
1. 多次元マイニングを構成するプロジェクトを選択します。
2. [テーブル構成] タブに移動し、[新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プロジェクトには、親テーブル構成が既に設定されている必要があります。

新しいテーブル構成ページが表示されます。



3. [名前] フィールドに子テーブル構成の名前を入力します。
4. [ステップ **1**] セクションで、テーブル構成の場合と同様に詳細を入力します。
詳細については、「テーブル構成のセットアップ」を参照してください。
5. 関係を設定するには、[ステップ **2**] セクションのフィールドに入力します。

フィールド	説明
親テーブル構成	[親テーブル構成] の横にある検索アイコンを選択し、親テーブル構成を選択します。
リレーションシップ	関係タイプに応じて、[関係] のドロップダウンリストから [参照] または [子] を選択します。 参照フィールドには、別のテーブルのフィールドへの参照が格納されます。たとえば、インシデントテーブルの [問題] フィールドは [問題] テーブルへの参照です。子レコードは、特定の親レコードに関連付けられています。たとえば、要求アイテムにサービスカタログタスクまたはインシデントと SLA レコードがあるとします。
ソースフィールド	子関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つフィールドを子テーブルから選択します。 参照関係を選択すると、[ソース] フィールドが自動入力されます。
ターゲットフィールド	参照関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つフィールドを子テーブルから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	子関係を選択すると、[ターゲット] フィールドが自動入力されます。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

   新しい子テーブル構成が作成されます。

   テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

詳細条件を設定:切り取りプロセス

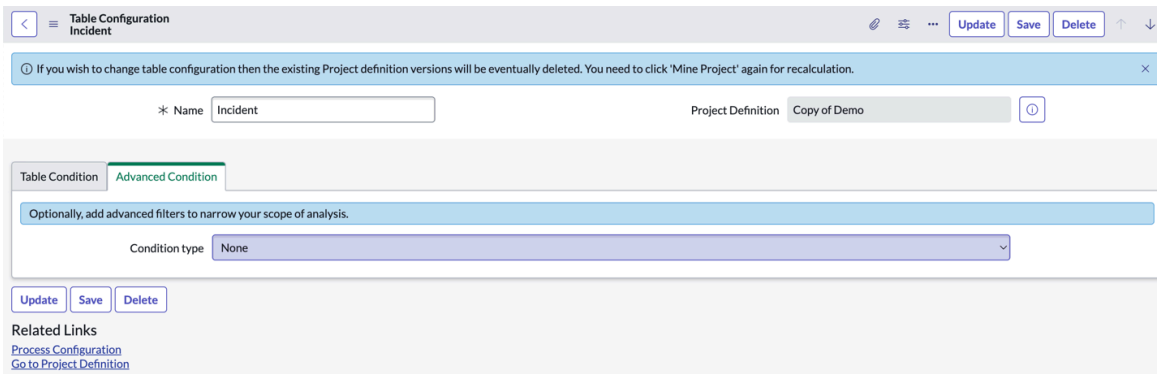
テーブル構成のカスタムの開始条件と終了条件を構成して、プロセスのどの部分を プロセスマイニング プロジェクトに含めて分析可能にするかを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. テーブル設定レコードの [詳細条件] タブに移動します。



2. [条件タイプ] リストから [切り取り] を選択します。

   切り抜き条件を使用すると、プロセスマップから特定の開始条件と終了条件を設定できます。たとえば、プロセスの終了ステータスを [クローズ済み] ではなく [解決済み] に指定するなどです。もう 1 つの例として、最初の [新規] ステータスから [解決済み] の最後の発生までのプロセスのみを検出し、[クローズ済み] ステータスを分析から除外します。

3. [開始条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
4. [新しいプロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition**)] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいプロセスの開始/終了条件を作成」を参照して ください。
5. [送信] を選択して条件を保存します。
6. 終了条件を作成するには、[終了条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
7. [新しいプロセス終了条件を作成 **(Create new process end condition**)] フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

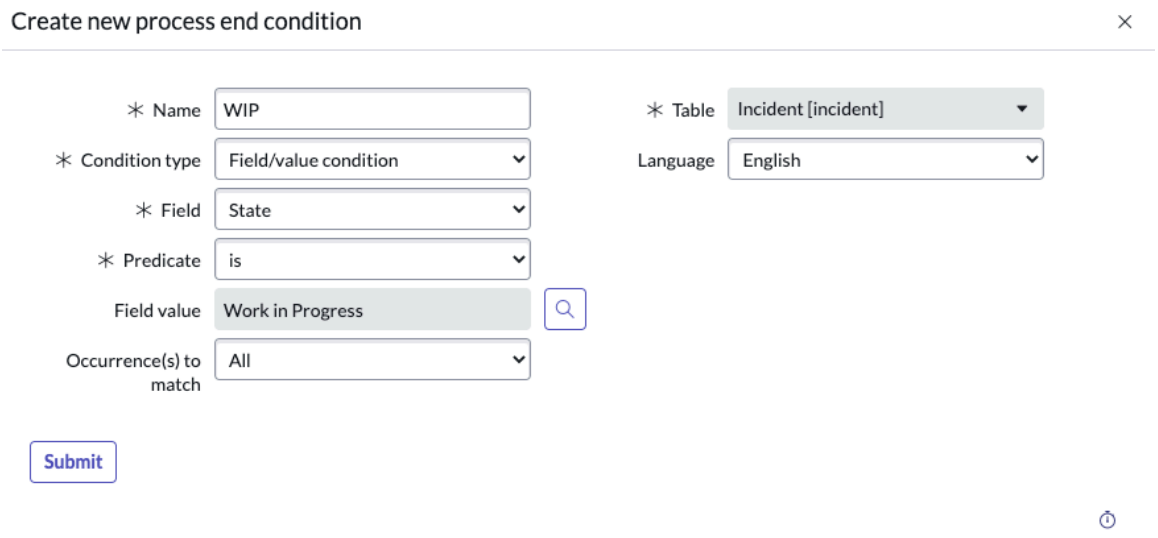
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
フィールドと説明は、[新規プロセス開始条件を作成] フォームのものと同じです。

8. [送信] を選択して条件を保存します。

Example: 構成されたプロセス条件

この例では、インシデントレコードが [対応中] ステータスになると、プロセス終了条件が構成されます。[一致する発生件数] フィールドが [初回のみ] に設定されているため、レコードのステータスが [対応中] に初めて変更されたときにのみ条件がトリガーされます。



詳細条件の構成:移行フィルター

アクティビティ移行フィルタリングを使用すると、レコードが通過するさまざまなルートをより詳細に把握できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

移行フィルターを使用して、指定されたアクティビティを移行する実行中のワークフローのレコードをフィルタリングします。これは、対応する値をより詳細に調査するのに役立ちます。

このタスクについて
移行フィルターは、次の 2 つの方法で適用できます。

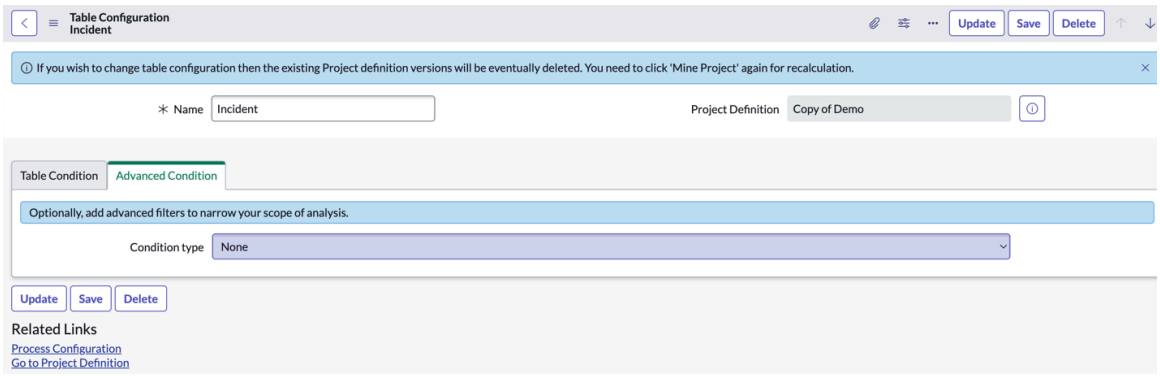
- 特定の条件を手動で作成する
- 事前定義されたフィルターにトランジションフィルターを適用する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. テーブル設定レコードの [詳細条件] タブに移動します。



2. [条件タイプ] リストから [移行] を選択します。
3. [開始条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
4. [新しいプロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition**)] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいプロセスの開始/終了条件を作成」を参照して ください。
5. [送信] を選択して条件を保存します。
6. [関係] フィールドで値を選択します。
7. 終了条件を作成するには、[終了条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
8. [新しいプロセス終了条件を作成 **(Create new process end condition**)] フォームで、フィールドに入力します。

   注:
   フィールドと説明は、[新規プロセス開始条件を作成] フォームのものと同じです。

9. [送信] を選択して条件を保存します。

アクティビティ定義の構成

ビジネスプロセス内で発生するステップに関するレポート。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

注:
親テーブル構成には最大 10 個のアクティビティ定義、子テーブル構成には最大 5 個のアクティビティ定義を設定できます。アクティビティ定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

このタスクについて

プロセスマイニング は、定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。特定のアクティビティを開始、終了、またはパススルーするレコードを抽出してプロセスマップに表示するアクティビティを少なくとも 1 つ設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プロジェクトを構成するときは、最初にメイン (親) テーブル構成を設定し、アクティビティ定義を定義し、ブレークダウン定義を設定する必要があります。必要なテーブルが 1 つだけの場合は、データを使用して定期的にマイニングしてスケジュールできる完全なプロジェクトを生成できます。複数のテーブルが必要な場合は、追加の (子) テーブルを作成し、メイン (親) テーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義する必要があります。子テーブルにブレークダウン定義を設定することもできます。

アクティビティにドットウォーキングを設定すると、追跡するあらゆる種類の変更にフラグが立てられます。

大規模な組織では、特に法的エンティティや地理的エンティティに関連付けられている構成アイテム (CI) やビジネスサービスを変更することは非効率的または非準拠であると感じています。これに対処するために、これらの重要な属性を変更することなく、ドット連結フィールドでインサイトのデータマイニングを実行します。

アクティビティ定義を追加するときに、参照フィールド (ドット連結フィールド) を追加して、そのような非準拠にフラグを付けることができます。例:Assigned_to。場所。マイニングが完了すると、グラフにさまざまな場所にまたがるデータ フローが表示されるため、コンプライアンス違反を簡単に追跡できます。

複数のアクティビティをグループ化して、各アクティビティに加えられた変更を追跡することもできます。このために、「複合」タイプのアクティビティ定義を追加し、フィールドを選択できます。マイニングが完了すると、これらのフィールドに何かが変更されたことがグラフに表示されます。これにより、グラフが単純化されます。詳細を把握するために、さらにフィルタリングすることができます。

手順

1. テーブル設定レコードの [アクティビティ定義] タブで、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「[アクティビティ定義] フォーム」を参照してください。
3. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ブレークダウンを構成するか、プロジェクトを生成します。

ブレークダウン定義の設定

ブレークダウンを追加してレコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成
- 多次元マイニングの構成

このタスクについて

注:
親テーブル構成には最大 10 個のブレークダウン定義、子テーブル構成には最大 5 個のブレークダウン定義を構成できます。ブレークダウン定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース をクリックし、プロジェクトレコードを選択します。
2. ブレークダウン定義を設定しているテーブルを特定し、[テーブル構成] タブから関連するテーブル構成レコードを開きます。
3. [ブレークダウン定義] タブで、[新規] を選択して新しいブレークダウン定義レコードを開きます。
4. [ブレークダウン定義] フォームで、必要に応じてフィールドに入力します。

ブレークダウン定義フィールド

フィールド	説明
フィールド	ブレークダウンに使用するフィールドを選択します。
表示名	このブレークダウンに表示する名前。名前が入力されていない場合、ブレークダウンには [フィールド] フィールドの値が表示されます。

5. オプション: [フィルター条件の追加] を選択し、ブレークダウンをフィルタリングするための条件をさらに選択します。

> **注:**
> フィルター条件は、[フィールド] フィールドで参照フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング。

改善の機会の構成

[サマリーとインサイト] ページにインサイトを表示するように改善の機会を設定します。

改善の機会は、指定されたテーブルに基づくプロセスに関連するインサイトを検索するルールを作成します。定義を設定すると、関連するレコードが [サマリーとインサイト] ページの [インサイト] セクションに機会として表示されます。

改善の機会には次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善の機会
- 自動化された改善機会

どちらの改善の機会も目的は同じですが、作成方法は異なります。

ルールベースの改善機会が作成され、セカンダリテーブルに基づいて開始条件と停止条件を持つようにテーブルを変更できます。それらには検索ルールと検索制約があり、これらはユーザーが設定する必要があります。

自動化された改善の機会は、簡単に作成できます。プロセスは短く、いくつかのステップで完了できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索定義の作成の詳細については、「 クラシックビューからの改善の機会の設定」を参照してください。

改善の機会をインポート

改善の機会をテンプレートとして、テーブルに関連付けられたプロジェクトにインポートします。[アクティブ] ステータスの親テーブルの改善の機会をインポートできます。プロセステーブルから改善の機会をインポートしない場合、改善の機会はプロジェクトのマイニング中に使用されません。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. 検索結果をコピーするプロジェクトを開きます。
3. [関連リンク] セクションで、[プロセス検索テンプレートのインポート] を選択します。

タスクの結果
プロジェクトにインポートされたルールベースの改善機会と自動化された改善機会の数を示すメッセージが表示されます。

プロジェクトのマイニング

可視化するデータを構成したら、プロジェクトのマイニングを開始できます。

始める前に
必要なロール:po_analyst

このタスクについて
プロセスマイニング は最大 500,000 レコードを抽出します。選択したテーブルでその制限に達した場合は、フィルターを追加してデータセットを絞り込みます。

注:

- プロジェクトの最適化には、かなりの時間がかかる場合があります。プロジェクトの抽出の進行中は、そのプロセスマップを探索することはできません。
- フル マイニングまたはサンプル マイニング中に、 プロセスマイニング 監査ログを分析します。

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、 プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのカードメニューから、次を選択します。
   - プロジェクトのマイニング (フル) :プロジェクト全体をマイニングします。
   - プロジェクトに適用可能なすべてのレコードをマイニングするのではなく、プロジェクト (サンプル) をマイニングして、最大 3,600 件のレコードをマイニングします。

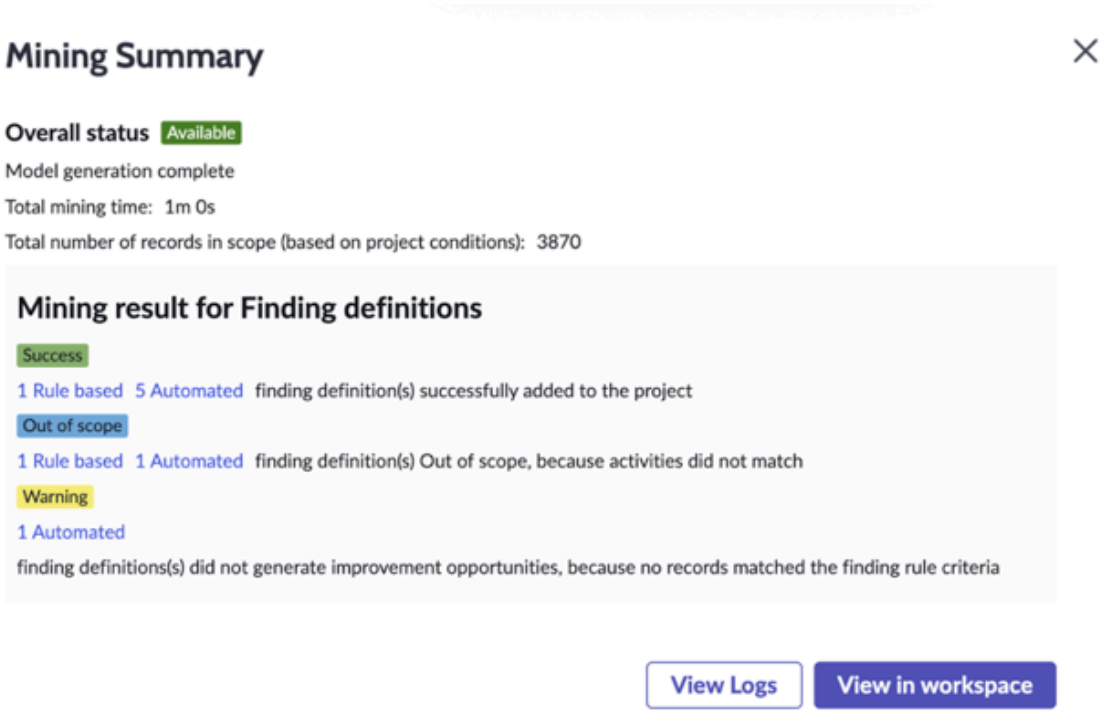
     注:
     サンプルをマイニングすると、アナリストはプロジェクトの完全なデータ抽出を実行する前に、プロジェクト構成設定を検証できます。
3. **[OK]** を選択して、プロジェクトのマイニングを開始することを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. オプション: ウォッチリストに追加する場合は、[完了したら通知] を選択します。
   マイニングが完了すると、メール通知が届きます。デフォルトでは、1 日あたりのジョブ制限は 50 に設定されています。制限を超えると、エラーメッセージが表示されます。
5. オプション: [進行状況の表示] を選択して、マイニングの詳細を表示します。

   (Optional) マイニングが完了すると、[マイニングの概要] ページが表示されます。このページには、マイニングに関する追加の詳細が表示されます。また、マイニングに含まれていなかった検索定義がリストされ、実際の原因を理解するためのリンクが提供されます。ログを表示したり、 プロセスマイニング ワークスペースに移動してグラフを表示したりすることもできます。



タスクの結果
抽出が正常に完了すると、プロジェクトカードにマイニングステータスが [利用可能] と表示されます。

マイニングジョブのキャンセル

アナリスト、パワーユーザー、またはアドミニストレーターは、現在処理中のマイニングジョブをキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：なし

手順

プロジェクトのマイニング中に [キャンセル] を選択して、プロセスをキャンセルします。

キャンセル処理が完了するまでに数分かかる場合があります。マイニングをキャンセルする時点で進行中の作業単位は、キャンセルが発生する前に完了する必要があります。

プロジェクト定義フォームのマイニングステータスは [キャンセル] と表示されます。

マイニングステータス

プロジェクトをマイニングしようとすると、プロジェクトワークフローレコードに次のいずれかの状況が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークフローレコードマイニングステータス

ステータス	説明
新規	プロジェクトデータに対してマイニングは試行されていません。
マイニングデータ	プロジェクトのマイニングが進行中です。
取り消し中	マイニングは、ユーザーが開始したキャンセルの処理中です。
キャンセル	プロジェクトで処理中のマイニングをユーザーがキャンセルしました。
利用可能	データに対してマイニングが実行され、プロセスマップの可視化を表示できます。
エラー	マイニングを試みましたが、正常に完了しませんでした。 • まだ正常にマイニングされていない新しいプロジェクトは、Analyst Workbench で開くことができません。 • ワークフローレコードから正常にマイニングされたプロジェクトで、Analyst Workbench からデータリフレッシュを試みることができます。エラーアイコン ⚠ は、プロジェクトデータが正常に更新されない場合に表示されます。詳細を調査するには、[プロジェクト定義] フォームの [データログの抽出] タブを表示します。
スケジュール済み	指定された時間間隔でマイニングされるプロジェクトのジョブがスケジュールされています。 **注:** ジョブ内にマイニングがスケジュールされているプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングし、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後にプロジェクト 2 のマイニングを開始します。

自動翻訳

プロセスマイニングジョブをスケジュール

後で 1 つ以上のプロジェクトをマイニングする プロセスマイニング ジョブをスケジュールします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

注:
プロジェクトごとに作成できるスケジュール済みジョブは 1 つだけです。ただし、複数のプロジェクトをジョブに関連付けることはできます。ジョブ内にマイニングがスケジュールされているプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングします。次に、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後、プロジェクト 2 のマイニングを開始します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > 新規作成.
2. [スケジュール済み プロセスマイニング ジョブ] フォームで、作成するジョブに該当するフィールドに値を入力し、[送信] を選択します。
   スケジュール済みジョブレコードのフィールドの説明 を参照してください。
3. [プロジェクト定義] セクションで、[編集] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [メンバーの編集] フォームで、マイニングするプロジェクトを [コレクション] 列で選択し、[プロジェクト定義リスト] 列に移動します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   スケジュール済みジョブは、設定した頻度で実行されます。

次のタスク

- アナリストワークベンチから正常に生成されたプロジェクトを表示します。
- 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > すべてのジョブ スケジュール済みプロセスマイニングジョブを表示します。

プロジェクトを編集する

プロジェクト定義フォームからプロジェクトを編集して、更新されたプロセスマップを生成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- sn_process_optimization_analystロールは、自分が作成したプロジェクトを編集できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、編集するプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. [編集] を選択します。
4. 目的のフィールドに変更を入力し、[更新] を選択します。
   アクティビティ、ブレークダウン、または子テーブルを定義した後にテーブルを変更することはできません。

次のタスク

更新されたプロジェクトでデータ抽出を実行してアナリストワークベンチに表示し、関連するフィルターを適用します。

プロジェクトの削除

使用しておらず、データをクリーンアップする場合は、プロジェクトを削除します。プロジェクトを削除すると、プロジェクトの構成とバージョン、またはプロジェクトによって生成されたプロジェクトが削除されます。プロセスマイニングワークスペースからプロジェクトを削除できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

sn_process_optimization_analystロールを持っている場合は、自分が作成したプロジェクトのみを削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 削除するプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. リストから [削除] を選択します。
4. 確認ダイアログ ボックスで [削除] を選択して、プロジェクトを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善の機会を操作する

改善の機会を設定して、プロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択することも、独自のルールを設定することもできます。設定したルールに基づいて、改善領域を表示できます。

次の改善の機会を作成します。

- プロセステーブル:プロセステーブルの改善機会がテーブルに設定されます。ライブラリから追加することで、そのテーブルに基づくプロジェクトにそれらを追加できます。
- プロジェクト:プロジェクトの改善の機会は、プロジェクトに固有です。

改善の機会には次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの改善機会:これらの改善機会は、順番に実行される 1 つ以上のルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会に一致するものとして分類されます。
- 自動化された改善機会:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。

改善の機会を作成できる UI の場所は 2 つあります。

- クラシックビュー
- 検索ビルダー

プロセステーブルの改善の機会の設定

クラシックビューまたは検索ビルダーから、プロセステーブルのルールベースまたは自動の改善機会を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロセステーブルに設定されている改善の機会は、ライブラリで利用できるようになります。そのテーブルに基づく任意のプロジェクトに追加できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. まだリストされていないテーブルの改善の機会を作成する場合は、[新規] を選択します。
   リストからテーブルの改善の機会を作成する場合は、リストからテーブルを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「クラシックビューを使用してプロセス構成を作成」を参照してください。
4. クラシックビューからテーブルの改善の機会を設定するには、[検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [新規] を選択します。

   [検索定義] タブで、ルールベースの改善の機会を作成します。詳細については、「クラシックビューのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。

   [自動検索定義] タブで、自動化された改善の機会を作成します。詳細については、「クラシックビューからの自動化検索定義フォーム」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 検索ビルダーからテーブルの改善の機会を設定するには、[検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [検索ビルダーを使用] を選択します。

   [改善の機会の定義] ページが表示されます。

6. ルールベースの改善の機会を作成するには、ルールベースカードで 作成 を選択します。
   詳細については、「ルールベースの改善機会の設定」を参照してください。
7. 自動化された改善の機会を作成するには、自動化された機会カードのいずれかで 作成 を選択します。
   詳細については、「自動化された改善機会」を参照してください。

プロジェクトの改善機会の設定

プロジェクトの改善機会を設定して、チームがプロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択することも、独自のルールを設定することもできます。設定したルールに基づいて、改善領域を表示できます。

検索ビルダーまたはクラシックビューを使用して、次の場所から改善の機会を設定できます。

- クラシックビューからプロジェクトを作成または編集します。
- プロジェクトビルダーからプロジェクトを作成または編集します。
- [サマリーとインサイト] ページからプロジェクトの改善機会を追加します。

クラシックビューからの改善の機会の設定

クラシックビューから改善の機会を設定します。

クラシックビューからルールベースおよび自動化された改善機会を設定します。

クラシックビューを使用したルールベースの検索定義の設定

ルールベースの検索定義を構成して、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ページに配信します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセスの構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、削除することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. [プロジェクト検索定義] の下にある [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド値の説明については、「クラシックビューのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

- 検索ルールを作成します。このプロセスの手順については、「 検索ルールの構成」を参照してください。
- 検索制約を作成します。このプロセスの手順については、「 検索制約の構成」を参照してください。

検索ルールの構成

検索定義の検索ルールを構成します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

始める前に

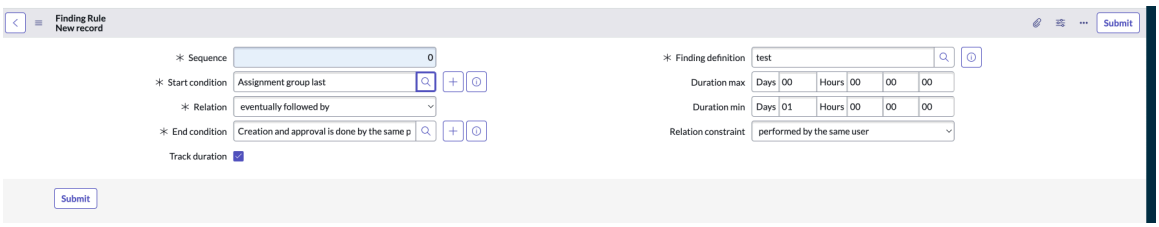
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 検索ルールを追加する検索定義レコードを開きます。
2. [検索ルール] タブで、 [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索ルールフォーム」を参照して ください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択して検索ルールレコードを保存します。
5. オプション: 同じチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルール (同じチェーン) を作成] を選択します。
   このオプションは、同じチェーン内で新しい検索ルールを開きます。シーケンス値は、現在のルールよりも 1 つ大きくなっています。
6. オプション: 新しいチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルールの作成 (新しいチェーン)] を選択します。
   このオプションは、新しいチェーン内に新しい検索ルールを開きます。

Example:
この例では、誰かがインシデントレコードの承認を要求し、その承認が同じユーザーによって承認された場合を検索する検索ルールが作成されます。[最小期間] フィールドが 1 日に設定されているため、ルールは、承認が要求されてから 24 時間以上経過して承認された場合にのみトリガーされます。

検索ルールレコードの例



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- 自動根本原因分析を構成して、望ましくないプロセス動作の根本原因を見つけます。この機能の詳細については、こちらをご覧ください。「自動化された根本原因分析」を参照してください。
- ワークフローの自動化機会を特定するのに役立つ オートメーションディスカバリー を設定します。この構成の詳細については、「 オートメーションディスカバリー」を参照してください。
- パターンを識別できるように、類似のレコードをクラスター (1 つのグループ) にグループ化するようにクラスター分析を構成します。この構成の詳細については、「 クラスター分析」を参照してください。

検索制約の構成

検索定義の検索制約を構成します。検索ルールに加えて、検索制約では、期間や関係の制約などのメトリクスを使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 検索制約を追加する検索定義レコードを開きます。
2. 検索制約 タブで、新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索制約フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

ユースケースの例:a-**b-a** 移行

検索ルールを使用して、レコードがいつ以前のステータスに戻るかを識別します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

この例では、2 つの検索ルールと検索制約を使用して、インシデントがグループ (この例ではデータベースグループ) にアサインされ、その後元のアサインに戻るタイミングを識別する検索定義を作成します。このような検索定義を使用して、インシデントが誤ってアサインされている状況を特定します。

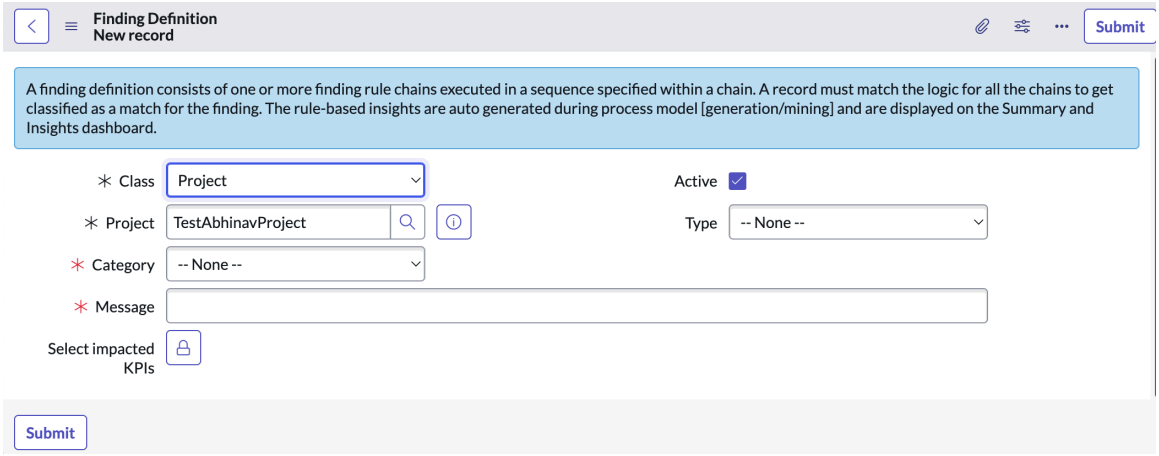
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクトをクリックし、この検出結果を含めるプロジェクトを開きます。
2. [プロジェクト検索定義] タブで、[新規] ボタンを選択して検索定義を作成します。
3. 検索定義レコードに詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「クラシックビューを使用したルールベースの検索定義の設定」を参照してくださ



い。

4. フォームヘッダーを右クリックし、コンテキストメニューから [保存] を選択します。
保存後、[検索ルール] タブと [検索制約] タブが表示されます。
5. [検索ルール] タブで、[新規] ボタンを選択して検索ルールを作成します。
6. [開始条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、開始条件の作成を開始します。

> **注:**
> 各ルールの条件を作成する必要があります。既存のルールを選択するオプションはありません。

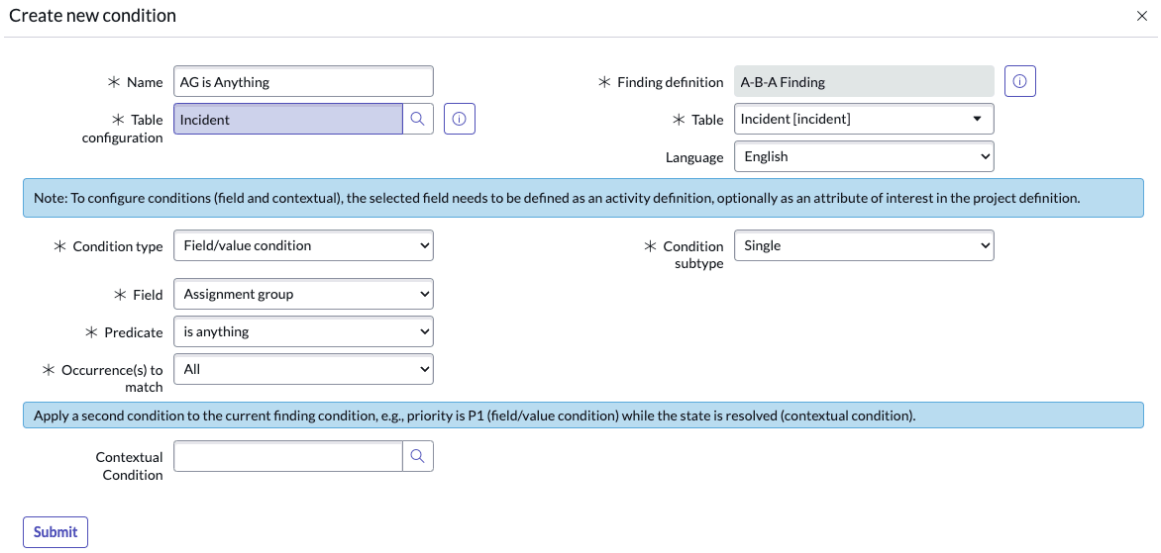
7. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、最初の条件を作成します。

開始条件では、[アサイン先グループ] フィールドの任意の値を使用してインシデントが作成される条件を作成します。

フィールド	値
[Name (名前)]	AG は何でも
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	すべての値
一致する出現	All (すべて)
条件サブタイプ	単一

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



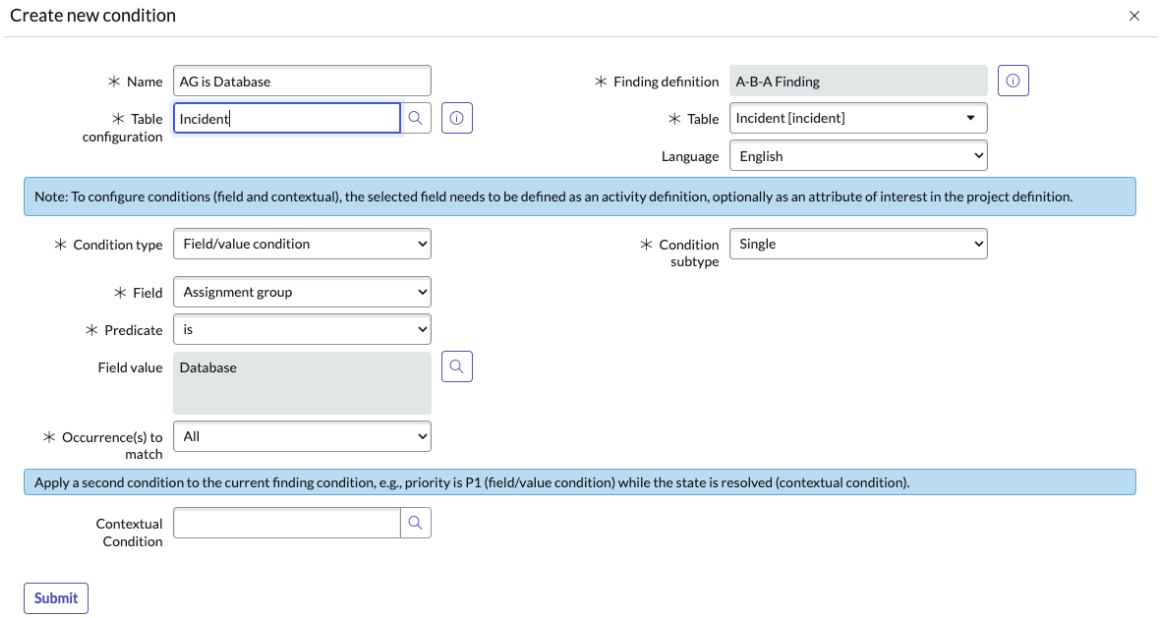
8. [送信] を選択して条件を保存します。
9. **[Relation]** フィールドで、[**eventually followed by**] を選択します。
10. [終了条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、終了条件の作成を開始します。
11. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、2 番目の条件を作成します。

    2 番目の条件では、インシデントがデータベースグループにアサインされる条件を作成します。

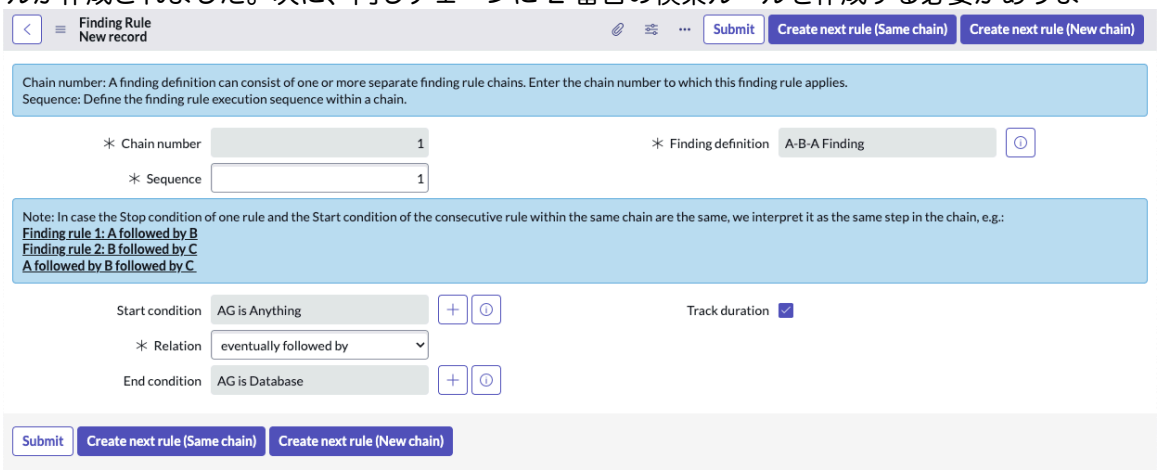
フィールド	値
[Name (名前)]	AG は何でも
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	次の値に等しい
フィールド値	データベース
一致する出現	All (すべて)
条件サブタイプ	単一

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

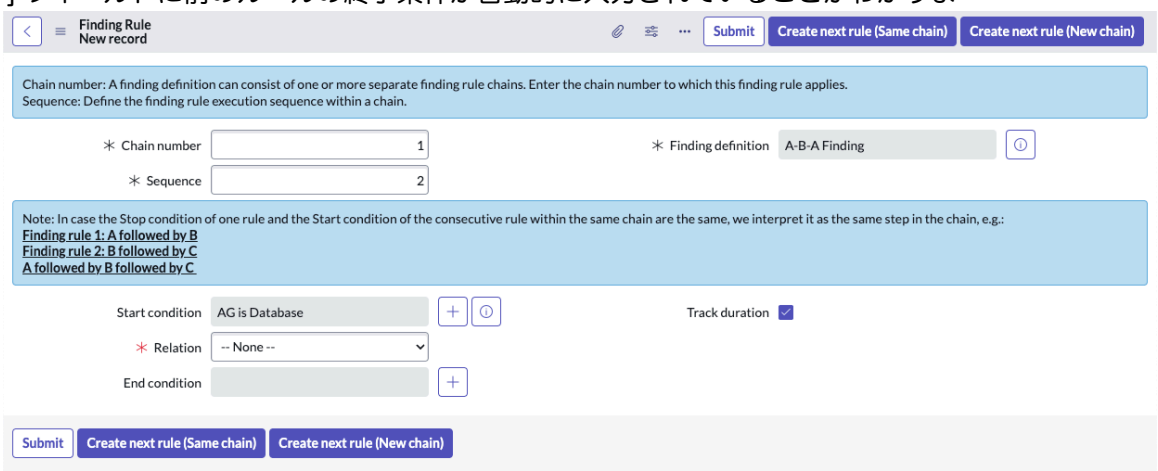


12. [送信] を選択して条件を保存します。
これで、インシデントがいつデータベースグループにアサインされるかを識別する最初の検索ルールが作成されました。次に、同じチェーンに 2 番目の検索ルールを作成する必要がありま



す。

13. [新しいルールを作成 (同じチェーン)] を選択します。
これは同じチェーン内の新しいルールです。[シーケンス] フィールドが 2 で、[開始条件] フィールドに前のルールの終了条件が自動的に入力されていることがわかりま



す。

14. **[Relation]** フィールドで、[**eventually followed by**] を選択します。

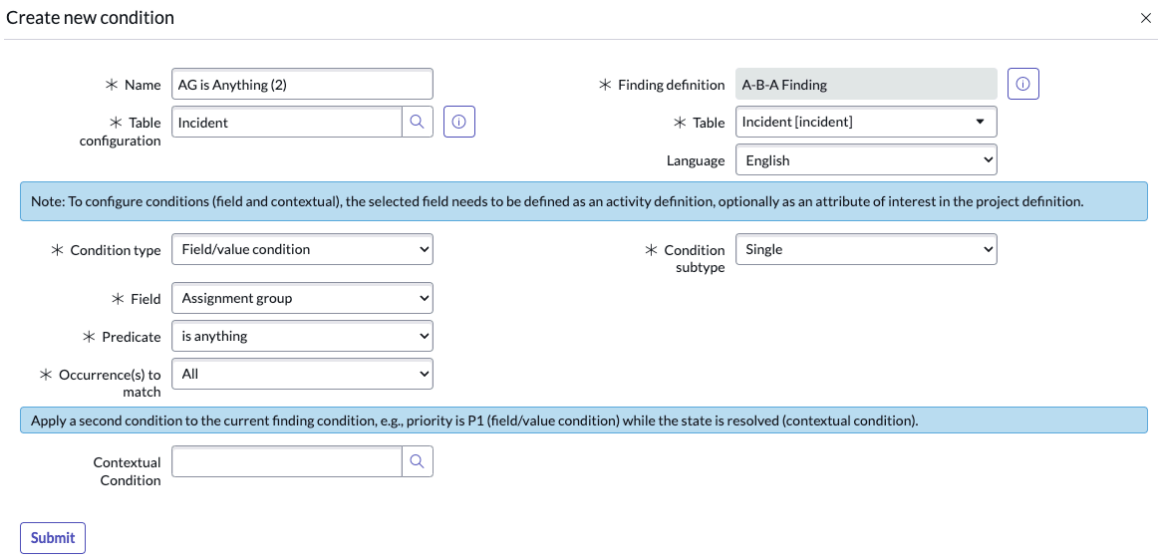
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

15. [終了条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、2 番目の終了条件の作成を開始します。
16. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、終了条件を作成します。

    2 番目の条件では、インシデントがデータベースグループにアサインされる条件を作成します。

フィールド	値
[Name (名前)]	AG は何でも (2)
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	すべての値
一致する出現	All (すべて)
条件サブタイプ	単一



17. [送信] を選択して条件を保存します。
    これで、2 番目の検索ルールが完了しました。
18. [送信] を選択して、検索ルールを保存します。
19. プロジェクトレコードを再度開きます。
20. [プロジェクト検索定義] タブから、前の手順で作成した検索定義を開きます。

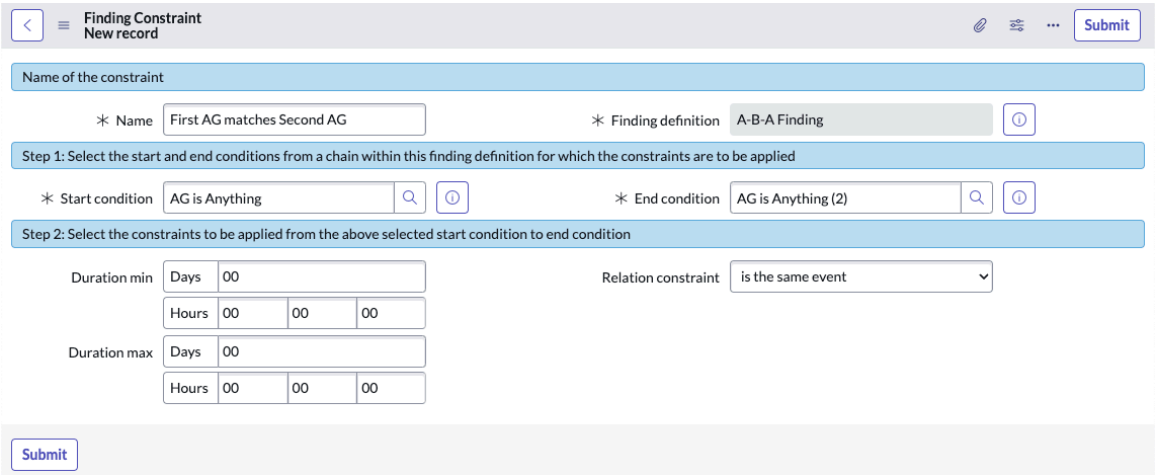
    注:
    これは、ステップ 3 で作成したものである必要があります。

21. [検索制約] タブで、[新規] ボタンを選択します。
22. [検索制約] フォームのフィールドを使用して、制約を作成します。

フィールド	値
[Name (名前)]	最初の AG は 2 番目の AG に一致します

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
開始条件	AG は何でも
終了条件	AGは何でも(2)
関係制約	が同じイベントである



この検索制約により、検索ルールが絞り込まれます。たとえば、インシデントが ネットワークにアサインされ、 次にデータベースにアサインされ、 次にネットワークにアサインされると、この検索ルールによって検出されます。

23. [**Submit** (送信)] を選択します。

クラシックビューを使用して自動化された改善の機会を設定する

自動検索定義を構成して、[サマリーとインサイト] ページで指定したインサイトを表示します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、削除することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. [自動検索定義] タブで [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   詳細については、「クラシックビューからの自動化検索定義フォーム」を参照してください。

   注:
   1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動化された改善機会を設定できます。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

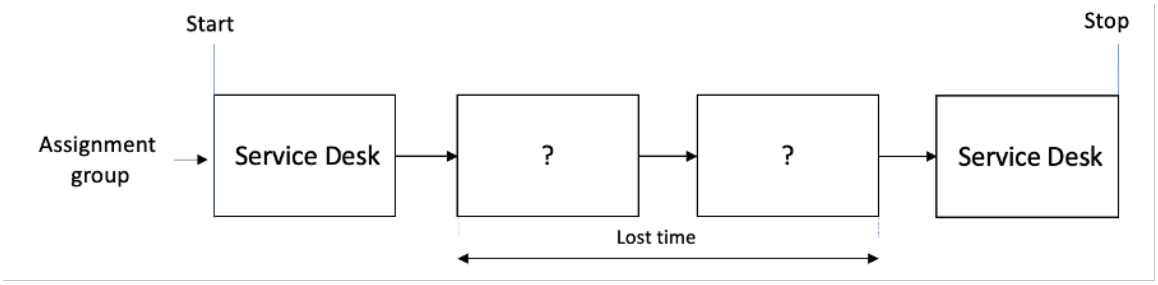
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善の機会の例

検索定義のユースケースを以下に示します。

ユースケース 1a:グループ間でのレコードのバウンス。多くの場合、アナリストは特定のグループ (サービスデスクなど) から派生したレコードを特定し、別のグループに再割り当てし、最終的に最初のグループによって再度解決されるレコードを特定したいと考えています。



最初のグループがわかっている場合は、「メッセージとカテゴリ」の検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:グループ名 (例:サービスデスク)
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = 次の条件に一致
  - フィールド値 = サービスデスク
  - 一致する発生件数:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:サービスデスクなどのグループ名
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = 次の条件に一致
  - フィールド値 = サービスデスク
  - 一致する発生件数:最後のみ
  - 追跡期間:true

ユースケース 1b:類似した初期グループを持つグループ間でバウンスしているすべてのレコードを特定する必要がある場合は、メッセージとカテゴリの検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:アサイン先グループはすべて
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ

自動翻訳

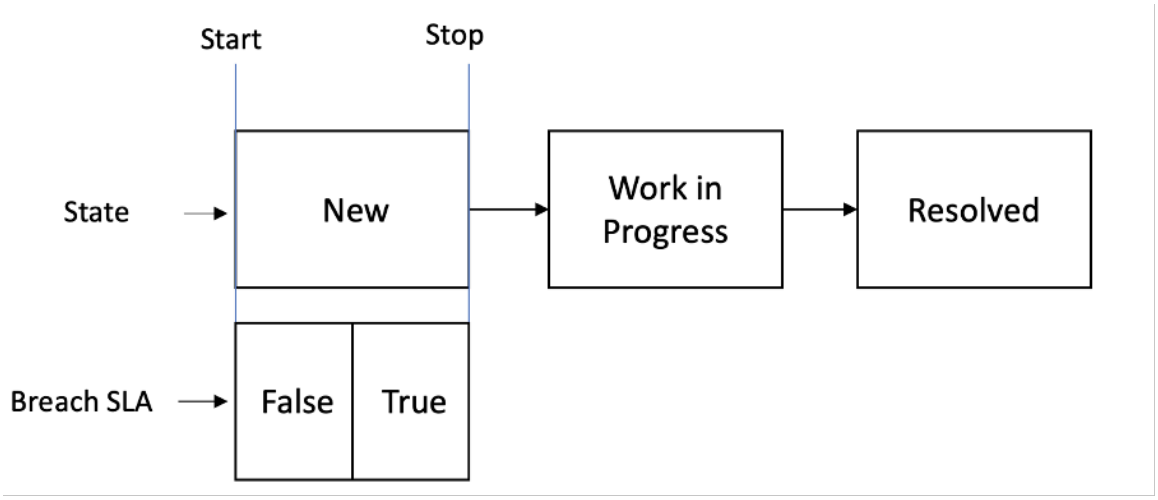
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 述語 = 何でも
- 一致する発生件数:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:アサイン先グループはすべて
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語=何でも
  - 一致する発生件数:すべて
  - 追跡期間:true
  - 関係制約:同じアサイン先グループがある

ユースケース 2:SLA 違反。SLA 違反が発生している間に、[新規] ステータスだったすべてのレコードを表示しま



す。

検索定義にメッセージとカテゴリを指定したら、次のように検索ルールを指定します。

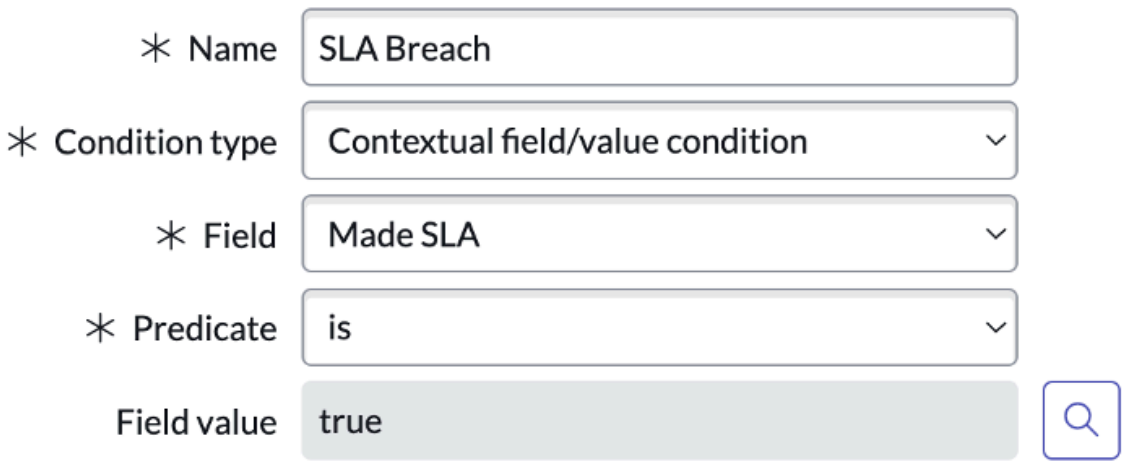
- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前 = state
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = ステータス
  - 述語=次の条件である
  - フィールド値 = 新規
  - 一致する発生件数 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - 検索定義 = 検索定義メッセージを追加します
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Field=SLA 締結有無 (プロジェクトのアクティビティ定義として [SLA 達成済み] が定義されていることを確認してください)
- 述語=次の値と異なる
- フィールド値 = true

- 関係性:次が直接続く
- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:都道府県
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = ステータス
  - 述語=は
  - フィールド値 = 対応中
  - 一致する発生件数 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件
  - Field=SLA 締結有無 (プロジェクトのアクティビティ定義として [SLA 達成済み] が定義されていることを確認してください)
  - 述語=は
  - フィールド値 = true
- 追跡期間:true



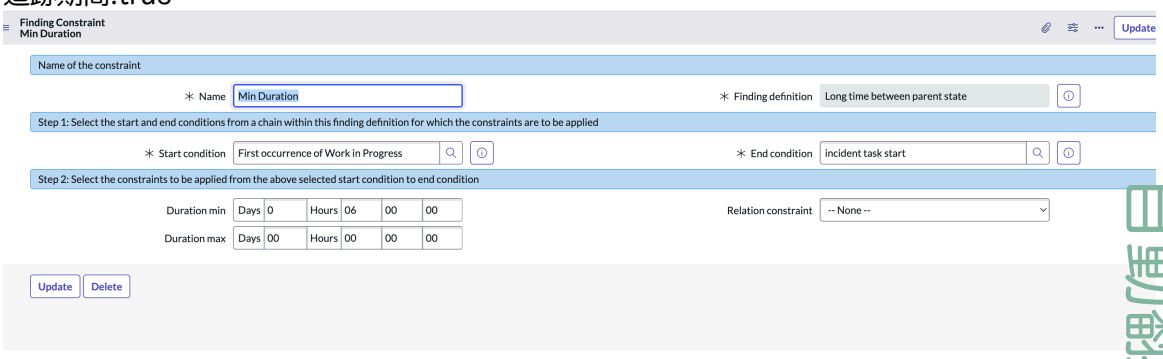
ユースケース 3:親ステータスの対応中からタスクの作成までが 6 時間を超える。多くの場合、解決時間またはレコードは 1 つ以上のタスクの完了によって異なります。したがって、メイン レコードの解決時間を短縮するには、メイン レコードが [対応中] 状態に達した後、できるだけ早くタスクを開始することが重要です。この例では、ユーザーは、メインレコードが [対応中] になった後、基礎となるタスクの作成に 6 時間以上かかったすべてのレコードを検索したいと考えています。検索定義にメッセージとカテゴリを指定した後、次のように検索ルールを指定します。

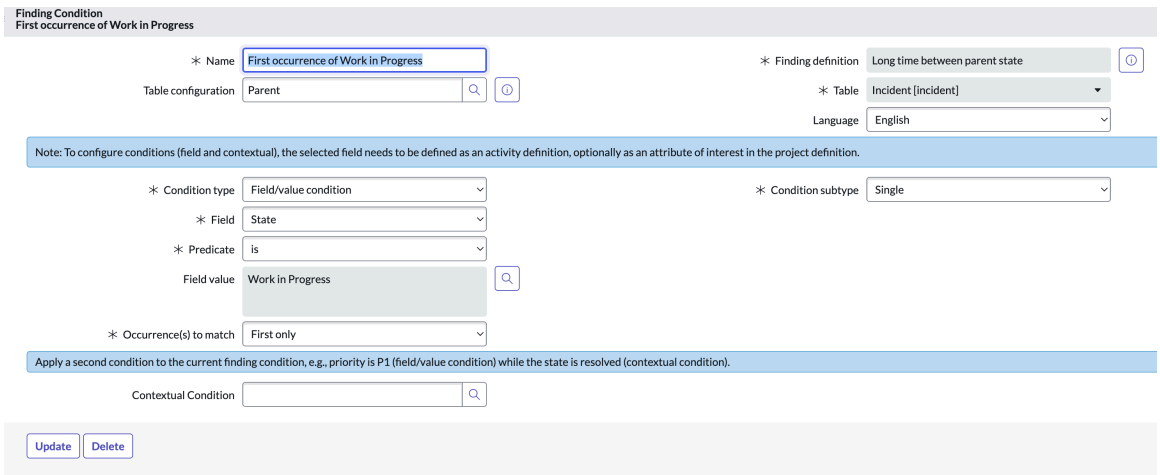
- 開始条件テーブルの構成:親、たとえばインシデント
- 開始条件

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 名前:[対応中] の最初の発生
- 条件タイプ:フィールド/値条件
- フィールド = ステータス
- 述語=次の条件である
- フィールド値 = 対応中
- 一致する発生件数:最初、のみ
  - 関係:最終的に次が続く
  - 終了条件テーブル構成:インシデントタスク
  - 終了条件
    - 名前 = インシデントタスク開始
    - 条件タイプ = プロセス開始
      - 制約:最小期間は 6 時間です
      - 追跡期間:true





クラシックビューから検索ビルダーを使用して改善の機会を設定する

検索ビルダーから改善の機会を設定します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセスの構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
- sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、削除することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. プロジェクトを選択します。
3. [プロジェクト検索定義] タブまたは [自動検索定義] タブで [検索定義を使用] を選択します。
   [改善の機会の定義] ページが表示されます。
4. ルールベースの改善の機会を作成するには、ルールベースカードで 作成 を選択します。
   詳細については、「ルールベースの改善機会の設定」を参照してください。
5. 自動化された改善の機会を作成するには、自動化された機会カードのいずれかで 作成 を選択します。
   詳細については、「自動化された改善機会」を参照してください。

プロジェクトビルダーからの改善機会の設定

プロジェクトビルダーから改善の機会を設定します。

プロジェクトの作成または編集中に、プロジェクトビルダーからルールベースで自動化された改善の機会を作成します。

ルールベースの改善機会の設定

ルールベースの検索定義は、[サマリーとインサイト] ページにユースケースの改善の機会を表示するカスタムルールです。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

独自のルールを設定することで、詳細を知りたいプロセスの特定の領域に焦点を当てることができ、特定のユースケースの改善の機会を特定できます。

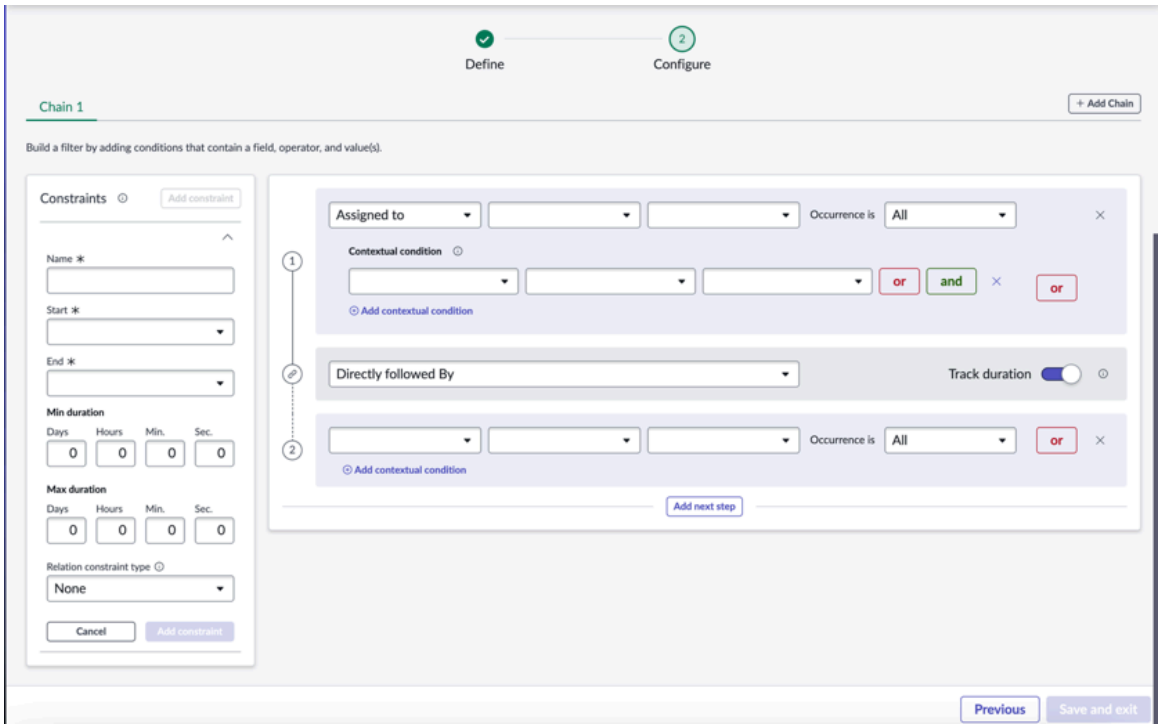
たとえば、[検証待ち] から [解決済み] までに 7 日以上かかったレコードを表示するルールを設定できます。

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [ルールベース] カードで [作成] を選択します。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. フォームに詳細を入力します。
   a. フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、フィルターを定義します。

      [発生件数] フィールドを使用して、この条件の最初、最後、またはすべての発生件数にフィルターを適用するかどうかを定義します。

   b. [コンテキスト条件を追加] ボタンを使用して、このフィルターの追加のコンテキスト条件を定義します。

      [AND] ボタンと **[OR]** ボタンを使用して、必要な数のコンテキスト条件を作成します。

   c. [次のステップを追加] を選択して、このチェーン内に別のフィルターを定義します。

      フィルターを作成すると、2 つのフィルターの間に関係セクションが表示されます。このセクションでは、そのすぐ上のアクティビティと直下のアクティビティの関係を定義します。

   d. フィルター間の関係を選択します。
      - 次が直接続く
      - 最終的に次が続く
      - 次が直接続かない
      - 最終的に次が続かない

   e. [追跡期間] フィールドを選択します。

      このフィールドは、指定された検索ステップ間の時間を追跡して、改善の機会に表示される検索プロセスの合計期間を計算します。

   f. 右上の **[+** チェーンの追加] を選択して、フィルターの追加のチェーンを作成します。

      チェーンは、リンクされたフィルターのセットです。チェーンを作成して、同様に true と評価される必要があるが、別のチェーン内のフィルターとの関係を持たない、関連するフィルターの

自動翻訳

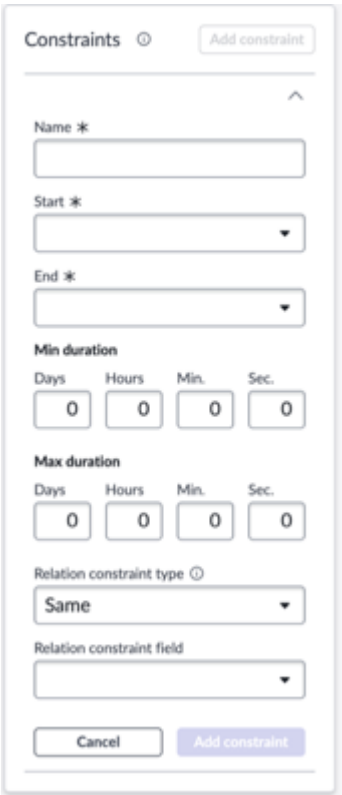
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

個別のセットを定義します。チェーンを作成したら、ウィンドウの上部にある チェーン **<番号>** タブを使用してチェーン間を移動できます。

g. [制約を追加] を選択します。

制約パネルが右側に表示されます。検索制約を使用して、特定のステップ間の期間や関係の制約など、検索定義ステップ間の特定の条件を設定します。これにより、基本的な検索ルールを超えてスコープを絞り込むことができます。

h. [制約の追加] を選択し、すべての詳細を入力して、[制約の追加] を選択します。



フィールド	説明
[Name (名前)]	制約の名前
開始	検索制約をトリガーするイベント。使用可能なオプションは、フィルターで提供されるステップです。
終了	検索制約を終了するイベント。使用可能なオプションは、フィルターで提供されるステップです。
最小期間	[開始] フィールドで定義されたイベントから [終了] フィールドで定義されたイベントまでの最小期間を指定します。[終了] フィールドのイベントは、このフィールドに指定された時間の後に発生する必要があります。
最大期間	[開始] フィールドで定義されたイベントから [終了] フィールドで定義されたイベントまでの最大期間。[終了] フィールドのイベント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は、このフィールドで指定された時間より前に発生する必要があります。
関係制約タイプ	制約がトリガーされるタイミングをさらに定義するオプションの制約条件。 なし 関係制約なし 同じ レコードは、特定のフィールドで同じ値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約] フィールド フィールドに指定します。 異なる レコードの特定のフィールドで異なる値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約] フィールド フィールドに指定します。 同じユーザー 開始条件と終了条件は、同じユーザーがトリガーする必要があります。 別のユーザー 開始条件と終了条件は、異なるユーザーがトリガーする必要があります。 同じイベント 開始ステップと停止ステップは同じで、中間ステップは異なる場合があることを示します。これは、A -> B -> A のように、最初と最後のステップのみが一致する必要があるピンポンパターンを識別するのに役立ちます。 異なるイベント 開始ステップと停止ステップは互いに異なり、中間ステップは異なる場合も同じ場合もあることを示します。これにより、A -> B -> C など、初期アクティビティと最終アクティビティが同じでないシーケンスを識別し、異なるイベントでプロセスが開始および終了するようにすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関係制約フィールド	関係制約タイプに関連付けられたフィールド。 このフィールドは、[関係制約タイプ] フィールドで [同一] または [異なる] が選択されている場合に表示されます。 注: [開始条件] フィールドまたは [終了条件] フィールドに選択肢がない場合、[使用可能な関係制約] フィールドは空で表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

自動化された改善機会

自動化された改善の機会は、 プロセスマイニングで利用できる改善の機会です。プロセスの改善の機会を理解するように設定します。

注:
1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動化された改善機会を設定できます。

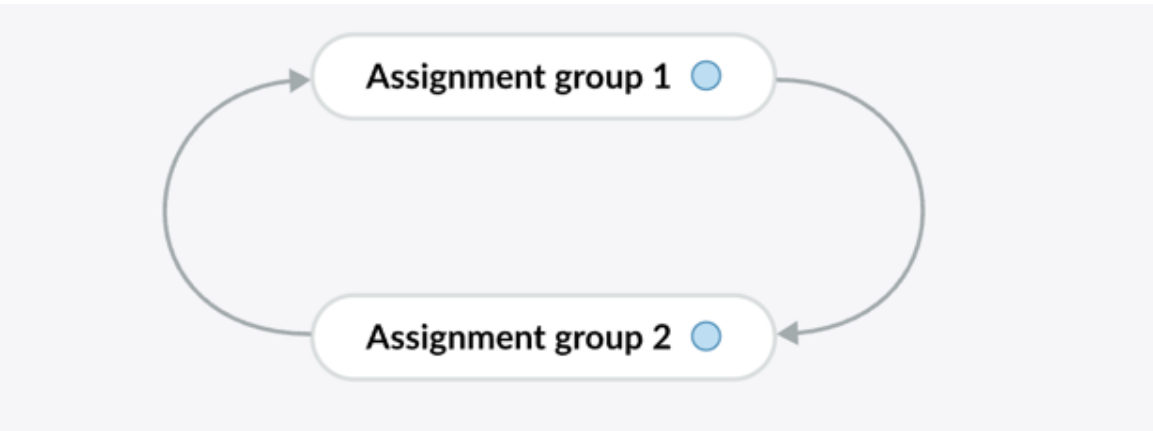
プロセスマイニングでは、次の改善の機会が利用可能です。

ピンポン検索定義の構成

ピンポン検索定義を構成して、レコードが中断なしに 2 つのステップ間で前後にバウンスするパターンを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

ピンポン検索定義は、レコードが 2 つのステップ間で連続的にバウンスするプロセス内の領域を明らかにします。これらのループを特定することで、必要な改善点を判断できます。



Ping pong is seen here between both assignment groups, caused by continuous reassignment

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. ピンポンカードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検出に対して、最大 2 つの自動検出結果を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。

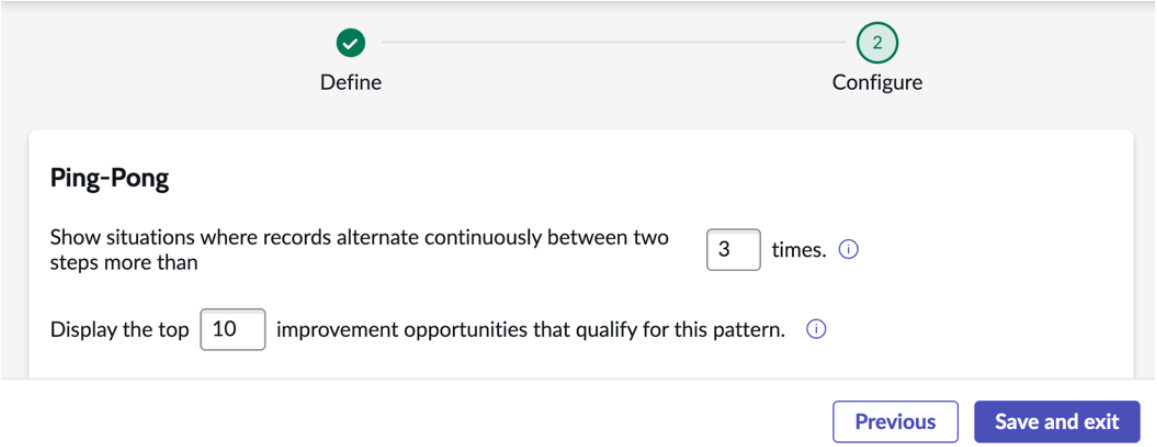
プロジェクト定義フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	自動検索定義の名前を指定します。
パターンタイプ	このフィールドは自動入力されます。作成することを選択した自動検索定義がここに表示されます。 必要に応じて変更できます。
パターンを検出するフィールド	このパターンを検出するテーブルから任意のフィールドを選択します。検索定義全体がこのフィールドで機能します。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ 品質 ○ 自動化 ○ 適合率 ○ パフォーマンス
[Active (アクティブ)]	この検索定義を有効にする場合は、フィールドを選択します。デフォルトでは選択されています。
テーブル	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
プロセスに適用	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで確認できます。

4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。デフォルト値が指定されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードが [サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。

- レコードには、2 つのプロセスが交互に繰り返される中断のない繰り返しが最低 3 回必要です。
- [サマリーとインサイト] ページには、最大 10 件の改善機会が表示されます。

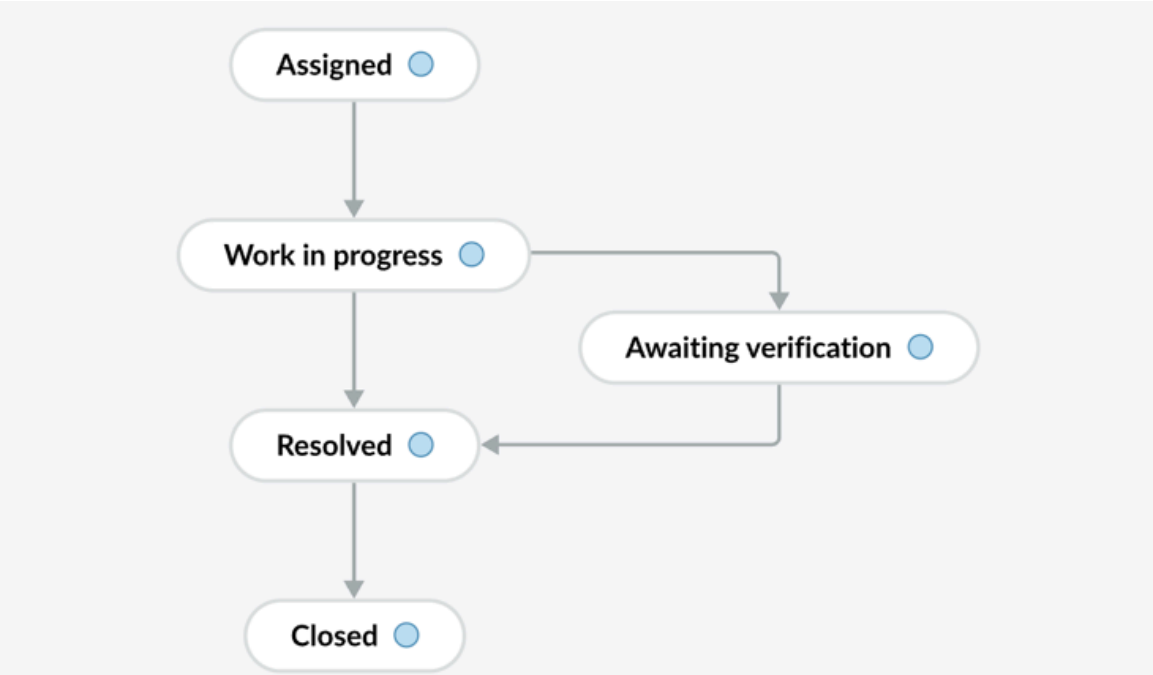
5. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

追加ステップの検索定義を構成

追加ステップ検索定義を構成して、ルートが追加の 1 ステップ異なるパターンを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

追加ステップの検索定義では、プロセス内のバリアント (ルート) が 1 つの追加ステップのみ異なるため、時間を節約するために自動化または削除できる可能性があります。

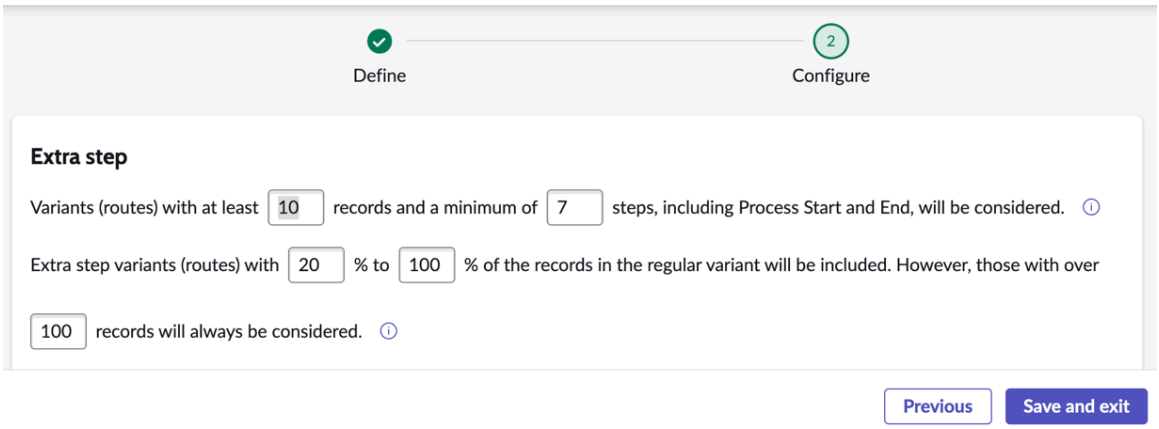


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [追加ステップ] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検出に対して、最大 2 つの自動検出結果を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が指定されています。必要に応じて編集できます。



   例によると、次の条件を満たすレコードが [サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。
   - 最低 7 ステップのバリアント (ルート) をチェックし、追加のステップがある類似のバリアントを見つけます。ステップには、 プロセスの開始 と プロセスの終了が含まれます。また、バリアントには少なくとも 10 件のレコードが必要です。
   - 効率的なルートの体積の20%から100%のバリアントのみが考慮されます。ただし、レコード数が 100 のバリアントは、割合に関係なく常に考慮されます。
   - 上位 10 個のバリアントのみが [サマリーとインサイト] ページに表示されます。
6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

遅い移行を構成する

レコードのクラスターが別のレコードグループの平均期間よりも長い異常な期間を持つパターンを表示するには、移行が遅い検索定義を構成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

遅い移行の検索定義には、別のレコードグループの平均期間よりも長い異常な期間を持つレコードのクラスターが表示されます。これにより、重要なレコードグループの遅い進行を特定できます。

自動翻訳

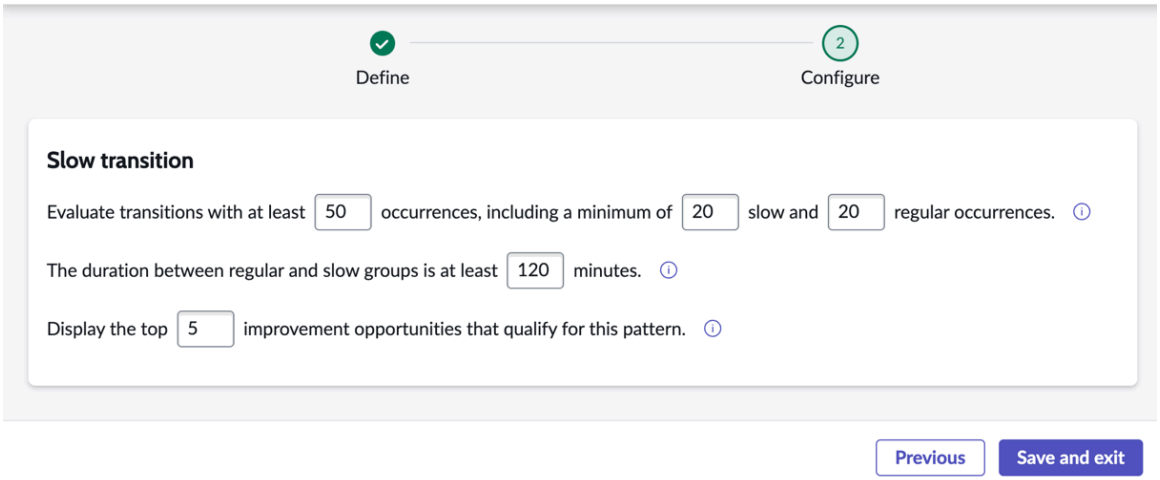
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Group B takes longer to transition from "New" to "Assigned"

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [遅い移行] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検出に対して、最大 2 つの自動検出結果を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が指定されています。必要に応じて編集できます。



   例によると、次の条件を満たすレコードが [サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。
   - 移行は少なくとも 50 回発生し、少なくとも 20 回の遅い移行と 20 回の定期的な移行が必要です。
   - 遅い移行グループの最短移行と通常の移行グループの最長移行の差は、120 分以上である必要があります。
   - 遅い移行の上位 5 件のみが [サマリーとインサイト] ページに表示されます。
6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

極端期間の検索定義を構成

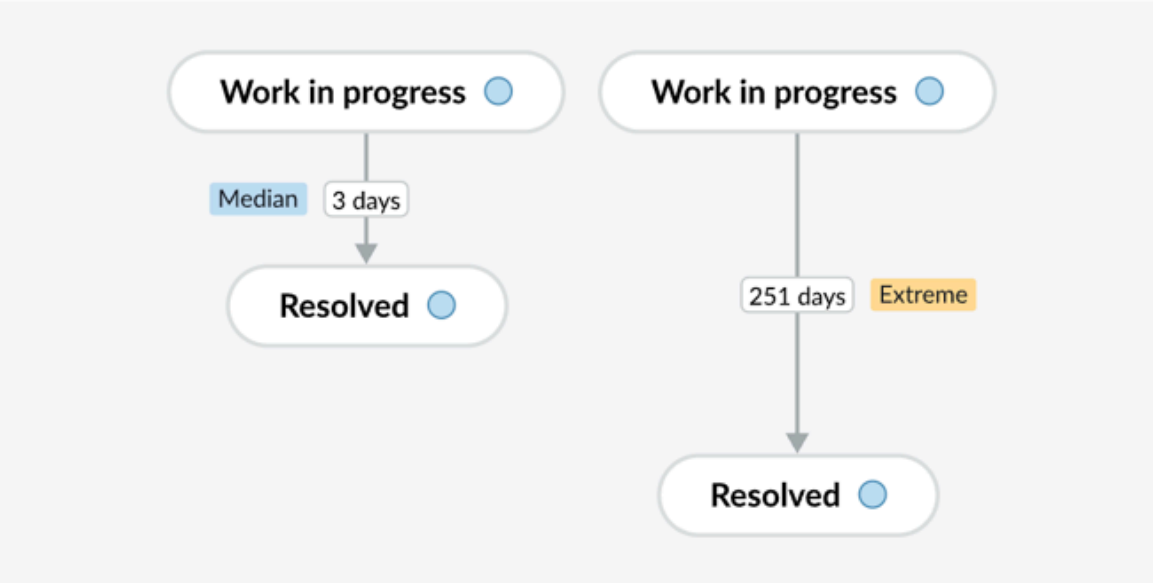
極端な期間の検索定義を構成して、ステップ間で移行が通常の期間よりも大幅に長くかかるパターンを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

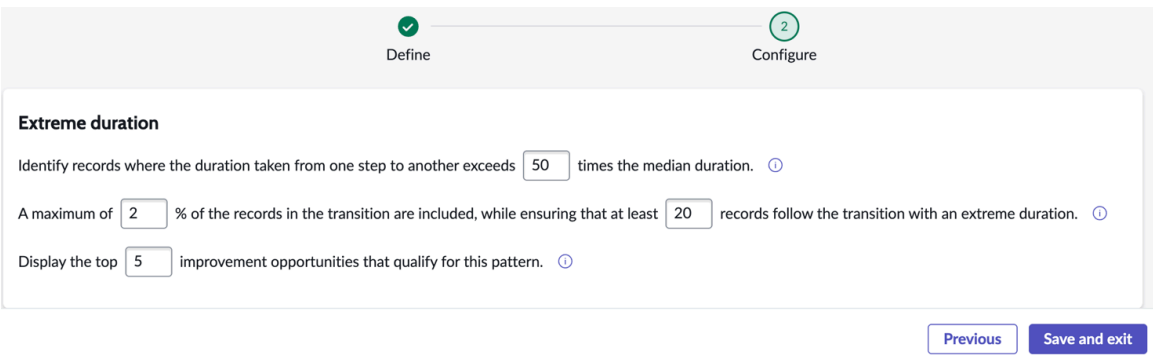
極端な期間の検索定義には、期間中央値よりも大幅に長い時間がかかる移行が表示されます。これにより、潜在的な期間の異常を発見できます。



Right-hand side transition takes significantly longer than the median duration (3 days) to complete

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. 極端な期間カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検出に対して、最大 2 つの自動検出結果を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. **[Configure]** を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が指定されています。必要に応じて編集できます。



例によると、次の条件を満たすレコードが [サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 指定された回数に期間中央値を掛けた最小時間で済むレコード。
- 多数のレコードが表示されないように、合計レコードの 2% のみが含まれます。また、最低 20 件のレコードが考慮されます。
- 上位 5 つの極端な期間の移行のみが [サマリーとインサイト] ページに表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

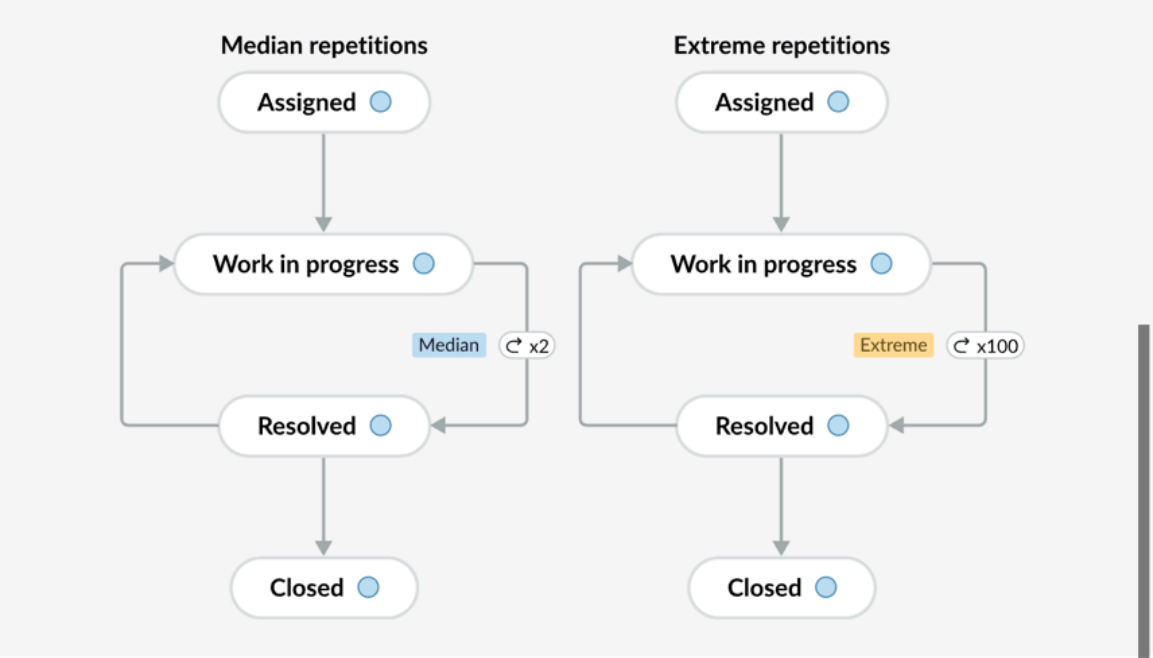
極端な繰り返し検索定義の構成

極端な繰り返し検索定義を構成して、ステップ間で移行が通常の繰り返し範囲よりも多く繰り返されるパターンを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

極端な繰り返し:定義を見つけると、繰り返し中央値よりも大幅に多く繰り返される遷移が表面化します。これにより、潜在的な繰り返し異常を発見できます。



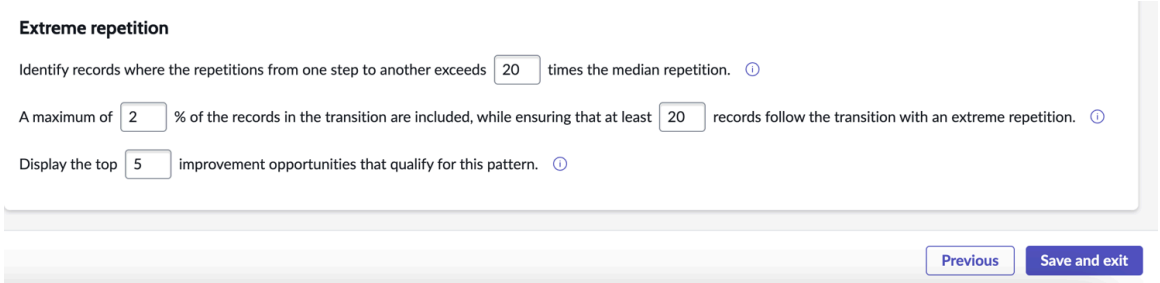
Right-hand side transition between "Work in progress" and "Resolved" occurred significantly more than the median repetition

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. [極端な繰り返し] カードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検出に対して、最大 2 つの自動検出結果を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が指定されています。必要に応じて編集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



例によると、次の条件を満たすレコードが [サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。

- 指定された回数に期間中央値を掛けた最小時間で済むレコード。この例では、20 * 期間中央値です。
- 多数のレコードが表示されないように、合計レコードの 2% のみが含まれます。また、最低 20 件のレコードが考慮されます。
- [サマリーとインサイト] ページには、改善の機会として上位 5 つの極端な期間の移行のみが表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

繰り返しパターン検索定義の構成

繰り返しパターン検索定義を構成して、一連のステップを繰り返すパターンを表示します。

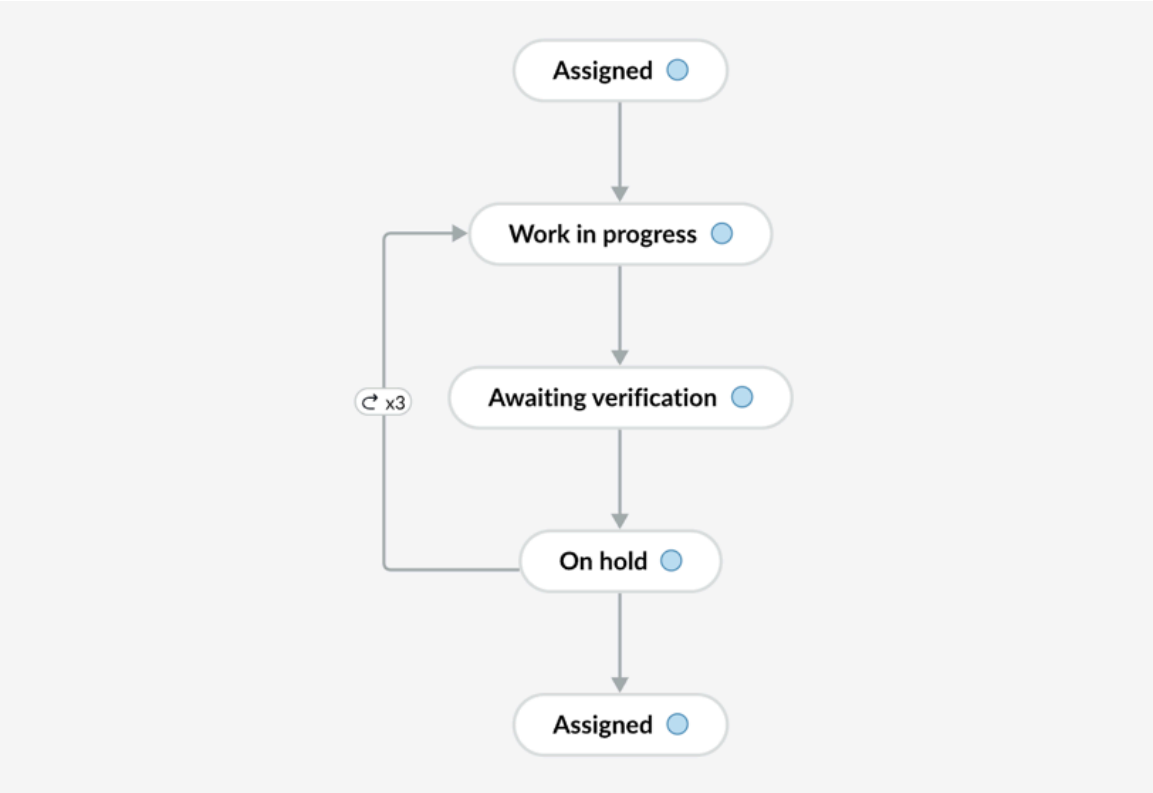
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

繰り返しパターン検索定義では、特定のステップ順序の繰り返しが表示されます。これにより、再検討される特定の部分やプロセスを改善または自動化する領域に焦点が当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



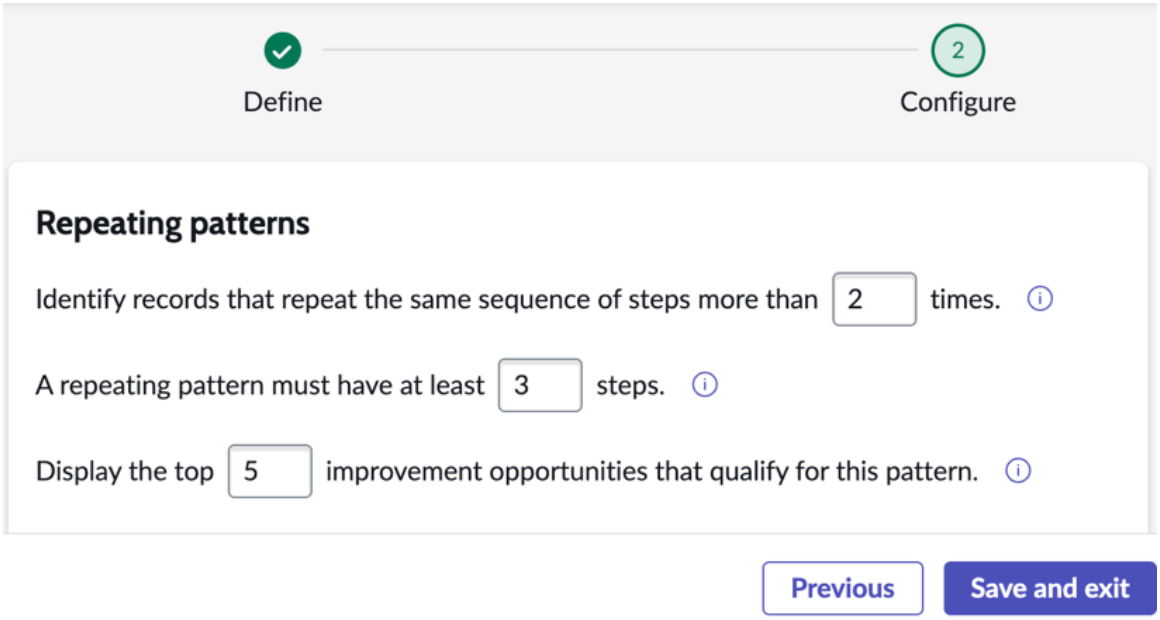
"Work in progress", "Awaiting verification", and "On hold" were executed multiple times

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. 繰り返しパターンカードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検出に対して、最大 2 つの自動検出結果を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が指定されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードは、[サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。

- レコードを 2 回以上繰り返す必要があります。
- 繰り返しパターンには少なくとも 3 つのステップが必要です。
- 繰り返しパターンの上位 5 件のみが [サマリーとインサイト] ページに表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

やり直し検索定義を構成

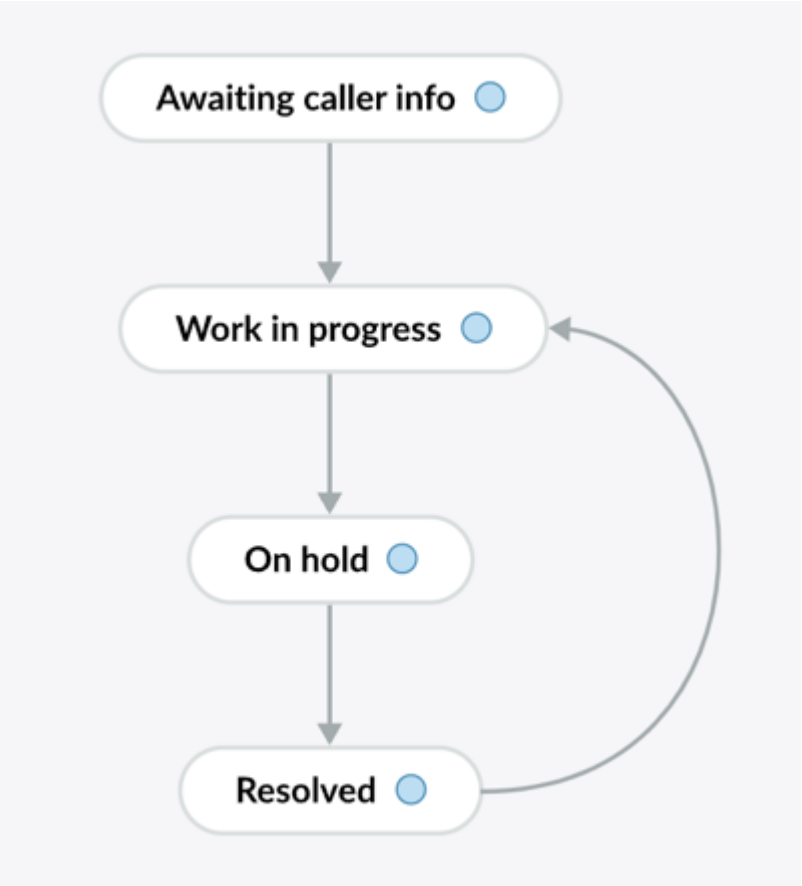
プロセスのステップが繰り返されるパターンを表示するように、やり直し検索定義を構成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

リワーク検索定義では、繰り返されるプロセスステップが表示されます。これは、作業が頻繁に繰り返される可能性がある状況を特定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



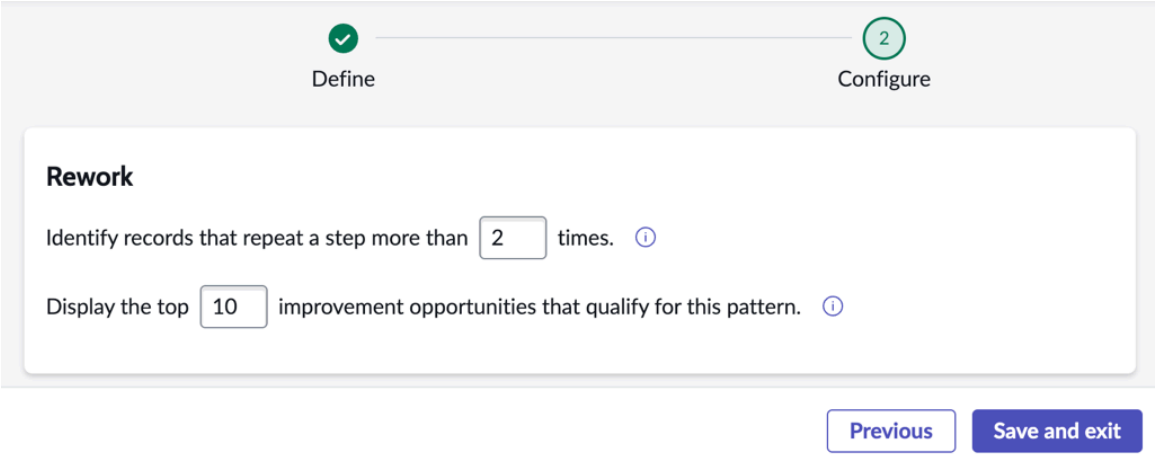
"Work in progress" has been revisited

手順

1. 改善機会定義ページに移動します。
   [改善の機会の定義] ページの詳細については、「 改善の機会の設定」を参照してください。
2. やり直しカードで [作成] を選択します。
   特定のタイプの自動検出に対して、最大 2 つの自動検出結果を作成できます。
3. [定義] セクションに詳細を入力します。
   詳細については、「検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム」を参照してください。
4. [**Configure**] を選択します。
   [構成] タブが表示されます。
5. フォームに詳細を入力します。
   デフォルト値が指定されています。必要に応じて編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



例によると、次の条件を満たすレコードが [サマリーとインサイト] ページで改善の機会として利用できます。

- 1 つのステップが 2 回以上繰り返されるレコード。
- 上位 10 件のレコードのみが [サマリーとインサイト] ページに表示されます。

6. **[Save and Exit** (保存して終了)] を選択します。

[サマリーとインサイト] ページから改善の機会を設定する

[サマリーとインサイト] ページから改善の機会を設定して、プロジェクトの改善機会を構成します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセスの構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、削除することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
   プロジェクトに改善の機会が設定されていることを確認します。
3. [機会] セクションの [構成を変更] リンクを選択します。
   プロジェクトビルダーの [改善の機会] ページが表示されます。
4. **[New** (新規)] を選択します。
   [改善機会の定義] ページが表示されます。
5. カードで [作成] を選択して、その種類の改善の機会を作成します。

   ルールベースの改善機会については、「 ルールベースの改善機会の設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化された改善の機会については、「 自動化された改善機会」を参照してください。

> **注:**
> 1 つのプロジェクトに対して最大 15 個の自動化された改善機会を設定できます。

プロセスインサイトの分析と取得

自動化されたプロセスデータからビジネスフローを可視化して分析し、それらのインサイトに基づいて行動します。

[サマリーとインサイト] ページ

プロセスを視覚化するだけでなく、プロセスの改善に役立つ興味深い事実を確認することもできます。 プロセスマイニング は、接続、アクティビティ、およびルートのルールとクラスター分析を使用して、これらの計算されたインサイトを提供します。[サマリーとインサイト] ページから、ビジネスに対する速度、品質、コストへの影響などのメトリクスに関する統計的に関連する結果にアクセスできます。改善の機会の概要と詳細なレポートを表示できます。ここからプロジェクトの新しい検索ルールを作成することもできます。

アナリストワークベンチ

ビジネスプロセスをより適切に分析するには、プロジェクトデータから生成されたプロセスマップを調整します。Analyst Workbench からマップを絞り込むことができます。ワークベンチから、2 つのプロジェクトを並べてさらに分析したり、改善イニシアティブで共同作業したり、メトリクスを表示したりすることができます。

> **注:**
> Analyst Workbench には、プロジェクトが構成され、そのデータがプロセスマップに生成された後にのみアクセスできます。

ページまたはワークベンチから、クラスター分析やプロセス分析などのタスクを実行できます。

関連情報

プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトまたはテンプレートの作成

ビジネスインサイトの表示

[サマリーとインサイト] ページからビジネスプロセスに関する重要な情報を表示します。目標とパフォーマンスインジケーターを確認し、改善の機会に関するインサイトを取得します。

[サマリーとインサイト] ページには、プロセスを最適化する機会が表示されます。次のスナップショットが表示されます。

- 達成または未達成の目標と KPI
- 改善の機会の概要
- 新しい改善の機会

自動翻訳

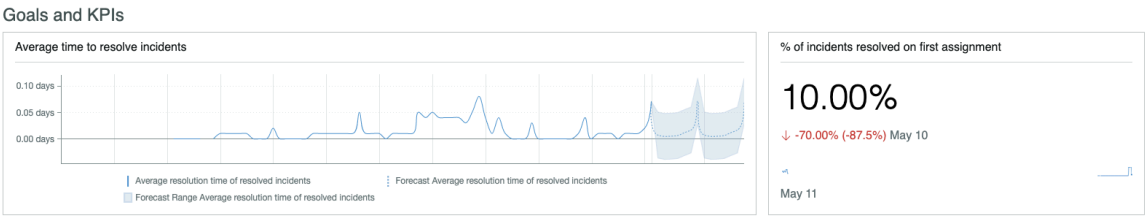
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゴールと KPI

> **注:**
> [目標と KPI] セクションは、 パフォーマンスアナリティクス の統合で利用できます。

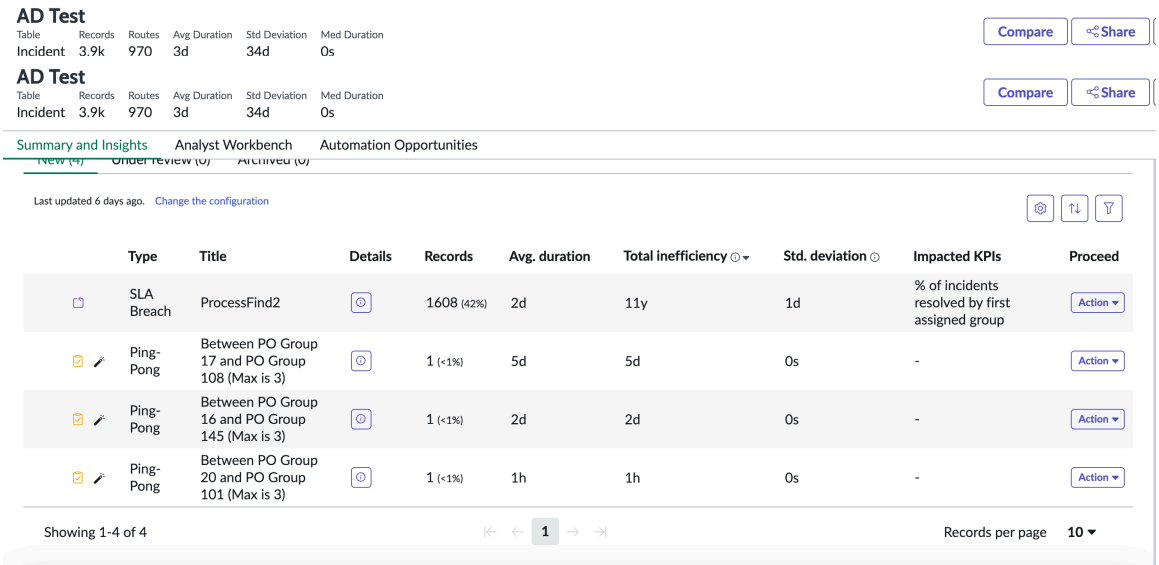
[目標と KPI] セクションは、 UI ビルダーで構成されます。

[目標と KPI] セクションから、KPI 詳細 ビューからインジケーターの詳細をより詳細に分析するための可視化を選択します。[KPI 詳細] には、特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードが表示されます。[KPI 詳細] ページでは、重要業績評価指標の背後にあるより深い情報が表示されます。



改善の機会の概要

[改善の機会の概要] セクションでは、カテゴリ、タイプ、および KPI 別にソートされた機会を 3 つの異なるカードで確認できます。



構成するルールは、ビジネスに関する所見を検出します。たとえば、次のようなルールを設定できます。

- [クローズ済み] または [解決済み] ステータスに直接移行したレコード
- 顧客が承認しなかったソリューション、または状況が「解決済み」から「対応中」に変更されたソリューションを使用して、レコードを作り直しました。
- 誤ったグループアサインまたは多数のグループアサイン

ダッシュボードに表示するこれらのインサイトカテゴリの組み合わせを選択します。

- 品質
- パフォーマンス
- 適合率

自動翻訳

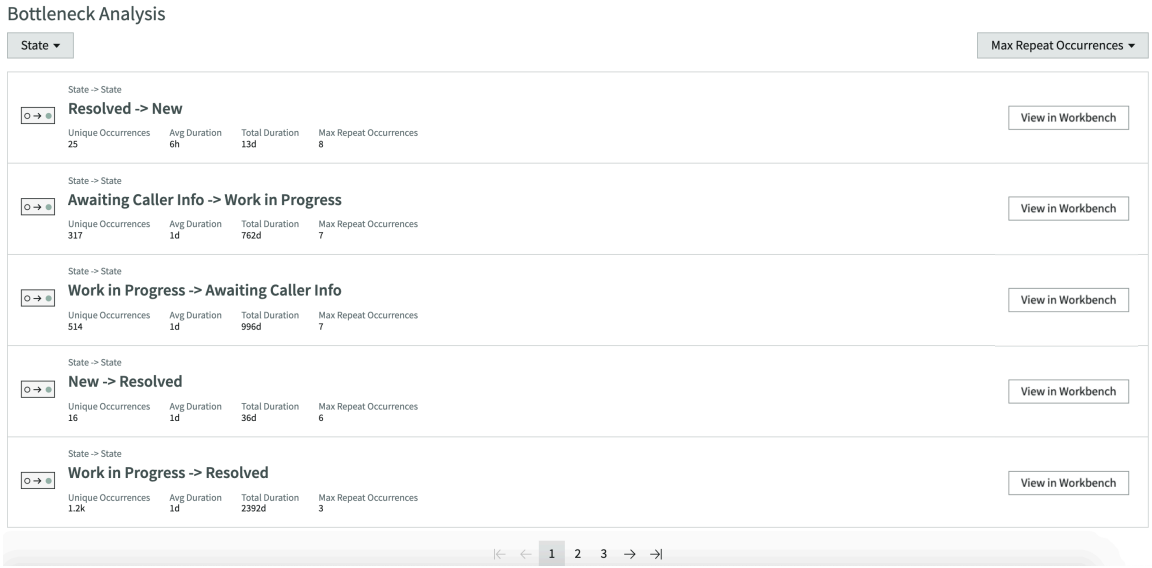
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各インサイトから、完了したクラスターまたはプロセス分析を要求または表示し、完成したクラスターまたはモデルをワークベンチから表示できます。

選択したインサイトのプロジェクトを生成するには、カードを選択してカードデータのアナリストワークベンチにアクセスします。プロジェクトを表示できるようになったら、[プロセス分析の表示] を選択します。

ボトルネック分析

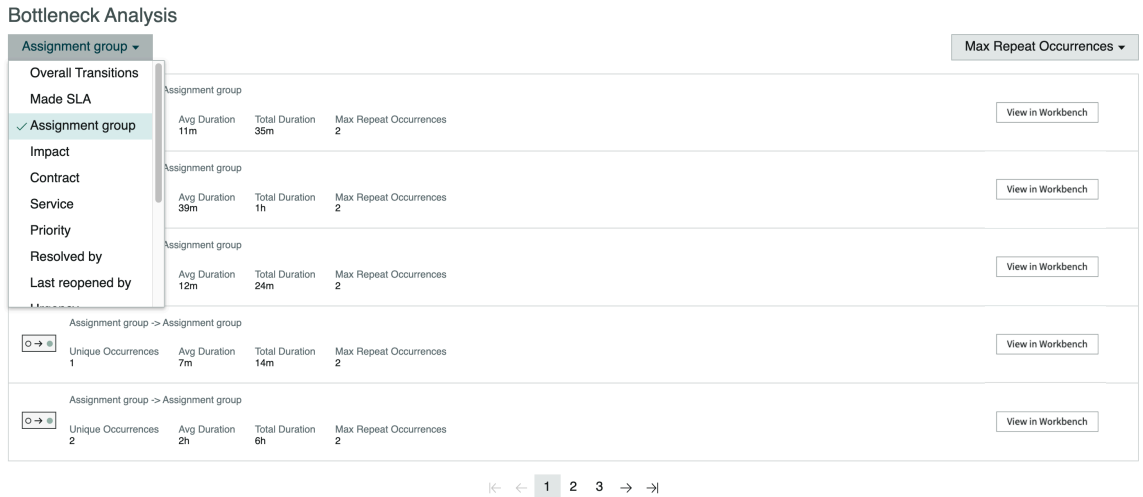
[ボトルネック分析] セクションから、プロセスレコードで検出された特定されたボトルネックソースを確認できます。



ブレークダウンを選択してルートリストを絞り込み、リストを次のようにソートします。

- 一意の発生
- 合計時間
- 平均期間
- 最大繰り返し発生件数
- 合計発生件数

ボトルネック分析:ブレークダウン

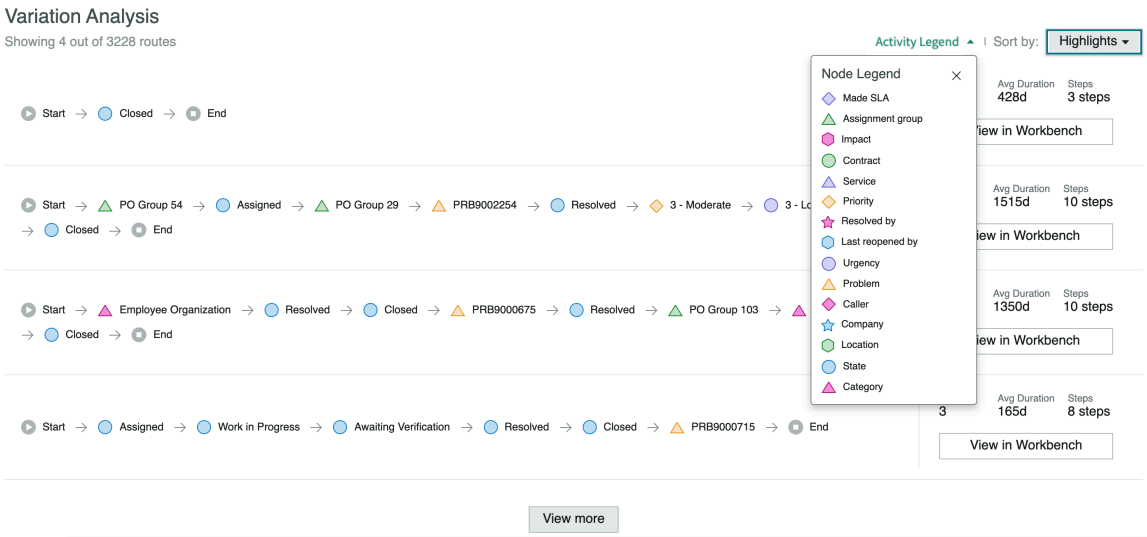


[ワークベンチで表示] を選択して、選択した移行のプロジェクトを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バリアント分析

工程のすべてのルートは、変動分析セクションに表示されます。ハイライト、レコード数、平均期間、またはステップでルートの順序をソートできます。



[ワークベンチで表示] を選択して、個々のルートのプロジェクトを表示します。

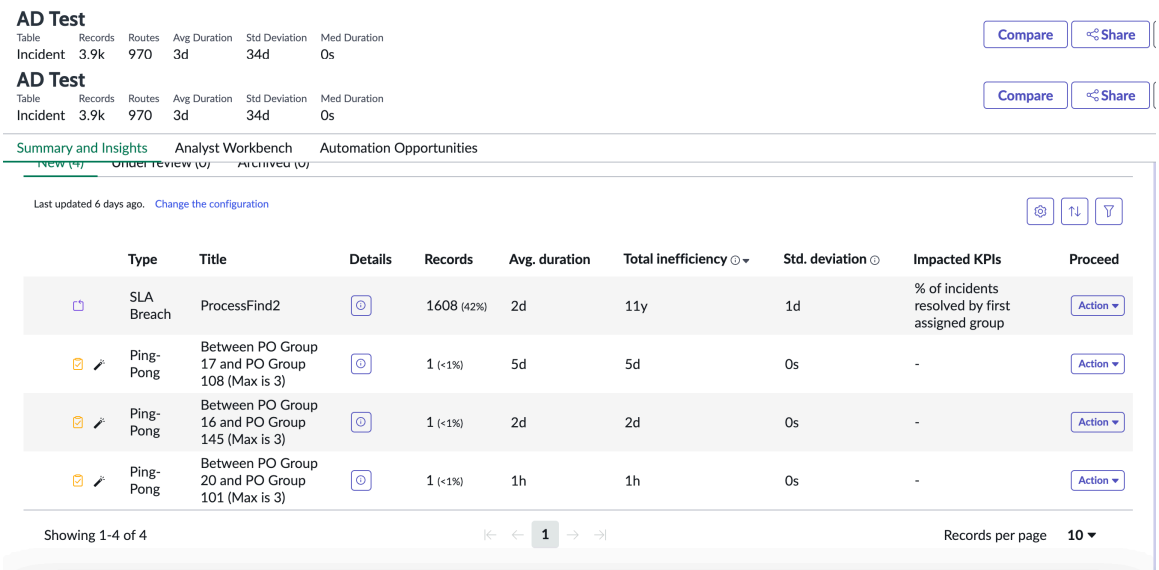
関連情報

KPI 詳細

検索定義の操作

検索定義を使用して、検出されたインサイトをサマリーおよびインサイトダッシュボードに配信します。

検索定義には、 プロセスマイニング プロジェクトで収集された情報が表示されます。これらは、[サマリーとインサイト] ページ内にリストとして表示されます。この情報を使用して、ビジネスプロセスに関する重要な情報を確認し、ボトルネック、ルートのばらつきなどに関するインサイトを取得します。



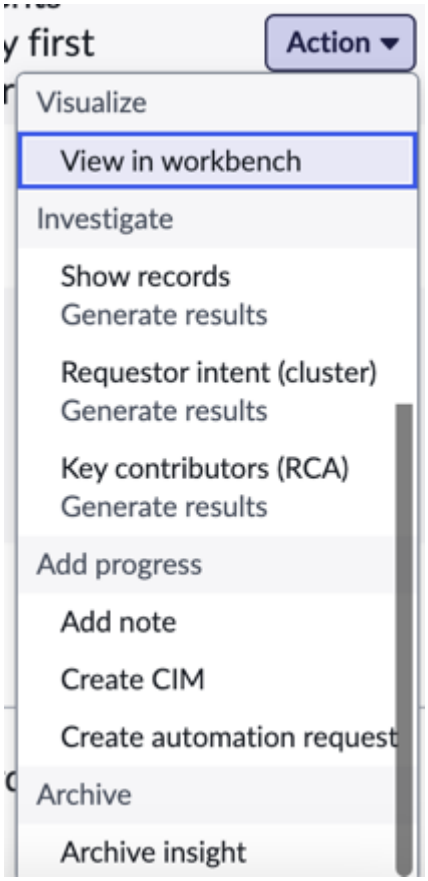
- 新しい検索定義を作成するには、[構成の変更] リンクを選択します。

  検索定義の作成の詳細については、「 改善の機会の構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 列を表示または非表示にするには、[ ] を選択します。
- [ ] を選択して列をソートします。
- [ ] を選択して、結果のリストをフィルタリングします。
- [アクション] を選択し、リストから任意のアイテムを選択して詳細を表示します。



自動翻訳

グラフのビューの選択

プロジェクトに設定された任意の 1 つのアクティビティ定義またはすべてのアクティビティ定義の観点からグラフを表示することを選択します。

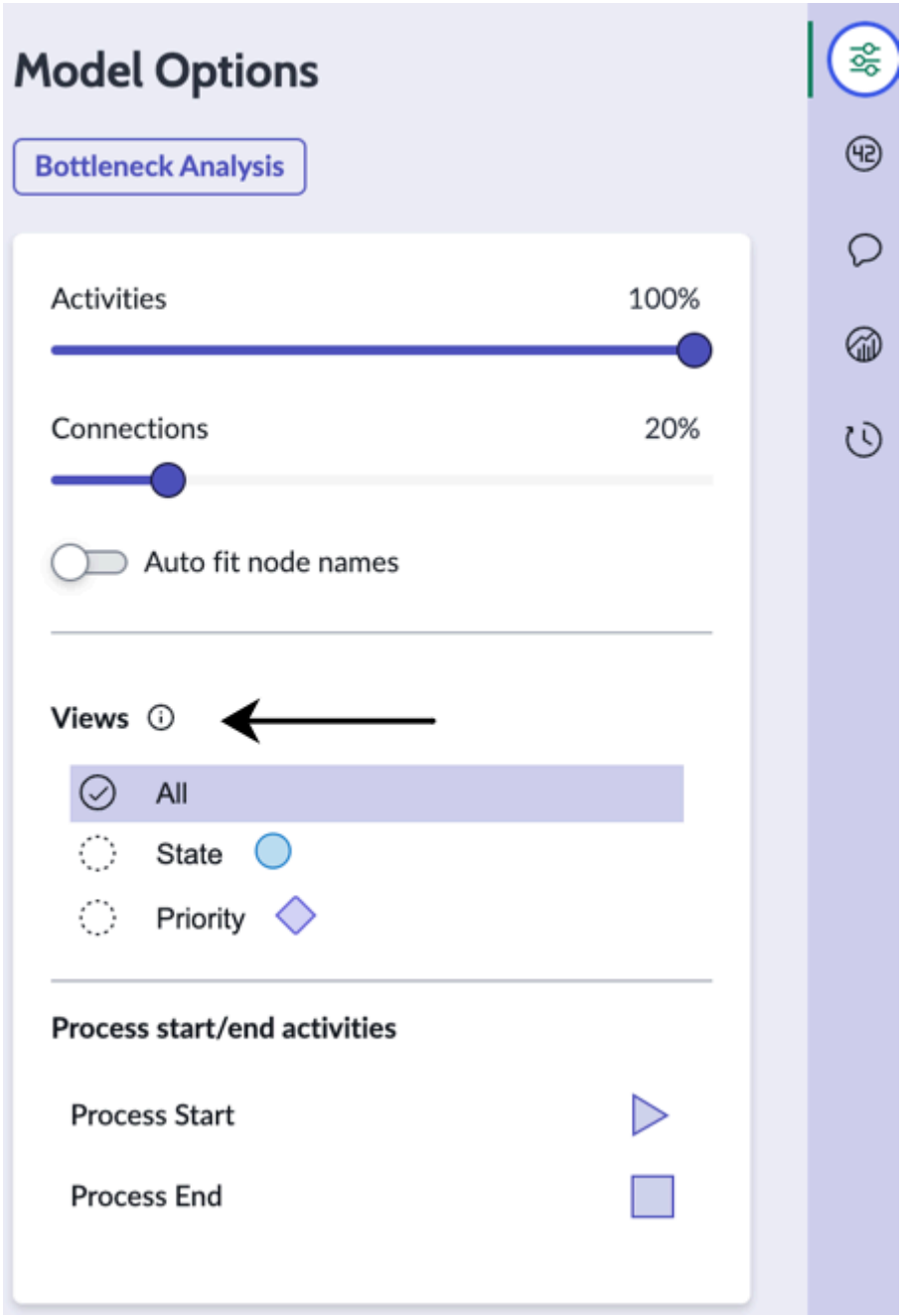
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. **[Analyst Workbench]** タブを選択します。
4. 右側のバーからモデルオプション( )を選択します。
5. [ビュー] 領域から、[すべて] またはいずれかのアクティビティ定義を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. スケジュール設定済みタスクが完了したら、[結果の表示] を選択します。

タスクの結果
グラフには、選択したアクティビティ定義のすべてのデータが表示されます。

プロセスマップの絞り込み

可視化されたワークフロープロジェクトを表示して、ビジネスプロセスのインサイトと改善の機会を確認します。

可視化されたプロセスマップは、問題に固有のデータを確認するのに役立ちます。マップ内でドリルダウンして根本原因を把握できます。また、表示または測定する KPI に従ってルートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プロセスマップのほとんどの機能は、構成可能なワークスペースのダッシュボードで再現できます。詳細については、「ダッシュボードでのプロセスマイニングマップの構成」を参照してください。

- アクティビティスライダーと接続スライダーを使用して、最も頻繁に発生したプロセスステップに焦点を当てます。より少ない頻度で発生したステップを含めることもできます。
- アクティビティをマップワークスペース上の別の位置に移動します。
- メトリクス番号を接続に沿ってスライドさせて、視覚的表示を改善します。
- アクティビティまたは接続を選択して、 メトリクス の詳細を表示します。

アクティビティスライダーと接続スライダー

例	定義
	最小 1 つ、最大 2 つのパフォーマンスメトリクスを示す通常のノード移行線。次のパフォーマンスメトリクスを表示できます。 • 合計発生件数 • 一意の発生 • 最小期間 • 最大期間 • 平均期間 • 合計時間 • 標準偏差 • 中央期間
	モデル間移行スライダーには、グラフに表示されない移行の数が表示されます。ユーザーは、モデル間移行線を選択して、グラフ表示内の移行の割合を変更できます。親子関係ごとに 1 行が表示されます。
	人工線は、ユーザーがプロセスがどのノードから終了するかを理解するのに役立ちます。異なるノードからエンティティごとにプロセス終了までの複数の人工ラインが発生する可能性があります。
	破線は、エンティティが折りたたまれていることを示します。ユーザーが [+] アイコンを選択してエンティティを展開すると、線が消えます。
	アークの方向は、アクティビティの発生シーケンスを示します。たとえば、2.2k レコードの場合、新規ステータスは、アサイン済みステータスに移行する平均 10 か月前に発生します。

プロジェクトデータのフィルタリング

フィルターを適用して、プロセスマップの特定の側面を絞り込み、ドリルダウンします。

プロセスマイニング には、プロセスマップを絞り込むためのフィルタリングツールがあり、[フィルター] タブとプロセスマップからアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィルター] タブ

- ブレークダウンフィルター:カテゴリ別にグループ化されたレコードを表示します。
- 条件:条件ビルダーを使用して、テーブルフィールド条件でフィルタリングします。
- 移行フィルター:アクティビティ条件でフィルタリングして、アクティビティを通過したルートを表示します。

プロセスマップ

- メトリクスフィルター - アクティビティと接続に関する選択したメトリクスを表示します。
- アクティビティと接続フィルター - スライダーを使用して、表示するアクティビティまたは接続の量を増減します。

ブレークダウンフィルターの適用

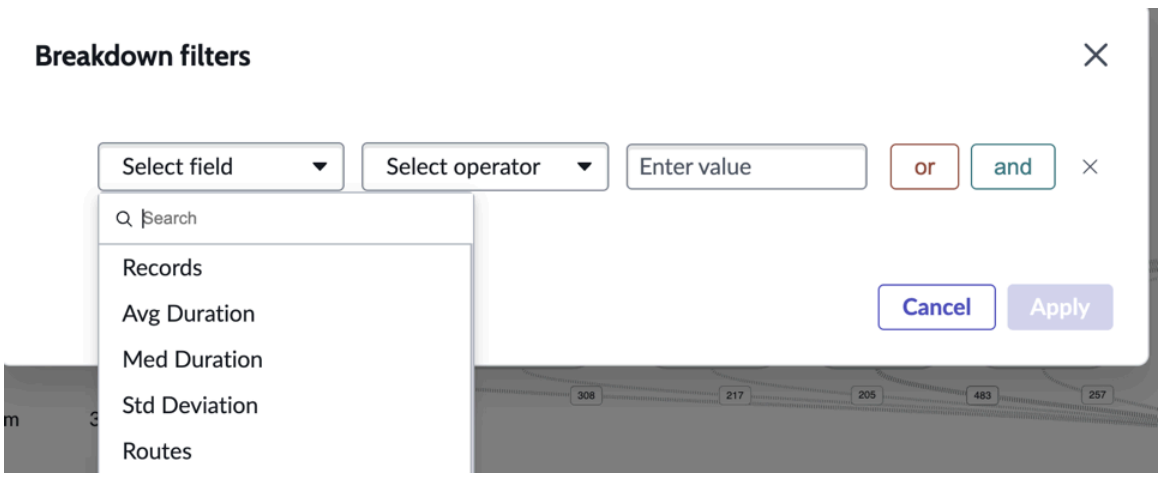
自分が作成した、自分または全員と共有しているアナリストワークベンチプロジェクトをフィルターします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. **[Analyst Workbench]** タブを選択します。
4. [ブレークダウンフィルター] セクションで、フィルターアイコン] を選択します。

   [ブレークダウンフィルター] ウィンドウが表示されます。



5. フィルターを指定し、[適用] を選択します。

フィルターセットを作成

フィルターセットを作成して、現在のフィルター選択を後で同じプロセスマップに適用できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順
1. ブレークダウンまたは詳細フィルターを適用します。
2. [フィルター] タブで、[設定として保存] を選択します。
3. フィルターセットに名前を付け、[保存] を選択します。

タスクの結果
[フィルターセット] リストには、新しいフィルターセットが含まれています。

フィルターセットの更新

保存したフィルターを編集します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順
1. [フィルター] タブで、[フィルターセット] リストを選択します。
2. プロセスマップに適用する保存済みフィルターセットを選択します。
3. ブレークダウンまたは高度なフィルターの変更を追加します。
4. 必要に応じて [適用] を選択し、[フィルター セットの更新] を選択します。
5. 表示される [フィルター セットの更新] ダイアログで、必要な変更を確認し、[保存] を選択します。

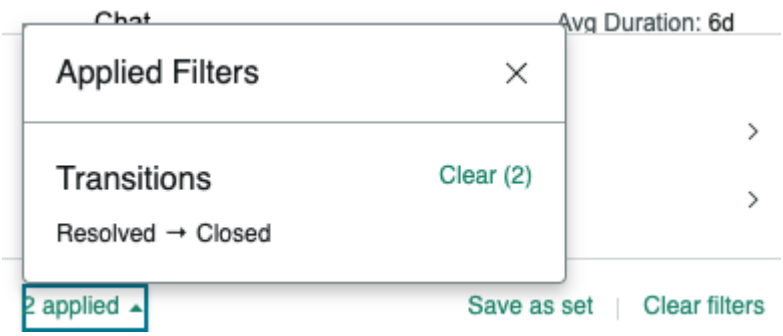
タスクの結果
フィルターセットが更新されます。

フィルターをクリア

適用されているフィルターを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

[フィルター] タブからフィルターを追加すると、選択したフィルターのリストに、現在選択されているがまだ適用されていない新しい値が表示されます。[適用済みフィルター] リストには、現在適用されているフィルター値と、それらが追加されたパネルカテゴリも表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [フィルター] タブに移動します。
2. 適用されたフィルターリストを選択します。
3. 削除する個々の適用済みフィルターの横にある [クリア] を選択します。
   現在適用されているすべてのフィルターをクリアするには、[フィルターをクリア] を選択します。

タスクの結果
プロセスマップは自動的に更新され、以前に適用されたフィルターは削除されます。

フィルターセットの削除

プロジェクトで役に立たなくなったフィルターセットを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィルター] タブで、[フィルターセット] リストを選択します。
2. 削除するフィルターセットの横にあるごみ箱アイコンを選択します。
   フィルターセットが削除されます。

アクティビティへの移行フィルターの適用

アクティビティ移行フィルタリングを使用すると、レコードが通過するさまざまなルートをより詳細に把握できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

移行フィルターを使用して、指定されたアクティビティを移行する実行中のワークフローのレコードをフィルタリングします。これは、対応する値をより詳細に調査するのに役立ちます。

> **ヒント:**
> プロセスマイニング は、完了した非アクティブなワークフローアイテムを分析します。ただし、データがマイニングされた時点でアクティブであった不完全なレコードでデータが構成されている場合があります。プロジェクトを定義するときに [締め切り] などの日付関連の条件を選択するだけでなく、移行フィルターを使用して不完全なレコードを削除します。

このタスクについて
移行フィルターは、次の 2 つの方法で適用できます。

- 特定の条件を手動で作成する
- 事前定義されたフィルターにトランジションフィルターを適用する

移行フィルターの手動作成

ニーズを満たす移行フィルターを作成し、それを適用してプロセスグラフに結果を表示します。

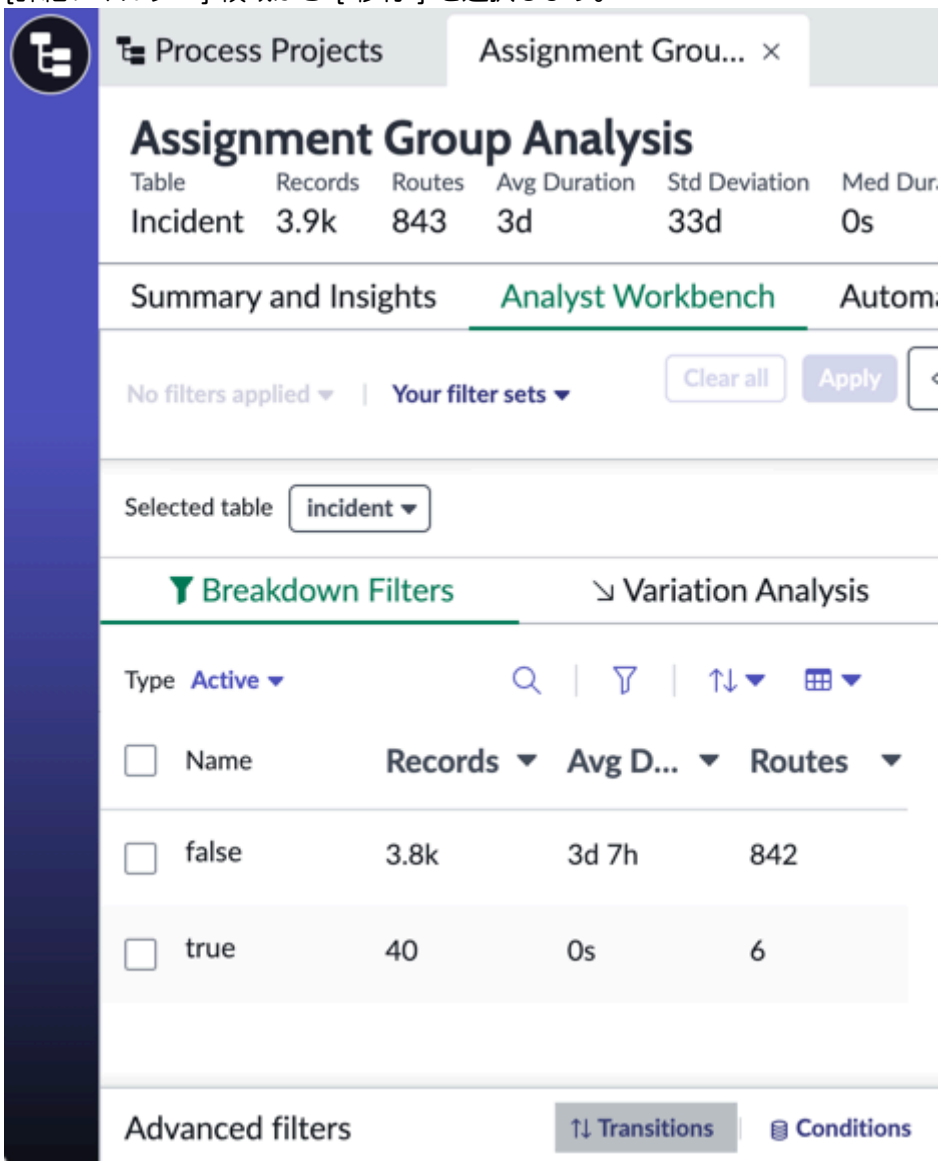
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 移行フィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. **[Analyst Workbench]** タブに移動します。
4. [詳細フィルター] 領域から [移行] を選択します。

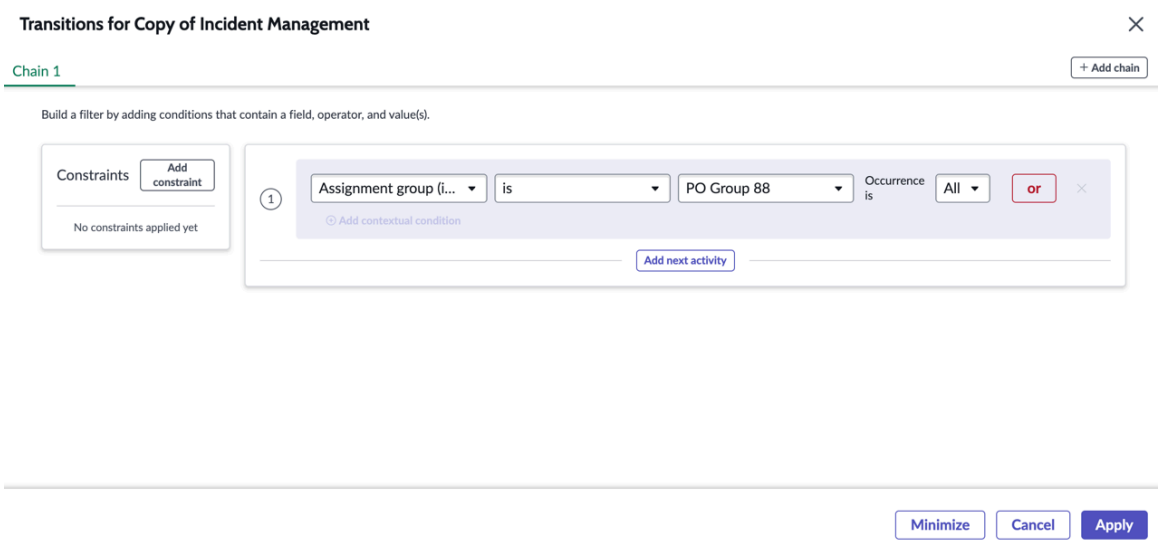


移行フィルターフォームが表示されます。

5. 移行フィルターフォームに必要な条件を入力します。

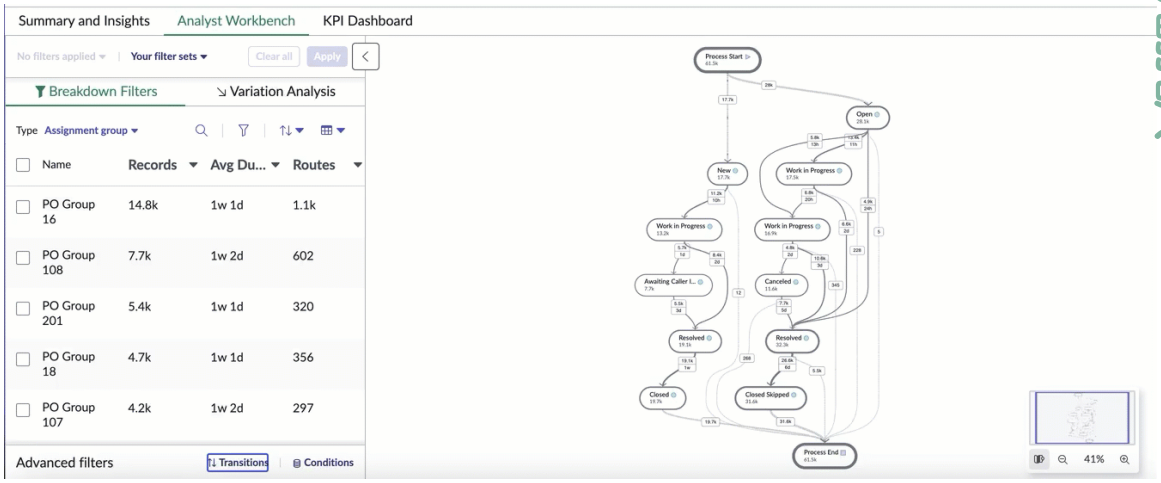
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



利用可能な述語は次のとおりです。

- 次の値に等しい
- 次の値と異なる
- は (空) である
- (空) でない
- すべての値
- 次の値のいずれか: 「次の値のいずれか」を選択すると、複数の値を一度に選択できます。最初の 2 文字を入力し、[すべて選択] アイコンを選択して、一致するすべての値を選択します。



注:
OR 条件は、同じエンティティ内の条件にのみ使用できます。(ステータス (インシデント) が対応中 OR アサイン先グループ (インシデント) がデータベース)。

a. フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、アクティビティを定義します。
[発生件数] フィールドを使用して、この条件の最初、最後、またはすべての発生件数にフィルターを適用するかどうかを定義します。

b. [コンテキスト条件を追加] ボタンを使用して、このアクティビティの追加のコンテキスト条件を定義します。
[AND] ボタンと **[OR]** ボタンを使用して、必要な数のコンテキスト条件を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. [次のアクティビティを追加] を選択して、このチェーン内の別のアクティビティを定義します。
新しいアクティビティを作成すると、2 つのアクティビティの間に [関係] セクションが表示されます。このセクションでは、そのすぐ上のアクティビティと直下のアクティビティの関係を定義します。

d. アクティビティ間の関係を選択します。
- 次が直接続く
- 最終的に次が続く
- 次が直接続かない
- 最終的に次が続かない

e. [制約が追加されていません] の横にある ([ ) を選択し、この関係の制約を編集します。
制約を作成したら、( ) を選択して、制約エディターを最小化できます。

f. [+ チェーンの追加] (右上) を選択して、アクティビティの追加のチェーンを作成します。
チェーンは、リンクされた一連のアクティビティです。新しいチェーンを作成して、同様に true と評価される必要があるが、別のチェーン内のアクティビティとの関係を持たない関連アクティビティの個別のセットを定義します。新しいチェーンを作成したら、ウィンドウの上部にあるチェーン <番号> タブを使用してチェーン間を移動できます。

g. フィルターの作成が完了したら、[適用] を選択して保存し、 **Analyst Workbench** に戻ります。
タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、Analyst Workbench の [スケジュール設定済みのタスク] パネルで [結果を表示] を選択します。

自動翻訳

移行フィルターの編集

移行フィルターを変更する場合は、フィルターを編集します。

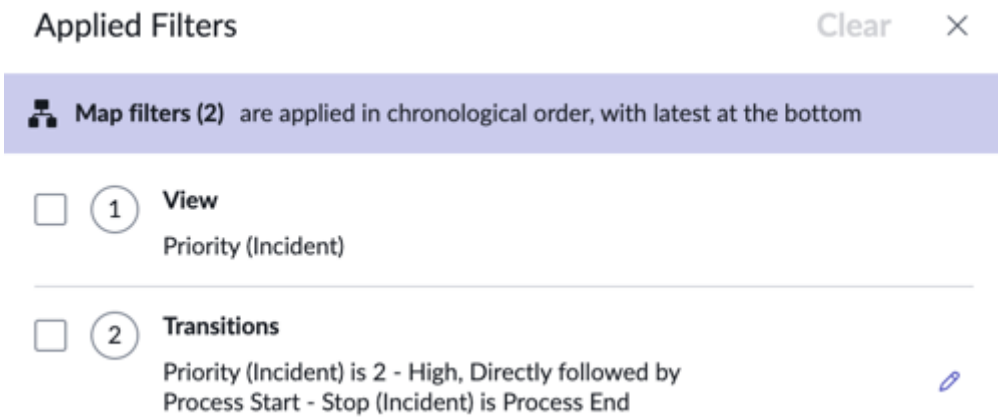
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 移行フィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. **[Analyst Workbench]** タブに移動します。
4. その間にトランジションフィルターを含むフィルターを適用します。
フィルターの適用方法については、「 移行フィルターの手動作成」を参照してください。
5. [適用済みフィルター] リストを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. 移行フィルターの横にある編集アイコン ( ) を選択します。

   注:
   移行フィルターは、フィルターが適用されているビューのフィールドを使用してのみ編集できます。

   移行フィルターフォームが表示されます。フォームの詳細については、「 移行フィルターの手動作成」を参照してください。
7. 必要に応じてフィルターを編集します。

事前定義されたフィルターに移行フィルターを適用する

選択したノードまたは接続にトランジションフィルターを適用します。

始める前に

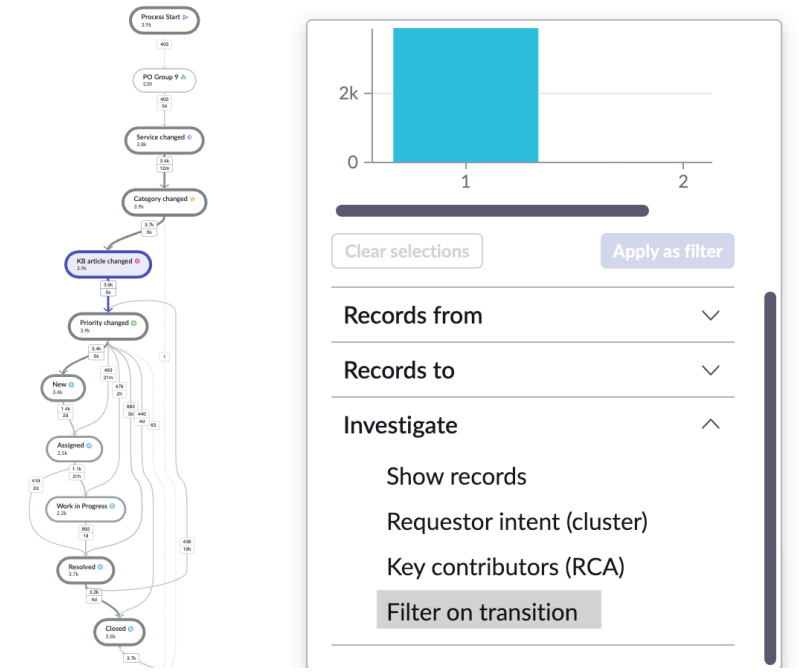
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. 移行フィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. **[Analyst Workbench]** タブに移動します。
4. グラフ上のノードまたは接続を選択します。
   [メトリクス] ウィンドウが表示されます。
5. [メトリクス] ウィンドウから [移行時にフィルターを調査 **(Investigate > Filter on** transition)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、Analyst Workbench の [スケジュール設定済みのタスク] パネルで [結果を表示] を選択します。

メトリクスを適用

プロジェクトのビジュアル化を調整して、プロセス目標により関連性の高い KPI とメトリクスを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> **注:**
> 期間メトリクスはアクティビティには適用されないため、表示されません。

手順

1. プロセスマップ画面で、マップに表示する プライマリメトリクス をリストから選択します。

2. オプション: 表示する セカンダリメトリクス を選択します。

タスクの結果

プロセスマップが自動的に更新され、メトリクスの選択が表示されます。ルート上のメトリックボックス( )の番号は、選択したメトリックに対応しています。

アクティビティと接続のフィルタリング

アクティビティビューと接続ビューを絞り込み、アクティビティとプロセスとの関連性に焦点を当てます。

プロセスマップ画面から、アクティビティと接続のスライダーを動かすことで、アクティビティに関連する差異の表示を増減を選択できます。

自動翻訳

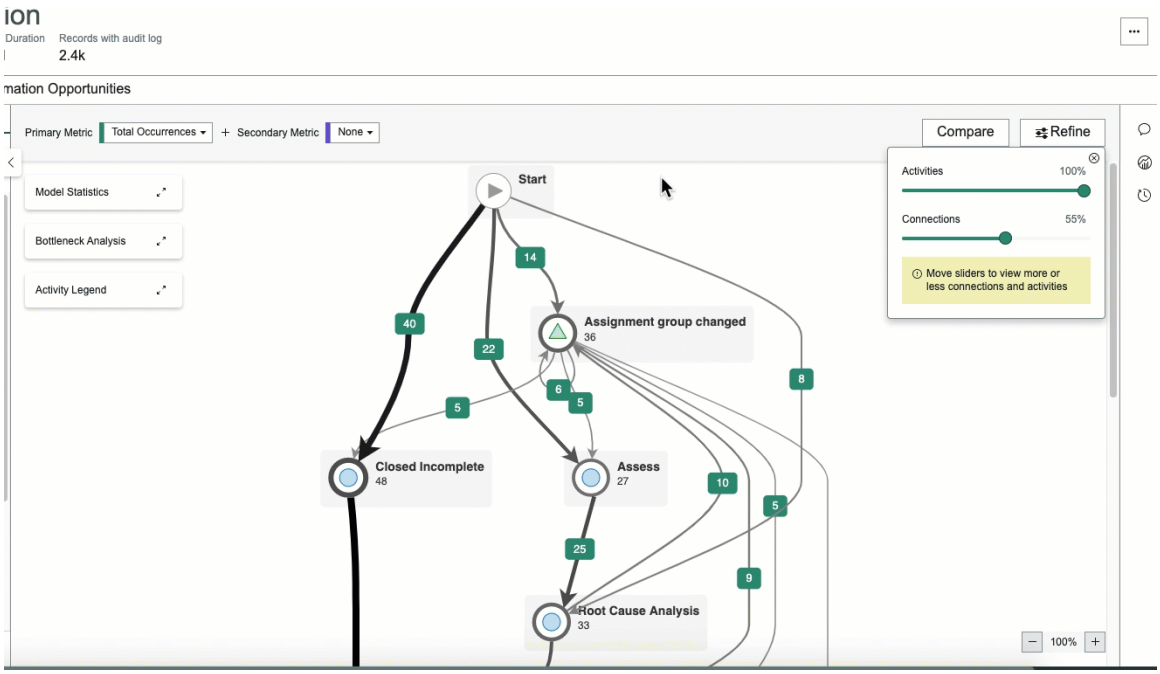
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ] スライダーを使用して、特定のアクティビティが特定のしきい値よりも多いまたは少ない頻度で合格するレコードにズームインします。

接続スライダーを使用して、ルート内のアクティビティシーケンスに従ったレコードの下限を拡大します。

注:

- プロセスマイニング は定義されたアクティビティごとに 5000 要素の制限を生成します。
- [アクティビティ] スライダーと [接続] スライダーの両方を最大範囲までスライドさせると、プロセスマップのレンダリングが影響を受ける可能性があります。マップのレンダリングを最適化するには、定義されているより多くのアクティビティをグループ化するようにプロジェクトを構成します。「アクティビティ定義の構成」を参照してください。



プロセスマップのさまざまなルートの接続を比較すると、幅が異なる場合があることがわかります。幅は、接続またはルートをたどったレコードの数の増減に対応します。

データフィルターとマップフィルターを設定

データフィルターとマップフィルターを設定して、要件に従ってデータに焦点を当てます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

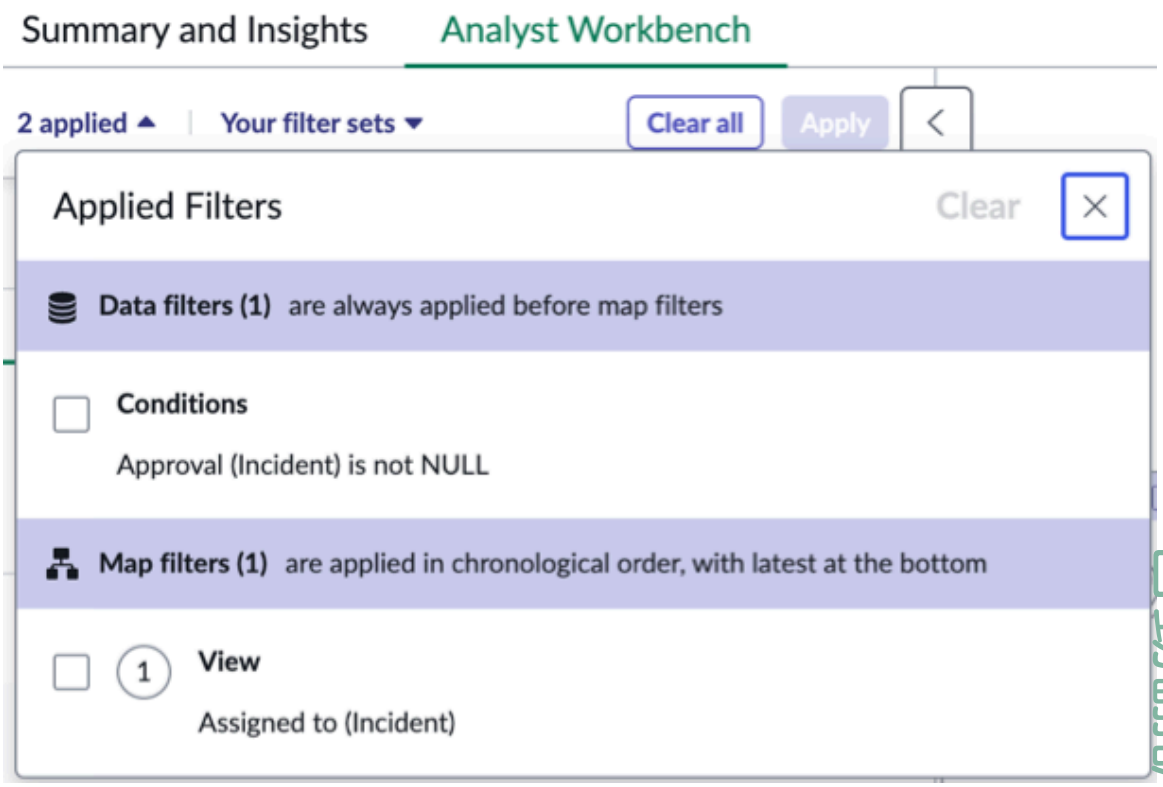
フィルターには次の 2 つのタイプがあります。

- データフィルター:データフィルターは常にマップフィルターの前に適用されます。これらは任意の順序で適用でき、結果は変更されません。それらは順序付けられていません。すべての詳細データフィルター、ブレークダウンフィルター、バリアントフィルター、検出結果、オートメーションディスカバリーフィルターがデータフィルターとしてリストされます。
- マップフィルター:マップフィルターは時系列で適用され、[最新] が一番下に表示されます。それらは順序付けられています。すべての移行フィルター、繰り返しフィルター、ビュー条件、および切り抜き条件がマップフィルターとして一覧表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. **[Analyst Workbench]** タブを選択します。
4. フィルターリストには、プロジェクトに適用されているフィルターが表示されます。



5. 任意のフィルターを選択し、[クリア] を選択してフィルターを削除します。

メトリクスとアクティビティ移行の表示

定義したメトリクスとアクティビティ移行を表示します。

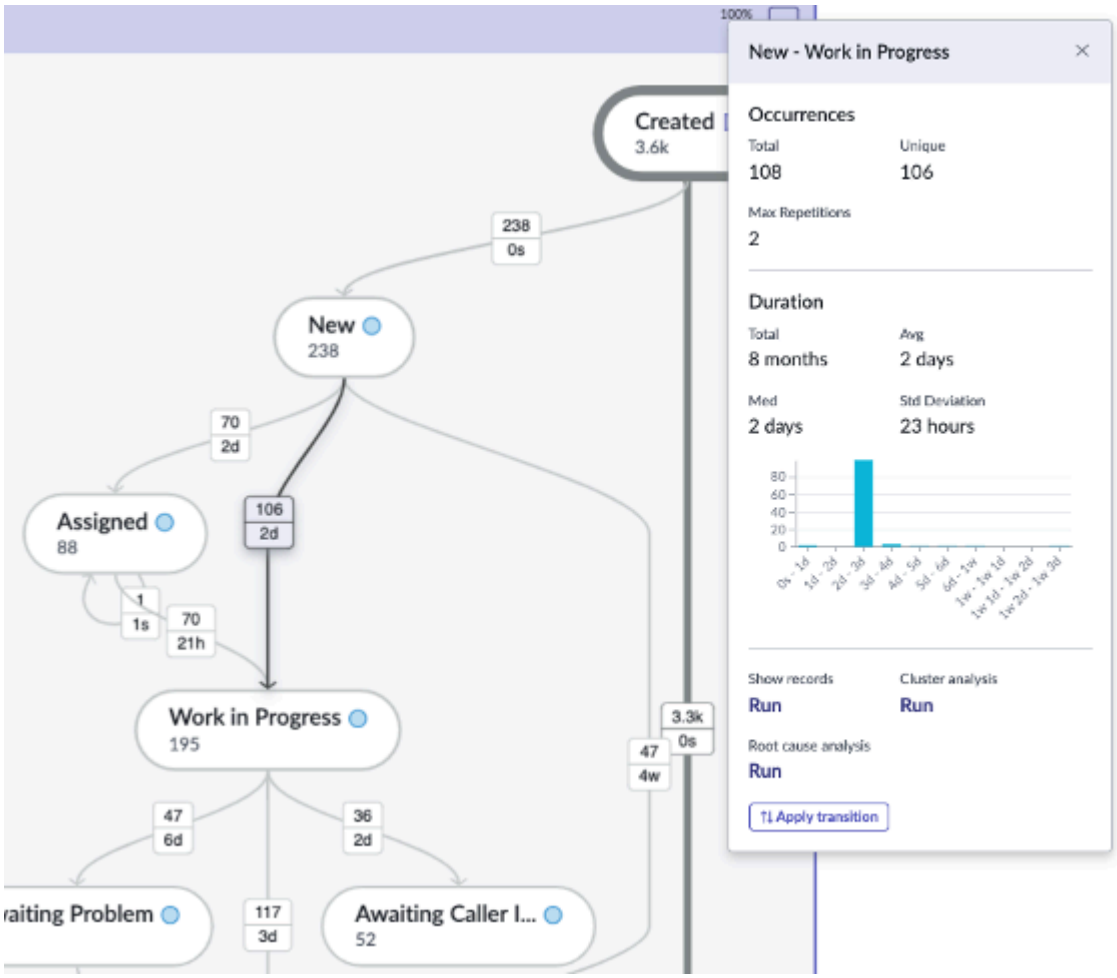
メトリクスを表示

選択したメトリクス、またはアクティビティまたは接続のメトリクスの完全なリストを表示します。ルート上のメトリック ボックス ( ) には、プロセス マップに表示するように選択されたプライマリおよびセカンダリ メトリックが表示されます。

アクティビティまたは接続を選択すると、メトリクスの完全なリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクティビティ移行の表示

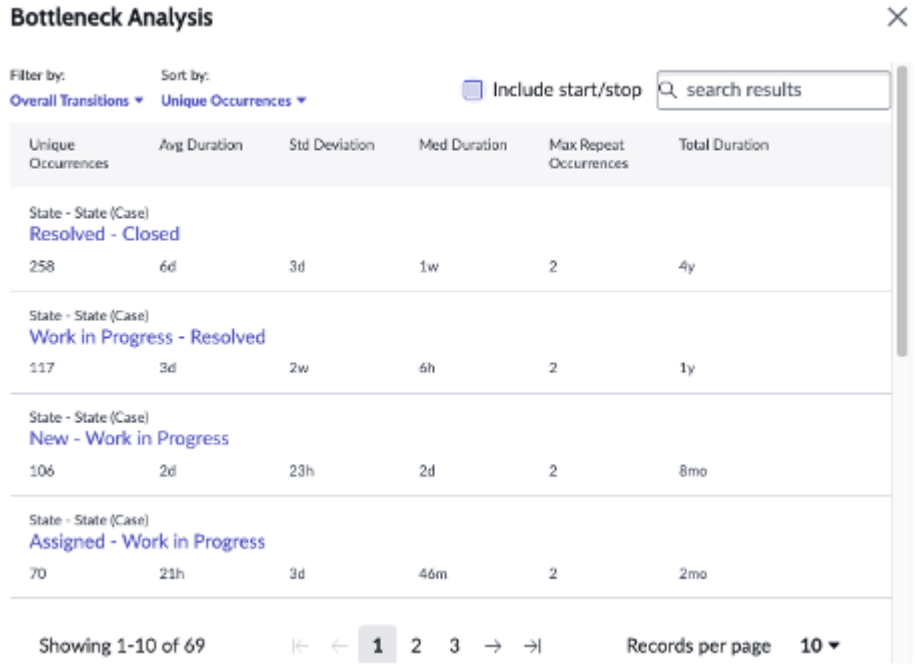
ボトルネック分析機能から定義したアクティビティ移行を表示します。

[ボトルネック分析] ボックスを展開すると、これらの特定のメトリクス全体および指定されたアクティビティ状況の上位 5 つの移行が表示されます。

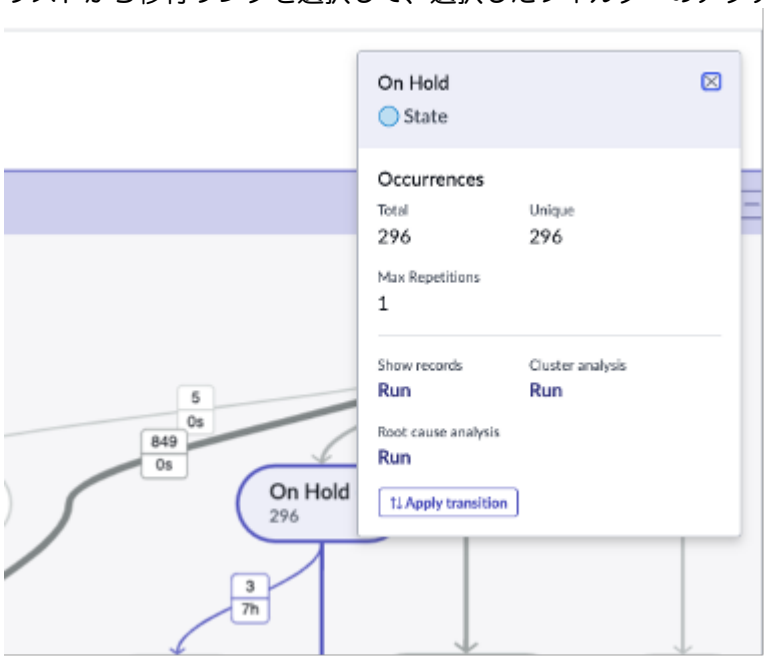
- 一意の発生
- 最大繰り返し発生件数
- 平均時間
- 合計時間
- 合計発生件数

リストから選択した移行とメトリクスを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



リストから移行リンクを選択して、選択したフィルターのアクティビティを編集します。



関連情報

アクティビティへの移行フィルターの適用

アクティビティまたは接続のレコードの表示

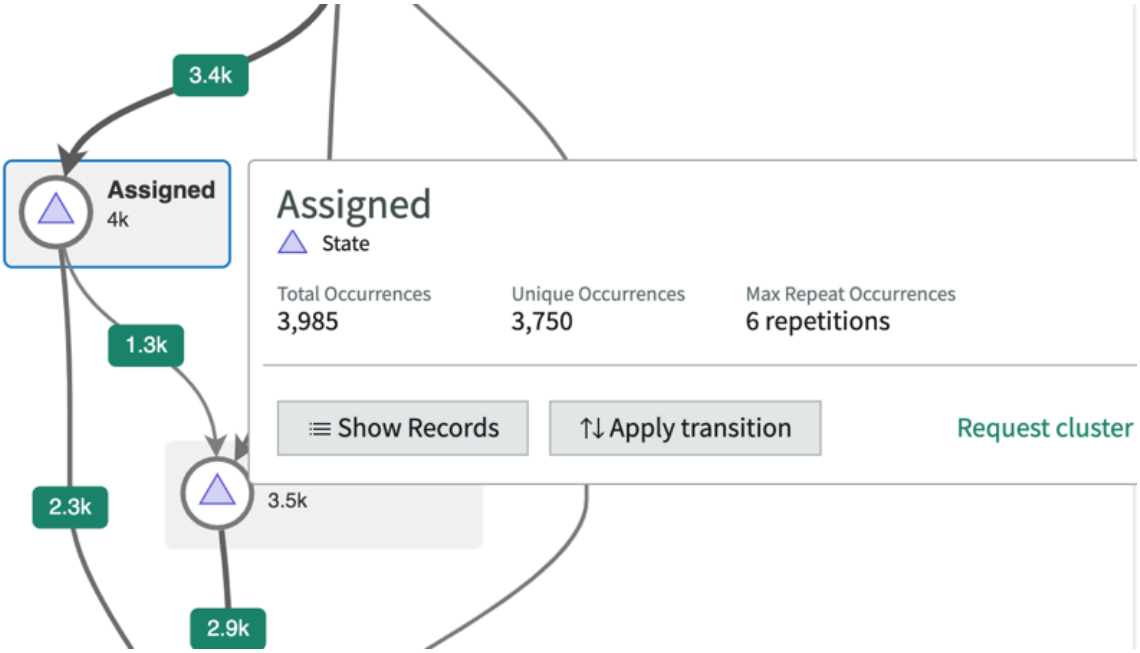
データをより詳細に分析するには、アクティビティまたは接続を通過したレコードのリストを参照してください。

ルート上のアクティビティまたは接続を選択して、メトリクスボックスを表示します。その後、[レコードを表示] を選択して、それを通過したレコードのリストを開くこともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
アクティビティまたは接続に対して返された最大 100,000 件のレコードの [レコードを表示] リンクが表示されます。アドミニストレーターは、promin.show_records.limit システムプロパティを追加して、この制限を変更できます。sn_process_optimization_analystロールには、promin.show_records.limit システムプロパティへの読み取りアクセス権が必要です。プロパティの追加手順については、「 システムプロパティの追加 」を参照してください。



プロジェクトへのメモの追加

プロジェクトのメモを追加、表示、削除して、タスク、アイデア、インサイトを管理します。他のユーザーにタグ付けして、メモを表示するように通知します。

プロジェクトの概要パネルから、メモを追加したり、プロジェクトに関連付けられたメモのリストを表示したりできます。

注:
メモを追加または削除するには、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin ロールが必要です。

メモの表示

プロジェクトに投稿されたメモを確認します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

メモは、メインプロセスまたはリンクされたプロセスから表示できます。メモは、メモが作成されたプロセスマップを編集または削除できます。

注:
メモは比較ビューには表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. メモを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、メモアイコン( )を選択してメモパネルを開きます。
3. [表示] リストから、次のオプションを 1 つ以上表示するかどうかを選択します。
   - 現在のモデルのメモ :現在表示しているプロセスで作成されたメモを表示します。
   - メインモデルメモ :リンクされたプロセスから、メインプロセスで作成されたメモを表示します。
   - すべてのリンクされたメモ - メインプロセスとリンクされたすべてのプロセスで作成されたすべてのメモを表示します。

メモを追加

後でレビューするためにプロジェクトにメモを追加します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. メモを追加するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、メモアイコン( )を選択してメモパネルを開きます。
3. [新しいメモ] を選択し、ボックスにメモを入力します。
   メンションすることで、メモで誰かの注意を引くことができます。通知するユーザーごとに、ユーザーの名前を含む@mentionを追加します。メモが保存されると、ユーザーにメール通知が送信されます。
4. オプション: [スナップショットを添付] をオンにして、現在のプロセスマップビューのスナップショットを追加します。
   ビューをスクロールして、スナップショットを作成する領域を含めます。プロセスマップ画像の拡大ビューまたは縮小ビューを追加するには、スナップショットとして追加する前に、メイン画面でマップをズームします。
   - スナップショットを追加すると、後で設定を復元するのに役立ちます。たとえば、メモに再度アクセスするときに、添付されたスナップショットをプレビューし、スナップショットが追加された時点での構成設定を確認できます。プロジェクトを同じ状態に複製する方法がわかります。
   - リンクされたプロセスを表示すると、メインプロジェクトとリンクされたプロジェクトの両方のスナップショットがメモに追加されます。
5. [**Post** (投稿)] を選択します。

メモを編集

プロジェクトメモを更新します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

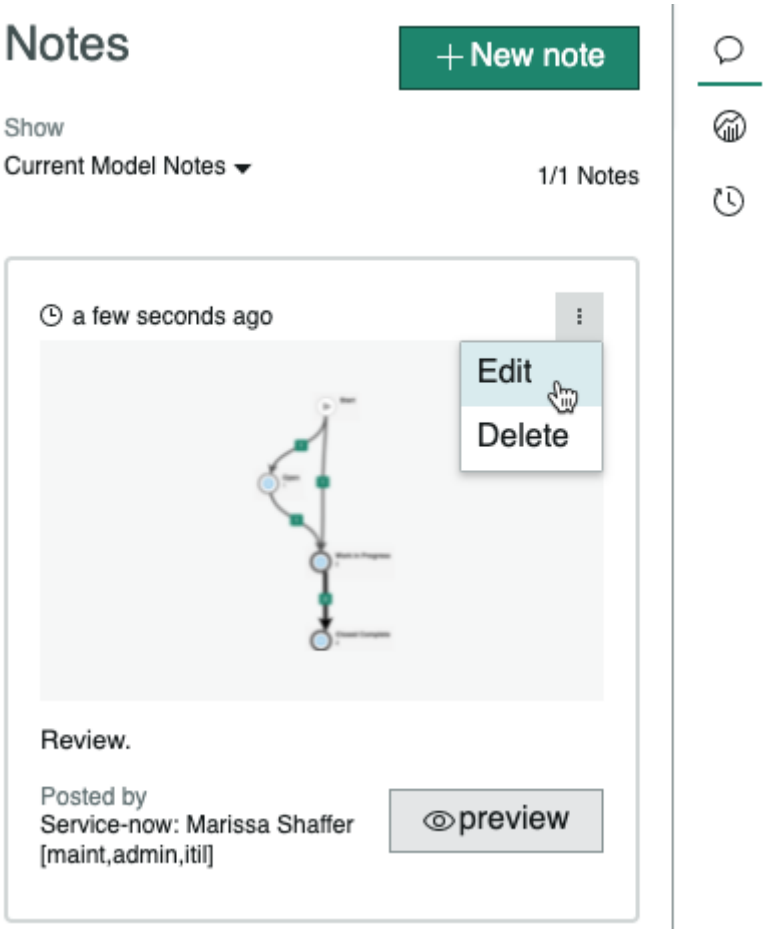
このタスクについて
メモは、作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プロジェクトビューから、メモアイコン( )を選択します。
2. [メモ] パネルから、メモのコンテキストメニューを選択し、[編集] を選択します。



3. メモを編集した後、[更新] を選択します。
   更新が更新されたリストに表示されます。

メモを削除

解決したら、プロジェクトメモを削除するか、削除する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
メモは、作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから削除できます。ノートを削除してもそのノートは破棄されず、プロジェクトビューから除去されるだけです。メモのレコードには、[関連リスト] セクションの [メモ] タブから引き続きアクセスできます。

手順

1. プロジェクトビューから、メモアイコン( )を選択します。
2. [メモ] パネルから、メモのコンテキストメニューを選択し、[削除] を選択します。
3. [はい] を選択して確定します。
   メモがリフレッシュされたリストから削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スナップショットの表示

プロジェクトに投稿されたプロセスマップのスナップショットをレビューします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

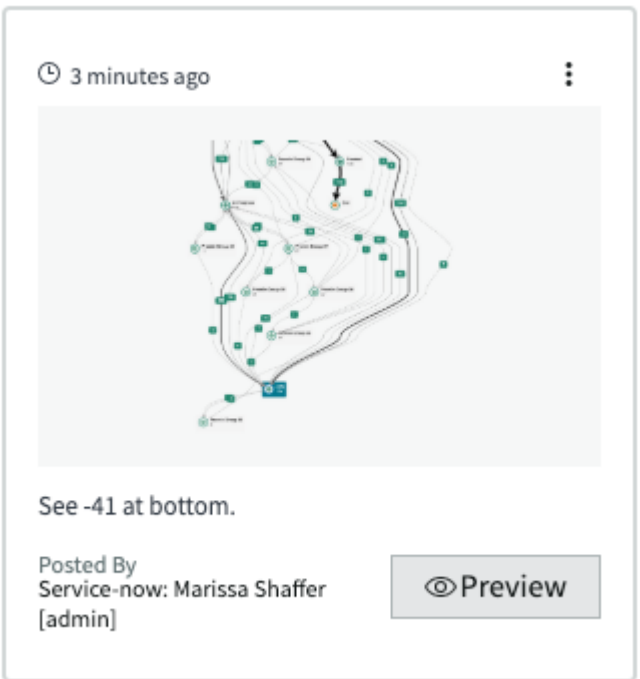
このタスクについて

スナップショットは、スナップショットが追加された時点でのプロセスマップとその構成設定を確認するのに役立ちます。メインプロセスマップとリンクされたプロセスマップから、またはそれらのプロセスマップのスナップショットを表示できます。

> **注:**
> このタスクでは、メモが作成されたプロセスマップからスナップショットを表示する方法について説明します。「プレビュー」**(Preview)** オプションは、別のモデルで作成された注記には使用できません。

手順

1. スナップショットを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、メモアイコン( )を選択してメモパネルを開きます。
3. メモの [プレビュー] ボタンを選択します。
   スナップショットは、そのモデルの統計情報とともにメインマップウィンドウにプレビューを表示します。



   - プレビューマップでは、プライマリメトリクスとセカンダリメトリクスのビューを調整したり、表示するアクティビティと接続を選択したり、ズームインおよびズームアウトしたりできます。ただし、スナップショットプレビューからフィルターとルートを表示することはできません。
   - スナップショットは更新できません。
4. スナップショットのプレビューの表示が完了したら、[プレビューの停止] を選択して前のマップツールとフィルター ツールに戻るか、別のスナップショットのプレビューを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

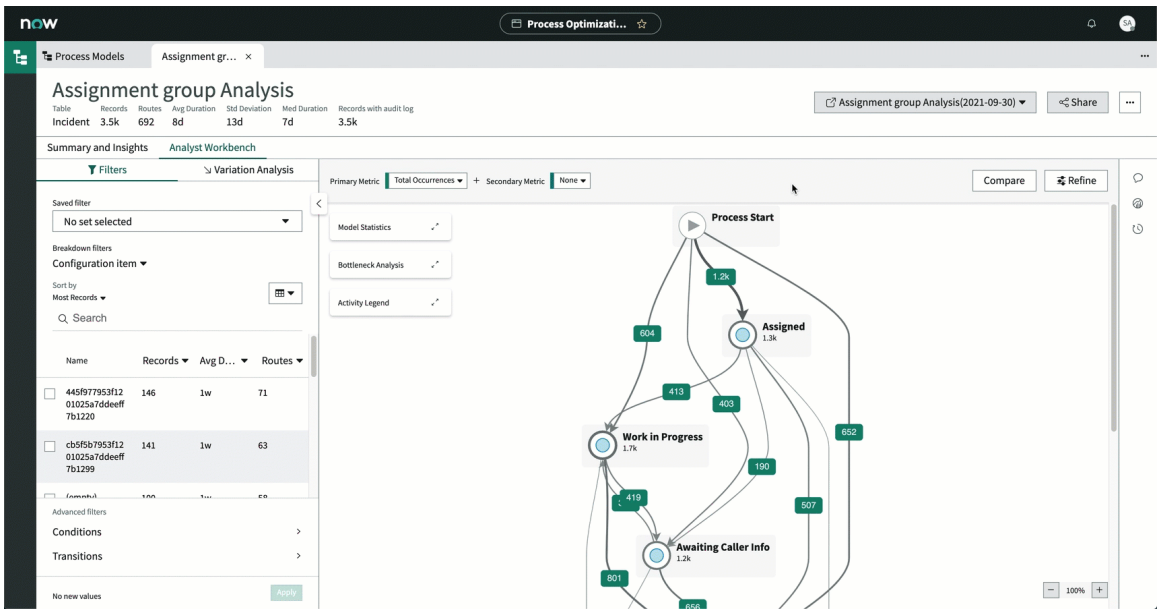
プロジェクトの比較

プロジェクトを並べて比較することで、パフォーマンスの違いや理想的なルートからの逸脱を調査できます。

マネージャーは、地域チーム間のパフォーマンスを比較して、ある地域で他の地域よりも平均解決時間が短縮された理由を理解したいと考えています。プロセス比較機能を使用して、マネージャーはプロセスマップにブレークダウンとフィルターを適用し、ボトルネックを調査します。マネージャーは以下を比較します。

- 場所や前の期間全体でのチームのパフォーマンス。
- 採用率と逸脱に関するインサイトを得るための理想的なルートに反対する地域。

プロジェクトを比較すると、同じプロジェクトの 2 つのバージョンまたはシナリオを同時に分析できます。比較するときは、プロジェクトバージョンを選択したり、さまざまなフィルターを設定したり、表示するルートを選択したり、レコードを個別に表示したりできます。



プロジェクト比較ビューから、各マップのアクティビティと接続を絞り込むことができます。フィルターとルートを適用し、それらの間の統計情報を比較することもできます。

比較を開始

プロジェクトの比較を並べて開始します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

メインプロジェクトまたはリンクされたプロジェクトの比較を実行できます。

手順

1. 比較するプロジェクトを選択します。
2. **Analyst Workbench**内のプロセスマップから、**[Compare]** を選択します。
   メインプロセスまたはリンクされたプロセスから比較ビューにアクセスします。
3. 次のいずれかのルートを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [フィルターの適用] を選択して、比較するフィルターまたはルートを選択します。
- [バージョンの比較] からプロジェクトバージョンを選択します。

4. [フィルターを適用] を選択した場合は、次のいずれかのアクションを実行します。

a. [フィルター] パネルから、比較するブレークダウンフィルターと詳細フィルターから選択します。

b. [バリアント分析] パネルから、比較するルートを選択します。

5. フィルターを選択した場合は [適用] を選択し、比較するルートを選択した場合は [ルートを表示] を選択します。
フィルターが適用された 2 番目のモデルがメインモデルの横に表示されます。ブレークダウンフィルターのアイテムも、適用されたルートに従ってフィルタリングされます。

> **注:**
> フィルターを適用した後、ウィンドウの右上隅にあるセレクターを使用して、別のモデルバージョンを表示できます。

次のタスク
2 つのプロジェクト間の移行または統計を比較します。

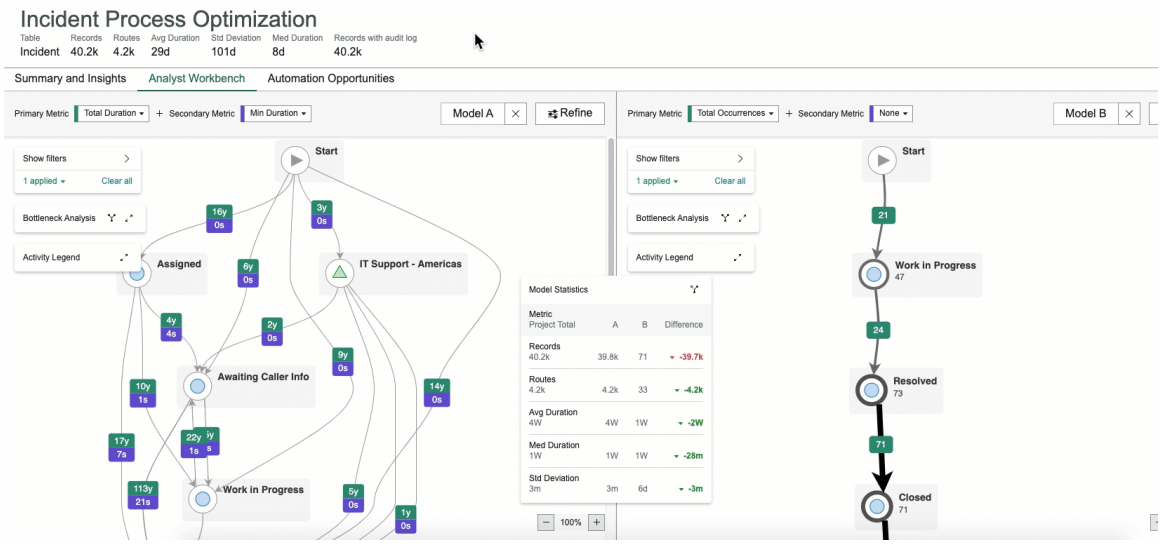
2 つのプロジェクト間の統計情報と移行の比較

2 つの並列プロジェクトのレコード、ルート、平均ケース期間、および移行を比較します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

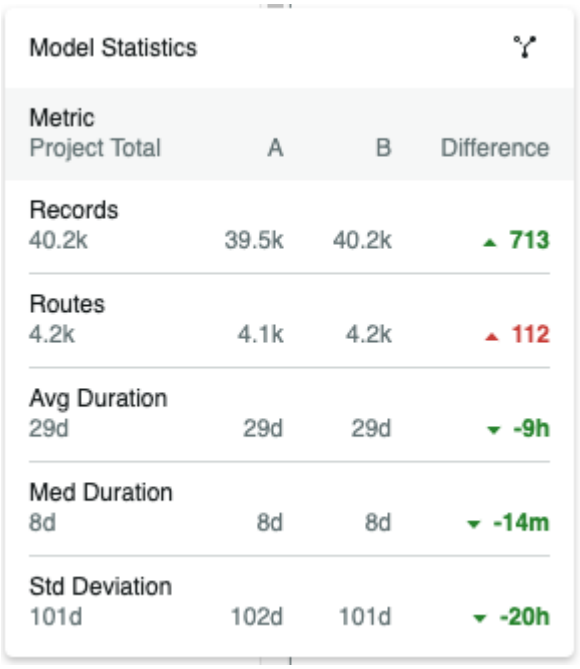
1. いずれかのプロジェクトでボトルネック分析テーブルを展開し、結合/分割アイコン( )を選択して、結合されたテーブルに両方のプロジェクトの統計または移行を表示します。



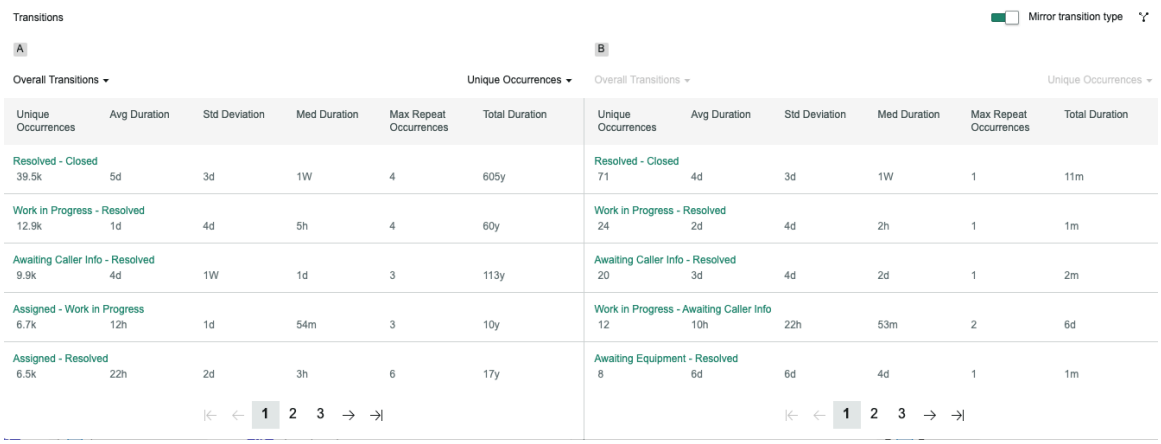
結合された統計テーブルには、各プロジェクトのレコードとルートの数、平均ケース期間の統計、およびそれらの間の差分統計が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



結合されたトランジションテーブルには、プロジェクトごとに表示するように指定した 全体的なトランジション または ステータストランジション が並べて表示されます。[移行タイプをミラーリング] トグルを有効にすると、移行タイプとメトリクスが同じ両方のプロジェクトが自動的に表示されます。トグルを無効にして、プロジェクト間で異なる移行タイプとメトリクスを選択できるようにします。



2. 各プロジェクトの統計表を対応するマップに再配置するには、分割アイコン( )を選択します。

次のタスク
比較ビューからのレビューが完了したら、表示を停止するプロジェクトの 比較ビューの停止 アイコン ( ) を選択します。残りのプロジェクトは、適用したフィルターを含むメインビューとして表示されます。

プロジェクトバージョン名の変更

表示および比較するときに参照しやすいように、プロジェクトバージョンの名前を変更します。

始める前に
必要なロール：administrator

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. 編集する名前のバージョンを持つプロジェクトを選択します。
3. 画面の右上隅にある省略記号(...)メニューを選択し、[バージョンの編集]を選択します。
4. [バージョンの編集] リストで、名前を選択して変更するバージョンを選択します。
5. [プロジェクト定義バージョン] フォームの [名前] フィールドにプロジェクトバージョンの新しい名前を入力します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動化された根本原因分析

自動化された根本原因分析を使用して、プロセス内で非効率性が発生する場所と理由を見つけます。

自動化された根本原因分析により、特定のプロセスパフォーマンスが発生する理由と場所が特定されます。これにより、問題の根本原因を解決するための適切なアクションを実行できます。また、どの属性が影響しているかも理解できます。

> **注:**
> 自動化された根本原因分析は、レコード数が 100 件を超える場合にのみ使用できます。

インサイトから、または Analyst Workbench 内の特定のマップ接続から根本原因分析を実行します。

プロセスオーナーとアドミニストレーターは、自動根本原因分析をカスタマイズして、分析するフィールドを指定し、オプションで分析を自動的に実行するように構成できます。

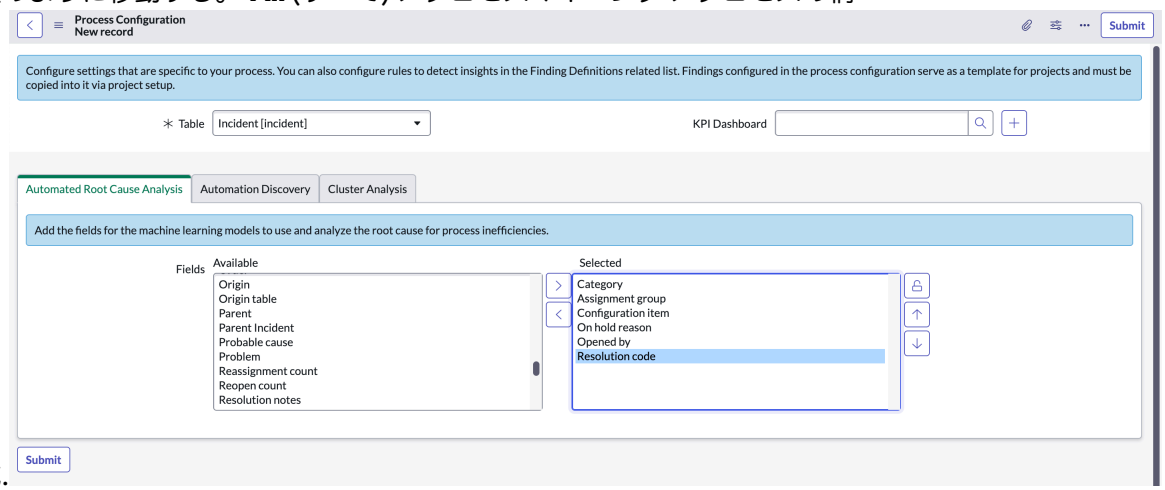
自動根本原因分析の構成

プロセス構成情報レコードから自動根本原因分析を構成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成.



2. 自動根本原因分析を構成するプロセス構成を開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

または、 新規 を選択して新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「クラシックビューで設定する クラシックビューを使用してプロセス構成を作成 」およびガイド付きプロセス構成設定から設定する 調査機能の構成 を参照してください。

3. [自動根本原因分析] タブで、分析に含めるフィールドを選択します。
4. [送信] または [更新] を選択します。

タスクの結果
自動根本原因分析がテーブルに設定されています。

自動化された根本原因分析レポートの実行

自動化された根本原因分析を実行して、プロセスを最適化します。

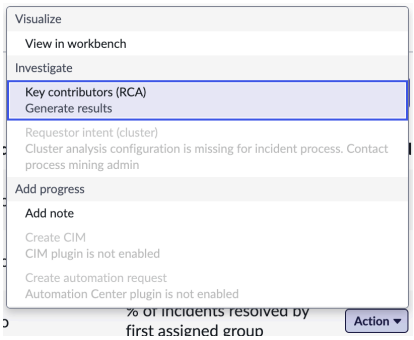
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順

1. 次のいずれかの場所から自動根本原因分析を実行します。

プロジェクトを開きます。

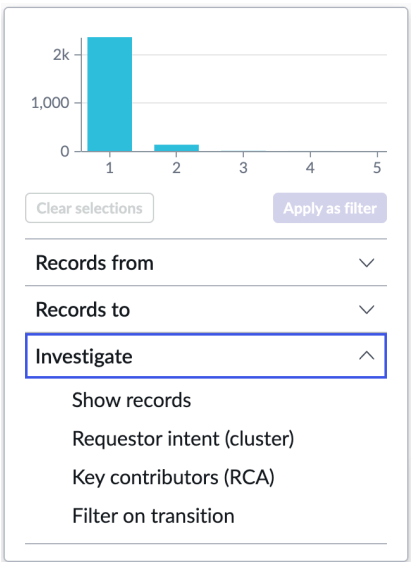
[サマリーとインサイト] ページで、[改善の機会] セクションに移動します。利用可能な改善機会から、[アクション] > [主要貢献者 **(RCA)]** を選択します。



プロジェクトを開きます。

[Analyst Workbench] ページで、ノードまたはコネクタを選択します。

ポップアップウィンドウで、[主要な貢献者 **(RCA)>**調査] を選択します。



根本原因分析タスクの実行が開始されます。分析が完了すると、通知が表示されます。画面の右側にある [スケジュール設定済みの) を選択すると、タスクの進捗状況の更新を表示できます。

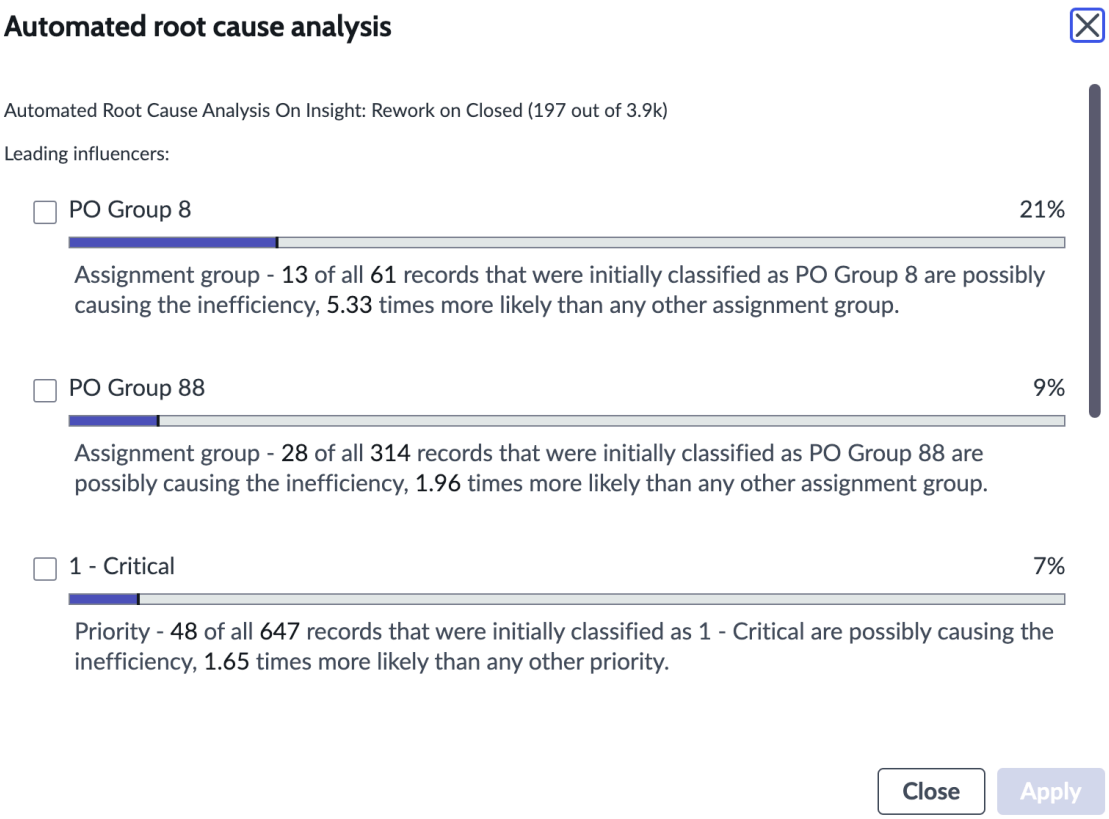
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. 根本原因分析が完了したら、Analyst Workbench のスケジュール設定済みタスクパネルで [結果を表示] を選択します。

   [サマリーとインサイト] ページから [結果を表示] を選択することもできます。

   根本原因分析結果は次のようになります。



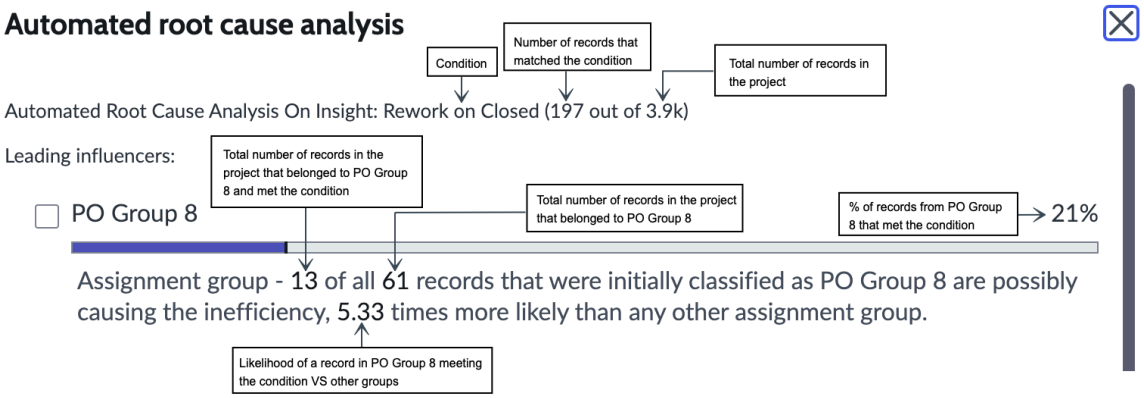
自動翻訳

自動化された根本原因分析のレビューと解釈

分析レポートをレビューし、パフォーマンスの問題の根本原因を把握します。この情報を使用して、プロセスを最適化します。

> **注:**
> 結果を確認して解釈するには、自動化された根本原因分析を実行しておく必要があります。詳細については、「自動化された根本原因分析レポートの実行」を参照してください。

自動化された根本原因分析の結果を次のように読んで理解する必要があります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

上記の例では、根本原因分析は [やり直し] タイプの検索定義で実行されます。レコードが [クローズ済み] ステータスになった後にやり直しが行われたレコードを調べています。これは、レコードが [クローズ済み] ステータスの後に [プロセス終了] に進まない理由を示しています。

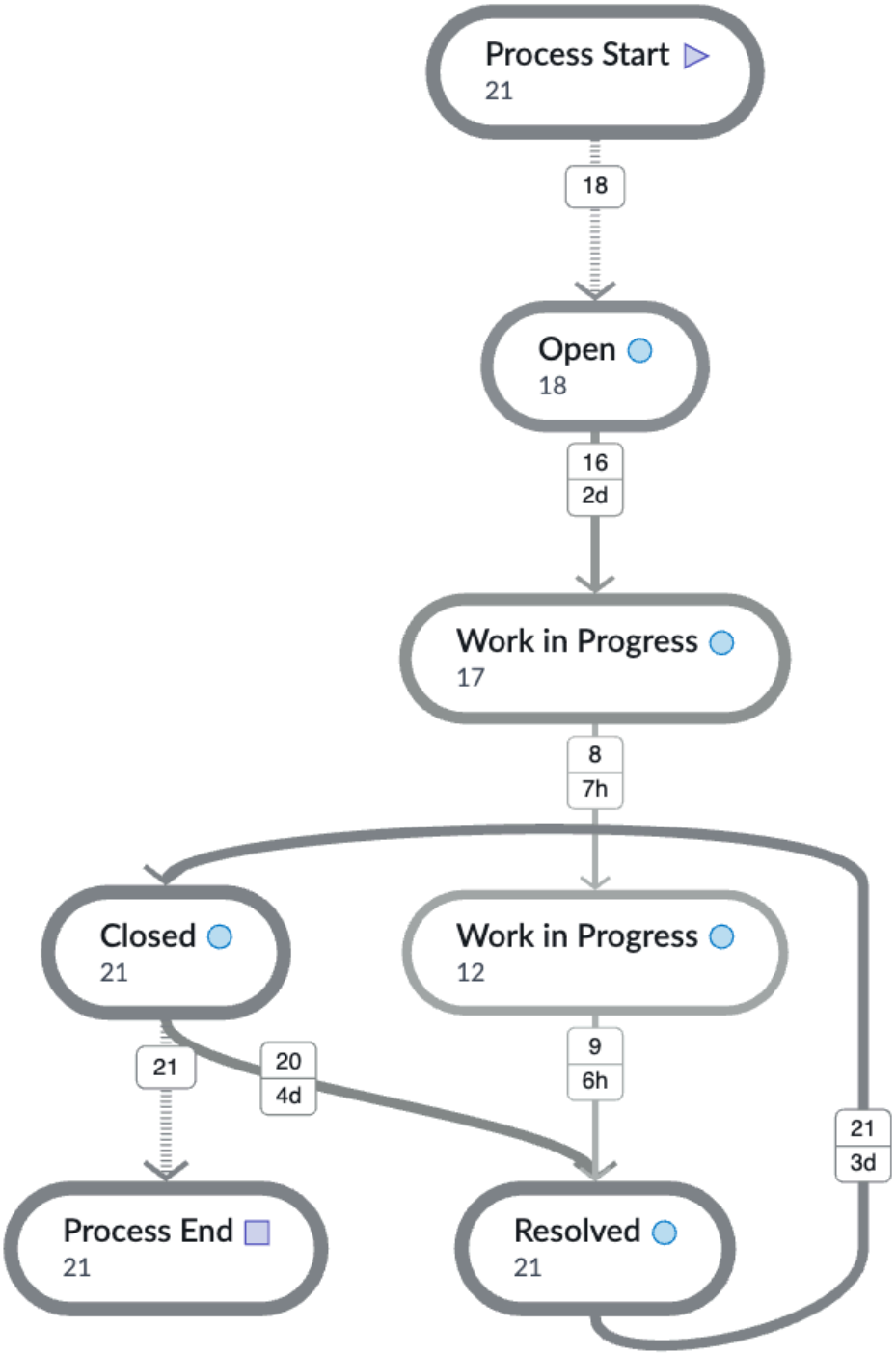
この分析によると、最初に PO グループ 8 に割り当てられたインシデントのうち 13 件は [クローズ済み] ステータスでやり直しが行われました。この数は、PO グループ 8 に割り当てられ、このプロジェクトの一環としてマイニングされたインシデントの総数の 21% に相当します。最初にこのグループにアサインされたインシデントは、クローズ済みステータスでやり直す可能性が他のどのグループよりも 5.33 倍高くなります。

結果を解釈した後、特定のインフルエンサーを選択して、そのインフルエンサーの詳細を表示できます。インフルエンサーを選択し、[適用] を選択します。別のスケジュール済みタスクが開始され、[スケジュール済みタスク] パネルで進行状況と結果を表示できます。

この例では、PO グループ 8 が適用されている場合、次のような結果が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このグラフから、[プロセスの終了] に進む前に一部のレコードが [クローズ済み] から [解決済み] に移行する理由を分析できます。

クラスター分析

アクティビティ、接続、改善の機会、またはルーティングを潜在的なボトルネックとして特定する場合は、キーワードの説明とアサイン先グループのクラスターを表示してインサイトを取得します。

クラスター分析では、類似したレコードをクラスター (1 つのグループ) にグループ化して、パターンを識別できるようにします。データセットは、指定されたラベルに基づくグループ化ではなく、さまざまな自然な類似グループに分類されます。この教師なし機械学習手法により、関連のないケースやレコードがプロジェクトの一部になるのを防ぐことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
クラスタリングは、100～300,000 のレコード数で使用できます。

クラスタリングの仕組みの概念的な例を使用してみましょう。自動車修理工場では、顧客は多数のサービスオプションから選択できます。ゼネラルマネージャーは、最も使用頻度の低いサービスを特定したいと考えています。マネージャーは、これらの領域を担当するスペシャリストの数を減らすことでコストを削減したいと考えています。マネージャーは、キーワードの説明とサービス カテゴリ領域のビューを生成するクラスター分析を開始します。サービスアクティビティの類似したグループのクラスターが生成された後、マネージャーは、限られた数のサービスを使用する顧客グループの、より小さく、よりパターン化されたデータセットを保持します。マネージャーは、より詳細な分析のために、より小さなデータセットにさらにフィルターを適用します。

クラスタリングソリューションのプロセスの構成

クラスター分析を生成できるようにプロセスを構成します。

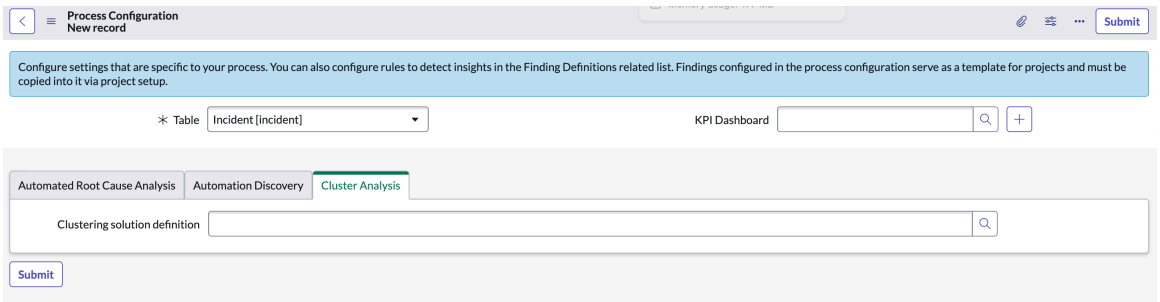
始める前に

注:

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_admin ロールと sn_process_optimization_power_user ロールは、クラスタリングソリューション定義をプロジェクトに関連付けることはできますが、定義を作成することはできません。
  - sn_process_optimization_analystロールは、クラスタリングソリューション定義を表示できますが、定義を作成、編集、関連付け、または削除することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. クラスター分析を構成するプロセス構成を開きます。
   または、 新規 を選択して新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「クラシックビューを使用してプロセス構成を作成」を参照してください。



3. [クラスター分析] タブで、[クラスターリングソリューション定義] フィールドから検索アイコンを選択します。
4. [クラスタリング定義] リストから既存の定義を選択するか、[新規] を選択して新しいクラスタリングソリューション定義フォームを作成します。
   - アドミニストレーターロールとml_adminロールは、新しいクラスターリングソリューション定義を作成できます。
   - 新しい定義を作成する場合は、「 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング 」のガイダンスに従ってフィールドを構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
   クラスタリングソリューション定義は、選択したテーブルのプロセスに関連付けられています。

次のタスク
クラスター分析の実行

クラスター分析の実行

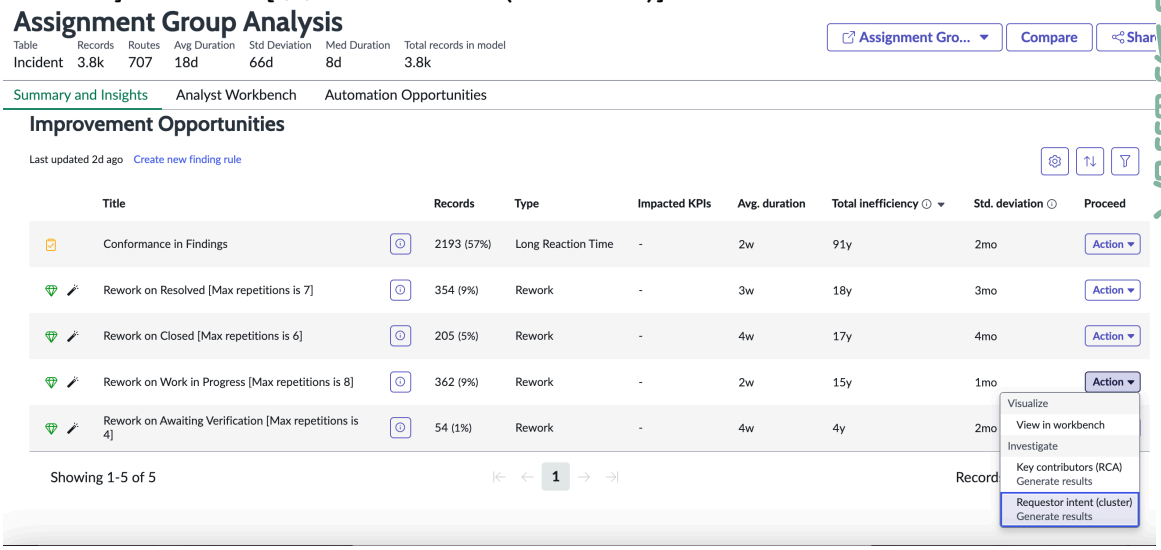
アクティビティ、アクティビティ間の接続、ルート、または改善の機会に関するクラスター分析を生成します。

事前準備

- クラスタリングソリューションのプロセスの構成. クラスター分析を生成するには、関連するテーブルでクラスタリングソリューションを使用して構成されたプロセスが必要です。
- 必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin
- 分析は、アクティビティ、接続、改善の機会、または最小 100、最大 300,000 レコードの結合ルートに対して実行できます。

次のいずれかの方法でクラスター分析を実行します。

- [サマリーとインサイト] ページから:
  1. [改善の機会] セクションから、結果を選択します。
  2. [アクション] リストで、[要求者インテント (クラスター)] を選択します。



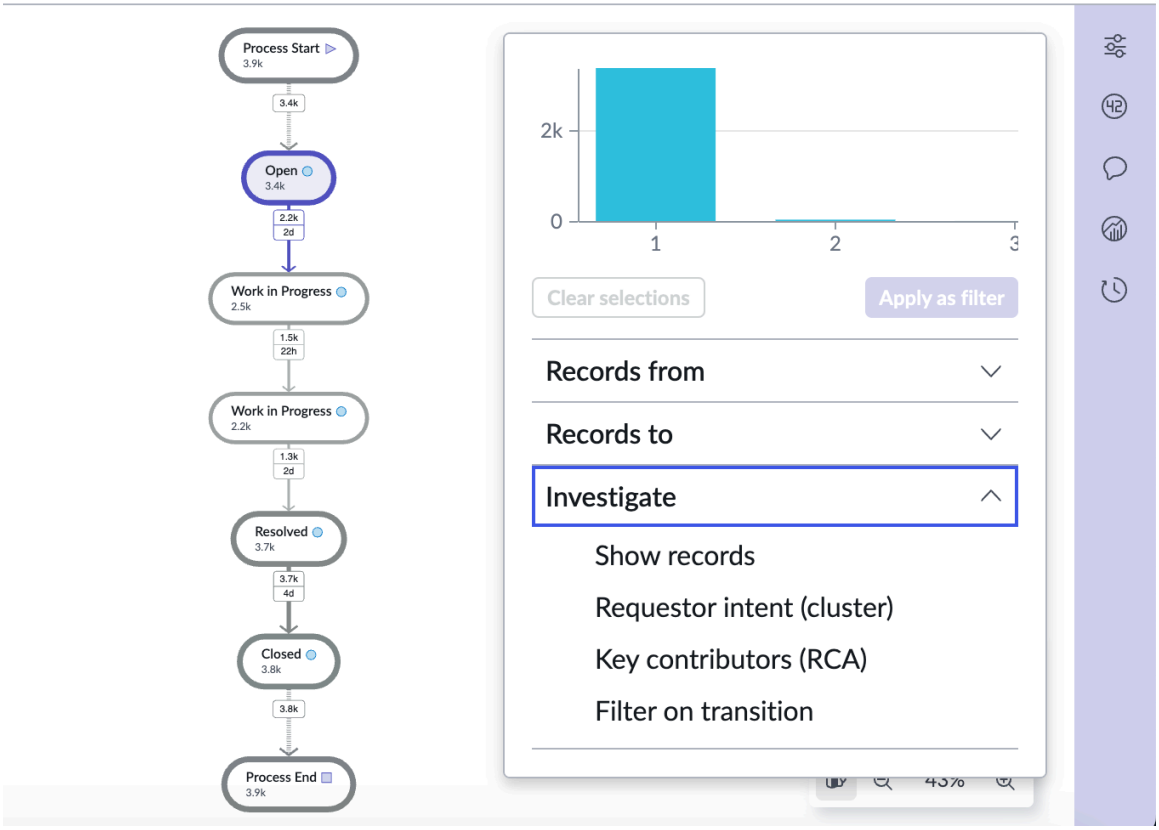
す。

> **注:**
> 要求のステータスは、タスクが完了するまで [処理中] と同じオプションに表示されます。

- プロセスマップのアクティビティまたは接続から:
  1. クラスター分析を実行するアクティビティまたは接続をプロセスマップから選択します。
  2. [メトリック] ボックスから、 **[** > リクエスタのインテント (クラスター) を調査する] を選択します。

     タスクがバックグラウンドで実行されているという通知が届きます。通知は閉じることができます。タスクが完了すると、通知されます。詳細は [スケジュール設定済みのタスク] ウィンドウで確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [スケジュールされたタスク] パネルまたはクラスター分析が要求された [メトリック] ボックスから、[生成の完了後に 結果を表示] を選択します。

関連情報

クラスター分析の表示

クラスター分析要求を再送信

構成の問題またはクラスタリングソリューションの変更が発生した場合は、フォローアップのクラスター分析をスケジュールできます。

始める前に

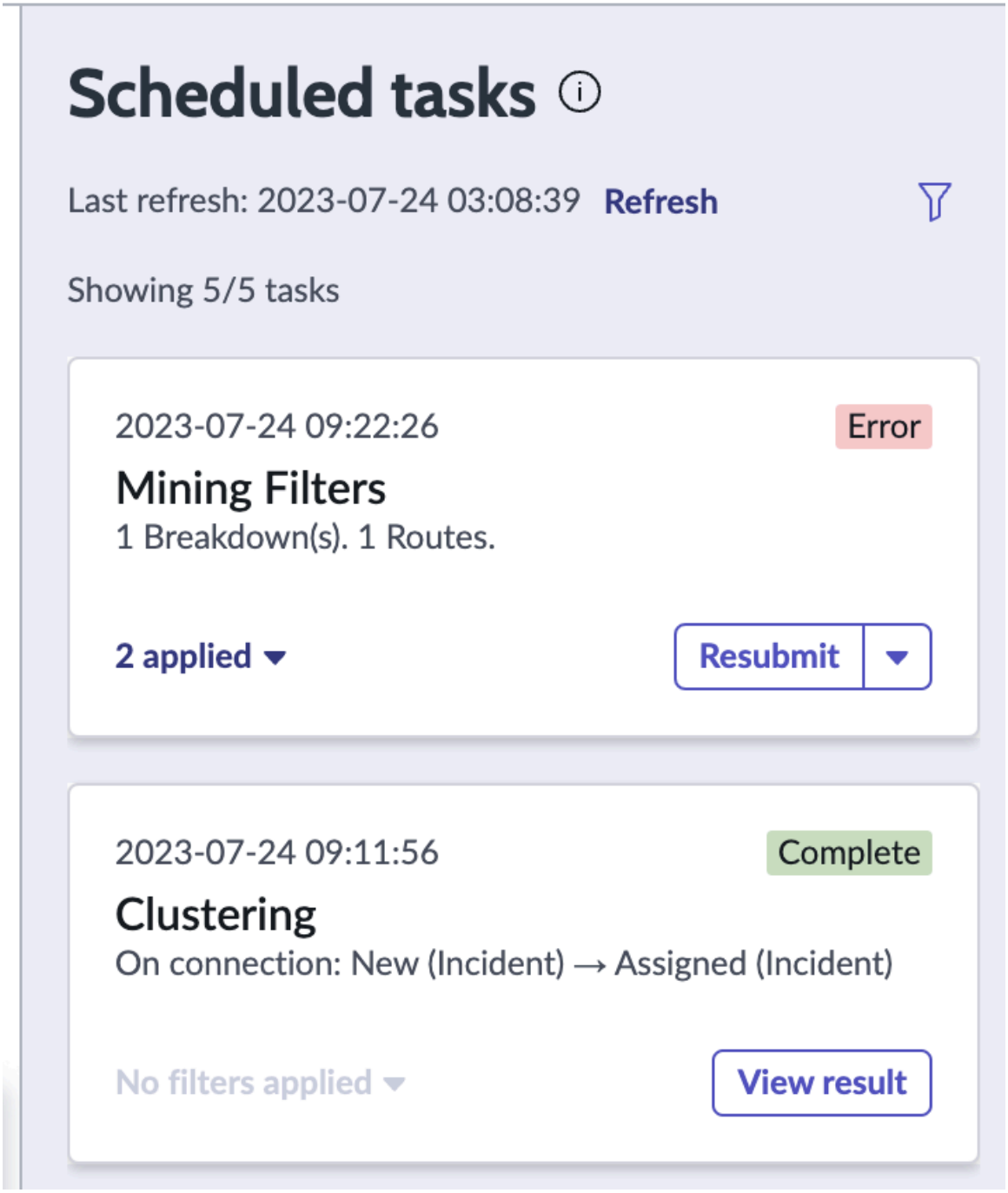
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [スケジュール設定済みのタスク] パネルで、更新された分析を生成するアクティビティまたは改善の機会に対して [再送信] を選択します。



前のクラスター分析要求の詳細を表示するには、 [エラーの詳細の表示] を選択します。[エラーの詳細を表示] をクリックすると、失敗したタスクの ML ソリューションフォームに移動します。

2. タスクが完了したら、[結果の表示] を選択します。

次のタスク

ツリーマップでのクラスターの表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスター分析の表示

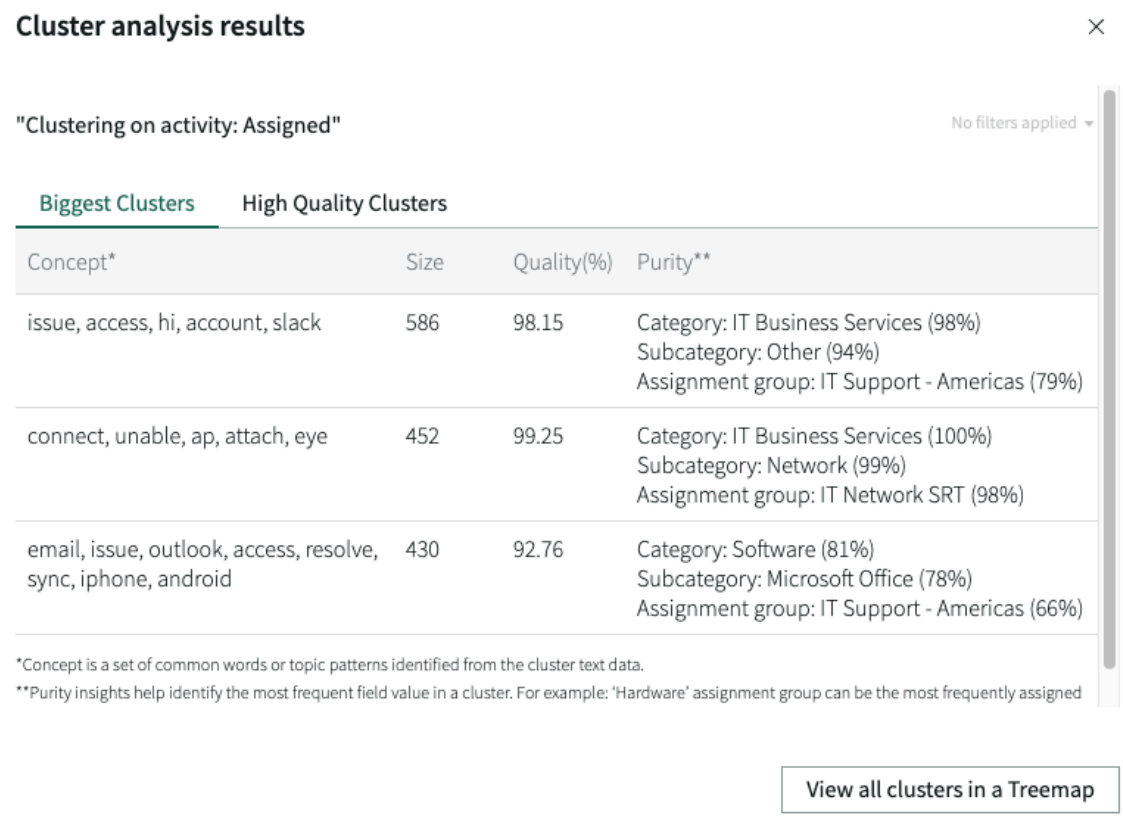
アクティビティ、アクティビティ間の接続、またはルートの上位 3 つのクラスターのクラスター分析を表示します。

次のいずれかの方法で、完了したクラスター分析を表示します。

- クラスター分析が実行されたプロセスマップから接続またはアクティビティを選択します。メトリック ボックスで、 [表示] を選択します。
- [スケジュール設定済みのタスク] パネルで、[選択したクラスタータスク の結果を表示] を選択します。
- [サマリーとインサイト] ページで、表示するインサイトのボックスで [要求者インテント (クラスター) 結果を表示] を選択します。

クラスター分析結果

[クラスター分析結果] ダイアログには、上位の最大のクラスターと高品質のクラスターが表示されます。



結果ダイアログには、接続またはアクティビティのタイトル、または解析が実行されたルートの数が表示されます。結果には、上位の最大かつ高品質のクラスターに関するこれらの統計が表示されます。

コンセプト	クラスター内で見つかった最も顕著な単語またはコンテンツのリスト。クラスターに含めるレコードをシステムが識別するのに役立つ入力フィールドタイプとして [簡単な説明] を使用しました。したがって、上記のクラスター分析結果には、レコードの簡単な説明に最も頻繁に現れる単語が表示されます。

自動翻訳

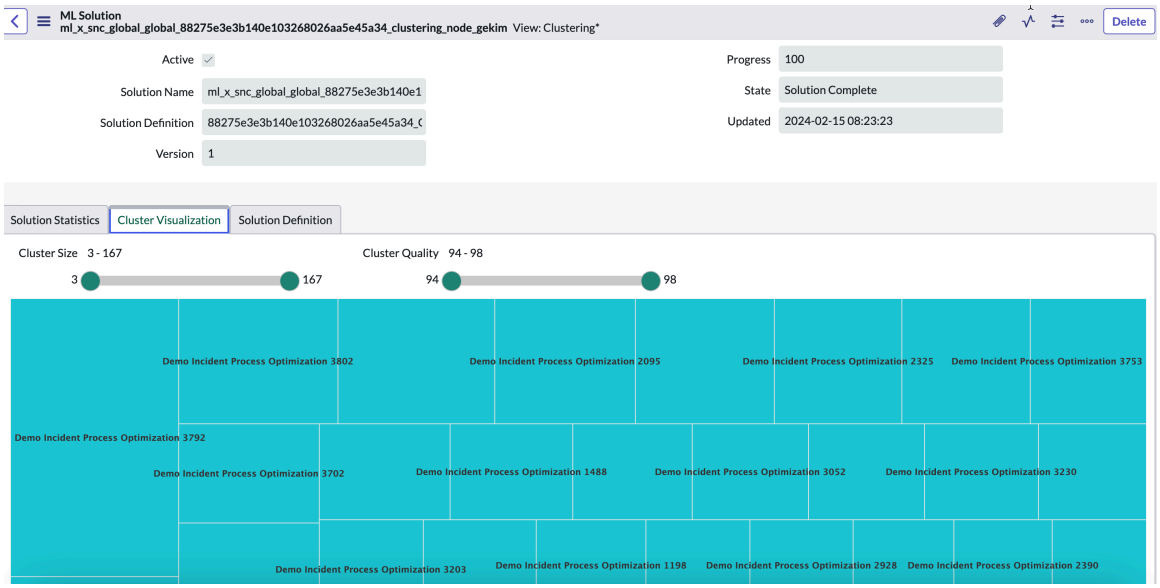
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズ	クラスター内のレコードの数。
品質	ケースの類似度のパーセンテージ値。
純度	分布の有意性に基づいて、クラスターに最も頻繁に表示されるクラスのメトリクス。純度のインサイトは、クラスター内で最も頻繁に使用されるフィールド値を特定するのに役立ちます。

ツリーマップでのクラスターの表示

結果ダイアログに一覧表示されている上位 3 つ以外のクラスター (存在する場合) を含むクラスターの詳細を表示するには、[ツリー マップ内のすべてのクラスターを表示] を選択します。

ツリーマップによるチャート化を使用すると、クラスターのさまざまな側面をよりよく理解し、最初に焦点を当てるクラスターを決定できます。ツリーマッププロットが [クラスター可視化] タブに表示されます。



ツリーマップの使用の詳細については、「 クラスタリング ソリューションの作成とトレーニング 」をご参照ください。

作業メモの分析

作業メモ分析は、作業メモとコメントに記録されているように、アクティビティ移行の背後にある運用上の理由を理解するのに役立ちます。一般的な例としては、「解決済み」から「対応中」への移行や、サービスデスクからスペシャリストグループへのアサイン先グループなどのアサイン先グループの変更などがあります。

作業メモを分析すると、移行の背後にある理由を明確にするのに役立ちます。このプロセスでは、移行が発生する直前と直後にエージェントと要求者が作成した作業メモを抽出します。その後、クラスタリング手法を使用して、類似した作業メモを含むレコードを分類します。

作業メモ分析には 2 つのタイプがあります。GenAI 機能を使用せずに、または GenAI 機能を使用してクラスタリングを実行できます。GenAI 機能で作業メモ分析を使用する方法については、「プロセスマイニング のNow Assistの使用」を参照してください。

注:
作業メモ分析は、100～300,000 件のレコード数で使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業メモ分析の構成

プロセステーブルの作業メモ分析を構成し、そのプロセステーブルに基づいてプロジェクトの作業メモ分析を表示します。

始める前に

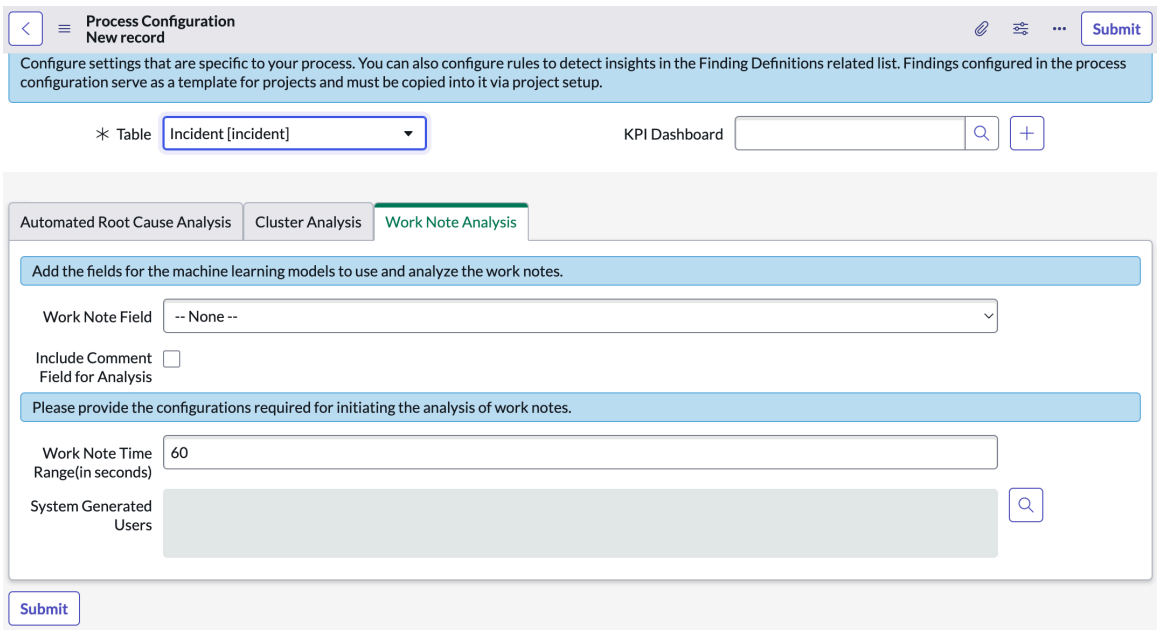
注:

- 1 つのプロセステーブルに対して 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、作業メモ分析定義をプロジェクトに関連付けることはできますが、定義を作成することはできません。
  - sn_process_optimization_analystロールは作業メモ分析定義を表示できますが、定義を作成、編集、関連付け、または削除することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. リストで利用可能なテーブルの作業メモ分析を構成する場合は、リストからテーブルを選択します。
   テーブルがリストされていない場合は、 新規 を選択します。詳細については、「クラシックビューを使用してプロセス構成を作成」を参照してください。

   注:
   プロセス構成ビルダーを使用した作業メモ分析の構成については、「 調査機能の構成」を参照してください。



3. [作業メモ分析] タブで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
作業メモフィールド	分析対象として考慮する作業メモフィールドを選択します。使用可能なオプションは、次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ なし:分析は利用できません。 ○ 追加コメント:分析が利用可能になり、コメントが要求者に表示されます。 ○ 作業メモ:分析は利用可能であり、コメントは履行者にのみ表示されます。
アナリシスにコメントフィールドを含める	メモとともにコメントを分析する場合に選択します。
作業メモの時間範囲(秒)	移行前後の作業メモを取得する時間間隔を秒単位で入力します。たとえば、60 秒を指定すると、移行時間の前後 60 秒に投稿された作業メモが分析でキャプチャされます。これは、分析のために最近の関連する作業メモをキャプチャするのに役立ちます。
システム生成のユーザー	システム生成作業メモに関連付けられているユーザー名を入力して、それらの特定のシステムユーザーによって作成された作業メモまたはコメントを除外します。システムで生成された作業メモには、移行の説明がないことがよくあります。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

作業メモ分析の実行

移行に関する作業メモ分析を生成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> **注:**
> 単語数が 5 語を超え 50 語未満の作業メモが分析で考慮されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストから、プロジェクトを選択します。
3. 任意の移行を選択します。
   すべての詳細を示すウィンドウが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

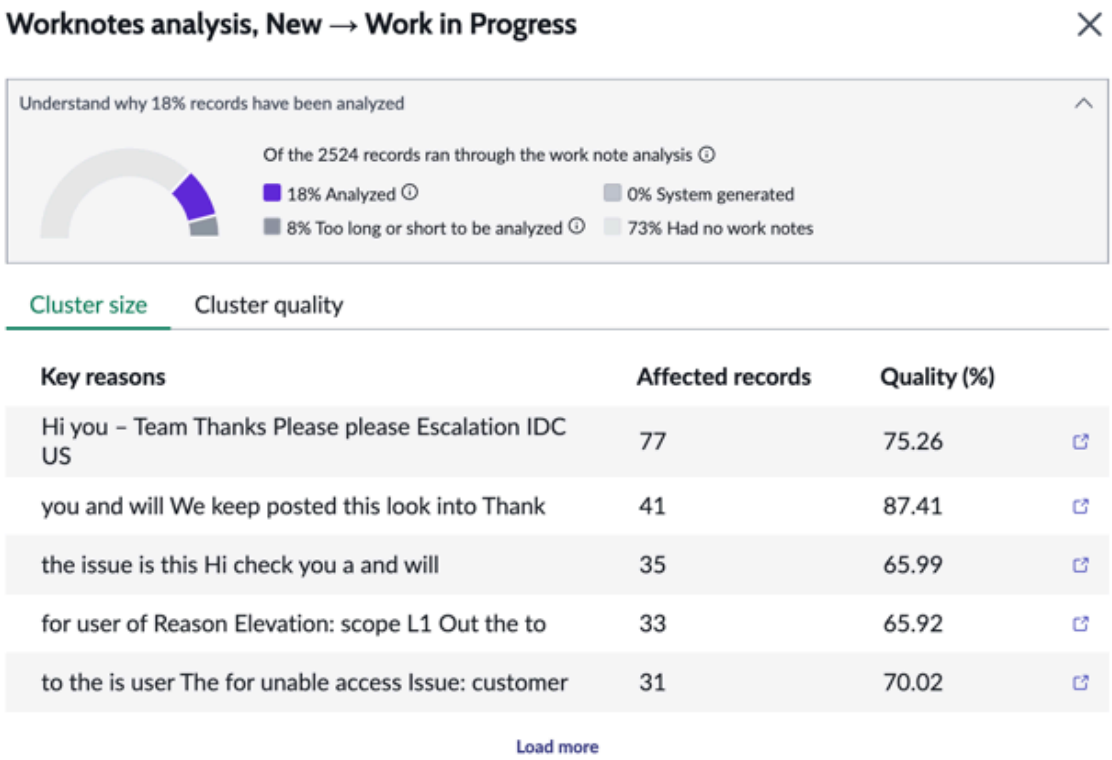


4. [調査] セクションから、[作業メモ分析] を選択します。
   スケジュール設定済みタスクが開始されます。
5. スケジュール設定済みタスクが完了したら、[結果の表示] を選択します。

   結果が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ ] を選択して、同じ理由のすべてのアイテムを表示します。

作業メモ分析を再送信

何らかの理由で作業メモ分析が失敗した場合は、再送信できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

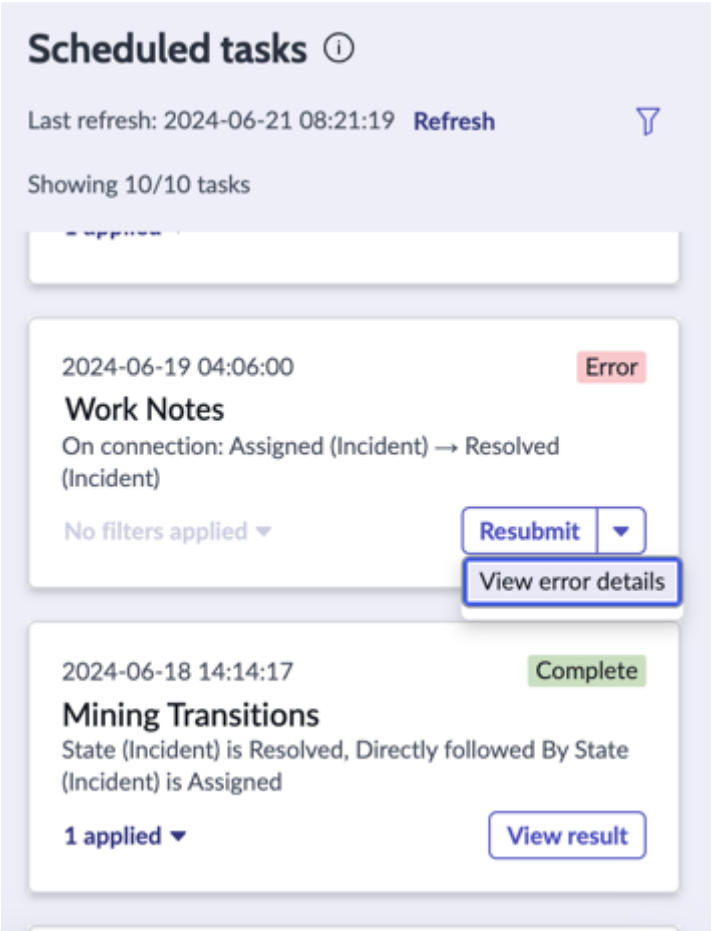
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストから、プロジェクトを選択します。
3. [スケジュール設定済みのタスク] ペインで、失敗した作業メモ分析の [再送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラーの詳細を表示するには、[エラーの詳細の表示] を選択します。



プロセスマイニング の **Now Assist**

ServiceNow Now Assist for プロセスマイニングを使用して、プロジェクトセットアップの時間を最小限に抑え、労力を最大化し、複雑さを軽減して、ボトルネックを特定し、プロセスの非効率性を解消します。エージェント移行作業メモの要約を通じて、非効率性の背後にある運用上の問題を明確に把握できます。

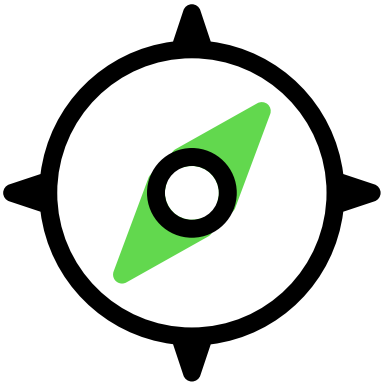
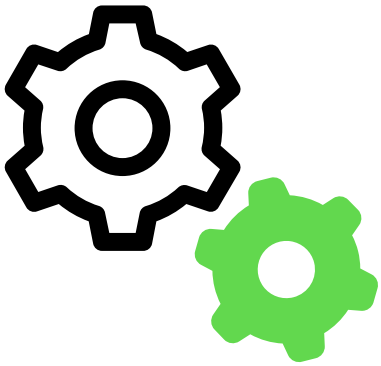
重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始めましょう

探索	構成	使用
		
の Now Assist 機能について説明しますプロセスマイニング	プロセスマイニングのNow Assist を有効にしてスキルを構成します	作業メモを特定し、非効率性に関するインサイトを生成します

役に立つリソース

役立つ情報を提供できる ServiceNow リソースは次のとおりです。

- ServiceNow コミュニティ
  ServiceNow コミュニティ
- Customer Success Center
  Customer Success Center
- ディベロッパー
  developer.servicenow.com
- Impact
  http://impact.servicenow.com
- ServiceNow University
  ServiceNow University
- Now Create
  Now Create
- パートナー
  https://www.servicenow.com/partners.html
- 支える
  - https://support.servicenow.com/now
  - 既知のエラーポータル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは プロセスマイニングの作業メモに関する情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

プロセスマイニング の**Now Assist**の詳細

ServiceNow Now Assist for プロセスマイニングを使用して、プロジェクトセットアップの時間を最小限に抑え、労力を最大化し、複雑さを軽減して、ボトルネックを特定し、プロセスの非効率性を解消します。

プロセスマイニング の **Now Assist** の概要

非効率的な移行の根本原因を特定することは困難で時間がかかります。そのため、移行ごとに多数のレコードを手動で調べる必要があります。プロセスに何千もの移行があるため、このタスクは膨大になり、機会を逃すことにつながります。

この機能には、プロセスマイニングと GenAI の両方でお客様がアクセスできます。アクティブ化して構成すると、 Now Assist for プロセスマイニング は LLM を使用して非効率的な移行に関連するすべての作業メモを分析し、移行の最も重要な理由を提供します。この機能は、 プロセスマイニング ワークスペースとプラットフォームアナリティクス PM コンポーネントに表示されます。

移行分析ジョブが開始されると、移行のレコードから関連する作業メモが収集されます。作業メモはクラスターにグループ化され、クラスターごとに 1 つの LLM コールを使用して、移行が発生した理由を説明します。

作業メモ分析スキル

Now Assist for プロセスマイニング には、作業メモ分析スキルが含まれます。Now Assist for プロセスマイニングを使用するには、このスキルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「作業メモ分析スキルをアクティブ化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次に探索する内容

Now Assist for プロセスマイニング の構成と使用の詳細については、以下を参照してください。

- プロセスマイニング 向けNow Assistの設定
- プロセスマイニング のNow Assistの使用

プロセスマイニング 向け**Now Assist**の設定

プロセスマイニング機能を使用するためのNow Assistを構成します。

構成の概要

最初のスキルのプロセスマイニングにNow Assistを使用する方法を構成します。

- 作業メモ分析スキルをアクティブ化
- での作業メモ分析の構成 プロセスマイニング

Now Assistプロセスマイニングプラグイン用

生成 AI 機能を使用するには、 Now Assist for Creator が必要です。Now Assist for Creator のインストール方法については、「Install Now Assist for Creator」を参照してください。

Now Assist for Creator がインストールされると、プラグイン (プロセスマイニング の場合はNow Assist) と生成 AI コントローラーが自動的にインストールされます。

作業メモ分析スキルをアクティブ化

作業メモ分析スキルを有効にして、プロセスマイニングにNow Assistを使用できるようにします。

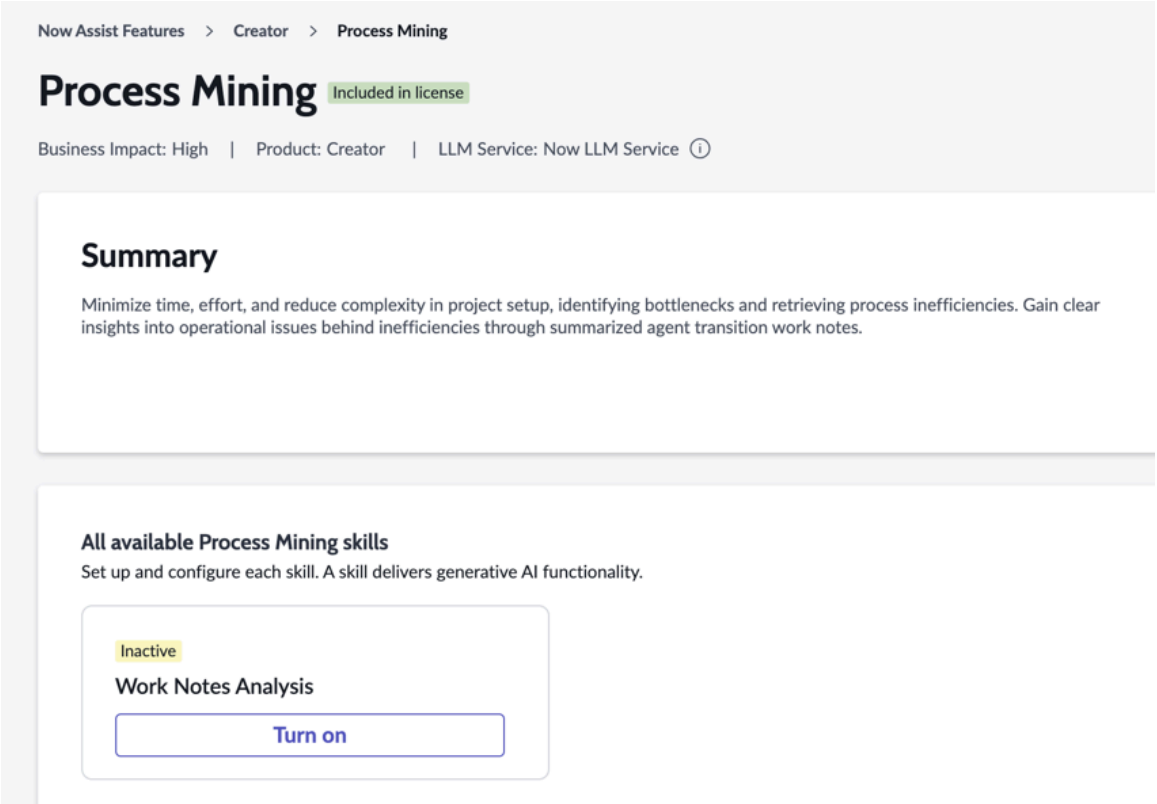
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能.
2. **[Creator** (作成者)]を選択します。
3. プロセスマイニングカードで [詳細を表示] を選択します。
4. 作業メモ分析スキルで [オンにする] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スキルがインスタンスに対してアクティブ化されます。

での作業メモ分析の構成 プロセスマイニング

プロセステーブルの作業メモ分析を構成して、プロセステーブルに基づくすべてのプロジェクトに作業メモ分析が構成されるようにします。

作業メモ分析を構成する詳細な手順については、「 調査機能の構成」を参照してください。

作業メモ分析の動作方法を決定するシステムプロパティがあります。システムプロパティの詳細については、「 作業メモ分析プロパティ」を参照してください。

プロセスマイニング の**Now Assist**の使用

移行時に作業メモ分析を実行して作業メモを特定し、作業の再アサインの原因となる非効率性、課題、およびその他の理由に関するインサイトを生成します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

作業メモ分析の実行

移行に関する作業メモ分析を生成します。作業メモ分析をトリガーするには 50 件の移行レコードが必要であり、25 件の作業メモが対象である必要があります。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin および now.assist.creator ロールが必要です。

注:
単語数が 5 語を超え 100 語未満の作業メモが分析で考慮されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのリストから、プロジェクトを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 任意の移行を選択します。
   すべての詳細を示すウィンドウが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

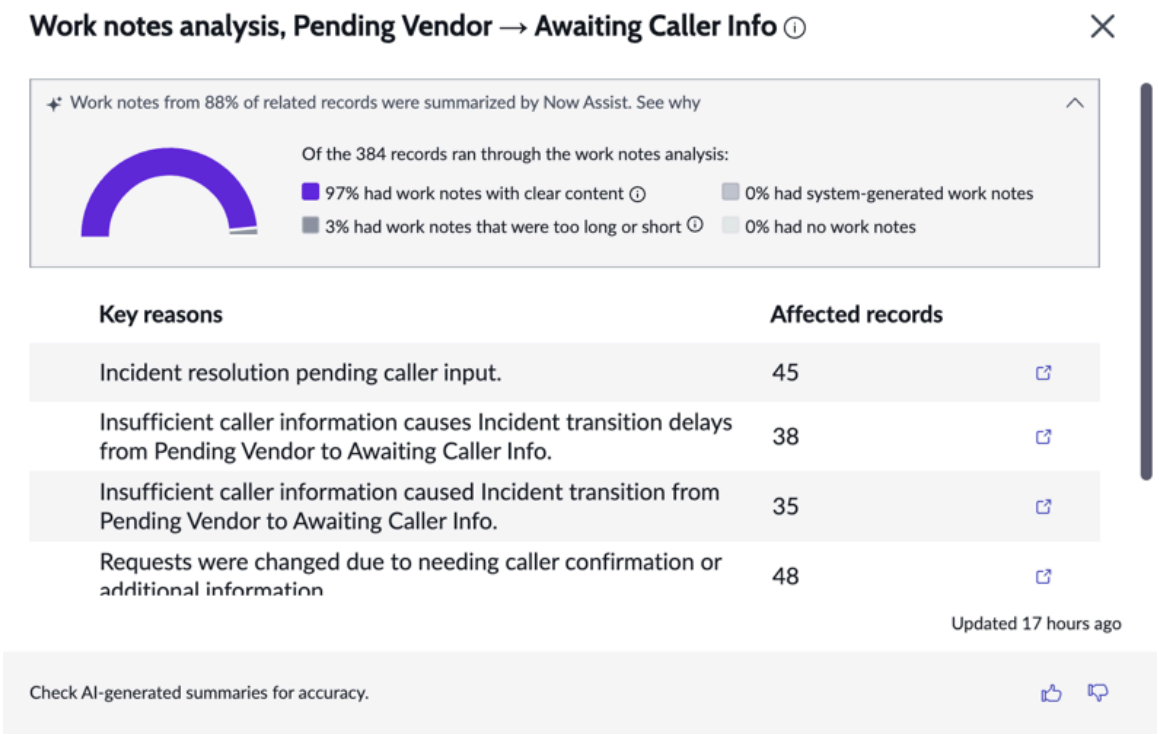


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [調査] セクションから、[作業メモ分析] を選択します。
   スケジュール設定済みタスクが開始されます。
5. スケジュール設定済みタスクが完了したら、[結果の表示] を選択します。

   結果が表示されます。



   賛成アイコンと反対アイコンを使用して、受け取った結果に対するフィードバックを提供します。

改善イニシアチブの作成と追跡

プロセスマイニングアプリケーション内から改善イニシアチブを表示、作成、および関連付けます。

改善イニシアチブには、成功を測定するための目標と、フェーズが含まれます。フェーズには、改善を完了するための特定のアクションを持つタスクが含まれます。

改善イニシアティブを表示、作成、または関連付けるには、継続的改善管理プラグインをアクティブ化する必要があり、ユーザーはイニシアティブを表示または作成する権限を持っている必要があります。

イニシアチブリストの表示

プロセスプロジェクト用に作成された、またはプロセスプロジェクトに関連付けられた改善イニシアチブのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルでイニシアチブアイコン ( ) を選択します。
   各イニシアチブの CIM ID、簡単な説明、作成の詳細、および現在のステータスを示すイニシアチブのリストが表示されます。以下のことを行うことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 次を表示するかどうかを選択します。
  - 現在のモデルのイニシアチブ:現在表示しているプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
  - メインモデルイニシアチブ:リンクされたプロセスから、メインプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
  - リンクされたすべてのイニシアチブ:メインプロセスで作成されたすべてのイニシアチブとリンクされたすべてのプロセスを表示します。
- 必要に応じて、リストを作成日、作成者、またはステータスの昇順または降順でソートします。
- 特定のイニシアティブを検索するには、簡単な説明または CIM 番号に 3 文字以上続く文字を検索フィールドに入力します。

3. オプション: イニシアチブのコンテキストメニューを選択して、詳細を表示、編集、または削除します。

からの改善イニシアティブの作成 プロセスマイニング

プロセスマイニング で分析しているプロジェクトに関連付けられた改善イニシアチブを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. 次のいずれかの方法で、新しい改善イニシアチブフォームを開きます。
   - 概要パネルメニュー を選択し、[新しい改善イニシアチブ] を選択します。
   - [メモとイニシアチブ] パネルから:

   a. イニシアチブアイコン ( ) を選択します。

   b. 選択 作成/挿入 > 新しいイニシアチブ
   新しい改善イニシアチブフォームが別のタブに表示されます。
3. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「 改善イニシアチブを作成する 」を参照してください。
4. オプション: サポートドキュメントを添付する場合は、[参照] を選択してファイルを選択します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
6. プロジェクトビューで、[イニシアチブ] アイコンを選択してリストを更新します。

タスクの結果

プロジェクトに対して作成された改善イニシアティブを表示できます。

次のタスク

レコードを変更するには、CIM レコードから:

- レコードを更新する: レコードを変更し、[保存] を選択します。
- イニシアティブを削除する:レコードからメニューアイコンを選択し、[削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イニシアチブを関連付ける

既存の改善イニシアチブをプロジェクトに関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン ( ) を選択します。
3. プロジェクトに関連付ける 1 つ以上のイニシアチブを検索してチェックします。
4. [リンク] を選択します。

タスクの結果
関連する改善イニシアチブが、更新されたイニシアチブリストに表示されます。

イニシアティブを削除する

関連するタスクを完了またはキャンセルしたら、関連する改善イニシアチブをプロジェクトから削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
改善イニシアチブは、それが作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから削除できます。イニシアチブを削除しても削除されませんが、プロジェクトからイニシアチブのリンクが解除されます。

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン ( ) を選択します。
3. リストから、イニシアチブのコンテキスト メニューを選択し、 削除 を選択します。
4. **[OK]** を選択して、イニシアチブの削除を確定します。

タスクの結果
更新されたイニシアチブリストからイニシアチブが削除されます。

流入および流出分析:ノードスター図

プロセスグラフをノードスター図として表示します。ノードのスター図には、選択したノードに入るアクティビティと、選択したノードから出るアクティビティが明示的に表示されます。

プロセスグラフを表示し、グラフ内の 1 つのノードの詳細を知りたい場合は、ノードのスター図を使用する必要があります。

次のプロセスグラフには、再アサイン分析の詳細が表示されます。

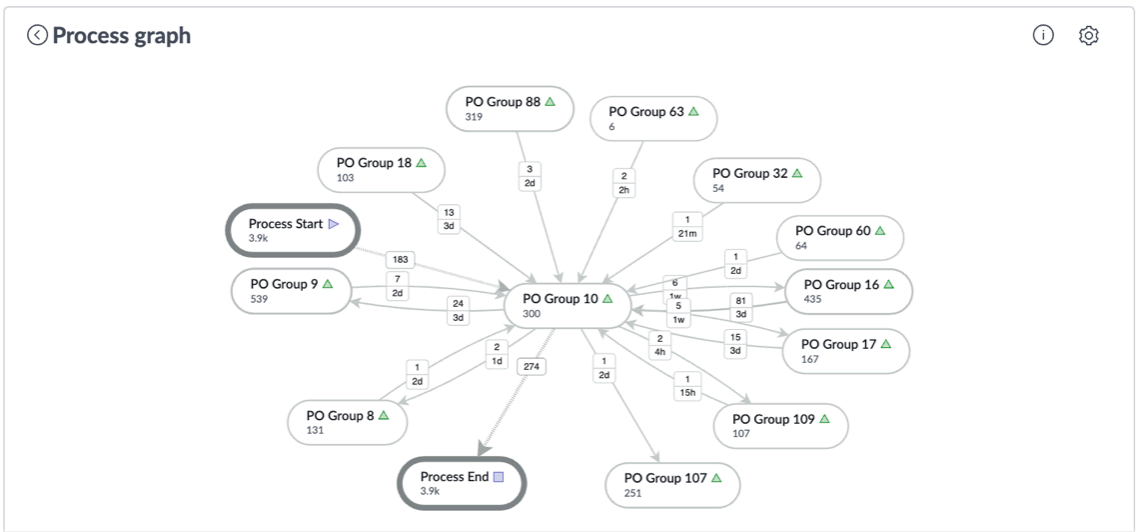
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



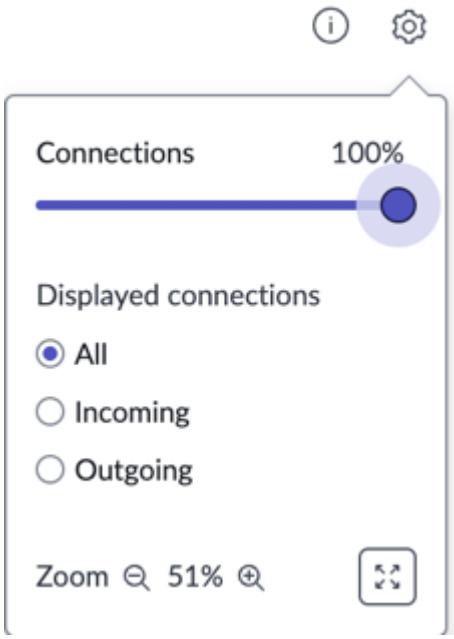
プロセスグラフの任意のノードを選択すると、グラフがノードの星図に変わり、選択したノードからのすべての受信アークと送信アークが表示されます。**[** グラフの処理] ボタンをもう一度選択すると、グラフ全体がプロセスグラフとして表示されます。

[PO グループ 10] を選択すると、次の図のようなノード スター ダイアグラムが表示されます。PO グループ 10 に割り当てられたレコードを表示できます。PO グループ 10 から他のグループにアサインされたレコードを表示することもできます。

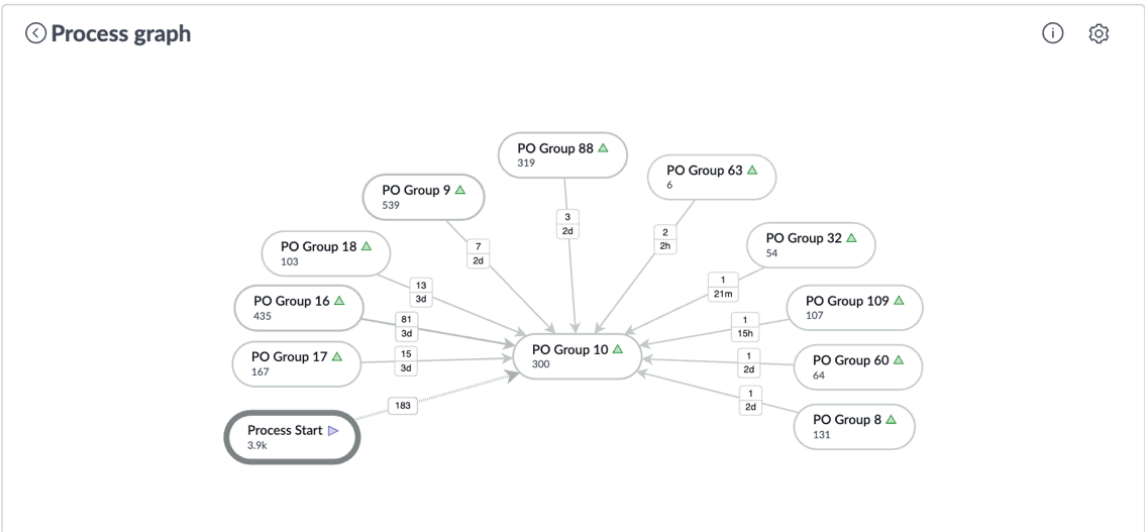


送信レコードまたは受信レコードのいずれかでフィルタリングできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

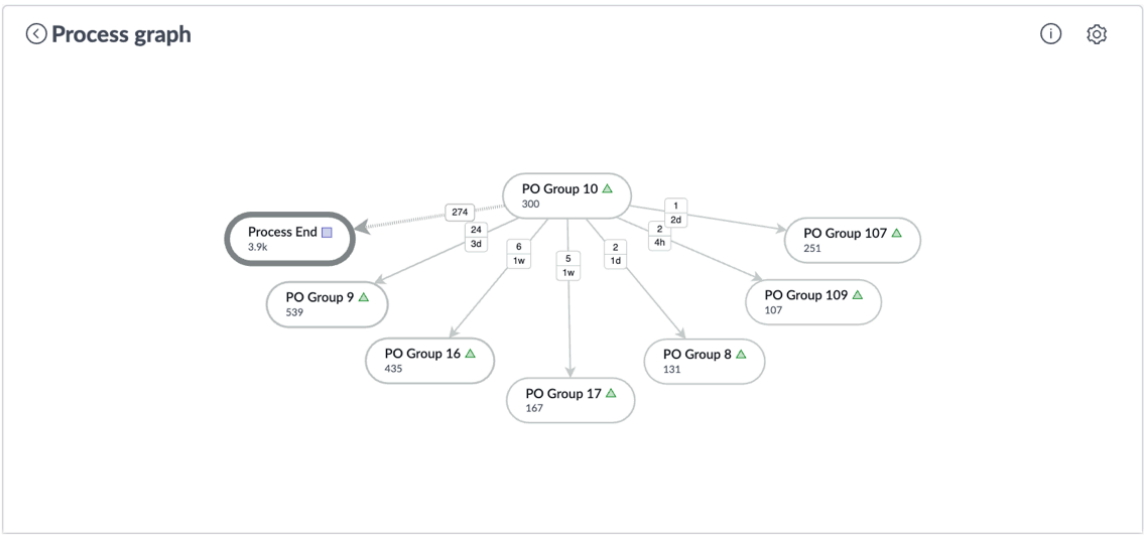


受信でフィルタリングすると、PO グループ 10 に割り当てられているすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、どのグループが自分のグループにいくつのレコードを割り当てているかを確認できます。その後、発生した問題の修正に集中できます。



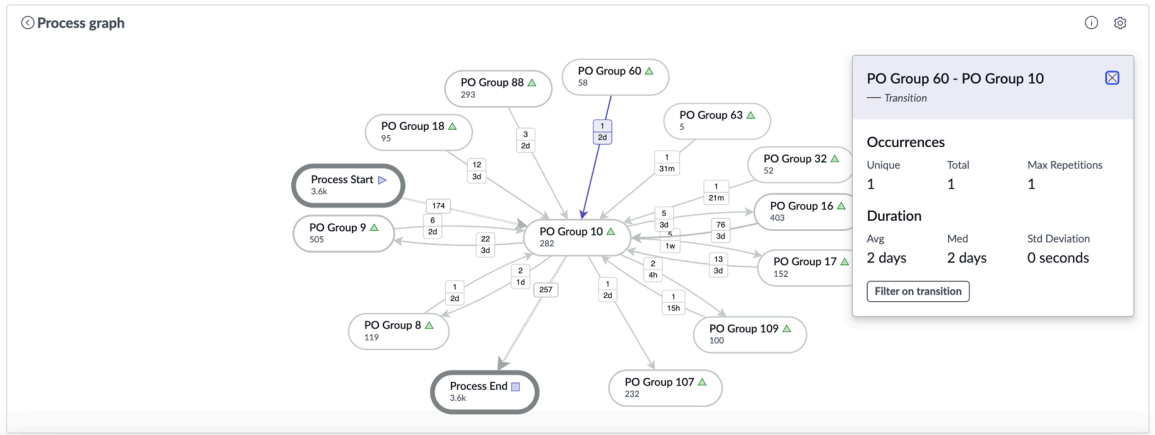
送信でフィルタリングすると、PO グループ 10 によって他のグループにアサインされたすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、PO グループ 10 からどのグループに再アサインされたレコードの数を確認できます。その後、発生した問題の修正に集中できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

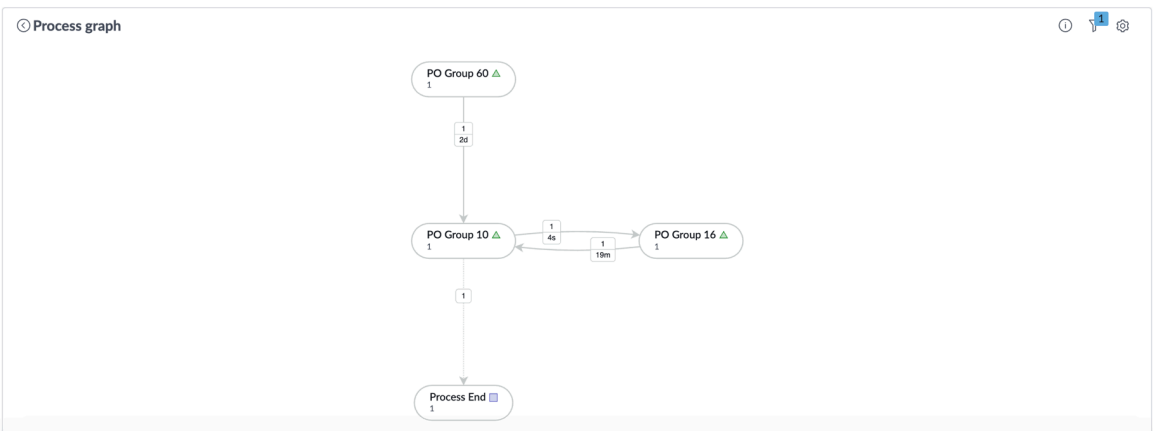


移行でもフィルタリングできます。任意の円弧を選択すると、移行の詳細を示すウィンドウが表示されます。

[PO グループ 60] を選択すると、次のようなウィンドウが表示されます。



[移行時にフィルター] を選択します。ノードの星型図には、その 1 つの移行の結果のみが表示されます。画像は、PO グループ 60 がレコードを PO グループ 10 に割り当てたことを示しています。次に、PO グループ 10 がレコードを PO グループ 16 に割り当てました。次に、PO グループ 16 がレコードを PO グループ 10 に割り当てました。最後に、記録は閉じられました。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

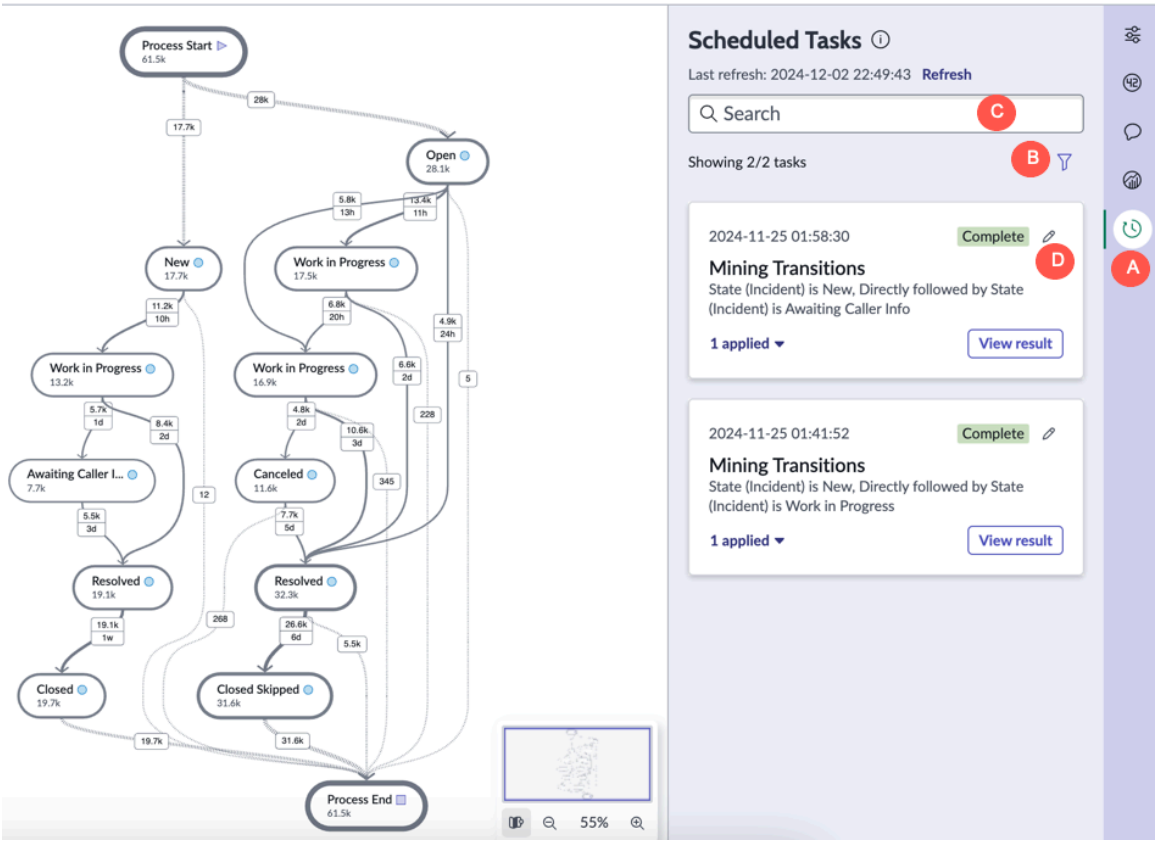
任意のノードまたはアークを選択すると、[レコードを表示] ボタンが表示されます。[レコードを表示] ボタンを選択します。スケジュール設定済みタスクが開始されます。スケジュール設定済みタスクが完了したら、[スケジュール設定済みタスク] ペインで [結果を表示] を選択します。

スケジュール設定済みタスクの表示

[スケジュール設定済みのタスク] パネルから、ステータスを表示し、オンデマンドのスケジュール済みマイニングタスクの結果 (要求されたクラスター分析や適用されたフィルタービューなど) にアクセスします。

[スケジュールされたタスク] パネルには、これらのスケジュールされたマイニングタスクの [キューに格納]、[処理中]、[エラー]、または [完了] の状態が表示されます。

- クラスター分析要求
- リンクされたプロセスマイニング
- フィルター、ブレークダウン、移行、およびルートの適用



[スケジュール設定済みのタスク] パネルから、結果またはビューにさらにアクセスできます。

- A:([スケジュール設定済みのタスク] アイコン) [スケジュール設定済みのタスク] パネルを開くには、このアイコンを選択します。
- B:(フィルターアイコン) スケジュール設定済みタスクをフィルタリングするには、このアイコンを選択します。
- C:(検索フィールド) このフィールドを使用して、特定のスケジュールタスクを検索します。
- D:([名前の変更] アイコン) このアイコンを選択すると、スケジュール済みタスクの名前がデフォルト名から変更されます。名前は最大 100 文字です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

外部データセットの操作

プロセスマイニングServiceNow 環境外で利用可能なデータを使用して、プロセスを最適化し、ビジネス上の問題を解決します。外部データセットを使用するには、まず外部データセットを ServiceNow 環境にインポートする必要があります。

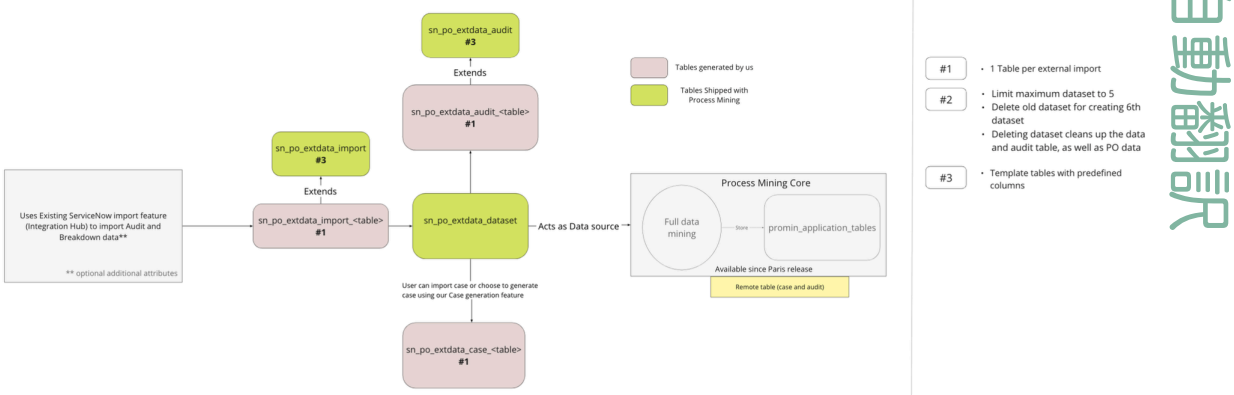
注:
外部データサブスクリプションの プロセスマイニング については、アカウントチームにお問い合わせください。この機能の購入は、 ServiceNow Store から要求できます。詳細については、「 外部データの プロセスマイニング を要求」を参照してください。

外部データセット ServiceNow 環境にインポートすると、ソースについて考えることなく任意のデータに対して プロセスマイニング を使用できるため、作業が容易になります。

外部データセットを ServiceNow にインポートし、それを使用してプロジェクトを作成してマイニングするには、次の手順を実行する必要があります。

- 監査テーブルの作成
- 監査テーブルへの外部データのインポート
- インポートされたデータを検証
- レコードテーブルの作成
- プロジェクトを作成してマイニングする

外部データセットアーキテクチャ



監査テーブルの作成

データを格納する監査テーブルを作成します。監査テーブルは、外部データを入力するために必要な列を持つステージングテーブルです。

始める前に

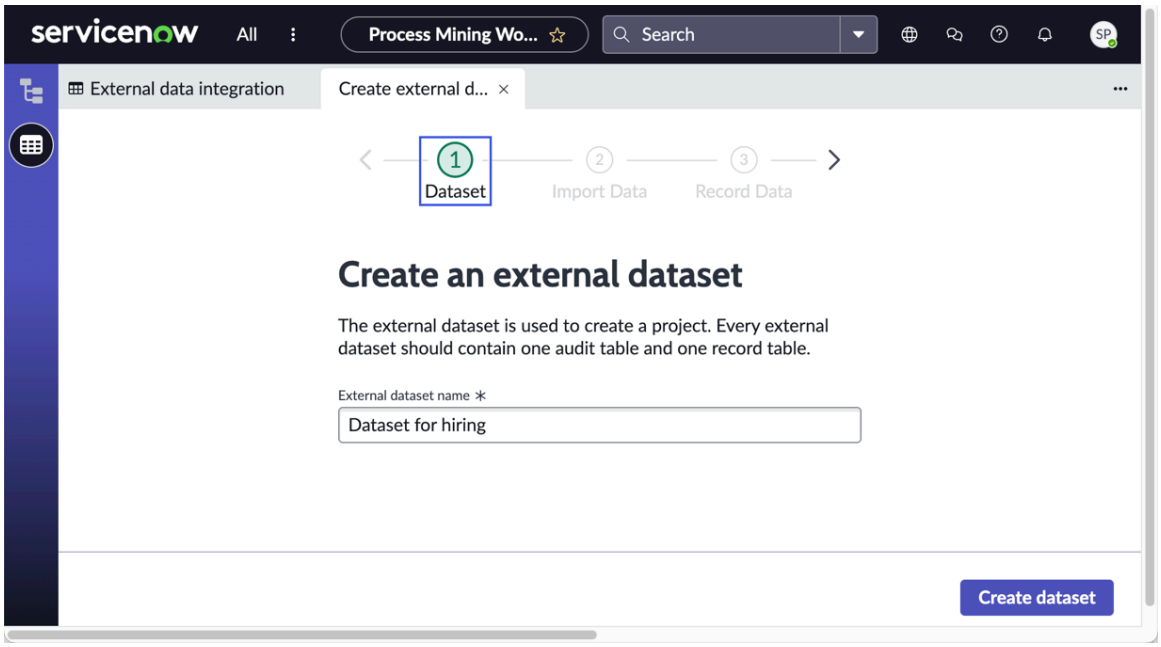
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. [データセットの作成] を選択します。
   [外部データセットを作成] タブが開きます。
4. データセットの名前を指定します。

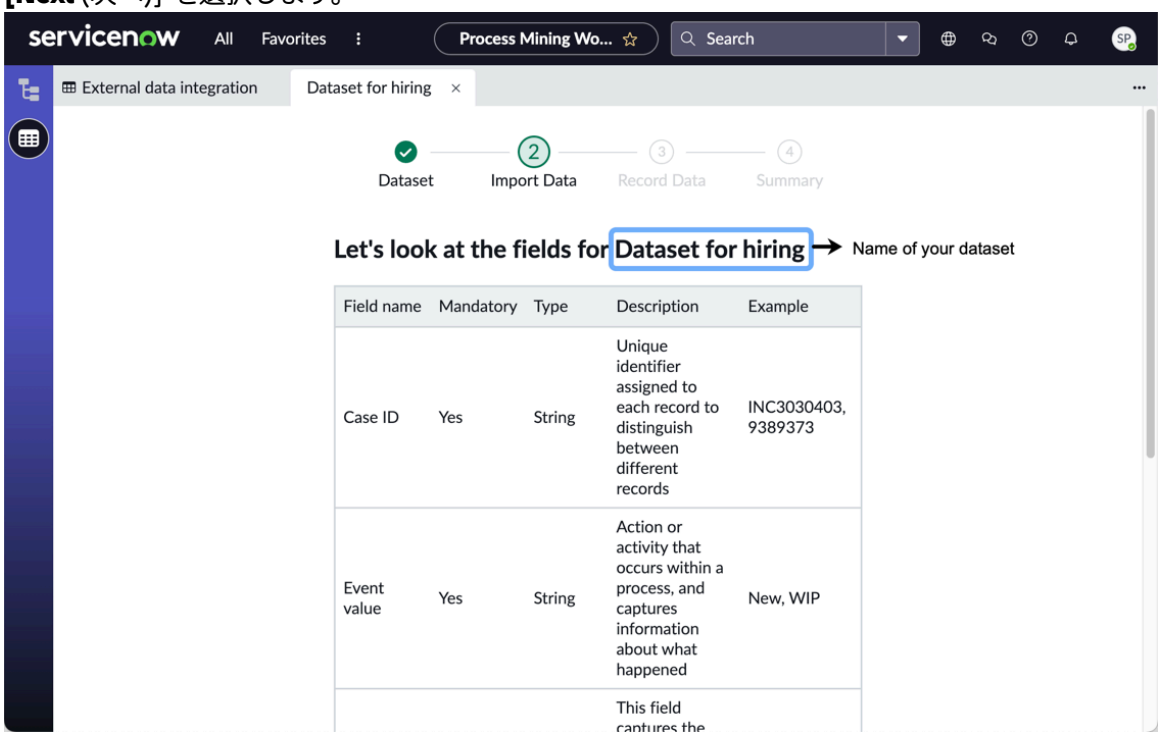
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



注:
データセット名は一意である必要があります。後で使いやすいように、データのタイプとソースを明確にする分かりやすい名前を付けてください。

5. [データセットの作成] を選択します。
次の画面には、監査テーブルの列のリストとその説明および例が表示されます。
6. **[Next** (次へ)] を選択します。



次の画面では、テーブルのカスタム列を追加できます。既に提供されている列よりも多くの列が必要な場合は、ここで行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルに自動的に追加される列

列タイトル	説明
ケース ID	異なるレコードを区別するために各レコードに割り当てられる一意の識別子を参照します。
イベント値	プロセス内で発生するアクションまたはアクティビティを指し、発生した事象に関する情報をキャプチャします。
タイムスタンプ	イベントが発生した日時をキャプチャします。
ユーザー	(オプション)アクションを実行したユーザーを指します。
Event type (イベントタイプ)	(オプション)イベント ログに記録されている特定の種類のアクティビティを参照します。イベントタイプは、類似したタイプのイベントを 1 つの列にまとめるためによく使用されます。

7. [Next (次へ)] を選択します。

監査テーブルへのカスタムフィールドの追加

カスタムフィールドは、プロセスグラフを表示するときにブレークダウンフィルターとして形成されます。カスタムフィールドがない場合、ブレークダウンフィルターは存在しません。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. [追加フィールド] ページで、[カスタム フィールドの追加] を選択します。

> **注:**
> 最大 10 個のカスタムフィールドを追加できます。

2. 名前を入力し、タイプを選択します。
タイプには次のオプションがあります。

- 文字列:サイズの場合、許容される最大長は 4000 文字です。デフォルト値は 80 です。
- ブール
- 日時
- 日付
- **10** 進数:サイズの場合、許可される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
- 整数:サイズの場合、許可される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
- 参照: [参照] を選択した場合は、参照テーブルと参照フィールドを選択する必要があります。これにより、外部データセットを使用して多次元マイニングを実行するときに、ソースフィールドとターゲットフィールドを構成できます。

3. [Next (次へ)] を選択します。
次の画面には、作成している監査テーブルのすべての列が表示されます。

4. オプション: カスタムフィールドを変更する場合は 、[戻る] を選択して詳細を追加または削除 します。

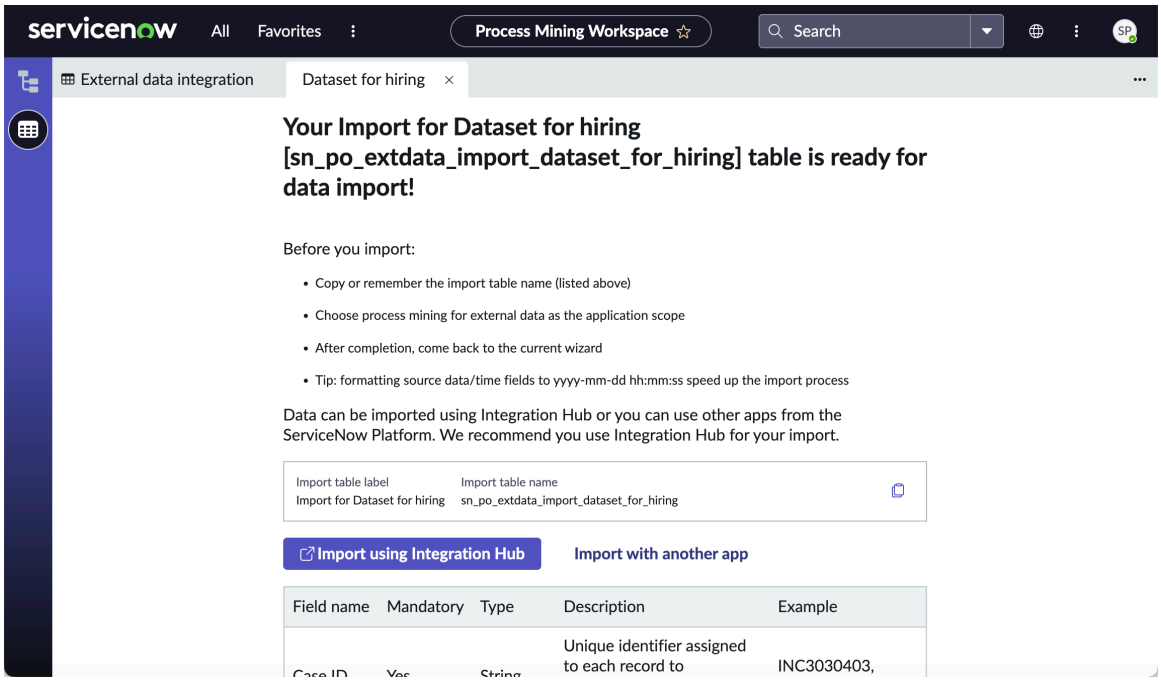
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更を行った後、[次へ] を選択します。

5. 列のリストを検証した後、 インポートテーブルの作成 を選択します。

> **注:**
> この画面には、作成されたテーブルの名前が表示されます。このテーブル名は、次のステップでデータをインポートするときに必要になります。



監査テーブルの準備ができました。これで、テーブルにデータをインポートするように設定されました。

監査テーブルへのデータのインポート

外部データセットを監査テーブルにインポートして、 プロセスマイニング内のデータの操作を開始します。

始める前に

- 監査テーブルの作成

ServiceNow 統合ハブ またはその他のアプリケーションを使用してインポートできます。このセクションでは、 ServiceNow 統合ハブ を使用してデータをインポートする方法について説明します。

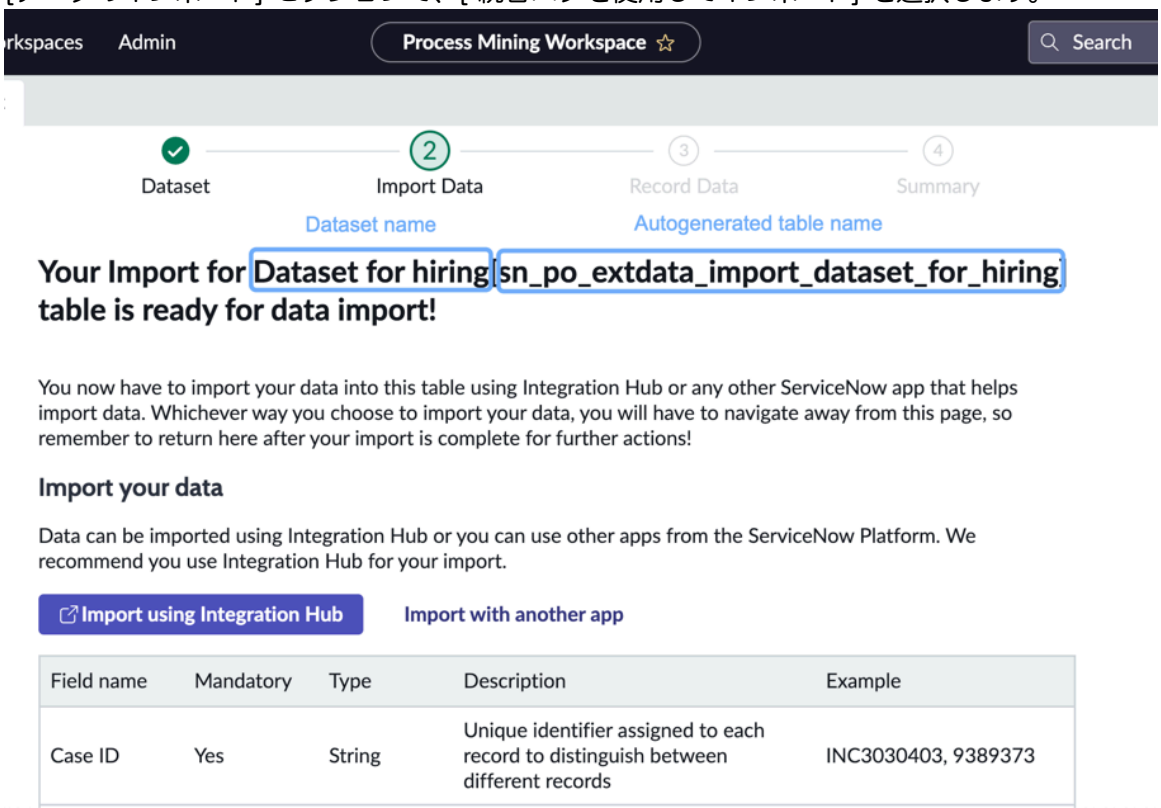
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データのインポート] セクションで、[統合ハブを使用してインポート] を選択します。



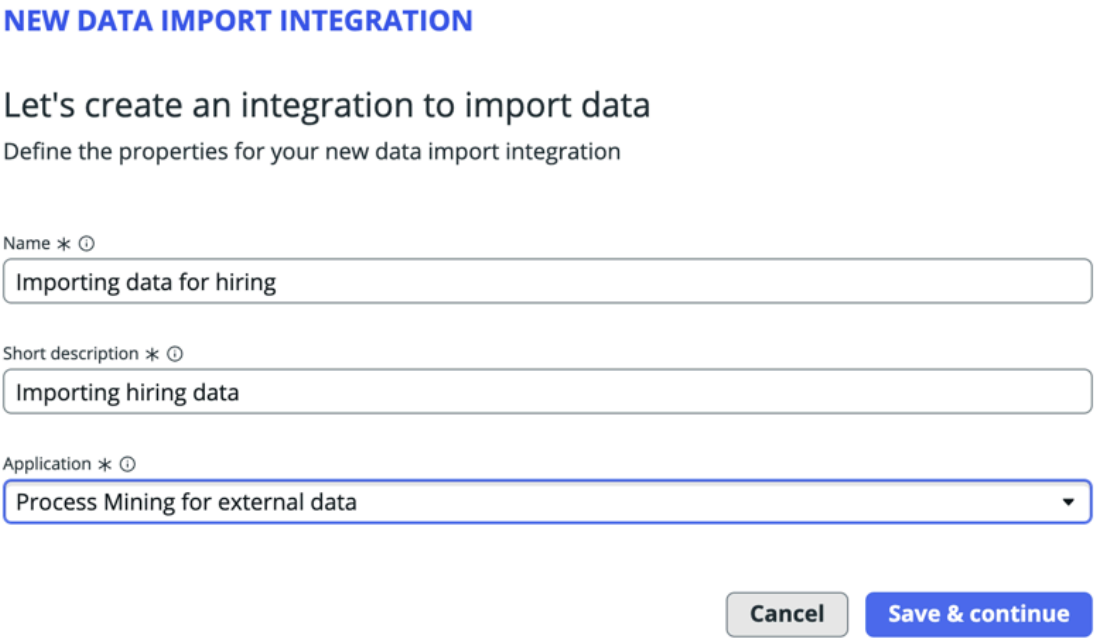
選択を確認するように要求し、Integration Hub からデータをインポートした後、このページに再度アクセスする必要があることを通知するダイアログボックスが表示されます。

2. [**Proceed to Integration Hub**] を選択します。
統合ハブ が新しいタブで開きます。
3. [新しい統合を作成] を選択します。
4. [新しいデータインポート統合 (NEW DATA IMPORT INTEGRATION)] ページで、フィールドに入力します。

> **注:**
> [アプリケーション] フィールドで外部データのプロセスマイニングを指定してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存して続行] を選択します。

6. データソースを選択して構成します。

a. ドロップダウンリストからソースタイプとして [ファイル]を選択します。

b. データの保存方法に応じて、[Excel] または [CSV] を選択します。

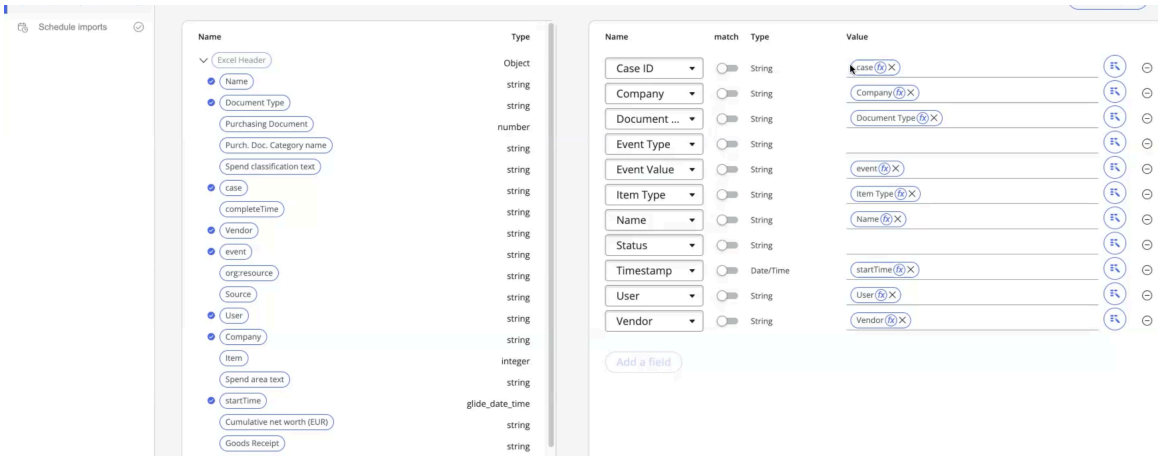
> **注:**
> 日付を jjjj-mm-dd uu:mm:ss という形式にすると便利です。これにより、Integration Hub での変換時間が短縮されます。また、インポートしやすいように CSV ファイルを使用することをお勧めします。

7. ここで、ソースをターゲットにマッピングする必要があります。

a. [テーブルの追加] を選択します。

b. ターゲットテーブルを選択します。これは作成したものと同じテーブルである必要があります。

c. ターゲットフィールドをソースフィールドにマッピングします。



8. インポートをスケジュールします。
詳細については、「Integration Hub - Import」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートされたデータを検証する

インポートされたデータを検証し、データが正確であることを検証します。データマイニングが成功するかどうかは、インポートしたデータの精度に依存します。

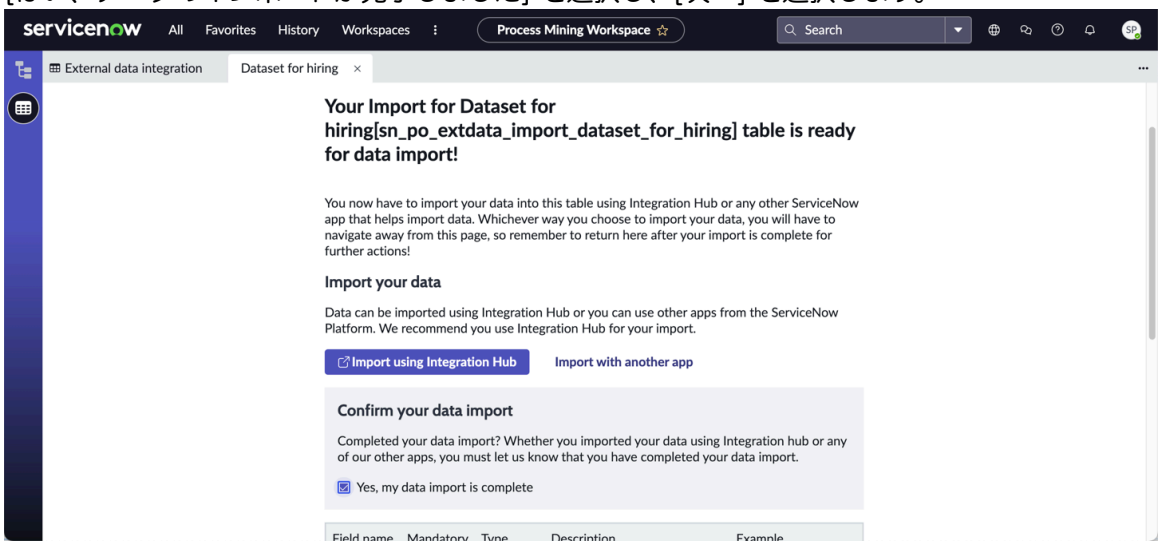
始める前に

- 監査テーブルの作成。
- 監査テーブルへのデータのインポート.

必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. [監査テーブルへのデータのインポート] セクションで **[Integration Hub を使用してインポート]** を選択したステップに移動します。
2. [はい、データのインポートが完了しました] を選択し、[次へ] を選択します。



3. 次のページで、[プレビュー] を選択して、インポートしたデータを確認します。
必須フィールドとカスタムフィールドに、ソースファイルで指定した値が含まれていることを確認します。
4. オプション: データセットを再度インポートするか、インポートしたデータセットを編集する場合は、[データセットを編集] リンクを選択します。
5. [確認] を選択し、 データを検証した後、続行します。

インポートされたデータのケースレコードを作成

インポートされたデータのケースレコードは、プロジェクトの作成とマイニングにとって重要であるためです。レコードテーブルがないと、プロジェクトを作成できません。

始める前に

- 監査テーブルの作成
- 監査テーブルへのデータのインポート
- インポートされたデータを検証する

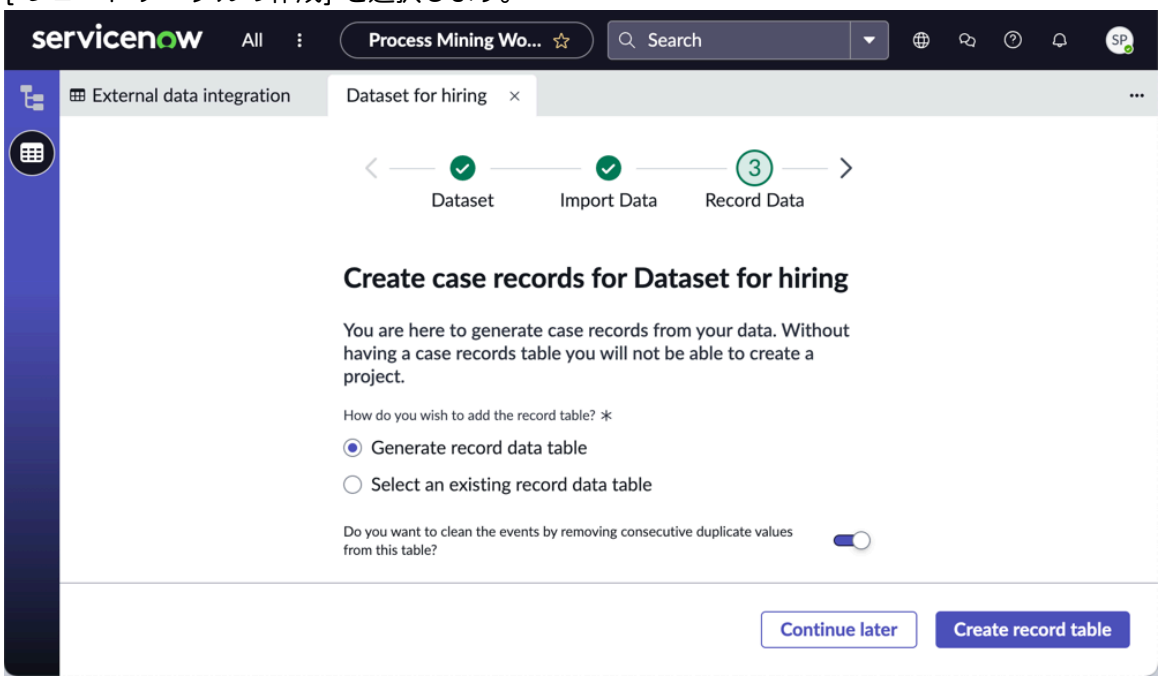
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

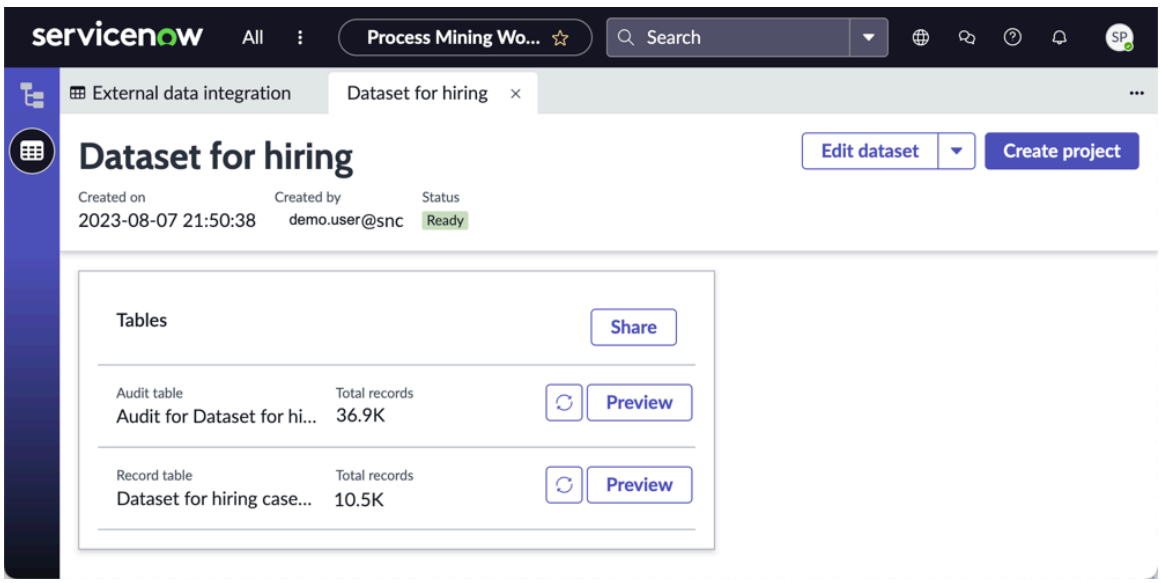
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. インポートされたデータを検証したら、[レコードデータ] セクションからレコードテーブルを作成します。
2. [レコードテーブルをどのように追加しますか?] でオプションを選択します。
   監査テーブルにカスタムフィールドがある場合、2 つのオプションはグレー表示されます。デフォルトでは、[レコードデータテーブルを生成] が選択されています。
3. [レコード テーブルの作成] を選択します。



レコードテーブルが作成されると、監査テーブルとレコードテーブルの詳細を表示するタブが開きます。



プロジェクトを作成

インポートされた外部データを使用してプロジェクトを作成します。データを分析してプロセスを改善するために、プロジェクトをマイニングする必要があります。

始める前に

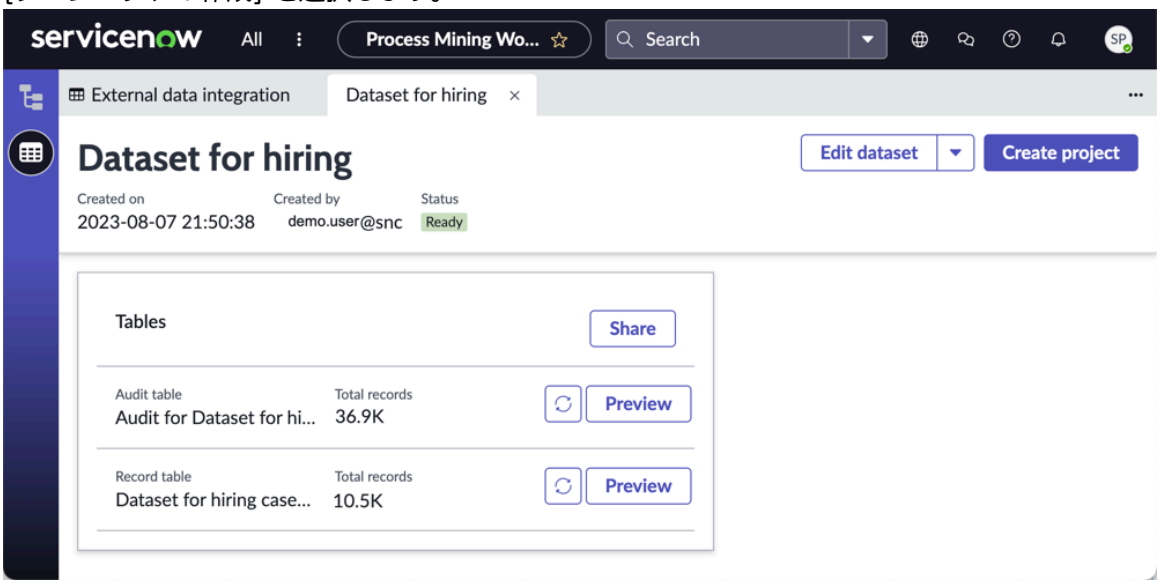
必要なロール:sn_process_optimization_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. プロジェクトを作成するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [プロジェクトの作成] を選択します。



Project Builder の [分析のスコーピング] ページに自動的に移動します。

5. プロジェクトにアクティビティ定義を追加します。

   必要に応じてブレークダウンフィルターを追加できます。

   詳細については、「分析をスコーピング」を参照してください。

6. オプション: [子エンティティの追加] を選択します。

   注:
   外部データを使用して多次元マイニングを実行する場合は、子エンティティを追加する必要があります。

7. オプション: フォームのフィールドに入力します。

[新しい子テーブル] フォーム

フィールド	説明
ソース	次のいずれかのソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポートソース:レポートを含むテーブルを選択 ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブルを選択します。
選択	外部データセットにリンクするテーブルを選択します。
親テーブル	プロジェクトの作成に使用する外部データテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関連	これは参照フィールドになるので、[参照] を選択します。
ソースフィールド	これは自動的に入力されます。
ターゲットフィールド	ターゲット参照フィールドを選択します。 **注:** このフィールドに値を指定するには、監査テーブルの作成時に 参照 タイプのカスタムフィールドを作成する必要があります。これにより、ソースフィールドとターゲットフィールドを適宜構成できます。詳細については、「監査テーブルへのカスタムフィールドの追加」を参照してください。

注:
必要なアクティビティ定義またはブレークダウンフィルターを追加できます。

8. [Next (次へ)] を選択します。
9. 必要に応じて改善の機会を作成します。
   詳細については、「改善の機会の設定」を参照してください。
10. プロジェクトをレビューしてマイニングします。
    詳細については、「プロジェクトのレビューとマイニング」を参照してください。

監査テーブルの管理

インポートされたデータを使用して監査テーブルとレコードテーブルを作成したら、それらを使用してプロジェクトを作成できます。テーブルを共有、編集、空にしたり、削除したりすることもできます。

監査テーブルとレコードテーブルを共有する

監査テーブルとレコードテーブルをアナリストと共有してデータを分析します。監査テーブルとレコードテーブルは、アドミニストレーターのみが使用できます。ただし、アドミニストレーターはアナリストにテーブルを確認してプロジェクトを作成してもらうこともできます。

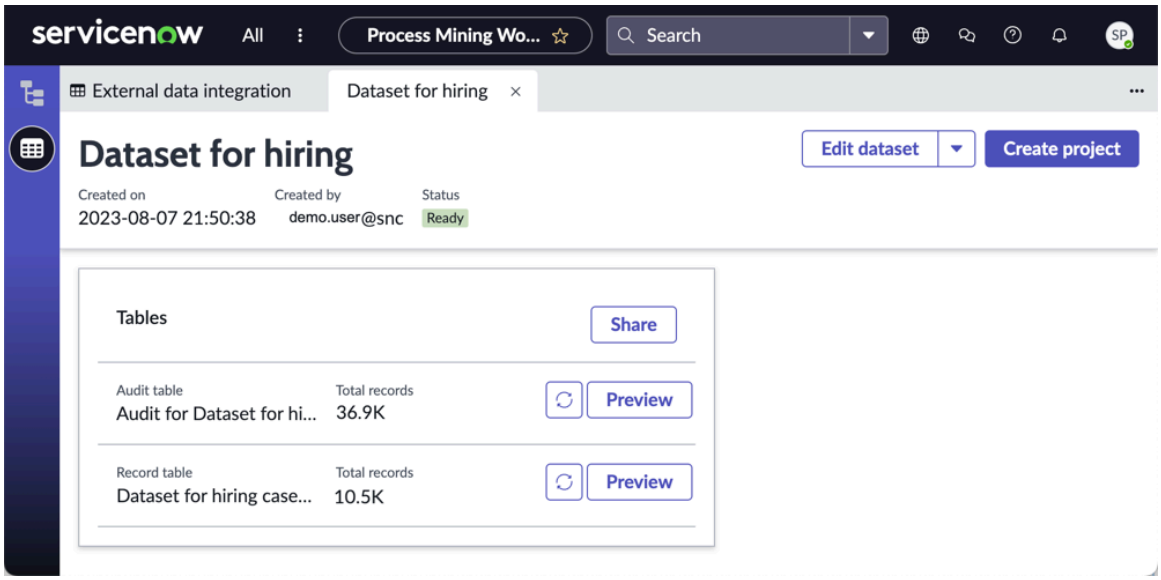
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 共有するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [**Share**] を選択します。

自動翻訳

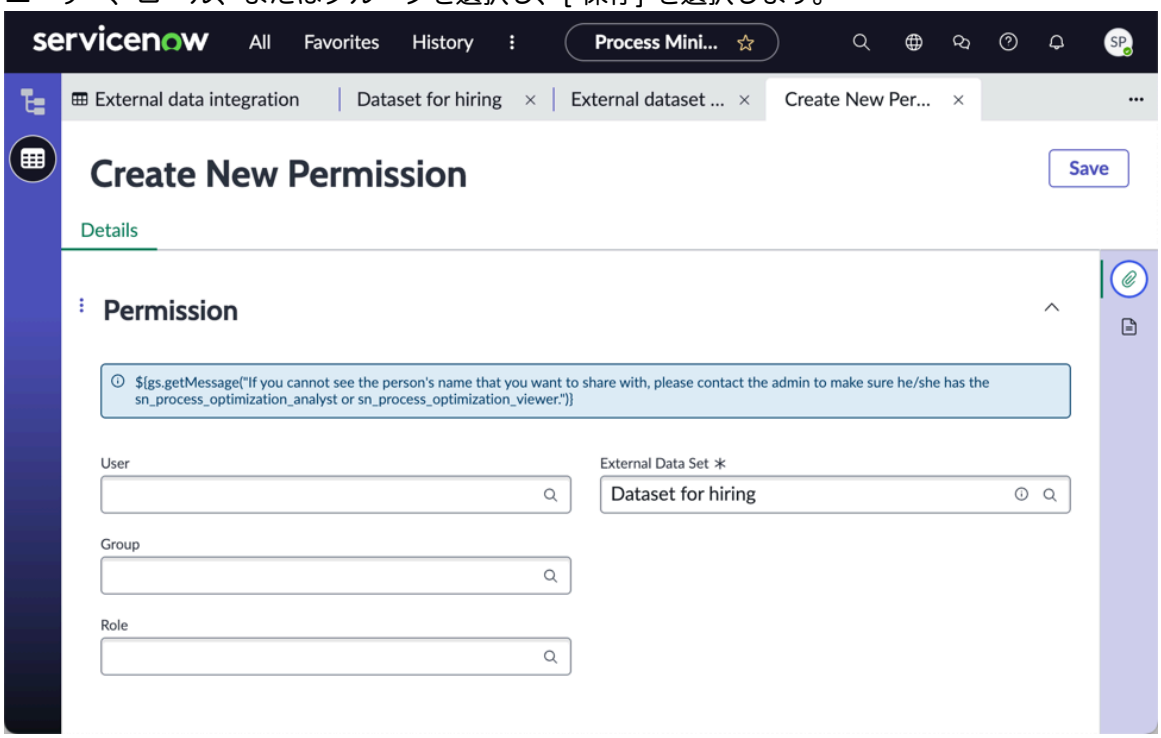
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[外部データセットのアクセス許可] タブが表示されます。

5. **[New** (新規)] を選択します。
[新しい権限を作成] ページが表示されます。

6. ユーザー、ロール、またはグループを選択し、[保存] を選択します。



指定された権限を持つすべてのユーザーは、監査テーブルとレコードテーブルにアクセスできます。

データセットを編集

現在のデータセットに対してデータを追加または削除するなど、データセットを変更する場合は、データセットを編集します。

始める前に

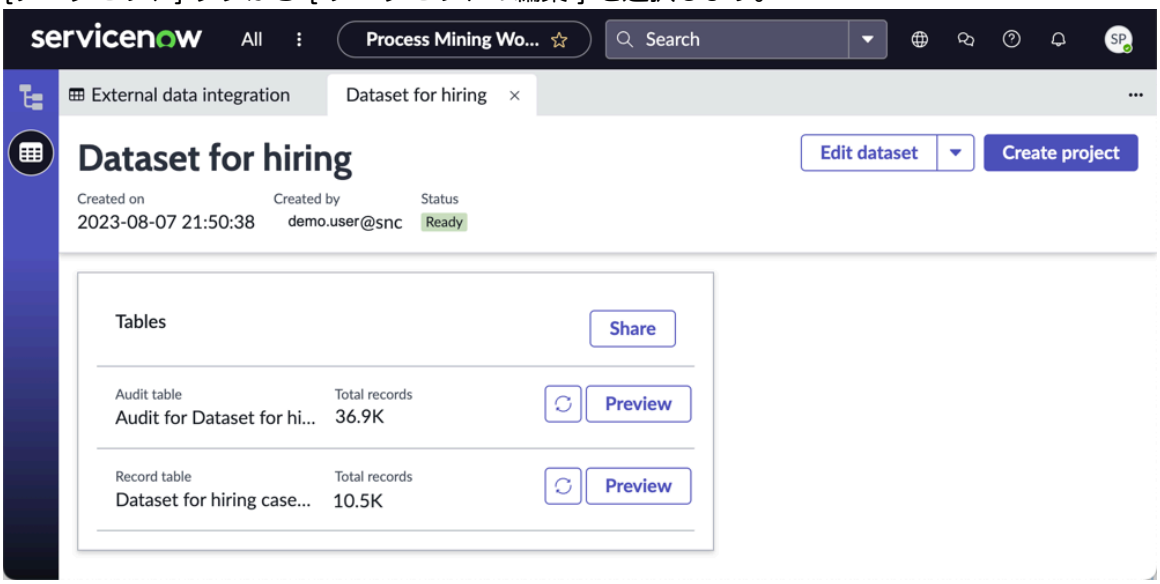
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 編集するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットの編集] を選択します。



[データをインポート] タブに戻ります。テーブルに入力する新しいデータをインポートできます。データをインポートする手順については、「 監査テーブルへのデータのインポート」を参照してください。

データセットを空にする

古いデータを削除し、同じ外部システムから同じテーブルに新しいデータをインポートする場合は、データセットを空にします。

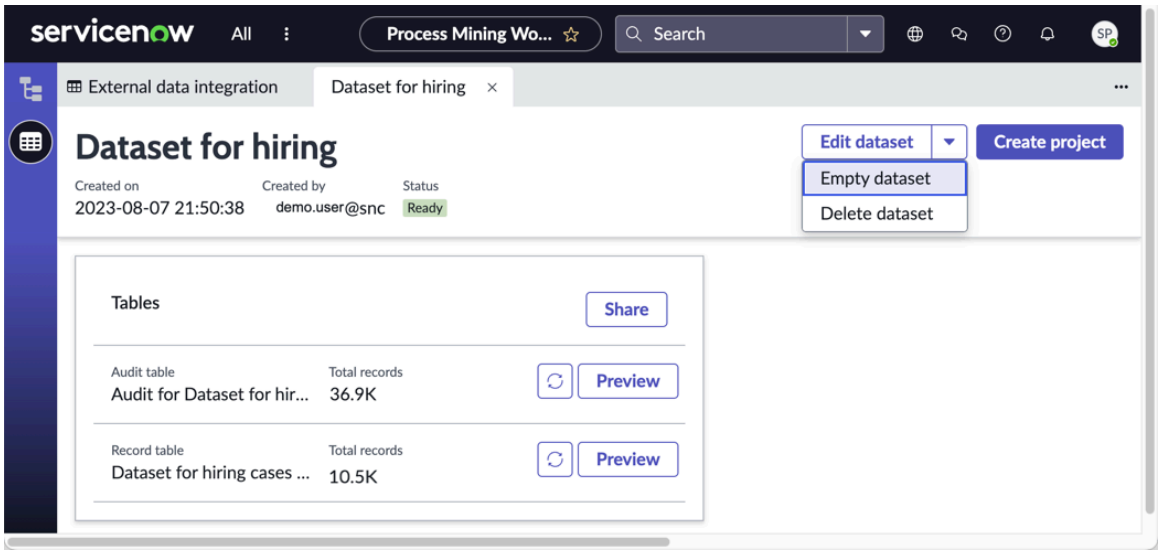
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 空にするデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [空のデータセット] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



選択したデータセットを空にすることを確認するダイアログボックスが表示されます。

5. 確認領域に「Empty」と入力し、 空のデータセットを選択します。
   監査テーブルとレコードテーブルのコンテンツが削除されます。データセットを空にした後、任意のデータセットを再度インポートできます。データをインポートする手順については、「 監査テーブルへのデータのインポート」を参照してください。

データセットを削除

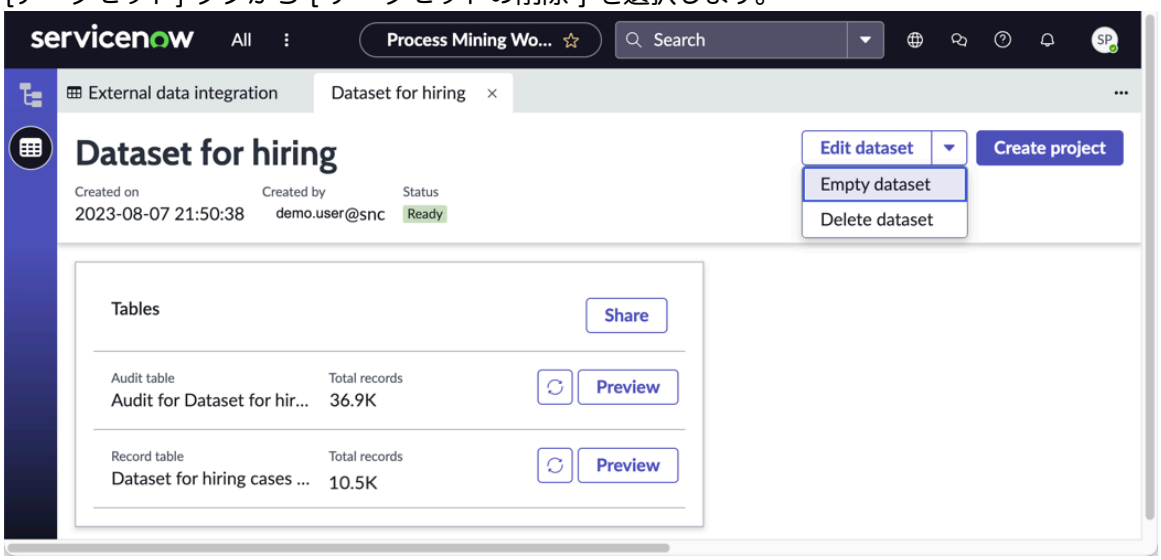
データセットが不要になったデータセットを削除します。分析が完了し、テーブル全体を削除するとします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、[外部データ統合] アイコン ( ) を選択します。
3. 削除するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットの削除] を選択します。



選択したデータセットを削除することを確認するダイアログボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 確認領域に「Delete」と入力し、 [データセットの削除] を選択します。
監査テーブルとレコードテーブル、および関連する プロセスマイニング プロジェクトのデータが削除されます。

> **注:**
> テーブルは削除されません。データのみが削除されます。テーブルを削除する場合は、アドミニストレーターが手動で削除する必要があります。アドミニストレーターは、テーブルを定期的に削除する必要があります。

プロセスマイニングプロジェクトの共有

プロジェクトを共有して、自分が表示した内容を他のユーザーに公開し、プロセスオーナーがさらに分析できるようにします。

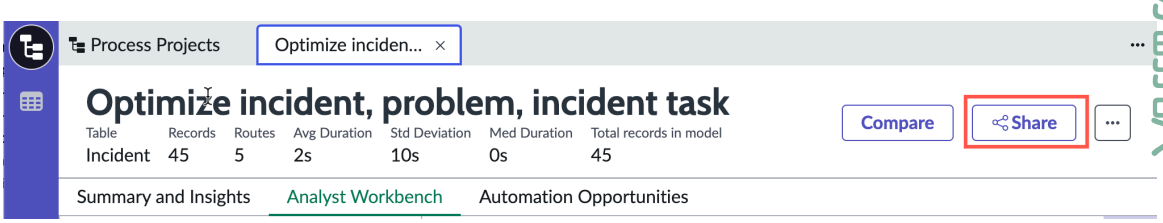
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> **注:**
> ユーザーがテーブルへのアクセス権を持っていない場合、プロジェクトを共有していても、ユーザーはプロジェクトにアクセスできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. [サマリーとインサイト]、[**Analyst Workbench**]、または [自動化機会] タブから、[共有] ボタンを選択します。



[プロジェクトを共有] ウィンドウが表示されます。

3. プロジェクトを共有するユーザー、ロール、およびグループを入力し、ドロップダウン リストから正確な名前を選択します。
4. [**Add**] を選択します。
5. [**Confirm** (確認)] を選択します。
このウィンドウには、プロジェクトが共有されているすべてのユーザー、ロール、およびグループが表示されます。このリストは、[対象者タイプ] リストで選択した値 ([すべて]、[ユーザー]、[ロール]、または [グループ]) でフィルタリングされます。
6. オプション: プロジェクトへのアクセス権の付与からユーザー、グループ、またはロールを削除するには、そのユーザー、グループ、またはロールの [アクション] リストから [削除] を選択します。

プロジェクトデータをリフレッシュ

プロジェクトのデータを更新するには、Analyst Workbench からプロジェクトをマイニングします。

始める前に

必要なロール：なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. データを更新するプロジェクトのコンテキスト を選択します。
3. [プロジェクトのマイニング (フル) **(Mine project (Full))**] を選択します。

   a. ヒストグラムと複数の検索ルールで範囲を選択します。
   最初のルールで繰り返しが選択されている場合、他の検索ルールは見つかりません。

4. **OK** を選択して、プロジェクトデータをマイニングすることを確認します。

   進行状況ウィンドウが開き、監査ログ分析とプロジェクトマイニングの進行状況が表示されます。

5. マイニングが正常に完了したら、[ワークスペースで表示] を選択して、更新されたプロジェクトデータを表示します。

プロジェクトをコピー

既存の定義をコピーして、関連する構成を新しいプロジェクト定義に適用します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、コピーするプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. [コピー] を選択します。
4. **[OK]** を選択して、構成をコピーし、そこからプロジェクト定義を作成することを確認します。
   以下を含む新しいプロセスモデル定義が作成されます。
   - 同じ説明
   - ソースタイプ
   - フィルター条件
   - アクティビティ定義
   - ブレークダウン定義
   - 子テーブル定義
5. 必要に応じて、名前、説明、フィルター条件、または定義を変更し、[更新] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング

プロセスマイニング に関する参照情報

参照トピックは、プロセスマイニング を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングとともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) が、com.sn_poプラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
ProminVersionCleanup	古いバックアップバージョンを削除します。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
プロセスマイニング 定義 [ml_capability_definition_promin]	プロセスマイニングソリューションを識別するための識別子。
プロセスマイニング インタラクティブ定義 [ml_capability_definition_interactive]	プロセスマイニングをオンザフライで識別する識別ツール。
プロセスマイニング レコード定義 [ml_capability_definition_record]	プロセスマイニングの表示レコードソリューションを識別する識別子。
アクティビティ定義 [promin_activity_def]	監査ログの変更を示すアクティビティをプロセスグラフのフィールドに保存します。
プロセスの接続 [promin_arc]	プロジェクトの接続統計を保存します。
ブレークダウン定義 [promin_breakdown_field]	プロセスマップを分類するためのブレークダウンを保存します。
ブレークダウン統計情報 [promin_breakdown_stats]	プロジェクトのブレークダウン統計を保存します。
フィルターセット [promin_filter_set]	プロジェクト定義に適用された複数のフィルターセットを保存します。
データログの抽出 [promin_log]	プロジェクトバージョンのマイニング時に生成された、抽出された監査ログデータエントリを保存します。
スケジュール済み プロセスマイニング ジョブ [promin_job]	プロセスマイニングスケジュール済みジョブを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
プロセスモデル [promin_model]	プロジェクトバージョンの複数のモデル統計情報を保存します。
バージョン [promin_model_def_version]	マイニングされたプロジェクトのバージョン。
プロセスノード [promin_node]	プロジェクト定義のアクティビティを保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_node_stats]	アクティビティの統計情報を保存します。
注意 [promin_note]	メモレコードを保存します。
権限 [promin_permission]	プロジェクト定義が共有されているユーザー/グループを保存します。
プロセスルート [promin_route]	特定のプロジェクトのルート統計を保存します。
ケースレコード [promin_case_record]	アクティビティ、接続、またはルートのレコードの詳細を保存します。
プロセスマイニングトラッカー [promin_ua_mining_tracker]	以前の鉱山に関する情報を保存します。
フィルター設定条件 [promin_conditions]	プロジェクトに対応するフィルター条件を保存します。
プロセススケジュール済みタスク [promin_scheduled_task]	要求されたクラスター分析、データマイニング、および プロセスマイニング タスクを格納します。
プロセスの構成 [promin_process_def]	プロセス構成のデフォルトを保存します。
検索定義 [promin_finding_def]	検索定義レコードを保存します。
結果 [promin_finding]	プロジェクトで検出された結果を保存します。
検索ルール	検索ルールレコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[promin_finding_def_rule]	
検索条件 [promin_finding_def_condition]	検索条件を保存します。
検索制約 [promin_finding_def_constraint]	2 つの条件に作用する検索制約を格納します。
自動検索定義 [promin_automated_finding]	自動検出の定義を保存します。
自動検索構成 [promin_automated_finding_configuration]	自動検出の構成を保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_route_stats]	ルートの統計情報を保存します。
顕著なケースデータ [promin_case_data]	フルマイニング中に収集されたログを保存します。
ジョブプロセスマイニングプロジェクト [promin_job_m2m_project]	ジョブに添付されたプロジェクトに関する情報を保存します。

プロセスマイニング ロール

プロセスマイニング は、これらのロールを追加します。

ロールは、アプリケーションおよびモジュールの機能へのアクセスを制御します。

ロールにアクセス権を与えると、そのロールにアサインされたすべてのグループまたはユーザーがアクセスを許可されます。ロールに他のロールを含めることができます。他のロールを含むロールでは、他のロールに許可されているすべてのアクセスが許可されます。

プロセスマイニングアドミニストレーター **[sn_process_optimization_admin]**

すべてのプロジェクトにアクセスし、すべてのプロジェクト設定と構成を管理し、バックグラウンドとジョブをスケジュールします。

ロールを含む

プロセスマイニングアドミン [sn_process_optimization_admin] ロールには、sn_process_optimization_power_user ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

プロセスマイニングパワーユーザー **[sn_process_optimization_power_user]**

このロールにアサインされたら、次のアクションを実行します。

- すべてのプロジェクトにアクセスし、すべてのプロジェクト設定と構成を管理できます。
- プロジェクトを作成して共有できます。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有しているプロジェクトを表示、編集、共有、および削除できます。
- プロセスマイニングジョブをスケジュールできます。

ロールを含む

プロセス最適化パワーユーザー [sn_process_optimization_power_user] ロールには、sn_process_optimization_analystロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

プロセスマイニングアナリスト **[sn_process_optimization_analyst]**

このロールにアサインされたら、次のアクションを実行します。

- プロジェクトを作成して共有します。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有しているプロジェクトを表示、編集、共有、削除します。

ロールを含む

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

このロールを持つユーザーは、すべてのプロジェクトにアクセスできるわけではありません。

プロセスマイニング のプロパティ

システムプロパティは、システムの動作を制御します。このセクションのプロパティは、 プロセスマイニング アプリケーションに固有です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのプロパティはプロセスマイニングで利用可能です。

注:
システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーション フィルターに「sys_properties.list」と入力します。

プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	説明
promin.limit.node_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の親ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値: 10 **注:** この値を 10 以下に設定することで、パフォーマンスの問題や煩雑な UI を回避します。
promin.limit.child_node_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の子ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値：5 **注:** この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.limit.breakdown_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の親ノードのブレークダウンの最大数を定義します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値: 10 **注:** この値を 10 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.limit.child_breakdown_def	プロセスマイニングプロセスマップ内の子ノードのブレークダウンの最大数を定義します。 • タイプ: 整数 • デフォルト値：5 **注:** この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避します。
promin.primary_metric	Analyst Workbench で使用される主要メトリクス。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:caseFreq

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• 利用可能な値 ○ 平均期間 = 平均期間 ○ 最大期間 = maxDuration ○ 期間中央値 = 期間中央値 ○ 最小期間 = minDuration ○ 標準偏差 = 標準偏差 ○ 合計時間 = totalDuration ○ 合計発生回数 = 絶対頻度 ○ 一意の発生件数 = ケース頻度
promin.rca.min_condition_and_effect	主要なインフルエンサーのリストに表示するために必要なレコードの最小割合。 • タイプ: 整数 • デフォルト値: 10
promin.rca.min_odds_ratio	最低限必要なオッズ比。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：1
promin.rca.result_count	表示する上位インフルエンサーの数。 • タイプ: 整数 • デフォルト値：20
promin.secondary_metric	Analyst Workbench で使用されるセカンダリメトリクス。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:avgDuration • 利用可能な値 ○ 平均期間 = 平均期間 ○ 最大期間 = maxDuration ○ 期間中央値 = 期間中央値 ○ 最小期間 = minDuration ○ 標準偏差 = 標準偏差 ○ 合計時間 = totalDuration

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	○ 合計発生回数 = 絶対頻度 ○ 一意の発生件数 = ケース頻度
promin.perf.result_page_size	マイニング結果ページを構成します デフォルト値は 700 です。

主要な プロセスマイニング 用語

プロセスマイニングで使用される主要な用語です。

プロセスマイニング主要な用語

用語	説明
アクティビティ	追跡されたフィールドを含む、プロジェクトの視覚化に使用される、監査ログからのキャプチャされたタスクまたはアクションの選択。アクティビティは、プロセス内の 1 つのステップ、またはルート内で発生したステップで構成されます。アクティビティ間で接続が実行されます。
関心の属性	プロセスグラフ、ブレークダウン、または差異統計情報に表示されないアクティビティ。これらの定義は、ルール検索ロジックで引き続き使用できます。
監査ログ	日付、時刻、アクティビティなど、タスクの実行時に発生する運用システムイベントまたはアクティビティのレコード。
接続	マップ内の 2 つのアクティビティまたはプロセスステップを結ぶ線グラフ。接続は、2 つの連続した接続されたステップを持つプロセスの一部を反映します。
結果	ビジネスプロセスについて検出される重要業績評価のインサイト。検出結果は、さらに注意が必要な領域を確認するのに役立ちます。
生成	運用システムのイベントログからデータを抽出またはマイニングし、傾向とビジネスプロセスフローの詳細な全体像を明らかにするアルゴリズムを適用するプロセス。
リンクされたプロセス	メインプロセスにリンクされた接続またはサブプロセス。
プロセスマップ	定義されたビジネスプロセスの一部であるシステムの監査ログから収集されたイベントを視覚的に表す、データ抽出の実行後に生成されるプロジェクト。このマップは、定義された開始から終了までの一連のステップで構成される実際のイベント (ルート) を表します。また、プロセスマップは、実際のルートと定義されたターゲットルートを比較して、ビジネスプロセスのパフォーマンスを表示します。
プロジェクト	プロセスマイニング 構成されたプロセスモデルの用語。
レコード	ルートを通るプロセスサイクル (プロジェクト) のビジネスレコード。多くのレコードがルートを通過できます。プロセスマイニングでは、フィルターが適用されるとレコード数が変更される可能性があります。
繰り返し	繰り返されるステップ (アクティビティ) またはステップセット (接続)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング主要な用語 (続く)

用語	説明
ルーティング	一連のステップ内の少なくとも 1 つのアクティビティが、プロセスの他のすべての発生と異なるプロセスの発生。ルートには、最適に定義された正常なルートと、代替の成功パスまたは障害のある例外パスの可能性があるバリアントまたは可能なルートを含めることができます。複数のルートをプロセスマップに同時に表示できます。
スライダー	プロセスステップを表示するためのプロセスマップ画面のアクティビティおよび接続スライダーツール。スライダーを使用すると、それらの間の連続した接続を多かれ少なかれ詳細なビューで表示できます。
移行	アクティビティステータスの変更。

ドメインセパレーションと プロセスマイニング

ドメインセパレーションは プロセスマイニング でサポートされています。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。その後、どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、ドメインセパレーションを完全にサポートしています。ドメインセパレーションには、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

プロセスマイニングの概要

プロセスマイニング は、監査証跡の監視と有効性の分析からビジネスプロセスフローを生成する方法を提供するため、プロセスの非効率性をすばやく検出できます。これにより、結果を改善するためのビジネスプロセスの詳細な分析が可能になります。

プロセスマイニングにおけるドメインセパレーションの仕組み

プロジェクトは、プロセスフローを生成するように構成されています。アクティビティ定義、ブレークダウン定義、子テーブル定義、抽出データログ、フィルターセット、メモ、CIM イニシアチブなどのプロセスモデル定義に関連するすべてのエンティティは、プロセスモデル定義と同じドメインに作成されます。

新しいプロジェクト定義を作成するときは、現在のユーザーのドメインにそのドメインを設定します。モデル定義のすべての関連エンティティを同じドメインに配置するため、ドメインセパレーショ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンされたプロジェクト定義の関連エンティティを作成すると、エンティティはプロジェクト定義のドメインに割り当てられます。

プロジェクトは、独自のドメインまたはグローバルドメインユーザーと共有することができます。

プロセスマイニングスケジュール済みジョブには、対応するジョブのドメイン内のプロジェクト定義のみを含めることができます。

パフォーマンスアナリティクス KPI から起動されたプロジェクト定義が、現在のユーザーのドメインに作成されます。

プロセスマイニングワークスペースから追加された新しい CIM イニシアチブは、プロジェクト定義のドメインに作成されます。

ユースケース

1. ACME ドメインで作成されたプロジェクト定義:ACME ドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、プロジェクト定義を表示できます。
2. ACME ドメインで作成された プロセスマイニング スケジュール済みジョブ:ACME ドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、 プロセスマイニング スケジュール済みジョブを表示できます。
3. ACME ドメインで作成された プロセスマイニング スケジュール済みジョブ:ユーザーは、ACME ドメインに属するプロジェクト定義のみを含めることができます。

> **注:**
> カスケードドメイン変更はサポートされていません。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

プロジェクト定義フォーム

プロジェクト定義フォームを使用して、プロジェクトを作成します。

プロジェクト定義フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	プロジェクト番号。この番号は、レコードが作成されると自動的に生成されます。
プロジェクトステータス	プロジェクトのステータス。 新規 プロジェクトは新規です。これは、新しく作成されたプロジェクトのデフォルトステータスです。 ドラフト まだ使用されていないセットアップフェーズのプロジェクト。 公開済 プロジェクトは、資格のあるユーザーがすぐに使用できます。 廃止 Project は、プロセスの分析に使用しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	プロセスアナリストユーザーは、プロジェクトのステータスを追跡するために、このフィールドを手動で更新する必要があります。これは、特定のプロセスに複数のプロジェクトがある場合に不可欠になる可能性があります。
[Name (名前)]	プロジェクトの名前
マイニング状況	このプロジェクトの現在のマイニングステータス。
簡単な説明	プロジェクトの簡単な説明。
最終マイニング日	プロジェクトが最後にマイニングされた日付。
ゴール	既存の目標レコードから選択された、このプロジェクトに関連付けられた目標。
自動廃止	指定した日数 (デフォルト:90 日) の非アクティブに基づいてプロジェクトを自動的に廃止する場合は、[自動廃止] チェックボックスをオンにします。 さらに 90 日間 (デフォルト) でバージョンがクリーンアップされる前に、公開済みまたはドラフトステータスに戻すことで、廃止を延長できます。 指定した日数以内に廃止ステータスを変更しないと、マイニングされたバージョンは完全に削除されます。ただし、プロジェクト定義は削除されません。このチェックボックスをオフにすると、自動廃止をオプトアウトできます。 デフォルト値の 90 日は、アドミニストレーターがシステムのプロパティで変更できます。詳細については、「データクリーンアッププロパティ」を参照してください。
Template (テンプレート)	デフォルトテンプレートとワークフォース最適化テンプレートのどちらを作成するか。
ウォッチリスト	生成されたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザー。
KPI ダッシュボード	このプロジェクトに関連付けられた PAR ダッシュボード [par_dashboard]。既存のダッシュボードを選択するか、プラス (+) アイコンを使用してダッシュボードを作成します。 これらのダッシュボードの作成の詳細については、「ダッシュボードの作成と使用」を参照してください **注:** このフィールドにダッシュボードを追加すると、プロジェクトレベルでダッシュボードがリンクされます。プロセス構成レベルでダッシュボードを追加するには、プロセス構成 [promin_process_def] レコードで同じフィールドを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいプロセスの開始/終了条件を作成

新しいプロセス開始条件と新しいプロセス終了条件を設定して、プロセスをトリミングします。この構成では、プロセスのどの部分を プロセスマイニング プロジェクトに含めて分析に使用できるようにするかを定義します。[新規プロセスの開始条件を作成 (Create new process start condition)] フォームと [終了条件] フォームのフィールドは同じです。

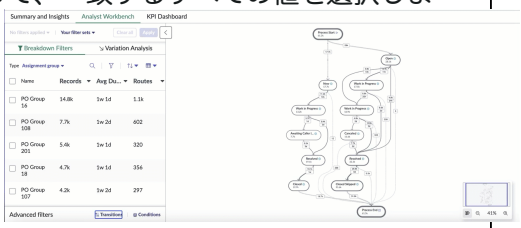
[新しいプロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition)]** フォーム

フィールド	説明
名前	条件の名前。
テーブル	条件のテーブル。このフィールドには、テーブル設定レコードで選択されたテーブルが自動的に入力されます。
条件タイプ	この条件に使用される条件タイプ。 • フィールド/値条件 • コンテキストフィールド/値条件 • 実施者 • また、 • または • プロセス開始条件 • プロセス停止条件
言語	条件の言語。このフィールドには、現在の言語が自動的に入力されます。
フィールド	条件に使用されるフィールド。これらは、[テーブル] フィールドのテーブルのフィールドです。指定された開始および停止フィールドは、開始条件または停止条件を機能させるためのアクティビティ定義として設定する必要があります。
述語	条件の修飾子。 • 次の値に等しい • 次の値と異なる • すべての値 • 次の値のいずれか • 次の値で始まる • 次の値で終わる • 次の値を含む • 次の値を含まない

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいプロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition)]** フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 「次の値のいずれか」を選択すると、複数の値を一度に選択できます。最初の 2 文字を入力し、[すべて選択] アイコンを選択して、一致するすべての値を選択します。 
フィールド値	この条件を定義するために述語とともに使用する値。フィールドが参照フィールドの場合は、参照アイコン ( ) を使用して値を選択できます。
一致する出現	この条件に一致する発生件数を選択します。 • All (すべて) • 最初のみ • 最後のみ
コンテキスト条件	現在の条件がトリガーされたときに true でなければならない追加条件。 たとえば、レコードが [新規] ステータスのときにトリガーするように条件を設定します。[優先度] も [高] に指定する場合は、[コンテキスト条件] フィールドを使用して指定できます。

[アクティビティ定義] フォーム

アクティビティ定義フォームを使用して、ビジネスプロセス内で発生するステップについてレポートします。

[アクティビティ定義] フォーム

フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。
タイプ	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。 • フィールド値 (デフォルト):これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 • 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

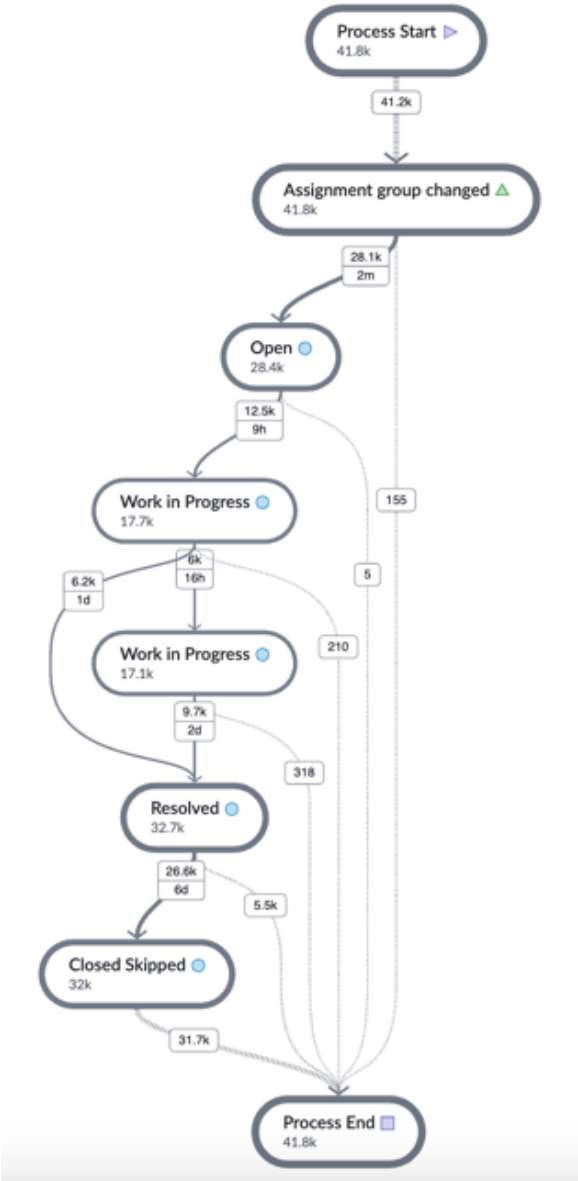
	• 複合:監査履歴ではなく、実際のレコードからの複数フィールド値の変更を表す 1 つのノードまたはプロセスグラフ。 • 添付された子:このオプションは、テーブル構成用に 2 つのテーブルを選択し、親子関係を設定した場合に使用できます。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。可視化では、子がいつプロセスで添付されたかがわかります。 • 添付された親:このオプションは、親レコードがいつ子に添付されたかを表すノードを子プロセスに作成します。
表示名 (オプション)	このアクティビティに表示する名前。名前が入力されていない場合、アクティビティ名には [フィールド] に指定された値が表示されます。
アクティビティ値を選択	選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。
アクティビティの値	このフィールドは、[アクティビティ値を選択] フィールドを選択した場合にのみ使用できます。 このフィールドは、マイニングする選択したフィールドの値のリストを提供します。 たとえば、 インシデント テーブルを選択したとします。次に、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループのデータベースを通過したレコードを表示します。このデータを表示するには、[フィールド] として [アサイン先グループ] を選択し、値のリストから[サービスデスク] と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	アクティビティをグループ化することを選択すると、プロセスマップにはアクティビティの変更のグループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。たとえば、グループアクティビティをレポートして選択するように アサイン先グループ を構成するとします。 • アサイン先グループへの変更が発生し、監査ログに「グループ A」>グループ B>グループ C としてリストされます。 • 結果:プロセスマップのデータは、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つの変更として反映されます。 このオプションをオフにすると、プロセスマップには変更の各インスタンスのレコードが個別に反映されます。例:レポートする アサイン先グループ を設定しますが、アクティビティをグループ化するようには選択しません。 • アサイン先グループへの変更が発生し、監査ログに「グループ A」>グループ B>グループ C としてリストされます。 • 結果:プロセスマップには、行われた個々の変更が反映され、監査ログ「変更:グループ A > 変更:グループ B >変更:グループ C」からの標準的な変更が引き続き反映されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

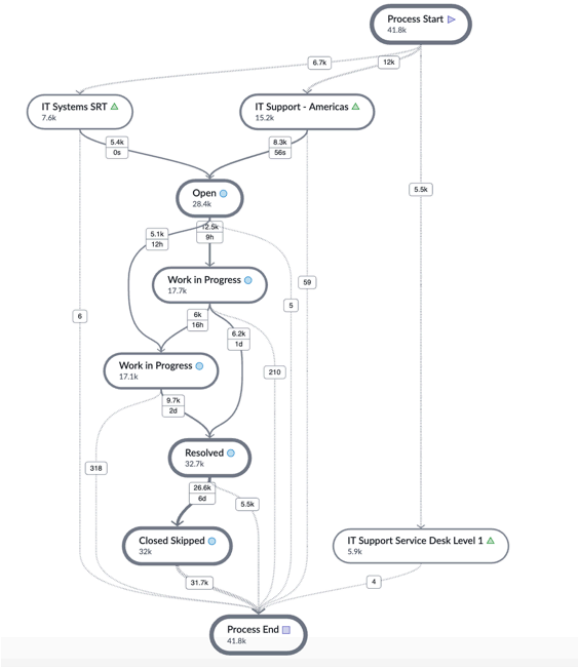
変更のグループ化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

	変更が標準として表示されています 
グループ化されたアクティビティ名	グループ化されたアクティビティに自動生成された名前。または、可視化に反映されるフィールドへの変更に別の名前を入力できます。 **注:** このフィールドは、[グループアクティビティ] フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。
対象のアクティビティ	フィールドの変更がアナリストワークベンチに表示されるかどうか。 **注:** このオプションを選択すると、フィールドの変更はアナリストワークベンチには表示されませんが、移行または検出結果のコンテキスト条件で使用できます。
空の開始ノードを含める	レコード作成時に選択したアクティビティ定義フィールドが空の場合に、プロセスグラフに空のノードが表示されます。

検索ビルダーからの自動検索定義フォーム

[改善の機会定義を作成] フォームを使用して、検索ビルダーから自動検索定義を作成します。

改善機会定義の作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	自動検索定義の名前を指定します。
パターンタイプ	このフィールドは自動入力されます。作成することを選択した自動検索定義がここに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善機会定義の作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	必要に応じて変更できます。
パターンを検出するフィールド	このパターンを検出するテーブルから任意のフィールドを選択します。検索定義全体がこのフィールドで機能します。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
[Active (アクティブ)]	この検索定義を有効にする場合は、フィールドを選択します。デフォルトでは選択されています。
テーブル	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
プロセスに適用	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで確認できます。

クラシックビューからの自動化検索定義フォーム

自動検索定義フォームを使用して、クラシックビューから検索定義を作成します。

自動検索定義フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	改善の機会のタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ページのインサイトカードの上部に表示されます。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。次の 3 つのオプションを使用できます。 • やり直し:プロセス内のステップまたはアクティビティを繰り返すことを指します。これは、プロセスステップをやり直すか、再検討する必要がある場合に発生します。 • ピンポン:レコードが 2 つのプロセスステップまたはアクティビティの間で中断なしにバウ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動検索定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	ンスする繰り返しパターン (ループ) を指します。 • 追加ステップ:各ルートを比較して、1 つのステップでのみ逸脱するさまざまなルートの存在を識別し、不要な移行が発生したプロセスステップを特定します。 • 繰り返しパターン:ステップの不要な繰り返しシーケンスを検出します。 • 極端な期間:他の移行レコードと比較して移行時間が非常に長いレコードを検索します。 • 極端な繰り返し:同じアークの他のレコードと比較してアークの繰り返し回数が非常に多いレコードを検索します。 • 移行が遅い:同様の期間のレコードのクラスターがあり、このクラスターが他のレコードのグループと比較して平均期間が長い状況を特定します。この検出機能は、特定されたクラスターの重要性のブレークダウンも提供し、根本原因に関する詳細なインサイトを提供します。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
フィールド	検索定義が使用されるフィールド。
[Active (アクティブ)]	検索定義がアクティブかどうか。
プロセスの構成	検索定義を作成するために選択したプロセステーブルの名前。
テーブル	テーブルの名前。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI の選択	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、プロセスマイニングワークスペースのインサイトパネルで確認できます。

検索ビルダーのルールベースの検索定義フォーム

[改善の機会の定義を作成] フォームを使用して、検索ビルダーから検索定義を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善機会定義の作成フォーム

フィールド	説明
メッセージ	ルールベースの検索定義の説明を指定します。
プロセスの構成	このフィールドは、プロセステーブルのルールベースの検索定義を作成するときに使用できます。 テーブル名が表示されます。このフィールドは編集できません。
プロジェクト	このフィールドは、プロジェクトのルールベースの検索定義を作成するときに使用できます。 プロジェクト名が表示されます。このフィールドは編集できません。
カテゴリ	自動検索定義が属するカテゴリを指定します。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
[Active (アクティブ)]	この検索定義を有効にする場合は、フィールドを選択します。デフォルトでは選択されています。
テーブル	選択したテーブル名を表示します。このフィールドは編集できません。
プロセス/プロジェクトに適用	選択したテーブル名またはプロジェクト名が表示されます。このフィールドは編集できません。
影響を受ける KPI	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、 プロセスマイニング ワークスペースの [インサイト] パネルで確認できます。

クラシックビューのルールベースの検索定義フォーム

[検索定義] フォームを使用してルールベースの検索定義を構成し、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ページに配信します。

検索定義フォーム

フィールド	説明
クラス	この検索定義が プロセス または プロジェクトに適用されるかどうか。
[Active (アクティブ)]	検索定義がアクティブかどうか。
プロセスの構成	この検索定義に関連付けられたプロセス構成。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: このフィールドは、プロセステーブルの改善機会を作成する場合にのみ表示されます。
プロジェクト	この検索定義に関連付けられたプロジェクト。 注: このフィールドは、プロジェクトの検索定義を作成する場合にのみ表示されます。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
メッセージ	インサイトのタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ページのインサイトカードの上部に表示されます。
影響を受ける KPI の選択	検出結果の影響を受ける可能性が最も高い KPI を選択します。影響を受ける KPI を選択すると、ビジネスインパクトを評価できます。KPI 関連の結果は、 プロセスマイニング ワークスペースの [インサイト] パネルで確認できます。

検索ルールフォーム

[検索ルール] フォームを使用して、検索定義の検索ルールを構成します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

[検索ルール] フォーム

フィールド	説明
チェーン番号	この検索ルールが属するチェーン。 注: 検索ルールは複数のチェーンで構成できます。
検索定義	この検索ルールに関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[検索ルール] フォーム (続く)

フィールド	説明
シーケンス	同じチェーン内のルールが実行される順序。値が小さいルールは、値が大きいルールよりも先に実行されます。
開始条件	検索ルールをトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を設定:切り取りプロセス」を参照してください。
関連	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベントの間の接続。 • --何一つ-- • 次が直接続く • 最終的に次が続く • 次が直接続かない • 最終的に次が続かない 注: 選択した関係に関連してルールセットを実行する方法に合わせて、ルールシーケンスを適切に並べ替えます。[なし] 以外のオプションを選択した場合は、目的の順序で式を完了するルールを作成する必要があります。
終了条件	検索ルールを終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を設定:切り取りプロセス」を参照してください。
追跡期間	開始条件と終了条件の間の期間を追跡するかどうか。

検索制約フォーム

[検索制約] フォームを使用して、検索定義の検索制約を構成します。検索ルールに加えて、検索制約では、期間や関係の制約などのメトリクスを使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	検索制約の名前
検索定義	この検索制約に関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。
開始条件	検索制約をトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成することができます。 **注:** 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を設定:切り取りプロセス」を参照してください。
終了条件	検索制約を終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成することができます。 **注:** 条件の作成の詳細については、「 詳細条件を設定:切り取りプロセス」を参照してください。
最小期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントから [終了条件] フィールドで定義されたイベントまでの最小期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドに指定された時間の後に発生する必要があります。
関係制約	制約がトリガーされるタイミングをさらに定義するオプションの制約条件。 -- なし -- 関係制約なし が同じ レコードは、特定のフィールドで同じ値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約] フィールド フィールドに指定します。 が異なる レコードの特定のフィールドで異なる値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約] フィールド フィールドに指定します。 同じユーザーが実行 開始条件と終了条件は、同じユーザーがトリガーする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約フォーム (続く)

フィールド	説明
	別のユーザーが実行 開始条件と終了条件は、異なるユーザーがトリガーする必要があります。 同じイベントである が異なるイベントである
関係制約フィールド	関係制約に関連付けられたフィールド。 このフィールドは、[関係制約] フィールドで [同じ] または [異なる] が選択されている場合に表示されます。 注: [開始条件] フィールドまたは [終了条件] フィールドに選択肢がない場合、[使用可能な関係制約] フィールドは空で表示されます。
最大期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントから [終了条件] フィールドで定義されたイベントまでの最大期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドに指定された時間より前に発生する必要があります。
関係制約フィールド	注: このフィールドは、[関係制約] フィールドが [同じ] または [異なる] に設定されている場合にのみ表示されます。

のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア **UI**

レポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットを使用して、コア UIダッシュボードに分析を表示します。アナリティクスハブ上のパフォーマンスアナリティクスインジケーターを探索します。

始めましょう

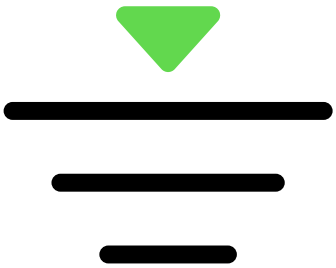
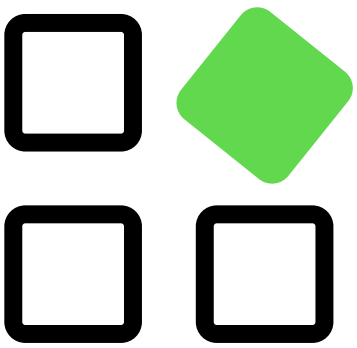
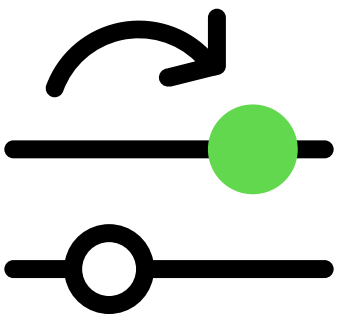
コア UIツールの可視化には、ダッシュボード、レポート、アナリティクスハブなどがあります。これらの視覚化により、アドミニストレーターやその他のステークホルダーは、リアルタイムデータを使用してステータスに対処し、傾向を正しく評価することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
新規インスタンスの場合、コア UI のレポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスは、Yokohama リリースでプラットフォームアナリティクスエクスペリエンス機能に置き換えられます。

- でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス
- のダッシュボード プラットフォームアナリティクス
- のフィルター プラットフォームアナリティクス

レポート  データの現在のステータスを可視化して、他のユーザーと共有します。	応答 ダッシュボード  ダッシュボードを使用して、組織全体で共有できるデータを含むストーリーを作成します。	インタラクティブ フィルター  ダッシュボード上のすべてのレポートをまとめて動的にフィルタリングします。
パフォーマンスアナリティクス ウィジェット  重要業績評価指標スコアの可視化を定義して、ダッシュボードで共有するデータの進化を示します。	アナリティクスハブ  アナリティクスハブを使用して KPI の詳細を掘り下げます。	インタラクティブアナリシス  テーブルレコードのリストビューでフィルタリングされた列のデータを分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート

テーブルデータを可視化して、 ServiceNow インスタンス内の情報の現在のステータスを表示します。可視化をエクスポートするか、ダッシュボードに追加して他のユーザーと共有します。

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

重要業績評価指標 (KPI) データの視覚的表現を作成します。 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、インジケーターをトレンドライン、一連の列、円グラフなどの可視化に結び付けます。ブレークダウンでインジケータースコアをフィルタリングし、時系列関数を適用してウィジェットを微調整します。

レスポンシブダッシュボード

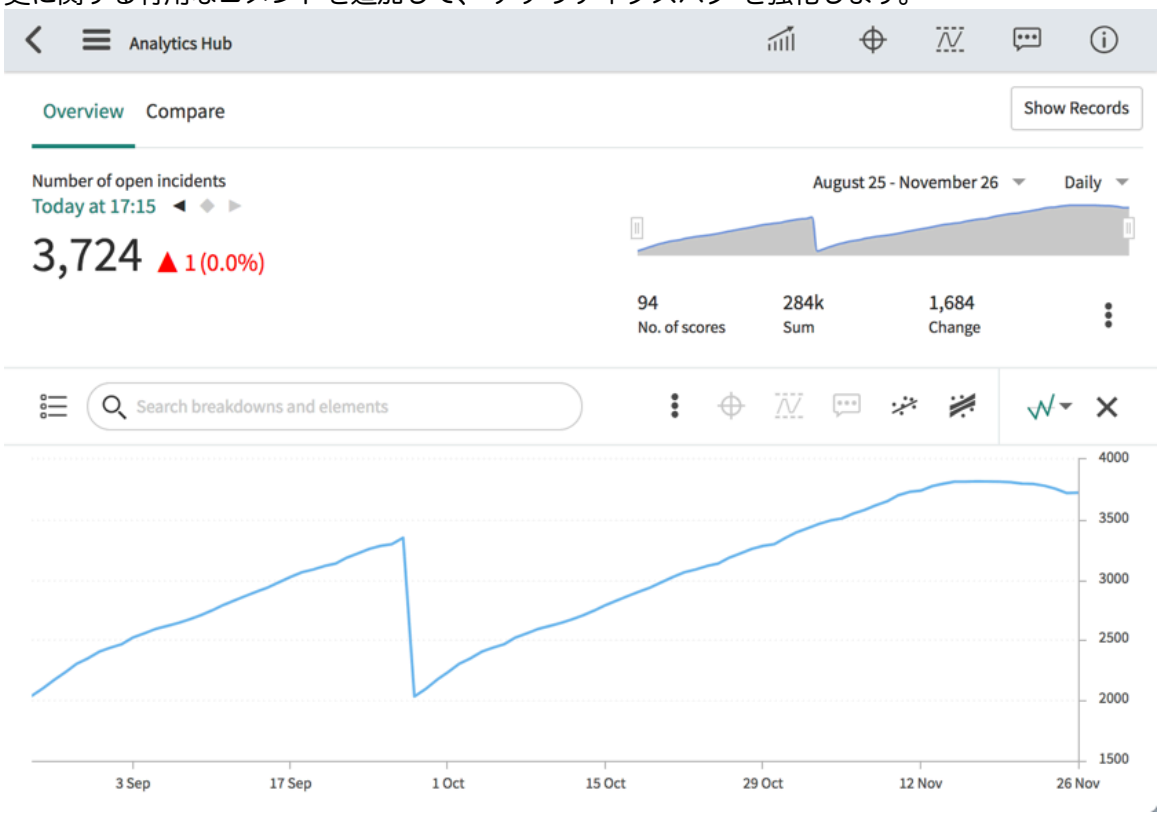
複数のレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを 1 つの画面に表示して、ステークホルダーと共有できるデータでストーリーを伝えます。

インタラクティブ フィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。

アナリティクスハブ

データの集計、スコアの比較、経時変化の表示によってインジケーター スコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に関する有用なコメントを追加して、 アナリティクスハブ を強化します。



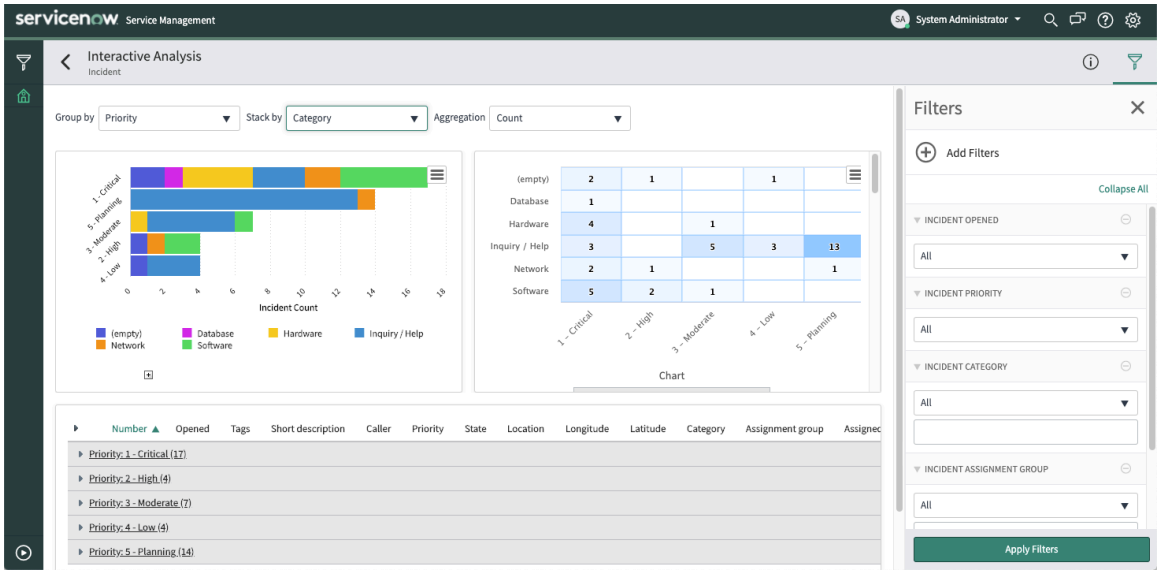
インタラクティブアナリシス

テーブルの複数のレコードにわたるフィールドのデータを動的に分析します。テーブル列のコンテキストメニューから、フィールド内のデータの棒グラフとヒートマップ表現を表示するインターフェイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スを開きます。データをグループ化する値と、分析するデータをフィルタリングする方法をインタラクティブに選択します。



レポート

ServiceNow® レポート 各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示したレポートを作成して配布できます。デフォルトでは、レポート機能はシステムテーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。

注:
まったく新しい Yokohama インスタンスと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されたインスタンスでは、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

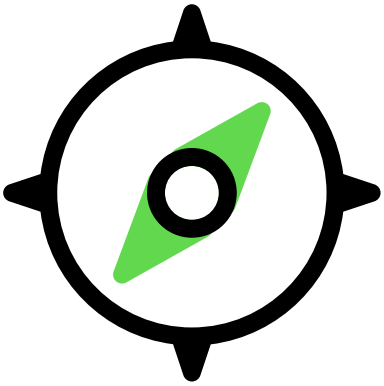
https://player.vimeo.com/video/995179717?h=babfb51a74&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始めましょう

探索



ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。

使用



レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法の基本を学びます。

レポートタイプ



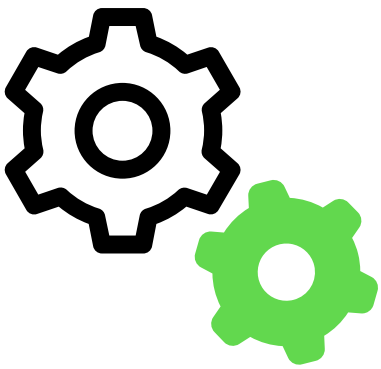
レポートタイプと、特定の各レポートの作成方法の詳細について説明します。

構成と高度な使用法



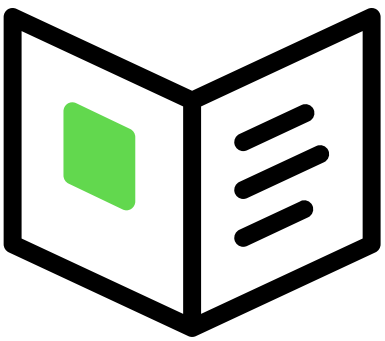
変数に関するレポート、ドリルダウンの構成、および admin ロールを必要としないその他の高度なトピックについて学びます。

管理



権限の設定、統計情報の設定、および admin または report_admin ロールを必要とするその他のオプションの設定を行います。

参照



データ集計タイプ、ロール、プロパティ、およびキーボードショートカットを表示します。

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- パフォーマンスアナリティクスとレポートコミュニティで質問する/質問に答える
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの詳細

デフォルトでは、レポート機能はシステム テーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。

レポート の概要

注:
まったく新しい Yokohama インスタンスと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されたインスタンスでは、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ServiceNow® を使用すると、各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートを作成して配布できます。

レポート ワークフロー

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

メリットのレポート

メリット	機能	ユーザー
レポートを実行して、既存のレポートの現在のデータを表示します。	レポートの実行	itil、report_user、report_group、repo または admin
インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。	レポートの作成	
レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。	[レポート] リストの表示	アドミン
独自のグローバルレポートを作成できないユーザーは、グローバルレポートを変更してから、レポートの個人用バージョンを保存できます。	レポートのコピー	itil、report_user、report_group、repo または admin
使用しなくなったレポートを削除します。	レポートの削除	作成者、アドミン、または削除するレポートの管理ロールを持っている必要があります
キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。	レポート デザイナーのキーボード ショートカット	

レポートとパフォーマンスアナリティクスの比較

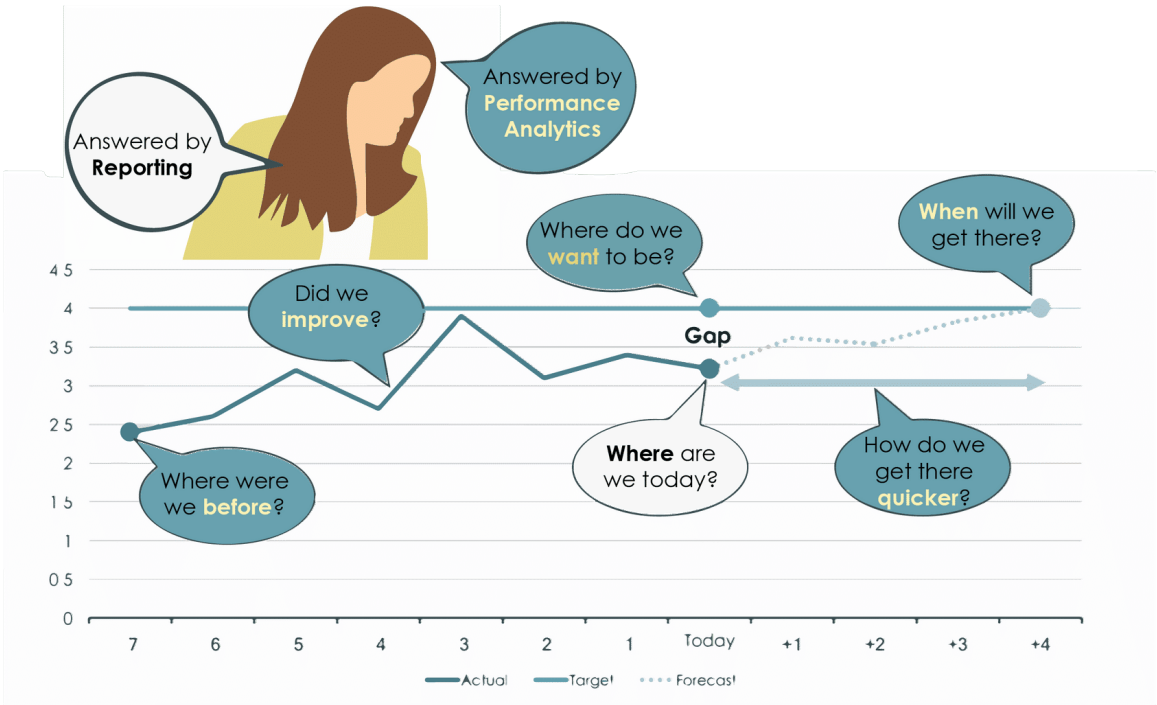
レポート と パフォーマンスアナリティクス は 2 つの異なるアプリケーションです。異なるユースケースに対応し、相互に補完します。

パフォーマンスアナリティクス では、定期的なスケジュールで連続スナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、 レポート は「今日はどこにいるのか」という質問に答え、 パフォーマンスアナリティクス は時間の経過とともに何が起こっているのかという質問に答えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスインサイトに関する一般的な質問 レポート および パフォーマンスアナリティクス



スナップショットからの傾向の計算に加えて、 パフォーマンスアナリティクス 次のことができます。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値に達したときにアラートを出します。
- 将来のパフォーマンス予測
- さまざまな時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスの測定基準を使用して価値実現までの時間を短縮します。

パフォーマンスアナリティクス の使用に関する詳細については、パフォーマンスアナリティクス の詳細 を参照してください。

レポートの使用

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

注:
ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合、レポートデザイナーでレポートを作成し、分析センターでデータの可視化を作成できます。レポートデザイナーの詳細については、「レポートの作成」を参照してください。

まったく新しい Yokohama インスタンスと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されたインスタンスでは、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、次に移動します: レポート > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

ServiceNow システムには、インシデント管理やサービスカタログ要求などのアプリケーションや機能に関するデータを提供する一連の定義済みレポートが含まれています。独自のレポートを作成する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

こともできます。ダッシュボードやランディングページにレポートを追加して、組織全体で情報を共有します。

関連情報

レポートの管理

レポートの実行

レポートを実行して、既存のレポートの現在のデータを表示します。

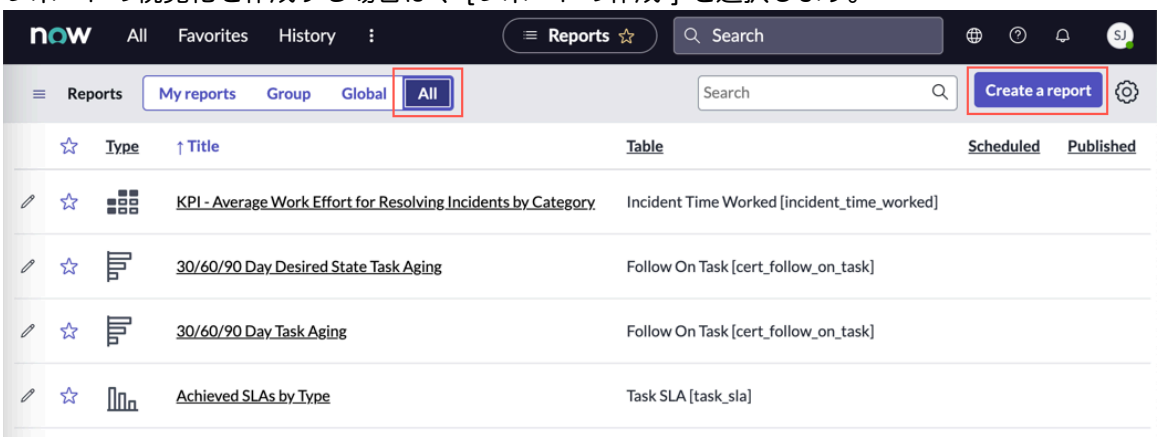
始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、次に移動します: レポート > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 データの可視化の表示」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行 をクリックして、既存のレポートのリストを表示します。
   表示するレポートが表示されない場合は、[すべて] を選択して、レポートの完全な一覧を表示します。
2. 実行するレポートのタイトルを選択します。
3. レポートの視覚化を作成する場合は 、[レポートの作成] を選択します。



タスクの結果
レポートがレポートデザイナーに表示されます。

次のタスク
レポートの作成

関連情報

レポートの管理

リストからのレポートの実行

リストから直接円グラフまたは棒グラフのレポートを作成することができます。レポートのロールがある場合は、これらのレポートを保存、配布、およびエクスポートすることもできます。

自動翻訳

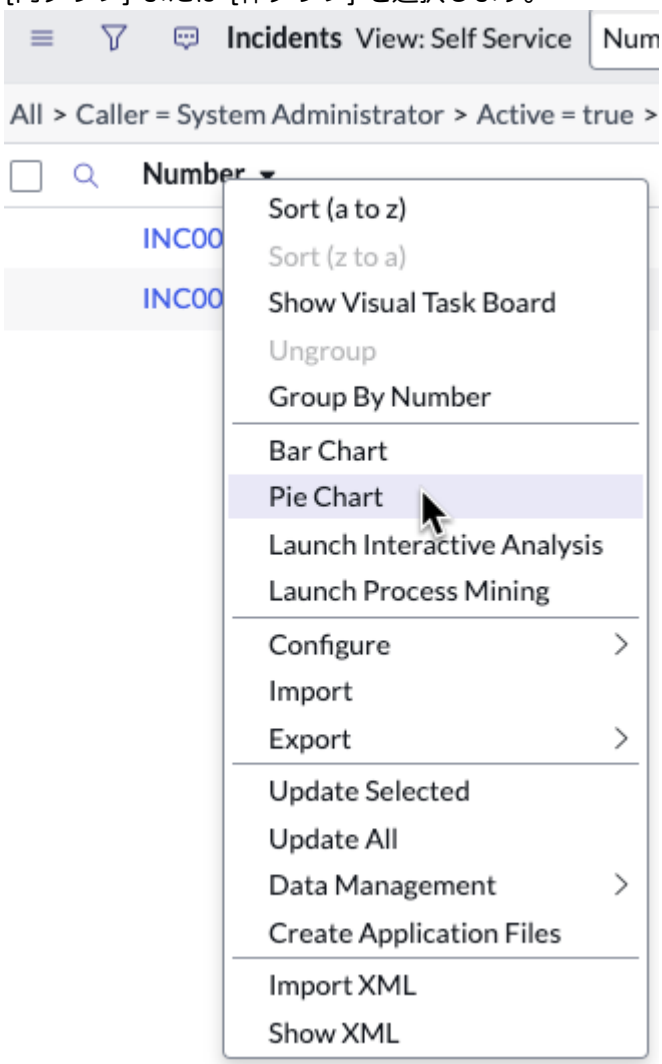
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

別の種類のレポートを作成するには、「 レポートの作成」を参照してください。

手順

1. リストに移動します。
2. グラフの棒またはスライスとして表示する値を含む列の見出しを右クリックします。
3. [円グラフ] または [棒グラフ] を選択します。



レポート作成ツールでレポートが生成され、開きます。

次のタスク

- レポート デザイナーを使用してレポートを共有します。
- 他のユーザーと共有するための URL を生成し、レポートを公開します。

関連情報

円グラフ

垂直バーおよび水平バーレポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの作成

インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 データの可視化の作成」を参照してください。

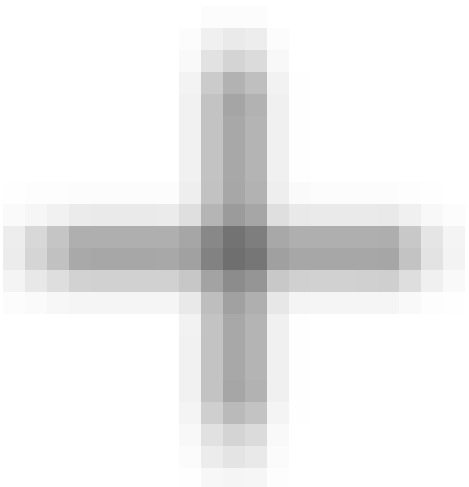
このタスクについて

レポートの生成、レポートデザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

新しいレポートの生成方法、レポート デザイナーでのレポートの作成方法、レポートの共有方法、およびレポートのスケジュール設定を行う方法。

手順

1. 次のいずれかのパスに従います。

オプション	説明
レポートの作成	次のように移動する。 レポート > 新規作成.
既存のレポートの編集	次のように移動する。 レポート > 表示/実行 をクリックし、レポート名の横にある編集アイコン ( ) をクリックします。
ダッシュボードでのレポートの作成	レポートを追加するダッシュボードに移動し、[ウィジェットを追加] アイコン  ( ) を選択し、[レポート] を選択します。
ダッシュボードでのレポートの編集	レポートが存在するダッシュボードに移動し、[編集] をクリックします。レポートを編集するには、その編集アイコン ( ) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [設定] および [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力します。
3. [保存] をクリックします。

   レポートが生成されます。

   注:
   特定のレポート タイプの作成の詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。

アナリティクス Q&A を含むレポートの作成

レポートデザイナーフォームに質問を入力すると、アナリティクス Q&A によってレポートが生成されます。アナリティクス Q&A では、データソースを選択し、適切な可視化を選択できます。

始める前に
アナリティクス Q&A には 自然言語クエリー (NLQ) が必要です。

NLQ は、 レポートのプロパティー のレポートデザイナーでも有効にする必要があります。アドミニストレーターに確認してください。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスが プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行された場合、この機能は利用できません。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

Microsoft Internet Explorer を使用している場合、アナリティクス Q&A は利用できません。

必要なロール：なし

このタスクについて
アナリティクス Q&A では、次の言語がサポートされています。

- 英語
- フランス語
- カナダフランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- 日本語

この機能は、サポートされていない言語を使用するセッションでは使用できません。

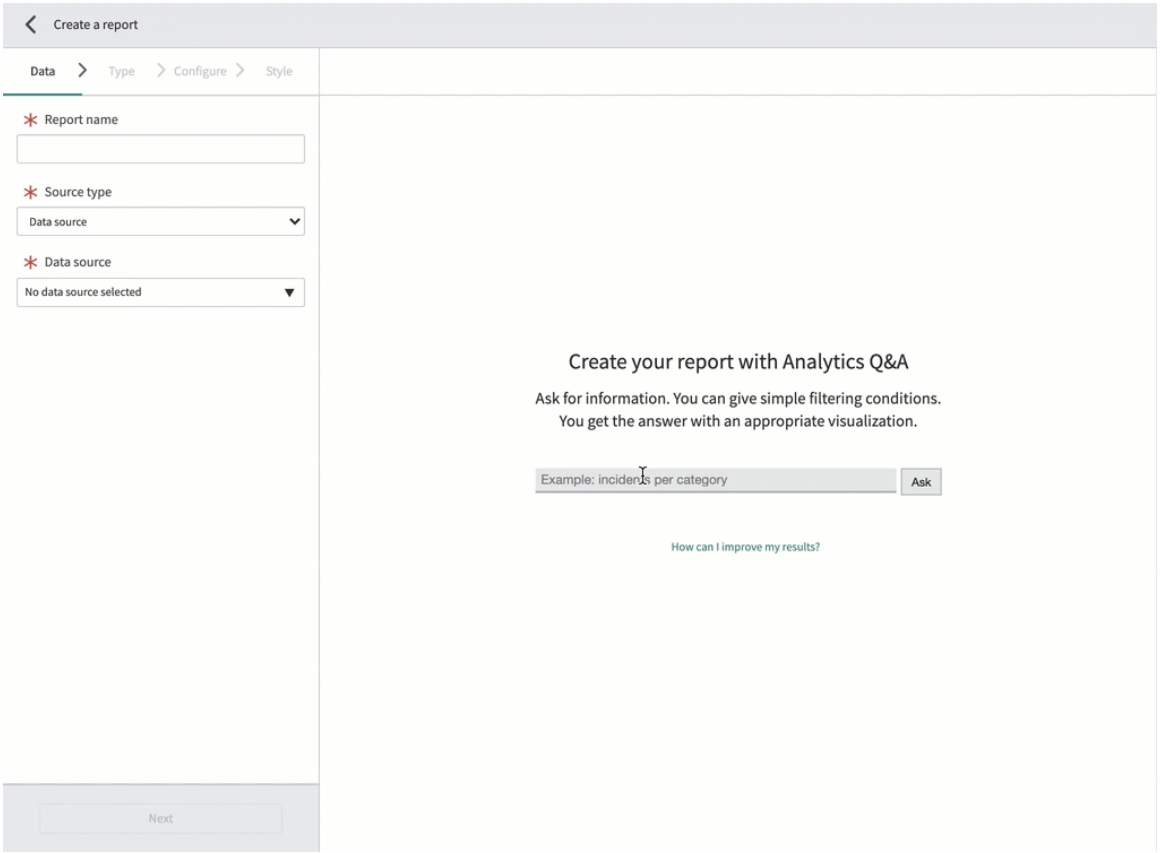
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
2. レポートに必要な情報の入力を [アナリティクス Q&A] フィールドに入力します。
   アナリティクス Q&A では、クエリのキーワードを使用して、探している情報の種類を判断します。これらのキーワードに基づいて、入力中に提案が表示されます。キーワードとその用途の一覧を確認するには、[検索結果を改善する方法] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [質問] をクリックします。
   アナリティクス Q&A は、適切な可視化を含むレポートを生成しま



す。

次のタスク
左マージンメニューで、ビジュアル化の変更など、レポートを変更できます。新しいクエリを入力して [確認] をクリックすると、新しいレポートが生成されます。追加したカスタム表示はすべてクリアされますが、他の設定は新しいレポートに保持されます。

関連情報

アナリティクス Q&A

レポートのオプション

フォームの編集時には、レポートについて、保存、共有、実行、削除、または詳細情報を表示するように選択することもできます。

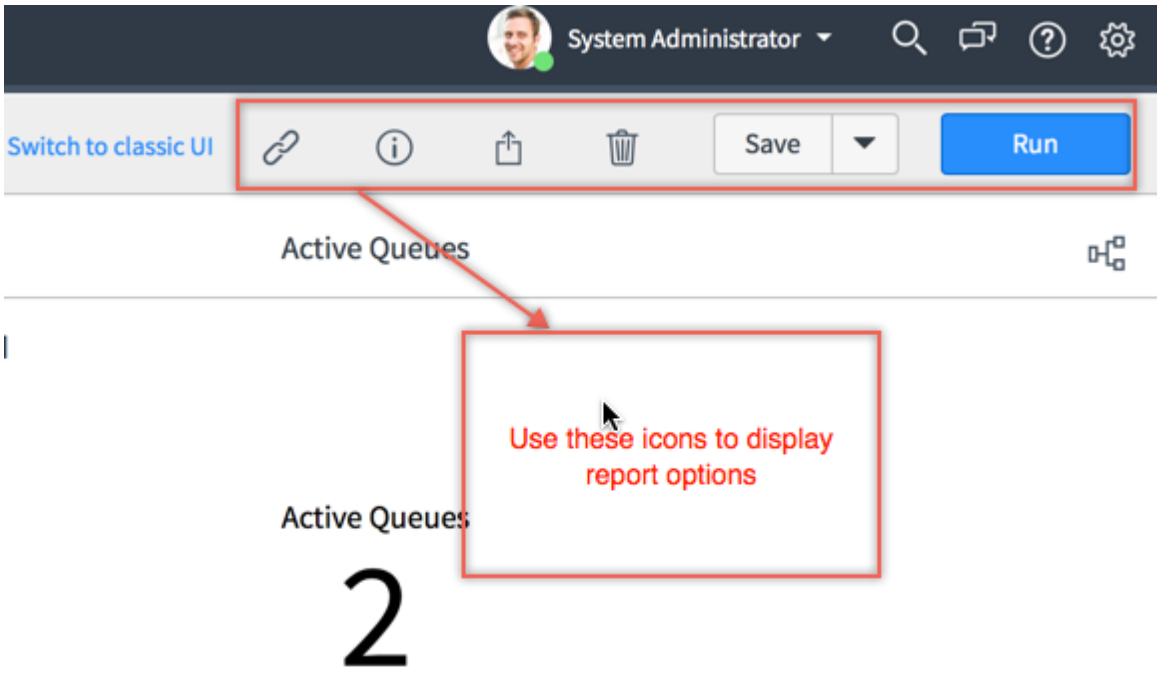
注:

まったく新しい Yokohama インスタンスと プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されたインスタンスでは、レポート機能はデータの可視化に置き換えられます。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

すべてのアクションは、フォームの右上にある [保存] と [共有] の各リスト、[情報]、[削除]、および [実行] の各ボタンから実行できます。使用可能なレポートのオプションは、レポートを操作するユーザーのロールによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポートのオプション

名前	説明
リンク ( )	他の文書にコピーできる保存済みレポートの URL を表示します。
情報 ( )	レポートの一般情報と統計情報を表示します。一般情報には、ベース テーブル、タイプ、作成者、ユーザー、グループ、およびレポートの最終更新日が含まれます。統計情報には、レポートが最後に実行された日時、実行回数、および実行時間が含まれます。
共有 ( )	レポートの出力を共有するための複数のオプションを表示します。
共有	レポートの表示を設定できます。オプションは、[自分]、[全員]、および [グループとユーザー] です。共有の詳細については、「レポートを共有する」を参照してください。 このオプションは、共有アイコン( )から使用できます。
スケジュール	レポートを実行するためのスケジュールを作成します。 注: カレンダー レポートをスケジュールすることはできません。
ダッシュボードに追加	現在のレポートをダッシュボードに追加します。レポートやその他のダッシュボードの内容を編集する方法の詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。
PDF エクスポート	ダウンロードやメールで送信できる PDF を生成します。このオプションは、カレンダー レポートでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのオプション (続く)

名前	説明
	注: ドリルダウン レポートは PDF へエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF にエクスポート]** を選択した場合、トップレベルのレポートの PDF が生成されます。
公開	レポートの URL を作成し、レポート フォームの上に URL を表示します。この URL をメールで送信してレポートを共有できます。
削除	
削除 ( )	レポートを削除します。
保存	
保存	変更内容をレポートに保存し、フォームを開いたままにします。
更新	変更内容をレポートに保存し、[レポート] リストに戻ります。
挿入	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、[レポート] リストを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
挿入と維持	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、新しいレポートを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
データ ソースとして保存	[新しいレポートソースを作成します] ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、レポート条件を他のレポートに再利用できるレポート ソースとして保存することができます。
実行	
実行	選択した条件とレイアウトに基づいてレポートを作成します。

関連情報

レポートの管理

[レポート] リストの表示

レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。

標準プラットフォームのアクセス制御リスト (ACL) は、レポートリスト内のレポートへのアクセスを管理します。レポートへのアクセスを制御するために使用される ACL の詳細については、「アクセス制御リストのルール」を参照してください。

注:
プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されたインスタンスでは、すべての可視化がライブラリにあります。次のように移動する。 **All** (すべて) > **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > ライブラリ > データの可視化.

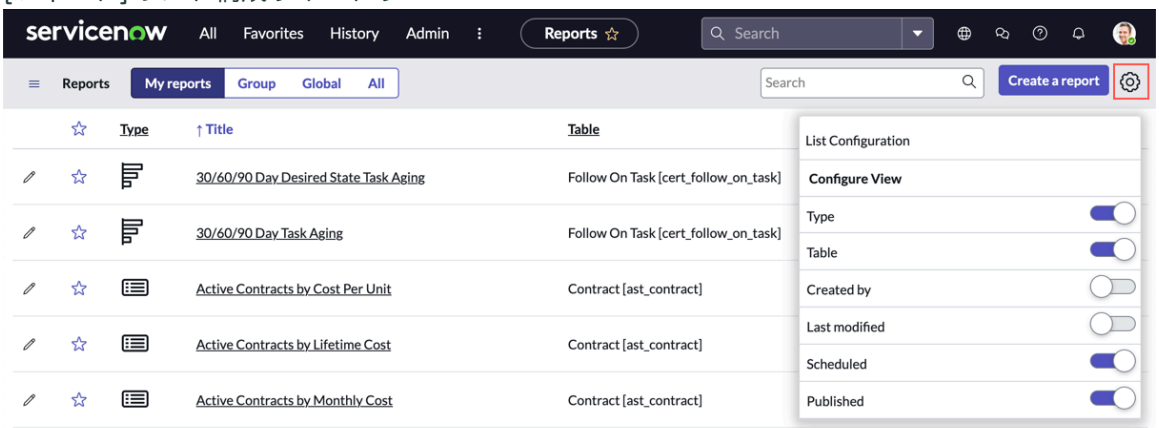
標準のレポートリストコントロールを使用して、タブ、列見出し、またはお気に入りアイコン ( ) を選択して、検索結果をソートおよびフィルタリングできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行 をクリックして [レポート] リストを開きます。[レポートの作成] ボタンの横にある歯車アイコン ( ) を選択して、[レポート] リストに表示される列を構成します。

[レポート] リスト構成ウィンドウ



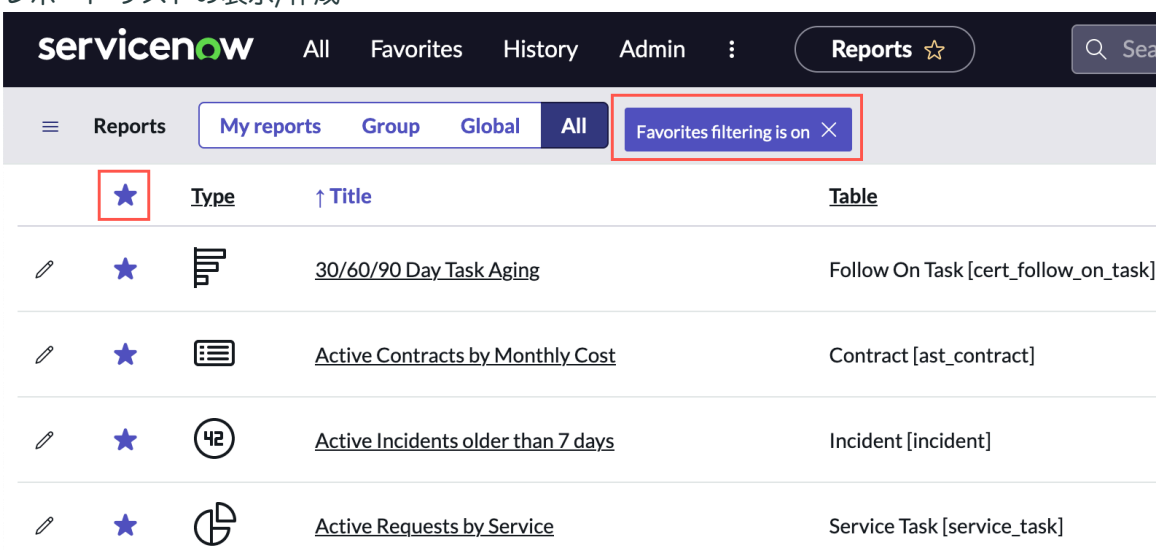
次のタブを使用して、[レポート] リストをフィルタリングできます。

[レポート] リスト

タブ	説明
自分のレポート	自分が作成したレポート。
グループ	自分と、自分がメンバーになっているグループに共有されたレポート。
グローバル	全員が利用できるレポート。
すべて	アクセスできるすべてのレポート (グローバル、グループ、および自分のレポート)。

星型アイコン ( ) を選択すると、[レポート] リストにお気に入りのみが表示されます。[**Favorites]** フィルタリングがオンになっている 横の [X] を選択して、表示が許可されているすべてのレポートを表示します。

レポート リストの表示/作成



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

report_admin ロールまたは admin ロールを持っている場合は、これらの列も [レポート] リストに表示されます。

追加の列

列	説明
スケジュール済み	レポートが将来実行されるようにスケジュールされていることを示します。レポートの定期的なメール送信をスケジュールできます。
公開済	レポートが公開されている場合、この列にはチェックマーク ( ) が表示されます。

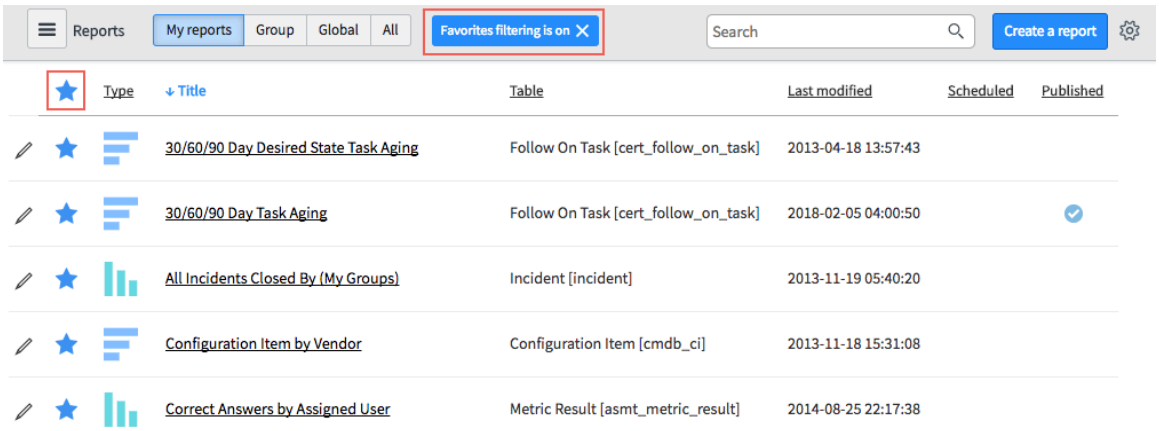
お気に入りのレポートの表示

すべてのレポートを表示するか、またはお気に入りとしてマークしたレポートのみを表示できます。レポートには、自動と手動の両方でお気に入りをマークすることができます。

お気に入りのレポートのみを表示するか、すべてのレポートを表示するかを切り替えるには、リスト見出しのお気に入りアイコン ( ) をクリックします。

注:
お気に入りのフィルタリングは有効なままになります。前回 [レポート] リストを表示したときにお気に入りだけを表示するように選択した場合は、次回もお気に入りのみが表示されます。お気に入りアイコンをクリックするか、または [お気に入りのフィルタリングはオンです] ボタンをクリックすると、選択したカテゴリで表示する権限を持っているすべてのレポートが表示されます。[自分のレポート] カテゴリは、[レポート] リストを開くとデフォルトで選択されます。

レポートのお気に入り



レポートを開くと、レポートは自動的にお気に入りとしてマークされます。レポートのタイトルの横にある星形アイコンをクリックすると、レポートをお気に入りとして手動でマークできます。

レポートのお気に入りとしての自動マークをオフにするには、ユーザー設定 *glide.ui.nav.auto_favorite*を無効にします。詳しくは、 ユーザー設定 を参照してください。

レポートオーナーを表示

デフォルトでは、レポートオーナーはレポートリストに表示されませんが、レポートを作成したユーザーを表示する列を追加できます。通常、作成者は所有者です。

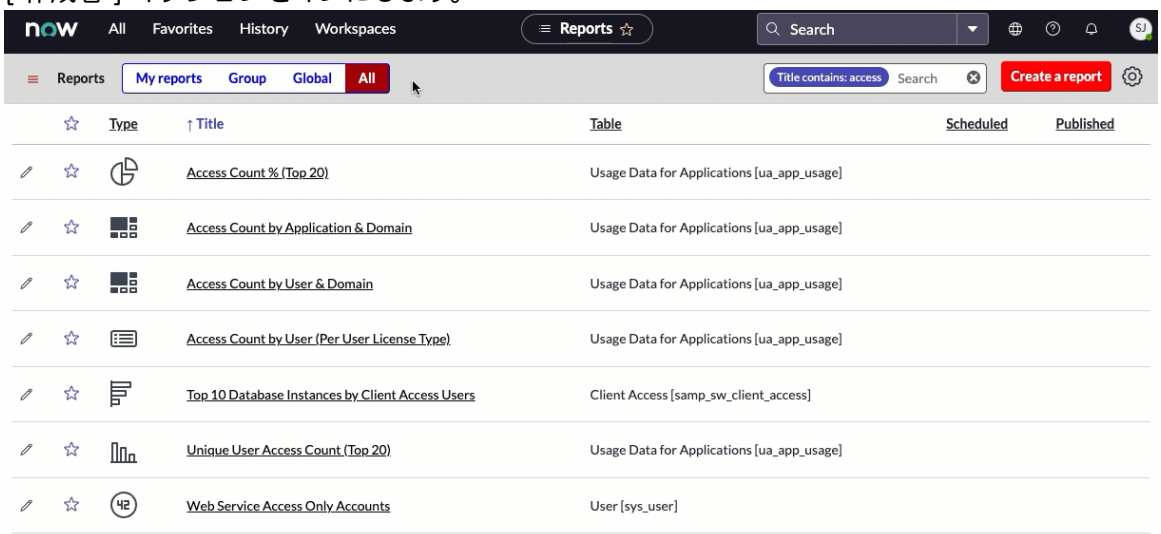
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. [すべて] を選択すると、レポートの完全なリストが表示されます。
3. 歯車アイコン を選択して、[リスト構成] メニューを表示します。
4. [作成者] オプションをオンにします。



[レポート] リストの **URL** パラメータ

[レポート] リストの URL にパラメータを追加して、ロード前にリストをフィルタリングすることができます。

[レポート] リストの **URL** 構造

URL の構造は、https://<instance-name>.service-now.com/report_home.do?<parameter_name>=<parameter-value> となります。

たとえば、URL https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=MyReports は、[自分のレポート] タブを選択した状態で [レポート] リストを返します。

パラメータ

[レポート] リストの URL では、次のパラメータを使用できます。

パラメータ	可能な値
jvar_selected_tab	指定されたタブが選択された [レポート] リストを表示します。次の値を使用します。 • 自分のレポート • グループレポート • グローバルレポート • すべてのレポート
jvar_search_table	指定したテーブルに作成されたレポートをフィルタリングします。たとえば、パラメータ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメータ	可能な値
	jvar_search_table=incident は、インシデントテーブルで作成されたレポートのみを表示します。
jvar_list_order_by	次のいずれかの列で、リストをソートします。 • type • title • テーブル • 変更日 • 予定 • 公開済 • createdBy たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_list_order_by=table は、レポートのソーステーブルでソートされたリストを返します。 **注:** 昇順または降順を指定するには、jvar_list_sort_direction を使用します。
jvar_list_sort_direction	ソートの方向を指定します。 • asc：リストを昇順でソートします • desc：リストを降順でソートします
sysparm_reportquery	指定した値を含む名前でレポートをフィルタリングします。たとえば、sysparm_reportquery=Active は、タイトルに文字列 Active を含むレポートを返します。
jvar_search_created_by	レポートを作成したユーザー。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=allReports&jvar_search_created_by=itil は、ユーザー名 itil のユーザーが作成したレポートを返します。
sysparm_query	プラットフォーム条件ビルダ形式の任意の条件をフィルタリングできます。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?sysparm_query=titleSTARTSWITHPRB&table!=incident です。 詳細については、「条件ビルダー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのコピー

独自のグローバルレポートを作成できないユーザーは、グローバルレポートを変更してから、レポートの個人用バージョンを保存できます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

このタスクについて

グローバルレポートをグループレポートまたは個人レポートとして保存すると、プラットフォームによってレポートがコピーされます。レポートのセキュリティステータスは変更されません。

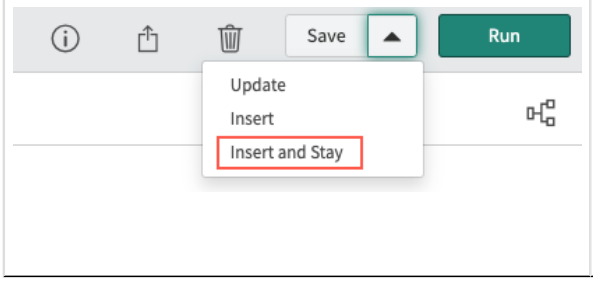
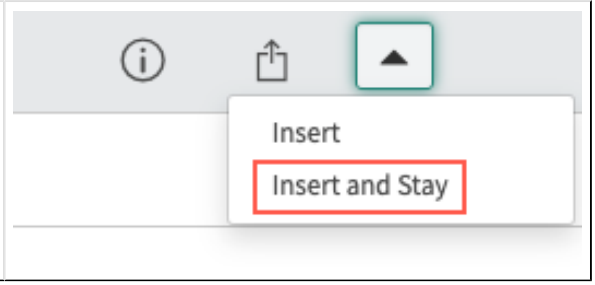
注:

- 個人レポートを開き、グループレポートまたはグローバルレポートとして保存しようとすると、セキュリティ状態のみが変更されます。レポート自体はコピーされません。
- [挿入と維持] を選択してレポートをコピーすると、共有設定は新しいレポートにコピーされません。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 での可視化の複製 可視化デザイナー」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. [保存] ボタンの横、または共有アイコン( )の横にある矢印をクリックします。
   レポートを変更する権限がある場合は、[保存] ボタンが表示されます。矢印は、元のレポートを変更する権限がない場合にのみ表示されます。
3. [**Insert and Stay**] をクリックします。

[保存] ボタン	[保存] ボタンを使用しない
	

[挿入と維持] アクションでは、変更可能なレポートのコピーが作成されます。

4. レポートを変更します。
   「レポートタイプ」を参照してください。
5. オプション: レポートの可視化を変更します。
   レポートフォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[共有] を選択します。

関連情報

レポートを共有する

レポートの削除

使用しなくなったレポートを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:レポートを削除するには、作成者またはアドミニストレーターであるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートを管理するロールがないユーザーにレポートが共有されている場合、そのユーザーがレポートを管理することはできません。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 で可視化を削除する 可視化デザイナー」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 削除するレポートを選択します。
3. レポートが開いたら、 削除 アイコン( )をクリックします。
4. レポートを削除することを確認します。

タスクの結果
選択したレポートが削除され、共有、公開、または表示することはできなくなります。

関連情報
レポートの管理

複数のレポートを削除

不要になった複数のレポートを削除します。

始める前に
必要なロール:レポートを削除するには、作成者またはアドミニストレーターであるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートが共有されていて、レポート管理ロールを持っていない場合は、削除できません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > **All** (すべて).
2. 削除するレポートの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから [削除] を選択します。
   削除が許可されていないレポートを選択すると、メニューに削除される数が少ないことが示されます。
4. レポートを削除することを確認します。

タスクの結果
選択したレポートは削除され、共有、公開、表示できなくなります。

関連情報
レポートの管理

レポートの配布

レポートを配布して、他のユーザーにビジネス情報を提供します。

レポートのアクセス制御

セキュリティ状態を適用し、レポートを表示するユーザーを制御できます。次のようなレポートを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 つまたは複数のロールに表示
- 特定の 1 つまたは複数のユーザーまたはグループに表示

ユーザー、グループ、またはロール別での共有が、レポートを共有する主な方法です。アクセス制御リスト (ACL) を使用して、基礎となるテーブルまたは データベースのビュー データへのアクセスを制御できます。ユーザーは、レポートのデータソースまたはソース テーブル内のデータ レコードへのアクセス権がない場合、レポートを表示できます。ただし、レコードをリスト ビューまたはドリルダウン ビューで表示することはできません。データベースビューリストのレポートでは、リスト内のレコードを表示するために、レポートを実行するユーザーがターゲット データの ACL を満たす必要があります。十分な権限がないユーザーには、フィルタリングされたリストのレポートが表示されます。

注:
テーブルの ACL が、そのテーブルに基づくデータベース ビューを伝播するわけではありません。データベース ビューには個別の ACL が必要です。

円グラフや棒グラフなどの集計データを表示するレポートでは、レポートを表示するためにターゲット テーブルの ACL を満たす必要はありません。レポート表示方法の一部を選択する場合は、レコードリストを表示するために ACL が必要です。レポートへのアクセス権があってもレコードの一部にアクセスできない場合、そのレコードはレポートのデータのドリルダウン リストまたはリスト ビューに表示されません。ただし、データの表示方法には含まれます。

ユーザーがグローバル レポートをグループまたは個人レポートとして保存する場合、プラットフォームはセキュリティ状態を変更するのではなく、レポートをコピーします。レポートをコピーすると、独自のグローバル レポートを作成できないユーザーがグローバル レポートを変更して、レポートの個人用バージョンを保存できます。

ユーザーが個人レポートを開いてグループまたはグローバル レポートとして保存しようとすると、レポートをコピーするのではなく、セキュリティ状態が変更されます。

関連情報

ACL トラブルシューティングリファレンス

Managing roles

Creating groups

レポートを共有する

[レポート] リストでレポートを表示できるユーザーとグループを制御します。

始める前に

必要なロール:report_admin、report_global、または report_group。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー」を参照してください。

レポートを共有できるロールは次のとおりです。

ロール	レポートの共有権限
report_admin	ユーザー、グループ、または全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象として共有できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ロール	レポートの共有権限
	• 任意のユーザー • 任意のグループ • everyone report_adminレポートを編集することもできます。
report_global	• 全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、全員を対象として共有できます。 • ユーザーまたはグループと共有されているレポートは共有できません report_globalユーザーは、すべてのユーザーと共有されているレポートを編集することもできます。
report_group	• ユーザーと共有されているレポート、またはユーザーが所属するグループと共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象としてレポートを共有できます。 ○ 任意のユーザー ○ 任意のグループ • 全員またはユーザーが属していないグループと共有されているレポートを共有することはできません。 report_groupユーザーは、自分がメンバーであるグループと共有されているレポートを編集できます。
report_publisher	共有権限はありません。
report_scheduler	共有権限はありません。
report_user	共有権限はありません。

このタスクについて
次のようにして、レポートを表示するユーザーを制御できます。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 人または複数のユーザーに表示
- 特定の 1 つまたは複数のグループに表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
レポートの権限によって、レポートを共有できるユーザーまたはグループの数が制限されることがあります。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」を参照してください。

レポートを共有するときに、レポートの編集権限を付与することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行 をクリックし、制御するレポートを選択します。
2. レポートフォームの右上にある 共有 アイコン ( ) をクリックし、[共有] を選択します。
3. [共有設定] ダイアログ ボックスで、フィールドに入力して **[OK]** をクリックします。

共有設定

フィールド	説明
表示対象	レポートを利用可能なユーザー。次のオプションを選択できます。 ○ 自分：ユーザーのみがレポートを表示できます。このオプションは、作成したレポートでのみ使用できます。 ○ 全員：すべてのユーザーがレポートを表示できます。ただし、必要なロールを選択することができ、それらのロールの少なくとも 1 つを持つユーザーのみがレポートを表示できます。 ○ グループとユーザー：特定のグループとユーザーだけがレポートを表示できます。 [グループとユーザー] オプションは、report_group ロールを持つユーザーに表示されます。
ロールが必要	(オプション)ロール [sys_user_role] テーブルからのロール。ロールを選択する場合、レポートを表示するには、ユーザーに少なくとも 1 つのロールが必要です。ロールを選択しない場合、すべてのユーザーがレポートを表示できます。 必要なロールは、それ以外の場合は全員に表示されるレポートに対してのみ指定できます。このようなレポートを特定のグループおよびユーザーと共有するように変更すると、必要なロールが適用されなくなります。
グループ	レポートを表示する権限を持つメンバーのグループ。 このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。
ユーザー	レポートを表示する権限を持つユーザー。 このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。

4. [共有] アイコン ( ) をクリックし、[ダッシュボードに追加] または [公開] を選択します。
5. ダッシュボードを共有するか、公開されたレポートの URL を共有します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

公開されたレポートの URL は、レポートを共有したすべてのユーザー、ロール、またはグループと共有できます。

レポートを公開するには、プロパティ *glide.report.published_reports.enabled*を有効にします。詳細については、「(従来)レポートの公開」を参照してください。

レポートを共有するユーザーには、レポートのデータを表示する権限が必要です。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レポートの管理

レポートのメールをスケジュール

スケジュール済みレポートを生成し、メールで配布します。

始める前に

必要なロール:report_scheduler、report_admin、admin

このタスクについて

スケジュール済みレポートは、PDF、CSV、または XLS 形式で配布できます。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF 形式で配布することができます。マルチレベルピボットレポートは、PDF 形式でのみスケジュールすることができます。

注:

- カレンダー、マップ、単一スコアのレポートをスケジュールすることはできません。プラグイン *com.snc.whtp* が有効になっている場合にのみ、ピボットテーブルレポートをスケジュールできます。
- ユーザーアカウントが無効になっている個人が作成したレポートには、データが表示されない場合があります。目的のデータが表示されるようにするには、アクティブユーザーがスケジュール済みレポートを再作成する必要があります。
- Oracle DB インスタンスでは、レポートのフィルター条件の組み合わせが 4,000 文字を超えると、スケジュール設定済みメールは生成されません。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 から可視化をエクスポートする 可視化デザイナー」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > スケジュール済みレポート.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 必要に応じて、フィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	スケジュールされているレポートの名前。
レポート	スケジュール設定しているレポートへの参照。検索アイコンを使用して、レポートを見つけることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 自動メールサポートは、カレンダー、マップ、単一スコアレポートでは利用できません。
ユーザー	スケジュールされた日時にレポートを受信する個々のユーザー。レポートを受け取るためにユーザーレコードで [通知] が [有効] に設定されている必要があります。
グループ	スケジュールされた日時にレポートを受信するグループ。
メールアドレス	システムにないレポート受信者のメールアドレスのカンマ区切りリスト。
アプリケーション	レポートを含むスコープ対象のアプリケーションの名前。レポートがグローバルスコープ内にある場合、[グローバル] が表示されます。
アクティブ	アクティブな場合、スケジュール済みレポートが配信されます。
実行	スケジュール済みジョブの実行に使用する時間間隔： ○ 日次：指定された時刻に毎日実行されます。 ○ 週次：指定された時刻と曜日に、毎週実行されます。 ○ 月次：指定された日の時刻に、毎月実行されます。 ○ 定期的：指定した繰り返し間隔で実行されます。 ○ **1**回：1 回のみ実行されます。 ○ オンデマンド：オンデマンドですぐに実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ開始：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール済みジョブが実行されます。 たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ終了：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカレン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ダー：エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 **注:** [ビジネスカレンダー：エントリ開始 **(Business Calendar: Entry Start)**] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了 **(Business Calendar: Entry End)**] を選択すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュールを設定できます。ビジネスカレンダーを選択し、そのすべてのビジネスカレンダースパンが過去のものである場合、これは無効な構成であるため、ジョブは実行されません。詳細については、[オフセットタイプ **(Offset Type)**] フィールドと [オフセット **(Offset)**] フィールドを参照してください。 ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「Creating business calendars」および「Define business calendar entries」を参照してください。
タイムゾーン	スケジュール済みジョブの実行時間を指定するときに [時間] フィールドエントリで使用するタイムゾーン。タイムゾーンエントリを次のように選択します。 ○ なし：スケジュール済みジョブを作成しているログインユーザーのデフォルトのタイムゾーンを使用します。 たとえば、ユーザーのアサインされたタイムゾーンが米国太平洋標準時であり、[時間] フィールドに 16:45 と入力した場合、スケジュール済みジョブは米国太平洋標準時の午後 4 時 45 分に実行されます。 ○ システムのタイムゾーンを使用：実行するインスタンスに指定されたデフォルトのシステムタイムゾーンを使用します。 たとえば、インスタンスのデフォルトのシステムタイムゾーンがヨーロッパ/ロンドンであり、[時間] フィールドに 22:15 と入力した場合、スケジュール済みジョブはロンドン時間の午後 10 時 15 分に実行されます。 ○ 実際のタイムゾーン。 たとえば、[米国/東部] を選択し、[時間] フィールドに 13:30 と入力した場合、スケジュール済みジョブは米国東部標準時の午後 1 時 30 分に実行されます。
時刻	スケジュール済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。
日	スケジュール済みジョブを実行する日。 ○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を選択します。たとえば、水曜日を選択します。 ○ [実行] が [月次] に設定されている場合は、月の日を選択します。たとえば、毎月 25 日の場合、25 を選択します。 このフィールドは、[実行] フィールドで [月次] または [週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し間隔	スケジュール設定された各ジョブ実行の繰り返し間隔の期間。期間を日数、時間数、または分数で入力します。例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 4 日ごとにスケジュール済みジョブを実行するには、[日数] フィールドに「04」と入力します。 ○ 26 時間ごとに実行するには、[時間] フィールドに「26」と入力します。 ○ 13:30:25 の間隔で繰り返す必要がある場合は、[時間] フィールドに「13」と入力し、その後のラベルのない 2 つのフィールドに「30」と「25」を入力します。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。
ビジネスカレンダー	スケジュール済みジョブに対するビジネスカレンダーの開始日または終了日を決定するために使用しているビジネスカレンダーエントリ。このフィールドは、[時間] フィールドで [ビジネスエントリ：開始日 **(Business Entry: Start Date)]** または [ビジネスエントリ：終了日 **(Business Entry: End Date)]** を選択した場合にのみ表示されます。
オフセットタイプ (Offset type)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットのタイプ (存在する場合)。 ○ 過去 **(Past)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの開始前に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ 将来 **(Future)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの終了後に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ なし：このジョブのスケジュール設定に時間オフセットを適用しません。 オフセット係数を追加すると、次のユースケースに対するビジネスカレンダーで定義された正式な時間スパンの前または後にジョブの実行をスケジュール設定できます。
オフセット (OffSet)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットの量 (日、時間、分、秒)。たとえば、ビジネスカレンダーの開始日よりも 3 日、14 時間、10 分、45 秒前にジョブを開始するようにスケジュール設定する場合は、次のようにします。 ○ [オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [過去 **(Past)]** を選択します。 ○ [日数] フィールドに「**3**」と入力します。 ○ [時間] フィールドに「**14**」、「**10**」、「**45**」と入力します。 [オフセット日数 **(Offset days)]** フィールドと [時間] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択し、[オフセットタイプ] フィールドで [過去] または [予定] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	スケジュール済みジョブの数値の優先度： ○ 必須ジョブの優先度値を 100 未満に設定します。 ○ 必須でないジョブの優先度値を 100 より高く設定します。 ○ すべてのスケジュール済みジョブの 70 パーセント以上が [期限切れ] の場合、100 を超える値でマークされたジョブは実行されません。
条件付き	オンにすると、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
レコードがない場合は省略	オンにすると、空のレポートは配布されません。
条件	スケジュール済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。ServiceNow プラットフォームのスクリプトの詳細については、「スクリプト」を参照してください。 **警告:** スケジュール設定済みメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	(オプション) レポートにメッセージを追加します。 レポート出力タイプが埋め込み PNG の場合 ○ メッセージ本文でタグ ${report:png} を使用して、メッセージ内にレポートを配置します。それ以外の場合、レポートはメッセージの下部に表示されます。 ○ タグ ${report:include_with} を使用して、メールに含まれる他のレポートを配置します。それ以外の場合、これらのレポートはメッセージの下部に表示されます。
タイプ	レポートの出力タイプ。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF ファイルにすることができます。リストレポートは、PDF、Excel、または CSV ファイルにすることができます。 グラフィカルレポートをスケジュールするときは、**[PDF]** または **[PDF - 横向き]** 出力タイプを選択し、チャートのグリッドデータを含めることができます。データレポートをスケジュールするときは、**[Excel]** または **[CSV]** 出力タイプを選択します。 レポート可視化をメールの本文に埋め込むには、[埋め込み **PNG]** を選択します。大きな画像はメールに合わせてスケールされます。 詳細については、「レポート出力形式」セクションを参照してください。 **注:** PDF 出力では、マルチレベルピボットのレポートをスケジュールすることのみが可能です。
ZIP 出力	オンにすると、レポートは zip ファイルの添付ファイルとしてメールに送信されます。
一緒に含める	メールに含める 1 つ以上の追加レポート。メール内でレポートを並び替えることはできません。検索アイコンを使用して、他のレポートを見つけることができます。
ページサイズ (マルチレベルピボッ	A3、A4、レター、リーガルのサイズの中から選択します。別の用紙サイズの寸法を指定するには、[カスタム] を選択し、[ページの高さ] および [ページの幅] をピクセル単位で入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
トのレポートのみ)	
ページの高さ (ピクセル) (マルチレベルピボットのレポートのみ)	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの高さに 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。
ページの幅 (ピクセル) (マルチレベルピボットのレポートのみ)	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの幅に 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

スケジュール設定済みメールレポートを編集するには、[スケジュール済みレポート] リストからレポートを開きます。レポートを削除するには、[スケジュール済みレポート] リストからその行を削除します。

レポート出力形式

特定の出力形式でレポートをエクスポートできます。これらのレポートを定期的にエクスポートするようにスケジュールできます。

レポート出力形式

レポート形式	説明
PDF	縦または横向きで PDF を生成します。PDF レポートには、チャートグリッドデータが含まれます。マップレポートは PDF 形式にエクスポートできません。 **注:** マルチレベル ピボット テーブル を PDF にエクスポートするには、Webkit HTML to PDF プラグイン (com.snc.whtp) を有効にする必要があります。
Excel	レポートの表示方法は、Microsoft Excel (XLS) スプレッドシートとして表示されます。
PNG	レポートの表示方法は、ポータブルネットワークグラフィック (PNG) ファイルとして表示されます。「スケジュール済みレポートメールにレポートを画像として埋め込む方法」も参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート出力形式 (続く)

レポート形式	説明
CSV	レポートの表示方法は、カンマ区切り値 (CSV) のプレーンテキストファイルとして表示されます。

「別のユーザーとして実行」ユーザーとスケジュール済みレポートメール

ドメインセパレーションインスタンスを使用している場合、スケジュールレポートは「別のユーザーとして実行」ユーザーの権限を使用して生成されます。

デフォルトでは、スケジュール設定済みメールレポートを設定するユーザーは「別のユーザーとして実行」ユーザーです。このユーザーのドメインアクセスと report_view ACL 権限は、スケジュール済みレポートの生成時に適用されます。

スケジュール済みレポート内のデータが予想と異なる場合、スケジュール済みレポートを設定したユーザーは適切な「実行ユーザー」ではありません。アドミンまたは report_admin は、別の「実行ユーザー」を指定できます。

⚠ 警告:
「別のユーザーとして実行」ユーザーには、レポートをスケジュールするための適切な report_view ACL 権限が必要です。このユーザーの設定にはセキュリティ上のリスクがある可能性もあります。「別のユーザーとして実行」ユーザーを設定する場合は、カスタマーサービス & サポート に相談することを検討してください。

関連情報

report_view のアクセス制御

レポートを **PDF** にエクスポートする

レポートを PDF にエクスポートして、 ServiceNow インスタンスの外部で使用できます。

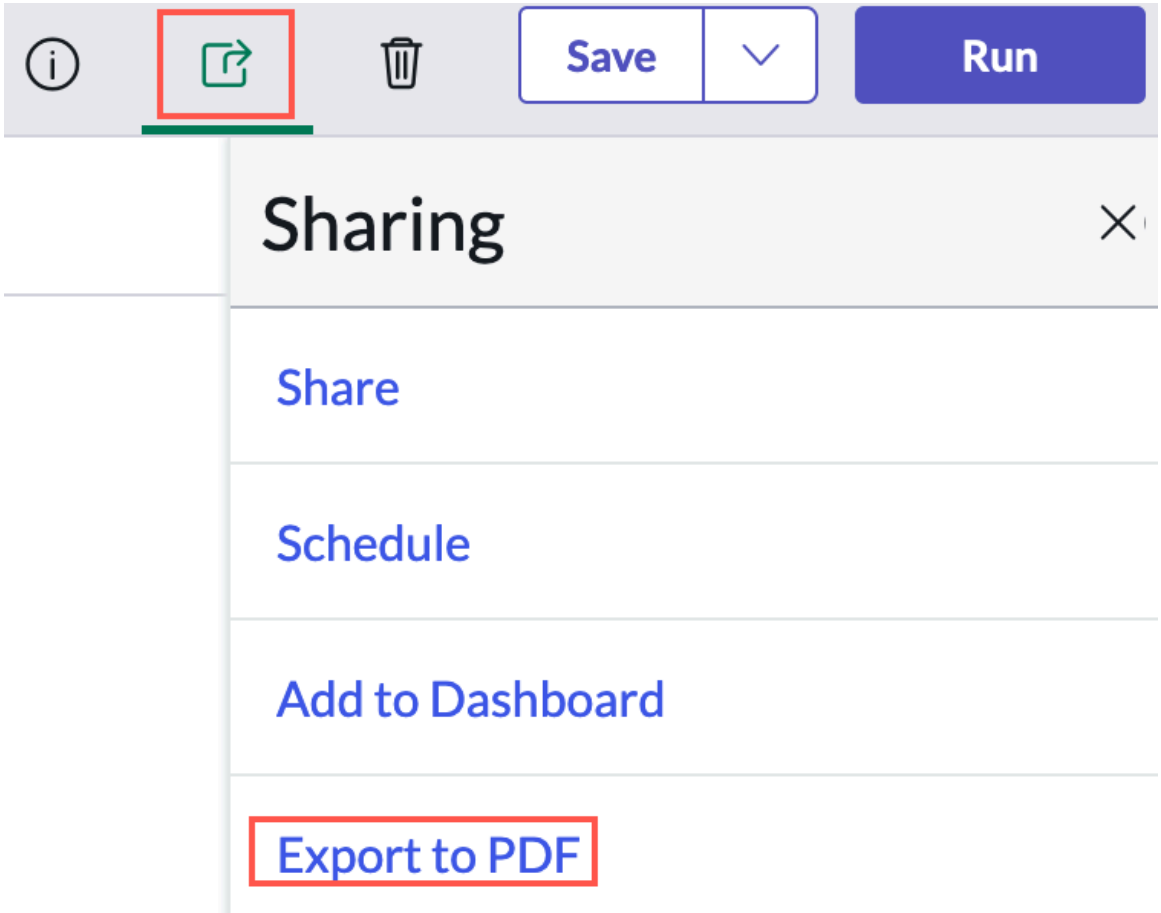
始める前に
必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
エクスポートされたレポートの情報は、アクセス権限のある情報のみです。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行 をクリックし、エクスポートするレポートを選択します。
2. [共有] アイコン ( ) を選択し、[**PDF** にエクスポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



a. PDF の向き、 縦向き 、 または横向きを選択します。

b. PDF を生成するか、1 人の受信者にメールで送信するかを選択します。

3. 配信方法を選択します。

[今すぐ生成] を選択して PDF を作成し、ダウンロードを受け取ります。

PDF を 1 人の受信者に送信するには、[メールとして送信] を選択します。エクスポートされたレポートを複数のアドレスに配信するようにスケジュールするには、「 レポートのメールをスケジュール」を参照してください。

4. [Export (エクスポート)] を選択します。

タスクの結果

エクスポートが完了すると、ダウンロードリンクまたはエクスポートが受信者に配信されるというメッセージが表示されます。

レスポンシブダッシュボードへのレポートの追加

関連するレポートやウィジェットをダッシュボード上に組み合わせることで、アクション可能な意思決定が加速します。レポートやウィジェットに 1 つずつ移動すると時間がかかり、効率が良くありません。

始める前に

必要なロール:レポートを作成できるユーザーは誰でも、そのレポートをレスポンシブダッシュボードに追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの生成、レポートデザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。 新しいレポートの生成方法、レポート デザイナーでのレポートの作成方法、レポートの共有方法、およびレポートのスケジュール設定を行う方法。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 追加するレポートを選択します。
3. [共有] アイコン ( ) をクリックし、[ダッシュボードに追加] を選択します。
4. レポートをホームページに追加するのか、ダッシュボード (デフォルト) に追加するのかを選択します。
5. レポートを追加する [ダッシュボード] および [タブ] を選択します。
6. [**Add**] を選択します。
   上側にあるダッシュボードにウィジェットが追加され、ダッシュボードが開きます。
7. オプション: ウィジェットを移動またはサイズ変更するには、[編集] を選択します。

(従来)レポートの公開

レポートを公開して、ユーザー以外の人を含め、誰でもレポートにアクセスできる URL を作成します。誰かがその URL に移動すると、インスタンスから現在のデータでレポートが生成されます。レポートは公開が中止されるまで利用可能です。

始める前に

危険:
権限のないユーザーにデータが公開されるリスクがあるため、この機能はデフォルトで非アクティブ化されています。

この機能を使用するには、システムプロパティ *glide.report.published_reports.enabled* を true に設定する必要があります。

必要なロール:report_publisher、report_admin、または admin

このタスクについて

ユーザーがレポートの公開 URL をたどったときに表示される内容には制限があります。

- グラフィック レポートとして表示され、ビジネスルールに制限されていないデータは、公開されたレポートに常に表示されます。リスト レポートを除くすべてのレポートは、グラフィック レポートです。
- 読み取り ACL はリスト レポートの内容を管理します。ユーザーは、アクセス権のないレコードを表示できません。
- 公開されたレポートへのアクセス権を持つ公開ロールでは、ログインしていないときにレポートに表示される元のデータの小さなサブセットが表示される場合があります。公開されたレポートに予期されるすべてのデータが表示されない場合の解決方法については、 KB 記事KB0736982 を参照してください。

admin または report_admin ロールを持つユーザーは、レポートが公開されているかどうかを確認できます。次のように移動する。 レポート > 表示/実行をクリックし、 レポートを開いて [共有] アイコン ( ) をクリックします。[共有] メニューに [公開] オプションがある場合、レポートはまだ公開されていません。[共有] メニューに [公開を中止] オプションがある場合、レポートは公開されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ログインしているユーザーのみがレポートを利用できるようにするには、 レポート の共有設定を [すべてのユーザー] に設定しますが、公開は行わないでください。

手順

1. 次のように移動する。 レポート > 表示/実行.
2. 公開するレポートをクリックします。
3. レポートフォームの右上にある 共有 アイコン ( ) をクリックし、[公開] を選択します。

   リンクアイコン ( ) が、レポートオプションアイコンのメッセージとともに表示されます。このアイコンをクリックし、公開されたレポートへのリンクを表示します。このリンクは、レポートが公開されている限り利用できます。

   注:
   ビジネスルールは、公開レポートのレコード収集方法に影響を与える可能性があります。

レポートの公開中止

公開されたレポートは、公開を中止するまで公開されている URL で利用できます。

始める前に
必要なロール:report_publisherと report_user、report_admin、または admin の両方。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 公開を中止するレポートを選択します。
3. レポートフォームの右上にある [共有] アイコン ( ) をクリックし、[非公開] を選択します。

タスクの結果
レポートは公開されなくなり、未公開レポートのリンクアイコン ( ) がレポートデザイナーから削除されました。

サービスポータルに関するレポート

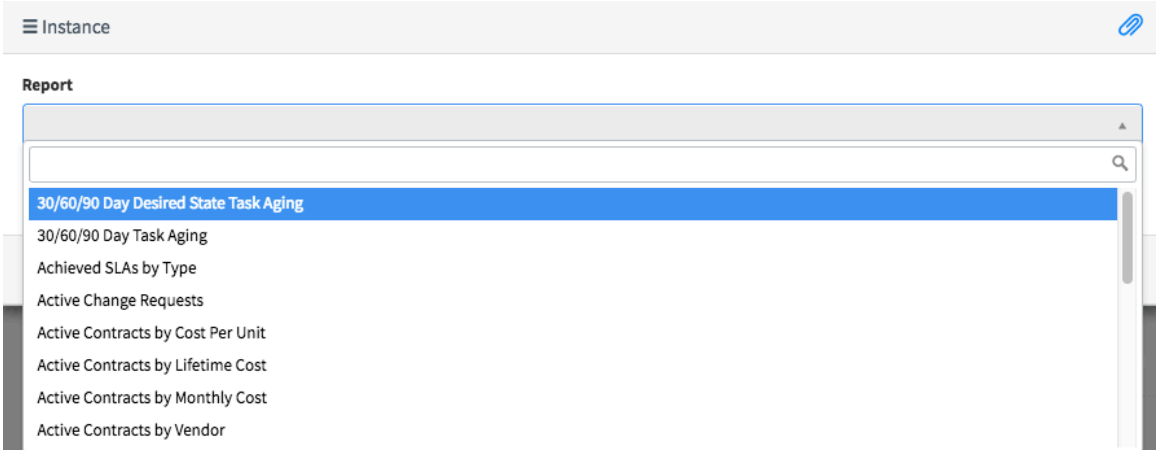
サービスポータルを使用してレポートを表示します。

ポータルを編集するときは、レポート ウィジェットを追加します。ウィジェットのオプションを使用して、サービスポータルに表示するレポートと、レポートのタイトルを表示するかどうかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート ウィジェット



レポート ウィジェットを使用すると、リスト レポート以外のすべてのレポート タイプをポータルに表示できます。代わりに簡易 リストウィジェット を使用してください。

パフォーマンスアナリティクスとレポート - サービスポータルウィジェットプラグインを有効にします

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に
必須ロール：admin

このタスクについて
Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

パフォーマンスアナリティクスとレポート - サービスポータルウィジェットのプラグイン

プラグイン	説明
サービスポータル [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

関連情報

プラグインのリスト

レポートタイプ

作成できるさまざまなタイプのレポート、作成するタイミングおよび作成方法について説明します。

レポートの視覚化を作成および構成する方法については、この 4 分間のビデオをご覧ください。 レポートデザイナーでレポートを作成、スタイル設定、および共有する方法

以下のタイプのレポートを生成してカテゴリ別に整理することができます。

- 棒グラフレポート：データ次元どうしでスコアを比較することができます。
- 円およびドーナツグラフレポート：円グラフなどの形状を使用して、データ セットの一部分と全体との関係を可視化します。
- 時系列レポート：データの経時変化を可視化します。時系列レポートでは、インスタンス内のデータやインポートしたデータ ソース内のデータだけでなく、MetricBase のデータを使用することもできます。詳細については、「MetricBase アプリケーション 」を参照してください。
- マルチディメンション レポート：次元どうしでデータを 1 つの表またはグラフに可視化します。
- スコア：単一のデータ ポイントを、範囲全体にわたって、または単一の値として可視化します。
- 統計レポート：中央値や平均値などの統計値でデータを可視化します。
- その他のレポート：カレンダー、マップ、リストなどがあります。

レポートデザイナー内で自然言語クエリ (NLQ) を使用してレポートを生成することもできます。[NLQ] フィールドに質問を書き込むだけで、レポートデザイナーが適切なタイプのレポートを生成します。

棒グラフレポート

	レポート	説明
	垂直バーおよび水平バーレポート	垂直または水平の棒グラフが、それぞれの値に比例した長さで表示されます。
	パレート図レポート	棒グラフレポートと線グラフのレポートを組み合わせて、多数の要素の中で最も重要な要素を特定します。
	ヒストグラム レポート	値の範囲内にあるデータ ポイントの数を示すことによって、数値データを視覚的に解釈します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円およびドーナツグラフレポート

	レポート	説明
	円グラフ	全体を表す円を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。
	ドーナツ グラフ レポート	全体を表すドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。
	半ドーナツグラフレポート	全体を表す半ドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。半ドーナツグラフレポートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。

時系列レポート

	レポート	説明
	縦棒グラフ レポート	1 つまたは複数の値を割合を表す縦棒として表示し、値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	線グラフ レポート	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	ステップ ライン レポート	一連のデータポイントを横線と縦線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	面グラフ レポートとスプライン レポート	線グラフに似ていますが、一般に軸と線の間の面を色付けして強調します。
	面グラフ レポートとスプライン レポート	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプラインレポートでは、既知のデータポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。

マルチディメンションレポート

	レポート	説明
	マルチレベル ピボット テーブル	複数の測定基準で分割された集計データを 1 つのグラフに表示します。
	ヒートマップ レポート	色を使用してさまざまな値を表現し、集計データをマトリクスとして表示します。
	バブル レポート	1 つのグラフに複数の測定基準を表示します。

スコア

	レポート	説明
	スピードメーターレポート	現時点でのインジケーターのカウントの概要を円形のメーターの形で表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア (続く)

	レポート	説明
	目盛りレポート	測定するインジケーターのカウントの概要を半円で表示します。スコアが表示される部分は色で塗りつぶされます。
	単一スコア レポート	ビジネスにとって重要な単一の集計値を表示します。

統計分析の可視化

	レポート	説明
	コントロール レポート	データを一連の点のつながりとして表示し、ビジネスプロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断して、外れ値を特定します([その他のレポート] セクションにあります)。
	傾向レポート	1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。傾向の直線または曲線によって、変化の一般的なパターンが明らかになります([その他のレポート] セクションにあります)。
	ボックス レポート	データセットの値の分布を示し、統計的な平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。
	Trendbox レポート	データセット内の値の分布を示し、指定した期間の統計平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。

その他のレポート

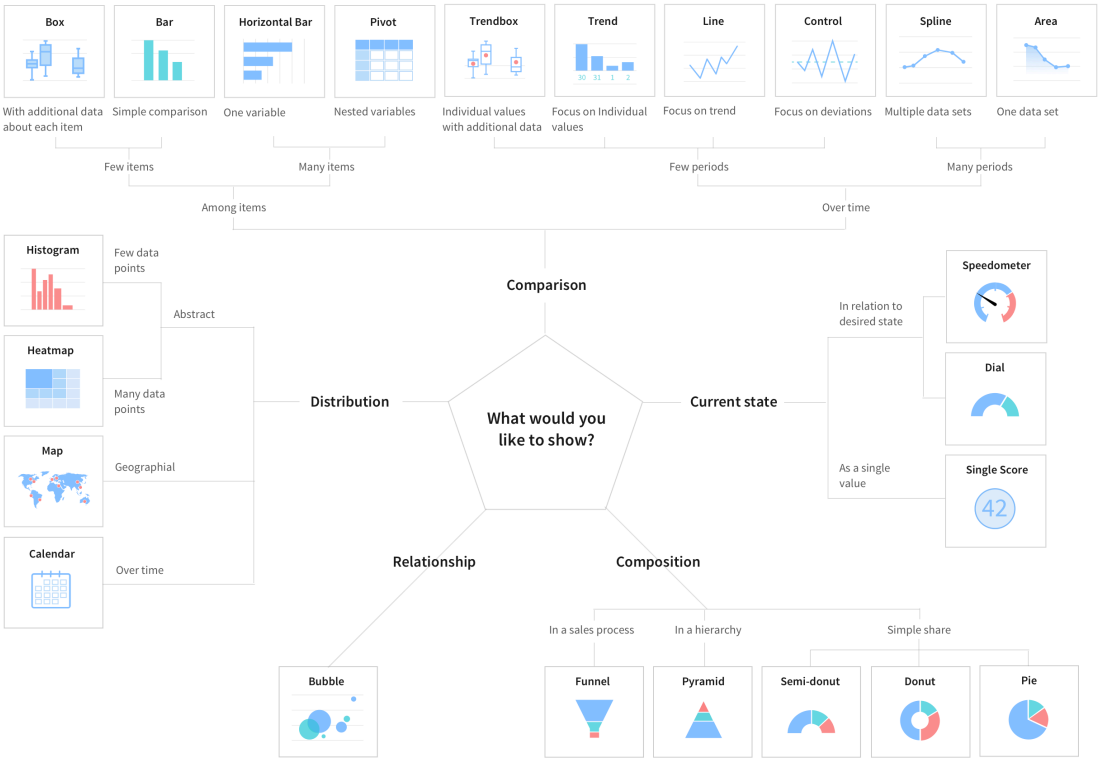
	レポート	説明
	じょうごおよびピラミッド グラフ レポート	値を、段階的に減少する割合として表示します。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します([その他のレポート] セクションにあります)。
	リストレポート	標準のServiceNow リストコンポーネント に似た拡張可能なリストの形式でデータを表示します。
	カレンダー レポート	データ駆動型のイベントをカレンダー形式で表示します。
	マップ レポート	データを地図画像に表示します。
	ピボットテーブル	表からデータを集計して、要約したデータのソースを表示します。この機能はマルチレベルピボットレポートに拡張されています。
	じょうごおよびピラミッド グラフ レポート	長方形の代わりにピラミッドの区分けを使用して、棒グラフレポート上での変動を可視化します([その他のレポート] セクションにあります)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートタイプの選択

データで伝えるストーリーに基づいてレポートタイプを選択します。



面グラフ レポートとスプライン レポート

面グラフ レポートは、関連する属性の時間経過による傾向を示します。スプラインレポートは、一連の既知のデータ ポイントを曲線で結び、1 つ以上の値がどのように変化するかを示して、個々のデータ ポイントの傾向を強調します。

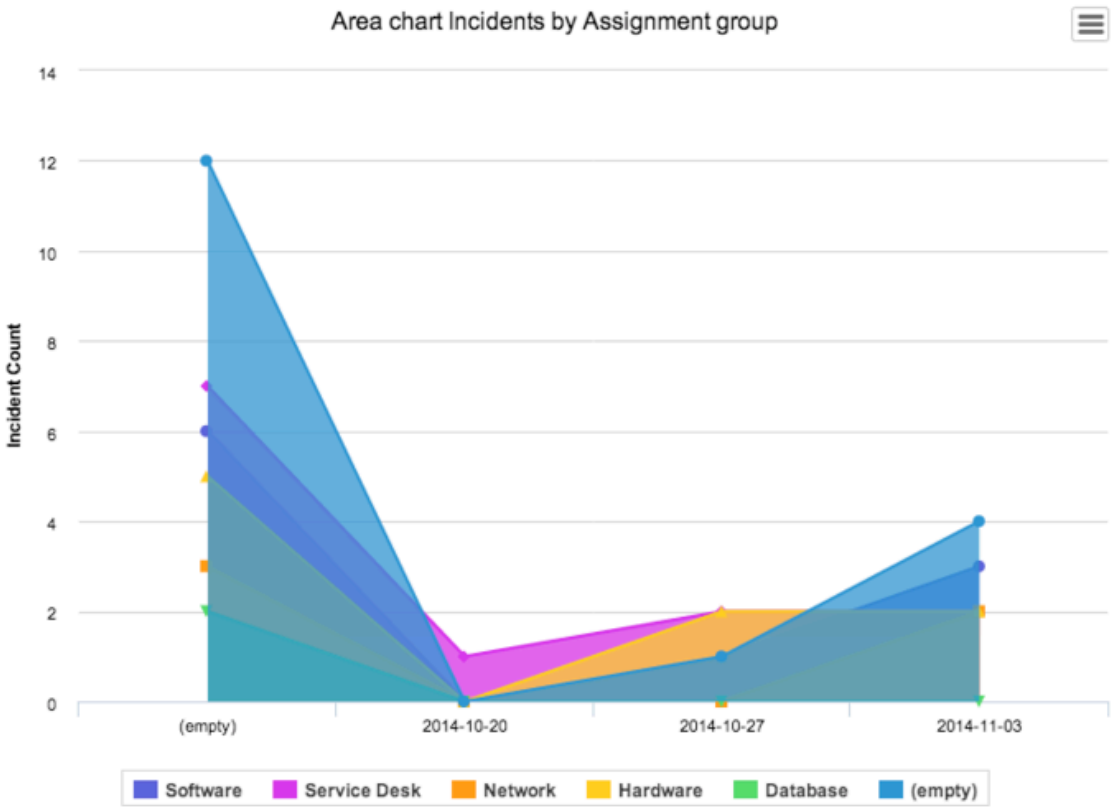
たとえば、インシデント数を表す面グラフ レポートやスプライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 時系列可視化タイプのユースケース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポート



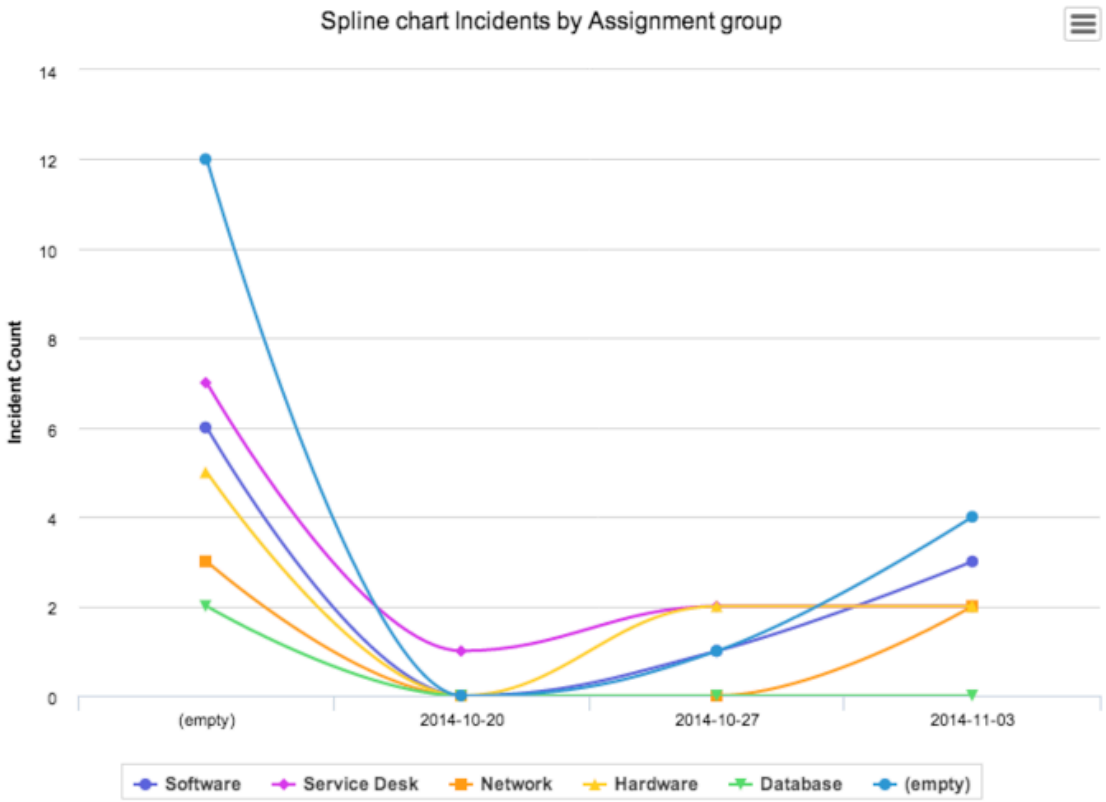
注:

複数のデータ セットを含む面グラフ レポートのセクションどうしが重なっている場合、個々のセクションにドリルダウンすることはできません。ドリルダウンするには、凡例内のアイテムをクリックしてレポートからクリアします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプライン レポート



注:
このデータ可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成する

関連する属性の経時変化を表示する面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成します。

始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

エリアレポートのユースケースについては、 時系列の可視化の例。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「面」または「スプライン」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グルー	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プごと	拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

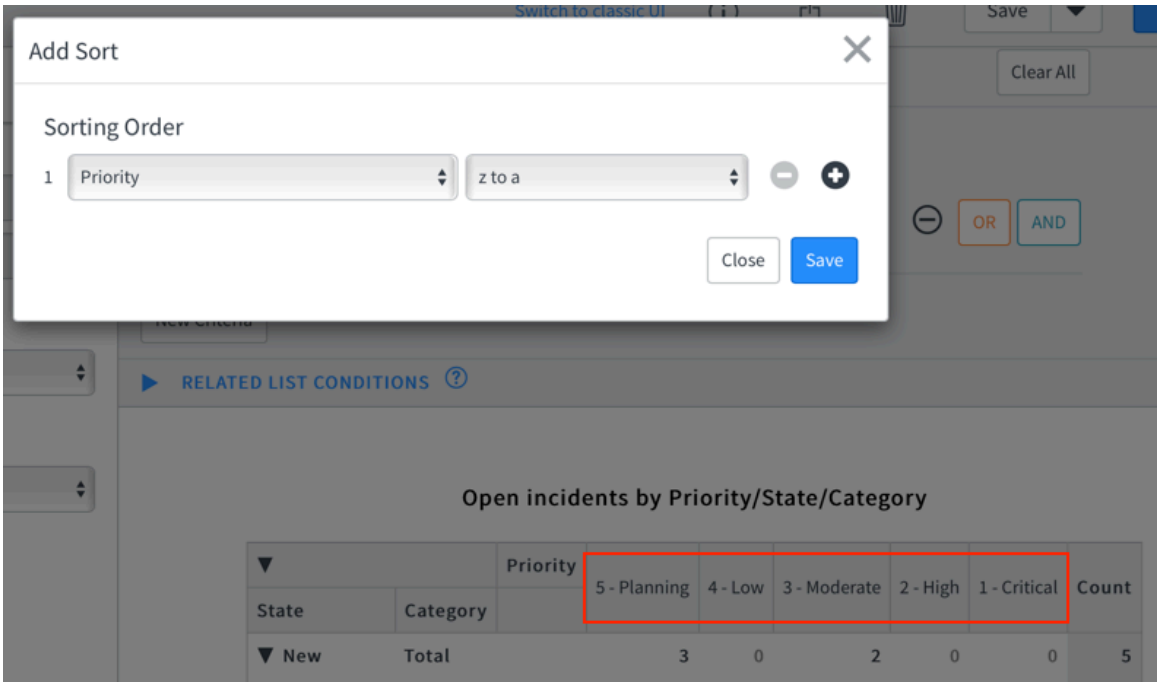
フィールド	説明
	カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

面グラフ レポートまたはスプライン レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム色を選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートで事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[チャートのカラー スキーム] または [色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、またはカウントまたは個別のカウントで集計されている場合は使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合は、このプロパティは選択できません。
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

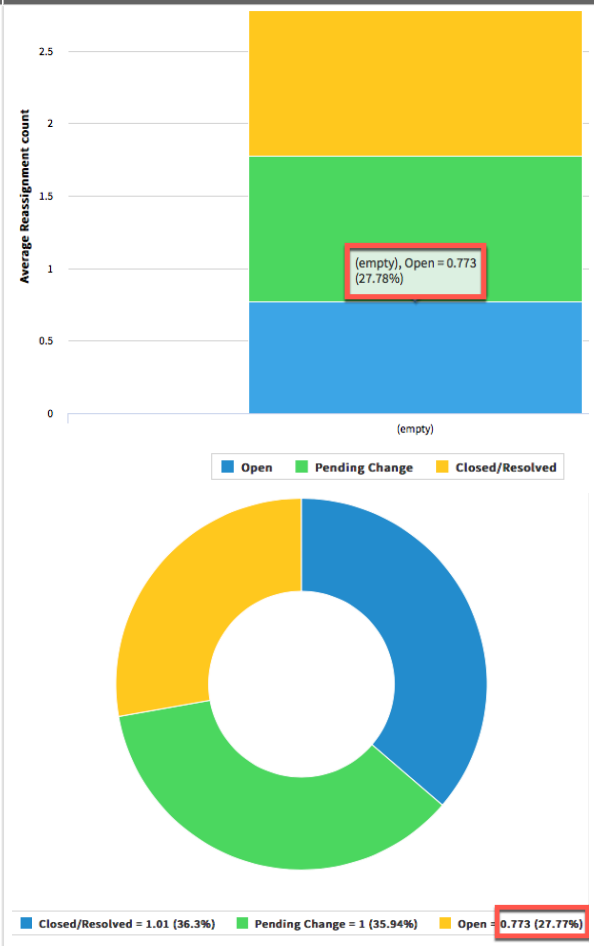
面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ○ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
理想の	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

垂直バーおよび水平バーレポート

垂直バーおよび水平バーレポートは、データディメンション全体で個々のスコアまたは集計スコアを比較します。縦棒グラフレポート列は X 軸を起点とし、水平棒グラフ レポート列は Y 軸を起点とします。

棒グラフは、データを横棒または縦棒の形式で表示します。棒はそれぞれ特定のカテゴリのデータを表します。棒グラフでは、1 つの色ですべてのカテゴリのデータを表すことも、カテゴリごとに異なる色で表すこともできます。

注:
垂直バーレポートは、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Bar reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

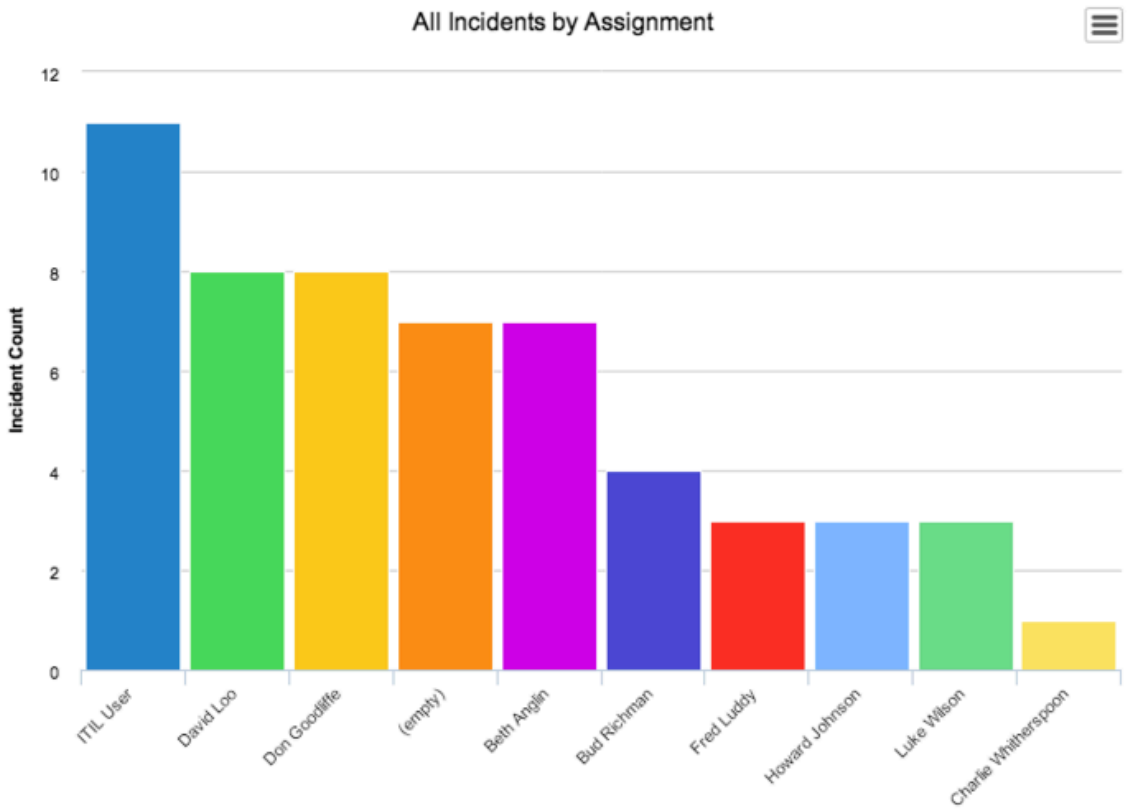
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 で棒グラフの可視化を作成 可視化デザイナー」を参照してください。

次の図は、個別のカテゴリのデータを表示する棒グラフ レポートの例です。レポートには、レポートが生成されるまでに記録されたすべてのインシデントの「インシデント[incident]」テーブルのデータが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポート

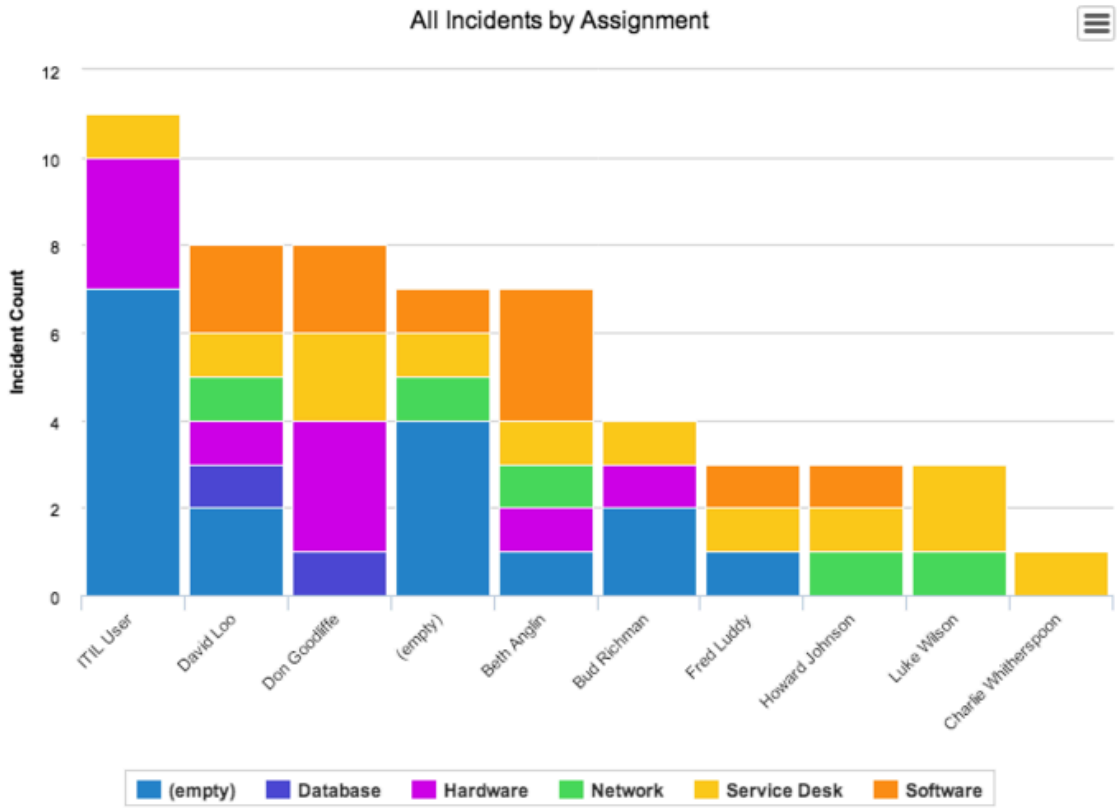


棒グラフ レポートを構成して、データを積み重ねて表示したり、棒の測定単位を変更したりすることができます。積み重ねバー グラフ レポートは、どの部分が合計に寄与しているか示します。次の図は、各ユーザーにアサインされたインシデントの数を示す棒グラフ レポートを示しています。また、このレポートでは各インシデントカテゴリからのインシデント数を積み重ねて表示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み重ねバー グラフ レポート



棒グラフ レポートを作成する

棒グラフ レポートを使用すると、それぞれの情報をその値に比例したセグメントに分けて表示できます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「棒」または「水平バー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベース フィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
積み重ね基準	このフィールドの値を使用し、各棒を分割します。拡張テーブルのフィールドごとにスタックする方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます 注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベース フィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。 カテゴリ別にソートされ、優先度で積み重ねられたインシデントの棒グラフでは、各カテゴリについての優先度の高、中、低の割合を見ることができます。 積み重ねられたフィールドを慎重に選択すると、レポートが乱れるのを防ぐことができます。大量のデータを積み重ねるのではなく、これらの関係を示す別のレポートを作成する方が良い場合もあります。棒グラフは、積み重ねたフィールドが選択されている場合にのみ凡例を表示します。ブール、参照、および選択リストは、積み重ねフィールドとして使用できます。日付、日付/時刻、整数、ロング、文字列、テキスト フィールドは、積み重ねフィールドとして使用することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: Report Charting v2 プラグインが導入されてからは、日付の種類が許可されなくなりました。 積み重ねたフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 レポート フォームで [グループ] フィールドを選択すると、グループ化された棒として棒を表示することを選択できます。この場合、棒は、積み重ねられるのではなく、[グループ] フィールド (インシデントの状態など) ごとに互いに隣接して表示されます。 [他のグループ化] のフィールドを選択すると、これらのフィールドはレポートの下部の [積み重ね基準] コントロールでも利用できます。詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

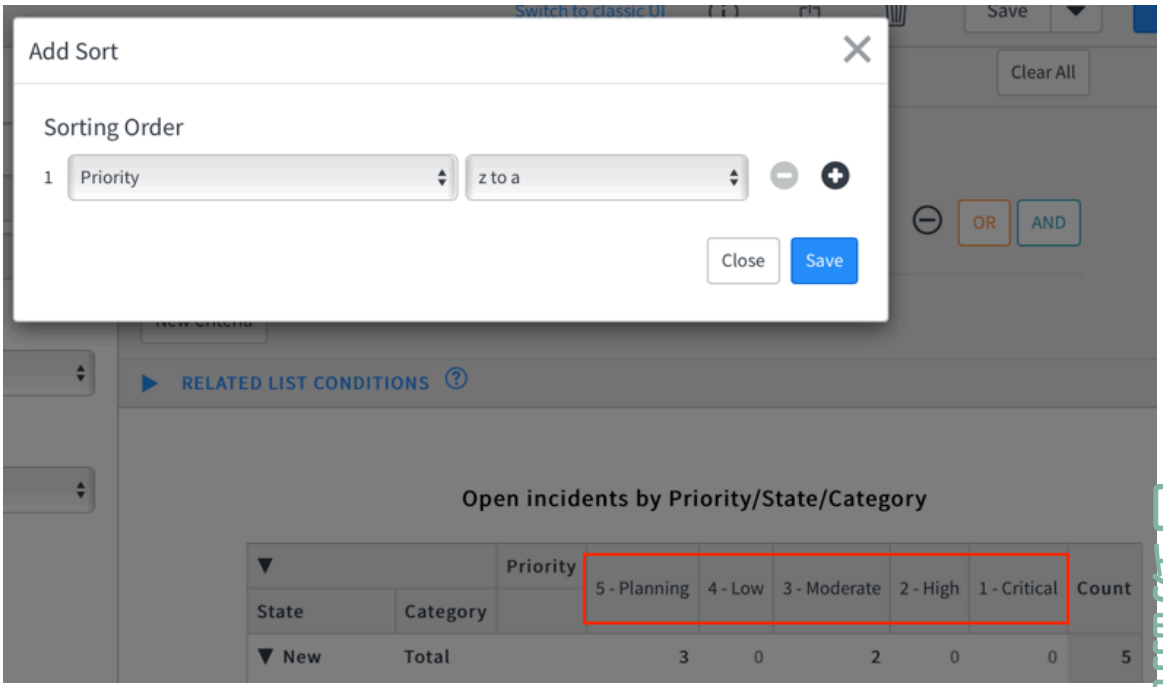
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

棒グラフ レポートのスタイル オプション

棒グラフ レポートの外観を変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。レポートをフィールド別に積み重ねていない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで事前定義された色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. レポートを積み重ねる場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートで事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

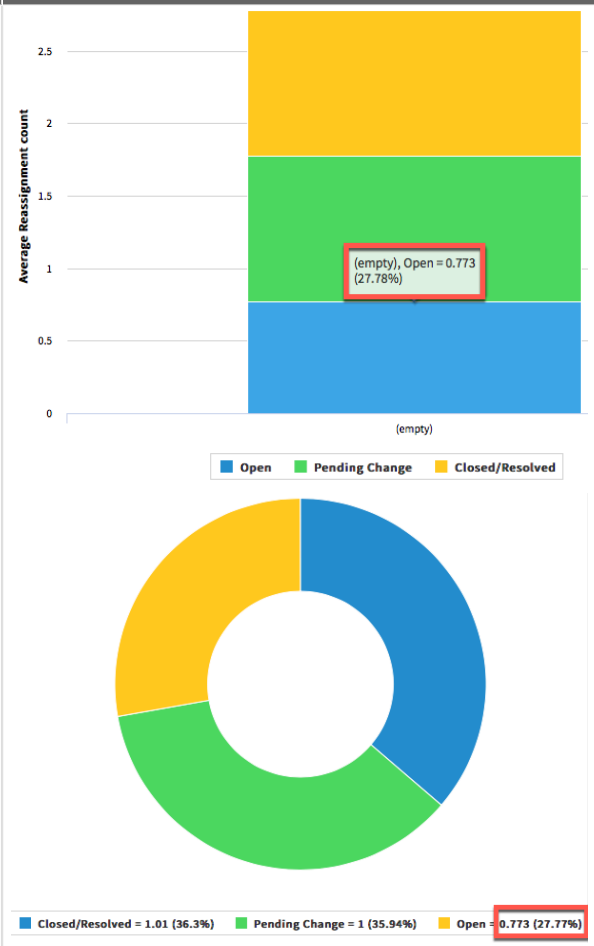
棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
理想の	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス レポート

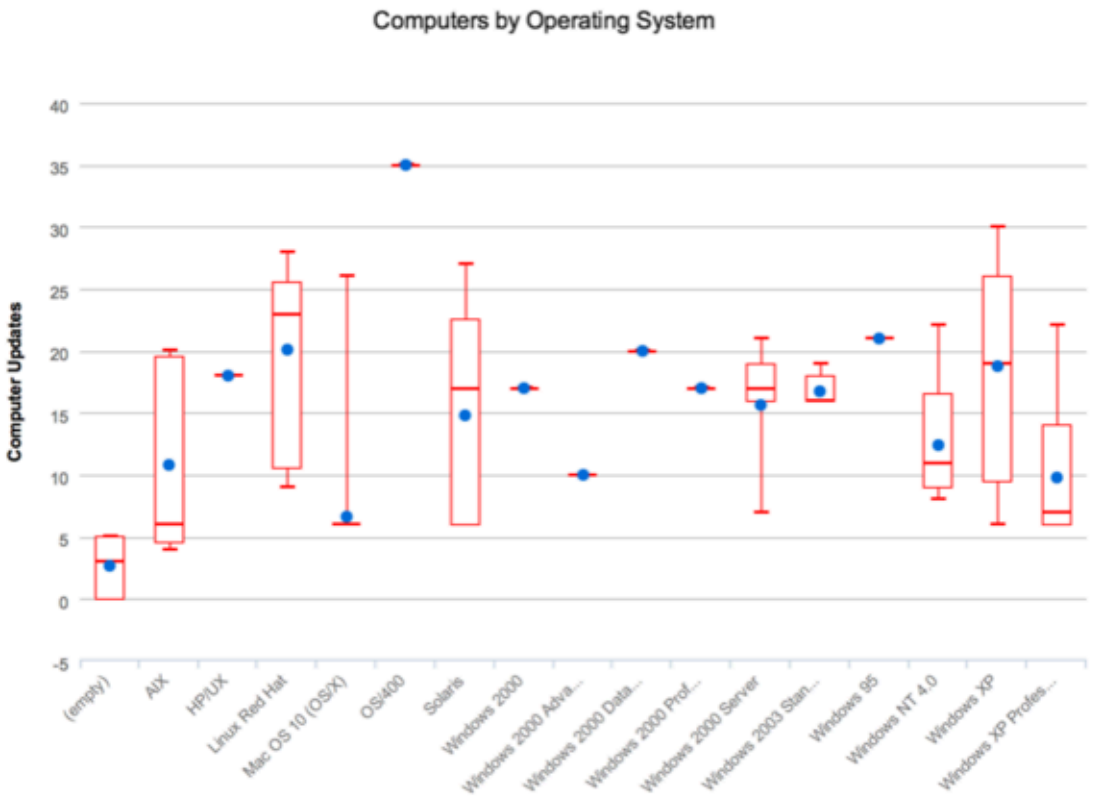
ボックス レポートはボックス プロットとも呼ばれ、データの分布 (最大、最小、四分位数、中央値、平均値など) を視覚化します。

ボックス チャートは、互いに関連するさまざまなソースから複数のデータ セットを抽出して表示する場合に使用します。

たとえば、ボックス チャートを使用して、コンベンションに参加したすべての顧客の年齢範囲を表示できます。ボックス チャートにより、最も多い年齢層を分類して特定できます。この結果を利用して、出席数の低い年齢層を広告のターゲットにし、それによって今後のイベントで出席数を増やすことができます。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 で箱ひげ図の可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。

ボックスチャート

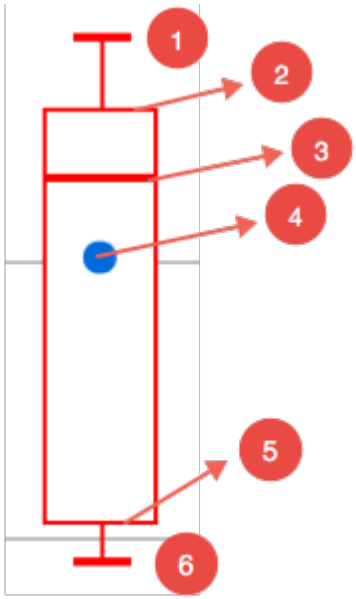


ボックス チャートでは、データ グループごとに次の情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1. サンプルの最大値
2. 上位四分位数
3. 中央値
4. 平均
5. 下位四分位数
6. サンプルの最小値

> **注:**
> アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

ボックス レポートを作成する

ボックス レポートを作成して、データ セット内の値の分布を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

ボックス レポートを使用すると、データを統計平均別に整理して表示できます。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ボックス」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
測定基準	データの測定値として使用するフィールド。ボックス チャートでは日付と時刻のフィールドはサポートされていません。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

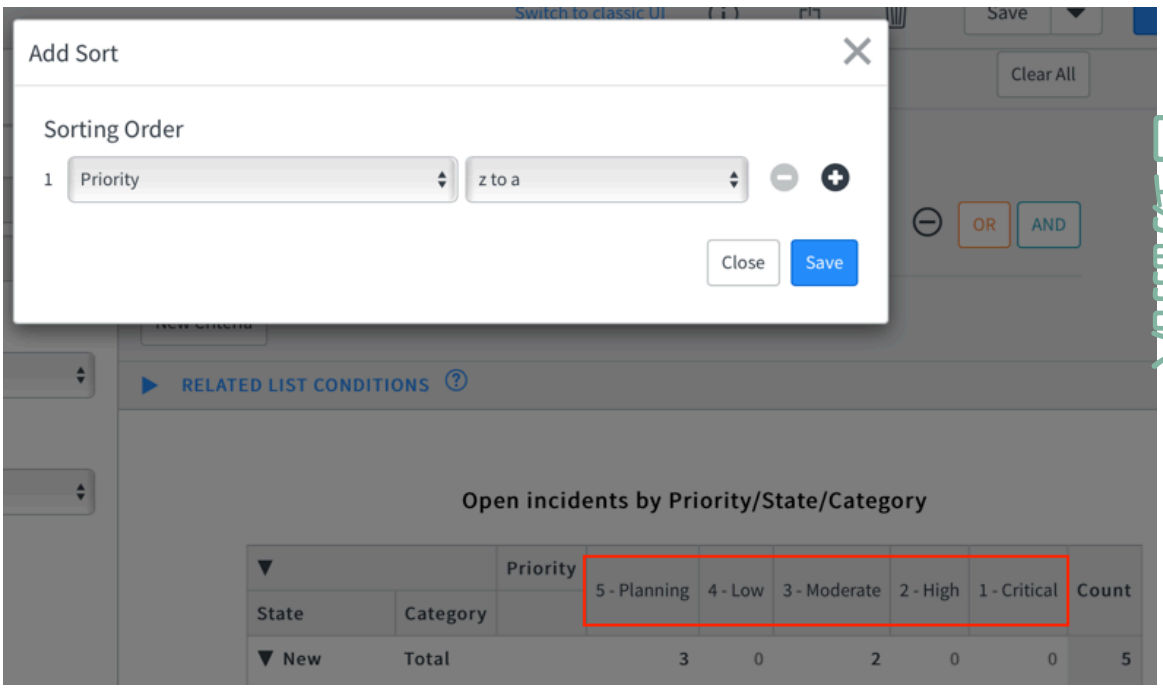
このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ボックス レポートのスタイル オプション

ボックス レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

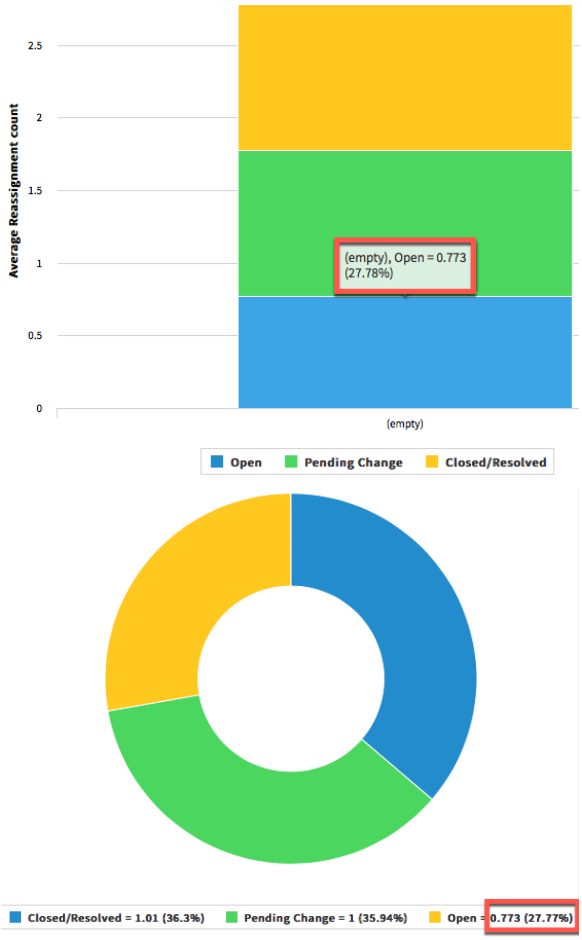
レポートのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
のカスタム位置	
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
から	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	注: 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
理想の	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 **注:** 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
X 軸/Y 軸のラベルサイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

バブル レポート

バブル レポートは、データ ポイントを x 軸と y 軸にプロットし、3 つ目の集計ディメンションを使用してバブルのサイズを定義します。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

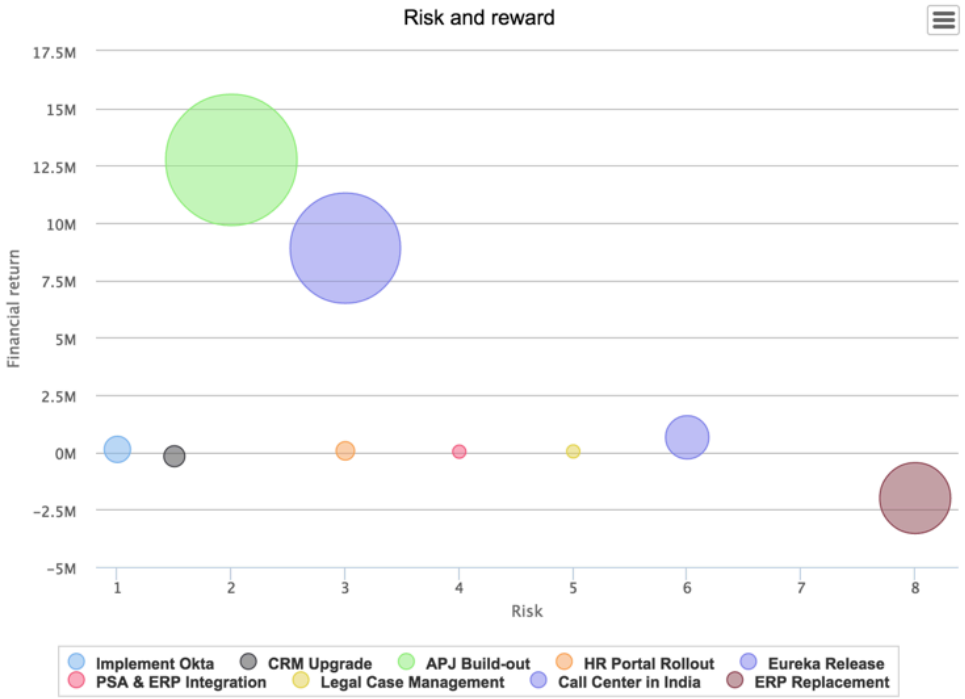
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 でバブルの可視化を作成する可視化デザイナー」を参照してください。

バブルレポートでは、数値を使用して X 軸と Y 軸を定義し、集計値を使用して各バブルの大きさを決定することができます。

たとえば、デマンド管理を使用する場合に、「要求」テーブルにバブル レポートを作成して、さまざまな要求に対するリスクと報酬を比較することができます。バブルはそれぞれ 1 つの要求を表します。それぞれのバブルの位置はリスクと金銭的見返りによって決まり、一方で、バブルの大きさは要求に対する金銭的見返りの合計によって決まります。レポートの左上に大きなバブルがあることから、これを利用して、リスクが小さく見返りが大きい要求をすばやく特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



バブル レポートを作成する

バブル レポートを作成して、1 つのチャートに複数の別々の評価指標を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

バブルレポートは、X 軸、Y 軸、バブルサイズを使用して、3 つの異なるメトリクスの情報をアグリゲートします。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「バブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループ：	データをグループ化するための基準となるフィールド。値はそれぞれ、チャート上で一意のバブル カラーで表されます。 選択したフィールドの説明を示す情報 ( ) を選択します。 注: レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
行	Y 軸として使用する数値フィールド。 選択したフィールドの説明を示す情報 ⓘ) を選択します。
列	X 軸として使用する数値フィールド。 選択したフィールドの説明を示す情報 ⓘ) を選択します。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

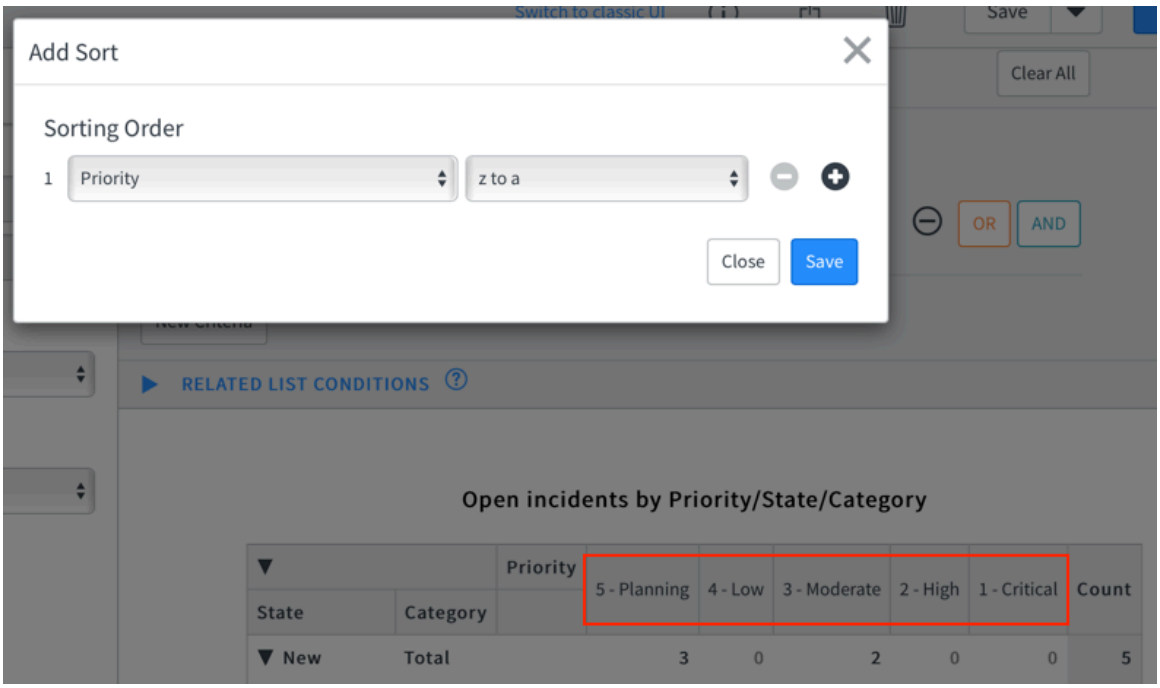
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

バブル レポートのスタイル オプション

バブル レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

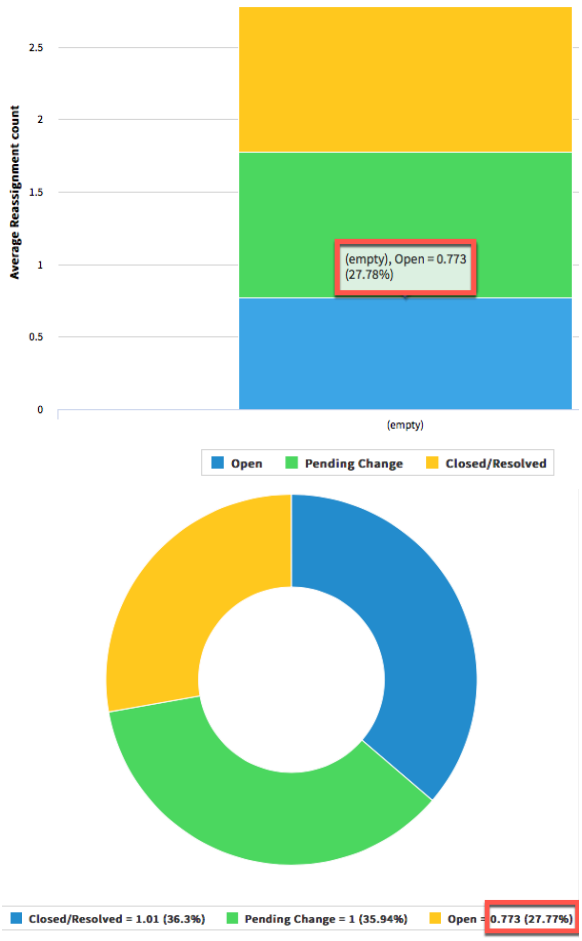
バブル レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイ	レポートのチャート タイトルが表示される期間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
トルを表示	• 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

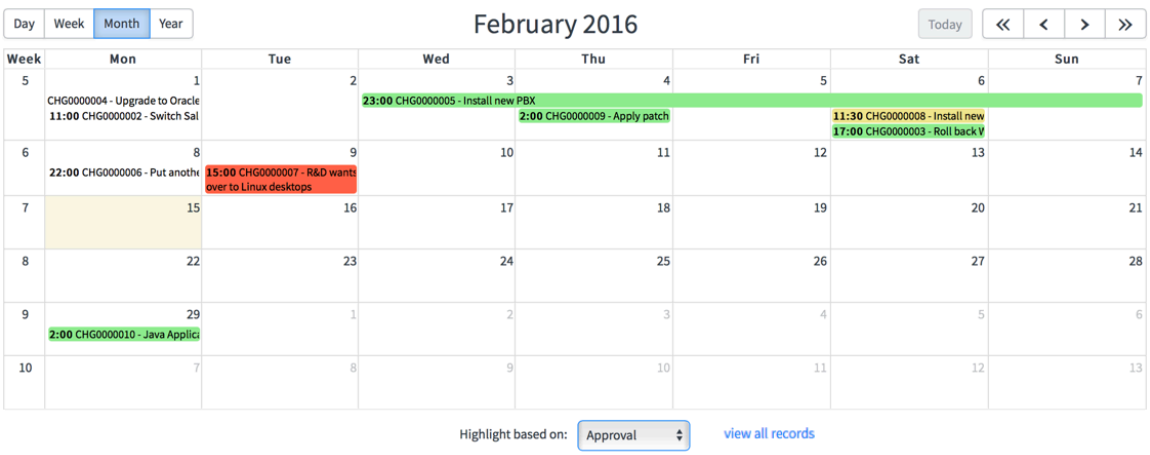
フィールド	説明
	glide.chart.label.legend.truncate_to.large を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

カレンダー レポート

カレンダー レポートは、日付駆動型のイベントをカレンダーに表示します。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 でのカレンダーレポートの可視化の作成 可視化デザイナー」を参照してください。

カレンダー レポート



カレンダーのイベントは、優先度、ステータス、エスカレーションなどの関連する基準で強調表示できます。終了日のないイベントの期間は 1 時間です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限事項

- カレンダーのビジュアル化で逆方向に参照するときに返されるイベントの数を制限できます。現在のカレンダービューの最初の日から 30 日間の制限があります。カレンダーに表示される最初の日の 30 日以上前に開始するイベントは表示されません。[年] を選択すると、前年の 12 月 1 日から今年の 12 月 31 日までの間に開始するイベントがカレンダーに含まれます。

  KB 記事 の週次カレンダービューにすべてのエントリが表示されるわけではありません が、一部の想定されるエントリが表示されないシナリオをカバーしています。

  表示する日数を増減するには、 *glide.report.calendar.max_days_back* プロパティを編集します。「レポートのプロパティー」を参照してください。

  > **注:**
  > この値が大きすぎるとパフォーマンスが低下することがあります。

- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。
- 開始日フィールドのカレンダーレポートには、開始日から終了日までのフィールドの範囲が表示されます。終了日フィールドのカレンダーレポートには、終了日のみが表示されます。

カレンダー レポートを作成する

日付駆動型のイベントを表示および強調表示するカレンダー レポートを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「カレンダー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
次を表示するイベント：	カレンダーに表示する日付駆動型のイベント。このリストには、データ ソースまたはソース テーブルにある日付/時刻形式のフィールドが含まれています。情報アイコン ( ) をクリックすると、選択したイベントの説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

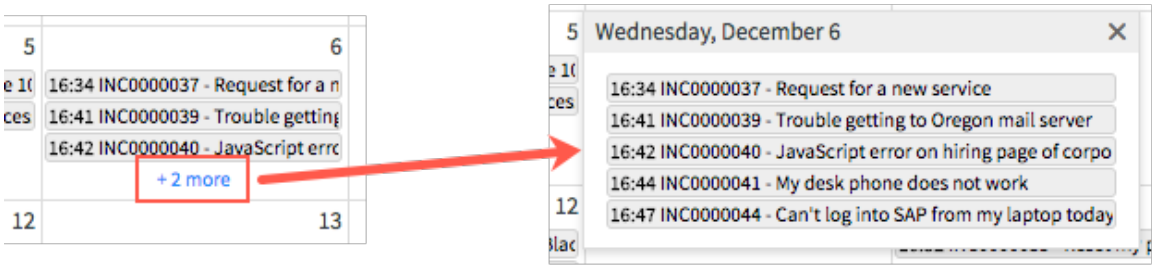
7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

注:
対象の日付で、カレンダー セルに収まるよりも多くのイベントがある場合は、追加のイベントを表示するためのリンクが表示されます。



イベントが 30 件を超える場合、セルには [+ 多数] が表示されます。このリンクをクリックすると、その日付のリスト ビューにすべてのイベントが表示されます。

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

新しいカレンダー レポートを無効にする

Helsinki 以前にリリースされたバージョンのカレンダーを使用する場合は 、新しいバージョンのカレンダーを無効にします。新しいカレンダーと互換性のないスクリプトがある場合や、以前のカレンダーのスタイル設定を望む場合などに、以前のカレンダーを使用します。最新のカレンダーは、Internet Explorer バージョン 7 および 8 でもサポートされていません。

始める前に

必要なロール：report_admin または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > プロパティ.
2. `glide.report.new_calendar` システムプロパティを追加し、**false** に設定します。
   追加方法については、「レポートのプロパティー」を参照してください。

   注:

   このシステムプロパティが true に設定されている場合、クラシック環境でのみサポートされます。レポート デザイナーで [以前の **UI** に切り替える] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

縦棒グラフ レポート

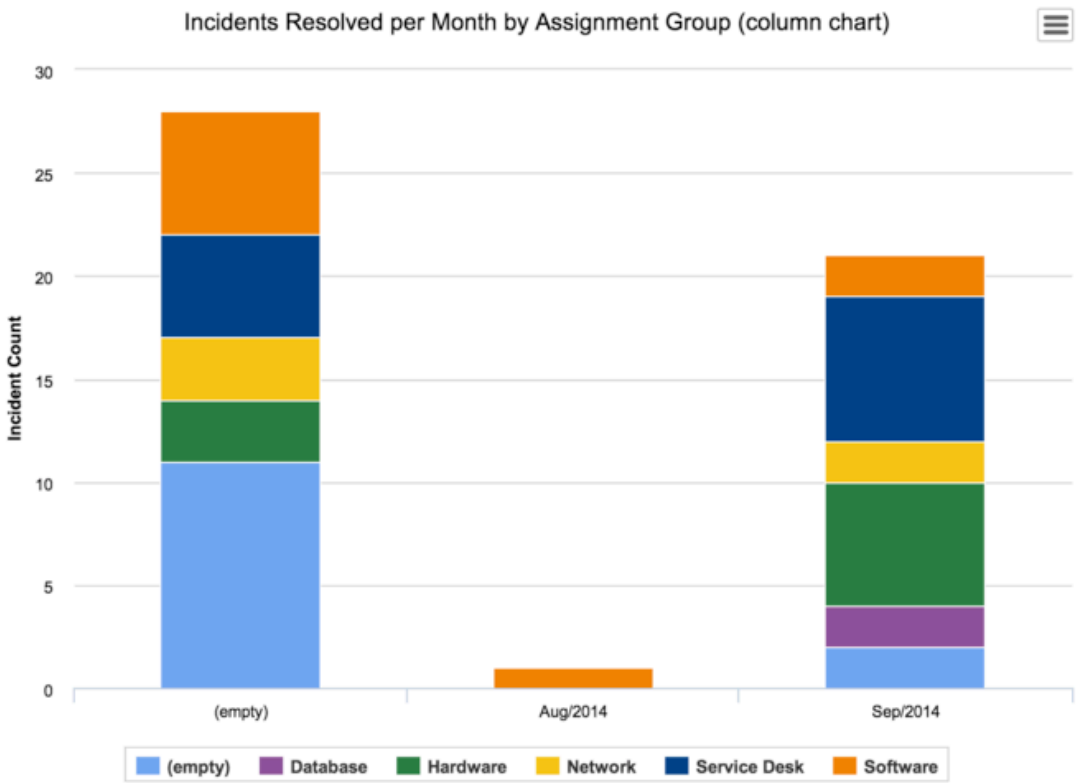
縦棒グラフのレポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するか縦の棒で示します。

縦棒グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、縦棒グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

たとえば、インシデント数を表す縦棒グラフを作成して、インシデント数が時間の経過とともにどのように変化するかを表示できます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

この図は、カテゴリ別に積み上げられた解決済みのインシデントを示しています。凡例は、色が表しているカテゴリを示しています。

積み上げ縦棒グラフ

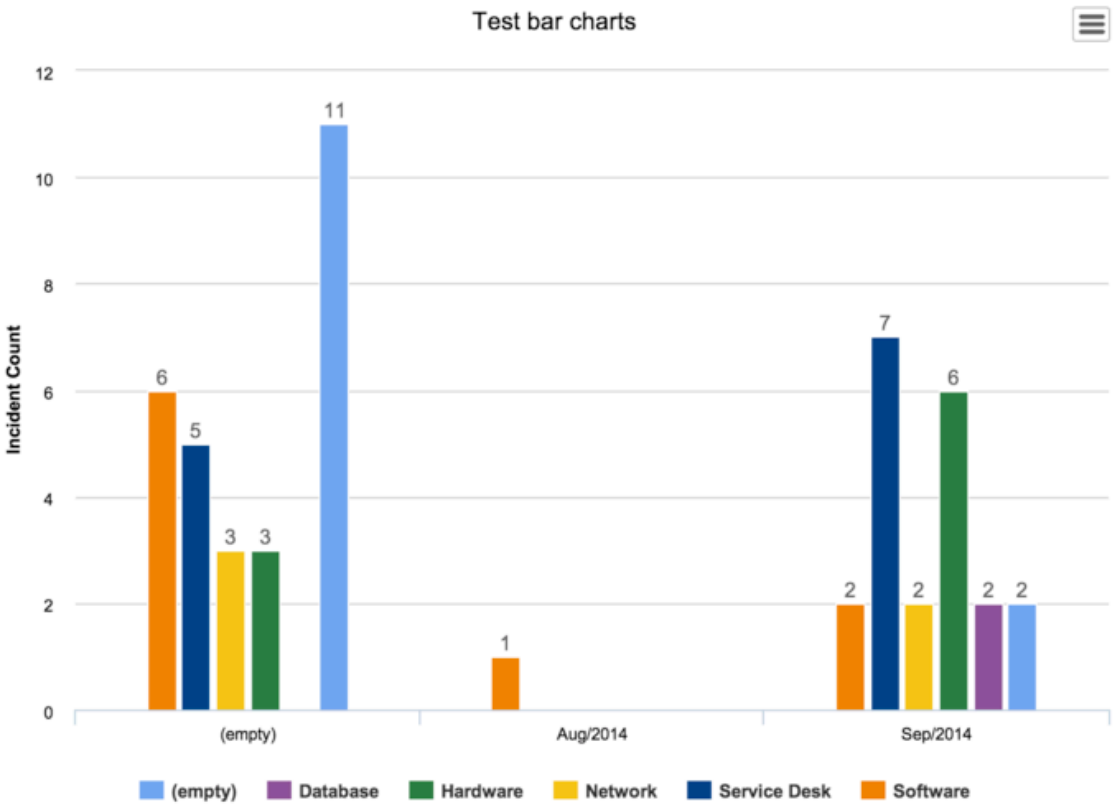


グループ化された縦棒グラフでは、1 本の棒に色を積み上げるのではなく、カテゴリを個々の棒として表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化された縦棒グラフ



縦棒グラフ レポートを作成する

縦棒グラフ レポートを作成し、1 つ以上のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

列レポートのユースケースについては、 時系列の可視化の例。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「縦棒」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
棒 (積み上げ)/グループ化された棒	選択したフィールドから得られる個々のアイテムの全体に対する関係を表示する方法。 積み重ねフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 [棒 (積み上げ)/] を選択すると、グラフの各棒の全体に対する寄与部分が示されます。 [グループ化された棒] を選択すると、個々の棒の全体に対する寄与部分が示されます。積み上げではなく、[グループ：] フィールド (たとえば、インシデントの状態) に従って、棒が隣り合って表示されます。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

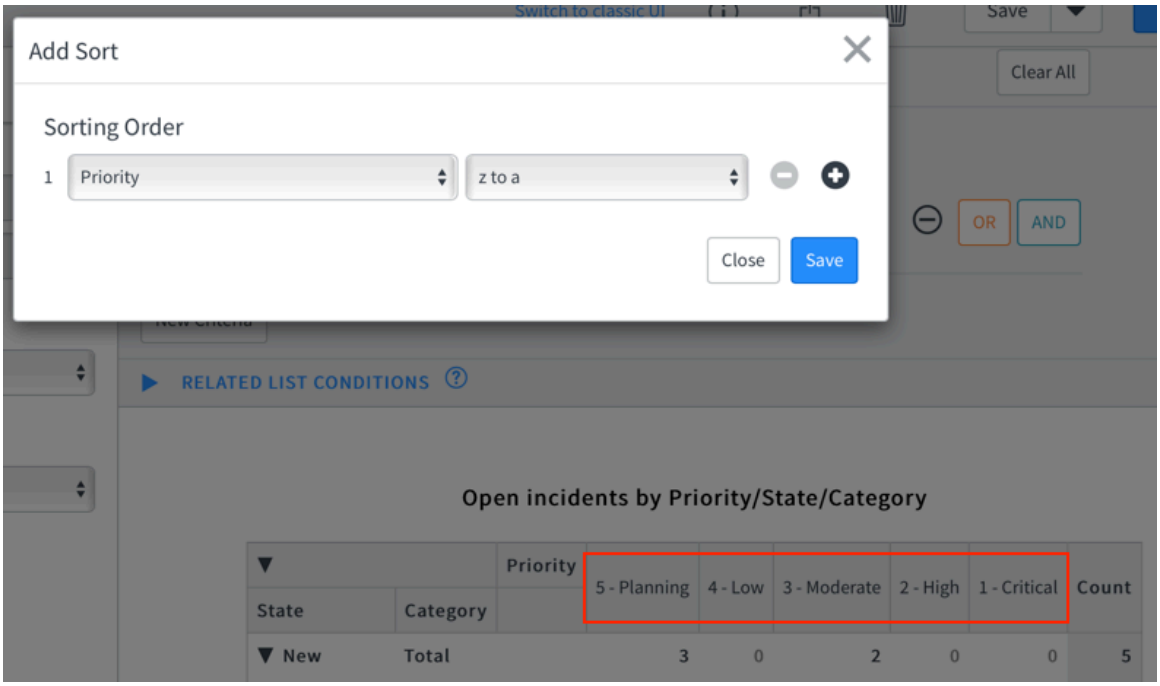
b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

縦棒グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

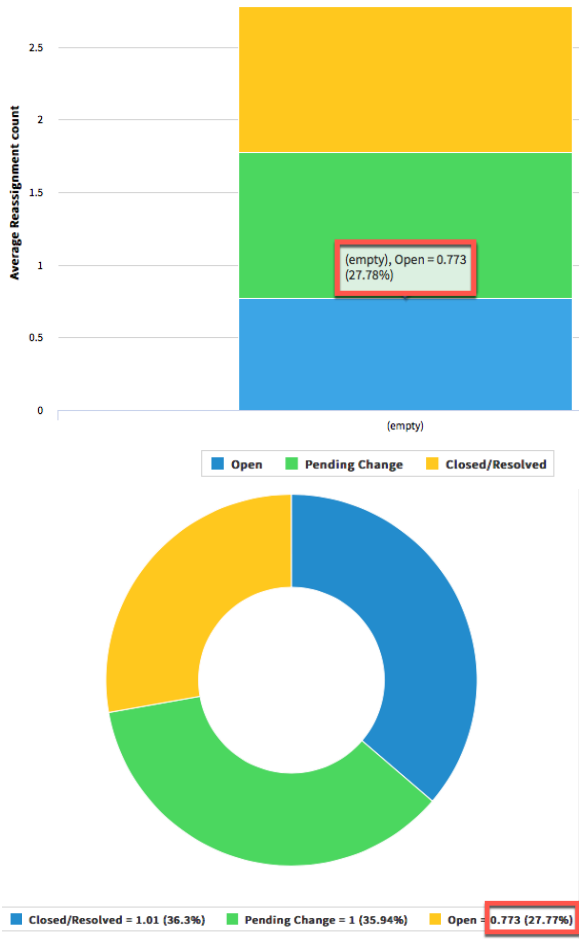
縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム色を選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートで事前定義された色」を参照してください。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイ	レポートのチャート タイトルが表示される期間。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
トルを表示	• 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	glide.chart.label.legend.truncate_to.large を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
理想の	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

コントロール レポート

コントロール レポートは、データを経時的に可視化し、標準偏差を使用して統計尤度を示したり外れ値を特定したりします。

コントロール レポートは、データを一連の点のつながりとして表示します。レポートの中央にある青い線は平均値で描かれています。赤い線で表されるコントロールの上限および下限は、活動の可能性が統計的にほとんどないと考えられるしきい値を示しています。プロセスが管理下にある場合は、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての点がコントロール限界内にプロットされます。これらの限界の範囲外となる活動を調べることもできます。

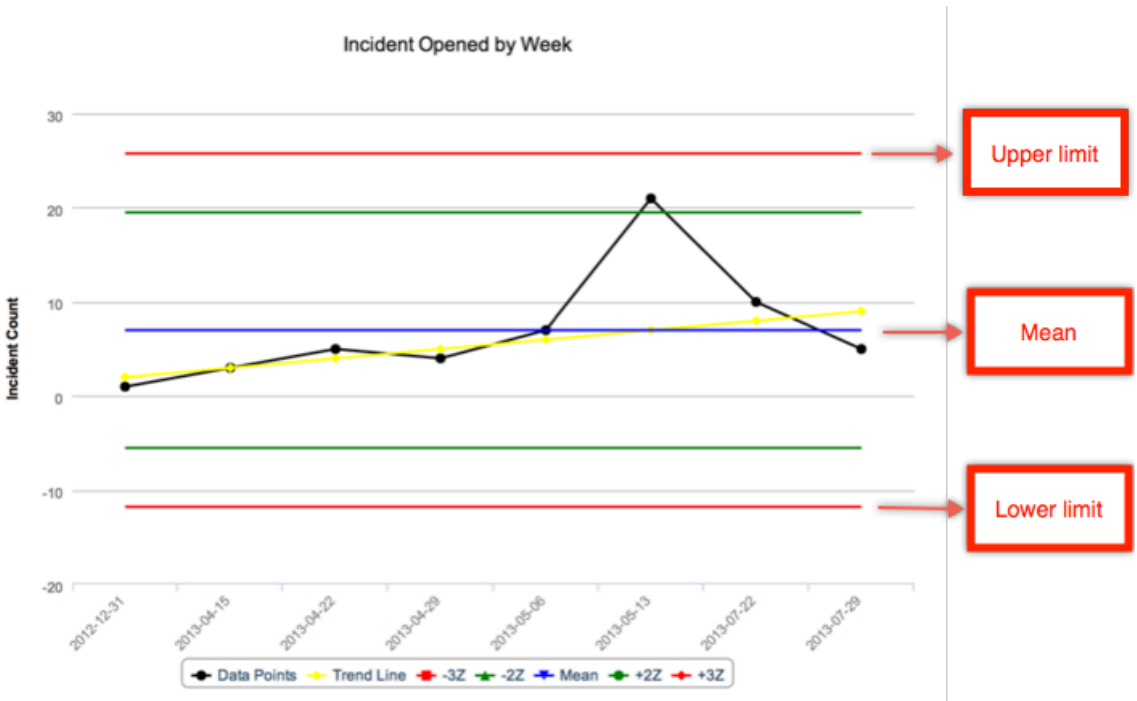
これらのレポートでは、Z スコアを使用して統計的尤度を示します。

```
Z-score = (Observation - Mean) / Standard Deviation
```

上下の緑色の線は、Z スコアのプラスとマイナスの 2 倍を示します。上下の赤い線は、Z スコアのプラスとマイナスの 3 倍を示します。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「アクセシビリティ機能の有効化」を参照してください。

コントロール レポート



注:
平均は、 データポイント ライン上のデータポイントの合計をポイント数で割ったものです。これらの値は集計 (カウント、平均、合計、または個別のカウント) に依存します。この平均は、同じデータに基づく他のレポートが異なる集計を使用している場合、他のレポートの平均とは異なる場合があります。たとえば、1 か月あたりの平均インシデント数 (カウント) は、同じインシデントの平均期間とは異なります。

コントロール レポートを作成する

ビジネス プロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断するためのコントロール グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「コントロール」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

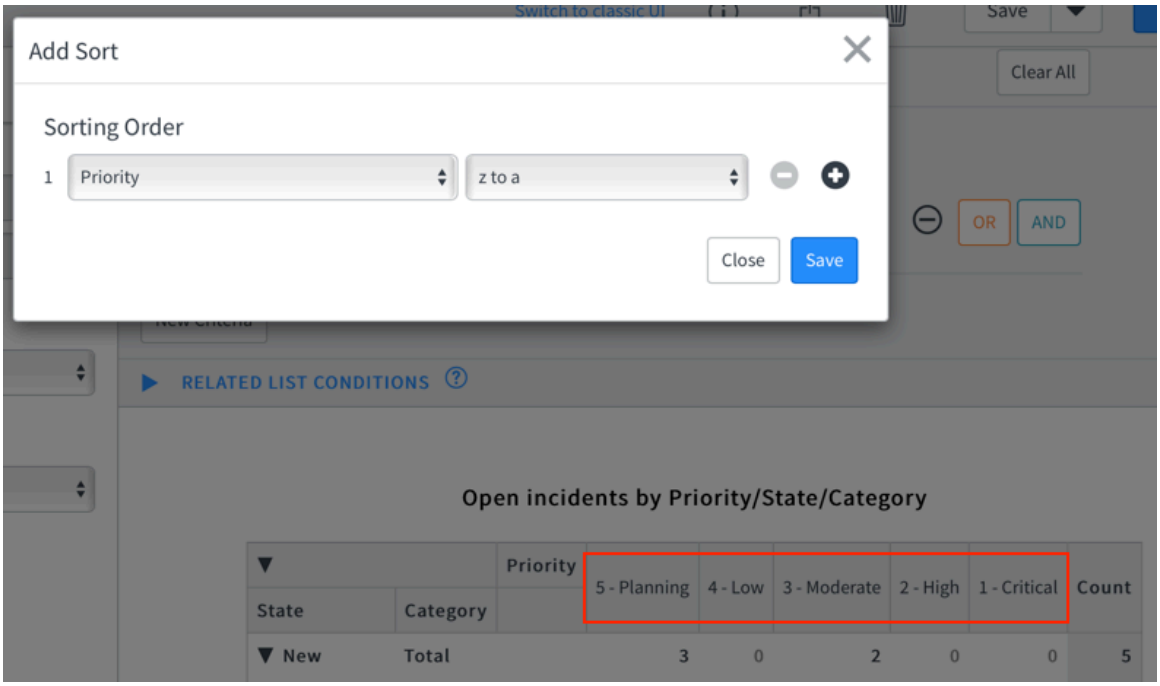
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] をクリックしてレポートを生成します。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

コントロール レポートのスタイル オプション

コントロール レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

コントロール グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

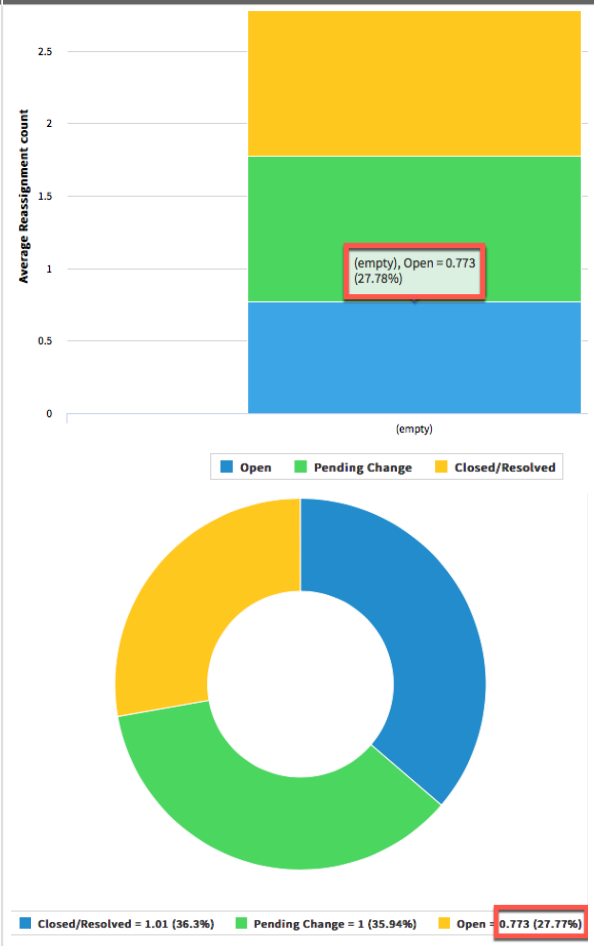
コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y 軸]** タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X 軸]** タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y 軸]** タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

目盛りレポートとスピードメーター レポート

目盛りとスピードメーターでは、インジケーターのカウントがリアルタイムで提供されます。これらのグラフには比較データや履歴データを含めることはできません。値が指定の範囲内にあることをひと目で確認できるように色を構成できます。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、次を参照してください

- で目盛りの可視化を作成する 可視化デザイナー
- でゲージの可視化を作成 可視化デザイナー

.

レポート作成者は、許容できない値範囲を示すために赤を使用することがよくあります。月額売上では低い値の方が高い値より悪くなりますが、インシデント解決時間では低い値の方が高い値より良くなります。月次売上の値が低い場合は赤を、インシデントの解決率が高い場合は赤を設定できます。

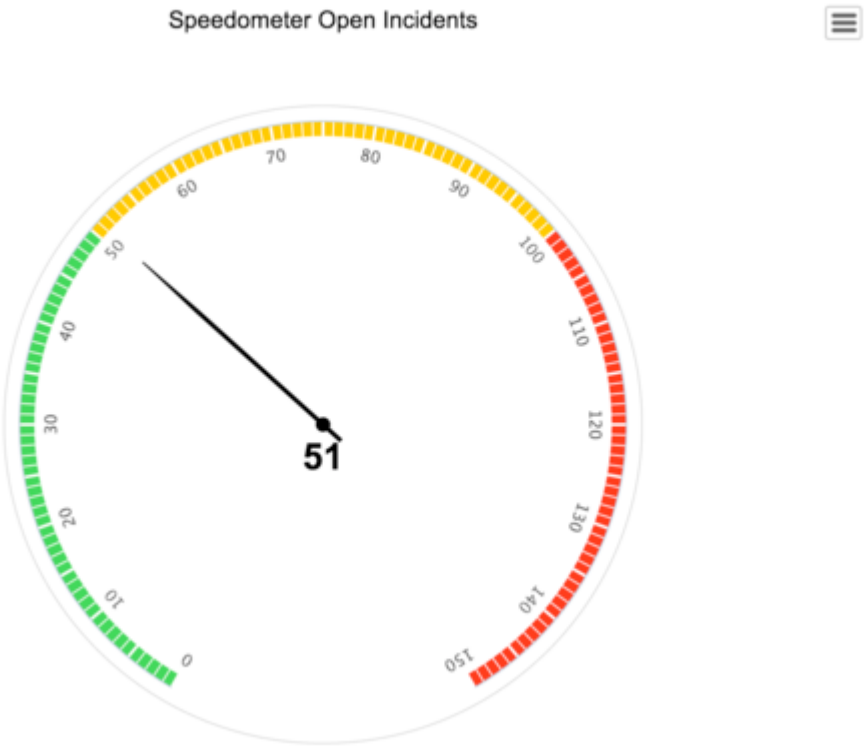
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

目盛りとスピードメーターは外観も異なります。

- スピードメーターには、定義された範囲を持つ円形のメーターの形で数字が表示されます。
- 目盛りには、範囲内に収まるスコアが半円の目盛りで表示されます。

Angular スピードメーター レポート



ソリッド ゲージ レポート



目盛りレポートまたはスピードメーター レポートを作成する

目盛りまたはスピードメーターを作成して、値の範囲を示す色でインジケーターのカウントをリアルタイムで提供します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「スピードメーター」または「目盛り」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。例えば、与えられたロール リストの中で、ロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートが必要だとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。[集計] の基準となるフィールドをこのリストから選択します。たとえば、[優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは 10 進数の数値で表されます。 [平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、拡張テーブルのフィールドでさらに集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 **注:** 期間値だと、集計軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

注:
集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

目盛りレポートとスピードメーター レポートのスタイル オプション

目盛りレポートまたはスピードメーター レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

目盛りチャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色 (目盛りチャートのみ)	目盛りの定義済みのシステム カラー。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
方向	小さい方の値が好ましいか大きい方の値が好ましいかを選択します。小さい方の値が好ましい場合は、[最小化] を選択します。大きい方の値が好ましい場合は、[最大化] を選択します。この設定は [下限] および [上限] で有効です。これにより、目盛りまたはスピードメーターの領域の色が決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

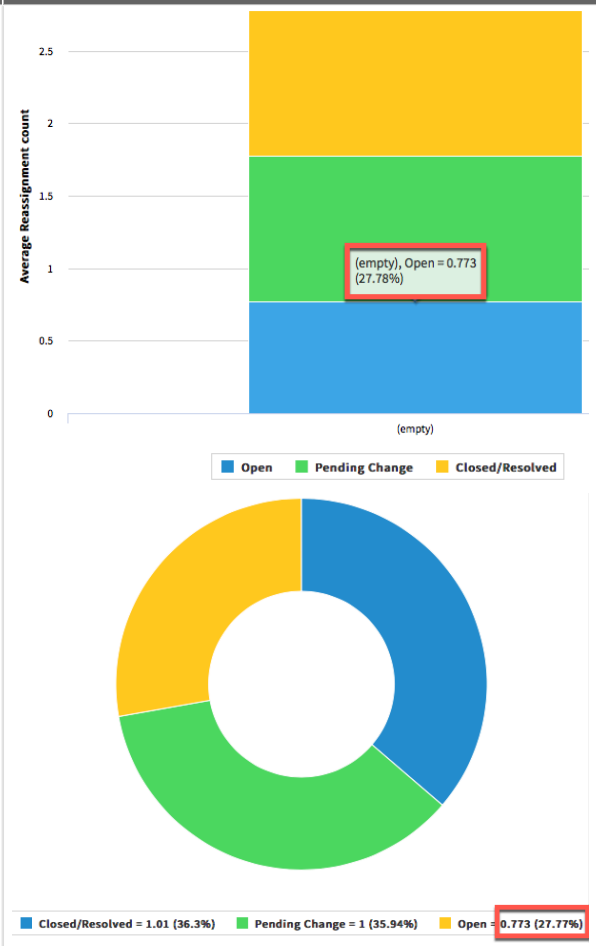
目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	• 緑色は、数字が許容範囲内にあることを示します。 • オレンジ色は、数字が変更されたが、依然として許容範囲内にあることを示します。 • 赤色は、数字が許容範囲ではないことを示します。
下限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の下限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。
上限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の上限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。 たとえば、目盛りに含まれる現在のスコアが 50 で、[目盛りオートスケール] を選択します。[下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最小化] とします。目盛りでは、0 ～ 50 の領域が緑色で、50 ～ 100 の領域がオレンジ色で、100 を超える領域が赤色で表示されます。 [下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最大化] とした場合は、色が逆になります。 上限と下限を設定しない場合は、視覚化に色が使用されません。2 つのセクションまたは色しか持たせない場合は、上限と下限を同じ数に設定できます。
目盛りオートスケール	チェック ボックスをオンにすると、選択したデータに基づいて目盛りまたはスピードメーターの開始値と終了値が自動的に生成されます。
開始	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最小値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。
終了	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最大値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
Title (役職)	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

ドーナツ グラフ レポート

ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートには、全体を構成する各部分の割合が表示されます。

ドーナツ グラフ レポートは円グラフ レポートに似ていますが、中心に空白があります。ドーナツと半ドーナツの違いは、半ドーナツはドーナツを半分に切った形状であることです。表示される情報は同じです。ドーナツグラフと半ドーナツグラフのレポートをダッシュボードに配置して、表示された情報をユーザーがすばやく解釈できるようにすることができます。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。

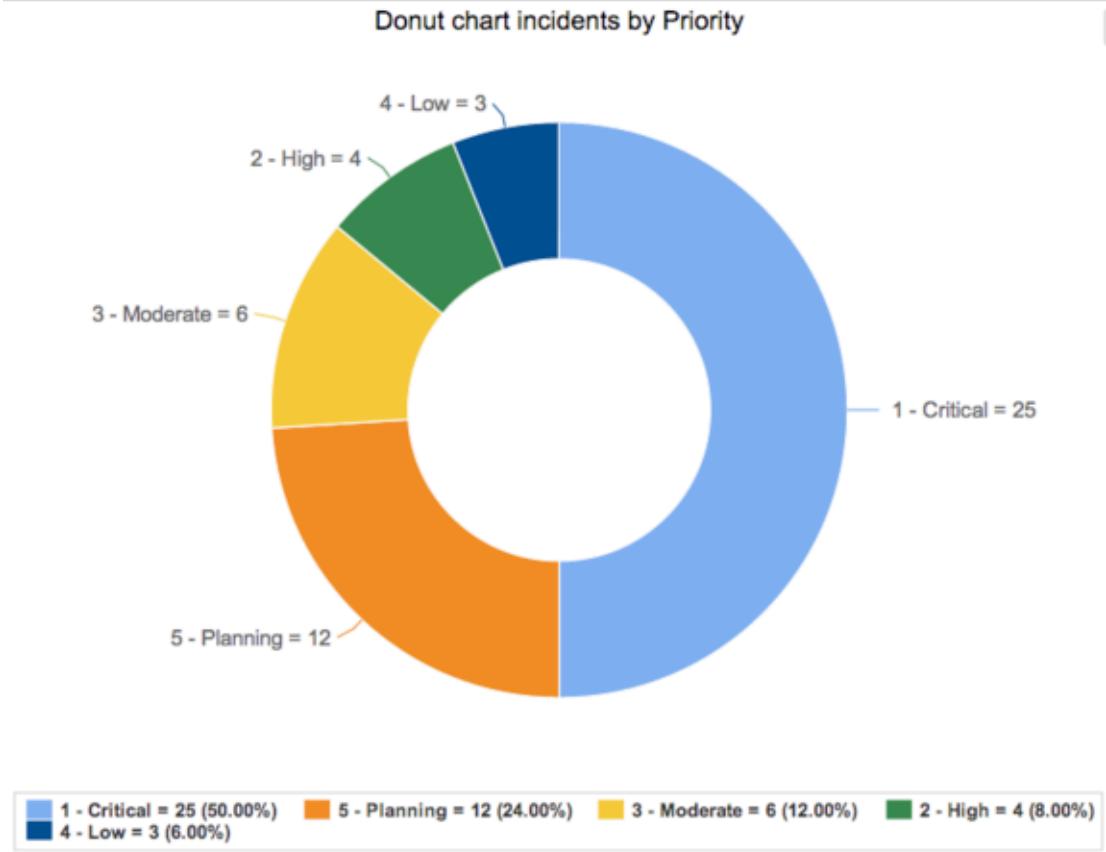
このデータ可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Donut reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用すれば、さまざまな優先度のインシデント カウントが許容範囲内かどうかをすばやく確認できます。

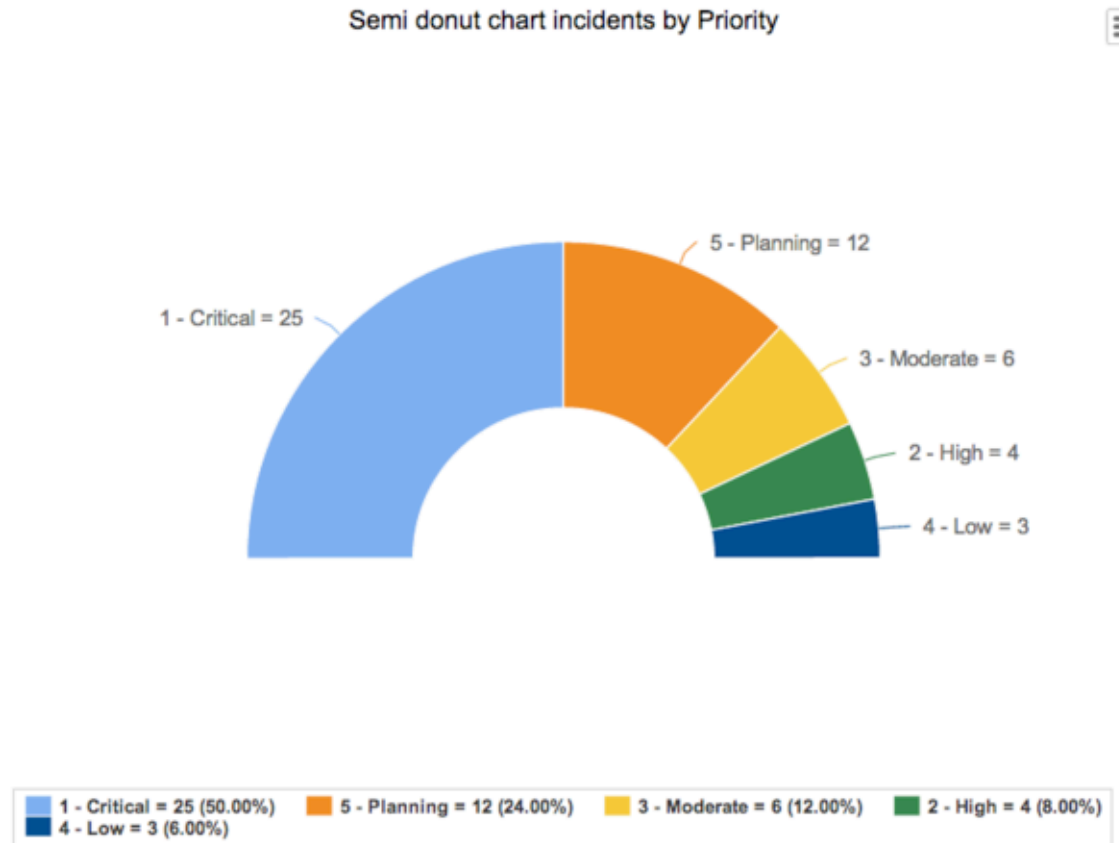
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示したドーナツ グラフ レポート



インシデントを優先度別に表示した半ドーナツ グラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフ レポートを作成する

ドーナツ グラフ レポートを作成して、各部分が全体に占める大きさを比較します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	ついては、「メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ドーナツ」と入力し、[ドーナツ] または [半ドーナツ] を選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

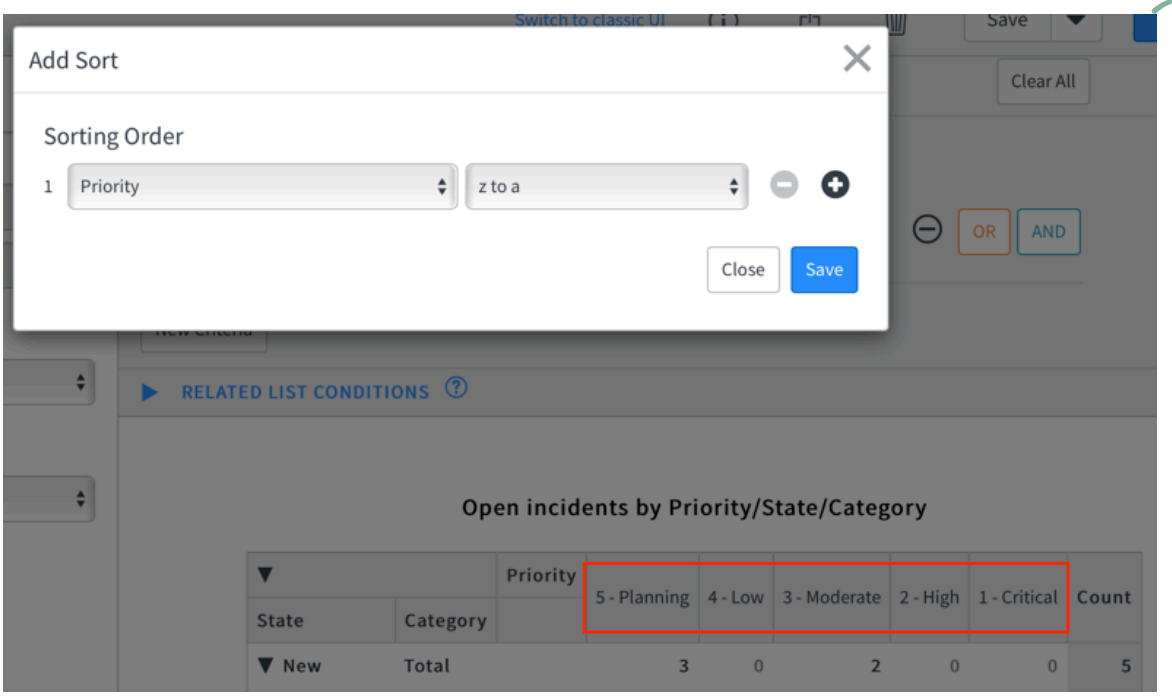
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ドーナツ グラフのスタイル オプション

ドーナツ グラフまたは半ドーナツ グラフの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ドーナツ グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ドーナツの幅	ドーナツまたは半ドーナツの幅の割合。範囲は 1 ～ 100% です。100% は円グラフと同じです。デフォルト値は 50 です。
合計を表示/凡例を非表示	チェック ボックスをオンにすると、ドーナツの中心に集計値の合計が表示されます。また、グラフの凡例が自動的に非表示になります。集計タイプが [平均] で、グループ化の基準となるフィールドを選択した場合、合計は各グループの平均の平均になります。
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次から選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

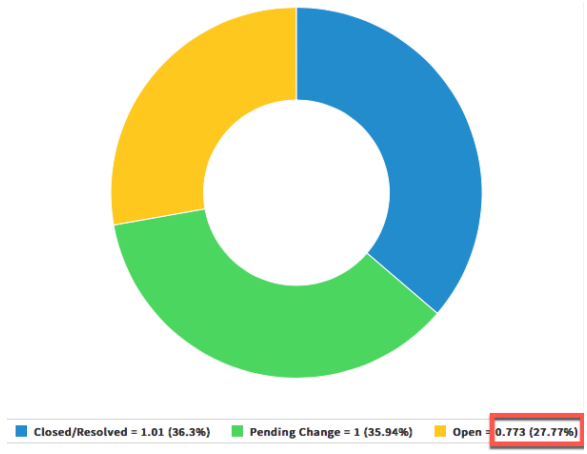
ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	ます。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均集計で使用できます。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
Title (役職)	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポート

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートは、データの分布を視覚化します。スライスまたはセクションのサイズは、すべての値の合計に占める割合を表します。

じょうごグラフ レポートは、セールス プロセスの各段階 (潜在顧客から取引成立まで) を表す場合や、プロセス内の潜在的な問題領域を特定する場合によく使用されます。じょうごグラフにネックを適用すると、合計値に占める割合が一定以下の値がすべてバーとして表されます。このバーは、それらの違いの重要度が同等であることを示します。

じょうごグラフ レポートは、割合が減少することでスライスが上から下に積み重なります。ピラミッド グラフは、割合が増加することでスライスが積み重なります。ピラミッド グラフ レポートは、組織の階層レベルを表現する場合によく使用されます。じょうごグラフとピラミッドのレポートは、ユーザーが表示された情報をすばやく解釈できるダッシュボードに配置できます。

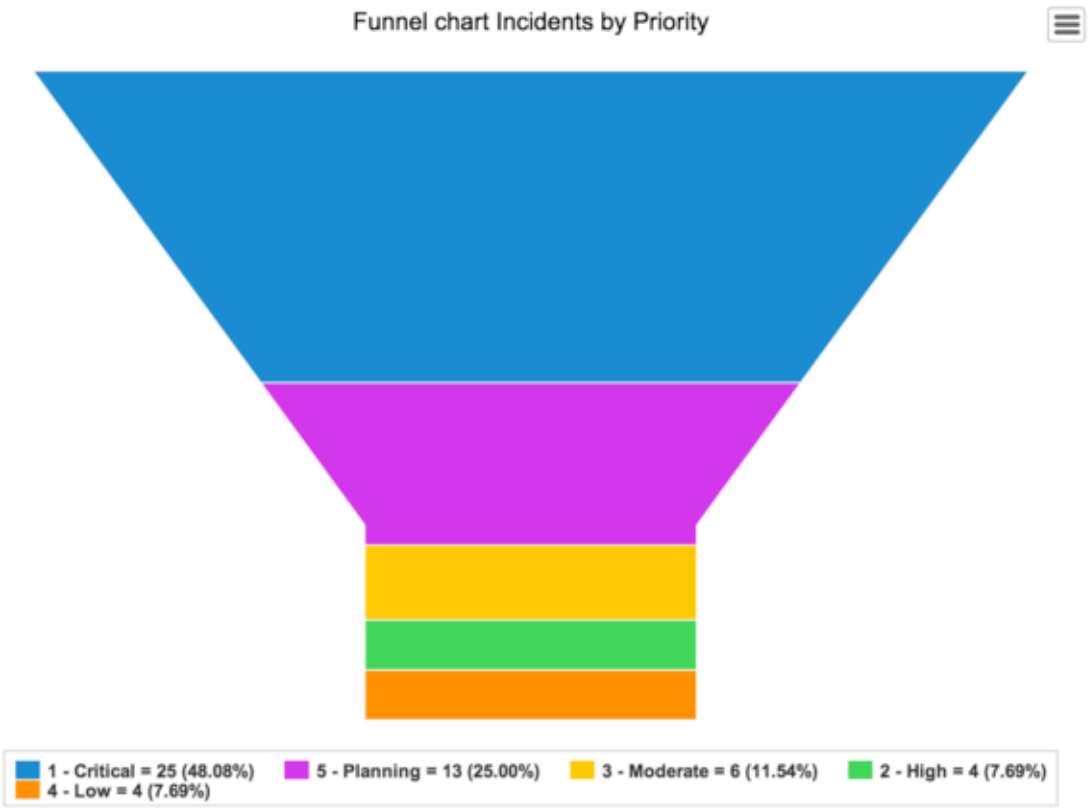
たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にじょうごおよびピラミッド グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。たとえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ば組織が、P1 というインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。じょうごやピラミッド グラフによって、インシデント カウントが許容範囲内かどうかが示されます。

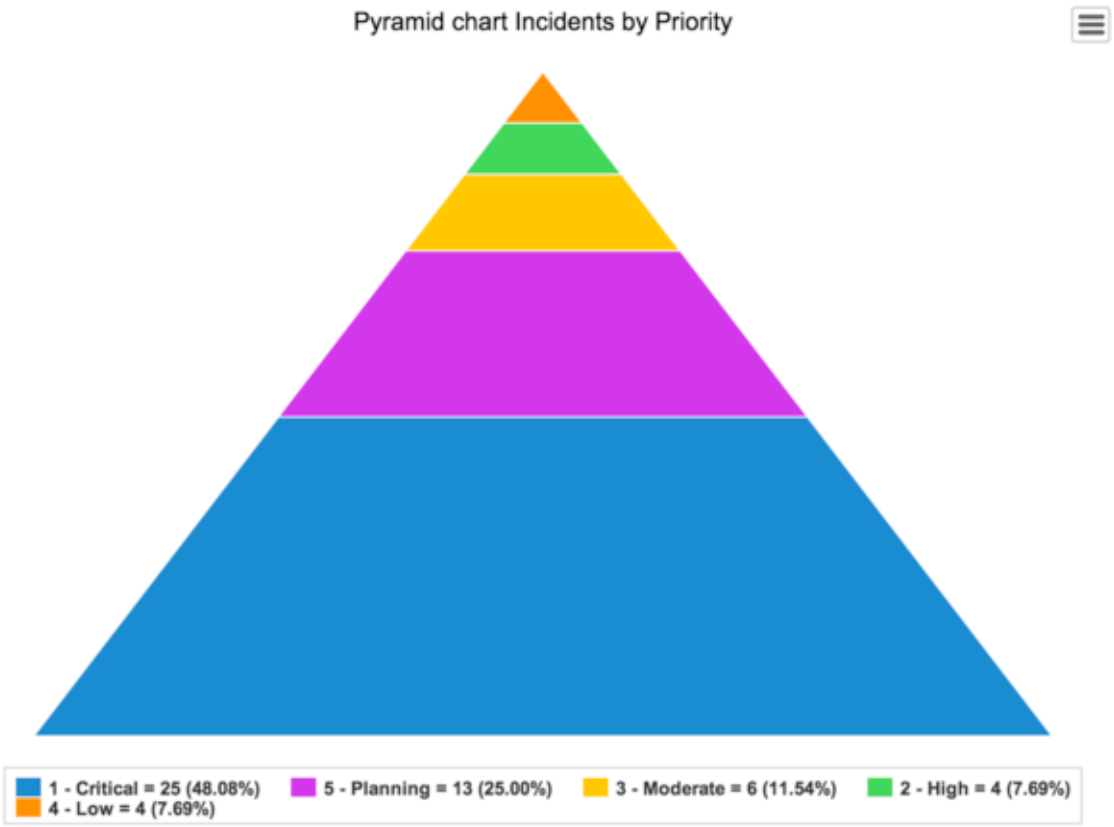
インシデントを優先度別に表示したじょうごグラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示したピラミッド グラフ レポート



じょうごおよびピラミッド グラフ レポートを作成する

各スライスのサイズが全体のパーセンテージを表し、プロセス内のデータの分布を示すじょうごグラフレポートを作成します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ピラミッド」または「じょうご」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   じょうごグラフ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

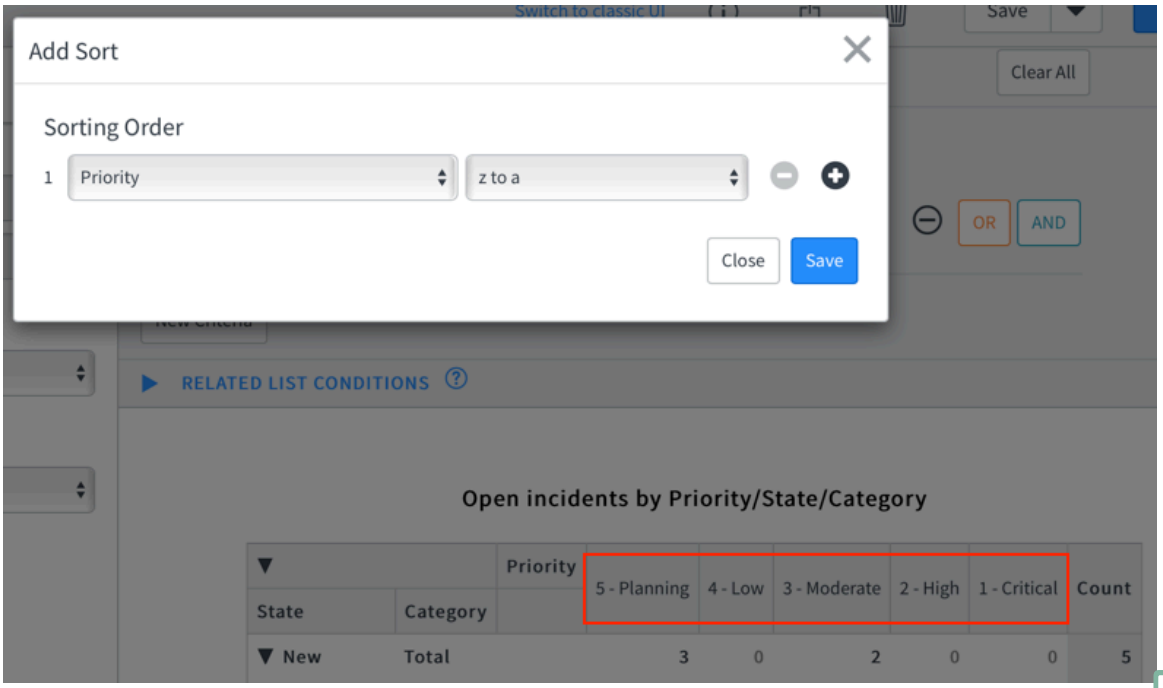
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートのスタイルオプション

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

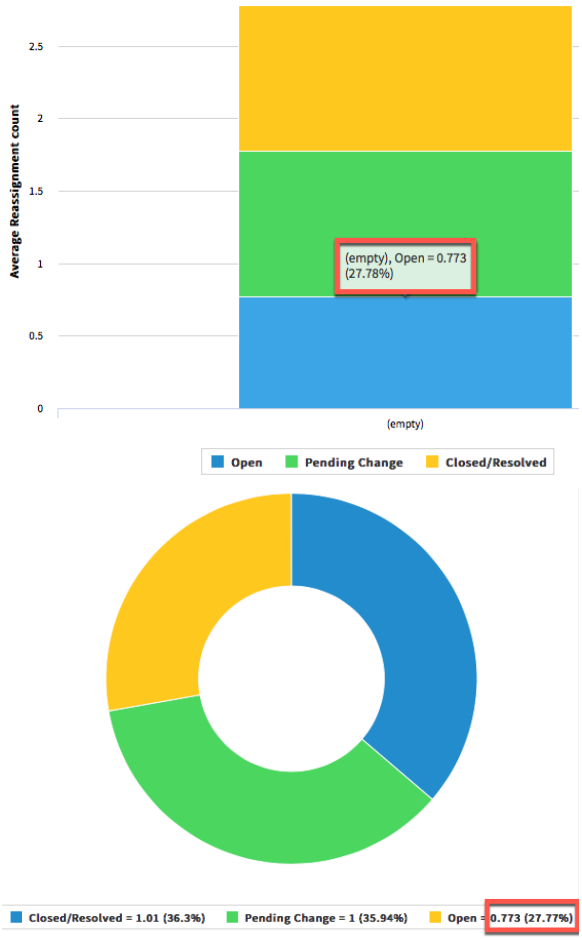
じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
じょうごネックのサイズ	じょうごグラフの幅を 1 ～ 100% のパーセンテージで入力します。1% は、じょうごネックより上で表すことができる最小値です。1% 未満の値は、設定された幅のバーとしてネックの下に積み重ねられます。 100% は棒グラフと同じです。デフォルト値は 30 です。
チャートの色	次のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 注: 透明度の 16 進数の値は使用できません。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	ウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
Title (役職)	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

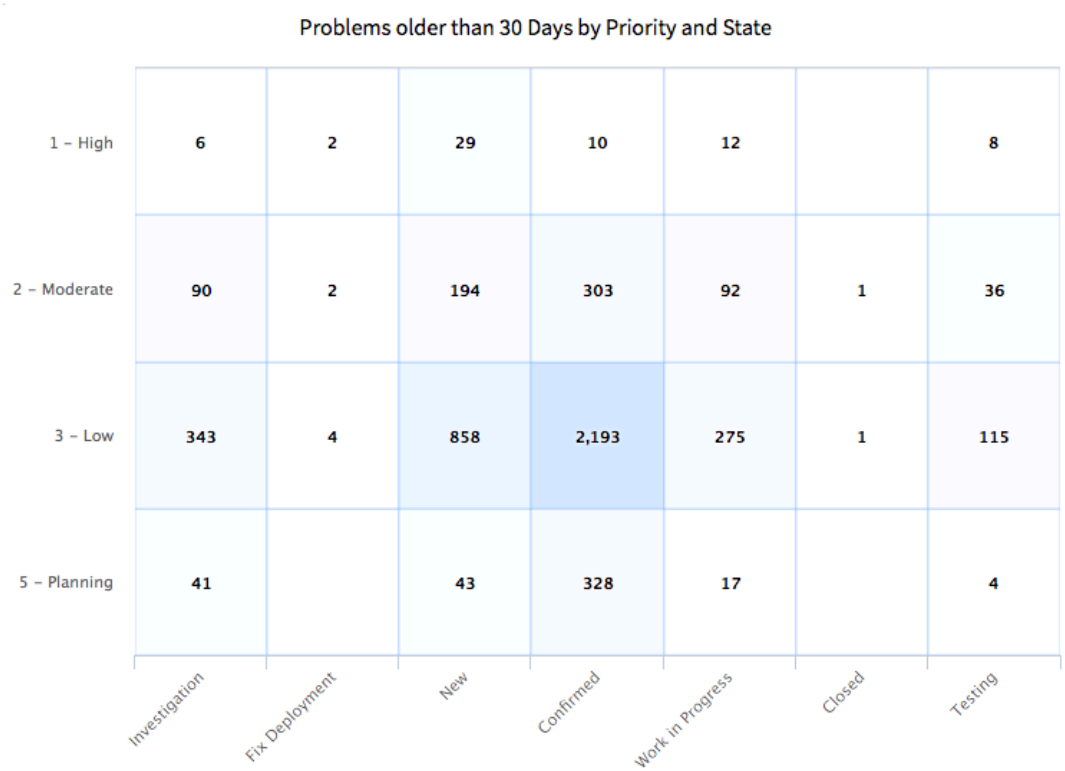
ヒートマップ レポート

ヒートマップ レポートは、色を使用して集計データを視覚的に表示し、マトリクスのさまざまな値を表現します。ヒートマップ レポートで使用できるセルは最大 1000 個です。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 でヒートマップの可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。

この図では、優先度の低い確認済みの問題のセルを塗りつぶし、大きな値をハイライト表示していま



す。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ レポートを作成する

ヒートマップレポートを作成し、色を使用してアグリゲートデータを視覚的に表示し、マトリクス上のさまざまな値を表します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

注:
小さいサイズのヒートマップチャートでは、隣接する値と重なるゼロ以外の値は表示されません。これらの値の行ラベルも表示されません。空白の値のセルにカーソルを合わせてその値を表示したり、値に合わせてチャートサイズを拡大したりすることができます。この特定のグラフタイプがどのように動作するかを理解することは、結果を解釈し、データの適切なサイズを決定するのに役立ちます。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ヒートマップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. 必要に応じて、フィールドに値を入力します (表を参照)。

フィールド

フィールド	説明
行	ヒートマップ内の行データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソースフィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 ⓘ) を選択します。 **注:** 20 文字を超えるラベル名は表示時または印刷時に切り捨てられることがあります。
列	ヒートマップ内の列データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソースフィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 ⓘ) を選択します。 **注:** 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

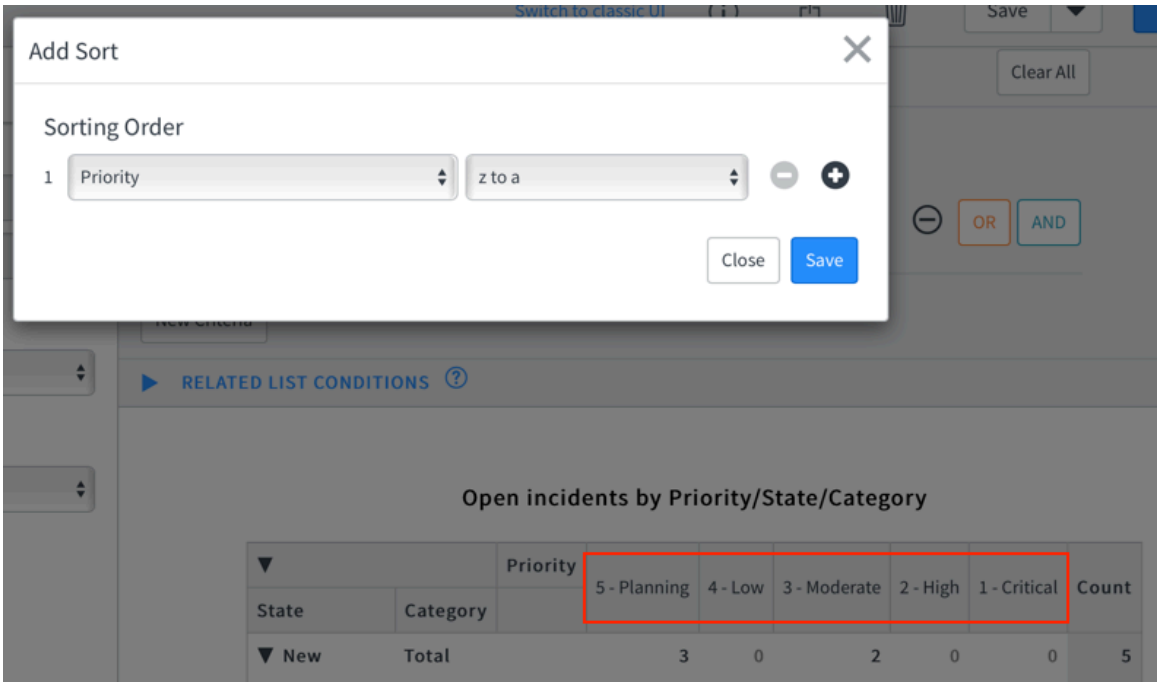
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ヒートマップ レポートのスタイル オプション

ヒートマップ チャートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

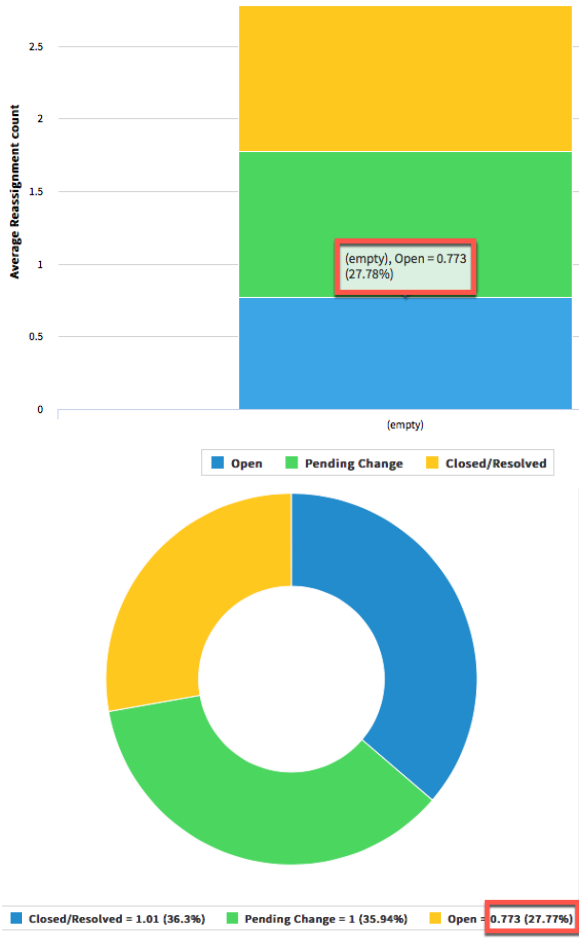
ヒートマップ チャートのスタイル オプション

全般	
ヒートマップ カラーを使用	チェック ボックスをオンにすると、値ごとに異なる色を使用します。
高スコア用の色	チャート上で高い値を示すために使用する色。
低スコア用の色	チャート上で低い値を示すために使用する色。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
	注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキスト	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
を左揃え	PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

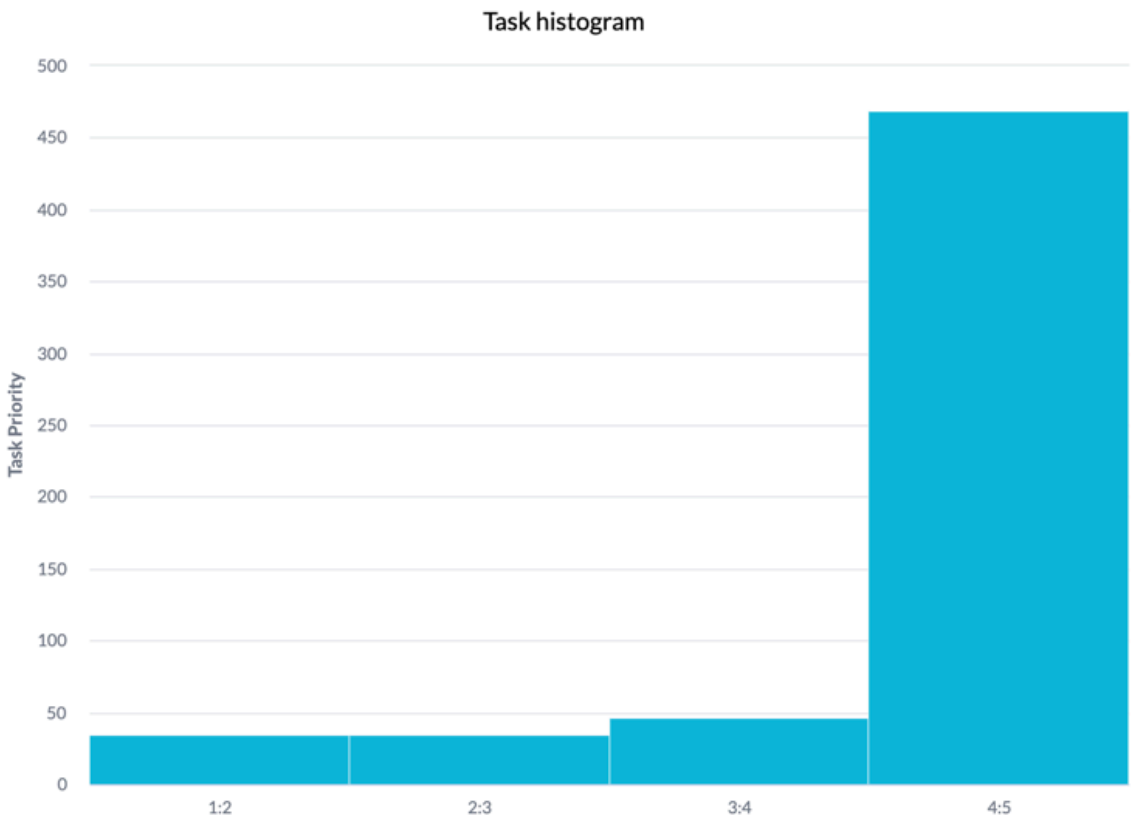
ヒストグラム レポート

ヒストグラムは、データ セット内の数値を範囲にグループ化します。ヒストグラムで使用するデータは連続するデータです。連続するデータを測定します。一方で、棒グラフで使用する離散データをカウントします。

たとえば、ヒストグラムを使用して、製品のリリース後 4 週間にわたって記録した P1 というインシデントのパターンを表示できます。製品がリリースされてから最初の 1 週間は、ユーザーがまだ製品を十分理解しておらず、使用が少ないため、P1 インシデントは低くなっています。2 週目では、より多くのユーザーが製品の使用を開始し、P1 の問題が増加します。3 週目では、さらに多くのユーザーが製品の使用を開始するにつれて、P1 の問題がいっそう増加します。4 週目では、P1 の問題は 3 週目と同じ状態を保っています。こうした情報は、製品がリリースされてから 3 週目まではサポート スタッフを増やす必要がないことを示しています。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

ヒストグラムレポート



ヒストグラム レポートを作成する

ヒストグラムにより、連続するデータ セット内の数値を範囲にグループ化します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ヒストグラム」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
測定基準	レポートを作成する対象のフィールドを選択します。このフィールドの値は、ヒストグラムの X 軸に表示され、バーの幅を決定します。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポート

線グラフ レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つまたは複数のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。線グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、線グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。

自動翻訳

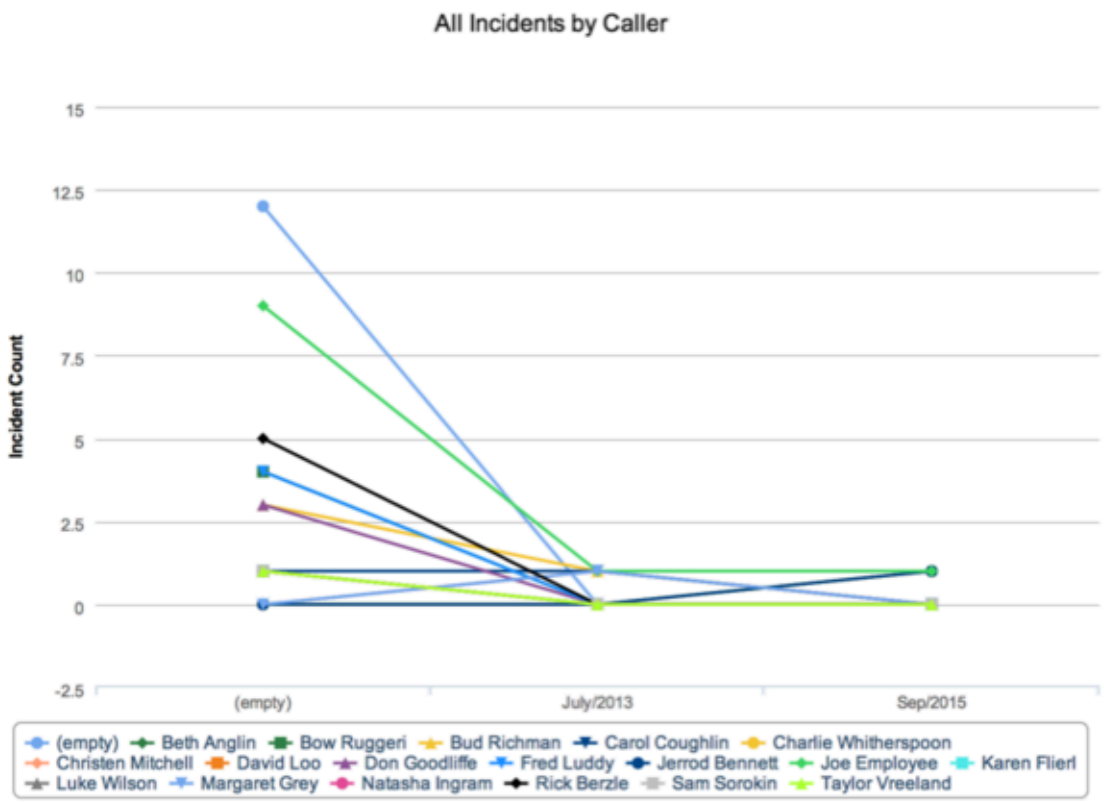
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 時系列可視化タイプのユースケース」を参照してください。

このデータ可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

たとえば、インシデント数を表す線グラフ レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。この図は、問い合わせユーザーあたりのインシデント数の経時変化を示しています。

線グラフ レポート



線グラフ レポートを作成する

折れ線グラフレポートを作成して、1 つまたは複数のアイテムの値変化の傾向を経時的に示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

折れ線グラフレポートのユースケースについては、 時系列の可視化の例。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「線」と入力し、[時系列] セクションで線グラフ レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

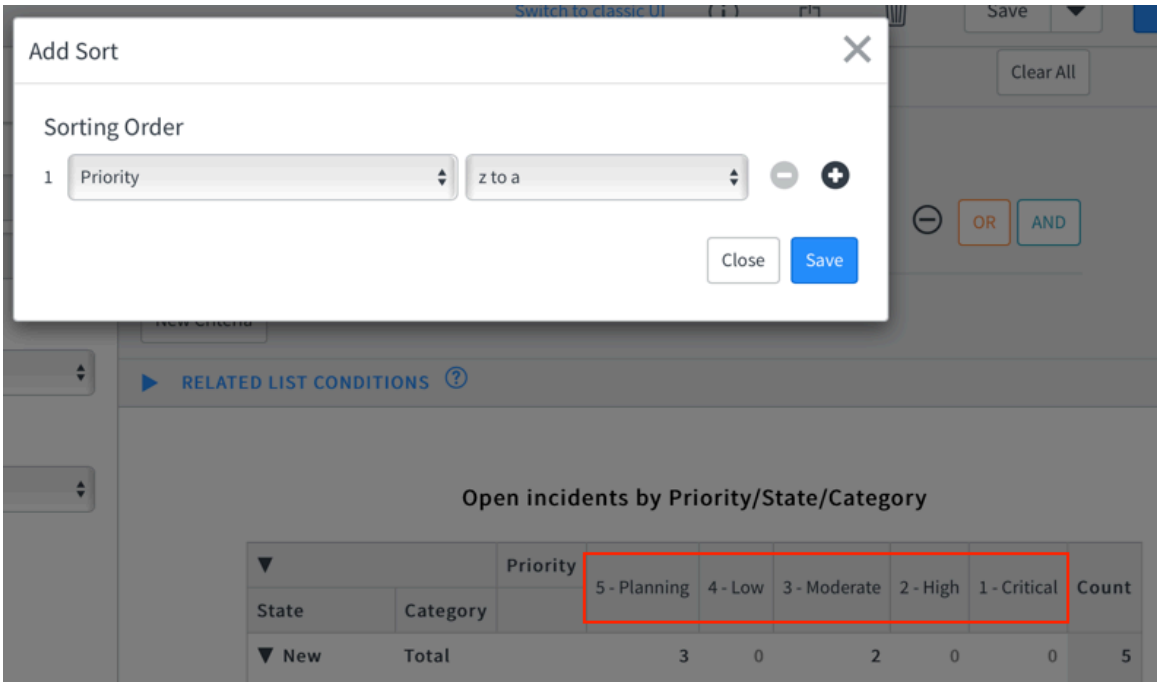
b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポートのスタイル オプション

線グラフ レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム色を選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートで事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、またはカウントまたは個別のカウントで集計されている場合は使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合は、このプロパティは選択できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

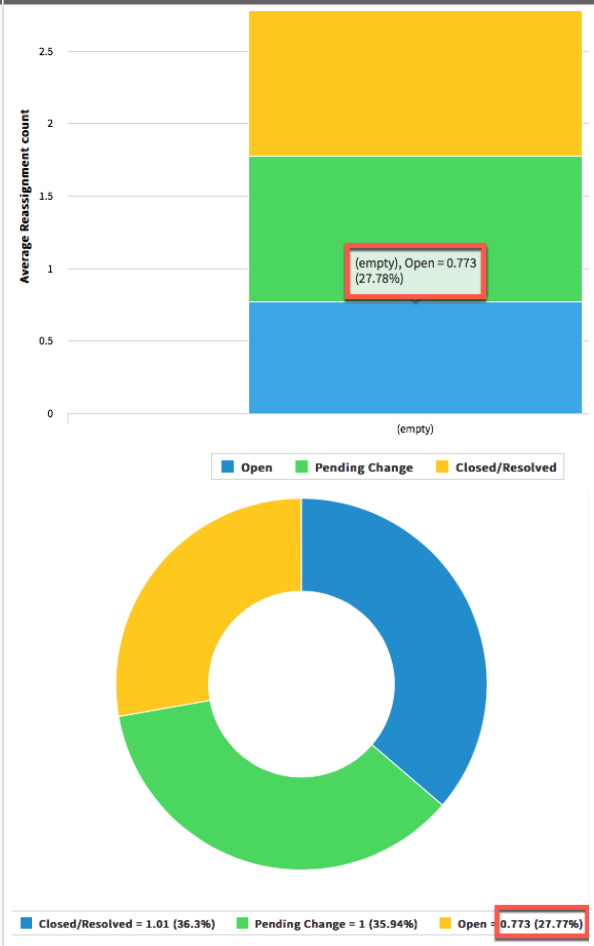
線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
から	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
スケール最大値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

リストレポート

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。リストは、インシデント数や変更数などの列挙によく使用されます。より詳細な情報 (簡単な説明、カテゴリ、ステータスなど) を表示する列が含まれています。

自動翻訳

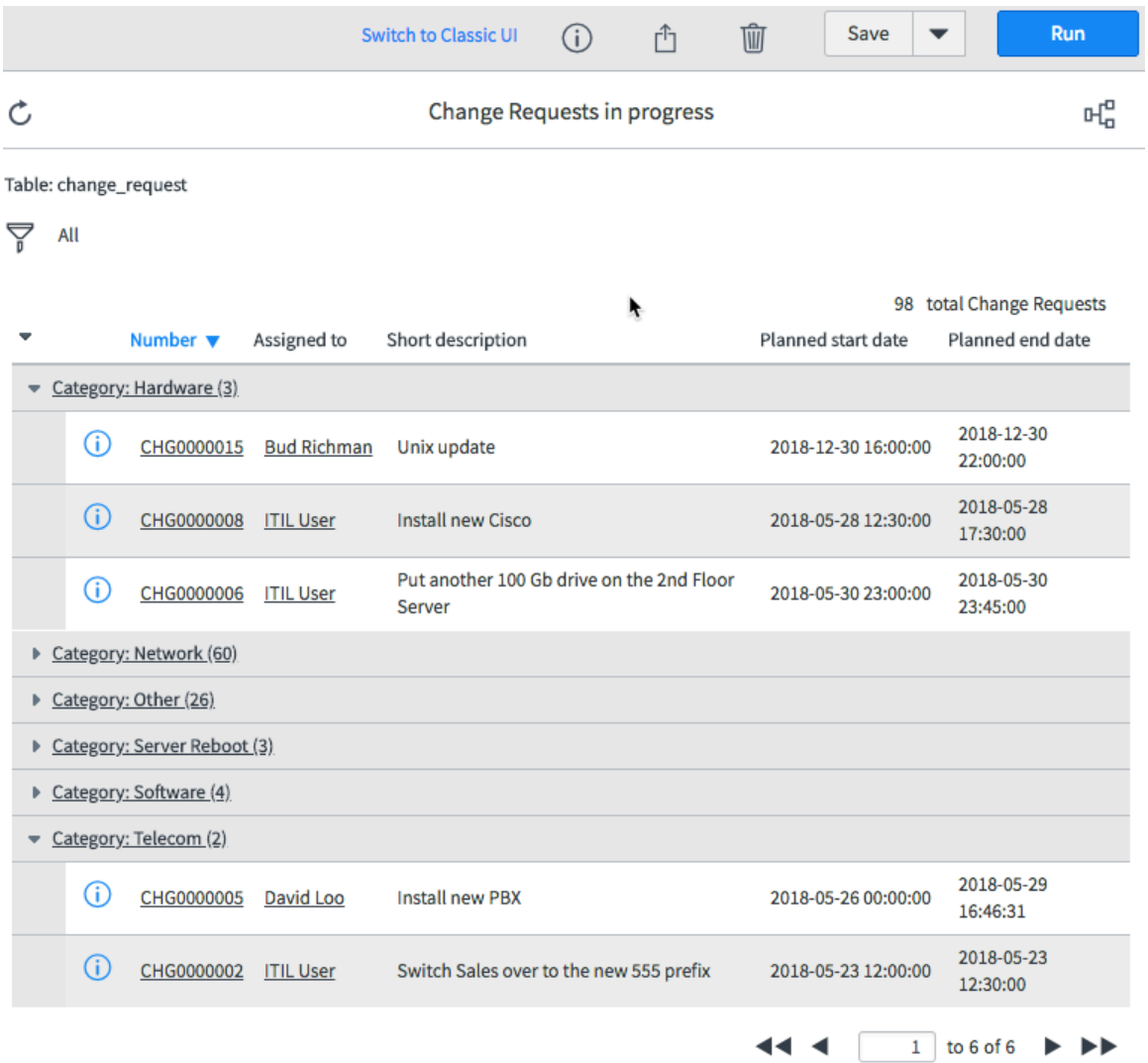
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 で簡単なリスト可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。
- リスト v3 を有効にしていても、リスト レポートはリスト v2 で表示されます。
- レコード数とページネーションボタンは、リストの下部にのみ表示されます。

このリストレポート例では、インシデントを発信者別にソートして表示します。

リストレポート



リストレポートのタイプ

リストレポートには 3 つのタイプがあります。

基本リストレポート

追加機能のないリストレポート

変数列を含むリストレポート

変数が関連付けられているデータソースまたはテーブル (サービスカタログデータソースなど) に基づいてレポートを一覧表示します。変数は、多くの場合、コンピューターのストレージの量など、製品のバリエーションです。

質問列を含むリストレポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

質問が関連付けられているデータソースまたはテーブルに基づいてレポートを一覧表示します。たとえば、フォームでユーザーに問題の特定の性質を選択するように求めた場合は、応答の列を含むリストレポートを作成できます。

基本的なリストレポートでは、レポートソースにテーブル、データソース、インポートされた Excel スプレッドシート、または メトリックベース テーブルを使用できます。変数と質問の列を含むリストレポートでは、テーブルとデータソースのみを使用します。

質問列と変数列を設定するには、追加の手順があります。

基本的なリストレポートの作成

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデント レポートには、優先度の名前と、ユーザーが優先度をクリックした場合に表示されるレコード数だけが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	リスト レポートに列として表示するフィールド。[列を選択] をクリックすると [列] ウィンドウが開きます。その中の [利用可能] リストで、レポートに表示するフィールドを選択し、[選択済み] リストに移動します。 情報アイコン ( ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベース フィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type 」を参照してください。 ○ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

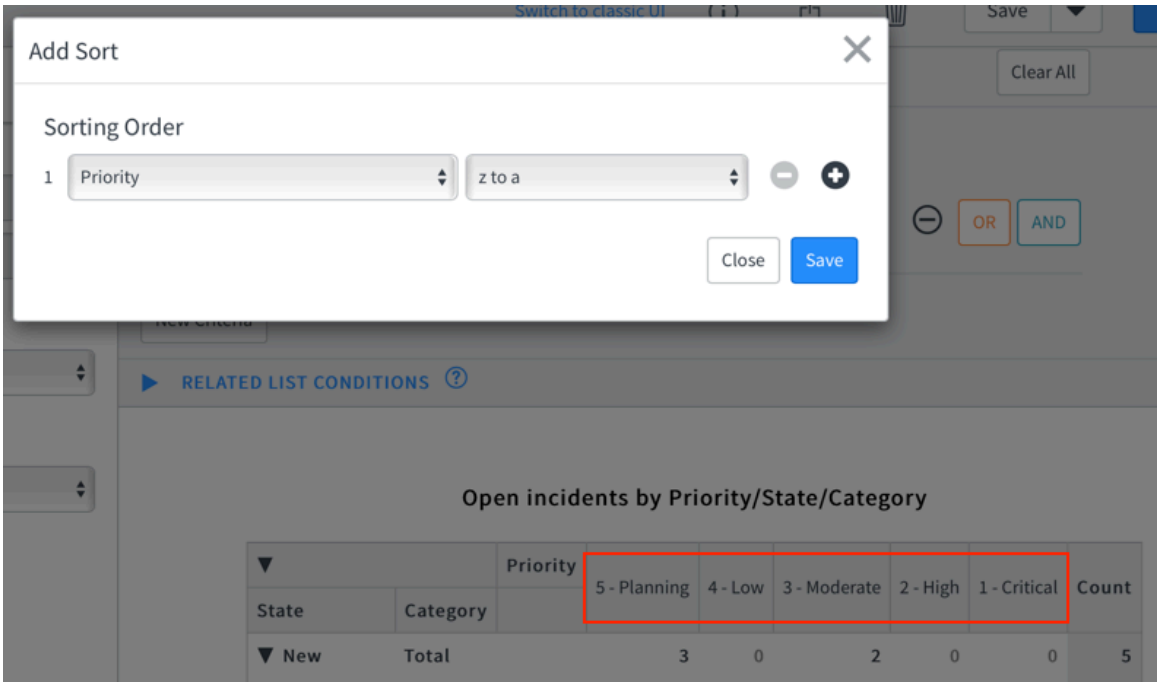
b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. オプション: [スタイル] タブで、レポートのタイトルを追加して構成します。
   「リストレポートスタイルのオプション」を参照してください。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートを共有する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、 システム・プロパティーの追加 を参照してください。
- リストのフィルタリングに関係なく、PDF 形式のエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限付きデータを表示できないロールには空白として表示されます。

- リスト機能の設定と使用

変数列を含むリスト レポートを作成する

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、変数列を含むリスト レポートを作成できます。たとえば、**Storage** という変数を持つアイテムの場合、この変数の値を表示するための列を持つリスト レポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。

レポートソース	説明
Data source (データソース)	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらのレポートの表示を促す通知が表示されます。
テーブル	フィルターが適用されていないテーブルの生データ。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

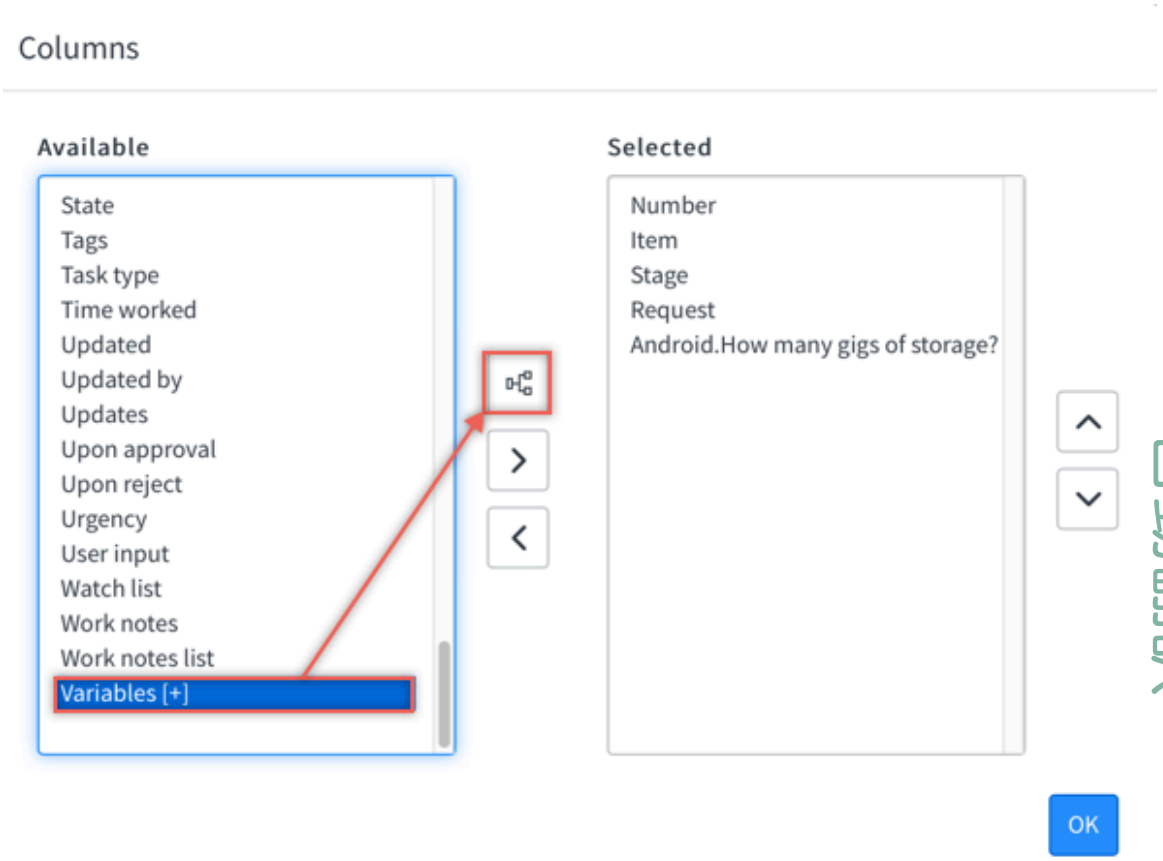
アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [変数 **[+]]** を選択します。

   [変数**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。

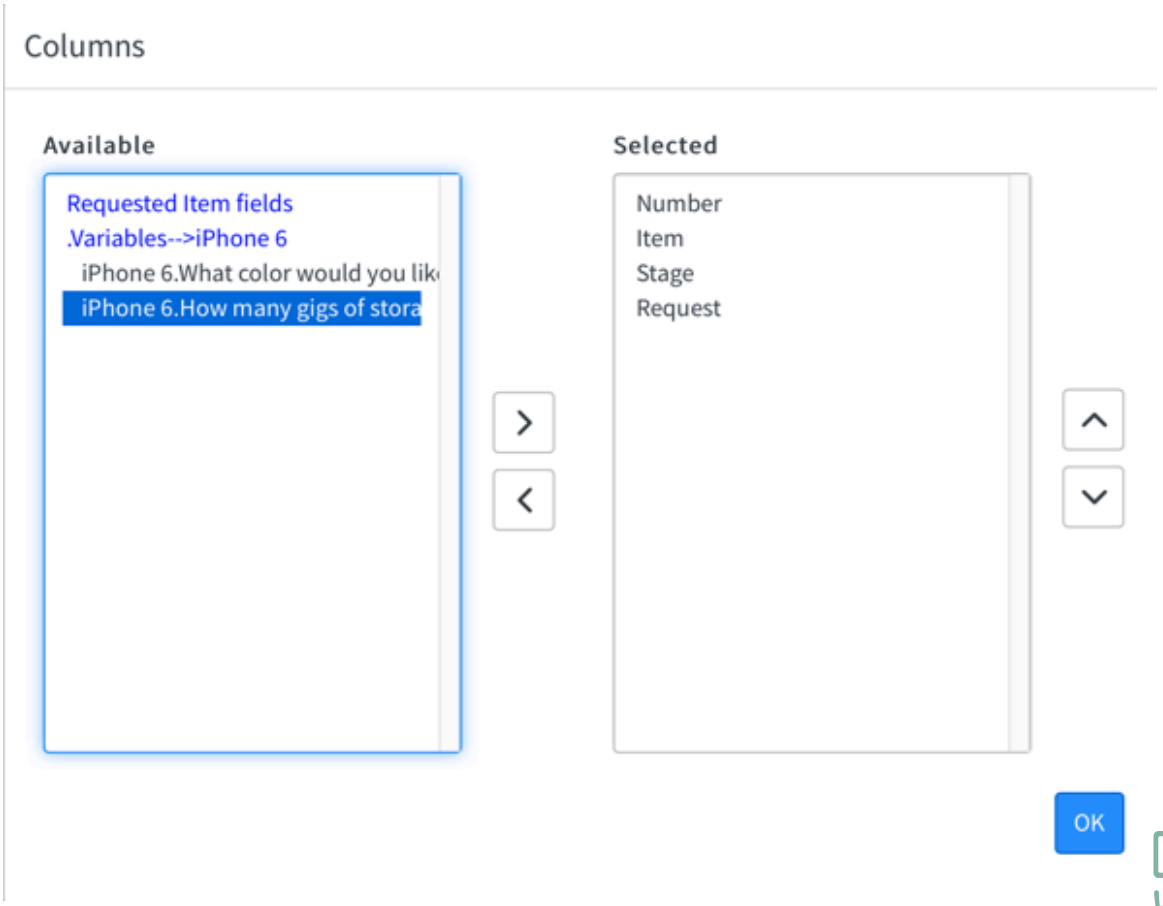
7. 構造アイコン ( ) をクリックして、アイテムを選択します。



8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
   選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 変数を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

    フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

    a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

    注:
    ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

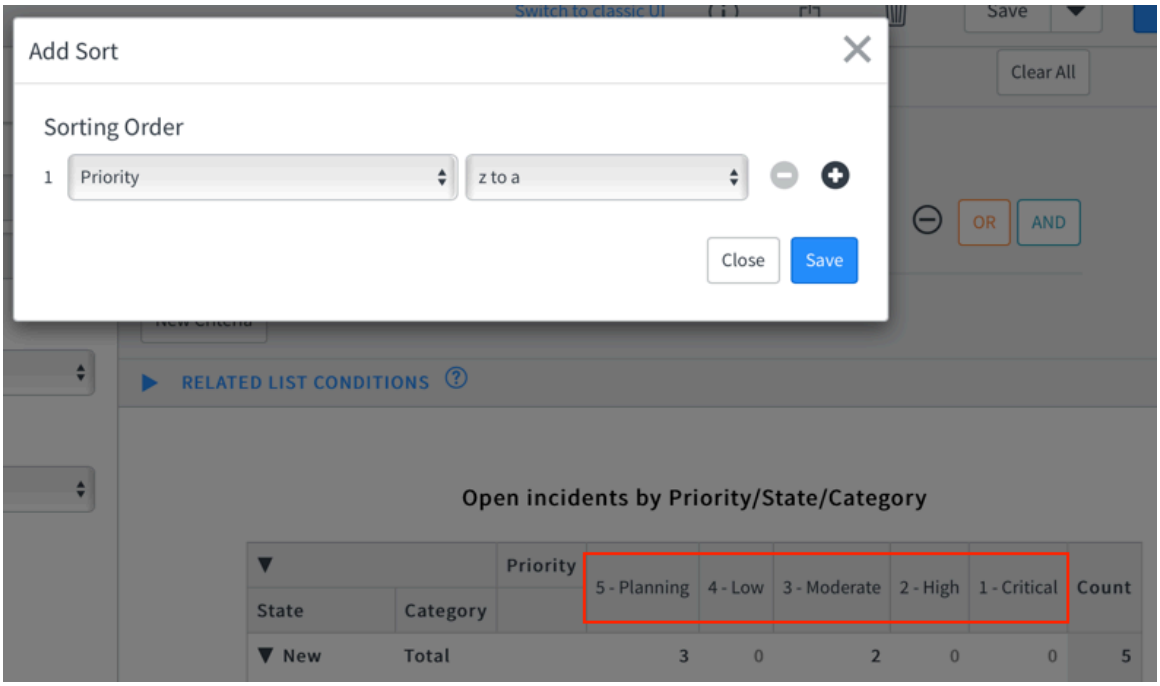
    b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

    c. [**Save** (保存)] をクリックする。

    選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. オプション: [スタイル] タブで、レポートのタイトルを追加して構成します。
「リストレポートスタイルのオプション」を参照してください。

14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートを共有する」を参照してください。

> **注:**
> - PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、 システム・プロパティーの追加 を参照してください。
> - リストのフィルタリングに関係なく、PDF 形式のエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限付きデータを表示できないロールには空白として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問列のあるリスト レポートを作成する

質問が関連付けられているデータ ソースまたはテーブルに基づいた質問列を持つ、リスト レポートを作成することができます。たとえば、ユーザーに表示するフォームで、問題の特徴を選択するようユーザーに求める場合に、特徴に対応する値の列を一覧表示するリスト レポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。

レポートソース	説明
Data source (データソース)	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらのレポートの表示を促す通知が表示されます。
テーブル	フィルターが適用されていないテーブルの生データ。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

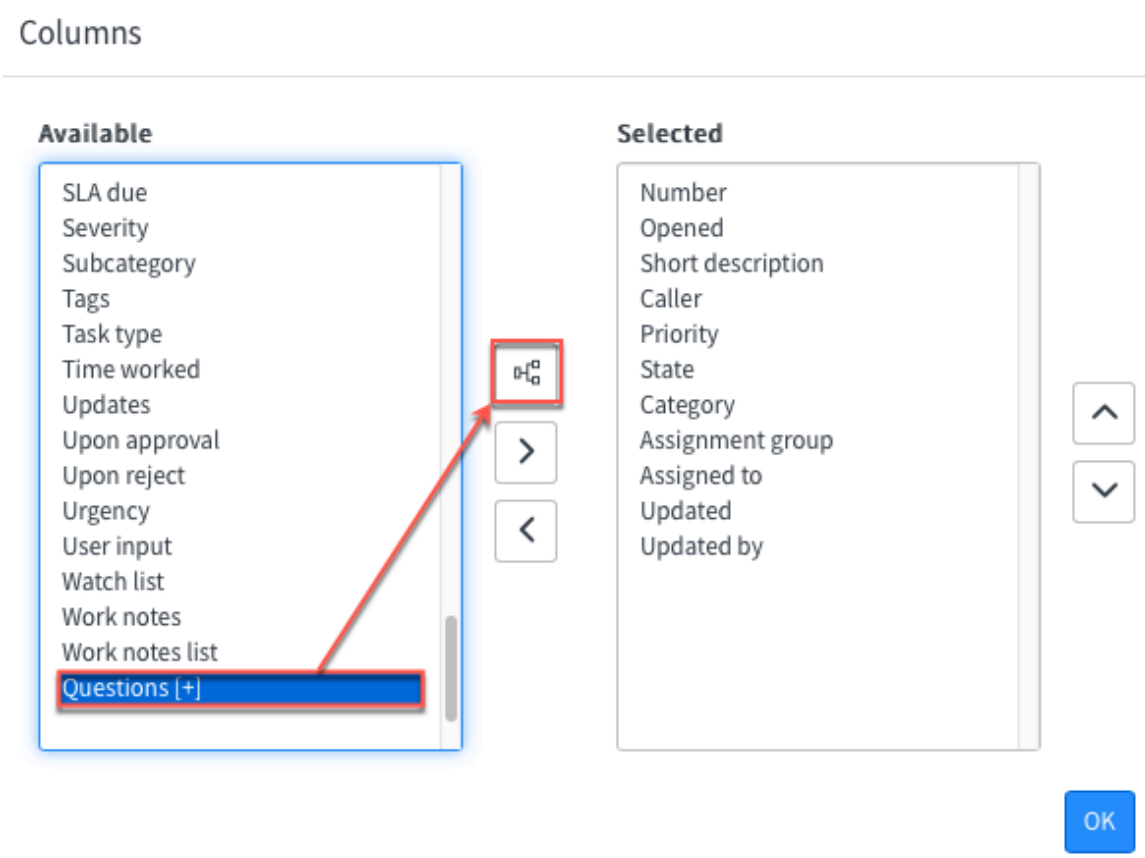
   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [質問 **[+]]** を選択します。

   [質問**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
7. 構造アイコン ( ) をクリックして、アイテムを選択します。

自動翻訳

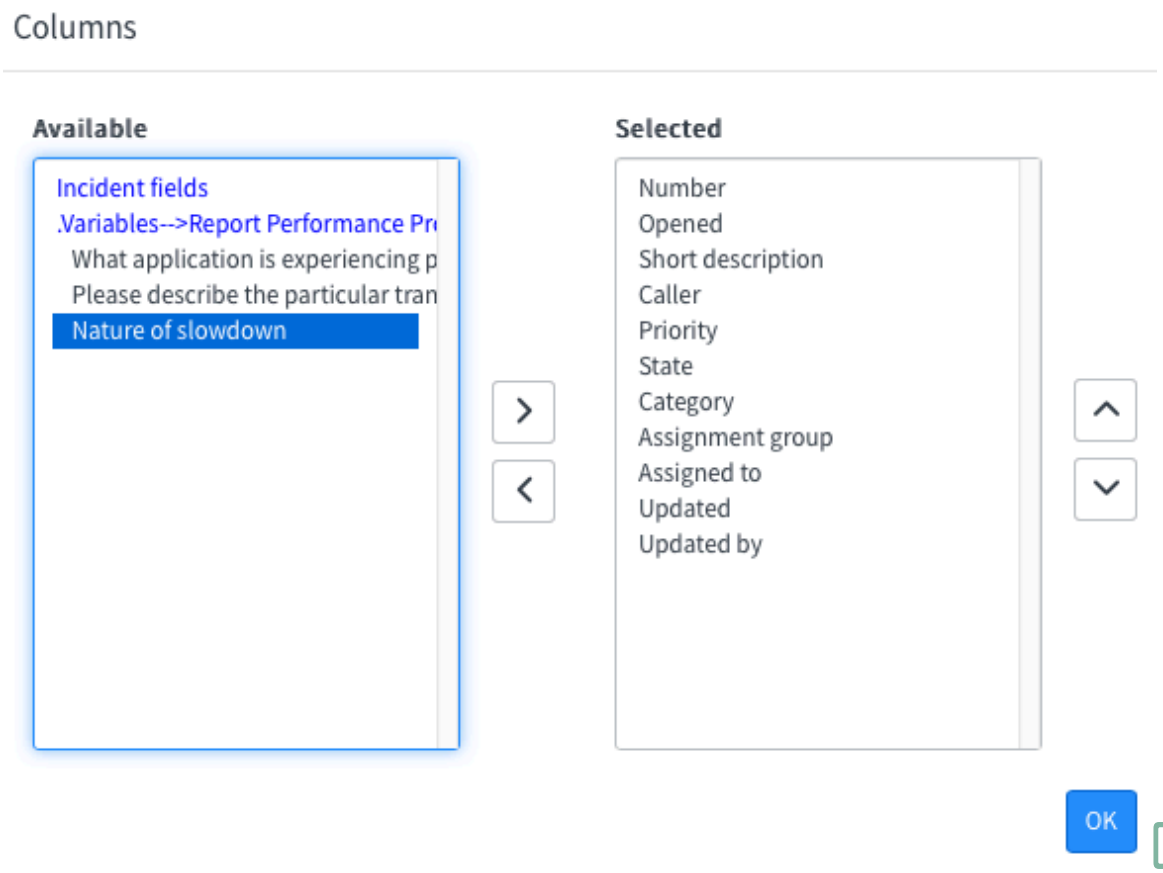
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 質問を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグ	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ループ化	きるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
    フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。
    a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

       このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

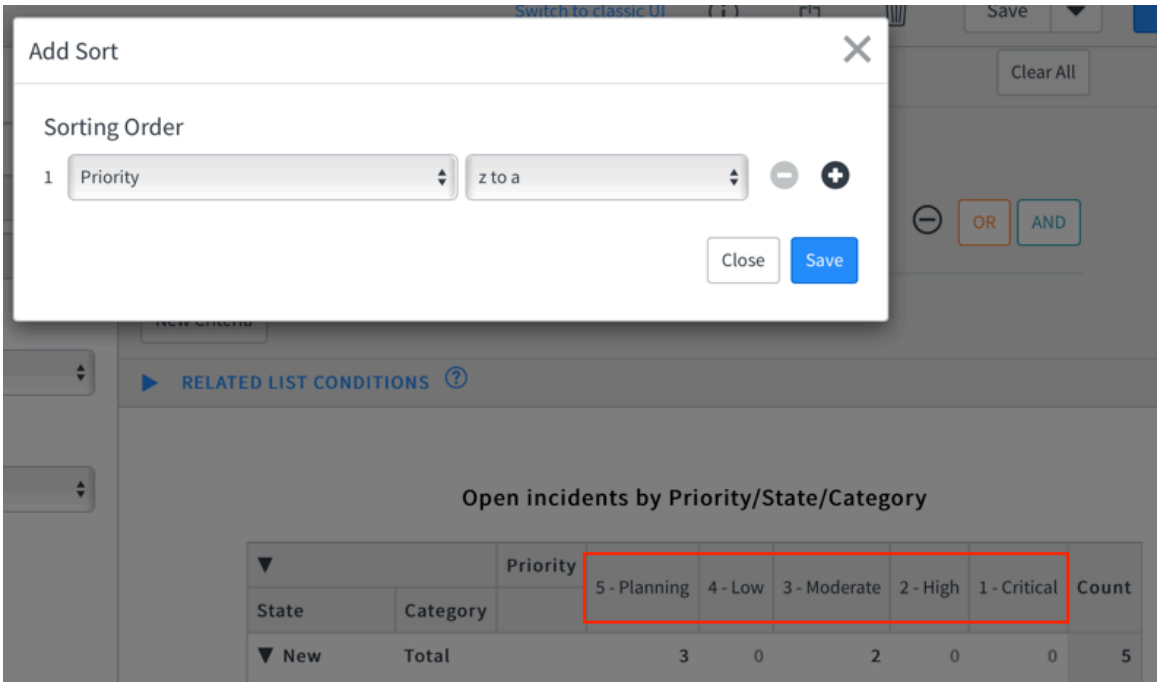
       注:
       ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

    b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)
    c. [**Save** (保存)] をクリックする。

    選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. オプション: [スタイル] タブで、レポートのタイトルを追加して構成します。
「リストレポートスタイルのオプション」を参照してください。

14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視化とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートを共有する」を参照してください。

> **注:**
> PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、 システム・プロパティーの追加 を参照してください。

リストレポートスタイルのオプション

リストレポートにタイトルを追加し、タイトルのサイズ、色、配置を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストレポートを作成または編集するときに、[データ] タブで指定したレポート名に代わるタイトルを追加できます。レポートを共有したユーザーには、レポートの名前ではなく新しいタイトルが表示されます。

リストレポートスタイルのオプション

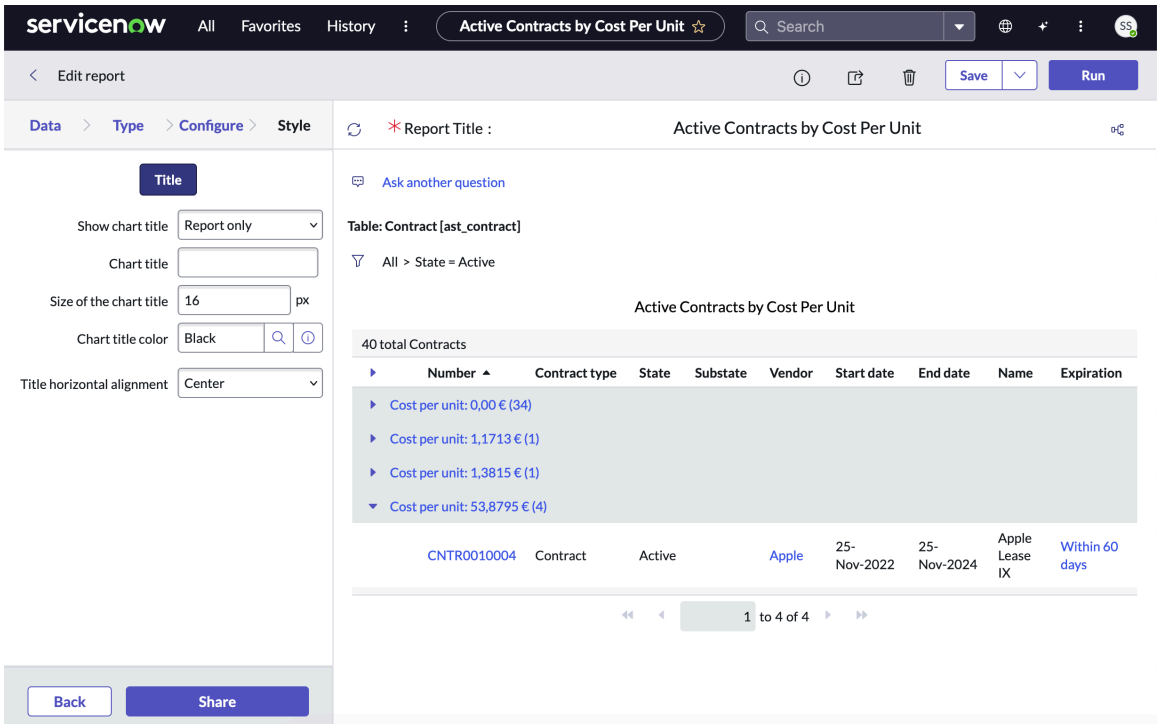
フィールド	説明
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。

例

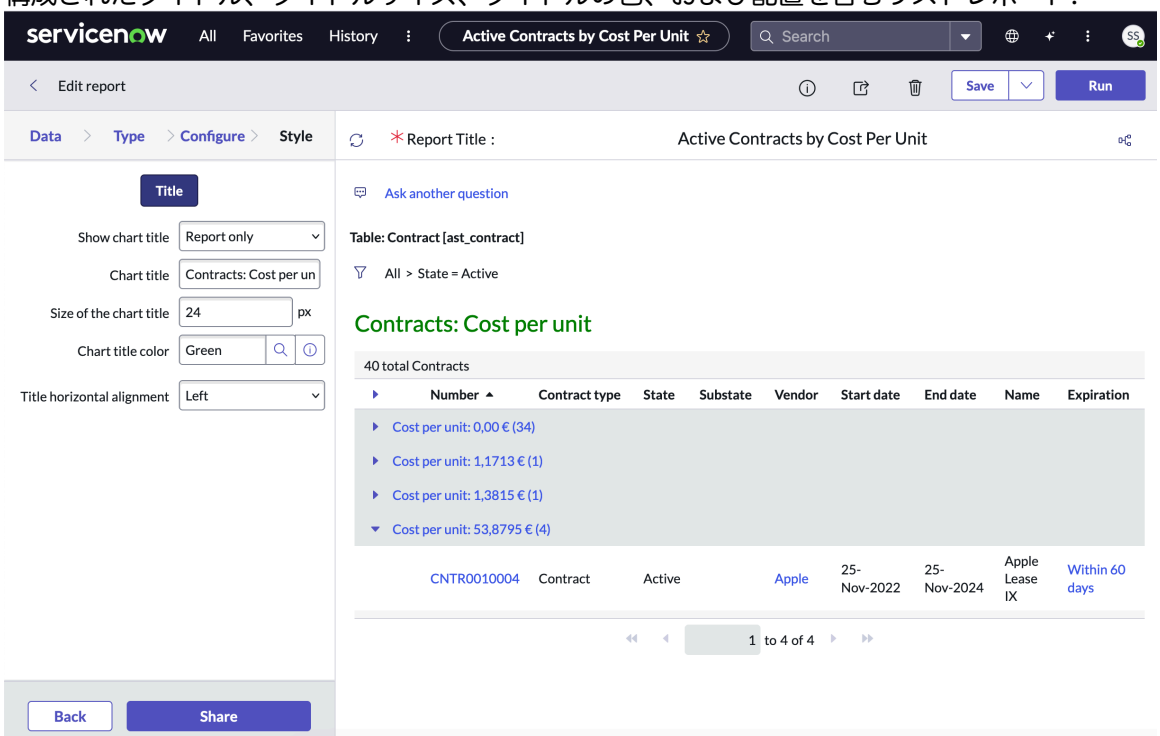
デフォルトのスタイルオプションを使用したリストレポート:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



構成されたタイトル、タイトルサイズ、タイトルの色、および配置を含むリストレポート:



リストレポートのグループレコード

グループ化されたリスト レポートでは、通常のリストに表示するように構成されたレコードのみを各グループに表示できます。リスト レポートの情報行を特定のフィールド別にグループ化できます。サービスカタログ変数別にリスト レポートをグループ化することはできません。

一度に 100 件のレコードを表示するように設定されたリストでは、そのグループ内のレコード数に関係なく、最初の 100 件のレコードのみを表示できます。グループ内でページングを使用することはできず、グループ化されたリストから離れずに残りのレコードにアクセスすることはできません。グループ内のすべてのレコードにアクセスするには、次のようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リストの表示サイズを大きくします。
- グループ ヘッダーをクリックして、そのグループでページングが有効になっている通常のリストに戻ります。

リスト レポートでは、グループ化されたレコードを自動的に展開するためのユーザー設定はサポートされていません。

デフォルトでは、レポートのセクションは折りたたまれています。この例では、製品のリストがメーカー別にグループ化され、ゲートウェイに関連付けられたアイテムが展開されています。

グループ化されたリスト レポート

Name ▲	Manufacturer	Asset tag	Operating System	CPU speed (MHz)
Manufacturer: (empty) (2)				
Manufacturer: Apple (474)				
Manufacturer: Asus (36)				
Manufacturer: Cyberpower (13)				
Manufacturer: Dell Inc. (197)				
Manufacturer: Gateway (9)				
*CAROL3-GATEWAY	Gateway	P1000038	Windows XP Professional	2,992
8400-053105	Gateway	P1000224	Windows XP Professional	3,391
DIANEK	Gateway	P1000051	Windows XP Professional	3,192
DX Series	Gateway	P1000241	Windows XP Professional	
JENREALTY	Gateway	P1000221	Windows XP Professional	3,192
KIRKK	Gateway	P1000111	Windows XP Professional	2,394
MEGANS	Gateway	P1000222	Windows XP Professional	2,793
OLGAS	Gateway	P1000163	Windows XP Professional	3,049
Product KIOSK	Gateway	P1000096	Windows XP	
Manufacturer: IBM (35)				
Manufacturer: iBUYPOWER (4)				

リストレポートをエクスポートする

レポートのエクスポートをスケジュール設定することで、リストレポートを Excel、PDF、または CSV にエクスポートできます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

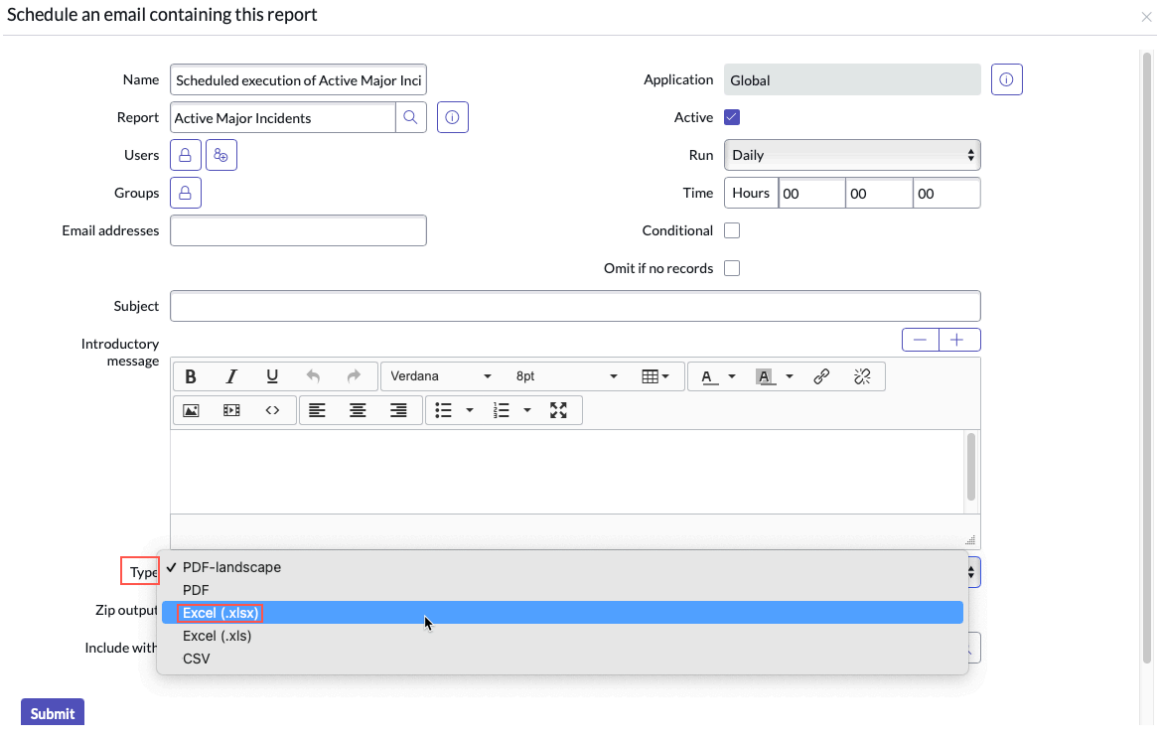
注:
アドミニストレーターが作成した制限により、これらのロールを持つユーザーに [スケジュール] オプションが表示されない場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 レポート > 表示/実行.
2. エクスポートするリストレポートを開きます。
3. [共有] アイコン ( ) を選択し、[スケジュール] を選択します。
4. 保存したリストレポートを目的の形式でエクスポートするようにスケジュールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[タイプ] に [PDF]、[PDF - 横向き]、[Excel]、または [CSV] を指定します。Excel ではレポートの期間がミリ秒で表示されます。「<x> 日 <y> 時間」という形式では表示されません。詳細については、「レポートのメールをスケジュール」を参照してください。



タスクの結果

スケジュール済みレポートの受信者は、指定されたフォームでレポートを受け取ります。

プラットフォームリストを **Excel** にエクスポート

リストには、テーブルのレコードセットが表示されます。クラシック環境のリストからスプレッドシートに情報をエクスポートできます。

始める前に

必要なロール:なし。ただし、リストを表示する権限が必要です。

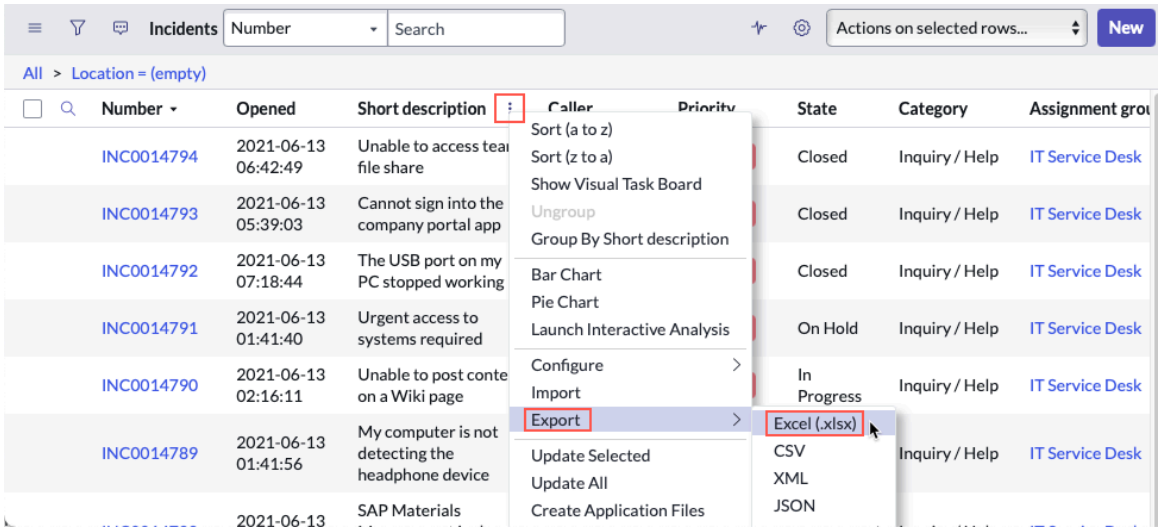
詳細については、「Lists in the classic environment」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エクスポートするリストに移動します。
2. 任意の列見出しを右クリックし、 エクスポート > **Excel**.



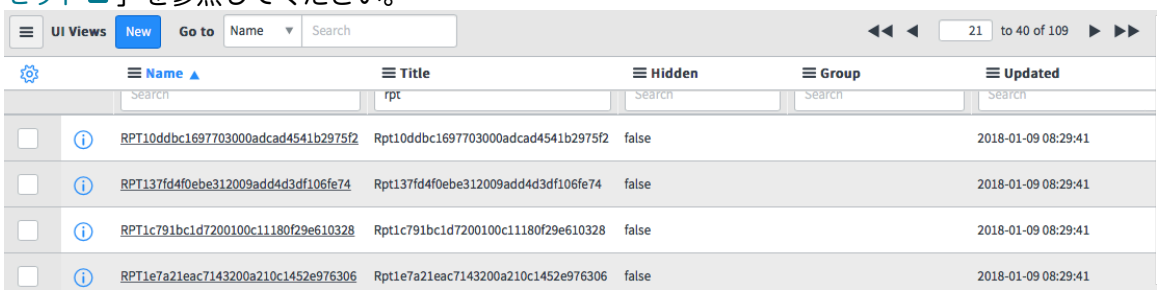
更新セットを使用したリストレポートの列構成の適用

リストレポートの構成済み列は、更新セットを収容することによって別のインスタンスに移動できます。

構成済みリストレポート列は、更新セットを収容するときにインスタンスに自動的には適用されません。リストレポートは、レポートを保存するたびに作成される UI ビューを使用して表示されます。構成された列が別のインスタンスのリストレポートまたはダッシュボードウィジェットに表示されるようにするには、次の手順を実行します。

1. [UI ビュー] テーブルから、変更のレポート (RPT) ビューレコードのsys_idを検索します。
2. 更新セットに追加します。

カスタマイズした構成を更新セットに追加して適用する方法については、「システムアップデートセット」を参照してください。



マップ レポート

マップ レポートは、データをマップ (地図) 上に表示します。データを地理的なヒートマップ( )として表示したり、特定のデータポイントを表示したり( )したりできます。

マップを拡大すると、より詳細な画面が表示されます。ヒートマップ モードでは、データが含まれているマップ上の任意の地域をクリックして、マップにドリル ダウンすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

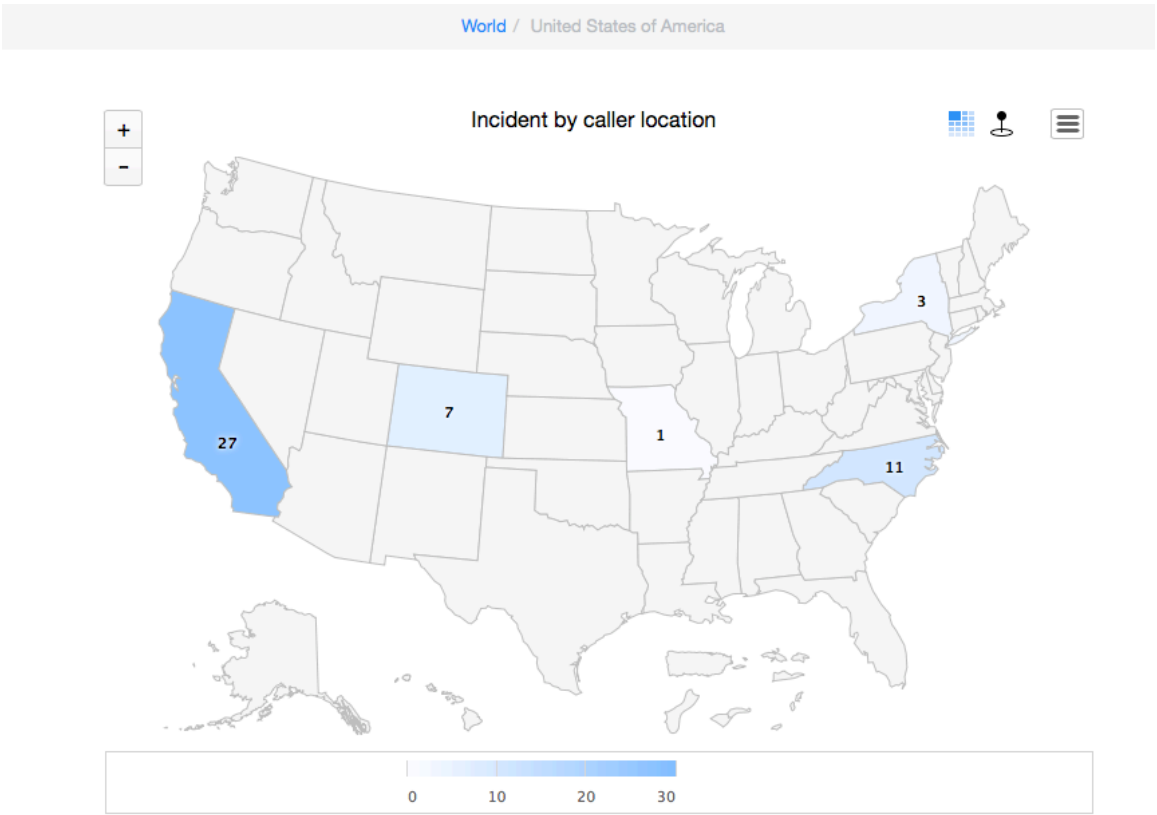
注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 でジオマップの可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。

マップ レポートにドリル ダウンする場合はマップ レポートを保存してください。未保存のレポートにドリル ダウンすることはできません。

マップ階層の最下層にはデータ ポイントのみ表示できます。この最下層のデータをクリックすると、データがリスト ビューまたはドリル ダウン ビュー (そのように構成している場合) に表示されます。

制限事項

- Internet Explorer バージョン 7 および 8 では、マップはサポートされていません。
- マップ レポートは、Internet Explorer バージョン 7 ～ 9、Firefox バージョン 31 ～ 37、Safari 5、またはすべてのバージョンの Edge ブラウザで、画像として保存することはできません。最良の結果を得るには、Chrome を使用してマップ レポートを操作してください。
- マップ レポートは PDF としてエクスポートすることはできませんが、画像として保存することはできます。
- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。



マップ レポートを作成する

マップ レポートを作成して、地理的なヒートマップ上にデータをプロットするか、特定のデータ ポイントのピン位置でデータをプロットします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [タイプ] タブのフィルターに「マップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

フィールド	説明
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
このデータをマップ	マップにプロットするデータ。レポート管理者がマップ ソースとして準備したデータのみ使用できます。
マップを設定	レポートの開始マップ。ズームインができますが、このマップからズームアウトすることはできません。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [スタイル] タブで、レポートの外観を構成します。
必要に応じてフィールドを入力します。

マップ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ヒートマップ カラーを使用	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の値ごとに異なる色を使用します。このチェック ボックスをオフにすると、データのあるすべての地理的な場所が同じ色で表示されます。
高スコア用の色	高い値を示す色。
低スコア用の色	低い値を示す色。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。

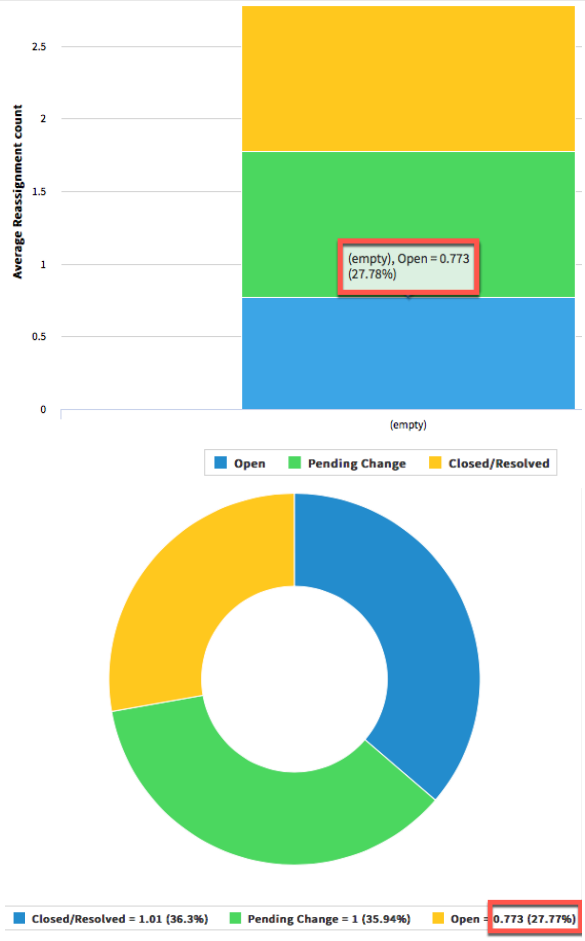
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
地理的ラベルを表示	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の国、地域、州などの地理的オブジェクトの名前が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 ○ 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 ○ レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 ○ 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルの	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
[凡例] タブのフィールド (レポートで色が使用されている場合のみ使用可能)	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

マルチレベル ピボット テーブル

マルチレベル ピボット テーブルでは、集計データが複数のディメンションに分類されて 1 つの表に表示されます。行と列の値の組み合わせごとに別々のセルが表示され、第 1 レベルの行には列の小計が表示されます。集計情報は、チャートの左上に表示されます。

また、変数を含む列と行を持つマルチレベル ピボット テーブルを作成することもできます。「レポートでのサービスカタログ変数の使用」を参照してください。

テーブルの行を展開したり折りたたんだりして、チャートの詳細を表示したり、小計のみを表示したりできます。マルチレベル ピボット レポートの一番上の行は常に表示されます。

注:

- このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 でピボットテーブルの可視化を作成 可視化デザイナー」を参照してください。
- 行の構成によってはチャートに小計情報が表示されなくなります。たとえば、文字列の列のテキスト値が同じであっても文字の大文字と小文字が異なる場合などです。
- このレポートタイプは PDF としてのみスケジュールできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

小計と展開された行が表示されたマルチレベル ピボット

Multilevel Pivot Report Example

▼		Active	false				true	Count
		State	Closed	New	In Progress	On Hold	Resolved	
Last name	Name							
▼ (empty)	Total			5		1		6
	(empty)			5		1		6
▼ Anglin	Total		1		5			6
	Sales		1		5			6
▼ Goodliffe	Total		4		4			8
	Development		4		4			8
▼ Johnson	Total		1		1	1		3
	Sales		1		1	1		3
▼ Loo	Total		6		1	1		8
	Development		6		1	1		8
▶ Luddy	Total				2	1		3
▶ Richman	Total		1		1		2	4
▶ User	Total		3		6	2		11
▶ Whitherspoon	Total		1					1
▶ Wilson	Total		3					3
Count			20	5	20	6	2	53

マルチレベル ピボット レポートを作成する

マルチレベル ピボット テーブルを作成して、集計データを複数の評価指標に分類して 1 つの表に表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	チャートの列として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 3 つの列を選択できます。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます **注:** [タグ] フィールド別にグループ分けすることはできません。
行を選択	チャートの行として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 5 つの行を選択できます。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます **注:** [タグ] フィールドはマルチレベル ピボット レポートではサポートされていません。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。

自動翻訳

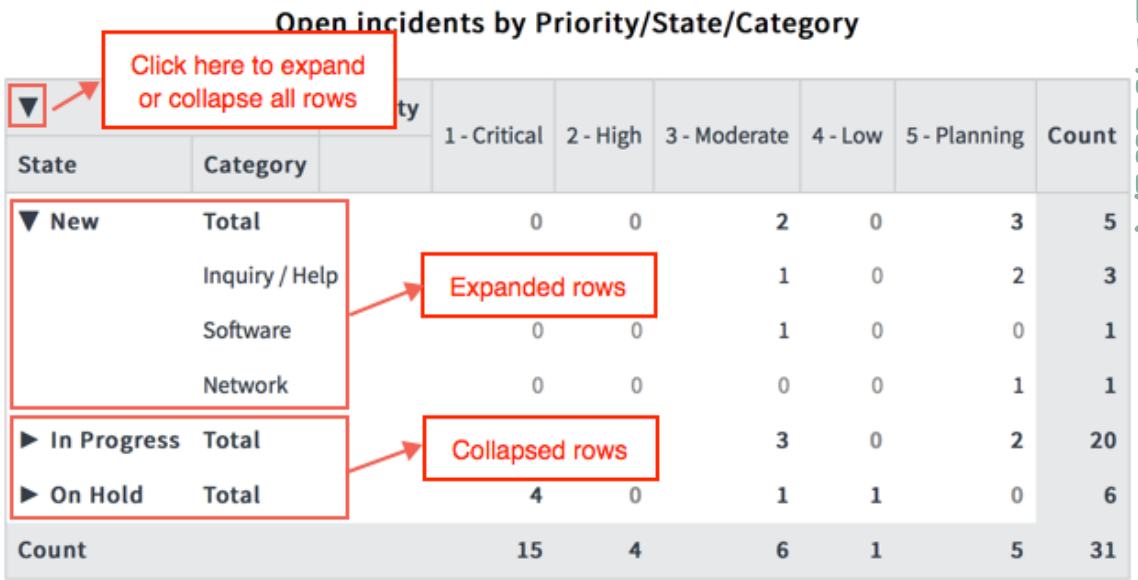
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
を設定	注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

7. オプション: 行が展開された状態のレポートを表示するには、[デフォルトで展開] を選択します。選択しない場合は、すべての行が折りたたまれた状態でレポートが表示されます。

折りたたまれた行と展開された行を含むマルチレベル ピボット レポート



8. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Open incidents by Priority/State/Category

▶		Priority	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
State	Category							
▶ New	Total		0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total		11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total		4	0	1	1	0	6
Count			15	4	6	1	5	31

9. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

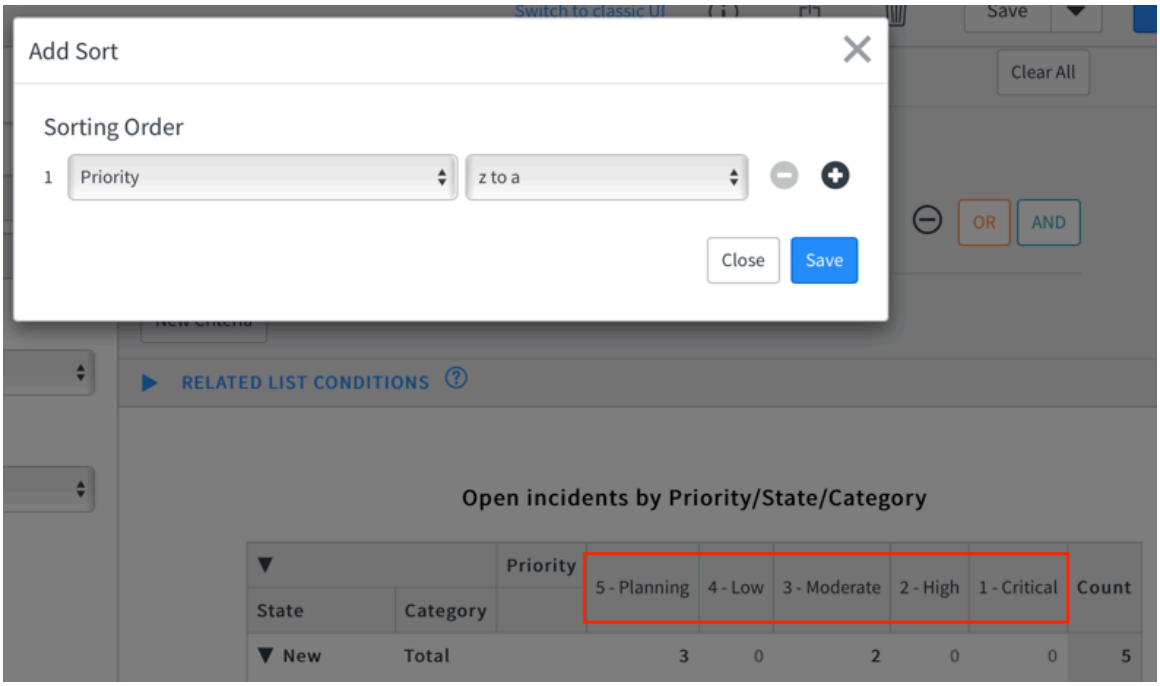
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

    注:
    集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

11. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
12. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトで、マルチレベルピボットレポートの詳細やヘルプを検索してください。

変数列と行を含むマルチレベルピボットレポートを作成する

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、可変の列と行を含むマルチレベルピボット レポートを作成できます。変数はカタログ アイテムの説明です。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [設定] タブで、[列を選択] をクリックします。

   [マルチレベル ピボット列] ウィンドウの [利用可能] リストで、レポートで使用する列を選択し、[選択済み] リストに移動します。

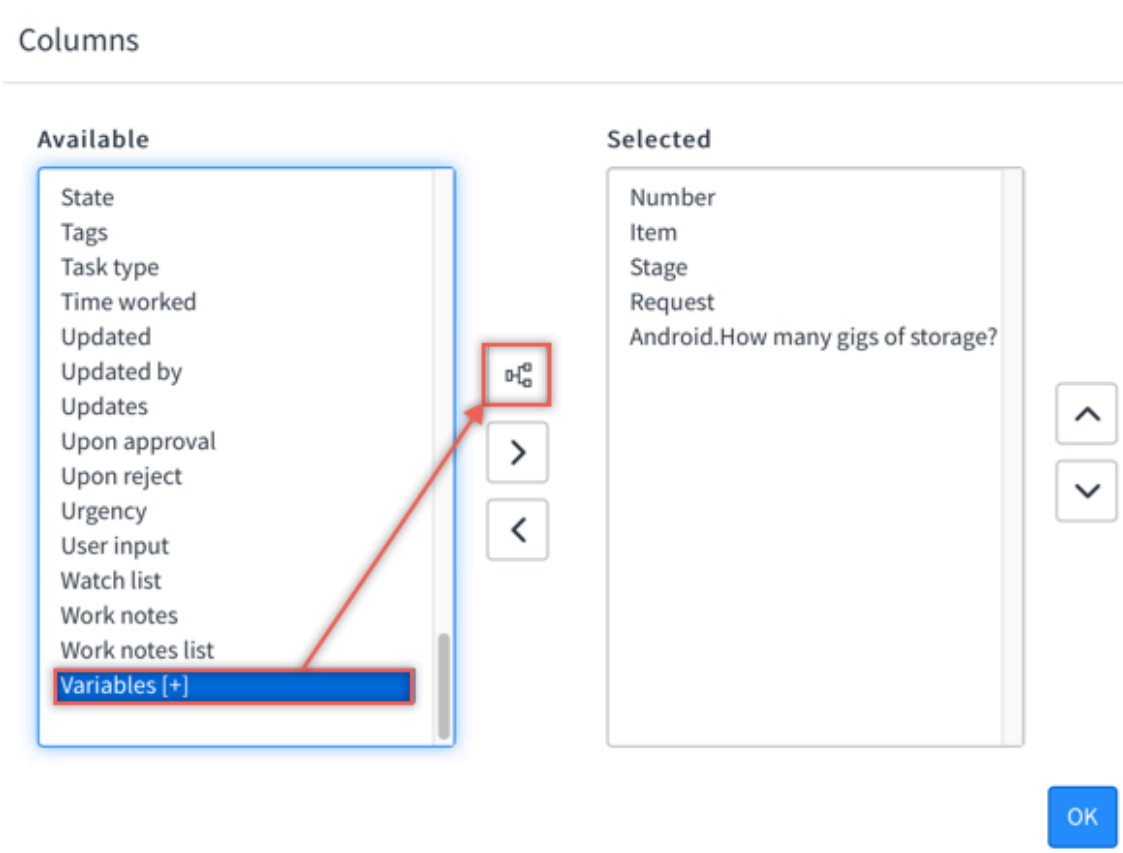
   > **注:**
   > レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

   システム構成によっては、レポート データ ソースとして選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。

7. 列として使用する変数を選択します。

   a. レポートの列として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。
   レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 3 つの列を選択できます。

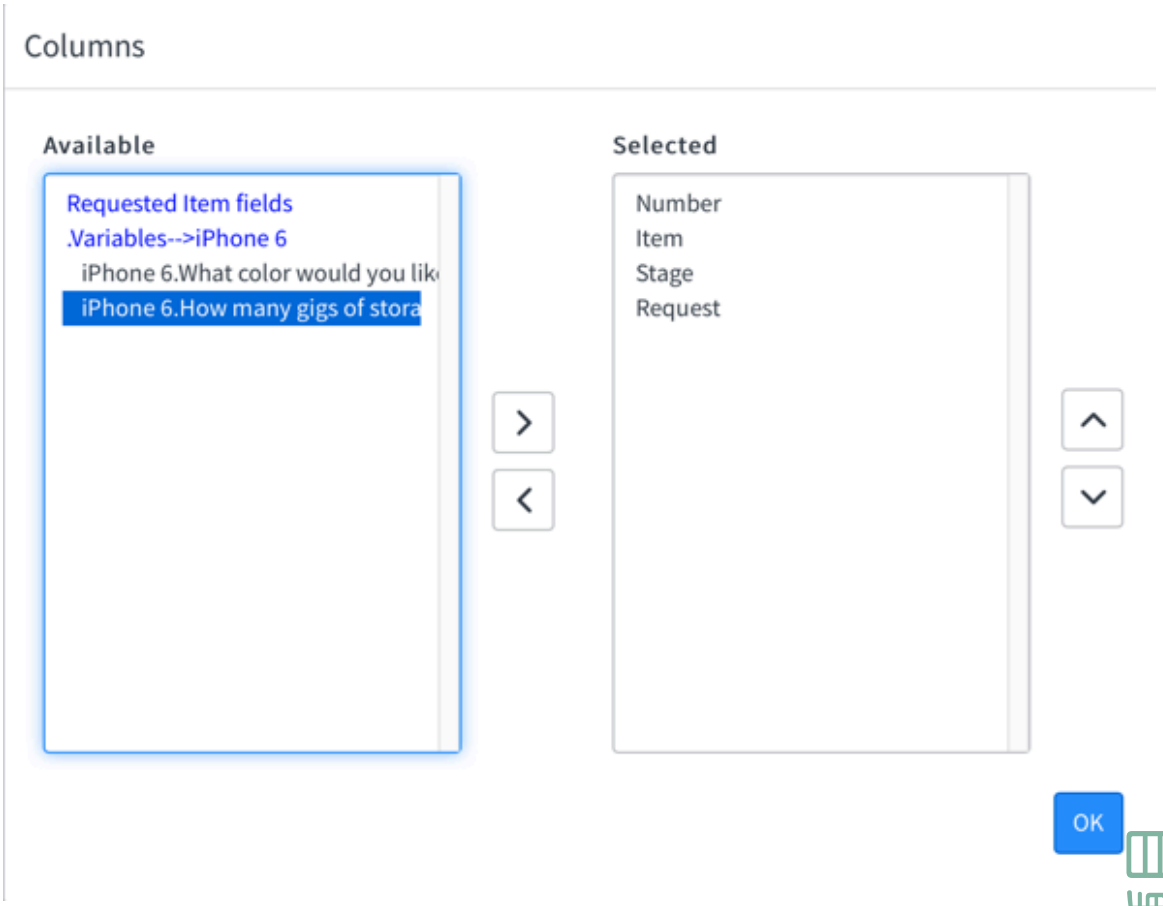
   b. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。



   c. ポップアップ ウィンドウから [カタログ アイテム] を選択します。
   アイテムに関連付けられた変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. 選択した変数を [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます

8. [行を選択] をクリックし、レポートの行として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。

行は、列の選択方法と同様に選択します。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます。

レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 5 つの行を選択できます。

> **注:**
> レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

9. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

10. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Open incidents by Priority/State/Category

▶		Priority	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
State	Category							
▶ New	Total		0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total		11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total		4	0	1	1	0	6
Count			15	4	6	1	5	31

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

    フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

    a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

    > **注:**
    > ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

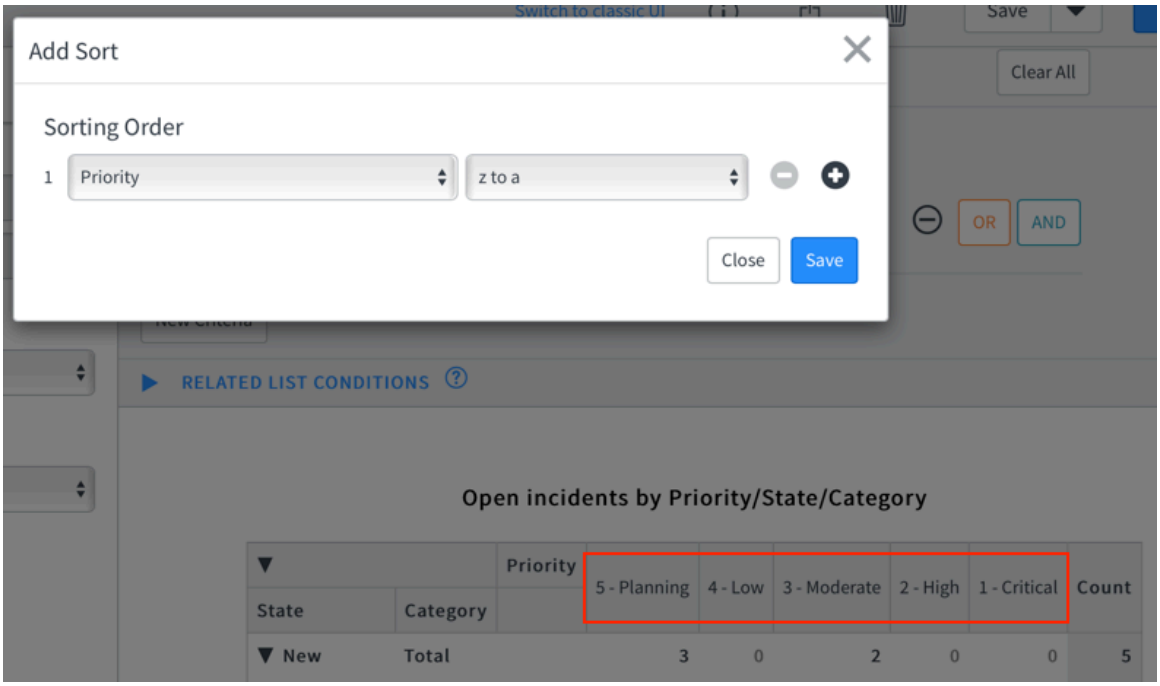
    b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

    c. [**Save** (保存)] をクリックする。

    選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

13. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトで、マルチレベルピボットレポートの詳細やヘルプを検索してください。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

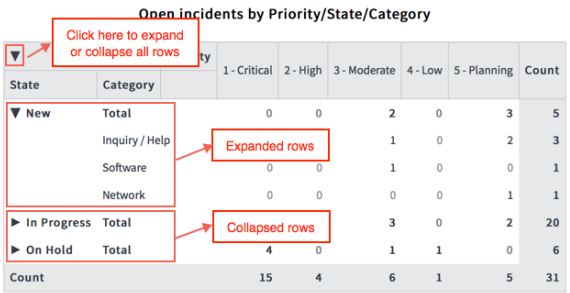
マルチレベル ピボット チャートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

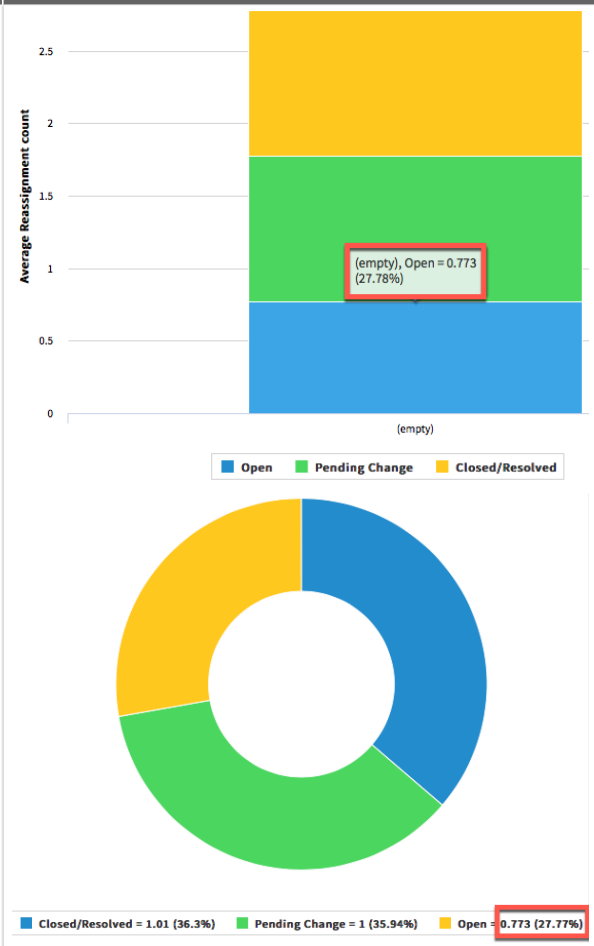
マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。[集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトで展開	レポートが表示されるときにすべての行を展開するには、このチェック ボックスをオンにします。レポートが表示されるときにすべての行を折りたたむには、このチェック ボックスをオフにします。 
行の線を表示	レポートの行間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
列の線を表示	レポートの列間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	セルまたは数値のセル テキストをレポートでどのように色付けするかを構成するには、このハイパーリンクをクリックします。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する」を参照してください。 **注:** マルチレベル ピボット レポートの [セルの合計] に色分けルールを適用することはできません。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
Title (役職)	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

パレート図レポート

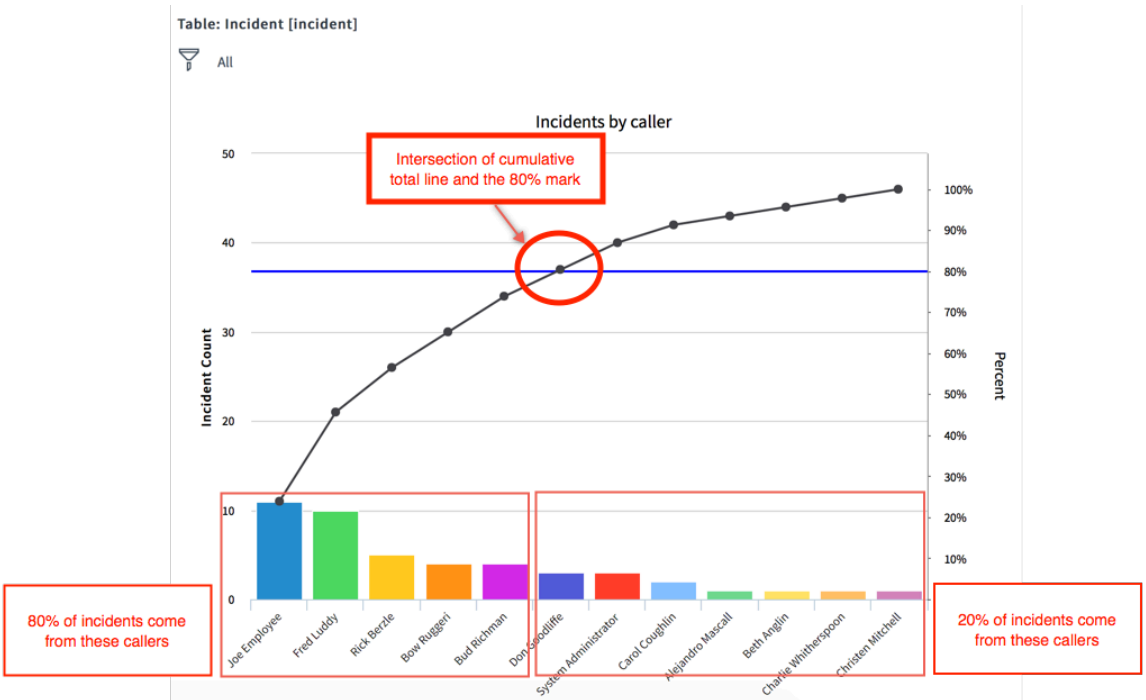
パレート図は、一連の大規模なディメンションの中で最も重要なディメンションを特定するのに役立ちます。棒グラフにはデータが降順で表示されます。線グラフは累積のパーセンテージを示します。

パレート図には棒グラフと線グラフの両方が含まれています。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。80% のマークにある青い線は、どのデータがプロセスに最も影響を与えているかを判断するのに役立ちます。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の成果に最も大きな影響を与えています。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 でのパレート図棒グラフによる可視化の作成 可視化デザイナー」を参照してください。

下の図は、インシデント コールの 80% が 5 人の問い合わせユーザーで占められており、他の 20% が 7 人で占められていることを示しています。

パレート図レポートの例



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図レポートの作成

大規模な要因群の中で最も重要な要因を特定するパレート図レポートを作成します。棒グラフにはデータが降順で表示されます。曲線は累積のパーセンテージを示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	ついては、「メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「パレート図」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベース フィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

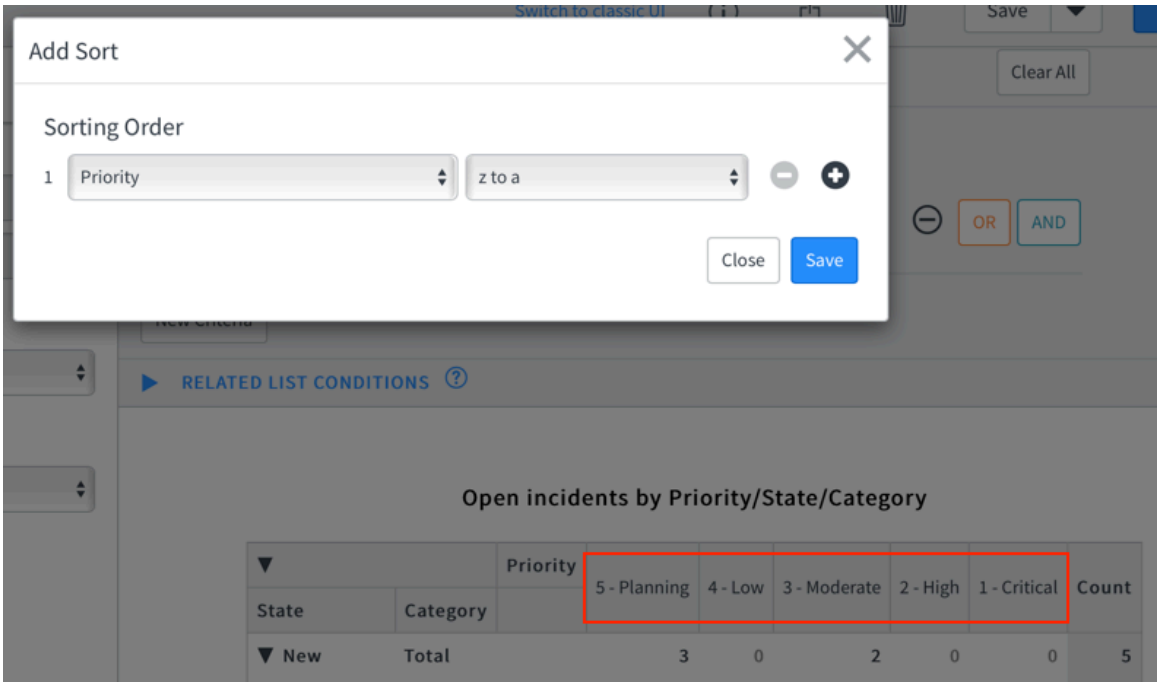
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

パレート図レポートのスタイル オプション

パレート図レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

注:
累積合計のパーセンテージの線は構成できません。無効にしたり、色を変更したりすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。レポートをフィールド別に積み重ねていない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで事前定義された色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. レポートを積み重ねる場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートで事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
フサイズ	**注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルの	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X 軸]** タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y 軸]** タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

円グラフ

円グラフには、全体を構成する割合が表示されます。

円グラフを使用して、オープンのインシデントなどを優先度別に表示することができます。たとえば組織が、重要なインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。オープンのインシデントには常にさまざまな優先度レベルがあるという状況において、インシデント数が許容範囲を超えたときに、円グラフですばやく確認することができます。この図は、オープンのインシデントの 14.61% が重要であることを示しています。

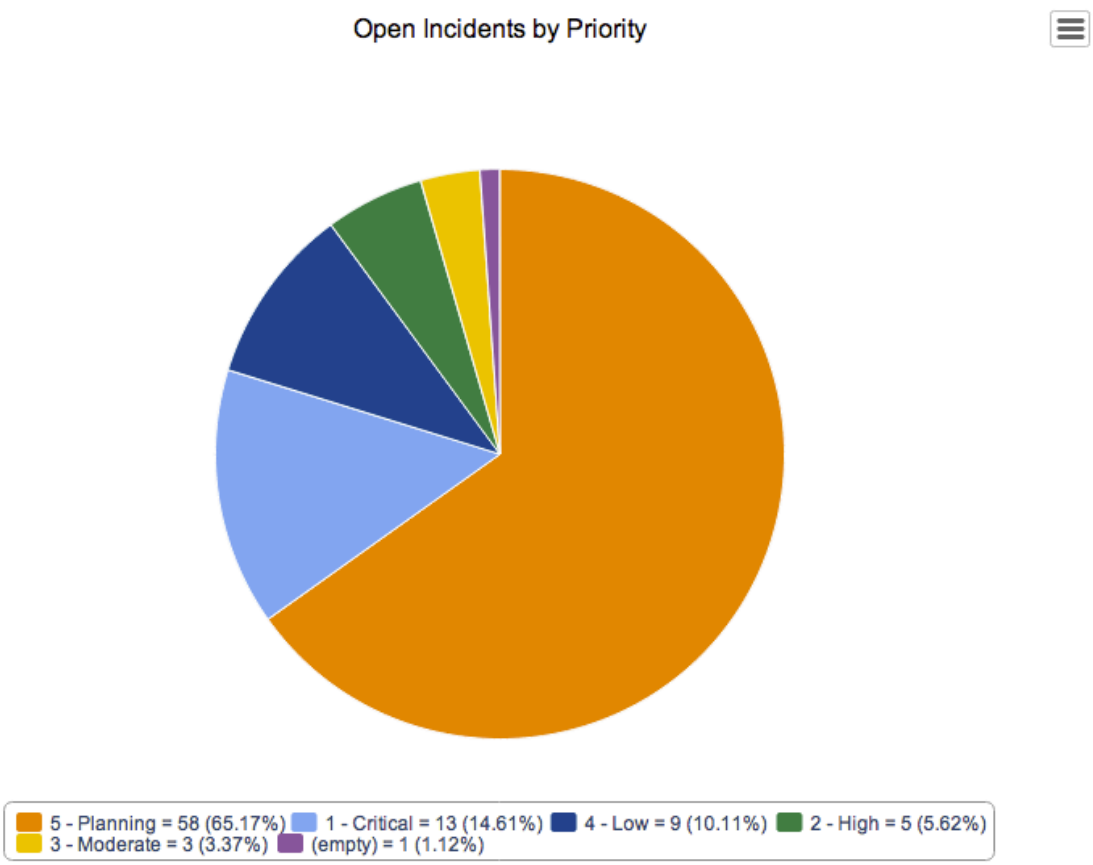
注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 で円グラフまたはドーナツグラフによる可視化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。

このデータ可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Pie charts for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円グラフ



円グラフを作成

個々のカテゴリのサイズを全体と比較する円グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「円グラフ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

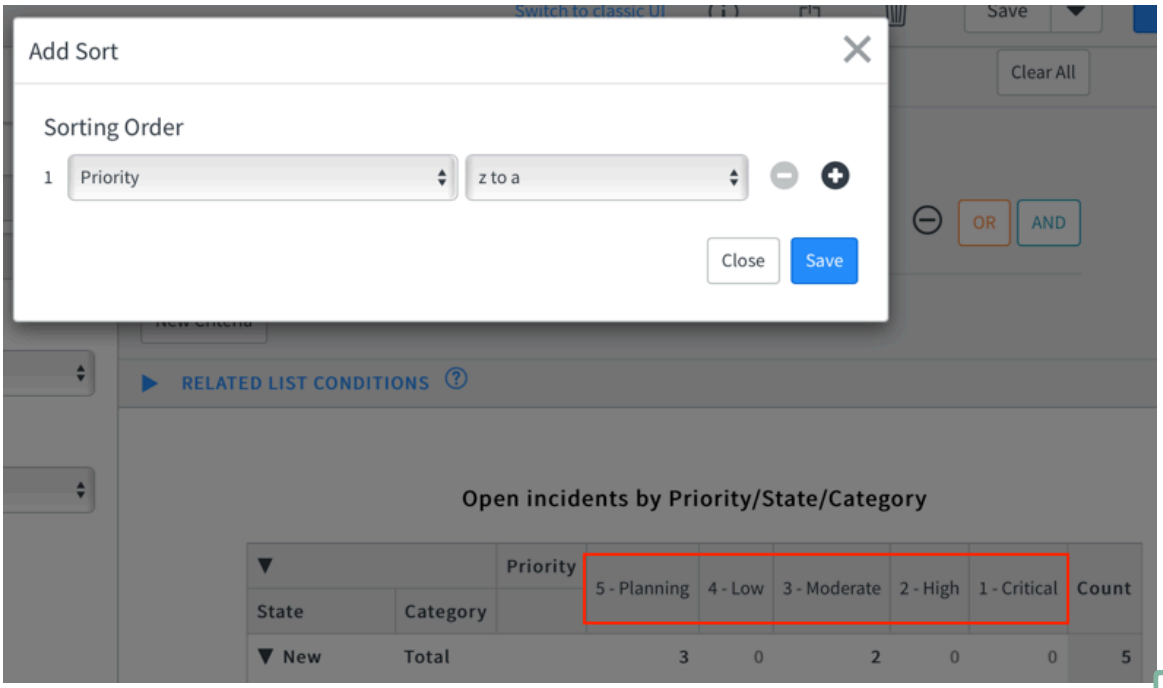
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

円グラフのスタイル オプション

円グラフの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

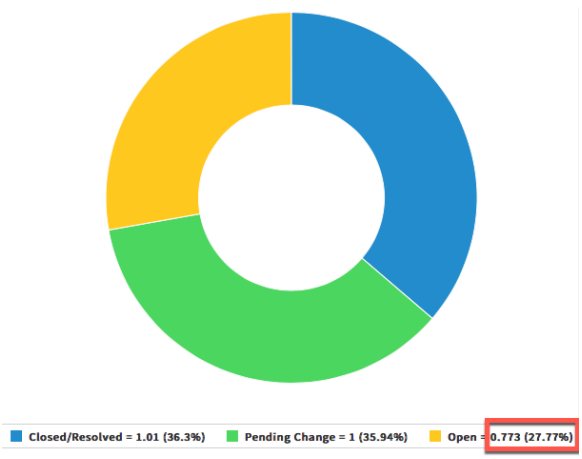
グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次から選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各スライスの値を表示するには、チェック ボックスをオンにします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	ウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均集計で使用できます。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
Title (役職)	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボットテーブル

ピボット テーブルは、表からデータを集計して、ユーザーが定義した列および行に配置します。ピボット テーブルは、要約されたデータのソースをすばやく調べるのに役立ちます。空でないセルには、セルが表すレコードの数を示すツールヒントが表示されます。空でないセルをクリックすると、それらのレコードの内訳が表示されます。

データをさらに絞り込み、集計値を選択するフィルターを構成できます。

注:
ピボットテーブルレポートは引き続き使用できますが、このレポートの拡張は予定されておらず、制限は修正されていません。問題のある新しいレポートと古いレポートには、マルチレベルピボットテーブルレポートを使用します。マルチレベルのピボットテーブルは、ピボットテーブルよりも安定性が高く、機能が多く、継続的にメンテナンスされています。詳細については、「 マルチレベルピボットテーブル」を参照してください。

ピボットテーブル

Incident Breakdown

	Category						
Assigned to	**Request**	**Inquiry / Help**	**Software**	**Hardware**	**Network**	**Database**	**Total**
(empty)	0	0	1	0	1	0	2
Beth Anglin	0	2	1	1	1	0	5
Bow Ruggeri	0	1	0	0	0	0	1
Bud Richman	1	0	1	0	0	0	2
Charlie Whitherspoon	0	0	1	0	1	0	2
David Loo	0	4	1	3	0	1	9
Don Goodliffe	0	3	2	1	0	1	7
Fred Luddy	0	0	1	0	0	0	1
Howard Johnson	0	0	2	1	0	0	3
ITIL User	0	8	5	2	0	0	15
Luke Wilson	0	2	1	0	0	0	3
Total	1	20	16	8	3	2	50

ピボットテーブルを作成

表からデータを集計して列と行に配置するピボット テーブルを作成します。ツールヒントは、値が表す内容を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ピボット」と入力し、[その他] セクションからピボット レポートタイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
行	チャートの行のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 ⓘ) を選択します。
列	チャートの列のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 ⓘ) を選択します。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。

   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

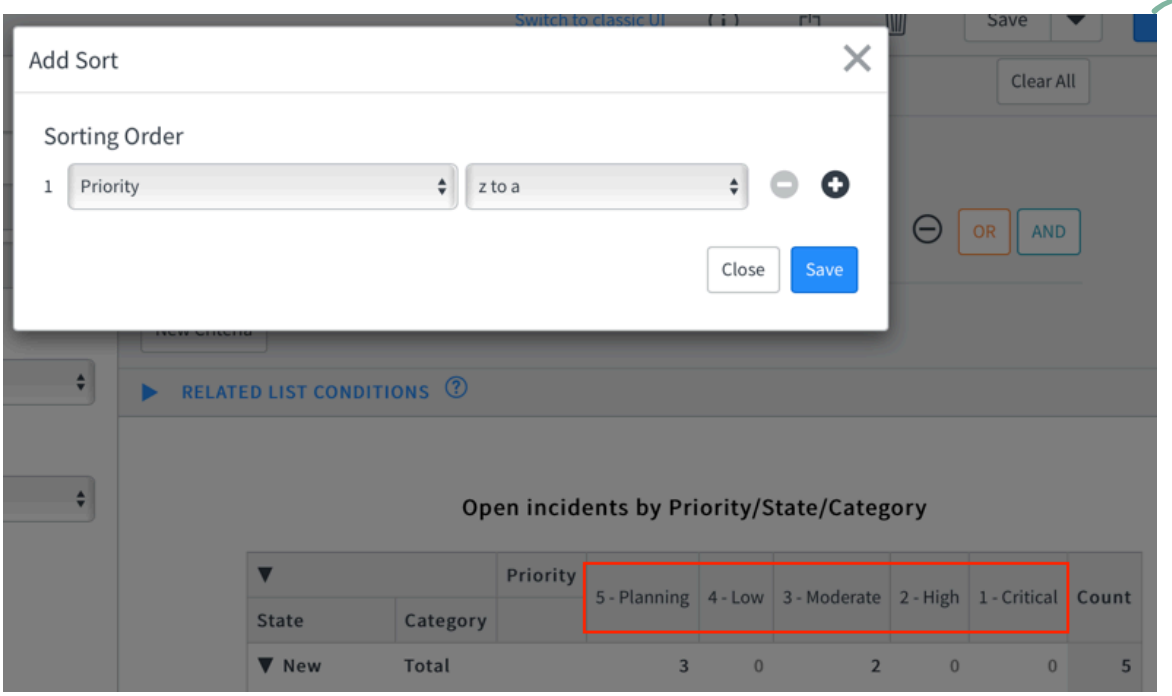
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      > **注:**
      > ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

> **注:**
> 集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトで詳細な洞察やピボットレポートに関するヘルプを検索してください。

> **注:**
> インポートエクスポートプロパティ glide.pdf.max_rows はプラットフォーム製品の PDF データエクスポートの行制限に適用されますが、レポート製品から PDF にエクスポートされるピボットレポートの場合は、合計セルの最大数 (行と列の両方) が設定されます。

ピボット レポートのスタイル オプション

ピボット レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。

単一スコア レポート

単一スコア レポートは、ビジネスにとって重要な単一の値を表示します。単一スコアレポートをダッシュボードに追加し、リアルタイムで更新するように構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 可視化デザイナーまたはダッシュボードで単一スコアデータの可視化を作成する」を参照してください。

レポートレベルで追加された 動的条件 を含む単一スコアレポートでは、手動で更新するか、ページを更新しない限り、ダッシュボードにリアルタイムの更新は表示されません。リアルタイムダッシュボードウィジェットは、単一スコアウィジェットを自動更新するために、更新がいつ行われたかを把握するためにレコード監視に依存します。ただし、動的条件は Record Watcher の一部としてサポートされていません。詳細については、 スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成を参照してください。

ダッシュボードに追加された単一スコア レポート



注:
このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。

このデータ可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Single score reports for mobile 」と「Mobile dashboard preview 」を参照してください。

自動翻訳

単一スコア レポートを作成する

単一スコア チャートを作成して、ビジネスにとって重要な評価指標またはスコアを表示します。値はダッシュボード上でリアルタイムで更新されます。

始める前に
必要なロール:itil、report_user。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「単一スコア」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[構成] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計	レポート データを集計する計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** 単一スコアチャートには、集計値のみが表示されます。 [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。 [平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択した場合は、選択した [テーブル] からのフィールドのリストが表示されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。例えば、[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間のフィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。 [優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

注:
集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

8. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

単一スコア レポートのスタイル オプション

単一スコア レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

単一スコア チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ゼロを表示	このチェック ボックスをオンにすると、レポートの値がゼロの場合に数値 **0** が表示されます。このチェック ボックスをオフにすると、セルの値が 0 の場合にエラー メッセージが表示されます。 [集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトの色	チャートのスコアの色。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	このハイパーリンクをクリックすると、レポートでの値の色付けを構成できます。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「単一スコア レポートの色付けルールを作成する」を参照してください。
Title (役職)	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一スコア チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
トルのサイズ	
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

ステップ ライン レポート

ステップ ライン レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。ステップ レポートの横の線は変化の持続時間を示し、縦の線は変化の大きさを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。ステップ ライン レポートの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化の大きさを表します。report_admin ロールを持つユーザーは、ステップ ライン レポートで使用する範囲を定義できます。

たとえば、インシデント数を表すステップ ライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。

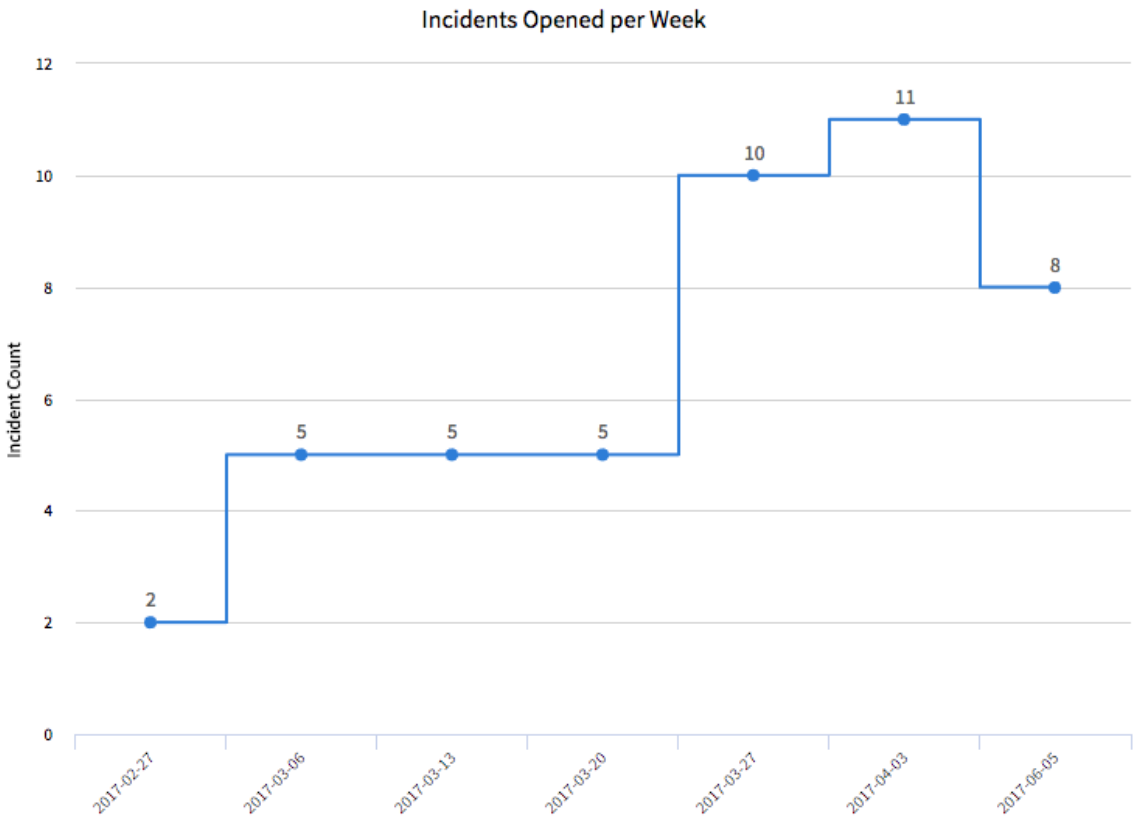
注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 時系列可視化タイプのユースケース」を参照してください。

このデータ可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポート



ステップ ライン レポートを作成する

1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを示すステップラインレポートを作成します。ステップラインレポートでは、変更の期間と規模が強調されます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

ステップラインレポートのユースケースについては、「 時系列の可視化の例」を参照してください。

このタスクについて

このタスクは、コア UIを使用したYokohamaリリースを参照します。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ステップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グルー	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プごと	拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベースフィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

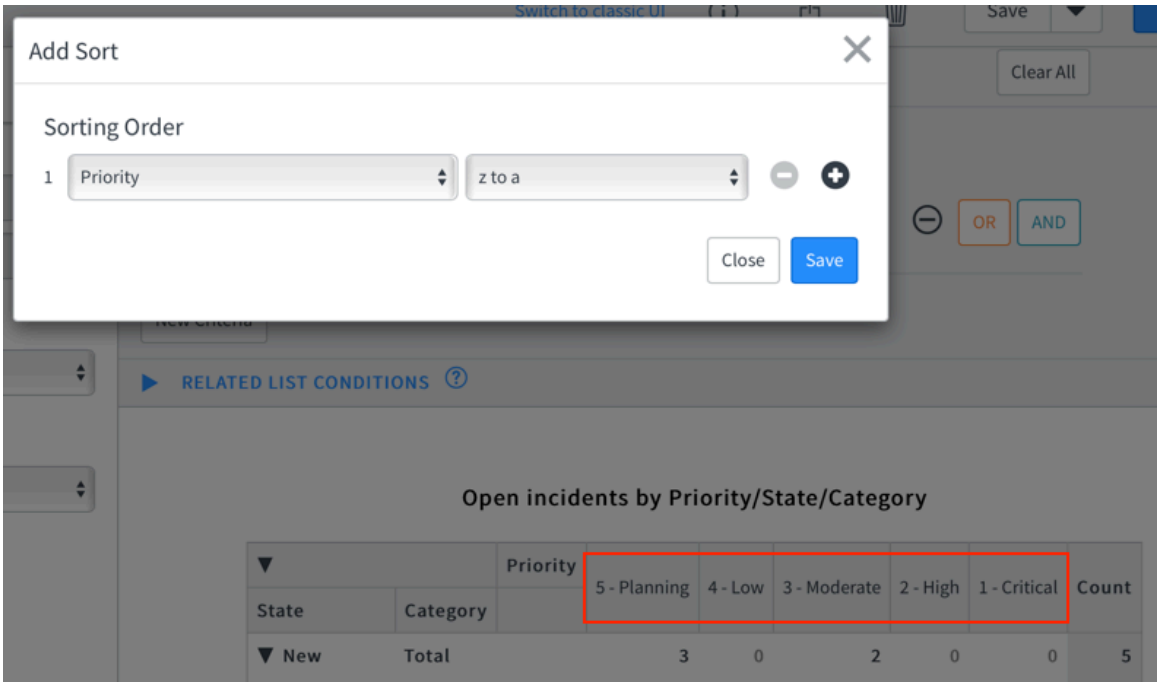
フィールド	説明
	カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

ステップ ライン レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム色を選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートで事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、またはカウントまたは個別のカウントで集計されている場合は使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。 **注:** ソースがメトリックベースの場合は、このプロパティは選択できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

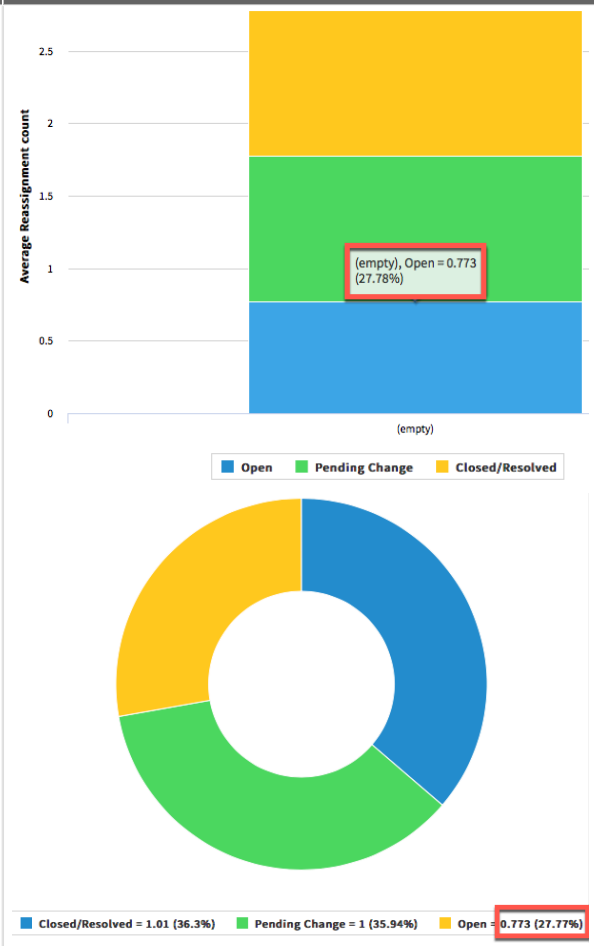
ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。オンにすると、ステップの中央とレポートの視覚化の端点にマーカーが表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

傾向レポート

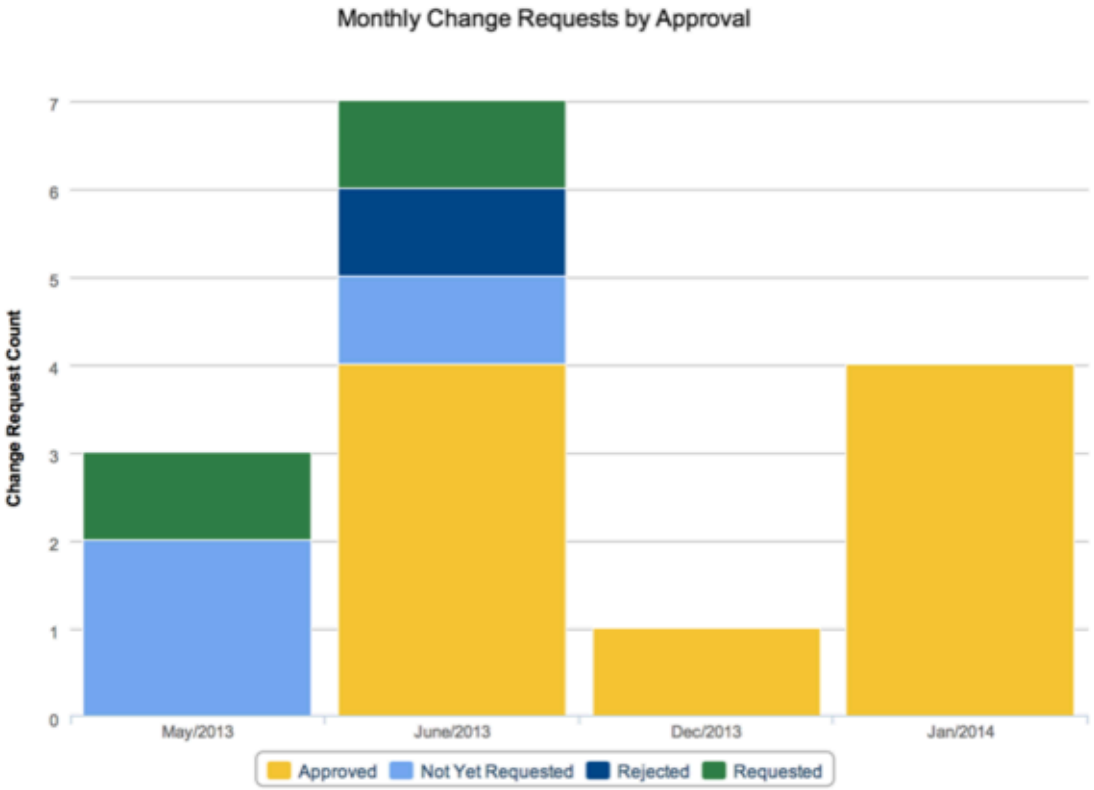
傾向レポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。

report_admin ロールを持つユーザーは、傾向図レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

時間の経過とともに変化するアイテムの例として、インシデント数があります。インシデント数は、製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加する可能性があります。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



傾向レポートを作成する

傾向レポートを作成して、1 つまたは複数のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。

- プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
- 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「傾向」と入力し、[その他] セクションから傾向レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ [タグ] フィールドまたは MEDIUMTEXT などの特定の MySQL データベース フィールドタイプでレポートをグループ化またはスタックすることはできません。詳細については、「Database field type」を参照してください。 ◦ [変数] または [質問] フィールドによるグループ化または積み重ねは、 データベースビューに基づくレポートではサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

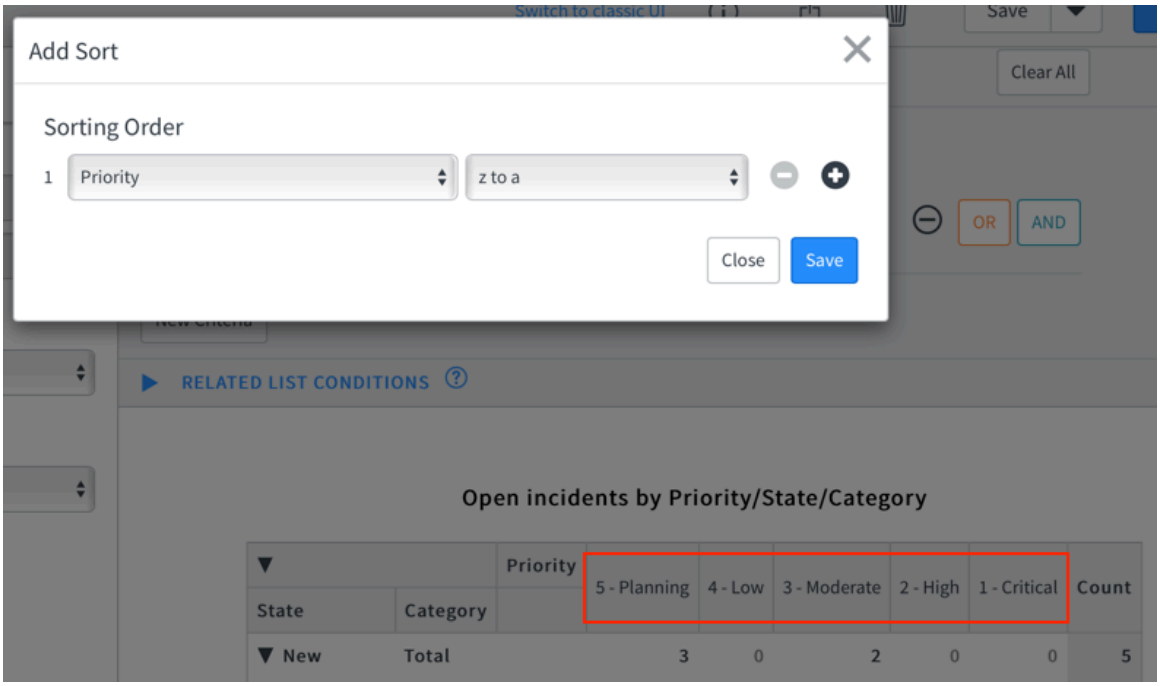
フィールド	説明
値の書式を設定	レポートでの数値の表示方法 (小数点以下桁数、丸め、最小期間単位と最大期間単位、期間単位の省略形など) を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは使用できません。
グループの最大数	傾向の基準条件が返すグループの最大数。この制限は X 軸にのみ影響します。[グループ] 条件が Y 軸で返すグループの数は影響を受けません。 最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、グループの傾向の上位 50 件が X 軸に表示されます。50 を超えるグループがある場合、残りは [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。
   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

傾向レポートのスタイル オプション

傾向レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム色を選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタム の色セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • グラフの色を使用:で定義された色を使用します レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、「 レポートで事前定義された色」を参照してください。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン ( ) をクリックして、[色定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットとチャートの色で使用される事前定義されたシステム色に依存しません。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

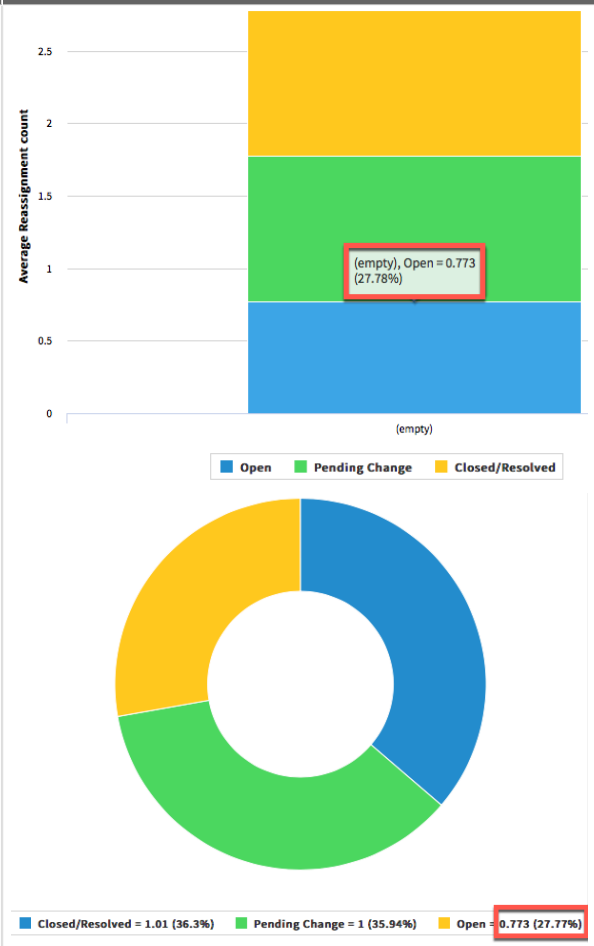
傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポートドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトで切り捨てられます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large* を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 **注:** • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
理想の	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。 • [構成] タブの [値の書式設定を設定] を使用して、期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了] フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位です。可視化では、選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定) を使用して、From/To (秒) 値の範囲内のデータを返します。 ◦ 例:最小期間と最大期間の単位を [分] に設定すると、可視化では Y 軸のラベルが分として表示され、[開始/終了] フィールドで設定された対応する秒値内のデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

Trendbox レポート

Trendbox レポートは、特定の期間におけるグループ間のデータの分布を可視化します。

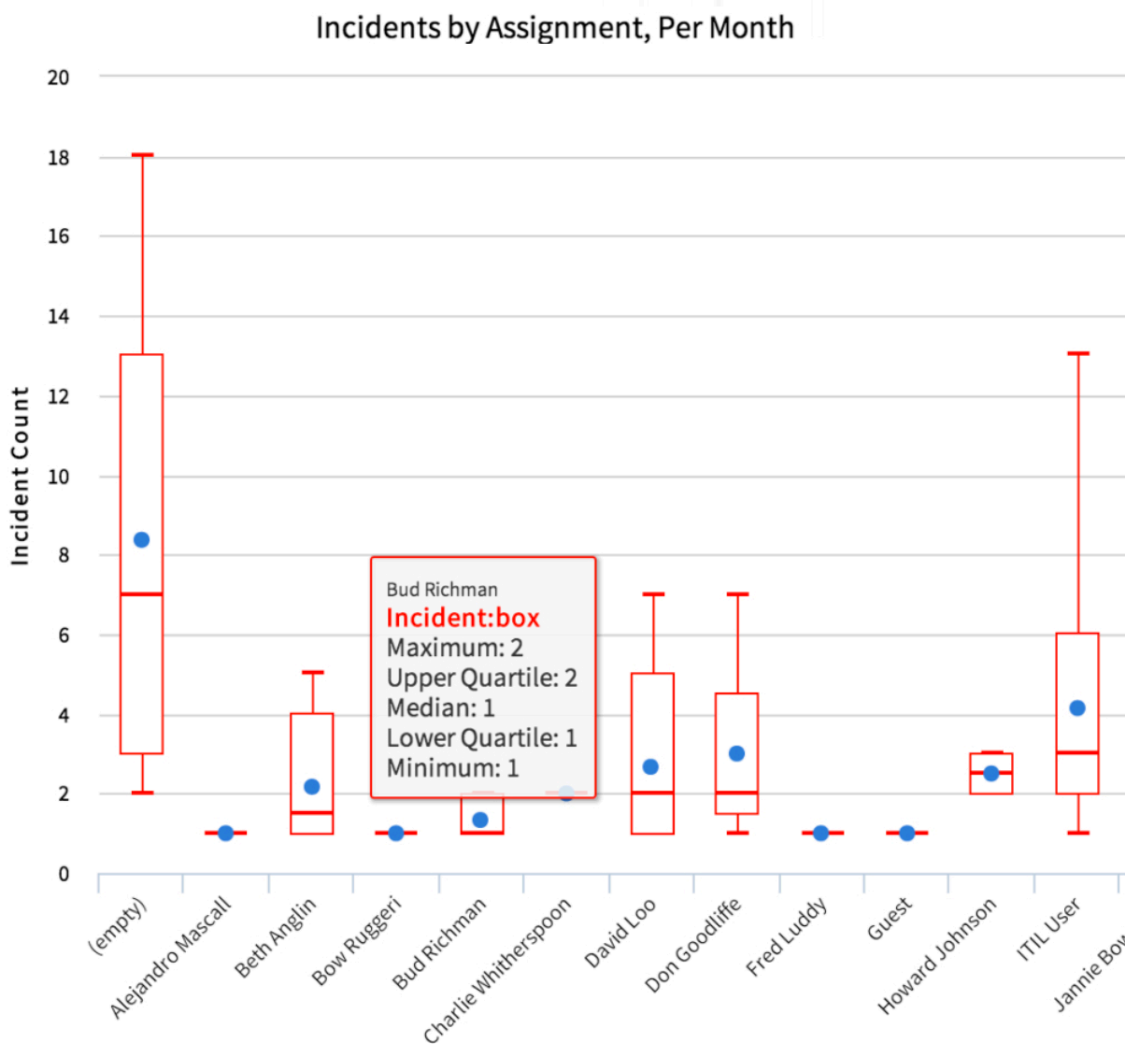
Trendbox レポートはボックス レポートに似ていますが、レポートの期間を指定することもできます。レポートを定義する際は、期間の使用を示すわかりやすいタイトルを使用します。互いに関連性のある異なるソースから複数の小さなデータ セットが得られる場合に、Trendbox レポートを使用します。例として、製品の機能ごとのインシデント解決時間、優先度が異なるインシデント解決時間などがあります。

たとえば、Trendbox レポートには、サポートエージェントごとのインシデントを表示できます。Trendbox レポートには、従業員別にインシデントの数と、各エージェントが処理する数が中央値と四分位数で該当する場所を表示できます。この情報を使用して、従業員ごとに処理されたインシデントを比較したり、将来のサポートスタッフのレベルを見積もったりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox レポート

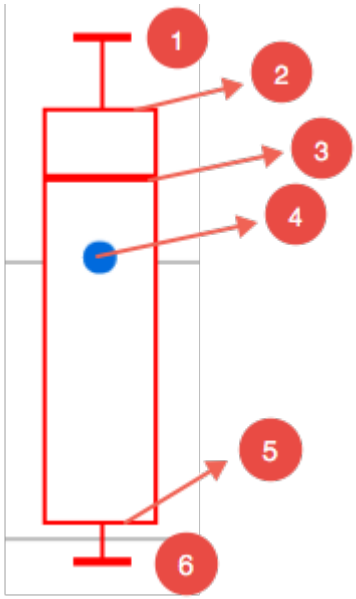


Trendbox レポートについて

Trendbox レポートのボックスにはそれぞれ、データ グループごとに次の情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1 - サンプル最大値	期間中に到達した最大数。
2:上位四分位数	データの上半分の中央値。
3:中央値	すべての間隔カウントが最小値から最大値の順に並べられている場合、中央値は中央値を表します。
4 - 平均	平均は青い点で視覚化されます。これは、すべてのデータポイントの平均、またはカウントの合計を間隔の数で割ったものです。
5:下位四分位数	データの下半分の中央値。
6 - サンプルの最小値	期間中に到達した最小の数。

ボックスチャートのスケールの読み方を理解するには、1 か月ごとに従業員にアサインされたインシデントをレポートする次の理論的なトレンドボックスを参照してください。従業員は、1 か月あたり次の数のインシデントを処理しました。

1 か月目	2 か月目	第 3 か月	第 4 か月	5 か月目	6 か月目
1 つのインシデント	3 インシデント	5 インシデント	2 インシデント	6 件のインシデント	5 インシデント

月ごとの傾向を示すこのレポート例では、値は次のとおりです。

- 中央値: データセット 1,2,3,5,5,6 では、偶数データセット ((3+5)/2) であるため、中央値は 4 です。データセットが奇数の値の場合、中央値は正確な中心値になります。
- 上位四分位数:データを分割すると、5,5,6 は上半分のデータ セットを表します。この例では、上位四分位数は 5 です。サンプルデータセットは偶数の値であるため、上位四分位数は正確な値です。データセットの値が奇数の場合、2 つの中心値を平均します。
- 最大値:従業員に最も多くのインシデントがアサインされた月、または月 5 に 6 件のインシデントがアサインされた月。
- 平均:(1+3+5+2+6+5)/6、つまり3.66。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 下位四分位数:データが分割されると、1、2、3 はデータの下半分の値のセットを表します。この例では、下位四分位数は 2 です。データセットには偶数の値があるため、下位四分位数が正確な値です。データセットの値が奇数の場合、2 つの中心の数値を平均します。
- 最小:従業員のアサインされたインシデント数が最も少ない月。この例ではインシデントは 1 つです。

> **注:**
> アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

Trendbox レポートを作成する

Trendbox レポートを作成して、指定した期間におけるデータ セット内の値の分布を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
Data source (データソース)	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、レポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、その簡単な説明がテーブル名の下に表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得されたデータをメモリ内で集計するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向別] フィールドオプションを選択してデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「**Trendbox**」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

Trendbox レポートの構成オプション

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明を示す情報) を選択します。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ○ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 情報アイコン ( ) をクリックすると、選択したフィールドの説明が表示されます

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「グループまたは積み重ね基準を追加」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明を示す情報 (ⓘ) を選択します。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
単位：	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートでの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン( )を選択し、[ソートの追加]を選択します。
   a. [ソート順] リストで、ソートするフィールドを選択し、アルファベット順またはアルファベットの逆順で **a-z** または **z-a** を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張テーブルまたは関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

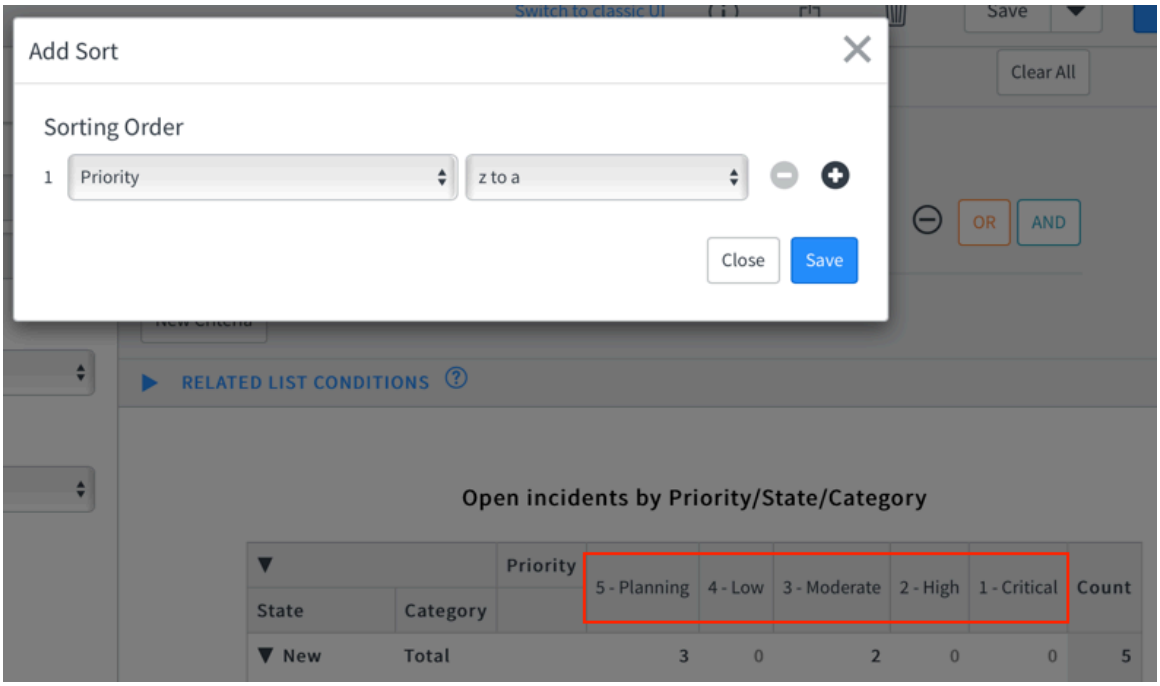
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドのみをソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順条件を設定します。(ソートマイナスアイコン (マイナス) を選択して、構成済みのソート順条件を削除します。)
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   選択肢リストタイプのフィールドの場合、ソート順はラベルに基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択肢フィールド の値 に基づいてソートされます。マルチレベルピボットテーブルおよびヒートマップレポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

関連情報

レポートを共有する

Trendbox レポートのスタイル オプション

Trendbox レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

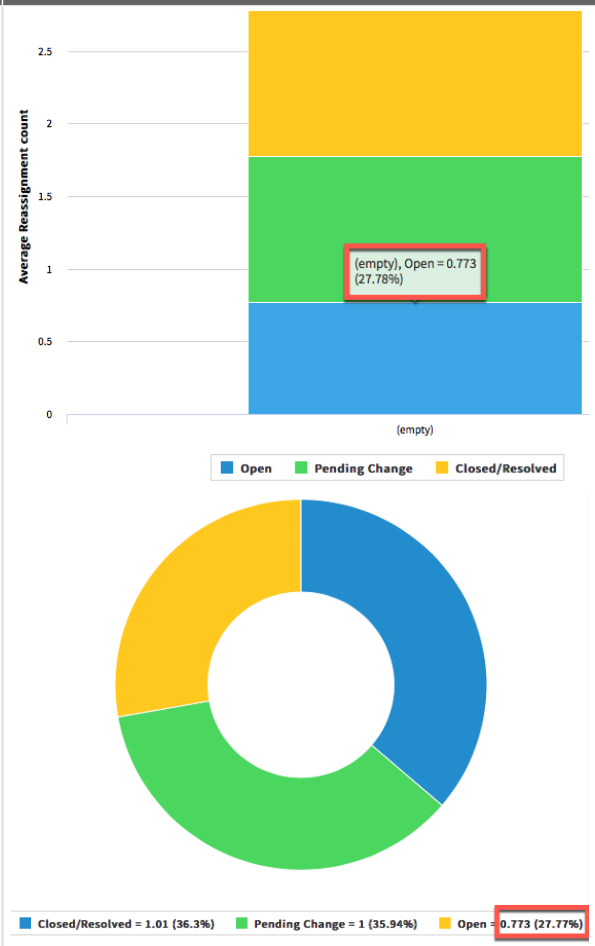
Trendbox チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
カスタム グラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
のカスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがオフの場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
から	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
理想の	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: 構成された ハイチャート 設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。これに影響する設定の変更が必要な場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

詳細レポートのトピック

レポートの可視化とレポートするデータをカスタマイズする方法について説明します。

このセクションのトピックは、レポート作成の基本をすでによく知っているユーザーに適しています。ただし、このセクションで説明するようにレポートを設定するためにアドミンまたはreport_adminである必要はありません。

レポート内のドリルダウン

レポート内をドリルダウンして、データのサブセットをビジュアル化することができます。たとえば、優先度別にソートされたレポートの重大セクションをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが表示されます。

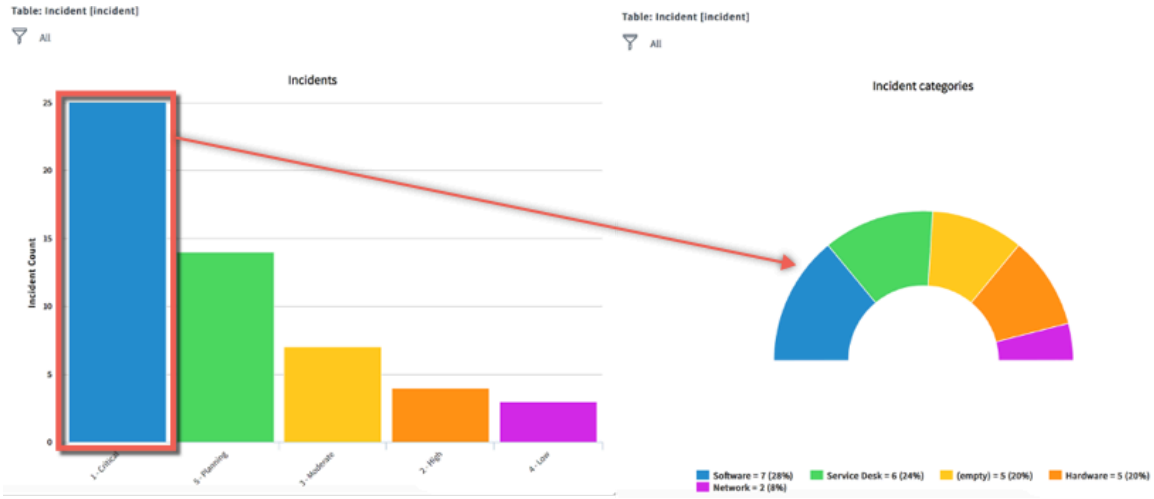
ドリルダウンが定義されているレポートの場合、チャートの一部をクリックしてデータのサブセットを表示します。サブセットは、異なるチャートのタイプを使用することがあります。この例では、ユーザーが棒グラフの重大インシデントをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが半ドーナツ グラフに表示されます。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス チャート以外のすべてのタイプのチャートはドリルダウンをサポートします。フォームに追加されたチャートや iFrame として埋め込まれたチャートではドリルダウンは使用できません。レポートに任意の数のドリルダウン レベルを定義できます。

注:
ドリルダウン レポートは PDF にエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF** にエクスポート] を選択した場合、トップ レベルのレポートの PDF が生成されます。

レポートドリルダウンの定義

レポートドリルダウンを定義して、レポートユーザーがレポートデータのサブセットを表示できるようにすることができます。レポート ドリルダウンを定義すると、定義したレポートにのみ適用されます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

ドリルダウンを定義するレポートが存在する必要があります。

注:
レポートと同じテーブル内のデータだけにドリルダウンできます。次のレポート タイプでは、ドリルダウン機能はサポートされていません。リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス。

このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、構成しているデータ可視化タイプの [チャートのインタラクション] セクションを参照してください。

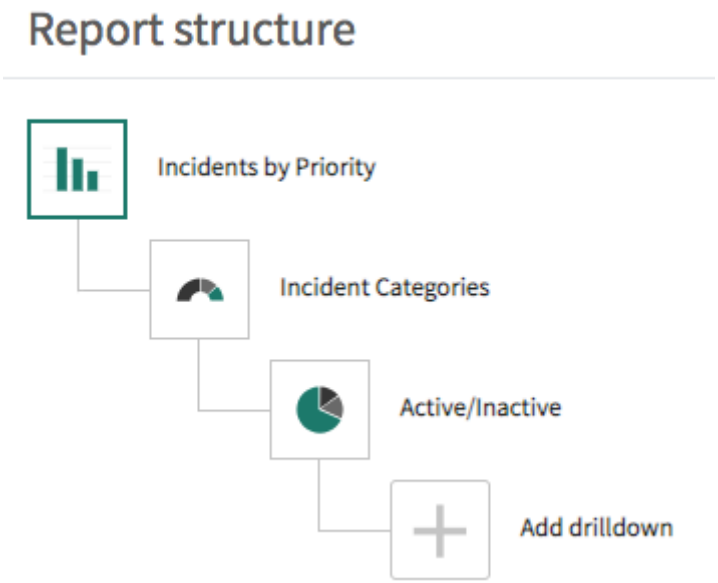
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. ドリルダウンを追加するレポートを選択します。
3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。
   レポート構造アイコンのバッジは、定義されたドリルダウンの数を表示します。
4. [ドリルダウンを追加] アイコンをクリックします( )。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



5. ドリルダウンの [タイトル] を入力して、[次へ] をクリックします。
6. レポート タイプ を選択してデータを表示し、[次へ]をクリックします。
   「レポートタイプ」を参照してください。ドリルダウンレポートタイプは、親レポートとは異なる場合があります。
7. 他のレポートと同じ方法でドリルダウンレポートを構成します。
   構成オプションは、選択したドリルダウンレポート タイプによって異なります。
8. [ドリルダウンを保存] をクリックします。

タスクの結果
ユーザーは、トップレベルのレポートから指定されたドリルダウンレポートの可視化にドリルダウンできます。

注:
すべてのユーザーは、円グラフや縦棒グラフなどのビジュアル化されたレポートを表示できます。ただし、ドリルダウンの最後のレベルは常にリストです。プラットフォーム アクセス制御リストは、リスト情報へのユーザー アクセスを決定します。セキュリティ上の制約により、行がリストから削除されたことを示すメッセージがユーザーに表示される場合があります。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

レポートのクリック時の動作を設定する

レポートのセクションを選択したときに開く URL を設定できます。

始める前に
必要なロール：

- レポート作成時：任意
- 他者が作成したレポートを編集する場合：report_admin、report_global、または report_group

このタスクについて
構成されたドリルダウンやレポートの選択したセクションの基になるリストではなく、ユーザーを URL にリダイレクトします。

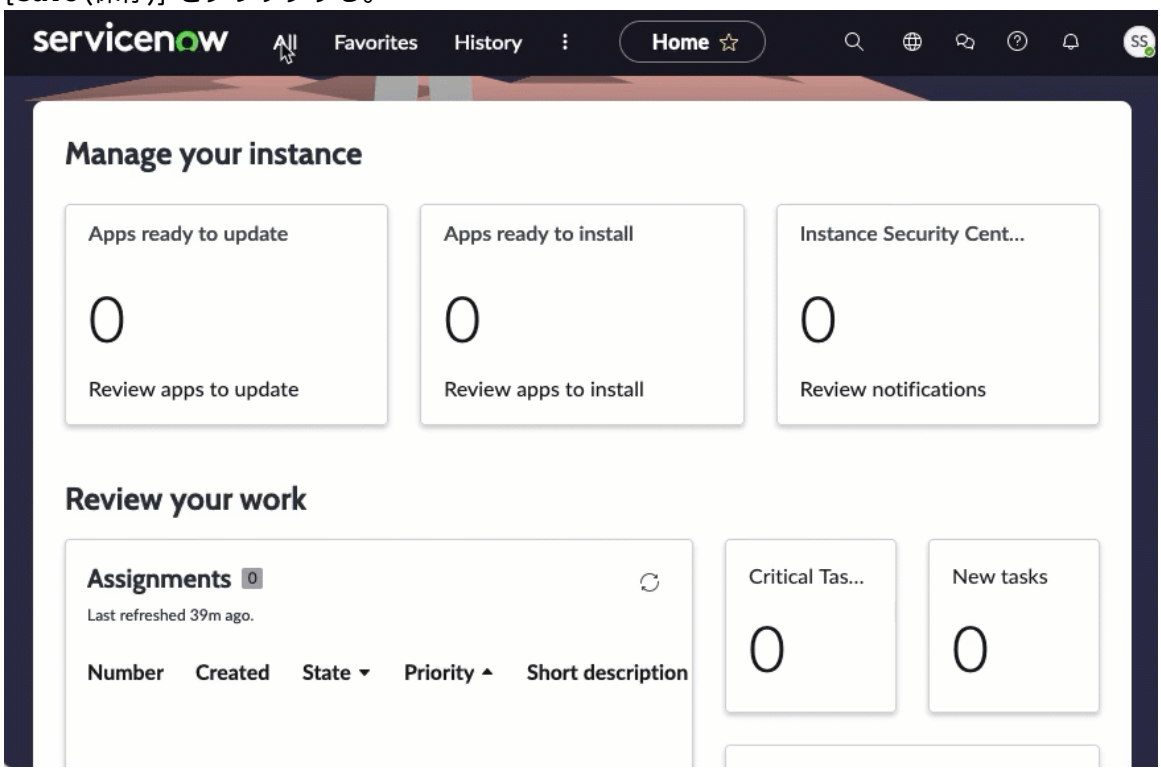
ドリルダウン機能をサポートしないレポートタイプについては、 レポートドリルダウンの定義 を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 構成するレポートを選択します。
3. [レポート構造を表示] アイコン ( ]) を選択します。
4. リンクアイコン (を選択します。
5. [リダイレクト **URL** を設定] ダイアログボックスで、インスタンス内の相対リンクを入力します (例:/$knowledge.do?sys_id=123)。
   ユーザーがレポートをポインタすると、ツールヒントに「クリックして開く」というテキストが表示されます。
6. オプション: URL のラベルを入力します。
   ユーザーがレポートにポインタを合わせると、ツールヒントに「クリックして (ラベルのテキスト) を開く」と表示されます (例 : 「クリックしてナレッジ ベースを開く」)。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。



タスクの結果
レポートを選択すると、ドリルダウン機能がリダイレクト URL に置き換えられます。

グループまたは積み重ね基準を追加

ユーザーがグループ化とスタッキングを調整できるようにレポートを設定できます。

始める前に
必要なロール : itil、report_user

このタスクについて
ユーザーがグラフを表示するときに選択できる [追加のグループ化] および [積み重ね基準] の選択肢を構成します。グループをサポートする任意のレポート (棒グラフや円グラフなど) に別のグループを追加して、レポートを縦棒グラフとして一覧表示します。他のグループを棒グラフまたは水平棒グ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

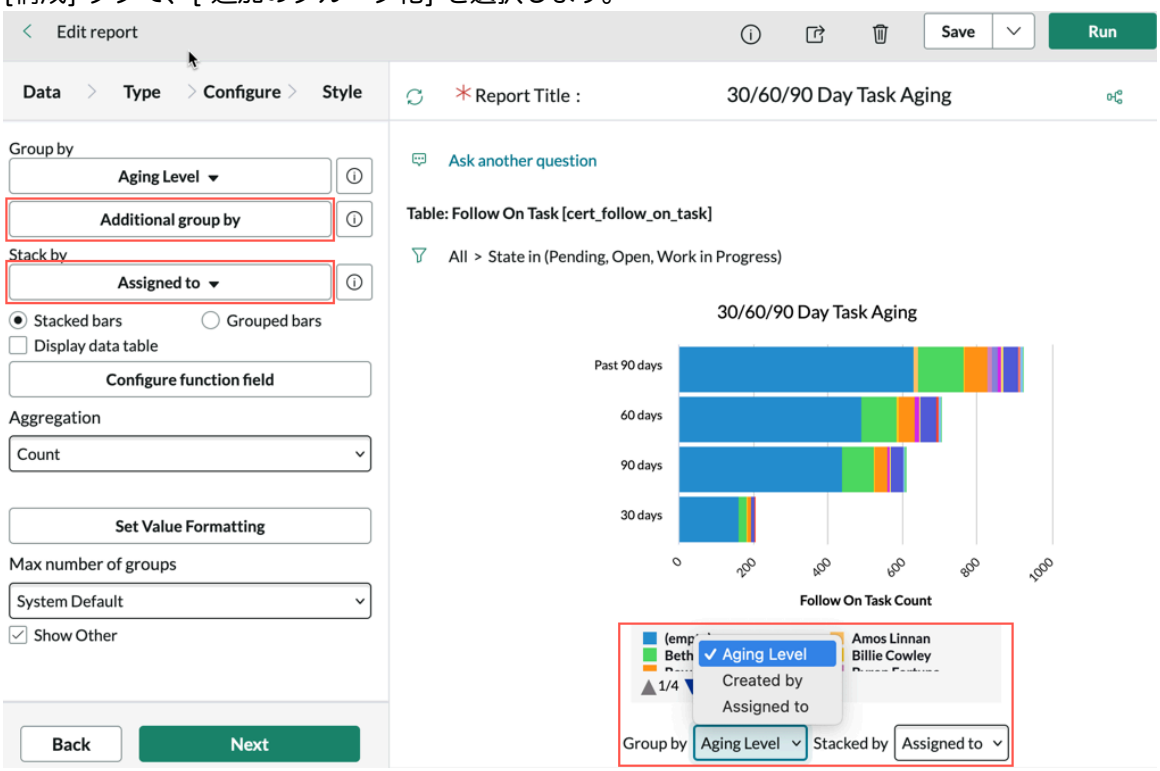
ラフに設定すると、追加の積み重ね基準としても追加されます。変数と変数グループを他のグループ化として追加できます。

注:

- フィールド 別 に利用可能なスタックは、カタログ変数、参照フィールド、選択リスト、およびブール値に限定されます。日付/時刻、整数、長整数、文字列、リスト、およびテキストフィールドは、積み重ねフィールドとして使用できません。
- メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。
- レポートで [追加のグループ化] フィールドを選択してそのレポートをエクスポートすると、エクスポートにはレポートの最初のグループ化セットのみが表示され、選択した追加のグループ化は表示されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. レポートを選択します。
3. [構成] タブで、[追加のグループ化] を選択します。



4. 1 つまたは複数のフィールドを [選択済み] リストに移動します。
5. オプション: 選択されたフィールドから全体に対して個々のアイテムの関係を示すために使用される [積み重ね基準] フィールドを選択します。

   (Optional) たとえば、インシデントの棒グラフをカテゴリ別にグループ化し、優先度別にスタックします。これにより、各カテゴリにおいて優先度の高い問題、中程度の問題、低い問題の割合を一目で判断できます。

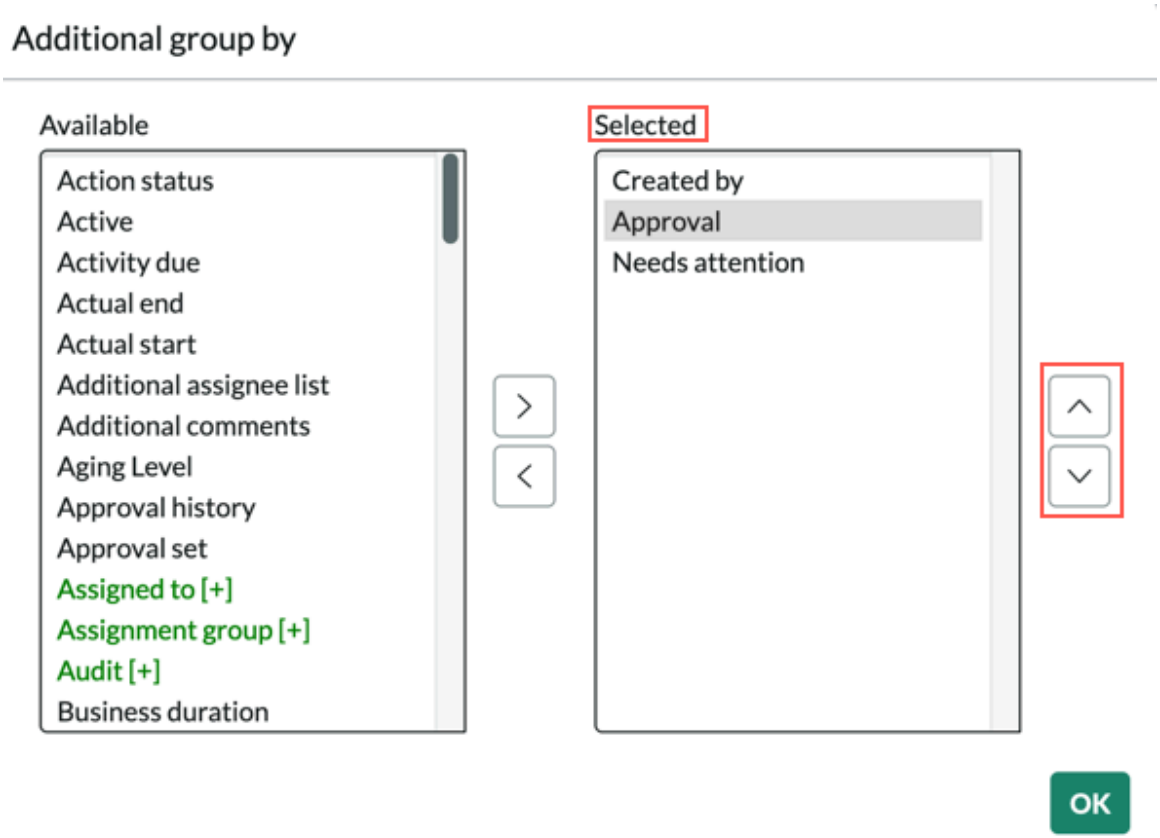
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートを表示するユーザーは、これらのフィールドの 1 つを選択して、レポート データをグループ化またはスタックできます。レポートの [グループ] および [積み重ね基準] フィールド値がデフォルトの選択肢です。

> **注:**
> 棒グラフと水平棒グラフのレポートでのみ積み重ねデータを使用します。他のレポート タイプでは、グループ化のみが可能です。

6. [選択済み] 列のフィールドをユーザーに表示する順序で配列しま



す。

7. [**OK**] を選択します。
8. [保存] を選択します。

レポートで複数のデータセットを使用する

1 つのレポートで最大 5 つのテーブルのデータセットを使用するレポートを作成できます。

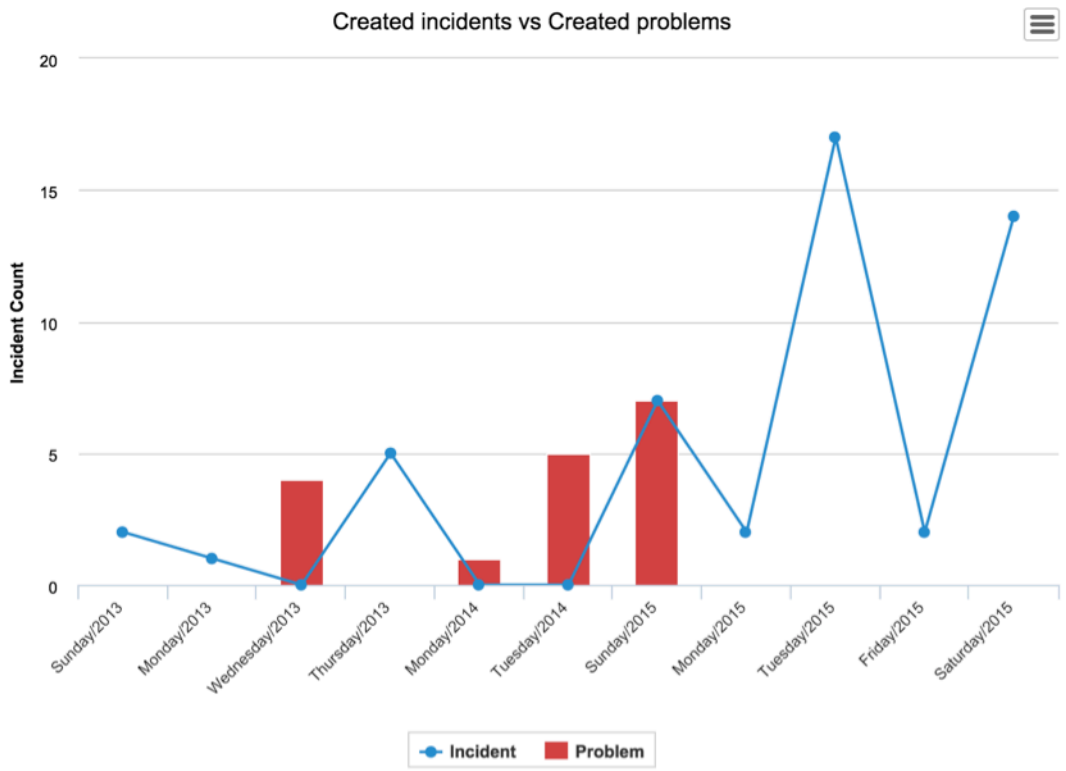
複数のデータセットをサポートするレポートタイプは、棒、水平バー、縦棒、折れ線、ステップライン、面、スプラインです。

複数のグループ化は、複数のデータセットではサポートされていません。複数のデータセットを使用する場合、レポートの凡例が常に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントと問題のデータを1つのレポートにまとめる



制限

複数のデータセットを含むレポートを作成する場合は、次の制限に注意してください。

- 特定のレポートには、最大 5 つのデータセットを追加できます。データセットを追加するたびに、データベースの追加の処理とクエリが必要になるため、特定のレポートでパフォーマンスの問題が発生している場合は、レポートに複数のデータ セットが関連付けられていることが原因である可能性があることに注意してください。
- 親レポートに関連付けられているすべてのデータセットは、親レポートと同じ種類 (棒グラフ、ドーナツグラフ、円グラフなど) である必要があります。
- 時系列グラフに関連付けられた複数のデータセットの場合、すべての追加データセットの [フィールドごと] で親レポートと同じ設定にする必要があります。
- 棒グラフまたは水平棒グラフ上の複数のデータセットの場合、関連付けられたすべてのデータセットが同じ [グループ] 値を持つ必要があります。
- [凡例の表示] オプションは、親レポートでこのオプションが選択されていない場合でも、複数のデータセットを持つレポートに既定で常に表示されます。

レポートにデータセットを追加する

最大 5 つのデータセットを追加して、複数のソースからのデータを 1 つのレポートで可視化します。

始める前に

必要なロール:itil、report_user。プロパティ *glide.ui.doctype* を有効にする必要があります。

自動翻訳

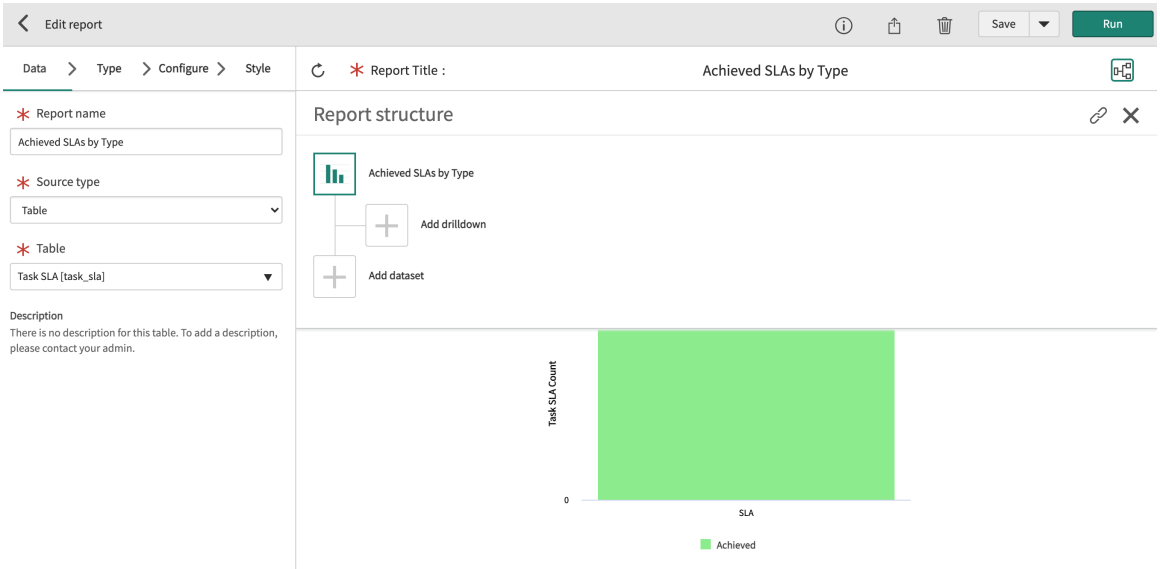
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

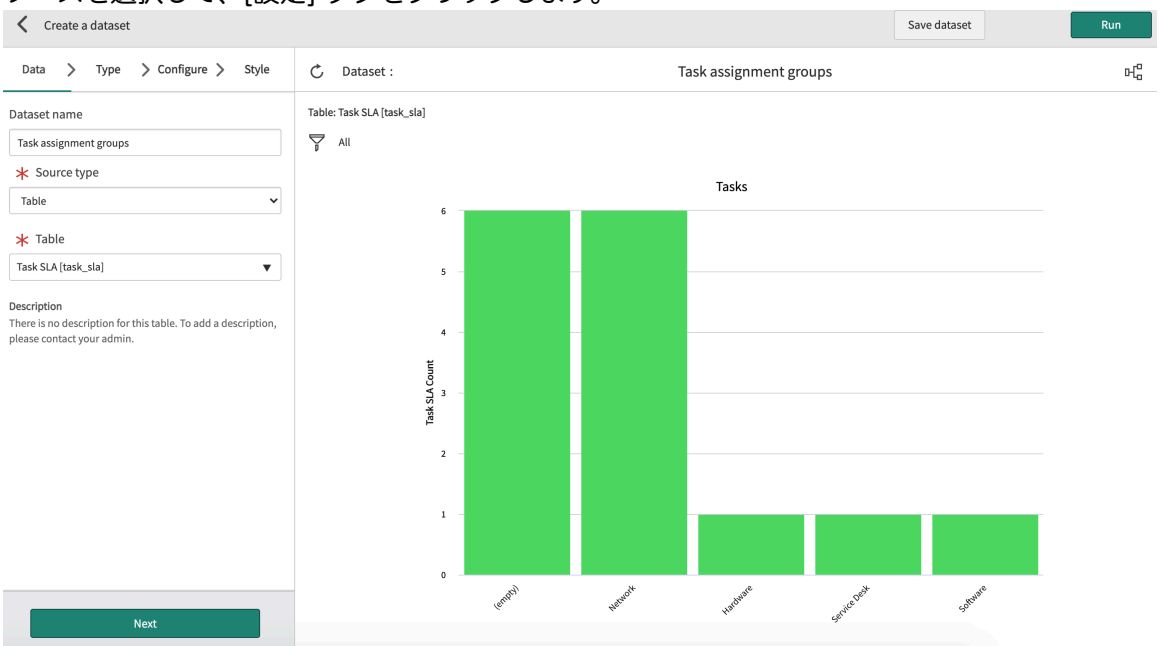
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 複数のデータセットをサポートするタイプのレポートを作成するか、いずれかのタイプの既存のレポートを選択します。

   棒、水平棒、線、縦棒、面、スプラインなどのレポートにさらにセットを追加できます。

3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。



4. [データセットの追加] を選択します。
5. [データ] タブで、レポートの凡例に表示する追加データセットのカスタム名を指定し、データソースを選択して、[設定] タブをクリックします。

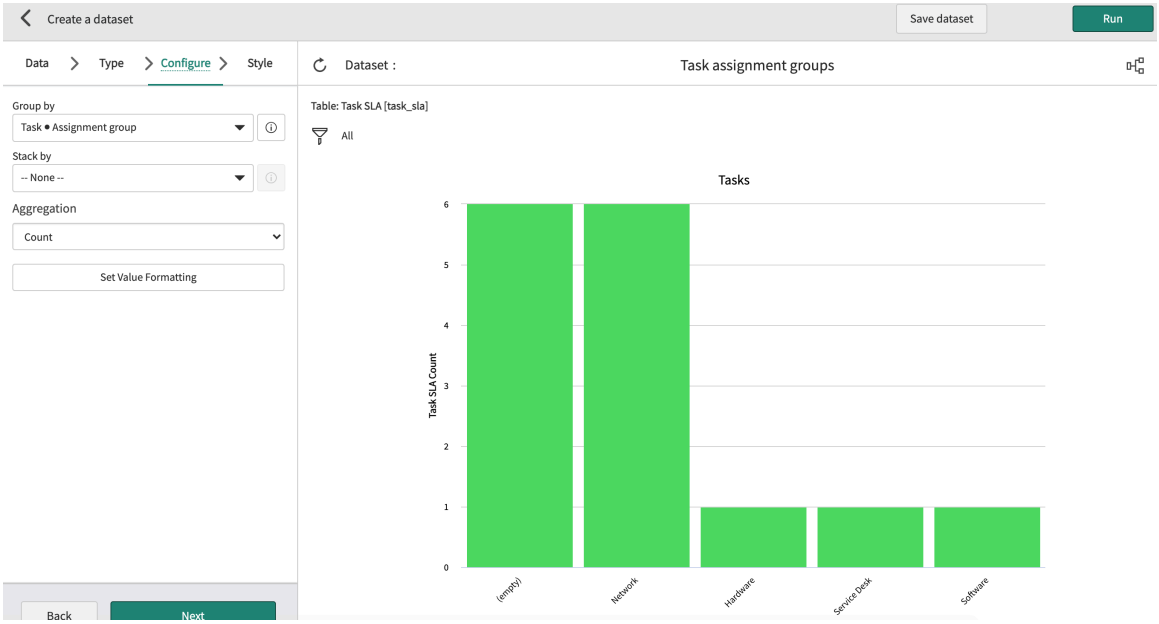


6. [設定] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で該当するフィールドを指定します。

   該当するレポート タイプの次のフィールドに注意してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



> **注:**
> [データ テーブルの表示] オプションは、[データセットの追加] モジュールからは使用できませんが、メインのレポート デザイナーの [構成] タブでのみ使用できます。データテーブルの表示オプションを選択すると、最初のデータセットのみがデータテーブルに表示されます。

7. [スタイル] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で次のフィールドを指定します。
8. [データセットを保存] をクリックします。

タスクの結果
このレポートは、追加のデータセットからの情報で生成されます。

インポートされた **Microsoft Excel** ドキュメントからレポートを作成する

インスタンスの外部で管理されているデータの Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) をインポートし、それらのファイルからレポートを作成できます。

始める前に
必要なロール:pa_admin、report_admin

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプションバージョンが必要です。「 パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

インポートされたデータには、次の制限が適用されます。

- 最大ファイル サイズは 2 MB です。
- 行の最大数は 10,000 です。列の最大数は 25 です。

> **注:**
> .xlsx ファイルを最大 50,000 行までインポートできますが、最初の 10,000 行だけがデータセットに表示されます。

- .xlsx ファイルの複数のシートの内、最初のシートだけがインポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インポートされたファイルの最初の行と最初の列は空にできません。最初の行は、列名を識別するために使用されます。
- インポート後に列を結合したり、フィールドを計算したり、テーブルに他の変更を加えたりすることはできません。これらの変更は、インポートする前に行う必要があります。
- インポートされた .xlsx ファイルには、有効期限が指定されている必要があります。
- 所有者がインポート後にテーブルを削除すると、インポートされたテーブルに基づくレポートも削除されます。

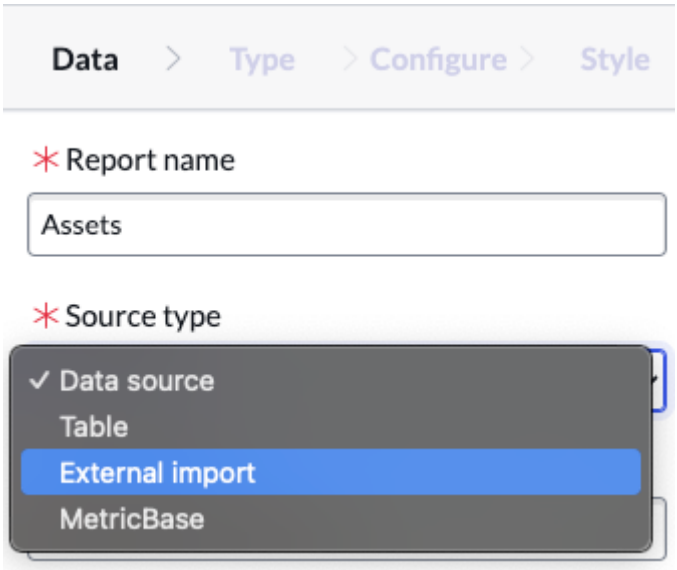
注:
ユーザーがこれらのレポートを表示するには、Report_viewアクセス制御リスト (ACL) を定義する必要があります。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

このタスクについて

インスタンスの外部で保持されている情報 (たとえば、定期的な第三者 データ) がある場合、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「 インポートセットを使用したデータのインポート 」を参照してください。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. [ソース タイプ] リストで、[外部インポート] を選択します。



注:
[外部インポート] メニューオプションは、 パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションが有効になっている場合にのみ使用できます。

4. インポートされた既存のレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ( ) を選択してファイルをインポートします。

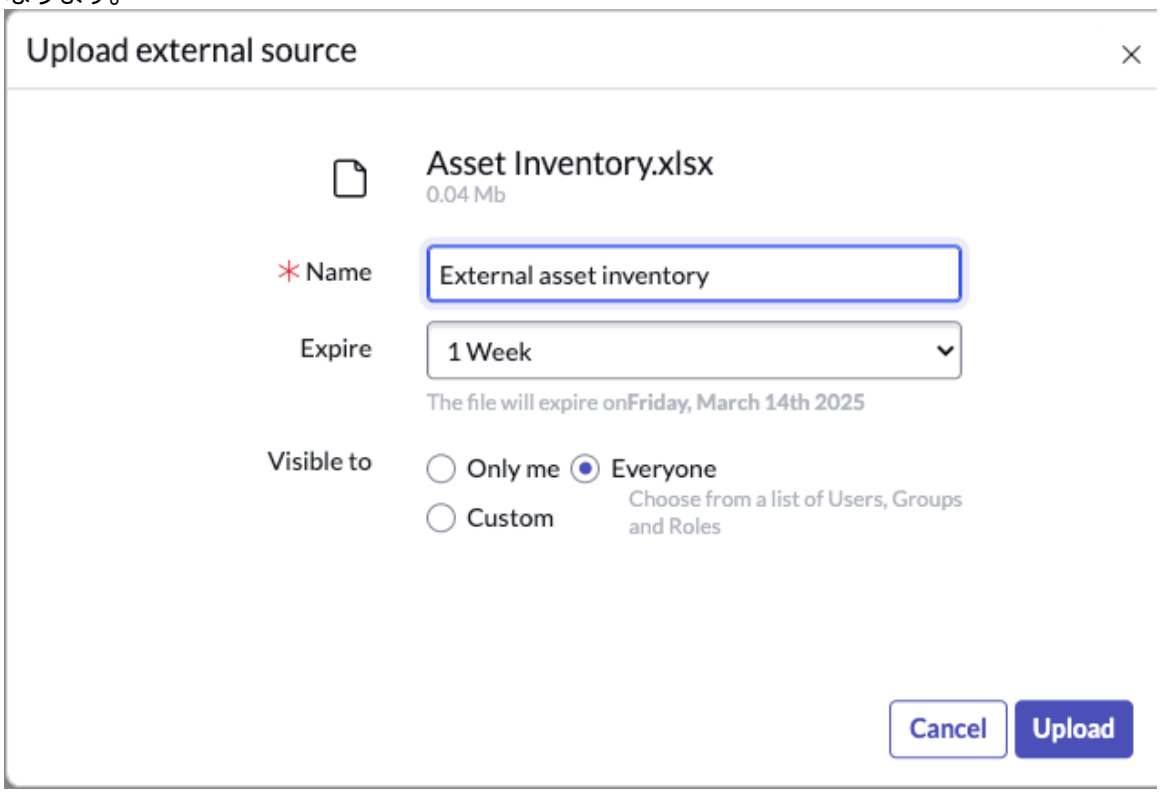
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [アップロード] を選択した場合は、次の手順を実行します。

   a. 開いたドロップ ゾーンにファイルを選択してドラッグするか、[ファイルの参照] を選択してファイル システムから選択します。

   b. 開いた [外部ソースをアップロード] ダイアログで、アップロードしたファイルから作成するレポートソースの名前を指定します。
   この名前をメモします。後で report_view アクセス制御リスト (ACL) を設定するために必要になります。



   c. レポートソースの有効期限を設定します。
   この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。

   d. レポートソースを表示できるユーザーを選択します。
   - あなただけ
   - 全ユーザー
   - 指定されたユーザー、ユーザーのグループ、またはロール

   > **注:**
   > この設定は、report_view ACL には影響しません。

   e. [アップロード] を選択します。

   f. **[Done** (完了)] を選択します。
   ファイルはインスタンスに新しいテーブルとして保存されます。

6. **[Next** (次へ)] を選択します。

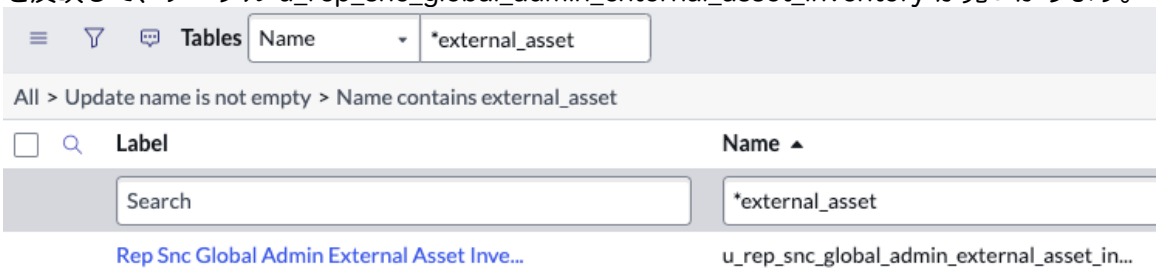
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 通常どおりにレポートの作成を完了します。
   特定のレポートタイプの詳細については、「 レポートタイプ」を参照してください。レポートの作成に関する一般的な情報については、「 レポートの作成」を参照してください。
8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。
9. ステップ 4 で外部データのアップロード時に作成したテーブルのreport_view ACL を作成します。
   作成したレポートを表示するには、ユーザーがこのテーブルへのreport_viewアクセス権を持っている必要があります。

   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > テーブル.

   b. ステップ 4b で指定したレポートソースの名前を名前に含めるテーブルを検索します。
   たとえば、「External asset inventory」という名前のファイルをアップロードした場合、*external_asset を検索すると、admin ユーザーによってグローバルスコープで作成されたことを反映して、テーブル u_rep_snc_global_admin_external_asset_inventory が見つかります。



   c. テーブル名をコピーします。

   d. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムセキュリティ > アクセス制御 **(ACL)**.
   昇格された security_admin ロールを持つ admin ロールが必要です。アドミンでない場合は、読み取り権限を持つ必要なロールの要求とともに、テーブル名report_view Now Platform アドミニストレーターに渡すことを検討してください。

   e. report_view のアクセス制御の説明に従って、レポートを読めるようにするロールの report_view ACL を作成します。

タスクの結果
レポートは外部ソースから作成されます。ダッシュボードには、このレポートが一時的なものであり、外部データソースの有効期限が切れると期限切れになることを示すアイコンがあります。

次のタスク
レポートの配布の説明に従って、レポートを共有します。

インポートされたデータソースを編集する

インスタンス外で保持されたデータを含むインポートされた Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) を編集できます。

始める前に
必要なロール:なし、ただしデータソースをインポートしたユーザーのみが編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. データソースのインポートに使用するレポートの名前をクリックして、レポート デザイナーでレポートを開きます。
3. [データ] タブで、外部インポートの名前の横にある鉛筆アイコン ( ) をクリックします。
4. [外部インポートを編集] ダイアログ ボックスで、これらの変更を加えることができます：

   ファイルを変更

   このオプションを選択して、同じ名前と構造の新しい .xlsx ファイルをアップロードします。

   名前

   外部インポートの新しい名前を指定します。この名前は、[外部インポート] リスト内のレポート デザイナーの [データ] タブに表示されます。

   有効期限

   外部インポートの新しい有効期限を設定します。

   この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。

   表示対象

   アップロードされたファイルの可視化 (自分のみ、すべてのユーザー、またはカスタム) を変更します。[カスタム] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールを指定します。

   [カスタム] を選択した場合 、[次へ] をクリックしてインポートしたファイルのデータを使用できるユーザーを選択し、[送信] をクリックします 。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
ファイルを変更した場合、インポートされたファイルに基づくレポートで、新しいファイルのデータが古いファイルのデータを置き換えます。変更された名前、有効期限、可視化がインポートされたファイルに適用されます。

メトリックベース時系列データからレポートを作成する

メトリックベースアプリケーションを使用して、メトリックベースデータから時系列レポートを作成します。

始める前に
メトリックベース 製品が必要です。入手するには、 メトリックベース製品の要求 を参照してください。メトリックベースの詳細については、「メトリックベース 」を参照してください。

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

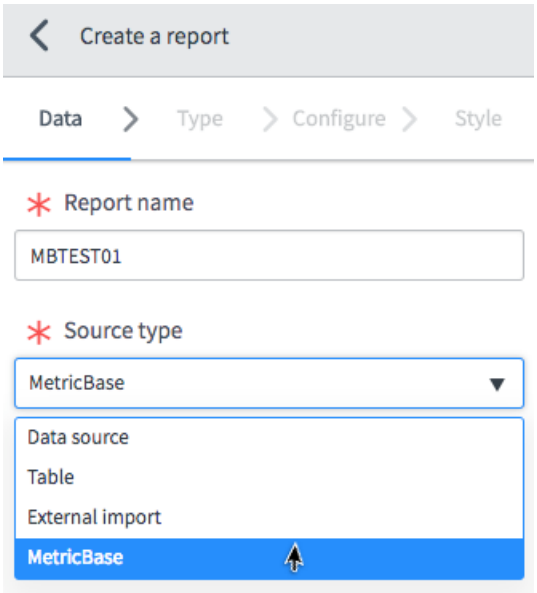
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートの情報を反映するレポート名を入力します。
3. [ソース タイプ] リストで、**[MetricBase]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- [メトリックベース] メニューオプションは、インスタンスにメトリックベースがインストールされている場合にのみ使用できます。
- データセットあたりの系列のデフォルトの最大数は 20 です。*glide.report.metric_max_series* システムプロパティを設定することで、最大値を最大 100 まで増やすことができます。ただし、10,000 個のデータポイントの制限により、データセット内の系列の数を増やすと、系列あたりのデータポイントの数が少なくなります。
- 系列ごとに表示できるデータポイントの合計数は、10,000 /(データセット内の実際の系列数 * データセット数)です。例：
  - 20シリーズで1つのデータセットを使用:10K /(20 * 1)= 500
  - 2 系列で使用される 2 つのデータセット: 10K / (20*2) = 250
  - 100シリーズで1つのデータセットを使用:10K /(100 * 1)= 100
- 系列内のデータポイントの実際の数が制限を超えると、データがリサンプリングされます。



4. 既存の メトリックベース テーブルを選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. [タイプ] タブで、作成するレポートのタイプを選択し、[次へ] をクリックします。
   時系列レポートのみを利用できます。特定のレポート タイプの詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。更新されたレポートを表示するには、[実行] をクリックします。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[タブを構成] フォーム

フィールド	説明
グループ	メトリクステーブルの該当するフィールドのいずれかでグループ化するレポートデータ。
メトリクス	メトリックベースデータベースで決定されるメトリクス。プラス アイコン (+) をクリックして、複数の測定基準を追加します。メトリクスごとに、1 つ以上の変換を設定できます。マイナス アイコン (-) をクリックして、測定基準を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Transform	データが変更されます。 ○ レポートに生データを表示するには、変換なしを選択します。 ○ 変換を 1 つ選択します。 ○ 変換チェーンを作成するには、複数の変換を選択します。変換チェーンは、前の変換の結果に新しい変換を適用します。 詳細については、「MetricBase の変換」を参照してください。
時間範囲	レポートの対象期間。相対値は、現在時刻からの分、時間、日、月、または年の数です。絶対範囲では、レポートの開始時間と終了時間を指定できます。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルタリングする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

   注:
   集計レポートとリストレポートでは、言語に依存するフィルター条件がローカライズされたインスタンスでゼロの結果を返す場合があります。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
詳細については、作成しているレポートの「スタイルオプション」セクションを参照してください。
   - 面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション
   - 線グラフ レポートのスタイル オプション
   - ステップ ライン レポートのスタイル オプション
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

タスクの結果
レポートはメトリック ベース ソースから作成されます。レポートの表示方法が切り捨てられると、メッセージが表示されます。

次のタスク

- [レポート情報] アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して、[共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

MetricBase の変換

変換を使用すると、MetricBase データをさまざまな方法でビジュアル化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な変換

ラベル変換以外のすべての変換は、測定基準データに適用できる数学関数です。複数の変換を適用して変換チェーンを作成します。

変換	説明
追加	データセットのデータ ポイントに指定された値を加算して結果を計算します。
平均	現在選択されているすべての測定基準の算術平均を計算します。
下	測定基準データセットに指定された値の最低数のみを表示します。
カイ二乗	統計モデルがメトリクスデータセットにどの程度適合しているかを示します。
カウント	測定基準データセット内のデータ ポイントのカウントを示します。
分解する	予測モデルのコンポーネントを分離します。最小値と最大値の両方を分解して要求し、予測モデルの下限と上限を取得できます。
除算	データセット内のデータ ポイントを指定された値で除算して結果を計算します。
エンベロープ	測定基準データセットの最小値と最大値を表示します。
フィルター	指定された期間のスライドする時間枠中に、指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。スライドする 15 分の平均は、平均集計関数および 15 分の期間を活用して、フィルター変換を使用します。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
フィット	モデルベースのトリガーで使用できる予測モデルを生成します。
変位値	基になるデータの指定された百分位数を表す値を持つ新しい系列を返します。たとえば、90 パーセンタイルと 99 パーセンタイルの応答時間を照会するには、[0.9,0.99] の配列を指定します。
補間	結果を計算するために指定された期間の新しいデータ ポイントを構築します。
ラベル	変換のラベルを設定できます。
姓	期間ウィンドウ内で最後に定義された値を返します。
ログ	データセット内のすべての値の自然対数を計算します。
最大	測定基準データセットの各時点での最大値を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

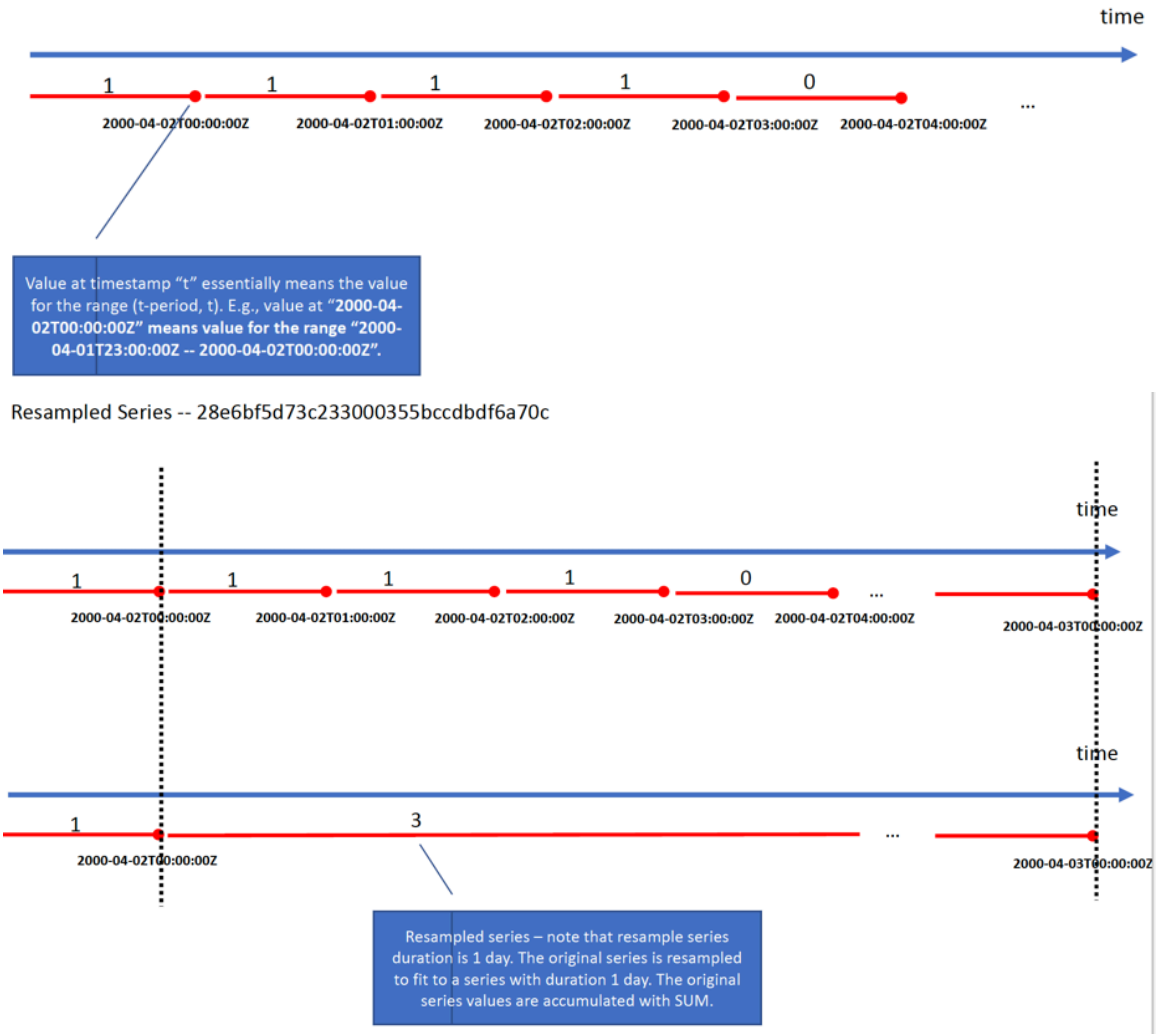
変換	説明
中央値	測定基準データセットの中央値を示します。中央値は、測定基準データセットの高い方の値と低い方の値を分離します。
最小	測定基準データセットの各時点での最小値を示します。
乗算	データセット内のデータ ポイントに指定された値を乗算して結果を計算します。
パーティション	指定された期間の固定期間にわたり指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。ベース (タイムスタンプ) を指定して、パーティションウィンドウを揃えます。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
予測	メトリックベースモデルテーブル (mb_model) で選択された予測モデルによって生成された予測時系列データを実際のデータと比較します。予測されたデータと実際のデータをグラフ化できます。予測トリガーは、予測値としきい値に基づいています。しきい値は、予測値の上下の値です。これらのしきい値を上回る実際のデータによって予測トリガーが実行されます。
配置	時系列メトリクスを別のメトリックベース時系列メトリクスにコピーします (例:copyData('targetMetric').put())
リサンプル	指定された期間に合わせてデータを展開または縮小します。期間を延長すると、集計関数が新しい期間に合わせてデータを結合するために使用されます。期間を短くすると、既存のデータが下位の期間に伝達されます。 サポートされているアグリゲーション関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
標準偏差	基になるデータ間の標準偏差を計算します。測定基準データセット内の一連のデータ値の変動または分散を定量化するために使用されます。
除算	データセット内のデータ ポイントから指定された値を減算して結果を計算します。
合計	測定基準データセット内のデータ ポイントの合計を計算します。詳細については、「 合計変換 」を参照してください。
トップ	測定基準データセットに指定された値の最高数のみを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計変換

タイムスタンプ「T」の値は、範囲の値 (T ピリオド、T) を示します。あなたのクエリでは、*sum()*は 入力系列を与えます。1 つの系列があり、元の系列を期間 = 1 日の新しい系列にリサンプリングします。元の系列を期間にリサンプリングすると、2 つのデータ ポイント (2000-04-02T00:00:00Z と 2000-04-03T00:00:00Z) が作成されます。データポイントが 1 つあるため、2000-04-02T00:00:00Z の値は 1 です。2000-04-03T00:00:00Z の値は、範囲 (2000-04-02T00:00:00Z、2000-04-03T00:00:00Z) の値を集計して計算されます。値は 3 に等しくなります。



この例では、

```
var startTime = new GlideDateTime('2000-04-02 00:00:00');
var endTime = new GlideDateTime('2000-04-02 23:00:00');
transformer.metric('u_cost').sum().resample('SUM', GlideDuration('1 00:00:00'))
```

は [4] ではなく [1, 3] です。

```
====== rest api result for GET ======
{
  "seriesRef": {
    "subject": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c",
    "table": "sn_cld_intg_aws_cost_usage",
    "metric": "u_cost"
  },
  "label": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c:sn_cld_intg_aws_cost_usage|u_cost",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "values": [
  {
   "timestamp": "2000-04-02T00:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T01:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T02:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T03:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T04:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T05:00:00Z",
   "value": 0
  },
  ...
  {
   "timestamp": "2000-04-02T23:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-03T00:00:00Z",
   "value": 0
  }
 ]
}
```


自動翻訳

フォームでグラフを設定する

変更要求などのフォームにレポートを追加し、レポートのビジュアル化を設定してフォームのユーザーに関連する情報を表示できます。設定は、現在のビューにのみ適用されます。

始める前に

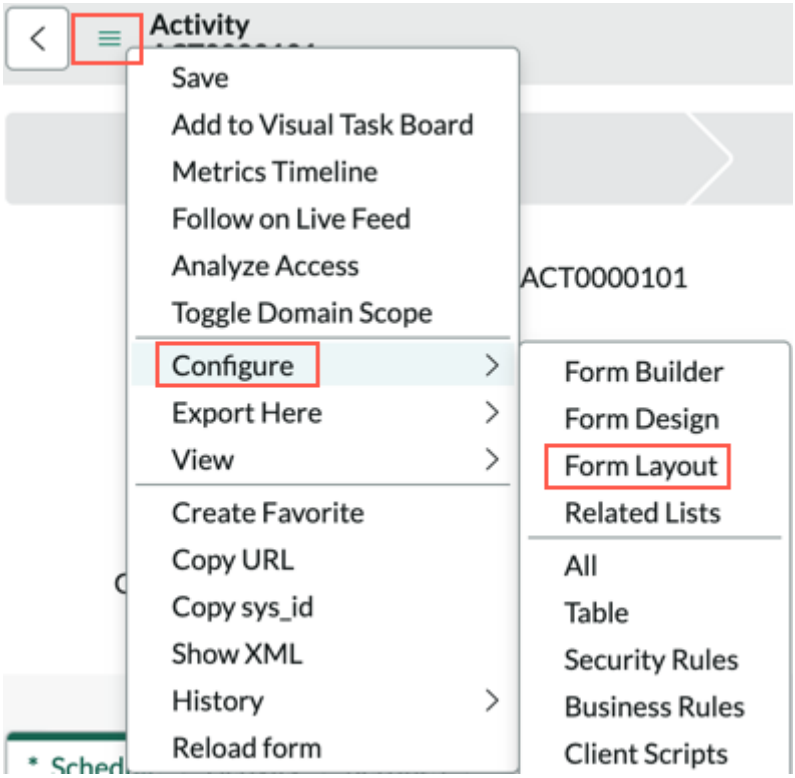
必要なロール：admin

フォームでは、リスト、ピボット、マルチレベル ピボット、カレンダー、シングル スコアなどのレポート タイプはサポートされていません。

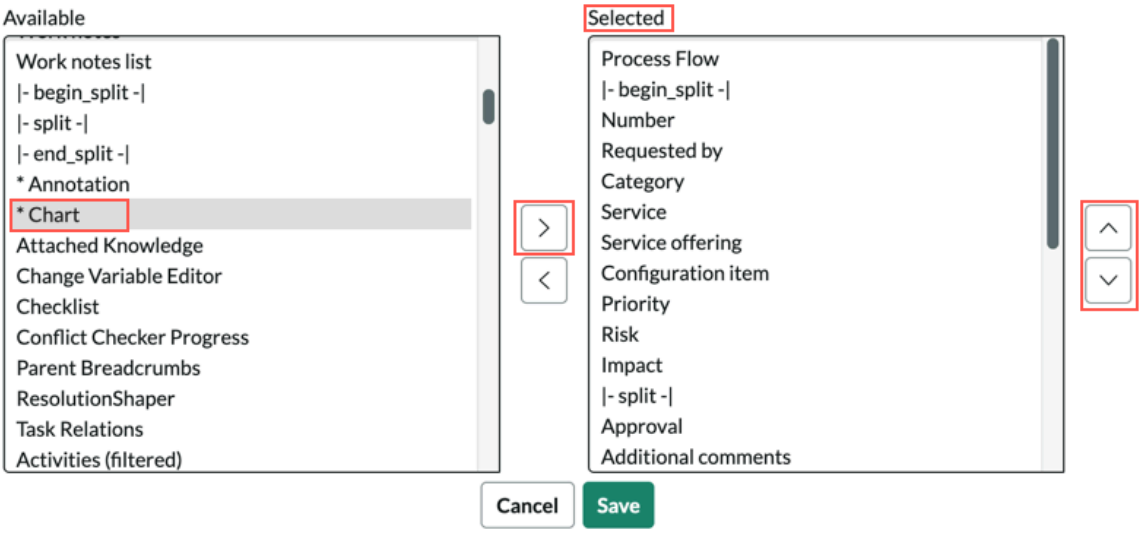
手順

1. フィルター ナビゲータのレポートでフォームを設定するテーブルを選択し、レコードを選択します。
   たとえば、task.list からレコードを選択します。
2. コンテキスト) から、次を選択します 構成 > フォームレイアウト.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [利用可能] リストから、[選択済み] 列に *[チャート] を追加します。
上向き矢印と下向き矢印を使用して、フォームにレポートを配置しま

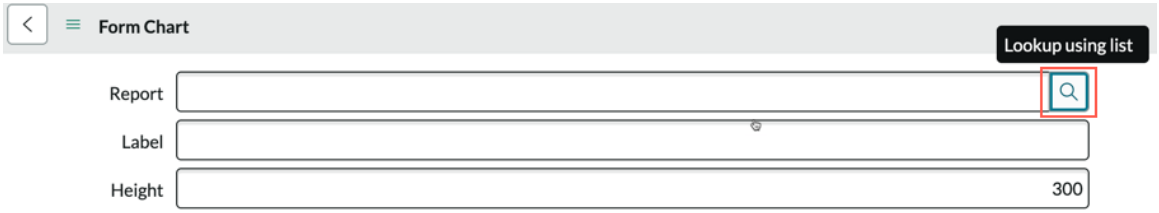


す。

4. オプション: チャートのラベルを指定します。
このオプションは、上向き矢印または下向き矢印を選択してフォーム上のレポートの場所を指定すると表示されます。ラベルは、フォームのレポートの横に表示されます。ラベルを指定しない場合は、「New Chart」というラベルが使用されます。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
[チャートの構成] というテキストが、フォームの指定した位置に表示されます。
6. [グラフの構成] を選択します。
7. 検索アイコン ( ) を選択してレポートを選択します。

自動翻訳

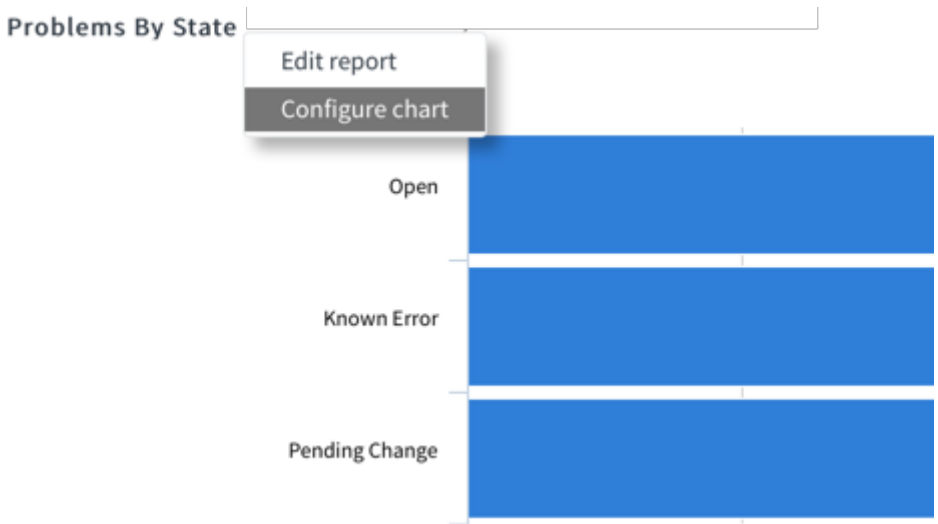
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: チャートの高さを指定します。
   デフォルト値は 300 ピクセルです。
9. オプション: 選択したフィールドに基づいて、またはスクリプト化されたフィルターやエンコードされたクエリに基づいて、レポートのデータをフィルタリングできます。
   最初のフィールドはフォーム上に表示する必要があります。フォームにフィールドを追加するには、次を選択します 構成 > フォームレイアウト フィールドを [利用可能] 列から [選択済み] に移動します。

   [レポート条件拡張] タブで、レポートが更新されるフォーム フィールドと、フォーム フィールドが比較されるレポート ソース テーブルのフィールドを選択します。

   スクリプト化されたフィルターまたはエンコードされたクエリを指定するには、[詳細条件拡張] を選択し、スクリプトを [レポート品質] テキスト ボックスに貼り付けます。高度な条件拡張がある場合は、レポート条件拡張を上書きします。
10. [**Update** (更新)] を選択します。
11. 設定を変更するには、ラベルを右クリックして [チャートを構成] を選択します。



タスクの結果
選択したレポートは、選択したタイプと同じタイプのすべてのフォームに表示されます。これらのレポートは、レポート条件拡張に基づいてフィルタリングされます。

Jelly にレポートを埋め込む

UI ページなどの Jelly ベースの要素にレポートを埋め込むことができます。

埋め込みの有効化

Jelly にレポートを埋め込むには、次の要素を Jelly コードに追加します。

```
<g:inline template="reporting_includes.xml" />
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このコードを追加した後、既存のレポートを埋め込むか、Jelly コード内でレポートを生成することができます。

既存のレポートを埋め込む

embedReportById(targetSpan, reportId) 関数を呼び出すことで、既存のレポートを埋め込むことができます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

さらに、UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。<report sys_id>をレポートの実際のsys_idに置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、HTML/XML ブロックの jelly コードに JavaScript 全体を埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックからのコードの追加 <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportById(div, <"report sys_id">);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

レポートの生成と埋め込み

embedReportByParams(targetSpan, parms) 関数を呼び出すことで、UI 内にレポートを埋め込むことができます。このようにレポートを埋め込む場合、パラメータを使用して新しいレポートを生成するか、レポート sys_id を指定してそのレポートを表示できます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

そして、UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category", sysparm_type:
 "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG", sysparm_sumfield:
 "rating"};
var div = $j("#report_stuff");
embedReportByParams(div, params);
```

または、Jelly コード内に JavaScript を埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックからのコードの追加 <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category",
 sysparm_type: "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG",
 sysparm_sumfield: "rating"};
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportByParams(div, params);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。
parms	レポートを定義する JSON オブジェクト。利用可能なパラメータは、レポート タイプによって異なります。

リストレポートの生成と埋め込み

既存のリストレポートを埋め込む場合、またはリストレポートを生成して埋め込む場合は、もう 1 行のコードを入力する必要があります。

UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <g:inline template="list2_js_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。<report sys_id>をレポートの実際のsys_idに置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、HTML / XML ブロックの jelly コードに JavaScript 全体を埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックからのコードの追加 <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <g:inline template="list2_js_includes.xml" />
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<div id="report_stuff" />
<script>
    var div = $j("#report_stuff");
    embedReportById(div, <"report sys_id">);
</script>
</j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
targetSpan	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

埋め込みレポート パラメータ

Jelly 要素にレポートを埋め込む場合、パラメータを渡すことによっていつでもレポートを定義できます。

共通パラメータ

特定のパラメータは、複数のレポート タイプで使用されます。

共通パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
jvar_report_id	レポート レコードの sys_id。このパラメーターを渡す場合、他のパラメーターを指定しないでください。すべての値は、レポート レコードから取得されます。	
sysparm_report_id	レポートに存在する他の sysparm パラメーターを上書きする場合は、jvar_report_idの代わりにこのパラメーターを使用します。	
sysparm_title	レポートのタイトル。	
sysparm_table	レポートするテーブル。この値または sysparm_report_source_id を指定しますが、両方を指定することはできません。	
sysparm_report_source_id	レポート ソースの sys_id。この値または sysparm_table を指定しますが、両方を指定することはできません。両方を渡すと、sysparm_table の代わりにこの値が使用されます。	
sysparm_type	作成するレポートのタイプ。 可能な値:リスト、折れ線、line_bar、面、スプライン、棒グラフ、horizontal_bar、パレート図、履歴、円グラフ、ドーナツグラフ、semi_donut、角度ゲージ、目盛り、ピボット、pivot_v2、じょうごグラフ、カレンダー、ピラミッド、ボックス、トレンド、コントロール、トレンドボックス、ヒートマップ。	線

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_field	指定された表からデータをグループ化するためのフィールド。時系列レポート、縦棒レポート、棒グラフレポート、円グラフレポート、ドーナツグラフレポート、じょうごグラフレポート、ピラミッドレポート、ボックスレポート、トレンドレポート、トレンドボックスレポートに必要です。リストレポートの場合はオプションです。	
sysparm_query	レポートを生成する前にデータに適用するフィルター。この値にクエリ文字列を指定します。 特定のフィールドでクエリ結果をソートするには、 ^ORDERBY<field_name> または ^ORDERBYDES<field_name> をクエリ文字列の最後に追加します。ORDERBY は、クエリを昇順で並べ替えます。ORDERBYDES は、クエリを降順でソートします。	
sysparm_aggregate	集計タイプ。 可能な値:AVG、COUNT、SUM、および COUNT_DISTINCT	総数
sysparm_sumfield	データを集計するフィールド。このパラメータは、総数集計タイプを使用する場合は適用されません。	
sysparm_display_grid	レポートにデータグリッドを表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_show_other	レポートに [その他] グループを表示するかどうかを制御する true/false 値。このグループは、グループ数が sysparm_others パラメータで指定された数を超えた場合にのみ表示されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒートマップなどのレポートに適用されます。	true
sysparm_others	表示する個々のデータ グループの最大数。追加のデータ グループは、他のグループに結合されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒート マップなどのレポートに適用されます。	
sysparm_source_type	埋め込みレポートのソース。オプション。 可能な値:table、metricbase、source、import	テーブル
sysparm_set_color	レポートの色設定。 可能な値:one_color、color_palette、several_colors	color_palette
sysparm_color_palette	レポートが使用するカラー パレット。このパラメータは、sysparm_set_color="color_palette" の場合に使用されます。	デフォルト UI14

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
	可能な値：カラー パレットの sys_id	
sysparm_color	レポートが使用する色。このパラメータは、sysparm_set_color="one_color" の場合に使用されます。 可能な値：色の sys_id	
sysparm_chart_colors	レポートが使用する一連のチャートの色。このパラメータは、sysparm_set_color="several_colors" の場合に使用されます。 可能な値：コンマで区切られた色の 16 進コードのリスト	
sysparm_show_marker	マーカーは、線のドットまたはグラフ内の別のグラフィック要素で表される値です。このパラメーターは、マーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値です。	true
sysparm_show_empty	空のグループ化値または傾向値を持つレコードをレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_stack_field	棒グラフおよび列レポートのスタッキングを制御するために使用されるフィールド。	
sysparm_bar_unstack	積み上げデータを単一の棒または棒として表示するか、複数の棒として表示するかを制御する true/false 値。	false
sysparm_box_field	データを測定するために使用される数値フィールド。このパラメータは、ボックスおよびヒストグラムのレポートに必要です。	
sysparm_trend_field	傾向データを整理するために使用される日時フィールド。このパラメータは、時系列、トレンド、およびボックスのレポートに必要です。	
sysparm_trend_interval	トレンド値を測定する間隔。 可能な値:年、四半期、月、週、曜日、時間、および日付。	年
sysparm_compute_percent	レポートの割合を表示するときに使用する値。合計レコード数または指定された集計に基づいてパーセンテージを表示できます。 可能な値:aggregate および count	カウント
sysparm_funnel_neck_percent	1 ～ 100 の数字は、じょうごの首部であるじょうごレポートの割合を定義します。	30
sysparm_show_chart_data_label	レポートにデータラベルを表示するかどうかを制御する true/false 値。	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_zero	マルチレベルピボットおよびヒートマップレポートにゼロを表示するかどうかを制御する true/false 値。	
sysparm_ct_row	ヒート マップおよびバブル レポートで行を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_ct_column	ヒート マップおよびバブル レポートで列を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_y_axis_category_fields	マルチレベルピボットレポートの行の定義に使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 5 つ指定します。	
sysparm_x_axis_category_fields	マルチレベルピボットレポートで列を定義するために使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 3 つ指定します。	
sysparm_list_ui_view	ユーザーがレポートにドリルダウンする場合に使用するリスト ビューの sys_id。	
sysparm_show_marker	レポート上のプロットされたすべてのポイントにマーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_apply_alias	構成されたエイリアスを埋め込みレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。	

サービス カタログ パラメータ

特定のパラメータは、要求アイテム [sc_req_item] テーブルなど、サービス カタログ テーブルで作成されたレポートにのみ適用されます。これらのパラメータは、リストまたはカレンダー タイプのレポートでは使用できません。

サービス カタログ レポート パラメータ

パラメータ	説明
sysparm_sc_groupby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。このパラメーターを *`sysparm_sc_groupby_variable_id`* パラメーターとともに使用して、カタログ変数の値に基づいてサービスカタログレポートをグループ化します。これらのパラメーターは、サービスカタログ変数でグループ化するときに *`sysparm_field`* パラメーターを置き換えます。
sysparm_sc_groupby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、*`sysparm_sc_groupby_item_id`* パラメーターで指定されたカタログアイテムに属している必要があります。
sysparm_sc_stackby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。このパラメーターを *`sysparm_sc_stackby_variable_id`* パラメーターとともに使用して、カタログ変数の値に基づいてサービスカタログレポートを積み重ねます。これらのパラメーターは、サービスカタログ変数でグループ化するときに *`sysparm_stack_field`* パラメーターを置き換えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービス カタログ レポート パラメータ (続く)

パラメータ	説明
	棒グラフ レポートなどスタッキングをサポートするレポートのみがこれらのパラメータをサポートします。
sysparm_sc_stackby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、*sysparm_sc_stackby_item_id* パラメーターで指定されたカタログアイテムに属している必要があります。

MetricBase パラメータ

埋め込みレポートで MetricBase を使用するには、sysparm_source_type パラメータを「metricbase」に設定する必要があります。

MetricBase には次の構文を持つ sysparm_custom_configuration パラメータも必要です。

```
sysparm_custom_config:
 "{query_condition:\"\",transforms:[{transform:{transform:\"Reference\",name:\"chart-subje
cts\"},metric:\"mb_metricname\"}], group_by:\"\", table:\"mb_tablename\"}";
```

この構文では：

- `変換`は、ネストされた変換関数のチェーンです。すべてのチェーンの最後の変換は、常に参照変換である必要があります。

  ```
  {transform:\"Reference\",name:\"chart-subjects\"}
  ```

- `メトリクス`は、メトリクステーブルのメトリクスフィールドです。
- `グループ別`フィールドは、時系列をグループ化する基準として選択したメトリクステーブル上のフィールドです。
- `テーブル` はメトリクステーブルを参照します
- `mb_...` はプレースホルダー名です

`group-by` を除くすべての属性が必要です。

グラフ固有のパラメータ

特定のパラメータは特定のレポート タイプに対してのみ使用できます。

ドーナツ レポート パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_chart_total	グループ化されたドーナツの合計スコアをレポートの中央に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_donut_width_percent	ドーナツ レポートの幅を制御する 1 ～ 100 の数値。	50

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_use_color_heatmap	ヒートマップがグラデーションを使用してレポートに色を付けるかどうかを制御する true/false 値。true の場合、sysparm_axis_max_color および sysparm_axis_min_color の値が使用されます。	true
sysparm_axis_max_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、高い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	UI14 青
sysparm_axis_min_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、低い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	白

ダイヤル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_gauge_autoscale	目盛りがレポートの最小スケールと最大スケールを自動的に計算するかどうかを制御する true/false 値。この値を false に設定する場合、sysparm_from および sysparm_to の値を指定する必要があります。	true
sysparm_from	軸のスケールの最小値を定義する数値。	
sysparm_to	軸のスケールの最大値を定義する数値。	
sysparm_upper_limit	ダイヤルの上限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには上限のしきい値がありません。	
sysparm_lower_limit	ダイヤルの下限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには下限しきい値がありません。	
sysparm_direction	レポートでどちらの値が正の値であるか、低い値か高い値かを制御する値。 可能な値:最小化と最大化。	最小化

グラフ サイズ パラメータ

特定のパラメータは、レポートの幅と高さを制御します。

サイズ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_chart_size	レポート内のグラフのサイズ。有効な値は、small、medium、および large です。	大
sysparm_custom_chart_size	*sysparm_chart_size*パラメーターの size オプションを使用する代わりに、このパラメーターを有効にして、カスタムグラフの高さと幅の値を指定します。	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズ パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_custom_chart_height	レポート内のグラフの高さ (ピクセル単位)。	
sysparm_custom_chart_width	レポート内のチャートの幅（ピクセル単位）。	

グラフ タイトル パラメータ

特定のパラメータは、タイトルを表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、時系列、棒、縦棒、円、ドーナツ、ダイヤル、トレンド、ボックス、トレンドボックス、ヒストグラム、ピラミッド、ヒートマップ、じょうご、およびコントロールのレポートが含まれます。

タイトル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_report_title_size	タイトルのフォント サイズを定義する数値。	16
sysparm_report_title_color	タイトル テキストの色。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	黒
ysparm_title_horizontal_alignment	タイトルはレポートに対して水平に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値は、left、center、および right です。	中心
sysparm_title_vertical_alignment	タイトルはレポートに対して垂直に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値:上、中央、下。	top
sysparm_custom_report_title_position	相対配置ではなく、X 座標と Y 座標でレポートタイトルの位置を定義するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_title_x_position	レポート上のタイトルの X 位置を定義する数値。この値は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	0
sysparm_report_title_y_position	レポート上のタイトルの Y 位置を定義する数値。この値は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	0

グラフの境界線のパラメータ

特定のパラメータは、境界線を表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、時系列、棒、縦棒、円、ドーナツ、目盛り、トレンド、ボックス、トレンドボックス、ヒ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストグラム、ピラミッド、ヒートマップ、じょうごグラフ、およびコントロールレポートが含まれます。

境界線パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_report_border	レポートに境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_border_width	境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_report_border_radius	境界線の角の半径サイズをピクセル単位で定義する数値。	0

凡例パラメータ

特定のパラメータは、凡例を表示するレポートでのみ使用できます。これらのレポートタイプには、円、ドーナツ、積み重ね棒、積み上げ縦棒、時系列、トレンド、ボックス、ヒストグラム、ピラミッド、コントロール、およびヒートマップのレポートが含まれます。

凡例パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_legend	レポートに凡例を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_horizontal_alignment	凡例はレポートに対して水平に配置されます。 可能な値:left、center、および right。	center
sysparm_legend_vertical_alignment	凡例は、レポートに対して垂直に配置されます。 可能な値:上、中央、下。	下
sysparm_show_legend_border	凡例に境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_border_width	凡例の境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_legend_border_radius	凡例境界線の角の半径のサイズをピクセル単位で定義する数値。	0

X 軸パラメータ

特定のパラメータは、X 軸を使用するレポートでのみ使用できます。これらのレポート タイプには、棒、水平棒、パレート、列、ライン エリア、スプライン、ボックス、トレンド ボックス、コントロール、およびトレンドのレポートが含まれます。

X 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_x_axis_title	X 軸に表示する名前。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

X 軸パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_x_axis_title_size	X 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_x_axis_title_bold	X 軸のタイトルテキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_x_axis_opposite	x 軸をレポートの上部に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_display_grid	垂直グリッド線を x 軸から表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_grid_dotted	垂直グリッド線を点線にするかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_label_size	X 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	11
sysparm_x_axis_label_bold	X 軸の増分ラベルを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	false

Y 軸パラメータ

特定のパラメータは、Y 軸を使用するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポートタイプには、棒グラフ、水平バー、パレート図、縦棒グラフ、線面レポート、スプラインレポート、ボックスレポート、トレンドボックスレポート、コントロールレポート、トレンドレポートなどがあります。

Y 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_title	Y 軸に表示する名前。	レポート集計の自動生成された説明
sysparm_y_axis_title_size	Y 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_y_axis_title_bold	y 軸のタイトルテキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_y_axis_opposite	y 軸をレポートの左側に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_display_grid	水平グリッド線を Y 軸から表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_y_axis_grid_dotted	水平グリッド線を点線にするかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_label_size	Y 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	12

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Y 軸パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_label_bold	Y 軸の増分ラベルを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_from	Y 軸に表示される最小値を定義する数値。	
sysparm_y_axis_to	Y 軸に表示される最高値を定義する数値。	

拡張テーブルに関するレポート

単一のレポートでタスク テーブルを拡張するテーブルからのフィールドを含める方法を学びます。たとえば、インシデントと問題の両方を単一のレポートに含めることができます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。拡張テーブルに固有の列をレポートに含めるには、admin ロールを持つユーザーがシステム プロパティ [glide.ui.list.allow_extended_fields] を有効にする必要があります。

1. 次のように移動する。 システムプロパティ > **UI Properties (UI** プロパティ).
2. [ベーステーブルリスト (タスク、cmdb_ciなど) に拡張テーブルフィールド (incident_state、os_versionなど) を含めることを許可するプロパティを有効にし、拡張テーブルフィールド **(glide.ui.list.allow_extended_fields)** のフィルタリングを許可します 。
3. ページの下部にある [保存] をクリックします。

必要なロール:report_admin。

このタスクについて

親テーブルから始めて拡張テーブルのフィールドをレポートに含める方法については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

拡張テーブルにフィールドを含める方法 (ドット連結では利用できないフィールド)

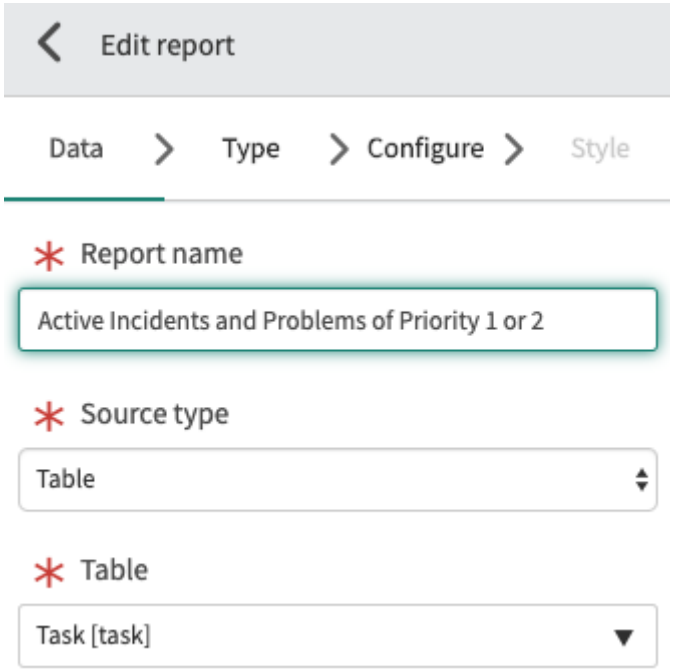
このビデオでは、レポート デザイナーを使用して複数のテーブルのデータを含むレポートを作成する方法を示します。レポートには、タスクテーブルの子テーブルであるインシデントと問題の両方が含まれています。優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題レポートの作成方法は次のとおりです。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、レポートに 「優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題」という名前を付け、[ソースタイプ] テーブルを選択して、テーブル「タスク [task]」を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションには、レポートの暫定バージョンが表示されます。更新されたレポートをいつでも表示するには、[実行] を選択します。

4. [**Configure**] タブで、[Group by Task type] をクリックし、[**Save**] をクリックします。
   リストレポートが更新され、すべてのタスクがそれぞれのタイプに折りたたまれます。

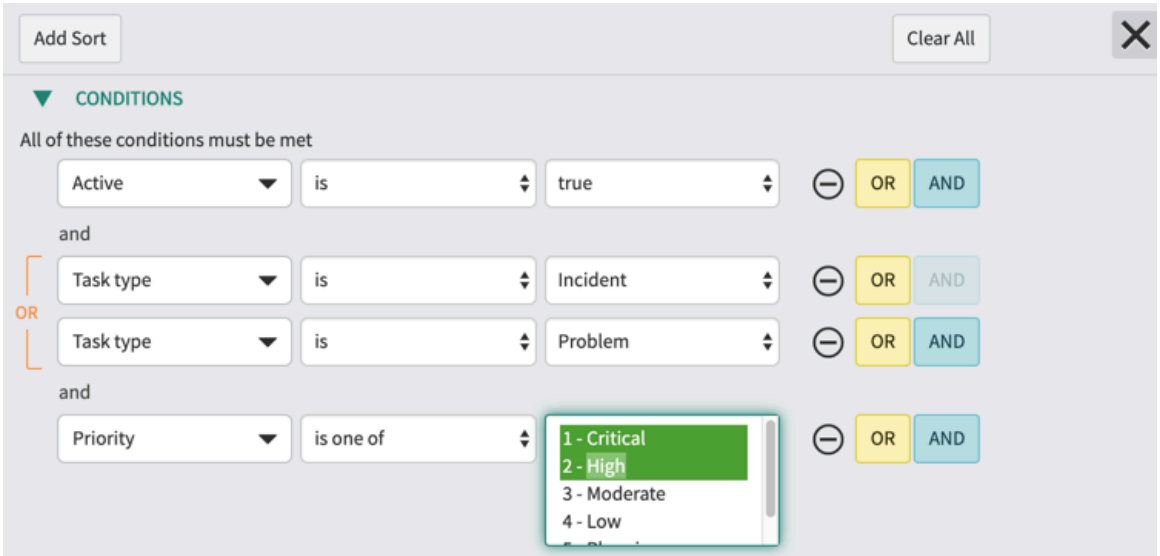


5. フィルターアイコン ( ) をクリックして、条件ビルダーを開きます。
   条件ビルダーを使用して、レポートの表示を必要な情報のみに制限します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題のみを表示するには、これらの条件を設定して [保存] をクリックします。
   - [アクティブ] は true です。
   - タスクタイプがインシデントであるか、タスクタイプが問題です。
   - 優先度は、[1 - 重大] または [2 - 高] のいずれかです。



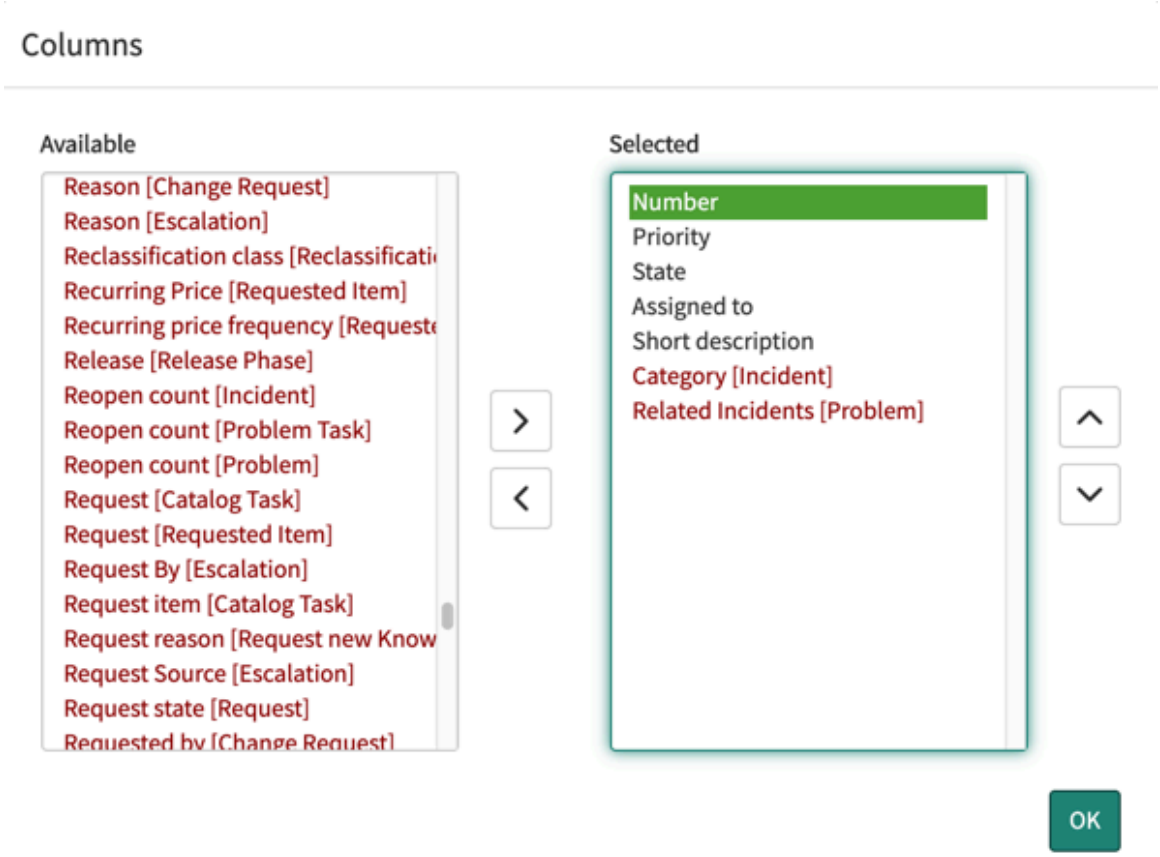
新しいレポートには、2 つのタスクタイプのみが含まれます。アクティブなタスクのみを選択したため、各カテゴリのタスクも少なくなります。



7. 拡張テーブルフィールドのカテゴリ [インシデント] と関連インシデント [問題] を含む、レポートに表示する列を選択し、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

カテゴリ [インシデント] および関連インシデント [問題] フィールドは、拡張テーブル (インシデントと問題) に固有です。これらは、タスクテーブルから利用可能な列のリストの一番下に表示されます。これらの 2 つのフィールドは、[ベーステーブルリストに拡張テーブルフィールドを含めることを許可し、拡張テーブルフィールド **(glide.ui.list.allow_extended_fields)** のフィルタリングを許可する] プロパティを有効にしているために使用できます。
レポートには、オープンインシデントとそのカテゴリ、および未解決の問題とそれに関連するインシデントの数が表示されます。

レポートの関連テーブル

ビデオを見て、ドット連結、動的フィルター、およびデータベース ビューを使用して拡張または関連テーブルのデータにアクセスする方法を学んでください。

ドット連結を使用して拡張テーブルまたは関連テーブルのデータをレポートに含める方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。このビデオでは、レポートでの動的フィルターの使用と、データベース ビューに関するレポートについても説明します。 ドット連結ビューとデータベース ビューを使用して、拡張テーブルまたは関連テーブルのデータをレポートに含める方法。

ドット連結を使用した拡張テーブル フィールドのレポート

ドット連結は、拡張または関連テーブルのフィールドへのアクセスを提供します。これにより、それらのテーブルのフィールドをレポートすることができます。

レポートを作成または編集するときに、[構成] タブの [グループ]/[積み重ね基準]、[列/行]、または [傾向] フィールドから拡張テーブルの参照にアクセスできます。[ソートを追加] オプションを使用すると、拡張テーブル上の適用可能な参照フィールドのソート順を構成することもできます。他のテーブルを参照するテーブルには、矢印 ( ) アイコンが付きます。

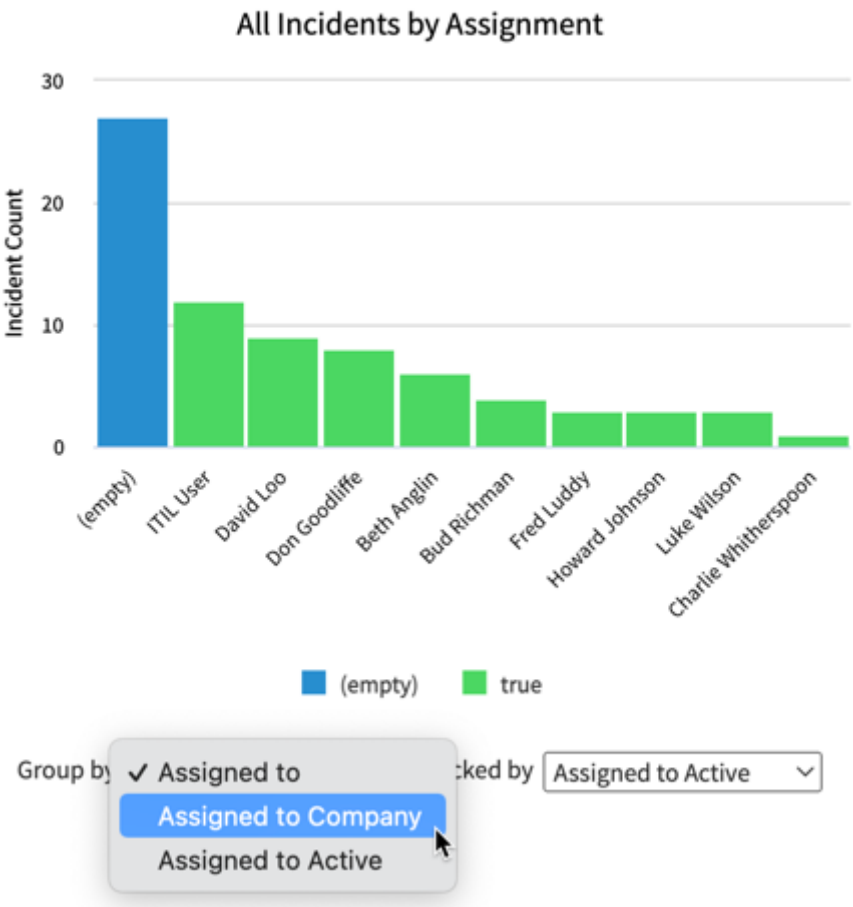
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドット連結は、ドット (ピリオド) で区切られたフィールド名のチェーンを作成することによりフィールドを参照します。たとえば、 *incident.assigned_to.company* はインシデントに割り当てられたユーザーの会社を参照します。チェーンの長さの上限は 3 レベルを推奨します。

1. インシデントテーブルのレポートで、[構成] タブの [その他のグループ化] を選択します 。
2. [担当者] (+) を選択し、構造アイコン ( ) を選択します。

   これで、ユーザーテーブルに関連フィールドが表示されます。
3. 会社 [+] を [選択済み] 列に移動し、[**OK]** を選択します。
4. レポートを保存します。

   [アサイン先 会社] は、レポートの [グループ] リストのオプションです。この例では、[アクティブ] フィールドが設定された [スタック基準] オプションであるため、[アクティブにアサイン済み] と表示されます。



関連情報

ドット連結の例

レポートの **FX** 通貨値

FX (外国為替) 通貨を使用して複数の通貨でプロジェクトを管理します。ユーザーが入力した通貨値、参照通貨、あるいはその両方でプロジェクトに関するレポートを作成できます。

注:
FX 通貨機能を使用するためにプラグインをインストールする必要はありません。この機能は、デフォルトで有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

FX 通貨機能の詳細については、「」を参照してください。レポートのコンテキストでは、他の通貨が換算される参照通貨で集計することが重要です。

> **注:**
> 複数の通貨がある場合、計算できない場合があります。アグリゲーションソースまたはフィルター条件を変更して、レポートを表示します。

FX 通貨フィールドで [平均] または [合計] で集計する場合は、[集計ソース] を選択します。

FX 通貨構成の使用

FX 通貨構成テーブルに基づいて値を計算します。詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

入力値として

ユーザーが入力した通貨値に基づいて値を計算します。

> **注:**
> このオプションを選択すると、異なる通貨で入力された金額を適切に集計できない場合があります。たとえば、米ドル、円、ユーロの通貨金額があるとします。一度に 1 つの通貨でのみ値を集計できます。異なる通貨でレコードを集計すると、次のエラーが表示されます:「レポートを生成できません。通貨コードが一致していません。」 不一致通貨の例を参照してください。

参照値

参照通貨に基づいて値を計算します。

FX 通貨フィールドに関するレポート

FX 通貨フィールドでレポートする場合、エラーを生成する可能性がある特定の制限があります。これらのエラーは集計に関連付けられています。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートに名前を付け、FX 通貨フィールドを含むソース テーブルを選択して、[次へ] をクリックします。
   ソースには FX 通貨フィールドが必要です。「FX 通貨フィールドの設定と操作」 を参照してください。
3. [タイプ] タブで、使用する可視化タイプを選択します。
   「レポートタイプ」を参照してください。
4. [構成] タブで、レポートのグループ化、積み重ね、集計の方法を選択します。
   一度に 1 つの通貨でのみ値を集計できます。FX 通貨フィールドで異なる通貨でレコードを集計すると、次のエラーが表示されます:「レポートを生成できません。一致しない通貨コードがあります。」

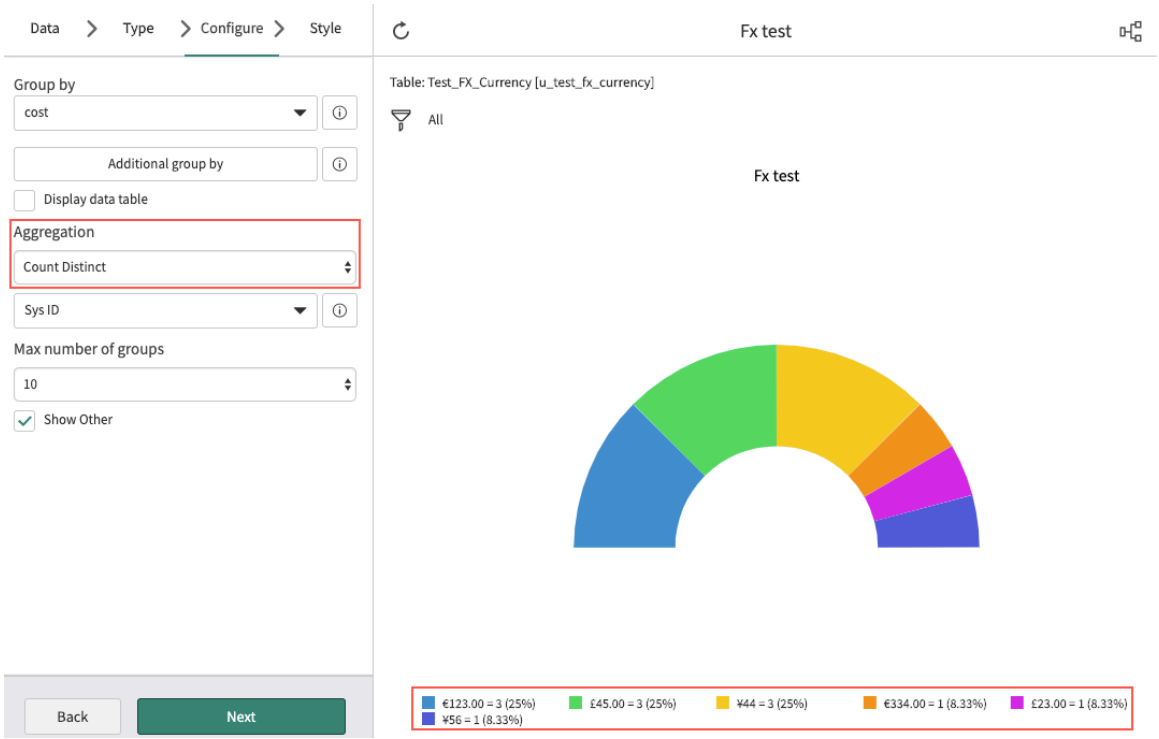
不一致通貨の例

FX 通貨テーブルでレポートする場合、グループと集計タイプの一部の組み合わせは計算できません。これらの組み合わせは、「レポートを生成できません。一致しない通貨コードがあります。アグリゲーションソースまたはフィルター条件を変更してください」

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このレポートのソースには、ユーロ、日本円、および英国ポンドのコストがあります。この可視化では、個別のカウントでコストを集計します。つまり、個々の値に独自のセグメントが割り当てられます。



複数の通貨でコストを合計または平均で集計しようとすると、いくつかの結果が考えられます。

アグリゲーションソースは FX 通貨構成を使用

通貨が一致しないため、計算を実行できません。

集計ソースが入力値と同じ

通常、入力される値も複数通貨であり、計算を実行することはできません。

集計ソースは参照値です

この場合、値は計算前に参照値に変換され、レポートが生成されます。詳細については、「 フォームの FX 通貨値について 」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]

通貨の不一致に関する一般的なガイドライン

FX 通貨テーブルでレポートする場合、グループと集計タイプの一部の組み合わせは計算できません。これらの組み合わせはエラーメッセージを返します。

不一致通貨の概要

エラーメッセージが表示されると、「レポートを生成できません。一致しない通貨コードがあります。アグリゲーションソースまたはフィルター条件を変更してください」というエラーが発生した場合、通貨の不一致の問題を修正できます。

複数の通貨でコストを合計または平均で集計しようとすると、いくつかの理由が考えられます。

アグリゲーションソースは FX 通貨構成を使用

通貨が一致しないため、計算を実行できません。

集計ソースが入力値と同じ

通常、入力される値も複数通貨であり、計算を実行することはできません。

自動翻訳

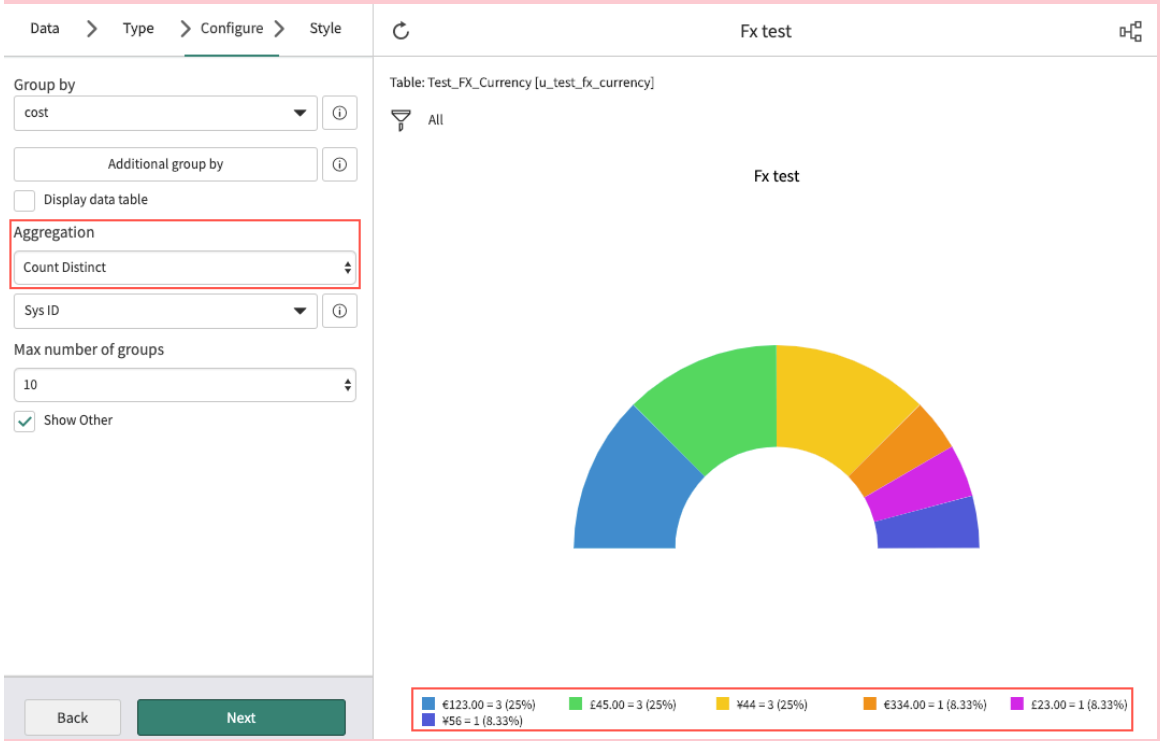
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

集計ソースは参照値です

この場合、値は計算前に参照値に変換され、レポートが生成されます。詳細については、「フォームの FX 通貨値について」を参照してください。

例

このレポートのソースには、ユーロ、日本円、および英国ポンドのコストがあります。この可視化では、個別のカウントでコストを集計します。つまり、個々の値に独自のセグメントが割り当てられます。



関連情報

https://learning.servicenow.com/
[End]

サービス カタログ変数のレポート

選択したサービス カタログ アイテムの変数別にグループ化されたレポートを作成します。同じ変数に対してフィルターを作成することもできます。

変数に関するレポートは、たとえば、特定のカタログアイテムがインスタンスで有用であるかどうかを判断するのに役立ちます。

さらに、同じ変数にフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

データベースビューでのカタログ変数へのドット連結、フィルタリング、および使用の概要ビデオについては、「カタログ変数のレポート」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 変数別にグループ化するには、「サービスカタログ変数によるレポートのグループ化」を参照してください。
- フィールドのレポートをグループ化し、変数でグループ化するには、「 他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する」を参照してください。
- 変数フィールドをリスト レポートに追加するには、「変数列を含むリスト レポートを作成する」を参照してください。

レコードプロデューサーの場合は、レポートの作成時に質問に対するフィルターを指定し、設定された条件に基づいてレコードがフィルタリングされるようにすることができます。次のタイプの質問は、条件ビルダーに表示されません。

- ラベル
- リッチテキストラベル
- マクロ
- コンテナ

変数の質問のレポートについては、以下を参照してください。 質問に関するレポート

レポートでのサービスカタログ変数の使用

サービスカタログデータ、積み重ね、グループ化の変数に関するレポートでは、変数をリストレポートの列として、またマルチレベルピボットテーブルの列と行として使用します。

始める前に
必要なロール:グローバルレポートの場合は itil、report_user、report_global、グループレポートの場合は report_group。

report_admin ロールを持つユーザーは、サービスカタログ変数についてレポートできます。オプション [sc_item_option]、変数所有権 [sc_item_option_mtom]、および変数 [item_option_new] テーブルの ACL に report_admin ロールを追加します。

注:

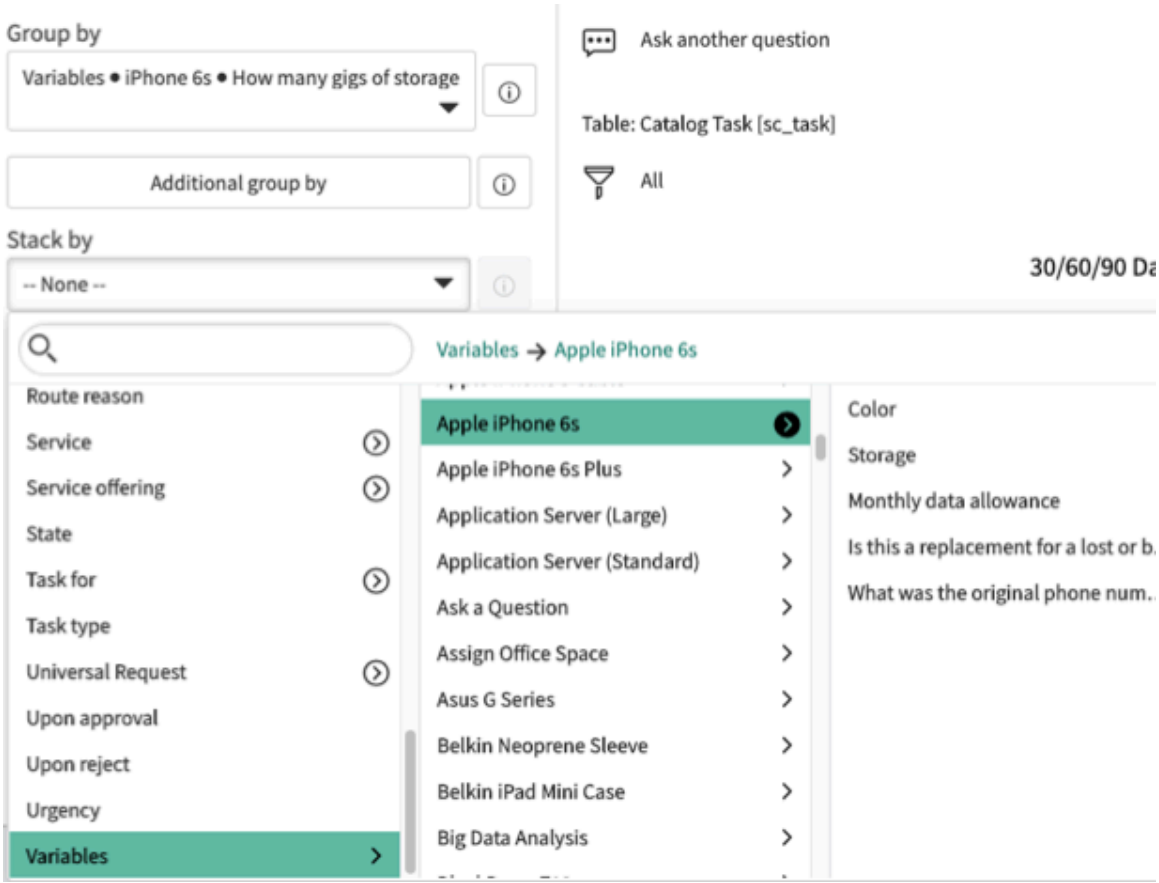
- 変数を使用するレポートは、要求アイテムテーブル [sc_req_item] またはカタログタスクテーブル [sc_task] に基づいている必要があります。他のタイプの変数を使用すると、レポートを生成するときにエラーが発生します。
- Oracle データベースの CLOB フィールドには、レポート内の変数データを取得する機能がありません。列文字列フィールドが 4000 バイト未満の場合は、列タイプを varchar2 に変更できます。小さいサイズのCLOB列を比較するには、to_char()関数を使用します。CLOB のサイズが大きい場合は、dbms_lob.substr関数を使用して比較用の部分文字列を取得する必要があります。

このタスクについて
プライマリ の [グループ] と [積み重ね基準] の場合、これらのステップは直感的です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドでの変数の使用



注:
リスト、ボックス、トレンドボックス、およびピボットの各レポートは、サービス カタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用できません 。シングル スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも [グループ] をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

変数は、追加の グループ、リストレポートの列、またはマルチレベルピボットテーブルの列または行として使用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/作成 をクリックし、変数を追加するレポートを開きます。
2. 次のいずれかを実行します。

オプション	説明
リスト レポートに列として追加する	[構成] タブで、[変数**+**] を [選択済み] 列に移動します。
別のグループとして追加	[構成] タブで、[追加のグループ化] をクリックし、[追加のグループ化] リストの [選択済み] の下部にある [変数**+**] を移動します。
マルチレベルピボットテーブルに列または行として追加	[列の選択] または [行の選択] をクリックし、リストの一番下にある [変数**+**] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: ○ 最初に変数をメインの Group By としてレポートを作成すると、常に内部結合として動作します。 ○ 最初に、プライマリ グループ化用の通常のフィールドと変数のセカンダリ グループ化を使用してレポートを作成すると、外部結合として機能します。

3. [構造] アイコン ( ) をクリックし、表示されたプラス記号をクリックします。
サービス カタログ アイテムのリストが表示されます。
4. 変数を含むカタログアイテムを選択します。
そのアイテムの変数が [利用可能] リストに表示されます。
5. 使用する変数を [選択済み] 列に移動します。
6. **[Save** (保存)] を選択してレポートを保存します。

サービスカタログ変数によるレポートのグループ化

選択したサービス カタログ アイテムで変数別にグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数にフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GB のストレージを持つ携帯電話のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、[グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドに [変数] オプションは表示されません。

注:
リストレポート、ボックスレポート、Trendbox レポート、およびピボットレポートでは、サービスカタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、およびマップレポートでは、どのフィールドでも [グループ] はサポートされていません 。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

手順

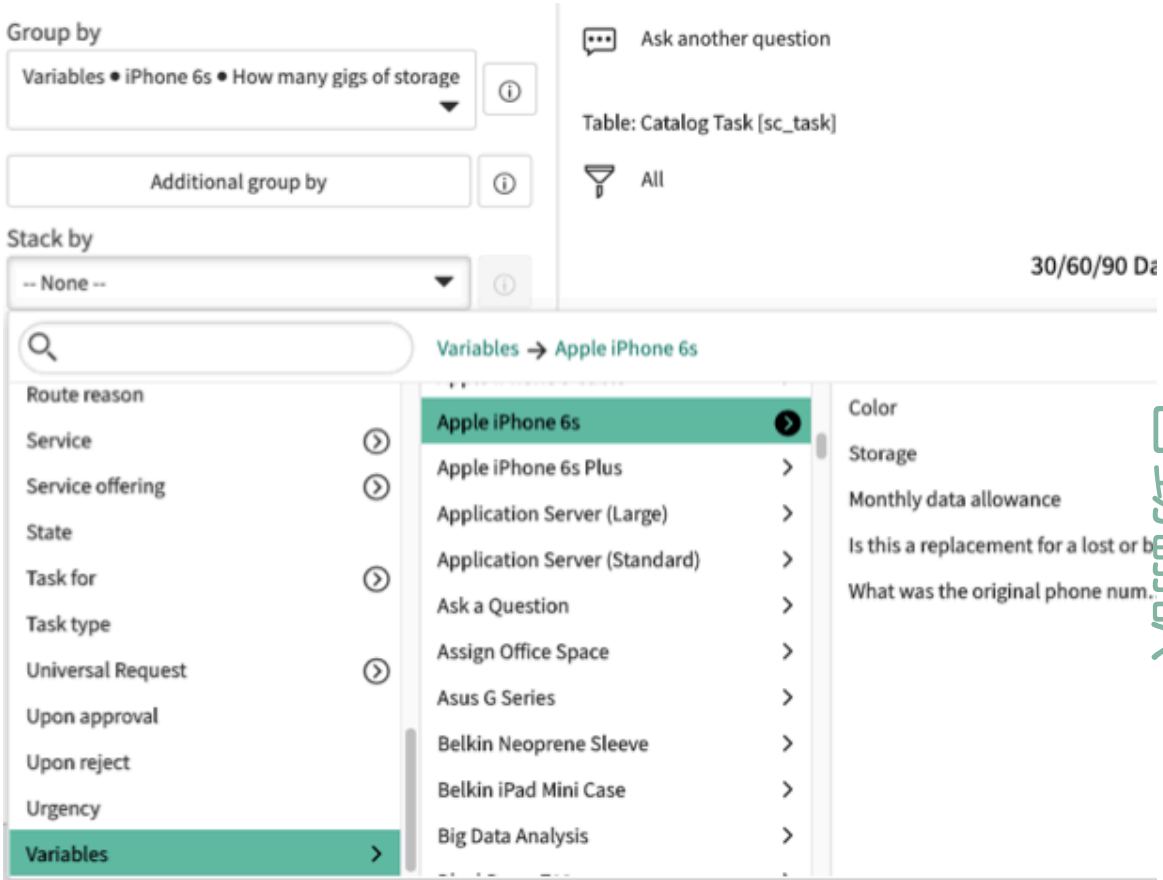
1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
レポートソースには 2 種類あります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートソース	説明
Data source (データソース)	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブで、レポートタイプを選択し、[次へ] を選択します。
6. [設定] タブで、[グループ] または [積み重ね基準] フィルターから [変数] を選択します。



7. グループ化または積み重ねの基準となるアイテムに関連付けられた変数を検索して選択します。
8. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
   「レポートタイプ」を参照してください。

他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する

選択したサービス カタログ アイテムでは、他の変数別のグループを持つ任意のフィールドによりグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数にフィルターを作成することもできます。たとえば、携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GB のストレージを持つ携帯電話のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポートソースに変数がない場合、 [変数] オプションは [追加のグループ化] フィルターに表示されません。

手順

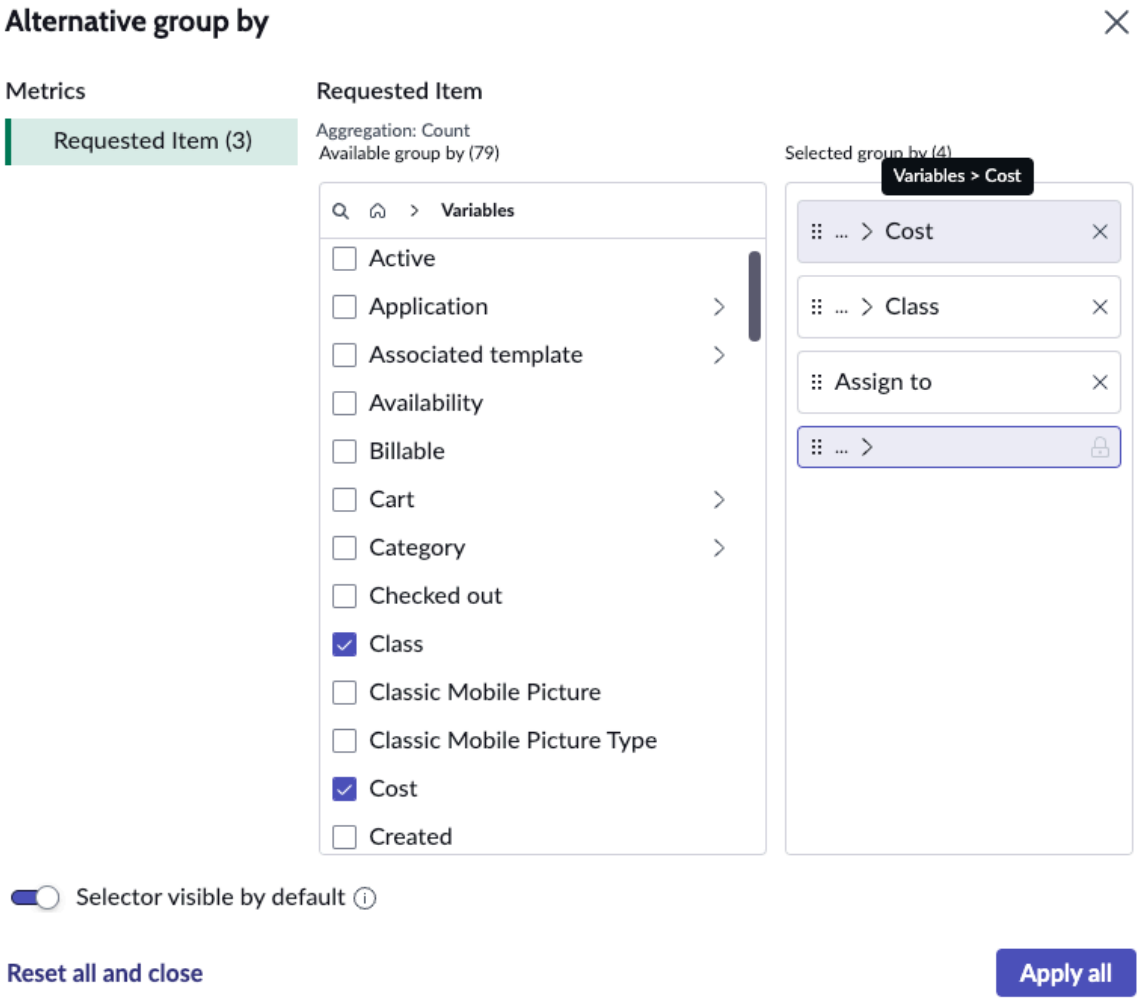
1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポートソースには 2 種類あります。

レポートソース	説明
Data source (データソース)	すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためのフィルターが適用されているテーブル。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。

4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [タイプ] タブで、レポートタイプを選択し、[次へ] を選択します。
6. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
7. [**Additional group by**] をクリックします。
8. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) を選択してアイテムを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

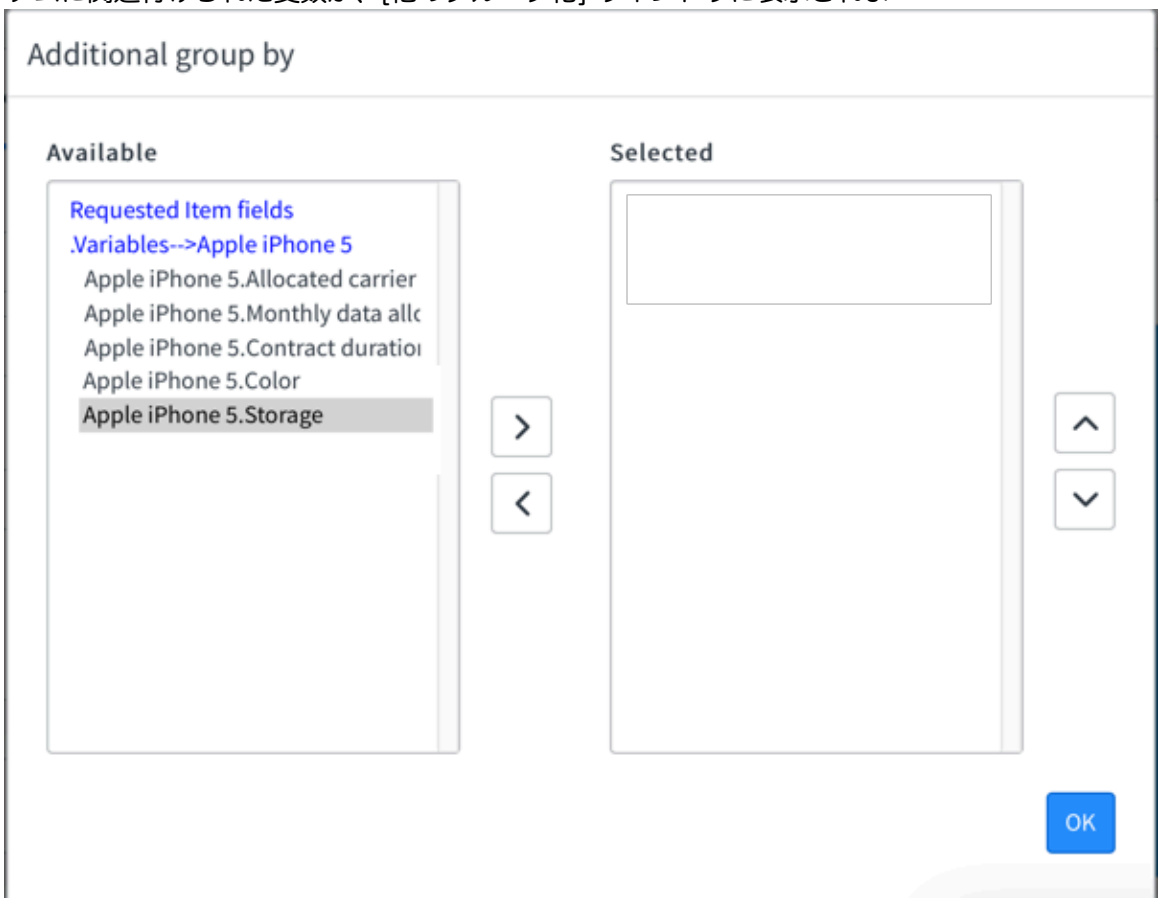


9. [カタログ アイテム] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムに関連付けられた変数が、[他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

10. 目的の変数を [選択済み] 列に追加し、[**OK]** を選択します。
11. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートタイプ」を参照してください。

関数フィールドに関するレポート

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートで使用できます。

関数フィールドの作成、編集、非アクティブ化の責任は、function_field_admin ロールを持つユーザーにあります。アップグレード時に、このロールを持つユーザーはいません。アドミンは、このロールをアドミン以外のユーザーに付与する必要があります。「ロールを作成する」を参照してください。

関数フィールドの詳細については、「関数フィールド」を参照してください。

関数フィールドの操作

機能フィールドでは、`glidefunction:<operation>` 構文を使用して次の操作を実行できます。

> **注:**
> 定数は一重引用符または二重引用符で囲んで指定します。`concat()`、`dayofweek()`、`position()`、および `substring()` 操作の例は、関数フィールドでの定数の使用を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

操作	説明	例
`add()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、これらを加算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:add(child_incidents, parent_incident)` インシデントに 5 つの子インシデントと 1 つの親インシデントがある場合は、6 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`subtract()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値から 2 つ目の数値を減算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:subtract(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 2 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`multiply()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、乗算を実行して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:multiply(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 48 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`divide()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値を 2 つ目の数値で除算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:divide(u_num2,u_num1)` num2 = 10 および num1 = 2 の場合は 5 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`concat()`	任意の数のカンマ区切りフィールドと定数を入力として取得し、入力を連結して、単一の文字列をフィールド値として返します。	`glidefunction:concat(incident_number, '/', short_description)` 数値フィールドの値が「INC0001」で、short_description が「クライアントに新しいラップトップが必要」である場合には、「INC0001 /クライアントに新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
		しいラップトップが必要」を返します。 戻り値の型：テキスト
`datediff()`	2 つの日時フィールドを入力として取得し、日時の差を日、分、および秒の単位で計算して、結果を期間フィールド値として返します。	`glidefunction:datediff(closed_at, sys_created_on)` 作成日からクローズ日までのインシデントの期間を返します。結果の例：10 日、8 時間 23 分 11 秒 戻り値の型：期間
`dayofweek()`	日付フィールドと `'1'` (日曜日に週が開始) または `'2'` (月曜日に週が開始) の定数の、2 つの引数を取得します。曜日を表す整数値として結果を返します。 dayofweek() 関数は UTC 日付を使用しますが、インスタンスのタイムゾーンに基づいて比較値を調整します。	`glidefunction:dayofweek(resolved_at, '1')`. resolved_at が水曜日に発生した場合、整数が 1 の場合は 4 を返し、整数が 2 の場合は 3 を返します。 戻り値の型：整数
`length()`	文字列フィールドを入力として取得し、フィールド長を文字数単位で計算して、結果をフィールド値として返します。	`glidefunction:length(short_descriptio` short_description =「This application is performing a test」の場合は 37 を返します。 戻り値の型：整数
`coalesce()`	任意の数のカンマ区切りフィールドを入力として取得し、最初の空でない値を返します。	`glidefunction:coalesce(closed_at, resolved_at, sys_updated_on)` closed_at の値が空の場合、関数は値 [resolved_at] を返します。[resolved_at] の値も空の場合、関数は値 [sys_updated_on] を返します。 戻り値の型：テキスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関数フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
`position()`	2 つのテキストフィールド、または 2 つのテキストフィールドと 1 つの整数を入力として取得します。テキストフィールドの一方または両方を文字列にすることもできます。 **1.** 2 つ目のものの最初のテキストフィールドの最初の文字列の位置を返します。 **2.** 整数を指定した場合、この関数は整数の位置の後の 2 番目のテキストフィールドの位置を返します。 最初のテキストフィールドが 2 番目に存在しない場合は、0 を返します (指定されている場合は整数の位置の後)。	• `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、12 を返します。 • `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、19 を返します。 戻り値の型：整数
`substring()`	テキストフィールドと 2 つの整数を入力として取得します。最初の整数の位置から始まり、2 番目の長さである文字列の最初のインスタンスを返します。	`glidefunction:substring(short_descrip '7', '2')` short_description フィールドの値が「We're going to the store」の場合は、「go」を返します。 戻り値の型：テキスト

自動翻訳

関数フィールドの構成

レポートデザイナーを使用したレポートで使用するために、テーブルごとに最大 20 個のアクティブな関数フィールドを設定できます。テーブルで関数フィールドを構成すると、関数計算の結果によってグループ化または積み重ねることができます。

必要なロール:admin、function_field_admin。

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートで使用できます。

制限事項：

- レポートの関数フィールドはドット連結をサポートしていません。
- セキュリティは、機能のコンポーネントとフィールドの計算値で評価されます。可視化で使用する場合、ユーザーに表示が許可されていない情報を含むセクションは非表示になります。
- 関数フィールドの作成者またはプラットフォームアドミンのみが、そのフィールドを編集または非アクティブ化できます。プラットフォームアドミニストレーターは、任意の関数フィールドを非アクティブ化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィールド機能名は一意である必要があります。
- 1 つのテーブルで一度にアクティブにできる関数フィールドは 20 個のみです。関数フィールドを追加するには、他のフィールドを非アクティブ化する必要があります。「関数フィールドの非アクティブ化」を参照してください。

関数フィールドの作成

関数フィールドを作成して、フィールドの計算結果でレポートをグループ化して積み重ねることができるようにします。

始める前に

必要なロール:admin、function_field_admin

各関数フィールドには、ラベル、戻り値の型、および定義が必要です。この定義は、操作と、操作が実行される 1 つ以上のフィールドで構成されます。

> **注:**
> 関数フィールドを保存した後、ラベルまたは戻り値の型を変更することはできません。必要に応じて、機能フィールドを非アクティブ化して、最初からやり直してください。

手順

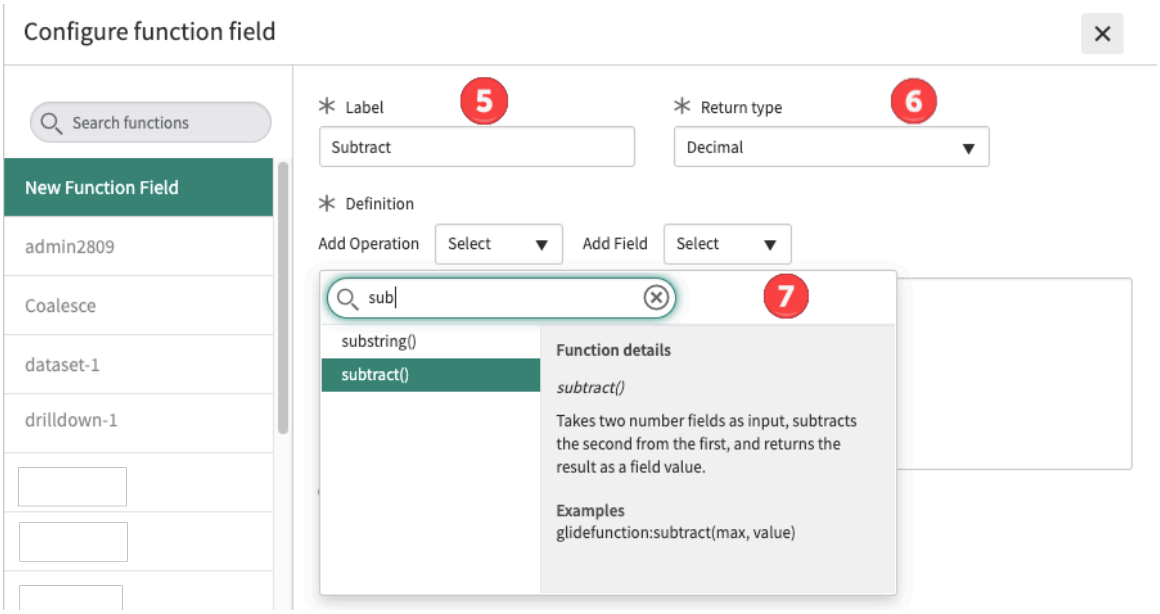
1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. 機能フィールドを追加するレポートを選択します。
   テーブルで関数フィールドを構成すると、同じテーブルのレポートを含め、 Now Platform上のテーブルを使用するすべての場所で使用できます。たとえば、オープンインシデントの経過時間を計算する関数フィールドは、インシデントテーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. [構成] タブを開き、[関数の設定] フィールドをクリックします。
4. オプション: 検索バーにフィールド名を入力して、誰かがすでに機能フィールドを作成しているかどうかを確認します。
   検索結果をポイントすると、関数の定義が表示されます。
5. [作成] をクリックします。
   レポートの基になるテーブルには、最大 20 個のアクティブな関数フィールドを指定できます。テーブルに既に 20 個の機能フィールドがある場合、いずれかのフィールドまたはplatform_adminの作成者は、いずれかを非アクティブ化または削除する必要があります。
6. ラベルを指定します。
   ラベルは、ユーザーがレポート内のデータをグループ化または積み重ねるときに表示できる名前です。
7. [戻り値の型] を選択します。
   戻り値の型は、関数が生成する情報の種類です。たとえば、 `datediff()` 関数は 2 つの日付間の期間を計算するため、期間タイプを返します。

   > **注:**
   > 戻り値の型が関数の論理結果でない場合、メッセージは表示されません。

8. 操作を選択します。
   [構文] テキストボックスには、 `glidefunction:` が前に付いた関数名が表示されます。

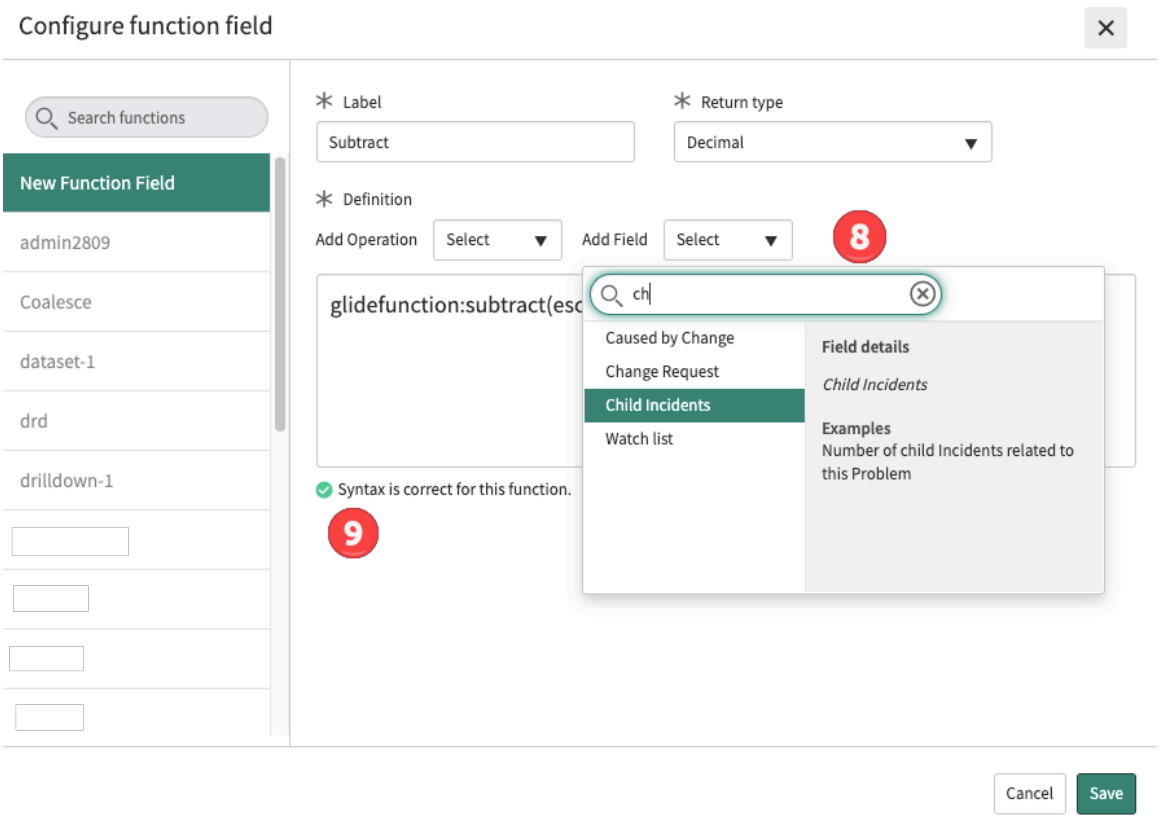
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 関数が操作するフィールドを選択します。
一部の関数では、フィールドが 1 つだけ必要です。2 つまたは 3 つのフィールドを必要とするものもあります。「関数フィールドに関するレポート」を参照してください。フィールドは必ずカンマで区切ってください。

10. 構文が正しい場合は、関数フィールドを保存できます。
構文が正しくない場合は、「 構文エラー:無効な式」というメッセージが表示されます。他のメッセージが表示される場合もあります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

作成した関数フィールドをレポート構成で使用します。Now Platform の他の場所で機能フィールドを使用する方法については、「機能フィールド」を参照してください。

関数フィールドの編集

関数フィールドを作成したユーザーまたは platform_admin ロールを持つユーザーは、保存された関数フィールドの定義を編集できます。保存された関数フィールドのラベルまたは戻り値の型を編集することはできません。

始める前に
必要なロール:admin、function_field_admin

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. 機能フィールドを追加するテーブルに基づいてレポートを選択します。
   関数フィールドを構成すると、同じテーブルのどのレポートでもその関数フィールドを使用できるようになります。たとえば、インシデントがオープンになっている期間を計算する関数フィールドは、インシデントテーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. [構成] タブを開き、[関数の構成] フィールドをクリックします。
4. オプション: [検索関数] ボックスにテキストを入力して、編集する関数フィールドを検索します。
   検索機能は、フィールドのラベル、フィールドの名前、および関数の定義で検索します。
5. 新しい操作、関数が操作する新しいフィールド、またはその両方を選択します。
   編集した関数を検証すると、無効な結果が返される場合があります。
6. **[Save** (保存)] をクリックします。
   1 つ以上のレポートで機能フィールドが使用されている場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するには、[保存する] をクリックするか、[キャンセル] をクリックします。

タスクの結果
編集した機能フィールドの結果は、機能フィールドが使用されているすべてのレポートの古い結果を置き換えます。

関数フィールドの非アクティブ化

機能フィールドを作成したユーザーまたは platform_admin ロールを持つユーザーは、それを非アクティブ化できます。テーブルに 20 を超える関数フィールドがある場合、1 つ以上の既存の関数フィールドを非アクティブ化しないと、新しい関数フィールドを作成することはできません。

始める前に
必要なロール:admin、function_field_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. 非アクティブ化する機能フィールドを含むレポートを選択します。
3. [構成] タブを開き、[関数の構成] フィールドをクリックします。
4. オプション: [検索関数] ボックスにテキストを入力して、非アクティブ化する関数フィールドを検索します。
5. 関数フィールドを選択し、[非アクティブ化] をクリックします。
   1 つ以上のレポートで機能フィールドが使用されている場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するか、[非アクティブ化する] をクリックするか、[キャンセル] をクリックします。
6. 非アクティブ化またはキャンセルを確認します。

タスクの結果
非アクティブ化された関数フィールドは、基づいていたテーブルのレポートでは使用できなくなります。

注:
フィールドを非アクティブ化すると、ユーザーリスト設定は削除されます。詳細については、「https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB1116135」を参照してください。

関数フィールドを削除する

admin ロールを持つユーザーは、そのテーブルから関数フィールドを削除できます。これは、そのテーブルに既に存在するものと同じ名前の関数フィールドをそのテーブルに作成する場合に便利です。

始める前に
必要なロール：admin

関数フィールドは、作成したテーブルに列として格納されます。関数フィールドを削除するには、関連する列を削除します。

重要:
>削除時に関数フィールドが使用されている場所はチェックされません。また、機能フィールドの削除は元に戻せません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > テーブル.
2. 削除する関数フィールドを含むテーブルを選択します。
3. 列を選択してフォームを開きます。
4. [列を削除] を選択します。
   列を削除できるのは、 列名 が `u_` または `x_` で始まる場合のみです。列名が別の名前で始まる場合は、*ServiceNow* サポートによって作成されています。削除するには、サポートにお問い合わせください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
関数フィールドは削除され、データの可視化で使用できなくなります。

関数フィールドの作成を無効にする

システムプロパティを構成して、レポートデザイナーで関数フィールドを作成する機能を削除します。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **sys_properties.list**.
2. *glide.report.enable_function_field_ui* プロパティを検索します。
3. プロパティの名前を選択してフォームを開きます。
4. プロパティの値を false に設定します。
5. [**Update** (更新)] を選択します。

タスクの結果
機能フィールドを構成するオプションは、どのユーザーのレポートデザイナーにも表示されません。

質問に関するレポート

選択した質問について、グループ化またはフィルタリングしてレポートします。

質問別にグループ化されたレポートを作成すると、次の場合に役立ちます。

- 顧客が尋ねる質問に回答しているかどうかを判断します。
- 要求プロセス中に顧客からより多くの情報を取得します。

次のフィールドをサポートするレポートタイプを使用して、質問に関するレポートを作成します。

- グループ
- 積み重ね基準
- 他のグループ化
- 列を選択
- 行を選択

注:

質問を使用するレポートは、質問が関連付けられているデータソースまたはサービスカタログ以外のテーブルについてレポートする必要があります。レコードプロデューサーテーブル [sc_cat_item_producer]、またはタスク [task] テーブルから拡張されたテーブル ([incident] テーブルや [problem] テーブルなど) からの質問についてレポートできます。レコードプロデューサーの詳細については、「レコードプロデューサー」を参照してください

条件ビルダーを使用して質問をフィルタリングすることもできます。

質問によるレポートのグループ化または積み重ね

質問別にグループ化または積み重ねられたレポートを作成したり、同じ質問に対してフィルターを作成したりできます。たとえば、サポートを要求する理由や問題の説明に関する顧客の応答を示すレポートを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

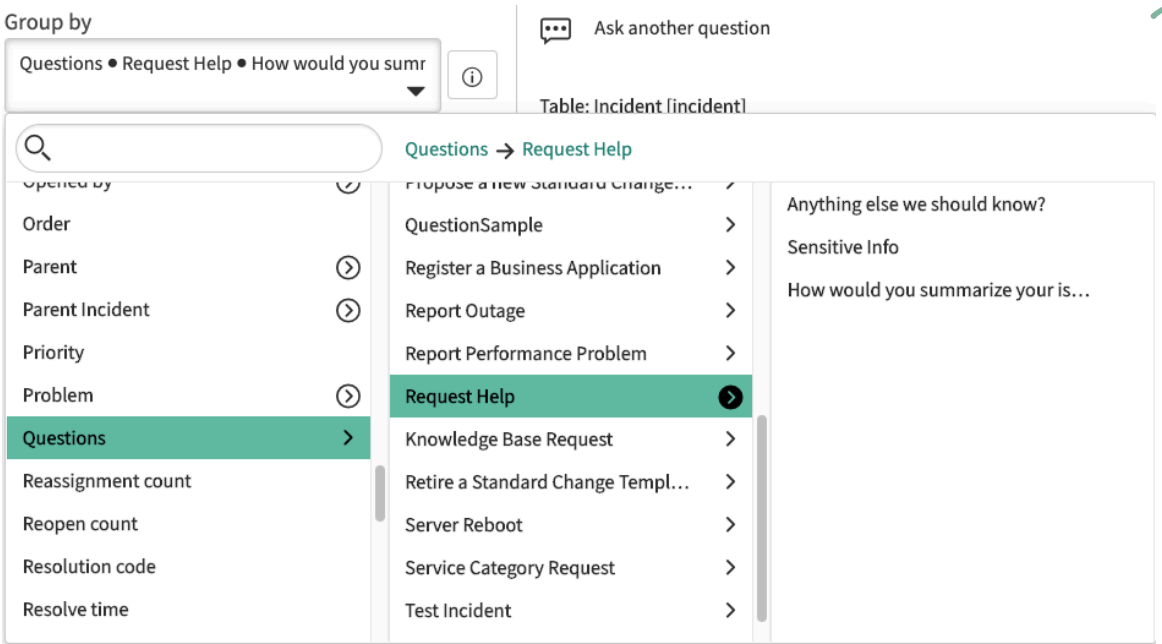
始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて
レポートソースに質問が関連付けられている限り、これらのステップを任意のレポートタイプに適用できます。レポートソースに質問がない場合、[質問] オプションは [グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドに表示されません。

> **注:**
> リスト、ボックス、Trendbox、およびピボットレポートでは、質問をプライマリまたはセカンダリ のグループとして使用することはできません。単一スコアレポート、カレンダーレポート、コントロールレポート、ヒストグラムレポート、およびマップレポートでは、どのフィールドでも [グループ] はサポートされていません 。リストレポートでは、質問を列として使用できます。マルチレベルピボットレポートでは、質問を列および行として使用できます。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポートソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
5. [構成] タブで、[グループ] または [積み重ね基準] フィルターから [質問] を選択します。



6. グループ化または積み上げる基準となるカテゴリに関連付けられた質問を検索して選択します。
7. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
   「レポートタイプ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートへのグループ別の質問の追加

選択した質問別にさらにグループ化されたレポートを作成します。同じ質問に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、サポートを要求する理由や問題の説明に関する顧客の応答を示すレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

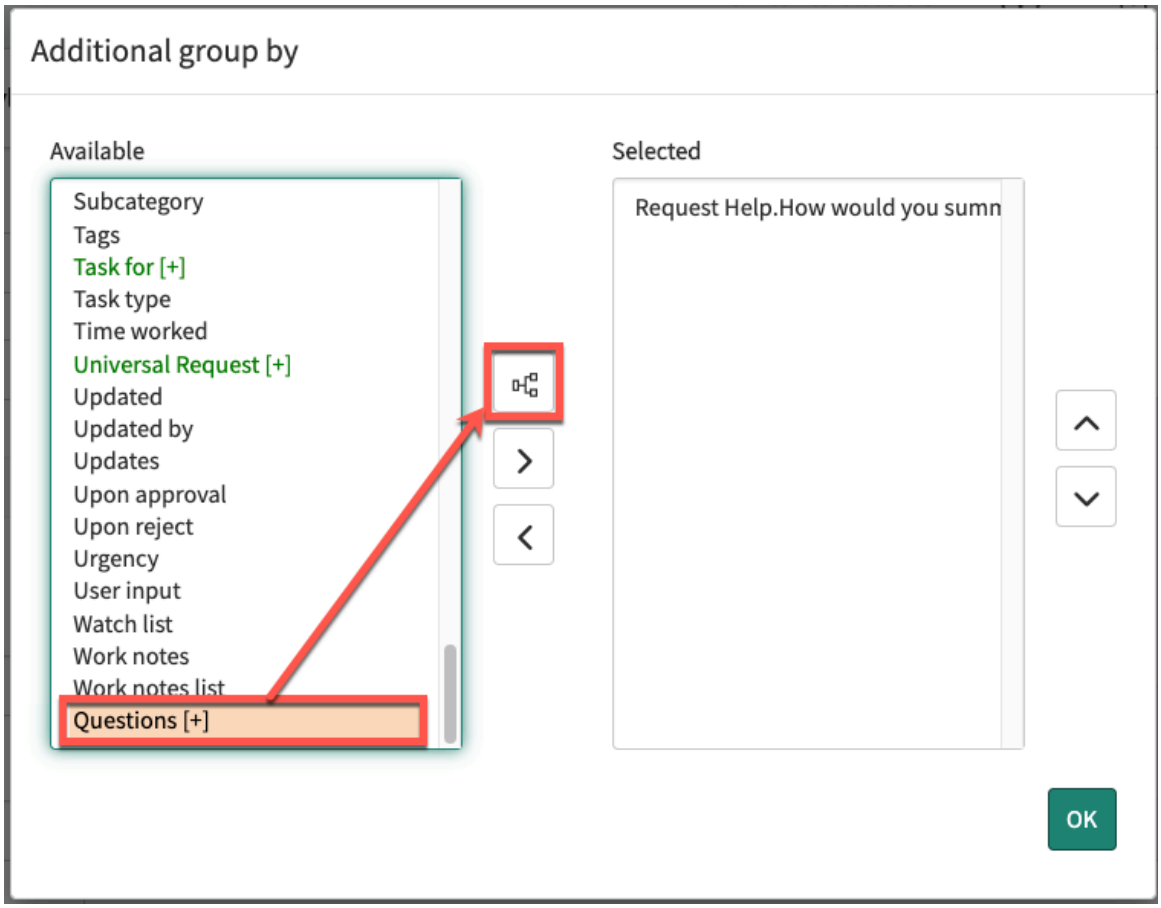
レポートソースに質問が関連付けられている限り、これらのステップを任意のレポートタイプに適用できます。レポートソースに質問がない場合、[質問] オプションは [追加のグループ化] フィルターに表示されません。

手順

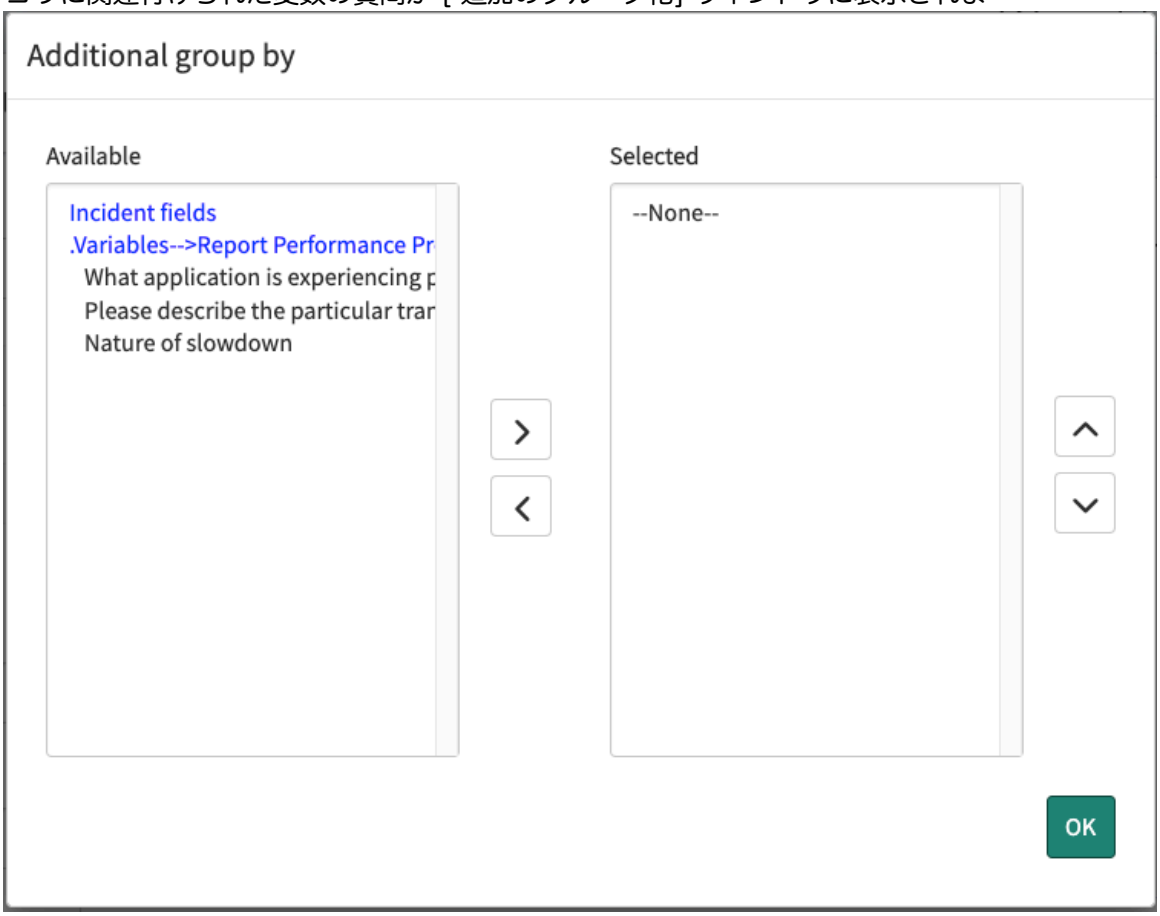
1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 新規作成.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート [新規] を選択します。
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポートソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
5. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
6. [**Additional group by**] をクリックします。
7. 質問 **[+]** を選択し、構造アイコン ( ) をクリックしてアイテムを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 質問カテゴリを選択します。
カテゴリに関連付けられた変数の質問が [追加のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 目的の質問を [選択済み] 列に追加し、[**OK]** をクリックします。
10. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
    レポートの作成を参照してください。

レポートで事前定義された色

レポートのタイプと構成に応じて、1 つの色、事前定義されたカラーパレット、または事前定義されたグラフの色を選択できます。3 つのオプションはすべて、カスタマイズ可能な個々の色のセットに基づいて構築されています。

レポート内のデータをグループ化または積み重ねていない場合は、1 つの色を選択します。データを積み重ねるかグループ化する場合、色には主に次の 2 つの選択肢があります。

カラーパレット

グラフの要素に適用される一連の色。色は、最大値から最小値の順に繰り返されます。レポートの色で順序を示す場合は、レポートのカラーパレットを使用します。同じパレットを使用するレポートは、表示されているデータに関係なく同じ色を使用します。

次の例では、異なるフィールド (優先度とカテゴリ) でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもデフォルトのカラーパレットを使用し、どちらも同じ色で表示されます。



チャートの色

チャートの色は、同じグループ化値または積み重ね値に常に同じ色を適用します。レポートごとに異なるグループ化値と積み重ね値の色が異なります。たとえば、優先度 > 1 - 重大などの要素を常に同じ色にする場合は、チャートの色を使用します。

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートでもチャートの色が使用されます。優先度の値が同じでも、順序は異なりますが、同じ色になります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、レポートはさまざまなフィールドでグループ化され、チャートの色が使用されています。各要素の色は一意であるため、バーの色は異なります。



カラーパレットとチャートの色の両方で、色定義 [sys_report_color] テーブルで定義された色が使用されます。レポートアドミニストレーターはさらに色を追加できます。

注:
カラーパレットもグラフの色もレポートに適していない場合は、一連の 16 進数のカラーコードを入力できます。これらのコードは、定義された色とは無関係です。

カラーパレット

カラーパレットは、グラフの要素に適用される一連の色で、最大値から最小値の順に並んでいます。同じパレットを使用するレポートはすべて同じ色を使用します。

次のレポートではカラーパレットを使用できます。レポートデザイナーの [スタイル] タブでカラーパレットを選択します。

- 円グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ棒グラフと縦棒グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ線およびトレンド レポート

カラーパレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで定義されます。レポートアドミニストレーターには、このテーブルへの読み取りアクセス権があります。次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > チャートのカラースキーム.

ヒント:
Now Platformまたはパフォーマンスアナリティクスアドミンは、カスタムのコア UI カラーパレットを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

デフォルトの配色では、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色による色定義が使用されます。ネクストエクスペリエンス を有効にすると、コア UI のカラーパレットの代わりにこれらの色が使用されます。

Example: カラーパレット

次の例では、異なるフィールド (優先度とカテゴリ) でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもデフォルトのカラーパレットを使用し、どちらも同じ色で表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



チャートの色

グラフの色は、レポートのグループ化または積み重ねの値に一貫した色を割り当てます。色は、値の順序に関係なく、レポート全体で同じままです。

注:
このトピックでは、コア UI のレポートについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 データの可視化の色」を参照してください。

チャートの色の仕組み

チャートの色を使用するレポートにデータカテゴリが初めて表示されると、レコードがチャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルに自動的に追加されます。次のフィールドは、チャートの色レコードのデータカテゴリを定義します。

- Data source (データソース)
- 要素を積み重ねまたはグループ化
- 要素値
- アプリケーションスコープ

[チャートの色] レコードでも色を指定します。チャートの色レコードが自動的に作成されると、UI 14 の色定義 [sys_report_color] レコードから色が割り当てられます。グラフの色を編集して、別の色定義または 16 進数のカラーコードを使用できます。チャートの色を編集する方法の詳細については、「データカテゴリの色の定義」セクションを参照してください。

注:

- ベースシステムには、事前定義されたチャートの色がいくつか含まれています。プラットフォームアナリティクスソリューション、さらに多くのチャートカラーを提供できます。
- UI 14 の色定義では、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの Datavis - 定性的テーマ可能な色を使用します。これらの色を使用するには、 ネクストエクスペリエンス を有効にする必要があります。そうしない場合は、色定義の代替色が使用されます。

グラフの色を使用し、同じデータカテゴリを表示する他のレポートは、同じグラフの色レコードを参照します。レポートは同じレコードを参照するため、同じデータカテゴリを同じ色で表示します。たとえば、グラフの色を使用し、グローバルスコープ内の優先度 1 のインシデントを表示する最初のレポートを作成するとします。このようなインシデントを色に関連付けるために、チャートの色レコードが自動的に作成されます。グラフの色を使用し、グローバルスコープで優先度 1 のインシデントを表示する他のすべてのレポートでは、同じ色で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: チャートの色

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートでもチャートの色が使用されます。優先度の値が同じでも、順序は異なりますが、同じ色になります。



データカテゴリの色の定義

優先度が最重要のインシデントなど、レポートのデータカテゴリのグラフの色を定義できます。事前定義された色を選択するか、16 進コードを指定できます。

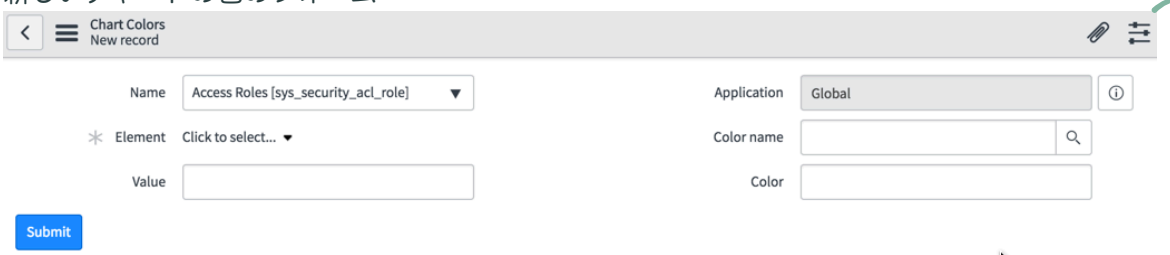
始める前に

必要なロール:report_admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > チャートの色.
2. [**New**] をクリックします。

新しいチャートの色のフォーム



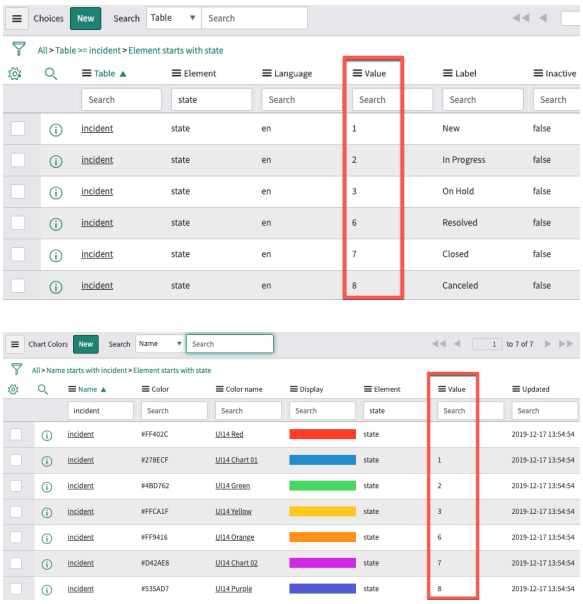
3. 必要に応じてフィールドに入力します。

新しいチャートの色のフォーム

名前	説明
名前	レポートに使用されるテーブル。 **注:** このリストには、チャートの色レコード と同じスコープ内にある テーブルビューとデータベースビューのみが表示されます。
要素	選択したテーブルに固有の列名。
Value (値)	指定された色が適用される要素の値。値の大文字と小文字は区別されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	参照タイプのフィールドである要素の場合、値は指定された色が適用される値のsys_idです。 次の例は、選択肢 [sys_choice] レコードのステータス要素の値が、チャートの色 [sys_report_chart_color] レコードのステータス要素の値とどのように一致するかを示しています。  レコードのsys_idを取得するさまざまな方法については、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。
色名	色定義 [sys_report_color] テーブルから選択された色。色定義を選択すると、[色] フィールドで指定された色が上書きされます。色定義の詳細については、「アナリティクスのシステム色を定義します」を参照してください。
色	[色定義] テーブルで定義されていない色を指定するために使用される 16 進値。 **注:** [色名] フィールドに値が含まれる場合、[色] フィールドは無視されます。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
[名前] フィールドのテーブルのために [要素] フィールドで選択された値が、指定された色で表示されます。

アナリティクスのシステム色を定義します

レポートおよび パフォーマンスアナリティクス ウィジェットで使用する色定義を作成します。

始める前に
必要なロール:report_admin。

このタスクについて
次の可視化では、色定義 [sys_report_color] テーブルで定義した色を使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 1 色のレポート
- カラーパレットを使用したレポート
- チャートの色を使用したレポート
- パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットインジケーター付きの時系列ウィジェット
- 単色、カラーパレット、または固定要素の色 (チャートの色) を使用するデータ可視化ネクストエクスペリエンスのコンポーネント
- パフォーマンスアナリティクス ターゲットのカラースキーム

カラーパレットを使用したレポートとビジュアル化、および パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの場合、これらの色はチャートのカラースキームで使用されます。チャートの色は、色定義を直接参照します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > 色定義.
2. [**New**] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

新しい色の定義フォーム

名前	説明
名前	新しい色の一意の名前を入力します。
色	「#003366」のように、16 進数の値を入力します。
テーマ可能な色	テーマが適用されるときに使用する UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルから代替色を適用します。UX テーマプロパティテーブルの色は、UX テーマ [sys_ux_theme] テーブルのどのテーマバリアントがインスタンスに適用されるかによって異なる値になる場合があります。テーマの詳細については、次を参照してください。 のテーマ ネクストエクスペリエンス . テーマをオンにすると、データビジュアル化コンポーネントによって作成されたクラシックレポートとビジュアル化にこの色が適用されます。テーマ可能な色が定義されていない場合は、[色] フィールドで定義された色が使用されます。 テーマをオフにすると、データビジュアル化コンポーネントによって作成された可視化にのみこの色が適用されます。[色] フィールドで定義された色がクラシックレポートに適用され、[テーマ可能な色] フィールドは無視されます。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

スコープ レポート

現在のスコープとは異なるアプリケーション スコープからレポートを編集する場合、元のレポートを変更するアクションは実行できません。

元のレポートを変更するには、現在のアプリケーション スコープをレポートのスコープに変更し、それからレポートを変更します。

次のアクションは、レポート デザイナーで別のアプリケーション スコープからレポートを開いた後の [保存] メニューから実行できます。更新などの他のアクションは実行できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 挿入
- 挿入と維持
- スケジュール
- ダッシュボードに追加
- PDF にエクスポート
- レポート履歴

既存のレポートに基づいて新しいレポートを作成できますが、[挿入] または [挿入と維持] オプションを使用する現在のアプリケーション スコープ内に限られます。

関連情報

アプリケーションスコープ

レポートの値の書式設定

ほとんどのレポートでは、レポートを公開するときの数値の外観を構成できます。

サポートされている値の形式

値の書式設定をサポートする可視化タイプの数は限られています。

可視化タイプ	サポートされている値の形式
単一スコア	数値と期間の両方の形式
マルチレベルピボット	数値と期間の両方の形式
水平バーと垂直バー	期間の書式設定のみ
円グラフ	期間の書式設定のみ
時系列の可視化 (面、縦棒、折れ線、スプライン、ステップライン)	期間の書式設定のみ
ジオマップ	期間の書式設定のみ

書式設定は集計値に適用されます。

値の書式設定のタイプ

単位形式
: 時間フィールドの形式を d/h/m/s または日/時間/分/秒として表示します。

最大/最小期間単位
: 表示する最大単位または最小単位 (日、時、分、秒) を選択します。

単位が 1 分を超える場合は秒を非表示
: 期間値が 1 分を超える場合、秒の表示を削除します。最小期間単位として [秒] を選択した場合にのみ使用できます。

小数点以下桁数
: 表示する小数点以下の桁数 (0 から 4 桁まで)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 小数点以下桁数は通貨フィールドではサポートされていません。

端数処理

1 分を超える値の場合は、値に近づけたまま丸められて数値を簡略化します。「丸めオプション」を参照してください。

3 桁ごとの区切り文字を使用

千以上の値はカンマまたはピリオドで区切ります。

略語を有効化

1 文字で千以上の値を表示します。

> **注:**
> 通貨、価格、または FX 通貨値の省略形はサポートされていません。

ツールヒントの値を非表示

省略されていない丸めなしの値はツールヒントに表示しません。

丸めオプション

1 分を超える値の場合、丸めオプションを使用すると数値が簡略化されますが、その値に近づけられます。次の丸めオプションから選択します。

- アップ - 正の場合は次に大きい整数に、負の場合は次に小さい整数。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は値 -2 を返します
- ダウン - 正の場合は次に小さい整数に、負の場合は次に大きい整数に。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は値 -1 を返します
- 天井 - 次に大きい整数、正に向かって。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -1.6 は値 -1 を返します
- フロア - 負の方向に、次に小さい整数に。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 1 を返します
  - -1.6 は値 -2 を返します
- 半分以上 - 最も近い最も近い整数まで。両方の近傍が等距離にある場合、次に大きい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - 2.5 は値 3 を返します
- 半分下 - 最も近い最も近い整数。両方の隣接が等距離にある場合、次に小さい整数に丸められます。例:次の元の値の場合:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 1.1 は値 1 を返します
- 1.6 は値 2 を返します
- 2.5 は値 2 を返します

- 偶数丸半分 - 最も近い整数まで。両方の近傍が等距離にある場合、最も近い偶数に丸められます。例:次の元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します
  - 1.6 は値 2 を返します
  - -2.5 は値 -2 を返します。

丸めオプションの概要:

指定された丸めモードで入力された **1** 桁への丸めの結果

入力番号	切り上げ	切り捨て	天井関数	フロア	四捨五入	半分以下切り捨て	最近接偶数丸め
5.5	6	5	6	5	6	5	6
2.5	3	2	3	2	3	2	2
1.6	2	1	2	1	2	2	2
1.1	2	1	2	1	1	1	1
1.0	1	1	1	1	1	1	1
-1.0	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1.1	-2	-1	-1	-2	-1	-1	-1
-1.6	-2	-1	-1	-2	-2	-2	-2
-2.5	-3	-2	-2	-3	-3	-2	-2
-5.5	tinyint	-5	-5	tinyint	tinyint	-5	tinyint

レポートの書式設定された値の構成

既存のレポートでは、レポート デザイナーの [構成] タブで書式設定された値を構成できます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

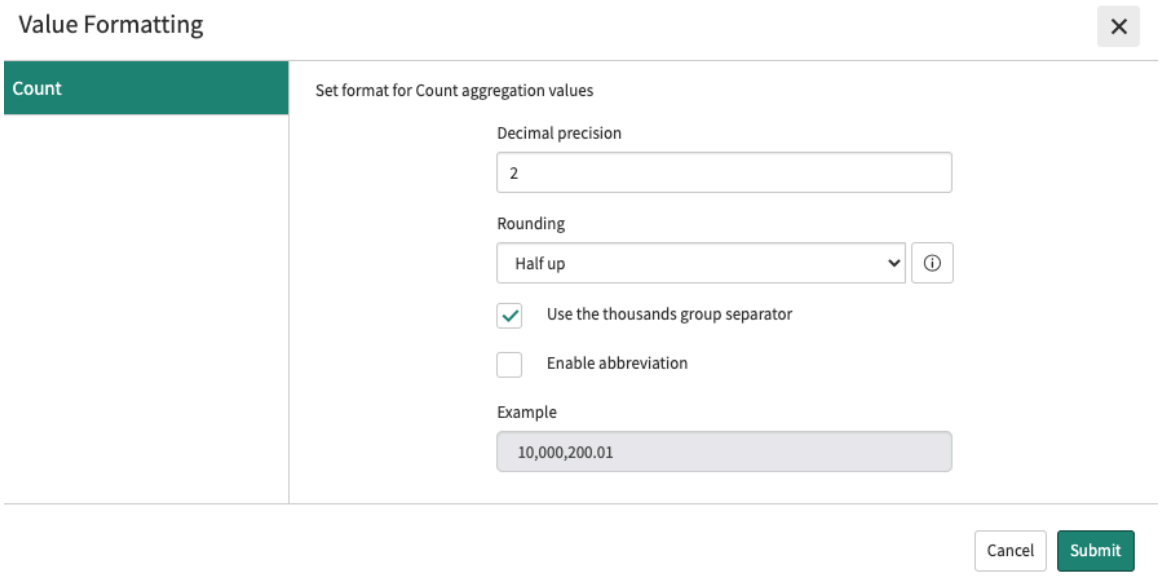
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 書式設定する値を含むレポートを選択します。
3. [**Configure** (構成)] タブを選択します。
4. [Set Value Formatting] をクリックします。
5. [値の書式設定] ウィンドウで、期間、小数点以下桁数、丸めオプション、単位区切り、および省略形を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カウント集計を含む単一スコアレポートの値の書式設定オプション:



レポートの管理

レポート管理者が通常実行する作業、操作するオブジェクト、および適用されるロールとルールについて学習します。

レポート、レポートロール、およびレポートソースを管理するには、次に移動します: レポート > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

レポートの管理手法を提供して、システムパフォーマンスに影響を与えずに意図した値を確実に提供できるようにします。

レポート ロール

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) にレポートモジュールを表示するにはユーザーに report_user ロールが必要です。
- レポートロールまたは itil ロールを持つユーザーは、自分に表示されるすべてのレポートの [挿入]、[挿入と維持]、[ダッシュボードに追加]、および **[PDF** にエクスポート] のレポートオプションにアクセスできます。
- 以下の表では、「 管理 」という用語は、レポートオプション「 更新 (編集)」、「 削除」、および 「設定をエクスポート」へのアクセスを示します。

レポート ロール

ロールのタイトル [名前]	説明
ロールなし	共有済みのレポートを表示できます。
ACL ベース	テーブルとフィールドに対するreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、作成が制限されます。アドミニストレーターは、他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象となっているデータにアクセスできるロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート ロール (続く)

ロールのタイトル [名前]	説明
レポートユーザー [report_user]、itil	レポートを作成でき、共有済みのレポートを表示できます。共有されているレポートを共有、編集、または削除することはできません。
レポート スケジューラー [report_scheduler]	自分が管理できないレポートを含む、自分が表示できるすべてのレポートについて、それらのメール送信をスケジュール設定できます。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。
グループ レポート ユーザー [report_group]	自分がメンバーであるグループ ([グループ] にリスト) で共有されているレポートを管理および共有できます。
グローバル レポート ユーザー [report_global]	全員と共有しているレポート ([グローバル] に表示) を管理できます。
レポート管理者 [report_admin]	すべてのレポートの管理、共有、公開、スケジュール設定を実行できます。アクセス可能 レポート > アドミニストレーション すべてのレポート関連オブジェクトを管理します。report_admin ロールは、他のすべてのレポート ロールを継承します。
レポートの説明 アドミニストレーター [report_description_admin]	レポートのテーブルとフィールドの説明を読み取り、更新できます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ロール

ダッシュボード権限

ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する

アクセス制御リスト ルールを作成して、テーブル、データ ソース、またはデータベース ビューでレポートを作成できるユーザーを制限します。

始める前に

必要なロール：security_admin

注:
特定のテーブルの report_on ACL に加えて、[sys_report] テーブルの書き込み ACL は、すべてのレポートの書き込みアクセスを制御します。この ACL によって現在のレポートを保存できない場合、レポート デザイナーの [保存] ボタンは無効になります。たとえば、別のユーザーと共有しているレポートを表示する場合、セキュリティ設定が正しい場合は、 保存します > 挿入 レポートの編集可能なコピーを保存します。

手順

1. 次のように移動する。 システムセキュリティ > アクセス制御 **(ACL)**.
2. 次の情報を含むアクセス制御レコードを追加します。

オプション	説明
タイプ	レコード
操作	report_on

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
[名前] (テーブル)	<select the table name>

3. ユーザーがテーブルのレポートを作成できるかどうかを決めるルールを定義します。
ユーザーがテーブルへの report_on アクセス権を持っていない場合、レポートの作成時にテーブルは [テーブル] フィールドに表示されません。ユーザーが report_on ACL に合格しないテーブルに基づくデータソースは、レポートデザイナーの [データソース] リストに表示されません。1 人または複数のユーザーに対して [レポート ソース] にデータ ソースが表示されないように制限するには、それらのユーザーを除外する新しい読み取り ACL を [sys_report_source] テーブルに作成します。

   注:

   - report_on ACL の制約のためにレポートを作成できない場合でも、ユーザーはテーブルでレポートを表示および実行できます。
   - デフォルトでは、システム テーブルではレポートを作成できません。システムテーブルに対するレポートを可能にするために、アドミニストレーターは *glide.ui.permitted_tables* プロパティを設定できます。詳細については、「システム テーブルのレポート」を参照してください。
   - ACL report_on 操作は、ターゲットテーブルについてレポートする権限を付与します。
   - データベースビュー には独自の ACL があります。ユーザーがデータベースビュー内のすべてのテーブルに対する report_on 権限を持っている場合でも、データベースビューに関するレポートを作成するには、データベースビューに対するreport_on権限が必要です。データベースビュー を参照してください。

関連情報

ACL ルールを作成する

アクセス制御ルール

report_view のアクセス制御

report_view 操作はレポートへのアクセスを制限するレコードタイプのアクセス制御リスト (ACL) です。必要なロールのいずれかを持つユーザーのみが制限付きリソースを含むレポートを表示できます。

report_view ACL を作成するには、 ACL ルールを作成するための一般的な手順に従います が、次の点に注意してください。

report_view のアクセス制御リスト (ACL) には、report_view テーブル ACL と report_view フィールド ACL の 2 種類があります。Report_viewテーブル ACL では、ユーザーは ACL で指定されたテーブルに基づいてレポートまたはデータ可視化コンテンツを表示できません。Report_view フィールド ACL では、ユーザーは [グループ]、[行]、[列]、または [アグリゲーション] 設定の ACL で指定されたフィールドを使用するレポートやデータの可視化を表示できなくなります。

たとえば、report_view フィールド ACL は report_admin ロールに HR テーブルの給与フィールドへの表示アクセス権を付与します。itil または report_user ロールを持つユーザーが給与フィールドでグループ化されたレポートにアクセスすると、「report_view フィールド ACL に基づいて、このコンテンツへのアクセスが拒否されました」というメッセージが表示されます。

report_view 操作のデザインの検討

独自の report_view 操作のアクセス制御を作成する場合は、次のガイドラインに従ってください。

必要なロールによるレポートへのアクセス制限

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

report_view 操作は必要なロールに基づくアクセス制限のみをサポートしています。report_view アクセス制御はスクリプトまたは詳細条件をサポートしていません。

読み取り操作によるリストレポートへのアクセス制限

リストレポートは通常のレコードアクセス制御を使用して、テーブルまたはフィールドのデータにアクセスできるユーザーを決定します。report_view アクセス制御では、ユーザーが読み取りアクセス権を持つリストを非表示にすることはできません。リストおよびフォームのレコードデータへのアクセスを制限するには、読み取り操作アクセス制御を作成します。レコードのアクセス制御の詳細については、「アクセス制御リストのルール」を参照してください。

関連情報

ACL ルールのタイプ

ACL ルールの作成

レポート実行のセキュリティ

レポートが実行されると、レポートの基になっているテーブルとテーブルフィールドでreport_view アクセス制御リスト (ACL) が評価されます。report_view ACL が存在しない場合は、テーブルレベルの読み取り ACL ロールに対してフォールバックチェックが行われます。

フォールバック読み取り ACL は、システムプロパティ *glide.report.report_view.read_acl* によって制御されます。

このプロパティには 3 つの値を指定できます。デフォルト値は `enforce` です。

無視

読み取り ACL に対する評価は行われず、すべてのユーザーがレポートを表示できます。

enforce

そのテーブルまたはテーブルフィールドのreport_view ACL が存在しない場合、評価は読み取り ACL に対して実行されます。ユーザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみレポートを表示できます。

ログ

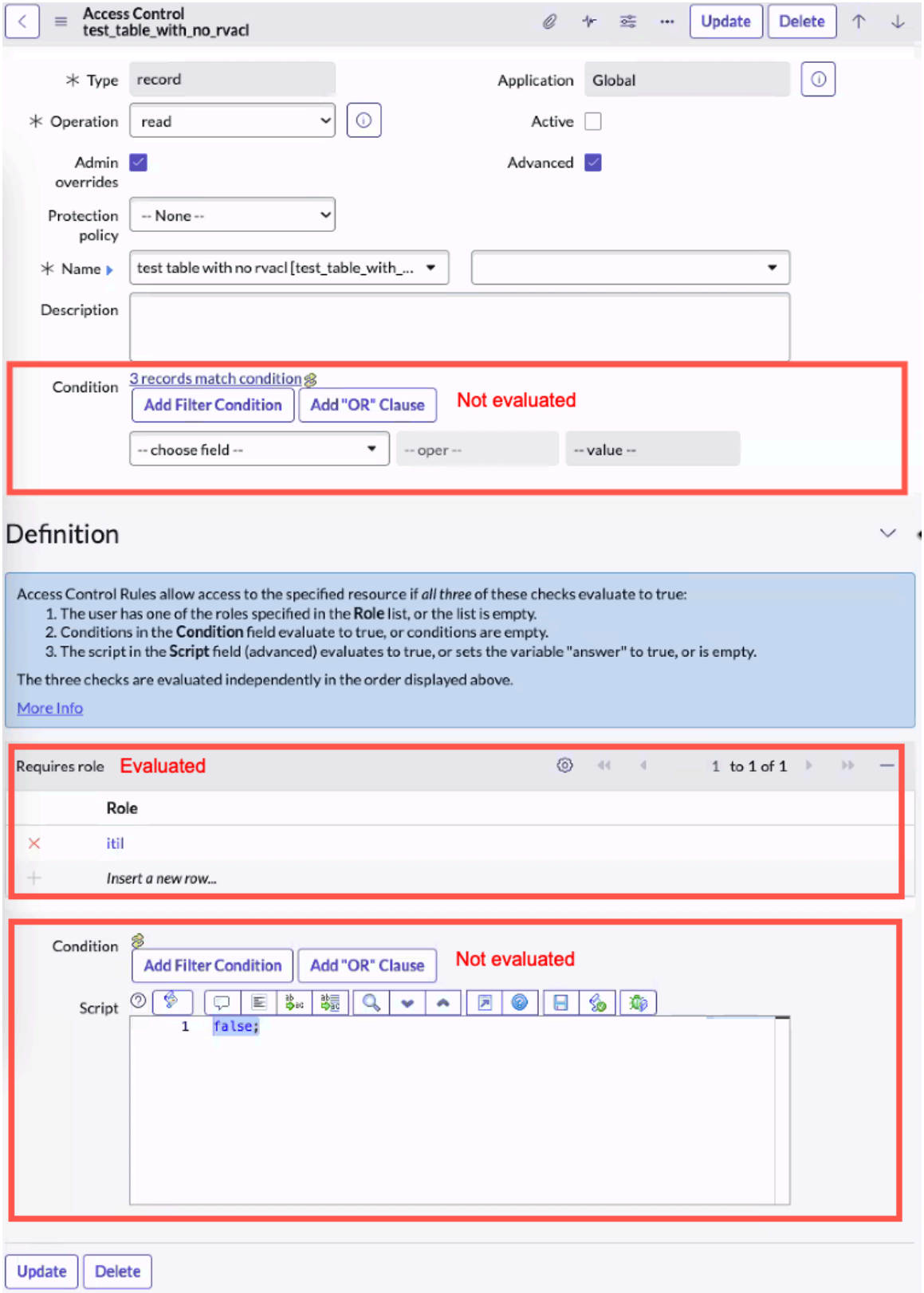
そのテーブルまたはテーブルフィールドに report_view ACL がない場合、読み取り ACL チェックは適用されませんが、アドミニストレーターは、セキュリティチェックが適用された場合にどのユーザーがブロックされていたかをログで確認できます。

読み取り ACL フォールバックによってレポートを表示する際の保護レベルが強化されるため、システムプロパティを ignore または log に変更することはお勧めしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
フォールバックテーブルレベルの読み取り ACL チェックはロールにのみ適用され、スクリプトや条件には適用されません。テーブルレベルの読み取り ACL にロールとスクリプト、ロールと条件、またはロールとスクリプトと条件がある場合は、それらのロールのみが評価されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの ACL アセスメント

ServiceNow レポートの ACL アセスメントを使用して、report_view ACL (アクセス制御リスト) でブロックされるレポートを特定します。

アプリケーションコンポーネント

レポート ACL ダッシュボードを使用して、ユーザーが表示できないレポートを特定します。所有者が ACL の制約を満たしていない場合、ACL はレポート作成者を自身のレポートからブロックすることもできます。すべての ITIL ユーザーと共有されるレポートを考えてみます。レポートの基になるテーブルまたはテーブル列では、admin ロールを持つユーザーへのアクセスが制限されます。この場合、itil ロールを持つほとんどのユーザーはレポートを表示できません。アプリケーションは、ユーザーとレポートの両方を識別します。アセスメントの情報を使用して、ユーザーとレポートを無視し、後で対処することができます。

スキャンでは、インスタンスの report_view ACL に対してすべてのレポートが評価されます。また、report_view ACL のないテーブルを識別し、どのユーザーがテーブルの READ ACL に合格しないか評価します。その後、ACL アセスメントにより、両方のカテゴリのユーザー、つまり report_view ACL に合格しないユーザーと、report_view ACL のないレポートの READ ACL に合格しないユーザーに対処できるようになります。

アプリケーションの外部では、レポートまたは可視化デザイナーで共有を変更したり、ユーザー、グループ、およびロールのアクセス権を変更したりすることができます。

アプリケーションには、次の 3 つのコンポーネントがあります。

- レポート ACL ダッシュボード

  ダッシュボード内からスキャンを実行します。

- 影響を受けるレポートのリスト

  影響を受けるすべてのレポートをプラットフォームリストで表示します。プラットフォームフィルタリング機能を使用して、ここでレポートを修正できます。

- 無視されたレポートおよびユーザーのリスト

  次回レポートをスキャンするときに表示されるように、このリストからユーザーとレポートを削除します。

注:
ServiceNow プラットフォームの一部のテーブルには、デフォルトでアクセス制御リストが作成されています。

レポートの ACL アセスメントのインストール

レポートの ACL アセスメントを使用すると、レポートにアクセスできないユーザーを特定し、必要に応じてアクセスを有効にすることができます。

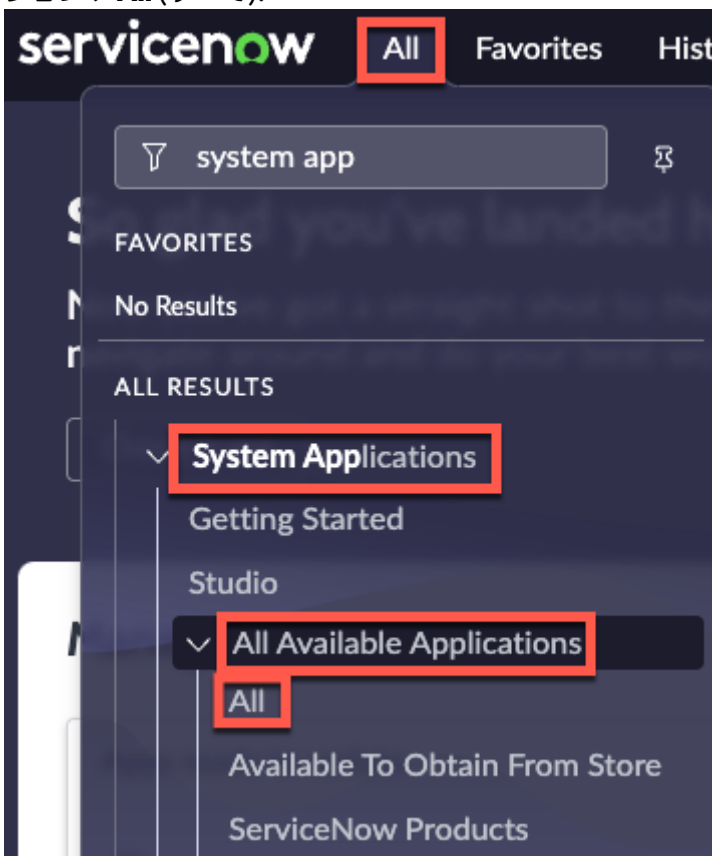
始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

このタスクについて
レポートの ACL アセスメントはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「ServiceNow Store アプリケーションのインストール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. 検索バーに 「ACL アセスメント」と入力します。
名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store から要求する必要がある場合があります。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

レポートビューアセスメントスキャンの実行

インスタンスをスキャンして、既存のアクセス制御リスト (ACL) に基づいてユーザーが表示できないレポートを探します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

このタスクについて
アセスメントスキャンでは、影響を受けるレポートのリストが返されます。report_view ACL のないテーブルに基づくレポートの場合、ユーザーが report_view ACL またはブロッキング READ ACL に基づいて表示できないレポートを表示すると、レポートが影響を受けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントスキャンにかかる時間は、インスタンス内のレコード数によって異なります。アセスメントを夜間に実行することを検討してください。アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングすることも検討してください。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルタリング」を参照してください。

手順

1. ロールを security_admin に昇格させます。
   詳細については、「 特権ロールへの昇格 」を参照してください。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > レポート **ACL** ダッシュボード.
3. [アセスメントスキャンの実行] を選択します。
   多数のレポートを含むインスタンスでは、アセスメントスキャンに時間がかかることがあります。スキャンの進行中に部分的な結果を表示するか、スキャンの完了時に [結果の表示] を選択することができます。スキャンが完了すると、アセスメントの実行者と、アセスメントの開始時刻と終了時刻がメッセージに表示されます。

   > **注:**
   > スキャンでは、影響を受ける各レポートの実行回数が計算されます。プロパティ *sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、[影響を受けるレポート] リストの [合計実行数] 列は常に空になり、*process_reports_executed_within_X_days_ago* は無視されます。

   初期スキャンでは、次の情報が表示されます。
   - スキャンを実行したユーザーと、スキャンの開始時刻と終了時刻
   - 影響を受けるレポートの数
   - 影響を受けたインスタンスに関するレポートの割合
   - アクセス制御リストがreport_viewテーブルの数
4. オプション: 影響を受けるレポートのリストが空の場合、 **report_executions.list** に移動します。
   a. このテーブルが空の場合、ACL の問題はありません。
   b. **report_executions.list** にエントリがある場合は、システムプロパティ *sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only* を false に変更して、スキャンを再度実行します。
   今回のスキャンでは、実行されたレポートだけでなく、影響を受けるすべてのレポートが表示されます。多くの場合、2 回目のスキャンの実行には時間がかかります。
5. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト をクリックして 、影響を受けるレポートのリストを表示します。
   [影響を受けるレポート] リストには、ACL の影響を受けるレポートが表示されます。

影響を受けるレポートのリストを表示

レポートの ACL アセスメントによって特定された、影響を受けるすべてのレポートのリストを表示できます。このリストを使用して、影響を受けるレポートとユーザーを修正します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
   リストレポートには、影響を受けるレポートが表示されます。

列	説明
レポート	レポート名とそのフォームへのハイパーリンク。
テーブル	レポートのソーステーブル。
DBView 参照 ACL テーブル	この列に値が入力されると、 データベースビュー が基づいているテーブルの 1 つに対する ACL が原因でレポートが影響を受けます。 影響を受けるレポートは、ACL を使用したデータベースビューに基づいている場合があります。この場合、データベースビューの名前が [テーブル] 列のテーブル名の下に表示されます。
ドット連結フィールド	この列に入力すると、拡張テーブルの ACL が原因でレポートが影響を受けます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
合計実行数	ユーザーがレポートを表示した回数。 プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、この列は空です。
前回の実行	レポートの最新の実行時刻のタイムスタンプ。 この列は、プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が true の場合に入力されます。
グローバル	True / False。true の場合、レポート所有者はすべてのユーザーと共有しています。false の場合、レポート所有者はレポートを特定のユーザー、グループ、またはロールと共有しています。
ロールに共有	レポート所有者がレポートを共有したロール (アクセス制御リストに関係なく)。レポートがグローバルの場合、このフィールドは空です。
ユーザーと共有	レポート所有者がレポートを共有したユーザー (アクセス制御リストに関係なく)。レポートがグローバルの場合、このフィールドは空です。
グループに共有	レポート所有者がレポートを共有しているグループ (アクセス制御リストに関係なく)。レポートがグローバルの場合、このフィールドは空です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列	説明
読み取り ACL によってブロックされている	読み取り ACL がユーザーをブロックする場合、この列は true と表示されます。
ACL テーブルの読み取り	ユーザーが読み取り ACL によってブロックされているかどうかをチェックするテーブルの名前を表示します。
RVA または読み取り ACL なしでブロックされる	レポートの基になるテーブルにreport_view ACL も読み取り ACL がないためにレポートがブロックされた場合、この列は true と表示されます。
テーブル ACL によりブロック済み	テーブル ACL (またはテーブル内のすべての列に適用される列 ACL) がユーザーをブロックする場合、この列には ACL の名前が表示されます。
テーブルによりブロック済み ACL ロール	テーブル ACL で定義されたロール。そのメンバーは、ACL に基づいてレポートを表示できます。ユーザーがレポートを表示するには、これらのロールの少なくとも 1 つが必要です。
[テーブル ACL] リンク	リンクをクリックすると、影響を受けるレポートに適用されるテーブル ACL のリストが表示されます。リストの [ロール] フィールドには、必要なロールが表示されます。ユーザーは、テーブルに基づいてレポートを表示するためのいずれかのロールを持っている必要があります。
列 ACL によりブロック済み	特定の列の ACL がユーザーをブロックする場合、この列には ACL の名前が表示されます。
列によりブロック済み ACL ロール	列 ACL で定義されたロール。メンバーは列に基づいてレポートを表示できます。ユーザーがレポートを表示するには、これらのロールの少なくとも 1 つが必要です。
列 ACL リンク	リンクをクリックすると、影響を受けるレポートに適用される列 ACL が表示されます。リストの [ロール] フィールドには、必要なロールが表示されます。列に基づいてレポートを表示するには、ユーザーにいずれかのロールが必要です。

2. レポート ACL アセスメントの管理の説明に従って、影響を受けるレポートとユーザーに対処します。

レポート **ACL** アセスメントの管理

レポート ACL (アクセス制御リスト) アセスメントスキャンを実行すると、影響を受けるレポートのリストが表示されます。アセスメントでは、レポート作成者を含む、レポートを表示したユーザーの詳細が示されます。アセスメントには、レポートが制限されているロールと、それらのロールを含むグループも含まれます。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
テーブルレベルの読み取り ACL によってブロックされているレポートの場合、アセスメントには、ブロック ACL を含むテーブルと、ブロックされているユーザーが表示されます。アセスメントアプリケーションでは、それ以上の管理ツールは提供されません。report_view ACL または読み取り ACL がないためにブロックされたレポートの場合、レポートは影響を受けるものとしてマークされますが、影響を受けるユーザーは表示されません。

重要:
ブロックテーブルアクセス制御リスト (ACL) とブロック列 ACL に関連付けられたロールは、sys_security_acl_roleテーブルから取得されます。このテーブルにロールレコードを持たない ACL は、レポートビューの ACL リストにも、影響を受けるテーブル、列、読み込み ACL のリストにも表示されません。

手順

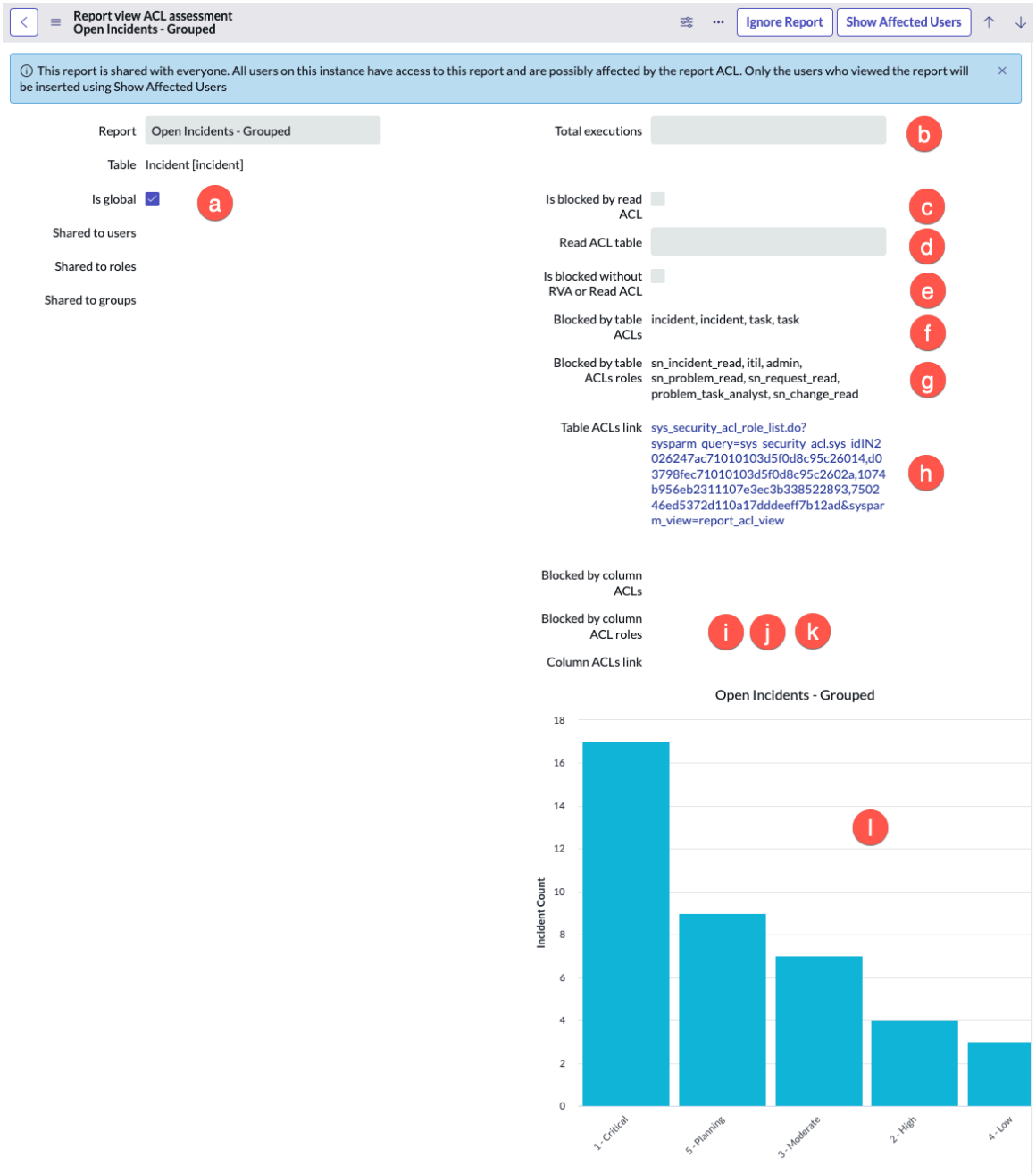
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
2. 対処するレポートの横にある情報) を選択し、 レコードを開く を選択して、レポートに関連付けられているオプションを表示します。
   この結果には、次の情報が表示されます。
   a. レポート所有者が属し、レポートを共有しているユーザー、ロール、およびグループ。[グローバル] フィールドをオンにすると、レポートはすべてのユーザーと共有されます。それ以外の場合は、[ユーザーに共有 **(Shared to users)**]、[ロールに共有 **(Shared to** roles)]、および / または [グループに共有 **(Shared to groups**)] が選択されます。
   b. ユーザーがレポートを表示した回数。

      プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、このフィールドは空です。

   c. [読み取り **ACL** によってブロックされる] フィールドは、レポートの基になるテーブルに report_view ACL がない場合に選択されますが、読み取り ACL はアクセスをブロックします。
   d. レポートに適用される読み取り ACL を含むテーブル。
   e. [**RVA** なしでブロック] フィールドまたは [読み取り **ACL**] フィールドは、ACL 以外の理由でレポートがブロックされた場合に選択されます。
   f. レポートに適用されるテーブル ACL (およびテーブルのすべての列に適用される列 ACL)
   g. ブロッキングテーブル ACL に関連付けられたロール
   h. 関連するブロッキングテーブル ACL へのリンク
   i. レポートに適用される列 ACL
   j. 列 ACL のブロッキングに関連付けられたロール
   k. 関連するブロッキング列 ACL へのリンク
   l. レポートのリアルタイムレンディション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

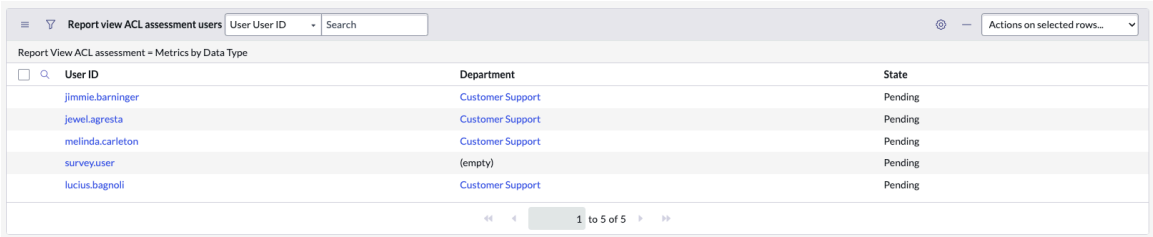


3. オプション: 今後のアセスメントからこのレポートを削除するには、[レポートを無視] を選択します。
   これらのレポートを後で確認するには、「 無視されたレポートの再評価」を参照してください。
4. [影響を受けるユーザーを表示] を選択し、[結果の表示] を選択します。
   影響を受ける最初の数名は、レポートアセスメントの下の関連リストに表示されます。影響を受けるユーザーとは、レポート所有者がレポートを共有しているものの、report_view ACL に基づいてレポートを表示できないユーザーです。

   表示される影響を受けるユーザーのデフォルトの数は 5 人です。さらに表示するには、プロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users*を構成します。
   詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルタリング」を参照してください。

自動翻訳

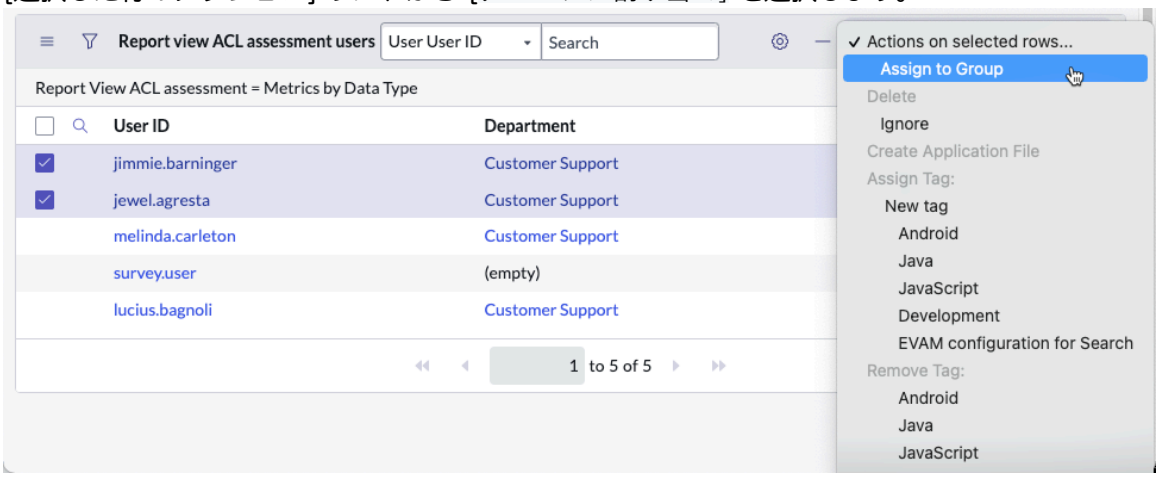
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



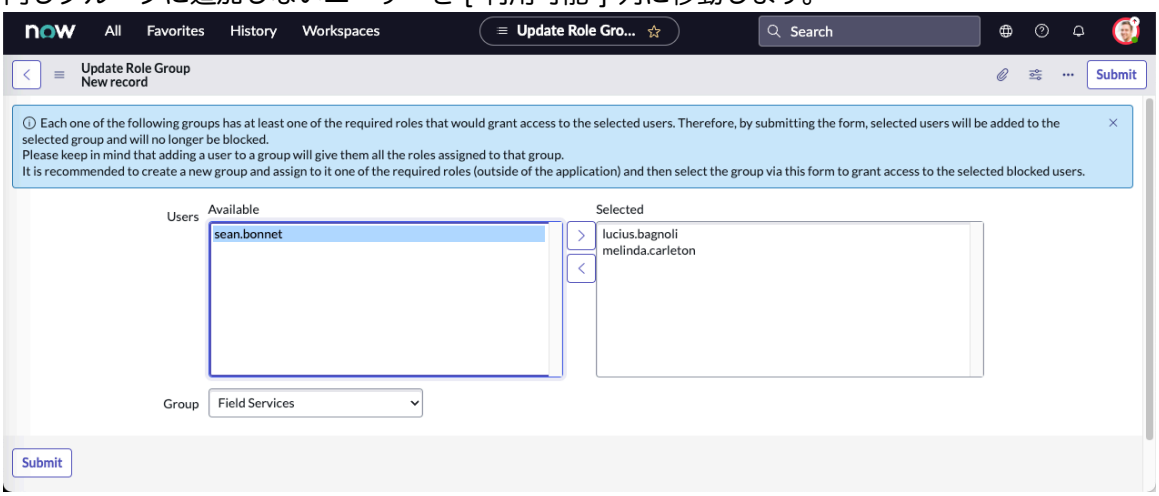
5. オプション: 影響を受けるユーザーを 1 人以上選択し、 選択した行のアクション > 無視 で、レポートへのユーザーのアクセスは変更されません。
   選択したユーザーは引き続きレポートを表示できませんが、次回アセスメントスキャンを実行するときに名前は表示されません。
6. グループにユーザーを追加します。

   a. 影響を受けるユーザーを 1 人以上選択します。

   b. [選択した行のアクション] リストから [グループに割り当て] を選択します。



   c. 選択したユーザーを追加するグループとロール (利用可能な場合) を選択し、[送信] を選択します。
   同じグループに追加しないユーザーを [利用可能] 列に移動します。



   d. ブロックロールが 1 つもグループがない場合は、適切なグループを選択し、ブロックロールの 1 つを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーに適切なグループがない場合は、グループを作成し、アプリケーション外で必要なロールの 1 つを割り当てます。次に、アプリケーション内で、選択したブロックされたユーザーにアクセス権を付与します。グループの作成の詳細については、「ユーザーグループの作成」を参照してください。

e. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

[影響を受けるユーザー] リストで、アサインされたユーザーのステータスが [処理済み] に変わります。次回このリストを表示するときには、これらのアサインされたユーザーはリストに表示されなくなります。

関連情報

グループへのロールのアサイン

拡張フィールドで **ACL** を使用してレポートを管理

ドット連結フィールドのreport_view ACL の影響を受けるレポートを識別するシステムプロパティを追加します。

始める前に

必要なロール:admin および security_admin。

手順

1. システムプロパティ *`sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk`* を作成し、 `true` に設定します。
   システムのプロパティの作成については、「システムのプロパティを追加する」を参照してください。
2. レポートビューアセスメントスキャンの実行.

タスクの結果

[影響を受けるレポート] リストに、ドット 連結フィールドという新しい列が追加されました。この列は、影響を受けるレポートが拡張テーブルのフィールドの ACL に基づいて識別された場合にのみ表示されます。

関連情報

拡張テーブルに関するレポート

その他のレポート修復タスク

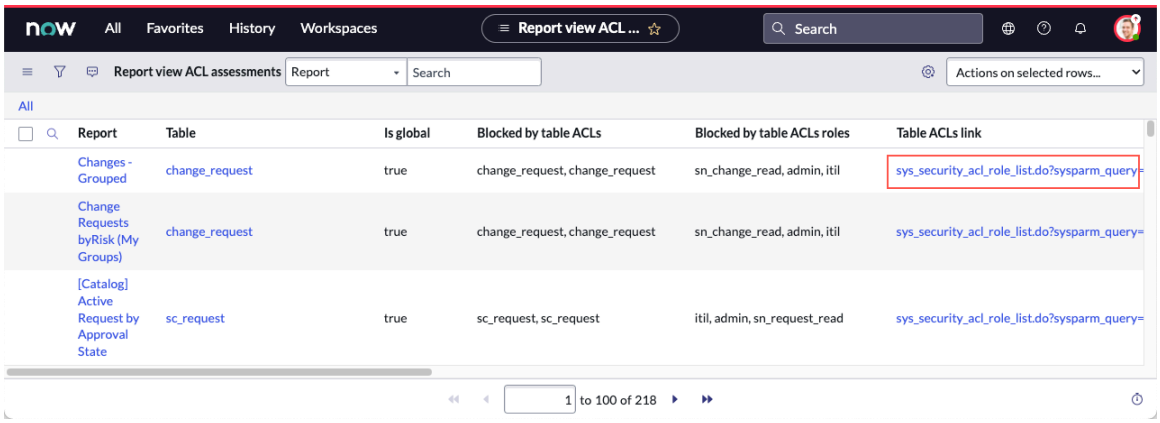
レポートのアセスメントを実行した後、影響を受けるユーザーに対処することができます。アクセス制御リスト (ACL) ロールを変更したり、レポートの共有オプションを変更したり、レポートユーザーをグループに追加してブロックロールを付与したりできます。

ACL ロールの編集

ロールを security_admin に昇格させ、ブロッキング ACL に 1 つ以上のロールを追加します。影響を受けるレポートフォームで [テーブル **ACL]** リンク、[列 **ACL]** リンク、または [読み取り **ACL]** リンク を選択して、関連する ACL ロールリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポート共有オプションの編集

- クラシック環境で作成されたレポートの場合は、レポートデザイナーでレポートを開き、レポートを共有するユーザーを変更します。詳細については、「レポートを共有する」を参照してください。
- 構成可能なワークスペースで作成されたレポートの場合は、可視化デザイナーでレポートを開き、レポートを共有するユーザーを変更します。詳細については、「でデータの可視化を共有する 可視化デザイナー」を参照してください。

レポートアセスメントスキャンをフィルタリング

特に大規模なインスタンスでは、レポートの ACL アセスメントに時間がかかることがあります。アセスメント時間を短縮するために、システムプロパティを使用して、アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングできます。

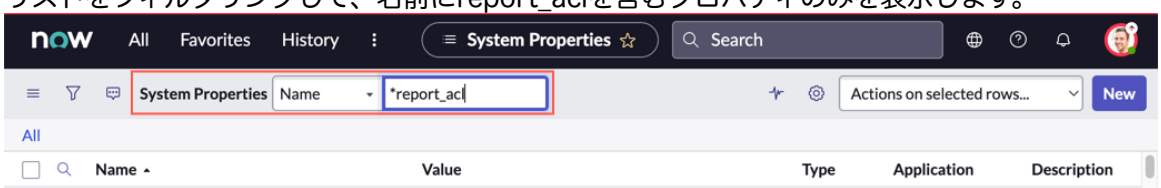
始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

レポートの ACL アセスメントでは、次の 2 つを除くすべてのプロパティを操作できます。

- *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids*
- *sn_report_acl.glide.script.block.client.globals*

手順

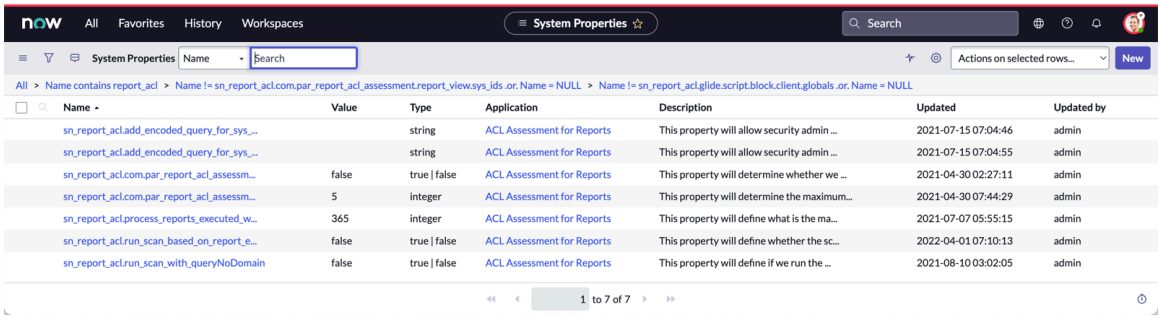
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. リストをフィルタリングして、名前にreport_aclを含むプロパティのみを表示します。



3. プロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids* と *sn_report_acl.glide.script.block.client.globals* を除外します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 残りのプロパティを使用して、アセスメントスキャンを構成します。

レポートアセスメントシステムプロパティ

これらのプロパティを使用して、レポートスキャンの ACL アセスメントを構成します。

システムプロパティを設定するには、 sys_properties.list に移動し、プロパティ名でフィルタリングします。

プロパティ	説明
sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain	ドメインセパレーションされたインスタン 有効です。クエリの実行時にアプリでユー インを考慮するかどうかを定義します。fa 合、security_adminは可視化可能なドメ みを取得します。グローバルsecurity_adr を true に設定して、インスタンス上のす ンの結果を取得できます。個々のsecurity 自分のドメインについて収集された結果を す。詳細については、「レポートアセスメ ンセパレーション」を参照してください。 ドメインセパレーションされていないイン のプロパティを true に設定すると、アセ 常のクエリとして実行されます。 このプロパティを削除すると、コードのデ false になります。 タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_report_table	セキュリティアドミンユーザーが、sys_re でアセスメントスキャンが実行されている コードされた AND クエリ条件を追加でき す。たとえば、指定したテーブルのレポー するエンコードされたクエリを追加できま エンコードされたクエリの有効性は、ユー です。パフォーマンス上の理由から、アプ コード内の追加のクエリを検証しません。 このプロパティを削除するか、値が空の場 ントスキャンは元の条件でのみ実行されま タイプ: 文字列

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	影響を受けるレポートのドット連結フィー でチェックするかどうかを決定します。 false の場合、アプリのパフォーマンスは が、アプリは合計結果のサブセットのみを タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_user_table	セキュリティアドミンユーザーが、エンコ AND クエリ条件を、アセスメントスキャ テーブルで実行するクエリに追加できるよ たとえば、指定したロールのみを評価する れたクエリを追加できます。 エンコードされたクエリの有効性は、ユー です。パフォーマンス上の理由から、アプ コード内の追加のクエリを検証しません。 このプロパティを削除した場合、または値 アセスメントスキャンは元の条件でのみ実 タイプ: 文字列
sn_report_acl.process_reports_executed_within_X_days_ago	ユーザーがレポートを最後に表示してから セスメントスキャンの実行時に考慮する最 します。 タイプ: 整数 デフォルト:365
sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only	スキャンでは、影響を受ける各レポートの 実行回数が計算されます。このプロパティ false の場合、[影響を受けるレポート] リ トの [合計実行数] 列は常に空になり、無 *process_reports_executed_within* タイプ：true/false デフォルト：true
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users	[影響を受けるユーザーを表示] をクリック 取得される影響を受けるユーザーの最大数 ロールを持つユーザーが表示できるレポー べてのユーザーが表示できるレポートに適 グループで表示可能なレポートの場合、こ ループごとに取得される影響を受けるユー です。 タイプ: 整数 デフォルト：5

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	レポートをブロックする原因となる拡張テ ポートフィールドをキャプチャします。こ は、ドット 連結フィールドを [影響を受け テーブルに追加します (これらのフィール 場合)。 タイプ：true/false デフォルト：true

report_view ACL リスト

report_view ACL とそれに関連するロールの全リストを表示して、インスタンスのアクセス制御を俯瞰的に把握できます。

各インスタンスには異なる数のreport_view ACL があります。この数は、インスタンスで有効化されているプラグインによって異なります。

report_view ACL リストを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > レポートビュー **ACL** リスト.

report_view ACL リスト列

ACL は、一度に 1 つのロールにのみ適用されます。適用されるロールが複数ある場合は、ACL のインスタンスが複数存在する可能性があります。たとえば、同じ ACL で、itil ユーザーよりもアドミンに付与されるレポートアクセス権の方が大きいとします。

列	説明
ACL	report_view ACL の名前。
[Active (アクティブ)]	ACL がアクティブかどうかを示します。True/False。
アプリケーション	ACL が適用されるアプリケーション。
パッケージ	ACL に関連付けられたプラグイン。
説明	関連するロールに対して ACL で防止または許可される内容。
ロール	ACL が適用されるロールの名前。
説明	ロールの説明。

無視されたレポートの再評価

レポートの ACL アセスメントに対処する場合は、レポートを無視できます。これらのレポートを表示して、ステータスを再度検討します。

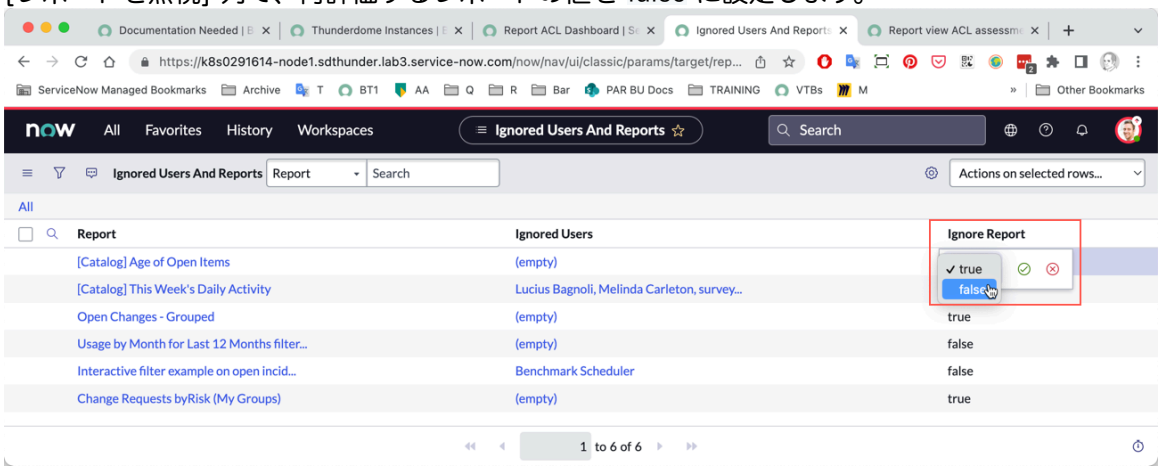
始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. [レポートを無視] 列で、再評価するレポートの値を false に設定します。



タスクの結果
レポートの ACL アセスメントは、次回アセスメントを実行するときに 誤った レポートを評価します。

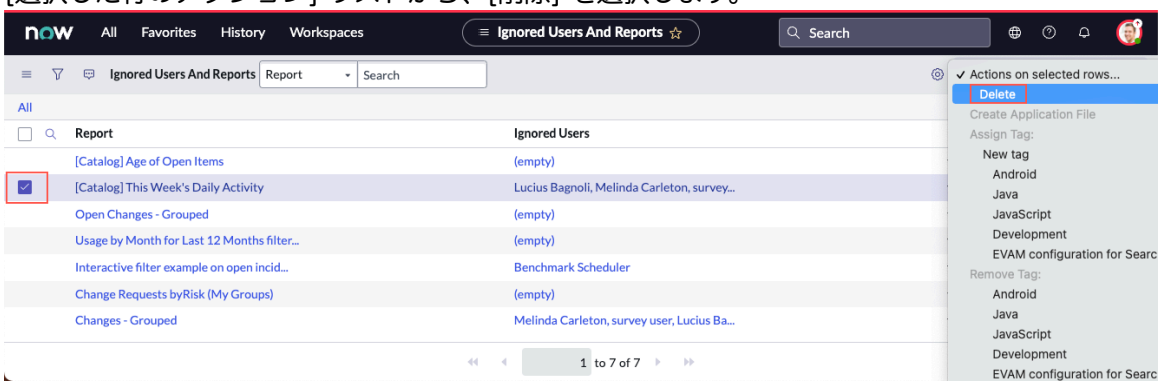
無視されたユーザーの再評価

レポートの ACL アセスメントに対処する場合は、個々のユーザーを無視できます。これらのユーザーを表示して、ステータスを再度検討します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > レポートの **ACL** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. [無視されたユーザー] の行を選択します。
3. [選択した行のアクション] リストから、[削除] を選択します。



タスクの結果
レポートの ACL アセスメントアプリケーションには、次回アセスメントを実行したときにこのレポートから削除したユーザーが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートアセスメントとドメインセパレーション

ドメインセパレーションインスタンスでは、レポートの ACL アセスメントには一定の制限があります。

ドメインセパレーションプロパティ

true/false プロパティ *sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain* を設定して、アセスメントをインスタンス全体に適用するか、個々のドメインに適用するかを指定します。

このプロパティは、ドメインセパレーションされたインスタンスでのみ有効です。クエリの実行時にアプリでユーザードメインを考慮するかどうかを定義します。false の場合、security_admins は可視化できるドメインのみの結果を取得します。

グローバルsecurity_adminでは、プロパティを true に設定して、インスタンス上のすべてのドメインの結果を表示できます。個々のsecurity_adminsは、自分のドメインについて収集された結果を取得できます。詳細については、「レポートアセスメントスキャンをフィルタリング」を参照してください。

このプロパティが単一のドメインインスタンスで true に設定されている場合、アセスメントは通常のクエリとして実行されます。プロパティが削除された場合、アプリケーションは、プロパティが false であるかのようにアセスメントを扱います。

注:
アセスメントをグローバルsecurity_adminとして実行する場合は、必ずプロパティを false に設定し直してください。true の場合、どのsecurity_adminもインスタンス全体をクエリできます。他のsecurity_adminsには、表示する権限のないデータは表示されませんが、収集されたデータは上書きされます。

リストレポートの列ビューのアクセス制御

リストレポートの場合、 **glide.report.add_to_list_supported** システムプロパティはadd_to_listアクセス制御リストを有効にします。このアクセス制御リスト (ACL) は、ユーザーが機密データを含むリストレポート列についてレポートできないようにします。

たとえば、マネージャーは、レポートの作成時にユーザーが [アサイン先] 列で報告できないようにすることができます。テーブルフィールドがユーザーに対して制限されている場合、[利用可能] 列には表示されません。したがって、ユーザーは作成するレポートでこれを選択できません。

注:
プロパティが有効な場合:列のadd_to_listアクセス制御リストを渡さないユーザーには、レポートに既に含まれている制限付き列が [選択済み] 列に表示されます。このユーザーには、レポート内のこれらの列のデータも表示されます。ユーザーが [選択済み] 列から列を削除すると、[利用可能] 列に表示されなくなります。ユーザーは、再度選択してレポートに含めることはできません。

add_to_list ACL は、レポートの基になっている最上位のテーブルにのみ適用されます。

このプロパティは、デフォルトでは無効になっています。これを有効にするには、 **sys_properties.list** (システムプロパティテーブル) に移動し、**glide.report.add_to_list_supported**を **true** に設定します。admin ロールが必要です。

プロパティを有効にしても、既存のレポートは影響を受けません。列は、制限付きとして指定したフィールドを含む新しく作成されたリストレポートでのみ非表示になります。

関連情報

ACL ルールのタイプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

権限の問題を報告

レポートに表示される情報が予想よりも少ない場合や、データがまったく表示されない可能性がある理由はいくつかあります。これには、レポートに対する十分な権限がないことや、レポートが共有されていないことが含まれます。

レポートが共有されていません

レポートが表示されない一般的な理由は、レポートにアクセスしようとしているユーザーがレポートを共有していないことです。デフォルトでは、新しく作成されたレポートは共有されないため、レポート作成者または admin ロールを持つユーザー以外はアクセスできません。レポートは、個々のユーザーまたは 1 つ以上のグループと共有したり、1 つ以上のロールにアサインしたりできます。

非共有レポートは、ユーザーがアクセスできるレポートの一覧や、レポートを開いたり選択したりできるその他のオプションには表示されません。レポートが追加されたダッシュボードは表示できるが、レポート自体は表示できない場合は、「レポートは特定のユーザーまたはグループにのみ表示されます」というメッセージが表示されます。

この問題を修正するために、レポートの所有者 (またはアドミニストレーター) は、そのレポートを表示およびアクセスできる必要がある個人とレポートを共有できます。レポートの共有アイコンからレポートを直接共有できます。詳細については、「レポートを共有する」を参照してください。

リストレポートで表示される行が予想よりも少ない

もう 1 つの一般的な問題は、リスト レポートに表示される行が閲覧者の予想よりも少ないことです。たとえば、あるユーザーにはリスト レポートに 100 行が表示されていても、別のユーザーが同じレポートを表示すると、行数が少なくなったり、まったく行がなかったりする場合があります。レポートから 1 つ以上の行が削除されると、セキュリティ上の制約により削除された行数を示すメッセージが表示されます。

通常の原因は、リストレポートの各行が、レポートのソーステーブルで定義されている読み取りアクセス制御リスト (ACL) と最初に比較されることです。

ACL は、レポートに表示される可能性がある各リスト行に対して考慮されます。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

リスト以外のレポートに不完全なデータが表示される

グラフィカルなレポート (リストタイプ以外のレポートと定義) では、同じレポートを確認する別のユーザーと比較して、あるユーザーの不完全なデータセットが表示される場合があります。

この問題は、レポートが生成およびレンダリングされる前に、ソーステーブルのデータに対してクエリ前ビジネスルールが実行されることが原因です。レポートのソーステーブルにあるビジネスルールは、権限または同様の基準に基づいてデータを制限します。ルールの基準を満たさないレコードはレポートに含まれません。したがって、(主にグループまたはロールの権限による) 異なる権限レベルを持つユーザーには、異なる結果を示す同じレポートが表示されます。詳細については、「「クエリー前」ビジネスルール (Before Query business rules) 」を参照してください。

レポート統計情報

[レポート統計] リストでは、各コア UIレポートの実行頻度と、レポートの実行にかかる時間を確認できます。

レポート統計情報を表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > レポート統計情報. admin または report_admin ロールが必要です。デフォルトでは、[レポート統計情報] リストには、実行されたすべてのレポートが表示されます。実行されていないレポートを表示するには、コンテキストメニューアイコン (☰) を選択し、[未使用のレポートを追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 未使用のレポートをこのリストに追加すると、特にインスタンスに多数のレポートがある場合は時間がかかります。
- レポート統計リストは、最大 500 件のレポートをサポートします。

ServiceNow 環境におけるレポートの管理方法の概要と推奨事項

[レポート統計情報] リストには次の列があります。

列	説明
レポート	レポートの名前。ハイパーリンクを選択して、レポートのプロパティを表示します。
前回の実行	レポートが最後に実行された日時。
実行	レポートがこれまでに実行された回数。
ページで実行	ダッシュボードでレポートが実行された回数。
最新の実行時間	直前の 25 回の実行に基づくレポートの平均実行時間 (ミリ秒)。*glide.report.recent_executions_number*プロパティを編集して、この値の計算に使用する実行の数を変更します。
実行時間	レポートのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。
最新の実行回数	レポートが最近サーバーからロードされた回数。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number* によって決まります。

自動翻訳

- 実行に最も時間がかかるレポートを表示するには、[最近の実行時間] を z-a 順にソートします。
- 使用されたレポートを表示するには、フィルターで [実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も使用頻度の高いレポートを表示するには、[実行] 列を z-a 順にソートします。

レポートの使用率ダッシュボード

レポートの使用率ダッシュボードには、ServiceNow のインスタンスまたはドメインにおけるレポートの使用率の概要が表示されます。

レポート統計情報を表示するには、次に移動します: パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール をクリックし、[使用状況] タイルで [レポートの使用状況] を選択します。

注:
report_admin ロールはこのコンソールを表示できません。admin または pa_admin ロールが必要です。

レポートの使用率ダッシュボードには次のウィジェットが表示されます。

ウィジェット	タイプ	説明
レポートの数	単一のスコアと月別の割合の変化	インスタンス内のレポートの数。スコアをクリックすると

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	タイプ	説明
		ダッシュボードが表示され、チャート、およびブレークダウン/レコード/スコアのリストが表示されます。
過去 6 か月間に表示されていないレポートの割合	単一のスコアと月別の割合の変化	過去 6 か月間に表示されなかったドメインまたはインスタンス内のレポートの割合。スコアをクリックすると詳細ダッシュボードにチャートが表示されます。チャートでは、期間、使用された計算、およびレポートに関する追加情報を調整できます。
上位 10 件のレポート テーブル	リスト	レポートで使用されている上位 10 件のテーブルのリスト。テーブルの名前をポイントするとその説明が表示されます。テーブルの名前またはレポートの数をクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。
表示方法タイプ別のレポート	棒グラフ (オプションで、他のいくつかのレポート タイプの 1 つに視覚化を変更可能)	ダッシュボードでレポートが実行された回数。レポートのセグメントをクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。

レポートソース

レポート ソースは、レポートを作成するための事前定義されたデータ セットです。

レポート ソースは、レポートに同じ条件が含まれている場合に使用します。そのため、条件を何度も定義する必要はありません。レポート ソースを使用して、組織全体で同じ定義を実装することもできます。

可視化デザイナーでは、事前定義された条件でテーブルをフィルタリングすると、レポートソースを使用できます。

レポート ソースは、常にテーブルといくつかの条件で構成されます。新しいレポートを作成するときは、レポート ソースを使用するか、またはテーブルを選択することができます。レポート ソースの例としては、オープンのインシデント、クローズ済みの問題などがあります。

レポート ソースの作成。関連するテーブルのフィールドからのレポート データを使用する。関連するリストを使用する。

既存のレポートの条件に基づいてレポートソースを作成するオプションを使用するか、追加する新しい条件に基づいてソースを作成するには、次の手順に従います。

レポート ソースの使用に関するその他のヒントについては、「 レポート ソースで時間を節約する方法 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポート ソースを作成する

レポートの作成に使用できるカスタムデータセットを作成します。 レポート デザイナーでは、レポート ソースはデータ ソースと呼ばれます。

始める前に
必要なロール:report_admin。

このタスクについて
レポート ソースの条件を更新すると、そのレポート ソースをベースとするすべてのレポートに、それらの条件が自動的に反映されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > レポートソース.
   既存のレポートからレポート ソースを作成するには、レポートを開き、[保存] メニューから [データ ソースとして保存] を選択します。テーブルとタスク条件は、レポートソースレコードに入力されます。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 必要に応じて、フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	レポート ソースの名前。たとえば、オープン インシデントなどです。
テーブル	レポート ソースのベースとなるテーブル。たとえば、インシデント **[incident]** などです。
説明	レポート ソースの動作や目的の詳細な説明。
フィルター	レポートソースに含めるテーブルレコードの条件。たとえば、オープン インシデントを含めるには、[インシデント] テーブルで「[ステータス] [は] [アクティブ]」を選択します。 **注:** 一部のレポートタイプでは、レポート内からデータフィールドのソートにアクセスできます。アクセス方法については、データをソートするレポートタイプのレポートタイプトピックで [ソートを追加] フィールドの説明を検索してください。 ○ OR 条件を含むレポートにレポート ソースを使用する場合は、レポートとレポート ソース条件の両方に一致するレコードのみが含まれます。 ○ レポートソースが 関連リスト条件 を指定している場合、レポートソースに基づくレポートは、レポート内から指定された追加の関連リスト条件を無視します。 ○ レポートが 関連リスト条件 を指定するレポートソースに基づいており、ドット連結条件を含む追加の関連リスト条件も含まれている場合、レポートはエラーを生成します。

4. レポートソースに基づいてレポートを表示するには、レポートソースレコードの [このレポートソースを使用するレポート] 関連リンクを選択します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
レポート ソースを使用してレポートを作成します。

注:
レポートソースはアクティブなレポートで使用されていますが、削除することはできません。

レポート範囲

レポート範囲を使用して、テーブルフィールドの連続タイムスパンデータを分割する間隔を定義します。プレゼンテーションのために、このデータを目立たないチャンクに分割する必要があります。

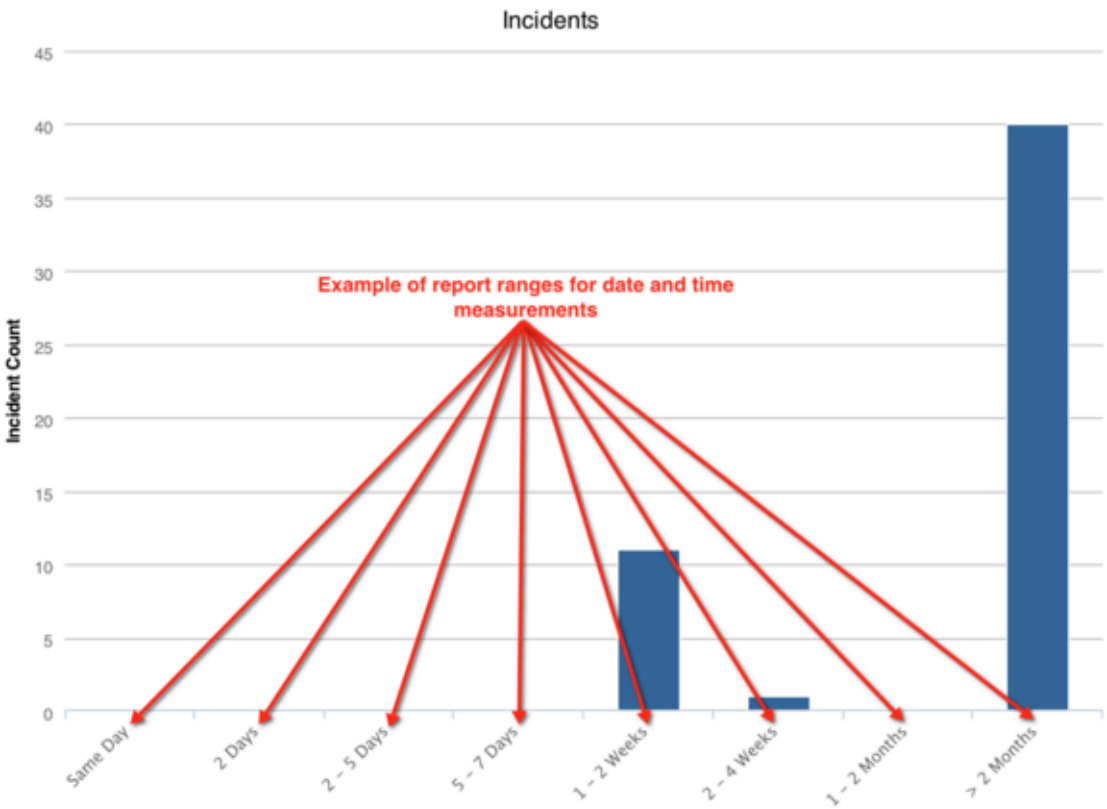
すべての結果を個別のスコアとして表示するのではなく、結果を範囲またはバケットにグループ化すると便利な場合があります。インシデントのビジネス期間を示す棒グラフや円グラフのようなものです。既定では、個々の値は個別のスライスになり、不必要に混雑した外観のビジュアルが作成されます。ただし、結果をスコアの論理グループにセグメント化することで、コンテキストを追加し、どの範囲が良いか、悪いか、または懸念があるかを視聴者が理解しやすくなります。レポート範囲を使用して、次のグラフのデータ間隔を定義します。

- コア UI:棒グラフ、円グラフ、ドーナツグラフのレポート
- プラットフォームアナリティクス:データソースがテーブルの場合、ヒートマップや時系列を含む、関連するすべてのデータ可視化タイプ。

ユースケースの例:会社で SLA 違反が発生するたびに、ビジネスに多大なコストが伴います。サービスマネージャは、SLA 内で十分に完了したタスクの数と SLA 中に経過したタスクの数を表示することで、どの SLA が容易に満たされ、どの SLA が違反しているか、または違反に近づいているかを把握できます。この情報は、どの SLA を調整する必要があるかを特定するのに役立ちます。

注:
未来の日付のレポート範囲を設定することはできません。

範囲によるインシデント作成日



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート範囲の仕組み

レポート範囲は、日付、リスト、または整数のみを保持する要素で有効です。

レポート範囲の要素の一覧

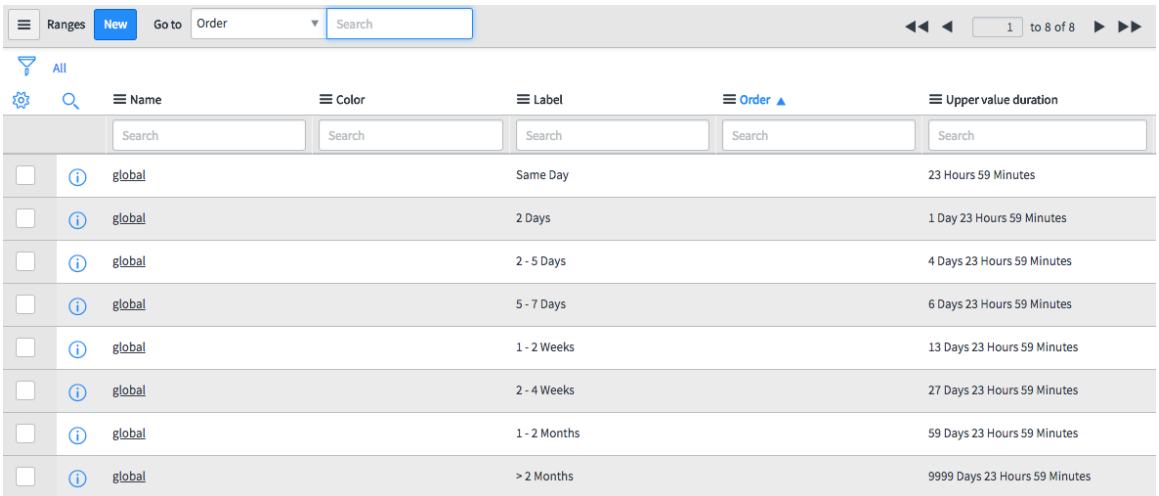
タイプ	例
日付	インシデントテーブルの [作成日時] フィールドの使用:同日、2 日、2 ～ 5 日、5 ～ 7 日、1 ～ 2 週間、2 ～ 4 週間、1 ～ 2 か月、> 2 か月
Lists (リスト)	インシデントテーブルの [優先度] フィールドの使用:低、中、高、重大、計画
整数	インシデントテーブルの [カウント] フィールドの使用:過負荷、最適化、使用率不足

レポート範囲は、すべての日付タイプ フィールド (日付、期日、期間、日時、日付時刻) にグローバルに適用することも、特定のテーブルに制限することもできます。

すべてのレポート範囲を表示する

現在構成されているすべてのレポート範囲を表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > レポート範囲. インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、代わりに次の場所に移動します **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > レポート範囲.

レポート範囲リスト



重要な列と関連するデータタイプは次のとおりです。

レポート範囲リストのフィールド

フィールド	対応するデータ タイプ
期間最高値	日付 - 日付を格納する要素で有効です。
整数最高値	整数 - 数値を格納する要素で有効です。
値リスト	リスト - リスト アイテムを格納する要素で有効です。

レポート範囲を作成する

棒グラフおよび円グラフで使用するデータ間隔を定義するレポート範囲を作成します。

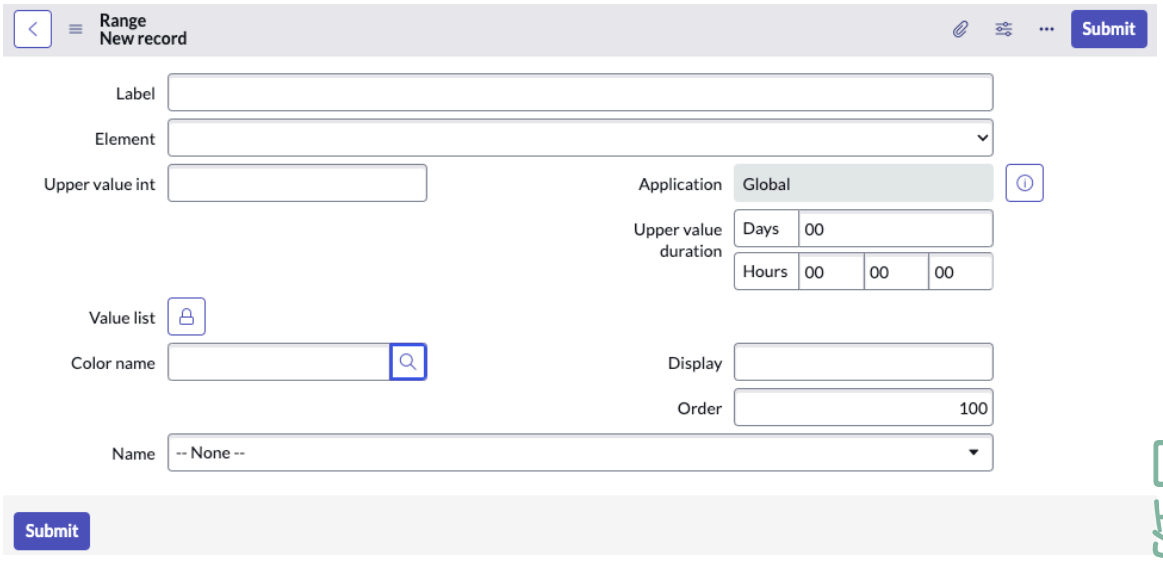
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > レポート範囲.
   インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行された場合は、次の場所に移動します: **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > レポート範囲.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームに記入します (表を参照) :



次のフィールドを使用して、レポートに表示されるデータを絞り込み、レポートのビジュアル化の外観を設計します。

レポート範囲フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	値を抽出するテーブルの名前。 注: [要素] リストから選択する場合は先にこのフィールドが必要です。
要素	値を抽出するテーブルのフィールド。
ラベル	レポートに表示されるレポート範囲の名前。
値リスト	リスト要素の場合、このフィールドは範囲内となる値を定義します。 範囲が保存されると、値リストに要素の選択肢が入力されます。
色名	このレポート範囲を表示する際の色。 色は [表示] フィールドに表示されます。色名を入力する場合は、色値を入力する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
色	このレポート範囲のレポートを表示する際の色を表す 16 進値。 色は [表示] フィールドに表示されます。色値を入力する場合は、色名を入力する必要はありません。 **注:** レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
整数最高値	整数型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。最初のレポートには、この範囲で指定された形式で 6 から 10 までの値が表示されます。2 番目のレポートには、5 以下の値が表示されます。
期間最高値	期間型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。5 ～ 10 の値は、この範囲で指定された書式で表示されます。
表示	読み取り専用。特定のレポート範囲で使用される色を示します。
順番	レポート範囲が使用される順番。値が複数のラベルの中で定義されている場合は、最も低い順番のレポート範囲で表示されます。

注:
設定後、レポートに利用可能なデータがない場合、レポート範囲は空として表示されます。構成されたレポート範囲に関連するデータラベルや凡例などのコンテキストフィールドは引き続き表示され、強調表示されます。

レポート範囲モジュールを有効にする

棒グラフと円グラフでレポート範囲を使用するには、レポート範囲モジュールを有効にする必要があります。

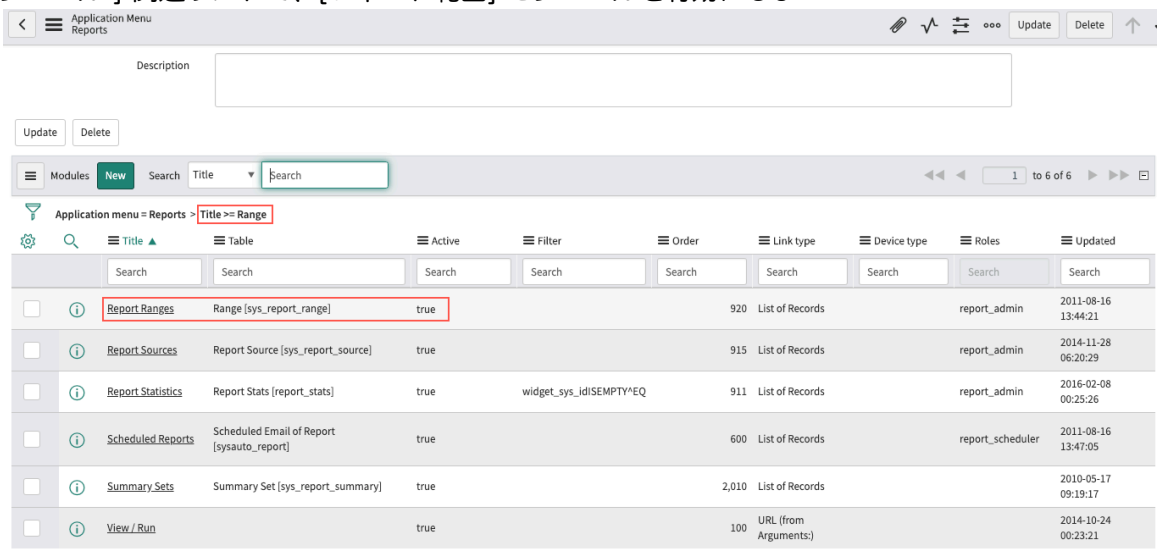
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > アプリケーションメニュー.
2. レポートアプリケーションメニューを開きます。
3. [モジュール] 関連リストで、[レポート範囲] モジュールを有効にしま



す。
[モジュール] 関連リストには、100 を超えるエントリがある場合があります。単語範囲でフィルタリングして、検索を絞り込みます。

タスクの結果
円グラフと棒グラフのレポート範囲を定義できます。

インポートされたレポート データを使用する

インポートされた Excel スプレッドシートを使用すると、インスタンスの外部で管理されているデータに基づいてレポートを生成でき、それらのレポートを配布できます。

admin、sys_admin、report_admin、pa_admin、および pa_power_user のロールを持つユーザーは、.xlsx ファイルをアップロードできます。アップロードされたデータは一時的です。指定された有効期限があり、期限後は、それらのファイルに基づくレポートは利用できなくなります。

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、パフォーマンスアナリティクスのサブスクリプションバージョンが必要です。「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

注:
インスタンスの外部で情報が保持されている場合は、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「簡単インポート」を参照してください。

システム テーブルのレポート

デフォルトでは、システム テーブルはレポート モジュールの制限を受けます。

これらのテーブルには次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- システム監査 [sys_audit]
- ログ [syslog]
- トランザクションログ [syslog_transaction]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 添付ファイル [sys_attachment]
- メール [sys_email]

この理由は 、通常sys_audit どのインスタンスでも最大のテーブルであるためです。中規模のインスタンスでも監査テーブルが数ギガバイトになることは珍しいことではありません。大規模な環境では、このテーブルが 50 GB 以上に及ぶこともあります。

sys_auditテーブルにプログラムでアクセスすると、クエリパターンがどのようになるかがわかるため、クエリに一致する適切なデータインデックスを追加しました。たとえば、インシデントの履歴などを表示するときに、データベースでインデックスを使用することで、そのクエリに必要な数十行を効率的に取り出すことができます。

ただし、自由形式のレポートでは、クエリ パターンがどのようになるかを予測することはできません。フィールド名でグループ化したり、oldvalue でソートしたりしたい場合があります。したがって、クエリーがインデックス付きのクエリになることはありません。実質的な結果として、複数のギガバイトのファイルをスキャンするようデータベースに要求することになりますが、こうした操作は次の理由から適切ではありません。

- 処理が遅いため、レポートの実行に容認できないほどの長い時間がかかります。
- データベースがテーブルをスキャンしている間、他のクエリーが必要なリソースを取得できないため、インスタンスの速度が低下したり、インスタンスが使用できなくなることもあります。

システムテーブルのレポートを作成する必要がある場合は、 *glide.ui.permitted_tables* プロパティに追加できます。次のように移動する。 システムプロパティ > **UI Properties (UI** プロパティ) をクリックし、レポート可能な **List of system tables (beginning with "sys_" comma separated)** (レポート可能なシステムテーブルのリスト) を見つけます。デフォルトでは、システム テーブルはレポート不可能です。」というラベルのプロパティーを探します。この操作を行う際は十分に注意してください。

マップ レポートの管理

マップ レポートで使用するさまざまなオブジェクトと、それらを作成および変更する方法について説明します。

マップ レポートのオブジェクト

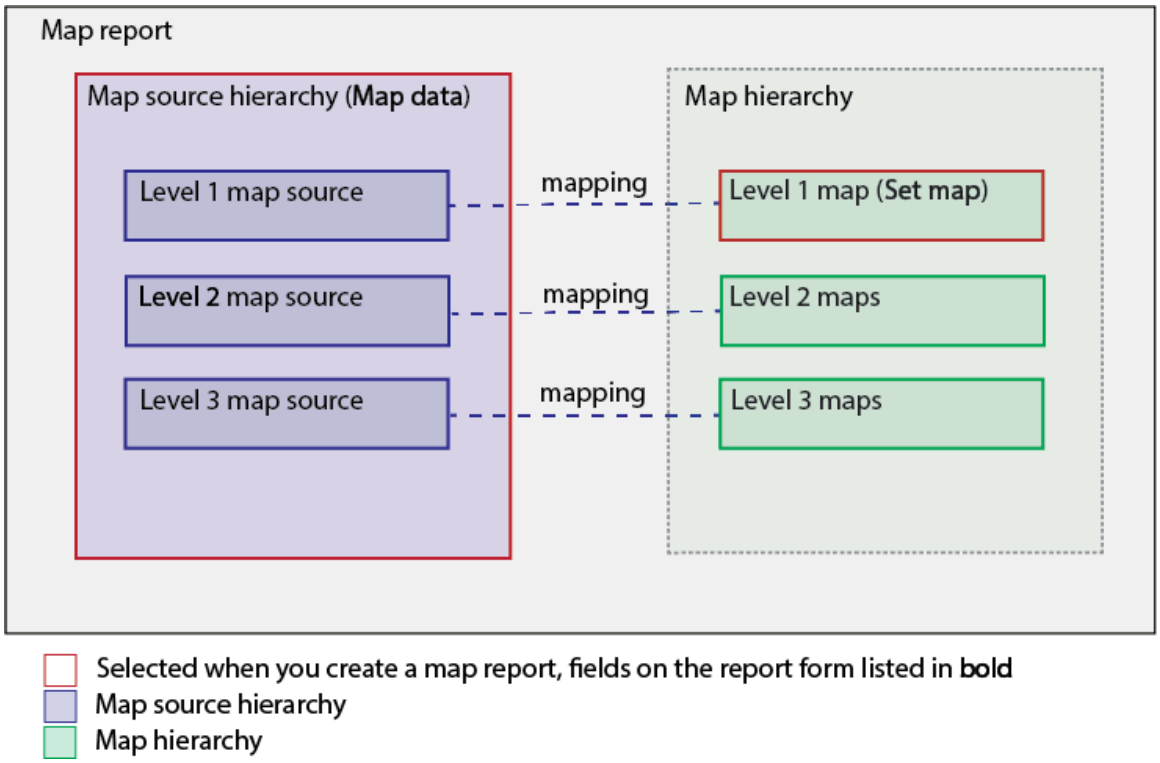
マップ オブジェクトは、ユーザーがマップレポートでドリル ダウンできるさまざまなレベルと、それらのレベルで表示されるデータを定義します。これらのオブジェクトは、アドミニストレーターが作成および管理できます。

マップ レポートにはそれぞれ、マップ レベルのデータを構成するマップ ソース階層が含まれています。また、マップのドリル ダウン レベルを定義するマップ階層も含まれています。これらの階層のレベルは、[レベル] フィールドによって結び付けられます。たとえば、レベル 1 のマップのデータは、レベル 1 のマップ オブジェクトに表示されます。

注:
デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マップ オブジェクト

オブジェクト	説明
マップ ソース	マップ レポートに表示するデータのセットを定義します。 ユーザーがマップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドで選択するマップ ソースは、実際にはマップ ソース階層です。マップ上のドリル レベルごとにマップ ソース レベルが 1 つずつあります。階層内の最上位のマップ ソースはレベルではなく、他の階層レベルをまとめるラッパーです。マップ ソースにはそれぞれ、1 つのマップ階層ドリル レベルのデータが含まれており、どちらも同じレベルです。 どちらもレポートで使用されるデータを指定するため、マップ ソースはレポート ソースに似ています。ただし、マップ ソースではテーブルの代わりに、レポートを作成するためのフィールドを選択します。
マップ	データを表示するマップ。マップは、親子関係で定義された階層の中で設定されます。階層レベルはそれぞれ、マップ レポートのドリル レベルです。実際のマップ レイアウトは JSON 定義 (地図の場合は geoJSON 定義) により定義されます。 既存のマップを選択するか、新しいマップを作成します。必要に応じてマップの条件を定義し、マップに表示するデータをフィルターでさらに絞り込むことができます。
マッピング	マップ ソース内のデータをマップ上に表示できる値に変換します。 マッピングは、国および都道府県のマッピング グループに整理されます。マップ ソースの構成時に、ソースのデータを変換するためのマッピング グループを選択します。選択するマッピング グループは、すでに選択したフィールドに合わせる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ オブジェクト (続く)

オブジェクト	説明
	たとえば、マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：国] の場合は、[国のマッピング] グループが使用されます。マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：都道府県] の場合は、[地域と都道府県のマッピング] マッピング グループが使用されます。

マップ ソース階層を自動的に生成します。

マップ ソース階層は、マップ レポートの作成に使用されるデータ ソースです。最上位のラッパーを除いて、階層内のマップ ソース レベルはそれぞれ、1 つのマップ ドリル レベルのデータを定義します。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて

注:
デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > マップソース.
2. [**New**] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	内容を端的に表す名前を入力します。たとえば、場所別のインシデントなどです。ユーザーは、マップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドでこの名前でマップ ソースを選択します。
テーブル	マップするフィールドが含まれているテーブルを選択します。階層内のすべてのマップ ソース レベルがこのテーブルを使用します。
フィールド	マップ レポートに表示するデータを持つフィールドを選択します。このフィールドは場所テーブルを参照する必要があります。たとえば、**incident.caller.location**、**incident.location** などです。このフィールドへのドット連結ができます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップ ソースを使用できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。

4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. [マップ ソース レベルを生成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 つのマップ ソース レベルが作成されます。レベル 1 のマップ ソースのみが [マップ ソース] 関連リストに表示されます。

> **注:**
> マップ ソースは最大 4 つのレベルを持つことができますが、自動的に生成されるのは 3 つのみです。使用するマップ階層で追加のドリル レベルが必要な場合は、4 つ目のレベルのマップ ソースを作成できます。

次のタスク
これで、マップ ソースをマップ レポートで使用する準備ができました。

マップ ソース レベルをカスタマイズする

マップ ソースでは、マップ レポートに表示するデータを構成します。 必要に応じて既存のマップ ソースをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて
> **注:**
> デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > マップソース.
2. レベルをカスタマイズするマップ ソースを開き、[マップ ソース] 関連リストを使用して該当するレベルまで移動します。
   たとえば、レベル 1 のマップ ソース名をクリックしてマップ ソース フォームを再度開き、関連リストでレベル 2 のマップ ソースを選択するなどの操作を行います。
3. 必要に応じて以下のフィールドを変更します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を入力します。マップ ソース レベルの名前にはレベルを含めます。たとえば、「場所別インシデント - レベル 2」などとします。
テーブル	同じテーブルがマップ ソース階層全体で使用され、最上位のマップ ソースで指定されます。
フィールド	マップ上に表示するデータを持つフィールドを選択します。他のフィールドへのドット連結ができます。データを表示するマップよりも詳細度が 1 レベル高いフィールドを選択します。 たとえば、世界地図に表示されるレベル 1 のマップ ソースのデータを構成する場合は、各国のデータを世界地図上に表示するため、[場所：国] を選択します。同様に、都道府県の地図に表示するデータを構成する場合は、[場所：都道府県] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 市ラベルは、マップ レポートにドリル ダウンするときに表示できる最も細かいレベルです。たとえば、都市内のさまざまな場所のレポートを作成して、最下位のマップ ソース フィールドの定義に location.name を含めた場合、マップ レポートには複数の場所が対応する市ラベルとして表示されます。その結果、同じ location.city の値を持つ複数の場所のレポートを作成すると、ラベルが同じで集計値が異なる複数のマップ ドットが表示され、異なる場所にドリル ダウンされます。 ほとんどのマップ ソースでは、場所テーブルのフィールドを使用します。
レベル	このマップ ソースの階層レベルを選択します。最大 4 つのレベルを持たせることができます。マップ ソース レベルはそれぞれ、マップ階層のドリル レベルに対応し、それらのレベルはほとんど一致しています。レベルはそれぞれ、必ず階層内に 1 回だけ出現します。
アクティブ	マップ レポートの作成時にこのマップ ソースを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。

4. [データ変換] セクションで、必要に応じて以下のフィールドを変更します。

フィールド	説明
データ	このマップ ソースでのデータの使用方法を選択します。 ○ [テーブルのデータを使用]：ServiceNow プラットフォームのデータを無変換で使用します。データがすでにマッピング先の JSON キー値と一致している場合は、このオプションを選択します。 ○ [マッピングを使用]：マッピング先の JSON キー値と一致するようにデータを変換します。hc キーの geoJSON キーを使用する地図のマップ ソースの場合は、常にこのオプションを選択します。 ○ [緯度と経度を使用]：緯度と経度の座標を使用してデータをプロットします。このオプションは、レベル 3 などの下位のマップ レベルでは常に選択してください。データに緯度と経度の値があることを確認してください。 **警告:** [緯度と経度を使用] オプションでは、このマップ ソースを使用しているマップのヒートマップとドリルが無効になります。そのため、階層の最下位であるマップ ソース レベルでのみ、このオプションを選択してください。
次のマッピングを使用	[マッピングを使用] を選択した場合は 、使用するマッピング グループを選択します。マッピング グループは、データを変換するキーと値のペアのマッピングの集まりです。マッピング グループ内のマッピングを確認するには、[場所マッピング] の [sys_report_map_source_mapping] テーブルに移動します。 たとえば、フィールド値 **[USA]** を hc キー値 **[us]** に変換する場合は、[国のマッピング] を選択します。これには、関連するキーと値のペアのマッピングが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[JSON** キー] セクションで、マップ ソース データをマップに結び付ける JSON キーを選択します。
   地図では通常、hc キーを使用します。

   レポート マップにはすべて JSON 定義があります。データのマップ先となる JSON のキーと値のペアを 1 つ選択します。マップに表示するデータは、JSON キー値と一致する必要があります。したがって、選択するキーによって、[データの使い方] セクションの設定でデータを変換する必要があるかどうかが決まります。すべてのデフォルトのプラットフォームマップとマッピングは、geoJSON hc キーと ISO 3166 標準値を使用します。カスタム マップでは、別の JSON キーを入力できます。

6. **[Update** (更新)] をクリックします。

キーと値のペアのマッピングを作成する

キーと値のペアのマッピングは、ServiceNow プラットフォームのデータを、マップ上にプロットできる値に変換するものです。データの変換が必要な場合は、マップ ソースの構成時にマッピングが使用されます。マッピングはそれぞれマッピング グループに存在します。

始める前に
必要なロール:report_admin または admin

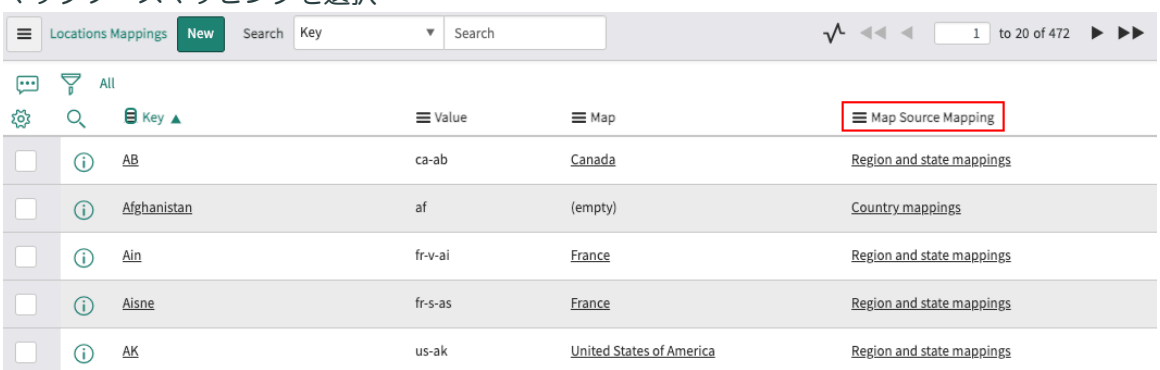
このタスクについて
デフォルトのシステムのキーと値のペアでは、データが geoJSON hc キー値にマップされます。hc キー値はすべて ISO 3166 規格に準拠しています。デフォルトのマッピングは、最も一般的に使用されるデータ値のために用意されています。データで異なる値を使用する場合は、キーと値のペアのマッピングを作成する必要があります。

たとえば、United States of America のデフォルトマッピングでは、キー USA を ISO 値 us にマップします。データの値が米国ではなく米国の場合、 米国 を ISO 値 US にマッピングするには、新しいキーと値のペアを作成する必要があります。

手順

1. 場所マッピング [sys_report_map_source_mappings] テーブルに移動します。
2. [ソースマッピングをマップ] 列で、マッピングを追加するマッピンググループを選択します。
   マッピングを作成する対象のオブジェクトのタイプに対応したマッピング グループを選択します。たとえば、フィールド値 United States のマッピングを作成する場合は、[国のマッピング] グループを選択します。マッピングのある行の [キー] と [マップ] の値は考慮されないことに注意してください。

マップソースマッピングを選択



3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

場所マッピング

フィールド	説明
キー	変換するフィールド値。たとえば、USA などです。
値	キーの変換先となる値。たとえば、us などです。この値は、通常は ISO 3166 規格の値です。値はそれぞれマップごとに 1 回のみ使用できます。
マップ	このマッピングに関連付けるマップ。このフィールドに記入しない場合、このマッピングは任意のマップで使用できます。

5. [送信] を選択して変更を保存します。

次のタスク
マッピングをレポート ソースに追加すると、マッピングを使用してそのソースからマップにデータをマップすることができます。

マップを作成する

マップ階層で使用できるマップを作成します。

始める前に
必要なロール:report_admin または admin

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > マップをクリックし、[新規] をクリックします。
2. 必要に応じて次のフィールドに入力します。

レポート マップ フォーム

フィールド	説明
キー	このマップを他のマップにリンクする一意のキーを指定します。デフォルトのマップの場合、キーは hc キー値です。キーは親マップの geoJSON に含める必要があります。
名前	マップの名前を入力します。
レベル	マップ階層におけるこのマップのレベルを指定します。
JSON 定義	マップの geoJSON を定義します。Highchartsから事前定義されたマップをダウンロードできます。
親	このマップの親マップを選択します。親子関係によって、マップ階層内のドリル レベルが定義されます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。
地理的地図	マップが地理的でない場合は、このチェック ボックスをオフにします。たとえば、フロア マップではこのチェック ボックスをオフにします。

3. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
4. マップのデータをフィルタリングする条件を追加するには：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [マップ条件] 関連リストで、[新規] をクリックします。

b. フィールドに入力します。

マップ条件フォーム

フィールド	説明
アクティブ	この条件を適用するには、このチェック ボックスをオンにします。
テーブル	これらの条件を適用するテーブルを指定します。テーブル間で条件を共有することはできません。
マップ ソース	条件を適用するマップ ソースを選択します。
条件	このマップに適用するフィルター条件を追加します。

c. [送信] をクリックします。

5. オプション: [レポート マップ] 関連リストで、マップ階層を拡張する子マップを作成します。

6. [更新] をクリックしてマップを保存します。

マップ レポートのデフォルトのマップを設定する

マップ レポートの作成時にデフォルトで [マップを設定] フィールドに表示されるマップを作成します。

始める前に
必要なロール：admin または report_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > プロパティ.

2. [「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します] フィールドに、デフォルトとして設定するマップのキーを入力します。
マップのリストは以下にあります レポート > アドミニストレーション > マップ.

3. **[Save** (保存)] をクリックします。

テーブルとフィールドの説明の管理

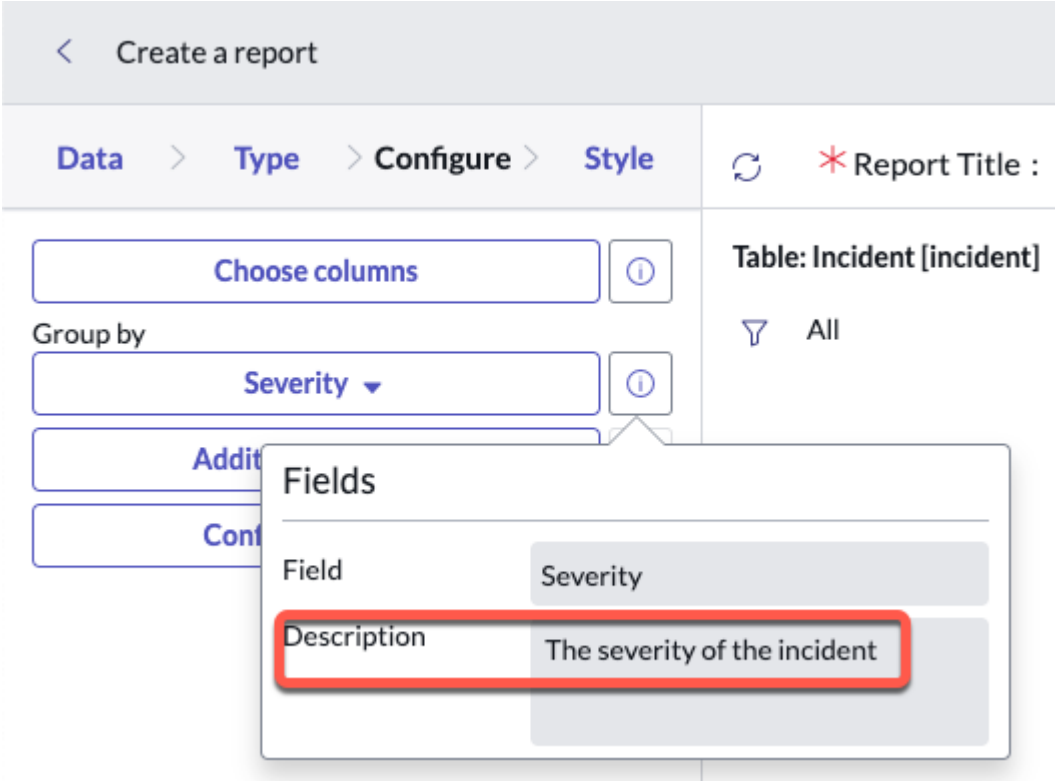
report_description_admin ロールを持つユーザーは、レポートの作成時にユーザーに表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

admin ロールを持つユーザーは、report_description_admin ロールを有効にする必要があります。report_description_adminロールを持つユーザーは、フィールドとテーブルの説明を編集できます。レポートアドミニストレーターは、アクティブ化されるとデフォルトでこのロールを継承します。

レポートデザイナーでは、[データ] タブにテーブルの説明が表示されます。必要に応じて、[構成] タブにフィールドの説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



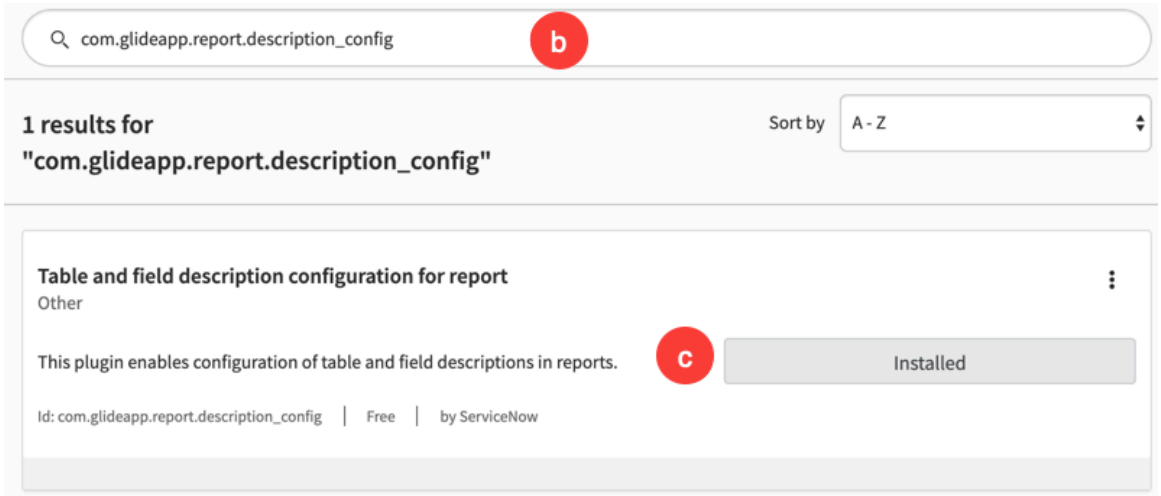
レポート記述の **admin** ロールの有効化

admin ロールを持つユーザーは、report_description_admin ロールを有効にすることができます。このロールを持つユーザーは、テーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > プラグイン.
2. 検索バーに 「com.glideapp.report.description_config 」と入力します。
3. レポートプラグインのテーブルとフィールドの説明の構成をインストールします。



4. report_description_adminロールをアサインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「ユーザーへのロールのアサイン」および「グループへのロールのアサイン」を参照してください

report_adminロールを持つユーザーには、自動的に新しいロールが割り当てられます。

タスクの結果

レポート デザイナーでは、[データ] タブにテーブルの説明が表示され、必要に応じて [構成] タブにフィールドの説明が表示されます。

テーブルとフィールドの説明を編集する

report_description_admin ロールを持つユーザーは、レポートの作成時にユーザーに表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

始める前に

必要なロール:report_description_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > フィールドの説明.
   [フィールドラベル] リストには次の 4 つの列があります。

   テーブル

   要素が関連付けられているテーブルを一覧表示します。この列には、テーブルのフィールドごとに 1 つのエントリと、テーブル自体に 1 つのエントリがあります。

   要素

   説明が適用されるテーブル内のフィールド。[要素] の値が空の場合、説明がテーブルに適用されます。

   言語

   フィールドがローカライズされる言語の 2 文字のコード。読み取り専用です。

   > **注:**
   > 説明を追加する言語のコードを右クリックし、[この値で絞り込み] を選択します。このようにして、このタスクに必要なフィールドのみにテーブルを制限します。

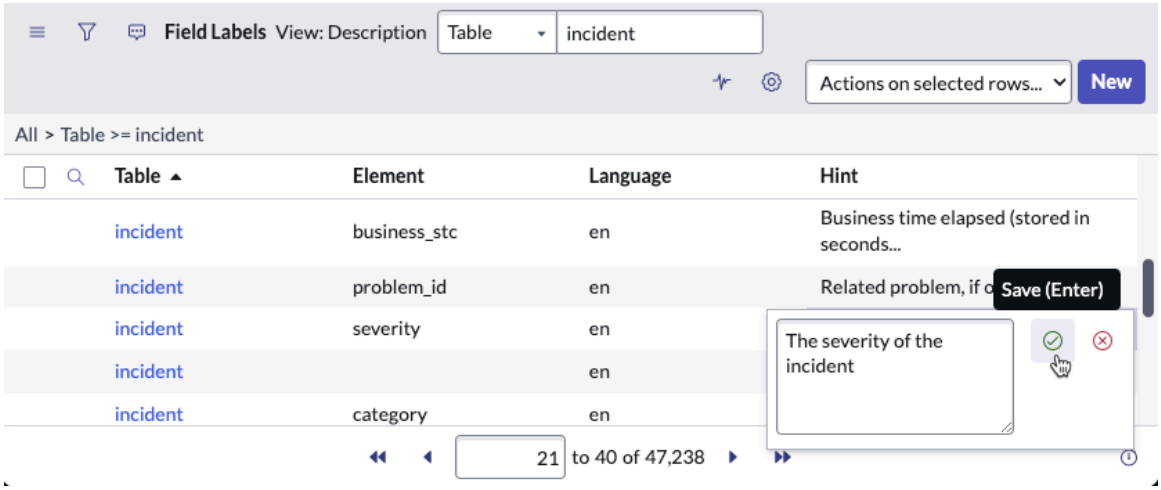
   ヒント

   レポートデザイナーでユーザーに表示されるテーブルとフィールドの説明が含まれています。

自動翻訳

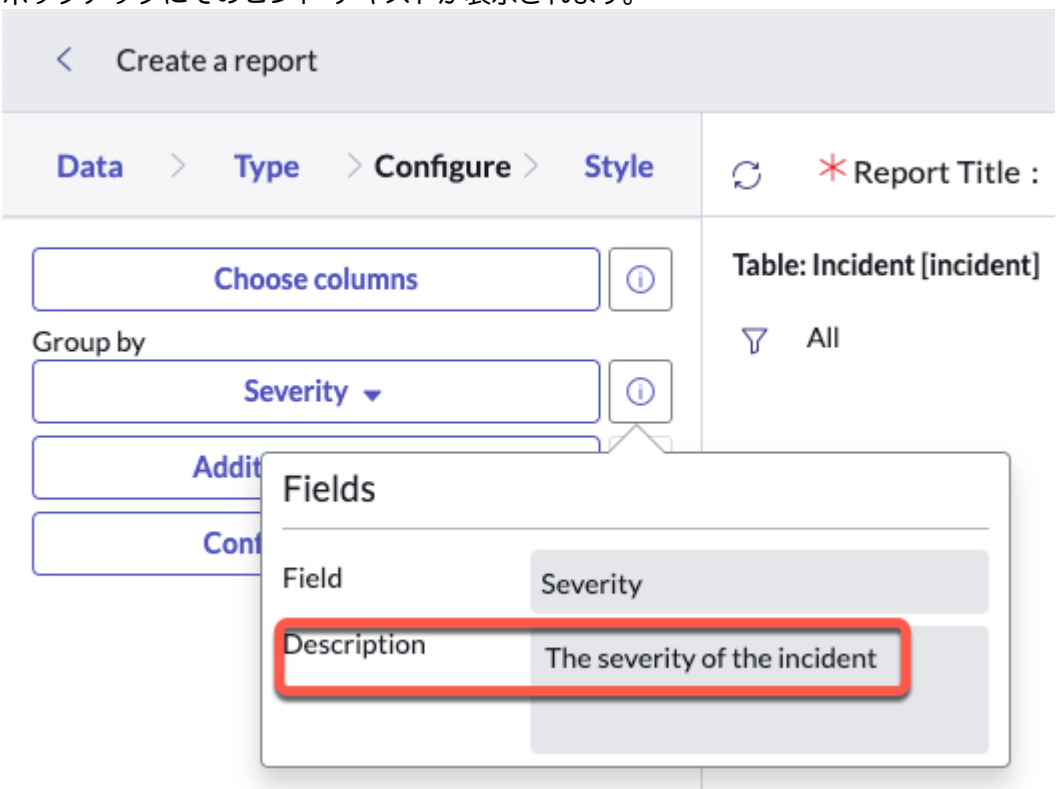
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [ヒント] 列のセルをダブルクリックし、説明を追加または編集します。
チェックアイコンをクリックして、説明を保存しま



す。

タスクの結果
レポート デザイナーで、ヒントを追加したフィールドでグループ化すると、そのフィールドの情報ポップアップにそのヒント テキストが表示されます。



マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する

マルチレベルピボットテーブルレポートでの数値の表示方法に関するルールを設定します。色分けルールを使用すると、より重要な値を簡単に強調表示できます。カラー ルールは、ピボット レポートのセルの内容に適用されます。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

注:
マルチレベル ピボット レポートの [セルの合計数] に色分けルールを適用することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. レポート デザイナーの [スタイル] タブで、[色分けルールの編集] を選択します。
「セキュリティ制約により、要求されたページにはアクセスできません」というエラーメッセージが表示された場合は、アクセス制御リストがアクセスを妨げています。必要に応じて、security_admin ロールを持つユーザーは、マルチレベルピボットルール [sys_report_mpivot_rule] テーブルに読み取りおよび書き込みアクセス制御リスト (ACL) を作成する必要があります。
2. [マルチレベルピボットルール] ダイアログボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

マルチレベルピボットルールのフィールド

フィールド	説明
演算子	セルの値を評価するときに使用する演算子 ([次の値を超える]、[次の間] など)。たとえば、セルのスタイルを 5 未満の値に設定するには、[未満] を選択し、[値 **1]** の値に 5 を指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 **注:** 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致するためにセルに含めることができる最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致するセルに適用するフォントの色。
背景色	このルールに一致するセルに適用する背景色。このオプションは、マルチレベルピボットテーブルレポートにのみ適用されます。
ルール注文	ルールが適用される順序を決定する数値。ルール オーダーが高いルールほど後で適用され、オーダーが低いルールほどオーバーライド (無効化) されます。 たとえば、あるルールは 140 より大きい値のセルと照合し、別のルールは 150 より小さい値のセルと照合します。それらより高いオーダーのルールは 141 ～ 149 の値を持つセルに適用されます。

4. [送信] を選択してルールを保存し、別のルールを作成するか、[**OK**] を選択してルールを保存し、レポート デザイナーに戻ります。

単一スコア レポートの色付けルールを作成する

単一スコアレポートでの数値の表示方法に関するルールを構成して、値が重要である理由を強調表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

この作業は、単一スコア レポートのスタイル オプションを構成する作業の一部です。

色分けルールを実装する手順例については、 単一スコアの可視化の例 を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. レポート デザイナーの [スタイル] タブで、[色分けルールの編集] をクリックします。
2. [マルチレベルピボットルール] [単一スコアカラールールビュー] ダイアログボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

単一スコアの色ルールフィールド

フィールド	説明
オペレーター	値を評価するときに使用される演算子 (**greater than** や **between**)。たとえば、5 未満の値をスタイル設定するには、[より小さい] を選択し、[値 **1**] の値を 5 に指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 注: ○ カラー ルールが集計値に適用されます。 ○ 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致する最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致する値に適用するフォントの色。検索アイコン ( ) を選択して既存のリストから色を選択するか、16 進数の色値を入力します。
ルールの順序 (オプション)	色ルールが適用される順序を決定する数値。 ルールは最低値から最高値の順に評価されます。たとえば、1 つのルールは値 7 に青を適用し、2 番目のルールは 1 ～ 10 の値に赤を適用します。7 を青色で表示する場合は、2 番目のルールで上書きされないように、最初のルールの [ルール順序] の値を大きくする必要があります。 ルールの順序を指定しない場合、色分けルールは作成された順に適用されます。

4. [送信] をクリックしてルールを保存して新しいルールを作成するか、[**OK**] をクリックしてルールを保存してレポート デザイナに戻ります。

タスクの結果

ルールで指定した色は、編集中の単一スコアレポートに適用されます。

ドメインセパレーションとレポート

ドメインセパレーションはレポートでサポートされており、レポートの作成と管理に関連しています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

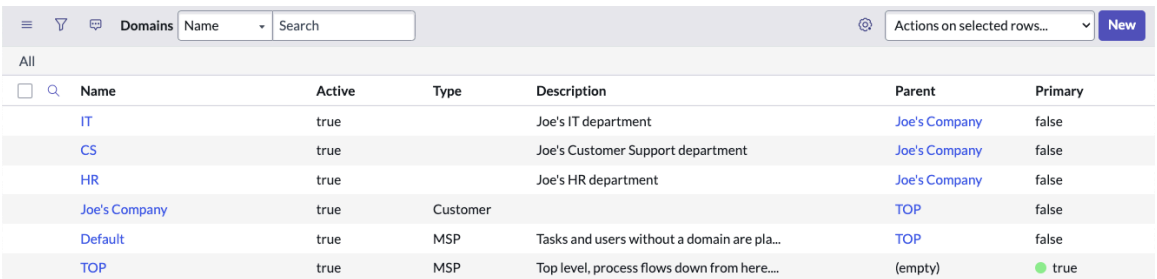
Activation (アクティブ化)

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「 ドメインセパレーションの要求 」を参照してください。

レポートでのドメインセパレーションの仕組み

Reporting では、分離されたデータにはレポート デザインとレポート コンテンツが含まれます。グローバル レベルで定義されたレポートは、すべての子ドメインのユーザーに表示されます。

- TOP ドメインで作成されたレポートは、Joe's Company ドメインのユーザーに表示されますが、Joe's Company の HR、CS、および IT の子ドメインでは表示されません。
- IT、CS、または HR のいずれかの子ドメインで作成されたレポートは、他の子ドメインのユーザーには表示されませんが、親 Joe's Company ドメインのユーザーには表示されます。
- 親 (Joe's Company) ドメインで作成されたレポートは、そのドメインのユーザーのみが利用でき、子ドメインのユーザーは利用できません。



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

あるドメインでレポートを作成して別のドメインにコピーする場合、レポート構造は変わりませんが、レポートデータはドメインに合わせて調整されます。たとえば、アクティブなインシデントレポートには、親ドメインのユーザーに対するすべてのアクティブなインシデントが表示されますが、IT ドメインのユーザーに対する IT インシデントのみが表示されます。

関連情報

- アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート
- ドメインセパレーションの概要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートでドメインセパレーションを有効にする

ドメインセパレーションプラグインを有効にして、ログオンしたユーザー ドメインのデータ、ルール、および設定に基づいてレポートにコンテンツを表示できるようにします。

始める前に
必要なロール：security_admin

このタスクについて
デフォルトでは、ドメイン サポート プラグインによって特定のテーブルのデータがドメイン別に分離されます。ただし、MSP 拡張プラグインがインストールされていない限り、レポートはドメイン別に分離されません。レポートにはユーザーのドメインのデータのみ表示されますが、ユーザーはすべてのレポートを表示できます。

MSP 拡張プラグインがインストールされていない場合は、次の手順に従ってレポートのドメインセパレーションを有効にします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション をクリックし、ドメインごとに分割するレポートを選択します。
2. ヘッダーを右クリックし、 構成 > ディクショナリ.
3. [sys_domain] フィールドでディクショナリを構成し、[参照] フィールドにこのレポートのドメインを入力します。
   空白のままにすると、レポートはグローバルになります。
   [ドメイン] フィールドがレポートに表示され、このフィールドからテーブルが参照されます。
   フォームにドメイン フィールドが表示された後、テーブル内のすべてのレコードのドメイン フィールドが有効になります。デフォルトでは、これらのレコードはすべてグローバルです。

関連情報

ドメインセパレーションを要求する

レポート のクイックスタートテスト

アップグレードの適用などの構成変更を行った後も、 レポート がまだ 機能 」であることを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

レポート クイックスタートテスト自動テストフレームワーク (ATF) - レポートプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.report) は、デフォルトまたはインスタンスの再起動時にアクティブ化されます。

> **注:**
> レポート クイックスタートテストはダッシュボードからのレポートアクセスをテストしません。ダッシュボードをテストするには、「ダッシュボードのクイックスタートテスト」を参照してください。

レポート クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レポートの可視化	レポートを共有しているユーザーにレポートが表示されるかどうかを確認します。	Madrid

関連情報

クイックスタートテスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートヴィジビリティテストステップ

これらの事前設定されたサンプルテストステップはカスタマイズできます。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
レポート可視化テストには、次の 2 つのタイプのステップが含まれています。

代理操作

このステップを設定するときは、以下の「確認」のステップを実行するときに代理操作するユーザーを選択します。アクセスをテストするロールを持つ 1 つまたは複数のユーザーを選択します。

レポートヴィジビリティ

このステップを設定するときは、テストするレポートを選択します。また、テストの成功が陽性か陰性かも選択します。つまり、ユーザーがレポートを表示できる場合と、ユーザーがレポートを表示できない場合に、レポートの表示を許可するかどうかを設定します。

プラグインに含まれるサンプルテストには、次の 3 つのステップが含まれています。

手順

1. ユーザーの代理操作を行います。
2. テストユーザーがテストレポートを表示できることを確認します。
3. テストユーザーがテストレポートを表示できないことを確認します。

次のタスク
ただし、テストをカスタマイズする場合は、2 種類のステップを追加して構成することで、任意の論理シーケンスでステップを組み合わせることができます。たとえば、レポート可視化テストを次のように設定できます。

1. 「ユーザーの代理操作」を参照してください。
2. このユーザーがレポートを表示できることを確認します。
3. このユーザーが別のレポートを表示できることを確認します。
4. このユーザーが 3 番目のレポートを表示できないことを確認してください。

カレンダー レポートをカスタマイズする

カレンダー タスクに表示されるフィールドを指定できます。

デフォルトでは、 番号フィールドと **short_description** フィールドが表示されますが、この動作は構成可能です。さまざまなフィールドに対してレポートのラジオ ボタンを構成し、優先度や承認ステータスなどのプロパティーによってカレンダー エントリーをハイライト表示することができます。タスク プロパティーごとに固有のハイライト表示カラーを選択できます。

カレンダー エントリーの表示方法を構成する

テーブルのカレンダー エントリーの表示方法を構成するには、そのテーブルの「システム辞書」エントリーに calendar_elements 属性を追加します。

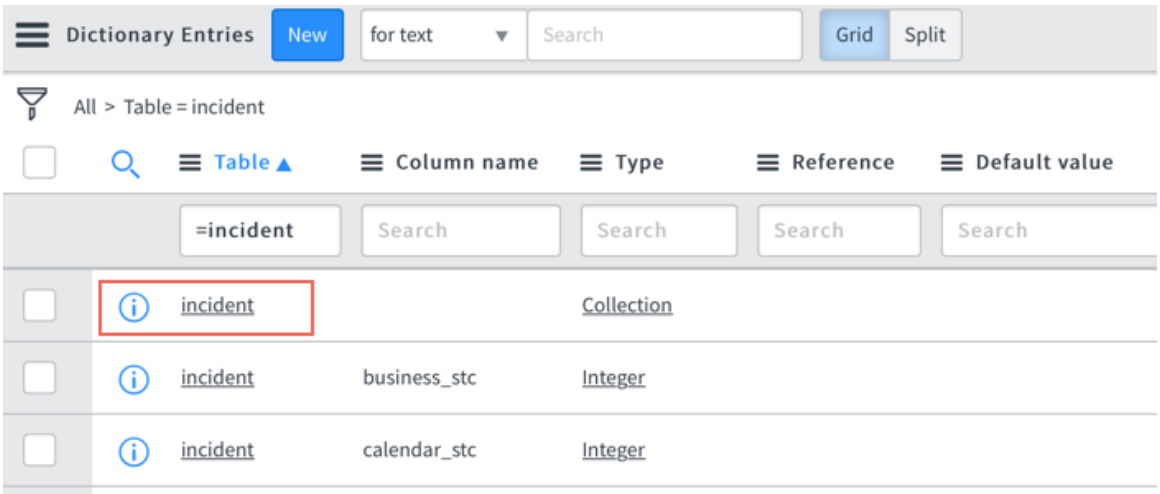
始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

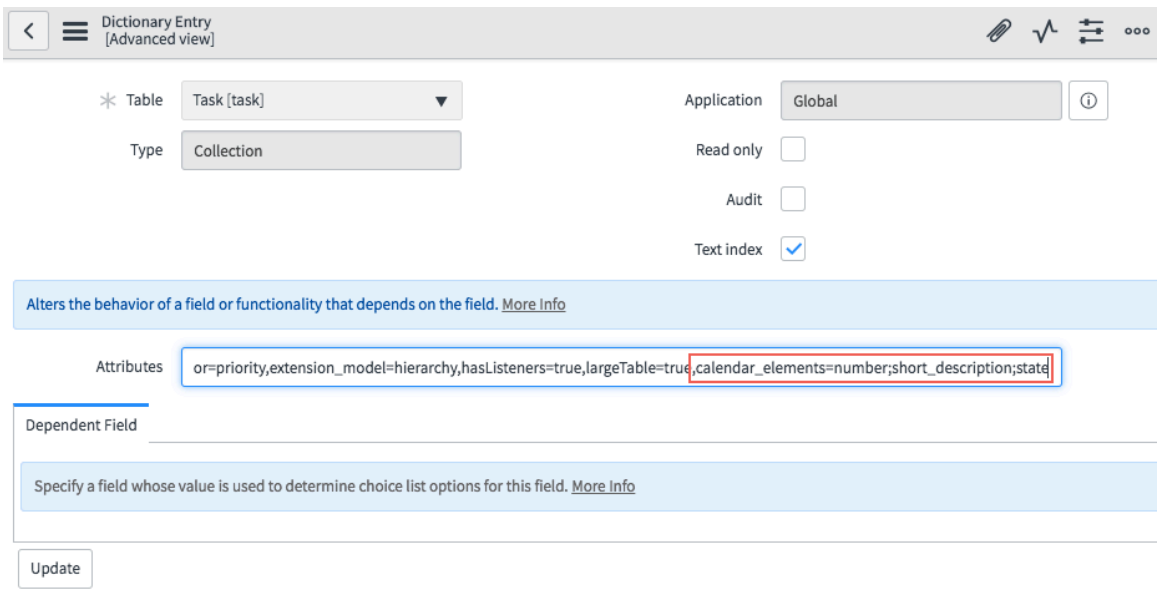
1. テーブルの任意のレコード用のフォームを開きます。
2. フォームヘッダーを右クリックし、 構成 > ディクショナリ.
3. 表示されるレコード リストで、[列名] フィールドに値が存在しない最初のレコードを選択します。



4. [辞書エントリー] フォームを詳細ビューに切り替えます。
5. [属性] フィールドに *calendar_elements=<field name>;<field name>*を追加し、カレンダーレポートの各エントリに表示するフィールドをセミコロンで区切って一覧表示します。

注:
カレンダー要素の属性を定義すると、デフォルトの表示要素である **number** フィールドと **short_description** フィールドが、このフィールドに列挙した属性に置き換えられます。カレンダー エントリーにさらに属性を追加し、変更された番号と簡単な説明を保持するには、**number** フィールドと **short_description** フィールドを属性に含めます。たとえば、タスク カレンダーにステータス情報を追加するには、タスク テーブルに次の属性を追加します。

```
calendar_elements=number;short_description;state
```



自動翻訳

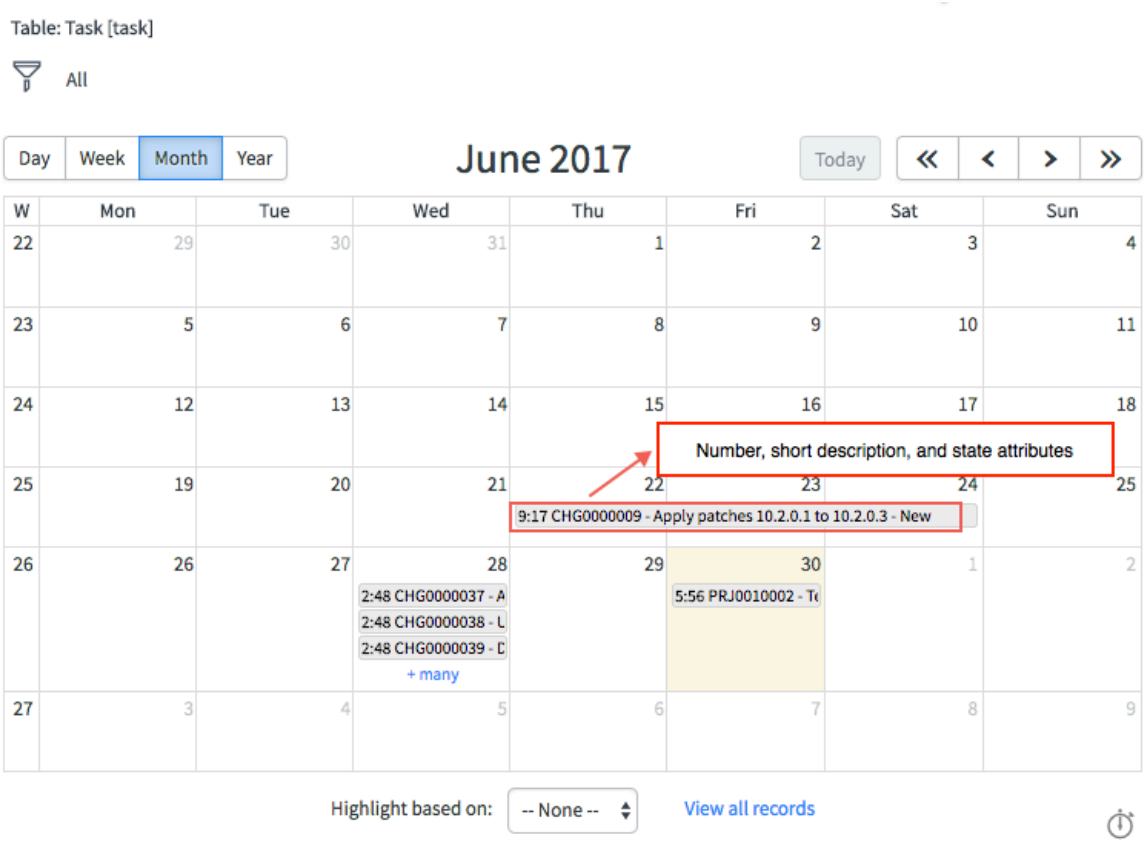
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. テーブルにすでに属性が存在する場合は、次の例のように、追加する属性をカンマで区切ります。

```
reference_index_include=active,calendar_elements=number;short_description;state
```

7. [**Update** (更新)] を選択します。

タスクの結果
選択したテーブルに対して追加した属性が、カレンダー エントリーに表示されます。



カレンダーレポートのシステムプロパティの変更と追加

システム プロパティーの値を指定して、カレンダー イベントでのタスク テーブルのハイライト表示を無効にしたり、カレンダー セル内のイベント数を制限したり、カレンダー週の開始日を変更したりすることができます。

カレンダー イベントがハイライト表示されるようにタスク テーブルのフィールド スタイルを上書きする

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、特定のテーブルに対して定義されるフィールド スタイルで構成されます。カレンダー レポートで、テーブルのフィールド スタイルを使用するか、またはレポートのベースになっているレポート ソースのフィールド スタイルを使用するかを構成できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、タスク [task] テーブルのフィールド スタイルがカレンダー レポートに適用されます。カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク テーブルのスタイルが上書きされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. *glide.ui.report.extend_calendar_choices* プロパティを選択して、カレンダーの強調表示時に使用するフィールドスタイルを指定します。
   - False の場合、カレンダー レポートでは、カレンダーのハイライト表示のオプションを決定するときに、タスク テーブルのスタイルのみ使用されます。たとえば、変更要求 [change_request] のカレンダー レポートでは、タスク [task] テーブルのスタイルのみが使用され、2 つのテーブルの組み合わせによるスタイルは使用されません。
   - True の場合、カレンダー レポートでは、カレンダー レポートのベースになっているテーブルのフィールド スタイルが使用されます。
3. [更新] をクリックします。

カレンダー日に表示されるイベントの数を制限する

カレンダーレポートでは、一部のカレンダービューに表示されるイベントの最大数を設定できます。

始める前に
必要なロール:report_admin、admin

このタスクについて
イベントの最大数を超えると、 **+ <数字>** リンクが表示され、追加のイベントを含むポップアップ ウィンドウが開きます。このポップアップ ウィンドウに表示されるイベントの最大数を構成することもできます。この最大値を超えると **[+** 多数] リンクが表示され、ポップアップ ウィンドウの代わりにイベントのリストが開きます。

次のカレンダー ビューに対してこれらの設定を構成できます。

- カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるときのカレンダー日
- カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっているときのカレンダー日の一番上の「終日」セクション

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. *glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell* と *glide.report.calendar.max_more_events_per_day* のプロパティを構成します。
3. **[Update** (更新)] をクリックします。

カレンダーの週の開始日を変更する

デフォルトでは、カレンダー レポートの週は月曜日から開始されます。代わりに、日曜日または別の日に週を開始するシステム プロパティーを追加できます。

始める前に
必要なロール：admin
glide.ui.date_format.first_day_of_week システムプロパティは、クエリで使用される生成された日付/時刻値を変更し、レンダリングされたカレンダーで週の開始日を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

glide.ui.filter.first_day_of_week また、設定された日を正しく表示するには、*glide.ui.date_format.first_day_of_week* と同じ値に設定する必要があります。

パフォーマンスアナリティクススコアデータの収集後に*glide.ui.filter.first_day_of_week*プロパティを変更すると、週次インジケーターのスコアを表示できなくなります。それらにアクセスするには、 スコアを再度収集 する必要があります。

手順

1. *glide.ui.date_format.first_day_of_week* システムプロパティを追加します。
2. 次のいずれかの整数値を設定します。

オプション	説明
日曜日を週の開始日にする	[値] を 1 に設定します。
月曜日を週の開始日にする	[値] を 2 に設定します。
火曜日に週を開始	値を3 に設定
週の開始日は水曜日	値を4 に設定
週の開始は木曜日	値を5 に設定
週の開始日は金曜日	値を6 に設定
土曜日に週を開始	値を7 に設定

注:
明示的にサポートされているのは日曜日と月曜日のみです。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
システムプロパティ *glide.db.week_numbering* を設定して、週の計算方法を指定します。詳細については、「カレンダーの週をカスタマイズ」を参照してください。

カレンダーの週をカスタマイズ

システムプロパティを構成して、暦週番号の決定方法を指定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. sys_properties.list に移動します。
2. *glide.db.week_numbering* システムプロパティを追加します。
   詳細については、「Add a system property」を参照してください。
3. 次のいずれかの文字列値を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
iso_week	第 1 週は、1 月 4 日、最初の営業日、または第 1 木曜日の週です。(これらは相互に同等です。第00週はありません。
sunday_week	第 1 週は、その年の第 1 日曜日の週です。第 0 週に入る前の日数です。
monday_week	第 1 週は、その年の第 1 月曜日の週です。第 0 週に入る前の日数です。
jan1_week	第1週は1月1日から7日です。次の 7 日間は第 2 週、以下同様です。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

カレンダー レコードの上限を設定する

デフォルトでは、カレンダー レポートには最大 10,000 件のレコードが保存されます。この制限を変更するには、 *glide.ui.max_calendar_records* システムプロパティを設定します。取得されるレコードの数がこの制限を超える場合は、データをフィルタリングしてレポートを再実行するよう求められます。

始める前に
必要なロール：admin。

手順

1. *glide.ui.max_calendar_records* システムプロパティを追加します。
2. フォームに次の値を入力します。

オプション	説明
[Name (名前)]	*glide.ui.max_calendar_records*
説明	プロパティーの機能を説明するフレーズ (「保存されたレンダー レコードの最大数」など) を入力します。
タイプ	整数
値	プラットフォームで保持されるレコード数の望ましい値を入力します。このプロパティーを構成しない場合のデフォルト値は 10,000 です。

3. [送信] をクリックします。

関連情報

システムプロパティを追加する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示を変更する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、フィールド スタイルによって制御されます。ハイライト表示の方法を変更するフィールド スタイルを管理します。

始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
カレンダーに対して、カレンダーのベースになっているテーブルのフィールド スタイルを適用するか、またはタスク [task] テーブルのフィールド スタイルを適用できます。カレンダーの強調表示に適用されるフィールドスタイルは、 *glide.ui.report.extend_calendar_choices* システムプロパティによって異なります。

変更できるのはカレンダー イベントの背景色のみです。その他の CSS はすべて無視されます。フィールド スタイルが定義されていないイベントには、カレンダー レポートにハイライトが適用されるときに白い背景が表示されます。

注:

適切なテーブルのフィールドスタイルを定義します。

- すべてのカレンダー レポートのフィールド スタイルを定義するには、タスク [task] テーブルでスタイルを定義します。
- 特定のテーブルまたはレポート ソースに基づくカレンダーにのみ適用されるフィールド スタイルを定義するには、そのテーブルのフィールド スタイルを定義します。

カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク [task] テーブルのスタイルが上書きされます。

手順

1. 次のように移動する。 システム **UI** > フィールドスタイル.
2. リストをフィルタリングして処理するテーブルを表示し、結果をフィールド名でグループ化します。

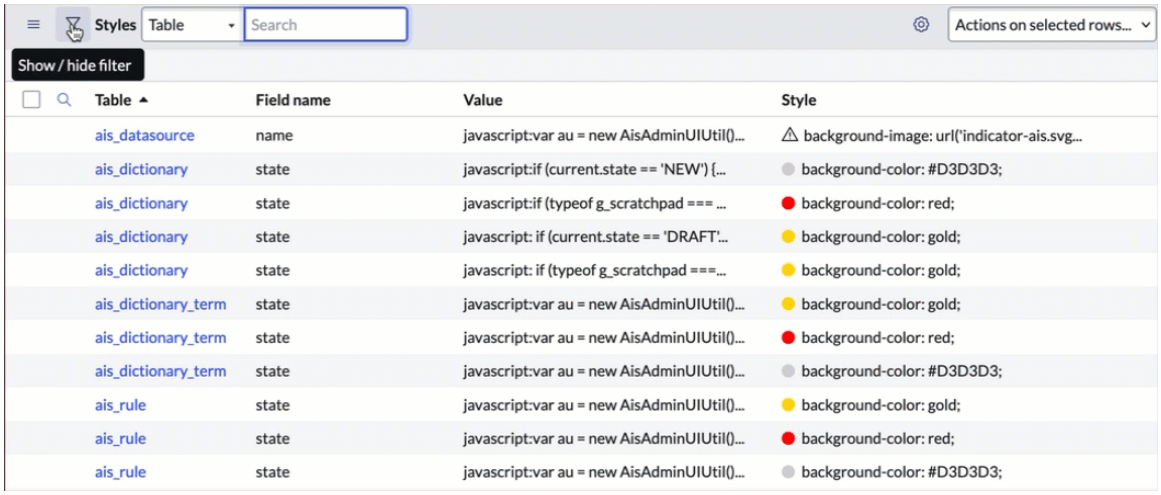


Table	Field name	Value	Style
ais_datasource	name	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-image: url('indicator-ais.svg...
ais_dictionary	state	javascript:if (current.state == 'NEW') {...	background-color: #D3D3D3;
ais_dictionary	state	javascript:if (typeof g_scratchpad === ...	background-color: red;
ais_dictionary	state	javascript: if (current.state == 'DRAFT'...	background-color: gold;
ais_dictionary	state	javascript: if (typeof g_scratchpad ===...	background-color: gold;
ais_dictionary_term	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: gold;
ais_dictionary_term	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: red;
ais_dictionary_term	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: #D3D3D3;
ais_rule	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: gold;
ais_rule	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: red;
ais_rule	state	javascript:var au = new AisAdminUIUtil()...	background-color: #D3D3D3;

3. ハイライト表示するフィールドと値の横にあるテーブルの名前を選択します。



4. 必要に応じて、background-color の値を変更します。
色名と RGB 値の両方が有効です。
5. [**Update** (更新)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始日と終了日のカスタマイズ

複数日のイベントが複数のカレンダー セルにわたるように、カレンダー レポートを構成することができます。

始める前に
必要なロール:dictionary admin または admin。

このタスクについて
[作業開始日時] が月曜日で [作業終了日時] が火曜日の変更要求は、[カレンダー] フィールドに表示されるときに両方の日に表示されます。ただし、[開始日] と [最終更新日] という 2 つのカスタム フィールドが使用されている場合、同じ動作は発生しません。

コードでは、開始日時フィールドと同じ名前の終了フィールドが検索されますが、「開始」ではなく「終了」という語が使用されます。カスタム フィールドが [自分の開始日時] および [自分の終了日時] の場合には、「開始」と「終了」の語を除いて名前が同じであるため、これらのフィールドの意味は正しく解釈されます。

手順

1. テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズする の手順に従います。
2. フォームに次の値を入力して、開始日のスパン フィールドを作成します。

3. 終了日のスパン フィールドについて、次の値を使用して別のフィールドを追加します。

レポートのグループ化ラベルを翻訳する

翻訳されたテキストフィールドで結果をグループ化するレポートを実行する場合、個々のフィールドラベルと値が翻訳済みとして表示されるようにするには、translated_textタイプを使用します。

> **注:**
> レポートでは、translated_text タイプの列のみがサポートされます。

マルチレベルピボットレポートや棒グラフレポートなど、翻訳されたテキストフィールドで結果をグループ化するレポートを実行する場合、インスタンス言語を英語から別の言語に変更すると、ラベルのすべてが翻訳済みとして表示されないことがあります。これらのフィールドラベルは、 翻訳名/フィールドテーブル からのエントリです。

翻訳エラーは、レポートの最初の行または列を超えるものを翻訳する場合、またはグループ化用のカスタムフィールドを作成する場合に発生する可能性があります。translated_textタイプを使用して、 個々のフィールドラベルと値を翻訳します 。特定のレポートタイプの [構成] タブで使用できるグループ化オプションについては、 レポートタイプ を参照してください。

レポートのカスタムフィールドを作成しても、ラベルは自動的に追加されません。[フィールドラベル] テーブル にラベルを追加し、フィールドラベルを手動で翻訳 する必要があります。

関連情報

- 翻訳テーブル
- テキストフィールドを翻訳する
- インターナショナリゼーションサポート

レポート管理モジュール

を使用して ServiceNow プラットフォームでレポートを管理する方法を学びます レポート > アドミニストレーション 移動します

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このモジュールはデフォルトでは有効になっておらず、有効にする必要があります。ServiceNow プラットフォームで提供されるレポートロールのリストについては、「レポート ロール」を参照してください。

注:
レポートをロール別に制限すると、レポートを表示できるユーザーが制限されます。管理者ロールを持たないユーザーは、グローバル レポートを編集することはできません。管理者以外のユーザーがグローバル レポートを編集した場合、そのレポートを保存すると、そのユーザーに属するカスタマイズ バージョンが作成されます。

標準のレコード リスト コントロールのいずれかを使用してレポートをフィルタリング、表示、または変更するには、レコード リスト ビューを使用します。[新規] をクリックしてレポートを作成するか、または任意のレコードを選択してレポートをフォームとして表示します。ServiceNow のすべての標準のフォーム コントロールが適用されます。

レポートするテーブルとフィールド、およびレポート形式の特性を選択することができます。[フィルター] フィールドに条件を作成して、レポートに表示されるデータをさらに限定し、レポートを使用できるロールを選択します。

レポートのセキュリティー

レポートのセキュリティーのアクセス制御チェックの適用プラグインを使用すると、管理者はアクセス制御リスト (ACL) ルールを使用してレポート アクセスを制限できます。この機能により、権限のないユーザーは、UI または URL 構成を使用してレポートを編集、更新、または削除することができなくなります。詳細については、「 アクセス制御リストのルール 」を参照してください。

利用可能なレポート フィールド

次のフィールドを操作できます。

フィールド	入力値
タイトル	一意でわかりやすいレポートの名前。
テーブル	このレポートが実行される対象の ServiceNow テーブル。
フィールド名	group-by フィールドの名前。
タイプ	このレポートのレポート タイプ。
チャート サイズ	大、中、または小。
表示対象	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
ユーザー	グラフを表示できるユーザー。すべての人がレポートにアクセスできるようにするには、「GLOBAL」と入力します。
フィルター	レポート データに適用されるフィルター。
ロール	レポートの表示に必要なロール。
以下のフィールドは、フォームに追加された場合に使用できます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	入力値
集計	レポートでのデータの集計方法を決定します。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、データの集計に使用する値を持つ追加のフィールドのリストから選択できます。平均または合計として使用する典型的な値としては、[ビジネス継続時間] (日単位、時単位、分単位) や [解決時間] (秒単位) などの時間測定値があります。その他の [優先度] などのフィールドでは、数値がそのレベルに関連付けられており、集積者として使用することができます。 **注:** 平均は、すべてのフィールドの合計を、値を含むフィールドの数で除算することによって計算されます。空のフィールド、または明るい灰色のゼロを含むフィールドは、合計を除算する際に使用されるフィールド数には含まれません。
コンテンツ	レポートの内容を記述する HTML フィールド。レポートの生成では処理されません。
グリッドを表示	グラフの下に、要求されたデータの内訳を含むテーブルを表示する場合に選択します。集計単位は、[カウント]、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] です。それぞれの個別の部分によって表される合計データの割合が表示されます。
グループ	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
間隔	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、グラフに沿って測定する時間間隔。
グループはありません	グラフに表示される棒の数を制限するには、このリストの値を使用します。デフォルトでは、高い値から低い値までの 12 本の棒を表示し、残りのデータを [その他] カテゴリーに置きます。10 本、12 本、15 本、20 本、またはすべての棒を表示することを選択できます。
その他	レポートに [その他] グループを追加するには、このチェック ボックスをオンにします。
リストのフィールドを選択	リストレポートに表示するフィールド。
orderByのフィールドを選択	レポートに表示されるフィールドの順序。
空を表示	空のカテゴリーを表示するかどうか。
合計フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、合計を実行する対象のフィールド。
傾向フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、時間の経過とともに追跡するフィールド。

レポート参照

ロール、プロパティ、およびその他の情報のその他のテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このセクションでは、レポートのデータ集計タイプ、レポート ロール、プロパティ、およびレポート デザイナーのキーボード ショートカットについて説明する表を示します。

レポートでの集計

集計を使用すると、レポートに表示されるデータに計算を適用できます。

- カウント集計は、レポートの各要素のレコード数を示します。
- 個別のカウントは、指定されたフィールドの一意の値のカウントを提供します。
- [平均] は、指定されたフィールドの値の算術平均を示します。
- [合計] には、集計値の合計が表示されます。
- [最小] と [最大] は、表示されている各カテゴリの最小値または最大値を示します。
- 標準偏差は、特定のフィールドの平均値からのデータの変動を示します。

[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大]、または [標準偏差] を選択すると、拡張テーブルのフィールドで集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

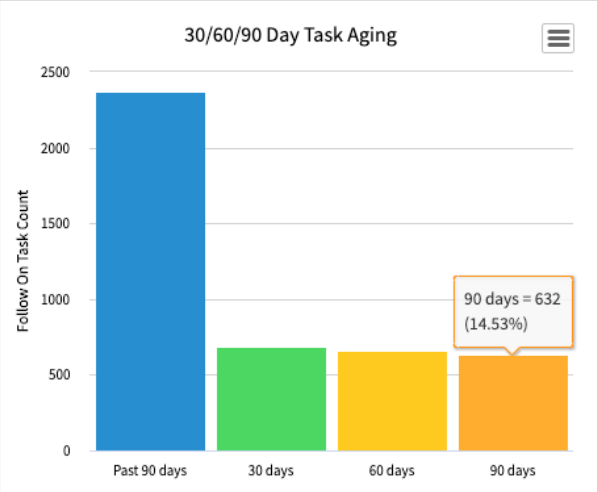
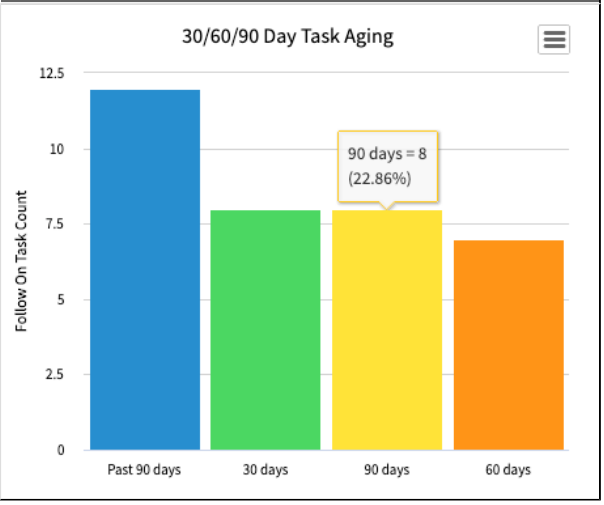
注:
集計は、ヒストグラム、パレート図、単一スコア、ボックス、カレンダー、およびリスト レポートではサポートされていません。

カウント集計

デフォルトの集計は **[Count** (カウント)] です。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。

一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。たとえば、実行されているタスクタイプの個別の数の値を表示するとします。個別の カウントを使用しない限り、複数の顧客に対して実行されるタスクタイプは複数回カウントされます。

次の画像は、[カウント] と [個別のカウント] を比較しています。1 つ目は、1 つの列の生数が 632 であることを示しています。2 番目のグラフは、同じ列の個別のカウントが 8 のみであることを示しています。

カウント	個別のカウント
	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Count 集計と Count 個別集計に関するレポートの実装の詳細については、「 カウントに関するレポートの集計」を参照してください。

平均

[平均] は、集計するフィールドの算術平均を示します。たとえば、期間フィールドを選択します。集計データは、日、時、分、秒単位で表されます。(必要な詳細レベルを表示するように期間を設定できます)。 [優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは 10 進数値で表されます。

平均集計を選択するときに、 パーセンテージ計算 パーセンテージ計算は、[データ テーブルの表示] を選択すると表示されます。

集約を使用

[平均の割合] という列に、平均の合計量の一部としてパーセンテージを表示します。たとえば、このデータテーブルでは、照会、ネットワーク、およびソフトウェアインシデントの平均期間は、約 1 日と 16 時間、つまり平均ビジネス時間全体の 30% (程度) でした。ハードウェアインシデントの平均所要時間は 12 時間で、インシデントの平均ビジネス時間全体の約 9% を占めています。

Aggregation

Category	Average Business duration	Percentage of Average
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	30.63%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	30.48%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	29.91%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	8.99%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

レコード数を使用

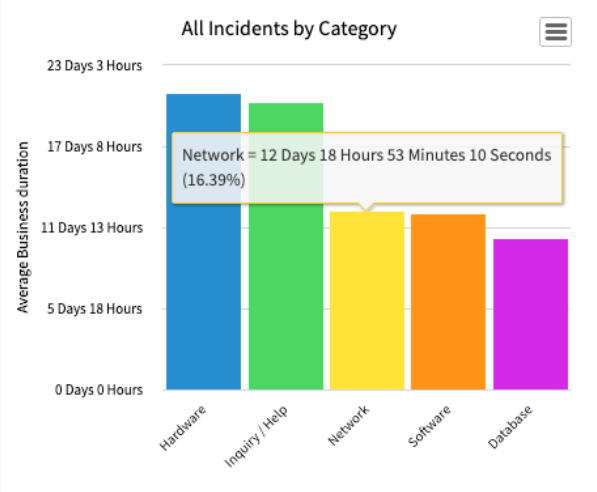
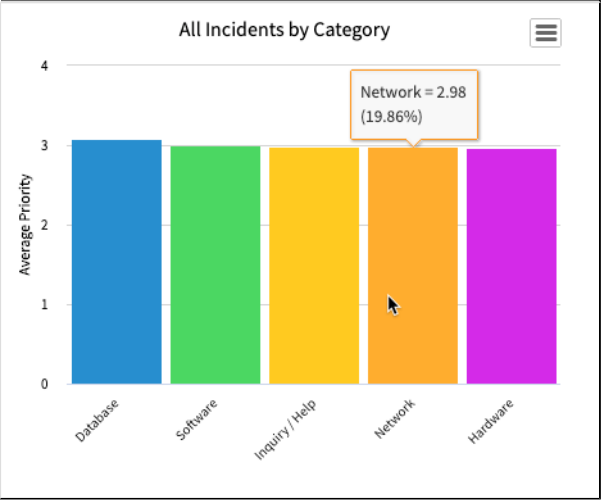
[インシデントの割合] という列に、各カテゴリのレコード数を可視化の合計レコード数に対する割合として表示します。このデータテーブルでは、各カテゴリについて同じ平均ビジネス時間が表示されていますが、パーセンテージはそのカテゴリのインシデント数です。たとえば、照会インシデントは全インシデントの約 17% を占め、ソフトウェアインシデントは全インシデントの約 77% を占めていますが、これらのインシデントの平均解決時間は依然として約 30% です。一方、ハードウェアインシデントは全インシデントの 1% 未満ですが、平均期間は合計平均解決時間の 9% です。

Aggregation

Category	Average Business duration	Percentage of Incidents
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	16.69%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	6.58%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	76.67%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	0.06%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

自動翻訳

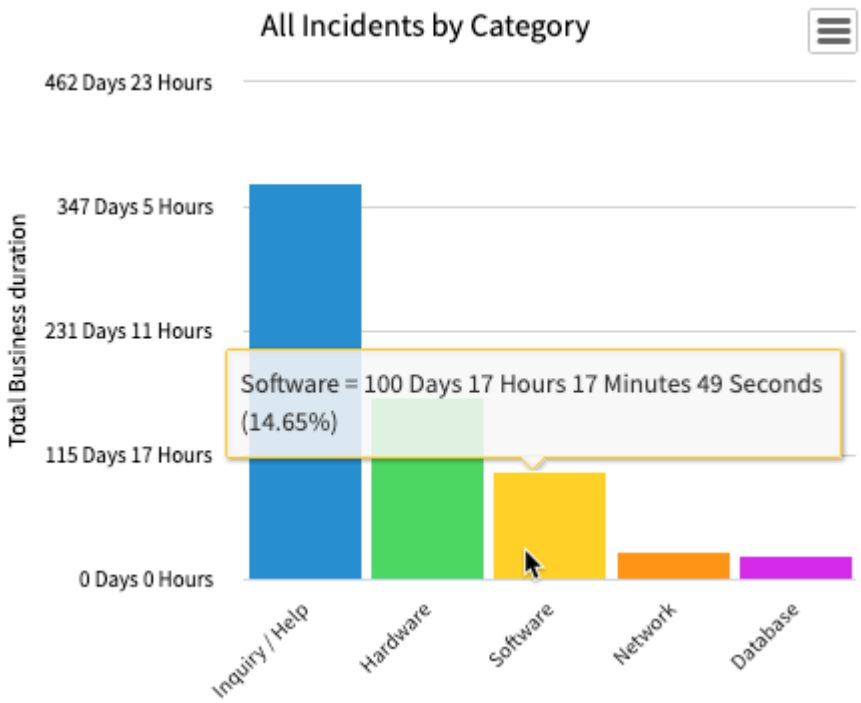
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

平均時間	平均優先度
	

平均集計を使用したレポートの実装については、「 レポートを平均で集計する」を参照してください。

合計

[合計] を選択すると、集計するフィールドの合計が表示されます。たとえば、期間フィールドを選択します。集計データは、日、時、分、秒単位で表されます。(必要な詳細レベルを表示するように期間を設定できます)。 [優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。



集計の合計に関するレポートの実装については、「 合計に関するレポートの集計」を参照してください。

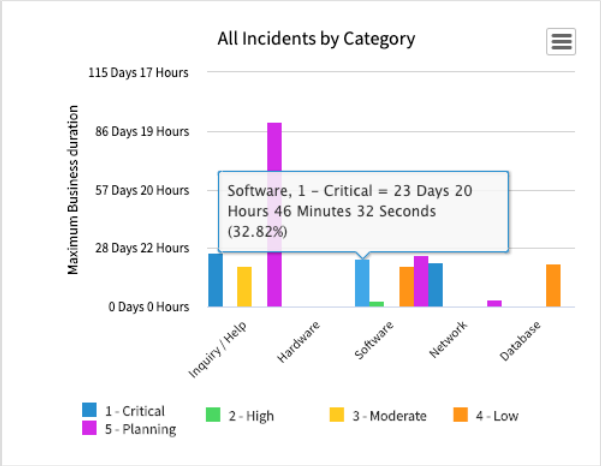
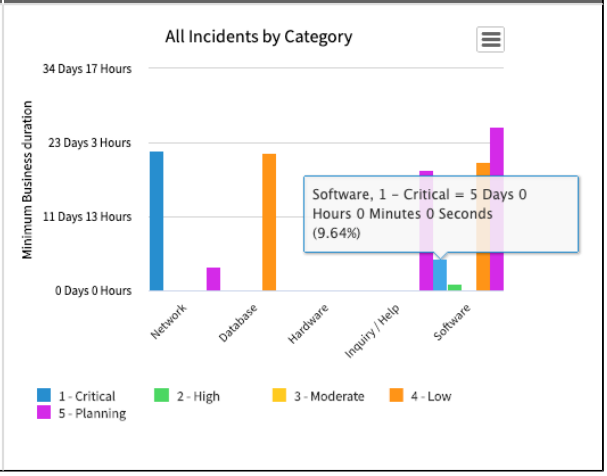
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最小と最大

[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデントに最大集計を適用します。レポートには、ビジネス期間が最長である各優先度のインシデントのバーが表示されます。

次の画像は、最大期間と最小期間を、グループ化された棒を使用して、インシデントの各カテゴリのさまざまな優先度を並べて示しています。積み上げ棒グラフは、スタックの上にある要素の値が大きいような錯覚を与えます。実際、バーは 2 つの要素の相対値のみを示しています。

最大期間	最小期間
	

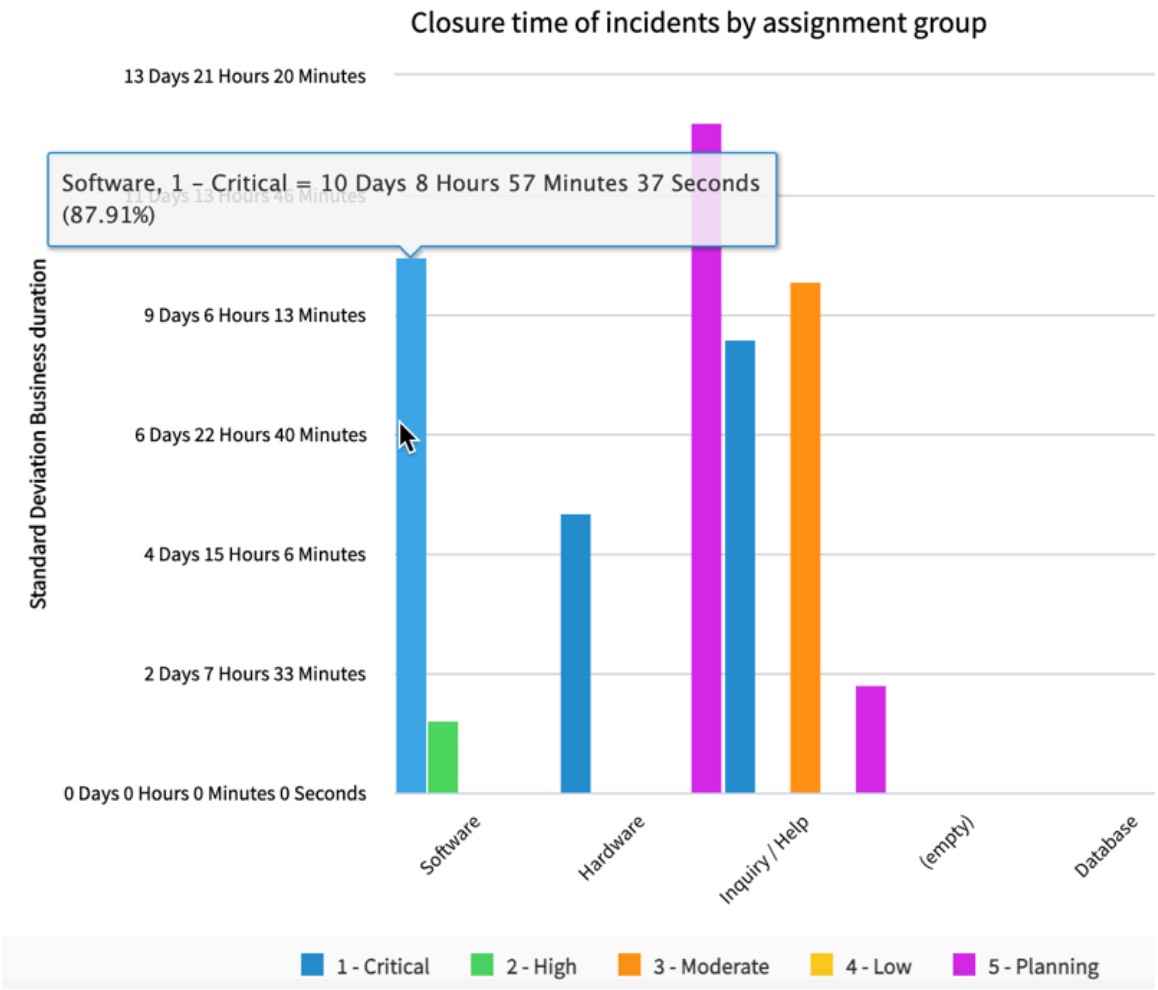
最小アグリゲーションまたは最大アグリゲーションに関するレポートの実装については、「 最小値または最大値でレポートを集計する」を参照してください。

標準偏差

[標準偏差 (SD)] を選択して、期間フィールドまたは数値フィールドの平均値からの変動を表示します。たとえば、インシデントのビジネス期間に標準偏差アグリゲーションを適用します。レポートには、各優先度のインシデントの平均ビジネス期間からの偏差が表示されます。

標準偏差は常にデータと同じ単位で表されます。次の例では、データは時間単位であり、SD も時間単位です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



標準偏差集計に関するレポートの実装については、「 標準偏差に関するレポートを集計する」を参照してください。

カウントに関するレポートの集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。カウントアグリゲーションは、可視化の各要素のレコード数を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。たとえば、実行されているタスクタイプの個別の数の値を表示するとします。個別の カウントを使用しない限り、複数の顧客に対して実行されるタスクタイプは複数回カウントされます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [カウント] または [個別のカウント] を選択します。
4. **[Run** (実行)] を選択します。

タスクの結果

可視化のセクションは、レコードの数によってグループ化されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートを平均で集計する

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。集計の合計には、集計したフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [平均] を選択します。
4. 集計するフィールドを選択します。
5. **[Run** (実行)] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの平均によってグループ化されます。

合計に関するレポートの集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。集計の合計には、集計したフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [合計] を選択します。
4. 集計するフィールドを選択します。
5. **[Run** (実行)] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの合計によってグループ化されます。期間フィールドを選択すると、集計データが日、時間、分、秒で表されます。[優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。

最小値または最大値でレポートを集計する

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。アグリゲーションの最大値と最小値には、ビジュアリゼーションの各セグメントの最大値または最小値が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [最大] または [最小] を選択します。
4. **[Run** (実行)] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最小値でグループ化されます。

標準偏差に関するレポートを集計する

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。標準偏差アグリゲーションは、可視化の期間フィールドまたは数値フィールドの平均値からの変動を示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [標準偏差] を選択します。
4. **[Run** (実行)] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最小値でグループ化されます。

レポート ロール

レポート は、レポートの作成を制限するロールとともにインストールされます。アクセス制御リスト (ACL) によって、レポートの表示と作成が制限されることもあります。

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) にレポートモジュールを表示するにはユーザーに report_user ロールが必要です。
- レポートロールまたは itil ロールを持つユーザーは、自分に表示されるすべてのレポートの [挿入]、[挿入と維持]、[ダッシュボードに追加]、および **[PDF** にエクスポート] のレポートオプションにアクセスできます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

次の表で、管理という用語は、レポートオプションの更新、削除、およびエクスポート設定へのアクセスを示します。

ロールなしのアクセス

共有済みのレポートを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ACL を使用したレポートアクセス

テーブルとフィールドに対するreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、作成が制限されます。アドミニストレーターは、他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象となっているデータにアクセスできるロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。

注:
レポート公開者 [report_publisher] ロールとレポートエイリアス管理者 [report_alias_admin] ロールも存在しますが、非アクティブ化された機能をサポートしています。

レポートユーザー **[report_user]**

共有されているレポートを作成および表示します。共有されているレポートを共有、編集、または削除することはできません。itil ロールを持つユーザーにも、これらの制限があります。

ロールを含む

レポートユーザー [report_user] ロールには、可視化作成者 [viz_creator] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

レポートスケジューラー **[report_scheduler]**

管理できないレポートも含め、自分が表示できるすべてのレポートをメールで送信するようにスケジュールします。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。

ロールを含む

レポートスケジューラー [report_scheduler] ロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

グループレポートユーザー **[report_group]**

自分がメンバーであるグループ ([グループ] にリスト) で共有されているレポートを管理および共有できます。

ロールを含む

report_group ロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

グローバルレポートユーザー **[report_global]**

全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、全員を対象として共有できます。ユーザーまたはグループと共有されているレポートを共有することはできません。

ロールを含む

report_globalロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

レポートアドミニストレーター **[report_admin]**

すべてのレポートの管理、共有、公開、スケジュール設定を行います。アクセス レポート > アドミニストレーション すべてのレポート関連オブジェクトを管理します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- report_scheduler
- analytics_filter_admin
- report_global
- report_group
- gauge_maker
- viz_admin

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの説明アドミニストレーター **[report_description_admin]**

レポートのテーブルとフィールドの説明を読み取り、更新します。レポート [com.glideapp.report.description_config] のプラグインテーブルとフィールドの説明の構成に含まれています。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

詳細については、「テーブルとフィールドの説明の管理」を参照してください。

レポートのプロパティー

プロパティーを使用して、レポートの動作と外観を詳細に調整します。

イントロダクション

次のように移動する。 レポート > アドミニストレーション > プロパティ をクリックし、メインのレポートプロパティを構成します。他のレポート プロパティーを構成するには、フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。

レポートのプロパティー

自動翻訳

プロパティー	説明
レポートデザイナーでの自然言語クエリ (NLQ) を有効にします com.snc.par.nlq.report_designer.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ
X 軸ラベルを 20 文字に切り捨てます。(グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフにのみ適用されます) glide.chart.truncate.x_axis_labels	• タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに ティを追加 します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフについてアニメーションのオンとオフを切り替えます glide.chart.animation	アニメーションをサポートするレポートおよびパフォーマビジュアライゼーションで、アニメーションを有効にしま 注: マップ レポートはアニメーションをサポートしていなめ、このプロパティーは無効です。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ
切り捨てられた値のデフォルトの切り捨てを設定します。 glide.chart.data_labels.remove_leading	有効にすると、デフォルトの切り捨ては左側になります。ると、デフォルトは右側の切り捨てになります。 • タイプ: 文字列 • デフォルト値：false • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ このプロパティーは、glide.chart.truncate.data_labels ている場合にのみ適用されます。
ヒストグラム チャートのビンの数 (最小 1、最大 20) glide.chart.histogram.bins	ヒストグラムの Y 軸に表示されるセクションの数を指定し • タイプ：整数 • デフォルト値：10 (値の許容範囲は 1 ～ 20) • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ このプロパティーはヒストグラム レポートに適用されます
ボックス チャートおよび trendbox グラフの平均値の色。 glide.chart.box.mean.color	ボックス レポートまたは Trendbox レポートの平均値ド設定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#2f7ed8 • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ このプロパティーはボックス レポートおよび Trendbox 適用されます。
glide.chart.drill.open_new_win	有効にすると、ドリルダウンが定義されていない場合に、トのリストドリルダウンが新しいタブで開きます。リストイプのレポートにのみ適用されます。 • タイプ：True | False • デフォルト値：false • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ
ボックス チャートのボックスおよびウィスカーの色。	ボックス レポートの色を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
glide.chart.box.color	• タイプ：文字列 • デフォルト値：#FF0000 • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ このプロパティーはボックス レポートに適用されます。
各データセットのデフォルトの色リスト名 glide.ui.report.datasets.default_colors	1 つのグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用 フォルトの色を設定します。これらの値は、 [チャートの **[1** つの色を使用] の場合に使用されます。 チャートの色の [色名] の値のリストをカンマで区切って入 す。チャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルで、 な色を確認でき、新しい色を定義することができます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれの色がデ のチャートの色として順番に使用されます。デフォルトの 多くのデータ セットがある場合は、色が繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの色 • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ
各データセットのデフォルト カラー パレットとして使用されるカラー パレット名のリスト glide.ui.report.datasets.default_palettes	単一のグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用 フォルトのパレットを設定します。これらの値は、 [チャー の値が [カラー パレットを使用] の場合に使用されます。 チャートのカラー スキームの [名前] の値のリストをカン 切って入力します。使用可能なパレットを表示し、 [チャー ラースキーム] [pa_chart_color_schemes] テーブルで新 レットを定義できます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれのパレッ フォルトのチャート パレットとして順番に使用されます。 トのパレットよりも多くのデータ セットがある場合は、パ 繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの UI14 • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ このプロパティーは、円グラフ、棒グラフ、水平棒、ドー ドーナツの各レポートに適用されます。
「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します glide.ui.report.map.default_map	マップ タイプのレポートを作成する場合に使用するデフォ マップを指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：世界 • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	このプロパティーはマップ レポートに適用されます。
glide.ui.chart.color	グラフの色を指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#006DDA • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。
glide.ui.chart.use_full_color_palette	このプロパティを有効にすると、棒ごとに異なる色の棒を およびパレート図で生成できます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：#False • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパテ このプロパティーは、棒グラフ、水平棒グラフ、パレート ポートに適用されます。
glide.chart.label.legend.truncate_to	大規模なグラフを除くすべてのサイズのグラフで、凡例の たは右揃えでの凡例のラベルを切り捨てます。ラベルが長 合にグラフが縮小するのを防ぎます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 14 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.chart.label.legend.truncate_to.large	大規模なグラフのグラフで、凡例の左揃えまたは右揃えで ラベルを切り捨てます。ラベルが長すぎる場合にグラフが のを防ぎます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.new_calendar	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.calendar.max_days_back	カレンダー レポートで前後にブラウズしたときに返される の日数を指定できます。レポート作成の [カレンダー担当 ルドで評価されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.default_event_duration	指定された終了日のないイベントのデフォルトの期間。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：01:00:00 (1 時間 0 分 0 秒) • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.max_more_events_per_day	次の **[+] <数字>** ポップアップウィンドウに表示できるカレ ベントの最大数を定義します。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるとき ダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっていると ンダー日の一番上の「終日」セクション この数を超えると、**+** 多数リンクが表示され、 ポップアップの代わりにイベントのリストが開 きます。詳細については、「システムプロパティ *glide.report.calendar.max_events_displayed_* を参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell	以下のカレンダーレポートに表示できるイベントの最大数 ます。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるとき ダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっていると ンダー日の一番上の「終日」セクション この値を超えるイベントは、カレンダーセルの リンクを介して表示されます。詳細については、 「*glide.report.calendar.max_more_events_per_* 参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.ui.report.extend_calendar_choices	カレンダーの強調表示の際に適用されるフィールド スタイ ントロールします。このプロパティが false に設定されて は、[タスク] テーブルのフィールド スタイルが使用され のプロパティが true に設定されている場合、カレンダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	レポートの基になっているテーブルのフィールドスタイル ます。該当するスタイルがそのテーブルに存在しない場合 ダーは [タスク] テーブルのフィールド スタイルを使用し • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.ui.filter.first_day_of_week	会社の暦週の最初の日を示します。デフォルトでは週 の開始は月曜日なので、暦週は月曜日から始まり日曜 日で終わります。この動作を変更するには、プロパティ *glide.ui.filter.first_day_of_week* を整数プロパ てインスタンスに追加します。カレンダーの開始曜日に対 数を入力します。1 は日曜日、2 は月曜日のようになりま 機能により曜日がパラメーターとして使用されているすべ フや計算に影響を及ぼします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま • タイプ：整数 • デフォルト値：5 • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。 このプロパティーは水平棒グラフ レポートに適用されます
glide.ui.chart.pie.labels	円グラフのスライスのラベルを有効 (true) または無効 (fa ます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.ui.chart.pie.labels.max_items	ラベルを表示するために返すことができる円グラフのスラ 大値を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：8 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.chart.data.label.truncate_to	グラフのデータ ラベルの最大長を設定します。これより長 ラベルは切り捨てられ、末尾に省略記号 (...) が付きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	注: このプロパティは、積み上げ棒グラフ レポートには適 ません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：13 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.pivot.fixed_headers	無効にすると、マルチレベル ピボット テーブルのヘッダー 定が解除され、ユーザーがテーブルをスクロールすると枠 ロールします。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。 このプロパティーはマルチレベル ピボット テーブルに適用 す。
glide.report.metric_max_data_points	MetricBase レポートごとの最大データ ポイント数を構成 通常、この制限を必要とするだけの多くのデータが表示さ は、MetricBase の時系列レポートのみです。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2000 • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。
glide.report.metric_max_series	メトリックベースレポートのデータセットあたりの系列数 ます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 最大値:100 • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。
glide.report.report_view.read_acl	レポート実行時に READ レベルのセキュリティを構成しま • タイプ: 文字列 • デフォルト値:enforce • 可能な値： 無視

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	読み取り ACL に対する評価は行われず、すべてのユーザーが ACL に合格したかのようにレポートを表示できます。 enforce 評価は読み取り ACL に対して実行されます。ユーザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみレポートを表示できます。 ログ 読み取り ACL チェックは強制されませんが、アミニストレーターは、セキュリティチェックが適された場合にどのユーザーがブロックされていたを確認できます。 • 場所: システムプロパティを システムプロパティ [sys_properties] テーブルに追加します。

インタラクティブ フィルターのプロパティー

プロパティー	説明
glide.homepage_interactivity.ui_ctrls_max_display_options	ラジオボタンとチェックボックスのインタラクティブフィルターの選択肢の最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所： レポート > アドミニストレーション > プロパティ カテゴリー：選択リスト、参照フィールド、日付、グループ

自動翻訳

レポート デザイナーのキーボード ショートカット

キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。

次のキーボード ショートカットを使用できます。

機能	ショートカット
現在のレポートを実行する	Control + Alt (Option) + R
現在のレポートを保存する	Control + Alt (Option) + S
ドメインピッカーを開きます。(このショートカットは、ドメインセパレーションが有効になっている場合にのみ機能します。	Control + Alt (オプション) + D
[データ] タブを開く	Control + Alt (オプション) + 1

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

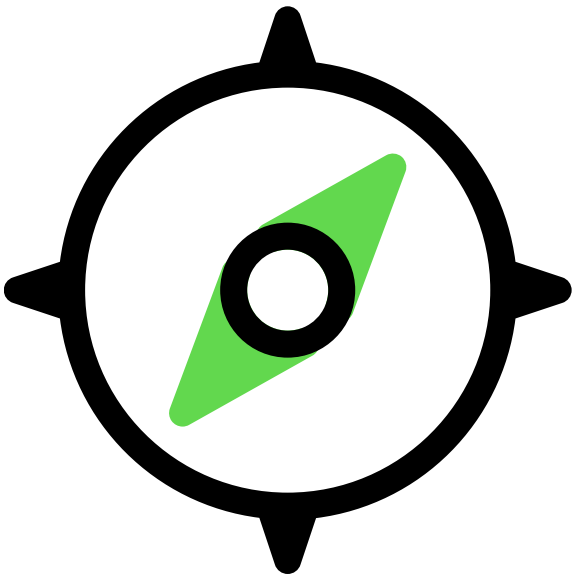
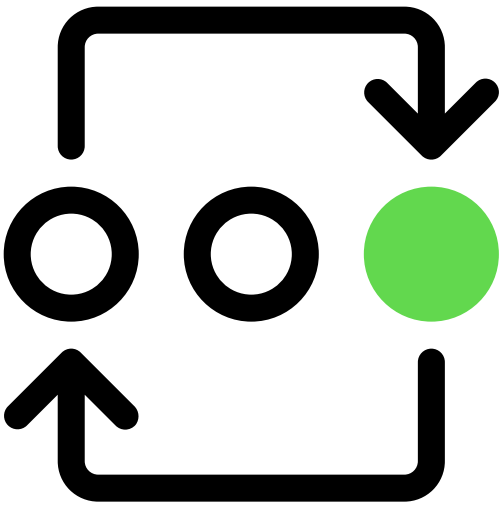
キーボードショートカット

コア UI のレスポンシブダッシュボード

レスポンシブダッシュボードでは、1 つの画面に複数の Performance Analytics、レポート、およびその他ウィジェットを表示できます。ダッシュボードを使用して、複数のユーザーと共有できるデータを用いてストーリーを作成できます。

始めましょう

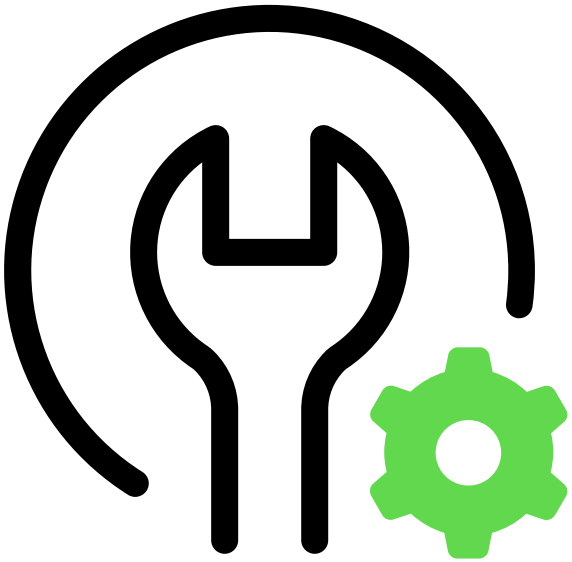
注:
コア UI (UI16) ダッシュボードをプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

探索	作成/挿入
	
ServiceNow レスポンシブダッシュボードを使用すると、レポートやその他のデータの可視化、および組織全体のユーザー使用のためのフィルターを共有できます。	ダッシュボードを作成、編集、表示、共有することで、データのストーリーを伝える方法について説明します。

自動翻訳

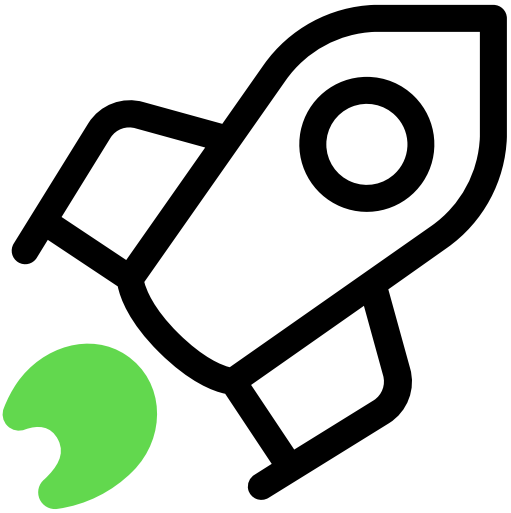
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

管理



ダッシュボードのグループ化、更新セットを含むダッシュボードの移動、権限のトラブルシューティングなどを行う方法について説明します。

Migrate (移行)



ダッシュボードを プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行します。

自動翻訳

レスポンシブダッシュボードの詳細

サンプルワークフローを使用してダッシュボードの詳細と、さまざまなユーザーにもたらすメリットについて説明します。

ダッシュボードの概要

コア UI レスポンシブ ダッシュボード では、レポート、 パフォーマンスアナリティクス インジケーターウィジェット、インタラクティブフィルター、およびインスタンス上のデータのストーリーのその他の コア UI コンポーネントが表示されます。

重要:
レスポンシブダッシュボードには、データの可視化などの プラットフォームアナリティクス コンポーネントは表示されません。詳細については、「プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス」を参照してください。

レスポンシブのメリット ダッシュボード

ベネフィット	機能	ユーザー
ダッシュボードのリストを表示し、ダッシュボードを選択して、関連データのコンテキストでインスタンスに関する最新情報を表示します。	レスポンシブダッシュボードの検索	ダッシュボードの操作に必要な特定の権限はありません。ダッシュボードの概要とダッシュボードピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベネフィット	機能	ユーザー
		ボードを表示する権限が必要です。
共有可能な現在のインスタンスデータを使用してストーリーを伝えるダッシュボードを作成します。	レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成	
ユーザーアクセスの削除、コピー、編集を含むダッシュボードを管理します。	レスポンシブ ダッシュボードの管理	ダッシュボードに対する権限をコピー、削除、または管理するには、ダッシュボードを所有しているか、アドミンである必要があります。
ダッシュボードを共有して、コラボレーションに使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。	レスポンシブ ダッシュボードの共有	ダッシュボードを共有するには、ダッシュボードを所有しているか、アドミンである必要があります。

ダッシュボードを作成および使用する

さまざまなタイプのダッシュボードとその使用方法について説明します。

注:
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 ダッシュボードおよびその他の一般的なダッシュボードタスクの作成」を参照してください。

ダッシュボードを使用して、レポートやその他のデータの可視化、フィルター、その他のコンテンツを組織全体のユーザーと共有します。詳細については、「レポート」、「インタラクティブフィルター」、および「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

ダッシュボード の概要

レスポンシブダッシュボードを作成するには、「レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成」を参照してください。

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクスウィジェット、レポート、タブなどのダッシュボードのコンテンツを編集できます。ダッシュボードは共有されているため、変更した内容はすべてグローバルに適用されます。

始める前に

注:
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードの編集」を参照してください。

必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「 ダッシュボード権限 」を参照してください。

注:
レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. 次のいずれかのアクションを実行します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブダッシュボードのレイアウトの構成

ウィジェットの外観を変更できます。ウィジェットレイアウトを変更します。ウィジェットのタイトル、ヘッダー、および背景の色を変更します。ウィジェットヘッダーを表示または非表示にします。

始める前に
必要なロール:ユーザー。 dashboard_admin、または自分が所有しているダッシュボードまたは編集権限を与えられたダッシュボードの任意のロール。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードのロール」を参照してください。

注:
レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. プラス記号 (+) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。

5. オプション: コンテンツブロックを追加して、ダッシュボードのコンテンツを分割したり、他のコンテンツを提供したりします。
   [ウィジェットを追加] リストから、[コンテンツブロック] を選択します。静的コンテンツブロックの詳細については、「 静的 HTML ブロックの構成 」を参照してください。

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブダッシュボードを使用すると、クラシック環境でレポートなどのウィジェットや パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化を共有できます。使いやすいドラッグアンドドロップキャンバスを使用して、コンテンツを作成、編集、整理し、それを同僚と共有できます。

ダッシュボードを使用すると、次のことが可能です。

- パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化やその他のウィジェットを、ダッシュボードから直接作成および編集できます。
- [ウィジェットを追加] ペインを使用して、ウィジェットをすばやく見つけてプレビューし、それをダッシュボードに追加できます。
- 統合された [共有] ペインから、ダッシュボードを他のユーザーと簡単に共有できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットを事前定義されたレイアウトにスナップし、必要に応じてレイアウトを調整します。
- 頻繁に使用する情報に簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをホームとして設定できます。

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページのダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 3 分間のビデオをご覧ください。(このビデオは Jakarta リリースを反映していますが、その情報は正確 Yokohama。 レスポンシブダッシュボードの使用を開始する方法

メリット

- 構成可能なウィジェットのロードにより、パフォーマンスを最適化できます。 構成可能なウィジェットをロードすることの利点についての詳細は、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
- [ロールに制限 **(Restrict to roles**)] フィールドを使用して 、ダッシュボードへのアクセスに必要なロールを指定します。指定されたロールのいずれかを持つユーザーは、ダッシュボードの [共有] パネルでアクセス権が付与されている場合、ダッシュボードにアクセスできます。

制限事項

ServiceNow ダッシュボードはモバイル画面サイズに合わせて最適化されていないため、モバイルアプリではダッシュボードへのアクセス権は付与されません。タブレットでは、標準の Web インターフェイスを使用してダッシュボードにアクセスできます。レポートや パフォーマンスアナリティクス可視化を表示するモバイルアプリを作成することは可能ですが、これらは完全なレスポンシブダッシュボードではありません。詳細については、「Configure an analytics UI section 」を参照してください。

関連情報

レスポンシブダッシュボードをホームとして設定

レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成

パフォーマンスアナリティクスウィジェットや頻繁に使用するその他のウィジェットを追加できるダッシュボードを作成します。作成したダッシュボードは、他のユーザーと共有できます。

始める前に

ダッシュボードを初めて使用する場合、ServiceNow University Performance Analytics Essentials トレーニング の「ダッシュボード」セクションと「ウィジェット」セクションで、これらの機能の概要を説明しています。(登録と登録が必要です。

注:
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 インラインエディターでダッシュボードを作成する」を参照してください。

必要なロール：なし

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. [**Create a dashboard**] を選択します。
3. 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: [ロールに制限] 編集アイコン ( ) を選択して、ユーザーがこのダッシュボードにアクセスするために必要なロールを指定します。
詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
5. オプション: admin、pa_admin、および pa_power_user ロールを持つユーザーは、次の追加フィールドを設定できます。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードはコンテンツなしで作成されます。最初のコンテンツを追加するには、ウィジェットタイプとウィジェットを選択し、[追加] をクリックします。

次のタスク
新しいダッシュボードにコンテンツを追加します。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。

関連情報
- パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン
- ダッシュボードへのブレークダウンの追加
- ダッシュボードをグループに整理する

空のダッシュボードの問題を解決する

ダッシュボードに空のページと空のダッシュボードセレクターが表示される場合、ダッシュボード名に特殊文字が含まれることがあります。

始める前に
この問題は、ダッシュボード名に文字または数字以外のタブ文字、改行文字、または ASCII 文字が含まれている場合に発生します。

必要なロール：admin

手順
1. pa_dashboards_list.do に移動します。
2. 問題ダッシュボードのタイトルフィールドを編集して、特殊文字を削除します。

タスクの結果
ダッシュボードページには、想定されるコンテンツと入力されたダッシュボードセレクターが表示されます。

ダッシュボードの概要

[ダッシュボードの概要] では、アクセス可能なダッシュボード、単一のグループに関連付けられたダッシュボード、またはすべてのダッシュボードのリストから選択できます。カードをクリックすると、ダッシュボードが開きます。

[ダッシュボードの概要] の概要

ダッシュボードの概要の使用方法の詳細については、この短いビデオをご覧ください。

次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ダッシュボードの概要] では、次のいずれかのカテゴリのダッシュボードを表示できます。デフォルトでは、[ダッシュボードの概要] にアクセスすると [最近] カテゴリが選択されます。

- [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
- [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。
- [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

注:
選択するカテゴリによって、[グループ] リストと [ダッシュボードピッカー] 検索ボックスから選択したときに表示されるダッシュボードグループと個々のダッシュボードが制限されます。選択したグループで共有されているダッシュボードがない場合は、概要に次のように表示されます 検索に一致するダッシュボードは共有されていません

[最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

1. ダッシュボードグループ - 注文

   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

2. ダッシュボードグループ - 名前
3. ダッシュボード - 注文

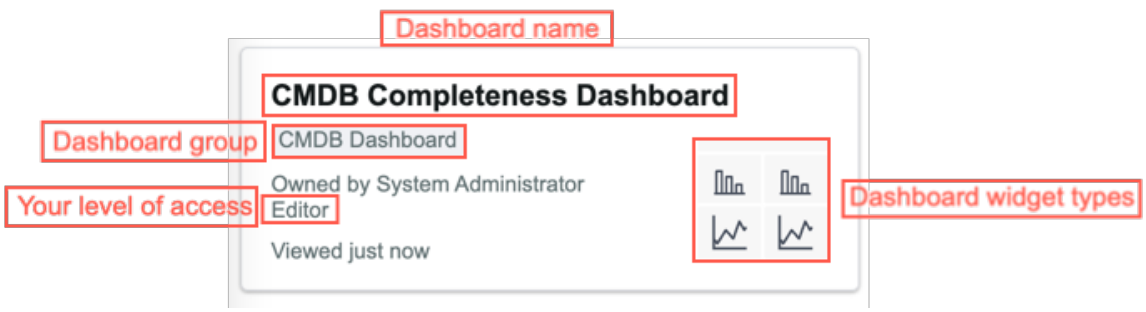
   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

4. ダッシュボード - 名前

ダッシュボードの概要タイル

概要のタイルには、ダッシュボードのウィジェット、ダッシュボードグループ、アクセスレベル、ダッシュボード名、およびダッシュボードオーナーのサムネイルが表示されます。ダッシュボードのアクセスレベルには、オーナー、エディター、およびビューアがあります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。

ダッシュボードの概要タイルの例



注:
何らかの理由でダッシュボードウィジェットを表示できない場合は、エラーに固有のメッセージが表示され、アドミニストレーターに連絡するように求められます。

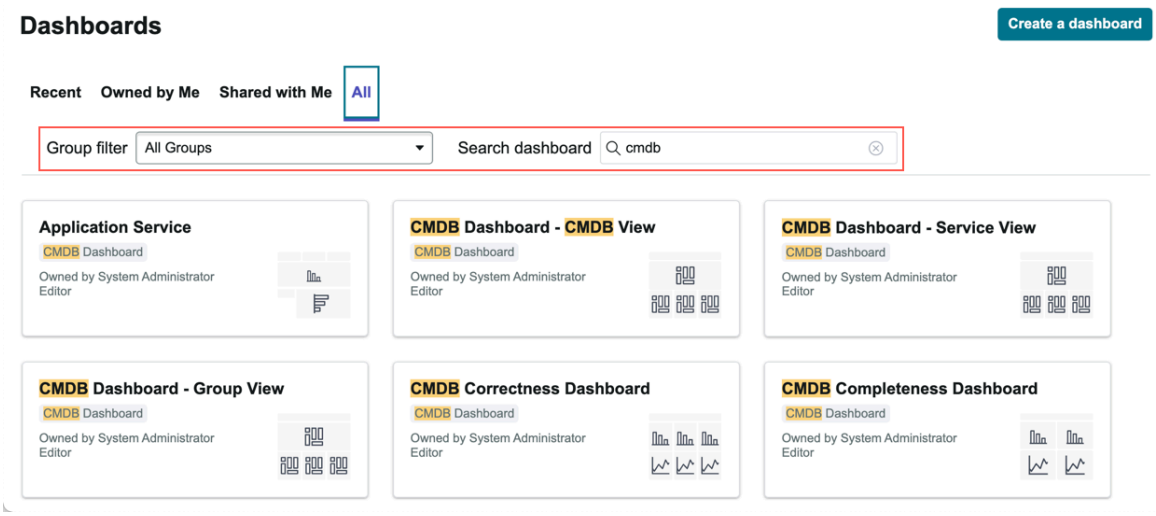
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの概要グループリスト

[グループ] リストを使用して、1 つのグループ内のダッシュボードのみを表示します。グループが指定されていないダッシュボードは、[その他] グループに分類されます。

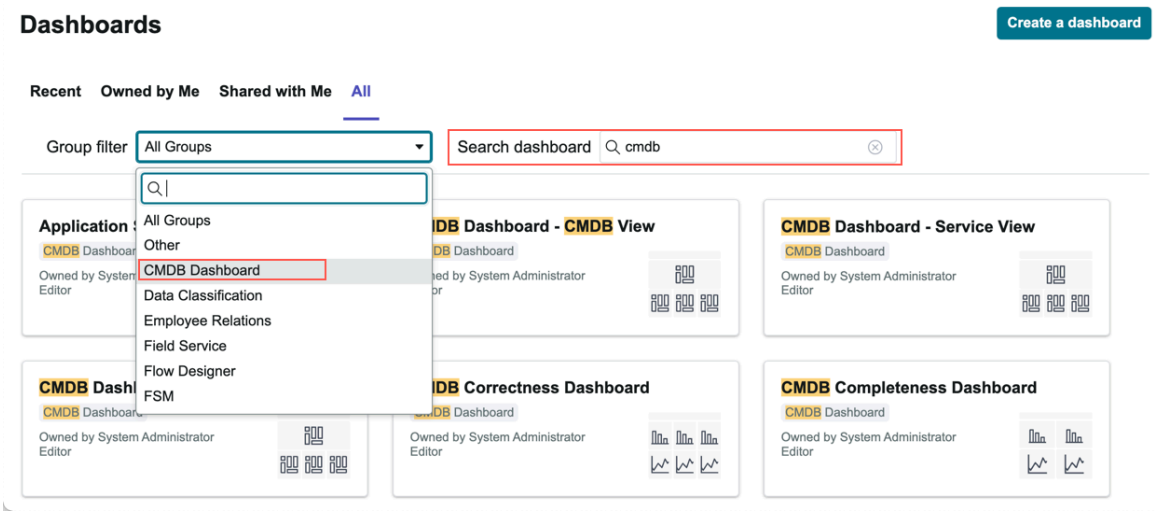
ダッシュボードの概要グループの例



ダッシュボードの概要の検索ボックス

検索ボックスを使用して、ダッシュボードを名前またはグループで検索します。

ダッシュボードの概要の検索例



[新規] をクリックして、レスポンシブダッシュボードを作成します。

関連情報

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブダッシュボードの検索

ダッシュボードカテゴリ、ダッシュボードグループ、およびダッシュボードリストを使用して、使用するダッシュボードを見つけます。

自動翻訳

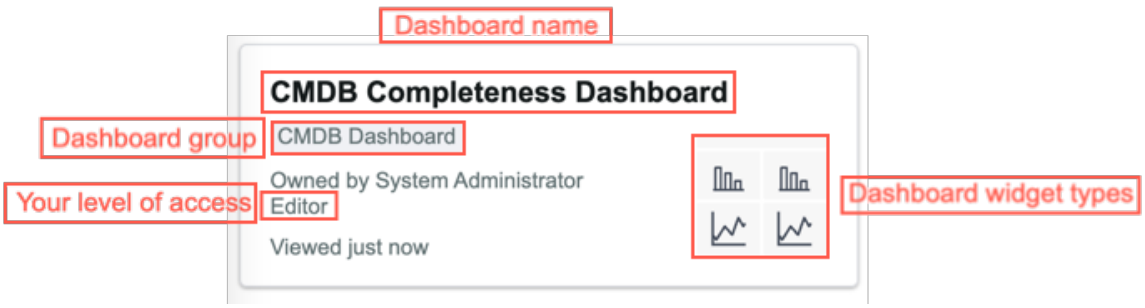
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

注:
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 ライブラリのダッシュボード」を参照してください。

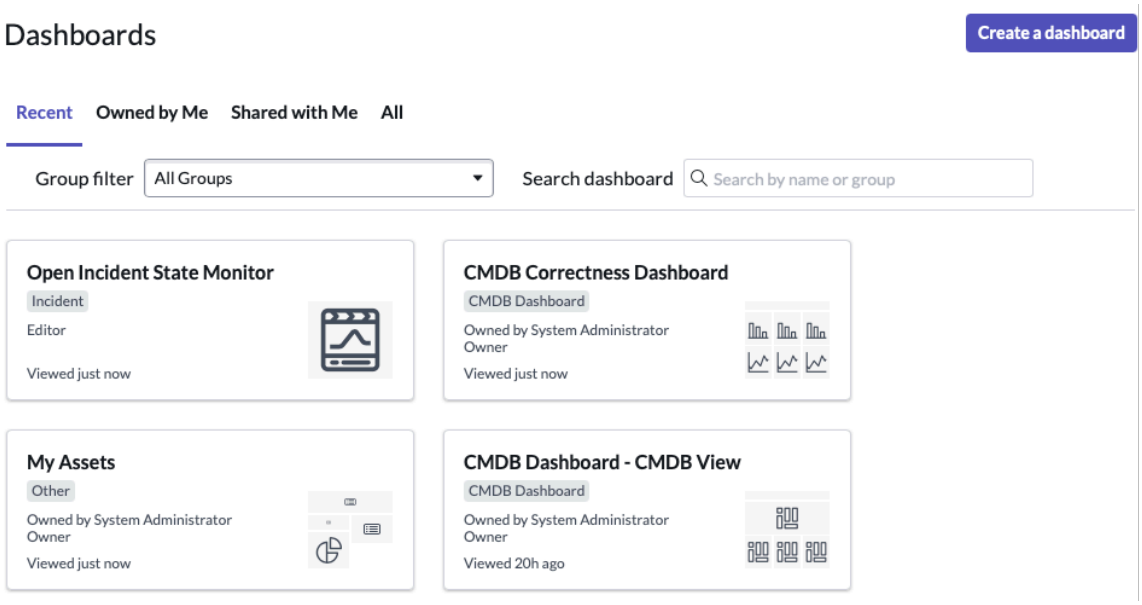
必要なロール:ダッシュボードを表示するために特定の権限は必要ありません。ただし、ダッシュボードの概要とダッシュボードピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュボードを表示する権限が必要です。ダッシュボード権限の詳細については、「 レスポンシブダッシュボードの権限の問題の解決」を参照してください。

このタスクについて
[ダッシュボードの概要] の各タイルには、ダッシュボード上のウィジェットのサムネイル、ダッシュボードグループ、ダッシュボード上のロール、ダッシュボードの名前、ダッシュボードの所有者など、ダッシュボードに関する情報が含まれています。作成者によってグループにアサインされていないダッシュボードには、 グループ [その他] が割り当てられます。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード. [ダッシュボードの概要] には、アクセスした最新のダッシュボードを表すタイルが表示されます。



2. カテゴリを選択:
   - [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
   - [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

[最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

a. ダッシュボードグループ - 注文

ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

b. ダッシュボードグループ - 名前

c. ダッシュボード - 注文

ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

d. ダッシュボード - 名前

3. [グループ] リストからグループを選択して、ダッシュボードグループに表示されるタイルをフィルタリングします。

カテゴリとグループの組み合わせに一致するダッシュボードがない場合は、 検索に一致するダッシュボードは共有されていません などのメッセージが表示されます。

4. [ダッシュボードを検索] ボックスに文字列を入力して、ダッシュボードをさらにフィルタリングします。

- 完全一致を検索するには、検索文字列を二重引用符で囲みます。`「オープンインシデント」`を検索すると、「オープンインシデント」というダッシュボードが返されますが、「オープンインシデント経過時間モニター」は返されません。
- 二重引用符なしで検索文字列を入力すると、その文字列を含むすべての一致を返します。`「オープンインシデント」`を検索すると、「オープンインシデント」、「オープンインシデントレポート」、および「オープンインシデントステータスモニター」のダッシュボードが返されます。

> **注:**
> これらの検索文字列のいずれも、異なる順序でキーワードを返します。たとえば、どちらも [今週オープンされたインシデント] ダッシュボードを返しません。
>
> 検索結果は、カテゴリごとに 100 件の結果に制限されています。この値を変更するには、システムプロパティ *glide.cms.dashboards.sharing.search.maxRecords*を作成して設定します。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。

5. ダッシュボードタイルを選択して、そのダッシュボードを開きます。

6. 開いている任意のダッシュボードで、[ダッシュボードの概要] アイコン ( ) を選択して、[ダッシュボードの概要] に戻ります。

7. 別のダッシュボードを見つけるには、ダッシュボード名の横にある矢印をクリックしてダッシュボードピッカーを開きます。
以下のことを行うことができます。

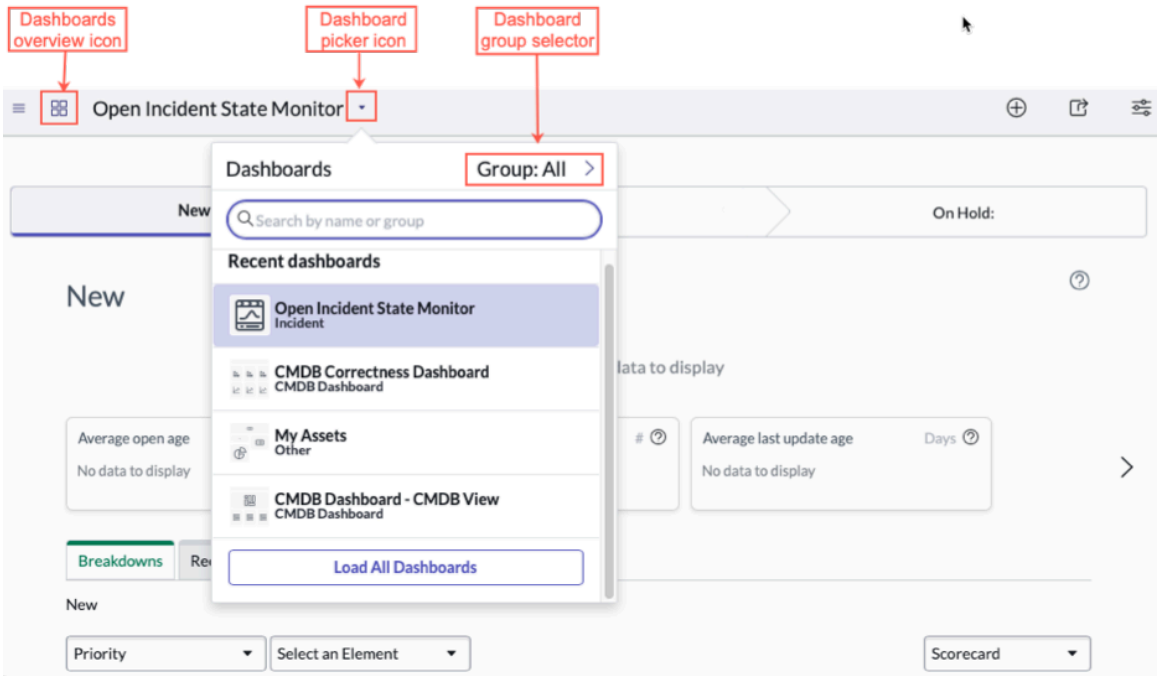
- [名前またはグループで検索] ボックスに入力を開始して、リストをフィルタリングします。
- グループフィルターを選択して、特定のダッシュボードグループのリストをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループフィルターには、インスタンス内のすべてのダッシュボードグループが表示されます。選択したグループ内のダッシュボードを表示する権限がない場合は、次のメッセージが表示されます。 検索に一致するダッシュボードは共有されていません

- 開いている権限があるすべてのダッシュボードを、表示した最新のものから順にスクロールします。



8. ダッシュボードの名前を選択して、現在のダッシュボードを新しいダッシュボードに置き換えます。

レスポンシブ ダッシュボードの共有

他のユーザーとダッシュボードを共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。

始める前に

必要なロール：

- 所有しているダッシュボードを他のグループやユーザーと共有できます。
- アドミン、dashboard_admin、pa_admin、または pa_power_user ロールを持つユーザーのみが、共有 パネルでロールを表示できます。
- pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるダッシュボードを共有できます。
- admin ロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードを共有できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードの共有」を参照してください。

スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールは、スコープ対象のアプリケーション内で作成されたダッシュボードに適用されます。スコープ対象アプリ内のダッシュボードにpa_dashboard ACL を適用するには、「 スコープ対象のアプリケーションでpa_dashboardレコードを有効にする」を参照してください。

ダッシュボード上のレポートやその他のデータの可視化はreport_view ACL の対象となり、ダッシュボードを共有しているすべてのユーザーには表示されない場合があります。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

アドミニストレーターは、レスポンシブダッシュボードの共有方法に影響を与える 2 つのプロパティを設定できます。

glide.cms.share_dashboards.role

このシステムプロパティで、アドミンは自分のダッシュボードを共有できるロールのコンマ区切りリストを指定できます。

注:
このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search

このシステムプロパティで、アドミンは、ユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用するように指定できます。これらのロールのいずれかを持つユーザーのみが、[共有] パネル内でロールを見ることができます：アドミン、dashboard_admin、pa_admin、および pa_power_user

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

このタスクについて

一般に、ダッシュボードを共有する場合、そのダッシュボードのウィジェットに権限を付与するわけではありません。ただし、ほとんどのパフォーマンスアナリティクスウィジェットは、追加されたダッシュボードからセキュリティルールを継承します。ダッシュボードを表示できる場合は、そのダッシュボード上のパフォーマンス分析ウィジェットを表示できます。

注:
パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットには、読み取り権限のないインジケーターは表示されません。ダッシュボードの権限は パフォーマンスアナリティクス リスト ウィジェット全体に適用されますが、ウィジェット内の個々のインジケーターはそれらのインジケーターの権限に従います。インジケーターの権限の詳細については、「 インジケーターへのアクセスの制御」を参照してください。

ドメインセパレーションが有効になっていて、システムプロパティ *glide.security.admin.override.accessterm* が選択されていない場合、アドミニストレーターがダッシュボードを共有するには、ダッシュボードと同じドメイン内にいる必要があります。「 アクセスレベルでアドミン優先を評価する 」を参照してください。

自動翻訳

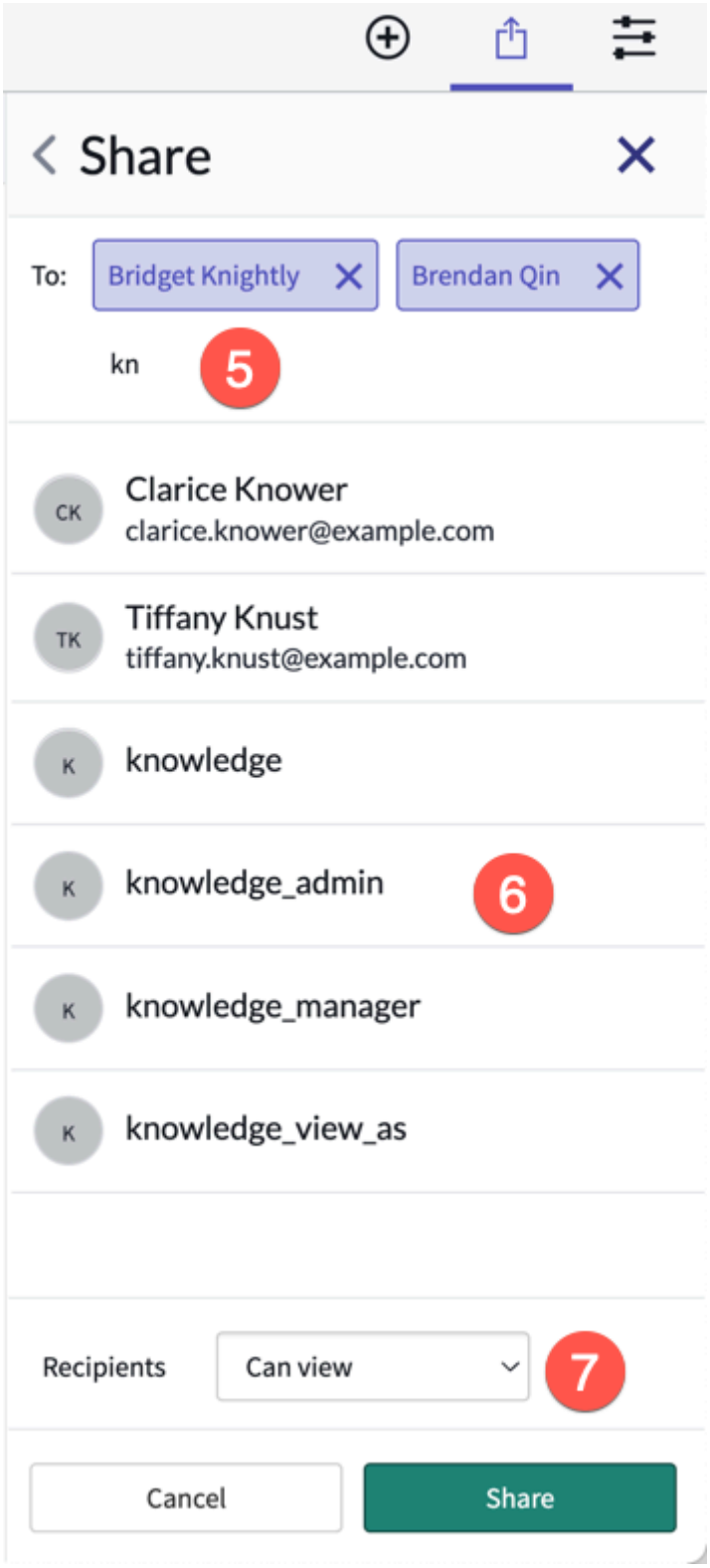
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. [ダッシュボードの検索] ボックスを使用して、共有するダッシュボードを見つけます。
3. [共有] アイコン ( ) を選択して [共有] パネルを開きます。
4. [グループとユーザーの追加] ( ) を選択します。 アドミン、pa_admin、dashboard_admin、または pa_power_user のロールを持つユーザーは、[共有] パネルのロールを見ることもできます。
5. [宛先] フィールドに、名前の入力を開始します。
6. 表示されたリストからユーザー、グループ、またはロールを選択します。
7. [受信者] リストから、[表示可能] または [編集可能] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールがダッシュボードに対して持つ権限を指定します。
ダッシュボードを共有したユーザーが [ダッシュボードの概要] に移動すると、ダッシュボード上のロールとして [閲覧者] または [エディター] のいずれかが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
共有ダッシュボードを編集するには、ユーザーがダッシュボードと同じドメインに属している必要があります。書き込みアクセス権 (編集可能) を持つダッシュボードを共有しても、これは変わりません。[編集可能] オプションは、ダッシュボードがダッシュボードと同じドメイン内のユーザーと共有されている場合にのみ機能します。詳細については、「ドメインセパレーションとレスポンシブダッシュボード」を参照してください。

8. オプション: [招待メールを送信] チェック ボックスをオフにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール メッセージを送信しないように選択できます。たとえば、受信者が自分と共有されていることを受信者がすでに知っている場合などです。

> **注:**
> インスタンス内からメールを送信するには、メールサーバーの設定が必要です。詳細については、「Basic email setup」を参照してください。

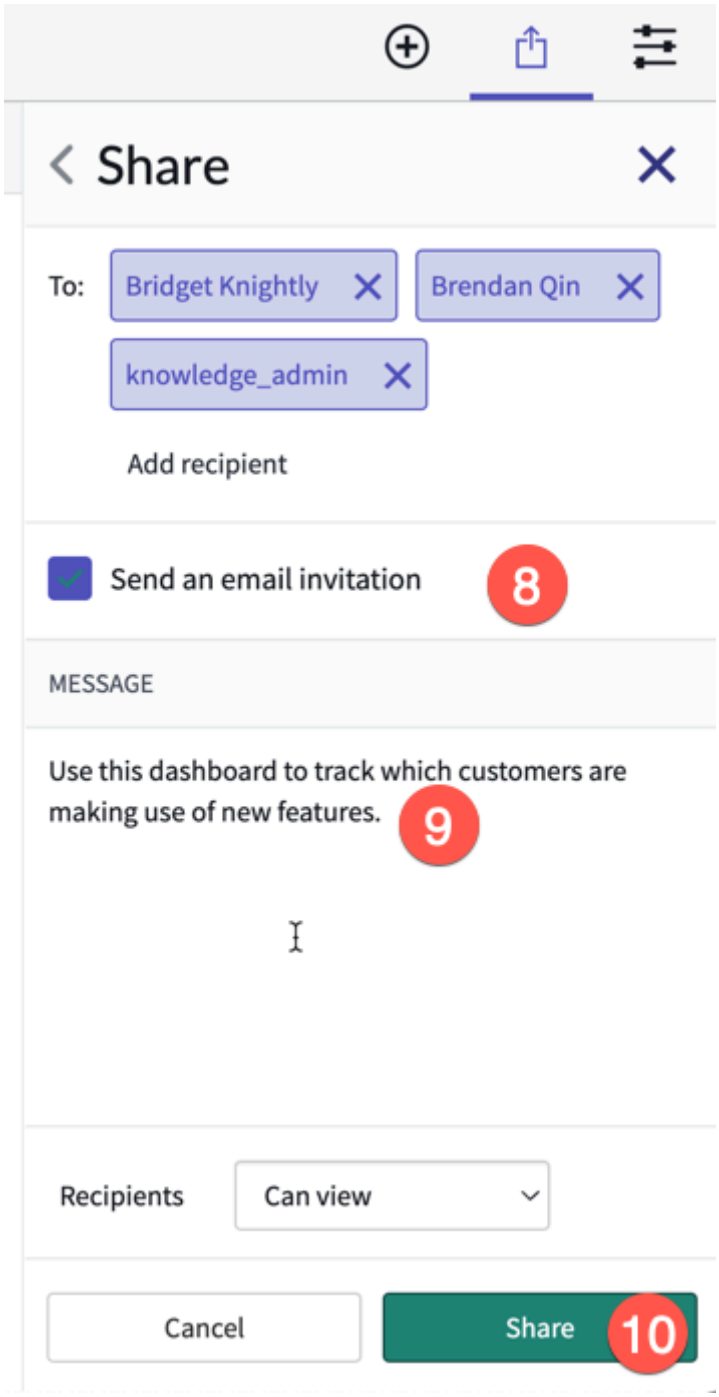
9. オプション: デフォルトの招待メールメッセージに追加書き込みます。
   デフォルトのメール メッセージは、[The dashboard <Name of Dashboard> has been shared with you by <user role>.] (<ユーザー ロール> によって <ダッシュボード名> ダッシュボードが共有されています。) です。

   (Optional) admin ロールを持つユーザーは、デフォルトのメール メッセージを編集できます。次のように移動する。 システム通知 > メール > 通知 をクリックし、ダッシュボード共有通知を開きます。詳細については、「メール通知を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [**Share**] を選択します。



タスクの結果
ダッシュボードが共有され、指定した場合は、招待されたユーザーに招待状が送信されます。

スコープ対象のアプリケーションで**pa_dashboard**レコードを有効にする

スコープ対象のアプリケーションに対してアプリケーション管理が有効になっている場合、スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールが適用されます。[pa_dashboards] テーブルで定義された ACL をスコープ対象アプリ以外でスコープで使用できるようにするには、[pa_dashboards] ACL を継承します。

始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なスコープ:アプリケーションのスコープ。

手順

1. システムプロパティ *glide.security.scoped_administration.honor_global_acl* を [true] に設定します。
   多くの場合、このプロパティは既に true に設定されているため、追加の更新は必要ありません。
   詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。
2. ダッシュボードが作成されるスコープにスコープを切り替えます。
   ユーザーはそのスコープのアプリケーションアドミニストレーターである必要があります。
3. sys_scoped_admin_acl_inheritance_list.do に移動します。
4. PA ダッシュボード [pa_dashboards] テーブルのレコードを作成し、[送信] を選択します。
5. 次の各テーブルのレコードを作成します。
   - ポータルページ [sys_portal_page]
   - タブ [pa_tabs]
   - ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]
6. オプション: 複数のレポートに同じ問題がある場合は、次のテーブルごとにレコードを作成します。
   - レポート [sys_report]
   - ユーザーとグループをレポート [sys_report_users_groups]

レスポンシブ ダッシュボードの管理

ユーザーは、ロールに応じて、レスポンシブ ダッシュボードを削除または複製したり、ダッシュボードからユーザーを削除することができます。すべてのユーザーは、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

レスポンシブ ダッシュボードの削除

使用しなくなったダッシュボードを削除します。削除したダッシュボードは復元できません。

始める前に
必要なロール：dashboard_admin、admin、またはダッシュボード オーナー。

ダッシュボードを共有したユーザーに、ダッシュボードを削除することを通知します。ユーザーがダッシュボードをブックマークしたり、お気に入りとしてマークしたりしている可能性があります。これらのユーザーが削除されたダッシュボードにアクセスしようとすると、エラーが表示されます。

注:
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの削除」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー)をクリックし、[ダッシュボードの削除]を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ダッシュボードを削除すると、他のダッシュボードで使用されていないダッシュボードタブは削除されます。

ダッシュボードタブの削除

ダッシュボードのタブが役に立たなくなった場合、そのタブを削除できます。

始める前に
必要なロール:dashboard_admin または admin ダッシュボードの所有者であるか、ダッシュボードの編集権限を持っている場合は、ダッシュボードタブを削除することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 削除するタブを含むダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボード タブを削除するには、タブをポイントし、ごみ箱アイコンをクリックします。

タスクの結果
ダッシュボード タブを削除すると、タブはダッシュボードから削除されます。他のダッシュボードで使用されていなければ、そのタブは完全に削除されます。

レスポンシブダッシュボードのコピー

レスポンシブダッシュボードを複製すると、そのウィジェットレイアウトは保持されます。ただし、共有権限は保持されません。複製したダッシュボードに変更を加えても、元のダッシュボードには影響しません。

始める前に

注:
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードの複製」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスソリューションに関連するダッシュボードをコピーするには、「アナリティクスおよびレポートソリューションダッシュボードの複製」を参照してください。

必要なロール:ダッシュボードを共有できるすべてのユーザーが、ダッシュボードをコピーできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 複製するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー ( ) を選択し、[ダッシュボードの複製] を選択します。
自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。コピーの名前は、[[元のダッシュボード名] のコピー] です。
4. オプション: ダッシュボードの名前を変更するには、コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択して、[名前] フィールドを編集します。

タスクの結果
自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ダッシュボードを変更し、他のユーザーと共有します。

レスポンシブダッシュボードの名前変更

ダッシュボードの名前を変更して、よりわかりやすい名前を付けます。

始める前に
必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「 ダッシュボード権限 」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボードピッカーから、名前を変更するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー ( ) から、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
4. [名前] フィールドに、ダッシュボードの新しい名前を入力します。
5. [**Update** (更新)] を選択します。

> **注:**
> [オーナー] フィールドは必須です。このフィールドが空の場合、ダッシュボードの所有者の名前を入力してこのタスクを完了します。

ダッシュボードからのユーザーの削除

特定のユーザー、グループ、またはロールとダッシュボードを共有する必要がなくなった場合は、ダッシュボードへのアクセス権を削除できます。

始める前に
必要なロール：ダッシュボード オーナーは、自分が所有するダッシュボードからユーザーまたはグループを削除できます。

dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。

pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。これらのダッシュボードには、ユーザーが所有するダッシュボードや、ユーザーが編集権限を付与されたダッシュボードが含まれます。

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

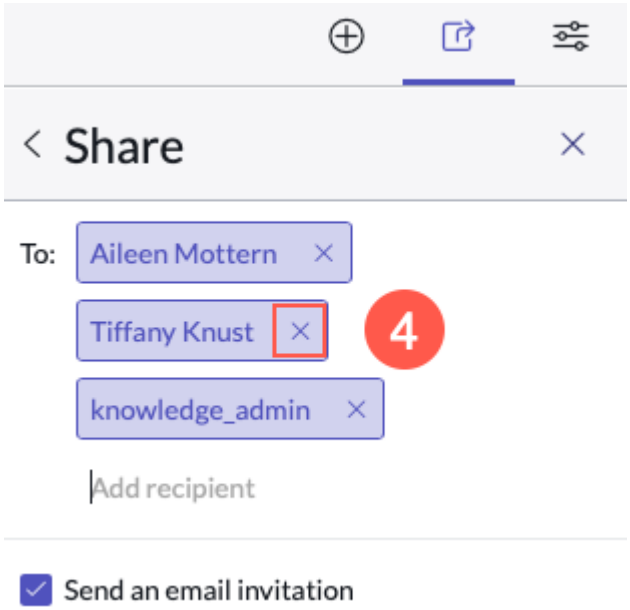
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 変更するダッシュボードを選択します。
3. 共有アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [共有] パネルで、削除するユーザー、グループ、またはロールの名前の横にある [X] を選択します。



タスクの結果
削除されたユーザーには、共有ダッシュボードを表示する権限がなくなります。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

レスポンシブ ダッシュボードをお気に入りとしてマークする

ナビゲーション ペインから簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

始める前に
ダッシュボードにアクセスできるユーザーはいずれも、ダッシュボードをお気に入りとして設定できます。

必要なロール：なし

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ダッシュボード ピッカーから、お気に入りとしてマークするダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー (≡) を選択し、[**Create Favorite**] を選択します。

タスクの結果
お気に入りのダッシュボードは、アプリケーションナビゲーターのお気に入りタブに表示されます。

ブレークダウン要素のダッシュボードをフィルタリング

一部のダッシュボードでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン要素を適用して、ダッシュボード全体をフィルタリングできます。たとえば、優先度が「高」かつ「最重要」のアイテムのみを表示したり、特定のマネージャーに報告するチームのみを表示したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ブレークダウン要素でフィルタリングする パフォーマンスアナリティクス でダッシュボードが既に作成されている必要があります。このように構成されたダッシュボードは、 ブレークダウンダッシュボードと呼ばれます。

必要なロール：なし

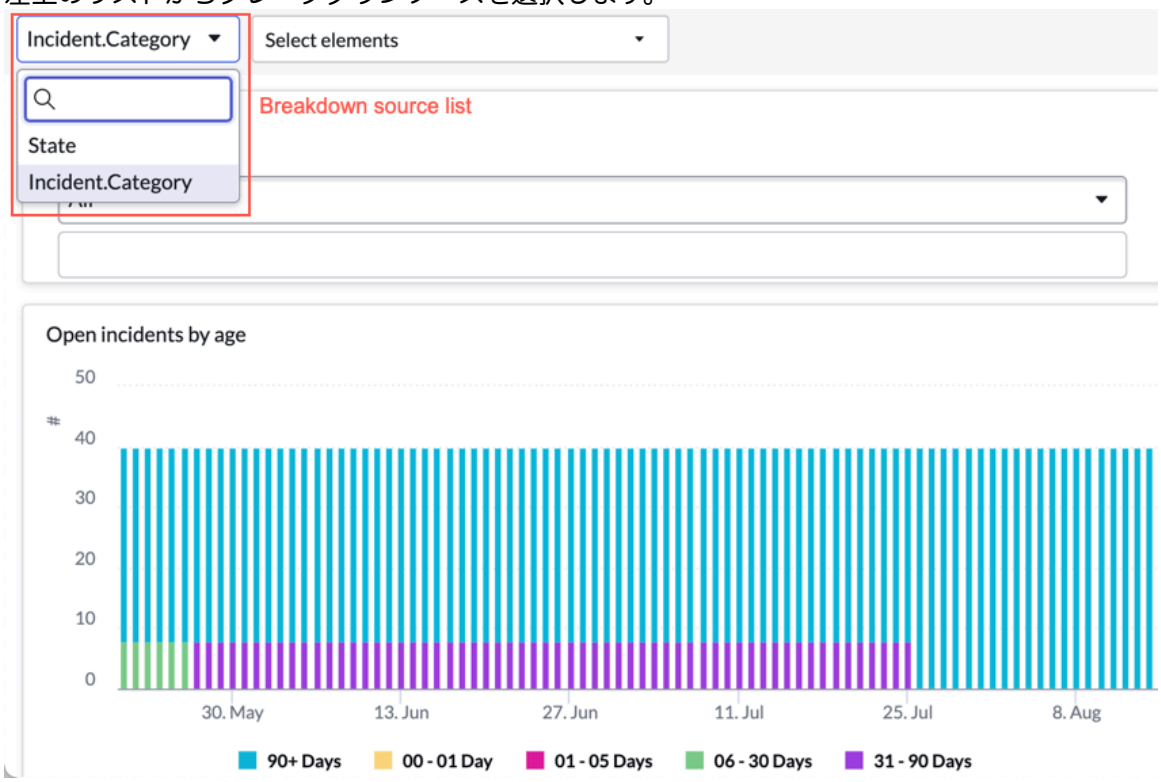
このタスクについて
優先度やカテゴリなどのブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリングするには、ブレークダウンソースを選択してから、そのブレークダウンソース内の要素を選択します。レポートおよび適切に構成された パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、適用時にフィルターを反映します。複数の要素を選択した場合、各パフォーマンスアナリティクスウィジェットの構成方法に応じてパフォーマンスアナリティクス、それらの要素に関連付けられた値が集計または個別の要素として表示されます。ブレークダウンダッシュボードとそのウィジェットの構成の詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

パフォーマンス上の理由から、すべてのブレークダウン要素を選択するオプションはありません。

注:
ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

手順

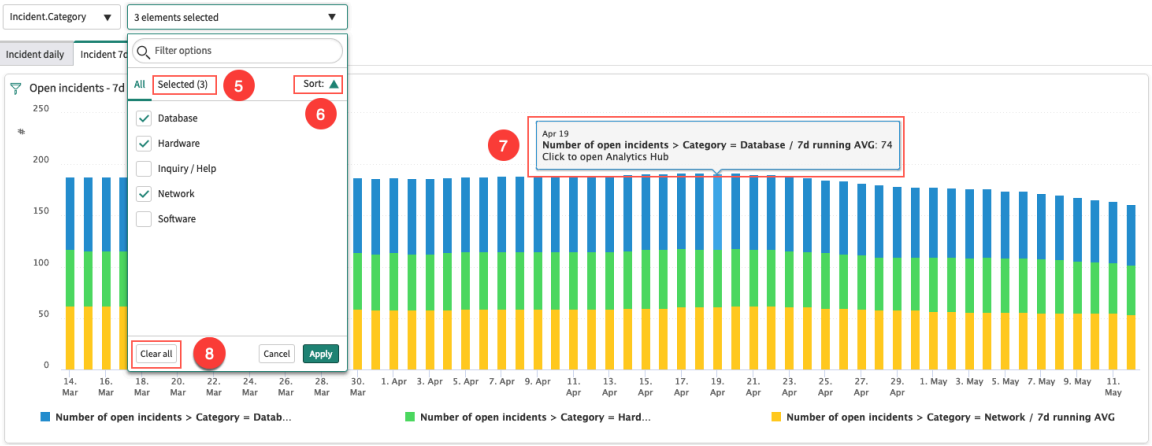
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. ブレークダウン要素でフィルタリングするダッシュボードを選択します。
3. 左上のリストからブレークダウンソースを選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [要素の選択] リストで、フィルターを適用する要素を選択し、[適用] をクリックします。



フィルタリング可能なダッシュボードのウィジェットは、選択した要素でフィルタリングされます。タイトルの横に、フィルター済みウィジェットにはフィルターアイコンが表示されます が表示されます。

> **注:**
> 要素のセキュリティ設定により、選択した 1 つ以上の要素を表示できない場合は、警告が表示されます。

5. [選択済み] をクリックすると、選択したブレークダウン要素のみが表示されます。
   [すべて] をクリックすると、リスト内のすべてのブレークダウン要素が表示されます。
6. [ソート] をクリックして、要素のリストをアルファベット順にソートします。
   三角形の方向は、a-z または z-a を示します。
7. インジケーターとブレークダウンの要素を アナリティクスハブ に表示するデータポイントを選択します。
   アナリティクスハブ にアクセスするには、pa_viewer ロールが必要です。

   アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。 ウィジェット内の複数の要素の集計ビューと個別ビューの詳細については、「 ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。
8. [すべてクリア] を選択して選択した要素を削除し、すべての要素を含むブレークダウンウィジェットを表示します。

ダッシュボードで複数要素の選択を無効にする

ダッシュボードの所有者は、ブレークダウンダッシュボード全体で複数の要素の選択を無効にすることができます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ブレークダウンダッシュボードで複数要素の選択を無効にすると、そのダッシュボードのユーザーは、ブレークダウンの 1 つの要素でダッシュボードのウィジェットのみをフィルタリングできます。

自動翻訳

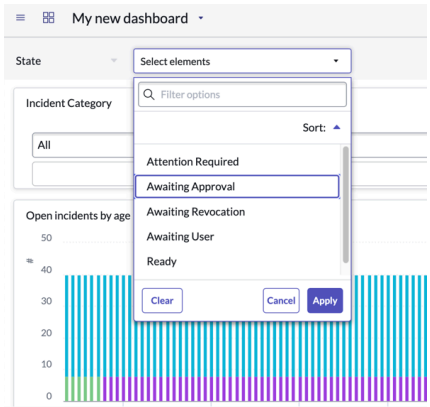
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

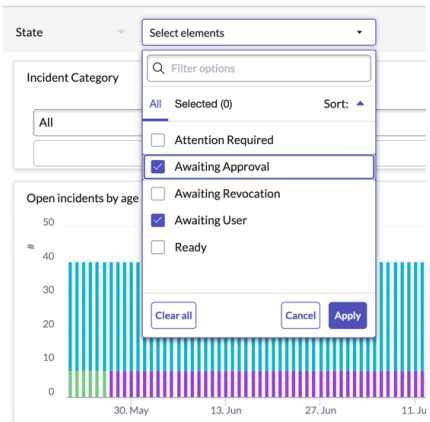
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 一度に 1 つのブレークダウン要素でのみフィルタリングするブレークダウンダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニューから [ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
4. [複数要素の選択を無効にする] を選択します。
   このオプションは、ダッシュボードの [ブレークダウンソース] 関連リストに少なくとも 1 つのブレークダウンソースがある場合に使用できます。
5. **[Update** (更新)] をクリックします。

タスクの結果
ブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリングする場合、選択できるブレークダウン要素は 1 つだけです。ダッシュボードのウィジェットは、選択した単一のブレークダウン要素に従います。要素を選択するか、選択した要素をクリアする場合は、[適用] をクリックしてこの選択を行う必要があります。

ブレークダウン要素のリスト:複数要素の選択が無効です



ブレークダウン要素のリスト:複数要素の選択が有効



レスポンシブ ダッシュボードを **PDF** にエクスポート

ダッシュボードを PDF としてエクスポートして、アーカイブ、印刷、または配布できるようにします。

始める前に
このトピックでは、コア UI のダッシュボードについて説明します。 インスタンスがプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行されている場合は、「 プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート」を参照してください。

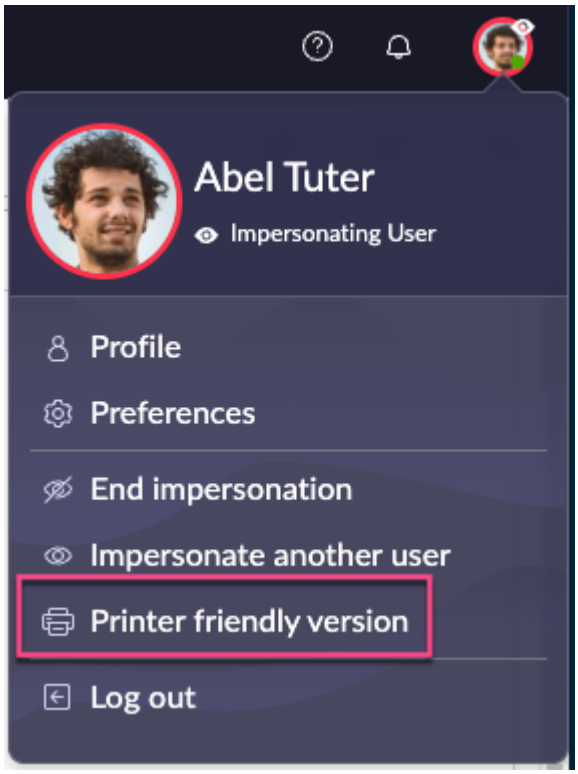
必要なロール:ダッシュボードを PDF にエクスポートするためにロールは必要ありませんが、アドミンが PDF エクスポート用にインスタンスを構成する必要があります。詳細については、「ダッシュボードの PDF エクスポートを有効にする」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードに適用されたインタラクティブ フィルターは、PDF にも適用されます。ただし、適用されたブレークダウンはエクスポートには含まれません。

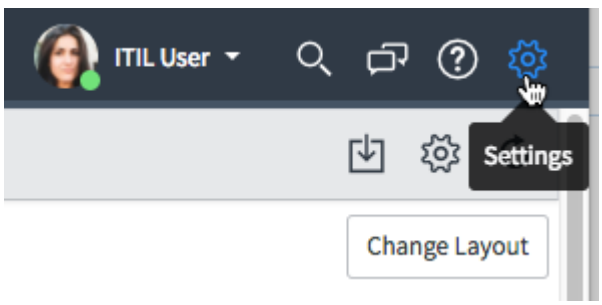
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
PDF をローカルで生成するには、インタラクティブフィルターを設定し、ユーザーアイコンをクリックして、「 プリンター対応版」を選択します。ダッシュボードが新しいウィンドウまたはタブで開きます。ブラウザーの印刷設定を使用して、ダッシュボードをエクスポートします。



ネクストエクスペリエンスを有効にしていない場合は、[設定]メニューから[プリンター対応版]を選択します。



制限事項：

- PDF にエクスポートしたカスタム コンテンツは、予測どおりに生成されないことがあります。詳細については、「カスタム コンテンツの PDF エクスポートに関する制限事項」を参照してください。
- PDF にエクスポートされたダッシュボードには、ダッシュボードのレイアウトは含まれません。各ウィジェットは上下に重ねて表示され、全ページ幅を占めます。
- ウィジェットは、一定の高さにエクスポートされます。ワークベンチやリスト ウィジェットなどの大きなウィジェットは、切り捨てられます。
- カレンダーレポートの PDF へのエクスポートはサポートされていないため、ダッシュボードからエクスポートされたカレンダーレポートが切り捨てられる場合があります。
- ダッシュボードに適用されたブレークダウンは、PDF には含まれません。

自動翻訳

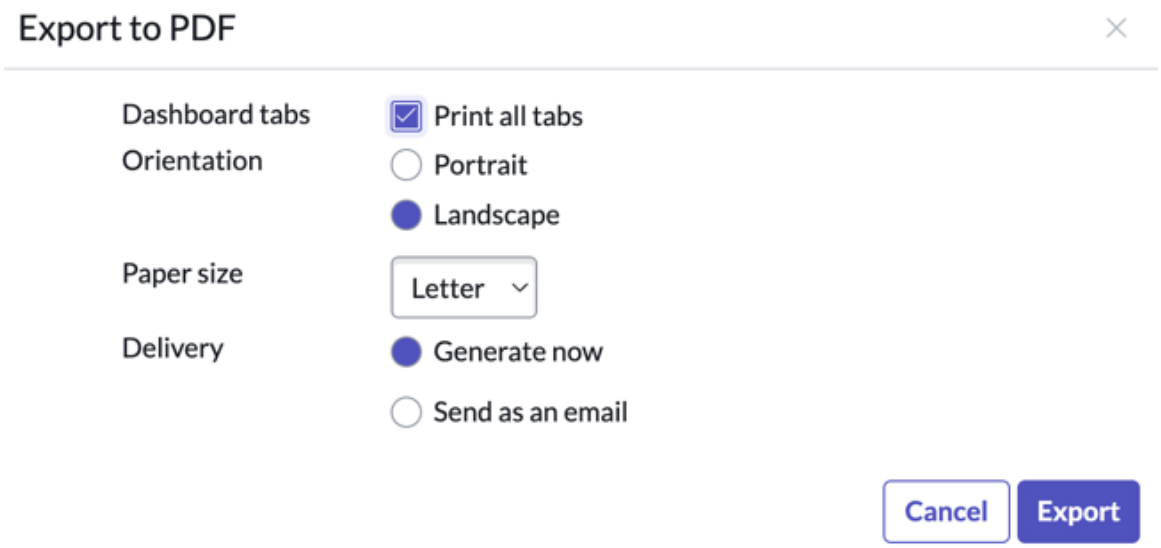
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットは、ダッシュボードとは異なる順序で表示されることがあります。
- ウィジェットの凡例は表示されないことがあります。
- エクスポートには、レポートの視覚化に関連付けられたデータテーブルは含まれません。データテーブルを含む個々のレポートを個別にエクスポートできます。スケジュール設定済みレポートにデータテーブルを含めるには、レポートデザイナーのレポートの [構成] タブで [データテーブルを表示] をオンにします。
- 単一スコア レポート ウィジェットのデルタ テキストの色設定は、保持されません。
- ウィジェットレベルで [日付範囲を表示] セレクター を選択した場合、PDF には選択した期間が反映されません。
- レスポンシブダッシュボードをテンプレートとしてエクスポートすることはできません。

注:
メールで送信される PDF は、すぐに生成されないことがあります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 左上のダッシュボード ピッカーから、エクスポートするダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニュー (☰) を選択し、**[PDF** にエクスポート] を選択します。
4. 印刷と配送のオプションを構成します。



5. [エクスポート] をクリックします。

タスクの結果
コンテンツは、印刷および配送のオプションに従って PDF にエクスポートされます。PDF が生成されない場合は、JavaScript エラーを特定して解決してください。

ブラウザの印刷機能を使用してダッシュボードをエクスポートする

ブラウザの印刷機能を使用して、ダッシュボードまたはホームページをPDFにエクスポートすることができます。

始める前に
必要なロール:ブラウザの印刷機能を使用してダッシュボードを PDF にエクスポートする場合、ロールは必要ありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

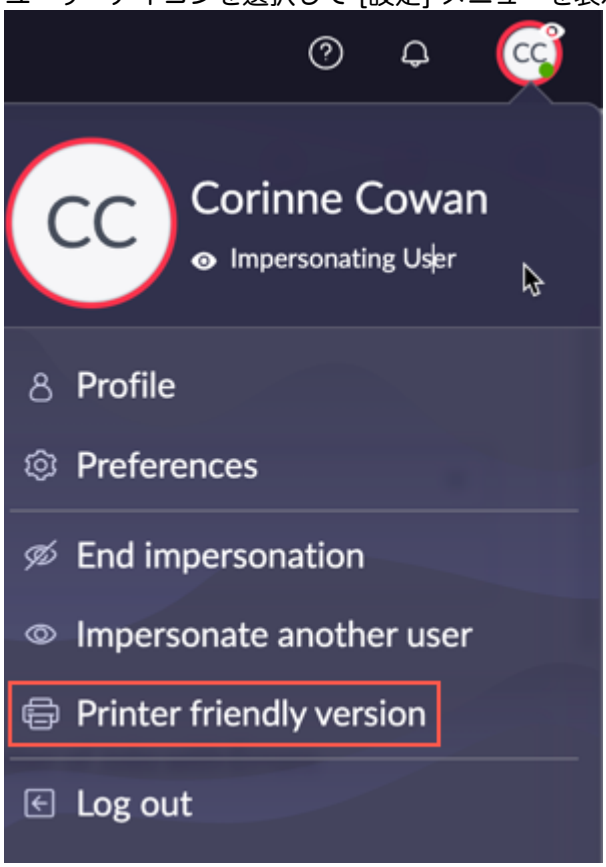
自動翻訳

このタスクについて

ブラウザーの印刷機能を使用して、オンデマンドで PDF をエクスポートしたり、ブレークダウンが適用された PDF をエクスポートしたりできます。スケジュール設定済み PDF では、ブレークダウンはデータに適用されません。

手順

1. エクスポートするダッシュボードを開きます。
2. インタラクティブフィルターを設定します。
3. ユーザーアイコンを選択して [設定] メニューを表示します。



ブラウザータブが開き、ダッシュボードのウィジェットが上下に並べられます。

4. 新しいブラウザータブで、印刷するタブ、ページサイズ、およびページの向きを選択します。
5. [印刷] を選択します。
6. ブラウザーの [印刷] ダイアログで、印刷先または出力として [PDF] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードタブが、選択したページサイズと向きで PDF にエクスポートされます。

レスポンシブ ダッシュボード **URL** のコピー

ブラウザからダッシュボード URL をコピーすることはできません。ただし、タブや ブレークダウン要素を含むダッシュボードの現在のビューを開く URL を作成することはできます。リンクに続く場合、ServiceNow ダッシュボード周囲のプラットフォームフレームは含まれません。

始める前に

必要なロール:ダッシュボードにアクセスできる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. コピーする URL を含むレスポンシブダッシュボードを選択します。
3. オプション: タブ、ブレークダウン、ブレークダウン要素を選択します。
4. コンテキストメニュー (☰) を選択し、[ダッシュボード **URL** のコピー] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボード URL がクリップボードにコピーされます。一部のブラウザーでは、URL をクリップボードにコピーするように求められます。

次のタスク
URL を他のユーザーと共有します。

ダッシュボードの **URL** 形式

インスタンスから パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードにリンクできます。いくつかの URL パラメーターを使用すると、リンクをクリックしたときのダッシュボードのアスペクトを指定できます。

すべてのダッシュボード URL は次の形式に従います。

```
https://<instance>.service-now.com/$dashboards.do?
```

.

注:
ダッシュボードはパフォーマンスアナリティクスのユーザーに限定されないため、

```
$dashboards.do
```

置換

```
$pa_dashboard
```

ですが、どちらの文字列もダッシュボード URL では機能します。

このベース URL の後には、いくつかのオプションの URL クエリパラメーターが続きます。

URL パラメーター

パラメーター	説明
sysparm_dashboard=<sys_id>	表示するダッシュボードの sys_id。
sysparm_tab=<sys_id>	表示するダッシュボード タブの sys_id。タブを指定しない場合、一番左のタブが表示されます。このパラメーターは、 *sysparm_dashboard* が存在する場合にのみ適用されます。
sysparm_breakdown_source=<sys_id>	表示するダッシュボード ブレークダウンの sys_id。
sysparm_element=<値>	表示する ブレークダウン要素の sys_idまたは値。このパラメーターは *sysparm_breakdown_source* も存在する場合にのみ適用されます。値の大文字と小文字は区別されます。
sysparm_element_value=<値>	選択された要素値。この値は、参照されるレコードの sys_id、または選択リストの選択肢のデータベース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL パラメーター (続く)

パラメーター	説明
	値です。データベース値の大文字と小文字は区別されます。このパラメーターは、 *sysparm_element* と *syspartm_breakdown_source* も存在する場合にのみ適用されます。
sysparm_header=<値>	ダッシュボード ヘッダーを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：完全なヘッダーが表示されます。 • 非表示：完全なヘッダーは非表示になります。 • Embedded (埋め込み)：ヘッダーは表示されますが、[リフレッシュ]、[フィルターをリセット]、および **[PDF** にエクスポート] の各オプションのみが表示されます。
sysparm_breakdown=<値>	ダッシュボード ブレークダウンを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：ソースと要素の両方を含む完全なブレークダウンが表示されます。 • 非表示：完全なブレークダウンは非表示になります。 • Embedded (埋め込み)：ブレークダウン要素のみが表示されます。 • Readonly (読み込み専用)：ブレークダウンは表示されますが、ユーザーはフィルターの構成方法を変更できません。

自動翻訳

単一スコア レポート ウィジェットのリアルタイム更新の有効化

リアルタイム更新により、レスポンシブダッシュボードを表示しているユーザーには常に最新の情報が表示されます。

始める前に

必要なロール:ウィジェットが追加されたダッシュボードの編集権限が必要です。

単一スコア レポートでは、[カウント]、[平均]、[合計]、[個別のカウント] の 4 つのタイプの集計を使用できます。リアルタイム更新は、[カウント] 集計を使用する単一スコア ウィジェットでのみ使用可能です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
次の状況では、レスポンシブダッシュボードの単一スコアレポートウィジェットでリアルタイム更新が機能しません。

- レポートソースが データベースビューの場合、ユーザーはウィジェットのリフレッシュ スコアを更新する必要があります。詳細については、「データベースビュー」を参照してください。
- ドメインの可視化は、リアルタイムレポートではサポートされていません。ユーザーにアサインされたドメインとそのドメイン階層、およびグローバルドメインのみがサポートされます。
- 可視化にドット連結条件がある場合、拡張テーブルに関連する変更が発生しても、単一スコアレポートは更新されません。Record Watcher は、レポートのベーステーブルの更新のみを送信します。詳細については、 KB 記事KB0868215 を参照してください。
- current.update() メソッドを使用するビジネスルールが挿入/更新で起動されると、単一スコアレポートは 1 つではなく 2 つインクリメントします。詳細については、 KB 記事 KB0693812 を参照してください。
- クエリビジネスルールによって追加または変更される条件は、リアルタイムレポートでは考慮されません。

  クエリビジネスルールは特定のユーザーのクエリ条件を臨機応変に変更するため、リアルタイム更新に使用されるレコード監視フレームワークはクエリビジネスルールをトリガーしません。
- ウィジェットがフィルター [アサイン先グループ] - [次の値に等しい] - [自分のグループの 1 つ] を使用する場合、ウィジェットはリアルタイムで更新されません。
- 単一スコアレポート時間の更新は、ローテーションテーブルではサポートされていません。

このタスクについて
ダッシュボードの単一スコアウィジェットのリアルタイム更新を有効にすることができます。

手順
1. 単一スコア ウィジェットが追加されたダッシュボードに移動します。
2. [ウィジェットの追加] アイコン ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
3. ウィジェットをポイントし、ギア アイコン ( ) をクリックします。
4. [リアルタイム更新を表示] を選択し、[完了] をクリックします。
5. プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードの編集モードを終了します。
   リアルタイム) がウィジェットに追加されます。このアイコンは、スコアが変更されていない場合でも永続的に表示されます。

タスクの結果
単一スコアの可視化の値が変更されると、その変更がダッシュボードに反映されます。

レスポンシブ ダッシュボードのオーナーの変更

ダッシュボードのオーナーは、ダッシュボードを編集し、他のユーザーと共有できます。

始める前に
必要なロール：dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードオーナーを変更できます。

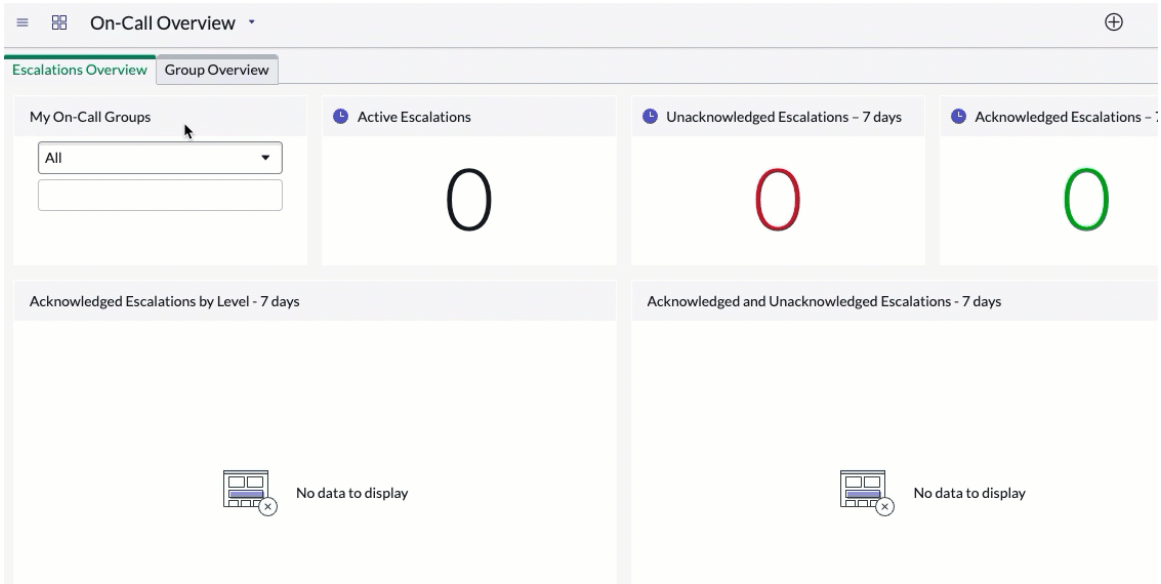
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ダッシュボードの所有者を確認するには、pa_dashboards_list.do に移動してダッシュボードを検索します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード または **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. 所有者を変更するダッシュボードを開きます。
3. コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[ダッシュボードプロパティ] を選択します。
4. [オーナー] フィールドで、新しいオーナーを選択します。



5. **[Update** (更新)] をクリックします。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

レスポンシブでないダッシュボードの操作

Utah リリース以降、レスポンシブでないダッシュボードは使用できなくなりました。

アップグレード時に、レスポンシブでないダッシュボードは レスポンシブダッシュボードに変換されます。

レスポンシブダッシュボードをホームとして設定

ダッシュボードを ホームとして設定できます。この設定では、プラットフォームの左上隅にあるロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

注:
ネクストエクスペリエンスが有効になっている場合、このページの手順は適用されません。ネクストエクスペリエンスランディングページの詳細については、次を参照してください。

- デフォルトのランディングページの探索
- Configuring Next Experience start page options
- ユーザーが選択した開始ページを構成する

必要なロール:ユーザー。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

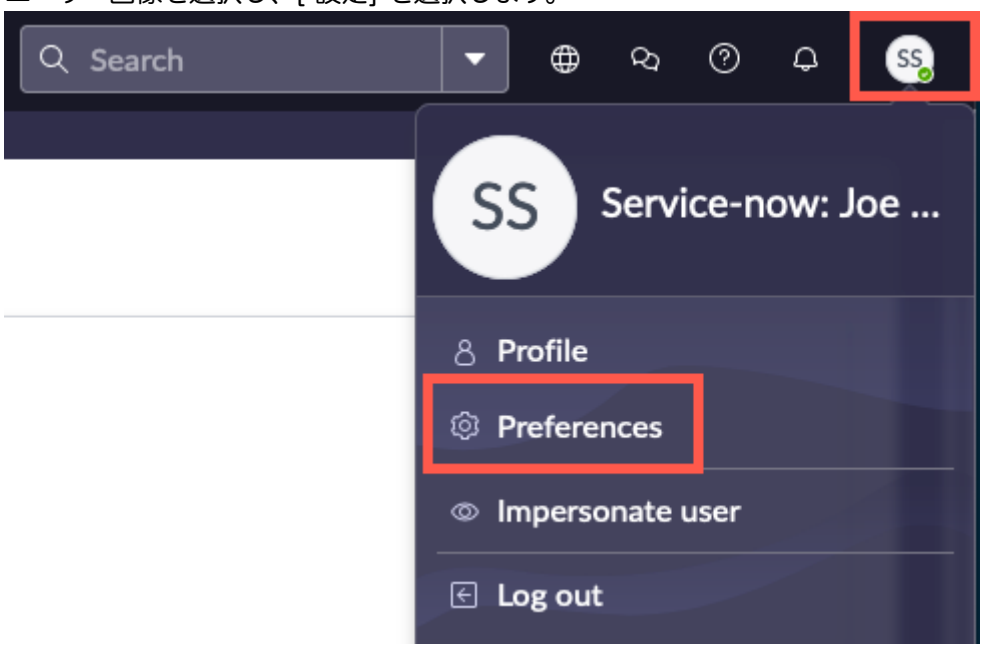
詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

ダッシュボードが ホームとして設定されている場合、最後に選択したダッシュボードが常にロードされます。ダッシュボードを ホームとして指定することはできません。ダッシュボードに簡単に移動できるように、ダッシュボードをお気に入りとしてマークします。

手順

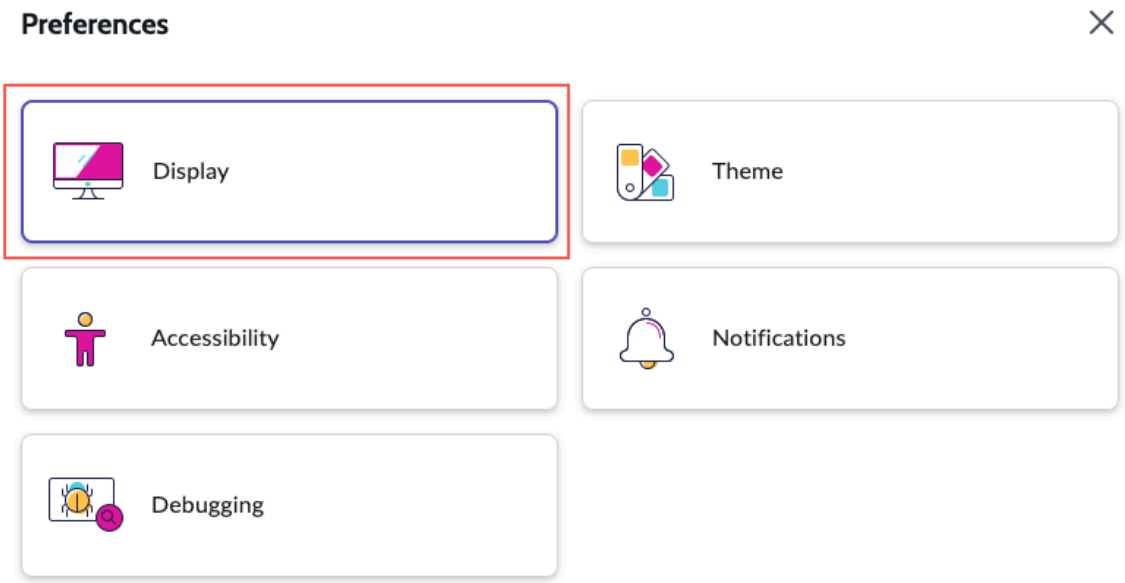
1. ユーザー画像を選択し、[設定] を選択します。



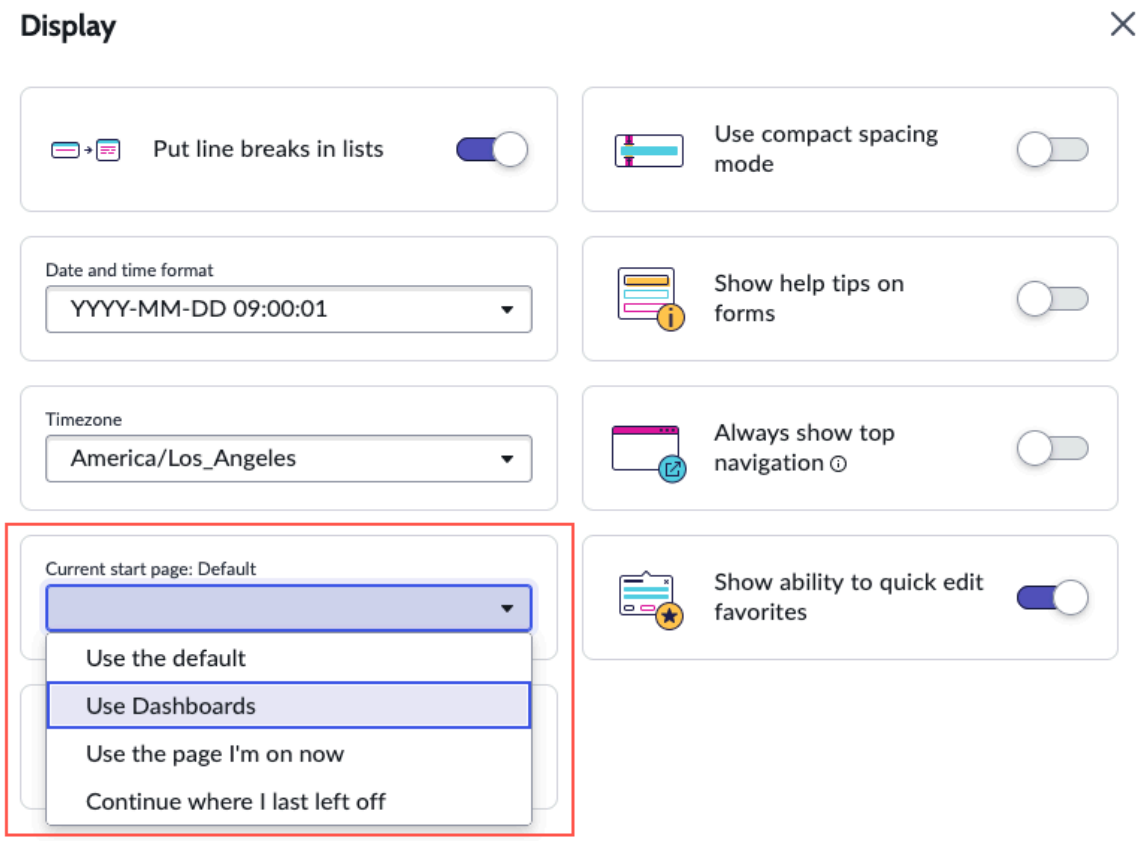
2. [表示] タイルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



3. [表示] タブで、[ダッシュボード を使用] をスタートページとして選択します。



タスクの結果
移動先 セルフサービス > ダッシュボード または会社のロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

分析サービスの要求

新しいダッシュボードの要求、既存のダッシュボードへのアクセスなど、ダッシュボードに関連するサービスを要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 次のいずれかに移動します。 **All** (すべて) > セルフサービス > サービスカタログ または サービスポータル > **Service Portal Home** (サービスポータルホーム).
2. [サービス ポータル] に移動した場合は、[注文する] を選択します。
3. [何かお困りですか？] カテゴリーを選択します。
4. [分析要求] を選択します。
5. [要求タイプ] ([ダッシュボードへのアクセスを要求]、[ダッシュボードを編集]、[問題の報告] など) を選択します。
6. オプション: 別のユーザーの要求を送信する場合は、 **[Request on behalf of another user]** (別のユーザーの代わりに要求) チェック ボックスをオンにして、自分が代わりに要求するユーザーを選択します。
7. ダッシュボードの名前や変更の説明など、要求に関する追加の詳細を入力します。
   使用可能なフィールドは、要求タイプによって異なります。
   要求したユーザーに、通知が自動的に送信されます。

次のタスク
要求を送信した後は、分析チームが、要求された変更のレビューと実装を担当します。

分析要求の履行

分析サービス要求は、要求をレビューおよび履行できる分析グループにアサインされます。

始める前に
少なくとも 1 人のユーザーが分析グループのメンバーである必要があります。

必要なロール：

- 履行者：itil および pa_admin。履行者であるユーザーは、これらのロールを自動的に付与する分析グループのメンバーである必要があります。
- 承認者：itil および approver_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Service Desk** > 自分のグループ作業.
2. 要求を選択します。
3. ダッシュボードへのアクセス権の付与を要求する場合は、この要求を適用するダッシュボードを選択します。
4. [要求承認者] として、1 人以上のユーザーを選択します。
   この承認者は、分析グループのメンバーでない人にする必要があります。

   > **注:**
   > 要求タイプが [問題の報告] の場合、承認は必要ありません。

5. 承認者が要求を承認できるようになります。
   a. 次のように移動する。 セルフサービス > 自分の承認.
   b. [承認リクエスト] を選択します。
   c. [承認] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

承認者が承認を拒否した場合、要求は自動的にクローズします。承認者が [承認済み] または [却下] 以外のオプションを選択した場合、履行者ユーザーは、[状態] を [スキップしてクローズ] または [未完了でクローズ] に設定することによって要求をクローズできます。
要求が承認された場合、または承認の必要がなかった場合は、分析チームに対してタスクが作成されます。要求レコードの [タスク] 関連リストに移動して、タスクを表示します。メール通知が分析チームに送信されます。

6. 承認者が要求を承認した後、要求された変更を実行して、要求を履行します。
ダッシュボードおよびダッシュボード権限の変更手順については、ダッシュボードのドキュメントを参照してください。
7. タスクの [状態] を [完了してクローズ] に更新します。
タスクがクローズされると、要求の [状態] が自動的に更新されます。要求したユーザーに、要求された変更が完了したことを知らせるメール通知が送信されます。

関連情報

ダッシュボードを作成および使用する

レスポンシブ ダッシュボードの共有

分析用セルフサービス ポータル プラグインの有効化

admin ロールがある場合、分析用セルフサービス ポータル プラグイン (com.snc.pa.bi_service) を有効化できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
分析用セルフサービス ポータルは、これらの関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

分析用セルフサービス ポータルのプラグイン

プラグイン	説明
パフォーマンス分析 [com.snc.pa]	コア パフォーマンス分析機能

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

関連情報

プラグインのリスト (Yokohama)

ダッシュボードの管理

ダッシュボードをグループ化する方法、更新セットを含むダッシュボードを移動する方法、権限のトラブルシューティングなど、ダッシュボードの管理について学びます。

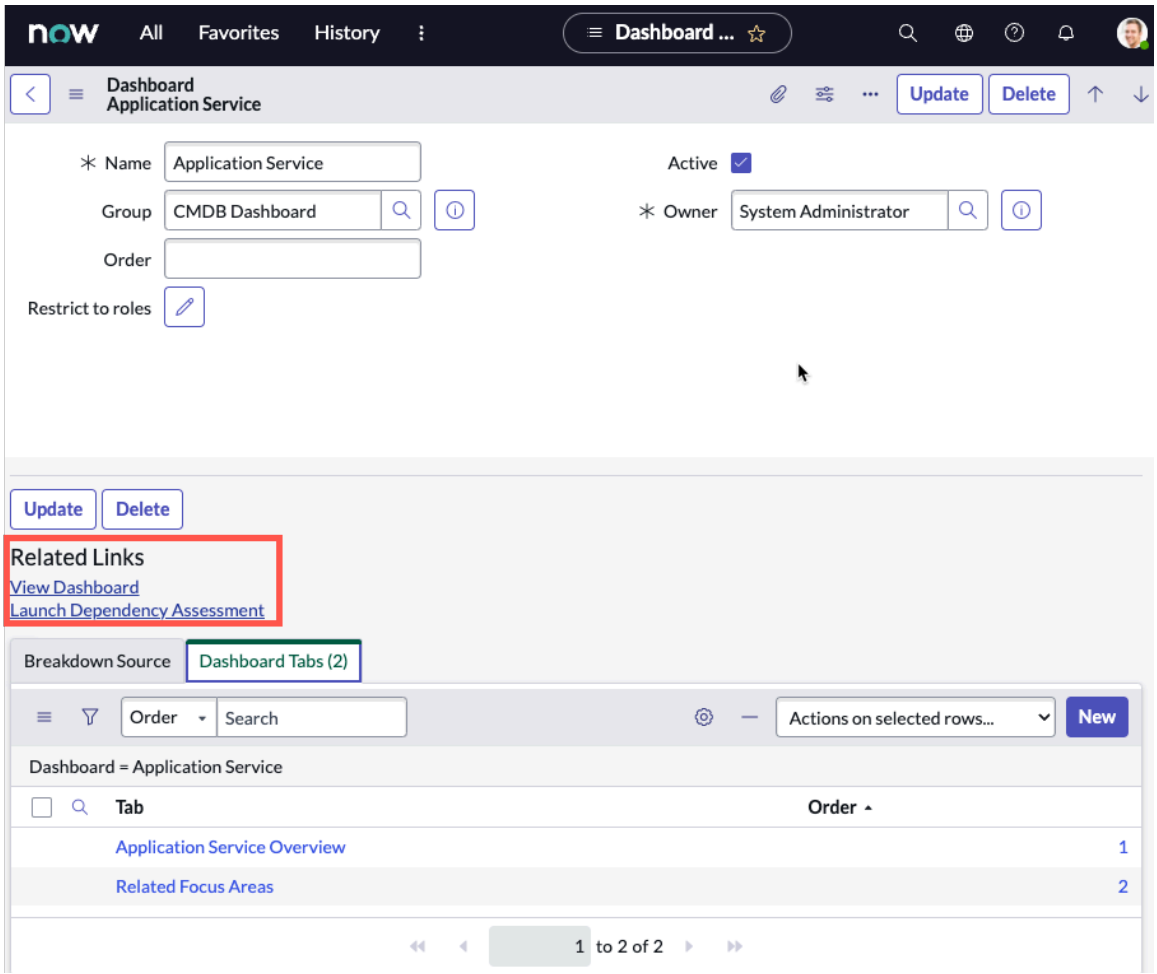
dashboard_admin ロールを持つユーザーは、インスタンス内のすべてのダッシュボード (すべての非アクティブ ダッシュボードを含む) に対する表示、編集、削除、および共有の権限を含む完全アクセス権を持ちます。インスタンス内のすべてのダッシュボードのリストを表示するには、次に移動します: パフォーマンスアナリティクス > システム > ダッシュボード管理. ダッシュボードの名前をクリックすると、そのフォームが表示されます。

ダッシュボードのフォームのフィールドについては、 レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成で説明しています。関連リンクを使用して、次の操作を行います。

- ダッシュボードを表示する
- 依存関係アセスメントを起動

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードの探索および管理

ダッシュボード、レポート、インジケーターなどのパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定します。各ダッシュボードタブには、ダッシュボードに表示される情報を絞り込むことができるカスタマイズされたインタラクティブフィルターがあります。

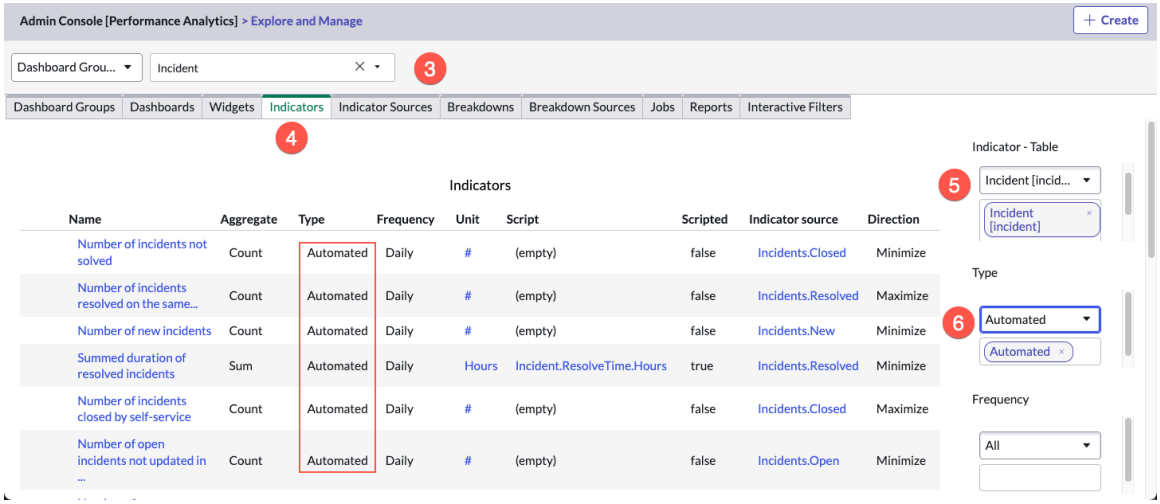
ダッシュボードの探索の例

インシデントテーブルに基づいてインシデントダッシュボードグループに関連するすべての 自動インジケーター を表示するには:

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール
2. [探索と管理] タイルで [ダッシュボード] を選択します。
3. 最初の 2 つのリストから、[ダッシュボード グループ] と [インシデント] を選択します。
4. [インジケーター] タブを選択します。
5. **[Indicator - Table]** (インジケーター - テーブル) リストから [インシデント] を選択すると、インシデント テーブルのインジケーターのみが表示されます。
6. [タイプ] リストから [自動] を選択すると、インシデント テーブルの自動インジケーターのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードおよびダッシュボード グループ

[ダッシュボード] または [ダッシュボードグループ] をクリックすると、インスタンス内のすべてのパフォーマンスアナリティクスの基本事項に関する情報を提供するダッシュボードが表示されます。

ダッシュボードグループ

インスタンス内のすべてのダッシュボードグループのリスト。管理コンソールで [ダッシュボード グループ] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。グループが指定されていないダッシュボードは、[その他] グループに分類されます。

すべてのダッシュボードグループ、全員に表示されるダッシュボードグループ、または指定したグループとユーザーに限定されたダッシュボードグループを表示するには、ヴィジビリティ フィルターを使用します。

ダッシュボード

グループ別にソートされたインスタンス内のすべてのダッシュボードのリスト。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。ダッシュボード名をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。管理コンソールで [ダッシュボード] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。

フィルタ：

- アクティブ：[すべて]、[Active=**True**]、または [Active=**False**] を選択します。
- ダッシュボード所有者 - [すべて] を選択するか、リストから 1 人以上の所有者を選択します。

ウィジェット

インスタンスのダッシュボードで使用されているすべてのウィジェットのリスト。

フィルタ：

- タイプ：[すべて] を選択するか、1 つ以上のウィジェット タイプでフィルタリングします。「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。
- ビジュアライズ：[すべて] を選択するか、リスト内の 1 つ以上のレポート ビジュアライズ タイプでフィルタリングします。

インジケーター

インスタンスのダッシュボードで使用されているすべてのインジケーターのリスト。フィルター: インジケーターテーブル、 タイプ、 頻度、 インジケーターソース、 単位、 方向、 スクリプト、 および集計タイプでリストをフィルタリングできます。[イ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンジケーター] または [インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。

インジケーターソース

インスタンス内のすべてのインジケーターソースのリスト。インジケーターテーブルと頻度でリストをフィルタリングできます。[インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 インジケーターソース」を参照してください。

ブレークダウン

インスタンス内のすべてのブレークダウンのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウンとブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン」を参照してください。

ブレークダウンソース

インスタンス内のすべてのブレークダウンソースのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 ブレークダウン ソースの定義」を参照してください。

ジョブ

インスタンスで作成されたすべてのジョブのリスト。[実行] 列には、ジョブの実行頻度が表示されます。[時間] 列には、ジョブが最後に実行されたときにかかった時間が表示されます。また、リストには、ジョブがアクティブかどうかも示されます。ジョブの名前をクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。

レポート

インスタンスで作成されたすべてのレポートのリスト。1 つ以上のレポートテーブルと 1 つ以上のレポートタイプでリストをフィルタリングできます。レポートのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 レポートの視覚化の作成」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インスタンスで構成されているすべてのインタラクティブフィルターのリスト。インタラクティブフィルターの基になるテーブルとフィールド、および 1 つ以上の UI コントロールタイプでフィルタリングできます。[ルックアップ名] をクリックすると、インタラクティブ フィルターの詳細を表示して編集できます。詳細については、「インタラクティブ フィルター」を参照してください。

関連情報

ツリー ビュー ナビゲーション

パフォーマンスアナリティクスの用語

ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定

ホームページではなく個々のユーザーがダッシュボードを設定することもできますが、ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定することもできます。デフォルトでは、ユーザーが最後にアクセスしたダッシュボードが、 ServiceNow にログインしたときに表示されるダッシュボードです。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

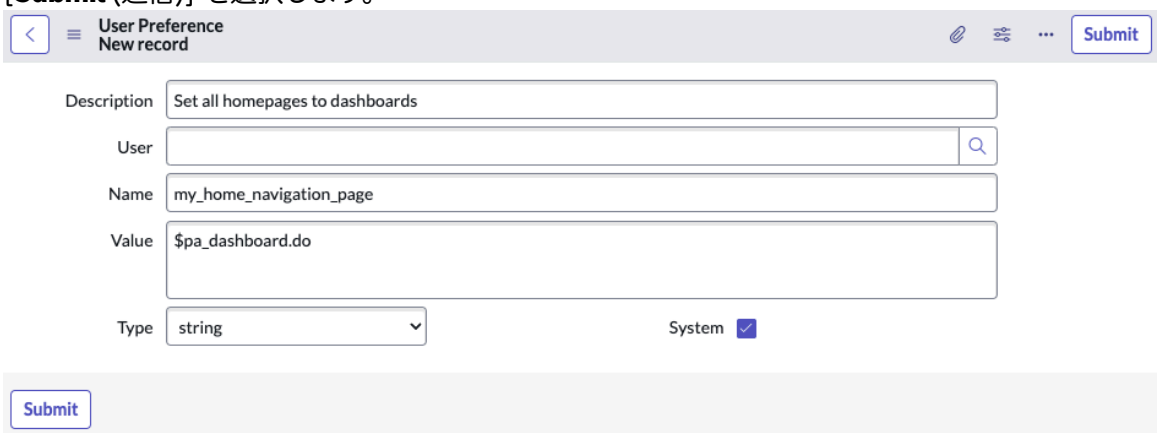
ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ユーザー管理 **(User Administration)** > ユーザー設定.
2. 「my_home_navigation_page」という名前のユーザー設定を作成します。
3. 設定に 説明「すべてのホームページをダッシュボードに設定する」を指定します。
4. [システム] チェックボックスをオンにして、インスタンス全体のデフォルトを作成します。
5. [ユーザー] フィールドは空のままにします。
   ステップ 4 と 5 により、設定が普遍的になります。
6. [タイプ] を [文字列] に設定します。
7. 値を $pa_dashboard.do に設定します。
8. [**Submit** (送信)] を選択します。



タスクの結果
すべてのユーザーは、 ServiceNowにログインすると、最後にアクセスしたダッシュボードが表示されます。

次のタスク
特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定する

すべてのユーザーがログインしたときに同じダッシュボードが表示されるように ServiceNow を構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

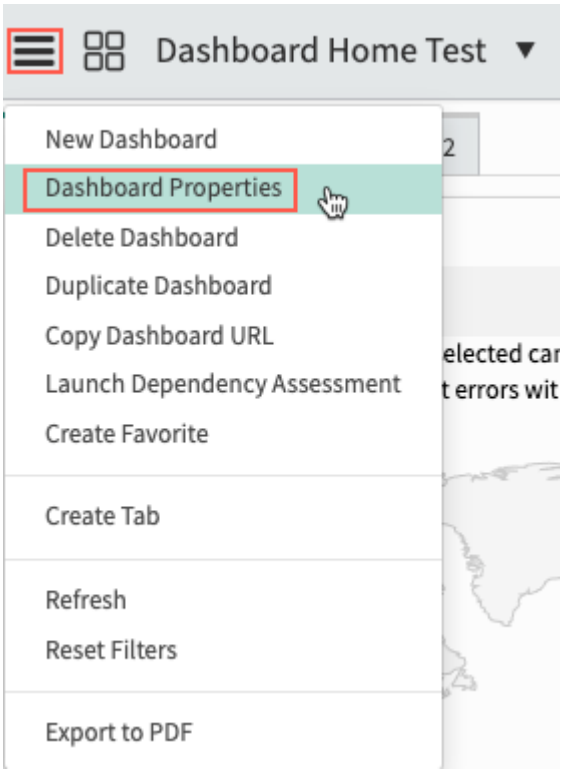
自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
構成するダッシュボードは、すべてのユーザーが利用できるようにする必要があります。

手順

1. ユーザー設定 my_home_navigation_pageを構成します。
   詳細については、「 ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定」の手順 1 ～ 5 を参照してください。
2. すべてのユーザーのホームとして設定するダッシュボードに移動します。
3. コンテキストメニューから [ダッシュボードのプロパティ] を選択します。



4. [ダッシュボードのプロパティ] フォームで、もう一度コンテキストメニューをクリックして [**sys_id**のコピー] を選択します。
   作成したプロパティにコピーできるように、sys_idをテキストファイルに貼り付けます。
5. 次のように移動する。 ユーザー管理 **(User Administration)** > ユーザー設定.
6. 「 com.snc.pa.ui.preferences_dashboards」という名前のユーザー設定を作成します。
7. 検索しやすいわかりやすい説明をプロパティに付けます。
8. [システム] というラベルの付いたボックスをオンにします。
9. [ユーザー] フィールドは空のままにします。
   この手順により、設定がユニバーサルになります。
10. [タイプ] を [文字列] に設定します。
11. [値] フィールドに「{"last":"dashboard_sys_id"}」と入力しますが、dashboard_sys_id を手順 4 でコピーしたsys_idに置き換えます。
12. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
すべてのユーザーが ServiceNowを開くと、同じダッシュボードが表示されます。

ダッシュボードをグループに整理する

ダッシュボードをグループにアサインして、ユーザーが必要なダッシュボードをより簡単に見つけられるようにします。ダッシュボードグループは、ダッシュボードピッカーに移動したときにダッシュボードがどのように表示されるかを決定します セルフサービス > ダッシュボード. ダッシュボードグループの表示権限を追加することもできます。

始める前に
必要なロール:admin、pa_admin、または pa_power_user。

このタスクについて
ダッシュボード グループに対する権限は、そのグループ内のすべてのダッシュボードに適用されます。

注:

- 個々のダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループ レベルで設定された権限を上書きします。
- ダッシュボードの編集権限は、ダッシュボードグループ権限に影響を与えたり上書きしたりする可能性があります。
- ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

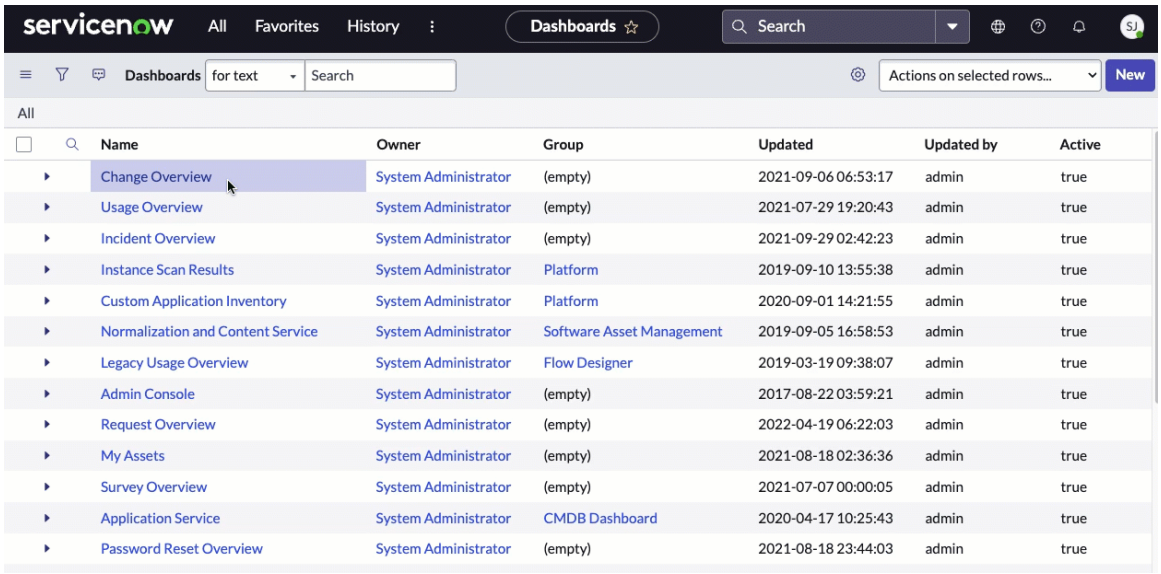
ダッシュボード ピッカーに単一のグループを表示するには、ダッシュボード URL にパラメーター sysparm_group= を追加し、その後にグループ名を追加します。たとえば、incident という名前のダッシュボードグループのみを表示するには、URL https://<instance>/$dashboards.do?sysparm_group=incident を使用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > システム > ダッシュボード管理.
   [グループ] 列を使用して、現在のダッシュボード グループ設定をレビューします。グループがアサインされていないダッシュボードは、[グループ] 列に (空) と表示されます。ダッシュボードの概要では、これらのダッシュボードは [その他] としてグループ化されます。
2. グループに追加するダッシュボードの名前を選択して、そのフォームを開きます。
3. [グループ] フィールドで、ルックアップアイコン (🔍) を使用して、ダッシュボードを追加するグループを選択します。
   既存のダッシュボードグループを選択するか、[新規] を選択してダッシュボードグループを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Name	Owner	Group	Updated	Updated by	Active
Change Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-06 06:53:17	admin	true
Usage Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-29 19:20:43	admin	true
Incident Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-29 02:42:23	admin	true
Instance Scan Results	System Administrator	Platform	2019-09-10 13:55:38	admin	true
Custom Application Inventory	System Administrator	Platform	2020-09-01 14:21:55	admin	true
Normalization and Content Service	System Administrator	Software Asset Management	2019-09-05 16:58:53	admin	true
Legacy Usage Overview	System Administrator	Flow Designer	2019-03-19 09:38:07	admin	true
Admin Console	System Administrator	(empty)	2017-08-22 03:59:21	admin	true
Request Overview	System Administrator	(empty)	2022-04-19 06:22:03	admin	true
My Assets	System Administrator	(empty)	2021-08-18 02:36:36	admin	true
Survey Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-07 00:00:05	admin	true
Application Service	System Administrator	CMDB Dashboard	2020-04-17 10:25:43	admin	true
Password Reset Overview	System Administrator	(empty)	2021-08-18 23:44:03	admin	true

4. オプション: ダッシュボード グループのフォームを開いて、その権限を変更します。

   (Optional) ダッシュボード グループに対する表示権限のみを設定できます。

   ダッシュボード グループでは、標準のプラットフォーム権限が使用されます。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

5. [**Update** (更新)] を選択します。

レスポンシブ ダッシュボードでのダッシュボード権限とダッシュボード グループの権限のインタラクション

ダッシュボード グループ権限とダッシュボード権限は相加的ではありません。ダッシュボードの権限の定義によっては、ダッシュボード グループ権限が適用されないことがあります。

ダッシュボードがダッシュボード グループに属している場合、そのダッシュボードで定義された表示権限が、ダッシュボード グループのすべての表示権限を上書きします。ダッシュボード グループ レベルで定義された権限は、ダッシュボードの [共有] パネルには表示されません。グループ内のダッシュボードの表示権限を変更する場合は、ユーザーがアクセスを失わないように、常にダッシュボードグループ権限を確認してください。詳細については、「ダッシュボード権限のシナリオ」を参照してください。

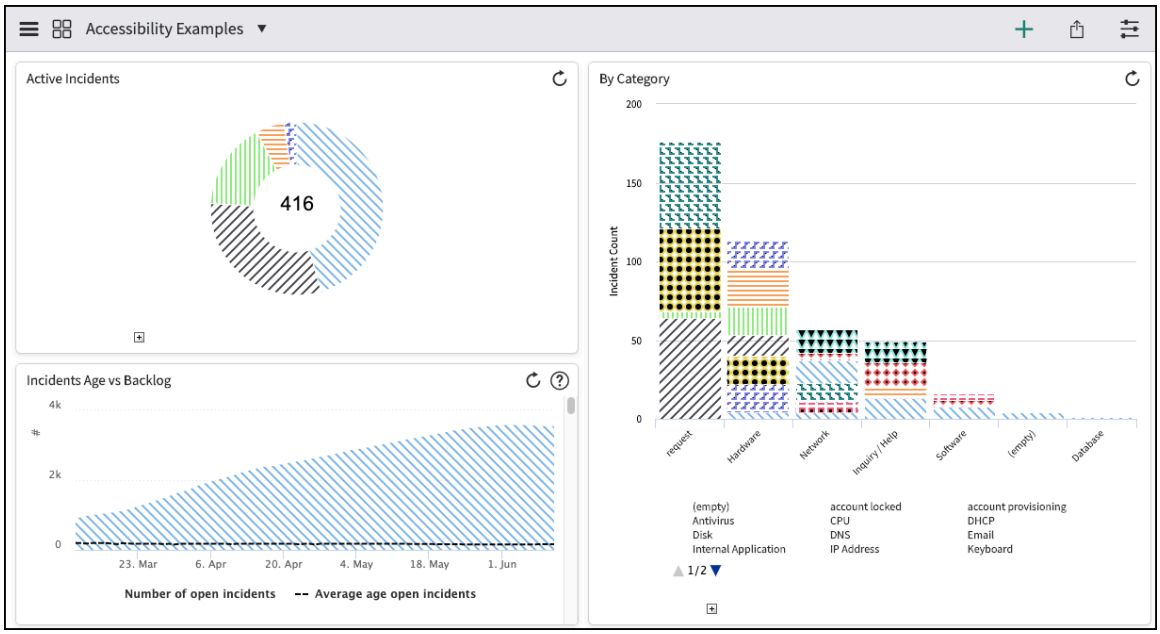
たとえば、ダッシュボード グループ Support Dashboards に、Open Incidents および Incident Metrics というダッシュボードが含まれているとします。このダッシュボード グループには、グループ Support に対する表示権限があります。Incident Metrics というダッシュボードに対する表示権限をユーザー John Dee に付与した場合、グループ Support にはこのダッシュボードが表示されなくなります。ダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループに対するすべての表示権限を上書きします。

ダッシュボードのアクセシビリティオプション

アクセシビリティ設定がダッシュボードのレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにどのように影響するかを理解します。ワークスペース上のデータ表示方法も影響を受けます。

自動翻訳

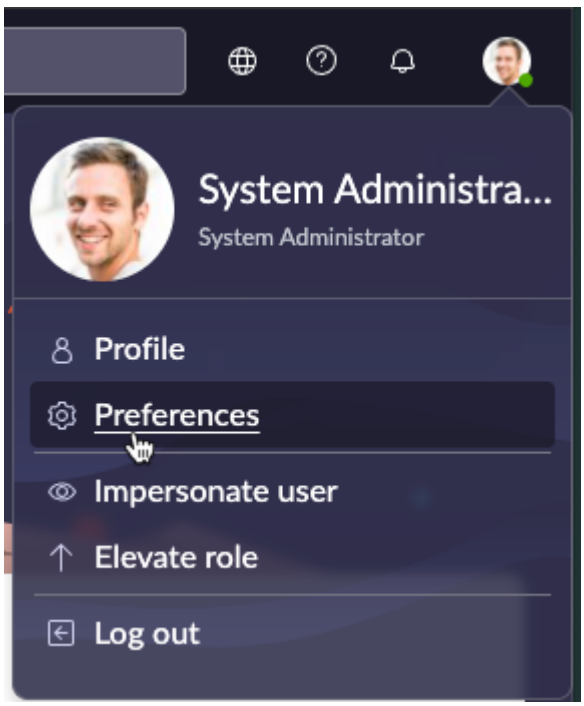
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のアクセシビリティオプションを有効または無効にして、インスタンスでのエクスペリエンスを利用しやすくすることができます。

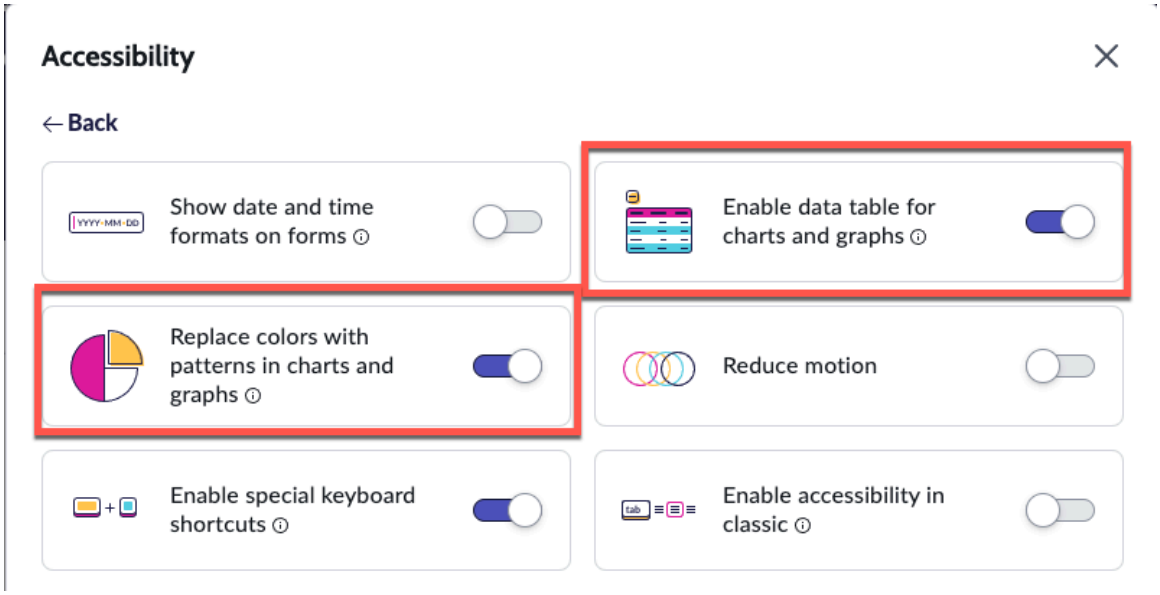
- チャートおよびグラフの色とパターンの置換
- チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にする

[設定] を開いて [アクセシビリティ] オプションにアクセスします。詳細については、「Configure Next Experience accessibility preferences」を参照してください。



自動翻訳

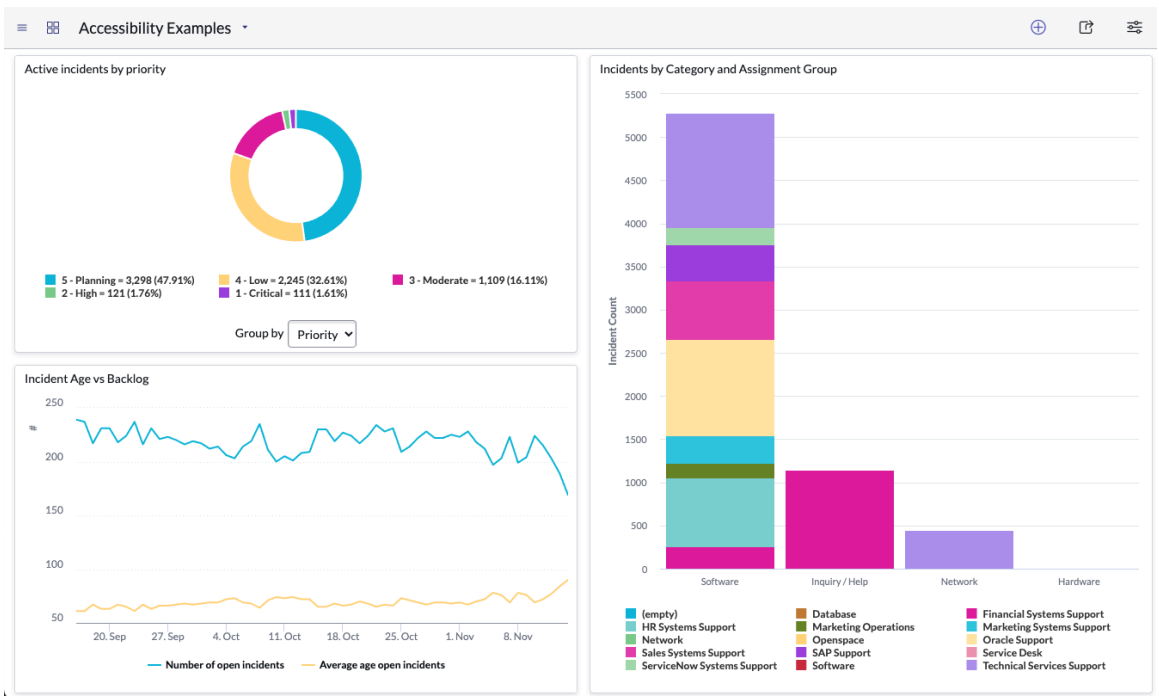
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データ可視化パターンを有効にする

アクセシビリティが有効になっていない可視化を表示するダッシュボードの例を次に示します。ダッシュボードには、次の可視化が表示されます。

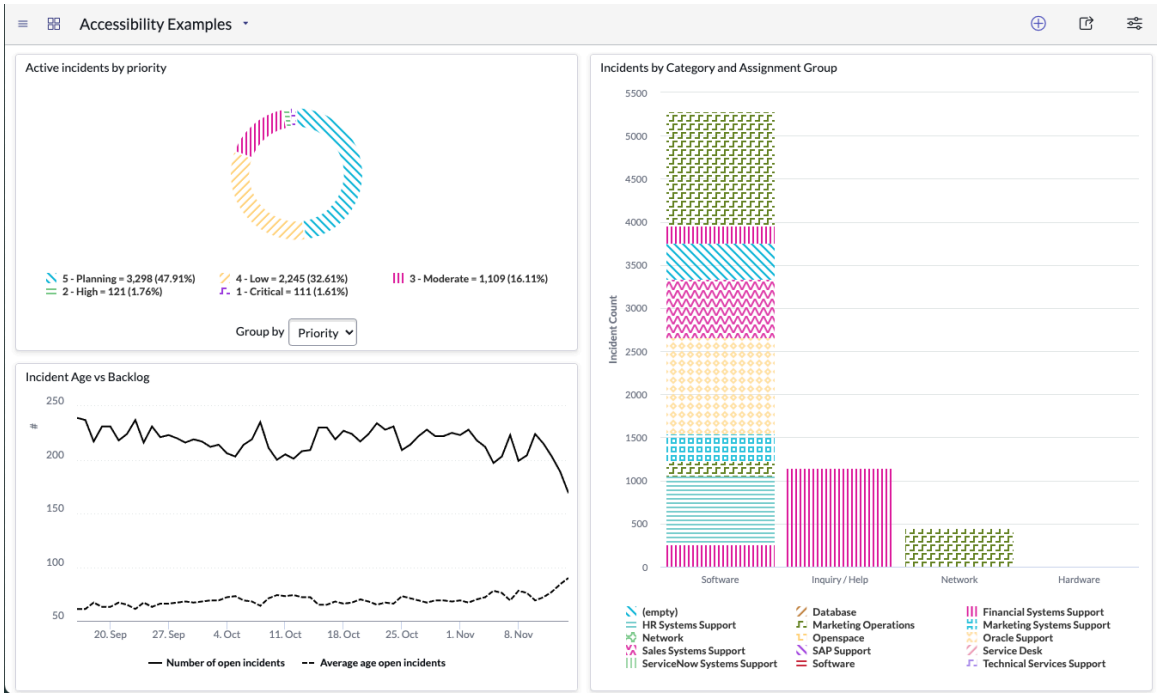
- ドーナツグラフレポート
- 棒グラフレポート
- 時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェット



[色をチャートやグラフのパターンに置き換える] を選択すると、視覚化の単色がどのように異なるパターンになり、よりアクセスしやすくなるかを確認できます。

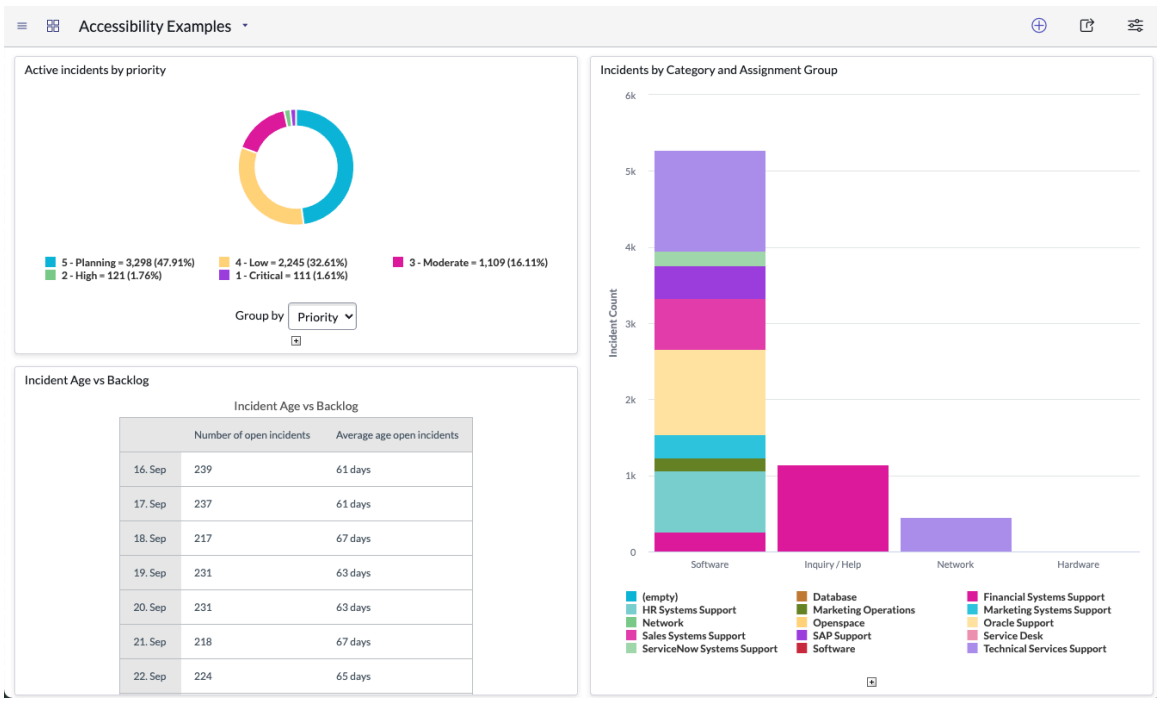
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データテーブルが有効

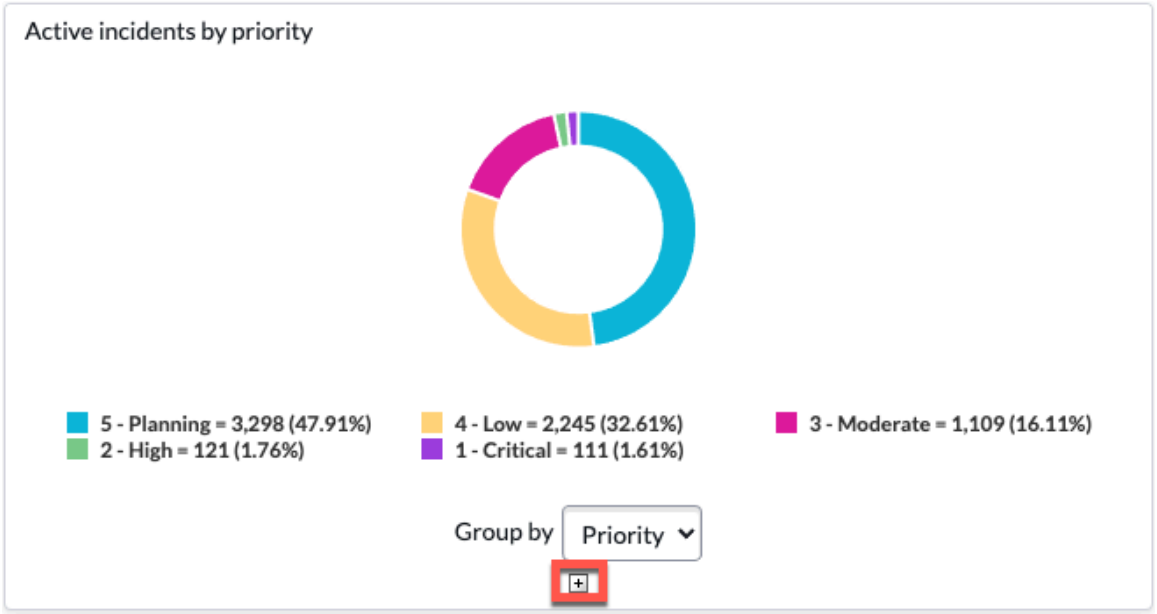
[チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にする] を選択すると、パフォーマンスアナリティクスウィジェットのチャートがデータテーブルに置き換わります。レポートでは、プラス + アイコンが表示されます。



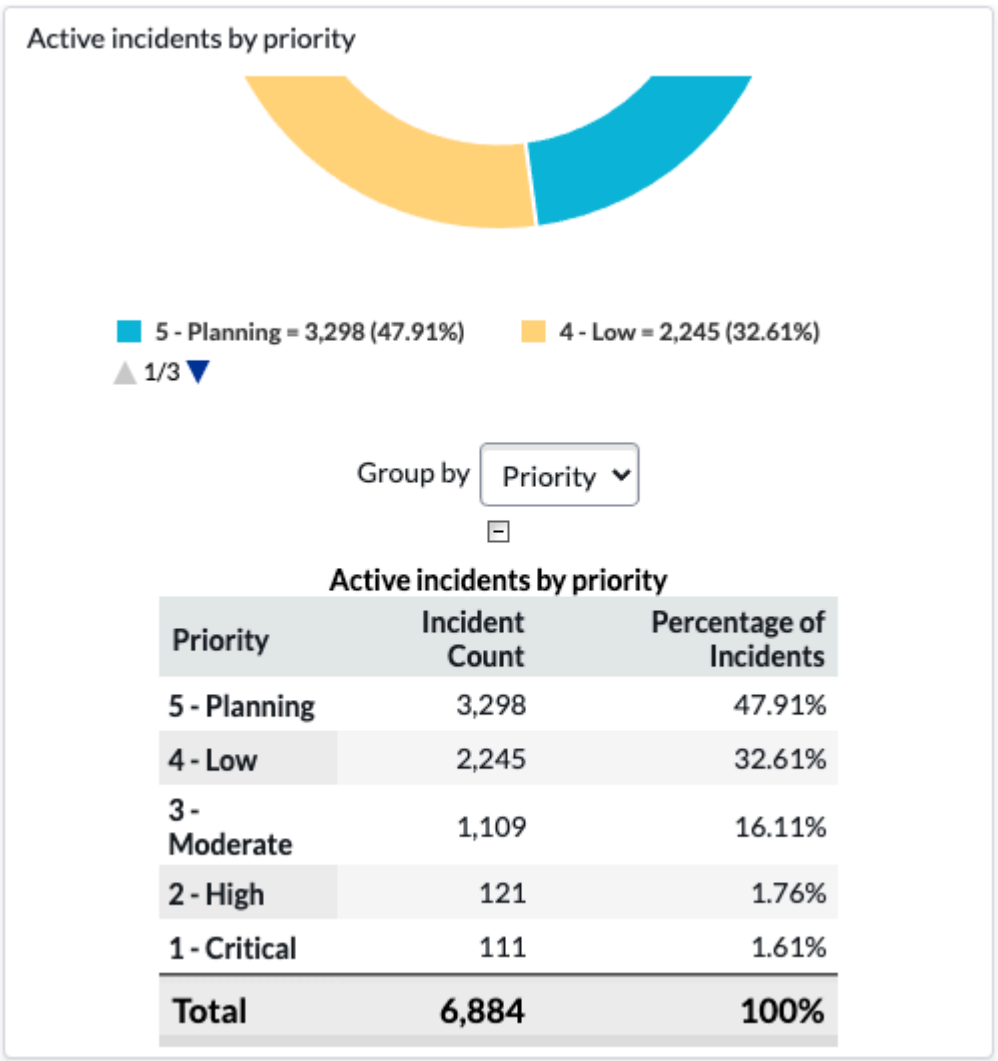
以下は、プラスアイコンの拡大図です。有効にすると、個々のレポートに設定されたデータテーブル設定に関係なく表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プラスアイコンをクリックして、対応するデータテーブルを表示します。



Active incidents by priority

Priority	Incident Count	Percentage of Incidents
5 - Planning	3,298	47.91%
4 - Low	2,245	32.61%
3 - Moderate	1,109	16.11%
2 - High	121	1.76%
1 - Critical	111	1.61%
Total	**6,884**	**100%**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セットを含むコア UI ダッシュボードの移動

ダッシュボードタブに関連するポータルページは、更新セットに自動的に転送されません。ダッシュボードのアンロード機能を使用して、ダッシュボードレコードから更新セットにポータルページを追加できます。[ダッシュボードのアンロード] 機能は、ポータルページを含むすべての関連タブを含むダッシュボード全体をアンロードします。

始める前に

必要なロール：admin。

このタスクについて

この手順では、ダッシュボード構造を更新セットに移動する方法について説明します。ダッシュボードの構造には、ダッシュボード自体、タブ、関連するセキュリティ構成、およびヘッダーの色や境界線などのダッシュボード固有のウィジェット設定が含まれます。

この手順では、ダッシュボードのコンテンツ (レポート、PA ウィジェット、コンテンツブロック、その他のウィジェットなど) は更新セットに移動しません。デフォルトのプラットフォーム機能を使用して、ダッシュボードコンテンツを更新セットに追加できます。

重要:
ダッシュボードのコンテンツがダッシュボードレコードと同じ更新セットにあるか、ターゲットインスタンスに既に存在することを確認してください。移動したダッシュボードがターゲットインスタンスに存在しないコンテンツを指している場合、エラーが発生します。

スコープ対象のアプリケーションでダッシュボードを移動する場合は、追加の手順が必要になることがあります。詳細については、「更新セット ID 'global' が更新セットスコープ ID と異なります」を参照してください。

ヒント:
この手順に問題がある場合は、 カスタマーサービス & サポートに連絡してください。

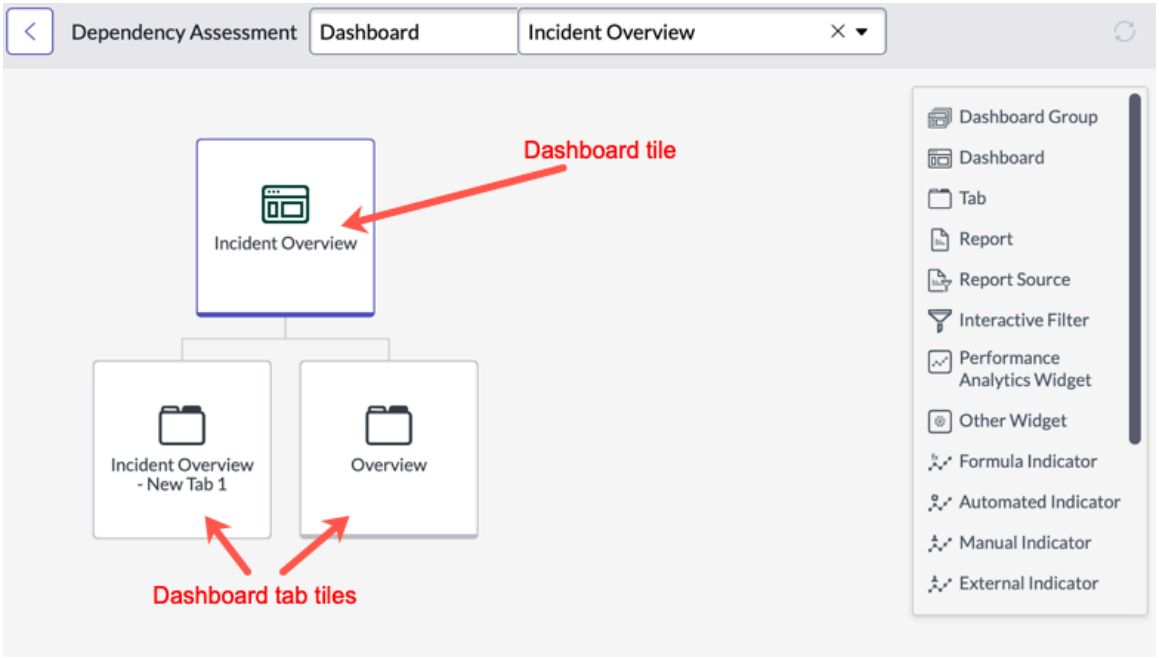
手順

1. ソースインスタンスで、アンロードするダッシュボードの場所に移動します。たとえば、 セルフサービス > ダッシュボード.
2. 更新セットにアンロードするダッシュボードを選択します。
3. 各タブに関連付けられたポータルページレコードがあることを確認します。

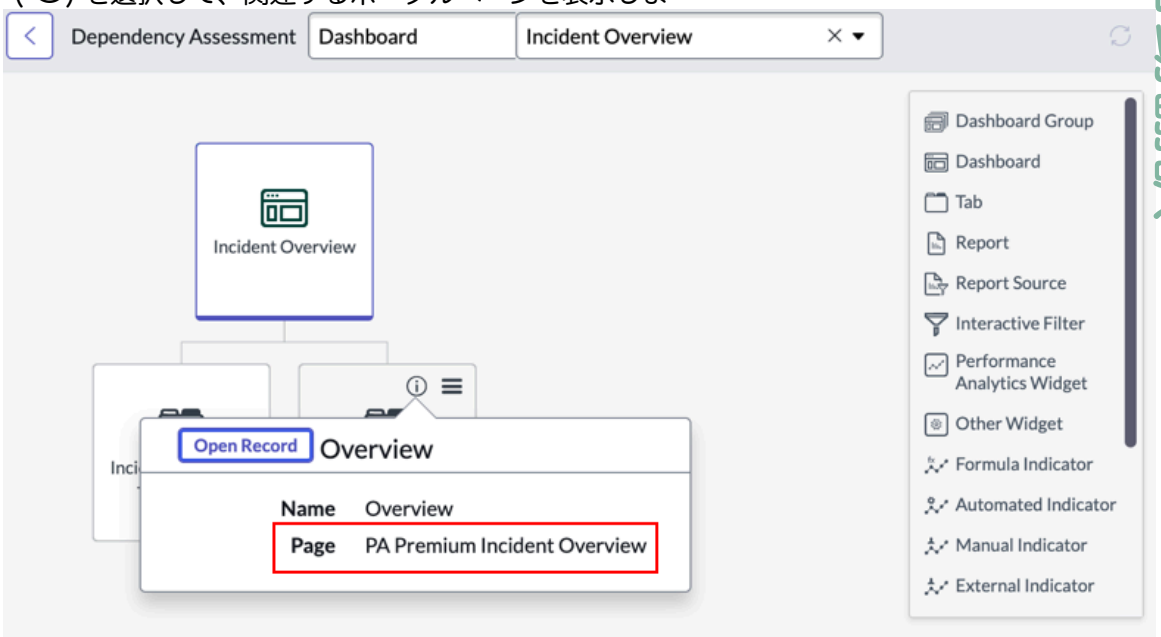
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンテキストメニューアイコン (≡) を選択し、[依存関係アセスメントを開始] を選択します。



b. 各ダッシュボードタブのタイルの隅をポイントし、情報アイコン (ⓘ) を選択して、関連するポータルページを表示します。



4. ダッシュボードのタイルの隅をポイントし、情報アイコン(ⓘ)を選択します。

[レコードを開く] を選択して、ダッシュボードフォームを開きます。

ダッシュボードのタイルには、ダッシュボード自体と同じ名前が付けられます。

5. コンテキストメニューアイコン (≡) を選択し、[ダッシュボードのアンロード] を選択します。
この手順は、ダッシュボードをアンロードする準備ができた後 (つまり、すべてのコンテンツをタブに追加した後) にのみ実行してください。

6. 更新セットを移動する準備ができたら、更新セットを完了としてマークします。

7. ターゲット インスタンスで、標準の更新セット機能を使用して更新を移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「 更新セットを取得する」 を参照してください。
[リモートインスタンス] ページの [取得済み更新セット] 関連リストには、取得されたすべての更新セットが表示されます。更新セットを選択して、エラーがあるかどうかを確認します。エラーは、[取得済み更新セット] フォームの [更新セットプレビューの問題] という関連リストに表示されます。「更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決」を参照してください。

8. ターゲット インスタンスで、ダッシュボードのすべてのタブに、関連付けられたポータル ページが含まれることを確認します。

   タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証 の手順に従ってください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

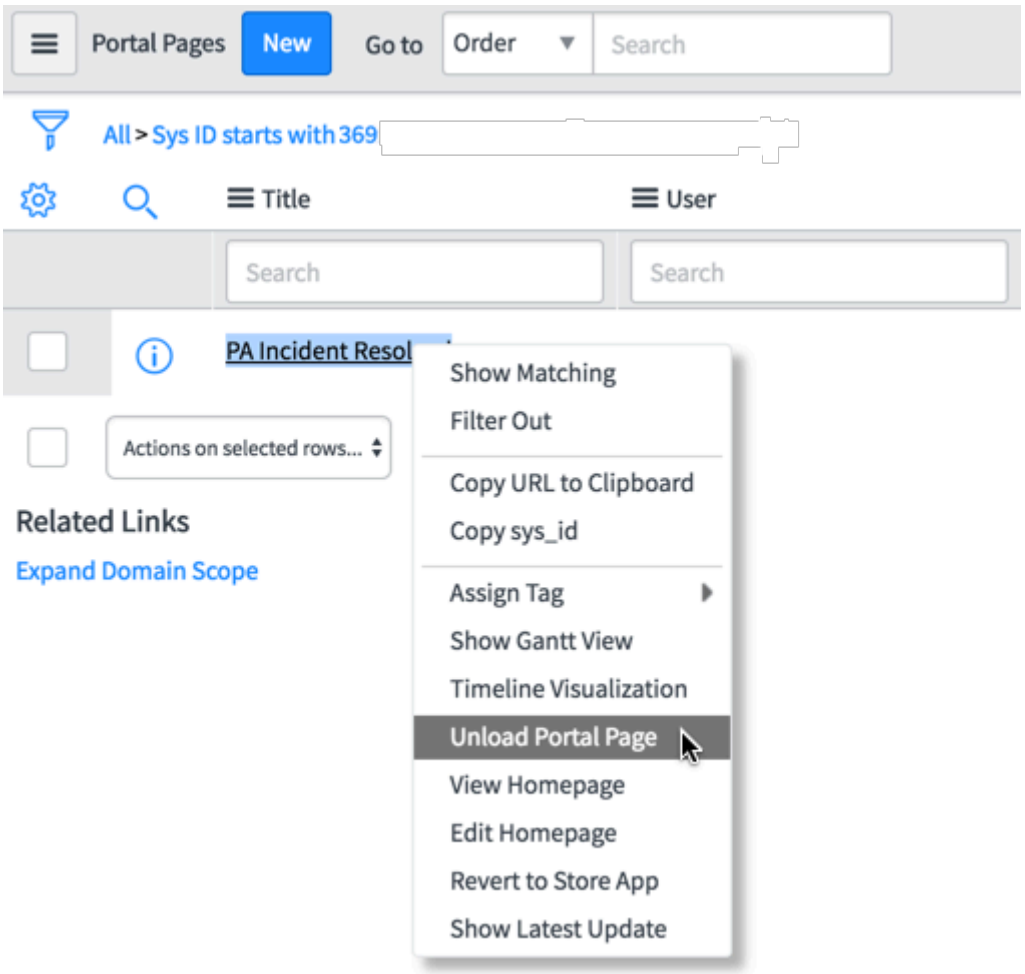
タブフォームにポータルページがない場合は、[ページ] フィールドの横にある検索アイコン ( ) を選択して、関連するポータルページを検索します。

注:
ターゲットインスタンスに関連付けられているポータルページが見つからない場合は、次の手順に従って、更新時に欠落している各ポータルページを移動します。

a. 次のように移動する。 ホームページアドミン > ページ.

b. リストをフィルタリングして、 タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証の手順に従うときにコピーしたsys_idを含むポータルページのみを表示します。

c. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択します。



現在のタブのポータルページが現在の更新セットに追加されます。

d. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。詳細については、「 更新セットを取得する」 を参照してください。

タスクの結果
ダッシュボードとそのタブが、ターゲット インスタンスに移動されます。

タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証

更新セットを含むダッシュボードを移動する場合は、タブがターゲットインスタンスに移動され、入力されていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
ダッシュボードを異なるインスタンス間で移動するには、ダッシュボード タブの sys_id の値を、関連付けられたポータル ページの sys_id の値に関連付ける必要があります。このタスクでは、ダッシュボードの移動に関する問題がある場合に、これらの値を見つけて相互にマップする方法について説明します。このタスクは、 更新セットを含むコア UI ダッシュボードの移動の後で実行してください。

手順

1. ターゲット インスタンスで、移動したばかりのダッシュボードに移動します。
2. コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
3. タブフォームの各タブで、必須フィールド [ページ **(Page** (sys_portal_page参照)] があることを確認します。
   すべてのタブにポータルページが関連付けられている場合、ダッシュボードは正常に移動されています。
4. ターゲットインスタンスのポータルページがいずれかのタブフォームにない場合は、次の手順を実行します。

   a. [タブ] フォームでコンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[**sys_id**のコピー] を選択します。

   b. ソース インスタンスのフィルター ナビゲーターで、pa_tabs.list と入力します。

   c. 手順 a でコピーした sys_id のタブのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

   d. タブの名前を選択してフォームを開きます。

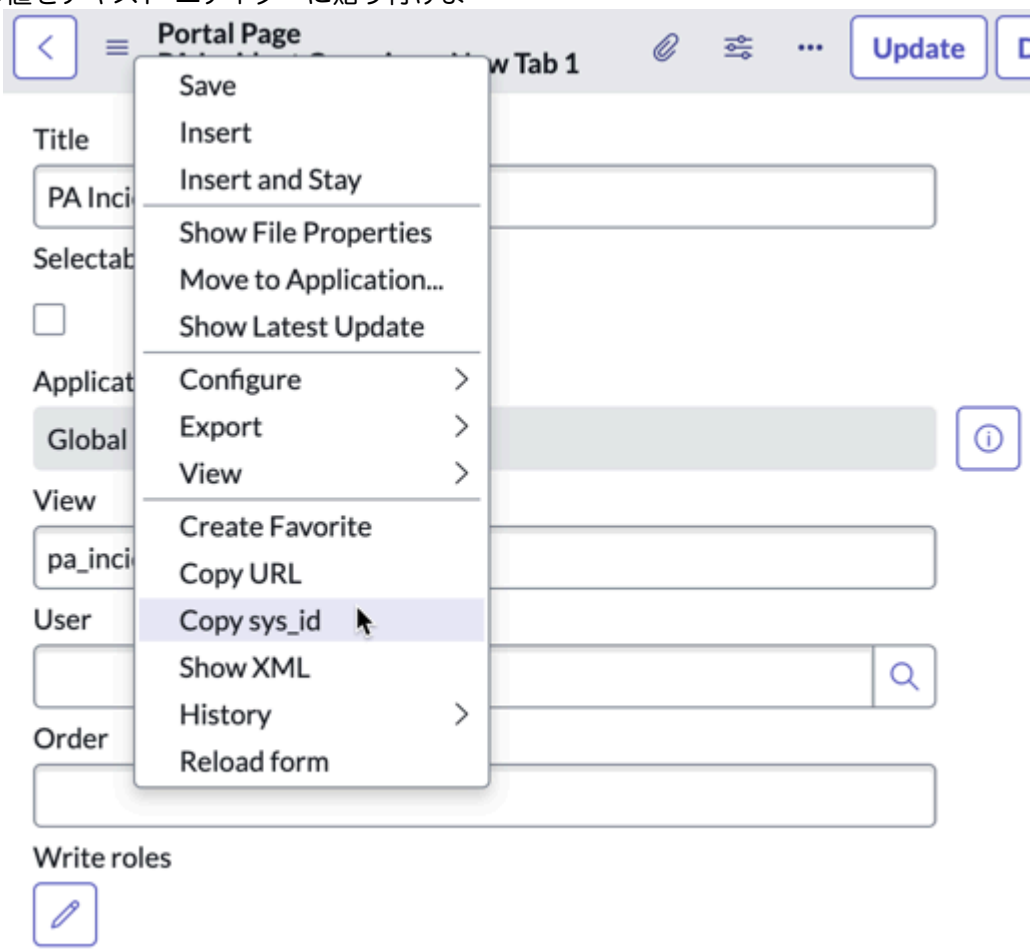
   e. そのタブの [ページ] 値の情報アイコン ( ) を選択します。

   f. ポータルページで、コンテキストメニューアイコン ( ) を選択し、[**sys_id**のコピー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この値をテキスト エディターに貼り付けま



す。

この値は、ポータル ページの sys_id です。これは、すでに使用した、関連付けられたタブの sys_id とは異なります。これらの値は、タブをポータル ページにマップするために一緒に使用されます。

g. [ページ] フィールドに関連付けられた検索アイコン ( ) を選択します。

h. ポップアップ ウィンドウで、ポータル ページ sys_id でフィルタリングし、返されたクエリー結果を選択します。

i. タブフォームの [更新] を選択して、変更を保存します。

5. ウィジェット、データの可視化、コンテンツブロックなど、ダッシュボードで使用されるすべてのオブジェクトがターゲットインスタンスに移行されていることを確認します。
関連付けられたポータル ページが、ターゲット インスタンス内に表示されるはずです。

6. ターゲット内にポータル ページが見つからない場合は、次の手順を実行します。

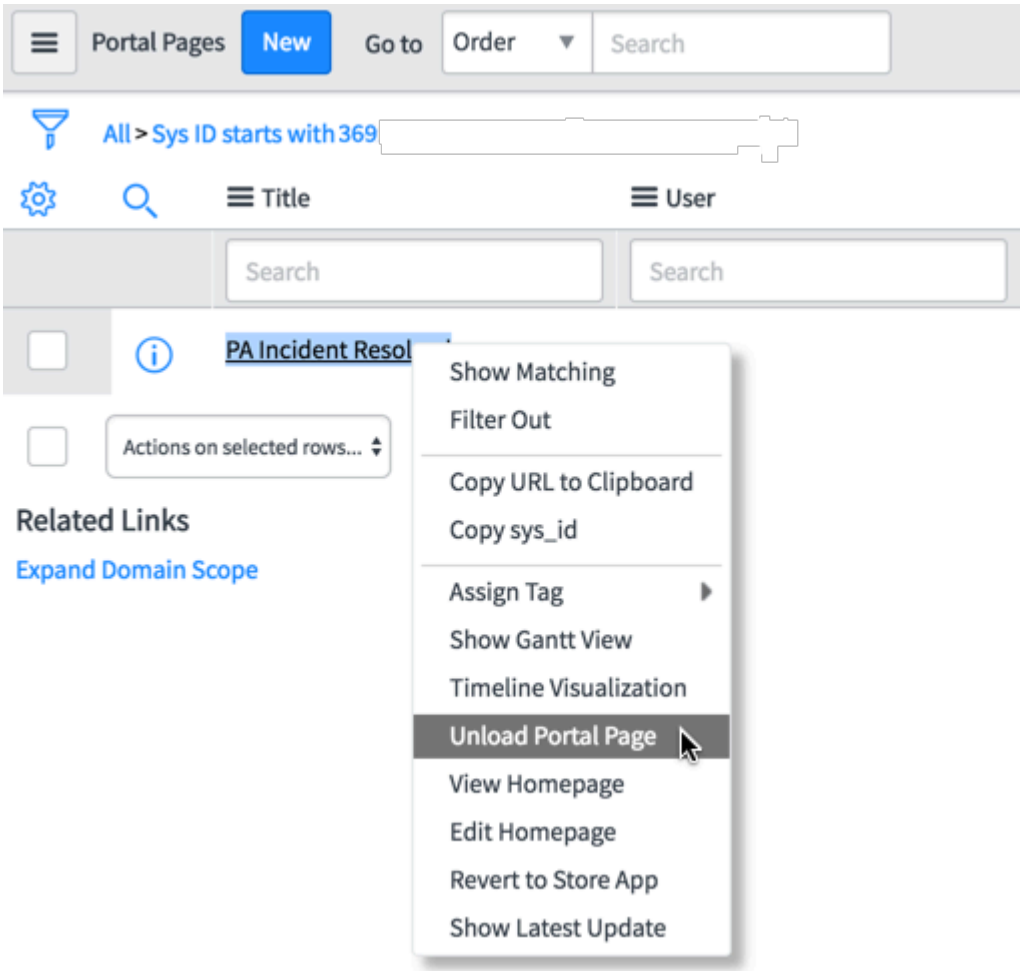
a. ステップ 4 a-f に従って、ソースインスタンスのポータルページのsys_idを取得します。

b. ソースインスタンスで、次に移動します: ホームページアドミン > ページ.

c. コピーした sys_id のポータル ページのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択しま



す。

e. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。
詳細については、「 更新セットを取得する」 を参照してください。

更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決

更新セットを含むダッシュボードを移動するときに、[取得済み更新セット] ページの [更新セットプレビューの問題] タブにエラーが表示される場合は、各エラーの指示に従ってこれらの問題を解決します。

この更新で参照されている列**canvas_page sys_grid_canvas**にレコードが見つかりませんでした

更新セットを含むダッシュボードを移動すると、「この更新で参照されている列canvas_pageのレコードがsys_grid_canvasに見つかりませんでした (Could not find a record in this update)」というエラーが発生することがあります。このエラーを解決するには、キャンバスページをソースインスタンスからターゲットインスタンスに移動します。

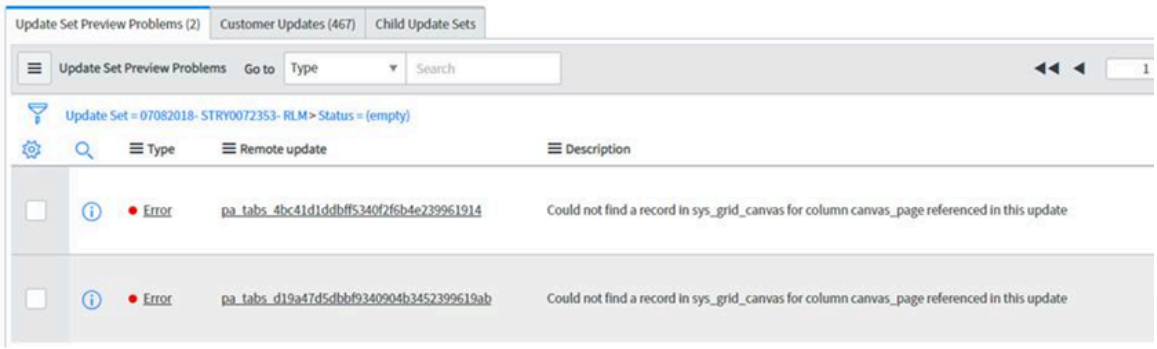
始める前に
必要なロール：admin。

自動翻訳

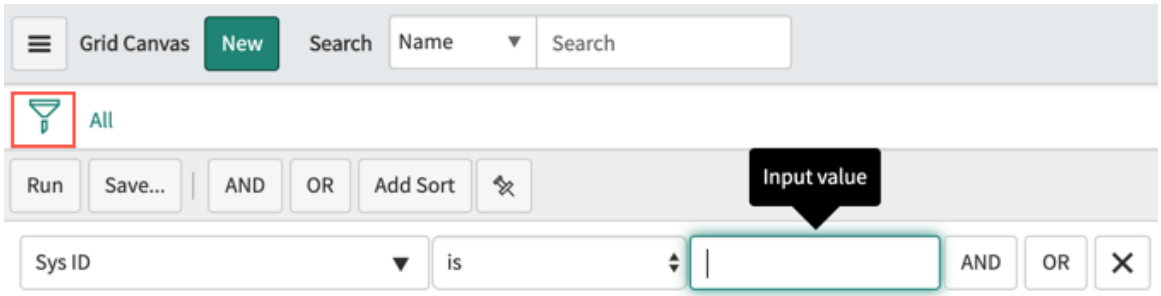
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [更新セットプレビューの問題] 関連リストで、エラーの横にある情報アイコン (ⓘ) をクリックします。



2. pa_tabsレコードペイロードで、canvas_pageフィールドに関連付けられたsys_idをコピーします。



3. ソースインスタンスで、sys_grid_canvas.list に移動します。
4. 手順 2 でコピーしたsys_idのリストをフィルタリングします。
5. 返されたレコードを右クリックして [キャンバスページのアンロード] を選択し、このレコードを現在の更新セットに追加します。
6. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットをターゲットインスタンスに転送します。詳細については、「 更新セットを取得する」 を参照してください。
7. このエラーがあるすべての更新セットプレビューの問題について、このタスクを繰り返します。

タスクの結果

欠落しているダッシュボードタブのコンテンツがターゲットインスタンスに移動されます。

更新セット **ID 'global'** が更新セットスコープ **ID** と異なります

スコープ対象のアプリでダッシュボードを移動しようとすると、更新セットを取得しようとすると移動が失敗します。

始める前に

必要なロール：admin。

このタスクについて

ダッシュボードは複数のテーブルで構成されています。Now Platform® はこれらのテーブルのすべてを追跡するわけではありません。追跡されないテーブルは常にグローバルスコープ内にあります。グローバルスコープでダッシュボードを移動する場合、これらのテーブルでは問題は発生しません。ただし、更新セット内のすべてのコンポーネントのスコープは同じでなければならないため、これらのテーブルは他のスコープのダッシュボードの移動をブロックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. グローバルな顧客アップデートレコード (sys_update_xml) をグローバル更新セットに配置します。
2. この更新を独自の更新セットとして収容するか、元の更新セットの親にして両方を同時に収容します。

   1 つの更新セットには非グローバルスコープのすべての顧客アップデートレコードが含まれ、もう 1 つのアップデートセットにはグローバルスコープのsys_portal顧客アップデートレコードがあります。

3. 両方をエクスポートし、同時にターゲットインスタンスで取得します。
4. 順番にプレビューしてコミットします。最初に非グローバル顧客更新レコードを含む更新セットをコミットし、次にグローバル顧客更新レコードを含む更新セットをコミットします。

ダッシュボード権限

ダッシュボードには、特殊で詳細な表示と編集の権限があり、これらは [共有] ペインから管理します。アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードに追加されたほとんどのウィジェットに適用されます。

- いずれのロールを持つユーザーも、ダッシュボードを作成し、自分が所有するダッシュボードをユーザーやグループと共有し、編集権限が付与されていればダッシュボードを編集できます。いずれのロールを持つユーザーも、自分が作成したダッシュボードに対して、ロールごとにアクセス権を制限できます。また、ユーザーには、ダッシュボード上の特定のデータにアクセスするために必要なロールも必要です。
- ロールを持たないユーザーは、共有しているダッシュボードを表示できますが、ダッシュボードの作成や編集はできません。
- pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理できます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ロール」を参照してください。
- dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードのユーザー、グループ、ロールを編集および管理できます。また、admin および dashboard_admin ユーザーは、いつでもダッシュボード オーナーを変更できます。
- ダッシュボード オーナーと、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、そのダッシュボードを削除できます。
- ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。
- 明示的ロールが有効化されている場合、ダッシュボードは内部リソースとして扱われます。snc_external ロールを持つユーザーは、デフォルトではダッシュボードを表示できません。詳細については、「 明示的なロール 」を参照してください。
- ドメインセパレーションは、共有されているダッシュボードを編集するユーザーの機能に影響を与える可能性があります。詳細については、「ドメインセパレーションとレスポンシブダッシュボード」を参照してください。

ダッシュボードの権限とロール

	表示	作成	編集	共有	削除
ロールなし	それらのユーザーと共有されているダッ	いいえ	不可	不可	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
	シュボードのみ。				
任意のロール	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。少なくともpa_power_user権限がなければ、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを追加または削除することはできません。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
dashboard_admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
pa_admin	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。パフォーマンスアナリティクスウィジェットを追	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターに	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
			加または削除できます。	よって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	
pa_power_user	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。パフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加または削除できます。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
ダッシュボードオーナー	あり	適用外	あり	はい。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが作成したダッシュボードのみ。

ウィジェットの ACL は、そのウィジェットがダッシュボードに追加されると適用されます (パフォーマンスアナリティクスウィジェットを除く)。ユーザーがダッシュボードを表示できるが、そ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のウィジェットの 1 つを表示するための ACL を持っていない場合は、空のウィジェット プレースホルダーが表示されます。ACL は、円グラフや棒グラフのレポートなど、データを集計するデータ表示には適用されません。ACL は常に、ウィジェットに表示されたリストデータに適用されます。ユーザーがアクセス権を持たないリスト内の行は、表示されません。

注:
ACL は、ダッシュボードに追加されたパフォーマンスアナリティクスウィジェットには適用されません。ダッシュボードを表示できるユーザーはいずれも、そのすべてのパフォーマンスアナリティクスウィジェットを表示できます。パフォーマンスアナリティクスウィジェットをダッシュボードに追加できるのは、pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーのみです。

ただし、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットがリアルタイムスコアを表示する場合、ログインしている各ユーザーに表示されるスコアは、ユーザーのロールとファクトテーブルの ACL によって異なります。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

[ダッシュボード プロパティー] フォームの [ロールに制限] フィールドと、ダッシュボード グループ権限は、ダッシュボード権限に影響を与える場合があります。ダッシュボード オーナーと、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードのプロパティーを変更できます。pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボード グループ権限を変更できます。

たとえば、36 件のレコードを持つ円グラフ レポート ウィジェットを追加すると、そのダッシュボードおよびそのレポートにアクセスできるユーザーは、36 件すべてのレコードのレポートを表示できます。ただし、ユーザーがそのウィジェットのリスト ビューにドリルダウンすると、ユーザーがアクセスを許可されているレコードのみが表示されます。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限
- ダッシュボードをグループに整理する
- パフォーマンスアナリティクス ロール
- レポートの管理

レスポンシブダッシュボードの権限の問題の解決

ダッシュボード権限は、いくつかの異なる場所で設定できます。

始める前に

レスポンシブダッシュボードの権限に問題がある場合は、[ダッシュボード共有] パネルの権限、グループ権限、およびダッシュボードプロパティを確認できます。

必要なロール:dashboard_admin、pa_admin

手順

- [Dashboard Sharing] (ダッシュボード共有) ペインで、権限を確認します。
  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボードが属するグループの権限を確認します。

  ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

  dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボード権限とダッシュボード グループ権限を比較します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードに対する権限が指定された場合、ダッシュボード グループに対する権限は上書きされ、適用されません。

dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。

- [ダッシュボード プロパティー] フォームで、 [ロールに制限] フィールドで指定されているロールをレビューします。

  このフィールドで指定されたロールの 1 つを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。

  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。ダッシュボードを編集できる他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、編集できません。

ダッシュボード権限のシナリオ

ダッシュボードに対する権限は、複雑になることもあります。たとえば、ダッシュボード グループに対する権限を設定した場合、その権限は、そのグループ内のダッシュボードに対して設定された権限によって上書きされます。このマトリクスは、権限のさまざまに組み合わせに基づいて表示される内容を示しています。

ダッシュボード権限のシナリオの表では、次の略語を使用しています。

- DB = ダッシュボード
- DG = ダッシュボード グループ
- RTR = ロールに制限

  詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限」を参照してください。

- X = 未指定

注:
admin および dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードに対する完全な権限を持ちます。

ダッシュボード権限のシナリオ

シナリオ	DG	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	RTR	DB を表示できるユーザー
DG なし、DB 権限なし	X	X	X	X	X	オーナーのみ
RTR のみ	X	X	X	X	資産	オーナーのみ
DB 権限のみ	X	X	itil	X	X	itil ロールを持つユーザー
DB 権限および RTR	X	X	itil	X	資産	itil ロールと資産ロールの両方を持つユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード権限のシナリオ (続く)

シナリオ	DG	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	RTR	DB を表示できるユーザー
権限のない DG のみ	存在する	X	X	X	X	pa_admin ロール または pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
権限のない DG および RTR	存在する	X	X	X	資産	資産ロールと、pa_admin ロール または pa_power_user ロールの両方を持つユーザー
DG および DG 権限のみ	存在する	itil	X	X	X	itil ロールまたは pa_admin ロール または pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および RTR	存在する	itil	X	X	資産	資産ロールと、itil ロール、pa_admin ロール、pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および DB 権限	存在する	itil	itil_admin	X	資産	itil_admin ロールと資産ロールの両方を持つユーザー
DG、DG 権限、DB 権限、および RTR	存在する	itil	itil_admin	X	X	itil_admin ロールを持つユーザー

ダッシュボード グループのデフォルトの権限は、pa_admin と pa_power_user です。ダッシュボード グループに itil などの権限が指定されている場合、この権限がデフォルト権限に追加されます。個々のダッシュボードに対する権限は、ダッシュボード グループの権限を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブダッシュボードの編集権限に関する問題の解決

レスポンシブダッシュボードの編集権限を持つユーザーは、タブが使用されている別のダッシュボードの編集権限も必要になる場合があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ダッシュボードは、編集権限を持つユーザーと共有されます。一部のタブでは、ユーザーがウィジェットを追加できません。ユーザーが [ウィジェットの追加] を選択しても、何も起こりません。同じユーザーが他のタブやダッシュボードにウィジェットを追加できます。問題の原因は、影響を受けるダッシュボードタブの作成方法に関連しています。ダッシュボードタブが レスポンシブでないダッシュボード で作成され、タブが別のダッシュボードタブにリンクされている場合、影響を受けるユーザーには、この別のリンクされたダッシュボードの編集権限が必要です。

手順

1. 影響を受けるダッシュボードに移動します。
2. コンテキストメニュー ≡ から、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
3. [依存関係アセスメントを開始] を選択します。
   結果には、ダッシュボードと、ダッシュボードで使用されるすべてのタブが表示されます。
4. 影響を受けるタブを選択します。
5. コンテキストメニュー ≡ から、[使用者を表示]を選択します。
   結果には、タブが表示されるダッシュボードが表示されます。
6. 影響を受けるタブを使用する他のダッシュボードを開きます。
7. そのダッシュボードの共有権限を編集し、影響を受けるユーザーに編集アクセス権を付与します。

タスクの結果
影響を受けたユーザーは、レスポンシブダッシュボードのダッシュボードタブを編集できるようになります。

非グローバルスコープでの共有ダッシュボードの問題解決

スコープ対象のアプリケーションのダッシュボードは、アドミン以外のユーザーには表示されない場合があります。アドミン以外のユーザーがダッシュボードを表示できない、またはダッシュボードのウィジェットがロードされない場合があります。

始める前に
必要なロール:関連付けられたスコープ対象のアプリケーションのアドミン。

このタスクについて
ロールのリストがないまま、「ダッシュボードはユーザーと共有されていません」または「このダッシュボードは次のロールに制限されています」というメッセージが表示される場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **sys_properties.list**.
2. システムプロパティ glide.security.scoped_administration.honor_global_acl を true に設定します。
   このプロパティが既に true に設定されている場合は、更新は必要ありません。
3. アプリケーションアドミニストレーターは、ダッシュボードが作成されたスコープにスコープを切り替えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ナビゲート **All** (すべて) > **sys_scoped_admin_acl_inheritance.list**.
5. オプション: レポートに同じ問題がある場合は、次のテーブルのレコードを作成します。
   - レポート [sys_report]
   - ユーザーとグループをレポート [sys_report_users_groups]
6. 次のテーブルのレコードを作成します。
   - ダッシュボード [pa_dashboards]
   - ポータルページ [sys_portal_page]
   - タブ [pa_tabs]
   - ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]

レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

指定したユーザー、グループ、またはロールとダッシュボードを共有する場合、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。ダッシュボードを共有され、指定されたいずれかのロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードにアクセスできます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、admin、またはダッシュボード オーナー。ダッシュボードを編集する他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、変更できません。

注:
ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限することは、ダッシュボードをそれらのロールと共有することとは異なります。アクセス権を指定のロールに制限する前に、ダッシュボードを共有しておく必要があります。ただし、ベスト プラクティスは、[共有] パネルを使用して、ユーザー、グループ、ロールと共有することです。ロールに制限することはお勧めしません。

[ロールに制限] フィールドは、レスポンシブ ダッシュボードが有効化された後に使用可能になります。レスポンシブ ダッシュボードが有効化されてから無効化されると、[ロールに制限] フィールドは使用可能なままですが、ダッシュボード アクセスに影響はありません。

このタスクについて

異なるリリース間でダッシュボードが移行された場合、移行前にダッシュボードにアクセスできていたユーザーのみが以降もダッシュボードにアクセスできるように、このフィールドには、pa_viewer ロールと pa_contributor ロールが自動的に入力されます。

手順

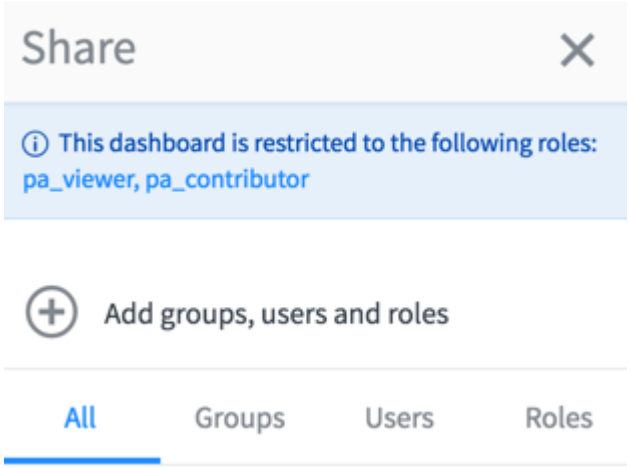
1. ダッシュボードに移動して、特定のロールに制限します。
2. コンテキスト) をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
3. [ロールに制限] フィールドで、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。指定されたロールのいずれかを持つユーザーは、[共有] パネルから最初に共有されている場合にのみ、ダッシュボードにアクセスできます。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。

タスクの結果

制限されたロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。[共有] パネルのメッセージに、どのロールにアクセス権があるかが示されます。このメッセージに示されたロールをクリックすると、ダッシュボードのプロパティーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、アドミニストレーターによって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。

ロールごとにレスポンシブダッシュボードの共有を制限する

レスポンシブダッシュボードのプロパティを設定して、どのユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有できるようにするかを制限できます。

始める前に
必要なロール：admin。

このタスクについて
ダッシュボードプロパティを構成して、独自のダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。これらのロールを持つユーザーには、レスポンシブダッシュボードに 共有 アイコン ( ) が表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ.
2. [独自のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り)] というラベルの付いたフィールドに、ロールを入力します。

   たとえば、itil、asset、および pa_admin ロールを持つすべてのユーザーがダッシュボードを共有できる場合は 、「itil」、「asset」、「pa_admin」と入力します。このフィールドが空の場合、任意のロールを持つユーザーが自分のダッシュボードを共有できます。

   注:
   このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

タスクの結果
指定されたロールを持つユーザーは、自分が所有するダッシュボードを表示するときに [共有] パネルを表示できます。他のロールを持つユーザーは、 共有 パネルを表示できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、アドミンと dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。

次のタスク
[共有] パネルに表示される内容にセキュリティルールを適用するには、[ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、ロールのリストにセキュリティルールを適用する] というラベルの付いたボックスを選択します。詳細については、「セキュリティルールを使用したレスポンシブダッシュボードの共有を制限する」を参照してください。

関連情報
レスポンシブ ダッシュボードの共有

セキュリティルールを使用したレスポンシブダッシュボードの共有を制限する

レスポンシブダッシュボードを共有しているときに[共有]パネルに表示できるユーザー、ロール、およびグループを設定できます。

始める前に
必要なロール：admin。アクセス制御リストを変更するには、admin が security_admin ロールに昇格する必要があります。詳細については、「 特権ロールへの昇格 」を参照してください。

このタスクについて
[自分のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り)] の構成に基づいて [共有] アイコンを表示できるユーザーには、プロパティの構成に基づいて [共有] パネルのコンテンツが表示されない場合があります。 ダッシュボードを共有すると表示されるユーザー、ユーザーグループ、ロールのリストにセキュリティルールを適用します。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ.
2. [共有] パネルに表示される内容にセキュリティルールを適用するには、[セキュリティルールを適用] というラベルの付いたボックスを選択します。
   ユーザー、ユーザーグループ、およびロールの既存のセキュリティルール構成は、プラットフォームレベルの関連する読み取りアクセス制御リストに説明されています。詳細については、「アクセス制御リストルール 」を参照してください。

タスクの結果
[自分の ダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り)] というラベルの付いたフィールドでロールが指定されているユーザーのみが、ダッシュボードを共有できます。このプロパティが設定されていて、プロパティでユーザーのロールが指定されていない場合、ユーザーに は共有 パネルが表示されません。[ダッシュボードの共有を有効にするときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用する] をオンにすると、セキュリティルールは、ユーザーが [共有] パネルでダッシュボードを共有できるユーザー、グループ、およびロールのリストに適用されます。

関連情報
レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブダッシュボードのロールの例

ダッシュボードを作成、編集、表示、または共有できるかどうかは、ロールによって異なります。これらの例では、ロールに基づいてダッシュボードで何ができるかを示しています。

これらのダッシュボードロールの説明は、基本システム機能を想定しています。ロールを作成し、権限を割り当てることで、この機能を上書きすることができます。

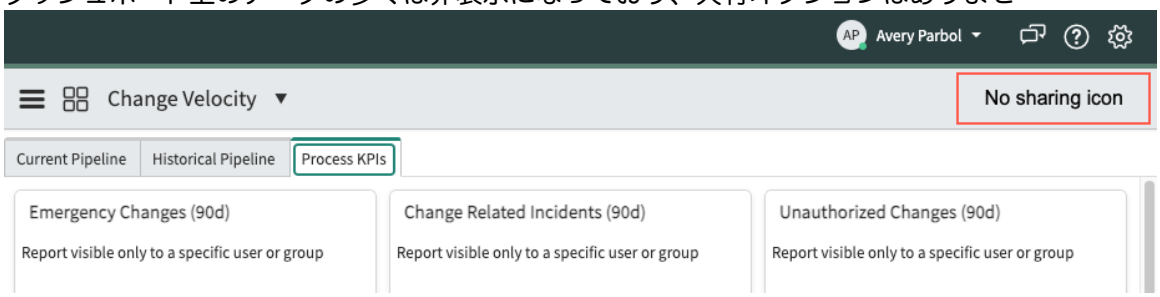
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ロールなし

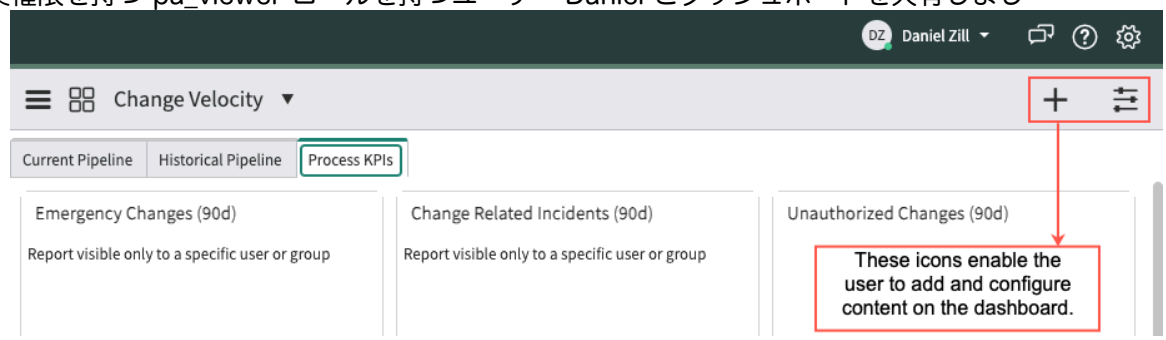
ロールを持たないユーザーには、別のユーザーが自分と共有しているダッシュボードのみが表示されます。ダッシュボードの情報 (特にリストの可視化) は、ACL に基づいてユーザーに表示されない場合があります。

ロールを持たないユーザーは、ダッシュボードを作成または共有できません。あるアドミンが、ロールを持たないユーザーである Avery とこのダッシュボードを共有しました。ダッシュボード上のデータの多くは非表示になっており、共有オプションはありません。

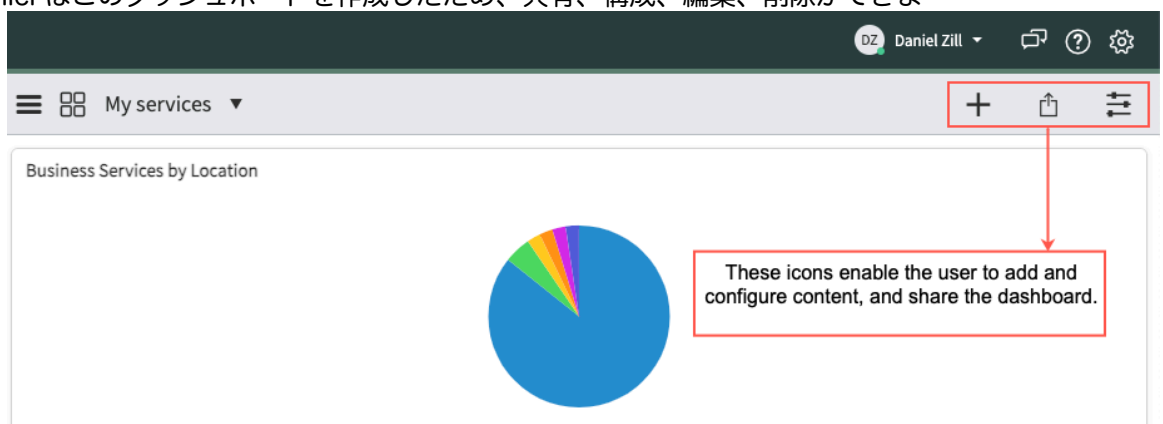


任意のロール

任意のロールを持つユーザーは、ダッシュボードを作成でき、作成したダッシュボードを共有できます。[編集 可能] 権限で共有されているダッシュボードを表示、表示、編集できます。ACL は、ダッシュボードに表示できる内容に引き続き適用されます。アドミンが、編集権限を持つ pa_viewer ロールを持つユーザー Daniel とダッシュボードを共有しました。



Daniel はこのダッシュボードを作成したため、共有、構成、編集、削除ができます。



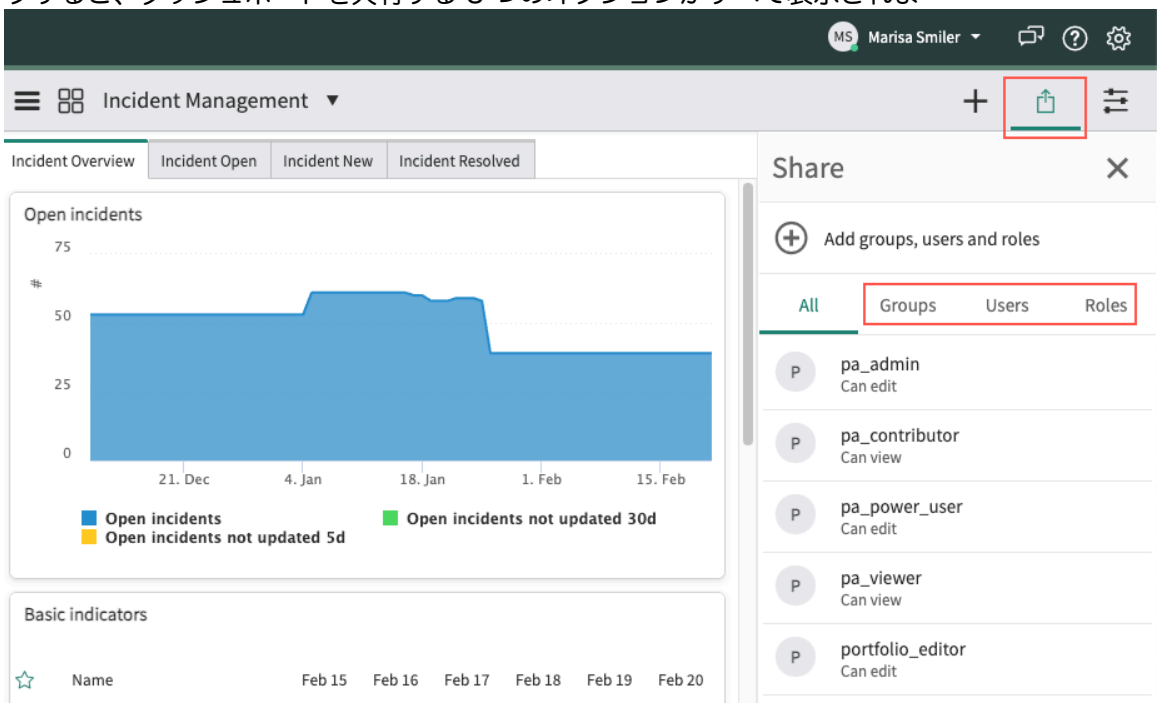
pa_adminとpa_power_user

pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理できます。Marisa にはpa_power_userロールがあります。[共有] アイコン ( ) をク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リックすると、ダッシュボードを共有する 3 つのオプションがすべて表示されま



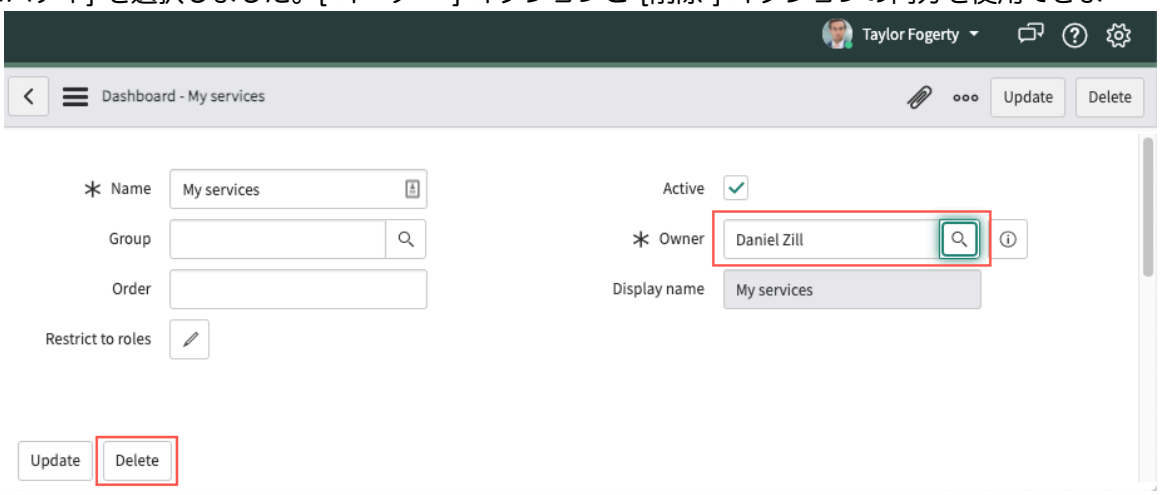
す。

dashboard_admin またはアドミン

dashboard_admin ロールまたは admin ロールを持つユーザーには、次の機能があります。

- ダッシュボードのユーザー、グループ、ロールを編集および管理する
- ダッシュボードの所有者の変更
- ダッシュボードを削除

Taylor には dashboard_admin ロールがあり、コンテキストメニュー ( ) から [ダッシュボードプロパティ] を選択しました。[オーナー] オプションと [削除] オプションの両方を使用できま



す。

ダッシュボード統計情報

[ダッシュボード統計] リストでは、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。

ダッシュボードの統計情報を表示するには、次の場所に移動します **All** (すべて) > **dashboard_stats.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。デフォルトでは、[ダッシュボード統計情報] リストには、表示されたすべてのダッシュボードが表示されます。この

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブルには、少なくとも 1 回表示されたインスタンスのダッシュボードごとに 1 つのエントリがあります。エントリは、エントリが削除されるか、ダッシュボード自体が削除されるまでインクリメントされます。

- [ダッシュボード統計] リストでは、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行リストには、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID が表示されます。
- ダッシュボードの実行統計には、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間が一覧表示されます。リストには、ユーザーごとの各ダッシュボードの最新の起動のエントリが 1 つ含まれています。

[ダッシュボード統計] リストには、次の列があります。

列	説明
実行時間	ダッシュボードのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。(実行を実行時間で割った値)。
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択して、ダッシュボードのプロパティを表示します。
実行	ダッシュボードが実行された合計回数。
最新の実行時間	直近 25 回の実行に基づくダッシュボードの平均実行時間 (ミリ秒)。`glide.dashboard.recent_executions_number` プロパティを編集して、この値の計算に使用する実行の数を変更します。
最近の実行回数	最近の実行時間の計算に使用される値の数 (`glide.dashboard.recent_executions_number` の値まで)。
実行時間	ダッシュボードのすべての実行における実行時間の合計。

- 実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、 最新の実行時間を z-a からソートします。
- 表示したダッシュボードを表示するには、[実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も閲覧されているダッシュボードを表示するには、[実行] 列を z-a からソートします。

ダッシュボードの実行

[ダッシュボード実行] リストでは、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID を確認できます。リストには、ユーザーごとの各ダッシュボードの最新の起動のエントリが 1 つ含まれています。

ダッシュボードの実行統計を表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > **dashboard_executions.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、未使用のダッシュボードをこのリストに追加するには時間がかかります。
- [ダッシュボード実行] リストは、ダッシュボードごとにユーザーごとに最新の 10 回の実行をサポートしています。この値を変更するには、システムプロパティ *glide.dashboard.log.max_user_executions_x_dashboard* を編集します。

- ダッシュボード統計情報リストを使用すると、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行統計には、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間が一覧表示されます。リストには、ユーザーごとの各ダッシュボードの最新の起動のエントリが 1 つ含まれています。

デフォルトでは、[ダッシュボード実行 **(Dashboard Executions)]** リストには次の列があります。

列	説明
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択して、ダッシュボードのプロパティを表示します。
実行期間	ダッシュボードの実行に要した時間 (ミリ秒)。一意のユーザーごとに 1 つのエントリがあります。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードの起動日時。
ユーザー Sys ID	ダッシュボードを起動した sys ID に関連付けられたユーザー。情報を表示するユーザーを選択します。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、 実行期間 を z から a 順にソートします。

ダッシュボードの実行統計

[ダッシュボード統計の実行 **(Dashboard Stats Executions**)] リストでは、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間を確認できます。リストには、ダッシュボードの起動ごとに 1 つのエントリが含まれています。

ダッシュボードの実行統計を表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > **dashboard_stats_executions.list**. admin または dashboard_admin ロールが必要です。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、未使用のダッシュボードをこのリストに追加するには時間がかかります。
- [ダッシュボード統計の実行 **(Dashboard Stats Executions**)] リストは、ダッシュボードごとのプロパティ*glide.dashboard.recent_executions_number*の値をサポートします。このプロパティのデフォルト値は 25 です。

- ダッシュボード統計情報リストを使用すると、各コア UIダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を確認できます。
- ダッシュボードの実行リストには、コア UIダッシュボードのロードにかかる時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、[ダッシュボード統計の実行 **(Dashboard Stats Executions**)] リストには次の列があります。

列	説明
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択して、ダッシュボードのプロパティを表示します。
実行期間	ダッシュボードの実行に要した時間 (ミリ秒)。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードの起動日時。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、 実行期間 を z から a 順にソートします。

ダッシュボードの **PDF** エクスポートを有効にする

ダッシュボードを PDF にエクスポートするには、プラグインとプロパティが必要です。

始める前に

必要なロール：admin。

WebKit HTML から PDF へのプラグインを有効にし、ホームページ、ダッシュボード、および一部のレポートを PDF ドキュメントとしてエクスポートするようにプラグインを構成します。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。ネクストエクスペリエンス を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- アナリティクスセンターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > プラグイン.
2. 「WebKit **HTML to PDF**」を検索します。
   プラグインを選択してフォームを開きます。
3. [アクティブ化/修復] をクリックします。
   OAuth 2.0 プラグインがまだ有効でない場合、WebKit HTML To PDF プラグインはこのプラグインも有効にします。詳細については、「プラグインをアクティブ化する」を参照してください。

タスクの結果

ユーザーは ダッシュボードを PDF にエクスポートしてアーカイブ、印刷、または配布できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

翻訳されたダッシュボードのガイドライン

ユーザーは、特定の構成の下でのみ翻訳されたダッシュボードを検索できます。ダッシュボード名を翻訳して検索可能にすることができます。言語プラグインを使用する場合は、次のガイドラインを参照して、翻訳されたダッシュボードをユーザーが見つけられるようにしてください。

翻訳されたダッシュボードの概要

言語プラグインが有効になっているインスタンスでは、アプリケーションはインスタンスのデータベースが MySQL であることを確認してから、ユーザーのセッション言語を検索し、翻訳されたダッシュボードを検索します。このトピックでは、少なくとも 1 つの追加言語プラグインがアクティブ化されていることを前提としています。

検索機能は、インスタンスが MySQL データベースを使用し、ダッシュボードの翻訳が提供されている場合に、翻訳されたダッシュボードに対してのみ機能します。

詳細: 言語をアクティブ化する。

ダッシュボードのタイトルの翻訳

ダッシュボードを開き、設定でターゲット言語を選択して、ダッシュボードのプロパティにダッシュボードの翻訳名を入力します。他のユーザーは、ローカライズされた名前を使用してダッシュボードを見つけることができます。

詳細：翻訳されたダッシュボードでの問題の解決

翻訳されたダッシュボードでの問題の解決

ユーザーは、特定の構成の下でのみ翻訳されたダッシュボードを検索できます。ダッシュボード名を翻訳して検索可能にすることができます。

始める前に

言語プラグインが有効になっているインスタンスでは、アプリケーションはまずインスタンスの背後にあるデータベースを決定します。データベースが MySQL の場合、ユーザーのセッション言語を検索し、翻訳されたダッシュボードを検索します。言語プラグインの詳細については、「 言語のアクティブ化 」を参照してください。

検索機能は、インスタンスが MySQL データベースを使用し、ダッシュボードの翻訳が提供されている場合に、翻訳されたダッシュボードに対してのみ機能します。

必要なロール：admin

手順

1. ソース言語でインスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
3. 翻訳するダッシュボードを開きます。
4. ユーザーアイコンを選択し、[設定] を選択します。
5. [言語と地域] タイルを選択します。
6. [言語] メニューからターゲット言語を選択し、ダイアログを閉じます。
   インスタンスで有効な言語プラグインがある場合は、追加の言語を使用できます。
7. コンテキストメニュー ( ) から、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
8. ダッシュボード名をターゲット言語に翻訳し、[更新] をクリックします。

タスクの結果

システムがターゲット言語に設定されている場合、ユーザーは翻訳名を使用してダッシュボードを検索できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションとレスポンシブダッシュボード

ドメインセパレーションは、ダッシュボードの作成と管理でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

ドメインセパレーションの概要

ドメインセパレーションプラグインを有効にするには、「 ドメインセパレーションの要求」を参照してください。

重要:
子ドメインのユーザーが親ドメインのダッシュボードを表示するには、ドメインセパレーションと委任管理の両方を有効にする必要があります。

子ドメインのユーザーはダッシュボードを上書きできません。子ドメインユーザーには、ダッシュボードへの読み取りアクセス権のみがあります。

ダッシュボードにおけるドメインセパレーションの仕組み

前提：

- 共有されているダッシュボードのみが、他のユーザーに表示されます。「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
- ダッシュボードに対する編集権限を付与されたユーザーは、ダッシュボードと同じドメインに属する場合にのみ、そのダッシュボードを編集できます。たとえば、HR ドメイン内のユーザーは、HR ドメインの親ドメイン内に作成されたダッシュボードを編集できません。

ドメインセパレーションされたダッシュボード データには、ダッシュボード レコード、ダッシュボード タブ、およびウィジェット コンテナーが含まれます。ウィジェットのコンテンツは、コンテンツ自体に適用されるドメインセパレーションによって統制されます。たとえば、管理者が、HR ドメイン内に作成されたレポートを IT ドメイン内のダッシュボードに追加したとします。このレポートは、IT ドメインのユーザーには表示されませんが、ウィジェットコンテナは表示されます。

グローバル レベルで定義されたダッシュボードは、それを共有しているすべてのユーザーに表示されます。親ドメイン内に作成された共有ダッシュボードは、親ドメインおよびそのすべての子ドメイン内のユーザーに表示されます。たとえば、TOP 社内に作成されたダッシュボードは、次に属するユーザーに表示されます。

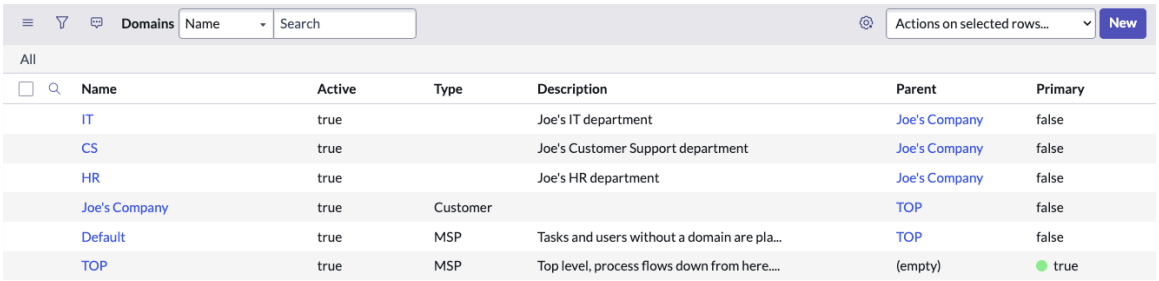
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Joe の会社
- TOP 社内の他の会社
- それらの会社内のすべての子ドメイン HR、CS、および IT (これらのユーザーが共有している場合)

次の図では、IT、CS、および HR ドメインで作成されたダッシュボードは、他の子ドメインまたは親ドメインのユーザーには表示されません。

ドメインリストの例



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

重要:
ダッシュボードに追加された内容は、分離されたドメイン内のユーザーには表示されないため、管理者は、ドメインセパレーションされたダッシュボードをグローバル ドメインから編集しないようにする必要があります。ダッシュボードを編集する際には、正しいドメインにログインしていることを確認してください。

関連情報

ドメインセパレーションの概要

サービスプロバイダー向けのドメインセパレーションの推奨プラクティス

ダッシュボード のクイックスタートテスト

アップグレードの適用などの構成変更を行った後もダッシュボードが変わらず正常に動作するかを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

ダッシュボード クイックスタートテストでは、自動テストフレームワーク - レスポンシブダッシュボードプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.dashboards) を有効にする必要があります。このプラグインはインスタンスの zBoot で有効になります。

ダッシュボード クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レスポンシブダッシュボードの共有	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの共有を確認します。	Madrid
レスポンシブダッシュボードの可視化	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの可視化を確認します。	Madrid

関連情報

クイックスタートテスト

ダッシュボードの **URL** パラメーター

ダッシュボードの URL パラメーターを使用すると、アプリケーション ページで使用されるダッシュボードのヘッダーおよびブレークダウン ソースの表示を制御できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボード ヘッダー

この sysparm_header URL システム パラメーターは、ダッシュボードのヘッダーの表示を制御します。次の値があります。

- hidden：アプリケーション ページにヘッダーは表示されません。
- embedded：ダッシュボード ヘッダーは表示されますが、オプションに制限があります。コンテキスト メニューで、リフレッシュ、フィルターのリセット、および PDF へのエクスポートのオプションが使用可能です。
- visible (デフォルト)：アプリケーション ページに完全なヘッダーが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_header=embedded
```

ダッシュボード ブレークダウン

sysparm_breakdown URL システム パラメーターは、ダッシュボード ブレークダウンの表示を制御します。次の値があります。

- visible (デフォルト)：ソースと要素を含む完全なブレークダウンが表示されます。
- hidden：完全なブレークダウンは非表示になります。
- embedded：ブレークダウン要素のみが表示されます。
- readonly：ブレークダウン要素は表示されますが、読み込み専用です。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_breakdown=hidden
```

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システムパラメーターを使用すると、[ダッシュボードの概要] ページのダッシュボードピッカーに単一のダッシュボードグループを含めることができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_group=incident
```

その他のダッシュボード **URL** パラメーター

sysparm_active_panel
: 編集パネルを表示するかどうかを示します。

sysparm_editable
: 編集パネルを表示できるかどうかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの概要 URL パラメーター

sysparm_group パラメーターを使用して、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページのダッシュボード グループのデフォルト値を選択します。

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システム パラメーターを使用すると、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページ (pa_dashboards_overview.do) のすべてのタブを、指定したダッシュボード グループによりフィルタリングした状態で開くことができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

注:
URL に指定したダッシュボード グループが存在しない場合、URL は、[最近] タブが選択された [Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページを戻します。

この URL の例では、グループ CMDB Overview 内のダッシュボードのみが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>nav_to.do?uri=%2F
$pa_dashboards_overview.do?sysparm_group=CMDB Overview
```

レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化

特にウィジェットが複雑なクエリや大きなテーブルのクエリに依存している場合は、大きなダッシュボードの表示に時間がかかることがあります。システム プロパティーを使用して、ウィジェットのロード方法を最適化できます。

始める前に
必要なロール：admin

注:
ウィジェットの表示は、レスポンシブ ダッシュボードでのみ最適化できます。

手順

1. これら 2 つのシステムプロパティを使用して、ダッシュボードウィジェットのレンダリングを最適化します。
   これらのプロパティーに使用する値は、インスタンスのパフォーマンスおよびそのダッシュボードのコンテンツによって異なります。
2. トランザクションクォータのルールを設定する こともできます。
   トランザクションクォータルールを使用すると、ウィジェットまたはダッシュボードの最大実行時間を設定できます。

注:

ロードに時間がかかるウィジェットには、次の 2 つのシナリオがあります。

トランザクションクォータ値がパフォーマンスしきい値を下回っています

トランザクションクォータに達する前にウィジェットがロードされない場合、ウィジェットはロードされません。次のメッセージが表示されます: ウィジェットがキャンセルされました - 最大実行時間が超過しました。

パフォーマンスしきい値がトランザクションクォータを下回っています

この動作は、トランザクションクォータが存在しない場合と同じです。ウィジェットのロードが停止し、メッセージが表示されます。ウィジェットを選択して再ロードできます。ただし、トランザクションクォータは引き続き適用され、レンダリングが停止する可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

利用可能なシステムプロパティ

のアドミンコンソール ダッシュボード

パフォーマンスアナリティクス管理コンソールには、ダッシュボード管理用のいくつかの機能が含まれています。

探索および管理

次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.

[探索および管理] ダッシュボードには、ダッシュボードとインジケーター関連のレコードを検索、変更、作成するためのツールが含まれています。ダッシュボード グループとダッシュボードを管理するためのリンクをクリックします。

詳細設定

次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > 管理コンソール.

管理コンソールの [詳細設定] タイルに、[ダッシュボード プロパティー] へのリンクが表示されます。

ツリー ビュー

管理コンソールのツリービューでは、階層内のパフォーマンスアナリティクスエンティティとレポートエンティティ間の関係を識別して表示できます。ツリー ビューを使用すると、複数のページをふるいにかけ、それらが互いにどのように関連しているかを判断する必要はありません。詳細については、「依存関係アセスメント」を参照してください。

アドミンコンソールの機能の詳細については、「 パフォーマンスアナリティクスアドミンコンソール」を参照してください。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティーを使用して、ダッシュボードの動作と外観を微調整します。

次のように移動する。 システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ メインのレスポンシブダッシュボードプロパティを設定します。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティ	説明
統合アナリティクスワークスペースエクスペリエンスを有効にすると、アナリティクスセンターの同じ概要にすべてのレスポンシブダッシュボードとネクストエクスペリエンスダッシュボードが表示されます。 com.glide.par.unified_analytics.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効にすると、アナリティクスセンターにプラットフォームアナリティクス とコア UI (レスポンシブ) の両方のダッシュボードが表示されます。ユーザーは、レスポンシブダッシュボードインジケーターの可視

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	化から KPI 詳細に引き続きドリルダウンできます。
セキュリティルールを、ダッシュボードを共有すると表示されるユーザーのリスト、ユーザーグループ、およびロールに適用します。 glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効になっている場合、共有パネルに表示されるユーザー、ユーザーグループ、ロールのリストが制限されます。この制限は、sys_user、sys_user_group、および sys_user_role ACL の構成に基づいています。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。 このプロパティの有効化に関連付けられているパフォーマンスのペナルティがあります。パフォーマンスのデグレードは、インスタンスのビジネスルールと ACL の数と複雑さに基づいている場合があります。
所有するダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。 glide.cms.share_dashboards.role	• タイプ：文字列 • デフォルト値：空 このプロパティが空白の場合、すべてのユーザーが自分のダッシュボードを共有できます。 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ **注:** ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、アドミンと dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。
レスポンシブ ダッシュボードにウィジェットを表示する最大秒数 glide.canvas.grid.widget_performance_threshold	• タイプ：整数 • デフォルト値：なし • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
レスポンシブ ダッシュボードに同時に表示できるウィジェットの最大数 glide.canvas.grid.widget_render_concurrent_max	• タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
レスポンシブダッシュボードウィジェットがブラウザーにキャッシュされる秒数。 glide.canvas.grid.widget_cache_ttl	• タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ
レスポンシブダッシュボードの [共有] パネルで名前を検索したときに返されたユーザー、グループ、ロールの数。 このプロパティの値はカテゴリ別であるため、デフォルト値の 100 では、100 人のユーザー、100 個のグループ、および 100 個のロールの合計 300 件の結果が得られる可能性があります。 glide.cms.dashboards.sharing.search.maxRecords	• タイプ：整数 • デフォルト値：100 • 場所:sys_properties.list 値を低く設定しすぎると、期待する結果が得られない可能性があります。最小値は 5 です。値を高く設定しすぎると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

カスタム コンテンツの **PDF** エクスポートに関する制限事項

ダッシュボードとホームページにウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。

ServiceNow サポートの対象外

他のカスタム実装と同様に、いくつかのアクションは、 ServiceNowの制御が及ばない場合、サポートが制限されるか、まったくサポートされません。

- カスタムコンテンツブロック:ベースシステムの一部でもプラグインの一部でもないコンテンツブロック。
- カスタムコンテンツブロック:レポートの可視化を含むコンテンツブロックの数は、エクスポートの成功に影響を与える可能性があります。エクスポートが成功すると断続的に発生する場合もあります。
- カスタムインタラクティブフィルター (ダイナミックコンテンツブロック)。
- 既存の UI ページおよびスクリプトに戻る Iframe を含む、カスタムの Iframe
- カスタム ウィジェット：ServiceNow によって作成されていないウィジェット
- カスタムグローバル UI スクリプト:ベースシステムに含まれていない UI スクリプト。
- カスタム UI ページ:ベースシステムの一部ではない UI ページ。
- カスタムスクリプトインクルード:ベースシステムに含まれていないスクリプトインクルード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PDF エクスポート エンジンでのページの表示方法は、ブラウザーでの表示方法とは異なります。PDF エクスポート機能では、Web テクノロジーとして HTML 4、CSS2、および JavaScript 1.5 がサポートされています。コンテンツ ブロックの開発者は、PDF エクスポートに対してコードをテストし、その実装をこれらの制限事項に基づいて調整する責務があります。

ホームページ廃止ヘルプツール

ホームページ機能のサポートは段階的に廃止され、 ネクストエクスペリエンス が有効になっている場合、ホームページの作成や編集は一切できません。すべてのホームページを 1 か所で検索してダッシュボードに変換したり、廃止したり、廃止したホームページをダッシュボードとして復元したりできます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用すると、システム管理者とダッシュボード管理者が、ワークフローを使用してホームページを廃止したり、ホームページをレスポンシブダッシュボードに変換したりできます。移行ステータスを追跡し、ユーザーやグループにタスクを割り当てることができます。個人ホームページの廃止には、承認を得るために所有者に送信される要求が含まれます。ホームページ廃止ヘルプツールは、admin ロールと dashboard_admin ロールを持つユーザー向けのストアアプリです。このアプリケーションを使用するには、「ホームページ廃止ヘルプツールをインストールする」を参照してください。

変換されたホームページのダッシュボードバージョンを見つけるには、次の場所に移動します **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード.

ホームページ廃止ダッシュボードにアクセスするには、次に移動します **All** (すべて) > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.

ホームページ廃止ヘルプツールの機能

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、すべてのホームページを 1 か所で検索し、ダッシュボードに変換して廃止し、廃止したホームページをダッシュボードとして復元します。

ホームページ廃止ダッシュボードにアクセスするには、次に移動します **All** (すべて) > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.

ホームページの廃止ヘルプツールを使用する前に、次の 2 つのステップを実行してください。admin ロールを持つユーザーは、システムプロパティを変更する必要があります。admin ロールを持つユーザー、または dashboard_admin ロールと flow_designer ロールの両方を持つユーザーが、ホームページ移行ステータステーブルに入力できます。

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ *`com.glideapp.home.deprecate_homepages`* を true に設定します。

   重要:
   このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

ホームページ廃止ダッシュボードには、次の 4 つのタブがあります。

概要

概要を使用すると、廃止プロセスを開始し、インスタンスのホームページの一般的なステータスを表示できます。

個人ホームページ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

非アクティブまたはインスタンスからロックアウトされている個人が所有するすべてのホームページのリスト。個人ホームページは、すべてのユーザーがアクセスできるグローバルホームページとは異なります。

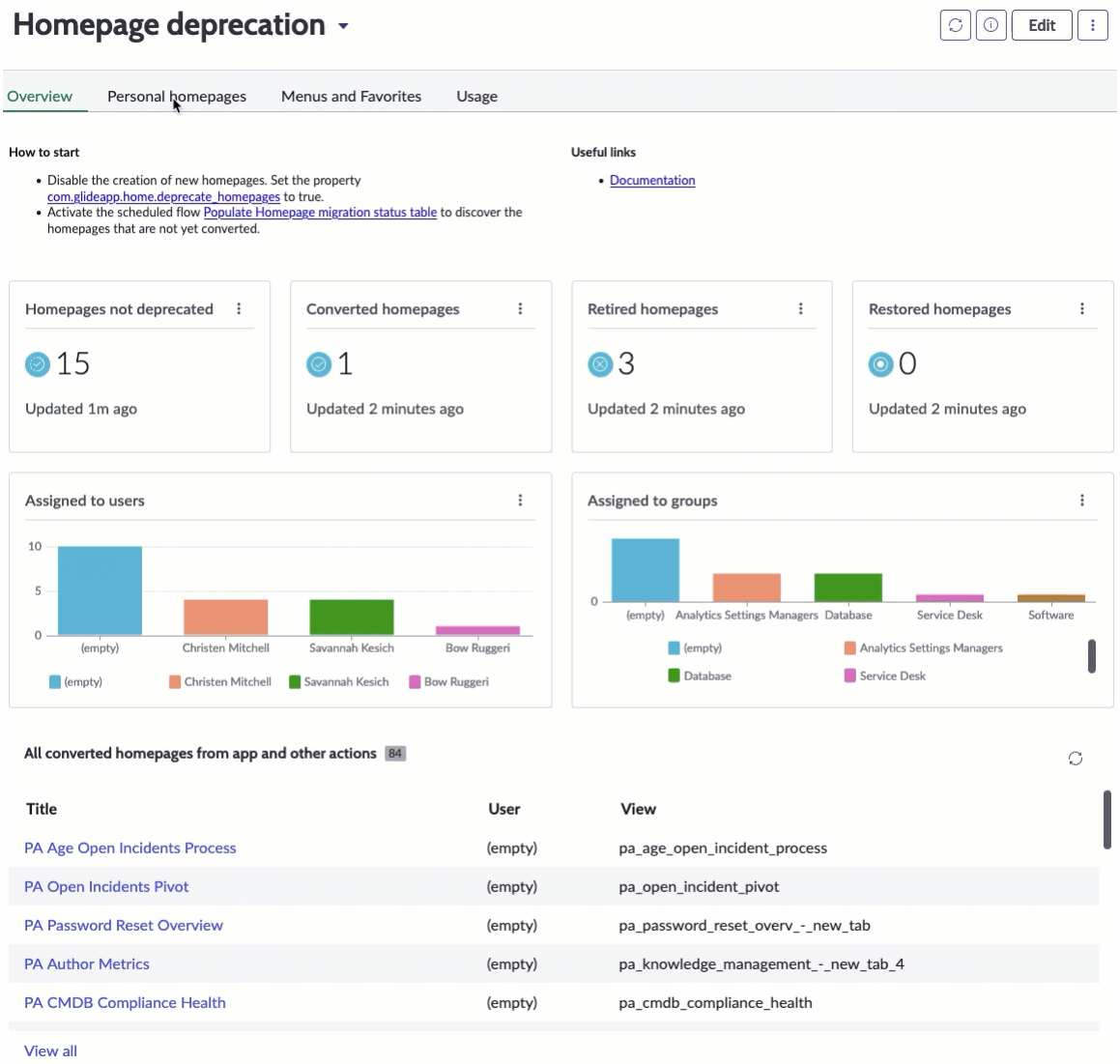
メニューとお気に入り

構成されたメニューに表示されるホームページと、ユーザーによってお気に入りとしてマークされたホームページのリスト。最初のケースでは、変換されたダッシュボードを指すようにメニュー項目を再構成する必要があります。2 番目のケースでは、変換された新しいダッシュボードをお気に入りとしてマークするようにユーザーに警告する必要があります。

使用法

過去 30 日間閲覧されていないすべてのホームページのリスト。

ホームページ廃止ダッシュボード



[概要] タブ

[概要] タブには、開始するためのリンクと、注意が必要なホームページを選択できるいくつかのレポートが含まれています。

[開始方法] セクションには、新しいホームページの作成を無効にしたり、ホームページの移行ステータステーブルに入力したりするためのリンクがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	タイプ	説明
廃止されていないホームページ	42 単一スコア	変換または廃止していないホームページの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。
変換されたホームページ	42 単一スコア	レスポンシブダッシュボードに変換したホームページの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。
廃止されたホームページ	42 単一スコア	廃止したホームページの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。
復元されたホームページ	42 単一スコア	レスポンシブダッシュボードとして復元した廃止されたダッシュボードの数。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポートを選択します。
ユーザーにアサイン済み	棒グラフレポート	ユーザーにアサインされているホームページ。ユーザーがアサインされていないホームページの [空の アカウント] というラベルの付いたバー。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポート内の任意のバーを選択します。
グループにアサイン	棒グラフレポート	グループにアサインされているホームページ。アサインされたグループがないホームページの [空の アカウント] というラベルの付いたバー。 関連するホームページを ホームページ移行ステータステーブル で表示するには、このレポート内の任意のバーを選択します。
アプリおよびその他のアクションから変換されたすべてのホームページ	リストレポート	ヘルプツールまたはその他の手段でホームページから変換されたすべてのダッシュボード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

個人ホームページ

このタブには、所有者が非アクティブであるか、ロックアウトされているホームページのリストが表示されます。これらのホームページは、廃止の良い候補となる可能性があります。リンクを選択して、個人ホームページのみを含むフィルター済みリストを開き、廃止または変換します。

メニューとお気に入り

[メニューとお気に入り] タブには 3 つのリストがあります。

メニューに接続されたホームページ

フィルターナビゲーターのメニューに接続されているホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止する場合は、変換されたダッシュボードにメニューアイテムを指定するか、メニューアイテムを削除する必要があります。

お気に入りに接続されたホームページ

ユーザーがお気に入りとして識別したホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止するときは、変換されたダッシュボードをお気に入りとしてマークするように伝えてください。

ホームページに接続されたメニューとモジュール

フィルターナビゲーターにメニューアイテムまたはモジュールとして表示されるホームページを表示します。メニューとモジュールアイテムを編集して、変換されたダッシュボードを開きます。廃止されたホームページを開くメニューまたはモジュールアイテムを削除します。

使用法

[使用状況] タブには、過去 30 日間に表示されていないすべてのホームページのリストが表示されます。これらのホームページは、廃止の良い候補となる可能性があります。

ホームページ廃止ヘルプツールをインストールする

ホームページを変換、廃止、および復元するには、ホームページ廃止ヘルプツールをインストールします。

始める前に
必要なロール：admin。

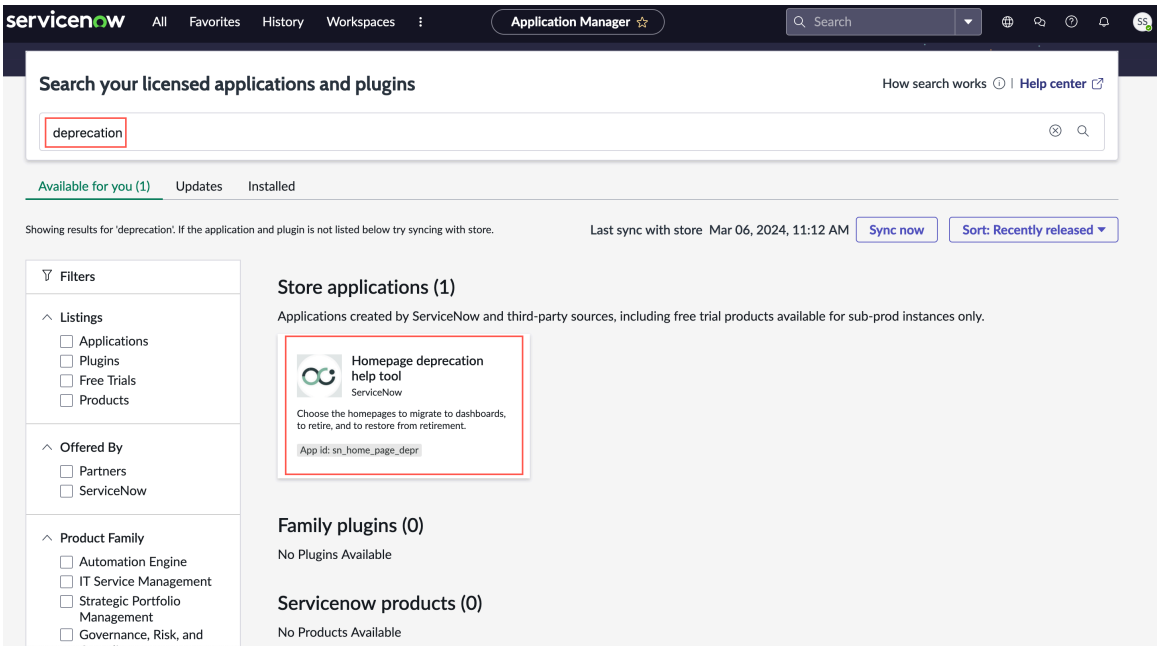
このタスクについて
ホームページ廃止ヘルプツールはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「ServiceNow Store アプリケーションのインストール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > プラグイン.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、ホームページ廃止ヘルプツールアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Storeにリクエストする必要が生じる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ヘルプツールのボタンを選択して、アプリケーションの概要ページを開きます。
4. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
5. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
6. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

自動翻訳

ホームページを個々のダッシュボードに変換する

ホームページ移行ステータステーブルに入力し、ダッシュボードに変換するホームページを決定します。ホームページを個々のダッシュボードに変換することも、複数のホームページを同じダッシュボード上のタブに変換することもできます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス.
   アドレス指定されていないすべてのホームページの状態は [オープン] です。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから、[変換] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



変換フローは、別のダッシュボードを作成し、権限 canRead および canWrite をダッシュボードの権限に移動するスクリプトをトリガーします。

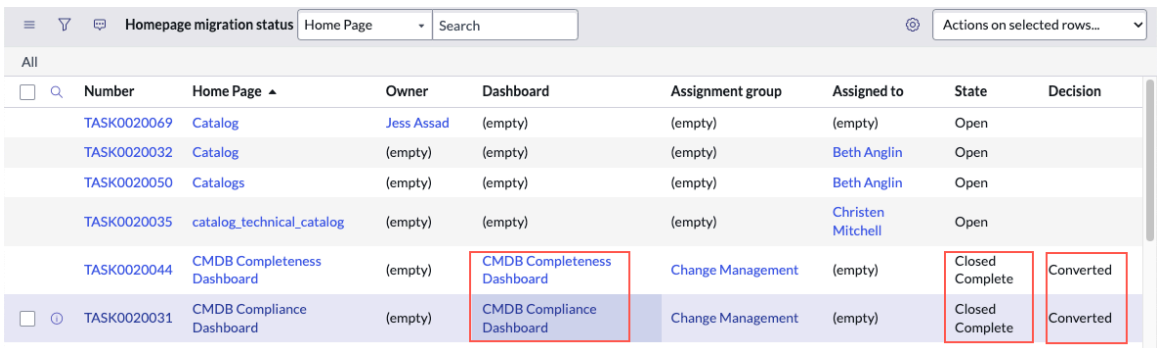
廃止フローでは、個人ホームページが自動的に廃止され、[選択可能] フィールドが false に設定され、アドミンユーザーに読み取り/書き込み権限が割り当てられます。

このフローは、非公開ホームページの所有者に廃止の許可を求めます。権限フローには、権限を得るための 14 日間の待機期間が含まれています。

タスクの結果

ユーザーは、変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを選択すると、表示権限のあるすべてのダッシュボードが表示されます。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [ステータス] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [意思決定] 列のエントリが [変換済み] に変更されます。



次のタスク

変換されたホームページを開くメニューを更新して、新しいダッシュボードを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを開いて、変換されたダッシュボードのタイルを表示します。

ホームページの廃止.

ホームページをダッシュボードタブに変換する

ホームページ移行ステータステーブルに入力した後、1 つ以上のホームページを新規または既存のダッシュボードのタブに変換できます。

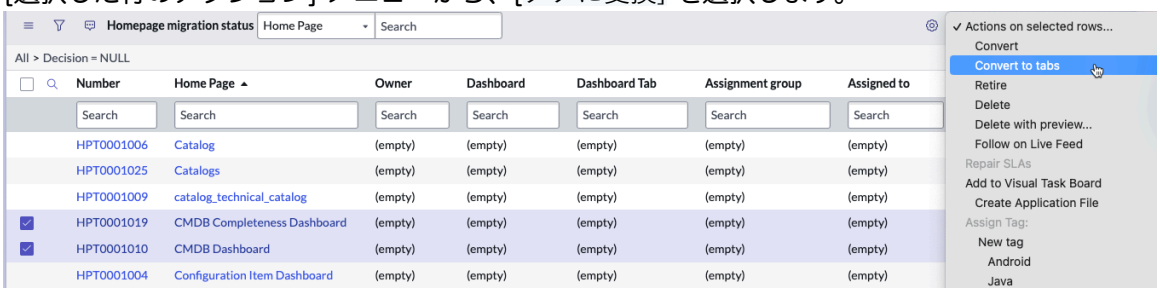
始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin。

> **注:**
> 1 つ以上のホームページをダッシュボードタブに変換するには、ホームページの所有者が同じである必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス.
   アドレス指定されていないすべてのホームページの状態は [オープン] です。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから、[タブに変換] を選択します。



4. 既存のダッシュボードを選択するか、新しいダッシュボードのタイトルを設定します。
   既存のダッシュボードを選択すると、ホームページは既存のタブの後にタブとして追加されます。新しいダッシュボードのタイトルを設定すると、新しいダッシュボードには、追加した各ホームページのタブが含まれます。

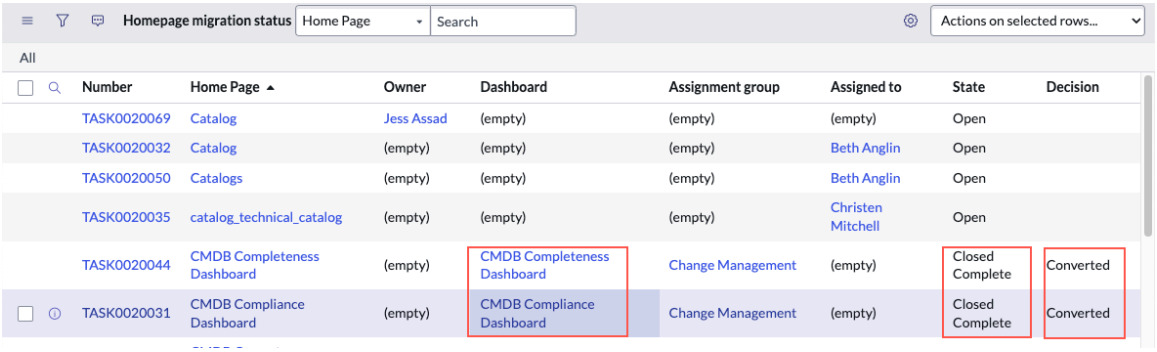
   変換フローは、新しい個別のダッシュボードを作成し、権限 canRead および canWrite をダッシュボードの権限に移動するスクリプトをトリガーします。

タスクの結果

ユーザーは、変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを選択すると、表示権限のあるすべてのダッシュボードが表示されます。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- [ダッシュボードタブ] 列には、新しいダッシュボードタブの名前とダッシュボードタブのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [ステータス] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [意思決定] 列のエントリが [変換済み] に変更されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
変換されたホームページを指すメニューを新しいダッシュボードに更新します。

次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード. [すべて] タブを開いて、変換されたダッシュボードのタイルを表示します。

ホームページの廃止.

ホームページの廃止

ホームページを廃止するには、ホームページ移行ステータステーブルを使用します。ホームページを廃止すると、アドミン以外のすべてのユーザーから表示と編集のオプションが削除されます。

始める前に
必要なロール:admin または dashboard_admin。

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ *com.glideapp.home.deprecate_homepages* を true に設定します。

   重要:
   このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

注:

ホームページを廃止すると、ユーザーは関連するポータルページを選択できなくなり、アドミンのみがページの読み取りおよび書き込み権限を持ちます。

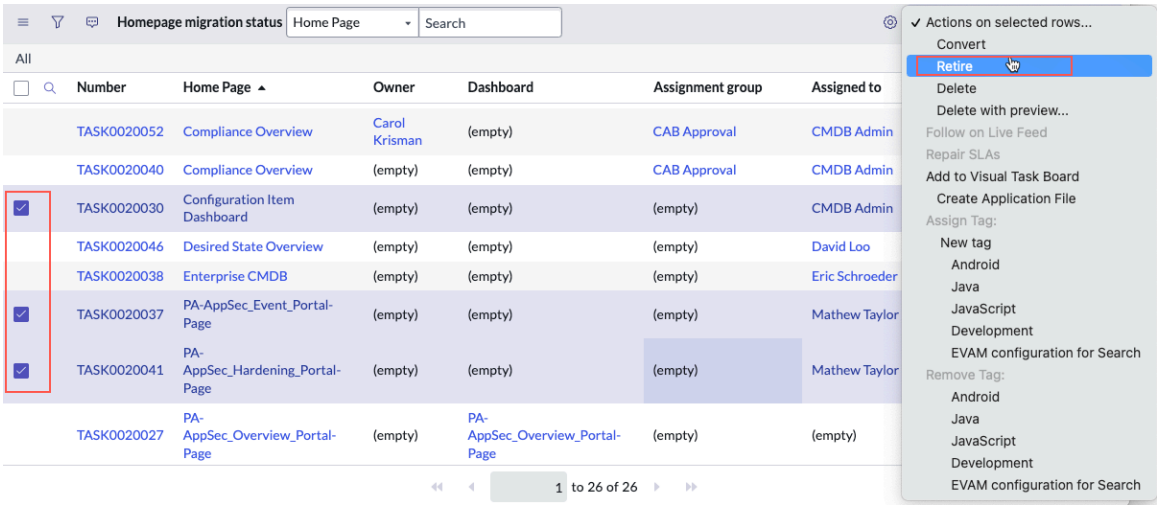
廃止要求に応答する時間制限を設定するには、システムプロパティ *sn_home_page_depr.approval_due_date*を編集します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス.
2. 廃止するホームページの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. [選択した行のアクション] メニューから、[廃止] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- ホームページがグローバルホームページ、つまり所有者が指定されていないホームページの場合、そのホームページは廃止され、タスクステータスは [完了してすぐにクローズ] に設定されます。
- 制限時間内に個人ホームページの所有者からの応答がない場合、そのホームページは廃止され、タスクのステータスは [完了してクローズ] に設定されます。
- オーナーが廃止要求を却下した場合、ホームページはダッシュボードに変換されます。

タスクの結果

変更は、ホームページの移行ステータステーブルで行われます。

- 変換されたホームページの [状態] 列のエントリは 、[完了してクローズ] に変更されます。
- 廃止されたホームページの [意思決定] 列のエントリは [廃止] に変更されます。
- 所有者が廃止を却下したホームページの [意思決定] 列のエントリは 、[変換済み] に変更されます。
- 非アクティブまたはロックアウトされているユーザーの個人ホームページは、ホームページ廃止ダッシュボードの [個人ホームページ] タブに表示されなくなります。
- 廃止されたホームページの読み取りおよび書き込み権限は、アドミンに制限されています。

次のタスク

ホームページの復元

ホームページの復元

廃止されたホームページをダッシュボードとして復元します。

始める前に

廃止されたホームページのステークホルダーが、まだその情報を欲しがっている場合があります。廃止されたホームページをレスポンシブダッシュボードとして復元できます。

必要なロール:admin または dashboard_admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > サービスカタログ.
2. [お困りですか] を選択します。
3. [ホームページの復元] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 廃止されたホームページの名前を入力するか、検索アイコン ( ) を使用して廃止されたホームページを検索します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

廃止されたホームページはダッシュボードに変換されます。[ホームページの移行ステータス] テーブルに、これらの変更が表示されます。

- [ダッシュボード] 列に新しいダッシュボードの名前が入力されます。
- 復元されたホームページの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [意思決定] 列のエントリが [復元済み] に変更されます。

ホームページ移行ステータステーブル

ホームページ移行ステータステーブルを使用して、ホームページの廃止と変換に対処します。

ホームページ移行ステータステーブルには、ダッシュボードまたはダッシュボードタブに関連付けられていないインスタンスのホームページが一覧表示されます。また、それぞれのステータスについて管理者が行った決定も表示されます。[概要] タブのほとんどの可視化からホームページ移行ステータステーブルにアクセスするか、 **All** (すべて) > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス. 詳細については、「ホームページ廃止ヘルプツール」を参照してください。

このテーブルには次の列が含まれています。

列	説明
タスク	ホームページの移行に関連するタスクの番号を表示します。ハイパーリンクを選択してタスクフォームを表示します。
ホームページ	ホームページのタイトルとそのフォームへのリンクを表示します。
所有者	ホームページが個人向けの場合、このフィールドには所有者の名前が入力されます。それ以外の場合、このフィールドは空になります。
ダッシュボード	ホームページのダッシュボードバージョンがある場合に入力されます。
アサイン先グループ	ツールで対処するために 1 つ以上のホームページがグループにアサインされている場合に入力されます。
担当者	ツールで対処するために 1 つ以上のホームページが単一ユーザーにアサインされている場合に入力されます。
ステータス	可能なステータスは 2 つあります。 • 管理者がホームページに対応していない場合は、[オープン]。 • ホームページが変換、廃止、または復元されている場合は、[完了してクローズ]。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(続く)

列	説明
決定	[変換済み]、[廃止済み]、または [復元済み]

ホームページ移行ステータステーブルの入力

ホームページ移行ステータステーブルを使用すると、ホームページの廃止と変換に対処できます。スケジュール済みワークフローを実行して、インスタンスのホームページに関する情報をホームページ移行ステータステーブルに入力します。

始める前に

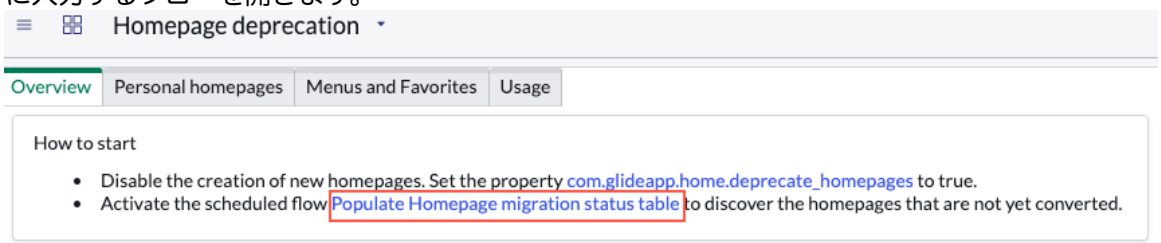
必要なロール：admin

入力フローには、実行ごとに 1000 sys_portal_pages の制限があります。入力フローは数日間実行しておくことができます。フローでは、ホームページ移行ステータステーブルにレコードを 1000 単位で追加します。

> **注:**
> ドメインセパレーションインスタンスでは、ホームページ移行ステータステーブルに入力するフローはグローバルインスタンスでのみ実行されます。

手順

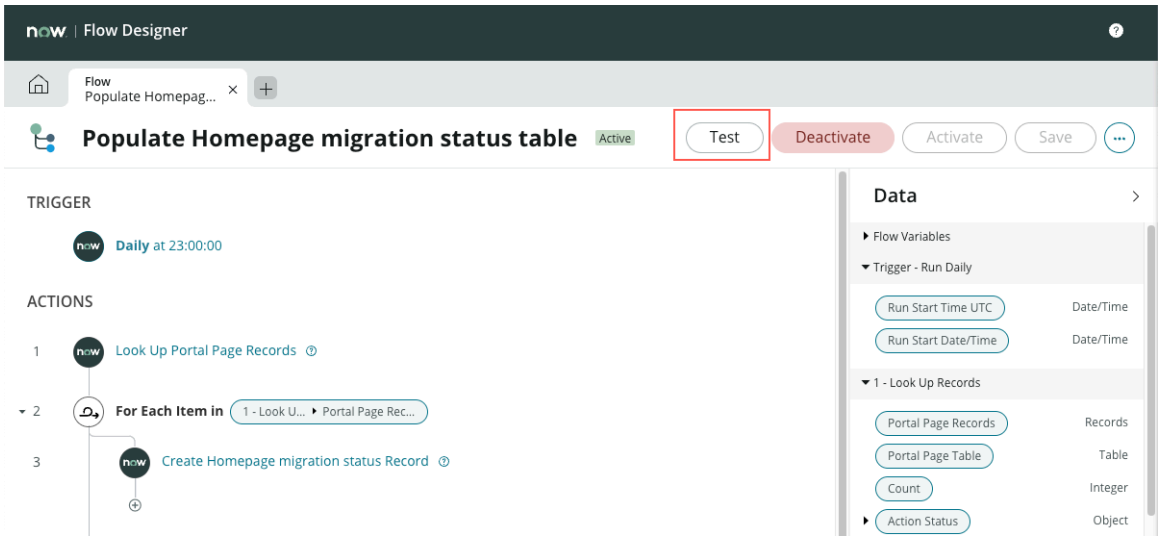
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要.
2. [ホームページ移行ステータステーブルを入力] というラベルの付いたリンクを選択して、テーブルに入力するフローを開きます。



3. Flow Designer で、入力フローを実行するタイミングを指定するトリガーを選択します。
   デフォルトのトリガーは毎日 23:00:00 です。
4. [アクティブ化] を選択します。
5. [テスト] を選択してフローを実行します。

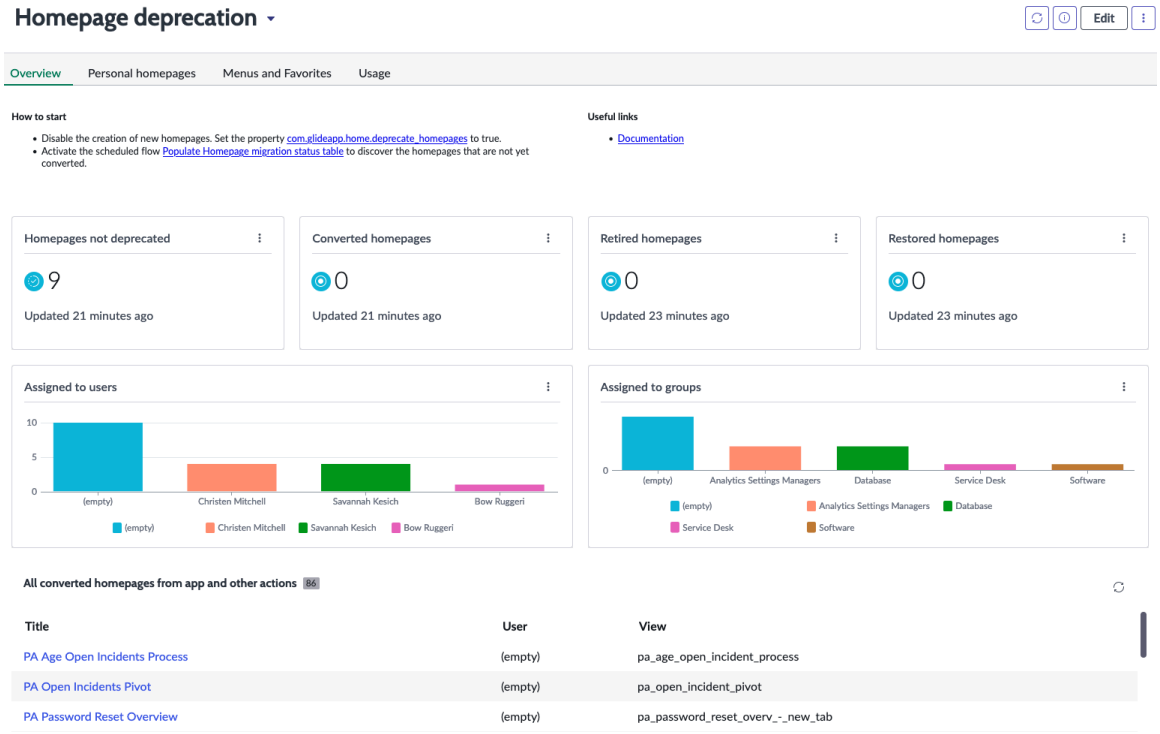
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [テストを実行] を選択します。
   [テストの実行が終了しました] というメッセージが表示されたら、[テストフロー] ウィンドウを閉じて [概要] タブに戻ります。

タスクの結果
ホームページ廃止ヘルプツールの [概要] タブには、廃止されていないホームページの数が表示されていま



す。

複数のドメインのホームページ移行ステータステーブルへの入力

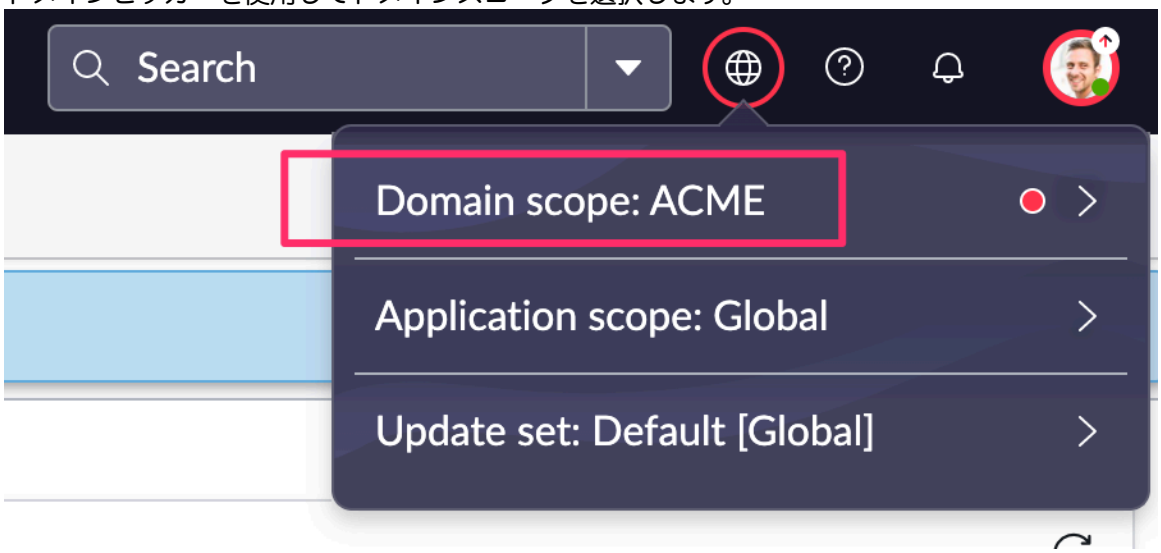
デフォルトでは、ホームページ移行ステータステーブルに入力するフローはグローバルドメインにのみ適用されます。フローを作成して、インスタンス内の他のドメインに適用できます。

始める前に
必要なロール：admin

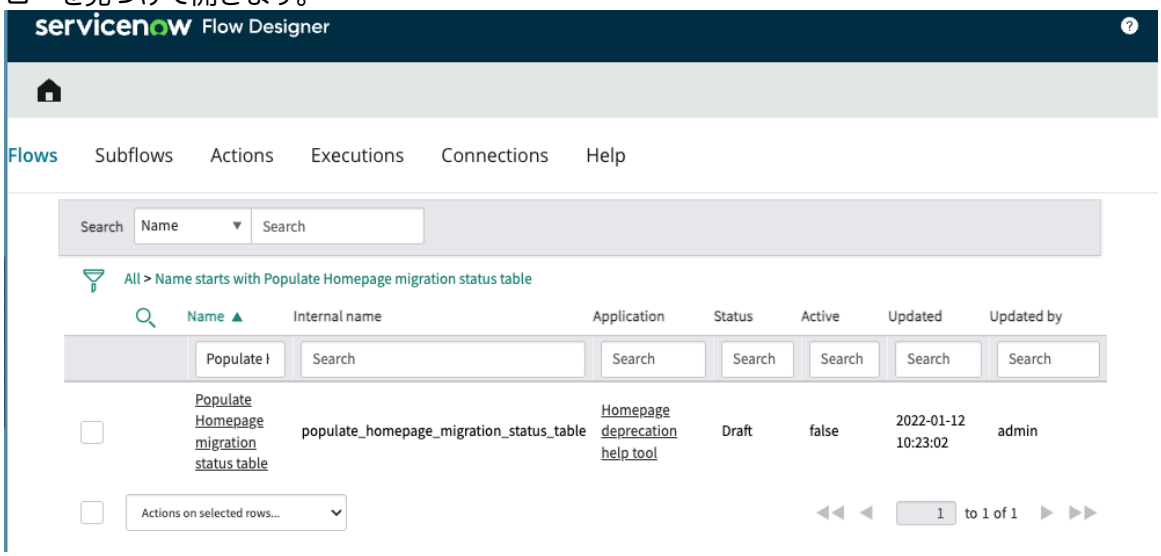
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ドメインピッカーを使用してドメインスコープを選択します。



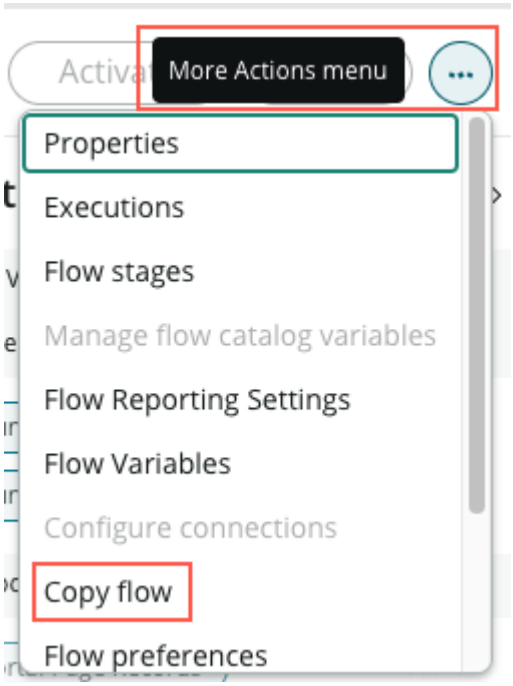
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Flow Designer** (フローデザイナー).
3. [ホームページ移行ステータステーブルの入力 (Populate Homepage migration status table)] フローを見つけて開きます。



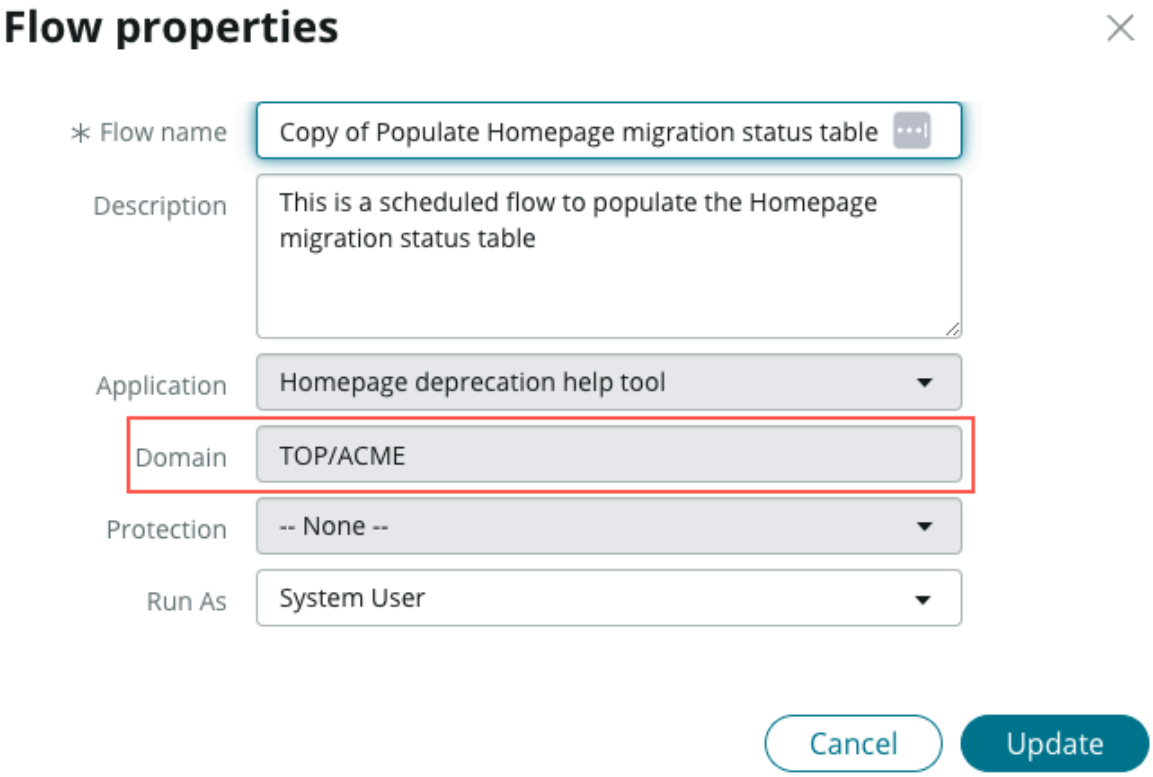
4. [その他のアクション**(More Actions)**] メニューを選択し、[フローのコピー**(Copy Flow)**] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. アプリケーション ホームページの廃止ヘルプツール を選択し、[コピー] を選択します。
6. [その他のアクション] メニューを選択し、[フロープロパティ] を選択します。
   フローは、選択したドメインスコープを指します。



ウィジェット

クラシック環境のダッシュボードに追加されたオブジェクトは、ウィジェットと呼ばれます。ウィジェットを作成および管理できます。多くのアプリケーションは、独自のウィジェットを持ちます。アプリケーションに含まれるウィジェットの詳細については、アプリケーションのドキュメントを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ウィジェットタイプごとに、ダッシュボードで異なる操作を行うことができます。各タイプのリンクに従って、ダッシュボードでウィジェットを作成および編集する方法を学習します。

> **注:**
> レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

ウィジェットのタイプは次のとおりです。

レポート

レポートによる可視化は、情報のスナップショットであり、情報のステータスをリアルタイムで表示します。詳細については、「レポート」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、経時的に収集されたインジケーターデータに基づいて情報を可視化します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。詳細については、「インタラクティブフィルター」を参照してください。

コンテンツブロック

コンテンツブロックは、インスタンス全体で再利用できる情報です。詳細については、「 コンテンツブロックの構成 」を参照してください。

ServiceNow UI ページを表示するウィジェットの作成

Web ページを表示する ServiceNow UI ページを作成できます。その後、ダッシュボードに追加できるウィジェットにその UI ページを追加できます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

UI ページとは、リストでもフォームでもない ServiceNowページのことです。すべての UI ページがウィジェットに収まるわけではありません。外部サイトウィジェットやガジェットなどの一部の UI ページは、ダッシュボードに配置したときに正しく表示されません。

フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する方法については、ServiceNow コミュニティーの開発者による「フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する 」というブログ投稿を参照してください。

> **注:**
> この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

手順

1. ウィジェットとして表示する ServiceNow UI ページを作成または検索します。
   ステップ 4 で使用するため、この UI ページの名前をメモしておきます。UI ページ名は、UI ページのコンテンツを定義するフォームの [名前] フィールドの値です。
2. 次のように移動する。 システム **UI** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
   ウィジェット レコードは、個々のウィジェットのレコードではなく、ウィジェット カテゴリーのレコードです。ウィジェットをダッシュボードに追加する際は、まずカテゴリーを選択してから、ウィジェットを選択します。ステップ 4 で指定する JavaScript には、そのカテゴリに含めるウィジェットのリストが含まれています。
3. 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [スクリプト] フィールドに次の JavaScript を追加し、指定どおりに置き換えます。
return ステートメントには、このウィジェットカテゴリにリストされているウィジェットが含まれています。

> **注:**
> このステップのコードスニペットは、スコープ外のアプリケーションで動作します。スコープ対象のアプリケーションの場合は、ステップ 5 のコードスニペットを使用します。

widget_name	ダッシュボードにウィジェットを追加するときにユーザーがウィジェットピッカーで選択するウィジェットの名前。この文字列は、ウィジェット ヘッダーにも表示されます。この値は、ステップ 3 で設定した名前です。
UI_page_name	ウィジェットに表示する手順 1 の UI ページの名前。

```
function sections() {
   return {
      'widget_name': { 'uiPageName' : 'UI_page_name'},
      'widget_name2': {'uiPageName': 'UI_page_name_2'}
   };
}

function render() {
   var uiPageName = renderer.getPreferences().get("uiPageName");
   return renderer.getRenderedPage(uiPageName);
}

function getEditLink() {
   var uiPageName = renderer.getPreference('uiPageName');
   return 'sys_ui_page.do?sysparm_query=' + encodeURIComponent('name=' +
 uiPageName);
}
```

5. オプション: スコープ対象のアプリケーションには、次のコード例を使用します。

```
function sections() {
   return {
   'Widget': {
   'type': 'widgetname'
   }
   };
}

function render() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
   return renderer.getRenderedPage(scope + page);
}

function getEditLink() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    return "sys_ui_page.do?sysparm_query=name=" + scope + page;
}
```

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
レスポンシブダッシュボードの編集

インタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターを使用すると、元のレポートを変更せずにダッシュボードですべてのレポートを動的にフィルタリングすることができます。

インタラクティブフィルターを作成し、ウィジェットとしてダッシュボードに追加できます。インタラクティブフィルターウィジェットで値を選択すると、ダッシュボード上のレポートのデータがフィルタリングされます。ダッシュボードでは、選択したフィルターがユーザーごとに保存され、そのユーザーが次回ダッシュボードを表示するときに自動的に適用されます。

インタラクティブフィルターを作成するには、「 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ 」を参照し、フィルタータイプを選択します。

ホームページの対話型フィルターは、デフォルト値を保持したり、ログインやページの更新をまたいで値を保持したりしません。この機能はダッシュボードで利用できます。詳細については、「ホームページを個々のダッシュボードに変換する」を参照してください。

重要:

- パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットはインタラクティブフィルターに従いません。ブレークダウンダッシュボードコントロールを使用して、同じ ブレークダウンソース でこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」と「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。
- インタラクティブフィルターは、 メトリックベース ソースに基づくレポートではサポートされていません。詳細については、「 メトリックベース 」を参照してください。

プラットフォームアナリティクスの統合フィルターの詳細については、「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ

複数のフィールドタイプのインタラクティブフィルターを作成および構成できます。

インタラクティブ フィルターのタイプ

タイプ	説明
選択リスト	特定の選択肢リストの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと選択リストのフィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
参照	1 つ以上の参照フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。参照先のテーブルと、他のテーブルの参照フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定した参照フィールドを持つテーブルのレポートに影響を与えます。 **注:** 参照インタラクティブフィルターは文字列フィールドをサポートしていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブ フィルターのタイプ (続く)

タイプ	説明
日付	1 つ以上の日付フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと日付フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
ブール	特定の True/False フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと True/False フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
グループ	ダッシュボード上の単一のウィジェットに複数のインタラクティブフィルターを表示できます。ダッシュボードを表示しているユーザーは、適用するグループ化されたフィルターを選択できます。
空/空でない	フィールドに値が含まれているかどうかに基づいてフィルターで絞り込みます。
カスケード	地域、国、都市など、階層内の複数の値に基づいてフィルターで絞り込むことができます。

選択リスト インタラクティブ フィルターを作成する

選択リスト インタラクティブ フィルターを使用すると、選択リストの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

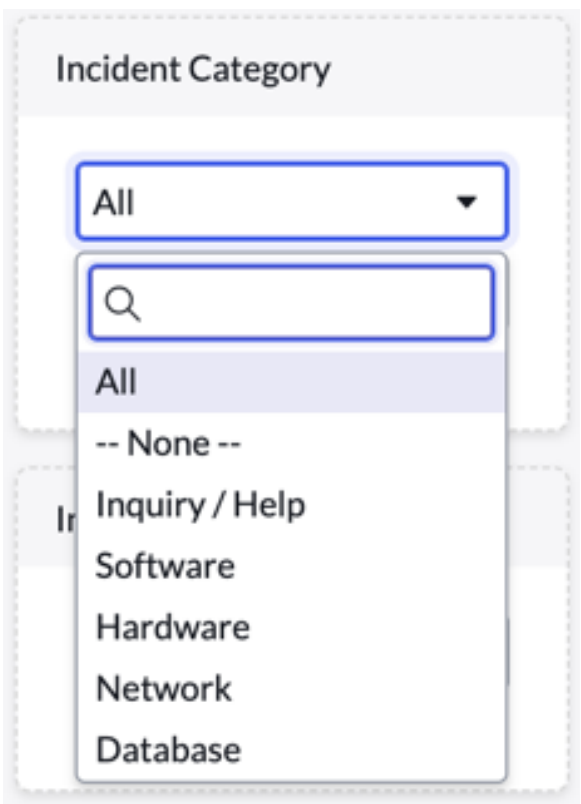
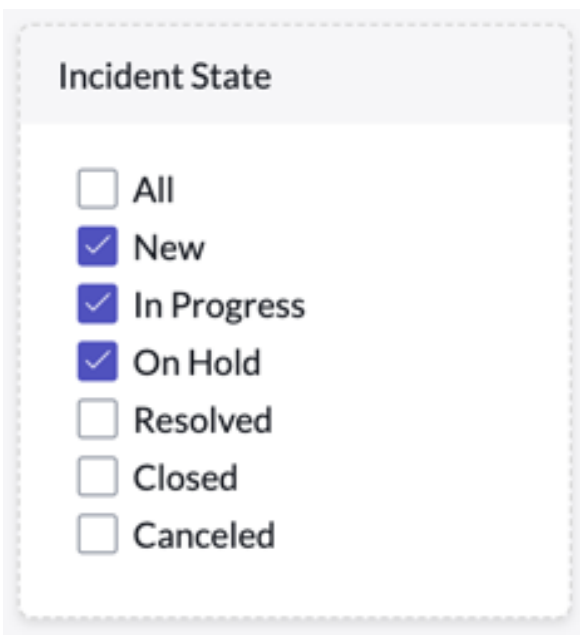
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのanalytics_filter_adminロールが含まれています。

選択リストに含まれる指定値は限られています。ステータスと優先度は、選択リストの 2 つの例です。ユーザーと場所は通常、選択リストの選択肢ではありません。詳細については、「 選択リストフィールドタイプ 」を参照してください。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択リストフィルター:単一の選択	選択リストフィルター:チェックボックス
	

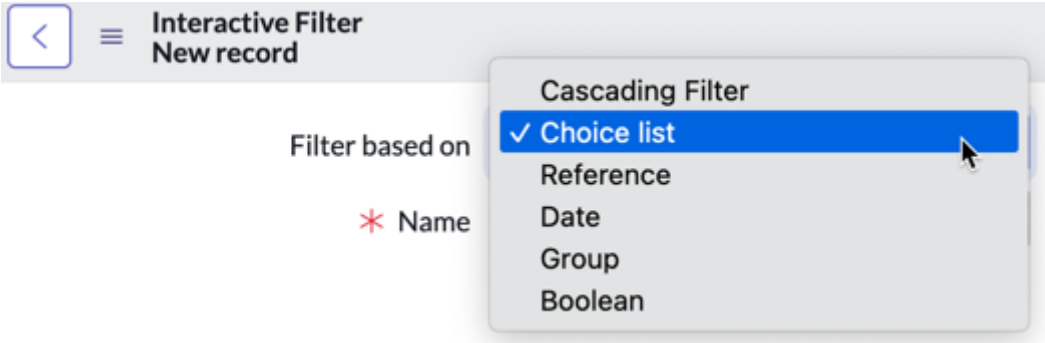
注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

自動翻訳

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[選択リスト] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[**Apply filter to database views and tables**] を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. オプション: フィルターで特定の要素の表示を除外するには、[除外リスト] を使用します。
   ただし、インタラクティブ フィルターで [すべて] を選択するときは、除外された選択肢のデータも含まれます。
9. [テーブル] リストで、フィルターを適用する選択リストを含むテーブルを選択します。
10. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
11. オプション: フィルターから除外するリスト要素を [除外リスト] フィールドに追加します。
12. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
    このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

13. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

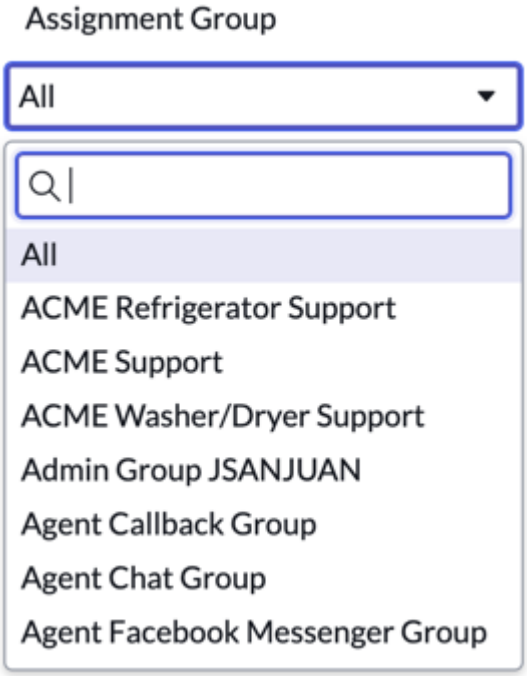
1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボード上の各ビジュアライゼーションの [ウィジェットの編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。

参照フィールド インタラクティブ フィルターを作成する

参照フィールド インタラクティブ フィルターを使用すると、参照フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するための analytics_filter_adminロールが含まれています。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この参照フィルターの例では、グループ [sys_user_group] テーブルの [アサイン先グループ] フィールドのフィルターオプションを提供します。



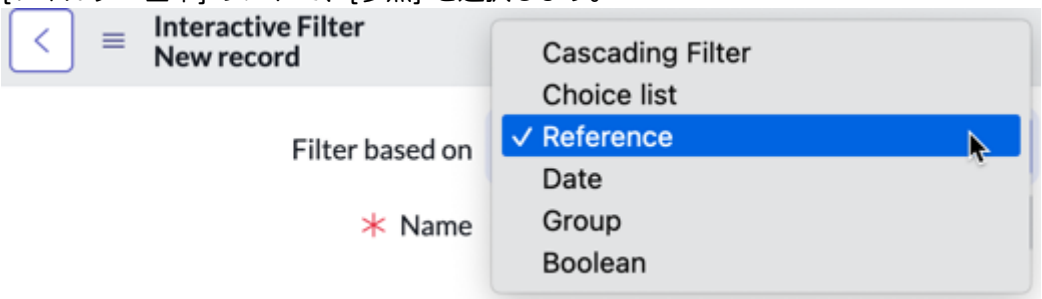
注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. [**New**] をクリックします。
4. [フィルター基準] リストで、[参照] を選択します。



5. [参照テーブル] リストで、フィルターを適用する参照レコードを格納しているテーブルを選択します。
6. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
   このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

   注:
   50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

7. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。
キーワードで始まる検索結果のみを表示	選択すると、検索は検索用語で始まる結果のみを返します。それ以外の場合、検索は検索用語をどこかに含む結果を返します。数百万件のレコードを含むテーブルなど、非常に大きなテーブルで参照フィルターを設定する場合は、このオプションを検討してください。一般的な用語で検索すると、返されるレコードが多すぎるため管理できない場合があります。

8. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[**Apply filter to database views and tables**] を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

9. フォームヘッダーを右クリックして、[**Save**] を選択します。
10. オプション: UI コントロールのタイプが [単一の入力を選択] の場合は、[すべてを削除] オプション を選択して、[すべて] オプションなしでインタラクティブフィルターを構成します。
    ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。
11. インタラクティブ フィルター参照 関連リストで、 新規 を選択します。
    この関連リストは、フィルターを保存するまで表示されません。
12. [参照テーブル] フィールドで、フィルタリングするレポートを含むテーブルを選択します。
13. フィルターを適用する [参照フィールド] を選択します。

    フィールドは、親フィルターの [参照テーブル] フィールドで指定されたテーブルを参照する必要があります。

    他のテーブルを参照するフィールドからドット連結することができます。たとえば、親フィルターの [参照テーブル] が部門 [cmn_department] の場合、参照の [参照テーブル] として [インシデント] を選択し、[参照フィールド] として [問い合わせユーザーの部門] を選択できます。

    注:
    参照インタラクティブフィルターは文字列フィールドをサポートしていません。

14. オプション: 関連リスト条件を追加します。
    1 つの関連テーブルのレコードに基づいてフィルターに条件を追加できます。

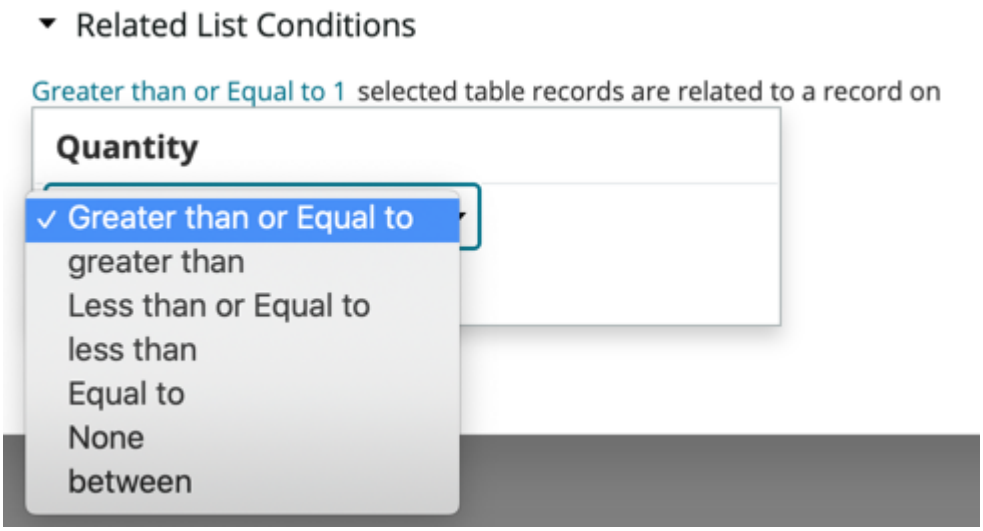
    a. **[1** 以上] というラベルの付いたリンクをクリックします。
    リストから、ターゲットテーブルのレコードに関連付ける必要があるソーステーブルのレコードの数を選択します。

    オプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 次の値以上
- 次の値を超える
- 次の値以下
- 次の値未満
- は次の値に等しい (=)
- なし
- 次の間



b. 関連テーブルを選択します。

c. フィルターを有効にするために満たす必要があるテーブルの条件を指定します。

15. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

必要に応じて、フィルタリングする参照フィールドごとに手順 10 ～ 13 を繰り返します。フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

注:
パフォーマンス上の理由から、 フィルターは [チェックボックス] コントロールタイプから [複数入力の選択] コントロールタイプに変換される場合があります。

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボード上の各ビジュアライゼーションの [ウィジェットの編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。

関連情報

[参照] フィールドタイプ

利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ

関連リスト条件を追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

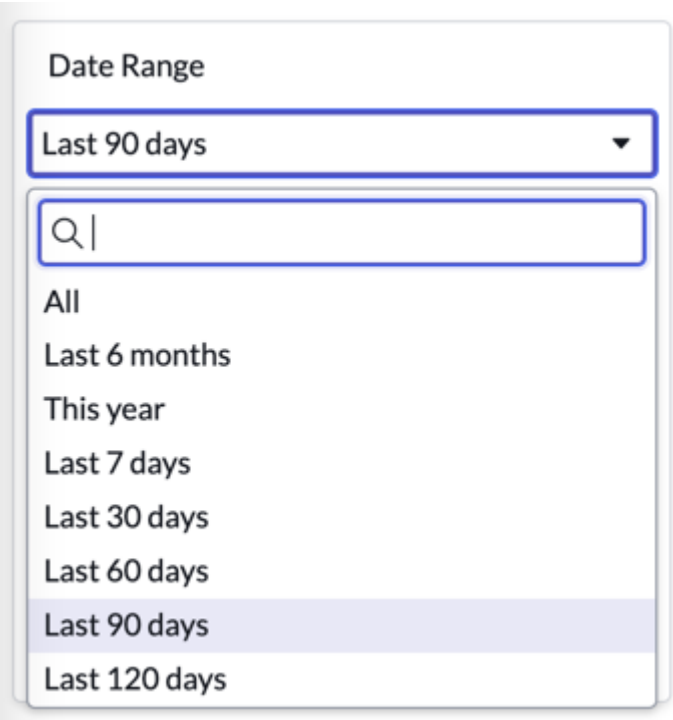
日付インタラクティブ フィルターを作成する

日付インタラクティブ フィルターを使用すると、日付フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのanalytics_filter_adminロールが含まれています。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この日付フィルターの例では、フィルターを適用できるいくつかの日付範囲を示しています。



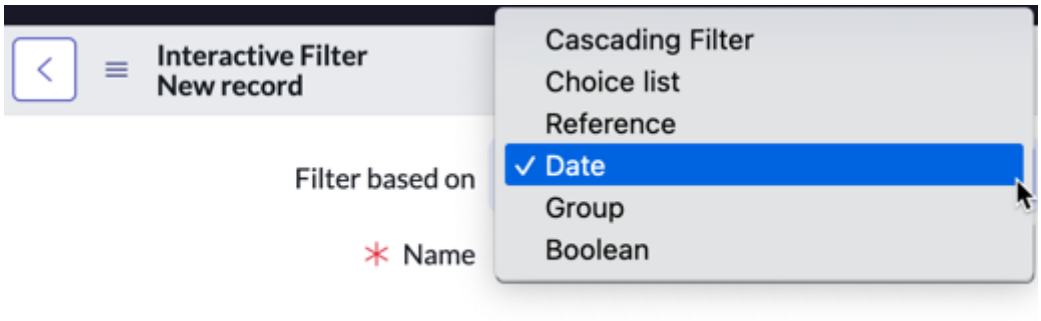
注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブ フィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブ フィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[日付] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[**Apply filter to database views and tables**] を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [日付] セクションで、スラッシュバケットを使用して、ユーザーがフィルターを適用できる 1 つ以上の日付範囲を選択します。
   利用可能な日付フィルターは、 *Get Date Filter options for Date Filters* ビジネス ルールで定義されています。このビジネス ルールをカスタマイズして、フィルター オプションを追加または削除します。
9. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
   このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロール タイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

   注:
   50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. フォームヘッダーを右クリックして、[**Save**] を選択します。
11. インタラクティブフィルターの 日付 関連リストで、新規 を選択します。
12. [テーブル] フィールドで、フィルターを適用するレポートがあるテーブルを選択します。
13. [フィールド] フィールドで、フィルターを適用する日付フィールドを選択します。
14. [送信] をクリックします。

次のタスク

フィルターを適用する日付フィールドごとに、必要に応じて手順 8 ～11 を繰り返します。

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボード上の各ビジュアライゼーションの [ウィジェットの編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。

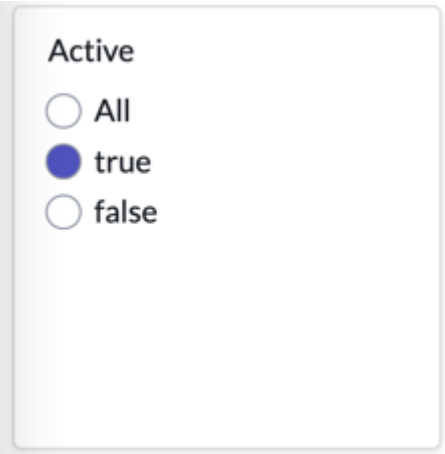
ブーリアンインタラクティブフィルターの作成

ブーリアンインタラクティブフィルターを使用すると、ユーザーは true/false フィールドの値に基づいてレポートウィジェットをフィルタリングできます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するための analytics_filter_adminロールが含まれています。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 このブーリアンフィルターの例では、フィルタリングできる 3 つのオプション (true、false、および [すべて]) を示しています。



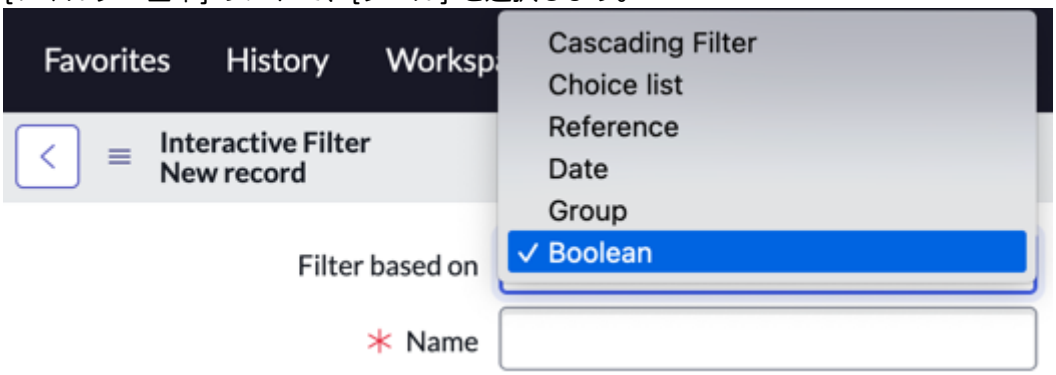
注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブフィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[**Apply filter to database views and tables**] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [テーブル] リストで、フィルタリングする true/false フィールドを含むテーブルを選択します。
9. [フィールド] リストで、フィルターを適用する True/False フィールドを選択します。
10. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが別の値を選択した場合、その値はユーザーのデフォルトとして保存され、グローバルのデフォルト値よりも優先されます。
11. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボード上の各ビジュアライゼーションの [ウィジェットの編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。

グループ インタラクティブ フィルターを作成する

グループインタラクティブフィルターを使用すると、ユーザーは複数のインタラクティブフィルターを選択して、ダッシュボード上のレポートに適用できます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのanalytics_filter_adminロールが含まれています。

> **注:**
> インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

この手順を開始する前に、グループ化する複数の選択リスト、参照フィールド、ブール、または日付フィルターを作成します。

子フィルター用に選択したデフォルト値は、グループ フィルターを使用するときに適用されません。グループ フィルターで選択した値は、ダッシュボードを再読み込みするときに保存されません。

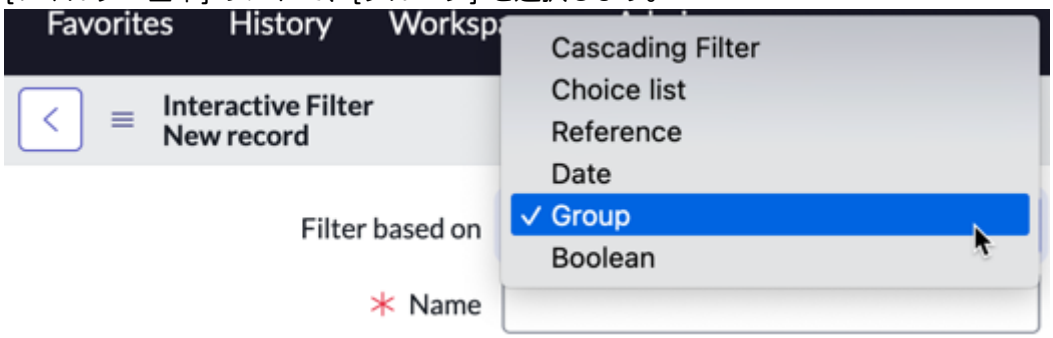
手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブ フィルター をクリックし、フィルタリングする同じテーブルに基づいてインタラクティブフィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブ フィルター.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[グループ] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。

6. [グループ] セクションで、[新しい行の挿入] を選択します。
7. このグループに追加するインタラクティブ フィルターを選択します。
グループ フィルターを別のグループ フィルターに追加することはできません。
8. 必要に応じて、グループ化するフィルターごとに前の 2 つの手順を繰り返します。
9. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

1. フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボード上の各ビジュアライゼーションの [ウィジェットの編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。

フィールドが空であるか設定されているかを示すインタラクティブ フィルターを作成する

ブール インタラクティブ フィルターを作成して、特定のフィールドが空であるか設定されているかに基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのanalytics_filter_adminロールが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

このタスクについて

指定されたフィールドが設定されているレコードの場合は [はい] フィルターを作成し、フィールドが空のレコードの場合は [いいえ] フィルターを作成します。フィルターには、この論理関係を表す名前を付けます。たとえば、インシデント テーブルと問題フィールドに基づくフィルタの場合、「インシデントから問題を生成」などの名前を使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > インタラクティブ フィルター.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。
4. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

5. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
6. オプション: データベースビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、[**Apply filter to database views and tables**] を選択します。

   > **注:**
   > データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

7. [テーブル] リストで、フィルターを適用するフィールドを含むテーブルを選択します。
8. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
9. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスケード フィルターを作成する

カスケード フィルターを使用すると、階層内の複数の値 (地域、国、都市など) に基づいてフィルターを適用できます。下位レベルの選択肢は、上位レベルで選択された値によってフィルタリングされます。

始める前に

ユーザーがマネージャーのリストから選択し、そのマネージャーに報告するグループから選択できるカスケードフィルターを作成できます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのグループにアサインされたレコードのみが表示されます。または、マネージャーのみを選択し、グループを選択しないなど、フィルターの下位レベルを未選択のままにすることもできます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのマネージャーによって管理されているグループにアサインされたレコードが表示されます。カスケード フィルターでは、ダッシュボードで最後に選択した要素が保持されます。

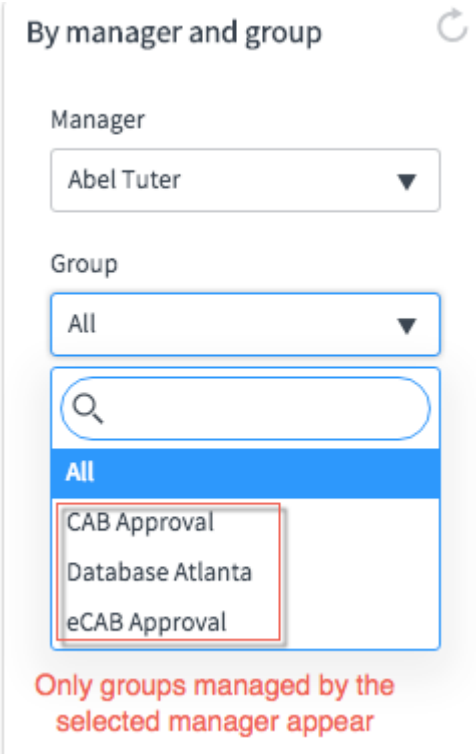
フィルターの作成に使用するデータの構造に一貫性があることを確認してください。たとえば、場所に基づくカスケードフィルターでは、最上位の選択肢がすべて地域であり、第 2 レベルの選択肢がすべて国であることを確認します。レベルごとに該当する選択肢のみを使用できるようにするフィルター条件を定義できます。

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのanalytics_filter_adminロールが含まれています。

このタスクについて

この手順の例は、マネージャーとグループを使用するカスケードのインタラクティブ フィルターに基づいています。この例でユーザーは、最上位の選択肢ではマネージャーを選択でき、第 2 レベルの選択肢では、そのマネージャーによって管理されるユーザー グループを選択できます。

カスケード フィルターの例



注:
参照フィールドの値のみに基づいてレポートをフィルターで絞り込むことができます。カスケード フィルターでサポートされているのは、 単一選択 **UI** コントロール タイプのみです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブ フィルター.
2. [**New**] をクリックします。
3. [フィルター基準] リストで、[カスケード フィルター] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. カスケード フィルターの第 1 レベルを定義します。

   a. [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. [テーブル] と、フィルターの最上位の選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
   マネージャーとマネージャーが管理するグループに基づいて階層の最上位を定義するには、[テーブル] として [グループ **[sys_user_group]**] を選択し、[表示] フィールドとして [マネージャー] を選択します。

   c. オプション: [フィルター] フィールドを使用して、ユーザーが使用できる選択肢を制限します。フィルター条件は、場所 [cmn_location] などの自己参照テーブルに基づいてカスケード フィルターを作成する場合に特に便利です。データをフィルタリングして、カスケードフィルターの各レベルにそのレベルに適したオプションのみが含まれるようにします。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。

6. 階層の次のレベルを定義します。
   カスケード フィルターでは、上位のフィルターと下位のフィルターの間で 1 対多の関係が使用されます。1 つの上位フィルターが、任意の数の下位フィルターで使用できる選択肢に影響を与える可能性があります。

   a. マネージャーのフィルターの [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. [テーブル] と、フィルターの第 2 レベルの選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
   マネージャーとグループの例では、[テーブル] として [グループ **[sys_user_group]]** を選択し、[表示フィールド] として [名前] を選択します。

   c. [親参照フィールド] フィールドで、上位のフィルターから選択した値を含むフィールドを選択します。
   たとえば、グループ フィルターを作成する場合、[親参照フィールド] の値は [マネージャー] です。この例では、最初のフィルターで選択したマネージャーを使用し、各グループの [マネージャー] フィールドの値に基づいて、使用可能なグループのリストをフィルターで絞り込みます。

   d. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. 追加するフィルターごとに、前述の下位の手順を繰り返します。
フィルター階層に別のレベルを追加するには、最下位レベルのフィルターの [カスケードフィルター] 関連リストに新しいレコードを追加します。たとえば、マネージャーフィルターなどのトップレベルのフィルターの代わりにグループフィルターを追加します。

7. それぞれのフィルター レベルでダッシュボード上のレポートにフィルターを適用する方法を定義します。

a. [ターゲット テーブル] 関連リストで、[新規] をクリックします。

b. フィルターを適用するデータが含まれている [ターゲット テーブル] を選択します ([インシデント] など)。

c. フィルターを適用する [フィールド] を選択します。
フィールドは、フィルターで指定されたテーブルを参照する必要があります。たとえば、インシデント データにフィルターを適用する場合、最上位のマネージャー フィルターの [フィールド] は **[Assignment group.Manager]** です。この例では、第 2 レベルのグループ フィルターの [フィールド] は [アサイン先グループ] です。

d. [送信] をクリックします。

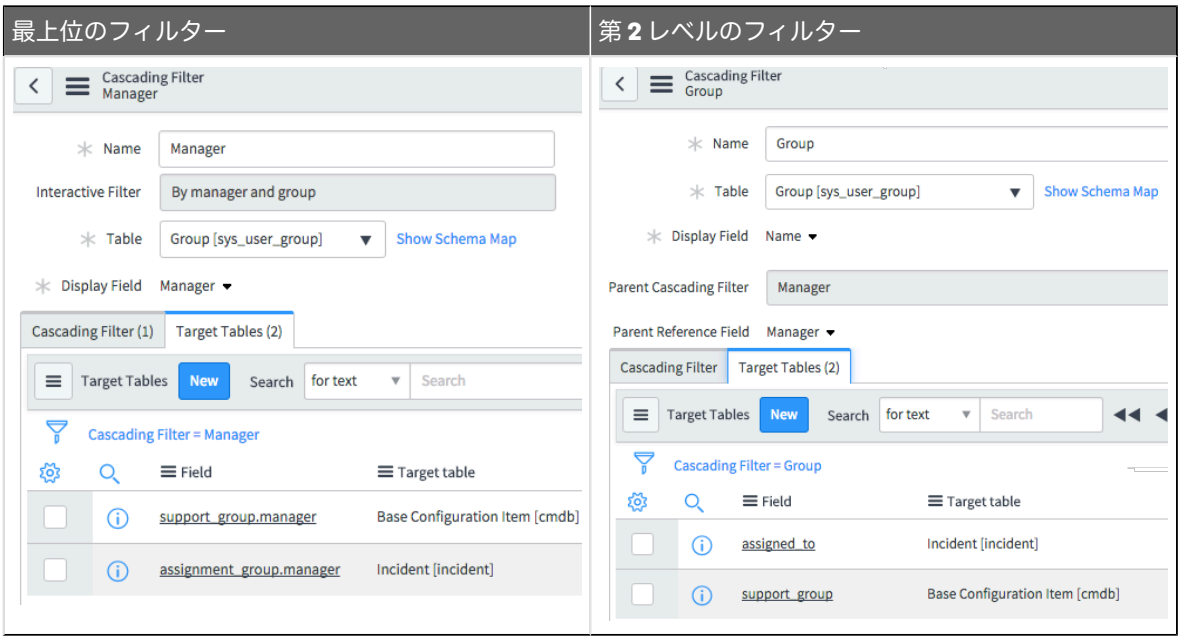
e. 前述の下位の手順を繰り返して、フィルタの各レベルのターゲットを追加します。
フィルターレベルごとに複数のターゲットを定義できます。たとえば、同じグループ [sys_user_group] フィルターを使用して、インシデントデータをアサイン先グループ別にフィルタリングしたり、CMDB CI をサポートグループ別にフィルタリングしたりします。

> **注:**
> カスケード フィルター階層ではターゲットを少なくとも 1 つ指定する必要があります。階層内のレベルをスキップするカスケード フィルターを定義したり、階層内の特定のレベルのターゲットのみを指定するカスケード フィルターを定義したりできます。たとえば、グループレベルのフィルターのターゲットのみを定義し、マネージャーレベルのフィルターのターゲットは定義しません。この例では、ユーザーがマネージャーのみではなく特定のグループを選択した場合にのみ、レポートがフィルターで絞り込まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、カスケード フィルターの例の詳細な構成を示しています。最上位のフィルターの [カスケード フィルター] 関連リスト (図示せず) には、第 2 レベルのフィルターが含まれています。



次のタスク

1. すべてのレベルのフィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。
2. ダッシュボードで、フィルターに従う必要があるダッシュボード上の各ビジュアライゼーションの [ウィジェットの編集] アイコン ( ) を選択し、[インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。

カスケード フィルターの重複排除

[フィルター] パネルをクリーンアップする必要がないように、重複したフィルターは自動的に削除されます。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

- 構成が同じ場合は、最後に編集したフィルタが保持されます。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。
- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター

拡張テーブルに適用するインタラクティブ フィルターを作成する場合は、フィルターをデータベース ビューと階層内の他のテーブルに適用することもできます。階層には、すべての親、子、および兄弟テーブルが含まれます。

インタラクティブ フィルターを作成すると、次のことを実行できます。

階層内のすべてのテーブルを選択する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソーステーブルがインシデントの場合、インタラクティブフィルターはインシデントに適用されます。その親テーブル、タスク。問題と変更を含むすべての兄弟テーブルに

この選択を尊重するために、[インタラクティブフィルター参照] セクションで可能なターゲットを指定します。

[Apply filter to both database views **and tables**] を選択します。

ソース テーブルがインシデントの場合、インタラクティブ フィルターは、インシデントと [incident_sla] などのデータベース ビューの両方に適用されます。

この選択を尊重するために、[インタラクティブフィルター参照] セクションで可能なターゲットを指定します。

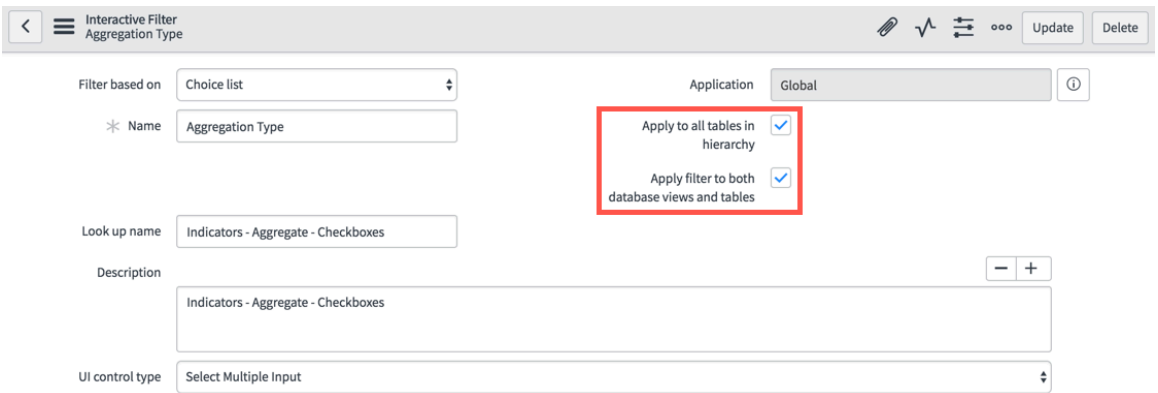
両方のチェック ボックスをオンにする

インタラクティブ フィルターは、階層内のすべてのテーブルとデータベース ビューに適用されます。

どちらのチェック ボックスもオンにしない

インタラクティブ フィルターは、インシデントなどのソース テーブルにのみ適用されます。

注:
これは、インタラクティブ フィルター作成時のデフォルト設定です。



拡張テーブルに適用されるインタラクティブ フィルターは、階層内の他のテーブルにも適用されます。

注:
データベース ビューに適用されるインタラクティブ フィルターは、データベース ビューのソース テーブルの兄弟テーブルに自動的には適用されません。たとえば、[problem_sla] が、[task_problem] テーブルに基づいて作成されたデータベース ビューの場合、[problem_sla] に適用されるインタラクティブ フィルターは、両方のオプションをオンにしている場合でも、[task_problem] の兄弟テーブルである [task_change] テーブルに基づくウィジェットに自動的には適用されません。

利用可能なインタラクティブ フィルターの **UI** コントロール タイプ

インタラクティブ フィルターの **[UI** コントロール タイプ] フィールドには、フィルターを表示するためのいくつかのオプションがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な **UI** コントロール タイプ

UI コントロール タイプ	説明
ラジオ ボタン	各フィルター オプションをラジオ ボタンとして表示します。ユーザーはラジオ ボタンを一度に 1 つだけ選択できます。
チェック ボックス	各フィルター オプションをチェック ボックスとして表示します。ユーザーは一度に任意の数のチェック ボックスを選択できます。
単一の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは選択肢を一度に 1 つだけ選択できます。
複数の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは一度に任意の数の選択肢を選択できます。選択した選択肢の横にある X をクリックすると、その選択肢の選択が解除されます。

注:

[チェック ボックス] または [複数の入力を選択] コントロール タイプを使用して複数の値を選択する場合、フィルターの動作はフィルターのタイプによって異なります。選択フィルターでは AND クエリが使用されます。つまり、レコードはすべての条件に一致する必要があります。日付および参照フィルターでは OR クエリが使用されます。つまり、レコードは指定された条件のうち少なくとも 1 つに一致する必要があります。

パフォーマンスに問題がある場合は、フィルターのコントロール タイプを [チェックボックス] から [複数の入力を選択] に変換することもできます。

ダッシュボードのインタラクティブフィルター

インタラクティブフィルターをダッシュボードに追加することで、ユーザーがインタラクティブフィルターを利用できるようにすることができます。

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットはインタラクティブフィルターに従いません。ブレークダウンダッシュボードコントロールを使用して、同じブレークダウンソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

インタラクティブ フィルター ウィジェットをレスポンシブ ダッシュボードに追加する

インタラクティブ フィルターをダッシュボードに追加して、そのダッシュボードのレポートにフィルターを適用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user ウィジェットを追加するダッシュボードへの編集アクセス権が必要です。

このタスクについて

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテー

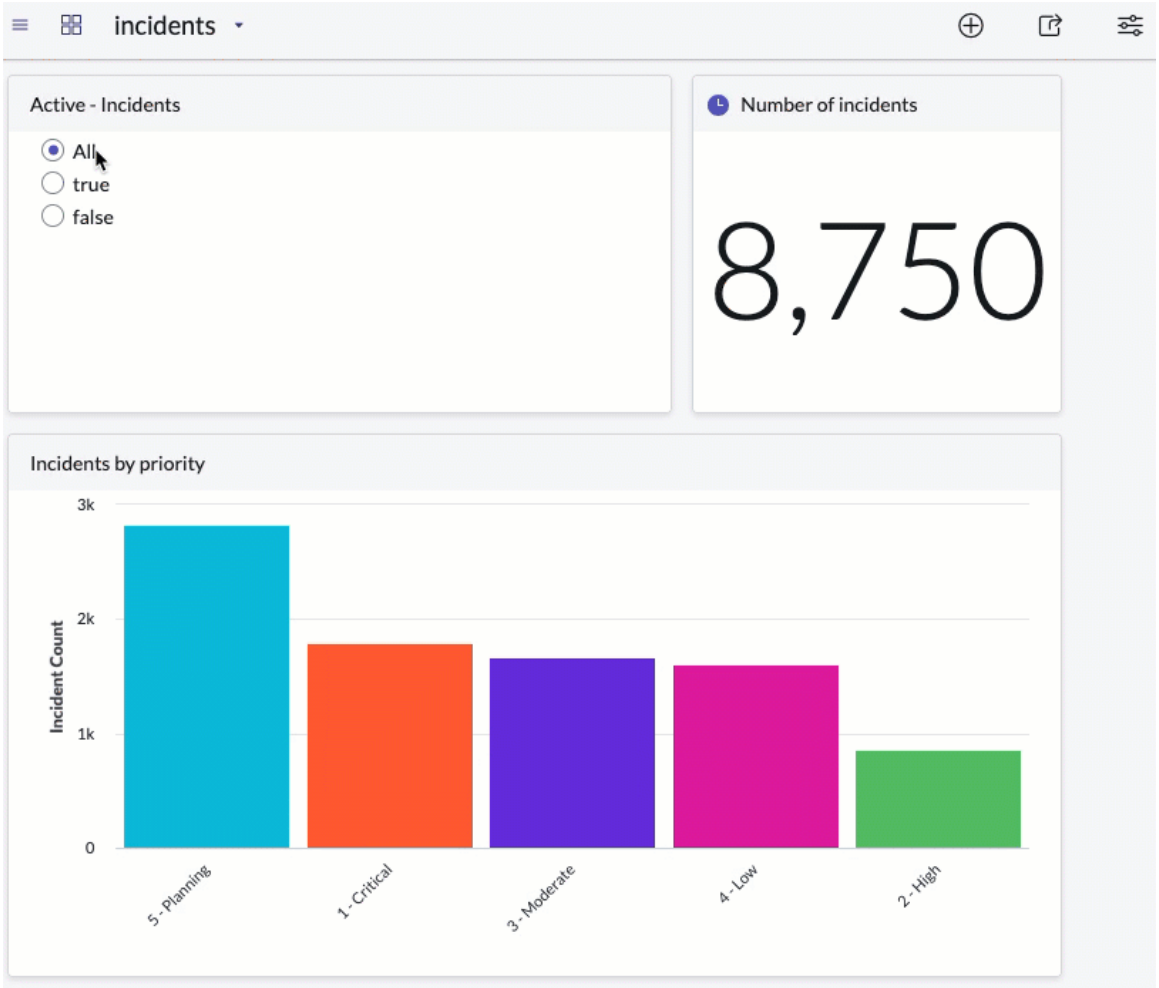
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

使用可能なインタラクティブフィルターの詳細については、「 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ」を参照してください。このトピックでは、さまざまなフィルターの作成と構成について詳しく説明します。

このアニメーションでは、2 つの可視化とインタラクティブフィルターはすべてインシデントテーブルに基づいています。どちらの可視化もフィルターに従うように構成されています。いずれかのフィルターオプション (この場合は [アクティブ] が true、[アクティブ] が [false]、または [すべて]) を選択すると、両方の可視化が更新され、選択内容に従います。



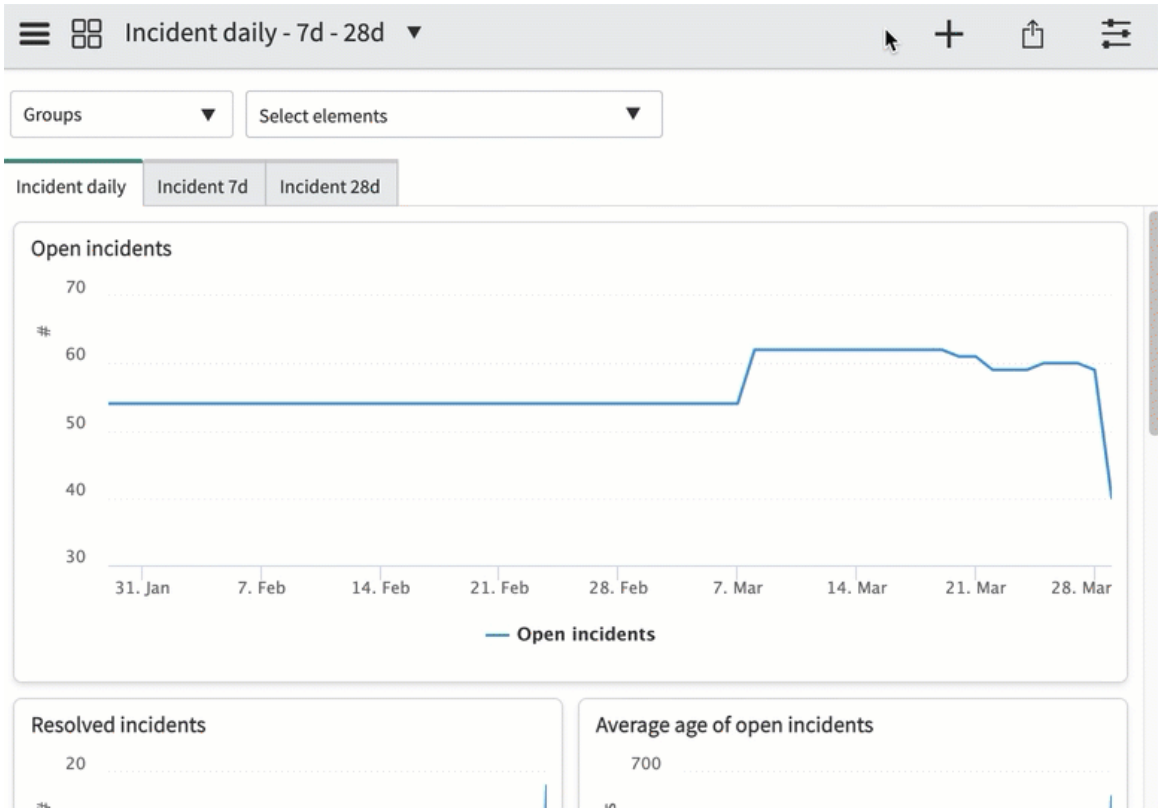
手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. コンテンツを追加アイコン (+) をクリックします。
3. [インタラクティブ フィルター] を選択します。
4. 追加するフィルターのタイプ ([選択リスト]、[参照]など) を選択します。
5. 追加するフィルターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [追加] をクリックするか、フィルターをダッシュボードにドラッグします。



ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボード上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンを、ダッシュボード上のレポートのインタラクティブフィルターとして機能するように構成することができます。ダッシュボードは、ブレークダウンダッシュボードとして構成する必要があります。

始める前に

ダッシュボードは、レポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの両方で構成する必要があります。ダッシュボードにブレークダウンソースを追加するで説明されているように、ダッシュボードには、パフォーマンスアナリティクスウィジェットがフォローするブレークダウンソースが少なくとも 1 つ構成されている必要があります。最後に、ダッシュボードには、ブレークダウンソースの 1 つと同じテーブルに基づくインタラクティブフィルターが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

ダッシュボードで ブレークダウン とブレークダウン要素を選択すると、その要素を使用して、インタラクティブフィルターで定義されたフィルタリングルールに基づいてダッシュボードのレポートをフィルタリングできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード.
2. インタラクティブフィルターとして機能させるブレークダウンを含むダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト 、[ダッシュボードプロパティ] を選択します。
4. [ブレークダウンソース] 関連リストで、インタラクティブフィルターとして使用するブレークダウンソースを見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 各ブレークダウンソースの [フィルターとして機能] フィールドで、そのブレークダウンソースを使用するインタラクティブフィルターを選択します。

   注:
   [ブレークダウンソース] リストに [フィルターとして機能] 列がない場合は、リストをカスタマイズして追加します。詳細については、「 v2 リストのカスタマイズ 」を参照してください。

   ブレークダウン ソースの [ファクト テーブル] は、インタラクティブ フィルターのベースとなっているテーブルに合わせる必要があります。

   たとえば、HR.Groups.Active というブレークダウン ソースの場合は、グループ [sys_user_group] テーブルの参照フィールドのインタラクティブ フィルターを使用します。ブレークダウン ソース HR.Groups.Active からのブレークダウン要素は、他のテーブルのインタラクティブ フィルター (選択肢や日付フィールドに基づくインタラクティブ フィルターなど) では有効な選択肢にはなりません。

   注:
   バケット グループに基づくブレークダウン ソースをインタラクティブ フィルターとして使用することはできません。

6. **[Update** (更新)] をクリックします。
7. ダッシュボードのレコードで、[ダッシュボードを表示] をクリックします。
8. [+] アイコンをクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
9. インタラクティブフィルターに従うレポートごとに、次の手順を実行します。
   a. 歯車 、[ウィジェットの編集] ウィンドウを開きます。
   b. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   c. オプション: [フィルターに従うときに表示] を選択すると、ウィジェットがインタラクティブフィルターに従っているときにウィジェットタイトルの横にフィルターアイコンが表示されます。
10. [完了] をクリックします。

タスクの結果
選択したブレークダウンは、ダッシュボードのレポートでインタラクティブフィルターとして機能します。

注:
パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのウィジェットはインタラクティブフィルターに従いません。ブレークダウンダッシュボードコントロールを使用して、同じブレークダウンソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

インタラクティブ フィルターに従ったレポートを作成する

インタラクティブフィルターをダッシュボードに追加すると、インタラクティブフィルターからの入力を受け入れるようにダッシュボード上のレポートを設定できます。たとえば、インシデントテーブルの [アクティブ] フィールドにフィルターを追加します。インシデントテーブルのレポートでは、そのフィルターからユーザーの選択を反映させることができます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブフィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
3. レポートウィジェットで、[ウィジェットを編集] アイコン ( ) を選択します。
4. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   このオプションは、すべてのレポートウィジェットで使用できます。[インタラクティブフィルターに従う] オプションが表示されない場合、ウィジェットはリスト、PA、またはその他のレポート以外のウィジェットです。
5. レポートが対話型フィルターに従っているときに、レポートの左上隅にフィルター アイコン ( ) を表示するには、 フォロー時に表示 を選択します。
6. **[Done** (完了)] を選択します。
7. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク

1 つまたは複数のインタラクティブフィルターをダッシュボードに追加します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

レポートをインタラクティブ フィルターとして機能させる

既存のレポートウィジェットを構成して、同じダッシュボード上の他のレポートウィジェットをフィルタリングすることができます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user。
タイプ値が円グラフ、ドーナツグラフ、半ドーナツグラフ、じょうごグラフ、またはピラミッド型のレポートのみがインタラクティブフィルターとして機能します。

注:
レポートがインタラクティブフィルターとして機能している場合、レポートのセグメントにドリルダウンすることはできません。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
   - レスポンシブでないダッシュボードで、[編集] を選択します。
   - レスポンシブダッシュボードで、共有アイコン ( ) をクリックします。
3. レポート ウィジェットの上部をポイントし、[ウィジェットの編集] アイコン ( ) をクリックします。
4. [インタラクティブ フィルターとして機能] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このフィールドは、フィルターとして機能できるレポートでのみ使用できます。タイプ値が円グラフ、ドーナツグラフ、半ドーナツグラフ、じょうごグラフ、またはピラミッドグラフのレポートのみがフィルターとして機能します。

> **注:**
> レスポンシブキャンバス機能が非アクティブな場合、インタラクティブフィルターとして機能するレポートのセグメントをユーザーが連続してクリックしても、フィルタリングに遅延は発生しません。

5. **[Done** (完了)] を選択します。
6. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク

レポート内のデータのサブセット (円グラフの円グラフのスライスなど) を選択して、同じテーブルのすべての登録者レポートをフィルタリングします。同じテーブルに基づくダッシュボードのすべてのレポートには、そのデータのサブセットに関する情報のみが表示されます。

ダッシュボード タブですべてのインタラクティブ フィルターをリセットする

ダッシュボードタブで適用されているすべてのフィルターをリセットして、デフォルト値またはフィルタリングされていないデータを表示します。

始める前に

必要なロール：なしダッシュボードへのアクセス権が必要です。

このタスクについて

> **注:**
> フィルターにデフォルト値がある場合、フィルターをリセットすると、そのフィルターは完全にクリアされるのではなく、デフォルト設定に戻ります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > ダッシュボード.
2. リセットするダッシュボードとタブを選択します。
3. コンテキストメニュー ( ) をクリックし、[フィルターをリセット] を選択します。

カスタムの インタラクティブ フィルター

管理者は、スクリプトによるインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボード レポートに高度なフィルター オプションを提供することができます。

カスタムインタラクティブフィルターを使用すると、フィルターインターフェイスとフィルタリングロジックを制御できます。特定のニーズに合ったフィルターを作成します。カスタムインタラクティブフィルターには、1 回のクリックで複数の一般的なフィルター操作を実行するフィルターが含まれます。

カスタムフィルターは、`DashboardMessageHandler` JavaScript クラスを使用してレポートフィルターを定義および公開する、スクリプト化されたシステム **UI** ウィジェットです。

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_adminロールは、コア UI でインタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクス エクスペリエンスに移行されるコア UI フィルターを管理するためのanalytics_filter_adminロールが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
カスタムインタラクティブフィルター用に公開された API は制限されており、標準のインタラクティブフィルターと同等の機能を提供しません。カスタムインタラクティブフィルターを実装する前に、 カスタムインタラクティブフィルターの制限を確認してください。

テーブル API のアクセス制御リストにより、ダッシュボードのフィルタリング時に表示されるレコードが制限される場合があります。この問題を軽減するには、テーブル API アクセス制御リストにユーザーまたはロールを追加します。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

フィルターを公開するコードは、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` メソッドを呼び出す必要があり、 `dashboardMessageHandler.publishFilter()` メソッドを呼び出してフィルターを公開する必要があります。

Jelly を使用して、利用可能なボタンなどのウィジェットの外観を定義します。

同じダッシュボードに複数のカスタムインタラクティブフィルターを追加できます。フィルターには、フィルターオブジェクトに一意の ID があり、 DashboardMessageHandlerに一意の ID が必要です。

カスタムインタラクティブフィルターの例

管理者は、カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボードに高度なフィルター オプションを提供することができます。

ユースケース

この例では、タスクテーブルまたはその子テーブルのレポートをフィルタリングするカスタムフィルターを作成する方法について詳しく説明します。フィルターでは、現在のユーザーが発信者であるレコードのみが表示されます。フィルターにより、2 つのボタンがユーザーに公開されます。1 つはフィルターを追加するボタンで、1 つはフィルターを削除するボタンです。

関連情報

- コンテンツブロックを構成する
- UI スクリプト
- Jelly のタグ
- DashboardMessageHandler

カスタムインタラクティブフィルターウィジェットの作成

ダッシュボードに高度なフィルタリングオプションを提供するカスタムインタラクティブフィルターウィジェットを作成します。

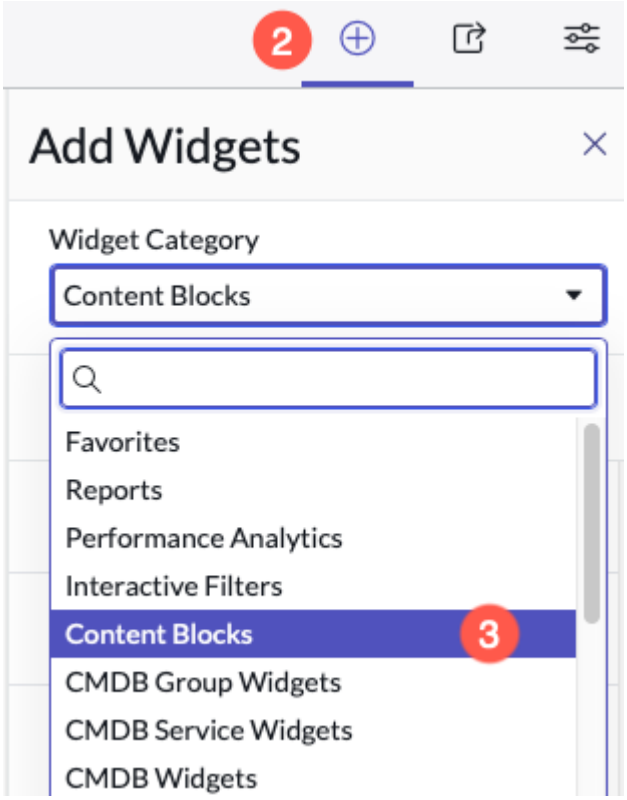
始める前に
必要なロール：admin

手順

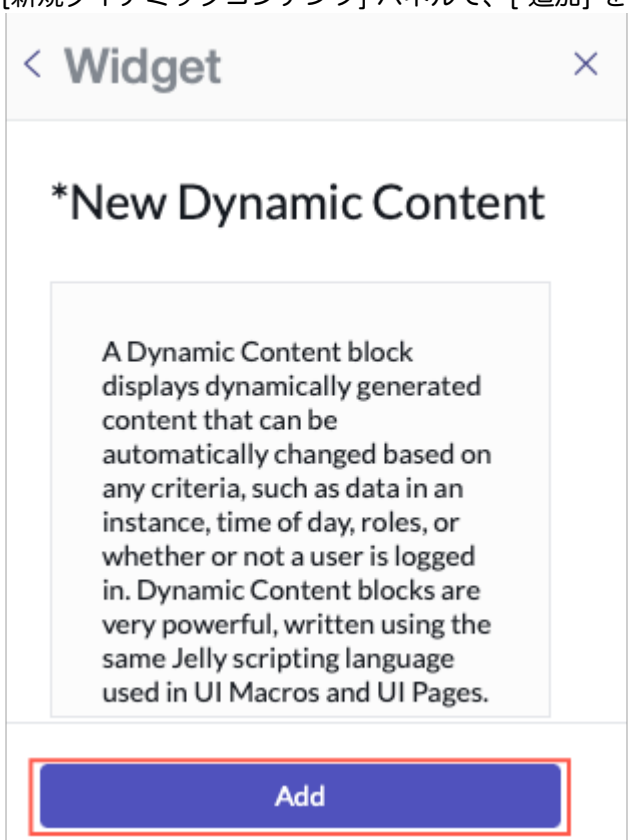
1. カスタムインタラクティブフィルターを追加するダッシュボードを開きます。
2. コンテンツの追加アイコン (⊕) をクリックします。
3. [ウィジェットカテゴリ] リストから [コンテンツブロック] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. コンテンツブロックのリストから、[新しいダイナミックコンテンツ] を選択します。
5. [新規ダイナミックコンテンツ] パネルで、[追加] をクリックします。

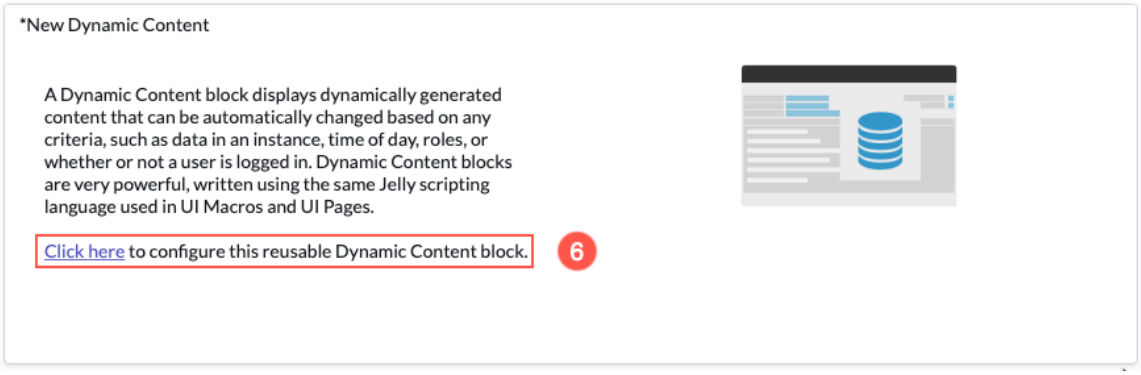


新しいダイナミックコンテンツブロックがダッシュボードに追加されます。

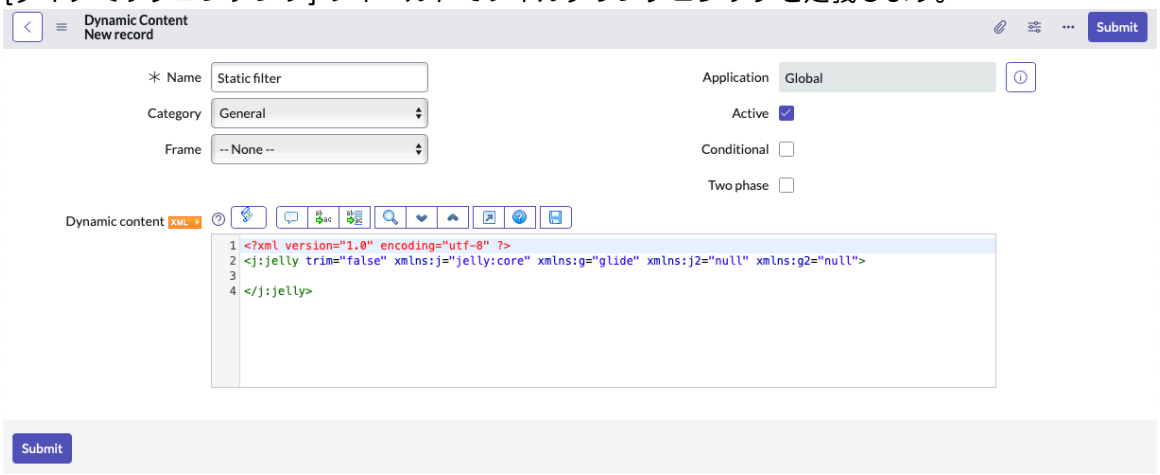
6. ダッシュボードで、[この再利用可能なダイナミックコンテンツブロックを構成するには、ここをクリックしてください] というリンクをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [ダイナミックコンテンツ] フィールドでフィルタリングロジックを定義します。



次のタスク
フィルタリングロジックを定義します。

カスタム日付/時刻フィルターオプションの作成

標準的な日付/時刻フィルターオプションの選択がニーズを満たさない場合は、カスタムオプションを作成できます。

始める前に

次の手順に従って、ダッシュボードで使用する日付/時刻ベースのインタラクティブフィルターに含めることができるカスタム日付/時刻フィルターオプションを作成します。この例では、2 週間 2 週間の期間のフィルターオプションを作成します。

必要なロール：admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > ビジネスルール.

2. ビジネスルール「日付フィルターの日付フィルターオプションを取得」を開きます。
このルールは、新規または既存の日付タイプのインタラクティブフィルターのフォームで選択可能なオプションのリストを入力します。

3. [詳細] タブで、[スクリプト] フィールドを変更し、新しいオプションを追加するために必要な JavaScript を含めます。
次の行を追加します。

```
answer.add('<Time_Period_Name>@javascript:<Beginning_Time_Period>@javascript:<Ending_Time_Period>', gs.getMessage('<Textual_Representation_Of_Time_Period>'));
```

4. 追加した行で、次のように置き換えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
<Time_Period_Name>	選択した期間の一意の名前。この文字列は、オプションを識別するためにシステムによって内部的に使用され、記述された期間を記述できるものに設定されます。 [Fortnight] 112_Last値を入力します。
<Beginning_Time_Period>	このフィルターが開始される特定の日時。この値には、絶対値または相対値を使用できます。JavaScript URL 構文を使用する相対値を使用する方がはるかに一般的です。 値 gs.daysAgoStart(14) を入力して、この選択の時間間隔がちょうど 2 週間前であることを示します。
<Ending_Time_Period>	このフィルターオプションの期間を終了する特定の日時。この値には、絶対値または相対値を使用することもできます。*Beginning_Time_Period*と同様に、この値は通常、JavaScript URL 構文を使用するための相対的な期間です。 期間が現在の日時で終了することを示す値 gs.daysAgoStart(0) を入力します。
<Textual_Representation_Of_Time_Period>	アルファベットの昇順で表示される日付/時刻フィルターオプションのリストに表示される短いテキスト文字列。 「Last fortweeknight」と入力して、この選択が現在の日時の 1 週間前からの期間を指定することを示します。

声明の全文は次のとおりです。

```
answer.add('112_Last
 Fortnight@javascript:gs.daysAgoStart(14)@javascript:gs.daysAgoEnd(0)',
 gs.getMessage('Last fortnight'));
```

5. [更新] を選択して、ビジネス ルールへの変更を保存します。
6. 日付/時刻フィルターを編集または作成するときに、新しいオプションが使用可能であることを確認します。

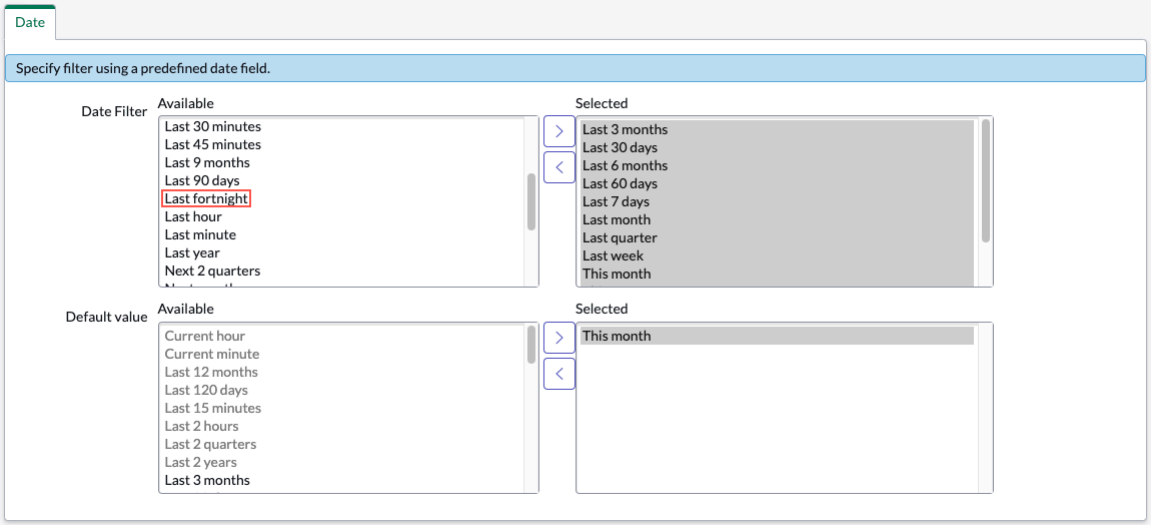
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > アドミニストレーション > インタラクティブ フィルター.

   b. 日付フィルターを選択します。

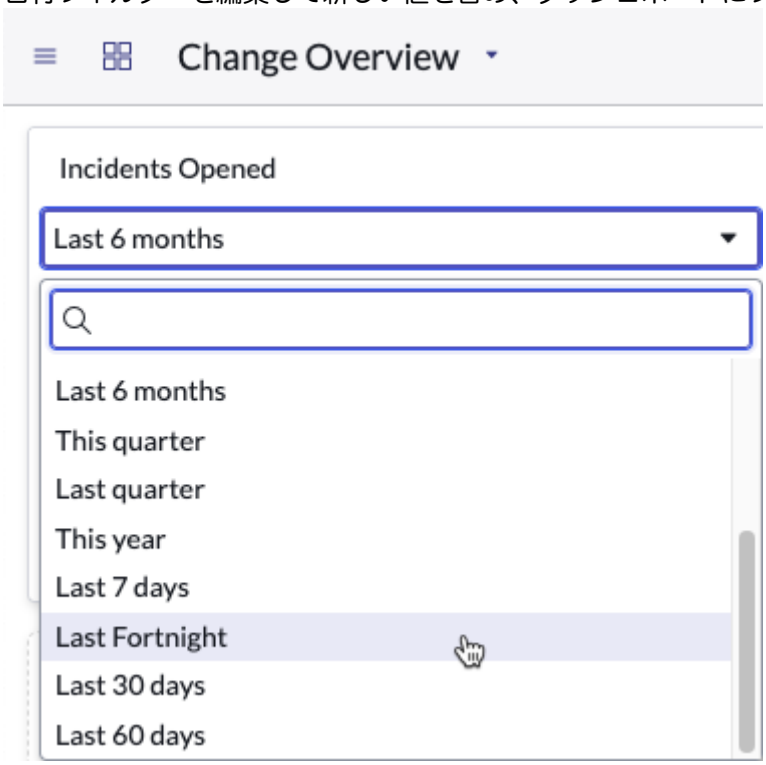
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なフィルターには 、[過去 **2** 週間] が含まれます。



7. 日付フィルターを編集して新しい値を含め、ダッシュボードにフィルターを追加します。



フィルタリングロジックの定義 - 例

インタラクティブフィルターを作成したら、フィルタリングロジックを追加します。

始める前に

必要なロール：admin

フィルターは、 `DashboardMessageHandler` クラスを使用してアクティブなフィルターを管理します。一意の値で `DashboardMessageHandler` をインスタンス化します。

注:
カスタムインタラクティブフィルターの ID は一意である必要があります。別のインタラクティブフィルターまたはカスタムインタラクティブフィルターと同じ ID を持つ場合、フィルタリングロジックは正しく機能します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 動的コンテンツレコードで、動的コンテンツ XML ブロックにフィルタリングロジックを追加します。
2. [採掘のみ] ボタンは、エンコードされたクエリ caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477feを使用してタスクテーブルレポートにフィルターを公開します。
   [すべてのタスク] ボタンは、フィルターを削除します。
3. その後、ボタンやその他のインターフェイス要素を動的コンテンツに追加できます。この例では、clearFilter() 関数のコードとフィルター内のボタンが publishFilter() 関数の下に追加されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
 <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

   function publishFilter () {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";

   <!--     Add your own filter query logic here -->
      filter_message.filter = "assigned_toDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
      my_dashboardMessageHandler.publishFilter(filter_message.table, filter_message.filter);
   }

   function clearFilter() {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";
      filter_message.filter = "";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
      my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
   }
 </script>

Example of a filter that generates a static filter on 'task' table reports, or removes it <br/>
   <input id="allTasks" type="button" value="All tasks" onclick="clearFilter();" />
   <input id="onlyMine" type="button" value="Only mine" onclick="publishFilter();" />

</j:jelly>
```

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

カスタムインタラクティブフィルターは、動的コンテンツブロックを追加したダッシュボードに表示されます。また、[ウィジェットを追加] パネルのコンテンツブロックのリストにも表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムインタラクティブフィルターの例 - 複数のレポート

カスタムインタラクティブフィルターを使用すると、異なるテーブルを使用して複数のレポートをフィルタリングできます。単一のテーブルまたは複数のテーブルのインタラクティブフィルターを公開するための 2 つの異なる API があります。この例では、カスタムインタラクティブフィルターを使用して、インシデントテーブルと問題テーブルに関するレポートをアサイン先グループ別にフィルタリングします。

複数のテーブルのカスタムインタラクティブフィルターについて

カスタムインタラクティブフィルターを作成するときは、次の点に注意してください。

- 1 つのテーブルにのみ適用されるカスタムインタラクティブフィルターは、関数 `DashboardMessageHandler.publishFilter()` を使用します。
- 複数のテーブルに適用されるカスタムインタラクティブフィルターは、関数 `DashboardMessageHandler.publishMessage()` を使用します。
- 公開する前に、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` 関数へのインタラクティブフィルター呼び出しが必要です。
- フィルターをリセットする前に、 `SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue()` または `DashboardMessageHandler.removeFilter()` 関数を呼び出す必要があります。

`publishFilter()` メソッドを複数回呼び出すカスタムインタラクティブフィルターは、関連するレポートを同じ回数更新します。このメソッドを繰り返し呼び出すと、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

複数のテーブルにカスタムインタラクティブフィルターを適用する方法

次の例では、インシデント [incident] テーブルと問題 [problem] テーブルのアサイン先グループでレポートをフィルタリングします。

`DashboardMessageHandler.publishMessage()` は、複数のフィルターをアレイとして受け入れます。フィルターアレイを構築してから、`DashboardMessageHandler.publishMessage([filters])` を呼び出す `DashboardMessageHandler` の単一のインスタンスを作成します。この方法では、ウィジェットは 1 回だけ更新されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<j:jelly xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:g2="null" xmlns:j2="null" trim="false">
  <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

function publishMultipleFilter() {
    <!-- Mutliple filters can be passed as an array -->
    var finalFilter =
 [{"table":"incident","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"},
 {"table":"problem","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"}];
    <!-- call setDefaultValue first -->
    SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
id: my_dashboardMessageHandler._unique_id,
filters: finalFilter,
}, false);
    <!-- then call Publishmessage to publish filters-->
    my_dashboardMessageHandler.publishMessage(finalFilter);
}
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
function clearFilter() {
SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue(my_dashboardMessageHandler._unique_id,
 false);
my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
}
  </script>

Example of a filter that filters incident and problem table where the assignment group is
 Problem solving
  <input id="allTasks" type="button" value="All" onclick="clearFilter();" />
  <input id="onlyMine" type="button" value="Assignment group is [Problem solving]"
 onclick="publishMultipleFilter();" />
</j:jelly>
```

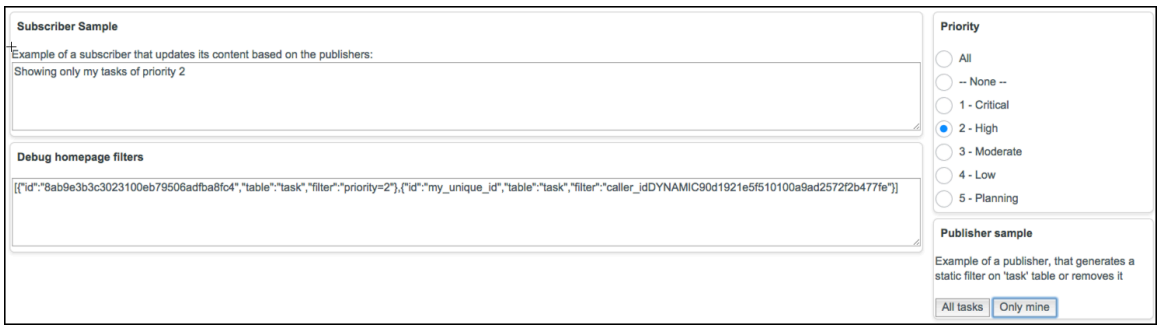
デバッグフィルターの使用

デバッグインタラクティブフィルターは、カスタムフィルターの作成に役立ちます。このフィルターは、すべてのアクティブなフィルターの JSON アレイ表現をダッシュボードに表示します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デバッグフィルターを使用するには、ダッシュボードに追加します。デバッグ フィルターは読み取り専用で、カスタムのインタラクティブ フィルターの設計と実装を支援するためのものです。

複数のフィルターがあるデバッグ フィルター



手順

1. ダッシュボードで、[ウィジェットを追加] ( ) アイコンをクリックします。
2. [ウィジェットを追加] パネルで、ウィジェットカテゴリ [インタラクティブフィルター] とウィジェット **{Debug}** を選択します。
3. [デバッグフィルター] リストで、[ホームページフィルターのデバッグ] を選択し、[追加] をクリックします。

タスクの結果
デバッグウィジェットがダッシュボードに追加されます。

カスタムインタラクティブフィルターの制限

カスタムインタラクティブフィルターは、標準のインタラクティブフィルターが特定の機能を提供しない場合に使用するフォールバックです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
カスタムインタラクティブフィルター用に公開された DashboardMessageHandler API は制限されており、標準のインタラクティブフィルターとのパリティを提供しません。API はこれらの機能をサポートしていません。

サポートされていないカスタムインタラクティブフィルター機能

デフォルトのフィルター値の設定

カスタムインタラクティブフィルターの作成者は、デフォルトのフィルター値を選択することはできません。

ウィジェットの更新時にフィルター値を保持する

ウィジェットの更新アイコン ( ) をクリックしてそのコンテンツを更新するか、コンテキストメニューから [更新] を選択すると ( )、カスタムインタラクティブフィルターの値は保持されません。

カスタムフィルター値/すべてのフィルター値のリセット

コンテキストメニュー ( ) から [フィルターをリセット] を選択しても、カスタムインタラクティブフィルターは変更されず、引き続き適用されます。

ページのロードまたはタブ切り替え時のフィルター値の設定

ユーザーがタブを切り替えたり、新しいダッシュボードを開いて最初のダッシュボードまたはダッシュボードタブに戻ったりしても、カスタムインタラクティブフィルター値が保持されません。

タブへの同じカスタムインタラクティブフィルターの複数のインスタンスの追加

タブに同じカスタムインタラクティブフィルターのインスタンスが複数あると、予期しない動作が発生する可能性があります。

注:
カスタムインタラクティブフィルターの値は、タブ間で保持されません。同じダッシュボード上の複数のタブの値をフィルタリングするには、各タブにカスタムインタラクティブフィルターを追加する必要があります。

カスタムインタラクティブフィルターの削除に関するレポートの登録解除

ダッシュボードのカスタムインタラクティブフィルターに従うレポートは、そのフィルターがダッシュボードから削除されても、引き続きそのフィルターに従います。

[PDF エクスポート] のウィジェットのフィルタリング

ダッシュボードとホームページにウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。 エクスポートされた PDF で、カスタムインタラクティブフィルターを使用してフィルタリングされたレポートウィジェットが空白の正方形として表示されるか、ウィジェットコンテンツがフィルターに従って表示されない場合があります。

カスタムインタラクティブフィルターをブレークダウンダッシュボードで使用することはできません

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウン自体を使用して、すべてのパフォーマンスアナリティクスウィジェットデータがフィルタリングされます。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

DashboardMessageHandler

インタラクティブフィルターのカスタムフィルタリングロジックを定義するメソッドを提供します。

インタラクティブフィルターの詳細については、「 レポート と インタラクティブフィルター」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

DashboardMessageHandler:DashboardMessageHandler (文字列 ID)

特定の一意の ID を使用して、DashboardMessageHandler オブジェクトのインスタンスを作成します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	フィルターの一意の ID。レポートウィジェットでこの ID を使用して、どのフィルターがどのフィルターに適用されたのかを追跡できます。ID はすべてのダッシュボードで一意である必要はありませんが、各ダッシュボードで同じ ID を持つ複数のフィルターを使用することはできません。

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
```

DashboardMessageHandler - publishFilter(String table, String encodedQuery)

DashboardMessageHandler オブジェクトは、それぞれ 1 つずつフィルターを公開できます。

同じオブジェクトから新しいフィルターを公開すると、元のフィルターが上書きされます。複数のフィルターを公開するには、複数の DashboardMessageHandler オブジェクトを使用します。

パラメータ

名前	タイプ	説明
table	文字列	フィルターを適用するテーブル (タスクなど)。
encodedQuery	文字列	公開するフィルターを指定するエンコードされたクエリー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="onlyMine" type="button" value="Only mine"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.publishFilter('task','caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe');"/>
```

DashboardMessageHandler - publishMessage (アレイフィルター)

複数のテーブルにカスタムインタラクティブフィルターを適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィルター	アレイ	フィルターするテーブルとフィルター基準を定義するフィルターオブジェクトのアレイ。 `[ { "table": String, "filter": String`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
		}]
filters.table	文字列	フィルタリングするテーブルの名前。
filters.filter	文字列	テーブルに適用するフィルター基準を含むエンコードされたクエリ。

戻り値

タイプ	説明
なし	

この Jelly スクリプトは、インシデントテーブルと問題テーブルをフィルタリングして、アサイン先グループが問題解決であるレコードを返します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
<script>
 var dmh = new DashboardMessageHandler("aha_dmh");
 var filter = "cmdb_ci.sys_idINcdafbfc9db8f570466e0a345ca96198a";
 //this is the encoded query string
 var fullFilter = dmh.getFilterMessage('change_request',filter);
 //creates a JSON object

 SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({id: dmh.aha_dmh, filters:[fullFilter],}, false);
 var published = dmh.publishMessage([fullFilter]);
</script>

</j:jelly>
```

DashboardMessageHandler - removeFilter()

この DashboardMessageHandler オブジェクトによって公開されている現在のフィルターを、ダッシュボード上のすべてのレポートから削除します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="removeFilter" type="button" value="Remove filter"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.removeFilter();"/>
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

動的 JavaScript フィルター

指定された値の代わりに、レポート可視化の条件の一部として構成できる動的条件を JavaScript で作成します。

動的条件ステートメントを使用してレポートを作成するには、フィルターの条件値ステートメントに JavaScript URL を配置します。JavaScript コマンドをフィールドに直接入力できますが、複数のステートメントより長いスクリプトでは、スクリプトを独自のレコードに配置する必要があります。次に、レポート条件の値フィールドでそのレコードから関数を呼び出します。

動的 JavaScript フィルターの追加

レポートビジュアル化のフィルター基準の一部として、評価用の動的 JavaScript ステートメントを追加します。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

JavaScript フィルターは、単一行のステートメントまたはより長いスクリプトにすることができます。長い JavaScript ステートメントの場合は、正しい形式とデータ型を返し、レポートでフィルタリングする必要がある特定のデータに準拠し、クライアント呼び出し可能なスクリプトインクルードを作成します。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。

手順

1. 次のいずれかのアクションを実行します。
   - プラットフォームアナリティクスに完全に移行されていないアップグレードされたインスタンスで、次の場所に移動します: **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
   - 新しいインスタンス、または プラットフォームアナリティクス に完全に移行されたインスタンスで、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 使用とガバナンス > レポート.
2. 動的フィルターを追加するレポートの可視化を開きます。
3. フィルターアイコン ( ) を選択して、条件ビルダーを展開します。
4. フィルター条件を作成します。
   これらのフィールドタイプと演算子の組み合わせにより、動的な JavaScript ステートメントを指定できます。

   注:
   - 「between」演算子は、同じまたは異なる JavaScript URL をサポートできる 2 つのフィールドを提供します。
   - 「is」演算子は、予想されるタイプのデータ要素の配列を返すことができます。この場合、演算子は「is one of」演算子として扱われます。

フィールドタイプ	許可される演算子	予期される戻り値のデータタイプ
Sys ID (GUID)	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、	sys_id値の完全または一部をテキストで表現します。 「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、sys_id値のコンマ区切りリストか、結果に含める必要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可される演算子	予期される戻り値のデータタイプ
	「次の値の間」、「次の値以上」、「次の値以下」。	がある各sys_idを含む配列のいずれかです。
フリーテキスト文字列	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の値の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	1 つ以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合、予期される結果は、文字列値のカンマ区切りリストか、「is one of」検索値フィールドに含める各値を含むアレイのいずれかになります。
参照	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値の一部または値の一部を表す可能性がある 1 つ以上のテキスト文字。
文字列 (別のテーブルを参照)	「次の値を含む」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値の一部または値の一部を表す可能性がある 1 つ以上のテキスト文字。
ユーザー入力	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	テーブルまたはデータソース内のこのフィールドの一部のレコードの完全な値を表す可能性のあるテキスト文字。
テーブル名	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の値の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	システム内のテーブル名の全体または一部のテキスト表現。「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、テーブル名値のコンマ区切りリストか、結果に含める必要がある各テーブル名を含む配列のいずれかです。
テンプレート値	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	インスタンスで見つかったテンプレートに従って値を満たすテキスト文字。
ドメイン ID	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」	テーブルまたはデータソースのドメインフィールドで見つかった値または値の一部を表す可能性がある 1 つ以上のテキスト文字。
ユーザーロール	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	ユーザーロールの文字列値のテキスト表現。
ドメインパス	「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の値に一致しない」、「次の値のいずれかである」、「次の値以下」、「次の値以上」、「次の間」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドで見つかった値の一部または値の一部を表す可能性がある 1 つ以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合は、カンマで区切られたテキスト値のリスト、または含める必要がある各値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可される演算子	予期される戻り値のデータタイプ
		を含むアレイオブジェクトのいずれかです。
翻訳されたテキスト 翻訳 (変換) 済みフィールド	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の値の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	テキスト値。 「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、カンマで区切られたテキスト値のリストまたはテキスト値の配列のいずれかになります。
HTML HTML テンプレート	「次の値を含む」、「次の値を含まない」	このレポート基準で選択したフィールドのデータに対応する可能性があるテキスト値。
Email スクリプト	「次の値を含む」、「次の値を含まない」	[メールスクリプト] フィールドに含める必要がある値 (または入力しない値) を表すテキスト値。
スクリプト (平文) スクリプト (サーバー側) スクリプト	「次の値を含む」、「次の値を含まない」	[スクリプト] フィールドに含める必要がある値 (または入力しない値) を表すテキスト値。
短いテーブル名	「次の値に等しい」、「次の値ではない」	テキスト値 (40 文字未満)。 「is one of」演算子の場合、想定される戻り値の型は、テキスト値のコンマ区切りリストか、短いテーブル名を表す各テキスト文字を含む配列のいずれかです。
フィールド名	「次の値に等しい」、「次の値ではない」、「次の値のいずれかである」、「次の値で始まる」、「次の値で終わる」、「次の値を含む」、「次の値を含まない」、「次の値の間」、「次の値以上」、「次の値以下」	フィールド名の値全体または一部をテキストで表現します。 「次の値のいずれか」演算子の場合、想定される戻り値の型は、フィールド名値のカンマ区切りリストか、結果に含める必要がある各フィールド名を含む配列のいずれかです。

5. フィールドタイプと演算子を選択し、JavaScript ステートメントを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 1 行の JavaScript ステートメントの場合は、 javascript:<JavaScript_Statement>; の形式を使用します。
- スクリプトインクルードを呼び出す JavaScript ステートメントの場合は、 javascript:new <Record_Name>().<Function_Name>(); という形式を使用します。ここで、 Record_Name はスクリプトインクルードのレコード名に対応し、 Function_Name はフィルターで比較された値を返すスクリプトインクルード内の関数です。

注:
Javascript URL には、計算を実行して結果を返す関数に渡される 1 つ以上のパラメーターを含めることもできます。たとえば、スクリプトインクルードレコードに 2 つのパラメーターを渡す JavaScript 関数は、 javascript:new TextJSFilter().getGroupIDs("Professional Services","Sales"); と記述できます。

次のタスク
必要な JavaScript ステートメントと条件を追加し、レポートの残りの部分を構成したら、レポートをテストして、期待どおりの結果が返されて表示されることを確認します。

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

ウィジェットを使用すると、インジケータースコアの可視化を定義できます。ウィジェットはダッシュボードに表示されます。

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットは、トレンドライン、一連の列、円グラフなどの可視化にインジケーターを関連付けます。ウィジェット内では、インジケータースコアをブレークダウンでフィルターまたはグループ化できます。また、7 日間の合計などの時系列関数をスコアに適用することもできます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットを作成または編集するには、pa_admin または pa_power_user ロールが必要です。これらのロールは、ウィジェットをダッシュボードに追加するためにも必要です。ただし、どのユーザーであってもダッシュボードに追加されたウィジェットを表示できます。

注:
ユーザーが可視化を表示できない場合は、アドミニストレーターに連絡するようにユーザーに警告メッセージが表示されます。

ダッシュボードがそのように構成されている場合は、ダッシュボード上のすべてのウィジェットに適用されるダッシュボードのブレークダウン要素を選択できます。ダッシュボードのウィジェットでスコアをクリックすると、そのインジケーターにフォーカスされたアナリティクスハブが開きます。

注:
時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

丸め

10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

ウィジェットのタイプと作成の詳細

ウィジェットを作成する最初のステップは、作成するウィジェットのタイプを選択することです。この決定は、ウィジェットで達成しようとしているビジネスゴールに基づきます。

ウィジェットタイプ	目的	一般的な可視化
時系列ウィジェット	インジケータースコアの経時変化を示します。	線グラフによる可視化が最も一般的です。他の可視化は、スプライン、ステップ、縦棒、積み上げ縦棒、面、および相対比較です。
ブレークダウンウィジェット	ブレークダウンの要素によってインジケータースコアをグループ化します。	スコアカード、円と類似のグラフ、じょうごとピラミッド、縦棒と類似のグラフ、相対比較、線、パレート図、ピボット スコアカード、およびツリーマップ。
スコアウィジェット	集計インジケータースコアを表示します。ターゲットに対してインジケータースコアを表示できます。	最新スコア、角度ゲージ、リアルタイム スコア。
リストウィジェット	複数のインジケーターのメトリクスをリストします。	スコアカード、スパイダー ウェブ。
ピボットウィジェット	1 つのインジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンの要素でグループ化します。	ヒートマップ
テキストアナリティクス	ユーザーがフォームに入力するテキストの単語の頻度とグループ化をチャート化します	ワードクラウド
ワークベンチウィジェット	ワークフローやその他のプロセスを監視するために、複数のインジケーターとその関係を示します。	ワークベンチ

ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

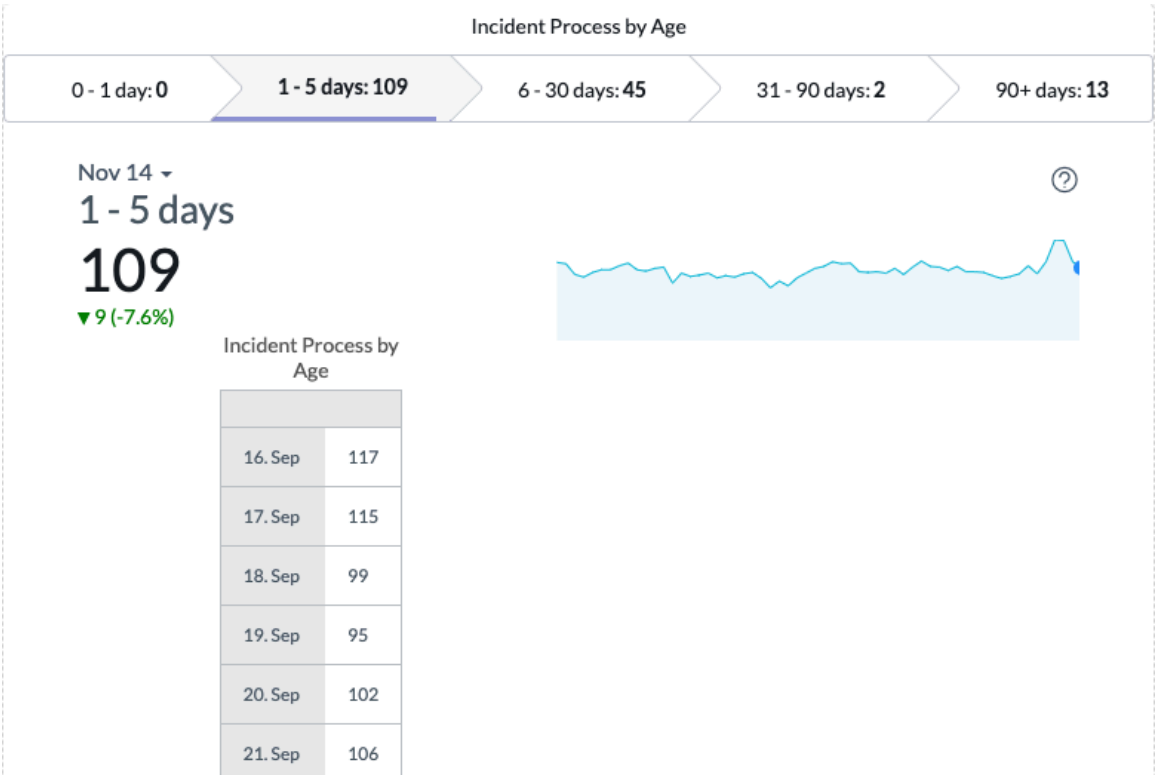
さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

ウィジェットのアクセシビリティのデータテーブル

[設定] で有効にしている場合 アクセシビリティ > チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にするの場合、インスタンス上のすべてのウィジェットのグラフィカルチャート パフォーマンスアナリティクス テーブルに置き換わります。ワークスペースウィジェットはチャートとテーブルの両方を表示するため、例外です。色をパターンに置き換える方法など、アクセシビリティとウィジェットの詳細については、「ダッシュボードのアクセシビリティオプション」を参照してください。



時系列ウィジェット

時系列ウィジェットは、インジケーター スコアの経時変化を示します。さまざまなチャート化によって、スコアの傾向またはスコアそのものを強調します。1 つのインジケーターを表示したり、複数のインジケーターを比較したりすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

時系列とは、時間の経過とともに連続的に取得された一連のメトリックを順序付けたものです。インジケーター スコアは、一定の間隔で経時測定され、時系列ウィジェットの適切な対象にします。以下のビジネス ケースは時系列ウィジェットを使用する一例です。

- インジケーター スコアの傾向、パターン、外れ値を特定する。
- 転換点 (ポリシーの変更がインジケーター スコアの変化につながったかどうかなど) を特定する。
- インジケーター間の関係を評価する。

時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。

注:
他のウィジェット タイプでも一部のチャート化には時系列が含まれます。たとえば、ブレークダウン ウィジェットのチャート化である [積み上げ縦棒] と [列と合計] には、インジケーター スコアの時系列が含まれています。

時系列ウィジェットのチャート化

	可視化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する		
	Line	一連のデータ ポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによるチャート化を使用して、スコアの傾向を強調します。 時系列を表示するときは、線グラフによるチャート化をデフォルトの選択としてください。使用する可視化が不明な場合は、線グラフを使用してください。
	スプライン	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプライン グラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
インジケーターのスコアを比較する		
	Column (列)	割合を表す縦棒として変化を表示し、スコアが時間の経過とともにどのように変化するかを示します。いずれかを使用して、1 つのインジケーターのスコア変化をチャート化するか、インジケーターを比較します。縦棒グラフによるチャート化でインジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、複数の縦棒グラフによるチャート化ウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。
	ステップ	分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調します。特に線グラフによるチャート化ではデータがはっきりしなくなる場合に、スコアの小さな増分変化を表示するために使用します。
インジケーター間のスコアまたは傾向を比較する		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列ウィジェットのチャート化 (続く)

	可視化	説明とユースケース
	積み上げ縦棒	各縦棒は、さまざまなインジケーターを表すスライスに分割されて、スライスが積み上げられた状態になっています。複数のインジケーターを累積した結果を表示する場合に使用します。
	面グラフ	線グラフによるチャート化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のインジケーターを使用して、各インジケーターが全体に占める相対的な割合を強調します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のインジケーターがどのように発散するかを表示します。

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ビジネス目標を遂行する時系列ウィジェットを作成するには、いくつかの点に留意してください。

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

時系列ウィジェットを作成するときは、次の点を考慮してください。

- 時系列ウィジェットでフィルタされた一連のスコアを表示するには、ウィジェットにブレークダウンを適用します。ブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。
- 集計されたスコア (7 日間の平均値または合計など) を表示するには、ウィジェットに時系列を適用します。
- 同じタイム ラインでセカンダリ インジケーターのスコアを表示するには、既存のウィジェットにウィジェット インジケーターを追加します。詳細については、「ウィジェット インジケーターの追加」を参照してください。
- 時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。
- 平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

インジケーター スコアの経時傾向を示すには、線グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

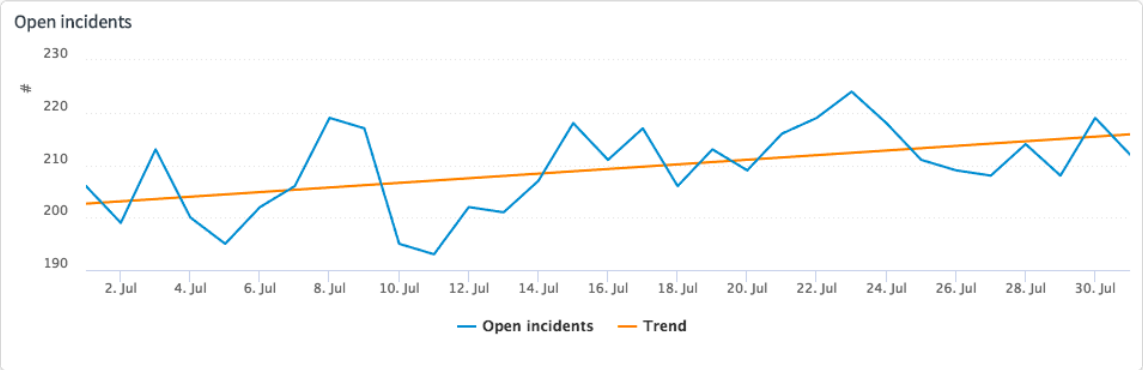
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフによるチャート化は、1 つのインジケーターのスコアの傾向を時間の経過とともに示す最も簡単な方法です。時系列のデフォルトのチャート化としてください。時系列に使用するチャート化が不明な場合は、線グラフを使用してください。

次の例は、7 月 1 か月のオープン インシデント数を線グラフでチャート化したものです。オプションの [トレンドを含める] 表示設定が有効になっています。

線グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されているデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成

スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに示すには、縦棒グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。縦棒グラフによるチャート化を使用してインジケーターを比較することもできます。

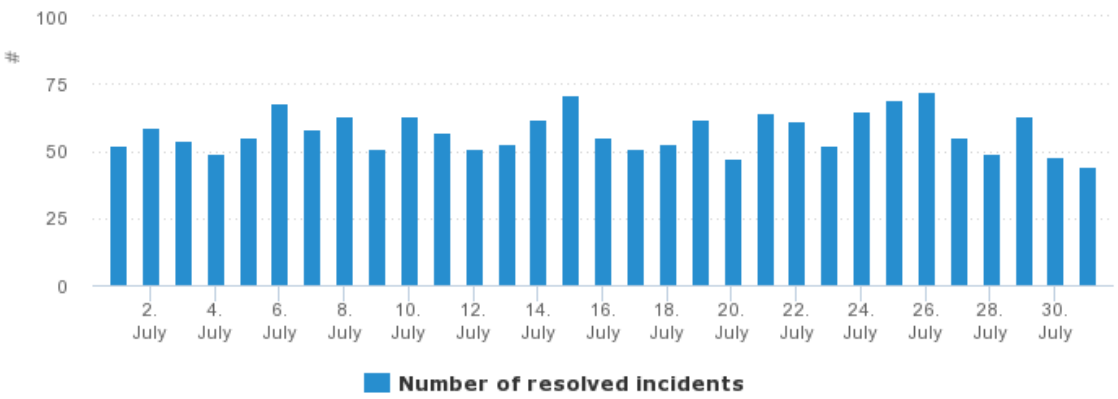
始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに協調するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、複数のインジケーターのスコアを比較するのにも役立ちます。インジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、縦棒グラフによるチャート化を使用した複数のウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

縦棒グラフによるチャート化

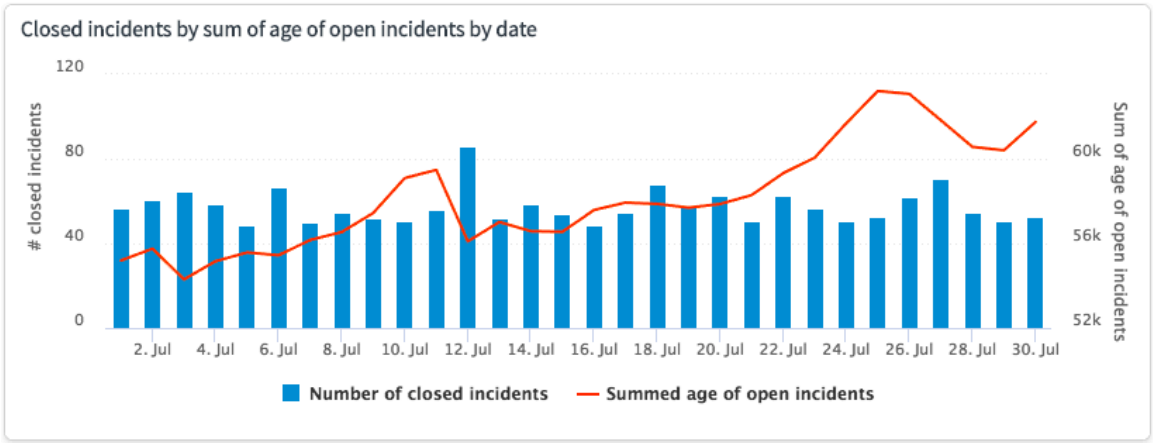


2 つのインジケーターの間に相関があるかどうかを確認するには、ウィジェットに 2 番目のインジケーターを追加します。最善の結果を得るには、主要なインジケーターとして離散値を持つインジケーター、セカンダリ インジケーターとして連続したデータ セットを持つインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

相関を調べる縦棒グラフによるチャート化



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されているデフォルトの配色が適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
インジケーターと他のインジケーターを比較するには、次のいずれかの操作を実行します。

- インジケーターを [ウィジェットインジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [列] のチャート化を使用します。
- 他の各インジケーターに [列] のチャート化を使用してウィジェットを作成します。これらのウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ウィジェット インジケーターの追加
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成

1 つ以上のインジケーターの合計インジケーターに占める割合を調べるには、面グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

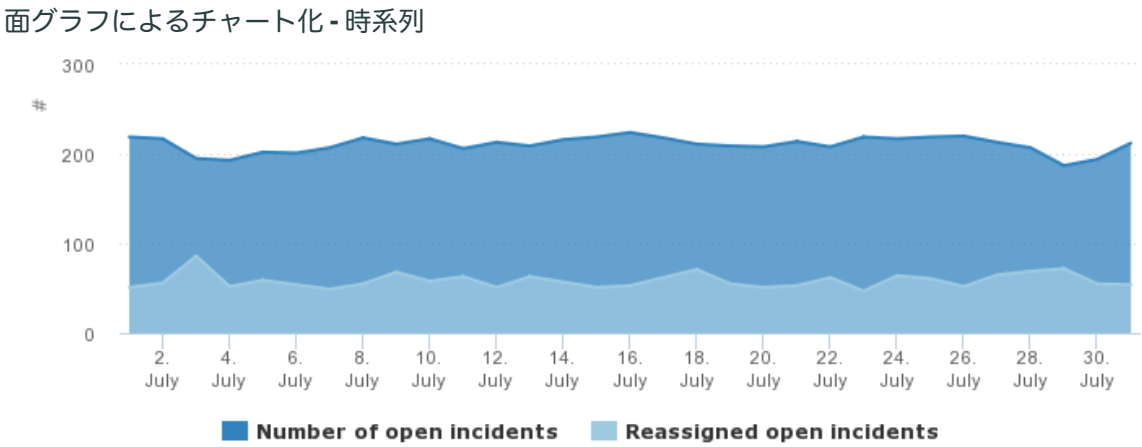
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

1 つまたは複数のインジケーターがより包括的なインジケーターに与える影響を調べる場合は、面グラフによるチャート化を使用します。面グラフによるチャート化は、1 つ以上のコンポーネント インジケーターが全体的な傾向に対して相対的に占める割合を強調することができます。それと同時に、個々の傾向を見ることもできます。積み上げ縦棒グラフによるチャート化と比較してください。積み上げ縦棒グラフでは、インジケーター スコアを合計し、各スコアが合計に対する対して占める割合を強調します。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[エリア] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。

6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されているデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

重要:
ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 選択したインジケーターを他のインジケーターを比較するには、インジケーターを [ウィジェットインジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [エリア] のチャート化を使用します。
- ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成

曲線調整を適用する必要があるときにインジケーター スコアの経時傾向を示すには、スプライン グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

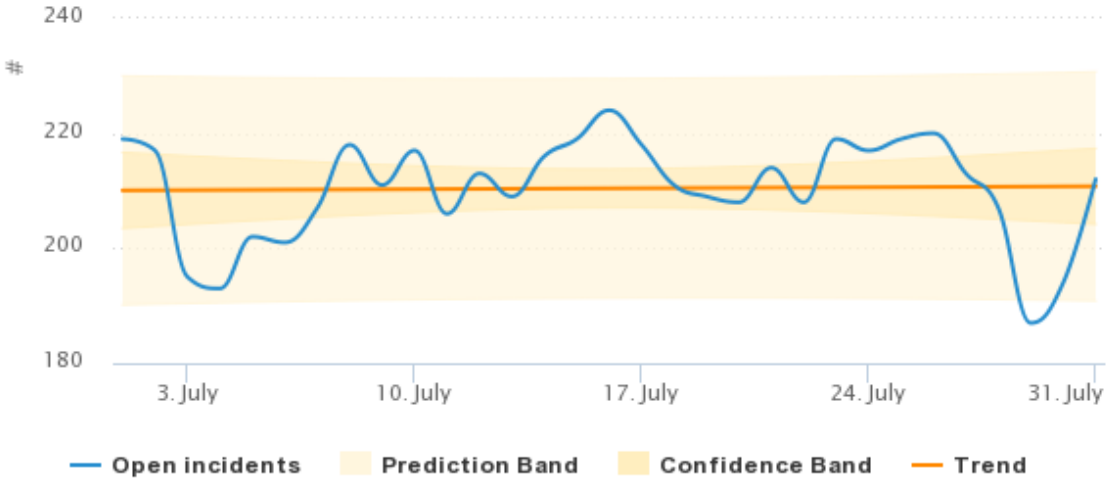
注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

スプライン グラフによるチャート化は、線グラフによるチャート化の直線を曲線に置き換えます。線グラフによるチャート化の場合と同様に、スプライン グラフによるチャート化を使用してインジケーター スコアの経時変化を表示します。インジケーター スコアに曲線を合わせる必要がある場合は、線の代わりにスプラインを使用します。

次の例では、オープン インシデント数のスプライン グラフによるチャート化を使用してトレンド ラインと 95% 信頼区間が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプライン グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スプライン] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されているデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成

分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調するには、ステップ グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

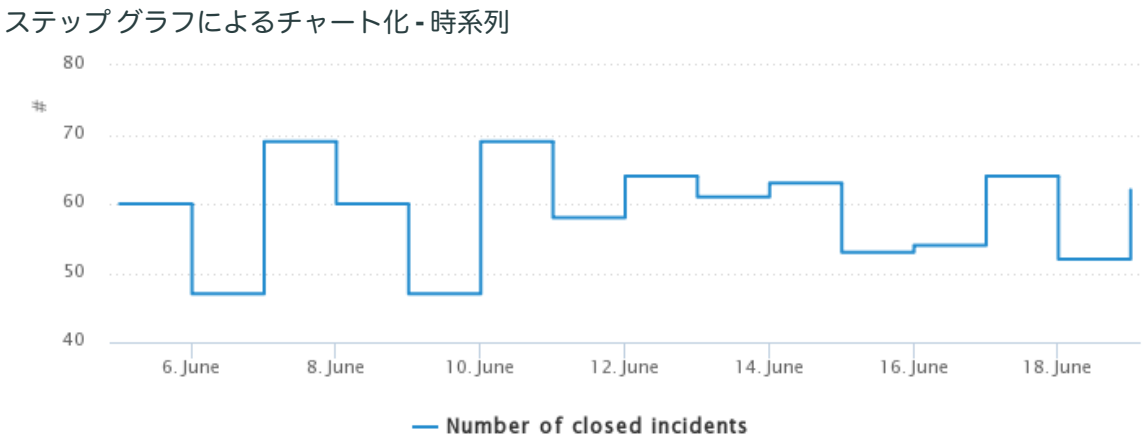
このタスクについて

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

次の状況でステップ グラフによるチャート化を使用することを検討してください。

- 時間経過に伴う傾向ではなく、特定の時点間のインジケーター スコアの変化を強調する場合。
- インジケーター スコアの変化が小さすぎて、線グラフによるチャート化では識別しにくい場合。

ステップ グラフによるチャート化のユース・ケースは、スプライン グラフによるチャート化のユース・ケースとは逆です。時間の経過によるデータの傾向や曖昧さを強調する場合はスプライン グラフを使用します。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。

4. [チャート化] フィールドで、[ステップ] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されているデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

重要:
ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成

複数のインジケーターのスコアを比較および合計するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化による時系列としてウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

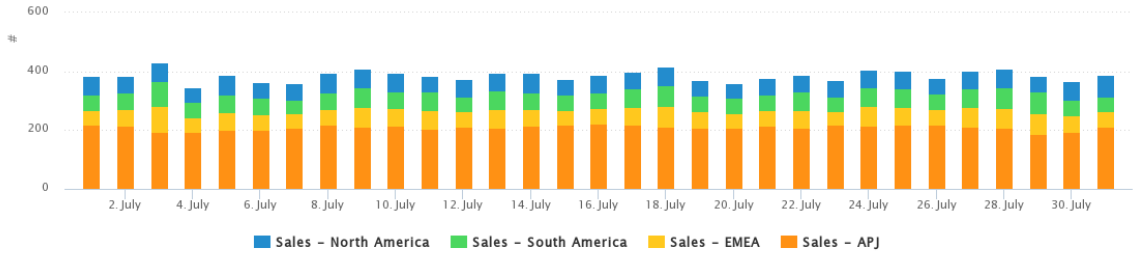
時間の経過に伴う複数のインジケーターのスコアの合計を表示したり、各インジケーターが合計に占める相対割合を表示するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

次の例では、各地域の販売センターに関するインジケーターが積み上げ縦棒グラフとなって、販売合計と各地域の相対割合の両方を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み上げ縦棒グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前の期間のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つだけ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 配色を指定しない場合は、*glide.ui.chart.default.colors* プロパティで定義されているデフォルトの配色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。
9. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
10. [ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加し、各インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を適用します。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

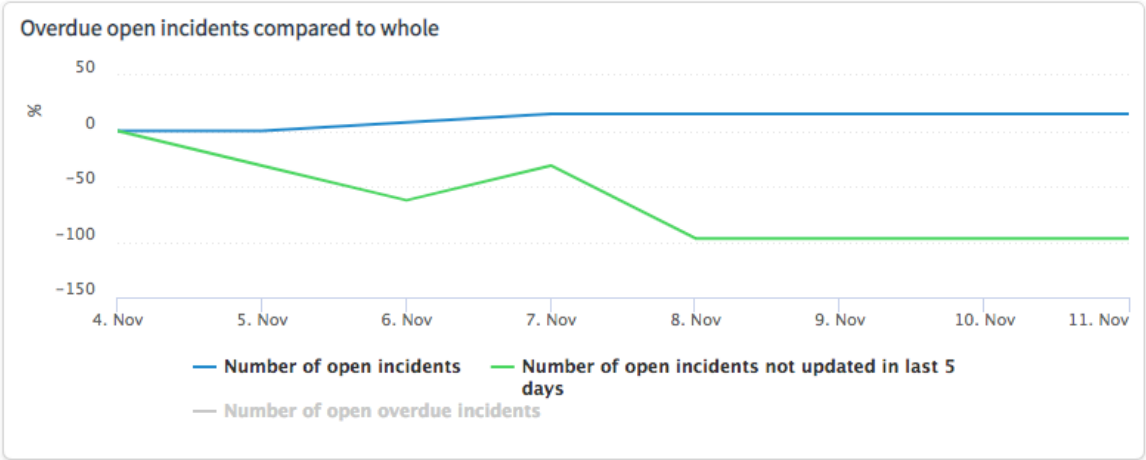
自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえば、この可視化は、5 日以上更新されなかったオープンインシデントの数の変化と比較して、オープンインシデントの合計数の変化を示しています。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

時系列の相対比較の可視化の例



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [タイプ] リストから [時系列] を選択します。
4. [チャート化] リストで、[相対比較] を選択します。
5. 次のいずれかのオプションを使用して、チャート化に含めるインジケーターを指定します。

6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
8. 単一のインジケーターを選択する場合は、[ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加します。
   インジケーター グループを選択した場合、追加のインジケーターは必要ありません。
9. [日付の設定] タブで [範囲セレクタの表示] チェック ボックスをオンにします。
   この設定により、ユーザーはチャート化で表示される時間を動的に変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

    a. [要素をフォロー] を選択します。

    このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

    b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
    ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

    (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

    c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
    すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

    重要:
    ブレークダウンダッシュボードでブレークダウンの要素を選択する場合は、ウィジェットレコードでブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェットレコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウンダッシュボードで選択された要素を上書きします。

11. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。
12. **[Update** (更新)] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの追加の設定
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットの追加の設定

時系列ウィジェットには、表示、日付範囲、および軸ラベルについて次のオプション設定があります。これらの設定を使用して、第 1 レベルのブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを選択することもできます。

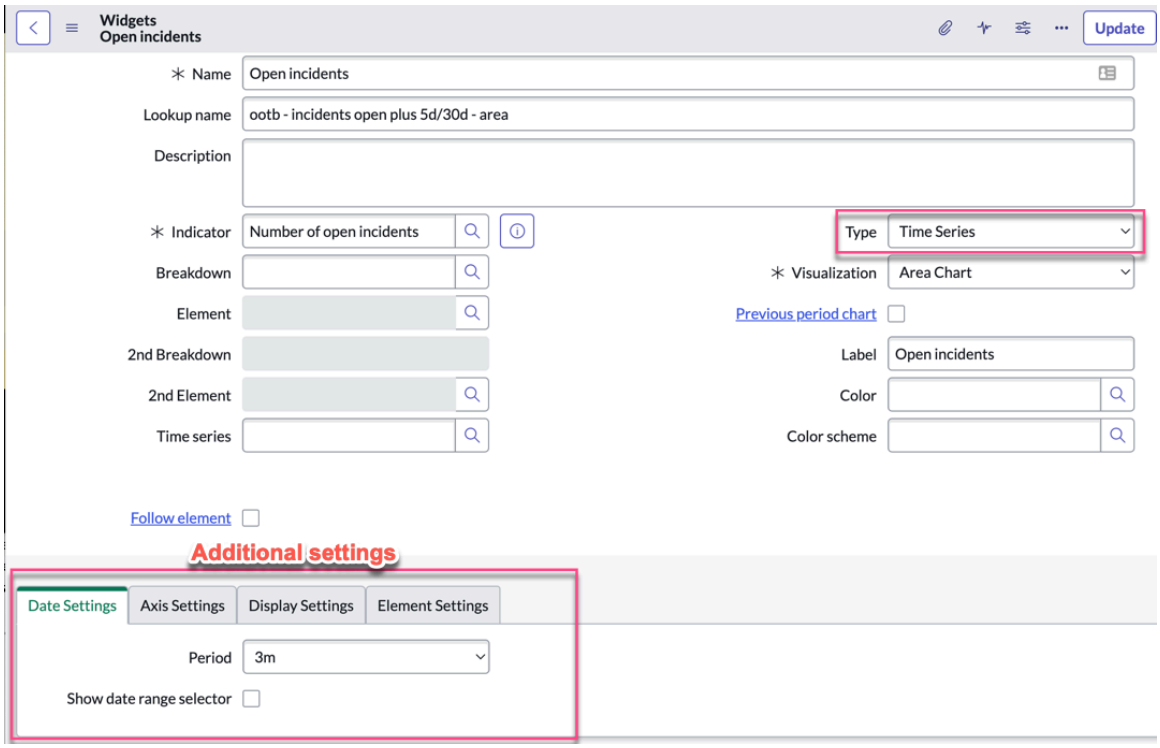
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
このトピックには、時系列ウィジェットの追加設定が含まれています。時系列ウィジェットを作成するためのガイドではありません。時系列ウィジェットの作成手順については、該当する「作成」トピックを参照してください。

- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、面グラフのビジュアリゼーション用です。



日付設定

日付の設定は、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。

設定	説明
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。 • 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
	[期間] フィールドは、次の可視化でのみ使用できます。 • 線グラフ • スプライン • 列 • エリア • ステップ • 積み上げ縦棒 • 相対比較
日付範囲セレクタの表示	ウィジェットに日付範囲セレクターを表示します。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表示するときに、選択した期間を変更できます。 注: • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに表示される期間が予想よりも 1 つ多くなることがあります。インスタンスは 3 m などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示する場合があります。 • 日付範囲セレクターは、ビジネスカレンダーに基づくインジケーターではサポートされていません。

軸設定

設定	説明
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。 第 2 Y 軸は、スコアが通常限られた範囲の間を移動する場合に使用できますが、それ以外の場合はグラフを歪めるいくつかの例外があります。たとえば、スコアは通常 40 から 60 ですが、1000 の例外があります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示設定

設定	説明
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを含める	円グラフの各スライスなど、各データ ポイントのスコアを表示します。
トレンドを含める	トレンド ラインを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
信頼帯を含める	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼範囲を表示します。[予測の選択] が有効な場合にのみ利用できます。
コメントを含める	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。

要素設定

設定	説明
要素フィルター	第 1 レベルの ブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを指定します。要素フィルターを使用して、視聴者の特性に応じて表示される要素をカスタマイズします。たとえば、アサイン先グループブレークダウンの要素をフィルタリングして、ビューアーが属するグループのみを表示できます。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

前の期間の設定

前の期間の設定は、[前期のチャート] が選択されている場合にのみ利用できます。

設定	説明
期間の範囲	現在の期間と比較する期間の範囲を選択します。
期間の数	表示する前の期間の数を指定します。

ウィジェットの信頼帯

信頼帯の計算には、トレンド ラインの可視点が使用されます。日付範囲を広げると、新しい日付範囲のトレンドを使用して信頼帯が再計算されます。

はじめに、トレンドの標準的なエラーを使用して信頼帯が算出されます。信頼帯の幅は、計算に含まれるポイントの数とスコアの平均によって異なります。標準的なエラーが低い場合は、トレンドラインが正確であることが示されます。ポイントの数が減少するか外れ値が記録されると、信頼帯が広がります。トレンドの信頼性は、データ ポイントが少ない場合やスコアが変わりやすい場合は確度が低くなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア ウィジェット

スコア ウィジェットは集計インジケーター スコアを表示します。

スコア ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
	最新スコア	単一のインジケーター スコアと、前の期間と比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。
	スピードメーター	ラウンド メーターのフォームでインジケーターの最新の収集スコアを表示します。インジケーターのターゲットとそのカラー スキームが目盛りに表示されます。
	目盛り	直近に収集されたインジケーターのスコアの概要を半円で表示します。
	リアルタイム スコア	現在のインジケーター スコアと、最後にスケジュールされた収集でのスコアと比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。

スコア ウィジェットでの最新スコアによるチャート化の作成

最新のスコアと前のスコアの変更を確認するには、スコア ウィジェットで最新スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

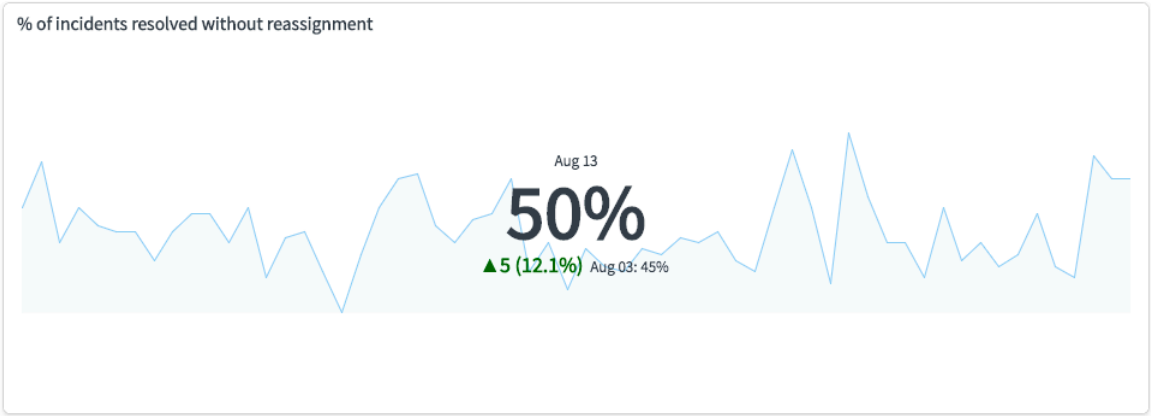
最新スコアによるチャート化では、最新のスコアと、このスコアと前のスコアの間の絶対値およびパーセンテージでの変更が表示されます。この可視化は、アナリティクスハブのチャートビューに似ています。最新のスコアと比較するために遡るスコアの数を選択できます。また、スコアの変化の絶対値またはパーセンテージのトレンド ラインを表示することもできます。

注:
このデータ可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Displaying KPI Details for the mobile dashboard」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最新スコアによるチャート化



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] および [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映する名前とサブタイトルをウィジェットに指定します。
3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[最新スコア] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   注:
   ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコアウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: テンプレートを選択します。
パーセンテージ値を返す式インジケーターは、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。他のインジケーターは、デフォルトでテンプレート 1 を使用します。
9. [最新のスコア設定] タブで、[スコアを比較対象] フィールドで、最新のスコアと比較する以前のスコアを選択します。

前回スコア	前回のデータ収集のスコア。この設定がデフォルトです。
期間を遡る	比較するスコアの、最新のスコアから遡るデータ収集期間の数を指定します。

10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
11. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- スコアと統計情報の表示

スコア ウィジェットでの角度ゲージまたは目盛りによるチャート化の作成

スコアの範囲と比較したインジケーターの最新のスコアを表示するには、スコアウィジェットで角度ゲージまたは目盛りによるチャート化を使用します。角度ゲージには、インジケーターのターゲットも表示されます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

角度ゲージによるチャート化では、最新のスコアが角度ゲージの針で表示されます。目盛りによるチャート化では、最新のスコアが半円形のセクションに色分けして表示されます。デフォルトでは、角度ゲージまたは目盛りには可能なスコアの範囲が表示されますが、独自の範囲を作成することもできます。

角度ゲージは、インジケーターにターゲットが設定されているときに特に便利です。インジケーターに方向が設定されている場合 (最小化または最大化)、チャート化によりターゲットとインジケーター

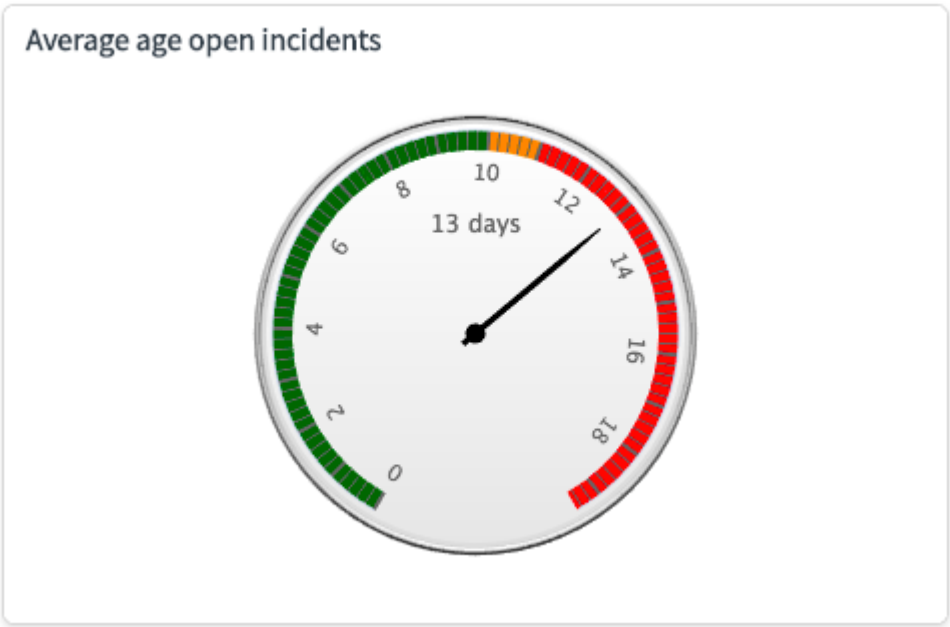
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に設定されている 3 色または 5 色の信号が再現されます。たとえば、次の角度ゲージでは、オープン インシデントの平均経過時間インジケーターが、最小化方向、ターゲット 10、3 色の信号で表示されています。

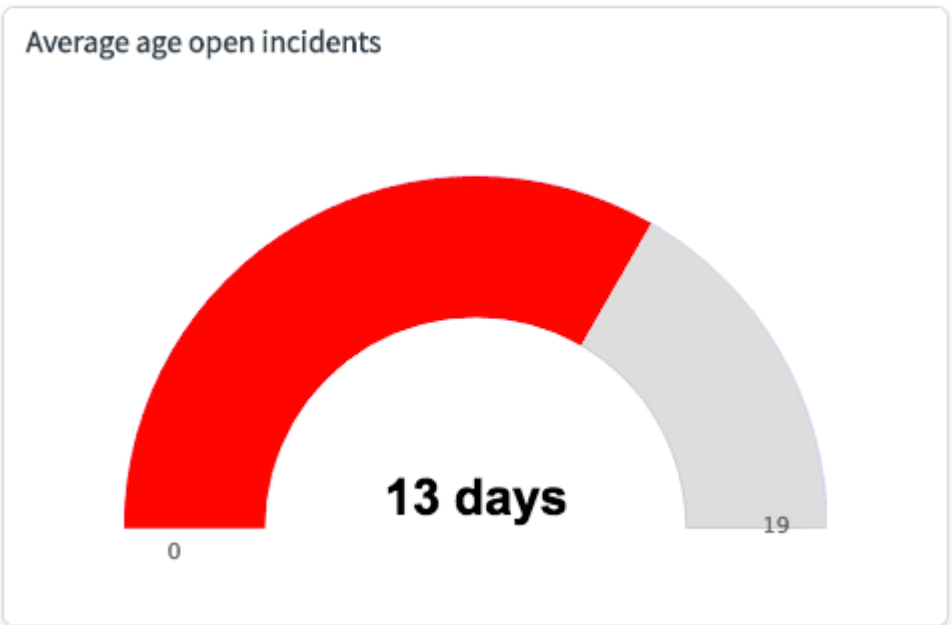
ターゲットのカラースキームを作成するには、「 パフォーマンスアナリティクス ターゲット」を参照してください。

角度ゲージによるチャート化 - スコア ウィジェット



目盛りによるチャート化では、インジケーター のターゲットは表示されません。

目盛りによるチャート化 - スコア ウィジェット



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スピードメーター] または [目盛り] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

      注:
      ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコアウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: [スピードメーター/目盛り設定] タブで、角度ゲージに実際のスコアの範囲を表示する [自動スケール] を選択するか、別のスケールを指定します。

9. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
   このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス ターゲット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成

現在のスコアを表示するには、スコア ウィジェットでリアルタイム スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

始める前に

- リアルタイム スコアが必要なインジケーターでは、[リアルタイムスコアを表示] プロパティを有効にする必要があります。
- 必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

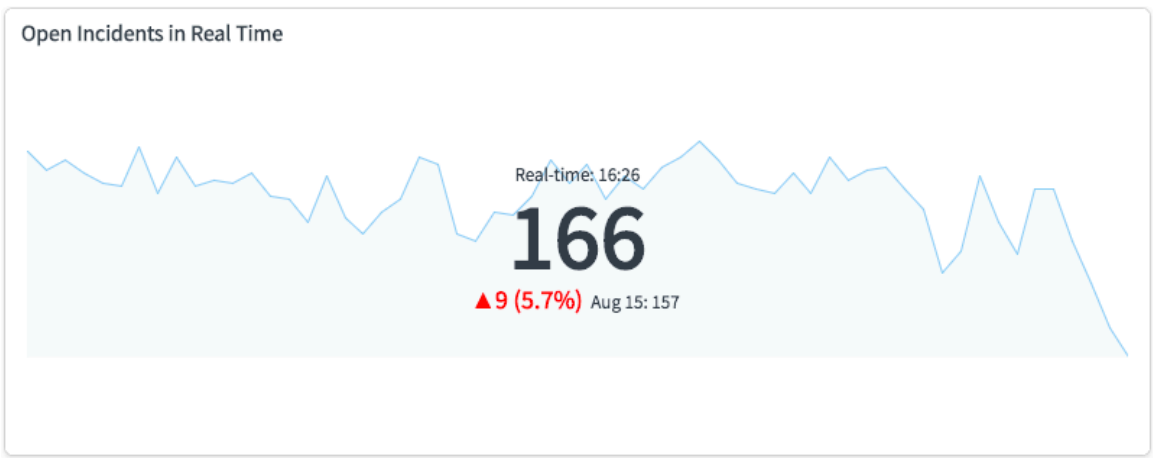
注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

リアルタイム スコアによるチャート化では、現在のスコアと、このスコアと直前にスケジュールされたデータ収集時のスコアの間の絶対値およびパーセンテージ両方での変更が表示されます。スコアは、ダッシュボードユーザーがウィジェットを含むダッシュボードを開くと計算されます。この可視化は、アナリティクスハブのチャートビューに似ています。また、スコアの絶対値またはパーセンテージの変化のトレンド ラインを表示することもできます。

詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

警告:
- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- ウィジェットのデータ要素が多すぎると、リアルタイムで更新することはできません。この場合、ウィジェットを手動で更新するようにビューアーに指示するメッセージが表示されます。

リアルタイム スコアによるチャート化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] および [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映する名前とサブタイトルをウィジェットに指定します。
4. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[リアルタイムスコア] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
7. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。要素フィルターを使用して、個人的な視覚化を作成します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加の設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

8. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

注:
ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコアウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

9. オプション: テンプレートを選択します。
リアルタイム スコアによるチャート化は、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。
10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
11. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- リアルタイムスコア
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 自動インジケーターの作成

リストウィジェット

リスト ウィジェットは、複数のインジケーターのスコアを表示します。

リスト ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
	スコアカード	いくつかのインジケーターには、次のいずれかの属性が表示されます。 • 複数の時点のスコア • 最後の 2 つのスコア間の変化 • % の変更 • トレンド • ブレットグラフ
	スパイダー	各インジケーターの最新スコアのプロットを、中心を 0 として始まる独自の軸に表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターを表示する権限

アップグレードされたインスタンスでは、リストウィジェットを表示するために pa_viewer ロールが必要になる場合があります。さらに、リストウィジェットには、読み取り権限のないインジケーターは表示されません。

リスト ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

複数のインジケーターの測定基準を一覧表示するには、リスト ウィジェットでスコアカードによるチャート化を使用します。

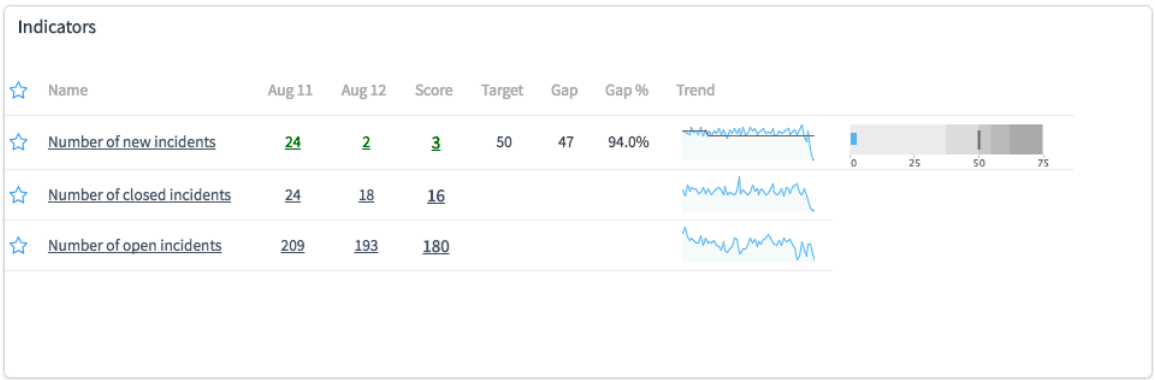
始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

このチャート化を使用すると、スコア、スコアのトレンド、およびターゲットのコンプライアンスに関する複数の類似するインジケーターを比較するのに役立ちます。

スコアカードによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。
   - [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
   - [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注:
   ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

8. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

   (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。
10. [列の設定] タブで、表示するスコアと測定基準を選択します。

列の設定	説明
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。デフォルトで選択されています。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。デフォルトで選択されています。
ブレットグラフ	最新のスコアが最新のターゲット スコアにどれくらい近いかを示すグラフを表示します。このグラフは、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。
複数のスコア	[期間の数] フィールドに定義されているスコアの数を表示します。このフィールドは [複数のスコア] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列の設定	説明
	[現在のスコア] も選択されている場合、最新の期間に [スコア] と表示されます。それ以外の場合は、最新の期間に日付が表示されます。
期間の数	ウィジェットに含める追加期間の数を選択します。
期間のステップ	[期間の数] > 1 の場合、各期間の長さを選択します。単位は、最初のインジケーターの頻度に基づいています。 **注:** 日次、週次などの異なる頻度のインジケーターを含めると、インジケーターごとに異なる期間数が表示されます。たとえば、最初のインジケーターの頻度が日次で、別のインジケーターの頻度が週次である場合、週次インジケーター 1 スコアごとに、日次インジケーターは 7 つのスコアを表示します。
前回比	前のスコアからの値の変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変更を表示します。
ターゲット	インジケーターのターゲットを表示します。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。ターゲットと現在のスコアは、[ブレットグラフ] にグラフィカルに表示されます。
ギャップ	現在のスコアとターゲットの差を表示します。最大化方向のインジケーターの場合、ギャップはスコア - ターゲットで計算されます。最小化方向のインジケーターの場合、計算はターゲット - スコアです。したがって、正の値は常に良く、負の値は常に悪いです。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップと同様に、インジケーターの方向に関係なく、常に正のギャップ % が良いことであり、負のギャップ % は常に悪いことです。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。

11. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	説明
スコアカードオプション	[すべてのインジケーター]、[キーとマークされたインジケーター]、または [お気に入りのインジケーター] を選択して、それらのインジケーターのみをダッシュボードに表示します。
ページサイズ	リスト スコアカードに表示する行数を選択します。
フィルタ	[パフォーマンスが最高]、[パフォーマンスが最低]、[改善]、[拒否]、または [悪化] のスコアカード リストをフィルタリングします。フィルタと一致するインジケーター スコアのみが表示されます。

12. **[Submit** (送信)] または **[Update** (更新)] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト ウィジェットでのスパイダーによるチャート化の作成

複数のインジケーターのスコアをプロットするには、リスト ウィジェットでスパイダーによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

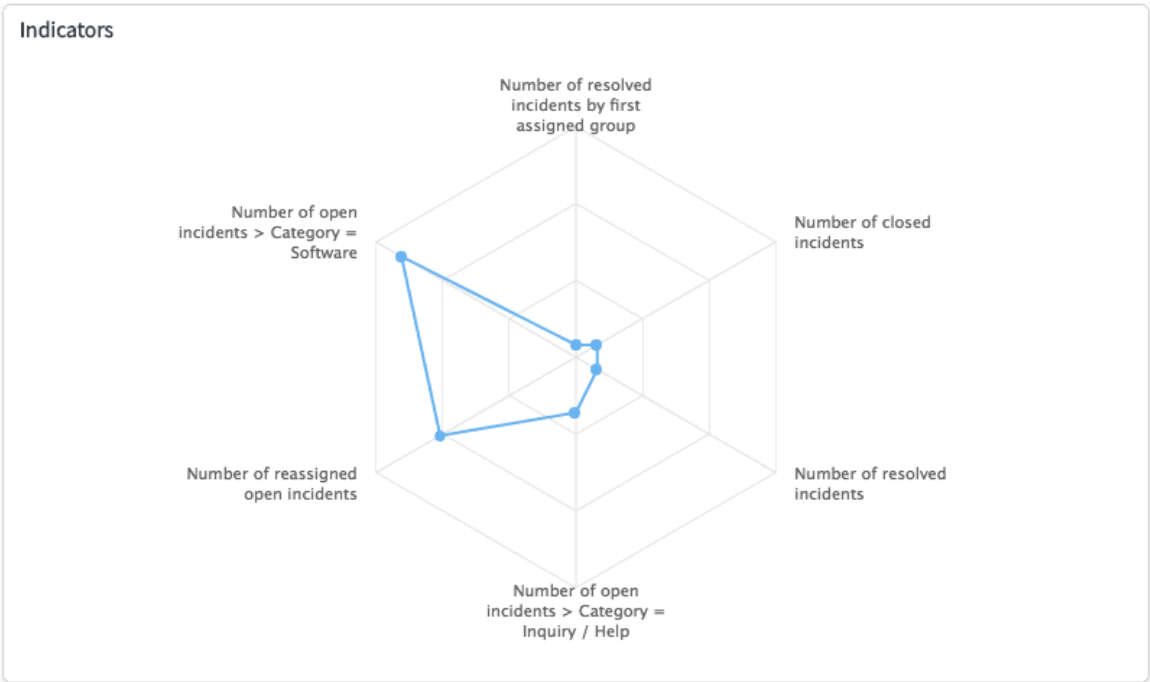
このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

このチャート化を使用すると、複数の類似するインジケーターのスコアを比較するのに役立ちます。

注:
スパイダーによるチャート化では、最大 10 個のインジケーターを比較できます。

スパイダーによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スパイダー] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
- [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。

7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注:
   ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

8. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

   (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] で、各要素を個別に表示するか、インジケーターの集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットの可視化もすべてのインジケーターも、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターと外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、MIN のデータ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。
10. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	説明
スコアカード オプション	[すべてのインジケーター]、[キー] とマークされたインジケーター、または [お気に入りのインジケーター] を選択します。
ページサイズ	効果はありません。インジケーターの最大数は 10 です。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウンウィジェット

ブレークダウン ウィジェットは、ブレークダウン要素別にグループ化されたインジケーター スコアを表示します。異なるチャート化を使用して、ブレークダウン要素の比率またはこれらの比率のトレンドを比較することができます。

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ブレークダウン ウィジェットでのチャート化を選択するときは、ブレークダウン要素のトレンドと比率のどちらを比較するか検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのか、1 つのブレークダウンを表示するのか 2 つのブレークダウンを表示するのかも検討します。

ブレークダウン ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
ブレークダウン要素別に、インジケーターのスコアのトレンドをチャート化する		
	スコアカード	単一のインジケーターの 1 つのブレークダウンのトレンドを表示します。
ブレークダウン要素の比率をチャート化する		
	Column (列)	ブレークダウン要素の比率を、比例する垂直列として表示することによって比較することができます。円グラフやじょうごグラフなどのチャート化が適切ではない場合に使用します。
	円グラフ	全体を表す円を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	ドーナツグラフ	全体を表すドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	半ドーナツ	全体を表す半ドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。半ドーナツ チャートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。
	じょうごグラフ	値を漸進的に減少する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
	ピラミッド	値を漸進的に増加する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
スコアのトレンドとブレークダウン要素の比率の両方をチャート化する		
	積み上げ縦棒	時系列とブレークダウン ウィジェットの機能を組み合わせます。X 軸は時間軸であり、チャート化で経時的なインジケーター スコアの開発を表示します。また、各列は、ブレークダウン要素に応じて積み上げられたスライスに分割されます。したがって、このチャート化は、時間の経過とともにブレークダウン要素の比率を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ウィジェットのチャート化 (続く)

	チャート化	説明
	列と合計	ブレークダウン要素の比率とインジケーター スコアのトレンドの両方を表示します。時間の経過とともに、ブレークダウン値ごとに個別の列とすべての値の合計を表す線を表示します。
	線	一連のデータ ポイントを直線で結ぶことによって、インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化を表示します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のブレークダウンがどのように発散するかを表示します。
その他のチャート化		
	パレート図	列と線のチャート化を組み合わせて、多数の係数の中で最も重要な係数を特定します。
	ピボット スコアカード	複数のインジケーターに適用された 1 つのブレークダウンのブレークダウン要素を比較できるようにします。Y 軸は、インジケーターまたはブレークダウン要素にすることができます。
	ツリーマップ	ネストされた四角形をグラデーションで色付けしてツリーのように表示して、ポジティブからネガティブまでのスコアまたはスコアのトレンドを示します。

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでは、グループまたはフィルタ インジケーターのスコアをブレークダウンします。ウィジェットを作成すると、ブレークダウンのこの 2 つの目的がブレークダウン フィールドの機能に影響します。

ウィジェット フォームの [ブレークダウン] および [ブレークダウンレベル **2]** フィールドには、他のウィジェット タイプとは異なるブレークダウン ウィジェットの機能があります。他のほとんどのウィジェットタイプでは、これらのフィールドはフィルターを指定します。指定されたブレークダウン要素に対応するインジケーター スコアのみが表示されます。ただし、ブレークダウン ウィジェットを作成する場合は、ブレークダウンをフィルタリングするのではなく、ブレークダウンでスコアをグループ化します。ブレークダウン要素は、円グラフによるチャート化の異なる扇形、縦棒グラフによるチャート化の個別の列などとして表示されます。

デフォルトでは、ブレークダウンウィジェットにはブレークダウンのすべての要素が表示されます。ただし、要素フィルターを適用することで、表示する要素を制限できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

第 1 レベルのブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングし、第 2 レベルのブレークダウンの要素を表示できます。これを行うには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでブレークダウンと要素を指定します。次に、データをグループ化するために使用するブレークダウンを **[2** 番目のブレークダウン] フィールドに指定します。**2** 番目のブレークダウンを指定しない場合、[要素] フィールドは無視され、インジケーター スコアをフィルタリングするのではなく、最初のブレークダウンを使用してグループ化します。

ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

パフォーマンス分析のユーザーは、ダッシュボードで個々のブレークダウン ウィジェットとやり取りして、チャート化またはブレークダウンを変更できます。

[タイプ] が [ブレークダウン] のウィジェットを使用すると、ユーザーはダッシュボードでウィジェットを表示するときに可視化を選択できます。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

示するときに [チャート化] 選択リストから、ウィジェット タイプの任意のチャート化を選択できます。

> **注:**
> ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成します。

ブレークダウン ウィジェットを使用すると、複数のブレークダウンが利用可能な場合にユーザーにブレークダウンを選択させることもできます。ダッシュボードでウィジェットを表示すると、[ブレークダウン] 選択リストに [インジケーター] ウィジェットのすべての利用可能なブレークダウンが表示されます。インジケーターに関連付けられたブレークダウンが 1 つしかない場合、[ブレークダウン] 選択リストはウィジェットに表示されません。

> **注:**
> ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードに追加されていて、ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

デフォルトでは、インタラクティブなブレークダウンが第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。ただし、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードにあり、ウィジェット フォームで [要素をフォロー] が選択されている場合、インタラクティブ ブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンとして適用されます (第 2 レベルのブレークダウンを適用するにはインジケーターで [ブレークダウンマトリクスを収集] が設定されている必要があります)。ウィジェットを含むダッシュボードに設定されているすべてのブレークダウンは、第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。

特定のウィジェットのこの機能を無効にするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] または [ブレークダウンセレクタを表示] チェックボックスをオフにします。

ウィジェット レコードで選択されているチャート化またはブレークダウンがデフォルトとして使用されます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクスのブレークダウン

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素のトレンドを表示するには、スコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

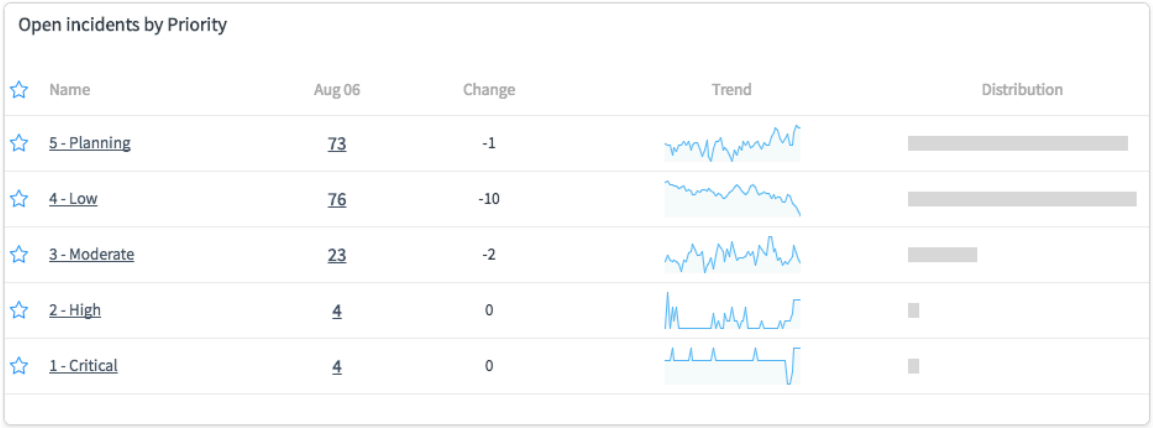
> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

スコアカードによるチャート化では、1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素別のトレンドを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スコアカードによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウンフィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

   注:

   - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
   - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

> **重要:**
> ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

   (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

   d. オプション: [フォローしているブレークダウン関係] でブレークダウンの関連付けを選択します。
   ウィジェットは、指定されたブレークダウンの関連付けをフォローするブレークダウン要素のみを表示します。ブレークダウン ダッシュボードで、関連するブレークダウン要素を選択する必要があります。それ以外の場合、ウィジェットはデータを表示しません。詳細な例については、「ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

   > **注:**
   > - フォローされているブレークダウンまたはフォローされているブレークダウンの関係性のいずれかを指定できますが、両方を指定することはできません。
   > - ブレークダウン関係に従うウィジェットでは、複数要素の選択はサポートされていません。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンウィジェットの追加の設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- アナリティクスハブ

ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

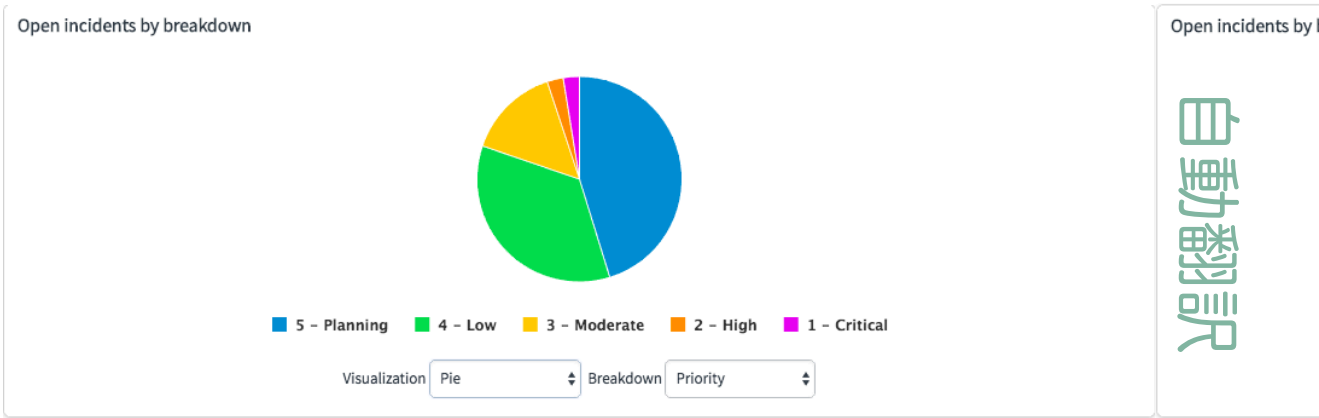
ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用できます。特定のウィジェットにどれが最適かを確認するために、3 つすべてを検討してください。

これらのチャート化は、以下の場合には不明瞭になります。

- ブレークダウンに含まれる要素が多すぎる。
- ブレークダウンのいくつかの要素が他の要素よりずっと小さい。

これらの場合、または割合ではなくスコアを比較するには、縦棒グラフによるチャート化の使用を検討してください。

円グラフ、ドーナツ グラフ、半ドーナツ グラフによるチャート化



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[円グラフ]、[ドーナツグラフ]、または [半ドーナツグラフ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
- ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウン フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。

10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、特に要素がプロセスのステージを表すときは、ピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

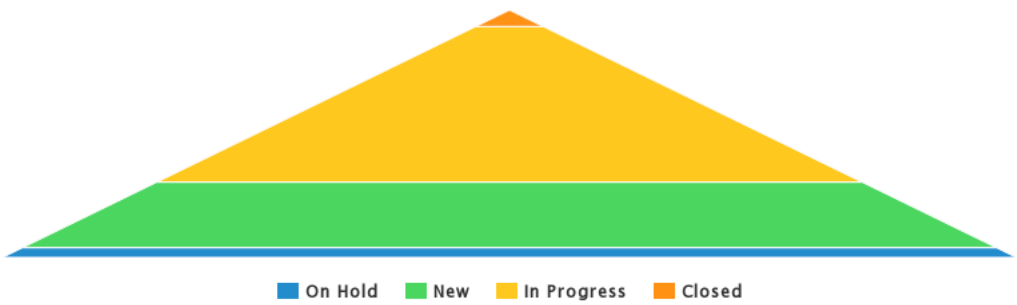
注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフによるチャート化の代わりにじょうごグラフまたはピラミッド グラフによるチャート化を使用することを検討してください。じょうごグラフおよびピラミッド グラフによるチャート化は、ブレークダウンの要素がプロセスのステージ (営業プロセスのリードから商談成立までなど) を表す場合に特に適しています。

じょうごグラフはパーセンテージを減少させることで、ピラミッド グラフはパーセンテージを増加させることで、上から下にスライスを積み重ねます。ピラミッド グラフは、組織の階層レベルを表すためによく使用されます。

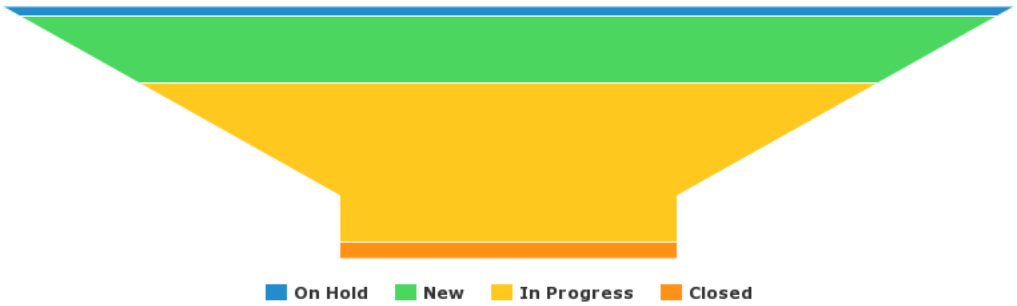
ピラミッド グラフおよびじょうごグラフによるチャート化 - ブレークダウン

次の例では、オープン インシデントがそのステージに応じて表示されています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ピラミッドグラフ] または [じょうごグラフ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウンフィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

     注:

     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

   注:
   [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの縦棒グラフによるチャート化の作成

1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素を比較するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

自動翻訳

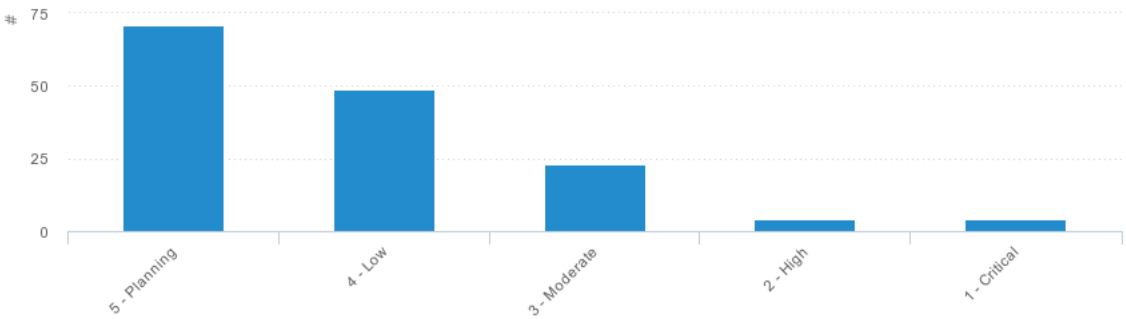
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ブレークダウン要素別にインジケーター スコアの比率を比較する場合で、円グラフによるチャート化が不適切な場合は、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、多くの要素がある場合、いくつかの要素が他の要素よりもはるかに小さい場合、またはいくつかの要素の値が互いに近い場合に、明確になります。

縦棒グラフによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウンフィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

   (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

   注:
   [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ウィジェットでのパレート図によるチャート化の作成

ブレークダウンに多くの要素が含まれているときに最も重要なブレークダウン要素を特定するには、パレート図によるチャート化を使用します。

始める前に

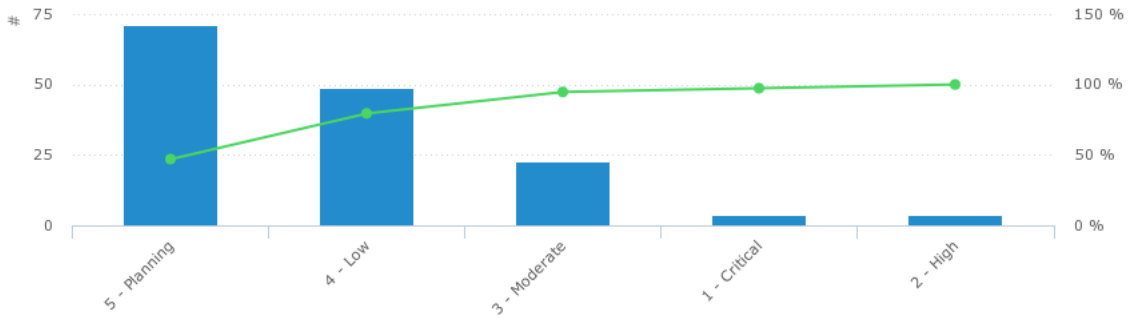
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

パレート図によるチャート化には棒グラフと線グラフの両方が含まれます。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の成果に最も大きな影響を与えています。

パレート図によるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[パレート図] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
- ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウン フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。

10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで線グラフによるチャート化を使用します。

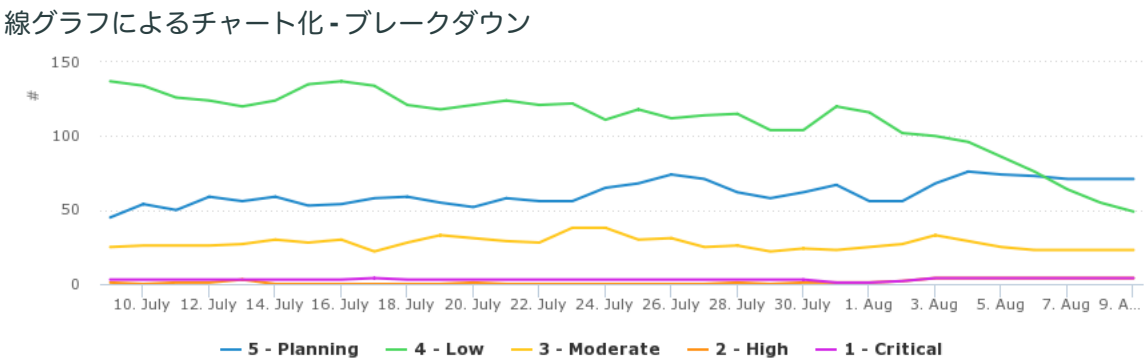
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ブレークダウン ウィジェットの線グラフによるチャート化では、異なるブレークダウン要素に属するインジケーター スコアの割合の経時変化を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウン フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

   重要:
   ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

(Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの列と合計によるチャート化の作成

インジケーターのスコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率の両方の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで列と合計によるチャート化を使用します。

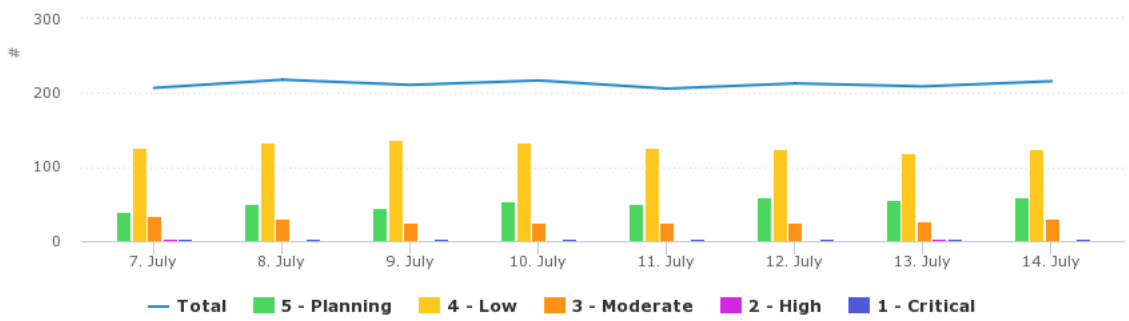
始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

このチャート化は、時系列とブレークダウン ウィジェットを組み合わせます。インジケーター スコアには、線グラフによるチャート化によって従来の時系列が表示されます。この線は、インジケーター スコアが収集された各時点のブレークダウンの縦棒グラフによるチャート化と組み合わされます。このウィジェットを使用して、インジケーター スコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率との関係を調べます。

列と合計によるチャート化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列と合計] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウン フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

     注:

     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

   重要:
   ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

注:
[フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます *glide.ui.chart.default.colors* 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

ブレークダウン ウィジェットでの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

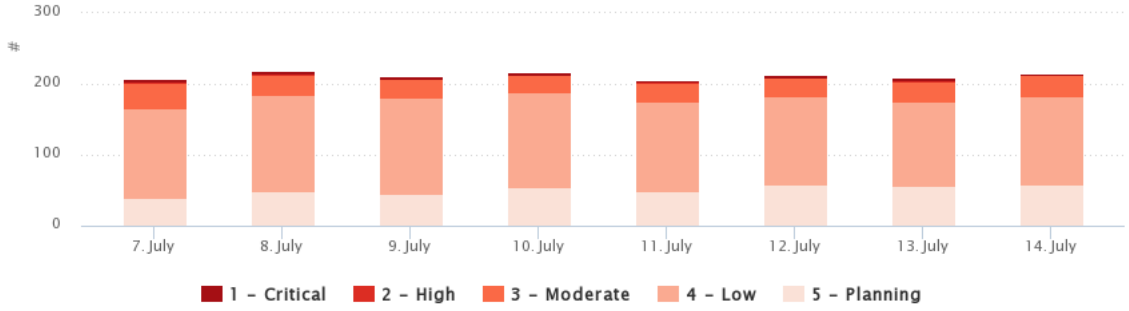
注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

このチャート化は、単一の列でブレークダウン要素の比率を表示し、インジケーター スコアが収集される各時点の列を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み上げ縦棒グラフによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウン フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

   注:

   - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
   - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

> **重要:**
> ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

   (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

   > **注:**
   > [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます *glide.ui.chart.default.colors* 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの相対比較によるチャート化の作成

複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

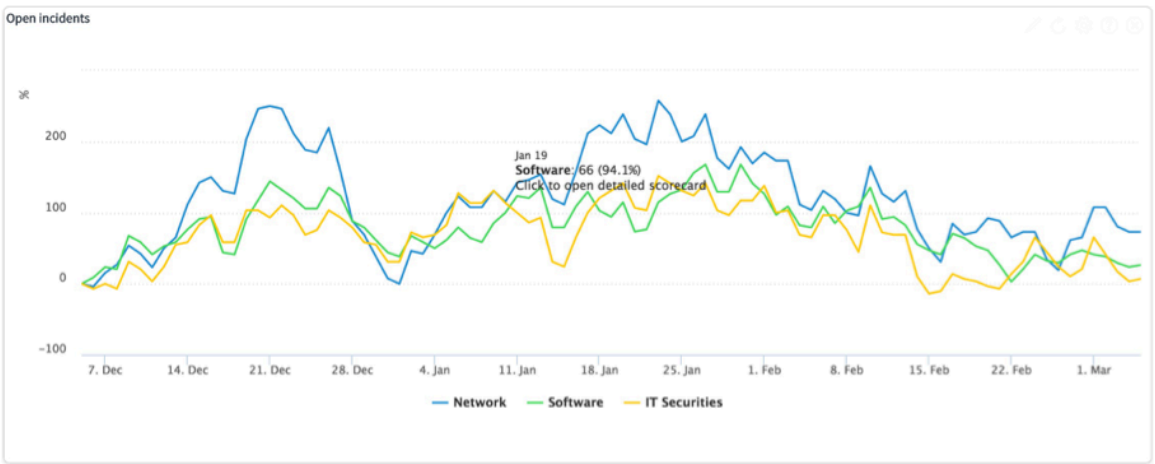
このタスクについて

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえばこのチャート化は、3 つの異なるインシデント タイプに対して、12 月から 3 月までのオープン インシデント数を示しています。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

相対比較によるチャート化の例



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[相対比較] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
- ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウン フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリングブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示形式] では、[集計] ビューのみが可能です。

詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

> **注:**
> [フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによる可視化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

9. [日付の設定] タブで、[日付範囲インジケーターを表示] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

10. [設定] タブをレビューして、必要に応じて他の設定を調整します。
11. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンウィジェットの追加の設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピボット スコアカードによるチャート化の作成

多くのインジケーター間でブレークダウン要素の比率を比較するには、ブレークダウン ウィジェットでピボット スコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

同じウィジェットの複数のインジケーターに同じブレークダウンを適用して表示する場合は、ピボット スコアカードを使用します。スコアカードを旋回させて、ブレークダウン要素とインジケーターの軸を逆にすることができます。

ピボット スコアカード - ブレークダウン

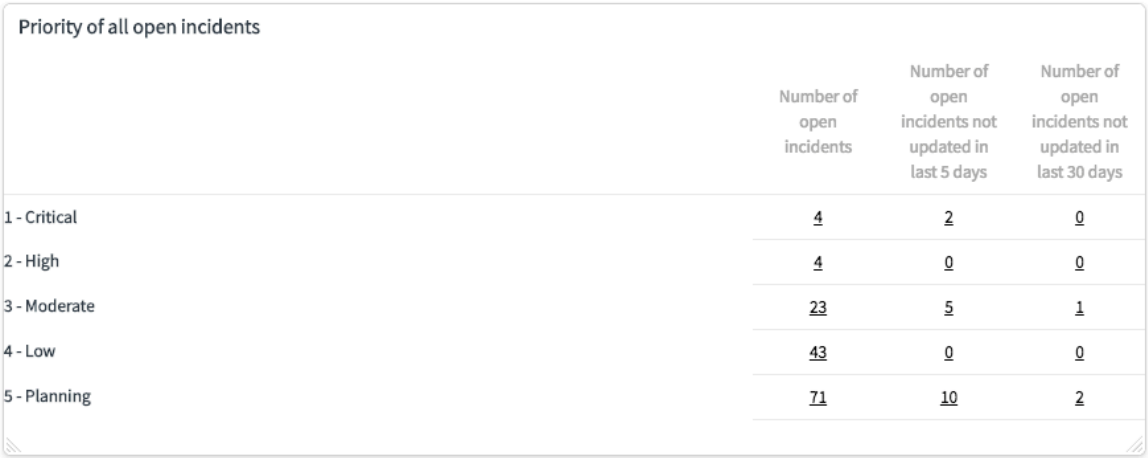
Priority of all open incidents

	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning
Number of open incidents	4	4	23	43	71
Number of open incidents not updated in last 5 days	2	0	5	0	10
Number of open incidents not updated in last 30 days	0	0	1	0	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボット スコアカード **(Y** 軸がブレークダウン)



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ピボットスコアカード] を選択します。
5. [ピボットブレークダウン] フィールドで、複数のインジケーターにまたがって要素を表示するブレークダウンを選択します。
6. [保存] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
7. [インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
8. 表示されるメニューで、ブレークダウン要素を比較するインジケーターを選択します。
9. **[Update** (更新)] をクリックします。

次のタスク

- ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。
- ウィジェットがダッシュボードに入ったら、ウィジェットを編集して [ブレークダウンを **Y** 軸に表示] 表示設定を試します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでのツリーマップによるチャート化の作成

ブレークダウン要素の階層を表示するには、ツリーマップによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power-user または admin

自動翻訳

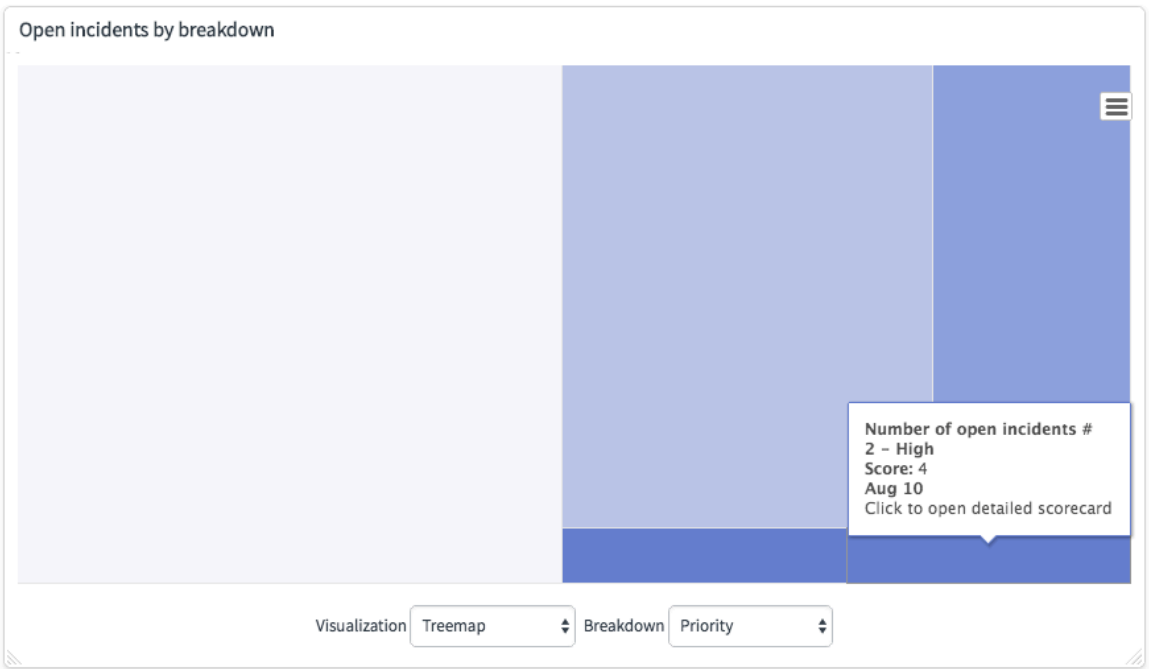
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ブレークダウンの要素が好感度で異なる場合、または各ブレークダウン要素とインジケーター ターゲットを比較する場合は、ツリーマップを使用できます。ツリーマップでは、要素の比率を表すサイズと好感度を表す色のネストされた四角形を使用します。

ツリーマップによるチャート化



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ツリーマップ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または第 2 のブレークダウンを選択しないでください。
- ビューアーの特性に応じて、ウィジェットにさまざまな要素を表示できます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルターを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされ、別のブレークダウンの要素でグループ化されたスコアをウィジェットで表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリングされたブレークダウンと要素を選択します。次に、 **2** 番目のブレークダウン フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには 、第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、それは最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 つ目のブレークダウンを取得するには、[フォロー] 要素 を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットでは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウンダッシュボードで選択した要素でフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように 要素を フォロー を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用の場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートする必要があります。それ以外の場合は、ダッシュボードのウィジェットに値ではなくエラーメッセージが表示されます。

7. [色分けの方法] フィールドで、好感度をスコア、スコアの変化、変化の割合、インジケーターターゲットのいずれに基づいてランク付けするかを選択します。
8. [正の色] フィールドで、肯定的であることを示す色を選択します。
9. [色分けの方法] によっては、[負の色] を選択する必要があります。
10. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計または平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して関数を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート基準] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順でソートするかどうかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータのソートを試みます。最新のジョブでスコアが収集されなかった場合、[ソート] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つのみ表示される場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティで定義された色が適用されます `glide.ui.chart.default.colors` 。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「カラースキームの作成」を参照してください。

11. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
    詳細については、「ブレークダウンウィジェットの追加の設定」を参照してください。
12. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

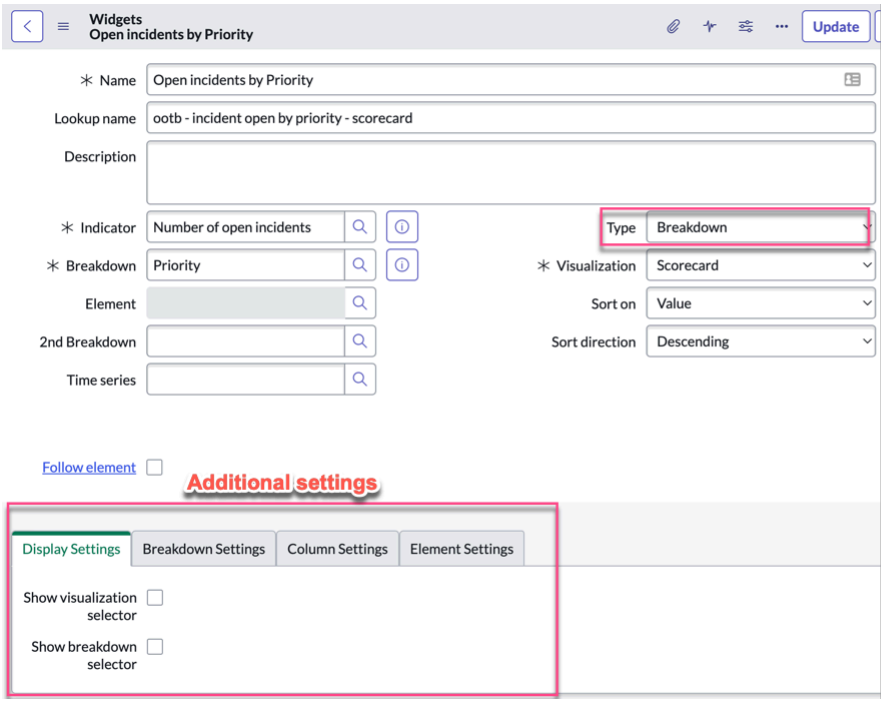
ブレークダウンウィジェットの追加の設定

ブレークダウン ウィジェットには、日付範囲、表示、グループ化ブレークダウン、および列の内容に関する次のオプション設定があります。すべてのオプションがすべてのチャート化で利用できるわけではありません。

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、スコアカードによるチャート化の場合です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



日付設定

設定	説明
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。 • 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。 [期間] フィールドは、[チャート化] として [線]、[列と合計]、または [積み上げ縦棒] を選択した場合にのみ利用できます。
範囲セレクタの表示	ダッシュボードにウィジェットを表示しているときに、選択した期間をユーザーが変更できるウィジェットに日付範囲セレクタを表示します。 **注:** • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに表示される期間が予想よりも 1 つ多くなることがあります。インスタンスでは、3m などの期間は 0 ～ 3 か月と解釈され、4 か月分のスコアが表示される場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

軸設定

注:
積み上げ縦棒が可視化の場合、軸設定は使用できません。

設定	説明
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。 2 番目の Y 軸は、スコアが通常は限られた範囲内を移動する場合に使用できますが、それ以外の場合はチャートを歪ませる例外があります。たとえば、40 ～ 60 の範囲で 1000 は例外になります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

表示設定

設定	説明
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを表示	円グラフの各スライスなど、チャートの各部分のスコアを表示します。
トレンドを表示	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
信頼帯を表示	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「 ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
コメントを表示	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。
表示方法セレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したチャート化を変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。 **注:** ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
ブレークダウンセレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したブレークダウンを変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。ウィジェットにブレークダウン選択リストを表示するには、利用できるブレークダウンが 1 つ以上存在する必要があります。
正の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、目的の方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、正の色はターゲットにより近い値を示します。
負の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、誤った方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、負の色はターゲットからより遠い値を示します。このフィールドは、[色基準] が [スコア] であるときは利用できません。
凡例を表示	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、このオプションを選択すると、正の色と負の色の凡例が表示されます。
凡例にデータのない要素を含める	ブレークダウンの要素に一致するレコードがない場合でも、ウィジェットの凡例にブレークダウン名を表示します。

ブレークダウン設定

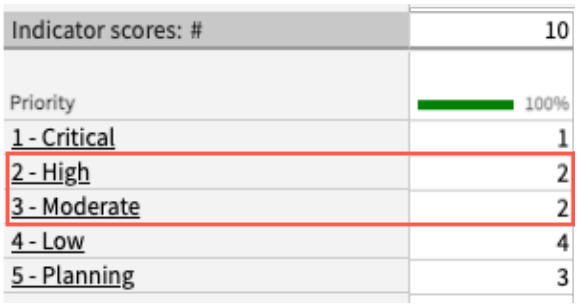
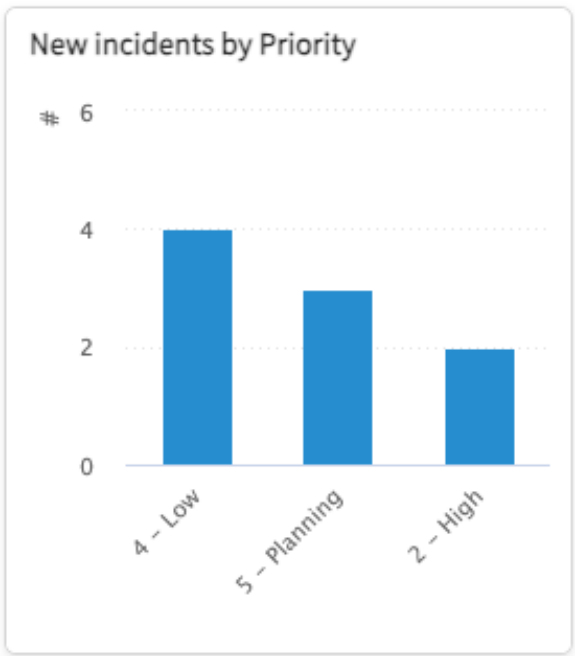
設定	説明
ブレークダウンを Y 軸に表示	ピボット アナリティクスハブ ブレークダウン ウィジェットは、デフォルトでは ブレークダウン要素を X 軸として、インジケーターを Y 軸として表示します。ブレークダウン要素を Y 軸として、インジケーターを X 軸として表示するには、このチェックボックスをオンにします。
合計の表示	[チャート化] フィールドで [スコアカード] を選択した場合、ブレークダウン チャートにすべての選択されたブレークダウンの合計を示す追加の行を含めることができます。
バーの表示	各インスタンスのスコアをバーで表します。

要素設定

設定	説明
要素フィルター	このウィジェットで特定のサブセットのブレークダウン要素のみを利用できるかどうかを指定します。デフォルトでは、すべての要素が利用可能です。 たとえば、ブレークダウン要素 [優先度] の要素は、[最重要]、[高]、[中]、[低]、または [計画] にすることができます。
手動の要素	ブレークダウン要素は自動または手動で選択できます。追加する要素の [ウィジェット要素] 関連リストを表示するには、[手動の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
	要素] チェックボックスをオンにします。ブレークダウンに属する要素を自動的に使用するには、[手動の要素] チェックボックスをオフにします。
トップ X の表示	グラフを読みやすくするために、[ソート基準] フィールドに従って、スコアが x 個高い要素のみを表示します。 同点の場合は、スコアシートに記載されている最初の要素が表示されます。たとえば、[上位 **X** の表示] が 3 で、[優先度] ブレークダウンの 3 番目に高い値が [高] と [中] の間で同点になっているウィジェットがある場合、ウィジェットには [中] ではなく [高] と表示されます。   スコアシートに要素がリストされる順序は、要素を含むテーブルによって異なります。たとえば、選択肢 [sys_choice] テーブルの要素の場合、この順序は [シーケンス] フィールドの値に従います。グループ [sys_group] テーブルの要素の場合、順序は [名前] フィールドに基づくアルファベット順になります。 **注:** 上位の要素は、最新のスコアから選択されます。ウィジェットに線グラフによるチャート化がある場合、表示されているタイムスパン全体で他の要素の平均スコアが高い場合でも、上位の要素は最新のスコアから選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
パーセンテージ	[割合なし] を選択した場合、インスタンスのスコア パーセンテージは表示されません。[要素の割合] を選択した場合、各インスタンスのスコア パーセンテージが表示されます。たとえば、インシデントの総数の 6.4% が最重要、11.8% が高などです。

列の設定

設定	説明
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
複数のスコア	アナリティクスハブにスコアを追加します。[期間の数] で、表示する追加スコアの数を選択します。[期間のステップ] で、各期間の長さを選択します。[現在のスコア] も選択されている場合、スコア列が最新の期間としてカウントされ、N-1 期間が追加されます。
前回比	前のスコアからの変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変化を表示します。
ターゲット	ターゲットが定義されている場合は、インジケーターのターゲットを表示します。
ギャップ	現在のスコアとターゲット スコアの差を表示します。ギャップは正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップ % は正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。

最新のスコア設定

設定	説明
比較するスコア	このタブは、可視化タイプが [最新スコア] の場合に表示されます。前のスコアまたは期間をさかのぼって選択します。以前の期間はいくつでも指定できます。

パーソナライズされたビジュアル

ダッシュボード、サービスポータル、またはワークスペースキャンバスでビジュアルを見るユーザーにのみ適用される情報を表示するように、動的要素を使用してビジュアルを構成します。

ビジュアルには、サポートエージェントにアサインされたチケットや、マネージャーのチームにアサインされたタスクの数などを表示できます。パーソナライズされたビジュアルから アナリティクスハブ に移動すると、アナリティクスハブ もパーソナライズされます。

パーソナライズされたビジュアルを使用して、パフォーマンスアナリティクス をマネージャーとライン作業者にプッシュします。これは、パーソナライズされたビジュアルのウィジェットをサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポータルに追加するために特に便利です。ポータルにログインするマネージャーが、自分が所有するグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。ポータルにログインしたライン作業者が、自分または自分のグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。パフォーマンスアナリティクス には、[自分のグループの 1 つ]、[自分が管理するグループ]、および [自分] の要素フィルターがあり、このようなパーソナライズされたビジュアルを作成できます。

パーソナライズは、時系列、スコア、およびブレークダウンの各ウィジェットに適用されます。パーソナライズされたビジュアルを構成すると、ウィジェットが表示される場所 (ダッシュボード、ランディングページ、または Service Portal) にパーソナライズが適用されます。

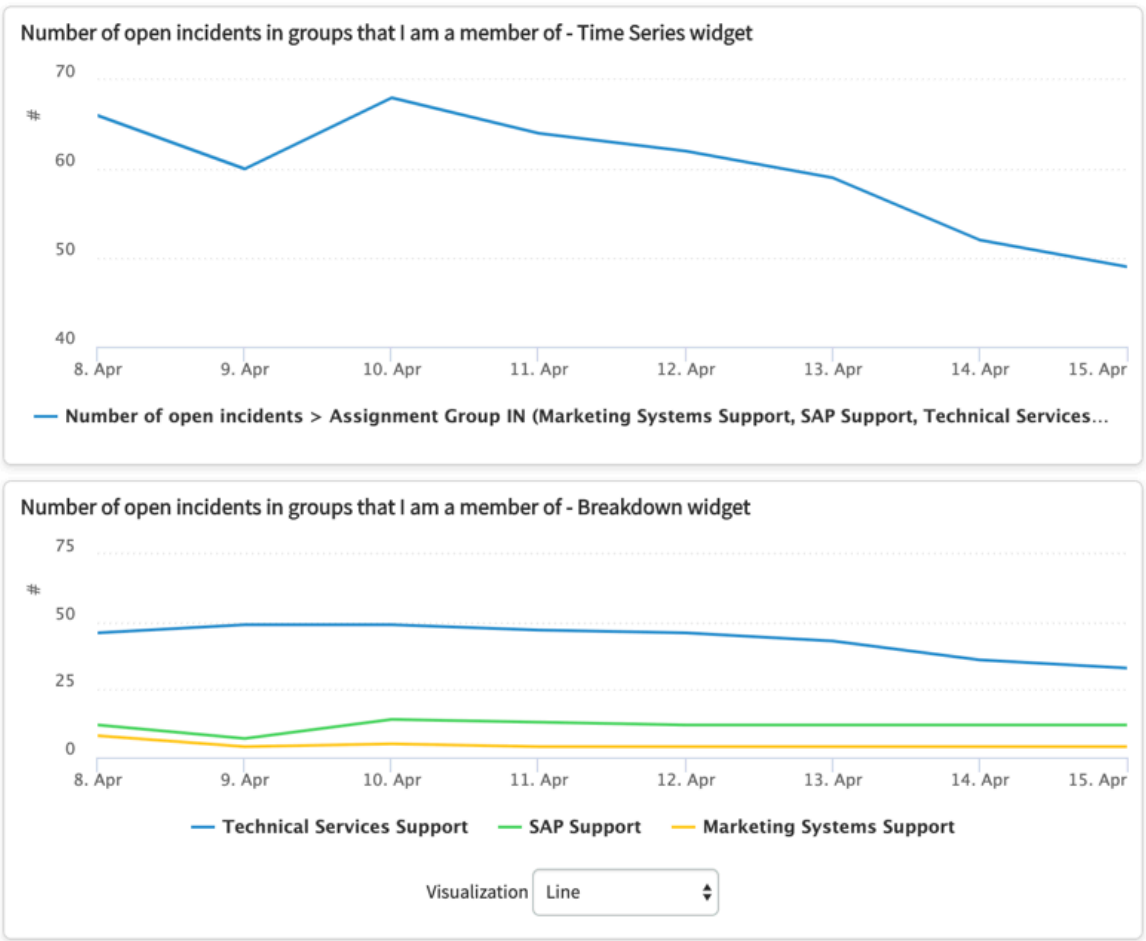
技術的には、 ブレークダウン要素を指定する代わりに、ウィジェットに要素フィルターを適用してビジュアルをカスタマイズします。パーソナライズは、[次の条件に一致] [自分] などのフィルターの動的条件を使用して行われます。

注:
パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

複数の要素を表示する

要素フィルターが複数の要素を返す場合、これらの要素のスコアはスコアウィジェットと時系列ウィジェットに集計値として表示されます。ただし、これらのスコアはブレークダウンウィジェットでは個別に表示されます。次の例は、同じパーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェットを示しています。ログインビューアーは、テクニカルサービスサポート、SAP サポート、およびマーケティングシステムサポートグループのメンバーです。上部の時系列ウィジェットにはこれらのグループの集計ビューが表示され、その下の [ブレークダウン] ウィジェットには個別のビューが表示されます。

パーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェット

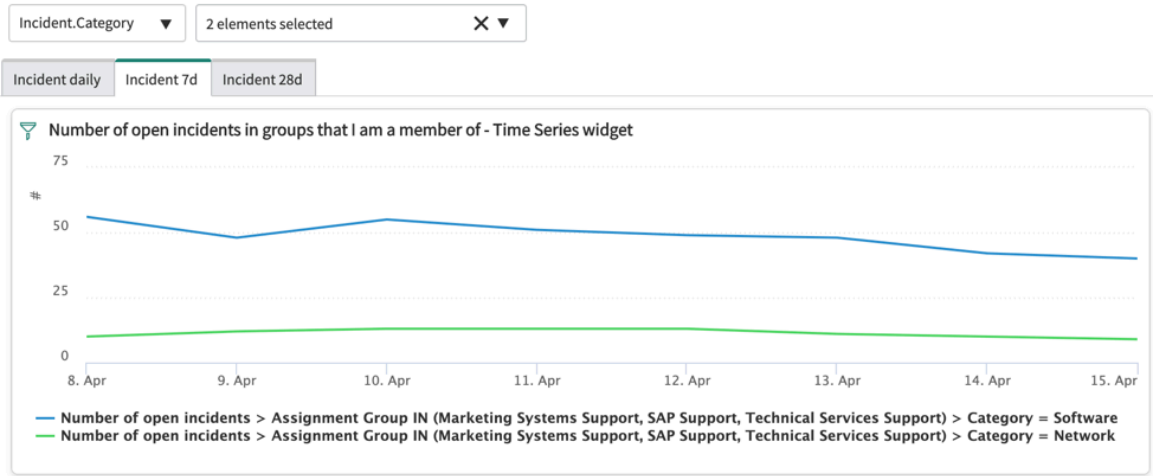


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするようにウィジェットを設定する場合は、複数の要素の [集計] または [独立] のビューを選択しても、パーソナライズされたビジュアルには影響しません。たとえば、ブレークダウンダッシュボードの次の時系列ウィジェットは、複数の要素を個別に表示するように構成されています。この構成は、ダッシュボード上のカテゴリブレークダウンの要素に適用されます。ただし、ウィジェットには、パーソナライズされたビジュアルのアサイン先グループの要素が集計として表示されます。

ブレークダウンダッシュボードのパーソナライズされたビジュアルを備えたウィジェット



詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

カスタマイズされたビジュアルを使用してウィジェットを構成する

パーソナライズされたビジュアルを使用すると、ダッシュボードまたはキャンバスでビジュアルを使用するユーザーに最も関連性の高い情報を共有できます。ウィジェットのビジュアルをカスタマイズするには、要素フィルターを適用します。

始める前に

注:
パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

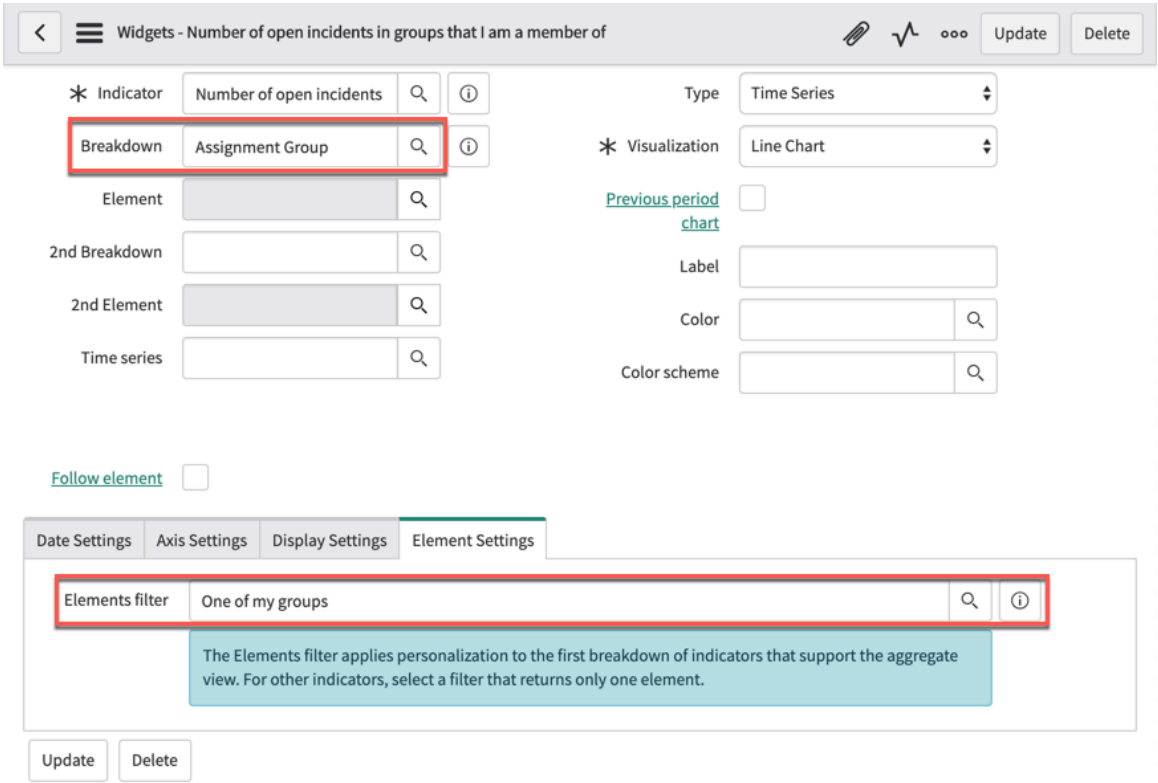
必要なロール:pa_admin、pa_power_user

手順

1. [次の条件に一致] [自分] など、動的条件を使用して 1 つ以上の ブレークダウン要素フィルター を作成します。
   要素フィルターを作成する前に、既存のフィルターを使用できるかどうかを確認してください。
2. 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
3. カスタマイズするウィジェットを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ウィジェットフォームで、[アサイン先] や [アサイン先グループ] などのカスタマイズに適用するブレークダウンを選択します。



5. [要素設定] タブで、虫眼鏡アイコンをクリックして、ブレークダウンに適用してウィジェットをカスタマイズする [要素] フィルターを選択します。
6. **[Update** (更新)] をクリックします。

タスクの結果

このウィジェットを含むダッシュボード、サービスポータル、またはキャンバスでは、ウィジェットはビューアー用にフィルタリングされたブレークダウン要素を表示します。

カスタマイズされたビジュアルの例

ビジュアルをカスタマイズするには、要素フィルターを作成し、同じフィルターを使用してパフォーマンスアナリティクスウィジェットを構成します。この例では、ユーザーに属するインシデントのみを表示するフィルターを作成し、作成したフィルターを使用してスコアウィジェットを構成します。

始める前に

必要なロール:pa_admin、pa_power_user
要素フィルターは永続的です。要素フィルターを作成したら、複数のビジュアルに適用できます。

このタスクについて

この例では、 Users.Active ブレークダウンソースを使用してウィジェットを表示しているユーザーをフィルタリングする要素フィルターを作成します。次に、新しい要素フィルターを使用するようにウィジェットを構成し、ダッシュボードにウィジェットを表示します。

手順

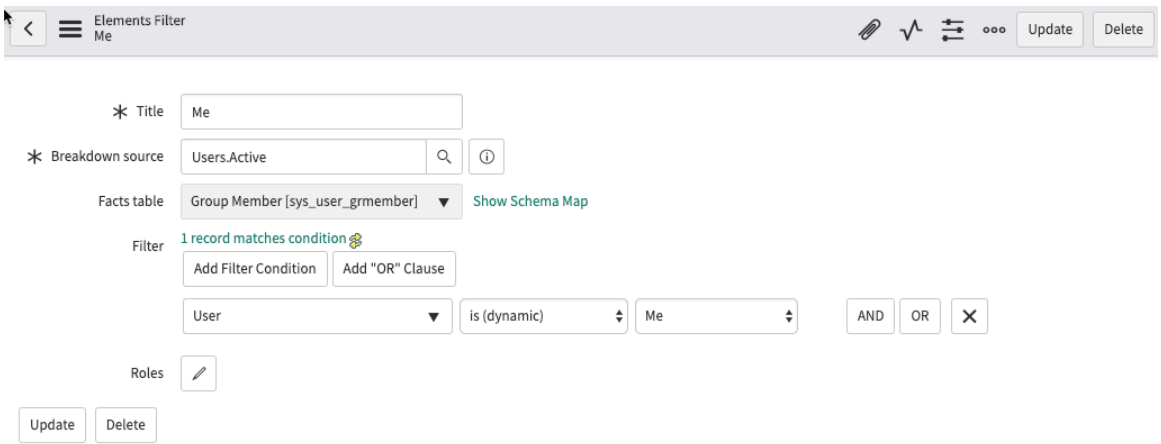
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > 要素フィルター をクリックし、[要素フィルター] フィールドテーブルの詳細を使用して新しい要素フィルターを作成します。
   詳細については、「要素フィルターの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	虫眼鏡アイコンをクリックし、[Users.Active] を選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	ブレークダウンソースファクトテーブルを選択します。Users.Active のファクトテーブルは **Group Member [sys_user_grmember]** です。
フィルター	使用可能な要素を制限するフィルタ条件を指定します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 この要素フィルターでは、[User][is (dynamic)][Me] を指定します。 パーソナライズされたビジュアル の場合、フィルター条件の演算子は [is (dynamic)] である必要があります。
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。 この例では、フィルターを選択できるユーザーを制限しません。



2. ウィジェットフィールドテーブルの詳細を使用してスコアウィジェットを作成します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスウィジェット」を参照してください。知っておくべき重要なことは、要素フィルターはインジケーターの第 1 レベルのブレークダウンに適用されるということです。

ウィジェットフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	自分のオープンインシデント (My open incidents)

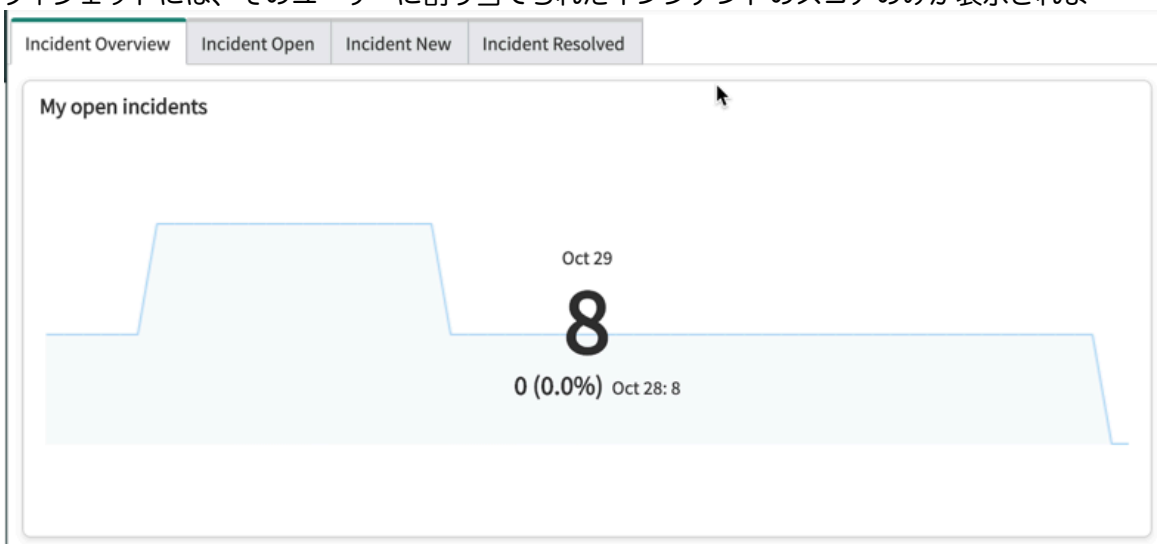
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
インジケーター	オープン中のインシデントの数
ブレークダウン	[アサイン先] を選択します。このブレークダウンが利用できない場合は、インジケーターに追加します。詳細については、「 ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。
タイプ	スコア
可視化	最新スコア

3. ウィジェットの [要素設定] タブで、ステップ 1 で作成した要素フィルターである [自分] を選択します。
   [自分のオープンインシデント] ウィジェットを表示できるユーザーには、自分にアサインされたインシデントのスコアのみが表示されます。
4. [自分のオープンインシデント] ウィジェットをダッシュボードに追加します。

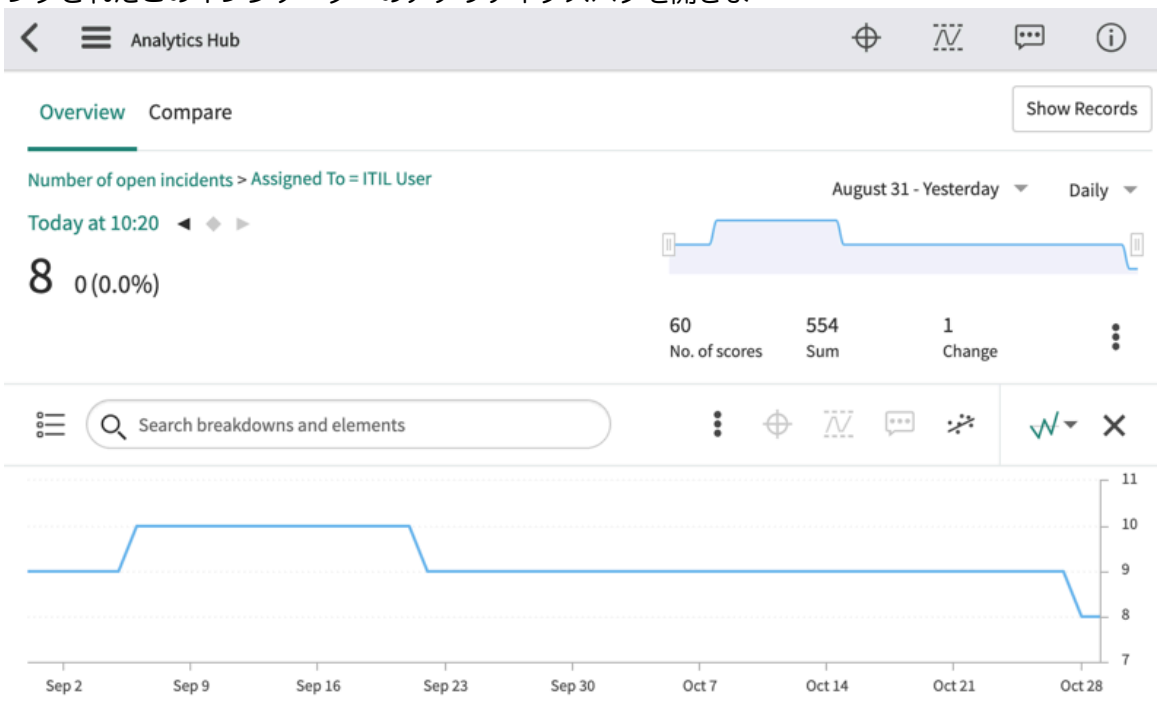
次のタスク
インシデントがアサインされたユーザーとしてログインし、[自分のオープンインシデント (My open incidents)] ウィジェットを含むダッシュボードを開きます。[自分のオープンインシデント] ウィジェットには、そのユーザーに割り当てられたインシデントのスコアのみが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアをクリックして、ダッシュボードを見ているユーザーでフィルタリングされたこのインジケーターのアナリティクスハブを開きます。



ピボット ウィジェットでのヒートマップによるチャート化の作成

インジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンでグループ化するには、ピボット ウィジェットでヒートマップによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

インジケーターに 2 つのブレークダウンを適用する場合は、ブレークダウンをピボット テーブルの 2 つの軸として持つピボット ウィジェットを作成します。両方のスコアが高いときに色のグラデーションを使用して強調表示するヒートマップは、ピボット ウィジェットで使用できる唯一のチャート化です。

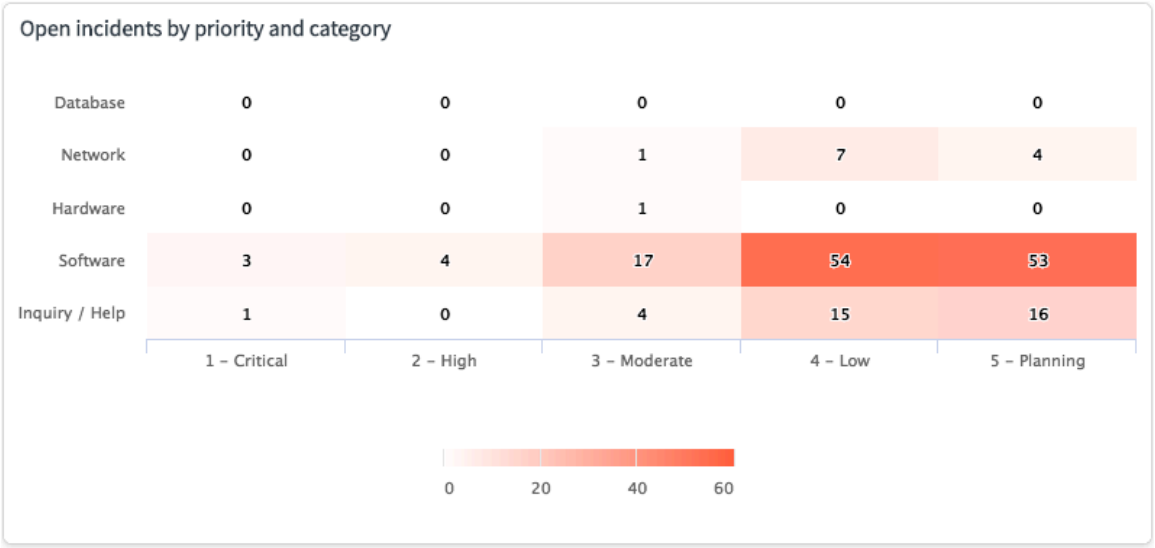
注:

- ピボット ウィジェット は、[要素をフォロー] 機能をサポートしていません。ダッシュボードのブレークダウンは、これらのウィジェットには適用できません。
- ヒートマップには 1000 を超えるセルを表示できません。2 つのブレークダウンの要素の合計数が 1000 を超える場合、ヒートマップは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップによるチャート化 - ピボット ウィジェット



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. [**New**] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[ピボット] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[ヒートマップ] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、分割するインジケーターを選択します。
7. [ブレークダウン] フィールドで、X 軸にするブレークダウンを選択します。
8. [ブレークダウンレベル **2**] フィールドで、Y 軸にするブレークダウンを選択します。
9. オプション: [表示設定] で、カラー スキームと、データ ラベルと凡例を表示するかどうかを設定します。
10. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

テキスト分析とテキスト ウィジェット

テキスト分析では、ユーザーが入力したテキスト フィールドに存在するパターンを明らかにします。

> **注:**
> この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

テキスト分析では、ユーザーがフォームに入力したテキストを分析する視覚的なツールを使用できます。このような分析の利点として、顧客が苦痛と思っている点の早期警告、不正なアクティビティの発見、営業レポートやインシデント レポートに集められている特定のエンティティや概念の抽出な

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

どが考えられます。この構造化されていない、定性的なデータに含まれている有用な情報は、他のツールでは見つけられないことがあります。

注:

- テキスト分析は、ライセンス版のパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。
- プラットフォームアナリティクス データの可視化は、テキストアナリティクスをサポートしていません。

テキスト分析は、テキストのインデックスを作成することから始まります。テキストのインデックス作成は、多くのインジケーターが 1 つのインデックス構成を再利用できるように、インジケーターソースに定義します。

テキスト分析を設定するときは、次の項目を決定します。

- インデックスを作成するインジケーター ソースのフィールド。
- テキスト インデックス構成を適用するインジケーター。
- 分析から除外するストップワード。
- 単一の単語以外に検索するフレーズ。
- デフォルト フィルタリングのキーワード。

テキスト分析を設定したら、テキストをチャート化するウィジェットを作成して、そのウィジェットをダッシュボードに組み込みます。

次のビデオは、テキスト分析の設定と表示のプロセスを示しています。

非構造化データまたは定性的データを分析するパフォーマンスアナリティクステキストアナリティクスワードクラウドウィジェットの作成方法。また、テキストアナリティクスウィジェット用のデータを設定および収集する方法についても説明します。

テキスト分析の設定

分析するテキスト フィールドと分析するインジケーターを選択します。

始める前に

テキスト分析は、 データ収集ジョブの特定のステップに依存します。テキスト分析を収集するには、関連するジョブの [収集] パラメータを設定する必要があります。ジョブは、テキスト分析の対象となる同じインジケーターのデータを収集する場合、関連します。「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

注:

ドメインセパレーションについて:特定のドメインのテキストアナリティクスを収集するには、それらのドメインごとにテキストアナリティクスをセットアップします。各ドメインの収集ジョブで、そのドメインへのアクセス権を持つ 実行 ユーザーを指定します。収集ジョブのドメイン構成を指定しないでください。詳細については、「ドメインセパレーションを使用したパフォーマンスアナリティクスへのアプローチ」を参照してください。ハイブリッドアプローチを使用しています。

必要なロール：pa_power_user または pa_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > テキストアナリティクス > セットアップ.
   - 新しいテキスト分析構成を作成するには、 新規 を選択します。
   - 既存のテキスト分析構成を編集するには、その行の情報アイコンを選択し、 レコードを開く を選択します。テキスト分析構成ではなく、インジケーターソース名を選択して、そのインジケーターソースのレコードを開きます。
2. 入力テキストを分析する [インジケーターソース] を選択します。
3. [分析するフィールド] のロックを解除して、入力テキストを分析するフィールドを選択します。
   少なくとも 1 つのフィールドを選択する必要があります。通常は、[簡単な説明] フィールドを含めます。

   次のフィールドは選択できません。
   - ドット連結フィールド
   - [翻訳されたテキスト] フィールド
   - 文字列以外のタイプのその他のフィールド
4. オプション: Zing ストップワードを含めるには、[システムのストップワードを使用] を選択します。
   デフォルトで選択されています。Zing グローバル ストップワードはインジケーター ソースに適用されます。Zing ストップワードを使用しない場合は、すべてのストップワードを自分で選択する必要があります。
5. テキスト インデックス構成を保存します。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
6. [インジケーター] リストで [編集] をクリックし、分析するインジケーターを選択します。
7. 関連する履歴データ収集ジョブを実行して、初期データを収集します。
   このフォームからジョブを実行できることがありますが、履歴データ収集ジョブを実行する必要があることもあります。詳細については、次のトピックを参照してください。

関連情報

Zing によるクエリからのストップワードの削除

初期テキスト分析データの収集

インジケーター ソースのテキスト分析を構成するときは、関連するデータ コレクタ ジョブが実行されるまで、データは使用できません。テキスト分析構成を新しく作成した場合は、特別な収集ジョブを実行します。既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを実行して、テキスト分析のみを収集します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

手順

- [設定フィールド] フォームで、[保存]、[更新]、および [削除] の横にボタンがある場合は、[履歴収集を実行] をクリックします。
  このボタンは、テキスト インデックスのみを収集する 1 回限りの履歴ジョブを起動します。これは、テキスト分析構成を作成する場合にのみ利用できます。

  このジョブは、分析に含まれるいずれかのインジケーターのデータがある最短期間に等しい期間のデータを収集します。たとえば、5 つのインジケーターでテキスト分析を実行していて、そのうちの 4 つは 1 年分のデータがあり、5 つ目のインジケーターは 4 か月分のデータしかない場合、5 つのインジケーターすべてについて 4 か月分のテキスト分析が収集されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを構成して実行します。

1. 次のように移動する。 データコレクション > ジョブ.
2. 「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」で説明されているとおりに、以下の特性で、履歴データ収集ジョブを作成または編集します。
   - [収集] ジョブ パラメータを [テキストインデックスのみ] に設定します。
   - [実行] ジョブ パラメータを [オンデマンド] に設定します。
   - [開始日（相対）]、[開始日指定（相対）]、[終了日（相対）]、および [終了日指定（相対）] にテキスト分析を実行するインジケーターに適した値を設定します。
   - テキスト分析を実行するインジケーターが、収集ジョブのインジケーターと一致していることを確認します。
3. ジョブを実行します。

次のタスク
テキスト分析が構成され、初期データが収集されたので、選択したインジケーターのテキスト分析ウィジェットを作成できます。まず、テキスト分析のストップワードを設定することを検討してください。これらのストップワードと Zing ストップワードの両方を適用できます。

テキスト分析ストップワードの選択

テキスト分析から除外する単語を選択します。インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかで単語を除外できます。

始める前に
必要なロール：pa_analyst または pa_admin

このタスクについて
インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかに適用するストップワードを選択します。インジケーターのストップワードを選択すると、ストップワードが適用されるスコアをブレークダウンおよびブレークダウン要素でフィルタリングできます。インジケーター ソースのストップワードを選択すると、それらをデータ収集から除外します。その結果、インデックスに無駄がなくなります。

デフォルトでは、このフォームで選択したストップワードに加えて、Zing グローバル ストップワードが適用されます。この動作はテキスト インデックス構成で無効にすることができます。現在のストップワードのリストを検索するには、インスタンスで次の場所に移動します。 システム定義 > テキストインデックスのストップワード.

手順
1. 次のように移動する。 テキストアナリティクス > ストップワード をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [タイプ] フィールドで、[インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
   インジケーターを指定すると、1 つまたは 2 つのレベルのブレークダウンでテキストをフィルタリングできます。

   インジケーターソースを指定すると、無駄のないインデックスを維持するために、ストップワードがデータ収集から削除されます。ただし、これらのストップワードは、[ストップワード] フィールドから削除しても、すぐにウィジェットに戻すことはできません。次のデータ収集まで表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターで指定されたストップワードは、インデックスに残ります。これらのストップワードは、[ストップワード] リストから削除することですぐにウィジェットに戻すことができますが、インデックスのサイズがパフォーマンスに影響する可能性があります。

3. ストップワードの適用先として [インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
4. オプション: ブレークダウンでテキストをフィルタリングするには、[ブレークダウン] フィールドと最初の [要素] フィールドで値を選択します。
   ブレークダウンを選択しても要素を選択しなかった場合、ウィジェットはブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみを分析します。
5. オプション: ブレークダウンを選択し、2 番目のブレークダウンでテキストをフィルタリングする場合は、[ブレークダウンレベル **2]** フィールドと 2 番目の [要素] フィールドで値を選択します。
6. [ストップワード] フィールドで、テキスト分析から除外する単語をカンマで区切って入力します。
7. [**Submit** (送信)] を選択します。

フレーズのテキスト検索

最も頻繁に出現する個々の単語だけを検索するのではなく、テキスト分析が検索するフレーズを指定できます。

始める前に

必要なロール：pa_analyst、pa_power_user、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > テキストアナリティクス > フレーズ をクリックし、[新規] をクリックします。
   既存のテキスト インデックス フレーズ フォームを編集するには、そのフォームの情報アイコンをクリックしてから、プレビュー ウィンドウで [レコードを開く] を選択します。
2. フレーズを検索する [インジケーター] を選択します。
   このインジケーターに対してテキスト分析を設定する必要があります。
3. オプション: [ブレークダウン] または [要素] フィールドで、フレーズを検索するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。
4. カンマ区切りの一連のフレーズを [フレーズ] フィールドに入力します。
   たとえば、「can't access, don't see」と入力します。

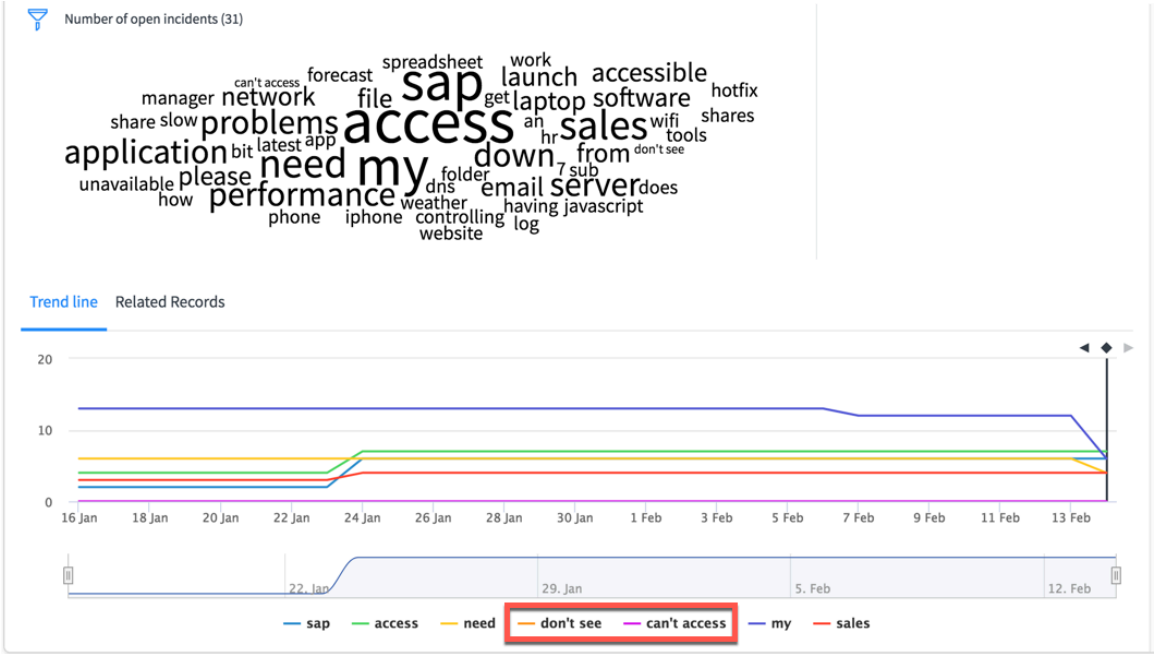
タスクの結果

このインジケーターのテキスト ウィジェットをダッシュボードに含めると、指定したフレーズがトレンド ラインに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「don't see」と「can't access」のフレーズが設定されたテキスト ウィジェット



テキスト ウィジェットの作成

アナリストがインジケーターのユーザー入力テキストのパターンをチャート化しやすいようにするには、テキスト ウィジェットでワード クラウドによるチャート化を作成します。

始める前に

テキストのインデックス作成は、関連するインジケーター ソースに対して構成する必要があります。この構成には、関連するインジケーターが含まれている必要があります。

テキスト分析は、ライセンス バージョンのパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。

必要なロール：pa_power_user または admin

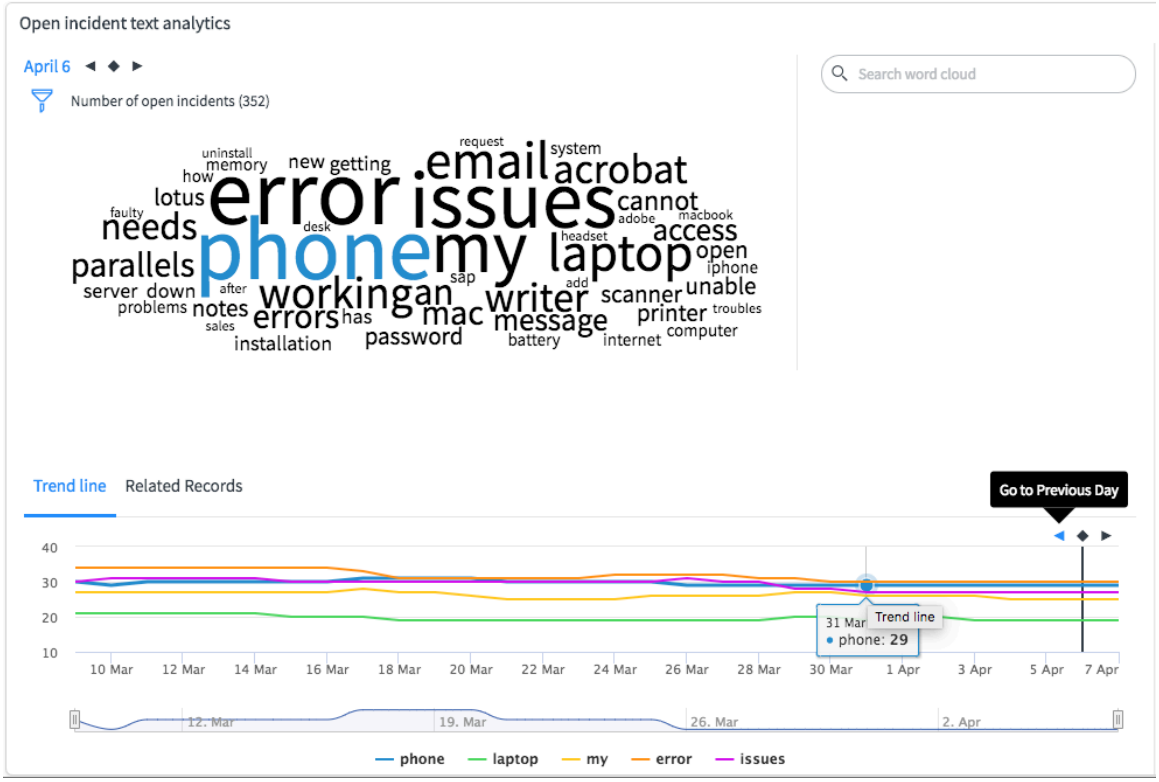
このタスクについて

テキスト ウィジェットは、単語やフレーズの頻度をチャート化するためのワード クラウドを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワード クラウドによるチャート化 - テキスト ウィジェット



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[テキスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
   [チャート化] として [ワードクラウド] が自動的に選択されています。
4. [インジケーター] フィールドで、テキストを分析するメイン インジケーターを選択します。
5. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	指定されたブレークダウンの指定された要素に関連付けられているテキストのみが分析されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうしないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

6. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をウィジェットがフォローするようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

      注:
      ブレークダウンダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコアウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

   詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

7. フィールド内の単語またはフレーズの出現頻度に基づいてウィジェットに表示される単語やフレーズをフィルタリングするカットオフ値を設定します。

   a. [カットオフ] フィールドで、カットオフ値を数値カウントにするか、相対パーセンテージにするかを選択します。

      - カウント は、フィールド内の単語またはフレーズの出現回数です。たとえば、カットオフ設定が [[カウント][以上][10]] の場合、ウィジェットには 10 回以上出現する単語とフレーズのみが表示されます。
      - パーセンテージ とは、フィールド内のすべての単語の出現率のうち、単語またはフレーズの出現率を指します。たとえば、フィールド内のすべての単語が合計 30 個出現し、カットオフ設定が [[パーセンテージ][次の値以上][10]] の場合、ウィジェットには 3 回以上出現する単語またはフレーズのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [カットオフ条件] フィールドで、カットオフ値が最小値か最大値かを選択します。

- [次の値以上] では、少なくともカットオフ値と同程度に共通する場合に、ウィジェットに単語またはフレーズが表示されます。
- [次の値以下] では、カットオフ値よりも一般的でない場合に、ウィジェットに単語またはフレーズが表示されます。

c. [カットオフ値] フィールドで、整数値を指定します。

8. オプション: 残りの表示設定のいずれかを設定します。

フィールド	説明
デフォルトフィールド	テキスト インデックスの構成で複数のフィールドが選択されている場合、デフォルトでこのフィールドが表示されます。
単語の最大数	ワードクラウドに表示する最大単語数
トレンドラインの最大数	ワードクラウドの下に表示される傾向ラインの最大数

次のタスク

- ダッシュボードにウィジェットを追加します。
- アドミンまたはダッシュボードオーナーは、ウィジェットを含むダッシュボードをこれらのユーザーと共有します。
- テキスト分析では、 データ収集ジョブの特別な手順を使用します。ウィジェット用のデータがない場合は、関連するデータ収集ジョブが実行され、ジョブがテキスト インデックスを収集していることを確認します。「初期テキスト分析データの収集」を参照してください。
- キーワードでワード クラウドをフィルタリングします。

テキスト分析用キーワードの保存

テキスト分析ウィジェットを常にフィルタリングするキーワードを保存することができます。ワード クラウドの単語から選択して、ダッシュボードのウィジェットに直接保存することができます。また、保存したキーワードのレコードを作成または編集することもできます。

始める前に

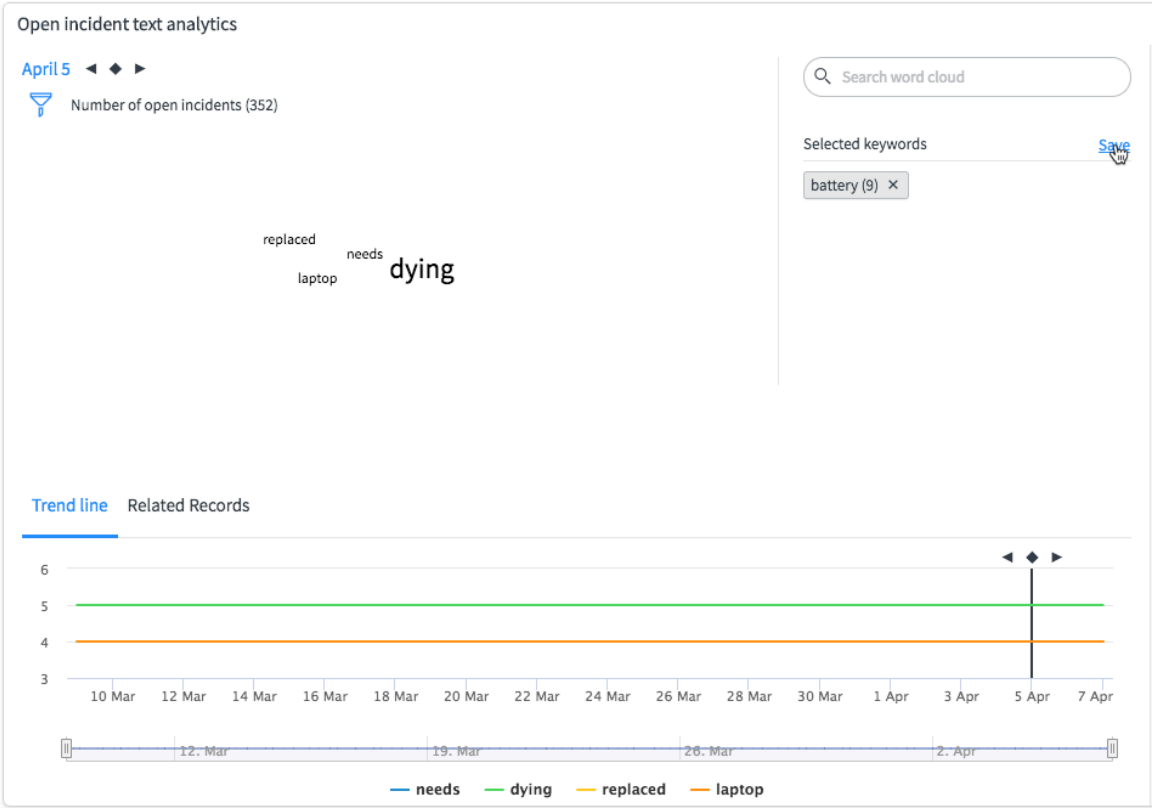
必要なロール：pa_analyst または admin

このタスクについて

キーワードでワード クラウドをフィルタリングするには、クラウドの中の単語をクリックします。誰かがウィジェットを表示するたびに使用されるキーワードのリストを保存することができます。キーワードの各リストは、1 つのウィジェット内のインジケーターの 1 つのブレークダウンと要素の組み合わせに適用されます。次の例では、「battery」という単語がキーワードとして指定されています。[保存] をクリックすると、すべてのビューアに、このウィジェットが「battery」でフィルタリングされて表示されます。必要なロールを持つユーザーは、後で保存されたキーワードを削除できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キーワード「battery」でフィルタリングされたワード クラウド



また、キーワードが保存されたレコードを作成または編集することもできます。この方法では、選択するキーワードが既にワード クラウドに出現しているキーワードに限定されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > テキストアナリティクス > キーワード をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [ウィジェット] フィールドに、キーワードを適用するウィジェットを指定します。
3. [インジケーター] フィールドに、キーワードを適用するインジケーターを指定します。
4. [フィールド] フィールドで、キーワードを適用するインジケーター フィールドを選択します。
5. オプション: [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでは、ブレークダウン要素によってキーワードを適用するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。

   ブレークダウンと要素の組み合わせを指定すると、その組み合わせがウィジェットで選択されたときにのみ、キーワードが適用されます。ブレークダウンと要素の組み合わせを指定しないと、キーワードが特に選択されていないすべてのブレークダウンと要素の組み合わせに、キーワードが適用されます。
6. [キーワード] フィールドに、カンマ区切りのキーワード リストを入力します。
7. [**Submit** (送信)] を選択します。

ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

ワークベンチプロセスウィジェットは、ストーリーを伝えるインジケーターのコレクションです。このウィジェットを使用すると、ドリルダウンせずに複数のインジケーターの複数のファセットを 1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

つの画面で分析できます。このウィジェットは、ワークフローを持つプロセスまたはサービスを監視する場合に便利です。

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

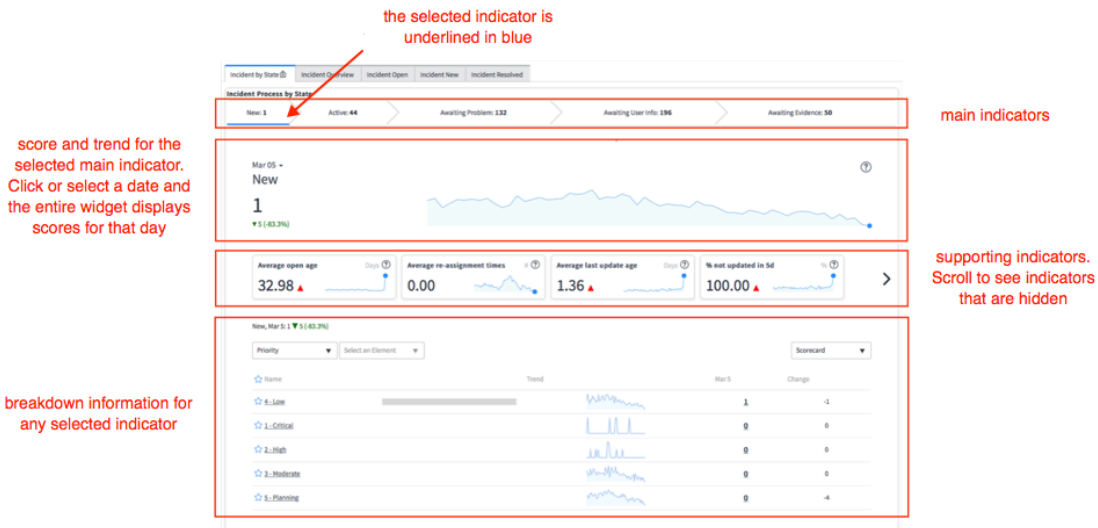
ウィジェット上部のメイン インジケーターを選択します。オプションで、各メインインジケーターは、独自のサポート インジケーターセットを持つことができます。

ウィジェットには、動的に更新される 4 つの相互接続されたセクションがあります。たとえば、メインインジケーターをクリックすると、そのスコア、トレンド、サポートインジケーター、およびブレークダウンの情報が表示されます。いずれかのチャート化の日付をクリックまたは選択すると、ウィジェット全体がその日のデータを表示します。

注:

- メイン インジケーターとその適用されたブレークダウンでリアルタイム スコアがサポートされている場合は、リアルタイム スコアを表示できます。リアルタイムスコアを表示するには、日付セレクターで [リアルタイム] を選択します。リアルタイムスコアは、ワークベンチの上部ペインにのみ表示されます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。
- 各スコア傾向に対してウィジェットに表示されるタイムスパンは、インジケーターの頻度によって異なります。期間は、日次は 60 日、週次および月次は 1 年、四半期は 3 年、年次は 12 年です。このタイムスパンは設定できません。ただし、ウィジェットで時系列集計を適用すると、それに応じて期間が変更されます。

ワークベンチ プロセス ウィジェット



ワークベンチプロセスウィジェットの下部には、選択したインジケーターの利用可能なブレークダウンまたは収集されたレコードが表示されます。[ブレークダウン] または [レコード] タブをクリックして、どちらか一方を表示します。オープン インシデントの平均経過時間などの集計を指定するサポートインジケーターを選択している場合、[レコード] タブは表示されません。

ワークベンチ ウィジェットを作成するときは、メインおよびサポートインジケーターのみを選択します。ウィジェットのスコア、傾向、ブレークダウンのセクションは自動的に構成され、変更することはできません。ただし、ウィジェットのインジケーターの順番と外観は変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークベンチ プロセス ウィジェットの作成

複数のインジケーターを使用してプロセスを監視するためのワークベンチ ウィジェットを作成します。

始める前に

- ワークベンチ ウィジェットの構造を理解している
- 含めるメインおよびサポート インジケーターを決めておく
- 必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンス分析 > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
   新しいウィジェット レコードが表示されます。
2. ウィジェットに名前を付けます。
3. [タイプ] フィールドで、[ワークベンチ] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   メイン ウィジェット インジケーター関連リストが表示されます。
5. ワークベンチ ウィジェットにメイン インジケーターを追加します。
   メイン インジケーターがウィジェットの上部に表示されます。追加可能なインジケーターの最大数は、com.snc.pa.widget.max_widget_indicators で指定します。ウィジェット インジケーターのデフォルトの最大数は 7 です。

   a. メイン ウィジェット インジケーター関連リストで [新規] をクリックします。

   b. [インジケーター] を選択します。

   c. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

   d. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。

追加インジケーター構成オプション

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	ブレークダウン要素で、インジケーターに表示されるデータをフィルタリングします。ブレークダウンを選択する場合は、要素を選択する必要があります。 たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、[状態] に [ブレークダウン]、[要素] に [有効] を選択した場合、有効状態のインシデントのスコアのみがウィジェットに含まれます。
ブレークダウン レベル 2 と要素	インジケーターに表示されるデータをフィルタリングする 2 つ目のブレークダウン要素を追加します。ブレークダウン レベル 2 を選択する場合は、要素を選択する必要があります。 たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、1 つ目のブレークダウン フィルタは有効状態に設定されているとします。そこで、[ブレークダウンレベル **2]** に [カテゴリ]、[要素] に [ソフトウェア] を選択します。インジケーターに、有効

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	でソフトウェア カテゴリに含まれるオープン インシデントのスコアのみが表示されるようになります。
時系列	指定された期間と集計をウィジェットのトレンド チャート化に追加します。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターに時系列集計を設定することはできません。
要素をフォロー	ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用されたブレークダウン要素をインジケーターにも適用することを指定します。 [ブレークダウンレベル 2] を指定すると、[要素をフォロー] は無視されます。
ブレークダウンをフォロー	このブレークダウンのみを [要素をフォロー] としてインジケーターに適用することを指定します。ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用された他のすべてのブレークダウンは無視されます。 [ブレークダウンをフォロー] を指定しない場合は、ダッシュボードに適用されたすべてのブレークダウンがインジケーターに適用されます。
ラベル	ウィジェットでのインジケーターの名前を指定します。ラベルを指定しない場合は、インジケーターの名前が使用されます。

e. サポート インジケーターを追加するには、フォーム ヘッダーを右クリックして [保存] を選択します。
[送信] ボタンの代わりに [保存] をクリックすると、ウィジェットインジケーターは保存されますが、フォームは開いたままになります。保存後、サポートウィジェットインジケーターリストがフォームの下部に表示されます。

6. オプション: サポート インジケーターをメイン インジケーターに追加します。
メイン インジケーターをクリックすると、そのサポート インジケーターがウィジェットの中央に表示されます。サポート インジケーターは無制限に追加できます。

a. [ウィジェット] フォームを表示している場合は、[メインウィジェットインジケーター] 関連リストに移動し、サポートウィジェットを必要とするメインインジケーターの [ウィジェットインジケーター] フォームを開きます。
ウィジェットインジケーターフォームを開くには、メインインジケーターの情報アイコン (情報ⓘ) を選択します。これにより、プレビューが開きます。次に、プレビューで [レコードを開く] を選択します。

b. [サポートウィジェットインジケーター] 関連リストで [新規] をクリックします。

c. [インジケーター] を選択します。

d. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

e. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポート インジケーターは、メイン インジケーターと同じ方法で構成できます。「設定オプション」のステップ 5 を参照してください。

f. [送信] をクリックして、メイン インジケーター レコードに戻ります。

g. すべてのサポート インジケーターを追加するまで、ステップ 6 を繰り返します。

7. [更新] をクリックしてウィジェットレコードに戻ります。
8. すべてのインジケーターを追加するまで、ステップ 5 ～ 7 を繰り返します。
9. オプション: メイン インジケーターの 1 つを [デフォルトインジケーター] として選択します。このデフォルトのインジケーターは、ユーザーがウィジェットを表示すると自動的に表示されます。デフォルトのインジケーターを指定しないと、ウィジェットには [順番] の値が最小のメイン インジケーターが最初に表示されます。
10. [更新] をクリックして、ウィジェットを保存します。

次のタスク

ウィジェットをレビューして、新しいインジケーターが正しいことを確認します。ウィジェットをまだ追加していない場合は、ダッシュボードにウィジェットを追加して表示します。

ウィジェット インジケーターの追加

既存の時系列またはリスト ウィジェットに任意の数のセカンダリ インジケーターを追加します。

始める前に

ウィジェットが存在する必要があります。作成しているウィジェットにインジケーターを追加する場合は、ウィジェットを送信せずに保存します。フォームは開いたままになり、下部にウィジェット インジケーター関連リストが表示されます。

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

注:
この機能は、 コア UI フロントエンドの一部です。互換モードで移行した場合の限られた範囲を除き、 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードまたは UI ビルダー ページではサポートされていません。プラットフォームアナリティクスコンポーネントをビルドするには、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」または「のフィルター プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

時系列ウィジェットを作成するときは、それを単一のメイン インジケーターに関連付けます。このインジケーターを同じウィジェットの別のインジケーターと比較する場合は、追加のインジケーターを既存のウィジェットに追加します。この手順は、時系列の積み上げ縦棒グラフによるチャート化を作成する場合に必要です。

リスト ウィジェットを作成するときは、インジケーター グループを指定するか、ウィジェット インジケーターを追加する必要があります。

注:
頻度が異なるメイン インジケーターとウィジェット インジケーターを時系列ウィジェットに含める場合は、ウィジェットが X 軸に時間値をどのように表示するかに注意してください。この動作の詳細については、「 KB0755757 」を参照してください。

ウィジェットがブレークダウンダッシュボードの要素に従う場合、[複数の要素を以下として表示] の値はメインウィジェットとウィジェットインジケーターの両方に適用されます。[アグリゲート] が選択されていても、いずれかのウィジェットインジケーターがアグリゲートビューをサポートしてい

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ない場合、そのインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素に従いません。代わりに、インジケーターはウィジェット構成で設定された第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素に従い、それらの値の集計を示します。詳細については、「ブレークダウンダッシュボードのウィジェットの構成」を参照してください。

⚠ 警告:
前の期間のチャートとウィジェットインジケーターを同じ時系列ウィジェットに含めることはできません。既にウィジェットインジケーターが指定されている時系列で [前の期間のチャート] を有効にすると、ウィジェットインジケーターリストはクリアされます。

ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

- ウィジェットは複数の要素のアグリゲートビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

手順

1. 作成しているウィジェットを保存するか、既存のウィジェットを開いて編集します。
   ウィジェットは次のいずれかから開くことができます パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット またはダッシュボードから詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。
2. フォームの一番下までスクロールし、[ウィジェットインジケーター] というラベルの関連リストを探します。
3. [新規] をクリックします。
4. [インジケーター] フィールドで、ウィジェットのセカンダリ インジケーターを選択します。
   選択したインジケーターが多すぎると、ウィジェットが読みにくくなる可能性があります。
5. [チャートの種類] フィールドで、インジケーターのチャート化を選択します。
   プライマリ インジケーターのチャート化とマッチするチャート化を選択します。たとえば、プライマリ インジケーターを列として表示し、セカンダリ インジケーターを線として表示します。時系列ウィジェットのプライマリ インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を使用している場合は、すべてのセカンダリ インジケーターでも [積み上げ縦棒] を使用するように設定します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	(Optional) このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ウィジェットインジケーターが時系列ウィジェット上にある場合は、第 1 レベルの要素の代わりに要素フィルターを指定できます。「ステップ 8」を参照してください。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ **Follow** 要素は 無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
順序	ウィジェットに複数のセカンダリ インジケーターがある場合に、このインジケーターが表示される順番。2 と 3 の代わりに 200 と 300 とするなど、余分な桁を追加することを検討します。この方法で、後でインジケーターを追加する場合に、新しいインジケーターの順番を指定するだけですみます。すべてのセカンダリ インジケーターの順番を再指定する必要はありません。
グラフのタイプ	ウィジェットインジケーターを表示するためのチャートのタイプ
第 2 Y 軸	このインジケーターの Y 軸を追加します。 (Optional) 1 つのセカンダリ インジケーターの Y 軸のみが表示されます。複数のセカンダリ インジケーターで第 2 Y 軸が選択されている場合、元々順番が先頭のインジケーターの軸だけが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
色	このインジケーターのスコアにのみ適用される単色。
ラベル	このインジケーターのカスタムラベル。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されたブレークダウン要素にウィジェットインジケーターが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしている] ブレークダウンでフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは同じブレークダウンソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウンダッシュボードに適用するブレークダウンを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーターの [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープンしたユーザー] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローする場合を考えてみましょう。ウィジェットで [アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   ブレークダウンダッシュボードの詳細については、「 ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

8. 時系列ウィジェットのみ:[要素フィルター] タブで、[要素] フィールドで第 1 レベルの要素を選択する代わりに、使用する要素フィルターを選択できます。

   「要素フィルタ」を参照してください。

   このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルターを使用してウィジェットをカスタマイズする方法の詳細については、「 パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

   > **注:**
   > ダッシュボードでは、要素フィルターが渡すすべての要素の名前が、ウィジェット インジケーターのインジケーター名またはラベルに追加されます。

9. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク

これらの設定を後で編集するには、[ウィジェットインジケーター] リストを表示して、インジケーターの名前ではなく情報アイコンをクリックします。

関連情報

関連リスト

KB0724552:時系列ウィジェットまたはリストウィジェットにセカンダリインジケーターを追加する方法

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットのクリック時の動作の設定

ユーザーがウィジェットをクリックしたときの処理を構成できます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

デフォルトでは、ユーザーがウィジェットをクリックすると、ウィジェットインジケーターの詳細 アナリティクスハブ が表示されます。代わりに別の URL にユーザーを誘導するようにウィジェットを構成することができます。

> **注:**
> プラットフォームアナリティクスデータ可視化の同等の機能については、「データ可視化でのチャートインタラクション」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット.
2. 構成するウィジェットを選択します。
3. [クリック時の動作] 関連リストで、[新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
   1 つのウィジェットに対して複数のクリック時の動作レコードを作成した場合、[順番] の値が最小のレコードのみが使用されます。

   a. [ラベル] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにこのオプションに表示されるテキストを入力します。

   b. [タイプ] フィールドで、**[URL]** を選択します。

   c. [値] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにユーザーを誘導する URL を入力します。
   インスタンス URL の相対 URL のみを入力できます。値は、/incident.do のように、/ 文字で始める必要があります。

   d. [**Submit** (送信)] を選択します。

カラースキーム

データのチャート化で複数のインジケーター、ブレークダウン、またはテーブル フィールドが示される場合、異なる値の色を配色に従うことができます。

カラースキームは、次の可視化に適用できます。

- 複数のインジケーターまたはブレークダウンを表示する時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェット
- 複数の要素が個別に表示される場合のブレークダウンダッシュボードのウィジェット
- テーブルフィールドでグループ化または積み重ねられたレポート
- プラットフォームアナリティクス テーブルフィールドでグループ化または積み重ねるデータ可視化コンポーネント

ウィジェットを作成するときに、[配色] フィールドで配色を選択できます。例については、「ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成」を参照してください。独自の配色をデザインすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

配色を指定する必要はありません。この場合、プロパティ *com.snc.pa.chart_default_color_schema* で指定されたデフォルトのカラースキームが必要に応じて適用されます。ベースシステムでは、この配色は [デフォルト UI14] です。

すべてのカラースキームは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルにあります パフォーマンスアナリティクス > システム > チャートのカラースキーム.

デフォルトの配色では、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色による色定義が使用されます。ネクストエクスペリエンス を有効にすると、コア UI のカラーパレットの代わりにこれらの色が使用されます。

関連情報

- レポートで事前定義された色
- レポートタイプ

カラースキームの作成

レポート、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット、および プラットフォームアナリティクス データ可視化コンポーネントに使用可能な再利用可能な色のセットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または pa_admin

このタスクについて

ヒント:
Now Platformまたはレポートアドミンは、カラースキームで使用するカスタム色を作成できます。詳細については、「アナリティクスのシステム色を定義します」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プラットフォームアナリティクス管理 > 色の設定 > チャートのカラースキーム.
2. [**New**] をクリックします。
3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. [色 **1**] および [色 **2**] フィールドで色を選択します。
   カラー スキームには少なくとも 2 つの色を設定する必要があります。あなたはもっと使うことができます。
5. オプション: カラー スキームに含める色を最大 32 色選択します。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

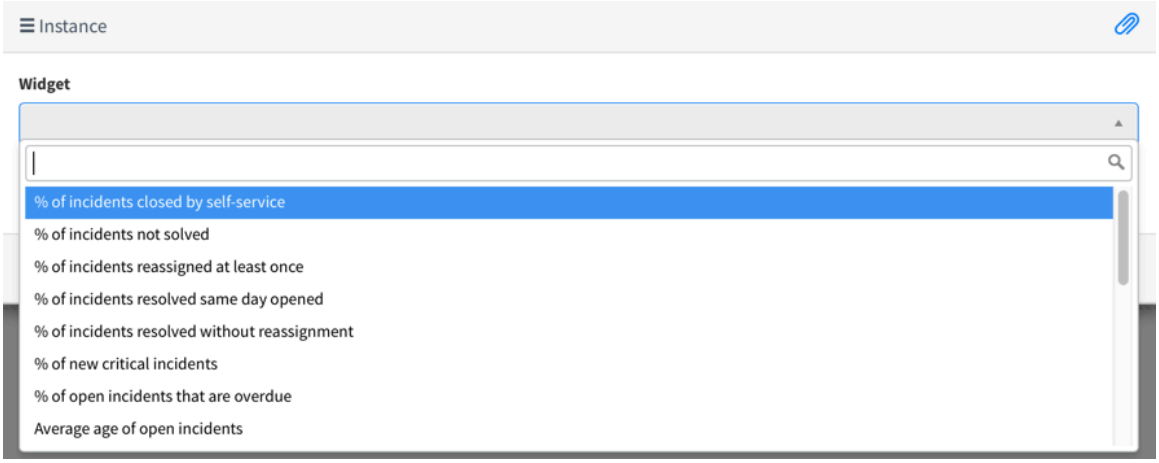
パフォーマンスアナリティクスのインジケーターとブレークダウンはサービスポータルを使用して表示することができます。

ポータルを編集するときに、[パフォーマンス分析] ウィジェットを追加します。ウィジェット オプションを使用して、ポータルに表示する既存のパフォーマンスアナリティクスポータルと、そのタイトルを表示するかどうかを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パフォーマンス分析ウィジェット



ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

関連情報

サービスポータル デザイナを使用したページの作成および編集

サービスポータルに関するレポート

パフォーマンスアナリティクスウィジェット

パフォーマンスアナリティクスとレポート - サービスポータルウィジェットプラグインを有効にします

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に
必須ロール：admin

このタスクについて
Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクスとレポート - サービスポータルウィジェットのプラグイン

プラグイン	説明
サービスポータル [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注:
   ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

関連情報

プラグインのリスト

ウィジェット統計情報の表示

パフォーマンス分析ウィジェットの統計情報を表示して、ダッシュボードでのウィジェットのロードが遅いかどうかなどの、問題の特定と解決に役立てることができます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット統計情報.
2. 統計情報を表示するウィジェットを選択します。
3. 次のフィールドをレビューします。

レポート統計情報フィールド

フィールド	説明
ウィジェット	統計情報が示すウィジェット。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
合計実行数	ウィジェットがサーバーからロードされた合計回数。
平均実行時間	このウィジェットのすべての実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。
最新の実行回数	ウィジェットが最近サーバーからロードされた回数。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
最新の平均実行期間	最近の実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
合計実行時間	ウィジェットのすべての実行の合計経過時間。

ウィジェット統計情報のプロパティ

次のプロパティで、ウィジェット統計情報の追跡および管理方法をコントロールします。

プロパティ

プロパティ	説明
glide.report.recent_executions_number	最近の平均経過時間の計算のために、最近と見なされるウィジェット実行数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所：プロパティを追加

自動翻訳

アナリティクスハブ

アナリティクスハブ は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。スコアカードは アナリティクスハブ に置き換わります。

注:
プラットフォームアナリティクスでは、アナリティクスハブ機能はKPI 詳細です。次のように移動する。 **Platform Analytics** (プラットフォームアナリティクス) > インジケーター.プラットフォームアナリティクスに移行した後は、KPI 詳細オプションのみを使用できます。

アナリティクスハブ の使用の概要。

アナリティクスハブを使用してパフォーマンスアナリティクスインジケーターデータを分析、探索、比較する方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。

アナリティクスハブでは、データの集計、スコアの比較、経時変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に関する有用なコメントを追加して、 アナリティクスハブ を強化します。

インジケーターフォームでは、インジケーターが自動的に アナリティクスハブ に含まれるように設定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

アナリティクスハブ インジケーターのリスト

アナリティクスハブでは、インジケーターのリスト、インジケーターのスコア、およびカスタマイズ可能なその他の分析の選択が提供されます。インジケーターの名前をクリックすると、そのインジケーターの詳細が表示されます。アナリティクスハブ はスコアカードを置き換えます。

アナリティクスハブリストにアクセスするには、 パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ.

インジケーターリストのコントロール

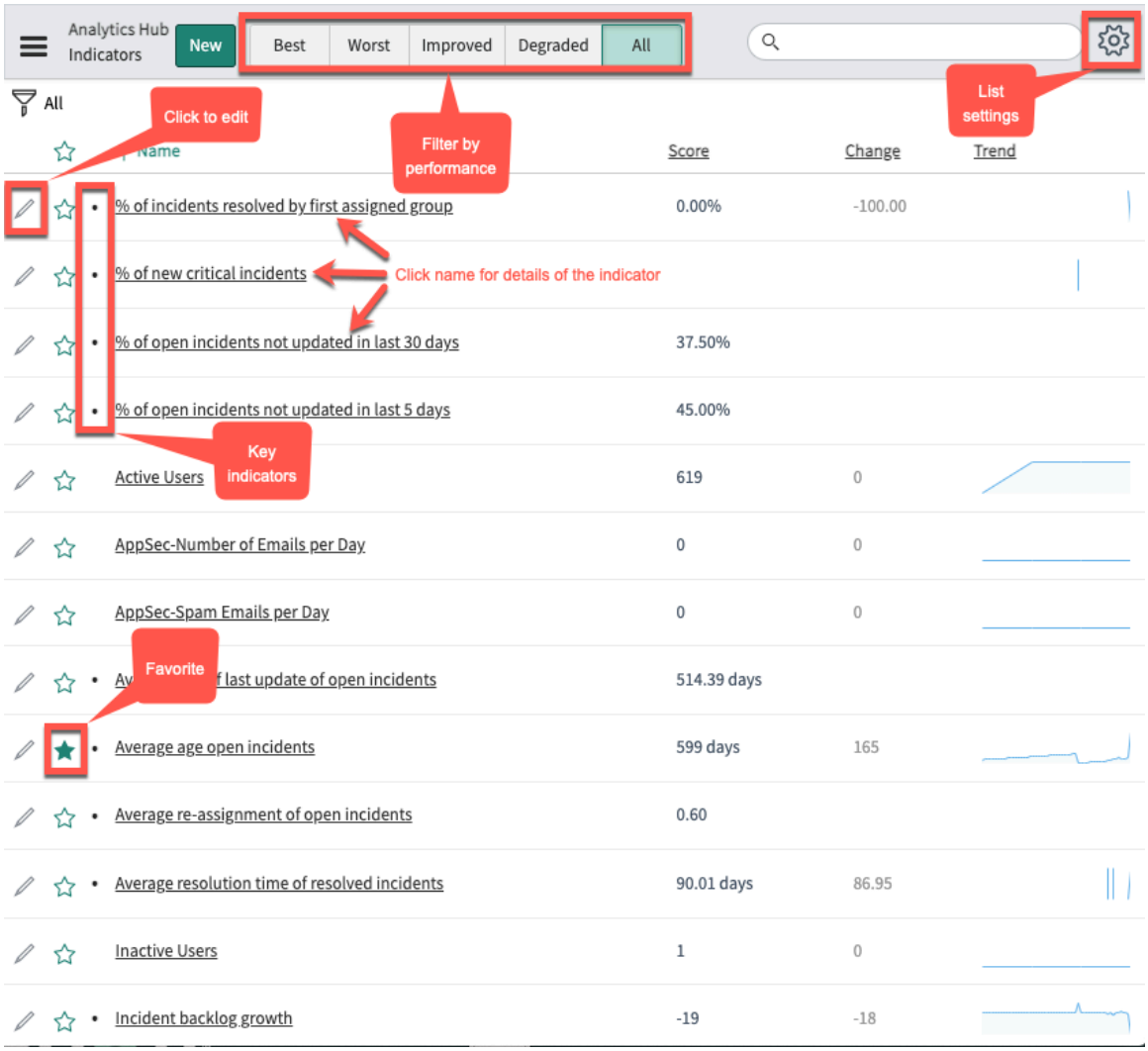
インジケーターのリストには、次のコントロールが含まれています。

- インジケーターの名前をクリックすると、そのインジケーターにフォーカスされている アナリティクスハブ のビューが開きます。このビューでは、分析ツールの拡張セットを使用できます。
- インジケーターの横にある鉛筆アイコンをクリックして、インジケーターレコードを編集用に開きます。このアイコンは、ロールによってインジケーター レコードへのアクセス権が付与されている場合にのみ使用できます。
- インジケーター名の横にある緑色の星印は、それがお気に入りであることを示します。インジケーターの横にある星をクリックして、お気に入りとしてマークします。
- インジケーター名の横にある黒い点は、キー インジケーターであることを示します。インジケーターをキーとしてマークするには、インジケーターを作成するときに [キー] チェック ボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターのリスト

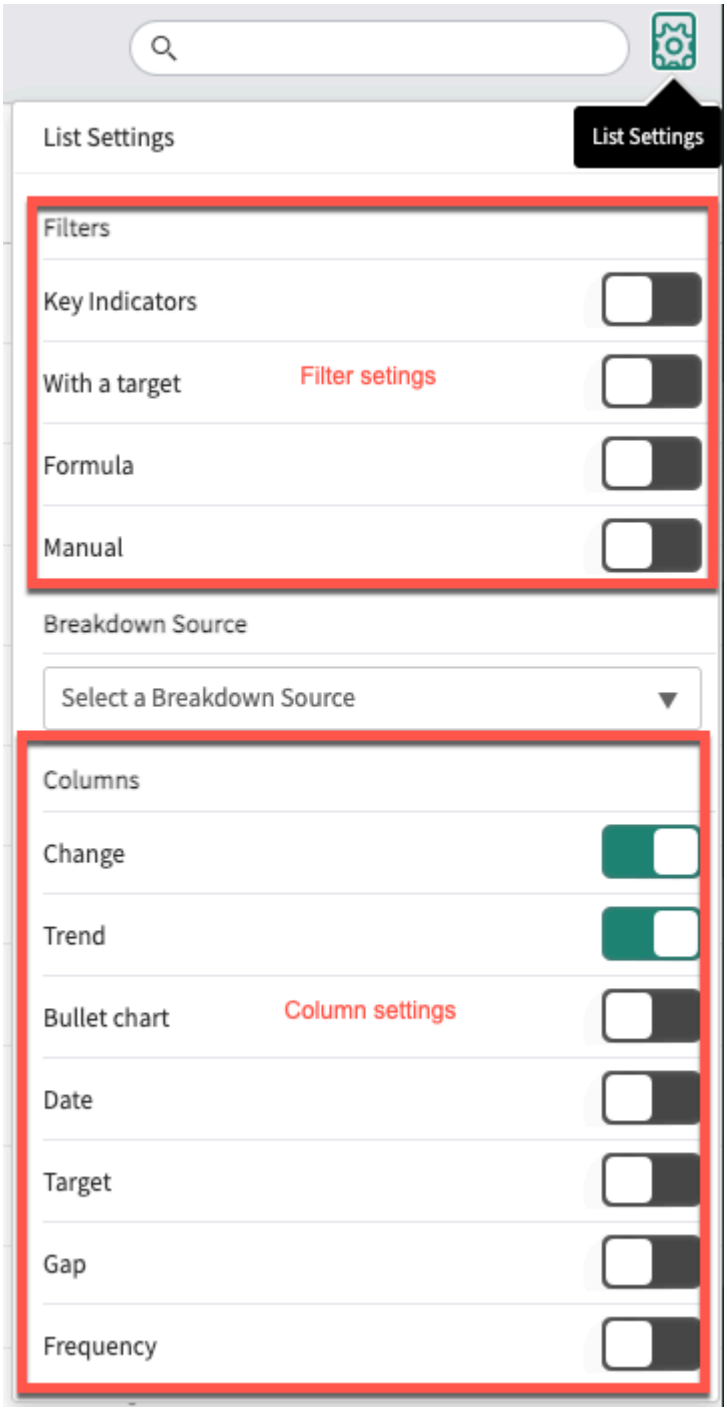


アナリティクスハブの表示内容をカスタマイズするには、検索ボックスの横にあるリスト設定アイコン ( ) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターリストの設定



リストの設定には、次のセクションが含まれます。

- フィルター設定
- ブレークダウンソースと要素の設定
- 列の設定

フィルター設定

次の設定で、表示されるインジケーターをフィルタリングできます。

キーインジケーター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターレコードでキーインジケーターとして定義されているインジケーターのみが表示されます。

ターゲットあり

ターゲットが定義されたインジケーターのみが表示されます。

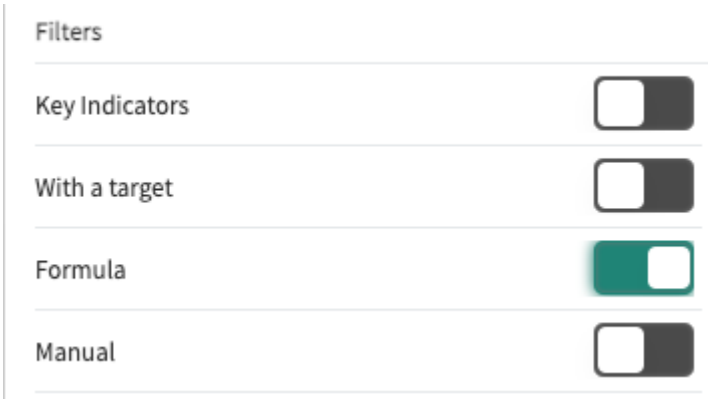
計算式

式インジケーターのみが表示されます。

マニュアル

手動インジケーターのみが表示されます。

式インジケーターのみを表示するフィルター設定



ブレークダウンソースと要素の設定

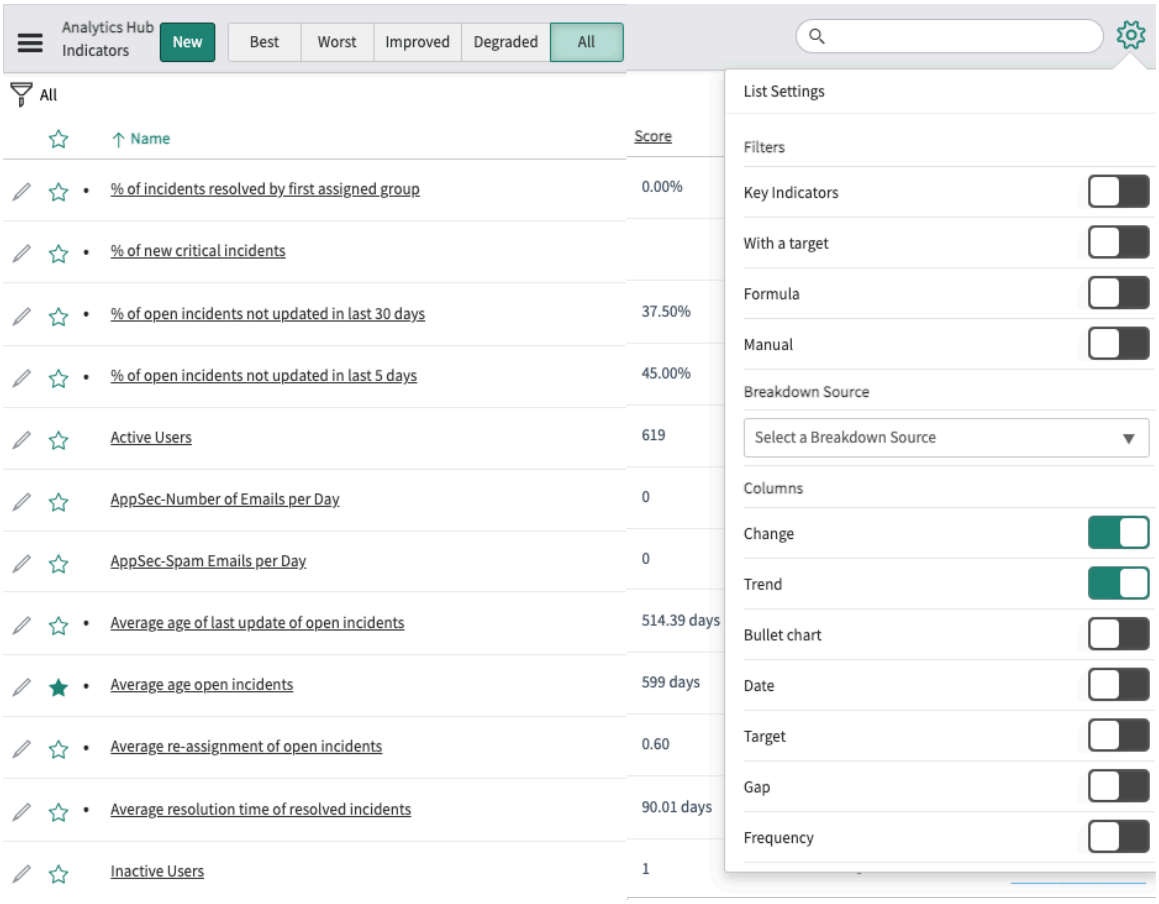
設定内で、ブレークダウンソースを選択することもできます。そのブレークダウンソースを使用するインジケーターのみが表示されます。ブレークダウンソースを選択した後、ブレークダウン要素を選択してインジケーターのリストをさらにフィルタリングできます。その要素が適用されるインジケーターのみが表示されます。

次の例では、Indicator.Priority ブレークダウンソースでリストをフィルタリングし、次に [1 - 重大] 要素でフィルタリングしたときに、スコアがどのように変化するかを示しています。

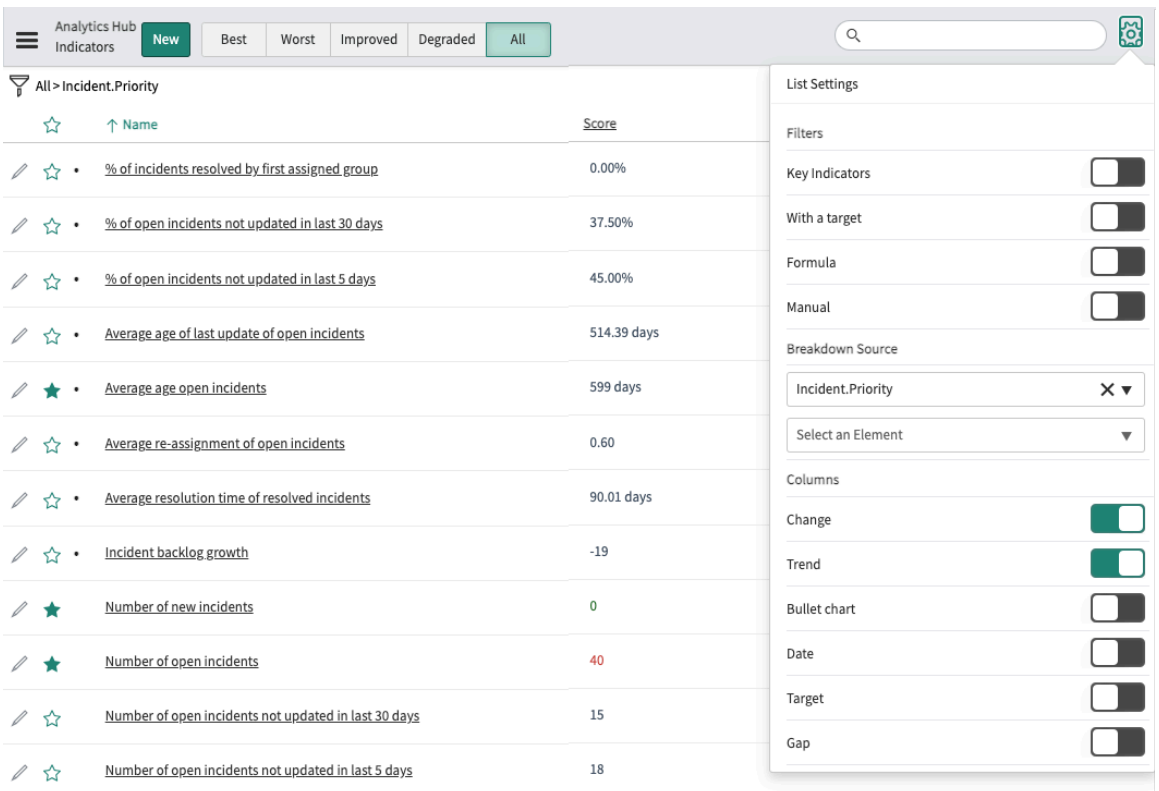
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンフィルターが適用されていないインジケーターリスト



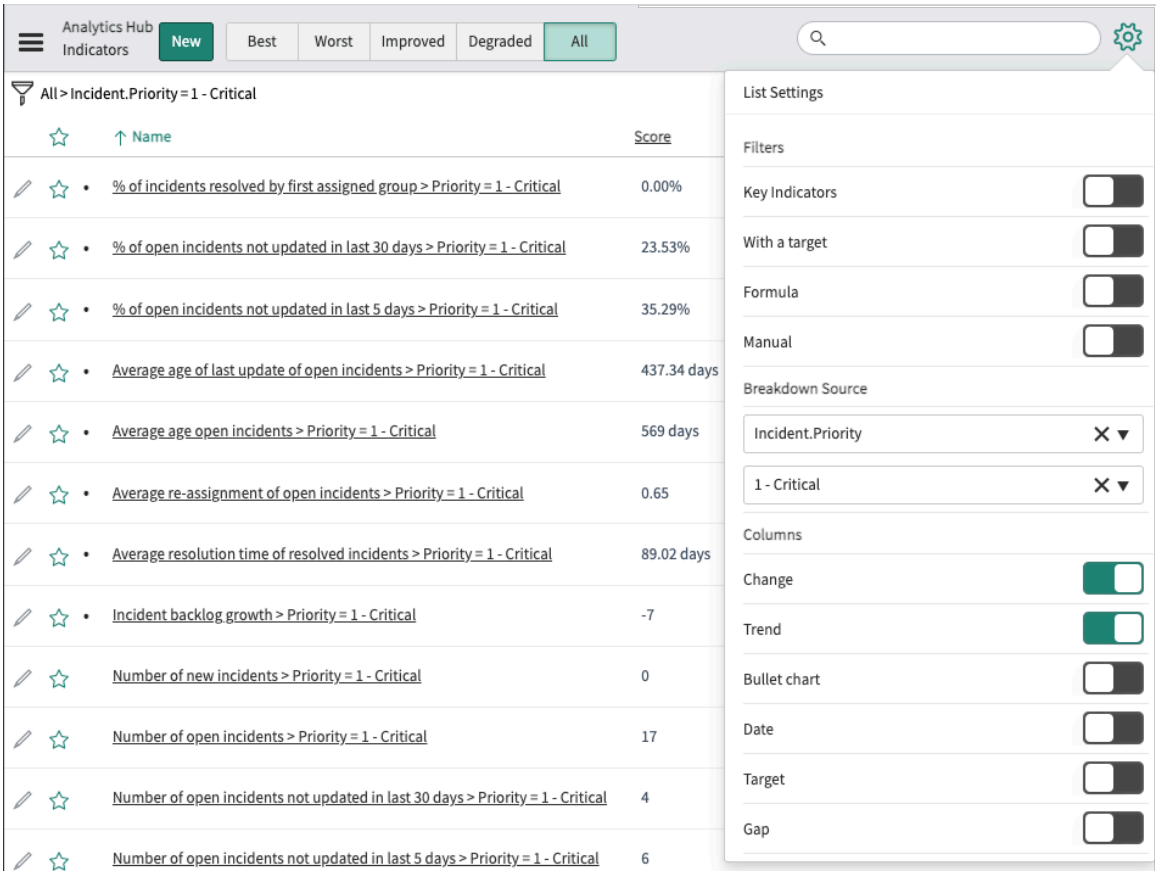
ブレークダウンソースフィルターが適用されたインジケーターリスト



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンソースと要素フィルターが適用されたインジケーターリスト



列の設定

インジケーターリストに表示するアナリティクスを選択します。インジケータースコアは常に表示されます。

変更

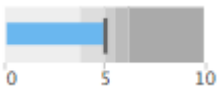
直近のデータ収集と直近のデータ収集の間のスコアの絶対値の変化。

傾向

データ収集の過程におけるスコアの傾向線。このトレンドラインは、 アナリティクス ハブ が特定のインジケーターに集中しているときに見られるトレンドラインを縮小したものです。

ブレットグラフ

現在のスコアとターゲットを比較するチャート。このチャートは、ターゲットがインジケーターに設定されている場合にのみ、そのインジケーターに表示されます。



日付

最新スコアが収集された日付。

ターゲット

インジケーターのターゲット (設定されている場合)。

ギャップ

最新のスコアとターゲットの間のギャップ。値は、インジケーターにターゲットが設定されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

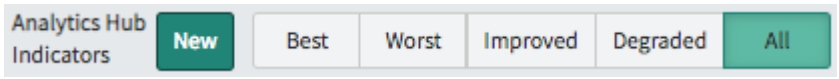
頻度
: インジケーターのスコアが計算される頻度。

方向
: インジケーターのスコアを最小化するか、最大化するか、どちらでもないか。

パーセンテージで表示
: 有効にすると、スコアの変化は絶対値ではなくパーセンテージで表示されます。

パフォーマンスでフィルター

設定でリストをフィルタリングするだけでなく、インジケーターのパフォーマンスに基づいてインジケーターのリストをフィルタリングすることもできます。



- [最高]：ターゲット (緑) のパフォーマンスを上回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します。(最も優れたものを一番上に表示)。
- [最低]：ターゲット (赤) のパフォーマンスを下回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します (最も低いものを一番上に表示)。
- [改善]：以前のデータ収集と比較して改良されたインジケーターをすべて表示します (適切な方向に移動)。
- [悪化]：以前のデータ収集と比較してデグレードされたインジケーターをすべて表示します (不適切な方向に移動)。

アナリティクスハブ 特定のインジケーターに対して

アナリティクスハブを使用して、データの集計、スコアの比較、経時変化の表示などにより、インジケーターデータを詳細に分析します。

インジケーターの アナリティクスハブ にアクセスするには、次のいずれかの方法を選択します。

- 次のように移動する。 パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブをクリックし、インジケーターを選択します。
- 関連するインジケーターレコードの [インジケーターを探索] 関連リンクをクリックします。
- レスポンシブダッシュボードから、 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットで任意の値を選択します。

注:

- プラットフォームアナリティクスダッシュボードから、インジケーターデータの値を選択すると、アナリティクスハブではなくKPI 詳細にアクセスします。これはデフォルトの動作です。データの可視化は、さまざまなドリルダウン動作で構成できます。
- ブレークダウンダッシュボードのインジケータースコアが複数の要素で集計される場合、アナリティクスハブ は同じ要素で集計されます。詳細については、「複数の要素のアグリゲートスコアの表示」を参照してください。
- 時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効なアグリゲーションがあるという警告が表示される場合があります。

制限事項

アナリティクスハブはモバイル画面サイズには最適化されていません。タブレットで標準の Web インターフェイスを使用して アナリティクスハブ にアクセスできます。

自動翻訳

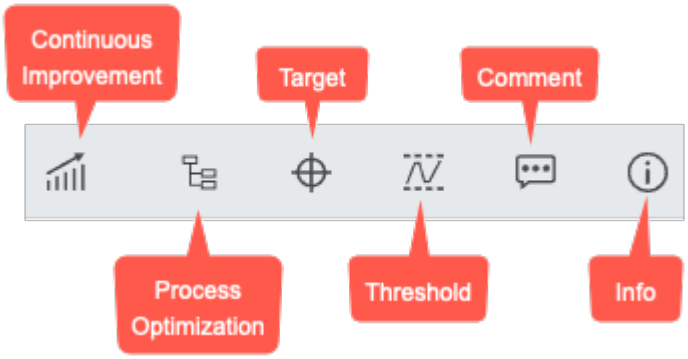
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット、しきい値、コメント、および改善イニシアチブの追加

アナリティクスハブのすべてのタブの上部には、次のアクションを行うツールバーがあります。

- ターゲット
- しきい値
- コメントを追加
- 情報
- 改善イニシアチブを作成 (継続的改善管理アプリケーションが必要)

ツールヒントで、ツールバーの各アイコンを識別します。



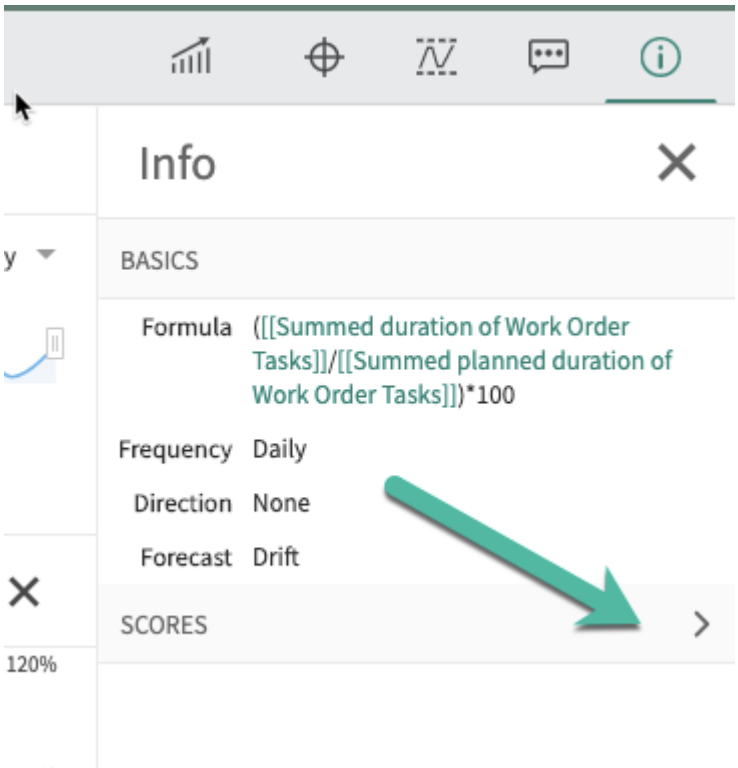
ツールバーには、常にスクリーンショットの右端の 4 つのアイコンがあります。これらのいずれかのアイコンをクリックすると、ターゲット、しきい値、またはコメントを表示または作成できるペインが開きます。このペインからインジケーターに関する基本情報を表示することもできます。

注:
インジケータースコアが複数の要素で集計される場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは、 アナリティクスハブ ではサポートされません。

式インジケーターの場合、この基本情報には式が含まれます。[情報] パネルでは、インジケーターの日次スコアのリストを展開することもできます。式インジケーターの各コンポーネントインジケーターのスコアを表示するには、式内のインジケーター名をクリックします。これにより、 アナリティクスハブ がそのインジケーターに再び焦点を合わせます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



継続的改善管理 アプリケーションと sn_cim.improvement_requester ロールを持っている場合は、改善イニシアチブを作成できます。[改善イニシアチブを作成] アイコン ( ) をクリックして、改善イニシアチブフォームを開きます。このフォームには、インジケーターと アナリティクスハブの詳細が自動的に入力されます。タイムラインでイニシアチブの開始日と終了日を表示するには、[概要] タブのチャートオプションにある改善イニシアチブアイコンをクリックします。

プロセスマイニング アプリケーションと プロセスマイニング ロールがある場合は、プロセスマイニングダッシュボードでインジケーターを開くことができます。**Go to**プロセスマイニング アイコン ( ) をクリックします。

インジケーターとスコアの編集、PDF または **CSV** へのエクスポート、グラフィックの生成

アナリティクスハブ上のすべてのインジケーターにはコンテキストメニューがあります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このメニューのオプションは、インジケーターのタイプとスコアがあるかどうかによって異なります。

オプション	存在する場合
インジケーターを編集	すべてのインジケーター
スコアを編集	スコア付き自動インジケーター
お気に入りに追加/お気に入りから削除	すべてのインジケーター
PDF エクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
CSV にスコアをエクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
グラフを PNG/JPEG として保存	スコアのあるすべてのインジケーター
依存関係アセスメントを開始	すべてのインジケーター

コンテキストメニューをもう一度クリックすると、何も選択せずに閉じます。

のさまざまなタブ アナリティクスハブ

特定のインジケーターの アナリティクスハブ には、[概要] タブと [比較] タブがあり、それぞれ「スコアと統計情報の表示 」と「 スコアを比較」で説明されています。

関連情報

- パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値
- 依存関係アセスメント
- 継続的改善管理

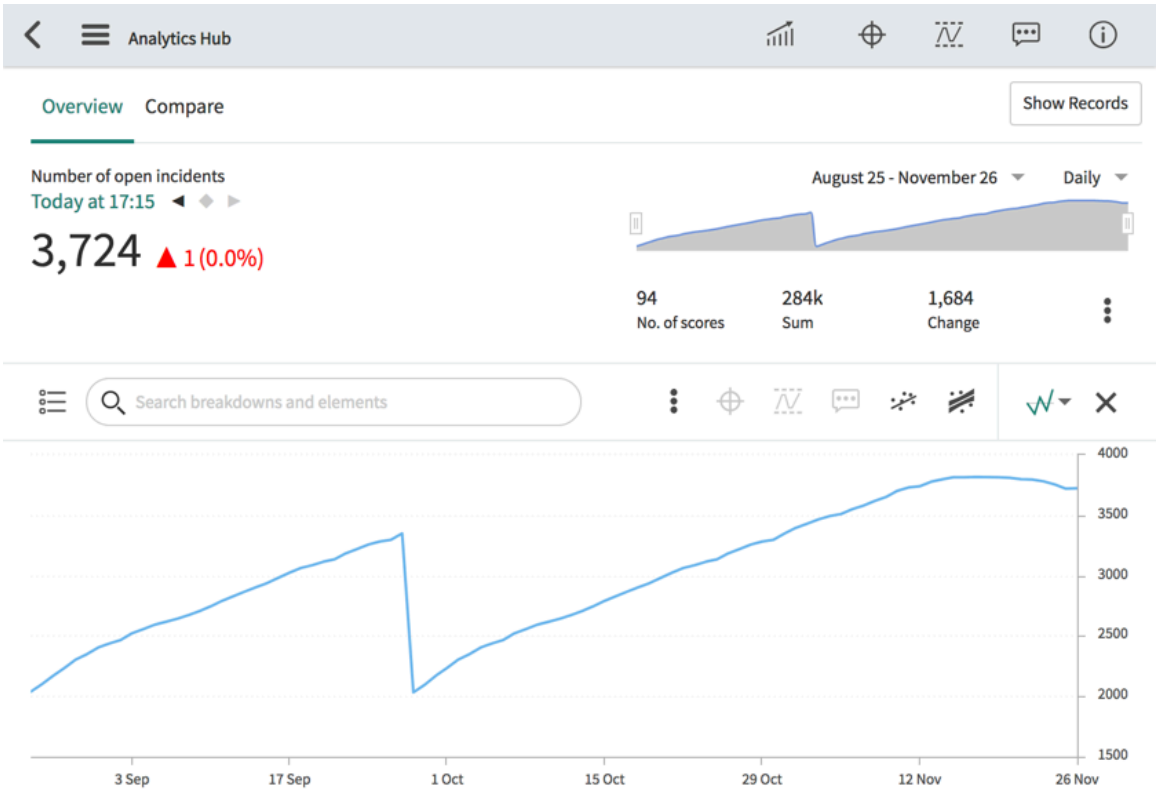
スコアと統計情報の表示

[アナリティクスハブ の概要] タブには、期間のスコア、統計情報、および時系列が表示されます。統計情報と時系列の期間を設定できます。ブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ



注:
Madridより前の詳細スコアカードで使用できた式インジケーターの計算を表示する機能は、アナリティクスハブ ではサポートされていません。詳細については、Now Supportナレッジベースの記事「パフォーマンスアナリティクス:アナリティクスハブ [KB0783438] のスコアの数式計算が表示されない」を参照してください。

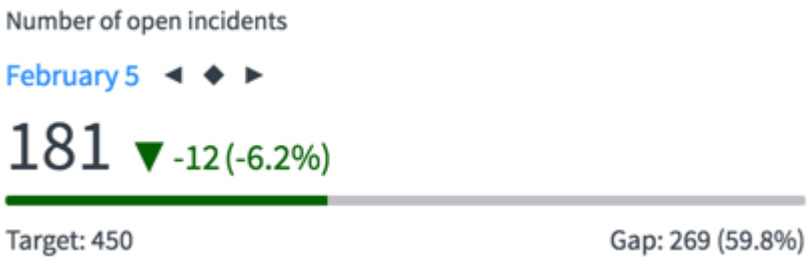
インジケーターの概要

[ビュー] タブの上部には、表示されているインジケーターに関する情報が要約されます。

タブの上部には、次の情報が表示されます。

- 選択した期間のスコア
- そのスコアと前の期間のスコアとの間の絶対値とパーセンテージの両方の変化 (絶対値とパーセンテージの両方)
- ターゲットが設定されている場合、スコアとそのターゲットの差
- 前、次、または最後の期間に切り替えるためのコントロール
- 期間またはリアルタイムスコアを選択するためのカレンダー

ターゲットへのコンプライアンスを示す [スコア] セクション



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果は色分けされて好感度を示します。インジケーターの方向が [最大化] の場合、スコアの増加は緑で表示され、減少は赤で表示されます。インジケーターの方向が [最小化] の場合、スコアの増加は赤で表示され、減少は緑で表示されます。同様に、カラーバーはターゲットが達成されたかどうかを示します。色は、ターゲットに設定されているカラースキームによって異なります。詳細については、「ターゲットのカラー スキームの作成」を参照してください。

スコアに関連付けられている期間はスコアの上に表示されます。コントロールを使用すると、次の期間、前の期間、または最後の期間に移動できます。ここで選択した日付は、統計情報と時系列グラフに反映されます。選択した期間は、別のタブに切り替えたときに引き継がれます。期間の長さ (日、月、四半期など) は、インジケーターの周期と同じです。

時系列グラフに沿って日付を選択することもできます。さらに、ウィジェットからこの アナリティクスハブ に移動すると、ウィジェットで選択した日付は、 アナリティクスハブを開いても保持されます。

アナリティクスハブでのリアルタイムスコアの表示

前回のスコアの代わりにリアルタイムスコアを選択して表示できます。

リアルタイムスコアは、次の状況で表示できます。

- インジケーターは 自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターのアグリゲート関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーター ソースは データベース ビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

⚠ 警告:

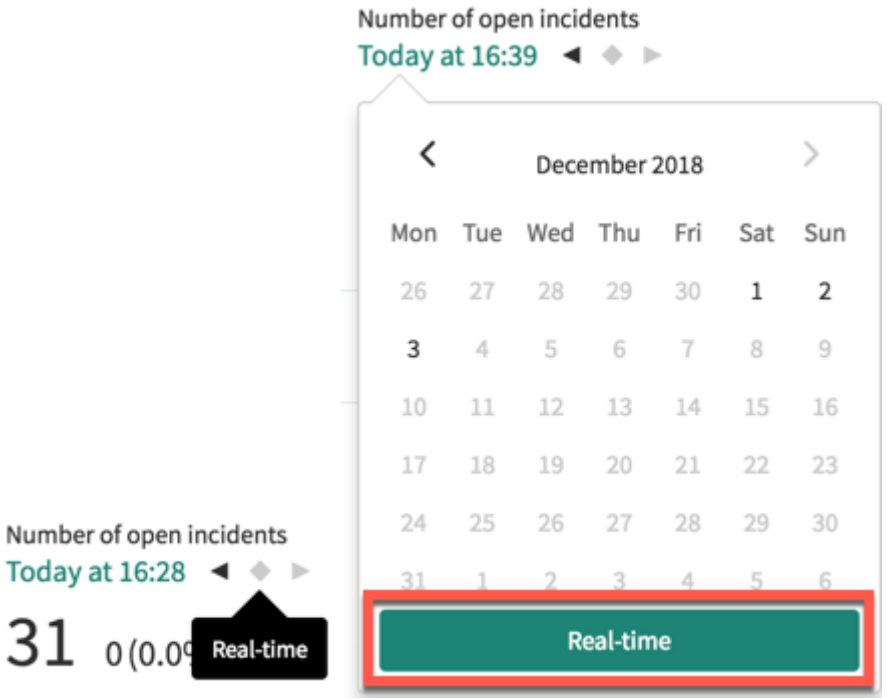
- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- アナリティクスハブ はリアルタイムスコアを自動的に更新しません。最新のスコアを取得するには、ブラウザーページを更新します。

リアルタイムスコアを選択できる場合は、日付セレクターで選択するか、[レコード] ビューで現在の期間を選択して選択します。ただし、リアルタイムスコアを表示する場合、 レコード ビューのブレークダウン要素と一致しないレコードは表示できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リアルタイムスコアを表示する場合に選択します



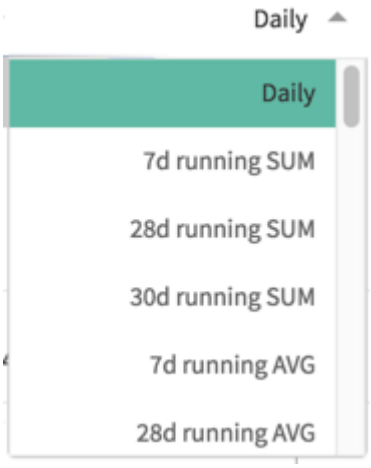
注:
一部のウィジェットでは、ダッシュボードユーザーにリアルタイムスコアを表示できます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

アナリティクスハブでの時系列集計

アナリティクスハブでは、インジケーターの変化を個別の時間間隔にアグリゲートできます。

右上隅で、 アナリティクスハブの時系列集計を設定できます。

日次時系列集計のメニュー



時系列集計は、スコア、統計情報、時系列グラフ、その他のタブのチャートに反映されます。使用可能な時系列は、インジケーターの頻度によって異なります。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。インジケーターでの時系列集計の使用例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス Academy のビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

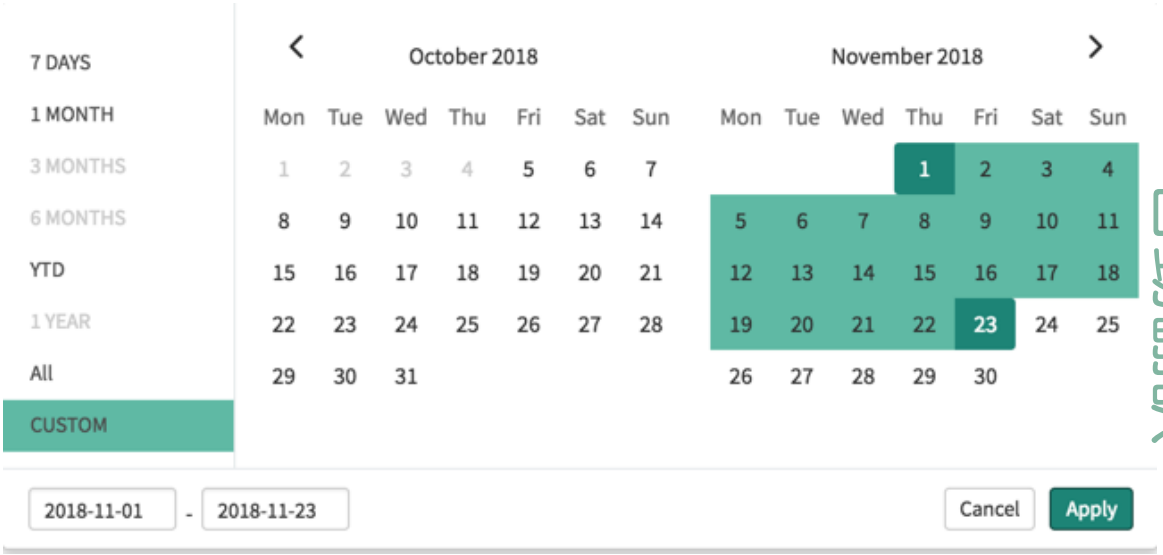
- ビジネスカレンダーと会計カレンダーは、時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターに時系列集計を設定することはできません。
- 時系列集計を選択すると、インジケーターに設定されている [実線 を表示] オプションが上書きされます。このオプションを使用すると、特定の日付のデータがない場合でも、 アナリティクスハブ はこのインジケーターの切れ目のないデータ行を表示します。
- 時系列集計を設定した場合、[比較] タブでレコードを比較することはできません。集計スコアを比較できます。

アナリティクスハブのスコアの日付範囲

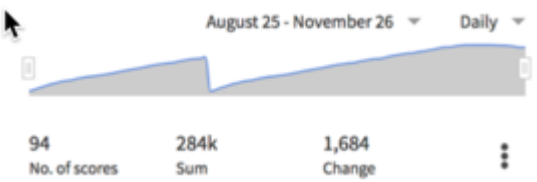
アナリティクスハブ が記述するスコアの期間を設定できます。

日付範囲を選択するためのコントロールは、統計情報の上、時系列集計の左側にあります。選択した期間は、統計情報と時系列グラフに反映されます。期間を設定するには、次の 2 つのコントロールオプションがあります。

- 日付範囲カレンダー



- ナビゲーションバー付きのスライダー:



注:
[月別合計] などの時系列集計で [3 か月] などの日付範囲を指定すると、予想よりも期間が 1 つ多く表示される場合があります。インスタンスでは、3 か月などの期間が 0 ～ 3 か月として解釈され、4 か月分のスコアが表示される場合があります。

アナリティクスハブの統計情報

アナリティクスハブの [ビュー] タブでは、インジケーター スコアに適用するさまざまな統計情報を設定できます。

アナリティクスハブの統計情報の表示をカスタマイズすることはできません。ただし、すべての統計がすべてのインジケーターに関連しているわけではないため、インジケーター レコードの統計を除外することができます。たとえば、パーセンテージで表されるスコアを使用して、インジケーターの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

変更率を除外することができます。詳細については、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウン、要素、および要素フィルター

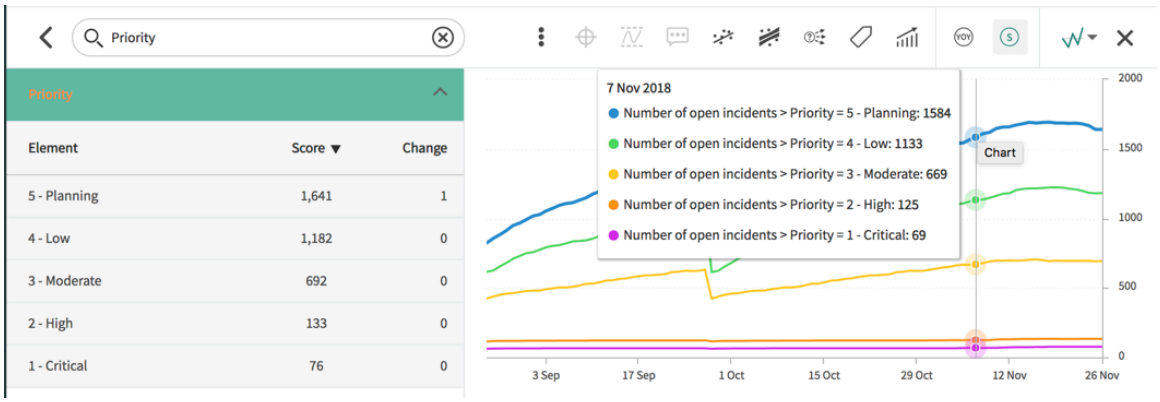
アナリティクスハブには、ブレークダウンとブレークダウン要素を表示するためのオプションがいくつかあります。

ブレークダウンの要素ごとに、チャートに個別の線または列を表示できます。ブレークダウンと要素を選択してスコアをフィルタリングすることもできます。ブレークダウンと要素を名前で検索するか、ブレークダウンと要素の選択ダイアログを開くことができます。

ブレークダウンメニューと検索フィールド

ブレークダウンを選択し、要素を選択しない場合、チャートにはブレークダウンの各要素が表示されます。

ブレークダウンのすべての要素を含むチャート

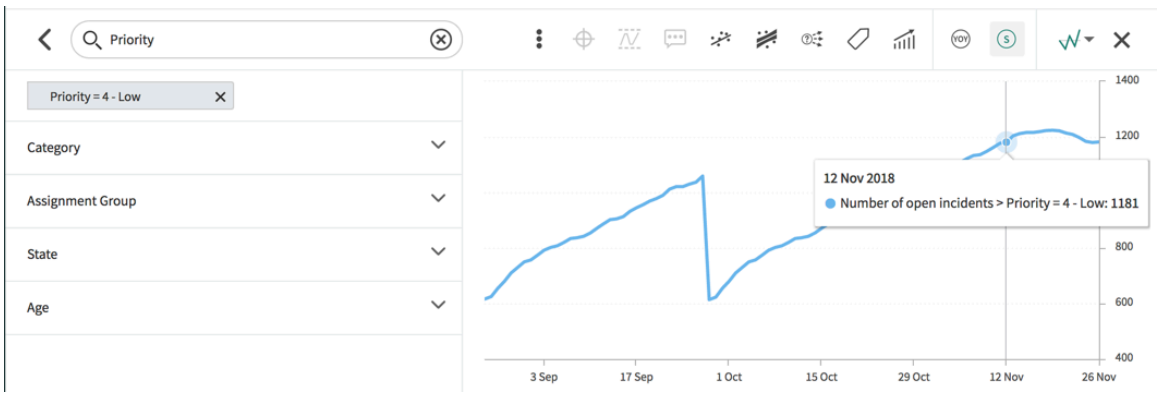


注:

- ブレークダウンの要素が適用されない場合、スコアは表示されません。このルールは、NULL_OVERRIDE で定義されたラベルが値 none に置き換わる場合の選択肢 [sys_choice] テーブルのブレークダウンにも適用されます。
- 式インジケーターにブレークダウンを適用しようとしても、すべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしているわけではない場合、ブレークダウンは適用されません。代わりに、ブレークダウンのない式インジケーターのスコアが表示されます。これが発生したことを知らせるメッセージが表示されます。

ブレークダウンと要素を選択した場合は、 アナリティクスハブ 全体をフィルタリングして、そのブレークダウンと要素の値のみを表示します。

アナリティクスハブ 優先度の低いインシデントのみを表示するようにフィルタリング

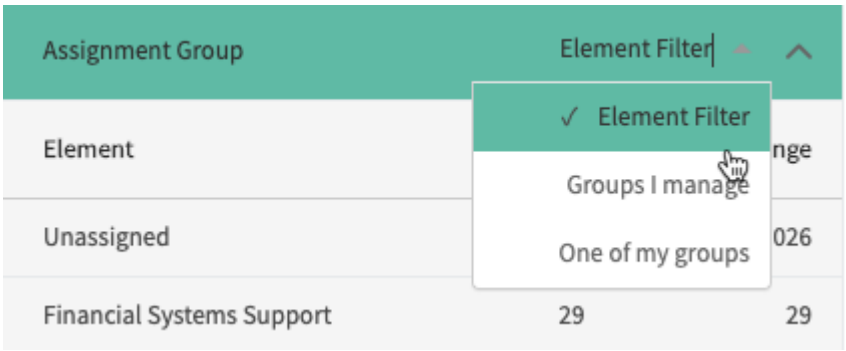


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

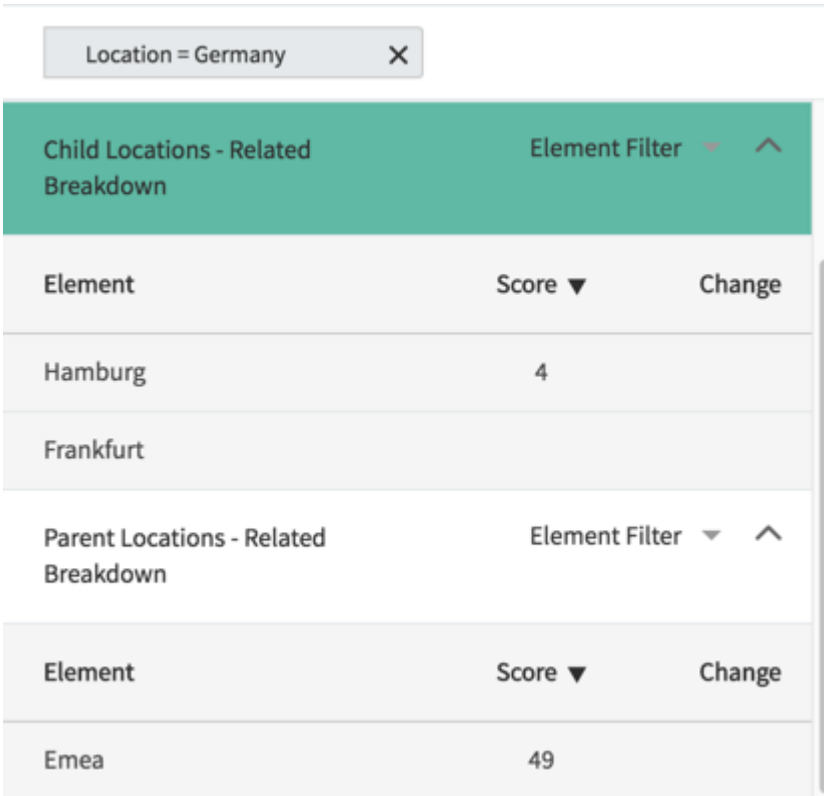
ブレークダウンにブレークダウンソースの要素フィルターが定義されている場合は、それらの要素フィルターの 1 つを選択できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

要素フィルタ



インジケーターにブレークダウンの関係が定義されている場合、第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、関連する要素に移動できます。要素は、同じブレークダウンの親子関係にあることも、別のブレークダウンにあることもあります。ブレークダウンの関連付けについて、その作成手順を含む詳細については、「 ブレークダウンの関連付けによるブレークダウン要素のナビゲーション」を参照してください。

ブレークダウンの関連付け

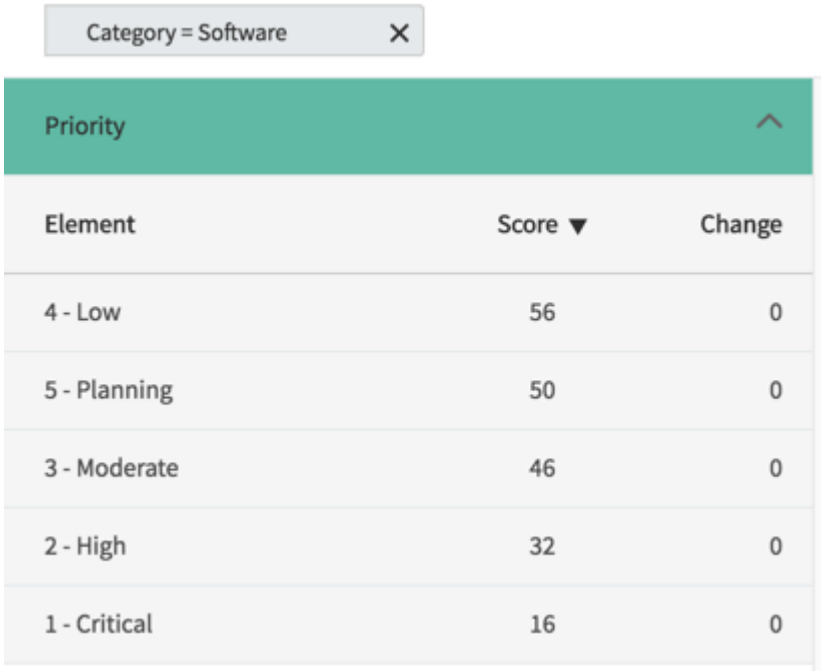


第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択できます。合計で 2 つ以上のレベルのブレークダウンを選択することはできません。

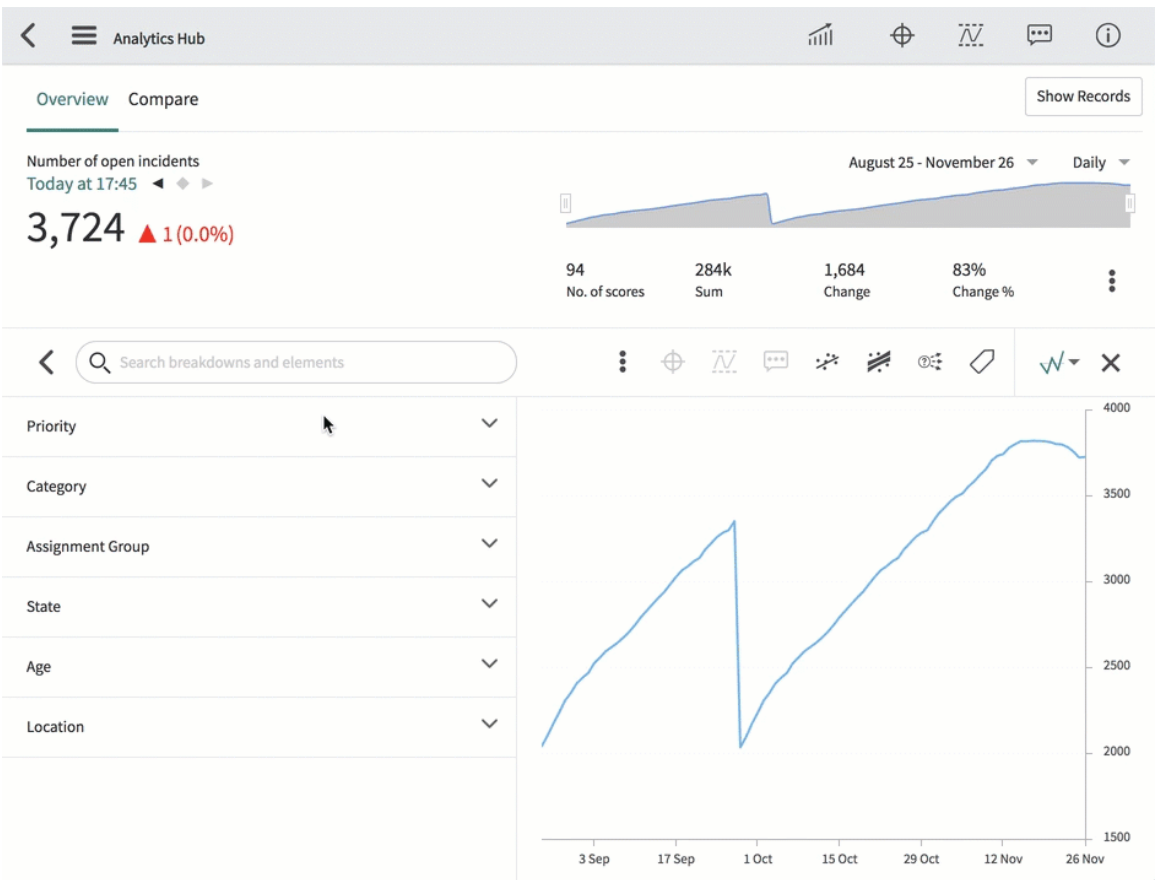
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンと要素の選択



次のアニメーションは、第 1 レベルと第 2 レベルのブレークダウンと要素の選択とクリアを示しています。



第 1 レベルまたは第 2 レベルのブレークダウンと要素の組み合わせをクリアするには、そのブレークダウン/要素のペアのタイルで [X] をクリックします。第 1 レベルのブレークダウン/要素をクリアすると、第 2 レベルのブレークダウン/要素が第 1 レベルのブレークダウン/要素になります。スコアの上にあるブレッドクラムに従って選択をクリアすることもできます。

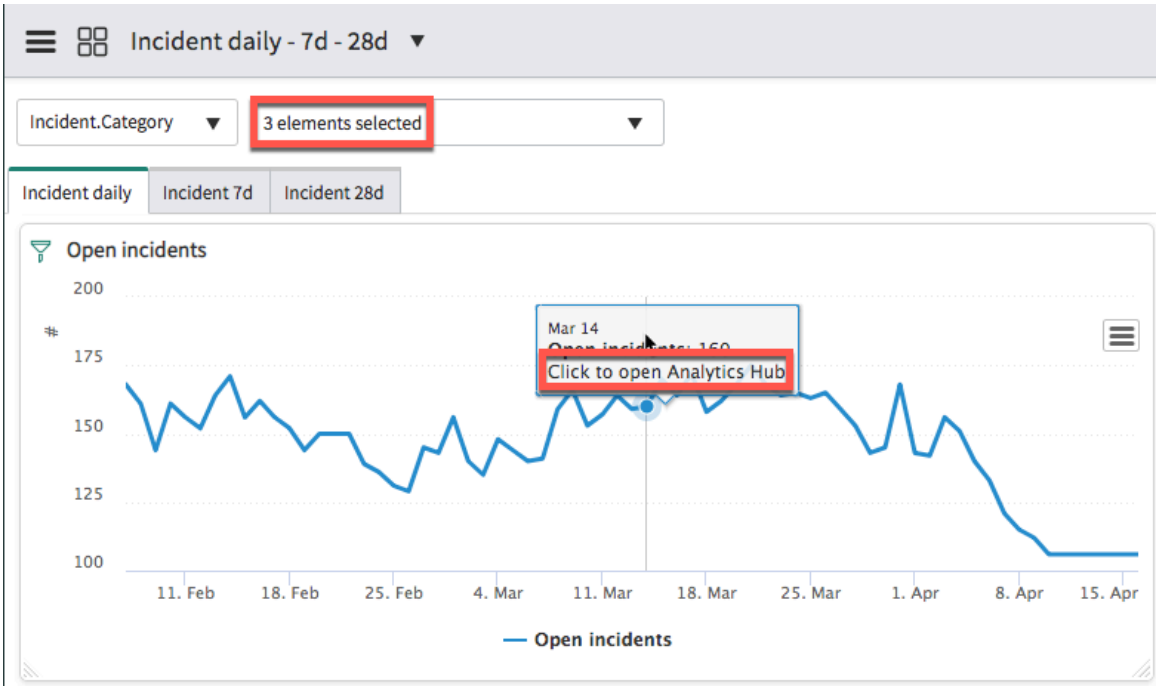
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素のアグリゲートスコアの表示

ダッシュボードのウィジェットでチャートの値をクリックすると、そのインジケーターで アナリティクスハブ が開きます。ブレークダウンダッシュボードで複数の要素を選択しており、ウィジェットにそれらの要素の集計が表示されている場合は、 アナリティクスハブ にもそれらの要素の集計が表示されます。

ダッシュボードで選択された複数の要素の集計ビューの詳細については、「 複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

3 つの要素のアグリゲートスコアを持つアナリティクスハブ

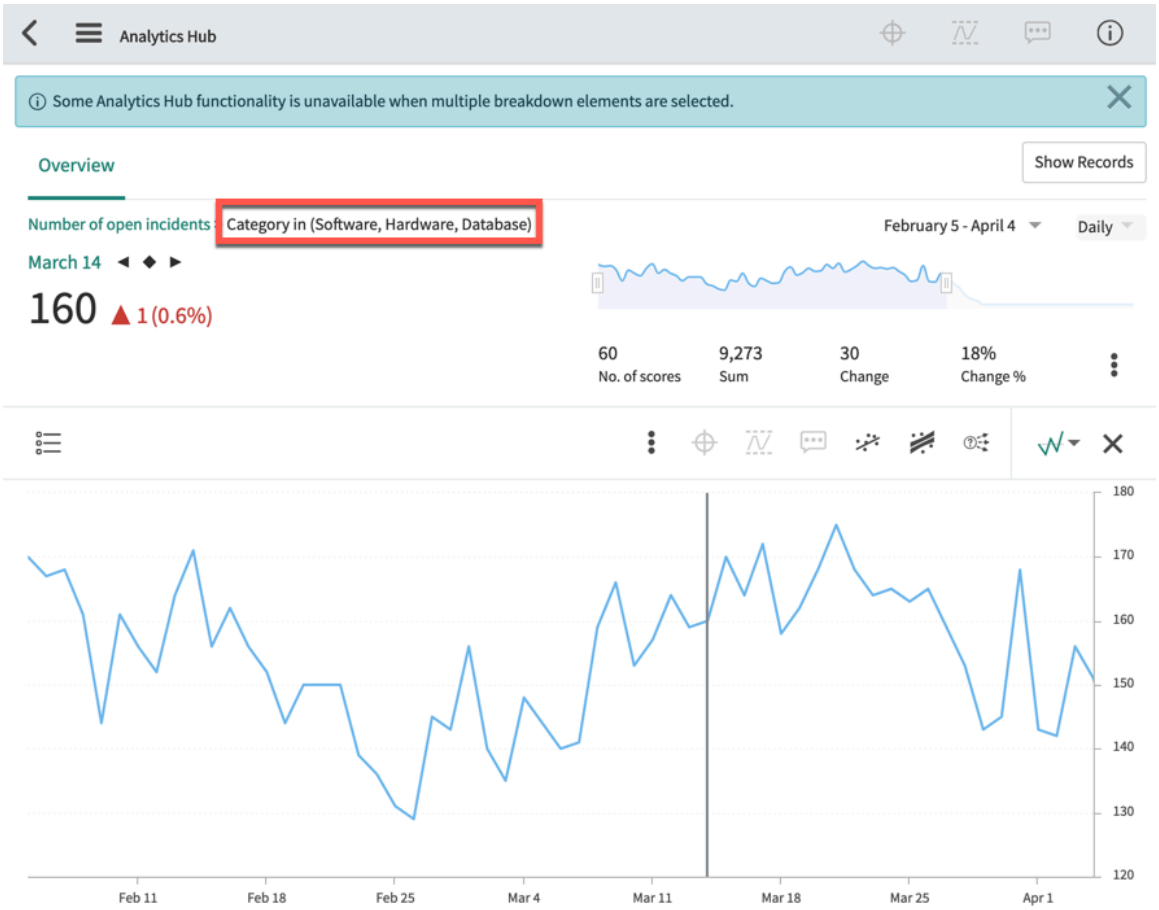


ウィジェットで選択された日付に アナリティクスハブ が開きます。複数の要素は、(element_1、element_2、element_3、+x **more)** の形式で **{Breakdown}** の形式で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素を含むアナリティクスハブ



注:
アグリゲートビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。その後、アナリティクスハブで [レコードを表示] を選択すると、ダッシュボードで選択した要素のいずれかに一致するレコードが表示されます。

アナリティクスハブでのレコードの表示

インジケーター スコアの時系列の表示と、それらのスコアの計算に使用されるレコードのリストの表示を切り替えることができます。

右上隅の [レコードを表示] または [レコードを非表示] をクリックして切り替えます。いずれの場合も、スコアまたはレコードは、タブの上部で選択した期間表示されます。スコアまたはレコードは、選択したブレークダウン/要素のペアによってもフィルタリングされます。

複数の要素が選択されているブレークダウンダッシュボードから アナリティクスハブ を開いた場合、表示される内容はダッシュボードウィジェットによって異なります。ウィジェットに各要素値を個別に表示すると、選択した要素に一致するレコードが表示されます。ウィジェットに要素の集計スコアが表示される場合は、それらの要素のいずれかに一致するレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

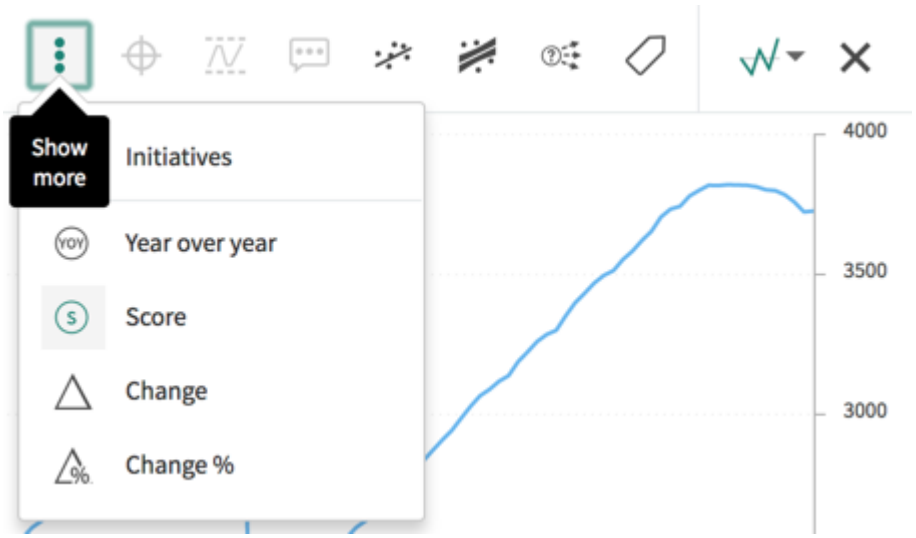
- レコードは自動インジケーターに対してのみ表示されます。
- [レコードを表示] 機能は、一致しないブレークダウン要素のリアルタイムスコアではサポートされていません。スコアをリアルタイムで表示している場合、どのブレークダウン要素にもアサインされていないレコードは表示されません。
- ファクトテーブルで使用可能なビューに応じて、レコードリストのコンテキストメニューでレコードリストのビューを変更できます。デフォルトのビューはインジケーター ソースに設定されます。
- 場合によっては、第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「 KB0748969 」を参照してください。

アナリティクスハブのチャートオプション

アナリティクスハブの [ビュー] タブでチャートの表示内容を変更できます。

[さらに表示] アイコンをクリックすると、追加アイコンのツールバーが表示されます。

チャートオプションアイコン



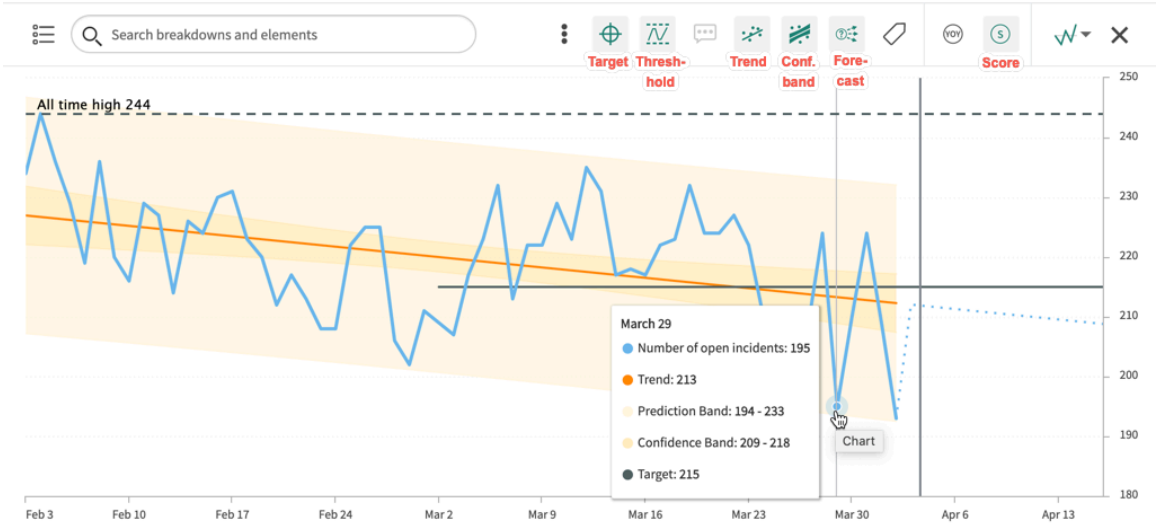
各アイコンのツールヒントは、アイコンがオンまたはオフにするチャートオプションを識別します。チャートオプションは次のとおりです。

- 表示される測定のタイプ。
- ラベルの表示
- インジケーターでの予測の設定方法に応じて、将来のスコアの予測を表示します。
- 信頼帯の表示
- 傾向ラインの表示
- コメントの表示
- しきい値の表示
- ターゲットの表示
- チャート可視化の選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のオプションが選択されたことを示すチャート



継続的マネジメント改善アプリケーションがインストールされている場合は、改善イニシアチブ ( ) を表示または非表示にするアイコンも表示されます。sn_cim.improvement_requester ロールも持っている場合は、「 アナリティクスハブ 特定のインジケーターに対して」で説明されているように、ツールバーの同一のアイコンをクリックして改善イニシアチブを作成できます。

利用可能な測定値は次のとおりです。

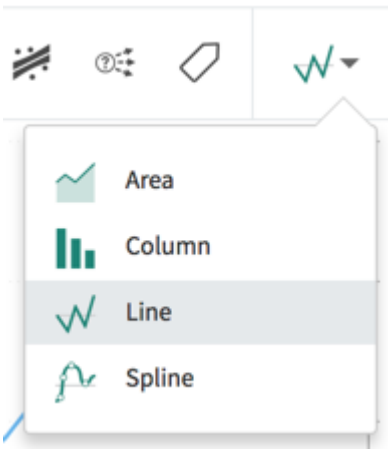
- 前年比
- 変更
- 変更割合
- スコア

スコアがデフォルトの測定基準です。前年比を除くすべての測定タイプをまとめて表示できます。前年比は、スコアや変更など、一度に他の 1 つの測定にのみ適用でき、両方には適用できません。前年比を有意義にするには、通年のデータが必要です。

アナリティクスハブでの可視化

グラフに使用される可視化を変更するには、リストメニューから可視化を選択します。面グラフ、縦棒グラフ、線グラフ、およびスプラインチャートを使用できます。

利用可能なチャート可視化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アナリティクスハブのユーザー設定

インジケーターごとに表示設定を行い、そのインジケーターを表示するたびに保持することができます。

アナリティクスハブは、次のユーザー初期設定を追跡します。

- すべての表示設定
- チャートの可視化
- 期間

すべての設定はインジケーターおよびユーザーごとに保存されるため、各ユーザーは優先として表示されるように各アナリティクスハブを設定できます。

> **注:**
> アナリティクスハブではなくスコアカードを使用するバージョンからアップグレードする場合、古いユーザー設定のテーブルは保持されます。ユーザーがインジケーターの アナリティクスハブ を初めて開くと、設定は古いテーブルからインポートされます。ユーザーがアナリティクスハブを開く前に、そのユーザーとインジケーターの設定が PA アナリティクスハブ設定 [pa_ds_preference] テーブルで手動で設定されている場合、このインポートは上書きされます。

アナリティクスハブでのドメインセパレーション

アナリティクスハブは、[システムの設定] で選択したドメインに従います。そのドメインで収集されたスコアのみが表示されます。

追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

システム設定に加えて、一部のダッシュボードは、ダッシュボードでドメインを選択できるように構成されています。このようなダッシュボードのウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、そのドメインで収集されたスコアのみが表示されます。詳細については、「ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

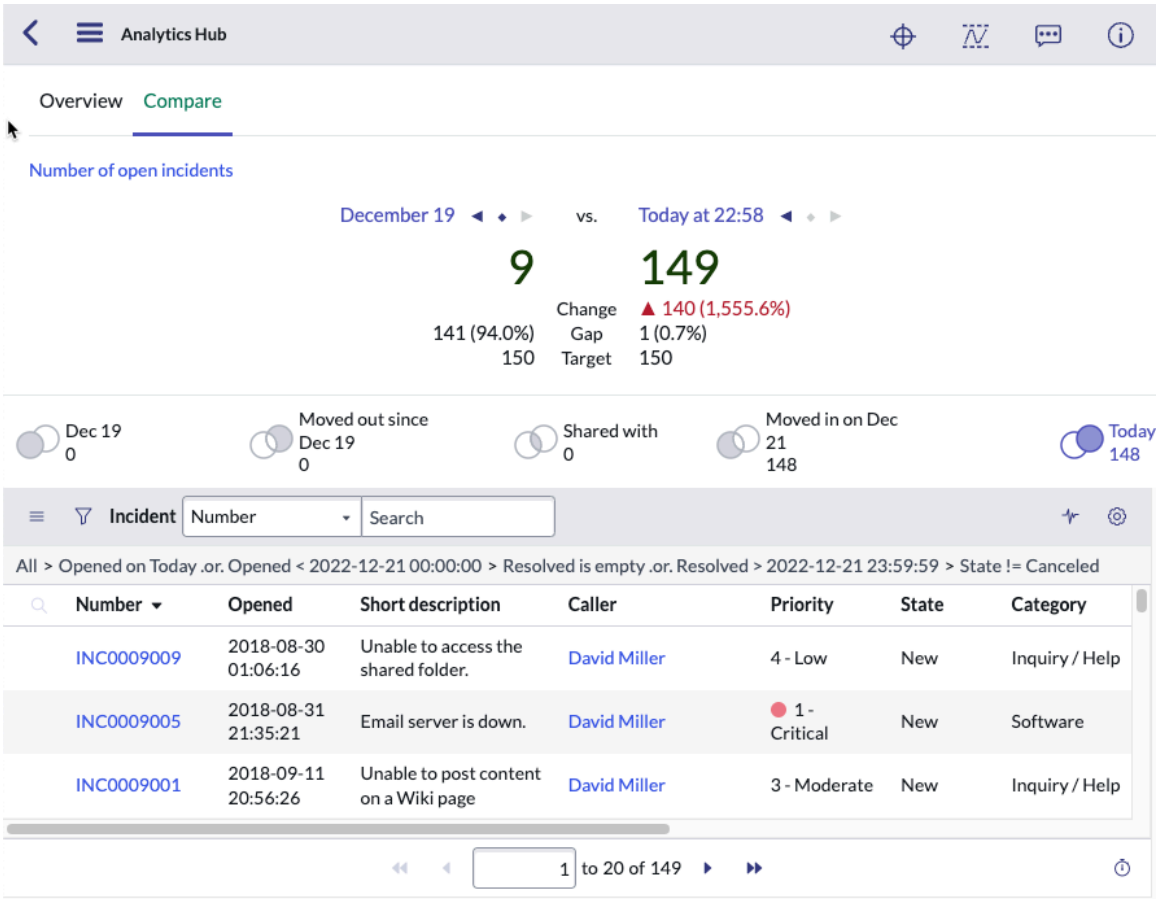
スコアを比較

[アナリティクスハブ 比較] タブで、任意の 2 つの日付のスコアを比較するか、リンクされたベンチマークスコアとスコアを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[比較] タブ



注:
[比較] タブは、自動インジケーターでのみ使用できます。

2 つの日付の自動インジケーターのスコアを比較できます。日付の選択は、[概要] タブと同じように機能します。さらに、あるタブで選択した日付は、別のタブに移動しても保持されます。

スコアがカウントを参照している場合は、スコアの下に左から右に次の情報が表示されます。

- 前日のスコア
- 前の日付以降にインジケーターから削除された、またはインジケーターから離れたレコードの数
- 両方の日付でインジケーターによって共有されているレコードの数。つまり、レコードが前の日付と後の日付の両方でインジケーターにあることを意味します
- 移動されたレコードの数、または後の日付にインジケーターに追加されたレコードの数
- 最新日付のレコードの数

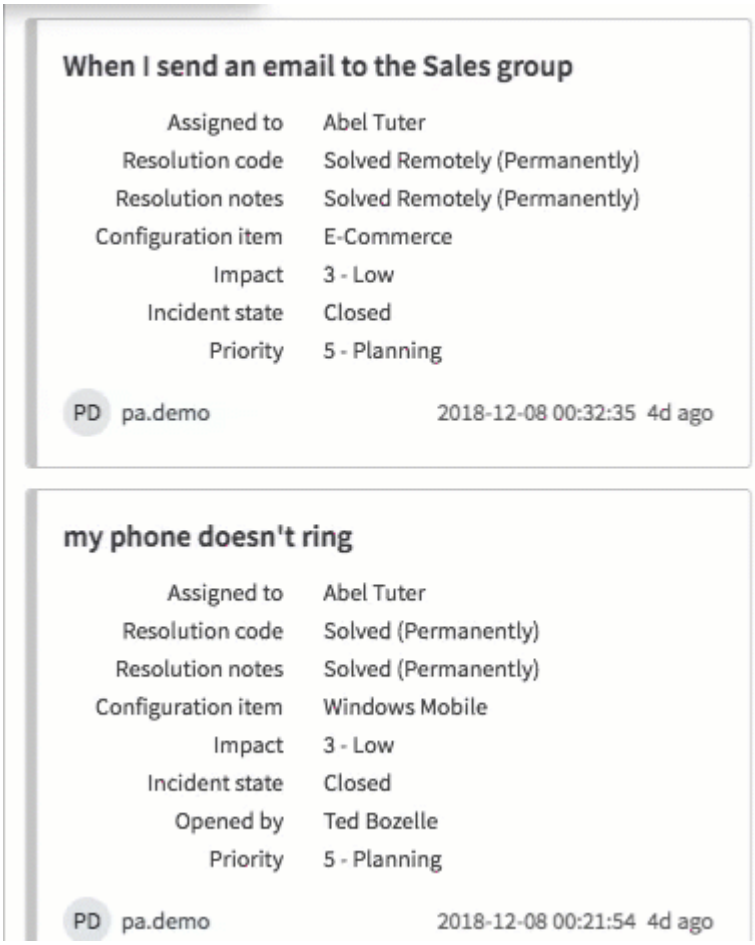
インジケーター内のレコードリストは下部ペインにあります。日付を比較する場合は、グラフアイコン ( ) をクリックしてアクティビティストリームを開きます。アクティビティストリームには、レコードごとに、レコードの最新のアクティビティとその現在のステータスに最も関連性の高いフィールドが表示されます。アクティビティのタイムスタンプにカーソルを合わせると、[コメント] リンクが表示されます。このリンクをクリックすると、追加コメントまたは作業メモを残すことができるダイアログが開きます。

注:
インジケーターに時系列集計を適用すると、レコードを比較することはできません。スコアは集計されますが、基になるレコードは集計されません。集計スコアを比較できます。

自動翻訳

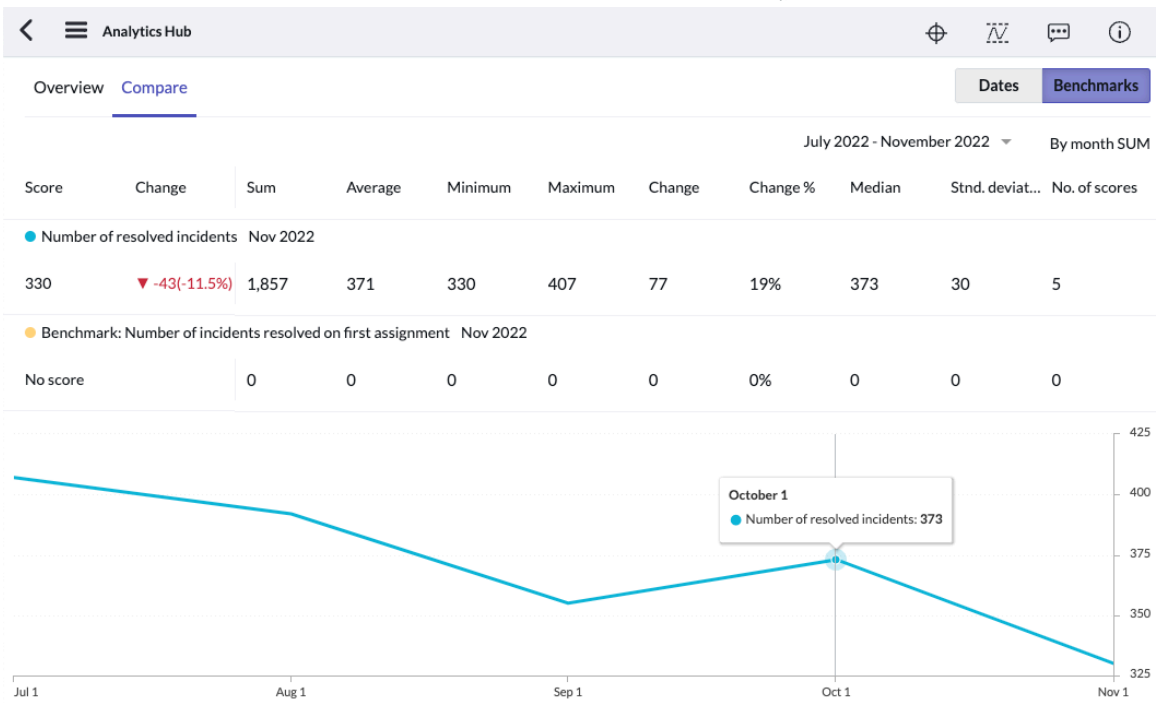
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティストリーム



インジケーターがベンチマークインジケーターにリンクされている場合は、[ベンチマーク] を選択して 2 つのインジケーターを比較します。[概要] タブの場合と同様に、インジケーターを比較する日付範囲を選択します。

インジケーターとリンクされたベンチマークインジケーターの比較



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

自動インジケーターのベンチマークへのリンク

アナリティクスハブ **UUID**

インジケーターに指定するブレークダウン、要素、時系列集計、およびドメインのすべての組み合わせには、一意の識別子 (UUID) があります。スクリプトを記述したり、 アナリティクスハブ がどのように機能するかを理解したりするには、これらのUUIDがどのように構築されるかを理解する必要があります。

アナリティクスハブ およびワークスペース KPI 詳細でインジケーターを選択し、次のようにしてさらに指定できます。

- 最大 2 レベルのブレークダウン
- 要素フィルタ
- レベルごとに複数の要素を含む、最大 2 レベルのブレークダウン要素 (アグリゲートスコア)
- 時系列アグリゲーション
- ドメインセパレーション

各組み合わせは、いわゆるUUIDで表されます。UUID は、インジケーターとこれらの指定子のいずれかのsys_IDsから、次の順序で連結されます (ドメイン ID の前のセミコロンに注意してください)。

```
<indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id>
```

indicator_sys_id 以外のすべての指定子は省略可能ですが、1 つの例外があります: *breakdown_sys_id*が指定されている場合は、少なくとも 1 つの*element_sys_id*が必要です。ブレークダウンを指定して要素を指定しない場合 (たとえば、すべての要素のリストを取得する場合)、ブレークダウンsys_idを別のパラメーターに入れることができます。例については、この GET/now/pa/scorecards REST API の例を参照してください。指定されたブレークダウンのどの要素とも一致しないスコアを参照するには、文字列 unmatched を *element_sys_id*の代わりに使用します。

ターゲット、しきい値、およびその他の アナリティクスハブ 機能と KPI 詳細機能は、UUID ごとに適用されます。つまり、インジケーター、ブレークダウン、要素と要素フィルター、時系列集計、およびドメインの一意の組み合わせに個別に適用されます。また、 KPI シグナル アプリケーションは、完全に指定された各インジケーターを UUID ごとに個別に監視します。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス の統合

KPI 詳細

インタラクティブアナリシス

インタラクティブアナリシスを使用すると、レコードリストのデータをすばやく探索できます。

注:
プラットフォームアナリティクス はインタラクティブアナリティクスをサポートしていません。

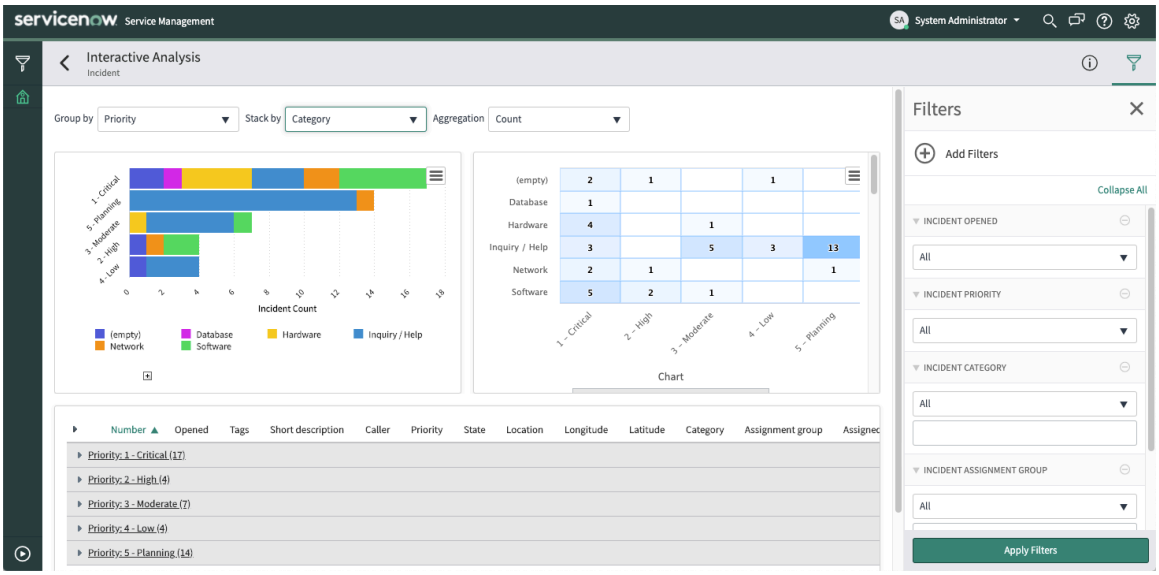
レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

します。情報アイコン ( ) をクリックしてソースフィルターを編集し、適用されたフィルターのリストを表示して、分析の URL をコピーします。

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に
必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。
   インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。
3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブールフィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブアナリシスの起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

インタラクティブ分析情報パネル

[フィルタ情報] パネルでは、現在のフィルタの概要が表示されます。また、ソース フィルタ条件の編集、インタラクティブ分析のブックマーク、同僚とのインタラクティブ分析の共有を行うことができます。

インタラクティブ分析では、作業しているテーブルにインタラクティブフィルターがあることを前提としています。フィルターを作成するには、「 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報アイコン ( ) をクリックして、[フィルター情報] パネルを開きます。

情報パネルには次の機能があります。

ソースフィルタ

フィルタに適用される条件を表示します。星をクリックして、このインタラクティブ分析をお気に入りに追加します。

ソースフィルタの編集

[ソースフィルタの編集] ボタンをクリックして条件ビルダを開きます。ソース フィルタは、インタラクティブ フィルタの定義ページを再度開かずにここで編集できます。

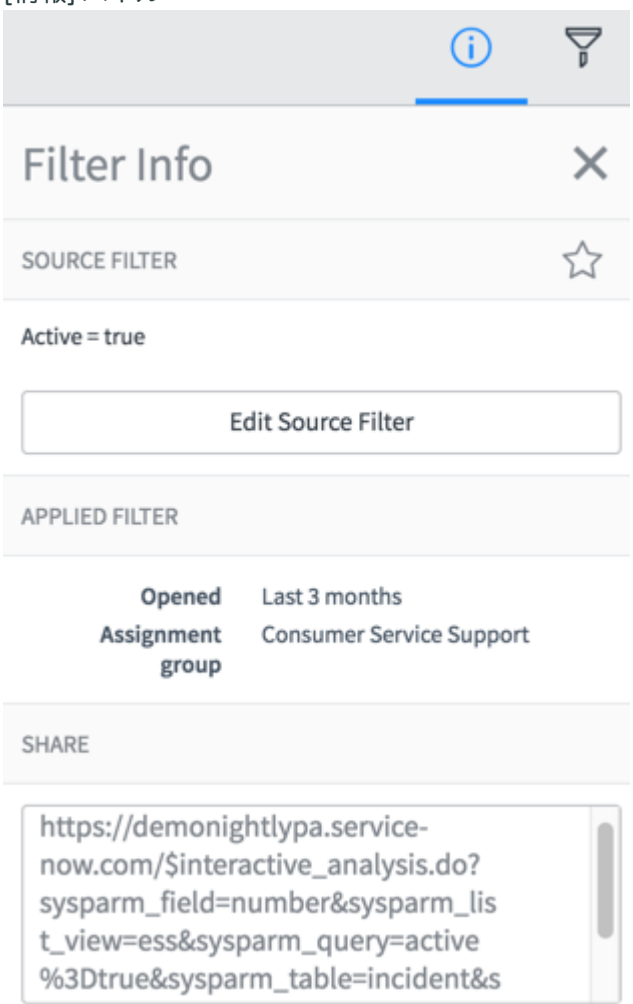
適用済みフィルタ

現在のインタラクティブ分析に適用されるフィルタの概要が表示されます。

共有

分析の完全な URL が表示されます。URL をクリックして強調表示します。詳細については、次のリンクを参照してください。

[情報] パネル



インタラクティブ分析のブックマーク

後で使用できるようにインタラクティブ分析を保存するには、お気に入りに追加してください。

始める前に

必要なロール：なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン ( ) をクリックして、[フィルター情報] パネルを開きます。
4. インタラクティブ分析にフィルタを適用し、[フィルタを適用] をクリックします。
5. 星型のアイコンをクリックして、インタラクティブ分析をお気に入りに追加します。



タスクの結果
ナビゲーション パネルのお気に入りリストは、現在のインタラクティブ分析のブックマークで更新されます。

インタラクティブ分析の共有

インタラクティブ分析の URL は他のユーザーと共有することができます。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

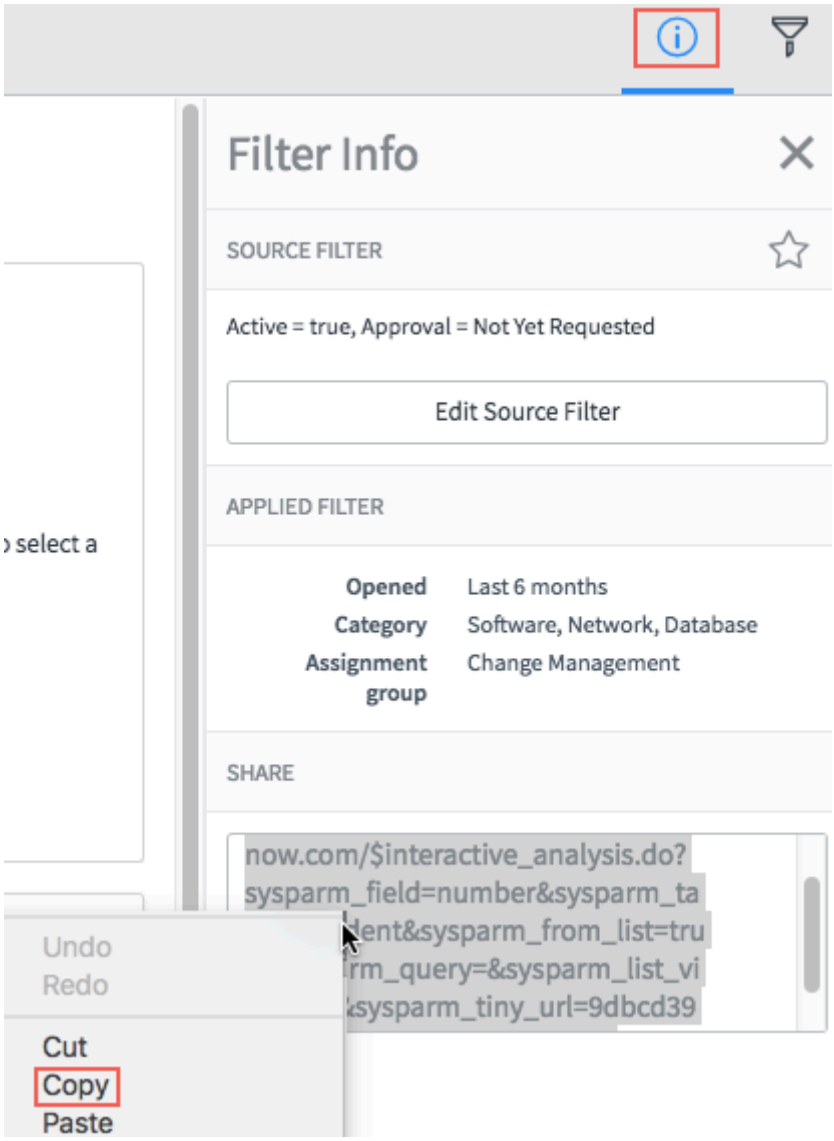
手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルターアイコン ( ) をクリックしてインタラクティブフィルターを表示します。
4. フィルタを目的通りに変更し、 [フィルタを適用] をクリックします。
5. 情報アイコン ( ) をクリックして、[フィルター情報] パネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [共有] セクションの URL を右クリックし、[コピー] を選択します 。



タスクの結果
インタラクティブ分析の URL は、分析の情報にアクセスできるユーザーとメールで共有できます。

インタラクティブ分析へのフィルタの追加

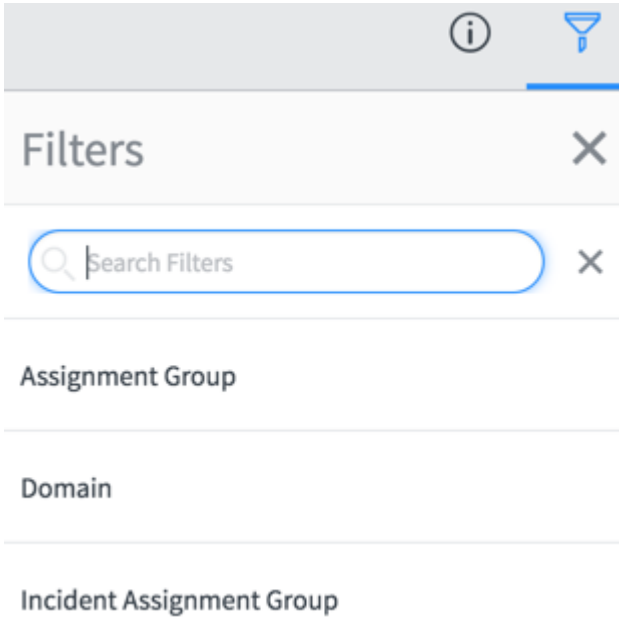
フィルタを追加して、より絞り込んだ情報をインタラクティブ分析に表示します。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルタ アイコン ( ) をクリックして [フィルタを追加] をクリックします。
   [検索フィルタ] バーを使用して、表示されるフィルタの数を制限します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

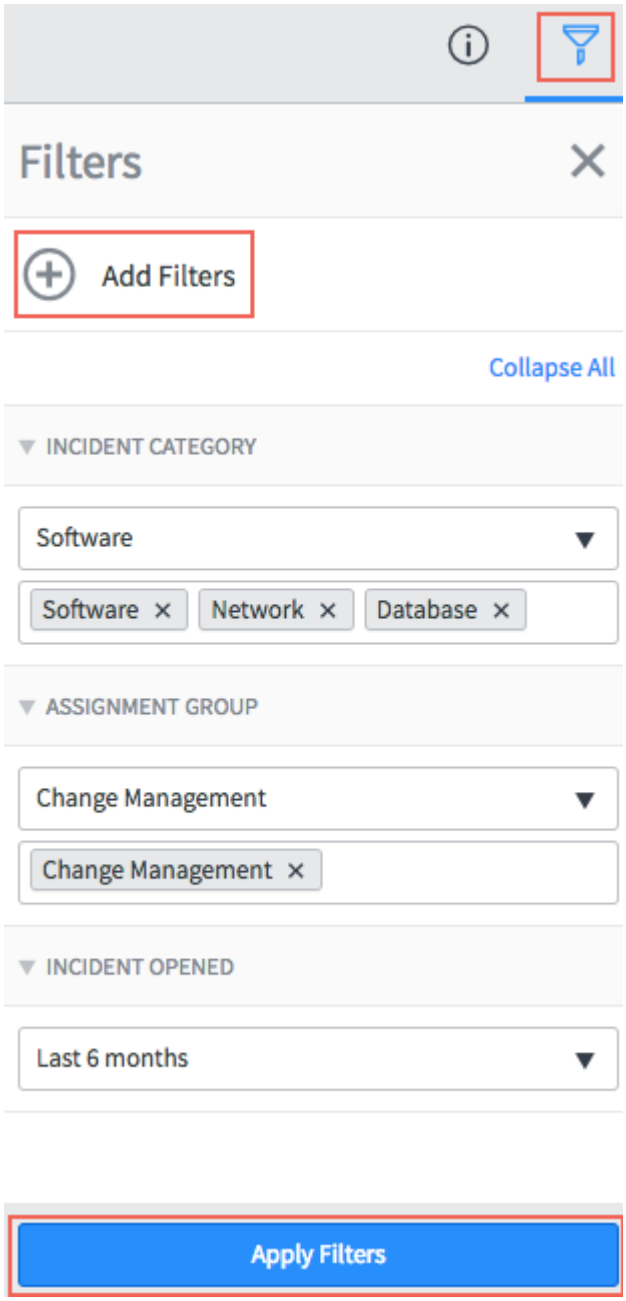


4. 追加するフィルタを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [フィルタを適用] をクリックします。



タスクの結果

新しいフィルタがインタラクティブ分析に適用されます。情報アイコン ( ) をクリックして、ソースフィルターサマリーにフィルターを表示します。

インタラクティブ分析からのフィルタの削除

インタラクティブ分析からフィルタを削除し、分析内のグループリストと積み重ね基準リストからフィルタ要素を削除するかどうか指定できます。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 列見出しを右クリックして [インタラクティブ分析の起動] を選択するか、自分が所有するダッシュボードを開いてインタラクティブ フィルタを表示します。
3. フィルタ アイコン ( ) をクリックし、インタラクティブ フィルタを表示します。
4. 削除するフィルタをポイントし、 [フィルタを削除] アイコンをクリックします。

タスクの結果
フィルタがインタラクティブ分析から削除されます。

ソース フィルタの編集

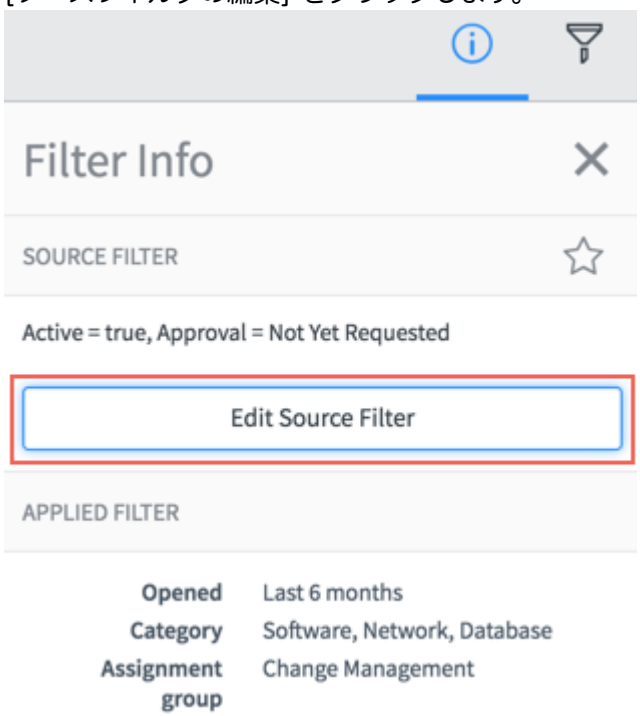
インタラクティブ分析の [フィルタ情報] パネルでソース フィルタを編集できます。

始める前に
必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン ( ) をクリックして、[フィルター情報] パネルを開きます。
4. [ソースフィルタの編集] をクリックします。



5. [フィルタのロード] をクリックし、編集するフィルターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 既存の条件を編集し、新しい条件を追加します。
7. [変更内容の保存] をクリックします。

タスクの結果
インタラクティブ分析が新しいソース フィルタで更新されます。[フィルタ情報] パネルに、更新された条件が表示されます。

関連情報
条件ビルダー

インタラクティブアナリシスフィルターの重複排除

インタラクティブアナリシスを起動すると、重複するフィルターが フィルター パネルから自動的に削除されます。フィルターパネルをクリーンアップする必要はありません。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

- 構成が同じである場合は、UI コントロールにより初期起動時に表示されるフィルタが決まります。優先度は複数の入力フィルタが最も高く、単一入力、チェック ボックス、ラジオ ボタンと続きます。フィルタを表示するための利用可能な UI コントロール タイプ フィールド オプションについては、「」を参照してください。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成と UI コントロールの両方が同じである場合は、最新のフィルタが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。
- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

インタラクティブ分析の永続化

選択するフィルタは、各ビューとユーザーごとのインタラクティブ分析の使用において永続します。

ビュー (テーブルの特定の列) でインタラクティブ分析を初めて起動すると、すべてのフィルタがデフォルト値に設定されます。次回、同じビューでインタラクティブ分析を起動すると、フィルタ、フィルタの順番、グループ、積み重ね基準、集計パラメータは、前回使用したものが引き継がれます。

また、 [グループ] と [積み重ね基準] 要素は、フィルタが分析に追加されると更新されます。例えば、インタラクティブ分析ページにマネージャ フィルタを追加します。するとすぐに、マネージャ別にウィジェットをグループ化し、積み重ねできます。

フィルタの [グループ] と [積み重ね要素] の同期

フィルタを [フィルタ] パネルに追加した時、および [フィルタ] パネルから削除した時は、インタラクティブ分析で [グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期します。[グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期せずに、フィルタを削除することもできます。

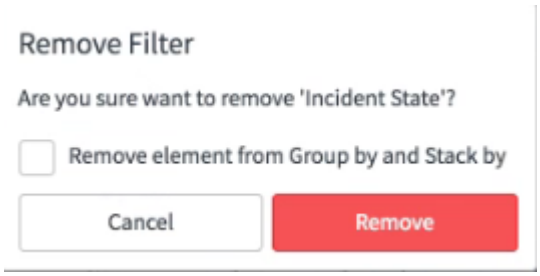
始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. [フィルタ] パネルで、[フィルタを追加] をクリックして新しいフィルタを追加します。
4. [フィルタを適用] をクリックします。
   新しいフィルタ要素が [グループ] と [積み重ね基準] リストに表示されます。
5. インタラクティブ分析からフィルタを削除して、[フィルタ] パネルからフィルタを削除します。



6. オプション: [[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除] を選択します。
   オプションの「[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除」は、次の場合には表示されません。
   - 削除するフィルタと同じターゲット フィールドを持つ [フィルタ] パネルに、別のフィルタが存在する場合。
   - インタラクティブ分析を起動する前にソース リストをカスタマイズした場合。列がカスタマイズされたリストの一部である場合は、フィルタの追加または削除による [グループ] と [積み重ね基準] の要素の同期はできません。

インタラクティブ分析の集計

インタラクティブ分析を使用すると、レコード カウントや、合計、平均、別個のカウントの観点でデータを表示できます。

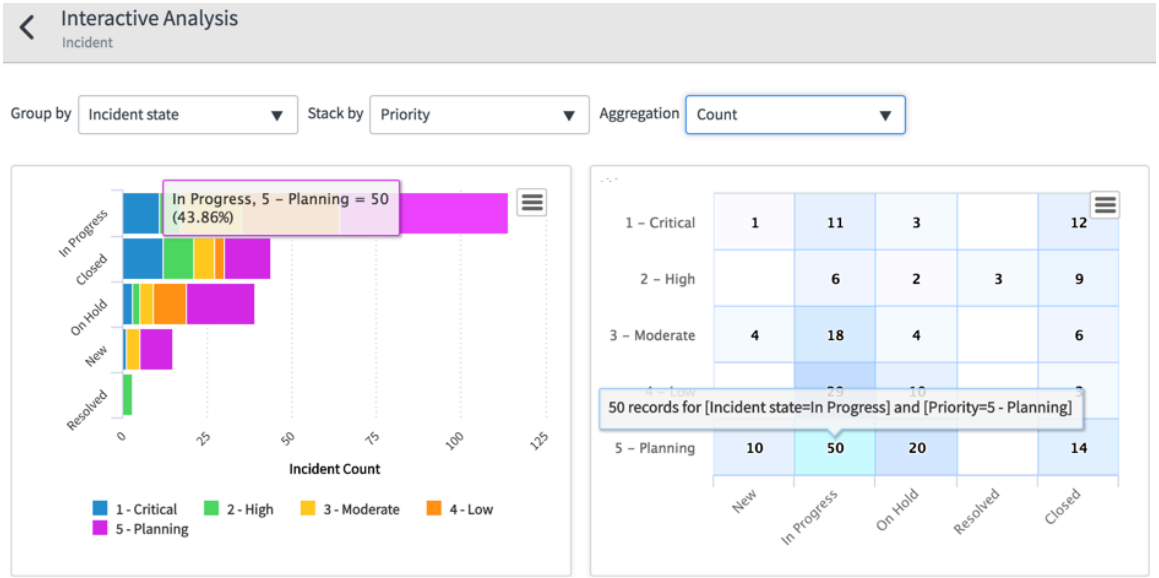
集計タイプ

カウント

カウントはデフォルトの集計で、インタラクティブ分析を起動した際に表示されます。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。例えば、状態ごとにグループ化されたインシデント、優先度別に積み重ねられたインシデント、カウント別に集計されたインシデントの分析は、ヒントの各カテゴリやマルチディメンションレポートのセルのインシデント数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

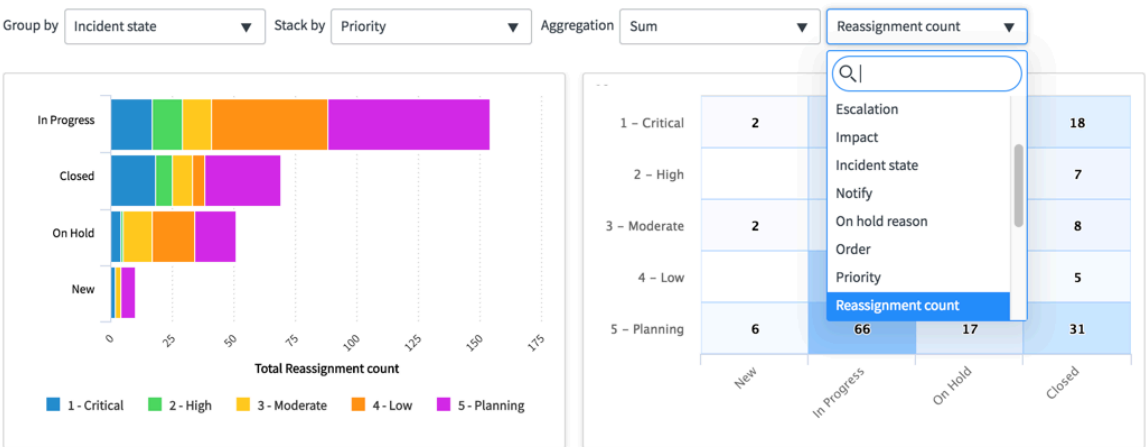


平均、合計、個別のカウント

選択したテーブルからフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、[個別のカウント] を選択します。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「 拡張テーブルでレポートする方法」を参照してください。このリストから集計するフィールドを選択します。例えば、[再アサイン回数] などの整数フィールドを選択すると、データは 10 進数で表示されます。詳細については、「縦棒グラフ レポート」を参照してください。

> **注:**
> 期間値だと、集計軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

[個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。



Automation Discovery

ServiceNow® オートメーションディスカバリー は、ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。Discovery レポートを使用して、仮想エージェント (VA)、エージェントアシスト などの自動化ソリューションを実装または改善します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

使用方法の概要

Automation Discovery はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このモデルは、レコードから 180 を超える自動化の機会を特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートはレコードを関連するクラスターにグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

インストール

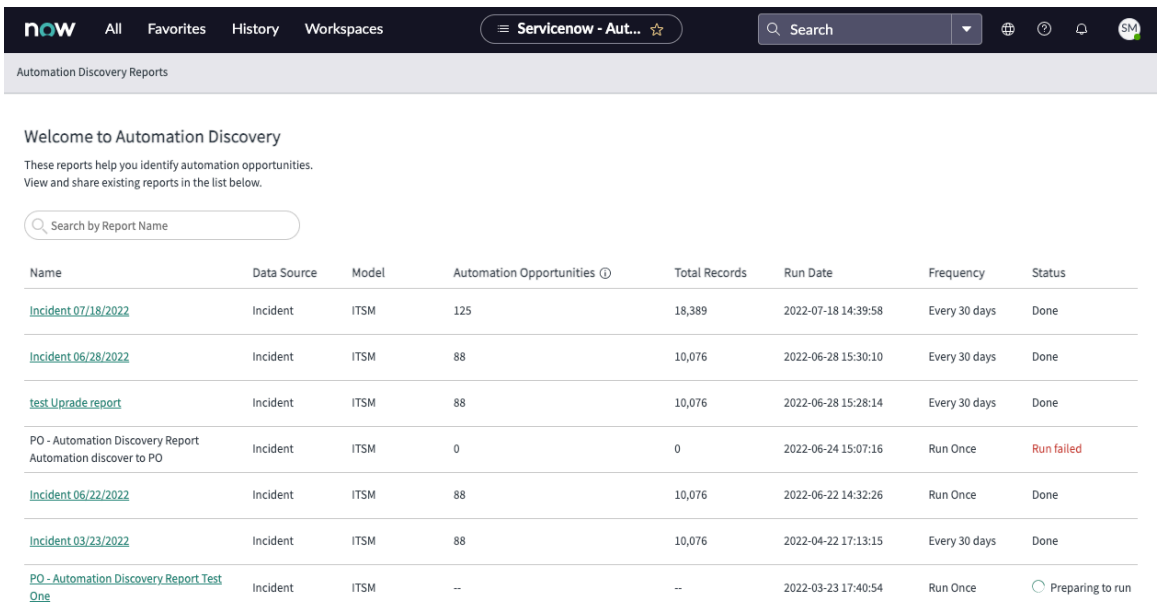
オートメーションディスカバリー は ServiceNow Store から利用できます。詳細については、「オートメーションディスカバリーのインストール」を参照してください。

言語サポート

オートメーションディスカバリーは、 **ITSM** 分類を使用して作成されたレポートについて、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、および日本語のインスタンスをサポートしています。

予測 **AIOps** 分類を使用して作成されたレポートは、モデルのトレーニングデータが英語のログメッセージで構成されているため、英語のみをサポートします。

Discovery レポート



[Automation Discovery レポート] ページに、作成したレポートが一覧表示されます。レポートごとに、次の情報が表示されます。

列	説明
名前	作成時にレポートに付けられた名前。
データソース	分析されたレコードのソース。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

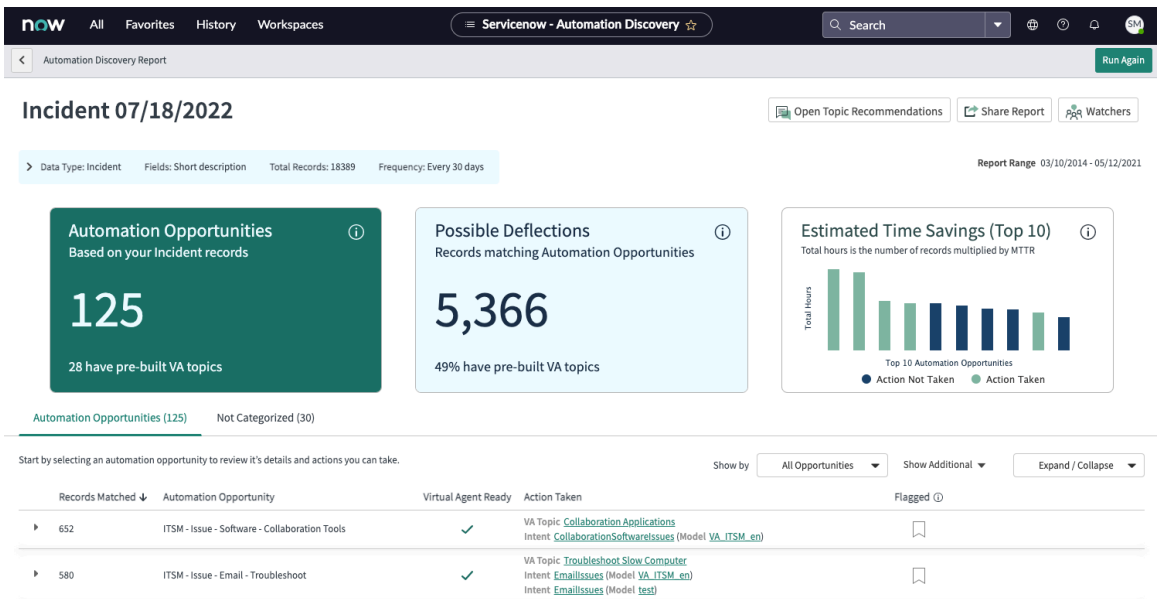
列	説明
モデル	レポートを実行するための分類。
自動化機会	レコードと一致するさまざまな構築済みインテントの数。
未分類	構築済みのトピックと一致しない発言を含むクラスター化されたグループの数。
合計レコード	レポートで分析されたレコードの数。
実行日	最新の実行日時。
周期	レポートを実行する回数。
ステータス	レポートのステータス。

新しいレポートを作成するには、「オートメーションディスカバリーレポートの作成」を参照してください。

結果を表示するには、レポートの名前を選択します。

レポートブレークダウン

成功したレポートごとに、レポートページに自動化機会に関する情報が表示されます。

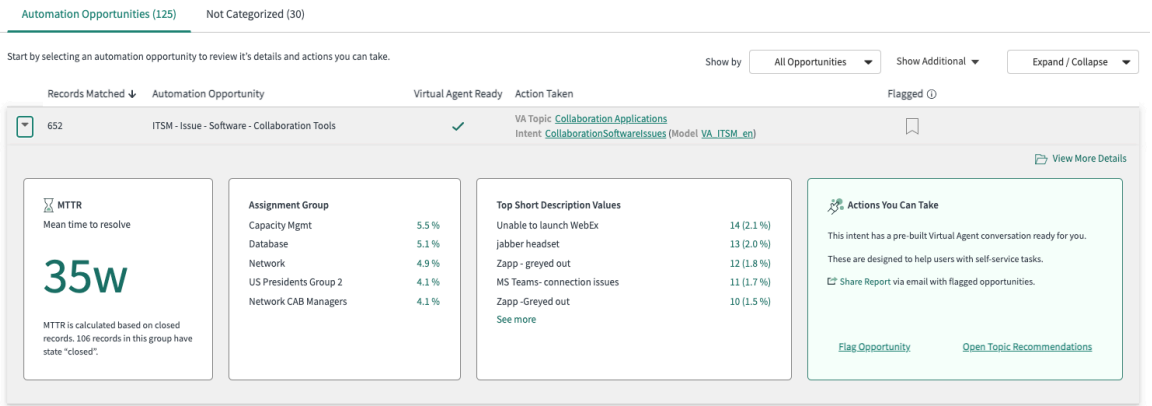


レポートは、一致するレコードを機会別にグループ化します。この例では、オートメーションディスカバリー が分析した数千件のインシデントから 125 件の自動化機会を見つけました。インシデントが同じインテントに一致するため、複数のレコードが同じ機会にグループ化されます。

回避は、自動化によってすぐに解決できた可能性のあるインシデントを参照します。オートメーションディスカバリー は、自動化機会に一致するすべてのレコードを合計して、[可能な回避] 数を取得します。一部の機会には、[仮想エージェント準備完了] としてマークされた、一致する構築済みの VA トピックがあります。

MTTR または平均解決時間は、インシデントの解決にかかる平均時間を参照します。このレポートは、一致するレコードの数に MTTR を掛けて、上位 10 件の機会の [推定削減時間] を取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[自動化機会] タブには、データに一致する自動化機会が一覧表示されます。各行のリストアイコンを選択すると、その機会のレコードに関する詳細情報が表示されます。

[未分類] タブには、ビルド済みインテントと一致しないレコードのクラスターが表示されます。レポートは、類似性に基づいて未分類のレコードをクラスターにグループ化しようとします。各行のリストアイコンをクリックすると、そのクラスター内のレコードに関する詳細情報が表示されます。

トピックの推奨事項 への機会の追加

仮想エージェント トピックの推奨事項 は 仮想エージェント の自動化の改善に役立ちます。オートメーションディスカバリー レポートから トピックの推奨事項 に自動化機会を追加できます。

[実行できるアクション] カードには、レポートの自動化機会で実行できる内容が表示されます。**VA** 対応のオポチュニティの場合は、[トピックの推奨事項を開く] を選択してオポチュニティをトピックの推奨事項に追加します。

トピックの推奨事項 では、自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルと仮想エージェントにトピックを追加できます。モデルに機会を追加すると、[実行されたアクション] に対応するインテントまたはモデルが表示されます。

詳細については、「 仮想エージェントトピックの推奨事項 と NLU models の使用」を参照してください。

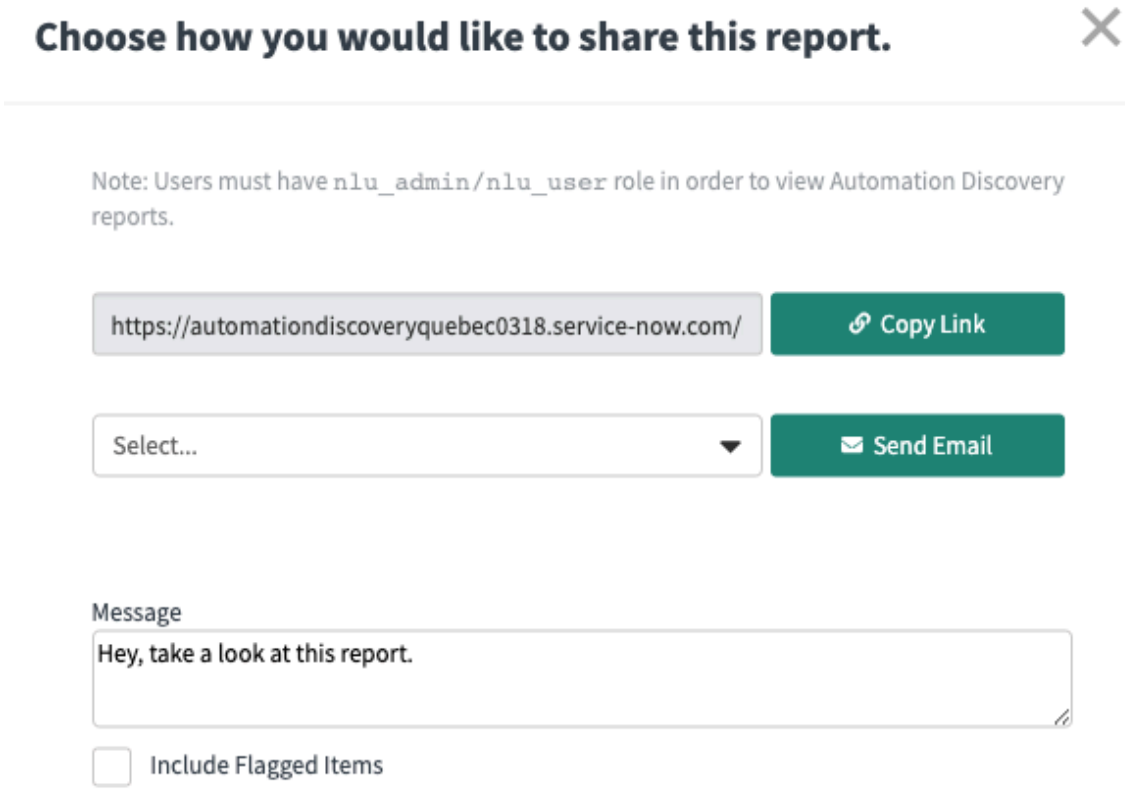
VA の準備ができていない機会のカスタムトピックを作成することもできます。カスタムトピックの作成の詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「Creating Virtual Agent Topics (仮想エージェントトピックの作成) 」を参照してください。

共有とフラグ付け

検出レポートをチームの他のメンバーと共有できます。レポートページで、[レポートの共有] をクリックしてレポート共有ポップアップを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



提供されたリンクを使用するか、メールでレポートを共有できます。

注:
オートメーションディスカバリー レポートを表示するには、nlu_admin または nlu_user ロールが必要です。

強調表示する特定の自動化機会にフラグを設定することもできます。機会にフラグを設定するには、フラグアイコンをクリックします。レポートを共有するときにフラグ付きアイテムを含めるには、[フラグ付きアイテムを含める] チェックボックスをオンにします。

プロパティ

Automation Discovery の [プロパティ] ページでは、Discovery レポートの設定を制御できます。

レコードの最小数と最大数を設定すると、分析するデータの量を制御できます。クラスタリングがレポートで機能するように、一意の一致しないレコードの数を設定することもできます。

クラスタリングを実行する前にデータのサンプリングをアクティブ化すると、レポートの生成を高速化できます。ただし、レポートは少量の一致しないレコードをクラスター化します。

関連情報

仮想エージェント

オートメーションディスカバリーのインストール

オートメーションディスカバリーアプリケーション (sn_auto_discovery) は、admin ロールを使用してインストールできます。関連プラグインがまだアクティブ化されていない場合は、アクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

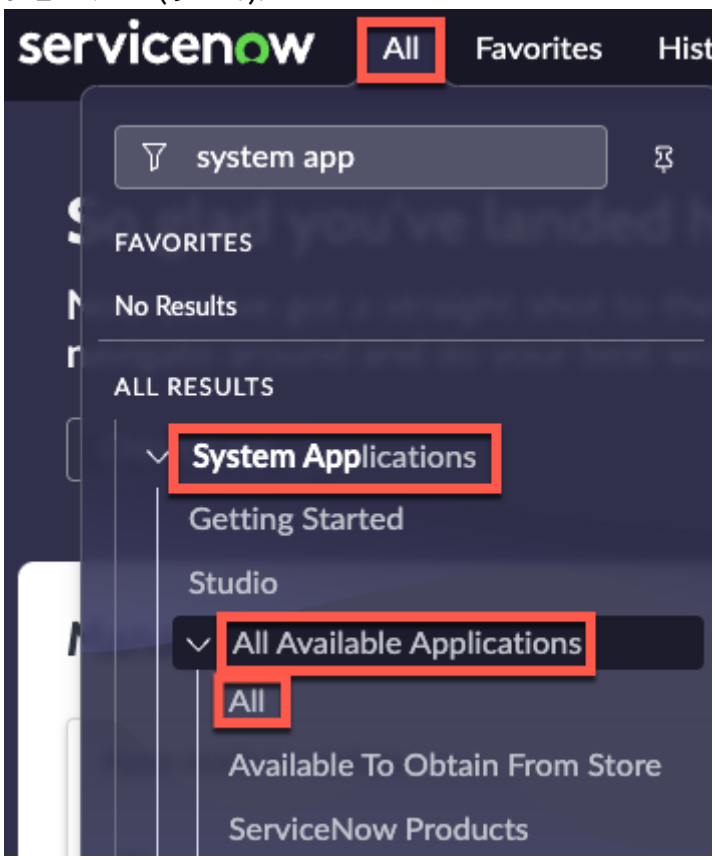
必要なロール：admin

このタスクについて
プラグイン、ロール、テーブルのアイテムが オートメーションディスカバリーとともにインストールされます。

詳細については、「オートメーションディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して オートメーションディスカバリー アプリケーション (sn_auto_discovery) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store.

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、リストされたアプリケーションの依存関係を確認します。

   オートメーションディスカバリー は、 予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) および NLU ワークベンチ (com.glide.nlu) プラグインに依存しています。これらのプラグインは、まだ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティブ化されていない場合、 オートメーションディスカバリー のインストール時にアクティブ化されます。

4. **[Install** (インストール)] を選択します。

次のタスク

予測インテリジェンス のアクティブ化によって *sharedservice.worker* ユーザーが正常にインストールされていることを確認します。詳細については、「Install Predictive Intelligence」を参照してください。

最良の結果を得るには、ITSM の VA 会話 (sn_itsm_va) および NLU モデルビルダー (com.snc.nlu_studio) プラグインをインストールします。詳細については、「仮想エージェントおよび Activate the NLU Workbench の追加プラグイン」を参照してください。

オートメーションディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント

テーブルとロールは、オートメーションディスカバリープラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
オートメーションディスカバリー処理済みメッセージ [sn_auto_discovery_processed_message]	元のデータソースレコードへの参照 (例:インシデント)。重複レコードは含まれません。
オートメーションディスカバリーパラメーター [sn_auto_discovery_param]	レポートのパラメーターを含むテーブル。
オートメーションディスカバリーラベル [sn_auto_discovery_labelled_message]	レポートレコードへの参照。
オートメーションディスカバリーインテント [sn_auto_discovery_intent]	オートメーションディスカバリーレポートを含むテーブル。処理されたメッセージとレポート トレースによって参照されます。
オートメーションディスカバリーグループ [sn_auto_discovery_group]	レポート内の自動化機会を含むテーブル。
オートメーションディスカバリーメッセージコンテンツ [sn_auto_discovery_message_content]	元のデータソースレコードへの参照 (インシデントなど)。重複レコードが含まれます。
オートメーションディスカバリーレポート	オートメーションディスカバリーを使用して以前に作成されたレポート。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_auto_discovery_report]	
オートメーションディスカバリージョブ [sn_auto_discovery_job]	オートメーションディスカバリーレポートジョブの実行を管理するテーブル。
オートメーションディスカバリーレポートトレース [sn_auto_discovery_report_trace]	レポートのインテントまたはクラスターのために追加された自然言語理解 (NLU) インテントの履歴。
オートメーションディスカバリーレポート定義 [sn_auto_discovery_report_definition]	レポートの実行方法とレポートステータスを定義するテーブル。単一のレポート定義から複数のレポートを実行できます。
オートメーションディスカバリークラスター [sn_auto_discovery_cluster]	レポートの未分類のレコードのクラスター。処理されたメッセージとレポート トレースによって参照されます。

インストールされているロール

ディスカバリー作者 **[sn_auto_discovery.DiscoveryAuthor]**

オートメーションディスカバリーレポートを作成し、自動化機会にフラグを設定して、それらに対してアクションを実行します。

ロールを含む

ディスカバリーの作者 [sn_auto_discovery.DiscoveryAuthor] ロールには、nlu_user ロールが含まれます。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

オートメーションディスカバリーレポートの作成

オートメーションディスカバリーレポートを作成して、自動化機会のレコードを分析します。

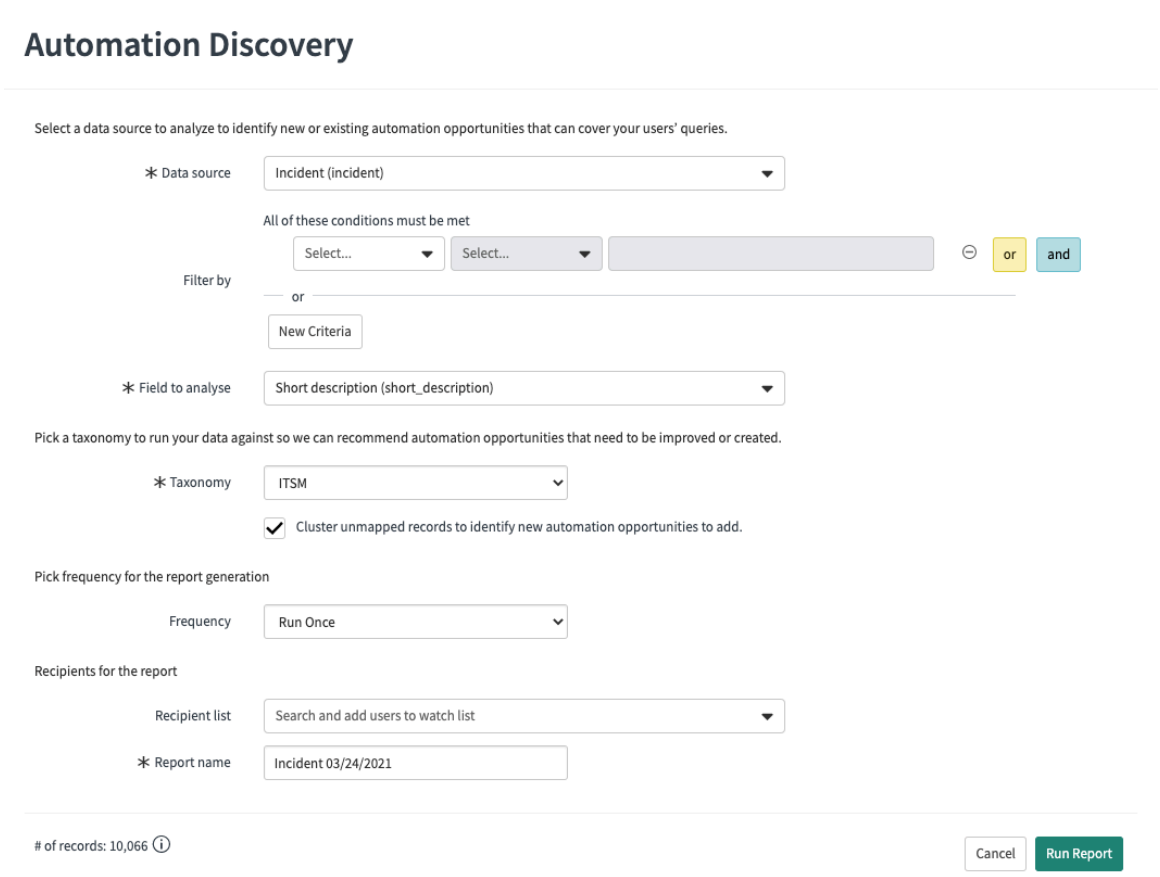
始める前に
必要なロール:admin、nlu_admin、または sn_auto_discovery。ディスカバリー作成者

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > オートメーションディスカバリー > オートメーションディスカバリーレポート.
2. [新しいレポート] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



3. フォームフィールドに記入します。

フィールド	説明
データソース	分析するレコードのタイプ。 デフォルトは [インシデント] です。
フィルター基準	分析するレコードを選択するための基準。
分析するフィールド	オートメーションディスカバリーで分析するデータテーブルのフィールド。
分類	データを実行するモデル。デフォルトは **ITSM** で、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語をサポートしています。予測 **AIOps** 分類は英語のみをサポートしています。 同じ分類を使用して一致しないレコードをグループ化するには、このチェックボックスをオンにします。
頻度	指定された条件でレポートを実行する頻度。 デフォルトは **[1** 回実行] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	改善を確認するために、モデルに機会を追加した後にレポートを継続的に実行することを選択できます。
受信者リスト	メールでレポートを受信するユーザー。
レポート名	レポートの名前。

注:
# of records 数値は、基準を満たすレコード数の推定値を示します。

4. [レポートを実行] を選択します。
レポートは、[ディスカバリーレポート] ページのリストの一番上に表示されます。このページには、レポート のステータス が一覧表示されます。分析が完了したら、レポートを選択して結果を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。